GENRE JAPONICA

万有百科大事典

索引

SHOGAKUKAN

ENCYCLOPEDIA
GENRE
JAPONICA

万有百科大事典

21

索引

SHOGAKUKAN

GENRE JAPONICA

万有百科大事典 21
索引

昭和51年7月20日　初版第1刷発行
昭和58年6月20日　初版第15刷発行

編集著作出版者　相賀徹夫

発行所　株式会社　小学館

郵便番号　101
東京都千代田区一ツ橋2ノ3ノ1
電話　編集・東京03－230－5620
製作・東京03－230－5333
販売・東京03－230－5767
振替　東京　8－200番

印刷者　凸版印刷株式会社
鈴木和夫

特抄コート紙　王子製紙株式会社

特抄アート紙　三菱製紙株式会社

特抄クロス　ダイニック株式会社

表紙用特製色箔　日本ミクロコーティング株式会社

製本　凸版印刷株式会社

ISBN4-09-525021-6

序

　現代は驚くべき速さで進んでいる。学問や知識が無限にひろがっていくばかりか、それとともに、現代人の知識が急速に細分化されてくる時代となっている。ますます情報が多過ぎて、なにが本質的なことなのかもわからなくなっている。また、熟知しているはずの事がらが、じつはまったく全体の一部分であったりすることも少なくない。われわれ現代人は大きな変化に直面し、新しい思考方法の展開にせまられているかのようである。

　いうまでもなく百科事典は、あらゆる質問や要請にこたえられるのが理想である。おのずから百科事典は、くわしくて大きければ大きいほどよいとする考え方がある。しかし、こんにち学問や知識がほとんど無限に拡大されてくる状況において、いかなる理想を百科事典が追うべきなのであろうか。ますます専門化してくる内容を、どこまで伝えられるというのであろうか。巻数や費用に限度がある以上、百科事典もまた、新しい役割を見いだし、新しい視点をもたなければならない。

　明治維新における近代日本の思想家たちは、「実学」という考え方をもっていた。福沢諭吉も『学問のすゝめ』のなかで、「今かかる実なき学問は先ず次にし、勤むべきは人間普通日用に近き学実学なり」として、「一科一学も実事を押さえ、その事に就きその物に従い近く物事の道理を求めて、今日の用を達すべきなり」と述べている。

　この「実学」とは、生きるうえで役立つ知識、現実的に考えさせる学問、あるいはまた実践的な学習、さらに場合によっては実証的な学問といった内容を含んでいる。みずからの目的と用途に直結する学問という意味では、学問の新しい使命を模索する啓蒙的精神をあらわしたものにほかならない。

　現実的な欲求をベースにした「実学」の思想こそ、こんにち見直されるべきではないだろうか。学問が専門化し、知識の細分化がよぎなくされている状況で、それに即応して事典の小項目を増加させればいいものではない。小項目主義の小さなスペースで、ちなみにその本質や原理を問いつくすことができるであろうか。これまでの方法では「今日の用を達す」ことはもはや不可能になっている。

　この『万有百科大事典』は、明治の「実学」の時代の問題意識にさかのぼり、当時の『百科全書』（文部省刊、明治六年開始）がそうであったように、分野別に編成し、関連した領域を各巻にまとめて扱おうとするものである。おのおの項目を五十音順にならべて、事典として引きやすくするとともに、関連する項目を併読し、さらに通読しうることによって、より広い展望と視野がつかめるように配慮したものである。

　分野別の機能は、たんに知識を得るばかりでなく、学習や好奇心の楽しさを味わわせ、たえずそれを契機にして広く考えさせる場をになうものであろう。各巻のなかで、さまざまな比較、関連、深化、展開がはかりやすくなっているわけであり、いっそう学問や知識が現実的に、かつ体系的に把握されることを熱望するものである。

　本巻の「索引」は、二十巻に分けられている各巻の小宇宙をつよく結びつけているものであり、百科事典としての豊穣な全体系をあらわすものにほかならない。ここにおいて「索引」の使命もまた大きいと言わざるをえない。

小学館百科事典編集部

万有百科大事典の構成

1 文学

編集顧問
高津春繁
手塚富雄
西脇順三郎
久松潜一

——日本文学・世界文学——

世界と日本の文学を一冊にまとめた『世界文学人名事典』（約五〇〇〇名）が中心。作家の「生きた、書いた、愛した」跡をいきいきと再現し、末尾に、独立した作品解説も収録する。ほかに主要な思潮、流派、用語、雑誌、主要国文学史を紹介。

2 美術

編集顧問
新規矩男
田中一松
富永惣一

——絵画・彫刻・建築・工芸・書・デザイン——

洞窟壁画からポップアートまでの世界各国の美術の流れをはじめ、時代様式、流派、巨匠の生涯などを一冊にまとめたコンパクトな美術全集。世界の名品を、別刷を含めた豊富な図版に盛り込み、美術鑑賞のよき手引きとなるように編集。

3 音楽・演劇

編集顧問
河竹登志夫
皆川達夫

——音楽・演劇・舞踊・オペラ・バレエ・伝統芸能・民族芸能・大衆芸能・映画——

バロックからビートルズまでの西洋音楽の展開、日本伝統芸能の種々相、ギリシア悲劇からハプニングまでの多彩な演劇活動、そして、映画、テレビなどの映像芸術にいたるまで、その本質に鋭くふれたユニークな芸術鑑賞ガイド。

4 哲学・宗教

編集顧問
岩崎武雄
中村元
古川哲史
堀一郎

——哲学・宗教・神話・言語・心理・教育——

人類の思考と習俗の営為を原点から再確認。ともすれば定義に終りがちな事項を、太い歴史の流れの中で、対比的に読み取れるよう記述する。さらに大項目の中では、その分野の用語一覧、人名一覧などをくわしく掲げて、厚みある理解に資した。巻末索引の活用によって、『世界名著事典』の役割も果たす。

6,5 日本歴史

編集顧問
児玉幸多
竹内理三
遠山茂樹
豊田武

——日本歴史・有職故実・考古学・武芸・風俗——

専門歴史事典に欠落しがちな風俗、生活、民俗、武芸、神話、考古の領域までも網羅。さらに、中・高校生の学習面を重視し、引きやすい項目、まとめやすい解説を配慮。全二冊で総項目数は約八千九百。

8,7 日本地理

編集顧問
浅香幸雄
織田武雄
木内信蔵

——日本地理——

日本列島に関する八千項目の地名と、地理用語集を収録。解説は最新のデータにより各県在住の権威が執筆。土地の歴史、風俗、観光面まで、正確かつ興味深く記載。地図や写真、図表類は約二千五百。全二冊で、付録として日本全図つき。

9 世界歴史

編集顧問
貝塚茂樹
堀米庸三

——世界歴史・考古学——

学習上の利便を考慮した世界史の参考書。カラー写真、歴史地図を豊富に入れ、見る事典としても楽しい構成。歴史の流れを把握しやすい項目構成に配慮し、第三世界、東欧関係も重視。

10 世界地理

編集顧問
織田武雄
木内信蔵
西村嘉助

——世界地理——

地理学習や海外旅行の案内書として一家そろって御使用できるユニークな世界地理・地名事典。全世界の最新・正確な情報を、豊富なカラー写真・図表・地図で立体・総合的に編集。付録として最高の技術を結集して作製した世界全図つき。

11 政治・社会

編集顧問
飯坂良明
池田政章
斉藤孝

——政治・法律・国際・社会——

気鋭の政治学者、憲法学者三氏が責任編集した日本で最初の本格的「政治・社会」事典。現代の政治、社会状況を的確にとらえるための基礎知識を提供。二十世紀の世界的事件、重要人物を重点的にとりあげ、徹底的に解説。現代史事典としても重宝。

12 経済・産業

編集顧問
越村信三郎
佐藤豊三郎

——経済・産業・経営・簿記・会計・統計・労働——

経済、産業の各分野から総合的・基本的に理解するための項目約一六〇〇を選定。理論、学説にとどまらず、内外の大企業二百社をも立項して、経済を現場からも捉えられるように配慮。写真、図表も豊富にとり入れた親しみやすい内容。

13
生活
編集顧問　遠藤武　河野友美　鈴木良徳　清家清

——衣料・服飾・食品・料理・住まい・インテリア・スポーツ・趣味・レクリエーション・レジャー・家事・冠婚葬祭・エチケット・家庭用品——

衣・食・住とスポーツ、遊びの事典。日常の生活に欠くことのできない基礎知識を系統的に網羅するとともに、レジャー時代にふさわしく、毎日をより充実させるための「ハウ・ツウ」を盛り込んだ楽しい一巻。

14
医学
編集顧問　小川鼎三　三辺謙　時実利彦

——基礎医学・臨床医学・法医学・薬学・漢方医学・医史学・保健衛生・育児——

人体の各部位を基礎項目として、生理・解剖から病理・治療までを、豊富な図版、写真を配して解説。さらに癌、痔などの主要な病気も単独項目で展開。漢方医学・薬学をはじめとして育児まで、広義の医学分野を包括した一般向き事典。

15
化学
編集顧問　植村琢　崎川範行　桜田一郎　水島三一郎

——化学・化学工業——

物質の構造・状態・変化そして性質と合成など基礎化学の初歩から、日常生活に関係の深い石油、石炭、香料、洗剤、染料、ビタミンまでひろく化学工業の分野を包括。別刷「周期表」「石油」、巻末付録「化合物命名法」など。

16
物理・数学
編集顧問　彌永昌吉　中村誠太郎　三村征雄　湯川秀樹

——力学・光・音・熱・電磁気・物性論・原子物理・量子力学・数学教育・数学基礎論・代数・幾何・解析学・トポロジー・確率・統計——

素粒子、量子論、レーザー、位相幾何学、線形計画など現代の物理学、数学の問題点を究明し、めざましく進歩した科学の基礎を理解できるように、また教育面も兼ね波・音・光、集合・統計なども平易に解説。

17
科学技術
編集顧問　木村秀政　中山秀太郎　三島良績　米元卓介

——機械・電気・電子・交通・土木・建築・鉱山・金属・印刷・写真・製紙・原子力・科学史・工学一般——

20世紀の技術革新を成就するに至る歴史を顧みて、将来の科学時代を展望する。「原子力」「自動車」「電子計算機」など十数個の大項目には、年表・コラム（囲み読物）、用語欄を設けた。別刷「鉄道」「自動車」「船」など。

18
宇宙・地球
編集顧問　伊東彊自　永田武　広瀬秀雄

——地球物理・地質・岩石・鉱物・気象・海洋・自然地理・天文・宇宙開発——

宇宙・地球に関する各分野の基本知識を、最新の観測結果に基づいて解明。自然現象発生の原因や仕組み、観測方法、観測機器の構造は分りやすく図解。興味深い囲み記事のほか、季語も解説。巻末資料は単位記号一覧、参考図書、宇宙・地球科学史年表。

19
植物
編集顧問　佐竹義輔　清水基夫　亘理俊次

——植物・園芸——

内外の植物七千種を収録し、観察と採集に役立つように詳説。利用法、栽培法のほか、各地の花の名所、天然記念物の所在地を紹介。囲み記事では植物に関する美術、文学、民俗の面を扱う。主要な植物には季語の解説、例句を付した。図版多数。

20
動物
編集顧問　今泉吉典　黒田長久　末廣恭雄　中根猛彦　八杉龍一

——哺乳類・鳥類・魚貝類・昆虫・爬虫類・両生類・無脊椎動物——

九千種の動物を形態、生理、生態、分布、行動の面から解説し、産業、利用、民俗、文学などの面にも触れる。世界各地で撮影した生態写真は、驚異に満ちた自然界の不思議を活写。囲み記事も充実。巻頭には動物分類表を、巻末には参考図書一覧を付す。

21
索引

索引件数四十万を収録した二十巻の総索引。とくに人名については、簡潔な解説つきで、索引そのものが人名事典の働きを持つ。また、巻頭の特集「人間とはなにか」をはじめ「世界総合年表」など重要な論文や資料を掲載。

別巻
1 日本大地図

2 世界大地図

3 人体大地図

目次

特集

人間とは なにか

—人類誕生からの歩みを追って— 付 日本人の起源

本巻二〇巻の各冊は、それぞれ学問分野ごとに統合され、専門知識の奥行きを深めるには好個の条件を得て、各項目が展開されています。たとえば「人間」についても、化石人類の検証は「18 宇宙・地球」に、人間社会の考察は「11 政治・社会」に、人間心理の分析は「4 哲学・宗教」にと、現時点における最先端の学問的成果をお伝えしております。

ここでは、もう一度、人類を数百万年の時間の流れにのせて見返し、他の動物との類似と相違をも確かめながら、その進化の歴史をたどる特集を試みました。形質人類学、大脳生理学、心理学、科学史、社会学、文化人類学など各界第一線学者による綜合ゼミナールです。

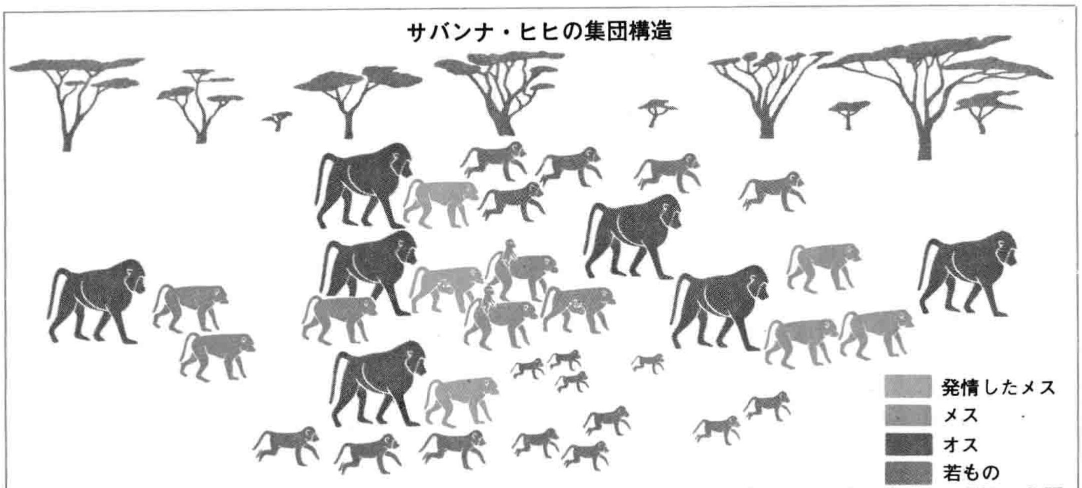
目次

写真撮影・提供
青木千枝子
石川栄吉
岡本好明
蒲生正男・
柴田光夫
田中二郎
ニッタ・フォト・プレス
PANA通信社
ユニ・フォトス
ユニ・フォト・プレス
J・P・S
P・P・S
W・P・S

画稿執筆
高木守
日本工房
毛利彰介

第一章　人間とはなにか

『旧約聖書』の「創世記」によると、アダムとイブが神から禁じられていた、知恵の木の実を食べたばかりに、エデンの楽園を追放されることになった。知ることは、疑いかつ迷うことに通ずるからだろうか。以来人間にとって、知るということは、まさに宿命的な、さけられない本性の一つとなった。けれども、この「知る」ということは、広く解釈すると、別に人間だけに限られた能力でなくて、いろいろな動物にも、その進化のレベルに応じてみられるものである。人間もふくめて、すべての生物は生きていかねばならない。そのために、個体と種族を維持し生活していくに必要な、さまざまの知恵を動物たちはもっている。その知恵は生まれながらにして、その動物たちに備わっている本能とよばれるもののほかに、動物が高等になるほど、心理学者のいう「学習」によって後天的に習得される部分が多くなってくる。



草原を移動するときの統制のとれた構造を示す。外敵に対処するため，群れの中心には子をつれたメスが位置し，発情したメスには一頭ずつのオスがついている。群れの先頭にはオスが，活発な若ものは群れの周囲にいる

　これらの知恵は、動物たちにとっては、いかにしてねらった獲物を捕えるか、どれが自分たちにとっては危険な外敵であるかを知ることから、集団内で自分の位置と役割を知り、それによって集団全体の秩序をまもり、自分の属する「種」を維持していくのにも欠かすことのできない生きるための知恵である。

　ごく初期の人類にとっても、「知る」という能力は狩りの能率を高め、危険な野獣から身をまもり、自然の猛威をさけ、安全快適な棲家(すみか)を築くのに、なくてはならない生きるための適応手段であった。それがやがて自然界で生きていくための、いわば生物学的な諸条件のほかに、自分の属する社会の仕組や掟、自分と深くつながる親子、親族、同胞との人間関係や、生と死、愛と憎、喜びや悲しみ、苦しみ、楽しみ、怒り、おそれなどの感情を経験し、その根元を知る努力へと展開していった。いや、知らずにはおれないし、すまされないという宿命に似た人間の属性にまでなってしまったのである。

集団維持のための適応

　このへんの事情を、もう少しくわしくながめてみよう。アフリカの赤道を中心に、主として草原地帯に分布しているヒヒザルの類に象徴的にみられるように、危険な外敵の多い、食物の制約のきつい過酷な自然条件の中では、彼らの社会の構造つまり生きていくための集団の掟は、一糸乱れぬ統制の厳しさをもっている。もし彼らのうちの一頭が、勝手気ままにその集団から離脱しようものなら、ライオンやヒョウの横行する草原で、ただの一昼夜すら生きのびることはできないだろう。このようにみてくると社会の構造は、その生物にとっては、厳しいものは厳しいなりに、集団として生きていくための、やむを得ない適応の側面を示しているのだといってよい。

　じかに自然に結びつけられている度合の強いサルたちの社会では、食物とか防御機構などの制約があって、集団のサイズは、ある限度以上の大きさになることができない。それにくらべると、人類の場合は農耕とか牧畜とか狩猟技術のような生産機構を発達させ、戦争、合併、共存、分離をくり返しながら、全体としてほとんど無制限にみえるほどの、社会の拡大と質的変貌をとげてしまい、地域的集団から都市国家へまで発展してしまった。だから人間の社会をちょっとみただけでは、適応的な意味を読みとることがむずかしいかもしれない。

　けれども、ずっと古い初期のころの社会構造に思いをはせ、あるいはまた現在なお限られた地域に住んでいる自然民族や小地域集団を観察してみると、その一次的な適応的役割がよく理解できる。たとえば狩りに出かけるときのチームの組み方と、そこにみられるルール、男女の分業、獲物の分配、育児と次代への技術や経験の伝授、教育など、どれをみても、全体としてその社会がおかれた環境の中で、生き残っていくための適応の一つの姿だといえるだろう。

　このような社会の仕組の中で、自分の立場と役割をよく知り、それに沿って行動することは、社会の一員として生きていくための社会的適応だともいえるだろう。その場合、一人一人が社会の掟を知らず、そのつど、勝手な判断で行動していたのでは、たとえその判断が悪意にもとづくものでなくても、集団や社会は円滑に維持されないばかりか、場合によっては破滅的な危険すらともなうことになるだろう。そこで集団を組織化し、一人一人の勝手な行動を規制する規範のようなもの、つまり「してはいけないこと」とか「すべきこと」といった法や制度や道徳や倫理のもとになるものが生まれていたはずである。この規準を習得し、それにしたがって行動するかぎり、日常生活を送る上で、集団にとってどの行動が有益かなどといちいち思い迷ったり、むだな労力をついやしたりすることなく、円満に、そしてほんとうに必要なことにエネルギーを使うことができただろう。そしてそのような行動は、いうまでもなく社会や集団を安全に維持していくためにも必要だったことだろう。

　これらの事情は、別のいい方をすると、人間は自分が



南アフリカ、ボツワナ共和国のカラハリ砂漠（サバンナ地帯）で、原始的な狩猟生活をいまもつづけるブッシュマン。写真は仕とめた獲物（イランド）の肉を切りさいて解体し、乾燥肉をつくっているところ

生まれ落ち、すくい上げられた集団ないし社会の既成の行動規準、つまり社会の掟を学習によって知り、社会性を身につけさえすればよかった、つまり社会行動を規制する法とか道徳とか倫理なども、そもそものはじまりは、このような社会をうまくまとめ上げ、個人としてもうまく生活していくための社会的適応の一つだったと考えられるのである。ところで、このようないきさつで得られた知識は、さまざまの世界観や人生観を生み出し、それらがふたたび道徳や倫理や社会観、国家観と結びつき、人間特有の精神的な生活指針ともなった。

このような世界観や人生観の根底には、いつでもどこでも、つねに「人間とはなにか」という、自分自身に対する、もっとも根本的な問いかけと、それに答えようとする努力がみられるものである。この問いを通じて、よりよい世界観、より適切な人生観を求め築こうとする努力である。『旧約聖書』の「創世記」にもあったように、知るということ、知らずにおれないということが、まさに人間にとってさけられない宿命的な性にまでなってしまったというべきだろうか。

人間観の移り変わり

ギリシアのアポロ神殿の入口には、高く金文字で、

「汝自身を知れ」

という文字が掲げられていた。永遠で偉大な神に比し、人間はなんとはかなく卑しく小さな存在だろうか。そしてそのことを知り、神をおそれる者だけが、神の加護と恩恵に浴する資格を有するというわけである。

ギリシアの哲学者ソクラテスはその宗教的意味はともかくとして、この言葉が気にいり、いつも座右の銘にしていた。自分自身への問いかけ、つまり「人間とはなにか」をつねに探求する精神は、人間にとっては至上のものであり、またその努力があってはじめて「人間はなにをなすべきか」という行為の規準が求められる。人間は神によりきめられた自明の存在ではなく、また信仰により人間が自明になるのでもなく、むしろ人間にのみ与えられた理性や精神でもって、つねにみずからを問い、捜し求め、努力していかねばならないというのである。

この考え方は、それから二〇〇〇年もたった一八世紀に、ふたたびスウェーデンの博物学者C・リンネによって復活することになった。というのは、彼が著わした『自然の分類』の第一〇版（一七五八）には、人間の生物学的名称としてホモ・サピエンスが登場しており、その定義としてソクラテスの座右銘である「自分自身を知るもの」が選び記されていたからである。

いつの世でも、どの種族や民族でも、人間が人間としてみずからを意識でき、物心のついた人類が出現して以来、つねに「人間とはなにか」ということが問われつづけてきた。そのもっとも素朴なものとして、どの種族や民族にも神話や伝承のようなものがあって、必ずといってもよいほど、国のはじまりや、自分たち人間がどうして生まれてきたか、祖先たちの生活はどうだったかということにいい及んでいる。いや、むしろこのような神話・伝承を媒介として、種族や民族の共同体意識が高められ、団結心が強化されてきたといったほうがよいのかもしれない。

世界各地にみられる部族信仰の対象である祖先にまつわる説話はもちろん、ギリシア神話や『旧約聖書』にみられる天地創造神話、日本の伊弉諾・伊弉冉神話などもその例外ではない。自分自身を知り、ものごとの本質や正体を知るには、まずその由来をたずね、明らかにすることが、なによりもてっとり早く、また当を得た手順といえるからだろう。人間を知ろうとする努力は、宗教が発達し、哲学が栄え、科学が進歩してからも、ずっとつづけられ、宗教、哲学、科学の分野ばかりでなく、歴史や文学その他の間にもみられ、人間現象の幅の広さと深さには驚くばかりである。だから、「人間とはなにか」という問いに、とうてい、かんたんに答えられるべくもない。むしろここでは、人間がどのように理解されてきたかということ、つまりいろいろな人間観とその立場を、系統的にながめてみたいと思う。

古くから人間は自分たちの体の構造については、神話や神の摂理などにもとづいて理解するのとは別に、かなり正確で実証的な知識をもっていたと考えられる。たとえば、生活の主要な部分を占めていた狩りや牧畜などを通じて、いろいろな動物の体の構造を学び、あるいは戦争や狩りなどで負傷した仲間の手当をしたりしているうちに、体の仕組を知るというような機会が多かったに違いない。そしてその構造が、あまりにも動物の場合と類似していて驚嘆するようなこともあっただろう。エジプトやバビロニアに残る外科記録のパピルスや、医療を指示した記録、手術法やミイラ製法などから類推して、その知識はけっして低いものではなかった。

ギリシア時代は、そのあとにつづく宗教的色彩の濃い中世にくらべると、はるかに合理的精神が尊重され、自然を観察し人間を見る態度は、ずっと素直だった。宇宙には秩序があり、それは偉大な法則にしたがって、時の流れとともに生成し流転する。ギリシア人たちはその変化の相を自然として理解していたわけで、したがってギリシア人にとっては、自然とは万物の生成の過程を意味したといえる。人間についても、たとえばアリストテレスなどは、人間にもっとも近い動物はサルであると考えて、かなり正確に生物学的比較を試みている。彼は『動物誌』という本を書いて、その中で、ヒト、尾の長いサル、尾の短いサル、ヒヒ類の四種類に分け、それぞれ姿勢、手足の構造、まつげの有無、臀部（しり）の発達状態、生殖器の形態特徴、運動の仕方などを比較した。その観察結果は、今日でも通用するほどで、たとえばおしりやふくらはぎの発達しているのはヒトだけだとか、まばたきの仕方が四つ足動物とサルでは違うというこまかい特徴までみている。

医学の祖であるといわれているヒポクラテス（前四六〇

ごろ―前三七五ごろ）も、ギリシアのほぼ同じ時代に活躍した人で、その科学的な考え方は、紀元二世紀のK・ガレノスに受けつがれた。ガレノスは、人体解剖が宗教的理由から許されなくても、ヒトに近いサルを解剖することによって、かなりの知識が得られると考えて、盛んにいろいろなサルの解剖をおこなった。そしてヒトと類人猿の違いは、類人猿とほかのサル類の差よりもずっと少ないということを指摘しているほどである。この同じ見方が、一九世紀にT・H・ハクスリーが進化論を擁護して書いた「自然における人間の位置」(一八六三)という有名な論文にもひきつがれているし、最近の多くの人類学教科書にも引用されている。

　理性が重んじられたギリシア時代から、ローマ時代を経て中世にはいると、理性にとってかわって神が重んじられるようになる。『旧約聖書』『新約聖書』が人々の心の隅々から、日常の生活や政治にまで影響を及ぼし、理性によって知る努力や、みずから求める知的努力よりも、神に帰依し、信ずることにより心の平和と平静を求める色彩が濃くなった。自然界における森羅万象すべて「聖書」に即して解釈され、哲学すらも教会を支え、信仰を強化し、日常の行動を律するための神学の方便となった。カントの美しきたとえによれば、哲学は神学の衣の裾を支え持ちながら歩む少年のような位置にあったわけである。このような、神に帰依し、すべてを聖書に帰する中世の神学的・宗教的人間観も、それ自体が人間の内的・精神的活動の一つのあらわれであるとして、人間を特徴づけることはできるけれども、合理精神ないし科学精神からみると、まさに中世は暗黒と停滞の時代だったといえるだろう。やがてルネサンスとともに、ふたたび人間中心的な思想がイタリアの一角で復活し、ヨーロッパ全土に拡がっていった。合理と探究を重んずる理性的哲学も、しだいに息を吹きかえしていった。

　一七世紀のフランスの哲学者デカルトの二元論は、まさにこのような過渡的時代背景のもとに生まれたのである。キリスト教的な人間観によると、人間は神の創造物であるということになるが、このような問題にはふれないで、人間の体を物体ないし機械と見なして、「心」と対置させた。つまり「人間とは不滅の霊魂をもった機械である」という。このような二元論的な考え方は、その後のヨーロッパの科学にも、大きな影響を与えるところとなった。つまり人間は本質的に二元的な存在であって、それを研究する学問にも二元性があるということになる。そして心理や言語その他の、人間の文化的現象を研究する精神科学あるいは文化科学と、生物現象を研究する解剖学、生理学、生化学などの生物科学や医学が発達し、この二元的な性格が大学の構成にまで反映した。

　このような思想の流れは、人間を観念論的あるいは唯物論的に一元化して理解しようとする試みもあったけれども、ほぼ一九世紀の終わりごろまでつづいた。

　二〇世紀になると、ドイツのマックス・シェラーは、神との関係において人間を論ずることをやめて、人間と動物を比較することによって、人間がどのような点で動物と本質的に違うかということを論じた。彼によれば、たとえば知能とか想像力とか記憶、選択能力とか道具使用などは、サルもヒトも程度の差を示すだけで、本質的な違いとはいえない。生という現象と相いれない現象としては精神のみがみとめられ、この精神の作用によって、人間はたんなる生物であることから脱出して、人間になり得たという。つまり動物と人間を区別するものは利巧さ加減などではなくて、精神をもつかどうかによるというわけだ。けれどもよく考えてみると、このシェラーの考え方は、今までの「心と身体」の二元論を、ただ位置をずらせただけで、「心をもった身体と精神」という二元論から一歩も出ていないことがわかる。

　生物学とくに人類学や霊長類学では、このような精神をもった生物、つまり人間そのものが、進化の過程で生じてきた現象ないし産物であるという考え方をする。つまり人間が二元的現象を示すとしても、人間への進化が二元化を促進させたわけで、もともと人間が二元的存在であったわけではない。いいかえると、二元的な現象も深いところでは、一元的に結びついているのであって、そこを分析するところに、人類学や霊長類学の大きな課題があるといえる。たとえば猿人類アウストラロピテクスは、はたして精神の高揚を示す二元的存在だったろうか。もしそうだったとしたら、さらにさかのぼってラマピテクス類のレベルではどうだったろう。つまり、いえることは二元化の過程こそヒト化ないし人類進化の中心課題だということだ。すでにすっかり人間になりきっている人間を、抽象化してもっとも根元的な要因、たとえば精神をひき出したところで、当然のことながら動物と人間の相違を強調することになるだけで、どうしてこのような違いを生ずることになったのか、そのメカニズムや原因については、なんの解明にもならない。

　アジアにおいても、人間を解釈しようとする哲学的試みがないわけではなかった。たとえば老子や荘子以来、中国の陰陽五行説は、長い歴史時代を通じて、広く大きな影響力をもった。これは、まさにアジア的思考法とよばれているもので、日本も同じ思考文化圏内に属するものである。この思想によれば、人間も自然の一部であり、自然の中に解体され、自然と同調して同じ原理が働いていると考える。自然も人間も、この現象のすべてが、木・火・土・金・水といった五元的な要素にあてはめて解釈され、陰陽二元的な原理がつらぬいているとみる。だから、このような観念の先行する、いわば観念論的な思潮からは、科学的人間観を生ぜしめる余地はなかったといえるだろう。

異人種・異民族への認識高まる

　他を知ることも、おのれを知ることに通ずる。この広い地球上には、皮膚の色や、顔や体つき、風俗、習慣や言葉などが、すっかり自分たちと違う人間が住んでいるという事実にふれることは、自分たちをもふくめた人間というものを考える上で、大きな役割をはたしたことは否めない。すでに古代エジプトのころから、ピラミッドの壁画にみられるように、自分たちのまわりには、いろいろな人種が住んでいるということが知られていた。けれどもそれは、地中海を中心とする、かなり限られた地域での知識にすぎなかった。

　中世も終わりに近いころ、ヨーロッパの人々は、航海を通じて、広い地球の他の地域を知る機会がいちじるしく増した。それにつれて、いままで想像すらしていなかった、異民族や異人種と遭遇する機会も多くなり、人間についての知識や経験も、急速に豊富になっていった。これが俗にいう大航海時代である。

　それまでにも、異人種についての知識を得る機会がないわけではなかったが、今日ほど伝達の手段が発達しておらず、新しい知識や珍しい見聞も、ごく限られた範囲をこえることなく、とてもその時代の一般的認識のレベルにまでは達することはなかったのだろう。また、その多くは旅行者の見聞録や、宣教師や政府機関の役人たちの帰国談などがおもなものにすぎなかった。そんな状態だから、一八世紀の終わりごろになっても、まだ地球上には妖怪に似た異形人の存在が信じられており、たとえ

ば生物分類学の近代的基礎を築いたスウェーデンの博物学者であるC・リンネの分類大系においてさえも、ホモ・モンストロズス（妖怪人）という名がみられ、胴に顔があったり、頭が二つあったり、手が何本もあったりする人間がいると信じられていた。けれども、考えてみれば無理もない話で、異人種、異民族の存在など、夢にも想像したことがない人が、はじめて、異様な衣装をまとい、体に彩色や入墨をほどこし、言葉とも叫びとも区別できないことを口走りながら、目前に現われるのを見たときの驚きは、容易に理解できるだろう。

　またどの民族にも、自己中心的な、いわゆる中華思想というものがあって、たとえば日本でも東北や北海道や九州などのように、都から遠くへだたったところに住む未知の人々を、動物視したり野蛮視して蝦夷とか熊襲とよんだものである。いずれにしても、このような時代の記録は、命名法のあいまいさもあって、せっかく記載されていても、それが今日のなにに相当するのか、わからないことが多い。たとえば野蛮人、小人、ピグミー人、黒色人などとヒトよばわりしておきながら、一方では、同じものを野獣としてあつかったりしている。

　アメリカ大陸を発見したC・コロンブスが、航海の途上で、人が人を食うカリブ人に遭遇したときの驚きは、まさにその極に達し、とうてい彼らを人間とは思えなかっただろう。そんなわけで、コロンブスがヨーロッパへ帰ってから、はたして彼の発見したアメリカ・インディアンが、ヒトか否かということで大論争をよびおこした。このアメリカ・インディアンは、一四九二年に発見されたわけだが、わずか四〇年後には、渡来してきた白人たちによって、インカ帝国はすっかり滅ぼされてしまった。白人たちのインディアン迫害の口実になったのは、彼らは人間ではないということにあった。すでに述べたように、当時はすべて「聖書」中心に解釈しておれば問題がなかったわけで、彼らはノア一族の直系の子孫ではなかったのである。しかしながら、この航海時代にもたらされた、いろいろな矢つぎ早の新知識は、あまりにも「聖書」の事実と食い違うことが多く、そのような事実の一つとして、インディアンが人間かどうかの大論争が、まきおこったのである。というのは、もし彼らも自分たちと同じ人間ならば、当然のことながら布教の対象として、キリスト教の愛を押し拡げるべきである。このような立場から、ラス・カサスは、精力的にインディアンの擁護にまわり、ついに彼らもヨーロッパ人と同じ人間であるということを、一五三四年にローマ教皇庁から宣言させることに成功した。だが、インディアンはすでに壊滅的な打撃を受けたあとのできごとだったのである。



中世ヨーロッパ人の想像したいろいろな異形人の一部（1493年ごろに描かれた絵より）

科学的人間観の台頭

ルネサンスから、一九世紀半ばのダーウィンの進化論が発表されるまでの間は、宗教的人間観から、だんだんと合理精神が復活し、哲学は教会の束縛からはなれ、科学は少しずつ近代化への道を歩きだしていた。人間をめぐる科学的な研究、つまり人間の生物学的解明についても、この期間に無視できないたいせつなできごとがいくつかおこった。すでに述べたように、この時代までにも、いろいろな生物についての、記録や見聞録や報告などがたくさんあったが、命名法がしっかり確立していなかったために、たとえば同じ生物を別の名でよんだり、違った生物に同じ名をつけたりしていた。そのためせっかくの記録も役に立たなかったり、知識を混乱させたりすることが少なくなかった。

　イギリスの植物学者J・レイや、すでに述べたスウェーデンの博物学者C・リンネは、このような不備、不便を改めるために、はじめて生物を、属名と種名と併記して表現する、いわゆる二名法を考案した。そして類縁性の度合に応じて、科・目・綱・門・界というふうにしだいに大きくまとめていった。そしてC・リンネが著わした『自然の分類』の第一〇版では、この方式にしたがって、われわれ人間はホモ（属）・サピエンス（種）と名づけて動物分類大系の中に位置づけられたのである。もちろん、この時代には、まだ進化という考え方はなく、生物界の基本単位である種（スピーシス）は、すべて神の手によりつくり出され、しかもそれ以来不変のものであると考えられていた。その上、生物を分類するのに、比較しやすい特徴を、いわば好みに応じて勝手に選ぶ、いわゆる人為分類法とよばれるものだった。このようなやり方だと、特徴の選び方が違うと、結果もすっかり変わってしまうことになる。そこで、もっと広く客観的に、しかも生物の生活にとって重要な形質特徴をえらんで、その対応性を比較する、いわゆる自然分類法が、だんだん重要視されるようになった。このような事情で、分類学は種を同定し、その判定特徴をしっかり吟味するために、比較解剖学にその根拠を求めるようになった。

　一方、比較解剖学のほうでは、分類学の要請に応じて、判定特徴を吟味していくうちに、新しいことがだんだんはっきりしてきた。つまり、生物というものは、似たような環境条件の中で、同じような機能をいとなむために、その発生根拠がまったく違うのに、ただ外観的に似てくるといった現象をよく示すということに気がついた。いわゆる相似という現象である。たとえば昆虫の翅も鳥の翼も、空中を飛翔するという、同じ機能的要求に応じて、原基はまったく違うのに、外観はきわめてよく似ている。サツマイモのいもの部分は根だが、同じいもでもジャガイモのそれは、本来茎に相当する部分である。けれども見てくれはどちらも似たようなものである。

　生物を科学的に分類するには、このような、いわばごまかしの類似は排除しなければならない。でないと、おびただしい卵を産むサカナと、受精卵を胎内で発生させ、生まれ出た子どもを乳腺から分泌する母乳で哺育する、りっぱな哺乳類のクジラが同じ仲間になってしまったりする。このようにして比較解剖学は、分類学の要請に応じて、にせの類似である相似を排して、たとえ外観は似ていなくても、生物学的に意味のある対応性を示す形態や構造、つまり相同の形質特徴を発見するための多くの方法を開発し、体系化するようになった。いってみ

れば分類学の要請に応える努力が、そのまま比較解剖学自身の発達に寄与することになったのである。

さて、こうなってくると、問題になるのは、ヒトと類人猿が、いったいどんな類縁関係にあるかということである。この時期つまり一七〜一九世紀初期の間に活躍した有名な比較解剖学者たちの仕事をみると、このへんの事情がよくわかる。たとえばN・トゥルプが書いたチンパンジーの解剖（一六四一）、E・タイソンのチンパンジーや下等なサル類とヒトの解剖（一六九九）、ブルーメンバッハ（ドイツの解剖・生理学者）の手足や言語器官などの比較解剖では、ヒトとサルとの類縁関係が、直接的にしろ間接的にしろ、問題にされている。そして器用に使われる手や、もっぱら歩行用になったあし、言葉をしゃべることから、そのための言語器官などがヒトとサルとを区別する重要な特徴であるとして、とくによく研究された。そのほかビュフォン（フランスの博物学者）やキュビエ（フランスの古生物学者）、キャンパー（イギリスの解剖学者）、ゲーテ（ドイツの詩人・比較解剖学者）、ジョフロア・サン＝チレール（フランスの生物学者）などが、この流れを汲むものとして挙げられよう。

ところで、人為的な基準でなく、比較解剖学によって、科学的に相同性が吟味されながら、いろいろな生物の類縁性をきめていくと、おのずから類縁性の度合に応じて、前に述べたように、すべての生物が門・綱・目・科・属・種としだいに類縁度の強いグループに分けられていくことになる。

ヒトもサカナも、どちらも脊椎をもっているという点では共通している。このような脊椎動物の中で、とくに乳腺が発達している連中では、両生類や爬虫類や鳥類のように卵を産むということなく、体内で受精卵を発生させ、親のひな型のような子どもを産み落とす。また両生類や爬虫類のように、自分をとりまく外界の温度に自分の体温を合わせることなく、自分自身で体温を調節することができる。だから気温が下がっても新陳代謝が鈍って冬眠するようなことなく、幅広い気候の変動や地理的環境にもよく適応できる。これが哺乳類（綱）で、同じ操作で霊長目・ヒト科ヒト属（ホモ）ヒト種（サピエンス）と、しだいにこまかく分類、設定していけるのである。一九世紀半ばごろまでには、ヒトをふくむ生物学の知識は、だいたい以上のレベルにまで達していた。ちょっと、どこかをひと押しするだけで、疎密さまざまの類縁関係を示す多くの生物群が、じつは起源や系統の違い、古いか新しいかの違いによって生じたものだということに、思いいたることだっただろう。つまり、類縁関係の近いものほど、新しい時代に分化して生じたという、時間的解釈である。

イギリスを中心にまきおこった産業革命の嵐も、ほぼしずまりかけた一八五九年に、ダーウィンの『種の起源』が、そしてその四年後にT・H・ハクスリーの『自然における人間の位置』が発表された。その生物学的な革命思想は、生物学界だけにとどまらず、宗教や哲学や社会思想の領域にまで、はかり知れない影響を及ぼした。いまや天体の運行や自然の移ろいに神の摂理は必要なく、多種多様の生物の相に、かつてリンネも考えたような神の創造力を仮定する必要もない。変化する過程の中に、因果関係や法則が内在しており、そのような理解の仕方が進化論となって世に出てきたわけである。

ドイツの生物学者E・H・ヘッケルは、進化の思想を、これまで蓄積されてきた生物の類縁関係に適用し、いわば横の関係にある生物の類縁性の疎密を、時間的な縦の関係である系統性に翻訳した。たとえば「ヒトとゴリラやチンパンジーは、オランウータンよりも類縁性が強い」ということは、「オランウータンがもっとも古く分岐し、ついでゴリラやチンパンジーがヒトと岐れた」ことを示す。この有様を図で描くと、ちょうど、一本のモミの木から多くの枝が枝わかれする状態にひじょうによく似ており、これが系統樹とよばれるものである。

この当時は、まだ化石があまり知られておらず、ヘッケルは類縁性を主として、この系統樹を作製した。したがってあまり正確とはいえないが、系統がとぎれて、その間の化石や中間生物が不明なときは、ミッシング・リンク（失われた鎖の環）とよばれる。ヘッケルはホモ・サピエンスのミッシング・リンクとして、その前段階には、まだ知能のよく発達していない、ホモ・ストゥピドゥス（おろかなヒト）がいたと仮定した。このホモ・ストゥピドゥスは、やはりミッシング・リンクであるところの、まだ言葉をもたない猿人類（ピテカントロプス・アラルス）から進化してきたものと仮定した。この仮説がのちにオランダの若い解剖学者E・デュボアに刺激を与え、ヒトのミッシング・リンクを求めて、ついにインドネシアのジャワ島で、世にいうピテカントロプス・エレクトス（今日ホモ・エレクトスとよばれる）の発見に成功したというエピソードは、あまりにも有名である。

人間はなぜ特殊か

オリンピックの聖火も、家々を焼きつくす業火も、物理・化学的には、まったく同じ火である。小川を流れる水も、飲料水も、洗礼に用いる聖なる水も、寸分違わぬ物理・化学的成分から成る、同じ物質である。たしかに、もとをただせば同じ火であり、水であるかもしれない。けれども、その意味がまるで違う。そしてその違いが問題になるところに人類独特の特徴があるといえるだろう。たしかに、このような現象は人間以外の動物の世界ではみられない。この間には一種の飛躍ないし価値の転換のようなものがある。この問題について少しふれておこう。

それには、まず人類のあり方ないし生活の仕方が、動物のそれと、どこでどう違っているかということを明らかにする必要がある。いま、ある動物が自然の中で生きているとしよう。その動物にとっては、彼らをとりまく、あらゆる外的条件が必要なわけではない。つまり、別の表現を用いると、動物の種類によって、必要な外的条件はそれぞれ違っている。枝でさえずるスズメと、草むらをかけめぐるウサギとでは、同じ自然空間に棲んでいても、食物から、警戒すべき外敵や休息場所などが違っており、かんたんにいえば、スズメの環境とウサギの環境は、同じ地域の同じ物理空間にいても、互いに違っていて、しかも直接競合することもない。これらの動物の生活様式の内容をよくしらべてみると、運動の仕方や、食性、生殖、外敵から身をまもる方法や、巣づくりないし休息場所などが、生存していく上で決定的な外的要因となっていることがよくわかる。このような基本的な生活条件は、ヒトの場合でも生物であるかぎり、生理的にほかの動物一般と、たいして違いはない。

ただ、動物の場合は生活に必要な外部の条件を、かなり直接に生理的に受けとるけれども、ヒトの場合は、このような条件を単純に受動的に甘受することが少ない。つまりヒトの場合には、生活を通じていろいろな経験や知識を蓄積し、それはヒトからヒトへ、また世代から世代へと伝承され、そのつど知識や経験は雪だるま式に大きくなっていく。これを文化とよんでいるが、その文化のフィルターを通して、ヒトは直接的な自然環境からの作用を間接化し、このようにしてヒト独特の環境をみず

からつくりだして、その中で生活していることになる。つまり動物的・生理的環境条件を、さまざまな物質文化や技術により、補い、制御し、改良している。このようにして、もともと熱帯ないし亜熱帯地方で誕生した人類は、その長い歴史からみると、かなり最近になって、寒い地域にも住みつくようになったが、それというのも、火を使い、衣類を発明し、大型動物を狩る技術を発達させて、はじめて可能になったといえる。そしてこのような技術や、もろもろの生活道具つまり物質文化が、人類にとっては欠かせぬ生活条件となり、人類の生活様式を形づくっているのである。

　ところがまだそれだけではない。地球上のいろいろな地域に住む、さまざまの民族集団は、それぞれ思考様式や風俗習慣や、道徳、価値観、宗教などを異にしており、それが現実的な生活を規定し、あるいは生活を指導している。たとえば回教徒が豚肉を食べないのは、生理的に摂取、消化できないからではないし、日本人がイカやタコを好んで食べるのは、特別の消化酵素を生理的にもっているからでもない。あるいはまた、あるインディアン部落で、ごちそうになった料理があまり美味だったので、たずねたところ、付近でとれたヘビが材料だったと聞いたとたんに嘔吐したという話がある。これなども、事実を知るまでは生理的には受けつけていたことになろう。だとすると、食生活のたんなる習慣による違いや伝統や宗教までが、生理的レベルに影響力をもっているということになる。

　このようにして精神文化的な生活条件ないし環境が、さらに物質文化的・技術的環境を、おおっていることがわかる。これにくらべると、動物では自然環境レベルで、かなり特定条件と直接的、生理的に結びついた閉鎖的・単相的環境にとどまっている。ところがヒトの場合は、環境はいろいろなタイプを内蔵しており、さらに生理的・物質文化的・精神文化的環境といったぐあいに、層を成しておおっており、それらは固定的でなく、あまり特定の条件にしばられることもなく、かなり開放的でさえある。このようにみてくると、食性や性や外敵関係を中心とする生活様式ないし環境条件は、動物のように生物体と自然環境が、かなり直接に結びついていることとくらべて、人類の場合はいちじるしく間接化され、環境の内容は幅が広く、奥深くなっていることがわかる。このようなことから、動物の進化のレベルに応じて環境も拡大するのだという考え方があるが、人類の環境に言及するときには、このような量的把握だけでは十分だとはいえない。

　たとえば食性について考えてみると、動物の場合と違って、食べるということはたんに飢えをしのぎ個体を維持することにとどまらず、食物の生産、加工、調理などの方法がそれぞれの伝統や習慣にのっとっておこなわれるようになると、嗜好的傾向が強くなってくる。そして食物や料理はその民族の文化をも反映するようになる。これはもはや環境が拡大したといったたんなる量的な違いで表現できず、質的に転換していることがわかる。

　性の問題はもっと生理的・動物的色彩が強いように思えるかもしれない。けれどもヒトが配偶者を選択する場合、相手が異性であればだれでもよいというわけではないし、選ばれた配偶者は、ただちに性器的レベルで結合するわけでもない。どのような未開民族を例にとっても、求愛、求婚、婚約、結婚などのプロセスが、それぞれの風習や伝統にしたがっておこなわれ、人為的条件で拘束され、コントロールされていることがわかる。つまり性を中心とする生活様式は、非自然な人為的諸条件で統御されており、性行動はいちじるしく文化的影響を受けている。もっとも生物学的、生理的な生殖行動も、形而上的な愛や貞操と複雑に織りなしており、出産ということも、いろいろの喜びや希望その他の家族的・人間的感情と溶け合って精神レベルへ昇華している。つまり性は人間では、たんなる種族維持以上の意味をもっており、ここでも大きな質的転換がみられる。その他もろもろの生物学的な基本的生活様式は、人類になると、いちじるしく拡大されているばかりでなく、質的にも異なった意味をもっていることがわかるのである。

　このヒトと他の動物の間にみられる生活様式の質的な違いは、まさに文化の機能によるものであり、人類が人類として成立した時点から、すでに貧弱ながらも、ある程度の文化的行動をおこなっていたことが、先史学や霊長類学の最近の成果に照らしあわせて、いよいよ明らかになってきている。それではこの文化が人類形成にとって、どんな役割をはたしてきたのだろうか。

　ある自然状態で棲んでいる動物、つまり野生種が、人為的な条件や環境の中で生きていくことになり、そのための身体や心理、行動、習性の上での変化が、世代をこえて定着していった場合、このような動物は家畜とよばれる。この家畜をもとの野生種とくらべると、生物学的には同じ種の範囲を出ないのに、外観的な形態はもとより、脳・中枢神経系や骨格系、筋系なども量的にも質的にも大きな差を示す。そして習性や本能や学習能力にまで差があることが知られている。このような変化は、同一個体が家畜状態から野生状態に置きかえられたときでも、かなりはっきりと現われるものらしくて、たとえば再野生化したネコやヒツジなどで、そのことが報告されている。これが家畜化とよばれる現象である。

　人類の場合はどうだろうか。

　実際に進化の足取りをたどってみると、猿人類から原人類をへて、旧人類や新人類にいたるまで、期間にして大目に見積もって三〇〇万年ほどで、生物の歴史からみれば、一瞬にひとしい短い間に、脳の大きさは、五〇〇立方センチから一四〇〇〜一五〇〇立方センチと、倍以上に増大している。このいちじるしい脳の大化は、石器などの道具の精巧さ、豊富さ、効率の向上などから、無理なく想像できる生活様式の進歩、発達とみごとに平行している。体の大きさについても、せいぜい小型のピグミー・チンパンジーぐらいの猿人類から現生人類まで、ほとんど倍以上も大きくなっている。このような急速な変化は、生物界では家畜化以外にちょっと例がみられない。そこで人類の進化を促進させた要因は家畜化であるという見方が強まり、人類の形質特徴は自己家畜化の結果であると考えられるようになった。いいかえると、純粋に野生のヒトというものは存在し得ず、たしかにヒトが文化をつくりだしたけれども、その文化がヒトの体質を変え、形態に影響し、進化させ、ヒトをつくりあげてきたと考えざるを得ないのである。

〈江原昭善・京都大学〉

第二章　人類の起源を求めて

人間が人間としての物心がついて以来、おそらく、もっとも普遍的に問いつづけてきたもの、それは自分たち人間が、「どこからきて、どこへいこうとしているのか」という由来と運命であり、「自分たちはなにか」という

素姓の問題であった。

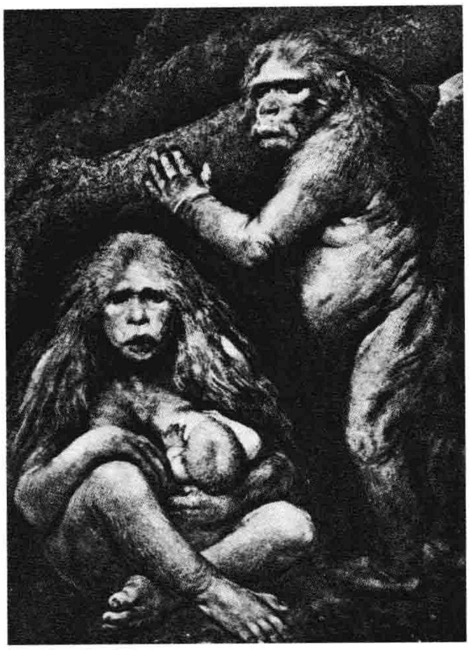
いかなる時代の、いかなる部族や民族をみても、それぞれの神話や伝説や信仰をもっており、例外なく自分たちの祖先にふれ、その生活を述べている。彼らにとって祖先を問うことは、とりもなおさず、自分たちの由来をたずね、素姓を明らかにし、運命をともにする共同体としての認識を高めることでもあった。つまり祖先を問うことは、自分自身を問うことでもあったのである。

すでに第一章でも述べたような、神の被造物としての人間というキリスト教的人間観も、その例外ではない。けれども、そのあまりにも強い教義的、聖書中心的な解釈から、脱却しようとして、デカルトの二元論に代表的にみられるような、いわば哲学的な人間観が台頭してきた。しかし、ここであつかわなければならないのは、宗教的あるいは哲学的人間観を前提とした起源の探索ではなくて、科学的、生物学的に裏打ちされた人類の起源であり、だから哲学的スペキュレーション（探究）や宗教的創世記ではなくて、どのようなメカニズムで人類が誕生してきたかという、進化論を主軸としたものであることはいうまでもない。

化石人類の発見

それはダーウィンがイギリスで『種の起源』を発表する三年前の一八五六年のこと、ドイツのジュッセルドルフ郊外で、一つの発見がなされていた。ジュッセル川の上流は自然美に満ちた渓谷で、教会の牧師でありオルガン奏者でもあったJ・ノイマンは、ことのほかその風景が好きで、そこにたたずんでいくつかの詩を書き、ネアンデルというペンネームで発表していた。そのようなことから、いつしかこの渓谷（ドイツ語でタール）がネアンデル・タールとよばれるようになった。ところがその後、この付近一帯が良質の石灰岩を産出することで有名となり、美しい渓谷はたちまちにして、茫漠たる不毛の採石場と化し、いたるところで岩石を打ちくだく轟音がこだました。そんなある日、谷底から約二〇㍍の高さのところで、二つの洞穴が、ぽっかりと黒い口をあけた。作業員のつるはしが厚い堆積土を取り除いたとき、その先に赤茶けた、得体の知れぬ骨が露出した。これがのちほどヨーロッパを中心に各地で発見された、俗にネアンデルタール人（学名ホモ・サピエンス・ネアンデルターレンシス）とよばれる化石人類の第一号である。この発見物はすぐに、この地方の博物学研究同好会の会長で、小学校教頭をしていたJ・C・フールロットのもとに届けられた。フールロットは、この標本を見るなり「これは現存人類のものではない。古いタイプの人類である」と判断をくだした。ボン大学の解剖学者H・シャフハウゼンは、専門の立場から、詳細にしらべた結果、フールロットの見解が正しいことをみとめ、学会に承認させようとした。しかしながらその抵抗は意外にも大きかった。

「これは人類の祖先などではない。ケルト人の骨である」「いや、これは水頭症にかかった白痴のオランダ人である。おそらく怪異な容貌ゆえ、人目をさけて、ひとり森の中に住んでいたに違いない」「これは、一八一四年にチェルニチェフ将軍に率いられて、このへん一帯を征服したロシア軍に従軍していたコサック兵のものである。この曲がった大腿骨は幼時から騎馬になじんでいたことを示している」などと、まるで評価はまちまちだった。ついに当時の学会の大御所R・フィルヒョーの一言で評価はきまった。「これはクル病にかかった患者のもので、相当重症である。この怪異な特徴は、それですべて説明できる」というものだった。その後、ヨーロッパの各地で類似の化石が相ついで発見され、一方ではしだいに進化論が浸透してきて、一九世紀終わりごろには、やっとネアンデルタール人にも正当な解釈が与えられるようになった。



イエナにあるヘッケル記念館蔵のピテカントロプス・アラルス（言葉をもたないヒト）の復元想像図

ちょうどこのころ、すでに第一章でも述べたように、ヘッケルの仮想の化石人類ピテカントロプスを探索すべく、オランダの若き解剖学者E・デュボアは、スマトラからジャワにかけて歩きまわった。その間彼は、いくつかの化石骨を見つけだしてはいたが、めざすピテカントロプスではないと判断して、しまい込んでしまって長らく日の目をみることがなかった。彼はソロ川の流域に目をつけ、ここにキャンプを張って大規模な発掘にとりかかった。そして、いまにして思えば幸運としかいいようがないのだが、この地点で、仮想のミッシング・リンクであるピテカントロプス・エレクトス（今日ホモ・エレクトスとよばれる）を発見するのである。それは強い眼窩上隆起と、未発達な額をもった頭頂部の骨と、一個の左上顎大臼歯、それに一本の大腿骨から成っていた。ヘッケルは自分の予言の的中したことに満足して、

「物理学でレントゲン線が発見されて騒がれた以上に、この化石の発見は人類学にとって重要なものだ」

と後日書き記している。

ここでふたたび新しい謎が浮かび上がってきた。この類人猿のような頭の骨と、まるで現代人と区別がつかないほどまっすぐな大腿骨が、はたして同一個体のものかどうか？　このころには、もはやフィルヒョーの考え方に賛成する人々は少なかったのだが、それでも、あのネアンデルタール人の、いくぶん湾曲した大腿骨を見なれた人々には、それよりもっと古いピテカントロプスの大腿骨が、こんなに現代的だとは、どうしても信じられなかったのである。けれども、このピテカントロプスの発見を契機として別に明確な根拠があるわけではないけれども、人類発祥の地はアジアであるという見方が、しだいに強くなってきた。そしてこれに拍車をかけたのが、中国各地の薬種商で売られている竜歯と称する化石骨である。古来、中国では岩石や洞穴の中から発見される化石の歯や骨は、これを粉にして服用すれば、便秘、テンカン発作、発熱、赤痢、肺結核、痔などにききめがあるとして、広く利用され、また安い値で売られていた。ドイツ人医師A・ハーベラは、これらの薬種商で、一八九九年から一九〇二年にかけておびただしい数の哺乳類の化石を手に入れ、それがミュンヘン大学の古生物学者M・シュロッサーによって研究され発表された。以来、中国の薬種商にとっては、病人よりも古生物学者が上得意となる。

さて、このハーベラの収集した化石の中に、ヒトとも類人猿とも判断しかねる一本の大臼歯がまじっていることがわかった。「アジアに人類の祖先が見つかるかもしれない」という人々の確信は、いよいよ高まった。そして一九一四年に、第一回発掘調査隊が組織されたのである。一九二一年に、やっとその手がかりがつかめた。周口店の地滑り跡に現われた洞穴から、うち割られた動物骨や、明らかに加工されたらしい石器が見つかり、さらに二年後には、ハーベラ収集の大臼歯とたいへんよく似た歯が二本発見されたのである。

これがきっかけとなり、ロックフェラー財団の援助により、一九二七年以来、第二次世界大戦で中断されるまで、数回にわたる大規模な発掘がおこなわれ、おびただしい数のシナントロプス・ペキネンシス（今日ホモ・エレクトスの学名でよばれる）が陽光を見るにいたったのである。シナントロプスは、ピテカントロプスの例の謎をいっきょに解明した。つまり洞穴内の同じ場所で、いくつもの、ほぼ全身の骨格が見つかったからである。それはピテカントロプスの、例の原始的頭骨と現代的大腿骨が、不釣合いではあるけれども、同一個体であることを強く示していたのである。

石器と火の文化

シナントロプスは、ひじょうに多くの情報をもたらした。まず彼らはいわゆるチョッパーと称する石器を使用し、火を利用していたこともわかった。焼けた獣骨が炉跡のまわりに散乱していることから、彼らは盛んに狩猟していたらしい。石器に加えて火の使用は彼らの生活内容が、いちじるしく豊富だったことを物語っている。

人類の進化史上、現在のところ、火を使用し（**fire-user**）、また火をつくることができたのは（**fire-maker**）、ホモ・エレクトスの段階からと考えられている。それと時期を同じくして、人類は寒い地域にも生活圏を拡大したことが、これまでに発見された化石の分布と、ほぼ一致している。それ以前の人類化石は、熱帯、亜熱帯の地域に限られているのである。人類の生理的に大きな適応能力のほかに、技術とくに狩猟技術の向上と、それにともなう道具類の発達が、寒い地域への移住をも可能にしたことはいうまでもないが、その際にはたした火の役割は、けっして無視できない。彼らは火を、ただ暖をとり、明りを得るためにだけ用いたのではないことは明白である。火は彼らの食糧源をいちじるしく拡大させ、いままで食べられなかった堅いもの、消化不能のものも、火を通すことにより食べられるようになり、栄養がいちじるしく豊かになった。寄生虫や有害なバクテリアに対しても有効だったことだろう。これらの条件は、人類の体質をすっかり変えてしまうほどの変化をもたらした。もはや彼らは自然の中で野生状態で生活しているのでなく、れっきとした人為的環境のもとで、生きていたのである。

しかし火は、もっと重要な役割をはたしていたに違いない。大型動物を安全に労力も少なく、しかもいっきょにたくさん仕とめるのに、火がきわめて有効なことを彼らは知っていた。夜間、彼らは獲物のねぐらをおそって、仲間たちと火で彼らを自由のきかない沼地などへ追い込み、難なく大収穫をあげることができたのだった。スペインの遺跡から発見された原人類はそのよい例である。

彼らはキャンプにもどると、そこには火があった。一つの火をかこむ彼らは、少なくとも同族の集団だったに違いない。つまり火を中心に彼らの社会構造はまとめられていただろう。彼らはそこで獲物を分配し調理し、飲食し、踊ったことだろう。火は野山を焼き、どう猛な野獣どもをおそれさせる強い力をもつと同時に、手なずけられた火は、かくも暖かく明るくなごやかに彼らの生活を守った。そしてその不思議な力が信仰の対象になった。

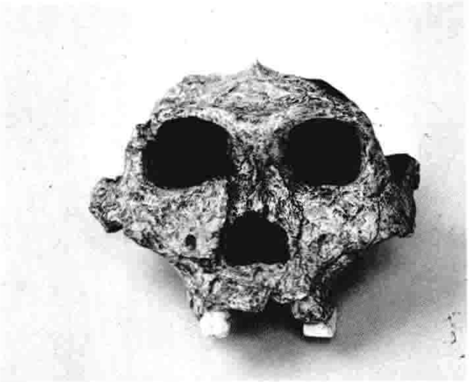
いまここに述べたようなことは、けっして根拠のない空想ではない。彼らの残した先史学的な諸道具、石器類とその用途の広さ、これらが彼らの生活の内容と水準を力づよく物語っているのである。ただなによりも人々を当惑させたのは、彼らが明らかにカニバリズム（食人風習）をもっていたという事実である。人類の尊厳を維持したいと思う人は、シナントロプスを、すでに絶滅の方向へ進化した人類の側枝であると判断した。しかし、やがてこの問題も決着がつく。シナントロプスの発見は、人類起源の地がアジアであるという人々の予想を確たるものにした。そのころ、じつはアジアから遠くへだたっ

おもな化石人類の発見年表

	名称	発見地	発見年	発見者	推定年代(年前)
	ラマピテクス	インド北部	1934	G.E.ルイス認知	1300万
		ケニア	1961	L.S.B.リーキー	
		パキスタン	1976	D.ピルビーム	
猿人類	タウング・ベビー	南ア，タウング	1924	R.A.ダート	80万
	ステルクフォンテン猿人 (Aータイプ)	南ア，ステルクフォンテン	1936～1958	R.ブルーム	200万～250万
	マカパン猿人 (Aータイプ)	南ア，マカパン	1947～	R.A.ダート	200万～300万
	クロムドライ猿人 (Pータイプ)	南ア，クロムドライ	1938～	R.ブルーム	50万～150万
	スウォルトクランズ猿人 (Pータイプ)	南ア，スウォルトクランズ	1948～	R.ブルーム	100万～200万
	(ホモータイプ)	〃	1949	R.ブルーム	
				J.T.ロビンソン	
	オルドワイ猿人 (Pータイプ)	東ア，オルドワイ	1959	M.リーキー	175万
	(ハビリスータイプ)	〃	1959～1960	L.S.B.リーキー	170万～180万
				M.リーキー	
	ルドルフ東岸猿人 (Pータイプ)	東ア，ルドルフ湖東岸	1968～	R.リーキー	120万～250万
	(Aータイプ)	〃	〃		
	(ハビリスータイプ)	〃	〃		
原人類	ピテカントロプス (ジェティス)	ジャワ，サンギラン	1936～	V.ケーニヒスワルト	最高190万
	(トリニル)	ジャワ，トリニル	1891～1892	E.デュボア	50万～83万
	シナントロプス	中国，北京郊外	1927	D.ブラック認知	30万～40万
			1900～1966		
	オルドワイ原人	東ア，オルドワイ	1960	L.S.B.リーキー	50万
	ハイデルベルク	西ドイツ	1907	シューテンザック	60万(？)
				ハルトマン	
旧人類	ネアンデルタール	西ドイツ，ジュッセルドルフ	1856	C.フールロット認知	5万～6万
	ラ・シャペル・オ・サン	フランス	1908	ブソーニ	4万
				バルトン	
新人類	クロマニヨン	フランス	1868	L.ラルテ	2万～3万

注　南アは南アフリカ，東アは東アフリカの地域を示す

猿人の化石



パラントロプス　いかついタイプの猿人



アウストラロピテクス・アフリカヌス 小型猿人



ジンジャントロプス　特殊化した大型猿人
（ウェンナーグレン財団の学術複製標本による）

たアフリカの南端に近いタウングという採石場で、とんでもない発見がなされていたのである。

ミッシング・リンクの謎を追って

一九二四年夏のことだった。ロンドンからヨハネスブルクのウィトワーテルスラント大学の解剖学教室に赴任してきたR・ダートは、あまりにも設備や図書が貧弱なので、とりあえず金のかからない方法で、いろいろな動物の化石標本を集めることを学生たちに課していた。そしてそんなある日、ある女子学生が持参したヒヒの頭骨化石がきっかけで、その由来をしらべているうちに、五～六歳の子どものものと思われる頭骨の化石を、偶然にも手に入れることができたのだった。それは額の部分と、下あごの大部分をふくむ顔面頭骨で、さいわいなことに、脳頭蓋の欠けた部分は、その内面の特徴つまり脳や血管のあとが天然の鋳型模型となって、くっきりと残っていた。これを手にしたダートは、これこそわれわれが長年捜し求めていた、ほんとうの意味でのサルとヒトのミッシング・リンクであると悟って化石をもつ手がふるえたのである。夜を日についでこの化石をしらべたダートは、一一月にこの標本を入手して、すでに翌年の二月七日号の自然誌『ネイチャー』に発表している。このことから、いかに彼が熱を入れていたか想像できるだろう。

その特徴を全体としてみるとき、あまりにも原始的なので、ダート自身もミッシング・リンクには違いないが、まだサルの側にあるものと考えたほどである。そしてアウストラロピテクス・アフリカヌス（南アフリカのサル）と名づけた。しかし、子細にしらべていくと、ほとんど、どの特徴をとっても、彼の表現を借りれば超類人猿的で、すでにヒトの側にあることがわかる。

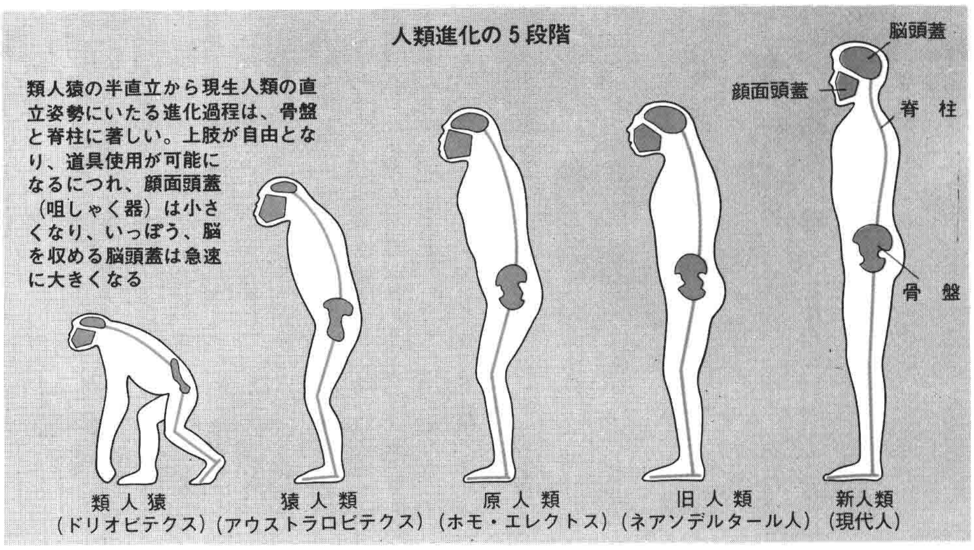
いつの場合でもそうであるが、この俗称タウングの子どもも、イギリスはじめあらゆる国の学者によって拒否された。第一に人類はアジアで誕生したという予想が、ピテカントロプスやシナントロプスや、その他の化石で、しだいに立証されつつある時代だった。あるいはまた、世紀のスキャンダルとまで騒がれた人工のにせ化石人類ピルトダウンが幅をきかせている時代だった。そんな時期に、アフリカも南端に近いところで、ちょっと見ただけでは現存の猿人類とも区別がつきかねるような化石が、田舎大学の若僧のダートによって、これこそほんとうの、もっとも古い人類であるといって、世界の学問の中心の一つであるロンドンに持ち込まれたのだった。

世界をあげての総反対に気を悪くしたのか、あまりにもかたくなな学界の空気にいや気がさしたのか、ダートはもうこれ以上論争するのをやめて黙してしまった。ところが南アフリカのケープタウンで爬虫類や哺乳類の化石に打ち込んでいた古生物学者R・ブルームはこのダートのタウング・ベビーを手に取って見るなり、ダートの見解の正しいことを信じた。しかしやっかいなことに、これはまだ特徴のよく現われていない子どものものである。だから、この化石が人類の祖先だと主張するには証拠としては弱い。それにはまず同じ仲間のおとなの化石を捜し出すことだ。さいわいにも南アフリカには、大小無数の石灰岩性の洞穴があり、どこも化石で満ちている。きっと見つかるに違いない。さらに世界の学界の中心から遠くはなれたこの地に、人々の目を向けるべく心理的な準備が必要である。さすがに年を経たブルームは、これらのことに気がついて、慎重に実行に移した。効奏して、ついには観光業者のパンフレットに「当地にきたりて、ミッシング・リンクを発見されよ」という宣伝文句までが現われる始末だった。

一九三六年、ついに待望のおとなの化石が、タウング採石場からほど遠からぬステルクフォンテン採石場で発見された。続く数年の間に、同じ場所で、二〇個体分以上の化石が発見され、その中には、かなり完全な頭骨と、よく保存された骨盤や下顎骨がふくまれていた。ブルームは、このときすでに七〇歳をこえていたが、生来気性もはげしく、また明らかに人類起源アジア説をとる学者たちに対しては挑戦的でもあった。「われわれは数量からみても、重要性からみても、シナントロプスをはるかに上回るものをもっているのである」と彼は、その論文に、はげしい語調で書き記している。彼はさらに、この場所の近くで、有望なクロムドライとスウォルトクランズの二地点を探り出し、じつに六〇個体分以上のアウストラロピテクス類の化石と同時に、おびただしい獣骨の化石を発見した。

一方、しばらくの間沈黙を守っていたダートも、ふたたび猿人問題にもどり、一九四七年にはマカパンで、猿人類化石のほかに、彼らが道具として使用したらしい獣骨群を、たくさん手に入れることができた。このようにして南アフリカでは、タウング、ステルクフォンテン、クロムドライ、スウォルトクランズ、マカパンの五地点で、どの人類化石も及ばぬほど豊富な猿人化石が収集され、彼らの全貌がかなり明らかになった。そして彼らがほんとうに人類の祖先であるか、彼らが直立二足歩行していたかどうかということは、もはや中心テーマではなくなってしまった。しかし、人類の起源と系統をめぐる真相は、いっそう複雑で深刻な深淵へと、のめり込んでいくのである。自然は、それを探究しようとする人間の努力を拒否しようとするのだろうか。それとも人間の努力をもってしては、近づき得ないほど自然は奥深く幅が広いということなのだろうか。

このもつれた人類起源の問題に、もう少し接近してみよう。タウングの子どもをよくしらべてみると、歯の形は、ヒト的で類人猿のものとは違っているが、現代人にくらべるといくぶん大きい。そして頰側歯全体は、ヒトと同じように平らにすり減っている。これは下あごを挽臼型に動かして、もぐもぐと食物を嚙んだことを意味しており、人類の特徴とされているものである。脳の天然鋳型で見ると、大きさそのものは類人猿の域をあまり出ないが、重要な特徴がヒト的である。つまり頭頂葉の部分が類人猿とは比較にならぬほど、よく発達しており、そのことから脳の連合領野の発達していたことが類推され、言語能力のほかに、シンボリックな行動も可能だった。



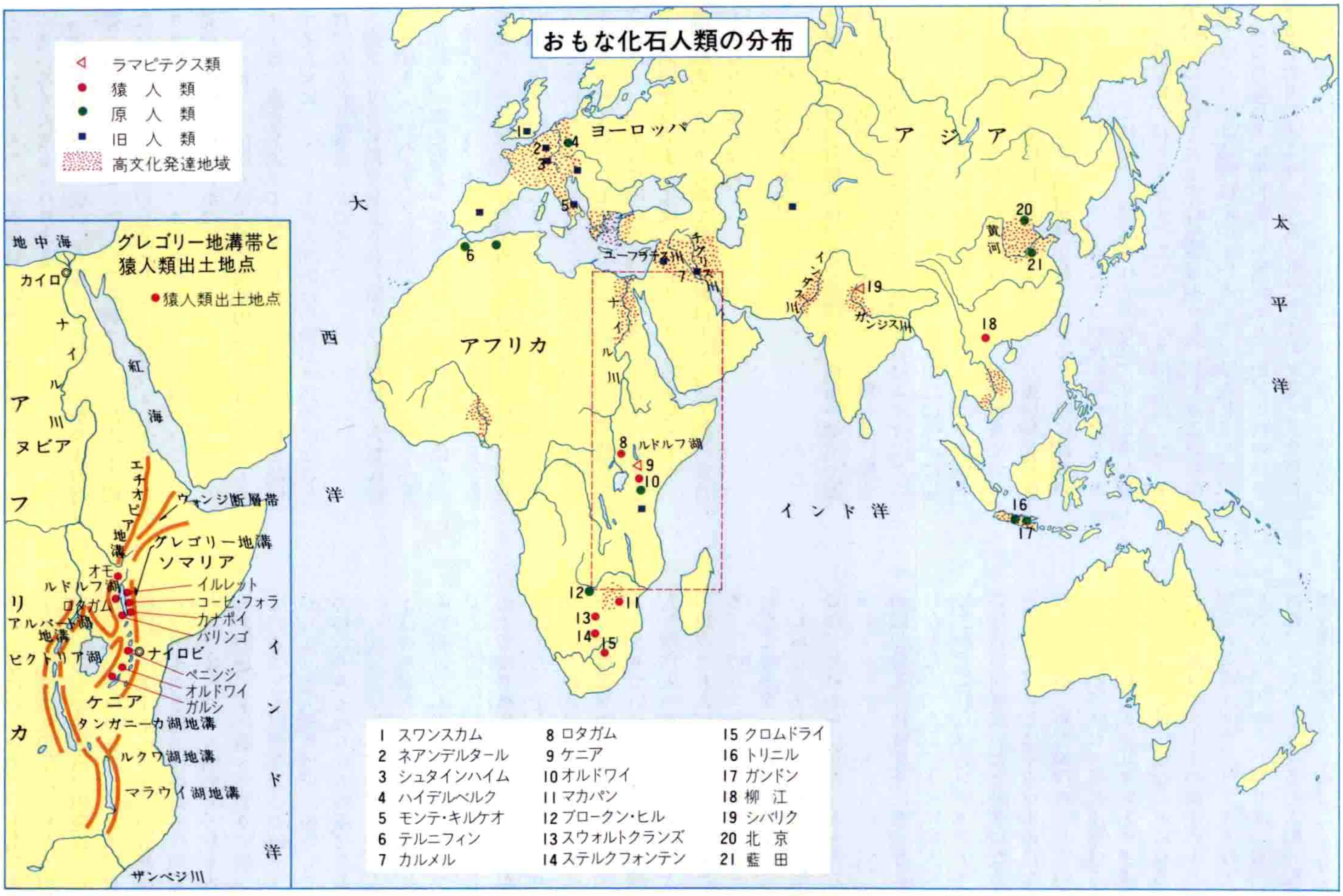
いずれにせよ、タウング化石は子どものものであり、また頭部以外は見つかっていないのだが、これらの問題が解決された（一九三六）。ステルクフォンテンでは、これらの問題が解決されたと、どうやら、ピグミー・チンパンジーぐらいの大きさ（身長約一二〇センチ）だったらしい。なによりも驚かされたのは、彼らの骨盤や下肢の骨の特徴で、現代人ほど完成はしていないが、りっぱな直立二足歩行者だったということである。脳の容積は六五〇立方センチ前後で、その容貌は学者間で所属をめぐってはげしい論争をひきおこしたほど原始的だったこととくらべると、今やピテカントロプスの例の不釣合いなど問題にならない。そして多くの人々の常識的考え方を裏切って、「ヒトはあたまからでなく、あしから進化してきた」ということを猿人類は力づよく語りかけているのである。もっとたいせつなことがわかってきた。つまり奥歯のすり減り方をよくしらべてみると、第一大臼歯がすっかりすり減ったころ、第二大臼歯が生え、それがかなり減ったころ第三大臼歯が生えたらしい。つまり「親知らず」の歯が生えて思春期になるまでに、かなり時間を要したということ、いいかえると成長期間がたいへん長びいたということになる。これはすでに述べた頭頂葉の発達、ひいては脳の連合能力の増加とよく一致する。幼・少年期の延長は言語習得にもとづく社会生活やシンボル行動学習にも欠かせない要因なのである。

頰側歯（小臼歯と大臼歯）がとくに大きいこと、顔面が高いこと、歯並び全体が前後方向に短くなっていることなどの特徴は、彼らの食性が繊維性の食物や穀粒のようなもの、つまりベジタリヤン（草食種）だったことを暗示するものであるが、一方では彼らが捕食したらしいおびただしい小動物といっしょに出てくることから、雑食生活をしたものと思われる。このような食生活を許す開けたサバンナや草原では、人類の進化と並行して、多くの危険な肉食獣も進化し、両者の間には相当熾烈な生存のための闘争があったらしい。もはや闘争に役立つ犬歯ももたず、さりとてとくに逃げ足が速いわけでなく、小柄でまる裸の彼らにとっては、道具を使用することと、強固で戒律厳しい社会構造をいとなむことが、生きながらえるための必要不可欠の条件であった。そしてその能力は、彼らの頭頂葉や前頭葉、そして小脳の発達が十分裏づけてくれる。人類はどうやら鮮新世終わりから更新世初期にかけて、つまり三〇〇万年ほど前ごろには、このような段階に達していたということがわかってきたのである。

ところが、ステルクフォンテン採石場から一〇キロとへだたっていないクロムドライ採石場から発見された猿人化石（一九三八）は、ふたたび人類の起源を昏迷のかなたへ押しやってしまうほど、驚きに満ちたやっかいなものだった。というのは、同じ地域で、しかもほとんど同じ時代に、別の人類が棲んでいた可能性が出てきたからである。全部で六個体分ほどの化石が見つかったのだが、そのうちの一個体は、脳頭蓋と顔面頭蓋のそれぞれ一部、数本の歯と、それに軀幹、四肢骨の一部がそろっていた。歯の特徴はいままでの猿人、つまりA・アフリカヌスと同じだが、臼歯がびっくりするほど大きい。前歯部（切歯と犬歯）にくらべると頰側歯列（小臼歯と大臼歯）がとくによく発達して大きくなっている。このことからだけでも咀しゃく筋の発達が大きいことが想像されるのだが、事実、あごの骨は比較にならぬほど頑丈にできている。つまりアフリカヌスよりもっとベジタリヤン的特徴が誇張されているのである。この新しい人類はA・ロブストス（もとの名はパラントロプス・ロブストス）と名づけられたのだが、これは、たんなる個体的な変異にすぎないのだろうか。それともA・アフリカヌスとは、はっきりと違った連中なのだろうか。これを明らかにするためには、一九四九年に、やはり近くのスウォルトクランズ採石場で多量に発見された人類化石の研究に期待しなければならない。

そのスウォルトクランズは、地層から推定して、ステルクフォンテンよりも時代がやや新しいように思われる。ここでは人類化石ばかりでなく、多くの獣類化石もいっしょに出土しており、これらの小動物は堆積前に何者か（おそらくいっしょに発見された人類）によって食い散らされたものらしい。発見された化石の中には、運よくかなり完全な女性頭骨が二体分ふくまれており、その特徴がクロムドライで発見されたA・ロブストスとよく似ている。いまやかなり立ち入って、アフリカヌスとロブストスを比較することができるようになった。

アフリカヌスは小型で、身長が一二〇センチぐらいなのに対して、ロブストスは大型で一五〇〜一八〇センチもあり、また頑丈な体格をしている。ロブストスでは、とくに頰側歯列の発達が目立ち、これと機能的に関連している諸特徴、たとえば強大になった咀しゃく筋の付着する頰骨



弓や、頭頂部を前後に走るゴリラのような骨性矢状稜もきわだって強くなっている。また咀しゃく運動でいつも強く後下方にひっぱられる眼窩上部は肥厚して、左右に太く走る、いわゆる眼窩上隆起が出現している。つまりロブストスの重要な特徴は、どれもベジタリヤンとして要求される機能と関係のあるものが多い。おそらく雑食性のアフリカヌスにくらべて、ずっとベジタリヤンに傾いていたのであろう。

ところで、このスウォルトクランズで、またやっかいな問題がもちあがった。多くの猿人化石にまじって、発見者のブルームやロビンソンも思わず、「これは、原人じゃないか！」と叫んだほどの化石が出てきたのである。これはロブストスの変わり者に過ぎないのだろうか。あるいはアフリカヌスの子孫なのだろうか。それとも侵入してきたホモ・エレクトスだったのだろうか。早急に結論をくだすのはさけたほうがよいだろう。すでに述べたように、タウング以来、久しく沈黙していたダートは、弟子のトバイアスのもち帰った報告をきっかけに、ふたたびマカパンで大規模な発掘を開始した。そして約三〇個体分のA・アフリカヌスと、おびただしい獣骨群を掘り出した。ダートはこれらの獣骨群を、まず五〇〇〇トン近い屑石から二〇トンに近い化石ブレッチャ（化石をふくんだ石塊）をより分ける作業からはじめ、ついに一トンあまりのブレッチャにまとめたわけだが、その量からもたいへんな作業だったことが想像できるだろう。

このようにして手に入れた約七〇〇〇個に及ぶ獣骨群のうち、不思議なことに背骨にあたる部分が、ただの一個もふくまれていない。また下顎骨が圧倒的に多く、前あしの骨（上腕骨）は後あしの骨の五倍も多い。

このように動物の特定の部分が道具として使用されていたのではないか。猿人類とよくいっしょに出土するヒヒの頭骨をみると、四二頭のうち四〇頭の右側に棍棒状のものでなぐり殺された打撃痕がある。なかには、その破損痕がカモシカの大腿骨の瘤とぴったり合うのもある。ダートは、このような見解をまとめて、「先史時代の道具といえば石器が考えられ、石器による文化の分類が中心になっているが、石器よりも、もっと普遍的に、そしてもっと古くから骨や歯や角の性状を利用した骨歯角文化というものがあったと考えるべきではないか」と提案した。

しかし猿人がすでに人類であり、したがって初期の人類であるということは、解剖学的には正しいとしても、まだほんとうの人類としてみとめるわけにはいかないという風潮がいぜんとして根強く残っていた。人類であるためには文化を所有しておらねばならず、それを証明するためには、手元にある骨や歯や角を使用する道具使用でなく、型式化された加工技術で製作された石器の存在が必要であろうというのである。道具使用の現象は、あまねく動物界にみられる。道具製作こそ人類だけの特性であり、それを証明できるのはいまのところ型式化された石器の存在だけがきめ手であるというのである。

ところで、ダートはおそるべき事実を発見した。マカパンだけでなく、ステルクフォンテンでも死の直前に受けたらしい損傷例がいくつかあり、中には例のヒヒの頭骨でみられるようなカモシカの大腿骨と損傷部がぴったり合う例

とか、ひどいものでは側頭骨が陥没して脳にまでくい込んでいるものもあったりする。

「同族を打ち殺し、焼いて食う。これはもはやサルの行動ではなくて、まことに人間の行動である。猿人が人間になりつつある最初の行為として、すばらしいプロメテウス的行動のほかに、カインとしても振る舞ったことも見のがすわけにはいかぬ」

と、かつては猿人に対して懐疑的だったH・ヴァイネルトは、感想を述べている。それにしても人間性を証明するために、もっとも非人間的な行動がきめ手になるとは、なんと皮肉なことだろう。

南アフリカ各地で発見された猿人化石群は、人類起源の解明上、たいへん大きな役割をはたした。けれども、どの化石も、礫で埋まった当時の石山のさけめや、落ち窪んだ穴の底から、多くの獣骨化石といっしょに発見されており、その状況から察するに、雨水などで彼らの死骸が洗い流されて、まじりあってさけめなどに流れ込んだものと思われる。だから彼らのほんとうの住居跡は、まだ発見されていないし、したがって生前の生活を復元し、文化的レベルを具体的に明らかにするのもむずかしい。この問題を解決するには、一九六〇年ごろを境として、急激に東アフリカ各地で発見されはじめた猿人類に期待しなければならない。

化石の出る谷

東アフリカの台地では、多くの渓谷、河川や湖沼や湿地に富んだ低地をふくんで、南北に大きく雁行状に縦走する、いわゆる大地溝帯がみられ、それはエチオピアのアファー低地からモザンビークまで全長四〇〇〇キロに達する。この大陸地殻の巨大なさけめともいうべき大地溝帯は鮮新世のころから形成がはじまって更新世までつづき、その間、各時代を象徴するいろいろな動植物化石をふくんだ多くの堆積層が築かれ、いたるところに地殻のカレンダーともいうべき、みごとな段丘が残されているのである。これまでに発見されている東アフリカ猿人の出土地点は、ほとんどすべてビクトリア湖をはさんでY字状にわかれて北上する地溝帯のうち、東を走るいわゆるグレゴリー地溝帯に沿っている。南ア猿人と違って、これらの地域では地質年代が解析され、絶対年代のはっきりしたものもあり、猿人以外に多くの獣類や文化遺物までが発見されている。これら東アフリカ猿人の発見のきっかけになったのは、有名なオルドワイ谷であり、リーキー夫妻の三〇年にもわたる灼熱炎天下での調査の結果によるものである。幸運なことにオルドワイ谷の地層は、かなりはっきりしており、古いほうつまり下層から順にベッドI～ベッドVの五層に分けることができる。ベッドIの基底部は絶対年代測定の結果、約二〇〇万年前に形成され、人類のもっとも古い化石は、ちょうどその基底層の上に載っており、約一七五万年前と推定されている。とくに興味深いのはベッドI～IIで、この部分がちょうど更新世早期に相当しており、猿人から原人への移行のみとめられる時期であるからだ。

一九五九年夏に、イギリスの人類学者ルイス・リーキーは彼の妻のマリア・リーキーといっしょに、ベッドI基底層近くから、たいへんいかつい容貌をした頭骨を発見し、同時に同じ層から石器類も見つけだしたのである。かくてはじめて待望の猿人と石器が結びついたとルイスは考えた。そしてジンジャントロプス・ボイセイ（東アフリカ人の意）と名づけてはでに報告したのである。ニュースは世界中に拡がった。

「いまやついに、わたしたちが捜し求め、待ち望んだ猿人と現代人のギャップを埋めるミッシング・リンクが見つけだされた。それはいま、わたしの手のひらの上にある。このジンジャントロプスこそ、まだどこでも発見されたことのない最古の石器製作者である」

しかし、リーキーたちは少し早まったらしい。というのは、それから二年たった一九六一年に、彼らはジンジャントロプスよりもさらに三五センチも下層から、若い個体の頭頂骨と、ほぼ完全に歯並びのそろった下顎骨を見つけだしたのである。さらに成人の手や足の骨や鎖骨も出てきた。これらはジンジャントロプスよりも明らかに古い時代に生きていたとせずばなるまい。ところがジンジャントロプスとはくらべものにならないくらいヒト化が進んでいる。石器製作者としての栄誉はジンジャントロプスから剥奪され、その王冠はこの新発見人類に冠せられた。そしてジンジャントロプスのほうはふたたび進化の袋小路へと迷い込むことになる。この新しく見つかった猿人類は、ダートの弟子のトバイヤス、霊長類研究で知られるネイピヤ、リーキーなどの連名でダートの提案を入れて、ホモ・ハビリス（有能なヒトの意）と命名された。さて、こうなると人類の起源や系統はたいへん複雑な様相を帯びてくる。アフリカヌス型とロブストス型、ボイセイ型とハビリス型はそれぞれどのような関係があるのだろうか。はたして猿人類の中にまじって、ハビリスのような、見方によっては原人類に近いものがいっしょに棲んでいたのだろうか？ この疑問を解くには、もう少し古いところの猿人化石の発見に期待されねばならない。人々の目は、グレゴリー地溝帯をもっと北上してルドルフ湖を中心とする堆積層に注がれはじめた。

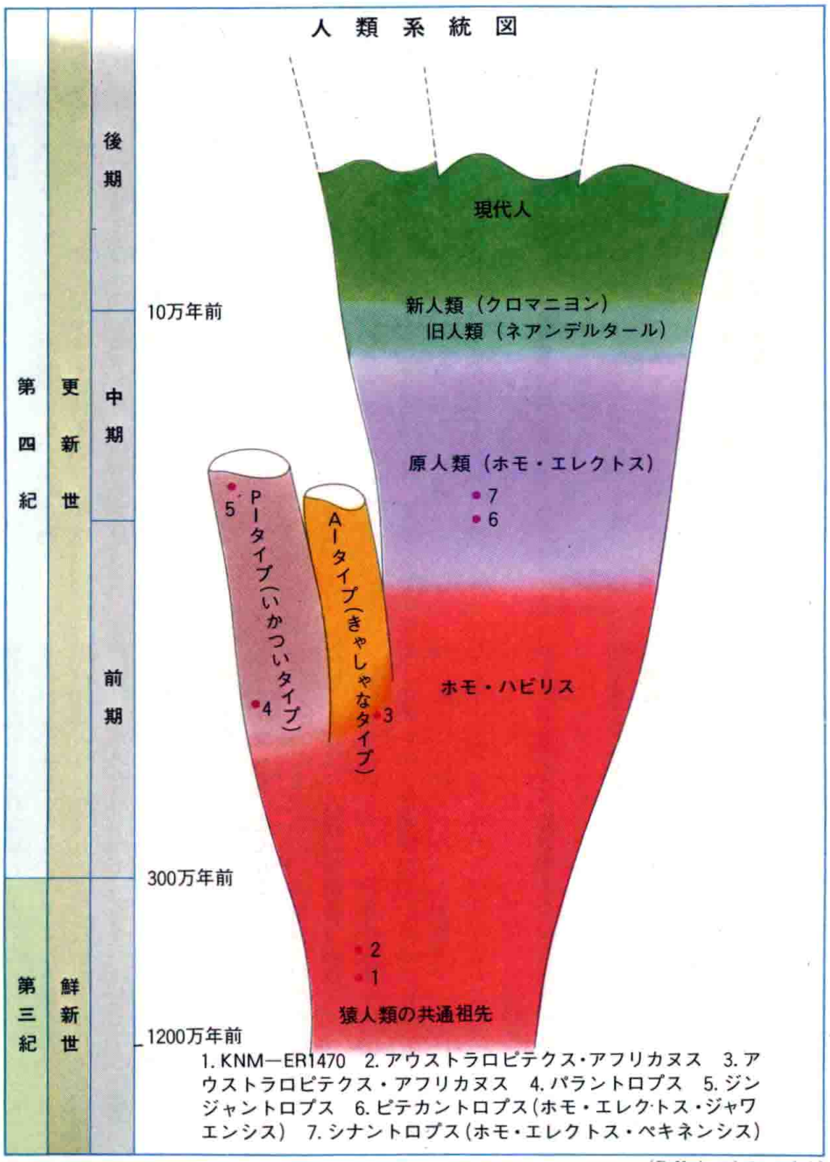
ルイスとマリアの次男リチャードは、はじめ両親の仕事のあとをつぐようなことは考えたこともなかったのだが、ペニンジで友人と半ばおもしろ半分におこなった発掘で、両親が三〇年もかかって手にしたのと同じジンジャントロプスの下顎骨を発見した。これがきっかけで彼の心は定まり、以来発掘に意を注ぎ、多くの成果をあげてきた。彼は主としてオルドワイよりもさらに北上した位置にあるケニアのルドルフ湖東岸地域やエチオピア側のオモ流域に目をつけた。ここはオルドワイとは別の意味で有望であり、興味がある。というのは化石の出る層がオルドワイの下層が約二〇〇万年前とすると、この地域はさらに過去へさかのぼって、一七五万年から四〇〇万年の間に拡がっている。そして地域によっては五〇〇万年から九〇〇万年までさかのぼることが可能である。つまり、猿人類のさらに過去を探ることができるのである。ここで調査を開始したリチャードは、間もなく約二六〇万年前のものと推定される、いくつかの石器を発見した。つまり道具製作の歴史が、いままでよりもいっきょに一〇〇万年も古くなってしまった。さてここでたいへんなことがおこった。

一九七二年の暮れに、ルドルフ湖東岸のコービ・フォラ地区で、約二六〇万年前に形成された玄武岩の層の下から、ホモ・ハビリスすら足もとにも及ばないほどヒト化の進んだ人類化石（KNM−ER1470）が出た。脳容積は八〇〇立方センチで、原人類に匹敵し、その原人類よりも、むしろ現代人に近いとさえ思われる代物である。

これがもし真実だとすると、今日まで多くの研究者たちが猿人類に支払ってきたはかり知れないほどの努力と時間は、いったいどうなるのだろうか。人類の起源はふたたび混迷のかなたへと押し流されてしまったのである。

ヒト化への道

人類が類人猿とわかれて、ヒト化への道を歩きだした時期は、今日までに発見された化石の状態から推定して、



1. KNM―ER1470　2. アウストラロピテクス・アフリカヌス　3. アウストラロピテクス・アフリカヌス　4. パラントロプス　5. ジンジャントロプス　6. ピテカントロプス（ホモ・エレクトス・ジャワエンシス）　7. シナントロプス（ホモ・エレクトス・ペキネンシス）

（P. V. トバイアスによる）

鮮新世前期つまり一〇〇〇万年ほど前だったと考えられる。つまりこのころには、アフリカ、ヨーロッパ、アジア各大陸から現在の大型類人猿の祖先ドリオピテクスや、すでに絶滅した超大型類人猿ギガントピテクスの化石などが、数多く発見されている。

ところが時期を同じくして、もっとヒト化の進んだラマピテクスの歯や顎骨などが、インドのシバリク丘や、遠くはなれたアフリカのケニアから発見されているのである。ということは、もしラマピテクスが人類に向かう系統だとすると、この時期にはすでにドリオピテクスやギガントピテクスから分岐していたことになる。そしてこの推測は多分間違っていないだろう。なぜなら、これまでにもう五〇〇体に及ぶ化石が発見されていながら、まだラマピテクス以上にヒト化の進んだ化石は見当たらないからだ。ラマピテクスは、まだ歯や顎骨の一部しか発見されていないが、その特徴から、どうやら主としてベジタリヤンだったらしい。彼らの出土する地域は、アジアでもアフリカでも生態環境がよく似ていて、いっしょに出土する動植物相からみると、どうやら熱帯性降雨林が後退して、比較的視界が開けた水辺や河口付近だったらしい。

人類化石の発見状況を、もっとくわしくながめてみると、鮮新世前期から更新世にはいるころ、つまり一〇〇〇万年から三〇〇万年前ごろまでは、人類らしきものとしてはラマピテクス以外になく、それが更新世にはいると急に南や東アフリカ各地で猿人たちの化石が増えはじめる。いいかえると、人類の適応放散は鮮新世終わりから更新世はじめにかけて生じたということになろう。

ラマピテクスはアジア出土のものも東アフリカ出土のものも形態がたいへんよく似ており、その上アフリカからアジアまで比較的短期間に分布域を拡げているところをみると、かなり可動性が大きく、水辺に沿った地上が主要なコリドール(通路)だった。拡がりの速度が急であることから、彼らの分布密度はそう高くなく、地上の水辺地帯を利用したために、季節的な水位の増減は、容易に彼らを分断、隔離したことだろう。そしてこれが適応放散の直接的原因となり、多くのタイプの猿人類を生み出し、それらが複雑に交雑する結果となったのである。

さて、ここでたいへん不思議なことに気がつく。

猿人たちの間には、いくつかの系統の違いがあることは、すでに述べた。ところが南アフリカでも東アフリカでも、そして最近新しくアジアの猿人ということで問題になりだしたジャワの例でみても、ロブスト型の系統とアフリカヌスやハビリス型の系統が、ある期間まで光と影のように、相寄りそって棲んでいたと考えられる。

もし両グループの間に共存関係があったとして、それはどのような生活上の意味があったのだろうか。

当時はどう猛きわまりない大型ネコ科の適応放散した時期でもあった。これらの肉食獣は両グループにとってともに危険な存在で、狩猟はともかく、まず自分たちの身を守ることにもっとも気を配らざるを得なかったに違いない。彼らの出土する地点では、ほとんどどこでもハイエナ、ジャッカル、パンテラ、アフリカイヌ、トラなどがまじっているからである。

パラントロプスやボイセイ(以下P―タイプとよぶ)も、不器用ながら小型動物を捕食したり、傷ついた有蹄類を捕えたり、肉食獣の食い残しをかすめ取ったりしていたことだろう。それにくらべるとアフリカヌスやハビリスのグループ(以下A―タイプとよぶ)は、はるかに能率よく狩りをし、その残り物をP―タイプのグループはかすめ取ったりしていた。けれどもA―タイプはそれを黙認した。というのは、付近に自分たちに実害のないP―タイプ猿人が群がり、そのおかげで、A―タイプ猿人たちは安全を保つことができたからだ。やがてハビリスがアシューレアン文化を身につけた原人レベルの段階に達すると、みずからの力で肉食獣たちを駆除できるようになり、P―タイプ猿人たちとの共存関係は価値も減少し、逆に食物的競合関係が激化するようになる。こうなると原人レベルに達したA―タイプ・グループの連中は、P―タイプの連中を敵視し、積極的に彼らを狩るようにすらなった。原人たちの出現とともに、きわめて急速に猿人たちの姿が見られなくなるのは、このような事情を反映しているのかもしれない。進んだ石器文化を身につけたA―タイプの連中にとっては、たとえ体が倍近く大きいP―タイプの連中といえども、たいした敵では

なかったのである。

猿人類アウストラロピテクスの石器製作その他の遺物についても、今日かなり書き変えることが必要になった。オルドワイ文化とよばれていたものも、けっしてひところ考えられていたような曙石器で代表されるような単純なものではない。また、シェル文化、アッシュール文化に先行し、それらの文化の母体になったこともわかってきた。たとえばジンジャントロプス層だけに限ってみても、このオルドワイ文化は、マリアの研究によると、出土した一六四個の石器が一二種類のタイプに分けられるという。そして各種の打器、円盤型石器、多辺型石器、削器、彫刻刀型石器、骨器などがふくまれる。脳の大きさがせいぜい、われわれの半分にも満たない猿人たちが、これほど豊富な種類の石器を製作していたということは驚きに値しよう。ジンジャントロプス層よりも少し新しいところでは、どういうわけか、二つの違ったタイプの文化が共存し、それが一〇〇万年近くつづく。オルドワイ谷のある地点では、オルドワイ石器が製作され、その近くではもっと進んだアッシュール文化が存在したというのである。このアッシュール文化では握り斧やかなり精巧な剝片石器がふくまれており、ただ有用性だけでなく、外観を整える美的感覚の萌芽さえも読みとることができる。やがてオルドワイ文化は姿を消す。その経路はいまのところ謎である。オルドワイ猿人が自分たちの文化を捨ててアッシュール型文化へ移行したのだろうか？　あるいはアッシュール人によりオルドワイ人は駆逐、絶滅させられたのだろうか？　先史学者の仕事がもう少し進むのを待たねばなるまい。いずれにせよ、この石器の種類の豊富さは、わたしたちが想像する以上に、彼らの生活の内容が豊富だったことを物語る。

また、リーキー夫妻はオルドワイのベッドI下層で、おとながやっともてる程度の石ころを、直径約四・五ﾒｰﾄﾙほどのサークル状に積み上げた、いわゆるストーン・サークルを発見している。これは明らかに、ゴリラなどがただ一夜の寝床のために木の枝をかき集めるなどといったものでなく、もっと永続的な目的で築き上げられたものとしか考えられない。というのは、彼らの体格からして、この石を積み上げるのには、かなり苦労しただろうし、作業量も相当のものだからだ。

では、なんの目的で、ここにこんなものを設けたりしたのだろうか？　獲物を解体したり分配したり、道具を製作したりする作業場だったのだろうか？　それとも狩りの打合わせをしたり、ものごとを議したり、祖先や祖先の仲間入りした親しき者たちを祀ったりする部族信仰の場だったのだろうか？　あるいはたんなる住居だったかもしれない。いずれにしてもいえることは、これは一時的目的のものではなくて、彼らが遊動してももどってくるべき生活の中心となる場所をすでにもっていたということになろう。たんなるテリトリー以上の根拠地があったということである。これはもはや類人猿にもみられない、まことに人間的な現象である。

彼らの生活にとって、狩猟は重要な位置をしめていた。しだいに大型獲物をねらうようになったことが、同時に出土する餌食になった動物骨や、道具の性能の向上から推定される。それと同時に彼らの行動域はいちじるしく大きくなった。それは季節的に変動する食物源を求めて歩く狩猟民や採集民のつねであり、また初期人類についてもそうであったことだろう。彼らはこのような生活を通じて季節の変化も学んだし、動物や植物についての知識や経験も広め、かつ深めた。

長期、長距離の狩猟になによりも重要なのは水の携帯であり運搬だった。運搬は貯蔵を前提とし、これらの特徴は、狩猟、採集が大型化、組織化するにつれ欠かせないものとなる。高等類人猿といえども、これにくらべると行動域は比較的せまく、自分にとって当座必要な分だけ採取し、貯えることなど及びもつかない。

このような長期、長距離の狩猟は、単独でおこなわれることなく、何人もの男が組織化され、協力と分業が要求された。足手まといになる子もちの女や幼子は、おそらくベース・キャンプにとどまらざるを得なかったことだろう。

さて、このようにして手に入れた獲物は、当然のことながら分配されねばならない。分配ないし贈与という行動は、高等な類人猿でもありふれているわけでなく、チンパンジーなどで時々見られる程度である。

ところで、いままで述べてきたような行動を裏づけるような社会の構造が恒常化するためには、もう一つ見のがしてはならない事実がある。それは発情期あるいは交尾期が、彼らの間では、すでに脱落していたということである。つまりすでにサルの研究を通じて知られているように、もし彼らの間に交尾期が残っていたとしたら、その到来のたびに社会構成の論理は一転して、性の論理にもとづく行動に転換し、社会の恒常性、安定性は望むべくもない。

思えば猿人たちの積み上げた石の塊の集積は、重要なことを意味しているといえよう。現在アメリカで代表的人類学者の一人であるS・L・ウォシュバーンは、

「広域を行動すること、協力のあとがみられること、分配していたらしいこと、などを示す先史学的事実があれば、そこに人間行動のきざしをみることができる」

という。そして中・大型動物を狩りすることは、これらのすべてをふくんでいる。つまり人類はどうやら狩猟・採集者として出発したということであり、猿人はすでにこのレベル付近に位置していたということが、現在確認されているのである。

〈江原昭善・京都大学〉

第三章　人間をつかさどるもの——大脳の働き

脳は神経系の一部である。神経系は末梢神経と中枢神経に分けられ、中枢神経は脳と脊髄に分けられるが、一般に、脳という言葉を中枢神経の同義語のように使うことが多い。脳という言葉はよく使われるし、脳と脊髄は構造的にも機能的にも一体となっているからである。ここでも、これらの言葉をそれほど厳密に区別して使わないことにする。

脳の仕組と神経系の働き

中枢神経または脳は頭骨と脊椎骨の中におさまっているが、末梢神経によって全身とつながっている。一方は受容器（感覚器）とつながっており、体の内外の状態が情報となって脳に送り込まれてくる。他方、全身の横紋筋や内臓と脳はつながっていて、脳からの指令が全身に送られていく。こういう構造からわかるように、神経系は全身の行動や機能と関係しており、脳はその中心に位置している。

ところで、大脳はこの脳の一部であり、最上位に位置している。人間の大脳はきわめて大きく目立つので、脳といえば大脳を想起する人が多いが、大脳は脳の一部に

すぎないということは銘記しておかなければならない。大脳の下には、上から順に、間脳、中脳、小脳、延髄、脊髄がつながっており、これら大脳下の脳のほうが基礎的な機能を分担していることは、脳の進化を考えるだけで納得できる。つまり、明確に大脳とよべるようなものが現われてくるのは哺乳類からであって、魚類や鳥類などには大脳の萌芽のようなものがみとめられるだけである。これでわかるように、大脳より下の脳のほうがはじめにあって、大脳はそれにつけ足されるという形で生まれてきた。そうして、大脳が発達するにともなって動物は高等になっていく。つまり、構造の上から考えても、大脳より下の脳は基礎的機能に関係が深く、大脳は動物や人間の高等さに関係があることがわかる。

さらに、大脳だけでみると、動物にくらべて、人間の大脳の大きさの脳全体の中に占める割合が大きいだけではなく、形の上でも、前方の前頭葉と側方の側頭葉がとくに発達している（大脳にはそのほかに頭頂葉と後頭葉がある）。このことから、動物にくらべて人間のすぐれている点があるとすれば、それは前頭葉と側頭葉とにとくに関係が深いのではないかと推論することができる。

脳をはじめとして神経系をつくっている細胞はニューロンと膠細胞である。そうして、その主役はニューロンであろうと考えられている。ニューロンは神経細胞とそれから出ている神経線維に分けられるが、この両者はもともと一つの細胞である。神経細胞にはこのほかに樹状突起というとげが出ている。

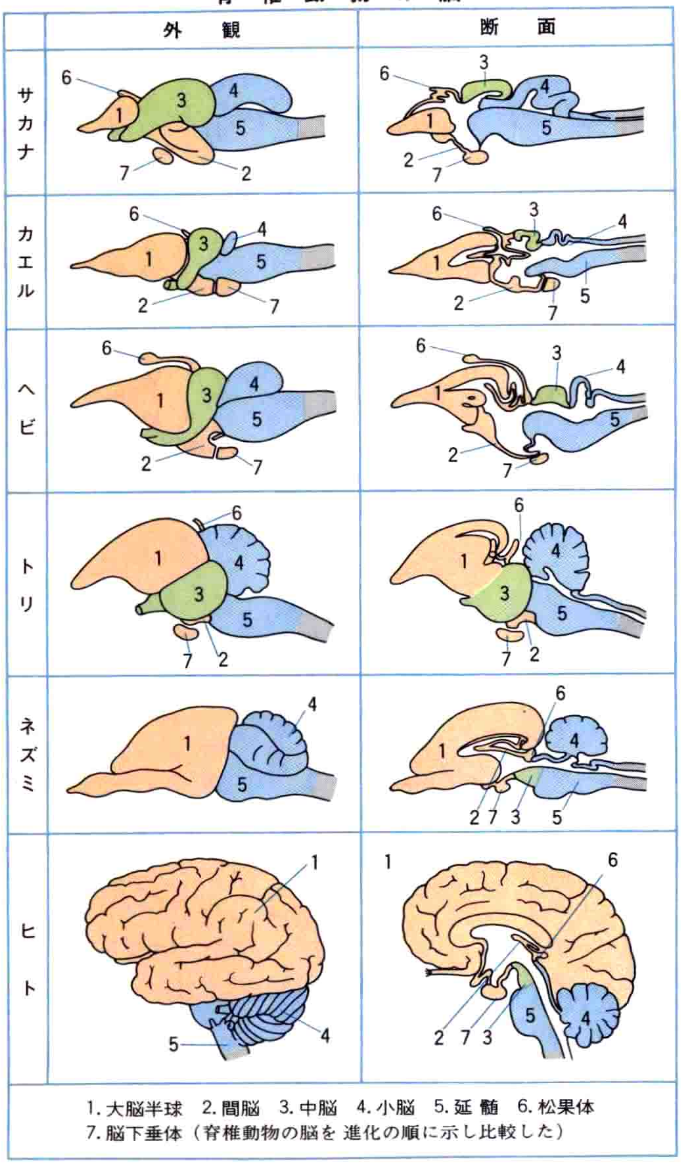
ニューロンは、前のニューロンの神経線維の先端が次のニューロンの細胞体または樹状突起に接触するという形で配列している。そうして、その接触点をシナップスとよんでいる。つまり、神経系または脳は巨大な神経網ということができる。また、末梢神経は神経線維である。

脳には主として神経細胞の集まっているところと、神経線維が束になって走っているところがはっきりと区別できるところが多い。大脳では、その表面に神経細胞が集まっており、数ミリの厚さの層をつくっている。そこを大脳皮質とよんでいる。そこには複雑な神経網があるわけだから、機能的にも重要なところと考えられている。したがって、大脳の大きさよりも、表面の広さのほうが機能と関係が深いと考えられ、人間をはじめ多くの動物の大脳表面にしわがあるのは、表面積を広くするためのものといわれている。しかし、この関係を単純にとらえて、イルカの大脳のしわが深いことをイルカの高等さと直結させて考えるというような態度には問題がある。

神経系の働きを全体として調節系としてとらえる考え方がある。これは、かなり正しいとらえ方である。つまり、神経系は環境と生体との関係を調節し、身体各部の機能を調節しているからである。環境と生体との関係の調節とは、順応ということができる。つまり、生存につごうのいい環境を求め、そういう環境をつくりだしていくということを意味している。また、身体各部の機能の調節とは、いわゆる全一性の維持である。身体が全体として一つの機能をいとなむように調節することを意味している。この順応と全一性は、無生物体と比較した場合、生命体の本質として指摘されているものである。したがって、神経系の機能は生存を支えることを一義的な目的としていることになる。もっとも、調節系としては神経系のほかに内分泌系が挙げられる。しかし、神経系と内分泌系は別々のものではなく、互いに関連しあい、協調して生体の調節をしている。たとえば、下垂体の前葉から分泌される刺激ホルモンは多くの内分泌腺の機能を調節している。その下垂体は間脳の視床下部から突出しており、脳によってその機能が調節されていることから考えても、神経系と内分泌系の深い関係がわかる。

神経系の調節作用は、体外環境や体内の状況を受容器が受けとめ、それが情報となって脳に送られ、その情報が処理された結果が指令となって全身に送られるという形でおこなわれる。神経系を介したこのような反応を反射とよんでいる。もっとも、ふつうは、無意識におこる反応に限って反射とよぶことにしているが、そういう但(ただ)し書きをはずせば、脳の働きはすべて反射ということもできる。そのように考える立場を反射論という。こういう立場はロシアのセチェーノフやパブロフらによって確立された。ただし、反射の刺激になるものは受容器が受けとめるもののほかに、脳内を流れる血液の性状変化のようなものがある。ところで、脳は神経網でできていることはすでに述べたが、この網の中を単純な形の信号（インパルス）が伝わっていることをさまざまの方法で知ることができる。その伝導速度は速いもので一秒間約一二〇メートル、おそいもので約五〇センチである。末梢神経の中にもこのような信号が伝わっている。つまり、脳に送られてくる情報も、脳から送られていく指令もこのような信号であり、脳の中での情報処理は信号の交通整理ということができる。そうして、その交通整理は主としてシナップ

脊椎動物の脳



スの部分でおこわれている。

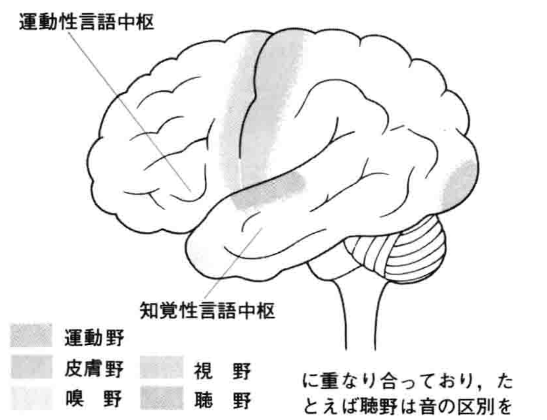
大脳下の脳の働き

大脳下の脳は脳の基礎的な機能をつかさどっているということは先に書いたが、そのことと、脳の機能は生存のためのものであるという事実を重ねると、大脳下の脳は生存に必要な基礎的な機能の場ということになる。そのことは大脳を摘除した動物の観察からも裏づけられる。つまり、そういう動物は歩くこともできるし、食べることもできる。注射針をさすと、ないて逃げもする。そうして、とにかく、生きつづけるのである。また、間脳の視床下部に電極を植え込んで、電流で人工的に刺激をすると、摂食行動、飲水行動、性行動、攻撃行動などがおこる。たとえば攻撃行動を怒りの行動と表現すれば、視床下部には感情的行動の座があるともいえる。つまり、反射論の立場でいえば、生きるために必要な基礎的な反射は大脳下の脳にその反射路があるということになる。

ところで、生きるために必要なこのような基礎的反射は生まれつき備わっており、遺伝的なものである。それを無条件反射とよぶ。基礎的反射であるから万人に共通しており、しかも、その多くは動物全体に共通している。しかし、無条件反射の種類については一部しかわかっていない。つまり理論的に考えたり、大脳摘除動物の観察から、無条件反射が生存を基礎的に支えていることは推論できるのだが、生きるためになにが必要であるかについてはきわめて不十分にしかわかっていない。このことは、人間をとらえる上でかなり致命的なことだが、無条件反射について完全に知ることができれば、人間についてほとんどわかったことになるだろう。

そのほかに、一般に人間の先天的性質とか本能といわれているものの中には、訂正や再検討を必要とするものが少なくない。たとえば、人間や動物は生まれつき利己的で他人と生存競争をするということを強調する傾向があるが、人間や動物は生来、連帯的であるということがさまざまの角度から指摘されるようになった。また、人間や動物には生まれつき探究性（探究反射）が備わっており、たえず新しい環境に接触し、新しい生活をつくりだしていく性質があるということも重要である。つまり、生まれつき創造的であり、ものを知ろうとするたくましい性質があるということになる。こういう機能は大脳の前頭葉とも深い関係があると思われている。連帯性にしろ、探究性にしろ、どちらかといえば建設的な性質であり、人間が生きるためにはそれらの性質を満たす必要があるというのは、重要な事実である。先に、脳は人間が生きるために働いていると書いたが、生きるための行動の中には、学問とか創造活動とか他人との協力などもふくまれているということになる。このように考えていくと、人間の行動のすべては生存を支えるためのものと考えても、それほどおかしくはないだろう。このことは、のちに大脳の機能について考えるときに重要な意味をもってくる。ただし、生まれつきの性質についての以上のような知見は、脳生理学の研究からだけ得られたものではなく、動物行動学などの研究が大きく役立っている。無条件反射は動物とも共通している部分が多いので、その共通している部分を探ることが、脳生理学の研究にも役立つのである。

大脳皮質の機能局在地図



各機能の境界はそれほど明確なものではなく，モザイク状に重なり合っており，たとえば聴野は音の区別をする神経細胞の密度の高いところと考えればよい

大脳皮質の機能

大脳下の脳の働きは、生きるために必要な基礎的で生まれつきの機能、つまり、無条件反射に関係があるが、大脳、とくに大脳皮質は後天的な機能獲得に関係がある。先に、大脳は動物や人間の高等さに関係があると書いたが、高等さとは後天的機能獲得能力の優劣と関係しているものと考えられる。もっとも人間の場合、大脳皮質は厳密には新皮質と古皮質と旧皮質に分けられる。そうして、古皮質と旧皮質は大脳下の脳とともに無条件反射と関係が深いので、ここでいう大脳皮質とは、主として新皮質を指していることになる。

ところで、神経系とか脳の機能をすべて反射として考える反射論の立場では、先天的機能を無条件反射とよぶ一方、後天的機能をすべて条件反射とよぶ。このように考えると、大脳皮質は条件反射形成の場ということになる。もちろん、このような考え方は一つの立場であって、いろいろの批判もあるし、ほかにさまざまな考え方もあるが、そのことについてはのちに述べる。とりあえず、パブロフのおこなった条件反射の実験について学ぶことが必要である。パブロフの実験は後天的機能獲得の機構の基本を知る上で、重要な意味をもっているからである。そこで、パブロフのおこなったイヌの唾液分泌に関する条件反射だが、そのおおよその内容については多くの人に知られている。無条件反射としては音が唾液を分泌させることはないが、餌を与えるときに音が与えられるという経験がくり返されると、音によって唾液が分泌するようになる。このように、環境や経験によって新しく形成される反射が条件反射である。

この「音→唾液」という条件反射が形成される経過からわかるように、その土台には「餌→唾液」という無条件反射が据えられている。そうして、生まれつきは餌の刺激で分泌する唾液が、音によっても分泌するようになったのである。その結果、時間的に早目に唾液が分泌して、餌を待ち受けることになる。いわば、環境変化の先取りができることにもなる。このようなことからわかることは、後天的機能（条件反射）といっても、無条件反射の変形であり、無条件反射の機能を強めるものであることがわかる。つまり、条件反射は無条件反射を土台として形成される。もっとも、条件反射形成の意義は、時間的な先取りのほかに、新しい行動様式を身につけるということにもある。ある型の運動をくり返すことによって運動条件反射がつくられるのである。このことは重要なことである。先に、脳の働きはすべて生存を支えるためのものと書いたが、後天的な機能も生存とどのように結びついているかは、条件反射形成のメカニズムから具体的に知ることができる。つまり、土台になる無条件反射を媒体として生存と結びついているのである。

さて、条件反射機能にともなう重要な現象として、汎

化と分化の現象がある。先の唾液分泌の実験を例にとれば、ある音によって唾液が分泌するようになったイヌに、その音とは違う音を与えても唾液が分泌することがある。このような現象を汎化という。そこで、ある音を与えたときには餌を与え、別の音には餌を与えないという操作をくり返すと、ある音に対してだけ唾液が分泌し、別の音には唾液が分泌しなくなる。つまり、違う刺激を区別するようになったわけで、それを分化という。このことからわかるように、違う刺激を区別できるようになるためには体験が必要なのである。そうして、このような分化の働きも大脳皮質のものである。以前から大脳皮質には、音に関係のあるところ（聴野）とか光に関係のあるところ（視野）というような部分が別々に存在していると考えられていて、機能局在論といわれている。そこで、たとえば聴野といわれるところは音の区別(分化)に関係のあるところと考えることができる。ただし、機能局在の境界は以前にいわれていたほど明確なものではなく、かなり重なりあっている。

　このようなわけで、大脳皮質が発達しているということは、体内外の環境や状況を正確にとらえて、それに応じた条件反射が形成されるということを意味する。もっとも、大脳皮質には運動野とよばれる部分があって、そこからは随意運動の指令が送り出されるといわれている。意志に随う運動、つまり随意運動というようなものについてはのちに検討するが、運動野に関していえば、むしろ運動器官からの情報を分析して器用さをつくりだす場所と考えるほうが妥当であろう。このように考えることによって、人間行動の原動力は皮質下の脳に存在していて、大脳皮質はそれをコントロールする能力を後天的に獲得するところといいきることができるだろう。いうまでもなく、器用さも体験的に獲得する能力である。

　いずれにしても、少なくとも動物に関していえば、その行動は無条件反射と条件反射の二種類の反射としてすべて生起してくると考えることができる。もっとも、条件反射は無条件反射を土台として形成されることを考えると、すべての行動は無条件反射の組み合わせとして説明することができるわけである。

　ここで無条件反射とか条件反射という言葉を使っているのは、脳生理学（反射論）の立場に立っているからだが、動物の行動をすべて刺激に対する反応としてとらえようとする立場はけっして珍しいものではない。すでに、一七世紀には哲学者デカルトがこのように考えたし、心理学の中では行動主義心理学が同じような立場で研究をつづけている。これらの立場の考え方の特徴は、心とか精神現象というようなものを一次的には考えないようにするところにある。動物が痛がるとか、ものを考えるとかいうことはないと考えるか、そういうことは棚上げしておこうと考える。ところで、ここでいう行動の中には内臓の変化や状態もふくまれており、唾液腺のような内臓にも条件反射が形成されることから、内臓も大脳皮質からのコントロールを受けていることがわかる。こういう事実は、内臓の機能や病気について考える場合にも重要で、神経症のような大脳機能の異常（環境への不適応）の結果として内臓が病気になるというような話と結びついていく。

言葉と思考

　先に説明したように、少なくとも動物は無条件反射と条件反射によって行動しており、ものを考えることはないかもしれないというのだが、人間はどうであろうか。その構造や信号活動については人間と動物の脳には本質的な差はないので、すべての脳機能が広い意味での反射としてとらえられるべきだという立場は人間にもあてはめられる。しかし、人間と動物には質的な差がないというのは間違いである。

　つまり、動物にはなくて、人間にだけあるものに言葉がある。そうして、その言葉が人間の脳機能にさまざまの機能をつけ加えることになった。ここでいう言葉とは、声帯でつくられる声を口腔部、喉頭部の形を変えることによって変化させ、違う音を素早く組み合わせるというぐあいにしてつくられるものをいう。このような発声法は口のまわりの筋肉の器用さと関係しており、大脳皮質運動野の発達している人間にのみ可能である。また、こういう言葉を聞き分けられるためには、やはり大脳皮質の発達を必要としているので、これも人間だけの能力である。このように発声法を重視するのは、このような発声法が可能なために、人間はほとんど無限個の言葉を使うことができるようになったからである。

　言葉は一種の記号で、脳が受けとめたものや脳の中におこっている現象にその記号がつけられる。そこで、言葉は一種の条件刺激ということもできる。「ナツミカン」という言葉を聞くと多くの人では唾液が分泌されるが、これは「ナツミカン」という言葉はたえず実際の夏みかんとともに使われるので、条件反射が形成されたからである。そこで、言葉を第二信号系とよぶことがある。その場合には、色とか形のような言葉以外の刺激は第一信号系とよぶ。

　人間は言葉を使ってさまざまの事柄を伝達しあうことができる。そうして、人間は他人の経験を共有することができるし、経験を蓄積することができる。また、自分が経験したものは言葉と結びつき言語化される。夏みかんを食べると、「ナツミカン」とか「スッパイ」というような言葉と結びつく。このように経験が言語化することによって、そこに意識とか認識が生まれる。意識とか認識というものは、言葉との結びつきを抜きにして語ることはできないし、動物には言葉がないから、動物の意識とか認識というものは存在しないと考えるほうが妥当であろう。もっとも、動物にも言葉があるか否かの問題は現在でも論じつづけられており、チンパンジーはかなりの記号を使いこなすというような実験もある。しかし、総合的に判断して、言葉といえるものを人間以外の動物が所有していると思われる根拠は、所有していないと思われる根拠にくらべればはるかに弱い。

　ところで、言語化が意識を生みだすとしても、脳の中におこっている現象のすべてが言語化され意識されるわけではない。むしろ、ごく一部だけが言語化され意識されるにすぎない。ということは、脳の中でおこっている現象の大部分は本人には意識されない、ということを意味している。少なくとも、はっきりした形では意識されない。このことは、人間行動を支配しているメカニズムについて本人はほとんど意識していないということも物語っている。これは深層心理学が指摘していることと一致するわけで、自分の行動は自分にわかっていると思い込むことが誤りであることがわかる。たとえば、脳に送り込まれてくる情報のうちで、本人に意識されて感覚を生むものはごく一部にすぎないことがわかっている。したがって、意識されない情報が処理されて、行動が決定されていくプロセスが意識されないとしても当然である。

　このように、本人の意識に上らない脳の機能は直感といわれるものと関係が深い。ある判断がくだされる際に、その経過が言語化されないために、本人にとっては結果だけが得られるということになる。しかし、脳の中ではそれなりの情報処理がおこなわれているのである。

思考といわれるものも言葉ときわめて関係が深い。つまり、人間は言葉をもっており、それを並べることによって、ものを考えることができる。他人に伝えるための言葉に対して、独語とでもいうべきものが思考である。それが声になることもあるが、多くは声にはならない。しかし、思考には発語筋の活動がともなっているという研究もあるように、声にはならなくとも、思考には言葉が関係している。

そこで、言葉を並べてなにが得られるのであろうか。言葉は現実に存在するものの記号なので、言葉を並べることは、現実に存在する現象を言葉で再現することになる。忠実に再現することもあるし、いろいろと組み合わせを変えて再現することもある。一般に、空想とか作り話といわれるようなものは、非現実的なものと考えられているが、その材料は現実を反映したもので、それをさまざまに組み合わせたものである。

現実をできるだけ正しく反映するように言葉を並べる場合は、いわゆる理論的思考となる。実際に存在する現象はくり返しおこるものなので、すでに存在した現象を言葉で再現すれば、未来におこるであろう現象を予見することができる。そうして、その予見にしたがって自分の行動を決定することができるわけである。人間の行動といえどもその土台に無条件反射が存在している点は動物と変わらないが、理論的思考をすることによって、事態を先取りした行動が可能になる。条件反射も先取り機能の一種ではあるが、人間は理論的思考をすることにより、強力な先取り機能を獲得したことになる。現象をできるだけ正確に言葉で表現し、事態を予見しようとする態度は、いわゆる科学的ともいえるもので、科学とか合理主義といわれるものは言葉を駆使することから生まれるものである。先に書いた直感とは対照的なものである。

以上の話を具体的な例で説明すると、「水を加熱すると一〇〇度で沸騰する」という法則は、過去におこった現象を言葉で表現したものだが、この言葉はこれからおこる現象の予見にもなる。そうして、一〇〇度の熱湯を得たいときにはなにをすればいいかという方針に結びつく。この場合、「一〇〇度」という言葉は温度計の発明によって得られた熱さの程度を表現する言葉で、現象をなるべく正確に言葉で表現しようとする科学的態度の努力の結果である。

なお、たとえば、「水」という言葉は、この水とかあの水というものではなく、一定の性質をもった物質すべてに共通して与えられた記号である。そういう意味で、言葉は抽象性、分類性をもっており、そういう言葉を使うことによって、人間は現実の世界を整理してとらえることが可能になった。「水を加熱すると一〇〇度で沸騰する」という言葉はどの水というのではなく、「水」という言葉で表現されるすべての物質に共通して適用できることを意味している。

しかし、言葉は現実の事象を必ずしも忠実に反映することはできない。現実の事象はきわめて流動的であり連続的なものであるが、言葉は固定的、不連続的なものであるので、言葉で表現されたものからは流動性、連続性が失われる傾向がある。ただし、言葉のこういう性質はその抽象性、分類性と表裏一体の関係があるので、言葉を使う上でよほど留意する必要がある。科学で実験や実態観察が重視されるのは、言葉で反映されたものと現実との食い違いをできるだけ少なくするための努力である。それにもかかわらず、現代は科学主義や合理主義のいき過ぎに対する批判が目立つのは、言葉そのもののもつ欠点と無関係とは思われない。

このような言葉と関係のある機能は、大脳皮質の発達とともに生まれてきたわけだが、大脳皮質のどの部分ととくに関係が深いかは、十分にはわかっていない。以前から運動性と感覚性の言語中枢が指摘されており、側頭葉との関係が注目されてきたが、たんに話し聞くというだけの機能に関しても、さらに広い大脳皮質が関係しているということがわかっている。したがって、思考過程までもふくめて考えると、大脳皮質のすべてがなんらかの意味で言葉と関係がある、といえるかもしれない。

心と行動

先に説明したように、脳の働きをすべて反射としてとらえる考え方は、一つの立場であって、一般的には、反射は無意識のうちにおこってくるもの、と考える傾向がある。そうして、意識的なものは意志に随う随意運動とよぶのである。たしかに、脳の働きの中には、意識に反映されるものと反映されないものがあることは、すでに指摘したとおりである。しかし、それは言語化されるかされないかの違いであって、むしろ二次的な問題と考えられる。しかも、言葉をもたない動物については、そういうことを問題にすることがすでに意味がないと思われる。随意運動の指令を出す運動野が、動物の大脳皮質にも存在していると考える人もいるが、そういう人は動物を擬人化して考えているのである。もちろん、動物はものを考えていないと断言することはむずかしいが、随意運動とされているような運動も、思考過程を前提としないでも説明することができれば、かなり有力な論拠となるだろう。

たとえば、チンパンジーが天井からつるされたバナナを、そこにある箱を台として、その上に乗り、棒をもってたたき落とすという行動も、チンパンジーに思考力があると考えなくとも十分に説明ができる。たとえば、チンパンジーが旺盛な探究性によって箱や棒をもてあそんでいるうちに、たまたまバナナをたたき落とすことができると、そこで条件反射が形成されて、のちにはかんたんにバナナを入手できるようになる、と説明できる。また、実際に観察していると、そういう経過をとることがわかる。こういう行動を、バナナと棒と箱と自分の関係を全体としてとらえるチンパンジーの能力によって説明することもあるが、そういう能力も条件反射機能によって獲得されたと考えることができる。

このように考えると、動物の行動は思考力を前提としなくても、せまい意味の無条件反射と条件反射だけで説明することができるのである。と同時に、人間の場合にも、動物の行動と共通しているような行動は、本人は考えながらの行動と思っていても、狭い意味での無条件反射と条件反射にすぎないものが多い、というべきだろう。

もちろん、人間には思考力があり、先の見通しを立てて行動方針をきめることができる。こういう場合を随意運動といえなくもないが、この場合も、行動の方針を言葉で掲げるにすぎないのであって、筋肉の運動がいちいち意志によって指令されているわけではない。つまり、人間の行動といえども、その基本はせまい意味での無条件反射と条件反射の組み合わせでつくられており、それに言葉が介入して、目標を掲げたり、方向を変えたりするのである。このように混在しているものであるから、ある行動をとりあげて、それが意識的か無意識的かと分類することはできない。古くから、横紋筋を随意筋、平滑筋や心筋を不随意筋と分類したり、内臓は自律神経支配下にあって、意志から独立していると考える傾向があ

るが、そういう考えにこだわると、人間行動を正しくとらえることはできなくなる。

たしかに、私たちに精神とか心が存在していることは否定できない。しかも、私たちは人間について考えるとき、自分の心を見つめるところから出発することが多い。そのために、精神とか心が一次的な問題になって、行動はその結果として考える傾向がある。しかし、脳生理学というような、人間行動を客観的にとらえる目でみると、精神とか心といわれるものは、むしろ、二次的な産物としてとらえられる。もちろん、思考の結果を行動の方針として掲げるというような点に人間の特色があるわけだが、その思考そのものが言葉と経験の組み合わせとして生まれたものである。このように考えることによって、人間行動を物質存在を土台に据えて科学的にとらえることができる。もっとも、大脳のどこに精神や意志が宿っていて、それが人間を動かしている、というように説明する脳生理学的知見がないわけではないが、そういう立場はむしろ、精神的存在を一次的に考える「人間学」に脳生理学を組み合わせたもので、別の立場というべきである。

〈千葉康則・法政大学〉

第四章　人間の心と動物の心

この章では、人間の心と動物の心について述べることになるが、心というのは日常生活で常識的に使う言葉であって、科学用語ではないようである。心理学辞典の中には、心という項目はない。それゆえ、ここで考えている心とはどんなものかについて、まず少し検討しておきたい。

心という言葉の用い方をしらべてみると、心はまず、ひととなり（人柄、人格、パーソナリティ）を指す場合がある。また、人の感情的な状態や情緒的なふん囲気を示す場合がある。それに、一般的な感情を表わすというよりはむしろ、「今の私の実感」といった、個別的で特殊なふん囲気を示すこともある。国語辞典をみると、その他の用例もあるようだが、この章に関係の深い例だけをとりあえずみておきたい。

「あの人は心のあたたかい人だ」というときは、その人のひととなりが、あたたかさを感じさせると述べているのでもある。そして、おだやかな心、陽気な心、といった表現で、人の感情の状態、情緒的なふん囲気をも示している。「私は心を打ちひしがれて、街をさまよった」といった表現は、今の「私」の「実感」を示している。

人の心の特性

こうした用例でもわかるように、私たちは、心なしでは日常生活をすごせない。心は私たちの生活のいたるところに、いつでもある。そして、先の例によって知ることのできる心の特性は、心は人によって「知られる」、「わかる」ものだ、ということである。人の心のあたたかさ、といったことは、「わかってしまう」ことであって、理論にたよって割り出してくるものではない。A氏がB氏に腹を立てている、といった場合、おもしろいのは、A氏が、B氏に腹を立てているのだから、B氏にさえそれがわかればいいのに、腹立ちを伝えようとも思っていない他の人にまで、そのことがわかってしまうという点である。心は、わかってしまうものであり、伝わってしまうものであるという特性をもっている。

心は理屈抜きにそのまま、わかったり感じ取ったりされるので、しばしば感違いや伝わりそこないをおこす。しかも、なぜそう感じてしまったのかをうまく説明できないことが多い。それでいて、わかりそこないのせいで失恋したり、金をもうけそこなったりするのだから重大問題である。それゆえ、心はわかりにくいものだという嘆きも生ずる。しかもなお、感違いをふくみながらも、人間も動物も、日常生活は全体としてはつじつまが合って成り立っている。要するに、心の特性の一つは、互いにわかりあうもの、という点にある。

さて、心は、互いにわかりあうものであるにしても、いつもわかりやすいもの、というわけではない。心には、いわばさまざまの色あいがまじっていて、単純にはみえないからである。ある人の心があたたかいからといって、つねに同じようにあたたかいわけではないし、場合によっては冷たくなってもいるだろう。笑っているときでも、落語を聞いて笑っているのと、小さな子どものかわいいしぐさをみて笑っているのとでは笑いが違っているように、心はある時点の状態がすでに単純ではないのに、時々刻々の場合の変化によって異なっている。

こうした微妙な心の変化が、互いにある程度はわかりあえるということは、あらためて考えてみれば驚くべきことであるが、それはさておいて、ここに注意されるのは、心の全体性である。心はいつも、人の状態の全体であって、工場の流れ作業の工程のように、分割された部分がそれぞれに動いているというようには、ふつうは実感されない。

心のこの全体性は、動物でも人間でも、それぞれ一つの身体をもっている、という事実に由来している。身体の全体は、たくさんの部分から成り立っている。それらの全部を統合しているのは中枢神経の働きではあるが、その統合に「意味」を与えているのは心である。一生懸命に試験の答案を書いているとき、身体全体を心がそのようにまとめあげている。なにか大きなことに成功したとき、身体全体がその興奮を表現している。このことが、その心を他人にさえ、そのつもりもないのにわからせるのである。これが心身一如という言葉の根拠である。このように、心はいつも一つの全体であるのが特性である。しかし心があたたかかったり、一つの全体であったりするときに、なにか内容といったものがなくて、ただあたたかい全体である、というわけにはいかない。心はいつも内容をもっている。たとえば、座禅のはじめのように、無念無想になろうとしてみるとよい。目をつむってじっとしてみると、たちまち心にたくさんの雑念がわいてくる。それを雑念だと思って無理に消そうとしないで、その一つ一つをよくみてみよう。それらは夢に出てくる姿にも似ている。それらをイメージとよぶことにしよう。心はイメージ・タンクであるといってよいほど、心にはイメージが数えきれない状態でいっぱいつまっている。イメージは生活の世界を写しながら、しかも世界そのものではない。一人一人の心の中で、それぞれが受け入れやすい形へと、世界は変容され、イメージとなって蓄えられている。それゆえ、この同じ世界に住みながら、一人一人の心の中にイメージとなっている世界はそれぞれに異なっていて、それがそれぞれの世界に対する態度や行動を個性のあるものにさせる。したがって、心の特性は「個性」があること、である。ひととなりというのは個性のことである。

さいごに、心は、身体とともに「育つ」ものである。生まれたばかりの赤ん坊でも、観察していれば、快、不

快の状態はみられるから、心がないとはいえないが、どんな心かははっきりしない。しかしそれは、たちまち育ちはじめる。親の顔をみて笑うようになり、見知らぬ人に不安を示すようになる。目や耳の感覚器官の発達や身体全体の発達にともなって、身のまわりのものごとや人人とのつきあい方がわかってきて、自分の世界のイメージが急速に具体的になってくる。心が育ちつつあるという状況が、横からみていてよくわかる。そうして幼児の心は、三歳から四歳にいたる間に、ふつうは母から分離して、一人ででも遊べるようになる。心が親から独立して、「自分の心」が他人の心とは別々にわかるようになる。

すでに心の中には、生まれてから形成してきた、この世界の人やものごとのそれぞれについて、またその関係の仕方や運動についてのイメージが満ちている。成人を標準とすればそうしたイメージはまだ十分安定してはいないが、この世界の基本的な性質についていては、大まかなイメージがまとまっているといえる。自分がもっているそのイメージにもとづいて、人は自分なりの行動をする。そのイメージの重要さは、逆のことを想像してみるとよくわかる。まったく勝手を知らない家の中へ、きたこともない土地へ、不意に置かれてなにかをするようにといわれても、身体の動かし方さえ、すぐにはきめられない。その場の全体的なイメージができていないからである。新しい家の中、新しい土地を歩きまわって全体が心の中に描かれるようになってくると、それに応じて効果的に身体も動くようになるだろう。ものごとの勝手がわかっているということは、行動の効果が予想できるということであり、それはその事のイメージができているということにほかならない。心の特性は育つことであり、心はイメージ・タンクである。

心の特性をこれですべて示したことになるかどうかは、よくわからない。心にはまだわかっていないことがいっぱいあるらしい。けれども、私たちは、自分や他人の心については、人間同士としてなにほどかは知っているわけであるから、そのうちの重要と思われる点をさしあたり整理して並べることによって、人間の心と動物の心とについて考える糸口としたわけである。

心の進化

人間以外の動物には「心」がないと感じる場合は、「わからない」「通じない」と感じる場合である。かわいがってやろうと思って手を出したら、そのけものに手を嚙まれた、ということがないではない。けものには人の心がわからないことがある。動物園では時々そんな事故をおこす人がいる。しかしそれでも、イヌなどはまだしも人間にはよくわかるほうで、とくに自分の飼っているイヌであれば、怒ったり、不安になったり、喜んだりしていることが「わかる」場合が多い。イヌのほうでも、飼われている間に主人の気持がわかるように育つし、主人の相手をしていないときには勝手に遊んだりしている。イヌには、私たちにわかる分だけ、心をもっていることをみとめてもよいであろう。

ところが、トカゲやヘビとなると、イヌを相手にするようにはわからない。しかしそれでも、日なたぼっこをしてじっとしていたり、棒切れで追うとあわてて逃げたり、ときには向かってきたりする。その分だけは、私たちにも少しはわかるので、心を少しだけみとめることにしてもよい。さらに、ハチやアリのような昆虫とか、表情がまったくわからないサカナたちとなると、もうほんとうに心があるかどうか、みとめる手がかりがほとんどない。サカナには心はないのだろうか。

ところがよく考えてみると、ここに述べたような心のみとめ方は、じつは人間中心主義といえるみとめ方にすぎない。いいかえれば、心というものを、ヒトの心を規準にして、それを勝手に、イヌやその他の動物にあてはめているだけのことである。もう一度いいかえれば、イヌや他の動物たちの心が、どれだけ「ヒトの心」に似ているかを吟味しただけのことである。見方を変えてみれば、ヒトにはヒトの心があるように、イヌにはイヌの心があり、サカナにはサカナの心があるというみとめ方がある。生物の種のそれぞれにそれぞれの心がある、とみとめてしまえば、それらは異なる心であるから、イヌは、イヌ同士でわかればそれでよく、イヌとヒトというように異なる種の間で「わかる」必要はない。種が異なれば「わからない」のがあたりまえである。私たち人間同士でさえ、互いに心が通じなくて寂しく不満に思うときがいくらもある。種の異なる心のお互いが、わからないのがあたりまえではないだろうか。したがって、飼いイヌと飼い主とがわかりあうときがある、という事実のほうが、ほんとうはふしぎなのである。私たちはこの事実になれてしまっているので、むしろ飼いイヌの心がわからないときに腹を立てたりしている。

ヒトの心がアリには通じない、ということのほうが当然である。それなら、なぜヒトとイヌとはわかりあうことがあるのか。その理由はほんとうのところはわからない。本章では、その理由を、ヒトとイヌとは進化の上では同じく哺乳類に属していて、つまり進化の上では類縁が近いからであると考えることにする。ヒトもイヌも、解剖学の目からみれば、同じ設計にもとづいた、共通の身体構造をもっている。その進化の類縁の近さだけ、心も互いに似ていると考える。そうすると、霊長類とよばれるサルの仲間は、哺乳類の系統からさらに枝わかれして、その中にヒトや、チンパンジー、ゴリラをふくんでいる。それだけ、ヒトとイヌとよりは、チンパンジーとヒトとのほうが進化の上での類縁はいっそう近い。たしかに、心もまた、チンパンジーの心のほうがイヌよりは私たちにわかりやすい。最近は、唖の人たちが使う手話を教えられたチンパンジーが、手話によって人間と会話するようになった例が知られている。

心がわかりあえるための基礎

心身一如という言葉が示すように、心は、生まれてきてのち、身体が育つのといっしょに育ってくる。身体の基本的設計が同じ同士では、心もまた同じ設計をもつと考えてもよいであろう(ただし、心の基本設計、といったことがヒト以外の動物において証明されているわけではない。ここではそれを理論的に推測し、仮定しているのである。そう仮定してもよいと考えうる理由は、のちに述べるオヤ——コの結びつきや群れ生活、すなわち日常的ないい方の「社会生活」の中にある)。身体の設計が共通性をもっていれば、知覚にも、身体表現にも共通性が保証されているので、わかりあう基礎も保証されていることになっている。しかし、わかりあえることによって心をみとめあうことの可能性は、身体構造にだけよりかかっているわけではない。生物の進化という現象は、もっと全体的なもので、いろいろな面をふくんでいる。中でも、社会生活の型と生態学的な生活型の面が重要である。

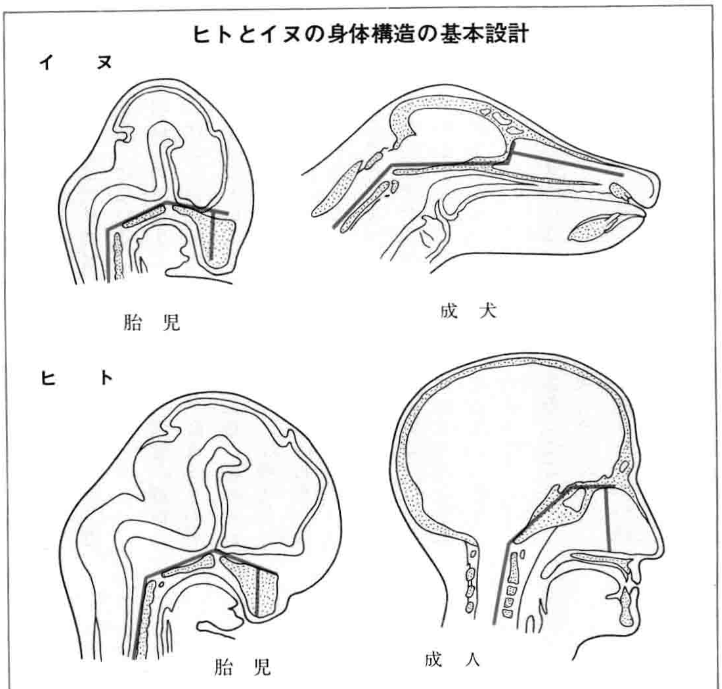
社会生活の型というのは、単独生活とか、集団生活といったことである。現存する動物の種はすべて、地球上に生命が誕生してこのかた、進化がすすんだあげくに生き残っているものたちであるが、原生動物から甲殼類、

昆虫類、さらに人類にいたるいろいろな枝わかれを経て現存しているのである。これらの種のうちの圧倒的な大部分の種は、単独生活の型を示している。つまり、生殖行動をして次の世代を残すために、繁殖時期にだけは同種の異性とつきあうこともあるが、ふだんの生活では互いに力を貸すこともなく思い思い餌をとって勝手に暮らしている。しかし進化の枝わかれの上でいえば、外骨格の昆虫類と内骨格の魚類、両棲類、爬虫類、鳥類、哺乳類といった系統の中で、同種個体の仲間同士が力を貸しあって共同生活をしたり、親が子を育てたりする種が現われている。昆虫でいえば、ハチやアリがその代表であるし、サカナがタマゴの面倒をみるという例は、ノーベル賞を受賞したティンベルヘンがその生態を明らかにしたトゲウオが有名である。

同種の個体が力を貸しあうようになるといっても、そうなるまでの進化にはやはり段階があって、個体がそれぞれのなわばりを確保して、力を貸すどころか反発しあうアユの例もあれば、群れが一つのなわばりをもっているニホンザルのような例もある。カラスやニホンザルでは、親が子を育てるだけではなく、子は育って大きくなったあとでも親と生活をともにすることで群れ生活が成り立っている。群れの個体の間には順位関係があって、上位、下位の関係が、ある期間は安定していて、互いに相手の地位をみとめあっている。こうした群れ生活では、親が子をしつけるという以外にも、群れのおとなが若い未経験の個体をしつける現象もみられる。

心というものは育つものであるとはじめに述べておいたが、じつはアメーバのようなものや、進化論的に下等な種の動物では、たんに分裂して個体が増えたり、卵から出るやいなや、さっさと餌をとって単独生活にはいったりするのがふつうであって、心がどのように育つのか、じつはよくわからない。しかし親が子を育てる種や、さらに群れ生活をする種の場合では、心が育つということも明らかにみとめられる。とりわけて、子は、群れ生活での暮らし方を習って育たねばならない。単独生活ができる以上の、群れ生活ができるための内容をふくんだ心にならねばならない。それゆえ、単に身体の基本設計が共通である上に、心の基本設計も似てくるのである。

人類のように群れ生活をするものの心は、ニホンザルやチンパンジーのように群れ生活をするものの心と、互いにわかりやすいことになる。ヒョウやネコは、子を育てても、子は大きくなると親をはなれて単独生活をするようになる。種としての社会生活の型が異なれば、心が通じにくくなる、という面があると考えるべきであろう。したがって、ヒトと同じ系統に属するといっても、樹上生活をつねとする下等なサルであるロリスやマーモセットの心よりは、カラスの心のほうがわかりやすい場合があってもふしぎではない。シートンの『動物記』の中には、ホシガラスのおやじが、ひまなときに、集めておいたがらくたの光り物を、くちばしで虫干しをしながら楽しんでいるらしい状景の描写がある。



図中の赤線は体軸を示す。成犬と成人では体軸の延び方が違い，大きな違いがあるように見えるが，胎児を比べると，身体構造の基本設計が同じであることがわかる

Montagu ; An Introduction To Physical Anthropologyによる

もっと印象的な例を挙げることもできる。ローレンツを仲間と思い込んでいるロアと名づけられたワタリガラスは、ローレンツが片目をつぶって頭をそちらへ傾けてやると、くちばしで彼の頭の毛やまつげをさえ、ていねいにくしけずってくれるのであった。ロアには、毛づくろいをしてほしいというローレンツの望みがちゃんとわかったのである。カラスとヒトと、大きさと形がどれほど異なっているかを考慮すれば、互いに毛づくろいの所作をわかりあうということは驚嘆に値する。

異種間にもわかりあえる関係

生物の同種の個体の間では、互いに心は通じあう。その事実とは別に、他種の個体の間でも通じあうという事実も現われている。では、この事実はどんなことに支えられているのだろうか。その問いには、先にふれておいた生態学的な側面に目を転ずることが有効であろう。

生態学的にみれば、動物の種は、草食のもの、葉食のもの、昆虫食や、草食獣を捕食するものなど、いろいろな食性の種がある。さらに、その生活を陸上で過ごすもの、水中で暮らすものなどの生活型があり、水中で暮らすものはイルカのような哺乳類でさえ魚類に近い形をとるなど、形態までも互いに異なっている。しかしこうしたことを通して、種の間には、食う、食われるという食性連鎖の関係が成り立っていることは、いまではよく知られている。ついでながらこのことはけっして、弱肉強食の生存競争を意味するものではない。オオカミがシカを捕食する関係は、シカが人口(?)過剰になって草を食いつくす前に、オオカミがシカの人口を間引いて調節しており、それによってオオカミの人口も維持されている。しかもこうしたシカ、オオカミの相互関係が生態系の一部であることによって、生態系全体もまた維持されている。逆に、生態系の安定が維持されるように種の間の関係の仕方が定まっているともいえる（もちろん、互いに危険のない仲間として、キリンやカモシカの有蹄類同士や水鳥たちのように、同じ場所で暮らすものも多い）。

してみると、同じ種の他の個体とわかりあうこととは別に、異なる種の間にも、わかりあうという関係がすでに成立していることを知らねばならない。先に、大多数の種は、個体が単独生活をすることがふつうであって、同種の個体同士でも、ふだんはまるで知らん顔で暮らしていると述べた。しかし、こうした単独生活の個体でも、自分が捕えて食うべき相手の種は知っていなければならないし、自分を捕えにくる種を知っていて逃げなけ

ればならない。実際、カモシカは、向こうにいるライオンが空腹の状態でいるかどうかを見分けているし、ライオンがある近さまでくれば遠ざかって、近くなりすぎないように気をつけている。

地球上にはじめて発生した生命体でも、同種の個体とのつきあいはさておいても、まず、自分が食うべき相手の種をみとめることはできていたはずである。われわれ生物は、他の種のこともわかりながら、互いに進化してきたのであった。こまかい精密なところまではわからなくとも、腹をへらしているとか、おだやかでいるといった心がわかることによって、ともにこの地球上の同じ世界を分かちあってきたのである。いいかえれば、ミミズにはミミズの心があり、オオカミにはオオカミの心があり、ミミズ同士、オオカミ同士は心が通じあいながら、一方、他の種の心とも、生態系内での関係の仕方に応じて、わかりあうようになっているのである（ここで、ミミズの心、というい方に奇異の念を抱く読者のあることも当然であるが、その方は、はじめに述べた心の特性をもう一度思い返していただきたい。このことはけっして心の特性に矛盾してはいない。本章ではミミズをしてミミズの暮らしをさせているのがミミズの心であるとしているわけである）。生物の進化は、種の個体の身体構造がかんたんな体制・形態から分化して複雑になったというばかりではない。先に述べたように社会生活の様式も進化したのであったし、多様な種がともに世界を分かちあい、知りあいながらいっしょに進化してきたのであった。つまり生命は生態系としても進化してきたのであった。その中に、同種の個体同士ばかりでなく、他の種の個体ともわかりあうような心の進化も、ふくまれていたと考えるのが穏当なのである。

表現と共感の問題

はじめに、心は他の個体にわかってしまうものだと述べておいた。心身一如という見方からすれば、これは「表現」と「共感」の問題でもある。人間同士の心の表現と共感の現象においてなにがおこっているかは、たとえばローレンツが指摘した「気分音声」をとりあげると、よくわかる。

ガンの一群が餌場について食べているとする。好みの餌が豊富にあれば、ガンにとっての「快適」という気分を表わす声が、自然に発声されている。食べすすんだあたりで、どれか一羽が飛びたい気分になってくると、ガギガというように聞える、飛び立ち気分の声をあげる。しかし一羽だけだと、まわりのまだ食べている気分に共感しておさまってしまう。こんどは別の一羽がまた飛ぶ気分になる。しかしこれも多勢に無勢でおさまってしまう。そのうち時間が移って、多くのものが飛び立ち気分の声をあげはじめると、こんどは残りのものにまでその気分が伝染して、幾羽かが飛び立つと全体がそれにつられて帰途につくことになる。ローレンツは注意しているが、この場合、ガンの一羽は、他のものを意図的に誘っているのではない。飛びたい気分になるとその声を発声し、そのような動作をせずにはいられないのである。しかもそれは他のものによって共感されるのである。

コクマルガラスにも同様の気分音声がある。ローレンツはそれを遠くへいこうという「キャー気分」と、帰ろうという「キュー気分」とよんでいる。しかもカラスの場合には、この気分音声が意図的にも発声されうる例が示されている。巣の中に当歳子と二年子しかいなかったときに、巣の上をミヤマガラスと他のコクマルガラスの群れが飛んでいった。未熟者たちはすぐその気分に伝染していっしょについて飛んでいってしまった。そのあとで巣へ帰ってきた二羽の老練なカラスは、自分の巣に属するものたちを捜しだしては一羽ずつ連れ帰った。そのときは、見つけだしたものの上をすれすれに飛び越して「キュー」というのである。それをくり返すことによって未熟者は、自分が属する巣の先輩の「帰り気分」に共感するようになる。このことはまた、カラスのほうがガンよりもいっそうはっきりした社会構造をもっており、社会生活をするように個体が育っているということを反映している。

人間の心も、表現と共感という点では人間同士の間で共通の基礎をもっている。仲間といっしょにいるときに、「もう帰ろうか」とだれかがいいだすとしても、そのいい方には、声の調子が大きな要素になっていて、聞くほうは考えるまでもなく、どれほど本気でそういっているかを聞きわけているものである。子どもでも同じことで、親がいっている言葉がわからなくても、自分が叱られており、いましている行動を制止されているということだけはよくわかるのである。しかも、本当にそのいたずらをやめなければあとがこわいことになるのかどうかも、ちゃんと気分音声として聞き分けているのだから、親も本気で発声しなくては効果がない。

次に、日本の霊長類学者たちによって知られるようになったニホンザルの社会生活から、少しくわしく例を求めておこう。

いまではすっかり有名になっている大分県、高崎山のニホンザルの自然群は、二〇年前は一つの群れであった。群れには中心部と周辺部がみとめられた。中心部はリーダーとよばれる五頭のオトナオスとメスたちとコドモによって構成されており、周辺部にはリーダー以外のオトナオスやワカモノオスばかりがいた。サルたちの間には順位関係があり、互いにそれをわかりあっていた。

研究の初期にミカン・テストという方法が試みられた。二頭がすわっている中間にミカンを置いてやる。しかし二頭の間に奪いあいはおこらない。順位の高いほうが当然のような動作でミカンのほうへきて取り、一方は知らん顔をしている。いくつかミカンを補給してやって、順位の高いほうがもう十分だということを知った上で、はじめて順位の低いほうがミカンを取ることができる。しかもいったんミカンを通りすぎて、相手のところまでいき、プレゼンティングとよばれる、しりを相手に差し出す姿勢になる。プレゼンティングされたほうは、そのしりに手をふれたり、その背の上へ馬乗りになる（マウンティング）なりして、いわば挨拶を返す。こうして互いの順位の上下を確認しあってのち、順位の低いほうはミカンを取ることができる（実際にはもちろんいろいろな変化があって一様ではないが、典型的な例だけを挙げた）。高崎山で観察していると、かわいいサルを見かけた人がピーナッツをやろうとして差し出してやることがよくある。ところがすぐ近くに上位のサルがいる場合は横からサッとふんだくってしまい、かわいいほうは知らん顔をしていて、人間のほうが腹を立てている様子をみることができる。

群れと文化の相違

ところで、個体の間できめた順位はどうしてきまるのか、とくにリーダーはどうしてきまるのかが、研究の初期には大きな問題になっていた。その後知られたことを要約すると、リーダーには腕力が強いから、というだけではなれないのである。一対一で互角に闘争すればリーダーよりも強いサルが実際にいる。リーダーは生活経験のある老練なサルで、中心部のメスたちに受け入れられ

るものでなければならない。そうしてつねに群れ全体の様子に気を配っていて、よく引きおこされるささいなことからのメス同士のけんかもたしなめねばならない。リーダーは群れの移動をリードし、群れをおそう危険にも対処しなければならない。リーダーになると体重の増加が止まるか、減ずるのがふつうである。ワカモノオスがリーダーになっていくのにも、ハハから離れすぎたコザルをとっさの場合には保護してやったり、積極的に群れの警戒に当たったりして、群れ本位の行動をとるものがメスたちからも信頼され、したがって中心部へはいりやすいという。こうしたことからもわかるように、順位が高くなるのはけっして腕力によるのではない。しかしもっとおもしろいことには、コザルの順位はハハオヤの順位の高さにしたがってきまるという点である。ハハオヤの順位の高いコザルは、他のオトナメスからもいじめられることがない。コザルは少年になればハハをはなれて周辺部へ移行するものであるが、順位の高いメスのコドモはあとまで中心部に残りがちであり、高崎山とは別の例であるが、そのままリーダーになった例がある。氏より育ちというけれども、サルにも氏の問題があるというわけで、この現象が報告されたときには大きな話題となった。

こうしたリーダーのひととなり（正確にはサルとなりというべきだが）は群れ全体の気風に基本的な影響を与える。高崎山にいまは銅像となっているジュピターが第一リーダーであったとき、群れ全体は粛然としており、ジュピター自身はまことに威厳のあるリーダーであった。のちにリーダーとなったタイタンは温和でゆったりとしており、群れ全体にはもはやジュピター時代のピリピリした緊張感はなく、メスたちはタイタンに敬意は表してもおびえるふうはなかった。このことは私自身も直接観察している。

群れの気風という点からいえば、さらに別の現象が注目される。高崎山の群れ社会では中心部と周辺部との同心円構造がみられたのに、寒霞渓（香川県小豆島）のある群れでは全体がかたまってしまって、そのような構造がはっきりしない。つまり、群れの個体が互いに取っている個体間の距離が、群れによって異なるわけである。このことは、日本の満員電車の混み方と、ロンドンなどでいわれるように、人が身体をふれあうほどには詰めないという違いを思いだせばわかるように、たんに群れの気風の違いというよりは、文化の違いを示す現象である。文化の違いといえば、ある群れは自分たちの食料の品目にイネを加えており、群れのなわばりから出張して水田をおそって、みのったイネの穂を口でしごいて食う。ところが他の群れはそのなわばりの中に水田があるのに、イネを自分たちの食べるものとはみとめていない。こうした違いがあるにもかかわらず、サルたちはもし人間に捕えられ飼われるようになると、ほとんどなんでも食べるようになる。つまりニホンザルの自然群では、その食料の品目は群れの文化として定まっているのである。

すなわちニホンザルの群れのメンバーは、たんに自分だけが食べたり寝たり、性行動をしたり勝手にするだけではなく、群れ本位の行動をちゃんと実行できなければならず、個体の勝手な行動といっても、群れ全体の状況の中で、状況を考慮して調整している。群れの個体はそれゆえ、コドモから育っていく間に、群れのことを心の中にとり入れてオトナになるのである。もうこうなると、人間のコドモが育つのと、基本的には共通しているというべきである。

ニホンザルには三十数種類の音声のあることが分類上明らかにされた。近くの仲間との緊張をやわらげあう声や、遠くの見えない仲間によびかける声もある。ガンなどの気分音声にくらべればよく分化しており、自発的、意図的に声を使っているという点ではすばらしく進化している。その点では、ゴリラやチンパンジーの音声はさらにこまかい分化をとげているようであるが、まだ自然群のコミュニケーション（伝達）の詳細は得られていない。これらはまだヒトの言語からは質的にも異なっているが、それでも言語能力が潜在的にはすでにあるということは、先にふれた手話のできるチンパンジーのほかにも、符号を使って言語活動をするように教えられたチンパンジーのあることからも知られる。

まだ言語を獲得していない反面、「わかる」という点ではすばらしい例がニホンザルで知られている。リーダーのオスがいなくなって、メスガシラのヒバというのが臨時にリーダーをつとめていた群れがあった。研究者の側がオスリーダーを群れに与えようとして、おりにはいったままの候補者を群れの中へ置いてみた。何頭かの候補者が試みられたが、おびえてしまって失格した。しかしゴーゾーを置いたときには様子が一変した。群れの一同は静まり返ってしまい、ゴーゾーはおりの中にいるにもかかわらず威厳を示していた。そして彼はまわりのメンバーには目もくれず、やがておりをゆすって「ガーッ」と威嚇し、ひとり木にのぼっていたリーダーのヒバをにらみつけた。ヒバはすごすごと木から降り、おりの前へいってゴーゾーにプレゼンティングをした。

初対面でありながら、こうして互いに相手の力量がわかるというのは、まるで宮本武蔵などの剣豪物語にあるようなことだと、河合雅雄は評しているが（『ニホンザルの生態』）、人間の場合は言語にたよるようになって、こうした直観的な能力が弱くなったものと考えることができる。

オヤ——コの関係で育つ心

はじめに、心は育つものである、と述べたけれども、昆虫のハチやアリの心が、人間のような意味で育つわけではない。彼らは、生まれたときから、まるでなにをするかがすでによくわかっているようである。生物学ではそうしたことを本能とよんできた。たとえばミツバチのハタラキバチは、さなぎからハチとなってその巣の中へ生まれてくると、すぐ巣内の掃除係になり、日を追うごとに分担する仕事を変えていき、成熟すればはじめは近くへ、やがて遠くまで蜜や花粉を集めにいくようになる。いかにも育っていくようではあるが、それは日齢（年齢というのと同じ意味で）によってかなり正確に自律的にそうなるのであって、人間やサルのように習ってそうするのではない。こういう、育つのではない心はわかりにくいし、身体の設計も、外骨格と内骨格というように基本が異なっている。人間の心が育つというのと共通した意味で育つような心はオヤがコを育てるような種からである。そこには同時にオヤ——コの結びつきという問題があらわれる。刷り込み、と、対象関係の獲得、とよばれる現象が知られている。

ガンのひなは卵から出てきてすぐのときに、最初に出会った動くものをオヤだと思い込む。いわば白紙の上へ刷り込んでしまったように、それはもう修正がきかない。動くものが円盤であっても、玩具のアヒルであっても人間であっても、それについていく。もちろん自然状態では、実際に出会う相手はほんとうのハハガンであるから、ここにオヤ——コの結びつきができる。そしてガンのひなは、生まれつき餌をとったり、歩く、泳ぐなどもその能力はあるのだが、それらの行動を編成して一人まえのガンの生活に仕上げるのは、オヤ——コの結びつ

きを通してオヤを見習うからである。

　アカゲザルでは生後八週間まで、人間では生後八か月ぐらいまでのうちに、オヤ――コの結びつきを完了する時期がある。オヤから隔離して大きくしたサルは、その後仲間のところへ入れてやってもうまく社会生活ができないことが実験によって知られている。人間の場合は実験できないけれども、不幸にしてオヤに捨てられたコの実例を観察して知られるようになった。オヤ――コの結びつきを完了しなかった（対象関係を獲得しなかった）人はうまく育たないし、育っても心がいわば「冷たい」ようである。こうしたことから知られるように、進化の上で高等といわれる哺乳類や霊長類では、心は育つものであり、社会の中で育つことによって、心の共通の基本設計をもつことになる。

　生物学ではこれまで、たくさんの種の生物を、化石として知られているものまで加えて、並べて比較することにより、生物の進化とそれぞれの種の系統を明らかにしてきた。このとき基本になっているのは身体の設計の型である。この章ではこれにならって、心の特性を考えたのちに心の基本設計という見方を述べたことになる。

　心の基本設計ということを、人間の心についてあらためて要約すると、まず人間の心の内部は一様なのではなくて、日常生活を通じてイメージ・タンクが育ち、それが多様な行動を支えている。イメージの中にはきわめて個人的なもののほかに、社会とか自分の世界についてのイメージがあり、個人本位の行動のほかに社会本位の行動を自発的におこなわせるイメージがある。精神分析学を樹立したフロイトのいい方を借りると、人の心は本能的な部分と、自我と、超自我（とくに社会性に関係するもの）といった層構造をもっていることになる。これまでひどく大まかにまとめたけれども、ニホンザルやカラスでさえ、心の基本設計が共通していることは否定できない。したがって、生物学での身体構造の設計の型による進化のみとめ方と同様の、心の基本設計における進化が考えられるわけである。

生物界での人間の位置づけ

　さて本章を終わるにあたって、このように、人間の心と動物の心とを、進化という目でつらねてみるような考え方について、少し述べておきたい。

　精神分析学や精神療法のように、人間の心というものにいやおうなしに直面している分野が発達した一方で、今世紀のはじめ以来、自然科学にならねばならないという強い希望のもとに、心を切りすててしまった心理学が発達した。そしてその両方とも、心とか自我といったものは人間だけのものであり、文化もまた人間だけのものと考えてきた思想的な歴史がある。

　日本の霊長類学者がニホンザルの個体識別をした上で、その自然社会のあり方を報告したとき、外国の学者はそれを信用しようとはしなかった。サルに、人間のような感じのひととなりがあるなどとは信じられなかった。そして、それを信用した現在でも、外国学者の研究の多くは、サルの生活を一つの全体として、一つの独立した世界としてみようとするよりは、個々の行動、順位性の行動とか性行動とかをとり出して注目し、精密な行動研究をすることを好むようである。

　思想の歴史の主流はいまでも、なにかにつけて人間だけを特別あつかいにし、人間と他の動物とをきっぱりと分けたがっている。人間は道具を使う、人間には言語がある、人間は理性の動物である、といったぐあいである。そしてもちろんそれは誤った考え方ではない。人間とサルが、明らかに異なった種であるからには、種の間にいろいろな相違はたくさんある。人間は、イヌともハチとも違うものである。しかし種の間に断絶があることだけを強調しても、それでバランスのとれた世界像が得られるわけではない。生物の世界をわかるためには、種の間を断ち切る一方で、全体をつらねてみることも必要である。それを進化論が、ダーウィン以来つづけてきて、生物の種の間に類縁をみとめてきた。

　ただ、心とか精神といった面では、進化論もあまりはっきりとは及んでいないようである。けれども、人間の身体構造が人間にだけ突然に進化して現われたのではないように、人間の心の基本設計も、人間のときに突然いっきょに進化したとは考えにくいという理由を、本章では述べた。心にも進化が認められ、そこに類縁があると考えざるを得ない。

　これまで、動物の行動を記述するときに、人間の行動を記述するような日常語を使うのは擬人的であり非科学的であるとする学問的な判決が、一般の知識社会にも広まってきた。しかしニホンザルの例を引用したところで知られるように、ジュピターやタイタンの行動を記述するとき、人間的な日常語を使わなければもうどう表現のしようもない。これは擬人的な考え方にもとづくことではなしに、事実なのである。

　いまではヨーロッパにも、このことを指摘する見方があらわれている。一例として、比較行動学（エソロジー）を確立したことでノーベル賞を受賞（一九七三）したローレンツをあげることができる。「いわゆる人間的なものは、ほとんどつねに前人間的なものであり、むしろ人間の中に、多くの動物的な遺産が残っているにすぎない」。こうした理由で、人間の心と動物の心とを分けて考えるほうの業績はすでにたくさんあるので、本章ではむしろ人間の心と動物の心とをつらねる考え方をあつかった。これによって、人間というものの、生物の世界での位置づけの一つを試みたことになる。〈藤岡喜愛・愛媛大学〉

第五章　心と文化の特性

　人間は文化（カルチャー）をもっているが、他の動物は文化をもたない。文化があるからこそ、人間は人間らしく育つのだ。この考え方は、人間と動物と、どこが違うかという議論のときに、つねにとりあげられてきた論点であった。

　しかしすでに「人間の心と動物の心」の章で述べたように、文化はけっして人間だけにみとめられるのではない。ニホンザルにもみとめられるものである。一般的にいえば、文化は群れの生活、社会生活をする種の進化の中に生じてきた現象であって、社会に属する個体が、その心の中に、個体中心の層と社会（集団）中心の層をもつことによって支えられる集団の現象である。

　このことから、ニホンザルにみとめられるような文化現象をプレ・カルチャー（前文化）としてみとめようという説もあらわれた。それはやはり、人間と他の動物との間に一線を引いて、区別しようという態度である。しかし理論としてもあまり効果はない。すでにくり返し述べたように、人類の進化が一足飛びに突然生じた現象ではないからである。

　化石人骨が発掘されるごとに人類の誕生の時点がだん

だんさかのぼる傾向があるので、今後はもっと延びることになるかもしれないが、人類のはじめの猿人がアフリカに現われたのは二〇〇万年ほど前であった。その後、原人、旧人、新人があらわれて現世人類になった。このわれわれ現世人類の文化が、はじめの猿人の文化と同じ文化であったとはだれも考えない。

猿人からさらにさかのぼれば、人類と類人猿との共通の祖先にいきつくはずである。そのとき、文化と前文化との違いはわからないことになってしまう。生物進化の一つの結果として、人間の心（精神）が現われてきたのと同様に、生物社会の進化——単独生活から集団としての社会生活へ——の結果として、コクマルガラスにもニホンザルにも、それぞれの文化が生じてしまった、と考えざるを得ない。

文化の特性

それゆえ、「文化」の第一の特性は、文化は集団（社会）のものである、ということだ。たとえば、日本文化というときには、日本人が構成している日本の社会の文化のことを指すように、たんに「文化」というときも、必ずそれは、ある集団（社会）の文化のことを、いちいちことわらなくても、指しているのである。文化の特性は、勝手に暮らせるはずの個体に、集団生活をする仕方を示しているところにある。そういう意味で、文化は集団のものである。

もう少しこまかくいえば、次のようになる。個体は、ニホンザルでも人間でも、個体本位の生活をするように生まれついている。だれも自分のかわりに食べて太ってくれるわけではないし、好奇心を満足させたり、性行為をしたり、といったことも、自分の要求に応じて自分の力量にたよって実行してみるしかない。これらは個体本位の行動である。しかしなにかの集団に属しているからには、その集団のメンバーのだれもが心得ている行動の枠組があって、いつ、どこででも、まったく勝手に寝たり食べたりするわけではない。文化がその規則を与えている。その規則をあまり勝手に乱すと、メンバーのみんなから、よい人間だと思われることがむずかしくなってくることがある。

一方、集団というのは、個人のこととは別に、集団としてのなわばりの確保、外敵への警戒、集団内部の安定した暮らし、といった課題をもっている。これには個体は、ときに自分の個体本位の行動をひかえて、集団本位の行動をすることで集団の維持に参加している。

群れで生まれて育ったニホンザルの個体は、群れにイヌが迫ってきたようなときには、自分は逃げないでそこに踏みとどまり、群れに向かって、「クヮン」という警戒音声を発する。逃げずに危険な現場に踏みとどまるという行動は、個体本位という目で見ては意味がない。サッサと逃げてしまえばよいはずである。この警戒音声を発する行動は、群れ本位の行動としてみるとき、はじめて意味をもつ。したがって、しばしばこうした状況に身を挺する個体は、群れから評価されることになる。

したがって、文化の第二の特性は、個体が文化の中で「価値」をもつ、というところにある。いいかえれば、集団のメンバーは、自分が実行するかしないかは別としても、どんな行動が価値が高いか、物事に対してどんな態度をとればよいか、についてよく知っている必要がある。このことをさらにいいかえれば、その集団のメンバーが、それぞれその文化を担っている、分けもっている、といえる。

個人が、そのひととなりの一部としてもっている男らしさ、女らしさ、といったことも、その文化にふくまれている価値の問題であって、たとえ男に生まれていても、その文化がみとめている男らしさを身につけなければ、その集団の中で「男らしい」という評価は受けられない。文化は価値や態度の標準を示すことで、個人のひととなりをつくらせる。したがって、日本文化の中での男らしさと、アメリカ文化の中での男らしさとは、具体的にはかなり違っている。

先のニホンザルの例でいえば、群れのどの個体も、どんな場合にどのように警戒音声を鳴くか、またそのことの群れにとっての意味と価値を、文化の一部として分けもっている。それゆえ、ニホンザルの文化は、その群れの中で生まれ、育つのでなければ身につかない。生まれてすぐ親からはなされ、一頭だけで人間に育てられたコザルは、自分が驚いたときに勝手に「クヮン」と鳴く。これでは群れにもどしてやっても、もう群れのメンバーとしては暮らしていけない。文化としてのみんなの了解事項を、その一匹だけは分けもっていないからである。

それゆえ、文化の第三の特性は、個体が文化を身につける、生まれてからのちに学習するものである、という点にある。

共感と同一化による学習

しかしここで学習というのは、必ずしも、言葉によって、意識的な努力によって学習するという意味ではない。数学や物理学といった特殊な文化を身につけるには、そうした意識的学習を必要とするが、ニホンザルがそうであるように、文化の基本的なことはかなり自然に学習するのが現実である。そこに働く精神作用は「共感」と「同一化」である。

心はわかってしまうものだ、と前章に述べておいた。他の人の心がわかってしまうことを、わかった分だけ「共感」しているという。他の人と「共感」しているとき、そのとき自分は、そのわかった分だけ他の人の心と同じになっている。その分だけ自分はその他の人を「同一化」している。A氏がB氏に腹を立てている。A氏の腹立ちのとおりに正確に共感しているのでなくても、共感した分だけA氏に同一化している、といえる。

生まれたばかりの赤ん坊は、まだ自分の心が十分にでき上がってはいない。身体組織や感覚器官も発達しきってはいないので、成人と同じように物事がわかるわけではない。けれどもとくに情緒的な快と不快といった生物体としての基本的な心の共感と同一化能力だけはすぐ身につけてしまう。言葉そのものではなく、声の調子によって、行動そのものではなく行動の様子によって、赤ん坊はおとなのすることを共感と同一化によって自分の中へとり込んでしまう。こうして、日常生活をふだんに支えているような文化は意識的な努力をともなわない学習によって身についてしまうものである。一つの家庭の中に「家族文化」（家風）といった、その家独特のふん囲気がこうして成立する。

文化というものは、こうして理屈抜きに身につく部分が圧倒的に多いので、大きくなって学校で習ったことなどを別にすると、かなり情緒的なものであるのが現実である。異なる文化に接したとき、この情緒的な面がしばしば困った事態をひきおこす。おおざっぱにいえば、異なる文化に接したときは、だいたい違和感をおぼえる。異なる文化を担っている相手が、気持悪い人として感じられたり、ばかだと思ったり、逆に相手が実際以上にえらく見えてしまったりする。はじめて外国へはいり込んだとき、はじめて外国人に話しかけられたときの感じを思い出してみれば、少しはこの感じがわかるだろう。こ

のように、はじめて異なる文化に接したときに生ずる、こちらの心の不安定な状態をカルチャー・ショック（文化の衝撃）と呼ぶことがある。

べつに外国に限らない。自分にとってはじめての集団に加わったとき、さしあたりなにをすればよいかわからなくて困ることがある。親切な人なら、ここではこうすることになっていると教えてくれる。それを習う以外にしようがない。はじめて小学校へいったとき、はじめてホテルへ泊まりにいったとき、まごまごしたことがあるだろう。こうした新しい「その社会」での文化は、新しく習って慣れてしまう以外に方法はない。文化とはそういうものである。つまり、文化の第四の特性は恣意的なことにある。

なぜ日本ではおじぎをし、タイでは合掌することになったのか。その一つずつの起源を説明することもできるだろうが、なぜ逆にならなかったかまでは説明できない。なぜ裸でいてはならないのか、なぜ食事についてはなかったのか、など、文化の具体的な事項について、なぜを問いはじめるときりがない。われわれは全体的にいって、合理的な理由のない習慣を、文化として身につけてしまっている。しかもそれであたりまえと思い込んでいるため、西洋人が靴のまま家へ上がろうとすると、こんなことも知らないのかと反射的にばかにしてしまう。習慣の違いに過ぎないと理解するのはいつもそのあとになる。文化の恣意性に、言葉を例にとればもっとはっきりする。なぜ日本ではイヌといって英語ではドッグということにきまっているのか、なぜヌイとかグットとかにならなかったのか。こんななぜなぜを連発する子どもに、おとながうんざりするのはふつうのことである。文化は、まずそういうものとして慣れてしまう以外に、実際にしようもないものである。

具体的・日常的な下位文化

私たちが日本文化というとき、すぐに思い浮かべるのはどんなことだろうか。お茶やお花を思う人もあるだろうし、着物、下駄、などの物のこと、あるいは「わび」「しぶい」といった美的感覚について連想する人もあるだろう。しかし、茶道、華道を、日本人ならみんな習って知っているだろうか。「しぶい」という感覚が、どれほどわたしとあなたとで一致するだろうか。

日本文化というとき、なんとなく日本人全体に共通しているようで、しかも異なる文化、たとえばアメリカ文化との違いが、浮き出てみえそうな事項を選んでいるに過ぎない。実際にわたしたち一人一人に身についている文化は、日本の社会全体の文化というよりは、もっと小さい具体的な集団（部分社会）、つまり、自分の家族、自分の町内、学校、会社、クラブ、などといったところの文化なのである。こうした文化を、「日本文化」といった全体的ないい方の文化に対して下位文化とよぶ。わたしたちにとって具体的で日常的な文化は、わたし自身の下位文化なのである。

別のたとえでいえば、わたしたちは五万分の一の地図や、二〇万分の一、一〇〇万分の一、といった縮尺の違う地図を目的によって使い分けている。同じ場所の地図であっても、縮尺が違うと地形表現のこまかさが違い、描かれる土地の広さも違う。そして縮尺の大きい五万分の一とか、二万五〇〇〇分の一の地図のほうが、縮尺の小さい地図より、ずっと実際の地形に具体的に似てくる。そういう意味で、文化には、その文化を担っている社会の大きさによって、いろいろなレベルの下位文化がある。

いろいろな下位文化の中で、いちばんよく知られているのは地方による下位文化の違いである。鹿児島と京都と東京と青森、などと並べてみれば、地方ごとに文化には違いがあることにだれでも気がつく。生業集団の文化の違いも下位文化としてはよくわかる例である。漁業の人々と水田農業の人々とでは、祭る神様も違い、時間の使い方が違い、使う道具が違い、専門用語も違う。人となりにも、それぞれ独特のふん囲気がある。同じ会社に勤めていても、営業畑ばかり歩いてきた人と製品づくりばかりをしてきた技術者とでは習慣や物の考え方がかなり異なっている。下位文化は一人の人の具体的な日常生活そのものの文化である（ただし、下位文化という用語は現在まだ文化人類学の用語としても熟しているようではないので、これからは日本文化といういい方に対して、京都文化、水田文化というような表現もしていきたい）。

下位文化の違いのほかに、同じく日本文化とよんでも、時代によって文化が移り変わるということがある。一例を宗教文化にとってみよう。

中国から日本へ伝来してきた浄土教は、平安中期に、密教とともに、人々の死生観に大きな影響を及ぼした。現代では浄土教文化と無関係に暮らしている人々にさえ、西方浄土、地獄、極楽などのイメージを与えているほどに、かつてその影響は大きかった。そしてこの時代には、浄土のイメージをもちやすくするために阿弥陀堂の建築も多かった。極楽がほんとにあるのかと思う人は宇治の平等院へいっておがみなさいという意味の言葉さえ残っている。人々は死後、極楽へ迎えとられるようにと、自分の日常生活を律することになる。弥陀の来迎のイメージも用意されていて、信心深い人は死の恐怖から救われていたようである。浄土教文化の中で、浄土教信者は生と死の意味を与えられていた。

現代の都市や町の景観の中には、家々の間から大病院がそびえていたりする。その姿は「死」が自然科学的医学的なものだと語りかけているようである。しかしこの「死」は、生の意味については、あまり語ってくれない。人は自前で自分の生の意味をとらえなければならず、それだけ宗教的束縛からは自由になっているが、反面、悩みの機会も多く、死の恐怖からは守られていない。明治以来、国家の教育制度を通して普及された自然科学文化は、現代の公的な文化として日本人に強大な影響を及ぼしている。その反面、死生観、美、といったことに関する文化は、しばしば趣味的、個人的な文化のようにあつかわれがちである。この現状を、さきの宗教全盛時代の日本文化と比較すれば、時代によって、いかに文化が異なりうるかが了解されよう。

時代・社会によって変わる文化

文化の特性として、時代によって変わるものである、をあげてもよいであろう。また、文化はその社会でのひととなりをつくるのではあるが、明治維新の例でもわかるように、新しい集団を編成することで、人は新しい文化をつくってもいる。そうしたことをふくめて、こんどは現代のわれわれが置かれている文化的状況について概観したい。しかしそれには、すこし回り道のようであるが、人類社会の進化のあとをふり返ることが必要である。

地球上に誕生してのちの人類社会は、それぞれに住み込んだ生態系の中の一員として、狩猟・採集生活をつづけていた、といえる。北方のツンドラで狩猟するエスキモーの人たちや、アフリカのカラハリ砂漠（サバンナ）

に住むブッシュマンの人たち、など、現在でも生態系の一員としての伝統を守っている人々の社会は、ふつうは大人口が一か所に集中することがない。おおざっぱにいえば、家族を単位とする集まりが六〇人程度であることが知られている。それも恒常的な集団ではなく、条件によって離合集散する。このような融通のきく構造の中では、世襲の首長といった権力者はみられない。リーダーはあらわれても、みんなに命令をだして自分はじっとしているといったことはおこらない。日常生活ではみんなと同じ行動をしている。

およそ八〇〇〇年ほど前には、メソポタミア平原の東北山地であるザグロスの中に原始農村のあったことが知られている。人類の社会は誕生してのち、狩猟・採集生活の社会のほかに、遊牧、農耕といった生活様式をもつ社会があらわれた。こうした初期の社会は、少数のリーダーたちがいたにしても、社会階層の分化はおこらず、日常生活の行動はみな同じであった。こうした社会のことを単層社会とよんでおこう。

農耕をはじめた社会の中で、とくに大麦、小麦などの穀物栽培をするようになったものの中から、重層社会があらわれた。たとえば古代都市国家のように、その社会の中には、王、僧侶、貴族、将軍、官僚、商人、工人といった職業が分化してきて、これらの人たちは自分では食糧を生産しないという社会層をつくって分化している。たくさんの人類社会の中から生まれてきたこの新しい重層社会は、だんだん専門職業の集団を独立させていき、内部構造が複雑になっていった。そのうちのあるものは工業社会とか産業社会とよばれるようになった。

このように要約される人類社会の進化のあとから、生物としての人類社会の特異な性質が二つみえてくる。

その一つは、ホモ・サピエンスという一種だけで、陸地のあらゆる生態系の中へ分布している大型の哺乳類は人類だけである、ということである。たとえばサルの仲間はもともと熱帯のもので、ニホンザルが分布の北限である。落葉広葉樹林帯や北方針葉樹林帯にはサルはいない（ヒトだけが例外）。シロクマは氷雪帯にいるだけで、南の森林地帯にくればハイイログマというように種が変わってしまう（ヒトはいろいろな人種がいても、生物の種としては一種である）。人類は陸地のすべての生態系の中へたくさんの社会をつくり、それぞれの社会が独自の文化をもっている。ところで人類は、現在でも単層の社会のままにとどまっている部族社会がたくさんある。一方では数千万や億という人口を統合した、国家とよぶ社会もあらわれている。この社会の中にはたくさんの専門職業集団（下位社会）の分化があり、農業社会や、機械工集団や、事務員集団といった多種類があって、それぞれに属する人たちの生業形態が異なり、それぞれ孤立しては存在できない。このようなありさまは生態系の内部構造に似ている。

生態系の内部構造についてはすでに周知のことと思うので例は挙げないが、植物資源をたよりにして多種類の動物の食性連鎖が成り立っていて、死体や排泄物はバクテリアによって分解され植物に返る。それは莫大なエネルギー循環系である。注意してよいのは、この生態系、つまりエネルギー循環系が、多種の生物の組み合わせで成り立っている点である。人類社会の重層社会や産業社会は、ホモ・サピエンスという一種だけで、社会内部に分化した下位社会の集団をつくり、相互の間にエネルギー循環系を成り立たせている。人類とはまったく系統の異なるアリの種には、よく似た社会内分化をしているものもあるが、大型哺乳類の種としては人類だけである。人類は自分だけで自分のための生態系を構築するようになっている。これがもう一つの人類社会の特性である。多数の人口を組織した産業社会というエネルギー循環系は、宇宙船を打ち上げるといった大事業を可能にする。広大な熱帯森林を畑に変えてしまうといったことも可能である。産業社会ではエネルギーをよせ集めて集中的に使うことができるようになっているからである。

もっとも、こうしたことが最終的に人類にとってよいことかどうかは、じつはよくわからない。はっきりしているのは、人類社会の進化の結果として、こういうことになっているという事実だけである。

現代における文化的状況

さて、もとにもどって、産業社会文化の中で生まれ育った個人はどれだけの下位文化をもっているだろうか。まず自分が生まれ育った家族の文化を身につけている。卒業した母校の校風といった文化をもっている。それはあまりはっきりしてはいないが、サッカー部とか音楽部といったクラブの習慣は、それなりに文化といえる。自分が属している会社とかその会社内の職場の文化がある。どれかの宗教文化の中にも属しているであろうし、あるいはなにかの思想集団の文化の中にもいるかもしれない。出身地の地方文化も身についているし、男らしさ女らしさといった性文化もある。なにか趣味の会にはいっているかもしれない。町内、PTAその他義理にからまれていろいろな団体の文化ともつきあわねばならない。年齢層によって文化が異なっているということもある。生まれてからずっとこの社会の内にいて、親のすることや他のおとなのすることを無意識のうちに「同一化」してきたので、あたりまえのように場面ごとに文化を切り替えながら暮らしているけれども、意識してはやりきれない複雑さの中に、私たちは実際身を置いている。

このことを時間的に見直してみてもよい。A氏は朝、目をさましてから家族文化の中で父親の役割をしている。家を出て職場に着くまでは一般市民の一人として都会文化の中にいる。男性文化を実行しているが、同時に成人文化をも担っている。職場の中では、医師としての医療文化を実行している。同時にA氏は上級の管理職に対しては会社文化の中でのある下役としての役割を実行している。しかしまた看護婦さんなどにはリーダーとして医療文化を実行させている。昼に会社の外の食堂にいけば一般市民としての文化の中で、さらに客としての役割をはたしている。会社の外では趣味をかねて一種の勉強会の主催者であり、会長の役割をはたしながら、その集団の文化を創造している。同窓会に出席すれば故郷の地方文化を丸出しにすると同時に、先輩、後輩とのつきあい方をはたしている。

一日の時間の経過にしたがって、どれほど多種類の文化のスイッチを切り替えていることか。そしてこれらをちゃんと運営しているのがわれわれ一人一人の心なのであるから、心というのはうまくできていると驚いてもよいのである。そうして「心」の中には、自分の集団への帰属の欲求があるのと同時に、たんに帰属しているのではなく、集団の中での自己が価値をもっていると自覚したいものでもある。なにか失敗をしでかしたときがっかりするのは、この自尊心が傷つくからである。そしてこれほど多様の文化を毎日くぐり抜けていくからには、すべての場面で自尊心が満足するわけにはいかぬときもある。ときに「心」は疲れたと思う。現代産業社会の中の個人はこのような複雑さの文化的状況の中にいる。しかも人口の増加や新しい技術の開発などにともなって、こ

まかい新文化は今後も増加しつづけることはうたがう余地がない。しかし、だからといって、事態が悲観的だというつもりではない。社会の進化とその社会を担っている個人の心の進化とはもともと釣りあいをとってきたのである。今後もその釣りあいをはずしてしまうとは考えられない。

では人類の文化と心の未来はどのようになるのであろうか。その到達点のイメージを描くことは私にはできないが、すでに進む方向だけはみえているようである。つまり、多様な文化は今後も増加しつづけ、互いにカルチャー・ショックをおこしあいながらも、互いに多様さに慣れる一方、世界文化といえるような、いっそう上位の文化を徐々に担いあうようになるであろう。しかし現状からみて、その過程が平和にばかり進行するとは思えない。そうした過程の中で、個人の心のほうも、世代を重ねながら容量を増していき、ついにはいまよりはもう少し容易に「地球的な心」「全人類的な心」といったものを了解するようになるであろう。しかもこの心は突飛なものではない。ふしぎなことに、宗教全盛時代において、いろいろな宗教が、それぞれの神の名において説いてきたものであった。自分の心が世界そのものと結びついた感じ、自分が大日如来になるという密教の修行の目標、精神分析学者のフロイトが説いた「大洋感情」などがその例であるが、心が進化すべき方向はすでに先人たちによって見いだされ、説かれていた、と私には思われる。多種の生物の進化の速度から推測すれば、現世人類はおそらくまだ進化の途上にあるのである。解剖学的にも、人類の身体構造は生物としてはまだ不安定だとする見方がある。われわれ人類がライオンやゾウのように、そのまま地球に直結しているかのような落ち着きを保っていないのは、進化途上にあるせいなのであろう。もしそうなら、核戦争といった世界を破滅させるような事態をうまく回避し、時間の継続を保つことによって、人類はいまよりはもっとおもしろい生物の種として、地球上に姿を現わしてくるというイメージも描けるというものである。

〈藤岡喜愛・愛媛大学〉

第六章　人間と道具の獲得

今日、私どもは科学と技術の時代に生きている。しかしここでいわれる科学は近代の科学、すなわちニュートン以来成立した科学である。つまり今日の科学はきわめて新しい知的領域での活動である。そして現代の技術はまたこの科学に支えられていることはいうまでもない。だがこの近代そして現代の技術の成立以前から技術は存在した。技術はいわば人類文明の開始されたときから人間とともに存在しかつ成長してきたのである。その意味からいえば、文明はいつも技術をもってその枠組をつくりあげてきたといってもよい。

生存のための道具

人間は一個の生物である。彼はその存在のはじめから、人間の周囲をとりまく自然と対応することによってその生存、生物的生存が保証されたのであった。人間の生命を養うための食料、その食料は自然の中に求めなければならない。そこで周辺の自然の中から、人間を毒害することなく、日々のエネルギーを補給してくれる食物を選択しなければならぬ。そこに自然を認識し、人間に好意を示してくれる自然と、敵意をみせる自然を選別する技術、認識の技術が生まれる。しかもその自然の中には、人間と同じような生物もいる。ときにはこれらの生物は、人間よりはるかに強力で猛悪なエネルギーをもつものであった。この四周の動物との生存競争に、まず人間は直面しなければならなかった。この強力な生物に対抗するものとして、人間は狩猟のための仕掛けや武器をつくりだしたのである。それは自然のもつ威力に打ちかち、それによって自然を自分のために利用する技術であった。弓や槍による動物の狩猟、または落とし穴や各種の仕掛けわなによって動物を狩ることは、生きるがために発見された技術、しかも道具を用いる技術であった。

弓あるいは槍の発明、これらによって私どもはまず道具の意味を知ることができよう。弓は近寄らずとも相手を倒しうる道具である。弱い人間が強力な動物に近寄ることなしに、相手を倒しうる道具である。そして槍もまた長い柄によって相手とかなりの距離を保ちつつ、なおかつ相手に損傷を与えることのできる仕組である。直接手をふれることなく、間接に手の働きを伝えるもの、しかもその働きは人間そのものの働きよりも、はるかに有効な力をもつものとなる。つまり道具は人間の意志を表現し、同時にその意志によって相手を人間が必要とするものに変形し変質させる役割をもつものであった。道具は媒体であるとともに対象物に作用する作用体である。しかもこれが先に述べた、自然のもつ有害、無害の認識と結びつくとき、毒矢、毒槍の考えが生まれる。人間にとって有毒なものは、そのまま他の動物にとっても有毒に違いない。この類推は世界の多くの原始文明に共通にみられる毒利用の文化を生む。このようにまったく別々に生まれていた認識を、新しく別のレベルで結合させる能力、それが技術を発展させていく力であった。

前一世紀ローマの建築工学者ビトルビウスが、その大著『建築一〇書』の中で早くも記したように、火は自然の雷火などによって人間の手中に帰したものであろう。しかしいったん火が手中にはいると、次はこれを保持するとともに、これをつくりだす技術が求められる。火の人間に対する作用は熱と光である。ここに類推によって人間は熱い現象を捜し求めた。そしてついに二物体が摩擦するとき、その部分の熱くなることを知ったのである。この熱いという感覚の共通項を、違った場に求めて、それを結び合わせたとき、木をこすり合わせることによって発火させる技術が生まれたのであった。このように異なった場所、異なった世界で人間のとらえた経験の成果が、一個の認識に統合されるとき、技術は発展して新しい展開と向上をみせるのである。

自然の中から食料を選択することや、動物を狩ること、また火をつくりこれの光や熱を利用することは、すべて個人としての人間、個体としての人間の生命体を保持するための技術である。そのほかにも自然のひきおこす風雨や霜雪をしのぐための洞窟や住居の発見、または身体の保護と個体の識別のために用いられるようになった衣服や標章の使用など、個々の例はここでは挙げないけれども、それらはすべて個体保存のために発見されてきた技術であった。けれども人間は、一面において集団生活をいとなむことを一つの本質とする。夫婦、家族、親族、部族というように。そこでこの集団性を保持するための技術は、個体の保持とともにまた重要な技術であった。

集団保持のための技術

集団を形成するための第一の技術は言語である。今日

各種の霊長類をはじめ、多くの同種の動物の相互間に、意志を伝達する言語的機能の存在することが知られている。それと同じように、人間は言語をまず使いはじめた。コミュニケーションの技術として、言語は同世代間にあっては、集団の結合を強化していくとともに、集団成員全体の知的領域を拡大し、集団の機能を増大させる。そして異世代間にあっては、各世代集団において獲得されたさまざまの文化を伝達していく役割をもつ。時間軸に沿っての伝達と、空間軸に沿っての拡大、これが言語技術の重要な機能であった。と同時にこの言語によって集団の結合が強化されることは、集団のもつエネルギーを、集団として発揮させることでもあった。それは夫婦、家族、親族といった血縁による結合のレベルをこえて形成される、結合の技術である。血縁による結合は、人間の生物的な本質から延長されたものにとどまる。しかし血縁をこえての集団形成の技術は、言語技術を中心とするとともに、それにさらに人間の精神に作用して精神的結合をつくりだす呪術、またはドラマ的表現技術によってつくりだされたのであった。

それは王国形成の技術といってもよい。古代の神政君主、神の象徴である神聖王によって統治される王国は、いつもこの呪術的な結合技術によって、巨大なエネルギーを結集したのである。そのもっとも好例はエジプトのピラミッドの建設であろう。ピラミッドそのものの建設技術は、まことに単純なものである。土台をつくり上に石材を並べる。次にこの石と同じ高さにまで土で斜面をつくり、この斜面を、てこ、ローラー、木製のそりで次に積むべき石材を引きあげる。これをくり返していくことで、高いピラミッドの原形が完成する。次にこのピラミッドの表面に石板を張る。これは上端から順次に張っていき、それに応じて斜面の土を除いていく。石板の間は一種のセメントで補強し接合されて、ほとんど一枚板のように仕上げられた。

前五世紀ギリシアの歴史家ヘロドトスは、その著書『歴史』の中で一〇万の労働者が二〇年間働いたと記録しているが、イギリスのエジプト学者ペトリーは、ピラミッドを構成する石材の計算から、ヘロドトスの記述はほぼ正確であることを証明した。用いられた道具は、てこ、ローラー、単滑車、それに土の斜面だけであった。ここでの道具はいわゆる単一機械といわれるもので、機械の構成要素ではあれ、きわめて単純なものである。問題はむしろ一〇万の労働者の組織と管理の技術であった。しかも二〇年間の継続事業である。このとき労働者は八〇〇〜一〇〇〇人の集団に分けられたという。この集団管理の技術は、残酷な刑罰、恐怖に満ちた監督によって維持された。これらの労働者は不自由民、すなわち人間とはみなされず、個的なエネルギー源とみなされた存在であった。この個的エネルギーの結集の技術は、もちろん神聖王の呪力によって運転されるものであった。そこにピラミッドの建設成功の秘密が存在したのである。

同じような事実はピラミッド建設のための、石材運搬用の道路建設においても知られている。ヘロドトスはクフ王の時代（前二六世紀）のことを記録した。それによると、三か月ごとに一〇万人の労働者が動員されて一〇年の歳月がついやされた。道路の長さは一キロほどだったが、幅は一八メートル、高さは一四メートルのところもあり、全体はくまなく石で張られたのである。このような例はエジプトのみに限らない。中国でも漢帝国の首都長安の城は、同様に大量の人民を動員した。漢の恵帝の三年春、長安周辺二五〇キロの男女一四万六〇〇〇人が徴集されて、城壁の建設にあてられた。工期は三〇日である。ついで奴隷二万人が四年間働きつづけた。さらに最後の年には一四万五〇〇〇人を同じく一か月動員することによって都城は完工したのである（前一九〇）。

王国形成の技術は、オリエントに建設されたペルシアの大帝国においてもみることができる。広漠たる砂漠の中に点在するオアシス、生産の基礎はこのオアシスの農業と、オアシス間をぬっていく遊牧民の活動にある。定住者の農業と非定住の遊牧と。この異質の文化を結合して大王国とするのに、まず必要なのは管理体制であった。この管理体制の実体化の技術として、道路網の建設が企てられたのである。

全ペルシア帝国をカバーする道路は部分的に舗装されて、約二五キロごとに見張所が置かれた。エーゲ海のサルディスから首都スーサまでの二五〇〇キロは道路で結ばれて、この間を王の伝令使がたえず走っていたのである。この道路による帝国組織の技術は、そのままローマに受けつがれている。前三一二年、有名なアッピア街道が起工された。約二五〇キロの長さである。最初は砂利(じゃり)をしいた道だったが、二〇年ほどのちには舗装が完成した。これをはじめとして、二世紀までには全ローマ帝国は道路網でおおわれた。これらの道路の建設はおもに軍隊があたった。知られるようにローマ帝国は本質的に軍事国家である。軍隊は勝利という単一目的のために、全エネルギーを集中できるように訓練された集団である。この集団組織があったからこそ、全土をくまなく包む道路網も建設し得たのである。この道路をたえず伝令使が馳駆(ちく)する。このコミュニケーションの成立によって、帝国ははじめて安泰であった。いったん事変があれば、坦々たる道路をつらぬいて、ローマの軍隊は目的地へと進軍した。

広大な中央集権の帝国を成立させていた中国も、またコミュニケーションによって、国家組織が維持されることを十分に認識していた。巨大な中華帝国は、華北と華南ではいちじるしく文化条件は異なる。華北は乾燥地帯、小麦作地帯である。華南は湿潤の地域であり稲作の地帯である。言語もまるで違う。この異質ともいうべき大地域を統一へ導くのは、文字そして文章によるコミュニケーションの技術である。魏(ぎ)の文帝（曹丕(そうひ)、一八七—二二六）はその著『典論』において、「文章は経国の大業である」と定義している。国家の経綸をおこなうことは、文章によって可能である。統一された文章の体と表現技術によって、異質の文化世界もまた統一体となることができる。そこで中国はきわめて早くから詳密な文章論を発達させていた。それは文章が帝国形成の技術であることを認識していた結果である。

国家形成のためには、コミュニケーションの技術が重要であるとの認識は、そのまま現代にまで連続して維持されている。ことにこの技術をだれが所有するかはたいせつな問題である。かつてのエジプトが呪的な神聖権力によって、労働エネルギーを王に集中管理させたのと同じように、現代は情報エネルギーを、国家が集中管理することが重要な問題となっている。電信、電話といった近代のコミュニケーション・メディア（伝達媒体）は、ヨーロッパ、アメリカでは多く民営となっている。これはこの技術がともに民間から発明されてきたためである。それらは既存のメディアと補完しあうような形態をもって発達してきた。けれども日本の場合は、明治のはじめすでに海外では完成の域に達していた技術をそのまま導入したのであった。そのため明治政府が成立すると、太政官会議はただちに将来とも電信、電話は国家管理のもとにあるべきことを決定した。日本の為政者たちは完成していた電信、電話の技術は、国家という存在にお







1. エジプト，ルクソールのレクミラ墳墓内にある壁画の一部。左下のふいごを使って青銅の扉を鋳造する鋳物師たち(前1500年ごろ)　2. シュメール，ウルの戦争場面の一部。輻(スポーク)のない円板車輪の戦車(前2750年ごろ)　3. 轆轤を使って陶器をつくる(16世紀の職人絵より)

いては、大きな意味をもつことをはっきりと認識した上で、これらの採用と導入をおこなったのである。事実、明治の新政府の最初の試練であった西南戦争において、政府軍はすでに完了していた電信網の利用によって、勝利をおさめたとさえいわれるのである。

生産のための道具

　さてふたたび王国以前の小集団の人間が、分散して生きていた時代にもどってみよう。小集団は言語や儀式といった集団結合の技術を駆使しつつ、各種の生産をいとなむ。農業あるいは牧畜。そして農業にはいくつかの農具がくふうされる。しかしそれらはいずれも手の延長、四肢活動の延長物、補完物にほかならない。手で土を掘るかわりに彼らは掘棒を用いる。自然の木の枝を折り取りそのまま用いるか、または先を尖らして、大地に働きかけるのに便利なようにしたものである。それらはさらに変化して鋤となり鍬となる。だがいずれも人間が大地にいどむとき、手あるいは足を用いる作用を補強し、より多くの人間エネルギーが集中できるようにしたものにとどまる。このように大地に作用する農具とともに、栽培すべき植物の改良はまた重要である。ことに必要なのは植物の結実する時期をできるだけ短くしていくことであった。いっせいに花開きいっせいに結実し、黄熟するのでなければ、収穫は不揃いとなり労働力を集中するのに不便となる。この食用植物の改良は、また長い間にわたる自然の観察による、植物メカニズムの発見と認識がなければ生まれ得ない。人間が飢えなくなったのには、農具という道具の発明と改良もさることながら、むしろ植物の栽培化と改良によって、はじめて豊かな食物も確保できたからであった。

　同様の事情は牧畜にもみられる。野生動物を飼いならしてこれを家畜化していくのは、これまた植物に劣らず困難な道程であった。さらに家畜はその肉が食料となるほかに、家畜によってはミルクを供給するものがあり、また衣服に必要な毛類を供給するものがある。食料とする動物は短期の間に肥育できねばならぬし、ミルクの場合は長期にわたってミルクが得られねばならぬ。また毛はできるかぎり長く細く、しかもそろった質をもつことが必要である。これら人間の目的に合致するように、動物を改良していくことは、人間の生活システムを完了させるために、つぎつぎと発見されてきた技術であった。

　これとともにすでに記したもの以外にも、人間の生活を成立させるには、さまざまの道具が必要となる。たとえば瓶、食器の類。それらはまず石に加工することによってつくりだされた。石は人間の周囲に存在するもっともありふれた物質であったから。そして石は石によって加工された。硬い石と軟らかな石、それは手による経験によってたやすく発見できるものだったからである。同質のものの相互作用による加工、それはやはり手の代用であった。

　だがこれを飛躍させたのは火の利用である。光と熱を与える火は、食物に加工しまたは暖を取るのに利用されていた。だがそのうちに彼らは火が土でつくった炉の縁を硬化させることを知った。ある種の土を練ったものを、火で加熱すると土は硬化して石のようになる。これは大きな発見であった。それはどんな類推から生まれたか。オリエントの地帯では、今日でも住居をつくる主要な素材は、天日干しの煉瓦である。掘り出した粘土を水で練り、木型につめては抜き、これを強烈な太陽のもとで乾かす。すると十分に壁体をつくることのできる天日干しの煉瓦が得られる。熱い太陽光のもとで水で練った土は硬化する。そして火の熱によっても土は硬化する。ここに火の熱を独立した要素としてみる認識が生まれる。す

なわち焼物の発生である。粘土は可塑性をもつ物質である。粘土は石をもって石に加工するよりも、人間の手先のみでいくらでも加工できる。ここに手づくねによる各種の土器が出現する。原始の土器がいずれもこの種のものであることはいうまでもない。

しかもこの手に新しい能力を与えたのは、轆轤の出現であった。この轆轤の発明はどんな原因によるものかは、今日においても明らかではない。それは人間の文明を大きく前進させるのに役立った車と同一の原理、すなわち回転運動の原理にもとづくものだからである。車が先か、轆轤が先か。車の発見ののちに轆轤が知られたとみることもできれば、ゆるやかに回る加工台としてのターン・テーブル（回転台）から、遠心力を利用する轆轤へ発展したとみることも可能なのだから。

だがいずれにせよ、轆轤という道具の採用は大きな意味をもっていた。それはもはや手の仕事の延長というのではなく、回転と遠心力という轆轤自身のもつ機能を利用するものだからである。回転に人間のエネルギーを利用することはあっても、轆轤は四肢の延長ではない独立の存在物である。この意味において轆轤は近代機械と同様の性格をもつものである。

量的生産と商品化

轆轤の出現は、いくつかの変化を集団社会に与えた。第一に轆轤の使用はかなりの訓練と熟練を要する。これは土器づくりを専門とする工人の発生をうながす。彼は轆轤をたえず回しつづける。そして自家用以外にも土器を生産する。すなわち商品の発生である。第二は轆轤はさまざまの器形をつくりだすことができる。必要に応じて大なり小なりの器形ができる。しかもこれらの器物は相当のスピードをもって生産される。同一のタイプをもった器物の量的生産、いわば轆轤は擬似的な量産を可能とするものである。これによってたちまちに人間の生活用具は豊かとなり、多様なものとなった。用途に応じて器物が製作され存在するということ。それは生活を複雑なものとするとともに、人間の生活様式にはいくつかの選択肢が存在することを、人々に発見させる。それと同時に個人の生活様式が、個人によってある程度の変化をもつことが可能となる。

轆轤が専門の工人によって運転され、大量の土器が生産され商品化されると、ここに商品経済、商品流通の社会組織があらわれる。もちろんそれは今日風の貨幣経済を意味しない。物々交換のレベルであろう。が、とにかく人間の生活は自給自足といった閉じた体系から、開かれた体系へと転移する。有無相通ずるということは、開かれた体系の社会において可能である。そしてこの開放系にあっては、商品はできるかぎり質のいいものであることが求められる。交易は物相互の有用性によった評価の体系が成立した上でおこなわれるから。ここに土器に限らず、すべての物の生産の上での道具と技術の改良による、品質の向上、量の増加が求められはじめる。閉じた系から開いた系へと移ったとき、技術は急速に上昇する。それは明治以後の日本の経験においても明らかである。二百数十年の鎖国は、長崎にわずかのパイプはあっても、国内の商品はほぼ閉じた系の上で流通していた。そこで農業社会を基底とした手工業社会の体系は、二百数十年の間、安定を保っていた。同時に物生産の技術もほとんど変化することなく、定常化したシステムとして活動していたのである。

だが明治になって日本は開かれた系となった。開かれた系として生きるためには、急速な生産技術の発展は至上命令であった。あわただしいまでの、明治以来の急激な工業化、各種生産技術の上昇、それは質と量の両面にわたる向上と増大を求めるものであった。その目標は無限大に近い増大であり向上である。そして定常状態は失われた。明治以来の日本の社会が、たえざる非定常の状態にあったことは、いまさらいうまでもない。

車と運搬

商品が流通しはじめたとき、新しい問題として運輸の技術が要請されはじめた。人力で担う量には一定の限界がある。ここに車の利用が生まれてくる。轆轤と同じように回転運動の利用。しかも車は人力だけではなく、牛馬といった家畜の力を用いて運転できるものとなる。車と道路の組み合わせ、これによって商品の流通は次元を異にした増大ぶりをみせはじめる。多数の車をもち、多量の商品を運送できる能力をもつことは、そのまま権力、財力のしるしとなる。

王が神権的な威力をもっていた時代、車はおもに戦車に用いられた。武装した戦士団を、スピーディに必要な地点に移動させるためのものとして。そのため戦車集団は、そのまま王の権威の表現であった。シュメールのウルの墓坑には、大量の戦車集団が葬られていた。一代の王の権威はその権威を現実のものとする戦車団とともに、埋葬されねばならなかったのである。同じことは中国の殷帝国にもみられる。殷の故地安陽の地からはこれまで多くの戦車と戦士の埋葬が発見された。

しかし戦車集団とともに、荷車もまた埋められていたことに注目せねばなるまい。荷車は財富のシンボルであった。武力と財力、その両者が埋められたとき、一代の王のすべてが葬り去られたと考えられた。中国では戦国期、十数個の荷車が寂然と埋められていた例がある。

だが商品運搬用としての車が完成するには、いくつもの解決せねばならぬ問題があった。車輪を円板型にして用いるか、スポーク型（輻のある型）とするかも問題である。円板はいくつもの板を互いに固着することでできる。かんたんで丈夫である。だが重い。一方、スポーク型は軽快だが、これを組み立てるにはかなり高度の技術を必要とする。そして車軸を車輪に固定するか、あるいは車輪と車軸をフリーにするかも問題である。当然そこには車軸と車轂との間の適当な滑剤の発見も必要である。

あるいは重心の問題。古代の戦車をとってみても、オリエントの戦車の車輪直径は一㍍以下が多く、したがって重心は低く安定である。しかし中国の戦車は一㍍以上あるのがふつうで、重心が高く不安定である。疾走する馬につなぐには適しない。中国の戦車が現実の戦場で用いられるよりも、王のセレモニー（儀式）のためのものであったとする見解もここから生まれる。さらには馬具の問題。馬に引かせるとき、馬の首で引かせる馬具を用いるか、肩で引かせる馬具を用いるかで、効率には大きな差がある。首引きはきわめて非能率であり家畜の力を十分に利用できない。この牽引の技術、牽引用の道具の発明と改良も、車を十分に利用する上では長い間のテーマとされていた。

そのため中国では漢の武帝（前一五六―前八七）がベトナムに出兵し、インドシナに干渉戦をはじめたときも、軍需物資は人力によって輸送された。しかし人力には限界がある。しかも人間は自分の食糧をも運ばねばならない。そのために遠方までの物資の輸送は、ほとんど途中で消費されてしまった。しかしこの時代、車と船が課税対象となっていたことは見落とせない事実である。商人は車について一般の人の二倍の税を課せられた。また船は長さ一二・五㍍以上のものは、車と同じ税がかかっ

た。これは車や船が商品の流通による利益を生む道具、つまり資本財であることが認識されていたことである。

都市化の技術

商品の流通が豊富になると、当然そこには市が生まれる。一定の交易のセンターとして。人は血縁、地縁以外の新しい集団社会を形成する。いわゆる都市の発生である。もちろんこうした都市は王国の政治権力の集中ゾーン、あるいは神秘的な力の集中ゾーンとしても発生する。しかし今日までも連続性をもって存在するのは、物資流通のセンターとしての都市である。そしてこの都市には多くの人々が濃い密度をもって集まるために、しぜん情報のセンターともなる。

この血縁、地縁とも異なる新しいセンター、集団社会形成のためには、またさまざまの新しい技術を必要とした。それはこれまでの集団社会とは異質であるがゆえに、異質の技術が必要であった。その第一は公共性の認識の上に立った技術である。不特定多数の人々の生活を確立させるための技術が要求される。たとえば水道築造の技術がそれであった。大都市であったローマは、一日一二〇万トンの水を必要としたといわれる。この大量の水の供給のために、延長四〇〇キロにも達する九個の水道が建設された。今日もヨーロッパの各地に残る水道橋は、その規模の壮大さと当時の土木技術のレベルを示して、平原の中に立ちつくしている。自分の使用のために井戸を掘るのではなく、ローマという大都市の維持のために用いられる石造技術、それは明らかに公共性という集団社会の利益を守るためにあらわれてきた技術であった。

そのほか都市民に共通のルールを告知するための、報道設備もまた新しいレベルの技術である。漢代の長安には、大道や十字路には華木と称するT字形の木柱が立っていた。街の名が掲げてあり、政府の布告、市民の治政に対する訴えなどが張りだされたのである。管理者側と被管理者側との意志の疎通、それは不特定多数を主軸とする集団社会には必須の技術であり道具である。

こうした集団社会にはランドマーク（土地標識）、シンボルタワーの要請も生まれる。それは都市民の意識を集中させる機能をもつものであるから。このために建築物にモニュメント（記念碑）性を与える技術がいくつも現われてきた。平安京が建設されたとき、高さ六十数メートルの東寺、西寺の五重塔は、明らかにこの新興都市のシンボルタワー、モニュメントであった。イスラム世界においてはモスクのドームが地平線上に見えるとき、旅人はその下に都市のあることを予見する。ドームの表面は美しい色タイルで飾るか、または金色に塗られて、強烈に視覚に訴える作用をもつ。さてはヨーロッパのゴシックの尖塔の林立する教会堂、江戸時代の日本の城下町の上にそびえた天守閣、いずれもシンボルとしてのモニュメントであり、同時にそれらは視覚芸術の新しい領域の開拓に一歩近づいている。そしてこのランドマーク、シンボルタワーの建設の技術は、ニューヨークの摩天楼群をはじめとして、今日までつづく流れである。

しかし道具と技術の結合の時代は、一八世紀をもってその終わりを告げてしまった。いわゆる産業革命によって。それはまさしく人間の生き方と道具、そして技術の大きな変革であった。この革命は、意識において理性を神として崇める中におこった革命である。フランス革命は理性を神とし最高存在を信仰して、華やかな祭典をくりひろげるうちに遂行された。そしてこれに並ぶ産業革命は、フランス革命が人間の感性を否定し理性のみで生きることを主張したように、人間—道具—技術の三元セットを否定し、機械—技術の二元の操作によってあらゆる物は生産されるべきことを主張したのである。

しかもこのまったく次元を異にした技術の誕生は、現実に大量の物資を生産して一時的に人間の生活を豊かにしたことによって、人々の信仰をかちとってしまった。この信仰は今日までもその力を失うことなく、人間の間に保持されつづけている。

ではこの近代技術とかつての技術との差異はどこにあるか。第一は近代技術はいつも予見の上に立つことである。人間の生活の未来像を想定し、その未来像の実現こそ幸福を人々にもたらすものであるという確信のもとに開発が進められる。地球上に有限な天然繊維よりも、人工繊維のほうがはるかに人々に多量の衣服を贈ることができようし、利潤もまた大きいものとなろう、という予見のもとに、人造繊維は開発された。そして今日はその繊維の波が、逆に人々を飲み込もうとする。

筋肉労働はいつも苦しく辛いものである。だから人間の労働をできるかぎり機械に肩がわりさせるほうが、人間にとって幸福であろうという予見のもとに、自動車をはじめ、その他の自動機械も開発された。歩くという労働は車に置換された。物をつくるという労働は、コンベヤー・システムによる部品結合、またはオートメーションによって、軽減されるかゼロに帰してしまった。しかし筋肉労働のすべてが機械に肩がわりされたとき、こんどは機械を管理せねばならぬ、別次元の精神労働の技術が人間に課されはじめたのである。近代以前の技術は、いつも人間の要請の上にはじめて開発がはじまった。その要請は長い人間の現実の生活の中で結晶化し、具体的なものとなっていた。そこで人間の知恵はその具体的な必要に対応して道具、技術を生みだしたのである。だが近代の技術は機械—技術のセットが独立するために、このセットが独自の運動をおこなうので、必ずしも人間の要請と完全に一対一の対応をするわけではない。

第二はこの機械を中軸とする技術に供給されるエネルギーは、電力のように流れのエネルギーであるという事実である。つまり現代の生産技術は、一方からエネルギーが絶えざる流れとして供給され、一方からはたえず製品が流出するという構図になっている。そしてこれこそが近代技術の理想像なのであった。エネルギーの流れがイコール、物に変じていくこと。そのとき物は想像もできぬほど大量に、人間の世界に送り込むことができよう。しかもこの流れのエネルギーは、たんにいわゆる物生産の場合にのみ働いているのではない。コミュニケーション・メディアにも多くの流れのエネルギーは参加している。テレビ、ラジオは電力が流れているかぎり、絶えず映像や音声を流しつづける。今日は二四時間、映像を送りつづけることは技術の側からいえば、もちろん可能である。電力がいつも流れとして供給されているのだから。この流れとして送りだされる多量の物は、同時に人間にそれを消費することを強制する。さもなければ、大量のストックがあることは、円滑な流れを妨げることになるのだから。だから近代以来、しばしばくり返された大規模な戦争が、おそるべき大消費戦の様相を呈したことは、じつは当然のことなのであった。大量のストック、それをいっきに消費してしまうのが近代、そして現代の戦争なのだから。

だから今日の技術によって生産される物資は、どんな物でも耐久性は本質的に考慮されない。それらはたえず消費されていかなければならない。なぜならば、エネルギー—素材加工—製品—消費という流れが止まってしまうからである。どんな耐久消費財的にみえているものでも、五年ぐらいで消費されねばならない。工業社会のシ

ステムとはそうしたものである。工業社会の製品に、孫子の代までといった耐久性を求めるのは、本質的にはあり得ないことである。

道具による手工業の技術の時代、物はすべて人間側の要請によって製作された、いわば注文生産が主流だったのである。不特定多数の人々のために大量の品物を準備し——それも多数の人々の需要動向の予見の上で——人々の撰択を待つというものではなかった。しかもエネルギーは主として人力であり、加えて水力、風力の程度であった。いずれも小さなレベルのエネルギーである。とすればこのエネルギーによって生産される物は、必然的に少量であり、孫子の代までという耐久性をもっていなければならなかった。そのために人間の生活様式は安定した、静的平衡を保つものであった。なぜならば真に必要という立場からつくりだされた物によってかこまれた生活様式、しかもそれらの物は耐久性によって安定した存在物となっているとき、生活様式は当然、定常化されたものとなっていく。

けれども耐久性を欠く工業製品にかこまれた場は、絶えざる新陳代謝を必要とする。しかも工業社会に注入されるエネルギーが大きくなればなるほど、この代謝速度もスピードアップされる。そして新しく出現する製品は、ことごとく新しいデザインをもって人間の周囲に位置を占めていく。生活様式の定常性は望むべくもない。むしろ絶えざる変化、絶えざる不安定こそが工業社会の技術のつくりだす環境条件である。そしてこの不安定さが生みだす人間の意識のあり方を、近代は進歩と命名したのであった。

〈吉田光邦・京都大学〉

第七章

人種と民族の形成

人種および民族という概念は、人類を区分するものであり、世俗的にはあまり厳密に区別されずに使用されることが多いが、学問的には厳密に使い分けされる。

人類はホモ・サピエンスという一つの種に統合されるが、多くの生物同様、同じ種の中でも変異はかなり大きい。このため、種をさらに細分するが、生物分類学では種の下位にくる区分は亜種であり、人種はこれに相当すると一般には考えられている。つまり、人種とは生物学的・遺伝学的区分である。H・V・バロアの定義によると、人種とは「言語、慣習、国籍のいかんを問わず、共通した身性上の遺伝的特徴の一全体を示す人の自然的集団」である。これに対して、民族とは文化的、歴史的区分であって、かなり多義的な内容をもつが、あえて定義すれば「居住域、言語、風俗、習慣、経済生活、精神生活など文化的諸要素を共通してもち、同類意識のもとに、歴史的に形成された人間集団」ということができる。

このように定義してみると、人種と民族とはまったく異なる概念であることがわかるが、現実にみると、人種すなわち民族といえる場合が多々ある。そこで、もう少し視野を広げてみると、人種、民族と似たような区分法がある。それというのも、人間は多くの場合、似たもの同士集まるからである。例として次のものが挙げられる。(1)国民‖政治的区分、(2)教徒‖宗教的区分、(3)語民‖言語学的区分、(4)住民‖地理学的区分、(5)カースト(士農工商、貴族・士族・平民・賤民なども)‖社会的区分、(6)(神話、伝説上の)民族‖神話学的区分。このような区分法の違いはだれでも知っていることであり、間違えることのないもののように思われるが、実際には、過去、現在を問わず、人種、民族に加えてこれらの諸概念の間にいちじるしい混同がみられ、ときにはそれが原因で悲劇、惨劇が展開する。たとえば、いわゆる人種問題は、膚の色という生物学的事象による紛争のようにみえるが、じつは社会的優越性から派生した社会問題である。ユダヤ人の大虐殺も本来宗教的集団であるユダヤ教の教徒を、共通する遺伝資質とする人種集団にすりかえることによって合理化され、遂行されたのである。日系米人がたどたどしい日本語で語るのを、日本人がいらだった気分で聞くのは、言語というものを先天的な生物学的特性だと誤認することからおこるのである。ゲルマン民族、さらにはアーリア民族の統合などという考え方は、現実性をおびて聞えることがあるが、これらは言語学的な共通性を除いては過去において統一して存在した証拠はない。アーリアというのは言語学的概念であり、かつて、マックス・ミューラーはその著の中で「アーリア人種」と記し、のちにその誤ちをきびしくみとめ、その払拭につとめたが、ナチス・ドイツがこれを採用し、ユダヤ人追放の理論的支柱として使用した。民族の純血などという語はしばしば標語として用いられるが、民族は文化的概念であり、血液は解剖学的概念であるから、このような語の組み合わせから実在するものを考えることは滑稽至極である。大きな鉤鼻をユダヤ鼻というが、ユダヤ教を信ずると特別な形態の鼻になるという理由はない。そこには偏見がある。日本人は、少数のアイヌ、在日朝鮮人その他を除いては、その人口構成からいって、一民族、一人種、一国民、一言語であるため、異人種、異民族、さらには人種区分に対して比較的鈍感であるが、世界各地にみられる多民族、多人種、多言語国家においては、深刻な社会的・政治的紛争が続発する。私たちは日本人という語を一般に気やすく使用するが、それには日本国民、日本民族、日本人種などの意味がふくまれている。たとえば、アイヌは国民としては日本人であり、当然その権利を保有するが、人種としてはアイヌであり、また、ほとんどのものが和人(アイヌと対比した場合、人種、民族としての日本人をいう)と変わりない生活や服装をしているが、しかし、心の深奥を探ってみると、しばしばアイヌ本来の信仰を有しており、アイヌ民族の伝統を持続しているといえることがある。それは、日本民族がチョンマゲを廃し、西欧文明をとりいれても、精神生活においては多神教的であり、容易に日本文化を放棄していないのとまったく同じことである。人種というと生物学的であり、固定的であり、一方、民族は文化的存在であり、後天的なるがゆえに変わりやすいと考えられがちであるが、実際にはかなり固執性の強いものであることに注意しなければならない。

人種を特徴づけるもの

人種という概念は集団に対して用いられるものである。人類遺伝学者のC・スターンが「人種とは遺伝的に多少なりとも隔離された人類集団で、他のいかなる隔離集団とも違った集団遺伝子構造を有するもの」と定義するように、人種は統計的な概念によって理解されるべきものである。したがって、個人についていうときには某々人種型という語を用いるのが正しい。また、一つの人種特徴だけで人種を表わすことはできない。多数の人種特徴を十分総合した上で考えていくべきものである。たとえば日本人の頭髪は直毛がふつうであるが、ときにはかなり縮れた毛をもつものがいる。だからといって、毛

一本をとらえて、彼を白人、もしくは黒人と断定することはできない。また金髪は北欧人のシンボルともいえる特徴であるが、住民の四分の一は金髪ではなく、それ以外の特徴で北欧人にくり入れられている。なお、注意すべきは、ヨーロッパ人は金髪を好むため、とくに女性は頭髪を金髪に染色することがある。したがって外貌だけで判断することは危険である。

人種特徴として数えられている形質は遺伝するものと考えられているが、その遺伝様式は明らかになっていないものが多い。たとえば身長や皮膚の色が遺伝することは明らかであるが、1：2：1のメンデル比をただちには示さない。加えて、身長は栄養や生活環境によってかなり影響をうけ、また、皮膚の色も日やけの程度によりしばしば判定を狂わせられる。一方、血液型は遺伝様式が単純、明確であり、よくしらべられているため、近時、人種分類にあたってきわめて有力な武器として用いられる。しかし、血液型が違うからといって個人の外貌がとくに変わることもなく、また二つの集団の間で血液型の頻度が似ているからといって両者を同一人種と考えるのもおかしい。

人種特徴といっても主要特徴と従属的特徴とに分けることができよう。主要特徴といえるものは外貌に関するもので、体表、および全身もしくは体の一部の形態、大きさ、比率に関するものである。これらのものは、一般に目につきやすいものである。換言すれば「見かけ」の特徴といえる。「見かけ」というものは一般に低次元のものと考えられがちであるが、人類という動物は他とくらべていちじるしく視覚が発達していることを考えれば、視覚によって集団を区別していることになり、それがきわめて重要な意味をもつということができる。それは次の理由による。人種といっても、それを最終的につくるものは人類の生殖制度である。それは婚姻によるもので、婿選び、嫁選びは本人もしくは家族、親戚の判断によるが、その基準は結局は「見た目のよしあし」による。多くの哺乳類では嗅覚による選択が先行するが、人類ではそれはあてはまらない。したがって、異形のものは敬遠されるのがつねである。人類では配偶者の選択には視覚的要素が絶対的であるといえよう。

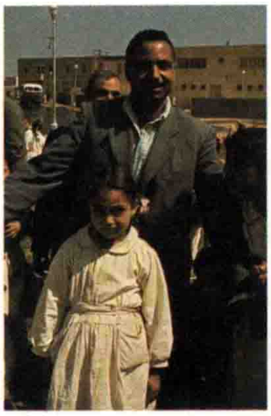
形態的な差異

その点で、膚の色は決定的である。黒人、白人、黄人などという分類は膚の色にもとづく。有色人種などという語に表わされる人種差別も膚の色を基本としている。しかし、膚の色の差異は「見かけ」の偏見が生みだしたものではなく、光、とくに紫外線に対する反応によって

コーカソイド


アルプス人（チェコ）


ラップ（スカンジナビア北部）


南東人（エジプト）


地中海人（スペイン）


北欧人（スウェーデン）


イラン人


東欧人（ソビエト）

分類不能

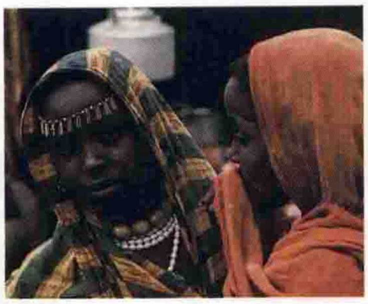

オーストラリア原住民
（中部オーストラリア）


ポリネシア人（西サモア）

ニ グ ロ イ ド



マサイ(東アフリカ)



エチオピア人(東北アフリカ)



ナイジェリア人(西アフリカ)



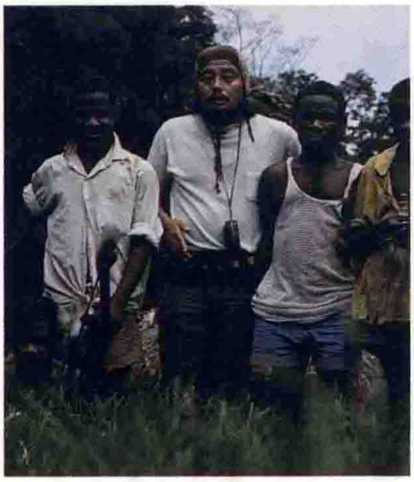
スワジランド人(南アフリカ)



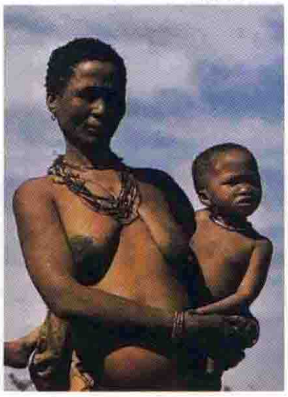
パプア人(ニューギニア)



メラネシア人(ソロモン諸島)



ピグミー(ウガンダ)。中央は日本人(身長162センチ)



ブッシュマン(カラハリ砂漠)

モ ン ゴ ロ イ ド



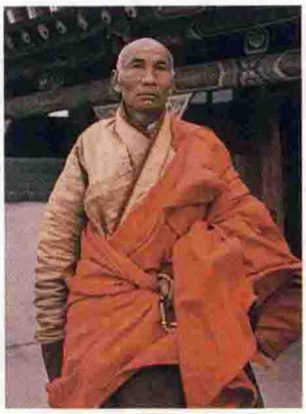
オロッコ(北部モンゴロイド)



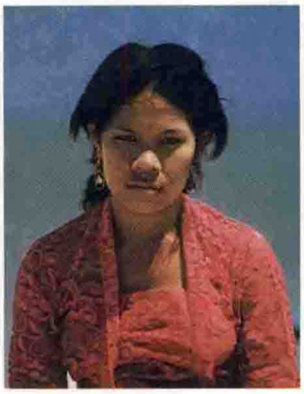
エスキモー(アラスカ)



中国人(中部モンゴロイド)



モンゴル人(北部モンゴロイド)



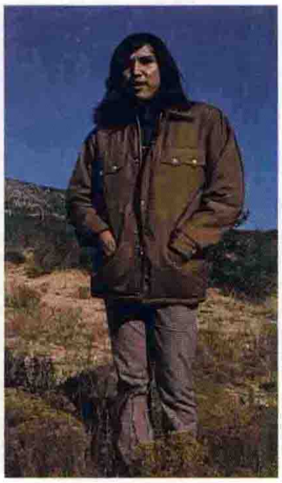
インドネシア人(バリ島)



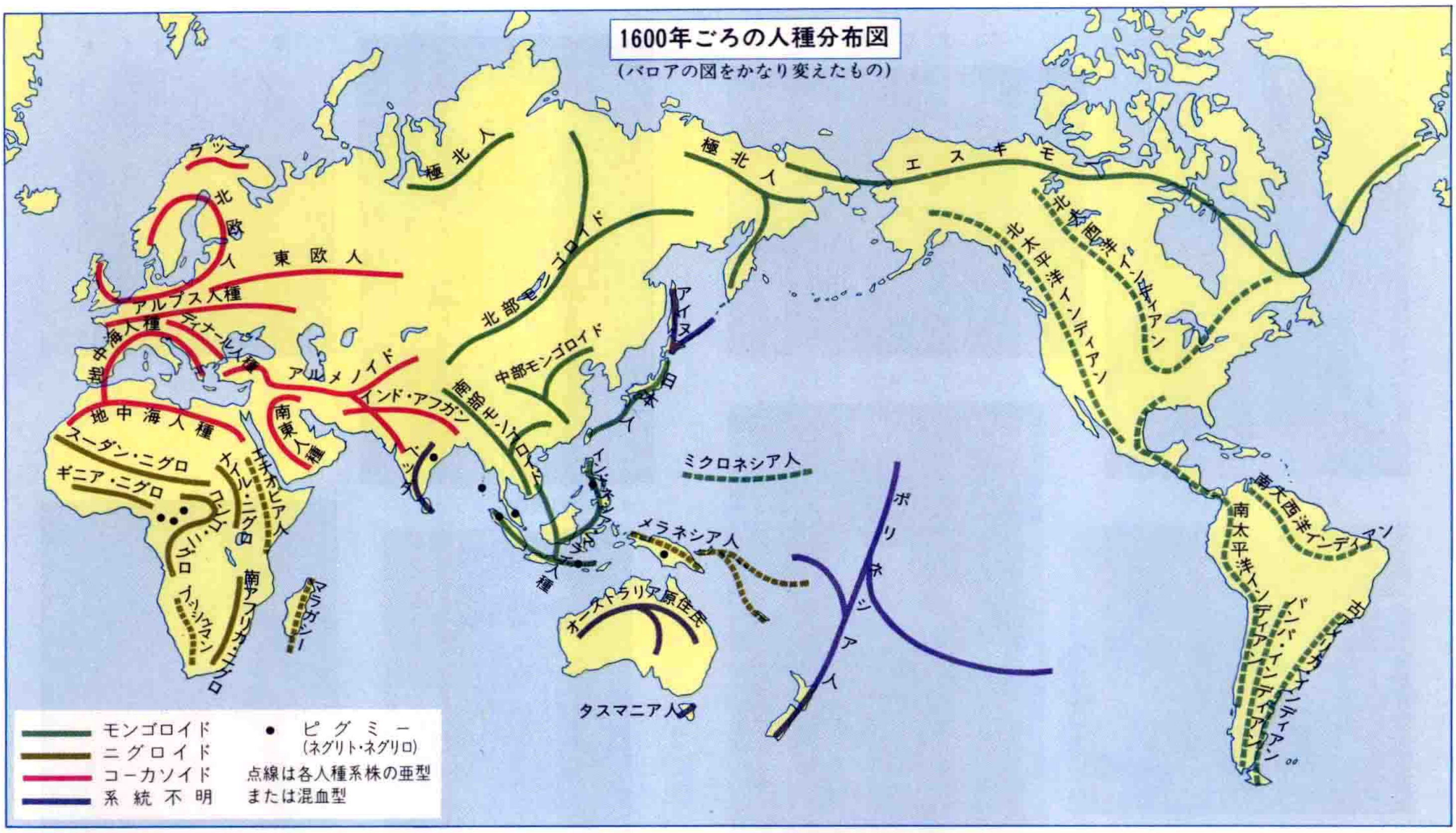
ベトナム人
(南部モンゴロイド)



ペルー・インディアン
(クスコ)



北アメリカ・インディアン
(ロッキー山脈太平洋側)



1600年ごろの人種分布図
(バロアの図をかなり変えたもの)

つくりだされたものである。波長二九七〇Å(オングストローム)の紫外線は皮膚に紅斑をもたらす。私たちの皮膚は極端な日焼けを受けると、火傷と同じ障害を受ける。したがって日射量の多い低緯度地帯では人体の皮膚は、もし紫外線を吸収してしまうメラニン色素が少なければ、皮下組織はいちじるしい損傷を受ける。したがって低緯度地帯に生存する人々の膚にはメラニン色素顆粒の濃い沈着がみられる。これが多ければ皮膚色は黒色、濃褐色になる。中程度であれば黄褐色、少なければ白色であり、さらに皮内の毛細管内の血液の色がすけてピンク色に彩られる。ところが有害とみられる紫外線も、三二〇〇Åの波長のものは、皮膚の角質層にある7－デヒドロコレステロールに照射すると、ビタミンDをつくりだす。これは骨の成長にきわめて有用である。もし、光の弱い曇天の北ヨーロッパの地に生きる人々の皮膚が黒ければ、ビタミンD形成がおこなわれないことになる。つまり、日光の弱い地域では膚の白いほうが生存に有利ということになる。一般に高緯度地帯の人々の膚は白く、低緯度地帯の人々の膚が黒いのはこのことによって説明される。エスキモーは北極圏に住むが、肉食の度合が高く、ビタミンDの摂取量も多いため、必ずしも白人のように白い膚をもたないですますことができる。

目の色、正確には虹彩の色も人種的に異なる。瞳孔を通して日光は眼球内にはいり、網膜に映像を残すが、もし虹彩におけるメラニン色素量が少ないと、強い日光は、うすいカーテンから漏れる光のように虹彩の隙間を通過して眼球内にはい り込むため、網膜の映像は不分明になる。赤道下の砂漠地帯において、一〇キロ先の地点にたたずむカモシカを見いだすか、見いだせないかは、本人ならびにその集団の生存に強く影響する。必然的に赤道下の強烈な日光下では、虹彩におけるメラニン色素の沈着はきわめて濃くなければならない。とくに三九〇〇Åの紫外線は目にもっとも有害である。虹彩におけるメラニン色素の沈着が濃ければ、目の色は黒い。したがって、日光の弱い高緯度地帯の人々の目は、必ずしも濃くなくても、視力に重大な影響をもたらさない。虹彩の色はメラニン色素顆粒の量と配列によってきめられ、もし、これが淡ければ褐色、青色、緑色、灰色となる。「白眼の」フィンランド人といわれるが、周囲の明るさが弱ければ、虹彩の色素量が少なくともやっていけるのである。したがって、白人は日光の強い地帯ではサングラスを絶対必要とする。しかし、白い皮膚と違って、色素量の淡い目はべつに有利な点はない。

毛髪の色も有力な人種特徴である。頭髪の有無によって、人間の顔の印象がいちじるしく変わることを考えれば、毛髪の色の重要さは人物表現に関して重大な意味をもつ。しかし、膚や目の色のような生理学的な意味はもたない。世界の大部分の人々の毛の色は黒いが、北ヨーロッパは前述したように金髪が多い。金髪は毛の中のメラニン色素顆粒が少ないことを意味する。日本では、古来、緑なす黒髪といって、色素沈着の濃い毛髪が賞用されたが、ヨーロッパではブロンド(金髪)はしばしば美人たる条件にすら数えられた。つまり、髪の毛の色は生理的な淘汰力はもたないが、社会的淘汰力を有するといえよう。重要なことは、皮膚、虹彩、毛髪におけるメラニン色素顆粒の沈着の多少は互いに相関関係を有しており、皮膚の色が黒ければ、目や髪が黒いのがふつうであり、金髪であれば膚が白く、目が青いと考えてよい。後者の場合をブロンディズムという。北ヨーロッパや東ヨーロッパはブロンディズムの中心地帯である。

日本人や中国人などのモンゴロイドや、アメリカ・インディアンの小児のおしりには、青い斑紋がみられる。これを小児斑(モウコ斑)という。これは白人にはほと

んどみとめられない。その機能的意義は現在のところ不明である。

毛の形も、直毛、波状毛、縮毛といって、巻き方にいろいろな段階がある。毛の横断面が円形であれば直毛であるが、楕円の程度を増すと、毛が巻いてくる。極端なものは一本一本が独立して巻く螺髪という状態になる。黄人が直毛、白人が波状毛、黒人が縮毛というのが一般的な分類である。巻き毛の意義は明らかではないが、黒人の場合のいちじるしい縮毛は、ふとんの綿のような役割をはたして、防暑帽的な役割をはたすと考えられている。毛の太さにも人種的な差異があり、白人の毛は細く、モンゴロイドの毛は直径がその二倍もある。したがって、その毛は一見ごわごわしてみえる。太さと関連して、白人の毛は脱けやすく、したがって、禿頭が多い。一方、モンゴロイド、とくにアメリカ・インディアンでは禿頭は少ない。しかし、あごひげや体毛は白人では濃く、モンゴロイドでは少ない。

おもな人種とその特徴

		頭髪の形	体毛ひげ	頭形	鼻の形	突顎の程度	皮膚色	身長	備考
コーカソイド（白人）	北欧人	波状毛	豊	長頭	狭鼻	少	極明色	高	しばしば金髪、目は明色
	アルプス人種	〃	〃	短頭	〃	〃	明色	中以上	髪も目も褐色
	地中海人種	〃	〃	長頭	〃	〃	小麦色	中	体格は中庸
	インド・アフガン	〃	〃	〃	多様	中	褐色	中以上	南下するにつれ濃色強まる
モンゴロイド（黄人）	モンゴル	直毛	貧	広頭	中鼻	中	淡褐色	中以下	広顔、モウコひだの眼瞼
	マライ人	〃	〃	〃	〃	〃	褐色	〃	眼瞼のモウコひだは少ない
	アメリカ・インディアン	〃	〃	多様	〃	〃	〃	高〜中	広顔
ニグロイド（黒人）	アフリカ・ニグロ	螺状毛	貧	長頭	広鼻	強	濃褐色	高	膨隆した唇、四肢は長い
	メラネシア人	〃	〃	〃	〃	〃	〃	中	一部はわし鼻
	ピグミー(黒色)	〃	〃	やや短頭	〃	〃	〃	甚低	アフリカにすむものと、アジアにすむもので系統を異にする
	ブッシュマン	〃	〃	長頭	〃	中	黄褐色	〃	しわ多く、脂臀、眼瞼にひだ
分類不能	オーストラリア原住民	波状毛	豊	長頭	広鼻	強	濃褐色	中	黒人と白人の両方の特徴をもつ
	ベッダ	〃	中	〃	〃	中	褐色	低	やや幼児的容貌
	ポリネシア人	〃	〃	多様	中鼻	〃	〃	高	黄人・白人のほか、黒人の要素もややはいる
	アイヌ	直〜波状毛	豊	長頭	〃	〃	淡褐色	中	固有日本人との混血進む

眼瞼の形態も人種によって異なる。とくにモンゴロイドの目は細く、吊り上がってみえるが、これは、眼瞼内の脂肪量が多いこと、内眼角ひだ（モウコひだ）がみられることと密接な関係にある。

鼻の形態も人種によっていちじるしく異なる。白人の外鼻は突出し、鼻孔も前後に長いが、黒人の場合は前後に短く、鼻全体も平たく、ぺちゃんこである。モンゴロイドは一般にその中間にくる。このことは、一般的にいえば、白人の鼻は高く、黒人の鼻は低いということになるが、それは外鼻だけの問題ではない。鼻腔の役割を考えればよい。鼻腔は吸気に適当な温度と湿度とを与えるため、寒く乾燥した地帯ではよりすぐれた性能の鼻腔をもつ必要がある。しかし、後述するように咀しゃく器は黒人では比較的大きいが、白人ではかなり縮小する。そのため、白人では鼻部の周辺の上顎骨などが小さくなり、鼻部のみはとり残されて、突出しているようにみえるのである。要は鼻部と上顎骨の相対的な大きさの差が、外鼻の高低をつくるのだといえる。

くちびるの厚さ、耳介や耳たぶの形などについても人種によって異なり、容貌になんらかの影響をもたらす。また、乳房の形や大きさにも人種差が明瞭にみられる。

また、骨格に関連する人種特徴も目につきやすい。とくに頭や顔の形態、身長や四肢の比率、体格の頑丈さなどは重要である。伝統的に人類学者は脳頭蓋の奥行を示す頭最大長と、その幅を表わす頭最大幅の比率である頭(長幅)示数を愛好してきた。この点からみると、ヨーロッパ北部の北欧人の頭は長く、中部のアルプス人は短く、南部の地中海人はふたたび長くなる。また、アフリカのニグロは長頭であり、東アジアのモンゴルは短頭である。このように頭示数の平均値はその人種の特徴をよく表わすものとして大いに魔力を発揮してきたといえる。しかし、亜種に相当する人種にまで分ける主要基準になる生物学的意義は不明のままである。というより、従来、この頭示数は比較的固定していると考えられていたが、近来、時代が下るにつれて短頭化することが処々で解明されてきた。このように考えると、脳を収める脳頭蓋なるがゆえに、頭示数は過剰に重視されつづけてきたといえよう。なお、脳頭蓋の高さを表わす頭耳高、あるいは前方、上方、側方よりみた頭部輪郭、額の傾斜角度や形態、眉弓の形態も目立つ特徴である。

顔はもっとも人々の注目をひく部分である。顔の幅や長さ、頬骨の突出度、鼻根部の形態の変異はいちじるしい。顔の相当部分を決定するのは咀しゃく器の発達程度である。人類進化の一つの究極点にいる現生人類では、咀しゃく器である上下顎骨、歯牙、咀しゃく筋の退縮がみられるが、退縮程度は白人でもっともいちじるしく、オーストラロイドや黒人の間でおそい。後者の場合、顎部が前方に突出しているようにみえ、これを突顎という。これに対し、顎部の退縮の顕著なものを正顎（これのほうが正当だという意味ではない。この概念をもたらした人類学者は白人であることに注意）といい、この場合、頤の突出はいっそう目立つ。以上にあげた特徴は人の目につきやすいものであるが、人の目につきにくい特徴にも人種的な違いがみられる。たとえば手足の指紋や手掌紋、足底紋にも変異がみられる。ブッシュマンやネグリロの指紋には弓状紋が多いが、モンゴロイドでは少ない。また、筋肉の欠損頻度も人種により異なる。笑筋は白人の間では発達するが、日本人では発達の程度は弱い。血管や神経の走行にも人種差は観察されている。

機能的差異と文化的要素

これまで挙げたものは形態的な差異であったが、機能的な差異もみられる。たとえば、汗腺は体熱の放散を促進させるものであり、黒人では発達するが、白人ではその数が少ないばかりか、不能汗腺の数も増える。

白人や黒人は体臭が強い。体臭のもととなるのは、汗腺のうちのアポクリン腺であって、これは哺乳類一般ではとくに発達する。人類はその点ではこの発達が弱く、別個に比較的無臭のエクリン腺が発達する。その傾向はモンゴロイドで顕著であるため、その間では、体臭の強いものには、わざわざ、わきが（腋臭）という語が用意されている。人類ではアポクリン腺は、腋窩、外陰部等に発達する。

オリンピックでわかるように、運動能力や体力には、人種差がはっきりとみられる。もちろん、スポーツには

訓練が必要であり、それをおこなうだけのゆとりのある国の経済力や社会体制を十分計算しなければならないが、体そのものに由来するところが大きい。短距離疾走や跳躍では黒人選手が活躍するが、その下肢の形態はこれらの競技をおこなうのにきわめて適切な構造をもっているといえよう。たとえば、下肢が長く細く、皮下脂肪が少なく、かかと(踵)がうしろに突出していることなどが挙げられる。バレーボールやバスケットボールでは長身で、上肢の長い者が有利なことはあまりにも明白である。かつて顔の表情は体の一部であるが、心理的なものであるがため、文化的、社会的なものとしてとらえられていた。したがって、表情の貧富は心理学もしくは社会学の対象と考えられていた。しかし、これも克明に観察すると、表情運動にも人種差がみられることがわかった。上顔部は非対象的な表情運動がおこないがたく、その程度に人種差があるといえる。日本人やモンゴロイドは片目を閉じたり、片眉をあげたりすることが下手、もしくは不能の者が多いが、アイヌや白人の間では、それを上手にこなすものが多い。一般に、ウィンクという習慣があるがため、白人は片目つぶりがうまいと考えられるが、じつは、その逆の発想法をすべきであって、片目つぶりがうまいという素地があるがため、ウィンクという習慣ができたと考えるべきものである。

このように機能的な人種特徴は、文化的な要素と密接にかかわりあい、人種差か、民族差か、にわかにきめがたいものがでてくる。

色盲はメンデル遺伝をするが、伴性遺伝であることもわかっている。色覚異常者（色盲および色弱者）の頻度も人種により異なる。男子について比較すると、オーストラリア原住民一・九%、北アメリカ・インディアン一・一〜二・五%、フィジー島民〇〜〇・八%、アフリカ黒人一・九〜三・〇%、アメリカ黒人二・八〜四・二%、日本人三・一〜七・四%、スイス人八・〇〜九・〇%、チェコスロバキア人一〇・五%ということになる。つまり狩猟採集経済段階の人々の間では色覚異常は生存上きわめて不利である。たとえばかつて魚群探知機のない時代には、海面の色のわずかな違いを識別することによって、魚群の存在を探知した。わずかな色調の差異を見いだすことはこのような経済段階ではごく重大なことであった。しかし、定着して農耕をはじめ、次に産業構造が複雑になれば、少々の色覚異常があっても、生存、そして種族保存に影響をもたらさなくなる。文明の発達とともに自然淘汰圧が減少してきたのであると解釈される。その証拠に、比較的最近まで採集段階にあり、今日は文明社会にいる人々の間では色覚異常者の頻度はそれだけ少ない。このように考えると、色盲などというものは、身体的な現象ではあるが、人種特徴ではなく、民族特徴だといえなくもない。同じことが、視力についてもいえる。未開社会にあっては、近視者は生存不能であったろう。東アフリカの黒人は三キロはなれた地のキリンの縞まで肉眼でみることができるが、日本人観察者は眼鏡をかけ、双眼鏡を使ってようやく縞らしいものをみとめ得たにすぎない。一卵性双生児出産の頻度は各人種間で大差なく、〇・三〜〇・五%であるが、二卵性双生児出産の頻度はいちじるしく異なる。黒人では一・六%であるが、日本人では低く、〇・三%にすぎない。

血液型の研究はすすみ、種々な血液型が発見されており、それらについて、人種間にいちじるしい差異が観察されている。ABO式についていえば、A型はヨーロッパでは高いが東北アジアで少ない。B型はアジアの中央部で高い。アメリカ・インディアンではO型が絶対的に多く、北アメリカ北部ではA型がみられるようになるが、B型は存在しない。Rh陰性はヨーロッパで高いが、モンゴロイドの中では低率であり、日本人では二〇〇人に一人の割合にすぎない。血液型のみならず、血液蛋白成分についても、人類集団による差が解明されつつある。

重大なことは知能、性格、能力などについての人種差であり、これが、しばしば人種差別、人種的優越意識の原因となる。感情的な優越感は、考えようによっては、たわいのないものだといえるが、一見科学的な基盤をもつ人種差別は犯罪的とさえいえよう。たとえば、知能に限っていえば、まず、知能という概念があいまいである。しばしば、それは学業成績としておきかえられるが、これは家庭環境や親の教養、経済力、そして本人の積極性などの関数となる。また、知能というものは複合概念で、独創力、論理力、記憶力など、いくつもの要素に分解される。次に知能を比較する場合、知能測定の方法がまったく不統一である。文字をもつものと、もたないものとを比較する困難さどころか、違う言語体系同士で比較することさえ困難がともなう。狩猟社会と農耕社会と産業社会との間の比較も、それぞれの関心や価値が異なるため、知能検査を統一的におこなうことはできない。このようにみると、それは人種差ではなく、民族差だということができる。むろん、免疫の問題を十分考えての疾病に対する罹患率も人種により異なるとされる。しかし、日本人に胃癌が多いのは、やはり食性と関係があると考えられる。これらのものは、さらに検討する必要があろう。

人種特徴と環境

このような人種特徴の分布は、地理的なものに強く関係する。人類がこのように多様なのは、人類が文化をもったことに由来するといえるのであって、そのため、自然状態ではとても生息不可能な地へ人類は進出した。人類ほど単一種で分布領域の広い動物はなく、まさに汎地球的動物といえる。砂漠、高山、氷河、極地、大洋以外のところには、人類は生息している。火の発見、衣服や住居の発明、食生活の改善、社会的相互扶助によって、悪条件下に生活できるようになったのである。しかし、そのことはたいへん異なる気候のもとでも生存することを余儀なくされたのであり、それぞれ隔離されたまま、その気候風土に適応していったと考えられる。今日の大きく分けた人種は、気候の違いによって成立したものと考えられる。黒人の成立は強烈な光と暑熱に対する適応によって説明される。白人は、冷涼で光の弱い環境に対して適応したものである。モンゴロイドは極端に乾燥した酷寒気候に適応したのち、各種気候に二次的に適していったものと考えられている。

黒人は熱帯に適応した身性を有する。皮膚が黒いのは有害な紫外線を吸収して、皮下組織を傷つけないが、熱線を吸収する。そのため、黒人は白い皮膚の人よりも暑いわけであるが、その分だけ汗腺がいっそうよく作用する。黒人の体型は一般に痩身で四肢が長い。このことは体重の割合に体表面積が大きいことを意味し、ひいては体熱放散にぐあいのよい体構であることを示す。また、皮下脂肪がうすいこともこれを裏書きする。カラハリ砂漠のブッシュマンやホッテントットの女性の場合、脂臀といって、臀部に異常に多量の脂肪が貯蔵され、突出する。これは砂漠での苛烈な栄養環境下に生存するため、皮下脂肪を体内に貯蔵するためであるが、一般にみられるように全身的に脂肪を有すると、体熱放散に不利であるために、臀部一か所に塊として脂肪を保存しているのである。なお、黒人の体型は下肢が長いため、平原を歩くの

に適しているといえる。このように、他の人類についても環境との適応が説明できる。

人種分類と人種学の課題

ところで、人種はどのように分けることができるのであろうか。これは基準の取り方でかなり組分けできるし、また大別できる。一般に三大人種というものが挙げられる。ニグロイド（黒人）、コーカソイド（白人）、モンゴロイド（黄人）である。人類の大部分は便宜的にこの中にくり入れられるが、たとえば、オーストラロイド（オーストラリア原住民）は分類不能として、さらに独立させることがある。その他いくつかのものが同様に分類不能とされる。

三大人種は結局は人口の大きさによるものだともいえよう。しかし、これはあくまで便宜的なものである。たとえば、ニグロイドの中には、アフリカ・ニグロ（無論これもさらにいくつかの人種に分けることができる）、オセアニア・ニグロ（メラネシア人）、ピグミー、ブッシュマン＝ホッテントットに分けられる。しかし、アフリカ・ニグロとオセアニア・ニグロとは、体表が黒く、髪の毛が縮れていることなど、共通はいくつもあるが、たとえば、血液型や血液蛋白の面からみるとまったく異系のものであることが、最近わかっている。また、ピグミーは成人男子の平均身長が一五〇㌢に満たないものをいい、アフリカと東南アジアの熱帯降雨林内に生息し、原始的な文化内容と、独特の生活方法を有しているため、人類の起源を考えるとき、重視される。アフリカのそれをネグリロ、東南アジアのそれをネグリトといい、ニグロの縮小名詞で表わされるが、けっしてニグロの矮小型ではない。しかも、ネグリロとネグリトはやはり別個に発生したものであり、けっして同系のものではないと考えられている。

二〇世紀前半までの人種学は、人種と民族とを峻別することを確立し、また、人種分類と体系化に功績があったが、後半の時期は人種形成論に興味がもたれている。人種をつくるものとして、種々要因があげられるが、遺伝的浮動と隔離と突然変異が挙げられる。

遺伝的浮動を考えるため、次の例を考えてみる。いま、いくつかの相似た環境に一組ずつの夫婦がばらまかれたとする。彼らの遺伝子型は AB だと仮定する。各夫婦は男女一人ずつを生み、それぞれの兄妹が近親結婚をして島の祖先になったとする。遺伝子AおよびBは淘汰に対し同じだとすると、幾世代もたってそれぞれの島の住民は、その遺伝形式についてほとんど似たものだと、一般には考えられがちであるが、それは誤りである。それは次の理由による。最初の夫婦は AB×AB であるから、その間にできる子どもは AA, AB, BB の三通りの組み合わせのどれかになる。その遺伝子型の比は 1：2：1 である。したがって兄妹夫婦の結びつきは二人とも AA もしくは BB である場合は、それぞれ一六分の一である。つまり、AおよびB遺伝子のうちのどちらかが消失してしまう可能性は八回のうち一回はあるということになる。このような現象を遺伝的浮動という。これが生じる可能性は集団の大きさが小さい場合に高いわけである。人類はその長い歴史において少数の集団ですごしてきた。そしてその小集団が隔離されていれば、変異が生じた場合、維持しやすいといえる。その隔離は自然的隔離だけでなく社会的隔離もふくまれる。

しかし、そのような集団は、生物学的にも文化的にも同一である場合が多い。つまり、ここでは、人種的単位と民族的単位とが一致しているといえる。このようなものをエトノス ethnos という。これまでの人種学は人種と民族とを峻別してきた。その態度は混同するのにくらべてはるかにすぐれてはいる。しかし、そのことは人種概念と民族概念とをそれぞれ独立させてしまい、相関係数を零にしてしまった。しかし、現実には、両者はかなり関連あるものであり、それは、先述した機能的人種特徴の中に顕著に現われている。文化というものを一つの生態系とみる点で、これからの人種学は、もういちど人種と民族の関係を検討する必要があろう。

また、現代文明は人類を気候的障害からかなり解放した。白人でもらくに熱帯に住むことができるし、黒人でも寒帯に住んでいっこうにさしつかえない。そして、それは交通機関の発達でいっそう促進されている。気候はもはや人種形成の原動力ではなくなった。むしろ人間の心の障壁と、血液などにみられる不適合関係とが新しい人種をつくっていくといえよう。

〈香原志勢・立教大学〉

第八章　人間社会——その「群れ」構造をみる

人間と人間の関係の中でとくに永続的な関係のことを社会関係という。一人の人間は、息子または娘、学生、夫または妻、会社員、課長、部長その他数多くの「地位」をもち、それぞれの「地位」に応じていろいろな「役割」を演ずることによって複雑な社会関係の網の目ができあがり、社会が構成されている。ふつう、日本で地位は「くらい、身分」を指し、いわゆる社会的地位を意味するが、ここではもっと広い意味に用いる。シェークスピアが「人生は歩く影だ。あわれな役者だ」と述べたように、社会生活には、舞台で役者が定められた役を演ずる芝居のような側面があり、毎日私たちは、職場でポストに即した役割を演じているし、家庭では夫や妻、息子や娘、父や母などの役割をそれぞれ演じている。

このような役割の遂行に結びついている社会関係は、互いに依存しあい、一定の構造を備えている。それぞれの役割の遂行は人々から期待されるものをふくんでおり、本人もこの役割をはたそうと努力するのがふつうである。こういう役割の内容は、社会の規範（つまり文化）によって規制され、個々人に強制される。

サルの集団にもリーダーがおり、一定のヒエラルキー（身分階層制）がみられるし、互いにある程度の意志の疎通もおこなっている。敵が近づくのを見たサルの叫びによって、他のサルたちもこれを知ることができる。しかしサルには言語がないのでサル相互のコミュニケーションには限界がある。人間の場合は、言葉によって相互の関係のコミュニケーションがおこなわれ、役割の内容も、言語によって世代から世代へ伝達される。このように、人間以外の動物の中には、集団をつくり、社会を形成しているものもあるが、言葉の有無が人間の社会と動物の社会とを大きく異ならしめている。

社会関係の基盤

どんな社会でも、およそ人間の社会なら、まったく自由なセックスの許されているところはない。かつて、原始人や未開人は性の無規律状態である乱婚をおこなっていたに違いないと主張されたこともあったが、これは現在では間違った説だとされている。性行為をまったく統

制しない社会はなく、どんなに原始的な未開社会においてもなんらかの性行為の統制がみられる。

性行為の統制の中で基本的なものは近親相姦の禁忌(タブー)である。親子および兄弟姉妹の間で性関係を結ぶことを近親相姦(インセスト)といい、人類のほとんどの社会で禁止の対象になっている。しかし、その範囲、程度、違反への制裁方法などはかなり社会によって異なる。たとえば、東南アジアのラメット族では、違う世帯で育てられた兄弟姉妹は結婚することが黙認されている。同じ親族集団内部の結婚を禁じ、外部の集団との結婚を義務づけている「外婚制」のある社会には、親族集団内部の性関係を近親相姦の延長とみなして禁じているところもある。

また、アフリカのアシャンティ族などにおけるように、近親相姦のタブーを犯した場合、これを死刑に処するところもある。これは、アシャンティ族では、このタブーの違反を放置しておくと、狩りの獲物がとれなくなり、作物もみのらず、子どもも生まれなくなり、祖霊や神神が怒り、氏族は滅んでしまい、世界は混沌におちいると信じられているからである。ミクロネシアのヤップ島では、兄弟姉妹間の相姦は、祖霊を怒らせ、その結果、違反者だけでなく、親族集団のだれかが二か月以内に病気やけがなどで死ぬと考えられている。インドネシアのバリ島では、近親相姦を犯した者は、ブタをつなぐくびきをかけられ、四つ足ではわせられ、家畜に餌をやる容器で米のとぎ汁を飲まされたあと、村から追放される。

一般的に近親相姦のタブーが人類の場合には明確であるのに対して、人間以外の動物の社会にはそれが欠如している。なぜ人類の社会において近親相姦が禁じられたかについて、種々の説明がなされている。幼児期からいっしょに育った者は成人後互いに性的魅力を感じないという説は、近親相姦のタブーの侵犯が、なぜ追放や死刑などによって処罰されるのかを説明することができないし、近親交配が遺伝的に悪い結果を生ずるからだという説は、近親交配による出生が必ずしも形質上の弊害を生むとは限らないことが遺伝学的にもみとめられているから説明にならない。

近親相姦を禁止する理由について、重要な仮説には二つある。一つは家族の存続のためにこれを禁ずるという説である。もし家族内で夫婦以外の成員の間（親子、兄弟姉妹の間）で性関係が無秩序にもたれるとすれば、家族の内的関係は維持されなくなり、家族は崩壊するだろう。だからこれを禁ずることによって、家族の、ひいては社会全体の連帯性が保たれるというのである。もう一つの仮説は、家族や親族集団の外的関係との連関で述べられている。すなわち人間の社会は、進化の過程で、自分たちの親族の婦人たちをよそに嫁にやって政治的連携をつくるか、あるいは、親族の婦人たちを手放さずにおき、敵によって滅ぼされるかのいずれかを選択しなければならなかった。こうして自然淘汰は、よその集団との縁組を強制する外婚制をおこなう社会のほうに有利に作用したと想定する。そしてこの外婚制の裏側が近親相姦のタブーであり、人類は近親相姦のタブーによって、よその集団との姻戚関係を拡げ、争いを軽減し、生存していくことができたというのである。この説は、近親相姦のタブーによって、人間は動物的状態から脱して人間の社会を形成することができたと推論しているのである。

このように、人間の社会関係には、動物のそれと類似の側面もあるが、人間に特有の関係があり、その基盤に言語によるコミュニケーションと、性行動の統制とくに近親相姦の禁止とが横たわっていると考えられる。

社会関係と集団

いうまでもなく、社会関係はかなり民族により社会によって異なる。日本の社会は、欧米の社会にくらべて、ひじょうに連帯性が強いとよくいわれる。家族にしても、村にしても、企業体、会社、官庁などは集団的な結合が強く、自分の家、村、あるいは会社のためという集団帰属意識がアメリカなどの社会よりも強い。若い人たちの間でも同じような差異がみられ、学生運動についても集団的な連帯意識は日本のほうがはるかに強いようである。日本の社会集団は「タコツボ」に似ているとある学者はいい、欧米の学者は、西洋（とくにアメリカ）の社会が「個人中心的」であるのに対して、日本の社会は「社会中心的」であり、欧米社会よりもずっと強く「緊密に織りなされている」と述べている。このような日本の社会の特質は、「ウチ」と「ソト」「ヨソ」といった言葉に象徴されている。「ウチの村」「ウチの会社」「ウチの課」「ウチの店」という意識は「ヨソ」のものたちに対する冷たさ、排他的な態度に通じている。そして「ウチ」のもの同士では、集団の情緒的な一体感が、伝統性の強い農村におけると同じように、企業体、会社についても強調され、個々の成員をしばる度合も強い。「組織のため」という意識が強く、終身雇用制もこうした「ウチ」の意識と結びついている。それは、「ウチ」意識の強さは組織間の人事異動というものの少なさに関連しているからである。アメリカでは、組織間の人事異動は日本よりはるかに多く、プロ野球に限らず一般にスカウトがおこなわれるし、それは社会的に支持される。ところが日本では、職場をあまり変えることは感心しないこととされている。

また、組織への忠誠心が要求され期待される日本では、自分の所属する組織の内のことについて告発したりするのは裏切り行為であるとされることが多い。一般に日本では、組織への忠誠心が、全体社会の一員として市民としての良心に優先する傾向がある。アメリカでは市民の良心が優先する。日本の「集団志向性」とアメリカの「個人志向性」とはどちらが進歩しているのか、という疑問が生まれるが、どちらが進んでいるかどうかということはなにを規準とするかによって変わってくるので、いちがいにきめかねる。たとえば、インドネシア人――インドネシアにはたくさんの種族がいて一般化が困難であるが、政治的、行政的にリーダーシップを握っているジャワ人をここでは指す――のほうが、日本人よりも個人志向性が強く、集団結合は日本人よりはるかに弱い。親族関係をみると、日本の農村では、本家分家関係にもとづく同族集団が形成されることがしばしばあるのに対して、ジャワでは家族以外に、こういう親族集団が形成されることはまれである。今までの諸研究によると、ジャワの村は自足性が弱く、連帯性も、日本の村（部落）にくらべるときわめて弱い。日本の村にくらべると、ジャワの村のほうが村落間の人口移動の事例もはるかに多く、村への帰属意識も弱い。親族や村に関する連帯性、帰属性が弱いように、ジャワ人が会社や企業体などの組織に所属する場合も、組織への帰属意識や忠誠心は日本人などにくらべるとはるかに弱い。この点はたしかにアメリカ人に似ている。ところが、近代的科学技術や経済の面では、インドネシアよりも日本のほうが進んでいる。集団結合の強い社会のほうがおくれているとも、個人に重きをおく社会が西洋的で進んでいるともいえないのである。社会的な伝統はそれぞれの形で文化的発展をとげうるものなのだろう。

日本の社会は上下関係のヒエラルキーを成しており、企業別、学校別のような縦断的な層を成しているといわ

れる。日本人の社会関係ではタテの関係が重要である。地位の差、年齢の差、学歴の違いが日本ではアメリカなどにくらべていっそう重要な意味をもっている。企業体においても、一般的に個々人の能力よりも、学歴の違い、勤続年数の差のほうが重要である。こういう社会関係におけるタテの原理は、人間の成長過程において主として幼児期に家庭において形成される。社会関係が形成される場合のヒナ型はしたがって家族関係にあるといえる。しかし家族関係と社会全体にみられる社会関係は一方的因果関係で結ばれているのではなく、社会構造や文化体系がなんらかの要因によって変わってくると、当然それは家族関係にも影響を与え、家族関係そのものも変わってくる。たとえば、息子が成長して結婚したのちも親と同居する直系家族の形態は、工業化にともなう都市化の促進につれて変化し、核家族化が進んでくる。そうすると当然、家族関係も変化してくる。しかし、それにもかかわらず、いっきょに質的な変化がおこることはまれで、親子・夫婦関係に関する基本的な規範は変わりつつも存続する面をもっている。現在でも日本の都市の家族関係はアメリカのそれとけっして同様ではない。アメリカでは、友人同士互いに食事によんだり、パーティに招く習慣があるが、こういう場合、夫婦だけいき、子どもは連れていかない。幼い子には子守り（ベビー・シッター）をたのむ。アメリカではピクニックや旅行は家族ぐるみでするが、社交は夫婦単位でおこなわれ、子どもは除外される。映画や音楽会なども、子どもは家に置いていく。日本では、職場の人たちが、企業体、役所が単位で、あるいは部課、大学では学科や研究室などが単位となって、勤務するものだけが集団となり、妻をともなわずに宴会をやり、また懇親旅行に出かけるのが習慣となっているが、アメリカではこういう職場の人たちが妻を同伴せずにパーティを催したり、旅行に出かけることはまずない。このことは、日本の職場の集団的団結の強さとも関連するし、アメリカにおける夫婦が公の社交場における単位になっていることにも関連する。

　アメリカの家族関係と日本のそれと比較してみると、アメリカでは、夫婦関係が支配的であるのに対して、日本ではむしろ親子関係が支配的である。そして日本では男性は職場の仕事に打ち込み、あるいはそれにしばられ、いずれにしても組織に強く帰属するので、親子関係の中ではとくに母と子の情緒的、情動的な結びつきが強く、またそれは子どもの成長後もずっとつづく。それに対して、アメリカでは、夫婦が支配的であり、子どもは親の世界からしめ出される。一般にアメリカの中流家庭では子どもは午後七時から八時には就寝させられるが、これは夫婦が社交や娯楽を楽しむためでもある。

　第二次大戦後アメリカ西部に移住した若い日系移民の人たちは、「アメリカ人の親たちが自分たちが遊ぶために子どもを家に置いていくのをみると、親の愛情が少なく、子どもに冷たいようにみえる」と述べていたが、これは「親の愛情」の問題である以上に、伝統的な社会関係としての夫婦・親子関係の相違の問題であろう。アメリカの子どもは親の世界にはいり込むことを許されず、できるだけ早く精神的に独立するようにしつけられる。このために子どもは成長するにつれて家族外の仲間集団に強く志向するようになる。アメリカにクラブのようなさまざまな集団が無数に存在するのはこのためであろうともいわれる。人口一万七〇〇〇のある小さい地域社会に八〇〇以上の団体が数えられた。

　日本の伝統的な家族関係では、親子関係は一子相続の習慣と結びついており、息子のうち多くは長男が家督を相続することになっていた。このため兄弟の間も、長男と次、三男との間は序列的なタテの上下関係に織りなされていた。この習慣は戦後崩壊したとはいえ、兄弟の序列は皆無ではない。社会一般についてもタテの関係が強い。これに対して、アメリカでは、職場における地位のヒエラルキーは明瞭であるが、社会一般としてはむしろヨコの関係が支配的である。このことは兄弟についてもいえる。日本にもヨコの関係があり、アメリカにもタテの関係はある。だが、人間関係、社会関係における基本的な原理をくらべた場合、前者はタテの原理、後者はヨコの原理が強いといえるだろう。

　日本では前述のように親子関係は持続性が強い。これに対して、アメリカでは、子どもは親からつき放されるような形で育てられ、親子関係は日本に比して非連続性が明らかである。こういう親子関係の差異は、他の人間関係一般についても認められるようである。アメリカでは、夫婦関係が支配的であり、社会生活の単位になっているにもかかわらず離婚率は日本におけるよりもはるかに高い。人間関係一般についても、人口移動が激しいことにも関連して永続性が乏しい。その場かぎりのつきあいという場合が多い。これに比して日本では組織間の人口移動の少なさとも関連して、人間関係はいっそう長続きする傾向がある。郷里をはなれて都会に転出した人々も、盆や正月、親族の祝儀、不祝儀などの際に郷里に帰るというパターンが一般的であり、一度できた人間関係はつづくことが多い。

　このことは、パーソナリティの構造にも関連しているようである。つまり、日本人のパーソナリティの表面は固いが、一度人との関係ができ、親密になると、その結びつきは連続するが、アメリカ人のパーソナリティは、表面が柔らかく、だれとでもすぐ親しくなるが、表面的な、その場かぎりの関係が多く、人間関係は日本ほど持続しないと思われる。このような対比は、ヨーロッパ人とアメリカ人についてもいえるようで、ヨーロッパの人たちも、アメリカ人はすぐに親しくなるが、永続的な親友はできにくいと述べている。日本の伝統的な習慣によれば、親子関係の持続性は親の生きている間だけでなく、親の死後もつづくといえる。つまり親は死後は祖霊として崇拝されることになるからである。親の死後数十年間の命日の墓参り、彼岸の供養は都会においても消滅することなく盛んにおこなわれている。アメリカでは、親の死後、葬儀をすませれば、定期的に墓参りをするという習慣はない。日本の親子関係の持続性は、墓参り、先祖の供養という習慣に象徴化されているともいえる。

男と女の関係

　一九世紀の人類学者たちは、人類文化史の初期の段階において女のほうが男よりも権力をもっている「母権社会」が存在したに違いないと考えたが、こういう想定は今では支持されなくなってきている。現代の諸民族の中で、比較的女性の地位の高い社会もあるが、現在までに知られているあらゆる社会の中でもっとも女性の力が強いとされている北アメリカのイロコイ族の社会も、婦人によって支配されていたわけではなく、彼らの首長はつねに男であった。程度の差こそあれ、従来の人類の社会では、女性のほうが男性より低い地位に甘んじている傾向が強い。ほんとうの意味で母権社会といえる社会の探求はもちろん、真に男女平等の社会を捜し求める試みは実を結ばなかった。

　人間は他の動物とは異なり、言語能力をもち、文化を担っている。人間はたんなる動物ではなく、文化をになっているという意味で、自然と文化をともにもっている

が、多くの社会で、女性は男性よりも「自然」にいっそう近いと考えられている。一つには、女性の生理構造が男性のそれにくらべて自然に近いとみなされている。出産や月経などの生理から、女性は男性よりいっそう生物学的条件に支配されると考えられている。第二には、女性は子どもを出産後他の哺乳動物と同じように乳で赤ん坊を育てる。こういう母と子の絆は「自然」の絆であり、育児が女性の重要な役割となる。さらに、家事と公事との区別がどの社会にもあって、公事は家事よりもすぐれた仕事とみなされ、家事は劣った仕事と考えられている。第三には、女性の心理が男性のそれよりも自然に近いとされている。女性は男性よりも情緒性が強く、月経の際にとくにこういう傾向がいちじるしいと一般に考えられている。こういう理由で女性は文化に参加しているが、男性よりも自然に近接しており、あるいは自然の要素をいっそう多く備えている、と考えられている社会が多く、そこでは女性は自然と文化との中間に位置づけられ、両義的、中間的な曖昧性を備えている。こうして、女性は、西欧におけるように、また多くのアフリカの社会におけるように、しばしば「魔女」として告発され、あるいは日本、インドネシアのバリ島その他多くの社会において産婦や生理期間中の女性は不浄視される。他方、女性は多くの社会において気高い女神として表象されている。このように女性は一方において悪の象徴とされ、他方において崇高な神性を備えたものとされる両義的な神秘性をふくんでいるとされている。



1

1. 狩猟はピグミーの男たちの重要な仕事である（ウガンダ,トロ地方） 2.ブッシュマンの女の初潮の儀式で、イランドの踊りといわれる。初潮をもった少女は小屋の中にすわらされ、そのまわりを少女たちが踊る 3.カメルーンの北部地帯の原住民。畑の仕事は女の役目である

文字を知らない未開民族の中で、天と地、秩序と混沌、明と暗、上と下、右と左といった二元的象徴体系がきわだっているところでは、男と女も同じように対立的にとらえ、両者の差異を服装、髪かたちその他で誇張する場合がみられる。こういう象徴的分類は男女の分業にも結びついている。たとえば東アフリカのカンバ族では、狩りの獲物などを炙る料理は、家の「外」で「男」によっておこなわれ、煮る料理は家の「内」で「女」によっておこなわれる。つまり、「男」は「炙る」および「外」に結びつき、「女」は「煮る」および「内」に結びついている。

それにしても、社会によって、男女の地位は異なり、女性の地位の比較的高いところと低いところとある。これもまたいわゆる近代化とか技術文明の発達と必ずしも結びつかない。

東南アジアにおける社会関係

東南アジアのタイ人の社会では、結婚の際の配偶者の選択はだいたい本人同士にゆだねられており、また離婚は夫婦相互の同意によっておこなわれ、財産は平等に分配される。王族や富裕階級には一夫多妻婚がみられるが、一般的には一夫一婦制がおこなわれている。相続は息子、娘たちに均等におこなわれ、親の世話をする子(しばしば末の娘)が、分配された土地のほかに家屋敷をゆずり受けるのがふつうである。タイは双系社会であり、一九一六年に父方の姓を名のるようにする法令が出たが、現在でもふつうには姓は用いられない。均分相続の習慣や、婦人が家庭におけるいろいろな決定に参加することなどからして、タイの家族は、中国やインドのそれよりもずっと現代西欧の家族に似ているといってよい。

タイ人の親は、子どもに対して自由放任の傾向が強く、子どもたちは依頼心が少なく、独立心が強いといわれる。このことは、子どもが親以外の親戚や隣人などの家にしばらくあずけられる習慣にも関連していると思われる。小さい時に五つの違った家庭にあずけられたものもいるほどで、親子関係は拡散される。子どもは同じ家の中に兄弟姉妹のほかに血縁関係のないものたちといっしょに育てられ、しかもその「仲間」は時々交替する。このように、タイ人の人間関係が比較的持続性が弱いのは、このような人間形成の条件に関連する。このことはさらに組織に対する忠誠心の弱さ、集団志向ではなく個人志向的であることとも関係があろう。事実、タイの社会には、団体、組合、結社などフォーマルな集団というものがひじょうに少ない。これは農村についても同じであり、集団形成がひじょうに弱い。タイ人の社会関係は日本におけるような、持続的な、緊密なものではなく、その社会は「ゆるい構造」をもっているといわれる。

日本の社会では、年齢という要因が重要であり、村落には、年齢層の違いによって年齢集団の構成されていたところがある。この中でとくに「若者組」という組織は有名であり、それは村の生活の中で、夜警、労働の提供、教育などにわたり重要な機能をはたしていた。こういう年齢集団はタイの村にはないし、インドネシアのジャワ島の村にもない。

ジャワ人の社会関係も比較的表面的で、あまり長つづきする性格のものではないし、個人間の紐帯もゆるい。したがって、集団の連帯性といったものは弱く、タイにおけるように集団形成が弱い。ジャワ島の村においても、社会結合は弱く、共同体的規制や集団性も弱い。夫婦の関係についてみると、法的には四人までの妻をもつことが許されているが、ジャワにおける一夫多妻の家族はきわめて少ない。一夫一婦が一般的であり、比較的婦人の地位は高い。夫婦関係にも、人間関係の表面的、非連続的な傾向が表われている。一夫多妻は少ないが、夫は妻以外に性関係を求めるものが少なくなく、男は本来「いたずら好き」だという観念がある。夫婦の間には一種のへだたった感情と猜疑心がつきまとうといわれる。ジャワ族の夫婦の絆の弱さは、離婚率がひじょうに高いことにもっとも明らかに表われている。ある報告によると、結婚者の五〇%は離婚している。ジャワ族の信奉するイスラム教は離婚を否定しているのだが、それにもかかわらず離婚率がきわめて高い。なお、離婚の際、夫婦とも結婚前に親からゆずり受けた土地その他の財産は、それぞれが保持し、結婚後に得た財産は、三分の二を夫が、三分の一を妻が取る習慣である。財産の相続は、イスラム法によれば、娘は息子の二分の一を相続することになっているが、慣習法によると、男女平等の均分相続である。一般的には慣習法にしたがう場合のほうが多い。このように男女は比較的平等だが、ジャワの社会はダラ(貴族)、プリャイ(おもに官吏や知識階級)、ウォン・チリ(小さい民の意で、農民や都市下層労働者)の三つにわかれる。ただし、この階層はむしろ柔軟で、貴族は



2



3

出生によってきまるが、農民の子弟が官吏になり、プリヤイにもなり、官吏をやめればウォン・チリに下降する、というように流動的である。このためにジャワ族は地位の上昇を求める傾向が強く、人間関係の葛藤を生む原因にもなっている。

それにもかかわらずジャワ族は憎しみの情などをおもてに表わすことはまれである。彼らには表面的には和を保つべきだという価値観があるので、対人関係においていがみあっても、表面には攻撃的態度を表わさないようにつとめる。金の貸し借りが多く、貸した金を返さないといったいざこざ、女性のことでの争い、地位を求めての争いなど葛藤のもとはすこぶる多い。

社会関係の変容

社会関係は種々の要因によって変化する。もっとも劇的な変化の例を二つあげよう。オーストラリアのヨーク半島の原住民はもと鉄器を知らず、石斧を使用していたが、白人のキリスト教宣教師から鉄斧をもらうようになって、社会関係が大きく変容した。本来、年長の男子が石斧を独占し、女性にはこれを所有させず、石斧は男子の権力の物的基盤となっていた。ところが、西洋人宣教師がはいってきて、原住民の女や子どもは、宣教師団から謝礼や贈物として鉄斧を手に入れるようになったので、石斧を年長男子が独占していたパターンがくずれてきた。年輩の男たちは、昔、白人とのいざこざで苦い経験をもっていたので、白人たちにあまり近づかなかった。妻や娘や子どもは、夫や父から石斧を借りる必要がなくなり、父や夫たちは、以前とは逆に、妻や子どもから石斧よりも強力な鉄斧を借りなければならなくなった。こうして、男性の権力、年長者の威信が弱められ、夫婦、親子、親族関係の規範もゆるんできた。こういう社会関係の変化にともなって、社会生活を支えていた世界観もくずれはじめた。こうして鉄斧の受容は、社会関係を変化させ、それにともなって、社会関係に結びついていた価値体系を変化させることになった。

南米ブラジルのカユア族は、白人と接触し、白人から農耕に有効な鍬、斧などが受容され、しかも白人の乱獲により動物が減少したなどの条件により、主として女性の仕事であった農耕が前より盛んになり、狩猟と食糧採集が減少した。白人との契約労働、雇用労働の関係がつくられ、しかも白人の商品の導入もおこなわれ、彼らは労働賃金によってそれを手に入れようとした。白人の側では農林業の経営がおこなわれ、多くの労働力を必要とするようになった。

こういう変化により、さらにいくつかの変容が生まれた。白人との雇用関係、交易関係によって、カユア族の伝統的な相互扶助にもとづく社会関係がくずれ、個人の比重が増し、合理化が進み、彼らの社会内部にも雇用関係が生まれた。白人との交易と雇用労働の発達によって、彼ら固有の産物を仲間から得るようになり、専門に土着の産業にたずさわる者が現われてきた。こうして生業が分化してきた。農耕の比重が増したので、男子も農耕にいっそうたずさわるようになった。このため婦人の経済的役割が減少した。したがって、伝統的な一夫多妻制を経済的に支える条件がなくなった。以前には第二の妻を迎えることによって労働力を増やせたが、その意味がなくなったからである。個人の生産力が増し、雇用労働や交易が発達したために、個人的活動が増え、共同作業の必要が少なくなり、拡大家族がくずれ、生産、消費の単位が核家族（夫婦と子どもより成る家族）に縮小した。さらに、白人が行政的つごうからカユアの村の指導者を通じてことを運ぶため、政治構造に変化を生じ、権力の中心化が現われた。これには拡大家族がくずれたので、その家長の勢力が衰えたことも関連している。この二つの事例から、白人から鉄斧、金属製農具などを得たことが、他の要因とともに社会関係に変化をおこし、それと関連しつつさらに種々の変化を連鎖反応のようにおこさせていった過程がわかる。

〈吉田禎吾・東京大学〉

第九章　日本人の起源

いまから考えると奇妙に感じる人も少なくないであろうが、第二次大戦中まで、日本国家の起源および日本民族の形成は、遠い先史時代から日本列島の中において一直線的な内的発展によってのみ形成されたものである、という大前提の上に立つものでなければならなかった。とくに、学校教育では高天原の天照大神が、日本列島は

自分の子孫の住むべき土地であるという神勅をくだし、天孫邇邇杵命が派遣され、日向の高千穂峯に降臨し、国土統一をとげた。これには、出雲の大国主命に代表されるところの、前々からこの土地に住んでいた国津神たちが、天下ってきた天孫たちの天津神に、国譲りしているわけだ。最初の天皇は、神武天皇。それ以来、万世一系の天皇の国体である——。このように、日本民族や国家の形成の起源を、教えられた。すなわち、神話を絶対視し、神話から科学的価値をもたない歴史をつくっていた。もちろん、東アジアや東南アジアなどの神話やフォークロアや民族誌をとりあげ、日本文化の形成を比較研究しようとした民族学者もいたのであるが、「神国日本」の神聖さを犯すようなことは、タブーとされていたわけである。

しかし、今日では、古代のアジア大陸や東南アジア島嶼部や西南太平洋における民族や文化の移動を無視しては、日本民族と日本文化の起源を理解できないことが、常識となっている。ようやくにして、国際的視野の軌道に乗ったわけである。ただし、前述のような長い間のタブーがあったため研究は立ちおくれており、まだまだ解明されなければならない領域が多く、学者間でも意見が違う部分が少なくない。いいかえれば、決定的結論や定説を導き出せないところが、まだまだ多いのだ。そのことを念頭において、本論も読んでいただきたい。

日本民族の形成

この地球上にホモ・サピエンスが現われて活動しだしたのは、今から六〇万年から一万年前までの洪積世時代(旧石器時代)である。そのころの日本列島は、地史学によれば、アジア大陸と陸つづきであった。すなわち、列島の北と南が大陸と陸つづきで、原日本海はまるで巨大な湖のように、中間に抱かれていたわけである。生物は、大陸から陸づたいに、日本列島に渡ってきた。オオツノシカもゾウもトラもきた。洪積世人類も、大陸からやってきたものと、思われる。

ともかく、日本列島にも、洪積世人類がいたのである。第二次大戦前に、明石原人が発見されたが、これは戦災にあって消失した。しかし、一九五七年(昭和三二)と五九年に、豊橋市で牛川人とよばれる化石骨が発見された。骨片なので明確ではないが、骨片からの推定では身長はかなり低かったようだ。ネアンデルタールと共通する点もあるという。一九五八年と六一年に静岡県で、洪積世後期のものと思われる三ヶ日人が発見された。これも骨片にすぎないが、このほうは現在のわれわれに近いホモ・サピエンス型であるという。化石骨は出なかったが、一九四九年、わが国ではじめて、群馬県の岩宿で関東ローム層の赤土の中から先土器時代の石器が発見されて以来、この種の遺跡が、現在では四〇〇近くも見いだされた。これらと、前述の化石骨とによって、日本列島にも洪積世人類がいたことが、証明されたわけである。

しかし、日本列島の洪積世人類が、大陸のシナントロプスやインドネシアのジャワ原人などと、どのような関係があるかなどの考察は、さらに今後の課題で、なによりもよりよい状態の化石骨がさらにいくつも日本で発見されるのを、期待するほかない。

このように、洪積世に日本列島にも人類がいたことは、日本人にとってなにかうれしい感じがするが、日本洪積世人類の血が、現在の日本人までつながっているかというと、これは疑問である。なぜなら、いくたびか氷河時代に日本列島周辺の地殻の大変動などがあったことから、彼らが絶滅したことも考えられる。つけ加えれば、日本列島が現在に近い海岸線に落ち着いたのは、約一万年前のことである。

縄文新石器時代は、いまから九〇〇〇年前にはじまったといわれる。この縄文時代人の遺骨は、一九四九年に横須賀で早期縄文土器とともに発見された平坂貝塚人(保存状態は比較的良好)をはじめとして、何千体も発見されている。出土分布は、関東以北に少なく、西南日本に多い。彼らは、洪積世人類よりも、顔も大きく身長も高い。すなわち、中頭型の頭で顔面の幅が広いのが特徴。男性の平均身長は一六〇㌢足らずである。種族的にどこに属するかは、明確にされていない。一八二三年(文政六)に来日してのちに『ニッポン』という著書を著わしたフォン・シーボルトが主張して以来、日本の先住民(縄文時代人)はアイヌであるとする説が強かった。いまでもアイヌ説を唱える外国の学者もいる。しかし、日本では、その後の研究によって否定されている。アイヌの本拠地は北海道で、本州北部に多少は住んでいたかもしれないが、アイヌが日本本州の先住民ではないと、されている。たとえば、縄文時代の人骨七〇〇体を研究した清野謙次は、しらべた人骨にアイヌ的形質がみられないと報告している。

アイヌでないとすると、どの種族に属するか。これは、前述のごとく明らかでない。ただ、数千年にも及ぶこの時代に、多少の変化はある。それは形質上の変化だけではない。たとえば、呪術的抜歯の風習が、縄文時代人にあるが、九州には前期からあり、関東では後期からはじまる。この風習は、インドネシアやメラネシアなどの南方のもので、大陸の東辺で発掘される先史時代人骨にはその例が見いだせない。そこから推測すると、縄文時代に、南方からの種族の九州への渡来と、彼らとのしだいに拡がる混血も、考えることができよう。

しかし、人骨の形質は、弥生時代人となると、かなり変化する。縄文時代人より、顔高、上顔高、眼窩高、鼻高となるのだ。身長も平均二㌢ほど高くなる。もっとも、こうした変化を大きくみせているのは、北九州の弥生時代人で、他地方と地域差をみせている。このような変化を、どのように考えるべきか。そこで、前述の先住民はアイヌ、弥生時代人の子孫が現代日本人——というような説が生まれたわけである。しかし、身長でいうと、次の古墳時代人はふたたび縄文時代人と同じような短身にもどっている。したがって、この時代の北九州に、異種族が新たに渡来してきたものと考えられよう。北九州に分布がかたよっている甕棺の人骨をみると、棺内壁にしばしば丹が塗られており、人骨には抜歯がみられないということも、異種族の新渡来を示唆するものであろう。後述するが、南ツングース系とインドシナ系の混血で形成されたといわれる韓民族も、やってきたであろう。

この北九州の弥生時代人の頭骨をずらり並べてみると、表情にバラエティがみられる。眼窩も大きいもの、小さいもの、四角形に近いもの、そうでもないものなどがある。これは、新渡来の異民族が、先住民と混血しつつあるための現象であろう。古墳時代になると、この弥生時代北九州人の上背が、縄文時代人の短身にもどるということは、多くの先住民に少数の異民族が混血同化したということで、説明がつくであろう。この古墳時代には、ひきつづき韓民族と、新たに東北アジア系民族の渡来がある。

形成の時期をめぐって

右に述べた系統は、今後の考古学研究で、さらに補正修正されていくであろうが、このようにして、日本民族

は形成されてくるのである。黄色い膚、黒い髪、やや低めの身長、四肢は短めで頭は比較的大きい、人種的にいえば、間違いなく広義のモンゴロイド型の中にふくまれる。しかし確実にいえることは、日本民族とは一元的でなく多元的構成であること。つまり、日本民族とは、いくつかの異質文化をもった民族、あるいは種族が、日本列島に波状的に渡来してきて、混合混血しながら形成されたものなのだ――ということである。いいかえれば、日本民族とは、もちろんアジア的特徴はもつが、けっして生物学的な人種概念のことではない。日本民族とは、文化的概念のことである。すなわち、日本列島という特定の地域に住み、伝統的に多くの同じような文化を共有する人々の集団を指すわけである。

ところで、日本民族形成の時期を、どこにおくか。先縄文期におくか、縄文時代におくか、それとも水稲栽培が確立した弥生時代におくか、または古代国家の成立をみた古墳時代まで待つか……という問題がある。これに関して、文化人類学者の石田英一郎は、弥生時代を主張している。というのは、日本民族とは、日本語を母国語として、日本語の中に育ち、日本語を媒介として日本文化を身につけ、日本文化を共有する人々の集団のこと。こうした定義を、どこまで時代的にさかのぼってあてはめることができるかというと、それはプレ縄文期でも、縄文時代でもない。これらの時代は、日本語の形成という意味で、推測は自由だが、文献史料的には識別が不能である。遺跡や土器や遺物からいろいろ当時の生活様式、生活技術、経済、水稲栽培を根幹とする社会などをうかがい知ることができ、日本語の形成にも証拠を挙げることのできるのは、弥生時代である。

とすれば、古代国家成立をまつまでもなく、弥生時代をもって、日本民族形成の時期として、支障なかろう。ここで確認のために、くどいようであるが述べておけば、民族とは、生物学的な人種概念ではなく、また「国民」と同一のものでもなく、じつは一つの地域内に住み、伝統的に同じ文化（生活様式）をもつ人々の集団を指すものである。

日本語の成立

次に、以上のように日本民族を成立させた文化内容、とくにその中心である日本語と水稲耕作について、もっと具体的に考察してみることにしよう。まず、民族形成の「核」ともいうべき言語の問題からはじめる。

そもそも、人類は言語をもつことにより、記憶を長期にわたり保存し、抽象的問題を思考、推論するようになり、またコミュニケーションを強大化し、言語をもたない他の動物たちのもち得ない文化を所有した。つまり、言語は人間だけがもつ文化を支えるもの。この言語は世界にじつに多くあるが、民族を支えるもの、民族を民族として結びつける機能をはたすものは、その民族に共通する言語である。この共通の言語により、人々は相互理解し心意を伝えあい、伝統を社会的に定着させ、同じような様式で思考もするし共感もする。また、こうした民族の言語が形成されると、その後どのような社会変革や文化革命がおこっても、その言語の根本的性格は変わらないものである。たとえば、昔から日本は中国文化のいちじるしい影響を受けたが、日本語の基礎的な性格や文法構造は、変わっていない。明治以降の日本文化のヨーロッパ化の場合も、同様である。

では、このような日本語は、どのようにしてできたか――ということになると、きわめて解明がむずかしい。ウラル・アルタイ語、モン・クメール語、マライ・ポリネシア語、琉球語、アイヌ語、朝鮮語、はてはインド・ゲルマン語、またギリシア語などと結びつけて、明治中期以来、日本語の系統は、諸学者によって論じられている。また一方、言語学者の金田一春彦は、「日本語は、文明諸国語の中にあって、きわめて特異な地位を占めている。それは〈他に全然類似の言語をもたない〉ということである。世界各国語の間に置いて眺めた場合、まっさきに目に入る性格はこれである」と述べている。たしかに、日本語とは世界でも孤立した言語であろう。たとえば、ヨーロッパ諸語は、今から六〇〇〇～四五〇〇年前に、インド・ヨーロッパ祖語とよばれる言語から分化しつつそれぞれ発展したものであるから、言語的親族関係の上に立って、音韻や文法に重点をおいて比較研究ができる。しかし、日本語には祖語に相当するものが見いだせないので、他の諸言語との親族関係の証明が、きわめて困難な仕事になっているのである。また、インドやヨーロッパにおけるサンスクリットやギリシア語の古い記録のような、手がかりになる古い記録がない。語彙が、かろうじて手がかりになっているのだ。といって、中国語からの借用語の単語は、途中からの借り物だから取り除かなければならない。

このような困難な仕事にもかかわらず、松本信広はインドシナ諸語との比較研究を、村上七郎はアルタイ語との比較研究を、それぞれ精力的に進めた。大野晋などは、専門外の人類学や考古学や血液型分布などの著書や研究論文も広くあさって、「日本語の黎明」解明に努力を傾けた。こうした諸学者またこれ以外の学者たちの研究を総合すると、琉球語は日本語の姉妹であるが、これは日本語祖語ともいわれる古代日本語が琉球にわたったものである以上、日本語祖語自体の究明にはならない。アイヌ語は、北方特有の物産の名や東北地方の地名に足跡を残しているが、日本語とは別系統である。台湾の高山族（旧「高砂族」）の言語は、マライ・ポリネシア語系で、日本語とはかなり違う。モン・クメール語とマライ山地民の言語では人体語に日本語のそれに似たものがある。ポリネシア語の音韻は、日本語のそれと、特徴が似ている。ビルマ語は、日本語と同様、名詞の下に文法的機能をあらわすテニヲハ的助詞をつける。朝鮮語と日本語の間には、農作関係やウカラ、ヤカラのカラなど、文化に関する語彙の類似が多いが、これは文化的影響の問題で、言語系統の問題とは別に考えるべきではなかろうか。しかしながら、朝鮮語はアルタイ語の特徴を構造的にそのままもっている。そのアルタイ語は（したがって、朝鮮語も）、日本語の構造と多くの類似点をもっている……というような諸点が挙げられている。

このように見渡すと、日本語の構成要素として、北方では朝鮮語、アルタイ語が考えられ、南方ではマライ・ポリネシア語やモン・クメール語が問題となってくる。いいかえれば、日本とポリネシアの音韻の類似、モン・クメール語とマライ山地民の言語の人体語が広く日本のそれと相似していることなどは、かなり重要な問題で、いわゆる「南島語」の基層があり、その後に北方からのアルタイ系諸語が波及してきた――ということを、重要なポイントとしておさえることができよう。言語学者が日本語の構造という次元にとらわれて北方説に傾きやすいので、民族学的見地からバランスをとれば、「南島語」の基層もすこぶる重要である。文化人類学者の岩田慶治が指摘しているように、天地創造、国生み、黄泉国、天岩屋戸、八岐大蛇、海幸・山幸、穀物起源などに関する神話、あるいはこれらの神話を構成する主要なモチーフが、すこぶる日本の神話と似た性格で、東南アジアや太平洋地域のそこここの神話や伝説にみられる事実も、

見のがしてはなるまい。これは、「南島語」の基層の存在を、強く示唆するものであるからだ。

では、このような日本語の祖語は、いったいいつごろできたのであろうか。服部四郎は、縄文時代の数千年にわたる大陸からの孤立状態の中で、日本語の祖語は、長い時間をかけて独自の言語体系として、形成されたのであろう、また、その祖語のできた地理的位置は、琉球への伝播を考えると、九州ではないか、と述べている。しかし、基礎的な語彙はともかく文法構造は、次の弥生時代に定着したものであろう。大野晋らの言語学者は、日本語の形成期を、弥生時代に設定している。文化人類学者の石田英一郎も、西暦三世紀ごろの日本について述べた中国の正史の『魏志』「倭人伝」の中で、役名や人名にヒメ、ヒコ、ヒナモリ、ナカトミ、シマコ、ヒトコ、タマ……などがあることを指摘し、これらは中国語ではなく、倭の官名を漢字で表音したものであり、単語の意味や形容詞の位置からみて、奈良朝以後の日本語につらなる日本語が、弥生時代の日本人、少なくとも西日本に住んでいた倭人の間で、すでに形成されていたもの、と考えている。すなわち、日本語形成を弥生時代に位置づけている。

水稲耕作の伝来と普及

この日本語とともに、日本文化形成の核となるものは、水稲耕作である。いうまでもなく、米は二〇〇〇年にわたる日本人の主食であるばかりでなく、稲作が明治以前の日本経済の大基盤であったことも、思いおこさなくてはなるまい。ここで、穀物栽培の農耕技術の人類史的意義にふれておくと、狩猟、漁労、採集のフード・コレクティング経済に対して、みずからの手で食糧を選び、作り、貯蔵するフード・プロデューシング・レボルーションである。これは、人間生活の大革命であり、革命という意味では、一八世紀後半からおこった一大生活革命の産業革命にも、匹敵するものである。また、フード・プロデューシング・レボルーションは、食糧のみでなく、それにともなう一連の生活技術全般にわたる革命でもあり、定住化、生産物の社会的利用から政治的組織の発達、経済的社会的大変革を、うながすものでもある。この農業革命は、前六〇〇〇年あるいは七〇〇〇年の昔に、メソポタミアにはじまったものとされている。エジプト、インドのインダス川流域、中国の黄河流域では、前三〇〇〇年ごろにおこっている。

これらにくらべ、日本の農耕の起源はかなりおそい。では、いったいいつごろから日本の農耕ははじまったかというと、日本民族と日本語の形成期と同様、本格的には弥生時代である。そして、この本格的農耕とともに、生活も技術も文化も社会も、飛躍的に発展をとげる。土器は、貯蔵する壺、煮炊きする甕、物を盛る鉢、高坏という四つの組み合わせを基本とするようになる。金属器が登場する。轆轤も紡織技術も現われる。東南アジアに広くみられる、鼠返しをつけた高床式倉庫建築もできる。社会的には、宗教が確立し、階級が分化し、都市的なものも国家的なものもできてくるのだ。つまり、農耕とは、農耕とともに一連の文化を生みだすものである。

では、この農耕は、弥生時代に突如として現われたのか、それとも原初農業が、すでに縄文時代にぁったのか。この問題は、学界が肯定論と否定論にわかれて、長い間、論争されたものである。しかし、現在では、縄文時代中期には、焼畑陸耕がおこなわれていたとする考え方が、強い。移動生活に便利な尖底の土器が、縄文前期になると、据えおきやすいように底が平らになる。中期にはいると集落址が増え、中には大きな環状集落址も見いだせる。また、石匙や石皿や打石斧などの道具や、甑のような蒸し器の発達などもある。こうしたことは、しだいに採集から原初農耕へ移行していったことをあらわすものとしているわけである。栽培植物として、クリ、ユリ、南方系サトイモ、ヒエ、アワなどの説がでているが、確認されるまでにいたっていない。まして、縄文時代農耕肯定論者の中には、稲作を主張するものもいるが、このような事実は考えられない。かりに、縄文土器に稲の圧痕のあるものが発見されたとしても、それは、稲作の弥生文化圏から、文化的に立ちおくれて縄文文化をいまだまもっているところに稲作が伝えられた、過渡的な現象とみなすべきものであろう。つまり、縄文土器の稲の圧痕をもって、縄文時代に稲作がおこなわれていた！と、短絡して考えるべきではないのだ。進んだ木製農耕具や石包丁や田下駄、田舟や大足、えぶりまでそろっている弥生時代の、土器の稲の圧痕とは、性格が違うわけである。

さて、「稲」の問題にはいろう。栄養からいってもきわめて良質の蛋白質をもち、播種量と収穫量の比率からみてもきわめて効率のよい米は、もともとはインドや東南アジアを原産地とする熱帯植物である。というと、長細い粒のインド型の稲と短粒の日本型稲とは違う、という意見もでるであろう。しかし、これは、インドあるいは東南アジアから稲作が東アジアに伝播してくる過程で、気候や気象や病虫害への抵抗性などの関係で、品種がしだいに変わってきたものであろう。東アジアの稲は短粒種が、圧倒的に多いのだ。また、インド型の米には日本型の米のようなねばりがないことも、よく指摘される。しかし、民族によって、ねばり好きとねばりぎらいがあり、ねばり好きな東方の民族的嗜好が、伝播してきた稲の品種の人為選択をおこなったものといえるであろう。では、どのような経路で、稲は日本に伝来したのであろうか。一応、諸説を四つの経路に整理することができよう。



⑴華北から朝鮮半島北部をへて、半島南部に伝わり、そこから北九州に伝来した。

⑵華中から朝鮮半島南部に伝わり、そこから北九州に伝来した。

⑶華中、もしくは華南から、海路直接、北九州にたどりついた。

⑷華中、もしくは華南、あるいは東南アジアから、沖縄などを経由して、南から北上して九州南部にたどりついた。

このうち、⑴の北方ルートは、出発地の華北自体も、経路の山東半島も北朝鮮も、気候条件から稲作に不適当で、昔はアワを栽培していたし、考古学的にも稲伝播の遺跡に乏しい。⑷の南方ルートとなると、当然最初の伝

来地は九州南部になるのにもかかわらず、日本の稲作は、九州の西北部からはじまる。また、考古学的裏づけや台湾と沖縄との間にみられる民族分布上の断層などの問題もある。柳田国男の有名な「海上の道」説は、南部中国を出発し、沖縄諸島から島づたいに北上して南九州にたどりつく経路だから、この(4)の南方ルートに属するわけであるが、残念にも難点が多いのである。

しかし、柳田国男が出発地を南中国にしたことは、すこぶる妥当である。なぜなら、インドあるいは東南アジアから伝来した品種が、この南中国の東海岸地方で、短粒の日本型の稲へと、品種改良されているからである。逆にいえば、日本型の稲の原産地をたどっていくと、この南中国に達するわけである。とすると、柳田国男の「海上の道」の経路を変更して、南中国から海路北上して朝鮮半島南部に立ち寄り、それから日本にくる（(2)の経路にあたる）か、もしくは、南中国から長駆海上を九州に直行する（(4)の経路にあたる）かの二つの経路が、考えられることになる。つまり、「日本に稲作をもたらしたのは、華中あるいは華南の人々である」という断定が、ここでくだされるわけだ。そのころのアジア大陸は秦漢の時代から漢の統一へはいる時代にあたる。周末の中国の全国的混乱期につづき、民族の動揺や移動が、漢民族の周辺にも大きくあった。揚子江の南、つまり江南の民は、今日のように漢民族ではなく、もと呉や越をつくった非漢民族である。この非漢民族は、政治的圧力や漢民族の南下に押されて、大半は民族大移動の南下をするわけだが、その一部は得意とする海上航海を利用し、海外に移動する。そのうちのさらに少数の一部が、大陸から直接、北九州にたどりついたとするのが、(3)の説である。いくら航海術に長じていても南中国から直接、北九州まで直行するのは、冒険すぎる。朝鮮半島南部にひとまず稲をたずさえて移り、そこからさらにその一部が韓民族をまじえて北九州にきたとするのが、(2)の説である。このほうが、もっと妥当であろう。さらに、この(2)の説は、朝鮮半島南部と北九州との当時の密接なつながりを考え、稲作が急テンポに拡がったことを思うと、いっそう妥当性がでてこよう。いいかえれば、朝鮮半島から流入された文化の主要なものの一つとして稲作を考えることのほうが、自然である。

ともかく、日本民族形成期において、文化的にも人間的にも、東南アジアにもつながる華南、華中方面の要素と、金属文化をもつ東北アジアや漢文化をもつ北朝鮮とつながる南朝鮮（韓系）の要素が、きわめて重要な役割を演じたわけである。

国家の起源

以上のように、日本民族も日本語も、稲作を経済的大基盤とする日本文化も、弥生時代に形成される。前二〇〇年ごろ北九州などの西日本にはじまり、東日本では後三〇〇年ごろまでつづき、その間、約五〇〇年に及ぶこの弥生時代は、たしかに時期と地域によりかなりの文化的差異がある。しかしそれでも、平和的、非軍事的、呪術的、祭祀的という共通の性格がある。たとえば、元来武器であるべき銅剣や銅鉾や、楽器であるはずの銅鐸が、いずれも祭具的、呪術的に使用されていて、一般的にかなり平穏であったことが、うかがえる。

しかし、古代メキシコ史その他の例をみても、古代世界史の一般的流れとして、宗教的祭司が頂点となる社会ができ、それが神政的小国家に発展し、地方勢力となる。すると、この地方勢力相互間に利害の対立が生まれ、各勢力はしだいに軍事色を加えていく——という過程がある。古代日本も例外でない。稲作の生産がしだいに充実し、金属器製造技術も進み、人口も集落も増え、呪術的祭祀をつかさどる者が首長的な地位につき、そのもとにいくつかの集落がまとめられて、一つの地方勢力ができる。そうした地方勢力が、それぞれ組織と秩序を強化して分立し、小国家群となる。その数は、『魏志』「倭人伝」によると、一〇〇余り。中には、後漢に朝貢して金の印綬をさずかる奴国のような国もあらわれる。しかし、しだいに弥生時代が次の古墳時代に移行しようとする時期、すなわち三世紀前後になると、「倭人伝」によれば、倭の諸国は、大小三〇余に減る。軍事色が加わり、弱小国が強国に併合され、国家群が再編成されたわけである。

そのうちの代表的強国が、例の邪馬台国。すなわち、江戸時代からはじまり現在ますます激しく、北九州、いや畿内だと、所在地をめぐって論議されている国である。邪馬台国の王は女王。すなわち、「倭人伝」によると「その国、本また男子をもって王となし、住まること七、八十年。倭国乱れ、相攻伐すること歴年、すなわち共に一女子を立てて王となす。名づけて卑弥呼という」。地方小勢力が乱れ相攻防した末に和解し、「鬼道に事え、能く妖を以て衆を惑わす」と中国の史書に書かれた巫女的存在の卑弥呼を女王とした一大連邦王国となったのだ。この卑弥呼が死ぬと、「こもごも相誅殺し、当時千余人を殺す」と、勢力争いの戦国時代状態となる。もっとも、これは「卑弥呼の宗女壱与、年十三になるを立てて王となし」、一応は平和にもどる。

ここでふたたび、古代世界史の一般的流れをみると、神政的小国家が軍事的色彩を加えてくると、武人が祭司にかわり政権をにぎり、より大きい国家形成を成す。日本の場合も、これに近い動きをみせる。たとえば、弥生式性格の残っていた古墳時代前期の古墳の副葬品は、鏡、玉、剣などの祭祀的、宝器的、南方的なものであったが、中期になると、武器、馬具などの軍事的なものや石製模造品のさまざまな日常用具に変わる。さらに、後期になると、食器や服飾品のほか、男女、装馬、鳥獣、武器、舟などの形象埴輪が加えられる。つまり後期になると、ますます軍事力にすべてをかける大陸の、しかも北アジアの王族豪族の古墳の副葬品と同じような意義をもつ副葬品が現われてくる。こうした現象を、どのように理解するかが、じつはきわめて重大なことになる。

すなわち、「倭人伝」に記された邪馬台国が、西日本を統一した大和朝廷になったというように考えるなら、副葬品も時代とともに大きく変わった、といえる。だが、そうではなく、別の大陸系異民族が渡来し、大和朝廷をつくったため、当然、その古墳の副葬品も変化した、ともいえる。要するに、この二つのどちらをとるかによって、日本最初の国家への歴史的解釈が、まるで違ってくるわけである。くり返していえば、古墳時代中期からの副葬品の質的変化が、重大なキー・ポイントである。

古墳時代中期とは、日本皇室の祖先にあたる大和朝廷が畿内で成立し、統一国家を成立させた時期であった。諸学者の考証で、それは四世紀の後半の中ごろから五世紀後半の中ごろに至る約一世紀間というのが、定説らしい。『日本書紀』の伝える歴代天皇のうち、どの天皇の時代かというと、中国の史書にでてくる倭の国王の名まえや固有名詞との対応関係から、応神、仁徳の時代が、四世紀の末から五世紀のはじめにあたる。このころ、南方文化的、祭祀的なものから北アジア的、軍事的なものへの転換がおこる。これを、どのように解釈したらいいのであろうか。邪馬台国→大和朝廷と考えるべきか、邪馬台国とは関係のない新しい系列で考えるべきか——。

　東洋史学者の江上波夫は、東洋史、日本史、考古学、民族学というういろいろな角度からこの問題を有機的に追究し、「日本における民族の形成と国家の起源」という理論、通称「騎馬民族説」なるものを発表した。これは、画期的な説である。なぜなら、戦前の神武天皇の東征からはじまる国家成立説が説話伝承的で史実でないから、これを邪馬台国に結びつけながら日本古代史を科学的に究明していると自負する史学者にとり、ショックそのものの別次元からの学説だったからである。したがって、最初は、シニカルな黙殺が多く、反論するとしてもごく部分的な懐疑論にすぎなかった。

　それはともかく、この江上説とは、どのようなものであろうか。その著書『騎馬民族国家――日本古代史へのアプローチ』の要旨を紹介すれば、五胡十六国時代の大陸の混乱期に、東北アジアの騎馬民族が、まず南鮮を支配し、やがてそれが弁韓（任那）を基地として、北九州に侵入し、さらには畿内に進出して、大和朝廷を樹立し、日本における最初の統一国家を実現した――というものである。

　騎馬民族の侵入というと、われわれはすぐ疾風怒濤的なチンギス・ハンの侵略征服を思い浮かべてしまうが、江上説によると、事は時間をかけ、段階をへて進む。東北アジアから流移してきた騎馬民族が、三韓の一つ辰韓の王となり、ひろく南鮮を支配するようになる。一方、倭国とは、じつは、日本島と南朝鮮の一部にわたる倭韓連合国であり、倭人の本拠は、日本島とくに北九州であった。三世紀後半から、南鮮にこの外来系の辰王を排除する統合の機運が動き、辰王の勢力は衰退する。辰王系の弁韓＝任那支配者も、なんとか衰退する局面を打開する必要に迫られ、倭人の協力のもとに、倭国の本拠の日本島への侵寇を企て、倭国征服を実現させた――というものである。つまり、天津神とは、この騎馬民族系外来民族のことである。

　天津神による国津神（原住民族）の征服は、二段階におこなわれた。第一段階は、朝鮮の任那（伽羅）方面から北九州（筑紫）への侵入。これは、四世紀前半に、崇神天皇を代表とした天孫族と、おそらく大伴、中臣らの天神系諸氏の連合でおこなわれたと思われる。第二段階は、北九州から畿内への進出。これは、四世紀末から五世紀はじめの間に、応神天皇を中心として、やはり大伴、それに久米らの天神系諸氏連合により、成功した。畿内の古墳副葬品の転換も、ここからおこった。

　とすると、崇神天皇以前の天皇は、日本島にはいなかったことになる。崇神天皇は、『日本書紀』でも「御肇国天皇（ハックニシラススメラミコト）」と、書かれている。初代天皇の神武天皇も、ハックニシラススメラミコトであるが、漢字は初代を意味する「始馭天下天皇」である。したがって、崇神天皇が日本肇国の天皇で、江上説によると、神武から開化までの諸天皇は、騎馬民族が日本に渡来する前の大陸での天皇ということになる。

　以上が、広い視野と諸学問から有機的に解説した騎馬民族説の、重要と思われる古代日本統一国家形成の要点である。もちろん一つの仮説であるが、もともと学問とは調査研究の結果仮説をたて、それが十分に立証、裏づけがなされたとき、定説となるものである。江上説は、将来さらに東アジア研究（とくに朝鮮の研究）が進み、裏づけ証拠がそろえば、ますます定説に近よっていく仮説であろうと思われるので、とくにここでこの説をとりあげたわけである。

日本民族の特性

　以上が、日本民族の形成、民族文化の核である日本語の形成、日本人の食生活に不可欠となった米の渡来、そしてさらに日本国家の成立についての、おおまかな概論である。

　おそらく読者の中には、日本民族の形成、日本語の形成、稲作農業の渡来と普及が、いずれも弥生時代であるにもかかわらず、日本古代国家の成立が次の時代の古墳時代であることに、なにかひっかかる人もいるであろう。いいかえれば、弥生時代に形成された日本民族や日本文化が、次の古墳時代の外来騎馬民族による国家形成にもかかわらず、どうして崩壊せずに存続し得たのか、という疑問がおこるであろう。

　これは、世界史的にみると、狩猟民や牧畜民である戦闘的民族が農耕地帯に侵入すると、征服したつもりでいて文化的には逆に征服されており、経済的にむしろ農耕民に依存するのが通例で、日本の場合も、例外でなかったからである。それとともに、ひとたび民族が形成され、その主体が確立すると、なかなか根本的に変わりにくいものであることも、指摘することができる。

　しかし、影響はうけた。もともと、農耕民族には、自給自足的生活圏をつくり、つねに目を内に向け、他民族を蛮夷視、蔑視する傾向が顕著だ。日本民族にもこうした一面があるが、また、農耕民族の中にあって日本民族は特別に外来文化に好奇心が強く、先進諸文化を吸収するところもある。これこそ、渡来騎馬民族系の朝廷ができ、帰化人という新集団移民がつづいてやってきて大陸文化を導入したという最初の貴重な経験が、その後の日本に大きな影響を与えているためであろう。

　このようにして、日本の民族性や国民性の基礎も、つくられたのであった。

〈深作光貞・京都精華大学〉

□江原昭善著『人類―ホモ・サピエンスへの道』（日本放送出版協会）▽今西錦司他著『文化と人類』（朝日新聞社）▽F・C・ハウエル著、寺田和夫訳『原始人』（時事通信社「ライフ・ネイチュア・ライブラリー」）▽埴原和郎著『人類進化学入門』（中公新書）▽千葉康則著『脳―行動のメカニズム』（日本放送出版協会）・同著『動物行動から人間行動へ』（培風館）▽A・B・コーガン著、川村浩他訳『脳生理学の基礎』上・下（岩波書店）▽ヴィゴツキー著、柴田義松他訳『思考と言語』上・下（明治図書）▽ブルーナー著、岸本弘他訳『思考の研究』（明治図書）▽H・ヴァロア著、寺田和夫訳『人種』（白水社）▽寺田和夫著『人種とは何か』（岩波書店）▽我妻洋・米山俊直著『偏見の構造―日本人の人種観』（日本放送出版協会）▽C・クラックホーン著、光延明洋訳『人間のための鏡』（サイマル出版会）▽C・S・クーン著、香原志勢他訳『人種』（みすず書房）▽リントン著、清水幾太郎他訳『文化人類学入門』（東京創元社）▽今西錦司著『人類の誕生』（河出書房新社）▽J・S・ハクスリー著、長野敬他訳『進化とはなにか』（講談社）▽河合雅雄著『ニホンザルの生態』（河出書房新社）▽ローレンツ著、日高敏隆訳『ソロモンの指環』（早川書房）▽藤岡喜愛著『イメージと人間―精神人類学の視野』（日本放送出版協会）▽中根千枝著『タテ社会の人間関係』（講談社）▽石田英一郎編『シンポジウム日本国家の起源』（角川新書）▽石田英一郎他編『シンポジウム日本農耕文化の起源』（角川新書）▽江上波夫著『騎馬民族国家』（中公新書）▽大野晋著『日本語の起源』（岩波新書）▽村山七郎著『日本語の起源』（弘文堂）

☎京都大学霊長類研究所（愛知県犬山市官林）▽東京大学理学部人類学教室（東京都文京区本郷）

世界総合年表

『万有百科大事典』では、各巻とも、ややもすると断片的知識の羅列に陥りがちな五十音順百科の限界に挑戦し、通史的・総合的な項目構造・解説を実現するよう留意してまいりました。そして、その一環として、各ジャンルごとに必要に応じて、各種の年表類を積極的に収載しております。

しかしながら、各ジャンルを越え、全領域にまたがるようなテーマについては、割愛せざるを得ないようなケースもありました。

本年表は、そうした点を補うものとして設定されたものです。その意味からも、単なる「歴史年表」にとどまらず、人類とその文化の歩みを、総合的に年表の形で表現すべく編集したものです。

なお、各巻に収載した各種年表類の所在一覧表を、本巻の809ページに併載いたしましたので、ご利用ください。

凡例

編集方針

(1)文化史関係をでき得るかぎり重視する。
(2)世界の中の日本、日本と世界の関係の把握を重視する。
(3)東西交流史を重視する。
(4)近代史・現代史を重視する。
(5)事件の羅列に終わらず、その因果関係の把握を重視する。

内容構成

(1)各時代を通して、原則として文化圏を基準に、世界を五地域に分け、併記してある。ただし、時代の展開に伴い、世界情勢の変化に対応して、適宜、五分類の表題・収録地域は変わることがある。
(2)事項内容が一地域を越えるようなものが、特に近代以降において多くみられるが、できるかぎり重複を避け、中心となるべき地域欄に記載するようにした。ただし、例外的に、二か所以上で取り上げた場合もある。数多くの事実や、複雑な国際関係を、強いて五地域のいずれかに配分するという分類上の困難をご推察いただきたい。
(3)本年表の収録時代範囲は、原則として、農耕文化の発生（紀元前一万年ころ）より、一九七〇年代（一九七五年末）までとした。

解説の方法

(1)各事項の解説の完結には、読点。を用いず、次の事項解説との間は、一字分あけてある。句読点がある場合は、同一事項の解説、あるいは因果関係のある事項の解説である。
(2)年代はすべて西暦を用いてある。ただし、近代以前（日本は一八七二年＝明治五年一二月二日、中国は一八九九年一二月三一日）までは、旧暦の紀年を基準に、その年の大半が属する西暦に機械的に換算してある。
(3)一定年代に限定し得ないような〃時代の流れ〃などを示す場合には、解説の頭に〃▽このころより〃〃▽五世紀初頭ころ〃といったことばを付して解説してある。
(4)一定年代に確定し得ないが、比較的限定し得る場合には、年代の末尾に〃一八五〇ごろ〃と入れてある。
(5)他にも有力な異説があり、年代を確定し得ないような場合には、年代の末尾に〃一四五〇*〃の記号を付してある。
(6)二〇世紀以降は、月または月日までを示すことを原則とする。ただし、それ以前でも、必要に応じて、月または月日まで示してある。
(7)月日まで示す場合には、アラビア数字（月は太字、日は細字）を用いてある。〇囲み数字は閏月を示す。
(8)その他の記号・略記号。

『　』作品名、書名、雑誌名、新聞名。
「　」引用文または語句、章名、編名。
〔　〕事件名。
（　）生没年、在位年、事件などの始期または終期など継続期間。補助説明。
(英) 国名、地域名などの略記号。

(英)……イギリス　(仏)……フランス
(独)……ドイツ　(西)……スペイン
(墺)……オーストリア　(蘭)……オランダ
(伊)……イタリア　(露)……ロシア
(ソ)……ソ連　(ギ)……ギリシア
(ロ)……ローマ　(印)……インド
(朝)……朝鮮　(ア)……アフリカ
(東ア)……東南アジア　(北ア)……北アジア
(中ア)……中央アジア　(カ)……カナダ

日本年号一覧

年号	年	西暦
大宝	一〜四	（七〇一〜七〇四）
慶雲	一〜五	（七〇四〜七〇八）
和銅	一〜八	（七〇八〜七一五）
霊亀	一〜三	（七一五〜七一七）
養老	一〜八	（七一七〜七二四）
神亀	一〜六	（七二四〜七二九）
天平	一〜二一	（七二九〜七四九）
天平感宝	一〜	（七四九〜　）
天平勝宝	一〜九	（七四九〜七五七）
天平宝字	一〜九	（七五七〜七六五）
天平神護	一〜三	（七六五〜七六七）
神護景雲	一〜四	（七六七〜七七〇）
宝亀	一〜一一	（七七〇〜七八〇）
天応	一〜二	（七八一〜七八二）
延暦	一〜二五	（七八二〜八〇六）
大同	一〜五	（八〇六〜八一〇）
弘仁	一〜一五	（八一〇〜八二四）
天長	一〜一一	（八二四〜八三四）
承和	一〜一五	（八三四〜八四八）
嘉祥	一〜四	（八四八〜八五一）
仁寿	一〜四	（八五一〜八五四）
斉衡	一〜四	（八五四〜八五七）
天安	一〜三	（八五七〜八五九）
貞観	一〜一九	（八五九〜八七七）
元慶	一〜九	（八七七〜八八五）
仁和	一〜五	（八八五〜八八九）
寛平	一〜一〇	（八八九〜八九八）
昌泰	一〜四	（八九八〜九〇一）
延喜	一〜二三	（九〇一〜九二三）
延長	一〜九	（九二三〜九三一）
承平	一〜八	（九三一〜九三八）
天慶	一〜一〇	（九三八〜九四七）
天暦	一〜一一	（九四七〜九五七）
天徳	一〜五	（九五七〜九六一）
応和	一〜四	（九六一〜九六四）
康保	一〜五	（九六四〜九六八）
安和	一〜三	（九六八〜九七〇）
天禄	一〜四	（九七〇〜九七三）
天延	一〜四	（九七三〜九七六）
貞元	一〜三	（九七六〜九七八）
天元	一〜六	（九七八〜九八三）
永観	一〜三	（九八三〜九八五）
寛和	一〜三	（九八五〜九八七）
永延	一〜三	（九八七〜九八九）
永祚	一〜二	（九八九〜九九〇）
正暦	一〜六	（九九〇〜九九五）
長徳	一〜五	（九九五〜九九九）
長保	一〜六	（九九九〜一〇〇四）
寛弘	一〜九	（一〇〇四〜一〇一二）
長和	一〜六	（一〇一二〜一〇一七）
寛仁	一〜五	（一〇一七〜一〇二一）
治安	一〜四	（一〇二一〜一〇二四）
万寿	一〜五	（一〇二四〜一〇二八）
長元	一〜一〇	（一〇二八〜一〇三七）
長暦	一〜四	（一〇三七〜一〇四〇）
長久	一〜五	（一〇四〇〜一〇四四）
寛徳	一〜三	（一〇四四〜一〇四六）
永承	一〜八	（一〇四六〜一〇五三）
天喜	一〜六	（一〇五三〜一〇五八）
康平	一〜八	（一〇五八〜一〇六五）
治暦	一〜五	（一〇六五〜一〇六九）
延久	一〜六	（一〇六九〜一〇七四）
承保	一〜四	（一〇七四〜一〇七七）
承暦	一〜五	（一〇七七〜一〇八一）
永保	一〜四	（一〇八一〜一〇八四）
応徳	一〜四	（一〇八四〜一〇八七）
寛治	一〜八	（一〇八七〜一〇九四）
嘉保	一〜三	（一〇九四〜一〇九六）
永長	一〜二	（一〇九六〜一〇九七）
承徳	一〜三	（一〇九七〜一〇九九）
康和	一〜六	（一〇九九〜一一〇四）
長治	一〜三	（一一〇四〜一一〇六）
嘉承	一〜三	（一一〇六〜一一〇八）
天仁	一〜三	（一一〇八〜一一一〇）
天永	一〜四	（一一一〇〜一一一三）
永久	一〜六	（一一一三〜一一一八）
元永	一〜三	（一一一八〜一一二〇）
保安	一〜五	（一一二〇〜一一二四）
天治	一〜三	（一一二四〜一一二六）
大治	一〜六	（一一二六〜一一三一）
天承	一〜二	（一一三一〜一一三二）
長承	一〜四	（一一三二〜一一三五）
保延	一〜七	（一一三五〜一一四一）
永治	一〜二	（一一四一〜一一四二）
康治	一〜三	（一一四二〜一一四四）
天養	一〜二	（一一四四〜一一四五）
久安	一〜七	（一一四五〜一一五一）
仁平	一〜四	（一一五一〜一一五四）
久寿	一〜三	（一一五四〜一一五六）
保元	一〜四	（一一五六〜一一五九）
平治	一〜二	（一一五九〜一一六〇）
永暦	一〜二	（一一六〇〜一一六一）
応保	一〜三	（一一六一〜一一六三）
長寛	一〜三	（一一六三〜一一六五）
永万	一〜二	（一一六五〜一一六六）
仁安	一〜四	（一一六六〜一一六九）
嘉応	一〜三	（一一六九〜一一七一）
承安	一〜五	（一一七一〜一一七五）
安元	一〜三	（一一七五〜一一七七）
治承	一〜五	（一一七七〜一一八一）
養和	一〜二	（一一八一〜一一八二）
寿永	一〜三	（一一八二〜一一八四）
元暦	一〜二	（一一八四〜一一八五）
文治	一〜六	（一一八五〜一一九〇）
建久	一〜一〇	（一一九〇〜一一九九）
正治	一〜三	（一一九九〜一二〇一）
建仁	一〜四	（一二〇一〜一二〇四）
元久	一〜三	（一二〇四〜一二〇六）
建永	一〜二	（一二〇六〜一二〇七）
承元	一〜五	（一二〇七〜一二一一）
建暦	一〜三	（一二一一〜一二一三）
建保	一〜七	（一二一三〜一二一九）
承久	一〜四	（一二一九〜一二二二）
貞応	一〜三	（一二二二〜一二二四）
元仁	一〜二	（一二二四〜一二二五）
嘉禄	一〜三	（一二二五〜一二二七）
安貞	一〜三	（一二二七〜一二二九）
寛喜	一〜四	（一二二九〜一二三二）
貞永	一〜二	（一二三二〜一二三三）
天福	一〜二	（一二三三〜一二三四）
文暦	一〜二	（一二三四〜一二三五）
嘉禎	一〜四	（一二三五〜一二三八）
暦仁	一〜二	（一二三八〜一二三九）
延応	一〜二	（一二三九〜一二四〇）
仁治	一〜四	（一二四〇〜一二四三）
寛元	一〜五	（一二四三〜一二四七）
宝治	一〜三	（一二四七〜一二四九）
建長	一〜八	（一二四九〜一二五六）
康元	一〜二	（一二五六〜一二五七）
正嘉	一〜三	（一二五七〜一二五九）
正元	一〜二	（一二五九〜一二六〇）
文応	一〜二	（一二六〇〜一二六一）
弘長	一〜四	（一二六一〜一二六四）
文永	一〜一二	（一二六四〜一二七五）
建治	一〜四	（一二七五〜一二七八）
弘安	一〜一一	（一二七八〜一二八八）
正応	一〜六	（一二八八〜一二九三）
永仁	一〜七	（一二九三〜一二九九）
正安	一〜四	（一二九九〜一三〇二）
乾元	一〜二	（一三〇二〜一三〇三）
嘉元	一〜四	（一三〇三〜一三〇六）
徳治	一〜三	（一三〇六〜一三〇八）
延慶	一〜四	（一三〇八〜一三一一）
応長	一〜二	（一三一一〜一三一二）
正和	一〜六	（一三一二〜一三一七）
文保	一〜三	（一三一七〜一三一九）
元応	一〜三	（一三一九〜一三二一）
元亨	一〜四	（一三二一〜一三二四）
正中	一〜三	（一三二四〜一三二六）
嘉暦	一〜四	（一三二六〜一三二九）
元徳	一〜三	（一三二九〜一三三一）
元弘	一〜四	（一三三一〜一三三四）
建武	一〜三	（一三三四〜一三三六）
延元	一〜五	（一三三六〜一三四〇）
興国	一〜七	（一三四〇〜一三四六）
正平	一〜二五	（一三四六〜一三七〇）
建徳	一〜三	（一三七〇〜一三七二）
文中	一〜四	（一三七二〜一三七五）
天授	一〜七	（一三七五〜一三八一）
弘和	一〜四	（一三八一〜一三八四）
元中	一〜九	（一三八四〜一三九二）
*元徳	三〜四	（一三三一〜一三三二）
*正慶	一〜三	（一三三二〜一三三四）
建武	三〜五	（一三三六〜一三三八）
暦応	一〜五	（一三三八〜一三四二）
康永	一〜四	（一三四二〜一三四五）
貞和	一〜六	（一三四五〜一三五〇）
観応	一〜三	（一三五〇〜一三五二）
文和	一〜五	（一三五二〜一三五六）
延文	一〜六	（一三五六〜一三六一）
康安	一〜二	（一三六一〜一三六二）
貞治	一〜七	（一三六二〜一三六八）
応安	一〜八	（一三六八〜一三七五）
永和	一〜五	（一三七五〜一三七九）
康暦	一〜三	（一三七九〜一三八一）
永徳	一〜四	（一三八一〜一三八四）
至徳	一〜四	（一三八四〜一三八七）
嘉慶	一〜三	（一三八七〜一三八九）
康応	一〜二	（一三八九〜一三九〇）
明徳	一〜三	（一三九〇〜一三九二）
明徳	四〜五	（一三九三〜一三九四）
応永	一〜三五	（一三九四〜一四二八）
正長	一〜二	（一四二八〜一四二九）
永享	一〜一三	（一四二九〜一四四一）
嘉吉	一〜四	（一四四一〜一四四四）
文安	一〜六	（一四四四〜一四四九）
宝徳	一〜四	（一四四九〜一四五二）
享徳	一〜四	（一四五二〜一四五五）
康正	一〜三	（一四五五〜一四五七）
長禄	一〜四	（一四五七〜一四六〇）
寛正	一〜七	（一四六〇〜一四六六）
文正	一〜二	（一四六六〜一四六七）
応仁	一〜三	（一四六七〜一四六九）
文明	一〜一九	（一四六九〜一四八七）
長享	一〜三	（一四八七〜一四八九）
延徳	一〜四	（一四八九〜一四九二）
明応	一〜一〇	（一四九二〜一五〇一）
文亀	一〜四	（一五〇一〜一五〇四）
永正	一〜一八	（一五〇四〜一五二一）
大永	一〜八	（一五二一〜一五二八）
享禄	一〜五	（一五二八〜一五三二）
天文	一〜二四	（一五三二〜一五五五）
弘治	一〜四	（一五五五〜一五五八）
永禄	一〜一三	（一五五八〜一五七〇）
元亀	一〜四	（一五七〇〜一五七三）
天正	一〜二〇	（一五七三〜一五九二）
文禄	一〜五	（一五九二〜一五九六）
慶長	一〜二〇	（一五九六〜一六一五）
元和	一〜一〇	（一六一五〜一六二四）
寛永	一〜二一	（一六二四〜一六四四）
正保	一〜五	（一六四四〜一六四八）
慶安	一〜五	（一六四八〜一六五二）
承応	一〜四	（一六五二〜一六五五）
明暦	一〜四	（一六五五〜一六五八）
万治	一〜四	（一六五八〜一六六一）
寛文	一〜一三	（一六六一〜一六七三）
延宝	一〜九	（一六七三〜一六八一）
天和	一〜四	（一六八一〜一六八四）
貞享	一〜五	（一六八四〜一六八八）
元禄	一〜一七	（一六八八〜一七〇四）
宝永	一〜八	（一七〇四〜一七一一）
正徳	一〜六	（一七一一〜一七一六）
享保	一〜二一	（一七一六〜一七三六）
元文	一〜六	（一七三六〜一七四一）
寛保	一〜四	（一七四一〜一七四四）
延享	一〜五	（一七四四〜一七四八）
寛延	一〜四	（一七四八〜一七五一）
宝暦	一〜一四	（一七五一〜一七六四）
明和	一〜九	（一七六四〜一七七二）
安永	一〜一〇	（一七七二〜一七八一）
天明	一〜九	（一七八一〜一七八九）
寛政	一〜一三	（一七八九〜一八〇一）
享和	一〜四	（一八〇一〜一八〇四）
文化	一〜一五	（一八〇四〜一八一八）
文政	一〜一三	（一八一八〜一八三〇）
天保	一〜一五	（一八三〇〜一八四四）
弘化	一〜五	（一八四四〜一八四八）
嘉永	一〜七	（一八四八〜一八五四）
安政	一〜七	（一八五四〜一八六〇）
万延	一〜二	（一八六〇〜一八六一）
文久	一〜四	（一八六一〜一八六四）
元治	一〜二	（一八六四〜一八六五）
慶応	一〜四	（一八六五〜一八六八）
明治	一〜四五	（一八六八〜一九一二）
大正	一〜一五	（一九一二〜一九二六）
昭和	一〜	（一九二六〜　）

〔注1〕上記以外に、大化（645〜650）、白雉（650〜654）、朱鳥（686〜　）などの年号が用いられたが、継続したものではなかった　〔注2〕……線内は北朝年号、＊印は持明院統の年号を示す

前9世紀以前

ヨーロッパ

二六〇〇ごろ クレタ島、初期ミノア時代に入る（～前二〇〇〇ごろ）ギ
二〇〇〇ごろ ギリシア人（アカイア人）、ギリシア本土（ヘラス）に南下
▽このころクレタ島、中期ミノア時代に入る（～前一六〇〇ごろ）ギ
一六〇〇ごろ クレタ島、後期ミノア時代に入る（～前一四〇〇ごろ）ギ
一四〇〇ごろ ミケーネ文化栄えるギ
一三〇〇ごろ ギリシア人、エーゲ海・小アジア西岸に植民活動
一一〇〇ごろ ギリシア人の一派ドーリア人、ギリシア本土に侵入
一〇〇〇ごろ イタリア半島に印欧語族のイタリア人が侵入・定住
▽このころエトルリア人もイタリア半島に来住か
八五〇ごろ『イリアス』『オデュッセイア』の作者ホメロス在世と伝えられるギ
八一四ごろ カルタゴ建設される

オリエント

六〇〇〇ごろ 北イラクで最初の村落文化（ジャルモ文化）
五〇〇〇ごろ ナイル流域で最初の村落文化（ファイユームA、ターサ文化）
三二〇〇ごろ シュメール都市文明誕生　最古の絵文字出現
三一〇〇ごろ メネスによるエジプト統一、第一王朝始まる　ヒエログリフ出現
二八〇〇ごろ シュメール初期王朝時代に入る　ウルなど繁栄
二七〇〇ごろ エジプトで太陽暦を使用
二五五〇ごろ エジプト第四王朝のクフ、カフラー、メンカウラの諸王、ギザにピラミッド建設
二四〇〇ごろ ラガシュのウルカギナの社会改革
二三五〇 サルゴン、アッカド王朝創始
二一八一 エジプト第一中間期に入る
二一一三 ウルナンムがウル第三王朝を創始、ウルのジッグラト再建
二〇五〇 テーベに第一一王朝興り、エジプト中王国時代に入る
一八九四 バビロン第一王朝始まる
一八六〇ごろ エジプト第一二王朝のセヌセルト三世、国土再統一
一七五〇 エジプト第二中間期に入る
一七二八 ハムラビ即位（～前一六八六）。バビロニアを統一、ハムラビ法典発布
一六七四 ヒクソス人デルタに侵入、やがてエジプトを支配。馬と鉄をもたらす
一六三〇ごろ ヒッタイトのハットゥシリシュ一世、ハットゥシャシュに建都
一五六七 アアフメス、ヒクソスを追放し第一八王朝を興す
一五三〇ごろ バビロン第一王朝滅亡
一四七〇 トゥトメス三世アジア遠征
一三七四 イクナートン宗教改革、アマルナ時代
一三六一 ツタンカーメン即位（～前一三五二）
一二八六 ラムセス二世、ヒッタイト軍とシリアのカデシュで戦う
一二三〇ごろ モーゼなど出エジプト
一一八〇ごろ ヒッタイト帝国滅亡
一〇一〇ごろ ダビデがイスラエル王になる　フェニキア都市繁栄
九三一 イスラエル王国、南北に分裂

インド・東南アジア

二三五〇～一七〇〇 インダス文明発生、発展。インダス川流域のハラッパ、モヘンジョ・ダロを代表とする都市文明が栄える。前二千年紀中ごろ急速に滅亡。アーリヤ人の破壊あるいは乾燥化などの自然条件の変化が原因とされる。この文明はインド西岸を下って、グジャラート地方にまで及んでいる
一五〇〇ごろ アーリヤ人、パンジャーブ地方に進出、牧畜、農業を主とした生活を営む『リグ・ベーダ』その他のベーダ成立
一〇〇〇ごろ アーリヤ人、ガンジス川上流ヒマラヤ山脈麓の地に進出し、開拓を始める　鉄器の使用始まる　灰色彩文土器の使用　ブラーフマナ文献、ウパニシャッド文献成立

中国とその周辺

一万年ごろ 山頂洞人の存在
四〇〇〇ごろ 彩陶文化（仰韶文化）興る
三〇〇〇ごろ 朝鮮半島の櫛目文土器文化興る朝
二三〇〇ごろ 彩陶文化より黒陶文化（竜山文化）へ移行
一五〇〇ごろ 殷王朝が成立
一三〇〇ごろ 殷の盤庚が都を現在の河南省小屯村に遷す（殷墟）
一一三三ごろ 武王が紂王を討って殷を滅ぼし、周王朝を創始（～前二五六）
一〇〇〇ごろ 朝鮮半島の無文土器文化始まる朝
八四一 周の厲王が国人に追放され、共和時代始まる
八二七 宣王が即位して周が復興

日本

一万年ごろ 土器使用開始
七〇〇〇ごろ 縄文文様のある土器作られ始める　人人は数戸単位の竪穴住居を営む
三〇〇〇ごろ 集落を形成し始める　土器は大形化し、文様も発展してくる
二〇〇〇ごろ 貝塚を中心に大集落が作られ、土偶など呪術的習俗広がる　東・西日本の地域差がはっきりしてくる
一〇〇〇ごろ 集落が高台から低台地へ移る

縄文文化時代

前 8 〜 前 5 世紀

ヨーロッパ

八〇〇ごろ ギリシア人の地中海進出始まる（南イタリアほか）
七七六 第一回オリンピア競技開催[ギ]
七五三 ローマの建国（伝承による）[ロ]
七三〇ごろ スパルタのメッセニア征服[ギ]
六二一ごろ 最古の成文法ドラコンの法律制定[ギ]
▽このころギリシアの植民運動盛ん
六〇〇ごろ タレス、こはくの摩擦電気、磁気現象などを発見（ギリシア科学の始）
五九四 アテネでソロンの改革[ギ]
五六〇 ペイシストラトス、アテネの僭主となる[ギ]
五三〇ごろ ピタゴラス、南イタリアで活躍[ギ]
五〇九ごろ ローマ王政倒れ、共和政となる（伝承による）
五〇八 アテネでクレイステネスの民主改革[ギ]
五〇〇 イオニア植民市のポリスがペルシアに反抗〔イオニアの反乱〕、ペルシア戦争始まる（〜前四七九）
四九四 平民（プレブス）、聖山に退去、護民官制成立〔聖山事件〕[ロ]
四九〇 マラトンの戦いでギリシア軍がペルシア軍を破る〔ペルシア戦争〕
四八〇 テルモピレーの戦いでスパルタ王レオニダス戦死。サラミスの海戦でアテネのテミストクレスの艦隊がクセルクセスの率いるペルシア軍を破る〔ペルシア戦争〕
四七九 プラタイアイの戦いでギリシア軍がペルシア軍を破る〔ペルシア戦争〕
四七七ごろ デロス同盟結成[ギ]
四五一ごろ 十二表法成る[ロ]
四四三 ペリクレスの執政（〜四二九）、アテネの全盛期
四三一 ペロポネソス戦争始まる（〜前四〇四）[ギ]
四二〇ごろ デモクリトス、原子論を体系づける[ギ]
四一五 アテネ軍シチリアに遠征、敗北（〜前四一三）
四〇四 アテネ、スパルタに降伏し、ペロポネソス戦争終結[ギ]

オリエント

七五一 エジプトにエチオピア人による第二五王朝興る
七三五ごろ エクバタナにメディア成立
七二二 イスラエル王国滅亡
七二一 アッシリアのサルゴン二世即位（〜前七〇五）
七〇〇ごろ アケメネス家ペルシアに興る
六七一 アッシリア軍エジプトへ侵入
六六四 エジプト、プサメティコス一世、サイスに第二六王朝を興す。アッシリア軍追放
六二五 ナボポラサル、バビロンに新バビロニア（帝国）を興す
六一二 メディア・新バビロニア連合軍ニネベを破壊
六〇九 アッシリア帝国滅亡
六〇五 カルケミシュの戦いで、新バビロニア軍エジプト軍を破る
六〇四 新バビロニアのネブカドネザル二世即位（〜前五六二）、バビロンの繁栄。イシュタル門、空中庭園、ジッグラトの建設
五九七 ネブカドネザル二世イェルサレム攻撃〔第一次バビロン捕囚〕
五八七 ユダ王国滅亡〔第二次バビロン捕囚〕
五五九 ペルシア王キロス二世即位（〜前五二九）
五三八 キロス二世ナボニドスを討ち新バビロニア滅亡。ペルシア帝国成立
五二五 ペルシアのカンビセス二世、エジプトを征服。エジプト第二七王朝始まる
五二二 ペルシアのダリウス一世即位（〜前四八六）。首都ペルセポリスの建設に着手
四四八 アテネのペリクレス、ペルシアと和す〔カリアスの和約〕
四〇一 ペルシアのアルタクセルクセス二世の弟、小キロスの反乱。クナクサの戦いで敗れ、ギリシア人の「一万人の退却」行われる

インド・東南アジア

六〇〇ごろ ガンジス・ジャムナー両川流域に多数の部族国家が分立。マガダ、コーサラ両国が特に強盛となる。コーサラ国王はプラセーナジッド
五四五ごろ マガダ国のビンビサーラ王即位（〜前四九四／前四九一）、ラージャグリハに都す
▽このころ仏教の祖ゴータマ・シッダッタ、ジャイナ教の祖マハービーラらが出て、新しい宗教活動活発化。ビンビサーラ王も仏教に帰依したと伝えられる
四九四＊ マガダ国のアジャータシャトル王即位（〜前四六二／前四五九）し、コーサラ国その他を滅ぼし、ガンジス川流域地方を統一

中国とその周辺

七七一 犬戎が幽王を殺し西周が滅亡
七七〇 平王が洛邑に周を復興（東周）、春秋時代始まる
七二二 この年より『春秋』の記述始まる（〜前四八一）
六七九 晋の分家曲沃の武公が周王に晋侯として認められる
六五一 葵丘の会で斉の桓公の覇業が完成
六三八 泓の戦いで楚が宋の襄公を破る
六三二 城濮の戦いで楚を破り晋の文公が覇者となる
六二七 殽の戦いで晋が秦を破る
六二三 秦が西方で覇をとなえる
五九七 邲の戦いで晋を破り楚の荘王が覇者となる
五九〇 魯で丘甲の制が定められる
五七五 鄢陵の戦いで晋が楚を破る
五五六 斉で晏嬰が大夫となる
五三六 鄭で子産が中国最初の成文法を作る
四九六 越王勾践が呉王闔閭を破り、呉越の争いが始まる
四九四 夫椒で呉王夫差が勾践を破る
四八二 黄池の会で夫差が覇者となる
四七九 孔子没（＊前五五一—）
四七三 勾践が夫差を破り呉が滅亡
四五三 晋陽の戦いで知伯を滅ぼし、韓・魏・趙が晋を三分、戦国時代が実質的に始まる
四〇三 韓・魏・趙が諸侯となり戦国時代始まる
▽このころ鉄製農具の使用が始まる

日本

八〇〇ごろ 葬法が屈葬から伸展葬へと変わる
七〇〇ごろ 西九州の遺跡から稲籾発見される
五〇〇ごろ 土器文様は単純化し、高さも低くなり安定してくる

縄文文化時代

前4世紀

ヨーロッパ

四〇〇ころ ヒポクラテス、ギリシア医学を大成
三九九 ソクラテス没(前四六九—)[ギ]
三九六 ローマ、南エトルリアのウェイイ占領
三九五 コリント・アテネ・テーベなどがペルシアの援助をうけ、同盟してスパルタと戦う〔コリント戦争(～前三八六)〕
三九〇ころ ガリア人のローマ侵略
三八六 コリント戦争終結し、小アジア、ペルシアの支配下に〔アンタルキダス条約〕[ギ]
三七一 レウクトラの戦いで、スパルタ破れ、テーベがギリシアの覇権を握る
三六七 リキニウス・セクスティウス法制定され、貴族・平民の身分闘争一段落[ロ]
三六二 マンティネイアの戦いでエパミノンダス戦死、テーベ覇権を失う[ギ]
三四七 プラトン没(前四二九ころ—)[ギ]
三四三 サムニウム戦争(～前三四一、第二回前三二八～前三〇四、第三回前二九八～前二九〇)[ロ]
三四〇 ローマ、ラティウムを制圧
三三八 カイロネイアの戦いで、ギリシア、マケドニアに敗れる
三三四 アレクサンドロスの東征開始[ギ]
三二三 アレクサンドロス没(前三五六—)
三二二 アリストテレス没(前三八四—)[ギ]
三一二 ローマでアッピア街道建設開始

西アジア・エジプト

三五九 アルタクセルクセス三世即位(～前三三八)。国威一時回復
三四四 アルタクセルクセス三世、翌年にかけてエジプト征服
三四三 エジプト第三〇王朝終る
三三三 アレクサンドロス大王、イッソスの戦いでペルシアのダリウス三世を敗走せしめる
三三二 アレクサンドロス大王、エジプトを征服
三三一 ガウガメラの戦いでアレクサンドロス大王に敗れ、ペルシア帝国滅亡 アレクサンドリア市の建設始まる
三一二 セレウコス朝成立(～前六四)
三〇四 エジプトでプトレマイオス一世即位(～前二八三/二)。プトレマイオス王朝成立(～前三〇)
アレクサンドリア市の繁栄
三〇一 イプソスの戦いでセレウコス一世がアンティゴノスを破る

南アジア

三二七 マケドニアのアレクサンドロス大王、インダス川流域地方に侵入(～前三二五)
▽このころガンジス川流域のマガダ国ではナンダ王家のダナ・ナンダ支配
三一七ころ チャンドラグプタ、マガダ国のナンダ王家を倒しマウリヤ朝を創始。パンジャーブ地方からマケドニアの残存勢力も駆逐
▽このころマウリヤ朝宰相カウティリヤの『アルタシャーストラ』成立
▽このころセレウコス朝の使者メガステネースの『インド誌』成る

中国

三八六 斉で田氏が国を奪う
三七八＊墨子没(前四六八?—)
三五九 秦で商鞅の第一次改革始まる
三五〇 秦が咸陽に遷都。商鞅の第二次改革が始まる
三四一 馬陵の戦いで斉が魏に大勝
三三八 商鞅処刑される
三三三 蘇秦の合従策が成功するという
三二八 張儀が秦の相となる
三〇七＊趙が胡服騎射戦術を採用
三〇五＊孟子没(前三九〇?—)
▽このころ荘子没

日本

四〇〇ころ しだいに集落が低地に移動、儀礼的要素出現

前3世紀

ヨーロッパ

三〇〇ころ ユークリッド幾何学の完成[ギ]
二八七 ホルテンシウス法制定、身分闘争終る[ロ]
二八〇 アカイア同盟結成[ギ] エペイロス王ピロス、南イタリアに侵入
二七二 ローマ、タレントゥムを占領し、イタリア半島を統一
二七一 エピクロス派の祖エピクロス没(前三四一—)[ギ]
二六四 ローマ・カルタゴ間に第一ポエニ戦争始まる(～前二四一)
二六三 ストア派の祖ゼノン没(前三三五—)
二五〇ころ アルキメデス、てこの原理、浮力の原理を発見[ギ]
二四一 第一ポエニ戦争終り、シチリア、ローマの属州となる
二一八 第二ポエニ戦争始まる(～前二〇一)
二一六 カンネーの決戦でローマ軍敗北
二一五 第一マケドニア戦争始まる(～前二〇五)
二〇二 ザマの戦いでスキピオ、ハンニバルを破る(翌年第二ポエニ戦争終結)

西アジア・エジプト

二八〇ころ マネトー『エジプト誌』を著す
二七四 プトレマイオス二世シリアと争い、フェニキア、小アジア沿岸を獲得〔第一次シリア戦争(～前二七二)〕
二六〇 第二次シリア戦争(～前二五三)
二五六 バクトリア王国(大夏)独立
二五〇ころ ベロッソス『バビロニア誌』成る
二四九ころ イランでアルサケス一世、パルティア(安息)を興す
二四六 第三次シリア戦争(～前二四一)。プトレマイオス三世、メソポタミアを征服
二二〇 第四次シリア戦争(～前二一七)
二〇二 第五次シリア戦争(～前二〇〇)で、プトレマイオス朝、シリア、パレスチナを失う

南アジア

二六八ころ マウリヤ朝のアショーカ王即位(～前二三二ころ)、マウリヤ朝の最盛期。アショーカ王、摩崖法勅を王国辺境の各地に刻ませる。また石柱法勅を北インド各地に建てる。西北はカンダハール、西はグジャラートのギルナール、東はオリッサ、南はマイソールのブラフマギリに及ぶ。半島南端にはチョーラなどの王国が存在
二一九 秦軍、ベトナムに侵攻[東ア]
▽前三世紀末、南越建国し、中国南部とインドシナ東北部を支配[東ア]

中国

二八八 秦が西帝、斉が東帝と称するがまもなく号を廃す
二八四 燕の楽毅が斉に深く侵入
二七七＊屈原没(前三四三?—)
二六〇 長平の戦いで秦が趙を大破
二五六 秦が周を滅ぼす
二四七 秦王政(後の始皇帝)の即位
二三八＊荀子没(前三一三?—) 「用
二三七 秦で呂不韋の失脚と李斯の登
二三三 韓非子没(前二八〇?—)
二三〇 秦が韓を滅ぼし、以後六国の国々を次々に滅ぼす
二二一 秦が斉を滅ぼして中国統一を完成、最初の帝国を建てる
二一四 秦、南越を攻撃 ＊万里の長城を完成
二一三 焚書事件(前二一二坑儒)
二一〇 始皇帝没(前二五八—)
二〇九 陳勝・呉広の乱起る。劉邦・項羽らの挙兵 匈奴の冒頓が単于と称する
二〇七 子嬰が劉邦に降り、秦滅ぶ
二〇二 垓下の戦いに項羽敗北。劉邦が漢王朝創立(～後八)

日本

三〇〇ころ 弥生式土器作られ、水稲栽培などによる農耕社会成立 金属器使用も始まる
▽このころ弥生文化、北九州より近畿地方にまで急速に広まる 鉄製工具、石包丁、紡錘車、織機などの使用始まる

縄文文化時代 ｜ 弥生文化時代

ヨーロッパ

前2世紀

二〇〇 ローマ・マケドニア間に第二マケドニア戦争開始（〜前一九七）
一九七 キノスケファライの決戦で、マケドニア、ローマに敗れる
一九六 ローマの将軍フラミニヌス、全ギリシアの自由を宣言
一七一 第三マケドニア戦争始まる（〜前一六八）
一六八 ピドナの戦いでローマ、マケドニアを破り、属領とする
一四九 第三ポエニ戦争（〜前一四六）、第四マケドニア戦争（〜前一四八）始まる
一四六 カルタゴ滅亡しアフリカ、ローマの属州となる。ローマ、コリントを破壊
一四〇ごろ ヒッパルコス、ギリシア天文学を大成
一三五 シチリアの奴隷反乱（〜前一三二）
一三三 グラックス兄弟の改革（〜前一二三）[ロ]
一一一 北アフリカでユグルタ戦争始まる（〜前一〇五）
一〇七 マリウスの軍制改革[ロ]
一〇二 マリウス、ゲルマンのテウトニ族を破る
一〇一 マリウス、ゲルマンのキンブリ族を破る

前1世紀

九一 同盟市戦争でイタリアの同盟市がローマに離反（〜前八八）
八八 マリウスとスラの内乱（〜前八二）[ロ]
八二 スラの独裁（〜前七九）[ロ]
七三 スパルタクスの反乱（〜前七一）[ロ]
六〇 第一回三頭政治（カエサル、ポンペイウス、クラッスス）始まる[ロ]
五八 カエサルのガリア征服（〜前五一）[ロ]
四九 カエサル、元老院との内乱に突入[ロ]
四八 ファルサロスの戦いでカエサル、ポンペイウス軍を破る。ポンペイウス（前一〇六—）暗殺[ロ]
四六 ユリウス暦制定[ロ]
四五 カエサル、終身のディクタトルとなる
四四 カエサル（前一〇〇—）暗殺される[ロ]
四三 第二回三頭政治（オクタビアヌス、アントニウス、レピドゥス）始まる[ロ]
四二 フィリッピの戦いでオクタビアヌス、アントニウスがブルトゥスを破る[ロ]
三一 アクティウムの海戦で、オクタビアヌス、クレオパトラとアントニウス連合軍を破る[ロ]
二七 オクタビアヌス、アウグストゥスの尊称を受ける（ローマ帝政の始）
一九 叙事詩人ベルギリウス没（前七〇—）[ロ]

オリエント

前2世紀

一九二 アンティオコス三世、ローマに敗北、小アジアを失う
一七一 パルティアのミトリダテス一世即位（〜前一三七）
一六五 ユダヤ人、セレウコス朝アンティオコス四世の政策に反抗〔マカベア戦争（〜前一三五）〕
一四二 ユダヤ人、ハスモン王朝樹立
一三三 ペルガモン王国、ローマに遺贈される
一二九 パルティアの都クテシフォン建設される
一二三 パルティアでミトリダテス二世即位（〜前八八）。王国最盛期を迎える

前1世紀

八八 第一次ミトリダテス戦争（〜前八四）。小アジア、ポントスの王ミトリダテス、ローマに叛く
八三 第二次ミトリダテス戦争（〜前八二）
七四 第三次ミトリダテス戦争（〜前六四）
六四 ローマのポンペイウス、アンティオコス一三世を討つ。セレウコス朝滅亡
五三 パルティア軍、ローマのクラッスス(前一一四—）を敗死させる〔カルラエの戦い〕
三七 ヘロデ、ユダヤ王となる
三六 パルティア軍、ローマのアントニウスを破る
三〇 クレオパトラ(前六九—）自殺、プトレマイオス朝滅亡
四 ヘロデ大王没（前七三?—）
＊イエス・キリスト生まれる

インド・東南アジア

前2世紀

一八五ごろ マウリヤ朝の部将プッシャミトラ、マウリヤ朝を倒してシュンガ朝を創始 マトゥラー、ウッジャインなどの各地に独立の王国成立 サーンチーの仏教遺跡成る
一七五ごろ 西北インドにギリシア系のバクトリア王国進出。メナンドロス王、パンジャーブ、シンドを支配、さらに北インドにも進出
▽前二世紀ごろからアジャンター石窟の開掘始まる
一一一 漢、南越を攻めベトナム直接支配を始める[東ア]

前1世紀

八〇 カーンバ朝、シュンガ朝に代るが、諸国の分立状態深まる
▽このころオリッサ地方にカリンガ王国のカーラベーラ王が出て、南北インドに進出 デカン地方にはサータバーハナ朝（アーンドラ王国）強大となる 西北インドにはシャカ族、パルティア族が侵入し、多数の小国を形成分立する

中国とその周辺

前2世紀

二〇〇 高祖(劉邦)匈奴に平城で敗北
一九五 高祖没（前二四七?—）
▽このころ衛氏朝鮮が成立[朝]
一八八 呂太后の専制始まる
一八〇 呂太后没し、呂氏族誅される
一五四 呉楚七国の乱起り、漢の諸侯支配が強力になる
一四一 武帝即位(〜前八七)。中央集権体制確立に向かう
一三九＊張騫が西域に出発（〜前一二六）
一三六 五経博士設置
一三三 漢と匈奴との和平関係破れる
一二一 霍去病が河西の匈奴を破り、その地に四郡を置く
一一九 塩鉄専売の開始 五銖銭を鋳造 ＊張騫再び西域に赴く
一一七 司馬相如没（前一七九—）
一一五 均輸法の施行
一一〇 平準法の施行
一〇八 衛氏朝鮮を滅ぼし四郡を置く
一〇四 李広利の大宛遠征(前一〇二に再征） 太初暦の採用

前1世紀

九九 李陵、匈奴に降る
九八 酒の専売始まる
九一 巫蠱の獄起り、戻太子ら殺される ＊『史記』成立
八七 武帝没（前一五六—）。霍光が昭帝を補佐
八六＊司馬遷没（前一四五／前一三五—）
＊代田法の施行
八一 塩鉄専売に関し塩鉄会議開催
八〇 霍光が実権を握る
六八 霍光没し、前六六年霍氏族誅
六〇 西域都護府の設置 匈奴に内紛、前五四年には東西に対立。呼韓邪単于が漢に入朝[北ア]
五一 五経整備のため石渠閣会議の開催
四〇 郡国廟が廃止される
三七ごろ 高句麗が勃興[朝]
七 最初の限田法の公布
二＊仏教が伝わるという（中国仏教初伝説の一つ）
一 王莽が大司馬大将軍となり実権を掌握

日本

前2世紀

二〇〇ごろ 農耕技術、中部地方にも伝播
▽このころ貧富の差がはっきりし、いくつかの集落を併せた大集落と、その統率者＝首長が現れる 食生活豊かになり、各種の機能的な容器（壺、甕、高坏など）出現してくる

前1世紀

一〇〇ごろ 中部地方以東に弥生文化波及
▽このころ倭人、百余の小国にわかれ、楽浪郡に定期的に献見
▽このころ北九州中心に甕棺・箱式石棺・支石墓などの墳墓造られる 漢の鏡、国産の銅剣・銅鉾・銅鐸など青銅器多く使用される ガラス器などの宝器を移入、国産品も出現する

弥生文化時代

1 世 紀

九 トイトブルクの戦いでローマ軍、ゲルマン人に大敗
一四 アウグストゥス没（前六三―）、ティベリウス即位（〜三七）、ユリウス・クラウディウス朝始まる[ロ]
四三 ブリタニア、ローマの属州となる
五一 パウロの伝道（〜五七）
五四 クラウディウス帝殺害、ネロ即位（〜六八）[ロ]
六四 ネロのキリスト教徒迫害始まり、このころペテロ、パウロ殉教か[ロ]
六八 ローマで内乱、ネロ自殺
六九 ベスパシアヌスが内乱鎮定、即位、フラビウス朝始まる[ロ]
七八 ローマの軍人アグリコラによりブリタニアのローマ化進む
七九 ベスビアス火山噴火、ポンペイ埋没[ロ]
八〇 ローマでコロセウム完成
八三 ライン・ドナウ長城築造開始
九六 ネルバ即位、五賢帝時代始まる（〜一八〇）[ロ]

一一 パルティアのアルタバヌス三世即位（〜三八）
三〇*イエス・キリスト刑死す
▽このころパルティアでゾロアスター教典結集
六六 ネロ、パルティアと和す　第一次ユダヤ戦争（〜七〇）
七〇 ティトゥスによりイェルサレム破壊される

三〇ごろ クジュラ・カドフィセス、ガンダーラ地方に進出、クシャーン朝の礎をつくる
四〇ごろ ベトナムで徴側・徴弐姉妹、漢に対し反乱。一時独立（〜四三）[東ア]
九〇ごろ クシャーン朝のビーマ・カドフィセス、北インドに進出、マトゥラーを中心とする

八 王莽が漢に代り新を建国
一八 赤眉の乱起る（〜二七）
二二 劉秀（光武帝）の挙兵
二三 王莽（前四五―）が敗死し、新が滅びる
二五 光武帝が帝位につき（〜五七）、後漢が成立（〜二二〇）
三六 光武帝が公孫述を滅ぼして中国を再統一
四八 匈奴が南北に分裂[北ア]
六七 蔡愔らが仏典を持って帰国（中国仏教初伝説の一つ）
七三 班超が西域に派遣される
七四 西域都護府が復活
七九 白虎観会議が開かれ五経の異同を議論
八九 竇憲が北匈奴を破る
九一 班超が西域都護となる　北匈奴が西方に移る[北ア]
九二 竇憲殺され宦官勢力の上昇が始まる　班固没（三二―）
九七 甘英が大秦に向かって出発
一〇〇*『論衡』の著者王充没（二七―）

▽このころ階級社会成立、原始的小国家形成される　東北地方にも稲作伝播する
五七 倭奴国、後漢に朝貢し光武帝より印綬を賜る（「漢委奴国王」の金印）

2 世 紀

一〇六 トラヤヌス帝、ダキアを属州とする
一一四 トラヤヌス帝、アルメニア・メソポタミアを併合、ローマ帝国の版図最大
一一五 トラヤヌス、パルティアの都クテシフォンを陥す
一二〇ごろ 歴史家タキトゥス没（五五ごろ―）[ロ]
一二二 ハドリアヌス、ブリタニアに長城を築造し、ローマの対外政策、守勢に転ず
一二四 パンテオンの工事完了[ロ]
一二九 ハドリアヌス、アテネに行き、市街の美化進む
一六一 マルクス・アウレリウス即位（〜一八〇）
一六五 ローマ帝国全土に疫病の大流行
一六七 上パンノニアでマルコマンニ族が反乱（〜一七三、一七八〜一八〇）[ロ]
一七四 マルクス・アウレリウス『自省録』執筆開始
一八〇 マルクス・アウレリウス没、コンモドゥス即位、五賢帝時代終る[ロ]
一九三 セプティミウス・セベルス即位[ロ]
一九四 セベルス帝の軍、ユーフラテスを越える[ロ]
一九七 テルトゥリアヌスの『護教論』成立[ロ]

一〇五 シリアにパルミラ王国興る
一〇六 アラビアのナバテア、ローマに併合
一一〇 パルミラ、ローマに併合さる
一一七 ローマ、メソポタミアを放棄
一三二 第二次ユダヤ戦争（〜一三五）
一四〇ごろ アレクサンドリアで天文学者プトレマイオス活躍
一六二 パルティア、ローマと争う（〜一六五）
一六五 クテシフォン陥落
一九八 セレウキアとクテシフォン、ローマ軍に占領さる

一〇六ごろ サータバーハナ朝のガウタミープトラ・シャータカルニ王、勢力を伸張
▽二世紀初めごろ、メコン川下流域に扶南建国[東ア]
一三〇ごろ クシャーン朝のカニシカ王、ペシャワールに都して最盛期を実現。ガンダーラ、マトゥラーに美術栄える
一五〇ごろ シャカ族のルドラダーマンがマールワー、グジャラートを支配
一七四ごろ サータバーハナ朝のシュリー・ヤジュニャ・シャータカルニ王勢力を回復するが、彼の死後サータバーハナ朝衰える
▽二世紀末、中部ベトナムにチャム人のチャンパー建国（〜一六九七）[東ア]

一〇五ごろ 蔡倫が紙を発明
一〇七 移住羌族の反乱起る　西域都護府の廃止
一一八 羌族の反乱鎮圧されるが、この後も反乱しばしば起る
一二一 許慎の『説文解字』完成
一四八 安息の僧安世高が洛陽に来て仏典翻訳
一五六ごろ 鮮卑の檀石槐がモンゴリアを支配[北ア]
一五九 梁冀が殺され宦官の権力が強大となる
一六六 党錮の獄が起き宦官と官僚の争い激化　大秦王安敦の使者来る　儒者馬融没（七九―）
一六九 再び党錮の獄が起る
一七八 売官を行う
一八四 黄巾の乱起る（〜一九二）
一八九 袁紹が宦官を殺戮
一九二*漢中に五斗米道の独立王国成立（〜二一五）
一九六 曹操が献帝を擁して許に移り屯田政策を開始
二〇〇 官渡の戦いで曹操が袁紹を破る　鄭玄没（一二七―）

一〇七 倭面土国王帥升ら後漢に生口一六〇人を献じ請見を願う
▽このころ東北地方北部にも稲作伝わる　各地に大規模水田が営まれ、灌漑・排水設備、貯蔵高床倉庫も作られる
一八〇ごろ この前後数十年、倭国大いに乱れ、相攻め合い主なし、卑弥呼を立てて王となす（邪馬台国）

弥 生 文 化 時 代

3 世 紀

ヨーロッパ

二一二 カラカラ勅令、ローマ帝国内の全自由民に市民権を付与
二一七 パルティア軍、ローマに大勝
二三五 軍人皇帝時代始まる（〜二六八）[ロ]
▽このころゲルマン人の侵入盛ん[ロ]
二五〇 デキウス帝のキリスト教徒大迫害（〜二五一）[ロ]
二六〇 ガリエヌス、キリスト教寛容令発布[ロ]
二八四 ディオクレティアヌス即位（〜三〇五）、ドミナトゥス制の始[ロ]
二八七 ディオクレティアヌス、帝国を二分し東部を統治[ロ]
二九三 ディオクレティアヌスの帝国四分統治策始まる

オリエント

二〇九 パルティア王アルタバヌス五世即位（〜二二六）
二二六 アルダシール、パルティアを破る。ササン朝を創建
二三〇 ササン朝、ゾロアスター教を国教とする
二三一 ササン朝、ローマと対戦（〜二三二）。アルメニアを獲得
二四二 ササン朝のシャープール一世即位（〜二七二）
▽このころローマ、メソポタミアを再征服（〜二四三） このころマニの布教始まる
二四四 シャープール一世、ローマと和す。メソポタミアとアルメニアを得る
二六〇 シャープール一世の軍、エデッサ付近の戦いで、ローマ皇帝バレリアヌスを捕える
二六七 パルティアの女王ゼノビア、独立をはかる
二七三 マニ処刑。マニ教禁止される
二九七 ササン朝、メソポタミアをローマに割譲 ディオクレティアヌス、エジプトを分割

インド・東南アジア

二二五ころ アーンドラ地方にイクシュバーク朝興る このころからサータバーハナ朝の支配弱まり、アービーラ朝、チュートゥ朝が独立。デカン北部にはバーカータカ朝成立
二七五ころ バーカータカ朝のプラバラセーナ王、勢力を拡張。この後同王朝はデカン最大の勢力になる
▽このころから南インドではパッラバ朝が興隆

中国とその周辺

二〇四 *公孫氏が帯方郡設置[朝]
二〇八 赤壁の戦いで孫権・劉備が曹操を破る
二二〇 曹丕が後漢に代り魏を建国し三国時代が始まる 魏が九品官人法を制定
二二一 劉備が蜀漢を建国
二二二 孫権が呉を建国
二三四 諸葛亮（孔明）没（一八一—）
二三八 魏が遼東の公孫氏を滅ぼす
二四四 魏の毋丘倹が高句麗を攻撃
二六二 竹林の七賢、嵆康没（二二三—）
▽このころ清談の風潮が盛んとなる
二六三 蜀漢が魏に降る
二六五 司馬炎が魏に代り晋を建国
二六八 晋で泰始律令の制定
二八〇 晋が呉を滅ぼして中国を統一し、占田・課田法を施行

日本

二三九 女王卑弥呼、大夫難升米らを遣わし魏に朝貢、親魏倭王の称と金印紫綬を受ける
▽このころ帯方郡を通じ、しきりに魏に朝貢
二四七 邪馬台国、狗奴国と交戦
▽このころ卑弥呼没。径百余歩の冢を造り奴婢百余人を殉死さす。没後国内乱れ千余人殺される。ついに卑弥呼の宗女壱与（一三歳）を王とし安定す
二六六 倭の女王（壱与か）晋に入貢

弥 生 文 化 時 代

4 世 紀

ヨーロッパ

三〇三 ディオクレティアヌス、キリスト教徒に対する大迫害[ロ]
三〇六 コンスタンティヌス一世（大帝）即位（〜三三七）[ロ]
三一三 コンスタンティヌス大帝、ミラノの勅令を発布、キリスト教を公認
三二五 ニカイア公会議でアタナシウス派を正統とする（キリスト教）
三三〇 コンスタンティノープル遷都[ロ]
三三二 コロヌスの土地緊縛の勅令[ロ]
三六一 ユリアヌス帝即位（〜三六三）、異教の復活を図る
三七六 西ゴート、ビザンティン領に侵入（民族大移動の始）
三七八 西ゴート族とローマの戦い〔アドリアノープルの戦い〕。バレンス帝(三二八—)戦死[ロ]
三八一 コンスタンティノープル公会議で三位一体説確認
三九二 テオドシウス帝、キリスト教を国教とする[ロ]
三九四 テオドシウス帝、ローマ帝国を統一
三九五 テオドシウス没（三四六—）、ローマ帝国東西分裂

オリエント

三〇九 ササン朝シャープール二世即位（〜三七九）
三三七 シャープール二世、ローマと開戦（〜三五〇）
三五〇 シャープール二世、ニシビスを包囲。ローマ軍敗退
三八九 ササン朝とローマ、いわゆるアルメニアを分割

インド・東南アジア

三二〇ころ 北インドで、チャンドラグプタ一世、グプタ朝を創始
三三〇ころ グプタ朝のサムドラグプタ王即位（〜三七六ころ）。中央インドをも支配し、南インドにも遠征、パッラバ朝を破り、バーカータカ朝と婚姻関係を結ぶ
三七六ころ チャンドラグプタ二世即位（〜四一五ころ）。マールワー、グジャラート地方のシャカ族のクシャトラパを滅ぼす。グプタ朝下に古典サンスクリット文化栄える。カーリダーサの『シャクンタラ』成る

中国とその周辺

三〇一 八王の乱が起り、混乱に乗じて異民族の活動活発化
三〇四 匈奴の劉淵が自立。五胡十六国時代始まる
三一〇 仏図澄が洛陽に来る
三一一 匈奴が洛陽を陥す〔永嘉の乱〕
三一三 楽浪郡の滅亡 *帯方郡の滅亡[朝]
三一六 匈奴が長安を陥して晋が滅亡
三一七 司馬睿が江南に東晋を再建（〜四二〇）
三五三 *敦煌千仏洞の開掘が始まる
三六四 東晋で庚戌の土断実施
三六五ころ 王羲之没（三〇七?—）
三七一 百済が漢山を都とし、このころ国家体制を整える[朝]
三七二 仏教が高句麗に伝わる[朝]
三七六 前秦が華北を統一
三八二ころ 新羅の国家体制整う[朝]
三八三 淝水の戦いに前秦敗れ、華北が再び混乱
三八六 北魏の建国（〜五三四）
三九一 高句麗に好太王即位（〜四一二）[朝]「(〜四一三)」
三九九 法顕がインドに向かって出発

日本

▽四世紀前半、大和朝廷成立
▽このころ鉄器使用進む 埴輪、土師器など作られる
三六九 倭、南朝鮮に出兵、領土を広める（いわゆる任那日本府の成立か）
三七二 百済、七枝刀・七子鏡を献ず（石上神宮蔵の七支刀か）
三八二 新羅朝貢せず、葛城襲津彦を派遣し新羅を討つ
三九一 朝鮮に出兵、百済、新羅を討ち臣民とする
四〇〇 高句麗、新羅を助けて倭と戦いこれを破る

大 和 朝 廷

5世紀

四〇一 西ゴート王アラリック、イタリア侵入
四〇六 バンダル族・アラニ族、ガリアに侵入
四一〇 アラリック、ローマを陥れ、大略奪
四一三 アウグスティヌス『神の国』執筆開始
ブルグント王国、アルザスに成立(〜四三六)、のちローヌ上流に再建(四四三〜五三四)
四一八 西ゴート王国、南仏・イスパニアに成立(〜七一一)
四三〇 アウグスティヌス没(三五四—)
四三一 エフェソス公会議。ネストリウス派を異端と断定
四三四 アッティラ、フン王となる
四三八 テオドシウス法典の発布
四四九 アングロ・サクソンのブリタニア侵入始まる
四五一 カタラウヌムの戦いで、フン王アッティラ、西ローマ軍に敗北 カルケドン公会議。東西教会の対立深まる
四五二 アッティラ、イタリアへ侵入
四五三 アッティラ没(三九五?—)、フン帝国崩壊
四七六 西ローマ帝国滅亡
四八一 クロービス、フランク国王に即位(〜五一一)
四八六 クロービス、中部ガリアを征服
四九三 東ゴート王テオドリック、イタリア王国を建設(〜五五三)
四九六 クロービス、カトリックの洗礼を受く

四〇九 ササン朝ヤズドギルト一世、キリスト教の信仰を認める
四二一 ササン朝、ビザンティンと交戦
四二三 バフラム五世、ビザンティンと和約、キリスト教信仰を再認
四二五ころ ササン朝にエフタルが侵入し始める
四二九 バンダル族、北アフリカに侵入、バンダル王国を建設
四八四 ササン朝のペーローズ、エフタルとの戦いで敗死
四八八 ササン朝のカワート一世即位(〜五三一)
四九八 ササン朝に内乱起り、カワート一世、エフタルのもとに亡命

四〇一 法顕、インドに来る(〜四一〇)
▽五世紀初め、西北インドにクシャーン族のキダーラ朝興る
四一五ころ グプタ朝のクマーラグプタ王即位(〜四五五ころ)。この時代にナーランダーの仏教僧院建立。グプタ式仏像造られる
四五五ころ グプタ朝のスカンダグプタ王即位(〜四七〇ころ)。この王の死後グプタ朝は衰退を始める
四七五ころ バーカータカ朝の傍系王統であるハリシェーナ、勢力を北方に伸ばす
五〇〇ころ 西北インドよりエフタル族が侵入。トラマーナ、ミヒラクラ父子の時代に中央インドを支配

四〇二 柔然が初めて可汗と称し、このころ漠北に覇を唱える 北ア
四〇三 東晋で桓玄の簒奪、翌年、劉裕に敗北
四〇五*鳩摩羅什が後秦の国師となり訳経に従事
四二〇 劉裕が東晋に代り宋を建国
四二四 宋の文帝即位(〜四五三)
四二七 詩人陶淵明没(三六五?—) 高句麗が平壌に遷都 朝
四二九 北魏が柔然を攻撃、このころ両者の争いが激化
四三九 北魏が華北を統一、南北朝時代始まる
四四五 元嘉暦の採用
四四六 北魏の太武帝の仏教弾圧
四四八 道教の大成者寇謙之没
▽このころよりエフタルが活躍 中ア
四六〇 雲崗石窟の開掘が始まる
四七一 北魏孝文帝即位(〜四九九)
四七九 蕭道成が宋に代り南斉を建国
四八五 北魏で均田法の施行
四八六*北魏で三長制の施行
四九三 北魏が洛陽に遷都、以後漢化政策がとられる
四九四 竜門石窟の開掘が始まる

四〇四 倭軍、高句麗好太王軍と戦い敗退
▽五世紀前半、応神天皇陵・仁徳天皇陵など前方後円墳盛ん
四一三 倭王、東晋に朝貢
四二一 倭王讃、宋に朝貢、除授の詔を賜う
四三八 倭王讃没し弟珍立つ。珍、宋に遣使、安東将軍倭国王の称を受く(熊本県船山古墳出土太刀銘文=漢字使用の最古の例=は珍に関するものか)
四四三 倭王済、宋に遣使、安東将軍倭国王の称を受く(和歌山県隅田八幡宮蔵の人物画像鏡に癸未年=四四三=、一説に五〇三の銘あり)
四六〇 倭王済没、世子興立ち宋に遣使
四六三 吉備前津屋一族誅殺 吉備田狭、百済で反乱
四七七 倭王興没、弟武立ち宋に遣使
四七八 武、宋に上表し父祖の功業を述べ、安東大将軍倭王の称を受ける
▽五世紀後半、帰化人を重用 須恵器、乗馬の風習など大陸文化伝わる

6世紀

五〇八 クロービス、トロサ占領
五一一 クロービス没(四六五ころ—)。フランク王国、四子に分割
▽このころまでにフランク王国サリ支族の『サリカ法典』成る
五二七 ビザンティン皇帝ユスティニアヌス一世(大帝)即位(〜五六五)、ビザンティンの最盛期
五二九 ユスティニアヌス法典成る(五三四に改訂増補) ベネディクトゥス、モンテ・カッシノに修道院を建立
五三三 バンダル、ビザンティンに滅ぼされる
五三四 ブルグント、フランクに滅ぼされる
五五五 ビザンティン、東ゴート王国を滅ぼす
五五八 クロタール一世、フランク王国を再統一
五六八 ランゴバルド、イタリアに王国を建設(〜七七四)

五〇一 カワート一世再び実権をにぎる
「遣
五一八 カワート一世、北魏に使者派遣
五二四 カワート一世、ビザンティンと戦いを再開(〜五三二)
五三一 ササン朝でコスロー一世、即位(〜五七九)。ササン朝の黄金時代
五四〇 コスロー一世、ビザンティンと戦い、アンチオキアを占領
五五〇ころ ササン朝領内でネストリウス派の勢力拡大
五五三 コスロー一世、西魏に使節派遣
五六二 コスロー一世、ビザンティンと和平条約を結ぶ
五七〇ころ メッカでマホメット誕生

五四三ころ グプタ朝衰亡し、ガンジス川流域にマウカリ朝、ビハールに後期グプタ朝、グジャラートにマイトラッカ朝などが分立 デカン地方ではプラケーシン一世(〜五六六)、カダンバ朝から独立して、チャールキヤ朝を興す。バーダーミに都を置く
五五〇ころ クメール族の真臘独立 東ア

五〇二 蕭衍(武帝 〜五四九)が南斉に代り梁を建国(〜五五七)
▽このころ南朝文化の極盛期
五一八 宋雲インドへ行く(〜五二三)
五二〇 新羅で律令を公布 朝
五二三 北魏で六鎮の乱(〜五三〇)
五二八 新羅が仏教を受容 朝
五三四 北魏が東西に分裂
五四八 梁で侯景の乱(〜五五二)
五五〇 東魏に代り北斉の建国(〜五七七) *西魏で府兵制の原型ができる
五五二 突厥が柔然を破って独立 北ア
五五七 西魏に代り北周(〜五八一)、梁に代り陳(〜五八九)建国
五六一ころ エフタルが滅ぶ 中ア
五六八 ビザンティンの返使、突厥に来る 北ア

五〇二 梁の武帝、倭王武を征東将軍とする
▽この前後、名代・子代設置盛ん
五〇七 大伴金村、継体天皇を擁立
五一二 大伴金村、任那四県を百済に与える
五一三 百済より五経博士段楊爾を貢上
五二七 筑紫国造磐井、火・豊二国で反乱
五二八 物部麁鹿火、磐井を討つ
▽このころより新羅の百済・任那侵略と倭軍の救援しきり
五三八*百済聖明王、仏像・経論を献ず〔仏教公伝〕—戊午説
五五二*〔仏教公伝〕—壬申説
五五三 百済より医・易・暦博士渡来
五六二 新羅、任那官家(日本府)を滅ぼす
五六九*白猪屯倉の田部の丁籍を定める
五七〇 高句麗、初めて使を派遣してくる

大和朝廷

6世紀 ／ 7世紀 ／ 8世紀

ヨーロッパ

五九〇 教皇グレゴリウス一世即位（～六〇四）、教皇権確立
五九七 グレゴリウス一世、カンタベリーのアウグスティヌスをイングランドに派遣、イングランドにキリスト教復活
▽六世紀末、イギリス七王国時代出現
▽六～七世紀、スラブ族の一部、ドナウ川を渡ってバルカンに侵入[illegible]
六一〇 ビザンティンのヘラクレイオス一世即位（～六四一）
六一三 クロタール二世、フランクを再統一
六一六 西ゴート、イベリア半島を完全支配
ビザンティン、ササン朝にエジプトを奪われる
六二二 ビザンティン、エジプト・シリア・アルメニアを奪回
六二五 イングランドでノーサンブリア王国がケント王国を併合
六二七 ビザンティン皇帝ヘラクレイオス一世、コスロー二世を破る
六三六 ビザンティン、イスラム軍に敗北
六三七 イスラム教徒、イェルサレム（ビザンティン領）を征服
六四一 イスラム軍のエジプト（ビザンティン領）攻撃、翌年アレクサンドリア占領
六四九 イスラム軍、キプロス島を占領
六五一 イスラム軍、小アジアのビザンティン領を攻撃
六七四 イスラム軍、コンスタンティノープルを包囲（～六七八）
六七九 ブルガリア人、ドナウ下流に王国建設
六八八 中ピピン、全フランク王国宮宰となる
六九〇ころ イングランドでウェセックス王国優勢となる
六九二 ビザンティン、イスラム軍に大敗
六九五 ビザンティン、無政府状態続く（～七一六）
六九七 カルタゴ、イスラム軍に占領される
七一一 西ゴート王国滅亡
七一四 カール・マルテル、フランクの実権掌握
七一七 イスラム軍、コンスタンティノープル包囲（～七一八）、レオン三世これを撃退
七一九 アングロ・サクソンのボニファティウス、ゲルマニア布教本格的に開始

西アジア・アフリカ

五七六 コスロー一世、イェメンを征服。ササン朝の版図最大となる
五九〇 コスロー二世即位（～六二八）
六〇三 コスロー二世、ビザンティンと戦う
六一〇ころ マホメットが初めて神の啓示を受ける
六一四 コスロー二世、ダマスカス、イェルサレムを攻略
六二二 マホメット、メディナへ移る（ヒジュラ）。イスラム暦元年
六三〇 マホメット、メッカを征服
六三二 マホメット死し、アブー・バクル、初代カリフとなる
六三七 イスラム軍クテシフォンを占領〔カーディーシーヤの戦い〕
六三九 イスラム軍、エジプトを征服（～六四二）
六四一 ササン朝軍、イスラム軍に大敗〔ニハーベンドの戦い〕
六五一ころ コーランが聖典として結集される
六五一 ササン朝ペルシア滅亡
六六一 ウマイヤ朝創設（～七五〇）
六八一 イスラム軍、北アフリカを征服し、大西洋岸に達する
六八三 メッカで反ウマイヤ家のカリフ権力が興り、イスラム世界が分裂
六九二 ウマイヤ家のカリフ、アブドゥル・マリク、イスラム世界を再統一
六九七 行政用語のアラビア語化始まる
七一〇 イスラム軍、イベリア半島に上陸
七一一 イスラム軍、インドに侵攻
七一七 ウマイヤ家のウマル二世、カリフ位に就き税制改革に着手

インド・東南アジア

▽六世紀後半、スマトラにシュリービジャヤ王国興る[東ア]
▽六世紀末、南インドでシンハビシュヌ、カラブラの勢力を破り、パッラバ朝を再興。パーンディヤ朝もガドゥンゴーン、マーラバルマン父子の下に復興。この両国とチャールキヤ朝がセイロンをも巻き込んで抗争を繰返す
六〇六 北インドにハルシャバルダナ王即位（～六四七）。ガンジス流域を支配し、グジャラートを征服。南下してチャールキヤ朝と戦う
六二八 天文学者ブラフマーグプタ『ブラフマー・スプタ・シッダーンタ』を著す。0の記号の発明、位取りの原理による十進法計算法など　＊玄奘、ハルシャ王支配下の北インドに滞在
六四〇ころ 真臘、扶南を併合[東ア]
六四二 パッラバ朝のナラシンハバルマン一世、チャールキヤ朝の首都バーダーミーを陥す。チャールキヤのプラケーシン二世（六〇九ころ—）敗死
六四三 唐の使者王玄策、ハルシャ王の下に来る
六七二 中国僧義浄、シュリービジャヤに滞在[東ア]
六七三 義浄、インドに来る（～六八五）
▽七世紀、上ビルマにピュー族の王国、下ビルマにモン族の王国が成立[東ア]
▽七～八世紀、チャオプラヤー川流域にモン人のドバーラバティ王国繁栄す[東ア]
七一〇 真臘が、水真臘と陸真臘に分裂す[東ア]
▽八世紀、中部ジャワにマタラム王国興る[東ア]

中国とその周辺

五七四 北周の武帝の仏教弾圧
五七七 北周が北斉を滅ぼす
五八一 楊堅（文帝）が北周に代り隋を建国
五八三 開皇律公布　突厥が東西に分裂[北ア]
五八九 隋が陳を滅ぼし、南北朝時代終る
五九五＊九品官人法が廃され、選挙制（科挙制）が用いられる
六〇七 大業律令公布
六一〇 大運河完成
六一二 煬帝の高句麗遠征。以後三次にわたるが失敗、反乱を招く
六一八 煬帝（五六九—）殺される　李淵が唐を建国（～九〇七）
六一九 隋滅ぶ
六二四 武徳律令公布
六二六 玄武門の変。太宗即位（～六四九）
六二七＊玄奘、インドに出発（～六四五）
六二八 唐の全国統一が完成
六三〇 東突厥が唐に降る
六三七 貞観律令公布
六四〇 高昌を滅ぼし安西都護府設置
六四五 高句麗を攻撃（以後六度に及ぶ）
六四七 燕然（安北）都護府設置
六五一 永徽律令制定
六五三 『五経正義』を頒布
六五七 唐、西突厥を滅ぼす
六五八 書家褚遂良没（五九六—）
六六〇 唐・新羅が百済を破る
六六三 百済滅亡[朝]
六六八 唐が新羅と共に高句麗を滅ぼし、安東都護府設置
六七一 義浄、インドに出発（～六九四）
六七六 安東都護府が遼東に退き、新羅が半島をほぼ統一
六八二 突厥が再興（第二帝国）[北ア]
六八五 垂拱律令の制定
六九〇 則天武后が帝位につき、周と国号を改める
六九八 大祚栄が渤海を建国（～九二六）[北ア]
七〇五 則天武后退位、唐王朝が復活
七一〇 韋后が中宗（六五六—）を殺す　李隆基が韋后（六六〇ころ—）を殺す　最初の節度使がおかれる
七一二 玄宗（李隆基）即位（～七五六）
七一九 開元七年律令の制定

日本

五八七 用明天皇、仏教帰依の可否を群臣に問う　蘇我馬子、物部守屋を討つ
五九二 蘇我馬子、東漢直駒をして崇峻天皇を殺す。東漢直駒、馬子に殺される
五九三 厩戸豊聡耳皇子（聖徳太子）、推古天皇の皇太子となり摂政（～六二二）　＊四天王寺創建
五九六 蘇我馬子、法興寺建立
六〇〇 境部臣ら新羅を討つ　初めて隋に遣使
六〇二 来目皇子、撃新羅将軍となるも病のため果たさず　百済僧観勒、暦など献ず
六〇三 冠位十二階制定
六〇四 憲法十七条制定　「隆寺創建
六〇七 小野妹子を隋に派遣（遣隋使の始）　法
六一〇 高句麗僧曇徴、紙・墨など伝える
六二〇 『大皇記』『国記』などを作る
六二二 聖徳太子没（五七四—）
六三〇 犬上御田鍬を唐に派遣（遣唐使の始）
六四三 蘇我入鹿、山背大兄王一族を滅ぼす
六四五 中大兄皇子・中臣鎌足ら、蘇我入鹿を宮中に暗殺、父蝦夷を自邸に自殺せしむ　中大兄は皇太子、鎌足は内臣となる。初めて年号をたて大化と号す。大化改新始まる。難波京に遷都
六四六 改新の詔を発す
六五八 阿倍比羅夫、秋田・津軽の蝦夷を討つ　有馬皇子、謀反の疑いで殺される
六六〇 中大兄皇子、水時計をつくる
六六三 日本の水軍、唐・新羅連合軍と戦って敗れる〔白村江の戦い〕
六六四 氏上・民部・家部・冠位二十六階制定
六六七 近江大津宮に遷都
六七〇 全国的に戸籍を作る（庚午年籍）
六七一 近江令制定　天智天皇没（六二六—）
六七二 大海人皇子、大友皇子を滅ぼす〔壬申の乱〕　飛鳥浄御原宮に遷都
六八〇 薬師寺建立
六八一 国史編纂開始
六八四 八色の姓制定
六八九 浄御原令施行
六九四 藤原京に遷都
▽八世紀初頭、高松塚古墳造られる
七〇一 大宝律令完成。律令国家の成立
七〇八 武蔵国、銅を献上、和同開珎鋳造
七一〇 平城京に遷都
七一二 太安麻呂『古事記』を撰上
七一三 諸国に『風土記』の撰進を命ず
七二〇 舎人親王ら『日本書紀』を撰上

大和朝廷 ／ 飛鳥時代

8世紀

七二六 ビザンティン皇帝レオン三世、偶像禁止令を出す。聖像論争開始（〜八四三）
七三〇 教皇グレゴリウス二世、レオン三世を破門
七三二 トゥール・ポアティエの戦いで、フランクの宮宰カール・マルテル、イスラム軍を破る
七三九 ランゴバルド族のローマ包囲[伊]
七五一 ランゴバルド族、ラベンナを占領　小ピピン、フランク王となり（〜七六八）、カロリング朝始まる（〜九八七）
七五四 小ピピン、ランゴバルド王を破り、その領土を教皇に献上（教皇領の始）
七六八 カール一世（大帝）、フランク王となる（〜八一四）
七七二 カール大帝のサクソニア戦争（〜八〇四）
七七四 カール大帝、ランゴバルドを滅ぼす
七七八 カール大帝のスペイン遠征
七八七 第二回ニカイア公会議（イコン論争に終止符）
▽このころよりノルマン人のイングランド侵入始まる
七九一 カール大帝、アバールを討つ
▽八世紀末よりカロリング朝ルネサンス始まる
八〇〇 カール大帝、教皇レオ三世によりローマ皇帝に戴冠〔西ローマ帝国の復活〕

七四七 アッバース家が武装蜂起
七四九 クーファでサッファーフがカリフ位就任を宣言（アッバース朝の成立）
七五〇 ウマイヤ朝軍がアッバース朝軍に大敗〔ザーブ河畔の戦い〕九か月後にウマイヤ朝滅亡
▽アッバース朝のジャービル、錬金術を研究—硝酸、硫酸、王水の製法を知る
七五四 マンスールがカリフ位に就き伯父のアブドゥラーをナシービーの戦いで破る。アッバース朝創業の功臣を排除して、カリフの独裁権を確立
七五六 イベリア半島に後ウマイヤ朝が成立。首都はコルドバ
七六六 バグダードの建設完了。アッバース朝の首都となる
七八八 モロッコにイドリース朝興る[ア]
▽ハールーン・アッラシードの治下（七八六〜八〇九）でアッバース朝が最盛期を迎える
八〇〇 チュニジアにアグラブ朝が成立。同朝はビザンティン海軍と地中海の制海権を争う[ア]

七三〇ごろ ラージャスタンにプラティハーラ朝興り、北インドに進出
七四〇ごろ チャールキヤ朝のビクラマーディティヤ二世、アラブ勢力の南下を阻止。パッラバ朝の首都カーンチーを攻撃
七五〇ごろ ゴーパーラ、ビハール・ベンガル地方にパーラ朝を創始
七五三 チャールキヤ朝倒れ、ラーシュトラクータ朝興る
▽このころエローラのカイラーサナータ寺院開掘される
▽八世紀中ごろ、ジャワにシャイレーンドラ王国興る[東ア]
七七〇ごろ パーラ朝のダルマパーラ、プラティハーラ、ラーシュトラクータを抑え勢力を拡大
七九二 ラーシュトラクータ朝のゴービンダ三世即位（〜八一四）。この時代に北はプラティハーラ朝の首都カナウジまで占領
▽八世紀後半、ジャワのボロブドゥール造営開始（〜八五〇）[東ア]

七二一 宇文融が括戸政策による均田体制たてなおしを図る
七三七 長征健児制が成立し募兵が用いられる　開元二五年律令の制定
七四〇 詩人孟浩然没（六八九—）
七四四 突厥第二帝国が崩壊、モンゴリア支配権はウイグルに移る[北ア]
七四九 府兵制が廃止される
七五一 唐軍、タラス川の戦いでイスラム軍に敗れる。中国人捕虜、製紙法をイスラム世界に伝える
七五五 安史の乱勃発　節度使の内地設置が始まる
七五七 新羅、全国を九州に分け郡県の名称を変える[朝]
七五八 第五琦により塩の専売制実施
七六一 王維没（六九九?—）
七六二 李白没（七〇一—）
七六三 安史の乱終る　吐蕃が長安に〔侵入
七七〇 杜甫没（七一二—）
七八〇 両税法を施行し、土地私有の承認に転じる
七八一 河北三鎮などの反乱（〜七八六）　節度使の自立傾向が強まる
七八五＊ 顔真卿没（七〇九—）
七九〇 吐蕃が安西都護府を攻略
七九三 茶に対する課税が行われる

七二二 墾田百万町歩の開墾計画
七二三 墾田用益の年限を定む〔三世一身法〕
七二四 聖武天皇即位（〜七四九）　蝦夷叛き、藤原宇合を将軍として討伐させる
七二九 長屋王謀反の疑いで糾問され自殺　藤原光明子夫人を皇后とする
七三七 天然痘流行、藤原四兄弟ら多数死亡
七四〇 大宰小弐藤原広嗣反乱　恭仁京に遷都（七四五平城京に復す）
七四一＊ 国分寺・国分尼寺建立の詔
七四三 墾田私有を許す〔墾田永年私財法〕　盧舎那仏(大仏)建立の詔
七四九 陸奥国、初めて金を献上
七五一 最初の漢詩集『懐風藻』成る
七五二 大仏開眼供養
七五六 聖武天皇遺品を収納し正倉院宝庫建立
七五七 養老律令実施　藤原仲麻呂打倒の謀議発覚、橘奈良麻呂ら殺される
七五九 『万葉集』の最新歌がこの年で終る
七六四 恵美押勝（藤原仲麻呂）叛し、敗死
七六五 道鏡、太政大臣禅師(翌年法王)となる
▽このころ石上宅嗣、芸亭を造る
七八一 桓武天皇即位(〜八〇六)
七八三 出羽の蝦夷、雄勝・平鹿を略取
七八四 山背（山城）長岡京に遷都
七八五 造長岡宮使藤原種継、反対派大伴氏らに暗殺される
七八八 最澄、延暦寺を建立
七九四 平安京に遷都
七九七 菅野真道ら『続日本紀』を完成

奈良時代

9世紀

八一一 ビザンティン皇帝、ブルガリア人と戦い、敗死
八一二 アーヘン条約（カールの皇帝権、ビザンティン皇帝に承認される）
八一四 カール大帝没（七四二—）、ルートウィヒ一世（敬虔王）即位（〜八四〇）
八一五 ビザンティン皇帝レオン五世、聖像礼拝を禁じ、再び紛争となる（〜八四二）
八二九 ウェセックス王エグベルト、他の六王国を征服、イングランド統一の基礎をきずく
八三〇ごろ ノルマン人（バイキング）、北フランスを荒す
八四三 ルートウィヒ一世、フランク王国を三分割〔ベルダン条約〕　ビザンティンで聖像礼拝復活
八五〇ごろ デーン人のイングランド侵入開始
八五三 ビザンティン、イスラム軍と戦い、エジプト出兵

八二〇 ホラサーンにターヒル朝成立
八二七 アグラブ朝がシチリアに侵攻[ア]　ムータジラ派神学の公認。正統派神学がこれを弾圧（〜八四八）
八三〇 バグダードに知恵の館が創立
八三三 ムータシムがカリフの位に就く。トルコ人奴隷兵親衛隊を組織
八三六 サマッラーを建設して遷都
▽このころトルコ人奴隷兵団の将軍が権力をふるい、カリフ権力が衰える
▽このころイベリア半島でキリスト教徒の反乱が相次ぐ

八〇二 真臘統一、アンコール時代開始（〜一四三二）[東ア]
八三六 プラティハーラ朝のボージャ一世即位（〜八九〇ごろ）。同朝この時代に最盛期を迎える
八五〇ごろ チョーラ朝、南インドに興る
▽九世紀半ばごろシャイレーンドラ朝、シュリービジャヤを合邦し繁栄[東ア]

八〇五 憲宗即位（〜八二〇）、節度使抑圧策をとる
八〇九 両税配分上の改革実施
八一九 藩鎮の権力が削減される　柳宗元没（七七三—）
八二一 長安で唐蕃会盟行われる
八二二 ラサで唐蕃会盟　このころより牛李の党争が激化（〜八四七）
八二四 文人韓愈没（七六八—）
八三一 元稹没（七七九—）
八三五 宦官誅殺計画が失敗〔甘露の変〕、宦官の専権が激化
八四〇ごろ ウイグルの支配が崩れ西走する
八四五 武宗による会昌の排仏
八四六 詩人白居易没（七七二—）
八五八 詩人李商隠没（八一二—）
八五九 裘甫の乱起る（〜八六〇）

▽平安初期、平仮名、片仮名作られる
八〇二 征夷大将軍坂上田村麻呂、陸奥胆沢城を築く
八〇五 最澄、唐より帰朝し天台宗を伝える
八〇六 空海、唐より帰朝し真言宗を伝える
八一〇 蔵人所設置　藤原薬子ら、平城上皇を政権に戻そうと謀って失敗
八一四 諸皇族に源姓を賜う（皇族賜姓の始）
八二〇 藤原冬嗣ら弘仁格式を完成
八二一 藤原冬嗣、勧学院を創立
▽九世紀前半、漢詩文流行
八二八 空海、綜芸種智院を建立
八三三 清原夏野ら『令義解』を撰上
八四一 藤原緒嗣ら『日本後紀』を撰上
八四二 伴健岑、橘逸勢ら謀反の疑いで捕えられ流罪〔承和の変〕
八四七 円仁ら唐より帰朝
▽九世紀半ば、租庸調制の再編成しきり
八五八 清和天皇即位(〜八七六)　藤原良房、摂政の実務を行う

平安時代

ヨーロッパ

9世紀

八六二 リューリクのノブゴロド王国建設（伝承による）露
八六三 ギリシア人のキリロス、メトディオス兄弟、スラブ族伝道を開始
八六七 ビザンティンのバシレイオス一世即位（〜八八六）、マケドニア朝成立（〜一〇五六）
八七〇 ロートリンゲン、東西フランクに分割〔メルセン条約〕
八七一 アルフレッド大王即位（〜八九九）英
▽このころ、同王のもとでイングランドの統一進む。また、数度のデーン人の侵入を撃退
八七五 イタリアのカロリング朝断絶
八八二 オレーグ公、キエフを占領。九世紀末にキエフ公国成立露
八八四 カール三世、東西フランクを再統一
八八五 ノルマン人、パリを包囲
八九一 東フランク王アルヌルフ、ノルマン人の侵入を撃退
▽このころマジャール人、ハンガリーに侵入
八九三 シメオン、ブルガリアのツァーリとなる（〜九二七）（第一次ブルガリア王国）
八九九 マジャール人、数回に及ぶイタリア侵攻
九〇〇ころ ハーラル（美髪王）によるノルウェー王国の創建
▽九世紀末から一〇世紀にかけて、ノルマン人のグリーンランド発見

10世紀

九〇六 マジャール人、大モラビア国を滅ぼす
九〇九 クリュニー修道院設立仏
九一一 ノルマン人の首長ロロ、ノルマンディー公国を建設仏　カロリング朝東フランク王国滅び、ドイツ王国成立
九一八 シメオン、「全ブルガリアとギリシア」の皇帝を称し、第一次ブルガリア王国最盛期を現出
九一九 ハインリヒ一世即位（〜九三六）、ザクセン朝（〜一〇二四）成立独
九二四 マジャール人、南フランスを攻撃
九三〇ころ カスティリャ王国成立西

西アジア・アフリカ

9世紀

八六七 イランにサッファール朝が興る
八六八 エジプトにトゥルーン朝が興る
八六九 南イラクでザンジュ（黒人奴隷）の反乱（〜八八三）
八七三 サッファール朝がホラサーンを併合
八七四 中央アジアにサーマーン朝興る
八七七 トゥルーン朝、シリアを併合
八七八 アグラブ朝がシチリア島を完全に征服ア
八九〇ころ カルマト派がかくれ館をクーファに造り、地下政治運動の拠点とする
八九二 アッバース朝再びバグダードに遷都する
九〇〇 サーマーン朝、ホラサーンを併合
▽サーマーン朝治下のブハラとサマルカンドが文化の一大中心地に発達。同地に近代ペルシア語復活

10世紀

九〇二 カルマト派の反乱（〜九〇六）
九〇五 アッバース朝が再びシリア、エジプトを直接統治する
九〇九 ファーティマ朝が北アフリカに興る
九一二 アブドゥル・ラフマーン三世即位（〜九三六）。後ウマイヤ朝が最盛期を迎える
▽アッバース朝で官僚制度が極度に発達し、カリフ位は名目的なものになる
九二八 タバリスターンにジャール朝が興る
九二九 モスルにハムダーン朝が興る。同朝の保護下で文芸、学問が発展する　アブドゥル・ラフマーン三世がカリフと称す。シーア派のファーティマ朝の君主もカリフと称しており、アッバース朝カリフとあわせて三人のカリフが並存

インド・東南アジア

9世紀

八六〇ころ パーラ朝、衰退に向かう
八六二 パッラバ朝とセイロン、パーンディヤ朝の首都マドゥライを陥す。パーンディヤのシュリー・パッラバ王死去
▽九世紀、ビルマ族南下、イラワジ川中流域に定着東ア
八八〇 パッラバ朝、チョーラ朝の連合軍、パーンディヤ朝を破る。パーンディヤ朝弱体化
八八五 プラティハーラ朝のマヘンドラパーラ即位（〜九一〇ころ）。プラティハーラの全盛期
八九七 チョーラ朝のアーディティヤ一世、主家にあたるパッラバ朝を倒す

10世紀

九二九 マタラム王国の中心、東部ジャワに移る（クディリ王国）東ア

中国とその周辺

9世紀

八六八 龐勛の乱起る（〜八六九）
八七〇＊詩人温庭筠没（八一二—）
八七四 王仙芝が反乱を起す
八七五 王仙芝に呼応して黄巣の乱が起る
八八〇 黄巣が長安に入城、皇帝と称する　藩鎮自立化の動き、全国に起る
八八四 黄巣が殺され、乱が終る
九〇〇 甄萱が後百済王と称する朝

10世紀

九〇一 弓裔が後高句麗王と称する（後三国時代）朝
九〇三 朱全忠が宦官を虐殺
九〇四 朱全忠が多くの貴族を殺す
九〇七 朱全忠が唐に代り、後梁を建国　五代十国時代始まる
九一六 耶律阿保機が帝位につき（〜九二六）、契丹（遼）が成立（〜一一二五）
九一八 王建が弓裔を倒して高麗を建国（〜一三九二）朝
九二三 李存勗が後梁に代り、後唐を建国（〜九三六）
九二六 後唐が均税法を施行　契丹が渤海を滅ぼし東丹国をおく北ア
九三〇 後唐、財政を司る三司使を設置

日本

9世紀

八六六 応天門炎上　最澄に伝教大師、円仁に慈覚大師の諡号を与う（大師号の始）　藤原良房、摂政となる　応天門放火に関し伴善男ら配流〔応天門の変〕
八六九 藤原氏宗ら『貞観格』撰上　藤原良房ら『続日本後紀』撰上
八七一 『貞観式』撰上
八七八 出羽国で夷俘の反乱〔元慶の乱〕
八七九 藤原基経ら『日本文徳天皇実録』撰上
八八〇 在原業平没（八二五—）
八八四 光孝天皇即位（〜八八七）　すべて太政大臣基経に諮問してのち、奏聞させるようにする
八八八 阿衡の文により基経久しく政務をとらず紛糾〔阿衡事件〕
八九一 菅原道真、蔵人頭となる
八九二 道真『類聚国史』撰上
八九四 道真の建議により遣唐使廃止
▽このころより律令国家の再編成すすむ
八九九 藤原時平を左大臣、道真を右大臣とする

10世紀

九〇一 道真を大宰権帥に左遷　『三代実録』を撰上
九〇二 時平、諸政改革し、当代以後の勅旨田停止、院宮王臣家の荒地山野占有禁止など、いわゆる延喜荘園整理令を下す
九〇五 紀貫之ら『古今和歌集』撰上（勅撰和歌集の始）
九〇七 藤原時平ら『延喜格』撰上
九一四 三善清行、意見封事十二箇条を上申
九一五 大干害、疱瘡流行
九二一 空海に弘法大師の諡号を与う
九二七 藤原忠平ら『延喜式』撰上
九二九 新羅使来る（最後の新羅使）
九三〇 忠平、摂政となる

平安時代

10 世紀

九三六 オットー一世（大帝）、ドイツ国王として即位（～九七三）
九四一 キエフ公イーゴリ、ビザンティン遠征 露
九五一 オットー一世の第一回イタリア遠征（～九五二）独
九五五 オットー一世、マジャールを破る〔レヒフェルトの戦い〕独
九六〇 デンマーク王ハーラル一世、キリスト教を公認
▽このころ、ポーランド王国の統合
九六一 オットー一世の第二回イタリア遠征（～九六四）独
九六二 オットー一世、ローマで戴冠、神聖ローマ帝国成立（～一八〇六）独
九六六 ポーランド王、カトリックに改宗
九六八 マグデブルクを東部植民の根拠地化 独
九七一 ビザンティン軍、ブルガリアに進撃・併合
九七六 ビザンティン皇帝バシレイオス二世の親政。同帝のもとで帝国の版図最大となる シチリアのイスラム軍、南イタリアに侵入
▽一〇世紀後半から再びデーン人のイングランド侵入激化
九八三 スラブ人、エルベ・オーデル間でドイツに反乱
九八七 西フランクのカロリング朝断絶、パリ伯ユーグ・カペー即位（～九九六）仏
九八八 キエフ大公ウラジーミル一世、ギリシア正教を受容 露
九九七 ハンガリー王イシュトバン一世即位（～一〇三八）
▽一〇世紀末、イベリア半島で国土回復運動盛んとなる
▽一〇世紀末、スウェーデン、統一王国を形成
一〇〇〇 ナバール王サンチョ三世（大王）即位（～三五）西
▽このころノルウェー人、アメリカ大陸に達する
▽このころベネチア市独立し、アドリア海域をおさえる 伊
▽このころキリスト生誕一〇〇〇年でキリスト教徒のローマ巡礼盛ん

九三二 ブワイフ朝が西部イランに興る
九三五 エジプトにイフシード朝興る
九三六 アミール・ウラマー職（アッバース朝首都の事実上の支配者）の創設
九四〇＊中央アジアにカラ・ハン朝が成立（～一二世紀半ば）
九四五 ブワイフ朝、バグダードを占領 ハムダーン朝の分家がシリアで独立した王朝を開く
九五六 歴史・地理学者マスウーディ没
九五九 クルディスターンにハサンワイフ朝の成立
九六〇 カラ・ハン朝の君主がイスラム教に改宗
九六二 ガズニー朝の成立
▽このころイクター（軍事封土）制度が始まる
九六九 ファーティマ朝がエジプトを併合
九七二 ファーティマ朝がカイロ市を建設して首都とする。北アフリカの領土を放棄してエジプトを中心とする国家になる。カイロにアズハル学院を創設 北アフリカにザイル朝興る ア
九七四 イベリア半島の後ウマイヤ朝がモロッコに進出
九七七 後ウマイヤ朝でマンスール（アルマンソル）が宰相となる
▽サハラの南でガーナ黒人王国が栄える。首都クンビ ア
九八七 コルドバの大モスクが完成
九九一 ファーティマ朝、シリアに進出。アレッポを占領
九九四 ガズニー朝、オクサス川南岸に進出
九九六 ファーティマ朝でカリフ、ハーキム即位（～一〇二〇）。ユダヤ教徒、キリスト教徒への弾圧を始める
九九八 ガズニー朝のマフムード即位（～一〇三〇）
九九九 ガズニー朝のマフムードがサーマン朝を滅ぼす

九三九 ベトナム、南漢を破り、呉朝成立（～九六五）東ア
九四九 ラーシュトラクータ朝のクリシュナ三世、チョーラ朝のパラーンタカを破る。チョーラ朝の勢力縮小
九五〇 中央インドにチャンデーラ、カラチュリ、パラマーラの諸王朝強大となる。グジャラートにはチャールキヤ（ソーランキー）、ラージャスターンにはチャーハマーナなどのラージプート系諸王朝が分立
九六八 ベトナムに丁朝成立（～九八〇）東ア
九七三 タイラ二世、ラーシュトラクータ朝を倒し、チャールキヤ朝を再興。カリヤーニに都す
九八〇 ベトナムに前黎朝成立（～一〇一〇）東ア
九八五 南インドでラージャラージャ一世即位（～一〇一四）、チョーラ朝の勢力を回復
一〇〇〇 チョーラ朝ラージャラージャ一世の検地行われる ガズニー朝のマフムード、北インドに初めて侵入
▽このころマールワー地方にパラマーラ朝のボージャ王即位（～一〇五五）

九三二 経書の刊刻が行われ始める
九三五 新羅が滅亡 朝
九三六 後晋が後唐に代り、契丹に燕雲十六州を与える 後百済を滅ぼし高麗の統一完成 朝
九三七 雲南に大理成立（～一二五三）
九四六 契丹が後晋を滅ぼす
九四七 劉知遠が後漢を建国
九五〇 後漢滅ぶ
九五一 郭威が後周を建国
九五五 後周の世宗が仏教弾圧
九五八 後周で均税法を行う 高麗が科挙を採用 朝
九六〇 趙匡胤が後周に代り宋を建国（～一二七九）。文官優位の君主独裁制の確立に向かう
九七一 広州・杭州に初めて市舶司をおく 大蔵経の刊刻が始まる
九七三 初めて殿試が行われ、科挙の三試制が完成
九七六 田柴科の制定 朝
九七九 宋による中国統一が完成 宋が契丹を討って高梁河で大敗
九八〇 差役法の成立
九八三 類書『太平御覧』の成立
九八六 宋が契丹を討って岐溝関で大敗
九九二 常平倉の設置
九九三 四川で王小波・李順らの均産一揆起る（～九九五）
九九七 全国を十五路に分け、各路に転運使をおく

▽このころ瀬戸内・九州に海賊横行
九三五 平将門、伯父常陸国大掾平国香を殺す（承平・天慶の乱始まる）
▽このころ紀貫之『土佐日記』を著す
九三六 紀淑人、小野氏彦ら南海道海賊を討つ
九三七 4将門上京、陳情して許される。8平良兼、下総で将門を急襲、将門敗走。11関東諸国に将門追捕を命令
九三八 空也、都で念仏を勧む（このころより浄土信仰盛んとなる）
九三九 将門、下野・武蔵等を攻略、自ら新皇と称す 藤原純友、南海で叛す
九四〇 平貞盛・藤原秀郷ら将門を討つ
九四一 小野好古ら純友を討つ
▽このころ班田全く行われず荘園拡大
九四七 倹約・衣服の制を定める 物価を定める 北野神社（祭神菅原道真）できる
▽一〇世紀半ばより衣服の日本化など国風の文化すすむ
九五八 乾元大宝鋳造（皇朝十二銭の最後）
▽一〇世紀後半より国司、現地へ赴任せず(遙任)、地方の荘園化、荘園の権門集中すすむ
九六三 空也、万燈会を設ける
九六七 藤原実頼、関白となる(摂関常置の始)
九六九 左大臣源高明を大宰権帥に左遷〔安和の変〕、藤原氏の他氏排斥完成
▽このころ宮殿、寺社の焼失相次ぐ。強盗など多く京内外の治安乱れる。瀬戸内・九州に海賊多く出没
九七四 疱瘡流行
▽このころ『蜻蛉日記』できる
▽このころ律令制的租税制度全く崩れ、宮廷の倹約令しきり
九八二 慶滋保胤『池亭記』を著す
▽このころ源高明『西宮記』を著す
九八五 源信『往生要集』を著す
九八八 尾張国の郡司・百姓ら、国守藤原元命の非法を訴える〔尾張国郡司百姓等解文〕
九九五 藤原道隆（九五三―）・道兼（九六一―）没 藤原道長、内覧の宣旨をうける

平 安 時 代

11 世紀

地域	11 世紀
ヨーロッパ	▽一一世紀初め、キエフ公、全ルーシを統一露 一〇〇二 ザクセン朝最後の王ハインリヒ二世、神聖ローマ皇帝に即位（〜二四）独 一〇一三 デーン人の王スベン一世、イングランド王を兼ねる 一〇一四 ビザンティン、ブルガリアを滅ぼす 一〇一六 クヌート一世、イングランド王となる（〜三五）英 ▽このころジェノバ、ピサがイスラム教徒との海戦に勝利伊 一〇二四 コンラート二世、神聖ローマ皇帝に即位（〜三九）。ザリエル朝成立（〜一一二五）独 一〇二八 クヌート一世、ノルウェーを征服、ノルウェー王となる英 一〇三一 スペインの後ウマイヤ朝滅亡（七五六〜）、小国乱立。キリスト教徒の国土回復運動始まる西 一〇三五 ウィリアム一世、ノルマンディー公となる英 一〇四二 アングロ・サクソン系のエドワード懺悔王即位（〜六六）英　セルビア、ビザンティンより独立（第一セルビア王国） 一〇四四ごろ ミラノの自治都市成立伊 一〇四六 ハインリヒ三世のイタリア遠征独 ▽エドワード懺悔王、一一世紀半ばごろにウェストミンスター寺院建立開始英 一〇五四 ローマ教皇、コンスタンティノープル総主教を破門、東西教会の決定的分裂 一〇五六 ハインリヒ四世即位（〜一一〇六）独 一〇五九 南イタリアのノルマン人、ローマ教皇と主従関係締結 一〇六一 ノルマン人のシチリア島征服開始 ▽このころ都市にギルド結成盛んとなる 一〇六六 ノルマン人のイングランド征服。ノルマンディー公ウィリアム、イングランド王に即位（ウィリアム一世）し、ノルマン王朝（〜一一五四）成立英
西アジア・アフリカ	一〇〇七 西部イランにカークワイフ朝が興る　アルジェリアにハンマード朝成立ア 一〇〇八 ガズニー朝のマフムードがカラ・ハン朝軍を破る 一〇一六 マフムードがサマルカンド、ブハラを攻略 一〇二三 アレッポにミルダース朝成立。ファーティマ朝と争う 一〇二五 ペルシアの詩人フィルダウシー没（九四〇／九四一—） 一〇二七 セルジューク・トルコ族がガズニー朝と戦う 一〇三〇＊ファーティマ朝のイブヌル・ハイサム（アルハーゼン）、光の反射、屈折、目の構造などを研究 一〇三四 セルジューク・トルコ族がホラサーンで自立 一〇三七 セルジューク・トルコ族がニシャープールを占領してセルジューク朝を興す 一〇四一ごろ カラ・ハン朝東西に分裂 一〇四八 ノルマン人が北アフリカのチュニスを占領（〜五八）ア 一〇五五 セルジューク朝、バグダードを占領し、ブワイフ朝を滅ぼす 一〇五六 モロッコにムラービト朝成立ア 一〇五八 セルジューク朝のトゥグリル・ベグがスルタンと称する 一〇六七 バグダードにニザーミア学院の設立
インド・東南アジア	一〇〇六 シュリービジャヤ、クディリを攻撃、首都を破壊す東ア 一〇一〇 ベトナムに李朝成立（〜一二二五）東ア 一〇一二 チョーラ朝のラージェーンドラ一世即位（〜四四）。この前後の時代チョーラ朝の全盛期。南インドから、北はデカンを支配し、ベンガル、ガンジス流域にも進出。南はセイロンをも支配。文化も栄え、タンジョールのラージャラージェシュワラ寺などの壮大な建築物造られる 一〇一九 プラティハーラ朝、マフムードに攻められ滅亡 一〇二五 チョーラ朝、ジャワのシュリービジャヤ国に遠征。インド洋全域の貿易を掌握、さらに中国にも使節を送る　ガズニー朝のマフムード、ソムナートのヒンドゥー寺院を略奪 ▽このころアル・ビールーニーの『インドの史誌』成る 一〇三〇ごろ クディリ再興東ア 一〇四三 西北からのムスリムの侵略に対抗して、北インドのラージプート諸王が連合　デカンに後期チャールキヤ朝のソーメーシュワラ一世即位（〜六八）、チョーラ朝と抗争を繰返す 一〇四四 ビルマ族のアノーラータ王、ビルマを統一。パガン朝を創始（〜一二八七）東ア 一〇五四 李朝、国号を大越とす東ア 一〇五七 パガン朝、タトン王国を占領し、モン人の文化、上座部仏教を導入東ア
中国とその周辺	一〇〇四 宋、契丹と澶淵の盟を結び、歳幣を贈って和平を約束 一〇一〇 契丹が高麗に侵入、翌年開京を陥す朝 一〇一二 江南地方でチャンパー米を播種させる 一〇二〇＊高麗版大蔵経の刊行開始朝 一〇二二 仁宗即位（〜六三）　限田法を施行し、官戸・形勢戸の土地所有を制限 一〇二三 益州に交子務をおき、官営交子を発行 一〇三一 契丹版大蔵経の刊行始まる北ア 一〇三二＊タングート族の李元昊が西夏を建国（〜一二二七）。以後連年宋の西辺に侵入中ア 一〇四一＊畢昇が活字印刷を発明 一〇四四 宋が西夏と和約、李元昊を夏国王とする ▽この前後慶暦の党議が進行 一〇四九 嶺南で儂智高の乱が起る 一〇五二 范仲淹没（九八九—） 一〇五八 王安石が「万言書」を奏上 一〇六四 英宗の父（濮王）の処遇をめぐり濮議が起る 一〇六六 文人蘇洵没（一〇〇九—） 一〇六九 王安石の改革が始まる
日本	▽一〇世紀末〜一一世紀初め紫式部・清少納言・和泉式部・赤染衛門ら女流文学者輩出　王朝国文学の隆盛 一〇〇二ごろ 清少納言『枕草子』成る 一〇〇八 尾張国の郡司・百姓ら国司を訴える ▽このころ国司の苛政上訴ひんぱん ▽このころ紫式部『源氏物語』成る 一〇一三 源信、太秦広隆寺で声明念仏を始める 一〇一六 藤原道長、摂政となる 一〇一八 道長の娘三人それぞれ太皇太后・皇太后・皇后となる 一〇一九 刀伊、対馬・壱岐・築前に来寇、大宰権帥藤原隆家ら、これを撃退 一〇二〇 道長、法成寺無量寿院を造る。貴族の浄土信仰盛ん 一〇二七 藤原道長没（九六六—） 一〇二八 前上総介平忠常、下総で反乱〔平忠常の乱（〜三一）〕 一〇二九 伊勢神宮の神人、源光清の非法を訴う 一〇三〇 諸国司の邸宅の豪奢を禁ず ▽長元年中の初めごろ『栄花物語』（正編）成る 一〇三五 園城寺・延暦寺の僧徒争う 一〇三八 延暦寺僧徒、明尊の天台座主任命を不満として上京 ▽このころより寺社の強訴めだってくる 一〇四〇 長久の荘園整理令　京都放火頻発のため、検非違使に毎夜巡視を命ず 一〇四五 寛徳の荘園整理令 ▽このころ末法思想流行 一〇五一 陸奥国の俘囚安倍頼時、国司に従わず、源頼義を派遣〔前九年の役（〜六二）〕 一〇五三 平等院阿弥陀堂（鳳凰堂）成る 一〇五七 源頼義、安倍頼時を誅殺　頼時の子貞任・宗任抗戦　頼義の子義家奮戦 一〇五九ごろ『更級日記』成る 一〇六五 治暦の荘園整理令 一〇六九 延久の荘園整理令　記録荘園券契所設置

平　安　時　代

11 世 紀

一〇七一 ウィリアム一世、ほぼ全イングランドを征服[英]
一〇七三 グレゴリウス七世、ローマ教皇となる(～八五)。ローマ教皇権の最盛期
一〇七五 聖職叙任権闘争開始(～一一二二)
一〇七六 ドイツ(神聖ローマ)皇帝ハインリヒ四世が教皇グレゴリウス七世の廃位を宣言、教皇は皇帝を破門
一〇七七 ハインリヒ四世、教皇グレゴリウス七世に赦免を請う〔カノッサの屈辱〕
一〇八一 ビザンティンにコムネノス朝成立(～一一八五)
一〇八二 ベネチア人、ビザンティンでの商業上の特権を付与される
一〇八五 カスティリャ王国、トレドを奪回[西]
一〇八六 ドゥームズデー・ブック編纂[英]
一〇八八ごろ ヨーロッパ最古のボローニャ大学創立[伊]
一〇九五 クレルモン公会議。教皇ウルバヌス二世、第一回十字軍の発進(九六)を訴う
一〇九九 第一回十字軍、イェルサレム王国を建設(～一一八七)
一一〇〇ごろ 錬金術、ヨーロッパに伝わる

一〇七一ごろ セルジューク朝、イェルサレムを占領 セルジューク朝、ビザンティン軍を破り、小アジアに進出〔マンジケルトの戦い〕
一〇七二 セルジューク朝、マリク・シャーが即位(～九二)し、最盛期を迎える
一〇七七 小アジアにルーム・セルジューク朝成立。小アジアのトルコ化進む
一〇七九 ジャラーイル暦の制定
一〇八六 モロッコのイドリース朝、イベリア半島に進出[ア]
一〇九二 セルジューク朝の宰相ニザーム・ムルク(一〇一七―)が、暗殺者教団の手で暗殺される
一〇九八 十字軍がアンチオキアを攻略。アンチオキア公国の成立。対十字軍戦争始まる

一〇七五 李朝、科挙制度を創始[東ア] 李朝、宋軍の侵入を撃退(～七七)[東ア]
一〇七六 デカン地方の後期チャールキヤ朝の、ビクラマーディティヤ王即位(～一一二六)、チョーラ朝と抗争
一〇七八 アーンドラ地方に東ガンガ朝のアナンタバルマン・チョーダガンガ王即位(～一一五〇)
▽このころ説話集『カター・サリット・サーガラ』成る
一〇九一 南インドのバクティ信仰の源となったラーマーヌジャ没(一〇一六―)
一〇九五 セーナ朝のビジャヤ・セーナ即位(～一一五八)、ベンガル地方に支配を確立

一〇七二 政治家・文人欧陽脩没(一〇〇七―)
一〇七三 思想家周敦頤没(一〇一七―)
一〇七五 宋、ベトナムの李朝と戦う(～七七)
一〇七六 王安石が失脚 市舶司を広州一か所に統一 両班田柴科を改定し、官制を改める[朝]
一〇八〇＊元豊の官制改革
一〇八一 宋、西夏に大敗
一〇八三 文人曾鞏没(一〇一九―)
一〇八四 『資治通鑑』完成
一〇八五 神宗(一〇四八―)が没し新法が廃止される 思想家程顥没(一〇三二―)
一〇八六 司馬光が宰相となる 王安石没(一〇二一―) 司馬光没(一〇一九―)
一〇九四 哲宗が旧法党を退け新法復活
一一〇〇 哲宗没(一〇七六―)、新旧両党の融和が図られる

一〇七二 度量衡の制を定む(延久の宣旨枡)
一〇七五 延暦寺・園城寺両僧徒、戒壇のことで争う
一〇七九 園城寺僧徒、強訴
一〇八一 延暦寺僧徒、園城寺を襲い焼く 両寺の僧徒互いに侵す
一〇八三 富士山噴火 陸奥守兼鎮守府将軍源義家赴任、清原真衡を助け清原家衡と戦う〔後三年の役(～八七)〕
一〇八六 白河天皇譲位、上皇として院庁で政務をとる(院政の始)
一〇八七 関東武士団、義家の配下に入る
一〇九一 宣旨を諸国に下し、義家が兵を率いて入京すること、諸国百姓が田畑を義家に寄進することを禁ず
一〇九六 田楽流行、清涼殿で田楽を行う
一〇九八 義家、院昇殿を許される

12 世 紀

一一〇一 ノルウェー・デンマーク・スウェーデンの三国王の不可侵条約
一一〇六 ヘンリー一世、ノルマンディーを支配[英]
一一〇八 ルイ六世即位(～三七)、カペー朝隆盛期[仏]
一一〇九 スコラ哲学の祖アンセルムス没(一〇三三―)[伊]
一一一五 このころフィレンツェに自治都市成立[伊]
一一一八 アラゴン、イスラムの拠点サラゴッサを占領[西] ヨハネ騎士団創設 テンプル騎士団創設
一一二〇ごろ ローマ法の研究復活[伊]
一一二二 ウォルムス協約で、皇帝ハインリヒ五世、教皇カリクストゥス二世に譲歩し、聖職叙任権闘争一段落
一一三〇 ノルマンのロジェール二世により、シチリア王国成立[伊]
一一三八 アラゴン王国、バルセロナ伯領を併合[西] コンラート三世、神聖ローマ皇帝となり(～五二)、ホーエンシュタウフェン朝(～一二〇八、一二一五～五四)成立[独]
▽このころウェルフ家とホーエンシュタウフェン家の対立激化[独]

一一一一 神秘主義思想家ガッザーリー(アルガゼル)没(一〇五八―)
▽このころセルジューク朝が分裂を重ね、各地で小君主が相争う
一一二三 ペルシアの詩人オマル・ハイヤーム没(一〇四〇ごろ―)
一一二七 ザンギー朝、上イラクに成立
一一三〇 北アフリカにムワッヒド朝が興る[ア]

▽一二世紀初め、カンボジア(古代クメール帝国)、スールヤバルマン二世(在位一一一三～五〇ごろ)治下で繁栄[東ア]
一一一〇 チョーラ朝クロットゥンガ一世の検地
一一二六 後期チャールキヤ朝、ビクラマーディティヤ王没。この後同王朝は分裂を始め、カーカティーヤ朝プローラ二世(～五八)の独立
一一二八 カンボジア、ベトナムの李朝を攻撃[東ア]
▽このころ、アンコール・ワット造営[東ア]
一一三七 ホイサラ朝のビシュヌバルダナ、後期チャールキヤ朝からの独立の儀式

一一〇一 文人蘇軾没(一〇三六―)
一一〇二 蔡京が宰相となり旧法党弾圧
一一〇五 朱勔が花石綱を宰領
一一〇七 四川で交子に代り銭引が流通 思想家程頤没(一〇三三―)
書家米芾没(一〇五一―)
一一一二 限田免役法の施行 文人蘇轍没(一〇三九―)
一一一三 阿骨打が完顔部長となる[北ア]
一一一四 阿骨打が猛安謀克制を作る[北ア]
一一一五 阿骨打が金を建国(～一一二三)[北ア]
一一一九 金で女真文字の制定[北ア]
一一二〇 方臘の乱起る(～二一)
一一二一 梁山濼の宋江ら宋に降る
一一二二 宋軍の遼都燕京攻撃失敗、金が燕京を陥す
一一二五 金が遼を滅ぼし開封に迫る 徽宗退位
一一二七 金が徽宗らを捕え、宋(北宋)を滅ぼす〔靖康の変〕 高宗が江南に宋(南宋)を復活
一一二九 金軍、杭州を攻略
一一三二 耶律大石がカラ・ハン朝を破り、西遼(カラ・キタイ)を建国(～一二一一)[中ア]
一一三六 岳飛の中原回復建議、不許可
一一三七 金が華北を直接統治
一一三八 南宋が臨安に遷都

一一〇一 源義親、九州で濫妨、追討の宣旨下る
一一〇二 この年、延暦寺・園城寺・興福寺・東大寺の僧徒蜂起す
▽この年前後、僧徒の抗争・強訴相次ぐ
一一〇五 藤原清衡、平泉に中尊寺を建立
一一〇八 平正盛、義親を討ち凱旋
一一一六 三善為康『朝野群載』編纂
一一一九 正盛、京中の強盗・九州の賊を討つ
▽このころ白河法皇の熊野行幸盛ん
一一二六 藤原清衡、中尊寺金色堂・三重塔建立
一一二七ごろ 源俊頼『金葉和歌集』撰進
一一二九 平忠盛、山陽・南海両道の海賊を討つ 白河法皇没(一〇五三―) 鳥羽上皇の院政始まる
一一三二 忠盛、院の内昇殿を許される
▽このころ忠盛ら宋との貿易を行う
▽このころ強訴もっとも盛ん
一一四〇 左兵衛尉佐藤義清出家(西行)

平 安 時 代

12 世紀 ／ 13 世紀

ヨーロッパ

一一四二 スコラ哲学者アベラール没(一〇七九—)仏
一一四三 ポルトガル王国成立　リューベック市建設される独
一一四七 第二回十字軍開始(〜一一四九)　ポルトガル王国がリスボンを占領
一一五二 フリードリヒ一世(バルバロッサ)即位(〜一一九〇)独
一一五四 ヘンリー二世即位(〜八九)、プランタジネット朝始まる(〜一三九九)英
一一五六 オストマルク、オーストリア大公領に
一一五七 フリードリヒ一世、ロンバルディア諸都市と戦う独
一一六三 パリのノートルダム寺院建立開始(〜一二四五ころ)仏
一一六七 ロンバルディア同盟結成伊
一一六九 スズダリ公国キエフを襲う。キエフ公国衰退露
一一七〇ころ オックスフォード大学創立英
一一七一 ヘンリー二世のアイルランド征服開始英
一一七二 ベネチアに大評議会成立。貴族的財閥の支配伊
一一七六 レニャノの戦いで、ロンバルディア同盟が神聖ローマ(ドイツ)皇帝フリードリヒ一世を破る
一一八〇 カペー朝のフィリップ二世即位(〜一二二三)仏
一一八三 コンスタンツの和で、ロンバルディア同盟、自治特権を獲得伊
一一八六 ブルガリア人、ビザンティンに抵抗、第二帝国を建設
一一八九 第三回十字軍開始(〜九二)　リチャード一世(獅子心王)即位(〜九九)英
一一九〇 ハインリヒ六世即位(〜九七)独
一一九一 十字軍(リチャード一世)、キプロス島を占領
一一九四 ハインリヒ六世、シチリア島を征服
一一九八 教皇インノケンティウス三世即位(〜一二一六)
一一九九 ジョン王即位(〜一二一六)英
一二〇〇 パリ大学創設の特許状与えられる仏
一二〇二 第四回十字軍開始(〜〇四)
一二〇四 ビザンティン、十字軍に占領される。ラテン帝国、ニカイア帝国成立(〜六一)
一二〇七 ジョン王、教皇インノケンティウス三世と対立、のち破門される(一二一〇)
一二〇八 アルビジョア十字軍(〜二九)

西アジア・アフリカ・インド

一一四四 ザンギー朝がエデッサ十字軍伯国を滅ぼす
一一四五 北アフリカのムワッヒド朝がイベリア半島に進出ア
一一四六 チョーラ朝のラージャラージャ二世即位(〜一一七三)印　「興
一一四八 アフガニスタンにゴール朝勃
一一四九ころ インドの歴史書『ラージャタランギニー』成る印
一一五七 セルジューク朝、イランで力を失う
一一五八 ムワッヒド朝、ノルマン人からトリポリを奪回ア
一一六九 サラディン、エジプトを事実上支配
一一七一 サラディン、ファーティマ朝を滅ぼす。アイユーブ朝創建
一一七三 ホイサラ朝のバッラーラ二世即位(〜一二二〇)印
一一七四 アイユーブ朝、シリアに進出
一一七五 ゴール朝のムハンマド、パンジャーブ地方に侵入
一一八〇 アッバース朝のカリフ、ナーシル即位。首都でカリフの指導力を取りもどす
一一八五 デカン北部のヤーダバ朝、ビッラマ五世の下に独立印
一一八六 ゴール朝、ガズニー朝を倒す
一一八七 サラディン、イェルサレム王国を滅ぼす
一一九二 サラディン、第三回十字軍と和約　北インド、チャウハーン朝のプリトビラージャ、ゴール朝のムハンマドに敗る印
一一九三 ゴール朝の部将、クトゥブッディーン・アイバク、デリーを占領印
一一九四 ホラズム・シャー朝、バグダードに進出
一一九五 アラルスコの戦いでムワッヒド朝、カスティリャを破るア
一一九六 モロッコにマリーン朝成立ア
一二〇六 ゴール朝のムハンマド死し、アイバク、デリーで独立して奴隷王朝を創始。これ以後、北インド一帯、ムスリムの支配下に入る印
一二一〇 奴隷王朝のイレトゥミシュ即位(〜一二三六)印

東南アジア

一一四五 カンボジア、チャンパーを併合支配(〜四九)
一一七七 チャンパー軍、アンコールを攻撃、占領
一一九〇 カンボジア、チャンパーを攻略
▽一二〜一三世紀、アンコール・トム造営
一二〇三 カンボジア、チャンパーを支配(〜二〇)

中国とその周辺

一一四一 秦檜が主戦論者岳飛(一一〇三—)を殺す
一一四二 南宋が金と和議を結び金に臣礼をとる　南宋で経界法施行
一一四九 金で海陵王即位(〜六一)、中国的国家体制採用に向かう
▽このころ火薬が実戦に用いられる
一一五三 金が燕京に遷都し女真人が華北に移住
一一六〇 南宋で会子の発行(中国最初の紙幣)
一一六一 金が南宋に侵入して采石で大敗
一一六五 金と宋が叔姪の関係に改まる
一一七〇 全真教の開祖王重陽没(一一一三—)　鄭仲夫がクーデター、文臣を虐殺。武臣政権が成立朝
一一七三 文臣が再び虐殺される朝
一一七四 朝鮮南部に草賊蜂起し、これ以後約三〇年全国で騒擾が相次ぐ朝
一一七五 朱子と陸九淵が鵝湖で討論
一一八一 社倉法の施行
一一八九 モンゴル部のテムジンがハンを称する北ア
一一九二 思想家陸九淵没(一一三九—)
一一九五 韓侂冑が朱子学派を弾圧〔慶元偽学の禁〕、専権する
一一九六 崔氏の専権が始まる(〜一二五八)朝
一二〇〇 朱子没(一一三〇—)
一二〇六 韓侂冑が金を攻撃して敗れ、〇七年殺される　テムジンがモンゴリアを統一して、チンギス・ハンと称する北ア
一二〇八 金と宋が伯姪の関係となる　宋で史弥遠が権力をにぎる
一二〇九 モンゴルが西ウイグルを降す北ア

日本

▽このころ寺社僧徒神人の争い続く
一一五〇 藤原通憲(信西)『本朝世紀』を撰す
一一五六 保元の乱起り、崇徳上皇方敗れる。上皇、讃岐に配流。源為義斬罪
一一五九 藤原信頼・源義朝ら内裏を占拠、次いで清盛と戦い敗北〔平治の乱〕
一一六〇 義朝殺される。源頼朝、伊豆へ配流
一一六四 平清盛一族、法華経を書写し、安芸厳島神社に奉納〔平家納経〕
一一六七 清盛、太政大臣となる
一一六九 後白河上皇の『梁塵秘抄口伝抄』成る
一一七一 清盛の女徳子を高倉天皇の女御となす
一一七五 法然、専修念仏を唱う
一一七七 藤原成親ら平氏打倒の企て〔鹿ヶ谷事件〕、俊寛ら鬼界ヶ島に配流
一一七九 清盛の強要により関白基房を罷免、院の近臣三九人を解官す。清盛、院政を停止し、後白河法皇を鳥羽殿に幽閉
一一八〇 5以仁王・源頼政ら挙兵し敗死　6清盛、福原遷都を企てる　8頼朝、伊豆に挙兵、石橋山の戦い。9源義仲、信濃に挙兵。10頼朝、鎌倉に入る。富士川の戦い。12平重衡、東大寺を焼く
一一八一 平清盛没(一一一八—)
一一八三 5義仲、平軍を越中礪波山に破る。7平氏一族、西国に逃れる。義仲入京。10東海・東山両道の処置を頼朝に任すという宣旨下る。12頼朝、義仲追討開始
一一八四 1源義仲敗死(一一五四—)、義経入京。2一ノ谷の戦い　10頼朝、公文所・問注所を設ける
一一八五 3壇ノ浦の戦いで平氏滅亡　11義経追討の院宣下る　守護・地頭の設置許される
一一八九 頼朝、奥州を平定
一一九〇 東大寺上棟　頼朝、右近衛大将となる
一一九一 栄西、宋より帰国し、臨済宗を伝える
一一九二 後白河法皇没(一一二七—)　頼朝、征夷大将軍に任ぜらる
一一九八 法然『撰択本願念仏集』成る　栄西『興禅護国論』成る
一一九九 源頼朝没(一一四七—)　子頼家が跡を嗣ぐ
一二〇三 北条時政、将軍頼家を伊豆修禅寺に幽閉し、実朝を擁立、ついで執権となる　運慶・快慶、東大寺金剛力士像を造る
一二〇五 似絵画師藤原隆信没(一一四二—)　藤原定家ら『新古今和歌集』を撰進
一二〇七 専修念仏を禁止、源空・親鸞ら流罪

平安時代 ／ 鎌倉時代

13 世紀

一二一二 カスティリャ、イスラム軍（ムワッヒド朝）を破る　少年十字軍始まる
一二一四 ブービーヌの戦いで、仏王フィリップ二世が英王、独王を破る
一二一五 ジョン王、マグナ・カルタに署名英
一二一六 ドミニコ修道会認可　第五回十字軍開始（～二一）
一二二六 ルイ九世（聖王）即位（～七〇）仏　ドイツ騎士団、プロイセン地域に進出
一二二八 第六回十字軍開始（～二九）
一二三〇 カスティリャ王、レオン王国を併合西
一二三六 カスティリャ、コルドバを征服西
一二三七 モスクワ、キエフ、モンゴル人に攻略される（～四〇）露
一二三八 イスラム教徒のグラナダ王国成立（～一四九二）西
一二四〇 ノブゴロド公国、スウェーデン軍の侵入を撃退露　ブルガリア第二帝国分裂
一二四一 リーグニッツの戦いで、モンゴル軍、ドイツ・ポーランド連合軍を破る　ハンザ同盟成立〔ハンブルク・リューベックの同盟〕
一二四二 ノブゴロド公国、ドイツ騎士団・デンマーク連合軍を撃破露
一二四八 第七回十字軍開始（～五四）　カスティリャ王国、セビリアを征服西　フリードリヒ二世、ロンバルディア同盟と戦い、敗北独
一二五〇ごろ パリに高等法院設置仏
一二五三 ソルボンヌ神学寮（パリ神学校）創設仏
一二五四 ライン都市同盟成立独
一二五五 ストックホルム市の建設
一二五六 大空位時代始まる（～七三）独
一二六一 ビザンティン帝国再興（ラテン帝国滅亡）
一二六二 ノルウェー王国のアイスランド征服
一二六五 シモン・ド・モンフォールの議会召集〔イギリス議会の始〕英
一二六六 シチリアのアンジュー家支配始まる伊
一二六七ごろ トマス・アクィナスの『神学大全』成る伊
一二七〇 第八回十字軍開始
一二七一 マルコ・ポーロ、東方へ出発（～九五）
一二七二 エドワード一世即位（～一三〇七）英
一二七三 ルードルフ一世即位（～九一）し、ハプスブルク朝始まる独

一二一一 ヤーダバ朝、シンガナ王即位（～一二四七）。同朝全盛期を迎える印
一二一六 南インドのパーンディヤ朝でマーラバルマン・スンドラ即位（～一二三八）。同朝強大となる印
一二二〇 十字軍、カイロを焼く
一二二八 チュニスにハフス朝興るア
一二二九 十字軍、再びイェルサレムを支配（～四四）
一二三一 ホイサラ朝のナラシンハ二世パーンディヤ朝を破り、チョーラ朝の王を復位させる印
一二三二 グラナダにナスル朝興る
一二三三 イレトゥミシュ、マールワー地方に侵入印
一二四一 モンゴル軍、北インドに侵入印
一二四三 ルーム・セルジューク朝、モンゴル軍の支配下に入る
▽エジプトでマムルーク（奴隷兵）軍団の力が強くなる
一二五〇 エジプトにマムルーク朝成立
一二五一 カスティリャ王国、イベリア半島からナスル朝を除くすべてのイスラム勢力を駆逐
一二五六 暗殺者教団、モンゴル軍に敗れ、滅ぶ
一二五八 モンゴル軍のフラグ、バグダードを征服。アッバース朝滅ぶ。イル・ハン国の成立
一二六一 マムルーク朝、カイロでアッバース家をカリフに推戴
＊グラナダのアルハンブラ宮殿建設される
一二六二 パーンディヤ朝のジャタバルマン王、ホイサラ朝のソーメーシュワラ王を敗死させる印
一二六五 奴隷王朝のギヤースッディーン・バルボン即位(～一二八七)印
一二六八 マムルーク朝、アンチオキアを陥す
一二六九 モロッコのマリーン朝、マラケシュを陥すア
一二七五 マリーン朝、スペインのキリスト教軍を破るア
一二七九 パーンディヤ朝、ホイサラ、チョーラ王朝連合軍を破る印
一二八〇 マムルーク朝軍、シリアでモンゴル軍を破る

一二二二 ジャワにシンガサリ王国成立（～九二）。クディリ王国滅ぶ
一二二五 ベトナムに陳朝成立(～一四〇〇、一四〇七～一三)
一二三八 タイ族のスコータイ朝、カンボジアから独立
一二五七 ベトナムにモンゴル軍侵入し撃退される
一二七二 ベトナム最初の官撰史書『大越史記』成る
一二七七 元軍、ビルマを攻撃〔ニャサウギャンの戦い〕
一二七九 スコータイ朝、ラーマカムヘン王（一二七九ごろ～一三〇〇ごろ）治下で栄える
▽このころタイに上座部仏教伝わる
▽このころ元の圧迫でタイ族大量に南下

一二一一 ナイマン部のクチュルクが西遼の王位を奪う中ア
一二一四 金が燕京から汴京に遷都
一二一五 モンゴルが燕京を陥す
一二一八 モンゴルがクチュルクを倒す
一二一九 チンギス・ハンの西征が始まる（～二五）
一二二〇 モンゴルがホラズムを撃破
一二二一 モンゴルが北インドに至る
一二二三 モンゴルがカルカ河畔の戦いで露諸侯を破る
一二二七 モンゴルが西夏を滅ぼす　チンギス・ハン没（一一六二?—）
一二二九 オゴタイ即位（～四一）
一二三一 モンゴルの侵入開始（～五九）。政府が江華島に避難朝
一二三四 モンゴルが金を滅ぼす
一二三六 バトゥの西征（～四二）
一二四一 モンゴルがリーグニッツにヨーロッパ連合軍を撃破
一二四三 バトゥがキプチャク・ハン国創設（～一五〇二）
一二四六 教皇の使節プラノ・カルピニがカラコルムに来る
一二五三 フビライが大理を滅ぼす　フラグが西征に出発
一二五四 仏王の使者ルブルックがカラコルムに来る
一二五七 モンケ・ハンの南宋親征
一二五八 崔氏政権が滅ぶ朝
一二五九 賈似道の専制始まる　高麗がモンゴルの属国となる朝
一二六〇 フビライ即位（～九四）、アリク・ブハとハン位を争う　交鈔の発行　パスパ国師となる
一二六三 賈似道の公田法実施
一二六四 アリク・ブハ屈服　フビライが燕京（大都）に定都
一二六六 フビライに対抗してハイドゥの乱起る（～一三〇一）
一二六八 モンゴル軍、襄陽を包囲(七三年「陥落」)
一二六九 フビライがパスパ文字を採用
一二七〇 三別抄の乱起る朝
一二七一 フビライが国号を元と称する
一二七四ごろ マルコ・ポーロがフビライに会見（九〇年まで中国に滞在）
一二七六 元軍が臨安を攻略
一二七九 厓山の戦いで南宋が滅亡
一二八〇 郭守敬の授時暦を頒布

一二一二 鴨長明『方丈記』成る
一二一三 和田義盛、挙兵して敗死　北条義時、侍所別当を兼ねる　源実朝『金槐和歌集』成る
一二一九 源実朝（一一九二—）、公暁に殺され、源氏将軍家断絶。幕府、将軍後継に九条頼経を迎える
一二二〇ごろ 慈円『愚管抄』成る
一二二一 後鳥羽上皇、北条義時を討たんとして失敗。幕府、上皇を隠岐に流す〔承久の乱〕　幕府、六波羅探題を置く
一二二四 親鸞『教行信証』成る
一二二五 大江広元没(一一四八—)　北条政子没（一一五七—）　幕府、連署および評定衆を置き、合議体制を整える
一二三一 幕府、新補地頭の所務・得分を定める
一二三二 幕府、御成敗式目五十一条を制定　定家『新勅撰和歌集』を撰進
一二三六 幕府、大和に一時守護・地頭を置く
一二三八 幕府、京都に篝屋を置く
一二四〇 幕府、御家人の奢侈と郎党の任官禁止
一二四二 朝廷、皇嗣を幕府に諮る。幕府、後嵯峨天皇を推戴　北条泰時没（一一八三—）
一二四四 幕府、頼経の子頼嗣を将軍とする
一二四六 名越光時、前将軍頼経と謀り、執権時頼を除かんとするも失敗、伊豆に配流
一二四七 時頼、三浦泰村とその一族を滅ぼす〔宝治合戦〕
一二四九 幕府、引付衆を置き、裁判制度を整える
▽一三世紀前半、『平家物語』成立か
一二五二 幕府、宗尊親王を将軍に迎える
一二五三 道元『正法眼蔵』成る　時頼、建長寺を建て、蘭渓道隆を開山とする
一二六〇 日蓮『立正安国論』を時頼に進める
一二六一 日蓮、伊豆伊東に流される
一二六三 高麗、日本人の沿岸侵略の禁止を請う
▽一三世紀後半以後、牛馬が耕作に用いられるなど農業技術の改良進む
▽一三世紀後半、荘園年貢の代銭納一般化する
一二七四 元軍、対馬・壱岐・筑前に来襲するも、大風のため艦船多数沈没し退却〔文永の役〕　一遍、時宗を開く
▽このころまでに金沢文庫創建か
▽一三世紀後半、替銭(為替)の利用進む

鎌倉時代

13 世 紀　｜　14 世 紀

ヨーロッパ

一二八二 シチリアの晩鐘（フランス王家のシチリア支配後退）伊 ハンザ同盟のノルウェー経済封鎖（～八五）（ノルウェー屈服） ハプスブルク家のオーストリア支配開始
一二八四 アラゴン王国、シチリアを併合西 エドワード一世、ウェールズを併合英
一二九一 十字軍アッコンより撤退（十字軍終る） スイス三州の同盟結成（独立運動開始）
一二九四 ボニファティウス八世、教皇即位（～一三〇三）
ロジャー・ベーコン没（一二一四—）英
一二九五 エドワード一世の模範議会英
一二九六 教皇ボニファティウス八世とフィリップ四世（仏王）の争い始まる
一二九九 マルコ・ポーロ『東方見聞録』完成
一三〇二 フィリップ四世、全国三部会を開催仏
＊イタリアで航海用羅針盤発明
一三〇三 フィリップ四世とボニファティウス八世の争い〔アナーニ事件〕
一三〇九 教皇庁がフランスのアビニョンに移される〔教皇のアビニョン幽囚（～七七）〕
一三一二 テンプル騎士団解散
一三一五 スイス三州の同盟軍、墺軍を破る〔モルガルテンの戦い〕
▽このころ銃砲火薬の発明独
一三二〇 ポーランド王国成立
一三二一 詩人ダンテ没（一二六五—）、『神曲』完成伊
一三二三 アラゴン王国、サルデーニャを征服
一三二八 シャルル四世没し（一二九四—）、カペー朝断絶。フィリップ六世即位し（～一三五〇）、バロア朝成立（～一五八九）仏 モスクワ公国のイワン一世、大公を称す露
一三三〇 セルビア、ブルガリアを破る ルーマニアのワラキア公国、ハンガリーから独立
一三三一 セルビア王ステバン・ドゥシャン、全バルカンの覇権掌握 シュワーベン都市同盟成立独
一三三七 画家ジョットー没（一二六六—）伊 英仏百年戦争始まる（～一四五三）

西アジア・アフリカ・インド

一二九〇 ジャラルッディーン・ヒルジー、ヒルジー朝創建印
一二九一 アイユーブ朝、十字軍勢力を完全に消滅させる
一二九四 イル・ハン国で紙幣を発行
一二九五 イル・ハン国のガザン・ハン中央集権化とイスラム化に着手
一二九六 アラーウッディーン・ヒルジー即位（～一三一六）。この王の時北インドから南下し、マールワー、ラージャスタン、グジャラートを征服印
一二九九 イル・ハン国、シリアに侵攻 小アジアでオスマン家自立
▽マムルーク朝で検地。イクター制を整備する
一三〇三 マムルーク朝軍、シリアでイル・ハン国軍を破る
一三〇七 オスマン家のオスマン一世、独立を宣言 ヒルジー朝の部将マリク・カーフル、ヤーダバ朝を倒す印
一三〇八 イル・ハン国、ルーム・セルジューク朝を滅ぼす
一三一〇 マリク・カーフル、カーカティーヤ、パーンディヤ、ホイサラの諸王朝を征服（～一一）。ムスリムの支配、南インドにまで及ぶ印
一三一三 イランにムザッファル朝興る
一三一八 イル・ハン国の宰相、歴史家ラシード・ウッディーン没（一二四七—）
一三二〇 ギャースッディーン・トゥグルク、デリーでトゥグルク朝創建（～一四一三）印
一三三〇 オスマン朝が、ビザンティン勢力を小アジアから追放 モロッコのマリーン朝、イベリア半島に出兵。キリスト教連合軍に敗れ撤退ア
一三三三 イブン・バットゥータ、デリーに滞在（～四二）印
一三三六 イル・ハン国分裂し弱体化 イラクにジャラーイル朝興る ハリハラ一世、南インドにビジャヤナガル王国を創始。ヒンドゥー政権の復活印

東南アジア

一二八四 ベトナムに元軍侵入、敗退
一二八七 パガン朝、元軍侵入により滅亡 下ビルマにペグー朝成立（～一五三九）
一二八八 ベトナム軍、元軍を白藤江に破る
一二八九 シンガサリ王国、元朝の使者を追放する
一二九二 シンガサリ王国滅ぶ ラーマカムヘン王の碑文製作される
一二九三 ビジャヤ、ジャワの元軍を撃退してマジャパヒト王国創建（～一五二〇ごろ）
一二九六 シャムにチェンマイ王国（ラーンナ王国）成立 中国人周達観、カンボジアに滞在（～九七）、帰国後『真臘風土記』を著す
▽一四世紀前半、スマトラ北部にイスラム教が定着し始める

中国とその周辺

一二八二 詩人文天祥刑死（一二三六—）
一二八九 会通河の開掘始まる
一二九四 フビライ没（一二一四—） モンテ・コルビノが大都に来る
一三〇一 オゴタイ・ハン国のハイドゥ没北ア
一三〇三 元朝と西方諸ハン国との和解が成立、ハイドゥの乱終る
一三一〇 チャガタイ・ハン国がオゴタイ・ハン国を滅ぼす中ア
一三一三 元で科挙が初めて実施される
一三一六 科学者郭守敬没（一二三一—）
一三二一 チャガタイ・ハン国が東西分裂中ア
一三二二 書家趙孟頫（子昂）没（一二五四—）
一三二三 「大元通制」を行う
一三二八 元朝に内乱、南北に政権対立し文宗が勝利、エルテムルが権勢をふるう（～三三）
一三三五 元でバヤンが権勢をふるう（～四〇ごろ）

日本

一二八一 元軍、高麗軍とともに筑前に来襲するも、大風により壊滅〔弘安の役〕
一二八二 北条時宗、円覚寺を建て無学祖元を開山とする
一二八三 無住『沙石集』成る
一二八五 北条貞時、安達泰盛一族を滅ぼし、金沢顕時を上総に流す〔霜月騒動〕
一二九三 幕府、鎮西探題を設置 『蒙古襲来絵詞』成る
一二九七 幕府、徳政令を発し、御家人の救済を図る〔永仁の徳政令〕
一二九九 円伊『一遍上人絵伝』を描く
▽一三世紀末、二毛作すでに一般化
一三〇二 幕府、一向宗を禁制
▽一三世紀以来、各地で悪党の跳梁激化、幕府たびたび禁令を出す
一三〇九 高階隆兼『春日権現験記絵巻』成る
一三一〇 幕府、苅田狼藉を検断沙汰に移す
一三一二 京極為兼『玉葉和歌集』撰進
一三一七 幕府、両統迭立を朝廷に提案〔文保の和談〕
一三二一 院政が廃され、後醍醐天皇の親政となる 記録所を再興
一三二二 虎関師錬『元亨釈書』成る
一三二四 後醍醐天皇の討幕計画露顕し、日野資朝ら捕えらる〔正中の変〕
一三三〇ごろ 吉田兼好『徒然草』成る
一三三一 後醍醐天皇、討幕を謀り捕えらる〔元弘の乱〕
一三三三 足利高氏、新田義貞ら、六波羅および鎌倉を攻略し、鎌倉幕府滅亡す
一三三五 北条時行、鎌倉を一時回復するも、足利尊氏に敗れる〔中先代の乱〕 尊氏建武政権に叛す
一三三六 尊氏、京都を制圧し、建武式目を定む 後醍醐天皇、吉野に移る（南北朝分裂）
一三三八 北朝、尊氏を征夷大将軍に任ず
一三三九 北畠親房『神皇正統記』を著す

鎌 倉 時 代　｜　建武政権

14 世紀

一三四二 ラヨシュ一世即位（〜八二）。その治世下に中世ハンガリー王国全盛期
▽一四世紀半ばごろからイギリス議会、上院・下院に分かれる
一三四六 クレシーの戦いで、英軍、仏軍を破る〔百年戦争〕
一三四七 イギリス軍、カレー占領〔百年戦争〕 コラ・ディ・リエンツォの古代ローマ復興運動[伊] ペストの大流行（〜五二）
一三五六 ポアティエの戦いで、イギリスのエドワード黒太子、仏王ジャンを破り捕う〔百年戦争〕 カール四世の金印勅書、七選帝侯確定[独]
一三五八 ジャクリーの農民一揆[仏]
一三六〇 ブレティニーの和（百年戦争一時休戦）
一三六一 ペスト再流行[英] ハンザ同盟、デンマーク王と戦う（〜七〇）
一三七〇 ハンザ同盟とデンマーク王講和し、ハンザ同盟の商権拡大
一三七一 セルビア、オスマン・トルコに大敗、ネマーニャ朝断絶
一三七四 詩人ペトラルカ没（一三〇四—）[伊]
一三七五 『デカメロン』の作者ボッカチオ没（一三一三—）[伊]
一三七七 アビニョンの幽囚終る
一三七八 フィレンツェでチオンピの乱[伊] ローマとアビニョンに教皇並立〔教会の大分裂（〜一四一七）〕
一三八〇 ジェノバ、ベネチアに敗北、衰退始まる[伊] モスクワ公国のドミトリー・ドンスコイ、タタール人に勝利〔クリコボの戦い〕[露]
一三八一 ワット・タイラーの農民一揆[英] 独で小銃発明
一三八三ごろ 神学者ウィクリフ、聖書を英訳[英]
一三八四 ブルグント公フィリップ豪胆公、ネーデルラントを支配[仏]
一三八六 ゼンパハの戦いでスイス同盟軍、オーストリア軍を破る ポーランドにヤギェウォ朝成立（〜一五七二）
一三八九 デンマーク、スウェーデンを併合
一三九三 オスマン・トルコ、ブルガリアを征服
一三九五 ビスコンティ家、ミラノ公となる[伊]
一三九七 カルマル同盟で北欧三国、デンマークに統合される
一三九九 ランカスター朝始まる（〜一四六一）[英]
一四〇〇 詩人チョーサー没（一三四〇ごろ—）[英]

一三四六 エジプト、西アジアでペストの大流行
一三四七 アラーウッディーン・バフマン・シャー、トゥグルク朝から自立して、デカンにバフマン朝を創始（〜一五二〇ごろ）[印]
一三五七 オスマン朝がガリポリを占領、ヨーロッパ侵攻の足場を築く
一三六〇 オスマン朝軍、ワラキア急襲
一三六四 オスマン朝軍、ヨーロッパ連合軍を撃破
一三六五 バフマン朝とビジャヤナガル王国、クリシュナ川を国境とする協定を結ぶ[印]
一三六六 オスマン朝、エディルネを占領して首都を遷す
一三七〇 ティムール、西トルキスタンの支配者となる
一三七三 ビザンティン皇帝、オスマン朝に和を求めて臣従
一三七八 イランに黒羊朝と白羊朝が成立 バフマン朝に王位をめぐる内訌起る[印]
一三八〇 コンカン地方、ゴア、ビジャヤナガル王国領となる[印]
一三八二 エジプトのバフリー・マムルーク朝滅び、ブルジー・マムルーク朝興る（〜一五一七）
一三八七 ティムール、ムッザファル朝を滅ぼす
一三八九 オスマン朝軍、コッソバでヨーロッパ連合軍に大勝。ブルガリア全土を支配下におく
一三九〇ごろ トゥグルク朝の支配力弱まり、ハーンデーシュ、ジャウンプル、マールワー、グジャラート地方に独立のムスリム政権が誕生[印]
一三九三 オスマン朝、ブルガリア併合
一三九四 オスマン朝のバヤジット一世初めてスルタンと称す
一三九五 ティムールがイラン、イラクの大部分を征服
一三九六 オスマン朝軍、ハンガリー王の率いる対オスマン十字軍を破る〔ニコポリスの戦い〕
一三九八 ティムール、デリーに侵入。トゥグルク朝衰退[印]
一三九九 バフマン朝、ビジャヤナガル王国を破る[印]

一三五〇 シャムにアユタヤ王国成立（〜一七六七）
▽このころから一五世紀にわたり、フィリピンにマライ人が移住。ミンダナオ、スルのイスラム化の基礎となる
一三五三 ラオスにランサン王国成立
一三六四 シャン族、アバ王国を興し、上ビルマを支配（〜一五五五）
一三六五 マジャパヒト王国で、ジャワ語史詩『ナーガラ・クルターガマ』著される
一三七一 アユタヤ朝、スコータイ朝を攻撃
一三七八 アユタヤ朝、スコータイを属領とする
▽一四世紀後半、マジャパヒト王国、スマトラを攻略（シュリービジャヤ滅亡）、マライ半島に進出

一三四二 教皇の使節マリニョーリが大都に至る
一三四五 *イブン・バットゥータが中国に至るという
一三四八 方国珍の挙兵
一三五一 劉福通らの紅巾の乱が起る
一三五二 郭子興が挙兵、朱元璋がこのころ郭子興軍に投ずる
一三五三 張士誠が挙兵
▽このころ高麗への倭寇の侵入が甚しい[朝]
一三五九 紅巾軍が朝鮮侵入（〜六〇）
一三六〇 東チャガタイ・ハン国が西チャガタイ・ハン国を併合[中ア]
一三六三 朱元璋が鄱陽湖で陳友諒撃破
一三六四 朱元璋が呉王となる
一三六七 朱元璋が張士誠・方国珍を降す
一三六八 朱元璋（洪武帝 〜九八）が明（〜一六四四）を建国 元が漠北に去る（北元） 一世一元制採用 律令公布
一三七一 倭寇対策で海外渡航を禁止
一三七五 大明宝鈔の発行
一三八〇 胡惟庸の獄が起る 中書省が廃され六部が皇帝に直属
一三八一 里甲制の施行、賦役黄冊がつくられる
一三八二 錦衣衛・殿閣大学士の設置
一三八三 シャム、チャンパー、真臘との勘合貿易始まる
一三八八 北元が滅ぶ[北ア] 李成桂が威化島で回軍、クーデターを断行[朝]
一三九〇 李善長の獄起る
一三九一 チベットで初代ダライ・ラマ即位[中ア] 科田法の公布[朝]
一三九二 李成桂が高麗に代り朝鮮国をたてる（〜一九一〇）[朝]
一三九三 藍玉の獄が起る
一三九六 漢城（ソウル）に遷都[朝]
一三九七 大明律公布 ティムールが東チャガタイ・ハン国を滅ぼす[中ア]
一三九九 燕王が挙兵〔靖難の変（〜一四〇二）〕

一三四一 夢窓疎石、天竜寺船の元派遣を請う
一三四二 幕府、五山十刹の制を定む
▽一四世紀中ごろより五山文学興隆し、五山版の出版もさかんとなる
一三四六 幕府、守護の新関開設を禁止し、関所新設の権限を掌握
一三四九 足利基氏、関東管領となる
一三五〇 足利直義、尊氏と対立〔観応の擾乱〕
一三五二 尊氏、直義を殺す。以後、幕軍と南軍、京都の争奪を繰り返す 幕府、半済の制を始む
一三五四 倭寇、高麗全羅道の船四〇〇余艘を奪う
一三五五 幕府、京都を制圧
一三五六 二条良基『菟玖波集』を撰す
一三五八 足利尊氏没（一三〇五—）
一三六四 堺の人道祐『論語集解』を開板（正平板）
一三六五 幕府、春日社造営棟別銭賦課を諸国の守護に命ず
一三六七 高麗使李夏生来朝、倭寇禁圧を請う 足利義詮、病のため政務を子の足利義満に譲り、細川頼之を管領とする
一三六九 明の洪武帝、懐良親王に倭寇禁圧を求む
一三七一 今川貞世、九州探題となり赴任す 『太平記』成る
一三七二 二条良基『連歌新式』を撰す
一三七八 義満、室町新邸（花の御所）に移る
一三七九 義満、細川頼之の管領職を罷免 幕府、南禅寺の春屋妙葩を僧録司とする
一三八〇 高麗の将李成桂、倭寇を撃退
一三八三 義満、源氏長者、准三后となる
一三八九 高麗軍、対馬を攻撃
▽一四世紀末からお伽草子行われる
一三九一 山名氏清・満幸、幕府に叛し敗北〔明徳の乱〕
一三九二 南北朝合一
一三九三 幕府、洛中辺土に散在する土倉・酒屋の役を定む
一三九五 幕府、九州探題今川貞世を召還
一三九七 北山第（金閣）上棟
一三九九 大内義弘、幕府軍に攻められ、堺に敗死〔応永の乱〕
一四〇〇ごろ 世阿弥『風姿花伝』成る

南北朝時代　　室町時代

15　世　紀

ヨーロッパ

▽一五世紀、イタリア・ルネサンスの最盛期
一四〇二　ボヘミアのフス、プラハ大学の学長となる
一四〇六　フィレンツェ、ピサを征服[伊]
一四〇七　冒険商人組合、王から特権獲得[英]
一四一〇　タンネンベルクの戦いで、ドイツ騎士団、ポーランドに敗北[独]
一四一四　コンスタンツ公会議で教会大分裂の克服とフス異端宣告
一四一五　フスの火刑　アジャンクールの戦いで英軍、仏軍を破る〔百年戦争〕
一四一七　教会の大分裂終る（一三七八～）
一四一九　ボヘミアでフス戦争始まる（～三四）
一四二〇　トロワの和約で英王ヘンリー五世の仏王位継承権承認〔百年戦争〕
一四二二　英王ヘンリー五世(在位一四一三～)、仏王シャルル六世（在位一三八〇～）相次いで没
一四二六　デンマーク、ハンザ同盟を攻撃
一四二八　英軍のオルレアン包囲〔百年戦争〕
一四二九　ジャンヌ・ダルク、オルレアン包囲を破る〔百年戦争〕
一四三一　ジャンヌ・ダルク（一四一二－）の火刑[仏]
一四三四　コシモ・ディ・メディチのフィレンツェ支配始まる（～六四）[伊]
一四三五　アラゴン王（シチリア支配者）、フランスのアンジュー家とナポリ支配をめぐって争い、ナポリ王となる（一四四二）[伊]
一四三八　アルブレヒト二世、神聖ローマ皇帝となり、ハプスブルク家支配始まる[独]
一四四三　アルバニア人、トルコに抗して独立政府を樹立
一四四五　ポルトガル人、アフリカ西岸のベルデ岬に達す
一四四九　仏軍、カレーを除くノルマンディーを制圧〔百年戦争〕
一四五〇　スフォルツァ家、ミラノ公となる[伊]
▽このころグーテンベルク活版印刷発明

西アジア・アフリカ・インド

一四〇二　オスマン朝のバヤジット一世、ティムールと戦い敗れる〔アンカラの戦い〕。オスマン朝一時解体
一四〇五　ティムール（一三三六－）、明遠征の途上病死。ティムール帝国分裂
一四〇六　ビジャヤナガル王国のデーバラーヤ一世、バフマン朝を攻撃[印]
一四一一　グジャラートのアフマッド・シャー一世、アフマダーバード市を建設して首都とす[印]
一四一三　メフメット一世、オスマン朝を再建
一四一四　ヒズル・ハーン、デリーにサイイッド朝を創始（～五一）[印]
一四一五　北アフリカのセウタがポルトガルによって占領される[ア]
一四一六　オスマン朝軍、ガリポリでベネチア海軍を破る
一四二〇　マクリーズィーの『エジプト誌』成る　シャー・ルフがティムール帝国を再統一
一四二二　オスマン朝軍、コンスタンティノープルを包囲
一四二五　バフマン朝、ビーダルに首都を遷す[印]
一四二八　サマルカンドに天文台建設
▽ティムール帝国の下で、サマルカンドとヘラート、学芸の中心地として栄える
一四三〇　オスマン朝、サロニカをベネチアより奪う　バフマン軍、グジャラートに侵入して撃退さる。このころから、バフマン軍内のデカン出身者と他地方出身者間に抗争激化する[印]
一四四〇　マールワーのマフムード一世、デリーに進軍。この後、王はジャランプル、ラージャスタン、グジャラートなどに進出[印]
一四四四　オスマン朝のムラト二世、バルナの戦いでハンガリー王の軍を破る
一四四八　ムラト二世、再びハンガリー王をコッソバで撃破

東南アジア

一四〇二　マラッカ王国興る（～一五一一）
一四〇五　マラッカの使節中国に至り、中国とマラッカの公式関係始まる
一四〇六　明の永楽帝の命により、張輔のベトナム遠征（～〇八）
一四〇七　ベトナムに後陳朝成立（～一三）、明に対して抵抗　アユタヤ朝、明に入貢
一四一三　明軍、ベトナムを征服(～二七)
一四一八　ベトナムの黎利、挙兵、明からの独立をはかる
一四一九　マラッカ王、明にシャムの侵入を訴える
一四二〇　黎利、明軍を破る
一四二八　ベトナムに黎朝成立(～一五二七、一五三二～一七八九)
一四三一　アユタヤ朝、アンコールを占領　カンボジアの首都東遷
一四四二　アユタヤ朝、チェンマイを攻めて失敗
一四四五ころ　マラッカ、イスラム教国家となる　これよりマライ半島のイスラム化進行
一四四六　黎朝、チャンパーと戦い国王を捕虜とする

中国とその周辺

一四〇二　燕王が建文帝を破り即位（永楽帝　～二四）
一四〇三　鋳字所を設置、銅活字を作る[朝]
一四〇五　鄭和の南海遠征が始まる（三三年まで七回）
一四〇七　交趾布政司をおき、ベトナムを直接支配（～二七）
一四〇八　『永楽大典』の成立
一四一〇　永楽帝の漠北親征（二四年まで五次にわたる）
一四一一　会通河が改修され、大運河による輸送が用いられる
一四一四　陳誠らティムール帝国に赴く
一四一九　明が倭寇を破り、朝鮮が対馬を攻撃。前期倭寇が衰える
一四二〇　秘密警察東廠の設置　山東に唐賽児の乱起る
一四二一　正式に北京遷都、南京が副都となる
一四二四＊内閣制度始まる
一四二六　漢王高煦の反乱
一四二七　交趾布政司の廃止
一四三三　江南で金花銀の徴収始まる
一四三九　エセンが太師淮王となり、オイラートが漠北に強盛となる[北ア]
一四四二　宦官王振の専権(～四九)　＊葉宗留の乱（～五〇年代）
一四四三　日本と癸亥約条（嘉吉条約）を結ぶ[朝]
一四四四　福建・浙江に銀山を開く
一四四六　浙江で銀山の鉱夫の乱　訓民正音（ハングル）頒布[朝]
一四四八　鄧茂七の乱起る（～四九）
一四四九　エセンが明の正統帝（英宗）を捕える〔土木の変〕

日　本

一四〇一　足利義満、商人肥富・僧祖阿を明に派遣
一四〇二　今川貞世『難太平記』を著す
一四〇四　幕府、明より日本国王の印章と勘合符を支給される（勘合貿易開始）
一四〇八　足利義満没（一三五八－）
一四〇九　幕府、京都と諸国の率分関を廃止
一四一二　南蛮船、若狭小浜に来る
一四一四　『融通念仏縁起絵巻』（京都清凉寺）成る
一四一六　上杉氏憲(禅秀)ら、鎌倉公方足利持氏に叛す〔上杉禅秀の乱〕
一四一九　朝鮮軍対馬に来寇するも撃退す〔応永の外寇〕　幕府、明と通交を絶つ
一四二三　幕府、朝鮮より『大蔵経』を贈られる
一四二六　近江の馬借、京都に乱入
一四二八　足利義持没（一三八六－）　義持の弟、僧義円（義教）足利家を嗣ぐ　近江・山城の土民、徳政を要求して蜂起〔正長の土一揆〕
一四三三　明との勘合貿易復活　伊勢・大和に土一揆起る
▽一五世紀前半、大工道具として大鋸が登場
一四三九　上杉憲実、足利学校を再興　憲実、持氏を攻めて自殺せしむ〔永享の乱〕
一四四一　赤松満祐、将軍義教を殺す〔嘉吉の乱〕
一四四六　大和の馬借、奈良に侵入
一四四七　畿内各地に土一揆起る
一四四八　近江蒲生郡今堀の惣百姓ら「惣の掟」を定む
一四四九　持氏の末子永寿王（成氏）、関東公方となる

室　町　時　代

15 世 紀

一四五三 ビザンティン帝国滅亡　百年戦争終る
一四五四 ミラノ公国とベネチア和し、イタリアに勢力均衡状態生まれる〔ローディの和〕
一四五五 ばら戦争始まる（〜八五）【英】
一四五八 ハンガリー王マーチャーシュ即位（〜九〇）。ハンガリーのルネサンス時代
一四六〇 デンマーク、シュレースウィヒ・ホルシュタインを領有　ポルトガルのエンリケ航海王没（一三九四―）
一四六一 ヨーク朝始まる（〜八五）【英】
一四六二 イワン三世、モスクワ大公となる（〜一五〇五）【露】
一四六四 哲学者ニコラウス・クザーヌス没（一四〇一―）【独】
一四六九 アラゴン王子フェルナンドとカスティリャ王女イサベルの結婚【西】　ロレンツォ・ディ・メディチのフィレンツェ支配始まる（〜九二）【伊】
一四七二 イワン三世、ビザンティン皇帝の姪と結婚【露】
一四七四 イサベル、カスティリャ女王に即位【西】
一四七七 ブルゴーニュ公領、王領となる【仏】
一四七九 アラゴンのフェルナンド二世即位、スペインの国家統一なる
一四八〇 モスクワ公国、キプチャク・ハン国より独立【露】
一四八一 スペインで異端審問開始
一四八五 ばら戦争終り、ヘンリー七世（在位〜一五〇九）テューダー朝を興す【英】
一四八七 ポルトガルのバーソロミュー・ディアス、喜望峰回航に成功（〜八八）
一四九二 スペイン、グラナダ王国を滅ぼす（国土回復運動終る）　コロンブスの第一回航海、アメリカ発見　ボルジア家、ローマ支配権掌握【伊】
一四九三 教皇子午線を決定
一四九四 教皇子午線修正〔トルデシリャス条約〕　仏王の伊侵入、フィレンツェ一時共和政となる【伊】
一四九五 皇帝マクシミリアン一世の帝国改革【独】
一四九七 カボット、北米東海岸探検【英】　アメリゴ・ベスプッチ、南米発見【伊】　サボナローラの「虚栄の焼却」（一四九八も）【伊】
一四九八 バスコ・ダ・ガマ、インド航路発見　フィレンツェでサボナローラの火刑【伊】
一四九九 仏王ルイ一二世のミラノ征服【伊】　オーストリア、スイス同盟と戦い、バーゼルの和約でスイスの独立承認　アメリゴ・ベスプッチの第二回航海
一五〇〇 ポルトガルのカブラル、ブラジル発見
▽一五世紀末ごろ、イギリスでエンクロージャー（囲い込み運動）盛んとなる

一四五一 バハロール・ロディー、ロディー朝を創始（〜一五二六）【印】
一四五三 オスマン朝、コンスタンティノープルを征服。同地をイスタンブールと改名して遷都
一四五五 オスマン朝カッパドキア併合
一四五七 メワール（ラージャスタン）のマハーラーナ・クンバ、グジャラート、マールワーのムスリム軍を破る【印】
一四五八 グジャラート王国、マフムード・ベガダー（在位一四五八〜一五一一）の下に強盛【印】
一四六一 オスマン朝、トレビゾンド帝国を滅ぼし、その領土を併合
一四六三 マールワーのマフムード、バフマン領に侵入。ベガダーのために退却させられる【印】
一四六六 オスマン朝、コニアを陥し、小アジアの征服完了
一四六九 白羊朝が黒羊朝を滅ぼす
一四七一 オスマン朝がカラマン君侯国を併合
一四七四 オスマン朝軍が白羊朝軍を撃破し、その侵入を防ぐ
一四七五 クリム・ハン国がオスマン朝に臣従
一四七七 白羊朝軍、マムルーク朝軍を破る
一四七八 白羊朝、ウスン・ハサンの死（一四二四―）により、分裂
一四七九 ロディー朝、ジャウンプルを併合【印】
一四八一 オスマン朝で内戦。メフメット二世の長子バヤジットが次子ジェムをナポリに追放
一四九〇 バフマン朝弱体化し、アーディル・シャーヒー（ビジャプール）、ニザーム・シャーヒー（アフマドナガル）、イマード・シャーヒー（ベラール）の三王国が分立。後、クトゥブ・シャーヒー（ゴルコンダ）も独立【印】

一四五一 チェンマイ軍、アユタヤ朝を攻撃して失敗
一四五五ごろ アユタヤ軍、マラッカ遠征
▽一五世紀後半、マジャパヒト王国衰退
一四六〇 黎朝の聖宗即位（〜九七）、黎朝最盛期を迎える
一四六一 チェンマイ軍、スコータイを攻略
一四六二 アユタヤ軍、スコータイを奪回
一四六三ごろ マラッカに琉球船の来航が始まる
▽一五世紀半ばごろジャワ、スマトラにイスラム教広まる
一四七一 黎朝、チャンパーの王都ビジャヤを占領
一四七五ごろ イスラム教モルッカに広まる
一四七九 聖宗の命により『大越史記全書』成る
一四八六 中部ビルマにトゥングー王国興る（〜一七五二）

一四五三 オイラートのエセンが大元可汗と称する【北ア】　李澄玉の乱起る【朝】
一四五四 エセン殺され、オイラート衰退に向かう【北ア】
一四五七 英宗が再び帝位につく〔奪門の変〕、于謙処刑される　タタールが入寇
一四六四 荊襄の乱起る（〜六六）
一四六七 明、建州女真を討つ　李施愛の乱起る【朝】
一四七〇 再び荊襄の乱起る（〜七一）　『経国大典』成立【朝】
一四七四 長城の構築・補修を始める
一四七七 西廠を設置、宦官汪直が任にあたり専権が始まる（〜八二）
一四八七 タタールにダヤン・ハンが立つ（〜一五二四）【北ア】　『東国輿地勝覧』の刊行【朝】
一四八八 均徭法を全国に施行
一四九八 金宗直らが処刑される〔戊午の士禍〕【朝】

一四五三 幕府、大神宮造営段銭を諸国に課す
一四五五 今川範忠、鎌倉を攻略。成氏逃れて下総古河に拠る（古河公方）　幕府、徳政条令を定む
一四五七 太田道灌、武蔵江戸城を築く　将軍足利義政、足利政知を伊豆堀越に遣わす（堀越公方）
▽一五世紀中ごろ、村田珠光、佗茶を始め茶道の祖となる
▽一五世紀中ごろ、池坊専慶ら華道創成
一四六五 蓮如、延暦寺衆徒に襲われ、東山大谷から近江堅田に移る
一四六七 将軍継嗣問題を機に、諸大名、東西両軍にわかれ京都を中心に合戦〔応仁の乱（〜七七）〕　この年以後、僧侶・貴族の京を去るもの多し
一四六九 雪舟、明より帰国、水墨画を大成
一四七一 東常縁、宗祇に古今伝授を行う　蓮如、越前吉崎に坊舎を建てる
一四七七 応仁の乱終る。諸将帰国し割拠す
一四七八 桂庵玄樹、薩摩に赴く
一四八〇 一条兼良『樵談治要』『文明一統記』を著し、将軍足利義尚に贈る
一四八三 義政、東山山荘（銀閣）に移る
一四八五 山城の住民、畠山氏の兵の撤去を要求〔山城国一揆〕
一四八八 加賀守護富樫政親、一揆に敗れ自殺〔加賀一向一揆〕
一四九〇 足利義政没（一四三六―）
一四九一 伊勢宗瑞（北条早雲）、堀越公方を討ち、伊豆を攻略
一四九三 細川政元、将軍義材を追放し、僧清晃（足利義澄）をたてる
一四九五 早雲、小田原城を攻略　宗祇『新撰菟玖波集』を編集
一四九八 三河・遠江に大地震、浜名湖、外海とつながる
一五〇〇 幕府、はじめて撰銭禁令を出す
一五〇〇ごろ 龍安寺庭園成る

室 町 時 代

16 世 紀

ヨーロッパ

一五〇一 ルイ一二世のナポリ占領[仏]
一五〇二 バスコ・ダ・ガマの第二回インド航海
一五〇三 ギリシア、トルコ領となる
一五〇九 エラスムス『愚神礼讃』成る[蘭] ヘンリー八世即位（〜四七）[英]
一五一〇 画家ボッチチェリ没（一四四四—）[伊]
一五一二 仏王ルイ一二世、イタリアを追われる ベネチアの共和政崩壊[伊]
一五一三ころ マキャベリ『君主論』執筆[伊]
一五一五 囲い込み制限令発布[英] 仏王、伊に侵入、ミラノを再占領、ナポリはスペイン領となる〔マリニャーノの戦い〕
一五一六 トマス・モア『ユートピア』出版[英]
一五一七 マルティン・ルターの九五か条意見書〔宗教改革〕[独]
一五一九 ルターとエックの神学論争〔ライプツィヒ討論〕[独] ツウィングリ、スイスで宗教改革 マジェラン、世界周航に出発（〜二二）[西] 画家・科学者レオナルド・ダ・ビンチ没（一四五二—）[伊]
一五二〇 ルター、三大論文を発表[独] 画家ラファエロ没（一四八三—）[伊]
一五二一 カール五世、ルターを召喚〔ウォルムスの国会〕[独] 独皇帝カール五世と仏王フランソア一世、イタリアをめぐって戦う（〜二六）
一五二二 ジッキンゲンらの騎士戦争（〜二三）[独]
一五二三 スウェーデン独立（カルマル同盟解消）
一五二四 ドイツ農民戦争起る（〜二五）
一五二六 第一回シュパイエル国会[独]
一五二七 ヘンリー八世、妃と離婚、教皇と対立[英]
一五三〇 アウグスブルク帝国議会で新旧諸侯分裂[独]
一五三一 新教派の諸侯・都市が同盟結成〔シュマルカルデン同盟〕[独]
一五三四 首長令制定、イギリス国教会成立[英] イエズス会創立[西]
一五三五 トマス・モア刑死（一四七八—）[英]
一五三六 英で修道院解散 カルバン『キリスト教綱要』発刊[仏]
一五四一 カルバン、ジュネーブで宗教改革、神政政治開始（〜六四）
一五四三 ポーランドのコペルニクス、地動説を発表 ベルギーのベサリウス、『人体の構造』を著し、近代解剖学を確立
一五四五 トリエント公会議始まる（〜六三）
一五四六 シュマルカルデン戦争開始（〜四七）[独]
一五四七 イワン四世、ツァーリ（皇帝）を称す[露]
一五四九 英の東部で農民一揆〔ケット一揆〕
一五五〇 イワン四世、法典を改正、中央集権体制確立[露]

アメリカ

▽三〜九世紀ころ、古代メキシコ、グアテマラを中心にマヤ文明隆盛（古典期マヤ）
▽一〇〜一一世紀ころ、新マヤ文明が興隆
▽一二世紀ころ、南アメリカの中央アンデス地方にインカ帝国成立
▽一三世紀ころ、メキシコ中央高原にアステカ文明隆盛
▽一五世紀ころ、インカ文明隆盛期
一五一三 スペインのバルボア、パナマ地峡を越え、太平洋を発見
一五二〇 マジェラン、南米南端通過
一五二一 スペイン人コルテス、アステカ帝国を征服
一五三一 スペイン人ピサロのインカ帝国征服始まる（〜三三）
一五三三 インカ帝国滅亡
一五三四 ペルー人、スペインに反乱（〜三六）
▽このころフランス人カルティエ、セントローレンス川流域探検、ケベックに至り、その地方をカナダと命名[カ]
一五三五 ブエノスアイレス建設、失敗
一五三八 スペイン、ボリビアを征服
一五三九 ポルトガル、ブラジルにカピターニア制をしき、新大陸経営を開始
一五四一 スペインのオレリャーナ、アマゾンを航下（〜四二）
一五四五 ペルーのポトシ銀山採掘始まる
一五四六 メキシコでサカテカス銀山発見される

西アジア・アフリカ・インド

一五〇一 イランにサファビー朝成立
一五〇四 ロディー朝のシカンダル、アーグラに首都を建設[印]
一五〇五 中央アジアにシャイバン朝興る（〜一五九八）
一五〇九 クリシュナデーバラーヤ即位（〜二九）。ビジャヤナガル王国を最盛期に導く[印]
一五一〇 北アフリカのトリポリ、スペインに占領さる[ア]
一五一四 オスマン朝軍、サファビー朝の首都タブリーズを陥す
一五一六 オスマン朝軍、マムルーク朝軍を破りスルタンを戦死さす
一五一七 マムルーク朝滅び、オスマン朝がシリア、エジプト、アラビア半島を併合。カイロのアッバース家のカリフも捕われアッバース朝名実ともに消滅
一五一八 バクティ派の聖者カビール没（一四四〇—）[印]
一五二〇 クリシュナデーバラーヤ、ビジャプール軍を撃滅、ライチュール地方を取る。さらにビジャプール、グルバルガを占領（一五二三）[印]
一五二二 オスマン朝、ロードス島占領
一五二六 オスマン朝軍、ハンガリーを征服 パーニーパットの戦いで、バーブル、イブラーヒーム・ロディーを破り、北インドにムガル帝国の基礎を築く[印]
一五三三 バクティ派の聖者チャイタマヤ没（一四五八—）[印]
一五三五 オスマン朝、イラクを併合 オスマン朝、フランスと同盟。恩恵貿易を許す チュニジアのハフス朝、スペインの保護下に入る[ア]
一五三六 サファビー朝、イラクの領土を回復
一五三八 シク教の祖グル・ナーナク没（一四六九—）[印]
一五四〇 ムガル帝国第二代フマーユーン、スール朝のシェール・シャーに敗れ、イランに逃る[印]
一五四六 オスマン朝イェメンを征服
一五五〇 オスマン朝、サファビー朝と三たび戦う

中国とその周辺・東南アジア

一五〇二 『大明会典』成立
一五〇五 宦官劉瑾の専権（〜一〇）
一五〇八 陽明学成立
一五一〇 安化王寘鐇がそむく 直隷に劉六・劉七の乱（〜一二）
一五一一 ポルトガル、マラッカを征服（〜一六四一）[東ア]
一五一三 マラッカのパテ・ケティル反乱失敗[東ア]
一五一五 このころから三〇年ごろ、スマトラにアチェー王国独立[東ア]
一五一七 ポルトガル人広東に来る
一五一九 寧王宸濠がそむく。王守仁が王を捕える
一五二一 嘉靖帝が即位し大礼の議が起る（〜二四） マジェラン、フィリピン群島に来航[東ア]
一五二二 ポルトガル、パセー、テルナテに築城[東ア] ジャワのパジャジャラン王国、ポルトガルと友好条約を結ぶ[東ア]
一五二五 アチェー、ポルトガル軍をパセーから追放[東ア]
一五二七 莫登庸、黎朝を簒奪[東ア]
一五二八 王守仁（陽明）が両江の猺族を平定。帰途病没（一四七二—）
一五三〇 北京に天壇を設ける
一五三一 トウングー朝のタビンシュエティ王、ビルマ統一開始[東ア]
一五三三 大同の兵卒の乱（〜三四） 黎朝復興し莫氏と対立[東ア]
一五三七 ポルトガル人マカオに植民 アチェー、マラッカを攻撃（〜八二）[東ア] 莫氏に明の干渉始まる[東ア]
一五三九 ペグー朝、トウングー朝に滅ぼされる[東ア]
一五四〇* 一条鞭法の施行始まる
一五四一 莫登庸、明軍に降伏。明より安南都統使に任命される[東ア]
一五四二 タタールのアルタン、山西に侵入。このころタタール連年入寇 厳嵩の専権（〜六二）
一五四六 トウングー朝、上ビルマを併合[東ア] ザビエル、アンボイナ、テルナテを訪問[東ア]
一五四七 トウングー朝、アラカン王国を攻撃[東ア]
一五四九 倭寇が浙江に侵入。このころ後期倭寇の活動はなはだしい
一五五〇 アルタン、北京を包囲

日本

一五〇六 北条氏の検地初見
一五〇七 長尾為景、越後守護上杉房能を追い、定実をたてる
一五〇八 前将軍足利義尹（義植）、大内義興に擁され入京、将軍となる
一五一〇 朝鮮の三浦に居留の邦人ら貿易統制に反対し暴動〔三浦の乱〕
▽一六世紀初めより鉱山業興隆
一五一六 北条早雲、三浦義同（道寸）を滅ぼす
一五一八 大内義興、領内に撰銭令を出す 『閑吟集』成る
一五二〇 今川氏の検地初見
一五二一 細川高国、将軍義植を廃し、足利義晴を擁立
一五二三 細川高国、大内義興あいついで明へ使者を送る。両使明王謁見の順序を寧波で争う 毛利元就、家を継ぐ
一五二六 今川氏親『仮名目録』三三条を制定
一五二八 阿佐井野宗瑞、『医書大全』刊行
一五三〇 幕府、大内義隆に遣明船復活を許す 狩野派祖正信没（一四三四—）
一五三一 細川高国、三好元長らに敗れ自殺
一五三四 琵琶法師の当道座、本座と新座に分裂
一五三六 伊達稙宗『塵芥集』を制定 延暦寺衆徒ら京都の法華宗寺院を焼く〔天文法華の乱〕
一五四一 武田晴信（信玄）、父信虎を追う
一五四二 大内義隆・毛利元就、出雲に入り尼子晴久を討つ 斎藤道三、守護土岐頼芸を追う
一五四三 ポルトガル船、種子島に来り鉄砲を伝う
一五四七 信玄、家法五五条を制定
一五四八 長尾景虎（謙信）、家を継ぐ
一五四九 ザビエル、鹿児島に来りキリスト教を伝う

室 町 時 代

16 世紀

一五五二 独王カール五世と仏王アンリ二世戦う
一五五三 文人ラブレー没（一四八四—）[仏]
一五五四 英女王メアリ一世（在位一五五三〜五八）、スペイン王子フェリペ二世と結婚
一五五五 アウグスブルクの宗教和議[独]
一五五六 ハプスブルク家、スペインとオーストリアに分立
一五五八 エリザベス一世即位（〜一六〇三）[英]
一五五九 エリザベス、国王至上法復活、統一令制定[英]
一五六二 ユグノー戦争起る（〜九八）[仏]
一五六三 三九か条の信仰箇条発布、英国国教会設立完了 徒弟条例発布[英]
一五六四 ミケランジェロ没（一四七五—）[伊]
一五六五 ネーデルラント貴族、同盟結成[蘭]
一五六六 グレシャム、ロンドン取引所設置[英]
一五六八 オランダ独立戦争始まる（〜一六四八）
一五六九 メディチ家のコシモ一世、トスカナ大公に[伊] ポーランド共和王国成立 メルカトルの『世界地図』（投影図法）成る[独]
一五七一 レパントの海戦で、スペイン・ベネチア・教皇艦隊がトルコ海軍を破る
一五七二 サン・バルテルミーの大虐殺[仏]
一五七六 ベルギーで一七州、外国軍の撤兵、新教迫害の中止を盟約〔ガンの盟約〕
一五七七 ドレークの世界周航（〜八〇）[英] コサック首長イェルマーク、シベリア進出[露]
一五七九 北部七州、独立達成のための同盟結成〔ユトレヒト同盟〕[蘭]
一五八〇 モンテーニュ（一五三三—九二）の『随想録』成る[仏] フェリペ二世、ポルトガルを併合（〜一六四〇）[西]
一五八一 北部七州独立宣言。オランダ連邦共和国成立[蘭]
一五八二 グレゴリオ暦成立
一五八三 ガリレオ・ガリレイ、振子の等時性発見[伊]
一五八七 前スコットランド女王メアリ・ステュアート（在位一五四二〜六七）処刑[英]
一五八八 英海軍、スペイン無敵艦隊を撃滅
一五八九 ブルボン朝成立（〜一七九二）[仏]
一五九三 アンリ四世、カトリックに改宗[仏]
一五九五 コサックの大反乱（〜九六）[露]
一五九七 アイルランドで対英反乱
一五九八 アンリ四世のナントの勅令でユグノー戦争終結[仏] リューリク朝断絶[露]
一六〇〇 イギリス東インド会社設立 ポーランドとスウェーデン開戦（〜二九） ギルバート、『磁石について』を著す〔電磁気学の基礎〕[英]

一五五四 サンパウロ市建設
一五五七 リオデジャネイロ建設、失敗
一五六二 ユグノー、南カロライナ植民、失敗
一五六五 リオデジャネイロ再建 スペイン人、フロリダに植民地建設
一五七〇 英人ドレーク、西インド諸島に航海（〜七三）
一五七二 イエズス会の新大陸布教開始
一五七四 ブラジルに黒人奴隷輸入始まる
一五七九 ドレーク、カリフォルニア海岸に達す
一五八〇 ブエノスアイレス再建
一五八三 英人ギルバート、ニューファンドランドを訪れ、英領と宣言
一五八四 英人ウォーター・ローリーのバージニア探検
一五八五 ウォーター・ローリーのバージニア植民、失敗

一五五一 オスマン朝、トリポリをスペインより奪う
一五五五 フマーユーン、デリーを奪還[印]
一五五六 ムガル帝国、アクバル即位（〜一六〇五）[印]
一五六五 オスマン朝海軍、マルタ島を攻撃して失敗 ビジャヤナガル王国、ターリコータの戦いで、デカン・ムスリム諸王国連合軍に敗れ、衰退。その後、南インド各地にはナーヤカと呼ばれる小領主が、分裂割拠[印]
一五七一 オスマン朝、キプロス島をベネチアより奪う イネバフト（レパント）沖の海戦で、オスマン朝海軍、ヨーロッパ連合艦隊に敗れる オスマン朝ハフス朝を滅ぼし、チュニジアを併合
一五七三 アクバル、グジャラートを征服[印] トーダル・マルの検地を実施[印]
一五七六 アクバル、ベンガルを征服[印]
一五八〇 オスマン朝、英商人に恩恵的特権貿易を許す
一五八一 英レバント貿易会社の設立
一五八五 アクバル、カーブルを征服。さらにカシミールも征服（八六）[印]
一五八七 オスマン朝、再びイラクを征服 サファビー朝、アッバース一世即位（〜一六二九）。同朝最盛期を迎える
▽イスファハーンに王宮、官衙が建設され、サファビー朝の首都として栄える
一五九一 アクバル、シンドを征服[印]
一五九二 アクバル、オリッサを征服[印]
一五九九 中央アジアのブハラに、ブハラ・ハン国成立（〜一九二〇）
一六〇〇 アクバル、デカンのアフマドナガル王国を攻撃、首都を陥す[印]

一五五一 トゥングー朝、バイナウン王即位（〜八一）。同朝最盛期[東ア]
一五五二 ザビエル上川島で没（一五〇六—） アルタンに敗れオイラート、モンゴリアから駆逐さる[北ア]
一五五五 倭寇が南京に侵入 倭寇が全羅道に侵入[朝]
一五五六 ビルマ、チェンマイを陥れ、ランナータイ国を滅ぼす[東ア]
一五五七 倭寇の首領王直殺される ポルトガルのマカオ居住を承認
一五五八 黎派の阮氏、ユエに赴く[東ア]
一五六三 戚継光らに敗れ後期倭寇衰退
一五六五 スペイン人レガスピ、フィリピンに遠征[東ア]
一五六七 海禁が緩和される
一五六九 海瑞が江南の地主を弾圧 イスラム軍、アンボイナのポルトガル人を攻撃[東ア] ビルマ、アユタヤを攻略[東ア]
一五七〇 明、アルタンと和議を結ぶ
*『西遊記』成立 イスラム軍、テルナテのポルトガル要塞攻撃（〜七四陥落）[東ア]
一五七一 スペイン、フィリピンを占領、マニラ市を建設[東ア]
▽このころスペイン、フィリピンにエンコミエンダ制施行
一五七三 アルタン、チベットに遠征（〜七八）[北ア]
一五七四 ビルマ、ビエンチャンを占領「[東ア]
一五七六 東西党論が起る[朝]
一五七八 張居正の全国的な土地の丈量始まる 『本草綱目』成立
一五八一 イェルマークのシベリア遠征（〜八五）[北ア]
一五八二 マテオ・リッチ、マカオに来る 張居正没（一五二五—）
▽このころジャワにマタラム王国成立（〜一七五五）[東ア]
一五八三 ヌルハチが挙兵[北ア]
一五八四 トゥングー朝、シャムの攻略に失敗（九四までに五回）[東ア]
一五八六 アチェー、マラッカを包囲して撃退される[東ア]
一五八七 『万暦大明会典』成立 東林書院復興
一五九二 寧夏でボバイの乱 鄭氏ハノイの莫氏を追う[東ア]
一五九六 オランダ艦隊、ジャワに到着「[東ア]
一五九七 播州で楊応竜の乱（〜一六〇〇） 鉱税の害起る
一五九九 満州文字の制定[北ア]

一五五一 大内義隆、陶隆房（晴賢）に敗れ自殺 南村梅軒、山口を去り土佐に移る
一五五五 上杉謙信、武田信玄と川中島に戦う 毛利元就、陶晴賢を厳島に破る
一五五六 斎藤義竜、父道三を殺す
一五五九 信玄、悪銭・新銭の通用を禁止
一五六〇 幕府、ビレラに布教を許す 織田信長、尾張桶狭間に今川義元を破る
一五六一 謙信と信玄、川中島で激戦
一五六四 松平（徳川）家康、三河一向一揆を制す
一五六五 将軍足利義輝、松永久秀らに殺さる
一五六七 信長、斎藤竜興の美濃井ノ口城を攻略
一五六八 信長、足利義昭を奉じて入京
一五六九 信長、撰銭令を出す
一五七〇 信長・家康の連合軍、近江姉川で浅井・朝倉を破る〔姉川の戦い〕
一五七一 信長、延暦寺を攻めて堂塔を焼く
一五七二 信玄、家康を三方ヶ原に破る
一五七三 信長、将軍義昭を放逐、室町幕府滅亡
一五七四 信長、朝倉・浅井を滅ぼす 狩野永徳『洛中洛外図屏風』を描く
一五七五 武田勝頼、信長・家康に敗れる〔長篠の戦い〕
一五七六 信長、安土城に移る
一五七九 安土で浄土宗と日蓮宗が論争
一五八二 大友・大村・有馬三氏、ローマ教皇に使者を派遣 武田勝頼、信長・家康に攻められて自殺 明智光秀、信長を本能寺で殺害〔本能寺の変〕 山崎の合戦で光秀敗北
一五八三 豊臣秀吉と柴田勝家、賤ヶ岳で戦い、勝家敗北〔賤ヶ岳の戦い〕
一五八四 小牧長久手で秀吉、家康と戦う
一五八五 秀吉、関白となる
一五八七 島津氏、秀吉に降伏〔九州征伐〕 秀吉、ヤソ教の布教を禁止 北野の大茶会開催
一五八八 秀吉、刀狩を実施 大小判を鋳造
一五九〇 北条氏降伏〔小田原征伐〕 秀吉、家康に関八州を与える
一五九一 千利休自殺（一五二二—）
一五九二 秀吉、朝鮮に出兵〔文禄の役〕
一五九三 小西行長、沈惟敬と休戦 キリシタン版『伊曾保物語』刊行
一五九五 秀吉、秀次を高野山で自殺させる
一五九七 加藤清正・小西行長、朝鮮で再攻撃〔慶長の役〕
一五九八 豊臣秀吉没（一五三六—） 日本軍の朝鮮からの撤兵ほぼ完了
一六〇〇 オランダ船リーフデ号豊後に漂着。家康、ウィリアム・アダムズと会う 関ヶ原の戦い。西軍敗北

安土桃山時代 | 室町時代

17 世 紀

ヨーロッパ

一六〇一 エリザベス一世、救貧法制定英
一六〇二 オランダ、東インド会社設立
一六〇三 ジェームズ一世即位(～一六二五)、ステュアート朝始まる(～一七一四)英
一六〇四 フランス、東インド会社設立
一六〇五 カトリック教徒の議場爆破計画失敗〔火薬陰謀事件〕英
一六〇六 カトリック教徒抑圧令制定英
一六〇九 ケプラー、惑星の運動法則を発見独
ガリレイ、天体望遠鏡を発明伊
一六一一 スウェーデン王グスタフ・アドルフ即位(～三二)
一六一三 ロマノフ朝成立(～一九一七)露
一六一四 三部会の召集仏
一六一六 シェークスピア没(一五六四—)英
一六一八 ブランデンブルク選帝侯、プロイセンを併合独 三〇年戦争始まる(～四八)
一六二一 オランダ、西インド会社設立 オランダの対スペイン戦争再開
一六二四 リシュリュー、宰相となる仏
一六二五 三〇年戦争第二期(デンマーク戦争)に入る グロティウス(一五八三—一六四五)『戦争と平和の法』成る蘭
一六二六 哲人フランシス・ベーコン没(一五六一—)英 三〇年戦争で皇帝軍(ワレンシュタイン)、デンマーク王を破る
一六二八 権利の請願英 ハーベー、「血液循環の法」を発見英
一六二九 イギリス議会長期解散(～四〇)
一六三〇 三〇年戦争第三期、グスタフ・アドルフ、ドイツに侵入 天文学者ケプラー没(一五七一—)独
一六三二 リュッツェンの戦いで、グスタフ・アドルフ戦死〔三〇年戦争〕
一六三三 ガリレイ(一五六四—一六四二)の宗教裁判、翌年有罪宣告伊
一六三五 三〇年戦争第四期、仏・スウェーデン同盟 アカデミー・フランセーズ創設仏
一六三七 デカルト(一五九六—一六五〇)、『方法叙説』刊行仏
一六四〇 短期議会・長期議会英
一六四二 ピューリタン革命始まる(～六〇)英
一六四三 ルイ一四世即位(～一七一五)、マザラン、宰相となる仏
一六四五 ネーズビーの戦いで、王党軍決定的敗北〔ピューリタン革命〕英
一六四八 フロンドの乱起る(～五三)仏 ウェストファリア条約で三〇年戦争終結。スイス・オランダの独立承認
一六四九 チャールズ一世処刑、共和政宣言英
一六五〇 パスカル、パスカルの原理を発見仏

アメリカ

一六〇三 フランス人シャンプラン、セントローレンス川を探検(カナダ開拓の始)力
一六〇七 英最初の永続的植民地、ロンドン会社によりバージニアに建設される オランダ人、ニューネーデルラント建設
一六〇八 シャンプラン、ケベック建設力
一六一三 オランダ人、ニューアムステルダム建設
一六一九 ジェームスタウンに米最初の議会成立 黒人奴隷二〇人、バージニアに輸入。アメリカ黒人奴隷制の端緒
一六二〇 英清教徒のピルグリム・ファーザーズ、メイフラワー号でプリマス上陸
一六二七 ニューフランス会社を設立、カナダを支配
一六三〇 ボストン建設
一六三四 メリーランド植民地建設
一六三六 ハーバード大学創設
一六三九 コネチカット植民地の建設
一六四一 モントリオール建設力
一六四九 メリーランドで信教の自由を認められる

西アジア・アフリカ・インド

一六〇一 アクバル、ハーンデーシュを征服印
一六〇三 サファビー朝、オスマン朝よりタブリーズ奪回
一六〇五 アクバル没(一五四二—)。ジャハーンギール即位(～二七)。この機にアフマドナガル王国、宰相マリク・アンバルの下に勢力を回復し、検地を行う。この検地はデカン地方の地税制度の模範となる印
一六一二 オスマン朝、オランダに恩恵貿易を許す オスマン朝、オーストリアを攻撃 英東インド会社、スーラトに商館を置く印
一六二〇 サファビー朝のアッバース大帝がウズベク族に大敗
一六二二 サファビー朝、ポルトガルよりホルムズ、バハライン島を奪う。ポルトガル勢力、マスカットに退く
一六三〇 オスマン朝、イラン西部のハマダーンを攻略 オスマン朝、南アラビアより撤退
一六三三 ムガル帝国のシャー・ジャハーン、アフマドナガル王国を滅ぼす印
一六三六 アウランゼーブ、デカンの太守となる印
一六三八 オスマン朝、再びバクダードを奪い、イラクを最終的に併合
一六三九 サファビー朝とオスマン朝間にズハーブの和議成立
一六四三 タージ・マハル廟完成印
一六四四 マラータ王国の祖シバージー、ビジャプール王国からの独立をめざし、プーナ周辺の一二マーワル地方の小領主層を臣下に組織し始める印
一六四五 オスマン朝、ベネチアと戦う(～六四)
一六四七 シバージー、トールナー城を取る印
一六四九 ビジャヤナガル王国滅亡印
一六五〇 アラビア半島からポルトガルの勢力一掃さる

中国とその周辺・東南アジア

一六〇一 蘇州に織傭の変起る
一六〇二 李贄没(一五二七—)『坤輿万国全図』刊行
一六〇六 『幾何原本』刊行
一六〇九 オランダ、ジャワに総督をおく東ア
一六一三 アチェーのマラッカ攻撃(～三六)東ア
一六一五 ヌルハチが女真族を統一北ア 挺撃の案(宮廷内紛)起る
一六一六 田税が重くなる(遼餉) ヌルハチが後金国を建設北ア
一六一九 サルフの戦いで後金が明を撃破 オランダ、ジャワにバタビアを建設東ア
一六二一 オランダ東インド総督クーンの艦隊、バンダ諸島を占領東ア
一六二三 魏忠賢が東廠を掌握して専権 オランダ人、アンボイナ島で英人を虐殺東ア
一六二四 オランダが台湾に根拠地建設
一六二五 天下の書院を壊し東林党を弾圧 後金が瀋陽に遷都北ア
一六二六 蘇州で開読の変起る ヌルハチ没(一五五九—)北ア
一六二七 魏忠賢殺される 明末の乱始まる 後金が朝鮮に侵入朝
一六二八 ベトナムの阮氏と鄭氏の南北抗争始まる(～七三)東ア マタラム王国軍、バタビアを攻撃して失敗東ア
一六三四 『崇禎暦書』成立 ジュンガル国成立(～一七五八)北ア
一六三五 チャハル部を破り後金が内蒙古を平定北ア オランダのモルッカにおける香料生産統制始まる東ア
一六三六 後金が清と国号を改める 清、朝鮮に侵入、藩属国とする
一六三七 清が六部を設置 『天工開物』成立
一六三九 『農政全書』刊行 マニラに中国人の騒乱(～四〇)東ア
一六四一 オランダ、マラッカを攻略東ア
一六四四 李自成が北京を攻略。明滅亡。清、李自成を破り北京に入城。中国支配を開始
一六四五 李自成敗死(一六〇六—) 弁髪令の発布
一六五〇 鄭成功がアモイに拠る

日本

一六〇三 家康、征夷大将軍に任ぜられる 出雲の巫女阿国、京都で歌舞伎踊を演じる
一六〇四 幕府、糸割符法を制定 小瀬甫庵『信長記』完成
一六〇五 家康、将軍職を秀忠に譲る
一六〇九 島津家久、琉球に出兵 オランダ船平戸に入港、通商を求める 幕府、金銀銭の比価を定める
一六一二 幕府、キリシタンを禁じ、有馬晴信を切腹、岡本大八を火刑に処す
一六一三 幕府、公家諸法度および勅許紫衣・諸寺入院の法度を定む 支倉常長、陸奥月浦を出帆、ローマへ向かう
一六一四 10大坂冬の陣起る。12両軍講和
一六一五 4大坂夏の陣起る。5大坂城落城、豊臣氏滅亡 7武家諸法度等を定める
一六一六 徳川家康没(一五四二—)
一六一七 日光東照社社殿落成
一六一九 広島城主福島正則を改易
一六二〇 秀忠の娘和子入内 桂離宮の普請始まる
一六二二 キリシタン五五人を長崎で処刑〔元和大殉教〕
一六二七 吉田光由『塵劫記』刊行
一六二九 紫衣事件により沢庵ら流刑
一六三一 幕府、海外渡航船に朱印状のほか、奉書交付を決める〔奉書船〕
一六三二 徳川秀忠没(一五七九—)
一六三三 金地院崇伝没(一五六九—) 幕府、奉書船以外の海外渡航を禁止
一六三五 幕府、貿易を長崎に限り、日本人の海外渡航・帰国を禁止 参勤交代の制度確立 寛永通宝をつくる
一六三七 島原・天草のキリシタン、板倉氏の苛政に対し蜂起〔島原の乱(～三八)〕
一六三八 原城陥落 キリシタン宗を厳禁
一六三九 軍船を除く五百石積以上の大船の建造を解禁 幕府、ポルトガル船の日本渡航を禁止 江戸城内に紅葉山文庫設立
一六四一 オランダ商館を平戸から出島に移す
一六四三 幕府、田畑永代売買を禁止 『寛永諸家系図伝』完成
一六四六 朝廷、日光例幣使を派遣
一六四八 幕府、江戸市中諸法度を定める 中江藤樹没(一六〇八—)
一六四九 幕府、慶安御触書を公布

江 戸 時 代

17 世紀

一六五一 クロムウェル、航海条令を発布英 ホッブズ(一五八八—一六七九)、『リバイアサン』刊行英
一六五二 第一次英蘭戦争(〜五四) ケープ植民地建設蘭
一六五三 クロムウェル、護国卿となる(〜五八)英 マザラン、フロンドの乱を鎮圧仏
一六五四 総主教ニコンの宗教改革露
一六五五 スウェーデン王カール一〇世、ポーランドに侵入
一六五八 クロムウェル没(一五九九—)英 デンマーク、スカンジナビア半島をスウェーデンに割譲
一六五九 ピレネー条約で、フランス・スペイン間の戦争終結
一六六〇 チャールズ二世即位(〜八五)、王政復古英 ボイル、ボイルの法則を提出英 フック、フックの法則を提出英
一六六二 哲学者パスカル没(一六二三—)仏
一六六五 第二次英蘭戦争始まる(〜六七)
一六六七 ブレダの和約(第二次英蘭戦争終結) ルイ一四世の第一次侵略戦争(スペイン領ネーデルラントに侵入)仏 ミルトン(一六〇八—七四)、『失楽園』刊行英
一六六八 アーヘンの和約で仏、侵略地を返還
一六六九 ニュートン、光の粒子説を提唱英
一六七〇 ステンカ・ラージンの乱(〜七一)露
一六七二 第三次英蘭戦争(〜七四) ルイ一四世のオランダ侵略〔オランダ戦争(〜七八)〕仏
一六七三 審査律の制定英
一六七八 ナイメーヘンの和約でオランダ戦争終結 バンヤン(一六二八—八八)の『天路歴程』刊行英 ホイヘンス(一六二九—九五)光の波動説を提唱蘭
一六七九 人身保護律の制定英
一六八二 ピョートル一世即位(〜一七二五)、摂政政治始まる露
一六八五 ルイ一四世、ナントの勅令を廃止仏 ジェームズ二世即位(〜八八)英
一六八七 ニュートン、『プリンキピア』を刊行し、万有引力の法則、運動の三法則を記述英
一六八八 名誉革命。ジェームズ二世亡命英
一六八九 ルイ一四世のプファルツ侵略〔プファルツ戦争〕仏 権利章典の制定英 ピョートル一世の単独統治始まる露
一六九〇 ジョン・ロック(一六三二—一七〇四)の『人間悟性論』刊行英
一六九七 プファルツ戦争の講和〔ライスワイク条約〕
一七〇〇 スウェーデンと露などとの間に北方戦争始まる(〜二一)

一六五五 英、西インド諸島に進出、スペインよりジャマイカを奪取
一六六一 バージニアで奴隷制度法制化
一六六三 南北カロライナ植民地建設
一六六四 英軍、蘭領ニューアムステルダムを奪い、ニューヨークと改称 ニュージャージー植民地建設 カナダ、フランス西インド会社管轄下に入る力
一六六七 ニューヨーク、正式に英領となる(ブレダ条約)
一六七六 ベイコンの反乱
一六八一 ウィリアム・ペンのペンシルベニア植民地建設
一六八二 フィラデルフィア建設 フランス人ラ・サール、ミシシッピ川を下り、流域をルイジアナと命名
一六八九 英仏植民地戦争始まる(〜九七)。ボストン市民蜂起
一六九九 植民地の輸出用毛織物生産禁止(毛織物条例)

一六五三 シバージー、スワラジュヤ(マラータ本領)を確立して、事実上独立国になる印
一六五六 オスマン朝でメフメット・キョプリュリュが大宰相となる。キョプリュリュ家執政時代に入る
一六五八 ムガルのアウランゼーブ、兄弟を破って即位(〜一七〇七)印
一六五九 シバージー、ビジャプール軍をワーイに破る印
一六六〇 イスタンブールに大火災。市街の半分を焼く
一六六一 ポルトガル、ボンベイ島を英に譲る印
一六六六 オスマン朝、ウクライナをめぐりポーランドと戦う(〜七二)
一六六九 オスマン朝、ベネチアよりクレタ島を奪う
一六七四 シバージー、即位の儀式を行い、マラータ王国成立印
一六七五 シク教主テーグ・バハードゥル処刑さる。このころ北インド各地にジャート農民の反抗激化(シク教徒の大半はジャート農民)印
一六七七 オスマン朝軍、ウクライナに侵攻
一六八〇 シバージー没(一六二七/三〇—)。シャンバージー、跡を継ぐ印
一六八一 オスマン朝、露と休戦協約を結んでウクライナ侵攻を断念
一六八二 アウランゼーブ、デカン征服にのり出し、ビジャプール王国(八六)、ゴルコンダ王国(八七)を滅ぼす印
一六八三 オスマン朝、ウィーン包囲に失敗
一六八七 オスマン朝、神聖同盟にハンガリーを渡す
一六八九 アウランゼーブ、シャンバージーを殺害。マラータ、ラージャラーム王の下にゲリラ戦を行いつつ、徐々に勢力を回復印
一六九七 オスマン朝軍、ゼンタの戦いで神聖同盟軍に大敗。九九年カルロウィッツ条約締結

一六五九 清軍が雲南を占領、桂王がビルマに逃げ、清の統一がほぼ完成する
一六六〇 礼論がおこり宋時烈と尹鑴が争う朝
一六六一 康熙帝即位(〜一七二二) 鄭成功がオランダを逐い台湾に拠る 清軍が桂王を捕え、明の遺王が滅ぶ
一六六二 江南で均田均役法の施行 鄭成功没(一六二四—)
一六六三 荘廷鑨事件(文字の獄の一つ)
一六六四 アユタヤ朝、オランダと通商協定を結ぶ東ア
一六六六 アダム・シャール没(一五九一—)
一六七三 呉三桂がそむき三藩の乱が起る(〜八一)
一六七四 マタラム王国でトゥルナジャヤの反乱起り、王権弱体化東ア
一六七七 ジュンガル部のガルダンがハンと称する北ア
一六八一 三藩の乱を鎮圧し清朝の支配確立
一六八二 考証学を開いた顧炎武没(一六一三—)
一六八三 鄭氏が清に降り台湾平定
一六八四 展海令を発布し海禁を解く
一六八五 清、露とアルバジンで衝突 アユタヤ朝、仏と通商協定を結ぶ東ア
一六八七 バンコクに仏軍駐留(〜八八)東ア
一六八八 ガルダンがハルハ部に侵入北ア イエズス会士フェルビースト没(一六二三—)
一六八九 清、露とネルチンスク条約を結ぶ 宋時烈処刑朝
一六九〇 最初の『大清会典』できる ガルダン再びハルハ部に侵入北ア
一六九二 思想家王夫之(船山)没(一六一九—)
一六九五 思想家黄宗羲没(一六一〇—)
一六九六 康熙帝がガルダンを親征
一六九七 ガルダン自殺。モンゴリアのハルハ部が清に属する北ア
一六九九 英の広東貿易を許可 オランダ、ジャワでコーヒー栽培を開始東ア
一七〇〇ごろ ラオス、三王国に分裂、シャムの侵略を招く東ア

一六五一 徳川家光没(一六〇四—) 由比正雪の陰謀露顕〔慶安事件〕
一六五二 幕府、若衆歌舞伎を禁止
一六五七 江戸大火で一〇万人をこえる焼死者〔明暦の大火〕 林羅山没(一五八三—) 徳川光圀『大日本史』編纂に着手
一六五九 隠元、黄檗山万福寺を創設
一六六二 松平信綱没(一五九六—) 伊藤仁斎、京都に古義堂を開塾
一六六三 武家諸法度を改定し、殉死を禁ず
一六六五 山鹿素行『山鹿語類』を完成
一六六六 幕府、素行を赤穂に配流
一六六八 足利学校再建
一六六九 不受不施派の寺請を禁止
一六七〇 林春斎『続本朝通鑑』完成 岡山藩、閑谷黌を創設
一六七一 幕府、伊達騒動を裁決
一六七三 幕府、分地制限令を出す
一六七四 関孝和『発微算法』刊行
一六七八 東福門院和子没(一六〇七—)
一六七九 名古屋玄医『医方問余』を著し、古医方を唱える
一六八一 酒井忠清没(一六二四—) 幕府、越後騒動を断罪、松平光長を改易
一六八二 木下順庵、幕府儒者となる 井原西鶴『好色一代男』刊行
一六八三 武家諸法度改定(天和令)
一六八四 幕府、貞享暦を採用 若年寄稲葉正休、大老堀田正俊を江戸城中で刺殺
一六八五 山鹿素行没(一六二二—)
一六八六 近松門左衛門『出世景清』初演 熊沢蕃山『大学或問』成立
一六八七 幕府、生類憐み令を発す(〜一七〇九) 幕府、蕃山を下総古河に禁錮
一六八九 松尾芭蕉、『奥の細道』の旅に出る 渋川春海、江戸に天文台を設く
一六九〇 林鳳岡邸内の聖堂を湯島に移す ドイツ人ケンペル、オランダ商館医師として来日
一六九一 熊沢蕃山没(一六一九—)
一六九二 西鶴『世間胸算用』刊行 幕府、杉山和一を総検校とし、関東の盲人を支配させる
一六九三 井原西鶴没(一六四二—)
一六九四 松尾芭蕉没(一六四四—) 側用人柳沢吉保を老中に準ず
一六九五 西川如見『華夷通商考』できる 幕府、元禄金銀を発行
一六九六 宮崎安貞『農業全書』できる
一七〇〇 徳川光圀没(一六二八—)

江戸時代

18 世紀

ヨーロッパ

一七〇一 仏・西対英・墺・蘭の王位継承をめぐる戦争〔スペイン継承戦争〕(〜一四) プロイセン王国成立[独] 王位継承法制定(旧教徒の王位継承権を排除)[英]
一七〇二 北アメリカ植民地で英・仏間にアン女王戦争(〜一三)
一七〇三 ピョートル大帝、ペテルブルク建設[露]
一七〇四 英軍、スペイン領ジブラルタルを占領
一七〇七 大ブリテン王国成立(イングランドとスコットランド合併)
一七〇九 ポルタバの戦いでピョートル大帝、スウェーデン軍を破る〔北方戦争〕
一七一三 ユトレヒト条約で英、スペインよりジブラルタル・ミノルカ獲得
一七一四 スペイン継承戦争終結。独仏の講和 ハノーバー朝成立(〜一九〇一)[英] ライプニッツ(一六四六—一七一六)、『単子論』成る[独] ピョートル大帝、フィンランド侵入[露]
一七一五 ルイ一五世即位(〜七四)[仏]
一七一六 ルイ一五世、ジョン・ローにフランス総銀行・ルイジアナ会社の設立許可[仏]
一七一七 墺とベネチア、トルコと戦う
一七一八 スウェーデン王カール一二世(在位一六九七〜)戦死〔北方戦争〕
一七一九 デフォー(一六六〇—一七三一)、『ロビンソン・クルーソー』刊行[英]
一七二〇 南海泡沫会社(一七一一設立)の株暴落[英] ビットリオ・アメデオ二世、サルデーニャ王を称す。サルデーニャ王国成立[伊]
一七二一 ニスタットの和で北方戦争終結 ウォルポール内閣(責任内閣制度)成立[英]
一七二五 ピョートル大帝(在位一六八二〜)没、エカテリナ一世即位(〜二七)[露] ベーリング海探検始まる(海峡発見は一七三〇)
一七二六 スウィフト(一六六七—一七四五)、『ガリバー旅行記』刊行[英]
一七三三 墺・露対仏・西・サルデーニャのポーランド継承戦争(〜三五) ジョン・ケーの飛杼発明[英] スウェーデンのリンネ、動物・植物・鉱物の分類法確立
一七三五 ウィーン仮平和条約(本条約は一七三八)で、ポーランド継承戦争終結
一七三六 露・墺、トルコに開戦(〜三九)
一七三九 英、対スペイン植民地戦争開始(〜四八) ヒューム(一七一一—七六)『人性論』刊行[英]
一七四〇 プロイセンのフリードリヒ大王即位(〜八六) 墺のマリア・テレジア即位(〜八〇) オーストリア継承戦争(〜四八) 墺・プロイセン間に第一次シュレージエン戦争(〜四二)

アメリカ

一七〇一 ウィリアム・ペン、自由憲章を制定、ペンシルベニアに一院制議会確立
一七一二 ニューヨーク市で黒人暴動
一七一三 ユトレヒト条約で、英が仏からニューファウンドランド、アカディア、ハドソン湾地方を獲得 アシェント条約(英がスペイン領植民地への黒人奴隷輸入独占)
一七三〇 スペイン領植民地、エンコミエンダ制廃止、アシェンダ制に移行
一七三二 ジョージア植民地建設(英植民地一三州となる)
一七三三 英政府、糖蜜条例を制定

西アジア・アフリカ・インド

一七〇三 オスマン朝でアフメット三世即位(〜三〇)。チューリップ時代始まる
一七〇七 アウランゼーブ没(一六一八—)。バハードゥル・シャー、兄弟を倒して即位(〜一二)[印]
一七〇九 北インドでバンダの指揮下にシク教徒軍、サルヒンド地方を占領[印]
一七一〇 オスマン朝、再び露と戦う(〜一一) コーカンド・ハン国の成立(〜一八七六)
一七一三 バーラージー・ビシュワナート、マラータ王国の初代宰相になる。これ以後、マラータの実権は徐々に宰相に移る[印]
一七二二 アフガン族、サファビー朝の首都イスファハーンを陥す。同朝、事実上滅ぶ
一七二四 オスマン朝軍と露軍、イランに侵入。領土を分割 ムガル領デカン太守ニザーム・ウル・ムルク、アワド太守サアーダト・ハーン事実上独立。ムガル解体傾向顕著[印]
一七二八 イスタンブールでトルコ最初の印刷所創設
一七二九 イラン人ナーディル・クリーがイスファハーンからアフガン族を駆逐
一七三〇 イスタンブールでアルバニア人パトローナ・ハリルの反乱
一七三六 ナーディル・クリー、イランの支配権を回復し、シャーと称す。アフシャール朝成立(〜九五)
一七三九 オスマン朝がオーストリアとベオグラード条約、露とコンスタンティノープル条約を結ぶ ナーディル・シャー、デリーを略奪。ムガル完全に弱体化す[印]

中国とその周辺・東南アジア

一七〇四 教皇が中国におけるイエズス会布教方法を禁止、典礼問題が起る 第一次ジャワ継承戦争起る(〜〇八)[東ア]
一七〇六 典礼否認派宣教師を追放
一七〇八 保甲制を全国に施行
一七〇九 円明園の造営に着手
一七一一 戴名世事件(文字の獄の一つ)
一七一二 トゥリシェンがトルグートに使する 朝鮮との国境に長白山定界碑を建てる
一七一三 盛世滋生人丁を施行
一七一五 『聊斎志異』の作者蒲松齢没(一六四〇—)
一七一六 広東で地丁銀を施行、以後全国に及ぶ 『康熙字典』成立
一七一七 第二次ジャワ継承戦争起る(〜二三)[東ア]
一七一九 『皇輿全覧図』完成
一七二〇 清がチベットに遠征、宗主権をにぎる 広東に公行の結成
一七二一 辛壬の獄起る(〜二三)[朝]
一七二二 康熙帝没(一六五四—)、雍正帝即位(〜三五)
一七二三 キリスト教厳禁、宣教師をマカオに追放
一七二四 青海を平定 チベットに駐蔵大臣をおく
一七二五 『古今図書集成』完成
一七二六 査嗣庭事件(文字の獄の一つ)
一七二七 露とキャフタ条約を結ぶ ジュンガル部にガルダン・ツェリン立つ(〜四五)[北ア]
一七二八 養廉銀の制始まる
一七三一 最初の全国的アヘン禁止令
一七三二 軍機処の設置
一七三五 雍正帝没(一六七八—)、乾隆帝即位(〜九六) 『明史』完成
一七四〇 湖南・広西で苗族の反乱が起る 満州への中国人移住を禁止(封禁政策) オランダ、バタビアの華僑を大虐殺[東ア]

日本

一七〇一 赤穂藩主浅野長矩、吉良義央を江戸城中で斬り、切腹
一七〇二 新井白石『藩翰譜』できる 赤穂浪士大石良雄ら、吉良義央を殺す
一七〇三 幕府、大石良雄らを切腹させる 近松門左衛門『曾根崎心中』初演
一七〇四 江戸湯島大成殿完成
一七〇五 伊藤仁斎没(一六二七—) 幕府、大坂の豪商淀屋三郎右衛門を闕所にする
一七〇六 幕府、元禄銀の改鋳を発令
一七〇七 富士山噴火、宝永山できる
一七〇八 貝原益軒『大和本草』できる
一七〇九 徳川綱吉没(一六四六—) 幕府、白石を登用。白石、宣教師シドッチを訊問
一七一〇 幕府、武家諸法度を改定 金銀を改鋳
一七一一 幕府、白石の建議により、朝鮮使節の待遇を改める 三宅観瀾ら、幕府の儒者となる
一七一三 貝原益軒『養生訓』完成 幕府、諸国産銅の大坂・長崎への廻送を命ず
一七一四 大奥老女絵島ら、処罰される
一七一五 幕府、長崎貿易を制限(海舶互市新例)する 近松『国性爺合戦』竹本座で初演
一七一六 徳川吉宗、間部詮房・白石らを罷免
一七一七 幕府、武家諸法度を天和令に戻す 荻生徂徠『弁道』完成 昌平黌の聴講を庶民に許す
一七一九 西川如見『町人嚢』できる
一七二〇 江戸町火消いろは四十七組創設 キリスト教以外の禁書の輸入を許す
一七二一 田中丘隅『民間省要』できる 幕府、目安箱を設置
一七二二 幕府、上米令を出す 小石川養生所を設置
一七二三 幕府、足高の制を定める
一七二四 近松門左衛門没(一六五三—)
一七二五 新井白石没(一六五七—)
一七二六 大坂に懐徳堂創立
一七三〇 幕府、上米令を停止
一七三二 西国に蝗害、大飢饉起る
一七三三 建部賢弘ら『暦算全書』を翻訳 江戸最初の打毀起る
一七三六 幕府、文字金銀を鋳造
一七三九 ロシア船、日本沿海に出没

江戸時代

18 世紀

一七四一 露、スウェーデンと戦う(〜四三)
一七四二 ブレスラウの和で、墺のマリア・テレジア、プロイセンのシュレージエン領有承認
一七四三 露とスウェーデンの講和
一七四四 第二次シュレージエン戦争(〜四五) 北アメリカ植民地で英・仏間にジョージ王戦争(〜四八)
一七四五 ドレスデン和約で第二次シュレージエン戦争終結
一七四八 アーヘンの和約でオーストリア継承戦争終結 モンテスキュー(一六八九—一七五五)『法の精神』完成[仏]
一七五一 ディドロ(一七一三—八四)、『百科全書』刊行開始(〜七二)[仏]
一七五三 国内関税撤廃で単一国内市場の成立[露]
▽このころからフランス啓蒙思想隆盛
一七五五 ルソー(一七一二—七八)、『人間不平等起原論』出版[仏]
一七五六 墺・仏・露とプロイセン・英の間に七年戦争始まる(〜六三)
一七五七 ロスバハの戦い、ロイテンの戦いでプロイセン軍が仏・墺軍を破る
一七五八 ケネー(一六九四—一七七四)の『経済表』[仏]
一七五九 クネルスドルフの戦いで、露・墺軍、プロイセン軍に勝利
一七六二 ルソー、『社会契約論』『エミール』刊行[仏]
一七六三 パリ条約で七年戦争終結、英仏講和 フベルトゥスブルク条約で、プロイセン・墺講和
一七六四 ハーグリーブス、ジェニー紡績機を発明[英]
▽このころ英に産業革命始まる
一七六五 ワットの蒸気機関改良[英]
一七六七 囲い込み運動許可[仏] ギリシア・モンテネグロ・ボスニア、トルコに反抗
一七六八 第一次露土戦争始まる(〜七四) アークライト、水力紡績機を発明[英]
一七七二 プロイセン・墺・露による第一次ポーランド分割
一七七三 プガチョフの農民反乱(〜七五)[露]
一七七四 ルイ一六世即位(〜九二)。テュルゴー、財政総監就任[仏]
一七七六 賦役とギルドの廃止[仏] アダム・スミス(一七二三—九〇)、『国富論』成る[英]
一七七七 ラボアジェ、燃焼理論の確立[仏]
一七七八 仏、米の独立を承認し、英に開戦 啓蒙思想家ボルテール没(一六九四—)[仏]
一七七九 クロンプトン、ミュール紡績機発明[英]

一七五〇 英の鉄条例(植民地の金属業禁止)
一七五五 英仏の植民地戦争〔フレンチ・インディアン戦争(〜六三)〕
一七五九 英軍、仏領ケベックを占領
一七六〇 英軍、モントリオール、デトロイトを占領
一七六三 パリ条約でフレンチ・インディアン戦争終結。カナダ、英領となる
一七六四 英、砂糖条例と通貨条例発布。北米植民地で英製品をボイコット
一七六五 印紙条例が英議会通過。バージニア決議(印紙条例に抗議)。印紙条例一揆始まる ニューヨーク農民の反乱
一七六六 英政府、印紙条例を撤回
一七六七 英議会、タウンゼント諸法発布 北米植民地で英製品不輸入運動始まる スペイン植民地でイエズス会を追放
一七六八 マサチューセッツ回状、各植民地会議に回送
一七七〇 ボストン虐殺事件
一七七三 ボストン茶会事件
一七七四 英、ボストン港閉鎖 フィラデルフィアで第一回大陸会議 英、ケベック法制定、ケベック植民地の境界および統治原則定まる[カ]
一七七五 アメリカ独立革命始まる(〜八三)。4-19レキシントンの戦い。5-10第二次大陸会議(フィラデルフィア)。6-15ワシントン総司令官となる。6-16〜17バンカーヒルの戦い
一七七六 1-15トーマス・ペイン『コモン・センス』発刊 7-4独立宣言
一七七七 10-17サラトガの戦い。11-15大陸会議、連合規約草案採択
一七七八 米仏同盟締結
一七七九 スペイン、対英宣戦布告
一七八〇 マサチューセッツ憲法制定(奴隷の即時廃止を規定) ペルーでインカ帝国末裔トゥパック・アマルの反乱(〜八三)

一七四四 第一次カルナータカ戦争。これを含め三回にわたり、英仏南インドを舞台に抗争[印]
一七四五 ワッハーブ派の祖イブン・ワッハーブが中央アラビアのイブン・サウード家と結ぶ
一七四六 イブン・サウード家、リヤド領主と戦う(ワッハーブ運動の始)
一七四七 ナーディル・シャー暗殺さる(一六八八)。イランは分裂
一七五〇 南部イランでゼンド朝興る ムガル、アフガンの攻勢に面し、マラータの援助を求む[印]
▽バーラトプルのジャート王国スーラジ・マールの下に強大となる[印]
一七五七 英、ベンガル地方の支配権掌握〔プラッシーの戦い〕[印]
一七六一 マラータ軍を主力とするインド軍、アフガン軍に敗れる〔パーニーパットの戦い〕[印] 南インドで、ハイダル・アリ、マイソールの王位を奪う[印]
一七六四 英、ベンガル、アワド両太守軍を破る〔ブクサールの戦い〕[印]
一七六五 英、ベンガル、オリッサ、ビハールの徴税権(ディーワーニー)を認めさせる[印] シク領主連合、パンジャーブ支配権を確立[印]
一七六七 第一次マイソール戦争[印]
▽シク領主層北インドに割拠[印]
一七七〇 エジプトのアリー・ベイ、オスマン朝からの独立を宣言
一七七一 クリミア半島、露の手に陥る
一七七三 ワッハーブ軍リヤドを占領
一七七四 対露戦に敗れ、オスマン朝、キュチュク・カイナルジャ条約を結ぶ
一七七五 ゼンド朝のカリム・ハーン、バスラの英国商館を襲う 第一次マラータ戦争(〜八二)[印]
一七七七 オスマン朝で行政改革
一七七九 ゼンド朝カリム・ハーン没。同朝分裂す イランでカージャール朝興る(〜一九二五)
一七八〇 第二次マイソール戦争(〜八四)[印]

一七四三 『大清一統志』成立 マタラム国王、オランダとの協定により領土割譲[東ア]
一七四六 福建でキリスト教弾圧(四七年五宣教師を殺す)
一七四七 金川土司の反乱(〜四九) 円明園に洋式庭園をつくる
一七四九 第三次ジャワ継承戦争起る(〜五五)。この結果、マタラムはスラカルタとジョクジャカルタに分割[東ア]
一七五〇 清、チベットの暴動を平定(チベット保護国化の契機)
▽一八世紀中ごろフィリピン各地にキリスト教広まる[東ア]
一七五二 ビルマにアラウンパヤー朝成立(〜一八八五)
一七五四 ジュンガルのアムルサナ、清に亡命 『儒林外史』の作者呉敬梓没(一七〇一—)
一七五五 清がジュンガルを討つ。アムルサナが清にそむく
一七五七 外国貿易を広東一港に限定
一七五八 清がジュンガル(準部)を平定
一七五九 清が回部(天山南路)を平定
一七六二 イリ将軍を設置
一七六三 『紅楼夢』の作者曹雪芹没(一七二四?—)
一七六四 画家金農没(一六八七—)
一七六五 画家鄭燮没(一六九三—)
一七六六 伊の画家カスティリョーネ没(一六八八—)
一七六七 清がビルマ遠征(〜六八) ビルマ軍、アユタヤ朝を滅ぼす[東ア] ピヤ・タークシン、ビルマ軍を撃退し、トンブリー朝を興す[東ア]
一七六八 グルカがネパールを征服
一七六九 清が再びビルマに遠征
一七七一 第二次金川征討(〜七六) ベトナムでタイソン党の乱始まる[東ア]
一七七二 『四庫全書』の編纂が始まる(〜八二)
一七七三 英の中国へのアヘン密輸が始まる
一七七四 王倫らの清水教の乱起る
一七七六 ヘシェン(和珅)が軍機大臣と内務府大臣を兼ねる 奎章閣が置かれる[朝]
一七七七 学者・思想家戴震没(一七二三—)

一七四一 『武徳編年集成』できる
一七四二 幕府、公事方御定書を制定
一七四六 幕府、長崎貿易を制限 竹田出雲らの『菅原伝授手習鑑』竹本座で初演
一七四七 板倉勝該、江戸城中で熊本藩主細川宗孝を刺殺
一七四八 竹田出雲らの『仮名手本忠臣蔵』竹本座で初演
一七四九 幕府、定免制を全面的に施行
一七五一 徳川吉宗没(一六八四—)
一七五四 山脇東洋・小杉玄通、はじめて囚人の死体を解剖 貞享暦を廃し宝暦暦を用いる
一七五五 安藤昌益『自然真営道』できる 木曾川治水工事完成
一七五七 田村元雄・平賀源内ら、物産会を初めて江戸湯島で開催
一七五八 幕府、竹内式部を捕え、公家一七人を処罰〔宝暦事件〕
一七五九 山県大弐『柳子新論』できる
一七六〇 賀茂真淵『万葉考』の一部成る
一七六一 徳川家重没(一七一一—)
一七六三 本居宣長、賀茂真淵に会う 平賀源内『物類品隲』刊行
一七六四 平賀源内、火浣布を創製 信濃・上野・下野・武蔵に伝馬騒動起る
一七六五 『誹風柳多留』(川柳の集大成)初編刊
一七六七 田沼意次、側用人となる 山県大弐・藤井右門を死刑に処し、竹内式部を八丈島に流罪にする〔明和事件〕
一七七一 前野良沢・杉田玄白、千住小塚原で死刑囚の腑分けを見、『解体新書』の翻訳を開始
一七七二 長崎のオランダ通辞本木良永、蘭系科学書を翻訳して、『阿蘭陀地球図説』を出し、コペルニクス地動説を紹介 この年前後から、文学の中心は江戸へ移る
一七七三 薩摩藩、造士館および演武館を設立
一七七四 前野良沢・杉田玄白ら、『解体新書』刊行
一七七五 『日本輿地略程全図』できる
一七七六 米沢藩校興譲館設立 上田秋成『雨月物語』刊 平賀源内、エレキテル完成
一七七七 豊後佐伯藩校四教堂設立
一七七八 日向高鍋藩校明倫堂設立 ロシア船、蝦夷地に来航、松前藩に通商を求める
一七七九 松前藩、ロシア船の要求を拒否

江 戸 時 代

18 世紀

ヨーロッパ

一七八一 カント（一七二四—一八〇四）の『純粋理性批判』出る[独]
一七八三 露、クリム・ハン国を併合
一七八五 カートライト、力織機を発明[英]
一七八七 カロンヌ、名士会を召集[仏] 第二次露土戦争始まる（〜九二） ベルギーでブラバント革命起る（〜九〇）
一七八八 パリ高等法院と政府の対立。各地で暴動。ネッケル、再度財政総監に就任[仏]
一七八九 フランス革命 1シエイエス、『第三身分とは何か』を発表[仏] 5-5三部会召集。6-17第三身分による国民議会成立。-20テニスコートの誓い。7-14パリ市民、バスティーユ牢獄襲撃。8-4封建的諸制度の廃止宣言。-26議会、人権宣言を裁決。10-5パリ市民、ベルサイユ行進 ベルギーのリエージュで革命（〜九一） テュルヌーの戦いで、ベルギー義勇軍が墺軍を撃破
一七九〇 国有財産売却決議、貴族の称号廃止[仏] ベルギー合州共和国成立、墺軍がブリュッセルを占領 メートル法の制定[仏]
一七九一 6-20国王のバレンヌ逃亡。7-17シャン・ド・マルスの虐殺[仏] 8普・墺皇帝、革命阻止のピルニッツの宣言 9九一年憲法制定。10-1立法議会開催[仏] ヤッシー条約で露・土講和
一七九二 3ジロンド派内閣成立。4国民議会対墺宣戦。8パリ市民、テュイルリー宮襲撃、ルイ一六世を捕える。9バルミーの戦い。9-21国民公会開催、王政廃止[仏]
一七九三 第二次ポーランド分割 1-21ルイ一六世処刑[仏] 3第一回対仏大同盟 -10革命裁判所設立。4公安委員会設立。6ジャコバン党の恐怖政治。九三年憲法制定。7マラー暗殺[仏]
一七九四 4ダントン処刑 7テルミドールのクーデターでロベスピエールら処刑[仏] ポーランドでコスチューシコの独立運動、露軍が鎮圧
一七九五 8-22九五年憲法制定。10国民公会解散。総裁政府成立（〜九九）[仏] 第三次ポーランド分割
一七九七 仏・墺間にカンポ・フォルミオ条約[仏]
一七九八 ナポレオンのエジプト遠征（〜九九）[仏]
一七九九 第二回対仏大同盟 ナポレオン、ブリュメール一八日のクーデター。執政政府成立、ナポレオン第一執政に[仏] ボルタ、電堆および電池の発見[伊]

アメリカ

一七八一 3連合規約各州が批准 9-28〜10-17ヨークタウンの戦いで植民地軍、英軍を追い込み、事実上独立戦争終結 北米銀行設立
一七八二 英米仮条約
一七八三 パリ平和条約調印。英、アメリカ合衆国の独立を承認 パリ条約で英領カナダと米との国境決定[カ] ノース・ウェスト会社設立[カ]
一七八四 ボストン銀行、ニューヨーク銀行設立
一七八五 米で土地条例制定
一七八六 米マサチューセッツ州で農民の反乱〔シェイズの反乱〕
一七八七 米で憲法制定会議開かれる
一七八八 米合衆国憲法成立
一七八九 米初代大統領にワシントン就任（〜九七） フェデラリスト党（ハミルトン）成立
一七九一 合衆国憲法修正（権利宣言付加） 合衆国銀行設立 ハミルトン、製造工業に関する報告書を提出 ハイチで奴隷反乱 第一次合衆国銀行開設
一七九三 逃亡奴隷法制定 米のホイットニー、綿繰機を発明 マッケンジー、ロッキー山脈を横断して太平洋岸に到達[カ]
一七九四 ペンシルベニアでウィスキーの反乱
一七九六 ワシントン、告別演説で海外の紛争への不介入と中立を主張 公有地法制定
一七九八 外人法、治安法他制定
一七九九 ワシントン没（一七三二—）
一八〇〇 スペイン、フランスにルイジアナを割譲 ワシントン、合衆国首府となる ガブリエルの奴隷反乱

西アジア・アフリカ・インド

一七八一 北アフリカで、狂信的なティジャーニー教団成立[ア]
一七八二 英とシンデー家との間にサルバイ条約。英占領地を返還[印] マイソールのハイダル・アリ没（一七二二?—）。ティプ・スルタンが跡を継ぐ[印]
一七八四 マラータのマハーダジー・シンディア、ムガルの支配権を掌握[印] ティプ・スルタン、英とマンガロール条約を結び、戦争終結[印]
一七八九 オスマン朝でセリム三世即位（〜一八〇七）。新体制開始
一七九〇 第三次マイソール戦争。英、ハイダラバード、マラータとともにティプ・スルタンを攻める[印]
一七九三 英、ベンガルに永代ザミーンダーリー制導入[印]
一七九四 カージャール朝、ゼンド朝を滅ぼし、イラン全土を統一 マハーダジー・シンディア没。この後マラータ諸侯間の抗争激化し、弱体化進行[印]
一七九八 仏軍、エジプトに上陸。ロゼッタ石発見 ハイダラバードのニザーム、英と軍事保護条約を結ぶ[印]
一七九九 ナポレオンの帰国後、エジプト進駐の仏軍、英土連合軍に降伏 カージャール朝、ホラサーンを征服 第四次マイソール戦争。ティプ・スルタン敗死（一七五〇—）し、マイソール分割さる[印]
一八〇〇 オーマンのスルタン、英東インド会社と友好条約を結ぶ

中国とその周辺・東南アジア

一七八一 甘粛でイスラム教徒蘇四十三の乱起る 『四庫全書』編纂事業完成
一七八二 シャムにクルンテープ（バンコク）朝成立[東ア]
一七八四 甘粛でイスラム教徒田五の乱起る 米船広東に来航
一七八六 台湾で林爽文の乱起る（〜八七） キリスト教禁止される[朝] 英、ペナンをケダー王から買収[東ア] ベトナムのタイソン党全国を統一[東ア]
一七八七 ベトナム阮氏の生き残り阮福映、仏宣教師ベーヌと結びコンドル島、ダナン港を仏に割譲[東ア]
一七八八 孫士毅が黎朝を救援してハノイに入城 グルカ族がチベットに侵入（〜九二）
一七八九 黎朝救援の清派遣軍、タイソン党に大敗。黎朝滅ぶ[東ア]
一七九〇 ビルマが清に服属
一七九一 キリスト教を禁止し洋書購入を禁止する[朝]
一七九二 清がネパールに出兵してグルカを制圧 チベットで高僧転生に関し金瓶製籤制を定める
一七九三 英の使節マカートニーが来て貿易制限撤廃を求める
一七九五 貴州で苗族の反乱（〜九八）
一七九六 乾隆帝が嘉慶帝（〜一八二〇）に譲位 白蓮教徒の大反乱起る（〜一八〇二）
一七九七 乱平定のため郷勇を募集 考証学者王鳴盛没（一七二〇—）
一七九九 乾隆帝没（一七一一—） 権臣ヘシェン死罪 オランダ東インド会社解散[東ア]
一八〇〇 *蔡牽を中心とする海賊が沿岸を荒す〔艇盗の乱（〜〇九）〕

日本

一七八二 幕府、天文台を浅草に設立 広島藩校修道館設立
一七八三 工藤平助『赤蝦夷風説考』できる 大坂で米価騰貴のため打毀起る〔天明の大飢饉〕 尾張藩校明倫堂設立 伊勢白子の船頭幸太夫ら、カムチャツカに漂流 大槻玄沢『蘭学階梯』できる
一七八四 福岡藩校稽古館・甘棠館設立 佐野政言、田沼意知を江戸城中で刺す この夏、諸国飢饉、農村荒廃
一七八五 林子平『三国通覧図説』刊行
一七八六 老中田沼意次・側役稲葉正明ら失脚 最上徳内ら千島を探検し、ウルップに至る 林子平『海国兵談』できる 前野良沢『和蘭訳筌』できる
一七八七 江戸に大打毀起る〔天明の打毀〕
一七八八 老中松平定信、将軍補佐となる 田沼意次没（一七一九—）
一七八九 幕府、棄捐令を発す 諸大名に囲米を命ず
一七九〇 幕府、人足寄場を江戸石川島に設置 幕府、聖堂で朱子学以外の学問講究を禁ずる〔寛政異学の禁〕
一七九一 幕府、山東京伝の『仕懸文庫』などを絶版にし、手鎖の刑に処す 林子平『海国兵談』刊行 幕府、異国船渡来の際の処置を指令
一七九二 幕府『海国兵談』を絶版にし、林子平に蟄居を命ず ロシア使節ラクスマン、根室に来航し通商を求める
一七九三 幕府、沿岸諸藩に海防を命ず 林子平没（一七三八—） 司馬江漢『地球全図略説』を著し、地動説の普及につとめる
一七九六 稲村三伯、オランダ人フランソア・ハルマの蘭仏辞典をもとに、日本最初の蘭日辞典『波留麻和解』を著す
一七九七 幕府、外国船漂着の処置を諸大名に指令 ロシア人、エトロフ島に上陸 聖堂の管理を林家から幕府に移す
一七九八 本居宣長『古事記伝』を完成 近藤守重、エトロフ島に大日本恵土呂府の標柱を建てる
一七九九 江戸・大坂で米価騰貴のため打毀起る
一八〇〇 伊能忠敬、蝦夷地を測量

江戸時代

19 世紀

一八〇一 英、アイルランド併合 ナポレオン、墺とリュネビルの和約仏 教皇ピウス七世とナポレオンの宗教和約 アレクサンドル一世即位(〜二五)露
一八〇二 アミアンの和約で仏・英の講和成る ナポレオン終身執政となる仏
一八〇四 ナポレオン法典公布。ナポレオン、皇帝となる(〜一五)仏
一八〇五 第三回対仏大同盟成立 ネルソンの英艦隊、仏・西連合艦隊を破る〔トラファルガーの海戦〕 アウステルリッツで三帝会戦 墺、仏とプレスブルクの和約 作家・詩人シラー没(一七五九—)独
一八〇六 ナポレオンを盟主にライン同盟成立、神聖ローマ帝国滅亡 ナポレオン、ベルリン勅令で大陸封鎖開始 第三次露土戦争始まる(〜一二)
一八〇七 ティルジット条約。ワルシャワ大公国成立 プロイセンでシュタインの改革、農奴解放 フィヒテ(一七六二—一八一四)『ドイツ国民に告ぐ』の講演独
一八〇八 スペインで反仏独立戦争〔半島戦争〕 露、スウェーデンと戦う(〜〇九) 露、フィンランドを併合
一八一〇 プロイセンでハルデンベルクの改革。フンボルト、ベルリン大学を創立
一八一一 ラダイト運動起る英 アボガドロ、気体に関する仮説発表伊
一八一二 ナポレオンのモスクワ遠征
一八一三 第六回対仏大同盟 プロイセン、露と結んで仏に宣戦〔解放戦争(〜一四)〕。ライプツィヒの戦いで、連合軍、ナポレオンを破る
一八一四 ナポレオン退位。ルイ一八世即位(〜二四)仏 墺外相メッテルニヒの発案でウィーン会議(〜一五) ギリシアで秘密結社ヘタイリア・フィリケ結成 スティーブンソン、蒸気機関車試運転英
一八一五 ナポレオンの百日天下。ワーテルローの戦いでナポレオン惨敗仏 穀物法制定英 露皇帝アレクサンドル一世の提唱による神聖同盟成立(〜二五) 墺・露・プロイセン・英の四国同盟成立 セルビアの反トルコ独立運動始まる ドイツ連邦成立(〜六六)
一八一七 ワルトブルク祭を契機にブルシェンシャフト成立独
一八一八 四国同盟に仏参加、五国同盟成立
一八一九 カールスバートの決議独 穀物法廃止運動抑圧〔ピータールー事件〕英
一八二〇 リエゴの革命起る(〜二三)西 カルボナリ党の共和主義運動伊

一八〇一 ジェファソン、米第三代大統領に就任(〜〇九)
一八〇三 米、ルイジアナを仏より買収 ケベック近辺に最初の製紙工場建設カ
一八〇四 ハイチ、仏から独立、ラテンアメリカ最初の独立国となる
一八〇七 フルトンの汽船クレアモント号、ハドソン川を往復航行 ポルトガル政府、ブラジル亡命 米でアフリカ奴隷の輸入禁止 マディソン、米第四代大統領に当選(在任〇九〜一七) ポルトガル
一八〇八 リオデジャネイロ、ポルトガルの臨時首府となる
一八〇九 モントリオール・ケベック間に蒸汽船運航カ メキシコ、エクアドルで独立運動始まる
一八一〇 スペイン領植民地で独立運動激化
一八一一 合衆国国立銀行廃止 ベネズエラ、パラグアイ、エクアドルの独立宣言
一八一二 米英戦争(〜一四) 米軍のカナダ遠征失敗 ベネズエラの独立運動失敗
一八一三 メキシコ独立宣言 コロンビア独立宣言
一八一四 ガン条約で米英戦争終結 ジャクソン、クリーク・インディアンを破る
一八一五 メキシコ独立運動失敗 ブラジル、ポルトガル同一憲法下の王国となる
一八一六 合衆国第二国立銀行設立 アルゼンチン独立宣言
一八一七 ミシシッピ州の合衆国編入
一八一八 チリ、スペインから独立宣言
一八一九 米、フロリダをスペインより買収 ボリーバルの指導のもとにコロンビア共和国独立
一八二〇 米、ミズーリ協定で奴隷州と自由州の境界画定 メキシコ第二革命 スペイン、自由主義憲法を採択、新大陸の独立運動に影響を与える

一八〇一 アワド王国、領土の一部を英に割譲印 第四次マイソール戦争の結果、マドラス地方英領に印 ランジート・シング、シク王国創設を宣言印
一八〇三 第二次マラータ戦争(〜〇五)。この結果、シンデー家はブンデルカンド地方、北インド各地を、ナーグプルのボーンスレー家はクタック地方を英に割譲印
一八〇四 イラン、露と戦う(〜一三)
一八〇五 ムハンマド・アリー、エジプトのパシャとなり、エジプト、オスマン朝から自立の道
一八〇七 オスマン朝のセリム三世廃位させられ、新体制崩壊
一八〇九 シク王国のランジート・シング、英とアムリットサル条約を結ぶ。サトレジ川以南のシク領主層は英の勢力圏に入りシク勢力は後退印
一八一一 エジプトのムハンマド・アリー独裁体制を確立。エジプト軍ワッハーブ王国に侵攻
一八一二 オスマン朝、露に敗れ、領土を割譲 カージャール朝、露に大敗
一八一三 イラン、露に北方領土を割譲 英、英東インド会社特許状を更新印
一八一四 グルカ戦争(〜一六)。この結果ネパール王国はカシミール他を放棄して縮小印
一八二六 イラン軍、アフガンに侵攻
一八二七 第三次マラータ戦争(〜一八)の結果、ペシュワー政権滅亡。他のマラータ諸侯も英の従属国化し、シク王国以外の独立国はインドになくなる印
一八二八 エジプト軍、ワッハーブ王国を滅ぼす 西インドにビール族の反抗(〜一九)印
一八二〇 エジプト軍、東スーダンに進出して征服 ペルシア湾岸の土侯国、英と和平条約を結ぶ

一八〇一 白蓮教徒の反乱鎮圧 貴州の苗族が再び反乱 史学者章学誠没(一七三八—) キリスト教大弾圧〔辛酉の教獄〕朝
一八〇二 阮福映(ザロン)、外人部隊を背景としてタイソン党を破り、阮朝を創始(〜一九四五)東ア
一八〇四 考証学者銭大昕没(一七二八—)
一八〇五 書家鄧石如没(一七四三—)
一八〇九 艇盗の中心人物蔡牽敗死 広東の互市章程が定められる
一八一一 西洋人の内地居住、キリスト教伝道を禁止 平安道で農民反乱起る(〜一二)朝 英、ジャワを占領(〜一六)東ア
一八一三 アヘン私売を厳禁、吸飲者も処罰 華北で天理教徒の乱 英副総督ラッフルズ、ジャワで土地改革を行う東ア
一八一四 史学者趙翼没(一七二七—)
一八一五 アヘン輸入の厳禁 段玉裁没(一七三五—)
一八一六 英使節アマーストが来るが皇帝に謁見できず退去 オランダ、ジャワを奪回東ア
一八一八 書家翁方綱没(一七三三—)
一八一九 英、ジョホール王からシンガポールを買収東ア
一八二〇 嘉慶帝(一七六〇—)没し、道光帝即位(〜五〇) ベトナム、排外策に転換、仏人宣教師を迫害東ア

一八〇一 伊能忠敬、伊豆・相模・武蔵・上総・下総・常陸・陸奥の沿岸を測量 本居宣長没(一七三〇—) 会津藩校日新館設立
一八〇二 幕府、蝦夷奉行をおく 東蝦夷を幕府直轄におく 志筑忠雄『暦象新書』できる 近藤守重ら、エトロフ島視察 十返舎一九『東海道中膝栗毛』初編刊
一八〇三 麻疹流行 アメリカ船、長崎に来航し貿易を要求 前野良沢没(一七二三—)
一八〇四 出羽国大地震、象潟湖崩れる ロシア使節レザノフ、長崎に来航し、貿易を求む 歌麿処罰される
一八〇五 幕府、レザノフの通商要求を拒絶 幕府、関東取締出役をおく 幕府、女浄瑠璃を禁止 華岡青洲、麻酔薬を用いて乳癌手術を行う
一八〇八 松田伝十郎・間宮林蔵ら、樺太探検に赴く 英艦フェートン号、長崎に侵入〔フェートン号事件〕 間宮林蔵『東韃紀行』できる
一八〇九 式亭三馬『浮世風呂』前編刊
一八一〇 高橋景保『新訂万国全図』を完成
一八一一 ロシア艦長ゴローニンをクナシリで逮捕 幕府、蕃書和解御用掛を設け、馬場貞由・大槻玄沢ら、ショメールの百科全書の蘭訳版の翻訳を開始(『厚生新編』)
一八一二 豊後国の大一揆起る 松平定信致仕『寛政重修諸家譜』できる
一八一三 海保青陵『稽古談』できる
一八一四 曲亭馬琴『南総里見八犬伝』第一輯できる 越後各地で打毀起る
一八一五 杉田玄白『蘭学事始』できる
一八一七 杉田玄白没(一七三三—) 諸国大干害 イギリス船、浦賀に来航
一八一八 伊能忠敬没(一七四五—) イギリス人ゴルドン、浦賀に来航、貿易を求む。幕府これを拒絶 司馬江漢没(一七三八—)
一八二〇 幕府、本田畑の甘蔗栽培を禁ず 浦上玉堂没(一七四五—) 米沢藩、青苧専売を実施

江戸時代

19 世紀

ヨーロッパ

一八二一 ギリシア独立戦争始まる(〜二九)
一八二二 ギリシア国民議会を開き、憲法公布 ベロナ会議でスペイン、ギリシア問題を討議
一八二三 仏軍、マドリードに侵入、スペインのリエゴ革命敗北
一八二四 団結禁止法廃止、労働組合結成公認英 シャルル一〇世即位(〜三〇)仏
一八二五 デカブリストの乱起る露
一八二七 ギリシア独立戦争に関するロンドン条約で英仏露調停案作成、トルコ拒否 英仏露連合艦隊、トルコ・エジプトの連合艦隊を破る〔ナバリノ海戦〕 音楽家ベートーベン没(一七七〇—)独 オーム、オームの法則発見独
一八二八 審査律廃止英 第四次露土戦争(〜二九) ポルトガルでドン・ミゲル一世のクーデター ウェーラー、尿素を合成独
一八二九 アドリアノープルの和で露・土講和 カトリック教徒解放令成立英
一八三〇 七月革命でルイ・フィリップ即位(〜四八)仏 ベルギーに革命起り、オランダからの独立宣言 ポーランドで露からの独立運動(〜三一) マンチェスター・リバプール間に鉄道開通英
一八三一 独立後の初代ベルギー国王にレオポルト一世即位(〜六五) カルボナリ党の立憲革命、墺軍に制圧され、マッツィーニの青年イタリア党結成伊 哲学者ヘーゲル没(一七七〇—)独 ファラデー、電磁誘導の法則を発見英
一八三二 グレー内閣による第一次選挙法改正英 ロンドン議定書でギリシアの独立承認 ポーランド、露に併合される ゲーテ没(一七四九—)独
一八三三 露・土間のウンキアル・スケレッシ条約でトルコ、露艦隊のダーダネルス海峡通過を認む 一般工場法成立英
一八三四 全ドイツを覆う関税同盟成立 リヨン、パリで労働者暴動仏 全国労働組合連合成立英
一八三六 ロンドン労働者協会結成英
一八三七 ビクトリア女王即位(〜一九〇一)英
一八三八 チャーティスト運動始まる英 穀物法反対同盟結成英
一八四〇 英・露・墺・プロイセン間のロンドン条約で、北部シリア、クレタ島、メッカ、メディナをトルコに返還することを決定

アメリカ

一八二一 新ハドソン湾会社設立カ メキシコ、イツルビデのもとに独立 サン・マルティン、ペルーの独立を宣言
一八二二 ブラジル、ドン・ペドロ皇子のもとにポルトガルより独立、ブラジル帝国となる(〜八九)
一八二三 米、モンロー宣言 メキシコで共和派の反乱 中央アメリカ連邦成立(メキシコから分離)
一八二四 メキシコ共和政憲法制定
一八二五 ボリビア独立宣言
一八二六 ボリーバルの提唱により第一回米州諸国会議開催〔パナマ会議〕(米は不参加)
一八二八 ウルグアイ、英の仲裁により独立
一八二九 ジャクソン、米第七代大統領に就任(〜三七)
一八三〇 大コロンビア分解し、コロンビア、エクアドル、ベネズエラに分立 南米独立運動の指導者ボリーバル没(一七八三—) インディアン強制移住法制定
一八三一 ナト・ターナーの奴隷大暴動
一八三二 メキシコ、サンタ・アナ大統領の独裁体制にはいる(〜五五)
一八三三 アメリカ奴隷制反対協会設立 米で関税法改正
一八三四 パピノー「九二か条の決議」を発表カ 米でホイッグ党結成
一八三五 米のモールス、電信機を発明
一八三六 テキサス、メキシコより独立
一八三七 米、最初の周期的恐慌起る カナダで自治要求の反乱
一八三八 ホンジュラス、ニカラグア、中央アメリカ連邦より独立
一八三九 グアテマラ独立し、中央アメリカ連邦解体
一八四〇 連合法(カナダ法)英議会を通過、上下カナダ統一、英最初の自治植民地となるカ

西アジア・アフリカ・インド

一八二三 第二次ワッハーブ王国興る
一八二四 エジプト軍、アテネ攻略 第一次ビルマ戦争で、英敗北の報伝わり、北インド各地で農民反乱広がる印
一八二五 英、ジャート王国の首都バーラトプルを陥す印 西部インドにコーリー部族の反乱印
一八二六 露、トルコ・イランと開戦 オスマン朝、イェニ・チェリ(親衛軍団)を廃し、新軍を作る
一八二八 イランが、露とトルコマンチャーイ条約を結び、アルメニア、コーカサス地方を割譲 ローイ、ベンガルにブラーフモ・サマージを設立し、ヒンドゥー改革に乗出す印
一八二九 オスマン朝、ギリシアの独立とセルビアの自治を認む
一八三〇 アルジェ、仏に占領されるア
一八三一 英、マイソール王を廃し、行政権を掌握印 ベンガル地方にムスリム農民の反乱印
一八三二 エジプト軍、シリアを制圧
一八三三 オスマン朝、エジプトのシリア支配を承認 英東インド会社、すべての商業活動を停止し、植民地支配機構に転化印
一八三四 英、南インドのクールグ王国を併合印
一八三七 北インドに飢饉印
一八三八 ベンガルでムスリム農民反乱印 英、アッサムを併合印
一八三九 オスマン朝でアブデュル・メジト一世即位(〜六一)し、タンジマート(恩恵改革)が始まる 第一次アフガン戦争起る 西部インドにコーリー部族民の反乱起る印

中国とその周辺・東南アジア

一八二一 シャムに英クロファード使節団到着東ア
一八二二 アヘン所持禁止
一八二三 ケシ栽培、アヘン製造を禁止
一八二四 ジハンギールが東トルキスタンに侵入 第一次ビルマ戦争起る(〜二六)東ア 英、オランダからマラッカを獲得東ア
一八二五 運河に代り海上輸送の採用 ジャワ戦争始まる(〜三〇)東ア
一八二六 台湾で黄文淵の乱 ビルマ、英にテナセリム、アラカンを割譲東ア
一八二七 ジハンギール捕われる
一八二八 シャム、ビエンチャンを征服東ア
一八二九 ビルマの欽定年代記『マンナン・ヤーザウィン』編纂(〜三二)東ア
一八三〇 ユースフがカシュガルに侵入 オランダ、ジャワに強制栽培制度実施東ア
一八三一 湖南で瑤民の反乱(〜三二)
一八三二 広州にジャーディン・マジソン会社(怡和洋行)の設立 訓詁学の王念孫没(一七四四—)
一八三四 英東インド会社の中国貿易独占廃止 英貿易監督官ネーピア着任 マニラ、欧米諸国に正式開港東ア
一八三六 エリオットが駐中国英領事となる 湖南で瑤民の反乱
一八三八 黄爵滋がアヘン厳禁を上奏 林則徐が欽差大臣となる
一八三九 林則徐が広東で没収アヘンを廃棄 キリスト教の弾圧、仏人宣教師殺される〔己亥の教獄〕朝
一八四〇 アヘン戦争始まる(〜四二) 林則徐解任される 川鼻仮条約の締結 英人ブルック、サラワクを領有東ア
▽ジャワに大飢饉続発東ア

日本

一八二一 塙保己一没(一七四六—) 伊能忠敬の『大日本沿海輿地全図』完成し、幕府に献上
一八二二 イギリス船、浦賀に入港、薪水を求める 蒲生君平『山陵志』刊行 宇田川榕庵『菩多尼訶経』を著す
一八二三 オランダ商館医師シーボルト、長崎出島に着任
一八二四 シーボルト、長崎郊外鳴滝に塾を開く
一八二五 幕府、諸大名に異国船の打払いを指令 会沢正志斎『新論』できる 鶴屋南北『東海道四谷怪談』中村座で初演
一八二七 徳川家斉、太政大臣に任ぜられる 頼山陽『日本外史』を松平定信に献上 小林一茶没(一七六三—)
一八二八 シーボルト、帰国に際し国禁品を持出し、高橋景保ら処罰される〔シーボルト事件〕
一八二九 高橋景保没(一七八五—) 松平定信没(一七五八—) シーボルトに帰国を命じ、再渡来を禁ず 鶴屋南北没(一七五五—)
一八三一 女浄瑠璃の禁止を再令 寺門静軒『江戸繁昌記』刊 葛飾北斎『富嶽三十六景』できる
一八三二 為永春水『春色梅児誉美』初・二編刊 鼠小僧次郎吉死刑 村田清風、長州藩に国政改革案を上申
一八三三 幕府、江戸・大坂へ廻米を奨励 天保の大飢饉始まる 米価騰貴、全国各地で打毀起る 安藤広重『東海道五拾三次』できる
一八三四 大道寺友山『武道初心集』(松代版)成立
一八三六 徳川斉昭、水戸に砲台を築く 『江戸名所図会』の刊行完了
一八三七 大塩平八郎、大坂で反乱を起して鎮圧され、自殺〔大塩平八郎の乱〕 生田万、柏崎の本陣を襲う 米船モリソン号、漂流民を伴い来航、撃退される〔モリソン号事件〕
一八三九 幕府、渡辺崋山・高野長英らの尚歯会に弾圧を加える〔蛮社の獄の始〕

江戸時代

19 世紀

一八四一 英・仏・普・墺・露とトルコ協定〔ロンドン条約〕
一八四三 オコンネルのアイルランド解放運動
一八四六 ピール内閣、穀物法を廃止[英]
一八四七 婦人と少年の一〇時間労働を定めた工場法成る[英]
一八四八 シチリアで憲法要求の革命[伊] マルクス・エンゲルスの『共産党宣言』[独] 二月革命[仏] 2-22パリ市民蜂起。-24ルイ・フィリップ退位。-25共和政宣言、第二共和政成立。6-23〜26六月事件。12ルイ・ナポレオン大統領就任 三月革命[独] 3-13ウィーン市民蜂起。メッテルニヒ亡命。-18ベルリン市民蜂起。5-18フランクフルト国民議会召集。6以降墺軍の反革命 二月革命、三月革命の影響を受け、各国で革命運動激化。サルデーニャ王国、墺軍に宣戦布告[伊] チャーティスト、国民請願署名運動[英] コッシュートのハンガリー革命(〜四九)
一八四九 航海条例廃止[英] マッツィーニ、ローマ共和政府樹立[伊] ノバラの戦いでサルデーニャ、墺軍に敗北。ビットリオ・エマヌエレ二世即位[伊] フランクフルト国民議会、プロイセン王を独皇帝に推したが王拒否。議会解散[独]
一八五一 ルイ・ナポレオンのクーデター[仏]
一八五二 ルイ・ナポレオン、ナポレオン三世となり、第二帝政成立(〜七〇)[仏] カブール、サルデーニャ王国首相就任[伊]
一八五三 露黒海艦隊、トルコ艦隊を全滅。露と英・仏・トルコ・サルデーニャ・プロイセン連合軍の戦争始まる〔第三次露土戦争＝クリミア戦争(〜五六)〕
一八五五 パリ万国博開かれる
一八五六 パリ条約でクリミア戦争終結 ベッセマー、ベッセマー製鋼法を発表[英]
一八五八 ナポレオン三世とサルデーニャ首相カブールの密約〔プロンビエールの密約〕
一八五九 スエズ運河着工[仏] ナポレオン三世の仏軍、サルデーニャ王国軍・墺軍を破り〔ソルフェリーノの戦い〕、ビラフランカの講和 ダーウィン、『種の起原』刊行[英]
一八六〇 ガリバルディ、シチリアを平定。サルデーニャ軍、中部イタリアに進撃[伊]

一八四一 エルサルバドル独立
一八四二 アシュバートン条約でアメリカ・カナダの国境画定 パラグアイ独立
一八四三 オレゴンへの大量移住開始 メキシコでサンタ・アナの独裁的憲法制定
一八四四 米でモールスの電信機実用化 ドミニカ共和国成立
一八四五 米のテキサス併合 メキシコで自由主義者の反乱
一八四六 アメリカ・メキシコ戦争(〜四八) オレゴン協定で米・カナダの境界画定 米、カリフォルニア占領 ペンシルベニア鉄道認可
一八四七 米軍、メキシコ占領
一八四八 アメリカ・メキシコ戦争終結。メキシコはテキサス、ニューメキシコ、カリフォルニアを割譲 カリフォルニアに金鉱発見、ゴールド・ラッシュ ドイツ三月革命亡命者、アメリカに大量流入
一八四九 米、ハワイと和親条約
一八五〇 米で逃亡奴隷取締法制定 パナマ地峡に関する英米条約
一八五一 米のシンガー、ミシンを発明
一八五二 ストウ夫人の『アンクル・トムの小屋』出版
一八五三 米、アリゾナ南部を買収
一八五四 カンサス・ネブラスカ法制定、ミズーリ協定廃止 米共和党結成 カナダ・アメリカ互恵通商条約締結
一八五五 ニューファウンドランド自治植民地成立
一八五六 メキシコ、レルド法成立、イエズス会廃止、教会の土地所有禁止 メキシコに内戦始まる(〜六〇)
一八五七 経済恐慌西欧各国にも波及 ドレッド・スコット事件で黒人奴隷の訴訟権否定 オタワ、カナダの首都となる メキシコで自由主義憲法制定され、改革時代に入る(〜七六)
一八五九 ジョン・ブラウンの武装蜂起
一八六〇 リンカーン、米第一六代大統領に当選(在任六一〜六五) サウスカロライナ州、合衆国脱退を決議

一八四一 エジプトの独立主権、オスマン朝と西欧諸国によって承認
一八四三 英、シンド地方の領主層(アミール)を征服。さらにマラータのシンデー家を攻め、グワリアール城を陥す[印]
一八四四 イランで新宗教運動バーブ運動始まる
一八四五 第一次シク戦争始まる(〜四六)[印]
一八四六 オリッサ地方にコーンド部族民の反乱起る[印]
一八四七 リベリア共和国、最初の黒人共和国として独立[ア]
一八四八 イラン全土でバーブ運動の蜂起 南アフリカのブール人の対英独立戦争始まる(〜四九)[ア] 英、マラータのサーターラー王国を併合[印] 第二次シク戦争起る(〜四九)[印] 英、パンジャーブ地方を併合。インドに独立の勢力皆無となる[印]
一八五〇 バーブ運動の組織者バーブ処刑さる
一八五三 英、マラータのナーグプル王国、ジャーンシー王国を併合する[印]
一八五五 ベンガル、ビハール地方にサンタール部族民の反乱が起る(〜五六)[印]
一八五六 イラン軍、アフガン侵攻 英軍イランに宣戦 オスマン朝「改革の勅令」発布 英、アワド王国を併合[印]
一八五七 「セポイの反乱」(〜五九)。デリー、ラクナウなど北インド各地に反乱政府樹立。西インドやデカンにもビール族、コーリー族などの反乱起る[印]
一八五八 ムガル帝国名実共に滅亡[印]
一八五九 ベンガル借地法施行[印]
一八六〇 イスタンブールでアラビア語新聞『シャワーイブ』創刊 エチオピアで農民反乱。英の内政干渉始まる[ア] ベンガル地方で英人アイ業者に対する小作農民の反乱起る(〜六二)[印]

一八四一 広東で平英団事件起る
一八四二 清、英に降伏、南京条約を結び五港を開港、香港を割譲 広州で英国商館を焼き打ち
一八四三 英と虎門寨追加条約を結ぶ
一八四四 米と望厦、仏と黄埔条約を結ぶ キリスト教禁止令を緩和
一八四五 英が上海に最初の租界を開く
一八四七 スウェーデン、ノルウェーと通商条約を結ぶ ベトナム各地で宣教師迫害。仏艦、海岸を威嚇砲撃[東ア]
一八四九 仏、上海に租界を開く オランダ、バリ島を植民地化する[東ア]
一八五〇 道光帝(一七八二―)没し、咸豊帝即位(〜六一) 上帝会が起義を宣言して太平天国の乱起る(太陽暦では五一・1〜六四) 林則徐没(一七八五―)
一八五一 露とイリ条約を結ぶ
一八五二 第二次ビルマ戦争起る[東ア] 英、ペグーを併合[東ア]
一八五三 太平軍が南京を占領、天朝田畝制度を公布 小刀会が上海占領(〜五五) 曾国藩が湘軍を組織 清が釐金を徴収
一八五五 捻軍が安徽で蜂起(〜六八) シャム、英と友好通商条約(バウリング条約)を結ぶ[東ア]
一八五六 太平天国に内紛起り、韋昌輝が楊秀清を殺す アロー号事件起り、アロー戦争に発展 雲南に回教徒の乱(〜七三) シャム、米・仏と条約締結[東ア]
一八五七 トンキンでスペイン人宣教師殺害事件起る[東ア]
一八五八 清、露と愛琿条約締結 諸国と天津条約を結ぶ 仏・スペイン連合艦隊、ダナンを占領、翌年サイゴンを占領[東ア]
一八五九 大沽で英仏軍を撃退
一八六〇 太平天国軍上海に迫る 英仏連合軍北京を占領 英仏露と北京条約調印 東学党創始[朝]

一八四一 幕府の天保改革開始 水戸藩弘道館開設 渡辺崋山没(一七九三―) 各種株仲間・問屋・組合を禁止
一八四二 幕府、為永春水・柳亭種彦を処罰 異国船打払令をやめ、薪水食料の供与を許す 寛政暦を廃し、天保暦を用いる
一八四三 聖堂を学問所と称す 9幕府、江戸・大坂十里四方上知令を発布するも翌月撤回 老中水野忠邦ら罷免 平田篤胤没(一七七六―) 旗本御家人の札差からの借金を無利子年賦返済とする
一八四四 間宮林蔵没(一七八〇―) 幕府、徳川斉昭に謹慎を命ず
一八四五 江戸大火 幕府、オランダ国王の開国勧告を拒む
一八四八 蘭医モニケ来日、牛痘苗をもたらす 聴診器伝来
一八四九 幕府、外科・眼科以外の蘭法を禁止 葛飾北斎没(一七五九―) 蘭船、牛痘痂をもたらし、全国に広がる
一八五〇 高野長英自殺(一八〇四―) 国定忠治、磔刑に処せられる
一八五一 川本幸民『気海観瀾広義』成る
一八五二 武州大宮の医師伊古田純道、はじめて帝王切開を行い母体を救う
一八五三 アメリカ使節ペリー、浦賀に来航 幕府、中浜万次郎を登用 豪農商に御用金を課す プチャーチン、長崎に来航 伊豆韮山に反射炉築造
一八五四 1ペリー、再来航 3日米和親条約(神奈川条約)調印 吉田松陰、下田から海外渡航を企て捕えられる 8日英和親条約調印 12日露和親条約調印
一八五五 江川英龍没(一八〇一―) 幕府、洋学所を設ける 幕府、長崎に海軍伝習所を設ける 江戸大地震〔安政の地震〕 日蘭和親条約調印
一八五六 洋学所を蕃書調所と改称 幕府、講武所を開設 アメリカ総領事ハリス、下田に着任 吉田松陰、松下村塾を開く
一八五七 阿部正弘没(一八一九―) 大島高任、陸奥釜石で洋式高炉による精錬に成功
一八五八 3天皇、日米条約勅許拒む 6日米修好通商条約調印 9幕府、尊王攘夷運動を弾圧〔安政の大獄〕
一八六〇 3大老井伊直弼暗殺〔桜田門外の変〕 11皇妹和宮の徳川家茂への降嫁発表

江 戸 時 代

19 世紀

ヨーロッパ

一八六一 イタリア王国成立。ビットリオ・エマヌエレ二世即位（〜七八）伊 アレクサンドル二世の農奴解放令露 プロイセン王ウィルヘルム一世即位（〜八八） ギリシア革命で国王オットー追放 ルーマニア自治侯国成立
一八六二 ビスマルク、プロイセン首相就任
一八六三 ラサール、全ドイツ労働者協会結成独
一八六四 デンマーク、対プロイセン戦争の結果シュレースウィヒ・ホルシュタインを放棄 ロンドンで第一インターナショナル結成（〜七六） 国際赤十字社創設 マクスウェル、電磁場の存在を予告英
一八六五 メンデル、エンドウを材料に遺伝の研究（メンデルの法則）墺
一八六六 伊、プロイセンと同盟、墺と開戦。普墺戦争起る。プラハの和で戦争終結、ドイツ連邦解散
一八六七 プロイセンを盟主とする北ドイツ連邦成立（〜七一） オーストリア・ハンガリー帝国成立（〜一九一八） 第二回選挙法改正英 マルクス『資本論』第一巻刊行 スウェーデンのノーベル、ダイナマイトを発明
一八六八 共和政を主張する野党・軍・農民の運動でイサベル二世退位西
一八六九 アイゼナハで社会民主労働者党結成独 バチカン公会議（〜七〇） メンデレエフ露、マイヤー独、それぞれ独立に元素周期律発見
一八七〇 普仏戦争起る セダン陥落。パリで暴動、第三共和政宣言（〜一九四〇）仏 イタリア王国、ローマを併合伊
一八七一 ドイツ帝国成立。ウィルヘルム一世、皇帝即位（〜八八）独 仏、独に降伏、普仏戦争終る パリ・コミューン仏 帝国憲法発布。ビスマルク、ドイツ帝国宰相となる ティエール、大統領就任仏 労働組合法制定英 ビスマルク、教壇条項発布。文化闘争始まる（〜七八）独
一八七三 共和革命でアマデオ退位、共和政成立（〜七四）西 独墺露の三帝同盟成立
一八七四 アルフォンソ一二世の王政復古西 「ブ・ナロード」運動の最盛期露
一八七五 第三共和政憲法成立仏 社会主義労働党（のちの社会民主党）結成、ゴータ綱領を採択独 ボスニア、ヘルツェゴビナで対トルコ反乱

アメリカ

一八六一 南部諸州、米合衆国を脱退、アメリカ連合結成 4南北戦争始まる（〜六五） メキシコ、外債支払停止宣言。メキシコ事件（仏・英・西の出兵）（〜六七）
一八六二 5米で自営農地法制定
一八六三 1-1米大統領リンカーンの奴隷解放宣言。11-19ゲティスバーグの演説
一八六四 6-28逃亡奴隷取締法廃止 11リンカーン再選 メキシコ帝政（〜六七） ケベック会議開催（〜六五）（カナダ連邦結成問題） パラグアイ戦争（〜七〇）
一八六五 3-3解放局設置 4-2北軍、リッチモンド占領、南軍リー降伏。南北戦争終結 4-14リンカーン暗殺 12米憲法修正第一三条（奴隷廃止を規定）
一八六六 大西洋横断海底電線敷設完成 米で市民権法成立 アメリカ全国労働連盟成立
一八六七 米、露よりアラスカ買収 米で再建法成立、南部諸州に軍隊派遣、再建政府設置 カナダ自治領（連邦）成立、マクドナルド、初代首相に就任カ
一八六八 米憲法修正第一四条（市民権法） キューバ反乱（〜七八）
一八六九 米で大陸横断鉄道開通
一八七〇 米でロックフェラー、スタンダード石油会社創設 米憲法修正第一五条（黒人選挙権）
一八七一 米のエジソン、印字電信機を発明 米でインディアン、最後の抵抗戦争（〜八六）
一八七三 イギリス、チリ硝石採掘開始 米に経済恐慌
一八七五 米、ウィスキー汚職事件、グラント側近連座

西アジア・アフリカ・インド

一八六一 バフラインのアミール、英と条約を結び、保護下に入る 南北戦争のため、米の対英綿花供給低下し、西部インドに綿花ブーム。綿花価格五倍に騰貴印
▽ボンベイ、アフマダバードなどに綿紡績業発展印
一八六三 ベンガル地方に、ジュート工業発展し始める印
一八六四 イラン縦貫鉄道と電信が開通する パンジャーブ地方で農民の反乱起る印
一八六五 オスマン朝に秘密結社「オスマン人協会」の結成。立憲君主制、責任内閣制を要求 オリッサ地方に大飢饉印
一八六六 ベイルートにアメリカ大学設立 エジプトのイスマーイール・パシャ、オスマン朝からヘディーブの称号を得る オリッサ、ビハール、マドラス、マイソールに飢饉印
一八六八 英軍、エチオピアに侵攻 パンジャーブ、アワド両州に借地法制定印 パンジャーブに飢饉印
一八六九 スエズ運河開通
一八七〇 ボンベイ―カルカッタ間の鉄道開通印
一八七一 オスマン朝でミトハト・パシャの諸改革が始まる イスラム復興運動の提唱者アフガーニーがエジプトで活動を始める シュリーマン、トロヤ遺跡を発掘 パトナのワッハーブ派農民反抗運動印
一八七三 オスマン朝、イェメン全土を征服
一八七四 ターター、ナーグプルに綿工場を設立印
一八七五 英、スエズ運河の株を買収 マハラーシュトラ地方に「デカン農民反乱」起る印 サラスワティー、アーリヤ・サマージを設立。社会改革運動を始める印

中国とその周辺・東南アジア

一八六一 総理各国事務衙門を設置 各国公使館北京に開設 曾国藩が安慶軍械所を設立（洋務運動の始）
一八六二 太平軍第二次上海進攻 ウォードが常勝軍を組織 陝西の回教徒の乱起る ベトナム、コーチシナ東部三省を仏に割譲〔第一次サイゴン条約〕東ア オランダ、強制栽培制度を漸次停止東ア
一八六三 ゴードン、常勝軍司令官となる 上海に共同租界成立 大院君の執政始まる朝 カンボジア、仏の保護国になる東ア
一八六四 洪秀全自殺（一八一四—）、湘軍が天京（南京）を占領 東学党の創始者崔斉愚処刑朝
一八六五 捻軍が山東に進出 江南製造総局の設立申請
一八六六 捻軍東西に分裂 新疆にヤクブ・ベク自立 キリスト教弾圧朝 シャーマン号事件朝 仏艦隊を江華島に撃破朝
一八六七 ペナン、マラッカ、シンガポール、英直轄の海峡植民地となる東ア ビルマ、英と通商協定を結ぶ東ア
一八六八 福州船政局が造船を開始 捻軍平定される シャムでラーマ五世（チュラロンコーン）即位（〜一九一〇）東ア
一八七〇 天津のキリスト教会焼き打ち
一八七一 露がイリ地方占領（〜八一） 香港―上海間に海底電線敷設 米艦隊の江華島侵入を撃退朝
一八七二 陝甘の回教徒の乱平定 フィリピン労働者らのカビテ暴動に大弾圧東ア
一八七三 招商局の設置 雲南の回教徒の乱鎮圧 大院君失脚し、閔氏一族が政権をとる朝 オランダ軍、スマトラのアチェーに侵攻（〜一九〇四）東ア
一八七四 ベトナム南部六省、仏植民地となる〔第二サイゴン条約〕東ア セランゴール、ペラ、英保護領となる東ア
一八七五 雲南で英人マーガリ殺害 光緒帝即位、西太后実権を握る

日本

一八六二 1老中安藤信正遭難〔坂下門外の変〕 8薩摩藩士、イギリス人を殺傷〔生麦事件〕
一八六三 5長州藩、下関で外国船を砲撃 長州藩士井上馨・伊藤博文ら、イギリス留学に出発 6高杉晋作ら奇兵隊を編成 7薩摩藩、イギリスと戦う〔薩英戦争〕 8公武合体派クーデター〔八月十八日の政変〕
一八六四 7佐久間象山暗殺（一八一一—） 8幕府、長州藩の征伐を命ずる〔第一次長州征伐〕 四国連合艦隊、下関を砲撃
一八六五 5幕府、長州再征を命ず
一八六六 1薩長同盟成立 2第二次長州征伐始まる 7徳川家茂没（一八四六—） 12孝明天皇没（一八四六—） この年、百姓一揆・打毀激発
一八六七 1明治天皇践祚 10徳川慶喜、政権を朝廷に返上〔大政奉還〕 12王政復古の大号令、小御所会議
一八六八 1-3鳥羽・伏見の戦い（戊辰戦争開始） 3-14五か条の誓文、五榜の掲示 ④福沢諭吉、塾を慶応義塾と改称 -27政体書を頒布 5-15太政官札を発行 9-8明治と改元
一八六九 1-20薩長土肥四藩主、版籍奉還を上奏 3-28東京奠都 5-18戊辰戦争終る 7-8二官六省の制を定める・
一八七〇 1-3大教宣布の詔書 10-2全国に兵制統一を布告する 11-4西周、家塾育英舎開設
一八七一 4-4戸籍法制定 7-14廃藩置県の詔書 -29日清修好条規調印 11-12岩倉具視らを欧米へ派遣
一八七二 2福沢諭吉『学問のすゝめ』初編刊行 -15土地永代売買を解禁 7-4全国に地券交付 8-3学制を頒布 9-13新橋―横浜間鉄道開業 11-9太陽暦採用
一八七三 1-10徴兵令を布告 7-28地租改正条例を布告 10-24征韓論敗れ、西郷隆盛ら参議辞職
一八七四 1-12板垣退助ら愛国公党を結成 -17板垣ら民撰議院設立建白書を提出 2-4佐賀の乱起る 4台湾出兵
一八七五 2-11大阪会議 4-14漸次立憲政体樹立の詔 5-7樺太・千島交換条約調印 6-28讒謗律・新聞紙条例制定 9-20江華島事件起る

江戸時代 ／ 明治時代

19 世紀

一八七六 セルビア、モンテネグロ、対トルコ宣戦 露、コーカンド・ハン国を征服 「土地と自由」党結成露
一八七七 第六次露土戦争起る(~七八) 英、トランスバールの併合を宣言 ビクトリア女王インド女帝となる英
一八七八 サン・ステファノ条約で、露土講和 ベルリン会議でサン・ステファノ条約を修正し、露の南下政策を阻止。セルビア、モンテネグロ、ルーマニア完全独立達成 ビスマルク、社会主義者鎮圧法を制定独
一八七九 独墺同盟成立 保護関税法成立独 ナロードニキの分裂。「人民の意志」党(テロリスト)の結成露
一八八〇 アイルランドに暴動起る ゲードらの労働党成立仏
一八八一 ナロードニキ、アレクサンドル二世を暗殺。アレクサンドル三世即位(~九四)露 アイルランド土地法案通過英 仏、チュニジアを保護国とする パスツール、狂犬病菌を発見仏
一八八二 独墺伊の三国同盟成立(~一九一五) コッホ、結核菌を発見独
一八八三 カール・マルクス没(一八一八—)独
一八八四 フェビアン協会設立される英 グラッドストン内閣の第三次選挙法改正英 アフリカ分割に関するベルリン会議(~八五) ワルデック・ルソー法成立仏
一八八五 作家ユゴー没(一八〇二—)仏
一八八六 自由党分裂し、チェンバレン自由統一党を結成英 アルフォンソ一三世誕生とともに即位(~一九四一)西
一八八七 英植民地会議を開く 露・独の二重保障条約(~九〇) ブーランジェ事件で第三共和政の危機(~八九)仏
一八八八 独、トルコからアンカラ・ハイダルパシャ間の鉄道敷設権を得る ウィルヘルム一世没(一七九七—)。ウィルヘルム二世即位(~一九一八)独
一八八九 フランス革命百周年記念日に、パリで第二インターナショナル設立 伊、エチオピアを保護国化し、ソマリランドを領有
一八九〇 ゼムストボ法改悪、官選知事の権限を強化露 ビスマルク下野独 セシル・ローズ、ケープ植民地首相となる(~九六)。三C政策の展開英 社会主義労働者党、党名を社会民主党と改める独

一八七六 米のベル、電話機を発明
一八七七 「妥協」により米共和党のヘイズの当選確定し、ヘイズ、米第一九代大統領に就任(~八一) 米で鉄道大ストライキ 米、南部より連邦軍隊撤退、再建時代終る メキシコでディアスの独裁政開始(~一九一一)
一八七九 米のエジソン、炭素電球を発明 硝石をめぐるチリ、ペルー、ボリビアの戦争始まる(~八四)
一八八〇 米、鉄道の大建設時代(~九〇) 米で全国農民同盟組織される
一八八一 ガーフィールド米第二〇代大統領暗殺される
一八八二 米のロックフェラー、スタンダード石油トラストを組織 米で中国人移民法成立
一八八五 カナディアン・パシフィック鉄道完成カ レセップス、パナマ運河起工(八九失敗) 東欧やイタリアからの新移民流入始まる(~一九一四) 米で外国人労働契約法制定(外人契約移民禁止)
一八八六 米のトムソン、電気熔接法を発明 米でヘイ・マーケット事件 米で鉄道ゼネスト。労働総同盟(AFL)成立 アパッチ戦争終る キューバ、奴隷制廃止
一八八七 米で州際通商法成立。鉄道業を規制 米、ハワイから真珠湾租借 米でドーズ土地法制定
一八八八 ブラジル、奴隷制廃止(ラテンアメリカの奴隷制終る)
一八八九 第一回汎米会議開催(~九〇)(ワシントン) ブラジルに無血革命、共和政成立
一八九〇 米でシャーマン反トラスト法、マッキンレー関税法成立 ミシシッピ州で黒人選挙権制限 米でフロンティア消滅

一八七六 英仏両国、エジプトの財政を管理 オスマン朝でミトハト憲法発布 バネルジー、カルカッタにインド人協会設立印
一八七七 オスマン朝のアブデュル・ハミト二世、憲法を停止。専制政治を始める インド帝国の成立印 ナーグプルの綿工場でインド初のストライキ印
一八七八 英、オスマン朝よりキプロス島買収 第二次アフガン戦争起る。英、露の南下を阻止するためアフガニスタンを従属化
一八七九 マハラーシュトラで、パドケーを指導者とする部族民反乱起る印
一八八一 エジプトでアラービー・パシャが反乱。民族主義内閣の成立 仏、チュニジアを占領ア ティラクを中心としてマラティー語紙『ケーサリー』発刊印 インド最初の工場法制定。ブルジョアジーはこれに対し反対運動を開始印
一八八二 アラービーの軍、英に敗れる。英のエジプト軍事占領始まる(~一九一四)
一八八三 スーダンでマフディー教団が反英蜂起。英軍壊滅ア
一八八四 南アフリカ共和国成立ア
一八八五 マフディー教団、英軍のゴードン将軍を敗死さすア ボンベイで第一回インド国民会議開催印
一八八七 エチオピアに伊軍侵攻ア
一八八九 エリトリア、伊の植民地となるア エチオピア、伊の保護国となるア
▽オスマン朝で統一と進歩委員会(青年トルコ党)結成
一八九〇 ローカンデーの指導下にボンベイ工員協会設立。労働組合のはしり印

一八七六 上海—呉淞間に中国最初の鉄道開通 英と芝罘条約を結び雲南事件解決
一八七七 英、マライのゴム栽培に成功東ア
一八七八 新疆の回教徒の乱終結 開平鉱務局設立 上海機器織布局設立(中国綿紡織業の嚆矢)
一八七九 露とイリ還付条約を結ぶ
一八八〇 天津水師学堂開設
一八八一 露とイリ条約を結ぶ 唐胥鉄道開通 上海—天津間に電信開通
一八八二 新疆省の成立 上海に電燈ともる 反日運動〔壬午軍乱〕起る朝 タガログ語新聞『タガログ毎日』創刊、以後フィリピンの社会改革を求める宣伝活動盛ん東ア
一八八四 ベトナムをめぐる清仏戦争起る 金玉均派のクーデター失敗〔甲申政変〕朝
一八八五 清、天津条約を結び、仏のベトナム保護国化を承認 台湾が省となる 英が巨文島を占領(~八七)朝 第三次ビルマ戦争起る東ア
一八八六 ビルマ、英領インドに併合される。ビルマ全土に反英暴動発生(~九〇)東ア
一八八七 ポルトガルにマカオを割譲 仏領インドシナ連邦成立東ア マライのネグリ・センビランが英保護領となる東ア
一八八八 康有為が変法自強運動を上言 北洋海軍成立(提督丁汝昌) パハンとサバが英保護領となる東ア
一八八九 光緒帝の親政始まる 防穀令事件起る朝
一八九〇 清、英のシッキム保護権を承認 湖南哥老会の蜂起 張之洞、漢陽製鉄局を設立

一八七六 2-26日朝修好条規調印 3-28廃刀令出される 8-14札幌農学校開校 10-24神風連の乱 -27秋月の乱 -28萩の乱 11~12地租改正反対の一揆、各地に起る
一八七七 1-4地租を二分五厘に減ずる 2-15西南戦争起る 4-12開成所・医学校を合併し、東京大学と改称
一八七八 5-14大久保利通暗殺(一八三〇—)〔紀尾井坂の変〕 8-23近衛砲兵隊反乱〔竹橋騒動〕 9-11愛国社再興大会
一八七九 4-4琉球藩を廃し沖縄県を置く 5-9官吏の政談演説を禁止 6-6植木枝盛『民権自由論』刊行 9-29学制を廃し、教育令を制定
一八八〇 3-17愛国社第四回大会、国会期成同盟を結成 4-5集会条例制定 11-5工場払下概則を制定
一八八一 7-29開拓使官有物払下げ事件起る 10-12大隈重信の参議罷免、明治二三年に国会を開設する旨の詔書出される〔明治十四年の政変〕 -29自由党結成
一八八二 1-4軍人勅諭発布 4-16立憲改進党結成 8-30済物浦条約調印 10-10日本銀行開業 11福島事件起る
一八八三 1-18馬場辰猪『天賦人権論』刊 3-20高田事件 -30矢野竜渓『経国美談』前編刊 11-28鹿鳴館開館
一八八四 5群馬事件 -7戸長の公選を官選に変更 9-23加波山事件 10-29自由党解党 10-31秩父事件
一八八五 4-18天津条約調印、朝鮮からの日清同時撤兵など決める 11-23大阪事件 12-22太政官制を廃し、内閣制度を置く。第一次伊藤博文内閣成立(~八八・4-30)
一八八六 1-26北海道庁設置 3-2帝国大学令公布 4-10師範学校令、小学校令、中学校令公布 5-1第一回条約改正会議開催 10-22ノルマントン号事件
一八八七 10-3後藤象二郎、大同団結運動を開始 12-15二府一八県の有志、三大事件建白 -25保安条令公布
一八八八 4-30枢密院設置 黒田清隆内閣成立(~八九・10-25) 11~12大隈外相各国に条約改正案を通告
一八八九 2-11大日本帝国憲法発布 10-18大隈外相襲撃される 12-24第一次山県有朋内閣成立(~九一・5-6)
一八九〇 7-1第一回総選挙 9-15立憲自由党結成 10-30教育勅語発布 11-25第一回通常議会召集

明 治 時 代

19 世紀

ヨーロッパ

一八九一 三国同盟、第二次更新　社会民主党エルフルト綱領を採択[独]　カタロニア地方で農民反乱[西]

一八九二 露仏軍事協定成立（批准は一八九四）　パナマ運河疑獄事件起る（～九三）[仏]

一八九三 ディーゼル、熱機関に関する著書を発表（一八九七に実用的なディーゼル機関を製作）[独]　ケア・ハーディー、独立労働党を結成[英]

一八九四 露仏同盟締結　パリの独大使館に仏軍の情報がもれたことが発覚、ドレフュスに嫌疑〔ドレフュス事件〕[仏]　ニコライ二世即位（～一九一七）[露]

一八九五 労働総同盟（CGT）結成[仏]　エンゲルス没（一八二〇―）[独]　レントゲン、X線を発見[独]　マルコーニ、無線電信を発明[伊]　ノルウェーのナンセン、北極探検

一八九六 チュニジアに関する仏伊協定　アテネで第一回オリンピック大会開催　ベックレル、ウランの放射能を発見[仏]

一八九七 クレタ島の領有をめぐるギリシア・トルコ戦争（～九九）　ウィルヘルム二世、ティルピッツを海相に任じ、大海軍の創設に努める[独]

一八九八 ゾラ、『オーロール』紙上でドレフュスを有罪とした関係者を非難[仏]　キュリー夫妻ラジウムを発見[仏]　ファショダ事件で英仏対立　社会民主労働党結成[露]

一八九九 露皇帝ニコライ二世の提唱で第一回ハーグ平和会議開催　ドレフュス有罪判決、大統領特赦[仏]

一九〇〇 仏伊秘密協定でモロッコとトリポリの優先権を相互承認　労働者代表会議で労働代表委員会成立(後の労働党)[英]　プランク、「プランクの輻射式」を提出〔量子論の創始〕[独]　ニーチェ没（一八四四―）[独]　オレンジ自由国とトランスバールを英帝国内に併合　ツェッペリン、飛行船ツェッペリン号建造[独]

アメリカ

一八九一 ブラジル共和国憲法制定　米で人民党成立

一八九二 米各地に労働争議起る

一八九三 ハワイ王政倒れる　米に経済恐慌　エジソン、活動写真を発明

一八九四 米に鉄道ゼネスト　オタワで英植民地会議　パナマ運河工事再開　ハワイ共和国成立

一八九五 キューバの対スペイン反乱

一八九六 米、人民党消滅　クロンダイクで金鉱発見[カ]　米最高裁、人種差別を合法化

一八九八 キューバで再び反乱、米西戦争（4～12）。パリ条約で終結、スペイン、キューバを放棄　米、ハワイを併合、フィリピン獲得　ルイジアナ州黒人公民権剝奪を定める　テーラーとホワイト、高速度鋼を発明

一八九九 ジョン・ヘイの中国門戸開放宣言　フィリピンでアギナルドの反米闘争始まる

一九〇〇 米、金本位制採用

西アジア・アフリカ・インド

一八九一 イランで反英タバコ・ボイコット運動成功　第二次工場法施行[印]

一八九二 インド参事会法施行[印]

一八九三 南アフリカでセシル・ローズの扇動でマタベラ戦争始まる[ア]　英、ウガンダを領有[ア]　ガンディー、南アフリカに渡る（～一九一四）[印]　ビベーカーナンダ、シカゴの世界宗教会議に出席[印]

一八九四 アルメニアで反オスマン朝の反乱起る。アルメニア人虐殺され、アルメニア事件として列強の干渉を招く　ガンディー南アフリカでナタール・インド会議派を結成[印]

一八九五 ガンディー、アフリカ在住のインド人のため人頭税反対運動を指導。翌年、選挙権獲得闘争を指導[印]

一八九六 イラン、カージャール朝の皇帝ナーシル・ウッディーン(一八三一―)、改革派に暗殺される　仏、マダガスカルを占領[ア]　エチオピア軍、伊軍を撃破して完全独立[ア]　ビハール、北インド、パンジャーブに大飢饉[印]

一八九七 革命思想家アフガーニー没（一八三九―）　ビベーカーナンダ、ラーマクリシュナミッションを設立[印]

一八九八 独、バクダード鉄道敷設権を入手　ティラクの指導下にデカンで反税闘争を起す[印]

一八九九 英・エジプト連合軍、スーダンのマフディー教団の反乱を鎮圧[ア]　ガンディー、英に協力し、ブール戦争に義勇軍を募る[ア]　金為替本位制を行う[印]　大飢饉起る（～一九〇〇）[印]

中国とその周辺・東南アジア

一八九一 康有為『新学偽経考』発表　揚子江沿岸に教案事件（反キリスト教運動）頻発

一八九二 哥老会の萍郷蜂起が失敗　全羅道で東学党徒大会開く[朝]　シャムの王族を中心とする行政制度改革本格化[東ア]　リサール、フィリピン民族同盟を結成、まもなく流刑[東ア]　マニラで秘密結社カティプーナン結成さる[東ア]

一八九三 李鴻章が天津医学堂を創設　シャム、メコン川左岸を仏に割譲[東ア]

一八九四 孫文、ハワイで興中会を組織　金玉均暗殺(一八五一―)[朝]　甲午農民戦争起る[朝]　内政改革行われる〔甲午更張〕[朝]

一八九五 日本と講和、台湾を割譲　康有為ら公車上書を行い、強学会を組織　台湾民主国成立宣言、日本が弾圧　孫文らの挙兵発覚〔広州事件〕　英、マライ連邦州を結成[東ア]

一八九六 郵政局設置　鉄路総公司設置　カティプーナンの蜂起、フィリピン革命始まる[東ア]　リサール処刑（一八六二―）[東ア]

一八九七 米、英、独人経営の紡績工場相次いで操業開始　海南島不割譲宣言　独が膠州湾占領

一八九八 独が膠州湾、露が旅順・大連、英が九竜・威海衛を租借　揚子江沿岸、雲南、福建など不割譲声明　義和団の排外運動始まる　光緒帝、変法を推進するが戊戌の政変で失敗　5米艦隊、マニラ湾のフィリピン艦隊撃滅。6フィリピン革命政権樹立。12フィリピン、米領となる〔パリ条約〕[東ア]

一八九九 山東で義和団が蜂起　仏、広州湾租借　フィリピン革命軍、共和国成立宣言、米軍と全面戦争開始[東ア]　ラオス、仏領インドシナに編入さる[東ア]

一九〇〇 義和団が北京の各国公使館包囲、列強が北京を攻略　孫文らの挙兵失敗〔恵州事件〕

日本

一八九一 5-6第一次松方正義内閣成立(～九二・7-30)　-11ロシア皇太子、大津で襲撃される〔大津事件〕　10-28濃尾大地震　12-7朝鮮政府に防穀令施行の損害賠償を要求　-25衆議院解散

一八九二 1選挙干渉により各地で騒擾　6-22佐々友房ら、国民協会結成　8-8第二次伊藤内閣成立（～九六・8-31）　11-6大井憲太郎ら、東洋自由党結成　-30伝染病研究所設立

一八九三 1『文学界』創刊　4-3矢島楫子ら日本基督教婦人矯風会結成　5-19防穀令賠償問題妥結　10-1安部井磐根ら、大日本協会結成

一八九四 5-31衆議院、内閣弾劾上奏案可決　6-2閣議、朝鮮出兵を決定　7-16日英通商航海条約調印、治外法権の撤廃なる　8-1清国に宣戦布告〔日清戦争〕

一八九五 3-20下関で講和会議開く　4-17日清講和条約調印　-23独仏露、三国干渉　5-10遼東還付の詔勅　10-8京城で日本守備隊・壮士ら大院君を擁してクーデター、閔妃を殺害

一八九六 3-1進歩党結成　-29製鉄所官制公布　5-14小村・ウェーバー覚書調印　6-9山県・ロバノフ協定調印　7-21日清通商航海条約調印　9-18第二次松方内閣成立（～九七・12-27）

一八九七 3-3足尾銅山鉱毒被害民、請願運動開始　-29貨幣法公布（金本位制）　7-5労働組合期成会結成　12-25志賀潔、赤痢の病原体（細菌）を発見

一八九八 1-12第三次伊藤内閣成立(～6-30)　4-25西・ローゼン協定調印　6-22自由党・進歩党合同し、憲政党結成　-30第一次大隈重信内閣成立（～11-8）　11-8第二次山県内閣成立（～一九〇〇・9-26）

一八九九 6大井憲太郎ら、大日本労働協会および小作条例期成同盟会結成　7-17改正条約実施　10-2幸徳秋水ら、東京に普通選挙期成同盟会結成

一九〇〇 1-28社会主義協会発足　3-10治安警察法公布　5-19軍部大臣現役武官制確立　6-15義和団鎮圧に派兵〔北清事変～〇一〕　9-15立憲政友会結成　10-19第四次伊藤内閣成立（～〇一・5-10）

明治時代

20 世紀

一九〇一 1ビクトリア女王没(一八一九—)、エドワード七世即位(〜一九一〇)[英] この年末、革命的ナロードニキの代表によってエス・エル結成[露]

一九〇二 7バルフォア内閣成立(〜一九〇五)[英] 三国同盟第三次更新 仏伊秘密協定で仏独の戦いに伊の中立を約す 作家ゾラ没(一八四〇—)[仏]

一九〇三 7〜8社会民主労働党、ボルシェビキとメンシェビキに分裂[露]

一九〇四 2日露戦争(〜〇五) 4-8英仏協商

一九〇五 ロシア第一革命 1-22「血の日曜日」。5最初のソビエトの結成。6-27戦艦ポチョムキンの反乱。9-5ポーツマス条約。10モスクワのゼネスト、全国に広がる。ニコライ二世、ウィッテを首相に任命、十月宣言を公布。12モスクワ・ソビエト、武装蜂起す 1シベリア鉄道完成[露] 3-31第一次モロッコ事件 4統一社会党の結成[仏] 6ノルウェー、スウェーデンより分離独立 12政教分離法成立[仏] この年、アインシュタインの特殊相対性原理[独]

一九〇六 1〜4アルヘシラス会議でモロッコ、仏・西の勢力範囲となる 5露帝、ウィッテを罷免、国家基本法(憲法)を公布。第一国会を召集(〜7) 7ストルイピン、首相となり、反動強化。11ストルイピンの農業改革[露] 労働代表委員会、労働党と改称[英] 最高裁、ドレフュスの無罪を宣告[仏]

一九〇七 3〜6第二国会開会[露] 6第二回ハーグ平和会議(四四か国) 8英露協商締結し、三国協商成る この年、ニュージーランド自治領成立

一九〇八 10ブルガリアが独立宣言 -7墺、ボスニア、ヘルツェゴビナを併合 12アスキス自由党内閣成立、蔵相にロイド・ジョージ[英] この年から英独両国海軍軍縮交渉を続けるが(〜一二)、不成立

一九〇九 4米の海軍軍人ピアリ、初の北極点到達 7宰相ビューロー辞任、後任にベートマン・ホルウェーク[独]

一九一〇 3ジョージ五世即位(〜三六)[英] 10英自治領南ア連邦成立 ポルトガルに革命、王政廃止、共和政成立 11作家トルストイ没(一八二八—)[露]

一九〇一 2モルガン財閥の援助で鉄鋼トラストUSスティール社設立 3-2米、キューバを保護国化 9-14マッキンリー米大統領暗殺、セオドア・ルーズベルト、米第二六代大統領就任(〜〇九) 10第二回汎米会議(メキシコシティ) この年、ロックフェラー研究所創設

一九〇二 アルゼンチン労働者総同盟成立

一九〇三 1-24カナダ、アラスカとの国境決定 11-13パナマ、コロンビアから独立 -18米、パナマ運河地帯を永久租借 この年、米のライト兄弟、飛行機を発明 米フォード自動車会社設立

一九〇四 5-9米、パナマ運河工事開始 12-6ルーズベルト、ラテンアメリカへの干渉権を主張

一九〇五 6世界産業労働者同盟(IWW)結成さる 7-14黒人の権利宣言(ナイアガラ宣言)

一九〇六 2-24キューバ内乱、米軍出動 6-29ヘップバーン法(鉄道統制)成立 この年、第三回汎米会議(リオデジャネイロ)

一九〇七 3-13米で日本移民制限法 この年、中央アメリカ平和仲裁会議

一九〇八 2-18日米紳士協定締結 この年、第一回汎米科学者会議(サンティアゴ) ラテンアメリカ会議(モンテビデオ)

一九〇九 5-13全国有色人種向上協会結成 12-18米、ニカラグアに軍隊派遣 この年、チリ労働者連盟成立

一九一〇 8-31ルーズベルト『新国家主義』を発表、米第二七代大統領タフト(在任〇九〜一三)と分裂 10-5メキシコでディアス政権に対する反乱 この年、第四回汎米会議(ブエノスアイレス)

一九〇一 英人ダルシー、イランの石油採掘権を獲得 ナオロジー『インドの貧困と非英統治』、ダット『インド経済史』、ディグビー『繁栄する英領インド』発刊され、英支配の功罪に関する経済論争起る[印]

一九〇二 1アラビアのイブン・サウード家、リヤドを奪回 5-31ブール戦争終結(一八九九〜)。トランスバール共和国とオレンジ自由国、ケープ植民地に併合される[ア]

一九〇四 イェメンにイマーム・ヤフヤー政権樹立

一九〇五 10-16ベンガル分割実施。これに対し、国民会議派ベナレス大会でスワデーシの提起、ボンベイでは綿工業労働者のストライキ激化す[印]

一九〇六 8-5イラン国王、憲法発布の詔勅を発し、議会開設に同意 10第一議会の召集 12-28国民会議派カルカッタ大会でスワラージ、スワデーシの呼びかけ[印]

一九〇七 8-4仏、モロッコ大西洋岸を占領。反仏運動を弾圧[ア] 12-29カラチでムスリム連盟第一回大会。インド各地でヒンドゥーとムスリム衝突[印]

一九〇八 7-13オスマン朝で統一と進歩委員会が武装蜂起。-24革命が成功し、スルタンが憲法復活を承認。12-17第一回議会開催 7-22ティラクに騒擾罪で六年の禁錮刑。これに対し、ボンベイの労働者、商店員らの大ストライキ[印]

一九〇九 2オスマン朝で統一進歩党内閣の成立 この年、アングロ・パーシャ(イラニアン)石油会社設立 5-25英、インド参事会法(モーリー・ミントー改革)可決。11-15施行[印]

一九一〇 5-31南アフリカ連邦独立[ア]

一九〇一 1-29西安で変法の詔勅が出される 7-24総理衙門を外務部に改める 9-7義和団事件最終議定書に調印 11-7李鴻章没(一八二三—)

一九〇二 2-1満漢の通婚を許し纏足を禁止 4蔡元培ら中国教育会を組織 11-16愛国学社設立 7米、フィリピンの革命軍を鎮圧[東ア]

一九〇三 6-29蘇報事件、愛国学社閉鎖 7-1東清鉄道開通 -7英遠征軍チベット侵入 12華興会結成

一九〇四 6-24天地会広西で蜂起 7-3武昌に科学補習所設立 9-7英・チベット間にラサ条約締結 12最初の利権回収運動起る この年、光復会結成

一九〇五 4-8英・仏、シャムにおける勢力圏を協定〔英仏協商〕[東ア] 8-20東京で中国革命同盟会結成 9-2科挙廃止 11-18清朝が立憲大綱準備に着手 4ファン・ボイチャウ来日〔東遊運動起る〕[東ア]

一九〇六 9-1立憲実施を予告 12-4萍醴蜂起 -16予備立憲公会成立 この年、閔宗植らの抗日挙兵相次ぐ[朝] この年、ボルネオ、英保護領となる[東ア]

一九〇七 黄岡事件など革命団体の挙兵相次ぐ 8軍隊解散。以後義兵運動激化[朝] 7-3フィリピン議会開設[東ア]

一九〇八 8-27憲政施行の順序を定める 11-14光緒帝没(一八七一—)、翌日西太后没(一八三五—) 12-2宣統帝即位 3中部ベトナム各地で農民の抗税運動(〜5)[東ア] 10-3ジャワにブディ・ウトモ結成[東ア]

一九〇九 10-14各省諮議局開会 12上海に国会請願同志会結成 12-22首相李完用襲われる[朝] 3-10英、ケダーなどマライ半島四国の宗主権をシャムより移譲される[東ア]

一九一〇 1-26諮議局代表が国会開設を請願 2広東新軍事件 10-3資政院開院 11-4三年の国会開設公示

一九〇一 2-3黒竜会発会式 -5官営八幡製鉄所操業開始 5-18社会民主党結成 6-2第一次桂太郎内閣成立(〜〇五・12-21) 9-7北清事変講和最終議定書調印

一九〇二 1-30日英同盟条約調印 4-10宮崎民蔵ら土地復権同志会結成 7-16呉海軍造兵廠ストに軍隊出動 12-2国勢調査施行に関する法律公布

一九〇三 4-13小学校令改正、国定教科書制度確立 8-9対露同志会結成 10-6小村・ローゼン間で、日露交渉を開始 -8社会主義者、非戦演説会開催 -12萬朝報、主戦論に転ず

一九〇四 2-6ロシア政府に交渉打切りを通告 -8〜9旅順口奇襲、仁川沖海戦 -10日露両国、相互に宣戦布告〔日露戦争〕 -23第一次日韓議定書調印 11-13幸徳秋水・堺利彦、『共産党宣言』を『平民新聞』に訳載、発禁となる

一九〇五 5-27〜28日本海海戦 7-29桂・タフト協定成立 8-12第二次日英同盟調印 9-5日露講和条約調印 日比谷で講和反対国民大会、焼打事件に発展 11-17第二次日韓協約調印 12-20韓国統監府設置

一九〇六 1-7第一次西園寺公望内閣成立(〜〇八・7-4) 2-24日本平民党・日本社会党合同し、日本社会党結成 3-25島崎藤村『破戒』刊 -31鉄道国有法公布 11-26南満州鉄道株式会社設立

一九〇七 1-21東京株式市場大暴落 2足尾銅山大争議、軍隊出動 3-21小学校令改正、義務教育六年になる 6-10日仏協約調印 -15ハーグ密使事件 7-24第三次日韓協約調印 -30第一回日露協約調印

一九〇八 6-22赤旗事件 7-14第二次桂内閣成立(〜一一・8-25) 8別子銅山四阪島精錬所煙害問題、深刻化 11-30高平・ルート協定成立

一九〇九 4-11日糖疑獄事件検挙開始 9-4間島に関する日清協約調印 10-26伊藤博文、ハルビン駅頭で韓国の独立運動家、安重根に射殺される(一八四一—)

一九一〇 3-1中央倶楽部発会 -13立憲国民党結成 4『白樺』創刊 5-25大逆事件、検挙開始 7-4第二回日露協約調印 8-22韓国併合に関する日韓条約調印 -29朝鮮総督府設置 9-11朝鮮の政治結社に解散を命令 11-15帝国農会創立

明 治 時 代

20世紀

年	ヨーロッパ	アメリカ	西アジア・アフリカ・インド	中国とその周辺・東南アジア	日本
一九一一	7第二次モロッコ事件 9伊土戦争始まる(～一二) ストルイピン暗殺される[露] 11独・仏、モロッコ事件協定 イタリア、キレナイカ・トリポリの併合を宣言 12アムンゼン人類初の南極点到達に成功	5反トラスト法でスタンダード石油会社、アメリカ煙草会社に解散命令 メキシコ独裁者ディアス引退、革命の時代に入る(～二〇)	9-28オスマン朝、伊とトリポリ戦争を始める(～一二・10-18) 12-12ベンガル分割の撤廃と首都をカルカッタからデリーへ移すことを宣言[印] この年、タータ一鉄鋼会社生産開始[印]	4-27黄花岡事件 5-9鉄道国有令公布 10-10武昌蜂起(辛亥革命始まる) 11-30モンゴル独立宣言 4-17土地収用令制定[朝]	明治時代 2-21日米新通商航海条約調印(関税自主権の確立) 3-29工場法制定 7-13第三回日英同盟協約調印 8-21警視庁に特別高等警察課を設置 -30第二次西園寺内閣成立(～一二・12-5)
一九一二	8バルカン同盟成立 10第一次バルカン戦争 ローザンヌ和平条約で伊土講和 三国同盟更新	7ニカラグア動乱 11民主党ウィルソン「ニューフリーダム」を掲げて米大統領選に圧勝(在任一三～二一)		1-1孫文、臨時大総統に就任し、中華民国臨時政府成立 太陽暦を採用 2-12宣統帝退位、清滅ぶ 3-10袁世凱が臨時大総統に就任 -11孫文が中華民国臨時約法を公布 9ジャワでサレカット・イスラム結成さる[東ア]	6-18日英米仏独露六か国対中国借款団成立 7-8第三回日露協約調印 -30明治天皇没(一八五二―) 大正天皇践祚(～二六・12-25) 12-21第三次桂内閣成立(～一三・2-11) 第一次護憲運動始まる
一九一三	5ロンドン条約で第一次バルカン戦争終結 6第二次バルカン戦争 8ブカレスト和約で第二次バルカン戦争終結 11アルザス地方で軍隊と住民の衝突〔ツァーベルン事件〕[独]	2メキシコでクーデター 5カリフォルニア排日土地法制定 10米でアンダーウッド関税法成立 12米連邦準備銀行制度成立	7-21エジプトで立憲制採用 12-10タゴール、アジア人最初のノーベル文学賞受賞[印]	1-10チベット独立宣言 4-8第一次国会開く 7-12反袁の第二革命起るが敗北	大正時代 2-10護憲運動の群集、議会へデモ、政府系新聞社・警察署などを襲撃 -11桂内閣総辞職〔大正政変〕 -20第一次山本権兵衛内閣成立(～一四・3-24) 6-13軍部大臣現役武官制を廃止 12-23加藤高明ら、立憲同志会結成
一九一四	第一次世界大戦 6-28サライエボ事件。7-28墺、セルビアに宣戦。-31ジャン・ジョレス暗殺[仏]。8-1独、露に宣戦。-3独、仏に宣戦。-26～30タンネンベルクの戦い。9-5～12マルヌの会戦	4米とメキシコの紛争激化 5米、キューバ関係調停案作成 7メキシコ大統領亡命 8-15パナマ運河開通 8米、第一次世界大戦中立宣言 10クレートン反トラスト法成立	11-14オスマン朝、第一次世界大戦に参戦。全イスラム教徒に聖戦(ジハード)の呼びかけ -22英、エジプトを保護国とする	5-1袁世凱、中華民国約法公布 7-8孫文、中華革命党結成 英、マライ連邦州以外の五保護領により非連邦州を結成[東ア]	1-23議会でシーメンス事件追及 3-24山本内閣総辞職 4-16第二次大隈内閣成立(～一六・10-4) 8-23ドイツに宣戦布告 11-7青島占領
一九一五	9アイルランド自治法案成立[英] 4独軍毒ガス使用 5伊、対墺宣戦 この年、アインシュタイン、一般相対性原理を発表[独]	5-7ルシタニア号事件(米の反独感情高まる) 7ハイチに動乱。米出兵。9保護国化	10-24英、メッカのフセインにアラブ王国の独立を約束〔マクマホン書簡〕 3-19インド防衛法施行。英、インドの民族運動弾圧を強める[印]	5-9二十一か条要求受諾で日貨排斥起る 12-12袁世凱、帝位推戴を受諾 -25第三革命起る この年、『新青年』創刊	1-18対華二十一か条要求提出 5-7対華二十一か条要求に関し最後通牒を発す -25日華新条約調印 12-4東京株式市場暴騰 -11北里研究所開所
一九一六	1スパルタクス団結成[独] 2独軍ベルダン総攻撃 5-30ユトランド沖海戦 7～11ソンムの戦い、英軍戦車を使用	6米・メキシコ軍衝突 12-18ウィルソン、平和提言 この年、アルゼンチン急進的改革	6-10フセイン、反オスマン朝の旗あげ。7-7メッカのオスマン朝軍を降す 12-26国民会議派とムスリム連盟、ラクナウで協定を結ぶ[印]	3-22袁世凱、帝政を取消し、6-6病没(一八五九―) 8-29ジョーンズ法成立。フィリピンの自治拡大[東ア] 10-16フィリピンに二院制議会発足[東ア]	6-6加藤高明・原敬・犬養毅三党首会談、政党政治確立を誓約 7-3第四回日露協約調印 9-1工場法施行 10-9寺内正毅内閣成立(～一八・9-21) -10三政党合同し憲政会結成
一九一七	2独、無制限潜水艦戦を宣言 11バルフォア宣言 ロシア三月革命 3-8ペトログラードの婦人労働者デモ。-15臨時政府成立、皇帝退位 9コルニーロフ反乱 十一月革命 11-8蜂起部隊冬宮を占領	1-22ウィルソン「勝利なき平和」演説 1メキシコ新憲法制定さる 2-3米、独と断交。4-6米、独に宣戦。以後ラテンアメリカ諸国も参戦 5米徴兵法		7張勲の清朝復辟運動失敗 8-14独・墺に宣戦 9-10孫文が広東軍政府を樹立 この年、胡適ら文学革命を唱導 7-22シャム、独・墺に対して宣戦[東ア]	1-20西原借款開始 3-20理化学研究所設立 6本多光太郎KS磁鉄鋼を発明 7-20閣議で中国の段祺瑞内閣への財政援助を決定 9-12金輸出禁止 11-2石井・ランシング協定調印
一九一八	3-3ブレスト・リトフスク条約で独ソ講和 -21独軍、西部戦線で総攻撃 10-21チェコスロバキア独立宣言 -27墺降伏 ドイツ革命 11-3キール軍港で水兵反乱。-9ベルリンに革命波及、皇帝退位。-10臨時政府樹立	1-8ウィルソン「平和原則一四か条」発表 2-19メキシコ油田国有化宣言 この年、汎米労働総同盟成立 ベネズエラのマラカイボ油田開発開始	10-30オスマン朝、連合軍と休戦	魯迅『狂人日記』発表	5-16日華陸軍共同防敵軍事協定調印 8-2シベリア出兵宣言 -3富山県に米騒動起り、全国に波及 9-21寺内内閣総辞職 -29原敬内閣成立(～二一・11-5) 12-23黎明会結成
一九一九	1-1共産党結成。-15共産党員虐殺[独] -18パリ講和会議 2-6エーベルト大統領に[独] 3コミンテルン成立 ムッソリーニのファシスト運動[伊] 6-28独ベルサイユ条約に調印 8-11ワイマール憲法発布[独] 9-10サン・ジェルマン条約 11-27ヌイイ条約	1米で禁酒法(～三三) 9米で鉄鋼大ストライキ始まる この年、アメリカ共産党結成	3-18ローラット法施行し、民族運動の弾圧強化[印] 4-6ガンディーを指導者とする第一次サティヤーグラハ運動開始[印] -13英軍による住民大量虐殺〔アムリットサル事件〕[印] 12-23インド統治法(モンタギュー・チェムズフォード改革)施行[印]	5-4五・四運動起る(新民主主義革命段階に入る) 6-28ベルサイユ条約調印拒否 7ソ連政府のカラハン宣言 10-10中華革命党、中国国民党に改組 3-1三・一独立運動起る[朝] 4-10上海に大韓民国臨時政府樹立[朝]	2-9河野広中ら、普選期成大会開催 5-7パリ講和会議、旧独領南洋諸島の日本委任を決定 -23選挙法改正、納税資格三円以上、小選挙区制となる
一九二〇	1国際連盟発足 6トリアノン条約 この年、ギリシア・トルコ戦争起る 8-10セーブル条約 11-12ラパロ条約	1-19米議会ベルサイユ条約批准否決 8-26米で婦人参政権承認 9メキシコで革命党政権掌握(社会改良政策推進) チリ、自由派連合の推すアレサンドリ、大統領に就任	4-19英のイラク・パレスチナ・ヨルダン、仏のシリア委任統治決定 8-10セーブル条約調印。ケマル・アタチュルク反対し、オスマン朝内戦 10-31全インド労働組合会議創立[印] この年、トルコ支持の反英闘争〔キラーファト運動〕開始[印]	7安直戦争起り安徽派敗北 10-2間島事件起る 5-23東インド共産党(のちのインドネシア共産党)結成[東ア] 8-28ラングーン大学発足[東ア]	1-31全国普選期成連合会結成 3-12尼港事件 -15株式市場暴落 5-2日本最初のメーデー 10-1第一回国勢調査実施 12-9大杉栄・堺利彦ら日本社会主義同盟結成

20　世　紀

一九二一　3-8~16ソ連共産党第一〇回大会、ネップ採択　-18リガ条約でソ連・ポーランドの国境画定　3-13カップ一揆[独]　4-27連合国、独の賠償金額を決定　11-12ワシントン会議開催　11全国ファシスタ党成立[伊]

一九二二　2-6ワシントン会議終る。四か国条約、九か国条約締結　4-3スターリン、書記長に[ソ]　-10ジェノバで欧州経済復興会議　-16独ソ間の友好関係設定(ラパロ条約)　10-28ムッソリーニ、ローマ進軍。-31首相に就任[伊]　11-20ローザンヌ会議(~三・7-24)　12-6アイルランド自由国正式に成立　-30ソビエト社会主義共和国連邦成立

一九二三　1-11仏軍ルール占領　8-12シュトレーゼマン連立内閣成立[独]　11-8~11ヒトラー一揆、失敗[独]　-15レンテンマルク紙幣発行[独]

一九二四　1-21レーニン没(一八七〇—)[ソ]　-22マクドナルド労働党内閣[英]　2-1英、ソ連を承認　8-16独賠償に関するドーズ案

一九二五　4-26独大統領選挙、ヒンデンブルク当選　10-5~16ロカルノ会議　12-1ロカルノ条約調印

一九二六　4-24独ソ中立条約締結　5-1~12坑夫連合のストからゼネスト[英]　5ポーランドでピウスツキのクーデター、独裁開始　7-23ポアンカレの挙国一致内閣成立[仏]　9-8独、国際連盟に加入　10-19~11-18英帝国会議　12独仏ザール国境協定

一九二七　6労働争議および労働組合法成立、ゼネスト禁止さる[英]　12-2~19第一五回ソ連共産党大会でトロツキー除名

一九二八　8-27ケロッグ・ブリアン条約(不戦条約)調印　10-1第一次五か年計画実施[ソ]　11-15ファシスト大評議会、国家機関に[伊]　この年、フレミング、ペニシリン発見[英]

一九二九　1トロツキー国外追放に[ソ]　ユーゴで国王独裁制樹立　2-11ラテラン協定でバチカン市国成立[伊]　6-5第二次マクドナルド労働党内閣成立[英]　-7ヤング案成立(翌年調印)

一九三〇　1-21~4-22ロンドン海軍軍縮会議　9-14総選挙でナチス第二党となる[独]

一九二一　5-19米で割当移民法成立　8-25米、独と単独講和　11-12ワシントン会議(~三・2)　12-6マッケンジー・キング自由党内閣成立[カ]

一九二二　2-6ワシントン会議終る　7-1米で鉄道スト(~9-13)　この年、ラテンアメリカ連合成立

一九二三　3-5第五回汎米会議(サンティアゴ)

一九二四　5米で排日割当移民法　米で農産物価格安定法案　この年、メキシコで革命党のカーリエスが大統領就任　アメリカ革命人民同盟(APRA)成立

一九二五　1-23チリでクーデター　この年、キューバ労働者連盟成立

一九二六　1ニカラグア革命　6ブラジル国際連盟脱退　11英帝国会議でカナダ、オーストラリア、ニュージーランド自治権獲得

一九二七　2-11メキシコ教会財産国有化　5-20~21リンドバーグ、大西洋横断飛行に成功　6-20~8-4ジュネーブ海軍軍縮会議(米・英・日)

一九二八　1~2第六回汎米会議(ハバナ)　この年、ラテンアメリカ労働組合連盟(CSLA)結成

一九二九　1ワシントンで汎米会議　3-4フーバー、米第三一代大統領に就任(~三三)　6米で農産物販売法成立　10-24ニューヨーク株式市場大暴落。世界恐慌始まる

一九三〇　6~12中南米で革命つづく　6米でホーレイ・ストーム関税法成立　10ブラジル革命でバルガス、大統領に就任　12ニューヨーク銀行支払い停止

一九二一　2-21イランでリザー・シャー、クーデターに成功　9-16オスマン軍、サッカリアでギリシア軍を撃破　8-21マラバール地方にモープラー農民の反乱起る[印]

一九二二　2-28エジプト独立宣言　11-1ケマルがトルコの全権を掌握。スルタン制を廃す。オスマン朝滅亡　2-4民衆蜂起して警察隊を襲撃〔チャウリチャウラ事件〕[印]　-11ガンディー、サティヤーグラハ運動停止を指令[印]

一九二三　4-19エジプト王国新憲法を発布　7-24トルコ、連合国とローザンヌ条約調印　10-29トルコ、共和国宣言　12-21ネパール完全独立[印]

一九二四　1-28エジプトでワフド党内閣成立　3-3トルコでカリフ制廃止

一九二五　12-31イラン議会、カージャール朝の国王を廃し、リザー・シャーを国王に推戴　12インド共産党創建[印]

一九二六　1-8アラビアのイブン・サウード、フセインの勢力を排除しヒジャーズ王となる　4-25イランのリザー・シャーが即位。パフレビー朝の成立

一九二七　11インド統治に関するサイモン委員会設置[印]

一九二八　4-9トルコ、イスラム教を国教とする憲法条項廃止　11-3トルコ、アラビア文字を廃し、ローマ字採用　2サイモン委員会インド着。これを機に反英運動再び激化。ラージパト・ラーイ(一八六五—)弾圧により没[印]　12全インド労働者農民党結成[印]

一九二九　3多数の共産主義者弾圧さる[印]　10-31英、円卓会議提案[印]

一九三〇　1-26第二次サティヤーグラハ運動、反英闘争高揚[印]　11-12第一回円卓会議開催[印]　4ガッファール・ハンの指導下に赤シャツ隊、ペシャワール市掌握[印]

一九二一　5-5孫文、第二次広東政府樹立　7-1中国共産党創立　この年、魯迅『阿Q正伝』発表　9-1シャム、米との新友好条約批准。これに続く諸条約により西欧諸国との外交関係是正[東ア]

一九二二　2-6中国に関する九か国条約調印　4孫文、第一次北伐失敗。第一次奉直戦争起る

一九二三　1-26孫文、ヨッフェ共同宣言　2-7京漢鉄道ストライキを呉佩孚が弾圧　-21孫文、第三次広東政府樹立　1-2ビルマで両頭制始まる[東ア]

一九二四　1第一次国共合作成立　9-18孫文、第二次北伐開始。第二次奉直戦争起る　11-26モンゴル人民共和国成立　8ビルマ各地で人頭税反対運動[東ア]

一九二五　3-12孫文没(一八六六—)　5-30五・三〇事件起り、反帝運動拡大　6香港大ストライキ開始(~二七)　7-1広東国民政府成立　4朝鮮共産党結成[朝]

一九二六　3-20蔣介石、中山艦事件を起す　7-9蔣介石北伐を開始

一九二七　4-12蔣介石が反共クーデター　7第一次国共合作終了　10毛沢東、井岡山に革命根拠地建設　11-12海陸豊ソビエト樹立(~二八)　12-11広州コミューン　7-4インドネシア国民同盟結成[東ア]

一九二八　4第二次北伐開始、紅軍第四軍を編成　5-3済南事件　6-9北伐軍、北京に入城　10-8蔣介石、国民政府主席に就任　12-25ベトナム国民党結成[東ア]

一九二九　7張学良、東清鉄道強行回収失敗　11-3光州学生運動起る[朝]

一九三〇　7-29長沙にソビエト政府樹立。8-4崩壊　12蔣介石の第一次掃共戦(~三一)　2-3ベトナム共産党創設[東ア]　-9ベトナム国民党勢力、反仏武力蜂起〔イエン・バイ蜂起〕　12-22下ビルマでサヤー・サンの反乱(~三一・4)[東ア]

一九二一　4-12郡制廃止法公布　11-4原敬首相、東京駅頭で中岡艮一に刺殺される(一八五六—)　-13高橋是清内閣成立(~二二・6-6)

一九二二　2-6ワシントン会議終る。四か国条約・五か国条約・九か国条約調印　3-3全国水平社創立大会　6-12加藤友三郎内閣成立(~二三・8-26)　-24政府、シベリア撤兵を声明　7-15日本共産党、非合法下に結成

一九二三　6-5第一次共産党事件　9-1関東大震災　-2朝鮮人虐殺始まる　第二次山本内閣成立(~12-29)　-4亀戸事件　-16甘粕事件　12-27虎の門事件

一九二四　1-7清浦奎吾内閣成立(~6-7)　-10第二次護憲運動起る　2日本共産党解党決議　5-10第一五回総選挙、護憲三派大勝　6-11第一次加藤高明内閣成立(~二五・7-31)

一九二五　1-20日ソ基本条約調印　3-19治安維持法成立　-29普通選挙法成立　8-2第二次加藤高明内閣成立(~二六・1-28)　12-6日本プロレタリア文芸連盟結成

一九二六　1-30第一次若槻礼次郎内閣成立(~二七・4-17)　4-9治安警察法改正　12-4日本共産党再建　-5社会民衆党結成　-9日本労農党結成　-25大正天皇没(一八七九—)　今上天皇践祚

一九二七　3-15渡辺銀行休業、金融恐慌始まる　4-20田中義一内閣成立(~二九・7-2)　5-28第一次山東出兵　-31対支非干渉同盟結成　7-24芥川竜之介自殺(一八九二—)

一九二八　2-20第一六回総選挙(最初の普選)　3-15共産党員、全国的大検挙〔三・一五事件〕　-25ナップ結成　4-19第二次山東出兵　6-4張作霖爆殺事件起る

一九二九　3-5旧労働農民党代議士山本宣治暗殺される　4-16共産党員大検挙〔四・一六事件〕　6北方教育社結成、生活綴方運動始まる　7-2浜口雄幸内閣成立(~三一・4-13)

一九三〇　1-11金解禁実施　5-30間島で反日武装暴動　8-10新興教育研究所設立　10-26霧社事件起る　11-14浜口首相、狙撃される　この年、世界恐慌日本に波及

20 世紀

ヨーロッパ

一九三一 4-14スペイン革命、共和政成立 9-21英、金本位制停止 12-11ウェストミンスター憲章を可決、英連邦成立[英]

一九三二 2-2ジュネーブ軍縮会議開催 6-16～7-9ローザンヌ会議、独賠償金減額 7-21～8-20オタワで英帝国経済会議（関税ブロック設定） 7-31総選挙でナチス第一党[独] 11-29仏ソ不可侵条約

一九三三 1-30ヒトラー内閣成立。2-27国会議事堂放火事件。3-23全権委任法でナチス独裁に[独] 6-12～7-27ロンドン世界経済会議 7-14独でナチスの一党独裁樹立 10-14独、国際連盟脱退 11-9スペイン総選挙で右派勝利

一九三四 1-26～2-10ソ連第一七回党大会で第二次五か年計画 8-2ヒンデンブルク（一八四七－）没、ヒトラー総統兼首相就任[独] 9-18ソ連国際連盟に加入 12-1キーロフ暗殺事件、大粛清始まる[ソ]

一九三五 1-13ザール、人民投票で独に帰属 3-16独、再軍備宣言 4-11～14ストレーザ会議 5-2ソ仏相互援助条約 6-28仏人民戦線結成 7-25コミンテルン第七回大会、人民戦線テーゼ採択

一九三六 1-15スペイン人民戦線結成 3-7独、ラインラント非武装地帯侵入 7スペイン内乱始まる 12-5スターリン憲法採択[ソ]

一九三七 12フランコ、総統に就任[西] -11伊、国際連盟を脱退

一九三八 3-13独墺合併 4仏の人民戦線崩壊 9-29～30ミュンヘン会談 10-1独のズデーテン進駐

一九三九 2-27英仏、フランコ政権承認 3-15独、チェコ併合、スロバキアを属国化 -28フランコ、マドリード占領。内乱終結[西] 4伊のアルバニア進駐 5-22独伊軍事同盟調印 8-23独ソ不可侵条約
第二次世界大戦 9-1独軍ポーランドに侵入。-3英仏対独宣戦。-17ソ連ポーランドに侵入。11-30ソ・フィン戦争

一九四〇 4-9独軍ノルウェー・デンマークに侵入 5-10独軍、マジノ線突破。蘭・ベルギー、独に降伏 チャーチル、挙国内閣を組織[英] 6-10伊、英仏に宣戦 -15～17ソ連バルト三国に進駐 -22仏、ペタン内閣、独に降伏

アメリカ

一九三一 6-20フーバー・モラトリアム この年、中南米各地で革命

一九三二 1-7スティムソン、日本の満州侵略不承認宣言 2-2米で復興金融法成立 6ブラジルで護憲革命 7-21～8-20オタワで英帝国経済会議 11-8フランクリン・ルーズベルト、米第三二代大統領に当選（在任三三～四五）

一九三三 3-9～6-16ニューディール諸法 5-12農業調整法 6-16全国産業復興法、農業信用貸付法 9キューバ革命、米干渉 11米、ソ連を承認 この年、第七回汎米会議

一九三四 2米、ソ連と通商条約 5米、キューバの独立承認。6互恵通商協定法 8アメリカ自由連盟、ニューディール反対勢力として結成

一九三五 7-5ワグナー法 8-14社会保障法 -31中立法 11-9産業別組織委員会（CIO）成立

一九三六 11-3ルーズベルト大統領再選 12特別汎米平和会議（ブエノスアイレス）

一九三七 5-1米で中立法改定 11-5ブラジル、独裁制の新体制国家となる

一九三八 2米で新農業調整法 3-18メキシコ、石油国有化宣言 5米、下院非米活動委員会設置。「赤狩り」始まる ラテンアメリカ労働総同盟（CTLA）成立 -17米で海軍拡張法可決 10米で公正労働標準法 12第八回汎米会議。リマ宣言。チリ、人民戦線政府成立

一九三九 4米、フランコ政権承認 7-27米、日米通商条約破棄通告 9米、欧州戦不介入宣言 10-3パナマ宣言（米州諸国一般中立宣言）

一九四〇 6米で海軍大拡張案 -28外国人登録法（共産主義者取締り） 7-30米州会議ハバナ決議採択

西アジア・アフリカ・インド

一九三一 7-16エチオピア国王、新憲法発布、議会開設[ア] 3-4ガンディー・アーウィン協定締結[印]

一九三二 9-22イブン・サウード家、サウジアラビア王国と称す 10イラク王国独立 1-4国民会議派非合法化され、約八万人投獄さる[印]

一九三三 8トルコ国際連盟に参加 11インド共産党中央委員会開催。党再建さる[印]

一九三四 1トルコ、工業開発五か年計画を実施 9-18ガンディー、国民会議派からの引退を声明[印]

一九三五 3-21ペルシア、国号をイランとする 10-3伊軍、エチオピアに侵入。エチオピア戦争始まる（～三六・5-9）[ア] 8-2インド統治法改正。自治的州政府の設置と州議会選挙制度の導入[印]

一九三六 4-25パレスチナでアラブ高等委員会の開催。ユダヤ人の入植に反対するアラブの暴動激化 5-9伊、エチオピアの併合宣言[ア] 4-11全インド農民会議結成[印]

一九三七 5エジプト国際連盟に加盟 9-8汎アラブ会議でユダヤ人のパレスチナ移民中止を要求 2州議会選挙の実施。7会議派八州で内閣組織[印]

一九三八 11-10ケマル・アタチュルク没（一八八一－）

一九三九 1イラン横断鉄道開通 5-17英がパレスチナ白書。ユダヤ人の移民を制限。パレスチナ国家樹立を予定 9-3インド総督リンスゴー、インドの大戦参加を発表[印] 10会議派、三五年統治法に反対して州内閣から全員辞職[印]

一九四〇 3-1国民会議派、サティヤーグラハを決議[印] -23ムスリム連盟、ラホール決議でパキスタンの分離独立要求[印]

中国とその周辺・東南アジア

一九三一 7長春郊外で万宝山事件 11-27中華ソビエト共和国臨時政府、瑞金に成立 1-10中部ルソンで農民蜂起[東ア]

一九三二 6-24シャムに立憲クーデター。12-10シャム王国憲法発布[東ア]

一九三三 4-10日本軍、長城以南に侵入開始 10蒋介石の第五次掃共戦（～三四） 11-23福建人民革命政府成立（～三四） 11-26シャムで初の民選議員選挙[東ア]

一九三四 10-15紅軍の長征始まる（～三五・10-8） 11-10瑞金陥落 人民革命軍の創設[朝]

一九三五 1-13共産党遵義会議で毛沢東の指導権確立 8共産党が八・一宣言発表 11-3国民政府が幣制改革断行 -25冀東防共自治委員会成立 5-30ビルマのインドからの分離確定[東ア] 11-15米高等弁務官の監督下にフィリピン連邦政府成立[東ア]

一九三六 10-19魯迅没（一八八一－） 12-12張学良、蒋介石を監禁

一九三七 9-22第二次国共合作成立 12-13日本軍、南京を占領、南京大虐殺 4-1ビルマ、英直轄領（準自治州）となる[東ア]

一九三八 3-28南京に傀儡中華民国維新政府成立 5毛沢東が「持久戦論」発表

一九三九 2国民党が異党活動制限弁法を制定 この年、創氏改名を強要[朝] 6-24シャム、国号をタイに変更[東ア] 11インドシナ反帝民族統一戦線結成[東ア]

一九四〇 1毛沢東「新民主主義論」発表 3-30南京に汪兆銘の国民政府成立 6-12タイ、英・仏・日本と不可侵条約締結[東ア] 9-23日本軍、北部仏印進駐[東ア] -27北部コーチシナのバクソンで反仏・反日闘争起る[東ア] -29タイ、仏印軍と国境で衝突[東ア] 11-23南部コーチシナ各地で人民蜂起す[東ア]

日本

一九三一 3三月事件起る 4-1重要産業統制法公布 -14第二次若槻内閣成立（～12-11） 9-18柳条溝事件、満州事変始まる 10-17十月事件起る 11-27コップ結成 12-13犬養毅内閣成立（～三二・5-16） 金輸出再禁止

一九三二 1-28第一次上海事変起る 3-1満州国建国宣言 5-15陸海軍将校ら首相官邸などを襲撃、犬養首相殺される（六五－）〔五・一五事件〕 -26斎藤実内閣成立（～三四・7-8） 10-23唯物論研究会創立

一九三三 2-20小林多喜二虐殺 -23関東軍、熱河作戦開始 3-27日本、国際連盟を脱退 4滝川事件起る 7-10三木清ら学芸自由同盟結成 10『文学界』創刊

一九三四 4-18帝人事件起る 7-8岡田啓介内閣成立（～三六・3-9） 10陸軍パンフレット問題起る

一九三五 2-1『世界文化』創刊 -18菊池武夫、貴族院で美濃部達吉の天皇機関説を攻撃 3『日本浪曼派』創刊 12-8大本教教主ら検挙

一九三六 2-20第一九回総選挙で社会大衆党進出 -26二・二六事件起る 3-9広田弘毅内閣成立（～三七・1-23） 5-18軍部大臣現役武官制復活 7-10コム・アカデミー事件起る 11-14綏遠事件 -25日独防共協定調印

一九三七 2-2林銑十郎内閣成立（～5-31） 6-4第一次近衛文麿内閣成立（～三九・1-4） 7-7盧溝橋で日中両軍衝突（日中戦争開始） 8-13戦火、上海に波及 11-6日独伊防共協定成立 この年、労働争議参加人員、戦前の最高を示す

一九三八 1-16政府、国民政府を相手にせずと声明 4-1国家総動員法公布 6勤労動員始まる

一九三九 1-5平沼騏一郎内閣成立（～8-28） 5-12ノモンハン事件起る 8-30阿部信行内閣成立（～四〇・1-14）

一九四〇 1-16米内光政内閣成立（～7-16） 2-10津田左右吉『古事記及日本書紀の研究』発禁 6新体制運動起る 7-22第二次近衛内閣成立（～四一・7-16） 9-27日独伊三国同盟調印 10-12大政翼賛会発足

昭 和 時 代

20 世紀

一九四一 2独軍北アフリカ戦線を展開 4-6独軍、ユーゴ・ギリシアに侵入 6-22独ソ戦始まる 8-14大西洋憲章発表 12-11独伊対米宣戦
一九四二 5米ソ武器貸与協定 8-23スターリングラード攻防戦（〜四三・2） 11-8連合軍北アフリカ上陸 -19スターリングラードでソ連軍反撃
一九四三 1-14〜26カサブランカ会談 2-2独軍スターリングラードで降伏 5-15コミンテルン解散 7-25ムッソリーニ罷免。-26バドリオ内閣成立[伊] 9-3伊降伏 11-22〜27カイロ会談 11-28〜12-1テヘラン会談
一九四四 1独軍東部戦線で敗退 6-6連合軍、ノルマンディー上陸 8-25パリ解放 8〜10ダンバートン・オークス会議 9-9ド・ゴール、共和国臨時政府首席就任[仏]
一九四五 2-4〜11ヤルタ会談 3-7ユーゴにチトー政権成立 4-28ムッソリーニ、パルチザンに捕えられ銃殺[伊] -30ヒトラー自殺[独] 5-8独降伏 7-17〜8-2ポツダム会談 -26対日ポツダム宣言 8-15日本降伏、第二次世界大戦終了 10世界労連結成
一九四六 1-10国連第一回総会開会 -12安全保障理事会成立 2-9ソ連第四次五か年計画発表 3-1英主要産業国有化を開始 6-2伊、王政廃止。-10共和国宣言 9-1ギリシアに国民投票で王政復活 仏第四共和政発足[仏]
一九四七 2-10パリ平和条約 3-10モスクワで四か国外相会談 10-5コミンフォルム（共産党・労働者党情報局）結成
一九四八 1イタリア共和国正式に発足 3-17ブリュッセル条約調印、西欧連合成立 6-24ソ連ベルリンを封鎖 -28ユーゴ、コミンフォルムから除名さる 12-10国連、世界人権宣言採択
一九四九 1-25東欧経済相互援助会議（コメコン）成立 4-4北大西洋条約機構(NATO)成立 -18アイルランド共和国完全独立 5-23ドイツ連邦共和国(西独)成立 10-7ドイツ民主共和国(東独)成立 11-28ロンドンで国際自由労働組合連合結成
一九五〇 2-14中ソ友好同盟相互援助条約締結 5-9シューマン・プラン発表 6国連安保理事会、朝鮮出兵決議 12北大西洋軍創設決定

一九四一 1-6ルーズベルト「四つの自由」演説 3-11米で武器貸与法成立 5-27米、国家非常事態宣言 8-2ソ連経済援助協定締結 12-8対日宣戦布告 -11米、独伊と開戦
一九四二 2-9米、日系人の強制疎開（収容）命令
一九四三 6デトロイトで人種暴動 12-1カイロ宣言
一九四四 2-16アルゼンチンでクーデター 7-1〜22ブレトン・ウッズ会議
一九四五 4-12ルーズベルト（一八八二—）没、トルーマン、米第三三代大統領に就任（〜五三） -25国際連合設立会議 7-16原爆実験成功 12-7ブレトン・ウッズ協定発効。国際復興開発銀行設立
一九四六 2-24アルゼンチン大統領にペロン 3-15チャーチル「鉄のカーテン」演説 9-20米ウォレス商務長官辞任
一九四七 3-12トルーマン・ドクトリン -22連邦政府職員の忠誠審査命令 6-5マーシャル・プラン発表 -23タフト・ハートレー法 9-2米州共同防衛条約調印 10ハリウッドの赤狩り
一九四八 1全米大陸労働者総同盟結成 4-3マーシャル・プランによる対外援助法 -30米州機構成立 10-3〜29ペルー左翼反乱、鎮圧。軍部クーデター
一九四九 1-5フェア・ディール政策 9-5米州平和会議（メキシコ） -23トルーマン、ソ連の原爆保有を発表
一九五〇 1-27米とNATO加盟国、相互安全保障(MSA)協定 2-20米でマッカーシー旋風 6-27朝鮮戦争派兵命令 9-23国内治安法成立 12-16国家非常事態宣言

一九四一 8-25英、ソ両軍、イランに侵攻。9-9両軍イランを分割支配 4-6英軍、アジスアベバに侵攻[ア] 5-5ハイレ・セラシエ国王、首都に帰還[ア]
一九四二 8-8国民会議派「インドを出てゆけ」決議の採択を確定、翌日弾圧をうける[印]
一九四三 8レバノン共和国独立 9-9イラン、対独宣戦布告 10-21チャンドラ・ボース、インド国民軍を結成。シンガポールで自由インド仮政府を樹立[印]
一九四四 1-1シリア共和国独立
一九四五 2-23トルコ、対日宣戦布告 -24エジプト対日宣戦布告 3-1イラン、サウジアラビア対日宣戦布告 -22カイロでアラブ連盟の結成 12-12アゼルバイジャン共和国、ソ連の援助でイランから分離独立 9-19アトリー英首相、インドに完全自治を与えることを約束[印]
一九四六 3-22トランスヨルダン王国独立 2-18ボンベイでインド水兵の反乱[印] 9-2ネルー、臨時政府を組閣[印] 11-15ベンガルで小作料減免を求めるテバガ運動始まる[印]
一九四七 1-29国連がパレスチナ分割案を決議 12-17アラブ連盟が分割の武力阻止を声明 6-3国民会議派、ムスリム連盟、マウントバッテンの裁定提示[印] 8-15印パ分離独立[印]
一九四八 5-14イスラエル共和国独立宣言 -16アラブ諸国がイスラエル攻撃開始 1-30ガンディー（一八六九—）暗殺さる[印] 2-4セイロン独立[印] 9-2インド軍、ハイデラバード藩王国を併合[印]
一九四九 2-24イスラエル・エジプトが休戦 5-11イスラエル国連加盟 1-1カシミールをめぐる印パ戦争停止[印]
一九五〇 6-17アラブ集団安全保障条約調印 1-26インド憲法発効。インド共和国成立[印]

一九四一 1-7国民党軍が新四軍を攻撃（皖南事件） 5-9タイ・仏印平和条約調印[東ア] -19ベトミン結成[東ア]
一九四二 4-3共産党が整風運動を起す 1-25タイ、英・米に宣戦布告[東ア] 3-29中部ルソンでフクバラハップ（フク団、抗日人民軍）結成[東ア] 8-4自由タイ組織成立[東ア]
一九四三 7-7蒋介石、反共攻勢 11蒋介石、カイロ会談に出席 8-1ビルマ国独立宣言[東ア]
一九四四 8-1ビルマの反ファシスト組織（AFPFL）結成[東ア]
一九四五 4共産党七全大会で毛沢東が「連合政府論」を報告 8-14中ソ友好同盟条約締結 -30重慶で毛沢東・蒋介石会談 8-15日本の植民地からの解放。北部にソ連軍進駐。9-2南部に米軍が軍政を布く[朝] 8-17インドネシア共和国独立宣言[東ア] 9-2ベトナム民主共和国独立宣言[東ア] 10-12ラオ・イサラ結成[東ア]
一九四六 1-10国共停戦協定成立 7-12国共内戦始まる 7-4フィリピン共和国独立宣言[東ア] 12-19ベトミン軍一斉蜂起（インドシナ戦争開始）[東ア]
一九四七 10-10共産党、土地法大綱公布
一九四八 8-13大韓民国(韓国)樹立。9-9朝鮮民主主義人民共和国(共和国)成立[朝] 1-4ビルマ連邦共和国独立[東ア] 2-1マラヤ連邦政府独立[東ア] 9-18インドネシア共産党、マディウンで革命政府樹立[東ア]
一九四九 10-1中華人民共和国成立 12-7国府、台北に移都 7-1南ベトナムにバオダイ政権成立[東ア] -19ラオス、仏連合内の独立達成[東ア] 11-8カンボジア、仏連合内の独立達成[東ア] 12-27インドネシア連邦共和国成立[東ア]
一九五〇 6-25朝鮮戦争始まる 10-25中国人民義勇軍、朝鮮戦線に出動 8-15インドネシア単一共和国宣言[東ア]

一九四一 3-1国民学校令公布 4-13日ソ中立条約調印 7-18第三次近衛内閣成立（〜10-16） 10-18東条英機内閣成立（〜四四・7-18） 12-8日本軍、マレー半島上陸。ハワイ奇襲。対米英宣戦布告（太平洋戦争勃発）
一九四二 4-30翼賛選挙 5-26日本文学報国会結成 6-5ミッドウェー海戦 8-7米軍、ガダルカナル島上陸
一九四三 2-1日本軍、ガダルカナル島撤退開始 5-29アッツ島日本守備隊全滅 12-1第一回学徒出陣
一九四四 4-1歌舞伎座、帝劇、日劇など閉鎖 6-30大都市の学童集団疎開決定（8月実施） 7-7サイパン島日本軍全滅 -22小磯国昭内閣成立（〜四五・4-5）
一九四五 4-1米軍、沖縄本島に上陸 -7鈴木貫太郎内閣成立（〜8-15） 8-6米軍、広島に原爆投下 -8ソ連対日宣戦布告 -9長崎に原爆投下 -15終戦の詔書 -17東久邇宮稔彦内閣成立（〜10-5） 9-2降伏文書調印 10-4治安維持法廃止 -11幣原喜重郎内閣成立（〜四六・4-22） 11-6総司令部財閥解体を指令 12-31総司令部、修身・地理・歴史科の授業停止を指令
一九四六 1-1天皇人間宣言 -12民主主義科学者協会創立 4-10新選挙法による最初の総選挙 5-22第一次吉田茂内閣成立（〜四七・5-20） 8-19全日本産業別労働組合会議（産別会議）結成 11-3日本国憲法公布
一九四七 1-31総司令部、二・一ゼネスト中止を指令 3-31教育基本法、学校教育法公布 6-1片山哲内閣成立（〜四八・2-10）
一九四八 2-16内閣、義務教育漢字を告示 3-10芦田均内閣成立（〜10-7） 4-1新制大学、新制高校発足 10-19第二次吉田内閣成立（〜四九・2-16） 12-18総司令部、経済安定九原則を発表
一九四九 1-23総選挙で民自党過半数、共産党進出 -26法隆寺壁画焼失 2-16第三次吉田内閣成立（〜五二・10-30） 3-7ドッジ・ライン発表 7-5下山事件 -15三鷹事件 8-17松川事件 11-3湯川秀樹ノーベル物理学賞受賞決定
一九五〇 6-6共産党中央委員追放 7-11日本労働組合総評議会(総評)結成 8-10警察予備隊令公布 -30マッカーサー、全労連解散を指令

昭和時代

20 世 紀

ヨーロッパ

一九五一 2-21～26世界平和評議会総会(ベルリン・アピール) 2鉄鋼業国有化[英] 4-2北大西洋軍発足 -18シューマン・プランに基づくヨーロッパ石炭鉄鋼共同体に六か国調印 6仏総選挙。ド・ゴール派第一党 -17英仏が独墺との戦争状態終結宣言 10-25英総選挙。保守党勝利 12パリに西欧六か国外相会議、欧州軍創設決定

一九五二 2-6エリザベス二世即位[英] 4-3～12モスクワ国際経済会議 オスロ世界平和会議 5-26ボン協定(米英仏と西独の平和協定) -27欧州防衛共同体条約(六か国調印) 10-5～14ソ連第一九回共産党大会。第五次五か年計画発表 12ユーゴ、ギリシア、トルコがバルカン相互防衛協定 -12～19ウィーン平和擁護大会

一九五三 1-14ユーゴ新憲法でチトー大統領当選 3-5スターリン没(一八七九—)。後任マレンコフ[ソ] 6-16～17東ベルリンで反ソ暴動 7-4ハンガリー首相にナジ就任。農業改革を表明 8-8ソ連、水爆保有を発表 9西独総選挙でキリスト教民主同盟大勝 -12ソ連共産党第一書記にフルシチョフ就任 11バルカン軍事機構(ギリシア・ユーゴ・トルコ)成立

一九五四 1-25米英仏ソ四国外相会議(ベルリン) 10-5トリエステ協定(伊・ユーゴの領土問題解決) -19スエズ撤退で英・エジプト協定成立 -23パリ協定調印(西独の主権回復、西独・伊の西欧連合加盟、西独再軍備の承認) 11-1アルジェリア戦争始まる 12国連原子力平和利用九か国決議

一九五五 1-17ウィーン・アピール -25ソ連対独戦争状態終結宣言 2-8ソ連マレンコフ首相解任、後任ブルガーニン 4-5英首相チャーチル辞任、後任イーデン 5東欧八か国会議。ワルシャワ機構 英総選挙。保守党完勝 -15オーストリア国家条約で独立回復 7-18～23ジュネーブ米英仏ソ四巨頭会談 8原子力平和利用国際会議 9-20ソ連、東独主権回復協定調印 10-26オーストリア中立法

アメリカ

一九五一 3-26～4-7米州外相会議(ワシントン) 3-27カナダ、米との共同防衛条約締結 4-5ローゼンバーグ夫妻、原爆スパイ容疑で死刑判決 9-1太平洋安全保障条約調印 10-14中米五か国機構憲章調印 -31米、相互安全保障(MSA)本部設置

一九五二 7-25プエルトリコ、自治領となる 11-1米水爆実験 -4アイゼンハワー、米第三四代大統領に当選(在任五三～六一)

一九五三 1-27ダレス「巻き返し政策」演説 3米で再びマッカーシー旋風 7-26キューバでカストロの解放運動始まる 10-1米韓相互防衛条約 12-4～8米英仏三巨頭のバーミューダ会談 この年、米、全国有色人種向上協会「自由のための一〇年闘争」を計画

一九五四 1-21米原子力潜水艦ノーチラス号進水 3-1第一〇回汎米会議(反共決議案を採択) 5-17米最高裁、公立学校の人種差別に違憲判決 7-21米、ジュネーブ協定調印拒否 8-24米共産党非合法化 12-2米華相互防衛条約

一九五五 1-1米、南ベトナム援助開始 4-19アインシュタイン没(一八七九—) 6-11アルゼンチンで反ペロン政権デモ、鎮圧 9-19ペロン辞職、亡命 12-5米AFLとCIO合同 -6アラバマ州モントゴメリーでキング牧師の指導下、バス・ボイコット運動始まる

西アジア・アフリカ・インド

一九五一 3-15イラン議会、石油国有化法案を可決 5-1イラン、アングロ・イラニアン石油会社の施設を接収 10-8エジプト、対英条約を破棄 12-24リビア王国連邦独立[ア] 1-16ウッタル・プラデーシュ州で土地改革法成立。その後、各州で土地改革法成立[印]

一九五二 7-23エジプトでナセルに率いられた自由将校団のクーデター 9-7エジプト、ナギーブ将軍、内閣を組織 2-24第一回総選挙終り、国民会議派勝利[印]

一九五三 6-18エジプト王制を廃し共和国になる 8-19イランに国王派のクーデター。石油国有化政策後退 8中央アフリカ連邦結成 12-2インド、ソビエト五か年通商条約締結[印]

一九五四 8-5イラン、国際石油合弁会社と協定調印。英との石油紛争解決 10-19英、スエズ地帯からの撤兵を約す 11-14エジプト革命会議、ナギーブを解任。ナセルが大統領代行 2-6カシミール制憲議会、インド帰属を声明[印] -13米、パキスタンに軍事援助決定[印] 4-28コロンボ会議開催[印] 5-14カシミールにインド憲法適用[印] 11-9ネルー「社会主義型社会」を提案[印] 12-28～29コロンボ五か国首脳会議開催[印]

一九五五 2-24トルコとイラン、バグダード条約に調印 12-17米アスワン・ハイダム建設資金の借款供与を発表 3-18インド・カンボジア平和五原則を確認[印]

中国とその周辺・東南アジア

一九五一 12-1人民解放軍チベットに進駐 -7三反五反運動開始 7-10開城で朝鮮休戦会談開く[朝] 10-25板門店で休戦会談再会[朝] 11-29タイで陸海空三軍の無血クーデター。議会、政党解散[東ア]

一九五二 1-18韓国が「李ライン」設定[朝] 2-15第一次日韓会談[朝] 6-15カンボジア国王シアヌーク、政権掌握[東ア]

一九五三 1第一次五か年計画発足 2-15「農業生産互助合作に関する決議」採択 10-1「過渡期の総路線」発表され、社会主義革命の方向明確化 7-27朝鮮休戦協定成立[朝] 10-22ラオス独立[東ア] 11-9カンボジア独立[東ア] -20仏軍ディエンビエンフー占領[東ア]

一九五四 4-29周恩来・ネルーが「平和五原則」を提唱 9-20第一期全国人民代表大会で中華人民共和国憲法を採択 -29ソ連首相ら中国訪問、中ソ会談開く 12-2米・国府間に相互防衛条約調印 2-23フィリピン政府、フク団に総攻撃開始[東ア] 5-7ディエンビエンフー陥落[東ア] 7-21ジュネーブ協定成立。インドシナ休戦実現。南北ベトナムの分割決定[東ア] 9-6～8東南アジア条約機構(SEATO)創設会議、マニラで開催[東ア]

一九五五 5-21高崗・饒漱石の反党連盟活動問題化 10中国共産党七期六中全会が農業協同化に関する決議。農業集団化が進展する 4-18～24バンドンでアジア・アフリカ会議開催。「平和十原則」を採択[東ア] 10-26南ベトナム国民投票(23)の結果、バオダイ帝廃位。ゴ・ディン・ジエム、共和制宣言、大統領に就任[東ア]

日本

一九五一 3-10総評、平和四原則採択 4-24国電、桜木町駅付近で出火、百余名焼死 9-1民間放送開始 -8サンフランシスコ講和条約、日米安全保障条約調印 10-24社会党、左右両派に分裂 11-10日教組、第一回教育研究大会開催 12-20大山郁夫、スターリン平和賞受賞

一九五二 1-21白鳥警部射殺事件起る 2-20ポポロ事件起る -28日米行政協定調印 4-24学術会議、破防法反対声明を可決 -28サンフランシスコ講和・安保両条約発効 5-1血のメーデー事件起る 7-21破防法公布、公安調査庁発足 -30第四次吉田内閣成立(～五三・5-21)

一九五三 2-1NHKテレビ放送開始 -28国会、吉田首相の「バカヤロー」発言で紛糾 3-14内閣不信任案可決、国会解散 -18鳩山一郎ら自由党結党 5-21第五次吉田内閣成立(～五四・12-7) 6内灘問題激化 8-1恩給法改正(軍人恩給復活) -7スト規制法公布 10-2池田・ロバートソン会談 11-29三木武吉ら、日本自由党結成

一九五四 3-1米国の水爆実験で第五福竜丸被災(福竜丸事件) -8MSA協定調印 4-21犬養法相、指揮権を発動して佐藤栄作自由党幹事長逮捕阻止(造船疑獄) 5-29政治的中立をめぐる教育二法成立 6-4近江絹糸スト 7-1防衛庁・自衛隊発足 新警察法施行 8-8原水爆禁止署名運動全国協議会結成 9-26洞爺丸転覆 11-24日本民主党結成(総裁鳩山一郎) 12-10第一次鳩山一郎内閣成立(～五五・3-19)

一九五五 1-1共産党、極左冒険主義を自己批判 -27重要無形文化財第一次指定内定 2-14日本生産性本部設立 3-19第二次鳩山内閣成立(～11-21) 6-1日ソ交渉開始 -7第一回日本母親大会 8-6第一回原水禁大会 -13日本民主党『うれうべき教科書の問題』発表 9砂川闘争高揚 10-13社会党両派統一 11-15自由民主党結成(保守合同) -22第三次鳩山内閣成立(～五六・12-20)

昭 和 時 代

一九五六 1-15第六次五か年計画発表[ソ] 2-14～25第二〇回共産党大会。スターリン批判[ソ] 3-10ギリシア・キプロスで反英デモ 4-17コミンフォルム解散 6-28～30ポーランドのポズナニで反ソ暴動 8-16第一回スエズ運河国際会議 10-21ポーランド統一労働者党第一書記にゴムルカ選出 10-23ハンガリー事件。ブダペストで反政府デモ。10-24ナジ首相就任。ソ連軍出動。11-4ソ連軍ブダペスト制圧。カダル政権成立。-9戒厳令 11-2国連緊急総会(中東紛争。中東警察軍創設)

一九五七 1-9マクミラン内閣成立[英] 2欧州六か国首相会談 3-25ヨーロッパ共同市場(EEC)・原子力共同体(EURATOM)条約調印(ローマ) 4ココム会議 5-15第一回水爆実験[英] 6-22マレンコフ、モロトフら解任[ソ] 8-26大陸間弾道弾実験成功。10-4人工衛星第一号打ち上げ成功[ソ] 11-16～19世界六四か国共産党・労働者党会議(モスクワ)

一九五八 1-1EEC、EURATOM発足 1ヒラリー隊南極点に到着[英] 3-27フルシチョフ第一書記、首相を兼任[ソ] 6-1ド・ゴール内閣成立[仏] 7東西核実験査察専門家会議 8-25仏でアルジェリア民族解放戦線のテロ活動始まる 10-5第五共和政成立。12-21大統領選挙にド・ゴール当選[仏]

一九五九 1ド・ゴール、第五共和政大統領就任[仏] 1-27～2-5第二一回共産党大会。経済七か年計画採択[ソ] 2-19キプロス独立協定調印 9宇宙ロケット二号月面到着成功[ソ] 11-13～15西独社会民主党特別大会。バード・ゴーデスベルク綱領採択 12-13キプロス大統領選挙でマカリオス大主教選ばる

一九六〇 1-23～24仏で反政府デモ。-24戒厳令 2-13第一回原爆実験[仏] 5-1ソ連、領空侵犯米U2型機撃墜 7-8ベルギー、コンゴのカタンガ州に出兵 9-12東独国家評議会設立。議長ウルブリヒト 11-20世界八一か国共産党・労働者党代表者会議。12-6モスクワ宣言 -14経済協力開発機構(OECD)条約調印

一九五六 1-16ダレス「瀬戸際政策」を発表 3-12米南部議員一〇〇名、人種統合反対宣言 4-4キューバで反バチスタの蜂起 6-9～10アルゼンチンで反乱、鎮圧

一九五七 1-6アイゼンハワー・ドクトリン発表 6-3米、バグダード条約機構軍事委員会参加決定 7第一回パグウォッシュ会議 9-19米で最初の地下核実験 10スプートニク・ショック 12-17米の大陸間弾道弾(ICBM)実験成功

一九五八 1ベネズエラ政変 -27米ソ文化交流協定調印 -31米人工衛星エクスプローラ第一号打ち上げ 4キューバでカストロ派の反バチスタの動き活発化(～7) 5-13米副大統領ニクソン、ラテンアメリカで反米デモにあう 7-15米、レバノン派兵(10-19撤退) -19キューバに反バチスタ革命的市民戦線結成。-20反バチスタ派の大同団結 8米、原子力潜水艦ノーチラス号、北極海横断

一九五九 1-1キューバ革命。バチスタ亡命 2-7キューバ国家基本法(憲法)発布 2-16カストロ首相就任 4-15米ダレス国務長官辞任、後任はハーター(～六二) 7-15～11-7米で鉄鋼スト 9-15ソ連首相フルシチョフ訪米。9-26キャンプ・デービッド会談 10-9米でタフト・ハートレー法発動

一九六〇 6-29キューバ、米英オランダ系精油所を接収 7-6キューバでアメリカ資産国有化法制定 9-2キューバ人民大会で「ハバナ宣言」採択 10-14キューバ、基幹産業国有化法制定 -19米、対キューバ輸出を禁止 -21ベネズエラで非常事態宣言 10エルサルバドルでクーデター成功 11-8ケネディ、米第三五代大統領に当選(在任六一～六三)

一九五六 6-13英軍、スエズから撤兵 7-26エジプト、スエズの国有化宣言 10-29イスラエル軍、エジプト侵入〔第二次中東戦争〕 -31英仏軍、スエズに進駐 11-21国連警察軍、スエズに進駐 1-1スーダン共和国独立[ア] 3-2モロッコ王国独立[ア] -20チュニジア王国独立[ア] 3-23パキスタン新憲法発効[印] 8-29米からインドへのPL四八〇農作物輸入協定[印] 11-1インド、言語別州再編成法発効[印]

一九五七 3-4イスラエル軍、エジプトからの撤兵完了 12-26アジア・アフリカ諸国民連帯会議カイロで開催 3-6ガーナ共和国成立[ア] 7-25チュニジア王制を廃し、共和国に移行[ア] 2-24第二回総選挙。ネルー新内閣発足。ケララ州に共産党州政府成立[印]

一九五八 2-1エジプトとシリア合併し、アラブ連合共和国成立 7-14イラクで軍部クーデター。王制を廃し共和制 9-19アルジェリア共和国臨時政府、カイロで樹立[ア] 10-1ギニア共和国独立[ア] 6-15港湾労働者ストライキ。非常事態宣言[印] 10-27パキスタン大統領にアユブ・ハーン[印]

一九五九 4-3ダライ・ラマの亡命を受入れる[印] 6ケララで共産党州政府に対する攻撃激化[印] 7-31大統領ケララ州政府を解任し、直接統治[印]

一九六〇 8-16キプロス共和国独立 この年、アフリカ諸国独立。1-1カメルーン 4-27トーゴ 6-20マリ連邦(8-20セネガル、9-22マリが離脱) -26マダガスカル -30ベルギー領コンゴ 7-1ソマリア 8-1ダオメー -2ニジェール -5オートボルタ -7コートジボアール -11チャド -13中央アフリカ -15仏領コンゴ -17ガボン 10-1ナイジェリア 11-28モーリタニア

一九五六 9-15中国共産党八全大会開く。第二次五か年計画採択 10-1周恩来、ソ連の「スターリン批判」を批判 この年、百家争鳴・百花斉放運動起る 共和国で千里馬運動起る[朝] 12-21スマトラで軍部反乱、スマトラに戒厳令[東ア]

一九五七 6反右派闘争展開、章乃器ら自己批判 11-18毛沢東モスクワで「張子の虎論」展開 8-31マラヤ連邦独立[東ア] 9-16タイでサリット元帥の軍クーデター成功[東ア] 11-19ラオス、第一次連合政府樹立[東ア]

一九五八 7-31フルシチョフ中国訪問 8金門砲撃、米艦隊出動で台湾海峡緊迫 9-20人民解放軍、幹部の下放を指示 この年、第二次五か年計画開始、人民公社・大躍進運動起る 2-15インドネシア反政府軍スマトラに革命政府樹立[東ア] 7-22ラオス、プーマ連合政府総辞職[東ア] 9-26ビルマ、ウー・ヌ首相、ネ・ウィン将軍に暫定政権委託[東ア] 10-20タイでサリットの第二次クーデター。憲法停止[東ア]

一九五九 3ダライ・ラマ、インドに脱出。チベット地方政府解散 4劉少奇国家主席となる 8-2～16廬山会議開催、彭徳懐解任され党内対立表面化 8-7中印国境で衝突 9-30フルシチョフ中国訪問、中ソ対立激化 この年より三か年にわたる自然災害発生、大躍進中絶 6-3シンガポール、英連邦内での独立を宣言[東ア]

一九六〇 7-16ソ連技術者引揚げ、設備供給停止 7中ソ国境紛争起る 4-18四月革命起り、5-28李承晩、ハワイに亡命[朝] 8-14共和国が七か年計画を発表[朝] -15韓国に第二共和制発足[朝] 8-9ラオスに中立派コン・レのクーデター[東ア] 12-20南ベトナム民族解放戦線結成[東ア]

一九五六 3新教育委員会法案・教科書法案・小選挙区法案など重要法案を国会提出 5-9日本マナスル登山隊、登頂に成功 -19科学技術庁発足 -21売春防止法成立 6-2参議院、新教育委員会法案をめぐって大混乱、警官隊出動して成立 10-19日ソ共同宣言 11-8南極観測船宗谷丸出発 12-18国連総会、日本の国連加盟可決 -23石橋湛山内閣成立(～五七・2-23)

一九五七 1-30ジラード事件起る 2-25第一次岸信介内閣成立(～五八・6-12) 6-21日米共同声明発表 10-15最高裁、八海事件に裁判やり直しと判決 11-20日教組、全国で勤評抗議集会を開催 -25瀬長那覇市長追放される

一九五八 2-15産別会議解散 3-24全日本農民組合連合会結成 5-2長崎で中国国旗汚辱事件起る(日中貿易断絶) -6東京地裁、東京都公安条例を違憲と判決 6-12第二次岸内閣成立(～六〇・7-5) 7-31文部省、小・中学校の新学習指導要領改定案発表 10-4安保条約改定交渉開始 -8警職法改正案国会提出 -16警職法反対国民会議結成 この年、中国、ソ連との文化交流さかん

一九五九 3-28安保改定阻止国民会議発足 4-10皇太子、正田美智子と結婚 8-10最高裁、松川事件差戻しを判決 10-18西尾末広ら、安保問題により社会党を脱党 11-27自民党、衆院でベトナム賠償協定を強行可決 安保阻止第八次統一行動、デモ隊二万余国会構内に入る

一九六〇 1-19新日米安保条約・行政協定調印 -24民主社会党結成(委員長西尾末広) -25三井鉱山三池鉱業所全山ロックアウト、労組無期限スト(11月解決) 5-19政府・自民党、衆院で新安保条約と会期延長を単独強行採決 6-15全学連のデモ、国会乱入、樺美智子死亡 -19新安保条約自然成立 7-19第一次池田勇人内閣成立(～12-5) 10-12浅沼社会党委員長、立会演説中に刺殺される(一八九八―) 12-8第二次池田内閣成立(～六三・12-4)

20 世紀

ヨーロッパ

一九六一 1-8アルジェリア問題で国民投票、民族自決を承認[仏] 4-12人間衛星船ボストーク一号回収に成功[ソ] 6-3～4米大統領ケネディ、ソ連首相フルシチョフ、ウィーンで首脳会談 8-13東独、西ベルリンへの交通遮断 9-1～6ユーゴのベオグラードで第一回非同盟諸国首脳会議(二八か国)。ベオグラード宣言を採択 10-17～31第二二回共産党大会、新綱領を採択[ソ] 12-10ソ連、アルバニアと断交。-15～20チェコ、ハンガリーも断交

一九六二 3-18エビアン協定で仏とアルジェリア休戦 4-8仏国民投票でアルジェリア独立を承認 8-15オランダとインドネシア、西イリアン協定調印 9-2ソ連、対キューバ武器援助声明 10-22キューバ危機 -28ソ連、キューバより基地撤去を回答

一九六三 1-7ソ連党機関紙『プラウダ』、中国共産党を名ざしで非難 -27中国、『人民日報』社説でフルシチョフを非難 2-10ソ連、中ソ共産党会談を提唱 4-12～15原水爆反対オールダマストン行進[英] 7-2フルシチョフ、部分核停と東西不可侵条約提案[ソ] -5～20モスクワで中ソ共産党会談、決裂 8-5米英ソ、部分核停条約調印 10-11西独首相アデナウアー辞任、後任エアハルト -18マクミラン首相辞任、後任ヒューム[英]

一九六四 1-27仏、中国との国交樹立 2-6キプロスで、ギリシア・トルコ系住民の衝突(キプロス紛争) 3-4国連、キプロスに国連警察軍派遣を決定 -23～6-16ジュネーブで国連貿易開発会議 8-21共産党書記長トリアッティ没(一八九三―)[伊] 10-15ソ連でフルシチョフ解任、首相にコスイギン、第一書記にブレジネフ就任 総選挙で労働党勝利、ウィルソン内閣成立[英] 11-5～13ブレジネフ、周恩来会談

一九六五 1-24チャーチル没(一八七四―)[英] 2-6ソ連コスイギン首相、ホー・チミン北ベトナム大統領と会談 -14ソ連、朝鮮民主主義人民共和国両首相、南ベトナム反米独立闘争支持を声明 4-30労働党政府、鉄鋼一四企業の国有化発表[英] 12-5大統領選挙、ド・ゴール再選される[仏]

アメリカ

一九六一 1-4米、キューバと断交 -17アイゼンハワー告別演説で産軍複合体制に警告 3-5～8ラテンアメリカ諸国民会議でメキシコ宣言採択 3-14ケネディ、中南米に対する「進歩のための同盟」計画発表 4-17キューバ反革命、失敗 5-1キューバ社会主義共和国宣言 -21アラバマ州で人種差別反対運動、暴動化、戒厳令施行 -30ドミニカの独裁者トルヒーヨ暗殺される 12-8米国務省、南ベトナム白書発表

一九六二 1-16ドミニカの親米政権崩壊 2-3米、対キューバ全面禁輸 -8米、南ベトナムに軍事援助司令部設置 -14米州機構、キューバを正式に除名 3-18アルゼンチン総選挙でペロン派進出 -31ブラジル軍部反乱(5-23主要産業国有化) 10-22～28キューバ危機(米、海上封鎖、11-20解除)

一九六三 3米・中米六か国会議、サンホセ宣言 4-2米で人種差別反対黒人デモ始まる 6米ソ直通通信協定調印 8-5米英ソ部分核実験停止条約正式調印 -28人種差別反対ワシントン大行進 9-25ドミニカでクーデター 11-22ケネディ暗殺、ジョンソン米第三六代大統領に就任(～六九)

一九六四 1-8ジョンソン、年頭教書で「貧困との戦争」を強調 1米、パナマ国交断絶 3-31ブラジルで軍部の反乱 7-2米で新公民権法成立 -21～26米州機構外相会議(キューバ経済制裁)

一九六五 1ジョンソン年頭教書で「偉大な社会」を強調 3米でベトナム反戦運動激化 4-17ワシントンでベトナム停戦要求デモ -24ドミニカで軍部の反乱(5-5休戦協定成立) 8-6～10ワシントンでベトナム反戦平和行進

西アジア・アフリカ・インド

一九六一 9-28シリアで反ナセルのクーデター -29シリア、アラブ連合共和国から離脱 1-4～7アフリカ八か国首脳のカサブランカ会議開催[ア] 4-27シエラレオネ独立[ア] 5-8～12アフリカ二〇か国会議、カサブランカ会議派に対し穏健派を結成[ア] 12-15フルシチョフ、インド訪問[印] -18ポルトガル領ゴアを解放[印]

一九六二 3-18仏・アルジェリア臨時政府間に休戦協定の成立(エビアン協定)[ア] 7-1ブルンジ王国独立[ア] -1ルワンダ独立[ア] -3アルジェリア共和国正式に独立[ア] 9-29ベンベラ内閣成立[ア] 10-9ウガンダ独立[ア] 12-9タンガニーカの独立[ア] 7-21インドと中国、チベット国境で交戦[印] 10-20中印国境紛争激化[印]

一九六三 2-8イラクでバース党のクーデター。大統領にアレフ就任 5-22アフリカ統一機構(OAU)憲章の成立[ア] 1-14インド、国境紛争に関するコロンボ提案受諾[印]

一九六四 2-6キプロスでギリシア系とトルコ系の住民の衝突(キプロス紛争始まる) 7-6マラウイの独立[ア] 10-24ザンビアの独立[ア] 12-12ケニアが共和国宣言[ア] 5-27ネルー没(一八八九―)。後継首相シャストリ[印] 9-11インド・ソビエト軍事援助協定締結[印] 10-31インド共産党(マルクス主義者)CPIM新綱領を決定し、共産党左右に分裂[印]

一九六五 2-18ガンビア独立[ア] 6-19アルジェリアでクーデター、ベンベラ失脚し、革命評議会が実権を握る[ア] 11-11ローデシア、英国からの独立を一方的に宣言[ア] 4-9インド・パキスタン交戦[印] 9-6インド、パキスタン国境に侵入。印パ国境紛争再燃[印]

中国とその周辺・東南アジア

一九六一 4韓国に統一運動盛上るが、5-16軍事クーデターで弾圧[朝] 7-3朴正熙、国家再建最高会議議長となる[朝] 2-15ベトナム人民解放軍発足[東ア] 5-3ラオス停戦実現す[東ア]

一九六二 10-20中印国境で武力衝突(～11) この年、中ソ論争が公然化 12-26韓国で第三共和国憲法公布[朝] 3-2ビルマでネ・ウィン、軍部クーデターに成功。革命政府樹立[東ア] 6-23ラオス、第二次連合政府発足[東ア]

一九六三 5-20農村における社会主義教育運動展開の指示 7-5～20中ソ共産党会談モスクワで開催 この年、三大革命運動展開 10-15朴正熙、大統領に当選[朝] 5-1西イリアン施政権、国連からインドネシアに委譲[東ア] 6-3南ベトナムのユエなどで仏教徒が反政府デモ[東ア] 8-21南ベトナム全土に戒厳令[東ア] 9-16マレーシア連邦発足[東ア] 11-1南ベトナムに軍事クーデター[東ア]

一九六四 10-16中国最初の原爆実験に成功 3日韓交渉に関して反対運動広まる[朝] 1-30南ベトナムでグエン・カーン将軍の無血クーデター[東ア] 8-2トンキン湾事件起る[東ア]

一九六五 5-22人民解放軍の階級を廃止 11-10上海の『文匯報』、『海瑞罷官』批判を掲載 6-21韓国で非常戒厳令。翌日、日韓基本条約調印(共和国が不承認を声明)[朝] 2-7米機の北ベトナム爆撃開始[東ア] 6-14南ベトナム、グエン・バン・チュー将軍の国家指導委員会発足[東ア] 8-9シンガポール共和国、マレーシア連邦から分離、独立[東ア] 9-30インドネシアでクーデター、共産党壊滅(九・三〇事件)[東ア] 12-30マルコス、フィリピン大統領に就任[東ア]

日本

一九六一 2-1右翼少年、中央公論社長邸を襲う 6-2防衛二法改正案成立 -12農業基本法公布 -21池田・ケネディ会談 7-27共産党第八回大会、新綱領を採択 8-8松川事件差戻し審、全員無罪判決 -16池田・ミコヤン会談 10-9東京株式、開所以来の大暴落 -26文部省、全国中学校一斉学力テスト実施 12-12旧軍人、右翼のクーデター計画発覚(三無事件)

一九六二 1-9ガリオア・エロア返済協定調印 -25日米教育文化会議開催 -31日タイ新協定調印 5-7第一回科学者京都会議、核禁止協定の締結を要請 7-11創価学会、参議院で一五議席となり公明会結成 8-6第八回原水禁大会、ソ連の核実験めぐって混乱 11-9高碕達之助、廖承志「日中長期総合貿易に関する覚書」調印(L・T貿易)

一九六三 1-26アメリカ、原子力潜水艦の日本寄港申入れ。政府は原則的に同意と回答 4-26学術会議、原子力潜水艦寄港反対声明 8-5第九回原水禁大会分裂 -14政府、部分的核実験停止条約に調印 9-12最高裁、松川事件再上告を破棄、全員無罪確定 12-9第三次池田内閣成立(～六四・11-9)

一九六四 3-14文部省、小・中学校教師用『道徳の指導資料』第一集発行 4-1国際通貨基金八条国に移行 -28経済協力開発機構(OECD)に加盟 6-16新潟市を中心に大地震起る 9-7全国連合小学校長会、全国一斉学力テストの中止を要望 10-1東海道新幹線営業開始 -10オリンピック東京大会開会 11-9第一次佐藤栄作内閣成立(～七〇・2-15) -12米原潜、佐世保に寄港 -17公明党発足

一九六五 1-11中央教育審議会「期待される人間像」中間草案発表 2-10社会党、防衛庁統幕会議作成の「三矢研究」を暴露し政府を追及 6-12家永三郎、教科書検定違憲訴訟を起す -22日韓基本条約調印 7-23都議会選挙で社会党第一党となる 10-21朝永振一郎、ノーベル物理学賞受賞決定 11-19戦後初の国債発行を閣議決定

昭 和 時 代

20 世 紀

一九六六 3-29〜4-8第二三回共産党大会[ソ] 7-1仏軍、NATO軍事同盟を脱退 10-18〜22共産圏九か国首脳会議 11-8エアハルト西独首相退陣、後任キージンガー

一九六七 1-31西独・ルーマニア国交回復 3-1ポーランド・チェコ友好協力相互援助条約締結。-5ポーランド・東独も同条約締結。-17チェコ・東独間にも同条約締結 4-21ギリシアでクーデター、軍事政権樹立 6-5中東戦争勃発す。-6国連安保理即時停戦決議 -23〜25米ジョンソン大統領とソ連コスイギン首相、グラスボロで会談 10-18金星四号、金星に軟着陸[ソ] -21ヨーロッパ各都市でベトナム反戦デモ 11-15キプロス紛争起る 12-13ギリシア国王派のクーデター失敗、翌日国王亡命

一九六八 1-5チェコ共産党第一書記にドプチェク就任 3-15ロンドン金市場を閉鎖[英] -22パリで学生運動激化[仏] スボボダ、チェコ大統領就任 5-3五月危機始まる[仏] -19〜20全国にゼネスト波及。6-6労働者のスト終結。-23総選挙(-30決選投票でド・ゴール派勝利)[仏] -27チェコ知識人の「二千語宣言」 7-1核拡散防止条約調印(六二か国) -14ワルシャワで東欧五か国首脳会議。チェコに警告の共同書簡 チェコ事件 8-20東欧五か国軍チェコ侵入。-23〜26スボボダ大統領訪ソ、ソ連首脳と会談 -24仏、第一回水爆実験

一九六九 4-17チェコ共産党中央委総会、第一書記ドプチェク辞任、後任フサークに -27国民投票でド・ゴール敗北、翌日辞任[仏] 6-5モスクワで世界共産党会議 -15大統領にポンピドー当選[仏] 9-11北京でソ連コスイギン首相、中国周恩来首相会談 10-21西独でブラント社会民主党党首、首相に 12-16下院で死刑廃止案通過(-18上院可決)[英]

一九七〇 1-28チェコ首相チェルニク辞任、後任シュトロウガル 2-2バートランド・ラッセル没(一八七二—)[英] 3-26米英仏ソのベルリン問題四大国会談 5-6ソ連・チェコ友好協力相互援助条約調印 6-18総選挙で保守党勝利、ヒース首相就任[英] 7-8ソ連・ルーマニア新友好協力相互援助条約調印 8-12独ソ条約調印 12-20ポーランド統一労働者党第一書記ゴムルカ辞任、後任ギエレク

一九六六 1-3〜15ハバナでアジア、アフリカ、ラテンアメリカ三大陸人民連帯会議開催 3米各地でベトナム反戦デモ 5-1国民戦線のジェラス、コロンビア大統領に 6-27アルゼンチンで軍部クーデター 6米サーベイヤー一号、月面軟着陸成功 7カーマイケル、「ブラック・パワー」提唱

一九六七 2-14中南米非核武装条約調印 4-12〜14米州首脳会議(ウルグアイ) 7-12黒人暴動、のち米各地に拡大(〜8) -31〜8-10中南米人民連帯機構大会、ハバナで開催 10-9チェ・ゲバラ、ボリビアで戦死 -16〜23ベトナム反戦週間(-21ワシントン反戦集会) 12-6〜8米で反戦兵役拒否デモ

一九六八 1-1米、ドル防衛特別教書 -23プエブロ号事件 4米で学生運動激化 -4キング牧師暗殺さる。黒人暴動続発 -29米黒人の「貧者の行進」開始 6-19「貧者の行進」一〇万人集会(ワシントン) 7-1核拡散防止条約調印 7メキシコの学生運動激化(〜10) 10-3ペルーで軍部クーデター -11ジョンソン、北爆全面停止と和平会談への参加を声明

一九六九 1-20ニクソン、米第三七代大統領に就任(〜七四) 6-8ニクソン、南ベトナムからの米軍撤収計画を発表 7-20米宇宙船アポロ一一号、月面着陸 10-15米で反ベトナム戦争大デモと集会 11-13〜15反ベトナム戦争デモ

一九七〇 2-18ニクソン平和三原則を発表 4-27ニューヨーク株式市場大暴落 5-4米で反戦デモ激化 9-14チリで人民連合のアジェンデ、大統領に当選

一九六六 2-24ガーナで陸軍のクーデター。エンクルマ失脚[ア] 9-30ボツワナ独立[ア] 10-4レソト独立[ア] 1-4インド・パキスタン首脳、タシケントで会談。-10共同声明[印] -11シャストリ首相急死(一九〇四—)、-19インデラ・ガンディー首相に就任[印]

一九六七 5-22ナセル、アカバ湾封鎖を宣言 6-5第三次中東戦争始まる。-7イスラエル軍、シナイ半島を制圧。-11停戦 11-30南イエメン人民共和国独立 5-30ナイジェリアでビアフラ独立宣言。内戦始まる[ア] 2-15第四回総選挙、多数の州議会で会議派後退[印] 3西ベンガル州で農民の武装蜂起[印] 9-8中国と、インド、チベットの国境で交戦[印]

一九六八 12-25アラブ・ゲリラ、イスラエル旅客機を襲撃 -28イスラエル軍、ベイルート空港に報復攻撃 3-12モーリシャス独立[ア] 9-6スワジランド独立[ア] 10-12赤道ギニア独立[ア]

一九六九 4-23レバノン内戦始まる 9-1リビアで軍部のクーデター。共和制に移行[ア] 2-21アユブ・カーン、パキスタン大統領引退声明[印] 3-31ヤヒヤ・カーン、新大統領に就任[印] 7-16デザイ蔵相解任。インド国民会議派内の分裂深刻化[印] 11-12会議派、ガンディー派と長老派に分裂[印]

一九七〇 9-17ヨルダン内戦始まり、政府軍、ゲリラの拠点を総攻撃 -27内戦収拾のカイロ協定調印 -28ナセル大統領急死(一九一八—)。10-15サダト、大統領に就任 1-11ビアフラ臨時政府崩壊し、ナイジェリア内戦終結[ア] 5-27セイロンでバンダラナイケ夫人首相に就任[印] 6-14セイロン、国名をスリランカ独立社会主義共和国と発表[印] 11-12東パキスタンを襲ったサイクロンで死者一七万人[印]

一九六六 6-3北京市委改組、彭真失脚 8-8文化大革命に関する一六条を決定 -20紅衛兵が街頭進出 10-27ミサイルによる核実験成功 この年、第三次五か年計画発足 8-3マレーシア紛争終る[東ア]

一九六七 1-1上海で一月革命起る -22人民解放軍、文化大革命に介入 -31黒竜江省で最初の革命委成立(各省に相次ぐ) 4北京、上海に革命委成立 1-6米海兵隊、メコンデルタに上陸、進攻開始[東ア] 3-12スハルトを大統領代行に任命、スカルノを実質的に解任[東ア] 6-26ラングーンで反中国暴動起る[東ア] 8-5東南アジア諸国連合(ASEAN)結成[東ア]

一九六八 7-31八期一二中全会で劉少奇を除名 1-23共和国が米情報収集艦プエブロ号を捕獲(12釈放)[朝] 1-30南ベトナム解放戦線のテト攻勢開始[東ア] 5-13米・北ベトナムのパリ和平会談始まる[東ア] 9-20サバ帰属問題につき、マレーシア・フィリピン紛争(〜12-14)[東ア]

一九六九 3-2ウスリー川の珍宝島で中ソ武力衝突(この年新疆、アムール川でも衝突) 4-1共産党九全大会開会、林彪を毛沢東の後継者と規定 1-25第一回拡大パリ会談[東ア] 5-13クアラルンプールでマライ人と中国系民衆の衝突[東ア] 6-8南ベトナム臨時革命政府樹立[東ア] 7-8米軍の南ベトナム撤退始まる[東ア] -19西イリアンのインドネシア帰属決定[東ア] 9-3ホー・チミン没(一八九〇—)[東ア]

一九七〇 4-24最初の人工衛星打ち上げに成功 10-13カナダと外交関係樹立 4-30米軍、カンボジアに侵攻(〜6-30)[東ア] 9-17拡大パリ会談で南ベトナム臨時革命政府代表、八項目提案[東ア] 10-1カンボジアでクーデター、シアヌーク追放、共和制に移行[東ア]

一九六六 2-27第一回物価メーデー 3-31法務省住民登録集計による総人口、一億突破 4-27学術会議、建国記念日を二月一一日とする政府決定に反対を表明 5-11明治百年記念準備会議発足(議長佐藤首相) 10-21総評、ベトナム反戦スト決行 12-9建国記念日を二月一一日と決定、公布される

一九六七 2-17第二次佐藤内閣成立(〜七〇・1-14) 4-15東京都知事に社共推せんの美濃部亮吉当選 6-6政府、資本取引自由化基本方針を決定 8-28ベトナムにおける戦争犯罪調査委員会、東京法廷開催 10-8佐藤首相の東南アジア訪問に抗議する学生、警官と衝突〔第一次羽田事件〕 -20吉田茂没(一八七八—)。-31戦後初の国葬 11-2那覇市で沖縄即時無条件返還要求県民大会開催 -12佐藤首相のアメリカ訪問に抗議する学生、警官と衝突〔第二次羽田事件〕

一九六八 1-19米原子力空母エンタープライズ、佐世保に入港 10-9日米両政府、沖縄代表の国政参加の原則について正式合意 -17川端康成、ノーベル文学賞受賞決定 -21国際反戦デーデモで学生、新宿駅を占拠し放火、騒乱罪適用される 11-10沖縄初の公選主席に野党統一候補の屋良朝苗当選 -19沖縄本島嘉手納基地で米軍爆撃機B52爆発

一九六九 1-18東大紛争で機動隊出動、安田講堂の封鎖を解除 2-15日本極点旅行隊、昭和基地・南極点の往復観測に成功 5-22大学立法の動きに反発、京大全共闘が大学本部を封鎖 -23東京神田の駿河台で学生と機動隊衝突 11-16首相訪米阻止の学生・労働者、東京蒲田駅周辺を中心に各地でゲリラ戦、全国で逮捕者二千人以上 -21佐藤・ニクソン会談で沖縄の七二年復帰が決定、共同声明出される

一九七〇 1-14第三次佐藤内閣成立(〜七二・7-6) 3-14日本万国博開幕 -31日航旅客機よど号、赤軍派学生に乗っ取られる 7-17東京地裁、家永訴訟で教科書検定は違憲と判決 -18東京杉並で光化学スモッグ発生し女子高生倒れる 11-15初の沖縄国政参加選挙 -25作家三島由紀夫、楯の会会員四人とともに陸上自衛隊東部方面総監部でクーデターを呼びかけ、割腹自殺

昭 和 時 代

20 世 紀

ヨーロッパ

一九七一 3-30第二四回共産党大会。新五か年計画発表[ソ] 5-3東独社会主義統一党第一書記兼国家評議会議長ウルブリヒト辞任 -5国際通貨危機。西独、オランダ変動為替相場制採用 8-9北アイルランドでカトリック系住民が英駐留軍と衝突 12-11両独、ベルリン通過交通協定に調印

一九七二 1-22英・アイルランド・デンマーク・ノルウェーのEC加盟条約調印 4-10生物兵器禁止条約調印（四七か国） 6-3両独、ベルリン協定に本調印 -5国連環境会議（ストックホルム） 8-26ミュンヘンで第二〇回国際オリンピック大会開幕 9-14西独、ポーランド国交回復 -26ノルウェー、国民投票でEC加盟拒否 10-11西独、中国と国交回復 -19拡大九か国首脳会談開催（パリ） 11-19西独総選挙（与党の社会民主党・自由民主党連合の大勝） 12-21両独、関係正常化の「基本条約」に調印

一九七三 1-1拡大EC発足 2-4北アイルランドで、英軍とアイルランド共和国軍衝突 -9英仏、東独と国交樹立 4-8画家ピカソ没（一八八一—）[西] 11-25ギリシア政変（無血クーデター） 12-21〜28中東和平会議（ジュネーブ）

一九七四 3-5労働党ウィルソン内閣発足[英] 4-25ポルトガル、クーデターで独裁政権崩壊 5-19大統領にジスカールデスタン当選[仏] 6-19NATO「大西洋宣言」を採択 7-15キプロスでクーデター -23ギリシアに文民政権復活

一九七五 2-4EC・経済相互援助会議（コメコン）初会合 2-11保守党党首にサッチャー女史選出[英] 3-11ポルトガルで国軍右派反乱。翌日スピノラ前大統領亡命 -17ジュネーブで第三次国連海洋法会議 6-5初の国民投票でEC残留決まる[英] -15統一地方選で共産党躍進[伊] 7-26ポルトガルで三頭体制紛糾。 8-29ゴンサルベス首相更迭。 9-19アゼベド新内閣発足 9-27スペイン、過激派五人を処刑 11-20フランコ総統死去（一八九二—）。-22後継者ファン・カルロス王子が国王に即位[西]

アメリカ

一九七一 3-22アルゼンチンでクーデター 4-23ワシントンでベトナム反戦デモ 7-11ベトナム戦争白書 8-15ニクソン、新経済政策実施 12-6ニクソン、カナダ首相と会談。-13〜14仏大統領と会談。-28〜29西独首相と会談

一九七二 2-7ニクソン訪中 4米軍機の北ベトナム爆撃さかん 5米軍機北ベトナム港湾に機雷投下 -22ニクソン米大統領訪ソ 7-9米ソ穀物協定調印 -19米連邦準備制度理事会ドル買支え 10-18米ソ貿易協定調印 12-4ホンジュラスで軍部クーデター -17米軍機、ベトナム北爆再開 -23ニカラグア大地震

一九七三 1-27米、徴兵制廃止 3-12米ソ第二次戦略兵器制限交渉再開 -29米軍、南ベトナムより撤退 4ウォーターゲート事件 5-17上院公聴会（〜七四） 6-18〜19米ソ首脳会談 8-22米国務長官にキッシンジャー就任 9-11チリで軍部クーデター -23アルゼンチン大統領にペロン当選

一九七四 6-27ニクソン米大統領訪ソ 7-1アルゼンチン大統領ペロン没（一八九五—） 8-8ニクソン米大統領辞任。-9フォード大統領就任 9-4米、東独と国交樹立 11-23米ソ首脳会談

一九七五 2-21ウォーターゲート事件判決、ミッチェル元司法長官ら有罪 4-30米、南ベトナムで完全敗北 7-29米州機構（OAS）特別総会、対キューバ封鎖を解除 8-29ペルーで無血クーデター 11-20米、CIAの外国首脳暗殺計画に関する報告書公表 12-17キューバ、初の共産党大会

西アジア・アフリカ・インド

一九七一 7-13ヨルダン政府軍、ゲリラ勢力を再攻撃、-18ゲリラ全面崩壊 8-14バーレーン独立 9-1カタール独立 エジプト、シリア、リビア三国、アラブ共和国連邦を結成 3-1第五回総選挙。ガンディー派会議派大勝利[印] -25パキスタン東西対立激化、内戦状態となる[印] 6-20インド・パキスタン交戦[印] 12-4インド・パキスタン全面戦争[印] 12-6インド、東パキスタンの独立承認[印]

一九七二 8-4ウガンダのアミン大統領、英国籍のアジア人の国外追放宣言[ア] 1-12東パキスタンにラーマン内閣成立。バングラデシュ成立[印]

一九七三 10-6第四次中東戦争始まる -16中東産油国、価格引上げと生産削減を発表 10-24エジプト・イスラエル停戦 この年、西アフリカ大干ばつ、死者数百万人に達する[ア]

一九七四 7-15キプロスでギリシア人将校のクーデター -20トルコ軍キプロスに侵攻し、-22停戦 9-10ギニア・ビサウ共和国独立[ア] -12エチオピア革命。ハイレ・セラシエ廃位[ア] 5-18インド最初の核実験成功[印] 7-4インド、シッキムを併合[印]

一九七五 6-5スエズ運河再開 -25モザンビーク独立[ア] 7-5カボベルデ独立[ア] -6コモロ共和国独立を宣言[ア] -12サントーメ・プリンシペ独立[ア] 7アンゴラ内戦激化[ア] 11モロッコがサハラ大行進を実行[ア] 6-12ガンディー首相の選挙違反に有罪判決[印] -26インド全土に非常事態宣言[印] 8-15バングラデシュで軍事クーデター。ラーマン大統領（一九二〇—）殺害さる[印]

中国とその周辺・東南アジア

一九七一 9林彪（一九〇八—）のクーデター失敗、国外脱出の途中死亡 10-25国連総会が中国の国連参加を決議 8-20板門店で南北赤十字が初会合[朝] 2-8米・南ベトナム軍、ラオスに侵攻（〜3-12）[東ア] 11-17タイでタノム首相を中心とする軍部がクーデターで全権掌握[東ア]

一九七二 2-7〜28ニクソン訪中し、共同声明発表（27） 7馬王堆墳墓発掘を発表 7-4南北共同声明発表[朝] 8-30第一回南北赤十字会談開催[朝] 10-17韓国全土に非常戒厳令宣布[朝] 1-20米軍、ベトナム、ラオス、カンボジア三国国境地帯を爆撃[東ア] 3-30南ベトナム解放勢力、大攻勢を開始[東ア]

一九七三 8十全大会開催。林彪問題を総括。批林批孔運動強まる 8-8金大中事件起る[朝] 1-27パリでベトナム和平協定調印[東ア] 2-21ラオス和平協定調印[東ア] 10-14タイの学生と軍隊・警官隊の武力衝突発生。タノム内閣総辞職[東ア]

一九七四 1鄧小平、政治局員に復活 4-3「民青学連事件」起る[朝] 8-15朴正熙銃撃未遂[朝] 1-3ビルマ、新憲法発布[東ア] 3-1ビルマ、民政移管[東ア]

一九七五 1四期全国人民代表者大会開催 4-5蔣介石没（一八八七—） 8-3水滸伝批判起る 9-15〜10-19全国「農業は大寨に学べ」会議開幕 12-1フォード訪中 4-17カンボジア解放勢力、プノンペンを陥落さす。政府軍全面降伏でカンボジア内戦終結[東ア] 4-30南ベトナム、ミン政権無条件降伏[東ア] 12-2ラオス、王制を廃止、人民民主共和国成立[東ア]

日本

一九七一 4-12東京都知事に美濃部亮吉再選、大阪府知事に黒田了一当選（いずれも社共推せん） 6-17沖縄返還協定調印 8-16ドル・ショックで東京株式史上最大の暴落 -27政府、変動相場制移行を決定 9-27天皇・皇后、欧州七か国親善訪問に出発 10-2日中国交回復促進議員連盟訪中団と中日友好協会代表団、日中復交四原則確認の共同声明に調印 11-10沖縄返還協定批准反対で、沖縄の革新勢力ゼネスト

一九七二 1-24グアム島で元日本兵横井庄一発見、救出される 2-3札幌冬季五輪大会開幕 -17連合赤軍事件起る 3-26高松塚古墳発見 -27外務省公電漏えい事件起る 5-15沖縄復帰 7-7第一次田中角栄内閣成立（〜12-22） 9-25田中首相、中国を訪問、-29日中国交回復の共同声明発表 12-22第二次田中内閣成立（〜七四・12-9）

一九七三 3-13動労の順法闘争を怒り、乗客、国鉄上尾駅を占拠 7-20日航ジャンボ機乗っ取られる 8-8韓国新民党の金大中、東京のホテルから誘拐される 10-23江崎玲於奈、ノーベル物理学賞受賞決定 11石油危機による物不足、買いだめ騒ぎ起り、物価暴騰

一九七四 2-25〜27便乗値上げなどで衆院、物価集中審議 6-11統一ストで槙枝日教組委員長逮捕 8-14参院選での金権・企業ぐるみ選挙問題化 -30三菱重工丸の内本社で爆破事件、その後爆破事件各地で相つぐ 10-8佐藤前首相、ノーベル平和賞受賞決定 11-18フォード米大統領来日 -26金脈問題で田中首相辞意表明 12-9三木武夫内閣成立

一九七五 4-13美濃部東京都知事三選なる 7-20沖縄国際海洋博覧会開幕 -26共産党と創価学会の反ファシズム・相互不干渉・共存をめざす協定公表される 9-30天皇訪米 11-26スト権回復を要求し、三公社五現業の労組一斉スト（〜12-3）

昭 和 時 代

ノーベル賞 受賞者一覧表

注 (米)—アメリカ合衆国 (英)—イギリス (伊)—イタリア (墺)—オーストリア (ソ)—ソ連 (独)—ドイツ (仏)—フランス

年度	平和賞	文学賞	化学賞	物理学賞	生理学医学賞
一九〇一	J・H・デュナン(スイス) F・パシー(仏)	シュリ・プリュドム(仏)	J・H・ファント・ホッフ(オランダ) 化学力学の法則、溶液の浸透圧発見	W・K・レントゲン(独) X線の研究	E・A・ベーリング(独) ジフテリア治療血清の創始
一九〇二	E・デュコマン(スイス) C・A・ゴバ(スイス)	T・モムゼン(独)	E・フィッシャー(独) 糖類およびプリン族化合物の研究	H・A・ローレンツ(オランダ) P・ゼーマン(オランダ) } 放射に対する磁場の影響の研究	R・ロス(英) マラリア蚊とマラリア原虫生活環の研究
一九〇三	W・R・クリーマー(英)	B・ビョルンソン(ノルウェー)	S・A・アレニウス(スウェーデン) 電気解離の理論研究	A・H・ベクレル(仏) 放射能の発見 キュリー夫妻(仏) ベクレルの発見した放射能の共同研究	N・R・フィンセン(デンマーク) 痘瘡および皮膚結核の光線療法の創始法
一九〇四	国際法学会(ベルギー)	F・ミストラル(仏) J・エチェガライ(スペイン)	W・ラムゼー(英) 希ガス元素の発見	J・W・レイリー(英) アルゴンの発見	I・P・パブロフ(ソ) 消化腺生理学の研究
一九〇五	B・ズットナー(墺)	H・シェンキエビッチ (ポーランド)	A・バイヤー(独) 有機色素・ヒドロ芳香族化合物の研究	P・H・レーナルド(独) 陰極線の研究	R・コッホ(独) 細菌学の創始・諸細菌の発見
一九〇六	T・ルーズベルト(米)	G・カルドゥッチ(伊)	H・モアッサン(仏) 弗素化合物・クロム化合物・炭化物・電気炉研究	J・J・トムソン(英) 気体内電子運動の理論的実験的研究	C・ゴルジ(伊) S・R・カハール(スペイン) } 神経組織の構造研究
一九〇七	E・T・モネタ(伊) L・ルノー(仏)	R・キップリング(英)	E・ブフナー(独) 発酵の化学的研究	A・A・マイケルソン(米) 干渉計による諸研究	C・L・A・ラブラン(仏) マラリア寄生体の発見
一九〇八	K・P・アーノルドソン(スウェーデン) F・バイエル(デンマーク)	R・オイケン(独)	E・ラザフォード(英) 放射能に関する貢献	G・リップマン(仏) 光の干渉を用いた天然有色写真の研究	P・エールリッヒ(独) E・メチニコフ(仏) } 免疫に関する貢献
一九〇九	A・ベールナルト(ベルギー) エストゥールネル・ド・コンスタン(仏)	S・ラーゲルレーフ (スウェーデン)	W・オストワルト(独) 希釈律法則の発見、反応速度・化学平衡の研究	G・マルコーニ(伊) K・F・ブラウン(独) } 無線電信の研究	T・E・コッヘル(スイス) 甲状腺の研究
一九一〇	国際平和局(スイス)	P・ハイゼ(独)	O・ワラッハ(独) テルペンおよびカンフルの研究	J・D・ファン・デル・ワールス(オランダ) 状態方程式の研究	A・コッセル(独) たんぱく体・核酸研究
一九一一	T・アセル(オランダ) A・フリート(墺)	M・メーテルリンク(ベルギー)	M・キュリー(仏) 金属ラジウムの分離	W・ウィーン(独) 黒体放射の研究	A・グルストランド(スウェーデン) 眼球光学理論の研究
一九一二	E・ルート(米)	G・ハウプトマン(独)	V・グリニャール(仏) グリニャール反応の発見 P・サバティエ(仏) 有機触媒反応に関する貢献	N・G・ダレーン(スウェーデン) 灯台用のガスアキュムレーターに用いる自動調節器の発明	A・カレル(仏) 血管縫合・臓器移植に関する業績
一九一三	H・ラ・フォンテーヌ(ベルギー)	R・タゴール(インド)	A・ウェルナー(スイス) 分子中における原子の結合の研究	H・カメルリン・オンネス(オランダ) 低温物理学の業績	C・リシェ(仏) 過敏症の研究
一九一四	受賞者なし	受賞者なし	T・W・リチャーズ(米) 原子量の精密測定	M・ラウエ(独) 結晶によるX線回折研究	R・バーラーニ(墺) 三半規管・平衡感覚の研究
一九一五	受賞者なし	R・ロラン(仏)	R・ウィルシュテッター(独) クロロフィルの研究	ブラッグ父子(英) X線による結晶の構造研究	受賞者なし
一九一六	受賞者なし	V・ヘイデンスタム(スウェーデン)	受賞者なし	受賞者なし	受賞者なし
一九一七	赤十字国際委員会(スイス)	K・ギェレルプ(デンマーク) H・ポントピダン(デンマーク)	受賞者なし	C・G・バークラ(英) X線の散乱現象の研究	受賞者なし
一九一八	受賞者なし	受賞者なし	F・ハーバー(独) アンモニアの合成	M・プランク(独) 量子論の研究	受賞者なし
一九一九	W・ウィルソン(米)	C・シュピッテラー(スイス)	受賞者なし	J・シュタルク(独) シュタルク効果の発見と研究	J・ボルデ(ベルギー) 補体結合反応・百日ぜき菌の発見
一九二〇	L・ブルジョア(仏)	K・ハムスン(ノルウェー)	W・ネルンスト(独) 化学に対する熱力学理論・応用	C・E・ギヨーム(仏) ニッケル鋼の研究	A・クローグ(デンマーク) 毛細血管運動の調節機能の研究
一九二一	K・H・ブランティング(スウェーデン) C・L・ランゲ(ノルウェー)	A・フランス(仏)	F・ソディ(英) 放射性物質の化学性・同位元素の研究	A・アインシュタイン(独) 理論物理学の業績	受賞者なし
一九二二	F・ナンセン(ノルウェー)	J・ベナベンテ(スペイン)	F・W・アストン(英) 質量分析器の発明と同位元素の測定	N・ボーア(デンマーク) 原子構造の研究	A・V・ヒル(英) 筋肉中熱産生物の発見 O・マイヤーホーフ(独) 筋肉中の酸素の消耗と乳酸の産出との関係を発見
一九二三	受賞者なし	W・B・イェーツ(アイルランド)	F・プレーグル(墺) 微量分析法の研究	R・A・ミリカン(米) 電子の荷電量の精密測定	F・G・バンティング(カナダ) J・J・マクラウド(英) } インシュリンの発見

年度	平和賞	文学賞	化学賞	物理学賞	生理学医学賞
一九二四	受賞者なし	W・S・レイモント(ポーランド)	受賞者なし	K・M・ジーグバーン(スウェーデン) X線分光学の研究	W・アイントホーフェン(オランダ) 心電図法の発明
一九二五	J・A・チェンバレン(英) C・G・ドーズ(米)	G・B・ショー(英)	R・ジグモンディ(独) コロイドの分解における異種性の研究	J・フランク(独) G・ヘルツ(独) } 電子の衝突に関する研究	受賞者なし
一九二六	A・ブリアン(仏) G・シュトレーゼマン(独)	G・デレッダ(伊)	T・スベドベリー(スウェーデン) 超遠心機によるコロイドの研究	J・ペラン(仏) 物質の不連続的構造、特に沈降の平衡に関する研究	J・A・G・フィービゲル(デンマーク) スピロプテラによる人工癌の発生に成功
一九二七	F・ビュイソン(仏) L・クイデ(独)	H・ベルグソン(仏)	H・O・ウィーラント(独) 胆汁酸の研究	A・H・コンプトン(米) コンプトン効果の発見 C・T・R・ウィルソン(英) ウィルソン霧箱の発明、気体電離の研究	J・ワグナー・ヤウレック(墺) 麻痺性痴呆のマラリア療法
一九二八	受賞者なし	S・ウンセット(ノルウェー)	A・ウィンダウス(独) ステリン類の研究	O・W・リチャードソン(英) 熱電子現象の研究	C・ニコル(仏) 発疹チフスの研究
一九二九	F・B・ケロッグ(米)	T・マン(独)	A・ハーデン(英) H・オイラー・ケルピン(スウェーデン) } アルコール発酵の研究	L・V・ド・ブローイ(仏) 波動力学の研究	C・エイクマン(オランダ) ビタミンB1の発見 F・G・ホプキンズ(英) 成長を促進するビタミンの発見
一九三〇	N・ゼーデルブロム(スウェーデン)	S・ルイス(米)	H・フィッシャー(独) 血液色素の研究	C・ラマン(インド) ラマン効果の発見	K・ランドシュタイナー(墺) 血液型の発見と研究
一九三一	N・M・バトラー(米) J・アダムズ(米)	E・A・カールフェルト(スウェーデン)	C・ボッシュ(独) アンモニア合成触媒の研究 F・ベルギウス(独) 石炭の液化	受賞者なし	O・H・ワールブルク(独) 呼吸酵素の研究
一九三二	受賞者なし	J・ゴールズワージー(英)	I・ラングミュア(米) 界面化学の研究	W・ハイゼンベルク(独) 量子力学の研究	C・S・シェリントン(英) E・D・エードリアン(英) } 神経細胞の機能に関する諸発見
一九三三	R・N・エンゼル(英)	I・ブーニン(ロシア)	受賞者なし	P・A・M・ディラック(英) E・シュレーディンガー(墺) } 量子力学の研究	T・H・モルガン(米) ショウジョウバエの染色体・遺伝の研究
一九三四	A・ヘンダーソン(英)	L・ピランデッロ(伊)	H・C・ユーリー(米) 重水素の発見	受賞者なし	G・R・マイノット(米) W・P・マーフィー(米) G・H・ホイップル(米) } 貧血治療の研究
一九三五	C・オシエツキー(独)	受賞者なし	ジョリオ・キュリー夫妻(仏) 人工放射能の研究	J・チャドウィック(英) 中性子の発見	H・シュペーマン(独) 動物の胚の成長における誘導作用の発見
一九三六	C・サーベドラ・ラーマス(アルゼンチン)	E・オニール(米)	P・デバイ(オランダ) 諸気体中におけるX線および電子の屈折に関する研究	V・F・ヘス(墺) 宇宙線の発見 C・D・アンダーソン(米) 陽電子の発見	H・H・デール(英) O・ローイ(墺) } 神経刺激の化学的伝達に関する発見
一九三七	R・セシル(英)	R・マルタン・デュ・ガール(仏)	W・N・ハース(英) 炭水化物・ビタミンCの研究 P・カラー(スイス) ビタミンA・Bの研究、Cの組成	C・J・デビッソン(米) G・P・トムソン(英) } 結晶体による電子の屈折に関する研究	A・セント・ジェルジー(ハンガリー) ビタミンCおよびフマル酸の接触作用に関する研究
一九三八	ナンセン国際避難民事務所(スイス)	P・バック(米)	R・クーン(独) ビタミンB2の合成 辞退	E・フェルミ(伊) 中性子による人工放射能の研究	C・ハイマンス(ベルギー) 呼吸調節における大動脈の研究
一九三九	受賞者なし	F・E・シッランパー(フィンランド)	A・ブーテナント(独) 性ホルモンの研究 辞退 L・ルジーチカ(スイス) ポリメチレン・テルペン研究	E・O・ローレンス(米) サイクロトロンの発明	G・ドーマク(独) プロントジルの食菌効果の発見 辞退
一九四〇	受賞者なし	受賞者なし	受賞者なし	受賞者なし	受賞者なし
一九四一	受賞者なし	受賞者なし	受賞者なし	受賞者なし	受賞者なし
一九四二	受賞者なし	受賞者なし	受賞者なし	受賞者なし	受賞者なし
一九四三	受賞者なし	受賞者なし	G・ヘベシー(ハンガリー) 放射性同位元素の利用に関する貢献	O・スターン(米) 原子の磁気能率の測定と研究	H・ダム(デンマーク) E・A・ドイジー(米) } ビタミンKの化学的性質の発見
一九四四	赤十字国際委員会(スイス)	J・V・イエンセン(デンマーク)	O・ハーン(独) 原子核分裂の研究	I・I・ラビ(米) 原子核磁気能率の測定	J・アーランガー(米) H・S・ガッサー(米) } 神経線維機能の研究
一九四五	C・ハル(米)	G・ミストラル(チリ)	A・ビルターネン(フィンランド) オキザロ酢酸の研究	W・パウリ(墺) パウリの禁制原理の発見	A・フレミング(英) E・B・チェーン(英) H・フローリー(英) } ペニシリンの発見
一九四六	J・R・モット(米) E・G・ボルチ(米)	H・ヘッセ(スイス)	J・B・サムナー(米) 酵素の結晶化 J・H・ノースロップ(米) たんぱく質分解酵素の研究 W・M・スタンリー(米) 有機化学物質と細胞との関係	P・W・ブリッジマン(米) 高圧物理学に関する業績	H・J・マラー(米) X線による人工突然変異の研究

ノーベル賞受賞者一覧表

一九四七	米国フレンド教徒奉仕委員会(米) フレンド教徒奉仕団理事会(英)	A・ジッド(仏)	R・ロビンソン(英) アルカロイドの研究	E・アプルトン(英) 電離層の研究	コリ夫妻(米) でんぷん新陳代謝の研究 B・A・ウーセー(アルゼンチン) 糖類代謝と下垂体前葉ホルモンの関係
一九四八	受賞者なし	T・S・エリオット(英)	A・ティセリウス(スウェーデン) たんぱく質の研究	P・M・S・ブラケット(英) 宇宙線・原子核の研究	P・ミュラー(スイス) DDTの研究
一九四九	J・B・オア(英)	W・フォークナー(米)	W・F・ジオーク(米) 絶対零度近くの極低温における原子の運動の研究	湯川秀樹(日本) 中間子論の研究	W・R・ヘス(スイス) 間脳の機能に関する発見 A・E・モーニス(ポルトガル) 前頭葉白質切截術発見
一九五〇	R・J・バンチ(米)	B・ラッセル(英)	O・ディールス(独) ステロイド合成の研究 K・アルダー(独) ジエン合成の研究	C・F・パウエル(英) 新中間子の発見・研究	E・C・ケンドル(米) P・S・ヘンチ(米) T・ライヒシュタイン(スイス) 副腎皮質ホルモンの構造と生理作用の発見
一九五一	L・ジュオー(仏)	P・ラーゲルクビスト(スウェーデン)	G・T・シーボーグ(米) E・M・マクミラン(米) ネプツニウム・プルトニウムの研究	J・D・コッククロフト(英) E・T・S・ウォルトン(アイルランド) 高電圧加速装置による元素の変換の研究	M・セーラー(南アフリカ) 黄熱病ワクチン発見
一九五二	A・シュバイツァー(仏)	F・モーリヤック(仏)	A・J・P・マーチン(英) R・L・M・シング(英) ペーパークロマトグラフィーによるアミノ酸分析法の発見	F・ブロック(米) E・M・パーセル(米) 原子核磁気能率の測定	S・A・ワックスマン(米) ストレプトマイシンの発見
一九五三	G・C・マーシャル(米)	W・チャーチル(英)	H・シュタウディンガー(独) 高分子化学の研究	F・ツェルニケ(オランダ) 位相差顕微鏡の研究	F・A・リップマン(米) エネルギー代謝の研究、補酵素Aの発見 H・A・クレブス(英) トリカルボン酸回路の研究
一九五四	国連難民高等弁務官事務所	E・ヘミングウェイ(米)	L・C・ポーリング(米) 抗体抗原反応理論	M・ボルン(英) 確率波量子力学の研究 W・ボーテ(独) 粒子の散乱の実験において原子物理学の発展に貢献	J・F・エンダース(米) T・H・ウェラー(米) F・C・ロビンズ(米) 小児麻痺ウイルス培養の完成
一九五五	受賞者なし	H・K・ラクスネス(アイスランド)	V・デュ・ビニョー(米) ホルモン合成の過程に関する諸発見	W・E・ラム(米) 水素スペクトルの構造に関する諸発見 P・クッシュ(米) 電子磁気能率精度測定	A・H・テオレル(スウェーデン) 酸化酵素の研究
一九五六	受賞者なし	J・R・ヒメネス(スペイン)	C・N・ヒンシェルウッド(英) N・N・セミョーノフ(ソ) 化学反応のメカニズムに関する研究	W・ブラッテン(米) J・バーディン(米) W・ショックリー(米) 点接合型トランジスタの発明改良により、ラジオ、電話の発達に貢献	A・F・クールナン(米) W・フォルスマン(独) D・W・リチャーズ(米) 心臓カテーテル法の研究
一九五七	L・B・ピアソン(カナダ)	A・カミュ(仏)	A・トッド(英) ヌクレオチドの有機化学的研究	李政道(中国) 楊振寧(中国) パリティの非保存に関する研究	D・ボベ(伊) クラーレに代る合成筋弛緩剤の化学薬理学的研究
一九五八	D・G・ピール(ベルギー)	B・パステルナーク(ソ) 辞退	F・サンガー(英) インシュリンの構造の決定	P・A・チェレンコフ(ソ) I・E・タム(ソ) I・M・フランク(ソ) チェレンコフ効果の発見と解釈	G・W・ビードル(米) E・L・テータム(米) J・レダバーグ(米) 遺伝子の組みかえとバクテリア遺伝物質の構造
一九五九	P・J・ノエルベーカー(英)	S・クアジーモド(伊)	J・ヘイロウスキー(チェコ) ポーラログラフィー分析法の発見	E・セグレ(米) O・チェンバレン(米) 反陽子の発見	S・オチョア(米) A・コンバーグ(米) リボ核酸・デオキシリボ核酸の生物学的合成の機構発見
一九六〇	A・J・ルトゥリ(南アフリカ)	サン・ジョン・ペルス(仏)	W・F・リビー(米) 考古学などで年代決定に炭素14を使用する方法の発見	D・A・グレーザー(米) 泡箱の発明	F・M・バーネット(オーストラリア) P・B・メダワー(英) 共同で後天的免疫耐性を発見
一九六一	D・ハマーショルド (スウェーデン)	I・アンドリッチ(ユーゴ)	M・カルビン(米) 植物中の光合成の研究	R・ホフスタッター(米) 原子核の電子散乱の研究と核子の構造に関する発見 R・メスバウアー(独) ガンマ放射線の共鳴吸収の研究、それとメスバウアー効果の関係の発見	G・ベケシー(ハンガリー) 内耳の蝸牛殻における刺激の物理的機構に関する発見
一九六二	L・C・ポーリング(米)	J・スタインベック(米)	M・F・ペラッツ(英) J・C・ケンドルー(英) 球状たんぱくの構造に関する共同研究	L・D・ランダウ(ソ) 極低温における物性論の研究	M・H・F・ウィルキンズ(英) J・D・ワトソン(米) F・H・C・クリック(英) 核酸の分子構造と遺伝情報の伝達に対する研究
一九六三	赤十字国際委員会(スイス) 赤十字社連盟	G・セフェリス(ギリシア)	K・チーグラー(独) ポリエチレンの手軽な製法の発見 G・ナッタ(伊) ポリプロピレンの研究	E・ウィグナー(米) 原子核と素粒子の構造研究 M・G・マイヤー(米) H・エンゼン(独) 原子核の殻構造理論の研究	J・C・エックルズ(オーストラリア) A・ホジキン(英) A・F・ハクスリー(英) 神経生理学におけるイオン機構の発見
一九六四	M・L・キング(米)	J・P・サルトル(仏) 辞退	D・C・ホジキン(英) X線による生化学物質の構造決定	C・H・タウンズ(米) N・G・バソフ(ソ) A・M・プロホロフ(ソ) メーザー、レーザーの発明	K・ブロッホ(米) F・リネン(独) コレステロールと脂肪酸の生合成の機構の研究
一九六五	国連児童基金(ユニセフ)	M・ショーロホフ(ソ)	R・B・ウッドワード(米) 有機合成の分野における功績	朝永振一郎(日本) J・シュウィンガー(米) R・ファインマン(米) 量子電気力学分野での基礎的研究	F・ジャコブ(仏) A・ルウォフ(仏) J・モノ(仏) 酵素とウイルスの合成に関する遺伝的制御の研究

年度	平和賞	文学賞	化学賞	物理学賞	生理学医学賞	経済学賞
一九六六	受賞者なし	S・Y・アグノン（イスラエル） N・ザックス（スウェーデン）	R・S・マリケン(米) 分子軌道法による化学結合と分子の電子構造に関する基礎研究	A・カストレル(仏) 原子内のヘルツ波共鳴の光学的方法の発見と開発	F・P・ラウス(米) 発癌性ウイルスの発見 C・B・ハギンズ(米) 前立腺癌のホルモン療法に関する発見	（経済学賞は一九六九年に設置）
一九六七	受賞者なし	M・A・アストゥリアス（グアテマラ）	R・G・ノリッシュ(英) G・ポーター(英) M・アイゲン(独) 短時間エネルギー・パルスによる均衡撹乱による迅速化学反応の研究	H・A・ベーテ(米) 核反応理論に対する貢献、特に星におけるエネルギー発生に関する発見	R・グラニット（スウェーデン） H・ハートライン(米) G・ウォルド(米) 視覚の初期過程における生化学的発見	
一九六八	ルネ・カッサン(仏)	川端康成(日本)	L・オンサーガー(米) 不可逆反応の熱力学の基礎理論を発見	L・W・アルバレス(米) 素粒子物理学における貢献、特に泡箱を使って素粒子の共鳴状態を発見	R・W・ホーリー(米) H・G・コラーナ(米) M・W・ニーレンバーグ(米) 遺伝情報の解読とそのたんぱく合成への役割	
一九六九	国際労働機関(ILO)	S・ベケット(仏)	O・ハッセル(ノルウェー) D・H・R・バートン(英) 化学構造が立体的であるという概念を発展させた業績	M・ゲルマン(米) 素粒子の分類とその相互作用に関する発見の功績	M・デルブリュック(米) A・D・ハーシー(米) S・E・ルリア(米) ウイルスの増殖機構と遺伝学的構造の発見	J・ティンベルヘン（オランダ） R・フリッシュ（ノルウェー） 経済過程の動態分析を応用発展
一九七〇	N・E・ボーローグ(米)	A・ソルジェニツィン(ソ) 一九七四年一二月の授賞式で受賞	L・F・ルロアール(アルゼンチン) 糖ヌクレオチドの発見と研究	L・ネール(仏) 反強磁性と強磁性に関する研究と発見 H・アルフベン（スウェーデン） 電磁流体力学に関する研究と発見	B・カッツ(英) U・S・オイラー（スウェーデン） J・アクセルロッド(米) 神経末梢部の伝達物質の発見と研究	P・A・サミュエルソン(米) 静態的・動態的経済理論を展開、経済学の分析水準を高めた
一九七一	ウイリー・ブラント(独)	P・ネルーダ(チリ)	G・ヘルツベルク(カナダ) 分子特に遊離基の電子構造と幾何学的構造	D・ガボール(英) 三次元写真（ホログラフィー）の発明	E・サザランド(米) ホルモン作用の機構に関する研究	S・クズネッツ(米) 経済成長に対する経験主義的解釈
一九七二	受賞者なし	H・ベル(独)	C・B・アンフィンゼン(米) S・ムーア(米) W・H・スタイン(米) リボ核酸分解酵素の研究	J・バーディーン(米) L・N・クーパー(米) J・R・シュリーファー(米) 超伝導理論の研究	G・M・エーデルマン(米) R・R・ポーター(英) 抗体の化学構造に関する発見	J・R・ヒックス(英) K・J・アロウ(米) 一般経済の均衡理論と福祉理論の発展
一九七三	H・A・キッシンジャー(米) レ・ドク・ト(ベトナム) 辞退	P・ホワイト（オーストラリア）	E・フィッシャー(独) J・ウィルキンソン(英) 炭化水素についての理論的業績	江崎玲於奈(日本) I・ジェーバー(米) 半導体におけるトンネル効果、超伝導体の実験的発見 B・D・ジョセフソン(英) ジョゼフソン効果の理論的予言	K・フリッシュ(墺) K・ローレンツ(墺) N・ティンバーゲン（オランダ） 動物の個体的、社会的行動様式の組織と誘発に関する諸発見	W・レオンティエフ(米) 投入産出表の開発とその応用
一九七四	佐藤栄作(日本) ショーン・マクブライド（アイルランド）	H・マルティンソン（スウェーデン） E・ヨーンソン（スウェーデン）	P・J・フローリー(米) 高分子物理化学の理論、実験両面にわたる基本的業績	M・ライル(英) A・ヒューイッシュ(英) 電波天文学における先駆的な研究	A・クロード（ベルギー） C・デデューブ(英) G・E・パラード(米) 細胞の構造と機能に関する発見	K・G・ミュルダール（スウェーデン） F・ハイエク(墺) 貨幣と経済変動の先駆的業績と経済、社会制度の相互関係分析
一九七五	A・サハロフ(ソ)	E・モンターレ(伊)	J・コーンフォース(英) 酵素触媒反応の立体化学 U・プレローグ（スイス） 有機分子と反応の立体化学	オーゲ・ボーア（デンマーク） ベン・モッテルソン（デンマーク） J・レーンウォーター(米) 原子核内の集団運動と粒子運動の結びつきの発見、これによる原子核構造理論の発展	D・バルチモア(米) H・M・テミン(米) L・ダルベッコー(英) しゅようウイルスと遺伝子の相互作用	L・カントロビッチ(ソ) C・C・クープマンズ(米) 資源の適正配分の理論の発展に貢献
一九七六	B・ウィリアムズ(英) M・コリガン(英) 一九七七年に追贈	S・ベロー(米)	W・N・リプスコム(米) ボランの構造の研究	B・リヒター(米) S・C・C・ティン(米) 重い素粒子の発見	B・S・ブラムバーグ(米) HB抗原の発見 C・ガイジュセク(米) クールー病の究明	M・フリードマン(米) 消費分析・通貨理論の業績と経済安定政策の実証
一九七七	国際アムネスティ（本部ロンドン）	V・アレイクサンドレ（スペイン）	I・プリゴジン（ベルギー） 非平衡熱力学の基本をなす「散逸関数」を体系づけた業績	P・W・アンダーソン(米) J・H・バンブレック(米) N・F・モット(英) 磁性体および無秩序系の電子構造に関する理論的研究	R・ギルマン(米) A・V・シャリー(米) R・ヤロー(米) 脳のペプチドホルモンに関する研究	B・オリーン（スウェーデン） J・ミード(英) 国際貿易、国際資本移動の理論的研究

ENCYCLOPEDIA
GENRE JAPONICA

万有百科大事典

21

索引

SHOGAKUKAN

五十音 目次

■凡　　例

(1)　この索引は『万有百科大事典』1～20巻に収録されている見出し項目，およびその解説文・図版・表組のなかから選出した主要な項目(検索項目)を五十音順に配列したものである。

(2)　見出し項目は太字（ゴチック体）で表記し，その所在を，巻数・巻名・ページ・段の順に示した。段はページの上または左から順にA，B，C，Dとした。

巻数・巻名は次のように表わしてある。

1巻 文学 ………①文学	11巻 政治・社会…⑪政社
2巻 美術 ………②美術	12巻 経済・産業…⑫経産
3巻 音楽・演劇…③音演	13巻 生活 ………⑬生活
4巻 哲学・宗教…④哲宗	14巻 医学 ………⑭医学
5巻 日本歴史 …⑤日史	15巻 化学 ………⑮化学
6巻 日本歴史 …⑥日史	16巻 物理・数学…⑯物数
7巻 日本地理 …⑦日地	17巻 科学技術 …⑰科技
8巻 日本地理 …⑧日地	18巻 宇宙・地球…⑱宇地
9巻 世界歴史 …⑨世史	19巻 植物 ………⑲植物
10巻 世界地理 …⑩世地	20巻 動物 ………⑳動物

〔例〕　**カトリシズム**　⑪政社 78 B
　　　香取神宮　④哲宗 96 B　⑤日史 244 D

(3)　検索項目は細字（明朝体）で表記し，その所在は巻・ページ・段ではなく，それを選出した見出し項目を→印で直接さし示し，さらに，その検索項目が属している解説文中の小見出しを付け加えた。この表示方法によって，所在を示すのみでなく内容の概略を把握できるように図った。

見出し項目についても，さらに参照すべき見出し項目を同様に示した。

〔例〕　アインスタイニウム　⑮化学→アクチノイド元素
　　　青成瓢吉　①文学→尾崎士郎〔人生劇場〕
　　　油揚げ　⑬生活→すし〔種類〕→豆腐〔加工品〕
　　　雨台風　⑱宇地 17 B　→洪水　→台風〔構造〕

(4)　小見出しは第一順位のものを〔　　〕の中に入れ，第二順位のものは，さらにその中の〈　　〉で示した。

〔例〕　エッサ　⑱宇地→人工衛星〔種類〈気象衛星〉〕
　　　力こぶ　⑭医学→筋肉〔骨格筋〈上肢〉〕

なお，小見出しは簡略化して示したため，本文中の字句と異なる場合もある。

解説文中に小見出しが立てられていない場合には，検索の便宜のため，ページ・段，または各段落の最初の字句などを〈　　〉の中に示した。

〔例〕　ＩＭＦ平価　⑫経産→外国為替相場〈68 C〉
　　　ハッジ　④哲宗→巡礼〈イスラム教〉

(5)　見出し項目に図版(写真を含む)・表組・囲み記事・別刷図版がある場合は，それぞれ 図 表 囲 別 の記号で示した。

〔例〕　**テレビジョン**　⑰科技 425 B図表
　　　絵巻　①文学 86 C図　②美術 86 A囲別

解説文中から選出した検索項目に関する図版・表組などがある場合には，次のように示した。

〔例〕　姉様人形　②美術→人形〔日本〕図
　　　1等星　⑱宇地→恒星〔明るさ〕表

図版・表組などの中から選出した検索項目については，図版・表組などのタイトルを，本文中の小見出しと同様に扱った。ただし，それが見出し項目と同じ場合には省略した。

〔例〕　やぐら投げ　⑬生活→相撲〔図きまり手〕
　　　アダムとイブ　④哲宗→聖書〔囲旧約〈創世記〉〕
　　　佐渡おけさ　③音演→民謡〔表〈新潟〉〕
　　　銅剣　⑥日史→弥生文化別

(6)　項目の所在を示す→印の配置順は，まず巻数順とし，同巻の場合は五十音順である。なお，見出し項目と同巻のものはその巻・ページ・段の表示のあとに続けておいた。

〔例〕　官戸　⑤日史→古代社会〔公民制〕　⑨世史→官戸・形勢戸　→良賤制〈官賤民〉　⑫経産→奴婢
　　　アニス　⑲植物 22 A図　→香辛料植物表　⑮化学→アニス油

(7)　⇨印は，この『索引』の中の該当する項目への送りを示す。

〔例〕　ＩＬＯ　⇨国際労働機関
　　　芭蕉　⇨松尾芭蕉

同一の人名・事項名などでも，収録されている巻によって見出し項目の表記が異なるとき，または，解説が加えられている送り項目などでは，次のように示した。

〔例〕　**池上本門寺**　⑤日史 55 D　⇨本門寺
　　　アイス染料　⑮化学 1 A　⇨冷染染料

(8)　次のものは見出し項目に準ずるものとして，それと同様に扱った。→印でさし示されるときには，その所在ページ・段を〈　　〉の中に入れた。

2巻『美術』巻末の「おもな美術館」に収録した美術館名
3巻『音楽・演劇』巻末の「音楽用語」
8巻『日本地理』巻末の「地理用語集」に収録した用語
14巻『医学』の各見出し項目中で■の記号を付した小見出しとなっている人名
17巻『科学技術』巻末の「科学博物館」に収録した博物館名

〔例〕　フィン語派　⑧日地→ウラル・アルタイ語族〈1199 B〉

(9)　難読，誤読のおそれがあるものは，項目のうしろに小字で，よみがなを付し検索の便を図った。項目の全体のよみではなく，難読の部分のよみだけを示した場合もある。

〔例〕　畔放あはなち　⑤日史→天津罪・国津罪あまつつみ くにつつみ
　　　新城島あらぐすく　⑦日地→西表国立公園いりおもて

項目の並べ方

(1)　項目は現代かなづかいの表記に従って五十音(あいうえお)順に配列した。促音（っ），拗音（ゃ，ゅ，ょ）も音順にかぞえ，濁音・半濁音は清音のあとにおいた。

(2)　カタカナで表記した外国語の長音記号（ー）は音順から除いた。

(3)　同音の項目は次の順に配列した。

(イ)　カタカナ，ひらがな，漢字の順。

(ロ)　漢字表記のものは，文字数の少ない順とし，同字数の場合は第1字目の画数の少ない順とした。

(4)　同音・同字の項目は次の順に配列した。

(イ)　人名，地名，植物名，動物名，その他一般事項名の順とし，そのあとに書名など『　　』を付したものをおいた。

(ロ)　西洋人名は原則としてイニシャルのアルファベット順。

(ハ)　日本地名で（　　）の付いた行政区画名は，都道府県・市区町村の順。同格の場合および自然地名は北海道・東北・関東・中部・近畿・中国・四国・九州の順とした。

(ニ)　外国地名は，アジア・アフリカ・ヨーロッパ・北アメリカ・中央アメリカ・南アメリカ・オセアニアの順とした。

項目の示し方と解説

● 人　名

(1)　西洋人名はカタカナで姓または通称を掲げ，原則としてファーストネームをイニシャルで示した。これによってほぼ

地名・事項名と区別することができる。

〔例〕 アインシュタイン, A
ウルフ, V

同姓で同イニシャルの場合，または慣用に従った場合は次のようにした。

〔例〕 ウルフ, T.C　　ウェルズ, H.G
ウルフ, T.K　　エリオット, T.S

(2) 一世・二世，兄弟・姉妹などの呼び方は（　）に入れ，項目を配列するうえで音順の対象から除外した。

〔例〕 エリザベス(一世)　　ライト(兄弟)
市川団十郎(九世)　　ブロンテ(姉妹)

(3) 見出し項目になっている人名にはすべて，国名，生没年，および簡単な解説を加え，その末尾に㊢印を付し，代表的な著作を掲げた。また，検索項目にも，国名，生没年を添えた場合がある。

〔例〕 **カイザー, G** ドイツ[1878/1945] 表現主義の劇作家。20世紀機械文明に疎外される人間性の奪還の闘いを描く ㊢『朝から夜中まで』 ①文学 121 B図
アウアー, L ソ連[1845/1930] ③音演→バイオリン〔音楽と演奏家の系譜〕
佐野監物 [1687/1769] ⑥日史→三河国〔囲人国記〕

(4) 国名は，中国・朝鮮・ソ連などのほかは，アメリカ イギリス インド のように小字で示した。

チェコスロバキアは チェコ，ユーゴスラビアは ユーゴ とした。

古代ギリシア・古代エジプト・ロシア帝国は ギリシア エジプト ロシア としたが，古代ローマなど現在の国名と対応しにくいものは解説文中に記した。

日本人については省略した。

(5) 生没年は西暦で［1880/1967］のように示した。上段が生年，下段が没年である。

＊の記号は生年または没年が不詳であるか，または明確でないことを表す。

〔例〕 **アイスキネス** ギリシア[＊/＊]…………生没年とも不詳
イェルマーク, T ロシア[＊/1585]……生年が不詳
観世元雅 [1394＊/1432]………………生年が疑わしい

生没がともに紀元前のときは［前216/152］のように記し，紀元前後にまたがるときは［前26-後38］とした。

生没年不詳の場合には，解説文中にその人物の活躍した時代または世紀を記した。

日本地名

(1) 地方行政の区画である都・道・府・県・市・区・町・村および支庁の語は（　）に入れ，配列の音順から除いた。

〔例〕 愛知(県)　　愛東(町)
会津若松(市)　　網走(支庁)

(2) 見出し項目になっている地名には，その所属する都道府県名を付した。二県以上にわたるものは，県名の併記または地方名とした。

〔例〕 **上石津**(町) 岐阜 ⑦日地 308 D
北上盆地 岩手 ⑦日地 354 B
十和田湖 青森・秋田 ⑧日地 807 D図
利根川 関東地方 ⑧日地 793 B図

都道府県名のほかに市区町村名・島名などを付した場合もある。

〔例〕 **相去** 岩手/北上市 ⑦日地 2 C
青山 東京/港区 ⑦日地 16 D
洲本(市) 兵庫/淡路島 ⑦日地 607 D図

大阪市・京都市など指定都市に属する地名に対しては，道府県名のかわりに市名とし，区名を付した場合もある。

〔例〕 **阿倍野**(区) 大阪市 ⑦日地 56 D
嵯峨野 京都市/右京区 ⑦日地 504 D図

外国地名

(1) 国名ではその政体を示す共和国・王国など，州名・省名では州・省，自然地名では山・川・島・湖などの語は（　）に入れ，配列の音順から除いた。

〔例〕 アイスランド(共和国)　　イリマニ(山)
アイオワ(州)　　ウェーク(島)

(2) 見出し項目になっている地名には，その所属する国名を，人名の場合と同様に小字で示した。国名および二国以上にわたる自然地名に対しては アジア アフリカ ヨーロッパ などとした。

〔例〕 **カルカソンヌ** フランス ⑩世地 171 D図
ダマバンド(山) イラン ⑩世地 343 D図
ウガンダ(共和国) アフリカ ⑩世地 106 C図
アンデス(山脈) 南アメリカ ⑩世地 53 A図

アメリカ合衆国・ソ連・中国の都市名に対しては，国名のほかに，それぞれ州名・共和国名・省名をも付した。

〔例〕 **アトランタ** アメリカ/ジョージア ⑩世地 11 C
キエフ ソ連/ウクライナ ⑩世地 180 B図
ウーハン〈武漢〉 中国/湖北省 ⑩世地 110 A図

属領・島嶼などに対しては，所属国名と所在地を付した。

〔例〕 **カナリア**(諸島) スペイン/大西洋 ⑩世地 164 C図
ホンコン イギリス/アジア ⑩世地 596 D

符号・記号

(1) 《　》……音(よみ)・文字とも同じ項目に対しては，必要に応じ，区別のための語句を《　》の中に示した。

〔例〕 **シャコ**《鳥類》 ⑳動物 330 B
シャコ《甲殻類》 ⑳動物 330 B
トゲシャコ ⑳動物→シャコ《甲殻類》

(2) 〔　〕……カタカナ書きされている動植物名の漢字表記など，項目の別表記を〔　〕の中に示した。音が項目と同じで，「〜とも書く」にあたる。

〔例〕 **イトヨリダイ**〔糸撚鯛〕 ⑳動物 54 C図
入墨いれずみ〔文身, 刺青〕 ⑤日史 89 A図
ユネスコ〔UNESCO〕 ⑥日史 1180 B

(3) 〈　〉……項目の別称・同義語などを〈　〉の中に示した。また，項目に対する別のよみ方を〈　〉の中に小字で示した。音が項目と異なって，「〜ともいう」「〜ともよむ」にあたる。

〔例〕 **アイバンク**〈眼球銀行〉 ⑭医学 1 C表
アンシャン〈鞍山あんざん〉 中国/遼寧省 ⑩世地 51 C図
上知令あげちれい〈じょうちれい〉 ⑤日史 9 D
郁達夫いくたつふ〈ユーターフ〉 中国[1896/1945]

この〈　〉の中の形で本文中に記されている場合も，当該項目の形で記されているものとみなし，→印でさした。

(4) 『　』……書名・雑誌名・題名などには『　』を付した。

〔例〕『**十六夜日記**いざよい』 ⑤日史 58 A ①文学→阿仏尼

■編集委員　中　井　英　夫

■編集協力　株式会社　三友社
株式会社　数理計画
凸版印刷株式会社
電算システム部

ア
あ

アイジット,D インドネシア[1923–1965*] 政治家,共産党指導者。九月三〇日事件後,射殺されたとみられる ⑪政社1D図 ⑨世史→インドネシア共産党
IC熱電対 ⑯物数→温度計〔熱電対〕
ICBM〈大陸間弾道弾〉 ⑪政社→核兵器〔水爆の開発〕 →軍事技術〔核戦略と兵器体系〕
ICPO ⇨国際刑事警察機構
IGファルベン ⇨イー・ゲー・ファルベン
相島 山口/萩市 ⑦日地2C
アイシメジ ⑲植物→キシメジ
アイシャドウ ⑬生活→化粧〔変遷〈西洋〉〕
ICU〈集中強化治療室〉 ⑭医学1A →メディカル=エンジニアリング〔ホスピタル=オートメーション〕
ICラジオ ⑰科技→ラジオ〔ラジオ受信機〕
IGY〈国際地球観測年〉 ⑱宇地1A →IQSY →IUGG →海洋〔探検〕 →砕氷船〔南極観測と日本の砕氷船〕 →探検〔20世紀〕 →地球物理学〔各分野〕 →南極〔南極氷床〕 →氷河〔囲グリーンランドの氷河〕 →北極〔探検史〕
愛新覚羅溥儀 ⇨溥儀
愛新覚羅 中国清朝皇室の姓。太祖ヌルハチ以来の古い家柄で,アイシンは金を意味する ⑨世史1B →ヌルハチ →溥儀
アイシング ⑬生活→アイスホッケー〔囲反則〕
アイシングラス ⑮化学→にかわ
会津 ⇨会津
愛洲移香斎 [1452–1538] 室町後期の剣客。念流に達し,陰の流〈猿飛陰流〉を創始 ⑤日史2B
アイスキネス ギリシア[前390?–前330?] 弁論家。その弁論は悲劇役者の経験から,よく人をひきつけたという ①文学1A →デモステネス
アイスキネス ギリシア[*.] 前5～4世紀の哲学者。ソクラテスの徒で「ソクラテス対話篇」を書く ④哲宗2A
アイスキャンデー ⑬生活→駄菓子
アイスキュロス〈アイスキロス〉 ギリシア[前525–前456] 三大悲劇詩人の一人。悲劇芸術の創始者とされる 作『縛られたプロメテウス』『オレステイア』 ①文学1B図 →戯曲〔歴史〕 →ギリシア文学〔劇〕 ③音演1A図 →ギリシア演劇〔悲劇〕 ⑨世史1B
アイスクリーム ⑬生活1A →乳製品
アイスクリームソーダ ⑬生活→ソフトドリンクス
アイス染料 ⑮化学1A ⇨冷染染料
アイスダンシング ⑬生活→スケート〔フィギュア〕図
アイス・ティ ⑬生活→紅茶〔メニュー〕
アイストゥルフ ⑨世史→ランゴバルド王国
アイストング ⑬生活→カクテル〔器具〕図
アイスナー,K ドイツ[1867–1919] 政治家。ドイツ革命の時期にバイエルン共和国首相となったが右翼に暗殺 ⑨世史1C
アイスノン ⑭医学→罨法〔氷嚢〕
アイスバーン ⑬生活→スキー〔囲用語〕
会津藩 ⇨会津藩
アイスピック ⑬生活→カクテル〔器具〕図
アイスフォール〈氷瀑〉 ⑱宇地1A図 →氷河〔流動〕図 ⑬生活→登山〔囲用語〕
アイスペール ⑬生活→カクテル〔器具〕図
アイスホッケー ⑬生活1B図囲
藍住(町) 徳島 ⑦日地2C
アイスミルク ⑬生活→アイスクリーム
アイスランド(共和国) ヨーロッパ ⑩世地1C図 ⑨世史→北欧史 ⑱宇地→北極〔探検史〕
『アイスランドからの手紙』 ①文学→紀行文学〔西洋〕
『アイスランド人たちのサガ』 ①文学→サガ →北欧文学〔アイスランド文学〕
『アイスランド人の書』 ①文学→アーリ・ソルギルソン
アイスランドスパー〈氷洲石〉 ⑱宇地→方解石
アイスランド文学 ①文学→サガ →北欧文学
アイスランド・ポッピー ⑲植物1B図
『アイスランド民話』 ①文学→アウルトナソン,J
藍摺 ⇨藍絵
アイスリーゼンベルト洞 ⑱宇地→洞穴表
愛洲流 ⇨猿飛陰流
『愛する大地』 ①文学→ル・クレジオ,J
『愛する時と死する時』 ①文学→レマルク,E
アイゼナハ 東ドイツ ⑩世地2B
アイゼナハ派〈ドイツ社会民主労働者党〉 ⑨世史1C →社会主義労働者党 →全ドイツ労働者協会 →ベーベル,A →リープクネヒト,W ⑪政社→社会主義〔マルクス以後〕 →ドイツ社会民主党〔創設から第一次大戦〕
アイセル(湖) オランダ ⑩世地2C図 ⑰科技→海上都市〔沿革〕
アイゼン ⑬生活→登山〔登山用具〕〔囲用語〕図
愛善苑 ⑥日史→出口王仁三郎
『愛染かつら』 ①文学→川口松太郎 ③音演→川口松太郎
アイゼンク,H イギリス ⑪政社→政治意識 ⑭医学→体質〔学説〕
愛染さん ⇨勝鬘院
アイゼンシュタインの定理 ⑯物数→多項式
アイゼンシュタット,A [1899] ②美術→写真〔歴史〕別
アイゼンハワー,D アメリカ[1890–1969] 第34代大統領・陸軍元帥。第二次大戦では連合軍最高司令官をつとめた ⑨世史1D図 ⑪政社2A図 →アメリカ政治事情〔保守的風潮の支配〕 →安保闘争 →共和党
アイゼンハワー(山) ⑩世地→カナダ〔自然〕図
アイゼンハワージャケット ⇨バトルジャケット
アイゼンハワー・ドクトリン ⑪政社→スエズ戦争 →米ソ関係〔軍備競争と雪どけ〕
アイゼンヒュッテンシュタット 東ドイツ ⑩世地2D →ドイツ(民主共和国)〔経済・産業〈工業〉〕
愛染祭 ⑦日地→大阪(市)〔勝鬘院〕
愛染明王 ④哲宗→仏像〔表種類〈明王部〉〕
アイゼンメンゲル症候群 ⑭医学→心臓〔手術不可能な先天性心疾患〕
アイソケロニック・レベル・マップ〈IKL図〉 ⑱宇地→雷〔雷雨日数の分布〕
アイソザイム〈アイソエンザイム〉 ⑭医学→肝臓〔肝機能検査〕 ⑮化学→酵素〔生合成生産〕 ⑲植物→酵素〔役割〕
アイソスタシー〈地殻均衡〉 ⑱宇地1A図 →エアリー,G →海底〔地殻構造〕 →地殻 →氷河〔消長と気候変化〕 →山〔高さ〕
アイソスピン ⑯物数1A →核力 →素粒子〔種類と相互作用〕 →中間子 →量子数
アイソタクチック-ポリプロピレン ⑮化学→ポリプロピレン
アイゾット衝撃試験機 ⑰科技→材料試験〔衝撃試験〕 →衝撃試験
アイソトープ〈同位元素,同位体〉 ⑰科技1A →原子力〔放射線利用〕 →同位体分離 →ラジオアイソトープ ⑭医学→アイソトープ療法 ⑮化学→原子〔構造〕 →同位体 →放射性元素〔核種〕 ⑯物数→同位体 →放射性同位体
アイソトープ電池〈原子電池〉 ⑰科技1B図 →原子力〔放射線利用〈アイソトープ〉〕 →ラジオアイソトープ〔利用〕
アイソトープ療法 ⑭医学1B図 →癌〔造血器の癌〈甲状腺癌〉〕 →放射線療法〔放射性アイソトープ内用療法〕
アイソポス〈イソップ〉 ギリシア[*.] 前6世紀の寓話作者。動物に仮託して民衆の日常の教訓を説く 作『イソップ物語』 ①文学1D図 →寓話
アイソマー〈同位同重元素〉 ⑯物数→ハーン,O
アイソマー・シフト ⑯物数→メスバウアー効果
藍染め ⑦日地→出雲(市)図 ⑲植物→アイ図
合染川 ⑦日地→青木(村)
英田(町) 岡山 ⑦日地2D
『アイーダ』 ③音演→オペラ〔歴史〈改革と国民歌劇の台頭〉〕図 →ベルディ,G〔作風と作品〕図
相対替 ⑤日史2B
相対死 ⑤日史→心中
相対済法 ⑤日史2C →享保の改革〔機構改革〕
相対取引 ⑫経産→市場〈32D〉
相対売買 ⑫経産→取引所
相対貿易法 ⑥日史→長崎貿易
アイタケ ⑲植物→キノコ〔別担子菌類〈ハラタケ目〉〕 →ベニタケ
会田算左衛門 ⇨会田安明
愛他主義 ⇨利他主義
会田綱雄 [1914] 詩人。第1回高村光太郎賞を受賞 作『鹹湖』 ①文学2A
IWW ⇨世界産業労働者組合
アイタペ パプアニューギニア ⑩世地2D
アイダホ(州) アメリカ ⑩世地2D
藍玉 ⑲植物→アイ〔藍染め〕図
会田安明〈会田算左衛門〉 [1747–1817] 江戸中期の数学者。和算の一派最上流を創設し,関流と対抗,論争を行う ⑯物数1A図 ⑥日史→出羽国〔囲人国記〕
愛知(県) ⑦日地2D図表 ⑤日史→尾張国 ⑥日史→三河国 ⑧日地→中京工業地帯
愛知〈フィロソフィアー〉 ④哲宗→イデア →ギリシア哲学〔囲用語〈哲学〉〕 →ストア哲学 →ソクラテス →哲学 →プラトン〔アポリアー〕
愛知池 ⑧日地→東郷(町)《愛知》
相知行 ⇨相給
愛知敬一 ⑱宇地→虹〔研究史〕
愛知県立森林公園 ⑦日地→尾張旭(市) ⑧日地→名古屋(市)〔観光・文化〕
愛知高原国定公園 愛知 ⑦日地7C図 →旭(町)《愛知》 ⑧日地→王野川渓谷
アイチップ〈ミヤベイワナ〉 ⑳動物→オショロコマ
愛知紡績所 ⑤日史→工業〔近代的大工業の成立〕 →殖産興業政策表
愛鳥週間 ⇨バードウィーク
愛知用水 長野・岐阜・愛知 ⑤日史2C ⑦日地7C図 →愛知(県)〔産業〈農業〉〕 →木曽川 ⑧日地→知多半島 →日間賀島
会津 福島 ⑦日地7D
会津大塚山古墳 ⑤日史2C ⑦日地→会津若松(市)〔歴史〕
会津学 ④哲宗→朱子学〔日本朱子学〕
会津川 ⑦日地→奇絶峡 ⑧日地→田辺(市)
アイヅシモツケ ⑲植物→シモツケ
会津自由党 ⑥日史→福島事件
会津戦争 ⑤日史2D ⑥日史→白虎隊
会津騒動 ⑤日史2D
会津大念仏踊 ⑦日地→河東(村)図
会津平 ⇨会津盆地
会津高田(町) 福島 ⑦日地8B図
アイツタキ(島) ⑩世地→クック(諸島)
会津塗 ②美術1A →漆工芸 ⑦日地→会津若松(市)〔産業〕 ⑫経産→漆器製造業
会津藩 ⑤日史2D →会津騒動 ⑥日史→鳥羽・伏見の戦い →保科正之
会津坂下(町) 福島 ⑦日地8B図
会津磐梯山 ③音演→民謡〔表〈福島〉〕
会津彼岸獅子舞 ⑦日地→会津若松(市)〔観光〕図
『会津風土記』 ⑧日地→日本〔囲地理学〈古代より近世〉〕
会津盆地 福島 ⑦日地8B
会津身不知柿 ⑦日地→会津若松(市)〔産業〕 ⑲植物→カキ図
会津八一 [1881–1956] 歌人・書家・美術史家。奈良に関する研究や歌が多い 作『鹿鳴集』 ①文学2B図 ⑤日史2D
会津屋八右衛門 [1797–1836] ⑤日史→石見国〔囲人国記〕
会津若松(市) 福島 ⑦日地8C図 →会津
アイデア・スケッチ ②美術→インダストリアル・デザイン〔作業プロセス〕
アイデアリズム ⇨観念論 ⇨理想主義
ID ⇨インダストリアル・デザイン
IDA ⇨国際開発協会
ITS ⇨業種別労連
ITF ⇨国際運輸労連
ITO ⇨国際貿易機構
アイティオン ④哲宗→ギリシア哲学〔囲用語〕
ITカロリー ⑯物数→単位〔温度目盛と熱〈熱量〉〕
アイディット ⇨アイジット,D
ITT ⑫経産1C
ITP ⇨特発性血小板減少性紫斑病
IDB ⇨米州開発銀行
ITV〈産業用テレビ,工業用テレビ〉 ⑰科技2A図 →テレビジョン〔原理〈同期〉〕
ITU ⇨国際電気通信連合
アイディル〈小景詩〉 ①文学→詩〔囲用語〈形式〉〕
アイディン・ケョル(湖) ⑩世地→ソビエト(連邦)〔囲西域の遺跡〕
『相手を知らぬままに恋う』 ③音演→ベーガ,L
藍靛 ⑲植物→アイ〔薬用〕
アイデンティティ ⇨同一性
『愛とアレゴリー』 ①文学→ルイス,C
愛東(町) 滋賀 ⑦日地9A
『愛と偶然との戯れ』 ①文学→マリボー,P ③音演→マリボー,P
アイトケン,J ⑯物数→ウィルソン,C
『愛と死との戯れ』 ①文学→ロラン,R
アイトス〈ITOS〉 ⑱宇地→人工衛星〔種類〈気象衛星〉〕図表
『愛と認識との出発』 ①文学→倉田百三
相殿 ④哲宗→神社〔囲用語〕

アイドホール ⑰科技２Ｂ図 →ブラウン管〔投射用受像管〕
アイトマートフ,Ｃ ソ連[1928] キルギスの小説家。中央アジアの新しい人間関係を民族色豊かに描く。レーニン賞受賞 ①文学２Ｃ図
合泊温泉 ⑦日地→知床半島
アイトリア同盟 ⑨世史１Ｄ →アカイア同盟 →ギリシア〔支配国の変遷〈ヘレニズム時代〉〕
アイドル・ギア ⑰科技→歯車伝動装置
ＩＮＡＨ ⇨イソニアジド
相内鉱山 ⑦日地→小坂(町)
アイナエ ⑲植物１Ｃ図
アイナシ ⑲植物→ナシ〔表分類〕
アイナメ〔鮎魚女,鮎並〕 ⑳動物１Ｂ図 →側線
相嘗祭 ④哲宗→神道〔囲祭事〕
アイニー,Ｓ ソ連[1878/1954] ペルシア語詩人・小説家。タジク近代文学の創始者 ①文学２Ｃ
『愛に狂ったニーナ』 ③音演→パイジェロ,Ｇ
アイヌ ⑤日史３Ｃ図 →蝦夷 →蝦夷地〔支配〕 →貝塚〔貝塚とは〕 ①文学→アイヌ文学 →知里真志保 ③音演→アイヌの歌舞 ⑥日史→チャシ →場所請負人 ⑦日地→白老(町)図 ⑧日地→人種島〈1217 Ｃ〉 →北海道囲 ⑩世地→サハリン〔住民〕 ⑪政社→少数民族問題
『アイヌ英和辞典』 ⑥日史→バチェラー,Ｊ
アイヌキンオサムシ ⑳動物→甲虫〔別〈日本産〉〕
アイヌ犬 ⑳動物→イヌ〔犬種〈獣猟犬〉〕別
『アイヌ語法研究―樺太方言を中心として―』 ①文学→知里真志保
アイヌ式土器 ⑤日史３Ｄ
『アイヌ叙事詩ユーカラ集』 ①文学→金田一京助
『アイヌ伝統音楽』 ①文学→更科源蔵
アイヌの歌舞 ③音演１Ｃ図 ⑤日史→アイヌ
アイヌ部落 ⑦日地→旭川(市)図
アイヌ文学 ①文学２Ｄ ⑤日史→アイヌ
アイネイアス〈アエネアス〉 ⑨世史１Ｄ →ベルギリウス ④哲宗→アエネアス →ギリシア・ローマ神話〔囲主要神名〕
『アイネ・クライネ・ナハトムジーク』 ③音演→モーツァルト,Ｗ〔作風と作品〕
アイネシデモス ギリシア[＊.] 前１世紀ごろの懐疑学派の哲学者。「10の様式」を示す ④哲宗２Ａ
アイネム,Ｇ オーストリア[1918] 作曲家。カフカの『審判』をオペラ化して名声を博す ③音演２Ｂ
愛野(町) 長崎 ⑦日地９Ｄ
愛の争い ④哲宗→ヤスパース,Ｋ〔囲基本概念〕
相浦 ⑦日地→佐世保(市) →佐世保炭田
愛の確実性 ④哲宗→パスカル,Ｂ〔囲基本概念〈心情〉〕
あいの風 ⑱宇地→風〔表季題〈夏〉〕
愛の活力〈エラン・ダムール〉 ④哲宗→ベルグソン,Ｈ〔囲基本概念〕
愛の憲章 ⑨世史→シトー会
『愛の砂漠』 ①文学→モーリヤック,Ｆ
愛の賛歌 ④哲宗→聖書〔新約聖書〈332 Ｂ〉〕
愛の詩人 ⇨ミンネゼンガー
相ノ島 ⑦日地→玄海国定公園
間ノ岳 山梨・静岡 ⑦日地10Ａ →赤石山脈 →白根山《南アルプス》
合の手 ③音演２Ｂ
相野々ダム ⑦日地→山内(村) ⑰科技→ダム〔歴史〈アースダム〉〕
『愛の妙薬』 ③音演→ドニゼッティ,Ｇ
『愛の無常について』 ①文学→亀井勝一郎
愛野無線局 ⑦日地→愛野(町)
間の村 ⑤日史→宿場〔任務と宿役人〕
『愛の夢』 ③音演→リスト,Ｆ
『愛の妖精』 ①文学→サンド,Ｇ
『愛は愛以上のもの』 ①文学→シャルドンヌ,Ｊ
アイバク ⇨クトゥブッディーン・アイバク
饗庭七郷 ⑦日地→吉良(町)
アイハダ ⇨アユモドキ
饗庭野 ⇨饗庭野
合原藤蔵 [1663/1736] ⑥日史→筑後国〔囲人国記〕
相原信行 ⑬生活→体操競技〔歴史〕
アイバンク〈眼球銀行〉 ⑭医学１Ｃ表 →失明 ⑬生活→葬式〔法律手続〈死亡診断書〉〕
『アイバンホー』 ①文学→スコット,Ｗ →歴史小説 →ロビン・フッド
アイヒ,Ｇ 西ドイツ[1907/1972] 詩人。放送劇脚本を純文学のジャンルにまで高めた。ビュヒナー賞受賞 ①文学３Ｃ →アイヒンガー,Ｉ
アイビー〈セイヨウキヅタ〉 ⑲植物１Ｃ図

ＩＢＲＤ ⇨国際復興開発銀行
ＩＢＦ ⑬生活→バドミントン〔歴史〕
ＩＰＦＣ ⇨インド洋太平洋漁業理事会
ＩＢＭ ⑫経産１Ｄ図 →電子計算機〔開発〕 →日本アイ・ビー・エム(株) →ワトソン,Ｔ
アイヒェンドルフ,Ｊ ドイツ[1788/1857] 後期ロマン派の詩人・小説家。夢のようにおぼろげな情調の親しみやすい叙情詩に本領を発揮 ①文学３Ｃ図
ＩＰＯＤ ⇨国際海底掘削計画
『あひびき』 ①文学→日本文学〔近代〈明治啓蒙期〉〕 →二葉亭四迷 →翻訳文学
合引 ③音演→歌舞伎〔囲用語〕
『逢びき』 ③音演→映画〔トーキー〈第５期〉〕別 →リーン,Ｄ
ＩＰＣ ⇨イラク石油会社
ＩＰＣ ⑮化学→農薬〔分類〈表除草剤〉〕
アイビースタイル ⑬生活→背広〔型〕
アイビーストライプ ⑬生活→洋装〔囲洋服地〈縞〉〕
ＩＢＰ〈国際生物学事業計画〉 ⑲植物２Ａ ⑳動物１Ｃ
ＩＢＰ ⑮化学→農薬〔分類〈表殺菌剤〉〕
ＩＰ法 ⇨強性分極法
アイヒマン,Ａ ドイツ[1906/1962] 第二次大戦中のユダヤ人虐殺の責任者として,逃亡先のアルゼンチンで逮捕され刑死 ⑨世史２Ａ ⑪政社→ユダヤ人問題〔ヒトラー〕
アイヒンガー,Ｉ オーストリア[1921] 女流小説家。詩人アイヒと結婚。カフカ的寓話手法をよくする ①文学３Ｄ →アイヒ,Ｇ
アイフィンガーガエル ⑳動物→アオガエル →カエル〔生態と発生〕
合服 ⑬生活→衣服〔種類と分類〈使用季節〉〕
アイブス,Ｂ [1909] ③音演→フォーク・ソング
アイブズ,Ｃ アメリカ[1874/1954] ③音演→アメリカ音楽〈12 Ｄ〉
愛別(町) 北海道/上川支庁 ⑦日地10Ａ
アイベックス ⑳動物２Ａ図 →ヤギ〔野性種〕
アイヘンワリド,Ｙ ロシア[1872/1928] 印象主義の批評家。文学の科学的研究を否定し,エッセイ風に主観的印象を語る ①文学３Ｄ
アイボリーコースト ⇨コートジボアール(共和国)
曖昧 ④哲宗→明晰判明
『あいまいの七型』 ①文学→エンプソン,Ｗ
相俣ダム ⑦日地→赤谷湖 ⑧日地→利根川
会見(町) 鳥取 ⑦日地10Ａ
靉光 [1907/1946] 洋画家。中国古典絵画の影響を油絵の世界に融和。上海で戦病死 ②美術１Ａ
愛本新用水 ⑦日地→宇奈月(町)
愛本橋 ⑦日地→宇奈月(町) ⑰科技→橋〔歴史〈日本〉〕図
ＩＵＧＧ〈国際測地学地球物理学連合〉 ⑱宇地２Ａ →ＵＭＰ
ＩＵＣＷ ⇨国際児童福祉連合
ＩＵＤ ⇨避妊リング
ＩＵＰＡＣ命名法 ⑮化学→アルカン〔命名法〕 →化合物命名法〈680〉表
アイユーブ朝 ⑨世史２Ａ →エジプト〔イスラム時代〕 →サラディン ②美術→イスラム美術
『愛欲の港』 ③音演→ベルイマン,Ｉ
吾平(町) 鹿児島 ⑦日地10Ｂ
姶良(町) 鹿児島 ⑦日地10Ｂ
アイラー,Ａ [1936] ③音演→ジャズ〔モダン・ジャズ〕
姶良カルデラ ⑦日地→霧島火山帯
アイラトビカズラ ⇨トビカズラ
『アイ・ラブ・パリ』 ③音演→ポーター,Ｃ
アイリアノス,Ｃ [＊.] ２世紀ローマの著述家。著作には,失われた作家の文章の引用があり貴重 ①文学３Ｄ
アイリス ⑲植物２Ａ図
アイリッシュ,Ｗ〈ウールリッチ,Ｃ〉 アメリカ[1906/1968] 推理作家。恐怖とサスペンスを哀愁をこめて描く ①文学４Ａ
アイリッシュ(海) ⑩世地３Ａ →ノース(海峡)
アイリッシュ・ウイスキー ⑬生活→ウイスキー
アイリッシュ・ウルフハウンド ⑳動物→イヌ〔犬種〈獣猟犬〉〕
アイリッシュコーヒー ⑬生活→コーヒー〔飲み方〕図
アイリッシュシチュー ⑬生活→シチュー →世界の料理〔イギリス料理〕
アイリッシュセッター ⑳動物→イヌ〔犬種〈猟犬〉〕図別
アイリッシュ・モス〈トチャカ〉 ⑲植物→ツノマタ

アイリング,Ｈ アメリカ[1901] メキシコ生まれの物理化学者。素反応の理論的解明に貢献 ⑮化学１Ａ →アレニウスの式 →物理化学
愛隣地区〈釜ヶ崎〉 大阪市/西成区 ⑦日地10Ｂ →釜ヶ崎 ⑧日地→西成(区)
アイル(山地) ⑩世地→ニジェール(共和国)〔自然〕
アイルハルト・フォン・オーベルク ①文学→宮廷文学 →トリスタンとイゾルデ
アイルランド(共和国) ヨーロッパ ⑩世地３Ａ図 →エール ⑨世史→アイルランド問題 →イギリス(史)〔絶対王政〕
アイルランド(島) ⑩世地４Ｂ
アイルランド演劇 ③音演２Ｂ図
アイルランド革命同盟 ⇨ＩＲＢ
アイルランド教会法 ④哲宗→オックスフォード運動 ⑨世史→アイルランド土地法
アイルランド共和軍 ⇨ＩＲＡ
アイルランド共和同盟 ⇨ＩＲＢ
アイルランド自治問題 ⑨世史２Ｂ図 →アルスター問題 ⑪政社→アイルランド問題
アイルランド自由国 ⑩世地→アイルランド(共和国)〔略史〕 ⑪政社→アイルランド問題〔自由国の成立〕
アイルランド土地法 ⑨世史２Ｃ図
アイルランドの使徒 ⇨パトリック
アイルランド文学 ①文学４Ａ
アイルランド文学座 ③音演→アイルランド演劇 →イェーツ,Ｗ →近代劇
アイルランド文芸復興 ①文学→アイルランド文学 →イェーツ,Ｗ
アイルランド民謡 ③音演→民謡〔西欧〕
アイルランド問題 ⑨世史３Ａ →アイルランド自治問題 →アルスター問題 ⑪政社２Ｂ図 →民族問題
アイルロイヤル国立公園 ⑩世地→アメリカ(合衆国)〔表国立公園〕
アイレ ⇨エール
アイレンバーグ,Ｓ [1913] ⑯物数→ホモロジー群〔意味〕
『愛恋無限』 ①文学→中河与一
アイロニー ④哲宗２Ｂ ①文学→文学〔囲用語〕
アイロン ⑬生活３Ａ図 →衣服〔衣服管理〕 →洋裁〔洋裁用具〕
アイロン仕上げ ⑬生活→洗い張り →洗たく〔専門業者〕
アインジーデルン ④哲宗→巡礼〔囲巡礼地〕
アインシュタイン,Ａ アメリカ[1879/1955] 理論物理学者。光量子論・相対性理論の開拓者。ノーベル賞受賞 ④哲宗２Ｃ図 →相対性理論 ⑯物数１Ｃ図 →一般相対性理論 →運動の法則 →光量子 →重力理論〔アインシュタインの理論〕 →相対性理論 →ブラウン運動 →量子論〔量子仮説と光量子〕 ⑱宇地２Ａ図 →宇宙〔膨張宇宙の理論〕 →重力波 ⑮化学→光子 →分子熱 ⑰科技→科学〔科学と哲学〕図
アインシュタイン効果 ⑱宇地２Ｃ →掩蔽 ⑯物数→アインシュタイン,Ａ
アインシュタイン塔〈塔望遠鏡〉 ⑱宇地２Ｃ →シーロスタット
アインシュタイン・ドジッター宇宙 ⑱宇地→宇宙〔膨張宇宙の理論〕
アインシュタインの関係式 ⑯物数→エネルギー〔相対性理論〕 →光電効果
アインシュタインの光化学当量の法則 ⑮化学→光化学
アインスタイニウム ⑮化学→アクチノイド元素
アインチッヒ,Ｐ ⑫経産→貨幣Ⅱ〔本位制度〕
アイントホーフェン,Ｗ オランダ[1860/1927] 生理学者。弦電流計を考案,これを用いて心電図を案出。ノーベル賞受賞 ⑭医学28Ｂ図
アイントホーベン ⇨エイントホーフェン
アインハルト [770*/840] ①文学→伝記〔西洋〕 ⑨世史→カール(大帝)
アウ(火山) ⑩世地→サンギー(諸島) ⑱宇地→火山〔表活火山〕
アウアー,Ｌ ソ連[1845/1930] ③音演→バイオリン〔音楽と演奏家の系譜〕
アウアー燈 ⑮化学→ウェルスバッハ,Ｃ
アーウィック,Ｌ イギリス[1891] 経営学者。管理論を中心としている ⑫経産２Ａ図
アウエーゾフ,Ｍ ソ連[1897/1961] 作家。カザフ民族の解放などを扱った作品が多い ①文学４Ｂ
アウエルシュテットの戦い ⑨世史→イエナの戦い
アウエルバッハ,Ｅ ドイツ[1892/1957] ユダヤ人の文芸学

者。ナチスに追われトルコ国立大学教授となる ①文学4C
アウグスティヌス,A [354-430] ローマ・キリスト教会最大の教父,思想家。教会の権威と正統信仰の確立に努力 ㊥『神の国』『告白』 ①文学4C図 ④哲宗2D図 →アウグスティノ会 →アンブロシウス →教父哲学 →原罪 →修道会〔初期西方修道会〕 →善 ⑨世史3A →史学史〔古代・中世〈キリスト教的史観〉〕
アウグスティヌス(カンタベリの) [?-604?] 聖人。教皇の命でイングランドの布教に赴き大きな成果をあげた ⑨世史3B
アウグスティヌス会則 ④哲宗→アウグスティノ会 →修道会〔中世〕
アウグスティノ隠修士会 ④哲宗→アウグスティノ会 →修道会囲
アウグスティノ会 ④哲宗3D
アウグスティノ修道参事会 ④哲宗→アウグスティノ会 →修道会〔中世〕
アウグスト,E [1771-1851] ⑨世史→ゲッティンゲン七教授事件
アウグスト(二世) ポーランド [1670-1733] 王。王権強化を図り,シュラフタ〈士族階級〉の抵抗にあう ⑨世史3B →北方戦争
アウグスト(三世) ポーランド [1696-1763] 王。アウグスト二世の子。芸術愛好家であったが大貴族や側近のため内政混乱 ⑨世史3B
アウグストゥス〈オクタビアヌス〉 [前63-後14] ローマの初代皇帝。カエサルの養子。共和政末期の内乱を鎮定しプリンキパトゥスを開いた ④哲宗4A ⑨世史3C図 →アクティウムの海戦 →アントニウス →三頭政治 →プリンキパトゥス ⑪政社→ローマの政治思想〔帝制期〕
アウグストゥス帝廟 ⑩世地→ローマ(市)〔囲観光地〈史跡〉〕
アウグスブルク 西ドイツ ⑩世地4B ⑨世史→フッガー家
アウグスブルク信仰告白 ④哲宗→信条 →メランヒトン,P →ルター派 ⑨世史→ルター
アウグスブルク同盟戦争 ⇨プファルツ戦争
アウグスブルクの和議 ⑨世史3D →ウェストファリア条約 →カール(五世) →フェルディナント(一世)《神聖ローマ》 →領邦教会制 ④哲宗→プロテスタント教会図
アウクトリタス ④哲宗→アウグスティヌス,A〔思想〈1〉〕 →教父哲学 ⑪政社→ローマの政治思想〔序説〕
アウサンガテ(山) ペルー ⑩世地4B
アウシュビッツ ⇨オシュフィエンチム
アウシュビッツ収容所 ⑩世地→ポーランド(人民共和国)図 ⑪政社→ナチズム図
アウスグライヒ ⑨世史→オーストリア・ハンガリー帝国
アウスクルタ・フィリ ⑨世史→ボニファティウス(八世)
アウスツル ⑱宇地→風〔表局地風〕
アウステルリッツの戦い〈三帝会戦〉 ⑨世史4A図 →プレスブルクの和約 ⑩世地→スラフコフ
アウストラシア ⑨世史→宮宰 →ダゴベルト(一世) →フランク王国図
アウストラロピテクス ⑨世史4B図 →猿人 ⑱宇地2C →猿人 →化石人類〔人類の進化〈猿人〉〕図 →人類 →地質時代〔新生代〈第四紀〉〕 ⑳動物→ヒト →ミッシングリンク
アウストラロピテクス・アフリカーヌス ⑱宇地→化石人類〔発見史〕図 →人類
アウストロ ④哲宗→イースター
アウストロネシア語族 ⇨マライ・ポリネシア語族
アウソニウス,D [310?-395?] ローマ帝政末期の詩人。キリスト教徒の世俗文学の始祖 ①文学4D →ラテン文学〔白銀時代〕
アウターマーカー ⑰科技→空港〔着陸誘導施設〈ILS〉〕
アウタリ ⑨世史→ランゴバルド王国
アウタルキー ⑤日史3D ⑫経産2B
アウタルケイア ⑫経産→ポリス
亜宇宙線 ⑱宇地→宇宙線〔伝播と磁場〕
アウト,J [1890-1963] ②美術→現代建築 →デ・スティル
アウトウォッシュプレン ⑱宇地→氷河〔氷河地形と氷成堆積物〕
アウト・オブ・バウンズ〈OB〉 ⑬生活→ゴルフ〔ゴルフコース〈構成〉〕
アウトサイダー ④哲宗4B ⑪政社3B
『アウトサイダー』 ①文学→ウィルソン,C
『アウトサイダー』 ①文学→ライト,R
アウトストラーダ・デル・ソーレ〈太陽高速道路〉 ⑩世地→イタリア(共和国)〔交通〕 →ローマ(市)〔交通・産業〕
アウトドアリビング ⑬生活→住まい〔設計〈各部〉〕
アウトバーン〈ライヒス・アウトバーン〉 ⑧日地1197C →高速道路〈1210D〉 ⑩世地→ドイツ(連邦共和国)〔交通〕 ⑰科技→道路図囲
アウトプット ⑰科技→電子計算機〔囲用語〕
アウトボクシング ⑬生活→ボクシング〔囲用語〕
アウトボードエンジン ⑰科技→モーターボート図
アウトボード・モーターボート〈船外機艇〉 ⑰科技→モーターボート
アウドムラ ④哲宗→北欧神話〔創造神話〕
アウトラインステッチ ⑬生活→刺繡〔欧風刺繡〕図
アウーナー,K ①文学→アフリカ文学〈第3期〉
アウハディー,R [1281?-1337?] ペルシアの詩人。神秘主義を主題とした叙事詩がある ①文学4D
アウブ,M スペイン [1903-1972] 小説家。メキシコに渡り,スペイン内戦の本質を追求した三部作を書く ①文学5A
アウフィー,M [1175?-1237?] ペルシアの伝記作家。各地の宮廷に仕えた ①文学5A
アウフヘーベン ⇨止揚
アウヘンアンマー(諸島) フィンランド ⑩世地4B
アウラ(川) ⑩世地→フィンランド(共和国)図
アウラプシェカル(島) ⑩世地→パラオ(諸島)
アウランガーバード ⇨オーランガバード
アウランゼーブ インド [1618-1707] ムガル帝国第6代皇帝。父帝を監禁して王位につき各地に征服戦を展開 ⑨世史4B図 →シャー・ジャハーン →ムガル帝国〔興亡史〕
アウランティアクス ⑲植物→多肉植物表
アウリェアタ ⑩世地→ジャンブル
『アウリスのイフィゲネイア』 ①文学→エウリピデス ③音演→ゲーテ,J
『アウル・クリーク橋事件』 ①文学→ビアス,A
アウルトナソン,J アイスランド [1819-1888] 民話収集家。グリム兄弟にならい,収集を始める ①文学5A
アウレウス金貨 ⑫経産→貨幣史〔ローマ〕
アウレリアヌス [214?-275] ⑨世史→ローマ〔帝政期〈軍人皇帝〉〕
アウレリウス ⇨マルクス・アウレリウス
アウロス ③音演3B →エジプト音楽〔後期王朝時代以後〕図 →オーボエ〔オーボエ属〕 →ギリシア音楽図 ①文学→ギリシア文学〔叙情詩〕
『アウロラ』 ①文学→キシュファルディ
アウワーバック,C ⑳動物→遺伝学〔歴史〕
阿吽 ②美術→狛犬 ④哲宗→仏教〔囲用語〕
アウン・サン ビルマ [1915-1947] 独立運動の指導者。第二次大戦中,日本軍とともに戦い,のち抗日地下運動を組織。戦後暗殺 ⑨世史4D →AFPFL →タキン党
阿吽寺 ⑧日地→松前(町)
アエ・イタム寺院〈極楽寺〉 ⑩世地→ペナン(島)図
アエオルス ⑱宇地→風〔民俗〕
敢国神社 ④哲宗→神社〔表〈国幣中社〉〕 ⑦日地→上野(市)
AEG アーエーゲー ⑨世史→ラーテナウ,W
アエス青銅貨 ⑫経産→貨幣史〔ローマ〕
アエティウス,F [390?-454] 西ローマ帝国の将軍。フン族の大軍をカタラウヌムで破る ⑨世史4D →アッティラ →カタラウヌムの戦い →バレンティニアヌス(三世)
アエネアス〈アイネイアス〉 ④哲宗4C図 →ギリシア・ローマ神話〔囲主要神名〕 ⑨世史→アイネイアス →ベルギリウス,P
『アエネイス』 ①文学→ウェルギリウス,P図 →サリー伯 →詩〔ヨーロッパ・アメリカ〕 ④哲宗→アエネアス ⑨世史→アイネイアス →ベルギリウス,P
アエノコト ④哲宗→民間信仰〔構造と機能〕
饗庭篁村 [1855-1922] 明治・大正の小説家・劇評家・新聞記者。元禄文学復興の先駆となる ①文学5A ⑤日史4A
饗庭野 滋賀 ⑦日地10C
あえ物 ⑬生活3D表
アーエール ④哲宗→アナクシメネス
アエロトノン ⑰科技→クテシビオス
アエロトラン ⑰科技2C図 →交通システム〔新交通システム〕
アエロフロート ⑬生活→海外旅行〔航空会社〕
亜鉛 ⑮化学1A図 →金属〔図国別生産高〕 →ミネラル ⑰科技2C →黄銅 ⑫経産→非鉄金属工業〔世界〕
亜鉛華 ⑮化学3A →顔料〔表無機顔料〕 →酸化亜鉛 ⑬生活→おしろい
亜鉛華オレフ油 ⇨チンク油
亜鉛華でんぷん ⑭医学→汗
亜鉛華軟膏 ⑭医学→軟膏 ⑮化学→亜鉛華
亜鉛クラウンガラス ⑮化学→光学ガラス
亜鉛スピネル ⑱宇地→スピネル
亜鉛族元素 ⑮化学→元素〔分類〕 →周期表〔表元素群の特徴〕
亜塩素酸ナトリウム ⑮化学→漂白 →漂白剤
アエンデ ⑩世地→サンミゲルデアエンデ
亜鉛白 ⇨亜鉛華
亜鉛版 ⑰科技→印刷〔凸版印刷〈線画凸版〉〕
襖 ⑤日史4A ⑬生活→衿〔和服〈歴史〉〕
阿尾 ⑧日地→日高(町)《和歌山》
阿保 三重/青山町 ⑦日地10C →青山(町)
アオアジ ⇨ムロアジ
アオアシシギ〔青脚鷸〕 ⑳動物2B →シギ図
アオアズマヤマドリ ⑳動物→鳥類〔別〈生態〉〕
青嵐〈夏嵐〉 ⑱宇地→風〔表季題〈夏〉〕
青餡 ⑬生活→豆類〔主な豆〈ソラマメ〉〕
アオイ《アオイ科》〔葵〕 ⑲植物2B図
アオイ《フウロソウ科》 ⇨ゼラニウム
『葵』 ①文学→紫式部〔表源氏物語〕
蒼い狼 ⑨世史→チンギス・ハン
アオイ科 ⑲植物2C
アオイガイ〔葵貝〕 ⑳動物2C図
アオイゴケ〔葵苔〕 ⑲植物2C
『青い山脈』 ①文学→石坂洋次郎 ③音演→今井正
青石綿 ⑱宇地→石綿
青井神社 ⑧日地→人吉(市)
アオイスミレ ⑲植物→スミレ
『青い背広で』 ③音演→歌謡曲表
青井岳 ⑧日地→山之口(町)
『青い狆』 ①文学→アベル,K
青い洞窟 ⑩世地→カプリ(島)図
アオイトトンボ〔青糸蜻蛉〕 ⑳動物2C →トンボ〔生態・行動〈産卵〉〕
『青い鳥』 ①文学→メーテルリンク,M ③音演→メーテルリンク,M図
『葵上』 ③音演3C図
葵鬘 ⑤日史→鬘
葵紋 ⑲植物→アオイ図
『青い花』 ①文学→ノバーリス図
葵文庫 ⑤日史4B
『青い星』 ①文学→ザイツェフ,B
葵祭〈賀茂祭〉 ②美術→賀茂神社 ④哲宗→賀茂神社図 ⑤日史→賀茂神社 ⑦日地→京都(市)〔歴史〈京都御所〉〕〔囲神社・仏閣〈下鴨神社〉〕〔別年中行事〕図
アオイマメ ⇨ライマメ
『青い麦』 ①文学→コレット,S
『青い夜道』 ①文学→田中冬二
青色申告 ⑬生活→税金〔国税〈所得税〉〕
青岩洞 ⑱宇地→カルスト地形図
阿翁 ⑧日地→鷹島(町)
アオウキクサ ⑲植物→ウキクサ図
亜欧堂田善 [1748-1822] 江戸後期の洋風画家。油絵や銅版画を習得,松平定信の御用絵師となる ②美術1A図 →遠近法〔東洋〈日本〉〕 →銅版画〔歴史〕 →洋風画 ⑤日史4B →印刷術
白馬節会 ⑤日史4B図 ⑥日史→節会
アオウミウシ ⑳動物→ウミウシ図
アオウミガメ〔青海亀〕〔正覚坊〕 ⑳動物2C図 →ウミガメ →カメ〔利用〕図
アオウリ〔青瓜〕 ⇨シロウリ
青江舜二郎 [1904-] 劇作家。ラジオ・テレビ作家としても活躍 ①文学5A
青江派 ②美術→備中物
アオエリヤケイ ⑳動物→ニワトリ図
アオオサムシ ⑳動物→オサムシ図 →甲虫〔別〈生態〉〕
青尾ダム ⑧日地→弥栄(村)
青鬼祭 ⑦日地→滋賀(県)〔文化〕
青織部 ②美術→織部焼
青貝 ⇨ヤコウガイ
青貝 ②美術→螺鈿〔技法〈薄貝法〉〕 →琉球の美術〔工芸〈漆工〉〕 ⑥日史→螺鈿
アオガエル〔青蛙〕 ⑳動物3A →カエル〔生態と発生〕〔分類〕
青垣(町) 兵庫 ⑦日地10C

アカシタビラメ ⑳動物→シタビラメ〔日本産〕
明石縮 ⑬生活→絹織物〔縮〕
アカシデ〔赤四手〕〈ソロノキ〉 ⑲植物6A →紅葉図 →シデ図
明科(町) 長野 ⑦日地19B
『証しの樹』 ①文学→フロスト,R
赤芝峡 山形 ⑦日地19B
阿嘉島 ⑦日地→慶良間列島 →座間味(村)
アカシマサシガメ ⑳動物→サシガメ
赤縞めのう ⇨サードオニクス
アカジムグリ ⑳動物→ジムグリ図
明石元二郎 〔1864–1919〕 陸軍軍人。日露戦争中にストックホルムでロシア国内の攪乱をはかる ⑤日史6A
アカシヤ ⇨アカシア
明石屋 ③音演→大谷友右衛門〔二世〕 →歌舞伎〔囲屋号〕
赤シャツ隊 ⇨千人隊
『アカシヤの雨がやむとき』 ③音演→歌謡曲表
『アカシヤの大連』 ①文学→芥川賞表 →清岡卓行
『アカシヤの涙』 ①文学→ヘルマンス,W
赤修道院 ②美術→コプト美術
アカシュモクザメ ⑳動物→シュモクザメ
アカショウビン ⑳動物7A図 →カワセミ
『赤ずきん』 ①文学→ペロー,C
『赤頭巾ちゃん気をつけて』 ①文学→芥川賞表 →庄司薫
アカスジカメムシ ⑳動物→カメムシ図
アカスジキンカメムシ ⑳動物→カメムシ図 →キンカメムシ
アカスネカラカラ ⑳動物→カラカラ
赤瀬川原平 ②美術→漫画〔日本〕
赤瀬漁場 ⑧日地→三井楽(町)
アカセセリ亜科 ⑳動物→セセリチョウ
赤瀬ノ洞門 ⑦日地→須佐湾
赤瀬鼻 ⑦日地→芦辺(町) →壱岐〔観光〕
アカゼミ ⑳動物→セミ〔日本の種類〕
赤線 ⑤日史→公娼制度 ⑪政社→売春
アカソ〔赤麻〕 ⑲植物6B図
アカ族 ⑩世地→シャン(高原)
赤備 ⑤日史→井伊直政
赤染衛門 〔*–*〕 平安中期の女流歌人。勅撰集に70首余入集 ①文学5C →『栄花物語』 →大江匡衡 ⑤日史6A →『栄花物語』
県 ⑤日史6A →県主 →飛鳥時代〔政治・外交〈推古朝・内政〉〕
吾田 ⑧日地→日南(市)
県犬養氏 犬養部を率いて大和国家諸施設の守衛に当たった神別氏 ⑤日史6B
県犬養橘三千代 〔*–733〕 飛鳥・奈良時代の女官。藤原不比等の妻で光明皇后を生む ⑤日史6B ⑥日史→橘氏
県居派 ⑤日史6B →賀茂真淵 ①文学→賀茂真淵
赤田臥牛 〔1747–1819〕 ⑥日史→飛騨国〔囲人国記〕
赤滝温泉 ⑧日地→矢板(市)
赤岳 山梨・長野 ⑦日地19B ⑧日地→富士見高原 →八ヶ岳図
アカタチ〔赤太刀〕 ⑳動物7A
アカタデ〈ムラサキタデ〉 ⑲植物→タデ
赤館城跡 ⑦日地→桑折(町)
アカタテハ ⑳動物7A →タテハチョウ図
閼伽棚 ②美術→棚
アカダニ ⇨ハダニ
赤谷線 ⑦日地→羽越本線
県主 ⑤日史6B →姓
赤玉〈紅石〉 ⑱宇地3B図 →水石〔種類〕 →君玉
赤玉土 ⑲植物→土壌〔表園芸用土〕
県召除目 ⑤日史→除目 ⑬生活→祝い事〔栄転・昇進〕
県森 ⑦日地→城東
県門 ④哲宗→賀茂真淵
アガタルコス ②美術→ギリシア美術〔絵画〕
アカチシオタケ ⑲植物→チシオタケ
アカヂシャ ⇨シロモジ
赤チン ⑭医学1D
赤津 愛知/瀬戸市 ⑦日地19C →瀬戸(市)
赤塚不二夫 ②美術→漫画〔日本〕
暁 ⑱宇地→水石〔名石・由来石〕図
『暁に祈る』 ③音演→軍歌
暁に祈る事件 ⇨吉村隊事件
『あかつきの銃殺』 ①文学→デコブラ,M
暁の茶事 ⑬生活→懐石
暁の寺〈アルン寺院〉 ⑩世地→タイ(王国)図
『暁の婦人』 ③音演→カソーナ,A
暁参り ⑧日地→福島(市)図
アカツクシガモ ⑳動物→カモ〔分類〈ツクシガモ〉〕 →ツクシガモ
赤づくり ⑬生活→塩辛〔種類〕
赤土 ⑱宇地→火山灰土壌 →土壌〔生成作用と土壌型〈アンドゾル〉〕 →ローム層
アカツツガムシ ⑳動物→ツツガムシ〔ツツガムシ病〕
吾妻(町) 群馬 ⑦日地19C
吾妻川 群馬 ⑦日地19D図
吾妻峡〈関東耶馬渓〉 ⑦日地→吾妻川
赤妻古墳 ⑧日地→山口(市)〔歴史〕
アカツメクサ〔赤詰草〕〈ムラサキツメクサ〉 ⑲植物6B →帰化植物〔人為的〕 →クローバー図 →国花表 →牧草
アガデ ⑨世史→アッカド →サルゴン(一世)
アカディア ⑩世地4C
アガディール事件 ⑨世史→モロッコ事件
アカテガニ〔赤手蟹〕 ⑳動物7B図 →カニ
アガデス ⑩世地→ニジェール(共和国)〔略史〕
アカテツ ⇨クロテツ
アカデミー ⇨翰林院
アカデミア〈アカデメイア〉 ⑨世史5A ①文学→プラトン ④哲宗→スペウシッポス →フィロン(ラリサの) →プラトン図 →プラトン学派〔1〕
アカデミア美術館 ⇨フィレンツェ・アカデミア美術館 ⇨ベネチア・アカデミア美術館
アカデミー賞 ①文学→文学賞
アカデミー・スイス ②美術→印象主義
アカデミー・フランセーズ〈フランス翰林院〉 ⑨世史5A
アカデムゴロドーク ソ連/ ⑩世地4C →ノボシビルスク
アカデメイア ⇨アカデミア
アカデメイア派 ④哲宗→プラトン学派〔1〕
赤電話 ⑬生活→電話・電報〔電話〈種類〉〕
アガトクレス 〔前361–289〕 シラクサの僭主。外交政策でシチリアの都市同盟をつくりカルタゴと戦う ⑨世史5A →僭主政
『**赤と黒**』《詩誌》 ①文学5C →岡本潤 →壺井繁治 →萩原恭次郎 →未来派
『赤と黒』 ①文学→心理小説 →スタンダール図 →ロマン主義〈720D〉
アカトドマツ ⑲植物→トドマツ →モミ
赤泊(村) 新潟/佐渡島 ⑦日地19D
アカトンボ〔赤蜻蛉〕 ⑳動物7B図 →トンボ〔民俗〕
『赤とんぼ』 ③音演→山田耕筰
『アガトン物語』 ①文学→ウィーラント,C →教養小説
アカナ ⇨タカサゴ
赤なぐれ岳 ⑧日地→燧ヶ岳
アカナス ⇨トマト
赤名峠 島根・広島 ⑦日地19D
アカナマコ ⇨ユムシ
アカナマダ ⑳動物8A
『アガーニー』 ①文学→アブル・ファラジ・アル・イスファハーニー
アカニシ〔赤辛螺〕 ⑳動物8A図 →貝類〔人間生活との関係〕
『赤西蠣太』 ①文学→志賀直哉 ③音演→伊丹万作 →映画別
アカヌノビキ ⇨サクラシメジ
赤沼 ⑦日地→戦場ヶ原
アカヌマフウロ〔赤沼風露〕 ⑲植物→ハクサンフウロ
アカネ〔茜〕 ⑲植物6B図 →染料植物表囲 ⑮化学→あかね →染料〔天然染料〈植物染料〉〕
アカネ〔茜蜻蛉〕 ⑳動物→アカトンボ
『**アカネ**』 ①文学5C →大須賀乙字 →俳句〔明治以降〕
あかね〔茜〕 ⑮化学3A →アリザリン
アカネウラギンシロフタオ ⑳動物→チョウ《昆虫》〔別〈外国〉〕
アカネ科 ⑲植物7A
アカネカズラ〔茜蔓〕 ⑲植物→クロヅル
あかねさす ①文学→短歌〔囲枕詞〕
アカネズミ〔赤鼠〕 ⑳動物8A →ネズミ〔分類〕図
アカネスミレ ⑲植物→スミレ図
アカネソウ ⑲植物→鳥媒花
あかね染 ⑦日地→鹿角(市)
アカネムグラ ⑲植物→アカネ〔染色〕
赤粘土 ⑱宇地→海底堆積物
吾野 埼玉/飯能市 ⑦日地19D
阿賀野川 新潟 ⑦日地20A図 →阿賀川 ⑧日地→只見川 →横谷〈1201A〉
阿賀野川水銀中毒 ⑭医学→公害病〔表四大公害病〕 →水俣病
阿賀野川ライン ⑦日地→阿賀野川図 ⑧日地→津川(町) →安田(町)《新潟》 →三川(村)
上野喜蔵 ⑥日史→豊前国〔囲人国記〕
上野峡 ⑦日地→赤池(町)
アカノドカラカラ ⑳動物→カラカラ
赤の広場 ⑨世史→ロシア図 ⑩世地→ソビエト(連邦)図 →モスクワ図
アカノママ ⇨イヌタデ
アカバ ⑩世地4C
アカバ(湾)〈エイラト湾〉 ⑩世地4D
アカハエトリ ⇨ベニテングタケ
アカバギンナンソウ ⑲植物→海藻〔別紅藻植物〕 →ギンナンソウ
アカハシキンセイ ⇨シュバシキンセイ
アカハシコウ〔赤嘴鸛〕 ⇨シュバシコウ
アカハシネッタイチョウ ⑳動物→ネッタイチョウ図
赤橋守時 〔*–1333〕 鎌倉幕府最後の執権。北条高時の後をうける。新田義貞らの鎌倉攻めにあい自刃。妹は足利尊氏の妻 ⑤日史6C
アカハジロ〔赤羽白〕 ⑳動物8B →メジロガモ
アカハタ〔赤羽太〕 ⑳動物8B図
赤旗 ⑤日史6C ⑥日史→日本共産党 ⑪政社→日本共産党 →レッド・パージ
赤旗一揆 ⑤日史→赤松則祐
赤旗事件〈錦輝館事件〉 ⑤日史6C図
赤膚焼 ⑧日地→奈良(市)〔産業〈工業〉〕 ⑮化学→陶磁器〔分類〈産地による〉〕
アカハツ ⑲植物→チチタケ
赤鼻〈酒皶〉 ⑭医学→鼻
アカバナ〔赤花〕 ⑲植物7A図
アカバナ科 ⑲植物7A
アカバナセンニチコウ ⑲植物→センニチコウ
アカバナムショケギク ⑲植物→ジョチュウギク図
赤羽 東京/北区 ⑦日地20B
赤羽根(町) 愛知 ⑦日地20B
赤羽工作分局 ⑤日史6D →官営工業 ⑫経産→殖産興業表
赤羽線 ⑧日地→東北本線
アカハネムシ〔赤翅虫〕 ⑳動物8B
アカハラ〔赤腹〕 ⑳動物8C図
アカハライモリ ⑳動物→イモリ図
アーガー・ハーン ⑨世史→インド・ムスリム連盟
アカパンカビ〔赤麵麭黴〕 ⑲植物7A →カビ〔生殖〕図 ⑳動物→遺伝学〔歴史〕
アガパンサス〈ムラサキクンシラン〉 ⑲植物7B図
アカヒゲ〔赤鬚〕 ⑳動物8C →コマドリ
アカヒトデ〔赤海星〕 ⑳動物8C →ヒトデ〔生態〕図
アカヒトデヤドリニナ ⑳動物→アカヒトデ →ヤドリニナ
赤平(市) 北海道 ⑦日地20C
赤平川 埼玉 ⑦日地20C ⑧日地→秩父盆地
アカヒレ ⑳動物→熱帯魚〔飼育〈繁殖〉〕
赤フィルター ⑰科技→印刷〔凸版印刷〈原色版〉〕
アカフジツボ ⑳動物→フジツボ図
赤不動 ②美術→高野山〔絵画〕 →三不動図 ④哲宗→不動明王
赤ぶどう酒 ⑬生活→ぶどう酒〔製造〕 ⑮化学→醸造〔酒類〈果実酒〉〕
アカプルコ ⑩世地4D図
アガベ ⇨リュウゼツラン
アガペー ④哲宗→愛 →キリスト教〔囲用語〕
赤ベコ ⑦日地→会津若松(市)〔観光〕図 ⑳動物→ウシ〔別〈歴史と民俗〉〕
アガーベ・テキーラナ ⑫経産→ラテンアメリカ経済事情図
アカベラ ⑳動物→キュウセン図
ア・カペラ ③音演→合唱 →音楽用語〈629A〉
赤穂 ⑦日地→駒ヶ根(市)
アカボウクジラ〔赤坊鯨〕 ⑳動物8C →クジラ〔分類〕図
アカボウフラ ⇨アカムシ《昆虫》
アカホエザル ⑳動物→サル〔別〈原猿類と広鼻猿類〉〕
アカホシカニダマシ ⑳動物→カニダマシ
アカボシゴマダラ ⑳動物→ゴマダラチョウ →チョウ《昆虫》〔別〈日本〉〕
赤星十三郎 ③音演→『青砥稿花紅彩画』

アクチバブルトレーサー ⑰科技→トレーサー
アクチュアリー〈保険計理人〉 ⑫経産→保険〔囲用語〕
アクチュアリティ ①文学→文学〔囲用語〕
アクチュビンスク ソ連/カザフ ⑩世地 5 C
アクチン ⑭医学→筋肉〔化学成分〕
阿久津村小作争議あくつむら ⑤日史 9 A →小作争議
アクティウム ギリシア ⑩世地 5 C
アクティウムの海戦 ⑨世史 5 C →アントニウス,M →クレオパトラ(七世)
アクティーオン(諸島) ⇨アクテオン(諸島)
アクティノスフェリウム ⑳動物→太陽虫
アクティノフリス ⑳動物→太陽虫
アクティビティ・アナリシス ⇨活動分析
アクテオン(山) ⑩世地→セントヘレナ(島)
アクテオン(諸島) フランス/太平洋 ⑩世地 5 C
悪天候航空警報 ⑱宇地→航空気象〔航空気象予報〕
悪党 ⑤日史 9 B図
アーク灯 ②美術→照明具〔西洋〕 ⑰科技→電球
『悪童物語』 ①文学→トーマ,L
アークトゥルス ⑱宇地 4 A →うしかい座 →巨星表 →恒星〔表 1 等星〕 →星座〔四季〈春〉〕
『悪徳の栄え』 ①文学→サド,D
アクトミオシン ⑬生活→食肉〔成分〕 ⑭医学→筋肉〔化学成分〈アクチン〉〕
アクトン イギリス〔1834–1902〕 歴史家・宗教家。ケンブリッジ大学で近代史を講ずる ⑨世史 5 D図 →史学史〔近代の歴史観〈19世紀〉〕
アクナカリー協定 ⑫経産→国際カルテル →石油産業〔歴史〕
アグニ ④哲宗→インド神話〔ベーダ神話〕図
粟国(村)あぐに 沖縄/粟国島 ⑦日地 29 C
粟国島 沖縄 ⑦日地 29 C →粟国(村)
悪人往生 ④哲宗→曇鸞どんらん〔往生論註〕
悪人正機 ④哲宗→親鸞〔思想〕
あく抜き ⑬生活→調理〔下ごしらえ〕 →山菜〔山菜料理〕 ⑲植物→あく
阿久根(市) 鹿児島 ⑦日地 29 C図
阿久根温泉 ⑦日地→阿久根(市)
阿久根台風 ⑱宇地→気象〔表災害年表〕
アグノスティシズム ⇨不可知論
『悪の華』 ①文学→ボードレール,C図
悪の非存在性 ④哲宗→善
アクバシ(島) ⑩世地→ハラオス(湖)
『悪は走る』 ③音演→オーディベルチ,J
悪婆物 ③音演→岩井半四郎(五世) →女方おんながた
アクバル,J インド〔1542–1605〕 ムガル帝国第 3 代皇帝。14 歳で即位,のち全北インドを征服し,折衷的宗教を提唱 ⑨世史 5 D図 →ジャハーンギール →ムガル帝国〔興亡史〕 ⑩世地→アグラ
あくび〔欠伸〕 ⑭医学 2 A →顎あご〔下顎脱臼〕
握斧 ⑨世史→アシュール文化
アグファー・ゲバルト ⑫経産→光学機械工業〔歴史と現状〕
『悪坊』 ③音演→『悪太郎』
アーク放電 ⑯物数 3 A →放電 ⑰科技→蛍光灯
アーク放電管 ⑰科技→放電管
アーク放電灯 ⑰科技→放電灯
悪魔 ④哲宗 5 B図 →デーモン →天使 →魔女 →妖怪
『悪魔』 ③音演→モルナール,F
『悪魔が夜来る』 ①文学→プレベール,J ③音演→映画〔トーキー〈第 5 期〉〕 →カルネ,M
悪魔主義 ①文学→谷崎潤一郎 →文学〔囲用語〕 →唯美主義 ⑥日史→谷崎潤一郎
悪魔崇拝 ④哲宗→ブーズー教
アク・マスジドの戦い ⑨世史→ヤクブ・ベク
『悪魔と神』 ①文学→サルトル,J ③音演→サルトル,J
『悪魔とダニエル・ウェブスター』 ①文学→ベネ,S
『悪魔とマルガリータ』 ①文学→ブルガーコフ,M
『悪魔の美しさ』 ③音演→クレール,R
『悪魔の覚え書き』 ①文学→ハウフ,W
『悪魔の辞典』 ①文学→格言 →ビアス,A
『悪魔の将軍』 ①文学→ツックマイヤー,C ③音演→ツックマイヤー,C
『悪魔の手毬唄』 ①文学→横溝正史
『悪魔のトリル』 ③音演→タルティーニ,G
『悪魔の日記』 ①文学→アンドレーエフ,L
『悪魔の陽の下に』 ①文学→ベルナノス,G
『悪魔のような女』 ③音演→クルーゾ,H
『悪魔の霊薬』 ①文学→ホフマン,E
悪無限 ④哲宗→ヘーゲル,G〔囲基本概念〈具体的普遍〉〕 →無限

アクメ ⑭医学→オルガスムス
アクメイズム ①文学 9 B →クズミン,M →グミリョフ,N
アーク融解法 ⑰科技→融解炉〔加熱方式〕
アーク溶接 ⑰科技→溶接図
アクラ ガーナ ⑩世地 5 C
アグラ インド ⑩世地 5 D図
胡床あぐら〔胡座〕〈胡床こしょう〉 ⑤日史 9 C →床几しょうぎ
アークライト,R イギリス〔1732–1792〕 水力紡績機を発明し,同国木綿工業の創始者となる。産業革命期の典型的な発明企業家 ⑰科技 3 A図 →機械 →技術〔産業革命〕別 →紡績〔歴史〕 ⑨世史→産業革命〔経過〈綿工業〉〕
アグラオネマ ⑲植物 9 C
アグラス(岬) 南アフリカ ⑩世地 6 A
『安愚楽鍋あぐらなべ』 ①文学→仮名垣魯文かながきろぶん →日本文学〔近代〕 ⑤日史→仮名垣魯文
アクラビク カナダ ⑩世地 6 A
アグラブ王朝 ⑩世地→カイルアン
アグラフォート ⑩世地→アグラ図
アグラム ⇨ザグレブ
アグリアス(岬) ⇨アグラス(岬)
アグリアス海流 ⑩世地→インド洋
アグリコラ,G 〔40–93〕 ローマの政治家・軍人。ブリタニア州〈のちのイギリス〉のローマ化に貢献 ⑨世史 6 B →ドミティアヌス,T
アグリコラ,G ドイツ〔1494–1555〕 鉱山冶金・化学技術者。鉱山学の父とよばれ『デ・レ・メタリカ』は著名 ⑮化学 5 A図 ⑰科技 3 B図 →技術〔道具の発達と機械〕 →鉱山〔歴史〕 ⑱宇地→化石〔発見〕
『アグリコラ伝』 ①文学→タキトゥス,P ⑨世史→タキトゥス,P
アグリコン ⑭医学→ライヒシュタイン,T〈32 B〉 ⑮化学→ステロイド〔強心物質〕
アグリジェント イタリア ⑩世地 6 A →シチリア(島)図
アクリジン ⑮化学 5 C
アクリジン染料 ⑮化学 5 C
アクリダン ⑮化学→アクリジン
アグリッパ,M 〔前63–12〕 ローマの将軍・政治家。アクティウムの海戦でオクタビアヌス側について活躍 ⑨世史 6 B →アクティウムの海戦
アグリッピナ ⑨世史→クラウディウス(一世)
アクリドン ⑮化学→アクリジン
アグリビジネス ⑫経産 2 B
アクリャコーナ ⑨世史→インカ〔文明〕
『悪霊』 ①文学→ドストエフスキー,F
『悪霊ルンパチバガブンドス』 ③音演→ドイツ演劇図 →ネストロイ,J
握力 ⑭医学 2 B図
握力計 ⑭医学→握力
アクリル ⑬生活→合成繊維〔種類〕 →繊維〔表燃焼鑑別〕 ⑮化学→合成繊維
アクリルアミド ⑮化学→重合〔水素移動重合〕 →重付加
アクリルアルデヒド ⇨アクロレイン
アクリル系繊維 ⑬生活→合成繊維〔種類〕 ⑮化学→合成繊維
アクリルゴム ⑮化学→ゴム〔合成ゴム〕
アクリル酸 ⑮化学 5 C →石油化学工業〔プロピレン系石油化学製品〕 →レッペ反応〔カルボニル化〕
アクリル酸エステル ⑮化学→アクリル酸
アクリル酸エチル ⑮化学→アクリル酸〔アクリル酸エステル〕
アクリル酸ニトリル ⇨アクリロニトリル
アクリル酸メチル ⑮化学→アクリル酸〔アクリル酸エステル〕
アクリル樹脂 ⑮化学 6 A図
アクリル樹脂塗料 ⑮化学→塗料〔分類〈合成樹脂塗料〉〕表
アクリル繊維 ⑮化学→石油化学工業〔プロピレン系石油化学製品〕 →ポリアクリロニトリル
アクリル板 ⑰科技→建築材料〔分類〈仕上げ材料〉〕
アクリルレジン ⑭医学→義歯
アクリレートゴム ⇨アクリルゴム
アクリロニトリル ⑮化学 6 B →アセチレン〔反応と用途〕 →合成繊維〔アクリル系繊維〕 →重合〔付加重合〕 →石油化学工業〔プロピレン系石油化学製品〕 →ニトリル表 →ポリアクリロニトリル
アクリロニトリル-ブタジエンゴム ⇨NBR
アクリンズ(島) バハマ ⑩世地 6 A

アクルシウス イタリア〔1185?–1263〕 ⑪政社→法学〔歴史〈近代ローマ法学〉〕
アクルックス ⑱宇地→南十字星
アグレマン ⑪政社→外交〔囲用語〕
アーク炉 ⑰科技→電気炉図
アクロース ⑮化学→果糖
アクロスティク ①文学→詩〔囲用語〈技法〉〕
アクロス=ファイバー=パターン説 ⑳動物→感覚〔味覚〕
アグロバクテリウム ⑲植物→カルス
アクロポリス ②美術 3 D図 →ギリシア美術〔建築〈神殿〉〕図 →パルテノン ⑨世史 6 C図 →アテネ図 →城〔ヨーロッパ〕 ⑩世地→アテネ図
アクロポリス ⑩世地→ロドス(島)図
アクロポリス美術館 ②美術 682 D ⑩世地→アテネ
アクロマイシン ⑭医学→性病〔梅毒〈治療〉〕
アクロマート ⑯物数→色収差
アクロメガリー ⇨先端巨大症
アクロレイン〈アクリルアルデヒド〉 ⑮化学 6 C →アルデヒド〔表性質〕
アクロン アメリカ/オハイオ ⑩世地 6 A
アグン(火山)〈アピ〉 インドネシア ⑩世地 6 A →アピ(火山) →バリ(島) ⑱宇地→火山〔表活火山〕
アケーア人 ⇨アカイア人
上井 鳥取/倉吉市 ⑦日地 29 D →倉吉(市)
明石寺 ⑦日地→四国地方〔別四国八十八か所〕
アケイディア・フォレスト号 ⑰科技→ラッシュ船図
上ゲ哥あげうた ③音演→能〔囲用語〕
上馬神事 ⑧日地→多度(町)〔多度神社〕
上尾(市)あげお 埼玉 ⑦日地 29 D
アケガイ〔朱貝〕〈アワスダレガイ〉 ⑳動物 10 A
『明がらす』 ①文学→高井几董きとう →『蕪村七部集』 →与謝蕪村
『明烏後正夢』 ①文学→為永春水 →人情本
暁烏敏あけがらすはや 〔1877–1954〕 ④哲宗→浄土真宗囲
阿下喜あげき 三重/北勢町 ⑦日地 30 B ⑧日地→北勢(町)
挙句 ①文学→連歌〔形態〕
盤領あげくび ⑬生活→衿〔和服〈歴史〉〕図
上げ下げ窓 ⑬生活→窓〔種類〕図
アケージア国立公園 ⑩世地→アメリカ(合衆国)〔表国立公園〕
上げ潮 ⑱宇地→潮汐〔満干潮〕 →潮流
上げ畳座 ②美術→荘厳具〔図台座〕
明智(町) 岐阜 ⑦日地 30 B
上知あげち〔上地〕 ⑤日史 9 C ⑥日史→知行地
明智寺 ④哲宗→秩父三十三所表
明知線 ⑧日地→中央本線
明地峠 ⑧日地→高梁川たかはしがわ
明智光秀 〔1528–1582〕 安土桃山時代の武将。信長の重臣。のち謀反を起こし本能寺で信長を殺害 ⑤日史 9 C図 →織田信忠 →織田信長 ⑥日史→本能寺の変 →山崎の戦い
『明智光秀』 ③音演→福田恆存つねあり
揚げ超 ⑫経産→財政〔機能〕
上知令あげちれい〔上地令〕 ⑤日史 9 D ⑥日史→天保の改革 →水野忠邦〔天保の改革〕 ⑫経産→天保改革
上土門 ②美術→門〔日本〕
明戸 ⑧日地→田野畑(村)
アケト・アテン ⑨世史→イクナートン
揚げ煮 ⑬生活→煮物
明野(町) 茨城 ⑦日地 30 C
明野(村) 山梨 ⑦日地 30 C
明野航空学校 ⑦日地→小俣(町)おばた
安下庄 山口/橘町 ⑦日地 30 C ⑧日地→橘(町)
明延あけのべ ⑦日地→郡家(町)こおげ
明延鉱山 ⑦日地→大屋(町) ⑱宇地→黄銅鉱 →錫石 →鉄重石 →銅 →斑銅鉱
明けの明星 ⑱宇地→金星
アゲハチョウ〔揚羽蝶〕 ⑳動物 10 B図 →いもむし →昆虫〔生態〈習性〉〕 →チョウ〔生態〕図
アゲハヒメバチ ⑳動物→ヒメバチ図
明浜(町) 愛媛 ⑦日地 30 C
アゲハマ ⑬生活→囲碁〔用具〈競技方法〉〕
揚浜式塩田 ⑤日史→塩 ⑧日地→塩田〈1200 D〉
アゲハモドキ〔擬鳳蝶蛾〕 ⑳動物 11 A →ガ図
アケビ〔通草,木通〕 ⑲植物 10 A図 →薬用植物表 ⑭医学→生薬しょうやく〔木通〕
明日あけび ⑦日地→大三島
アケビ科 ⑲植物 10 B
アケビカズラ ⑲植物→ディスチディア

アシダカグモ〔足高蜘蛛〕 ⑳動物16 C図 →クモ図
アシタカジャコウソウ ⑲植物→ジャコウソウ
アシタカベニタケ ⇨ベニテングタケ
愛鷹山 静岡 ⑦日地41 C
芦田川 広島 ⑦日地41 D ⑧日地→福山(市)
アジタ・ケーサカンバリン 〔イン〕 ④哲宗→ローカーヤタ派
アジタート ③音演→音楽用語〈629 A〉
『明日の幸福』 ③音演→中野実
アシタバ〔明日葉〕〈ハチジョウソウ〉 ⑲植物18 A →シシウド図 ⑬生活→山菜〔種類〕
芦田均 〔1887/1959〕 政治家。第二次大戦後の動乱期に首相に就任,「中道内閣」を自称 ⑤日史22 A図 →ジャパンタイムズ ⑪政社6 B図
芦田均内閣 ⑤日史22 A表 →自由党《1945年》 →昭和電工事件 ⑥日史→日本社会党《戦後》 →日本民主党《1947年》 ⑪政社→日本社会党
あしたればし ⑱宇地→二十八宿表
足付温泉 ⑦日地→式根島
芦津渓 ⑧日地→智頭(町)
芦津三滝 ⑦日地→千代川
『葦手』 ①文学→石川淳
葦手絵 ②美術→模様〔意味と分類〈作意的〉〕
アジテーション〈扇動〉 ⑪政社6 C →アジテーター →宣伝〔概念〕
アジテーター〈扇動者〉 ⑪政社6 D
アジド〈アジ化物〉 ⑮化学→窒素〔化合物の例〈2〉〕
阿史徳元珍 ⇨暾欲谷
阿史徳氏族 ⑨世史→遊牧国家
アシドーシス〈酸毒症〉 ⑭医学6 A →インシュリン ⑮化学→アルカリ〔アルカリ性〕
『葦と泥』 ①文学→ブラスコ・イバーニェス,V
足取り固め ⑬生活→レスリング〔囲用語〕
アシドリシス ⑮化学→エステル化〔エステル交換〕
蘆名氏 会津の戦国大名。盛氏の代に最盛期を迎えるが伊達政宗に滅ぼされる ⑤日史22 B図
アシナガアリ ⑳動物→アリ図表
『足ながおじさん』 ①文学→ウェブスター《ジーン》
アシナガオトシブミ ⑳動物→オトシブミ
アシナガグモ ⑳動物17 A →クモ図
アシナガクラゲ ⇨アカクラゲ
アシナガコウモリ ⑳動物→コウモリ〔分類〕
アシナガコマチグモ ⑳動物→コマチグモ
アシナガサシガメ ⑳動物→サシガメ
アシナガツノガニ ⑳動物→カニ〔形態,分類〕
アシナガツメダニ ⑳動物→ツメダニ
アシナガバチ〔脚長蜂〕 ⑳動物17 A図
アシナガモエビ ⑳動物→エビ図
アシナシイモリ〔足無井守〕 ⑳動物17 C図
阿史那氏族 ⑨世史→遊牧国家
アシナシトカゲ〔足無蜥蜴〕 ⑳動物18 A →トカゲ図
蘆名盛氏 〔1521/1580〕 会津の戦国武将。蘆名氏を拡大し蘆名氏中興の英主 ⑤日史22 B
蘆名盛政 ⑤日史→蘆名氏
『足にさはった女』 ③音演→日本映画〔無声映画時代〈第2期〉〕
アシ-ニトロ化合物 ⑮化学→ニトロ化合物〔性質〕
味野 岡山/倉敷市 ⑦日地41 D →倉敷(市)〔歴史〕
芦ノ湖 神奈川/箱根町 ⑦日地41 D図 ⑥日史→箱根用水 ⑧日地→箱根〔自然〕図 ⑳動物→ブラックバス
芦ノ田池 ⑧日地→美鈴湖
蘆野東山 〔1696/1776〕 江戸中期の儒者・刑政学者。仙台藩儒員,のち藩校養賢堂教授 ⑤日史22 C
芦ノ牧温泉 ⑦日地→会津若松(市)〔観光〕
味の素 ⑫経産→味の素(株) ⑮化学→池田菊苗 →化学調味料 →グルタミン酸ナトリウム
味の素(株) ⑫経産8 A
芦ノ湯温泉 ⑧日地→箱根
アジーバ ④哲宗→ジャイナ教
アシハバード ソ連/トルクメン ⑩世地8 A図
アシハラガニ〔葦原蟹〕 ⑳動物18 A
葦原醜男神 ⇨大国主命
葦原中津国 ⑤日史→神道〔起源〕
アシビ ⇨アセビ
『馬酔木』《短歌》 ①文学11 A →伊藤左千夫 →長塚節
『馬酔木』《俳句》 ①文学11 A →石田波郷 →水原秋桜子
アージービカ派 ④哲宗7 A
あしびきの ①文学→短歌〔囲枕詞〕
アジピン酸 ⑮化学7 A
アジピン酸ピペラジン ⑭医学→駆虫剤
アシブトコバチ〔脚太小蜂〕 ⑳動物18 B
葦船 ⑰科技→船〔起こり〕
足踏み ⑬生活→弓道〔射法〕
足踏織機 ⑬生活→織物〔製造工程〈織機〉〕
足踏み洗たく ⑦日地→奥津(町)〔奥津温泉〕図
足踏旋盤 ⑰科技→工作機械〔歴史〕図
芦辺(町) 長崎/壱岐 ⑦日地42 B
芦辺浦 ⑦日地→壱岐〔集落〕図
芦別(市) 北海道 ⑦日地42 C図
芦別岳 北海道 ⑦日地42 C図
アシベニカギバ ⑳動物→カギバガ
アシボソ〔脚細〕 ⑲植物18 B図
アシボソヤワラガニ ⑳動物→ヤワラガニ
味間 ⑧日地→丹南(町)
阿島 ⑧日地→喬木(村)
アジマス ⑰科技→テープレコーダー〔ヘッド〕
アシマダラブユ ⑳動物→ブユ図
安島直円 〔1732/1798〕 江戸中期の数学者。円理の改良で西洋の積分とほぼ同じ方法を和算において確立 ⑯物数3 A →円理 →和算〔円理の研究〕
安心院(町) 大分 ⑦日地42 C
アシメ炭素原子 ⇨不斉炭素原子
アジメドジョウ ⑳動物→ドジョウ〔日本産〕図
あじめの飴煮 ⑬生活→郷土料理〔囲〈岐阜〉〕
アジメール 〔イン〕 ⑩世地8 A →ラジャスタン(州)
アジモ ⇨アマモ
アシモフ,I 〔アメリカ〕〔1920〕 SF作家・生化学者・科学解説者。同国SF界の第一人者 ①文学11 A
足守 岡山/岡山市 ⑦日地42 C →岡山(市)
芦屋(市) 兵庫 ⑦日地42 D図
芦屋(町) 福岡 ⑦日地42 D
アーシャー 〔*629*〕 アラビアの詩人。イスラム以前,十大詩人の一人 ①文学11 B →『ムアルラカート』
アジャーエフ,V ソ連〔1915/1969〕 小説家。スターリン賞受賞 ①文学11 B
芦屋釜 ②美術→金属工芸〔歴史〈日本〉〕 →茶の湯釜図 →室町時代の美術〔工芸〕図
アジャクシオ ⇨アジャッチオ
アジャシリ〔阿礼失里〕 ⑨世史→ウリャンハイ
芦安(村) 山梨 ⑦日地43 A
阿闍世王 ⇨アジャータシャトル
アジャ族 ⑩世地→ダオメー(共和国)〔社会・文化〕
アジャータシャトル 〔イン〕〔* *〕 前5世紀初のマガダ国王。ガンジス川中流域に勢をふるい仏教を保護 ⑨世史7 D →コーサラ国 →マガダ
アジャッチオ 〔フランス〕 ⑩世地8 A
『芦屋道満大内鑑』 ③音演5 A
阿闍梨 ④哲宗→僧〔原始仏教〕 ⑤日史→真言宗
阿闍梨皇円 〔*1169〕 ⑥日史→『扶桑略記』
アシャール,C 〔フランス〕〔1860/1944〕 医師。パラチフス菌を発見,先天性嚢腫の検査法などの研究を行う ⑭医学487 D →パラチフス
アシャール,M 〔フランス〕〔1899/1974〕 劇作家。ブールバール劇の書き手として劇壇に重きをなす ①文学11 B ③音演5 B
アジャール ソ連/グルジア ⑩世地8 B
アジャンクール 〔フランス〕 ⑩世地8 B
アジャンクールの戦い ⑨世史→騎士〔騎士道〕 →シャルル(六世) →百年戦争〔第3期〕 →ヘンリ(五世)
アジャンタ ②美術→インド美術〔美術古典時代〕 →仏教美術〔インド〕 ⑩世地→インド〔図史跡〕
アジャンター石窟 ⑨世史8 A図 ,②美術→インド美術図 →石窟寺院 ④哲宗→寺院図 ⑩世地→マハラシュトラ(州)
アジャンター壁画 ④哲宗→仏教図 →インド図
アシャンティ王国 ⑨世史→アフリカ(州)〔植民地時代〈分割会議〉〕
亜種 ⑲植物18 B →学名 →種 →植物分類表 ⑳動物→動物分類表
アシュアリー派 ④哲宗→イスラム教〔神学〕
阿州 ⇨阿波国
アシュカジュ〔阿輸迦樹〕 ⇨ムユウジュ
阿閦寺 ⑤日史→石上宅嗣 →芸亭
アシュケナジーム ④哲宗→ユダヤ教〔宗教思想〕
アシュート 〔エジプト〕 ⑩世地8 B
アシュトン,F 〔イギリス〕〔1906〕 舞踊家・振付師。100に近いバレエを創作,同国バレエの発展に貢献 ③音演5 C
アシュトン,T 〔イギリス〕〔1889/1968〕 ⑨世史→産業革命〔定義〕
アシュネル試験〈眼球圧迫試験〉 ⑭医学→自律神経〔自律神経機能検査法〕
アシュバゴーシャ〈馬鳴〉 〔イン〕〔* *〕 2世紀の仏教詩人。古典サンスクリット文学興隆の先駆者 ①文学11 B →インド・パキスタン文学〔中古〕 ④哲宗→馬鳴 →『大乗起信論』 ⑨世史→カニシカ(王)
アシュハバード ⇨アシハバード
アシュバメーダ ⑨世史→シュンガ朝
アジュマン ⑩世地→アラブ首長国(連邦)
阿修羅 ②美術→仏像別
アシュリー,W 〔イギリス〕〔1860/1927〕 経済史家・経済学者。実証的研究によりイギリス経済史学成立に貢献 ⑫経産8 B図 →社会経済史学〈262 B〉
アシュール文化 ⑨世史8 A →旧石器時代〔生活と文化〕
亜硝酸 ⑮化学→窒素〔化合物の例〕
亜硝酸アンモニウム ⑮化学→アンモニウム塩
亜硝酸エステル ⑮化学→エステル〔無機酸エステル〕
亜硝酸塩 ⑮化学→硝酸塩 →窒素〔化合物の例〕
アショカ王〔阿育王〕 〔イン〕〔* *〕 前3世紀マウリヤ王朝第3代の王。熱心な仏教信者 ④哲宗7 A図 →宣教〔仏教〕 ⑨世史8 B図 →インド〔古代国家〈マウリヤ朝〉〕 →カリンガ国 →仏教〔部派仏教〕 →マウリヤ朝 ⑪政社→仏教〔インド〕図
アショカ王石柱 ④哲宗→アショカ王図 ⑨世史→アショカ王図
アショッフ,K 〔ドイツ〕〔1866/1942〕 医学者。壊血病・リウマチ熱・虫垂炎などの病理学的研究を行う ⑭医学520 C →病理学
アジョルナメント ④哲宗→バチカン公会議〔第二〕
足寄(町) 北海道/十勝支庁 ⑦日地43 A
配いあし ⑬生活→いけ花〔囲用語〕
アシール ⑩世地→サウジアラビア(王国)〔自然〕
安代(町) 岩手 ⑦日地43 B
網代 静岡/熱海市 ⑦日地43 B
網代 鳥取/岩美町 ⑦日地43 B
網代 ②美術→壁〔日本〕
網代温泉〈南熱海温泉〉 ⑦日地→熱海(市)
網代車 ⑤日史→牛車図
網代港 ⑦日地→伊豆図
網代格子 ⑬生活→洋装〔囲洋服地〈格子模様〉〕
網代輿 ⑤日史→輿図
アージロダイト ⑰科技→ゲルマニウム
網代屏風 ⑥日史→屏風
足代弘訓 〔1784/1856〕 江戸末期の国学者。国文・国史の考証や古典の類聚編纂につとめ,千余巻を著述 ①文学11 C ⑤日史22 C
アジロンダック(高地) ⑩世地→アパラチア(山脈)
『排芦小船』 ④哲宗→本居宣長
足和田(村) 山梨 ⑦日地43 B
葦原醜男神 ⇨大国主命
アス ⑩世地→アジア(州)
アース〈接地〉 ⑯物数3 A ⑰科技4 A ⑬生活→洗たく〔電気洗濯機〕
阿須 ⑦日地→厳原(町)
アスア(低地) ⑩世地→ドミニカ(共和国)〔自然〕
アース・アート ②美術→現代美術〔欧米〈第二次大戦後〉〕
アズィーズ・ネスィン ①文学→トルコ文学〔近代〕
アース・ウルフ ⇨ツチオオカミ
アスエラ,M 〔メキシコ〕〔1873/1952〕 小説家。軍医としてメキシコ革命に参加。その体験に基づく作品が多い ①文学11 C →ラテンアメリカ文学〔20世紀〕
アスエロ(半島) 〔パナマ〕 ⑩世地8 B
飛鳥 ⑧日地→平田(町)〔山形〕
飛鳥 奈良 ⑤日史22 C図 →飛鳥時代〔範囲と概観〕 ⑦日地43 B →明日香(村)
『飛鳥』 ①文学→平戸廉吉
明日香(村) 奈良 ⑦日地43 C図 →飛鳥 ⑤日史→飛鳥
飛鳥板蓋宮 ⑤日史23 A図 →飛鳥 →皇居 ⑦日地→明日香(村)
アスカイノデ ⑲植物→イノデ
飛鳥井雅章 ①文学→細川幽斎〔衆妙集〕
飛鳥井雅有 〔1241/1301〕 鎌倉中期の歌人。和歌と鞠との家学をよくし古典研究に励む ①文学11 C
飛鳥井雅澄 ⇨鹿持雅澄
飛鳥井雅親 〔1416*/1490〕 室町中期の歌人。雅世の子。書道飛鳥井流を開く ⑤日史23 B
飛鳥井雅経〈藤原雅経〉 〔1170/1221〕 鎌倉初期の歌人。『新古今集』撰者の一人。歌・鞠の飛鳥井家の祖

アツバシュロラン ⑲植物→ドラセナ
アッバース(一世)〈アッバース大帝〉 イラ[1571-1629] サファビー朝第5代の王。イスファハーンに壮麗な都を築く ⑨世史12 B →サファビー朝 →西アジア〔オスマン・トルコ帝国時代〕
アッバス家 ④哲宗→カリフ
アッバース朝 ⑨世史12 C →イスラム教〔カリフ制〕 →イスラム帝国 →サッファーフ →西アジア〔カリフ制度〕 →マンスール ②美術→イスラム美術
アッバッティ,G イタリア[1830-1866] ②美術→トスカナ派
アッパッパー ⑬生活→洋装
『あっぱれクライトン』 ①文学→バリー,J ③音演→バリー,J
アッピア,A [1862-1928] ③音演→近代劇
アッピア街道 ⑨世史12 D図 ⑩世地→ローマ(市)〔囲観光地〈通り〉〕図 ⑰科技→道路〔歴史〈ローマ時代〉〕図
アッピア水道 ⑰科技→水道〔歴史〕
アッピアノス ギリシア[＊ ＊] 2世紀の歴史家。『ローマ史』全24巻をギリシア語で記述 ①文学12 D
アップサイドダウンキャットフィッシュ ⇨サカサナマズ
アップ・ビート ③音演→ジャズ〔囲用語〈ビート〉〕
アップライトピアノ ③音演→ピアノ〔構造〕図
アップリケ ⑬生活→刺繍
アップル管 ⑰科技→ブラウン管〔カラーブラウン管〕図
アップルパイ ⑬生活→パイ図
圧粉心 ⑰科技→磁性材料
アッベ,C アメリカ[1838-1916] 気象学者。天気予報の事業と研究に従事,『気象月報』の主筆 ⑱宇地5 B
アッベ,E ドイツ[1840-1905] 物理学者・実業家。顕微鏡について研究,光学像形成の基礎理論を提出 ⑯物数4 C ⑰科技→ツァイス,C
アッベの厚み計 ⑯物数→厚み計
アッベの正弦条件 ⑯物数→収差〔ザイデルの5収差〈コマ収差〉〕
アッペール,N フランス ⑬生活→びん詰
アッペンツェル ⑩世地→スイス(連邦)〔地方誌〈中央低地〉〕図
アッヘンワル,G ドイツ[1719-1772] 統計学者。ドイツ大学派統計学を完成,統計指標体系作成の先駆者 ⑫経産8 C
厚真(町)あつま 北海道/胆振支庁 ⑦日地51 C
東(町) ⇨東(町)あずま
吾妻 福島/福島市 ⑦日地51 C
吾妻(町) 長崎 ⑦日地51 C
『吾妻鏡あづまかがみ**』**〔東鑑〕 ①文学12 D ⑤日史33 C
厚真川 ⑧日地→勇払平野ゆうふつ
吾妻小富士 ⑦日地→吾妻山図
吾妻十湯 ⑧日地→米沢(市)
吾妻高湯温泉 ⑧日地→福島(市)
吾妻橋 東京 ⑦日地51 C →隅田川〔囲橋〕
『吾妻問答』〈角田川すみだ〉 ①文学→宗祇そうぎ
吾妻山 福島 ⑦日地51 C図 →一切経山いっさいきょうざん ⑱宇地→火山〔表活火山〕
吾妻山《中国地方》 ⑧日地→比婆山
吾妻連峰 ⑦日地→裏磐梯
温海(町)あつみ 山形 ⑦日地51 D図
渥美(町) 愛知 ⑦日地52 A
温海温泉 ⑦日地→温海(町)あつみ
厚み計 ⑯物数5 A
圧密沈下 ⑰科技→埋立
渥美半島 愛知 ⑦日地52 B図
渥美湾 ⑦日地52 B
熱麦 ⑬生活→うどん
あつもの ⑬生活→雑煮
『厚物咲』 ①文学→芥川賞あくたがわ表 →中山義秀
『敦盛』 ③音演7 C ①文学→幸若舞こうわか →世阿弥
敦盛さん ③音演→民謡〔表〈広島〉〕
アツモリソウ ⑲植物21 A図 →クマガイソウ
敦盛塚 ⑦日地→神戸(市)〔観光・文化〕
厚様〈鳥の子〉 ⑤日史→料紙
アッラー〈アラー〉 ④哲宗8 C →イスラム教〔教義〕 →『コーラン』 →マホメット ⑨世史13 A →イスラム教〔マホメット〕
アッラダキーア ⇨ラタキア
圧力 ⑯物数5 B図 →応力 →力〔種類〕 →流体 ⑮化学→気体 →物質の三態〔気体〕 →分圧
圧力計 ⑯物数6 A
圧力差計 ⑯物数→圧力計
圧力スイッチ ⑰科技→開閉器〔自動開閉機〕
圧力政治 ⑪政社→圧力団体
圧力タンク方式 ⑰科技→給排水設備〔給水設備〕図
圧力団体 ⑪政社7 B →政治集団〔諸類型〕 →政治制度〔アメリカ〕 ⑤日史→院外団
圧力鍋 ⑬生活→鍋〔種類〕図
圧力の傾き〈圧力勾配〉 ⑯物数→圧力
圧力波 ⑯物数→衝撃波図
圧力秤〈ピストン圧力計〉 ⑯物数→圧力計
アツール ⑱宇地→宇宙開発〔世界各国の動向〕
アテ ⇨アスナロ
アディ ハンガリー[1877-1919] 詩人。文芸雑誌『西洋』の指導者として,同国文学に改革の波をもたらす ①文学13 A →東欧文学〔ハンガリー〕
アーティキュレーション ⑰科技→建築設計〔平面計画〕図
アティーシャ,D インド[982-1054] ベンガルの王家生まれの僧。チベットに招かれチベット仏教を再興 ④哲宗8 C →ラマ教
『蛙啼集あていしゅう』 ①文学→加藤暁台
アディソン,J イギリス[1672-1719] エッセイスト,ジャーナリスト。エッセイ新聞『スペクテーター』を創刊 ①文学13 A →古典主義 →スペクテーター
アーディ・ターラ ③音演→ターラ
アーティチョーク ⑲植物21 B図
『アディーブ』 ①文学→ターハー・フサイン
アティヤ,M [1929] ⑯物数→代数幾何学〔現代〕
アーディル ⑨世史→アイユーブ朝
アディロンダック(山地) ⑩世地→ニューヨーク(州)
あて馬 ⑬生活→競馬〔囲用語〕
『あて馬』 ③音演→ミュッセ,L
宛帯 ⑬生活→帯〔歴史〈男子〉〕
アデク ⑲植物21 C図
阿哲峡 ⑦日地→神郷(町) ⑧日地→高梁川たかはし
阿哲台 岡山 ⑦日地52 C →井倉峡 ⑧日地→満奇洞まき ⑱宇地→カルスト地形図
アテトーゼ ⑭医学10 A →脳性小児麻痺〔症状〕
宛名 ⑬生活→手紙〔形式〕 →郵便〔囲知識〕
アテナイ ⇨アテネ
アテナイオス ギリシア[＊ ＊] 200年ころのエジプト出身の文人 作『デイプノソピスタイ』 ①文学13 B
『アテナイ人の国制』 ⑨世史→ソロン
アデナウアー,K 西ドイツ[1876-1967] 政治家。初代首相として第二次大戦後の経済再建に尽力 ⑨世史13 B図 ⑪政社8 D図 →ドイツ政治事情〔西ドイツ〈主権回復〉〕
アテナゴラス ④哲宗→教父哲学
『艶なる宴』 ③音演→ドビュッシー,C
『アテナ・レムニア』 ②美術→フェイディアス
アデニン ⑮化学12 B →核酸〔構造〕 →デオキシリボ核酸 →ヌクレオシド ⑲植物→核酸
アテネ〈パラス〉 ④哲宗→ギリシア・ローマ神話〔図オリンポスの十二聖〕囲
アテネ〈アテナイ〉 ギリシア ⑨世史13 C図 →アクロポリス →アッティカ →ギリシア〔ポリスの興亡〈最盛期〉〕 →デロス同盟 →ペロポネソス戦争 ⑩世地9 D図 ②美術→アクロポリス →パルテノン ⑧日地→都市国家〈1228 B〉
『アテネーウム』 ①文学→シュレーゲル(兄弟) →ロマン主義〈720 C〉
アテネ憲章 ②美術→CIAMシアム
アテネ考古学美術館 ②美術682 D
アテネ・ニケ神殿 ②美術→アクロポリス〔図アテネ〕 ⑩世地→アテネ〔アクロポリス〕
『アテネの学堂』 ②美術→ラファエロ図 ④哲宗→アリストテレス図
『アテネの廃墟』 ③音演→ベートーベン,L〔作風と作品〈トルコ行進曲〉〕
アデノイド ⑭医学10 A図 →いびき →難聴 →のど〔咽頭〕
アデノウイルス ⑭医学→ウイルス〔図形〕 ⑳動物→ウイルス図
アデノウイルス感染症 ⑭医学→咽頭結膜熱
アデノシン ⑮化学→アデノシン三リン酸
アデノシン三リン酸〈ATP〉 ⑮化学12 B →光合成 →ヌクレオチド →プリン ⑭医学→筋肉〔化学成分〕 ⑲植物→異化作用 →呼吸〔しくみ〕 →細胞〔構造〕 ⑳動物→運動 →筋肉
アデノシン二リン酸〈ADP〉 ⑮化学13 A →アデノシン三リン酸 ⑭医学→筋肉〔化学成分〕
アテビ ⇨アスナロ
アテーマティック音楽 ③音演→ハーバ,A
当て身技 ⑬生活→柔道〔技〕表
左沢あてらざわ 山形/大江町 ⑦日地52 C
左沢線 ⑦日地→奥羽本線
阿寺断層 ⑦日地→坂下(町)
アデリーコースト ⑩世地→南極大陸〔気候〕
アデリーペンギン ⑳動物→ペンギン〔種類〕図
『アデルキ』 ③音演→マンゾーニ,A
アデルミン ⑭医学→ビタミン〔ビタミンB_6〕
アテルラナ劇 ③音演→ローマ演劇〔共和政時代〕
亜テルル酸 ⑮化学→テルル〔化合物〕
アデレード オーストラリア ⑩世地11 B →サウスオーストラリア(州)
アデレード植物園 ⑲植物→植物園表
アデレード動物園 ⑳動物→動物園〔表世界〕
アテロプス科 ⑳動物→カエル〔分類〕
アテローム ⇨粉瘤ふんりゅう
アデン 南イエメン ⑩世地11 B
『アデン・アラビア』 ①文学→ニザン,P
ア・テンポ ③音演→音楽用語〈629 A〉
アド ③音演→狂言〔本狂言〕
後味 ⑬生活→味〔種類〕
アドアトゥキ人 ⑨世史→テウトニ人
安戸池あどいけ 香川/引田町 ⑦日地52 C
阿東(町) 山口 ⑦日地52 C
阿刀田高 ①文学→直木賞表
アトウッド,G イギリス[1746-1807] ⑯物数→アトウッドの「器械」
アトウッド,T ⑫経産→チャーティスト運動
アトウッド,W ⑱宇地→プラネタリウム
アドゥッド・ウッダウラ ⑨世史→ブワイフ朝
アトウッドの器械 ⑯物数6 B図
アトゥム ⑨世史→ラー
アドゥワの敗戦 ⑨世史→クリスピ,F
アド・オン方式 ⑫経産→金融〔囲用語〕
安曇川あどがわ 滋賀 ⑦日地52 C →朽木渓谷くつき ⑧日地→丹波山地 →天井川〈1226 D〉
安曇川(町) 滋賀 ⑦日地52 C
アトキリゴミムシ ⑳動物→ゴミムシ
アトキンソン,R イギリス[1850-1929] 化学者。東京大学の化学教授をつとめ,日本酒の研究を行う ⑮化学13 B図
牙得嶺アトクリン ⑩世地→ランニム(山脈)
アトグロアミメエダシャク ⑳動物→シャクガ図
アトコブゴミムシダマシ ⑳動物→甲虫〔別〈日本産〉〕
後座 ③音演→能〔能舞台と装置〕
阿登佐岳〈アトサヌプリ〉 ⑱宇地→火山〔表活火山〕
アトサヌプリ ⇨硫黄山《阿寒》
後産あとざん〈こうざん〉 ⑭医学→出産〔正常分娩〈後産期〉〕
阿土山地〈安芸山地〉 ⑦日地→四国山地
アート紙 ⑰科技6 A →紙〔加工紙〈塗被加工紙〉〕
アトシザリ ⇨カニムシ
アドジャル ⇨アジャール
アトス(岬) ⑨世史→ペルシア戦争〔ダリウスの遠征〕
アトス(山) ⑩世地→ギリシア(共和国)図
後染〈布染〉 ⑬生活→染物〔技法〕
後染織物 ⑬生活→織物〔織物と染色〕
後付 ⑬生活→手紙〔形式〕
アドナイ ⑪政社→ユダヤ教〔特徴〕
アート・ナウ ⇨現代美術
アドニス ④哲宗→ギリシア・ローマ神話〔囲神名〕
アドニス ⇨フクジュソウ
『アドニス哀悼歌』 ①文学→ビオン
アトニー性体質 ⑭医学→胃〔胃病〈胃アトニー〉〕
『アドーネ』 ①文学→マリーノ,G
『アドネイス』 ①文学→シェリー,P
後練〈生絹織物〉 ⑬生活→絹織物
鮎戸の瀬あゆど ⑧日地→山城(町)《徳島》
後浜 ⑱宇地→海岸図 →砂浜
後払い ⑫経産→商品〔売買〕
跡ばらし法 ⑰科技→炭鉱〔支保〕
アドバンスキャンプ〈前進キャンプ〉 ⑬生活→登山〔囲用語〕
アドバンテージ ⑬生活→サッカー〔囲用語〕
アトビサリ ⇨カニムシ
アトピー性皮膚炎 ⑭医学10 C →皮膚病図
アドベ建築 ②美術→インカの美術〔インカ以前〕
後放射化法 ⑯物数→トレーサー
アートマン ③音演→インド音楽〔歴史〈古典時代からバーラタ時代〉〕 ④哲宗→インド哲学〔古代〕 →宇宙論 ⑨世史→ウパニシャッド
アードマン,J アメリカ ③音演→モダン・ダンス
アトミズム ⇨原子論
アドミタンス ⑯物数6 C →インピーダンス
アドミラルティ(諸島)〈マヌス諸島〉 パプアニューギニア ⑩世地11 B →ビスマーク(諸島)

『アビニョンの橋の上で』 ③音演→民謡〔西欧〈フランス民謡〉〕 ⑩世地→アビニヨン
『アビニョンのピエタ』 ②美術→キリスト教美術別
『アビニョンの娘たち』 ②美術→ピカソ,P図
アビニョンの幽囚 ⑨世史15 A →教皇 →キリスト教〔中世〕 →シスマ
アビーム ⑬生活→ヨットレース〔囲用語〕
アーヒラ ④哲宗→イスラム教〔教義〕
阿毘羅吽欠あびらうんけん ④哲宗→仏教〔囲用語〕
安平川あびらがわ 北海道 ⑦日地55 B
アービラ城 ⑨世史→城〔ヨーロッパ〕図
アビラのテレジア ⇨テレサ・デ・ヘスス
アビリーン アメリカ ⑩世地13 B
アヒル〔鶩,家鴨〕 ⑳動物21 A図 →アイガモ →マガモ ⑬生活→中国料理〔材料〕 →とり肉
アビルガード,N [1774-1809] ②美術→北欧美術〔絵画と彫刻〕
アヒルナガハジラミ ⑳動物→ハジラミ
『あひるの喜劇』 ①文学→エロシェンコ,V
『あひるを狩する男』 ③音演→ベッティ,U
アービン,S ③音演→アイルランド演劇
アービング,W アメリカ[1783-1859] 小説家・随筆家。同国の短編小説・随筆文学の祖として名声を得た 作『スケッチブック』 ①文学14 A図 →アメリカ文学〔アメリカ文芸復興〕 ⑨世史→アルハンブラ宮殿 ⑲植物→カボチャ囲
アヒンサー〈不殺生,非暴力〉 ④哲宗→ガンジー,M →ジャイナ教 ⑨世史→ガンディー,M
アフ ⑩世地→イースター(島)
アブ〔虻〕 ⑳動物21 C図 →アタマアブ →ウジ →擬態 ⑭医学→応急手当〔図〈虫さされ〉〕
阿武(町) 山口 ⑦日地55 C
アファイア神殿 ⑨世史→アイギナ
アファナーシエフ,A ロシア[1826-1871] 文学史家・民俗学者・口承文学研究家。ロシア「神話学派」の初期代表者 ①文学14 C
アブー・アリー・バルヒー ①文学→『シャーナーメ』
アファールイッサ アフリカ 1977年ジブティ共和国として独立 ⑩世地13 B図 →ソマリランド
アフィノゲーノフ,A ソ連[1904-1941] 劇作家。叙情的な青春喜劇『マーシェンカ』は劇界の人気レパートリーの一つ ①文学14 C ③音演→ロシア演劇〔ソビエト演劇〕
アフィン幾何学 ⑯物数7 B →幾何学〔近代〈非ユークリッド幾何〉〕
アフィン座標系 ⑯物数→2次形式〔2次曲面の分類〕
アフィン写像 ⑯物数→多面体〔複体〕
アフィン接続 ⑯物数→カルタン,E
アフィン単射 ⑯物数→多面体〔単体〕
アフィン2次曲線 ⑯物数→2次曲線
アフィン2次曲面 ⑯物数→2次曲面
アフィン変換 ⇨固有アフィン変換
アフェランドラ ⑲植物22 C図
アブオコゼ ⑳動物→オコゼ
アフォバイトダイク ⑩世地→オランダ(王国)〔経済・産業〈開発〉〕
アフォリズム ①文学14 C →『省察と箴言』
虻ヶ島 ⑧日地→氷見(市)
アフガーニー イラン[1838-1896] 思想家。汎イスラム主義を唱え西アジアの民族運動に影響を与えた ⑨世史15 B →汎イスラム主義 ⑪政社→イスラム教〔現代の政治・社会〕
アフガニスタン(民主共和国) アジア ⑩世地13 C図 ⑧日地→緩衝国〈1205 C〉 ⑨世史→アフガン
阿武川 山口 ⑦日地55 C ⑧日地→長門峡〔戦争
阿武川ダム ⑦日地→阿武川
アフガン編み ⑬生活→編物〔編み方〕
アフガン戦争 ⑨世史15 C ⑩世地→アフガニスタン(民主共和国)〔略史〕
アフガン族〈パシュトゥン族〉 ⑩世地→アフガニスタン(民主共和国)〔社会・文化〕
アフガンハウンド ⑳動物→イヌ〔犬種〈猟犬〉〕別
アフガン針 ⑬生活→編物〔用具〕
アフガンレース ⑬生活→レース〔4〕
アブキール湾の海戦 ⑨世史→ネルソン,H
アフクセンチェフ,N [1878-1943] ⑨世史→エス・エル
阿武隈石 ⑱宇地6 A
阿武隈川 福島 ⑦日地55 C図
阿武隈高原 ⇨阿武隈山地
阿武隈山地 宮城・福島・茨城 ⑱宇地→準平原
阿武隈変成岩地帯 ⑱宇地→十字石
阿武隈ライン ⑦日地→角田盆地
虻群 ⑳動物→ハエ

アブコ ⑳動物→ブリ〔呼び名〕
アブサイシン ⑲植物→落葉
アブサイシン酸 ⑲植物→休眠 →植物ホルモン
アブー・サイード・アビール・ハイル [967-1049] ペルシアの神秘主義聖者・詩人。民衆教化のため詩作し,神秘主義思想を平易に表現 ①文学14 D →『ルバイヤート』
アブザイレン ⑬生活→登山〔囲用語〕
アブーザビー アラブ首長国連邦 ⑩世地15 B
アブーザビー石油 ⑩世地→アラブ首長国(連邦)
『アブサロム,アブサロム！』 ①文学→フォークナー,W
アブサロン デンマーク[1128-1201] 大司教。国王を助けて分裂の祖国を再建し「祖国の父」と称さる ⑨世史15 C
アブサン ⑬生活→酒〔リキュール類〕
アブシバレー〈虫払い〉 ⑦日地→沖縄(県)〔文化〈年中行事と信仰〉〕
アフシャール朝 ⑨世史15 D
アブジュラール ⑩世地→トルコ(共和国)図
アブ・シンベル エジプト ⑨世史15 D図
アブ・シンベル神殿 ②美術7 D図 →エジプト美術〔建築〕 →神殿〔オリエント〈エジプト〉〕 →モニュメント ④哲宗→神殿図 ⑨世史→ヌビア ⑩世地→エジプト(アラブ共和国)図 →ナセル(湖)
アプス ②美術→アミアン大聖堂 ④哲宗→教会堂〔キリスト教公認以後〕
アブスコン ⑩世地→アトランティックシティ
アブストラクシオン・クレアシオン〈抽象=創造〉 ②美術→アルプ,H
アブストラクト・アート ⇨抽象主義
アブストラクト・エクスプレショニズム〈抽象表現主義〉 ②美術→アクション・ペインティング →アメリカ美術〈11 A〉 →ポロック,J
アフーズ油田 ⑩世地→イラン図 ⑫経産→石油産業図
アブー・スライマーン・アル・ブスティー ①文学→イフワーン・アッ・サファー
鐙摺あぶずり 神奈川/葉山町 ⑦日地55 D →逗子(市)
アプセニ(山地) ⑩世地→ルーマニア(社会主義共和国)〔地方誌〕
ＡＡＰＳＯアアプソ ⇨アジア・アフリカ人民連帯機構
アフタ ⑭医学11 A →口腔〔習慣性アフタ〕
虻田(町)あぶた 北海道/胆振支庁 ⑦日地55 D図
アブダ ⑨世史→奴隷制〔近代以前〈イスラム〉〕
アプダイク,J アメリカ[1932] 小説家。隠喩性の強い繊細な文体を確立し,日常性の中にひそむ危機を描く 作『走れウサギ』 ①文学14 D図
アブダクション〈仮説の設定〉 ④哲宗→仮説
虻田鉱山 ⑦日地→虻田(町)
アフタ性口内炎 ⑭医学→アフタ →口腔〔習慣性アフタ〕
アブダッラー ⑩世地→クウェート(国)
アフタヌーンドレス ⑬生活→ドレス〔分類〕 →礼服〔洋装〕
アフターバーナー ⑰科技→飛行機〔開発および展望〈騒音対策〉〕
アブーダビー ⇨アブーザビー
アフター・ユース・パック ⑫経産→パッケージ
アフタリオン,A フランス[1874-1956] 経済学者。景気変動論・外国為替論を研究,過剰投資説・為替心理説を提唱 ⑫経産8 C →外国為替相場〈68 C〉
アフタル [640?-708?] アラブの詩人。ウマイヤ朝の桂冠詩人として傑出 ①文学15 A →ジャリール
アフター=ローディング ⑭医学→アイソトープ療法図
アブー・タンマーム [788?-846?] アラブの詩人。諸侯をたたえる詩や武勇を称賛する詩をつくる ①文学15 A →『ハマーサ』
アブチロン ⑲植物22 C図
阿仏尼 [?-1283] 鎌倉中期の女流歌人・古典学者。安嘉門院邦子の女房,藤原為家の側室 作『十六夜日記』 ①文学15 A図 ⑤日史35 B
『阿仏尼海道記』 ⇨『十六夜日記』
阿仏房妙宣寺 ⑦日地→佐渡島〔日蓮遺跡〕
アブディブス(湖) ⑩世地→ユーフラテス(川)
アブデュルハック・ハーミト・タルハン トルコ[1851-1937] 詩人・劇作家。外交官でありながら専制政治批判の文学作品を発表 ①文学15 C
アブデュル・ハミト(二世) [1842-1918] オスマン・トルコ第34代のスルタン。30年間専制政治を行う ⑨世史16 A →オスマン・トルコ帝国 →ミトハト憲法

アブデュル・メジト(一世) [1823-1861] オスマン・トルコ第31代のスルタン。西欧の制度をとり入れタンジマート〈革新〉時代を開く ⑨世史16 A →タンジマート
『アブデラの人々』 ①文学→ウィーラント,C
アブデルカデル,E アルジェリア[1808-1883] ⑪政社→アルジェリア戦争
アブデル・クリムの反乱 ⑨世史→プリモ・デ・リベーラ
阿伏兎あぶと 広島/沼隈町 ⑦日地56 A図
アブド ⑨世史→奴隷制〔近代以前〈イスラム〉〕
アプト,R スイス ⑰科技→アプト式鉄道
アブドゥラー・ビン・アブドゥル・カディル [1796-1854] ①文学→『ヒカヤット・アブドゥラー』
アブドゥルカディル マレーシア ①文学→東南アジア文学〔国民文学的〕
アブドゥル・バハー イラン[1844-1921] ④哲宗→バハイ教
アブドゥル・ハミド(二世) ⇨アブデュル・ハミト(二世)
アブドゥル・マリク ⑨世史→ウマイヤ朝
アブドゥル・ムーミン ⑨世史→ムワッヒド朝
アブドゥル・ラティーフ [1162-1231] アラブの歴史家。イスラム諸学やギリシアの医学に通じ,165の著作をものしたが大部分は散逸 ①文学15 C
アブドゥル・ラフマーン ⑨世史→トゥール・ポアティエの戦い
アブドゥル・ラフマーン(一世) [731-788] 後ウマイヤ朝の創始者。ウマイヤ朝滅亡のときスペインに逃れ新王朝を開く ⑨世史16 A →ウマイヤ朝 →後ウマイヤ朝
アブドゥル・ラフマーン(三世) [891-961] 後ウマイヤ朝第8代のアミール,のちカリフ。内乱を鎮めスペイン全土を支配 ⑨世史16 A →イスラム文化〔マシュリクとマグリブ〕 →後ウマイヤ朝
アブドゥルワッハーブ,M [1703-1792] ⑨世史→ワッハーブ運動
阿伏兎観音 ⑦日地→阿伏兎図
アプト式鉄道〈歯車式鉄道〉 ⑰科技8 C →鉄道〔技術上の分類〕 →登山鉄道〔歯軌条式鉄道〕 ⑫経産→鉄道
アブドラー ⑩世地→アンマン
アブドルアジーズ ⇨イブン・サウード
アブドル・ラザク ⑨世史→シャー・ルフ
アブー・ヌワース [762?-810?] アラブの詩人。酒の詩を書き続け,広くアジア・アフリカ諸国でも愛唱される ①文学15 C
アブノメ〔虻眼〕 ⑲植物23 A
アブハー ⑩世地→サウジアラビア(王国)〔自然〕
アプバクの戦闘 ⑨世史→ベトナム戦争〔経過〕
アブー・バクル ④哲宗→イスラム教〔概観〕 →カリフ ⑨世史→イスラム教〔カリフ制〕 →カリフ →正統カリフ時代
アブバケル ⇨イブン・トゥファイル
アブハズ ソ連/グルジア ⑩世地15 B
アブー・ハニーファ [?-767] ④哲宗→イスラム教〔イスラム法〕
アブビル文化 ⑨世史→アシュール文化 →旧石器時代〔生活と文化〕
アフベナマン(諸島) ⇨アウヘンアンマー(諸島)
アフマッドゥッラー ⑨世史→セポイの反乱〔経過〕
アフマッド・シャー・ドゥーラーニー ⑨世史→パーニーパットの戦い ⑩世地→アフガニスタン(民主共和国)〔略史〕
アフマド・イブン・トゥルーン ⑨世史→トゥルーン朝
アフマドゥーリナ,B ソ連[1937] 詩人。「雪どけ」後に登場した若手女流詩人の第一人者 ①文学15 D
アフマートワ,A ソ連[1889-1966] 女流詩人。新古典主義のアクメイズムに参加し,詩人グミリョフと結婚 ①文学15 D →アクメイズム
あぶみ ⑬生活→登山〔登山用具〕図
鐙あぶみ ⑥日史→馬具 ⑬生活→馬術競技〔用具〕
鐙骨 ⑭医学→聴覚図 →耳〔中耳〈耳小骨〉〕図
アフメット(三世) ⑨世史→チューリップ時代
アフメットモスク ⑩世地→イスタンブール図
アフメディー [1334?-1413?] オスマン・トルコの詩人。バヤジット二世の子息の庇護を受ける ①文学15 D
安部屋 ⑦日地→志賀(町)
阿武山古墳あぶやま ⑤日史35 B
アブヨグ ⑩世地→レイテ(島)
油 ⑤日史35 C図 ⑮化学14 B →油脂 ⑬生活→食用油

脂 ⇨脂肪
油揚げ ⑬生活→すし〔種類〕 →豆腐〔加工品〕
油入開閉器 ⑰科技→開閉器
油絵 ②美術 8 A表 ①文学→平賀源内 ⑥日史→フォンタネージ, A
油エナメル ⇨油性エナメル
油絵具 ②美術→油絵 →絵具
油汚染 ⑱宇地→海洋汚染
油かす ⑮化学→窒素肥料 ⑲植物→アブラナ
油風〈油まじ〉 ⑱宇地→風〔表季題〈春〉〕
アブラガニ ⇨イワガニ
油ヶ淵 ⑧日地→碧南(市)
油紙 ⑭医学→救急箱〔衛生材料〕
アブラガヤ〔油茅〕 ⑲植物 23 A →ホタルイ図
アブラガレイ〔油鰈〕 ⑳動物 22 A →カレイ〔日本産〕図
アブラギク〔油菊〕 ⑲植物 23 A ⇨アワコガネギク ⇨シマカンギク
油木ダム ⑦日地→添田(町)
アブラキヌタレガイ ⑳動物→キヌタレガイ
アブラギリ〔油桐〕〈ドクエ〉 ⑲植物 23 A図
あぶらげ手 ②美術→黄瀬戸
アブラコウモリ〔油蝙蝠〕〈イエコウモリ〉 ⑳動物 22 A →コウモリ〔生態〕図
油座 ⑤日史→大山崎油座 ⑫経産→座
油坂峠 岐阜・福井 ⑦日地 56 A
アブラザメ ⑳動物→胎生 →ツノザメ
アフラシアブ・タイプ〈ニシャプール・タイプ〉 ②美術→イスラム芸術〔サーマン朝〕
『油地獄』 ①文学→斎藤緑雨
アブラシバ〔油芝〕 ⑲植物 23 B →スゲ図
油絞り唄 ③音演→民謡〔表〈三重〉〕
油島 岐阜/海津町 ⑦日地 56 B →海津(町)
アブラシメジ〔油占地〕 ⑲植物 23 B →キノコ〔別担子菌類〈ハラタケ目〉〕 →フウセンタケ
あぶら性 ⑬生活→美容〔肌〈素肌の美〉〕
油障子 ⑬生活→障子〔種類〕
アブラスギ〔油杉〕〈カタモミ〉 ⑲植物 23 B図
アブラススキ〔油薄〕 ⑲植物 23 B図
アブラゼミ〔油蟬〕 ⑳動物 22 B →セミ〔生活史〕〔日本の種類〕図
アブラゼミタケ ⑲植物→セミタケ表
アブラソコムツ〔油底鯥〕 ⑳動物→クロタチカマス
油タンカー〈油槽船〉 ⑰科技→タンカー
アブラチャン〔油瀝青〕 ⑲植物 23 B図
油津 宮崎/日南市 ⑦日地 56 B
油付 ③音演→髪
油漬け ⑬生活→かん詰〔種類〕
アブラツツジ ⑲植物 23 C →サラサドウダン図
アブラツノザメ ⑳動物→サメ〔繁殖〕
油壺 神奈川/三浦市 ⑦日地 56 B図
油壺マリンパーク ⑳動物→水族館〔歴史〕
油壺湾 ⑦日地→油壺図
油問丸 ⑫経産→問丸
アブラナ〔油菜〕〈ナタネ〉 ⑲植物 23 C図 →種子〔図〈自力で弾出〉〕 ⑤日史→油 ⑬生活→種実類
アブラナ科〈十字花科〉 ⑲植物 24 A
アフラニウス ③音演→ローマ演劇〔共和政時代〕
アブラバチ ⑳動物→コマユバチ
アブラハム ②美術→キリスト教美術〔囲画題〕 ④哲宗→聖書〔囲人名〕 →ユダヤ教〔宗教思想〕 ⑨世史→カナン
アブラハム, M 〔1875–1922〕 物理学者。力学の諸法則の純電磁気学的定式化を試みた ⑯物数 8 A
アブラハムセン, H 〔1907–〕 ②美術→北欧美術〔建築と工芸デザイン〕
『アブラハムの胸に』 ③音演→グリーン, P
アブラハヤ〔油鮠〕 ⑳動物 22 B →ハヤ
アブラヒガイ ⑳動物→ヒガイ
油日神社 ⑦日地→甲賀(町)
油日まつり ⑦日地→滋賀(県)〔文化〕
脂びれ ⑳動物→ひれ
油ペイント〈油性ペイント〉 ⑮化学 14 B →塗料〔分類〈油性塗料〉〕表
アブラボウズ〔油坊主〕 ⑳動物 22 B →ギンダラ
油まじ〈油風〉 ⑱宇地→風〔表季題〈春〉〕
アフラ・マズダ ①文学→『アベスター』 ④哲宗→ゾロアスター教〔教説〕 ⑨世史→ゾロアスター教
アブラムシ〔油虫〕〈アリマキ〉 ⑳動物 22 C図 →アリ〔人間との関係〕 →共生 →クサカゲロウ →世代交代 →胎生 →単為生殖 ⑲植物→病虫害〔表害虫〕図

アブラメ ⇨アブラハヤ
アブラーモフ ②美術→漫画〔今日の漫画家たち〕
アブラモモ ⑲植物→モモ
油屋熊八 ⑥日史→豊後国〔囲人国記〕
油焼け ⑬生活→乾物〔栄養〕
アブラヤシ ⑲植物 24 B
油山 福岡市 ⑦日地 56 B ⑧日地→南(区)
アブラヨタカ〔油夜鷹〕 ⑳動物 22 C
油ワニス ⑮化学 14 B →塗料〔分類〈油性塗料〉〕
ア・プリオリ ④哲宗→ア・プリオリ ア・ポステリオリ →カント, I〔囲基本概念〕 →先験的
ア・プリオリ ア・ポステリオリ ④哲宗 9 D →カント, I〔囲基本概念〕
アフリカ(州) ⑨世史 16 B図表 →汎アフリカ主義 ⑩世地 15 B囲 →アフロユーラシア ⑪政社→アフリカ政治事情 →汎アフリカ主義 ⑫経産→アフリカ経済事情
『アフリカ』 ①文学→イタリア文学〔発生とルネサンス期〕 →ペトラルカ, F
アフリカアブラヤシ ⑲植物→ココヤシ図
アフリカオオバン ⑳動物→オオバン
アフリカオニネズミ ⑳動物→オニネズミ
アフリカ解放委員会 ⑪政社→アフリカ統一機構
アフリカガチョウ ⑳動物→サカツラガン
アフリカカワラツバメ ⑳動物→ツバメ
アフリカキンセンカ ⇨ディモルフォセカ
アフリカクロトキ ⑳動物→鳥類〔別〈生態〉〕
アフリカ経済委員会〈ECA〉 ⑪政社→国際連合〔図組織図〕
アフリカ経済事情 ⑫経産 8 D図表
アフリカ国民会議〈ANC〉 ⑨世史→アフリカ(州)〔独立後の経済社会〈未来への闘い〉〕
アフリカ人種 ⑩世地→世界〔人種〕 ⑪政社→黒人問題 ⑫経産→ラテンアメリカ経済事情〔経済史〕
アフリカスイギュウ ⑳動物→スイギュウ図
アフリカ睡眠病 ⑳動物→トリパノソーマ
アフリカスミレ ⇨セントポーリア
アフリカ政治事情 ⑪政社 10 D図
アフリカゾウ ⑳動物→ゾウ〔種類と生態〕図
アフリカダイ ⑳動物→タイ
アフリカチヌ ⑳動物→タイ
アフリカツメガエル ⇨ツメガエル
アフリカツメバゲリ ⑳動物→ワニチドリ
アフリカ統一機構 ⑪政社 12 A図 →アフリカ政治事情〔政治ブロック〕 →ハイレ・セラシエ(一世) ⑨世史→汎アフリカ主義
アフリカ統一機構憲章 ⑪政社→汎アフリカ主義
アフリカ東部火山帯 ⑩世地 16 B ⑱宇地→火山〔火山分布と火山帯〕図 →火山帯図
アフリカトビネズミ ⑳動物→トビネズミ
アフリカーナ ①文学→アフリカ文学〈南アフリカ文学〉 ⑩世地→南アフリカ(共和国)〔略史〕
アフリカ内陸探検振興協会 ⑨世史→アフリカ(州)〔植民地時代〈宣教師の役割〉〕
アフリカナガバノモウセンゴケ ⑲植物→食虫植物図
『アフリカ農園物語』 ①文学→アフリカ文学〈南アフリカ文学〉
『アフリカの歌』 ①文学→ライブ, R
アフリカの年 ⑨世史→アフリカ(州)〔民族独立の時代〈隷属から独立へ〉〕
『アフリカの夢』 ①文学→ライ, C
アフリカノロバ ⑳動物→ロバ〔野生ロバ〕
アフリカ肺魚 ⇨プロトプテルス
アフリカパイソン ⑳動物→パイソン
アフリカヒレアシ ⑳動物→ヒレアシ
アフリカ文学 ①文学 15 D
アフリカ分割 ⑨世史→ファショダ事件
アフリカホウセンカ ⑲植物 24 B図
アフリカマイマイ ⑳動物 23 A図
アフリカマナティー ⑳動物→マナティー
アフリカ民主連合 ⑪政社→トゥーレ, S
アフリカン・マリーゴールド〈アメリカン・マリーゴールド〉 ⑲植物→マリーゴールド図
アフリカン・リリー ⇨アガパンサス
アプリコット ⇨アンズ
阿夫利山〔雨降山〕 神奈川 ⑦日地 56 B ⇨大山
阿夫利神社 ⑤日史→大山詣 ⑦日地→伊勢原(市)〔大山阿夫利神社〕
アプリズモ運動 ⑪政社→ラテンアメリカ政治事情〔二〕
アプリーヌ, C 〔1901–〕 小説家。大河・短編・推理小説, 回想記・旅行記・美術批評など幅広く活躍 ①文学 16 B
焙り焼き ⑬生活→焼き物〔直火焼き〕
アプリン酸 ⑮化学→核酸〔検出・定量〕
アブル・アターヒヤ 〔748–828〕 詩人。哲学的色彩の濃い作品でアラブ文学史上独自の位置を占める ①文学 16 B →アラビア文学〈24 B〉
アブル・アッバース ⇨サッファーフ
アブル=カーシム〈アルブカシス〉 ⑭医学→出産〔異常分娩〈鉗子分娩〉〕
アブル・ガーズィー・バハードゥル・ハン ⑨世史→ヒバ・ハン国
アブルッツィ ⑩世地 16 C
アプルーバル ⑬生活→郵便切手〔囲用語〕
アブル・ファズル 〔1551–1602〕 ⑨世史→ムガル帝国〔興亡史〕
アブル・ファラジ・アル・イスファハーニー 〔897–967〕 アラブの文学者。アラブ詩歌集の大作『アガーニー』の編著者として名高い ①文学 16 B
アプレイウス, L 〔123?–〕 ローマの文学者。著作は弁論術・哲学・科学など多方面にわたる 作『変身物語』 ①文学 16 C図 →ラテン文学〔白銀時代〕 ④哲宗→ギリシア・ローマ神話〔ローマ特有の神話〕
アブレイジョン・モレーン ⑱宇地→モレーン
アブレウ, A ⑨世史→大航海時代〔アジアと太平洋〕
アプレーシモフ, A 〔1742–1783〕 詩人・劇作家。社会の矛盾や旧弊をえぐり出し, エカテリナ女帝に対立 ①文学 16 D
アフレッタンド ③音演→音楽用語〈629 A〉
アフロ・キューバン ⑩世地→キューバ(共和国)〔社会・文化〕
アプローダー ⑬生活→刺繡〔欧風刺繡〈白糸刺繡〉〕
アプローチ ⑬生活→スキー〔囲用語〕 →登山〔囲用語〕 →ボウリング〔囲用語〕
アフロディテ ②美術 9 B ⇨ビーナス
アブロホロス ⑱宇地→風〔表局地風〕
アフロユーラシア ⑩世地 16 C
アブローラ号 ⑨世史→ロシア革命〔十月革命〕図
アフワーズ ⇨アハバーズ
阿部昭 〔1934–〕 小説家。肉親間の微妙な感情の交流を描く 作『司令の休暇』 ①文学 16 D
アベイ劇場 ③音演→アイルランド演劇図
安部磯雄 〔1865–1949〕 キリスト教社会主義者。早稲田大学野球部の創設者 ⑤日史 35 C図 →社会主義協会 →社会大衆党 →社会民衆党 →社会民主党 ⑥日史→政治研究会 →平民新聞 ⑪政社→キリスト教的社会主義
『阿部一族』 ①文学→森鷗外 ④哲宗→日本思想〔囲主要概念〈殉死〉〕
アベイ派 ①文学→デュアメル, G →ビルドラック, C
アベイラビリティ理論 ⑫経産→金融理論〔現代金融理論〈135 A〉〕
アペイロン ④哲宗→アナクシマンドロス
安倍氏 平安後期, 東北北部の大豪族。前九年の役で源頼義によって滅ぼされる ⑤日史 35 D図
阿倍氏 古代の有力豪族。東国から北陸・奥羽に勢力を張る ⑤日史 36 A図
阿部氏 江戸時代の譜代大名・旗本の姓。宗家は福山藩主で幕政の中心をなす ⑤日史 36 A図
アベオクタ ⑩世地 16 D
安倍川 静岡 ⑦日地 56 B →大谷崩
安倍川餅 ⑬生活→餅〔食べ方〕
安倍喜平 〔1841–1915〕 ⑤日史→淡路国〔囲人国記〕
安陪恭庵 〔1733–1807〕 ⑤日史→因幡国〔囲人国記〕
阿部孝次郎 ②美術→大阪市立美術館〈680 B〉
安部公房 〔1924–〕 小説家・劇作家。人間関係や都市生活の不毛な荒廃をテーマとした力作が多い 作『砂の女』 ①文学 16 D図 →芥川賞表 →前衛文学 ③音演 10 C
アベコベガエル科 ⑳動物→カエル〔分類〕
アベサンショウウオ ⑳動物→サンショウウオ
アベジャネダ ⑩世地 17 A
安倍城跡 ⑦日地→静岡(市)〔観光〕
阿部次郎 〔1883–1959〕 哲学者・評論家。思索の記録『三太郎の日記』で大正期教養主義の典型を示し, のちゲーテや日本文化を研究 ①文学 17 B →比較文学〔概況〕 ④哲宗 10 A ⑤日史 36 B ⑪政社→大正デモクラシー
アベス(海盆) ⑩世地→カリブ(海)
『アベスター』 ①文学 17 B図 →パフラビー文学 →ペルシア文学 ④哲宗→ゾロアスター教

〔教説〕 ⑨世史→ゾロアスター教

アベスター語 ①文学→ペルシア文学

阿部政務局長暗殺事件 ⑤日史 36 B

阿部泰蔵 ⑫経産→明治生命保険(相)

阿部忠秋 [1602-1675] 江戸時代3代将軍家光・4代将軍家綱の代の老中。幕政の基礎を固める ⑤日史 36 C →阿部氏

アヘダル(山脈) ⑩世地→オマーン(国)

アベックの規則 ⑮化学→化学結合〔概念の変遷<電子>〕

安倍峠 静岡・山梨 ⑦日地 56 C

阿部知二 [1903-1973] 小説家・評論家。モダニズムを出発とし,知識人の心象を分析した作品が多い ㊫『冬の宿』 ①文学 17 C図

アベドン,R アメリカ[1923-] ②美術→写真〔歴史〕

アベナテスト ⑲植物→エンバク

アベナリウス,R ドイツ[1843-1896] 哲学者。経験批判論を樹立し,現代の実証主義に大きな影響を与えた ④哲宗 10 B →感覚 ⑪政社→実証主義

アベナンマー(諸島) ⇨アウヘンアンマー(諸島)

アベニーダヌエベデフリオ ⑩世地→ブエノスアイレス

アペニン(山脈) イタリア ⑩世地 17 A →アスプロモンテ(山地) →アトラス(山脈) →イタリア(共和国)〔自然〕

阿倍野(区) 大阪市 ⑦日地 56 D

阿倍内麻呂<阿倍倉梯麻呂> [*-649] 大化改新によって最初の左大臣となる。その女は孝徳天皇の妃 ⑤日史 36 C

安倍貞任 [*-1062] 平安後期の東北の武将。前九年の役で父頼時敗死後よく戦うが敗死 ⑤日史 36 C ⑥日史→前九年・後三年の役〔前九年〕

阿部野神社 ④哲宗→神社〔表<別格官幣社>〕 ⑦日地→阿倍野(区) →大阪(市)

安倍晴明 [921-1005] 平安中期の陰陽家・天文博士。土御門家の祖 ⑤日史 36 D ⑱宇地→賀茂保憲 ⑳動物→キツネ〔囲霊的な動物〕

阿倍仲麻呂 [698-770] 奈良時代の遣唐留学生・文学者。李白や王維らの詩人と交遊,作品が宋代の詩文撰集にみえる ①文学 17 D ⑤日史 36 D

阿倍比羅夫 [*-*] 飛鳥後期の将軍。東北・北海道の蝦夷を討つ。のち白村江で唐軍に敗れる ⑤日史 36 D →阿倍氏 →蝦夷〔征伐〕

阿部信行 [1875-1953] 陸軍大将・政治家。首相として日中戦争解決に努力したが失敗 ⑤日史 36 D図 ⑥日史→翼賛政治会

阿部信行内閣 ⑤日史 37 A表

安倍宗任 [*-*] 平安後期の東北の武将。前九年の役で兄貞任とともに抵抗。敗れて流される ⑤日史 37 B ⑥日史→前九年・後三年の役〔前九年の役〕

安倍頼時<安倍頼良> [*-1057] 平安後期の武将。東北の俘囚長として胆沢城を奪い前九年の役となり敗死 ⑤日史 37 B →安倍氏 ⑥日史→前九年・後三年の役〔前九年の役〕

アベ・プレボー ⇨プレボー,A

アベベ エチオピア[1932-1973] ⑬生活→オリンピック〔近代<ローマ大会>〕図

アベマキ<ワタクヌギ> ⑲植物 24 C →ナラ図

阿部正勝 ⑤日史→阿部氏

阿部正次 ⑤日史→阿部氏

阿部正弘 [1819-1857] 幕末の老中。開国政策を推進し,有力大名との接近を図る ⑤日史 37 B図 →開国〔ペリー来航〕 →棄捐令 →公武合体論 ⑥日史→徳川家慶

アベ・マリア ③音演 10 D ④哲宗→マリア〔崇敬〕

『アベ・マリア』 ③音演→アルカデルト,J

『アベ・マリア』 ③音演→グノー,C

阿部守太郎 [1872-1913] ⑤日史→阿部政務局長暗殺事件

安倍文殊院 ⑦日地→桜井(市)

安倍文殊院西古墳 ⑤日史 37 C

アベヤネダ ⇨アベジャネダ

安倍能成 [1883-1966] 哲学者・評論家。自然主義批判など誠実な論調で信頼され,戦後は雑誌『心』を編集,良識あるリベラリストとして生涯を貫く ①文学 17 D ④哲宗 10 B

アペラ ⇨民会

アベラール,P フランス[1079-1142] 哲学者・神学者。概念論の創始者とみなされ,エロイーズとの恋愛事件も有名 ㊫『アベラールとエロイーズ』 ①文学 17 D ④哲宗 10 C →スコラ哲学<3> →普遍論争 ⑨世史 20 D図 →スコラ哲学

アベリー,T アメリカ[1907-1980] ③音演→アニメーション映画〔アメリカ〕

アベリア ⑲植物 24 C図

アペリチフ<食前酒> ⑬生活→ぶどう酒〔種類〕 →フランス料理〔献立〕

アベル ④哲宗→聖書〔囲人名<カインとアベル>〕

アベル,K デンマーク[1901-1961] 劇作家。映画的手法の作劇術と鋭い社会批判や風刺が特徴 ①文学 18 A

アーベル,N ノルウェー[1802-1829] 数学者。5次の一般方程式が解けないことを証明。楕円関数について研究 ⑯物数 8 A図 →群 →数学〔19世紀〕 →代数学〔19世紀〕

アペル ②美術→現代美術〔欧米<第二次大戦後>〕

アペール,N フランス ⑬生活→かん詰〔歴史〕

アーベル関数体 ⑯物数→代数幾何学〔高次曲線〕

アーベル群<可換群> ⑯物数→群〔定義〕

『アベル家の人々』 ①文学→マトゥーテ,A

アペルドールン オランダ ⑩世地 17 B

アーベルの定理 ⑯物数→代数方程式〔可解な方程式〕 →二項定理

アベレージ ⑬生活→ボウリング〔囲用語〕

アベロエス ⇨イブン・ルシュッド

アヘン〔阿片〕 ⑫経産→アヘン戦争 →専売〔日本〕 ⑭医学→法医学〔薬物中毒〕 →麻薬中毒 ⑲植物→ケシ

『阿片』 ①文学→コクトー,J

アーヘン 西ドイツ ⑩世地 17 C ⑨世史→アーヘンの和約 →カール(大帝) →カロリング朝〔カロリング朝ルネサンス〕

アヘンアルカロイド ⑲植物→アルカロイド〔存在〕

『阿片常用者の告白』 ①文学→ディ・クウィンシー,T

アベンセラヘ家 ⑨世史→グラナダ王国

アヘン戦争 ⑤日史 37 C ⑨世史 20 D図 →清〔政治〕 →中国〔近代<ヨーロッパ勢力の侵入>〕図 →南京条約 →平英団 →林則徐 ⑫経産 12 C →関税自主権 →中国経済事情〔アヘン戦争から〕 ⑥日史→南京条約 ⑩世地→シャンハイ〔沿革〕 ⑪政社→中国革命

『阿片戦争』 ①文学→大衆文学 →陳舜臣

アベンチュリン ⇨砂金石

アベンティーノの丘 ⑩世地→ローマ(市)〔囲観光地<古代七つの丘>〕

『阿片の煙』 ①文学→ファレール,C

アーヘンの和約 ⑨世史 21 C →オーストリア継承戦争 →ジョージ王戦争 →フランドル戦争 →マリア・テレジア

アヘン貿易 ⑨世史→アヘン戦争〔原因〕

アヘン密輸事件 ⑤日史 37 D

アホ,J フィンランド[1861-1921] 小説家。リアリズム作家として出発,自然主義を経て新ロマン主義へ移る ①文学 18 A

アポ(山) フィリピン ⑩世地 17 C

アポイキア ⇨植民市

ア法 ⇨アンモニアソーダ法

阿房宮 ⑨世史 21 D →始皇帝

『阿房宮賦』 ①文学→杜牧

阿呆劇 ③音演→フランス演劇〔中世<世俗劇>〕

『阿呆船』 ①文学→ブラント,S

安房峠 長野・岐阜 ⑦日地 57 B

アホウドリ〔信天翁〕 ⑳動物 23 A図 →海鳥 →保護鳥〔表国際保護鳥〕 ⑧日地→鳥島《東京》

『阿呆鳥いろは教本』 ①文学→デッカー,T

『阿呆の王様』 ③音演→フランス演劇〔中世<世俗劇>〕

『阿呆物語』 ①文学→グリンメルスハウゼン,H →ドイツ文学〔古典主義〕

アボカド<ワニナシ> ⑲植物 24 C図

アボガドロ,L イタリア[1776-1856] 化学者・物理学者。物質の構成要素として分子の概念をとりいれた ⑮化学 14 B図 →アボガドロの法則 →分子〔概念の変遷〕 ⑯物数→アボガドロの法則 →原子論〔化学と原子論〕 →分子

アボガドロ数 ⑮化学 15 A →アボガドロの法則 ⑯物数→アボガドロの法則

アボガドロの仮説 ⇨アボガドロの法則

アボガドロの法則 ⑮化学 15 B図 →アボガドロ数 →原子〔概念の変遷<ドルトンの原子説>〕 ⑯物数 8 C →気体定数 →ゲイ=リュサックの法則 →原子〔一般的性質〕

アポクリファ ⇨聖書外典

アポクリン汗腺<大汗腺> ⑭医学→汗〔疾患<臭汗症>〕 →汗腺 →肛門 →わきが →わきの下

アポクロマート ⑯物数→色収差 →顕微鏡〔実際の顕微鏡〕

アポ酵素<助酵素> ⑭医学→テオレル,A<30 A> →ホルモン〔作用機構〕 ⑮化学→補酵素

網干 兵庫/姫路市 ⑦日地 57 B

ア・ポステリオリ ④哲宗→ア・プリオリ ア・ポステリオリ →カント,I〔囲基本概念〕

アボドリト族 ⑨世史→ウェンド族

アポマトックス・コートハウス ⑨世史→南北戦争〔経過〕図

アポリアー ④哲宗 10 D →ギリシア哲学〔囲用語〕 →ソクラテス →二律背反 →プラトン

アボリジニーズ ⑩世地→アリススプリングス図 →オーストラリア(連邦)〔社会・文化<人種>〕図

アボリショニスト<奴隷制廃止論者> ⑨世史 21 D

アポリネール,G フランス[1880-1918] ローマ生まれの詩人。前衛芸術の旗手となりシュルレアリスムの時代を予言 ㊫『アルコール』 ①文学 18 A図 →前衛文学 ②美術→シュルレアリスム

アポロ ⑱宇地→小惑星〔軌道〕

アポロウスバアゲハ ⑳動物→チョウ《昆虫》〔別<外国>〕

アポロ宇宙船 ⑱宇地→アポロ計画〔足跡〕 →宇宙開発図 →宇宙ステーション →スカイラブ計画〔装置〕 →ロケット〔歴史<第2次大戦後>〕図

アポロエー ⇨流出

アポロ応用計画 ⑱宇地→スカイラブ計画

『アポロギア』 ①文学→アプレイウス,L

アポロ計画 ⑱宇地 6 A図 →宇宙開発〔有人宇宙計画〕 →月探査体〔アメリカ〕 →ロケット〔歴史<第2次大戦後>〕 ⑰科技→システム工学

アポロ11号 ⑱宇地→アポロ計画〔足跡〕 →地球〔地球観の変遷〕 →月《天体》〔化学組成〕

アポロ的・ディオニソス的 ④哲宗→ニーチェ,F〔囲基本概念〕

アホロートル<メキシコサンショウウオ> ⑳動物 23 B図 →生殖〔有性生殖〕

アポロドロス ②美術→遠近法〔ヨーロッパ〕

アポロニウス(ペルガの) ギリシア[前262*-200*] 数学者。円についての幾何学,とくに円錐曲線の研究で知られる ⑯物数 9 A →アポロニウスの円〔歴史〕 →幾何学〔古代ギリシア<3大作図不能問題>〕

アポロニウスの円 ⑯物数 9 A図 →アポロニウス(ペルガの) →軌跡〔基本的な軌跡<平面>〕

アポロニオス ギリシア[前295*-*] 詩人。アルゴ号に乗ったギリシアの英雄の冒険談を主題にした叙事詩『アルゴナウティカ』で知られる ①文学 18 C →ギリシア文学〔叙情詩<合唱の歌>〕〔叙事詩〕 ⑰科技→科学〔歴史<ギリシア>〕

アポロニオスの円 ⇨アポロニウスの円

アポロン<フォイボス> ④哲宗→ギリシア・ローマ神話〔図オリンポスの十二聖〕囲

アポロン神殿 ②美術→ギリシア美術〔建築<神殿>〕図 ④哲宗→神殿図

『アポロンとダフネ』 ②美術→ベルニーニ,G図

『アポロンの地獄』 ③音演→映画別

アポロンの神託 ④哲宗→神託

アポロンの神殿 ⑨世史→デルフォイ ⑩世地→デロス(島)

『アポロンの噴水』 ②美術→フィッシャー<フィッシャー,H>

アマ〔亜麻〕 ⑲植物 24 C図 ②美術→織物〔繊維材料〕 ⑬生活→麻織物 ⑮化学→アマニ油

アマ(科) ⇨アマ科

尼 ④哲宗→僧

尼 ③音演→能〔図狂言面〕

『**海人**』〔海士〕 ③音演 10 D

海士(町) 島根/隠岐 ⑦日地 57 B

海女 ⑦日地→久慈(市) ⑬生活→ダイビング

アーマー,P アメリカ ⑫経産→アーマー会社

『甘い生活』 ③音演→映画〔トーキー<第6期>〕別 →フェリーニ,F

『甘い苦味』 ①文学→ペンツォルト,E

天犬舞 ③音演→稚児舞

『亜麻色の髪の乙女』 ③音演→ドビュッシー,C

アマウイキョウ〔甘茴香〕 ⑲植物 25 A

アマウタ ⑨世史→インカ〔文明〕

海女唄<磯唄> ③音演→民謡〔表<三重>〕

あまえじょう ⑧日地→那覇(市)〔観光・文化〕

天岡直嘉 ⑥日史→売勲事件

アマオブネ〔蜑小舟〕 ⑳動物 23 C

アマ科 ⑲植物 25 B

アマガイ〔蜑貝〕 ⑳動物 23 C

アーマー会社 ⑫経産 13 A

アマガエル ⑳動物 23 C →カエル〔生態と発生〕

り, 30 代の「第二の青春」の充実を提唱。幅広い評論活動とともに, 漱石研究家としても著名 ①文学 24 D →『近代文学』
アラ・マルチア ③音演→音楽用語〈629 A〉
アラマン族 ⑨世史 31 B
アラマンニ, L イタリア[1495/1556] 詩人。形式に重点をおいた作品を発表, ルネサンス衰退期の特徴をよく示す ①文学 24 D
荒魂あらみたま ④哲宗→神道〔囲用語〕
アラムコ〔ARAMCO〕 ⑫経産 19 C
アラム人 ⑨世史→古代オリエント文明〔統一〕
アラム文字 ⑨世史→文字〔オリエントからの伝播〕
アラメ〔荒布〕 ⑲植物 29 B →海藻〔別褐藻植物〕 ⑬生活→海藻類
アラメイン ⇨エルアラメイン
アラメダ公園 ⑩世地→メキシコ(市)
アラモゴード〈アラモゴルド〉 アメリカ/ニューメキシコ ⑩世地 37 C ⑰科技→原子力〔歴史〈原子爆弾〉〕
アラモの砦 ⑩世地→テキサス(州)図
阿頼耶識あらやしき ④哲宗→縁起〔1〕 →仏教〔インド仏教〈大乗仏教〉〕 →唯識 →『楞伽経りょうがきょう』
荒湯 ⑧日地→鳴子(町)
新湯温泉あらゆ ⇨奥塩原温泉
アーラーラ・カーラーマ ⑨世史→シャカ
アララギ ⇨イチイ ⇨ノビル
『アララギ』 ①文学 24 D図 →伊藤左千夫 →古泉千樫こいずみちかし →斎藤茂吉 →島木赤彦 →短歌〔近世〕〔第二次大戦後〕 →土屋文明 →日本文学〔近代〈自然主義〉〕 →正岡子規〔竹の里歌〕 ⑤日史 41 D
『阿羅々木』 ⇨『アララギ』
あららぎノ瀬 ⑦日地→五ヶ瀬川
アララギ派 ①文学→『万葉集』〔後世への影響〕
アララット(山) トルコ ⑩世地 37 C →イラン 図 →トルコ(共和国)〔自然〕
安良里あらり 静岡/賀茂村 ⑦日地 65 C →賀茂(村)
アラリア ⇨ディジゴセカ
アラリック [370?/410] 西ゴート族の王。しばしば西ローマ領に侵入し, 410 年には一時ローマを占拠 ⑨世史 31 B →アタウルフ →ゴート族 →西ゴート族 →民族大移動〔経過〕
アラル(海) ソ連/カザフ・ウズベク ⑩世地 37 C →アムダリヤ(川) ⑱宇地→海跡湖 →構造湖
アラルガンド ③音演→音楽用語〈629 A〉
『アラルコスの伯爵』 ③音演→グラウ, J
アラルコン ⇨ルイス・デ・アラルコン, J
アラルコン, P スペイン[1833/1891] 小説家。地方色豊かな, 動きの速い中・短編小説を得意とした 作『三角帽子』 ①文学 25 A
あられ ⑬生活→米〔加工品〕
あられ〔霰〕 ⑱宇地 17 C →ひょう →雪図
あられ石〔霰石〕 ⑱宇地 18 A →方解石 ⑮化学→炭素〔化合物〈炭酸塩〉〕
アラレガコ料理 ⑳動物→カマキリ《魚》
アラレタマキビ ⑳動物→タマキビ
あられふり ①文学→短歌〔囲枕詞〕
アラワク族 ⑩世地→ドミニカ(共和国)〔略史〕 →西インド(諸島)〔略史〕 →ハイチ(共和国)〔略史〕 →バハマ(国) →プエルトリコ
顕事あらわごと ④哲宗→平田篤胤
アラン フランス[1868/1951] 哲学者・評論家。抽象的な理論より身近な実例を, 短文形式によって表現 作『幸福論』『人間論』 ①文学 25 B図 ④哲宗 15 C
アラン(島) イギリス ⑩世地 37 C
アラン ⇨水素化アルミニウム
『アラン』 ③音演→記録映画 →フラハーティ, R
アーランガー, J アメリカ[1874/1965] 神経生理学者。オシログラフを用い, 活動電位の精密な測定方法を生理学に導入。ノーベル賞受賞 ⑭医学 28 C
アラン族 ⑨世史→民族大移動〔経過〕
アランソン フランス ⑩世地 37 C
アランダム ⑮化学→酸化アルミニウム〔用途〕
アランフェス ⑩世地→スペイン図
『アランフェス協奏曲』 ③音演→ロドリーゴ, J
アラン=フルニエ, H フランス[1886/1914] 小説家。内面の風景の形象化に成功。第一次大戦で戦死 作『モーヌの大将』 ①文学 25 B図
アラン・レネ ⇨レネ, A
アリ, M ⇨クレイ, C
アリ〔蟻〕 ⑳動物 29 A図表 →アオゲラ →アリスイ →アリ塚 →アリツカコオロギ →アリヅカムシ →共生図 →コロニー →昆虫〔人間との関係〈有用昆虫〉〕 →社会性昆虫 →ハアリ ⑲植物→アリ植物

アリー [632/661] ④哲宗→イスラム教〔概観〕 →シーア派 ⑨世史→正統カリフ時代 ⑪政社→イスラム教〔基本的性格〕
アリア〈詠唱〉 ③音演 14 A →オペラ〔形式と構
アリアイア ⇨民会 ⌊成〕 →レチタティーボ
有明(町) 佐賀 ⑦日地 65 C
有明(町) 長崎 ⑦日地 65 C
有明(町) 熊本/天草諸島 ⑦日地 65 C
有明(町) 鹿児島 ⑦日地 65 C
有明行灯 ⑤日史→行灯あんどん図
有明温泉 ⑧日地→穂高(町)
有明海 ⑦日地 65 D図 →島原湾 ⑱宇地→不知火しらぬい →潮汐〔満干潮〕 ⑳動物→ムツゴロウ
有明干拓 ⑦日地→佐賀平野
『有明集』 ①文学→蒲原有明かんばらありあけ →象徴主義
アリアケシラウオ ⑳動物→シラウオ
有明神社 ⑦日地→有明山
有明夏夫 ①文学→直木賞表
『有明の別』 ①文学→物語文学
有明浜 ⑦日地→観音寺かんおんじ(市)〔琴弾公園〕
有明山〈信濃富士〉 長野 ⑦日地 66 A
有明湾 ⇨志布志湾しぶし
アーリア人 ⇨アーリヤ人
『アリアドナの五冊の本』 ①文学→センデル, R
アリアドネ ④哲宗→テセウス
アリアヌス, F [95?/175?] ローマの政治家・歴史家。小アジアの出身で師エピクテトスの語録などを著す ⑨世史 31 C →『エリトラ海案内記』 ①文学→アリアノス, F
『アリアーヌと青ひげ』 ③音演→デュカ, P
アリアノス, F ①文学 25 C ⇨アリアヌス, F
アーリアバタ インド[475/553] 数学者・天文学者。旅人算のもとになる 1 次不定方程式の一般解を求めた
アーリア文化 ④哲宗→バラモン教 ⌊⑯物数 10 B
アリーアマン ④哲宗→インド神話〔ベーダ神話〕
アリアン・ロケット ⑱宇地→ロケット〔歴史〈アポロ以後〉〕
アリ・イブン・シナ [980/1037] ⑰科技→ジャービル・イブン・ハイヤーン 「築》
アーリー・イングリッシュ ⇨初期イギリス式《建
アリウス [250?/336?] キリスト教の異端者。キリストは神によって無からつくられたものと説く ④哲宗 15 D図 →アタナシウス →東方正教会〔歴史〕 →ニカイア公会議 ⑨世史→アリウス派 →ニカイア公会議〔第1回〕
アリウス派 ⑨世史 31 C →アタナシウス →カトリック ④哲宗→アタナシウス →アリウス
アリウス論争 ④哲宗→エウセビウス(カイザリアの) →バシレイオス
アリウム ⑲植物 29 B図
有家(町)ありえ 長崎 ⑦日地 66 C
アリエノール・ダキテーヌ ⑨世史→フランス(共和国)〔歴史〈封建社会〉〕
アリエル ⑱宇地→衛星〔表〈天王星〉〕
『アリエル』 ①文学→ロドー, J
アリオスト, L イタリア[1474/1533] ルネサンス黄金期の代表的詩人。イタリア喜劇の創始者ともいわれる 作『狂乱のオルランド』 ①文学 25 D図 →古典主義 →ボイアルド, M →ルネサンス文学 ③音演→イタリア演劇〔ルネサンスの人文主義劇〕
アリオ・ドラビダ族 ⑩世地→アジア(州)〔民族〕
アリオン ギリシア[前628/585] ①文学→戯曲〔歴史〕
アリカ チリ ⑩世地 37 D
アリガー インド ⑩世地 37 D
有賀神社 ⑦日地→内原(町)
アリガタバチ ⑳動物→ハチ〔生態〕
有賀長雄 [1860/1921] 憲法・国際法学者。天皇機関説をとる。学士院恩賜賞受賞 ⑤日史 41 D
有壁 宮城/金成町 ⑦日地 66 C →金成(町)かんなり
アリーガル ⇨アリガー
アリーガル運動 ⑨世史 31 C
有川(町) 長崎/五島列島 ⑦日地 66 C
有川湾 ⑦日地 66 C
アリカンテ スペイン ⑩世地 37 D
アリクイ〔蟻食, 食蟻獣〕 ⑳動物 32 B図 →体温〔表恒温動物〕 →貧歯類
アリク・ブハ [?/1266] チンギス・ハンの末子トゥルイの第 7 子。兄のフビライとハン位を争う ⑨世史 31 D →元〔概観〕 →フラグ →モンゴル帝国〔拡大と分裂〕
アリグモ〔蟻蜘蛛〕 ⑳動物 32 B →クモ図
有毛検見法 ⑤日史→享保の改革きょうほう〔財政〕
アリゲーター ⑳動物 32 C →ワニ〔分類〕

アリゲール, M ソ連[1915/1973] 女流詩人。作品は人間性の根底にふれる鋭い観察や思索に貫かれている 作『ゾーヤ』 ①文学 26 A
アリサ ①文学→ジッド, A〔狭き門〕
有坂鉊蔵 [1868/1941] ⑥日史→弥生町貝塚
有坂成章なりあきら [1852/1915] ⑤日史→有坂砲
有坂砲 ⑤日史 42 A
アリザリン ⑮化学 21 A →あかね →キノン〔アントラキノン系化合物〕 →グレーベ, K →色素 →リーベルマン, C ⑬生活→食品着色料 ⑲植物→アカネ〔染色〕 →植物色素
有沢山荘露地 ②美術→庭園囲
有沢広巳 ⑫経産→傾斜生産方式 →二重構造〔一〕
阿里山脈ありさん ⑩世地→タイワン(山脈)
アリジゴク〔蟻地獄〕 ⑳動物 32 C →ウスバカゲロウ図
『在りし日の歌』 ①文学→中原中也
有島生馬いくま [1882/1974] 洋画家・小説家。武郎の弟。二科会をおこす ①文学 26 A ②美術 11 C ⑤日史 42 A
有島武郎たけお [1878/1923] 白樺派の小説家。革命運動に共鳴しながら自己の身分・教養との矛盾に苦しみ情死 作『或る女』『惜みなく愛は奪う』 ①文学 26 B図 →『白樺』 ⑤日史 42 A
有島農場 ⑧日地→ニセコ(町)
アリ植物 ⑲植物 29 C
アリ・シル・ナバイ ⑨世史→ティムール帝国
アリスイ〔蟻吸〕 ⑳動物 32 C →キツツキ図
有栖川あすかわ ⇨斎院
アリスガワゼキショウ ⑲植物→セキショウ
有栖川宮 江戸時代の四親王家の一。大正期に継嗣が絶え, 高松宮が祭祀をつぐ ⑤日史 42 A →皇室 ⑪政社→皇室〔皇族〕
有栖川宮記念公園 ⑦日地→麻布 ⑧日地→東京(都)表
有栖川宮熾仁親王ありすがわのみやたるひと [1835/1895] 幕末期の尊攘派皇族。王政復古で新政府総裁となり, 江戸城に入る ⑤日史 42 B ⑥日史→東征大総督
アリススプリングス オーストラリア ⑩世地 37 D図 →ノーザンテリトリー
アリスタルコス ギリシア[前217?/145?] 文学者。文法論や語源学などの科学的研究を初めて成立させた ①文学 26 D
アリスタルコス(サモスの) ギリシア[前310?/230?] 天文学者。地動説を唱え, 古代のコペルニクスと称される ④哲宗 16 A ⑱宇地 18 A →コペルニクス, N〔天球の回転について〕 →地動説 →ヘラクレイデス(ポントスの) ⑯物数→地動説
アリスタルコス ⑱宇地→月《天体》〔表面の地形〕
アリスティッポス ギリシア[前435?/355?] アフリカ北岸キレネ生まれの哲学者。キレネ学派を開く ④哲宗 16 A →キレネ学派
アリステイデス ギリシア[129/181?] 弁辞家。著作は当時の小アジアの状況を知る資料として貴重 ①文学 26 D
アリステイデス ギリシア[前520?/468?] アテナイの政治家・将軍。対ペルシア戦争で大活躍をし称賛を博す ⑨世史 31 D →デロス同盟
アリストクセノス ③音演→ギリシア音楽
アリストゲネシス ⑳動物→オズボーン, H
アリストテレス ギリシア[前384/322] プラトンの弟子で, 師と並ぶ古代ギリシア最大の哲学者 作『詩学』 ①文学 26 D図 →戯曲〔ジャンル〕 →ギリシア文学〔散文〕 →修辞学 ③音演 14 B →演劇〔機能〕 ④哲宗 16 B図囲 →アリストテレス学派 →エネルゲイア →ギリシア哲学〔古典期〕 →偶有性 →形而上学 →存在論 →中庸論 →範疇 →本質 →目的論 ⑨世史 31 D →アレクサンドロス(大王) →科学史〔ギリシア・ローマ〈アテネ時代〉〕 ⑮化学 21 B図 →化学〔歴史〈起原〉〕 →原子〔概念の変遷〈ギリシア〉〕 ⑯物数 10 B図 ⑱宇地 18 A →気圧 →地図〈431 D〉 →虹〔研究史〕 ⑳動物32C図 →生物学 →生命〔生命論〕 →動物学〔歴史〕 ⑪政社→ギリシアの政治思想〔前4世紀〕図 ⑰科技→科学〔科学と哲学〕
『アリストテレス』 ④哲宗→ロス, W
アリストテレス学派 ④哲宗 19 C
アリストテレスの提灯 ⑳動物→あご →ウニ〔形態〕 →口 →歯
アリストファネス ギリシア[前445?/385?] ギリシア喜劇の最高の作者。アテネ市民の愚行と悪弊を痛烈に喜劇化 作『女の平和』『蛙』 ①文学 27 D図 →パロディ ③音演 14 C →ギリシア演劇〔喜

劇〕 →滑稽劇 ⑨世史 32 A
アリストロキア ⑲植物→パイプバナ
アリスワラジムシ ⑳動物→アリ〔アリ動物〕図
アリゾナ(州) ⑩世地 37 D
アリゾナ記念館 ⑩世地→ハワイ(州)図
アリゾナソノラ砂漠博物館 ⑰科技 679 B
アリゾナ・ルビー ⑱宇地→ざくろ石〔パイロープ〕
アーリ・ソルギルソン [1067/1148] 歴史学者。北欧で初めて自国語で北欧史を書き,北欧史家の鼻祖と称される ①文学 28 B
有田(町) 佐賀 ⑦日地 66 C図 ⑤日史→有田焼
有田(市) 和歌山 ⑦日地 67 B図
有田川 和歌山 ⑦日地 67 C
アリタキ・アーボレータム ⑲植物→植物園表
有田二郎 ⑥日史→造船疑獄
アリタソウ〔有田草〕《アカザ科》 ⑲植物 29 C →ケアリタソウ
アリタソウ《シソ科》 ⇨ケイガイ
有田鉄道 ⑧日地→和歌山(県)〔交通〕
アリダード ⑰科技→測量〔平板測量〕図 ⑱宇地→地図〔作成工程〕図
有田陶磁美術館 ②美術 680 A
有田八郎 [1884/1965] 政治家。外交官から広田・近衛・平沼・米内各内閣の外相を歴任 ⑤日史 42 B
有田焼 ⑤日史 42 B ②美術→伊万里焼 →陶芸〔日本〈近世〉〕 ⑥日史→ワグネル,G ⑦日地→有田(町)図 →伊万里(市) ⑮化学→陶磁器〔分類〈産地による〉〕
アリタリア航空 ⑬生活→海外旅行〔航空会社〕
アリチアミン ⑮化学→ビタミン〔囲〈B_1〉〕
アリ塚〔蟻塚〕 ⑳動物 33 A図
アリヅカコオロギ〔蟻塚蟋蟀〕 ⑳動物 33 A →アリ〔アリ動物〕図 →コオロギ
アリヅカムシ〔蟻塚虫〕 ⑳動物 33 A
アリッサム〈ニワナズナ〉 ⑲植物 29 C図
アリディ,J [1943] ③音演→シャンソン《ポピュラー》〔特徴〕
アリディソル ⑱宇地→土壌〔世界の土壌分布〕図
ア・リテラチュール ①文学→文学〈555 C〉
アリ動物〈好蟻性動物〉 ⑳動物→アリ
アリドオシ〔虎刺伏手花〕 ⑲植物 29 C図
『蟻通』 ①文学→世阿弥
アリトマン ②美術→ロシア美術〔初期ソビエト〕
アリドリ〔蟻鳥〕 ⑳動物 33 B
アリーナ・ステージ ③音演→劇場〔現代〕図
アリニュマン ⑨世史→巨石記念物図
蟻の熊野詣 ④哲宗→熊野信仰 →熊野大社
アリノスハネカクシ ⑳動物→アリ〔アリ動物〕
アリの塔 ⇨アリ塚
アリノトウグサ〔蟻の塔草〕 ⑲植物 29 C図
アリノトウグサ科 ⑲植物 30 A
アリバチ〔蟻蜂〕 ⑳動物 33 B
『アリ・ババと 40 人の盗賊』 ①文学→『千夜一夜物語』
アリバライト ⑱宇地→斑糲岩
アリー・ビン・ムハンマド ⑨世史→ザンジュの乱
有福温泉 ⑦日地→江津(市)
アリポ(山) ⑩世地→トリニダード・トバゴ(共和国)
アリボフラビノージス ⑭医学→ビタミン〔ビタミンB_2〕
アリポール動物園 ⑳動物→動物園〔表世界〕
アリマ ⑳動物→プランクトン図
有馬 神戸市/北区 ⑤日史 42 C
有馬氏《肥前》 鎌倉時代の地頭から肥前の大名となり,江戸時代は越前丸岡藩主 ⑤日史 42 C図 →大村氏
有馬氏《摂津》 赤松氏の支流で,室町時代に摂津の地頭,江戸時代は久留米藩主 ⑤日史 42 D図
有馬温泉 ⑤日史→有馬 ⑦日地→神戸(市)
有馬川 ⑧日地→名栗川 →武庫川
アリマキ〔蚜虫〕 ⑳動物 33 B ⇨アブラムシ
有馬記念 ⑬生活→競馬〔競走の種類〕
有馬新七 [1825/1862] 幕末,薩摩藩の尊攘志士。寺田屋事件で藩主に鎮圧され闘死 ⑤日史 42 D ⑥日史→寺田屋事件
有馬貴純 ⑤日史→有馬氏《肥前》 ⑥日史→原城
有松 名古屋市/緑区 ⑦日地 67 D
有松絞 ⑤日史→尾張国 ⑧日地→名古屋(市)〔観光・文化〕 ⑬生活→染物〔絞染〕
有馬豊氏 ⑤日史→有馬氏《摂津》
有間皇子 [640/658] 飛鳥時代,孝徳天皇の皇子。父没後重祚した斉明天皇に謀反を企て殺される ①文学 28 B ⑤日史 43 A ⑥日史→天智天皇
有馬晴純 ⑤日史→有馬氏《肥前》

有馬晴信 [1567/1612] 安土桃山・江戸初期の武将。キリシタン大名。関ヶ原では東軍。のち奸策にかかり斬首 ⑤日史 43 A →岡本大八 ④哲宗→キリシタン〔歴史〈第1期〉〕
有馬富士 兵庫/三田市 ⑦日地 67 D
アリ・マヘル ⑩世地→エジプト(アラブ共和国)〔略史〕
有馬頼義 [1918/1980] 小説家。戦争体験を問い返すかたちで事件と人間を追求する作品が多い ①文学 28 C →推理小説〔日本〕 →直木賞表
有馬頼寧 [1884/1957] 政治家。進歩派の華族で,近衛文麿の側近として農相・大政翼賛会事務総長などを歴任 ⑤日史 43 A →新体制運動
有馬頼徸 [1712*/1783] 江戸中期の数学者。久留米藩主で,関流和算の集成に力を注ぐ ⑯物数 11 C →和算〔円理〕 ⑥日史→筑後国〔囲人国記〕
アーリマン ⇨アングラ・マイニュ
有峰ダム ⑧日地→薬師岳 ⑰科技→ダム表
アリメチェフスク ⑩世地→タタール
アリモドキ〔擬蟻虫〕 ⑳動物 33 B
アリモドキカッコウムシ ⑳動物→カッコウムシ
有本国蔵 ⑥日史→丹後国〔囲人国記〕
アーリヤ・サマージ ⑨世史 32 A →ラージパト・ラーイ,L
アーリヤ人 ⑨世史→インダス文明〔終末〕 →インド〔古代国家の形成〕 →中央アジア〔歴史〈アーリヤ人時代〉〕 →バラモン教 ⑪政社→人種問題〔人種主義〕 ⑳動物→ゾウ〔民俗〕
アリュアッテス ⑨世史→リディア
亜硫酸 ⑮化学22 B →イオウ〔化合物〈酸化物および関連化合物〉〕
亜硫酸塩 ⑮化学→イオウ〔化合物〕
亜硫酸ガス ⑮化学 22 B →公害〔囲用語〕 →二酸化イオウ ⑫経産→公害〔産業公害〕 ⑭医学→ガス中毒
亜硫酸水素ナトリウム ⑮化学→イオウ〔化合物〈亜硫酸塩〉〕 →漂白 →漂白剤
亜硫酸パルプ ⑰科技→パルプ〔木材パルプ〈化学パルプ〉〕
アリューシャン(海溝) ⑩世地→太平洋〔自然〕 ⑱宇地→太平洋
アリューシャン(列島) ⑩世地 38 B ⑱宇地→島弧 →ベーリング,V
アリューシャン作戦 ⑥日史→ミッドウェー海戦
アリュート人 ⑤日史→オホーツク文化
アリュバロス ②美術→ギリシア美術〔図陶器〕
アリューロン粒〔糊粉粒〕 ⑲植物 30 B →細胞〔含有物〕 →種子 →たんぱく質〔植物体〕
有吉以顕 [1736/1800] ⑥日史→備前国〔囲人国記〕
有吉佐和子 [1931] 小説家。社会風俗の幅広い分野に取材,作品世界は多岐にわたる 作『地唄』 ①文学 28 C →『新思潮』
『アリョーナ・フォーミナ』 ①文学→ヤーシン,A
『アリラン』 ③音演→朝鮮音楽〔種目〕
アーリーローズ ⑬生活→ジャガイモ〔種類〕
在原氏 平安時代の皇族賜姓氏の一。平城天皇の二皇子から始まる ⑤日史 43 B図
在原業平 [825/880] 平安前期の歌人。家集をもととして『伊勢物語』がつくられる ①文学 28 D →『古今和歌集』 →三十六歌仙 →六歌仙 ⑤日史 43 B →在原氏
在原行平 [818/893] 平安前期の歌人。業平の兄。民部卿・大宰権帥として活躍 ①文学 29 A ⑤日史 43 B →歌合
アリンカングリ(山脈)〈阿陵山脈〉 中国/新疆自治区 ⑩世地 38 B
亜リン酸 ⑮化学→リン〔化合物〕
ありんす言葉 ⑤日史→花魁
アーリントン墓地 ⑩世地→バージニア(州) →ワシントン図
アル(諸島) ⑩世地 38 B
アール ⑨世史→爵位〔西洋〕
『ある愛』 ①文学→ブッツァーティ,D
RI ⑰科技 9 A ⇨ラジオアイソトープ
『ある愛の物語』 ③音演→シーモノフ,K
アルアイン ⑩世地 38 B →スペイン領サハラ図
『或る朝』 ①文学→志賀直哉
アル・アシュアリー [873/935] ④哲宗→アラビア哲学〈15 B〉 →イスラム教〔神学〕 →スンナ派
アル・アスマイー [*828*] ①文学→『アンタル物語』
アルアハダル(山脈) ⑩世地→アラビア(半島)
アル・アフガーニー,J [1839/1897] ④哲宗→イスラム教〔現代〕 ⑪政社→汎イスラム主義
『ある阿片常用者』 ①文学→ボードレール,C
『或阿呆の一生』 ①文学→芥川竜之介
『あるアメリカの農夫の手紙』 ①文学→アメリカ文学〔植民地時代〕 →クレーブクール,M
R&B ⇨リズム・アンド・ブルース
アル・イスラム ⑨世史→西アジア
『あるイタリア人の告白』 ①文学→ニェーボ,I
アル・ウバイド ⑨世史 32 A
RHI表示 ⑱宇地→気象レーダー
Rh因子 ⑭医学→脳性小児麻痺〔原因〈妊娠〉〕
Rh-Hr式血液型 ⑭医学→ウィーナー,A〈179 D〉
Rh式血液型 ⑭医学→血液型 ⑳動物→遺伝〔集団遺伝学〕
アルエット ⑱宇地→宇宙開発〔世界各国の動向〕 →人工衛星表
『アルエット』 ③音演→民謡〔西欧〈フランス〉〕
RNA ⇨リボ核酸
RNAウイルス ⑭医学→ウイルス〔分類〕 ⑳動物→ウイルス →核酸〔RNA〕
RNC〈無線航行地図〉 ⑰科技→航空路図
RAPP ⇨ラップ
RMR ⇨エネルギー代謝率
RMC〈地区気象中枢〉 ⑱宇地→WWW
RM電池〈ルーベン電池〉 ⑰科技→水銀電池
『或る女』 ①文学→有島武郎図 →日本文学〔近代〈反自然主義〉〕
『ある女の遠景』 ①文学→舟橋聖一
アルカイオス [前620*] 叙情詩人。戦闘,政治,酒,恋愛,神々への賛歌と,その詩は多方面にわたる ①文学 29 A →ギリシア文学〔叙情詩〈独吟の歌〉〕
アルカイズム ①文学→文学〔囲用語〕
『ある階段の物語』 ③音演→ブエロ・バリェッホ,A
アルカイック期 ⑨世史→ギリシア〔移動と植民〈植民と僭主の時代〉〕
アルカイック・スマイル ②美術 11 C →イオニア様式 →ギリシア美術〔彫刻〕
アルカイック美術 ②美術 11 C
アルカザーバ ⑩世地→マラガ
アルガゼル ⇨アル・ガッザーリー
アル・カターイ ⑩世地→カイロ〔沿革〕
アル・ガッザーリー〈ガザーリー〉 [1058*/1111] イスラム教史で最大の名声をもつイラン系の神学者・思想家 ④哲宗 19 C →アラビア哲学〈15 B〉 →イスラム教〔神学〕 →スンナ派 ⑨世史→ガザーリー
『アルカディア』 ①文学→サンナザーロ,J
アルカディア人 ⑨世史→ギリシア〔自然的条件〕
アルカディウス,F [377/408] ビザンティン皇帝。弟ホノリウスとローマ帝国を共同統治しその東半分を治めた ⑨世史 32 B
アルカデルト,J [1514*/1572*] フランドル生まれの作曲家。マドリガル作家として名高く,宗教曲もある 作『アベ・マリア』 ③音演 14 D
『アルガバル』 ①文学→ゲオルゲ,S
アル・カーヒラ城 ⑨世史→城〔イスラム〕
アルカモ ⑩世地 38 C
アルカラ通り ⑩世地→マドリード
アルカリ ⑮化学 22 B表 →酸・塩基〔水溶液系〕
アルカリ栄養湖 ⑱宇地→湖沼〔湖沼型〕
アルカリ火山岩 ⑱宇地→岩石〔火山岩または細粒火成岩〕
アルカリ岩 ⑱宇地 18 B
アルカリ橄欖石玄武岩 ⑱宇地→玄武岩
アルカリ金属 ⑮化学 22 C図 →カリウム →元素〔分類〕 →周期表〔表元素群の特徴〕
アルカリ血症 ⑭医学→血液〔ペー・ハー〕
アルカリ工業 ⑮化学 23 A図 →化学工業〔分類と構造化〕 ⑫経産→アライド・ケミカル
アルカリ性〈塩基性〉 ⑮化学→アルカリ →ペーハー ⑲植物→あく
アルカリ性食品 ⑬生活→栄養〔無機質〕 →食品〔分類〕 ⑮化学→アルカリ〔アルカリ性〕
アルカリ性土壌 ⑲植物→土壌
アルカリ性肥料〈塩基性肥料〉 ⑮化学 24 C
アルカリ泉 ⑱宇地→温泉〔分類〕
アルカリ閃長岩 ⑱宇地→深成岩
アルカリ蓄電池 ⑰科技 9 A →蓄電池 →電池〔二次電池〈鉛蓄電池〉〕 ⑮化学→電池〔二次電池〈鉛蓄電池〉〕
アルカリ長石 ⑱宇地→閃長岩 →粗面岩 →長石
アルカリ滴定 ⑮化学→中和滴定 →分析〔定量分析〈559 B〉〕

アルダー,K ドイツ[1902-1958] 有機化学者。ディールス-アルダー反応を開発しジエン合成を創始 ⑮化学37A図 →ディールス-アルダー反応

アルタイ(山脈) アジア ⑩世地43B

アルタイ語族 ⑧日地→ウラル・アルタイ語族〈1199B〉

『アルタイ山にて』 ①文学→ロドイダンバ,C

アルタイ族 ⑩世地→アジア(州)〔民族〕

アルタイル〈牽牛星,彦星〉 ⑱宇地19A →恒星〔表1等星〕 →星座〔四季〈夏〉〕 →ベガ →わし座

アルタクセルクセス(一世) [前*-424] アケメネス朝の王。キモンの率いるアテネ海軍に敗れてからしだいに衰退 ⑨世史33B →ペルシア帝国

『**アルタシャーストラ**』〈ニーティシャーストラ〉 ①文学29C ⑨世史→マウリヤ朝

アルダシル(一世) ⑨世史→クテシフォン →ササン朝ペルシア

アルダーノフ,M ロシア[1889-1957] 小説家。社会的・歴史的葛藤を強調する歴史小説がある。亡命 ①文学29C

アルタバン(五世) ⑨世史→ササン朝ペルシア

アルダブラ(諸島) セーシェル/インド洋 ⑩世地43C →イギリス領インド洋植民地

アルダブラゾウガメ ⑳動物→ゾウガメ

アルタミラ スペイン ⑨世史33C図 ②美術→原始美術〔洞窟壁画〕 ⑳動物→ウシ〔別〈歴史と民俗〉〕

アルタムシュ ⇨イレトゥミシュ

アルダル酸 ⑮化学→糖〔単糖の誘導体〈糖酸〉〕

アルダン(川) ソ連 ⑩世地43C →レナ(川)

アルダン(高原) ソ連 ⑩世地43C

『**アルタン・トプチ**』 ①文学29C ⑨世史33C

アルタン・ハン〔阿勒坦汗〕 [1507-1582] 内モンゴル族トゥメト部長。ラマ教を信じダライ・ラマの号を初めて受けた ⑨世史33C

アルタンボラグ モンゴル ⑩世地43C

アルチェット(川) ⑩世地→ルクセンブルク(大公国)〔自然・住民〕

アルチエレクトログラフ ⑱宇地→雷〔雷雲内の電気分布〕

アルチプラノ(高原) 南アメリカ ⑩世地43D →ボリビア(共和国)図

アルチュス,N フランス[1862-1945] ⑭医学→アレルギー

アルチュス現象 ⑭医学→アレルギー

アルチュセール,L フランス[1918-] マルクス主義哲学者。構造主義の代表者の一人とみなされている ④哲宗20C →構造主義 ⑪政社→構造主義

アルチュボロド ⑨世史→ハルハ部

アルチン,E [1898-1962] ⑯物数→数学〔20世紀〕 →高木貞治 →ネーター,A

アルチン(山脈)〈阿爾金山脈アーアルチン〉 ⑩世地43D →クンルン(山脈) →チンハイ(省)

アルツィバーシェフ,M ロシア[1878-1927] 小説家。性と暴力と死を主要なテーマとして創作。亡命 ㊥『サーニン』 ①文学29D

アルツハイメル病 ⑭医学→精神病

アルディ,A フランス[1570*-1632*] 劇作家。王室劇団の座付作者として悲劇・悲喜劇・田園劇を多作 ①文学29D ③音演→フランス演劇〔古典劇〕

アルディカ ⑨世史→奴隷制〔近代以前〈インド〉〕

アルティガス ⑩世地→ウルグアイ(東方共和国)〔略史〕

アルディゴ,R イタリア[1828-1920] 実証主義の代表的哲学者。晩年には二度自殺を企てる ④哲宗20C

アルティソル ⑱宇地→土壌〔世界の土壌分布〕図

アルティン,E [1898-1962] ⑯物数→整数論〔代数的整数論〕

アール・デコ ⑬生活→洋装〔囲洋服地〕

アルテコラ ⑳動物→ネズミ〔分類〕

アルデバラン ⑱宇地19A →おうし座 →巨星表 →恒星〔表1等星〕 →星座〔四季〈冬〉〕

アルデヒド ⑮化学37B表 →カニッツァーロ反応 →ケトン →ホルムアルデヒド

アルデヒド基 ⑮化学→アルデヒド →官能基表

アルテ・ピナコテーク ⇨ミュンヘン国立美術館

アルテ・ポーベラ ②美術→現代美術〔欧米〈第二次大戦後〉〕

アルテミシオンの海戦 ⑨世史→ペルシア戦争〔クセルクセスの遠征〕

アルテミス ④哲宗→ギリシア・ローマ神話〔図オリンポスの十二聖〕囲

アルテミス古神殿 ②美術→ギリシア美術〔建築〈神殿〉〕

アルテミドロス ギリシア[*-*] 2世紀末の著述家。各種の占いに関する著作を残す ①文学30A

アルテリ ⑧日地→コルホーズ〈1212B〉

アルデンヌ(高原) ベルギー ⑩世地43D →ベルギー(王国)〔略史〕

アルテンベルク,P オーストリア[1859-1919] 小説家。ウィーンの印象主義を代表,極度に凝縮された文体で人生の機微を描く ①文学30A

アルト ③音演14D →アルト・ホルン →コントラルト →声域図 →ビオラ

アルトー,A フランス[1896-1948] 詩人・演劇理論家・俳優。演劇を文学従属から解放し,残酷演劇を試みた ①文学30A ③音演15A →現代演劇

アールト,H フィンランド[1898-1976] 建築家。自国の風土や歴史との対峙の姿勢にその本領がある ②美術11D →椅子いす〔美しさ〕図 ⑰科技→住宅図

アルトア フランス ⑩世地43D

アルトア(台地) フランス ⑩世地43D

アルトア伯 ⑨世史→ルイ(十八世)

アルトウッティング ④哲宗→巡礼〔囲巡礼地〕

『アルトゥロ・ウイの抑えることもできた興隆』 ③音演→ブレヒト,B

『アルトゥーロ島』 ①文学→モランテ,E

アルトゥング ⇨ハルトゥンク,H

アルドオキシム ⑮化学→オキシム

アルト記号 ③音演→楽典〔囲〈音部記号〉〕図

アルト・クラリネット ③音演→クラリネット〔クラリネット属〕図

アルドケテン ⑮化学→ケテン

アルトジウス オランダ[1557-1638] ⑪政社→抵抗権

アルドース ⑮化学38A →単糖類

アルドステロン ⑭医学→副腎 ⑮化学→ステロイド〔副腎皮質ホルモン〕

アルトドルフ スイス ⑩世地43D

アルトドルファー,A ドイツ[1480*-1538] ルネサンス期の画家・版画家。宗教・風景・歴史画や建造物のデッサンも多い ②美術12A図 →ドイツ美術〔ルネサンス〕図

『アルトナの幽閉者』 ①文学→実存主義 ③音演→サルトル,J

アルトナルソン ⑩世地→レイキャビク

アルトーネン,W フィンランド[1894-1966] ②美術→北欧美術〔絵画と彫刻〕

『アルト=ハイデルベルク』 ①文学→マイヤー=フェルスター,W

アルドヘキソース ⑮化学→グルコース →単糖類〔図構造〕 →糖〔単糖の性質〕 →マンニット

アルドペントース ⑮化学→アラビノース →単糖類〔図構造〕 →リボース

アルト・ホルン ③音演15A →サクソルン属図

アルトマルクの講和 ⑨世史→北欧史〔歴史〈近代〉〕

アルトマン,H オーストリア[1921-] 詩人・小説家。吟遊詩人のようにおびただしい作品を即興的に制作した ①文学30B

『アルトラプソディ』〈冬のハルツの旅〉 ③音演→ブラームス,J〔作風と作品〕

RTOL アールトール ⑰科技→飛行機〔用途〈輸送機〉〕

アルドール〈アセトアルドール〉 ⑮化学38A →アルコール〔アルコール工業〕

アルドール縮合 ⑮化学→縮合

アルトロース ⑮化学→糖〔図D-系列アルドース〕

アルドロバンディ,U ⑰科技→科学博物館〔歴史〈678A〉〕

アルドン酸 ⑮化学→糖〔単糖の誘導体〈糖酸〉〕

アルナチャルプラデシ インド ⑩世地44A

アルニカ ⑲植物30C

アルニコ合金 ⇨MK合金

アルニム,A ドイツ[1781-1831] 後期ロマン派の代表的小説家。機関誌『隠者新聞』を発行 ①文学30B →アルニム,B

アルニム,B ドイツ[1785-1859] 後期ロマン派の女流作家。人道主義的社会主義を唱導。ブレンターノの妹で,A.アルニムの妻 ①文学30B

アール・ヌーボー ②美術12B図 ①文学→新ロマン主義

アルヌルフ [850*-899] 東フランク国王。東方のモラビア人と戦い,またノルマン人に大打撃を与えた ⑨世史33D →フランク王国〔分裂〕 →マジャール人

アルヌルフィング家 ⑨世史→カロリング朝

アルネム ⇨アルンヘム

アルノー,A フランス[1612-1694] 神学者。イエズス会の道徳説を攻撃したことに起因しパリ大学神学部より除名 ④哲宗20D →デカルト派 →パスカル,B〔田舎の友への手紙〕

アルノー,G フランス[1918-] 小説家。スリルとサスペンスに富んだ作品を発表 ㊥『恐怖の報酬』 ①文学30B

アルノー,J フランス[1591-1661] ⑨世史→ポール・ロワイヤル運動

アルノー,M フランス[1870-*] 批評家。『NRFエヌエルエフ』創刊に尽力 ①文学30B

『アルノルフィニ夫妻』 ②美術→ファン・アイク(兄弟)〈弟〉図

アルノルフォ・ディ・カンビオ イタリア[1240*-1302*] 建築家・彫刻家。フィレンツェ大聖堂の造営に参画 ②美術13A →サンタ・マリア・デル・フィオーレ大聖堂

アルバ(島) ⑩世地→オランダ領アンチル(諸島)

アルバイト ⑫経産→雇用制度

アルパインクラブ ⑩世地→アルプス〔登山〕

アルパカ ⑳動物33C図 ⑩世地→ペルー(共和国)〔経済・産業〕 ⑬生活→毛織物

アルバカーキ アメリカ/ニューメキシコ ⑩世地44A

アル・ハーキム・モスク ②美術→イスラム美術〔ファティマ朝〕

アルバ公 スペイン[1508-1583] 軍人・政治家。ネーデルラント総督に任命され過酷な圧制をしく ⑨世史33D →エグモント

アル・ハサン ⇨アルハーゼン

アルバジーノ,A イタリア[1930-] 小説家・評論家。反ネオ・レアリズモと言語実験主義を唱えた ①文学30C

アルバジン ⑨世史→ネルチンスク条約

アルバース,J アメリカ[1888-1976] ドイツ出身の画家・美術教育家。幾何学的抽象絵画を発表 ②美術13A →オプ・アート →バウハウス

アルハーゼン〈イブヌル・ハイサム〉 [965*-1039*] イスラム世界最大の自然科学者。光の幾何学的とり扱いを可能にし,近代光学への道を開く ⑯物数13A →光 ⑰科技→科学〔歴史〈中世〉〕 →写真〔技術の歴史〈カメラ・オブスクラ〉〕 ⑱宇地→イブヌル・ハイサム

アルハーゼンの問題 ⑰科技→科学〔歴史〈中世〉〕

アルバータ(州) カナダ ⑩世地44A

アルバータ動物園 ⑳動物→動物園〔表世界〕

アル・バッターニー [858-929] イスラムの天文学者。天体観測,三角法による天体計算などで天文恒数を改訂 ⑱宇地19B ⑨世史→バッターニー ⑰科技→科学〔歴史〈中世〉〕

『アルバディーア』 ①文学→イブン・アル・ムウタッズ

アルバテニウス ⇨アル・バッターニー

アルバート,H ⑫経産→経済学方法論Ⅱ〈155B〉

アルバート,J ドイツ ⑰科技→印刷〔歴史〕

アルバート(湖) ウガンダ・ザイール ⑩世地44B →ウガンダ(共和国)図 ⑱宇地→湖沼〔湖沼型〈アルカリ栄養湖〉〕表

アールパード ハンガリー[*-907] アールパード朝の初代。パンノニアに移住しドイツ・イタリアにも遠征 ⑨世史33D ⑩世地→ハンガリー(人民共和国)〔略史〕

アルバート公 ⑨世史→ビクトリア(女王)

アルバートコトドリ ⑳動物→コトドリ

アルバート・ナイル ⑩世地→アルバート(湖) →ナイル(川)

アルバート・ニャンザ(湖) ⇨アルバート(湖)

アルバートビル ⇨カレミ

アル・ハドラー宮 ②美術→城〔東洋〈アジア各地〉〕

アルバトロス号 ⑱宇地→海洋〔探検〕

アルバーニ,F イタリア[1578-1660] ②美術→ボローニャ派

アルバニア(人民社会主義共和国) ヨーロッパ ⑩世地44C図 ⑪政社→東欧政治事情 ⑫経産→東欧経済事情

アルバニア演劇 ③音演→東欧演劇

アルバニア語 ①文学→東欧文学〔アルバニア〕

アルバニア人 ⑨世史→東欧史〔歴史〈諸民族の定住〉〕

アルバニア文学 ①文学→東欧文学〔アルバニア〕

アルバニア・リビエラ ⑩世地→アルバニア(人民社会主義共和国)〔自然〕

アルバノ(湖) イタリア ⑩世地45A

アル・ハマダーニー [969-1008] ①文学→アラビア文学〈24C〉

アルパーム ⑰科技→磁性材料

アルバラード ⑩世地→エルサルバドル(共和国)〔略史・政治〕 →サンサルバドル

アルバリー オーストラリア ⑩世地45A

アル・ハリーファ家 ⑩世地→バハレーン(国)

アル・ハリーリー [1054-1122] ①文学→アラビア文学

〈24 C〉　　「〔神学〕

アル・ハルラージュ　[*922]　④哲宗→イスラム教

アルバレ,L　⑯物数→泡箱

アルバレシュ文学　①文学→東欧文学〔アルバニア〕

アルバレス・キンテーロ(兄弟)　スペイン　兄[1871-1938]　弟[1873-1944]　劇作家。郷土色豊かな,方言を駆使した陽気な喜劇を多数合作　①文学 30 C　③音演 15 A

『ある晴れた日に』　③音演→プッチーニ〔蝶々夫人〕

アルバーロ,C　イタリア[1895-1956]　詩人・小説家。ベルガの真実主義ヴェリズモの影響もみられる。ストレーガ賞受賞　①文学 30 C

アルバ・ロンガ　⑨世史→アイネイアス

アルバン,E　⑰科技→エンジン図

アルハンゲリスク　ソ連/ロシア　⑩世地 45 B

アルハンブラ宮殿　②美術13A図　→イスラム美術〔スペイン〈ナスル朝〉〕別　→スペイン美術〔イスラム美術〕　⑨世史 34 A　→グラナダ王国　→城〔イスラム〕　→スペイン・ポルトガル(史)図　→ナスル朝　⑩世地→グラナダ　→スペイン図

『アルハンブラ宮殿の思い出』　③音演→タレガ,F

アルビー,F　アメリカ[1876-1945]　⑭医学→整形外科

ＲＰＲ　⇨共和国連合

ＲＰＦ　⇨フランス人民連合

アルビオン　⑩世地→ドーバー(海峡)

ＲＰ系　⑰科技→超ジュラルミン

アルビジョア十字軍　⑨世史→アルビジョア派　→カタリ派　→フィリップ(二世)　→フランス(共和国)〔歴史〈封建社会〉〕

アルビジョア派　⑨世史 34 A　→カタリ派

『ある微笑』　①文学→サガン,F

アルビタイト　⑱宇地→長石〔曹長石〕

アルビッツィ家　⑨世史→メディチ家

アルビテル　⇨ペトロニウス,G

『ある日突然爆弾が……』　③音演→アニメーション映画〔ヨーロッパ〕

アル・ビトルージー　スペイン[*1204*]　イスラム系天文学者。プトレマイオスを批判し,惑星運動を渦状運動として説明　⑱宇地 19 B

アルビニア　⑲植物 30 C図

アルピニズム　⑩世地→アルプス〔登山〕　⑬生活→登山〔囲用語〕

アルビヌス　⇨アルクイン

アルビノ　⑳動物→カメ〔民俗〕

アルビーノ,G　イタリア[1927]　小説家。巨大化する産業社会で疎外を深める人間の苦悩を好んで扱う　①文学 30 C

アルビノス　④哲宗→プラトン学派〔2〕

『アル・ヒラール』　⑨世史→アーザード,M

アル・ビールーニー　[973-1049]　イスラムの科学者・旅行家。天文・数学・地理・薬物・哲学など多方面に活躍　⑱宇地 19 B　⑨世史→ビールーニー

アルプ,H　フランス[1887-1966]　ドイツ系の彫刻家・画家。抽象彫刻という名を嫌い具象美術アールコンクレとみずから呼んだ　②美術 13 D図　→シュルレアリスム　→ダダ図　①文学→前衛文学　→ダダイスム

α-アミノ酸　⑮化学→アミノ酸　⑲植物→アミノ酸　⑳動物→アミノ酸

α-イオウ〈斜方イオウ〉　⑮化学→イオウ〔性質〕図

α-グロブリン　⑭医学→血液〔血漿〕　⑳動物→血液

α-合金　⑰科技→ウラン〔核燃料〕　→核燃料〔形体〕

アルファ細胞〈妊娠細胞〉　⑭医学→下垂体

α線　⑮化学 38 B　→崩壊〔α崩壊〕　→放射性元素〔崩壊系列〕　→放射線　⑯物数 13 B

α-デンプン　⑮化学→デンプン　⑲植物→でんぷん

α波　⑭医学→脳波図

アルファベット　⑨世史→フェニキア

α-ヘリックス構造　⑮化学→タンパク質〔構造〕図

α崩壊　⑯物数 13 B　→原子核〔核種〕　→放射性核種　→放射性崩壊　→放射線〔線源〕　⑮化学→崩壊　⑰科技→ラジオアイソトープ

アルファマ(地区)　⑩世地→リスボン図

アルファー米　⑬生活→米〔加工品〕

アル・ファラビ,A　トルコ[870*-950*]　トルコ系のアラビア哲学者。アリストテレスについで「第二の師」と称された　④哲宗 20 D　→アラビア哲学〈15 B〉　③音演→アラビア音楽〈14 A〉　→ペルシア音楽〔7 世紀イスラム化以後〕

α粒子　⑮化学→α線　→ヘリウム〔存在〕　⑯物数→宇宙線〔1 次宇宙線〕　→原子核〔核種〈β崩壊,α崩壊〉〕　→ラザフォード,E図

アル・ファルガーニー　[*863*]　イスラムの天文学者。包括的天文学の入門書『天文学総説』で知られる　⑱宇地 19 C

アルファルファ〈ムラサキウマゴヤシ〉　⑲植物 31 A　→ウマゴヤシ図　→牧草

アルファルファハキリバチ　⑳動物→ハキリバチ

アルファ 68 号　⑰科技→ロボット図

アルファ・ロメオ　⑬生活→自動車レース〔グランプリ・レーサー〕

アルフィエーリ,V　イタリア[1749-1803]　悲劇作家。作品をもって,オーストリアの支配下にあった自国の政治的覚醒に貢献　作『サウル』　①文学 30 C図　→イタリア文学〔18〜19 世紀〕　③音演 15 B　→イタリア演劇〔17〜18 世紀〕

アルフィソル　⑱宇地→土壌〔世界の土壌分布〕図

アルフェドソン,J　⑮化学→リチウム

『アルフェルド』　①文学→ペテーフィ

アルフォード　イギリス[1881-1945]　③音演→吹奏楽〔吹奏楽曲〕

アルフォンザス・クレーター　⑱宇地→月《天体》〔クレーターや海の成因〕別

アルフォンソ(一世)　[*1134]　⑨世史→アラゴン王国　→エステ家

アルフォンソ(二世)　⑨世史→アストゥリアス王国

アルフォンソ(十世)〈賢王〉　スペイン[1226*-1284*]　レオン・カスティリャ王。王権の強化を図ったが貴族の反抗に苦しむ　⑨世史 34 B　⑱宇地→地動説

アルフォンソ(十二世)　⑨世史→王政復古〔スペイン〕

アルフォンソ(十三世)　スペイン[1886-1941]　ブルボン王朝最後の国王。1931 年亡命しスペイン内乱後も帰国しなかった　⑨世史 34 B　→ブルボン朝

アルブカ　⑲植物 31 A

アルブカシス　⇨アブル=カーシム

アルブケルケ　ポルトガル[1453-1515]　軍人。インド総督となりゴアを占領し,ポルトガルの東方経営の基礎を固めた　⑨世史 34 B　⑩世地→ゴア　→コーチン

『ある婦人の肖像』　①文学→アメリカ文学〔リアリズム〕　→ジェームズ,H

アルプス　ヨーロッパ　⑩世地 45 B図　→スイス(連邦)〔自然〕　→ドイツ〔自然・地形〕　→フランス(共和国)〔図自然〕〔地方誌〕　⑧日地→褶曲山脈〈1215 C〉　⑬生活→登山〔発展〕

『アルプス』　①文学→ハラー,A

アルプスアイベックス　⑳動物→アイベックス図

『アルプス颪』　③音演→映画〔無声映画〈第 3 期〉〕　→シュトロハイム,E

アルプス型谷氷河　⑱宇地→氷河〔分類〕図

アルプスカモシカ　⇨シャモア

アルプス気候　⇨高山気候

アルプス三山　⑩世地→アイガー(山)

アルプス前地　⑩世地→ドイツ(連邦共和国)〔地方誌〕

アルプス造山運動　⑧日地→山脈〈1214 A〉　→造山運動〈1221 A〉　⑱宇地→山脈〔時代による区分〕　→新生代　→造山運動〔おもな造山運動〕　→地質時代〔中生代〕　→中生代

アルプス造山帯　⑱宇地→造山帯〔造山帯〕図

アル・フスタート　⑩世地→カイロ〔沿革〕

アルプス地向斜　⑱宇地→地向斜

アルプス庭園　⑦日地→雲ノ平

アルプス博物館　⇨スイス・アルプス博物館

アルプスヒマラヤ造山帯　⑩世地→アジア(州)〔自然〈地形〉〕　→世界〔自然〈地形〉〕　⑱宇地→変成帯　→山〔分布〕

アルプスマーモット　⑳動物→マーモット

アルブーゾフ,A　ソ連[1908]　劇作家。自由奔放な劇構成,叙情性,メロドラマ性が特徴　作『イルクーツク物語』　①文学 30 D　③音演→ロシア演劇〔ソビエト演劇〕

アルフダイダー　イエメン　⑩世地 48 B　→サヌア

アル・ブハーリー　[810-870]　④哲宗→ハディース

アルフフーフ　サウジアラビア　⑩世地 48 B

アルフベン,H　⑱宇地→太陽系〔成因と進化〕

アルブミン　⑬生活→食肉〔成分〕　⑭医学→肝臓〔たんぱく質代謝〕　→血液〔血漿〕　→皮膚〔化学的組成〕

アルフラガヌス　⇨アル・ファルガーニー

アール・ブリユ　②美術→現代美術〔欧米〈第二次大戦後〉〕

アルフレッド(大王)　イギリス[849*-899*]　ウェセックス王家のイングランド王。デーン人の侵入に対抗し統一を進めた　⑨世史 34 C図　→『アングロ・サクソン年代記』　→イギリス(史)〔アングロ・サクソン〕　→バイキング〔ノルマンディーとデーン・ロー〕

アルブレヒト(一世)　[1255-1308]　⑨世史→ハプスブルク家

アルブレヒト(二世)　[1397-1439]　⑨世史→中欧史〔オーストリア〕　→ハプスブルク家

アルブレヒト(熊伯)　[1100*-1170*]　⑨世史→ブランデンブルク辺境伯

アル・フワーリズミー　[*850*]　ウズベク出身のアラビアの数学者・天文学者。1 次・2 次方程式の解法について研究　⑯物数 13 B　⑰科技→科学〔歴史〈中世〉〕

『或兵卒の記録』　①文学→細田民樹

有平糖　⑬生活→飴あめ

アルベーグ式モノレール　⑰科技→モノレール〔種類〕図

アルページュ　⑬生活→香水〔種類〕

アルヘシラス　スペイン　⑩世地 48 B

アルヘシラス会議　⑨世史→モロッコ事件

アルペッジョ　③音演→装飾音図　→音楽用語〈629 A〉

アルベド　⇨反射能

アルペトラギウス　⇨アル・ビトルージー

アルベニス,I　スペイン[1860-1909]　作曲家・ピアニスト。スペイン国民楽派の発展に尽くす　③音演 15 C

アルベラの戦い〈ガウガメラの戦い〉　⑨世史 34 D　→ダリウス(三世)　→ペルシア帝国

アルベール,M　⑨世史→二月革命〔共和制の成立〕

アルベルカ宮　⇨アルハンブラ宮殿

アルベルス　⇨アルバース,J

アルベルティ,F　ドイツ[1795-1878]　鉱山地質学者。中生界の層序を研究,累層における「三畳系」を命名　⑱宇地 19 C

アルベルティ,L　イタリア[1402-1472]　建築家・人文学者。部分と全体の調和に基づく明快な空間構成に立った建築で活躍　②美術 14 C　⑰科技→写真〔技術の歴史〈カメラ・オブスクラ〉〕　→都市計画〈487 A〉　→レオナルド・ダ・ビンチ

アルベルティ,R　スペイン[1902]　詩人。シュルの影響をうけ,日常的な世界を前衛的な手段で表現　①文学 31 A　③音演→スペイン演劇〔今日〕

アルベルト(湖)　⇨アルバート(湖)

アルベルトゥス・マグヌス　ドイツ[1193*-1280*]　神学者。哲学や自然科学が自律的で独立の学問であることを認める。トマス・アクィナスの師　④哲宗 20 D　⑨世史→科学史〔ルネサンス〈自然研究〉〕図　→錬金術

アルベールビル　⇨カレミ

アルベレス,R　フランス[1921]　批評家。該博な知識と視野の国際性を特徴とするパノラマ的概論や解説が多い　①文学 31 A

アルベロベロ　⑩世地→イタリア(共和国)図

アルベン,H　[1908]　⑯物数→磁気流体力学

アルペン競技　⑬生活→スキー〔スキー競技〕図

アルペングロー　⑲植物→パンジー図

アルペンス　アブデ　⑪政社→ラテンアメリカ政治事情〔一〕

アルヘンチナ,L　スペイン[1890-1936]　③音演→スペイン舞踊〔現代〕

アルベン波　⑯物数→磁気流体力学　→プラズマ〔プラズマ中の電磁波〕

アルペンホルン　③音演 15 C図　⑩世地→アルプス図

アルペンライン　⑩世地→ライン(川)

アルペンローゼ　⑲植物 31 A　→国花図表　⑩世地→アルプス〔動物・植物〕

アルボイン　⑨世史→ランゴバルド王国

『ある放浪者の自叙伝』　①文学→デービス,W

アルホジダ　⇨アルフダイダー

アルボ・ピクタ　⑲植物→ベゴニア図

アルマー,C　⑩世地→アルプス〔登山〕

アルマアタ　ソ連/カザフ　⑩世地 48 B

アルマアタ天文台　⑱宇地→天文台〔表〈ヨーロッパ〉〕

アルマイト　⑰科技 10 A　→アルミニウム〔性質と用途〕　⑬生活→食器〔材質〈金属食器〉〕　⑮化学→アルミニウム〔性質〕　→腐食〔防止法〕

アルマイト鍋　⑬生活→鍋〔材質別〕

『アルマゲスト』　⑯物数→トレミーの定理　⑰科技→科学〔歴史〈ギリシア〉〕　⑱宇地→星座〔歴史〕　→星表〔歴史的な星表〕図　→トレミーの星座　→プトレマイオス,C　→レギオモンタヌス

アルマジロ〈ヨロイネズミ〉 ⑳動物33 C図 →生殖〔無性生殖〕 →貧歯類 ⑱宇地→砂漠図
アルマジロトカゲ ⑳動物→ヨロイトカゲ
アルマダ ⇨無敵艦隊
『ある街角の物語』 ③音演→アニメーション映画〔日本〕図
『ある町の歴史』 ①文学→サルティコフ=シチェドリン,M
アルマデン ｽﾍﾟｲﾝ ⑩世地48 C
アル・マートゥリーディー [*/944] ④哲宗→イスラム教〔神学〕
アルマトラー ｵﾏｰﾝ ⑩世地48 C
アルマナック ⑨世史→暦〔教会暦〕
アルマニャック ﾌﾗﾝｽ ⑩世地48 C
アルマニャック ⑬生活→ブランデー
アルマニャック派 ⑨世史34 D →アラスの和約 →シャルル(六世) →シャルル(七世) →百年戦争〔第2期〕 →ブルゴーニュ派
アルマリク 中国/新疆ウイグル自治区 ⑩世地48 C
アルマン ①文学→文体論
『アルマンス』 ①文学→スタンダール
アル・マンスール ⑩世地→バグダッド
アルマンディン ⑱宇地→ざくろ石図
アルマンド ③音演→舞曲
アルマンド・ベジャール ①文学→モリエール図
アルミサッシ ⑬生活→窓〔種類〕 ⑰科技→サッシ
アルミ青銅 ⇨アルミニウム青銅
アルミナ ⑮化学38 B →乾燥剤表 →酸化アルミニウム ⑰科技→アルミニウム〔製法〕
アルミナケイ酸ガラス ⑮化学→ガラス〔成分組成による分類〕 →耐熱ガラス
アルミナセメント ⑰科技→セメント
アルミナ直閃石 ⑱宇地→角閃石〔直閃石〕
アルミニウス ⑨世史→スエビ族 →トイトブルクの戦い
アルミニウス,J ｵﾗﾝﾀﾞ[1560/1609] 神学者。カルバン派正統主義のゴマルスとの論争が有名 ④哲宗21A
アルミニウス主義 ④哲宗→キリスト教〔近代〕 →バプテスト
アルミニウム ⑮化学38 B図 →金属〔利用の歴史〕〔図国別生産高〕 →水酸化アルミニウム →テルミット法 →ホール,C →みょうばん ⑰科技10 A図表 →アルマイト →金属〔歴史〕 →建築材料〔分類〈構造用材料〉〕 ⑬生活→食器〔材質〈金属食器〉〕 ⑯物数→電気分解 ⑱宇地→ボーキサイト
アルミニウムカリウムみょうばん〈カリナイト〉 ⑮化学→みょうばん
アルミニウム管 ⑰科技→管
アルミニウムキルド ⑰科技→キルド鋼
アルミニウム合金 ⑰科技→アルミニウム図 →SST〔構造・材料〕 →ジュラルミン →飛行機〔機体〕
アルミニウム青銅 ⑮化学→青銅 ⑰科技→アルミニウム〔性質と用途〕 →合金表
アルミニウム族元素 ⑮化学→元素〔分類〕
アルミニウム鍋 ⑬生活→鍋〔材質別〕
アルミノテルミー法 ⇨テルミット法
アルミ箔 ⑬生活→調理器具〔熱調理器具〕 ⑰科技→アルミニウム〔性質と用途〕
アルミ粉 ⑰科技→印刷〔印刷インキ〕
『アル・ミラル・ワン・ニハル』 ①文学→イブン・ハズム
アルミン酸塩 ⑮化学→アルミニウム〔化合物〕
アルミン酸ナトリウム ⑮化学40 B →アルミニウム〔化合物〈アルミン酸塩〉〕
アル・ムカッファー ⇨イブン・アル・ムカッファー
アルムクビスト,C ｽｳｪｰﾃﾞﾝ[1793/1866] 小説家。ロマン派から急進派に変身,論文・教科書なども多数出版。老人毒殺の嫌疑でアメリカに逃亡 ①文学31 A
『アル・ムスハフ』 ⇨『コーラン』
アル・ムダッワラ ②美術→城〔東洋〈アジア各地〉〕
アルメイダ,F ﾎﾟﾙﾄｶﾞﾙ[1857/1911] 小説家。すぐれた短編小説が多い ①文学31 B
アルメイダ,F ﾎﾟﾙﾄｶﾞﾙ[1450*/1510*] 初代インド総督。アルブケルケに後を譲り帰国の途中喜望峰で横死 ⑨世史34 D
アルメイダ,L ﾎﾟﾙﾄｶﾞﾙ[1525/1584] 安土桃山時代の外科医。商人だったが来日後私財を投じ病院を建て医学を伝授 ⑤日史43 C ④哲宗→キリシタン〔囲人名〕
アルメイダ病院 ⑦日地→大分(市)〔文化〕

アルメニア(共和国) ソ連 ⑩世地48 D図
アルメニア(地方) ソ連・ﾄﾙｺ ⑩世地48 C
アルメニア(地方) ｺﾛﾝﾋﾞｱ ⑩世地48 D
アルメニア(高原) ⑩世地→ユーフラテス(川)
アルメニア教会 ④哲宗→東方正教会
アルメリア ｽﾍﾟｲﾝ ⑩世地49 A
アルメリア〈ハマカンザシ〉 ⑲植物31 A図
『アルメリーナ』 ③音演→ルエダ,L
あるもの〈オン〉 ④哲宗→ギリシア哲学〔囲用語〕 →パルメニデス
アルモハッド朝 ⇨ムワッヒド朝
アルモラビド朝 ⇨ムラービト朝
アルモリカン(山地) ﾌﾗﾝｽ ⑩世地49 A →フランス(共和国)〔地方誌〕 →ブルターニュ(半島)
『R・U・R』 ③音演→チャペック →東欧演劇図
『あるユダヤ人の詩』 ①文学→シャピロ,K
『或る夜の出来事』 ③音演→映画〔トーキー〈第4期〉〕図
アル・ラジ [865/925] ⑰科技→ジャービル・イブン・ハイヤーン
アルラン ①文学→『NRF』
アルラン,M ﾌﾗﾝｽ[1899] 小説家・批評家。第一次大戦後の「不安の時代」に新しい『秩序』を模索して注目される ①文学31 B
『アル・リフラ』 ⇨『三大陸周遊記』
アルル ﾌﾗﾝｽ ⑩世地49 B図
アルルカン ③音演→コメディア・デラルテ
『アルルカンの謝肉祭』 ②美術→ミロ,J図
『アルルの女』 ①文学→ドーデ,A ③音演→サクソフォーン →ビゼー,G
『アルルのはね橋』 ②美術→ゴッホ,V図
アルレー,C ﾌﾗﾝｽ[*] 推理作家。『わらの女』の作者として知られるが,生年・経歴は語らず不明 ①文学31 B
アルレッキーノ ③音演→コメディア・デラルテ
アルロン ﾍﾞﾙｷﾞｰ ⑩世地49 B
RYA ⑬生活→ヨットレース〔囲用語〕
『ある若者の告白』 ①文学→ムーア,G
アルンカングリ(山脈) ⇨アリンカングリ(山脈)
アルン寺院 ⑩世地→タイ(王国)図
アルント,E ﾄﾞｲﾂ[1769/1860] 詩人・著述家。フィヒテに心酔して民族主義を説き,多くの愛国詩を書く ①文学31 B ⑨世史35 A
アルンハイム,R ﾄﾞｲﾂ[1904] ③音演→映画理論〔モンタージュ理論とその反動〕
アルンヘム ｵﾗﾝﾀﾞ ⑩世地49 B
アレ,A ﾌﾗﾝｽ[1855/1905] ユーモア作家。ベル・エポック〈良き時代〉の楽天的ファンタジーを表現 ①文学31 C
アレ,E ⑬生活→スキー〔発展〕
アーレ(川) ⑩世地→ベルン →ライン(川)
アレアルディ,A ｲﾀﾘｱ[1812/1878] 詩人。イタリア統一運動に加わり,独立後は国会議員や美術学校教授を歴任 ①文学31 C
亜鉛 ⑬生活→体操〔手具体操〕
アレイクサンドレ,V ｽﾍﾟｲﾝ[1898] 詩人。シュルレアリスムをスペイン詩に導入し,内面の神秘をうたった。ノーベル賞受賞 ①文学31 C
亜鈴状星雲 ⑱宇地→星雲〔惑星状星雲〕
アレウト人 ⑩世地→アリューシャン(列島) →プリビロフ(諸島)
アレオパゴス会議 ⑨世史35 A
『アレオパジティカ』 ①文学→ミルトン,J ⑪政社→言論の自由
アレカ ⑲植物→ヤシ類〔分類〕
『あれか,これか』 ①文学→キルケゴール,S ④哲宗→キルケゴール,S
アレガニー(台地) ｱﾒﾘｶ ⑩世地49 B
アレガニ石 ⑱宇地19 C
アレカヤシ ⑲植物→タケヤシ →ビンロウジ
アレキサンダー(列島) ⑩世地→アラスカ(州)
アレキサンダー ⑬生活→カクテル〔種類〈食後タイプ〉〕
『アレキサンダーズ・ラグタイム・バンド』 ③音演→バーリン,I
アレキサンドライト〈アレキサンドル石〉 ⑱宇地19 C →金緑石 →スピネル →宝石〔図〈合成〉〕〔表誕生石〕 ⑬生活→宝石
アレキサンドリア ｴｼﾞﾌﾟﾄ ⑩世地49 C ⇨アレクサンドリア
アレキサンドル石 ⇨アレキサンドライト
亜瀝青炭 ⑮化学→石炭〔表日本の石炭分類〕 →瀝青炭
アレキパ ﾍﾟﾙｰ ⑩世地49 C

アレクサンダー,J [1888/1971] ⑯物数→ジョルダンの定理 →ホモロジー群〔意味〕
アレクサンダー(大王) ⇨アレクサンドロス(大王)
アレクサンダー(島) 南極 ⑩世地49 C
アレグザンダー,S ｲｷﾞﾘｽ[1859/1938] オーストラリア生まれの哲学者。時間・空間を万物の母胎と考え,特異な宇宙論を唱えた ④哲宗21 B
『アレクサンダー遠征記』 ①文学→アリアノス,F
アレクサンダー多項式 ⑯物数→結び糸図
『アレクサンダーの書』 ①文学→ニザーミー
『アレクサンダーの英知の書』 ①文学→ジャーミー
アレクサンダーの不変定理 ⑯物数→ホモロジー群〔連続変換〕
アレクサンダー広場 ⑩世地→ベルリン〔東ベルリン〕
『アレクサンダー物語』 ①文学→東欧文学〔チェコ〕
アレクサンダル(一世) ﾕｰｺﾞ[1888/1934] 国王。第一次大戦にはセルビア軍総司令官として戦う ⑨世史35 A
アレクサンデル(三世) ④哲宗→シエナ大聖堂
アレクサンデル(五世) ⑨世史→フス,J
アレクサンデル(六世) [1431*/1503] ローマ教皇。ルネサンス期の代表的教皇として豪華な宮廷生活を営む ⑨世史35 B →ボルジャ家
アレクサンデル・ハレンシス [1170*/1245] 神学者・哲学者。終生パリ大学の教授として活躍,フランシスコ会スコラ学の創始者となる ④哲宗21 B
『アレクサンドラ』 ①文学→リコフロン
アレクサンドラン ③音演→詩劇
アレクサンドリ,V ﾙｰﾏﾆｱ[1821/1890] 詩人・劇作家。民族演劇を確立し,また民謡の集大成を西欧に紹介 ①文学31 C
アレクサンドリア ｴｼﾞﾌﾟﾄ ⑨世史35 B →アレクサンドロス(大王) →エジプト〔歴史と文化〈プトレマイオス朝〉〕 →プトレマイオス朝 →ヘレニズム〔社会・経済〕 →ムセイオン ②美術→古代地中海の美術〔鉄器時代〈ヘレニズム美術〉〕 ⑩世地→アレキサンドリア
アレクサンドリア学派 ④哲宗→新プラトン学派
『アレクサンドリア四重奏』 ①文学→イギリス文学〔20世紀〕 →ダレル,L
アレクサンドリア戦役 ⑨世史→カエサル〔内乱〕
アレクサンドリア・センナ ⑲植物→センナ
アレクサンドリア図書館 ①文学→カリマコス
アレクサンドル(一世) ﾛｼｱ[1777/1825] 皇帝。祖母エカテリナ二世に愛されて育ち,ナポレオンの侵入に直面 ⑨世史35 C図 →アウステルリッツの戦い →神聖同盟 →ロシア〔歴史〈帝国成立と発展〉〕
アレクサンドル(二世) ﾛｼｱ[1818/1881] 皇帝。クリミア戦争で敗れ近代化に着手したがテロに倒れる ⑨世史35 D →クリミア戦争〔結果〕 →三帝同盟 →ロシア〔歴史〈帝政後期〉〕 ⑪政社→テロリズム図 →ロシア革命〔前提〕
アレクサンドル(三世) ﾛｼｱ[1845/1894] 皇帝。父帝が暗殺されたこともあって警察権強化などの反動政策をとる ⑨世史35 D
アレクサンドル塔 ⑩世地→ソビエト(連邦)〔図文化〕
アレクサンドル・ネフスキー ﾛｼｱ[1220*/1263] モンゴル支配時代のロシアの公。西北ロシアを外敵から守った国民的英雄 ⑨世史35 D図 →ノブゴロド公国
『アレクサンドル・ネフスキー』 ③音演→エイゼンシュテイン,S →プロコフィエフ,S
アレクサンドル・ネフスキー寺院 ⑩世地→ソフィア図
『アレクサンドル・プーシキン』 ①文学→ベリンスキー,V
アレクサンドレッタ ⑩世地→イスケンデルン
アレクサンドロス(大王)〈アレクサンダー大王〉 ｷﾞﾘｼｱ[前356/323] マケドニア王。ペルシア帝国を滅ぼし各地にアレクサンドリア市を建設。ヘレニズム文化形成に役割を果たす ⑨世史36 B図 →アリストテレス →アルベラの戦い →アレクサンドリア →イッソスの戦い →ダリウス(三世) →ディアドコイ →ナンダ朝 →ネアルコス →フィリッポス(二世) →ヘレニズム〔歴史〕 →マケドニア ②美術→ヘレニズム ⑯物数→アリストテレス
『アレクサンドロス遠征記』 ⑨世史→アリアヌス
アレクサンドロフスクサハリンスキー ソ連/ﾛｼｱ ⑩世地49 C
アレクサンドロポリス ｷﾞﾘｼｱ ⑩世地49 D

『アレクシアス』 ⑨世史→アレクシオス(一世)
アレクシオス(一世) 〔1048-1118〕 ビザンティン皇帝。セルジューク・トルコに圧迫され十字軍派遣を求めた ⑨世史37 B →コムネノス朝 →十字軍〔背景〕 →ビザンティン帝国〔後期〕
アレクセイエフ,A フランス〔1901〕 ③音演→アニメーション映画〔ヨーロッパ〕
アレグリア,C ペルー〔1909-1967〕 小説家。中南米文学におけるインディオ主義の作家 ①文学31 C →ラテンアメリカ文学〔20 世紀〕
アレグリアス ③音演→スペイン舞踊〔フラメンコ〕
アレグレット ③音演→音楽用語〈629 A〉
アレグロ ③音演→バレエ〔囲用語〕 →音楽用語〈629 A〉
『アレグロ・バルバロ』 ③音演→バルトーク
アレゴリー〈風喩〉 ①文学31 C →寓話ぐうわ
『荒れ騒ぐ海』 ①文学→ピーセムスキー,A
アレサンドリア ⇨アレッサンドリア
アレサンドリ・パルマ チリ〔1868-1950〕 大統領。チリ民主政治の基となる新憲法の作成に貢献し,経済の発展にも尽力 ⑨世史37 B
荒れ性 ⑬生活→美容〔肌〈素肌の美〉〕
アレス ④哲宗→ギリシア・ローマ神話〔図オリンポスの十二聖〕囲
アレスティングギア ⑰科技→空港〔着陸帯〈バリヤーネット〉〕
『**荒地**』 ①文学31 D →鮎川信夫 →田村隆一
『荒地』 ①文学→エリオット,T.S図 →『クライテリオン』
『荒地詩集』 ①文学→鮎川信夫 →『荒地』
アレチノギク〔荒地野菊〕 ⑲植物31 B →オオアレチノギク図 →帰化植物〔自然帰化植物〕
アレチマツヨイグサ ⑲植物→帰化植物〔自然帰化植物〕 →マツヨイグサ
アレッサンドリア イタリア ⑩世地49 D
アレッチ(氷河) ⑩世地→アレッチホーン(山)図
アレッチホーン(山) スイス ⑩世地49 D図
アレッツォ イタリア ⑩世地50 A →イタリア(共和国)図
アレッポ シリア ⑩世地50 A ⑫経産→中東経済事情図
アレーテイア ④哲宗→ギリシア哲学〔囲用語〕 →真理
アレティーノ,P イタリア〔1492-1556〕 詩人・劇作家。王侯貴族の生活をあばく痛烈な風刺作品を次々と発表 ①文学31 D
アレーナ ⑬生活→闘牛
アレナイト ⑱宇地→砂岩
アレナル ⑱宇地→火山〔表活火山〕
アレニウス,S スウェーデン〔1859-1927〕 化学者。イオン説を確立。物理化学の創始者の一人 ⑮化学40 B図 →アレニウスの式 →電解質 ⑯物数→活性化エネルギー
アレニウスの式 ⑮化学41 A →化学反応 →活性化エネルギー ⑯物数→活性化エネルギー
アレヌイハハ(海峡) ⑩世地→ハワイ(州)〔自然〕
アレバロ期 ⑨世史→マヤ〔起源〕
アレビ ①文学→メイヤック,H
アレビ,D フランス〔1872-1962〕 評論家。ドレフュス事件に際してはドレフュス派に属し活躍 ①文学31 D
『アレフ』 ①文学→ボルヘス,J
アレマン,M スペイン〔1547-1614?〕 小説家。ピカレスク小説に優れた作品を残し,メキシコで貧窮のうちに死去 ①文学32 A
『アレマン方言詩集』 ①文学→ヘーベル,J
『あれもこれも』 ③音演→ベルディ〔作風と作品〕
アレルギー ⑭医学12 A図 →かぜ〔原因〕 →過敏症 →抗原抗体反応 →湿疹 →喘息ぜんそく〔気管支喘息〕 →ヒスタミン
アレルギー学説 ⑭医学→ピルケ,C〈408 D〉
アレルギー性疾患 ⑭医学→アレルギー
アレルギー性紫斑病〈シェーンライン=ヘノッホ病〉 ⑭医学→紫斑病〔血管壁の異常〕
アレルギー性肺炎 ⑭医学→肺〔肺炎〕
アレルギー性鼻炎 ⇨鼻アレルギー
アレルギー性発疹 ⑭医学→薬疹
アレルギー体質 ⑭医学→アレルギー →特異体質
アレルゲン ⑭医学→アレルギー
アレロパシー ⑲植物→競争
アレン,H アメリカ〔1889-1949〕 小説家。小説のほかポーの伝記や詩集数冊がある ①文学32 A
アレン,R ⑫経産→数理経済学
アレン,W イギリス〔1911〕 小説家・批評家。大学講師・ジャーナリストのかたわら小説や批評に活躍 ①文学32 A
アレン ⑮化学→アルキン〔製法〕 →アルケン〔表物理的性質〕
アーレン ⑩世地→ドイツ(連邦共和国)図
アレンカール,J ブラジル〔1829-1877〕 小説家。国民文学の確立に努力。インディオ主義の小説を開拓 ①文学32 A →ラテンアメリカ文学〔独立から〕
アレンジメント ⇨編曲
アレンタウン アメリカ/ペンシルバニア ⑩世地50 A
アレント ①文学→上田敏〔海潮音〕
アーレント,H アメリカ〔1906-1975〕 ユダヤ人の哲学者・社会評論家。アメリカに亡命しドイツ実存主義の初の紹介者となる ①文学32 A
アロイオゲネシス ⑳動物→世代交代
アロウ,K アメリカ〔1921〕 経済学者。厚生経済学で「投票の逆理」を明らかにした。ノーベル賞受賞 ⑫経産20 B図 →厚生経済学〈189 D〉
アロエ ⑲植物31 B図 ⑭医学→月経〔通経剤〕
アロカシア ⑲植物31 C図
『鴉鷺合戦物語あろかっせん』 ①文学→御伽草子おとぎぞうし
アローカリア ⑲植物31 C図
アロクロール ⑮化学→PCB
アロー号事件 ⇨アロー戦争
アロサウルス ⑱宇地→地質時代〔中生代〕
アロース ⑮化学→単糖類〔図構造〕 →糖〔図D-系列アルドース〕
アロースター ⇨アロルスター
アロー戦争〈アロー号事件〉 ⑤日史43 C →開国〔通商開始〕 ⑨世史37 C →天津条約てんしん →北京条約 ⑥日史→天津条約 ⑫経産→国際事情〔アヘン戦争から〕
アロフェン ⑱宇地→土壌〔化学成分〕
アロフェン石 ⑱宇地→いもご石
アローマ ⑬生活→味〔種類〕 →ぶどう酒〔飲み方〕
アロヨ ⑱宇地→ワジ
アローラス,E 〔1891-1923〕 ③音演→バンドネオン
アロル(諸島) インドネシア ⑩世地50 B
アロルスター マレーシア ⑩世地50 B
アロールート ⑲植物→ガジュツ →クズウコン
アロールートでんぷん ⑲植物→いも
アロワナ〈バンドフィッシュ〉 ⑳動物34 A図
アロン(湾)〈ハロン湾〉 ⑩世地→トンキン(湾) →ベトナム
アーロン,H アメリカ ⑬生活→野球〔プロ野球〈アメリカ〉〕
アロンソ,D スペイン〔1898〕 詩人・文学史家。マドリード大学のロマンス語文献学の講座を担当 ①文学32 A
アーロン・マンビー号 ⑰科技→船〔汽船の時代〈木船から鉄船へ〉〕
アワ〔粟〕 ⑤日史43 C ⑲植物31 C図 ⑬生活→穀類表
安房(国) ⇨安房国あわのくに
阿波(国) ⇨阿波国あわのくに
阿波(町) 徳島 ⑦日地67 D図 ⑱宇地→土柱
阿波藍 ⑤日史→藍あい →阿波国
粟飴 ⑬生活→穀類〔アワ〕
粟石峠 広島 ⑦日地67 D
アワイチゴ ⇨キイチゴ
阿波大島海中公園 ⑧日地→室戸阿南海岸国定公園
粟おこし ⑬生活→穀類〔アワ〕
阿波踊 ③音演→盆踊図 →民謡〔表〈徳島〉〕 ⑤日史→阿波国 ⑧日地→徳島(県)〔文化〈郷土芸能〉〕 →徳島(市)図
粟賀 ⑦日地→神崎(町)かんざき
粟粥 ⑬生活→粥かゆ
あわガラス ⑮化学41 A →発ぽう剤
阿波岐ヶ原 宮崎/宮崎市 ⑦日地67 D
阿波公方 ⑤日史→阿波国
アワコガネギク〔泡黄金菊〕〈キクタニギク〉 ⑲植物32 A →キク〔野生〕図
阿波国分寺 ②美術→庭園囲
アワゴケ〔泡苔〕 ⑲植物32 A
阿波御所 ⑤日史→足利義栄よしひで
阿波三盆 ⑦日地→上板(町)図
淡路(町) 兵庫/淡路島 ⑦日地67 D
泡磁区〈バブル・ドメーン〉 ⑯物数→磁区
アワジシジミ ⑳動物→シジミ
淡路島 兵庫 ⑦日地68 D図 →明石海峡 ④哲宗→伊弉諾・伊弉冉尊いざなぎ・いざなみのみこと
『淡路常磐草』 ⑤日史→淡路国〔囲人国記〕
淡路人形浄瑠璃 ⑤日史→淡路国 ⑧日地→兵庫(県)〔文化〈郷土芸能〉〕
淡路国 兵庫 ⑤日史43 D囲 ⑦日地69 D
淡路廃帝 ⇨淳仁天皇じゅんにん
淡路富士〈先山〉 ⑦日地→洲本(市)〔千光寺〕
淡路平野 兵庫/淡路島 ⑦日地69 D
粟島 新潟 ⑦日地69 D図 →粟島浦(村)
粟島 香川/詫間町 ⑦日地69 D
阿波島 広島/竹原市 ⑦日地70 A
粟島浦(村) 新潟/粟島 ⑦日地70 B
淡島神社〈粟島大社〉 ⑧日地→和歌山(市)
粟島神社《熊本》 ⑦日地→宇土(市)
淡路焼 ⑤日史→淡路国
泡消火器 ⑰科技→消火設備〔消火器〕
安房神社 ④哲宗→神社〔表〈官幣大社〉〕 ⑧日地→館山(市)
アワスダレガイ〔阿波簾貝〕 ⇨アケガイ
あわせ ⑬生活→釣り〔囲用語〕
袷 ⑬生活→長着
合せ板 ⑰科技11 A →表面処理
合わせ板ガラス ⑮化学→安全ガラス →板ガラス
合せ鏡 ⑬生活→鏡
合口甕棺あわせぐちかめかん ⑤日史44 B
アワセグモ〔袷蜘蛛〕 ⑳動物34 A →クモ図
合わせ酢 ⑬生活→酢〔利用〕
袷長着 ⑬生活→長着
袷長じゅばん ⑬生活→下着〔日本〈じゅばん〉〕
合蓋甕棺 ⑤日史→甕棺葬かめかんそう
合せ弓 ⑥日史→弓矢〔弓〕
阿波たくあん ⑧日地→徳島平野 →鳴門(市)
粟田口 京都市 ⑦日地70 B
粟田口派 ②美術→日本刀〔平安中期ー鎌倉初期〕
粟田口焼 ②美術→京焼 →陶芸〔日本〈近世〉〕
粟田御所 ⇨青蓮院しょうれんいん
粟田神社 ⑦日地→粟田口
アワダチソウ〔泡立草〕 ⇨アキノキリンソウ
阿波橘 ⑦日地→伊島
泡立て器 ⑬生活→調理器具〔小道具〕図
粟田真人まひと 〔?-719〕 奈良前期の官吏。大宝律令撰修に参加,遣唐使に任ぜられる ⑤日史44 B
粟田焼 ⑦日地→粟田口 ⑮化学→陶磁器〔分類〈産地による〉〕
粟田流 ⇨青蓮院流しょうれんいん
粟津 滋賀/大津市 ⑦日地70 C
粟津温泉 ⑦日地→小松(市)
粟漬け ⑳動物→コノシロ〔調理〕
粟津晴嵐 ⑦日地→近江八景おうみ
安房七浦 ⑧日地→千倉(町)
粟野(町) 栃木 ⑦日地70 C
安房国 千葉 ⑤日史44 B囲 ⑦日地70 C
阿波国 徳島 ⑤日史44 C囲 ⑦日地70 C ⑧日地→徳島(県)
阿波国文庫 ⑤日史→阿波国
阿波野青畝せいほ 〔1899〕 俳人。『ホトトギス』の四Sとして黄金時代をつくるが,主情主義的傾向から虚子の客観写生には疑問をもつ ①文学32 B →『ホトトギス』
阿波の土柱 ⑦日地→阿波(町)図 ⑱宇地→土柱
泡箱 ⑯物数13 C図 →液体水素 →グレーザー,D →放射線〔測定〕
阿波藩あわはん ⑤日史45 B →阿波国〔囲人国記〕
アワビ〔鮑〕 ⑳動物34 A図 →貝類〔養殖〕 ②美術→螺鈿らでん〈技法〉 ⑬生活→魚料理〔下ごしらえ〕 →貝類〔種類〕
アワブキ〔泡吹〕 ⑲植物32 B図
アワブキ科〈アオカズラ科〉 ⑲植物32 C
アワフキムシ〔泡吹虫〕 ⑳動物34 C図
アワブネ〈十字貝〉 ⑳動物35 A
アワホオズキ ⑳動物→ウミホオズキ →バイ
アワマイマイ ⑳動物→カタツムリ〔日本産〕
安房松島 ⑦日地→鴨川(市)
阿波松島 ⑦日地→阿南(市) ⑧日地→橘湾《徳島》
阿波丸事件 ⑤日史45 B
アワミ連盟 ⑩世地→バングラデシュ(人民共和国)〔政治・外交・軍事〕 ⑪政社→バングラデシュ独立問題
粟餅 ⑬生活→穀類〔アワ〕
泡盛 ⑬生活→酒〔しょうちゅう〕 ⑲植物→発酵〔表発酵食品〕
アワモリショウマ〔泡盛升麻〕 ⑲植物32 C →チダケサシ図
淡雪羹 ⑬生活→菓子〔季節〕図 →卵料理〔料理〕
阿波用水 ⑧日地→徳島平野 →吉野川《四国地方》
阿波よしこの節 ⇨阿波踊
アワヨトウ〔粟夜盗〕 ⑳動物35 A →ヤガ図
芦原(町) 福井 ⑦日地70 C
芦原温泉 ⑦日地→芦原(町)

『あわれ彼女は娼婦』 ①文学→フォード, J ③音演→フォード, J《劇作家》
『あわれこの身の朽ちはつる』 ①文学→謝冰心
『哀れな従兄弟』 ①文学→バールラッハ, E
『哀れなハインリヒ』 ①文学→ハルトマン・フォン・アウエ
『あわれなマーシャ』 ①文学→イズマイロフ, A
『哀れなリーザ』 ①文学→カラムジン, N
アワンゴ(川) ⇨クバンゴ(川)
アン, P フランス[1876-1962] 小説家。労働者・農民を描いた作品はヒューマニズムに貫かれ, 社会小説の新たな型を創始 ①文学 32 B
アン(女王) イギリス[1665-1714] ステュアート朝最後の女王。君主としては平凡で政治への関心が薄かった ⑨世史 37 C図
案〈卓〉 ②美術→机〔日本〕
餡 ⑬生活 20 C →汁粉
アーン, R フランス[1875-1947] 作曲家。オペラ活動を中心に指揮者としても活躍 ③音演 15 D
安阿弥様 ⑤日史→快慶
安慰印 ②美術→仏像〔印と契〈手印〉〕図
アンウィン, G イギリス[1870-1925] 経済史家。中世・近代の経済史を研究, 同国最初の経済史教授 ⑫経産 20 C図 →社会経済史学〈262 B〉
晏嬰 ⇨晏子
アンカ, P アメリカ[1941-] ③音演→ロック・ミュージック〔ロックン・ロール〕図
アンカ ③音演→インド演劇〔古代宮廷演劇〕
アンカー〈いかり〉 ⑰科技 11 B図
アンカー ⑬生活→登山〔囲用語〕
アンガウル(島) ⑩世地→パラオ(諸島)
UNCURK ⇨韓国統一復興委員団
アンカー仕上げ ⑰科技→採油〔開発〈坑井仕上げ〉〕
アンガージュマン ①文学 32 B →サルトル, J ⑨世史→サルトル, J ⑪政社→サルトル, J
アンガバ(湾) ⑩世地→ハドソン(湾)
アンガマ ③音演→仮面劇
安嘉門院 [1209-1283] 鎌倉時代, 高倉天皇の皇子守貞親王〈後高倉院〉の女。尊称皇后となる ⑤日史 45 C
アンカラ トルコ ⑩世地 50 B図
アンガラ(川) ソ連 ⑩世地 50 C →ウスチイリム →バイカル(湖) →ブラーツク
アンカラ考古学博物館 ②美術 683 A
アンガラ大陸 ⑱宇地→大陸〔最近の成因説〕 →地質時代〔古生代〕
アンカラの戦い ⑨世史 37 D
アンカーリング ⑰科技→アンカー図
アンガルスク ソ連/ロシア ⑩世地 50 C
アンカレッジ アメリカ/アラスカ ⑩世地 50 D →アラスカ(州)図 ⑧日地→交通都市〈1211 A〉
安閑天皇 [*.] 6世紀, 第27代天皇。継体天皇の長子。欽明朝と併立の説もある ⑤日史 45 C
アンギオテンシン ⑭医学→高血圧〔本態性高血圧〕
安徽学派 ⇨皖派
晏幾道 中国[1030?-1106?] 北宋の詞人。父の晏殊とともに二晏。その繊細な表現から「傷心の人」と評される ①文学 32 C →晏殊
アンギナ〈口峡炎〉 ⑭医学 14 A図
安徽派 ⑨世史 37 D →安直戦争 →段祺瑞 →北洋軍閥 ⑥日史→段祺瑞
行脚 ④哲宗→仏教〔囲用語〕
アンギュイアノ, R ②美術→メキシコ美術〔独立以後〕
暗渠 ⑧日地 1198 A
安行 埼玉/川口市 ⑦日地 70 D →川口(市)図
按蹻導引の法 ⑭医学→按摩〔沿革〕
安行武南県立自然公園 ⑦日地→川口(市) →埼玉(県)〔観光〕
暗渠排水 ⑧日地→暗渠〈1198 A〉 ⑫経産→農業水利
アンキラ ⑩世地→アンカラ
アンギラ(島) ⑩世地→小アンチル(諸島) →リーワード(諸島)
アンギルラムヌス法令集 ⑨世史→『偽イシドール文書』
アンキロサウルス ⑳動物→恐竜〔曲竜類〕図
アンギン工具 ⑧日地→新潟(県)〔文化〈文化財〉〕
行宮 ⑤日史 45 C
UNCTAD ⇨国連貿易開発会議
アングマクシャリク ⑩世地→グリーンランド
アングラー ⑬生活→釣り
アングラ・マイニュ ④哲宗→ゾロアスター教〔教説〕 ⑨世史→ゾロアスター教

アングリカン・チャーチ ⇨イギリス国教会
アングリー・ヤングメン〈怒れる若者たち〉 ①文学→イギリス文学〔20世紀〕 →ウィルソン, C →オズボーン, J
アングル, J フランス[1780-1867] 画家。古典派の主柱として肖像画・歴史画・裸婦に妙技を発揮 ②美術 14 C図 →古典主義図
アングル族 ⑨世史→アングロ・サクソン →民族大移動〔経過〕
アングルドーザー ⑰科技→掘削機械〔ブルドーザー〕
『アンクル・トムの子供たち』 ①文学→ライト, R
『アンクル・トムの小屋』 ①文学→ストー夫人
アングル弁 ⑰科技→弁図
アングレカム ⑲植物→ラン表
アングロ・アイリッシュ文学 ①文学→アイルランド文学
アングロアメリカ ⑩世地 50 D →アメリカ(州)
アングロアラブ種 ⑳動物→ウマ〔品種〈軽種〉〕図
アングロ・イラニアン ⑫経産→石油産業〔歴史〕
アングロ・エジプト・スーダン ⑩世地→スーダン(民主共和国)〔略史〕
アングロ・サクソン ⑨世史 38 A →イギリス(史)
『アングロ・サクソン年代記』 ⑨世史 38 A →アルフレッド(大王)
アングロヌビアン種 ⑳動物→ヤギ図
アングロノルマン種 ⑳動物→ウマ〔品種〈中間種〉〕
アングロ・ペルシア石油会社 ⑩世地→イラン〔経済・産業〕
アングロ・マニー ⑨世史→イギリス(史)〔文化史的特質〕
安慶 ⇨アンチン
安慶軍機所 ⑨世史→曾国藩
安慶緒 中国 ⑨世史→安史の乱〔経緯〕
安穴先生〈中島棕隠〉 ①文学→狂詩
アンケート ⑪政社→社会調査〔調査法〕
アンゲラー, T ②美術→漫画〔今日の漫画家たち〕
『諳厄利亜語林大成』 ⑤日史→英学〔フェートン号事件〕
『アンゲルじいさん』 ①文学→イストラチ, P
アンゲルス・ジレージウス ドイツ[1624-1677] 詩人。簡潔な言葉の中に感情の深みと繊細な象徴法をたたえる ①文学 32 C図
安居 ④哲宗→仏教〔囲用語〕
安居院 ⇨飛鳥寺
アンコウ〔鮟鱇〕 ⑳動物 35 A図 ⑬生活→郷土料理〔囲〈茨城〉〕
暗号解読 ④哲宗→ヤスパース, K〔囲基本概念〕
アンコウカジカ ⇨ガンコ
安康天皇 [*.] 第20代天皇。『宋書』にみえる倭の五王の興にあたる ⑤日史 45 C
あんこう鍋 ⑳動物→アンコウ〔調理〕
アンコウのつるし切り ⑳動物→アンコウ〔調理〕
『暗黒街』 ③音演→映画〔無声映画〈第3期〉〕
『暗黒街の弾痕』 ③音演→ラング, F
安国寺 ⑦日地→綾部(市)図
安国寺 ②美術→庭園囲 ⑧日地→福山(市)
安国寺遺跡 ⑤日史 45 D ⑦日地→国東(町)
安国寺恵瓊 [1538?-1600] 戦国末期, 毛利氏の外交僧として秀吉との間を調停。秀吉に仕えるが関ヶ原の戦いに敗れ刑死 ⑤日史 45 D →安芸国〔囲人国記〕
安国寺利生塔 ⑤日史 45 D
暗黒星雲 ⑱宇地 20 A →銀河系〔形状〕 →コールサック →星雲図 →星間物質〔星間吸収〕
暗黒大陸 ⑨世史→アフリカ(州)〔先史時代・古代〈人類の発祥〉〕 ⑩世地→アフリカ(州)〔囲探検史〕
『暗黒日記』 ⑤日史→清沢洌
『暗黒の竪坑』 ①文学→モールツ, A
暗黒の木曜日 ⑤日史→恐慌 ⑫経産→大恐慌
『暗黒の夜の街』 ①文学→トムソン, J《19世紀》
『安国論』 ④哲宗→日蓮〔立正安国論〕
安居寺 ⑧日地→福野(町)
アンゴストゥラ ⇨シウダドボリバル
『アンコ椿は恋の花』 ③音演→歌謡曲表
『安吾捕物帖』 ①文学→大衆文学
アンコナ イタリア ⑩世地 50 D
あんこ節 ③音演→民謡〔表〈東京〉〕
アンゴラ(人民共和国) アフリカ ⑩世地 50 D図
アンゴラ種 ⑳動物→ウサギ〔カイウサギ〕図 →ヤギ〔畜養品種〕図
アンゴラの戦い ⇨アンカラの戦い
アンコール遺跡 ②美術 14 D →東南アジアの美術図 ⑨世史 38 B図
アンコールウシ ⑳動物→コブウシ
アンコール朝 ⑨世史→東南アジア〔歴史〈インド文化の影響〉〕
アンコール・トム ②美術→東南アジアの美術図 →仏教建築〔インドその他〕 ⑨世史→アンコール遺跡 ⑩世地→カンボジア〔観光〕図
アンコール・ワット ②美術→東南アジアの美術図 ⑨世史→アンコール遺跡図 →東南アジア〔歴史〈古代クメール帝国〉〕図 ⑩世地→カンボジア〔観光〕図
アンコロン ③音演→楽器図
安西篤子 ①文学→直木賞表
安斎桜磈子 [1886-1953] 俳人。作風は風土と結びつき, 悲しみをたたえる。自由律俳壇に重きをなした ①文学 32 D
闇斎学派 ⇨崎門学派
安西衆 ⇨御伽衆
行在所 ⑤日史→行宮
『安斎随筆』 ⑤日史→伊勢貞丈
安西均 [1919-] 詩人。その詩は幅広い生活の叙情で, 優雅な気品のなかに時に退廃的また残酷な美を示す ①文学 32 D
安西冬衛 [1898-1965] 詩人。短詩, 物語風散文詩, 箴言風個条書的作品を得意とした ①文学 32 D
アンザイレン ⑬生活→登山〔囲用語〕
アンサーズ ④哲宗→祭壇
アンザス条約〈太平洋安全保障条約〉 ⑪政社 16 C →オーストラリア政治事情 ⑨世史→オセアニア〔オーストラリア〈第二次大戦〉〕
アンザック軍 ⑨世史→オセアニア〔オーストラリア〈第一次大戦〉〕
按察使 ⑨世史 38 B →総督巡撫
按察使司 ⑨世史→朱元璋 →明〔政治史〕
『暗殺の年輪』 ①文学→直木賞表
アンサーリー, A [1005-1089] ペルシアの神秘主義者・詩人。四行詩で神秘主義思想を表現した ①文学 33 A →『ルバイヤート』
アンサリエ(山脈) ⑩世地→シリア(アラブ共和国)〔自然〕
アンサール ⑨世史→イスラム教〔聖遷〕
暗算 ⑯物数 14 A図 →計算〔方法〕
鞍山 ⇨アンシャン
安山岩 ⑱宇地 20 A →火成岩図 →岩石〔火山岩または細粒火成岩〕 →石材〔利用〕図
安山岩線 ⑱宇地 20 A
鞍山製鉄所 ⑤日史 46 A
鞍山鉄鋼公司 ⑤日史→鞍山製鉄所
アンサンブル ③音演→合奏
晏子 中国[*.] 春秋時代の斉の政治家。宰相として節倹・力行を進めた ⑨世史 38 C
按司 ⇨按司
暗示 ⑭医学→暗示療法 →催眠術〔技法〕 →心理療法〔再教育的療法〕
アンジェ フランス ⑩世地 51 B
アンジェイェフスキ, J ポーランド[1909-] 小説家。カトリック作家として出発, 戦争体験を通じてコミュニズムに移った ㊥『灰とダイヤモンド』 ①文学 33 A
アンジェビン朝 ⇨プランタジネット朝
アンジェリコ, F イタリア[1387-1455] フィレンツェ派の画家, 修道士。サン・マルコ修道院の壁画でフレスコ画法を採択 ②美術 14 D図 →受胎告知図 →フィレンツェ派 →フレスコ画〔代表作〕
アンジェリス, J イタリア[1568-1623] ④哲宗→キリシタン〔囲人名〕
アンシクロペディスト〈百科全書派〉 ⑨世史 38 C図 →啓蒙思想
アンジジャン ソ連/ウズベク ⑩世地 51 B
安死術 ⇨安楽死
『晏子春秋』 ④哲宗 21 C ⑨世史→晏子
暗室 ⑬生活→住まい〔設計〈各部〉〕
『暗室』 ①文学→日本文学〔近代〈戦後文学〉〕 →吉行淳之介
安史の乱 ⑨世史 38 D →玄宗 →唐〔政治〕 →杜甫 →楊貴妃
安四面銅鉱 ⑱宇地 20 B
暗視野照明法 ⑯物数→顕微鏡〔照明方法〕
アンシャン〈鞍山〉 中国/遼寧省 ⑩世地 51 C図
アンシャン・レジーム〈旧制度〉 ⑨世史 39 B図 →フランス(共和国)〔歴史〈絶対主義〉〕 →フランス革命〔旧制度社会〕 ⑪政社→政治体制 ⑫経産→フランス革命〔原因〕
晏殊 中国[991-1055] 北宋の政治家・詩人。子の晏幾

道とともに二晏と称される ①文学 33 A →晏幾道(あんきどう)
アンジュー (フランス) ⑩世地 51 C
アンジュアン(島) ⑩世地→コモロ(連邦イスラム共和国)
アンジュー家 (フランス) アンジュー地方から興って支配権を広げ,イギリス王位をも継承 ⑨世史 39 C 図 →シチリアの晩鐘 →ナポリ王国 →フィレンツェ共和国 →両シチリア王国
アンジュー朝 ⇨プランタジネット朝
アンシュッツ,H ⑰科技→羅針盤
アンシュルス ⇨ドイツ・オーストリア合邦
アンシュン〈安順(あんじゅん)〉 中国/貴州省 ⑩世地 51 C
暗順応 ⑭医学 14 C 図 →視覚〔視細胞〕 →夜盲症
暗順応曲線 ⑭医学→暗順応図
暗礁 ⑧日地 1198 A →礁〈1216 B〉 ⑱宇地 20 B
アーンショウ,T ⑰科技→時計〔歴史〈第 3 期〉〕
安城(市) 愛知 ⑦日地 70 D
暗条 ⑱宇地→太陽〔太陽面現象〈 8 〉〕図
安城ヶ原 ⑧日地→明治用水
アン女王戦争 ⑨世史 39 D →スペイン継承戦争
暗示療法 ⑭医学 14 D →心理療法〔再教育的療法〕
アンジロー〈ヤジロウ〉 [* *] 戦国時代の鹿児島の武士。ザビエルに会いゴアで入信,日本での布教活動に協力 ⑤日史 46 A ④哲宗→キリシタン〔囲人名〕
安心立命 ④哲宗→仏教〔囲用語〕
アンズ〔杏子〕〈アプリコット〉 ⑲植物 32 C 図 →果樹〔歴史〕 ⑭医学→生薬(しょうやく)〔杏仁〕図
アンズタケ〔杏茸〕 ⑲植物 32 C →キノコ〔別担子菌類〈ヒダナシタケ目・キクラゲ目〉〕
『杏っ子』 ①文学→室生犀星(さいせい)
アンズ祭 ⑦日地→更埴(こうしょく)(市)
アンスラキノン ⑬生活→食品着色料
アンスラサイト ⑰科技→水道〔浄水施設〈緩速濾過法〉〕
アンスリウム ⑲植物 33 A 図
安政仮条約 ⇨安政五か国条約
『安政見聞誌』 ⑤日史→仮名垣魯文(かながきろぶん)
安政五か国条約 ⑤日史 46 A →江戸時代〔産業・経済・貿易〈開国と貿易〉〕 →開国〔通商開始〕 →改税約書 →関税自主権 →協定関税率制度 →条約改正 ⑥日史→不平等条約 →両都両港開市開港問題 ⑫経産→関税自主権
安西四鎮 ⑨世史 40 A
安政通商条約 ⑥日史→明治維新〔幕末〕
安西都護府 ⑨世史→安西四鎮
安政の地震 ⑤日史 46 B
安政の大獄 ⑤日史 46 C 表 →井伊直弼 →将軍継嗣問題 ④哲宗→梅田雲浜 →橋本左内 →吉田松陰 ⑥日史→橋本左内 →松平慶永(よしなが) →吉田松陰
アンセム ③音演 15 D →キリスト教音楽
アンゼリカ ⑲植物 33 A
アンゼリス,J (イタリア)[1586–1623] イエズス会の宣教師。江戸初期に来日し,禁教令下の蝦夷松前にも布教。江戸で殉教 ⑤日史 47 A ⑤日史→キリスト教〔禁教と殉教〕
アンセルムス [1033–1109] キリスト教思想家・カンタベリー大司教。スコラ哲学の祖とよばれる ④哲宗 21 C →キリスト教〔中世〕 →スコラ哲学〔初期〕 ⑨世史 40 A
アンセルメ,E (スイス)[1883–1969] 指揮者。スイス・ロマンド管弦楽団を創立,バレエ音楽で真価を発揮 ③音演 15 D
安全委員 ⑫経産→安全管理
安全インキ ⑰科技→印刷〔インキ〈特殊インキ〉〕
安全剃刀 ⑬生活→剃刀(かみそり) →理容〔シェービング〕
安全ガラス ⑮化学 41 A
安全管理 ⑫経産 20 C
安全教育 ⑭医学→幼児〔家庭での教育〕
安全色彩 ⑯物数→色(いろ)〔色彩調節〕 ⑰科技→色彩調節
安全自動車 ⑰科技 12 B 図
安全灯 ⑰科技 13 B 図表 →鉱山〔照明〕 →スチーブンソン,G
安全ブレーカ ⇨ノーヒューズ・ブレーカ
安全ベルト ⇨シートベルト
安全弁 ⑰科技→弁
安全保障 ⑪政社 16 D →勢力均衡
安全保障理事会 ⑤日史 47 A →国際連合 ⑨世史→国際連合〔機能〕 ⑪政社→拒否権 →国際連合〔主要機関〕 →地域的取極 ⑫経産→国際連合
安全枕 ⑭医学→むち打ち症候群〔予防〕
安全マッチ ⑮化学→マッチ
安全レール ⑰科技→ガードレール《鉄道》
安息 ⇨パルティア
安息香 ⑭医学→生薬(しょうやく)
安息香酸 ⑮化学 41 B ⑲植物→アンソクコウノキ〔利用〕
安息香チンキ ⑲植物→アンソクコウノキ〔利用〕
アンソクコウノキ〔安息香木〕 ⑲植物 33 A 図
安息日 ④哲宗→キリスト教〔囲用語〕 →ユダヤ教〔歴史〕
安息ミサ ⑬生活→葬式〔葬儀〈キリスト教葬儀〉〕
アンソニー,S (アメリカ)[1820–1906] ⑨世史→婦人参政権運動〔アメリカ〕
アンソリーザ〈ザイフリアヤメ〉 ⑲植物 33 B
アンソール,J (ベルギー)[1860–1949] 画家。作風は表現主義とシュルレアリスムの先駆的表現と見なされている ②美術 15 C 図 →フランドル美術〔絵画〕
アンタ (ペルー) ⑩世地 51 C
アンター〈安達(あんだ)〉 中国/黒竜江省 ⑩世地 51 D
安代温泉 ⑧日地→山ノ内(町)
アンタイド・ローン ⑫経産→借款
アンダーウエアー ⑬生活→衣服〔種類と分類〈着装上〉〕 →下着〔洋装〕
アンダーウッド,G ⑳動物→ヘビ〔分類〕
アンダーカット ⑬生活→ホッケー〔囲用語〕
アンタキア ⇨アンチオキア
アンダーグラウンド演劇 ③音演→日本演劇〔第二次大戦後から現代まで〈第 3 期〉〕
アンダース (アメリカ) ⑱宇地→アポロ計画〔足跡〕
アンダーソン,C (アメリカ)[1905] 原子物理学者。宇宙線の研究中に陽電子を発見。ノーベル賞受賞 ⑯物数 14 B →中間子論 →陽電子 ⑮化学→中間子
アンダーソン,J ⑨世史→仰韶文化(ぎょうしょう)
アンダーソン,M (アメリカ)[1888–1959] 劇作家。写実心理劇で注目されたが本来の主張は現代劇に詩を回復することにあり,詩劇に傑作が多い ①文学 33 C ③音演 16 A
アンダーソン,M (アメリカ)[1902] 黒人アルト歌手。「百年に一度の声」と絶賛され,黒人霊歌は他に比類がない ③音演 16 A 図
アンダーソン,S (アメリカ)[1876–1941] 小説家。短編小説の名手で,ヘミングウェイらの後進に道を開いた 作『ワインズバーグ・オハイオ』 ①文学 33 B 図
『アンダーソンビル』 ①文学→キャントー,M
安達(あんだ) ⇨アンター
アンタッチャブル〈不可触賤民〉 ⑨世史→カースト〔改革運動〕 ⑫経産→カースト
アンタナナリボ ⇨タナナリブ
アンタブス〈ディサルフィラム〉 ⑬生活→酒〔効用と害〕 ⑭医学→アルコール中毒〔慢性アルコール中毒〕 →禁酒
アンダーブラウス ⑬生活→ブラウス〔種類〕
アンダーフロアエンジン ⑰科技→バス〔種類および構造〕
アンダー・ペインティング〈アンパルトモン〉 ②美術→油絵〔描き方〕
アンターマイアー,L (アメリカ)[1886–1977] 詩人。豪奢なまでにロマン的な詩を身上とする ①文学 33 C
アンダマン(海) ⑱宇地→海洋表
アンダマンニコバル(諸島) (インド) ⑩世地 51 D
アンタラ ①文学→『ムアルラカート』
アンダーライティング ⑫経産→株式〔発行価額〕 →株式〔囲用語〕
アンタラ・ビン・シャッダード ①文学→『アンタル物語』
アンタリア (トルコ) ⑩世地 51 D
アンダリューサイト ⇨紅柱石
アンタルキダス ⑨世史→アンタルキダス条約
アンタルキダス条約〈大王の和約〉 ⑨世史 40 A →コリント戦争 →レウクトラの戦い
アンダルシア (スペイン) ⑩世地 53 A →イベリア(半島) →スペイン図 ⑨世史→スペイン・ポルトガル(史)〔国土の征服〈古代〉〕
『アンダルシアの犬』 ③音演→映画〔無声映画〈第 3 期〉〕別 →ブニュエル,L
アンダルシアン ⑳動物→遺伝〔中間遺伝〕
『アンタル物語』 ①文学 33 D 図
アンタレス ⑱宇地 20 B →巨星表 →恒星〔表 1 等星〕 →さそり座 →星座〔四季〈夏〉〕
暗炭 ⑮化学→石炭〔性状〕
アンダンテ ③音演→音楽用語〈 629 A〉
『アンダンテ・カンタービレ』 ③音演→チャイコフスキー,P〔作風と作品〕
アンチアトラス(山脈) ⑩世地→アトラス(山脈)
アンチェル,K (チェコ)[1908–1973] 指揮者。ナチスの迫害をうけ,戦後チェコ・フィルハーモニー常任指揮者 ③音演 16 B
アンチオキア (トルコ) ⑨世史 40 B →セレウコス朝 ⑩世地→シリア(アラブ共和国)〔社会・文化〕
アンチクウスゾウ ⑱宇地→ナウマンゾウ
アンチクリーパー ⑰科技→軌道〔レール締結装置〕
アンチコスチ(島) ⑩世地→セントローレンス(湾)
『アンチゴーヌ』 ①文学→アヌイ,J →レジスタンス文学 ③音演→アヌイ,J
アンチゴライト ⑱宇地 20 C →蛇紋石
アンチジウレチン ⑭医学→下垂体
アンチシラベ (マダガスカル) ⑩世地 53 A
アンチスキッド装置 ⑰科技→安全自動車〔安全装備〕
アンチ・セミチズム ⑪政社→ユダヤ人問題〔迫害〕
アンチック ⑰科技→活字〔書体〕図
アンチ・テアトル〈反演劇〉 ①文学→イオネスコ,E →フランス文学〔 20 世紀〈 540 D〉〕 ③音演→現代演劇 →ベケット,S
アンチテーゼ〈反定立〉 ④哲宗→正・反・合 →措定 →ヘーゲル,G〔囲基本概念〈即自・対自,即自かつ対自〉〕 →弁証法
アンチトラスト法 ⇨反トラスト法
『アンチネイア』 ①文学→モーラス,C
アンチノック剤 ⑮化学 41 B →ガソリン
アンチノック性 ⑮化学→オクタン価
アンチノミー ⇨二律背反
アンチピリン ⑮化学 41 B ⑭医学→熱〔解熱剤〈ピラツォロン剤〉〕 →薬疹〔ピリン疹〕
『アンチピリン氏の最初の天上の冒険』 ①文学→ダダイスム →ツァラ,T
アンチフェブリン ⑮化学→アセトアニリド
アンチモン〈アンチモニー〉 ⑮化学 41 C 図 ⑰科技 13 C ⑱宇地→輝安鉱
アンチモン白 ⑰科技→アンチモン
アンチモンフリントガラス ⑮化学→光学ガラス
庵地焼 ⑧日地→安田(町)《新潟》
紅酒(アンチュウ) ⑬生活→酒〔台湾〕
アンチューサ〈ウシノシタグサ〉 ⑲植物 33 C 図
安直戦争〈直皖戦争〉 ⑨世史 40 B →安徽派 →曹錕(そうこん)
アンチョビー ⑩世地→ペルー(共和国)図 ⑬生活→塩辛〔種類〕
アンチョビーソース ⑬生活→ソース〔食卓用〕
昂船洲(アンチョワンチョウ) ⑩世地→ホンコン
アンチル(諸島) ⑩世地→西インド(諸島)
アンチレバノン(山脈) (シリア・レバノン) ⑩世地 53 A
アンチロープ ⑳動物 35 C ⇨レイヨウ
アンチ・ロマン〈反小説〉 ①文学→小説〔現代〕 →ヌーボー・ロマン →フランス文学〔 20 世紀〕
アンチン〈安慶(あんけい)〉 中国/安徽省 ⑩世地 53 A
安珍清姫 ⑥日史→道成寺
安珍塚 ⑦日地→川辺(町)《和歌山》〔道成寺〕
ANTU(アンツー) ⑮化学 42 A →農薬〔分類〈殺虫剤〉〕
アンツェングルーバー,L (オーストリア)[1839–1889] 劇作家・小説家。民衆教化の意図をもった戯曲を書き,民衆劇流行の先駆となる ①文学 34 A
『アンディアナ』 ①文学→サンド,G
アンティオコス(三世) [前242–187] セレウコス朝最大の王。地中海世界への進出を企てたがローマに敗れた ⑨世史 40 B 図 →アイトリア同盟
安定核種 ⑮化学→核化学
安定器 ⑰科技→螢光灯
安定気団 ⑱宇地→気団〔分類〕
安定恐慌 ⑫経産 20 D →インフレーション〔悪性インフレーション〕 →景気変動〔景気調整政策〕 →ドッジ・ライン
アンティゴネ ④哲宗→ギリシア・ローマ神話〔囲主要神名〕
『アンティゴネ』 ①文学→ソフォクレス ③音演→アヌイ,J〔アンチゴーヌ〕 →ソフォクレス
アンティゴノス(一世) [前382*–301] アレクサンドロス大王の武将。大王の死後,後継者たちとイプソスで戦い敗死 ⑨世史 40 C →イプソスの戦い →カサンドロス
アンティゴノス朝 ⑨世史→マケドニア
安定条件論 ⑫経産 20 D →均衡理論〔均衡条件〕
安定進化〈スタシゲネシス〉 ⑳動物→進化〔諸相〕
アンティステネス (ギリシア)[前445*–365*] 小ソクラテス派の哲学者。キニコス学派の祖とされる ④哲宗 21 D →キニコス学派
安定同位体〈安定同位元素〉 ⑮化学→同位体 ⑰科技→アイソトープ

安定度定数 ⑮化学 42 B
『アンティフォナーレ』 ③音演→グレゴリオ聖歌
アンティフォン [前480?~411?] 弁論家。仮想の事件で弁論の模範を示し，アテネで活躍。政変で貴族側を支持し処刑 ①文学 34 A
アンティミスト ②美術→ボナール，P
アンティミスム ②美術 15 D →ビュイヤール，E
安定陸塊 ⑱宇地 20 C →造陸運動 →楯状地 →地質時代〔先カンブリア時代〕
アンティル海流 ⑱宇地→メキシコ湾流
アンテグア(島) ⑩世地→リーワード(諸島)
アンテグア・バルブダ ⑩世地→小アンチル(諸島) →リーワード(諸島)
アンデス(山脈) 南アメリカ ⑩世地 53 A図 →コルディエラ
アンデスフラミンゴ ⑳動物→フラミンゴ
アンデス文明 ②美術→インカの美術
『アンデスマ氏の午後』 ①文学→デュラス，M
アンテナ ⑯物数 14 B図 ⑰科技 13 C図
アンテミオス ②美術→ハギア・ソフィア
アンテミス〈コウヤカミルレ〉 ⑲植物 33 C
アンテリナム ⇨キンギョソウ
アンデルシュ，A [1914~1971] 小説家。「自由への逃走」を一貫したテーマとして文学を形成 ①文学 34 B
アンデルセン，H [1805~1875] 小説家，近代童話の確立者。その人生は国外旅行と失恋の連続であった 作『即興詩人』 ①文学 34 C図
暗点 ⑭医学 15 A
暗転幕 ③音演→幕
安堵(村) 奈良 ⑦日地 70 D
安堵 ⑤日史 47 B ⑥日史→武士〔大名領国〕
アントアーヌ，A [1858~1943] 俳優・演出家。自由劇場を創立，自然主義演劇を実践した ①文学 35 A ③音演 16 B図 →近代劇 →フランス演劇〔写実劇〕
安東 ⇨アントン
安藤伊右衛門 [1751~1827] ⑤日史→因幡国〔囲人国記〕
安藤一郎 [1907~1972] 俳人。D.H.ローレンスなどの詩作品の紹介と訳業に定評がある ①文学35A
安東氏 鎌倉・室町期の津軽の豪族。北条氏の地頭代で蝦夷管領を兼ねる ⑤日史 47 B →羽後国
安東貞温 ⑥日史→美作国〔囲人国記〕
安藤定為 [1647~1702] ⑥日史→丹波国〔囲人国記〕
安藤昌益 [?~?] 江戸中期の医師・社会思想家。その思想は徹底した平等主義を特色とする 作『自然真営道』 ④哲宗 22 A図 ⑤日史 47 B図 →江戸時代〔文化〈国学・洋学〉〕 ⑪政社→アナキズム〔日本〕 →平和主義〔日本〕
安東将軍倭国王 ⑥日史→倭の五王
安東省菴 [1621~1701] ⑥日史→筑後国〔囲人国記〕
安藤為章 [1659~1716] 江戸中期の国学者。徳川光圀に招かれ『大日本史』などの編纂に従事 ①文学 35 B
安東次男 [1919] 詩人。俳句の季感を詩によみがえらせながら形而上的な詩的空間を創出 ①文学 35 B
安藤鶴夫 [1908~1969] 劇評家・小説家・随筆家。生涯を通して新聞・雑誌に舞台批評を書く ①文学 35 B →直木賞表
安東鉄馬 [1843~1864] ⑥日史→美作国〔囲人国記〕
安藤野雁 [1810~1867] 江戸末期の歌人。万葉調の軽妙洒脱な歌で一家をなすも終始歌壇の外にあった ①文学 35 C
安藤信正 [1819~1871] 幕末の平藩主・老中。桜田門外の変後，井伊直弼の遺業を継ぐ。坂下門外の変で失脚 ⑤日史 47 C →公武合体論 →坂下門外の変
安藤博 ⑥日史→『徳川幕府県治要略』
安藤広重〈歌川広重〉 [1797~1858] 江戸後期の浮世絵師。名所絵の佳作多く，日本的風景画の完成者 ⑤日史 47 D →化政文化〔道中記・浮世絵〕図 ②美術→歌川広重図 →浮世絵〔末期〕 ③音演→歌舞伎〔内容と様式〈劇場・舞台・観客〉〕 →芝居絵別
安東正虎 ⑥日史→美作国〔囲人国記〕
AND回路 ⑯物数→接続〔電気〕
アンドキデス [前440?~390?] 弁論家。ギリシア散文の発達に重要な足跡を残したと評価されている ①文学 35 C
安徳天皇 [1178~1185] 第81代天皇。母は平清盛の女。平氏滅亡のとき壇ノ浦で二位尼に抱かれて入水 ⑤日史 47 D図 →建礼門院 ⑥日史→平清盛 →高倉天皇 →壇ノ浦の戦い
アントコーリスキー，P ソ連[1896] 詩人。革命的精神にあふれた劇的でロマンティックな詩作が多い ①文学 35 C
アントシアニジン ⑮化学→シアニン →色素
アントシアニン ⑮化学→シアニン
アントシアン〈花青素〉 ⑲植物 33 C →アズキ →紅葉 →植物色素 ⑬生活→野菜〔成分〕
アンドゾル ⇨火山灰土壌
『アントニー・アドバース』 ①文学→アレン，H
アントニウス [250?~356?] ④哲宗→コプト協会 →修道会〔東方修道会〕 ⑨世史→修道院
アントニウス，M [前82~30] 古代ローマの政治家・将軍。カエサルの死後オクタビアヌスと争い敗死 ⑨世史 40 C →アウグストゥス →アクティウムの海戦 →クレオパトラ →三頭政治
『アントニオとメリダ』 ①文学→マーストン，J
アントニオーニ，M [1912] 映画監督・脚本家。女性像を通して現代人の不安と孤独を描写 ③音演 16 C図 →映画〔トーキー〈第6期〉〕
『アントニーとクレオパトラ』 ①文学→シェークスピア，W
アントニヌス・ピウス [86~161] ローマ皇帝。ピウスとは敬虔な者の意。統治の間帝国は平和と繁栄を謳歌 ⑨世史 40 D →五賢帝
アントネスク ⑨世史→ミハイ(一世)
アントネッリ，L [1882~1942] 劇作家。グロテスク派に属する反自然主義的・懐疑的な作風が特色 ①文学 35 C
アントネロ・ダ・メッシーナ [1430?~1479] 画家。フランドル絵画の影響を受け，『聖セバスティアーノ』はその代表作 ②美術 15 D →ベネチア派
アントーノフ，S ソ連[1915] 小説家。日常生活に取材した叙情的な短編を得意とするが，現実批判的姿勢を示す ①文学 35 D
アントファガスタ ⑩世地 53 C →チリ(共和国)〔地方誌〕 ⑱宇地→砂漠〔生活，利用〕
アントベルペン ⇨アンベルス
アンドラ ⑩世地 53 C図 →ピレネー(山脈)
『アンドラ』 ③音演→フリッシュ，M
アントラキノン ⑮化学 42 C →アントラセン →キノン →色素 →染料〔分類〈1〉〕
アントラキノン染料 ⑮化学 42 C →アントラキノン〔用途〕 →アントラセン →染料〔分類〈2〉〕 →媒染染料
アンドラーシ，G(大) [1823~1890] 政治家。オーストリア・ハンガリー帝国外相となり三帝同盟などを締結 ⑨世史 40 D →ベルリン会議図
アンドラーシ，G(小) [1860~1929] オーストリア・ハンガリー帝国の政治家。第一次大戦末期に外相，戦後亡命 ⑨世史 40 D
アントラセン ⑮化学 42 C図 →アントラキノン →デュマ，J →フェノール →ローラン，A
アントラセン油 ⑮化学 43 A
アンドラダイト ⑱宇地→ざくろ石
アンドラ朝 ⇨サータバーハナ朝
アンドラーデ，M ①文学→アフリカ文学〈第2期〉
アントラヒドロキノン ⑮化学→アントラキノン〔製法〕
アンドラプラデシ(州) ⑩世地 54 B
アンドラ・ラ・ベッラ ⑩世地→アンドラ図
アンドリア ⑩世地 54 B
アンドリウス，C [1896] ⑭医学→インフルエンザ〔病原体〈スペインかぜ〉〕
アンドリッチ，I [1892~1975] 小説家。叙情詩人として出発，外交官生活を経て小説を執筆。ノーベル賞受賞 ①文学 35 D図
アンドリュウスキクイムシ ⑳動物→キクイムシ〔甲殻類〕
アンドリュース，T [1813~1885] 化学者。炭酸ガスの研究から気体が液体や固体に変化することを発見 ⑯物数 15 A →液化 →相変化
アンドール ⇨アンドラ
アントルシャ ③音演→バレエ〔囲用語〕
アントルメ ⑬生活→フランス料理〔献立〕
アントレ ⑬生活→フランス料理〔献立〕図
アンドレ，N [1658~1742] ⑭医学→整形外科
『アンドレア・シェニエ』 ③音演→ジョルダーノ，U
『アンドレーアス』 ①文学→ホフマンスタール，H
アンドレーアス=ザロメ，L [1861~1937] 女流作家。ニーチェなどと交わり，晩年フロイトのもとで精神分析学を研究 ①文学 36 A
アンドレア・ソラリオ [1465~1515] ②美術→ミラノ派
アンドレアノフ ソ連 ⑬生活→体操競技〔歴史〕
アンドレイ公爵 ①文学→トルストイ，L〔戦争と平和〕
『アンドレイ・ルブリョフ』 ③音演→タルコフスキー，A
アンドレエ，W ⑨世史→アッシュール
アンドレーエフ，L [1871~1919] 小説家。死をテーマの軸にし，時事的な流行を加えた作品で好評。革命後亡命 作『悪魔の日記』 ①文学 36 A ③音演→近代劇
アンドレス，S [1906~1970] 小説家。信仰と情熱の相克に苦悩する人間を好んで描く ①文学 36 A
アンドロギノス ④哲宗→性
アンドロゲン ⇨男性ホルモン
アンドロス(島) ⑩世地 54 B →キクラデス(諸島)
アンドロス(島) ⑩世地 54 C →バハマ(国)
『アンドロスから来た娘』 ①文学→テレンティウス，P ③音演→テレンティウス，P →ローマ演劇図
アンドロステロン ⑭医学→ホルモン〔性ホルモン〈雄性ホルモン〉〕 ⑮化学→ステロイド〔性ホルモン〈男性ホルモン〉〕図
アントロデムス ⑳動物→恐竜〔獣脚類〕
アンドロニコス(一世) ⑨世史→コムネノス朝
アンドロニコス(ロドスの) ①文学→アリストテレス ④哲宗→アリストテレス〔形而上〈19 A〉〕
アンドロノボ期 ⑨世史→北アジア〔シベリア〕
アントロポフ [1716~1795] ②美術→ロシア美術〔18世紀〕
アンドロポフ ⑩世地→ソビエト(連邦)〔政治・外交・軍事〈政治〉〕 ⑪政社→ソ連政治事情〔ブレジネフ・コスイギン時代〕
『アンドロマック』 ①文学→ラシーヌ，J図 ③音演→フランス演劇〔古典劇〕図 →ラシーヌ，J
アンドロメダ座 ⑱宇地 20 C →アンドロメダ大星雲 →星座〔四季〈秋〉〕図表
『アンドロメダ時代』 ①文学→エフレーモフ，I
アンドロメダ大星雲 ⑱宇地 20 C図 →アンドロメダ座 →銀河系外星雲〔渦巻き星雲〕 →星雲 →ラジオ星 →ロス
アンドロメダ流星群 ⑱宇地→アンドロメダ座
アントワープ ⇨アンベルス
アントワープ王立美術館 ②美術 683 A ⑩世地→アンベルス
アントワープ株式取引所 ⑫経産→証券取引所図
アントワープ動物園 ⑳動物→動物園〔表世界〕
アントン〈安東〉 南朝鮮 ⑩世地 54 C
安敦 ⇨マルクス・アウレリウス
行灯 ⑤日史 48 A図 ②美術→照明具〔日本〕図
アントン・カラス ⇨カラス，A
アンドンクラゲ〔行灯水母〕 ⑳動物 35 C
あんどん仕立て ⑲植物→アサガオ〔仕立て方〕図
行灯車〈道中車〉 ⑰科技→鉱山〔囲用語〕
行灯袴 ⑬生活→袴〔現代〕
アンナ衛星 ⑱宇地→人工衛星〔種類〈測地衛星〉〕表
安中(市) 群馬 ⑦日地 70 D図
安中教会 ⑤日史→海老名弾正
安中藩 ⑤日史→板倉勝明 →上野国
『アンナ・カレーニナ』 ①文学→トルストイ，L図
『アンナ・クリスティ』 ③音演→オニール，E
アンナ・コムネナ ⑨世史→アレクシオス(一世) →ビザンティン帝国〔文化〕
アンナセン ⇨アンデルセン，H
アンナット ⑬生活→食品着色料
アン・ナディーム，A [936?~995?] 中世イラクのアラビア語著述家。当時の文献を分類し注釈を加えた「目録」をつくる ①文学 36 B
安和の変 ⑤日史 48 B ⑥日史→藤原師尹 →源高明 →源満仲
アンナバ ⑩世地 54 C
アンナ・パブロワ ⇨パブロワ，A
アンナフード(砂漠) ⑩世地 54 C
アンナプルナ(山) ⑩世地 54 C →ヒマラヤ(山脈)〔区分〈ネパール・ヒマラヤ〉〕〔表初登頂〕
アンナベルク ⑱宇地→ニッケル華
『アンナ・ボレーナ』 ③音演→ドニゼッティ，G
アンナン〔安南〕 ⑤日史 48 B ⑩世地 54 C →ベトナム(社会主義共和国)〔略史〕
アンナン(山脈) ⑩世地 54 D →ベトナム(社会主義共和国)〔自然〕 →ラオス(人民民主共和国)〔自然〕
『安南一統志』 ①文学→東南アジア文学〔外来的〕
安南金 ⑥日史→田沼時代〔金銀の輸入〕
安南焼 ②美術 16 B図
アンニュイ〈倦怠〉 ①文学→文学〔囲用語〕
アンヌ・ドートリッシュ [1601~1666] ルイ十三世の王妃。ヨーロッパ一美しい手の持ち主とうたわ

れ, 王の死後摂政 ⑨世史 40 D →フロンドの乱 →マザラン, J →ルイ(十四世)
アンヌ・ド・ブルターニュ フラ[1477 1514] ⑨世史→シャルル(八世)
『アンネの日記』 ①文学→日記文学〔西洋〕
アンネ・フランクの家 ⑩世地→アムステルダム
安然 [841 898] ④哲宗→天台宗囲
アンネンコフ, P ロシ[1813 1887] 批評家・回想記作家。思想的にはリベラルで西欧派だが, マルクスと知己 ①文学 36 B
『アンネン・ポルカ』 ③音演→シュトラウス, J
アンノウン・ディスタンスレース〈未知数競走〉 ⑬生活→自転車競技〔競技種目〈トラック競技〉〕
アンノボン(島) 赤道ギニア ⑩世地 54 D
鞍馬 ⑬生活→体操競技〔演技種目〕図
アンバー〈インバー〉 ⑰科技→合金〔囲用語〕 →時計〔歴史〈第3期〉〕
あんばい〔塩梅〕 ⑬生活→食塩〔調理〕 →酢
アンバーグリース ⇨竜涎香
暗箱 ⑰科技→写真〈276 C〉
安八(町) 岐阜 ⑦日地 71 B
暗発芽種子 ⑲植物→発芽
アンパッサン ⑬生活→チェス〔ルール〕
アンパト(山) ⇨コロプナ(山)
アンバム剤 ⑮化学→農薬〔分類〈表殺菌剤〉〕 ⑲植物→農薬〔表〈殺菌剤〉〕
アンバリッド〈廃兵院〉 ⑩世地→パリ〔囲観光地〕図
アンバルトモン ⇨アンダー・ペインティング
アンパン財閥 ⑫経産→シュナイダー
暗反応 ⑮化学→光合成 ⑲植物→光合成〔図しくみ〕 →炭酸同化
アンビバレンツ ④哲宗→精神病〔精神分裂病〕
『アンビル・コーラス』 ③音演→ベルディ, G〔作風と作品〈トロバトーレ〉〕
アンビル洞 ⑱宇地→洞穴表
アンピール様式 ②美術→家具〔西洋〕図
鞍部〈コル〉 ⑧日地 1198 A →ケルンコル〈1209 B〉 →峠〈1227 A〉 ⑱宇地 21 B →コル →峠 →山〔各部の名称〕 ⑬生活→登山〔囲用語〕
UMP〈国際地球内部開発計画〉 ⑱宇地 21 B →IUGG
アンフィクティオニア〈隣保同盟〉 ⑨世史 41 A
『アンフィトリュオン』 ③音演→クライスト, H
アンフィバムス ⑳動物→進化〔証明〈古生物学〉〕
アンフェタミン ⑭医学→覚醒剤
ANFO ⇨硝安油剤爆薬
アンフォーラ ②美術 16 B →エトルリア美術図 →ギリシア美術〔図陶器〕
アンフォルメル ②美術 16 B図 →アクション・ペインティング →フォートリエ, J
按腹 ⑭医学→按摩〔沿革〕
安福殿 ⑥日史→内裏〔囲殿舎〕
安福派 ⇨安徽派
アンブラー, E イギ[1909] スパイ小説作家。文学的スパイものの先駆者 ①文学 36 B
アンブリエール, F フラ[1907] 小説家。評論・劇評もある。ゴンクール賞受賞 ①文学 36 B
アンブリゴ石 ⑱宇地 21 B
アンプリダイン ⑰科技→発電機〔特殊構造の発電機〕
アン・ブリン イギ[1507 1536] ヘンリ八世の二番目の王妃。女子を生んだが男子の欲しい八世により処刑 ⑨世史 41 A図 →エリザベス(一世) →ヘンリ(八世)
アンプル ⑭医学 15 A
アンプル内服液 ⑭医学→薬〔形状〈水剤〉〕
アンフルラージュ法 ⑬生活→香水〔製造法〕
アンプルール ⑨世史→王
アンブレイン ⑮化学→香料〔天然香料〕
アンブロシア ④哲宗→ギリシア・ローマ神話〔オリンポス〕
アンブロジアーナ美術館 ②美術 683 A
アンブロシウス イタ[339* 397*] キリスト教神学者, ミラノ司教。ローマ貴族の子としてドイツで生まれた ④哲宗 22 B図 →アウグスティヌス, A
アンブロジオ聖歌 ④哲宗→聖歌
アンブロジョ・ダ・プレディス イタ[1450* 1505*] ②美術→ミラノ派
アンプロンテュ ③音演 16 D ⇨即興曲 →即興演奏
案文 ⑤日史→古文書〔作成〕
按分比例〈比例配分〉 ⑯物数→比・比例
アンペア〔A〕 ⑬生活→住まい〔付帯設備〈電気設備〉〕 ⑯物数→アンペール, A →電磁気単位系 →電流
アンペア時効率 ⑰科技→蓄電池〔鉛蓄電池〕
アンペックス式回転4ヘッド型VTR ⑰科技→ビデオテープレコーダー図
アンベードカル ⑨世史→カースト〔改革運動〕
アンペライ〈ネビキグサ〉 ⑲植物 34 A
アンヘル(滝) ⇨エンジェル(滝)
アンペール, A フラ[1775 1836] 物理学者・数学者。電流の流れている平行導線の間に力が働くことを発見 ⑮化学 43 A図 ⑯物数 15 C図 →物理学〔歴史〈近代〉〕 ⑰科技→ルーロー, F
アンベルク 西ドイツ ⑩世地 54 D
アンベルス〈アントワープ〉 ベルギー ⑩世地 54 D図 ⑫経産→フッガー時代
アンヘル・デ・サベードラ スペ[1791 1865] ③音演→スペイン演劇〔19世紀〕
アンペールの法則 ⑯物数 16 B図 →アンペール, A →磁界 →電束電流 →ビオ-サバールの法則 ⑱宇地→ダイナモ理論〔円板ダイナモ〕
ANFO ⇨硝安油剤爆薬
アンボアーズの陰謀 ⑨世史 41 B →フランソア(二世)
アンホイ(省)〈安徽省〉 中国 ⑩世地 55 A
アンボイナ(島) ⇨アンボン(島)
アンボイナ ⑳動物 35 C
アンボイナ事件 ⑨世史 41 B図 →東インド会社〔オランダ東インド会社〕
安房 ⑧日地→屋久(町)
罨法 ⑭医学 15 A図表 →水治療法
安保条約 ⇨日米安全保障条約
安保条約改定阻止国民会議 ⑤日史→安保闘争
安保闘争 ⑤日史 48 C図 →学生運動 →岸信介内閣〔第二次〕 →社会主義運動〈539 D〉 ⑪政社 17 A図 →政治運動 ⑥日史→日米安全保障条約 →日本労働組合総評議会
安保理事会 ⇨安全保障理事会
アンボン(島)〈アンボイナ島〉 インドネシア ⑩世地 55 B →モルッカ(諸島) ⑨世史→アンボイナ事件
アンボン族 ⑩世地→アンボン(島) →インドネシア(共和国)〔地方誌〈小スンダ列島〉〕
按摩 ⑭医学 16 A図
アンマナーティ, B [1511 1592] ②美術→ルネサンス美術〔終幕〕
アンマン ヨルダン ⑩世地 55 C図
アンミアヌス・マルケリヌス [330* 395*] ローマ帝政末期の歴史家。タキトゥスのあとを継ぎローマ帝国史を著す ①文学 36 C
アンメーター ⇨電流計
暗黙的要素収益説 ⑫経産→利潤 II
アンモシーテス ⑳動物→ヤツメウナギ
アンモナイト〈菊石〉 ⑱宇地 21 C図 →化石図 →地質時代〔古生代〕 →中生代 ⑳動物→オウムガイ →貝類〔進化と系統〕 →進化〔証明〈古生物学〉〕 →頭足類 →動物化石図
アンモニア ⑮化学 43 C図表囲 →硝酸 →硝酸アンモニウム →水酸化アンモニウム →タンパク質〔代謝〕 →窒素〔化合物〈1〉〕 →尿素 →ネスラー試薬 →肥料〔化学肥料〈窒素肥料〉〕 ⑭医学→中毒〔表症状と応急手当〈腐食剤中毒〉〕
アンモニアガス ⑰科技→冷凍機
アンモニア工業 ⑫経産→化学工業〔日本〕 →肥料工業 ⑮化学→アンモニア
アンモニア合成 ⑮化学→ガス化学工業図
アンモニア酸化法〈オストワルト法〉 ⑮化学→空中窒素固定〔硝酸〕 →硝酸〔製法〕
アンモニア水 ⑮化学→アンモニア
アンモニアソーダ法〈ソルベー法〉 ⑮化学 45 B →アルカリ工業図 →ソルベー, E
アンモニアメーザー ⑯物数→原子時計 →レーザー〔誘導放出とメーザー発振〕
アンモニウム塩 ⑮化学 45 C
アンモニウム鉄みょうばん ⑮化学→みょうばん
アンモニウムみょうばん ⑮化学 46 A →アンモニウム塩 →みょうばん
アンモノリシス〈加安分解〉 ⑮化学→アンモニア〔液体アンモニア〕
アンモンガイ ⇨アンモナイト
暗門川 ⑦日地→岩木川
暗門ノ滝 ⑧日地→西目屋(村)
『暗夜行路』 ①文学→志賀直哉図 →日本文学〔近代〈反自然主義〉〕
アンヤン〈安陽〉 中国/河南省 ⑩世地 55 C
安陽 ⇨アンヤン
安養院 ④哲宗→坂東三十三所表
安養寺 ⑧日地→米子(市)
安養寺瓦経塚 ⑤日史 48 D
安楽庵策伝 [1554 1642] 安土桃山から江戸初期の浄土宗の説教僧, 笑話作者。落語の元祖とされる 作『醒睡笑』 ①文学 36 C図 →仮名草子 ③音演→落語〔歴史〕図
安楽院 ⑦日地→甲山(町)
安楽温泉 ⑦日地→霧島温泉郷 →新川渓谷 ⑧日地→牧園(町)
安楽死 ⑪政社 17 C ⑭医学 16 D →法医学〔死の定義〕
安楽寺(埼玉) ④哲宗→坂東三十三所表 ⑧日地→吉見(町)〔吉見の百穴〕
安楽寺(長野) ⑦日地→上田(市)図
安楽寺(徳島) ⑦日地→四国地方〔別八十八か所〕
安楽寺(高知) ⑦日地→四国地方〔別八十八か所〕
『安楽集』 ④哲宗→道綽
安楽騒動 ④哲宗→天台宗〔日本天台〈展開〉〕
安楽律 ④哲宗→慧澄 →天台宗〔囲〈霊空〉〕
アンラジェ ⑨世史→コルドリエ・クラブ →サン・キュロット →フランス革命〔テルミドールのクーデター〕
アンリ, P [1927] ③音演→ミュージック・コンクレート
アンリ(二世) フラ[1519 1559] 国王。剛毅で騎士の風貌があり, 宿敵ハプスブルク家のカール五世と戦う ⑨世史 41 C図 →カトリーヌ・ド・メディシス
アンリ(三世) フラ[1551 1589] バロア朝最後の王。典雅な宮廷人であったが, 宗教内乱を解決しようとして暗殺 ⑨世史 41 D図
アンリ(四世) フラ[1553 1610] 国王。闊達で, 宗教内乱を鎮め, 一種の国際連盟を構想していたが暗殺 ⑨世史 41 D図 →サン・バルテルミーの虐殺 →シュリ, M →ナバラ王国 →ナントの勅令 →フランス(共和国)〔歴史〈ルネサンスと宗教改革の時代〉〕図 →ブルボン朝 ⑪政社→王権神授説〔フランス〕
『アンリエット・ジェラールの不幸』 ①文学→デュランチ, L
アンリオ, E フラ[1889 1961] 詩人・小説家。著名な漫画家の息子で, 処女詩集以来その楽天性は変わらない。アカデミー大賞受賞 ①文学 36 D
『アンリ三世とその宮廷』 ①文学→デュマ, A(父) ③音演→デュマ, A(父)
アンリー・デュナン ⇨デュナン, H
アンリ・ド・ナバル ⇨アンリ(四世)
アンリ・ファルマン ⑰科技→飛行機別
『アンリ・ブリュラールの生涯』 ①文学→スタンダール
『アンリヤッド』 ①文学→ボルテール図
アンリ・ルソー ⇨ルソー, H
安禄山 中国[703* 757] 唐朝の盛時に反乱をおこした武将。出身は雑胡 ⑨世史 42 A →安史の乱 →節度使 →中国〔中世〈唐〉〕
アンローダー ⑰科技→クレーン図
アンワリー, A イラン[1126* 1189*] ペルシアの詩人。頌詩詩人として自国文学史上最高位を占める ①文学 36 D図
『アンワリー詩集』 ①文学→アンワリー, A図
アンワンティポ ⑳動物→ロリス

イ
い

イ〔藺〕 ⇨イグサ
位 ⑪政社→栄典制度
胃 ⑭医学17 A図 →胃潰瘍 →胃癌 →嘔吐 →消化〔消化管〕 ⑳動物36 A
移 ⑤日史49 A
緯 ④哲宗→讖緯説
居合術 ⑤日史49 A ⑥日史→林崎甚助
EIT ⇨静電偏向型計数管
居合抜き ③音演→曲芸図
帷幄上奏権 ⑤日史49 B ⑪政社→軍隊〔日本〕
イアーゴ ①文学→シェークスピア,W〔オセロ〕
イアシ ⇨イヤシ
イアソン ④哲宗→アルゴ号伝説 →ギリシア・ローマ神話〔囲主要神名〕
胃アトニー ⑭医学→胃〔胃病〕
イアトロケミストリー〈医化学〉 ⑮化学→パラケルスス ⑰科技→パラケルスス
井坑 ⑧日地→富江(町)
イアムボス ①文学→ギリシア文学〔叙情詩〕
ERG ⑭医学→角膜移植
ERP ⇨マーシャル・プラン
飯泉取水堰 ⑦日地→酒匂川
井伊氏 江戸期の有力な譜代大名家。幕府の重職の家柄で，彦根藩主。越後与板藩も支配 ⑤日史49 B図 ⑥日史→遠江国〔囲人国記〕 →彦根藩
飯岡(町) 千葉 ⑦日地71 C
飯尾宗祇 ⇨宗祇
飯貝 ⑧日地→吉野(町)《奈良》
EEカメラ ⑯物数→露出計 ⑰科技→カメラ〔囲用語〕
イイギリ〔飯桐〕〈ナンテンギリ〉 ⑲植物34 B図
飯坂温泉 ⑧日地→福島(市)
飯篠長威斎 [1387-1488] 室町中期の刀槍術家。下総の郷士で，香取神宮の境内で神道流を開く ⑤日史49 C →神道流
飯沢匡 [1909-] 劇作家・演出家・小説家。反俗精神に裏うちされた都会的風刺喜劇が得意 ①文学37 A ③音演17 A
EEC ⇨欧州経済共同体
EEG ⑭医学→脳波
飯島(町) 長野 ⑦日地71 C
飯島魁 [1861-1921] 動物学者。日本の寄生虫学の創始者 ⑳動物36 A →五島清太郎 →動物学
イイジマウグイス ⑳動物→ウグイス
飯島耕一 [1930-] 詩人。『他人の空』を刊行，空の詩人といわれる ①文学37 A
イイジマスイクチムシ ⑳動物→スイクチムシ
飯島鼻 ⑦日地→鎌倉(市)〔自然〕
イイジマヒラムシ ⑳動物→ヒラムシ
イイジマホオジロ ⑳動物→ホオジロ
イイジマムシクイ ⑳動物→ムシクイ図
『いいじゃないの幸せならば』 ③音演→歌謡曲表
井伊神社 ⑧日地→彦根(市)〔竜潭寺〕
イイズナ ⑳動物36 A →イタチ〔近縁種〕図 →食肉類〔形態〕
飯田 石川/珠洲市 ⑦日地71 C →珠洲(市)
飯田(市) 長野 ⑦日地71 C図
飯田温泉 ⑦日地→珠洲(市)
飯高(町) 三重 ⑦日地71 D
飯田街道 ⑦日地→伊勢神峠
飯高檀林 ⑧日地→八日市場(市)
飯田川(町) 秋田 ⑦日地72 A図
イイダコ〔飯蛸〕 ⑳動物36 B図 →タコ〔種類〕
飯田事件 ⑤日史49 C →自由党《1881年》 →自由民権運動
飯田線 ⑦日地→大原トンネル ⑧日地→中央本線 →東海道本線
飯田蛇笏 [1885-1962] 俳人。甲州の一角にあって，孤高の詩心を貫いた (作)『山廬集』 ①文学37 B図 →『雲母』
飯田忠彦 [1798-1860] 幕末の歴史家。『大日本史』の続史を書き継ぎ，『野史』を完成 ⑤日史49 C →周防国〔囲人国記〕 ⑥日史→『野史』
飯舘(村) 福島 ⑦日地72 A
飯田橋 東京/千代田区・新宿区 ⑦日地72 B
飯田竜太 ①文学→飯田蛇笏 →『雲母』
飯塚(市) 福岡 ⑦日地72 B図
飯塚啓 [1868-1939] 動物学者。ゴカイ類など環形動物の世界的権威者 ⑳動物36 B
飯塚桃葉 ②美術→印籠
飯塚琅玕斎 [1890-1958] 竹芸家。唐物風に優れ，文展・日展の審査員などを歴任 ⑤日史49 D
言い伝え ④哲宗→伝統
飯縄山 長野 ⑦日地72 D図
飯豊(町) 山形 ⑦日地72 D
飯豊川 ⑦日地→加治川 ⑧日地→大日岳《新潟》
飯豊山 山形・福島・新潟 ⑦日地73 A図
飯豊山地 山形・福島・新潟 ⑦日地73 A ⑧日地→大日岳《新潟》 →磐梯朝日国立公園
井伊直弼 [1815-1860] 幕末の大老・彦根藩主。安政の五か国条約を調印，安政の大獄を強行し，桜田門外の変で殺害 ⑤日史49 D図 →安政の大獄 →桜田門外の変 →将軍継嗣問題 ⑥日史→尊王攘夷運動〔第1期〕 →日米修好通商条約
井伊直孝 [1590-1659] 江戸初期の幕閣の中心人物。大坂の陣で功あり，秀忠・家光・家綱に仕える ⑤日史50 B
井伊直継 ⑥日史→彦根城
井伊直政 [1561-1602] 家康の重臣。徳川氏の五か国時代から仕え，側近勢力の第一人者となる ⑤日史50 B →井伊氏 ⑥日史→彦根藩
飯梨川 島根 ⑦日地73 A
飯南(町) 三重 ⑦日地73 B
飯沼正明 ⑰科技→飛行機〔歴史〈第一次大戦〉〕
飯沼慾斎 [1783-1865] 江戸後期の本草学者。宇田川榕菴に西洋植物学を学び，リンネの分類法を導入 (作)『草木図説』 ⑤日史50 B ⑲植物34 B図
飯野 宮崎/えびの市 ⑦日地73 B →えびの(市) →狗留孫峡
飯野(町) 福島 ⑦日地73 B
飯野川 宮城/河北町 ⑦日地73 B →河北(町)
飯野寅吉 ⑥日史→丹後国〔囲人国記〕
飯野藩 ⑤日史→上総国
井伊谷宮 ④哲宗→神社〔表〈官幣中社〉〕 ⑦日地→引佐(町)
飯野山〈讃岐富士〉 香川 ⑦日地73 B
井伊美術館 ⑧日地→彦根(市)〔彦根城跡〕
飯櫃城 ⑦日地→芝山(町)
井伊道政 ⑥日史→遠江国〔囲人国記〕
飯盛(町) 長崎 ⑦日地73 C
飯盛石 ⑱宇地22 A
飯盛山 ⑥日史→白虎隊 ⑦日地→会津若松(市)〔観光〕図
飯盛山 大阪/大東市 ⑦日地73 C
飯盛山 ⑧日地→由布岳
飯盛山古墳 ⑦日地→加西(市)
伊井弥四郎 ⑥日史→二・一スト図
飯山(市) 長野 ⑦日地73 D
飯山線 ⑦日地→信越本線
飯山藩 ⑤日史→信濃国
『いい湯だな』 ③音演→歌謡曲表
伊井蓉峰 [1871-1932] 俳優。新派劇の創造に尽力，新派の二枚目の典型を創造 ③音演17 A →日本演劇〔明治から第二次大戦まで〈新派劇〉〕図 ⑤日史50 B
飯良 ⑦日地→宇久(町)
委員会 ⑪政社18 A →議会〔活動〕 →行政組織〔国〕
藺生遺跡 ⑧日地→奈良(県)〔歴史〕
イヴァノヴォ ⇨イワノボ
医巫閭山地 ⑩世地→中華人民共和国〔自然〈遼寧南部丘陵〉〕
家 ⑤日史→家制度 ⑪政社→家族〔内面構造〕 →家族制度 ⑬生活→家庭
『家』 ①文学→自然主義〔日本〕 →島崎藤村
『家』 ①文学→巴金
伊江(村) 沖縄/伊江島 ⑦日地73 D →伊江島
イェイエル ①文学→北欧文学〔スウェーデン文学〕
EHF ⑰科技→通信図
家うさぎ ⇨カイウサギ
イエオニグモ ⑳動物→オニグモ →クモ図
イエカ〔家蚊〕 ⑳動物36 C →カ〔発生〕 →休眠
家数人馬改帳 ⇨人畜改帳
家形石棺 ⑤日史50 C図
イエカニムシ ⑳動物→カニムシ
胃液 ⑭医学→胃 →消化〔胃〕
胃液欠乏症 ⑭医学→胃〔胃病〕
胃液検査 ⑭医学→胃
家城ライン ⑧日地→白山(町)
イエコウモリ ⇨アブラコウモリ
『家路』 ③音演→ドボルザーク,A〔作品〕
イエシエン〈掖県〉 中国/山東省 ⑩世地55 D
家島 ⑦日地→宇治諸島
家島(町) 兵庫 ⑦日地73 D →家島諸島
伊江島 沖縄 ⑦日地74 A →伊江(村)
家島諸島 兵庫 ⑦日地74 A図 →家島(町) ⑧日地→播磨灘
葉紹鈞 ⇨葉紹鈞
イエーシュ [1902-] 詩人・小説家。「民衆派」文学運動の推進者 ①文学37 B ③音演→東欧演劇〔ハンガリー〕
イエシロアリ ⑳動物→シロアリ〔種類〕
イエス ⇨イエス・キリスト
『イエス』 ④哲宗→ブルトマン,R
ESR ⇨赤沈
ESA ⇨欧州宇宙機構
イエス・キリスト [前7・-後30・] キリスト教の創始者。パレスチナのユダヤ人で，ローマ総督ピラトに処刑された ④哲宗22 D図 →愛 →カトリック教会〔歴史〕 →キリスト教 →クリスマス →三位一体 →十字〔キリスト教〕図 →終末論〔新約〕 →福音 →ペテロ →マリア →メシア →ユダ(イスカリオテの) →ユダヤ教〔宗教思想〕 ⑨世史42 C →ピラト,P →ヘロデ →ユダヤ教 ⑪政社→キリスト教
イエズス会〈ジェスイット教団，耶蘇会〉 ④哲宗26 B図 →イグナティウス・デ・ロヨラ →カトリック教会〔歴史〕 →キリスト教〔宗教改革〕 →修道会囲 ⑤日史50 C →キリシタン大名 →キリスト教〔サビエルの来日〕 →コレジオ →鎖国〔禁教と貿易〕 →ザビエル,F ⑨世史42 D →典礼問題 →反宗教改革 ⑥日史→セミナリオ →天正遣欧使節 →ビレラ,G
イエズス会日本通信 ⑤日史50 C
イエズス会版 ⇨キリシタン版
イエスズメ ⇨ヨーロッパスズメ
ESD ⑰科技→ジュラルミン〔時効硬化〕 →超ジュラルミン
『イエス伝』 ④哲宗→キリスト教〔近代〕 →シュトラウス,D
『イエスの裔』 ①文学→柴田錬三郎 →直木賞表
ESP ⇨超感覚
ESV〈実験安全自動車〉 ⑰科技→安全自動車図 →シートベルト
イェスペルセン,O [1860-1943] 言語学者・英語学者。国際語ノビアルを考えだしたが普及しなかった ①文学37 C
『イエスマン/ノーマン』 ③音演→ブレヒト,B
家制度 ⑤日史50 D
イェセニーキ(山脈) ⑩世地→スデティ(山脈)
イエータ(運河) ⇨エータ(運河)
伊江タッチュー ⑦日地→伊江(村)
イエタナグモ ⑳動物→クモ図 →タナグモ
イエダニ〔家蜱〕 ⑳動物36 C →ダニ〔害と益〕図
『イエーダーマン』 ③音演→宗教劇〔世俗劇〕
葉紫 ⇨葉紫
イェーツ,W [1865-1939] 詩人・劇作家。アイルランド文芸復興運動の指導者として活躍。ノーベル賞受賞 ①文学37 C図 →アイルランド文学 →イギリス文学〔20世紀〕 ③音演17 B図 →アイルランド演劇 →近代劇
家塚古墳 ⑦日地→加西(市)
『イェッセとマリーア』 ①文学→ハンデル-マツェッティ,E
いへつとり ①文学→短歌〔囲枕詞〕
家出 ⑪政社18 B図
イエナ 東 ⑩世地55 D
家永三郎 ④哲宗→日本神話〔性格と特色〕 ⑪政社→教科書検定〔教科書裁判〕図
家永訴訟 ⇨教科書裁判
『家長日記』 ①文学→『新古今和歌集』〔経過〕
『家なき子』 ①文学→マロ,H
イエナ大学 ⑨世史→ブルシェンシャフト
イェナッツィ,C ⑰科技→電気自動車
イエナの戦い ⑨世史42 D図
イェニセイ(川) ⇨エニセイ(川)
イェニ・チェリ ⑨世史42 D
ENI ⇨エニ
『イェヌーファ』 ③音演→ヤナーチェク,L

医学館　⑤日史51 D　⑥日史→藩学〔教科科目〕
医学教育　⑭医学→医学
異学組　⇨おこぜ組
『医学啓蒙』　⑯物数→帆足万里
医学史　⑤日史51 D図表
医学所　⑤日史52 C　→種痘所
『医学正典』　④哲宗→イブン・シーナー　⑭医学→医学〔西洋医学の歴史〕
胃拡張　⑭医学→胃〔胃病〕
威嚇ディスプレー　⑳動物→ディスプレー
囲郭都市　⇨城郭都市
イガグリガイ　⑳動物→ウミヒドラ
イガグリガニ〔毬栗蟹〕　⑳動物38 B
イガグリホンヤドカリ　⑳動物→ヤドカリ図
鋳掛師　⑤日史→鋳物師
沃懸地　②美術→蒔絵〔技法〕
伊賀越仇討　⑤日史→荒木又右衛門　→伊賀国
伊賀越道中　⑤日史53 A
『伊賀越道中双六』　③音演18 A図　①文学→近松半二
イカーサ, J　［1906/1980］　小説家。原住民主義を代表し，地主や外国資本家に虐待されるインディオの姿を一貫して描く　①文学39 A
五十崎(町)　愛媛　⑦日地75 C
異化作用〈カタボリズム〉　⑲植物34 C　→呼吸→同化作用　⑭医学→代謝　⑮化学→同化作用
伊賀衆　⇨伊賀者
井頭県民公園　⑧日地→真岡(市)
胃下垂　⑭医学→胃〔胃病〕
いかずし　⑬生活→すし〔種類〕
『雷太郎強悪物語』　①文学→合巻　→式亭三馬
坐摩神社　④哲宗→神社〔表〈官幣中社〉〕
為我説　④哲宗→楊朱
伊方(町)　愛媛　⑦日地75 C
筏　⑥日史→船　⑰科技→船〔起こり〕
鋳型　②美術→鋳金　⑰科技→鋳造図　→融解炉
筏井嘉一　［1899/1971］　歌人。北原白秋の「巡礼詩社」創立に参加。のち近代主義的傾向に移る　①文学39 B
筏石遺跡　⑧日地→蓋井島
イカダカズラ　⑲植物→ブーゲンビレア
鋳型化石　⑲植物→植物化石〔圧縮化石〕
筏基礎　⑰科技→基礎工〔広がり基礎〕
イカタケ　⑲植物→カゴタケ　→スッポンタケ
伊香立　⑦日地→大津(市)〔観光〕
筏釣り　⑳動物→クロダイ〔釣り〕
伊方杜氏　⑦日地→伊方(町)
筏場　⑦日地→伊豆〔産業〕図　⑧日地→中伊豆(町)
イカダモ〔筏藻〕　⑲植物35 A図　→アミミドロ→プランクトン図
胃カタル　⑭医学→胃炎〔急性胃炎〕　→カタル
医学校病院　⑤日史→ウィリス, W
雷山　⑦日地→白鷹山
イカナゴ〔鮊子, 玉筋魚〕〈コウナゴ〉　⑳動物38 C図
『如何なる星の下に』　①文学→高見順図
『いかに行動するか』　①文学→バレストリーニ, N
五十日の祝　⑤日史→産図
伊賀皇子　⇨弘文天皇
伊賀守金道　②美術→山城物
伊賀国　三重　⑤日史53 A囲　⑦日地75 D　⑥日史→忍術〔歴史〕　⑧日地→三重(県)
いかの黒作り　⑬生活→郷土料理〔囲〈富山〉〕
伊賀局　［*.］　鎌倉時代，後鳥羽上皇の寵姫。承久の乱で隠岐に流された上皇に従う　⑤日史53 B
『烏賊の骨』　①文学→モンターレ, E
伊賀八幡宮　⑦日地→岡崎(市)
伊香保(町)　群馬　⑦日地75 D図
イガホオズキ　⑲植物35 A図
伊香保温泉　⑦日地→伊香保(町)図
伊賀盆地　⇨上野盆地
生間流　⑬生活→日本料理〔歴史〈室町〉〕
伊賀光宗　［1178/1257］　鎌倉初期の政所執事。4代将軍頼経を廃し藤原実雅を将軍に立てることを画策　⑤日史53 B
いか飯　⑬生活→郷土料理〔囲〈北海道〉〕図
胃カメラ〈ガストロカメラ〉　⑭医学33 B図　→胃癌〔診断〕　→癌図　→内視鏡
伊賀者　⑤日史53 B　→伊賀国〔囲人国記〕　⑥日史→鉄炮百人組　→忍術〔歴史〕　→服部半蔵
伊賀焼　②美術16 C図　→陶芸〔日本〈近世〉〕　⑦日地→阿山(町)　→上野(市)　⑮化学→陶磁器〔分類〈産地による〉〕
猪谷千春　⑬生活→オリンピック〔冬季〈第7回〉〕図　→スキー〔発展〈日本〉〕

五十嵐篤好　［1793/1861］　⑤日史→越中国〔囲人国記〕
五十嵐川　新潟　⑦日地76 D
五十嵐信斎　［*.］　室町時代の蒔絵師。五十嵐家の初代。足利義政に仕える　②美術16 C
五十嵐力　［1874/1947］　国文学者。文章の味得，文体分析に優れる　①文学39 B　→文学史〈558 A〉
五十嵐道甫　［*/1678］　江戸初期の蒔絵師。信斎の孫。前田利家に招かれ金沢で加賀蒔絵の基を開いた　②美術16 D
五十嵐浜　⑧日地→新潟(市)〔沿革〕
いかり〔錨, 碇〕　⇨アンカー
『錨』　①文学→丸山薫
イカリア(島)　⑩世地58 A　→サモス(島)
『イカリア旅行記』　⑨世史→カベ, E
碇ヶ関(村)　青森　⑦日地76 D
碇ヶ関温泉　⑦日地→碇ヶ関(村)　→大鰐(町)
いかり漁業　⑳動物→アビ
五十里湖　栃木　⑦日地76 D　→栗山(村)
イカリスギ　⑲植物→スギ図
イカリソウ〔錨草〕　⑲植物35 A図　→薬用植物表　⑭医学→強精剤　→生薬〔淫羊藿〕
五十里ダム　⑦日地→五十里湖　→山王峠《福島・栃木》　⑰科技→ダム〔歴史〈重力ダム〉〕
錨爪〈フリューク〉　⑰科技→アンカー
『怒りの日』　③音演→映画〔トーキー〈第6期〉〕　→ドライヤー, C
『怒りの葡萄』　①文学→スタインベック, J　③音楽→フォード, J《映画監督》
『怒りの夜』　①文学→サラクルー, A
イカリムシ〔錨虫〕　⑳動物38 C図　→ウオジラミ
イカリモンガ〔錨紋蛾〕　⑳動物38 C図
伊賀流　⑥日史→忍術〔歴史〕　→『万川集海』
『怒りをこめてふり返れ』　①文学→イギリス文学〔20世紀〕　→オズボーン, J　③音演→イギリス演劇〔20世紀〕図　→オズボーン, J
イカル〔鵤〕〈三光鳥〉　⑳動物39 A図　→アトリ図→サンコウチョウ
鵤　⑧日地→太子(町)《兵庫》
斑鳩(町)　奈良　⑦日地77 A図
斑鳩寺　⇨法隆寺
斑鳩寺　⑧日地→太子(町)《兵庫》図
斑鳩尼寺　⇨中宮寺
斑鳩宮　⑤日史53 B
『斑鳩物語』　①文学→高浜虚子
イカルス　⑱宇地→小惑星〔軌道〕
イカルチドリ〔鵤千鳥〕　⑳動物39 B図　→チドリ図
『怒れるトルストイ』　①文学→広津和郎
怒れる若者たち〈アングリー・ヤングメン〉　①文学→イギリス文学〔20世紀〕　→ウィルソン, C　→オズボーン, J　③音演→映画〔トーキー〈第6期〉〕　→現代演劇
イカロス　④哲宗→ダイダロス
井川(町)　秋田　1974年町制　⑦日地77 D
井川(町)　徳島　⑦日地77 D
井川湖　⑦日地→静岡(市)〔観光〕
井川ダム　⑦日地→大井川　→接阻峡　⑰科技→ダム〔歴史〈中空重力ダム〉〕
衣冠　⑤日史53 B　⑬生活→服装〔日本〈日中融合〉〕図
胃癌　⑭医学34 A図　→癌別
維管束　⑲植物35 B図　→茎〔構造〕　→形成層→枝跡　→師部　→髄　→中心柱　→通道組織
維管束植物　⑲植物35 C　→維管束　→茎　→種子植物　→組織
いき　④哲宗→九鬼周造〔「いき」の構造〕　⑤日史→江戸時代〔文化〈町人文化と儒学〉〕
『息』　③音演→ベケット, S
閾　④哲宗→心理学〔囲用語〕
位記　⑤日史53 C　→位階
壱岐　長崎　⑦日地77 D図　→壱岐対馬国定公園　⑤日史→壱岐国
壱岐(国)　⇨壱岐国
生き神　④哲宗→新興宗教〔教義と儀礼〕
息切れ　⑭医学35 D　→心臓〔心疾患〈診断法〉〕
壱岐空港　⑦日地→壱岐〔交通〕　→石田(町)　⑧日地→長崎(県)〔交通〕
イキケ　⑩世地58 A　→チリ(共和国)〔地方誌〕
生子神社　⑦日地→鹿沼(市)図
壱岐坂　⑧日地→東京(都)〔自然〈地勢〉〕
居木先　⑥日史→馬具〔鞍〕
イキシア〈ヤリズイセン〉　⑲植物35 C図
壱岐神社　⑦日地→芦辺(町)　→壱岐対馬国定公園

イギス　⑲植物36 A
壱岐水道　⑦日地78 D
息栖神社　⑦日地→神栖(町)
生き体　⑬生活→相撲〔囲用語〕
『生きた水』　①文学→ラ・クール, P
閾値　⑳動物→感覚
生月(町)　長崎　⑦日地78 D　→生月島
生月島　長崎　⑦日地78 D　→生月(町)
生作り　⑬生活→さしみ図
壱岐対馬国定公園　長崎　⑦日地78 D図　→壱岐〔観光〕　⑧日地→対馬
『行きつまれる男』　①文学→パピーニ, G
『生きていてよかった』　③音演→記録映画図
生きている化石〈遺存種〉　⑱宇地→化石〔意義〕　⑳動物→アミア　→アマミノクロウサギ　→ウミユリ　→オウムガイ　→カブトガニ〔進化〕　→キムラグモ　→サンカクガイ　→シャミセンガイ　→ネオピリナ　→ムカシトカゲ
『生きてゐる兵隊』　①文学→石川達三
『生きとし生けるもの』　①文学→山本有三
イキトス　⑩世地58 B　→アマゾン(川)〔航行〕図
生名(村)　愛媛　⑦日地79 B　→生名島
生名島　愛媛　⑦日地79 B　→生名(村)　→芸予諸島
壱岐国　長崎　⑤日史53 C囲　⑦日地79 B　⑧日地→長崎(県)
『「いき」の構造』　④哲宗→九鬼周造
伊吉博徳　［*.］　飛鳥後期の学者・官人。大津皇子の謀反に連坐，のち大宝・養老律令編纂に参加　⑤日史54 B
生之松原　⑦日地→玄海国定公園　⑧日地→西(区)
壱岐節〈ぞりぞり節〉　③音演→民謡〔表〈長崎〉〕
威儀細　④哲宗→法衣図
生目古墳　⑧日地→宮崎(県)〔文化〕
異教　④哲宗→異端
胃鏡〈ガストロスコープ〉　⑭医学→胃カメラ　→内視鏡
易行道　④哲宗→道綽〔安楽集〕　→曇鸞
『異教徒のあいさつ』　①文学→ラドノーティ
『異形の者』　①文学→武田泰淳
易行派　④哲宗→シク教
異極結合　⑮化学→化学結合〔イオン結合〕
異極鉱　⑱宇地22 B
李箕永　⇨李箕永
伊木力　⑦日地→多良見(町)
イギリス(連合王国)　⑤日史54 B　⑨世史43 D図表　→イギリス議会史　⑩世地58 B図　⑪政社→イギリス政治事情　→イギリス連邦→政治制度図　⑫経産→イギリス経済事情
イギリス(海峡)　⑩世地67 C
イギリス(諸島)　⑩世地67 C
イギリス・アメリカ戦争　⇨アメリカ・イギリス戦争
イギリス・インド円卓会議　⑨世史49 D
イギリス・エジプト条約　⑨世史49 D
イギリス演劇　③音演18 C図
イギリス・オランダ戦争　⑨世史50 A図　→中欧史〔オランダ〕　→ピューリタン革命〔反革命〕
イギリス革命　⇨イギリス市民革命
イギリス議会史　⑨世史50 B図表
『イギリス教会史』　⑨世史→ベーダ
『イギリス組曲』　③音演→バッハ, J〔作品〕
イギリス経験論　④哲宗→経験論　→バークリー, G　→ヒューム, D　→ベーコン, F　→ロック, J〔人間悟性論〕
イギリス経済事情　⑫経産21 B図表
イギリス航海暦　⑱宇地→暦〔暦書〈天体暦〉〕
イギリス公使館焼打事件　⑤日史54 C
イギリス交通博物館　⇨英国交通博物館
『イギリス国民小史』　⑨世史→グリーン, J
イギリス国立海事博物館　⇨国立海事博物館
イギリス国教会〈英国国教会, 聖公会〉　④哲宗26 D図　→オックスフォード運動　→教会〔分立〕→キリスト教〔宗教改革〕　→祭壇図　→セント・ポール大聖堂　→プロテスタント教会〔歴史〈イギリス〉〕　→ヘンリー(八世)　⑨世史51 B→宗教改革〔経過〕　→首長令　→統一令　→ヘンリ(八世)　→領邦教会制
イギリス古典派経済学　⑫経産→新古典学派
イギリスコムギ　⑲植物→コムギ
『イギリス古謡拾遺集』　①文学→パーシー, T
『イギリス史』　①文学→マコーレー, T　⑨世史→マコーレー, T
イギリス自治領　⑨世史51 D　⇨自治領

和泉(村) 福井 ⑦日地97 C
伊豆味 沖縄/本部町 ⑦日地97 C
泉穴師神社 ⑦日地→泉大津(市)図
泉大津(市) 大阪 ⑦日地97 C図
泉ヶ岳 宮城 ⑦日地97 D
夷隅川 千葉 ⑦日地97 D ⑧日地→養老川
泉川 ⑬生活→相撲〔囲用語〕
出水干拓地 ⑧日地→高尾野(町)
泉鏡花 [1873-1939] 小説家・劇作家。伝奇的作風と江戸情緒に独自の世界を開く (作)『高野聖』『歌行灯』『婦系図』 ①文学47 D図 →観念小説 ③音演20 C ⑤日史64 C
泉崎(村) 福島 ⑦日地97 D
泉崎横穴 ⑤日史64 C →泉崎(村)
泉佐野(市) 大阪 ⑦日地97 D図
泉沢石仏 ⑤日史64 C
和泉山脈 大阪・和歌山 ⑦日地98 C
和泉式部 [978?-?] 平安中期の女流歌人。官能の歌人と評されるように恋の哀歓を一途にうたった (作)『和泉式部日記』 ①文学48 D図 →『後拾遺和歌集』→『詞花和歌集』 ⑤日史64 C
『和泉式部集』 ①文学→和泉式部
『和泉式部日記』 ①文学→和泉式部 →日記文学〔日本〕 ⑤日史→和泉式部
泉自然公園 ⑧日地→千葉(市)〔観光・文化〕
泉斜汀 [1880-1933] ①文学→泉鏡花
泉仙助 [1888-1970] ⑭医学→泉熱
和泉太夫 ③音演→浄瑠璃〔古浄瑠璃〕
イズミット ⑩世地69 C
伊豆・三津シーパラダイス ⑳動物→水族館〔表日本〕
泉殿〈泉屋〉 ②美術22 D
泉熱 ⑭医学38 C →感染症〔表〈ウイルス性〉〕
和泉国 大阪 ⑤日史65 A囲 ⑦日地98 D →大阪(府)
和泉監 ⑤日史65 B
『泉のほとり』 ③音演→ラベル,M〔水の戯れ〕
和泉宮 ⑤日史→和泉監
出水平野 ⑦日地→出水(市) ⑧日地→高尾野(町)
泉屋 ⇨泉殿
『和泉屋染物店』 ①文学→木下杢太郎
和泉流 ①文学→狂言 ③音演→狂言〔歴史〕
イズミル ⑩世地69 D
出雲(市) 島根 ⑦日地98 D図
出雲伊波比神社 ⑧日地→毛呂山(町)
出雲氏 ④哲宗→出雲大社
出雲大社教 ④哲宗→教派神道表
出雲街道〈上方往来〉 ⑦日地→四十曲峠
出雲教 ④哲宗→出雲大社
出雲空港 ⑦日地→島根(県) ⑧日地→斐川(町)
出雲琴 ⇨二絃琴
出雲崎(町) 新潟 ⑦日地99 B図
出雲神社 ⇨出雲大神宮
出雲神社《山口》 ⑧日地→徳地(町)
出雲神話 ⑤日史65 B ④哲宗→日本神話〔「記紀」神代の巻〕
出雲そば ⑦日地→出雲(市)
出雲大社 ②美術22 D図 →神社建築〔本殿の形式〈大社造〉〕 ④哲宗33 C図 →大国主命 →神社〔表〈官幣大社〉〕 →日本神話〔囲〈国譲り神話〉〕 ⑤日史65 C ⑥日史→大社造 ⑦日地→島根(県)〔観光〕 ⑧日地→大社(町)図
出雲大神宮 ④哲宗→神社〔表〈国幣中社〉〕 ⑦日地→亀岡(市)図
出雲建 ⑥日史→日本武尊
出雲玉作址 ⑥日史→玉作遺跡
出雲の阿国 [?-?] 安土桃山から江戸初頭に活躍した女性芸能者。歌舞伎の始祖とされる ③音演20 C ⑤日史65 C →阿国歌舞伎 →歌舞伎 ①文学→歌舞伎〔歴史〕 ⑧日地→大社(町)
出雲国 島根 ⑤日史65 C囲 ⑦日地99 C →島根(県) ④哲宗→日本神話〔囲〈国引き神話〉〕
出雲国造 出雲地方の豪族。天穂日命を遠祖とする ⑤日史66 B ④哲宗→出雲大社
『出雲国風土記』 ①文学→『風土記』 ④哲学→日本神話〔資料範囲〕 ⑤日史→出雲神話 ⑥日史→『風土記』 ⑧日地→日本〔囲地理学〈古代より近世〉〕
出雲平野 島根 ⑦日地99 C図
出雲流神楽 ③音演→神楽〔里神楽〕
イスラー ④哲宗→イスラム教〔囲用語〕 →マホメット図
イズラ,J [1703-1781] 小説家。イエズス会の神父で,誇張の多い当時の説教を風刺 ①文学49 C
五浦 茨城/北茨城市 ⑦日地99 C図
イスラエル(国) ⑩世地69 D図 ⑨世史→中東戦争 →ユダヤ人〔歴史〕 ⑪政社→アラブ・イスラエル紛争 →ユダヤ人問題 ⑫経産→中東経済事情図
イスラエル王国 ⑨世史53 B →ユダ王国 →ユダヤ人〔歴史〕 ④哲宗→聖書〔旧約聖書〕 →ダビデ →モーセ →ユダヤ教〔歴史〕
イスラエル人 ⇨ユダヤ人
イスラエルス,J [1824-1911] 画家。貧困・老残の人々への愛情こもる主題の選択に特色 ②美術23 A →オランダ美術
『イスラエルの受難』 ①文学→ザックス,N
『イズラフェル』 ①文学→アレン,H
イスラマバード ⑩世地72 A
イスラム ④哲宗→イスラム教〔囲用語〕
イスラム音楽 ③音演20 D図
イスラム・ガラス ②美術→ガラス工芸〔歴史〕図
イスラム教〈マホメット教,回教〉 ④哲宗34 A図囲 →『コーラン』 →宗教〔構造〕 →十字軍 ⑨世史53 C →西アジア〔マホメットとアル・イスラム〕 ⑪政社23 C図 ⑩世地→サウジアラビア(王国)〔社会・文化〕 →世界〔宗教〕
イスラム商人〈ムスリム商人〉 ⑨世史54 A →斡脱銭 ⑫経産→香料貿易 →シルク・ロード →ムスリム商人
イスラム神学 ④哲宗→イスラム教
イスラム帝国〈サラセン帝国〉 ⑨世史54 C図 →スペイン・ポルトガル(史)〔国土の征服〕 →正統カリフ時代 →西アジア〔イスラム文明〕〔大征服時代〕 ⑩世地→アラビア(半島)〈歴史〉 ⑫経産→ムスリム商人
イスラム同盟 ⇨サレカット・イスラム
『イスラム年代記』 ⑨世史→カエターニ,L
『イスラムの潮の満干』 ①文学→ハーリー
イスラム美術〈回教美術〉 ②美術23 B図表別 →スペイン美術
イスラム文化 ⑨世史55 C図
『イスラム文明史』 ①文学→ジルジー・ザイダーン
イスラム法 ⇨シャリーア
イスラム暦〈回教暦〉 ④哲宗→イスラム教〔概観〕 ⑨世史→紀年法〔宗教的根拠〕 →暦〔太陰暦〕表 ⑱宇地→暦〔太陰暦〕
『イスラメイ』 ③音演→バラキレフ,M
イスランジシン ⑮化学→色素〔植物色素〕 ⑲植物→植物色素
イスランディクム ⑲植物→アオカビ
石動 富山/小矢部市 ⑦日地99 D
李承晩 ⇨李承晩
伊勢 [?-?] 平安前期の歌人。宇多天皇の中宮温子に仕え『古今和歌集』の代表的女流作家 ①文学49 C図 →三十六歌仙 ⑤日史66 B
伊勢(国) ⇨伊勢国
伊勢(市) 三重 ⑦日地99 D図 →伊勢志摩国立公園 ④哲宗→伊勢神宮 ⑤日史→宇治山田
遺精 ⑭医学→性交
異性核 ⇨核異性体
異性化酵素〈イソメラーゼ〉 ⑮化学→酵素〔分類・命名〕 ⑳動物→酵素表
異性化法 ⑮化学→石油〔精製〈高オクタン価ガソリン製造法〉〕図
胃性下痢 ⑭医学→胃〔胃病〕 →便〔下痢〕
胃生検 ⑭医学→胃 →胃癌〔診断〕 →生検
異性体 ⑮化学53 A図 →オルト化合物 →化学式〔示性式〕 →ブトレロフ,A
イセイモ ⑲植物→ナガイモ
伊勢氏 桓武平氏,維衡の子孫。足利氏に仕え,代々政所執事をつとめる ⑤日史66 C図 ⑥日史→年中行事〔武家〕 →北条氏《小田原》 →有職故実〔故実〕
イセエビ〔伊勢海老〕 ⑳動物44 A図 →エビ〔生態〕
イゼオ(湖) ⑩世地72 A
伊勢おしろい ⑬生活→おしろい〔歴史〕
伊勢踊 ⑤日史→伊勢国
伊勢音頭 ③音演→祝唄 →民謡〔表〈三重〉〕 ⑤日史→伊勢国
『伊勢音頭恋寝刃』 ③音演21 B図
伊勢海 ⇨伊勢湾
伊勢街道 ⇨伊勢路
伊勢型紙 ⑦日地→鈴鹿(市)図
伊勢ヶ浜 ⑧日地→日向(市)
伊勢神峠 愛知 ⑦日地101 B
井関池 ⑦日地→大野原(町)
遺跡・遺物 ⑤日史66 C
伊勢ギク ⑲植物→キク〔分類〕図
『伊勢紀行』 ①文学→向井去来
医籍簿 ⑭医学→医師〔資格〕
イセゴイ ⇨ハイレン
伊勢講 ⑤日史67 A図 →講 ④哲宗→伊勢信仰
伊勢国分寺跡 ⑦日地→鈴鹿(市)
伊勢暦 ⑤日史→暦図 ⑱宇地→暦〔暦書〈日本暦〉〕
伊勢崎(市) 群馬 ⑦日地101 B図
伊勢佐木町 横浜市/中区 ⑦日地101 C ⑧日地→中(区) →横浜(市)〔産業〕
伊勢崎銘仙 ⑦日地→伊勢崎(市)図
伊勢貞丈 [1717-1784] 江戸中期の幕臣・有職故実家。武家の故実に精通し,多数の書を著す ⑤日史67 A図 →伊勢氏 ⑥日史→『貞丈雑記』
伊勢貞親 ⑤日史→応仁の乱〔原因〕
伊勢寺 ⑧日地→高槻(市)
伊勢路〈伊勢街道,参宮街道〉 ⑤日史67 A →宇治山田
伊勢志摩国立公園 三重 ⑦日地101 D図 →伊勢(市) →志摩半島 ⑧日地→鳥羽(市)
伊勢志摩スカイライン ⑧日地→鳥羽(市)
『伊勢集』 ①文学→伊勢 ⑤日史→伊勢
伊勢商人 ⑤日史67 B
イセシラガイ ⑳動物→動物化石図
伊勢神宮 ②美術30 C図 →神社建築〔本殿の形式〈神明造〉〕 ④哲宗37 D図 →伊勢信仰 ⑤日史67 B →荒木田氏 →伊勢講 →宇治山田 →御蔭参り →御代参街道 →祭祀遺跡 ⑥日史→豊受大神宮 ⑦日地→伊勢(市)図
伊勢信仰 ④哲宗38 C
伊勢神道〈度会神道〉 ④哲宗38 D →神社神道 →神道〔鎌倉時代〕 →度会家行 →度会行忠 ⑤日史67 C →鎌倉時代〔文化〈復古思想〉〕 →神道 →神道五部書 ⑥日史→度会氏
『伊勢新百韻』 ①文学→岩田涼菟
『伊勢新名所歌合絵巻』 ②美術→絵巻〔囲作品〕
伊勢太神楽 ③音演→神楽〔里神楽〈獅子神楽〉〕図
伊勢大神宮 ⇨伊勢神宮
伊勢丹(株) ⑫経産27 C
伊勢茶 ⑤日史→伊勢国
異節環状アミノ酸 ⑮化学→アミノ酸表
胃切除 ⑭医学→胃図 →胃潰瘍〔治療〈外科〉〕 →胃癌
『異説秘抄口伝巻』 ①文学→宴曲 ③音演→宴曲
伊勢津綛 ⑤日史→伊勢国
『伊勢道中』 ③音演→酒造唄
伊勢道中唄 ③音演→民謡〔表〈三重〉〕
伊勢鳥居〈神明鳥居〉 ④哲宗→神社〔図鳥居〕
伊是名(村) 沖縄/伊是名島 ⑦日地101 D →伊是名島
伊勢長氏 ⇨北条早雲
伊是名島 沖縄 ⑦日地102 A →伊是名(村) →伊平屋伊是名諸島
イセナデシコ ⑲植物→セキチク →ダイアンサス
『伊勢の家づと』 ①文学→井上文雄
伊勢の海県立公園 ⑦日地→阿漕浦 →伊勢平野
伊勢国 三重 ⑤日史67 C囲 ⑦日地102 A ⑧日地→三重(県)
伊勢大輔 [?-?] 平安中期の女流歌人。縁語・掛け詞を駆使した繊細な技巧に特色がある ①文学49 C →『後拾遺和歌集』
伊勢の淡斎 ⇨谷川士清
伊勢の使い姫 ⑳動物→イルカ〔民俗〕
伊勢ノ森 ⑦日地→淡路島〔観光〕 ⑧日地→津名丘陵 →北淡(町)
イセハナビ ⑲植物38 B図
伊勢原(市) 神奈川 ⑦日地102 A図
伊勢平氏 ⑤日史68 A ⑥日史→平貞盛 →平正盛 →平氏〔平高望〕
伊勢平野 三重 ⑦日地102 B
伊勢暴動 ⑥日史→地租改正反対一揆
伊勢参り ④哲宗→伊勢信仰 ⑤日史→御蔭参り
イセマミズクラゲ ⑳動物→淡水クラゲ →マミズクラゲ
『伊勢物語』 ①文学49 D図 →在原業平 →日本文学〔古代〈平安時代〉〕 →物語文学 ⑤日史68 A →在原業平 ③音演→『杜若』 ⑰科技→印刷〔歴史〕図 ⑳動物→ミヤコドリ
『伊勢物語絵巻』 ②美術→絵巻〔内容〕
『伊勢物語愚見抄』 ⑤日史→一条兼良
イセリヤカイガラムシ ⇨ワタフキカイガラムシ

伊勢流　⑤日史→伊勢貞丈
伊勢流神楽　③音演→神楽〔里神楽〕
イゼル(山塊)　⑩世地→ナイセ(川)
イセルウォルド　③音演→宗教劇
イーゼル・ペインティング　②美術→テンペラ
伊勢湾　⑦日地 102 C　→伊良湖水道　⑰科技→埋立
伊勢湾台風　⑧日地→日本〔自然〈自然災害〉〕　⑱宇地→気象〔表災害年表〕→高潮図　→風水害
伊仙(町)　鹿児島/奄美諸島　⑦日地 102 C
胃腺　⑭医学→胃〔構造〕→消化〔胃〕→分泌
緯線　⑧日地 1198 B　→緯度〈1198 B〉
惟然　⇨広瀬惟然
胃穿孔　⑭医学→胃炎〔急性胃炎〕→胃潰瘍〔合併症〕
胃洗浄　⑭医学 38 D図
伊川先生　⇨程伊川
『イーゼンハイム祭壇画』②美術→グリューネワルト，M図　⑩世地→コルマル
磯　鹿児島/鹿児島市　⑦日地 102 C
磯〈岩石海岸〉　⑱宇地 24 C　→海岸
イソアイナメ〔磯鮎並〕　⑳動物 44 C図
イソアミルアルコール　⑮化学→アルコール〔表物理的性質〕→フーゼル油
イソアワモチ〔磯粟餅〕　⑳動物 44 C
『急いで下りろ』①文学→ウェイン，J
石生　⑧日地→丹波山地
位相《フェイズ》　⑯物数 19 A　→位相速度　→振動〔単振動〕→単振動〔参考円〕→波
位相《トポロジー》　⑯物数 19 A図　→位相幾何学
韋荘　中国〔836-910〕晩唐の詩人・詞人。流離の憂いを感傷に満ちた詩風に託す　①文学 50 B　→『花間集』
E層　⑮化学→イオン〔気体イオン〕　⑯物数→電離層　⑱宇地→電離層〔電離層内の各領域〕
倚像　②美術→仏像〔姿勢と寸法〕
遺贈　⑬生活→相続〔相続税〕
位相角　⑯物数→単振動〔参考円〕
位相幾何学〈トポロジー〉　⑯物数 21 A　→位相《トポロジー》→公理　→射影平面　→数学〔19世紀〈関数論〉〕〔20世紀〕→ホモロジー群
位相空間　⑯物数 22 C　→数空間　→統計力学→ホモトピー
位相差顕微鏡　⑯物数 24 A図　→顕微鏡〔種類〕
位相写像　⇨位相変換
位相集束　⑯物数→加速器〔線型加速器〕
位相速度　⑯物数 24 C図　→光速度　→光〔光速度〕→表面波
磯唄〈海女唄〉　③音演→民謡〔表〈三重〉〕
位相多様体　⑯物数→多様体
伊雑ノ浦　⑦日地→磯部(町)　⑧日地→的矢湾
伊雑宮　⑦日地→磯部(町)
位相不変性　⑯物数→連続写像〔同相写像〕
位相不変量　⑯物数→位相幾何学
位相変換〈位相写像〉　⑯物数 24 C　→連続写像〔同相写像〕
位相変調〈PM〉　⑯物数→検波　⑰科技→通信〔無線通信〕→変調回路〔周波数変調〕
イソウロウグモ〔居候蜘蛛〕　⑳動物 44 C　→ヒメグモ
イソオクタン　⑮化学 55 C　→オクタン　→オクタン価
イソカイカムリ　⑳動物→カイカムリ
礒貝十郎左衛門　⑤日史→赤穂義士表
イソカイメン〔磯海綿〕　⑳動物 44 C図
礒貝流　⑤日史→柔術〔流派〕
イソガニ〔磯蟹〕　⑳動物 45 A図
イソカニダマシ　⑳動物→カニダマシ
イソカニムシ　⑳動物→カニムシ〔形態〕図
イソカネタタキ　⑳動物→カネタタキ
イソギク〔磯菊〕　⑲植物 38 B　→海浜植物　→キク〔野生〕図
イソキノリン　⑮化学→複素環式化合物〔6員環状の化合物〈ピリジンの反応〉〕
イソギンチャク〔磯巾着〕　⑳動物 45 B図　→共生図　→クマノミ　→底生生物　→ホウキムシ
イソギンポ〔磯銀宝〕　⑳動物 46 A
イ族　⑩世地→中華人民共和国〔表少数民族〕
遺族　⑬生活→礼服〔表喪装〕
遺族年金　⑫経産→社会保険〔年金制度〕
遺族補償　⑫経産→補償金　→労働災害〔五〕
イソクラテス　ギリシア〔前436-338〕修辞家・政治評論家。修辞学の学校を開き，多くの弁論家を養成　①文学 50 B　→ギリシア文学〔散文〕⑨世史 56 C
磯子(区)　横浜市　⑦日地 102 D
イソコモリグモ　⑳動物→コモリグモ
一色三順　⑬生活→麻雀〔役〕図
イソシギ〔磯鷸〕　⑳動物 46 A　→シギ図
イソシジミ〔磯蜆〕　⑳動物 46 B
磯田湖竜斎　②美術→浮世絵〔錦絵の誕生〕
磯田道冶　①文学→仮名草子
イソツツジ　⑲植物 38 C図
イソップ　⇨アイソポス
『イソップ物語』　⑤日史 68 B　①文学→アイソポス図　→寓話
磯釣り　⑬生活→釣り〔種類〈海釣り〉〕⑳動物→イシダイ〔釣り〕
磯庭園〈仙巌園〉　⑦日地→鹿児島(市)図
イソトゲクマムシ　⑳動物→クマムシ〔日本産〕
磯内湖　⑦日地→入江内湖干拓地
磯波　⑱宇地 24 C　→波〔おもな波〕表　→波浪
イソニアジド〈イソニコチン酸ヒドラジド〉　⑮化学 55 C　→アミド〔酸アミド〕⑭医学→結核
イソニナ〔磯蜷〕　⑳動物 46 B
イソヌカカ　⑳動物→ヌカカ
いそのかみ　①文学→短歌〔囲枕詞〕
石上氏　⑥日史→物部氏
石上玄一郎　〔1910-〕小説家。観念的だが人間存在の根底的意味を追求　㊥『精神病学教室』①文学 50 C　→前衛文学
石上神宮　⑤日史 68 B　⑧日地→七支刀　④哲宗→神社〔表〈官幣大社〉〕⑧日地→天理(市)図
石上神宮七支刀　⇨七支刀
『石上私淑言』①文学→本居宣長
石上宅嗣　〔729-781〕奈良時代の歌人・漢詩人。芸亭と名づけた日本最初の公開図書館を設けた　①文学 50 C　⑤日史 68 B　→芸亭
イソノキ〔磯木〕　⑲植物 38 C図
伊曽乃神社　④哲宗→神社〔表〈国幣中社〉〕
イソノナン　⑮化学→アルカン〔表ナフサの成分〕
磯之森貝塚　⑤日史 68 C
イソバナ〔磯花〕　⑳動物 46 B図　→イボヤギ
イソハハキギ　⑲植物→ホウキギ
磯浜　茨城/大洗町　⑦日地 102 D
磯浜　⑧日地 1198 B　⑱宇地→浸食〔海食〕
イソパーマ　⑰科技→磁性材料
磯浜鏡塚古墳　⑤日史 68 C
磯原　茨城/北茨城市　⑦日地 102 D　→北茨城(市)
磯人の唄〈海女唄〉　③音演→民謡〔表〈三重〉〕
イソヒヨドリ〔磯鵯〕　⑳動物 46 B図
イソフィロズルチン　⑲植物→アマチャ〔利用〕
磯節　③音演→民謡〔表〈茨城〉〕⑦日地→茨城(県)〔文化〈郷土芸能〉〕
イソブタン　⑮化学 56 A　→アルカン〔表ナフサの成分〕
イソブチルメチルケトン　⑮化学→ケトン表
イソブチレン　⑮化学→重合〔付加重合〕→石油化学工業〔ブチレン系石油化学製品〕→ブチレン
イソブチレン-イソプレンゴム　⇨ブチルゴム
イソブテン　⑮化学→アルケン〔表物理的性質〕
イソフラボン　⑮化学→フラボン図
イソプレン　⑮化学 56 A　→ゴム〔合成ゴム〈沿革〉〕→テルペン
イソプレンゴム〈IR〉　⑮化学 56 A　→ゴム〔合成ゴム〕
イソプロピルアルコール　⑮化学→アルコール〔アルコール工業〕→プロピルアルコール
イソプロピルエーテル　⑮化学→エーテル表
イソプロピルトロポロン　⑮化学→ヒノキチオール
イソベ　⇨イワムシ
磯部(町)　三重　⑦日地 102 D
磯部温泉　⑦日地→安中(市)
イソペンタン　⑮化学→アルカン〔表ナフサの成分〕
『イソポのファブラス』〈イソポが生涯の物語略〉①文学→アイソポス〔イソップ物語〕図　→キリシタン文学　④哲宗→キリシタン〔キリシタン版〕
『伊曾保物語』①文学→アイソポス〔イソップ物語〕→キリシタン文学〔イソポのファブラス〕⑤日史→『イソップ物語』
イソボルネオール　⑮化学→しょうのう
いそ巻餅　⑬生活→餅〔食べ方〕
イソマツ〔磯松〕　⑲植物 38 C図
イソミタール　⑭医学→睡眠〔睡眠剤〈熟眠剤〉〕
イソミミズ　⑳動物→ミミズ〔特殊な種類〕
イソミン　⑭医学→あざらし肢症〔サリドマイド禍〕⑮化学→サリドマイド
礒村吉徳　〔?-1710〕江戸前期の数学者。そろばんだけを使って問題を解く最高の内容の書物を著す　⑯物数 25 A　→和算〔天元術と点竄術〕
イソメ〔磯目〕　⑳動物 46 C
イソメクラ　⇨ヌタウナギ
イソメラーゼ〈異性化酵素〉　⑮化学→酵素〔分類・命名〕⑳動物→酵素表
磯谷　北海道/寿都町　⑦日地 103 A　→寿都(町)
磯谷温泉　⑧日地→南茅部(町)
磯山　⑦日地→十六島
イソヤマアオキ　⑲植物 39 A図
イソヤムシ　⑳動物→ヤムシ〔生態〕
イソヨコバサミ　⑳動物→ヤドカリ図
イソ酪酸〈ジメチル酢酸〉　⑮化学→酪酸
一色二順　⑬生活→麻雀〔役〕図
イゾルデ〈イズー〉　①文学→トリスタンとイゾルデ
イソロイシン　⑮化学 56 A　→アミノ酸〔表必須アミノ酸〕⑬生活→栄養〔たんぱく質〕⑳動物→たんぱく質〔表アミノ酸〕
『異素六帖』①文学→洒落本
依存効果　⑫経産 27 D
遺存種　⇨生きている化石
イータ　⑩世地→グリーンランド
イダ　⇨ウグイ
井田　⑦日地→紀宝(町)
板足膳　⑬生活→膳
遺体　⑬生活→葬式〔死亡処置〈臨終〉〕
遺題　⑯物数→吉田光由〔囲塵劫記〕
イタイイタイ病　⑭医学 39 B表　→公害病〔表四大公害病〕⑧日地→婦中(町)　⑪政社→公害〔公害事件〕⑮化学→カドミウム〔カドミウム中毒〕→公害〔歴史〈日本〉〕→土壌汚染　⑰科技→カドミウム　→鉱山〔囲鉱害〕
韋提希〈ベデーヒー〉　④哲宗→『観無量寿経』
遺題継承　⑯物数 25 A
『偉大な神ブラウン』③音演→オニール，E
『偉大なギャツビー』①文学→フィッツジェラルド，F
『偉大な芸術家の思い出』③音演→ラフマニノフ
『偉大なハーキムの天文表』⑱宇地→イブン・ユーヌス
『偉大なる芸術家の想い出』③音演→チャイコフスキー，P〔作風と作品〕
『偉大なる憤怒の書』①文学→ボルインスキー，A
『偉大なる道』⑨世史→スメドレー，A
『偉大なる王』①文学→バイコフ，N
板井原　⑦日地→四十曲峠
居平　⇨会津盆地
板裏草履　⑬生活→草履
板垣征四郎　〔1885-1948〕陸軍軍人。参謀畑で，満州事変をおこし満州国造出を推進　⑤日史 68 C　→関東軍　⑥日史→満州事変〔経過〕⑪政社→極東国際軍事裁判〔表被告人〕→満州事変
板垣退助　〔1837-1919〕政治家。自由民権運動の先駆者。最初の政党内閣を組織　⑤日史 68 C図　→愛国公党　→大隈重信内閣〔第一次〕→大阪会議→大阪事件　→憲政党　→自由党　→自由民権運動　⑪政社 24 B図　→政党(各国)〔日本〈はじまり〉〕⑥日史→政治小説　→立志社
板紙　⑰科技 16 A　→紙〔種類〕
板カム　⑰科技→カム図
板ガラス　⑮化学 56 B表　→形板ガラス　⑫経産→旭硝子(株)
伊太祁曾神社　④哲宗→神社〔表〈官幣中社〉〕⑧日地→和歌山(市)
委託金　⑫経産→国庫支出金　→補助金
委託販売　⑫経産 28 A　→間接売買
委託貿易　⑫経産→委託販売
板倉(町)　群馬　⑦日地 103 A
板倉(町)　新潟　⑦日地 103 A
板倉　②美術→民家〔日本〈門と倉〉〕
板倉氏　下野足利郡の豪族。のち徳川氏譜代の臣となる　⑤日史 69 A図
板倉勝明　〔1809-1857〕幕末の大名。上野国安中藩主として藩政改革に尽力　⑤日史 69 A
板倉勝静　〔1823-1889〕⑥日史→備中国〔囲人国記〕
板倉勝重　〔1545-1624〕江戸幕府初期の重臣。駿府・江戸・京都各町奉行，のち京都所司代をつとめる　⑤日史 69 B
板倉重昌　〔1588-1638〕江戸前期の幕臣。勝重の次男。島原の乱に総大将で出陣し戦死　⑤日史 69 B　→島原の乱
板倉重宗　〔1587-1656〕江戸初期の京都所司代。勝重の長男。父の名声を上回る名所司代となる　⑤日史 69 B　⑥日史→灯籠

伊良湖岬〈いらごみさき〉 ⑦日地 126 A図 →渥美半島 →伊良湖水道 ⑧日地→日出ノ石門 →三河湾国定公園 ⑱宇地→岬
イラス(山) コスタリカ ⑩世地 80 D
いらずの森 ⑧日地→羽咋(市)〔気多神社〕
イラーセク,A チェコ〔1851/1930〕 作家。リアリズムを基調とする歴史小説や史劇を多数発表 ①文学 61 B ③音演→東欧演劇〔チェコスロバキア〕
イラセマ(海岸) ⑩世地→フォルタレーザ
イラディエル,S スペイン〔1809/1865〕 作曲家。スペインの香りの強いポピュラーな歌が得意 ③音演 28 C
伊良部(町) 沖縄/宮古諸島 ⑦日地 126 B →伊良部島
イラフグ ⇨ハリセンボン
伊良部島 沖縄/宮古諸島 ⑦日地 126 B →伊良部(町)
伊羅保 ②美術→高麗茶碗
イラモミ ⑲植物→球果植物 →トウヒ
イララ スペイン ⑩世地→アスンシオン
イラワジ(川) ビルマ ⑩世地 80 D →ビルマ(連邦社会主義共和国)図
イラン アジア ⑩世地 81 B図 →カスピ(海) ⑧日地→緩衝国〈1205 C〉 ⑫経産→石油産業図
イラン(高原) アジア ⑩世地 84 D →イラン
イーラン〈宜蘭〉 中国/台湾省 ⑩世地 84 D
イラン・イラク戦争 ⑪政社→アラブ連盟
イランイランノキ ⑲植物→香料植物表
イラン航空 ⑬生活→海外旅行〔航空会社〕
依蘭事件 ⑥日史→満州開拓
イラン族 ⑩世地→アジア(州) 民族
イランド ⑳動物 69 A図 →レイヨウ
イラン富士 ⇨ダマバンド(山)
宜蘭平野 ⑩世地→タイワン(島)
イリ〈裡里〉 南朝鮮 ⑩世地 84 D
イリ〔伊犁〕 中国・ソ連 ⑩世地 84 D ⑨世史→イリ事件
イリ(川) 中国・ソ連 ⑩世地 84 D
ＩＲＩ〈産業復興公社〉 ⑩世地→イタリア(共和国)〔経済・産業〈経済〉〕 ⑫経産→イタリア経済事情〔国家持株会社組織〕
伊里 岡山/備前市 ⑦日地 126 B
伊犂 ⑨世史→イリ事件
イーリ イギリス ⑩世地 84 D
入会〔入相,入合〕 ⑤日史 88 A図 ⑪政社 29 C →小繋事件 ⑧日地→入会地〈1198 D〉
入会権 ⑪政社→入会 →物権〔種類〈用益物権〉〕
入会地 ⑧日地 1198 D →牧畑〈1234 A〉 ⑥日史→林業
入会山 ⑱宇地→山〔民俗〕
『イリアス』 ①文学→ギリシア文学〔叙事詩〕 →口承文芸 →詩〔ヨーロッパ・アメリカ〕 →チャップマン,G →フォス,J →ホメロス図 →ポリツィアーノ,A →モンティ,V ④哲宗→トロイ戦争
イリアニ ⑩世地→イエメン(アラブ共和国)〔政治〕
イリアルテ,T スペイン〔1750/1791〕 詩人。政府の翻訳官を勤めながら文学論争に参加。寓話詩を書く ①文学 61 B
イリアン(湾) ⑩世地 85 A
イリアンジャヤ ⇨西イリアン
イリイリ ③音演→ハワイアン・ミュージック
伊梨馬 ⑳動物→ウマ〔品種〈在来種〉〕
入り江 ⑧日地→湾〈1238 D〉
イリェウス ⇨イレウス
入江俊敬 〔1698/1773〕 ⑥日史→筑後国〔囲人国記〕
入江長八 〔1812/1889〕 ⑤日史→伊豆国〔囲人国記〕
入江内湖干拓地 ⑦日地 126 B
イリエワニ〔入江鰐〕 ⑳動物 69 C →ワニ〔生態〕図
イリオス ⇨トロヤ
西表国立公園 沖縄 ⑦日地 126 B図 →西表島
西表島 沖縄 ⑦日地 126 C図 ⑧日地→竹富(町) →南西諸島 ⑳動物→イリオモテヤマネコ
イリオモテヤマネコ〔西表山猫〕 ⑳動物 69 C図囲 →天然記念物〔小笠原,沖縄〕表 →ヤマネコ ⑦日地→西表国立公園
イリ界約 ⑨世史→カシュガル界約
煎皮 ⑳動物→クジラ〔捕鯨〈利用〉〕
入来(町) 鹿児島 ⑦日地 126 C
入来峠 ⑦日地→郡山(町)
入来浜 ⑧日地→吹上(町)《鹿児島》
イリクハン朝 ⇨カラ・ハン朝
イリクハン・ナスル ⑨世史→カラ・ハン朝
煎海鼠 ⑥日史→俵物 ⑳動物→ナマコ〔調理〕 →マナマコ
イリゴーイェン,H アルゼンチン〔1852/1933〕 大統領。40年にわたる社会改革運動ののち政権を得たが,施政は乱脈 ⑨世史 62 A
入郷地帯 宮崎 ⑦日地 127 A
入作 ⑥日史→出作
入沢康夫 〔1931〕 詩人。戦後詩人の中でもっとも意識的な創造行為を続けている一人 ①文学 61 C
イリジウム ⑮化学 57 C図 →テナント,S ⑱宇地→イリドスミン
イリ事件 ⑨世史 62 A
イリ条約 ⑨世史→イリ事件 →カシュガル界約
イリス ⑱宇地→虹〔民俗〕
イリス ⇨アイリス
イリス ⑱宇地→小惑星〔発見史〕
『イリス』 ③音演→マスカーニ,P
イリス根 ⑲植物→イチハツ
イーリ大寺院 ⑩世地→イーリ
入鉄砲出女 ⑤日史 88 D ⑥日史→関所〔近世〕
いり豆腐 ⑬生活→豆腐〔豆腐料理〕図
イリドスミン ⑮化学 58 A →イリジウム →オスミウム ⑱宇地 27 B
イリノイ(州) アメリカ ⑩世地 85 A
『イリノイのエイブ・リンカーン』 ③音演→シャーウッド,R
イリノイ・ミシガン(運河) ⑩世地→シカゴ〔歴史〕
入野ノ松原 高知 ⑦日地 127 A →大方(町)
入野義朗 〔1921/1980〕 作曲家。日本の十二音音楽の先駆的存在。教育・啓蒙活動にも積極的 ③音演 28 C →日本音楽〔あゆみ〈近代〉〕
入浜式塩田 ⑤日史→塩 ⑧日地→塩田〈1200 D〉 ⑫経産→製塩業
入広瀬(村) 新潟 ⑦日地 127 B
イリフィ ⑱宇地→風〔表局地風〕
イリフ・ペトロフ ソ連 イリフ〔1897/1937〕 ペトロフ〔1903/1942〕 ともに小説家。ソビエト風刺文学史上に残る多くの名作を合作 ①文学 61 C
イリマニ(山) ボリビア ⑩世地 85 B →ボリビア(共和国)〔自然〕図
入水鍾乳洞 ⑧日地→滝根(町) ⑱宇地→カルスト地形図 →洞穴表
イリメニ(湖) ソ連 ⑩世地 85 B
入母屋造 ⑤日史 88 D図 ⑧日地 1198 D ②美術→屋根〔日本〈形〉〕図 ④哲宗→神社〔建築〕〔図本殿〕 ⑦日地→近畿地方〔民俗〕 ⑬生活→屋根〔形状〕図
入谷 東京/台東区 ⑦日地 127 B
入谷鬼子母神 ⑧日地→台東(区)図
移流 ⑱宇地 27 B →対流
移流霧 ⑱宇地→霧〔種類〕
イリューサラ(島) ⇨エリューセラ(島)
イリューシンＩＬ－62 ⑰科技→飛行機〔用途〈輸送機〉〕図
『イリュミナシオン』 ①文学→ランボー,J
医療過誤 ⑭医学 44 A図
医療金融公庫 ⑪政社→公庫 ⑫経産→政府関係機関 →政府金融機関〔日本〕
医療施設 ⑭医学→医療制度 →医療法 →病院 →療養所
医療情報 ⑭医学→メディカル=エンジニアリング ⑫経産→電子計算機〔利用〕
医療制度 ⑭医学 44 B図表 →医療法 ⑫経産→社会保険〔医療保険〕
医療訴訟 ⑭医学→誤診
医療統計 ⑭医学→衛生統計
医療費 ⑫経産→社会保険〔医療保険〕 ⑬生活→家計簿〔項目〕 ⑭医学→薬表
医療扶助 ⑫経産→生活保護
医療法 ⑭医学 45 D →医師〔種類〕
医療保険 ⑫経産→社会保険 ⑭医学→健康保険表
医療保障 ⑪政社→老人問題〔老齢保障〕 ⑫経産→日本経済事情〔社会・労働問題〈社会保障〉〕
医療用テレビ〈ＭＴＶ〉 ⑰科技→ＩＴＶ
イリリア人 ⑨世史→東欧史〔歴史〈諸民族の定住〉〕
イリン,M ソ連〔1895/1953〕 児童作家。その著作は青少年の科学読本として人気を博した 作『人間の歴史』 ①文学 61 C
『ＩＬ』 ①文学→金子光晴
衣類 ⇨衣服
イルカ〔海豚〕 ⑳動物 70 A図 →アニサキス →海獣 ⑦日地→有川湾
入鹿池 愛知/犬山市 ⑦日地 127 C ⑧日地→飛騨木曽川国定公園
いるか座 ⑱宇地→星座〔四季〈秋〉〕表
イルカ島〈日向島〉 三重/鳥羽市 ⑦日地 127 C
イル・カップチーノ ⇨ストロッツィ,B
イルガフェン ⑭医学→サルファ剤〔種類〕
いるか油 ⑮化学→油脂〔表性状と用途〈海獣油〉〕
イル・カン国 ⇨イル・ハン国
イルクーツク ソ連/ロシア ⑩世地 85 B図 →シベリア
『イルクーツク物語』 ①文学→アルブーゾフ,A ③音演→ロシア演劇図
イルサン ⑩世地→ダラト
イルージン ⑲植物→ツキヨタケ
イルツイシ(川) ソ連 ⑩世地 85 C →オビ(川)
イルトゥトミシュ ⇨イレトゥミシュ
イルトネル ②美術→ロシア美術〔60年代〕
イルドフランス フランス ⑩世地 85 C
イルネリウス イタリア〔1050?/1130?〕 ⑨世史→十二世紀ルネサンス →大学〔出現と背景〕 ⑪政社→法学〔歴史〈近代ローマ法学〉〕
イルバルス ⑨世史→ヒバ・ハン国
イル・ハン国 ⑨世史 62 B →フラグ →モンゴル帝国〔拡大と分裂〕 ②美術→イスラム美術〔モンゴル時代〕
イルビド ⑩世地→ヨルダン(王国)〔地方誌〕
入間(市) 埼玉 ⑦日地 127 C
入間川 埼玉 ⑦日地 127 C →荒川《東京》 →狭山(市) ⑧日地→名栗川
入間基地 ⑦日地→入間(市) →狭山(市)
イルマン〔伊留満〕 ⑤日史 89 A ④哲宗→キリシタン〔囲用語〕
イルムケップ火山地 ⑦日地→赤平(市)
イルメン(山地) ⑱宇地→チタン鉄鉱
イルリガートル〈灌注器〉 ⑭医学→家庭看護〔浣腸〕 →浣腸〔種類と方法〕
伊利可汗 ⑨世史→突厥
イレ・イフェ ⑩世地→イフェ
イレウス ブラジル ⑩世地 85 C
イレウスショック ⑭医学→腸〔腸閉塞〕
イレコダニ ⑳動物→ササラダニ
イレシネ〈マルバヒユ〉 ⑲植物 57 C
イレスサント(島) ⑩世地→小アンチル(諸島)
入墨〔文身,刺青〕 ⑤日史 89 A図
入墨刑 ⑤日史→入墨図
威烈王 中国 ⑨世史→周〔東周〕
イレデンティズモ ⑨世史→イタリア・イレデンタ
イレトゥミシュ インド〔1236〕 奴隷王朝のスルタン。ゴール朝のインド派遣軍の武将から権力の地位につく ⑨世史 62 C →奴隷王朝
『イレーヌ』 ①文学→ボルテール
『イレーネ・ホルム嬢』 ①文学→バング,H
入れ歯 ⇨義歯
イレムニツキー,P チェコ〔1901/1949〕 小説家。プロレタリア解放やナチスへの抵抗が作品の主題 ①文学 61 D
入目 ⑫経産→商慣習
入れ目 ⇨義眼
イレンステン ①文学→北欧文学〔スウェーデン〕
色 ⑯物数 26 A図表別 →三原色 ⑭医学→色盲 ⑰科技→色彩調節
色糸〈染め糸〉 ⑬生活→毛織物〔染色〕
イロイロ フィリピン ⑩世地 85 C →パナイ(島)
色インキ ⑮化学→インキ〔種類〈筆記用〉〕
石廊権現〈石室神社〉 ⑦日地→石廊崎
石廊崎 静岡 ⑦日地 127 D図 ⑧日地→南伊豆(町)
石廊崎ジャングルパーク ⑲植物→植物園表
色絵 ②美術→赤絵 →金襴手
色絵磁器 ⑬生活→食器〔歴史〕
色鉛筆 ⑬生活→鉛筆
色温度 ⑯物数 27 C →光〔吸収と放出〕
色温度変換フィルター ⑰科技→カメラ〔囲用語〕
色ヶ浜 ⑧日地→敦賀半島
色ガラス ⑮化学58 B表 ②美術→ステンドグラス
色川 ⑧日地→那智勝浦(町)
色川三中 〔1802/1855〕 江戸後期の国学者。香取文書を編纂,また度量学・田制を研究 ⑤日史 89 B
位禄 ⑤日史 89 C
イロクォイ族 ⑨世史→モルガン,L
色消しレンズ ⑯物数 28 A ⑮化学→ガラス〔成分組成による分類〈鉛アルカリケイ酸ガラス〉〕
『色ざんげ』 ①文学→宇野千代
色指数 ⑱宇地→岩石〔火山岩または細粒火成岩〕
色指数 ⑱宇地→恒星〔色〕図
色収差 ⑯物数 28 A →屈折率 →収差

ウ

ウィーナー,N アメリカ[1894-1964] 数学者。生物と機械の制御・通信問題を有機的に結合させた科学「サイバネティックス」を提唱 ⑯物数29 C図 →サイバネティックス ⑰科技27 A図 ④哲宗→サイバネティックス ⑪政社→管理 →サイバネティクス図 ⑫経産→社会工学 →情報理論

ウィーナーノイシュタット オーストリア ⑩世地103 A

ウィナーワルト〈ウィーンの森〉 ⑩世地→ウィーン〔自然〕

ウィニペグ カナダ ⑩世地103 A →マニトバ(州)

ウィニペグ(湖) カナダ ⑩世地103 B →マニトバ(州)

ウィニペゴシス(湖) カナダ ⑩世地103 C

ウイニングショット ⑬生活→野球〔囲用語〕

ウィーネ,R [1881-1938] ③音演→映画〔無声映画〈第3期〉〕

ウィーバー,R ①文学→修辞学

宇井伯寿 [1882-1963] インド哲学者・仏教学者。厳密・正確な学風で知られる。文化勲章受章 ④哲宗52 D

ウィービング ⑬生活→ボクシング〔囲用語〕

ウィーピング・ラブグラス〈シナダレカゼクサ〉 ⑲植物63 B図 →カゼクサ

ウィーヘルト,E ドイツ[1887-1950] 小説家。ナチ体制への非協力で,強制収容所へ送られた ①文学65 C

ウィーヘルト,J ドイツ[1861-1928] 地球物理学者。地震波を用いての地球内部構造および地震計の理論研究で著名 ⑱宇地28 C →地震〔地震波〕

有為法 ④哲宗→法

ウィミュラ オーストラリア ⑩世地→オーストラリア(連邦)〔経済・産業〈工業〉〕

ウィムズハースト誘導起電機 ⑯物数→静電誘導囲

ウイメット,F アメリカ ⑬生活→ゴルフ〔歴史〈名手〉〕

初山入りの祝い ④哲宗→民間信仰〔構造と機能〕

『初山踏』 ①文学→本居宣長 ④哲宗→本居宣長

『ヴィヨンの妻』 ①文学→太宰治

ウィラールト,A [1480*-1562] ③音演→音楽〔西洋音楽〈ルネサンス音楽〉〕 →フランドル楽派 →ベネチア楽派

ウィーラント,C ドイツ[1733-1813] 小説家・詩人。ロココ文学の代表者で,現世的な生の賛美にその文筆を駆使 ①文学65 C図 →教養小説

ウィーラント,H ドイツ[1877-1957] 化学者。有機窒素化合物・アルカロイドを研究。ノーベル賞受賞 ⑮化学62 B →胆汁酸

『ウィーランド』 ①文学→ブラウン,C

ウィリアム(一世) [1027*-1087] ノルマンディー公,ノルマン朝初代の王。ノルマン・コンクェストを完成 ⑨世史79 A →イギリス(史)〔封建時代〈封建王政〉〕 →ノルマン・コンクェスト →ノルマン朝

ウィリアム(二世) [1060*-1100] ノルマン朝第2代の王。兄ロベールと争い,過酷な統治でうらまれ狩猟中横死 ⑨世史79 B

ウィリアム(三世) [1650-1702] オラニエ公,ネーデルラント連邦共和国総督,イギリス国王。妻はメアリ二世 ⑨世史79 B図 →イギリス(史)〔イギリス革命〈二つの革命〉〕 →権利章典 →メアリ(二世) →名誉革命

ウィリアム(四世) [1765-1837] ハノーバー朝第5代の王。選挙法改正の引き延ばしを策し世論に反撃される ⑨世史79 C図

ウィリアム王戦争 ⑨世史79 D

ウィリアムス ⑫経産→農業技術

ウィリアムズ,A アメリカ ③音演→ポピュラー音楽〔現代〕図

ウィリアムズ,C イギリス[1886-1945] 文学者。宗教や神秘思想に関心が深く,作品は独創性のために難解 ①文学65 D

ウィリアムズ,C アメリカ[1829-1910] アメリカ聖公会宣教師。幕末に来日し,日本聖公会組織の制定に尽力 ⑤日史98 C

ウィリアムズ,G イギリス[1821-1905] ④哲宗→YMCA

ウィリアムズ,H ③音演→カントリー・アンド・ウェスタン図

ウィリアムズ,R イギリス[1921] 批評家。文学に限らず社会や文化あるいは思想史に深い関心を示す ①文学66 B

ウィリアムズ,T アメリカ[1911-1983] 劇作家。人間の赤裸々な闘争の様相を象徴的技法により甘美な詩情で包み表現。ピュリッツァー賞受賞 (作)『欲望という名の電車』 ①文学65 D図 ③音演33 D図 →アメリカ演劇〔ブロードウェー演劇〕

ウィリアムズ,W アメリカ[1883-1963] 詩人。象徴主義を排し,客観主義の詩を標榜。ピュリッツァー賞受賞 ①文学65 D →アメリカ文学〔20世紀〕

ウィリアムソン,A イギリス[1824-1904] 化学者。分子相互間の原子の移動に注目,化学動力学の基礎をつくる ⑮化学62 B図

ウィリアム・テル ⑩世地→アルトドルフ →スイス(連邦)〔略史〕

『ウィリアム・テル』 ①文学→シラー,F図 ③音演→シラー,F →ロッシーニ,G

ウィリアム・ペン ⇨ペン,W

『ウィリアム・ロベルの話』 ①文学→ティーク,L

ウィリ・ウィリ ⑱宇地→風〔表局地風〕

ウイリス,T イギリス[1621-1675] 解剖学者・医者。「ウイリスの動脈輪」で知られる ⑭医学466 C図 →脳

ウィリス,W イギリス[1836-1894] 公使館医員。幕末に来日し,外科手術の発達に貢献。のち東京大学病院長 ⑤日史98 D →御雇外人教師表

ウィリニュス ⇨ビリニュス

ウィリワウ ⑱宇地→風〔表局地風〕

ウィーリンゲルメアポルダー ⑩世地→オランダ(王国)〔経済・産業〈開発〉〕

ウィルキンソン,J イギリス[1728-1808] 産業革命期の大製鉄業者。技術開発能力にすぐれ鉄の加工技術に貢献 ⑰科技27 A図 →工作機械〔歴史〕 →ワット,J

ウイルクス,S [1824-1911] ⑭医学→血圧〔高血圧〕

ウィルクス,J イギリス[1727-1797] 政治家。下院議員として自由の闘士とみなされたが,ロンドン市長になり保守化 ⑨世史79 D

ウィルクス,M ⑯物数→電子計算機〔歴史〕

ウィルシュテッター,R ドイツ[1872-1942] 化学者。植物色素の化学構造を研究。ノーベル賞受賞 ⑮化学63 A図 →クロロフィル →プロリン ⑲植物→アントシアン

ウイルス〈ビールス〉 ⑭医学49 A図 →かぜ〔原因〕 →癌〔原因〕 →病原体 ⑲植物63 B ⑳動物76 C図 →生物農薬 →微生物 ⑮化学→核酸〔構造〕 →スタンリー,W

ウィルス,A ⑩世地→アルプス〔登山〕

ウイルス性いぼ ⑭医学→いぼ

ウイルス性肝炎 ⑭医学→肝炎〔急性肝炎〕 →肝硬変症〔壊死後性〕 →肝臓〔肝臓疾患〈肝性昏睡〉〕

ウイルス性疾患 ⑭医学→感染症表

ウイルス性髄膜炎 ⑭医学→感染症〔表〈ウイルス性〉〕 →髄膜〔髄膜炎〈ウイルス性〉〕

ウイルス培養 ⑭医学→組織培養〔培養法〕

ウイルス病 ⑲植物→病虫害〔表病害〕

ウィルズング管〈膵管〉 ⑭医学→膵臓

ウィルソン,A イギリス[1913] 小説家。伝統的なイギリス風俗小説の代表的な継承者の一人 (作)『毒にんじんとその後』 ①文学66 C図

ウィルソン,A ⑰科技→半導体

ウィルソン,C イギリス[1931] 批評家・小説家。毎年1冊の割で評論・小説・自伝・SFなどを精力的に発表 (作)『アウトサイダー』 ①文学67 A図 ④哲宗→アウトサイダー

ウィルソン,C イギリス[1869-1959] 物理学者。高速荷電粒子を検出できる霧箱を発明。ノーベル賞受賞 ⑯物数30 A図 →ウィルソンの霧箱 ⑱宇地→雷〔雷雲内の電気分布〕図

ウィルソン,E アメリカ[1895-1972] 批評家・小説家。つねに時代を背負うものを的確に予言する希有な才能をもつ (作)『アクセルの城』 ①文学66 B図

ウィルソン,E [1856-1939] ⑲植物→細胞〔細胞学〕

ウィルソン,H イギリス[1916] ⑪政社→イギリス政治事情〈20 A〉図 →労働党

ウィルソン,J イギリス[1881-1969] シェークスピア学者。豊かな問題提起を含む著作が多い ①文学66 B

ウィルソン,J ⑱宇地→プレート・テクトニクス

ウィルソン,W アメリカ[1856-1924] 第28代大統領。もと大学教授。ベルサイユ講和会議の主役をつとめる。ノーベル平和賞受賞 ⑨世史79 D図 →アメリカ(合衆国)〔合衆国の発足〈帝国主義〉〕 →国際連盟〔成立〕 →十四か条 →ベルサイユ条約図 ⑪政社40 B図 →国際連盟 →プログレッシビズム →民主党

ウィルソン(山) アメリカ ⑩世地103 C →ロサンゼルス

ウィルソン山天文台 ⑱宇地→天文台〔世界〕〔表〈アメリカ〉〕

ウィルソンの霧箱 ⑯物数30 B図 →アンダーソン,C →ウィルソン,C →凝縮

ウィルソンブラッフ ⑩世地→オーストラリア(連邦)〔自然〕図

ウィルソン模型 ⑰科技→半導体図

ウィルデンブルッフ,E ドイツ[1845-1909] 劇作家。激情的な韻文史劇により一時劇界を支配 ①文学67 A

ウィルト,J ドイツ[1879-1956] 政治家。ワイマール共和国の蔵相・首相をつとめ,ナチ時代にはスイスに亡命 ⑨世史80 A

ウィルドビースト ⇨ヌー

ウィルトン ⑫経産→西欧経済事情図

ウィルトンカーペット ⑬生活→じゅうたん

ウィルバーフォース,W イギリス[1759-1833] 奴隷解放運動家。下院議員として奴隷貿易廃止法を成立させる ⑨世史80 B図

ウィルヘルミ,A [1845-1908] ③音演→バイオリン〔音楽と演奏家の系譜〕

ウィルヘルミナ(山) ⇨トリコラ(山)

ウイルヘルミネ ドイツ ⑨世史→フリードリヒ・ウィルヘルム(一世)

ウィルヘルム(一世) ドイツ[1797-1888] プロイセン王・ドイツ皇帝。ビスマルクを登用。近代的な統一国家,ドイツ帝国を成立させる ⑨世史80 C図 →三帝同盟 →ドイツ帝国図

ウィルヘルム(二世)〈カイゼル〉 ドイツ[1859-1941] ドイツ皇帝兼プロイセン王。ビスマルクを退けて親政。世界政策で第一次大戦に突入 ⑨世史80 D図 →クリューガー,S〔電報事件〕 →三国協商 →ビスマルク →モロッコ事件図 ⑪政社40 D図 ⑤日史→黄禍論

ウィルヘルム(山) ⑩世地→セントラル(山脈)

ウィルヘルムスハーフェン 西ドイツ ⑩世地103 C

『ウィルヘルム・テル』 ①文学→シラー,F図 ③音演→シラー,F →ロッシーニ,G

『ウィルヘルム・マイスター』 ①文学→教養小説 →ゲーテ,J ③音演→ゲーテ,J →トーマ,C〔ミニヨン〕

ウィルミントン アメリカ/デラウエア ⑩世地103 D

ウィルム,A ドイツ ⑰科技→時効硬化 →ジュラルミン

ウィルムス腫瘍 ⑭医学→癌〔泌尿器癌〈腎臓癌〉〕 →小児癌

ウィルムーセン,J デンマーク ②美術→北欧美術〔絵画と彫刻〕

『ウィルムヘルムス・ファン・ナッソウェ』 ③音演→国歌

ウィルモット,J イギリス[1647-1680] 形而上派詩人。放逸の限りを尽くしたが,生涯の終わりに劇的な回心をとげる ①文学67 A

ウィレム(一世) ⇨オラニエ公ウィレム

ウィレム(三世) ⇨ウィリアム(三世)

ウィレムスタッド ⑩世地→オランダ領アンチル(諸島)図 →キュラサオ(島)

外郎 [*.*] 室町時代日本に帰化した明人の医者。この家でつくった餅を外郎という ⑤日史98 D

外郎餅 ⑬生活→菓子〔和菓子の歴史〕

右院 ⑤日史→官僚制〔太政官制〕 →左院・右院

ウィーン,W ドイツ[1864-1928] 物理学者。熱放射現象・黒体放射現象を研究。ノーベル賞受賞 ⑯物数30 C図 →ウィーンの変位則 →黒体 →質量分析器 →ドップラー,J →物理学〔歴史〈近代〉〕 →プランク,M

ウィーン オーストリア ⑩世地103 D図 ⑨世史→オーストリア・トルコ戦争

ウィーン少年合唱団 ③音演→合唱〔合唱団〕図

ウィーン・アピール ⑤日史→原水爆禁止運動 ⑪政社→平和運動

ウィーン会議 ⑨世史80 D図 →アレクサンドル(一世) →タレーラン,C →ドイツ〔歴史〈三月革命と反革命〉〕 →ドイツ連邦 →メッテルニヒ,K

ウィーン外交条約 ⑪政社→外交官

ウィーン学団 ④哲宗53 A →実証主義 →シュリック,M →ノイラート,O →論理実証主義

ウィーン学派 ⑫経産→オーストリア学派

ウィーン楽派 ③音演34 A

『ウィーン気質』 ③音演→シュトラウス,J

『ウィーン綺想曲』 ③音演→クライスラー,F

ウィングカフス ⑬生活→カフス図

ウィングカラー ⑬生活→衿〔カラー〈種類〉〕図

ウィンクラー,C ドイツ[1838-1904] 化学者。工業ガスの利用法や発煙硫酸の製法に関する研究で知られる ⑮化学63 B図 →ゲルマニウム〔歴史〕

ウィンクラー,H ドイツ ⑨世史→ボガズキョイ

ウィンクラー,J ドイツ[1881-1966] 詩人・小説家。諧謔味

テーマ ①文学72 D
ウォルコット,C 〔1850/1927〕 地質学者・古生物学者。化石と地層を研究,先カンブリア界研究の基礎を築く ⑱宇地29 A
ウォルソール ⑩世地106 A
ウォルター・トムプソン ⑫経産47 A
『ウォルチング・マチルダ』 ①文学→パターソン,A
ウォルト ⑫経産→北欧学派
ウォルト・ディズニー ⇨ディズニー,W
ウォルトン,E 〔1903〕 物理学者。高電圧の直接加速装置を用い原子核の変換に成功。ノーベル賞受賞 ⑮化学65 B ⑯物数31 C →加速器〔コッククロフト-ウォルトン型加速器〕 →コッククロフト,J
ウォルトン,I 〔1593/1683〕 伝記作者・随筆家。事実の正確な記録の伝記に努めたが,なお古い聖徒伝の伝統が残る ㊟『釣魚大全』 ①文学72 D →エッセイ ⑬生活→釣り〔歴史〕
ウォールナット油 ②美術→油絵〔はじまり〕
ウォール・ハンドボール ⑬生活→ハンドボール
ウォルビスベイ 南アフリカ ⑩世地106 A
ウォルフ,C 東ドイツ〔1929〕 女流小説家。社会主義国家における個人のあり方を追求 ①文学73 A
ウォルフ,C 〔1679/1754〕 啓蒙期の哲学者。ライプニッツ哲学を形式的に整備し組織化した ④哲宗54 C →心理学〔心に関する考察〕 →ドイツ哲学〔学校哲学〕 →目的論
ウォルフ,C ⑱宇地→ウォルフ=ライエ星
ウォルフ,F 〔1888/1953〕 劇作家。戦場での体験から一貫して反戦・平和主義の立場をとる ①文学72 D
ウォルフ,F.A ①文学→ホメロス
ウォルフ,H 〔1860/1903〕 作曲家。300を超えるドイツ歌曲がその創作の中心 ③音演35 D図
ウォルフ,J 〔1816/1893〕 天文学者・科学史家。太陽黒点の定量法としてウォルフ数を設定 ⑱宇地29 A →黒点〔黒点相対数〕
ウォルフ,M 〔1863/1932〕 天文学者。広角写真機の長時間露出法を用い,多くの小惑星を発見 ⑱宇地29 A →プラネタリウム
ウォルフ学派 ④哲宗→バウムガルテン,A
ウォルフ-キッシュナー反応 ⑮化学→ケトン〔反応〕
ウォルフ彗星 ⑱宇地→彗星〔表周期彗星〕
ウォルフ数 ⑱宇地→ウォルフ,J
ウォルフスケール,K 〔1869/1948〕 詩人・文芸史家。神話的反合理主義的傾向,ユダヤ性など特異な性格をもつ ①文学73 A
ウォルフ=ハリントン ⑱宇地→彗星〔表周期彗星〕
ウォルフ=フェラーリ,E 〔1876/1948〕 作曲家。イタリアのオペラ・ブッファの伝統を近代感覚で生かした作品が多い ㊟『マドンナの宝石』 ③音演35 D
ウォルフ=ライエ星 ⑱宇地29 B
ウォルフラム ⇨タングステン
ウォルフラム・フォン・エッシェンバッハ 〔1170?/1220?〕 宮廷叙事詩人。奇抜な表現や比喩が多く晦渋だがユーモアに富む ①文学73 A →アーサー王伝説 →騎士道物語 →宮廷文学 →ドイツ文学〔中世〕 ⑨世史→騎士〔騎士道〕
ウォルポール,H 〔1717/1797〕 文人。価値の高い膨大な書簡とゴシック小説の先駆として著名 ㊟『オトラントの城』 ①文学73 B →ゴシック小説
ウォルポール,H 〔1884/1941〕 小説家・批評家。同国におけるアメリカ文学の選択評価に影響を与える ①文学73 B
ウォルポール,R 〔1676/1745〕 政治家。首相として健全財政と平和政策を堅持 ⑨世史82 D図 →イギリス(史)〔イギリス革命〈地主寡頭制国家〉〕 →イギリス議会史〔議員内閣制〕 ⑫経産→減債基金
ウォルマン,L ⑫経産→制度学派
ウォルムス 西ドイツ ⑩世地106 B
ウォルムス協約 ⑨世史83 A →コンコルダート →叙任権闘争 →帝国教会政策 →ハインリヒ(五世) ④哲宗→カトリック教会〔歴史〕
ウォルムス国会 ⑨世史83 A →カール(五世) →フリードリヒ(賢公)
ウォーレス ⑫経産→土地国有論
ウォーレス,A 〔1823/1913〕 博物学者・進化論者。動物分布上の境界線「ウォーレス線」を画す ⑳動物77 C図 →進化〔進化論〈ダーウィン〉〕 →動物〔動物分布〕 →動物地理区 ⑧日地→ウォーレス線〈1199 A〉
ウォーレス,H 〔1888/1965〕 ⑨世史→進歩党
ウォーレス,L 〔1827/1905〕 小説家。トルコ大使を辞したのち,弁護士のかたわら大衆小説を執筆 ㊟『ベン・ハー,キリスト物語』 ①文学73 B →推理小説〔外国〕
ウォーレス・コレクション ②美術683 B
ウォーレス線 ⑧日地1199 A ⑳動物77 C →ウォーレス,A →動物〔動物分布〕
ウォーレン ⑪政社→プライバシーの権利
ウォーレン,R 〔1905〕 詩人・小説家・批評家。強い倫理性と豊かな形而上学に支えられた作品が多い ㊟『すべて王の臣』 ①文学73 C図 →ニュー・クリティシズム
『ウォレン夫人の職業』 ①文学→ショー,G.B ③音演→ショー,G.B
ウォロゲム,Y ①文学→アフリカ文学〈第2期〉
ウォロシーロフ ⇨ウスリースク
ウォロフ族 ⑩世地→ガンビア(共和国) →セネガル(共和国)〔社会・文化〕 →モーリタニア(イスラム共和国)〔社会・文化〕
ウォロンゴン ⇨ウロンゴング
円ウォン ⑫経産→通貨〔表〈通貨単位〉〕
ウォーン,C ⑫経産→消費者運動
ウォンサン〈元山〉 北朝鮮 ⑩世地106 B
ウォンチュ〈原州〉 南朝鮮 ⑩世地106 B
ウォンバット ⑳動物77 C図
羽化 ⑳動物78 A →昆虫〔発生〕 →さなぎ →トンボ〔生態・行動〕
『**鵜飼**』 ③音演36 A
鵜飼い ⑦日地→宇治川 ⑧日地→長良川 ⑳動物→ウ図
うがい〔漱〕 ⑭医学52 A
『宇槐記』 ⇨『台記』
うがい薬 ⑭医学→うがい
宇甘渓 ⑧日地→御津(町)《岡山》
迂回生産 ⑫経産47 B →資本Ⅱ →ベーム-バベルク,E
鵜飼石斎 ①文学→『古文真宝』
養鸕徹定 〔1814/1891〕 ④哲宗→浄土宗囲
宇垣一成 〔1868/1956〕 陸軍軍人・政治家。陸軍の近代化を推進し,陸相時三月事件に関係し辞職。昭和12年組閣に失敗 ⑤日史102 C図 →皇道派・統制派 →三月事件 ⑪政社42 A図 ⑥日史→朝鮮〔植民地支配〕 →陸軍軍縮
宇賀渓 ⑧日地→大安(町)
浮島 山口 ⑦日地144 A
烏雅束 中国 ⑨世史→阿骨打
うがち ①文学→洒落本 →川柳
宇迦之御魂神 ⑤日史→稲荷信仰
ウカヤリ(川) ⑩世地106 B →アマゾン(川)〔河況〕
ウ・カラ ビルマ〔*.〕 18世紀ごろの歴史家。年代記を著し,その文章は後世の散文文学の模範となる ①文学73 C
ウガリト ⑨世史→フェニキア →ラス・シャムラ
遊行女婦 ⇨遊女
鵜川四十八体仏 ⑧日地→高島(町)《滋賀》図
有漢(町) 岡山 ⑦日地144 A
烏丸〔烏桓〕 ⑨世史83 A →東胡 →遊牧国家
鵜甘神社 ⑦日地→池田(町)《福井》
ウガンダ(共和国) アフリカ ⑩世地106 C図
うき ⑬生活→釣り〔釣り道具〕図
浮 ⑥日史→船
雨期 ⑧日地1199 A →乾期〈1205 A〉 →季節〈1206 D〉 →梅雨〈1230 A〉 ⑱宇地29 B図 →大気〔大気と気象〕 →梅雨
浮石 ⑰科技→鉱山〔鉱山保安〈鉱山災害〉〕
ウキイソギンチャク ⑳動物→イソギンチャク〔生殖と発生〕
浮稲 ⑲植物→イネ〔栽培の歴史〕
浮絵 ②美術→浮世絵〔展開と作者〕〔錦絵の誕生〕図 →奥村政信 ⑥日史→眼鏡絵
浮織 ⑬生活→刺繍〔区限刺繍〈スウェーデン刺繍〉〕
ウキギ〔浮木〕 ⑳動物→マンボウ
ウキクサ〔浮草〕 ⑲植物64 C図 →浮水植物
『うき草』 ①文学→ツルゲーネフ,I
『浮雲』《二葉亭四迷》 ①文学→日本文学〔近代〈明治啓蒙期〉〕 →二葉亭四迷図
『浮雲』《林芙美子》 ①文学→日本文学〔近代〈第二次大戦後〉〕 →林芙美子 ③音演→映画別 →成瀬巳喜男
浮雲状反射板 ⑰科技→音響設計〔例〕図
浮きクレーン ⑰科技→クレーン
ウキコ ⑳動物→バチ
ウキゴケ ⑲植物→コケ植物〔種類〈苔類〉〕図
浮き腰 ⑬生活→柔道〔基本〈投げ技〉〕図
浮小物成 ⑤日史→浮役
浮島《北海道》 ⑦日地→北檜山(町)
浮島〈夢の浮島〉 茨城/桜川村 ⑦日地144 A
浮島《京都》 ⑦日地→宇治(市)
浮島《沖縄》 ⑧日地→那覇(市)〔歴史〕
浮島 ⑲植物65 A図 ⑦日地→尾瀬図
浮島貝塚 ⑤日史102 D
浮島ヶ原 ⑦日地→浮島沼《静岡》
浮島神社 ⑦日地→朝日(町)《山形》 →大沼《山形》
浮島沼《山形》 ⇨大沼《山形》
浮島沼 静岡 ⑦日地144 A
浮島の森 ⑦日地→新宮(市)
浮きダイ ⑳動物→マダイ
浮田一蕙 〔1795/1859〕 江戸末期の画家。大和絵復興に努めるが,安政の大獄で下獄 ⑤日史102 D ②美術→復古大和絵派
宇喜多氏 備前の土豪から戦国大名となり豊臣家五大老に列するが,関ヶ原以後没落 ⑤日史102 D図
浮田和民 〔1859/1945〕 政治学者・評論家。クリスチャンで熊本バンドの一人 ⑤日史103 A
浮出し ⑰科技→圧印
浮出し印刷 ⑰科技→印刷〔特殊印刷〕
卯木達郎 ⑳動物→県鳥
宇喜多秀家 〔1572/1655〕 秀吉の重臣。五大老の一。文禄・慶長の役に活躍,関ヶ原で敗れ八丈島に流罪 ⑤日史103 B →岡山城 →五大老
于吉 中国 ④哲宗→太平道 ⑨世史→黄巾の乱
浮き釣り ⑳動物→クロダイ〔釣り〕 →コイ〔釣り〕 →タナゴ〔釣り〕
ウキツリボク ⑲植物→アブチロン
浮きドック ⑰科技→ドック
浮布池 ⑦日地→三瓶山図
浮羽(町) 福岡 ⑦日地144 B
浮きばかり ⑯物数32 A →比重計 →浮力〔比重〕
浮梯子 ⑥日史→忍術〔囲忍器〕
うきぶくろ〔鰾〕 ⑳動物78 A →魚類〔生理〈呼吸〉〕 →ハイギョ →発音
『浮舟』 ①文学→紫式部〔表源氏物語〕
浮舟城〈小高城〉 ⑦日地→小高(町)
浮彫 ②美術48 D図
ウキボリカニダマシ ⑳動物→カニダマシ
ウキマイマイ〔浮蝸牛〕 ⑳動物78 A
浮身 ⑬生活→水泳〔日本泳法〕
ウキヤガラ〔浮矢柄〕 ⑲植物65 B →ホタルイ図
浮役 ⑤日史103 C →小物成
浮世 ④哲宗→仏教〔囲用語〕
右京(区) 京都市 1976年西京区を分離 ⑦日地144 B
右京 ⑥日史→平安京 ⑧日地→西の京
右胸心〈右心症〉 ⑭医学→奇形児
浮世絵 ②美術49 A図別 →岩佐又兵衛 →印象主義 →日本画 →美人画 →風俗画 →木版画 ⑤日史103 C図 →江戸時代〔文化〕 →化政文化 ①文学→草双紙 ⑥日史→錦絵
『浮世親仁形気』 ①文学→浮世草子〔第3期〕 →江島其磧図
『**浮世柄比翼稲妻**』 ③音演36 B図
右極限 ⑯物数→極限〔発散する実数値関数〕 →収束〔実関数〕
浮世草子 ①文学73 D →井原西鶴 →日本文学〔近世〈江戸前期〉〕 →八文字屋自笑 ⑤日史103 D
『浮世道中膝栗毛』 ①文学→十返舎一九〔東海道中膝栗毛〕
『**浮世床**』 ⑤日史103 D ①文学→滑稽本 →式亭三馬図
『**浮世風呂**』 ⑤日史103 D ①文学→滑稽本 →式亭三馬
浮世又兵衛 ⇨岩佐又兵衛
『**浮世物語**』 ⑤日史103 D ①文学→仮名草子
宇久(町) 長崎/五島列島 ⑦日地144 C →宇久島
羽区 ⑳動物→鳥類〔形態〕
ウグイ〔鯎〕 ⑳動物78 B図 →オイカワ →体色
宇久井 ⑧日地→那智勝浦(町)
ウグイス〔鶯〕 ⑳動物78 C図 →益鳥 →飼い鳥 →県鳥表 →鳥類〔別〈生態〉〕
ウグイスガイ〔鶯貝〕 ⑳動物79 A図
ウグイスカグラ ⑲植物65 B →スイカズラ図
鶯沢(町) 宮城 ⑦日地144 C
鶯谷 東京/台東区 ⑦日地144 C

理小説 →大河小説 →プルースト,M
牛庭原 ⑦日地→郡山盆地
氏院 ⇨大学別曹
氏上 ⑤日史→氏 →氏長者 →古代社会〔公民制〕 →氏姓制度〔氏の内部組織〕 ⑥日史→相続制度〔古代〕
ウシノケグサ ⑲植物67 A図
ウシノシタ〈ビフテキタケ〉 ⑲植物→カンゾウタケ
ウシノシタ〔牛舌〕 ⑳動物89 C
ウシノシタグサ ⇨アンチューサ
ウシノシッペイ ⑲植物67 A
氏爵 ⑤日史105 D →氏長者
『宇治宿禰墓誌』 ⑤日史105 D図
宇治の戦い ⑤日史→源平の合戦表
氏長者 ⑤日史105 D →氏爵 ⑥日史→摂関政治〔構成〕 →長者宣
牛ノ戸焼 ⑦日地→河原(町)
丑の日 ⑲植物→イネ〔囲稲作行事〕
牛の盆 ⑳動物→ウシ〔民俗〕
氏社 ⑤日史→氏神
丑の湯 ⑭医学→温泉療法〔湯治〕
牛乗り神事 ⑧日地→天王(町)図
菟道稚郎子 〔*.〕 応神天皇の皇太子。父の死後兄と後嗣を譲りあい自殺。兄が仁徳天皇となる ⑤日史106 A
ウシハコベ ⑲植物67 A →ハコベ図
宇治橋 ⑦日地→宇治(市)〔観光〕図
宇治橋造橋断碑 ⑤日史106 A図
ウシバト ⇨カラスバト
氏人 ⑤日史→氏 →氏姓制度〔氏の内部組織〕
牛深(市) 熊本/天草諸島 ⑦日地147 C
牛深海中公園 ⑦日地→雲仙天草国立公園
牛臥山 静岡/沼津市 ⑦日地147 D
ウシブドウ ⇨マツブサ
牛堀(町) 茨城 ⑦日地147 D
牛島 山口/光市 ⑦日地147 D
鵜島 ⑧日地→宮窪(町)
牛祭 ④哲宗→広隆寺 ⑦日地→京都(市)〔別年中行事〕図
牛窓(町) 岡山 ⑦日地147 D図
巫峡 ⑩世地→揚子江図
ウシャクルギル,H 〔1866/1945〕 小説家。新文学運動の旗手として同国近代文学の確立に尽力 ①文学74 C
ウシャス ④哲宗→インド神話〔ベーダ神話〕
ウシャブチ ②美術51 C
宇治山田 ⑤日史106 B ⑦日地→伊勢(市)
巫山 ⑩世地→フーペイ(省)
五香粉 ⑬生活→香辛料囲 →中国料理〔香辛料〈嗜好調味料〉〕
羽州 ⇨出羽国
烏什 ⇨ウーシー
羽州街道 ⑤日史106 B
羽州探題 ⑤日史106 C ⑥日史→最上氏
ウシュキュダル ⑩世地108 B →イスタンブール
ウシュマル ⑨世史→マヤ〔古典期〕 ⑩世地→メキシコ(合衆国)〔囲古代文明遺跡〕
ウジュンパンダン ⇨マカッサル
有情 ④哲宗→仏教〔囲用語〕
鳥城 ⇨岡山城
羽状複葉 ⑲植物→葉図 →複葉
う蝕 ⑭医学→むし歯
羽色 ⑳動物→鳥類〔形態〕
雨食 ⑧日地→浸食〈1217 C〉 ⑱宇地→浸食
武勝関 ⑩世地→シンヤン
後ろ腰 ⑬生活→柔道〔基本〈投げ技〉〕図
後田古墳群 ⑤日史106 C
後立山連峰 ⑦日地→鹿島槍ヶ岳 →日本アルプス〔北アルプス〕
後飛込 ⑬生活→水泳〔水泳競技〈飛込競技〉〕図
『牛若千人切』 ①文学→浄瑠璃
牛若丸 ⇨源義経
右衽 ⑬生活→服装〔日本〈中国模倣〉〕
右心症〈右胸心〉 ⑭医学→奇形児
有心の序 ①文学→短歌〔修辞〈序詞〉〕
ウースー〈烏蘇〉 中国/新疆ウイグル自治区 ⑩世地108 B
うず〔渦〕 ⑯物数32 A図 ⑱宇地29 C図
烏頭〈附子〉 ⑭医学→生薬 ⑲植物→トリカブト →有毒植物
髻華 ⑤日史→挿頭華 →髪飾
ウスアカイソギンチャク ⑳動物→イソギンチャク
ウスアカヒゲ ⑳動物→アカヒゲ
ウスアカヤマドリ ⑳動物→ヤマドリ
臼井 千葉/佐倉市 ⑦日地148 A →佐倉(市)
雨水 ⑱宇地→二十四節気表
碓井(町) 福岡 ⑦日地148 A
碓氷川 群馬 ⑦日地148 B ⑧日地→松井田(町)
碓氷社 ⑤日史106 C
薄板 ⑬生活→いけ花〔囲用語〕
碓氷峠 群馬・長野 ⑤日史106 D ⑦日地148 B ⑰科技→アプト式鉄道
臼井吉見 〔1905〕 評論家。豊かな文明批評家的識見と鋭敏で柔軟な文学的感覚で幅広く活動 ①文学74 C →『展望』
ウスイロイルカ ⑳動物→イルカ〔種類〕
ウスイロオナガシジミ ⑳動物→シジミチョウ図
ウスイロコノマチョウ 動物→コノマチョウ
ウスイロサルハムシ ⑳動物→サルハムシ
ウスイロジンチョウゲ ⑲植物→ジンチョウゲ
薄紙 ⑰科技→薄葉紙
ウスカワマイマイ ⑳動物→カタツムリ〔日本産〕
臼関節 ⑭医学→関節〔図種類〕
臼杵(市) 大分 ⑦日地148 C図
ウスギキョウチクトウ ⑲植物→キョウチクトウ
ウズキコモリグモ ⑳動物→クモ図 →コモリグモ図
臼杵石仏 ⑤日史106 D図 ②美術→石仏〔日本〕図 ⑦日地→臼杵(市)図
臼杵せんべい ⑦日地→大分(県)〔観光〈名産品〉〕
薄衣 ⑦日地→川崎(村)
ウスギヌガイ〔薄衣貝〕 ⇨オキナガイ
臼杵藩 ⑥日史→豊後国
ウスギモクセイ〔淡黄木犀〕 ⑲植物→モクセイ
臼杵流 ⑬生活→水泳〔日本泳法〕
ウスクダマ ⇨アドリアノープル
ウスクダラ ⇨ウシュキュダル
淡口しょうゆ ⑬生活→しょうゆ〔種類〕表
『うずくまるビーナス』 ②美術→ヘレニズム
うすぐも ⇨絹層雲
『薄雲』 ①文学→紫式部〔表源氏物語〕
ウズグモ〔渦蜘蛛〕 ⑳動物90 A →クモ図
薄曇り ⑱宇地→天気
薄化粧 ⑬生活→おしろい〔歴史〕 →化粧〔変遷〕
有珠山 北海道 ⑦日地148 C ⑱宇地→火山〔噴火形式〕〔表活火山〕
渦潮 ⑱宇地→うず図 →潮流
臼軸受 ⑰科技→軸受〔スラスト軸受〕
臼状火山 ⇨臼状火山
ウースター ⑩世地108 B
ウースター ⑩世地108 B
臼田(町) 長野 ⑦日地148 D
臼田亜浪 〔1879/1951〕 俳人。「まこと」を俳句の心とし,作風は「力ある作品」を主張 ①文学74 C
臼太鼓 ③音演→沖縄の歌舞〔民俗芸能〕 ⑦日地→沖縄(県)〔文化〈民俗芸能〉〕
臼太鼓踊 ③音演→太鼓踊図 ⑦日地→五家荘図 ⑧日地→宮崎(県)〔文化〕
ウスタケ〔臼茸〕〈ラッパタケ〉 ⑲植物67 A
ウースターシャー(運河) ⑰科技→運河図
ウースターソース ⑬生活→ソース〔食卓用ソース〕
ウスタビガ〔薄手火蛾〕 ⑳動物90 A図 →いもむし
臼玉 ⑤日史106 D
ウスチイリム ソ連/ ⑩世地108 B
ウスチカメノゴルスク ソ連/ ⑩世地108 C
薄茶 ⑬生活→茶道〔点前〕
渦抵抗 ⑰科技→船〔船の理論〈抵抗と船型〉〕
ウーステッドヤーン ⑰科技→紡績〔種類〕
渦電流〈フーコー電流〉 ⑯物数32 C図 →電力計 →フーコー,J
渦電流ブレーキ ⑰科技→ブレーキ〔電気ブレーキ〕
うず度 ⑱宇地→うず
渦度方程式 ⑱宇地→数値予報
薄肉彫 ②美術→浮彫
ウスニン酸 ⑲植物→サルオガセ →地衣類〔利用〕
薄根川 群馬 ⑦日地149 B
臼ノ浦港 ⑦日地→小佐々(町) →佐世保炭田
ウスノキ〔臼木〕 ⑲植物67 B →コケモモ図
ウスバアオノリ ⑲植物→アオノリ →海藻〔別緑藻植物〕
ウスバアゲハ亜科 ⑳動物→アゲハチョウ〔分類〕
臼碆 ⑦日地→足摺岬 ⑧日地→土佐清水(市)
ウスバカゲロウ〔薄翅蜻蛉〕 ⑳動物90 C図
ウスバカマキリ ⑳動物→カマキリ〔昆虫〕〔種類〕
ウスバキチョウ〔薄羽黄蝶〕 ⑳動物90 B →アゲハチョウ〔分類〕図 →高山チョウ
ウスバキトンボ ⑳動物→アカトンボ →ショウリョウトンボ →トンボ〔生態・行動〈産卵〉〕
ウスバサイシン〔薄葉細辛〕 ⇨サイシン
うず柱 ②美術→出雲大社
ウスバシロチョウ〔薄羽白蝶〕 ⑳動物90 B図 →アゲハチョウ〔分類〕図
ウスバスミレ ⑲植物→スミレ
うすばた ⇨羅
ウズベク(共和国) ソ連 ⑨世史83 B ⑩世地108 C図 ⑫経産→ソ連経済事情図
ウズベク族 ⑨世史→コーカンド・ハン国 →シャイバン朝 →ヒバ・ハン国 →ブハラ・ハン国 ⑩世地→中華人民共和国〔表少数民族〕
ウズベク・ハン 〔1282/1342〕 キプチャク・ハン国第9代の君主。ベルケ・サライ市を首都として繁栄 ⑨世史83 B →キプチャク・ハン国
ウズベク・ハン国 ⑨世史→中央アジア〔歴史〕
ウスベニトガリメイガ ⑳動物→トガリメイガ
ウスベリケンモン ⑳動物→ヤガ
ウスペンスキー,N 〔1837/1889〕 小説家。農民の生活をさめた目でとらえ,ユーモアに富んだ短編を書く ①文学74 D
ウスペンスキー,G 〔1843/1902〕 人民派の作家。農民の生活をなかば社会学論文的,なかば記録文学的に描いた ①文学74 D
ウスペンスキー寺院 ⑩世地→アストラハン →キーロフ →モスクワ
渦鞭毛類 ⑲植物→藻類〔分類〈橙藻植物〉〕
ウーズ法 ⑫経産→農業水利
巴波川 ⑧日地→渡良瀬川〔渡良瀬遊水池〕
うず巻 ⑱宇地→うず
『渦巻』 ①文学→渡辺霞亭
渦巻管 ⇨蝸牛殻
ウズマキゴカイ〔渦巻沙蚕〕 ⑳動物90 C
渦巻式洗濯機 ⑬生活→洗たく〔電気洗濯機〕
渦巻主義〈ボーティシズム〉 ①文学→イマジズム
渦巻き星雲 ⑱宇地→アンドロメダ大星雲 →銀河 →銀河系 →銀河系外星雲図 →天文学〔宇宙観〈星雲空間時代〉〕
うず巻ばね ⑰科技→ばね図
渦巻ポンプ ⑰科技28 A →井口在屋図 →技術〔日本〕 →ポンプ図
『うずまくロシア』 ①文学→レーミゾフ,A
太秦 京都市/右京区 ⑤日史107 A ⑦日地149 B
太秦寺 ⇨広隆寺
ウスマン,S 〔1923〕 小説家。社会主義リアリズム的手法のめだつ,アフリカでは異色の作家 ①文学74 D →アフリカ文学〔第2期〕
ウスマーン ④哲宗→イスラム教〔概観〕 →『コーラン』 ⑨世史→正統カリフ時代
うずみ ⑬生活→郷土料理〔囲〈広島〉〕
雲水峰 福島 ⑦日地149 B →須賀川(市)
埋火焼き ⑬生活→焼き物〔間接焼き〕
埋門 ⑤日史→城〔構造〕別
ウズムシ〔渦虫〕 ⑳動物90 C →感覚〔視覚〕
ウスメバル ⑳動物→メバル
うすもの ⇨羅
『薄雪』 ⇨『新薄雪物語』
ウスユキソウ〔薄雪草〕 ⑲植物67 B図
ウスユキバト〔薄雪鳩〕 ⑳動物91 A →ハト
ウスユキムグラ ⑲植物→クルマバソウ
薄様 ⑥日史→料紙
薄葉紙 ⑰科技28 A →グラシン紙
ウズラ〔鶉〕 ⑳動物91 A図 ⑬生活→食肉〔種類〕 →とり肉〔その他の鳥〕
渦雷〈低気圧性雷〉 ⑱宇地→雷〔種類〕
鶉温泉 ⑦日地→厚沢部(町)
ウズラガイ〔鶉貝〕 ⑳動物91 B
『鶉衣』 ①文学→俳文 →横井也有図
ウズラシギ〔鶉鷸〕 ⑳動物91 B
ウズラチャボ〔鶉矮鶏〕 ⑳動物91 B →チャボ →ニワトリ〔観賞用種〕
うずらなく ①文学→短歌〔囲枕詞〕
ウズラマメ ⑬生活→豆類〔主な豆〈インゲンマメ〉〕
ウスラル・ピエトリ,A 〔1906〕 小説家。同国の独立戦争時代を描いた『赤い槍』で知られる ①文学74 D
ウスリー(川) ソ連・中国 ⑩世地108 D →アムール(川)
ウスリースク ソ連/ ⑩世地108 D
『ウス・ルジーアダス』 ①文学→カモンイス,L →ポルトガル文学 ⑨世史→カモンイス,L
ウスワイア ⑩世地108 D

呉淞江 ⑩世地→シャンハイ〔自然〕
ウスンブラ ⇨ブジュンブラ
ウーセー, B アルゼンチン[1887-1971] 生理学者。糖代謝と下垂体前葉ホルモンとの関係を究明し，糖尿病研究に貢献。ノーベル賞受賞 ⑭医学 28 C
ウーゼ, B ドイツ[1904-1963] 小説家。反ファシズム闘争に参加，メキシコに亡命 ①文学 75 A
宇出津 ⇨宇出津
ウーセー動物 ⑭医学→ウーセー, B〈28 C〉
右旋性 ⑮化学 65 C →光学活性
右旋糖デキストロース ⑮化学→グルコース
羽前国 ⑤日史 107 B ⑥日史→出羽国 ⑦日地→秋田(県)〔歴史〕 ⑧日地→山形(県)
ウソ〔鷽〕 ⑳動物 91 C図 →アトリ図 →飼い鳥〔飼い方〈飼養許可〉〕 →高山鳥
嘘 ④哲宗 55 B
烏蘇 ⇨ウースー
有相 ④哲宗→印相
『雨窓欹枕集』 ①文学 75 A →『清平山堂話本』
有相唯識 ④哲宗→唯識
うそ替え神事 ⑦日地→江東(区)〔亀戸天神〕 ⑧日地→東京(都)〔別年中行事〕 ⑳動物→ウソ
宇曽神社 ⑧日地→野津原(町)
『嘘つき男』 ①文学→コルネイユ, P ③音演→コルネイユ, P
『嘘つき大王』 ①文学→オイドブ, C
嘘つきのパラドックス ④哲宗→メガラ学派 →タルスキー, A ⑯物数→逆理
うそ発見器 ⑭医学→汗
嘯吹 ③音演→狂言〔面〕 →能〔図狂言面〕
宇曽利山湖〈恐山湖〉 青森 ⑦日地 149 C →恐山図 →下北半島国定公園 ⑱宇地→湖沼〔化学的性質〈湖水のpH〉〕
烏孫 ⑨世史 83 C →北アジア〔モンゴル高原〈匈奴・鮮卑〉〕
哥 ③音演→能〔囲用語〕
唱 ①文学→変文
『歌』 ①文学→カルー, T
ウーター〈烏達〉 中国/内モンゴル自治区 ⑩世地 108 D
歌合 ①文学 75 B図表 →短歌〔歌論〕 →勅撰和歌集 →日本文学〔古代〈平安時代〉〕 ⑤日史 107 B図 ⑥日史→千五百番歌合 →物合 ⑬生活→かるた
『歌合類聚』 ⇨『類聚歌合』
『歌行灯』 ①文学→泉鏡花 →『新小説』
謡 ③音演→能 ⑥日史→謡曲
ウダイカンバ ⑲植物 67 C →カバノキ図
五台山脈 ⑩世地→ホーペイ(省)
右大将家例 ⑤日史→御成敗式目〔目的〕 ⑥日史→武家法〔鎌倉〕
右大臣 ⑤日史 107 C →左大臣 →三公 ⑥日史→太政官 →大保
ウダイプル インド ⑩世地 108 D →ラジャスタン(州)
謡物 ③音演→語物・謡物 →日本音楽〔特徴〕
『歌う白骨』 ①文学→推理小説〔作風〕 →フリーマン, R
歌絵 ②美術→模様〔意味と分類〈作意的〉〕
歌右衛門 ⇨中村歌右衛門
歌貝 ⑤日史→貝合
歌垣〈嬥歌〉 ③音演 36 C ⑤日史 107 C ④哲宗→遊び
『うたかたの記』 ①文学→日本文学〔近代〈浪漫主義〉〕 →森鷗外
歌語り ①文学→物語文学
歌カルタ ⑤日史→貝合 ⑬生活→かるた
歌川国貞〈歌川豊国三世〉 [1786-1864] 幕末の浮世絵師。歌川画法の完成者ともいわれ頽廃的美人画が中心 ⑤日史 107 C ②美術→歌川豊国(三世) →浮世絵〔末期〕 ③音演→芝居絵別
歌川国綱 ②美術→漫画〔日本漫画の歩み〕
歌川国芳 [1797-1861] 江戸末期の浮世絵師。武者絵と風俗画的風景画に優れた ②美術 51 D図 →漫画〔日本漫画の歩み〕 ⑤日史 107 C ③音演→芝居絵図
宇田川玄真 [1769-1834] 江戸後期の蘭学者・医学者。玄随の養子。西洋医書の訳出に尽力 ⑤日史 107 C
宇田川玄随 [1755-1797] 江戸後期の蘭学者・医学者。西洋内科説を最初に紹介 ⑤日史 107 D図
『疑わしい真実』 ①文学→ルイス・デ・アラルコン
歌川豊国 江戸中期から末期の浮世絵界の最大主要流派歌川派の名跡。初世から四世まで ②美術 52 A図
歌川豊国(初世) [1769-1825] 江戸中期の浮世絵師。大衆好みの役者絵・美人画で知られる ②美術 52 A図 →浮世絵〔末期〕別 ⑤日史 108 A ③音演→芝居絵別
歌川豊国(三世) ②美術 52 C図 ⇨歌川国貞
歌川豊春 [1735-1814] 江戸後期の浮世絵師。歌川派の祖。遠近法による風景版画を進展 ⑤日史 108 A ②美術→浮世絵〔錦絵の誕生〕図 ③音演→芝居絵
歌川派 ②美術 52 D図
歌川広重〈安藤広重〉 [1797-1858] 江戸末期の浮世絵師，風景画家。庶民の旅情を浸透させた東海道絵で有名 作『東海道五拾三次』 ②美術 61 B図 →浮世絵〔末期〕別 →漫画〔日本漫画の歩み〕 ③音演→歌舞伎〔内容と様式〈劇場・舞台・観客〉〕 →芝居絵別 ⑤日史→安藤広重 →化政文化〔道中記・浮世絵〕図
宇田川榕庵 [1798-1846] 江戸後期の蘭学者・医学者。蕃書和解方の一員として洋書訳出に尽力 ⑤日史 108 A ⑥日史→『舎密開宗』 ⑮化学 65 C図 ⑲植物 68 A図 ⑭医学→細胞〔発見〕
歌川芳春 ②美術→漫画〔日本漫画の歩み〕
御嶽 ⑦日地→石垣(市) →沖縄(県)〔文化〕
歌口 ③音演 36 D図
『宴の人々』 ①文学→アリストファネス
宇多源氏 ⑤日史→源氏
宇田勾当 ①文学→浄瑠璃
『歌声よ，おこれ』 ①文学→宮本百合子
歌祭文 ③音演→祭文
うた沢 ③音演 36 D →江戸唄・上方唄 →端唄
歌沢笹丸 [1797-1857] ③音演→うた沢
哥沢芝金 ③音演→うた沢
歌沢寅右衛門 ③音演→うた沢
歌志内(市) 北海道 ⑦日地 149 C図
歌志内線 ⑧日地→函館本線
歌島 ⑧日地→西淀川(区)
歌数寄 ⑥日史→茶道〔茶数寄〕
歌棄 北海道/寿都町 ⑦日地 149 C
『うたたね』 ①文学→阿仏尼 ⑤日史→阿仏尼
歌津(町) 宮城 ⑦日地 149 C
烏達 ⇨ウーター
宇多津(町) 香川 ⑦日地 149 C図
うだつ〔梲，卯建〕 ②美術 61 C図 →町家
卯辰山公園 ⑦日地→金沢(市)
宇多天皇 [867-931] 第59代天皇。平安前期，阿衡事件で関白藤原基経と対立，その死後菅原道真を用いて親政 作『寛平御記』 ⑤日史 108 B図 →阿衡事件 →『寛平御遺誡』 ⑥日史→橘広相 →『日本三代実録』 →藤原淑子
歌外波 ⑦日地→親不知
『歌と門の盾』 ①文学→高木卓
『歌に生き，恋に生き』 ③音演→プッチーニ, G〔トスカ〕
『うた日記』 ①文学→森鷗外
菟田野(町) 奈良 ⑦日地 149 D
『歌の翼に』 ③音演→メンデルスゾーン, F
歌登(町) 北海道/宗谷支庁 ⑦日地 149 D
『歌の本』 ①文学→ハイネ, H
『歌のわかれ』 ①文学→中野重治
雅楽寮 ⇨雅楽寮
歌枕 ①文学→短歌〔修辞〕
歌麿 ⇨喜多川歌麿
『歌麿』 ①文学→ゴンクール(兄弟)
宇太水分神社 ⑦日地→菟田野(町)
歌物語 ①文学→紫式部〔源氏物語〈文学史上の位置と影響〉〕 →物語文学
菟足神社 ⑦日地→小坂井(町)
雅楽寮 ⑤日史 108 B ①文学→歌謡〔日本〕 ③音演→雅楽〔日本〕
ウタルプラデシ(州) ⇨ウッタルプラデシ(州)
宇樽部 ⑧日地→十和田湖
ウーダン, R [1805-1871] ③音演→奇術〔欧米〕図
武当山 ⑩世地→フーペイ(省)
ウ・タント ビルマ[1909-1974] 第3代国連事務総長。軍縮・中国代表権問題など東西関係の調停に努力 ⑪政社 42 B図 →国際連合〔主要機関〈事務局〉〕
内あげ ⑬生活→和裁〔囲知識〕
『討入り』 ③音演→『仮名手本忠臣蔵』図
内祝 ⑬生活→贈答〔エチケット〈表書〉〕
内海 宮崎/宮崎市 ⑦日地 150 A
内海(村) 愛媛 ⑦日地 150 A
内浦 ⑧日地→能登半島 →能登半島国定公園
内浦 ⑦日地→神島
内浦(町) 石川 ⑦日地 150 A
内浦湾〈噴火湾〉 ⑦日地 150 A
呉健雄 [1923] ⑯物数→素粒子〔弱い相互作用の特性〕
打起し ⑬生活→弓道〔射法〕図
打欠き ⑬生活→囲碁〔囲用語〕
打掛 ⑤日史 108 C図 ②美術→小袖図 ⑬生活→結婚〔結婚式〈結婚衣装〉〕表 →服装〔日本〈日本独自〉〕図
裲襠 ⇨裲襠
内掛け ⑬生活→相撲〔図きまり手〕
内壁 ⑬生活→壁図
宇智川磨崖碑 ⑤日史 108 C ⑦日地→五条(市)
内管領 ⑤日史 108 C
袿 ⑤日史 108 D →五衣 ⑬生活→衿〔和服〈歴史〉〕 →袖〔和服〈変遷〉〕図 →服装〔日本〈日中融合〉〕
内着 ⑬生活→下着
打聞 ①文学→私撰集
『打聞集』 ①文学 75 D →『宇治拾遺物語』 →『今昔物語』 →説話文学 →日本文学〔古代〈平安時代〉〕
打衣 ⑤日史 108 D ⑬生活→服装〔日本〕
内蔵 ⑥日史→三蔵
内子(町) 愛媛 ⑦日地 150 A
内郷 福島/いわき市 ⑦日地 150 B →いわき(市)
内子線 ⑧日地→予讃本線
有智子内親王 [807-847] 平安前期の女流詩人。雑体の詩をよむほどの詩才をもつ弘仁期詩壇の偉材 ①文学 75 D
うちこみ ⑬生活→釣り〔囲用語〕
打込み ⑬生活→囲碁〔囲用語〕
打毀 ⑤日史 108 D図 →江戸時代〔産業・経済・貿易〈封建社会の動揺〉〕 ⑫経産 48 A →百姓一揆 ⑥日史→町人〔階層分化〕
ウチスズメ ⑳動物→スズメガ〔日本産〕
ウチスズメサムライコマユバチ ⑳動物→コマユバチ
討捨〔打捨〕 ⇨切捨御免
内反り ②美術→日本刀〔囲用語〈造込み・格好〉〕
うちそそ ①文学→短歌〔囲枕詞〕
打田(町) 和歌山 ⑦日地 150 B
内田五観 [1805-1882] 数学者。和田寧に入門，円理を学び『古今算鑑』を著す。明治の改暦事業にも参加 ⑯物数 37 A
内高 ⑤日史→石高
内田銀蔵 [1872-1919] 歴史学者・経済史学者，京大教授。日本近世史の体系を樹立 ⑤日史 109 B ⑫経産→社会経済史学〈262 C〉
内田クレペリン検査 ⑭医学→クレペリン検査
内田康哉 [1865-1936] 外交官。斎藤内閣外相として満州国承認・国際連盟脱退を断行 ⑤日史 109 C
ウチダザリガニ ⑳動物→ザリガニ
打出技法 ②美術→彫金図
打ち出し鍋 ⑬生活→鍋〔種類〈厚手鍋〉〕図
内田穣吉 ⑫経産→日本資本主義論争〈467 D〉
内田祥三 ②美術→大正建築〔中期および後期〕
内田清之助 [1884-1975] 鳥類学者。日本の応用鳥学・寄生昆虫学の発展に貢献 ⑳動物 91 C
ウチダツノマブユ ⑳動物→ブユ図
内田亨 [1897-1981] 動物学者。腔腸動物の系統など日本の動物分類系統学の開発に貢献 ⑳動物 91 C
内田吐夢 [1898-1970] 映画監督。傾向映画・風刺時代劇を確立，正統時代劇に重厚な演出をみせた ③音演 37 A
内田百閒 [1889-1971] 小説家・随筆家。人間の内面への深い凝視から生まれた随筆は独特の風格をかもす 作『冥途』 ①文学 75 D図 →エッセイ〔日本の随筆〕
内田勇三郎 [1894-1966] ⑭医学→クレペリン検査
内田良平 [1874-1937] 右翼運動指導者。黒竜会・大日本生産党・昭和神聖会などを創立 ⑤日史 109 C →黒竜会 ⑪政社 42 C図 →右翼〔日本〕 ⑥日史→大アジア主義
内田魯庵 [1868-1929] 評論家・小説家。硯友社文学を批判し，民権派の政治的功利主義に反対 作『くれの二十八日』 ①文学 76 A図 →社会小説 →ドストエフスキー, F →トルストイ, L ⑤日史 109 C
内臣 ⑤日史 109 C

『海ゆかば』 ③音演→軍歌 →信時潔
ウミユスリカ ⑳動物→ユスリカ
ウミユリ〔海百合〕 ⑱宇地 41 C →化石図 ⑳動物 107 B図 →棘皮動物
ウミユリ石灰岩 ⑳動物→ウミユリ
ウミリンゴ(類)〔海林檎〕 ⑱宇地 42 A
うむい ①文学→沖縄文学〔おもろ〕
ウムマ ④哲宗→教団 ⑪政社→イスラム教〔基本的性格〕
ウム料理 ⑩世地→トンガ(王国)図
ウメ〔梅〕 ⑲植物 71 A図表囲 →国花表 →薬用植物表 ⑬生活→梅干し
宇目(町) 大分 ⑦日地 154 D
梅市 ⑤日史→駿河国〔囲人国記〕
ウメイロ〔梅色〕 ⑳動物 107 C
ウメイロモドキ ⑳動物→タカサゴ
ウメウツギ〔梅空木〕 ⑲植物 73 A →ウツギ図
ウーメオー スウェデン ⑩世地 110 D
『梅枝』 ①文学→紫式部〔表源氏物語〕
『梅ヶ枝節』 ③音演→歌謡曲表
梅ヶ枝餅 ⑧日地→福岡(県)〔観光〕
ウメガサソウ〔梅笠草〕 ⑲植物 73 A図
梅ヶ島 ⑦日地→大谷崩 →静岡(市)
梅ヶ島温泉 ⑦日地→静岡(市)
梅ヶ島金山 ⑰科技→鉱山〔歴史〈日本〉〕
梅ケ谷藤太郎 ⑬生活→相撲〔表横綱〕図
梅ヶ畑 京都市/右京区 ⑦日地 154 D
『梅川忠兵衛』 ⇨『冥途の飛脚』
梅吉曾根 ⑱宇地→魚礁
埋め草〈サイレージ〉 ⑳動物→ウシ〔飼育〕
ウメケムシ〔梅毛虫〕 ⑳動物 107 C →オビカレハ →毛虫
梅謙次郎 〔1860-1910〕 明治の民法・商法学者。法典論争で商法典と民法典の断行を主張。のち民法・商法を立案 ⑤日史 112 C ⑪政社 43 C図 →民法〔民法典〕 ⑥日史→民法典論争
埋込みボルト ⑬生活→登山〔囲用語〕
梅棹忠夫 ⑫経産→情報化社会
梅崎春生 〔1915-1965〕 小説家。戦争ものや,人間心理の暗闘を軽妙な筆で描いた市井事ものがある ①文学 78 C図 →直木賞表
梅沢記念館 ②美術 680 B
梅沢浜夫 〔1914-〕 世界的な微生物学者。カナマイシン,カスガマイシンなどを発見。文化勲章受章 ⑭医学 207 D →抗生物質
梅沢彦太郎 ②美術→梅沢記念館〈680 B〉
梅酒 ⑬生活→果実酒
梅酢 ⑬生活→梅干し
梅田 大阪市/北区 ⑦日地 154 D →キタ
梅田雲浜 〔1815-1859〕 幕末の尊攘派志士。ペリー来航後尊攘運動に参画,安政の大獄で獄死 ④哲宗 56 D ⑤日史 112 C
埋忠明寿 〔1558-1631〕 安土桃山・江戸初期の山城の刀工・金工。鐔作りの名人 ②美術 62 C →金属工芸〔歴史〈日本〉〕 →鐔 →山城物 ⑤日史 113 A
埋立 ⑰科技 28 A →海上都市
埋め立て地 ⑧日地 1199 B ⑰科技→埋立
梅田伝次左衛門 〔1707-1788〕 ⑥日史→豊前国〔囲人国記〕
梅田英俊 ②美術→漫画〔日本〕
『梅忠』 ⇨『冥途の飛脚』
ウメチョッキリ ⑳動物→チョッキリゾウムシ
梅津・何応欽協定 ⑤日史 113 A →梅津美治郎 ⑪政社→日中戦争
梅漬け ⑬生活→梅干し
梅辻備後守 ⑤日史→壱岐国〔囲人国記〕
梅壺 ⑥日史→内裏〔囲殿舎〈凝華舎〉〕
梅津政景 〔1581-1633〕 江戸初期,佐竹藩の重臣。院内鉱山開発などに才を発揮 ⑤日史 113 A
梅津美治郎 〔1882-1949〕 陸軍軍人,関東軍司令官。のち参謀総長として太平洋戦争最終局面を指揮 ⑤日史 113 B →梅津・何応欽協定 ⑪政社→極東国際軍事裁判〔表被告人〕
『梅に鴉図』 ②美術→雲谷等顔図
梅肉エキス ⇨梅肉エキス
ウメノキゴケ ⑲植物 73 A →地衣類〔形態〕図
梅宮神社 ④哲宗→神社〔表〈官幣中社〉〕
『梅の由兵衛』 ⇨『隅田春妓女容性』
埋墓 ④哲宗→墓〔両墓制〕
梅鉢懸魚 ②美術→懸魚図
梅鉢御陵 ⑧日地→太子(町)《大阪》〔叡福寺〕
ウメバチソウ〔梅鉢草〕 ⑲植物 73 A図
ウメバチモ ⇨バイカモ
梅原龍三郎 〔1888-〕 洋画家。渡仏しルノアールに傾倒して指導を受ける。日本芸術院会員。文化勲章受章 ②美術 62 D図 ⑤日史 113 B
梅びしお ⑬生活→梅干し ⑲植物→ウメ〔調理〕
梅ぼし ③音演→民謡〔表〈佐賀〉〕
梅干し ⑬生活 44 B ⑲植物→ウメ〔調理〕
ウメボシイソギンチャク ⑳動物→イソギンチャク〔生殖と発生〕図
梅暮里谷峨 〔1750-1821〕 江戸後期の戯作者。真情描写を中心としたその洒落本は人情本への転生を示す ①文学 79 B →洒落本
梅村翠山 〔1839-1906〕 ②美術→石版画〔歴史〕
ウメムラセミタケ ⑲植物→セミタケ表
ウメモドキ〔梅擬〕 ⑲植物 73 B図
梅紋 ⑲植物→ウメ図
梅屋敷跡 ⑦日地→大田(区) →蒲田
『梅柳中宵月』 ③音演→『小袖曾我薊色縫』
梅羊かん ⑧日地→水戸(市)〔観光・文化〕
梅若忌 ⑧日地→東京(都)〔別年中行事〕
梅若実 明治から昭和の観世流シテ方能楽師。二世まである ⑤日史 113 B
羽毛 ⑳動物→鳥類〔形態〕図
ウモウゲイトウ ⑲植物→ケイトウ図
ウモウダニ〔羽毛蟎〕 ⑳動物 107 C →ダニ図
ウモレオウギガニ ⑳動物→カニ〔調理〕
『うもれ木』 ①文学→樋口一葉
『うもれ木』 ①文学→与謝野鉄幹
埋もれ木 ⑲植物 73 C →植物化石
『埋もれた港』 ①文学→ウンガレッティ, G
『右門捕物帖』 ①文学→佐々木味津三
『恭々しき娼婦』 ③音演→サルトル, J
烏薬 ⑲植物→イソヤマアオキ
宇山 ⑦日地→洲本(市)
烏山確斎 〔1819-1858〕 ⑤日史→安房国〔囲人国記〕
烏魚 ⇨カムルチー
ウュルツブルク 西ドイツ ⑩世地 110 D
ウーユワン〈五原〉 中国/内モンゴル自治区 ⑩世地 110 D
右翼 ⑪政社 43 D図 ⑤日史→右翼運動
右翼運動 ⑤日史 113 C表 →井上日召 →内田良平 →北一輝 →血盟団事件 →国体論 →黒竜会 →国家社会主義運動 →三月事件 →昭和維新 ⑪政社→右翼
右翼日和見主義 ⑪政社→オポチュニズム
浦 ⑦日地→壱岐〔集落〕
裏 ⑯物数 39 B →命題図
裏編み ⑬生活→編物〔編み方〈棒針編み〉〕図
烏来 ⑩世地→タイペイ図
浦臼(町) 北海道/空知支庁 ⑦日地 155 A
浦内川 ⑦日地→西表島
裏衿 ⑬生活→衿〔和服〈長着〉〕
『裏表先代萩』 ③音演→『先代萩』
浦賀 神奈川/横須賀市 ⑤日史 114 B図 ⑦日地 155 B ⑧日地→横須賀(市)
裏書 ⑫経産→有価証券
浦頭 ⑦日地→佐世保(市)
ウラカス(島) ⑱宇地→火山〔表活火山〕
浦賀水道 ⑦日地 155 B ⑧日地→東京湾
浦賀奉行 ⑤日史 114 B
裏カーボン紙 ⑰科技→感圧複写紙
浦上 長崎/長崎市 ⑦日地 155 C
浦上氏 播磨国浦上庄の在地領主。南北朝以降赤松氏の有力被官で,戦国初期主を追い権力を得たがのち滅亡 ⑤日史 114 C →宇喜多氏
浦上教徒事件 ⑤日史 114 C ⑥日史→プチジャン
浦上玉堂 〔1745-1820〕 江戸後期の南画家。絵を描き詩を賦し,あるいは琴を弾きながら各地を遊歴 ②美術 62 D図 →南画〔別 ⑤日史 114 D
浦上春琴 〔1779-1846〕 ②美術→浦上玉堂
浦上天主堂 ④哲宗 57 A ⑧日地→長崎(市)図
浦上村宗 〔?-1531〕 戦国大名。赤松氏の守護代で,のち赤松氏を追い播磨・備前・美作を支配 ⑤日史 114 D
浦上四番崩れ ⇨浦上教徒事件
浦川 静岡/佐久間町 ⑦日地 155 C
浦河(町) 北海道/日高支庁 ⑦日地 155 C
浦川原(村) 新潟 ⑦日地 155 C
ウラギク〔浦菊〕 ⑲植物 73 C
裏鬼門 ⑬生活→方位
ウラギンシジミ〔裏銀小灰蝶〕 ⑳動物 108 A
有楽流 ⑤日史→織田有楽
ウラクロシジミ ⑳動物→シジミチョウ図
ウラゲハクサンシャクナゲ ⑲植物→シャクナゲ
浦港 ⑧日地→奈留(町)
浦郷港 ⑧日地→西ノ島(町)
裏声 ⇨頭声
裏御光 ⑱宇地 42 A
裏ごし ⑬生活→調理器具〔成形器具〈こし器〉〕
裏五島 ⑧日地→日ノ島
ウラゴマダラシジミ ⑳動物→シジミチョウ図
浦佐 ⑧日地→大和(町)《新潟》
裏作 ⑧日地 1199 B →表作〈1201 B〉 →連作〈1238 B〉 ⑲植物→コムギ〔日本の麦作〕
裏地 ⑬生活→洋裁〔洋裁技術〕
ウラジオストク ソ連/ロシア ⑩世地 110 D図 →沿海地方 →シベリア〔交通〕
浦士別川 ⑧日地→濤沸湖
ウラシマソウ〔浦島草〕 ⑲植物 74 A →テンナンショウ図
浦島太郎 ①文学→御伽草子図 ⑤日史→浦島伝説 ⑧日地→寝覚ノ床 ⑱宇地→海洋〔民俗〈日本〉〕
ウラシマツツジ〔裏縞躑躅〕 ⑲植物 74 A図
浦島伝説 ⑤日史 114 D
ウラジーミル(一世) ロシア〔?-1015〕 ノブゴロドの公・キエフ大公。周辺民族の侵入を防ぎキリスト教を国教とした ⑨世史 84 A図 →ロシア正教
ウラジーミル ソ連/ロシア ⑩世地 111 A
『ウラジーミル』 ①文学→プロコポービッチ, P
ウラジーミル・スズダリ公国 ⑨世史→スズダリ →モスクワ大公国 →ロシア〔歴史〕
ウラジーミル大公国 ⑨世史→スズダリ
ウラジーミル派 ②美術→イコン〔ロシア〕
『ウラジーミル・マヤコフスキー』 ③音演→マヤコフスキー, V
ウラジーミル・モノマフ ⑨世史→キエフ公国
ウラジミレスク, T 〔1780-1821〕 ⑨世史→東欧史〔歴史〈民族の覚醒と独立〉〕
ウラジミロフカ ⑩世地→ユージノサハリンスク
ウラジーモフ, G ソ連〔1931-〕 小説家。「雪どけ」後の世代を代表する新鋭作家 ①文学 79 B
ウラシル ⑮化学 67 A図 →ヌクレオシド ⑲植物→核酸〔表構成成分〕
ウラジロ〔裏白〕 ⑲植物 74 A →シダ植物別
裏白 ⑱宇地→風〔表季題〈秋〉〕
ウラジロイチゴ ⑲植物→キイチゴ
ウラジロガシ〔裏白樫〕 ⑲植物 74 B →カシ図
ウラジロカンバ〔裏白樺〕〈ネコシデ〉 ⑲植物 74 B →カバノキ図
ウラジロタデ ⑲植物→オンタデ
ウラジロナナカマド〔裏白七竈〕 ⑲植物 74 B →ナナカマド
ウラジロノキ〔裏白木〕〈マメナシ〉 ⑲植物 74 B図
ウラジロハコヤナギ ⇨ハクヨウ
ウラジロフジウツギ ⑲植物→ブッドレア
ウラジロベッコウマイマイ ⑳動物→ベッコウマイマイ
ウラジロモミ〔裏白樅〕 ⑲植物 74 B →モミ図
ウラジロヨウラク〔裏白瓔珞〕 ⑲植物 74 C
ウラジロラフィア ⑲植物→ラフィアヤシ
ウラスギ〔裏杉〕 ⑲植物→スギ
ウーラストン ⇨ウォラストン, W
裏千家 ⑥日史→茶道〔大成〕 ⑬生活→茶道〔歴史〈三千家〉〕
浦添(市) 沖縄/沖縄島 ⑦日地 155 C
浦添ようどれ ⑤日史→沖縄(県) ⑦日地→浦添(市)
浦底 ⑧日地→豊玉(町)
裏大雪 ⇨石狩山地
裏丹沢 神奈川 ⑦日地 155 D
ウラッハ, L 〔1902-1957〕 ③音演→クラリネット
浦戸城跡 ⑦日地→高知(市)〔桂浜〕
浦富海岸 鳥取 ⑦日地 155 D →岩美(町) →山陰海岸国立公園図
浦戸湾 ⑦日地 155 D図
『ウラナ』 ①文学→クラシェフスキ, J
占い〈占ト〉 ④哲宗 57 B図 →『易経』 →陰陽道 →日本思想〔「清し」「さやけし」〕 →卜筮 →迷信 ⑬生活 44 C図 →方位 ⑤日史→亀卜 ⑥日史→大占
ウラナイカジカ科 ⑳動物→カジカ
占い師 ④哲宗→占い〔機能〕図
占い杖 ④哲宗→占い〔諸相〕
裏内庭 ⑭医学→灸
ウラナス ⑰科技→ウラン
ウラナミアカシジミ ⑳動物→アカシジミ →シジミチョウ図

エ
え

面〕 ⑧日地→高遠(町)
『江島生島』 ①文学→正宗白鳥
江島其磧 [1666/1735] 江戸中期の浮世草子作者。奇抜な趣向と巧みな構成が特色。役者評判記もある ㊕『傾城禁短気』 ①文学 82 C図 →浮世草子〔第2期〕 →八文字屋自笑 ⑤日史 120 D →浮世草子
家島諸島 ⇨家島諸島
江島節〈蜜柑取唄〉 ③音演→民謡〔表〈和歌山〉〕
エシャロッテ ⑲植物→シャロット
A重油 ⑮化学→重油 →石油〔石油製品〈重油〉〕
エシュレット格子 ⑯物数→回折格子〔種類〕図
エシュロン格子 ⑯物数→回折格子〔種類〕図
『廻諍論』 ④哲宗→竜樹
エジョフ ⑨世史→ゲー・ペー・ウー
江尻 静岡/清水市 ⑦日地 162 A →清水(市)
エジリン〈錐輝石〉 ⑱宇地 47 A →輝石 →鉱物別
エジリン輝石 ⑱宇地 47 A →輝石
恵心僧都 ⇨源信
A寝台 ⑰科技→客車〔営業用〈寝台車〉〕
恵信尼 [1182/1268?] 親鸞の妻。親鸞の越後流罪中に結ばれたといわれる ⑤日史 121 A →越後国〔囲人国記〕 ④哲宗→親鸞
エジンバラ イギリス ⑩世地 118 B図囲
エジンバラ国際演劇・音楽祭 ⑩世地→エジンバラ
エジンバラ城 ⑩世地→エジンバラ〔囲観光地〕図
エジンバラ植物園 ⑲植物→植物園表
エジンバラ動物園 ⑳動物→動物園〔表世界〕
恵心流 ④哲宗→天台宗〔日本天台〈展開〉〕
エース ⑬生活→カード →野球〔囲用語〕
SA〈突撃隊〉 ⑨世史→ナチス〔歴史〕 →レーム,E ⑪政社→ナチズム〔運動の特色〕
SI ⇨国際単位系
S-R理論〈刺激-反応理論〉 ④哲宗→心理学〔囲用語〕
SEATO ⇨東南アジア条約機構
SECAM方式 ⇨SECAM方式
SED ⇨社会主義統一党
SEV ⇨コメコン
SAE ⑮化学→エンジン油表
SHAPE ⇨欧州連合軍最高司令部
SHF ⑰科技→通信図
SH波 ⑱宇地→地震〔地震波〕
『SAO星図』 ⑱宇地→星図
SS〈親衛隊〉 ⑨世史→ゲシュタポ →ナチス〔内治・外交〕 ⑪政社→ナチズム〔支配〕
SS ⇨浮遊物質濃度
SSS ⑰科技→サイリスタ
SSSR ⇨ソビエト(連邦)
SST〈超音速輸送機〉 ⑰科技 39 B図 →ジェット・エンジン〔ラム・ジェット〕 →飛行機〔歴史〈現代〉〕 ⑫経産→航空機工業〔特質〕
SSDDS ⇨巨大スーパーマーケット
SSB ⇨単側帯波変調
SSB方法 ⑰科技→通信〔無線通信の種類〕
SSU ⑩世地→スーダン(民主共和国)〔政治・外交・軍事〕
SNA ⑫経産→国民経済計算〔統合〕
SNG〈合成天然ガス〉 ⑮化学→天然ガス
*SN*比 ⑯物数→雑音
SF〈空想科学小説〉 ①文学 83 A
『SFマガジン』 ①文学→SF
SMU ⇨サラリーマン・ユニオン
SL ⇨蒸気機関車
エス・エル〔SR〕〈社会革命党〉 ⑨世史 94 B →ナロードニキ →ロシア〔歴史〈帝政後期〉〕 →ロシア革命〔日露戦争と第一革命〕 ⑪政社→革命〔政治過程〕 →ナロードニキ主義 →ロシア革命〔第一革命〕
SLBM ⇨潜水艦発射弾道ミサイル
SOHC ⑰科技→自動車〔構造〕図
SOS ⑰科技→船〔囲用語〕
SOM ⇨SOM
エスカー ⑱宇地→氷河〔氷河地形と氷成堆積物〕図
エスカースベルイ,K [1783/1853] ②美術→北欧美術〔絵画と彫刻〕
ESCAP ⇨国連アジア太平洋経済社会委員会
エスカルゴ〈食用カタツムリ〉 ⑳動物 111 A →アフリカマイマイ →貝類〔人間生活との関係〕 →カタツムリ〔世界〕 ⑩世地→パリ〔図生活〕 ⑬生活→フランス料理〔珍味〕
エスカレーター ⑰科技 41 C図
エスキシェヒル トルコ ⑩世地 118 C
エスキース ②美術→下絵
s軌道 ⑮化学→原子軌道
エスキモー ⑧日地→イグルー〈1198 A〉 ⑩世地→アメリカ(州) →アラスカ(州) →カナダ〔図風俗・行事〕 →グリーンランド ⑬生活→民族衣装図 ⑱宇地→北極〔住民〕図
エスキモー犬 ⑳動物→イヌ〔犬種〈使役犬〉〕
エスキモーコシャクシギ ⑳動物→保護鳥〔表国際保護鳥〕
SQC〈統計的品質管理〉 ⑫経産→品質管理
エスキルスチュナ スウェーデン ⑩世地 118 D →イェルマレン(湖)
エスクィリーノの丘 ⑩世地→ローマ(市)〔囲観光地〈古代七つの丘〉〕
エスクデロ,V スペイン [1892] ③音演→スペイン舞踊〔現代〕
エスクード ⑫経産→通貨〔表〈通貨単位〉〕
エスクラバージュ ⑬生活→アクセサリー〔ネックレス〕
エス・ゲラシモフ ②美術→ロシア美術〔リアリズム路線の定着〕
エスコリアル宮殿 ⑨世史 94 B
エスコルタ通り ⑩世地→マニラ
江須崎 ⑦日地→枯木灘海岸
SCR ⑰科技→サイリスタ
SCN ⇨自立航法装置
SCOA ⑨世史→アフリカ(州)〔植民地時代〕
SGマーク ⑬生活→商品マーク〔国の規制〕図
S状結腸 ⑭医学→腸〔大腸〈結腸〉〕
エスタカデバーレス(岬) ⑩世地→オルテガル(岬)
SWAPO ⇨南西アフリカ人民機構
エスターライヒ ⇨オーストリア(共和国)
エスタン,L フランス [1911] 詩人・小説家・批評家。師G.ベルナノスの影響が強く,聖寵との出会いを求めて彷徨する魂の葛藤を描く ①文学 83 C
エスタンシア ⑨世史→アシエンダ
エスタンピー ③音演→舞曲
エースティ ⇨エストニア(共和国)
SDR〈特別引き出し権〉 ⑫経産 50 D →外貨 →国際金融市場〔囲用語〈計算単位〉〕 →国際通貨 →国際通貨基金〈IMF協定〉 →国際通貨問題〈200 A〉 →国際流動性問題
STH〈成長ホルモン〉 ⑳動物→ホルモン表
SDS ⇨社会主義ドイツ学生同盟
STL ⑰科技→ラジオ〔ラジオ局〈送信所〉〕
STOL ⇨STOL
STマーク ⑬生活→商品マーク〔国の規制〕図
STリンク ⑰科技→テレビジョン〔テレビ放送局〈送信設備〉〕
エステ家 イタリア 古い封建貴族の家柄。15世紀にフェラーラ公の称号を得,ルネサンスに寄与 ⑨世史 94 B →ルネサンス〔変質〕 ⑩世地→フェララ
エステティカ ④哲宗→美学
エステートカー ⑰科技→自動車〔種類〈ステーションワゴン〉〕図
エステート農業 ⇨プランテーション
エステル ⑮化学 73 A表 →アルコール〔反応性〕 →エステル化 →ヒドロキシ酸〔性質〕
エステル化 ⑮化学 75 A →エステル〔カルボン酸エステル〕 →鹸化
エステル価 ⑮化学 75 B →油脂〔化学的性質〕
『エステル記』 ④哲宗→聖書〔囲〈旧約〉〕
エステル基 ⑮化学→官能基表
エステル交換 ⑮化学→エステル化
『エステル書』 ①文学→聖書
エステルスンド スウェーデン ⑩世地 118 D
エステルハージ侯爵家 ③音演→ハイドン,F
s電子 ⑮化学→電子〔原子内の電子〕
エステンソロ ⇨パス・エステンソロ,V
エストニア(共和国) ソ連 ⑩世地 118 D →バルト三国
エストニア人 ⑩世地→ソビエト(連邦)〔図生活〕
エストラゴン〈タラゴン〉 ⑲植物 80 A ⑬生活→香辛料囲
エストラジオール ⑮化学→ステロイド〔性ホルモン〈卵胞ホルモン〉〕 →ステロイド〔図生合成〕
恵須取 ⇨ウグレゴルスク
STOL〈短滑走離着陸機〉 ⑰科技 42 B図 →航空機〔分類〕
エストレマドゥラ スペイン ⑩世地 119 B →スペイン〔経済・産業〈農牧業〉〕
エストレラ(山脈) ⑩世地→ポルトガル(共和国)〔自然〕
エストロゲン〈濾胞ホルモン〉 ⑭医学→肝臓〔機能〈分泌排出〉〕 ⑮化学→ステロイド〔性ホルモン〈卵胞ホルモン〉〕 →ホルモン〔分類〈卵巣〉〕 ⑳動物→ホルモン表
エストロン ⑮化学→ステロイド〔図生合成〕
エスノセントリズム〈自民族中心主義〉 ④哲宗→人類学〈313 C〉 ⑪政社→権威主義
S波 ⑯物数→横波 ⑱宇地→地震〔地震波〕図
エスパーニャ ⑨世史→ラテン・アメリカ〔征服前〈中世イベリア半島〉〕
エスピー,J アメリカ [1785/1860] 気象学者。雲の熱力学研究の先駆者。人工降雨計画を国会に提出 ⑱宇地 47 A
エスピア ⑩世地 119 B
SBR〈スチレン-ブタジエンゴム〉 ⑮化学 75 B →ゴム〔合成ゴム〕 →ゴム〔合成ゴム〈スチレン-ブタジエンゴム〉〕 →石油化学工業〔歴史〕
SPR ⇨スイミングプール型原子炉
エスピェア ⇨エスピア
SPO ⑨世史→オーストリア社会民主労働者党
sp混成軌道 ⑮化学→混成軌道
SPG ⇨福音宣教協会
エスピシェル(岬) ⑩世地→ポルトガル(共和国)図
SPD ⇨ドイツ社会民主党
エスピネル,V スペイン [1550/1624] 小説家・詩人・音楽家。自伝的要素の濃いピカレスク小説で知られる ①文学 83 C
SP法〈自然電位法〉 ⑰科技→物理探鉱〔電気探鉱〕
SPU ⑪政社→諜報活動
エスピリツサント(島) バヌアツ ⑩世地 119 B →ニューヘブリディーズ(諸島)
エスファハーン〈イスファハン〉 イラン ⑩世地 119 B →イラン〔略史〕図 ②美術→絨毯 ⑨世史→アッバース(一世)
SV ⇨セレクタビジョン
SV波 ⑱宇地→地震〔地震波〕
SV 40 ⑭医学→ウイルス〔癌とウイルス〕
エスプリ ①文学→文学〔囲用語〕 ④哲宗→フランス哲学〔人間哲学〕
『**エスプリ**』 ①文学 83 C →ベガン,A →ムーニエ
エスプリ・ヌーボー ①文学→前衛文学
Sブレーカー ⑰科技→ブレーカー
エスプレッソ ⑬生活→コーヒー〔入れ方〕
エスプロンセーダ,J スペイン [1808/1842] 詩人。スペインロマン主義を代表する詩人として声価を確立 ①文学 83 C
SPD ⇨ドイツ社会民主党
エスペランス岬沖海戦 ⑩世地→ガダルカナル(島)
エスペラント ①文学→ザメンホフ,L →エロシェンコ,V ⑨世史→ザメンホフ,L
エスペルペント ③音演→バーリェ=インクラン,R
エスマン,A フランス [1848/1913] 法史学・憲法学者。フランス法制史研究に業績を残す ⑪政社 48 A
エスメラルダス エクアドル ⑩世地 119 C
『エズラ記』 ④哲宗→聖書〔囲〈旧約〉〕
エスラージ ③音演→インド音楽〔楽器〕
エスリング(地方) ⑩世地→ルクセンブルク(大公国)〔自然・住民〕
エスロ〈人工衛星〉 ⑱宇地→宇宙開発〔世界各国の動向〕
ESRO ⇨欧州宇宙研究機構
『エセー』〈随想録〉 ①文学→モンテーニュ,M ⑨世史→モンテーニュ,M
エゼキエル ④哲宗→聖書〔囲人名〕
『エゼキエル書』 ④哲宗→聖書〔囲〈旧約〉〕
エセックス ⑨世史→ヘプターキー
エセックス伯 [1591/1646] ⑨世史→クロムウェル,O
絵瀬戸 ②美術→瀬戸
エセードラ広場 ⑩世地→ローマ(市)〔囲観光地〕
エセーニン,S ソ連 [1895/1925] 叙情詩人。自伝的叙情の語りに特色がある。欧米旅行後,文明に失望して縊死 ①文学 83 D →農民文学
エゼリン ⑭医学→自律神経
『エセルとジューリアス』 ③音演→クルチコフスキ,L
エセン〔也先〕 モンゴル [?/1454] 明代中期のオイラート部長。明に侵入して英宗を捕え,名実ともにモンゴルを支配 ⑨世史 94 C →于謙 →土木の変
エソ〔狗母魚,鱚〕 ⑳動物 111 A図
壊疽 ⑭医学 58 A →壊死 ⑳動物→ヘビ〔ヘビ毒〕

蝦夷 ⑤日史 121 A図 →アイヌ →阿倍比羅夫 →伊治呰麻呂 ⑥日史→鎮守府 →出羽柵 →箱館奉行 →俘囚の乱 →粛慎 →最上徳内
エゾアイナメ ⑳動物→アイナメ
エゾアカガエル ⑳動物→アカガエル
エゾアカネズミ ⑳動物→アカネズミ
エゾアカヤマアリ ⑳動物→アカアリ →アリ図表 →アリ塚図
エゾアジサイ ⑲植物→アジサイ〔仲間〕
エゾアワビ ⑳動物→アワビ
エゾイソアイナメ ⑳動物→イソアイナメ
エゾイタチ ⇨オコジョ
エゾイタヤ〈クロビイタヤ〉 ⑲植物→カエデ〔種類〕
エゾイナゴ ⑳動物→イナゴ
エゾイラクサ ⑲植物→イラクサ
エゾイワナ ⑳動物 111 A →アメマス →淡水魚
エゾウグイ ⑳動物→ウグイ
絵双紙〔絵草子〕〈草双紙〉 ⑤日史 122 A →草双紙 ①文学→草双紙図 →合巻
エゾエノキ ⑲植物→エノキ
エゾエンマコオロギ ⑳動物→エンマコオロギ
エゾオオカミ ⑳動物→オオカミ〔種類と形態〕
エゾオオバコ ⑲植物→オオバコ
エゾオコジョ ⑳動物→オコジョ
エゾガキ ⑳動物→カキ〔有用種〕 →マガキ
エゾカサネカンザシ ⑳動物→カンザシゴカイ
エゾカヤクグリ ⑳動物→カヤクグリ
蝦夷管領 ⑤日史→安東氏
エゾギク〔蝦夷菊〕 ⇨アスター
蝦夷経営 ⑥日史→出羽国 →徳丹城 →渟足柵
エゾコザクラ ⑲植物→ハクサンコザクラ
蝦夷山系 ⑧日地→山系〈1213 C〉
エゾサンショウウオ ⑳動物→サンショウウオ図
蝦夷三湊 ⑦日地→渡島半島 ⑧日地→函館(市)〔歴史〕
『蝦夷志』 ⑤日史→新井白石
エゾシオガマ ⑲植物→シオガマギク
エゾシカ ⑧日地→北海道図 ⑳動物→シカ〔分類〕
エゾシマフクロウ ⑳動物→天然記念物〔特異〕表
恵蘇宿 ⑦日地→朝倉(町)
『蝦夷浄瑠璃』 ①文学→アイヌ文学〔ユーカラ〕
エゾシロチョウ ⑳動物→シロチョウ
エゾシロネ ⑲植物→シロネ
エゾスカシユリ ⑲植物→ユリ〔分類〕別
エゾスジグロシロチョウ〈エゾスジグロチョウ〉 ⑳動物→スジグロシロチョウ →モンシロチョウ
エゾスミレ ⇨エイザンスミレ
蝦夷征伐 ⑤日史→坂上田村麻呂
エゾゼミ〔蝦夷蟬〕 ⑳動物 111 A →セミ〔日本の種類〕図
エゾセンニュウ ⑳動物→センニュウ図
『蝦夷草紙』 ⑥日史→最上徳内
エゾタヌキ ⑳動物→タヌキ
エゾタマキガイ ⑳動物→タマキガイ
エゾタンポポ ⑲植物→タンポポ
蝦夷地 ⑤日史 122 B図 →開拓使 ⑥日史→松前藩
エゾツガザクラ ⑲植物→高山植物〔別湿性〕
エゾツノマタ ⑲植物→ギンナンソウ
エゾトタテグモ ⑳動物→トタテグモ
エゾトミヨ ⑳動物→トゲウオ〔種類〕
エゾトンボ〔蝦夷蜻蛉〕 ⑳動物 111 B
エゾノウサギ〈ユキウサギ〉 ⑳動物→ノウサギ
エゾノウワミズザクラ ⑲植物→ウワミズザクラ
エゾノコリンゴ ⑲植物→リンゴ
エゾノタチツボスミレ ⑲植物→スミレ
蝦夷の乱 ⑤日史→アイヌ〔反乱〕
エゾバカガイ ⑳動物→バカガイ
エゾバフンウニ ⑳動物→ウニ〔種類〕 →バフンウニ
エゾハリタケ〔蝦夷針茸〕 ⑲植物 80 A →キノコ〔別担子菌類〕 →ハリタケ
エゾハルゼミ ⑳動物→セミ〔日本の種類〕
蝦夷蟠竜洞 ⑧日地→当麻(町)
エゾヒグマ ⑳動物→クマ《哺乳類》〔種類〕図
エゾヒナノウスツボ ⑲植物→ゴマノハグサ
蝦夷奉行 ⑤日史 122 D ⑥日史→箱館奉行 →松前奉行
蝦夷富士 ⇨羊蹄山
エゾベニシタバ ⑳動物→シタバガ
エゾホトケ ⑳動物→ドジョウ〔日本産〕
エゾボラ ⑳動物→貝類〔調理〕
エゾマツ〔蝦夷松〕 ⑲植物 80 A →球果植物 →トウヒ図 ⑬生活→木材表 ⑰科技→木材〔表針葉樹〕 ⑳動物→エゾライチョウ
エゾマテガイ ⑳動物→マテガイ
エゾミソハギ ⑲植物→ミソハギ
エゾムシクイ ⑳動物→ムシクイ図
エゾメシダ ⇨メシダ
エゾメバル ⑳動物→メバル
エゾヤチネズミ ⑳動物→ネズミ〔利用と害〕 →ヤチネズミ
エゾヤマザクラ ⇨オオヤマザクラ
エゾヤマドリ ⇨エゾライチョウ
エゾヤマハギ ⑲植物→ハギ
エゾヤマモモ ⇨ヤチヤナギ
エゾユズリハ ⑲植物→ユズリハ
エゾヨツメ ⑳動物→ディスプレー図
エゾライチョウ〔蝦夷雷鳥〕〈エゾヤマドリ〉 ⑳動物 111 B →ライチョウ
エゾリス ⑳動物→リス〔樹上性〕
エゾリンゴシジミ ⑳動物→カラスシジミ
エソロジー ⇨行動学
穢多 ⑤日史 122 D →江戸時代〔社会・風俗〈身分制度〉〕 ⑥日史→賤民 →弾左衛門 →長吏〔2〕 →非人 →平民 ⑪政社→部落問題
エータ(運河) ⑩世地→スウェーデン(王国)〔地方誌〈南部〉〕 →ベッテルン(湖) →ベーネルン(湖)
枝 ⑲植物 80 A
衣体 ④哲宗→法衣
エダイボヤギ ⑳動物→イボヤギ
エダウチホングウシダ ⑲植物→ホングウシダ
エダカビ ⑲植物→カビ〔生態〈菌生菌〉〕 →菌類〔分類〈藻菌類〉〕 →ケカビ
枝枯れ病 ⑲植物→病虫害〔表病害〕
枝がわり〈芽条突然変異〉 ⑲植物 80 B →キメラ
エダクラゲ〔枝水母〕 ⑳動物 111 B
枝毛 ⑬生活→美容〔髪〈頭皮・頭髪〉〕
絵凧 ⑬生活→郷土玩具〔種類〈凧〉〕
枝権兵衛 〔1809-1880〕 ⑤日史→加賀国〔囲人国記〕
江田島 広島 ⑦日地 162 A図 →江田島(町)
江田島(町) 広島 ⑦日地 162 A →江田島
エダシャク〔枝尺蠖蛾〕 ⑳動物 111 B
江田神社 ⑦日地→阿波岐ヶ原
エダヅノカモシカ ⇨プロングホーン
エダヅノレイヨウ ⇨プロングホーン
エタノール〈エチルアルコール，酒精〉 ⑮化学 75 B図 →アルコール →エチレン〔図誘導体の生産過程〕 →酒精 →無水物〔吸湿性液体〕 ⑭医学→アルコール中毒
エダフォサウルス ⑱宇地→恐竜〔進化〕図
江田船山古墳 ⑤日史 122 D ⑦日地→菊水(町)
枝文 ⑥日史→四度使
エタ・フランセ ⑨世史→ビシー政権
エタブリスゥール ⑫経産→時計工業〔生産形態〕表
AW ⇨オートワインダー
枝豆 ⑲植物 80 B →ダイズ
エダミドリイシ〔枝石蚕〕 ⑳動物 111 C →サンゴ図
エダム ⑬生活→チーズ〔種類〈ナチュラル〉〕図表
枝村 ⑧日地→子村〈1212 A〉
枝物 ⑲植物→切り花
エーターランド ⑩世地→スウェーデン(王国)〔地方誌〈南部〉〕
『エーダーラント伯』 ③音演→フリッシュ，M
エダルゴ・イ・コスティラ ④哲宗→巡礼〔囲巡礼地〈グアダルーペ〉〕
エタン ⑮化学 76 A →アルカン〔表異性体〕
慧端 ⑤日史→信濃国〔囲人国記〕
エチアンブル，R 〔1909〕 比較文学者・小説家。中近東・極東とフランスの思想交流に関心を注ぐ ①文学 83 D
エチェガライ，J 〔1832-1916〕 劇作家。技巧的で大衆性のある作品を得意とした。ノーベル賞受賞 ①文学 84 A ③音演 48 B →スペイン演劇〔19世紀〕
エチェベリア，R ⑩世地→メキシコ(合衆国)〔日本との関係〕
エチェベリーア ①文学→ラテンアメリカ文学〔独立から20世紀初葉まで〕
エチエンヌ・マルセルの乱 ⑫経産→農民戦争
エチオピア ⑩世地 119 C図 →アビシニア ⑪政社→エチオピア戦争
エチオピア(高原)〈アビシニア高原〉 ⑩世地→アビシニア →エチオピア〔地方誌〕
エチオピア ⇨シマガツオ
エチオピア王朝 ⑨世史→ヌビア
エチオピア・オーソドックス教会 ⑩世地→エチオピア〔社会・文化〕
エチオピア教会 ④哲宗→東方正教会
エチオピア区 ⑳動物→動物〔動物分布〕図表
エチオピア戦争 ⑨世史 94 C ⑪政社 48 B図 →ムッソリーニ，B
エチオピア・ソマリア紛争 ⑩世地→ソマリア(民主共和国)〔略史〕
エチオピア文字 ⑨世史→文字〔オリエントからの伝播〕
『エチオピア物語』 ①文学→ヘリオドロス
『エチカ』 ④哲宗→情念 →スピノザ，B図
愛知川 滋賀 ⑦日地 162 B
愛知川(町) 滋賀 ⑦日地 162 B
愛知川ダム ⑦日地→永源寺(町)
エチケット ⑪政社→慣習 ⑬生活→贈答
越後上杉氏 ⑤日史→上杉氏
エチゴウサギ〈トウホクノウサギ〉 ⑳動物→ウサギ〔野生〕 →ノウサギ図
越後交通 ⑧日地→新潟(県)〔交通〕
越後三山 ⇨魚沼三山
越後三山只見国定公園 ⑦日地 162 C →駒ヶ岳《新潟》 ⑧日地→只見川 →中ノ岳 →八海山
越後山脈 山形・福島・群馬・新潟 ⑦日地 162 C
越後獅子〈角兵衛獅子〉 ⑤日史 123 A図 ③音演→巷間芸能〔獅子舞〕 →獅子舞 ⑦日地→月潟(村)図
『越後獅子』 ③音演→『石橋』〔石橋物〕
『越後獅子の唄』 ③音演→歌謡曲表
越後上布 ②美術→上布 ⑦日地→柏崎(市) ⑧日地→新潟(県)〔文化〈文化財〉〕 ⑬生活→麻織物〔上布〕
越後線 ⑦日地→信越本線
越後騒動 ⑤日史 123 A ⑥日史→松平光長
越後縮 ⇨小千谷縮
越後国 新潟 ⑤日史 123 B囲 ⑦日地 162 D ⑧日地→新潟(県)
越後国一宮 ④哲宗→弥彦神社
越後の弁 ⇨大弐三位
越後平野 ⇨新潟平野
越後細カナリア ⑳動物→カナリア〔品種〕
越後屋 ⑤日史 123 C図 ⑥日史→三井高利 ⑫経産→三井財閥〔歴史〕 →三越(株)
越後湯沢温泉 ⑧日地→湯沢(町)
越後早生 ⑬生活→米〔種類〕
絵地図 ⑧日地→地図〈1224 C〉
越前(町) 福井 ⑦日地 162 D
越前雲丹 ⑳動物→バフンウニ
越前加賀海岸国定公園 石川・福井 ⑦日地 162 D図 ⑧日地→東尋坊
エチゼンガニ〔越前蟹〕 ⑧日地→福井(県)〔産業〈水産業〉〕 ⑳動物→ズワイガニ
越前鎌 ⑤日史→越前国
エチゼンクラゲ〔越前水母〕 ⑳動物 111 C
越前漆器 ⑦日地→鯖江(市)
越前製糸唄 ③音演→民謡〔表〈福井〉〕
越前騒動 ⑥日史→松平忠直
越前岳 ⑦日地→愛鷹山
越前竹人形 ⑧日地→福井(市)図
『越前竹人形』 ①文学→水上勉
越前中央山地 ⑧日地→福井(県)〔自然〈地勢〉〕
越前国 福井 ⑤日史 124 B囲 ⑦日地 162 D ⑧日地→福井(県)
越前藩 ⇨福井藩
越前奉書 ⑦日地→今立(町)図
越前彫 ⑤日史→鎌倉彫
越前松島 ⑦日地→陣ヶ岡台地
越前松島水族館 ⑧日地→福井(県)〔文化〕 ⑳動物→水族館〔表日本〕
越前松平氏 ⑥日史→松平氏
越前万歳 ③音演→万歳 ⑧日地→福井(県)〔文化〕
越前岬 福井 ⑦日地 162 D図
エチュード〈習作〉 ③音演 48 C ①文学→文学〔囲用語〕
慧澄 〔1780-1862〕 江戸後期の天台宗の僧。安楽律と四明学の隆盛に貢献し，以後の天台宗を方向づけた ④哲宗 64 A
エチル-*p*-アゾキシベンゾエート ⑮化学→液晶〔図液晶を示す化合物〕
エチルアミン ⑮化学→アミン〔表脂肪族アミン〕
エチルアルコール ⑮化学 76 A ⇨エタノール
エチルエーテル ⑮化学 76 A →アルコール〔アルコール工業〕 →エーテル表

エチル基　⑮化学→基表
エチルベンゼン　⑮化学 76 C　→エチレン〔図誘導体の生産過程〕→キシレン
エチルメチルエーテル　⇨メチルエチルエーテル
エチルメチルケトン　⑮化学→ケトン〔製法〕表
エチル硫酸　⇨硫酸水素エチル
エチレン　⑮化学 76 C図　→アルケン〔表物理的性質〕→石油化学工業〔エチレン系石油化学製品〕→ポリエチレン　⑲植物→植物ホルモン
エチレンイミン　⑮化学→複素環式化合物〔その他〕
エチレンオキシド〈酸化エチレン〉　⑮化学 77 A　→エーテル表　→石油化学工業〔エチレン系石油化学製品〕→複素環式化合物〔その他〕
エチレン基　⑮化学→基表
エチレングリコール　⑮化学 77 A　→アルコール〔表多価アルコール〕→エチレンオキシド
エチレンクロロヒドリン　⑮化学→エチレン〔図誘導体の生産過程〕→エチレンオキシド　⑲植物→発芽
エチレン系石油化学製品　⑮化学→石油化学工業
エチレン系炭化水素　⑮化学 77 B　⇨アルケン
エチレン結合　⑮化学→アルケン
エチレンジアミン四酢酸〈EDTA〉　⑮化学 77 B　→安定度定数
エチレンダイクロライド〈EDC〉　⑮化学→石油化学工業〔エチレン系石油化学製品〕
エチレンブラシレート　⑮化学→香料〔表合成香料〕
エチレン-プロピレンゴム　⑮化学→ゴム〔合成ゴム〕
恵鎮　［1281-1356］　①文学→『太平記』
エツ　⑳動物 111 C図
越　⑨世史→勾践
粤海関　⑨世史→広東十三行
エッカート, J　⑯物数→電子計算機〔歴史〕⑰科技→電子計算機〔計算機の歴史〕
エッカーマン, J　ドイツ［1792-1854］　詩人。晩年のゲーテを克明に叙述した『ゲーテとの対話』で知られる　①文学 84 A
エック, J　ドイツ［1486-1543］　神学者。インゴルシュタット大学教授。ライプツィヒ討論でルターと対決　④哲宗 64 A　⑨世史 94 D図　→ライプツィヒ討論
エック　⑬生活→旅行〔列車と乗車券〕
XX　②美術→アンソール, J
XO型　⑳動物→遺伝〔性の決定〕
X脚　⑭医学→あし〔脚〈外反膝〉〕
X接点　⑰科技→カメラ〔囲用語〈シンクロ接点〉〕
X線〈レントゲン線〉　⑮化学 77 C図　→γ線　→吸収スペクトル　⑯物数 48 C図　→電子殻　→レントゲン, W　⑭医学→放射線療法　→レントゲン検査　⑰科技→ラジオアイソトープ　⑱宇地→X線天体　⑳動物→突然変異
X線回折　⑮化学→結晶化学　→構造解析〔X線結晶構造解析法〕→ラウエ, M　⑯物数→X線　→中性子回折
エックス線技師　⑭医学→診療エックス線技師
X線結晶構造解析法　⑮化学→構造解析
X線検査　⑭医学→胃癌〔診断〕
X線顕微鏡　⑯物数→X線図
X線光電子分光学〈ESCA〉　⑮化学→X線
X線撮影装置　⑭医学→レントゲン検査
X線撮影法　⑭医学→レントゲン検査〈612 A〉
X線写真〈レントゲン写真〉　⑭医学→レントゲン検査〔透視診断とX線写真による診断〕図　⑰科技→ラジオグラフィー
X染色体　⑲植物 80 B　→染色体〔性染色体〕⑳動物→遺伝〔性の決定〕→性〔決定〕
X線診断　⇨レントゲン検査
X線深部治療　⑭医学→放射線療法図
X線単位　⑯物数→X線
X線天体　⑱宇地 47 A図表　→銀河電波〔6〕→さそり座X1
X線トポグラフ　⑯物数→X線
X線微量分析　⑯物数→X線
X線分光器　⑯物数→分光器〔その他〕
エックスタイン, A　⑫経産→比較経済体制論
X単位　⑯物数→X線
『Xの悲劇』　①文学→クイーン, E
『Xへの献辞』　①文学→『荒地』
XY型　⑳動物→遺伝〔性の決定〕
XY記録計　⑰科技→計器〔記録計器〕
X-Yプロッター　⑰科技→電子計算機〔入出力装置〕
エックハルト, M　ドイツ［1260*-1327*］　神秘主義者。中世末期の神秘主義思想に影響を残し, その源流となった　④哲宗 64 A　→神秘主義〔諸相〕→スコラ哲学〔末期〕
エックマン, O　［1865-1902］　②美術→アール・ヌーボー
『エッケハルト』　①文学→シェッフェル, J
謁見の間　⑨世史→ペルセポリス
江津湖　熊本/熊本市　⑦日地 163 A　→熊本平野
エッサ　⑱宇地→人工衛星〔種類〈気象衛星〉〕表
エッジ(島)　⑩世地→スバールバル(諸島)
エッジ　⑬生活→スキー〔囲用語〕
エッジウッド, T　イギリス［1771-1805］　②美術→写真〔発生〕
エッシェンハイマー塔　⑩世地→フランクフルトアムマイン
エッジヒルの戦い　⑨世史→クロムウェル, O
エッジボール　⑬生活→卓球〔囲用語〕
越州　⇨越後国　⇨越前国　⇨越中国
越州窯　②美術→官窯　→竜泉窯
エッジワース, F　イギリス［1845-1926］　経済学者・統計学者。数学の手法で経済学の分野に独自の業績を残す　⑫経産 51 A図　→契約曲線　→代替財・補完財〔定義〕
エッジワース, M　イギリス［1767-1849］　小説家。アイルランドに住み, 地主の没落の歴史を描き地方小説の道を開いた　①文学 84 A
エッジワース=パレートの定義　⑫経産→代替財・補完財〔定義〕
エッジワース方式物価指数　⑫経産→エッジワース, F　→物価指数
越人　⇨越智越人
エッセイ　①文学 84 A
エッセイスト〈随筆家〉　①文学→ペンクラブ
エッセネ派　④哲宗→ユダヤ教〔歴史〕
エッセルベ　⑰科技→エンジン〔歴史〈51 A〉〕→ロータリー・エンジン
エッセン　西ドイツ　⑩世地 122 A
エッセンス　⑬生活→香辛料〔種類〕→食品添加物〔着香料〕
『閲蔵知津』　④哲宗→智旭
『エッダ』　①文学 84 C図　→口承文芸　→スノッリ・スツルソン　→北欧文学〔アイスランド文学〕⑱宇地→海洋〔民俗〈西洋〉〕
エッタールアルプス　⑩世地→アルプス〔地域区分〈東部〉〕
『悦ちゃん』　①文学→獅子文六
越中おわら節　③音演→民謡〔表〈富山〉〕⑧日地→八尾(町)
越中島　東京/江東区　⑦日地 163 A
越中富山の薬　⑧日地→富山(市)図
越中国　富山　⑤日史 124 C囲　⑦日地 163 A　⑧日地→富山(県)
越中ふんどし〈えっちゅう〉　⑬生活→下着〔日本〈ふんどし〉〕
エッチング　②美術→銅版画〔技法〕→レンブラント　⑰科技→印刷〔凹版印刷〈彫刻凹版〉〕
エッディストーン灯台　⑰科技→スミートン, J図
越冬ツバメ　⑳動物→留鳥
越南〈ベトナム〉　⑨世史→阮朝
越南光復会　⑨世史→ファン・ボイチャウ
越南独立同盟　⇨ベトミン
越年生植物〈越年草〉　⑲植物 80 B　→草
粤匪　⇨太平天国
『閲微草堂筆記』　①文学→紀昀　→伝奇
暍病　⑭医学→熱射病
エッフェル, A　フランス［1832-1923］　工学者・橋梁技術者。鉄骨橋梁の耐風設計法を確立。エッフェル塔を建造　②美術 71 D図　⑰科技 42 C図
エッフェル, J　②美術→漫画〔今日の漫画家たち〕
エッフェル塔　②美術→エッフェル, A　⑩世地→パリ〔囲観光地〕図　⑰科技→エッフェル, A図　→鉄骨構造〔歴史〕
越美山地　⑧日地→両白山地
越美南線　⑧日地→高山本線
越美北線　⑧日地→北陸本線
越盟　⇨ベトミン
エッメン　オランダ　⑩世地 122 A
閲覧謄写権　⑪政社→弁護人〈527 B〉
江釣子(村)　岩手　⑦日地 163 A
AD　⇨オートドッファ
A.D.　⑨世史→紀年法〔キリスト紀元〕
ATR　⇨新型転換炉
ADR　⇨アメリカ預託証券
ATR管　⑰科技→放電管
ATS〈自動列車停止装置〉　⑰科技 43 A図表　→地下鉄〔設備〕
ATS〈応用技術衛星〉　⑱宇地 48 A　→人工衛星〔種類〈技術開発衛星〉〕図表
ADF〈自動方向探知機〉　⑰科技 44 B　→航法〔空中航法〈電波航法〉〕
ATO〈自動列車運転装置〉　⑰科技→地下鉄〔設備〕
エティオン　⑩世地→シャルルビルメジエール
エティカ　④哲宗→倫理学
エディカーラ動物群　⑳動物→動物化石〔先カンブリア時代〕
ATC　⇨航空交通管制
ATC〈自動列車制御装置〉　⑰科技 44 B図　→CTC　→新幹線〔東海道新幹線〕
エディシオン・ド・ミニュイ社〈深夜双書社〉　①文学→ヌーボー・ロマン
ATCトランスポンダ　⑰科技→空港〔着陸誘導施設〈GCA〉〕
ATT〈アメリカ電話電信会社〉　⑫経産 51 B　→ITT　→ウェスタン・エレクトリック
エディトリアル・デザイン　②美術→グラフィック・デザイン
ATP　⇨アデノシン三リン酸
ATP　⑰科技→ATS
ADP　⇨アデノシン二リン酸
エディプス・コンプレックス　④哲宗→オイディプス　→精神分析〔イド・自我・超自我〕→フロイト, S　⑪政社→フロイト主義　⑭医学→コンプレックス　→性欲〔目的〕
A-D変換装置　⑰科技→電子計算機〔応用〕→変調回路〔パルス符号変調〕
エティモフ　②美術→漫画〔今日の漫画家たち〕
ADU　⇨重ウラン酸アンモニウム
エディルネ〈アドリアノープル〉　トルコ　⑩世地 122 A　→アドリアノープル　⑨世史→アドリアノープルの和
エディントン, A　イギリス［1882-1944］　天文学者・理論物理学者。恒星の理論的研究, 相対性理論の研究に業績が多い　⑯物数 47 C　⑱宇地 48 A図　→アインシュタイン, A　→天文学〔内容と基礎〈天体物理学〉〕
エディントン　⑨世史→アルフレッド(大王)
エテシアイ　⑩世地→エーゲ(海)
エテジアン　⑱宇地→風〔表局地風〕
エーテボリ　スウェーデン　⑩世地 122 A　→スウェーデン(王国)図
エーテボリ植物園　⑲植物→植物園表
エーテル　⑮化学 78 A図表　→エチルエーテル　→石油エーテル　→メチルエーテル　⑭医学→麻酔〔全身麻酔〈吸入麻酔剤〉〕
エーテル《仮想物質》　⑯物数→真空〔本質的真空〕→相対性理論囲　⑯物数→場〔場と真空〕→光　→ヘルツの実験　→マイケルソン-モーリーの実験　→ローレンツ, H
エーテル基　⑮化学→官能基表
エーテル結合　⑮化学→エーテル
エーデルフェルト, A　フィンランド［1854-1905］　②美術→北欧美術〔絵画と彫刻〕
エーテル麻酔　⑭医学→麻酔〔歴史〕→モートン, W〈560 D〉
エーデルマン, J　⑭医学→ノーベル生理学=医学賞図表
エーデルワイス〈セイヨウウスユキソウ〉　⑲植物 80 B　→ウスユキソウ図　→国花図表　⑩世地→アルプス〔植物〕⑬生活→登山〔囲用語〕
エーデルワイス号　⑰科技→鉄道別
エテン　⇨エチレン
エーデン, F　オランダ［1860-1932］　詩人・小説家。生産協同村ワルデンをつくったが財政難で挫折　①文学 84 D
エデンの園　④哲宗→聖書〔囲人名〈アダムとイブ〉〕
『エデンの東』　①文学→スタインベック, J　③音演→映画〔トーキー〈第5期〉〕別　→カザン, E
エーデンブルク　⇨ショプロン
越天楽今様　③音演→今様
干支　⇨干支　⇨十干十二支
江戸　⑤日史 124 C図　→江戸時代〔産業・経済・貿易〈交通・都市〉〕⑥日史→徳川家康〔関東統治〕→両都両港開市開港問題　⑧日地→東京(都)
穢土　④哲宗→浄土
エード　⑬生活→ソフトドリンクス
江戸姉様　⑬生活→千代紙図
エドアブラザメ　⑳動物→カグラザメ
エトアール　③音演→バレエ〔囲用語〕
エトアール凱旋門　②美術→凱旋門図
エトアール広場　⑩世地→パリ〔囲観光地〕⑰科技

→都市計画〔地区設計・都市設計の歴史〕図
エドウィン　⑩世地→エジンバラ
江戸浮世絵派　⑥日史→菱川師宣
江戸氏　武蔵江戸氏は桓武平氏秩父氏の流れ。常陸江戸氏は藤原秀郷の流れ　⑤日史126 D図　→江戸〔変遷〕
江藤淳　[1933]　評論家。実証的な漱石論であり文明論でもある『漱石とその時代』で絶賛を博す　①文学85 A　→日本文学〔近代〈戦後文学〉〕
江藤新平　[1834-1874]　明治初期の政治家。司法制度の近代化に尽力。征韓論を唱えて下野し，佐賀の乱をおこす　⑤日史127 A図　→佐賀の乱　⑥日史→民法
江戸唄・上方唄　③音演48 C
『江戸生艶気樺焼』　①文学→山東京伝図　⑤日史→山東京伝
江戸開城　⑤日史127 B図　⑥日史→パークス，H　→戊辰戦争
江戸学問所　⇨昌平黌
エドガー・トムソン製鋼所　⑫経産→カーネギー，A
江戸狩野　⑤日史→狩野派
江戸ヶ浜　岩手/種市町　⑦日地163 A
『江戸から東京へ』　①文学→矢田挿雲
江戸家老〈留守居〉　⑥日史→大名屋敷
江土川　⑧日地→余呉湖
江戸川　関東地方　⑦日地163 A　⑧日地→利根運河　→利根川図
江戸川　⑦日地→神田川　→神田上水
江戸川(区)　東京　⑦日地163 B
江戸為替　⑤日史→為替　⑫経産→為替〔歴史〕
江戸川乱歩　[1894-1965]　推理作家。日本の創作推理小説の先駆者。筆名はエドガ・アラン・ポーによる　作『心理試験』　①文学85 A図　→『新青年』(日本)　→推理小説〔日本〕
江戸川乱歩賞　①文学→江戸川乱歩
江戸ギク〈抱えギク〉　⑲植物→キク〔分類〕
絵解き講唱　①文学→変文　④哲宗→変文
エトキシ基　⑮化学→基表
江戸協約　⇨改税約書
江戸小唄　⇨小唄
江戸小咄　①文学→桜川慈悲成　→咄本
江戸小紋　②美術→型染め図　→小紋図　⑬生活→和服〔囲和服地〈染物〉〕
絵所〔画所〕　②美術71 D　⑤日史127 B
江戸崎入　⑦日地→霞ヶ浦
ＥＤＳＡＣ　⑫経産→電子計算機〔開発〕　⑯物数→電子計算機〔歴史〕
江戸三座　③音演48 C　⑤日史→市村座　⑥日史→中村座　→森田座
江戸三大改革　⑤日史→寛政の改革　→享保の改革　⑥日史→天保の改革
江戸三大飢饉　⑤日史→享保の飢饉　⑥日史→天保の飢饉　→天明の飢饉
江戸三大道場　⑤日史→斎藤弥九郎　⑥日史→千葉周作　→桃井春蔵
江戸参府旅行　⑤日史127 C
江戸時代〈徳川時代〉　⑤日史127 C図表　→江戸幕府　→近世　→士農工商　⑥日史→徳川氏　→幕藩体制　→幕末　→武断政治・文治政治　→封建社会〔近世〕
江戸時代の美術　②美術72 A図
江戸趣味納涼大会　⑧日地→東京(都)〔別年中行事〕
江戸城〈千代田城〉　⑤日史135 D図　→江戸開城　→太田道灌　②美術→城表　⑧日地→千代田(区)　→東京(都)〔歴史〈中世〉〕
『江戸城明渡』　①文学→高安月郊
『江戸城明渡し』　①文学→藤森成吉
『江戸城総攻』　③音演→真山青果図
エートス　①文学→文学〔囲用語〈ペーソス〉〕
江戸相撲　⑬生活→相撲〔歴史〕
江戸草子　⇨草双紙
『江戸育お祭佐七』　③音演→『心謎解色糸』
江戸太夫河東〈十寸見河東〉　[1684-1725]　③音演→河東節
江戸千代紙　⑬生活→千代紙図
江戸っ子　⑧日地→東京(都)〔生活〕
江戸褄　⑬生活→和服〔囲和服地〈模様〉〕
江戸十組問屋　⑥日史→十組問屋
エトナ(山)　イタリア　⑩世地122 B　→シチリア(島)　→地中海火山帯　⑱宇地→火山〔表活火山〕図
江戸長唄　③音演→江戸唄・上方唄
『エトナ山上のエンペドクリーズ』　①文学→アーノルド，M
江戸端唄　⇨端唄
江戸秤座　⑥日史→度量衡〔江戸時代〕
江戸幕府〈徳川幕府〉　⑤日史142 B図表　→一国一城令　→江戸時代〔概観〈ヨーロッパとの比較〉〕　→御用金　⑥日史→大老　→倒幕運動　→徳川氏　→幕藩体制　→幕末　→藩〔藩制〕　→評定所　→武家諸法度　→老中　→若年寄
ＥＤＶＡＣ　⑫経産→電子計算機〔開発〕　⑯物数→計算機　→電子計算機〔歴史〕　⑰科技→電子計算機〔歴史〕
江戸払　⑤日史143 D　⑥日史→追放
『江戸ハルマ』　⑤日史→稲村三伯　⑥日史→『ハルマ字書』
『江戸繁昌記』　⑤日史143 D
エドヒガン〈江戸彼岸〉〈ウバヒガン〉　⑲植物80 C　→サクラ〔野性種〕別
江戸肥前掾　③音演→人形浄瑠璃〔歴史〈古浄瑠璃〉〕
エトピリカ　⑳動物111 C　→ウミスズメ図　→鳥類〔形態〈くちばし〉〕
江戸文学　①文学→日本文学〔近世〕　→人情本
エートベッシュ，R　[1848-1919]　⑯物数→運動の法則〔質量・力の定義〕　→慣性　→質量　→重力理論〔アインシュタインの理論〕
『エートホーフ』　①文学→ナーブル，F
江戸堀　⑦日地→大阪(市)〔自然〕
江戸町　⑥日史→吉原〔町政〕
江戸町会所　⑤日史143 D　→七分金積立
江戸町年寄　⑤日史143 D　→江戸〔町方支配〕
江戸町名主　⑤日史144 C
江戸町奉行　⇨町奉行
エドマン反応　⑮化学→タンパク質〔加水分解〕
『江戸名所記』　⑤日史144 C　①文学→浅井了意図
『江戸名所図会』　①文学→斎藤月岑　⑤日史144 D　⑥日史→名所図会
『江戸名所図会拾遺』　①文学→斎藤月岑
『江戸名所物語』　⇨『江戸名所記』
恵曇　島根/鹿島町　⑦日地163 C
『江戸物語』　⇨『慶長見聞集』
絵鞆半島　⑧日地→地球岬
絵鞆岬　北海道/室蘭市　⑦日地163 C
エドモモ　⑲植物→モモ〔花モモ〕
エドモントン　カナダ　⑩世地122 B
江戸屋　③音演→中村雀右衛門
エードリアン，E　イギリス[1889]　生理学者。神経の伝導速度の法則である悉無律の研究を行う。ノーベル賞受賞　⑭医学305 A図　→神経　→脳波　⑳動物→全か無かの法則
エトルスキ人　⇨エトルリア人
エトルスク式オーダー　②美術→オーダー
エトルタ(海岸)　⑩世地→フランス(共和国)〔図自然〕
エトルリア建築　⑰科技→アーチ構造〔歴史〕
エトルリア人　⑨世史94 D　→イタリア(共和国)〔ローマ帝国と中世国家〕　②美術→エトルリア美術
『エトルリアの壺』　①文学→メリメ，P
エトルリア美術　②美術73 D図　→イタリア美術〔古典古代〕
エトロフ(島)　北海道　⑩世地122 B　⇨択捉島
エトロフウミスズメ　⑳動物→ウミスズメ図
択捉島　北海道　⑤日史144 D　⑦日地163 C　⑥日史→千島列島　→最上徳内　⑧日地→近藤重蔵〈1212 C〉　⑩世地→エトロフ(島)　⑪政社→北方領土
エドワーズ　⑫経産→競争〔有効競争〕
エドワーズ，J　アメリカ[1703-1758]　牧師・神学者。詩人的素質を示す多くの覚え書きや神学論文を残した　①文学85 C　→アメリカ文学〔植民地時代〕　④哲宗→アメリカ哲学〔前史〕
江戸煩　⇨脚気
エドワード(一世)　イギリス[1239-1307]　プランタジネット朝の王。シモン・ド・モンフォールの乱で奮戦，模範議会を召集　⑨世史95 B　→模範議会
エドワード(三世)　イギリス[1312-1377]　プランタジネット朝の王。百年戦争をひきおこし，毛織物工業を振興　⑨世史95 C　→百年戦争〔原因〕
エドワード(四世)　イギリス　⑨世史→ばら戦争　→ヨーク家
エドワード(六世)　イギリス[1537-1553]　テューダー朝の王。父ヘンリー八世の宗教政策を受け継いだが16歳で病死　⑨世史95 D図　→イギリス国教会　④哲宗→イギリス国教会
エドワード(七世)　イギリス[1841-1910]　サックス・コーバーグ・ゴーク朝〈ウインザー朝〉の王。ビクトリア女王の長男。60歳で即位　⑨世史95 D図　→ハノーバー朝
エドワード(黒太子)　イギリス[1330-1376]　プリンス・オブ・ウェールズ。エドワード三世の長子。百年戦争で騎士道の華とうたわれた　⑨世史95 D図
エドワード(懺悔王)　イギリス[1002*-1066]　アングロ・サクソン系の最後の王。信仰厚くウェストミンスター寺院を建立　⑨世史96 A図　→イギリス(史)〔アングロ・サクソン〕
エドワード(湖)　ウガンダ・ザイール　⑩世地122 B
エドワール，W　フランス　⑪政社→文化人類学
えな〔胞衣〕　⑭医学→出産〔正常分娩〈後産期〉〕
江名　福島/いわき市　⑦日地163 D
恵那(市)　岐阜　⑦日地163 D
エナガ〔柄長〕　⑳動物112 A図　→なわ張り
恵那峡　岐阜　⑦日地163 D図　→恵那(市)
恵那峡県立自然公園　⑦日地→木曾川　⑧日地→中津川(市)
恵那山　岐阜　⑦日地164 B　⑧日地→中津川(市)
恵那山トンネル　⑧日地→中央自動車道　⑰科技→トンネル表
恵那文楽　⑧日地→中津川(市)
江浪峠　⑧日地→千種川
榎並屋勘左衛門　[*-1643]　⑤日史→和泉国〔囲人国記〕
エナメル　⑮化学79 A　→塗料〔分類〈油性塗料〉〕　②美術→七宝　⑬生活→美容〔手足〈マニキュアとペディキュア〉〕
エナメル革　⑬生活→革〔なめし革〈種類〉〕
エナメル質　⑭医学→歯〔人〈構造〉〕図　→むし歯〔う蝕〈病理〉〕図
エナメルドグラス　②美術→イスラム美術〔ザンギー朝とアイユーブ朝〕　→ガラス工芸〔技法〈窯彩〉〕図
エナメルペイント　⇨エナメル
エナメルリムーバー　⑬生活→美容〔手足〈マニキュアとペディキュア〉〕
エナリオルニス　⑳動物→鳥類〔進化〈化石鳥〉〕
江奈湾　⑦日地→剣崎図
『淮南鴻烈』　⇨『淮南子』
『淮南子』　④哲宗64 B　⑨世史96 A
エナンジャウン　ビルマ　⑩世地122 C
エナン帽　⑬生活→帽子〔種類〕図
エニ〔ＥＮＩ〕〈炭化水素公社〉　⑫経産51 B　→イタリア経済事情〔国家持株会社組織〕　→西欧経済事情〔特色〕　⑩世地→イタリア(共和国)〔経済・産業〈経済〉〕
ＥＮＩＡＣ　⑯物数→電子計算機〔歴史〕図　⑰科技→オートメーション〔ビジネス・オートメーション〕　→記憶装置　→計算機〔歴史〕　→電子計算機〔計算機の歴史〕図
エニウェトク(環礁)　⑩世地→マーシャル(諸島)
エニシダ　⑲植物80 C図　→虫媒花
エニセイ(川)　ソ連　⑩世地122 C　→アンガラ(川)　→ソビエト(連邦)〔図産業〕
エニセイ碑文　⑨世史→突厥碑文
恵日　[*-*]　飛鳥時代の医家。留学生として遣随使に同行して医方を学ぶ　⑤日史144 D　⑭医学→医師〔歴史〕
慧日　中国[680-748]　唐代の僧。中国浄土教慈愍流の開祖。インド仏跡の参拝は有名　④哲宗64 C　→浄土教〔中国〕
恵庭(市)　北海道　⑦日地164 B
恵庭裁判　⑪政社48 B図
恵庭岳　北海道　⑦日地164 B図
ＮＩＲＡ　⇨全国産業復興法
n-アルカン　⑮化学→アルカン
ＮＲ曲線　⑰科技→音響設計〔音と人間〕図
ＮＥＦＡ　⇨アルナチャルプラデシ
ＮＨＫ　⇨日本放送協会
ＮＨＫ放送センター　⑦日地→渋谷(区)　⑧日地→東京(都)〔図文化〕
ＮＨＫ放送博物館　⑰科技678 B　→ラジオ図　⑧日地→東京(都)表
ＮＨＫホール　③音演→オルガン図　→劇場〔日本〈昭和〉〕図
ＮＡＡＣＰ　⇨全国有色人種向上協会
ＮＡＳＡ　⇨ＮＡＳＡ
ＮＡＴＯ　⇨北大西洋条約機構
ＮＡＤＰ　⑭医学→ワールブルク，O〈32 D〉　⑲植物→光合成〔機構〕
ＮＮＳＳ航法　⇨航海衛星航法
ＮＮＰ　⇨国民純生産
ＮＡＰＦ　⇨ナップ
ＮＦ　⑫経産→規格

円派(えんぱ)<三条仏所>　②美術 90 B図　→仏所

袁枚(えんばい)　中国[1716-1797]　清代の詩人・文人。性霊説を唱え,性情の流露するままにうたう　①文学 93 C

円背<脊柱後彎>　⑭医学→背(せ)〔脊柱彎曲異常〕

エンパイア・スタイル　⑬生活→服装〔西洋〕図

エンパイアステートビル　⑩世地→ニューヨーク〔囲市街案内〕図

エンバク〔燕麦〕<オートムギ,カラスムギ>　⑲植物 91 B図　→カラスムギ　→ムギ　⑬生活→麦表

鉛白　⑮化学 93 A　→顔料〔表無機顔料〕　→炭素〔化合物<炭酸塩>〕　⑰科技→鉛〔性質と用途〕

エンハーモニック転調　③音演→転調

鉛版　⑰科技 51 C　→印刷〔凸版印刷<活版印刷>〕

円盤投げ　⑬生活→陸上競技〔種目〕図

円板ダイナモ　⑱宇地→ダイナモ理論図

円板録音　⑰科技→録音図

円板録音機<ディスクカッター>　⑰科技→録音〔円板録音〕

円板録画　⑰科技→録画

塩ビ　⇨塩化ビニル

エンビタイランチョウ　⑳動物→タイランチョウ

鉛筆　⑬生活 55 B表

エンピツビャクシン〔鉛筆柏槇〕　⑲植物 91 B

燕尾服　⑬生活→社交ダンス　→礼服〔洋装〕

艶美様式　③音演→ロココ音楽

塩ビレザー　⑬生活→革(かわ)〔皮革代替品<歴史>〕表

円舞　⑳動物→ミツバチ〔情報交換〕図

炎風　⑱宇地→風〔表季題<夏>〕

塩風害　⇨塩害

円舞曲　⇨ワルツ

円福寺《千葉》　④哲宗→坂東三十三所表

円福寺<達磨寺>　⑧日地→洞ヶ峠(ほらがとうげ)　→八幡(市)(やわた)

エンプソン,W　イギリス[1906-]　批評家・詩人。「新批評家」たちに影響を与えた分析批評と難解な詩風で著名　①文学 93 D

『艶婦伝』　①文学→好色文学〔西洋〕　→ブラントーム,P

えんぶり　③音演→田植踊図　⑧日地→東北地方〔民俗〕　→八戸(市)図

エンブロイダリー　⇨刺繡(ししゅう)

円墳　②美術→古墳〔形〕図　⑤日史→古墳〔かたち〕図別

塩分　⑱宇地 49 B

塩分検定　⑱宇地→塩分

円分体　⑯物数→体〔例〕

掩蔽(えんぺい)　⑱宇地 49 C　→月《天体》〔観測〕

延坪島(えんぺい)　⇨ヨンピョン(島)

遠別(町)　北海道/留萌支庁　⑦日地 171 C

エンペドクレス　ギリシア[前490*-430*]　哲学者。医者としても名高く,また弁論術の発明者ともされる　④哲宗 70 D　→ギリシア哲学〔前古典期〕　⑮化学 93 A　→化学〔歴史<起原>〕　→元素〔元素観の変遷〕　→水〔科学史〕　⑨世史→科学史〔ギリシア・ローマ<イオニア時代>〕

エンペラー　⇨皇帝

エンペラーオオフウチョウ　⑳動物→ゴクラクチョウ図

エンペラータマリン　⑳動物→マーモセット図

エンペラーペンギン　⇨コウテイペンギン

エンペルガー　ドイツ　⑰科技→鉄筋コンクリート構造

エンベロップ抗原<F I 抗原>　⑭医学→病原体〔病原細菌<ペスト菌>〕

円偏光　⑯物数 63 B　→偏光

円ベンド　⑰科技→管継手(くだつぎて)図

円偏波　⑯物数→電磁波〔合成と偏り〕図

塩法　⑨世史 100 C

遠方信号機　⑰科技→鉄道信号〔信号機〕図

『遠方の人』　①文学→森山啓

『遠方の姫』　③音演→ロスタン,E

塩剝　⇨塩素酸カリウム

エンボッシングモールス電信機　⑰科技→電信〔推移<モールス信号>〕図

エンポリウム　⑨世史→市(いち)〔ヨーロッパ〕

円本(えんぽん)　⑤日史 150 A　①文学→山本実彦

閻魔<ヤマ>　④哲宗 71 A図　→地獄　→仏教〔囲用語<餓鬼>〕

円満井座　⑤日史→金春座(こんぱる)

えんま市　⑦日地→柏崎(市)

閻魔川(えんま)　⑧日地→滑川(なめかわ)

エンマコオロギ〔閻魔蟋蟀〕　⑳動物 116 A　→コオロギ図

エンマコムギ　⑲植物→コムギ図

閻魔大王　⇨閻魔

『閻魔の趙』　①文学→洪深(こうしん)

エンマムシ〔閻魔虫〕　⑳動物 116 A

円満殿　②美術→庭園囲

円明寺　⑦日地→四国地方〔別四国八十八か所〕

延命寺　⑦日地→河内長野(市)(かわちながの)

延命伝承　④哲宗→多賀信仰

塩味料　⑫経産→調味料製造業

煙霧　⑱宇地 49 C　→天気　→もや

煙霧質　⑮化学→コロイド

円明園　②美術→庭園〔中国〕

延命冠者　③音演→能〔図能面〕

エンメイギク〔延命菊〕　⇨デージー

延命公園　⑧日地→八日市(市)

延明寺　⑦日地→四国地方〔別四国八十八か所〕

延命の部屋　⑭医学→ＩＣＵ

捐輸　⇨捐納(えんのう)

鉛釉　⑮化学→うわぐすり〔表分類〕

『園遊会』　①文学→マンスフィールド,K

円融寺　④哲宗→秩父三十三所表

円融天皇　[959-991]　第64代天皇。村上天皇の第5皇子。冷泉天皇の皇太弟となり即位　⑤日史 150 A

円融念仏　④哲宗→融通念仏宗

遠洋漁業　⑧日地 1201 A　⑤日史→漁業〔近代〕　⑫経産→水産業〔日本〕

遠洋漁船　⑰科技→漁船〔特徴〕

遠洋航路　⑰科技→航路

遠洋底引網　⑫経産→水産業〔図漁業別生産量構成比〕

遠洋トロール船　⑰科技→船〔種類〕図

エンライト,D　イギリス[1920-]　詩人・評論家・大学教授。日本でも教え,日本の生活に題材を得た作品を書く　①文学 93 D

『遠来の客たち』　①文学→曾野綾子

捐釐(えんり)　⑨世史→釐金税(りきん)

円理　⑯物数 63 B　→安島直円(あじまなおのぶ)　→和算　→和田寧(やすし)　⑥日史→和算

エンリキーヨ(湖)　⑩世地→ドミニカ(共和国)〔自然〕

エンリケ(航海王)<ヘンリ航海王>　ポルトガル[1394-1460]　王子。アフリカ西海岸の航路探検事業に尽くし大航海時代を開幕　⑨世史 100 D　→アビス家　→大航海時代図　⑰科技→海図〔沿革〕　→帆船〔歴史〕

エンリケシュ,A　⑨世史→スペイン・ポルトガル(史)〔国土の征服<ポルトガルの成立>〕

閻立本(えんりっぽん)　中国[*-673]　唐代の画家。宮廷画師として迎えられ,人物画に優れた　②美術 90 C図

延暦交替式　⑤日史→交替式

延暦寺(えんりゃくじ)　②美術 90 C図　④哲宗 71 B図　→最澄〔大乗戒壇独立〕　→天海　→天台宗〔日本天台〕　⑤日史 150 A　→織田信長〔天下統一〕　→強訴(ごうそ)　→神輿・神木(しんよ)　日史→天台座主　→堂衆　→南都北嶺　⑧日地→比叡山図

『延暦僧録』　⑤日史 150 C

遠慮　⑤日史 150 C

エンリル神　⑨世史→ニップール

円鱗　⑳動物→鱗(うろこ)　→魚類〔形態〕図

塩類　⑮化学→塩　⑱宇地→栄養塩類　→塩分

エンレイソウ〔延齢草〕　⑲植物 91 B図

円礫　⑱宇地→礫

円劣密勝　④哲宗→円珍

オ

お

尾　⑳動物 116 B　→鳥類〔形態〕図

ＯＡＳ(オーアーエス)　⑪政社→フランス政治事情〔復権のゴーリズム〕

オアカムロ　⑳動物→アジ〔近縁種〕図

雄阿寒岳　北海道　⑦日地 171 D　→阿寒湖図　⑧日地→雌阿寒岳

オアシス　⑧日地 1201 A　⑱宇地 50 A図　→泉〔利用〕　→砂漠〔生活,利用〕図　⑲植物 92 A　→植生〔気候要因〕　⑨世史→オアシス都市国家　⑩世地→サハラ(砂漠)図

オアシス都市国家　⑨世史 101 A　→都市〔西アジア〕　⑫経産→シルク・ロード

オアシス・ルート　⑨世史→東西交渉史〔三つのルート〕　⑫経産→シルク・ロード

オアーズ(川)　フランス　⑩世地 127 A

オアハーカ　メキシコ　⑩世地 127 A

オアハーカ(州)　⑩世地→メキシコ(合衆国)〔地方誌<南部太平洋岸>〕

オアフ(島)　アメリカ/ハワイ　⑩世地 127 A　→パールハーバー　→ハワイ(州)〔自然〕　→ワイキキ

オアフス　⇨オーフス

オアヘダム　⑰科技→ダム表

ＯＡＰＥＣ(オアペック)　⇨アラブ石油輸出国機構

小天温泉　⑧日地→天水(町)(てんすい)

ＯＲ<オペレーションズ・リサーチ>　⑯物数 63 C　→計画数学　⑪政社→管理　→サイバネティクス　⑫経産→意思決定論　→インダストリアル・エンジニアリング　→オペレーションズ・リサーチ

ＯＲ回路　⑯物数→接続《電気》

甥　⑬生活→親族

『老い』　①文学→ボーボアール,S　④哲宗→ボーボアール,S

ＯＥＥＣ　⇨欧州経済協力機構

御家騒動(おいえ)　⑤日史 150 D

御家の芸　⑤日史→家元(いえもと)

お家流　⇨青蓮院流(しょうれんいん)

追落し　⑬生活→囲碁〔囲用語〕図

追掛節　③音演→民謡〔表<鳥取>〕

老神温泉　⑧日地→利根(村)

オイカリプトール　⑮化学→シネオール

オイカワ〔追河〕　⑳動物 116 B図　→ハヤ　⑬生活→釣り〔種類<川釣り>〕

及川奥郎　[1896-1970]　天文学者。天体位置の精密測定に従事し,小惑星7個を発見　⑱宇地 50 A

オイクメネ　④哲宗→エキュメニカル運動

御池　⑧日地→大船山(たいせん)

雄池　⑧日地→剣山国定公園(つるぎさん)

御池通(おいけ)　京都市　⑦日地 171 D

オイゲノール　⑮化学→バニリン　⑲植物→チョウジ

オイケン,R　ドイツ[1846-1926]　哲学者。理想主義的な生の哲学を擁護し発展させた。ノーベル文学賞受賞　④哲宗 72 D　→生の哲学

オイケン,W　ドイツ[1891-1950]　経済学者。国家は自由な市場を経済的独占から擁護すべきであると唱えた　⑫経産 54 C　→近代経済学〔第二の危機〕

オイゲン,F　オーストリア[1663-1736]　将軍・政治家。パリに生まれ敵国オーストリア軍に入る　⑨世史 101 B

追崎　⑧日地→姫島

生石高原(おいし)　和歌山　⑦日地 171 D

ＯＥＣＤ　⇨経済協力開発機構

生石鼻　兵庫　⑦日地 172 A

大淀(おいず)　三重/明和町　⑦日地 172 A

オイスタヒイ管　⑭医学→耳〔中耳<耳管>〕

オイストラフ,D　ソ連[1908-1974]　バイオリニスト。正確な技巧と低音をよく鳴らす音色で有名　③音演 63 A　→バイオリン図

オイストラフ,I　ソ連[1931-]　バイオリニスト。D.オイストラフの子。親子で二重奏の演奏活動を行う　③音演 63 A

追澄祭　⑧日地→羽咋(市)(はくい)〔気多神社〕

奥石神社(おいそ)　⑦日地→安土(町)〔老蘇森〕

老蘇森　⑦日地→安土(町)

追出久離　⑤日史→勘当
オイタナジー　⇨安楽死
オイダリン　⑮化学→テルペン〔セスキテルペン系化合物〈環状〉〕
お市の方　⇨小谷の方
おいちょかぶ　⑬生活→花札〔遊び方〕
追いつき算　⑯物数→算術〔旅人算〕図
『追いつめる』　①文学→直木賞表
オイディプス　④哲宗72 D図　→ギリシア・ローマ神話〔囲主要神名〕　②美術→スフィンクス　⑨世史→スフィンクス
『オイディプス王』　①文学→戯曲〔歴史〕　→ソフォクレス　③音演→ギリシア演劇〔悲劇〕　→新古典主義音楽　→ストラビンスキー,I　→ソフォクレス
オイディプス・コンプレックス　⇨エディプス・コンプレックス
『オイディプスとスフィンクス』　①文学→ホフマンスタール,H
おいとこ節　③音演→民謡〔表〈宮城〉〕
オイドブ,C　［1917–1963］　劇作家。民族の古い伝統を物語る口承文芸から取材し多くの戯曲をつくる　①文学94 A
オイナ　①文学→アイヌ文学〔ユーカラ〕
生犬穴　⑦日地→上野(村)《群馬》
お犬奉行　⑤日史→生類憐みの令
狼河原　⑧日地→東和(町)《宮城》
『笈の小文』　①文学→松尾芭蕉〈607 D〉
老ノ坂　京都　⑦日地172 A
老ノ坂峠〈大枝峠〉　⑦日地→大江山
『老のすさみ』　①文学→宗祇　→連歌〔歴史〕
オイペン　⑩世地127 A
『老松』　③音演63 B　①文学→世阿弥
生実藩　⑤日史→下総国
お忌祭　⑦日地→島根(県)〔文化〕　⑧日地→大社(町)〔出雲大社〕
オイミャコン　ソ連　⑩世地127 A　→シベリア〔自然〕　⑧日地→寒極〈1205 B〉
小祖谷　⑦日地→祖谷　→腕山
オイラー,L　［1707–1783］　数学者。巧妙な解析学の技術を用いて多方面に活躍　⑯物数64 A図　→位相幾何学　→運動の法則　→円周率囲　→解析学〔18世紀〕　→幾何学〔近代〈非ユークリッド幾何〉〕　→数学パズル
オイラー=ケルピン,H　［1873–1964］　ドイツ生まれの生化学者。糖発酵とこれに作用する酵素の研究が有名。ノーベル賞受賞　⑮化学93 B
オイラー周期　⑱宇地→地軸
オイラー章動　⑱宇地→章動
奥入瀬川　青森　⑦日地172 B図図　⑧日地→十和田湖
奥入瀬渓流　⑦日地→奥入瀬川図　⑧日地→十和田八幡平国立公園
オイラート〔瓦剌〕〈カルムク人〉　⑨世史101 B　→エセン　→北アジア〔モンゴル高原〕　→ジュンガル　→北虜南倭　⑳動物→ヒツジ〔民俗〕
オイラーの図式　⑯物数64 B　→ベンの図式
オイラーの多面体定理　⇨オイラーの定理
オイラーの定数　⑯物数→超越数
オイラーの定理　⑯物数64 B　→位相《トポロジー》　→幾何学〔近代〈非ユークリッド幾何〉〕　→多面体囲
オイラーの標数　⑯物数→幾何学〔近代〈非ユークリッド幾何〉〕　→曲面〔コンパクト曲面の位相的分類〕
オイラーの流体運動方程式　⑯物数→応用数学〔流体力学〕
『おいらは町のなんでも屋』　③音演→ロッシーニ,G〔セビリャの理髪師〕
オイラー=ポアンカレの公式　⑯物数→ホモロジー群〔ベッチ数〕
オイラー方陣　⑯物数→魔方陣
オイラー=ラグランジュの微分方程式　⑯物数→測地線
花魁　⑤日史151 B図　⑥日史→遊廓〔娼家と遊女〕　→遊女〔発生と変遷〕
オイランソウ〔花魁草〕　⑲植物→園芸〔図フラワーカレンダー〈1〉〕→フロックス
花魁道中　⑤日史→花魁
おいり　⑬生活→郷土料理〔囲〈鳥取〉〕
オイル　⑮化学93 B　→油〔鉱油〕
オイルガス　⑮化学93 B　→都市ガス〔製造〕表
オイルカラー　⇨油溶染料
オイルサンド　⇨タールサンド
オイルシャンプー　⑬生活→美容〔髪〈シャンプーとリンス〉〕　⑭医学→毛〔衛生〕
オイル・ショック　⑫経産→インフレーション　→景気変動〔景気調整政策〕
オイル・ダラー　⑫経産54 C　→ホット・マネー
オイル・ダンパー　⇨油圧ダンパー
オイル・バス　⑭医学→乳児〔入浴〕
オイルバード　⇨アブラヨタカ
オイルフェンス　⑰科技→消防艇
オイル焼き　⑬生活→焼き物
オイル・リバー　⑩世地→ニジェール(川)
オイレン酸アンモニウム　⑮化学→液晶〔図液晶を示す化合物〕
オイレンベルク,H　［1876–1949］　劇作家・小説家。ロマン主義とシェークスピアの影響を受け,幻想味豊かな戯曲を残す　①文学94 A
オイローパ・センター　⑩世地→ベルリン〔西ベルリン〕
お岩　③音演→『東海道四谷怪談』
追分　⑧日地1201 A
追分(町)　北海道/胆振支庁　⑦日地172 B
追分絵　⇨大津絵
追分の分去れ　⑦日地→軽井沢(町)〔観光〕図
追分節　③音演63 C　⑧日地→追分〈1201 A〉
オーイングス,N　［1903– ］　②美術→SOM
王　⑨世史101 B　→皇帝　→天子　⑤日史→皇室　⑪政社→皇室〔皇族〕
応　⑨世史→燕雲十六州
凰　⑳動物→動物〔囲想像上の動物〕
欧亜地震帯　⑧日地→地震帯〈1214 C〉
王安国　中国　④哲宗→王念孫
応安新式〈連歌新式〉　⑤日史151 C　①文学→二条良基　→連歌〔歴史〕
王安石　中国［1021–1086］　北宋の政治家。富国強兵策として新法を次々と実施。唐宋八大家の一人　①文学94 A　⑨世史101 D図　→神宗　→宋《趙氏》〔政治史〕　④哲宗→宋学〈348 A〉
王維　中国［701*–761*］　唐代の画家・詩人。五言詩に優れ,墨画を楽しんだ。南宗画派の開山ともいわれる　①文学→絶句　②美術91 B　→南宗画　⑨世史→唐〔文化〕
横位　⑭医学→妊娠〔胎位〕
オウィディウス,P　［前43–後18*］　ローマの詩人。言葉はひとりでに詩になった,と自賛した天成の詩人　作『転身譜』　①文学94 C図　→エレジー　→ラテン文学〔黄金時代〕　④哲宗→ギリシア・ローマ神話〔変身神話〕　⑨世史→オビディウス,P
王位排除法案　⑨世史→ホイッグ党《イギリス》
押印　⑬生活→印鑑
王引之　中国［1766–1834］　清代中期の訓詁学者。王念孫の長子で,『康熙字典』の重修に功があった　④哲宗73 B図　→王念孫　→訓詁学
奥羽　⑥日史→出羽国
奥羽越列藩同盟　⑤日史151 C　→会津戦争　→雲井竜雄　⑥日史→松平容保
奥羽三関　⑦日地→温海(町)〔念珠関跡〕　→白河(市)〔白河関跡〕
奥羽山脈　東北地方　⑦日地172 C
奥羽三名湯　⑦日地→秋保(町)〔秋保温泉〕
王禹偁　中国［954–1001］　北宋の詩人。平淡で知性的・社会性に富み,宋詩の先駆と称された　①文学95 A
『王右丞集』　①文学→王維
奥羽地方　⇨東北地方
奥羽鎮撫使　⑤日史→奥羽越列藩同盟
奥羽本線　⑦日地172 C
オウウヨウラク〔奥羽瓔珞〕　⑳動物116 C　→貝類〔人間生活との関係〕
『応永記』　①文学→軍記物語　→戦記
応永条約　⑤日史151 D
応永の外寇　⑤日史151 D　⑥日史→室町時代〔外交〈日朝関係〉〕　⑨世史→世宗
応永の大成　④哲宗→高野山〈193 D〉　→宥快
応永の乱〈堺の乱〉　⑤日史152 A　→和泉国　→大内義弘　⑥日史→畠山満家　→室町時代〔政治〈将軍と守護大名〉〕
応益原則　⑫経産→租税〔囲用語〕
オーウェル,G　［1903–1950］　小説家・評論家。社会主義を信じ階級意識と先鋭に格闘し,克服する道を模索　作『動物農場』　①文学95 B図
王淵　中国［*　*］　元代の画家。山水画で一家をなし,花鳥画も巧み　②美術91 B
汪琬　中国［1624–1690］　清代の文人。経書臭の強いその文は「儒者の文」と評された　①文学95 C　→侯方域
黄鉛〈クロムイエロー〉　⑮化学93 C　→顔料〔表無機顔料〕　⑰科技→印刷〔印刷インキ〕
オーウェン,R　［1771–1858］　社会改良家。工場法の制定を叫び,共産村や労働交換所を先駆的に試み失敗　⑨世史102 B図　→空想的社会主義　→産業革命〔労働者の環境〈社会問題〉〕　④哲宗→オーエン,R図　⑪政社→共産主義〔思想と運動〕　→社会主義〔空想的社会主義〕　⑫経産→オーエン,R図　→社会主義思想〈266 A〉
黄鉛鉱　⇨モリブデン鉛鉱
オウエンス,B　③音演→カントリー・アンド・ウエスタン図
オーウェンスタンリー(山脈)　⑩世地127 B
『鶯鶯伝』〈会真記〉　①文学→元稹　→『西廂記』　→伝奇
王応麟　中国［1223–1296］　④哲宗→経学　→『困学紀聞』
相可　⑧日地→多気(町)
桜花　⑱宇地→ロケット〔日本〕
黄化　⑲植物92 A
王闓運　中国［1832–1916］　清代の文人。六朝の艶麗の風がみられる。駢文作家として名高い　①文学95 C
鷗外記念館　⑧日地→東京(都)〔文学散歩〕
王嘉胤　中国　⑨世史→抗租抗糧
相賀浦　⑦日地→五ヶ所湾
王学　⇨陽明学
黄鶴山樵　⇨王蒙
横隔膜　⑭医学60 A　→筋肉〔骨格筋〈胸部〉〕　→しゃっくり　→脾臓
横隔膜ヘルニア　⑭医学→横隔膜　→新生児〔疾患〈先天性横隔膜ヘルニア〉〕
欧化主義　⑤日史152 A　⑥日史→鹿鳴館
桜花賞　⑬生活→競馬〔競走の種類〕
欧化政策　⑥日史→文明開化
王ヶ頭　長野　⑦日地172 D　→美ヶ原
王翰　中国［687*–726*］　唐の詩人。好んで辺塞をうたい,「涼州詞」が有名　①文学95 C
王鑑　中国［1598–1677］　明末清初の画家。廉州の大守となり王廉州と称された　②美術91 B
皇侃　中国　④哲宗→経学
王願堅　中国［1930*– ］　小説家。解放軍出身の業余作家で,短編に優れる　①文学95 C
『王冠の守護者』　①文学→アルニム,A
『王冠のために』　①文学→コペー,F
王翬　中国［1632–1717］　明末清初の画家。端正で雅趣がある水墨山水画で知られる　②美術91 B図　⑨世史→扶余
扇　②美術91 C図　→扇面画　⑤日史152 B　⑥日史→投扇興
仰木　⑦日地→大津(市)〔観光〕
黄耆　⑭医学→生薬
オウギアイサ　⑳動物→アイサ　→カモ〔分類〈アイサ〉〕
扇合　⑥日史→物合
扇会式〈那智の火祭〉　⑧日地→那智勝浦(町)〔熊野那智大社〕
オウギカズラ〔扇蔓〕　⑲植物92 B図
扇形　⇨扇形
オウギガニ〔扇蟹〕　⑳動物116 C図　→カニ〔形態,分類〕図
扇ヶ原　⑦日地→鹿追(町)
扇ヶ谷　神奈川/鎌倉市　⑦日地172 D
扇谷家　⑤日史→上杉氏
扇谷山　⑧日地→松島《宮城》
オウギグモ　⑳動物→ウズグモ
扇沢　⑦日地→大町トンネル
王羲之　中国［307*–365*］　東晋時代の書家。楷・行・草の三体を完成し,書聖と仰がれる　①文学95 D　②美術93 B図　→書〔中国書道史〈書道の確立〉〕　⑤日史152 B　⑨世史→魏晋南北朝〔思想・文化〕　⑬生活→書道〔手本〕
扇島　⑦日地→十六島
奥儀書　⇨ウパニシャッド
汪喜孫　中国　①文学→汪中
扇田　秋田/比内町　⑦日地172 D
仰木峠　⑧日地→琵琶湖国定公園
扇ノ山　兵庫・鳥取　⑦日地172 D
オウギハクジラ　⇨オオギハクジラ
オウギバショウ〔扇芭蕉〕〈タビビトノキ〉　⑲植物92 B図　→国花図表
オウギバショウモドキ　⑲植物92C

扇町屋 ⑦日地→入間(市)
王祇祭 ③音演→黒川能
扇森神社〈狐頭稲荷〉 ⑧日地→竹田(市)
オウギヤシ〔扇椰子〕 ⑲植物92 C図
扇山 山梨 ⑦日地172 D →大月(市)
応急手当 ⑭医学60 B図 →ガス中毒 →救急処置 →凍傷図 →やけど
『王宮の花火の音楽』 ③音演→ヘンデル,G
応挙 ⇨円山応挙
黄玉 ⇨トパズ
応挙寺〈大乗寺〉 ⑦日地→香住(町)
オウギワシ ⑳動物→ワシ
王欽若 ⑨世史→『冊府元亀』
黄菌毛 ⑭医学→毛
応供 ⇨阿羅漢
逢隈川 ⇨阿武隈川
翁倉山 ⑦日地→北上(町)
王景弘 中国 ⑨世史→明〔政治史〕
甌穴〈ポットホール,かめ穴〉 ⑱宇地50 B図 ⑧日地→ポットホール〈1233 D〉
黄血塩 ⑮化学93 C ⇨フェロシアン化カリウム
王家の谷 ⑨世史102 B図 →セティ(一世) →ツタンカーメン〔王墓の発掘〕 ②美術→エジプト美術〔建築〕 →墳墓〔エジプト〕図
王建 中国[*-830*] 中唐の詩人。困窮した人民の同調者として楽府詩で鋭い現実批判を行う ①文学95 D
王建 朝鮮[877-943] 高麗王朝の始祖。開城に都をおき,新羅を服属させ後百済を滅ぼし全土を統一 ⑨世史102 C →高麗 →後百済 ⑤日史→高麗
王原祁 中国[1642-1715] 明・清代の画家。佩文斎書画譜の編輯総裁官となる ②美術93 C
王玄策 ⑨世史→ハルシャ
王献之 中国[344-386] ②美術→王羲之
王建章 中国[*.] 明代の画家。山水・花鳥をよくし,作品は日本に早くから伝来 ②美術93 D
王倹城 ⑨世史→衛氏朝鮮 →朝鮮〔古朝鮮〕
王権神授説〈帝王神権説〉 ⑨世史102 C →フィルマー,R →ボシュエ,J ⑪政社50 A図 →神政政治 →絶対主義〔権力機構〕 ④哲宗→国家哲学〔古代・中世〕 →祭政一致 →ボシュエ,J ⑫経産→絶対主義〔本質〕
『王権論』 ⑪政社→王権神授説〔フランス〕
応其 ⇨木食応其
王黄州 ⇨王禹偁
王侯スキタイ ⑨世史→スキタイ
王国 ⑧日地1201 A
横谷 ⑧日地1201 A →縦谷〈1215 C〉 →先行川〈1220 C〉 ⑱宇地→谷〔分類〕
王国維 中国[1877-1927] 清末・民国初の詩人・歴史学者。体系的芸術論『紅楼夢評論』や甲骨学研究で著名。一時京都に住む ①文学95 D ④哲宗73 C ⑨世史103 A →殷墟 →甲骨文字
応其寺 ⑧日地→橋本(市)
黄芩 ⑭医学→生薬図 ⑲植物→コガネバナ
『黄金』 ③音演→ヒューストン,J
黄金演説 ⑨世史→エリザベス(一世)
オウゴンカズラ〔黄金葛〕 ⑲植物92 C図
黄金郷〈エルドラード〉 ⑱宇地→金〔囲ゴールドラッシュ〕
『黄金狂時代』 ③音演→映画〔無声映画〈第2期〉〕別 →チャップリン,C
『黄金時代』 ③音演→ブニュエル,L
オウゴンシノブヒバ〈ニッコウヒバ〉 ⑲植物→サワラ
オウゴンスギ ⑲植物→スギ
黄金世紀〈シグロ・デ・オロ〉 ①文学→スペイン文学 →ルネサンス文学 ③音演→スペイン演劇 →ベーガ,L
オウゴンタマイブキ ⑲植物→イブキ
『黄金断片集』 ①文学→サクリング,J
オウゴンチョウ〔黄金鳥〕 ⑳動物116 C
黄金伝説 ⇨聖者伝
『黄金伝説』 ①文学→日本文学〔近代〕
『黄金の果実』 ①文学→サロート,N
『黄金の頭』 ①文学→クローデル,P
『黄金の子牛』 ①文学→イリフ・ペトロフ
『黄金の塩入れ』 ②美術→チェリーニ,B図
『黄金の馬車』 ③音演→ルノアール,J
『黄金の牧場と宝石の鉱山』 ⑨世史→マスウーディ
黄金のホルス ②美術→エジプト美術図
『黄金のろば』〈変身物語〉 ①文学→アプレイウス
黄金碆 ⑦日地→佐田岬 ⑧日地→三崎(町)
黄金比〈中末比〉 ⑯物数64 C →黄金分割 ②美術→黄金分割
オウゴンヒヨクヒバ ⑲植物→サワラ
黄金分割 ②美術93 D図 ⑯物数64 C図
オウゴンミツスイ ⑳動物→ミツスイ
黄金文書 ⇨金印勅書
オウゴンヤグルマソウ ⑲植物→セントウレア
黄金律 ⑯物数→整数論〔初等整数論〕
黄金瑠璃螺鈿十二稜鏡 ②美術→七宝〔歴史〈日本〉〕図
逢阪峠 和歌山 ⑦日地172 D
逢坂関〔相坂関〕 ⑤日史152 B →三関
逢坂山 滋賀・京都 ⑦日地172 D
皇座山 ⑧日地→室津半島
王貞治 ⑬生活→野球〔プロ野球〈日本〉〕図表
『王さま』 ③音演→ラーゲルクビスト,P
オウサマダカラ ⑳動物→タカラガイ
『王様と私』 ③音演→ロジャース,R
オウサマペンギン〈キングペンギン〉 ⑳動物→ペンギン〔種類〕図
王粲 中国[177-217] 魏の詩人。建安の七子とよばれ,悲哀をたたえた叙情詩は五言詩初期の第一人者 ①文学96 A
王子 東京/北区 ⑦日地173 A
王子 ③音演→鬘
王寺(町) 奈良 ⑦日地173 A図
『王子安集佚文』 ①文学→王勃
王子稲荷 ⑦日地→王子
王子ヶ岳 岡山 ⑦日地173 C →倉敷(市)〔観光〕 →児島半島
王子神 ④哲宗→神道〔囲用語〕
王之渙 中国[688-742] 盛唐の詩人。遊俠の世界を好み在野の詩人として自由に暮らす ①文学96 A
欧氏管〈耳管〉 ⑭医学→耳〔中耳〕
おうし座〔牡牛座〕 ⑱宇地50 B →すばる →星座〔四季〈冬〉〕表 ⑬生活→占い〔西洋占星術〈表十二星座宮〉〕
おうし座T型星 ⑱宇地→銀河電波〔5〕 →恒星〔進化〕図 →太陽系〔成因と進化〕 →変光星〔誕生星の変光〕図表
黄視症 ⑭医学→目〔色視症〕
王子製紙(株) ⑫経産54 D →紙・パルプ工業〔日本〕図 →渋沢栄一 ⑤日史152 C →大川平三郎
王子造 ②美術→神社建築〔本殿の形式〈石の間造〉〕
王室財産 ⑫経産→国有財産
横日性 ⑲植物→屈性
王実甫 中国[1200*-*] ①文学→元曲 →『西廂記』
王士禎 中国[1634-1711] 清初の詩人。言外の妙悟,風韻を重要視した神韻説で著名 ①文学96 A
『王子と乞食』 ①文学→マーク・トウェーン
『往時のカナダ人』 ①文学→カナダ文学〔フランス系〕
王子の狐 ⑱宇地→狐火
『雄牛のはらわた』 ①文学→コー,J
皇子原 ⑧日地→高千穂峰
王時敏 中国[1592-1680] 明末清初の画家。文人画の正統派首領といわれる ②美術94 A図 →山水画
奥武島 ⑦日地→久米島図
黄錫鉱 ⑱宇地50 C
王舎城〈ラージャグリハ〉 ⑨世史→アジャータシャトル ⑱宇地→温泉〔外国〕
王子槍祭 ⑧日地→東京(都)〔別年中行事〕
欧州 ⇨ヨーロッパ
奥州 ⇨陸奥国
王充 中国[27-96*] 後漢の思想家。自然と社会が超越者の意志に支配されるとする正統神権説を拒否 ④哲宗73 D →中国思想〔第2期〕
王戎 中国[234-305] ④哲宗→竹林の七賢 ⑨世史→竹林の七賢
オウシュウアカマツ ⑲植物→マツ
『奥州安達原』 ③音演63 C図 →『黒塚』 ①文学→近松半二
欧州宇宙機関〈ESA〉 ⑱宇地→宇宙開発〔世界各国の動向〕 →ロケット〔歴史〕
欧州宇宙研究機構〈ESRO〉 ⑱宇地→宇宙開発〔世界各国の動向〕 →人工衛星図 →ロケット〔歴史〈アポロ以後〉〕
奥州街道 ⇨奥州道中
オウシュウカラマツ ⑲植物→カラマツ
奥州管領 ⑤日史→奥州探題
奥州ギク ⑲植物→キク〔分類〕
欧州共同体〈EC〉 ⑪政社50 B図 →西欧政治事情〔EECの発展〕 ⑫経産55 A図 →経済統合 →国際金融市場〔囲用語〈共同変動相場制〉〕 →西欧経済事情〔経済統合〕 →ブロック経済
オウシュウクロガモ ⑳動物→クロガモ
欧州経済共同体〈EEC〉 ⑪政社→欧州共同体 →西欧政治事情〔EECの発展〕 ⑫経産→欧州共同体 →経済統合〈150 C〉 →西欧経済事情〔経済統合〕
欧州経済協力機構〈OEEC〉 ⑫経産→経済協力開発機構 →自由化 →西欧経済事情〔経済史〈329 D〉〕 →生産性向上運動 →マーシャル・プラン
欧州原子力共同体〈EURATOM〉 ⑪政社→欧州共同体 ⑫経産→欧州共同体
『奥州後三年記』 ①文学→戦記
オウシュウサイシン ⑲植物→サイシン
欧州支払同盟〈EPU〉 ⑫経産→硬貨 →国際決済銀行 →国際通貨 →西欧経済事情〔経済史〈329 D〉〕
欧州自由貿易連合〈EFTA〉 ⑫経産55 C →経済統合〈150 C〉 ⑪政社→欧州共同体〔成立史〕
奥州征伐 ⑤日史152 C →葛西清重
欧州石炭鉄鋼共同体〈ECSC〉 ⑪政社→欧州共同体 ⑫経産→欧州共同体 →西欧経済事情〔経済史〈329 D〉〕 →鉄鋼業〔世界〕
奥州総奉行 ⑤日史152 C →守護〔実情〕
欧州大同盟 ⇨対仏大同盟
奥州探題 ⑤日史152 D
欧州通貨制度〈EMS〉 ⑫経産→欧州共同体 →国際金融市場〔用語〈共同変動相場制〉〕 →西欧経済事情〔経済統合〕
欧州通貨単位〈ECU〉 ⑫経産→欧州共同体
奥州道中 ⑤日史152 D →羽州街道 →五街道
オウシュウトウヒ〔欧州唐檜〕 ⑲植物93 A →トウヒ図
奥州藤原氏 ⇨藤原氏《奥州》
欧州防衛共同体〈EDC〉 ⑪政社→西欧政治事情〔冷戦〕 →ドイツ政治事情〔西ドイツ〈主権回復〉〕
王重陽〈王嚞〉 中国[1113-1170] 金代の道士。全真教の開祖。教義は儒仏道三教の合一を旨とする ⑨世史103 B →全真教 →長春真人
欧州連合軍〈NATO軍〉 ⑨世史→北大西洋条約機構
欧州連合軍最高司令部〈SHAPE〉 ⑪政社→北大西洋条約機構
欧州連邦 ⑫経産→西欧経済事情〔問題点〕
欧州ロケット開発機構〈ELDO〉 ⑱宇地→宇宙開発〔世界各国の動向〕 →ロケット〔歴史〈アポロ以後〉〕
王粛 中国[*-257] ④哲宗→『孔子家語』
鶯宿温泉 ⑦日地→雫石(町)
王守仁〈王陽明〉 中国[1472-1528] 思想家。陽明学の創始者。朱子学から出発し心即理の説,知行合一を説く ⑨世史103 B図 →明〔文化〕 →陽明学 ④哲宗→王陽明 →心学《中国》 →中国思想〔第3期〕 →致良知
黄綬褒章 ⑪政社→栄典制度図 ⑬生活→祝い事〔受賞〈表現行日本の栄典〉〕
『王書』 ⇨『シャーナーメ』
『王将』 ①文学→北条秀司 ③音演→伊藤大輔 →歌謡曲表 →日本演劇図
往生 ④哲宗→仏教〔囲用語〕
往生院流〈常善院流〉 ④哲宗→真言宗〔囲〈心覚〉〕
王昭君 中国[*.] 宮女。前漢の元帝のとき後宮から選ばれ匈奴の呼韓邪単于のもとに嫁す ⑨世史103 C →匈奴 →和蕃公主
往生寺 ⑧日地→長野(市)
王城寺原 ⑦日地→色麻(町)
王小波・李順の乱 ⑨世史→均産一揆
『往生要集』 ⑤日史152 D →阿弥陀信仰 ①文学→『栄花物語』 →源信 ④哲宗→源信 →地獄〔古代宗教〕
王昌齢 中国[698*-765*] 盛唐の詩人。七言絶句に優れ,辺塞詩・閨怨詩・送別詩などに詩才を発揮 ①文学96 B
『往生論註』〈浄土論註〉 ④哲宗→曇鸞
黄蜀葵 ⑨植物→トロロアオイ
黄色腫 ⑭医学→皮膚病
黄色植物 ⇨黄藻植物
黄色人種〈モンゴロイド〉 ⑧日地→日本〔人種・民族〕 ⑩世地→世界〔人種〕 ⑪政社→人種問題〔人種・民族・国民〕
黄色藻植物 ⇨黄藻植物
黄色土 ⑱宇地→土壌〔生成作用と土壌型〕
黄色ぶどう球菌 ⑭医学→病原体〔病原細菌〈ぶどう球菌〉〕

大尻沼 ⑧日地→丸沼
オオシロガシラツクシガモ ⑳動物→ツクシガモ
オオシロカネグモ ⑳動物→アシナガグモ
オオシロカンムリヅル ⑳動物→ツル〔種類〕
オオシロサルノコシカケ ⑲植物→サルノコシカケ
大城立裕 ①文学→芥川賞表 →沖縄文学〔その他〕
オオシロピンノ ⑳動物→カクレガニ
オオシロフベッコウ ⑳動物→ベッコウバチ図
多神社 ⑧日地→田原本(町)
大須 名古屋市/中区 ⑦日地199 C
大洲(市) 愛媛 ⑦日地199 C図
オオズアカアリ ⑳動物→アリ図表
大須賀(町) 静岡 ⑦日地199 D
大須賀筠軒 ①文学→大須賀乙字
大須賀乙字 [1881-1920] 明治・大正の俳人。碧門黄金時代に活躍したが,無季・自由律を批判し,伝統復古を主張 ①文学100 B →『アカネ』
オオスカシバ〔大透翅蛾〕 ⑳動物120 A →ガ図 ⑲植物→クチナシ
大須観音 ⇨真福寺
大杉 高知/大豊町 ⑦日地199 D →大豊(町)
大杉峡谷 ⇨大杉谷
オオスギゴケ ⑲植物→コケ植物〔利用〕図 →スギゴケ
大杉栄 [1885-1923] 社会運動家・アナキスト。関東大震災の混乱の中に,伊藤野枝らとともに殺害された ①文学100 B ④哲宗77 C ⑤日史171 A図 →アナーキズム運動 →甘粕事件 →伊藤野枝 ⑪政社52 C図 →アナキズム〔日本〕 →サンジカリスム
大杉谷 三重 ⑦日地199 D図 ⑧日地→宮川(村)《三重》 →吉野熊野国立公園
大須事件 ⑪政社→メーデー事件
大洲城 ⑦日地→大洲(市)図
オオスズメバチ ⇨スズメバチ
大洲鉄然 [1834-1902] 幕末・明治の僧。倒幕運動に参加。維新後真宗本願寺派の指導者となる ⑤日史171 B
大洲藩 ⑤日史→伊予国〔囲人国記〕
大洲半紙 ⑦日地→五十崎(町)
大須文庫 ⑤日史→真福寺 ⑧日地→名古屋(市)〔観光・文化〈大須観音〉〕
大洲祭 ⑦日地→愛媛(県)〔郷土芸能〕
おおすみ ⑱宇地→宇宙開発〔日本〕 →人工衛星〔種類〈技術開発衛星〉〕図表 →ロケット〔日本〕
大隅(町) 鹿児島 ⑦日地200 A図
大隅石 ⑱宇地51 C
大隅海峡 ⑦日地200 B
大隅湖 ⑦日地→笠野原 →鹿屋(市)
大隅諸島 鹿児島 ⑦日地200 B →薩南諸島 ⑧日地→種子島 →南西諸島 →屋久島
大隅線 ⑧日地→日豊本線
大隅国 鹿児島 ⑤日史171 B囲 ⑦日地200 D
大隅宮 ⑥日史→難波京
大隅半島 鹿児島 ⑦日地200 D
大相撲 ⑤日史→国技館 ⑬生活→相撲〔角界の現状〕
大磨上げ ②美術→日本刀〔囲用語〈茎〉〕
オオセ〔大瀬〕 ⑳動物120 A
大瀬 ⑦日地→五ヶ瀬川 ⑧日地→南伊豆(町)
オオセイボウ ⑳動物→セイボウ図
大関 ⑬生活→相撲〔角界の現状〈相撲番付〉〕
大関増裕 ⑥日史→陸軍奉行
大関山 ⑦日地→国見山地
オオセグロカモメ ⑳動物→カモメ〔種類〈大形種〉〕図 →セグロカモメ
大瀬崎《静岡》 ⇨大瀬崎
大瀬崎 長崎/福江島 ⑦日地200 D図
大瀬神社 ⑧日地→沼津(市)
オオセッカ〔大雪加〕 ⑳動物120 A
大瀬戸 ⑧日地→西彼杵半島
大瀬戸(町) 長崎 ⑦日地201 A
オオゼミタケ ⑲植物→セミタケ表
オオセンチコガネ ⑳動物→甲虫〔別〈生態〉〕→センチコガネ
大曾 ⑦日地→上五島(町)
『大双紙』 ⇨『今川大雙紙』
オオゾウムシ ⑳動物→オサゾウムシ →ゾウムシ図
大袖 ⑤日史→小袖 ⑬生活→袖〔和服〈変遷〉〕
大外刈り ⑬生活→柔道〔基本〈投げ技〉〕図
オオソネ ⇨クマシデ
大曾根 名古屋市 ⑦日地201 A

大曾根《茨城》 ⑦日地→大穂(町)
大曾根港 ⑦日地→尾鷲(市)
『大空』 ①文学→尾崎放哉
オオソリハシシギ〔大反嘴鷸〕 ⑳動物120 A →シギ図
大田(区) 東京 ⑦日地201 B図
大田(村) 大分 ⑦日地201 C
太田《岩手》 ⑧日地→花巻(市)
太田《和歌山》 ⑧日地→那智勝浦(町)
太田(市) 群馬 ⑦日地201 C
太田(町) 秋田 ⑦日地201 D
大田(市) 島根 ⑦日地201 D図
大台(町) 三重 ⑦日地202 B
大台ヶ原山 三重・奈良 ⑦日地202 C図 ⑧日地→宮川(村)《三重》 →海山(町)
オオダイガハラサンショウウオ ⑳動物→サンショウウオ
大太鼓〈バス・ドラム〉 ③音演→太鼓〔外国〕 →ドラム
大太鼓祭 ⑧日地→舞阪(町)
大台城 ⑦日地→芝山(町)
大平 ⑦日地→外海(町)
大平高原 長野 ⑦日地202 C →飯田(市)
大平峠〈木曾峠〉 ⑦日地→大平高原
大田植 ⑧日地→中国地方〔民俗〕
大田尾 ⑧日地→三角(町)
オオタカ〔蒼鷹〕 ⑳動物120 A →タカ〔囲鷹狩り〕
大高 名古屋市/緑区 ⑦日地202 C
太田薫 [1912-] ⑪政社→春闘 ⑫経産→春闘
太田垣蓮月 [1791-1875] 幕末の女流歌人。才女だが家族に恵まれず剃髪。勤皇の志士と交流 ①文学100 B ⑤日史171 C
大高源五 ⑤日史→赤穂義士表
大高善兵衛 ⑤日史→上総国〔囲人国記〕
大高森 宮城/鳴瀬町 ⑦日地202 C ⑧日地→松島
大田川 ⑧日地→美東(町)
太田川 ⑧日地→東海(市)
太田川 広島 ⑦日地202 C ⑧日地→広島(市)〔自然〕図 →広島平野
大滝 ⑦日地→川上(村)《奈良》
大滝(村) 北海道/胆振支庁 ⑦日地202 D
大滝(村) 埼玉 ⑦日地202 D図
大多喜(町) 千葉 ⑦日地202 D
大滝温泉 ⑦日地→大館(市)
太田喜志子 ①文学→若山牧水
大滝根川 ⑧日地→滝根(町)
大滝根山 福島 ⑦日地203 A ⑧日地→滝根(町)
大多喜藩 ⑤日史→上総国
大滝山 ⑦日地→塩江(町)
太田牛一 [1527-*] 信長・秀吉に仕えた武人。晩年伝記・実録を著す ⑤日史171 C ⑥日史→『信長公記』
太田玉茗 [1871-1927] 詩人・小説家。僧籍にあって,清純な哀愁を特色とした作風で知られる ①文学100 C
大田切川 ⑧日地→妙高(村)〔関温泉〕
大田錦城 [1765-1825] 江戸中期の儒者。折衷学派の大家 ④哲宗77 C →考証学〔成立・展開〕 →折衷学派 ⑤日史171 C
大詫間 ⑦日地→有明海〔干拓〕 →川副(町)
大竹(市) 広島 ⑦日地203 A
大岳 ⑦日地→大滝根山
大岳 ⑦日地→宇土半島
大岳 ⑦日地→久米島
大岳 ⑧日地→田代平 →八甲田山
大岳 ⑧日地→守門岳
大岳温泉 ⑦日地→九重(町)
大竹貫一 [1860-1944] 政党政治家。国権論・対外硬の立場で終始し,日露講和反対運動を指導 ⑤日史171 C
大竹山 ⇨大滝山
大凧 ⑦日地→伊勢原(市)〔大山阿夫利神社〕
大凧上げ ⑦日地→相模原(市)図
太田公園 ⑦日地→木更津(市)
大凧合戦 ⑦日地→味方(村)
太田古墳 ⑧日地→鳥栖(市)
太田晋斎 ⑭医学→按摩〔沿革〕 →指圧療法〔内容〕
太田神社 ⑧日地→大成(町)
太田神社 ⑦日地→新旭(町)
太田資俊 [1720-1763] ⑥日史→遠江国〔囲人国記〕
太田資房 ①文学→仮名草子
大多田川 ⑧日地→蓬萊峡

大裁ち〈本裁ち〉 ⑬生活→和裁〔種類〕
オオタチツボスミレ ⑲植物→スミレ
オオタツ〈オオウミウマ〉 ⑳動物→タツノオトシゴ
大竜用水路 ⑦日地→庄内(町)《大分》
大館(市) 秋田 ⑦日地203 C図
大館盆地 秋田 ⑦日地204 A
太田道灌 [1432-1486] 室町中期の武将・歌人。扇谷上杉氏の執事として江戸城を築き,信望を集めたが,主家におそれられ暗殺 ①文学100 C ⑤日史172 A図 →上杉定正 →江戸城〔変遷〕 ⑥日史→長尾氏
大田南畝〈蜀山人,四方赤良〉 [1749-1823] 江戸後期の狂歌師で幕府御家人。洒落本・黄表紙にも才筆をふるう ⑤日史172 B →狂歌 ①文学→エッセイ〔日本の随筆〕 →狂歌 →狂詩 →狂文 →戯作 →洒落本 →蜀山人 →『徳和歌後万載集』
大谷《岡山》 ⑦日地→金光(町)
大谷《高知》 ⑦日地→足摺岬
大谷川 ⑦日地→五十嵐川
大谷渓谷 ⑦日地→院内(町)
大谷鉱山 ⑱宇地→鉱床〔マグマ鉱床〈熱水鉱床〉〕 →錫石 →硫砒鉄鉱
大谷光瑞 [1876-1948] 西本願寺法主・探検隊組織者。中央アジアの仏教美術関係の莫大な文物を収集 ⑤日史172 B ④哲宗→大谷光尊 →浄土真宗囲 ⑨世史→大谷探検隊
大谷光尊 [1850-1903] 浄土真宗本願寺派〈西〉第二十一世宗主。明治期の仏教界に大きな足跡を残した ④哲宗77 D
大谷竹次郎 [1877-1969] 興業師・実業家。松竹株式会社を創設,演劇・映画の製作に専念。文化勲章受章 ③音演64 B
大谷探検隊 ⑨世史105 A →楼蘭 ②美術→敦煌石窟 ⑤日史→大谷光瑞
大谷友右衛門 歌舞伎俳優。代々,実悪・敵役の俳優として認められる ③音演64 B図
大谷友右衛門(四世) [1791-1861] 歌舞伎俳優。三枚目敵を得意とした。『天下茶屋』の安達元右衛門が当り役 ③音演64 C図
大谷友右衛門(六世) [1886-1943] 歌舞伎俳優。中絶していた友右衛門の名跡を継ぐ。名脇役として知られた ③音演64 C
大谷派 ⇨浄土真宗大谷派
大谷廟堂 ⑥日史→本願寺
大谷藤子 [1903-1977] 小説家。『青い果実』で巧妙な会話を駆使,長編に力量を示す ①文学100 C
大谷文楽 ⑧日地→肱川(町)
大谷焼 ⑧日地→鳴門(市)図
大谷吉継 [1565-1600] 秀吉に仕えた武将。文禄・慶長の戦で軍監をつとめ関ヶ原の役で陣没 ⑤日史172 B
オオタニワタリ〔大谷渡〕 ⑲植物95 A図
大田白雪 [1661-1736] ⑥日史→三河国〔囲人国記〕
大多府島 岡山 ⑦日地204 B ⑧日地→日生(町)
大田文〈図田帳〉 ⑤日史172 C
太田母斑〈眼上顎褐青色母斑〉 ⑭医学→あざ〔先天性〕
大玉(村) 福島 ⑦日地204 B
オオタマオシコガネ ⑳動物→甲虫〔別〈外国産〉〕
太田水穂 [1876-1955] 歌人。日本的象徴を標榜,近代短歌に独特の地歩を確立。多くの評論研究書もある ①文学100 C →『潮音』
太田夢庵 ②美術→印譜
太田山 ⑦日地→尾花岬
大田洋子 [1903-1963] 小説家。広島で被災,その体験をもとに原爆の残虐さを明らかにして世評を得る ①文学100 D →『女人芸術』
『大だらいの笑劇』 ③音演→フランス演劇〔中世〈世俗劇〉〕
太田リング〈優性リング〉 ⑭医学→受胎調節〔女性側に器具を用いる〕
大滝温泉 ⑦日地→河津(町)
大樽の滝 ⑦日地→越知(町) ⑧日地→横倉山
大田原(市) 栃木 ⑦日地204 B図 ⑧日地→那須野原台地
大田原藩 ⑤日史→下野国
大内(町) 香川 ⑦日地204 C
樗谿神社 ⑧日地→鳥取(市)図
オオチャタテ ⑳動物→チャタテムシ
オオチャバネセセリ ⑳動物→セセリチョウ図
大地山 ⑦日地→小佐渡山地
大茶盛 ⑧日地→奈良(市)〔別年中行事〕
オオチャワンタケ ⑲植物→キノコ〔別子嚢菌類〕

→チャワンタケ
大長島 ⇨大崎下島
大提灯祭 ⑦日地→一色(町)図
大長ミカン ⑧日地→広島(県)〔産業〈農業〉〕
大津《北海道》 ⑦日地→浦幌(町)
大津 茨城/北茨城市 ⑦日地 204 C
大津 高知/高知市 ⑦日地 204 C
大津(市) 滋賀 ⑦日地 204 C図 ⑥日史→馬借 ⑧日地→湖港〈1211 D〉
大津(町) 熊本 ⑦日地 206 C
麻生津 ⑧日地→那賀(町)
大津絵 ②美術 95 D図 →漫画〔日本漫画の歩み〕 ⑤日史 172 C ⑦日地→大津(市)〔観光〕図
大塚 東京/文京区・豊島区 ⑦日地 206 D
大塚《東京都秋川市》 ⑧日地→東京(都)〔歴史〈原始・古代〉〕
大塚《鹿児島》 ⑧日地→枕崎(市)
大塚観瀾 〔1761/1825〕 ⑥日史→日向国〔囲人国記〕
大塚金之助 〔1892/1977〕 歌人・経済学者。階級的観点を短歌の世界にもちこむ ①文学 100 D ⑫経産→日本資本主義論争〈467 C〉
大塚楠緒子 〔1875/1910〕 明治の女流小説家・歌人・詩人。清潔で温雅な叙景歌と浪漫的でやさしい心象詠が特色 ①文学 100 D →夏目漱石 ⑤日史 172 C
大塚甲山 〔1880/1911〕 詩人・俳人・歌人。日露戦争時,反戦詩を書き続けて知られる ①文学 100 D
大塚古墳 ⑦日地→大垣(市)
大塚古墳 ⑧日地→西(区)《福岡市》 →福岡(市)〔観光・文化〕
大塚武松 ⑥日史→『藩制一覧』
大塚久雄 ⑫経産→局地的市場圏 →社会経済史学〈262 D〉 →マニュファクチュア論争
大津壁 ②美術→壁〔日本〕
大塚山 ⑧日地→大根島
大塚山古墳 ⇨会津大塚山古墳
大塚山古墳 ⑦日地→河合(町) ⑧日地→松原(市)
大月(市) 山梨 ⑦日地 206 D図
大月(町) 高知 ⑦日地 206 D
大槻内蔵允 ⑤日史→加賀騒動
大槻玄沢 〔1757/1827〕 江戸後期の蘭学者・医学者。杉田玄白・前野良沢に師事し,『蘭学階梯』を起草 ⑤日史 172 C ⑥日史→『蘭学階梯』
大槻茂質〈大槻磐水〉 ⑤日史→『環海異聞』
大築島 熊本 ⑦日地 207 A
大槻俊斎 ⑭医学→種痘〔伝来〕
大槻磐渓 ①文学→大槻文彦 →漢文学〔近世〕 ⑱字地→水石〔歴史〕
大槻文彦 〔1847/1928〕 国語学者。文部省御用掛として国語辞書を編集,また文法学の基礎をつくる ⑫『言海』 ①文学 101 A ⑤日史 172 D
大津京 ⇨近江大津宮
大津京跡 ⑦日地→大津(市)〔観光〕
オオツクバネウツギ〈メックバネウツギ〉 ⑲植物→アベリア →ツクバネウツギ
オオツクバネガシ ⑲植物→カシ
『大つごもり』 ①文学→樋口一葉
大津事件〈湖南事件〉 ⑤日史 172 D →児島惟謙 ⑥日史→山田顕義 ⑪政社→司法権〔独立〕
大津島 山口/徳山市 ⑦日地 207 B
『大津順吉』 ①文学→志賀直哉
大蔦島 ⑧日地→蔦島
大槌(町) 岩手 ⑦日地 207 B
大槌川 岩手 ⑦日地 207 B
オオツチグモ科 ⑳動物→タランチュラ《真正クモ類》
大槌島 岡山・香川 ⑦日地 207 B
大筒 ⑥日史→火縄銃
大砲万右衛門 ⑬生活→相撲〔表横綱〕
大鼓〈おおつづみ〉 ③音演→太鼓〔日本〕図 →鼓図
オオツヅラフジ ⇨ツヅラフジ
大綱引 ⑧日地→那覇(市)〔観光・文化〕 →与那原(町)
オオツノウシ ⑳動物→ウシ〔別〈野生のウシ〉〕
大津皇子 〔663/686〕 飛鳥末期,天武天皇の第3皇子。壬申の乱で人望を集め乱後太政大臣にのぼるが,謀反の疑いをうけ自殺 ⑤日史 173 A →『懐風藻』 →草壁皇子 ①文学→大津皇子 →『懐風藻』
オオツノシカ〔大角鹿〕 ⑳動物 120 B図
オオツノヒツジ ⇨ビッグホーン
オオツノヒラムシ ⑳動物→ヒラムシ
大津皇子 ①文学 101 A ⇨大津皇子
大坪 ⑦日地→郡家(町)

大坪砂男 ①文学→推理小説〔日本〕
大坪道禅 〔*.〕 室町前期の馬術家。大坪流流祖。将軍義満の師範役となる ⑤日史 173 A ⑥日史→馬術
大坪流 ⑤日史→大坪道禅 ⑥日史→馬術 ⑬生活→馬術競技〔歴史〈日本〉〕
オオツヤバネベニボタル ⑳動物→甲虫〔別〈日本産〉〕
大津山神社 ⑧日地→南関(町)
大釣峡 ⑦日地→奥津渓
オオヅル ⑳動物→ツル〔種類〕図
大剣神社 ⑧日地→剣山国定公園
オオツルコウジ ⑲植物→ヤブコウジ
オオツルボ ⑲植物→シラー図
大手拓次 〔1887/1934〕 詩人。白秋旗下の三羽烏と称され,音楽的な美しさに富んだ口語詩を完成 ①文学 101 A図 →『朱欒』
大手町 東京/千代田区 ⑦日地 207 B →下町
オオデマリ〔大手鞠〕〈テマリバナ〉 ⑲植物 95 B図
大手門 ⑦日地→島原(市)
大手門 ②美術→城〔日本〈建築様式〉〕 →門〔日本〕 ⑦日地→大手町
大寺 ⑦日地→板野(町)
大寺 ⑧日地→磐梯(町)
『大寺学校』 ①文学→久保田万太郎 ③音演→久保田万太郎
大天神 ③音演→能〔図能面〕
オオテンニンギク ⑲植物→ガイラルディア →テンニンギク
大音 ⑦日地→木之本(町)
大任(町) 福岡 ⑦日地 207 C
大塔(村) 奈良 ⑦日地 207 C
大塔(村) 和歌山 ⑦日地 207 C
大堂海岸 高知/大月町 ⑦日地 207 C →足摺宇和海国立公園 →大月(町)
大道具 ③音演 64 C
大塔山 和歌山 ⑦日地 207 D
オオトウゾクカモメ〔大盗賊鷗〕 ⑳動物→トウゾクカモメ図
大堂津 ⑧日地→日南(市)
大塔日置川県立自然公園 ⑦日地→大塔山
『大通り,大通り』 ①文学→フーヘル,P
大通り公園 ⑦日地→札幌(市)〔観光・文化〕図 ⑧日地→中央(区)《札幌市》
オオトカゲ〔大蜥蜴〕 ⑳動物 120 C図 →トカゲ〔分類〕
大土ヶ森鉱山 ⑦日地→栗駒(町)
オオトゲトサカ ⑳動物→サンゴ図
大門崎 ⑦日地→芥屋ノ大門
大歳御祖神社 ④哲宗→神社〔表〈国幣小社〉〕
大栃 高知/物部村 ⑦日地 207 D
大利根(町) 埼玉 ⑦日地 207 D
大利根温泉 ⑧日地→野田(市)
大利根用水 千葉 ⑦日地 207 D →海上(町) →九十九里浜平野 ⑧日地→干潟(町)
大舎人寮 ⑤日史 173 A
オオトビサシガメ ⑳動物→サシガメ
大飛出 ③音演→能〔能面〕図
大泊 ⇨コルサコフ
大泊 ⑧日地→田代島
大泊 ⑦日地→加唐島
大泊 ⑦日地→青海島
大友氏 鎌倉時代におこった武家。豊後守護・鎮西奉行を世襲,戦国大名となる ⑤日史 173 B図 ⑥日史→立花氏 →鎮西探題
大伴氏 古代豪族。大和国家の軍事を担当,政治面でも活躍したが平安前期に衰亡 ⑤日史 173 C図 →応天門の変 →大連 →壬申の乱〔経過〕 ④哲宗→日本神話〔囲〈道臣命〉〕
大友氏時 ⑥日史→筑後川の戦い
オオトモエ ⑳動物→シタバガ図
大伴金村 ⑨世史→武寧王
大友貞載 ⑥日史→立花氏
大友宗麟〈大友義鎮〉 〔1530/1587〕 戦国時代の武将・キリシタン大名。義鑑の長子。九州6か国を平定しザビエルの布教を許可 ⑤日史 173 D図
大伴池主 ①文学→『万葉集』〔作者〕
大友皇子 ⇨弘文天皇
大伴弟麻呂 ⑤日史→将軍
大伴金村 〔*.〕 古代大和朝廷の実力者。任那四県を百済に割譲したことから政界を引退 ⑤日史 174 A →飛鳥時代〔政治・外交〈6世紀〉〕 →大伴氏 →継体天皇 ⑥日史→物部尾輿
大友黒主 〔*.〕 平安前期の歌人。六歌仙の一人 ⑤日史 174 A ①文学→六歌仙

大伴坂上郎女 〔*.〕 奈良中期の万葉の女流歌人。旅人の異母妹で,家持は甥 ①文学 101 B →『万葉集』〔作者〕 ⑤日史 174 B
大伴旅人 〔665/731〕 奈良初期の政治家・歌人。大宰帥・大納言などを歴任 ①文学 101 B →『万葉集』〔作者〕 ⑤日史 174 B
大伴家持 〔718/785〕 奈良後期の政治家・歌人。『万葉集』の編者に擬せられる ①文学 101 C図 →笠女郎 →三十六歌仙 →短歌〔古代前期〕 →『万葉集』〔作者〕 ⑤日史 174 B
大伴門 ⇨朱雀門
大友義鑑 〔1502/1550〕 戦国時代の武将。北九州4か国を領有。置文を記して義鎮に家督を譲る ⑤日史 174 B
大友義鑑の条々 ⑤日史→大友義鑑
大友義鎮 ⇨大友宗麟
大友義統 〔1558/1605〕 戦国時代の武将。宗麟の長子。文禄の役の際の平壌退却で秀吉に封を没収される ⑤日史 174 C
大土山 ⑧日地→津山(町)
大豊(町) 高知 ⑦日地 207 D
鳳晶子 ⇨与謝野晶子
大鳥池 山形 ⑦日地 208 B
大鳥川 ⑦日地→朝日山地 →赤川
大鳥圭介 〔1832/1911〕 幕臣,明治の外交官。五稜郭で新政府軍と戦い,のち対韓・清国外交を担当 ⑤日史 174 C図
鳳号 ⑰科技→飛行機〔歴史〈発達〉〕図
大鳥島 ⇨ウェーク(島)
鷲神社〈お酉様〉 ④哲宗→お酉さん信仰 ⑧日地→台東(区)図
大鳥神社《東京》 ⑧日地→目黒(区)
大鳥神社《滋賀》 ⑦日地→甲賀(町)
大鳥神社 ④哲宗 77 D →神社〔表〈官幣大社〉〕 ⑦日地→堺(市)
鳳台地 ⑦日地→堺(市)
大鳥造 ②美術→神社建築〔本殿の形式〈石の間造〉〕 ④哲宗→神社〔建築〕〔図本殿〕
鳳谷五郎 ⑬生活→相撲〔表横綱〕
大中臣能宣 〔921/991〕 平安後期の歌人・神祇官。梨壺の五人の一人で『後撰和歌集』勅撰事業に参加 ①文学 101 D →『後撰和歌集』 →三十六歌仙 ⑤日史 174 D ⑥日史→梨壺の五人
大中臣頼基 ①文学→三十六歌仙
大中臣本系帳 ⑤日史 174 D
大仲歩合制 ⑫経産→漁業労働者
オオナガミクダモノトケイ ⑲植物→トケイソウ
オオナキリスゲ ⑲植物→スゲ
大奈佐美島 広島/沖美町 ⑦日地 208 B
大名題 ③音演→歌舞伎〔囲用語〕
大浪池 鹿児島 ⑦日地 208 B →霧島屋久国立公園〔霧島〕
大己貴神社 ⑧日地→三輪(町)
大己貴命〔大穴牟遅命〕 ⇨大国主命
大穴持神社 ⑦日地→妹背山《奈良》
大鳴戸 ⑧日地→鳴門海峡
大汝山 ⑧日地→立山 →日本アルプス〔北アルプス〕
大汝峰 ⑧日地→白山
大南北 ⇨鶴屋南北(四世)
大嘗祭 ⇨大嘗祭
オオニガナ ⑲植物→フクオウソウ
大西 ⑧日地→山添(村)
大西(町) 愛媛 ⑦日地 208 B
大西愛治郎 〔1881/1958〕 ④哲宗→新興宗教〔表〈教祖〉〕 ⑪政社→新興宗教
大錦卯一郎 ⑬生活→相撲〔表横綱〕図
オオニシキソウ ⑲植物→ニシキソウ
大錦大五郎 ⑬生活→相撲〔表横綱〕
大西巨人 〔1919〕 小説家・文芸評論家。博識と妥協を知らぬ痛烈な舌鋒で知られる ①文学 102 A
大西祝 〔1864/1900〕 哲学者。理想主義・自由主義の立場から,井上哲次郎らの国家主義を批判 ①文学 102 A ④哲宗 78 A ⑤日史 174 D
大西克礼 〔1888/1959〕 哲学者・美学者。東大で美学の研究教育にあたり,独自の体系を構築 ④哲宗 78 A
オオニベ ⑳動物→イシモチ
大入渓谷 愛知 ⑦日地 208 B ⑧日地→豊根(村)
大入島 大分/佐伯市 ⑦日地 208 C ⑧日地→日豊海岸
大丹生岳 ⑧日地→乗鞍岳
大貫 千葉/富津市 ⑦日地 208 C →大洗(町)

的様式〕→ベルゴレージ,G
小串 ⑦日地→川棚(町) →新魚目(町)
奥塩原温泉 ⑦日地→塩原(町) ⑧日地→高原山
奥志賀 ⑦日地→岩菅山
奥繁三郎 [1862/1924] 明治・大正の政党政治家。原敬直系の立憲政友会幹部で衆院議長などを歴任 ⑤日史187 C
奥士別 ⑦日地→朝日(町)《北海道》
御柳祭 ⑧日地→八雲(村)〔熊野神社〕
オクジャワ,B ソ連[1924] 詩人。ペーソスと鋭い社会風刺にあふれる詩集の数々で民衆の心をとらえる ①文学107 A
屋上庭園 ⑬生活→庭
『屋上庭園』 ①文学107 A図
『屋上の軽騎兵』 ①文学→ジョノ,J
奥女中〈御殿女中〉 ⑤日史187 D
奥白根山 ⑦日地→白根山《日光》
奥尻(町) 北海道/奥尻島 ⑦日地240 B
奥尻海嶺 ⑦日地240 C
奥尻島 北海道 ⑦日地240 C
オークス ⑬生活→競馬〔競走の種類〕
オグス族 ①文学→『オグズ=ナーメ』
オグズ・トルクメン ⑨世史→セルジューク朝
『オグズ=ナーメ』 ①文学107 A →『キョルオウル伝説』
オクスレイ,J ⑩世地→ブリスベーン
オークセル フランス ⑩世地127 C
オクセンシェーナ,A スウェーデン[1583/1654] ⑨世史→北欧史〔歴史〈近代〉〕
奥胎内 ⑦日地→黒川(村)
奥平氏 徳川氏の譜代家臣。各地を転封後豊前中津藩主として明治に至る ⑤日史187 D図 ⑥日史→中津藩
奥平信昌 [1555/1615] 安土桃山時代の武将。長篠の合戦以後戦功多く,家康の娘を妻とする ⑤日史187 D
『オクタウィウス』 ①文学→ミヌキウス・フェリクス
奥田頴川 [1753/1811] 江戸中期京都の好事的陶匠。京焼で初めて磁器を焼いた ②美術98 B →京焼
奥田治作 ⑥日史→山城国〔囲人国記〕
奥只見湖 ⇨銀山湖
奥只見山地 ⑦日地→越後山脈
奥只見ダム ⑦日地→湯之谷(村) ⑰科技→ダム表
奥只見発電所 ⑦日地→銀山湖 ⑫経産→電気事業〔現状〈水力発電〉〕
奥蓼科温泉郷 長野 ⑦日地240 C
オクタドラクマ金貨 ⑬生活→コイン図
オクタビアヌス ⇨アウグストゥス
オクターブ ③音演68 A →音程
オクターブの法則〈音階律〉 ⑮化学95 A →周期律 →ニューランズ,J
奥多摩 東京 ⑦日地240 D ⑧日地→多摩川
奥多摩(町) 東京 ⑦日地240 D
奥多摩湖 東京 ⑦日地240 D図 ⑧日地→多摩川
奥田孫太夫 ⑤日史→赤穂義士表
オクタン ⑮化学95 A表 →アルカン〔表異性体〕
オクタン価 ⑮化学95 A →イソオクタン →石油〔石油製品〈ガソリン〉〕 ⑰科技→自動車〔構造〈ガソリンエンジン〉〕
奥丹後半島〈与謝半島〉 京都 ⑦日地241 A →経ヶ岬
オクタント〈八分儀〉 ⑰科技→六分儀
尾口(村) 石川 ⑦日地241 B図
奥秩父 埼玉・山梨・長野 ⑦日地241 B図 →雲取山
小口忠太 [1875/1945] ⑭医学→夜盲症〔小口病〕
小口病〈先天停止性夜盲〉 ⑭医学→夜盲症
『奥地奮闘記』 ①文学→カナダ文学〔イギリス系〕
『オクチャーブリ』 ①文学107 B →コーチェトフ,V →ベズイメンスキー,A
オクチャブリスキー ソ連/ロシア ⑩世地127 C
オクチャブリスト〈十月党〉 ⑪政社→ロシア革命〔第一革命〕
オクチルアルコール ⑮化学→アルコール〔表物理的性質〕
オクチン ⑮化学→アルキン〔表物理的性質〕
奥津(町) 岡山 ⑦日地241 D図
奥津温泉 ⑦日地→奥津(町)
奥津渓 岡山 ⑦日地241 D図
オクヅマリ ⑲植物→ダイコン
オクテン ⑮化学→アルケン〔表物理的性質〕
オグデン アメリカ/ユタ ⑩世地127 C

奥道後温泉 ⑧日地→松山(市)
奥道後玉川県立自然公園 ⑦日地→愛媛(県)〔観光〕
奥利根 群馬 ⑦日地241 D ⑧日地→水上(町)
オクトーバーフェスト ⑩世地→ミュンヘン図
奥瀞 和歌山 ⑦日地242 A ⑧日地→瀞峡
屋内配線 ⑰科技52 C図 →開閉器
阿国 ⇨出雲の阿国
オークニー(諸島) イギリス ⑩世地127 C
小国(町) 山形 ⑦日地242 A
小国(町) 新潟 ⑦日地242 A
小国(町) 熊本 ⑦日地242 B
小国院内池田 ⑧日地→仁賀保(町)
阿国歌舞伎 ⑤日史188 A図 →出雲の阿国 ③音演→歌舞伎〔歴史〈源流と創生〉〕図
『おくにかぶきぞうし』 ③音演→綾子舞
小国川《山形》 ⑧日地→最上(町)
小国川《福島》 ⑧日地→霊山(町)
お国侍 ⑤日史→江戸〔性格と特徴〕
小国神社 ④哲宗→神社〔表〈国幣小社〉〕
奥新川渓谷 ⑧日地→宮城(町)
奥日光 栃木・群馬 ⑦日地242 B ⑧日地→日光(市)
雄国沼 福島 ⑦日地242 C図 ⑧日地→猫魔ヶ岳
奥貫友山 ⑥日史→武蔵国〔囲人国記〕
奥院 ④哲宗→寺院〔囲用語〕 →神社〔囲用語〈奥宮〉〕
奥能登丘陵 石川 ⑦日地242 C
『奥の細道』 ⑤日史188 A ①文学→紀行文学〔日本〕 →俳文 →松尾芭蕉
奥の山古墳 ⑤日史→埼玉古墳群
オクバ ⑩世地→カイルアン
奥博多温泉 ⑧日地→南(区)《福岡市》
奥早出粟守門県立自然公園 ⑧日地→新潟(県)〔観光〕
奥原晴湖 [1837/1913] 女流日本画家。多くの勤王志士と交わり,文人画を描いて知られる ②美術98 C →明治の美術〔文人画〕
おくび ⇨げっぷ
尾久比島 ⑧日地→豊浜(町)《広島》
奥飛騨温泉郷 ⇨穂高温泉郷
奥飛騨数河流葉県立公園 ⑧日地→古川(町)
奥日野県立公園 ⑧日地→鳥取(県)〔観光〕 →日南(町) →日野(町) →日野川
臆病口 ③音演→能〔能舞台と装置〕
奥びわ湖パークウェー ⑧日地→西浅井(町)
奥穂高岳 ⑦日地→上高地図 ⑧日地→日本アルプス〔北アルプス〕 →穂高岳 ⑲植物→高山植物別
オグボモショ ナイジェリア ⑩世地127 C
おくまかぶとまつり ⑧日地→中島(町)《石川》
小熊秀雄 [1901/1940] 詩人。壮大な饒舌をもって多様な詩活動を展開,風刺詩と叙事詩が注目される ①文学107 B
小熊捍 [1885/1971] ⑭医学→細胞〔発見〕
袵 ⑬生活→長着 →和裁〔囲知識〕
袵下り ⑬生活→和裁〔囲知識〕
奥宮 ④哲宗→神社〔囲用語〕
奥宮健之 [1857/1911] 明治の社会運動家。自由党結成に参加。のち大逆事件に連座し刑死 ⑤日史188 B →車会党 ⑥日史→大逆事件
奥宮川内谷県立自然公園 ⑧日地→徳島(県)〔観光〕 →土成(町)
奥明方 ⇨明方(村)
奥武蔵 埼玉 ⑦日地242 C
奥武蔵県立自然公園 ⑦日地→埼玉(県)〔観光〕 ⑧日地→飯能(市) →日高(町)《埼玉》
奥村五百子 [1845/1907] 明治の国粋主義的婦人運動家。尊攘運動に参加,のち愛国婦人会を創設 ⑤日史188 B →愛国婦人会
奥村土牛 [1889] 日本画家。質朴な筆致と清澄な色彩で独自の境地を開く。文化勲章受章 ②美術98 C
奥村政信 [1686/1764] 江戸中期の浮世絵師。西洋画の透視遠近法をとりいれた「浮絵」の創始者という ②美術98 C図 →浮世絵〔展開と作者〕 →洋風画 ①文学→草双紙 ③音演→芝居絵
オーク・モス ⑲植物→オーク
奥物部 高知 ⑦日地242 D
奥薬研温泉 ⑦日地→大畑(町)〔薬研温泉〕
奥矢作湖 ⑧日地→矢作川〔矢作ダム〕
奥山 ⑦日地→浅草〔沿革〕
奥山 静岡/引佐町 ⑦日地242 D →引佐(町)
奥山石仏 ⑧日地→奈良(市)図
奥山半僧坊 ⇨方広寺《静岡》

奥山原 ⑦日地→国頭(村)
奥湯河原温泉 ⑧日地→湯河原(町)
奥行メゾネット ⑰科技→集合住宅〔図メゾネット〕
奥湯田温泉 ⑧日地→山口(市)
オクヨウジ ⑳動物→ヨウジウオ
オクラ〈アメリカネリ〉 ⑲植物99 C図
御蔵 ⑤日史188 B
小倉 ⑧日地→千々石(町)
小倉餡 ⑬生活→餡
小倉金之助 [1885/1962] 数学者。数学史・実用数学・数学教育関係分野を開拓 ⑤日史188 B ⑯物数70 C図 →数学教育〔歴史〈形式陶冶説〉〕
小倉コレクション ⑧日地→習志野(市)
小倉尚斎 ⑥日史→明倫館
小倉汁粉 ⑬生活→汁粉
小倉伸吉 [1884/1936] 海洋物理学者。日本近海同時潮図・潮汐表の作成などの研究がある ⑱宇地52 B
小倉親王 ⇨兼明親王
小椋谷 ⑦日地→永源寺(町)
巨椋池 京都市 ⑦日地242 D
『小倉百人一首』 ⇨『百人一首』
オクラホマ(州) アメリカ ⑩世地127 C
『オクラホマ!』 ③音演→ミュージカル図
オクラホマシティ アメリカ/オクラホマ ⑩世地127 D ⑫経産→アメリカ経済事情図
小倉正恒 [1875/1961] 住友財閥の総帥。近衛内閣の国務・大蔵大臣や戦時金融公庫総裁などを歴任 ⑤日史188 C
小倉山 京都市 ⑦日地242 D →化野
御倉山 ⑧日地→十和田湖図
小倉遊亀 ②美術→昭和の美術
小倉霊現 ④哲宗→新興宗教〔表〈教祖〉〕
小倉鹿門 [1703/1776] ⑤日史→周防国〔囲人国記〕
オークランド アメリカ/カリフォルニア ⑩世地127 D
オークランド ニュージーランド ⑩世地127 D
オークランド(島) ニュージーランド/太平洋 ⑩世地128 A
送り足 ⑬生活→相撲〔囲用語〕
送り足払い ⑬生活→柔道〔基本〈投げ技〉〕図
送り襟絞め ⑬生活→柔道〔基本〈固め技〉〕図
於久里加牟木里 ⑳動物→ザリガニ
送り状 ⑫経産→貿易〔囲用語〈インボイス〉〕
小栗宗湛 [1413/1481] 室町中期の画家・禅僧。幕府御用絵師 ⑤日史188 C
オクリダ(湖) ⇨オハリド(湖)
送り台つき旋盤 ⑰科技→モーズリー,H
小栗忠順 [1827/1868] 幕末の幕臣。幕政改革によって幕府を支えつつ薩長に対する主戦論を唱える ⑤日史188 C ⑥日史→万延元年遣米使節
オークリッジ アメリカ/テネシー ⑩世地128 A
小栗峠 福岡・熊本 ⑦日地243 A ⑧日地→筑肥山地
諡 ⑤日史→諡号
送り火 ④哲宗→盂蘭盆会 →燈明〈419 A〉
小栗風葉 [1875/1926] 小説家。尾崎紅葉に入門,作風も模倣したので「小紅葉」といわれた ㊥『青春』 ①文学107 C
送り盆 ④哲宗→盂蘭盆会
送南風 ⑱宇地→風〔表季題〈秋〉〕
小栗美作 [1626/1681] ⑤日史→越後騒動
小栗虫太郎 [1901/1946] 推理作家。神秘性とペダントリーとトリックの一体となった作品で知られる ㊥『黒死館殺人事件』 ①文学107 C →推理小説〔日本〕
オークル ⑮化学→黄土
『贈る言葉』 ①文学→柴田翔
オグルビ,M ⑫経産→土地国有論
オグルマ〔小車〕 ⑲植物99 C
おくるみ ⑬生活→子供服〔ベビー服〕
奥六郡 ⑤日史→安倍氏
オグロジカ〈ミュールジカ〉 ⑳動物→オジロジカ →シカ〔生態〕
オグロシギ〔尾黒鷸〕 ⑳動物125 A
オグロジャックウサギ ⑳動物→ノウサギ図
オグロスナギツネ ⑳動物→キツネ〔種類〕
オグロヅル ⑳動物→ツル〔種類〕
オグロヌー ⇨ヌー
奥和歌浦 ⑧日地→和歌浦
おくんち ⑧日地→福岡(市)〔櫛田神社〕
オケアノス ⑱宇地→地図〔歴史〈世界〉〕
桶川(市) 埼玉 ⑦日地243 A
オケゲム,J [1430?/1495?] フランドル楽派の作曲家。アントワープの大聖堂歌手などとして活躍 ③音演68 A

おけさ人形　⑦日地→佐渡島〔産業〕
オケーシー,S　アイルランド［1880/1964］　劇作家。貧民たちの生活や無知な人々の革命運動を素材に優れた作品を残す　㊥『ジュノーと孔雀』　①文学107 D図　→アイルランド文学　③音演68 B図→アイルランド演劇　→現代演劇
おけじや　⑬生活→郷土料理〔囲〈三重〉〕
オーケストラ　③音演68 C　⇨管弦楽　⇨管弦楽団
桶染絞　②美術→絞〔技術〕
瘀血　〔悪血〕　⑭医学→漢方医学
置戸(町)おけと　北海道/網走支庁　⑦日地243 A
『桶取』　③音演→壬生狂言図
おけ流し　⑦日地→相川(町)
桶沼　⑦日地→吾妻山
桶狭間おけはざま　⑧日地→豊明(市)
桶狭間の戦い　⑤日史188 D図　→今川義元　→織田信長〔天下統一〕
オ・ゲ・ペ・ウ〈ゲ・ペ・ウ〉　⑪政社→政治警察
『桶物語』　①文学→スウィフト,J
桶屋の三吉　⑲植物→タケ囲
オケラ　⑲植物100 A図　→山菜　→薬用植物表
オケラ　⇨ケラ
オコ　⇨カイコ
岡豊おこう　高知/南国市　⑦日地243 A
オゴーウェ(川)　⑩世地→ガボン(共和国)
岡豊城　⑥日史→長宗我部氏
小河内ダム　⑦日地243 A　→奥多摩　→奥多摩湖　⑧日地→多摩川　⑰科技→ダム表
御講凪　⑱宇地→風〔表季題〈冬〉〕
小郡(市)おごおり　福岡　⑦日地243 A
小郡(町)　山口　⑦日地243 B
オコサマ　⇨カイコ
おこし　⑬生活→菓子〔和菓子の歴史〕　→駄菓子
起　愛知/尾西市　⑦日地243 B
起し太鼓　⑧日地→古川(町)図
上哆唎下哆唎　⑨世史→任那
オコジョ　⑳動物125 A　→イタチ〔近縁種〕図
オコゼ〔虎魚〕　⑳動物125 B図　→オニオコゼ
越生(町)おごせ　埼玉　⑦日地243 B
おこぜ組　⑤日史189 A　⑥日史→土佐藩
越生梅林　⑦日地→越生(町)
御高祖頭巾　⑤日史→頭巾
オゴタイ・ハン　［1186/1241］　モンゴル帝国第2代のハン。チンギス・ハンの第3子。温厚で父の信頼をうける　⑨世史105 B図　→モンゴル帝国
オゴタイ・ハン国　⑨世史105 C　→ハイドゥ　→モンゴル帝国〔成立〕
御骨大師像　⑤日史→園城寺
興部(町)おこっぺ　北海道/網走支庁　⑦日地243 B
雄琴温泉　⑦日地→大津(市)
『お琴と佐助』　③音演→島津保次郎
オコナー,F　アメリカ［1925/1964］　女流小説家。神と人間という普遍的な問題に新しい光をあてた南部作家　①文学107 D
大樽　⑦日地→越前(町)
オゴノリ〔於期苔,海髪〕　⑲植物100 A　→海藻〔別紅藻植物〕　⑬生活→海藻類　→寒天
御米蔵　⇨御蔵
お籠り　④哲宗→祈り〔諸相〕
おこり　⇨マラリア
小来川温泉　⑧日地→日光(市)
小来川鉱山　⑱宇地→赤銅鉱　→銅〔自然銅〕
おこわ　⇨赤飯
オコンナー　⇨オコナー,F
オコンナー,F　イギリス［1794/1855］　チャーティスト運動の指導者。アイルランド解放運動・選挙法改正運動にも参加　⑨世史105 C　→チャーティスト運動
オコンネル,D　アイルランド［1775/1847］　解放運動の指導者。革命下のフランス留学でめざめアイルランド解放に挺身　⑨世史105 D図　→カトリック教徒解放令
オコンネル通り　⑩世地→アイルランド(共和国)図　→ダブリン
長　⑦日地→湖東(町)　→真田(町)
筬　⑬生活→織物〔製造工程〕
表佐　⑧日地→垂井(町)
オサエ　⑬生活→囲碁〔囲用語〕図
押笠　⑤日史→笠
小坂(町)おさか　岐阜　⑦日地243 B
女方遺跡　⑤日史189 A図
オサガニ〔筬蟹〕　⑳動物125 C図
刑部親王〔忍壁親王〕　［?/705］　飛鳥末期,天武天皇の皇子。大宝律令の筆頭編纂者で持統帝崩御後国政を総理　⑤日史189 A　⑥日史→大宝律令　→知太政官事
オサガメ〔長亀,革亀〕　⑳動物125 C図　→ウミガメ　→カメ〔形態〕図
おさがり〈神幸式〉　④哲宗→金比羅信仰
御座替祭　⑧日地→筑波(町)〔筑波山神社〕
尾崎　大阪/南海町　⑦日地243 C
尾崎海岸　⑦日地→釜石(市)
尾崎咢堂　⇨尾崎行雄
尾崎一雄　［1899/1983］　小説家。志賀直哉の作風に傾倒,自身の体験に即しつつ庶民の哀歓を描く。文化勲章受章　㊥『まぼろしの記』　①文学108 A図
尾崎記念館　⑧日地→永田町　└→芥川賞表
尾崎喜八　［1892/1974］　詩人。山岳や高原を好み,自然への賛美,人間の善意をうたう　①文学108 B
尾崎紅葉　［1867/1903］　小説家。洗練された言文一致体の文章の妙をほこって,小説の文体の進路を定めた　㊥『金色夜叉』　①文学108 C図　→『我楽多文庫』　→硯友社　→新聞小説　⑤日史189 B　→硯友社　⑧日地→東京(都)〔文学散歩〕
尾崎士郎　［1898/1964］　小説家。人間への不信と不安をテーマにした佳作のほか浪漫調青春小説で有名　㊥『人生劇場』　①文学109 A図
尾崎神社《岩手》　⑦日地→尾崎岬
尾崎神社《石川》　⑦日地→金沢(市)〔観光〕
尾崎半島　⑦日地→釜石湾
尾崎放哉　［1885/1926］　俳人。無季・自由律に脱社会的感情の新風を残した　①文学109 C図
尾崎秀実　［1901/1944］　中国問題評論家。国際共産主義運動に参加しゾルゲの情報工作を支援　⑤日史189 B　⑥日史→ゾルゲ事件　⑪政社→ゾルゲ事件図
御崎岬　⑦日地→唐桑半島
尾崎岬　岩手　⑦日地243 C
尾崎行雄〈尾崎咢堂〉　［1859/1954］　政党政治家。護憲運動・普選運動の指導者で自由主義と反軍的立場を堅持　⑤日史189 B図　→大隈重信内閣〔第一次〕　→共和演説事件　→憲政会　⑪政社55 D図
オザーク(台地)　アメリカ　⑩世地128 A　→アーカンソー(州)　→ミズーリ(州)
石裂山　栃木　⑦日地243 C　→鹿沼(市)
おさげ　⑬生活→髪形〔子供〕
御下直衣〈御引直衣〉　⑥日史→直衣
御匙　⑭医学→医師〔歴史〕
お座敷列車　⑰科技→客車〔営業用〈座席車〉〕
オサシダ　⑲植物→シシガシラ
オサゾウムシ〔主象鼻虫〕　⑳動物126 A
長田新　⑯物数→数学教育〔歴史〈形式陶冶説〉〕
尾佐竹猛　［1880/1946］　司法官・歴史家。明治史研究の基礎を築く　⑤日史189 C　⑪政社56 A図
長田野台地　⑧日地→福知山(市)
御定書百箇条　⑤日史189 C　→公事方御定書　→喧嘩両成敗
お札まき踊　⑧日地→横浜(市)〔観光・文化〕
小山内薫　［1881/1928］　演出家・劇作家・小説家。自由劇場・築地小劇場を創立,不断の創作で演劇界に尽力　㊥『大川端』　①文学109 C図　→『新思潮』　③音演68 C　→日本演劇〔新劇〕　⑤日史189 D　→自由劇場　⑥日史→築地小劇場
『幼きものに』　①文学→島崎藤村
『おさな源氏』　①文学→野々口立圃
『幼な子イエズスへの20のまなざし』　③音演→メシアン,O
オサバグサ〔筬葉草〕　⑲植物100 B図　⑧日地→日本アルプス〔植物〕
長百姓　⑤日史→組頭
長船(町)　岡山　⑦日地243 C
長船長光　［*.*］　鎌倉中期の刀匠。長船派の始祖光忠の子と伝えられ,作域は広い　②美術98 D
長船派　②美術→備前物　⑤日史→兼光　⑥日史→長光
他戸親王　⑤日史→光仁天皇
長部日出雄　①文学→直木賞表
男狭穂塚古墳　⑤日史→西都原古墳群
オサムシ〔歩行虫〕　⑳動物126 A図
オサムシダマシ　⑳動物→ゴミムシダマシ
治部省　⇨治部省
大仏次郎　［1897/1973］　小説家。歴史小説・風俗小説・ノンフィクション・史伝とその活動は多岐。文化勲章受章　㊥『鞍馬天狗』『赤穂浪士』　①文学109 D図　③音演68 D
オサラク〔長楽〕　⑲植物→ツバキ表別
筬欄間　②美術→欄間
尾去沢　秋田/鹿角市　⑦日地243 D　→鹿角(市)
尾去沢鉱山　⑦日地→鹿角(市)　⑱宇地→重晶石　→赤鉄鉱　→藍銅鉱　→ろうは
尾去沢鉱山ダム決潰事件　⑤日史189 D
尾去沢銅山　⑤日史190 A
長流川　⑧日地→伊達(市)　→洞爺湖
小沢城跡　⑧日地→多摩(区)
小沢征爾　［1935］　指揮者。ボストン交響楽団の常任指揮者など,国際的に活躍　③音演68 D
小沢弁蔵　⑥日史→同盟進工組
小沢蘆庵　［1723/1801］　江戸中期の歌人。心に重点をおき,同情新情の説を述べ「ただこと歌」を主張　①文学110 B　⑤日史190 A
お産　⇨出産
呉相淳　⇨呉相淳
オザンファン,A　フランス［1886/1966］　画家。ピュリスムの提唱者。晩年はニューヨークに住む　②美術98 D　→ピュリスム
男三瓶〈親三瓶〉　⑦日地→三瓶山
おさん茂兵衛　③音演→『大経師昔暦』
オシ　ソ連　⑩世地128 A
おし〈唖〉　⑭医学→難聴　→聾唖
おし　⇨オシドリ
忍　埼玉/行田市　⑦日地243 D　→行田(市)
御師〈おんし〉　④哲宗81 C　→伊勢信仰　⑤日史190 A　⑦日地→伊勢(市)〔歴史〕
伯父〔叔父〕　⑬生活→親族
オジ・アーチ　②美術→アーチ〔図種類〕　⑰科技→アーチ構造〔図種類〕
『オシアナ』　⑨世史→ハリントン,J
OCRS　⇨サハラ地域共同機構
オシアン　［*.*］　3世紀ごろの古代ケルト族の半神話的吟唱詩人。叙事詩をつくったといわれる　①文学110 B図
『オシアン作品集』　①文学→オシアン　→歌謡〔西洋〕　→マクファーソン,J　→ロマン主義〈720 B〉
オジアンダー,L　［1534/1604］　③音演→コラール
『オシアン論』　①文学→ヘルダー,J
オシイェク　⇨オシエク
『おじいさんとおばあさんの話』　①文学→佐佐木茂索
『おじいさんの椅子』　①文学→ホーソーン,N
押板　②美術→書院造　→床の間　⑬生活→床の間
押入れ　⑬生活→収納　→住まい〔設計〈各部〉〕　→整理学〔整理と収納〕
押絵　②美術98 D図　⑥日史→錦絵
オージエ,E　フランス［1820/1889］　劇作家。道徳や家庭の秩序を重んじるモラリストの立場を強調した作品が多い　①文学110 C　③音演→近代劇　→フランス演劇〔写実劇〕
オージェ,M　⑯物数→オージェ効果
オシエク　ユーゴ　⑩世地128 B
『教草吉原雀』　①文学→桜田治助(初世)
オージェ効果　⑯物数71 A
オジェシュコバ,E　ポーランド［1841/1910］　女流小説家。社会問題をテーマにヒューマニスティックな作品を書いた　①文学110 C
オシエツキ,O　ドイツ［1889/1938］　ジャーナリスト・平和主義者。文才を発揮しファシズム反対で強制収容所に拘禁　⑨世史105 D
OJT〈職場内教育訓練〉　⑫経産→経営教育
オージェ電子分光法　⑯物数→オージェ効果
押絵雛　⑬生活→郷土玩具〔種類〕
『小塩』　③音演→『西行桜』
OGO　⑱宇地→人工衛星表
オージオメーター　⑮化学→プリーストリー,J
オージオン　⑰科技→ド・フォレスト,L図
牡鹿(町)　宮城　⑦日地243 D
小値賀(町)　長崎/五島列島　⑦日地243 D　→小値賀島
小値賀牛　⑦日地→小値賀(町)
小鹿渓　鳥取　⑦日地243 D　⑧日地→天神川　→三朝(町)
小値賀島　長崎/五島列島　⑦日地244 A　→小値賀(町)
押型　②美術→ガラス工芸〔技法〕
押ヶ峠断層帯　⑧日地→吉和(村)
押型文土器　⑤日史190 A　→縄文文化〔時代区分〕
牡鹿半島　宮城　⑦日地244 A　⑧日地→万石浦

押しかぶせ褶曲 ⑱宇地→褶曲
押しかぶせ断層 ⑧日地→逆断層〈1207 A〉 ⑱宇地→断層〔分類〕
押川春浪 ①文学→海洋文学
折敷 ⑤日史 190 B →懸盤 ⑬生活→食器〔歴史〕 →膳
オジギソウ〈ネムリグサ〉 ⑲植物 100 B図
折敷高坏 ⑥日史→高坏
御直山 ⑰科技→鉱山〔歴史〈日本〉〕
おしくらごう ⑧日地→萩(市)図
押小路氏 ⑥日史→中原氏
押込 ⑤日史 190 B
雄子沢 ⑦日地→雄国沼 ⑧日地→檜原湖
オシゼミ ⑳動物→セミ〔発音器〕
オシダ〔雄羊歯〕〈メンマ〉 ⑲植物 100 C →シダ植物別 →薬用植物表
おしたじ ⑬生活→しょうゆ〔調理〕
押出し ⑰科技 53 C図 →塑性加工 ⑮化学→プラスチック〔成形加工〕図
押し出し ⑬生活→相撲〔競技〈技〉〕
押出仏 ②美術→鍛金 →仏像〔材料と技法〈金属造〉〕
押し球 ⑬生活→ビリヤード〔囲用語〕
忍足内 ⑤日史→安房国〔囲人国記〕
お七夜 ⑬生活→祝い事〔出産と育児〕
押付仕上げ ⑰科技→機械仕上げ
オシツブシ ⑬生活→囲碁〔囲用語〕図
おしてる ①文学→短歌〔囲枕詞〕
鴛泊 北海道/東利尻町 ⑦日地 244 B
オシドリ〔鴛鴦〕 ⑳動物 126 B図 →カモ〔分類〈淡水ガモ〉〕 →県鳥表
押ぬき ⑰科技→プレス加工〔せん断加工〕
忍野(村) 山梨 ⑦日地 244 C →忍野八海 ⑧日地→富士山図
忍野八海 山梨 ⑦日地 244 C →忍野(村)
御忍駕籠 ⑤日史→駕籠
忍野盆地 ⑧日地→富士五湖 →山中湖
押し葉〈腊葉〉 ⑲植物→植物標本図
おじば帰り ⑧日地→天理(市)〔天理教本部〕
押し花 ⑬生活→フラワーデザイン〔ドライフラワー〕
忍藩 ⑥日史→武蔵国〔囲人国記〕
オシビェンチム ⇨オシュフィエンチム
押し船 ⑰科技→浚渫〔浚渫用付属船〕
雄しべ〈雄ずい〉 ⑲植物 100 C →花粉 →花
押しボタン電話機〈プッシュホン〉 ⑰科技→電話〔新しいサービス〕
大島 ⇨冠島
小島 ⑦日地→来島海峡
尾島 ⑧日地→六島諸島
男島 ⑧日地→男女群島
渡島(支庁) 北海道 ⑦日地 244 C
雄島 ⑦日地→陳ケ岡台地 ⑧日地→東尋坊 →三国(町)
尾島(町) 群馬 ⑦日地 244 D
渡島大島 北海道 ⑦日地 244 D ⑱宇地→火山〔表活火山〕
渡島山地 北海道 ⑦日地 244 D
小島峠 ⑦日地→祖谷
渡島半島 北海道 ⑦日地 245 D →亀田半島 ⑧日地→檜山(支庁) →茂津多岬
渡島富士 ⇨駒ヶ岳《北海道》
御島巡式 ⑧日地→宮島(町)〔厳島神社〕
押水(町) 石川 ⑦日地 245 D
『惜みなく愛は奪う』 ①文学→有島武郎
押し麦 ⑬生活→麦〔オオムギ〕 ⑲植物→オオムギ〔利用〕
おじや ⇨雑炊
小千谷(市) 新潟 ⑦日地 245 D図
『雛妓』 ①文学→岡本かの子
御積島 ⑧日地→飛島
小千谷縮〈越後縮〉 ②美術 99 A ⑦日地→小千谷(市)図 ⑬生活→麻織物〔縮〕
オーシャノグラフィー ⇨海洋学
長万部(町) 北海道/渡島支庁 ⑦日地 246 B図
おじゃみ ⑬生活→児童遊戯〔おてだま〕
オシャラクマメ ⇨ハッショウマメ
オシャリビョウキン ⑲植物→カビ〔生態〈虫生菌類〉〕
オーシャン(島) キリバス/太平洋 ⑩世地 128 B
オーシュ フランス ⑩世地 128 B
オシュウェンツィム ⇨オシュフィエンチム
お十夜念仏 ⑦日地→鎌倉(市)〔囲神社・仏閣〕
オジュク ⑪政社→ナイジェリア戦争

オシュフィエンチム〈アウシュビッツ〉 ポーランド ⑩世地 128 B ⑪政社→ナチズム図
お倹伝兵衛 ③音演→『近頃河原の達引』
和尚〈和上〉 ④哲宗→僧〔原始仏教〕 →仏教〔囲用語〕
御錠口 ⑤日史→大奥
和尚山 ⑦日地→安達太良山
『お嬢さん』 ③音演→日本映画〔無声映画時代〈第2期〉〕
和尚様 ②美術→水墨画
汚職 ⑪政社→政治的腐敗
オショグボ ナイジェリア ⑩世地 128 C
忍路 北海道/小樽市 ⑦日地 246 B
忍路環状列石 ⑤日史 190 B図
オショロコマ ⑳動物 126 B
おしらさま ③音演→人形劇〔形式の分類〈棒人形〉〕別 ⑲植物→クワ囲 ⑳動物→カイコ〔民俗〕
おしら信仰 ⑧日地→東北地方〔民俗〕
オシリス ④哲宗 81 C →エジプト神話〔オシリス神話〕図 ⑨世史→アビドス ⑳動物→ヒツジ〔民俗〕
オシリス(山脈) ⑩世地→ギリシア(共和国)〔地方誌〈北部ギリシア〉〕
オシリス神話 ④哲宗→エジプト神話
オシリスの審判 ④哲宗→地獄〔古代宗教〕 →審判図
おしろい〔白粉〕 ⑬生活 56 A →化粧〔変遷〈西洋〉〕 ⑰科技→鉛〔性質と用途〕
オシロイバナ〔白粉花〕 ⑲植物 101 A図 →遺伝図 →帰化植物〔人為的帰化植物〕
オシロイバナ科 ⑲植物 101 B
オシログラフ ⑯物数 71 A図
オジロクロオウム ⑳動物→クロオウム
御城碁 ⑬生活→囲碁〔囲故事〕
オジロコシアカキジ ⑳動物→キジ〔種類〕図
オジロジカ〔尾白鹿〕 ⑳動物 126 C →シカ〔生態〕図
オジロシジミ ⑳動物→チョウ《昆虫》〔人間生活との関係〕
オジロジャックウサギ ⑳動物→ノウサギ
オシロスコープ ⑯物数 71 C図 →オシログラフ
オジロスナギツネ ⑳動物→キツネ〔種類〕
オジロヌー ⑳動物→ヌー
オジロワシ〔尾白鷲〕 ⑳動物 126 C →ワシ図
悪心 ⇨吐きけ
オシンコシンの滝 ⑦日地→知床半島図
雄 ⑳動物→婚姻色 →性〔単細胞生物〕
襲 ⑤日史 190 B
汚水 ⑬生活→住まい〔付帯設備〈給排水設備〉〕
オスカー衛星 ⑱宇地→人工衛星〔種類〈技術開発衛星〉〕表
お姿節 ③音演→民謡〔表〈徳島〉〕
オスカー・ワイルド ⇨ワイルド, O
御救小屋 ⇨救小屋
オスグロトモエ ⇨トモエガ
オスジロアゲハ ⑳動物→チョウ《昆虫》〔別〈外国〉〕
尾鈴県立公園 ⑦日地→尾鈴山 ⑧日地→都農(村) →宮崎(県)〔観光〕
尾鈴山地 ⑧日地→耳川 →宮崎(県)〔自然〈地勢〉〕
尾鈴山 宮崎 ⑦日地 246 B
オスターイェ, P ベルギー[1896-1928] 詩人。表現主義の第一人者。活字の大小・配置などの印刷法も試みる ①文学 110 D
オスターデ, A オランダ[1610-1685] フランドルの画家・版画家。居酒家の情景など純朴な風俗を描く ②美術 99 B →風俗画
オスタラ ⑲植物→ヒヤシンス図
オスチャーク族 ⑳動物→ガン〔民俗〕
オースチン, J イギリス[1790-1859] ⑪政社→法学〔歴史〈英米法学〉〕
オースチン ⑳動物→アホウドリ
オースチン ⑰科技→自動車〔歴史〈大衆車〉〕
オスティア遺跡 ⑩世地→テベレ(川)
オースティン, G ⑩世地→ヒマラヤ(山脈)〔登山と探検史〕
オースティン, J イギリス[1775-1817] 女流小説家。多感な小説やゴシック小説に対する批判とパロディから創作を出発 作『エマ』 ①文学 110 D図 →イギリス文学〔ビクトリア朝〕
オースティン, J イギリス[1911-1960] 哲学者。日常言語学派を代表する一人。言語現象学を提唱 ④哲宗 81 D →イギリス哲学〔現代〈第二次大戦以後〉〕
オースティン アメリカ/テキサス ⑩世地 128 C
オステオグロッサム ⑳動物→魚類〔進化〈真骨類〉〕

オステオレピス ⑱宇地→シーラカンス(類)
オーステナイト ⑮化学→鋼
オーステナイトステンレス鋼 ⑮化学→不銹鋼 ⑰科技→ステンレス鋼 →ニッケル鋼
オステルターグ胃虫 ⑳動物→東洋毛様線虫
オステルバ, J ポーランド[1885-1947] ③音演→東欧演劇
オーステン, G ⑩世地→K_2(峰)
オステンデ ベルギー ⑩世地 128 C
オストヒルフェ ⑨世史 105 D
オストフリージアン種 ⑳動物→ヒツジ〔家畜ヒツジ〕
オストベルイ, R ノルウェー ②美術→北欧美術〔建築と工芸デザイン〕
オストマルク ⑨世史→中欧史〔概観〈中世〉〕
オストラキスモス〈陶片追放〉 ⑨世史 106 A →クレイステネス →テミストクレス ⑪政社→公職追放
オストラコン ⑨世史→オストラキスモス
オーストラダ ⑧日地→高速道路〈1210 D〉
オストラバ チェコ ⑩世地 128 C
オストラバ・カルビナ炭田 ⑩世地→オストラバ
オーストララシア ⑩世地→オセアニア
オーストラリア(連邦) オセアニア ⑩世地 128 C図 ⑨世史→白濠主義 ⑪政社→オーストラリア政治事情 ⑫経産→オーストラリア経済事情
オーストラリアアルプス オーストラリア ⑩世地 134 B
オーストラリアガキ ⑳動物→カキ〔有用種〕
オーストラリア・キャピタルテリトリー ⑩世地→キャンベラ
オーストラリア区 ⑲植物→植物区系 →植物分布〔フロラ分布〕図 ⑳動物→動物分布〔動物分布〕図表
オーストラリア経済事情 ⑫経産 57 B図表
オーストラリア抗原 ⑭医学→癌〔肝臓癌〈治療〉〕 →肝炎〔急性ウイルス性肝炎〕
オーストラリア政治事情 ⑪政社 56 B図
オーストラリア・ニュージーランド文学 ①文学 111 B
オーストラリア肺魚 ⑳動物→ハイギョ
オーストラリア博物館 ⑰科技 679 C
オーストラリアハリトカゲ ⑩世地→オーストラリア(連邦)〔自然〕図
オーストラリアワニ ⑳動物→ワニ〔分類〕図
オーストラリアンメリノー ⑳動物→ヒツジ〔家畜ヒツジ〕
オーストラル(諸島) ⇨ツブアイ(諸島)
オーストラロイド ⑪政社→人種問題〔人種・民族・国民〕
オーストリア(共和国) ヨーロッパ ⑩世地 134 C図 ⑧日地→緩衝国〈1205 C〉 ⑨世史→サン・ジェルマン条約 →大ドイツ主義 →中欧史 →ドイツ・オーストリア合邦 ⑪政社→永世中立
オーストリア学派 ⑫経産 60 A →経済学〔経済学史〕 →主観価値説 →メンガー, C
オーストリア継承戦争 ⑨世史 106 B →アーヘンの和約 →中欧史〔オーストリア〕 →プラグマティッシェ・ザンクツィオン →マリア・テレジア
オーストリア工芸美術館 ②美術 683 D
オーストリア国立科学技術博物館 ⇨国立科学技術博物館
オーストリア国家条約 ⑨世史 106 B
オーストリア自然史博物館 ⇨自然史博物館
オーストリア社会民主労働者党 ⑨世史 106 B
オーストリア・トルコ戦争 ⑨世史 106 C
オーストリア・ハンガリー帝国 ⑨世史 106 C →中欧史〔オーストリア〕
オーストリア美術館 ②美術 683 D
オーストリア・マルクス主義 ⑪政社 56 C
オーストロアジア語族 ⑩世地→インドシナ(半島)〔民族構成〕
オーストロネシア語族 ⑩世地→世界〔言語〕
オストロフスキー, A ロシア[1823-1886] 劇作家。曲折に富む筋立て,人物の明快な言動を特色とし,国民演劇の父とよばれる 作『雷雨』 ①文学 111 D図 ③音演 68 D
オストロフスキー, N ソ連[1904-1936] 小説家。戦線で重傷を負い,半身不随・失明の中で自伝的長編をものした 作『鋼鉄はいかに鍛えられたか』 ①文学 112 A図 →社会主義リアリズム
『オストロミール福音書』 ①文学→ロシア・ソビエト文学〔ロシア〈古代〉〕
オストワルト, F ドイツ[1853-1932] 化学者・哲学者。心的・物的なものを含めてエネルギー一元論を唱えた。ノーベル賞受賞 ④哲宗 81 D ⑮化学

96 A図 →触媒 →物理化学 →レオロジー〔誕生〕 ⑯物数→原子論〔物質の分子構造〕
オストワルト,W ⑰科技→技術〔技術論〕
オストワルトの希釈律 ⑮化学 96 C →電解質〔希釈率〕
オストワルト標準色標 ⑮化学→顔料〔性質〈色〉〕→塗料〔性質〈色と光沢〉〕
オストワルト表色系 ⑯物数→色〔表色〕図別
オストワルト法 ⇨アンモニア酸化法
オーストンウミツバメ ⑳動物 126 C →ウミツバメ図
オーストンヤマガラ ⑳動物→ヤマガラ
オスナーブリュック 西ドイツ ⑩世地 137 B
『オスナブリュック史』 ⑨世史→メーザー,J
『牡猫ムルの人生観』 ①文学→ホフマン,E
雄バチ ⑳動物→ミツバチ図
オスバルド ①文学→北欧文学〔スウェーデン文学〕
雄ヘテロ型 ⑳動物→遺伝〔性の決定〕
おすべらかし ⑤日史→髪形〔女子〕図
オズボーン,H アメリカ［1857/1935］ 古生物学者。哺乳類化石の研究やアリストゲネシス説で有名 ⑱宇地 52 C ⑳動物 127 A
オズボーン,J イギリス［1929］ 劇作家。「怒れる若者たち」の代表的存在 作『怒りをこめてふり返れ』 ①文学 112 B図 →イギリス文学〔20世紀〕 ③音演 69 A図 →イギリス演劇〔20世紀〕
オズボーン,R ②美術→漫画〔今日の漫画家たち〕
オズマ計画 ⑱宇地→地球〔宇宙の中の地球〕
オスマン(一世) ⑨世史→オスマン・トルコ帝国
オスマン語 ①文学→トルコ文学〔イスラム化後〕
オスマンダ ⑲植物→土壌〔表園芸用土〕
オスマン・トルコ帝国 ⑨世史 107 C図表 →チューリップ時代 →東欧史〔列強による支配〕 →トルコ民族 ⑩世地→トルコ(共和国)〔略史〕
オスマン文学 ①文学→トルコ文学〔イスラム化後〕
オスミウム ⑮化学 96 C図 →テナント,S ⑱宇地→イリドスミン
オスミリジウム ⇨イリドスミン
オスロ ノルウェー ⑩世地 137 C図
オスロ国立美術館 ②美術 683 D
オスロ植物園 ⑲植物→植物園表
オスロフィヨルド ⑩世地→ノルウェー(王国)〔地方誌〈南東〉〕
オズワルド,O イギリス ④哲宗→常識哲学
尾瀬 福島・群馬・新潟 ⑦日地 246 C ⑧日地→日光国立公園 ⑲植物→植物〔日本の植物相〕図
オセアニア ⑨世史 108 C表 ⑩世地 137 D図
オセアニア美術 ②美術→プリミティブ・アート
小瀬ヶ沢洞窟遺跡 ⑤日史 190 C ⑧日地→新潟(県)〔歴史〕
尾瀬ヶ原 ⑦日地→尾瀬図 ⑧日地→燧ヶ岳 ⑱宇地→湿地 ⑲植物→浮島図 →高山植物別
小瀬川 ⑦日地→岩国(市) ⑧日地→和木(町)
小関三英 ⇨小関三英
オゼコウホネ ⑲植物→植物〔日本の植物相〈尾瀬〉〕
大瀬崎 静岡/沼津市 ⑦日地 246 D図
大瀬神社 ⑦日地→大瀬崎
オゼソウ〔尾瀬草〕 ⑲植物 101 C図 →植物〔日本の植物相〈尾瀬〉〕
おせち料理〔お節料理〕 ⑬生活 56 C図 →正月
オセット人 ⑩世地→北オセティア
尾瀬峠 ⇨三平峠
尾瀬沼 ⑦日地→尾瀬図 ⑧日地→只見川 →燧ヶ岳
オゼヌマアザミ ⑲植物→アザミ
オセベルク船 ⑨世史→バイキング図
小瀬甫庵 ①文学→仮名草子 →『信長記』 →太閤記
オーゼル ⇨オークセル
『オセロ』 ①文学→シェークスピア,W ③音演→シェークスピア,W図
オセロット ⑳動物 127 A図 →ヤマネコ
オーセン,I ノルウェー［1813/1896］ 言語学者・詩人。方言研究を基礎に新しい書き言葉「ランスモール」をつくる ①文学 112 D
おせんころがし 千葉/勝浦市 ⑦日地 247 B図
お泉水庭園 ⑧日地→福井(市)〔観光〕
遅江 ⑧日地→大根島
オゾケライト ⑮化学→石油〔組成および性状〕 →パラフィン〔パラフィンろう〕
オーソサイド水和剤 ⑲植物→農薬〔表〈殺菌剤〉〕
おそなえ ⑬生活→餅〔歴史・種類〕
オゾニド ⑮化学→アルケン〔表付加反応〕 →オゾン〔化合物〕
オーソパイロキシナイト ⑱宇地→深成岩
『お染の七役』 ⇨『於染久松色読販』
お染久松 ③音演→『新版歌祭文』 ⑧日地→大東(市)〔野崎観音〕
『於染久松色読販』 ③音演 69 B ①文学→鶴屋南北(四世)
『お染久松,袂の白絞』 ①文学→紀海音
恐羅漢山 島根・広島 ⑦日地 247 B →冠山山地
オソリオ ⑩世地→エルサルバドル(共和国)〔略史・政治〕
オソルノ チリ ⑩世地 138 B
オソルノ(山) チリ ⑩世地 138 B →チリ(共和国)図
『恐るべき親達』 ③音演→コクトー,J
『恐るべき子供たち』 ①文学→コクトー,J
『恐れ』 ①文学→ネーメット
恐山 青森 ⑦日地 247 B図 →宇曽利山湖 →下北半島国定公園 ⑱宇地→火山〔表活火山〕 →鶏冠石 →石黄
恐山湖 ⇨宇曽利山湖
恐山山地 青森 ⑦日地 247 C
『オ・ソレ・ミオ』 ③音演→民謡〔西欧〈ナポリ民謡〉〕
オゾン ⑮化学 97 B図 →酸素 →シェーンバイン,C →大気汚染 ⑱宇地→成層圏
オーソン・ウェルズ ⇨ウェルズ,O
オゾン化カリウム ⑮化学→カリウム〔化合物〕
オゾン化物 ⑮化学→オゾン〔化合物〕 →過酸化物
オゾン層 ⑮化学→オゾン ⑱宇地→大気〔成層と命名〕
織田(町) 福井 ⑦日地 247 D
おだ ⑬生活→釣り〔囲用語〕
小田 ⑦日地→岩美(町)
小田(町) 愛媛 ⑦日地 247 D
オーダー〈柱式〉 ②美術 99 B図 →ギリシア美術〔建築〈神殿〉〕 →柱〔西洋〕
お太鼓 ⑬生活→帯〔締め方〕図 →和服〔図着付け〕
御代参街道 ⑤日史 190 C
お太子さん ⑧日地→太子(町)《兵庫》〔斑鳩寺〕
尾岱沼 北海道 ⑦日地 247 D図 ⑧日地→別海(町) →北海道図
オタイネ明神 ⑦日地→大島《東京》〔観光〕
お大の方 ⇨伝通院
御台場 ⑤日史 190 C図 ②美術→城〔日本〈沿革〉〕 ⑧日地→台場 ⑰科技→江川太郎左衛門
お松明 ⑦日地→京都(市)〔別年中行事〕
小平浪平 ［1874/1951］ 日立製作所の創業者。国産技術の開発を経営理念とし成果をあげる ⑫経産 60 B図
御田植祭 ③音演→田植踊 →民俗芸能〔種類〈田楽〉〕 ④哲宗→住吉大社図 ⑦日地→大阪(市)〔住吉大社〕図 →京都(市)〔別年中行事〕 →霧島(町)〔霧島神宮〕
小田氏 関東の豪族で常陸国小田を本拠とする。安土桃山初期に滅亡 ⑤日史 190 D図
織田氏 室町中期尾張の守護代となる。信長の次子信雄と弟有楽の子孫が大名として維新に至る ⑤日史 191 A図 →織田信長〔天下統一〕 ⑥日史→丹羽長秀
織田有楽 ［1547/1621］ 安土桃山期の武将。兄信長の覇業を助け,豊臣・徳川の間に身を処す ⑤日史 191 B →織田氏
緒絶川 ⑧日地→古川(市)
小高(町) 福島 ⑦日地 247 D
尾高 ⑧日地→米子(市)
尾高賞 ③音演→尾高尚忠
小高城〈浮舟城〉 ⑦日地→小高(町)
織田一磨 ［1882/1956］ 版画家。日本創作版画協会を設立。都会風俗の石版画で注目された ②美術 100 A →石版画〔歴史〕図
尾高朝雄 ［1899/1956］ 法哲学者。法と政治の関係,民主主義の問題などを考察 ⑪政社 56 D
お鷹場 ⑬生活→狩猟〔起原〈日本〉〕
尾高尚忠 ［1911/1951］ 指揮者・作曲家。日本交響楽団の常任指揮者として,交響楽運動の先頭に立って活躍 ③音演 69 B
オタカラコウ ⑲植物 101 C図
オタカル(二世) ［1230?/1278］ ⑨世史→プシェミスル朝
小田川 ⑧日地→高梁川 →矢掛(町) →山野峡
愛宕通旭 ［1834/1871］ 旧公家。維新政府に不満をもち,政変の画策が発覚し自刃を申し付けられる ⑤日史 191 C
オーダーキャンセル ⑬生活→郵便切手〔囲用語〕
小田急電鉄 ⑦日地→神奈川(県)〔交通〈鉄道〉〕 ⑧日地→東京(都)〔交通〕
小田切一雲 ［1630/1706］ ⑥日史→針ヶ谷夕雲
小田切進 ①文学→日本近代文学館
小田切備中 ⑤日史→出雲国〔囲人国記〕
小田切秀雄 ［1916］ 文芸評論家。転向批判や実感論・主体性論の提唱など民主主義文学理論を展開 ①文学 112 C →文芸学
御岳 ⑧日地→中之島《鹿児島》
男岳 ⑦日地→駒ヶ岳《秋田》
男岳 ⑦日地→五島列島 →嵯峨ノ島
雄岳 ⑧日地→二上山
小田県 ⑦日地→岡山(県)〔歴史〕 ⑧日地→広島(県)〔歴史〕
オタゴ(高原) ⑩世地→ニュージーランド〔自然〕
小田片岩 ⑱宇地→紅簾片岩
織田作之助 ［1913/1947］ 小説家。大阪の風土に密着した名作を生む 作『夫婦善哉』 ①文学 112 C図 →新戯作派 ⑤日史 191 C
オタ・シーク チェコ ⑪政社→チェコ事件
小田城跡 ⑧日地→筑波(町)
小田嶽夫 ［1900/1979］ 小説家。人生の悲傷を静かにみつめる目をもった作家として知られる ①文学 113 A →芥川賞表
尾立石 ⑱宇地→石材〔使用例〕
オタテガモ ⑳動物→カモ〔分類〕
オタテドリ〔尾立鳥〕 ⑳動物 127 A
織田得能 ［1860/1911］ ④哲宗→浄土真宗囲
男谷精一郎 ［1810/1864］ 江戸後期の幕臣・剣術家。講武所開設を建議し,のち奉行となる ⑤日史 191 C →講武所
小谷の方〈お市の方〉 ［1543/1583］ 信長の妹。浅井長政と政略結婚。のち柴田勝家と再婚,夫とともに自刃 ⑤日史 191 D図 →浅井長政 →柴田勝家
小谷山 ⑦日地→湖北(町)
オタネニンジン ⇨チョウセンニンジン
小田野直武 ［1749/1780］ ②美術→秋田蘭画図 →洋風画 ⑥日史→出羽国〔囲人国記〕
織田信興 ⑥日史→長島一揆
織田信雄 ［1558/1630］ 安土桃山時代の武将。信長の第2子。何度か豊臣と徳川の間を動き,のち上野国で五万石を領す ⑤日史 191 D →賤ヶ岳の戦い ⑥日史→豊臣秀吉〔天下統一〕
織田信孝 ［1558/1583］ 安土桃山時代の武将。信長の第3子。跡目争いで秀吉を討とうとして失敗,自殺 ⑤日史 192 A →賤ヶ岳の戦い
織田信忠 ［1557/1582］ 安土桃山時代の武将。信長の長子として一線で戦い,本能寺の変にあい二条城で討死 ⑤日史 192 A図
織田信長 ［1534/1582］ 戦国・安土桃山時代の武将。尾張の奉行の子から天下統一を進め,本能寺の変で倒れる ⑤日史 192 B図 →安土桃山時代 →桶狭間の戦い →鎖国〔禁教と貿易〕 ⑥日史→茶道〔大成〕 →中国征伐 →鉄砲 →豊臣秀吉〔信長に仕官〕 →本能寺の変
織田信秀 ［1508/1551］ 戦国武将。信長の父。尾張守護代織田大和守の奉行で,主家を圧倒し周辺の諸氏と戦う ⑤日史 193 B →織田氏
小田浜 ⑦日地→大島《宮城》
御旅所 ④哲宗→神社〔囲用語〕
お旅祭 ⑦日地→小松(市)
おたふくかぜ〔お多福風〕〈流行性耳下腺炎〉 ⑭医学 65 C →ウイルス〔疾患〕 →学校保健〔学校伝染病〕 →感染症〔表〈ウイルス性〉〕 →男性性器〔疾患〈睾丸炎〉〕
オタフクグルミ〈ヒメグルミ〉 ⑲植物→クルミ
お多福すずめ ⑳動物→スルメイカ
オタフクマメ ⑲植物→ソラマメ
お玉ヶ池種痘所 ⑤日史→種痘所
オダマキ〔苧環〕 ⑲植物 102 A図
オダマキ科 ⑲植物→キンポウゲ科
小田巻蒸し ⑬生活→うどん〔調理〕
小田実 ［1932］ 小説家・評論家。政治的・社会的視野をもった全体小説をめざしている ①文学 113 A →『展望』
オタマジャクシ〔蝌蚪,御玉杓子〕 ⑳動物 127 A →カエル〔生態と発生〕図 →体色 →変態
阿玉の方〔於玉の方〕 ⇨桂昌院
オタマボヤ ⑳動物→プランクトン図
御霊屋 ④哲宗→寛永寺
御霊屋形 ②美術→灯籠
織田幹雄 ⑬生活→オリンピック〔表優勝者・男子陸上〈三段跳び〉〕 →陸上競技〔日本〕

小野上(村) 群馬 ⑦日地252 B
『おのが名誉の医師』 ③音演→カルデロン・デ・ラ・バルカ,P →スペイン演劇図
大篦柄岳 ⑧日地→高隈山地
『おのが理性に寄す』 ①文学→カンテミール,A
小野川温泉 ⑧日地→米沢(市)
小野川喜三郎 ⑬生活→相撲〔表横綱〕
小野川湖 福島 ⑦日地252 B
小野組 ⑤日史196 A ⑥日史→古河市兵衛
オノグル族 ⑩世地→ハンガリー(人民共和国)〔社会・文化〈住民・言語〉〕
小野玄妙 [1883-1939] ④哲宗→浄土宗囲
小野湖 ⑦日地→厚東川
小野光一 ⑬生活→ゴルフ〔歴史〈日本〉〕
小野湖山 [1814-1910] 儒者・漢詩人。白楽天を宗としたが,勤皇・憂国の詩が多い ①文学116 A
小野古墳 ⑦日地→志賀(町)
おのころ島 ④哲宗→伊弉諾・伊弉冉尊 →日本神話〔囲〈国生み神話〉〕 ⑦日地→淡路島〔歴史〕 ⑱宇地→島〔民俗〕
おのころ島神社 ⑧日地→三原(町)
小野宿 ⑦日地→伊那谷図
小野貫 ⑬生活→野球〔社会人野球〕
小野次郎右衛門(忠明) [?-1628] 安土桃山・江戸初期の武芸者。伊藤一刀斎を継ぎ一刀流を大成 ⑤日史196 B図 →一刀流
小野神社 ⑦日地→志賀(町)
小野清一郎 ⑪政社→刑法〔改正事業〕
小野田(市) 山口 ⑦日地252 B
小野田(町) 宮城 ⑦日地252 C
小野喬 ⑬生活→オリンピック〔近代〈メルボルン大会〉〕図 →体操競技〔歴史〕
尾ノ岳 熊本 ⑦日地252 C
小野武夫 ⑫経産→社会経済史学〈262 C〉
小野田セメント(株) ⑫経産60 D
小野田線 ⑦日地→山陽本線
相野谷 ⑦日地→紀宝(町)
小野竹喬 [1889-1979] 日本画家。国画創作協会を結成。文化勲章受章 ②美術100 D図
小野塚喜平次 [1870-1944] 明治・大正の政治学の先駆者。ドイツ流国家学から政治学の独立を図る ⑤日史196 C →七博士事件 ⑪政社57 B
小野寺十内 ⑤日史→赤穂義士表
小野十三郎 [1903-] 詩人。新しい詩精神をねばり強く求め,鋭い方法意識に貫かれた力強い作品が多い ①文学116 A
小野妹子 [?-?] 飛鳥時代の第1回遣隋使。隋使とともに帰国;その帰国に際し再度入隋 ⑤日史196 C →遣隋使 ⑥日史→中国〔日隋・日唐交渉〕 →裴世清
小野毛人墓誌 ⑤日史196 D図
小野老 [?-737] 奈良前期の歌人。大伴旅人の下にあり,『万葉集』に短歌3首を残す ①文学116 B
小野小町 [?-?] 平安前期の女流歌人。『古今和歌集』に18首を残し,のち小町伝説が生まれる ①文学116 B図 →『古今和歌集』 →六歌仙 ⑤日史196 D図
小野僧正 ⇨仁海
小野篁 [802-852] 平安前期の漢詩人・歌人。多感俊才で,その博識ぶりは説話化されて有名 ①文学116 C →篁日記 ④哲宗84 A ⑤日史197 A →遣唐使〔中断〕
小野ノ滝 ⑦日地→木曽谷〔観光〕
小野道風 [896-966] 平安中期の能書家。三蹟の一人。仮名の名手であり,和様書道を完成 ②美術100 D図 →三筆・三蹟 →書〔日本書道史〕 →和様〔書〕 ⑤日史197 A →三蹟
小野岑守 [777-830] 平安前期の学者・能吏。『凌雲集』『内裏式』を撰進 ⑤日史197 A ①文学→『凌雲集』 ⑥日史→『凌雲集』
小野宮実頼 ⇨藤原実頼
小野宮流 ⑥日史→藤原実資 →藤原実頼
小野好古 [884-968] 平安中期の武人・歌人。追捕使として藤原純友を捕え,のち参議に進む ⑤日史197 A
小野派一刀流 ⑤日史→小野次郎右衛門
斧始 ②美術→仏像〔制作〕
小野浜造船所 ⑤日史→殖産興業政策表
オノフリ,A [1885-1928] 詩人。象徴派を研究,イマジズムともいうべき断片詩法を創出 ①文学116 D
オノマンネングサ〈タカノツメ〉 ⑲植物→メノマンネングサ図
苧の実〈アサの実〉 ⑬生活→種実類
尾道(市) 広島 ⑦日地252 C図 ①文学→林芙美子図
尾道大橋 ⑦日地→因島(市) →瀬戸内海〔交通〕 ⑧日地→向島 ⑰科技→橋図
オノミチキサンゴ ⑳動物→キサンゴ
尾道水道 ⑦日地→尾道(市)図
雄湊 和歌山/和歌山市 ⑦日地253 B
小野宮流 ⑥日史→摂関家 →有職故実〔有職〕
小野職孝 ⑥日史→『本草綱目啓蒙』
雄ノ山峠 和歌山 ⑦日地253 C
小野蘭山 [1729-1810] 江戸後期の本草学者。東洋的本草学の第一人者で「東洋のリンネ」といわれる ⑤日史197 A ⑲植物105 B図 ⑥日史→『本草綱目啓蒙』 ⑭医学→漢方薬〔歴史〕
小野流 ④哲宗→真言宗〔歴史〕〔囲〈聖宝〉〕 →仁海
オノン(川) ソ連 ⑩世地140 C
オハ ソ連 ⑩世地140 C
伯母〔叔母〕 ⑬生活→親族
『おばあさん』 ①文学→ニェムツォバー,B
オバイ〔鰲拝〕 中国 ⑨世史→康熙帝
オハイオ(州) アメリカ ⑩世地140 D
オハイオ(川) アメリカ ⑩世地140 D →テネシー(川) →ミシシッピ(川)
オーバーオールボタン ⑬生活→ボタン〔種別〕
オパキュリナ ⑱宇地→有孔虫
お歯黒 ⇨鉄漿
オハグロイボソデ ⑳動物→貝類別
オハグロガキ ⑳動物→カキ
おはぐろ溝 ⑥日史→吉原〔新吉原〕
オハグロトンボ ⑳動物→トンボ〔民俗〕
『お化けの世界』 ①文学→坪田譲治
伯母子岳 奈良 ⑦日地253 D
オーバーコート ⑬生活→コート
小迫祭 ⑦日地→金成(町)
おはさみ ⑬生活→帯〔締め方〕
おはじき〈石弾き〉 ⑬生活→児童遊戯
オバシギ ⑳動物→シギ
オーバーシューズ ⑬生活→登山〔囲用語〕
『姨捨』〔伯母捨〕 ③音演73 A →能別
姨捨山〈冠着山〉 長野 ⑦日地253 D図 →上山田(町) →更科
小俣(町) 三重 ⑦日地254 A
小幡英之助 [1848-1904] ⑥日史→豊前国〔囲人国記〕
小幡景憲 [1572-1663] 江戸前期の兵学者,幕臣。武田家軍法と小笠原流を大成し武田流の祖となる ⑤日史197 B ⑥日史→兵法
小幡商人 ⑦日地→五個荘(町)
小幡酉吉 [1873-1947] 外交官。外務省政務局長のとき寺内内閣の満州外交権統一案に強く反対 ⑤日史197 B
オーバーチェック ⑬生活→洋装〔囲洋服地〈格子模様〉〕
御鉢平 ⑧日地→大雪山
お鉢巡り ⑧日地→富士山〔民俗〕
オーバチュア ⇨序曲
オハツキイチョウ ⑧日地→米原(町) ⑲植物→イチョウ
オハツキギボウシ ⑲植物→ギボウシ
お初穂 ④哲宗→神道〔囲用語〕
『オバデヤ書』 ④哲宗→聖書〔囲〈旧約〉〕
お花 ⇨いけ花
オバナ〔尾花〕 ⑲植物→ススキ
雄花 ⑲植物105 B →花〔両性花と単性花〕
尾花粥 ⑬生活→粥 ⑲植物→ススキ
尾花栗毛 ⑳動物→ウマ〔毛色・特徴〕
尾花沢(市) 山形 ⑦日地254 B図
御咄衆 ⇨御伽衆
『オパナスの唄』 ①文学→バグリツキー,E
お花畑 ⑲植物105 C →高山植物別 →高山帯 ⑦日地→美ヶ原図
尾花岬 北海道 ⑦日地254 B
オパノール ⑮化学→ゴム〔合成ゴム〈ブチルゴム〉〕
オパバ チェコ ⑩世地140 D
オーバーハウゼン 西ドイツ ⑩世地140 D
お婆どこゆく〈岐阜音頭〉 ③音演→民謡〔表〈岐阜〉〕
オーバーハング ⑬生活→登山〔囲用語〕
オーバーヒート ⑬生活→ドライブ〔ドライブ旅行〈一般走行〉〕
オーバーヘッドカムシャフト式 ⇨OHC
オーバーヘッドバルブ式 ⇨OHV
オーバー・ヘビー級 ⑬生活→レスリング〔表階級〕
オバボタル ⑳動物→ホタル〔日本産〕図
オーバーボローイング ⑫経産→融資〔一〕 →預貸率
小浜 ⑦日地→岩代(町)
小浜(市) 福井 ⑦日地254 C図
小浜(町) 長崎 ⑦日地255 D
小浜池 ⑧日地→三島(市)〔楽寿園〕
小浜温泉 ⑦日地→小浜(町)
小浜三匹獅子舞 ⑧日地→福島(県)〔文化〕
小浜神社 ⑦日地→小浜(市)図
小浜線 ⑧日地→北陸本線
小浜湾 ⑦日地256 A ⑧日地→若狭湾
御林 ⑤日史197 C
小林温泉 ⑧日地→宝塚(市)
オハ油田 ⑩世地→サハリン〔産業〕
オハラ,J アメリカ [1905-1970] 小説家。ハードボイルド風に描く社会風俗小説が多い 作『サマーラの町で会おう』 ①文学116 D
小原(村) 愛知 ⑦日地256 A
御祓札 ④哲宗→お守り〔御札〕
小原雲心 [1861-1916] ⑬生活→いけ花〔歴史〕
小原温泉 ⑦日地→白石(市)
『大原御幸』〔小原御幸〕 ③音演73 B図
小原治五右衛門 ⑤日史→越中国〔囲人国記〕
小原鉄心 [1817-1872] ⑥日史→美濃国〔囲人国記〕
小原良節 ⑦日地→鹿児島(県)
小原流 ⑬生活→いけ花〔歴史〈盛り花と投入れ〉〕
小治田安万侶墓誌 ⑤日史197 C
オハリド(湖) アルバニア・ユーゴ ⑩世地141 A
オパリナ ⑳動物130 B
オパーリン,A ソ連 [1894-1980] 生化学者。地球の生命の起原について科学的・体系的仮説を提起 ⑮化学98 A図 ⑲植物105 C図 →発生 ⑱宇地→地質時代〔先カンブリア時代〕 ⑳動物→生命〔起原〕
オパル〈たんぱく石〉 ⑱宇地53 A図 →宝石〔図〈天然〉〕〔表誕生石〕
オパルクリストバル石 ⑱宇地→クリストバル石
オパール捺染 ⑬生活→洋装〔囲洋服地〕
オーバルネックライン ⑬生活→衿図
オーバー・ローン ⑫経産61 A →日本経済事情〔財政金融制度〈金融制度〉〕 →融資〔一〕 →預貸率
『おはん』 ①文学→宇野千代
オーバン イギリス ⑩世地141 A
オーバン ⑩世地→スチュアート(島)
オーバーンダム ⑰科技→ダム表
お半長右衛門 ③音演→『桂川連理柵』
オバンボ族 ⑩世地→ナミビア
オバンボランド ⑩世地→ナミビア
オビ(川) ソ連 ⑩世地141 A →イルツイシ(川) ⑱宇地→川〔民俗〕表
オビ(諸島) ⑩世地→モルッカ(諸島)
帯 ⑬生活58 A図 →礼服〔表和服礼装〕 →和服〔種類〕図
飫肥 宮崎/日南市 ⑦日地256 A
OB〈アウト・オブ・バウンズ〉 ⑬生活→ゴルフ〔ゴルフコース〈構成〉〕
帯揚げ ⑬生活→帯〔付属品〕 →礼服〔表和服礼装〕 →和服〔種類〈和装小もの〉〕
帯祝い〈着帯の儀〉 ⑬生活→祝い事〔出産と育児〕
オビエド スペイン ⑩世地141 A ⑨世史→アストゥリアス王国
帯親 ⑬生活→祝い事〔出産と育児〈帯祝い〉〕
お東 ⇨東本願寺
オビカレハ〔帯枯葉蛾〕 ⑳動物130 B図
オヒキコウモリ ⑳動物→コウモリ〔分類〕
御引次 ⇨御部屋様
御引直衣〈御下直衣〉 ⑥日史→直衣
帯記録計 ⑰科技→工業計測〔伝送,記録,指示〕
オビキンバエ ⑳動物→ハエ図
オビクラゲ〔帯水母〕 ⑳動物130 C →クシクラゲ
オビゲンセイ ⑳動物→ツチハンミョウ
帯地 ⑬生活→和服〔囲和服地〈織物〉〕
オヒシバ〔雄日芝〕〈チカラグサ〉 ⑲植物106 A図
帯締め ⑬生活→帯〔付属品〕図 →礼服〔表和服礼装〕 →和服〔種類〈和装小もの〉〕
おびしゃ祭 ⑧日地→東京(都)〔別年中行事〕
小尾十三 ①文学→芥川賞表
帯芯 ⑬生活→帯
飫肥スギ ⑧日地→宮崎(県)〔産業〈林業〉〕
オピストドモス ②美術→ギリシア美術〔建築〈神殿〉〕
帯スペクトル ⑮化学→連続スペクトル ⑯物数→スペクトル

オービター ⑱宇地→ロケット〔歴史〈アポロ以後〉〕
お火焚祭 ⑦日地→京都(市)〔囲神社・仏閣〈伏見稲荷大社〉〕図 →滋賀(県)〔文化〕
おひつ〈おはち〉 ⑬生活→調理器具〔容器〕
小櫃川 千葉 ⑦日地 256 A
おひつじ座〔牡羊座〕〈白羊宮〉 ⑱宇地 53 B →星座〔四季〈冬〉〕表 ⑬生活→占い〔西洋占星術〈表十二星座宮〉〕
オーピッツ,M ドイツ[1597/1639] 詩人・詩学者。明晰な言葉による詩法にかなった詩の実例を示した ①文学 116 D図 ③音演→ドイツ演劇〔歴史〕
オビディウス,P 〔前43-後18•〕 詩人。ローマ社交界の寵児であったが,アウグストゥス帝に追放 ⑨世史 110D ①文学→オウィディウス,P
首 ⑤日史→姓 →氏姓制度〔大和国家〕
帯解き ⑬生活→七五三
帯解 奈良/奈良市 ⑦日地 256 B
帯解寺〈地蔵院〉 ⑦日地→帯解 ⑧日地→奈良(市)〔囲神社・仏閣〕
帯留 ⑬生活→帯〔付属品〕
帯ドラマ ③音演→テレビジョン・プレイ〔分類〕
帯那山 山梨 ⑦日地 256 B
オピニオン・リーダー ⑫経産→マス・コミュニケーション
帯のこ盤 ⑰科技→工作機械〔表〈金切りのこ盤〉〕
オビババヤスデ ⑳動物→ヤスデ図
帯広(市) 北海道 ⑦日地 256 B図
帯広川 北海道 ⑦日地 256 C
帯広空港・⑧日地→北海道〔交通〈航空路〉〕
おびひろ動物園 ⑳動物→動物園〔表日本〕
帯ブレーキ ⑰科技 60 A →ブレーキ〔図構造〕
帯祭 ⑦日地→島田(市)図
『帯屋』 ③音演→『桂川連理柵』
お百草〈黄柏エキス〉 ⑭医学→生薬〔黄柏〕
お百度詣 ④哲宗→祈り〔諸相〕
オビヤスデ ⑳動物→ヤスデ〔日本〕
オヒョウ ⑲植物→ニレ
オヒョウ〔大鮃〕 ⑳動物 130 C →カレイ〔生態〕図
小平(町) 北海道/留萌支庁 ⑦日地 256 C
尾平鉱山 ⑱宇地→斧石 →錫石 →白鉄鉱
オビラメ ⇨イトウ
オヒルギ ⑲植物 106 A →ヒルギ図
御広敷番 ⑤日史 197 C →大奥
オーブ(川) フランス ⑩世地 141 B
オプ・アート ②美術 101 A →アメリカ美術〈11A〉 →アルバース,J
オフィオプルテウス ⑳動物→クモヒトデ
オフィチック ⑱宇地→火成岩〔構造と組織〕
オフィーリア ①文学→シェークスピア,W〔ハムレット〕
オフェイロン,S アイルランド[1900] 小説家。まやかしの宗教性,島国文化を批判し,風刺的な傾向を強めたため不評 ①文学 117 A
『オフェリア』 ②美術→イギリス美術図
オーフェルアイセル(州) ⑩世地→オランダ(王国)〔地方誌〕
オフ・オフ・ブロードウェー演劇 ③音演→アメリカ演劇〔オフ・ブロードウェー演劇〕図
お福 ③音演→人形浄瑠璃〔別文楽の首〕
於福温泉 ⑧日地→美祢(市)
『おふくろ』 ①文学→田中千禾夫
『母』 ③音演→ブレヒト,B
御深井焼 ②美術→御庭焼
オフサイド ⑬生活→アイスホッケー〔囲反則〕 →アメリカンフットボール〔囲用語〕 →ラグビー〔囲用語〕
オブザベーション・トライアル ⑬生活→オートバイ競技
オフサルモメーター〈眼球計〉 ⑭医学→検眼〔他覚的屈折検査〕
オブジェ ⑬生活→いけ花〔歴史〈前衛いけ花〉〕
オブジェクトプログラム ⑯物数→計算機〔囲計算機言語〕
『オブジェ先生』 ①文学→ボスケ,A
お富士様植木市 ⑧日地→東京(都)〔別年中行事〕
オブシチナ ⑨世史→ストルイピン,P〔ストルイピン改革〕
オブシディアン ⇨黒曜岩
オフシャニコ=クリコフスキー,D ロシア[1853/1920] 文芸学者・言語学者。主観的心理的方法と社会学的方法の結合を主張 ①文学 117 A
オプシン ⑭医学→網膜
オーフス デンマーク ⑩世地 141 B
オプストフェルダー,S ノルウェー[1866/1900] 詩人。世紀末の不安と退廃に悩み,放浪生活を続けながら詩作 ①文学 117 A図
オブストラクション ⑬生活→ラグビー〔囲用語〕
オプス・ベルミキュラートム ②美術→モザイク
『男衾三郎絵巻』 ⑤日史 197 C →鎌倉時代図 ②美術→絵巻〔囲作品〕
小布施(町) 長野 ⑦日地 256 C
オフセット印刷 ⑰科技 60 A →印刷〔平版印刷〕
オフセンター ⑬生活→郵便切手〔囲用語〕
オプソニン反応 ⑭医学→抗原抗体反応
御札〈祈禱札〉 ④哲宗→お守り
オプタテシケ山 北海道 ⑦日地 256 C
オプチカルファインダー ⑰科技→カメラ〔機能と操作〕
尾駮沼 青森 ⑦日地 256 D
御仏名〈仏名会〉 ⑤日史 197 C ④哲宗→法会〔おもな法会〕 ⑧日地→奈良(市)〔別年中行事〕
オプティカル・アート ⇨オプ・アート
オプティマテス ⑨世史→閥族派 →ローマ〔共和政期〈末期〉〕
オプティミズム〈最善観,楽天主義〉 ④哲宗 84 A →ペシミズム →弁神論 ①文学→文学〔囲用語〕
『お筆先』 ④哲宗→大本教 →聖典 →天理教 ⑤日史→大本教図
オプトメトリスト ⑭医学→検眼〔検眼士〕
オープナー ⑬生活→カクテル〔器具〕図
お船祭 ⑦日地→上高地図 →下諏訪(町)〔諏訪大社下社〕図 →新宮(市)〔熊野速玉大社〕
オフ・ブロードウェー演劇 ③音演→アメリカ演劇
『御文』〈御文章〉 ④哲宗→蓮如
雄冬岬 ⑧日地→増毛山地
オフュルス,M ドイツ[1902/1957] 映画監督。俳優・演出家ののち映画界へ入る。ウィーン情緒の描写に優れる ③音演 73 C
オブライエン,W [1886/1962] ③音演→アニメーション映画
オブラート ⑭医学→薬〔形状〈散剤〉〕
オブラドビッチ,D ユーゴ[1742/1811] 啓蒙思想家。生涯の大半を旅に過ごす。セルビア近代文学の創始者 ①文学 117 B
オーブリー,J イギリス[1626/1697] 伝記作者。好古趣味をもち,生来の社交性を生かし,各界名士の伝記的メモを残す ①文学 117 B
お振替 ④哲宗→パーフェクトリバティー
オプリチニナ体制 ⑨世史→イワン(四世) →ロシア〔歴史〈モスクワ大公国〉〕
オフリド(湖) ⇨オハリド(湖)
『オフ・リミッツ』 ③音演→アダモフ,A
オフレアティ,L アイルランド[1897] 小説家。同国人の生活を手固いリアリズムの筆致で描く ①文学 117 B
御触書 ⑤日史 197 D
オブレゴン,A メキシコ[1880/1928] ⑨世史→メキシコ革命
オブレノビチ家 セルビアの王家。19世紀にカラジョルジェビチ家とセルビアの支配を争う ⑨世史 110 D →東欧史〔歴史〈民族の覚醒と独立〉〕
『オブローモフ』 ①文学→ゴンチャロフ,I
『オブローモフ気質とは何か』 ①文学→ドブロリューボフ,N ④哲宗→ドブロリューボフ,N
オーブン〈天火〉 ⑬生活→調理器具〔熱調理器具〕
オープンエンド精紡機 ⑰科技→紡績〔紡機とその進歩〕図
オープン・エンド・モーゲージ ⑫経産→社債〔担保〕
オープンカー〈ツアラー〉 ⑰科技→自動車〔種類〕
オープンカラー ⑬生活→衿〔カラー〈種類〉〕図
オープンケーソン工法 ⑰科技→基礎工〔ケーソン基礎〕
オープンコース ⑬生活→スケート〔スピード〕 →陸上競技〔種目〈リレーレース〉〕
オープン・サンドイッチ ⑬生活→サンドイッチ図
オープン・システム ⑰科技→プレハブ建築〔部品化の方法〕
オープン・システム ⑭医学→医療制度図
オープン・ショップ制 ⑪政社→労働組合〔ショップ制〕
オープン・ステージ劇場 ③音演→劇場〔現代〕図
オープンスペース ⑧日地→緑地〈1237 D〉
オープントースター ⑬生活→電気器具〔種類〕
オープン・ハース製鋼〈平炉製鋼〉 ⑰科技→シーメンズ,W →マルタン,P
オープン病院 ⑭医学→病院〔分類〕
オープン・フィールド・システム ⇨開放耕地制度
オープンベルト ⑰科技→巻掛伝動装置〔ベルト伝動〕図
オベイド ⇨エルオベイド
オペーク〈テロップ〉 ⑰科技→テレビジョン〔テレビ放送局〈フィルム送像装置〉〕
オベサ ⑲植物→多肉植物表 →ユーフォルビア属
オベーチキン,V ソ連[1904/1968] 小説家。一貫して農村のアクチュアルな問題を追求 ①文学 117 C
OPEC ⇨石油輸出国機構
御部屋様 ⑤日史 197 D
オペラ〈歌劇〉 ③音演 73 C図 →アリア
オペラ・イン・ムジカ ③音演→オペラ
オペラグラス ⑯物数→望遠鏡〔双眼鏡〕 ⑱宇地→天体望遠鏡〔種類〕
オペラ・コミック ①文学→歌謡〔西洋〕 ③音演→オペラ〔種類と国民的様式〕
オペラ座 ③音演→オペラ〔歌劇場・歌劇団〕図 ⑩世地→パリ〔囲観光地〕図
オペラ・セリア〈正歌劇〉 ③音演→インテルメッツォ〔1〕 →オペラ〔種類と国民的様式〕
オペラ・ハウス ③音演→オペラ〔歌劇場・歌劇団〕図
オペラ・ブッファ ③音演→インテルメッツォ〔1〕 →オペラ〔種類と国民的様式〕
オペラント条件づけ ⑭医学→条件反射 ⑳動物→学習
オベリアクラゲ ⑳動物→プランクトン図
オベリスク ⑨世史 110 D図 →トゥトメス(三世) ②美術→塔 →モニュメント
オベリゼ ⑩世地→ベルギー(王国)図
オベール,D フランス[1782/1871] 作曲家。ナポレオン三世時代の宮廷の指揮者としてパリの音楽界を支配 ③音演 77 D
オーベルト,H ドイツ[1894/1978] ロケット工学者。ロケット科学の先駆者。その著『宇宙旅行への途』で知られる ⑱宇地 53 B →宇宙開発〔先史〕 →人工衛星〔歴史〕 →ロケット〔歴史〈初期〉〕 ⑰科技→ロケット・エンジン〔歴史〕
オーベルニュ(高地) フランス ⑩世地 141 B →マッシフサントラル
オーベルベック,J ドイツ[1789/1869] ②美術→ナザレ派
『オーベルマン』 ①文学→セナンクール,E
オベレク ③音演→舞曲〔マズルカ〕
オペレーションズ・リサーチ〈OR〉 ⑫経産 61 A →意思決定論 →インダストリアル・エンジニアリング ⑪政社→管理 →サイバネティクス ⑯物数→OR →計画数学 →システム工学 →電子計算機〔応用〕
オペレーター ⑰科技→電子計算機〔囲用語〕
オペレッタ ③音演→オペラ〔種類と国民的様式〕
オペレーティング・システム〈OS〉 ⑯物数→ソフトウェア ⑰科技→電子計算機〔囲用語〕
オベロン ⑱宇地→衛星〔表〈天王星〉〕
『オベロン』 ③音演→ウェーバー,C
オペロン説 ⑲植物→遺伝子〔研究史〕
オー・ヘンリー アメリカ[1862/1910] 短編作家。人生の一こまを皮肉と風刺で描き,どんでん返しによる落ちを特徴とする 作『賢者の贈り物』 ①文学 117 C図
オーボエ〈オーボー〉 ③音演 77 D図 →イングリッシュ・ホルン
覚書 ⑤日史 197 D ⑪政社→外交〔囲用語〕
覚書貿易 ⑫経産→日中貿易
おぼくれ坊主 ③音演→巷間芸能〔願人坊主〕
オボコ ⑳動物→ボラ
オホスデルサラド チリ・アルゼンチン ⑩世地 141 B
オポチュニズム〈日和見主義〉 ⑪政社 57 B
オホーツク(海) ⑩世地 141 C ⑱宇地→海氷〔日本海〕図 →海洋表
オホーツク海気団 ⑱宇地 53 B →気団〔日本付近〕
オホーツク海高気圧 ⑱宇地 53 B →海氷〔海氷予報〕 →寒冷高気圧 →高気圧〔種類〕
オホーツク水族館 ⑳動物→水族館〔表日本〕
『オホーツク挽歌』 ①文学→宮沢賢治〔春と修羅〕
オホーツク文化 ⑤日史 197 D図
オホーツクヤドカリ ⑳動物→染色体表
オホーツク大和堆 ⇨北見大和堆
オポッサム〈フクロネズミ〉 ⑳動物 130 C図 →有袋類
生保内 秋田/田沢湖町 ⑦日地 256 D
生保内節〈ノーコラ節〉 ③音演→民謡〔表〈秋田〉〕
オポヤーズ ①文学→ロシア・ソビエト文学〔ソビエト〕
オーボラー,A アメリカ[1909] ③音演→ラジオ・プレイ〔歴史〕

オリンピック ⑬生活70 A図表 ⑨世史→クーベルタン,P

オリンピック国立公園 ⑩世地→アメリカ(合衆国)〔表国立公園〕

オリンポス(山) ギリシア ⑨世史112 A ⑩世地148 A ④哲宗→ギリシア・ローマ神話

オリンポスの十二神 ④哲宗→ギリシア・ローマ神話〔オリンポス〕図 ⑨世史→オリンポス

オール ⑬生活→ボートレース図

オールインワン〈ワンピースコルセット〉 ⑬生活→下着〔洋装〈コースレット〉〕

オルガ(山) ⑩世地→アリススプリングス →エアーズロック →オーストラリア(連邦)〔自然〕図

『オルガス伯の埋葬』 ②美術→グレコ,E《画家》図

オルガスムス ⑭医学65 D →性交

『オルガニズムの神秘』 ③音演→映画〔トーキー〈第6期〉〕

オルカーニャ イタリア[1308*/1368*] 美術家。ジョットの死後フィレンツェ派絵画を中興。3人の兄弟も美術家として同名の通称で知られる ②美術105 C

オルガヌム ③音演78 D図 →ディスカントゥス

オルガノ ⇨オルガン

オルガノゾル ⑮化学→塗料〔分類〈その他〉〕

『オルガノン』 ④哲宗→アリストテレス →範疇

オルガン ③音演79 A図

オルガン音栓〈プリンシパル〉 ③音演→オクターブ

オルガンチノ,G イタリア[1530/1609] イエズス会宣教師。安土桃山時代に来日し,信長の信任を受け,のち長崎で没す ⑤日史201 A ④哲宗→キリシタン〔囲人名〕

オルギン キューバ ⑩世地148 A

オルグ ⇨オルガン

オルグレン,N アメリカ[1909] 小説家。独自の乾いた文体でウエスト・サイドの貧民街を活写 ①文学119 A

オルケスタ・ティピカ ③音演→タンゴ〔アルゼンチン・タンゴ〕

オルケストラ ②美術→ギリシア美術〔建築〈劇場〉〕 ③音演→管弦楽 →ギリシア演劇〔悲劇〕 →劇場〔西欧〈古代ギリシア・ローマ〉〕

オルゲル ⇨オルガン

オールコック,J [1809/1897] 幕末の駐日イギリス初代公使。下関砲撃で長州藩の開国主義への転換に成功 ⑤日史201 A →四国連合艦隊下関砲撃事件 ⑥日史→東禅寺事件 →両都両港開市開港問題

オールコット,L アメリカ[1832/1888] 女流小説家。自伝的な少女小説や明るいユーモアにあふれた家庭小説で知られる 作『若草物語』 ①文学119 B図

オルコメノス ギリシア ⑨世史112 A

オルゴール ③音演80 D →自動楽器

オール・ゴールド・カレンシー・システム ⑫経産→貨幣Ⅱ〔本位制度〕

オルジャティ,F イタリア[1886/1962] ④哲宗→イタリア哲学〔現代〕

オルジョニキーゼ ソ連/ロシア ⑩世地148 A →北オセティア

オルス,E スペイン[1882/1954] 思想家・美術評論家。保守的な知的革新運動を唱え,多面的な活動を展開 ①文学119 C

オールズ,R アメリカ ⑰科技→自動車〔歴史〈アメリカ〉〕

オルスク ソ連/ロシア ⑩世地148 B

オールスターゲーム ⑬生活→野球〔プロ野球〈フランチャイズ制〉〕

オールストン,W ⑰科技→モールス,S

オールスパイス ⑬生活→香辛料図囲 ⑲植物→香辛料植物表

オールズモビル ⑰科技→自動車〔歴史〈アメリカ〉〕別

オルタ,V ベルギー[1861/1947] ②美術→アール・ヌーボー〈12 D〉

オルターク ⑨世史→斡脱銭(あつだつせん)

オルダニー(島) ⑩世地→チャネル(諸島)

オルタネーター〈ACダイナモ〉 ⑰科技→自動車〔構造〈バッテリー〉〕

オルターネートストライプ ⑬生活→洋装〔囲洋服地〈縞〉〕

オールダム イギリス ⑩世地148 B →マンチェスター《イギリス》

オルダール ⑩世地→ノルウェー(王国)〔地方誌〈南西部フィヨルド地方〉〕

オルツィ,B イギリス[1865/1947] ハンガリー出身の女流小説家。冒険・推理・歴史・現代物などその作品は幅広い 作『紅はこべ』 ①文学119 C

オルティジア(島) ⑩世地→シラクーザ

オルディントン,R イギリス[1892/1962] 詩人・小説家。イマジズム運動推進者の一人。伝記作家としても知られる ①文学119 C

オルテガ・イ・ガセット,J スペイン[1883/1955] 哲学者・評論家。独自の「生の哲学」を構想し,全ヨーロッパに大きな影響を与えた ①文学119 C図 ④哲宗85 A図 ⑪政社57 D図 →危機

オルテガ細胞〈小膠細胞〉 ⑭医学→神経〔神経組織〕

オルテガル(岬) スペイン ⑩世地148 B

オルテーズ フランス ⑩世地148 C

オルテーゼ,A イタリア[1915] 女流小説家。現実と幻想があやなす独自の作風で知られる ①文学119 C

オルテリウス,A ベルギー[1527/1598] 地図学者・地図出版家。多くの地図を収集・編集して『世界の舞台』を出版 ⑱宇地54 B →地図〔歴史〈世界〉〕

オルデンバーグ,C [1929] アメリカで活躍するスウェーデン生まれのポップ・アーティスト。「環境」と「ハプニング」の試みを行い注目される ②美術105 D

オルデンブルク 西ドイツ ⑩世地148 C

オルデンブルク家 ⑨世史→オレンボー朝

オルデンベルヒ,H ドイツ[1854/1920] インド学者・仏教学者。古代インドの宗教研究に決定的な影響を与えた ④哲宗85 B

オルト ⑮化学→オルト化合物

オルド〈盛式誓願修道会〉 ④哲宗→修道会

オールド・イングリッシュ・シープドッグ ⑳動物→イヌ〔犬種〈使役犬〉〕別

オールドカオルン ⑩世地→ホンコン〔各地〈九竜〉〕

オルト化合物 ⑮化学98 C

オルトキシレン ⑮化学→石油化学工業〔芳香族系石油化学製品〕

オールドコナ ⑬生活→コーヒー〔種類〕

オールドサンファン ⑩世地→プエルトリコ図

オルドス〔鄂爾多斯〕 中国/内モンゴル自治区 ⑨世史112 A ⑩世地148 C

オールドスタイル ⑰科技→活字〔書体〕図

オルト体 ⑮化学→異性体〔構造異性体〈鎖形異性と位置異性〉〕図

オールドダッカ ⑩世地→ダッカ

オールドデリー ⑩世地→インド図 →デリー

オルドニェス ⑩世地→ウルグアイ(東方共和国)〔略史〕

オルドーニョ(二世) ⑨世史→レオン王国

オルドビス紀 ⑱宇地→古生代 →地質時代〔古生代〕図 ⑳動物→動物化石〔古生代〕

オールドフェイスフル間欠泉 ⑩世地→アメリカ(合衆国)〔図自然〕

『オールド・ブラック・ジョー』 ③音演→フォスター,S

オールドリッチ,T アメリカ[1836/1907] 小説家。上品なユーモアと叙情で知られるが,保守的な伝統を越えることはない ①文学119 D

オルドリン アメリカ ⑱宇地→アポロ計画〔足跡〕

オルトリン酸 ⑮化学→オルト化合物 →メタリン酸 →リン〔化合物〈オキソ酸〉〕 →リン酸

オルドワイ文化 ⑨世史112 B →旧石器時代〔生活と文化〕

オルナン(川) ⑩世地→マルヌ(川)

『オルナンの埋葬』 ①文学→写実主義

オルニチン回路〈尿素回路〉 ⑭医学→クレブス,H〈28 C〉

オルニトレステス ⑳動物→恐竜〔獣脚類〕図

オルバース,H ⑱宇地→パラス →ベスタ

オルバースのパラドックス ⑱宇地→銀河系〔歴史的研究〕

オールバニ アメリカ/ニューヨーク ⑩世地148 C

オールビー,E アメリカ[1928] 劇作家。悪魔的批評家といわれるほどの辛辣さで,不条理演劇の筆頭的存在 作『バージニア・ウルフなんかこわくない』 ①文学119 D図 ③音演80 D →アメリカ演劇〔オフ・ブロードウェー演劇〕

オルビエト イタリア ⑩世地148 D

オルビエト大聖堂 ②美術→ゴシック美術図

オルピディオプシス ⑲植物→カビ〔生態〈菌生菌〉〕 →菌類〔分類〈藻菌類〉〕

オルフ,C ドイツ[1895/1982] 作曲家・教育家。単純な要素の反復を主体とする作曲技法でカンタータなどを発表 ③音演81 D →吟遊詩人〔ゴリアード〕

オルブ デンマーク ⑩世地148 D

オルフィーク ⑨世史112 B

オルフィスム ②美術105 D →キュビスム〔総合的キュビスム〕 →抽象主義 →ドローネー,R

『オルフェ』 ①文学→コクトー,J ③音演→映画〔トーキー〈第5期〉〕 →コクトー,J

オルフェウス ⑨世史→オルフィーク

オルフェウス ④哲宗85 B図 →ギリシア・ローマ神話〔囲主要神名〕

オルフェウス教 ④哲宗→オルフェウス

『オルフェウスの歌』 ①文学→カンパーナ,D

オルフェウスの密儀 ④哲宗→密儀宗教

『オルフェオとエウリディーチェ』 ③音演→オッフェンバハ,J →グルック,C

『オルフェオ物語』 ①文学→ポリツィアーノ,A ③音演→イタリア演劇〔ルネサンスの人文主義劇〕

『オルフェの遺言』 ③音演→コクトー,J図

オールフス ⇨オーフス

オールブライト・ノックス美術館 ②美術683 D

オルブラフト,I チェコ[1882/1952] 小説家・ジャーナリスト。早くから社会主義運動に参加し,創作・ルポで活躍 ①文学120 A

オールフラワー ⑲植物→ニオイアラセイトウ

オルブリッヒ,J [1867/1908] ②美術→分離派

オルベラ街 ⑩世地→ロサンゼルス

オールポート,F アメリカ[1890] ⑪政社→社会心理学〔沿革〕

オールボルグ ⇨オルブ

オルホン(川) モンゴル ⑩世地148 D

オルホン碑文 ⑨世史→突厥碑文

オルミュッツの屈服 ⑨世史112 C →カンプハウゼン,L

オルム ⇨ホライモリ

オルムズ(海峡) ⇨ホルムズ(海峡)

オルムズド ⇨アフラ・マズダ

オルメカ文化 ⑨世史112 C →チャビン文化 →ピラミッド〔ラテン・アメリカ〕 ②美術→プレ・コロンビア美術〔形成期〕

オルメド ①文学→ラテンアメリカ文学〔独立から20世紀初葉まで〕

オルランド,V イタリア[1860/1952] 法学者・政治家。第一次大戦時の首相。パリ平和会議で要求が通らず失脚 ⑨世史112 D →ベルサイユ条約図

『オルランド狂乱』 ①文学→アリオスト,L

オルリッケー(山脈) ⑩世地→スデティ(山脈)

オルレアン フランス ⑩世地148 D図 ⑨世史→ジャンヌ・ダルク →百年戦争〔第3期〕

オルレアン家 フランス 公爵家。四つの系統がある。七月王政のルイ・フィリップの家系もその一つ ⑨世史112 D

オルレアンの少女 ⇨ジャンヌ・ダルク

『オルレアンの少女』 ①文学→シラー,F

オールレッド,A ⑮化学→電気陰性度

オールレッド-ロコウの値 ⑮化学→電気陰性度図

オルロ ボリビア ⑩世地149 A

オルロフロストプチン種 ⑳動物→ウマ〔品種〈軽種〉〕

オール・ロマンス事件 ⑥日史→部落解放運動〔部落解放同盟〕

オレアンドマイシン ⑮化学→抗生物質〔主要なもの〕

お礼肥え ⑲植物→肥料〔表施し方〕

オレイン酸 ⑮化学99 A →油脂〔成分〕

オレオ ⑰科技→緩衝装置 →飛行機〔機体〈着陸装置〉〕

オーレオスリシン ⑮化学→抗生物質〔主要なもの〕

オレオピテクス・バンボリイ ⑱宇地→第三紀霊長類〔鮮新世〕

オーレオマイシン ⑭医学→抗生物質〔沿革〕 ⑮化学→抗生物質〔主要なもの〈テトラサイクリン〉〕

オレオ・レジナス・ペインティング〈樹脂油絵〉 ②美術→油絵〔はじまり〕

オレオレジン ⑮化学→天然樹脂〔ロジン,コロホニウム〕 →バルサム

オレガノ ⑬生活→香辛料囲

オレーグ ロシア[?/912] キエフ公国の初代の公。リューリクの遺児イーゴリを擁してキエフを占領 ⑨世史113 A図 →キエフ公国

オレコン(川) ⇨オルホン(川)

オレゴン(州) アメリカ ⑩世地149 A

『オレゴンへの道』 ①文学→パークマン,F

オレーシャ,Y ソ連[1899/1960] 小説家・劇作家。社会主義建設期の新旧世界の相克を描いた『羨望』で知られる ①文学120 B

カ
か

核燃料体 ⑰科技→原子炉〔構成要素〕
賀来の市 ⑦日地→大分(県)〔文化〈年中行事〉〕
格納庫 ⑰科技→空港
学農社 ⑥日史→津田仙
角の3等分問題 ⑯物数→作図〔3大作図不能問題〕
角館(町) 秋田 ⑦日地 269 B図
ガクノハナ ⇨ガクアジサイ
角倍率 ⑯物数→倍率
郭璞 中国〔276-324〕 東晋の文人。道家的立場に立って神仏を求める思想詩で知られる ①文学 126 C →『山海経』 →『穆天子伝』
核爆発 ⑮化学→ストロンチウム〔性質〕 →連鎖反応
学派神道 ④哲宗→神道〈分類〉 ⑪政社→神道
ガクバナ ⇨ガクアジサイ
カクハナワレカラ ⑳動物→ワレカラ図
覚鑁〈興教大師〉〔1095-1143〕 平安末期の真言宗の高僧。密教の浄土思想を明らかにし,新義派の祖と仰がれる ④哲宗 92 A →高野山〈開創の目的〉 →真言宗〔歴史〕 ⑤日史 222 B →金剛峯寺 ⑥日史→根来寺
攪拌式洗濯機 ⑬生活→洗たく〔電気洗濯機〕
核反応〈原子核反応〉 ⑮化学 135 A →α線 →原子核 ⑯物数→核エネルギー →原子核 →熱核反応
殻皮 ⑳動物→貝類〔貝殻〕
岳飛 中国〔1103-1141〕 南宋初期の武将。金軍の侵攻を防いだが和平派に殺される。能書家でもあった ⑨世史 124 D →秦檜
楽琵琶 ③音演→雅楽〔楽器と楽器編成〈琵琶〉〕 →琵琶 ⑥日史→琵琶
楽譜 ③音演 103 D図
額縁 ②美術 116 B
額縁仕立て ⑬生活→和裁〔囲知識〕
額縁舞台 ③音演→劇場〔西欧〈ルネサンス〉〕
格物 ④哲宗→格物致知 →窮理 →中江藤樹
杜父魚 ⑳動物→カマキリ《魚》
格物窮理 ④哲宗→儒教〔歴史的変遷〈新儒教〉〕
格物致知 ④哲宗 92 B →中江藤樹図
核物理学 ⑮化学→核化学 ⑯物数→原子核物理学
核分裂〈原子核分裂〉 ⑮化学 135 A →ウラン〔性質〕 →原子エネルギー →原子核 ⑯物数 96 A →核エネルギー →原子核〔原子核反応〕 →原子力 →シュトラスマン,F →臨界量 →連鎖反応 ⑰科技→親物質 →核燃料 →核分裂生成物 →技術別 →原子力〔物理〕 →原子炉〔物理〕
核分裂 ⑲植物 124 C →減数分裂〔特徴〕 →細胞分裂環
核分裂エネルギー ⑰科技→原子力〔物理〈核分裂〉〕
核分裂生成物〈FP,放射能灰〉 ⑰科技 77 B →核燃料 →原子炉〔安全性〕 →照射効果〔照射損傷〕
核分裂破片 ⑰科技→核分裂生成物
核分裂物質 ⑯物数→核燃料
核分裂連鎖反応 ⑰科技→原子力〔物理〈核変換〉〕 →原子炉〔物理〕 →臨界実験
核兵器〈原子兵器〉 ⑪政社 69 D図 →核拡散防止条約 →軍事技術〔新しい核戦力と核戦略〕 →軍縮〔第二次大戦後〕 →原子力平和利用 →部分的核実験禁止条約 ⑫経産→原子力産業〔アメリカ〕 ⑮化学→放射能汚染 ⑰科技→原子力〔囲原子爆弾〕
核兵器禁止・平和建設国民会議 ⑪政社→原水爆禁止運動
核兵器不拡散条約 ⇨核拡散防止条約
『角兵衛』 ③音演→『石橋』〔石橋物〕
角兵衛獅子 ⇨越後獅子
隔壁 ⑰科技→船〔構成〈船体〉〕
鶴壁 ⇨ホーピー
隔壁式マフラー ⑰科技→自動車〔構造〈マフラー〉〕図
がく片 ⑲植物→花被 →花
カクホソカタムシ ⑳動物→ホソカタムシ
角間温泉 ⑧日地→山ノ内(町)
角間川 ⑧日地→山ノ内(町)
角膜 ⑭医学 75 C →角膜移植 →目〔構造〕図
核膜 ⑲植物→核 ⑳動物→核
角膜移植 ⑭医学 76 A図 →アイバンク →移植 →失明
角膜炎 ⑭医学→角膜
角膜乾燥症 ⑭医学→ビタミン〔ビタミンA〕
角膜銀行 ⇨アイバンク
角膜計 ⑭医学 76 C
角膜混濁 ⑭医学→角膜
隔膜法 ⑮化学 135 A →水酸化ナトリウム〔製法〈電解法〉〕
角膜レンズ ⑭医学→コンタクトレンズ〔起源〕
郭沫若 中国〔1892-1978〕 詩人・小説家・歴史学者。現実に対する反逆精神を一貫して表現 ①文学 126 C図 →創造社 ④哲宗 92 B ⑨世史 124 D ⑪政社→日中関係〔日本軍国主義復活への批判〕
『郭沫若自伝』 ①文学→郭沫若
攪満淵 ⑦日地→赤城山
カクミノスノキ ⇨ウスノキ
角海浜 ⑧日地→巻(町)
革命 ④哲宗→易姓革命 ⑨世史→易姓革命
革命 ⑪政社 70 B図 →クーデター →政治変動 →反革命 →プロレタリアート独裁 →マルクス主義〔思想の形成〕 ⑨世史→七月革命 →二月革命 →ピューリタン革命 →名誉革命 →ロシア革命 ⑫経産→社会主義革命 →社会主義への過渡期 →ブルジョア革命
学名〈ラテン名〉 ⑲植物 125 A →植物分類 →和名 ⑳動物 156 C →動物分類 →リンネ,C →和名
革命権 ⑪政社→自然権
革命権力 ⑫経産→社会主義への過渡期
革命裁判所 ⑨世史 125 A →保安委員会
革命説 ⑪政社→儒教
『革命前後』 ①文学→火野葦平
革命戦争 ⑨世史 125 A
革命的共産主義者同盟〈革共同〉 ⑤日史→学生運動
革命的サンジカリスム ④哲宗→ソレル,G
革命的状況 ⑪政社→革命〔原因〕
革命的暴力 ⑪政社→暴力
『革命のエチュード』 ③音演→ショパン,F〔作品〕
『革命評論』 ⑥日史→宮崎滔天
革命文学論戦 ①文学→太陽社 →中国文学〔近代〕 →魯迅
革命暦三年の憲法 ⑨世史→総裁政府
額面株 ⑫経産→株式〔種類〕図
郭茂倩 中国 ①文学→楽府 →『楽府詩集』
『学問・芸術論』 ①文学→ルソー,J《思想家》
学問寺 ④哲宗→寺院〔歴史〕
学問の自由 ⑪政社 72 D →大学の自治
『学問の進歩』 ①文学→ルネサンス文学 ④哲宗→イギリス哲学〔近世〈15～17世紀〉〕 →ベーコン,F
『学問のすゝめ』 ⑤日史 222 B →国権論 ①文学→日本文学〔近代〈明治啓蒙期〉〕 →福沢諭吉 ④哲宗→福沢諭吉 ⑪政社→福沢諭吉
学問方法論 ⑫経産→歴史学派
楽屋落ち ③音演→落語〔囲用語〕
楽屋帳 ③音演→落語〔囲用語〕
かぐや姫 ①文学→『竹取物語』
香久山 ⇨天香久山
覚猷 〔1053-1140〕 平安後期の天台宗の僧。画技に優れ,鳥羽僧正の名で俗称されている ②美術 116 D →漫画〔日本漫画の歩み〕 ④哲宗 92 C ⑥日史→『鳥獣戯画』 →鳥羽僧正
核融合〈原子核融合〉 ⑮化学 135 B →原子エネルギー →原子核 ⑯物数→原子核融合 ⑰科技→原子力〔物理〕 ⑱宇地→宇宙〔膨張宇宙の進化〕
核融合装置 ⑰科技 77 B図
核融合炉 ⑰科技→原子力
岳陽 ⇨ユエヤン
岳陽楼 ⑩世地→中華人民共和国図
『岳陽楼の記』 ①文学→范仲淹
鶴翼 ⑤日史→陣形図
神楽 北海道/旭川市 ⑦日地 269 C →旭川(市)
神楽 ③音演 104 B図 →遊び〈6 B〉 →日本舞踊〔舞〕 →民俗芸能〔種類〕図 ⑤日史 222 C ④哲宗→神道〔囲用語〕
神楽歌 ①文学→歌謡〔日本〕 →日本文学〔古代〈平安時代〉〕
カグラコウモリ〔神楽蝙蝠〕 ⑳動物 157 A →コウモリ〔形態〕
神楽坂 東京/新宿区 ⑦日地 269 C →新宿(区)
カグラザメ〔神楽鮫〕 ⑳動物 157 A →サメ〔外部形態〕〔分類〕
神楽笛〈和笛,太笛〉 ③音演→雅楽〔楽器と楽器編成〕図 →笛
閣羅鳳 ⑨世史→南詔
神楽祭 ⑦日地→伊勢(市)〔伊勢神宮〕図
隔離 ⑲植物 125 A →進化〔要因〕 ⑳動物→進化〔要因〕
幽事 ④哲宗→平田篤胤
隔離治療 ⑭医学→伝染病
格率 ④哲宗 92 C
確率 ⑫経産 77 C →大数の法則 ⑯物数 96 A →確率論 →危険率 →情報理論 →大数の法則 →ベルヌーイ試行
確率空間 ⑯物数 96 A →確率変数
確率波 ⑯物数→波動力学
確率分布 ⑯物数 96 B →期待値
確率変数 ⑯物数 96 C →確率分布 →確率論 →期待値 →数理統計学〔母集団分布の推測〕
確率論 ⑯物数 96 C →コルモゴロフ,A →数学〔20世紀〕 →フェルマー,P ④哲宗→ラプラス,P
『確率論とその応用』 ⑯物数→ボレル,E
学侶 ⑤日史 222 C ⑥日史→僧兵〔構成〕
学令 ⑤日史→教育制度〔近世以前〕
閣僚委員会 ⑪政社→内閣〔形態〕
核力 ⑮化学 135 B ⑯物数 97 C →交換力 →素粒子 →力〔種類〕 →中間子 →電荷 ⑱宇地→引力
角鱗 ⑳動物→鱗
学林〈マドラサ〉 ②美術→イスラム美術〔セルジュク朝〈イラン〉〕
鶴林寺 ⑦日地→加古川(市)図
鶴林寺 ⑦日地→四国地方〔別四国八十八か所〕
カクレウオ〔隠魚〕 ⑳動物 157 A図 →共生
カクレウロコムシ ⑳動物→ウロコムシ
カクレエビ〔隠蝦〕 ⑳動物 157 B →エビ〔生態〕
カクレガニ〔隠蟹〕 ⑳動物 157 B図 →エンコウガニ →カニ〔形態,分類〕
角礫岩 ⑱宇地 102 B →岩石〔堆積岩〈砕屑物〉〕 →堆積岩図
隠れキリシタン ⑤日史 222 C ④哲宗→カトリック教会〔日本〕 →キリシタン〔歴史〈第5期〉〕 ⑦日地→天草諸島 →九州地方〔民俗〕
カクレクマノミ ⑳動物→クマノミ図
『かくれざと』 ①文学→御伽草子図
かくれ日蓮 ④哲宗→法難
カクレミノ〔隠蓑〕 ⑲植物 125 A図
学連 ⇨学生社会科学連合会
学連事件 ⑤日史 222 D →学生社会科学連合会
過クロム酸反応 ⑮化学→過酸化水素
家訓 ⑤日史 222 D →置文
加群 ⑯物数→群〔定義〕
牙軍 ⑨世史→節度使
賭 ④哲宗 92 D
加計(町) 広島 ⑦日地 269 C
掛け ⑬生活→囲碁〔囲用語〕
掛け ⑬生活→桑道〔基本〕
陰 ③音演→下座音楽〔歌舞伎〕
『影』 ③音演→カワレロビッチ,J
鹿毛 ⑳動物→ウマ〔毛色・特徴〕
『崖』 ③音演→フェリーニ,F
かけあがり ⑬生活→釣り〔囲用語〕
駈歩 ⑬生活→馬術競技〔種類〕図
掛行灯 ⑤日史→行灯図
カケイ〔火鶏〕 ⑳動物 157 C
花型 ⑬生活→いけ花〔いけ方〈基本〉〕
河系 ⑱宇地→川〔水系〕
夏珪 中国〔*。〕 宋代の画家。好んで禿筆を用い,尺を用いずに楼閣を描く ②美術 117 A図
家系 ⑤日史→家譜
家計 ⑬生活 93 D →家計簿 ⑫経産→家計支出
荷兮 〔1648-1716〕 中国 ⑤日史→尾張国〔囲人国記〕
筧克彦 〔1872-1961〕 国家主義の公法学者。昭和前期に軍部・右翼と結んで活躍 ⑤日史 223 A
家計支出 ⑫経産 78 A図表
『火刑台上のジャンヌ・ダルク』 ③音演→オネゲル,A
家計調査 ⑫経産→経済統計〔表〈部分的局面〉〕 ⑬生活→家計
嘉慶帝 中国〔1760-1820〕 清朝第7代皇帝。乾隆帝の第15子。内治に努めたが白蓮教の乱などが発生 ⑨世史 125 A
家計簿 ⑬生活 94 A
家計保険 ⑫経産→保険〔分類〕
何景明 中国〔1483-1521〕 明中期の詩人。穏和な詩想と柔軟な表現をもち,復古主義を唱えた ①文学 127 A
かけうどん〈素うどん〉 ⑬生活→うどん〔調理〕
景浦将 ⑬生活→野球〔プロ野球〈日本〉〕図
掛け売り ⑫経産→信用販売

水素〔化合物〕 →テナール,L →漂白 →漂白剤 ⑭医学→オキシドール
過酸化窒素 ⑮化学136 C ⇨二酸化窒素
火山活動 ⑱宇地→火成作用 →地殻変動
過酸化ナトリウム ⑮化学→ナトリウム〔化合物〈酸素化合物〉〕 →漂白 →漂白剤
過酸化鉛 ⑮化学→酸化鉛
過酸化バリウム ⑮化学→バリウム〔化合物〕
過酸化物 ⑮化学136 C →酸化物 →酸素〔化合物〕
過酸化ベンゾイル ⑬生活→食品添加物〔規準〕
火山岩〈噴出岩〉 ⑱宇地116 A図 →火山〔噴出物〈溶岩〉〕 →火成岩〔産状〕 →岩石 →貫入岩
火山岩塊 ⑱宇地→火山〔火山噴出物〈火山砕屑物〉〕 →火山岩
火山岩尖 ⑱宇地→溶岩〔溶岩のつくる地形〕
家産官僚制 ⑨世史→家産制
加算器 ⑫経産→電子計算機〔構成要素〕 ⑯物数→アナログ計算機図 ⑰科技→計算機図
家産共有制 ⑪政社→家産制
火山雲 ⑱宇地→雲〔成因〕
花山源氏 ⑤日史→源氏
可算公理〈可付番公理〉 ⑯物数98 B →位相空間 →稠密
火山砂 ⑱宇地→火山〔火山噴出物〈火山砕屑物〉〕
火山砕屑岩 ⇨火砕岩
火山砕屑物 ⑱宇地→火山〔火山噴出物〕 →火山弾 →火山灰
カザンザキス,N ［ギリシア 1883–1957］ 詩人・小説家。思想性に重きを置き,人間の真の自由を探究 (作)『その男ゾルバ』 ①文学128 C
家蚕糸 ⑬生活→生糸
カザンジマ ⇨ケラマツツジ
可算集合〈可付番集合〉 ⑯物数98 B →集合 →濃度
火山昇華物 ⑱宇地→火山〔火山噴出物〈火山ガス〉〕
峨山紹碩 ［1275–1365］ ④哲宗→総持寺 →曹洞宗囲
火山植生 ⑲植物→植生〔土壌要因〕
火山塵 ⑱宇地→火山〔火山噴出物〈火山砕屑物〉〕 →火山灰
家産制 ⑨世史125 C ⑪政社73 A
火山性温泉 ⑱宇地→温泉〔分類〕
火山性地震 ⑱宇地116 C
花山僧正 ⇨遍照
火山帯〈火山脈〉 ⑧日地1203 D →地震帯〈1214 C〉 →造山帯〈1221 A〉 ⑱宇地116 C図 →火山〔火山分布と火山帯〕 →山〔分類と成因〕
火山弾 ⑱宇地116 C →火山〔噴出物〈砕屑物〉〕
火山泥流 ⑧日地→泥流〈1226 B〉 ⑱宇地→火山〔噴火形式〕 →山〔分類と成因〕
カザンデマリ ⑲植物→ピラカンサ
花山天皇 ［968–1008］ 第65代天皇,平安中期の歌人。出家・退位し風流の生活を送り古今調の歌をよむ ①文学128 C →『拾遺和歌集』 ⑤日史226 B →寛和の変 ⑥日史→藤原義懐
花山天文台 ⑱宇地→天文台〔日本〕表
火山島 ⑧日地1203 D →海底火山〈1203 A〉 →環礁〈1205 C〉 →洋島〈1236 C〉 ⑱宇地116 C
カサンドロス ［ギリシア 前358?–297*］ マケドニアの王。アレクサンドロス大王の後継者の一人。アンティゴノスと対立 ⑨世史126 A →テッサロニケ
カサンドロス朝 ⑨世史→マケドニア
『花山院后諍』 ①文学→紫式部〔源氏物語〈文学史上の位置と影響〉〕
火山灰 ⑧日地1203 D →火山灰台地〈1203 D〉 →シラス台地〈1217 A〉 ⑱宇地117 A →火山〔噴出物〈砕屑物〉〕図 →火山岩 →ローム層
火山灰層 ⑧日地→関東ローム層〈1206 A〉
火山灰台地 ⑧日地1203 D
『火山灰地』 ①文学→久保栄 →農民文学 ③音演→久保栄 →日本演劇図
火山灰土壌〈アンドゾル〉 ⑱宇地117 A →土壌〔生成作用と土壌型〕
火山博物館 ⑦日地→浅間山 →鬼押出し ⑧日地→長野(県)〔文化〕
火山発電 ⑰科技→地熱発電〔発電方式〕
ガザン・ハン ［1271–1304］ イル・ハン国第7代のハン。博学多才で名宰相の補佐をうけ黄金時代を形成 ⑨世史126 A →イル・ハン国 →ラシード・ウッディーン
カザン・ハン国 ⑨世史126 A
火山物理学 ⑯物数→地球物理学〔火山学〕
火山噴火予知連絡会 ⑱宇地→火山〔噴火の予知〕
火山噴気型鉱床 ⑱宇地→鉱床〔マグマ鉱床〕図
火山噴出物 ⑱宇地→火山 →山〔分類と成因〕
火山放出物 ⑱宇地→火山岩 →火成岩〔産状〕 →軽石 →溶岩
火山脈 ⇨火山帯
火山毛 ⑱宇地→火山〔火山噴出物〈砕屑物〉〕図
火山雷 ⑱宇地→雷
カザンルク ［ブルガリア］ ⑩世地153 D
火山礫 ⑱宇地→火山〔火山噴出物〈火山砕屑物〉〕図 →火山岩
火山礫凝灰岩 ⑱宇地→岩石〔火山砕屑岩〕
火山列島 ⇨硫黄列島
カシ〔樫〕 ⑲植物126 A図 ⑬生活→木材表 ⑰科技→木材〔表広葉樹〈日本産材〉〕
瓜子 ⑲植物→トウガン
花糸 ⑲植物→花
河岸 ⑧日地→河港〈1203 C〉
菓子 ⑬生活97 C図 →砂糖 →駄菓子
賈氏 中国 ⑨世史→八王の乱
喀什 ⇨カシュガル
梶 ⑤日史→縄文文化〔生活〈衣服〉〕
火事 ⇨火災
加持 ④哲宗→仏教〔囲用語〕
卦辞 ④哲宗→『易経』
家事 ⑬生活→家政学 →住まい〔設計〈各部〉〕
華爾 ⇨ウォード
歌辞 ①文学128 D →詞 →朝鮮文学
瓦子 ⑨世史126 B
カシア ⑲植物→香辛料植物表 →ニッケイ図
借上 ⑤日史226 C ⑥日史→土倉 ⑫経産→金融業〔貸金業〕
カジアマガエル ⑳動物→アマガエル
ガジアンテップ ［トルコ］ ⑩世地153 D
香椎 福岡市/東区 ⑦日地278 C ⑧日地→東(区)
貸衣装 ⑬生活→結婚〔結婚式〈結婚衣装〉〕
香椎線 ⑦日地→鹿児島本線
カジイチゴ〔構苺〕 ⑲植物126 B →果実図 →キイチゴ図 →ブラックベリー
香椎宮 ⑤日史226 C ④哲宗→神社〔表〈官幣大社〉〕 ⑧日地→福岡(市)図
梶井基次郎 ［1901–1932］ 大正末期・昭和初頭の小説家。幻想と現実を巧みに織り込む (作)『檸檬』 ①文学128 D図 ⑤日史226 D
カージオイド ⑯物数98 B →曲線〔例〈コンコイド曲線〉〕
鹿塩温泉 ⑦日地→大鹿(村)
鍛冶押 ②美術→日本刀〔鍛錬法〕
カシオドルス ［487–583］ ①文学→ラテン文学〔白銀時代〕 ⑨世史→民族大移動〔意義〕
カシオペヤA ⑱宇地→X線天体〔銀河系内のX線源〕表
カシオペヤ座 ⑱宇地117 A →星座〔観察〕〔四季〈秋〉〕図表
甲子温泉 ⑧日地→西郷(村)
華氏温度目盛り ⑯物数→ファーレンハイト,G
華氏寒暖計 ⑱宇地→温度計 →ファーレンハイト,G
カジカ〔鰍〕 ⑳動物160 A図
カジカエデ〔構楓〕 ⑲植物126 B →カエデ図
カジカガエル〔河鹿蛙〕 ⑳動物160 C →カエル〔生態と発生〕図
梶賀港 ⑦日地→尾鷲(市)
鰍沢(町) 山梨 ⑦日地278 C ⑧日地→富士川
餓死風 ⑦日地→岩手(県)〔自然〕
貸方 ⑫経産→簿記〔複式簿記〕
カシカメ ⇨ハバノリ
梶ヶ森 ⑦日地→大豊(町)
梶谷古墳 ⑧日地→高津(区)
カジガル天文台 ⑱宇地→天文台〔表〈アメリカ〉〕
加治川 新潟 ⑦日地278 C ⑧日地→大日岳
加治川(村) 新潟 ⑦日地278 D
鍛冶川 ⑧日地→放生津潟
梶川久次郎 ②美術→印籠
梶川与惣兵衛 ⑤日史→赤穂義士
花式 ⑲植物126 B図
カジキ〔梶木〕 ⑳動物160 C図
加治木(町) 鹿児島 ⑦日地278 D図 ⑳動物→コガネグモ
餠飯 ⑬生活→日本料理〔歴史〈平安〉〕
かじき座 ⑱宇地→星座表
かじき座30 ⑱宇地→マゼラン雲〔構造および構成天体〕
加持祈禱 ④哲宗→祈り〔諸相〕
カジキマグロ ⑳動物→カジキ〔利用〕
加治丘陵〈阿須山丘陵〉 埼玉 ⑦日地278 D
賈思勰 中国 ⑨世史→『斉民要術』 ⑫経産→農業〔古代農法〕
貸金債権 ⑪政社→財産権 ⑫経産→貸付〔手形〕
仮軸分枝 ⑲植物→分枝
梶栗浜遺跡 ⑧日地→山口(県)〔歴史〕
カシグルミ〔菓子胡桃〕 ⑲植物127 A →クルミ図
かしこ ⑬生活→手紙〔形式〕
甲子高原 ⑦日地→白河(市)
可視光線 ⑯物数→色 →光図 ⑰科技→光通信 ⑱宇地→光
賢島 三重/阿児町 ⑦日地278 D →阿児(町) →英虞湾
カシコスカシバ ⑳動物→スカシバガ
下肢骨 ⑭医学→骨〔骨格〕
賢所〈温明殿〉 ④哲宗→神道〔囲用語〈宮中三殿〉〕 ⑤日史→宮中三殿 ⑥日史→内侍所御神楽
賢所御神楽 ⇨内侍所御神楽
貸座敷 ⑤日史→置屋
何子志 中国 ⑨世史→ラーマ・カムヘン
加地子 ⑤日史226 D →国一揆 →地子
家事室 ⑬生活→住まい〔設計〈各部〉〕
梶島 ⑦日地→四阪島
加治子名主 ⑤日史→加地子 ⑫経産→名田
仮死状態 ⑭医学76 D
家事審判所 ⑪政社→裁判所〔種類〈家庭裁判所〉〕
カジス〈カディス〉 ［スペイン］ ⑩世地153 D ③音演→スペイン舞踊
カーシー族 ⑩世地→シロン
『橿園文集』 ①文学→中島広足
カシーダ ①文学→アラビア文学〈23 D〉 →『ムアラルカート』
貸し倒れ保険 ⑫経産→新種保険〔信用保険〕
貸し出し ⑫経産→オーバー・ローン →手形〔手形割引と手形貸付〕
貸出金利 ⑫経産→金利〈136 B〉 →公定歩合
貸出限度額適用制度 ⑫経産→金融政策〔手段〈公定歩合政策〉〕 →日本銀行〔機能〕
貸出残高 ⑫経産→預貸率
貸出政策 ⑫経産→金融政策〔手段〈公開市場操作〉〕
樫立踊 ⑧日地→八丈島図
『カシチェイの鎖』 ①文学→プリシビン,M
過失 ⑪政社73 A →不法行為〔成立要件〕
果実 ⑲植物127 A図 →果樹 →くだもの →結実 →単為結果 ⑬生活→果物
果実飲料 ⑫経産→飲料製造業〔嗜好飲料〕表
果実エッセンス ⑮化学→酢酸エステル
貸付 ⑫経産80 A →借款 →融資 →利子付き資本〔運動〕
貸付資本 ⇨利子付き資本
貸付信託 ⑫経産→信託
貸付信託受益証券 ⑫経産→信託
貸付信託法 ⑫経産→信託 →信託銀行
果実酒 ⑬生活103 C →酒〔分類〕 →ぶどう酒〔種類〕 ⑫経産→飲料製造業〔酒類飲料〕 ⑮化学→醸造〔酒類〕 ⑲植物→発酵〔表発酵食品〕
過失相殺 ⑬生活→交通事故〔被害者の過失〕
梶常吉 ［1803–1883］ ②美術→七宝〔歴史〈日本〉〕
夏日斑 ⇨そばかす
貸し手分析 ⑫経産→金融理論〔現代金融理論〕
賈似道 中国［1213–1275］ 南宋の政治家。逼迫する財政の再建を図ったが対蒙古戦に敗れた罪で殺される ⑨世史126 B
梶取 ⑤日史226 D
かじ取室 ⑰科技→船〔構成〈上部諸室〉〕図
梶取屋治右衛門〈山瀬春政〉 ⑳動物→クジラ囲
ガシナプシス期 ⑲植物→減数分裂〔特徴〕
カージナルス ⑬生活→野球〔表大リーグ〕
カージナルテトラ ⑳動物→ネオン・テトラ →熱帯魚〔飼育〈魚の組み合わせ〉〕〔別〈淡水魚〉〕
カシニ,J ［フランス 1625–1712］ 天文学者。火星の地心視差を測定し1天文単位を1億4000万キロと定める ⑱宇地117 A →天体望遠鏡〔歴史〕 →ラカイユ,N
カシニの空隙 ⑱宇地→カシニ,J →土星〔環と衛星〕
カシノ ⇨カッシーノ
カジノ ⑩世地→モナコ(公国)図 ⑬生活→ギャンブル〔歴史〕
カジノキ〔楮,構〕 ⑲植物128 A図 →コウゾ
カシノシマメイガ ⑳動物→メイガ
カジノ・フォーリー ③音演→榎本健一
『カジノ・ロワイヤル』 ①文学→フレミング,I
香芝(町) 奈良 ⑦日地278 D図

梶原性全 〔＊.〕 鎌倉後期の医家。中国古来の解剖学の知識を日本へ初めて伝える ⑭医学 217 D 図 →医学〔東洋医学の歴史〕 →五臓六腑
『梶原平三誉石切』 ⇨『石切梶原』
カシン ⑭医学→カシン=ベック病
何進 中国 ⑨世史→袁紹
何震 中国 ②美術→篆刻
家臣 ⑥日史→陪臣
火尋 ⇨ホラズム
華人 ⑨世史→華僑
牙人 ⑨世史→牙行
歌人結節〈声帯結節〉 ⑭医学→結節 →のど〔喉頭〈腫瘍〉〕
臥薪嘗胆 ⑨世史→勾践
家臣制 ⑨世史→封建制〔概念〕
『佳人之奇遇』 ①文学→政治小説 →東海散士
カシン=ベック病 ⑭医学 76 D →緒方知三郎〈386 D〉
『過秦論』 ⑨世史→賈誼
カスー, J 〔1897〕 小説家。ロマン主義の一派を代表,夢と現実との交錯する青春の哀歓を典雅な散文で表現 ①文学 129 C →『深夜双書』
数 ⇨数
ガス ⑬生活→ガス器具表 →ガス事業 ⑭医学→ガス中毒 ⑮化学→液化天然ガス →ガス化 →ガス化学工業 →ガス検出器 →ガスタンク →石炭〔石炭化学工業〈ガス化〉〕 →石油〔製品〕 →天然ガス →都市ガス →ナフサ分解 →ファン・ヘルモント, J →メタン
『ガス』 ③音演→近代劇図
ガスアイロン ⑬生活→アイロン〔種類〕
可睡斎 ⑧日地→袋井(市)図
加水錫石 ⑱宇地→錫石
カスィーダ ⇨カシーダ
下垂体〈脳下垂体〉 ⑭医学 77 A 図 →分泌〔内分泌腺〕 →ホルモン ⑳動物→ホルモン
下垂体腫瘍〈下垂体腺腫〉 ⑭医学→脳〔手術適応疾患〕
下垂体前葉〈脳下垂体前葉〉 ⑭医学→下垂体 →巨人症
下垂体柄部腫瘍〈頭蓋咽頭腫〉 ⑭医学→脳〔手術適応疾患〕
ガス糸 ⑬生活→和裁〔裁縫用具〈縫糸〉〕
加水分解 ⑮化学 137 A
加水分解酵素 ⇨ヒドロラーゼ
ガス入セシウム光電管 ⑰科技→光電管図
加数 ⑯物数→加法
仮数 ⑯物数→常用対数
数打物 ②美術→日本刀〔室町期〕
ガス壊疽 ⑭医学 77 D →壊疽 →血清療法〔抗毒素血清療法〕 →病原体〔病原細菌〕
ガス押し型 ⑰科技→採油〔生産〈排油力〉〕
粕尾峠 ⑦日地→足尾(町)
春日(市) 福岡 ⑦日地 283 B
春日(町) 兵庫 ⑦日地 283 B
春日(村) 岐阜 ⑦日地 283 B
ガス化 ⑮化学 137 B
春日井(市) 愛知 ⑦日地 283 B 図
春日居(町) 山梨 ⑦日地 283 C
カスカイス ポルトガル ⑩世地 154 B
春日温泉《富山》 ⑦日地→大沢野(町)
春日温泉《長野》 ⑧日地→望月(町)
ガス化学工業 ⑮化学 137 C 図
ガス化ガス ⑮化学→ガス化 →石炭〔石炭化学工業〈ガス化〉〕
春日川 ⑧日地→高松(市)〔自然〕
春日鉱山 ⑧日地→枕崎(市)
『春日権現霊験記』 ⑤日史 228 A
『春日権現霊験記絵詞』 ②美術→絵巻〔囲作品〕
春日信仰 ④哲宗 93 C
春日神社 ③音演→黒川能 ⑦日地→櫛引(町)
春日神社 ⑦日地→関(市)
春日神社祭 ⑦日地→小豆島図
カスカス ⇨クスクス
春日大社 ②美術 117 D →神社建築〔本殿の形式〈春日造〉〕 ④哲宗 93 D 図 →鹿島神宮 →春日信仰 →神社〔表〈官幣大社〉〕 ⑤日史 228 A →春日造 ③音演→春日若宮御祭 ⑧日地→奈良(市)〔囲神社・仏閣〕図 →御蓋山
春日大社萬葉植物園 ⇨萬葉植物園
ガス化脱硫〈分解脱硫〉 ⑮化学→石油〔精製〈重油脱硫〉〕 →脱硫〔石油製品〈重油の分解脱硫〉〕
春日町遺跡 ⑤日史 228 B
春日造 ⑤日史 228 B →神社〔建築〕 ②美術→春日大社 →神社建築〔本殿の形式〕図 ④哲宗→春日大社 →神社〔建築〕〔図本殿〕

春日燈籠 ④哲宗→春日大社図
春日鳥居 ②美術→鳥居 ④哲宗→神社〔図鳥居〕
春日野 奈良 ⑦日地 283 C
春日局 〔1579/1643〕 徳川第3代将軍家光の乳母。大奥に権威をふるい,家光にも影響力をもつ ⑤日史 228 C 図 →大奥〔職務・規模〕 ⑥日史→徳川家光
春日宮天皇 ⇨志貴皇子
春日版 ④哲宗→興福寺 ⑤日史→印刷術 ⑰科技→印刷〔歴史〕
春日部(市) 埼玉 ⑦日地 283 C 図
春日部薬用植物見本園 ⑲植物→植物園表
カスガマイシン ⑭医学→抗生物質〔展望〕 →梅沢浜夫〈207 D〉 ⑮化学→農薬〔分類〈表殺菌剤〉〕
春日祭〈申祭〉 ④哲宗→春日大社 ⑤日史→春日大社 ⑧日地→奈良(市)〔別年中行事〕
春日曼荼羅 ④哲宗→春日信仰 →神仏習合〔文化面への影響〕
春日詣 ④哲宗→春日信仰
春日山 奈良 ⑦日地 283 D ⑧日地→奈良(市)〔自然〈地勢〉〕 →御蓋山
春日山城 ⑤日史→上杉謙信 ⑦日地→上越(市)図
春日山焼 ②美術→九谷
春日流鹿踊 ⑧日地→東和(町)《岩手》
ガスカール, P 〔1916〕 小説家。「もの」への執着と幻想的・呪縛的な世界が特徴 ①文学 129 C
粕川(村) 群馬 ⑦日地 283 D
春日若宮御祭 ③音演 109 B 図
ガス機関 ⑰科技→エンジン〔種類〕 →オットー, N
ガス器具 ⑬生活 103 D 図表
ガスクロマトグラフィー ⑮化学→クロマトグラフィー〔分類〕図
加助郷 ⑤日史→助郷
加助騒動 ⑥日史→松本藩
カスケーダビリティ ⑰科技→CATV
カスケード(山) ⑩世地→カナダ〔図自然〕
カスケード(山脈) アメリカ ⑩世地 154 C →ワシントン(州)
カスケードシャワー ⑯物数→阻止能
カスケード法 ⑯物数→液体ヘリウム
ガス検知器 ⑮化学 138 B 図表
ガス検定 ⑰科技→安全灯〔メタンの検定〕
ガス交換 ⑭医学→呼吸 →肺
ガスコーニュ(湾) ⇨ビスケー(湾)
ガスこんろ ⑬生活→ガス器具図
上総 千葉/君津市 ⑦日地 283 D →君津(市)
上総氏 ⑥日史→坂東八平氏
上総国 千葉 ⑤日史 228 D 囲 ⑦日地 283 D
『上総風土記』 ①文学→直木賞表 →村上元三
上総掘 ⑰科技→採油〔歴史〕図 ⑱宇地→地下水〔分布産状〕
カスザメ〔糟鮫〕 ⑳動物 161 B →サメ〔外部形態〕
ガス事業 ⑫経産 81 C 表 →公益事業
ガス瞬間湯わかし器 ⑬生活→住まい〔付帯設備〈給湯設備〉〕 →浴室 ⑰科技→給排水設備〔給湯設備〕図
ガス状星雲 ⑱宇地 117 B →星雲〔分類〕
粕汁 ⑬生活→汁物〔濁り汁〕
『数知れぬ心』 ①文学→ノアイユ夫人
粕酢 ⑬生活→酢〔種類〕表
ガス炊飯器 ⑬生活→炊飯器図
ガスストーブ ⑬生活→ストーブ〔種類〕図
ガス税 ⑪政社→租税〔わが国〈地方税〉〕
ガス性核分裂生成物 ⑰科技→原子炉〔安全性〕
ガス切断 ⑰科技→溶接
ガス設備 ⑬生活→住まい〔付帯設備〕 ⑰科技→給排水設備〔排水設備〕
ガス増幅 ⑯物数→計数管〔電離現象を利用〈比例計数管〉〕 →光電管
ガス台 ⑬生活→室内装飾〔台所〕 →台所〔器具〕
カスターニョ, A 〔1423/1457〕 画家。初期ルネサンスの写実派の代表者。フィレンツェ派絵画に支配的影響を及ぼす ②美術 118 B 図 →フィレンツェ派
カスタネット ③音演 109 C 図 →古代オリエントの音楽〔ウル第三王朝〕
ガスタービン ⑰科技 81 C 図 →エンジン〔種類〕 →ガスタービン自動車図 →鉄道〔歴史〈動力〉〕 →ヘリコプター〔種類および形式〕 ⑯物数→熱機関〔発展〕
ガスタービン機関車 ⑰科技 82 B →内燃機関車
ガスタービン自動車 ⑰科技 82 C 図
ガスタービン動車 ⑰科技 83 A 図
ガスタービン発電 ⑰科技→火力発電〔その他〕

カスターレッキス種 ⑳動物→ウサギ〔カイウサギ〕図
ガスタンク ⑮化学 139 A →都市ガス〔供給〕図
ガスチェフ, A ソ連〔1882/1941〕 詩人。革命後,解放された労働の喜びをロマンティックにうたう ①文学 129 C
ガス中毒 ⑭医学 78 A 図 →応急手当
粕漬け ⑬生活→漬け物
ガス定数 ⇨気体定数
カスティリオーネ, B イタリア〔1478/1529〕 文学者。ルネサンス的教養人の理想を説いた『廷臣論』がある ①文学 129 D ③音演→イタリア演劇〔ルネサンスの人文主義劇〕
カスティリオーネ, G〈カスティリョーネ, 郎世寧〉 イタリア〔1688/1766〕 イエズス会修道士・画家。布教のため中国に渡り,細密な彩色画を描く ②美術 118 D ⑨世史→カスティリョーネ, G →乾隆帝
カスティリャ スペイン ⑩世地 154 C
カスティリャ王国 ⑨世史 126 C →アラゴン王国 →スペイン・ポルトガル(史)〔国土の征服〈レコンキスタ運動〉〕
カスティリャ語 ①文学→スペイン文学
カスティーリョ, A ポルトガル〔1800/1875〕 詩人。ポルトガル・ロマン主義の創始者の一人 ①文学 129 D
カスティーリョ・ソロルサノ, A スペイン〔1584/1648＊〕 小説家。短編を多く書いたが,ピカレスク小説も好評 ①文学 129 D
カスティリョーネ, G ⑨世史 126 D ⇨カスティリオーネ, G
カースティン, L アメリカ〔1907〕 ③音演→バレエ〔20世紀〕
カステラ ⑧日地→長崎(市)〔産業〕 ⑬生活→菓子〔菓子の種類〕 →ケーキ
カステラーニ, R イタリア〔1913〕 映画監督。ネオレアリズモの新しいスタイルを示す ③音演 109 C
カステリア ⑲植物 131 C 図
カステルヌオボ ⑩世地→ナポリ
カステルヌオーボ=テデスコ, M イタリア〔1895/1968〕 作曲家。アメリカに帰化し,ハリウッドでは映画音楽の分野にも活躍 ③音演 109 D
カステーロ・ブランコ, C ポルトガル〔1825/1890〕 作家。ロマン派の文豪で風俗小説の創始者として知られる ①文学 129 D
ガス田 ⑧日地 1204 A ⑮化学→天然ガス
ガス田ガス ⑫経産→天然ガス鉱業
ガスてんびん ⑯物数→てんびん
ガス電量計 ⇨ユージオメーター
カースト〈種姓〉 ⑨世史 127 A →バラモン教 ⑫経産 82 B →インド経済事情〔発達〕 →階級 ④哲宗→バラモン教 →ヒンズー教 ⑩世地→インド〔社会・文化〈社会〉〕 ⑪政社→ネール, J →ヒンズー教
ガス灯 ⑤日史 228 D ②美術→照明具〔西洋〕図
ガス突出 ⑰科技→炭鉱〔保安〕
カストラート ③音演 109 D →オペラ〔種類と国民的様式〈オペラ・セリア〉〕
カストリウム〈海狸香〉 ⑬生活→香水〔香料の種類〕
カストリオティ, G 〔1405/1468〕 ⑨世史→東欧史〔歴史〈列強による支配〉〕
粕とりしょうちゅう ⑬生活→酒〔しょうちゅう〕 ⑮化学→醸造〔酒類〈しょうちゅう〉〕
ガストリン ⑭医学→消化〔胃〕 ⑮化学→アミノ酸〔利用〕 →ホルモン〔分類〈その他〉〕
カストル ⑱宇地 117 B 図表 →恒星〔表1等星〕 →三重星 →ふたご座 →ポルックス →連星
ガストルニス ⑳動物→鳥類〔進化〈化石鳥〉〕
ガストレア説 ⑳動物→ヘッケル, E
カストロ, E ポルトガル〔1869/1944〕 詩人。自国の伝統的な作詩法を不満とし,象徴詩を研究,紹介 ①文学 130 A
カストロ, F ポルトガル〔1898/1974〕 小説家。移民としてブラジルに渡り,その悲惨な体験から創作 ①文学 130 A
カストロ, F キューバ〔1926〕 首相。革命により独裁政権を打倒。最高指導者として社会主義建設を推進 ⑨世史 127 B 図 →キューバ革命 →ゲバラ, E →七月二六日運動 ⑪政社 74 A 図 →キューバ革命図 ⑩世地→キューバ(共和国)図
カストロ, G ①文学 129 D ⇨カストロ・イ・ベルビス, G
カストロ, R スペイン〔1837/1885〕 女流詩人。技巧を排し,人生の悲哀と幻滅をうたう ①文学 130 A
カストロ・イ・ベルビス, G スペイン〔1569/1631〕 劇作家。ロマンセを巧みに集成し,コメディアを書く ③音

演 110 A　①文学→カストロ,G
ガストロカメラ　⇨胃カメラ
ガストロスコープ〈胃鏡〉　⑭医学→**内視鏡**
『カストロの尼』　①文学→スタンダール
ガストン　〔1608–1666〕　⑨世史→オルレアン家
『ガストン・ド・ラトゥール』　①文学→ペイター,W
カスナー,R　オーストリア〔1873–1959〕　文人・思想家。近代合理主義に抗し想像力による宇宙的観相学を主張　①文学 130 A
カズナ　キャジエリア　⑩世地 154 C
カズナギ　⑳動物→ギンポ図
ガズニ　アフガニスタン　⑩世地 154 C
ガズニー朝　⑨世史 127 C
カズノコグサ　⇨ミノゴメ
数のピラミッド　⑳動物→食物連鎖
和宮〈静寛院宮〉　〔1846–1877〕　仁孝天皇の第8皇女。公武合体策のため将軍徳川家茂に降嫁　⑤日史 229 A図　⑥日史→徳川家茂
和宮降嫁　⑤日史→安藤信正　→岩倉具視
カスバ　⑩世地→アルジェリア(民主人民共和国)図　→アルジェ　→タンジール図
ガス爆発　⑮化学→アルカン〔性質〕
カズハゴンドウ　⑳動物→ゴンドウクジラ
カスパーソン,T　⑳動物→核酸〔RNA〕
ガスパッチョ　⑬生活→世界の料理〔スペイン料理〕
ガスバーナー　⑬生活→ガス器具〔燃焼方法〕　⑮化学→化学実験〔実験器具〈熱源〉〕
カスパリー線　⑲植物→内皮　→根
ガスパリラ祭　⑩世地→フロリダ(州)図
カスパル　⇨スハンベルヘン,C
『カスパル』　①文学→ハントケ,P
粕パルプ　⑰科技→パルプ〔木材パルプ〈化学〉〕
カスパル流外科　⑤日史→スハンベルヘン,C
カスピ(海)　⑩世地 154 C　⑱宇地→塩湖　→海跡湖　→構造湖　→湖沼〔湖盆〕表
カスピアンアザラシ　⑳動物→アザラシ〔種類〕図
カスピカヤ(低地)〈カスピ海沿岸低地〉　ソ連　⑩世地 154 D
カズビーニー,M　イラン〔1877–1949〕　文学者。科学的な東洋学方法論でペルシア古典文学研究を確立　①文学 130 A
カズビーン　イラン　⑩世地 154 D
カスプロビッチ　①文学→東欧文学〔ポーランド〕
ガスペ(半島)　⇨ギャスペ(半島)
カズベク(山)　ソ連　⑩世地 154 D　→カフカス(山脈)
カスベノ岬　⑧日地→雷電海岸
カスベルの法則　⑭医学→死〔死体現象〈死体硬直〉〕
ガス泡　⑲植物→アオコ
ガス蜂巣織炎　⇨ガス壊疽
ガスホルダー　⇨ガスタンク
数馬　⑧日地→檜原(村)
カスマグサ　⑲植物→スズメノエンドウ
ガスマン,V　イタリア〔1922〕　俳優・演出家。イタリア民衆劇場を創設。オセロとイアーゴーの交互出演で有名　③音演 110 A
ガスマントル　⑮化学→ウェルスバッハ,C
霞　⑱宇地 117 B
香住(町)　兵庫　⑦日地 283 D図
かすみ網　⑬生活→狩猟〔法規〈猟具〉〕
霞池　⇨湖山池
霞石　⑱宇地 117 C　→岩石〔火山岩,細粒火成岩〕〔深成岩,粗粒火成岩〈1〉〕　→准長石
香住海岸　兵庫　⑦日地 284 A　→山陰海岸国立公園図
霞ヶ浦　茨城　⑦日地 284 A図　⑧日地→土浦(市)　→利根川　⑱宇地→湖沼〔湖沼型〈富栄養湖〉〕表
霞ヶ丘　⑧日地→垂水(区)
霞が関　東京/千代田区　⑦日地 284 B　⑧日地→東京(都)〔政治〕図
霞が関ビル　⑦日地→霞が関
加住丘陵　東京/八王子市　⑦日地 284 C
カスミザクラ〔霞桜〕　⑲植物 131 C　→サクラ〔野性種〕別
カスミサンショウウオ　⑳動物→サンショウウオ図
カスミソウ〔霞草〕　⑲植物 131 C図　→園芸〔図フラワーカレンダー〈1〉〕
カスミチョウチョウウオ　⑳動物→チョウチョウウオ図
ガスメーター　⑰科技→給排水設備〔ガス設備〕
粕屋(町)　福岡　⑦日地 284 C
粕屋炭田　⑦日地→宇美(町)　⑧日地→久山(町)
一弥生遺跡　⑦日地→橿原(市)
ガス油　⇨軽油
ガス溶接　⑰科技→溶接
カスラー　⑬生活→世界の料理〔ドイツ料理〕
鬘　⑤日史 229 B　→髪飾
葛桶　③音演→能〔囲用語〕
かずら橋　⑦日地→祖谷図　⑧日地→西祖谷山(村)
鬘物〈三番目物〉　③音演→能〔脚本と分類〕
絣　②美術 119 A図　⑬生活→織物〔織物と染色〈先染織物〉〕　→和服〔囲和服地〈模様〉〕
ガスリー,A　アメリカ〔1910〕　小説家。北西部の歴史に関心を示し,その開拓者を描いて知られる　作『シェーン』　①文学 130 A
ガスリー,T　イギリス〔1900–1971〕　演出家・俳優。ストラトフォードのシェークスピア祭を創設・演出　③音演 110 A
『画図理解』　②美術→秋田蘭画〈佐竹曙山〉
カスリヒモムシ　⑳動物→ヒモムシ
ガスリフト採取　⑰科技→採油〔生産〈生産法〉〕
絣模様　⑬生活→洋装〔囲洋服地〕
カスリーン台風　⑱宇地→気象〔表災害年表〕
カスル・アル・ハイル　②美術→城〔東洋〈アジア〉〕
カースルレー　イギリス〔1769–1822〕　政治家。外相としてナポレオン打倒に力を注ぎ,ウィーン会議には全権として出席　⑨世史 127 C図　→カニング,G
ガスレーザー装置　⑰科技→エレクトロニクス図
ガスレンジ　⑬生活→台所〔台所器具〕
カズロフ,P　ロシア〔1863–1935〕　軍人・探検家。探検隊を率いしばしばモンゴル,チベットを調査　⑨世史 127 D　→匈奴　→ノイン・ウラ　→プルジェバルスキー,N
上神焼　⑧日地→鳥取(県)〔産業〈工業〉〕
カズンズ,J　アメリカ〔1903–1978〕　小説家。保守主義を基調とした大衆色の濃い作品で知られる　①文学 130 B
かぜ〈感冒〉　⑭医学 79 A　→インフルエンザ　→ウイルス〔疾患〕　→寝冷え　→鼻〔鼻炎〈急性〉〕
風　⑱宇地 117 C図表　→営力〔外的営力〕　→気圧　→季節風　→気流　→浸食〔風食〕　→大気〔大気と気象〕　→バイス・バロットの法則　→風圧　→風害　→風向　→風速　→風力階級　→フェーン　⑰科技→風車
ガーゼ　⑭医学→家庭看護〔包帯〕
化性　⑳動物 161 C
火星　⑱宇地 123 B図囲　→衛星〔特徴〕表　→火星探査体　→スキャパレリ,G　→ダイモス　→太陽系〔概観〕　→フォボス　→星　→ホール,A　→ローウェル,P　→惑星図表　⑯物数→ティコ・ブラーエ
仮声　⇨ファルセット
和声　⇨和声
嘉靖赤絵　②美術→赤絵
家政学　⑬生活 104 B
カ性カリ　⑮化学 139 B　⇨水酸化カリウム
火成岩　⑱宇地 124 B図　→火山〔火山噴出物〈溶岩〉〕　→火山岩　→カルクアルカリ岩　→鉱物〔成因〕　→造岩鉱物　→斑晶　→ペグマタイト　→捕獲岩　→マグマ〔組織,物性〕
仮性近視〈偽近視〉　⑭医学→目〔屈折異常〕
仮性クループ　⑭医学→クループ　→のど〔喉頭〕
河成砂岩　⑱宇地→砂岩
火成鉱床　⑱宇地→鉱床〔マグマ鉱床〕
火成作用　⑱宇地 127 C
課税所得　⑫経産→税務会計
火星人　⑱宇地→火星囲
煆製石灰　⑭医学→殺菌〔殺菌剤・消毒薬〕
花青素　⇨アントシアン
カ性ソーダ　⑮化学 139 B　⇨水酸化ナトリウム
河成段丘　⇨河岸段丘
火星探査体　⑱宇地 127 C　→人工惑星
華清池　⑩世地→シーアン図
嘉靖帝　中国〔1507–1566〕　明の第12代皇帝。北辺ではモンゴル,南方では倭寇の外患〈北虜南倭〉に苦しむ　⑨世史 127 D図
『火星年代記』　①文学→ブラッドベリ,R
カゼイノーゲン　⑮化学→カゼイン
課税の原則　⑫経産→租税〔囲用語〕
嘉靖の大倭寇　⑥日史→中国〔倭寇〕　⑨世史→海賊〔東洋〕　→北虜南倭　→倭寇
化成ピッチ　⑮化学→ピッチ
課税標準　⑫経産→租税〔囲用語〕
化成肥料　⑮化学 139 B　→配合肥料　→肥料〔化学肥料〈複合肥料〉〕表　⑲植物→肥料〔表〈複合肥料〉〕
家政婦　⑬生活 104 C
課税物件　⑫経産→租税〔経済循環〕
化政文化　⑤日史 229 B図　→江戸時代〔文化〈町人文化と儒学〉〕　→大御所時代
花精油　⑬生活→香水〔製造法〕　⑮化学→テルペン〔モノテルペン系化合物〕
河西路　⑩世地→ソビエト(連邦)〔囲西域の遺跡〕
火星ロケット　⑱宇地→火星探査体
カゼイン　⑮化学 139 B　→タンパク質繊維〔再生繊維〕　⑬生活→牛乳〔組成〕　→チーズ〔成分〕
風占旗上げ　⑧日地→中原(町)
加勢浦　⑦日地→壱岐対馬国定公園
嘉瀬川〈川上川〉　福岡・佐賀　⑦日地 284 C　⑧日地→大和(町)《佐賀》
化石　⑱宇地 128 A図　→古生物　→植物化石　→水成岩　→生痕化石　→堆積岩　→地質時代〔区分〕　⑲植物→植物化石　⑳動物→恐竜〔進化〕　→古生物　→動物化石
『化石』　①文学→キュレル,F
過石　⇨過リン酸石灰
風聞草　⑲植物→オギ
『化石魚類』　⑱宇地→アガシー,J
河跡湖　⑧日地 1204 A　→三日月湖〈1234 D〉　⑱宇地 132 A
化石人類　⑱宇地 132 A図　→人類　→ワイデンライヒ,F　⑨世史→アウストラロピテクス類　→猿人　→クロマニョン人　→現生人類　→ジャワ原人　→ネアンデルタール人　→北京原人
化石水　⑱宇地→泉
化石石灰岩　⑱宇地→堆積岩〔化学岩・生物岩〕
化石ゾウ　⑱宇地→ステゴドン　→ナウマンゾウ　→マストドン
化石鳥　⑳動物→エピオルニス　→鳥類〔進化〕
化石動物　⑳動物→三葉虫　→絶滅動物
『化石の森』　③音演→シャーウッド,R
化石有孔虫　⑳動物→紡錘虫
カゼクサ〔風草〕　⑲植物 132 A　→スズメガヤ図
カセグレン,N　⑱宇地→天体望遠鏡〔歴史〕
カセグレン型パラボラアンテナ　⑰科技→アンテナ〔UHF帯アンテナ〕図
カセグレン式反射望遠鏡　⑯物数→望遠鏡〔天体用望遠鏡〕図　⑱宇地→天体望遠鏡〔種類〕図
風鎮祭　⑧日地→奈良(市)〔別年中行事〕
かぜ症候群〈感冒症候群〉　⑭医学→かぜ　→感染症〔表〈ウイルス性〉〕
笠田　⑦日地→かつらぎ(町)
加世田(市)　鹿児島　⑦日地 284 D図
風台風　⑱宇地 136 B
『風立ちぬ』　①文学→堀辰雄図
仮説　④哲宗 94 A　→実験　→論理学〔囲用語〕
がせつ　⑬生活→郷土料理〔囲〈広島〉〕
仮説演繹法　④哲宗→仮説　→パース,C　⑫経産→経済学方法論Ⅱ
仮説検定　⑫経産 82 D表　⑯物数 98 B図　→危険率　→数理統計学〔推測の方法〕
仮設工事　⑬生活→住まい〔施工から完成まで〕図　⑰科技→建築施工〔各種工事〕
カセットデッキ　⑰科技→ステレオ再生装置〔録音〕
カセットテープレコーダー　⑰科技→ステレオ再生装置〔録音〕　→テープレコーダー〔種類〕
風津波　⑱宇地→高潮　→津波
風通し〈通風〉　⑬生活→換気
『風と共に去りぬ』　①文学→ミッチェル,M　③音演→映画〔トーキー〈第4期〉〕図　→日本演劇図
『風にそよぐ葦』　①文学→石川達三
『風にそよぐ葦』　①文学→デレッダ,G
『風にそよぐ葉』　①文学→カサール J
風の息　⑱宇地→風〔性質〕　→風害
風の三郎　⑱宇地→風〔民俗〕
かぜのとの　①文学→短歌〔囲枕詞〕
『風の中の子供』　①文学→坪田譲治　③音演→清水宏
風の盆　⑧日地→八尾(町)図
『風の又三郎』　①文学→宮沢賢治
『風博士』　①文学→坂口安吾
加瀬白山古墳　⑤日史 230 B
『風ふたたび』　①文学→永井竜男
風待草　⑲植物→ウメ
カセミミズ〔かせ蚯蚓〕　⑳動物 161 C　→貝類〔分類〈無板類〉〕
風屋ダム　⑧日地→十津川
カセラ,A　イタリア〔1883–1947〕　作曲家,ピアニスト・指揮者。イタリア三重奏団を組織　③音演 110 B
ガゼル　⑳動物 161 C図
化繊　⇨化学繊維

カタクリ〔片栗〕 ⑲植物 132 B図 ⑬生活→かたくり粉
かたくり粉 ⑬生活 104 D
肩車 ⑬生活→柔道〔基本〈投げ技〉〕図
カタクレサイト ⑱宇地→変成岩〔圧砕〕
ガーター勲章 ⑨世史→エドワード(三世) ⑩世地→ウィンザー《イギリス》
形削り盤 ⑰科技→機械仕上げ →工作機械表
形鋼 ⑰科技→鋼材 →鉄骨構造〔部材と接合〕図
賀田港 ⑦日地→尾鷲(市)
『片言』 ①文学→安原貞室
肩こり ⑭医学→肩図
カタコンベ ②美術 119 C図 →イタリア美術〔中世〕 →キリスト教美術〔初期キリスト教時代〈図像〉〕 →初期キリスト教美術〔原始キリスト教美術〕 ④哲宗 94 C図 →教会堂〔発生期〕 ⑨世史 128 B
カタザクラ ⇨リンボク
かたさ試験 ⑰科技 87 A →材料試験
『カターサリットサーガラ』 ①文学 130 D
かた塩 ⑮化学→食塩〔用途〕
片品(村) 群馬 ⑦日地 285 B
片品川 群馬 ⑦日地 285 C ⑧日地→利根(村)
片島 高知/宿毛市 ⑦日地 285 C →牛深(市)
片十字絞め ⑬生活→柔道〔基本〈固め技〉〕図
かたしろ ②美術→人形〔日本〕
カタシログサ ⇨ハンゲショウ
形式流し ⑧日地→東京(都)〔別年中行事〕
カタジロワシ〔肩白鷲〕 ⑳動物 162 B →ワシ図
肩すかし ⑬生活→相撲〔図きまり手〕
カタストロフィ ①文学→文学〔囲用語〕
カタストロフィー ⑯物数 102 C図 →数学〔20 世紀〕
片ずらし ⑬生活→釣り〔囲用語〕
片瀬 神奈川/藤沢市 ⑦日地 285 C ⑧日地→藤沢(市)
片瀬 静岡/東伊豆町 ⑦日地 285 C
片瀬温泉 ⑧日地→東伊豆(町)
片瀬川 ⑦日地→境川
カタセタム ⑲植物→ラン〔表原種〕
片そぎ ②美術→千木
型染め ②美術 119 C図 ⑬生活→染物
堅田 滋賀/大津市 ⑦日地 285 C →大津(市)
堅田浮御堂 ⑦日地→大津(市)図
堅田踊 ⑦日地→大分(県)〔文化〈郷土芸能〉〕
方違 ⑤日史 232 A ⑬生活→方位
堅田家 ③音演→長唄〔囲流派〈鳴物囃子方〉〕
堅田落雁 ⑦日地→近江八景
型鍛造 ⑰科技→鍛造
形 ⑬生活→囲碁〔囲用語〕
カタック ⇨カタク
カタック ③音演→インド舞踊図
カタツムリ〔蝸牛〕〈デンデンムシ,マイマイ〉 ⑳動物 162 C図 →貝類〔囲コレクション〕 →雌雄同体 →マイマイ →マイマイカブリ ⑭医学→寄生虫〔広東住血線虫〕 ⑲植物→病虫害〔表害虫〕
かたつむり管 ⇨蝸牛殻
堅手 ②美術→高麗茶碗 →茶碗
カーター・ディクスン ⇨カー,J
片手鍋 ⑬生活→鍋〔種類〈厚手鍋〉〕図
片手わざ ⑬生活→剣道〔わざ〈しかけわざ〉〕表
片泊 ⑦日地→黒島《鹿児島》
刀 ②美術→日本刀〔囲用語〈種別〉〕別 ⑤日史→圭頭大刀 ⑥日史→太刀 →鐔 →長巻 →日本刀〔種類〕 →脇指 →蕨手刀
刀掛 ⑧日地→雷電海岸
刀鍛冶 ⑥日史→日本刀〔刀工〕 ⑰科技→鉄鋼〔囲日本刀〕
刀狩り ⑤日史 232 A図 →安土桃山時代〔政治・経済〈一揆体制の解体〉〕 →軍制〔近世〕 →郷村制〔確立〕 ⑥日史→豊臣秀吉〔統一政策〕 →兵農分離
片流れ ⑬生活→屋根〔形状〕図
刀銘 ②美術→日本刀〔囲用語〈銘〉〕
カタニア ⑩世地 155 A
肩肉 ⑬生活→豚肉〔部位〕図表
潟沼 ⑧日地→鳴子(町) ⑱宇地→火口湖 →湖沼〔化学的性質〈湖水の pH〉〕
かたね ⇨おでき
交野(市) 大阪 ⑦日地 285 C図
荷田春満 〔1669–1736〕 江戸中期の国学者。皇道復古の学を志し神道や『万葉集』を研究。門人から在満や真淵を輩出 ①文学 131 A →国学 →『古事記』〔研究〕 →『万葉集』〔諸本と研究〕 ④哲宗 94 D図 →国学 →復古神道 ⑤日史 232 B →国学図 ⑪政社→国学の政治思想図
荷田在満 〔1706–1751〕 江戸中期の国学者・歌人。春満の養子。有職故実に精通し,歌学では新古今主義を唱える 作『国歌八論』 ①文学 131 A ⑤日史 232 C
片埜神社 ⑧日地→枚方(市)
加太ノ瀬戸 ⑦日地→紀淡海峡
交野台地 ⑦日地→交野(市)
カーダノール ⑮化学→カシュー塗料
片刃 ⑬生活→ナイフ
カタバ風 ⑩世地→南極大陸〔気候〕 ⑱宇地→南極〔露岩の地形〕
『カターバットゥ』 ④哲宗→アショカ王
片浜十三里 ⑦日地→渥美半島
カタバミ〔酢漿草,片食〕〈スイモノグサ〉 ⑲植物 132 B図 →帰化植物〔史前帰化植物〕 →種子〔図〈自力で弾出〉〕 ⑮化学→シュウ酸
カタバミ科 ⑲植物 132 C
酢漿草紋 ⑲植物→カタバミ図
形原 愛知/蒲郡市 ⑦日地 285 D →蒲郡(市)
形原温泉 ⑦日地→蒲郡(市) →三ヶ根山
潟原 ⑧日地→那覇(市)〔歴史〕
型版 ⑬生活→染物〔型染〕
片盤 ⑰科技→鉱山〔囲用語〕
潟東(村) 新潟 ⑦日地 285 D
カタヒバ ⑲植物→イワヒバ →シダ植物別
帷子 ⑤日史 232 D ⑥日史→束帯 ⑬生活→長着
帷子川 横浜市 ⑦日地 285 D →旭(区)《横浜》 ⑧日地→横浜(市)〔自然〕
片開き分岐器 ⑰科技→分岐器図
カタピラクレーン ⑰科技→クレーン
カタビロアメンボ科 ⑳動物→アメンボ〔アメンボ科以外〕
カタビロオサムシ ⑳動物→オサムシ
カタビロコバチ ⑳動物→タマバチ
カダフィ ⑩世地→リビア〔政治〕
型吹きガラス ②美術→ガラス工芸〔技法〕
型吹き法 ⑮化学→ガラス〔製造〕
方塞 ⇨方違
カタフロント〈滑降前線〉 ⑱宇地→前線〔種類〕
カタベリン ⑭医学→食中毒〔プトマイン中毒〕
ガーターベルト〈靴下留め〉 ⑬生活→靴下〔ストッキング〕 →ベルト〔種類〕
片貿易 ⑧日地 1204 B
カタボリズム ⇨異化作用
ガターボール ⑬生活→ボウリング〔囲用語〕
潟町ガス油田 ⑦日地→大潟(町) →頸城油田
片町線 ⑦日地→関西本線
カタマラン船 ⇨双胴船
カタマルカ ⑩世地 155 A
『形見の歌』 ①文学→ビヨン,F
形見わけ ⑬生活→葬式〔後始末〕 →贈答〔エチケット〈包装〉〕
ガタム ③音演→インド音楽〔楽器〕
傾き〈勾配〉 ⑯物数 105 A図 →1 次関数
傾山 大分・宮崎 ⑦日地 285 D →祖母傾国定公園
カーダム派 ④哲宗→アティーシャ,D →ラマ教 ⑨世史→ラマ教
『カタームリタ』 ⑨世史→ラーマクリシュナ
固め技 ⑬生活→柔道〔基本〕図表
カダ・モスト ⑩世地→アフリカ(州)〔囲探検史〕
片持式架設法 ⑰科技→橋〔架設工法〕図
形物 ②美術→伊万里
カタモミ ⇨アブラスギ
カーダモン ⑬生活→香辛料図囲
カダヤシ〔蚊絶〕〈タップミノー〉 ⑳動物 163 A図
片山東熊 〔1853–1917〕 建築家。宮内省内匠寮の技師・長官として活躍。明治建築界の元老の一人 ②美術 119 D →明治建築〔建築家とその作品〕 →京都国立博物館〈680 D〉
カタヤマガイ〔片山貝〕〈ミヤイリガイ〉 ⑳動物 163 A図 →日本住血吸虫 ⑭医学→寄生虫〔日本住血吸虫〕 →風土病〔日本住血吸虫症〕
片山貝塚 ⑤日史 232 D
片山兼山 〔1730–1782〕 江戸中期の儒者。徂徠学と他の諸儒学とを折衷し,山子学として江戸を風びする ⑤日史 232 D ④哲宗→折衷学派 ⑥日史→折衷学派
片山古墳 ⑦日地→岡垣(町)
片山潜 〔1859–1933〕 労働運動家・共産主義者。労働運動を指導して検挙され,出獄後アメリカへ亡命。モスクワで日本共産党の創立を指導。客死 ④哲宗 95 A →幸徳秋水 ⑤日史 232 D図 →社会民主党 ⑪政社 76 D図 →キリスト教的社会主義 →社会主義〔日本〕 →平和運動〔第二次大戦前〕 ⑥日史→対露非干渉運動 →日露戦争〔反戦運動〕 →労働組合期成会 →労働世界 ⑨世史→コミンテルン ⑫経産→労働組合〔沿革〕
片山津温泉 ⑦日地→加賀(市) →柴山潟
片山哲 〔1887–1978〕 政治家,首相。昭和 22 年日本最初の社会党首班内閣を組織 ⑤日史 237 A図 →社会民衆党 ⑪政社 77 B図
片山哲内閣 ⑤日史 237 B表 →経済安定本部 →傾斜生産方式 →社会主義運動〈539 D〉 ⑥日史→日本社会党《戦後》 →日本民主党《1947 年》 ⑪政社→日本社会党
片山敏彦 〔1898–1961〕 詩人・独仏文学者。詩や評論のほか西欧文学の紹介・翻訳に努める ①文学131 B
堅山南風 〔1887–1980〕 日本画家。日光輪王寺薬師堂「鳴竜」を復元揮毫。文化勲章受章 ②美術 120 A
片山正夫 〔1877–1961〕 物理化学者。化学平衡・表面張力などを研究。理化学研究所の創立に尽力 ⑮化学 140 C図
型友禅 ②美術→型染め図 ⑬生活→和服〔囲和服地〈染物〉〕
偏り ⑯物数→誤差
片撚糸 ⑬生活→糸
カタラウヌム ⑩世地 155 A ⑨世史→西ローマ帝国
カタラウヌムの戦い〈シャロンの戦い〉 ⑨世史 128 B →アエティウス,F
カタラン・タルゴ号 ⑰科技→鉄道別
語り ③音演→能〔囲用語〕
カタリナ修道院 ④哲宗→修道会図
カタリ派 ⑨世史 128 B →アルビジョア派
語部 ⑤日史 237 C ④哲宗→日本神話〔古代信仰〕 ⑨世史→歴史学
語物・謡物 ③音演 111 B →日本音楽〔特徴〕 →人形浄瑠璃〔歴史〈源流〉〕 ①文学→芸術 →『平家物語』
カタル ⑭医学 80 A
カタール(国) ⑩世地 155 A図
カダル 〔1912–〕 政治家,勤労者党書記長・首相。ソ連の支持でハンガリー事件の収拾にあたる ⑨世史 128 C →ハンガリー事件 ⑪政社→東欧政治事情〔ユーゴの反発〕 →ハンガリー動乱
カダル ④哲宗→イスラム教〔教義〕
ガダルカナル(島) ⑩世地 155 C図 →ソロモン(諸島) ⑥日史→太平洋戦争〔経緯〕図 ⑪政社→太平洋戦争図
カタルシス ①文学→文学〔囲用語〕 ④哲宗→芸術 →フロイト,S
カタル性アンギナ ⑭医学→アンギナ
カタール石油会社 ⑩世地→カタール(国)
カダルソ,J 〔1741–1782〕 詩人・評論家。恋人の死をうたい,ロマン主義の先駆者となる ①文学 131 B
カタルーニャ ⑩世地 155 C
カタルーニャ建築 ②美術→スペイン美術〔ロマネスク〕
カタルーニャ美術館 ②美術684 A
『カタルモイ』 ④哲宗→エンペドクレス
加田伶太郎 ⇨福永武彦
カダレン ⑮化学→テルペン〔セスキテルペン系化合物〈環状〉〕
片廊下型 ⑰科技→集合住宅〔住棟計画〕 →住宅〔住宅計画〕
カタログ ⑫経産→通信販売 ⑬生活→通信販売
『カタログの歌』 ③音演→モーツァルト,W〔作風と作品〈ドン・ジョバンニ〉〕
肩ロース ⑬生活→豚肉〔部位〕図表
カタロニア ⇨カタルーニャ
カタロニア王朝 ⑨世史→アラゴン王国
カタロニア語 ①文学→スペイン文学
『カタロニア賛歌』 ①文学→オーウェル,G
カタロニアの反乱 ⑨世史→フェリペ(二世)
カタン ⇨アカギ
花旦 ③音演→京劇〈156 D〉
花壇 ⑲植物 132 C図
カタン糸 ⑬生活→和裁〔裁縫用具〈縫糸〉〕
カタンガ(州)〈シャバ州〉 ⑩世地 155 C →ザイール(共和国)〔経済〕 ⑨世史→アフリカ(州)〔独立後の経済社会〈分断政策〉〕

加波山 茨城 ⑦日地 301 D
加波山事件 ⑤日史 252 B →自由党〈1881年〉 →自由民権運動図 ⑥日史→田中正造 →三島通庸
加波山神社 ⑦日地→加波山 ⑧日地→真壁(町)
椛島 長崎/五島列島 ⑦日地 301 D ⑧日地→福江(市)
樺島 長崎/野母崎町 ⑦日地 301 D
樺島石梁 [1754/1827] ⑥日史→筑後国〔囲人国記〕
カバシャク ⑳動物→ガ図 →シャクガ〔日本産〕図
蚊柱 ⑳動物 170 C →カ〔生態〕
『蚊柱百句』 ①文学→西山宗因
カーバ神殿 ⇨カーバ
香肌峡 三重 ⑦日地 301 D →飯高(町)
香肌峡県立公園 ⑦日地→飯南(町) →勢和(村)
カバタテハ亜科 ⑳動物→タテハチョウ
加葉谷瓦経塚 ⇨犬伏瓦経塚
カーバット, J ⑰科技→写真〔技術の歴史〈カメラ〉〕 →フィルム〔感光材料の発達〕
カバティーナ ③音演 120 B
樺戸山地 ⇨増毛山地
樺戸集治監 ⑦日地→石狩川 ⑧日地→月形(町)
カハナモク, D アメリカ ⑬生活→水泳〔歴史〕
カバニス, P フランス[1757/1808] 哲学者・心理学者・医学者。フランス・イデオロジストの代表者の一人 ④哲宗 99 A
姓 ⑤日史 252 C →県主 →氏 →氏姓制度 ⑥日史→八色の姓
カバネル, A フランス[1823/1889] 画家。歴史的な主題をもった大作を描き,長年アカデミー院長として活躍 ②美術 129 D
カバノキ〔樺〕 ⑲植物 136 A図
カバノキ科 ⑲植物 136 C
カバフィス, K ギリシア[1863/1933] 詩人。作風は哲学的あるいは官能的だが懐疑的な調子に貫かれている ①文学 135 C
カバー法則モデル ④哲宗→説明 →ヘンペル, C
カバマダラ〔樺斑蝶〕 ⑳動物 171 A →マダラチョウ図
カハマルカ ペルー ⑩世地 165 A
カーバム ⑮化学→農薬〔分類〈表殺菌剤〉〕
ガバメント ⇨政府
蒲焼き ⑬生活→魚料理〔調理別〈焼き物〉〕 →日本料理〔歴史〈近代〉〕 →焼き物 ⑳動物→ウナギ〔料理〕
樺山資紀 [1837/1922] 明治の海軍軍人・政治家。議会で藩閥擁護の演説をして問題となる ⑤日史 252 C ⑪政社→台湾統治政策〔独立運動〕
カバラ ギリシア ⑩世地 165 A →ギリシア(共和国)図
カバラ ④哲宗→神秘主義〔諸相〕 →ユダヤ教〔宗教思想〕 →錬金術
カバリエリ, F イタリア[1598/1647] 数学者。不可分量の幾何学を創始,近代微積分学の先駆をなす ⑯物数 106 A図
カバリエロ ⇨ラルゴ・カバリエロ, F
カパリースワラル寺 ⑩世地→マドラス図
カバリーノ, B イタリア[1616/1656] ②美術→ナポリ派
カバルカセレ, G イタリア[1820/1897] 美術史家。実証的な対比を基礎とする研究で知られる ②美術 130 A
カバルカンティ, G イタリア[1259*/1300*] 詩人・政治家。愛の喜悦と苦悩を多くうたう ①文学 135 C
カバルジノバルカル ソ連/ロシア ⑩世地 165 A
ガバルニー(滝) ⑱宇地→滝表
カバレフスキー, D ソ連[1904/1979] 作曲家。明快な調性と歯切れのよいリズムで知られる ③音演 120 B
『カバレリア・ルスチカーナ』 ③音演→マスカーニ, P
カバレロ ⑬生活→帽子〔基本型〕
カバレンゲ ⑲植物→レンゲツツジ
加判 ⑤日史 252 D
鞄 ⑬生活 113 B
花盤 ⑲植物 136 C →花〔花葉の配列〕
河畔砂丘 ⑱宇地→砂丘〔分類,分布〕
カバンネ(山) ⑩世地→エルバ(島)
可搬無線 ⑰科技→通信〔無線通信の種類〈陸上移動無線〉〕
花被 ⑲植物 136 C →コケ植物〔形態〕 →花
果皮 ⑲植物→果実
痂皮 ⇨かさぶた
カビ〔黴〕 ⑲植物 137 A図 →菌類 ⑭医学→真菌症 →病原体図
『黴』 ①文学→自然主義〔日本〕 →徳田秋声
カービー, R [1939*] ⑯物数→多様体〔歴史〈ポアンカレの予想〉〕
鵞皮 ⇨鳥肌
ガビアル ⑳動物 171 A →ワニ〔分類〕図
ガビアルモドキ ⑳動物→ワニ〔分類〕図
峨嵋山 ⑧日地→光(市) →室積半島
カピタータ ⑲植物→ブティア
カピターノ ③音演→コメディア・デラルテ
カピタン〔甲比丹〕 ⑤日史 252 D →江戸参府旅行 →オランダ(王国)〔日蘭交渉史〕
ガビチョウ〔画眉鳥〕 ⑳動物 171 A
カーピッツァ, P ソ連[1894] 物理学者。液体ヘリウムの超流動の発見など低温物理学の研究で著名。ノーベル賞受賞 ⑮化学 143 B ⑯物数 106 B図 →超流動
カビテ フィリピン ⑩世地 165 B
カピトゥラリア ⑨世史 132 A
カビ毒〈マイコトキシン〉 ⑭医学→病原体〔真菌〕
カピトリーノ美術館 ②美術 68 A
軻比能 ⑨世史→鮮卑
カピバラ ⑳動物 171 B図 →齧歯類
カービヤ ④哲宗→馬鳴
『カービヤーダルシャ』 ①文学→ダンディン
カービヤ文学 ①文学→インド・パキスタン文学〔叙事詩文学〕
価標 ⑮化学→化学式〔構造式〕
カピラ インド[前350*/前250*] ④哲宗→インド哲学〔古典時代〕 →六派哲学〔サーンキヤ学派〕
カピラ〔迦毗羅〕 ネパール ⑩世地 165 B
川平公園 ⑦日地→石垣(市)
カピラバトウ ⇨カピラ
カピラメントゥム ⑬生活→ヘアウィッグ〔歴史〕
川平湾 ⑦日地→石垣(市)図
『カビリア』 ③音演→映画〔無声映画〈第2期〉〕
『カビリアの夜』 ③音演→フェリーニ, F
カビール インド[1440*/1518*] 宗教思想家。イスラム教の影響を強くうけ,伝統的なヒンドゥー教を改革 ④哲宗 99 B ⑨世史 132 A
カビール(砂漠) イラン ⑩世地 165 B
カビール派 ⑨世史→ヒンドゥー教
過敏症〈感受性亢進〉 ⑭医学 86 C →アレルギー →血清療法〔血清病〕
カビンダ アンゴラ ⑩世地 165 B
家譜 ⑤日史 252 D →寛永諸家系図伝 →『寛政重修諸家譜』
カブ〔蕪〕〈スズナ〉 ⑲植物 139 A図 →貝割菜 ⑫経産→農業〔輪栽式農業〕 ⑬生活→山菜
かぶ ③音演→人形浄瑠璃〔別文楽の首〕
株 ⑤日史 252 D
株 ⑫経産→株式
カーブ ⑬生活→野球〔囲用語〕図
ガフ ⑬生活→ヨットレース〔囲用語〕
楽府 ①文学 135 C →歌謡〔中国〕 →古詩 →中国文学〔秦・漢〕 →李白
雅部 ①文学→崑曲
GARP〈地球大気開発計画〉 ⑱宇地 137 B →天気予報〔歴史〕
カファ(州) ⑩世地→エチオピア〔地方誌〕
カプアス(川) インドネシア ⑩世地 165 C →ボルネオ(島)
カプアーナ, L イタリア[1839/1915] 小説家・批評家。ベリズモ文学の理論的指導者 ①文学 135 D →ベリズモ
ガーフィールド, J アメリカ[1831/1881] ⑨世史→ペンドルトン法
カフェイン ⑬生活→味〔種類〈苦味〉〕 →紅茶〔製法〕 →コーヒー〔成分〕 →茶〔成分〕 ⑭医学→強心剤 →尿〔利尿剤〈プリン誘導体〉〕 ⑲植物→カカオ →ガラナ →コーヒーノキ
カフェ・オ・レ ⑬生活→コーヒー〔飲み方〕図
カフェ・カプチーノ ⑬生活→コーヒー〔飲み方〕図
カフェテリア方式 ⑯物数→電子計算機〔操作方式〕
カーフェリー〈自動車航送船〉 ⑰科技 92 A →貨物船〔設備〈特殊貨物〉〕 →フェリーボート図表 ⑬生活→ドライブ
カフェ・ロアイヤル ⑬生活→コーヒー〔飲み方〕
カフカ, F [1883/1924] プラハ生まれのユダヤ人の作家。リアルな描写と幻想的な骨組を交錯させ自我の内面を描出 作『変身』『城』 ①文学 135 D図 →実存主義 →前衛文学 →ドイツ文学〔20世紀〕
株価指数 ⑫経産→株式〔囲用語〕
株価収益率 ⑫経産→株式〔囲用語〕
カフカス〈コーカサス〉 ソ連 ⑩世地 165 C
カフカス(山脈) ソ連 ⑩世地 165 D
黙啜可汗 ⑨世史→突厥
カブカンラン ⇨コールラビー ⇨スウェーデンカブ
歌舞伎 ①文学 136 D →近松門左衛門 ③音演 120 C図囲別 →出雲の阿国 →女方 ⑤日史 253 B図 →活歴 →浄瑠璃
『歌舞伎』 ①文学→伊原青々園
ガフキー, G ドイツ[1850/1918] ⑭医学→腸チフス〔チフス菌〕
歌舞伎絵 ⇨芝居絵
歌舞伎踊 ①文学→歌舞伎〔歴史〕 ③音演→出雲の阿国
歌舞伎看板絵 ⑥日史→鳥居清信
歌舞伎座 ⑤日史 253 C ③音演→劇場〔図〈日本〉〕 ⑧日地→中央(区)図 ⑪政社→福地桜痴
『歌舞伎史の研究』 ①文学→河竹繁俊
歌舞伎十八番 ③音演→家の芸 →市川団十郎(七世) →『勧進帳』 →『暫』 →『助六由縁江戸桜』 →『雷神不動北山桜』
歌舞伎舞踊 ③音演→日本舞踊図
かぶき者 ⑤日史→江戸時代〔政治・外交〈幕藩体制の確立〉〕 →歌舞伎 ⑥日史→名古屋山三郎 →町奴
歌舞伎模様 ③音演→歌舞伎図
冠木門 ②美術→門〔日本〕 ⑬生活→門図
蕪栗沼 ⑦日地→瀬峰(町) ⑧日地→田尻(町)《宮城》
株券 ⑫経産→株式 →有価証券〔種類〕
下部構造 ⇨土台
株座 ⑥日史→宮座
カプサイシン ⑬生活→味〔種類〈辛味〉〕
神峰山寺 ⑧日地→高槻(市)
株式 ⑫経産 90 B図表囲 →株式会社〔特質〕 →証券業〔一〕 →証券市場〔発行〕 →証券取引所 →取引所〔種類〕 ⑯物数→日用諸算
株式会社 ⑫経産 92 D →会社 →監査役 →企業形態〔法律形態論〕 →社債〔特色〕 →取締役 →法人〔社団法人〕
株式会社金融 ⑫経産→自己金融
株式公開買い取り制度 ⑫経産→株式〔囲用語〕
株式・社債接近の原則 ⑫経産→社債
株式相互持ち合い ⑫経産→株式〔囲用語〕
株式取引所 ⑤日史 253 C
株式配当 ⑫経産→配当
株式保有制限規定 ⑫経産→独占禁止法
株式利回り ⑫経産→利回り
『楽府詩集』 ①文学 137 B →楽府 →歌謡〔中国〕 →『古詩十九首』
カプシッド ⑭医学→ウイルス〔性質〕
蕪島 青森/八戸市 ⑦日地 301 D図 ⑧日地→八戸(市)図 ⑳動物→ウミネコ
カブシメジ ⑲植物→ホンシメジ
カフジ油田 ⑫経産→アラビア石油(株)
鵞不食草 ⑲植物→トキンソウ
カフス ⑬生活 113 D図 →シャツ〔種類〈ホワイトシャツ〉〕
カブス〈臭橙〉 ⑲植物→ダイダイ
『歌舞髄脳記』 ①文学→金春禅竹
カーブスタット ⇨ケープタウン
『カーブースの書』 ①文学→カイ・カーウース
カーブース・ビン・サイード ⑩世地→オマーン(国)
カフスボタン ⑬生活→カフス →ボタン〔種別〕
『楽府正義』 ①文学→『古詩十九首』
カプセル剤 ⑭医学→薬〔形状〕
過不足算〈分配算〉 ⑯物数→算術
カプタイン, J オランダ[1851/1922] 天文学者。恒星の体系運動・銀河系構造規模を発見 ⑱宇地 137 B図 →銀河系〔歴史的研究〕 →恒星〔運動〕 ⑯物数 →エディントン, A
カプタイン宇宙 ⑱宇地→カプタイン, J
家父長制 ⑤日史 253 C →江戸時代〔社会・風俗〈身分制度〉〕 ⑨世史 132 A ⑪政社 79 C →家族〔内面構造〕 →家族制度
家父長的温情主義 ⑫経産→経営家族主義
家父長的大家族 ⑪政社→原始共産制
家父長的奴隷制社会 ⑥日史→封建社会〔成立〕
カプチン会 ④哲宗→修道会囲 →フランシスコ会
頭椎大刀 ⑤日史 253 D図
『カプテイウイ』〈捕虜〉 ③音演→プラウトゥス
兜 ⑤日史 253 D図 →甲冑〔三物〕 →陣笠 ⑬生活→節句〔端午の節句〕
カブトアヤボラ ⑳動物→アヤボラ
カブトウオ ⑳動物→深海生物図
カブトエビ〔兜蝦〕 ⑳動物 171 C図
カブトガニ〔鱟魚〕 ⑳動物 171 C図 →三葉虫 →複眼 ⑦日地→笠岡(市) ⑱宇地→三葉虫

カブトギク　⑲植物→トリカブト
『兜首』　①文学→直木賞表
カブトゴケ　⑲植物 139 B　→地衣類図
カフドスリーブ　⑬生活→袖〔スリーブ〕図
兜町　東京/中央区　⑦日地 302 A　⑫経産→金融市場〔囲金融センター〕
甲塚古墳　⑦日地→いわき(市)〔歴史〕
かぶと造　②美術→民家〔日本〈各地〉〕
カブトムシ〔兜虫〕　⑳動物 172 C図　→角(つの)
かぶと蒸し　⑳動物→タイ〔調理〕
かぶと焼き　⑬生活→魚料理(うお)〔調理別〈焼き物〉〕　⑳動物→タイ〔調理〕
カブトヤマ　⑬生活→競馬〔名競走馬〕
甲山古墳　⑧日地→野洲(町)
カプトリヌス　⇨キャプトリヌス
カブナ　⇨カブ
株仲間　⑤日史 254 B　→江戸時代〔産業・経済・貿易〈商業・金融〉〕　→株　→商業〔都市商業時代〕　⑫経産 94 B図　→享保改革〔物価〕　⑥日史→町人〔階層分化〕　→問屋(とんや)　→仲買　→仲間
株虹　⑱宇地→虹〔特殊な虹〕
カプニスト, V　ロシア[1758/1823]　詩人・劇作家。啓蒙主義の立場から農奴制を攻撃, 裁判制度を風刺　①文学 137 B　③音演→ロシア演劇
株主　⑫経産→会社　→株式　→株式会社〔特質〕　→代表訴訟
株主権　⑫経産→株式
株主総会　⑫経産→株式会社〔機関〕　→経営者　→資本金　→法人〔行為能力〕
株主有限責任の原則　⑫経産→株式〔株主権〕　→有限責任
可付番〈可算〉　⑯物数→可算集合
可付番公理　⇨可算公理
可付番集合　⇨可算集合
カフバンド　⑬生活→カフス
下部マンハッタン　⑩世地→ニューヨーク〔産業〕
カフラー　エジプト　⑨世史→ピラミッド〔エジプト〈真正ピラミッド〉〕
カブラ　⇨カブ
ガーブラー, J　ドイツ[1700/1771]　③音演→オルガン〔歴史〕
カプライア(島)　⑩世地→トスカナ(諸島)
カフラー王坐像　②美術→エジプト美術図
鏑川(かぶら)　群馬　⑦日地 302 A　⑧日地→富岡(市)
鏑木清方(かぶらぎきよかた)　[1878/1972]　日本画家。幕末明治の情緒を繊細・瀟洒な筆に託して描く。文化勲章受章　②美術 130 A図　→美人画図　⑤日史 254 B
かぶら骨　⑬生活→食肉〔鯨肉〕　⑳動物→クジラ〔捕鯨〈利用〉〕
鏑矢(かぶらや)　⑤日史 254 C図　⑥日史→弓矢〔矢〕
カブラヤガ　⑳動物→ネキリムシ　→ヤガ図
カブラル, L　⑩世地→ギニアビサウ(共和国)
カブラル, P　ポルトガル[1460*/1526*]　探検隊長。インドへの航海の途中, ブラジルを発見してポルトガル領とする　⑨世史 132 B　⑩世地→ブラジル(連邦共和国)〔略史〕
カブラレ族　⑩世地→トーゴ(共和国)〔社会・文化〕
カプラン, V　オランダ[1778/1848]　⑨世史→ジャワ戦争
カプラン水車　⑰科技 92 A　→水車〔プロペラ水車〕図　→水力発電〔水力発電所〈水車〉〕
かぶり　⑰科技→カメラ〔アクセサリー〕
カプリ(島)　イタリア　⑩世地 165 D図
ガブリエリ, A　イタリア[1510*/1586*]　ベネチア楽派の音楽家。サン・マルコ大聖堂のオルガニストとして活躍　③音演 131 B
ガブリエリ, D　イタリア[1655*/1690*]　③音演→チェロ
ガブリエリ, G　イタリア[1557/1613]　③音演→ガブリエリ, A
ガブリエル合成　⑮化学→アミノ化　→アミン〔脂肪族アミン〈合成法〉〕
ガフリグ　⑰科技→ヨット〔種類〕図
カブリダニ〔被蜱〕　⑳動物 173 A　→ダニ〔害と益〕
『カプリチオ』　③音演→クラウス, C
カプリッチオ　③音演 131 C
カプリッチオーゾ　③音演→音楽用語〈629 A〉
ガブリ手　②美術→イスラム美術〔ブワイ朝〕
カプリービ, L　ドイツ[1831/1899]　軍人・政治家。ビスマルクのあとを継いで宰相となる。　⑨世史 132 B
被り物(かぶりもの)　⑤日史 254 C　→冠(かんむり)　→頭巾(ずきん)　⑬生活→服装〔日本〈中国模倣〉〕
カブリロ　⑩世地→カリフォルニア(州)〔略史〕
カプリンチェリー　⑲植物 139 B図
カプルー　⑩世地→ヒマラヤ(山脈)〔表初登頂〕
カブール, C　イタリア[1810/1861]　政治家。小国サルデーニャの首相として巧みな外交でイタリア統一を完成　⑨世史 132 C図　→イタリア(共和国)〔近代史〈統一国家〉〕　→ガリバルディ, G　→ビラフランカの講和　→プロンビエールの密約　→リソルジメント〔対オーストリア戦争〕
カブール　アフガニスタン　⑩世地 166 A図　→アフガニスタン(民主共和国)図
カブルアン(島)　⑩世地→タラウド(諸島)
かぶれ　⑭医学→接触皮膚炎　→皮膚病図
カプレオマイシン　⑮化学→抗生物質〔主要なもの〕
カブレラ・インファンテ　キューバ　①文学→ラテンアメリカ文学〔20世紀〕
カプロラクタム　⑮化学 143 C
株分　⑬生活→いけ花〔囲用語〕
株分け　⑲植物→園芸〔繁殖〕図
花粉　⑲植物 139 B　→花粉管　→花粉分析　→受粉　→柱頭　→虫媒花　→鳥媒花
可分　⑯物数→稠密(ちゅうみつ)
花粉アレルギー　⑲植物→ブタクサ
花粉管　⑲植物 139 C　→花粉　→雌しべ
雅文芸　①文学→日本文学〔近世〕
花粉銃　⑲植物→人工受粉
仮分数・帯分数　⑯物数 106 C
雅文体　①文学→美文
ガブーンバイパー　⑳動物→クサリヘビ
花粉病〈枯草熱, 花粉症〉　⑭医学→アレルギー〔アレルギー性疾患〕　⑲植物→花粉　→帰化植物図　→花〔受粉〕
花粉分析　⑲植物 139 C　→花粉
カベ, E　フランス[1788/1856]　空想的社会主義者。オーウェンの感化をうけアメリカで持論の実践を試み失敗　⑨世史 132 D　⑪政社→社会主義〔空想的社会主義〕　⑫経産→社会主義思想〈266 A〉
壁　②美術 130 C　⑬生活 114 C図　→住まい〔施工から完成まで〈左官工事〉〕
『壁』　①文学→芥川賞(あくたがわ)表　→安部公房(こうぼう)
可部　広島/広島市　⑦日地 302 B
花柄　⑲植物 140 A　→花
貨幣　⑤日史 255 B表別　⑫経産 94 D図, 95 C　→価値形態〔課題〕　→貨幣史　→金　→銀行券　→グレシャムの法則　→紙幣　→通貨　→物神崇拝　→本位制度　→利子 I〔概念〕　→利子付き資本〔概念〕　⑥日史→銭座　⑳動物→貝類〔人間生活との関係〕
ガーベイ, M　[1887/1940]　⑨世史→汎アフリカ主義　⑪政社→汎アフリカ主義
貨幣価格〈貨幣表示価格〉　⑫経産→価格
貨幣学説　⑫経産→貨幣 II〔金属主義〕
貨幣金属元素〈銅族元素〉　⑮化学→金　→銀　→元素〔分類〕　→周期表〔表元素群の特徴〕　→銅
貨幣経済　⑪政社→資本主義〔定義〕　⑫経産→経済発展段階説
貨幣形態　⑫経産→価値形態〔発展〕
貨幣国定説　⑫経産→貨幣 II〔名目主義〕
貨幣史　⑫経産 96 B
貨幣資本　⑫経産→資本 I〔産業資本〕　→商業資本　→利子 I〔利子率〕
貨幣資本家　⑫経産→資本家階級　→利子 I〔利子率〕　→利子付き資本〔運動〕
貨幣準備　⑫経産→金〔生産〕
貨幣数量説　⑫経産 97 D　→金融理論〔地金論争〕　→フィッシャー, I　→物価
貨幣石　⑱宇地 137 C　→化石図　→地質時代〔新生代〈第三紀〉〕　→有孔虫
貨幣的景気理論　⑫経産→景気変動理論　→ホートリー, R
貨幣的支出　⑫経産→有効需要の理論
貨幣的信用　⑫経産→信用
貨幣的利子論　⑫経産→利子 II
貨幣票券説　⑫経産→貨幣 II〔名目主義〕
貨幣ブロック　⑫経産→最適通貨圏
貨幣法　⑫経産→円
貨幣利子　⇨金利
貨幣量　⑫経産→貨幣 I〔流通手段〕
壁書(かべがき)　⑤日史 256 B
壁紙　⑬生活→壁〔内壁〕
カヘキシー　⑭医学 86 C
壁基礎　⑰科技→基礎工〔広がり基礎〕
壁クレーン　⑰科技→クレーン〔ジブクレーン〕
壁構造　⑰科技 92 A図　→鉄筋コンクリート構造〔構法〕
カベーサ・デ・バーカ　①文学→ラテンアメリカ文学〔植民地時代〕
壁仕上げ材　⑰科技→建築材料〔分類〈仕上げ材料〉〕
壁式鉄筋コンクリート造　⑰科技→壁構造
壁島　⑧日地→豊北(町)(ほうほく)
加部島(かべしま)　佐賀/呼子町　⑦日地 302 B
壁代(かべしろ)〔防壁〕　⑤日史 256 C　→几帳(きちょう)図
ガベス(湾)　⑩世地 166 B
可部線　⑦日地→山陽本線
カベソン, A　スペイン[1510/1566]　③音演→オルガン〔オルガン音楽〕　→音楽〔西洋音楽〈ルネサンス音楽〉〕
カペー朝　⑨世史 133 A図　→フランス(共和国)〔歴史〈起源〉〕　→ユーグ・カペー
カーペット　⑬生活→室内装飾〔居間〕
カーペット・オブ・スノー　⑲植物→アリッサム
ＫＰＤ(カーペーデー)　⇨ドイツ共産党
カペデーロ　⑩世地→ジョアンペソア
『壁に耳あり』　①文学→ルイス・デ・アラルコン, J
カベニャック, L　フランス[1802/1857]　将軍。父はジャコバン党員。六月事件に軍隊を動員しパリの労働者2万余を殺傷　⑨世史 133 A
壁ぬり踊　⑧日地→鳥取(県)〔文化〕
『壁の花』　①文学→今官一(こんかんいち)　→直木賞表
壁湯温泉　⑦日地→九重(町)(ここのえ)
カペラ　⑱宇地 137 C　→ぎょしゃ座　→巨星表　→恒星〔表1等星〕　→星座〔四季〈冬〉〕　→連星
ガーベラ　⑲植物 140 A図　→園芸〔図フラワーカレンダー〈1〉〕
カベーリン　⑨世史→ザパドニキ
カベーリン, V　ソ連[1902]　小説家。推理的手法で革命後の社会を描き, 作家としての地歩を築く　①文学 137 B
カペルマイスター　③音演→指揮
カペレッティ　イタリア　②美術→明治建築〔建築家とその作品〕
ガベローンズ　⇨ガボローネ
花弁〈花びら〉　⑲植物 140 A　→花冠(かかん)　→花被
可変後退翼〈ＶＧ翼〉　⑰科技→飛行機〔機体〈後退翼〉〕図
可変コンデンサー　⇨バリコン
可変資本　⑫経産→再生産過程〔単純再生産〕　→資本 I〔産業資本〕　→資本の有機的構成　→不変資本・可変資本
可変周波数発振器　⑯物数→発振
過変態　⑳動物→オオハナノミ　→幼虫
カーペンタリア(湾)　⑩世地 166 B
可変抵抗器　⑰科技→回路部品〔抵抗器〕　→抵抗器〔その他〕
カーペンテレス　⑲植物→アオカビ
可変ピッチプロペラ　⑰科技→タグボート　→プロペラ〔飛行機〕図
可変費用　⑫経産→費用
嘉穂(町)　福岡　⑦日地 302 B
ガボ, N　[1890/1977]　彫刻家。構成主義の運動に加わる。ガラスやプラスチックを導入　②美術 131 A　→構成主義　→ロシア美術〔初期ソビエト〕
ガボア, D　[1900/1979]　⑯物数→アッベ, E　→ホログラフィー
ガボアー管　⑰科技→ブラウン管〔構造〕
果報　④哲宗→仏教〔囲用語〕
加法〈寄せ算, たし算〉　⑯物数 106 C　→九去法表　→検算表　→減法　→四則
家法　⑥日史→藩法
画法幾何学　⑯物数 107 A図　→モンジュ
『画法綱領』　②美術→秋田蘭画〈佐竹曙山〉
加法混色　⑯物数→色(いろ)〔混合〕図別　→三原色　→補色
果胞子　⑲植物→藻類〔分類〈紅藻植物〉〕
加法定理《確率》　⑯物数 107 C
加法定理　⑯物数→三角関数〔$\cos\theta$と$\sin\theta$の性質〕
華芳坊　⑥日史→内裏(だいり)〔囲殿舎〕
過放牧　⑧日地 1204 C
過飽和　⑮化学 144 A　→凝縮　⑯物数 107 C　→飽和〔飽和蒸気〕　⑱宇地→雨〔氷晶〕
過飽和溶液　⑮化学→溶液〔溶解度と溶解熱〕
河北(町)　宮城　⑦日地 302 B
河北(町)　山形　⑦日地 302 B図
香北(町)(かほく)　高知　⑦日地 302 C
華北　⇨ホワペイ
鹿北(町)　熊本　⑦日地 302 C
花木　⑲植物 140 B　→植木
河北潟　石川　⑦日地 302 C　→浅野川
河北省　⇨ホーペイ(省)
華北平原　⇨ホワペイ(平原)
カボクロ　⑩世地→アマゾン(川)〔住民と産業〕
過保護　⑭医学→育児〈36 D〉
カボス　⑲植物 140 B
カボチャ〔南瓜〕〈トウナス〉　⑲植物 140 B図囲　→

186 B →アトリ →進化〔証明〈生物地理学〉〕→ダーウィン,C〔囲ガラパゴス諸島〕 →鳥類〔形態〈くちばし〉〕 →フィンチ図
ガラパゴスペンギン ⑳動物→ペンギン〔種類〕図
カラバッジョ イタリア〔1573/1610〕 画家。自然主義者として名声を高め,バロック様式を確立 ②美術 141 A図 →ナポリ派 →バロック美術〔イタリア〕
カラハツタケ〔辛初茸〕 ⑲植物 146 C →キノコ〔別担子菌類〈ハラタケ目〉〕 →チチタケ
カラハナソウ〔唐花草〕 ⑲植物 146 C図
唐破風 ②美術→唐様〔建築〕
唐破風鳥居 ④哲宗→神社〔図鳥居〕
カラハリ(砂漠) アフリカ ⑩世地 169 C
カラ・バルガスン ⑨世史 135 A
カラハン,L ソ連〔1889/1937〕 ⑨世史→カラハン宣言 ⑪政社→日ソ関係〔国交の樹立〕
カラハン,M カナダ〔1903〕 小説家。人間倫理の問題をキリスト教的文脈の中で追求 ①文学 143 D →カナダ文学〔イギリス系〕
カラハン宣言 ⑨世史 135 B
カラ・ハン朝 ⑨世史 135 B →ウイグル
空引き機 ②美術→織物〔織機〕
唐庇車 ⑤日史→牛車図
唐櫃〔韓櫃〕 ⑤日史 272 B
カラビナ ⑬生活→登山〔用具〕〔囲用語〕図
カラビン自然動物公園 ⑩世地→オーストラリア(連邦)〔自然〕図
カラーフィルム ⑰科技 105 C →写真〔技術の歴史〈カメラ〉〕 →フィルム図
樺太〔唐太〕〈サハリン〉 ⑤日史 272 B →蝦夷地〔開拓〕 ⑦日地 320 B ⑥日史→幕末遣外使節〈第4回〉 →間宮林蔵図 ⑩世地→サハリン
カラフトアオアシシギ ⑳動物→アオアシシギ
カラフト犬 ⑳動物→イヌ〔犬種〈獣猟犬〉〕
カラフトイバラ ⑲植物→バラ〔野生種〕
カラフトイワナ ⇨オショロコマ
カラフトウグイス ⑳動物→ウグイス
樺太開拓使 ⑤日史 272 C →開拓使
カラフトカワラヒワ ⑳動物→カワラヒワ
カラフトキマダラセセリ ⑳動物→タカネキマダラセセリ
カラフトシシャモ ⑳動物→シシャモ図
カラフトシメ ⑳動物→シメ
樺太神社 ④哲宗→神社〔表〈官幣大社〉〕
カラフトスズメ ⑳動物→スズメ
樺太・千島交換条約 ⑤日史 272 C →榎本武揚→樺太 ⑥日史→ソビエト(連邦)〔交渉史〕→千島列島 ⑪政社→北方領土
樺太庁 ⑤日史 272 D
カラフトヒョウモン ⑳動物→アサヒヒョウモン→ヒョウモンチョウ
カラフトボタル ⑳動物→ホタル〔生態〕
カラフトマス〔樺太鱒〕〈アオマス〉 ⑳動物 186 C→サケ〔分類〕図
カラフトミセバヤ ⑲植物→ミセバヤ
カラフトヤナギ ⇨オノエヤナギ
カラフトワシ〔樺太鷲〕 ⑳動物 186 C →ワシ図
カラーブラウン管 ⑰科技→テレビジョン →ブラウン管図
カラブラン ⑱宇地→風〔表局地風〕
カラブリア イタリア ⑩世地 169 C
カラベーロフ,L ブルガリア〔1834*/1879〕 小説家。民謡の伝統を受け継いだ作品でリアリズム文学発展に寄与 ①文学 144 A
ガラ紡 ⇨臥雲式紡績機
カラボガズゴル(湾) ⑩世地 169 D
カラ・ホージョ 中国/新疆ウイグル自治区 ⑨世史 135 B
カラボボの会戦 ⑨世史→ボリーバル,S
カラマイ ⇨カラマタ
カラーマーキング ⑰科技→航空計器〔特色〕
『カラマーゾフの兄弟』 ①文学→ドストエフスキー,F ④哲宗→ドストエフスキー,F
カラマタ ギリシア ⑩世地 169 D
カラマツ〔唐松〕〈落葉松〉 ⑲植物 147 A図 →種子〔図〈風で飛ぶ〉〕 ⑬生活→木材表 ⑰科技→木材〔表針葉樹〈日本産材〉〕
カラマツツガイ ⑳動物→カサガイ図
カラマツソウ〔唐松草〕 ⑲植物 147 B図
唐松岳 ⑧日地→八方尾根
カラマンリス ⑩世地→ギリシア(共和国)〔政治〕
からみ ③音演→歌舞伎〔囲用語〕
辛味 ⑬生活→味〔種類〕
からみ織〈もじり織〉 ②美術 141 C →織物〔織物組織〕 ⑬生活→織物〔基本組織〕
カラミザクラ〈中国桜桃〉 ⑲植物→サクランボ
カラミテス ⑲植物 147 C ⑱宇地→蘆木
カラーム ④哲宗→アッラー →イスラム教〔神学〕
カラムクロマトグラフィー ⑮化学→クロマトグラフィー〔分類〕図表
カラムシ〔枲,苧〕〈真麻〉 ⑤日史 272 D ⑬生活→麻織物 ⑲植物 147 C →アカソ図 →チョマ
カラムジン,N ロシア〔1766/1826〕 小説家・歴史家。新鮮な文体で,主情主義の作品を発表する一方,ロシア史の大著を著す 作『哀れなリーザ』 ①文学 144 A →『ヨーロッパ報知』 →ロシア・ソビエト文学〔ロシア〈18世紀〉〕 ⑨世史 135 C
カラムナリス病 ⑳動物→熱帯魚〔表病気と治療〕
からめ節 ③音演→仕事唄 →民謡〔表〈岩手〉〕
カラメル ⑮化学 156 A ⑬生活→砂糖〔料理〕 →食品着色料
唐門 ②美術 141 C図 →門〔日本〕
韓山〈孝霊山〉 ⑧日地→淀江(町)
カラヤマグワ〈トウグワ〉 ⑲植物→クワ
カラヤン,H オーストリア〔1903〕 指揮者。当代最高の実力と人気をもち,ヨーロッパ楽壇の重要なポストを独占 ③音演 137 B図
唐様〔書〕 ②美術 141 D →書〔日本書道史〈唐様の展開と和様の再興〉〕 →禅宗美術 →和様〔書〕 ⑥日史→貫名海屋 →和様
唐様〔建築〕〈禅宗様〉 ②美術 142 C →禅宗美術→禅宗様 →和様〔建築〕
カララ イタリア ⑩世地 169 D
カラリーチェフ,A ブルガリア〔1902/1972〕 作家。民話の再現と童話に力を注ぎ,子供のための作品を発表 ①文学 144 B
カラーリバーサル・フィルム ⑰科技→フィルム〔カラーフィルム〕
『カラールのおかみさんの銃』 ③音演→ブレヒト
唐輪 ⑤日史 272 D →髪形〔女子〕図 ⑬生活→髪形〔女子〕図
ガラン フランス ⑨世史→『アラビアン・ナイト』
伽藍 ④哲宗→寺院図 →仏教〔囲用語〕 ⑤日史→伽藍配置
カランコエ ⑲植物 147 C図
カランサ,V メキシコ〔1859/1920〕 革命指導者・大統領。保守政策をとって支持を失う ⑨世史 135 C →サパタ,E ⑪政社→メキシコ革命
ガランサス ⇨スノードロップ
賀蘭山脈 ⇨ホーラン(山脈)
カランタン フランス ⑩世地 169 D
ガランチョウ〔伽藍鳥〕 ⇨ペリカン
カランツ ⑲植物→スグリ図
ガーランド,H アメリカ〔1860/1940〕 小説家。農民の苦しい生活をあるがままに描き,真実主義を唱えた ①文学 144 B
ガーランド〈花綱〉 ⑬生活→フラワーデザイン
カラントービル(山) ⑩世地→アイルランド(共和国)〔自然〕 →キラーニー
『Calendrier カランドリエ』 ①文学→安東次男
伽藍配置 ⑤日史 272 D図
カリ コロンビア ⑩世地 169 D
カリ〔雁,鴈〕 ⑳動物 186 C
狩り ⇨狩猟
ガリ,R フランス〔1914/1980〕 モスクワ生まれの小説家。人間信頼・人間擁護を打ち出す ①文学 144 B
ガリ〈雨裂〉 ⑱宇地→涸れ谷 →川〔川の作る地形〕
ガリー ⑬生活→登山〔囲用語〕
ガーリー,J ⑫経産→金融機関〔種類〕 →金融理論〔現代金融理論〈135 B〉〕
ガリア ⑨世史 135 C →フランス(共和国)〔歴史〈起源〉〕
カリアクラ(岬) ブルガリア ⑩世地 169 D
借上 ⇨借上
刈上祝 ⑳動物→カエル〔民俗〕
カリアスの和 ⑨世史→ペリクレス
『ガリア戦記』 ①文学→カエサル,G →紀行文学〔西洋〕 →戦記 →日記文学〔西洋〕
ガリア戦争 ⑨世史→カエサル,G →中欧史〔概観〈ローマ帝国と中欧〉〕
カリアティード〈女像柱〉 ②美術 142 C図 →アトラント ⑨世史→アテネ図
カリアリ イタリア ⑩世地 170 A →サルディニア(島)図
借入金利 ⑫経産→公定歩合
狩生鍾乳洞 大分/佐伯市 ⑦日地 320 B
カリウドバチ〔狩人蜂〕 ⇨カリバチ
カリウム ⑮化学 156 A図 →アルカリ金属 →ミネラル ⑬生活→栄養〔無機質〕 →食塩〔生理〕→野菜〔成分〕 ⑱宇地→明礬石
ガリウム ⑮化学 157 C図 →ド・ボアボードラン
カリウムクロムみょうばん ⇨クロムみょうばん
カリウムみょうばん ⑮化学 158 A →アルミニウム〔化合物〈みょうばん〉〕 →みょうばん
ガリェーゴス,R ベネズエラ〔1884/1969〕 小説家・政治家。善と悪,野蛮と文明の対立を描いた小説で著名 ①文学 144 B →ラテンアメリカ文学〔20世紀〕
カリエス ⑭医学 86 C →結核〔骨結核〕
ガリエヌス 〔218/268〕 ローマ皇帝。ゲルマン人を討ち,帝国の再建に尽力する ⑨世史 135 D →ローマ〔帝政期〈軍人皇帝〉〕
カリエラ 〔1675/1757〕 ②美術→パステル
カリエール,E フランス〔1849/1906〕 画家。慈愛に満ちた母性を表現したものが多い ②美術 142 D図
ガリオア資金 ⑤日史 273 D →エロア資金 ⑥日史→見返資金 ⑫経産→見返資金
狩襖 ⇨狩衣
カリオカ ⑩世地→リオデジャネイロ
カリオペ ④哲宗→ミューズ
仮親 ⑳動物→鳥類〔別〈生態〉〕
『ガリガイ』 ①文学→モーリヤック,F
借方 ⑫経産→簿記〔複式簿記〕
仮固め〈下固め〉 ⑰科技→製本〔工程〕
狩勝峠 北海道 ⑦日地 320 B →新得(町) ⑧日地→日高山脈
カリカチュア ①文学→文学〔囲用語〕
カリカット ⑧日地→バスコ・ダ・ガマ〈1230 A〉 ⑨世史→バスコ・ダ・ガマ ⑩世地→コジコード
カリガート寺院 ⑩世地→カルカッタ
ガリカニズム ⑨世史 135 D →コンコルダート→フランス(共和国)〔歴史〈ルネサンスと宗教改革の時代〉〕 →領邦教会制 ④哲宗→国教 →ボシュエ,J
カリガネ〔雁金〕 ⑳動物 186 C →ガン〔種類〈マガン〉〕図
『雁金』 ③音演→『島衛月白浪』
雁が音 ⑳動物→ガン〔種類〈マガン〉〕 →マガン
カリガネエガイ ⑳動物→エガイ
カリガネソウ〔雁草〕 ⑲植物 148 A図
カリカーラ(王) インド ⑨世史→チョーラ朝
カリガラ(湾) ⑩世地→レイテ(島)
『カリガリ博士』 ②美術→表現主義 ③音演→映画〔無声映画〈第3期〉〕別
狩川 山形/立川町 ⑦日地 320 C →立川(町)
狩川 神奈川 ⑦日地 320 C
カリ岩塩 ⇨シルビン
刈葱 ⑲植物→ヤグラネギ
狩衣 ⑤日史 273 D図 →褐衣 →水干 ⑬生活→衿〔和服〈歴史〉〕図 →袖〔和服〈変遷〉〕 →服装〔日本〈日中融合〉〕図
カリクストゥス(二世) ⑨世史→ウォルムス協約
カリグラ 〔12/41〕 第3代ローマ皇帝。現人神の妄想にとりつかれ残酷な独裁を行い,暗殺 ⑨世史 136 A
『カリグラ』 ①文学→カミュ,A ③音演→カミュ,A
『カリクレイアとテアゲネス』 ⇨『エチオピア物語』
刈込湖 ⑦日地→切込湖・刈込湖
雁坂峠 埼玉・山梨 ⑦日地 320 C →奥秩父
仮差押え ⑪政社→民事訴訟〔手続の種類〕
カリシ ⇨カリシュ
ガリシア スペイン ⑩世地 170 A
ガリシア ⇨ガリチア
ガリシア・ポルトガル語 ①文学→スペイン文学
カリ質肥料 ⑲植物→肥料表
カリシュ ポーランド ⑩世地 170 A
カリ硝石 ⑮化学→ガラス〔原料〕
仮処分手続 ⑪政社→民事訴訟〔手続の種類〕
ガリ浸食 ⑱宇地→土壌〔土壌浸食〕
カリステモン ⇨ブラッシノキ
カリスト ④哲宗→ギリシア・ローマ神話〔変身神話〕
カリスト ⑱宇地→衛星〔表〈木星〉〕
カリスマ ④哲宗 104 C →教祖 →権威 →シャマニズム〔日本〕 ⑪政社 79 D
カリスマ的支配 ④哲宗→カリスマ ⑨世史→家産制
カリ石灰ガラス ⑮化学→ガラス〔成分組成〕
カリせっけん ⇨軟せっけん
ガリソン ⇨ギャリソン,W
ガリソンダム ⑰科技→ダム表
カーリダーサ インド〔*.*〕 4～5世紀の詩人・劇作

家。古典サンスクリット文学の完成期に活躍，健全な思想，流麗な筆致で傑作を残す ㊋『シャクンタラー』 ①文学 144 B図 →インド・パキスタン文学〔中古〕 ⑨世史 136 A ③音演→インド演劇〔古代宮廷演劇〕
カリタ式 ⑬生活→コーヒー〔入れ方〕
カーリターダー ⑰科技→操車場図
『雁立』 ①文学→芥川賞表
ガリチア ポーラ・ソ連 ⑩世地 170 A ⑨世史→オーストリア・ハンガリー帝国
ガリーチ・ボルイニ公国 ⑨世史→ロシア〔歴史〈古代・中世〉〕
『ガリーチ・ボルイニ年代記』 ①文学→『ロシア年代記』
ガリチン，B ⑱宇地→地震〔地震学の発達〕
ガーリック〈にんにく〉 ⑬生活→香辛料囲
カリッシーミ，G イタリア[1605/1674] ③音演→オラトリオ→音楽〔西洋音楽〈バロック音楽〉〕
カーリット ⑮化学→火薬〔組成〈混合火薬類〉〕 →爆薬
仮通夜 ⑬生活→葬式〔通夜〈作法〉〕
訶梨帝母 ⇨鬼子母神
仮登記 ⑬生活→登記〔手続〕
カリトーン ギリシア[＊．] 2世紀ごろの小説家。冒険物語『カイレアスとカリロエー』がある ①文学 144 C
カリナイト ⑮化学→みょうばん
カリーニン ソ連/ロシア ⑩世地 170 B
カリーニングラード ソ連/ロシア ⑩世地 170 B
仮縫 ⑬生活→洋裁〔洋裁技術〕
『狩りの歌』 ③音演→メンデルスゾーン〔無言歌〕
カリノス ギリシア[＊．] 前7世紀ごろの詩人。エレゲイア形式の作者で尚武の作品がある ①文学 144 D →ギリシア文学〔叙情詩〈エレゲイア〉〕
カリバ(湖) ザンビア・ジンバブエ ⑩世地 170 B →ザンビア(共和国)図 →ザンベジ(川)
狩袴 ⑤日史 274 A
狩場山地 北海道 ⑦日地 320 C
カリバダム ⑩世地→カリバ(湖) →ザンベジ(川) ⑰科技→ダム図表
カリバチ〔狩蜂〕〈カリウドバチ〉 ⑳動物 186 C →ハチ〔形態〕 →ベッコウバチ
狩り場焼き ⑳動物→カモ〔調理〕
狩場山 北海道 ⑦日地 320 D →瀬棚(町)
『ガリバー旅行記』 ①文学→イギリス文学〔古典主義〕 →スウィフト，J図 ⑨世史→スウィフト，J ⑱宇地→フォボス
ガリバルディ，G イタリア[1807/1882] 愛国者。赤シャツ隊を組織し，イタリアの統一に活躍 ⑨世史 136 A図 →イタリア(共和国)〔近代史〈統一国家〉〕図 →コッシュート，L →千人隊 →リソルジメント〔統一の完成〕
ガリバルディ記念碑 ⑩世地→ローマ(市)〔囲観光地〈その他〉〕
ガリバルディシャツ ⑬生活→シャツ〔種類〕
ガリ版 ⇨謄写版
カリバンガン ⑨世史→インダス文明〔その他の都市〕
カリ肥料 ⑮化学 158 A →化学肥料 →灰 →肥料〔化学肥料〕 ⑫経産→肥料工業
カリフ〈ハリーファ〉 ④哲宗 104 D →イスラム教〔概観〕 ⑨世史 136 B →ウラマー →スルタン →スルタン・カリフ制 →正統カリフ時代 ⑪政社→イスラム教〔基本的性格〕
カリフ ⑩世地→インド〔経済・産業〈農業〉〕
カリブ(海) ⑩世地 170 C ⑱宇地→ハリケーン
カリブー ⑳動物→トナカイ〔利用〕図
ガーリブ インド[1797/1869] ウルドゥー語詩人。ミールと並んで叙事詩〔カザル〕の2大巨匠とされる。散文にも優れる ①文学 144 D
カリフォルニア(州) アメリカ ⑩世地 170 D図 ⑨世史→ゴールド・ラッシュ ⑫経産→農業図 ⑱宇地→金〔囲ゴールドラッシュ〕
カリフォルニア(湾) ⑩世地 171 C ⑱宇地→海洋表
カリフォルニア(半島) メキシコ ⑩世地 171 C
カリフォルニア(盆地) ⑩世地→アメリカ(合衆国)〔自然・地形〈太平洋岸山系〉〕 →カリフォルニア(州)〔自然〕
カリフォルニア海流 ⑩世地→太平洋〔自然〕 ⑱宇地→海流〔おもな海流〕図 →太平洋
カリフォルニア科学技術館 ⑰科技 679 B
カリフォルニアコンドル ⑳動物→コンドル →保護鳥〔表国際保護鳥〕
カリフォルニアジリス ⑳動物→ジリス図
カリフォルニア・ポッピー ⑲植物 148 A図
かりふおるにあ丸 ⑱宇地→波〔大波の記録と海難〕
カリブ海政策 ⑨世史 136 B →ルーズベルト，T
カリフ制 ④哲宗→カリフ ⑨世史→アッバース朝 →イスラム教 →スルタン・カリフ制 →西アジア
カリプソ ③音演→ラテン音楽
カリブ族 ⑩世地→西インド(諸島)〔略史〕
ガーリブ・デデ [1757/1799] オスマン・トルコ帝国の宮廷詩人。的確な比喩と躍動した文体が特徴 ①文学 144 D
カリフラワー〈ハナヤサイ〉 ⑲植物 148 A図
カリフラワー ⑬生活→レスリング〔囲用語〕
刈干切唄〈萱刈節〉 ③音演→民謡〔表〈宮崎〉〕
カリポス ギリシア ⑱宇地→カリポス周期 →暦〔太陰太陽暦〈ギリシア暦〉〕
カリポス周期 ⑱宇地 143 A →暦〔太陰太陽暦〈ギリシア暦〉〕
カリポス法〈76年法〉 ⑱宇地→閏 →暦〔太陰太陽暦〈ギリシア暦〉〕
ガリポリ(半島) ⇨ゲリボル(半島)
ガリポリ イタリア ⑩世地 171 C
カリホルニウム ⑮化学→アクチノイド元素 ⑰科技→超ウラン元素
カリマコス ギリシア[前310?/＊] 詩人・学者。ヘレニズム時代を代表する詩人の一人で，文献学をひらく ①文学 144 D →ギリシア文学〔叙情詩〈合唱の歌〉〕〔叙事詩〕
カリマタ(海峡) ⑩世地 171 C
カリマタ(諸島) インドネシア ⑩世地 171 C
カリマタガヤ〔雁股茅〕 ⑲植物 148 B図
雁股山 ⑧日地→豊前(市)
カリマンタン ⑩世地→ボルネオ(島)
行宮 ⇨行宮
カリムスキ ⑱宇地→火山〔表活火山〕
雁紋 ⑳動物→ガン
刈谷(市) 愛知 ⑦日地 320 D
仮屋 ⑧日地→麓集落〈1232 A〉
狩谷棭斎 [1775/1835] 江戸中期の国学者。日本・中国の古典を研究，詳密正確な考証を行う ⑤日史 274 A図 ④哲宗→考証学〔成立・展開〕 ⑭医学→薬〔語源〕
カリャオ ⇨カヤオ
カリヤス〔苅安〕 ⑲植物 148 C図
カリヤス ⇨コブナグサ
カリヤスモドキ ⑲植物 148 C
刈谷田川 ⑧日地→栃尾盆地 →中之島(村)
カリヤリ ⇨カリアリ
カリャンの尖塔 ⑩世地→ソビエト(連邦)〔図文化〕
加硫 ⑮化学 158 B →ゴム〔加工〕 →硫化染料
賀竜 中国 ⑨世史→長征 →八路軍
顆粒剤 ⑭医学→薬〔形状〕
過硫酸アンモニウム ⑮化学→アンモニウム塩
『花柳春話』 ①文学→日本文学〔近代〈明治啓蒙期〉〕
嘉隆帝 ⇨ザロン
臥竜梅 ⑦日地→大牟田(市) ⑧日地→東郷(町)《鹿児島》 ⑲植物→ウメ〔種類〕
花柳病 ⇨性病
『カーリー・リバー』 ③音演→ブリトゥン，B
科料 ⑪政社→刑罰〔種類〕 →軽犯罪法
過料 ⑤日史 274 B
嘉陵江 ⇨チャリン(川)
迦陵頻伽 ⑳動物→セイケイ
夏緑樹林 ⑲植物 148 C →森林
火力発電 ⑰科技 105 C図 →地熱発電 →蒸気タービン →発電〔熱エネルギー利用〕 ⑫経産→電気事業〔現状〕表
カリヨン ③音演→ベル
『カリーラとディムナ』 ①文学→アラビア文学〈24 B〉 →イブン・アル・ムカッファー →イフワーン・アッ・サファー →『パンチャタントラ』 →ルーダキー
ガリラヤ イスラエル ⑩世地 171 C →イスラエル(国)〔自然〕 ④哲宗→聖書〔囲地名〕
ガリラヤ(湖) ⇨ティベリアス(湖)
ガリラヤ(高原) ⑩世地→イスラエル(国)〔自然〕
ガリレイ，G イタリア[1564/1642] 数学者・天文学者・物理学者・哲学者。振り子の法則を発見，地動説を積極的に主張し，宗教裁判にかけられる ④哲宗 105 A ⑯物数 108 A図 →運動の法則〔第1法則〕 →加速度〔重力加速度〕 →慣性 →数学〔力学と数学〕 →地動説 →物理学〔歴史〈近世〉〕 →振り子〔歴史〕 ⑱宇地 143 A図 →宇宙〔科学的宇宙観〕 →天体望遠鏡〔歴史〕 →木星〔衛星〕 ⑰科技→科学〔歴史〈ルネサンス〉〕図
ガリレイの相対性原理 ⑯物数→運動の法則〔運動の第1法則〕 →運動量
ガリレイ変換 ⑯物数→慣性座標系 →相対運動
ガリレオ衛星 ⑱宇地→木星〔衛星〕
ガリレオ式望遠鏡 ⑯物数→望遠鏡 ⑱宇地→天体望遠鏡〔種類〕図
カリロク〔訶梨勒〕 ⑲植物 148 C
刈羽(村) 新潟 ⑦日地 320 D
雁渡し〈青北風〉 ⑱宇地→風〔表季題〈秋〉〕
刈羽平野 ⇨柏崎平野
カリン〔榠樝〕 ⑲植物 149 A図 →薬用植物表
ガリン，E [1909] ④哲宗→イタリア哲学〔現代〕
華倫海 ⇨ファーレンハイト，G
カリンガ国 ⑨世史 136 D
過リン酸石灰〈過石〉 ⑮化学 158 B →カルシウム〔化合物〈酸素酸塩〉〕 →肥料〔表〈リン酸質肥料〉〕 →リン酸肥料
カリンティ ハンガリー[1887/1938] 小説家。グロテスクな手法で，人生の不条理や意識下の世界を描く ①文学 145 A
かりん糖 ⑬生活→菓子〔菓子の種類〕 →駄菓子
ガーリン＝ミハイロフスキー，N ロシア[1852/1906] 小説家。転換期の若いインテリゲンチャの気分を描く ①文学 145 A
カルー，T イギリス[1595?/1639?] 詩人。淫猥でさえある官能的な恋愛詩で知られる ①文学 145 A
カルー(高原) 南アフリカ ⑩世地 171 D
カール(二世) [823/877] 西フランク国王。ベルダン条約とメルセン条約とで後のフランスの地を領有 ⑨世史 137 B →ベルダン条約 →メルセン条約
カール(三世) [839/888] 東フランク国王。一時西フランク国王をも兼ねたが対ノルマン政策に失敗し廃位 ⑨世史 137 B →アルヌルフ →フランク王国〔分裂〕
カール(四世) [1316/1378] 神聖ローマ皇帝。七選帝侯を支柱として国制を固め，ベーメンの家領も拡大 ⑨世史 137 C →金印勅書 →シュワーベン都市同盟 →ドイツ〔歴史〈都市と領邦〉〕 →ルクセンブルク家
カール(五世) [1500/1558] 神聖ローマ皇帝，スペイン王〈カルロス一世〉。宗教改革の動乱時代に広大な領地を鋭意統治 ⑨世史 137 C図 →ウォルムス国会 →シュマルカルデン同盟 →シュパイエル国会 →シュマルネロスの反乱 →スペイン・ポルトガル(史)〔黄金時代〈大航海時代〉〕 →中欧史〔オランダ〕 →フッガー家 →フランソア(一世) ④哲宗→宗教改革〔経過〈ドイツ〉〕
カール(六世) ⑨世史→プラグマティッシェ・ザンクツィオン
カール(七世) ⑨世史→オーストリア継承戦争
カール(十世) スウェーデン ⑨世史→スウェーデン・ポーランド戦争
カール(十一世) スウェーデン ⑨世史→北欧史〔歴史〈近代〉〕
カール(十二世) スウェーデン[1682/1718] 国王。即位後まもなく北方戦争にまき込まれ，ナルバで勝ちポルタバで大敗 ⑨世史 137 D図 →北欧史〔歴史〈近代〉〕 →北方戦争
カール(十四世)〈ベルナドット，J〉 ⑨世史→北欧史〔歴史〈近代〉〕
カール(十六世) ⑩世地→スウェーデン(王国)〔政治・外交・軍事〕
カール(大帝)〈シャルルマーニュ〉 [742/814] カロリング朝2代目のフランク王。西ヨーロッパの大統一を達成し教皇と結ぶ ⑨世史 136 D図 →アルクイン →カロリング朝 →神聖ローマ帝国〔成立〕 →中欧史〔概観〈中世〉〕 →中世社会〔西洋〕 →ドイツ〔歴史〈皇帝と教皇〉〕 →フランク王国〔カロリング朝〕 →フランス(共和国)〔歴史〈起源〉〕 ①文学→武勲詩図 →『ロランの歌』 ④哲宗→キリスト教〔中世〕
カール〈圏谷〉 ⑧日地 1204 C ⑱宇地 144 A図 →浸食〔氷食〕 →谷〔浸食谷〈氷食谷〉〕 →氷河〔氷河地形と堆積物〕図 ⑬生活→登山〔囲用語〕
ガル，F ドイツ[1758/1828] 解剖学者。脳の神経構造や機能を研究，骨相学を樹立 ⑭医学466D図 →脳
ガル，H ⑫経産→ペシネイ・ユジーヌ・クールマン
ガル，W [1816/1890] ⑭医学→血圧〔高血圧〕
ガル ⇨ガレ《スリランカ》
ガル ⑱宇地→重力
カール・アウグスト ドイツ[1757/1828] ザクセン・ワイマー

ル公。ゲーテを大臣に招き，時代に先がけて憲法を発布　⑨世史 138 A
軽井沢(町)　長野　⑦日地 320 D図　→浅間高原　⑧日地→避暑地〈1230 C〉
軽石　⑱宇地 144 B図　→火山〔火山噴出物〈火山砕屑物〉〕→火成岩図
カルイシガニ　⑳動物→ヒシガニ
カルエボシ　⑳動物→エボシガイ
軽岡峠　岐阜　⑦日地 322 A
カルガ　ソ連/ロシア　⑩世地 171 D
カルカソンヌ　フランス　⑩世地 171 D図　⑨世史→城〔ヨーロッパ〕図
カルカッタ　インド　⑩世地 171 D図　⑫経産→アジア経済事情図　→インド経済事情図
カルカッタ博物館　②美術 684 A
カルガニー動物園　⑳動物→動物園〔表世界〕
カルガモ〔軽鴨〕　⑳動物 187 A　→カモ〔分類〈淡水ガモ〉〕図　→鳥類〔別〈巣〉〕
カルカヤ〔刈茅〕　⑲植物 149 B
カルガリー　カナダ　⑩世地 172 B図
カルガリー・スタンピード　⑩世地→カルガリー図
カルガリー動物園　⑳動物→動物園〔表世界〕
カルカル　⑳動物→ベサリウス，A
カルカール，J　⑭医学→解剖〔ファブリカ〕
カルカローニ法　⑮化学→イオウ〔製法〕
軽羹(かるかん)　⑬生活→菓子〔図和菓子〕　→ケーキ〔カステラ〕
『ガルガンチュアとパンタグリュエル』　①文学→フランス文学〔16 世紀〕　→ラブレー，F図　→ルネサンス文学
カルキ　⑬生活→飲料水〔浄水方法〕　⑮化学→さらし粉　→水〔囲おいしい水の秘密〕
カルキス　ギリシア　⑩世地 172 C
カルキディキ(半島)　ギリシア　⑩世地 172 C
カルクアルカリ岩　⑱宇地 144 C
軽口　③音演→落語
軽口ばなし　③音演→落語
軽口本　①文学→咄本(はなしぼん)
カルグーリ　オーストラリア　⑩世地 172 C　⑫経産→オーストラリア経済事情図
カルケドン　⇨カルタゴ
カルケドン公会議　⑨世史 138 A　④哲宗→宗教会議表
カルケミシュ　シリア　⑩世地 172 D　⑨世史→ネブカドネザル(二世)
カルコ，F　フランス［1886 1958］　詩人・小説家。社会の下層にあえぐ民衆，ごろつきや娼婦を描いた　①文学 145 A
カルサビナ，T　［1885 1978］　③音演→バレエ〔20 世紀〕
かるさん　⑬生活→袴(はかま)〔歴史〕
ガルシア，M　スペイン［1805 1906］　⑭医学→耳鼻咽喉科
ガルシア・グティエレス，A　スペイン［1813 1884］　劇作家。スペイン・ロマン主義演劇の作家として活躍　①文学 145 B　③音演→スペイン演劇〔19 世紀〕
ガルシア・マルケス，G　コロンビア［1928］　小説家。新大陸の長い孤絶の歴史を描いた『百年の孤独』で有名。ノーベル賞受賞　①文学 145 B
ガルシア・ロルカ，F　スペイン［1898 1936］　詩人・劇作家。宿命的な本能の力に動かされる人物像を描き上げる　㊥『血の婚礼』　①文学 145 C図　→スペイン文学〔20 世紀〕　③音演 137 C図　→スペイン演劇〔今日〕
カルシウム　⑮化学 158 B図　→アルカリ土類金属　→石灰肥料　⑬生活→栄養〔無機質〕表　→牛乳〔組成〕　⑭医学→背(せ)〔脊柱彎曲異常〈脊柱後彎〉〕　⑳動物→骨
カルシウムアセチリド　⇨炭化カルシウム
カルシウムカーバイド　⇨炭化カルシウム
カルシウムシアナミド　⑮化学 160 A　→石灰窒素
カルシフェロール　⇨ビタミンD
カールシュタット，A　ドイツ［1480* 1541］　宗教改革者。ルターの同僚でライプツィヒの討論に参加，のちルターと対立　⑨世史 138 A　→ライプツィヒ討論　④哲宗→宗教改革〔経過〈ドイツ〉〕
カール・シュワルツシルド天文台　⑱宇地→シュミット・カメラ　→天文台〔世界〕表
カルシライト　⑱宇地→准長石
ガルシラーソ・デ・ラ・ベーガ　スペイン［1503 1536］　詩人。清新な詩風，繊細な描写で，死後注目される　①文学 145 D　→スペイン文学〔黄金世紀〕
ガルシン，V　ロシア［1855 1888］　小説家。理想主義・殉教的な衝動にあふれた作品で知られる。自殺　㊥『赤い花』　①文学 145 D図
カルス　⑲植物 149 B
ガルス，G　［前69* 26*］　古代ローマの詩人・政治家。ローマ独特の恋愛エレゲイア詩の形式を完成　①文学 146 A　→ラテン文学〔黄金時代〕
カールスクローナ　スウェーデン　⑩世地 172 D
カールスタード　スウェーデン　⑩世地 172 D
カールステン，A　［1754 1798］　②美術→古典主義　→北欧美術〔絵画と彫刻〕
カルステンツ(山)　⇨ジャヤ(山)
カルスト泉　⑱宇地→泉〔分類〕
カルスト地形　⑧日地 1204 C　→ウバーレ〈1199 B〉　→ドリーネ〈1228 D〉　→ポリエ〈1233 D〉　→溶食〈1236 C〉　⑱宇地 144 C図　→鍾乳洞　→浸食〔溶食〕　⑦日地→秋吉台図
カルスト輪廻　⑱宇地→カルスト地形図
カールズバッドキャバーンズ国立公園　⑩世地→アメリカ(合衆国)〔表国立公園〕
カールズバット洞　⑱宇地→鍾乳洞図　→洞穴表
カールスバート　⇨カルロビバリ
カールスバートの決議　⑨世史 138 A　→ブルシェンシャフト
カールスルーエ　西ドイツ　⑩世地 172 D　→ドイツ(連邦共和国)図
カルセオラリア〈キンチャクソウ〉　⑲植物 149 C図
カルーゾー，E　イタリア［1873 1921］　オペラ歌手。メトロポリタン歌劇場の主役テノール歌手としてオペラ黄金時代を築く　③音演 137 D図
『ガルソンヌ』　①文学→マルグリット，V
かるた〔歌留多〕　⑬生活 120 C図表
ガルダ(湖)　イタリア　⑩世地 173 A
ガルダイヤ　⑰科技→広場〔市場的広場〕図　⑱宇地→砂漠図
カルタゴ　チュニジア　⑨世史 138 A　→植民市　→ハミルカル(バルカス)　→ポエニ戦争　→ローマ〔共和政期〈地中海世界〉〕　⑩世地 173 A　→チュニス
カルタゴ　コスタリカ　⑩世地 173 A　→コスタリカ(共和国)図
カルタゴノバ　⇨カルタヘーナ《スペイン》
カルタニセッタ　イタリア　⑩世地 173 A
カルダーノ，G　イタリア［1501 1576］　ルネサンス期の医学者・自然主義的哲学者・数学者。3 次方程式の解法について論じる　④哲宗 105 B　⑯物数 109 C図　→数学〔中世から 16 世紀〕　→代数学〔16 世紀〕　⑰科技→写真〔技術の歴史〈カメラ・オブスクラ〉〕
カルダーノの公式　⑯物数→カルダーノ，G　→代数方程式〔複素係数〕
カルタヘーナ　スペイン　⑩世地 173 A
カルタヘーナ　コロンビア　⑩世地 173 A　→コロンビア(共和国)図
カルダレッリ　イタリア［1887 1959］　①文学 146 A
カルタン，E　フランス［1869 1951］　数学者。リー群論の研究で微分幾何学の発展に大きく貢献　⑯物数 109 C図　→数学〔20 世紀〕　→リーマン幾何学
カルダン　フランス［1501 1575］　⑰科技→科学〔歴史〈ルネサンス〉〕
ガルダン〔噶爾丹〕　［1649 1697］　モンゴルのジュンガル部長。ダライ・ラマの支持を得たが康熙帝に敗れて自殺　⑨世史 138 C　→オイラート　→康熙帝(こうきてい)　→ジュンガル
ガルダン・ツェリン　［* 1745］　ジュンガル王国第 5 代の君主。周辺への進出をしきりに画策したが成功せず　⑨世史 138 C　→オイラート
カルダン方式　⑰科技→電車〔構造〕
カルチエ　フランス　⑨世史→大航海時代〔北方航路〕
カルチエ＝ブレッソン，H　フランス［1908］　②美術→写真〔囲写真家〕別　⑰科技→写真〔囲用語〈決定的瞬間〉〕
カルチエラタン　⑩世地→パリ〔図街角・公園・広場〕
カルチノフィリン　⑭医学→抗生物質表　⑮化学→抗生物質〔主要なもの〕
カール・ツァイス　⑰科技→ツァイス，C
ガルッピ，P　イタリア［1770 1846］　哲学者。実在の形而上学を樹立し，絶対者の存在を肯定　④哲宗 105 B
カルツーム　⇨ハルツーム
カルテ　⑭医学 86 D
カルディア　⑨世史 138 C
カルディア帝国　⇨新バビロニア帝国
カルティエ，J　⑩世地→カナダ　→ケベック
カルティニ，R　インドネシア［1879 1904］　女性教育運動の創始者。民族の覚醒を促したとして高く評価される　⑨世史 138 D
カルテックス　⑫経産→テキサコ
カルテット　③音演→合唱
カルデナス，L　メキシコ［1895 1970］　将軍，大統領。メキシコ革命に参加。農地改革など民主的民族的な政策を実施　⑨世史 138 D　⑪政社→メキシコ革命　→ラテンアメリカ政治事情〔一〕
カルデラ　⑧日地 1204 C　⑱宇地 146 A　→外輪山　→火山〔形態〕図　→山〔分類と成因〕　⑩世地→大西洋火山帯
カルデラ湖　⑧日地 1204 D　⑱宇地 146 A　→湖沼〔成因〕図
カルテル　⑤日史 274 B　⑫経産 99 D　→寡占〔集中型寡占〕　→資本主義〔発展〕　→帝国主義〔特徴〕　→独占禁止法　⑥日史→トラスト　⑪政社→経済法　→独占資本主義
ガルデル，C　［1887 1935］　③音演→タンゴ〔アルゼンチン・タンゴ〕
カルデロン・デ・ラ・バルカ，P　スペイン［1600 1681］　「黄金世紀」の生んだ大劇作家。多くの傑作戯曲を書き演劇界に君臨　㊥『サラメーアの村長』　①文学 146 B図　→バロック文学　→ルネサンス文学　③音演 138 A図　→サルスエラ　→スペイン演劇〔黄金世紀〕
カルテンブルンナー　⑨世史→ニュルンベルク国際軍事裁判図　⑪政社→国際軍事裁判表
カルドア，N　イギリス［1908］　ハンガリー生まれの現代イギリスの代表的経済学者。ケインズ左派　⑫経産100 B図　→景気変動理論〔ケインズ以後〕　→厚生経済学〈189 C〉　→成長理論〔諸展開〕
カルトゥジオ会　④哲宗→修道会囲
カルドゥッチ，G　イタリア［1835 1907］　詩人。熱烈な共和主義者で多くの愛国的な詩をつくる。ノーベル賞受賞　①文学 146 B図　→イタリア文学〔18～19 世紀〕
ガルトニア〈ツリガネオモト〉　⑲植物 149 C
カルドン　⑲植物→アーティチョーク
カールトン・アンド・スミス　⑫経産→ウォルター・トムプソン
カルナウバろう　⑮化学→ろう表　⑲植物→脂質
カルナタカ(州)　⇨マイソール(州)
カルナータカ戦争　⑨世史 138 D
カルナック　⑨世史 139 A　→巨石記念物
カルナック神殿　⑨世史→アメンヘテプ(三世)　→エジプト〔歴史と文化〈新王国時代〉〕　→カルナック　→ルクソール
カルナップ，R　アメリカ［1891 1970］　ドイツ生まれの哲学者。再構成学派の巨星の一人　④哲宗 105 C　→アメリカ哲学〔ネオ・プラグマティズム〕　→科学哲学　→統一科学　→論理実証主義　⑯物数 110 B
カルナワティ　⑩世地→アーメダバード
ガルニエ，R　フランス［1544 1590］　悲劇作家。悲劇的まとまりとスタイルをつくりあげ，古典悲劇の道を開く　①文学 146 C　③音演→フランス演劇〔ルネサンス〕
ガルニエ，T　フランス［1869 1948］　建築家。鉄筋のコンクリートのもつ美学上・技術上の可能性をきわめた　②美術 142 D
カルネ，M　フランス［1903］　映画監督。占領下の心理を微妙に反映させた『天井棧敷の人々』で知られる　③音演 138 C　→映画〔トーキー〈第 4 期〉〕　①文学→プレベール，J
カルネアデス　ギリシア［前213* 129*］　懐疑学派の哲学者。キレネに生まれ，第三アカデメイアの学長となる　④哲宗 105 C　→プラトン学派〔1〕
カルノー，L　フランス［1753 1823］　軍事技術家・政治家。軍制を近代化し，革命戦争の「勝利の組織者」と称される　⑨世史 139 A図　→総裁政府　→兵制〔西洋〈近代フランス〉〕　⑯物数→カルノー，N
カルノー，M　フランス［1837 1894］　第三共和政の第 4 代大統領。L.カルノーの孫。ブルジョア本位の政策をとる　⑨世史 139 A
カルノー，N　フランス［1796 1832］　物理学者・数学者。熱機関の研究を行い，熱力学の基礎を築く　⑯物数 110 C図　→エントロピー　→カルノー・サイクル　→作業物質　→熱〔熱力学の形成と熱概念〕　→熱機関〔理論と熱力学〕　→熱力学の法則〔熱力学第 2 法則〕　⑰科技 107 A図
カルノー　⑳動物→ハト
ガルノー，F　カナダ［1809 1866］　歴史家。フランス系カナダの成立を記した『カナダ史』で評価される　①文学 146 D
ガルノー，S　カナダ［1912 1943］　詩人。病弱のためつねに死と直面し，存在の意味を問う作品を残した　①文学 146 D　→カナダ文学〔フランス系〕
軽皇子　⇨孝徳天皇
軽皇子　⇨文武天皇

ガレット, A　ポルトガル[1799–1854]　小説家・劇作家・詩人。同国に初めてロマン主義を導入　①文学 147 C

カレドニア(運河)　イギリス　⑩世地 174 A

カレドニア造山運動　⑧日地→造山運動〈1221 A〉　⑱宇地→山脈〔時代による区分〕　→造山運動〔おもな造山運動〕　→地質時代〔古生代〕

ガレナ　⑱宇地→風〔表局地風〕

『カレーの市民』　①文学→カイザー, G図　②美術→ロダン, F図　③音演→カイザー, G

ガレノス　ギリシア[131*–201*]　ペルガモン生まれの医学者・解剖学者。その生理学説は17世紀まで権威を保った　⑳動物 188 A図　→ベサリウス, A　⑭医学→医学〔西洋医学の歴史〕　→解剖〔歴史〕　⑮化学→せっけん〔歴史〕

ガレノス, C　④哲宗→気質

『枯葉』　①文学→プレベール, J　③音演→シャンソン《ポピュラー》〔特徴〕

カレハガ〔枯葉蛾〕　⑳動物 188 B図　→ガ〔形態〕

カレミ　⑩世地 174 A　→ザイール(共和国)〔経済〕

カレメグダン城跡　⑩世地→ベオグラード図

カレラ・アンドラーデ, J　エクアドル[1903–]　詩人。外交官として世界各地を回り, 風景と旅の詩人といわれる　①文学 147 C

カレーライス　⑬生活→カレー料理

『彼ら祖国のために』　①文学→ショーロホフ, M

『彼らは望むものを知っていた』　①文学→ハワード, S

カレリア　ソ連/ロシア　⑩世地 174 B

カレリア(地峡)　ソ連　⑩世地 174 B

ガレリウス　⑨世史→ディオクレティアヌス, G

カレー料理　⑬生活 122 A　→世界の料理〔インド〕

カレル, A　フランス[1873–1944]　生理・医学者。血管縫合と臓器移植を研究。ノーベル賞受賞　⑭医学 376 B　→臓器移植　→組織培養　⑳動物→培養

カレル, J　⑩世地→アルプス〔登山〕

カレル橋　⑩世地→プラハ図

カレロフィン　⇨カレリア

『**カレワラ**』　①文学 147 C図　→『カンテレタル』　→北欧文学〔フィンランド〕　→ロンルート, E

カレン, W　イギリス[1710–1790]　⑭医学→ノイローゼ〔概念〕

カレン　⑱宇地→カルスト地形〔カルスト輪廻〕

花蓮　⇨ホワリエン

カーレン〔加令〕　⇨ハッカチョウ

ガレン=カレラ, A　フィンランド[1865–1931]　②美術→北欧美術〔絵画と彫刻〕

カレン族　⑩世地→タイ(王国)〔社会・文化〕　→チェンマイ図　→ビルマ(連邦社会主義共和国)〔社会・文化〕

カレンダー　⇨暦(こよみ)

カレンダー　⑮化学→ゴム〔加工〕　→プラスチック〔成形加工〕

カレンフェルト　⑧日地→カルスト地形〈1204 C〉　⑱宇地→カルスト地形〔カルスト輪廻〕図

カロ, J　フランス[1592–1635]　銅版画家。西欧の風俗絵巻といわれるほど, 主題は広範囲に及ぶ　②美術 143 C　→銅版画〔歴史〕図　→漫画〔ヨーロッパ漫画の基盤〕

賀露(かろ)　鳥取/鳥取市　⑦日地 322 A

ガロア, E　フランス[1811–1832]　数学者。群の理論などで早熟な天才ぶりを発揮したが, 決闘で倒れる　⑯物数 111 C図　→群　→数学〔19世紀〕　→代数学〔19世紀〕

ガロア拡大　⑯物数→体　→代数方程式〔ガロア群〕

ガロア群　⑯物数→代数方程式

ガロアムシ　⑳動物 188 B図　→昆虫〔分類〕

花郎　⑨世史→金庾信(きんゆしん)　→新羅(しんら)〔成立〕

家老　⑤日史 274 C　⑥日史→付家老　→年寄

過労　⑭医学→疲労

牙郎　⑨世史→牙行(がこう)

哥老会(かろうかい)　⑨世史 140 B　→華興会

家禄　⑥日史→足高(たしだか)　→秩禄処分　→俸禄制

家禄奉還　⑫経産→秩禄処分

カロザース, W　アメリカ[1896–1937]　有機化学者。分子の縮合的重合を利用して合成繊維・合成ゴムを発明　⑮化学 162 C図　→化学〔歴史〈現代〉〕　→合成繊維〔沿革〕　⑫経産→化学工業〔歴史〕　⑬生活→合成繊維〔歴史〕

カロージェロ, G　イタリア[1904–]　④哲宗→イタリア哲学〔現代〕

カロシュティ文字　⑨世史→文字〔オリエントからの伝播〕

カロタイプ　②美術→写真〔歴史〕　⑰科技→写真〔技術の歴史〈紙写真〉〕　→フィルム〔感光材料の発達〕

ガロタンニン　⑮化学→タンニン　⑲植物→タンニン

カロチノイド　⑲植物 150 A　→植物色素　→藻類〔分類〈橙藻植物〉〕　⑮化学→カロチン　→色素　→テルペン　→ビタミン〔囲〈ビタミンA〉〕　⑳動物→色素

カロチン　⑮化学 163 A図　→色素　⑬生活→栄養〔表ビタミン〕　→果物　→野菜〔成分〕　⑭医学→皮膚病〔柑皮症〕　⑲植物→カロチノイド

カロッサ, H　ドイツ[1878–1956]　詩人・小説家。自身の生活記録をもとに, 人間性への堅固な信仰を表現　①文学 147 D図

カロッツァ　⑩世地→ローマ(市)図

ガロディ, R　フランス[1913–]　哲学者。同国共産党の理論的指導者であったが除名　④哲宗 106 C

カローニン, S　ロシア[1853–1892]　小説家。農村問題やナロードニキたちの運命を描いた　①文学 148 D

カロメル〈塩化第一水銀〉　⑮化学→塩化水銀

カロリー〔cal〕　⑯物数→単位〔温度目盛および熱〈熱量〉〕　→熱量

カロリナ法典　⑨世史→刑罰〔西洋〕

カロリメーター　⇨熱量計

カロリン(諸島)　アメリカ/太平洋　⑩世地 174 B　→ミクロネシア　⑪政社→信託統治〔国際連合〕

カロリング朝　⑨世史 140 B図　→カール(大帝)　→宮宰　→ピピン(小)　→フランク王国図　→フランス(共和国)〔歴史〈起源〉〕　→メロウィング朝　→ルネサンス　⑫経産→封建制

カロリング朝美術　②美術 143 C図

カロリング・ルネサンス　①文学→中世文学〈383 B〉　②美術→カロリング朝美術　④哲宗→アルクィン　→修道会〔初期西方修道会〕　→ベネディクト会　⑨世史→アルクイン　→カール(大帝)　→カロリング朝　→フランク王国〔カロリング朝〕

カロル(一世)　ルーマニア[1839–1914]　初代の王。もとドイツの公子。ベルリン会議で王の称号を得た　⑨世史 140 D　→東欧史〔歴史〈民族の覚醒と独立〉〕

カロル(二世)　ルーマニア[1893–1953]　国王。皇太子のとき恋愛問題で王位を捨て国外へ逃亡, のち帰国して即位　⑨世史 140 D

カロル　③音演→舞曲

カロルスフェルト　ドイツ[1793–1872]　②美術→ナザレ派

カロル洞　⑱宇地→洞穴表

ガロルニス　⑳動物→鳥類〔進化〈化石鳥〉〕

ガロ・ロマン文化　⑨世史→フランス(共和国)〔文化的特質と国民性〕

カロン, A　フランス　②美術→フォンテンブロー派

カロン, F　オランダ[1600–1673]　江戸前期のオランダ商館長。当代随一の日本通として日蘭関係の発展に尽力　⑤日史 274 C　→江戸時代〔外国人が見た日本〕

歌論　①文学→短歌

カロンヌ, C　フランス[1734–1802]　政治家。ネッケルの後をうけて財政総監となり新税制を提起, 反撃され解任　⑨世史 140 D　→名士会

ガロンヌ(川)　フランス　⑩世地 174 C　→アキテーヌ(盆地)　→アネート(山)

ガロンの乱　⇨サヤー・サンの乱

川〈河川〉　⑱宇地 146 C図表　→営力〔外的営力〕　→感潮河川　→三角州　→浸食〔河食〕　→水圏　→水源　→谷〔浸食谷〕　→V字谷　→陸水　⑧日地→河川〈1204 A〉　→洪水〈1210 C〉　⑫経産→水資源問題〔日本〕　⑰科技→河川計画

『河』　③音演→ルノアール, J

革(かわ)　⑬生活 122 B図表

ガワー, J　イギリス[1330*–1408]　詩人。道徳的・教訓的な性格をもつ作品が多い　①文学 148 D

カワアイサ〔河秋沙〕　⑳動物 188 C　→アイサ図

カワアオノリ　⑲植物→アオノリ

カワアナゴ〔川穴子〕　⑳動物 188 C　→ハゼ〔分類と形態〕

川井(村)　岩手　⑦日地 322 A

河合(かわい)　⑦日地→上北山(村)

河合(町)　奈良　⑦日地 322 B

河合(村)　岐阜　⑦日地 322 B

『可愛い女』　①文学→チェーホフ, A

河合栄治郎　[1891–1944]　大正・昭和前期の社会思想家。自由主義の立場から一貫してファシズム批判を展開　⑤日史 274 C図　⑪政社 80 A図　⑫経産 101 A図

川合玉堂(ぎょくどう)　[1873–1957]　日本画家。四条・狩野の両派を融合し, 日本の風土の美しさを描く。文化勲章受章　②美術 144 B図　⑤日史 274 D

川石　⑱宇地→水石〔種類〕

河合事件　⑪政社→学生運動〔日本〕

河井酔茗(すいめい)　[1874–1965]　詩人。平明・穏健・和風・質実の詩風をもち, 女流詩歌人育成に努力　①文学 149 A図　→『文庫』

河合寸翁　[1767–1841]　⑥日史→播磨国(はりま)〔囲人国記〕

河井荃廬(せんろ)　[1871–1945]　篆刻家・書画鑑識家。金石書画の知識を深め, 収集に努める　②美術 144 C　→篆刻(てんこく)

河合曾良(そら)　[1649–1710]　江戸前期の俳人。芭蕉の弟子として『奥の細道』の旅に同行　①文学 149 A　→松尾芭蕉〔奥の細道〕　⑤日史 274 D　→『奥の細道』

河合武雄　③音演→日本演劇〔明治から第二次大戦まで〈新派劇〉〕

河合継之助(つぐのすけ)　[1827–1868]　幕末の越後長岡藩家老。大政奉還後, 長岡藩の局外中立を策して許されず, 1か月にわたって政府軍と激戦　⑤日史 275 A　→越後国(えちご)〔囲人国記〕

カワイノシシ〔川猪〕　⑳動物 188 C　→イノシシ〔近似種〕図

カワイルカ　⑳動物 188 C図　→クジラ〔分類〕

カワウ　⑳動物→ウ図

川上(村)(かわうえ)　岐阜　⑦日地 322 B

カワウソ〔獺, 川獺〕　⑳動物 189 A図　→天然記念物〔表〈特天〉〕

カワウソジネズミ　⇨ポタモガーレ

川内　⑦日地→佐東

川内(町)　青森　⑦日地 322 B

川内(町)　愛媛　⑦日地 322 C

川内(村)　福島　⑦日地 322 C

河内川　神奈川　⑦日地 322 C　⑧日地→山北(町)

河浦(町)　熊本/天草諸島　⑦日地 322 C

川浦温泉　⑧日地→三富(村)

カワガイ　⇨カワシンジュ

カワガニ　⇨モクズガニ

皮金　⑰科技→鉄鋼〔囲日本刀〕

カワカマス〔川魳〕　⑳動物 189 B

川上(町)　岡山　⑦日地 322 D

川上(村)　長野　⑦日地 322 D

川上(村)　奈良　⑦日地 322 D

川上(村)　岡山　⑦日地 322 D

川上(村)　山口　⑦日地 323 A

『**川上**』　③音演 138 D　→狂言〔本狂言の分類〈座頭〉〕

川上音二郎　[1864–1911]　明治の俳優・興行師。新派劇の開拓者。オッペケペ節を創始　③音演 138 D図　→日本演劇〔明治から第二次大戦まで〈新派劇〉〕　⑤日史 275 A　→オッペケペ節　→新派劇　⑥日史→壮士芝居

川上温泉　⑦日地→猪苗代(町)

川上温泉　⑧日地→福島(市)

川上川　⇨嘉瀬川

河上謹一　[1856–1945]　実業家。住友財閥の発展に尽くし, 銀行や金属業に業績を残す　⑫経産 101 B　→財閥〔経営者〕

川上金立県立自然公園　⑦日地→嘉瀬川　→佐賀(県)〔観光〕　⑧日地→富士(町)

河上彦斎(げんさい)　[1834–1871]　幕末の志士。佐久間象山を斬り, 人斬り彦斎の異名をとる　⑤日史 275 A

川上座　③音演→劇場〔日本〈明治・大正〉〕

川上貞奴(さだやっこ)　[1872–1946]　明治期, 日本最初の女優。川上音次郎と結婚, 正劇運動の看板女優となる　⑤日史 275 A　③音演→川上音二郎図　→『ハムレット』図

河上丈太郎(じょうたろう)　[1889–1965]　政治家。最初の普選に日本労農党から立候補し当選。日本社会党の結成に尽力　⑤日史 275 B

川上操六(そうろく)　[1848–1899]　明治の陸軍軍人。日清戦争の開戦に大きな役割を果たし, 作戦を指導, 勝利に導く　⑤日史 275 B

河上徹太郎　[1902–1980]　評論家。「純粋芸術」を説き, 近代批評創始者の一人　①文学 149 B図　→象徴主義

川上哲治　⑬生活→野球〔プロ野球〈日本〉〕図

川上冬崖(とうがい)　[1827–1881]　画家。洋画発展に貢献したが, 本来は四条派系の南画家　②美術 144 C　→明治の美術〔西洋画〕　⑤日史 275 B

河上肇(はじめ)　[1879–1946]　大正・昭和のマルクス経済学者。『資本論』のわが国における最初の体系的研究書を著し, のち共産党に入党　㊢『貧乏物語』　①文学 149 B　④哲宗 106 D　⑤日史 275 C図　⑪政社 80 B図　⑫経産 101 B図　→櫛田民蔵(くしだ)

川上眉山(びざん)　[1869–1908]　小説家。観念小説の作家として名声を得たが, 行き詰まり自殺　①文学 149

〈近世〉〕 ⑰科技→水道〔歴史〕
神田松鯉 ③音演→講談
カンタス航空 ⑬生活→海外旅行〔航空会社〕
カンタータ ③音演 143 B
神田孝平 〔1830/1898〕 明治前期の経済学者。地租改正の必要を説き，自由貿易論を唱える ⑤日史 288 C ①文学→言文一致
カンタータ・ダ・カメラ ⇨世俗カンタータ
カンタータ・ダ・キエザ ⇨教会カンタータ
上達部 ⇨公卿
ガンダック(川) ⑩世地→ネパール(王国)〔自然〕
神田乃武 ⑥日史→『六合雑誌』
カンダハー ⑬生活→スキー〔用用語〕
神田伯山 ③音演→講談
神田白竜子 ③音演→講談
カンダハル ⑩世地 175 D
カンタービレ ③音演→音楽用語〈629 A〉
カンタブリカ(山脈) ⑩世地 176 B →スペイン〔自然〈地形〉〕
神田古本市 ⑧日地→東京(都)〔図文化〕
カンタベリー ⑩世地 176 B図
カンタベリー(平原) ⑩世地→ニュージーランド〔地方誌〈南島〉〕
カンタベリー大主教 ④哲宗→イギリス国教会図 ⑨世史→アウグスティヌス(カンタベリの)
カンタベリー大聖堂 ②美術→キリスト教美術別 ④哲宗→イギリス国教会図 ⑩世地→カンタベリー図
カンタベリー博物館 ⑰科技 679 C
『カンタベリー物語』 ①文学→イギリス文学〔中世〕 →好色文学〔西洋〕 →中世文学〈383 C〉 →チョーサー，G図 ⑩世地→カンタベリー
カンタベリーラム ⑩世地→ニュージーランド〔地方誌〈南島〉〕
神田祭 ⑤日史 288 C図 ⑦日地→神田〔神田明神〕図 ⑧日地→東京(都)〔別年中行事〕
神田明神 ⑤日史→神田祭 ⑦日地→神田図 ⑧日地→東京(都)〔歴史〔原始・古代〉〕
ガンダーラ美術 ②美術→インド美術〔美術古典時代〕 →仏教美術 ⑨世史→仏教〔部派仏教〕
カンタリジン ⑳動物→ツチハンミョウ
カンタリス ⑭医学→回春剤〔強精剤〕 ⑳動物→ツチハンミョウ
ガンダールヤ・マハーデーバ寺院 ②美術→インド美術図 ⑩世地→インド〔図史跡〕 →カジュラーホ
『勘太郎月夜唄』 ③音演→歌謡曲表
カンタロス ②美術→ギリシア美術〔図陶器〕
カンタン〔邯鄲〕 ⑳動物 197 B図 →コオロギ
邯鄲 ⇨ハンタン
『邯鄲』 ③音演 143 C図
桓譚 中国〔前56?〕 漢代の儒学者。音律に通じ鼓琴に巧みで，広く五経を学び，文章をよくし，古学を好んだ ④哲宗 112 C
邯鄲男 ③音演→能〔能面〕図
カンタン科 ⑳動物→コオロギ
『邯鄲記』 ①文学→湯顕祖
寒暖計 ⑯物数 118 A →温度計〔液体封入ガラス管温度計〕 ⑱宇地 160 B →温度計 ①文学→平賀源内 ⑮化学→水銀〔用途〕
ガンダン寺 ⑩世地→ウランバートル →モンゴル(人民共和国)図
邯鄲淳 ①文学→『笑林』
『邯鄲諸国物語』 ①文学→柳亭種彦
カンチェンジュンガ(山) ⑩世地 176 B →インド図 →ヒマラヤ(山脈)〔区分〈シッキム・ヒマラヤ〉〕〔表初登頂〕
カンチク〔寒竹〕 ⑲植物 154 B →タケ〔分類〕図
乾炸 ⑬生活→揚げ物 →中国料理〔調理法による種別〈炸菜〉〕
乾炒 ⑬生活→いため物
菅茶山 ⇨菅茶山
贛江 ⑩世地→チヤンシー(省) →揚子江
漢中 ⇨ハンチョン
管仲 中国〔前645〕 春秋時代の斉の政治家。桓公を覇者たらしめる。「衣食足りて栄辱を知る」は彼の名言 ⑨世史 146 B →桓公 →斉《姜斉》 ④哲宗→『管子』
関中 中国/陝西省 ⑩世地 176 C
灌注 ⑭医学→水治療法
灌注器 ⇨イルリガートル
『勘仲記』 ⑤日史 288 D
官鋳銭 ⑤日史→私鋳銭
寒中見舞 ⑬生活→贈答〔季節〕
康濯 ⇨康濯
甘泉島 ⑩世地→シーシャー(群島)
カンチョウ〈贛州〉 中国/江西省 ⑩世地 176 C
干潮〈低潮〉 ⑱宇地→潮汐〔満干潮〕 →月《天体》〔地球に及ぼす影響〕
官帳 ⇨神名帳
浣腸〔灌腸〕 ⑭医学 117 A →家庭看護
寛朝 〔916/998〕 平安中期の真言宗の高僧。宇多天皇の皇孫で，声明をよくし，真言声明の中興の祖 ④哲宗 112 C →真言宗〔歴史〕
管長 ⑥日史→長吏〔1〕 →天台座主
鑑禎 ④哲宗→鞍馬寺
感潮河川〈潮入川〉 ⑱宇地 160 B →川〔よび方〕
浣腸剤 ⑭医学→薬〔形状〕
間諜術 ⑥日史→忍術
干潮線 ⑲植物→海藻〔図垂直分布〕
カンチレバー船 ⑰科技→貨物船〔設備〈貨物倉〉〕
カンチレバートラス ⑰科技→橋〔歴史〕
槓子 ⑬生活→麻雀〔組合せ方〕図
カンツーア ⑲植物→国花表
関通 〔1696/1770〕 ④哲宗→浄土宗囲
貫通型変流器 ⑰科技→変成器図
貫通銃創 ⑭医学→きず〔射創〕
頑痛症 ⑭医学→脳〔手術適応疾患〕
カンツォーナ ③音演 143 D
『カンツォニエーレ』 ①文学→イタリア文学〔発生とルネサンス期〕図 →ペトラルカ，F図
カンツォーネ ③音演 143 D図
カンツォネッタ ③音演→カンツォーナ〈器楽形式〉
がん漬〔蟹漬〕 ⑬生活→郷土料理〔囲〈佐賀〉〕 ⑳動物→シオマネキ
カンツバキ〔寒椿〕 ⑲植物 154 C →ツバキ表
かん詰〔罐詰〕 ⑬生活 128 C図 →ジャム →保存食品
カンツワブキ ⑲植物→ツワブキ
カンテ ⑬生活→登山〔用用語〕
『カンティ』 ①文学→レオパルディ，G
カンディ ⇨カンジ
ガンディー，M〈ガンジー〉 〔1869/1948〕 政治家・思想家。サティヤーグラハ運動を提唱実践，インド独立の父と敬慕される ⑨世史 146 C図 ⇨ガンジー，M
康滇峡谷 ⑩世地→中華人民共和国〔自然〕
眼底血圧〈網膜血管血圧〉 ⑭医学→眼底検査法
眼底検査 ⑭医学→高血圧〔重症度の分類〕 →網膜
眼底検査法 ⑭医学 117 C図
眼底出血 ⑭医学→眼底検査法
眼底像 ⑭医学→眼底検査法
『カンディード』 ①文学→ボルテール図 ④哲宗→ボルテール図
鑑定人 ⑫経産→保険〔用用語〕
関帝廟 ⑦日地→神戸(市) ⑨世史→関羽
勘亭流 ③音演→歌舞伎〔用用語〕
カンティロン，R 〔1680?/1734〕 経済学者・銀行家。土地が唯一の価値形成要因であるとした ⑫経産 105 D
カンディンスキー，W 〔1866/1944〕 ロシア生まれの画家。抽象美術の先駆者として実作と理論の両面で活躍 ②美術 146 C図 →アバンギャルド →構成主義 →バウハウス →表現主義 →ロシア美術〔初期ソビエト美術〕
肝蛭 ⑳動物 197 C図 →寄生虫〔表人体寄生虫〕 →世代交代 ⑭医学→寄生虫〔表人体寄生虫〈吸虫類〉〕
薫碟 ⑬生活→食器〔分類〈中国食器〉〕図
カンテミール，A 〔1708/1744〕 詩人。開明派と交り，風刺詩で有名。外交官としてパリに死す ①文学 154 B
カンテラ ⑰科技→鉱山〔照明〕
カンデラ〔cd〕 ⑯物数→光度 →光〔強さと視覚〕
カンデラリア教会 ⑩世地→リオデジャネイロ
カンテール，R 〔1910〕 批評家。文壇・劇界の才気あふれる時評家・社交家として名高い ①文学 154 B
カンテレ ①文学→『カレワラ』 →『カンテレタル』
『カンテレタル』 ①文学 154 B →ロンルート，E
官展 ②美術 147 A
寒天 ⑬生活 130 B →ゼリー ⑧日地→茅野(市)図 ⑮化学→多糖類〔複合多糖類〕 ⑲植物→イギス →テングサ図
官田 ⑤日史 288 D →私営田
乾田 ⑧日地 1206 A →湿田〈1215 A〉
感電 ⑭医学 118 A図 →応急手当 ⑯物数→アース ⑰科技→アース
眼点 ⑳動物→ヒトデ〔生態〕
菅田庵 ⑧日地→松江(市)
寒天唄〈寒天節〉 ③音演→民謡〔表〈京都〉〕
カンテンゲンゲ ⑳動物→ゲンゲ図
韓天寿 〔1727/1795〕 江戸中期の書画家。南画・篆刻をよくし，法帖碑本を好んで収蔵 ②美術 147 A →唐様《書》
寒天ゼリー ⑬生活→ゼリー
乾電池 ⑰科技 108 A →亜鉛 ⑮化学→電池 ⑯物数→電池
関電トンネル ⇨大町トンネル
カンテンナマコ ⑳動物→深海生物〔底生動物〕 →ナマコ〔種類〕
観天望気 ⑱宇地→天気予報〔基礎となる考え方〕囲
寒天屋唄 ③音演→民謡〔表〈京都〉〕
寒天屋節 ③音演→民謡〔表〈長野〉〕
カント，I 〔1724/1804〕 哲学者。ドイツ観念論哲学の開祖。三つの批判書により批判哲学を完成。太陽系生成の仮説でも有名 作『純粋理性批判』 ①文学 154 C ④哲宗 112 D図囲 →ア・プリオリ ア・ポステリオリ →価値 →観念論 →教育〔諸理論〕 →空間 →啓蒙主義 →合目的性 →悟性 →自我 →時間 →実在論〈237 C〉 →自由意志 →主観 →新カント学派 →崇高美 →生得観念 →先験的 →超越〔超越論的哲学〕 →典型 →ドイツ観念論 →当為 →範疇 →美 →批判哲学 →分析的判断 →弁証法 →法哲学 ⑨世史 146 D ⑯物数 118 A ②美術→美学 ⑪政社→啓蒙思想〔ドイツ〕図 →法治主義 ⑱宇地→太陽系〔成因と進化〕
カント，M 〔1844/1897〕 女流劇作家。プロレタリアートを描く社会問題提起の作家として著名 ①文学 154 C
カント ⑰科技→線路
ガント，H ⑫経産→賃金形態〔出来高給〕
竿灯 ⑦日地→秋田(県)〔文化〈郷土芸能〉〕図
間島 ⇨チエンタオ
勘当 ⑤日史 288 D →久離
岩塔 ⑱宇地→カルスト地形〔カルスト輪廻〕図
貫頭衣 ⑥日史→裲襠 ⑬生活→衿〔和服〈歴史〉〕 →服装〔日本〈古代〉〕
漢銅印譜 ②美術→印譜
甘棠館 ④哲宗→亀井南冥 ⑥日史→福岡藩
関東管領 ⑤日史 288 D →鎌倉府 →執事〈室町幕府〉
関東局 ⑤日史→関東州
関東公方 ⇨鎌倉公方
関東軍 ⑤日史 288 B →梅津・何応欽協定 →梅津美治郎 →岡田啓介内閣 →関特演 ⑥日史→満州〔日本〕 →熱河作戦 →ノモンハン事件 →満州事変〔前史〕 →柳条溝事件 ⑨世史→満州国 ⑪政社→満州国 →満州事変
関東郡代 ⑤日史 289 B
関東軍特別大演習 ⇨関特演
関東甲信越 ⑦日地→甲信越地方
関東御分国 ⑤日史 289 C
関東御領 ⑤日史 289 C →鎌倉幕府〔性格〕
関東山地 ⑦日地 337 C →関東地方〔自然〈地勢〉〕
関東式目 ⇨御成敗式目
間島事件〈琿春事件〉 ⑤日史 289 C ⑥日史→朝鮮人虐殺事件 ⑨世史→朝鮮〔日本の植民地時代〈抗日運動〉〕
関東州 ⑤日史 289 D ⑥日史→租借地 →遼東半島
関東十八檀林 ④哲宗→浄土宗〈277 A〉〔囲〈存応〉〕 →増上寺 →檀林 ⑥日史→増上寺
間島出兵 ⑨世史→朝鮮〔日本の植民地時代〈抗日運動〉〕
関東神宮 ④哲宗→神社〔表〈官幣大社〉〕
カントゥス・フィルムス ③音演 144 A →グレゴリオ聖歌 →作曲〔主体〕 →ディスカントゥス →音楽用語〈629 A〉
関東総督府 ⑤日史→関東州
関東大震災 ⑤日史 289 D図 →甘粕事件 →伊藤野枝 →亀戸事件 ⑥日史→大正時代〔経済〕図 →朝鮮人虐殺事件 ⑧日地→東京(都)〔図歴史〕 →日本〔自然〈自然災害〉〕 ⑱宇地→今村明恒 →地震表
関東煮 ⑬生活→おでん
カントウタンポポ ⑲植物→タンポポ
関東地方 ⑦日地 337 D図表別 →首都圏 ⑧日地→日本〔行政区分〕
関東地方労働組合会議〈関東労協〉 ⑥日史→全日本産業別労働組合会議

菊石 ⇨アンモナイト
キクイタダキ〔菊戴〕 ⑳動物 199 C →国鳥表
キクイムシ《甲虫》〔木喰虫〕 ⑳動物 199 C図
キクイムシ《甲殻類》 ⑳動物 200 A
キクイモ〔菊芋〕 ⑲植物 163 B図 →帰化植物〔人為的帰化植物〕 →光周性〔開花以外の光周反応〕 ⑬生活→いも類表
キクイモモドキ ⇨ヘリオプシス
菊岡久利 [1909-1970] 詩人。人生派的詩風で庶民的感情が厚く，叙事詩的傾向もみられる ①文学 158 C
菊岡検校 [1792-1847] ③音演→地歌〔歴史〕
キク科 ⑲植物 163 B
菊鹿(町) 熊本 ⑦日地 345 D
キクガシラコウモリ〔菊頭蝙蝠〕 ⑳動物 200 A →コウモリ〔形態〕図
キクガラクサ〔菊唐草〕 ⑲植物 163 C図
菊川(町) 静岡 ⑦日地 345 D
菊川(町) 山口 ⑦日地 345 D
菊川英山 [1787-1867] ②美術→浮世絵〔末期〕
キクキンウワバ ⑳動物→キンウワバ図 →ヤガ図
菊供養 ⑦日地→浅草〔行事〕 ⑧日地→東京(都)〔別年中行事〕
キクゴボウ〔菊牛蒡〕 ⑲植物 163 C
キクゴボウ ⇨ゴボウアザミ
菊五郎 ⇨尾上菊五郎
菊坂 ⑧日地→東京(都)〔自然〈地勢〉〕
キクザクラ〔菊桜〕 ⑲植物→サクラ〔園芸種〕別
企救山塊 ⑧日地→筑紫山地
キクシノブ ⑲植物→シノブ
菊舎尼 ⇨田上菊舎尼
菊水(町) 熊本 ⑦日地 345 D
キクスイカミキリ ⑳動物→カミキリムシ →フトカミキリ
掬粋巧芸館 ②美術 680 C
菊水寺 ④哲宗→秩父三十三所表
キクスズメガイ ⑳動物→貝類〔生態〈産卵，哺育〉〕 →スズメガイ
木薬〔生薬〕 ⇨生薬
器具説 ④哲宗→インストルメンタリズム
菊田一夫 [1908-1973] 劇作家・演出家。軽演劇・メロドラマの分野に独自の世界を築く ㊢『君の名は』 ①文学 158 D ③音演 146 D
菊竹清訓 ⑰科技→海上都市〔沿革〕
キクタニギク ⇨アワコガネギク
菊池(市) 熊本 ⑦日地 346 A
菊池氏 肥後の豪族。在地領主として成長し，南北朝合一後は肥後国守護に補せられる ⑤日史 300 A図 →今川了俊
菊池温泉 ⑦日地→菊池(市)
菊池川 ⑧日地→筑肥山地
菊池寛 [1888-1948] 小説家・劇作家。通俗小説に新生面を開き，また新人の育成に努める ㊢『忠直卿行状記』『藤十郎の恋』 ①文学 158 D図 →新現実派 →日本文芸家協会 →『文芸春秋』 ③音演 146 D ⑤日史 300 B
菊池貫平 ⑥日史→秩父事件
菊池教中 [1828-1862] ⑤日史→下野国〔囲人国記〕
菊池契月 [1879-1955] 日本画家。円山四条派に大和絵の手法をとりいれ，歴史上の人物に優れた ②美術 148 A
菊池神社 ④哲宗→神社〔表〈別格官幣社〉〕 ⑦日地→菊池(市)
菊池正士 [1902-1974] 実験物理学者。菊池大麓の子。原子核の実験で知られる。文化勲章受章 ⑯物数 124 A図 →電子〔発見の歴史〕 →物質波
菊池像 ⑯物数→菊池正士
菊池台地 ⑧日地→西合志(町)
菊池大麓 [1855-1917] 明治期の数学者。東大総長・文部大臣・京大総長などを歴任し，数学教育の基礎を築く ⑤日史 300 B ⑯物数 124 B図 →数学教育〔歴史〈算術科，数学科の確立〉〕
菊池武重 [?-1341?] ⑥日史→肥後国〔囲人国記〕
菊池武敏 ⑥日史→多々良浜の戦い
菊池武光 [?-1373] 南北朝時代の肥後の武将。懐良親王を迎え九州宮方の主将として活躍し，征西府を確立 ⑤日史 300 B図 ⑥日史→筑後川の戦い
菊池平野〈玉名平野〉 熊本 ⑦日地 346 B
菊池米 ⑦日地→菊池(市) →熊本(県)〔産業〈農業〉〕 →七城(町)
菊池正恒 [1804-1898] ⑤日史→壱岐国〔囲人国記〕
菊池幽芳 [1870-1947] 小説家。不幸に打ちかつ女性を描き，家庭小説の代表作家に ①文学 159 A
木靴 ⑩世地→オランダ(王国)図 ⑬生活→靴〔種類〕
『菊と刀』 ⑪政社→社会心理学〔沿革〕
菊名 横浜市/港北区 ⑦日地 346 C →港北(区)
菊の宴 ⇨重陽宴
キクバオウレン ⑲植物→オウレン
『菊畑』 ③音演→『鬼一法眼三略巻』
キクバナイグチ ⑲植物→イグチ
企救半島 福岡 ⑦日地 346 C
キクビアオアトキリゴミムシ ⑳動物→ゴミムシ図
麹文泰 中国 ⑨世史→玄奘
菊間(町) 愛媛 ⑦日地 346 C図
菊間瓦 ⑦日地→愛媛(県)〔産業〕 →菊間(町)
キクムグラ ⑲植物→ヨツバムグラ
菊村到 [1925] 小説家。社会性に富むストーリー・テラーとして活躍 ①文学 159 B →芥川賞表
キクメイシ ⑳動物→イシサンゴ
菊面石 ⇨アンモナイト
キクモモ〔菊桃〕 ⑲植物→モモ〔花モモ〕図
菊紋 ⑲植物→キク図
菊屋新助 [1773-1835] ⑤日史→伊予国〔囲人国記〕
菊屋太兵衛 ①文学→『蕪村七部集』
キクユ族 ⑩世地→ケニア(共和国)〔略史〕 ⑪政社→ケニヤッタ，J
菊陽(町) 熊本 ⑦日地 346 D
キクラゲ〔木耳〕 ⑲植物 163 C →キノコ〔分類〕別 ⑬生活→きのこ類〔種類〕 →中国料理〔材料〕
キクラデス(諸島) ギリシア ⑩世地 180 D →ギリシア(共和国)〔地方誌〈島嶼部〉〕 ⑨世史→エーゲ文明〔発祥〕
キクロス〈叙事圏〉 ①文学→ギリシア文学〔叙事詩〕
紀君祥 ①文学→『趙氏孤児』
偽群体 ⑳動物→群体
奇形 ⑲植物 164 A図 →器官 ⑳動物 200 B ⑭医学→奇形児 →形成外科 →整形外科 →病理学〔病変〕
技芸 ⑬生活→手芸
奇形学 ⑳動物→ジョフロア・サンチレール，E
『**義経記**』〈判官物語〉 ①文学 159 B図 →日本文学〔中世〈南北朝・室町〉〕 ⑤日史 300 C →史学史〔中世〕
奇形児 ⑭医学 124 A表 →あざらし肢症〔サリドマイド禍〕 →妊娠〔胎児への影響〕
季瓊真蘂 [?-?] 室町中期の禅僧。斯波・畠山両家の家督争いに関与し，応仁の乱の一原因をつくる ⑤日史 300 C →応仁の乱〔原因〕 →『蔭凉軒日録』
伎芸天〈大自在天女〉 ④哲宗→仏像〔表種類〈天部〉〕
『伎芸天』 ⑥日史→竹内久一
伎芸天立像 ②美術→秋篠寺
喜劇 ③音演 147 A →滑稽 ①文学→ギリシア文学〔劇〕 →文学
戯劇 ③音演→中国演劇
『きけ，きけ，ひばり』 ③音演→シューベルト，F
『喜劇と格言劇』 ①文学→ミュッセ，L
『喜劇・夏小袖』 ③音演→喜劇〔日本〕
『喜劇論』 ①文学→メレディス，G
ギゲス ⑨世史→リディア ⑫経産→貨幣史〔ギリシア〕
『ギーゲスと指環』 ③音演→ヘッベル，F
気血 ⑭医学→経絡
偽月経 ⑭医学→妊娠〔初期〕
キケマン〔黄華鬘〕 ⑲植物 164 C図
キケロ，M [前106-43] 古代ローマの文人・弁論家・政治家。その文章はラテン語の模範とされている ①文学 159 C図 →修辞学 →ラテン文学〔共和政末期〕 ④哲宗 119 C図 ⑨世史 148 D →万民法 →ローマ〔文化史〕 ⑪政社→ローマの政治思想〔共和制後期〕図
危険 ⑫経産→保険〔囲用語〕
『危険』 ③音演→ラジオ・プレイ〔歴史〕
気圏 ⑱宇地 167 C →大気 →地球〔表面〕
紀元 ⑤日史 300 D ⑨世史→紀年法
議賢 ⑥日史→六議
魏源 中国[1794-1857] 清末の思想家。アヘン戦争の敗北という危機的情況を憂い警醒的な書物を著す ④哲宗 119 C ⑨世史 149 A
紀元祭 ⑧日地→奈良(市)〔別年中行事〕
起源神話 ④哲宗→神話
危険責任主義 ⑪政社→無過失責任
紀元節 ⑤日史 300 D ⑪政社→祝日
『紀元節』 ⑤日史→伊沢修二
紀元節問題 ⑪政社 88 A図
魏元忠 中国 ⑨世史→則天武后
希元道元 ⇨道元
『危険な関係』 ①文学→書簡体小説 →心理小説 →ラクロ，P
『危険な曲がり角』 ①文学→プリーストリー，J
危険半円 ⑱宇地 167 C →台風〔構造〕図
危険負担 ⑫経産 111 A →請負 →利潤Ⅱ
『戯言養気集』 ③音演→落語〔歴史〕
危険率〈有意水準〉 ⑯物数 124 C →仮説検定〔考え方〕 ⑫経産→仮説検定
季語 ①文学→歳時記 →松尾芭蕉〈608 C〉
議故 ⑥日史→六議
寄口 ⑤日史 300 D
気候 ⑧日地 1206 B →土壌〈1228 B〉 ⑱宇地 167 C図表 →天候
気孔 ⑲植物 164 C →蒸散 →葉図
記号 ④哲宗 119 D →言語〔言語研究および言語学〈20世紀〉〕 →代表 ⑪政社→コミュニケーション ⑯物数→数学記号
気候医学 ⑱宇地→生気象学
気候因子 ⑧日地→気候型〈1206 C〉 ⑱宇地→気候
気候改良 ⑱宇地→農業気象学
気候学 ⑧日地 1206 B ⑱宇地 171 A →気象学〔各分科〕 →ズーパン，A
気候型 ⑧日地 1206 C
気候区 ⑧日地 1206 C
気候区分〈気候分類〉 ⑧日地→気候区〈1206 C〉 →ケッペンの気候区〈1209 A〉
寄航港 ⑧日地 1206 C
気候誌 ⑱宇地→気候学
黄麹 ⑬生活→麹
喜光寺 ⑧日地→奈良(市)〔囲神社・仏閣〕
気候順化〈気候適応〉 ⑭医学→高山病
気孔蒸散 ⑲植物 164 C →蒸散
『紀効新書』 ⑨世史→戚継光
気候図 ⑧日地 1206 C
気候性横痃 ⇨鼠径リンパ肉芽腫症
気候帯 ⑧日地 1206 C
気候段丘 ⑧日地 1206 D →段丘〈1223 A〉 ⑱宇地→河岸段丘〔分類〕
『寄港地』 ③音演→イベール，J
気候地形学 ⑱宇地→地形〔変化〕
気候地理学 ⑧日地→自然地理学〈1214 C〉
気候的雪線 ⑱宇地→雪渓
乞巧奠 ⑤日史 301 A図
『戯鴻堂法帖』 ②美術→法帖
紀行文学 ①文学 160 A
気候分類 ⇨気候区分
気候要素 ⑱宇地→気候
気候療法 ⑭医学 124 D
記号論 ①文学→ヤコブソン，R ④哲宗→パース，C →モリス，C
記号論理学〈数学的論理学，数理論理学，現代論理学〉 ⑯物数 124 C →ゲーデル，K →結論 →数学基礎論 →定理〔形式的体系〕 →ブール，G →ライプニッツ，G ④哲宗→アメリカ哲学〔ネオ・プラグマティズム〕 →言語分析〔狭義〕 →普遍数学 →ブール，G →フレーゲ，G →矛盾 →ラッセル，B →論理学
キコク〔枳殻〕 ⇨カラタチ
杞国 ⑨世史→夏
枳殻 ⑭医学→生薬
亀谷山 ⑦日地→鎌倉(市)〔囲神社・仏閣〈寿福寺〉〕
鬼谷子 ⑨世史→蘇秦
旗国主義 ⑪政社→外交〔囲用語〕
『擬刻書目』 ④哲宗→松崎慊堂
気固クロマトグラフィー ⑮化学→クロマトグラフィー〔分類〈ガスクロマトグラフィー〉〕
『擬古詩集』 ①文学→カルドゥッチ，G
擬古典主義〈擬古主義〉 ①文学 160 C →古典主義 →文学〔囲用語〕
木古内(町) 北海道/渡島支庁 ⑦日地 346 D
輝コバルト鉱 ⑱宇地 171 B
キコブタケ ⑲植物 164 C →キノコ〔別担子菌類〈ヒダナシタケ目〉〕 →サルノコシカケ
『偽古文尚書』 ④哲宗→『書経』
『擬古文体』 ①文学→日本文学〔近代〈明治啓蒙期〉〕
擬古物語 ①文学 160 C →物語文学
キコリ ⇨タカノハダイ
樵 ⑥日史→杣
気根 ⑲植物 165 A →支柱根 →根 →付着根
吉舎(町) 広島 ⑦日地 347 A
ギザ〈ギゼー〉 エジプト ⑨世史 149 A図 →ピラミッド〔エジプト〈真正ピラミッド〉〕 ②美術→ピラミ

北蝦夷地 ⇨樺太
キタエダクラゲ ⑳動物→エダクラゲ
北尾遺跡 ⑧日地→北条(町)
北大路魯山人 ［1883-1959］ 陶芸家。多才で,書画・篆刻・扁額・漆器のデザインに妙技を示す ②美術 148 D
北尾重政 ［1739-1820］ ①文学→草双紙 ②美術→北尾派
北尾次郎 ［1853-1907］ 気象学者。ドイツ語による論文『大気運動と颶風に関する理論』が有名 ⑱宇地 184 C
北オセティア ソ連/ ⑩世地 181 B
北尾派 ②美術 149 B図
北オホーツク道立自然公園 ⑦日地→枝幸(町) →クッチャロ湖 ⑧日地→浜頓別(町)
キタオポッサム ⑳動物→オポッサム図
北尾政演 ⇨山東京伝
北尾政美〈鍬形蕙斎〉 ［1764-1824］ 江戸後期の浮世絵師。黄表紙の挿絵を描き好評を得,ほかに武者絵・浮絵などを描く ⑤日史 305 A ②美術→北尾派図 →漫画〔日本漫画の歩み〕
北温泉 ⑧日地→那須
北回帰線 ⑱宇地→回帰線
『北回帰線』 ①文学→ミラー, H
キタカギノテクラゲ ⑳動物→カギノテクラゲ
北風〈朔風〉 ⑱宇地→風〔表季題〈冬〉〕
北方 ⑧日地→徳島(県)〔歴史〕
北方(町) 宮崎 ⑦日地 352 D
喜多方(市) 福島 ⑦日地 353 B図
北方(町) 岐阜 ⑦日地 353 C
北方(町) 佐賀 ⑦日地 353 C
北潟湖 福井 ⑦日地 353 C図
北カフカス ⑩世地→カフカス →ソビエト(連邦)〔地方誌〈ボルガ沿岸・カフカス〉〕
北鎌倉 神奈川/鎌倉市 ⑦日地 353 C →鎌倉(市)〔観光〕
北上(市) 岩手 ⑦日地 353 C図
北上(町) 宮城 ⑦日地 353 D
北上運河 宮城 ⑦日地 353 D
北上大堰 ⑦日地→河北(町)《宮城》
北上川 岩手・宮城 ⑦日地 354 A図 →岩手(県)〔自然〕 →新北上川 ⑧日地→東北地方〔自然〈地勢〉〕 →盛岡(市)〔自然〕図 ⑱宇地→川図
北上川船頭唄 ③音演→民謡〔表〈宮城〉〕
北上川総合開発 ⑰科技→河川計画〔河川流域の総合開発計画〕
北上山地 東北地方 ⑦日地 354 B
北上線 ⑦日地→奥羽本線 ⑧日地→東北本線
キタガミトビケラ ⑳動物→トビケラ
北上盆地 岩手 ⑦日地 354 B
北軽井沢 群馬/長野原町 ⑦日地 354 C →軽井沢(町)〔沿革〕 →照月湖 ⑧日地→長野原(町)
北川 ⑦日地→安曇川
北川(町) 宮崎 ⑦日地 354 C
北川(村) 高知 ⑦日地 354 C
喜多川歌麿 ［1753-1806］ 江戸後期の浮世絵師。美人画に優れ,終生女を描き続けた ②美術 149 C図 →浮世絵〔黄金時代〕別 →江戸時代の美術〔絵画〕図 →美人画図 →風俗画 ⑤日史 305 A →浮世絵図 ①文学→草双紙
キタカワゲラ亜目 ⑳動物→カワゲラ
北川民次 ②美術→昭和の美術〔在野団体の動き〕
北川内 ⑦日地→上陽(町)
北川冬彦 ［1900- ］ 詩人。短詩運動を展開し,詩の形式革命をめざす ①文学 161 C →『詩と詩論』
北川辺(町) 埼玉 ⑦日地 354 C
喜田川守貞 ［1810-?］ 江戸後期の風俗史家。京阪・江戸の風俗人情を記録 (作)『守貞漫稿』 ①文学 161 D
『北岸壁の地滑り』 ③音演→ベッティ, U
北木島 岡山/笠岡市 ⑦日地 354 C図
キタキツネ ⑳動物→キツネ〔種類〕図
北九州(市) 福岡 ⑦日地 354 C図
北九州空港〈小倉空港〉 ⑦日地→小倉南(区) ⑧日地→福岡(県)〔交通〕
北九州港 ⑦日地 355 D →小倉北(区)〔小倉港〕 ⑧日地→門司(区)
北九州工業地帯 ⑦日地 356 B図 →北九州(市)〔歴史〕 →下関(市) ⑮化学→石炭〔産状〕
北九州国定公園 九州地方 ⑦日地 356 C
北九州炭坑節 ③音演→民謡〔表〈福岡〉〕
北九州トンネル ⑰科技→トンネル表
寄託 ⑫経産 112 A →契約〔分類〕
器托 ⑲植物→コケ植物〔形態〕
寄託財貨 ⑫経産→倉庫業
北串山 ⑦日地→小浜(町)
キタクラゲ〔北水母〕 ⑳動物 204 A
着丈 ⑬生活→洋裁〔洋裁技術〈採寸〉〕 →和裁〔囲知識〕
北ゲルマン語 ①文学→北欧文学 ⑧日地→ゲルマン語派〈1209 A〉
喜多元規 ②美術→黄檗美術図 →長崎派〔黄檗派〕
北郷(町) 宮崎 ⑦日地 356 C
北郷(村) 宮崎 ⑦日地 356 C →入郷地帯
北御殿 ⇨大奥
北里研究所 ⑤日史 305 B ⑭医学 132 C図
北里柴三郎 ［1853-1931］ 明治・大正の細菌学者。破傷風免疫体・ジフテリア血清療法・ペスト菌などを発見 ⑤日史 305 B →北里研究所 ⑭医学 132 D →北里研究所 →血清療法〔抗毒素血清療法〕 →コッホ, R図 →細菌〔研究の歩み〕 →ジフテリア〔ジフテリア血清〕 →破傷風〔破傷風血清〕 →ペスト〔予防〕
北里大学 ⑤日史→北里研究所
キタサマイシン ⑮化学→抗生物質〔主要なもの〕
北沢楽天 ［1876-1955］ ②美術→漫画〔日本漫画の歩み〕
北塩原(村) 福島 ⑦日地 356 C
北茂安(町) 佐賀 ⑦日地 356 C
北支那開発会社 ⑤日史 305 C
北シベリア族 ⑩世地→アジア(州)〔民族〕
北島(町) 徳島 ⑦日地 356 D
北島見信 ［*-*］ 江戸中期の天文学者。南蛮流天文に精通 ⑱宇地 185 A ⑥日史→蘭学〔揺籃期〕
北島雪山 ［1637-1697］ 江戸中期の書家。細川侯に仕えたが,のち貧賤の中に悠々自適の生涯を送る ②美術 150 A →唐様(書) →書〔日本書道史〈唐様の展開と和様の再興〉〕
北条 新潟/柏崎市 ⑦日地 356 D →柏崎(市)
北白川遺跡 ⑦日地→京都(府)〔歴史〕
北白川宮 ⑪政社→皇室〔皇族〕
北赤道海流 ⑩世地→インド洋 →太平洋〔自然〕 ⑱宇地→インド洋 →海流〔おもな海流〕図 →太平洋
北千住 東京 ⑦日地 356 D →足立(区) →千住
キタゾウアザラシ ⑳動物→アザラシ〔種類〕図
喜多宗雲 ②美術→黄檗美術 →長崎派〔黄檗派〕
北園克衛 ［1902-1978］ 詩人。アバンギャルド精神を失わず,新芸術運動に多角的に参加 ①文学 161 D →『VOU』
北大西洋海流 ⑧日地→不凍港〈1232 A〉 ⑱宇地→メキシコ湾流
北大西洋漁業条約 ⑪政社→保存水域
北大西洋高気圧 ⑱宇地→亜熱帯高気圧
北大西洋条約機構〈NATO〉 ⑨世史 155 C →アメリカ(合衆国)〔合衆国の発足〈冷戦〉〕 →西欧同盟 →ドイツ〔歴史〈戦後〉〕 →冷戦〔軍事的緊張〕 ⑪政社 91 B図 →アメリカ政治事情〔反共体制の確立〕 →西欧政治事情〔冷戦〕図 ⑫経産→MSA →帝国主義〔歴史〕 →マーシャル・プラン
北大東(村) 沖縄/北大東島 ⑦日地 356 D
北大東島 沖縄 ⑦日地 356 D ⑱宇地→サンゴ礁〔隆起サンゴ礁〕
北太平洋海流 ⑩世地→太平洋〔自然〕 ⑱宇地→海流〔おもな海流〕図 →太平洋
北太平洋公海漁業条約 ⑪政社→保存水域
北太平洋高気圧 ⑱宇地→亜熱帯高気圧
キタタキ〔木啄〕 ⑳動物 204 A →キツツキ図 ⑦日地→上県(町)
北岳〈白根北岳〉 山梨 ⑦日地 357 A図 →赤石山脈 →白根山《南アルプス》 ⑧日地→日本アルプス〔南アルプス〕
北岳《鹿児島》 ⑦日地→桜島《鹿児島》図
キタダケソウ〔北岳草〕 ⑲植物 167 A図 ⑧日地→日本アルプス〔植物〕
北橘(村) 群馬 ⑦日地 357 A
北多摩郡 ⑦日地→三多摩
北丹後地震 ⑦日地→網野(町) ⑱宇地→地震表
北丹沢 神奈川 ⑦日地 357 A
キタヂカタバミ ⑲植物→オキザリス
キタヂチョウセンアサガオ ⑲植物→ダツラ図
キダチニンドウ〔木立忍冬〕 ⑲植物 167 B →スイカズラ
北千葉ニュータウン ⑦日地→印西(町)
キダチヒャクリコウ〔木立百里香〕 ⇨タイム
北朝鮮 ⇨朝鮮民主主義人民共和国
北散布山 ⑱宇地→火山〔表活火山〕
キダチルリソウ ⑲植物→ヘリオトロープ
喜田貞吉 ［1871-1939］ 歴史学者。法隆寺再建論・平城京四至問題・南北朝正閏論などで論争を行う ⑤日史 305 C →阿波国誌〔囲人国記〕 →環状列石 →史学史〔近代〕
キタテハ〔黄蛱蝶〕 ⑳動物 204 A →タテハチョウ図
北ドイツ(低地) ⑩世地→ドイツ〔自然・地形〕
北ドイツ連邦 ⑨世史 155 D
北ドビナ(川) ソ連 ⑩世地 181 B
北泊 ⑧日地→鳴門(市)
北中城(村) 沖縄/沖縄本島 ⑦日地 357 B
北長門海岸国定公園 山口 ⑦日地 357 B図
木谷実 ［1909-1975］ ⑬生活→囲碁〔歴史と現況〕
北野 京都市/上京区 ⑦日地 357 C →上京(区)
北野(町) 福岡 ⑦日地 357 C
北能舞台 ③音演→能〔能舞台と装置〕別
キタノウミウマ ⑳動物→タツノオトシゴ
北の湖敏満 ⑬生活→相撲〔表横綱〕図
『北の河』 ①文学→芥川賞表 →高井有一
北小路氏 ⑤日史→大江氏
北庄 ⑧日地→福井(市)
北野神社 ⇨北野天満宮
北野神社《東京》 ③音演→田遊 ⑦日地→板橋(区)図
『北の空の下で』 ①文学→象徴主義〔ロシア〕
北野大茶会 ⑥日史→千利休
キタノツノガイ ⑳動物→ツノガイ
『北野天神縁起』 ⑤日史 305 D ②美術→絵巻〔囲作品〕別 →北野天満宮〔絵画〕
北野天満宮〈北野神社〉 ②美術 150 C図 →絵馬 ⑤日史 305 D ④哲宗→神社〔表〈官幣中社〉〕 →天神信仰 ⑦日地→上京(区) →北野 →京都(市)〔囲神社・仏閣〕図 ⑱宇地→雷〔民俗〕
北野天満宮《福岡》 ⑦日地→北野(町)
北野廃寺 ⑤日史 305 D
北野美術館 ②美術 680 D
北の富士勝昭 ⑬生活→相撲〔表横綱〕
北野平野〈両筑平野〉 ⑧日地→筑後平野
キタノホッケ ⑳動物→ホッケ
北の丸公園 ⑧日地→千代田(区) →東京(都)表
北政所 ［1548-1624］ 秀吉の正室。「ねね」と誤伝される。秀吉の死後,高台寺を建て菩提をとむらう ⑤日史 306 A
キタノユウレイクラゲ ⑳動物→クラゲ〔生態〕
北野連歌法楽 ④哲宗→天神信仰
北波多(村) 佐賀 ⑦日地 357 C
北畠顕家 ［1318-1338］ 南北朝時代の公卿・武将。親房の長子。建武新政の鎮守府将軍として足利尊氏と戦う ⑤日史 306 A →建武中興〔開始〕
北畠氏 鎌倉・南北朝時代の公卿。室町時代の三国司家の一。村上源氏の流れで,信長に滅ぼされる ⑤日史 306 A →源氏〔村上源氏〕
北畠神社 ②美術→庭園囲 ④哲宗→神社〔表〈別格官幣社〉〕
北畠親房 ［1293-1354］ 鎌倉末・南北朝時代の貴族・思想家。後醍醐天皇を奉じ,吉野山に南朝を開く ①文学 162 A図 ④哲宗 121 C図 →日本思想〔囲主要概念〈神国思想〉〕 ⑤日史 306 B →海賊衆 →『元元集』 →建武中興〔開始〕 →『職源抄』 →『神皇正統記』
北畠館跡庭園 ⑧日地→美杉(村)
北畠八穂 ［1903- ］ 小説家。優れた私小説・童話作家として活躍 ①文学 162 B
喜多八 ①文学→十返舎一九〔東海道中膝栗毛〕 ⑤日史→『東海道中膝栗毛』
北浜 大阪市/東区 ⑦日地 375 D →船場
北原武夫 ［1907-1973］ 小説家。新心理主義的な内面的告白に魅力がある ①文学 162 B →宇野千代
北原多作 ［1870-1920］ 明治・大正の海洋学者。わが国の科学的水産海洋調査の開拓者 ⑱宇地 185 A
北原白秋 ［1885-1942］ 詩人・歌人。詩の各ジャンルの上に画期的な功業を果たした総合詩人 (作)『邪宗門』『思ひ出』 ①文学 162 B図 →『屋上庭園』 →『朱欒』 →『スバル』 →『多磨』 →『日光』 →パンの会 →『明星』 ⑤日史 306 C ③音演→童謡
北半球 ⑧日地 1207 A ⑱宇地 185 B →赤道
北檜山(町) 北海道/檜山支庁 ⑦日地 358 A
キターブ ④哲宗→イスラム教〔教義〕〔囲用語〕
北深志 ⑧日地→松本(市)〔歴史〕
北富士演習場 ⑤日史→基地問題
北ベトナム ⇨ベトナム(民主共和国)
北穂高岳 ⑧日地→日本アルプス〔北アルプス〕 →

キツツキ〔啄木鳥〕〈ケラ〉 ⑳動物 204 C図 →益鳥 →巣〔鳥類〕
切手 ⇨郵便切手
切手趣味週間 ⑬生活→郵便切手〔記念切手〕
キッド, T [1557? 1595?] 劇作家。『スペイン悲劇』で「復讐悲劇」流行の端緒を開いた ①文学 165 C ③音演→イギリス演劇〔エリザベス朝〕
キッド ⑬生活→革〔なめし革〈種類〉〕 →手袋 ⑳動物→ヤギ〔利用〕
『キッド』 ③音演→チャップリン, C
キットキツネ ⑳動物→キツネ〔種類〕
急度叱 ⑤日史→叱
吉都線 ⑧日地→日豊本線
キットピーク天文台 ⑱宇地→天文台〔世界〕〔表〈アメリカ〉〕図
キツネ〔狐〕 ⑳動物 205 B図囲 ⑬生活→毛皮〔種類〕図
狐 ③音演→能〔図狂言面〕
キツネアザミ〔狐薊〕 ⑲植物 167 C図 →アザミ
狐ヶ崎 ⑥日史→為次
キツネガツオ ⇨ハガツオ
キツネガヤ〔狐茅〕 ⑲植物 168 A図
狐格子〈木連格子〉 ②美術→格子
キツネササゲ〔狐角豆〕 ⑲植物 168 A図
キツネザル ⑳動物 207 B →サル〔分類と分布〕〔生態〈遊動〉〕→霊長類
キツネ信仰 ⑳動物→キツネ〔囲霊的な動物〕
狐直 ⑳動物→キツネ〔囲霊的な動物〕
キツネノエフデ〔狐絵筆〕 ⑲植物 168 A →スッポンタケ
キツネノカミソリ〔狐剃刀〕 ⑲植物 168 A図 →リコリス〔種類〕
キツネノタイマツ〔狐松明〕 ⑲植物 168 B →スッポンタケ
キツネノチャブクロ〔狐茶袋〕 ⇨コミカンソウ ⇨ホコリタケ
キツネノテブクロ ⇨ジギタリス
キツネノボタン〔狐牡丹〕 ⑲植物 168 B →ウマノアシガタ図
キツネノマゴ〔爵牀〕 ⑲植物 168 B図
狐の嫁入り〈天泣〉 ⑱宇地 186 B →雨〔珍しい雨〕
『狐のレイナルーデの話』 ①文学→オランダ文学
キツネノロウソク ⑲植物 168 C →キノコ〔別担子菌類〈腹菌目〉〕 →スッポンタケ
狐火 ⑱宇地 186 B
『狐火』 ③音演→『本朝廿四孝』図
キツネマメ ⇨トウアズキ
『狐物語』 ①文学 165 C →中世文学〈383 C〉 →フランス文学〔中世〕
キツネヤナギ〔狐柳〕 ⑲植物 168 C →ヤナギ
キツネユリ ⇨グロリオーサ
橘皮 ⑲植物→ミカン〔薬用〕
ギッピウス, Z [1869 1945] 女流詩人・小説家。初期象徴派の代表的存在。知的遊びと叙情性が結び合わされた詩作が多い ①文学 165 C
キップ ⑨世史→文字〔起源〕
切符 ⑤日史→割符
切符 ⑬生活→旅行〔列車と乗車券〕
乞伏 ⑨世史→鮮卑
ギップス ⇨ギブス, J
キップスキン ⑬生活→革〔なめし革〈種類〉〕
切符制 ⑥日史→配給制度
キップの装置 ⑮化学 171 C図表 →化学実験〔実験器具〈気体実験用〉〕 →水素〔製法〕 →二酸化炭素〔製法〕
キップハルト, H [1922 1982] 劇作家。科学の政治的誤用を警告した『オッペンハイマー事件』で著名 ①文学 165 D
キップリング, J [1865 1936] 小説家・詩人。オオカミ少年が主人公の児童文学で著名。ノーベル賞受賞 作『ジャングル・ブック』 ①文学 165 D
キップル ⑰科技→炭鉱〔掘進〕
キツリフネ〔黄釣船〕 ⑲植物 168 C →ツリフネソウ図
吉林 ⇨チーリン
吉林三宝 ⑩世地→チーリン(省)
『吉林省』 ⑩世地→パイチョン
喜連川(町) 栃木 ⑦日地 359 D
木連格子〈狐格子〉 ②美術→格子
キーディア ⑳動物→オジロジカ
規定液 ⑮化学 172 A →標準液
偽ディオニシウス・アレオパギタ [*.] ギリシア教父の系列の神学者。後世の神観・神秘思想に絶大な影響を残す ④哲宗 122 B →否定神学

議定書 ⑪政社→外交〔囲用語〕
基底状態 ⑯物数 128 B →エネルギー準位 →原子核〔原子核構造〕 →標準状態 →メスバウアー効果 →零点エネルギー
キティ台風 ⑱宇地→気象〔表災害年表〕
『キティ颱風』 ①文学→日本文学〔近代〈戦後の戯曲〉〕 →福田恆存
規定度 ⑮化学 172 A →濃度
キティ・ホーク ⑰科技→飛行機〔囲ライト兄弟〕 →ライト(兄弟)
基底流量 ⑱宇地→川〔水理量〕
奇蹄類 ⑳動物 207 C →偶蹄類図 →ひづめ
基底礫岩 ⑱宇地→地層〔重なりの連続と不連続〕 →礫岩
ギデオン ④哲宗→士師
汽笛吹鳴標 ⑰科技→線路〔線路標識〕 →踏切
『気で病む男』 ①文学→モリエール図 ③音演→フランス演劇図
キテン ⑬生活→毛皮〔種類〕 ⑳動物→テン図
偽転位 ⑮化学→転位反応
紀伝体 ⑤日史 309 B ①文学→司馬遷〔史記〕 ④哲宗→『史記』 ⑨世史→『史記』 →正史
紀伝道 ⑤日史 309 C ①文学→藤原明衡 ⑥日史→明経道 →文章院 →文章博士
紀伝博士 ⑥日史→文章博士
帰田法 ⑥日史→秩禄処分
起電力 ⑯物数 128 B →起磁力 →電池 →熱起電力 →光起電力効果 ⑮化学→電池〔一次電池〈ダニエル電池〉〕
キト ⑩世地 181 B →エクアドル(共和国)図 ⑨世史→インカ〔歴史〕
木戸〔城戸, 柵戸〕 ⑤日史 309 C
輝度 ⑯物数 128 C →光〔強さと視覚〕 ⑱宇地→光度
木戸池温泉 ⑧日地→山ノ内(町)
几董 ⇨高井几董
木頭(村) 徳島 ⑦日地 359 D
祈禱 ⇨祈り
城東 静岡/大東町 ⑦日地 359 D
亀頭 ⑭医学→女性性器〔陰核〕 →男性性器〔構造〈陰茎〉〕
気導〈空気伝導〉 ⑭医学→聴覚
軌道 ⑰科技 121 B図表 →鉄道〔法制上の分類〕
軌道 ⑱宇地 186 B
鬼道 ⑤日史→呪術
キトウェ ⑩世地 181 C ⑰科技→鉱山図
軌道回路 ⑰科技→踏切
軌道検測車 ⑰科技→軌道〔保線作業〕
輝銅鉱 ⑱宇地 186 C ⑮化学→硫化銅
儀同三司 ⑤日史 309 D
『祈禱詩集』 ①文学→ゲルハルト, P
気動車 ⑰科技 123 B →ディーゼルカー
キトウシ山 北海道 ⑦日地 360 A
義堂周信 [1325 1388] 南北朝時代の臨済宗の僧。絶海中津とともに五山文学の双璧と称せられる ①文学 166 A →五山文学 ④哲宗 122 B ⑤日史 309 D →『空華集』 →『空華日工集』 →朱子学
冀東政権〈冀東防共自治政府〉 ⑤日史 310 A ⑥日史→通州事件 ⑨世史→一二・九運動 ⑪政社→傀儡政権 →日中戦争
軌道バス ⑰科技→VONA
祈禱札〈御札〉 ④哲宗→お守り
軌道面 ⑱宇地→軌道 →太陽系〔惑星の運動〕
軌道輸送システム ⑰科技→交通システム〔新交通システム〕
軌道要素 ⑱宇地→太陽系〔惑星の運動〕
キトウララス ⑳動物→ロバ〔民俗〕
軌道論 ⑱宇地→ガウス, C
ギトキシン ⑲植物→ジギタリス
木戸幸一 [1889 1977] 昭和前期の政治家。孝允の孫。東条英機陸相を次期首相に推薦する主役を演じる ⑤日史 310 A ⑪政社→極東国際軍事裁判〔表被告人〕
木戸孝允〈桂小五郎〉 [1833 1877] 幕末・明治初期の政治家。長州藩の代表として倒幕運動に活躍, 維新の三傑に数えられる ⑤日史 310 B図 →王政復古 →大阪会議 →五か条の誓文 →薩長連合 ⑥日史→征韓論 →版籍奉還
輝度分布 ⑬生活→採光
ギドラン種 ⑳動物→ウマ〔品種〈軽種〉〕
ギトリ(父子) 父[1860 1925] 子[1885 1957] 俳優。父はサラ・ベルナールの相手役として名声を得る。子はサロン喜劇の作者として有名 ③音演 150 A ①文学→ギトリ, S

ギトリ, S [1885 1957] 俳優・劇作家。社交界の三角関係をテーマにした作品が多い ①文学 166 A ③音演→映画〔トーキー〈第4期〉〕 →ギトリ(父子)
希土類元素 ⑮化学 172 B図 →ウェルスバッハ, C →元素〔分類〕 →周期表〔表元素群の特徴〕 →モサンデル, C ⑰科技 123 B
キトン ⑬生活→服装〔西洋〈古代〉〕図
キトンボ ⑳動物→アカトンボ
キナ ⑮化学 174 B →キニーネ ⑲植物→アルカロイド〔存在〕
畿内 ⑤日史→五畿七道 ⑦日地→近畿圏
きなこ ⑬生活→ダイズ
キナコダニ ⑳動物→コナダニ〔発生源〕
鬼無里(村) 長野 ⑦日地 360 A
『鬼涙村』 ①文学→牧野信一図
キナノキ ⑲植物 168 C
キナバル(山) ⑩世地 181 C →サバ
キナミシロヒメシャク ⑳動物→シャクガ
キーナン, B ⑪政社→極東国際軍事裁判
岐南(町) 岐阜 ⑦日地 360 A
紀南海山群 ⑦日地→膠州海山 →四国海盆
『キナーン人の旅行記』〈リフラ〉 ①文学→イブン・ジュバイル
危難の海 ⑱宇地→月〔天体〕〔表面の地形〕別
ギニア(人民革命共和国) ⑩世地 181 C図
ギニア(地方) ⑩世地 181 C
ギニアビサウ(共和国) ⑩世地 182 C図
ギニア民主党 ⑪政社→トゥーレ, S
ギニエ, A ⑰科技→時効硬化〔GPゾーン〕
キニコス学派〈キニク学派, 犬儒学派〉 ④哲宗 122 C →アンティステネス →ソクラテス〔小ソクラテス学派〕 →ディオゲネス(シノペの) ⑨世史→ゼノン
キニジン ⑮化学→キニーネ
忌日〔諱日〕 ④哲宗→法事
キニーネ ⑮化学 174 B →アルカロイド〔種類〕表 →キナ ⑬生活→味〔種類〈苦味〉〕 ⑭医学→薬〔種類〈神経系に作用〉〕 →マラリア ⑲植物→キナノキ
気尿 ⑭医学→尿〔異常〕
ギニョール ②美術→人形〔世界〕 ③音演→人形劇〔形式の分類〈手遣い人形〉〕
キニン ⑲植物→アルカロイド〔薬理作用〕
義認 ④哲宗→キリスト教〔囲用語〕 →トリエント公会議 →プロテスタント教会〔特色〈信仰による義認〉〕
偽妊娠療法 ⑭医学→妊娠
『義認と和解』 ④哲宗→リッチュル, A
衣 ⇨袿
絹 ⑤日史 310 C →絁 →生糸 ②美術→織物〔繊維材料〕 ⑥日史→養蚕 ⑬生活→絹織物 →繊維〔表燃焼鑑別〕
絹糸 ⑬生活→絹織物 ⑳動物→カイコ →動物〔人間との関係〈有用動物〉〕 →まゆ
衣浦大橋 ⑦日地→衣ヶ浦湾
衣浦港 ⑦日地→愛知(県)〔交通〕
衣浦臨海工業地帯 ⑦日地→衣ヶ浦湾 ⑧日地→半田(市)
絹雲母 ⑱宇地→雲母〔白雲母〕
絹織物 ⑬生活 134 A図 ⑥日史→錦 →西陣織 ⑳動物→カイコ〔養蚕業〕
蓋 ⑬生活→傘
衣笠 神奈川/横須賀市 ⑦日地 360 A
衣笠〔京都市〕 ⑦日地→北(区)
キヌガサガイ〔衣笠貝〕 ⑳動物 207 C図
衣笠公園 ⑧日地→横須賀(市)
衣笠城 ⑥日史→三浦氏 ⑧日地→横須賀(市)〔歴史〕
キヌガサソウ〔衣笠草〕 ⑲植物 168 C →高山植物〔別湿性〕 →ツクバネソウ図
キヌガサタケ〔衣笠茸〕 ⑲植物 168 C →キノコ〔別担子菌類〈腹菌目〉〕 →スッポンタケ
衣笠貞之助 [1896 1982] 映画監督。スペクタクル性に富んだ大作に手腕を発揮 ③音演 150 B
衣笠山 京都市 ⑦日地 360 A
繖山〈観音寺山〉 ⑦日地→安土(町)〔観音正寺〕
きぬかつぎ ⑬生活→いも類〔食べ方〕
衣被衣 ⑬生活→服装〔日本〈日中融合〉〕図
『衣かつぎの記』 ①文学→二条良基
鬼怒川 栃木・茨城 ⑦日地 360 A図 ⑧日地→大谷川 →日光国立公園 →竜王峡
鬼怒川温泉 ⑧日地→藤原(町)〔栃木〕

衣草 ⇨アサ
衣裙 ⑬生活→服装〔図日本〈上段〉〕
キヌゲネズミ〔絹毛鼠〕 ⑳動物 207 C →ネズミ〔分類〕
絹ごし豆腐 ⑬生活→豆腐〔種類〕
絹小町糸 ⑬生活→和裁〔裁縫用具〈縫糸〉〕
キヌザル ⇨マーモセット
キヌシバ〈ビロードシバ〉 ⑲植物→芝生〔日本シバ〕
砧 東京/世田谷区 ⑦日地360C →世田谷(区)
『**砧**』 ③音演 150 B図
砧骨 ⑭医学→聴覚図 →耳〔中耳〈耳小骨〉〕図
砧青磁 ②美術→青磁 →竜泉窯
キヌタソウ ⑲植物 169 A →ヨツバムグラ図
キヌタレガイ〔衣垂貝〕 ⑳動物 208 A
『砧をうつ女』 ①文学→芥川賞表 →李恢成
絹縫糸 ⑬生活→和裁〔裁縫用具〈縫糸〉〕
縫工女 ⑤日史→呉織
鬼怒沼 栃木 ⑦日地 360 C
きぬのくび ⑬生活→衿〔和服〕
絹の道 ⇨シルク・ロード
衣褌 ⑬生活→服装〔日本〈古代〉〕図
キヌバネドリ〔絹羽鳥〕 ⑳動物 208 A図 →鳥類〔形態〈羽毛の色彩〉〕
衣裳 ⑥日史→裳 ⑬生活→服装〔日本〈古代〉〕図
絹屋左平治 ⑥日史→丹後国〔囲人国記〕
キヌヤナギ〔絹柳〕 ⑲植物 169 A →ヤナギ図
ギヌラ ⑲植物 169 A
絹綿 ⑬生活→わた
杵家弥七家 ③音演→長唄〔囲流派〈三味線方〉〕
キネシス〈動性〉 ⑳動物→走性
キーネーシス〈運動変化〉 ④哲宗→アリストテレス〔自然学〈17 D〉〕
キネスコープ・レコーディング〈キネレコ,フィルム録画装置〉 ⑰科技→テレビジョン〔テレビ放送局〈録画〉〕 →録画
キネズミ ⇨ツパイ
キネティック・アート ②美術→現代美術〔欧米〈第二次大戦後〉〕
キネトグラフィー ③音演→ラバン,R
キネトスコープ ⑰科技→映画カメラ
キネマティーク ⑰科技→ルーロー,F
稀音家 ③音演→長唄〔囲流派〈三味線方〉〕
杵屋栄蔵家 ③音演→長唄〔囲流派〈三味線方〉〕
杵屋勝五郎家 ③音演→長唄〔囲流派〈三味線方〉〕
杵屋勝三郎家 ③音演→長唄〔囲流派〈三味線方〉〕
杵屋勘五郎家 ③音演→長唄〔囲流派〈三味線方〉〕
杵屋佐吉家 ③音演→長唄〔囲流派〈三味線方〉〕
杵屋作十郎 ③音演→『京鹿子娘道成寺』
杵屋正次郎家 ③音演→長唄〔囲流派〈三味線方〉〕
杵屋弥三郎(初世) ③音演→『京鹿子娘道成寺』
杵屋六左衛門(十世) ③音演→『六歌仙容彩』
杵屋六左衛門家 ③音演→長唄〔囲流派〈三味線方〉〕
杵屋六三郎(四世) ③音演→『勧進帳』
杵屋六三郎家 ③音演→長唄〔囲流派〈三味線方〉〕
杵屋六四郎家 ③音演→長唄〔囲流派〈三味線方〉〕
キネレコ ⇨キネスコープ・レコーディング
記念切手 ⑬生活→郵便切手
偽年号 ⇨私年号
祈年祭〈としごいのまつり〉 ⑤日史 310 D ①文学→祝詞 ④哲宗→伊勢神宮〈祭儀〉 →神社〔祭り〕 →神道〔囲祭事〕 ⑪政社→神道
記念スタンプ ⑬生活→郵便切手〔発行〕
祈年殿 ⑨世史→天壇
記念碑 ②美術→モニュメント
紀年法 ⑨世史 156 B →元号
偽年輪 ⑲植物→樹齢 →年輪
キノー,P フランス[1635–1688] 劇詩人。ロマネスクな悲喜劇・悲劇をものし,のちオペラに転じた ①文学 166 A ③音演→フランス演劇〔古典劇〕
気嚢 ⑳動物 208 A →感覚〔聴覚〕 →昆虫〔形態〈内部〉〕 →肺
帰納 ④哲宗 122 C →演繹 →仮説 →理由
機能 ⑪政社→構造
技能 ⑪政社→技術〔概念〕
議能 ⑥日史→六議
技能教育 ⑫経産→経営教育
機能式経営組織 ⑫経産→経営組織図
機能資本家 ⑫経産→利子 I〔利子率〕
機能主義 ②美術 150 D
木内石亭 [1724–1808] 江戸中期の弄石家。日本全国の鉱物類を分類し『雲根志』を著す ⑤日史 310 D ⇨木内石亭
機能的減価 ⑫経産→減価償却
機能的分配 ⑫経産→分配
『昨日の世界』 ①文学→ツワイク,S
『昨日の花』 ①文学→日野草城
『きのふはけふの物語』 ①文学→好色文学〔日本〕 →咄本 ③音演→落語〔歴史〕
機能分析・構造分析 ⑫経産 112 B
帰納法 ④哲宗→ベーコン,F〔ノウム・オルガヌム〕 →論理学〔囲用語〕
木ノ浦海中公園 ⑦日地→珠洲(市) ⑧日地→能登半島国定公園
機能療法 ⑭医学→薬〔役割〕
帰納論理学 ④哲宗→論理学〔現代論理学〕
機能和声 ③音演→和声〔和声法〕
木江(町) 広島 ⑦日地 360 C →大崎上島・下島
紀大磐〔紀生磐〕 [* –*] 5世紀末の武将。新羅に遠征し,高句麗と結んで三韓の主たらんとする ⑤日史 310 D
紀海音 [1663–1742] 江戸中期の浄瑠璃作者。豊竹座にあって竹本座の近松と対抗。俳諧・狂歌もつくる ①文学 166 A →浄瑠璃 ③音演 150 D図 →『鎌倉三代記』 →浄瑠璃〔義太夫節〕 →人形浄瑠璃〔歴史〈竹豊時代〉〕 ⑤日史 310 D
ギノカルジン ⑲植物→有毒植物
キノガーレ ⑳動物→ジャコウネコ
紀ノ川 和歌山 ⑦日地 360 C図 ⑧日地→吉野川《近畿地方》 →和歌山(市)〔自然〕図
『紀の川』 ①文学→有吉佐和子
紀ノ川平野 ⇨和歌山平野
キノキ派 ③音演→記録映画
キノグナツス ⑳動物→哺乳類〔進化〕
木国 ⑤日史→紀伊国 ⑧日地→和歌山(県)〔産業〈林業〉〕
キノクニミカン ⇨キシュウミカン
紀伊国屋 ③音演→歌舞伎〔囲屋号〕 →沢村宗十郎 →沢村田之助
紀国屋文左衛門 [1665–1734] 元禄時代の豪商。紀文大尽として知られ,紀州みかんの江戸直送で成功したとの伝説は有名 ⑤日史 311 A図 ⑲植物 →キシュウミカン
キノコ〔茸〕 ⑲植物 169 A図表別 →カビ →菌類
きのこ岩 ⑱宇地 186 C →浸食〔風食〕 ⑧日地→風食〈1231 B〉
きのこ雲 ⑱宇地→雲〔成因〕
キノコゴミムシ ⑳動物→ゴミムシ
紀古佐美 [733–797] 平安前期の律令官僚。征東副使に任じられ,蝦夷反乱の鎮定にあたるが失敗 ⑤日史 311 A
キノコシロアリ ⑳動物→アリ塚 →シロアリ〔巣〕
キノコ中毒 ⑲植物→キノコ〔毒キノコ〕
キノコバエ〔蕈蠅〕 ⑳動物 208 B →昆虫〔生態〈発光〉〕
キノコムシ〔蕈虫〕 ⑳動物 208 B
きのこ類 ⑬生活 135 A →山菜〔種類〕
宜野座(村) 沖縄/沖縄本島 ⑦日地 360 D
城崎(町) 兵庫 ⑦日地 360 D
城崎温泉 ⑦日地→城崎(町)図
『城の崎にて』 ①文学→志賀直哉 →日本文学〔近代〈反自然主義〉〕 ⑦日地→城崎(町)
木下石 ⑱宇地→雲母
木下氏 豊臣秀吉とその一族の元の姓。および秀吉の妻の北政所の実家杉原氏が秀吉より与えられた姓 ⑤日史 311 B図
木下勝俊 ⑤日史 311 B ⇨木下長嘯子
木下恵介 [1912] 映画監督。多様な分野に天才的技巧ぶりを発揮し,反戦を訴えた『二十四の瞳』で知られる ③音演 151 A →日本映画〔トーキー時代〈第3期〉〕
木下順庵 [1621–1698] 江戸前期の儒者。教育者として秀で,門下には新井白石・室鳩巣などを輩出 ①文学 166 B →新井白石 ④哲宗 122 C ⑤日史 311 C →儒学〔朱子学〕 ⑪政社→儒学
木下順二 [1914] 劇作家。イギリス演劇の研究,民話劇の創作,現代演劇の確立に尽力 ㊍『夕鶴』 ①文学 166 B図 ③音演 151 C
木下幸文 [1779–1821] 江戸後期の歌人。後世とくに注目された「貧窮百首」がある ①文学 166 C
木下長嘯子〈木下勝俊〉 [1569–1649] 安土桃山・江戸初期の歌人。和漢の学に通じ,とくに歌文に優れた ①文学 166 C ⑤日史→木下勝俊
木下藤吉郎 ⇨豊臣秀吉
木下尚江 [1869–1937] 小説家・社会思想家。平民社の中心人物で,社会主義小説で知られる ㊍『火の柱』 ①文学 166 D図 →社会主義文学 →トルストイ,L ⑤日史 311 D →社会民主党 ⑥日史→平民新聞 ⑪政社→キリスト教的社会主義 →社会主義〔日本〕 →社会民主主義〔日本〕 →平和主義〔日本〕
木下杢太郎 [1885–1945] 詩人・劇作家。南蛮趣味・切支丹研究で知られ,耽美的詩風が特徴 ㊍『食後の唄』 ①文学 167 A図 →『屋上庭園』 →『スバル』 →パンの会 ⑤日史 311 D
木下夕爾 [1914–1965] 詩人・俳人。土の匂い,草いきれが漂い同時にきわめて構成的な詩風 ①文学 167 B
木下利玄 [1886–1925] 歌人。口語的発想,俗語の駆使,四四調で清新な独自の歌風を樹立 ①文学 167 B
喜の字屋 ③音演→歌舞伎〔囲屋号〕 →守田勘弥〈十四世〉
『木の十字架』 ①文学→戦争文学 →ドルジュレス,R
紀上太郎 ③音演→『碁太平記白石噺』
紀斎名 ①文学→漢文学〔中古〕
紀貫之 [872*–945*] 平安初期の歌人・能書家。『古今和歌集』の選者 ①文学 167 B図 →『古今和歌集』 →三十六歌仙 ②美術 151 A →書〔日本書道史〈和様書道〉〕 ⑤日史 311 D →仮名 →『古今和歌集』 ⑥日史→『土佐日記』
『紀貫之』 ①文学→大岡信
『紀貫之集』 ①文学→私家集
気の哲学 ④哲宗→王船山 →張横渠〔正蒙〕
紀時文 ⑥日史→梨壺の五人
紀友則 [* –905*] 平安前期の歌人。貫之の従兄。典雅平明な歌風で三十六歌仙の一人 ①文学 167 D →『古今和歌集』 →三十六歌仙
紀夏井 [* –*] 平安前期の官人。清廉な国司として善政を施したことで有名 ⑤日史 312 A
紀長谷雄 [845–912] 平安中期の漢詩人。雑体詩を得意としたが,その才は散文に発揮 ①文学 168 A ⑤日史 312 A
柵戸〈さつこ〉 ⑤日史 312 A →蝦夷〔征伐〕
キノボリウオ〔木登り魚〕〈アナバス〉 ⑳動物 208 C
キノボリカンガルー ⑳動物 208 C →カンガルー〔近縁種〕図
キノボリトカゲ ⑳動物 208 C →トカゲ図
キノボリトタテグモ ⑳動物→トタテグモ
キノボリハイラックス ⑳動物→ハイラックス
キノボリフクログマ ⇨コアラ
キノボリヤマアラシ〔木登豪猪〕 ⑳動物 208 C図 →ヤマアラシ
キノホルム ⑭医学→スモン病
紀ノ松島 ⑧日地→那智勝浦(町)図
黄海の戦い ⑤日史→安倍貞任
来宮神社 ⑦日地→静岡(県)〔文化〈郷土芸能〉〕 ⑱宇地→潮汐〔民俗〕
木ノ芽峠 福井 ⑦日地 361 B
木本 三重/熊野市 ⑦日地 360 B →熊野(市)
木之本(町) 滋賀 ⑦日地 361 B
紀吉継墓誌 ⑤日史 312 A
キノリジジン系アルカロイド ⑮化学→アルカロイド〔図基本骨格〕
キノリン ⑮化学→複素環式化合物〔6員環状の化合物〈ピリジンの反応〉〕
キノリンブルー ⑮化学→シアニン
キノール ⇨ヒドロキノン
城輪柵 ⑤日史 312 B →柵址
宜野湾(市) 沖縄/沖縄本島 ⑦日地 361 C
キノン ⑮化学 174 B図 →色素
キノン・モノオキシム ⑮化学→オキシム
牙 ⑳動物 209 A
木場 東京/江東区 ⑤日史 312 B ⑦日地 361 D →隅田川 ⑧日地→深川
騎馬 ⑤日史→馬
ギハ(湖) ⑩世地→エルサルバドル(共和国)〔自然〕
木灰 ⑮化学→灰
跪拝の礼〈プロキシネイシス〉 ⑨世史→アレクサンドロス(大王)
キバガ〔牙蛾〕 ⑳動物 209 A →ガ〔形態〕
キバガイ〔牙貝〕 ⇨コウホネガイ
木場潟 ⑦日地→加賀三湖
キハギ〔木萩〕 ⑲植物 171 B →ハギ
起爆薬 ⑮化学→アジ化鉛 →爆薬
キハ 391 型 ⑰科技→ガスタービン動車
キバシカササギ ⑳動物→カササギ
キバシキンセイ ⑳動物→キンセイチョウ
キバシハイイロガン ⑳動物→ハイイロガン
キバシマガン ⑳動物→マガン

キマイラ ⑳動物→動物〔囲想像上の動物〕図
偽膜性喉頭炎 ⑭医学→クループ〔仮性クループ〕
木枕 ⑥日史→投扇興
木枕木 ⑰科技→軌道〔囲枕木〕
木俣修 〔1906〕 歌人。浪漫調の歌風を推進し,ヒューマンな叙情に特色がある。近代短歌研究の業績も多い ①文学168 C
キマダラコウモリ ⑳動物→コウモリガ
キマダラセセリ ⑳動物→セセリチョウ図
キマダラヒカゲ〔黄斑日蔭蝶〕 ⑳動物210 B →ジャノメチョウ図
キマダラルリツバメ〔黄斑瑠璃燕蝶〕 ⑳動物210 C →シジミチョウ
来待石 ⑦日地→宍道(町) ⑱宇地→石材〔利用〕
きまり手 ⑬生活→相撲〔競技〈技〉〕図
ギマール,H 〔1867-1942〕 ②美術→アール・ヌーボー〈12 D〉図
ギマール様式 ⇨アール・ヌーボー
公 ⑤日史→姓
君 ⑤日史→姓
紀三井寺〈金剛宝寺〉 ④哲宗→西国三十三所表 ⑧日地→名草山 →和歌山(市)図
キミカゲソウ〔君影草〕 ⇨スズラン
『君が代』 ⑤日史313 A ③音演→国歌 ⑪政社→国歌
キミガヨラン〔君代蘭〕 ⑲植物177 A →ユッカ
『君恋し』 ③音演→歌謡曲表
『君死に給ふことなかれ』 ①文学→戦争文学 →『明星』 →与謝野晶子
黄身酢 ⑬生活→あえ物〔酢の物〕表
キー溝研削盤 ⑰科技→工作機械〔研削盤〕表
君田(村) 広島 ⑦日地367 D
キミタチバナ ⑲植物→カラタチバナ
君津(市) 千葉 ⑦日地367 D
紀見峠 大阪・和歌山 ⑦日地368 B →和泉山脈
キミノセンリョウ ⑲植物→センリョウ
『君の名は』 ①文学→菊田一夫 ③音演→歌謡曲表 →菊田一夫 →日本映画図 →ラジオ・プレイ〔歴史〕図
キミミクロオウム ⑳動物→オウム →クロオウム
帰命頂礼 ④哲宗→仏教〔囲用語〕
『奇妙な孤独』 ①文学→心理小説 →ソレルス,P
奇妙な戦争 ⑨世史→ソビエト・フィンランド戦争 →第二次世界大戦〔経過〈英独戦争〉〕
『奇妙な幕間狂言』 ③音演→オニール,E
『君よ知るや南の国』 ③音演→トーマ,C
棄民 ⑤日史→移民〔戦前〕
義民 ⑤日史313 A
キム,R ソ連〔1898-1966〕 小説家。朝鮮の亡命政治家の子で,スパイ小説を書き,特異な存在 ①文学168 C
キーム(湖) ⑩世地→ドイツ〔自然・地形〈アルプス〉〕
義務 ④哲宗123 B →徳〔3〕 ⑪政社94 B →権利
金日成 ⇨金日成
義務教育 ⑤日史313 A →小学校 ⑥日史→中学校
金芝河 ⇨金芝河
『気むずかしい男』 ③音演→メナンドロス
金達寿 ⇨金達寿
キムチ ⑬生活→世界の料理〔朝鮮料理〕 →漬け物〔外国〕
キムチェク〈金策〉 北朝鮮 ⑩世地184 A
キムチョン〈金泉〉 南朝鮮 ⑩世地184 B
金廷漢 ⇨金廷漢
キムネネッタイチョウ ⑳動物→鳥類〔別〈巣〉〕
ギムノカリキウム ⑲植物→サボテン〔種類〕
『金雲翹新伝』 ①文学→グエン・ズウ
木村有香 ⑳動物→キムラグモ
木村伊兵衛 〔1901-1974〕 ②美術→写真〔囲写真家〕
木村芥舟 〔1830-1901〕 幕臣・軍艦奉行として咸臨丸でアメリカへ渡海。維新後は幕府側からの維新史を著す ⑤日史313 B
木村岳風 〔1899-1953〕 ③音演→詩吟
木村毅 〔1894-1979〕 小説家。大衆文学の理論と歴史に先駆的業績を示す ①文学168 C
木村錦花 〔1877-1960〕 劇作家・歌舞伎研究家。近代劇壇史に関する著作や劇場随筆がある ①文学168 C
木村謹治 〔1889-1948〕 ドイツ文学者。学位論文をはじめゲーテ研究に力を注ぐ ①文学168 D
キムラグモ〔木村蜘蛛〕 ⑳動物210 C図 →クモ〔形態〕図

木村蒹葭堂 〔1736-1802〕 江戸中期の文人。博学多趣味で,画・漢学・本草学を学び,珍書・奇書・骨董を収集 ②美術151 C ⑤日史313 C ⑥日史→摂津国〔囲人国記〕 ⑱宇地→水石〔歴史〕
木村健二郎 ⑱宇地→石川石
木村項 ⇨z項
木村重夫 ⇨遠地輝武
木村重成 〔1593-1615〕 武将。幼児から秀頼に仕え,大坂冬の陣で武名をあげる。夏の陣で討死 ⑤日史313 C →大坂の陣〔夏の陣〕
木村重松 ③音演→浪花節図
木村駿吉 〔1866-1938〕 ⑰科技→通信〔沿革〈日本〉〕
木村庄之助 ⑬生活→相撲〔角界の現状〈行司〉〕
木村荘八 〔1893-1958〕 洋画家。挿絵や書物の装丁に優れ,演劇や映画の時代考証の権威でもある ②美術151 D
木村荘十 ①文学→直木賞表
木村荘之助 ⑫経産→日本資本主義論争〈467 D〉
木村泰賢 〔1881-1930〕 インド学者・仏教学者。その研究に近代的な方法をとり入れた ④哲宗123 C
キムラタケ〔金精茸〕 ⇨オニク
木村富子 〔1890-1944〕 ①文学→木村錦花
木村騰 ⑫経産→朝日新聞社(株)
木村栄 〔1870-1943〕 明治から昭和の地球物理学者。緯度変化の式にz項を発見。文化勲章受章 ⑤日史313 C ⑱宇地187 A図 →緯度〔極運動〕
木村兵太郎 ⑪政社→極東国際軍事裁判〔表被告人〕
木村正辞 〔1827-1913〕 幕末・明治の国学者・国語学者。『万葉集』研究における諸説を集大成 ①文学168 D ⑤日史313 C
木村元一 ⑫経産→経費膨張の法則
木村義雄 ⑬生活→将棋〔歴史〕
キムリ人 ⇨ブリトン人
木室卯雲 〔1708-1783〕 江戸中期の狂歌師。咄本を著し江戸小咄の先駆となる ㊙『鹿子餅』 ①文学168 D →咄本
義務論 ④哲宗→義務 →目的 →ロス,W
キムンカムイ ⑳動物→クマ《哺乳類》〔種類〕
きめ ③音演→芝居絵
きめ ⑬生活→美容〔肌〈素肌の美〉〕
ギメ,E ②美術→ギメ美術館〈676 B〉
気鳴楽器 ③音演→楽器〔分類〕
記名株券 ⑫経産→有価証券〔種類〕
記名証券 ⑫経産→有価証券〔種類〕
木目込 ②美術→彫刻〔種類と素材〕
木目込人形 ②美術→人形〔日本〕図
極め出し ⑬生活→相撲〔図きまり手〕
ギメ美術館 ②美術684 B
キメラ ⑲植物177 A →モザイク
鬼面 ④哲宗→仮面
キメンガニ ⑳動物→カニ〔生態〕 →ヘイケガニ図
鬼面山谷五郎 ⑬生活→相撲〔表横綱〕
肝煎〔肝入〕 ⑤日史313 C →株仲間〔組織〕 ⑥日史→村役人〔村方三役〕
起毛 ⑬生活→毛織物〔染色〕
キモガニ ⑳動物210 C
キモグリバエ〔カラバエ〕 ⑳動物→モグリバエ
肝付兼重 ⑤日史→大隅国〔囲人国記〕
肝属山地 鹿児島 ⑦日地368 B →大隅半島
『肝っ玉おっ母とその子供たち』 ①文学→ブレヒト,B ③音演→ドイツ演劇図 →ブレヒト,B
キモトリプシン ⑭医学→膵臓〔膵液〈たんぱく質分解酵素〉〕 ⑮化学→ペプチド結合
着物 ⇨衣服 ⇨和服
喜茂別(町) 北海道/後志支庁 ⑦日地368 C図
喜茂別岳 北海道 ⑦日地368 C
キモン 〔前510?*〕 アテネの政治家・将軍。マラトンの戦勝将軍の子。ペルシア勢力一掃に尽力 ⑨世史158 A →ペリクレス
気門 ⑳動物211 A →昆虫〔形態〈内部〉〕
鬼門 ⑬生活→方位
旗門 ⑬生活→スキー〔競技〈アルペン〉〕
崎門学派〈闇斎学派〉 ④哲宗123 C →朱子学〔日本朱子学〕 →山崎闇斎 ⑤日史313 D →浅見絅斎 ⑥日史→山崎闇斎 ⑪政社→儒学
崎門三傑 ⑤日史→浅見絅斎 →崎門学派 →佐藤直方 ⑥日史→三宅尚斎
奇門遁甲 ⑬生活→方位
亀門の学 ④哲宗→亀井昭陽
キャイ・セントット ⑨世史→ジャワ戦争
格 ⑤日史→格式 ⑥日史→律令 →律令制〔成立〕
偽薬〈プラセボ〉 ⑭医学→薬〔作用・効果〈プラセボ効果〉〕

逆 ⑯物数129 B →命題図
瘧 ⇨マラリア
脚韻 ①文学→詩〔囲用語〈技法〉〕
逆縁 ⑬生活→葬式〔出棺から埋葬〈出棺〉〕
逆王水 ⑮化学→王水
逆勝手 ⑬生活→いけ花〔囲用語〕 →茶道〔囲用語〕
逆為替〈代金取立為替〉 ⑫経産→外国為替 →為替〔種類〕
逆関数 ⑯物数129 B →関数〔写像としての関数〕
逆起電力 ⑯物数129 B →起電力 →ファラデーの法則〔応用例〕
逆行列 ⑯物数→行列〔正則行列〕 →行列式〔余因子展開〕
逆九九 ⑯物数→九九〔乗法九九〕
逆元 ⑯物数→環〔定義〕 →逆数 →群〔定義〕 →減法 →体〔定義〕
キャクサレス ⑨世史→メディア
逆三角関数 ⑯物数129 B →三角関数
格式 ⑤日史313 D ⑥日史→律令 ⑨世史→律令格式
客車 ⑰科技123 C図表 →鉄道車両 ⑫経産→車輛工業表
客車操車場 ⑰科技→操車場図 →停車場
逆十字絞め ⑬生活→柔道〔基本〈固め技〉〕図
客女 ⑨世史→部曲 →良賤制〔私家の賤民〕
客商 ⑨世史→会館 →牙行
客神 ④哲宗→神社〔囲用語〕
逆人種主義 ⑪政社→人種問題〔現代〕
逆数 ⑯物数129 B
逆数方程式〈相反方程式〉 ⑯物数→高次方程式〔方程式の代数的解法〕
キャクストン,W 〔1422?-1491*〕 同国最初の印刷業者。印刷刊行のため試みた翻訳は,英語散文の文体の形成に貢献 ①文学168 D →アーサー王伝説
逆正弦関数 ⑯物数→三角関数〔逆三角関数〕
逆正接関数 ⑯物数→三角関数〔逆三角関数〕
逆性せっけん ⑮化学176 C →界面活性剤 →せっけん〔分類〕 ⑬生活→洗剤〔種類〕〔分類と製造法〕 ⑭医学→殺菌〔表家庭用消毒薬〕
逆説〈パラドックス〉 ④哲宗123 C →背理 ⑯物数→逆理
逆説睡眠 ⑭医学→睡眠〔種類〕図
客船 ⑰科技124 B →商船 →船〔種類〈用途による分類〉〕図
格前・格後の荘 ⑤日史→荘園〔荘園整理令〕
逆選択 ⑫経産→保険〔囲用語〕 ⑳動物→自然選択
客体 ④哲宗→客観
逆断層 ⑧日地1207 A →造山帯〈1221 A〉 →断層〈1223 B〉 ⑱宇地→断層〔分類〕図
逆ダンピング ⑫経産→ダンピング
逆転温度 ⑯物数→ジュール-トムソン効果
逆転層 ⑱宇地187 A →大気汚染〔気象要素〕 ⑮化学→公害〔囲用語〕
客土 ⑰科技→土地改良
逆止め弁 ⑰科技→弁
脚夫 ⇨運脚
逆粉飾 ⑫経産→株式〔囲用語〈粉飾決算〉〕
既約分数 ⑯物数129 B →約分
既約方程式 ⑯物数→代数方程式
脚本 ①文学→戯曲
客間 ②美術→民家〔日本〈間取り〉〕
逆命題 ⑯物数→逆
逆余弦関数 ⑯物数→三角関数〔逆三角関数〕
逆余接関数 ⑯物数→三角関数〔逆三角関数〕
逆理〈背理〉 ⑯物数129 C →集合 ④哲宗→懐疑 →背理
逆蓮 ②美術→高欄
キャザー,W 〔1873-1947〕 女流小説家。雄々しく自然に挑む人間の力を称揚した作品が多い ㊙『私のアントニーア』 ①文学169 A図 →アメリカ文学〔20世紀〕
ギャザースカート ⑬生活→スカート図
キャサリン 〔1485-1536〕 ヘンリ八世の第1王妃。王がアン・ブリンと再婚したのちも正式の王妃と主張 ⑨世史158 A
キヤース ④哲宗→イスラム教〔イスラム法〕
ギャスケル,E 〔1810-1865〕 女流小説家。牧師の娘らしく人間と宗教への信頼を失うことなく社会問題や世相を描く ㊙『メアリー・バートン』 ①文学169 B
ギャスコイン,D 〔1916〕 詩人。シュールの影響の色濃い幻想的なイメージあふれる作品を発表 ①文学169 B

『キャスタブリッジの町長』 ①文学→ハーディ,T
ギヤースッディーン・バルバン ⑨世史→奴隷王朝
キャスティング・ボート ⑪政社 94 C
キャストコート紙 ⑰科技→紙〔加工紙〈塗被加工紙〉〕
キャストタイヤ ⑰科技→タイヤ〔製造法〕
ギャスペ(半島) ［カナダ］ ⑩世地 184 B
キャスリング ⑬生活→チェス〔ルール〕
『キャスリーン伯爵夫人』 ①文学→イェーツ,W ③音演→アイルランド演劇 →イェーツ,W
キャセイ航空 ⑬生活→海外旅行〔航空会社〕
キャセロール ⑬生活→食器〔分類〈洋食器〉〕
脚立釣り ⑳動物→キス〔釣り〕
キャタピラー・トラクター ⑫経産 112 D →建設機械工業
ギャチュンカン 中国・ネパール ⑩世地 184 B →ヒマラヤ(山脈)〔表初登頂〕図
客観 ④哲宗 123 D →主観 →認識論〔1〕
客観主義 ④哲宗→客観
客観性 ④哲宗→同一哲学
客観的精神 ④哲宗→集団的意識 →精神科学 →ヘーゲル,G〔囲基本概念〕
客観的相対主義 ④哲宗→ミード,G
客戸 ⑨世史→主戸・客戸
逆行 ⑱宇地 187 B →太陽系〔惑星の運動〕 →惑星〔惑星現象〕
逆行衛星 ⑱宇地→木星〔衛星〕
逆行カノン ③音演→カノン
逆行性健忘 ⑭医学→健忘症 →脳〔疾患〈脳震盪〉〕
キャッサバ〈マニオク,イモノキ〉 ⑲植物 177 B図 ⑬生活→いも類
キャッシュ・ディスペンサー〈現金自動支払機〉 ⑫経産→預金 ⑰科技→自動販売機
キャッシュレジスター ⑰科技→計算機〔加算器〕
キャッシュレス ⑬生活→クレジット〔クレジットカード〕
キャッチホン ⑬生活→電話・電報〔電話〈電話機〉〕
キャッチャー〈捕手〉 ⑬生活→野球〔競技方法〕
キャッツ・アイ ⇨猫目石
キャッツキル動物園 ⑳動物→動物園〔表世界〕
キャット,C ［アメリカ 1859–1947］ ⑨世史→婦人参政権運動
キャット(島) ［バハマ］ ⑩世地 184 B →バハマ(国)
キャット ⑫経産→通貨〔表〈通貨単位〉〕
キャット ⑰科技→ヨット〔種類〕図
CAT ⇨晴天乱流
キャット・リグ ⑬生活→ヨットレース〔囲用語〕
キャップ ⑬生活→帽子〔基本型〕
キャップスリーブ ⑬生活→袖〔スリーブ〕図
キャップランプ〈携帯用安全電灯〉 ⑰科技→鉱山〔照明〕 →炭鉱〔照明〕
キャップロック〈帽岩〉 ⑮化学→石油〔探鉱〕
キャデラック ⑫経産→ゼネラル・モーターズ ⑰科技→自動車〔歴史〈アメリカ〉〕別
『ぎや・ど・ぺかどる』〈罪人の導き〉 ①文学→グラナダ,F ④哲宗→キリシタン〔囲用語〕
キャニオン ⑧日地→峡谷〈1207 C〉
キャニオンランズ国立公園 ⑩世地→アメリカ(合衆国)〔表国立公園〕
キャノン,W ［アメリカ 1871–1945］ ④哲宗→心理学〔囲用語〈動機づけ〉〕 ⑭医学→人体〔構造〕 →脳〔脳幹-脊髄系〕 ⑳動物→体液 →ホメオスタシス
キヤノン(株) ⑫経産 112 D
キャパ,R ［1913–1954］ ②美術→写真〔囲写真家〕別 ⑰科技→写真〔囲用語〈マグナム〉〕
キャパシター ⇨コンデンサー
キャパシタンス ⇨静電容量
ギャバジン ⑬生活→織物〔基本組織〈綾織〉〕
キャバリアー議会 ⑨世史→王党派
キャバリアーズ ⇨王党派
脚絆 ⑥日史→脛巾
キャビア ⑩世地→アストラハン →ソビエト(連邦)〔図産業〕 ⑬生活→世界の料理〔ロシア料理〕 ⑳動物→チョウザメ
キャピタル ⇨首都
キャピタルゲイン・キャピタルロス ⑫経産 113 A
キャビテーション〈空洞現象〉 ⑯物数→超音波 ⑰科技→水車
キャピトルリーフ国立公園 ⑩世地→アメリカ(合衆国)〔表国立公園〕
キャビネット ⑬生活→整理学〔情報〕
キャビネット・オルガン ③音演→オルガン〔分類〕
キャビンスクーター〈カビーネンロレル〉 ⑰科技→自動車〔歴史〈第二次世界大戦後〉〕
キャブオーバー型 ⑰科技→トラック〔構造〕図
キャブシグナル方式〈車内信号方式〉 ⑰科技→鉄道信号〔信号機〈方法による分類〉〕
キャフタ ⑩世地→アルタンボラグ
キャブタイヤケーブル ⑰科技→屋内配線〔電線〕 →電線〔絶縁電線〕
キャブタイヤコード ⑰科技→屋内配線〔電線〕
キャフタ条約 ⑨世史 158 B
キャプタン水和剤 ⑮化学→農薬〔分類〈表殺菌剤〉〕 ⑲植物→農薬〔表〈殺菌剤〉〕
キャプテン・キッド ⑨世史→海賊〔骸骨旗〕
キャプテン・クック ⇨クック,J
キャプトリヌス〈カプトリヌス〉 ⑱宇地→恐竜〔進化〈杯竜類〉〕 ⑳動物→爬虫類
キャプラ,F ［アメリカ 1897］ 映画監督。社会風刺の中に笑いと楽天的世界観をちりばめた喜劇で成功 ③音演 153 D →映画〔トーキー〈第4期〉〕
キャブレター〈気化器〉 ⑰科技→ガソリンエンジン〔構造〕 →自動車〔構造〈ガソリンエンジン〉〕図
キャベツ〈カンラン〉 ⑲植物 177 C図 →西洋野菜 →メキャベツ
キャベル,J ［アメリカ 1879–1958］ 小説家。幻想風ロマンスを多数残し,社会風刺にも優れた ①文学 169 B
キャベンディッシュ,H ［イギリス 1731–1810］ 物理学者・化学者。水が酸素と水素からなることを発見 ⑮化学 176 C図 →化学〔歴史〈実験科学としての確立〉〕 →水素〔歴史〕 →フロギストン説〔統一的化学理論として〕 →水〔科学史〕 ⑯物数 129 C →重力〔万有引力定数の測定〕 →重力理論〔ニュートンの理論〕 →万有引力〔万有引力定数〕 →物理学〔歴史〈近代〉〕
キャベンディッシュ研究所 ⑯物数→トムソン〔ジョセフ〕
城山 香川 ⑦日地 368 D →坂出(市) ⑧日地→飯山(町)
基山(町) 佐賀 ⑦日地 368 D
木山捷平 ［1904–1968］ 小説家。中国地方の郷土色豊かなユーモア文学に才を発揮 ①文学 169 C
木屋町通 京都市 ⑦日地 368 D
ギヤマン ⑤日史→ガラス
キャミソール ⑬生活→下着〔洋装〕
キャメル ⑬生活→たばこ〔世界〕
キャラ〔伽羅〕 ⑲植物→ジンコウ
伽羅 ⑤日史 314 A
キャラウェー〈ヒメウイキョウ〉 ⑲植物 178 A →ウイキョウ〔利用〕
キャラウェイ・システム ⑬生活→ゴルフ〔競技方法〈ハンディキャップ〉〕
キャラウェーシーズ ⑬生活→香辛料囲
ギャラクシー ⇨小宇宙
ギャラクシー〈ロッキードC-5A〉 ⑰科技→飛行機〔用途〈軍用機〉〕図
キャラクター ④哲宗→性格
キャラクター・ディスプレー装置 ⑫経産→電子計算機図
キャラクテール ③音演→バレエ〔囲用語〕
キャラコ〈キャリコ〉 ⑩世地→コジコード ⑫経産→商業革命 ⑬生活→綿織物
ギャラップ ⑪政社→世論調査〔歴史〕
キャラバッシュ・パイプ ⑬生活→喫煙具図
キャラハン,L ［イギリス 1912］ ⑪政社→イギリス政治事情〈20 B〉 →労働党
キャラバン ⑩世地→サウジアラビア(王国)図
キャラバンサライ ②美術→イスラム美術〔セルジュク朝〈アナトリア〉〕
キャラバンシューズ ⑬生活→登山〔登山用具〕図 →ハイキング
ギャラペリ ⑩世地→ヒマラヤ(山脈)〔区分〈アッサム・ヒマラヤ〉〕〔表初登頂〕
キャラベル船 ⑰科技→帆船〔歴史〕
キャラベル輸送機 ⑰科技→飛行機〔エンジンの装備〕
キャラボク〔伽羅木〕 ⑲植物 178 A →イチイ図
『伽羅枕』 ①文学→尾崎紅葉 →硯友社
キャラメル ⑬生活→飴〔キャンデー〕 ⑮化学→カラメル
『キャラメル工場から』 ①文学→佐多稲子
木遣り ③音演→音頭
キャリア,W ⑰科技→空気調和設備 →冷凍機
木遣唄 ③音演→祝唄 ⑤日史→木場 ⑬生活→祝い事〔新築〈上棟式〉〕
木やり音頭 ⑧日地→兵庫(県)〔文化〈郷土芸能〉〕
キャリコ ⑳動物→キンギョ〔品種〕
キャリコ ⇨キャラコ
ギャリソン,W ［アメリカ 1805–1879］ 奴隷解放運動の指導者。人道的な立場から言論により奴隷制廃止を叫び続けた ⑨世史 158 B →アボリショニスト
ギャリック,D ［イギリス 1717–1779］ 俳優・演劇改革者。写実的演技でシェークスピア劇の主人公を演じ評判をとる ③音演 154 A図 →『ハムレット』図
キャリーバック ⑬生活→ラグビー〔囲用語〕
キャリホーム・パック ⑫経産→パッケージ
キャリーボール ⑬生活→ホッケー〔囲用語〕
キャルジ ［イタリア］ ⑭医学→精神衛生〔歴史〕
ギャルツェン ⑩世地→マナスル
キャロット ⑬生活→帽子〔種類〕図
ギャロップ(湖) ⇨ルドルフ(湖)
キャロムゲーム ⑬生活→ビリヤード〔種類〕〔囲用語〕
キャロル,L ［イギリス 1832–1898］ 童話作家。教訓性をもたず,純粋奔放な幻想を特徴とする作品で著名 作『不思議の国のアリス』 ①文学 169 C図
キャロル,P ③音演→アイルランド演劇
キャロル ③音演 154 A
キャロル・リード ⇨リード,C
キャン〈チベットノロバ〉 ⑳動物→ロバ〔野生ロバ〕
ギャング ⑪政社→ボス
キャンセル ⑫経産→貿易〔囲用語〕
キャンデー ⑬生活→飴 →菓子〔洋菓子の種類〕
キャンティ ⑬生活→ぶどう酒〔各国〕
キャンディ ⇨カンジ
キャンディッド・フォト ⑰科技→写真〔囲用語〕
キャントー,M ［アメリカ 1904］ 小説家。南軍捕虜収容所を扱った『アンダーソンビル』で知られる ①文学 169 D
『キャントーズ』 ①文学→パウンド,E
キャンパー ⑰科技→キャンピングカー
キャンピング ⑬生活→キャンプ
キャンピングカー ⑰科技 124 C
キャンプ ⑬生活 135 D図
キャンプ・デービッド会談 ⑪政社→米ソ関係〔軍備競争と雪どけ〕
キャンプトサウルス ⑱宇地→恐竜〔進化〕 ⑳動物→恐竜〔鳥脚類〕図
キャンプファイヤー ⑬生活→キャンプ〔生活〕
ギャンブル,J ⑫経産→プロクター・ギャンブル
ギャンブル〈賭け事〉 ⑬生活 137 A図 →オートレース →競艇 →競馬 →さいころ →スポーツ →花札 →麻雀
キャンベラ ［オーストラリア］ ⑩世地 184 B図 ⑧日地→近代都市〈1208 B〉 →計画都市〈1208 D〉
キャンベル,G ③音演→カントリー・アンド・ウェスタン図
キャンベル,R ［イギリス 1901–1957］ 詩人。工業主義社会に強い敵意を示し,ロマン主義的作風で知られる ①文学 169 D
キャンベル・バナマン,H ［イギリス 1836–1908］ 自由党政治家,首相。ブール戦争をめぐって分裂した自由党の指導に苦心 ⑨世史 158 B図
キュー ⑬生活→ビリヤード〔用具〕
キュイ,T ［ロシア 1835–1918］ 作曲家・音楽評論家。「五人組」の一人。ロシア国民音楽を完成に導く ③音演 154 B →五人組
ギュイエンヌ ⑨世史→百年戦争〔原因〕
ギュイヨー,J ［フランス 1854–1888］ 哲学者。19歳のときエピクロスおよび功利主義道徳の研究でアカデミーより賞を受ける。夭折 ④哲宗 124 A
丘 ⇨孔子
灸 ⑭医学 133 A図 →経絡 →鍼灸医学
宮 ⇨宮刑
球 ⑯物数 130 A図 →回転体 →投影図〔立体〕
求愛ディスプレー ⑳動物→ディスプレー
旧赤坂離宮 ⑧日地→港(区)《東京》図
『求安録』 ⑪政社→内村鑑三
『九位』 ①文学→世阿弥
九・一八事変 ⇨満州事変
九・一八停止令 ⇨価格等統制令
旧移民 ⑨世史→移民法
吸引遂娩法 ⑭医学→出産〔異常分娩〈鉗子分娩〉〕
吸引ろ別 ⑮化学→化学実験〔実験器具〈分離〉〕
仇英 中国〔* .〕 明代の画家。青緑金碧の山水楼閣画,風俗人物画に名品が多い ②美術 151 D図
弓裔 朝鮮 ⑨世史→高麗 →朝鮮〔高麗〕
邱永漢 ①文学→直木賞表
救援車 ⑰科技→貨車〔事業用〕表 →客車〔事業用〕
急横転 ⑰科技→飛行機〔図曲技飛行〕
『鳩翁道話』 ④哲宗→柴田鳩翁 →日本思想〔無私の精神〕 ⑤日史→柴田鳩翁

文芸批評と文芸理論の仕事に優れる ①文学 170 B
キュポラ〈溶銑炉〉 ⑰科技 135 C →鋳鉄 →融解炉〔加熱方式〕図
Qマーク ⑬生活→商品マーク〔国の規制〕図
キュメン ⑮化学→石油化学工業〔芳香族系石油化学製品〕〔プロピレン系石油化学製品〕
ギュヨー ⇨ギヨー
キュラサオ(島)〈キュラソー島〉 オランダ/西インド諸島 ⑩世地 187 A →オランダ領アンチル(諸島)
キュラソー ⑬生活→酒〔リキュール類〕
キュリー(夫妻) フランス 夫〔1859-1906〕 妻〔1867-1934〕 物理学者。協力して放射能を研究しラジウムを発見。ノーベル賞受賞 ⑮化学 179 A図 →化学〔歴史〈現代〉〕 →元素〔元素観の変遷〕 →崩壊 →放射性元素〔ポロニウム〕 →放射能 →ラジウム ⑯物数 134 A図 →圧電効果 →電子〔発見の歴史〕 →放射性核種 ⑰科技→原子力〔歴史〈原子爆弾〉〕
キュリー《単位》〔Ci〕 ⑮化学→放射能 ⑯物数→放射線〔線源〕
キュリウム ⑮化学→アクチノイド元素 ⑰科技→超ウラン元素
キュリオス ④哲宗→イエス・キリスト〔人格〕
キュリオティッサ型 ②美術→聖母子像
キュリー温度 ⇨キュリー点
キュリー常磁性体 ⑯物数→キュリー点
キュリックス ②美術→ギリシア美術〔図陶器〕
キュリー点〈キュリー温度〉 ⑯物数 133 C →強磁性体 →強誘電体 ⑮化学→強誘電体〔性質〕 →スピン波 →相変化
キュリーの法則 ⑮化学→常磁性 ⑯物数→キュリー(夫妻)〔ピエール〕 →素磁石
キュリャコフ,K ブルガリア〔1893-1955〕 ③音演→東欧演劇〔ブルガリア〕
キュリー-ワイスの法則 ⑯物数→キュリー(夫妻)〔ピエール〕 →キュリー点
キュルチス,J フランス〔1917-〕 小説家。簡素かつ軽妙な筆法の風俗画を展開。ゴンクール賞受賞 ①文学 170 B
キュル・テギン ⇨キョル・テギン
ギュルプナール ①文学→トルコ文学〔近代〕
キュレル,F フランス〔1854-1928〕 劇作家。自然主義から前進し文明批評ともいうべき思想劇を開拓 ①文学 170 C ③音演→近代劇
キューレン ⑰科技→鉱山〔囲用語〕
キュロット〈乗馬ズボン〉 ⑬生活→ズボン →馬術競技〔用具〕
ギュンター,J ドイツ〔1695-1723〕 詩人。生活はすべて詩となり,宗教・恋愛・酒宴や自己の不遇をうたう ①文学 170 C
キューン-タッカーの定理 ⑯物数→計画数学〔非線形計画法〕
ギュンツ氷期 ⑱宇地→地質時代〔新生代〈第四紀〉〕 →氷河時代表
ギュンテキン トルコ〔1892-1956〕 小説家・劇作家。今日もっとも大衆に親しまれている『みそさざい』がある ①文学 170 C
ギヨー〈平頂海山〉 ⑧日地 1207 B →海底火山〈1203 A〉 ⑱宇地 188 A →海底〔海底地形〕図 ⑩世地→太平洋〔自然〕
岐陽 ⑤日史→朱子学
貴陽 ⇨コイヤン
尭 ⑨世史 160 B →五胡十六国
経 ④哲宗 124 D図 →仏教〔囲用語〕
卿 ⑥日史→大夫
橋 ⑭医学→脳〔構造〕
偽葉〈仮葉〉 ⑲植物 179 B →葉
行 ④哲宗→修法
魚雨 ⑱宇地→雨〔珍しい雨〕
教案 ⑨世史 160 C
胸囲 ⑭医学→体格〔身体計測値〕 →乳児〔表身体発育値〕
教育 ④哲宗 126 A →デューイ,J ⑤日史→義務教育
『教育』 ①文学→田中千禾夫 →日本文学〔近代〈戦後の戯曲〉〕 ③音演→田中千禾夫
教育委員会 ⑤日史 316 D →教育刷新委員会 ⑥日史→戦後改革〔教育〕 ⑪政社→委員会〔行政委員会〈国〉〕 →教育制度〔教育行政制度〕 →行政組織〔地方公共団体〕 →地方公共団体〔機関〈執行機関〉〕
教育学 ④哲宗→教育〔目的〕
教育玩具 ⑬生活→玩具〔歴史〕
教育基本法 ⑤日史 317 A →義務教育 →教育制度〔戦後〕 →教育刷新委員会 ⑪政社 95 D →資料〈615 D〉 ⑥日史→戦後改革〔教育〕
教育キャンプ ⑬生活→キャンプ〔組織キャンプ〕
教育行政制度 ⑪政社→教育制度〔範囲〕
教育刑論 ⑪政社→刑罰〔本質〕
教育権 ⑪政社 96 B図 →憲法〔諸外国〕
教育工学 ⑫経産→知識産業
教育刷新委員会 ⑤日史 317 A →教育制度〔戦後〕
教育制度 ⑤日史 317 A表 ⑪政社 96 D図表
教育総監部 ⑤日史 318 A
教育長 ⑪政社→教育制度〔教育行政制度〕
教育勅語 ⑤日史 318 B →井上毅 →教育制度〔明治以後〕 →国体論 →修身教育 ⑪政社 99 D ④哲宗→日本主義 ⑥日史→大日本帝国憲法〔明治憲法体制〕 →元田永孚
教育統計 ⑫経産→労働統計
『教育と宗教の衝突』 ④哲宗→井上哲次郎 →日本主義
『教育の成果』 ③音演→トルストイ,L
教育費 ⑬生活→家計簿〔項目〕
教育用テレビ〈ETV〉 ⑰科技→ITV
教育令 ⑤日史 318 B →教育制度〔明治以後〕 ⑥日史→田中不二麿
教育をうける権利 ⑪政社 100 A
『驚異の年』 ①文学→ドライデン,J
驚異の反転 ⑯物数→カタストロフィー図
教員赤化事件 ⑤日史 318 C
強雨 ⑱宇地→雨〔種類〕 →豪雨
慶雲 ①文学→兼好
『狂雲集』 ①文学→好色文学〔日本〕 ④哲宗→一休宗純 ⑤日史→一休宗純
鏡映〈対称移動〉 ⑯物数→対称〔平面図形〈線対称〉〕
競泳 ⑬生活→水泳〔水泳競技〕
競泳泳法 ⑬生活→水泳図
共営農場 ⇨コルホーズ
共益権 ⑫経産→株式〔株主権〕
『饗宴』 ④哲宗→プラトン
『饗宴』 ④哲宗→ダンテ
キョウオウ〔姜黄,薑黄〕 ⑲植物 179 B
教王護国寺〈東寺〉 ②美術 153 A図 ④哲宗→空海 →真言宗〔歴史〕〔囲義演〕 →東寺 ⑤日史→真言宗 ⑥日史→東寺 ⑦日地→京都(市)〔囲神社・仏閣〕図 ⑧日地→南(区)《京都市》
狂歌 ①文学 170 C →唐衣橘洲 →日本文学〔近世〈江戸前期〉〕 →パロディ →風刺 ⑤日史 318 C
郷歌 ①文学 171 A →朝鮮文学
教会 ④哲宗 127 A →キリスト教〔古カトリック教会〕 →サクラメント →宗教改革 ⑪政社 100 B →キリスト教
景戒 ⑥日史→日本霊異記
教会音楽 ③音演 154 B
教会改革運動 ④哲宗→ウィクリフ,J →カトリック教会〔歴史〕
教会会議 ⇨宗教会議
凝灰角礫岩 ⑱宇地→角礫岩 →岩石〔火山砕屑岩〕
凝灰岩 ⑱宇地 188 B図 →火山灰 →岩石〔火山砕屑岩〕 →石材〔利用〕図
教会カンタータ ③音演→カンタータ
教会結婚式 ⑬生活→結婚〔結婚式〕図
教会高権政策 ⇨帝国教会政策
教会合同教令 ④哲宗→東方正教会〔歴史〕
境界作用素 ⑯物数→ホモロジー群〔代数的定義〕
『教会史』 ④哲宗→エウセビウス(カイザリアの)
境界州 ⑨世史→南北戦争〔経過〕
凝灰集塊岩 ⑱宇地→集塊岩
境界準同形 ⑯物数→位相幾何学〔組合せ〕
教会スラブ語 ④哲宗→東方正教会〔典礼〕
『教会政治理法論』 ④哲宗→イギリス国教会
教階制度 ⇨ヒエラルキー
教会宣教協会〈CMS〉 ④哲宗→イギリス国教会
教会旋法 ③音演 154 B図
境界層 ⑯物数 135 B図
教会ソナタ ③音演→カンツォーナ〈器楽形式〉 →室内楽〔様式〕 →ソナタ〔バロック・ソナタ〕
強化板ガラス ⑮化学→板ガラス
境界値問題 ⑯物数→微分方程式〔偏微分方程式〈定理〉〕
教会調 ⇨教会旋法
教会堂 ④哲宗 128 A図
『教会のバビロニア幽囚』 ⑨世史→ルター,M
境界標〈ランド・マーク〉 ⑰科技→建築設計〔建築の意味〕
教会分裂 ⇨シスマ
教会法 ④哲宗 130 B →宗教会議〈252 B〉
教会方位 ④哲宗→教会堂〔キリスト教公認以後〕
『教会法典』 ④哲宗→キリスト教〔中世〕
教会暦 ④哲宗→キリスト教表 ⑨世史→暦
『教会を訪ねる』 ①文学→ラーキン,P
強化ガラス ⑮化学→安全ガラス
侠客〈六方者〉 ⑤日史 318 C →男伊達 ⑥日史→旗本奴 →町奴
胸郭 ⑭医学→骨〔骨格〕 →胸
『驚愕交響曲』 ③音演→ハイドン,F〔作品〕
『教学大旨』 ⑤日史 319 A →教育制度〔明治以後〕 →教育勅語
凝華舎 ⑥日史→内裏〔囲殿舎〕
教科書 ⑤日史 319 A図
教科書疑獄 ⑤日史 319 C ⑥日史→文部省
強化食品 ⑬生活 143 A →商品マーク〔国の規制〈特殊栄養食品マーク〉〕 →食品〔規格〕
教科書検定 ⑪政社 101 A図 →教育権 →表現の自由〔制限〕
教科書裁判〈家永訴訟〉 ⑪政社→教育権 →教科書検定図
教科書用楷書体〈教科書体〉 ⑰科技→活字〔書体〕図
京ヶ瀬(村) 新潟 ⑦日地 376 D
『狂か生か,二つの義務の争い』 ③音演→エチェガライ,J
経帷子 ⑬生活→葬式〔死亡処置〈死者の装束〉〕
キョウガノコ〔京鹿子〕 ⑲植物 179 C →シモツケソウ図
『京鹿子娘道成寺』 ③音演 154 D図 →歌舞伎別
強化プラスチック〈FRP〉 ⑮化学→エポキシ樹脂 →合成繊維〔無機質繊維〕 ⑰科技→競走用自動車〔構造〕 →モーターボート
京釜 ②美術→茶の湯釜
強化米 ⑬生活→米〔種類〕 →食品〔規格〕
強化麻酔 ⑭医学→冬眠療法
『仰臥漫録』 ①文学→正岡子規
経ヶ岬 京都 ⑦日地 376 D図
経ヶ峰 ⑦日地→安濃(町)
『狂歌若葉集』 ①文学→唐衣橘洲
共感 ④哲宗→ヒューム,D
胸管 ⑭医学→リンパ〔リンパ系〕
共感覚 ④哲宗→心理学〔囲用語〈通様相性〉〕
行願寺〈革堂〉 ④哲宗→西国三十三所表
叫喚地獄 ④哲宗→地獄〔古代宗教〕 →仏教〔囲用語〈阿鼻叫喚〉〕
京官除目〈司召除目〉 ⑤日史→除目
共観福音書 ④哲宗→聖書〔新約聖書〈331 A〉〕
兇器 ⑭医学→法医学〔創傷〕
狂気 ④哲宗 130 C →天才 →理性
姜夔 中国〔1155?-1221?〕 南宋の文人・詞人。洗練された表現と清麗典雅な格調の詞で知られる ①文学 171 A →詞
狭軌 ⑫経産→鉄道〔歴史〕 ⑰科技→線路〔軌間〕 →鉄道〔歴史〈レール〉〕
強起 ③音演→楽典〔囲〈小節〉〕図
教義 ④哲宗→信条
経木 ④哲宗→仏教〔囲用語〕
行基 〔668-749〕 奈良時代の僧。仏教の伝道と社会事業に尽力。東大寺大仏の造営に協力して初の大僧正位を受ける ④哲宗 130 D →西芳寺 →浄瑠璃寺 →総持寺 ⑤日史 320 A ⑥日史→布施屋 ⑧日地→行基図〈1207 B〉
翹岐 ⑤日史→阿曇比羅夫
橋義歯〈ブリッジ〉 ⑭医学→義歯〔種類〕 →歯科〔補綴科〕
ギョウギシバ〔行儀芝〕 ⑲植物 179 C図
教義神学 ④哲宗→神学〈284 D〉
行基図 ⑧日地 1207 B ⑤日史→古地図 ⑱宇地→地図〔歴史〈日本〉〕図
競技設計〈デザインコンペ〉 ⑰科技 135 C
競技ダンス ⑬生活→社交ダンス
『狂気の愛』 ①文学→ブルトン,A
『狂気の歴史』 ④哲宗→フコー,M
『侠義風月伝』 ⇨『好逑伝』
行基葺 ②美術→瓦〔本瓦の製法〕
ギョウキブナ ⑳動物→フナ〔日本〕
供給 ⑫経産→需要供給の法則
拱橋 ⇨アーチ橋
協業 ⑫経産 113 B →工業 →分業 →マニュファクチュア
行教 ⑤日史→石清水八幡宮
協業経営 ⑫経産→農業共同化表

ク

釘隠　②美術 179 B
区気管支　⑭医学→気管・気管支〈気管支〉
茎崎(町)　茨城　⑦日地 408 C
九鬼周造　[1888-1941]　大正・昭和初期の哲学者。ハイデッガーに学び,日本的美意識・文化に独自の解明を加える　①文学 182 A　④哲宗 162 C　⑤日史 340 D
クキセンチュウ　⑳動物→線虫〔植物寄生線虫〕
釘抜き　⑬生活→家庭工作〔大工道具〕図
クギヌキヘビトンボ　⑳動物→ヘビトンボ
釘貫門　②美術→門〔日本〕
久木野(村)　熊本　⑦日地 408 C
クキバチ〔茎蜂〕　⑳動物 228 B図
茎巻きひげ　⑲植物→巻きひげ
公暁　[1200-1219]　鎌倉幕府第2代将軍源頼家の第3子。鶴岡八幡宮で実朝を刺殺　⑤日史 340 D　⑥日史→源実朝
公卿　⑤日史 340 D　→公卿補任　→参議〔1〕　→地下　→上卿
苦行　④哲宗→禁欲
『究竟一乗宝性論』　④哲宗→慧苑
弘経寺　⑤日史→踊念仏　⑧日地→水海道(市)　→結城(市)
公卿補任　⑤日史 341 A
九鬼嘉隆　[1542-1600]　水軍の武将。熊野海賊の出。信長・秀吉に仕え大名となる。関ヶ原の戦いで敗れ自害　⑤日史 341 A　→熊野海賊　⑥日史→長島一揆
句切れ　①文学→短歌〔修辞〕
九九　⑯物数 150 A　→暗算〔基本的暗算〕　→乗法　→和算
クグ　⇨イヌクグ　⇨ハマスゲ
ググ　⇨ゴンズイ
九句因説　④哲宗→因明
久久子湖　福井　⑦日地 408 C　⑧日地→三方五湖図　→美浜(町)
ククシ釣り　⑳動物→ハゼ〔釣り〕
ククタ　⑩世地 197 D
ククチーン　①文学→東欧文学〔スロバキア〕
傀儡〔傀儡子〕　⑤日史→341 B図　②美術→人形〔日本〕　③音演→巷間芸能〔人形回し〕　→人形浄瑠璃〔歴史〈原流〉〕
くぐつめ　③音演→人形浄瑠璃〔歴史〈源流〉〕
ククテニ文化　⑨世史→彩文土器
ククテムル　中国　⑨世史→北元
十八鳴浜　⑦日地→大島《宮城》　→気仙沼湾
久々野(町)　岐阜　⑦日地 408 C
ククノール　⇨チンハイ
クグヒ　⑳動物→ハクチョウ〔民俗〕
クー・クラックス・クラン〈KKK〉　⑨世史 178 C図　⑪政社→秘密結社〔二〕
括染　⑬生活→染物〔絞染〕
ククリット・プラーモート　[1911-]　小説家・評論家。タイ社会の変動を描いた大河小説がある　①文学 182 B　→東南アジア文学〔国民文学〕
くぐり戸　⑬生活→門
括袴　⑤日史→指貫
くくりわな　⑬生活→狩猟〔法規〈猟具〉〕
ククルイニクスイ　②美術→ロシア美術〔リアリズム路線の定着〕
ククルカンのピラミッド　⑨世史→マヤ図
ククルニクスイ　ソ連　②美術→漫画〔ヨーロッパ漫画の基盤〕〔今日の漫画家たち〕
くけ〔絎〕　⑬生活→和裁〔基礎縫い〕図
公家　⑤日史 341 B　→貴族
公卿悪　③音演→『暫』
公家荒隈　③音演→隈取図
区系　⇨植物区系
矩形〈長方形〉　⑯物数→四角形
愚形　⑬生活→囲碁〔囲用語〕図
愚渓　②美術→室町時代の美術〔水墨画〕
くけ衿〈狭衿〉　⑬生活→衿〔和服〈長着〉〕図
公家故実　⑥日史→有職故実
公家諸法度　⇨禁中並公家諸法度
久下田　栃木/二宮町　⑦日地 408 C
くけ台　⑬生活→和裁〔裁縫用具〕
公廨稲　⇨公廨稲
潜戸鼻　⑦日地→加賀ノ潜戸
鵠沼　神奈川/藤沢市　⑦日地 408 C
クゲヌマラン　⑲植物→キンラン
クーケバッケル,N　[* *]　7代目の平戸オランダ商館長。島原の乱では幕府軍を援助し,のち幕府にポルトガル船の貿易禁止を勧告　⑤日史 341 B　→島原の乱

公家法度　⇨禁中並公家諸法度
公家法　⑥日史→武家法〔発生〕
公家様文書　⑤日史→古文書〔囲様式〕
公験　⑤日史 341 C
区検察庁　⑪政社→検察制度
区限刺繍　⑬生活→刺繍
クコ〔枸杞〕　⑲植物 189 C図　→薬用植物表　⑬生活→山菜〔種類〕
供御　⑤日史 341 C　→禁裏供御人
箜篌〔空侯,空古〕　③音演 173 D図
駆口　⑨世史→元〔社会・経済〕
枸杞酒　⑲植物→クコ
供御食料田　⑥日史→屯田
供御人　⑤日史→座〔成立〕
クコフシダニ　⑳動物→フシダニ
クーコリニック,N　[1809-1868]　劇作家・詩人。ロマノフ王朝の発端を描き,時の皇帝の喝采を博した　①文学 182 B　③音演→ロシア演劇
くさ　⇨湿疹
草〈草本〉　⑲植物 190 A　→雑草
クーザ,A　[1820-1873]　大公。モルダビアの土地貴族の出身。ルーマニア国の統合に尽力,のち亡命　⑨世史 178 D
固山　⑨世史→八旗
クサアイ〈タデアイ〉　⑲植物→キアイ
クサアジサイ〔草紫陽花〕　⑲植物 190 A図
クサアブ〔草虻〕　⑳動物 228 B
クサイ〔草藺〕　⑲植物 190 B図
救済　[1282-1376]　鎌倉・南北朝の連歌師。連歌文学の確立を実作面から指導　①文学 182 B　→『菟玖波集』　→連歌〔歴史〕
クサイエ(島)　⑩世地→カロリン(諸島)
『草筏』　①文学→外村繁
クサイチゴ〔草苺〕　⑲植物 190 B　→キイチゴ図
ζ電位〈界面動電位〉　⑮化学→電気泳動
救済法師　⑥日史→『菟玖波集』
草入り水晶　⑱宇地→水晶　→石英　→緑簾石
クサウオ〔草魚〕　⑳動物 228 C
クサウラベニタケ　⑲植物 190 B　→イッポンシメジ　→キノコ〔別担子菌類〈ハラタケ目〉〕
日下　大阪/東大阪市　⑦日地 408 C
区界峠　岩手　⑦日地 408 C
日下貝塚　⑧日地→東大阪(市)
クサカゲロウ〔草蜉蝣〕　⑳動物 228 C図　→うどんげ
久坂玄瑞　[1840-1864]　幕末の長州藩の志士。松下村塾に学び藩論を尊攘論にリード,蛤御門の変で敗退し自刃　⑤日史 341 C図　⑥日史→蛤御門の変　⑪政社→明治維新の政治思想〔天皇シンボル〕
日下田実　⑬生活→登山〔日本〕
日下部遺跡　⑧日地→山梨(市)
日下部四郎太　[1875-1924]　明治・大正の地球物理学者。岩石の弾性の研究と地震の余震頻度の公式の物理的解釈が主要業績　⑱宇地 208 A
草壁皇子　[662-689]　天武天皇の皇子,元明天皇の夫。皇太子となるが虚弱なため即位せず薨じる　⑤日史 341 D
日下部民芸館　⑧日地→高山(市)図
日下部鳴鶴　[1838-1922]　書家。六朝書の日本における宗祖。明治・大正の書道界を支配　②美術 179 C　→書〔日本書道史〈唐様の展開と和様の再興〉〕図
クサガメ〔草亀〕　⑳動物 229 A　→カメ〔生態〕図　→カメムシ
草刈唄　③音演→民謡〔表〈栃木〉〕
クサカリドリ〔草刈鳥〕　⑳動物 229 A　→鳥類〔形態〈くちばし〉〕
クサギ〔臭木〕　⑲植物 190 C図
クサギカメムシ〔臭木亀虫〕　⑳動物 229 A
草木染め　⑲植物→染料植物囲
クサキョウチクトウ〔草夾竹桃〕　⑲植物→フロックス図
クサキリ〔草螽蟖〕　⑳動物 229 A
クサグモ〈ノジタナグモ〉　⑳動物→タナグモ
草競馬　⑬生活→競馬〔公営競馬〕
クサシギ〔草鷸〕　⑳動物 229 B　→シギ
草鹿　⑥日史→歩射
クサシモツケ〔草下野〕　⇨シモツケソウ
草虱　⑲植物→ヤブジラミ
クサスギカズラ　⑲植物 190 C図　⑭医学→生薬〔天門冬〕
『艸千里』　①文学→三好達治
草千里ヶ浜　熊本　⑦日地 408 D図　→阿蘇国立公園図

草双紙〈絵双紙〉　①文学 182 B図　→合巻　⑤日史 341 D　→絵双紙　②美術→絵入本〔近代初期の色彩本〕
公坐相連　⑥日史→連坐
クサソテツ〔草蘇鉄〕　⑲植物 191 A　→山菜　→シダ植物別
草高　⑤日史→石高
クサタチバナ〔草橘〕　⑲植物 191 A図
草団子　⑬生活→団子
草地ツンドラ　⑧日地→ツンドラ気候〈1226 A〉　⑱宇地→北極〔生物〕
草津(市)　滋賀　⑦日地 413 A
草津(町)　群馬　⑦日地 413 B図
草津温泉　⑦日地→草津(町)
草津川　滋賀　⑦日地 413 B　⑧日地→天井川〈1226 D〉
クサツゲ〔草黄楊木〕　⑲植物→ツゲ　→ヒメツゲ
草津白根　⇨白根山
草津線　⑦日地→関西本線　⑧日地→東海道本線
草津峠　群馬・長野　⑦日地 413 C
草津節　③音演→民謡〔表〈群馬〉〕　⑦日地→群馬(県)〔文化〈郷土芸能〉〕
草津湯もみ唄　③音演→民謡〔表〈群馬〉〕
クサドウ　⇨テンキグサ
草戸千軒　⑦日地→芦田川　⑧日地→福山(市)
クサトベラ　⑲植物 191 A図
クサトリムシ　⇨カブトエビ
草薙　静岡/清水市　⑦日地 413 C　→清水(市)
日柳燕石　[1817-1868]　幕末の志士。讃岐の商人の出で,革命家となり,中岡慎太郎・高杉晋作らを援助　⑤日史 342 A
草薙鉱泉　⑧日地→戸沢(村)
草薙神社　⑦日地→清水(市)
草薙剣〈天叢雲剣〉　④哲宗→熱田神宮　→日本神話〔囲三種神器〕　⑤日史→熱田神宮　→三種の神器　⑥日史→日本武尊
クサニワトコ〔草庭常〕　⇨ソクズ
クザーヌス,N　⑱宇地→地動説
クサネム〔草合歓〕　⑲植物 191 B図
クサノオウ〔草黄〕　⑲植物 191 B図
クサノオウバノギク　⑲植物→ヤクシソウ
草野心平　[1903-]　詩人。詩誌『歴程』を主宰。生命力みなぎる野獣派風な独自の世界を開拓　作『定本蛙』　①文学 182 D図　→『歴程』
『草のつるぎ』　①文学→芥川賞表
『草の葉』　①文学→詩　→ホイットマン,W　⑨世史→ホイットマン,W
『草の花』　①文学→福永武彦
草野又六　[1678-1730]　⑥日史→筑後国〔囲人国記〕
草野靖　⑫経産→荘園《中国》〈285 A〉
草花丘陵　東京/秋多市　⑦日地 413 C
くさび〔楔〕　⑯物数 150 B図
くさび石〔榍石〕〈チタン石〉　⑱宇地 208 A　→鋭錐石　→宝石表
楔形文字　⑨世史→アッシリア学　→古代オリエント文明図　→シュメール〔文化〕　→粘土板　→ベヒスタン　→メソポタミア文明　→文字〔三大源流〕　→ローリンソン,H
くさひとかた　②美術→人形〔日本〕
クサヒバリ〔草雲雀〕　⑳動物 229 B図　→コオロギ
クサビフグ　⑳動物→マンボウ
クサビライシ　⑳動物→イシサンゴ〔生態〕
クサフグ〔草河豚〕　⑳動物 229 B　→フグ図表
クサフジ〔草藤〕　⑲植物 191 C図
草藤　⑲植物→ニワフジ〔季語〕
くさふるい　⑭医学→フィラリア症
クサボケ〔草木瓜〕〈シドミ〉　⑲植物 191 C図
クサボタル　⑳動物→ホタル〔生態〕
クサボタン〔草牡丹〕　⑲植物 192 A図
くさまくら　①文学→短歌〔囲枕詞〕
『草枕』　①文学→『新小説』　→夏目漱石
草間直方　[1753-1831]　江戸後期の大坂町人・両替商。文筆に長じ,日本貨幣史・物価史上の重要文献を残す　⑤日史 342 A　→『三貨図彙』
クサミソハギ　⑲植物→クフェア
クサムラドリ〔叢鳥〕　⑳動物 229 B
草餅　⑬生活→餅〔歴史・種類〕
くさや　⑬生活→水産加工品〔種類〈塩干し品〉〕　⑳動物→アジ〔調理〕
クサヤツデ〔草八手〕　⑲植物 192 A図
クサヤモロ　⑳動物→アジ〔近縁種〕図
クサヨシ〔草葭〕　⑲植物 192 B図
鎖鎌　⑤日史 342 A

グーテンベルク聖書〈マザラン聖書〉 ⑰科技→グーテンベルク,J
グーテンベルグ不連続面 ⑱宇地→マントル
クートー,L フラ[1904/1977] 画家。サロン・ド・メを設立。舞台装置・壁画やタペストリーの下絵なども手がける ②美術 180 D
苦土 ⇨酸化マグネシウム
『旧唐書』 ①文学→杜甫 ⑨世史→正史 →『唐書』
工藤祐経 [?1193] 鎌倉初期の武将。頼朝の富士野の巻狩に従ったとき曾我兄弟に討たれる ⑤日史 346 D →伊東氏 ⑥日史→曾我兄弟
クトゥーゾフ,M ロシ[1745/1813] 将軍。トルコとの戦いに右眼を失う。ナポレオン戦争の総指揮官として勇名 ⑨世史 180 C →モスクワ遠征
クトゥブッディーン・アイバク インド[?1210] 奴隷王朝の創始者。トルコ人。イスラム教徒による西北インド支配の基礎を整える ⑨世史 180 D図 →インド〔中世社会〕 →ゴール朝 →奴隷王朝
工藤平助 [1725/1800] 江戸中・後期の経世家・学者。蝦夷地開発とロシアとの交易を論じた意見書を提出 ⑤日史 346 D →『赤蝦夷風説考』 →海防論
苦土過リン酸 ⑮化学→肥料〔化学肥料〈リン酸肥料〉〕表
苦土橄欖石 ⑱宇地→岩石〔深成岩または粗粒火成岩〈2〉〕 →橄欖石
くどき〔口説〕 ③音演 174 C
くどき節 ③音演→くどき
功徳 ④哲宗→仏教〔囲用語〕
『**愚禿鈔**』 ⑤日史 346 D
苦土質変成岩 ⑱宇地→変成岩〔化学組成〕
苦土スピネル ⇨スピネル
グード図法〈ホモロサイン図法〉 ⑧日地 1208 C図
苦土石灰肥料 ⑮化学→肥料〔化学肥料〈第二要素を含む肥料〉〕 ⑲植物→肥料〔表〈石灰質肥料〉〕
グートツァイトの試験法 ⑮化学→アルシン〔性質〕
くど造 ②美術→民家〔日本〈各地〉〕図 ⑦日地→佐賀(県)〔文化〈郷土芸能〉〕 →白石(町)
苦土肥料 ⑮化学 193 C →肥料〔化学肥料〈第二要素を含む肥料〉〕
クトゥブミナール ⑩世地→デリー
九度山 ⑤日史→真田昌幸
九度山(町) 和歌山 ⑦日地 420 C図
グートランド(地方) ⑩世地→ルクセンブルク(大公国)〔自然・住民〕
クドリヤビー〈茂世路岳〉 ⑱宇地→火山〔表活火山〕
クートン フラ ⑨世史→フランス革命〔国民公会〕
瞿曇悉達 インド[*.*] 天文学者。唐に赴き,九執暦を含む占卜書『大唐開元占経』を著す ⑱宇地 209 A
クナー ⇨クナッパーツブッシュ,H
宮内卿 [?1203?] 平安後期の女流歌人。絵画的華麗な歌風で知られたが,早世 ①文学 184 D
宮内省 ⑤日史 347 A →侍従〔2〕 →神祇省
宮内省怪文書事件 ⑥日史→西田税
グナイスト,H ドイ[1816/1895] 公法学者。憲法調査のため渡独した伊藤博文に講義し,明治憲法制定に多大な影響を与える ⑤日史 347 A ⑪政社→国家有機体説 →法治主義
グナイゼナウ,A ドイ[1760/1831] 将軍。イエナ敗戦後シュタインやシャルンホルストとともに軍制の改革に成功 ⑨世史 180 D →ドイツ図 →プロイセン〔改革〕
宮内庁 ⑤日史→宮内省〈近代〉 ⑪政社→行政組織〔表国〕 →皇室
宮内庁御料牧場 ⑧日地→栃木(県)〔観光〕 →成田(市)
クーナウ,J ドイ[1660/1722] バロック時代の作曲家。教会カンタータでプロテスタント教会音楽に貢献 ③音演 174 D
クナシリ(島) 北海道 ⑩世地 198 D ⇨国後島
国後島 北海道 ⑤日史 347 A ⑦日地 420 D ⑧日地→根室(支庁) ⑪政社→北方領土
クナ族 ⑩世地→パナマ(共和国)図
クナッパーツブッシュ,H ドイ[1888/1965] 指揮者。オランダのワーグナー音楽祭を指揮,「クナー」「将軍」の愛称で親しまれた ③音演 174 D
クナップ,G ドイ[1842/1926] 経済史家・統計学・貨幣理論家。ドイツ後期歴史学派に属す ⑫経産 138 C図 →貨幣Ⅱ〔名目主義〕 →歴史学派
グナーディヤ インド[*.*] 6世紀以前の物語集作者。伝説では『ブリハットカター』の作者 ①文学 184 D
求那跋摩 セイロン ④哲宗→戒壇
グナマティ ④哲宗→ヨーガ〔瑜伽行派〕
国 ⑤日史 347 B →郡 →国郡里制 ⑥日史→国・郡・藩・府県対照表〈1239〉
国 ⇨国家
六合(村) 群馬 ⑦日地 420 D
国県制 ⑤日史→県 →飛鳥時代〔政治・外交〈推古朝・内政〉〕 →氏姓制度〔地方官司〕
国一揆 ⑤日史 347 B →悪党 →一揆 →応仁の乱〔結果〕 →白旗一揆 ⑥日史→室町時代〔社会・経済〈在村武士〉〕 ⑫経産→土一揆
国生み神話 ④哲宗→伊弉諾・伊弉冉尊 →日本神話〔文化系統論〕囲
国絵図 ⑱宇地→地図〔歴史〈日本〉〕
邦枝完二 [1892/1956] 小説家。荷風に私淑。江戸情緒を愛し,官能美あふれる時代風俗小説で知られる ①文学 184 D
国替〈転封〉 ⑤日史 347 C ⑥日史→大名〔統制〕
国賀海岸 島根/隠岐 ⑦日地 420 D →隠岐諸島〔観光〕図 ⑧日地→島前 →西ノ島(町)
国懸神宮 ④哲宗→神社〔表〈官幣大社〉〕 ⑧日地→和歌山(市)
国頭(村) 沖縄/沖縄本島 ⑦日地 421 B図
国頭空港 ⑧日地→和泊(町)
国木田独歩 [1871/1908] 詩人・小説家。浪漫主義から現実的傾向を強め自然主義に転じた 作『牛肉と馬鈴薯』 ①文学 184 D図 →自然主義〔日本〕 ⑤日史 347 D
恭仁京 ⑤日史 347 D ⑥日史→橘諸兄
国崩 ⑳動物→イネクロカメムシ
国東(町) 大分 ⑦日地 421 B図
国東半島 大分 ⑦日地 421 C図
『国定忠治』 ①文学→子母沢寛 →行友李風 ③音演→山中貞雄
国沢新九郎 [1847/1877] 洋画家。イギリスで油絵を学び,わが国最初の洋画展覧会を開催 ②美術 181 A
国司信濃 [1841/1864] 江戸後期の長州藩士。藩老国司家をつぎ,下関で外国船を砲撃して惨敗 ⑤日史 347 D
国質 ⑤日史 347 D
国衆 ⇨国人衆
クニース,K ドイ[1821/1898] ドイツ前期歴史学派の経済学者。統計学や貨幣理論にも業績をあげる ⑫経産 138 D →歴史学派
国立(市) 東京 ⑦日地 421 C
国津神〔地祇〕 ④哲宗→神社〔祭神〕 →日本神話囲 ⑤日史→天津神・国津神 →大国主命 ⑪政社→神道
国津罪 ④哲宗→罪 ⑤日史→天津罪・国津罪
クニッピング,P [1883/1922] ⑯物数→ラウエ,M
クニッピング,E ドイ[1844/1922] 明治4年来日。暴風警報などわが国の気象予報事業の創業に尽力 ⑱宇地 209 A図
国社 ④哲宗→神社〔祭神〕 ⑤日史→天社・国社
国常立尊 ④哲宗→吉川神道 →吉田神道
『クニドスのアフロディテ』 ②美術→ギリシア美術〔彫刻〕 →プラクシテレス
国富(町) 宮崎 ⑦日地 421 D
国友一貫斎〈国友藤兵衛〉 [1778/1840] 江戸後期の科学技術者。20連発の早打気炮を製作,自製の天体望遠鏡で太陽黒点の連続観測を行い詳細な記録を残す ⑤日史 347 D →近江国〔囲人国記〕 ⑬生活→万年筆
『国盗り物語』 ①文学→司馬遼太郎
国中連公麻呂 [?774] 天平時代の仏師。東大寺大仏の鋳造に成功 ②美術 181 A →東大寺
国中平野 新潟/佐渡島 ⑦日地 421 D
国中平野 ⑧日地→鳥取平野
久邇宮 ⑤日史→朝彦親王 ⑪政社→皇室〔皇族〕
国造 ⑤日史 348 A →飛鳥時代〔政治・外交〈6世紀〉〕 →姓 →郡 →郡司 →氏姓制度〔地方官司〕
久邇宮良子 ⑤日史→宮中某重大事件
国博士 ⑤日史 348 A →外官
国引き神話 ④哲宗→日本神話囲 ⑧日地→大山
国広 [*.*] 戦国・江戸初期の刀工。新刀の開祖の一人で,京都堀川にあって多くの弟子を養う ⑤日史 348 B
くにぶりまい ⇨風俗舞
国見(町) 福島 ⑦日地 421 D
国見(町) 長崎 ⑦日地 421 D
国見(町) 大分 ⑦日地 422 A
国見温泉 ⑦日地→雫石(町)
国見山地 熊本・鹿児島 ⑦日地 422 A
国見岳 熊本・宮崎 ⑦日地 422 B →雲仙岳
国光 [*.*] 鎌倉後期の刀工。直刃を得意とし,鎌倉の相州物の一派の祖師 ⑤日史 348 B
国見山 ⑦日地→国見(町)《福島》 →国見山地
平国祭〈おいで祭〉 ⑧日地→羽咋(市)〔気多神社〕
国持衆〈国持大名〉 ⑤日史 348 B
国焼 ②美術→茶道具
国役 ⑤日史 348 C
クニャージ ⑨世史 180 D →ボヤール
クニャジュニーン,Y ロシ[1740/1791] 劇作家。専制君主に反抗した自由都市の英雄の悲劇で知られる ①文学 185 C ③音演→ロシア演劇
国譲り神話 ④哲宗→日本神話囲 ⑦日地→稲佐浜
国吉康雄 [1889/1953] アメリカで活躍した画家。「19人の現存アメリカ画家」展の出品者に加えられる ②美術 181 B図
クヌギ〔櫟,橡〕 ⑲植物 195 C →ナラ図
クヌギカメムシ〔櫟亀虫〕 ⑳動物 235 C →カメムシ
クヌギカレハ ⑳動物→ガ図
クヌギタマバチ ⑳動物→タマバチ
狗奴国 ⑥日史→邪馬台国〔構造〕
クヌーツセン,M デン[1871/1949] 海洋学者。海洋化学の分野で,現在の海洋学の基礎となる多くの業績を残す ⑱宇地 209 A →塩分 →海水〔物性〕
クヌート(一世) [994?/1035] 王。デンマークから再度イングランドに侵入,デーン朝を開く ⑨世史 180 D →イギリス(史)〔アングロ・サクソン〕 →スベン →デーン人
公奴婢 ⑤日史→古代社会〔公民制〕 ⑥日史→良賤 ⑫経産→奴婢
クヌーム ⑳動物→ヒツジ〔民俗〕
『クヌルプ』〈望郷〉 ①文学→ヘッセ,H
クネオ イタ ⑩世地 198 D
グネージチ,N ロシ[1784/1833] 詩人・翻訳家。20年以上の歳月をかけ『イリアス』のロシア語訳を出版 ①文学 185 D
グネツム科 ⑲植物→グネモン
クネーネ,M ①文学→アフリカ文学〈南アフリカ文学〉
クネベル石 ⑱宇地→橄欖石〔テフロ石〕
グネモン ⑲植物 195 C
クネルスドルフの戦闘 ⑨世史→七年戦争
クネンボ〔九年母〕 ⑲植物 195 C →ミカン図
クノー,R フラ[1903/1976] 小説家・詩人。言語的冒険を試み新しい小説形式に挑戦 作『地下鉄のザジ』 ①文学 185 D図
グノー,C フラ[1818/1893] 作曲家。オペラで名をなし,宗教音楽の分野で活躍 ③音演 174 D図
久能山 静岡/静岡市 ⑤日史 348 C ⑦日地 422 B →有度山 →静岡(市)〔自然〕
久能山東照宮 ④哲宗→神社〔表〈別格官幣社〉〕 →東照宮 ⑤日史→久能山 ⑦日地→有度山 →久能山 →静岡(市)図
久能寺経 ⑤日史 348 C
『久能寺経』 ②美術→装飾経
『苦悩の中を行く』 ①文学→トルストイ,A.N →ロシア・ソビエト文学〔ソビエト〕
久野幸太郎 ⑥日史→名古屋事件
グノーシス ④哲宗 163 D →カトリック教会〔歴史〕 →不可知論 →マニ教
グノーシス派 ⑨世史 181 A ⑪政社→秘密結社
『苦の世界』 ①文学→宇野浩二
『クノック』 ③音演→ロマン,J
クノッソス宮 ②美術 181 D図 →古代地中海の美術〔青銅器時代〈クレタ美術〉〕別 ⑨世史→エーゲ文明〔クレタ文明〕図 ⑩世地→クレタ(島)
久野豊彦 ①文学→新興芸術派
九戸(村) 岩手 ⑦日地 422 B
九戸城跡〈白鳥城跡〉 ⑧日地→二戸(市)
九戸政実の乱 ⑥日史→豊臣秀次
クノベルスドルフ,H [1697/1753] ⑨世史→サン・スーシー宮殿
互の目 ②美術→日本刀〔図刃文の種類〕
グノモン ⑰科技→時計〔歴史〕
グノーモン ⑯物数→四角形〔平行四辺形〕
久野寧 [1882/1977] 生理学者。発汗学の開拓者で世界的権威。文化勲章受章 ⑭医学 7 C →汗
クノール,L ⑭医学→熱〔解熱剤〈ピラツォロン剤〉〕

クラーク,J イギリス ⑬生活→自動車レース〔グランプリ・レーサー〕図表
クラーク,K イギリス[1903] 美術史家・美術評論家。美術教育・行政の中心的存在 ②美術 183 C
クラーク,M ①文学→オーストラリア・ニュージーランド文学〔オーストラリア〕
クラーク,S イギリス[1675-1729] 哲学者・神学者・道徳思想家。新たな神学,倫理体系の樹立をめざす ④哲宗 166 A →イギリス哲学〔近世〈18世紀〉〕
クラーク,W アメリカ[1826-1886] 札幌農学校〈北海道大学の前身〉の創立者。明治9年来日。帰国にあたり「少年よ,大志を抱け」の言葉を残す ⑤日史 351 C →御雇外人教師表
クラーク ⑨世史 182 B
クラーグ(兄弟) ノルウェー 兄[1868-1913] 弟[1871-1933] 兄は神秘主義者で世紀末作家の一人。弟は新ロマン主義の詩人 ①文学 189 A
クラーク数 ⑮化学 194 C表 ⑱宇地 213 B表 →クラーク,F →地球〔化学組成〕 →地球化学
クラークソン,T [1760-1846] ⑨世史→ウィルバーフォース,W
クラークの法則〈ペティの法則〉 ⑫経産→第一次産業・第二次産業・第三次産業
クラクフ ポーランド ⑩世地 199 D図 →ポーランド(人民共和国)図 ②美術→東ヨーロッパの美術〔ポーランド〕 ⑫経産→市場(いちば)図 →東欧経済事情図
工楽松右衛門 [1743-?] ⑥日史→播磨国(はりまのくに)〔囲人国記〕
クラゲ〔水母〕 ⑳動物 243 B図 →感覚〔平衡感覚〕 →腔腸動物 →変態
クラーゲス,L ドイツ[1872-1956] 心理学者・哲学者。ニーチェの影響を受けた彼の思索は生をめぐって行われ,性格学にも業績をあげた ④哲宗 166 B
クラゲダコ〔水母蛸〕 ⑳動物 244 C
クラーゲンフルト オーストリア ⑩世地 200 A
クラコフ条約 ⑨世史→ジグムント(一世)
クラコフの乱 ⑨世史→ポーランド分割
グラゴール文字 ⑨世史→キリロス
倉沢洞 ⑱宇地→カルスト地形図
倉沢人形歌舞伎 ⑧日地→東和(町)『岩手』
グラシアン・イ・モラーレス,B スペイン[1601-1658] モラリスト・小説家。イエズス会士として箴言集や寓意小説を著す ①文学 189 B
クラシェフスキ,J ポーランド[1812-1887] 小説家・批評家。多作で144の小説と88の歴史小説を残した ①文学 189 B
グラジオラス ⑲植物 198 A図 →園芸〔図フラワーカレンダー〈2〉〕
倉敷(市) 岡山 ⑦日地 432 C図 ⑱宇地→公害〔防止対策の現状〕
倉敷川 ⑦日地→倉敷(市)〔歴史〕図
倉敷考古館 ②美術 680 D ⑦日地→倉敷(市)
倉敷紡績(株) ⑤日史→大原孫三郎(おおはらまごさぶろう)
倉敷民芸館 ②美術 680 D ⑦日地→倉敷(市)図
倉敷料〈保管料〉 ⑫経産→倉庫業
クラシシ ⇨カモシカ
クラシツキ,I ポーランド[1735-1801] 啓蒙期の詩人・小説家。冒険小説にユートピア的要素を結びつけた ①文学 189 B
クラシック ①文学→文学〔囲用語〕
クラシック期 ⑨世史→ギリシア〔ポリスの興亡〈最盛期〉〕
『暮しの手帖』 ⑬生活→消費者運動〔活動〕
クラショー,R イギリス[1612?-1649] 形而上派詩人。カトリックの恍惚の世界を激情的にうたった ①文学 189 B
グラジーリン,A ソ連[1935] 小説家。手紙や日記体,ルポ形式による独自な手法で注目される ①文学 189 C
グラシン紙 ⑰科技 154 B →薄葉紙(うすようし)
クラシンスキ,Z ポーランド[1812-1859] ロマン派の詩人。貴族と民衆との階級闘争を作品化。亡命地のパリで死去 ①文学 189 C
グラス,G 西ドイツ[1927] 小説家。戦争文学の旗手として,また積極的な政治活動で知られる 作『ブリキの太鼓』 ①文学 189 C図 ③音演→ドイツ演劇〔歴史〕
グラス ⑬生活→カクテル →食器〔分類〈洋食器〉〕図
グラース ⑩世地→フランス(共和国)〔図産業〕
クラス・アクション ⑪政社→集団訴訟
グラス魚 ⑳動物→熱帯魚〔別変わった淡水魚〉〕
グラスウール ⑬生活→防音構造 ⑰科技→建築材料〔分類〈その他〉〕
グラスゴー,E アメリカ[1874-1945] 女流小説家。南部人に現実の直視と理想の回復を訴えたものが多い ①文学 189 D →アメリカ文学〔20世紀〕
グラスゴー イギリス ⑩世地 200 B
グラスゴー植物園 ⑲植物→植物園表
『グラース・サガ』 ①文学→サリンジャー,J
クラスターストライプ ⑬生活→洋装〔囲洋服地〈縞〉〕
クラスト ⑬生活→登山〔囲用語〕
クラスノダール ソ連/ロシア ⑩世地 200 C
グラズノフ,A ロシア[1865-1936] 作曲家。ロシア音楽の普及・発展に尽くし,最初の「ソ連邦人民芸術家」 ③音演 177 D図
クラスノボドスク ソ連/トルクメン ⑩世地 200 C
クラスノヤルスク ソ連/ロシア ⑩世地 200 C
グラスファイバー ⇨ガラス繊維
グラスペル,S アメリカ[1882-1948] 女流小説家・劇作家。「アメリカ小劇場運動の母」とよばれ,オニールらを世に出す ①文学 189 D
グラスマン,H ドイツ[1809-1877] 数学者。空間・数についての基礎論とその応用を著述 ⑯物数 153 A
グラスマン代数〈外積代数〉 ⑯物数→グラスマン,H →線形代数〔複線形代数〕
クラズミウマ ⑳動物→カマドウマ
グラスライニング ⇨ガラスライニング
グラスレイ通り ⑩世地→ガン図
クラスレート化合物 ⑮化学→化合物 →水〔結晶水〕
倉岳(町) 熊本/天草諸島 ⑦日地 434 B
倉田百三(ひゃくぞう) [1891-1943] 劇作家・評論家。作品は青年の教養の書として広く読まれる 作『出家とその弟子』 ①文学 189 D図 ③音演 177 D ⑤日史 351 C →国民協会〔昭和〕
グラタン,H [1746-1820] ⑨世史→アイルランド自治問題
グラタン ⑬生活→焼き物
グラーツ オーストリア ⑩世地 200 C
グラツィオーソ ③音演→音楽用語〈629 B〉
クラッカー ⑬生活→ビスケット
クラッキング ⑮化学 194 C →蒸留〔分解蒸留〕 →バートン,W
グラック,J フランス[1910] 小説家。詩的散文による特異な幻想小説で知られる ①文学 190 A
グラックス(兄弟) 兄[前163-133] 弟[前153-121] ローマ共和政末期の政治家。ともに護民官として社会改革を図り非命の死 ⑨世史 182 B →ローマ〔共和政期〈末期〉〕
蔵造〈土蔵造〉 ⑦日地→川越(市)
鞍作止利 ⇨止利仏師(とりぶっし)
グラックル ⑳動物→ムクドリモドキ
クラッシュパッド ⑰科技→安全自動車〔安全装備〕
クラッスス,M [前114?-53] ローマ共和政末期の政治家・将軍。富豪で第1回三頭政治に加わる ⑨世史 182 D →三頭政治 →スパルタクスの反乱
クラッセ,J ⑥日史→『日本西教史』
クラッチ ⑰科技 154 C →軸継手 →自動車〔構造〕図
クラッチ ⑬生活→レスリング〔囲用語〕
グラッツァー・ナイセ ⑩世地→ナイセ(川)
グラッドストン,W イギリス[1809-1898] 政治家,首相。自由党の指導者でディズレーリと対抗して議会政治を運営 ⑨世史 182 D図 →アイルランド自治問題図 →イギリス(史)〔産業革命と自由主義〕 →ディズレーリ,B ⑪政社→政党(各国)〔イギリス〕 →予算〔沿革〕 ⑫経産→イギリス経済事情〔財政〕 →予算〔沿革〕
クラッド板 ⇨合せ板
クラッパム,J イギリス[1873-1946] 経済史家。経済史の研究に数量的方法を初めて組織的に適用 ⑫経産 140 C図 →社会経済史学〈262 B〉
クラッパム学派 ⑫経産→社会経済史学〈262 B〉
クラッブ,G イギリス[1754-1832] 詩人。牧師として生涯をおくり,人間の非理性的な側面を掘りさげた ①文学 190 A
グラッフ,A スイス[1736-1813] ②美術→ドイツ美術〔バロック〕
グラッベ,C ドイツ[1801-1836] 劇作家。英雄的な巨人が現実の力に敗北する悲劇が多い ①文学 190 A
鞍手(町) 福岡 ⑦日地 434 C
グラディアトル〈剣奴,剣闘士〉 ⑨世史 182 D →スパルタクスの反乱 →奴隷制〔近代以前〈ギリシア,ローマ〉〕図
グラディアトルの反乱 ⇨スパルタクスの反乱
グラティアヌス [?-1158] ⑨世史→大学〔出現と背景〕
クラティノス ①文学→ギリシア文学〔劇〕
クラテス [前336?-286?] キニコス学派の哲学者。テーベの名門の出身でディオゲネスの弟子 ④哲宗 166 C
クラテル ②美術→ギリシア美術〔図陶器〕
クラテロス ⑨世史→アレクサンドロス(大王)図
『グラドゥアーレ』 ③音演→グレゴリオ聖歌
クラドゲネシス〈分岐進化〉 ⑳動物→進化〔諸相〕
グラトコフ,F ソ連[1883-1958] 小説家。「鍛冶屋」グループとしてプロレタリア文学運動に活躍 ①文学 190 B
クラドス ⑳動物→サメ〔系統〕
クラドセラケ ⑳動物→サメ〔系統〕
クラドドント型 ⑳動物→サメ〔系統〕
クラードニ,E [1756-1827] ⑯物数→クント,A
クラドフレビス ⑱宇地 213 C →化石図
倉富勇三郎(くらとみゆうざぶろう) [1853-1948] 政治家。日露戦争後韓国統監府の司法長官,のち法制局長官・枢密院議長などを歴任 ⑤日史 351 C
グラナ ⑲植物→細胞〔構造〕 →葉緑体
グラナダ,F スペイン[1504-1588] 宗教家。ドミニコ派の高僧で,実際的な宗教書を多数書く ①文学 190 B
グラナダ スペイン ⑩世地 200 D図
グラナダ ニカラグア ⑩世地 201 A
『グラナダ』 ①文学→スベトロフ,M
グラナダ王国 ⑨世史 182 D →ナスル朝 →レコンキスタ運動
『グラナダの内乱』 ①文学→ペレス・デ・イータ,G
『グラナダの夕べ』 ③音演→ドビュッシー,C
グラナドス,E スペイン[1867-1916] ピアニスト・作曲家。近代スペイン音楽に民族精神を盛りこむ ③音演 178 A
クラナハ,L ドイツ[1472-1553] 画家。宗教改革の理念に奉仕し,文書や聖書の挿絵を木版で制作 ②美術 183 C図 →エンカウスティック
グラナリアコクゾウ ⑳動物→コクゾウムシ
クラニー,W ⑰科技→安全灯〔歴史〕
倉荷証券 ⑫経産→倉庫業
『グラニダ』 ①文学→ホーフト,P
クラニー灯 ⑰科技→安全灯〔歴史〕
グラニュー糖 ⑬生活→ケーキ〔材料〕 →砂糖〔種類〕表 ⑮化学→砂糖〔表製品〕
グラニュライト〈白粒岩〉 ⑱宇地 213 C →変成岩〔種類〕
グラーニン,D ソ連[1918] 小説家。未来へ挑む科学者や技師たちの人間像が中心テーマ ①文学 190 B
内蔵寮(くらのつかさ) ⇨内蔵寮(くらりょう)
『蔵の中』 ①文学→宇野浩二
グラノフスキー ロシア[1813-1855] ④哲宗→ロシア哲学 ⑨世史→ザパドニキ ⑪政社→ロシアの政治思想〔西欧派〕
グラノフスキー,T ロシア[1813-1855] 歴史家。穏健な自由主義的西欧主義者で,スラブ主義を批判 ①文学 190 B
グラバー,T イギリス[1838-1911] ⑤日史→グラバー商会
倉橋(町) 広島 ⑦日地 434 C
倉橋島 広島 ⑦日地 434 C →音戸(町)(おんど) →芸予諸島 ⑧日地→広島湾
倉橋由美子 [1935] 小説家。反小説を標榜して戦後女流文学に新分野を開いた 作『パルタイ』 ①文学 190 B →前衛文学
グラバー商会 ⑤日史 351 C図 ⑥日史→高島炭坑
グラバー邸 ⑤日史→グラバー商会図 ⑧日地→長崎(市)図
クラパートン イギリス ⑩世地→アフリカ(州)〔囲探検史〕
グラハム ⇨グラーム,M
グラハム,V ①文学→文体論
蔵原惟人(これひと) [1902] 評論家。プロレタリア文学運動の指導的理論家,日本共産党中央委員 ①文学 190 C →『新日本文学』 →前衛芸術家同盟 →『戦旗』 →日本プロレタリア作家同盟
蔵原伸二郎 [1899-1965] 詩人。永遠の相への帰一という東方の詩的信仰に貫かれた作品で著名 ①文学 190 C
クラビア ③音演 178 A
グラビアインキ ⑰科技→印刷〔印刷インキ〈凹版インキ〉〕
グラビア印刷 ⑰科技 154 C →印刷〔印刷機械〈輪転式印刷機〉〕〔凹版印刷〕
グラビア用紙 ⑰科技→紙〔種類〈洋紙〉〕

グループ ⑱字地→氷河〔氷河地形と氷成堆積物〕
『グループ』 ①文学→マッカーシー,M
グルフォスの滝 ⑩世地→アイスランド(共和国)図
くるぶし ⑭医学→あし〔足〕
クループスカヤ,N ロシ ア〔1869 1939〕 女流革命家。レーニンとシベリアの流刑地で結婚。教育・婦人問題の著書多数 ⑨世史 186 C →レーニン,V図
グループスケーティング ⑬生活→スケート〔フィギュア〕
クループ性肺炎〈大葉性肺炎〉 ⑭医学→肺〔肺炎〕
グループ・ダイナミックス〈集団力学〉 ⑪政社 118 D
グループ旅行 ⑬生活→旅行〔プラン〈パターン〉〕
クールベ,G フラ ンス〔1819 1877〕 画家。「現実をあるがままに直視して描写する」写実主義のリーダーとして活躍 ②美術 186 B図 →写実主義
グールベリ,C ノル ウェー〔1836 1902〕 化学者・数学者。均一系における物質の化学平衡に関する法則を発見 ⑮化学 198 C図 →化学〔歴史〈19世紀〉〕 →質量作用の法則
クルボモル ⑨世史→朝鮮〔原始社会〕
屈浦里 ⑩世地→ウンキ
クルマアヤメ ⑲植物→アヤメ
車石 ⑧日地→根室(市)図
車椅子 ⑭医学→義肢〔装具〕
クルマエビ〔車海老〕 ⑳動物 245 A →エビ〔発生〕図
クルマガイ〔車貝〕 ⑳動物 245 A図 →貝類別
車風 ⑰科技→鉱山〔用語〕
クルマガンピ ⑲植物→センノウ
車木 ⑥日史→轆轤
クルマサカオウム ⑳動物→オウム
車善七 江戸時代の浅草の非人頭。新橋以北・千住大橋以南の非人を代々管轄 ⑤日史 353 D ⑥日史→弾左衛門
クルマダイ〔車鯛〕 ⑳動物 245 B →キントキダイ
車塚古墳 ⇨侍塚古墳
車糖〈ソフトシュガー〉 ⑬生活→砂糖〔種類〕表 ⑮化学→砂糖〔製造〈かんしょ糖〉〕
車人形 ③音演→人形劇〔形式の分類〈抱え操り人形〉〕別 ⑦日地→奥多摩
クルマバソウ〔車葉草〕 ⑲植物 200 B図
クルマバックバネソウ ⑲植物→ツクバネソウ
クルマバッタ ⑳動物→バッタ図
クルマバナ〔車花〕 ⑲植物 200 C →トウバナ図
クルマバハグマ ⑲植物→カシワバハグマ
『車引』 ③音演→『菅原伝授手習鑑』
クルマユリ ⑲植物→高山植物〔別中性〕 →ユリ〔分類〕別
クルマルグ ⑩世地→カシミール図
クルミ〔胡桃〕 ⑲植物 200 C図 ⑬生活→ナッツ表
クルミ科 ⑲植物 200 C
クルミガイ〔胡桃貝〕 ⑳動物 245 B
包み製本方式 ⑰科技→製本〔歴史〕
グルミタミン酸ナトリウム ⑮化学→化学調味料
ぐるみ闘争 ⑥日史→労働運動〔独立後〕
くるみ油 ⑮化学→油脂〔表性状と用途〈植物乾性油〉〕
『くるみ割り人形』 ③音演→イワーノフ,L →チャイコフスキー,P〔作風と作品〕
グルーム,A イギ リス ⑬生活→ゴルフ〔歴史〈日本〉〕
クルムス,J ドイ ツ〔1689 1745〕 解剖学者。杉田玄白らの『解体新書』の底本となった『解剖学図表』の著者 ⑭医学 73 C →解剖
久留米 東京 ⑦日地 437 B ⇨東久留米(市)
久留米(市) 福岡 ⑦日地 437 B図
久留米一揆 ⑫経産→百姓一揆
久留米絣 ②美術 186 C図 ⑦日地→久留米(市)図 ⑧日地→筑後(市) ⑫経産→田中久重
久留米川〈黒目川〉 ⑧日地→東久留米(市)
クルメサヨリ〔久留米細魚〕 ⑳動物→サヨリ
クルメツツジ〔久留米躑躅〕 ⑲植物 201 A →アザレア →ツツジ図表 ⑦日地→久留米(市)図
グールモン,R フラ ンス〔1858 1915〕 批評家・小説家。「観念の分離」という方法論を示した ①文学 194 B
久留里 千葉/君津市 ⑦日地 437 D →小櫃川
航矢 ⑥日史→弓矢〔矢〕図
クルルバウム,F 〔1857 1927〕 ⑯物数→プランク,M
グルーレ,H ドイ ツ〔1880 1958〕 ⑭医学→妄想
クルレジャ,M ユー ゴ〔1893 1981〕 小説家・劇作家。象徴派の叙情詩人として出発,戯曲・散文に転じた ①文学 194 B →東欧文学〔ユーゴスラビア〕
郭〔曲輪〕 ⑤日史→城〔構造〕
廓 ⇨遊廓
郭町 ⑦日地→川越(市)
クルングカオ ⇨アユタヤ
クルンテープ ⇨バンコク
クルンテープ朝〈バンコク朝〉 ⑨世史 186 D →チュラロンコーン →東南アジア〔歴史〈シャム〉〕 →モンクット(王)
グルントウィー,N デン マーク〔1783 1872〕 牧師詩人。ドイツ・ロマン派の影響を受け,賛美歌作者で知られる ①文学 194 C
グルンド・ゲシュタルト ③音演→十二音音楽
グルントビ,N デン マーク〔1783 1872〕 牧師・詩人・歴史家。北欧の古代に目を向け,国民高等学校の教育を構想 ⑨世史 186 D
グルントヘルシャフト〈荘園〉 ⑨世史→荘園〔西洋〕 ⑪政社→封建制度〔社会経済史〕
呉(市) 広島 ⑦日地 437 D図
榑 ⇨榑木
訓練体操士〈医療体操士〉 ⑭医学→リハビリテーション〈606 B〉
クレー,P ドイ ツ〔1879 1940〕 画家。現代抽象絵画の祖とよばれる。線と色彩による画面の動きを絵画の究極の目標とした ②美術 186 D図 →バウハウス →表現主義
グレ ⇨メジナ
グレー 〔1799 1850*〕 ⑩世地→オレゴン(州) ⑫経産→社会主義思想〈266 A〉
グレー,A アメ リカ〔1810 1888〕 植物学者。植物相の構造と地理的関係について考察 ⑲植物 201 A ⑳動物→アガシー,J →ダーウィン,C〔進化論〕
グレー,B イギ リス〔1927〕 ③音演→バレエ〔20世紀〕
グレー,C イギ リス〔1764 1845〕 政治家。議会の改革を念願とし,上院を牽制して選挙法改正案を成立させる ⑨世史 186 D →イギリス(史)〔産業革命と自由主義〕
グレー,E イギ リス〔1862 1933〕 政治家。第一次大戦初期まで外相としてドイツの世界政策に対抗 ⑨世史 187 A
グレー,T イギ リス〔1716 1771〕 詩人。憂愁のムードをうたったロマン主義的傾向のオードで有名 ①文学 194 C図
クレア,J イギ リス〔1793 1864〕 詩人。ノーサンプトンシャーの農民詩人とよばれ,叙情詩に優れた ①文学 194 D
クレア(湖) ⑩世地→アサバスカ(湖)
クレアチン燐酸 ⑭医学→筋肉〔化学成分〈ATP〉〕
グレアム,T イギ リス〔1805 1869〕 化学者。研究業績は多彩で,気体の拡散,溶液の拡散が有名 ⑮化学 199 A図 →吸蔵 →コロイド〔粒子の大きさ〕
グレアムの法則 ⑮化学→拡散 →グレアム,T
クレアンテス(アッソスの) ④哲宗→ストア哲学
クレイ,C〈アリ,M〉 アメ リカ ⑬生活→ボクシング〔近代ボクシング〕図
グレイ,T ①文学→ウォルポール,H
グレイアムランド ⑩世地→南極半島
クレイオ ④哲宗→ミューズ
クレイグ,E イギ リス〔1872 1966〕 舞台美術家・演出家。反自然主義的舞台造形で天才をうたわれ,演劇理論家としても優れた ③音演 182 C図 →近代劇 →劇場〔西欧〈近代劇場改革運動〉〕
クレイステネス ギリ シア〔*.〕 前6世紀の政治家。僭主支配のあとをうけてアテネ民主政を確立。陶片追放を創始 ⑨世史 187 A →オストラキスモス →ギリシア〔移動と植民〈植民と僭主の時代〉〕
クレイチャ,O チェ コ〔1921〕 ③音演→東欧演劇〔チェコスロバキア〈チェコ〉〕
クレイト〈アマガサヘビ〉 ⑳動物 245 B →コブラ
クレイトン法 ⑪政社→独占禁止法 →プログレッシビズム
グレイハウンド ⑫経産→アーマー会社
グレイマウス ニュージーランド ⑩世地 204 A
グレイワッケ ⑱字地→岩石〔堆積岩〈砕屑物〉〕 →砂岩
クレオソート ⑮化学 199 B
クレオソート油 ⑮化学 199 B
クレオパトラ(七世) エジ プト〔前69 30〕 プトレマイオス朝の最後の女王。二人のローマの英雄を魅惑し共同統治を図ったが失敗,のち自殺 ⑨世史 187 B図 →アクティウムの海戦 →アントニウス,M →カエサル,G〔内乱〕
『クレオパトラ』 ①文学→アルフィエーリ,V ③音演→フランス演劇〔ルネサンス〕
クレオパトラの針 ⑨世史→オベリスク
クレオメ ⑲植物 201 A図 →園芸〔図フラワーカレンダー〈1〉〕
クレオール〈クリオ〉 ⑩世地→シエラレオネ(共和国)〔社会・文化〕
クレオン ギリ シア〔前422〕 政治家・民衆指導家。富裕な皮なめし業者の子で,熱弁をもって民衆を扇動 ⑨世史 187 C →ペロポネソス戦争〔経過〕
呉楽 ⇨伎楽
グレガリナ〔簇虫〕 ⑳動物 245 B →胞子虫
榑木 ⑤日史 353 D
『グレゲリーアス』 ①文学→ゴメス・デ・ラ・セルナ,R
グレゲール ⑱字地→風〔表局地風〕
久連子 ⑦日地→五家荘
グレコ,E スペ イン〔1541* 1614*〕 画家。宗教画と肖像画を描き,異常に細長い人体描写で知られる ②美術 187 B図 →スペイン美術〔ルネサンス〕図 →風景画 →グレコ美術館〈684 C〉
グレコ,E イタ リア〔1913〕 彫刻家。ネオ・クラシックなどと評される。ペン描きの優れたデッサンも多い ②美術 187 C
グレコ,J 〔1927〕 ③音演→シャンソン《ポピュラー》〔特徴〕図
グレコ美術館 ②美術 684 C
グレゴリー,C アメ リカ〔1947〕 ③音演→バレエ〔20世紀〕
グレゴリアン聖歌 ①文学→歌謡〔西洋〕
グレゴリウス(一世) 〔540* 604*〕 ローマ教皇。最初の修道院出身教皇で,ブリタニア布教を開始し,最後のラテン教父ともよばれる ④哲宗 168 B図 ⑨世史 187 D ③音演→グレゴリオ聖歌
グレゴリウス(二世) 〔669 731〕 ローマ教皇。ボニファティウスにフランク王国方面への布教を託す ⑨世史 187 D
グレゴリウス(七世)〈ヒルデブラント〉 〔1015* 1085*〕 ローマ教皇。中世の大教会改革を指導し,ローマ教皇権の最盛期を開く ④哲宗 168 C →キリスト教〔中世〕 ⑨世史 187 D →カノッサの屈辱 →叙任権闘争
グレゴリウス(九世) ④哲宗→キリスト教〔中世〕 →宗教裁判 ⑨世史→十字軍〔第6回〕
グレゴリウス(十一世) 〔1329* 1378*〕 ⑨世史→アビニョンの幽囚
グレゴリウス(十三世) ⑨世史→暦〔グレゴリオ暦〕
グレゴリウス(トゥールの) 〔540* 594*〕 司教・歴史家。フランク王国初期の歴史に関する唯一の貴重史料を残す ⑨世史 187 D
『グレゴリウス』 ①文学→ハルトマン・フォン・アウエ
グレゴリウス歌 ⇨グレゴリオ聖歌
グレゴリウス改革 ④哲宗→修道会〔中世〕 ⑨世史→グレゴリウス(七世)
グレゴリオ聖歌 ③音演 182 D図 →ミサ曲 ④哲宗→グレゴリウス(一世)図 →聖歌
グレゴリオ暦 ⑨世史→暦 ⑱字地→閏 →暦〔太陽暦〕 →太陽暦 →月《時間》 →陽暦
グレゴリー式反射望遠鏡 ⑱字地→天体望遠鏡〔種類〕図
『グレゴリ七世』 ③音演→東欧演劇図
グレゴリ夫人 アイル ランド〔1859 1932〕 劇作家。アベイ劇場の発展に献身し,アイルランド演劇の母とよばれた ①文学 194 D →アイルランド文学 ③音演 183 A図 →アイルランド演劇
グレコローマンスタイル ⑬生活→レスリング
グレコ・ローマン美術 ②美術 187 C
グレーコワ,I ソ連〔1920*〕 女流小説家。ソビエト文学の枠をはみ出したユニークな作品を発表 ①文学 194 D
グレーザー,D アメ リカ〔1926〕 実験物理学者。泡箱を製作,原子核実験に有効な手段を提供。ノーベル賞受賞 ⑯物数 155 B →泡箱
グレーザー,E ドイ ツ〔1902 1963〕 小説家。社会告発の書ともいうべき長編『1902年同期生』がある ①文学 194 D
暮坂峠 群馬 ⑦日地 438 A
クレシチャチク大通り ⑩世地→キエフ図
クレジット ⑬生活 158 C
クレジットカード・コール ⑬生活→電話・電報〔国際電話〕
クレジット・セール ⇨信用販売
クレシーの戦い ⑨世史→百年戦争〔第1期〕 →フィリップ(六世)
グレーシャー,J イギ リス〔1809 1903〕 気象学者。自由気球に搭乗し高層観測を行う ⑱字地 214 B →雪〔結晶の観察史〕図

クレー射撃 ⑬生活→射撃競技図 →狩猟〔起源〈近代狩猟〉〕
グレーシャー国立公園 ⑩世地→カナダ〔表国立公園〕
グレーシャー国立公園 ⑩世地→アメリカ(合衆国)〔表国立公園〕→モンタナ(州)
グレシャム,T イギリス ⑨世史→エリザベス(一世) ⑫経産→グレシャムの法則
グレシャムの法則 ⑫経産 141 D ⑯物数→コペルニクス,N
クレショフ,L [1899-1970] ③音演→映画理論〔モンタージュ理論とその反動〕
グレーズ,A フランス[1881-1953] 画家。キュビスムについての最初の理論的著作がある ②美術 187 D
クレスラー,O ①文学→日本文学〔近代〈海外における日本文学〉〕
『クレセイドの遺言』 ①文学→ヘンリソン,R
呉線 ⑦日地→山陽本線
クレゾール ⑭医学 160 A →中毒〔表症状と応急手当〈有機性薬品〉〕 ⑮化学 199 C →フェノール表
クレゾールせっけん液 ⑭医学→クレゾール →殺菌〔表家庭用消毒薬〕
クレタ(島) ギリシア ⑩世地 204 A図 →ギリシア(共和国)〔地方誌〈島嶼部〉〕
クレーター ⑱宇地→月《天体》〔表面の地形〕図
クレタ美術 ②美術 187 D →古代地中海の美術〔青銅器時代〕
クレー・タブレット ⇨粘土板
クレタ文明〈ミノア文明〉 ⑨世史→エーゲ文明
クレーターレーク国立公園 ⑩世地→アメリカ(合衆国)〔表国立公園〕→オレゴン(州)
グレーター・ロンドン ⑩世地→ロンドン《イギリス》
クレチアン,H フランス ⑰科技→映画カメラ〔35ミリ映画〕
クレチアン・ド・トロア フランス[*-*] 12世紀の物語作者。ケルトの伝説に取材した騎士道物語で有名 ①文学 195 A →アーサー王伝説 →騎士道物語 →宮廷文学 ⑨世史→騎士〔騎士道〕
クレチン病 ⑭医学→甲状腺
クレッシェンド ③音演→音楽用語〈629 B〉
クレッソ,M ①文学→文体論
クレッソン ⇨ウォータークレス
クレッチマー,E ドイツ[1888-1964] 精神医学者・心理学者。性格の体質学的な基礎を明らかにした ⑭医学 383 D →人体〔体型〕→精神分裂病 →躁鬱病 →体質 →ヒステリー ④哲宗→気質
グレッテイス・サガ ①文学→サガ
グレーティング ⇨回折格子
クレデンダ ⑪政社 119 B →政治権力〔権力的手段〕
クレードー ③音演→ミサ曲
グレード ⑯物数→角〔測角法〕
グレートアバコ(島) バハマ ⑩世地 204 B
グレートアペニントンネル ⑰科技→トンネル表
グレート・イースタン号 ⑰科技→ブルーネル,I図
グレートイナグア(島) バハマ ⑩世地 204 B
グレートオーストラリア(湾) ⑩世地 204 B
グレートサンズ ⑩世地→コロラド(州)図
グレートサンディ(島) ⇨フレーザー(島)
グレートサンディ(砂漠) オーストラリア ⑩世地 204 B
グレートシトキン(島) ⑱宇地→火山〔表活火山〕
グレートスモーキー(山脈) アメリカ ⑩世地 204 B
グレートスモーキーマウンテンズ国立公園 ⑩世地→アメリカ(合衆国)〔表国立公園〕→テネシー(州)
グレートスレーブ(湖) カナダ ⑩世地 204 B
グレートソルトレーク アメリカ ⑩世地 204 C →アメリカ(合衆国)〔図産業〕→ユタ(州) ⑮化学→食塩図 ⑱宇地→塩湖 →湖沼〔化学的性質〈淡水湖と塩湖〉〕→段丘図
グレートディバイディング(山脈) オーストラリア ⑩世地 204 C
グレートデン ⑳動物→イヌ〔犬種〈使役犬〉〕別
グレート・ノーザン鉄道 ⑫経産→アメリカ経済事情〔アメリカ資本主義〕
グレートバリー ⑩世地→アメリカ(合衆国)〔自然・地形〈太平洋岸山系〉〕
グレートバリアー(島) ニュージーランド ⑩世地 204 C
グレートバリアーリーフ〈大堡礁〉 オーストラリア ⑩世地 204 C →サンゴ海 ⑱宇地→サンゴ礁〔分布〕 ⑳動物→イシサンゴ〔生態〕
グレートビクトリア(砂漠) オーストラリア ⑩世地 204 D
グレートピレネー ⑳動物→イヌ〔犬種〈使役犬〉〕別
グレートフォールズ アメリカ/モンタナ ⑩世地 204 D
グレートブリテン(島) イギリス ⑩世地 204 D
グレートブリテンおよび北アイルランド連合王国 ⇨イギリス(連合王国)
グレート・ブリテン号 ⑰科技→船〔汽船の時代〈木船から鉄船へ〉〕→ブルーネル,I
グレートプレーンズ カナダ・アメリカ ⑩世地 204 D →アメリカ(合衆国)〔自然・地形〈中央平地〉〕
グレート・プレーンズ ⑧日地→プレーリー〈1232 B〉 ⑱宇地→草原
グレートベア(湖) カナダ ⑩世地 204 D
グレートベースン アメリカ ⑩世地 204 D
グレートボルダー ⑩世地→カルグーリ
グレートモスク ⑩世地→セネガル(共和国)図
グレートヤーマス イギリス ⑩世地 205 A
グレトリー,A ベルギー[1741-1813] 作曲家。パリ音楽院の教授であり,オペラコミックで知られる ③音演 183 B
クレートン法 ⑨世史→反トラスト法
グレーナー,W ドイツ[1867-1939] 軍人・政治家。第一次大戦敗戦後エーベルトと結び革命の急進化と軍の崩壊を防ぐ ⑨世史 188 A →シュライヒャー,K
『くれなゐ』 ①文学→佐多稲子
紅 ⇨打衣
クレナイガンゼキ ⑳動物→貝類別
グレナダ 西インド諸島 ⑩世地 205 A図 →ウィンドワード(諸島) →小アンチル(諸島)
クレーニヒ,K [1822-1879] ⑯物数→気体分子運動論 →物理学〔歴史〈近代〉〕
グレネディーン(島) ⑩世地→小アンチル(諸島)
くれのあい〔呉藍〕 ⇨ベニバナ
呉楽 ⇨伎楽
『くれの二十八日』 ①文学→内田魯庵 →社会小説
呉羽 富山/富山市 ⑦日地 438 A
グレバ ⑲植物→キノコ〔分類〕
クレー・パイプ ⑬生活→喫煙具〔パイプ〕図
グレーハウンド ⑳動物→イヌ〔系統〕〔犬種〈獣猟犬〉〕別
呉羽丘陵 富山 ⑦日地 438 A ⑧日地→富山平野
クレバス ⑱宇地 214 B →氷河〔流動〕図 ⑬生活→登山〔囲用語〕
クレパス ②美術→クレヨン
呉織 ⑤日史 353 D →阿知使主 →漢織 ⑦日地→池田(市)
呉服神社 ⑦日地→池田(市)図
呉羽紡績(株) ⑫経産→東洋紡績(株)
呉羽山公園 ⑦日地→呉羽丘陵 ⑧日地→富山(市)
クレハロン ⑬生活→合成繊維〔種類〈ビニリデン〉〕 ⑮化学→ポリ塩化ビニリデン
グレバン,A フランス[1410?-1470?] ③音演→宗教劇 →フランス演劇〔中世〈宗教劇〉〕
グレビ,J フランス[1807-1891] 政治家・弁護士。第三共和政下マクマオンの後を継いで大統領に就任 ⑨世史 188 A
グレビーシマウマ ⑳動物→シマウマ〔種類〕図
クレピー条約 ⑨世史→カール(五世)
クレピス ⑲植物 201 B
クレピダタ劇 ③音演→ローマ演劇〔共和政時代〕
クレビヨン,C フランス[1707-1777] 小説家。上流社会に出入りし,退廃した趣味に適合した好色小説を書く ①文学 195 A
クレビヨン,P フランス[1674-1762] 悲劇作家。凄惨な主題を好み,陰惨な場面を多く創造 ①文学 195 A ③音演→フランス演劇〔市民劇〕
クレープ ⑬生活→菓子〔洋菓子の種類〕→スープ〔浮き身〕
クレープ ⑬生活→洋装〔囲洋服地〈しぼ〉〕
クレーフェルト 西ドイツ ⑩世地 205 B
クレープ環〈縮緬環〉 ⑱宇地→土星〔環と衛星〕
クレーブクール,M アメリカ[1735-1813] 随筆家。植民地時代の辺境社会とその農耕生活を活写 ①文学 195 B →アメリカ文学〔植民地時代〕
クレプシドラ ⑰科技→時計〔歴史〈第1期〉〕
クレブス,H イギリス[1900-1981] 生化学者。尿素回路・TCA回路の提唱で知られる。ノーベル賞受賞 ⑭医学 28 C →ノーベル生理学=医学賞図表 ⑮化学 199 C →クエン酸サイクル ⑳動物→セント=ジェルジ,A
クレーブス,E ドイツ[1834-1913] 細菌・病理学者。チフス菌・ジフテリア菌を発見 ⑭医学 256 D →ジフテリア
グレーブス,R イギリス ⑭医学→バセドウ,K〈205 D〉
グレーブズ,R イギリス[1895-] 詩人。ケルト神話などに基づき「白い女神」と名づける美神を結晶させた ①文学 195 B
クレブス回路 ⇨クエン酸サイクル
グレーブズ病〈バセドウ病〉 ⑭医学→甲状腺
クレープデシン ⑬生活→絹織物 →洋装〔囲洋服地〈しぼ〉〕
グレーブナー,F [1877-1934] ⑨世史→原始社会
『クレーブの奥方』 ①文学→心理小説 →ラ・ファイエット夫人
グレープフルーツ ⑲植物 201 B図 →柑橘類〔原生地と栽培史〕 ⑫経産→国際農産物〔柑橘類〕 ⑬生活→果物〔柑橘類〕
クレーベ,P [1840-1905] ⑮化学→希土類元素〔ホルミウム〕
グレーベ,K ドイツ[1841-1927] 有機化学者。アカネの根の色素アリザリンの合成に成功 ⑮化学 199 C図
クレペリン,E ドイツ[1856-1926] 精神医学者。精神疾患を系統的に分類,近代精神医学の父と称される ⑭医学 160 C →クレペリン検査 →精神分裂病 →パラノイア
クレペリン検査 ⑭医学 160 B図
クレマジ,O ①文学→カナダ文学〔フランス系〕
グレーマウス ⇨グレイマウス
クレマチス ⑲植物 201 C図 →園芸〔図フラワーカレンダー〈1〉〕
クレマン,N フランス[1778-1841] ⑯物数→カルノー,N
クレマン,R フランス[1913-] 映画監督。戦災孤児の無心な姿を通して反戦を訴える『禁じられた遊び』で有名 ③音演 183 B →映画〔トーキー〈第5期〉〕
クレマン,W ⑰科技→時計〔歴史〈第3期〉〕
クレマンソー,G フランス[1841-1929] 政治家。第一次大戦の苦境時に首相に就任,英米軍との協力により連合国に勝利をもたらす ⑨世史 188 B図 →ベルサイユ条約図 ⑪政社 119 B図
『クレマンチーヌの青春』 ①文学→マロ,C
クレーム ⑫経産→貿易〔囲用語〕
クレーム ⑬生活→スープ〔ポタージュ・リエ〕
クレムス オーストリア ⑩世地 205 B
クレムリン ⑩世地→ソビエト(連邦)〔図文化〕→モスクワ
クレムリン美術館 ②美術 684 C
クレメンス ギリシア[150?-215?] キリスト教神学者。独特のキリスト教神学を樹立しようとしたが未完に終わる ④哲宗 168 D →教父哲学 →否定神学
クレメンス(五世) [1264-1314] ④哲宗→キリスト教〔中世〕 ⑨世史→アビニョンの幽囚 →テンプル騎士団
クレメンス(六世) [1291-1352] ⑨世史→アビニョンの幽囚
クレメンス(七世) フランス[1342-1394] ⑨世史→アビニョンの幽囚 →コラ・ディ・リエンツォ →シスマ →メディチ家
クレメンス・ノン・パパ [1510-1555] ③音演→フランドル楽派
クレメンセンの反応 ⑮化学→ケトン〔反応〕
クレメンツ,F アメリカ[1874-1945] 植物生態学者。植物群落の遷移説を唱え,クレメンツ学派をつくる ⑲植物 202 A →クライマックス ⑳動物→シェルフォード,V
クレメンティ,M イタリア[1752-1832] 作曲家・ピアニスト。ピアノ・ソナタ,ソナチネに優れ,ピアノ音楽史上に残した業績は大きい ③音演 183 C
クレメント,J ⑰科技→ホイットワース,J →モーズリー,H
クレーモデル ⑰科技→自動車〔生産および開発〈開発〉〕
クレモナ イタリア ⑩世地 205 C ③音演→ストラディバリ,G
クレモナ派 ③音演→バイオリン〔バイオリン属〕
クレモナ法 ⑰科技→トラス構造
ぐれ宿 ⑤日史→木賃宿
クレヨン ②美術 187 D
クレーラー・ミュラー美術館 ②美術 684 C
『クレランボー』 ①文学→ロラン,R
『クレリ』 ①文学→スキュデリ嬢
クレール,M ①文学→カナダ文学〔フランス系〕
クレール,R フランス[1898-1981] 映画監督。トーキー映画の第一作『巴里の屋根の下』で知られ,英米に渡って活躍 ③音演 183 C図 →映画〔トーキー〈第4期〉〕
『クレール』 ①文学→シャルドンヌ,J

クロツバメ ⑳動物→ツバメ
クロツバラ ⑲植物→クロウメモドキ
クロッピング〈トリミング〉 ⑰科技→写真〔囲用語〕
クロップシュトック ⇨クロプシュトック，F
クロツヤマガリガ ⑳動物→ガ図
クロツヤムシ〔黒艶虫〕 ⑳動物 246 C
クロツキヘラサギ ⑳動物→ヘラサギ
クロヅル〔黒蔓〕 ⑲植物 203 B図
クロヅル〔黒鶴〕 ⑳動物 246 C →ツル〔生態〕
グロティウス，H オランダ[1583/1645] 法学者・外交官。16歳で弁護士，のちパリ駐在大使。国際法学の父と称される ⑨世史 189 A ④哲宗→哲学〔ルネサンス期〕 ⑪政社→海洋の自由 →公海 ⑱宇地→公海
グローテウォール，O ドイツ[1894/1964] 政治家，ドイツ民主共和国初代首相。ナチス政権下には強制収容所に拘禁 ⑨世史 189 B
黒手組 ⇨結合か死か
グロテスク ②美術 188 D →アラベスク ①文学→文学〔囲用語〕
グロテスク劇 ③音演→キアレッリ，L
クロテツ ⑲植物 203 C
グローテフェント，G ドイツ[1775/1853] ⑨世史→メソポタミア文明〔発掘と解明〕
『クローテル』 ①文学→黒人文学
クローデル，P フランス[1868/1955] 劇作家・詩人・外交官。クローデル的詩行(ヴェルセ)で独自の詩法を確立。晩年は聖書の詩的注解に専念 作『繻子の靴』 ①文学 196 C図 →戯曲〔文芸としての戯曲〕 ③音演 185 C図 →オネゲル，A〔火刑台上のジャンヌ・ダルク〕 →現代演劇 →フランス演劇〔現代劇〕
クロテン ⑬生活→毛皮〔種類〈テン〉〕 ⑳動物→テン〔近縁種〕
クロテンシロチョウ ⑳動物→シロチョウ
クロード，G フランス[1870/1960] 化学者。空気液化，ネオン管の放電，アンモニア合成などで知られる ⑮化学 200 A
グロート，K ドイツ[1819/1899] 方言詩人。ホルシュタイン地方の方言を文学用語に高めた ①文学 197 A
グロートウス-ドレイパーの法則 ⑮化学→光化学
クロトウゾクカモメ〔黒盗賊鷗〕 ⑳動物→トウゾクカモメ図
『黒蜥蜴』 ①文学→広津柳浪
クロトガリ ⑳動物→メジロザメ
クロトキ〔黒朱鷺〕 ⑳動物 246 C →トキ図
クロトゲアリ ⑳動物→アリ〔巣〕
クロード・ド・ロレーヌ [1496/1550] ⑨世史→ギーズ家
クロードビジョ城 ⑩世地→フランス(共和国)〔図景観〕
グロトフスキ，J ポーランド[1932] 演出家。俳優の肉体を唯一の演劇の本質と考える。今日の世界演劇の主導的存在 ③音演 185 D →東欧演劇〔ポーランド〕
クロード・ロラン ⇨ロラン，C
クロトン〈ヘンヨウボク〉 ⑲植物 203 C図 →観葉植物〔栽培〈培養土〉〕
クロトンアルデヒド ⑮化学→アルコール〔アルコール工業〕 →アルデヒド〔表性質〕
クローナ ⑫経産→通貨〔表通貨単位〉〕
クロナカ，I [1457/1508] ②美術→ルネサンス美術〔開花〈美術活動の展開〉〕
クロナガアリ ⑳動物→アリ図表
黒薙温泉(くろなぎ) ⑦日地→宇奈月(町)
黒なまず〈癜風〉 ⑭医学→皮膚病
クローニン，A イギリス[1896/1981] 小説家。逆境を乗り越えて若い主人公が成長する教養小説的主題の作品が多い ①文学 197 A
クローネ ⑫経産→通貨〔表通貨単位〉〕
『黒猫』 ①文学→ポー，E
『黒猫のタンゴ』 ③音演→歌謡曲表
クロネッカー，L ドイツ[1823/1891] 数学者。楕円関数・イデアル論などを研究 ⑯物数 156 A図
『黒の過程』 ①文学→ユルスナール，M
クロノグラフ ⑰科技→時計〔種類〈ウォッチ〉〕
黒の劇場 ③音演→人形劇〔演出技法〕別
クロノサウルス ⑱宇地→恐竜〔進化〈ひれ竜類〉〕
『黒の試走車』 ①文学→梶山季之(としゆき)
クロノス ④哲宗→ギリシア・ローマ神話〔ゼウスの支配〕
黒の聖母像 ④哲宗→巡礼〔囲巡礼地〈モントセラト〉〕
黒ノ瀬戸 ⑦日地 440 B ⑧日地→長島(鹿児島)
クロノホン ⑰科技→録音図
クロノメーター ⑰科技 155 B図 →航海計器〔時間測定用計器〕 →時計〔種類〈ウォッチ〉〕 ⑱宇地 215 A
黒海苔 ⇨イワノリ
クローバー〈シロツメクサ〉 ⑲植物 203 C図 →帰化植物〔人為的帰化植物〕 →国花表 →牧草
クロバアカサシガメ ⑳動物→サシガメ図
クロバアミカ ⑳動物→アミカ
クロバイ〔黒灰〕 ⑲植物 204 B →ハイノキ図
黒南風(くろはえ) ⑱宇地→風〔表季題〈夏〉〕
クロバエ〔黒蠅〕 ⑳動物 246 C
クロハギ ⑳動物→ニザダイ図
クロバギンナンソウ ⑲植物→ギンナンソウ
クロハゲワシ ⇨ハゲワシ
クロハシキンセイ ⇨キンセイチョウ
クロハツ〔黒初〕 ⑲植物 204 B →キノコ〔別担子菌類〈ハラタケ目〉〕
クロバト ⇨カラスバト
グローバー燈 ⑮化学→分光光度計
クロバナウマノミツバ ⑲植物→ウマノミツバ
クロハナオコゼ ⑳動物→ハナオコゼ
クロバナヒキオコシ ⑲植物→ヒキオコシ
クロバナマツムシソウ ⇨セイヨウマツムシソウ
クロバナロウゲ〔黒花狼牙〕 ⑲植物 204 B図
黒羽(町) 栃木 ⑦日地 440 B
クロハラアジサシ〔黒腹鯵刺〕 ⑳動物 247 A →アジサシ図
黒パン ⑬生活→世界の料理〔ドイツ料理〕 →パン〔種類〕図 →麦〔ライムギ〕
クロビイタヤ〈エゾイタヤ〉 ⑲植物→カエデ〔種類〕
グロピウス，W ドイツ[1883/1969] 建築家。集合住宅に関心を示しベルリンの住宅団地計画に参画 ②美術 189 A →現代建築 →バウハウス ⑰科技→集合住宅〔発生〕
グロビゲリナ ⑱宇地→有孔虫 ⑳動物→有孔虫図
黒檜山 ⑦日地→赤城山図 →大沼図
クロービス [465?/511*] フランク王国初代の王。メロウィング王朝の開祖。ローマ・カトリックに改宗 ⑨世史 189 B図 →中欧史〔概観〈中世〉〕 →フランク王国〔メロウィング朝〕 →フランス(共和国)〔歴史〈起源〉〕 →民族大移動〔経過〕 →メロウィング朝 ④哲宗→キリスト教〔中世〕
黒姫高原 長野 ⑦日地 440 B →黒姫山
黒姫山〈信濃富士〉 長野 ⑦日地 440 B図
黒姫山古墳 ⑤日史 356 A
クロヒモムシ ⑳動物→ヒモムシ
グロビュール ⑱宇地→恒星〔進化〕 →星雲〔暗黒星雲〕 →星間物質〔力学的状態〕
クロヒョウ〔黒豹〕 ⑳動物 247 A →ヒョウ図
黒表紙教科書 ⑯物数→数学教育〔歴史〈算術科，数学科の確立〉〕図
黒ビール ⑬生活→ビール〔種類〕
クロビロウドコガネ ⑳動物→コガネムシ図
クロビロウドハマキ ⑳動物→ハマキガ
クロピンノ ⑳動物→カクレガニ図
クローブ〈丁香〉 ⑲植物→チョウジ
グローブ，G イギリス[1820/1900] 音楽評論家。最大の音楽事典『グローブ音楽事典』の監修者 ③音演 186 A
グローブ，W イギリス[1811/1896] ⑰科技→燃料電池
グローブ ⑬生活→アーチェリー〔用具〕 →ボクシング〔施設と用具〕図
グローフェ，F アメリカ[1892/1972] 作曲家。ジャズのリズムとバラード風な単純な旋律の作品で知られる 作『大峡谷』 ③音演 186 A
クロフォード，I [1850/1887] ①文学→カナダ文学〔イギリス系〕
『グローブ音楽事典』 ③音演→グローブ，G
クローブ号 ⑤日史→イギリス商館
グローブ・シアター〈地球座〉 ①文学→シェークスピア，W図 ③音演→シェークスピア，W
クロフジツボ ⑳動物→フジツボ図
クロプシュトック，F ドイツ[1724/1803] 詩人。自由律の頌歌の創造に成功し，ドイツ近代詩の祖となる ①文学 197 A →古典主義
クロフツ，F イギリス[1879/1957] 推理作家。アリバイ打破を主軸にした作品で新生面を開いた ①文学 197 B →推理小説〔外国〕〔作風〕
グローブティック・トウキョウ ⑰科技→造船図 →タンカー図
クロブナ ⇨イヌブナ
黒船 ⑤日史→御台場
黒船祭 ⑦日地→下田(市)〔玉泉寺〕
クローブ油 ⑮化学→丁子油
黒振袖 ⑬生活→結婚〔結婚式〈結婚衣装〉〕
グロブリン ⑭医学→肝臓〔たんぱく質代謝〕 →血液〔血漿〕 →皮膚〔化学的組成〕 →免疫〔本態〕 ⑮化学→タンパク質〔表分類〈単純タンパク質〉〕 ⑲植物→アリューロン粒
クロベ ⑲植物 204 C図
黒部(市) 富山 ⑦日地 440 C
黒部川 富山 ⑦日地 440 C図 →雲ノ平 ⑱宇地→谷図
黒部峡谷 ⑦日地→宇奈月(町) →黒部川図 ⑧日地→日本アルプス〔北アルプス〈地質〉〕
黒部湖 ⑦日地→黒部川〔黒部ダム〕図
黒部三山 ⇨毛勝三山(けかち)
黒部ダム〈黒四ダム〉 ⑦日地→大町トンネル →黒部川図 ⑫経産→関西電力(株) →電気事業〔現状〈水力発電〉〕 ⑰科技→ダム表
クロヘリアメフラシ ⑳動物→アメフラシ
クロベンケイガニ ⑳動物→アカテガニ図
グロー放電 ⑯物数 156 A →放電〔原因〕 ⑰科技→蛍光灯 →放電灯図
クロボキン ⇨クロボビョウキン
くろぼく ⑱宇地→ローム層
グロボーサ ⑲植物→多肉植物表
クロボシオオアマナ ⑲植物→オーニソガラム
クロホシクサ〔黒星草〕 ⑲植物 204 C →ホシクサ
クロホシクチキムシ ⑳動物→クチキムシ
クロホシフエダイ〈モンツキ〉 ⑳動物→フエダイ図
クロポトキン，P ロシア[1842/1921] 無政府主義者・革命家・地理学者。その思想は大杉栄らを通じて大正期の社会思想に影響を与えた 作『一革命家の思い出』 ①文学 197 B ④哲宗 169 C図 ⑨世史 189 C ⑪政社 119 D図 →アナキズム〔潮流〕 →ロシア革命〔前提〕 ⑳動物 247 A
黒保根(村) 群馬 ⑦日地 440 D
黒穂病 ⑲植物→イネ〔生育と栽培〕図
クロボビョウキン〔黒穂病菌〕〈クロボキン〉 ⑲植物 204 C →カビ〔生態〈高等植物寄生菌〉〕
黒本 ①文学→黄表紙 →草双紙(くさぞうし) ⑤日史→草双紙
クローマー，E イギリス[1841/1917] 政治家，エジプト総領事。植民地政治家として業績をあげる ⑨世史 189 C →エジプト〔イスラム時代〈近代〉〕
グロマ(川) ⇨グロンマ(川)
クロマキー ⑰科技→テレビジョン〔テレビ放送局〈テレビスタジオ〉〕
黒幕 ③音演→幕
クロマグロ〔黒鮪〕〈ホンマグロ〉 ⑳動物 247 A →マグロ〔種類〕〔分布〕図
黒正巌 ⑫経産→社会経済史学〈262 C〉
クロマチック・ハーモニカ ③音演→ハーモニカ図
グロマー・チャレンジャー ⑱宇地 215 A →海底別 →深海底掘削計画 ⑰科技→海洋掘削
クロマツ〔黒松〕〈オマツ〉 ⑲植物 205 A →マツ図 ⑬生活→木材表 ⑮化学→テレビン油 ⑰科技→木材〔表針葉樹〈日本産材〉〕
黒松内(町) 北海道/後志支庁 ⑦日地 441 D
クロマティック ③音演→全音階・半音階
クロマトグラフィー ⑮化学 200 B図表 →ツウェット，M
クロマドボタル ⑳動物→ホタル〔生態〕
クロマトロン管 ⑰科技→ブラウン管〔カラーブラウン管〕図
クロマニヨン フランス ⑩世地 205 D
クロマニヨン人 ⑨世史 189 C図 ⑱宇地→化石人類〔発見史〕図 →地質時代〔新生代〈第四紀〉〕 →ラルテ，E〈ルイ・ラルテ〉
クロマビーム方式 ⑰科技→録画
黒豆 ⑬生活→ダイズ
クロマメノキ ⑲植物 205 A →コケモモ図
黒丸踊 ⑦日地→大村(市)図
クロマルコガネ ⑳動物→カブトムシ
黒御影 ⑱宇地→石材〔利用〕図 →御影石
黒御簾音楽 ⇨下座音楽〔歌舞伎〕
クロミナシ ⑳動物→イモガイ図 →貝類別
クロミノフサスグリ ⑲植物→スグリ
クロム ⑮化学 202 B図 →色ガラス(いろがらす)〔発色剤〈金属イオン〉〕 →クロム酸カリウム →クロムみょうばん ⑰科技 155 C →クロム鋼 ⑫経産→公害〔産業公害〕
クローム，J イギリス[1768/1821] 風景画家。ノーリッジ派の創立者 ②美術 189 B
クロムイエロー ⇨黄鉛
『クローム・イエロー』 ①文学→ハクスリー，A
グロムイコ，A ソ連[1909] 外交官・政治家。国連安保理で活躍，のちに外務大臣となり米ソ共存

ケ け

呉派の祖。門人には王鳴盛・錢大昕・戴震など漢学の大家が多い ④哲宗 174 A →漢学〔2〕 →考証学〔成立・展開〕

系統樹 ⑲植物 211 A →植物分類 ⑳動物 248 B →動物分類

系統図 ⑳動物→系統発生

系統制御方式 ⑰科技→信号機〔道路用〈制御方式〉〕

傾動地塊 ⑧日地→断層地形〈1223 C〉 ⑱宇地→山脈〔成因による区分〕 →断層〔断層地形〕図

系統抽出 ⑫経産→標本調査

系統地理学 ⑧日地→自然地理学〈1214 C〉 →地誌学〈1224 B〉 →地理学〈1225 B〉

圭頭大刀 ⑤日史 368 C

系統発生 ⑲植物 211 A →個体発生 →発生 ⑳動物 248 C →個体発生 →進化〔証明〈解剖学〉〕 →発生

頸動脈洞圧迫試験〈チェルマーク=ヘリング試験〉 ⑭医学→自律神経〔自律神経機能検査法〕

景徳鎮 ⇨チントーチェン

景徳鎮窯 ②美術 190 D →官窯 →金襴手 →祥瑞 →染付 →中国美術〔元代〕 →陶芸〔中国〕 ⑤日史→赤絵

軽登山 ⑬生活→ハイキング

毛糸とじ針 ⑬生活→編物〔用具〕

ケイトネズミ ⇨チンチラ

傾度風 ⑱宇地 216 C →低気圧

ケイトン, R ⑭医学→脳波

荊南 ⑨世史→五代十国

鶏肉 ⇨とり肉

鯨肉 ⑬生活→食肉 ⑳動物→クジラ〔利用〕

珪ニッケル鉱 ⑮化学→ニッケル〔存在〕

傾熱性 ⑲植物→傾性

芸能 ③音演→演劇 →巷間芸能 →民俗芸能 →寄席

芸濃(町) 三重 ⑦日地 447 B

飼飯の浦 ⇨慶野松原

慶野松原 兵庫/淡路島 ⑦日地 447 B →淡路島〔観光〕図

慶派 ②美術 190 D図 →康慶 ⑤日史 368 C ⑥日史→仏師

競馬 ⑬生活 159 D図囲 →ギャンブル〔分類〈スポーツ〉〕 ⑫経産→レジャー産業

珪肺 ⑭医学→職業病

競売 ⑫経産→競争売買

軽排水量 ⑰科技→船〔囲用語〕

競売買 ⑫経産→競争売買

蛍白染料 ⑬生活→洗剤〔種類〕

刑罰 ⑨世史 191 C図 ⑪政社 139 C →刑事政策〔現代〕 →刑法 →罪刑法定主義 →犯罪 ⑤日史→謹慎 →仕置 ⑥日史→敲 →閉門

閨閥 ⑪政社→閥

警抜詩〈エピグラム〉 ①文学→詩〔囲用語〈形式〉〕

『啓発録』 ④哲宗→橋本左内

軽犯罪法 ⑤日史 368 C ⑪政社 140 B

京阪神急行電鉄(株) ⇨阪急電鉄(株)

京阪電鉄 ⑦日地→大阪(府)〔交通〕 →大阪(市)〔交通〕 →京都(府)〔交通〕 →滋賀(県)〔交通〕

珪礬比 ⑱宇地→土壌〔化学成分〕

経費 ⑫経産 162 D

桂皮〈桂枝〉 ⑭医学→生薬

猊鼻渓 岩手 ⑦日地 447 C図 ⑧日地→東山〔町〕

経費原則 ⑫経産→経費

警備・公安警察 ⑪政社→政治警察

軽飛行機 ⑰科技 161 A図 →航空機〔分類〕 →飛行機〔用途〈一般航空〉〕

芸備線 ⑦日地→山陽本線

警備隊 ⑪政社→自衛隊〔沿革〕

経費膨張の法則 ⑫経産 163 B

京浜運河 ⑰科技→運河〔種類〕

迎賓館 ②美術→片山東熊 ⑥日史→西洋建築図 ⑧日地→港(区)《東京》〔旧赤坂離宮〕 ⑱宇地→石材図

京浜急行電鉄 ⑦日地→神奈川(県)〔交通〕 ⑧日地→東京(都)〔交通〕 ⑫経産→東京急行電鉄(株)

ケイビング〈洞穴探検〉 ⑱宇地→洞穴

京浜工業地帯 ⑦日地 447 C図 →神奈川(県)〔産業〈工業〉〕図 →関東地方〔産業〈工業〉〕 ⑧日地→東京(都)〔産業〈工業〉〕 →東京湾

刑部 ⑨世史→三省六部

頸部 ⑭医学 164 C図 →斜頸

景福宮 ⑩世地→ソウル図

京福電鉄 ⑦日地→京都(府)〔交通〕 ⑧日地→福井(県)〔交通〕

京釜鉄道 ⑤日史 368 D →京仁鉄道 ⑥日史→古市公威

鶏糞 ⑮化学→肥料〔有機質肥料〕

倪文俊 中国 ⑨世史→陳友諒

『軽蔑』 ①文学→モラビア, A

刑法 ⑤日史 368 D →讒謗律 →死刑 ⑪政社 140 C →刑罰〔適用〕 →公法 ⑥日史→犯罪 →法典編纂

刑法官 ⑤日史 369 A →行政官 →刑部省〈明治〉

警防団 ⑤日史→消防制度

『閨房哲学』 ①文学→サド, D ④哲宗→サド, D

『刑法読本』 ⑥日史→滝川幸辰

警報フェロモン ⑳動物→フェロモン

桂芳坊 ⑥日史→内裏〔囲殿舎〕

京北(町) 京都 ⑦日地 448 B

芸北(町) 広島 ⑦日地 448 B

『京本通俗小説』 ①文学 200 A →話本

桂馬 ⑬生活→将棋〔競技方法〕 →囲碁〔囲用語〕図

ケイマフリ ⑳動物 248 C図 →ウミスズメ図

桂万栄 中国 ①文学→『棠陰比事』

傾眠 ⑭医学→意識障害〔昏睡〕

ケイム ⑱宇地→氷河〔氷河地形と氷成堆積物〕図

刑務所 ⑪政社→拘禁

刑務所国家 ⑪政社→近代国家〔三〕

啓明会 ①文学→下中弥三郎

鶏鳴狗盗 ⑨世史→孟嘗君

ケイモ ⇨カシュウイモ

啓蒙思想 ⑨世史 192 C →近代社会〔西洋〈成立〉〕 ⑪政社 141 C図 ④哲宗→進歩の観念

啓蒙主義 ①文学 200 B →『百科全書』 ④哲宗 174 B →イタリア哲学〔近代〕 →宗教改革〔歴史的意義〕

『啓蒙主義の哲学』 ④哲宗→カッシーラー, E

啓蒙専制主義 ⑨世史 192 D

『啓蒙の弁証法』 ④哲宗→アドルノ, T →ホルクハイマー, M

『芸文類聚』 ①文学→『日本書紀』

契約 ④哲宗 174 C →キリスト教〔囲用語〕 →律法

契約 ⑪政社 143 B →事情変更の原則 ⑫経産 163 C →手附

契約曲線 ⑫経産 164 B図

契約自由の原則 ⑪政社→私法 ⑫経産→契約

契約説 ⑪政社→国家〔起源〕

契約チェーン ⑫経産→チェーン・ストア

契約農業 ⑫経産 164 C →アグリビジネス

契約の自由 ⑪政社→市民法

軽油 ⑮化学 209 B →石油〔石油製品〕

鯨油 ⑮化学 209 C →油脂〔表性状と用途〈海獣油〉〕 ⑬生活→食用油〔動物油脂〕 ⑭医学→生薬〔鯨蠟〕 ⑳動物→クジラ〔捕鯨〈利用〉〕

軽油引取税 ⑪政社→租税〔わが国〈目的税〉〕

芸用解剖学 ⇨美術解剖学

京葉港 ⑦日地→市川(市)

京葉工業地帯 ⑦日地 448 C図 →関東地方〔産業〈工業〉〕 ⑧日地→千葉(県)〔産業〕 →東京(都)〔産業〈工業〉〕 →東京湾

茎葉植物〈有茎植物〉 ⑲植物 211 A →器官

茎葉体 ⑲植物→茎葉植物

芸予諸島 広島・愛媛 ⑦日地 448 D

経絡 ⑭医学 165 A図 →按摩〔沿革〕図 →鍼灸

経絡診断 ⑭医学→漢方医学図

鶏卵 ⑫経産→畜産〔養鶏〕 ⑬生活→栄養〔たんぱく質〕 →卵料理 ⑳動物→ニワトリ

ケイランサス ⑲植物 211 B →ニオイアラセイトウ

鶏卵素麺 ⑬生活→菓子〔図和菓子〕

係留運転 ⑰科技→ぎ装〔船〕

係留気球 ⑰科技→気球

渓流工 ⑰科技→砂防

軽粒子〈レプトン〉 ⑯物数→アイソスピン →素粒子表 →中性微子

『渓流唱』 ①文学→北原白秋

渓流釣り ⑬生活→釣り〔種類〈川釣り〉〕

稽留熱 ⑭医学→熱〔熱型〕

係留ブイ ⑱宇地→海洋観測〔方法〕

ゲイ=リュサック, J フランス〔1778–1850〕 物理学者・化学者。気体に関する重要法則の発見で知られる ⑮化学 209 C図 →気体反応の法則 →原子〔概念の変遷〈ドルトンの原子説〉〕 →分析〔歴史〕 →ボイル-シャルルの法則〔シャルルの法則〕 ⑯物数→アボガドロの法則 →ジュール-トムソン効果 →ジュールの法則

ゲイリュサック石 ⑱宇地→玄能石

ゲイ=リュサックの実験 ⑯物数→ジュールの法則図

ゲイ=リュサックの法則 ⑮化学 210 B →ボイル-シャルルの法則 ⑯物数 164 C →シャルルの法則 →ボイル-シャルルの法則

計量 ④哲宗→量 ⑥日史→度量衡 ⑰科技→ラジオアイソトープ〔利用〈ゲージング〉〕

慶陵 ⑨世史 193 A

計量カップ〈メジャーカップ〉 ⑬生活→調理器具〔計量器具〕図

計量器具 ⑬生活→調理器具

計量経済学 ⑫経産 164 C図 →クライン, L →シュルツ, H

計量経済モデル ⑫経産→計量経済学表 →電子計算機〔利用〕

軽量コンクリート〈軽量骨材コンクリート〉 ⑰科技→コンクリート〔分類〕

計量スプーン〈メジャースプーン〉 ⑬生活→調理器具〔計量器具〕図

計量地理学 ⑧日地→地理学〈1225 B〉

計量ベクトル空間 ⑯物数→固有値 →線形変換 →ベクトル空間

経量瑜伽派 ④哲宗→ディグナーガ

競輪 ⑬生活 165 C図 →ギャンブル〔分類〈スポーツ〉〕 →自転車競技〔歴史〕 ⑫経産→レジャー産業

桂林 ⇨コイリン

経綸学盟 ⑤日史→上杉慎吉 →国家社会主義運動 ⑪政社→右翼〔日本〕 →高畠素之

蛍りん光体 ⑮化学→ルミネセンス〔蛍光とりん光〕

荊瀝 ⑲植物→ニンジンボク

慶暦の党議 ⑨世史→范仲淹

系列化 ⑫経産→下請制 →中小企業問題〔日本〕

系列融資 ⑫経産→融資〔二〕

痙攣 ⑭医学 166 A →ひきつけ

痙攣性麻痺 ⑭医学→脳性小児麻痺〔症状〕

鯨蠟 ⑭医学→生薬 ⑮化学→ろう表

敬老の日 ⑪政社→祝日表

『鶏肋集』 ①文学→井伏鱒二

ケイロース, E ポルトガル〔1845–1900〕 小説家・外交官。詩人ケンタールとともに同国写実主義文学の創始者 ①文学 200 B

熒惑 ⇨火星

ケイン, J アメリカ〔1892–1977〕 小説家。新聞記者出身の本格的ハードボイルド派の作家 ①文学 200 C

外印 ⑤日史 369 A

『ケイン号の反乱』 ①文学→ウォーク, H

ケインズ, J イギリス〔1883–1946〕 経済学者。今日のマクロ理論の基礎を築き,「ケインズ革命」といわれるほどの甚大な影響を与えた ④哲宗 175 A図 ⑨世史 193 A →ブルームズベリ・グループ ⑫経産 165 B図 →貨幣Ⅱ〔名目主義〕 →完全雇用 →巨視的分析・微視的分析 →近代経済学〔ケインズ革命〕 →金融理論〔現代金融理論〕 →経済学〔経済学史〕 →経済学方法論Ⅱ〈155 A〉 →国家独占資本主義〔恐慌国家独占資本主義〕 →失業 →成長理論 →賃金Ⅱ〔二〕 →通貨 →投資関数 →フィスカル・ポリシー →フィードバック・システム →有効需要の理論 →利潤Ⅱ

ケインズ革命 ⑫経産 165 D →近代経済学 →混合経済 →修正資本主義

ゲインズボロ ⇨ゲーンズボロ, T

ゲインライン ⑬生活→ラグビー〔囲用語〕

KANU ⑩世地→ケニア(共和国)〔政治・外交〕 ⑪政社→ケニヤッタ, J

KS磁石鋼〈本多鋼〉 ⑰科技 161 B →技術〔日本〕 →磁石鋼 →本多光太郎

KS磁石合金 ⑰科技→合金表

KLMオランダ航空 ⑬生活→海外旅行〔航空会社〕

KL法 ⑭医学→麻疹〔予防〈自動免疫〉〕

ゲエン ⑲植物→ススキ

『ゲオグラフィア』 ⑧日地→ストラボン〈1219 A〉

ゲオサウルス ⑱宇地→恐竜〔進化〈ワニ類〉〕

KOPF ⇨コップ

ケオプス ⇨クフ

ケオプスネズミノミ ⑳動物→ノミ〔種類〕

ゲオモロイ ⑨世史→シラクサ

毛織物 ⑬生活 166 C

『ゲオルギアのカタリーナ』 ①文学→グリューフィウス, A

ゲオルギウ, C ルーマニア〔1916〕 詩人・小説家。フランスに亡命。ナチスとボルシェビキの残虐をあばく ①文学 200 C

ゲニチェスク(水道) ⑩世地→アゾフ(海)
ケーニヒ ドイツ ⑫経産→印刷業
ケーニヒグレーツの戦い ⑨世史 194 B →プロイセン・オーストリア戦争
ケーニヒスアレー ⑩世地→ジュッセルドルフ図
ケーニヒスベルガー, J ⑰科技→半導体
ケーニヒスベルク ⇨カリーニングラード
ケーニヒスベルクの橋〈ケーニヒスベルクの7橋渡り〉 ⑯物数→グラフ理論 →数学パズル〔図形のパズル〕
現介也姿婆 ⇨宴曲
ケニヤッタ, J ケニア[1891/1978] 政治家。独立運動の指導者で共和国成立後初代大統領。穏健な社会主義政策を実施 ⑨世史 194 B ⑪政社 144 D図 ⑩世地→ケニア(共和国)〔政治・外交〕
『ケニルワースの城』 ①文学→スコット, W
家人 ⑤日史→古代社会〔公民制〕 ⑥日史→家部 →良賤 ⑫経産→奴婢
下人 ⑤日史 370 D →鎌倉時代〔政治・社会〈荘園〉〕 →下剋上 →所従 ⑥日史→譜代下人 ⑫経産→荘園《日本》〔内部構造〕 →名子制度
外任奏 ⑤日史→元日節会
『毛抜』 ③音演→『雷神不動北山桜』
毛抜き ⑭医学→救急箱〔衛生器具〕
毛ぬき合わせ ⑬生活→和裁〔囲知識〕
毛抜形太刀〈衛府太刀〉 ②美術→日本刀〔平安中期—鎌倉初期〕 ⑥日史→太刀
毛抜きずし ⑬生活→すし〔歴史〕
毛野国 ⑤日史→上野国 →下野国 ⑦日地→群馬(県)〔歴史〕 ⑧日地→栃木(県)〔歴史〕
ケネー, F フランス[1694/1774] 経済学者。重農学派の創始者で,社会総資本の循環過程を理論化 ㊧『経済表』 ⑨世史 194 C →重農主義 ⑫経産 167 A図 →階級 →経済学〔経済循環〕 →重農主義 →自由放任主義 ⑪政社→重農主義図
ケネコット ⑫経産→金属鉱業〔世界〕 →鉱業〔世界〕 →非鉄金属工業〔世界〕
解熱剤〈熱さまし〉 ⑭医学 191 D →アスピリン →薬〔種類〈神経系に作用〉〕 →熱
ケネディ, J アメリカ[1917/1963] 第35代大統領。史上最年少の大統領として理想に燃えたが,ダラスで暗殺 ⑨世史 194 C図 →冷戦図 ⑪政社 145 A図 →アメリカ政治事情〔社会不安の増大〕図 →キューバ危機 →民主党 ⑫経産→ケネディ・ラウンド →ラテンアメリカ経済事情〔問題〕 ⑱宇地→アポロ計画
ケネディ, S ⑩世地→アルプス〔登山〕
ケネディ空港 ⑰科技→空港図
ケネディ・ラウンド ⑫経産 167 B →ガット〔内容〕 →新国際ラウンド ⑪政社→ケネディ, J
ケネトロン ⑰科技→電子管〔歴史〕
ケネベック ⑬生活→ジャガイモ〔種類〕
嶮暮帰島 北海道 ⑦日地 449 D
ゲネラ ③音演→テトラコード
ゲネラルパウゼ ③音演→音楽用語〈629 B〉
ゲネラルバス ⇨通奏低音
ケネル・クラブ ⑳動物→イヌ〔犬種〕
ケーネン ドイツ ⑰科技→鉄筋コンクリート構造〔歴史〕
ゲーノ, J フランス[1890/1978] 作家。労働者出身で,人道主義的社会主義者。人民戦線時代に活躍 ①文学 204 C
褻の装束 ⑤日史 370 D ⑥日史→女房装束
ゲノッセンシャフト ⑪政社 145 C
ケノトロン ⑮化学→ラングミュア, I ⑰科技→整流器〔電子管整流器〕
『ゲノフェーファ』 ①文学→ヘッベル, C ③音演→ヘッベル, C
ゲノム ⑲植物 212 C
ゲノム分析 ⑭医学→細胞〔発見〕 ⑲植物→木原均 →ゲノム →コムギ囲 →雑種
ケノレステス ⑳動物→有袋類
ケノン ④哲宗→エピクロス
ケーパー ⑬生活→香辛料囲
ゲーバー ⇨ゲベル
ケバエ〔毛蠅〕 ⑳動物 250 B
毛はえ薬 ⑭医学→毛〔養毛剤〕
ケハギ ⑲植物→ハギ
下馬将軍 ⇨酒井忠清
ケハダフクロムシ ⑳動物→フクロムシ
ケバナウォンバット ⑳動物→ウォンバット
ゲバラ, E アルゼンチン[1928/1967] 革命家。キューバに革命政権を樹立,のちカストロと別れボリビアで果てた ⑨世史 194 D図 →カストロ, F →キューバ革命 ⑪政社 145 C図 →カストロ, F →ラテンアメリカ政治事情〔二〕
毛鉤 ⑬生活→釣り〔種類〈ルアーフィッシング〉〕図
下版 ⑰科技→印刷〔囲用語〕
ケバンダム ⑰科技→ダム表
ケピ ⑬生活→帽子〔種類〕図
検非違使〈廷尉〉 ⑤日史 370 D図 →衛門府 →警察制度 ⑥日史→弾正台 ⑨世史→漢〔政治・制度〕
検非違使別当 ⑥日史→別当
ケビキ ⑬生活→家庭工作〔大工道具〕図
気比神宮 ④哲宗→神社〔表〈官幣大社〉〕 ⑧日地→敦賀(市)図
気比の松原 ⑧日地→敦賀(市)図
花瓶 ②美術→仏具〔寄教法具〕
ケービング方式 ⑰科技→採鉱〔坑内採鉱法〕
ケープ(州) 南アフリカ ⑩世地 209 C →南アフリカ(共和国)〔地方誌〕 ⑨世史→ケープ植民地
ケープ ⑬生活→子供服〔ベビー服〕 →マント
ゲブ ④哲宗→エジプト神話〔創世神話〕
ケファラニア ⑩世地→ケファリニア(島)
ケファリニア(島) ギリシア ⑩世地 209 C
ケフェウス型変光星 ⑱宇地→ハッブル, E →変光星〔脈動変光星〕図表
ケフェウス座 ⑱宇地 221 A →星座〔四季〈夏〉〈秋〉〕図表
ケープオリックス ⑳動物→オリックス
ケブカイセエビ ⑳動物→イセエビ
ケブカエンコウガニ ⑳動物→エンコウガニ
ケブカオウギガニ〔毛深扇蟹〕 ⑳動物 250 C
ケブカクロバエ ⑳動物→クロバエ
ケープカナベラル アメリカ/フロリダ ⑩世地 209 C
ケープカラー ⑬生活→衿〔カラー〈種類〉〕図
『毛吹草』 ①文学→歳時記 →松江重頼
ケープギツネ ⑳動物→キツネ〔種類〕
ケープ区 ⑲植物→植物分布〔フロラ分布〕図
ケープケネディ ⇨ケープカナベラル
ケープケネディ宇宙博物館 ⑰科技 679 A
ケープコッド ⇨コッド(岬)
ケフサイソガニ ⑳動物→イソガニ →カニ〔形態,分類〕図
『ケープ写真星表』 ⑱宇地→カプタイン, J →星表〔代表的な星表〕
ケープ植民地 ⑨世史 194 D ⑩世地→アフリカ(州)〔囲探検史〕 ⑪政社→植民地〔ヨーロッパ近代国家の成立〕
ケープジョンソン(海淵) ⑱宇地→海底図
ケープタウン 南アフリカ ⑩世地 209 C図 →南アフリカ(共和国)図
ケープ天文台 ⑱宇地→天文台〔表〈アフリカ〉〕
ケブトハナカミキリ ⑳動物→ハナカミキリ
ケブネカイセ(山) ⑩世地→スウェーデン(王国)〔自然〈地形・地質〉〕 →ラップランド
ケープハイラックス ⑳動物→ハイラックス
ケープピジョン ⑳動物 250 C
ケープブレトン(島) カナダ ⑩世地 209 D
ケープブレトンハイランズ国立公園 ⑩世地→カナダ〔表国立公園〕 →ケープブレトン(島)
ケープペンギン ⑳動物→ペンギン〔種類〕
ケープポイント ⑩世地→喜望峰 →南アフリカ(共和国)図
ケープホーン ⇨ホーン(岬)
解文 ⇨申文
ケプラー, J ドイツ[1571/1630] 天文学者。惑星運動に関する重要な三つの法則を発見 ⑯物数 166 B図 →幾何学〔近代〈微分幾何〉〕 →ケプラーの法則 →物理学〔歴史〈近世〉〕 ⑱宇地 221 B図 →軌道 →太陽系〔惑星の運動〕 →地動説 →ティコ・ブラーエ →天文学〔宇宙観〈太陽系空間時代〉〕 →二体問題 →雪〔結晶の観察史〕 ①文学→SF ⑰科技→科学〔歴史〈ルネサンス〉〕
ケープライオン ⑳動物→絶滅動物 →ライオン〔分布〕
ケプラー式望遠鏡 ⑱宇地→ケプラー, J〔業績〕 →天体望遠鏡〔種類〕図 ⑯物数→望遠鏡
ケブラチョ ⑩世地→アルゼンチン(共和国)〔経済・産業〕 →グランチャコ(平原) →パラグアイ(共和国)〔経済・産業〕
ケプラーの軌道要素 ⑱宇地→軌道
ケプラーの法則 ⑯物数 167 A →力〔中心力〕 →面積速度 ⑱宇地ケプラー, J →太陽系〔惑星の運動〕 →天文学〔内容と基礎〈位置天文学〉〕 →連星〔間隔と公転周期〕
ケプラーの星 ⑱宇地→ケプラー, J〔業績〕
ケブリ ⑨世史→ラー
ケーブル, G アメリカ[1844/1925] 小説家。人道主義的立場から黒人問題に取り組んだ ①文学 204 C
ケーブル ⑰科技 164 C →海底電線通信 →電線〔絶縁電線〕
ケーブルカー〈鋼索鉄道〉 ⑰科技 164 C図 →鉄道〔技術上の分類〕 →登山鉄道 ⑫経産→鉄道
ケーブルクレーン ⑰科技→クレーン
ケーブル式架設法 ⑰科技→橋〔架設工法〕図
ケーブルテレビジョン ⑰科技→CATV
ケーブル布設船 ⑰科技→海底電線通信図
ケーブル埋設機 ⑰科技→海底電線通信図
ケプロン, H アメリカ[1804/1885] 北海道開拓使顧問。明治4年来日。以後の開拓方針の基礎をつくる ⑤日史 371 B →御雇外人教師表 →開拓使 →黒田清隆
戯文 ①文学→元曲
ゲー・ペー・ウー〔GPU〕 ⑨世史 195 A ⑪政社→政治警察
ケベック カナダ ⑩世地 209 D図 →ケベック(州)
ケベック(州) カナダ ⑩世地 210 A
ケベック橋 ⑰科技→橋〔歴史〕
ケベック決議 ⑨世史→アメリカ(合衆国)〔合衆国の発足〈カナダ〉〕
ケベック城塞 ⑩世地→ケベック
ケベック条例 ⑨世史→アメリカ独立革命〔原因〕
ケベック法 ⑫経産→カナダ経済事情〔発展〕
ケベック問題 ⑪政社→カナダ政治事情
ケペッシュ ②美術→グラフィック・デザイン
ケペデア ⑳動物→オパリナ
ケベード, F スペイン[1580/1645] 詩人・小説家。代表的な奇想主義者で,叙情詩・風刺詩・ピカレスク小説などに才能を発揮 ①文学 204 C →スペイン文学〔黄金世紀〕
ゲヘナ ④哲宗→地獄〔キリスト教・イスラム教〕 →聖書〔囲地名〕
『ケーペニックの大尉』 ①文学→ツックマイヤー, C ③音演→ツックマイヤー, C
ケーベル, R ドイツ[1848/1923] ロシア生まれの哲学者。明治26年から約20年間在日。西洋哲学の根源を説き,大正教養主義の源流となる ④哲宗 176 C →深田康算 ⑤日史 371 B →御雇外人教師表
ゲベル〈ジャービル・イブン・ハイヤーン〉 [721?/*] イスラム世界最大の錬金術者。膨大な量の著作が残されている ⑮化学 217 A図 →化学〔歴史〈錬金術的観念〉〕 →元素〔元素観の変遷〕 ④哲宗→錬金術 ⑨世史→錬金術 ⑰科技→ジャービル・イブン・ハイヤーン
ゲベル〈にせゲベル〉 [*.*] 錬金術師。14世紀に錬金術に関する書物を著す。 ⑰科技 164 C図
ゲーベル, K ドイツ[1855/1932] 植物学者。植物器官学・植物形態学の近代的基礎を固める ⑲植物 213 A
外弁 ⑥日史→内弁
ケーベンハウン ⇨コペンハーゲン
家抱 ⑤日史 371 C
毛彫 ②美術→金属工芸〔加工技法〕 →彫金図 →螺鈿〔技法〕
牙彫 ⇨牙彫
ケボリダカラ ⑳動物→貝類〔生態〈寄生〉〕
下品下生 ④哲宗→『観無量寿経』
毛馬 ⑦日地→大淀(区)
ケーマ(高原)〈蓋馬高原〉 北朝鮮 ⑩世地 210 B →朝鮮〔自然〕
ゲマインシャフト〈共同社会〉 ⑪政社 146 A →ゲゼルシャフト →社会集団〔集団の諸類型〕 →テンニエス, F ⑨世史→テンニエス, F
毛馬桜之宮公園 ⑧日地→都島(区)
毛馬内 秋田/鹿角市 ⑦日地 449 D
食満南北 ③音演→鶴屋南北〔六世〕
ゲマラ ④哲宗→『タルムード』 ⑪政社→ユダヤ教〔聖典〕
蹴鞠〈しゅうきく〉 ⑤日史 371 C図 ⑬生活→玩具〔日本〕
ケマル・アタチュルク〈ケマル・パシャ〉 トルコ[1881/1938] 初代大統領。青年将校時代からスルタンの専制打倒をめざし,共和制を樹立 ⑨世史 195 B図 →オスマン・トルコ帝国 →トルコ革命 ⑩世地→トルコ(共和国)〔略史〕 ⑪政社→イスラム教〔現代の政治・社会〕 →ケマル・パシャ →トルコ革命
ケマル・パシャ ⑪政社 146 B図 ⇨ケマル・アタチュルク

ケルビン温度〈絶対温度〉 ⑯物数 169 A →エントロピー〔準静的過程〕 →温度 →絶対温度 ⑮化学→絶対温度
ゲルフ党 ⇨グェルフ党
ケルベラ ⇨カルバラー
慶留間島 ⑦日地→座間味(村)
ケルマデック(海溝) ⑩世地→太平洋〔自然〕 ⑱宇地→海底図 →太平洋
ケルマデック(諸島) ニュージーランド/太平洋 ⑩世地 211 A
『ゲルマニア』 ①文学→紀行文学〔西洋〕 →タキトゥス,P ⑨世史→キビタス →ゲルマン人 →タキトゥス,P ⑫経産→ゲルマン的共同体
ゲルマニウム ⑮化学 217 B図 →ウィンクラー,C →周期律〈313 D〉表 →半導体〔半導体材料〈単体半導体〉〕 ⑰科技 165 B ⑱宇地→ゲルマン鉱
ゲルマニウムボンドダイオード ⑰科技→ダイオード図
ゲルマニステン ⑨世史→ギールケ,O
ケルマーン イラン ⑩世地 211 A
ゲルマン,H ⑱宇地→ダイナモ理論〔一様ダイナモ〕
ゲルマン,M アメリカ〔1929〕 理論物理学者。素粒子基礎理論の発展に尽くす。ノーベル賞受賞 ⑯物数 169 A
ゲルマン鉱 ⑱宇地 221 C
ゲルマン語派 ⑧日地 1209 A →インド・ヨーロッパ語族〈1199 A〉
ケルマンシャハ イラン ⑩世地 211 A
ゲルマン人 ⑨世史 195 D図 →ゲルマン法 →中欧史〔概観〕 →ドイツ〔歴史〈古代〉〕 →ノルマン人 →民族大移動 →ローマ〔帝政期〕 ⑪政社→ゲルマン法
ゲルマン人の侵入 ⇨民族大移動
ゲルマン神話 ⇨北欧神話
ゲルマン的共同体〈封建的共同体〉 ⑫経産 168 A ⑥日史→村落共同体
ゲルマン的形態 ⑫経産→個人的所有 →土地所有
ゲルマン都市 ⑨世史→都市〔西洋〈中世都市〉〕
ゲルマン法 ⑨世史 196 A ⑪政社 147 B
ゲルマン民族 ⇨ゲルマン人
ケルムスコット印刷所 ①文学→モリス,W《詩人》 ②美術→モリス,W
ケルムスコット・チョーサー ②美術→モリス,W図
ケルメット ⑰科技→合金〔囲用語〕 →軸受合金
ゲルラホフカ(山) チェコ ⑩世地 211 B →カルパート(山脈)
ゲルリッツ 東ドイツ ⑩世地 211 B
ケルレ,J 〔1531/1591〕 ③音演→フランドル楽派
ケルレン(川) モンゴル・中国 ⑩世地 211 B
ケールロイター,J ドイツ〔1733/1806〕 植物学者。植物の性を研究,植物交雑実験を体系づけた ⑲植物 213 C
ケールワン ⇨カイルアン
ケルン,J オランダ〔1833/1917〕 仏教学者。ジャワに生まれ,ライデン大学で仏教原典の校訂・翻訳・研究に従事 ④哲宗 177 C
ケルン 西ドイツ ⑩世地 211 B図 ⑫経産→中世都市
ケルン ⑬生活→登山〔囲用語〕
ケルン画派 ②美術→ドイツ美術〔ルネサンス〕
ケルンコル ⑧日地 1209 B →ケルンバット〈1209 B〉 →断層地形〈1223 C〉 ⑱宇地→コル →断層〔断層地形〕 →山〔各部の名称〕
ケルン大聖堂 ②美術 191 C図 ④哲宗 177 C図 →教会堂〔ゴシック時代〕 ⑩世地→ケルン
ケルン動物園 ⑳動物→動物園〔表世界〕
ケルン動物園水族館 ⑳動物→水族館〔表世界〕
ケルントナー通り ⑩世地→ウィーン〔現状〕図
ケルンバット ⑧日地 1209 B →断層地形〈1223 C〉 ⑱宇地→断層 →山〔各部の名称〕
ケレク ⑩世地→ダオメー(共和国)〔政治〕
ゲレザ〈クロシロコロブス〉 ⑳動物 251 B →サル〔生態〈樹上性と地上性〉〕別
ゲレサンジャ ⑨世史→ハルハ部
ケレス ④哲宗→ギリシア・ローマ神話〔囲主要神名〈デメテル〉〕
ケレス ⑱宇地 222 A →小惑星 →ピアッツィ,G
ゲレス,J ドイツ〔1776/1848〕 文筆家・政治家。『ライン・メルクール』紙を創刊し国家統一を主張 ①文学 206 A
ケレタロ メキシコ ⑩世地 211 C →メキシコ(合衆国)図
ゲレルト,C ドイツ〔1715/1769〕 小説家。寓話詩・喜劇・短編物語で市民の趣味や情操教育に貢献 ①文学 206 A
ゲレロ(州) ⑩世地→メキシコ(合衆国)〔地方誌〈南部太平洋岸〉〕
けれん ③音演→歌舞伎〔囲用語〕
ケレンスキー,A ロシア〔1881/1970〕 政治家。二月革命後の臨時政府首相。十月革命ではソビエト政権に反抗,のち亡命 ⑨世史 196 B →ロシア革命〔第一次世界大戦と二月革命〕 ⑪政社 147 C図 →革命〔政治過程〕 →ロシア革命〔二月革命〕
ゲレンデ ⑬生活→スキー〔スキー場〕図
ケロ ②美術→インカの美術〈37 B〉
下呂(町) 岐阜 ⑦日地 450 B
ケロアック,J アメリカ〔1922/1969〕 小説家。ビート・ジェネレーションの代表的作家の一人 ①文学 206 B
ケロイド〈蟹足腫〉 ⑭医学 192 A →形成外科 →原爆症 →瘢痕 →やけど〔第3度〕
下呂温泉 ⑦日地→下呂(町)
ケロゲン〈油母〉 ⑮化学→頁岩油
ケロシン ⑮化学 218 A ⇨燈油
ケロッグ,F アメリカ〔1856/1937〕 法律家・政治家。クーリッジ大統領の国務長官となり,国際的法律家であった ⑨世史 196 B →不戦条約
ケロッグ・ブリアン協定 ⇨不戦条約
ケーロネアの戦い ⇨カイロネイアの戦い
ケロール,J フランス〔1911〕 詩人・小説家・批評家。ヌーボー・ロマンの先駆者の一人 ①文学 206 B
ゲロン ギリシア ⑨世史→シラクサ
化粧坂切通し ⑦日地→鎌倉(市)図
ケワタガモ〔毛綿鴨〕 ⑳動物 251 C →カモ〔分類〈海ガモ〉〕図 →鳥類〔繁殖〕
けん ⑬生活→さしみ〔つま〕
県 ⑥日史→廃藩置県 →府県制 ⑪政社→地方公共団体〔種類〈普通〉〕
県《中国》 ⑨世史→郡県制 →都市〔中国〈発生〉〕
剣 ⑬生活→フェンシング図
圏 ⑧日地 1209 B
元 ⑨世史 196 B図表 →征服王朝 →中国〔近世〕 →北元 →モンゴル帝国〔拡大と分裂〕 ⑥日史→蒙古 →倭寇〔元・明〕
元 ⑫経産 168 B →中国経済事情〔金融〕 →通貨〔表通貨単位〕
元〈要素〉 ⑯物数 169 A →集合
玄 ④哲宗→揚雄〔太玄経〕 →老子
弦 ⑬生活→弓道〔用具〕
弦 ⑯物数 169 A →円〔円に関する言葉〕図
弦《振動》 ⑯物数→共振図 →振動 →横波図
兼愛 ④哲宗→墨家 ⑨世史→墨子
減圧症 ⑭医学→航空医学〔航空病〕
減圧蒸留 ⑮化学 218 A ⇨真空蒸留
減圧病 ⇨潜函病
減圧弁 ⑰科技→弁
原案執行権 ⑫経産→地方財政〔わが国の展開〕
建安の七子 ①文学→王粲 →曹植
建安文学 ⑨世史→曹操
権威 ④哲宗 177 C ⑪政社 147 D →支配 →政治権力〔権力的手段〕
犬夷 ⇨犬戎
圏域 ⇨圏
健胃剤 ⑭医学→薬〔種類〈消化器系に作用〉〕
健胃散〈胃散〉 ⑭医学→家庭看護〔胃腸薬〕
権威主義 ⑪政社 148 B
健胃整腸剤〈胃腸薬〉 ⑭医学→家庭看護
玁狁 ⑨世史→匈奴
原因 ④哲宗 177 D →因果関係 →因果 →ギリシア哲学〔囲用語〕 →条件 →第一原因
『原因,原理,一者』 ④哲宗→ブルーノ,G
牽引自動車 ⇨トラクター
原因療法 ⑭医学→化学療法 →薬〔役割〕 →病気
『原因論』 ④哲宗→プロクロス
厳羽 中国〔*・*〕 宋代の詩論家。興趣説を主張,理想を唐の杜甫と李白においた ①文学 206 B →詩話
絹雲 ⑱宇地 222 A →温暖前線 →雲〔分類〕図表 →雪〔降雪の機構〕
眩暈 ⇨めまい
玄慧〔玄恵〕 〔*/1350〕 鎌倉・南北朝時代の天台の学僧。建武式目の制定に関与 ⑤日史 372 C →朱子学 ①文学→『源平盛衰記』 →『太平記』 ⑥日史→宋学
巻纓冠 ⑤日史→冠図
兼営銀行主義 ⑫経産→イタリア経済事情〔発展〕 →銀行〔商業銀行〕 →金融機関〈西ドイツ〉
検疫 ⑭医学 192 A図 →伝染病図 ⑬生活→海外旅行〔出入国〕
原液染め ⑬生活→織物〔織物と染色〈先染織物〉〕
検疫伝染病〈国際検疫伝染病〉 ⑭医学→黄熱 →検疫 →コレラ →伝染病表 →痘瘡 →ペスト →予防接種
検閲 ⑪政社 148 C図
阮閲 ①文学→詩話
検閲聖省 ④哲宗→禁書目録 ⑨世史→反宗教改革
原塩 ⑮化学→食塩〔用途〕表
蘐園学派 ⇨古文辞学派
蘐園社 ⑥日史→太宰春台
減塩しょうゆ ⑬生活→しょうゆ〔種類〈濃口しょうゆ〉〕表 →食品〔規格〕
『蘐園随筆』 ①文学→荻生徂徠 ④哲宗→荻生徂徠
原猿類 ⑳動物→サル〔分類と分布〕別 →霊長類
源翁心昭 〔1210/1280〕 ④哲宗→曹洞宗囲
検温 ⑭医学→家庭看護 →体温〔体温計〕
検温器〈体温計〉 ⑭医学→体温
弦音器 ⑳動物 251 C →感覚〔聴覚〕
『検温器と花』 ①文学→北川冬彦
県花 ⑲植物 213 C表 →県木
堅果 ⑲植物→果実〔閉果〕
鹸化 ⑮化学 218 A →鹸化価
『幻化』 ①文学→梅崎春生図 →日本文学〔近代〈戦後文学〉〕
原価 ⑫経産→会計学〔歴史〕 →原価計算
『懸崖』 ①文学→菱山修三
玄海 ⇨玄界灘
玄海(町) 福岡 ⑦日地 450 C図
玄海(町) 佐賀 ⑦日地 450 C
『言海』 ①文学→大槻文彦 ⑤日史→大槻文彦
玄海海中公園 ⑦日地→加部島 →玄海国定公園
限界革命 ⑫経産→限界分析
限界ゲージ ⑰科技 165 C図 →測定器
限外顕微鏡 ⑮化学→ジグモンディ,R ⑯物数→顕微鏡〔照明方法〕
限界原理 ⑫経産→近代経済学〔特徴〕 →限界分析
限界耕作 ⑫経産→古典学派
限界効用 ⑫経産→近代経済学 →限界分析 →ジェボンズ,W →主観価値説
限界効用学派 ⑫経産→オーストリア学派
限界効用均等の法則〈ゴッセンの第二法則〉 ⑫経産→ゴッセン,H →主観価値説
限界効用逓減の法則〈ゴッセンの第一法則〉 ⑫経産→ゴッセン,H →主観価値説
玄海国定公園 福岡・佐賀・長崎 ⑦日地 451 B図 →壱岐水道 →玄界灘 ⑧日地→立花山 →虹ノ松原
玄界島 福岡 ⑦日地 451 C
限界需給説 ⑫経産→地価
限界状況 ④哲宗→死〔意味づけ〕 →実存哲学 →状況 →不安の哲学 →ヤスパース,K〔囲基本概念〕
限界生産力 ⑫経産 168 C
限界生産力均等の法則 ⑫経産→限界生産力 →厚生経済学
限界生産力説 ⑫経産→ウィクセル,J →ウィックスティード →帰属理論 →クラーク,J →賃金Ⅱ〔二〕 →賃金学説 →分配 →利潤Ⅱ
限界生産力逓減の法則 ⑫経産→限界生産力 →収穫逓減の法則
限界代替率 ⑫経産→弾力性・伸縮性〔代替の弾力性〕 →無差別曲線
限界地 ⑫経産→地価〔限界需給説〕
玄界灘 ⑦日地 451 D →玄海国定公園
『玄海灘』 ①文学→金達寿 →日本文学〔近代〈第二次大戦後〉〕
限界費用 ⑫経産→限界分析 →費用〔生産費の法則〕
限界分析 ⑫経産 168 D
限外ろ過 ⑮化学→ろ過
『玄怪録』 ①文学→牛僧孺
『顕戒論』 ⑤日史 372 C →戒壇院 ④哲宗→最澄
鹸化価 ⑮化学 218 A →エステル価
原価管理 ⑫経産→管理会計〔内容〕 →原価計算
幻覚 ⑭医学 192 C →意識障害〔譫妄〕 →LSD →覚醒剤 ④哲宗→精神病 ⑮化学→LSD
玄学 ④哲宗 178 A →老荘思想
阮岳〈グエン・ニャク〉 ⑨世史→タイソン党の乱
玄鶴琴 ⇨玄琴
『玄鶴山房』 ①文学→芥川竜之介
弦楽四重奏 ③音演 194 B →室内楽〔構成〈四重奏〉〕

コ

勢神宮図 ⑤日史→天照大神 →伊勢神宮 ⑦日地→伊勢(市)図
『皇大神宮儀式帳』 ⑤日史 407 A
抗体性免疫 ⑭医学→免疫〔本態〕
皇太孫 ⑥日史→東宮 ⑪政社→皇室〔皇族〕
後退翼 ⑰科技→飛行機〔機体〕図
交替寄合 ⑤日史 407 B ⑥日史→旗本〔知行形態〕
小歌踊 ③音演 202 B図
コウダカヨコナガ ⇨オヨギピンノ
甲拆 ⑲植物→幼形
康濯 中国〔1920〕 小説家。抗日戦争下の解放区の文化工作に従事。短編に優れる ①文学 213 C
洪沢湖 ⇨ホンツォー(湖)
広沢寺温泉 ⑦日地→厚木(市)
コウタケ〔皮茸〕 ⑲植物 225 C →キノコ〔別担子菌類〈ヒダナシタケ目・キクラゲ目〉〕 →ハリタケ
幸田成友 〔1875/1954〕 歴史学者・経済史学者。露伴の弟。社会経済史研究の先鞭をつける ⑤日史 407 B
光達距離 ⑰科技→灯台〔機能および構造〕
後宇多天皇 〔1267/1324〕 第91代天皇。大覚寺統の皇統で,後醍醐天皇の父。密教の信仰深く,文学も愛した ⑤日史 407 B図 ⑥日史→大覚寺統
敲打法 ⑨世史→旧石器時代
幸田露伴 〔1867/1947〕 小説家・随筆家・考証家。西鶴の影響下に作品を発表。第1回文化勲章受章 作『五重塔』 ①文学 213 C図 →『新小説』 →新聞小説 ⑤日史 407 C
公団 ⑪政社 166 D →公共企業体 ⑫経産 191 A →企業形態 →公企業 →財政投融資〔構造〕
講談 ③音演 202 C図 ⑥日史→大衆文学
降誕会 ⇨灌仏会
後段加速ブラウン管 ⑰科技→ブラウン管〔特殊〕
降誕祭 ⇨クリスマス
降誕祭劇〈クリスマス劇〉 ③音演→宗教劇
講談社 ①文学→野間清治 ⑥日史→野間清治
講壇社会主義 ⑪政社 167 A図 ⑨世史→社会政策学会 ⑫経産→価値判断〈84 C〉
『**江談抄**』 ⑤日史 407 C →大江匡房 ①文学→大江匡房 →漢文学〔中古〕 →『今昔物語』 →日本文学〔古代〕
光弾性 ⑯物数 187 A図
抗男性ホルモン療法 ⑭医学→前立腺〔前立腺癌〈治療〉〕 →ハギンズ,C〈372 D〉
高炭素合金鋼 ⑰科技→高速度鋼
硬たんぱく質 ⑮化学→タンパク質〔表分類〈単純〉〕 ⑳動物→たんぱく質〔性質〕
『巷談本牧亭』 ①文学→安藤鶴夫 →直木賞表
郊壇窯 ②美術→官窯
『巷談宵宮雨』 ③音演→宇野信夫
交趾 ⑤日史→朱印船〔交易範囲〕
河内(町) 広島 ⑦日地 454 D
垣内 ⑤日史→垣内
耕地 ⑧日地→休閑地〈1207 A〉 →耕地整理〈1210 D〉 →水田〈1218 D〉
高知(県) ⑦日地 455 A図表 ⑥日史→土佐国
高知(市) 高知 ⑦日地 458 D図
交趾写 ②美術→交趾焼
小内刈り ⑬生活→柔道〔基本〈投げ技〉〕図
小袿 ⑤日史→褻の装束 ⑬生活→袿〔和服〈歴史〉〕 →服装〔日本〈日中融合〉〕図
高知空港 ⑦日地→高知(県)〔交通〕 ⑧日地→南国(市)
高知公園 ⑦日地→高知(市)
公地公民 ⑤日史 407 C ⑥日史→大化改新〔大化改新詔〕 ⑫経産→律令制
行地社 ⑤日史 407 D →右翼運動〔大正〕 →国家社会主義運動 →神武会 ⑪政社→大川周明
拘置所 ⑪政社→拘禁
高知城 ⑤日史 407 D ⑦日地→高知(市)
河内神社 ⑦日地→古座峡
耕地整理 ⑧日地 1210 D ⑰科技→土地改良〔区画整理〕
高地登山 ⑬生活→登山〔登山技術〈適性〉〕
高地都市 ⇨高原都市
高知藩 ⑥日史→土佐藩
『荒地奮闘記』 ①文学→ムーディ,S
高知平野 高知 ⑦日地 460 A →香長平野
紅茶 ⑬生活 188 C図 →茶〔種類〕 ⑩世地→アッサム(州) ⑲植物→チャ〔製茶〕
交趾焼 ②美術 203 D
『河内山と直侍』 ⇨『天衣紛上野初花』

甲虫 ⑳動物 257 C図別 →体色
光柱 ⑱宇地→かさ
鉤虫〈十二指腸虫〉 ⑳動物 258 C図 ⑭医学→寄生虫図表 →駆虫剤〔テトラクロルエチレン〕
蝗虫 ⇨イナゴ
興中会 ⑨世史 208 D →孫文 ⑪政社→孫文〔革命運動の初期〕 →中国国民党
好中球 ⑭医学→血液〔白血球〕図
高忠憲 中国〔1562/1626〕 ④哲宗→東林学派
口中錠〈トローチ〉 ⑭医学→薬〔形状〈錠剤〉〕
行中書省 ⇨行省
高中性子束炉 ⑰科技→原子炉〔開発中〈研究炉〉〕
紅柱石 ⑱宇地 238 A図 →空晶石 →宝石表
耿仲明 中国 ⑨世史→三藩の乱
甲虫目〈鞘翅目〉 ⑳動物→甲虫 →昆虫〔分類〕〔表現生昆虫の種類〕
嚙虫目〈チャタテムシ目〉 ⑳動物→昆虫〔分類〕〔表現生昆虫の種類〕 →チャタテムシ
後趙 ⑨世史→羯 →五胡十六国 →石勒
高潮〈満潮〉 ⑱宇地→潮汐〔満干潮〕
郷長 ⇨里長
公聴会 ⑪政社 167 B →立法権〔行使過程〕
貢調使 ⑥日史→租庸調・雑徭 →四度使
皇朝十二銭〈本朝十二銭〉 ⑤日史 408 A図 →貨幣〔歴史〕 ⑫経産→貨幣史〔日本〕
高潮堤 ⑰科技 208 B →海岸工学 →防潮堤
腔腸動物 ⑳動物 258 C →動物〔分け方〕
高張力鋼 ⑰科技 208 B →鉄骨構造
交直流電気機関車 ⑰科技→電気機関車〔種類〕図表
交直流電車 ⑰科技→電車〔構造〕
交直両用電動機 ⇨ユニバーサルモーター
光緒帝 ⇨光緒帝
国府津 神奈川/小田原市 ⑦日地 460 B
江津(市) 島根 ⑦日地 460 B図
交通 ⑧日地 1210 D ⑨世史→交通発達史
交通違反 ⑪政社→行政罰
交通感応制御方式 ⑰科技→信号機〔道路用〕
交通・技術(野外)博物館《ニュージーランド》 ⑰科技 679 C
広通渠 ⑨世史→交通発達史〔道の起原〈中国〉〕 →大運河
交通計画 ⑰科技→交通システム
交通圏 ⑧日地→生活圏〈1219 B〉
交通公害 ⑰科技→交通システム〔新交通システム〕
交通工学 ⑰科技→交通システム
交通事業 ⑫経産 191 A表 →観光業 →自動車運送事業 →レジャー産業
交通事故 ⑬生活 189 D ⑪政社→慰謝料 ⑭医学→救急センター
交通事故傷害保険 ⑫経産→傷害保険
交通システム ⑰科技 208 C図表
交通信号機 ⑰科技→信号機〔道路用〕
交通図 ⑧日地 1211 A
交通ゼネスト ⑪政社→春闘
交通艇 ⑰科技→モーターボート〔用途〈業務用〉〕
交通都市 ⑧日地 1211 A →交易都市〈1209 C〉 →港湾都市〈1211 B〉
交通博物館 ⑰科技 678 C ⑦日地→神田 ⑧日地→東京(都)表
交通発達史 ⑨世史 208 D図
交通網計画 ⑰科技→都市計画〔内容と方法〕
上月(町) 兵庫 ⑦日地 460 C
高越鉱山 ⑧日地→山川(町)《徳島》
神津島 東京/伊豆諸島 ⑦日地 460 C →伊豆諸島 →神津島(村) ⑧日地→東京(都)〔観光〕 ⑱宇地→火山〔噴火形式〈有珠山・明神礁〉〕〔表活火山〕
神津島(村) 東京/伊豆諸島 ⑦日地 460 C
神津俶祐 〔1880/1955〕 鉱物学者。X線による鉱物の結晶構造の解析を開拓 ⑱宇地 238 B
神津閃石 ⑱宇地 238 B
甲津原 ⑦日地→伊吹山地
神津牧場 ⑦日地→荒船山 →下仁田(町) ⑧日地→妙義荒船佐久高原国定公園
黄帝 ⑨世史→三皇五帝 ⑭医学→医師〔歴史〕
肯定 ④哲宗→論理学〔用語〕
皇帝 ⑨世史 211 B →王〔西洋〕 →始皇帝 ⑥日史→天皇〔称号〕
『皇帝円舞曲』 ③音演→シュトラウス,J
肯定概念〈積極概念〉 ④哲宗→消極
公定価格 ⑫経産→価格統制 →統制経済
膠泥活字 ⑤日史→印刷術
工程管理 ⑫経産 191 D
黄帝紀元 ⑨世史→紀年法〔元号制〕

皇帝教皇主義 ④哲宗→キリスト教〔中世〕 →祭政一致
『皇帝協奏曲』 ③音演→カデンツァ →ベートーベン,L〔作風と作品〕
黄庭堅 中国〔1045/1105〕 宋代の書家。豪爽な筆法で,詩にも優れ江西詩派の祖といわれる ①文学 214 C ②美術 203 D図 →書〔中国書道史〈宋代以降の大家〉〕
『皇帝四重奏曲』 ③音演→ハイドン,F〔作品〈弦楽四重奏曲〉〕
『皇帝ジョーンズ』 ③音演→オニール,E →現代演劇図 →ロブスン,P図
皇帝崇拝 ④哲宗→祭政一致
皇帝政策 ⑨世史→領邦国家〔成立〕
『黄帝内経』 ⑨世史→科学史〔中国〕 →漢〔文化〕 ⑭医学→按摩〔沿革〕 →解剖 →鍼〔歴史・沿革〕
『皇帝伝』 ①文学→スエトニウス,G →伝記
皇帝党 ⇨ギベリン党
『皇帝とガリラヤ人』 ①文学→イプセン,H
『皇帝とプロレタリア』 ①文学→エミネスク,M
『皇帝の花嫁』 ①文学→メイ,L
口蹄病 ⑭医学→感染症〔表〈ウイルス性〉〕
公定歩合 ⑫経産 192 B →金利〈136 B〉
公定歩合政策 ⑫経産→銀行券 →金融政策〔手段〕 →中央銀行〔機能〕
公定歩合操作 ⑫経産→日本銀行〔機能〕
工程分析 ⑫経産→インダストリアル・エンジニアリング
コウテイペンギン〈エンペラーペンギン〉 ⑳動物→鳥類〔繁殖〕 →ペンギン〔種類〕図
鉱泥浴 ⑭医学→水治療法〔薬浴〕
皇帝礼拝 ⑨世史→ローマ〔文化史〕
高適 中国〔707*/765〕 盛唐の詩人。戦争の悲惨を詠じた辺塞詩に長じた ①文学 214 D
公的扶助 ⑫経産→社会保障制度〔日本〕
『鋼鉄はいかに鍛えられたか』 ①文学→オストロフスキー,N →社会主義リアリズム
香寺(町) 兵庫 ⑦日地 460 C
公転 ⑱宇地 238 B →自転 →地球〔宇宙の中の地球〕 →年 →年周運動 →暦表時
交点 ⑱宇地 238 C
公田〈くでん,乗田〉 ⑤日史 408 C →私田 →乗田 ⑥日史→賃租 →律令制〔土地と農民の支配〕
功田 ⑤日史 408 C
香典 ⑬生活→葬式〔弔問〕
香典返し ⑬生活→葬式〔後始末〕
光電管 ⑯物数 187 C図 →光電効果 →光電子 →光電子増倍管 →電子管 ⑰科技 211 B図
光電管照度計 ⑯物数→照度計
紅電気石〈ルベライト〉 ⑱宇地→電気石
後天形質 ⇨獲得形質
交点月 ⑱宇地 238 C →月《天体》〔軌道〕
光電効果 ⑯物数 188 A →光電子 →光量子 →接触電位差 →電子工学 →光 →不確定性原理 →ヘルツ,H →量子論〔量子仮説と光量子〕 ⑰科技→光電素子
コウテンシ〔告天子〕 ⑳動物 259 A
光電子 ⑯物数 188 B →光電管 →光電効果
高伝寺 ⑦日地→佐賀(市)図
光電式回転速度計 ⑰科技→回転速度計図
光電子増倍管 ⑯物数 188 C図 →計数管〔光の放射を利用〈シンチレーション計数管〉〕図 →光電効果
格天井 ②美術→天井〔日本〕図 ⑬生活→天井図
光電選鉱 ⑰科技→選鉱〔選鉱法〈その他〉〕
光電素子 ⑰科技 211 C図 →エレクトロニクス〔図固体素子〕
耕田隊 ⑫経産→合作社
校田帳 ⑫経産→班田制
交点定理 ⑯物数 188 C
後天的 ⇨ア・ポステリオリ
後天的判断 ④哲宗→分析的判断
光電等級 ⑱宇地→等級
光電比色計 ⑮化学 253 B
公田法 ⑨世史→賈似道
後天免疫〈獲得免疫〉 ⑭医学→免疫
光度 ⑯物数 189 A →光〔強さと視覚〕 ⑱宇地 238 C
紅土 ⇨ラテライト
高度 ⑱宇地 238 C →地平座標 →天球
黄土〈こうど,おうど,レス〉 ⑱宇地 238 C →シルト ⑧日地→黄土〈1201 B〉 →プスタ〈1231 D〉 →レス〈1238 B〉

人で,元寇の際の活躍は有名 ⑤日史 411 D
国府宮〈尾張大国霊神社〉 ⑦日地→稲沢(市)
河野守弘 [1793-1863] ⑤日史→下野国〔囲人国記〕
高師直 [*-1351] 南北朝時代の武将。足利尊氏の執事。尊氏の弟直義と対立し滅ぼされる ⑤日史 411 D →足利尊氏〈17 D〉 →足利直義 →観応の擾乱 →四条畷の戦い →執事〈室町幕府〉
高師冬 [*-1351] 武将。師直の従兄弟。南北朝動乱期に師直の命に従って活躍,のち足利直義派に滅ぼされる ⑤日史 412 A
高師泰 [*-1351] 武将。師直の弟。つねに兄と行動をともにし尊氏の信頼を得たが,兄ともども殺される ⑤日史 412 A →四条畷の戦い
河野養哲 [1661-1727] ⑤日史→周防国〔囲人国記〕
郷の義弘 ⇨義弘
高野蘭亭 ①文学→漢文学〔近世〕
こうは〔皓礬〕 ⑮化学→硫酸亜鉛
光波 ⑯物数→干渉 →干渉性 →横波
鉱場 ⑰科技→鉱山
向拝〔御拝〕〈向拝〉 ②美術 204 B
光背 ②美術→荘厳具図 ④哲宗→仏像〔荘厳具,その他〕
交配 ⑲植物 225 C →交雑 →雑種 ⑳動物 259 C →育種
『荒廃』 ①文学→ミストラル,G
勾配 ⑰科技→線路
勾配〈方程式〉 ⇨傾き
『紅梅』 ①文学→紫式部〔表源氏物語〕
後配株 ⑫経産→株式〔種類〕
広背筋 ⑭医学→筋肉〔骨格筋〈背部〉〕図
購買組合 ⑫経産→協同組合
後背湿地 ⑧日地 1211 A →氾濫原〈1230 B〉 →遊水池〈1236 A〉 ⑱宇地→湿地
公倍数 ⑯物数 189 C →最大公約数・最小公倍数
『紅梅千句』 ①文学→松永貞徳
後背地 ⑧日地 1211 A
荒廃田 ⇨不堪佃田
勾配標 ⑰科技→線路〔線路標識〕図
紅梅焼 ⑬生活→煎餅
購買力平価 ⑫経産→外国為替相場〈68 C〉 →カッセル,G
紅白 ⑳動物→コイ〔ニシキゴイ〈ヒゴイ〉〕図
港泊図 ⑰科技→海図〔種類〕 ⑱宇地→海図
侯伯戦争 ⑨世史→オックスフォード条項
『紅白梅図屏風』 ②美術→尾形光琳 →障屏画別
光波測距儀 ⑰科技→測量〔間接距離測量〕
後発展途上国 ⑫経産→発展途上国開発問題
高発泡車 ⑰科技→消防車
古ウパニシャッド ④哲宗→ウパニシャッド ⑨世史→ウパニシャッド
郷原遺跡 ⑤日史→縄文文化別
耕治人 [1906] 詩人・小説家。私小説系統の作品に本領を発揮 ①文学 215 B
江藩 中国 ④哲宗→漢学〔2〕
公判 ⑪政社→刑事訴訟〔プロセス〕
『公判』 ③音演→ライス,E
孔版 ②美術→版画〔種類〕 →木版画〔凸の版のなかま〕
甲板 ⑰科技→貨物船〔特徴〕
鋼板 ⑰科技→鋼材
合板 ⑰科技 213 A →合せ板 ⑬生活→家庭工作〔工作材料〈木材〉〕 →木材〔利用と加工〕 ⑮化学→接着剤〔沿革と産業〕
孔版印刷 ⑰科技 213 A →印刷図 ⑫経産→印刷業〔日本〕
合板工業 ⑫経産→木材工業
強飯式 ⑧日地→日光(市)〔輪王寺〕図
紅斑性凍傷 ⑭医学→凍傷〔第1度〕
紅斑性狼瘡〈エリテマトーデス〉 ⑭医学→膠原病表 →皮膚病図
香盤時計 ⑰科技→時計〔歴史〈第1期〉〕図
公判陪審〈小陪審〉 ⑪政社→陪審制
紅斑量 ⑭医学→放射線障害〔局所〈皮膚〉〕
口碑 ⇨口承文芸
公比 ⑯物数 189 C →等比級数 →等比数列
交尾 ⑳動物→生殖〔性周期〕 →発情
合肥 ⇨ホーフェイ
広鼻猿類 ⑳動物→サル〔分類と分布〕別
抗ヒスタミン剤 ⑭医学→瘙痒 →ヒスタミン
紅砒ニッケル鉱 ⑱宇地 239 B ⑮化学→ニッケル
公費負担医療 ⑫経産→社会保険〔医療保険〕
興浜南線 ⑧日地→名寄本線

孔鮒〈子魚〉 中国 ④哲宗→『孔叢子』
甲府(市) 山梨 ⑦日地 462 C図
江府(町) 鳥取 ⑦日地 462 D
坑夫 ⑫経産→納屋制度
『坑夫』 ①文学→宮嶋資夫
更賦 ⑨世史→漢〔政治・制度〕
工部 ⑨世史→三省六部
光風会 ⑤日史 412 A
綱封倉 ②美術→正倉院〔宝物の管理〕
公武合体論 ⑤日史 412 A →開国〔攘夷運動〕 ④哲宗→佐久間象山 ⑥日史→尊王攘夷運動〔第2期〕
交付金 ⑪政社→補助金 ⑫経産→国庫支出金 →補助金
甲府勤番 ⑤日史 412 B →甲斐国
幸福 ④哲宗 191 B
『幸福』 ①文学→シュリ・プリュドム
降伏 ⑪政社 168 D ⑥日史→無条件降伏
幸福安全社 ⑥日史→政党政治〔戦前〕
光復会 ⑨世史 212 B →秋瑾 →章炳麟
広福寺 ⑦日地→川崎(市)〔観光・文化〕
広福寺 ⑥日史→大智 ⑧日地→武雄(市)
弘福寺 ⑦日地→墨田(区)〔向島七福神〕
興福寺 ②美術 204 B図 →仏教建築〔図伽藍配置の諸形式〕 ④哲宗 191 C図 →法相宗 ⑤日史 412 C →春日大社 →観世座 →強訴 →国民 →守護〔実情〕 →荘園〔類型〕 →声聞師 →神輿・神木 ⑥日史→奈良(市) →南都北嶺 →藤原不比等 ⑦日地→猿沢池 ⑧日地→奈良(市)〔囲神社・仏閣〕図
興福寺 ⑧日地→長崎(市)
興福寺薪能 ⑧日地→奈良(市)〔囲神社・仏閣〕図
興福寺南円堂 ④哲宗→西国三十三所表
降伏点 ⑯物数→変形〔弾性限度〕
『幸福な王子』 ①文学→ワイルド,O
『幸福な生活について』 ①文学→セネカ,L(小)
『幸福の後に来るもの』 ①文学→ケッセル,J
『幸福の書』 ①文学→ナースィレ・ホスロー
『幸福の設計』 ③音演→映画〔トーキー〈第5期〉〕
『幸福の谷』 ①文学→ホワイト,P
『幸福はだれにくる』 ①文学→マルシャーク,S
降伏文書 ⑤日史 412 D →昭和時代図 ⑥日史→太平洋戦争〔終結〕 →ミズーリ
降伏法〈調伏法〉 ④哲宗→修法
『幸福者』 ①文学→武者小路実篤
『幸福論』 ①文学→アラン ④哲宗→アラン
交付国債 ⑫経産→公債
古ウプサラ ⑩世地→スウェーデン(王国)〔地方誌〈中部〉〕図
香附子 ⑭医学→生薬
広布種 ⇨普遍種
講武所 ⑤日史 412 D ⑬生活→剣道〔歴史〈江戸時代〉〕
工部省 ⑤日史 412 D →官営工業 →鉱業〔近代〕
『洪武正韻』 ①文学 215 B
洪武銭〈洪武通宝〉 ⑤日史 413 A ⑥日史→明銭
工部大学校 ⑤日史 413 A →学校令 ⑰科技→技術〔日本〕
公物 ⑪政社 168 D
鉱物 ⑱宇地 239 B表別 →鉱床 →条痕 ⑰科技→鉱山
洪武通宝 ⇨洪武銭
鉱物化学 ⑮化学 253 B →化学〔化学とは何か〈諸分科〉〕 ⑱宇地→鉱物学
鉱物学 ⑱宇地 242 B →地球科学
鉱物形態学 ⑱宇地 242 B →鉱物学
鉱物顕微鏡 ⑱宇地 242 C ⇨偏光顕微鏡
鉱物資源 ⑧日地→鉱山〈1210 A〉 →地下資源〈1224 A〉 ⑫経産→付録〈612〉図 ⑱宇地→海洋開発 →鉱物
鉱物質肥料 ⑮化学→化学肥料
鉱物処理 ⑰科技→選鉱〔技術の新動向〕
鉱物性顔料 ⇨無機顔料
鉱物染料 ⑬生活→染物〔染料〕 ⑮化学→色素 →染料〔天然染料〕
光武帝〈劉秀〉 中国〔前6-後57〕 後漢の創始者。王莽の軍を破り,漢朝を復興して洛陽に都を定める ⑨世史 212 C図 →漢〔概観〕
孝武帝 中国[430-464] ⑨世史→宋《南朝》
洪武帝 ⇨朱元璋
甲武鉄道 ⑫経産→鉄道〔日本〕 ⑰科技→鉄道〔歴史〈動力車〉〕図
『興夫伝』 ①文学→朝鮮文学
工部美術学校 ②美術→フォンタネージ,A →明治の美術

甲府盆地 山梨 ⑦日地 463 C ⑱宇地→盆地
高芙蓉 [1722-1784] 江戸中期の儒者・篆刻家。博識で故実に通じ,書画をよくし,印聖とよばれた ②美術 205 C →印章〔日本〕 →篆刻
冠 ⇨冠
興奮 ⑭医学 210 A
興奮 ⑲植物→感覚
弘文院 ⑤日史 413 A ⑥日史→大学別曹 →和気氏《備前》
光分解 ⑮化学 252 B →分解
弘文館 ⑤日史→昌平黌
『広文庫』 ①文学→物集高見
興奮剤 ⑭医学→薬〔種類〈神経系に作用〉〕
高分子 ⑮化学 253 C →巨大分子 →分子 ⑯物数→生物物理学 →分子量
高分子化学 ⑮化学 254 C →化学〔歴史〈現代〉〕 ⑯物数→高分子物理学
高分子化合物 ⑫経産→合成化学工業 ⑮化学→プラスチック〔プラスチックとは何か〕
高分子凝集剤 ⑮化学→プラスチック〔特殊〕
高分子物質 ⑮化学→重合
高分子物理学 ⑯物数 189 C
公文書館 ⑤日史 413 A
孝文帝 中国[467-499] 北魏第6代皇帝。大いに漢化政策を進め,胡・漢相互の通婚なども奨励 ⑨世史 212 C →魏晋南北朝〔概観〕 →三長制 →北魏
興奮伝導 ⑭医学→興奮 ⑳動物→神経
弘文天皇〈大友皇子〉 [648-672] 第39代天皇。天智天皇の嫡皇子で,大海人皇子〈天武天皇〉との壬申の乱に敗れて自殺。明治になって追諡 ⑤日史 413 A →『懐風藻』 →壬申の乱〔経過〕 ①文学→『懐風藻』 →漢文学〔上代〕 ⑥日史→天武天皇
構文論 ⑪政社→シンボル
神戸(市) 兵庫 ⑦日地 463 D図
高棅 中国[1350-1423] 明初の詩人。唐を中国詩の頂点とし,初盛中晩の四期に初めて分類 ①文学 215 B
公平委員会 ⑪政社→委員会〔行政委員会〈地方公共団体〉〕 →行政組織〔図地方公共団体〕 →公務員〔地方公務員〕 →地方公共団体〔機関〕
抗米援朝 ⑨世史 212 D
河辺石 ⑱宇地 242 C
公平の原則 ⑫経産→租税〔囲用語〕 →租税特別措置
神戸牛 ⑧日地→兵庫(県)〔産業〈牧畜業〉〕 ⑬生活→牛肉 →郷土料理〔図〈兵庫〉〕
『孔壁古文尚書』 ④哲宗→古文学
神戸空港 ⑰科技→海上都市〔展望〕
神戸港 ⑦日地 467 C図
神戸高速鉄道 ⑧日地→兵庫(県)〔交通〕
神戸事件 ⑤日史 413 B
神戸市森林植物園 ⑲植物→植物園表
神戸市立王子動物園 ⑳動物→動物園〔表日本〕
神戸市立南蛮美術館 ②美術 680 D ⑦日地→神戸(市)
神戸製鋼所 ⑫経産→金子直吉
神戸朝鮮人学校事件 ⑤日史 413 B
皇別 ⑤日史 413 B →『新撰姓氏録』
神戸電鉄 ⑧日地→兵庫(県)〔交通〕
コウベ・ムスリム・モスク ⑦日地→神戸(市)図
コウベモグラ ⑳動物→モグラ〔日本産〕
洪楩 ①文学→『雨窓欹枕集』 →『清平山堂話本』
高弁 ⇨明恵
康弁 [*-*] 鎌倉中期の仏師。運慶の三男といわれ,教王護国寺の仁王・二天像の製作などに従事 ⑤日史 413 C ②美術→鎌倉時代の美術〔彫刻〕図
合弁花 ⑲植物 226 A →管状花 →花〔整正花と不整正花〕図
合弁会社 ⑫経産→会社
合弁花冠 ⑲植物→花冠
合片がく ⑲植物→がく
合弁花植物 ⑲植物→合弁花 →双子葉植物
黄勉斎 中国 ④哲宗→宋学〈348 B〉
孔辺細胞 ⑲植物→気孔 →水孔
耕圃 ⑫経産→開放耕地制度〔三圃制度〕
酵母 ⑬生活→パン〔歴史〕 ⑮化学→エタノール〔製法〕 →醸造 ⑲植物→酵母菌類 →発酵 ⑳動物→酵素
公法 ⑪政社 169 A →法〔種類〕
航法 ⑰科技 213 A図

国庫補助金　⑫経産→地方財政〔特徴〕　→補助金〔実情〕
コッサ,F　[1435*/1477*]　②美術→ルネサンス美術〔開花〈美術活動の展開〉〕
骨細胞　⑭医学→骨〔構造〕
兀子ごっし〔杌子〕　⑤日史 441 D
骨歯角文化　⑱宇地→化石人類〔人類の進化〈猿人〉〕
乞食　④哲宗→仏教〔囲用語〕
骨質　⑭医学→骨〔構造〕
骨質柱〈海綿小柱〉　⑭医学→骨〔構造〕図
骨主　⑨世史→一田両主制
骨腫　⑭医学→骨〔異常・疾患〕
コッシュート,L　ハンガリー[1802/1894]　革命家,共和国初代大統領。オーストリアの支配に反対し抵抗。敗北して亡命　⑨世史 225 A図　→東欧史〔歴史〈民族の覚醒〉〕
骨腫瘍　⑭医学→骨〔異常・疾患〕
骨髄　⑭医学→骨〔構造〕図
骨髄移植　⑭医学→胃癌〔治療〕
骨髄炎〈骨膜骨髄炎〉　⑭医学→骨〔異常・疾患〕
骨髄腫　⑭医学→癌〔造血器の癌〈多発性骨髄腫〉〕　→骨〔異常・疾患〕
骨髄穿刺　⑭医学→血液〔図血液検査〕
骨髄像〈ミエログラム〉　⑭医学→骨〔構造〈骨髄〉〕
骨折　⑭医学 218 A図　→応急手当図　→柔道整復師　→スポーツ医学〔内容〕　→骨つぎ
コッセル,A　ドイツ[1853/1927]　生理化学者。核タンパク質・核酸を研究。ノーベル生理学医学賞受賞　⑮化学 260 C　→ヒスチジン
コッセル,W　ドイツ[1888/1956]　物理学者。イオンの形成・結合を解明。X線による結晶回折像を研究　⑮化学 261 A　→化学〔歴史〈現代〉〕　→化学結合〔概念の変遷〈電子〉〕　→物理化学
ゴッセン,H　ドイツ[1810/1858]　経済学者。限界効用逓減の法則,限界効用均等の法則で知られる　⑫経産 216 C　→主観価値説
骨相学　⑭医学→ガル,F〈466 D〉
骨層板〈ハーバース層板〉　⑭医学→骨〔構造〕図
骨粗鬆症〈骨多孔症〉　⑭医学→骨〔異常・疾患〕
コッソバの戦い　⑨世史→オスマン・トルコ帝国　→ムラト(一世)
コッター　⑰科技→キー図
『太夫さんこったい』　③音演→北条秀司
骨多孔症〈骨粗鬆症〉　⑭医学→骨〔異常・疾患〕
小蔦島　⑧日地→蔦島こ　→仁尾(町)
骨端炎　⑭医学→骨〔異常・疾患〕
兀庵普寧ごったんふねい　中国[1197/1276]　臨済宗の僧。鎌倉中期に来日,北条時頼の帰依をうけ建長寺第二世住持となったが,のち帰国　⑤日史 441 D図　④哲宗→臨済宗囲
コッチバチ　⑳動物→ツチバチ
後土御門天皇　[1442/1500]　第103代天皇。在位中に応仁の乱がおこり,皇居も仮御所に移り,経済的困窮に苦慮　⑤日史 441 D
ゴッツァーノ,G　イタリア[1883/1916]　詩人・小説家。死・愛の挫折などをうたう。コランツィーニとともに黄昏派を代表　①文学 225 A
ゴッツィ,C　イタリア[1720/1806]　劇作家。コメディア・デル・アルテ風な夢幻劇は保守的な観客を魅了　①文学 225 A　→ワフタンゴフ,E　③音演→イタリア演劇〔17～18世紀〕
ゴッツィ,G　イタリア[1713/1786]　批評家。文明批評と人生分析を織りまぜたモラリスト風な評論で著名　①文学 225 A
コッツェブー,A　ドイツ[1761/1819]　劇作家。多作だが喜劇に優れる。ロシア政府の文化使節としてドイツ滞在中に刺殺　①文学 225 A　⑨世史→カールスバートの決議　⑨世史→ブルシェンシャフト
ゴッツォリ,B　イタリア[1420/1498]　初期ルネサンスのフィレンツェ派の画家。写実的技法で世態風俗の豪華さを表現　②美術 217 B図
ゴッツチョーク,L　アメリカ[1829/1869]　③音演→アメリカ音楽〈12 D〉
骨壺　⑬生活→葬式〔出棺から埋葬〈火葬〉〕
小鼓　③音演→鼓図
小包　⑬生活→郵便〔郵便物〕
コッテ,C　フランス[1863/1925]　画家。黒や褐色を基調とする敬虔な感情に満ちた画面を構成。「黒の団体」を結成　②美術 217 C
コット　⑬生活→コート　→服装〔西洋〈中世〉〕
コッド(岬)　アメリカ/マサチューセッツ　⑩世地 216 C
ゴッド　⇨神
骨導〈骨伝導〉　⑭医学→聴覚
『骨董屋』　①文学→ディケンズ,C図

ゴットシェット,J　ドイツ[1700/1766]　批評家。合理主義美学の立場で活躍。言語・文芸研究者でもある　①文学 225 A　③音演→ドイツ演劇〔歴史〕
『ゴッド・セイブ・ザ・クイーン(キング)』　③音演→国歌
『ゴッドファーザー』　③音演→映画〔トーキー〕図
ゴットフリート・フォン・シュトラスブルク　ドイツ[1170*/1210*]　叙事詩人。未完の大作『トリスタンとイゾルデ』で知られる　①文学 225 B　→トリスタンとイゾルデ
『ゴッド・ブレス・アメリカ』　③音演→軍歌
ゴッドフロア・ド・クレア　②美術→七宝しっぽう〔歴史〕
ゴットヘルフ,J　スイス[1797/1854]　小説家。牧師として一生を送り,写実主義的な農民文学で知られる　①文学 225 B
ゴットホープ　デンマーク/グリーンランド　⑩世地 216 C
ゴットマン,J　フランス　⑰科技→都市計画〔都市計画・設計思想の歴史〈近代以降〉〕　→メガロポリス
ゴットル,F　⑰科技→技術〔技術論〕
ゴットワルト,K　チェコ[1896/1953]　政治家,首相・大統領。第二次大戦中はモスクワからチェコ向け宣伝放送を担当　⑨世史 225 B図　→ザーポトツキー,A　→東欧史〔歴史〈第二次大戦後〉〕
ゴットワルドフ　チェコ　⑩世地 216 C
コットン,C　①文学→ウォルトン,I
コットン,W　イギリス　⑬生活→メリヤス
コットンシードオイル　⇨綿実油めんじつゆ
コットンハット　⑩世地→ストックポート
コットン・ヘアード・タマリン　⑳動物→サル〔別〈原猿類と広鼻猿類〉〕
コットンベルト　⑩世地→アメリカ(合衆国)〔経済・産業〈農林・水産業〉〕
小繋事件こつなぎ　⑪政社 204 D　→入会　⑤日史→入会いりあい〔争論〕
骨軟化症　⑭医学→ビタミン〔ビタミンD〕　→骨〔異常・疾患〕
骨肉腫　⑭医学→癌図別　→骨〔異常・疾患〕
コツノアリ　⑳動物→アリ〔変態〕
コッパー・インディゴ　⇨コベリン
骨盤　⑭医学 218 C図　→股関節こかんせつ　→法医学〔図個人識別〕　→骨〔骨格〕図
骨盤位〈逆児さかご〉　⑭医学→出産〔異常分娩〕　→妊娠〔胎位〕
骨半規管　⑭医学→耳〔内耳〕
骨盤計測　⑭医学→骨盤図　→妊娠〔後期〕
骨品制　⑨世史 225 B　→新羅しらぎ〔社会・文化〕
小粒　⇨豆板銀
コップ,H　ドイツ[1817/1892]　化学者・科学史家。分子熱・比容積など物理化学的研究領域の開拓者　⑮化学 261 A　→化学〔歴史〈時代区分〉〕
コップ〔KOPF〕〈日本プロレタリア文化連盟〉　⑤日史 441 D　①文学→ナップ　⑥日史→プロレタリア文化運動
コッフェル・セット　⑬生活→キャンプ〔図用具〕
コツブゲンゴロウ　⑳動物→ゲンゴロウ
コップ座　⑱宇地→星座〔四季〈春〉〕表
コップフ彗星　⑱宇地→彗星〔表周期彗星〕
骨粉　⑮化学→肥料〔有機質肥料〕　⑲植物→肥料〔表〈リン酸質肥料〉〕
『コッペリア』　③音演→ドリーブ,C
コッヘル,T　スイス[1841/1917]　外科学者。多数の外科的論文を発表し,鋸歯状鉗子など手術器具を数多く考案。ノーベル賞受賞　⑭医学 28 D　→ノーベル生理学=医学賞図表
コッホ,R　ドイツ[1843/1910]　細菌学者。細菌学の基礎を確立し結核菌・コレラ菌を発見。ノーベル賞受賞　⑭医学 220 A図　→北里柴三郎〈132 D〉　→結核〔歴史〕　→細菌〔研究の歩み〕
ゴッホ,V　オランダ[1853/1890]　画家。印象派や日本の浮世絵に開眼され,後期印象派の代表的存在。自画像が多い　②美術 217 D図　→オランダ美術　→自画像図　→アムステルダム市立美術館〈683 A〉　⑲植物→イトスギ図図
コッポ編み　⑬生活→レース〔3〕
小坪海岸　⑦日地→逗子(市)
『ゴッホの手紙』　①文学→小林秀雄
骨膜　⑭医学→骨〔構造〕図
骨膜炎〈骨髄骨膜炎〉　⑭医学→骨〔異常・疾患〕
コツユビンスキー,M　ロシア[1864/1913]　小説家。生地のウクライナ語で作品を発表。短編に傑作が多い　①文学 225 C
骨瘍　⑭医学→カリエス
骨様骨腫　⑭医学→骨〔異常・疾患〈骨腫〉〕
『骨寄せ岩藤』　⇨『加賀見山再岩藤かがみやまごにちのいわふじ』

骨鱗　⑳動物→魚類〔形態〕
コッレオーニ　⑨世史→コンドッティエーリ
鏝こて　⑬生活→アイロン
籠手　⑤日史→甲冑かっちゅう〔小具足〕　⑥日史→鞆とも　⑬生活→剣道〔用具〕図
五帝　⑨世史→三皇五帝
ゴーティ,L　③音演→シャンソン《ポピュラー》〔特徴〕図
固定アーチ　⑰科技→アーチ橋　→アーチ構造〔図構造形式〕　→橋〔構造形式による分類〕
コディアック(島)　アメリカ/アラスカ　⑩世地 216 C　→アラスカ(湾)
コディアックグマ　⇨アラスカアカグマ
湖底遺跡　⑤日史 441 D　⑥日史→野尻湖底遺跡　→琵琶湖湖底遺跡
コーディエライト　⇨菫青石
固定空気〈炭酸ガス〉　⑯物数→ブラック,J
固定砂丘　⑱宇地→砂丘〔分類,分布〕
固定式掘削法　⑰科技→海洋掘削
固定軸継手　⑰科技→軸継手図
固定資産　⑫経産→株式〔囲用語〕　→減価償却　→資産表
固定資産税　⑪政社→租税〔わが国〈地方税〉〕　⑫経産→地方税　⑬生活→住まい〔各種手続〈税金〉〕表　→税金〔地方税〕
固定資産評価審査委員会　⑪政社→委員会〔行政委員会〈地方公共団体〉〕　→行政組織〔図地方公共団体〕　→地方公共団体〔機関〈執行機関〉〕
固定資本　⑫経産→恐慌　→資本Ⅱ　→費用価格
固定資本形成　⑫経産→日本経済事情〔財政金融制度〈財政制度〉〕
湖底水道　⑱宇地→湖沼〔湖盆〕
固定相場　⑫経産→外国為替相場〈68 C〉　→国際流動性問題
湖底段丘　⑧日地→段丘〈1223 A〉
固定抵抗器　⑰科技→回路部品〔抵抗器〕
固定ド唱法　③音演→ソルミゼーション
コーディネート　⑬生活→洋装
固定ピッチプロペラ　⑰科技→プロペラ〔飛行機〕
固定費用　⑫経産→費用
固定フォンド　⑫経産→フォンド
こてい節　③音演→民謡〔表〈沖縄〉〕
固定プラットホーム　⑰科技→海洋掘削図
湖底平野〈湖底平原〉　⑧日地→堆積平野〈1221 D〉　⑱宇地→湖沼〔湖盆〕図　→堆積
コティヨン〈コチロン〉　③音演→舞曲
顧亭林　⇨顧炎武こえんぶ
固定ルーバー　⑰科技→ルーバー
コティロサウルス　⑳動物→カメ〔進化〕
コデイン　⑭医学→咳〔咳止め〕　⑮化学→アルカロイド表
ゴ・ディン・ジエム　⇨ゴ・ジン・ジエム
胡適こてき,フーシー　中国[1891/1962]　思想家。封建文化からの解放をめざし国語文学運動を推進,学術・思想界に大きな影響を与える　①文学 225 C　→新月社　→白話　④哲宗 202 B図　⑪政社 204 D図　⑨世史→胡適こてき
ゴデギゼル　⑨世史→バンダル族
小手指ヶ原こてさしがはら　埼玉　⑦日地 480 A
コテージ・ピアノ　③音演→ピアノ〔構造〕
ゴーデスベルク綱領　⑪政社→ドイツ社会民主党〔第二次大戦後〕
碁手銭　⑬生活→囲碁〔囲故事〕
虎徹こてつ　[＊.＊]　江戸前期の刀工。桃山の風を脱し,個性のあふれた刀をつくり,江戸の代表工となる　⑤日史 442 A
コデッタ　③音演→コーダ
コーテッドペーパー　⑰科技→紙〔種類〈洋紙〉〕　→コート紙
コデマリ〔小手毬〕　⑲植物 239 B図
コーデュロイ　⑬生活→洋装〔囲洋服地〈縞〉〕
古照遺跡こてらし　⑤日史 442 A　⑧日地→松山(市)
コーテリ　⑳動物→プレーリードッグ
コーデリア　①文学→シェークスピア,W〔リア王〕
湖田　⇨圩田うでん
『後伝』　⑨世史→『漢書』
ゴテンアナゴ　⑳動物→アナゴ〔種類〕
御典医　⑭医学→医師〔歴史〕
『古典オリエント民族の古代史』　⑨世史→マスペロ,G
古典学派　⑫経産 216 D　→経済学〔経済学史〕　→ミル,J.S
古典経済学　⇨古典学派
『古典交響曲』　③音演→プロコフィエフ,S

五味康祐 ［1921-1980］ 小説家。歴史ものから転じ,ユニークな発想に立つ時代小説で知られる 作『柳生武芸帳』 ①文学229 C →芥川賞表
五味子 ⑭医学→生薬
コミスコ〈国際社会主義者会議委員会〉 ⑨世史→インターナショナル〔第二インター〕 ⑪政社→インターナショナル〔第二インター〕 →社会主義〔マルクス以後〕
コミスジ ⑳動物→ミスジチョウ
後水尾天皇 ［1596-1680］ 第108代天皇。将軍秀忠の女和子を中宮とし,紫衣事件などで幕府と対立。修学院離宮を造営 ⑤日史451 A図 →紫衣事件 →修学院離宮 ⑥日史→東福門院
小店 ⇨雁木
ゴミソ ⑪政社→シャマニズム〔日本〕
古見岳 ⑦日地→西表島
小御岳火山 ⑧日地→富士山
小乱 ②美術→日本刀〔図刃文の種類〕
コミック・オペラ ③音演→オペラ〔種類〕
コミック・ストリップ ②美術→漫画
コミッション ⑫経産→手数料
コミッソ,G イタリア［1895-1969］ 小説家。奇想天外な『アドリアティコの海風に』で有名 ①文学229 C
コミツバチ ⑳動物→ミツバチ〔種類と分布〕
コミティア ⑨世史→民会
コミティア・ケントゥリアタ ⇨兵員会
コミティア・トリブタ ⇨平民会
小湊 青森/平内町 ⑦日地485 D
小湊 千葉/天津小湊町 ⑦日地485 D
小湊《鹿児島》 ⑦日地→加世田(市)
小湊鉄道 ⑧日地→千葉(県)〔交通〕
コミーヌ,P フランス［1445?-1511］ 政治家・年代記作者。宮廷に仕え,のち回想録を残した ①文学229 C
コミネカエデ〔小峰槭〕 ⑲植物245 B →カエデ図
小峯城 ⇨小田原城
小峰城跡 ⑦日地→白河(市)
五味釜川 ［1718-1754］ ⑤日史→甲斐国囲人国記
コミミズク〔小耳木兎〕 ⑳動物279 B →フクロウ図
ゴミムシ〔塵芥虫〕 ⑳動物279 C図
ゴミムシダマシ〔偽歩行虫〕 ⑳動物279 C図
小宮豊隆 ［1884-1966］ 評論家。大正教養派的傾向を担い,漱石研究で知られる ①文学229 D
コミヤマカタバミ ⑲植物→カタバミ図
小宮山昌秀〈小宮山楓軒〉 ［1764-1840］ 江戸中期の水戸藩の農政家。領内の紅葉村の郡奉行としてその復興を実現 ⑤日史451 B ⑥日史→常陸国囲人国記
コミューター ⑰科技→飛行機〔用途〈輸送機〉〕
コミュニケ ⑪政社→外交〔囲用語〕
コミュニケーション ⑪政社205 D →広告 →出版 →マス・コミュニケーション ⑫経産→マス・コミュニケーション
コミュニケーション・デザイン ②美術→グラフィック・デザイン
コミュニズム(峰) ソ連 ⑩世地219 C →ソビエト(連邦)〔自然〈地形〉〕 →パミール
コミュニズム ⇨共産主義
コミュニティ〈共同体,地域社会〉 ⑪政社206 B →共同体 →社会集団〔集団の諸類型〕 ⑰科技222 A →都市計画〔地区設計・都市設計の歴史〈現代〉〕 →広場 ④哲宗→伝統 ⑥日史→村落共同体 ⑨世史→共同体 →ファシズム〔思想〕 ⑫経産→アジア的共同体 →ゲルマン的共同体 →原始共同体 →古典古代的共同体
コミューン ⑨世史226 D →フランス(共和国)〔歴史〈ルネサンスと宗教改革の時代〉〕 ⑪政社206 D
『コミューンの日々』 ③音演→ブレヒト,B図
コミューン評議会 ⑨世史→パリ・コミューン〔崩壊経過〕
護民官 ⑨世史227 A →ローマ〔共和政期〈身分闘争〉〕
護民官《イギリス》 ⇨護国卿
コミンテルン〈共産主義インターナショナル,第三インターナショナル〉 ⑨世史227 A図 →コミンフォルム →ソビエト(連邦)〔十月革命〕 →レーニン,V〔ソビエト政権〕 ①文学→プロレタリア文学 ⑥日史→インターナショナル →片山潜 →共産主義インターナショナル →抗日運動 →三十二年テーゼ →人民戦線事件 ⑪政社→インターナショナル図 →共産党〔歴史〕 →国際主義 →社会主義〔マルクス以後〕 →人民戦線〔一〕 →統一戦線〔歴史〕 →平和運動〔第二次大戦前〕
コミンフォルム〈共産党・労働者党情報局〉 ⑨世史227 B →冷戦〔発生〕 ⑪政社206 D図 →インターナショナル〈30 D〉 →共産党〔歴史〕 →社会主義〔マルクス以後〕 →西欧政治事情〔冷たい戦争〕 →米ソ関係〔冷戦〕 ⑤日史→共産党・労働者党情報局
コム イラン ⑩世地219 D
ゴム ⑮化学262 B図表 →充てん剤 ⑫経産→アジア経済事情〔経済史〈植民地時代〉〕 →合成ゴム工業 →ゴム工業 →取引所〔種類〕
コム・アカデミー事件 ⑤日史451 C ⑥日史→日本資本主義論争 →平野義太郎 ⑫経産→日本資本主義論争〈467 D〉
ゴム編み ⑬生活→編物〔編み方〈棒針編み〉〕
ゴム編機 ⑬生活→編物〔種類〕
ゴムウカ,W ⑨世史227 C ⇨ゴムルカ,W
ゴム裏草履 ⑬生活→草履
小向 ⑦日地→幸(区)
ゴム加工業 ⑫経産→ゴム工業
コムカデ〔小蜈蚣〕 ⑳動物280 A
コムギ〔小麦〕 ⑲植物245 C図囲 →木原均 →ムギ ⑥日史→麦 ⑧日地→小麦地帯〈1212 A〉 ⑫経産→アメリカ経済事情〔産業構造・資源〈農業〉〕 →カナダ経済事情〔産業〕図 →国際農産物 ⑬生活→小麦粉 →麦表
コムギクキバチ ⑳動物→クキバチ
小麦粉〈メリケン粉〉 ⑬生活198 A →栄養〔たんぱく質〕 →ケーキ〔材料〕 →パン →麩 →麦〔コムギ〕 ⑫経産→製粉業 ⑲植物→コムギ〔日本の麦作〕
小麦粉改良剤 ⑬生活→食品添加物〔食品改良剤〕
小麦地帯 ⑧日地1212 A ⑩世地→カンザス(州)
ゴム揮発油 ⑮化学→石油〔石油製品〈石油系溶剤〉〕
コムクドリ ⑳動物→ムクドリ図
ゴム工業 ⑫経産218 D図表
コムシクイ〔小虫喰〕 ⑳動物280 A →ムシクイ図
護謨腫 ⑭医学→性病〔梅毒〈第3期〉〕
虚無宗 ⇨普化宗
ゴム充てん剤 ⑮化学→充てん剤
ゴム植物 ⑲植物247 A図表
コムストックロード ⑩世地→カーソンシティ
小結 ⑬生活→相撲〔角界の現状〈相撲番付〉〕
虚無僧 ⑤日史451 C ③音演→尺八〔普化尺八〈歴史〉〕図 ④哲宗→普化宗 ⑥日史→普化宗
虚無僧笠 ⑤日史→笠
コムソモリスクナアムーレ ソ連/ロシア ⑩世地219 D
コムソモール ⑨世史227 C ⑪政社→ソ連共産党〔青少年組織〕
コムソモルスカヤ・プラウダ ⑫経産→新聞業
ゴムタイヤ ⑰科技→タイヤ〔歴史〕
ゴムタンポポ ⑲植物→ゴム植物表
ゴム手袋 ⑬生活→掃除〔掃除用具〕
COMTRAC ⑰科技→CTC
ゴム取引所 ⑫経産→商品取引所
コムーナ ⑧日地→コルホーズ〈1212 B〉
コムニズム(峰) ⇨コミュニズム(峰)
コムニダー ⑨世史→コムネロスの反乱
コムニダ・インディヘナ ⑨世史→エヒード
五墓日 ④哲宗→十干十二支
コムーネ ⑨世史227 D →コミューン →都市〔西洋〈中世都市〉〕 →ルネサンス〔歴史的背景〕
コムネノス朝 ⑨世史227 D図 →アレクシオス(一世)
コムネロスの反乱 ⑨世史228 A →コルテス
ゴムノキ ⑲植物247 B →インドゴムノキ
ゴム版 ⑰科技→印刷〔凸版印刷〕表
ゴムべら ⑬生活→調理器具〔小道具〈へら〉〕図
ゴムまり ⑬生活→児童遊戯〔まりつき〕
コムメンダ ⑫経産→合資会社 →ムスリム商人
子村 ⑧日地1212 A →出村〈1226 C〉 →親村〈1201 C〉 →納屋集落〈1229 A〉
小村・ウェーバー協定 ⑪政社→小村寿太郎
こむらがえり ⑭医学→あし〔脚〕 →応急手当図
後村上天皇 ［1328-1368］ 第97代天皇。後醍醐天皇の皇子。南北朝動乱期に即位し行宮を転々と移動。書蹟に優れる ⑤日史451 C →四条畷の戦い →住吉行宮 ①文学→『新葉和歌集』
コムラサキ〔小紫〕 ⑲植物248 A →ムラサキシキブ図
コムラサキ〔小紫蝶〕 ⑳動物280 B図
小村寿太郎 ［1855-1911］ 明治の外交官。桂内閣の外相として日英同盟を締結,ポーツマス会議に全権大使をつとめ,条約改正を実現 ⑤日史451 C図 →条約改正 ⑪政社207 A図 →日露戦争〔展開と講和〕 ⑥日史→日米通商航海条約 →日露戦争〔講和〕 →ポーツマス条約 ⑫経産→条約改正
ゴムルカ,W〈ゴムウカ〉 ポーランド［1905-1982］ 政治家。民主化路線をうちだす一方,その徹底を要求する知識人や学生を弾圧 ⑪政社207 B図 ⑨世史→ゴムウカ,W →東欧史〔歴史〈第二次大戦後〉〕
小室信夫 ［1839-1898］ 明治の実業家・政治家。尊攘運動に参加,維新後,共同運輸会社を設立 ⑤日史451 D →自助社 ⑥日史→丹後国囲人国記
コムンモル ⑨世史→朝鮮〔原始社会〕
米 ⑤日史451 D →稲作 →廻米 ⑬生活198 B表 →甘酒 →栄養〔たんぱく質〕 →穀類 →清酒〔原料〕 →飯 ⑥日史→扶持 ⑫経産→蔵米 →国際農産物 →食糧管理制度 →米価政策 ⑮化学→醸造〔酒類〈清酒〉〕 ⑲植物→イネ
ごめ ⑳動物→ウミネコ
米市場 ⑤日史452 A ⑥日史→堂島
コメガヤ〔米茅〕 ⑲植物248 A図
米切手 ⑤日史452 A
コメクイドリ〔米喰鳥〕 ⑳動物280 B
米喰い鼠 ⑬生活→郷土玩具〔沿革〕
米粉 ⑬生活→米〔加工品〕 →団子
コメコウジカビ〔米麹黴〕 ⑭医学→ジアスターゼ〔タカジアスターゼ〕
コメコン〔COMECON〕〈経済相互援助会議〉 ⑨世史228 A →東欧史〔歴史〈第二次大戦後〉〕 ⑫経産219 C図 →社会主義世界市場 →社会主義世界体制 →ソ連経済事情〔貿易〕 ⑪政社→米ソ関係〔冷戦〕
米座 ⑤日史452 B
米将軍 ⇨徳川吉宗
米酢 ⑬生活→酢〔種類〕表
ゴメス,J ベネズエラ［1857-1935］ 大統領。牛飼いから軍人・政治家の道を歩んだが,私腹を肥やし私生活も乱脈 ⑨世史228 B
ゴメス,M キューバ［1836-1905］ ⑨世史→マルティ,J
コメススキ〔米薄〕 ⑲植物248 A図
ゴメス・デ・ラ・セルナ,R スペイン［1888-1963］ 小説家。エッセイ・伝記・劇作・美術批評など多方面で活躍 ①文学229 D
『ゴメスの名はゴメス』 ①文学→結城昌治
米須門中墓 ⑦日地→糸満(市)
米生産調整奨励補助金 ⑫経産→食糧管理制度〔経過〕
米騒動 ⑤日史452 B図表 →打毀 →憲政擁護運動〔第二次〕 ⑫経産220 B →米価政策〔米価立法〕 ⑥日史→大正時代〔政治・外交〕図 →寺内正毅内閣 →天保の飢饉 →米価調節 →暴利取締令 →労働運動〔活発化〕 ⑪政社→大正デモクラシー →寺内正毅
コメツガ〔米栂〕 ⑲植物248 B →ツガ図
コメツキガニ〔米搗蟹〕 ⑳動物280 B
コメツキムシ〔叩頭虫〕 ⑳動物280 C図
コメツキモドキ〔擬叩頭虫〕 ⑳動物280 C 「表
コメツツジ〔小米躑躅〕 ⑲植物248 B →ツツジ図
コメット4型 ⑰科技→飛行機〔歴史〈ジェット〉〕
コメディ ③音演→喜劇 →滑稽本
コメディア・デラルテ ③音演213 B図 →イタリア演劇〔ルネサンスの人文主義劇〕 →滑稽本
コメディ・オブ・ヒューマーズ〈気質喜劇〉 ③音演→イギリス演劇〔エリザベス朝〕
コメディ・オブ・マナーズ〈風習喜劇〉 ③音演→イギリス演劇
コメディ・フランセーズ ③音演→フランス演劇
米手形 ⑥日史→手形
コメナモミ ⑲植物→メナモミ
コメニウス ⇨コメンスキー,J
米ぬか油 ⑮化学272 A →油脂〔表性状と用途〈植物半乾性油〉〕 ⑬生活→食用油〔植物油〕
コメノクロムシ ⑳動物→メイガ
コメノゴミムシダマシ ⑳動物→ゴミムシダマシ
米ノ津港 ⑦日地→出水(市)
米ノ山 ⑧日地→日向(市)
コメバツガザクラ〔米葉栂桜〕 ⑲植物248 B図
米びつ ⑬生活→調理器具〔容器〈貯蔵容器〉〕
込め物 ⑰科技→印刷〔囲用語〕
米もろみしょうちゅう〈みどり〉 ⑬生活→酒〔しょうちゅう〕 ⑮化学→醸造〔酒類〕

コルネット ③音演 217 B図 →サクソルン属
ゴルネ洞 ⑱宇地→洞穴表
コルネリウス ［1400*／1445*］ ②美術→ドイツ美術〔バロック〕
コルネリウス,P ドイツ［1783／1867］ ②美術→ナザレ派
ゴルバートフ,B ソ連［1908／1954］ 小説家。一貫して働く青年や党,コムソモールの活動などを描いた ①文学 234 B
コルビエール,T フランス［1845／1875］ 詩人。肉体の醜さと病弱に劣等感を抱き,世界と自分との違和感を表現 ①文学 234 C →世紀末思潮
コルビザール フランス［1755／1821］ ⑭医学→病理学〔歴史〕
コルヒダ(低地) ⑩世地→カフカス
コルヒチン ⑮化学 273 B →アルカロイド表 ⑲植物 249 C →スイカ〔種なしスイカ〕 →突然変異 →肥大生長
コールピック ⑰科技→炭鉱〔歴史〕
コルピッツ発振回路 ⑰科技→発振回路〔ＬＣ発振回路〕図
コルビノ ⇨モンテ・コルビノ,G
コルビュジエ ⇨ル・コルビュジエ
コルフ(島) ⇨ケルキラ(島)
ゴルフ ⑬生活 200 B図表
コルフォーズ ⇨コルホーズ
ＣＡＬＬ文 ⑯物数→フォートラン
コルベ,A ドイツ［1818／1884］ 化学者。有機化合物の反応と合成を研究,独特の構造論を展開 ⑮化学 273 B
コルベ-シュミットの反応 ⑮化学→サリチル酸
コルベット広場 ⑩世地→ジェノバ図
コルベの電解反応 ⑮化学→カルボン酸〔反応〕
コルベール,J フランス［1619／1683］ ルイ十四世の財政総監。コルベール主義といわれるほど重商主義政策を強化 ⑨世史 233 D図 →西インド会社〔フランス西インド会社〕 →フランス(共和国)〔歴史〈絶対主義〉〕 →ルイ(十四世) ⑫経産 221 D図 →重商主義 →税関 ⑪政社→重商主義〔思想家たち〕
コルベール主義〈コルベルティスム〉 ⑪政社→近代国家〔一〕 ⑫経産→重商主義
コルベンハイヤー,E ドイツ［1878／1962］ 劇作家・小説家・思想家。ナチス時代の代表的作家とされ晩年は不遇 ①文学 234 C
コルホーズ〈集団農場〉 ⑧日地 1212 B →ソフォーズ〈1221 B〉 →粗放農業〈1221 B〉 →大農法〈1222 A〉 ⑨世史 234 A →ソフホーズ ⑩世地→ソビエト(連邦)〔経済・産業〈農林・畜産業〉〕 ⑫経産→社会主義経済 →社会主義的所有 →ソ連経済事情〔農業〕 →土地改革〔ソ連〕 →農業図 →農業集団化〔ソ連〕
コルポスコープ ⑭医学→癌〔診断法〈内視鏡検査〉〕
コルホーズ的所有 ⑫経産→社会主義経済 →社会主義的所有
コール・ポーター ⇨ポーター,C
コール・マネー ⑫経産→コール市場
コルマル フランス ⑩世地 222 C
コルマール美術館 ②美術 684 D
コールマン,O ［1930］ ③音演→ジャズ〔モダン・ジャズ〕
コルム,G アメリカ［1897／1968］ 経済学者・財政学者。国民経済安定のため公経済部門の役割を強調 ⑫経産 222 A図
コルムバヌス会則 ④哲宗→修道会〔初期西方修道会〕
コルメラ ⑫経産→農業〔古代農法〕
コルモゴロフ,A ソ連［1903］ 数学者。確率論の開拓に努め,いわゆるモスクワ確立論学派を築いた ⑯物数 198 B図 →確率論 →数学〔20世紀〕 →乱流〔統計理論〕 ⑱宇地→乱流〔発生理論〕
コルモゴロフ・スペクトル ⑯物数→乱流〔統計理論〕
コルモハ〔凝海藻〕 ⇨テングサ
コールラウシュ,F ドイツ［1840／1910］ 実験物理学者。電解質溶液に関する実験的研究などに功績 ⑯物数 198 C ⑮化学→化学〔歴史〈19世紀〉〕
コールラウシュの折りめ ⑭医学→暗順応
コールラウシュの法則 ⑯物数→コールラウシュ
コールラウシュブリッジ ⑰物数 222 B ⑯物産→コールラウシュ,F ⑰科技→ブリッジ回路
コールラビー〈カブカンラン〉 ⑲植物 249 C図
コルリ〔小瑠璃〕 ⑳動物 282 C図 →鳥類別 →ルリ
コールリッジ,S イギリス［1772／1834］ ロマン主義の代表的詩人・批評家。言語分析に基づく作品の有機的統一性を強調,新批評など後代に影響 ㊑『老水夫の歌』 ①文学 234 C図 →イギリス文学〔古典主義〕 →ロマン主義〈720 C〉 →ワーズワース,W ⑪政社→政治的ロマン主義
コルレス契約 ⑫経産→為替〔仕組み〕
コールレート ⑫経産→経済統計〔表〈産業別〉〕
コル・レーニョ ③音演→バイオリン〔奏法〕 →音楽用語〈629 A〉
コルローディ,C イタリア［1826／1890］ 児童文学者。独立運動に参加,ジャーナリストとしても活躍 ㊑『ピノッキオの冒険』 ①文学 235 B
ゴルロフカ ソ連/ウクライナ ⑩世地 222 C
コール・ローン ⑫経産→コール市場
コルンバ ブラジル ⑩世地 222 D
コルンブ石 ⑱宇地 263 B →タンタル石
コーレ(潟湖) ⑩世地→アクラ
ゴレイ,E ②美術→漫画〔今日の漫画家たち〕
五苓散 ⑭医学→漢方薬〔表漢方剤〕
後冷泉天皇 ［1025／1068］ 第70代天皇。在位中は摂関政治が盛んで,関白藤原頼通が専権をきわめる ⑤日史 461 B
コレウス〈ニシキジソ〉 ⑲植物 249 C図
コレオグラファー ③音演→バレエ〔囲用語〈グラン・パ・ド・ドゥ〉〕
是川遺跡 ⑥日史→泥炭層遺跡 ⑦日地→青森(県)〔歴史〕 ⑧日地→八戸(市)
是川一王寺遺跡 ⑤日史 461 B
是川中居遺跡 ⑤日史 461 C図 →縄文文化別
呉歴 中国［1631／1718］ 清代の画家。山水よりも樹林に優れた技量を示した ②美術 231 D図
コレクション〈収集〉 ⑬生活 210 A →コイン →郵便切手
コレクター ⑯物数→トランジスタ図
コレクティブ・インプロビゼーション ③音演→ジャズ〔囲用語〈デキシーランド・ジャズ〉〕
コレクトコール ⇨料金着信払通話
『是貞親王家歌合』 ①文学→『新撰万葉集』
これさま ③音演→民謡〔表〈東京〉〕
コレジェフ ②美術→ロシア美術〔60年代〕
コレジオ ⑤日史 461 C
コレシストキニン ⑮化学→ホルモン〔分類〕
コレージュ・ド・フランス ①文学→ルネサンス文学
ゴレスタン王宮 ⑩世地→テヘラン
コレステリック状態 ⑮化学→液晶〔分類〕図
コレステリン ⇨コレステロール
コレステロール〈コレステリン〉 ⑭医学 220 C →肝臓〔脂質代謝〕 →動脈〔動脈硬化症〕 ⑮化学 273 C図 →ウィンダウス,A →ステロイド〔図生合成〕 ⑬生活→栄養〔脂質〕 →食用油〔健康〕 →ダイズ〔成分〕
惟喬親王 ［844／897］ 文徳天皇の第1皇子。父に愛されていたが,藤原良房をはばかったため皇位につけなかった ⑤日史 461 C
コレッジョ イタリア［1494*／1534*］ 盛期ルネサンスの画家。明暗法の完成,光の配置,彩色の鮮やかさで知られる ②美術 232 A図 →ルネサンス美術〔盛期〕
コレット,C イギリス［1813／1895］ 女流小説家。女性の解放問題をとりあげた作品が多い ①文学 235 B
コレット,S フランス［1873／1954］ 女流小説家。女性の官能の世界への深い沈潜は他の追随を許さない ㊑『青い麦』 ①文学 235 B
『コレット・ボドーシュ』 ①文学→バレス,M
コレニア ⑱宇地→先カンブリア時代 →地質時代〔先カンブリア時代〕
コレーの壇 ②美術→アクロポリス〔図アテネ〕
『是は御ぞんじのばけ物にて御座候』 ①文学→草双紙図
コレヒドール(島) フィリピン ⑩世地 222 D
コーレマイネン フィンランド ⑬生活→オリンピック〔近代〈アントワープ大会〉〕
『ゴーレム』 ①文学→マイリンク,G
惟宗公方 ［938／970*］ ⑥日史→『本朝月令』
惟宗直本 ［*／*］ 平安前期の法律家。左大臣藤原時平の諮問に答え,刑政の実際にもあたる ⑤日史 461 D ⑥日史→『令集解』
惟宗允亮 ［*／*］ 平安中期の法律家。藤原佐理の停任や藤原伊周・隆家兄弟の謀逆糾弾に活躍 ⑤日史 461 D ⑥日史→『政事要略』
惟康親王 ［1264／1326］ 鎌倉幕府第7代将軍。北条貞時に将軍位をおわれ,出家隠棲 ⑤日史 461 D
コレラ ⑭医学 220 D →感染症〔表〈細菌性〉〕 →検疫〔検疫伝染病〕 →伝染病〔流行史〕 →予防接種
コレラ菌〈コンマ菌〉 ⑭医学→コッホ,R →コレラ →細菌〔有害細菌〕図 →病原体〔病原細菌〕図 ⑲植物→細菌類〔病原細菌〕
コレルリ,A イタリア［1653／1713］ バロックを代表する作曲家。合奏協奏曲形成を確立 ③音演 217 C図 →コンチェルト〔コンチェルト・グロッソ〕 →バイオリン〔音楽と演奏家の系譜〕
コレルリ,F イタリア［1921］ テノール歌手。ドン・ホセでデビュー,スカラ座・メトロポリタン歌劇場で活躍 ③音演 217 D
五連 ⇨連珠
ゴレンシ〔五斂子〕 ⑲植物 250 A図
コレンス,K ドイツ［1864／1933］ 植物学者・遺伝学者。キセニア現象を発見,さらにメンデルの法則を再発見 ⑲植物 250 A ⑭医学→遺伝〔遺伝学〕 ⑳動物→メンデルの法則
御簾中 ⑥日史→御台所
コレンテ ③音演→舞曲〔クーラント〕
コロ ③音演→舞曲図
コロー,J フランス［1796／1875］ 画家。銀灰色の柔らかな彩調のうちに自然への雅情を示した風景画で知られる ②美術 232 C図 →バルビゾン派 →風景画 →フランス美術〔印象主義の誕生〕図 →ロマン主義
コロイド〈膠質〉 ⑮化学 274 B図表囲 →ジグモンディ,R →晶質 →親水コロイド →疎水コロイド →電気泳動 →透析 →保護コロイド →ミセル ⑯物数 199 A
コロイドイオウ ⑮化学→イオウ〔性質〕
コロイド化学 ⑮化学 276 B →界面化学 →化学〔化学とは何か〈諸分科〉〕 →グレアム,T
五郎池 ⑧日地→野口五郎岳
五郎社 ④哲宗→御霊信仰
五郎山古墳 ⑤日史 461 D図
コロガシ釣り ⑳動物→アユ〔釣り〕
ころがり軸受 ⑰科技→軸受図
ころがり摩擦 ⑯物数 199 A →摩擦
ころがり摩擦係数 ⑯物数→摩擦
コロキー ⑪政社→討議〔多数〕
コロギス ⑳動物 282 C
『語録』 ④哲宗→エピクテトス
コログラフィー ⑧日地→地誌学〈1224 B〉
『コロコル』〈鐘〉 ④哲宗→ゲルツェン,A
『コロサイ人への手紙』 ④哲宗→聖書〔囲〈新約〉〕
コロザメ ⑳動物→カスザメ
『殺された天一坊』 ①文学→浜尾四郎
コロジオン ⑮化学 276 B →シェーンバイン,C
コロジオン湿板 ②美術→写真〔歴史〕 ⑰科技→写真〔技術の歴史〈カメラ〉〕図 →フィルム〔感光材料の発達〕
コロス ③音演→合唱 →ギリシア音楽
コロセウム ②美術→ローマ美術〔建築〕図 ⑨世史→ローマ図 ⑩世地→ローマ(市)〔囲観光地〕
コロダイ〔胡盧鯛〕 ⑳動物 283 A
コロタイプ印刷 ⑰科技 222 B →印刷〔平版印刷〕
コーロチャ ⑲植物→チャ
コロディ ⇨コルローディ,C
ゴロディシチェ ⑥日史→チャシ
ゴロデツキー,S ソ連［1884／1967］ 詩人。「詩人たちの工場」を組織,アクメイズムの運動に参加 ①文学 235 C →アクメイズム
葫蘆島 ⇨フールー(島)
コロトコフ,N ロシア［1874*］ ⑭医学→血圧〔血圧測定〈間接法〉〕
コロナ ⑬生活→たばこ〔製品〈葉巻たばこ〉〕
コロナ ⑱宇地 263 B図 →コロナグラフ →太陽〔太陽大気〕 →日食〔観測〕 →フレア →リヨー,B
コロナグラフ ⑱宇地 264 B →リヨー,B
コロナ雑音 ⑰科技→送電〔送電電圧〕
コロナ定電圧放電管 ⑰科技→放電管
コロナード ⑨世史→大航海時代〔アメリカ大陸への進出〕
コロナトゥス ⑨世史 234 B →ラティフンディウム
コロナ放電 ⑯物数 199 A →バンドグラーフ起電機 →放電〔先端放電〕 ⑰科技→放電管 ⑱宇地→セント・エルモの火
コロニー ⑭医学→細菌〔発育〕 ⑲植物→細菌類〔発育〕図
コロニー ⑳動物 283 A →アリ →社会性昆虫 →シロアリ〔階級〕
コロニア ⑨世史→植民市 ⑪政社→植民地〔起源〕
コロニアル・スタイル ②美術→椅子

サ

さ

再建諸法 ⑨世史 238 C
歳遣船 ⑥日史→朝鮮〔約条の制限強化〕
蔡元培 中国〔1868-1940〕 教育家。北京大学学長に就任後，同大学を五・四運動の中心とした ④哲宗 209 D ⑨世史 238 C →光復会 ①文学→文学革命
債券売買 ⑫経産→中央銀行〔機能〕
債券発行銀行 ⑫経産→銀行〔預金銀行以外〕
西湖 山梨 ⑦日地 489 D →足和田(村)
柴胡 ⑭医学→生薬図
在庫 ⑫経産→在庫管理 →生産管理
崔顥 中国〔704?-754?〕 盛唐の詩人。素行悪く，しばしば妻をかえた。七律の「黄鶴楼」は有名 ①文学 240 B
採光 ⑬生活 213 A図 →照明〔見え方〕
採鉱〈採掘〉 ⑰科技 225 C →鉱山 →露天掘 ⑫経産→鉱業
鰓孔 ⑳動物→原索動物
鰓腔 ⑳動物→原索動物
西郷(町) 島根/隠岐 ⑦日地 490 A →隠岐諸島図
西郷(村) 宮崎 ⑦日地 490 B →入郷地帯
最高温度計 ⑱宇地→温度計図
在郷軍人 ⑤日史 468 B →国体明徴運動 ⑪政社→軍国主義〔日本〕
最高検察庁 ⑪政社→検察制度
採光権法 ⑬生活→日照〔日照権〕
最高裁判所 ⑤日史→裁判所 ⑪政社→国民審査 →裁判官 →裁判所〔種類〕 →法〔法源〕 ⑱宇地→石材図
蔡侯紙 ⑰科技→紙〔歴史〈発明〉〕 →蔡倫
西光寺 ④哲宗→秩父三十三所表
西光寺 ⑧日地→福岡(県)〔文化〈文化財〉〕
西江寺 ②美術→庭園囲
採鉱実収率〈可採率〉 ⑰科技→鉱山〔採鉱〕
最高首長法 ⇨首長令
細溝浸食 ⑱宇地→土壌〔土壌浸食〕
再構成学派 ④哲宗→カルナップ，R
最高善 ④哲宗→アウグスティヌス，A〔思想〈2〉〕 →アリストテレス〔倫理学〕 →ライプニッツ，G
細孔栓実験 ⑯物数→ジュール-トムソン効果図
最高戦争指導会議 ⑤日史 468 C →軍制〔近代〕 →小磯国昭内閣 →鈴木貫太郎内閣 ⑪政社→大本営
最高存在の崇拝 ⇨理性の崇拝
西郷隆盛 〔1827-1877〕 幕末・明治初期の政治家。明治維新に偉大な功績をたて，のち征韓論政変で鹿児島に帰り，西南戦争に敗れる ⑤日史 468 C図 →江戸開城図 →王政復古 →薩長連合 →私学校 →儒学〔陽明学〕 ④哲宗→日本思想〔囲主要概念〈敬天〉〕 ⑥日史→征韓論 →西南戦争 ⑦日地→上野〈東京〉図
西郷従道 〔1843-1902〕 明治の軍人・政治家。隆盛の実弟。台湾出兵を強行，のち初代海軍大臣，再任し日清戦争にのぞむ ⑤日史 469 A →大隈重信内閣〔第一次〕 →元老 ⑥日史→征台の役
『西郷と豚姫』 ①文学→池田大伍
西郷南洲 ⇨西郷隆盛
『最高の掟』 ①文学→ヘッベル，C
西郷信綱 ①文学→文学史〈558 C〉 ④哲宗→祭り〔夜と夢〕
最高発行額屈伸制限制度 ⑫経産→日本銀行〔機能〕 →発券制度
最高発行額制限制度 ⑫経産→貨幣Ⅱ〔本位制度〕 →発券制度
最高法規 ⑪政社 210 C
在郷町 ⇨在町
採光窓 ⑬生活→採光〔窓〕
在庫管理 ⑫経産 224 D
サイゴクイノデ ⑲植物→イノデ
サイゴクイボタ ⑲植物→イボタノキ
西国三十三所 ④哲宗 210 A図表
西国寺 ⑦日地→尾道(市)図
西国路 ⇨中国路
『**西国立志編**』 ⑤日史 469 B ①文学→中村正直 ④哲宗→中村正直
柴胡桂枝湯 ⑭医学→漢方薬〔表漢方剤〕
在庫循環 ⑫経産→景気変動理論〔ケインズ以後〕
在五中将 ⇨在原業平
『在五中将日記』 ⇨『伊勢物語』
最後通牒 ⑪政社 210 D
在庫統計 ⑫経産→経済統計〔表〈部分的局面〉〕
在庫投資 ⑫経産→景気変動〔小循環〕

サイコドラマ ⑪政社→コミュニケーション〔機能〕
『さいこどんどん』 ③音演→歌謡曲表
『最後の一線』 ①文学→アルツィバーシェフ，M
『最後の億万長者』 ③音演→クレール，R
『最後の授業』 ①文学→ドーデ，A
『最後の審判』 ②美術→アンジェリコ，F図 →キリスト教美術〔囲画題〕 →システィーナ礼拝堂 →ミケランジェロ ④哲宗→終末論図 →審判 →来世観
『最後の晩餐』 ②美術→キリスト教美術〔囲画題〕 →レオナルド・ダ・ビンチ〔第一ミラノ時代〕図 ④哲宗→イエス・キリスト〔図生涯〕 →使徒図
『最後の人』 ③音演→映画〔無声映画〈3期〉〕別 →ムルナウ，F
『最後の舞踏会』 ①文学→ガイザー，G
『最後の辺境』 ①文学→ファースト，H
『最後の録音テープ』 ③音演→ベケット，S
在庫理論 ⑯物数→OR
サイコレオロジー ⑯物数→レオロジー〔対象領域〕
さいころ ⑬生活 214 B →ギャンブル〔分類〕
サイゴン ⑩世地 228 D →ベトナム(社会主義共和国)図
サイコン型〈シコン型〉 ⑳動物→海綿〔構造〕図
サイゴン条約 ⑨世史 238 C →阮朝
『**菜根譚**』 ④哲宗 210 B
サイゴンチョロン(地区) ⑩世地→サイゴン
細砂 ⑱宇地→砂 →土壌〔物理的組成〕
歳差 ⑱宇地 265 B →恒星時 →自転 →春分
歳差運動 ⑯物数 201 A →回転運動 →こま →ジャイロスコープ ⑱宇地→地球〔宇宙の中の地球〕 →地軸図 →北極星
サイザラーナ ⑲植物→リュウゼツラン
サイザルヘンプ〈サイザルアサ〉 ⑲植物 254 B図
ザイサン(湖) ソ連 ⑩世地 229 B
財産 ⑬生活 215 A
財産区 ⑪政社→地方公共団体〔種類〈特別〉〕
財産刑 ⑨世史→刑罰〔西洋〕 ⑪政社→刑罰〔種類〕
財産権 ⑪政社 210 D →憲法〔諸外国〕 ⑫経産→債権・債務〔性格〕 →有価証券 ⑬生活→財産
財産税 ⑪政社→租税〔わが国〕 ⑫経産→租税〔再分配〕
財産相続 ⑪政社→相続〔制度の諸形態〕
『財産とは何か』〈所有とは何か〉 ⑨世史→プルードン，P ⑪政社→アナキズム〔潮流〕 ⑫経産→プルードン，P
ザイサンノール ⇨ザイサン(湖)
財産法 ⑫経産→損益計算
財産保険 ⑫経産→保険〔分類〕
崔氏 朝鮮 ⑨世史→高麗
祭司 ④哲宗→宗教〔発展段階〕
西寺 ⑥日史→東寺
祭祀遺跡 ⑤日史 469 B ⑧日地→宮城(村)
細糸期 ⑲植物→減数分裂〔染色体の行動〕
歳時記 ①文学 240 B
再仕込みしょうゆ ⑬生活→しょうゆ〔種類〕表
祭祀相続 ⑪政社→相続〔制度の諸形態〕
祭司法典 ④哲宗→聖書〔旧約聖書〈成立と構成〉〕
崔濡 中国 ⑨世史→李成桂
済州 ⇨チェチュ
最終減速機〈ファイナルドライブ〉 ⑰科技→自動車〔構造〕
済州島 ⇨チェチュ(島)
再主尋問 ⑪政社→証人〔刑事訴訟〕
歳出 ⑫経産→一般会計予算表 →財政〔公財政〕 →予算
崔述 中国〔1740-1816〕 清代中期の史学者。独自の合理的精神に基づく研究は疑古派の人々に大きな影響を与える 作『考信録』 ④哲宗 210 C
歳出予算 ⑫経産→予算〔執行〕
採取的林業 ⑫経産→木材市場〔三〕 →林業〔特色〕
鰓書 ⑳動物→カブトガニ〔形態〕
税所敦子 〔1825-1900〕 桂園派の歌人。女官楓内侍として皇后の歌のお相手をした ①文学 240 C
宰相 ⑤日史→参議〔1〕 ⑨世史→三省六部 →内閣
最小 ⑯物数→最大・最小
西条 ⑧日地→吉野(町)
西条 広島/東広島市 ⑦日地 490 C
西条(市) 愛媛 ⑦日地 490 B図
西城(町) 広島 ⑦日地 490 C
蔡襄 中国〔1012-1067〕 宋代の書家。北宋の四大家の一人で，性格のごとく謹厳さが書に表れている ②美術 233 C →書〔中国書道史〈宋代以降の大家〉〕

最上稲荷〈高松最上稲荷〉 ⑦日地→岡山(市)図
最勝院 ⑧日地→弘前(市)
最勝会 ④哲宗→薬師寺
最小公倍数〈L.C.M.〉 ⑯物数→最大公約数・最小公倍数 →整数論〔初等整数論〕 →束〔例〕
西条祭 ⑦日地→西条(市)図
最小作用の原理 ⑯物数→解析力学 →モーペルチュイ，P
最乗寺 ⑧日地→南足柄(市)
最小上界 ⑯物数→上限
西笑承兌 〔1548-1607〕 臨済宗の僧。秀吉の京都大仏殿造営の導師となり，文禄の役の大施食会にも導師となる ⑤日史 469 C
最勝親王 ⇨以仁王
『再昌草』 ①文学→三条西実隆
最小測定単位〈測定誤差〉 ⑯物数→誤差〔有効桁数〕
最小多項式 ⑯物数→固有値
最小単位費用 ⑫経産→最適経営規模
最小二乗法 ⑫経産 225 A図表 ⑯物数 201 B
最小分解体 ⑯物数→体〔正規拡大〕 →代数方程式〔方程式のガロア群〕
西条盆地 ⑧日地→広島(県)〔自然〈地勢〉〕
西条八十 〔1892-1970〕 詩人。象徴詩運動の旗手，童謡詩運動の中心的存在として活躍 作『美しき喪失』 ①文学 240 C図 ③音演→童謡
『西条八十詩集』 ①文学→西条八十
最小律〈最少律〉〈最少量の法則〉 ⑲植物 254 B
崔曙海 朝鮮〔1901-1932〕 小説家。プロレタリア文学運動に活躍 ①文学 240 D →カップ →朝鮮文学〈日韓合併後〉
菜食 ⑬生活→山菜
彩色牛車 ⑩世地→コスタリカ(共和国)図
妻所婚 ⑬生活→結婚〔歴史〕
妻女山 長野/長野市 ⑦日地 490 C →川中島
『最初の一夜』 ①文学→北条民雄
『最初のカービヤ』 ⇨『ラーマーヤナ』
『最初の喜び』 ①文学→フェージン，K
サイシン〔細辛〕〈ウスバサイシン〉 ⑲植物 254 C →カモアオイ図
祭神 ④哲宗→神社
狭井神社 ⑧日地→三輪山
『最新人』 ①文学→サングイネーティ，E
採水器 ⑱宇地 265 B
ザイス・インクバルト，A オーストリア〔1892-1946〕 政治家。ナチスと結び，首相ついでオーストリア総督。国際裁判で死刑 ⑨世史 238 D →シューシュニク，K →ドイツ・オーストリア合邦 →ニュルンベルク国際軍事裁判図
サイスミック・プロファイラー ⑱宇地→海底〔底質〕
採寸 ⑬生活→洋裁〔洋裁技術〕図
再生 ④哲宗 211 A →死〔死生感〕 →来世観 →輪廻
再生 ⑳動物 290 A図 →プラナリア →ボネ，C
歳星 ⇨木星
財政 ⑫経産 225 D表 →一般会計予算 →会計〔種類〕 →会計年度 →国庫 →財政史 →租税〔作用〕 →地方財政 →特別会計予算
祭政一致 ④哲宗 211 B →神仏分離 ⑪政社 211 A
財政演説 ⑫経産→予算〔提出・審議・議決〕
再生芽 ⑳動物→再生
済生会 ⑤日史 469 C ⑭医学→保健婦
財政学 ⑫経産 226 C →経費
財政金融政策 ⑪政社→資本主義〔現代資本主義〕 ⑫経産→財政投融資〔機能〕
崔済愚 〔1824-1864〕 ⑨世史→朝鮮〔李氏朝鮮〈東学〉〕
再生ゴム ⑮化学→ゴム〔合成ゴム〕
再生サイクル ⑰科技→火力発電〔汽力発電〈熱サイクル〉〕
財政財産〈普通財産〉 ⑪政社→国有財産
再生産過程 ⑫経産 227 A
再生産圏 ⑫経産→局地的市場圏
再生産論 ⑥日史→山田盛太郎 ⑫経産→巨視的分析・微視的分析 →国民経済バランス →再生産過程
財政史 ⑫経産 228 A
財政資金対民間収支 ⑫経産 228 C
財政支出 ⑫経産→財政〔機能〕
再生酒 ⑮化学→醸造〔酒類〈331 C〉〕
財政収入 ⑫経産→専売〔意義〕
財政需要 ⑫経産→ケインズ革命〔流動性選好説〕
財政消費 ⑫経産→財政〔財政規模〕
財政政策 ⑫経産→金融理論〔現代金融理論〕 →財

政学 →フィスカル・ポリシー
財政制度 ⑫経産→日本経済事情〔財政金融制度〕
再生繊維 ⑮化学 278 A →タンパク質繊維 →レーヨン ⑬生活→繊維
財政専売 ⑫経産→専売〔意義〕
財政統計 ⑫経産→経済統計〔表〈産業別〉〕
財政投資 ⑫経産→ケインズ革命〔流動性選好説〕 →財政〔機能〕 →農業金融
財政投融資 ⑫経産 228 D →財政〔機能〕 →租税特別措置 →日本経済事情〔財政金融制度〕 →融資〔一〕 →郵便貯金
財政投融資計画 ⑪政社→予算〔成立〕 ⑫経産→公債 →資金運用部
再生不良性貧血 ⑭医学→貧血
再生ヘッド ⑰科技→テープレコーダー〔ヘッド〕
財政法 ⑤日史→公債
再生ホルモン ⑳動物→ホルモン〔無脊椎動物〕
財政民主主義 ⑫経産→財政史〔自由主義〕
財政理論 ⑫経産→財政学
砕石業 ⑫経産 229 B
採石権 ⑬生活→登記〔不動産登記〕
細石刃〈マイクロ・ブレイド〉 ⑤日史→細石器
采石の戦い ⑨世史→火薬
採石法 ⑫経産→砕石業
砕屑岩 ⑱宇地 265 B →岩石〔堆積岩〈砕屑物〉〕表 →膠結作用 →堆積岩
細石器 ⑤日史 469 C
細石器文化 ⑨世史→中石器時代
砕屑物 ⑱宇地→岩石〔堆積岩〕表
最善観 ⇨オプティミズム
再選挙 ⑪政社→選挙〔日本〈現行制度〉〕
財前家宝塔 ⑦日地→大田(村)
西善寺 ④哲宗→秩父三十三所表
在船者遺言 ⑪政社→遺言〔表特別方式〕
再洗礼派 ④哲宗→キリスト教〔宗教改革〕 ⑨世史→宗教改革〔経過〕 →プロテスタント ⑪政社→宗教改革の政治思想〔カルビン主義〕
『再洗礼派』 ①文学→デュレンマット, F
彩層 ⑱宇地 265 B →太陽〔太陽大気〕図 →日食〔皆既日食に見られる現象〕
才蔵 ⑤日史 469 D
再葬墓 ⑥日史→弥生文化〔墓〕
催促状 ⑬生活→借金
才園古墳 ⑧日地→免田(町)
在村地主〈在方地主〉 ⑫経産→地主制 →農地改革
在村武士 ⑥日史→室町時代〔社会・経済〕
財田(町) 香川 ⑦日地 490 C
サイダ ⑩世地 229 B →シドン →レバノン(共和国)図
サイダー ⑫経産→飲料製造業〔嗜好飲料〕 ⑬生活→清涼飲料水
臍帯〈へその緒〉 ⑭医学→妊娠〔胎児の付属物〕 →腹〔臍〕 →ヘルニア〔臍ヘルニア〕
最大 ⑯物数→最大・最小
最大下界 ⑯物数→上限
最大光度 ⑱宇地 265 C →惑星〔惑星現象〕
最大公約数〈G.C.M.〉 ⑯物数→最大公約数・最小公倍数 →整数論〔初等整数論〕 →束〔例〕
最大公約数・最小公倍数 ⑯物数 201 C表
最大・最小 ⑯物数 202 B
西大寺 奈良/奈良市 ⑦日地 490 C
西大寺 岡山/岡山市 ⑦日地 490 C
西大寺 ⑤日史 469 D →叡尊 ⑧日地→奈良(市)〔囲神社・仏閣〕図
西大寺観音院 ⑦日地→岡山(市)図
最大瞬間風速 ⑱宇地→風速
最大蒸気圧 ⇨飽和蒸気圧
最大蒸気張力 ⇨飽和蒸気圧
最大多数の最大幸福 ④哲宗→効用 →功利主義〈1〉 →ベンサム, J ⑪政社→功利主義〔ベンサム〕
最大値原理 ⑯物数→計画数学
臍帯ヘルニア ⑭医学→新生児〔疾患〕
最大離角 ⑱宇地 265 C →惑星〔惑星現象〕
財田川 香川 ⑦日地 490 D ⑧日地→山本(町)
サイダービネガー〈りんご酢〉 ⑬生活→酢〔種類〕
最多風向 ⑧日地→卓越風〈1222 C〉
埼玉(県) ⑦日地 490 D図表 ⑤日史→下総国 ⑥日史→武蔵国
埼玉県植物見本園 ⑲植物→植物園表
埼玉県立博物館 ②美術 681 A
さいたま水上公園 ⑦日地→上尾(市)
埼玉平野 ⑦日地→埼玉(県)〔自然〈地勢〉〕
埼玉用水路 ⑧日地→利根大堰
斎太郎節 ③音演→民謡〔表〈宮城〉〕
採炭 ⑰科技→採鉱 →水力採炭 →炭鉱 →ドラムカッター
祭壇 ④哲宗 211 C図 ⑬生活→葬式〔通夜〈納棺〉〕
裁断 ⑬生活→洋裁〔洋裁技術〕
財団 ⑫経産→法人〔意義〕
採炭請負 ⑫経産→納屋制度
採炭坑道 ⑰科技→坑道〔トンネル〕
さいだん座〔祭壇座〕 ⑱宇地 265 C →星座表
最短飛行時間経路飛行 ⑰科技→航法〔空中航法〕
財団法人 ⑪政社→法人〔種類〕 ⑫経産→法人〔種類〕
崔致遠 朝鮮 ⑨世史→新羅〔社会・文化〕
サイチョウ〔犀鳥〕 ⑳動物 290 B図 →鳥類〔形態〈くちばし〉〕
最澄〈伝教大師〉 [767-822] 平安前期の僧。空海とともに入唐し,帰国後,比叡山にもどり,天台宗の興隆に尽くす ㊖『山家学生式』 ②美術 233 C図 →書〔日本書道史〈和様書道の開花〉〕 ④哲宗 212 C図 →延暦寺 →天台宗〔日本天台〕 →仏教〔日本仏教〈平安仏教〉〕 ⑤日史 469 D図 →『顕戒論』 →『守護国界章』
在庁官人 ⑤日史 470 A
在地領主 ⑤日史→古代社会〔荘園制〕 →荘園〔形成〕 ⑥日史→封建社会〔中世から近世〕
ザイツ, K [1869-1950] ⑨世史→オーストリア社会民主労働者党
ザイツェフ, B ロシア[1881-1971] 小説家。ネオ・ロマンティシズムの代表的存在。亡命後パリに住む ①文学 240 D
『骰子筒』 ①文学→ジャコブ, M
最低温度計 ⑱宇地→温度計図
蔡廷鍇 中国 ⑨世史→抗日運動
採泥器 ⑱宇地 265 C
裁定相場 ⑫経産→外国為替〔囲用語〕 →外国為替相場〈69 A〉
最低賃金制 ⑫経産 229 C
最低賃金法 ⑫経産→最低賃金制 →労働基準法〔二〕
最適化法 ⑯物数→OR
最適規模 ⑫経産→規模の経済〔工場規模〕 →最適経営規模図
最適経営規模 ⑫経産 229 D図
最適計画理論 ⑫経産→活動分析
最適成長論 ⑫経産→成長理論〔諸展開〕
最適通貨圏 ⑫経産 230 B
最適発注量 ⑫経産→在庫管理
最適予算 ⑫経産→租税〔囲用語〕
ザイデル, I ドイツ[1885-1974] 女流小説家。文学者や芸術家一族の出で夫も作家。叙情詩にも優れた ①文学 240 D
ザイデル, L [1820-1896] ⑯物数→収差
ザイデルの5収差 ⑯物数→収差
再転換論 ⑫経産→資本Ⅱ
サイデンステッカー, E アメリカ[1921] 日本文学研究家。平安朝の日記文学から戦後文学に至る翻訳で有名 ①文学 240 D →日本文学〔近代〈海外における日本文学〉〕
西都(市) 宮崎 ⑦日地 494 C図
済度 ④哲宗→仏教〔囲用語〕
彩度 ⑮化学→顔料〔性質〈色〉〕 →塗料〔性質〈色と光沢〉〕 ⑯物数→色〔基本的性質〕
ザイド・イブン・リファーイヒ ①文学→イフワーン・アッ・サファー
サイトウ〔菜豆〕 ⇨インゲンマメ
西塔 ⑤日史→延暦寺
彩陶 ②美術→中国美術 ⑨世史→彩文土器 →中国〔先史時代〈新石器時代〉〕
サイド・ウォール型 ⑰科技→ホバークラフト図
サイトウガヤ ⇨ノガリヤス
斎藤月岑 [1804-1878] 江戸末期の文人。神田の名主で父祖三代による『江戸名所図絵』がある ①文学 241 A ⑥日史→武蔵国〔囲人国記〕
斉藤耕一 [1929] ③音演→日本映画〔トーキー時代〈第5期〉〕
祭頭祭 ⑦日地→鹿島(町)〔鹿島神宮〕図
西東三鬼 [1900-1962] 俳人。新俳話会結成の世話をし,新興俳句運動の団結を図った ①文学 241 B →『天狼』
斎藤拙堂 [1797-1865] 江戸末期の津藩の儒学者。藩校を総括し『資治通鑑』の刊行に尽力 ④哲宗 213 C
斎藤隆夫 [1870-1949] 政党政治家。日中戦争処理の責任をめぐる反軍演説で議会から除名 ⑤日史 470 B ⑪政社 211 B図 ⑥日史→反軍演説問題
斎藤勇 [1887-1982] 英文学者。敬虔なキリスト教徒であり,漢詩にも造詣が深い ①文学 241 C
斎藤竜興 [1548-1573] 武将。美濃の戦国大名義竜の嗣子。信長に居城稲葉山城を奪われ,斎藤家は三代で滅亡 ⑤日史 470 B →織田信長〔天下統一〕
斎藤道三 [1494-1556] 美濃の戦国大名。灯油の行商から身をおこし,守護大名土岐家の執権,ついで大名となる ⑤日史 470 C図 →下剋上 →斎藤義竜
斎藤徳元 [1559-1647] 江戸初期の俳人。武士として関ヶ原の戦に敗れ亡命,江戸俳壇で重きをなした ①文学 241 C
斎藤野の人 [1878-1909] 評論家。高山樗牛の実弟。大正教養主義の先駆をなす論文で知られる ①文学 241 D
斎藤史 [1909] 歌人。反写実主義手法による歌風を展開 ①文学 241 D
彩陶文化 ⑨世史→仰韶文化
斎藤実 [1858-1936] 海軍軍人・政治家。政党と軍部の協調を図る挙国一致内閣をつくる。二・二六事件で殺害 ⑤日史 470 D図 ⑪政社 211 B図 ⑥日史→朝鮮〔植民地支配〕
斎藤実内閣 ⑤日史 471 A表 →内田康哉 →五・一五事件 ⑥日史→帝人事件
斎藤茂吉 [1882-1953] アララギ派の歌人。短歌写生説を立て,雄偉な万葉調に力量を示す。文化勲章受章 ㊖『赤光』『あらたま』 ①文学 241 D図 →『アララギ』 →北杜夫 →『朱欒』 ⑤日史 471 B
斎藤弥九郎 [1798-1871] 江戸末期の剣術家。神道無念流を学び,のちに江戸三大道場の一,練兵館を開く ⑤日史 471 B
斎藤山遺跡 ⑤日史 471 D ⑥日史→鉄斧
斎藤幸雄 ①文学→斎藤月岑
斎藤幸成 ⑥日史→『武江年表』
斎藤義重 ②美術→昭和の美術〔在野団体の動き〕
斎藤義竜 [1520-1561] 美濃の戦国大名斎藤道三の長男。父を討ちとって一国を支配し,しばしば信長と戦う ⑤日史 471 C図
斎藤與里 [1885-1959] 洋画家。後期印象派ないしフォービスム系のフュウザン会を結成,のち官展に移る ②美術 233 D →フュウザン会
斎藤緑雨 [1867-1904] 小説家・文芸評論家。死の2日前に口述した死亡広告は有名 ①文学 242 C ⑤日史 471 C
サイドカー ⑬生活→カクテル〔種類〈オールデイ・タイプ〉〕図
サイドカー ⑰科技→オートバイ〔種類〕
サイトカイニン ⑲植物 254 C →植物ホルモン →生長
サイドギター ③音演→電気楽器 →電気ギター図
催吐剤 ⑭医学→薬〔種類〈消化器系に作用〉〕
サイド・ダクト・トロファ ⑰科技→照明設備〔図空調用照明器具〕
サイド・ドラム〈小太鼓,スネア・ドラム〉 ③音演→太鼓〔外国〕 →ドラム
ザイド派 ④哲宗→イスラム教〔諸宗派の形成〕 →シーア派
サイド・パシャ [1822-1863] ⑰科技→レセップス, F
西都原古墳群 ⑤日史 471 C →古墳〔別〈円墳〉〕 ⑦日地→西都(市)図
ザイド・ビン・スルタン アラブ首長国連邦 ⑩世地→アブーザビー
サイドファイヤ・ヘリカル・アンテナ ⑰科技→アンテナ〔UHF帯アンテナ〕
サイドフォース ⑰科技→自転車〔設計〕図
サイド・モレーン〈側堆石〉 ⑱宇地→モレーン
さいとやき ⇨三毬打
さいとりさし踊 ⑧日地→鳥取(県)〔文化〕
サイドワインダー ⑳動物→ガラガラヘビ
サイドワインディング ⑳動物→ヘビ〔生態〕
サイナス腺 ⑳動物→ホルモン〔無脊椎動物〕
『災難』 ③音演→カラジアーレ, I
済南公園 ⑩世地→チーナン図
済南事件 ⑤日史 471 D →山東出兵 ⑨世史 238 D
崔南善〈チェナムソン〉 朝鮮[1890-1957] 詩人・歴史家。朝鮮近代文学の創始者。言文一致運動を初めて提唱 ①文学 242 C →朝鮮文学〈李朝時代〉
在日朝鮮人問題 ⑪政社 211 C図
在日米軍基地 ⑤日史→基地問題図

サイリスタ ⑰科技 229 C図 →整流器〔電子管整流器〕図 ⑯物数→真空管
サイリスタチョッパー方式 ⑰科技→地下鉄〔車両〕→電車〔構造〕
柴立園莎青 ①文学→大島蓼太
細粒火成岩 ⑱宇地→岩石
細隆線文土器 ⑤日史→縄文文化〔時代区分〈早期〉〕
材料試験 ⑰科技 229 C
材料試験炉〈MTR〉 ⑰科技 230 C →原子炉〔研究用原子炉〕図
裁量保釈 ⑪政社→保釈
材料力学 ⑯物数→応用力学 ⑰科技→機械設計〈112 B〉
蔡倫 中国〔?-121〕 中国四大発明の一つである紙の発明者 ⑰科技 230 C図 →紙〔歴史〈発明〉〕 ⑨世史→紙 →宦官〔中国〕 ⑫経産→紙・パルプ工業
西林寺 ⑦日地→四国地方〔別四国八十八か所〕
西琳寺址 ⑤日史 473 D
ザイル ⑬生活→登山〔登山用具〕図
ザイール(共和国) アフリカ ⑩世地 229 B図 →コンゴ(地方) ⑪政社→コンゴ動乱
ザイール(川) ⇨コンゴ(川)
サイレージ〈埋め草〉 ⑳動物→ウシ〔飼育〕
サイレン ⑳動物→動物〔囲想像上の動物〕図
サイレント映画 ⇨無声映画
サイログロブリン ⑭医学→ホルモン〔甲状腺ホルモン〕
ザイロフォン ⇨シロフォン
サイロメレーン鉱 ⑱宇地→硬マンガン鉱
幸(区)さいわい 神奈川/川崎市 ⑦日地 495 B
サイワイタケ ⇨マンネンタケ
幸橋 ⑧日地→平戸(市)
裁割り ⑰科技→製本〔工程〕
再割引限度額適用制度 ⑫経産→金融政策〔手段〈公定歩合政策〉〕
サイン ④哲宗→記号
サイン〈正弦関数〉 ⑯物数→三角関数
左院 ⑤日史→官僚制〔太政官制〕
鎖陰 ⑭医学→女性性器
坐隠 ⑬生活→囲碁〔囲故事〕
左院・右院 ⑤日史 473 D
サインシャンダ モンゴル ⑩世地 230 C
サイン棒 ⑰科技→角度ゲージ図
ザウアラント ⑩世地→ハーゲン
ザウケル ⑪政社→国際軍事裁判表
サウサンプトン イギリス ⑩世地 230 D
サウジー, R イギリス〔1774-1843〕 桂冠詩人。ジョージ三世の追悼詩を書き,バイロンに風刺詩で報いられた ①文学 243 A ⑪政社→政治的ロマン主義
サウジアラビア(王国) アジア ⑩世地 231 A図
サウスウェル, R イギリス〔1561-1595〕 詩人。カトリック教徒に奉仕,宗教的深さと機知により形而上詩の先駆をなす ①文学 243 A
サウスウェールズ ⑫経産→西欧経済事情図 →石炭産業図
サウスエンドオンシー イギリス ⑩世地 232 D
サウスオークニー(諸島) イギリス/大西洋 ⑩世地 232 D
サウスオーストラリア(州) オーストラリア ⑩世地 233 A
サウスカロライナ(州) アメリカ ⑩世地 233 A
サウスサンドイッチ(諸島) イギリス/大西洋 ⑩世地 233 B
サウスシェトランド(諸島) イギリス/大西洋 ⑩世地 233 B
サウスジョージア(島) イギリス/大西洋 ⑩世地 233 B
サウスシールズ イギリス ⑩世地 233 B
サウスダウン種 ⑳動物→ヒツジ〔家畜ヒツジ〕図
サウスダコタ(州) アメリカ ⑩世地 233 B
サウスデボン ⑳動物→ウシ〔品種〕別
サウスベンド アメリカ/インディアナ ⑩世地 233 C
サウスポート ⑩世地→ゴールドコースト
サウットル ①文学→サガ
サウド ⑩世地→サウジアラビア(王国)〔略史〕
ザーウミ ①文学→クルチョーヌイフ, A
サウム ④哲宗→イスラム教〔教義〕
サウムラキ ⑩世地→タニンバル(諸島)
サウラシュトラ ⑩世地→カチアワル(半島)
『サウル』 ①文学→アルフィエーリ, V
サウン ③音演→インド音楽〔歴史〕
『サウンド・オブ・ミュージック』 ③音演→ロジャース, R
サウンドスペクトログラフ ⑭医学→声〔音声の音響分析〕図
サウンドトラック〈音声帯〉 ⑰科技→映画カメラ〈34 B〉
佐伯(市)さえき ⇨佐伯(市)さいき
佐伯(町) 岡山 ⑦日地 495 D
佐伯(町) 広島 ⑦日地 495 D
佐伯氏 大伴氏の同族と伝える古代の神別氏族,播磨・讃岐の皇別氏族などがある ⑤日史 474 A
佐伯孝夫 〔1902-1981〕 ③音演→歌謡曲
佐伯祐三〔1898-1928〕 洋画家。独自のフォービスム的表現主義画境を開拓 ②美術 234 A図 ⑤日史 474 B
さえずり ⑳動物→なわ張り
サエン ③音演→影絵劇〔ジャワ〕
差延 ④哲宗→デリダ, J
竿〈ロッド〉 ⑬生活→釣り〔釣り道具〕図
竿入 ⇨検地
蔵王(町)ざおう 宮城 ⑦日地 495 D
蔵王エコーライン ⑦日地→蔵王(町)ざおう
蔵王温泉 ⑧日地→山形(市) ⑬生活→郷土玩具〔種類〈こけし〉〕
竿請人 ⇨名請人なうけにん
蔵王国定公園 宮城・山形 ⑦日地 496 A図
蔵王山 宮城・山形 ⑦日地 496 A図 ⑱宇地→火山〔表活火山〕 →樹氷 →霧氷
蔵王トンネル ⑰科技→トンネル表
竿釣り ⑳動物→カツオ〔漁業〕 →タイ〔釣り〕
早乙女貢 ①文学→直木賞表
棹取 ⑰科技→鉱山〔囲用語〕
棹秤さおばかり ⑬生活→調理器具〔計量器具〈秤〉〕 ⑯物数→てこ
サオヒメ ⇨ジオウ
竿縁天井 ②美術→天井〔日本〕 ⑬生活→住まい〔設計〈各部〉〕 →天井図
佐織(町) 愛知 ⑦日地 496 B
坂(町) 広島 ⑦日地 496 B
サガ ①文学 243 A図 →北欧文学〔アイスランド文学〕
佐賀(県) ⑦日地 496 D図表 ⑥日史→肥前国ひぜん
佐賀(市) 佐賀 ⑦日地 499 D図
佐賀(町) 高知 ⑦日地 500 D
嵯峨 ⇨嵯峨野さがの
堺(市) 大阪 ⑤日史 474 B図 →安土桃山時代〔政治・経済〕 →勘合貿易〔経営〕 →堺版 →堺奉行 ⑦日地 500 D図 ⑧日地→自由都市〈1215 D〉
境(町) 茨城 ⑦日地 502 A
境(町) 群馬 ⑦日地 502 A
坂井(町) 福井 ⑦日地 502 B
坂井(村) 長野 ⑦日地 502 B
坂井遺跡 ⑧日地→韮崎(市)にらさき
酒井氏 徳川将軍家譜代の重臣。雅楽助酒井氏・左衛門尉酒井氏がそれぞれ宗家として数家に分かれる ⑤日史 474 D図 →庄内藩
境運河 ⑦日地→大阪(市)〔自然〕
酒井鶯蒲おうほ 〔1808-1841〕 ②美術→宗達光琳派
境大橋 ⑦日地→境(町)《茨城》 →関宿(町)せきやど
境川 東京・神奈川 ⑦日地 502 B
境川(村) 山梨 ⑦日地 502 B
境川浪右衛門 ⑬生活→相撲〔表横綱〕
堺枯川 ⇨堺利彦
境さんこ節 ③音演→民謡〔表〈鳥取〉〕
堺事件 ⑤日史 474 D
境島 ⑦日地→十六島
堺筋 大阪市/東区・南区 ⑦日地 502 B →船場せんば
境線 ⑦日地→山陰本線
堺泉北臨海工業地域 ⑦日地→大阪(府)〔産業〈工業〉〕
酒井田柿右衛門 九州有田の陶工。赤絵の創始者とされる江戸初期の初代より現在まで14代を数える ⑤日史 475 A →赤絵 →有田焼 ②美術→柿右衛門 ⑦日地→有田(町)図 ⑬生活→食器〔歴史〕
酒井田柿右衛門(初代) 〔1596-1666〕 ②美術→柿右衛門
酒井忠勝 〔1587-1662〕 江戸幕府の老中。3代将軍家光・4代家綱時代に老中をつとめ,幕政の確立に貢献 ⑤日史 475 A ⑥日史→徳川家綱 →松代藩まつしろ →若狭国わかさ〔囲人国記〕
酒井忠清 〔1624-1681〕 将軍家綱時代の老中。幕閣の中心として文治政治を推進。忠世の孫 ⑤日史 475 B ⑥日史→伊達騒動だて
酒井忠次 〔1527-1596〕 家康に仕えた重臣。三河時代の家康を補佐した最有力の家臣で,徳川四天王の一人 ⑤日史 475 B
酒井忠世 〔1572-1636〕 江戸初期将軍家の重臣。2代秀忠・3代家光時代の老中 ⑤日史 475 C
坂出 ⑦日地→坂手島
坂出(市)さかいで 香川 ⑦日地 502 C図
堺利彦〈堺枯川〉〔1870-1933〕 明治から昭和初期の社会主義運動の指導者。日本共産党の初代委員長 ④哲宗 214 B ⑤日史 475 C図 →社会主義運動〈539 C〉 ⑪政社 215 C図 →平和主義〔日本〕 ①文学→言文一致 ⑥日史→日本社会党《明治》 →日本平民党 →売文社 →平民社 ⑫経産→日本資本主義論争〈467 C〉
境野哲さとし 〔1871-1933〕 ④哲宗→浄土真宗囲
境ノ明神峠 茨城・栃木 ⑦日地 502 C
堺の乱〈応永の乱〉 ⑤日史→和泉国いずみ
堺版 ⑤日史 475 D
堺奉行 ⑤日史 475 D
堺船 ⇨糸荷廻船いとにかいせん
阪合部さかあいべ ⑦日地→五条(市)
酒井抱一 〔1761-1828〕 江戸後期の宗達光琳派の画家。粋な装飾画風を形成 ②美術 234 C図 →宗達光琳派 ⑤日史 476 A
堺紡績所 ⑤日史 476 A ⑫経産→殖産興業表
境港(市)さかいみなと 鳥取 ⑦日地 502 D図
酒井雄三郎 〔1860-1900〕 明治の社会思想家。中江兆民の高弟。渡仏しヨーロッパにおける社会問題・社会主義運動を日本に紹介 ⑤日史 476 A
坂内(村) 岐阜 ⑦日地 503 A
サガウリ条約 ⑨世史→グルカ戦争
栄 名古屋市/中区 ⑦日地 503 A ⑧日地→名古屋(市)図
栄(町) 千葉 ⑦日地 503 B
栄(町) 新潟 ⑦日地 503 C
栄(村) 長野 ⑦日地 503 C
寒河江(市)さがえ 山形 ⑦日地 503 C
寒河江温泉 ⑦日地→寒河江(市)
寒河江川 ⑦日地→朝日山地 ⑧日地→六十里越
栄城 ⑦日地→佐賀(市)〔佐賀城跡〕
栄屋 ③音演→中村仲蔵(初世)
嵯峨お松明たいまつ ⑦日地→京都(市)〔囲神社・仏閣〈清涼寺〉〕
『逆髪の能』 ③音演→『蟬丸せみまる』
坂上弘 〔1936〕 小説家。江藤淳と『三田文学』の編集を担当。寡作ながら各誌に私小説風作品を発表 ①文学 243 C
サカキ〔榊〕 ⑲植物 258 B図
坂城(町)さかき 長野 ⑦日地 503 C
『賢木さかき』 ①文学→紫式部〔表源氏物語〕
サカキカズラ〔錦蘭〕 ⑲植物 258 B図
嵯峨ギク ⑲植物→キク〔分類〕図
坂北(村) 長野 ⑦日地 503 D
榊原氏 清和源氏仁木氏から出た氏。伊勢榊原邑に住した利長を祖とし,江戸時代は大名,明治になって子爵 ⑤日史 476 A図
榊原温泉 ⑧日地→久居(市)ひさい
榊原鍵吉 〔1830-1894〕 江戸末・明治前期の剣術家。将軍家茂の個人教授をつとめ,のち明治天皇の天覧試合を主宰 ⑤日史 476 B
榊原篁洲 ①文学→『古文真宝』
榊原康政 〔1548-1606〕 武将。三河以来家康に仕え,関東入部に際して館林十万石を与えられる。徳川四天王の一人 ⑤日史 476 C図 ⑥日史→館林藩
彭城百川さかきひゃくせん 〔1698-1753〕 江戸中期の文人画家。南画の先駆者で,篆刻てんこくにも先鞭をつける ②美術 234 C図 →俳画 ⑤日史 476 C
榊山潤 〔1900-1980〕 小説家。維新の再検討を企てた作品で歴史小説に新分野を開く ①文学 243 C
坂口安吾あんご 〔1906-1955〕 小説家・評論家。新戯作派・無頼派として時代の旗手となるが,多彩な文学的営為は理解されず,死後再評価 作『白痴』 ①文学 243 C図 →新戯作派 →推理小説〔日本〕
差額地代 ⑨世史→リカード, D ⑫経産→地代ちだい →超過利潤
逆熊 ③音演→鬘かつら図
坂倉準三 ②美術→昭和建築〔戦前〕 →神奈川県立近代美術館〈680 C〉
嵯峨渓 宮城 ⑦日地 503 D ⑧日地→鳴瀬(町)
佐賀県文化館 ②美術→佐賀県立博物館〈681 A〉
佐賀県立博物館 ②美術 681 A
逆児さかご〈骨盤位〉 ⑭医学→出産〔異常分娩〕 →妊娠〔胎位〕
坂高麗左衛門 〔1586-1643〕 ②美術→萩はぎ ⑥日史→長門国ながと〔囲人国記〕
嵯峨御所 ⇨大覚寺
さかさ落ち ③音演→落語〔囲落ち〕
坂崎直盛 〔?-1617〕 武将。大坂夏の陣で家康の孫娘

桜井寺　⑦日地→五条(市)
桜井静　⑤日史→上総国(かずさ)〔囲人国記〕
桜井錠二　[1858-1939]　化学者。分子量測定器の改良に業績をあげ,化学の研究・教育の基礎を固める　⑤日史 481 B　⑮化学 280 A図
桜井石門　[1748-1799]　⑥日史→但馬国(たじま)〔囲人国記〕
桜井線　⑦日地→関西本線
桜井孝雄　⑬生活→ボクシング〔日本〕図
桜井茶臼山古墳　⑤日史 481 B　→古墳〔別〈柄鏡塚〉〕
桜井勉　[1843-1931]　⑥日史→但馬国(たじま)〔囲人国記〕
桜井駅跡　⑦日地→島本(町)
桜井二見ヶ浦　⑦日地→糸島半島　→志摩(町)《福岡》
桜井政能　[1649-1731]　⑤日史→甲斐国(かい)〔囲人国記〕
桜井良翰　[1717-1757]　⑥日史→但馬国(たじま)〔囲人国記〕
桜江(町)　島根　⑦日地 509 C
サクラエビ〔桜蝦〕　⑳動物 293 C　→エビ〔生態〕図
桜岡　⑦日地→小城(町)(おぎ)
桜会　⑤日史 481 C　→三月事件　→十月事件　⑥日史→橋本欣五郎
サクラガイ〔桜貝〕　⑳動物 293 C図　→バカガイ
桜ヶ浦　⑦日地→大原(町)《千葉》
桜ヶ丘　⑧日地→多摩(市)
桜川　茨城　⑦日地 509 C　→岩瀬(町)
桜川(村)　茨城　⑦日地 509 C
桜川慈悲成(じひなり)　[1762-1833]　江戸後期の戯作者。江戸小咄を話芸化し,落語中興の祖といわれる　①文学 245 B　③音演→落語〔歴史〕
サクラガンピ　⑲植物→ガンピ
『佐倉義民伝』　③音演→『東山桜荘子(ひがしやまさくらそうし)』
サクラケムシ　⑳動物→シャチホコガ〔日本産〕図
桜山鵲蒔絵硯箱　②美術→幸阿弥家(こうあみ)
桜島　大阪市/此花区　⑦日地 509 D
桜島　鹿児島　⑦日地 509 D図　→鹿児島(市)図　→鹿児島湾　⑧日地→日本〔自然〈自然災害〉〕　⑱宇地→火山〔噴火形式〈火山泥流〉〕〔表活火山〕図
桜島(町)　鹿児島　⑦日地 509 D　⇨西桜島(村)
『桜島』　①文学→梅崎春生図　→戦争文学　→日本文学〔近代〈戦後文学〉〕
桜島海中公園　⑦日地→霧島屋久国立公園
桜島口　⑧日地→垂水(市)(たるみず)
サクラジマダイコン　⑦日地→桜島《鹿児島》図　⑬生活→郷土料理〔囲〈鹿児島〉〕　⑲植物→ダイコン
サクラジマミカン　⇨キシュウミカン
サクラシメジ〔桜占地〕　⑲植物 265 A　→キノコ〔別担子菌類〈ハラタケ目〉〕　→シメジ
作楽神社(さくら)　⑧日地→津山(市)
サクラソウ〔桜草〕　⑲植物 265 A図　→園芸〔図フラワーカレンダー〈1〉〕　→種子〔図〈自力で弾出〉〕　→天然記念物図　⑧日地→田島ヶ原
サクラソウ科　⑲植物 265 B　⑮化学→フラボン
佐倉惣五郎〔佐倉宗五郎〕〈木内宗五〉　[1605-1653]　江戸前期の名主。領主堀田正信の増税と小物成の金納化に反対し直訴,死罪　⑤日史 481 D図　③音演→『東山桜荘子(ひがしやまさくらそうし)』　⑫経産→百姓一揆
サクラダイ〔桜鯛〕　⑳動物 294 A図　→マダイ　⑧日地→鳴門(市)(なると)
桜田治助　江戸中・後期の歌舞伎狂言作者。初世から四世まである　③音演 223 B
桜田治助(初世)　[1734-1806]　江戸後期の歌舞伎狂言作者。森田座の立作者で,江戸っ子好みの洒落や風刺に才を発揮　①文学 245 C　③音演 223 B
桜田治助(二世)　[1768-1829]　江戸中期の歌舞伎狂言作者。中村座で立作者となる。浄瑠璃・長唄の名作を数多く残す　③音演 223 B　→『心謎解色糸(こころのなぞとけたいろいと)』　→『桜姫東文章(あずまぶんしょう)』
桜田常久　①文学→芥川賞(あくたがわ)表
サクラタデ〔桜蓼〕　⑲植物 265 C　→タデ図
桜田百華園　①文学→政治小説
桜田百衛(ももえ)　①文学→新聞小説
桜田門外の変　⑤日史 481 D図　→安政の大獄　→井伊直弼(なおすけ)　⑥日史→幕末〔反動と混迷〕
桜田門事件　⑤日史 482 B
桜塚古墳　⑧日地→豊中(市)
サクラツツジ〔桜躑躅〕　⑲植物 265 C
佐倉道中　⇨佐倉道(みち)
佐倉七牧　⑧日地→八街(町)(やちまた)
桜煮　⑳動物→タコ〔調理〕
さくら肉〈馬肉〉　⑬生活→食肉
サクラネチン　⑮化学→フラボン図
『桜の園』　①文学→チェーホフ,A図　③音演→チェーホフ,A図
桜馬場遺跡　⑤日史 482 B
『桜の森の満開の下』　①文学→坂口安吾(あんご)
サクラバエ　⇨ヒガイ《魚類》
サクラバラ　⑲植物→バラ〔野生種〕別
佐倉藩　⑤日史 482 C　→下総国(しもうさ)〔囲人国記〕
『桜姫東文章(あずまぶんしょう)』　③音演 223 C図
『桜姫全伝曙草紙(さくらひめぜんでんあけぼのそうし)』　①文学→山東京伝(さんとうきょうでん)
桜淵公園　⑦日地→新城(市)(しんしろ)
サクラブンチョウ　⑳動物→ブンチョウ
桜まじ〈日和南風(ひよりまじ)〉　⑱宇地→風〔表季題〈春〉〕
サクラマス〔桜鱒〕　⑳動物 294 A　→淡水魚　→マス図　→ヤマメ
桜町天皇　[1720-1750]　第 115 代天皇。宇佐宮・香椎宮などの奉幣使発遣の復興など朝儀の振興と皇威の伸長を図る　⑤日史 482 C図
桜祭　⑦日地→青森(県)〔文化〈郷土芸能〉〕　⑧日地→東京(都)〔別年中行事〕
サクラマンテマ〈フクロナデシコ〉　⑲植物→シレネ
佐倉道(みち)　⑤日史 482 D
サクラメント　アメリカ/カリフォルニア　⑩世地 233 D
サクラメント(川)　アメリカ　⑩世地 233 D
サクラメント　④哲宗 215 A　→キリスト教〔囲用語〕
サクラモダシ　⇨サクラシメジ
桜餅　⑬生活→菓子〔季節〕図
桜紋　⑲植物→サクラ図
桜山茲俊(これとし)　[?-1332]　鎌倉末期の豪族。楠木正成の反幕に呼応して挙兵,ほぼ備後一国を勢力下におさめたが自殺　⑤日史 482 D　⑥日史→備後国(びんご)〔囲人国記〕
桜湯　⑬生活→結婚〔結納〕
サクララン〔桜蘭〕　⑲植物→ホヤ
『錯乱』　①文学→直木賞表
錯乱状態　⑭医学→意識障害
サクランボ〔桜坊〕〈オウトウ〉　⑲植物 265 C図　⑧日地→山形(県)〔産業〈農林業〉〕
座繰機　⑬生活→生糸(きいと)
探り式鉱石受信機　⑰科技→ラジオ図
座繰製糸(ざくり)　⑤日史 482 D　→江戸時代〔産業・経済・貿易〈マニュファクチュア〉〕　⑫経産→製糸業
座繰製糸唄　③音演→民謡〔表〈群馬〉〕
サクリング,J　イギリス[1609-1642]　王党派の詩人・劇作家。当代随一の伊達者として知られる　①文学 245 C
ザクルール,S　[1850-1927]　⑨世史→ワフド党
索励　中国　⑨世史→楼蘭(ろうらん)
サクレ・クール寺院　⑩世地→パリ〔囲観光地〕図
ザグレブ　ユーゴ　⑩世地 233 D　→クロアチア
ザクロ〔石榴〕　⑲植物 266 B図　→国花表　→薬用植物表　⑭医学→駆虫剤　→生薬(しょうやく)〔石榴皮〕
ざくろ石〔柘榴石〕〈ガーネット〉　⑱宇地 267 B図　→火成岩〔造岩鉱物〕　→宝石〔表誕生石〕
ざくろ石橄欖岩　⑱宇地→橄欖岩(かんらん)　→深成岩
柘榴口　⑥日史→銭湯(せんとう)
サクロサンクタ　⑨世史→コンスタンツ公会議
ザグロス(山脈)　イラン　⑩世地 234 A
ザクロソウ〔石榴草〕　⑲植物 266 C図
サケ〔鮭〕　⑳動物 294 B図　→帰巣性　→魚類〔生理〈感覚〉〕　→渡り
酒　⑤日史 482 D図　⑬生活 215 D表囲　→肴(さかな)　→酒器　→清酒　⑭医学→禁酒　⑮化学→醸造〔酒類〕
『鮭』　②美術→高橋由一(ゆいち)図
サケイ〔沙鶏〕　⑳動物 296 B
鎖形異性　⑮化学→異性体〔構造異性〕
『左経記(さけいき)』　⑤日史 483 B
鮭石　⑤日史 483 B
下ゲ哥(さげうた)　③音演→能〔囲用語〕
提げ帯　⑬生活→帯〔歴史〈女子〉〕
鮭颪(さけおろし)　⑱宇地→風〔表季題〈秋〉〕
サケガシラ　⑳動物→フリソデウオ
酒かす　⑮化学→醸造〔酒類〈清酒〉〕
下げ髪　③音演→鬘(かつら)図　⑤日史→垂髪(すいはつ)
鮭川　⇨三面川(みおもて)
鮭川(村)　山形　⑦日地 509 D
下げ潮〈引き潮,落潮流〉　⑱宇地→潮汐〔満干潮〕　→潮流
さけずし　⑳動物→サケ〔調理〕
酒造唄(さけつくりうた)　③音演 223 C
酒津(さけのつ)　⑦日地→気高(町)(けたか)
『酒は涙か溜息か』　③音演→歌謡曲表
『叫び』　②美術→ムンク,E図
『叫びとささやき』　③音演→ベルイマン,I
サケビドリ〔叫鳥〕　⑳動物 296 B
酒米〈酒造米〉　⑬生活→米〔種類〕
サケ・マス漁業　⑳動物→サケ〔漁業〕図
サケマス流し網漁船　⑰科技→漁船〔表各種〈刺網漁船〉〕
酒饅頭　⑧日地→名古屋(市)〔観光・文化〕　⑬生活→菓子〔和菓子の歴史〕　→饅頭(まんじゅう)
さけ飯　⑳動物→サケ〔調理〕
サケヤシ　⑲植物→サトウヤシ
サケラフィア〈アフリカゾウゲヤシ〉　⑲植物→ゾウゲヤシ類　→ラフィアヤシ
迫(さこ)　⑦日地→川上(村)《奈良》
雑魚　⑳動物→ゼゼラ
鎖肛〈肛門閉鎖〉　⑭医学→奇形児　→肛門　→新生児〔疾患〕
座高　⑭医学→人体〔図発育〕　→体格〔身体計測値〕
佐合島　山口　⑦日地 509 D
鎖国　⑤日史 483 B図　→江戸時代〔政治・外交〕　→キリスト教　→島原の乱　⑥日史→出島　→徳川家光〔鎖国断行〕　→長崎貿易　→抜荷(ぬけに)　→幕藩体制〔特質〕
砂越　⑧日地→平田(町)《山形》
ザゴースキン,M　ロシア[1789-1852]　小説家・劇作家。歴史小説で知られるが,史実に忠実ではない　①文学 245 C
ザコ=チャユピ,A　アルバニア[1866-1900]　③音演→東欧演劇〔アルバニア〕
鎖骨　⑭医学→骨〔骨格〕図　→胸
坐骨　⑭医学→骨盤〔寛骨〕
坐骨神経　⑭医学→神経〔中枢神経と末梢神経〕図
坐骨神経痛　⑭医学→神経痛　→脊椎〔椎間板ヘルニア〕
サゴでんぷん　⑲植物→クジャクヤシ　→サゴヤシ
雑喉場(ざこば)　⇨魚市場(うおいちば)
三五八漬(さごはち)　⑬生活→郷土料理〔囲〈福島〉〕
サゴヤシ　⑲植物 266 C図
ザゴールスク　ソ連/ロシア　⑩世地 234 A
『狭衣物語(さごろも)』　①文学 245 C　→日本文学〔古代〈平安時代〉〕　→物語文学　⑤日史 484 D
左近の桜　⑤日史→紫宸殿(ししんでん)図
ササ〔笹〕　⑲植物 267 A　→タケ〔分類〕　②美術→民家〔日本〈屋根〉〕
佐々(町)　長崎　⑦日地 510 A
ササイカ　⇨ヤリイカ
笹魚　⑲植物→虫こぶ
ササウオタマバエ　⑲植物→虫こぶ
ササウシノシタ〔笹牛之舌〕　⑳動物 296 B　→シタビラメ〔日本産〕
サザエ〔栄螺〕　⑳動物 296 C図　→貝類〔分類〈腹足類〉〕　⑬生活→貝類〔種類〕
栄螺堂(さざえどう)　⑦日地→会津若松(市)(あいづ)〔観光〈飯盛山〉〕図
サザエワリ　⇨ネコザメ
小砂丘忠義(ささおか)　⑤日史→自由教育運動
ささがき　⑬生活→調理〔切り方〕図
ささがにの　①文学→短歌〔囲枕詞〕
ササガニユリ　⑲植物→ヒメノカリス
笹かまぼこ　⑬生活→郷土料理　→練り製品〔かまぼこ〕
笹神(村)　新潟　⑦日地 510 B
笹ヶ峰　⇨葛城山(かつらぎさん)《金剛山地》
笹ヶ峰牧場　⑧日地→妙高高原(町)
ササガヤ〔笹茅〕　⑲植物 267 A図
笹ヶ谷鉱山　⑱宇地→硫砒鉄鉱
笹カレイ　⑦日地→京都(府)〔観光〈名産〉〕
笹川　千葉/東庄町　⑦日地 510 C　→大利根用水
篠川御所(ささがわ)　⑤日史 485 A　→足利満直(あしかがみつただ)　→上杉禅秀の乱
笹川邸　⑦日地→味方(村)(あじかた)図
笹川流れ　新潟　⑦日地 510 C図　→山北(町)(さんぽく)
笹川臨風　[1870-1949]　歴史家・俳人。反自然主義の文芸革新会の綱領宣言を執筆したといわれる　①文学 245 D
佐々木氏　近江の豪族。頼朝の挙兵に応じて平氏追討に功をたてる　⑤日史 485 A図　→源氏(げんじ)〔宇多源氏〕
佐々木基一　[1914-]　文芸評論家。『近代文学』創刊に参加,前衛芸術にも理解を示す　①文学 245 D
佐々木邦　[1883-1964]　小説家。ユーモア家庭小説の新しい時代を開いた　①文学 245 D
佐々木月樵　[1875-1926]　④哲宗→浄土真宗囲

サスペンデッドゲーム ⑬生活→野球〔囲用語〕
刺股 ⑥日史→三道具
『さすらい』 ③音演→アントニオーニ,M
サスライアリ亜科 ⑳動物→アリ〔分類〕
『さすらいの唄』 ③音演→歌謡曲表
『さすらいのキャシー』 ③音演→テレビジョン・プレイ〔歴史〕図
『さすらいの青春』 ①文学→アラン=フルニエ,H〔モーヌの大将〕
『さすらい人』 ③音演→シューベルト,F〔作風と作品〕
『さすらう若人の歌』 ③音演→マーラー,G〔作風と作品〕
サスーン,S イギリス[1886/1967] 詩人。第一次大戦に従軍,体験をうたって戦争詩人として著名。創作的な自叙伝もある ①文学 246 C
嗄声〈かれ声〉 ⑭医学→クループ →声〔異常〕 →のど〔喉頭〈急性慢性喉頭炎〉〕
座席車 ⑰科技→客車〔営業用〕図
『沙石集』 ⇨『沙石集』
座席ベルト ⇨シートベルト
挫折 ④哲宗 215 B
サセックス ⑨世史→ヘプターキー
サセプタンス ⑯物数→アドミタンス →インピーダンス
佐世保(市) 長崎 ⑦日地 511 D図
佐世保港 ⑦日地→佐世保(市)
佐世保線 ⑧日地→長崎本線
佐世保炭田 ⑦日地 512 C →北松浦半島
坐禅 ④哲宗→修行 →禅図 →仏教〔囲用語〕 ⑭医学→心理療法〔再教育的療法〕
座禅川 ⑧日地→滑川
左旋性 ⑮化学 280 B →光学活性
ザゼンソウ〔座禅草〕 ⑲植物 268 C図
左旋糖レブロース ⑮化学→果糖
ザゼンモモ ⑲植物→モモ
サーソー イギリス ⑩世地 234 B
挫創 ⑭医学→打撲傷
左宗棠 中国[1812/1885] 清末の政治家。太平天国の鎮圧に転戦,洋式海軍の重要性を知り造船所を建設 ⑨世史 241 B図 →洋務運動
サソス(島) ⇨タソス(島)
サソリ〔蠍〕 ⑳動物 298 A図 →クモ形類 ⑭医学→血清療法〔抗毒素血清療法〕
さそり座〔蠍座〕 ⑱宇地 268 B →アンタレス →星座〔四季〈夏〉〕図表 →占星術表 ⑬生活→占い〔西洋占星術〈表十二星座宮〉〕
さそり座X1 ⑱宇地 268 C →X線天体〔銀河系内のX線源〕表
サソリムシ ⇨シリアゲムシ
サソリモドキ〔尾蠍〕 ⑳動物 298 C図 →クモ形類
佐多(町) 鹿児島 ⑦日地 512 C
佐田(町) 島根 ⑦日地 512 C
沙陀 ⑨世史 241 C
左大臣 ⑤日史 486 A →右大臣 →三公 ⑥日史→太政官
佐多稲子 [1904] 小説家。プロレタリア文学に接近,転向の時代を経て,戦後新日本文学に参加 作『くれなゐ』 ①文学 246 D図 →プロレタリア文学
ザ・タイムズ ⑪政社→新聞〔歴史〈欧米〉〕図
サダカ ④哲宗→イスラム教〔囲用語〈ザカート〉〕
佐田介石 [1818/1882] 明治初期の国粋思想家・僧侶。外国貿易に反対し国産品を奨励する運動に挺身 ⑤日史 486 B
サダカ祭〈イード・ル・フィトル〉 ④哲宗→イスラム教〔囲用語〕
佐陀川 島根 ⑦日地 512 D
佐竹氏 源義光の孫昌義を祖とし,昌義が常陸国に住み佐竹冠者と称したのに始まる ⑤日史 486 B図 →秋田藩 →源氏〔清和源氏〕
佐竹寺 ④哲宗→坂東三十三所表 ⑧日地→常陸太田(市)
佐竹曙山〈佐竹義敦〉 [1748/1785] ②美術→秋田蘭画図 →洋風画 ⑥日史→出羽国〔囲人国記〕
佐竹義重 [1547/1612] 秀吉・家康に仕えた武将。鬼義重といわれ,猛将でならす ⑤日史 486 B
佐竹義堯 ⑤日史→秋田藩
佐竹義宣 [1570/1633] 安土桃山・江戸前期の武将。関ヶ原の戦いで曖昧な態度をとり,出羽国へ転封 ⑤日史 486 C →秋田藩 →大坂の陣〔冬の陣〕
佐竹義和 [1775/1815] 江戸後期の大名。秋田藩における寛政の改革を行い,名藩主といわれる ⑤日史 486 D図 →秋田藩

佐竹義躬 [1749/1800] ②美術→秋田蘭画
沙汰国 ⇨知行国
蹉跎崎 ⇨足摺岬
サタジット・ライ ⇨ライ,S
佐太神社 ③音演→佐陀神能 ④哲宗→神社〔表〈国幣小社〉〕 ⑦日地→鹿島(町)〈島根〉図
佐陀神能 ③音演 224 B図 ⑦日地→鹿島(町)〈島根〉図
サダソウ〔佐多草〕 ⑲植物 268 C図
『定親公記』 ⇨『薩戒記』
サダト,A エジプト[1918/1981] ⑨世史→エジプト〔イスラム時代〈エジプト革命〉〕 ⑩世地→エジプト(アラブ共和国)〔略史〕 ⑪政社→エジプト革命
沙汰人 ⑤日史 486 D
佐田の山晋松 ⑬生活→相撲〔表横綱〕
定八 ②美術→伊賀焼
サータバーハナ朝 ⑨世史 241 C
貞成親王 [1372/1456] 後花園天皇の実父。衰弱した宮家の興隆に尽力 ⑤日史 486 D →『看聞御記』 ⑥日史→『椿葉記』
『貞文日記』 ⇨『平中物語』
佐多岬 鹿児島 ⑦日地 512 D図
佐田岬 愛媛 ⑦日地 512 D図 →佐田岬半島
蹉跎岬 高知 ⑦日地 512 D ⇨足摺岬
佐多岬海中公園 ⑦日地→霧島屋久国立公園
佐田岬半島 愛媛 ⑦日地 512 D →佐田岬
貞光(町) 徳島 ⑦日地 513 A
貞光川渓谷 ⑦日地→貞光(町)
定峰峠 ⑧日地→東秩父(村)
沙汰未練書 ⑤日史 487 A
『佐太村』 ③音演→『菅原伝授手習鑑』
貞奴 ⇨川上貞奴
サター要塞 ⑩世地→サクラメント
ザダル ユーゴ ⑩世地 234 C
サタン ②美術→キリスト教美術〔囲画題〕 ④哲宗→悪魔
サターン ⇨土星
サターン5型ロケット ⑱宇地→アポロ計画〔計画の推進まで〕図 →スカイラブ計画〔装置〕 →ロケット〔歴史〈第2次大戦後〉〕図
左団次 ⇨市川左団次
サチ ⇨トクビレ
幸ノ湖 ⇨中禅寺湖
『サチュリコン』 ①文学→ペトロニウス,G ⑨世史→ペトロニウス,G
サチュロス ⑳動物→動物〔囲想像上の動物〕
撮影機 ⇨映画カメラ
薩英戦争 ⑤日史 487 A図 →開国〔攘夷運動〕 →薩長連合 ⑥日史→生麦事件
雑役免系荘園 ⑤日史→荘園〔類型〕
雑音 ⑯物数 205 C
サッカー ⑬生活 219 A図囲
雑家 ④哲宗 215 B ⑨世史→諸子百家
『薩戒記』 ⑤日史 487 B
錯角 ⑯物数 205 C →角〔2直線と交わる直線〕
錯覚 ④哲宗 215 C図 →実在論〈237 C〉 ⑭医学→意識障害〔譫妄〕 →感覚 →目図
雑貨工業 ⑫経産 233 C表
擦過創〈すりきず〉 ⑭医学→きず
『作家の情熱』〈文豪ディングレー〉 ①文学→タロー(兄弟)
サッカラ エジプト ⑨世史 241 C
サッカリメーター ⇨検糖計
サッカリンナトリウム ⑬生活→甘味料〔人工〕
サッカレー,W イギリス[1811/1863] 小説家。ボヘミアン的生活から妻の発狂を機に雑文書きに専念 作『虚栄の市』 ①文学 247 A図 →イギリス文学〔ビクトリア朝〕
サッカロース ⑮化学→しょ糖 ⑲植物→蔗糖
サッカロミセス ⑲植物→酵母菌類
サツキ〔皐月〕 ⑲植物 268 C図 →園芸〔図フラワーカレンダー〈2〉〕 →ツツジ図表
雑伎 ⇨雑芸
サツキイチゴ ⇨ナワシロイチゴ
皐月狂言 ③音演→歌舞伎〔内容と様式〈社会〉〕
皐月賞 ⑬生活→競馬〔競走の種類〕
『雑記帳』 ①文学→バレリー,P
皐月松原 ⑦日地→玄海(町)〈福岡〉
五月山公園 ⑦日地→池田(市)
雑狂言 ③音演→狂言〔本狂言の分類〕図
作曲 ③音演 224 B
作曲皇帝 ⑨世史→ヨーゼフ(一世)
殺菌 ⑭医学 228 A表
ザッキン,O フランス[1890/1967] ロシア生まれの彫刻家。幻想味と原始性の独自の作風を完成。日本の二科会外国会員 ②美術 235 D図
殺菌剤 ⑮化学 280 B →農薬〔分類〕表 →防腐剤 ⑭医学→殺菌
殺菌山羊乳 ⑬生活→牛乳〔加工〕
殺菌料 ⑬生活→食品添加物
サックス,A ベルギー[1814/1894] ③音演→サクソフォーン →サクソルン属
サックス ⇨サクソフォーン
ザックス,H ドイツ[1494/1576] 工匠歌人・劇作家。謝肉祭芝居のために多くの台本を残す ①文学 247 C ③音演 224 D図 →ドイツ演劇〔歴史〕
ザックス,H ドイツ[1877/1945] 細菌学者。ザックス=ゲオルギー反応とよばれる梅毒血清反応を発見 ⑭医学 360 B →性病
ザックス,J ドイツ[1832/1897] 植物学者。葉緑素を研究,光合成に関する知見を集大成 ⑲植物 269 A
ザックス,N ドイツ[1891/1970] ユダヤ系女流詩人。黙示録的な作品を残す。ノーベル賞受賞 ①文学 247 D
ザックス=ゲオルギー反応 ⑭医学→性病〔梅毒〈診断〉〕 →ザックス,H〈360 B〉
サックス・コーバーグ・ゴータ朝 ⇨ハノーバー朝
サックビル,T [1536/1608] ③音演→近代劇
サックビル=ウェスト,V イギリス[1892/1962] 女流小説家・詩人。男爵家に生まれ,貴族出らしい感受性を示した ①文学 247 D
雑華院 ②美術→庭園囲
雑劇 ①文学→元曲 ③音演→演劇〔起原とその展開〈東洋〉〕 →京劇 →中国演劇 ⑨世史→宋〈趙氏〉〔文化〕図
サッケッティ,F イタリア[1335?/1400?] 小説家。商用で各地を歩き,ルネサンス社会の万華鏡のような作品がある ①文学 247 D
サッケリー,G [1667/1733] ⑯物数→ウマル・ハイヤーム →非ユークリッド幾何学
擦弦楽器 ③音演→楽器図
サッコ,N ⑨世史→サッコ・バンゼッティ事件
柵戸 ⇨柵戸
雑戸 ⑤日史→工業〔都市手工業の形成〕 →古代社会〔公民制〕 →品部・雑戸 ⑥日史→雑色〈1〉
『殺狗記』 ①文学→徐畛
雑穀 ⑫経産→国際農産物 ⑬生活→穀類 ⑲植物→穀物
サッコ・ディ・ローマ〈ローマの略奪〉 ⑨世史→イタリア戦争
サッコ・バンゼッティ事件 ⑨世史 241 D図
佐々介三郎 ⑥日史→常陸国〔囲人国記〕
佐々醒雪 [1872/1917] 俳人。俳諧研究の学問化に貢献。『文芸界』を主宰 ①文学 248 A
佐佐友房 [1854/1906] 明治の国権派の政党政治家。国民協会を統率し,対外硬運動を強力に推進 ⑤日史 487 B ⑥日史→大同倶楽部(2)
佐々成政 [1516/1588] 戦国・安土桃山時代の武将。秀吉の九州征伐に従軍。のち失政の咎をうけ切腹 ⑤日史 487 C →越中国〔囲人国記〕
サッサフラス ⑲植物 269 A
サッサリ イタリア ⑩世地 234 C
サッシ ⑰科技 231 A →アルミニウム〔アルミニウム合金〕 ⑬生活→建具〔金属性建具〕
雑誌 ⑪政社 216 B表 →ジャーナリズム →マス・コミュニケーション〔歴史〕 ⑫経産→出版業
『雑詩編』 ①文学→ビヨン,F図
冊子本 ②美術→綴
雑酒 ⑬生活→酒〔分類〕 ⑮化学→醸造〔酒類〈果実酒〉〕
雑種 ⑲植物 269 A →栄養雑種 →単性雑種 →中間雑種 ⑳動物 298 C →育種
薩州 ⇨薩摩国
雑種強勢〈ヘテローシス〉 ⑲植物→雑種 ⑳動物→育種〔雑種〕 →レオポン
雑種弱勢 ⑲植物→雑種
サッシュブラウス ⑬生活→ブラウス〔種類〕
サッシュベルト ⑬生活→ベルト〔種類〕
雑掌 ⑤日史 487 C →預所
札沼線 ⑧日地→函館本線
雑餉隈 ⑦日地→大野城(市)
『殺人狂時代』 ③音演→チャップリン,C
殺精子剤 ⑭医学→受胎調節〔女性側に薬品を用いる〕
サッセッタ イタリア[1392/1450] 初期ルネサンスの画家。宝石のような透明な光彩感で,15世紀シエナ派の

佐渡島長五郎　③音演→日本舞踊〔歌舞伎舞踊〕
『佐渡狐』　③音演 225 B
サトキマダラヒカゲ　⑳動物→キマダラヒカゲ
佐渡金山　⑤日史 490 B図　→佐渡国　→佐渡道　⑦日地→相川(町)〔相川鉱山〕　→佐渡島
佐渡空港　⑧日地→新潟(県)〔交通〕　→両津(市)
『サドコ』　③音演→リムスキー=コルサコフ,N
佐渡鉱山　⑫経産→殖産興業表
サトザクラ〔里桜〕〈ボタンザクラ〉　⑲植物 272 A　→サクラ〔園芸種〕
サトジガバチ　⑳動物→ジガバチ図
里庄(町)　岡山　⑦日地 517 C
里内裏〈今内裏〉　②美術→内裏　⑥日史→摂関政治〔構造〕　→内裏
サトトネリコ　⇨トネリコ
サードニックス　⇨サードオニクス
佐渡国　新潟　⑤日史 490 C囲　⑦日地 517 C
『柳巷晴着薊色縫』　⇨『小袖曾我薊色縫』
サドビャヌ,M　［1880-1961］　小説家。民衆派の立場で短編や歴史ものを書く。レーニン平和賞受賞　①文学 249 D
佐渡奉行　⑤日史 491 A　→佐渡金山
サトプラ(山地)　⑩世地 234 C　→マディヤプラデシ(州)
ザトペック　⑬生活→オリンピック〔近代〈ヘルシンキ大会〉〕図
サドベリ　⑩世地 234 C
サトマールの和　⑨世史→ラーコーツィ・フェレンツ(二世)
里美(村)　茨城　⑦日地 517 C
里見氏　房総地方の戦国・近世大名。忠義のとき嗣子がなく断絶　⑤日史 491 B図　→安房国
佐渡みそ　⑦日地→佐渡島〔産業〕
佐渡道　⑤日史 491 C図
里見弴　［1888-1983］　小説家。有島武郎・生馬の弟。『白樺』に参加したが,新技巧派の一人とみなされる。文化勲章受章　作『善心悪心』　①文学 250 A図
里宮　④哲宗→神社〔囲用語〕
里村家　⑤日史→里村紹巴
里村紹巴　［1525-1602］　戦国・安土桃山時代の和歌古典学者・連歌師。信長,秀吉などと交わり政治的にも活躍　①文学 250 B図　⑤日史 491 D
『花街模様薊色縫』　⇨『小袖曾我薊色縫』
佐渡弥彦米山国定公園　新潟　⑦日地 517 D
里山辺お船祭　⑧日地→松本(市)〔観光・文化〕図
里雪　⑱宇地→気候〔日本の四季〕　→雪〔積雪の分布〕
サトラップ　⑨世史 242 B　→ペルシア帝国
サドル　⑬生活→サイクリング〔乗車姿勢〕図　⑰科技→自転車〔基本構造〕図
サトレジ(川)　⑩世地 234 C
砂土路川　⑦日地→小川原湖
サドワの戦い　⇨ケーニヒグレーツの戦い
佐土原(町)　宮崎　⑦日地 517 D図
佐土原人形　⑦日地→佐土原(町)図
サナイ　③音演→オーボエ〔オーボエ属〕　→チャルメラ
サナーイー　［1080-1141.］　ペルシア三大神秘主義詩人の一人。宮廷生活をやめ各地を遍歴　①文学 250 C
サナエタデ〔早苗蓼〕　⑲植物 272 A　→タデ図
サナエトンボ〔早苗蜻蛉〕　⑳動物 299 A図　→トンボ〔生態・行動〈羽化〉〕
サナガ(川)　⑩世地 234 C
さなぎ〔蛹〕　⑳動物 299 B　→羽化　→成虫　→チョウ《昆虫》〔形態〕別　→まゆ
サナギイチゴ　⑲植物→キイチゴ
サナギタケ　⑲植物→キノコ〔別子嚢菌類〕
さなぎ油　⑮化学→油脂〔表性状と用途〈陸産動物油脂〉〕
猿投　愛知/豊田市　⑦日地 518 C
猿投窯　⑥日史→常滑焼
猿投神社　⑧日地→豊田(市)
猿投山　愛知　⑦日地 518 C
佐那河内(村)　徳島　⑦日地 518 C
佐梨川　⑧日地→湯之谷(村)
真田(町)　長野　⑦日地 518 C
真田庵　⑦日地→九度山(町)
真田氏　信濃国出身の武士。滋野氏の宗家海野氏を祖とする　⑤日史 491 D図
真田組み唄　③音演→民謡〔表〈岡山〉〕

サナダクラゲ　⇨アカクラゲ
真田十勇士　⑤日史→真田幸村
真田新　③音演→箏曲〔流派と楽曲〕
真田信利　⑥日史→磔茂左衛門
真田信之　［1566-1658］　安土桃山・江戸初期の武将。昌幸の長男。関ヶ原の戦いでは,父弟と分かれ徳川方につき父の旧領を与えられる　⑤日史 492 A図
真田ひも　⑦日地→九度山(町)〔真田庵〕
サナダヒモムシ　⑳動物→ヒモムシ
『真田風雲録』　①文学→日本文学〔近代〈戦後の戯曲〉〕　→福田善之
真田昌幸　［1547-1611］　安土桃山時代の武将。独立の大名として勇名をはせたが,関ヶ原の戦いで西軍に属し,高野山に流される　⑤日史 492 B図　→上田城
サナダミズヒキガニ　⑳動物→ミズヒキガニ
サナダムギ〔真田麦〕　⇨ヤバネムギ
サナダムシ〔真田虫〕〈真正条虫類〉　⑳動物 299 C　→条虫
真田山公園　⑧日地→天王寺(区)
真田幸村　［1567-1615］　安土桃山時代の武将。昌幸の次男。大坂夏の陣では家康を危機に陥れたが戦死　⑤日史 492 B図　→大坂の陣〔夏の陣〕
サナトリウム　⑭医学→療養所
さなぶり　⑧日地→東北地方〔民俗〕
さなぶり荒馬　③音演→駒踊
佐鳴湖　静岡/浜松市　⑦日地 518 C
サニディナイト相　⑱宇地→変成作用〔変成相〕
サニディン　⑱宇地→長石
審神者　③音演→神楽　④哲宗→神託〈日本〉
サニン〈ゲットウ〉　⑲植物→アルピニア
『サーニン』　①文学→アルツィバーシェフ,M
サヌア　⑩世地 234 D　→アルフダイダー　→イエメン(アラブ共和国)図
サヌカイト〈讃岐石〉　⑤日史 492 C
讃岐　［1141?-1217?］　平安末・鎌倉初期の女流歌人。二条院讃岐と称され「沖の石の讃岐」とよばれた　①文学 250 C
讃岐石　⇨サヌカイト
讃岐磬石　⑱宇地→水石〔奇石・珍石〕
讃岐山脈〈阿讃山脈〉　徳島・香川・愛媛　⑦日地 518 C
讃岐国　香川　⑤日史 492 C囲　⑦日地 518 D
讃岐の金毘羅さま〈金刀比羅宮〉　⑦日地→琴平(町)
讃岐の三白　⑤日史→讃岐国
讃岐典侍　［*.］　平安後期の日記作者。堀川天皇に近侍し,発病から崩御に至る日記で有名　①文学 250 D
『**讃岐典侍日記**』〈堀川院日記〉　⑤日史 493 A　①文学→讃岐典侍　→日記文学〔日本〕
佐貫藩　⑤日史→上総国
讃岐富士　⇨飯野山
讃岐平野　香川　⑦日地 518 D図
讃岐盆踊唄〈一合蒔いた〉　③音演→民謡〔表〈香川〉〕
讃岐円座　⑤日史→円座
サヌシ・パネ　［1905-1968］　小説家・詩人。理想主義的民族主義の傾向が強い　①文学 250 D
佐沼　宮城/迫町　⑦日地519A　⑧日地→迫(町)
サネカズラ〈ビナンカズラ〉　⑲植物 272 A図
『**実隆公記**』　⑤日史 493 B　①文学→三条西実隆
サネブトナツメ　⑲植物→薬用植物表
『**実盛**』　③音演 225 C
『実盛物語』　③音演→『源平布引滝』
ザーネン種　⑳動物→ヤギ〔畜養品種〕
佐野(市)　栃木　⑦日地 519 A図
砂嚢　⑳動物 299 C　→胃
佐野川市松　江戸中期の歌舞伎俳優。初世から三世までである　③音演 225 C図
佐野川市松(初世)　［1722-1762］　江戸中期の歌舞伎俳優。美貌の若衆方・若女方で人気を博す　③音演 225 C図
佐野圭司　［1920-］　⑭医学→脈拍〔脈なし病〕
佐野監物　［1687-1770］　⑥日史→三河国〔囲人国記〕
『さのさ節』　③音演→歌謡曲表
狭野神社　⑧日地→高千穂峰　→高原(町)
佐野常民　［1822-1902］　日本赤十字事業の創始者。維新政府の海軍創設に尽力　⑤日史 493 B　⑥日史→日本赤十字社　⑪政社→赤十字〔歴史〕
佐野利器　［1880-1956］　②美術→大正建築〔出発点〕　⑰科技→鉄筋コンクリート構造〔歴史〕　⑱宇地→地震〔囲耐震建築の歴史〕
狭野茅上娘子　［*.］　奈良中期の万葉女流歌人。斎宮寮の女孺　①文学250D　→中臣宅守

佐野藩　⑤日史→下野国
佐野政言　［1757-1784］　江戸幕府第10代将軍家治に仕えた旗本。老中田沼意次の子意知を江戸城中で切る　⑤日史 493 B　⑥日史→田沼意知
佐野学　［1892-1953］　社会主義者・歴史学者。共産党の中心的指導者であったが獄中で転向声明を発表,大量転向の契機となる　⑤日史 493 B　⑪政社 217 A図　→転向図　⑥日史→第一次共産党事件　→転向　→無産者新聞
佐野洋　［1928-］　推理作家。新聞記者を勤め応募小説でデビュー　①文学 251 A　→推理小説〔日本〕
サバ　⑩世地 234 D　→ボルネオ(島)
サバ(川)　⑩世地 234 D　→ユーゴスラビア(社会主義連邦共和国)〔自然〕図
サバ(島)　⑩世地→オランダ領アンチル(諸島)　→小アンチル(諸島)
サバ〔鯖〕　⑳動物 300 A図　→回遊　→動物化石図　⑬生活→魚料理図　→汁物〔澄まし汁〈船場汁〉〕
サーバ,U　［1883-1957］　詩人。母はユダヤ系。20世紀初頭の変革期にあって前世紀的な詩法を保つ　①文学 251 A
サーバー,J　［1894-1961］　ユーモア作家・画家。週刊誌に軽妙洒脱な短編・随筆を寄稿　①文学 251 A
サバー　⑩世地 235 B
サバイイ(島)　⑩世地→西サモア
鯖江(市)　福井　⑦日地 519 B図
鯖江正休　③音演→講談
鯖江本山〈誠照寺〉　⑦日地→鯖江(市)
さばおり　⑬生活→相撲〔図きまり手〕
サバガニ　⇨オヨギピンノ
『裁かるるジャンヌ』　③音演→映画〔無声映画〈第3期〉〕別　→ドライヤー,C
佐波川　山口　⑦日地 519 C
砂漠　⑧日地 1213 A　→岩石砂漠〈1205 C〉　→砂丘〈1212 D〉　⑱宇地 268 C図囲　→オアシス　⑲植物 272 B
ザーバグ　⇨シュリービジャヤ
サバクイ　③音演→沖縄の歌舞〔民俗芸能〕
砂漠気候　⑧日地 1213 A　→乾燥気候〈1205 C〉　⑩世地→世界〔自然〈気候〉〕　⑱宇地→気候〔分類〕　→ケッペンの気候区分〔区分方法〕図
砂漠砂丘　⑱宇地→砂丘〔分類,分布〕
サバクネコ　⑳動物→ジャングルキャット　→ヤマネコ
『砂漠のシモン』　③音演→ブニュエル,L
『砂漠の生霊』　③音演→ワイラー,W
『砂漠の反乱』　①文学→ローレンス,T
『砂漠は生きている』　③音演→ディズニー,W
砂漠飛蝗　⑳動物→バッタ〔囲飛蝗〕
サバクヒメギツネ〈フェネック〉　⑳動物→キツネ〔近縁種〕
さば雲　⇨絹積雲
サバクヤマネ　⑳動物→ネズミ〔分類〕
砂漠雷　⑱宇地→雷
サバシコウ　⑲植物→ウメ図
ザパス　⇨サパー
鯖ずし　⑦日地→京都(市)〔生活・文化〈名産品〉〕
サバ族　⑩世地→クウェート(国)図
サパタ,E　［1880-1919］　革命指導者。農民本位の土地改革案をかかげゲリラ活動を続けたが暗殺　⑨世史 242 C図　→メキシコ革命
ザーバダ　①文学→東欧文学〔チェコ〕
サバタイ(山)　⑩世地→モロタイ(島)
サバチエ,P　［1854-1941］　化学者。固体触媒を用いる化学反応を研究。ノーベル賞受賞　⑮化学 282 B図　→化学〔歴史〈現代〉〕
皿鉢料理　⑦日地→高知(市)　⑬生活→郷土料理〔囲〈高知〉〕　→食器〔分類〈和食器〉〕
ザバッティーニ,C　［1902-］　③音演→映画〔トーキー〈第5期〉〕
サバット　⑱宇地→七曜
サバティエ効果〈ソラリゼーション〉　⑰科技→写真〔囲用語〕
サバト,E　［1911-］　小説家。人間の実存的苦悩を鋭く描いた『トンネル』で認められる　①文学 251 B
ザパドニキ〈西欧派〉　⑨世史 242 D　→スラボフィル　→ロシア〔文化的風土〕　④哲宗→ロシア哲学　⑪政社→ロシアの政治思想
サバナ　⑩世地 235 B
サバナ　⇨サバンナ

山地 ⑧日地 1214 A ⑱宇地 275 C →丘陵 →山
サーンチー ②美術→インド美術〔美術古拙時代〕図
サンチアゴ ドミニカ共和国 ⑩世地 241 C
サンチアゴ チリ ⑩世地 241 C 図 →チリ(共和国)図
サンチアゴデキューバ キューバ ⑩世地 241 D
サンチアゴデコンポステラ スペイン ⑩世地 241 D ④哲宗→巡礼〔囲巡礼地〕
サンチアゴ・デ・コンポステラ大聖堂 ②美術 240 A 図 →スペイン美術〔ロマネスク〕 ④哲宗 219 B
サンチアゴデルエステロ アルゼンチン ⑩世地 242 A
産地市場 ⑫経産→市場
サンチェス,F アルゼンチン[1875-1910] 劇作家。ラテンアメリカ演劇の礎石をすえた先駆者的存在 ①文学 256 C
サンチェス・フェルロシオ,R スペイン[1927-] 小説家。ナダル賞を獲得した『ハラマ川』で知られる ①文学 256 C
さんちかタウン ⑦日地→生田(区) →神戸(市)〔歴史〈近代都市〉〕
山地気候 ⑱宇地→高山気候
産地産業 ⇨地場産業
産地市場 ⑫経産→木材市場〔二〕
山地党 ⑨世史→ペイシストラトス
山地氷河 ⑧日地→カール〈1204 C〉 →氷食谷〈1230 D〉 →氷河〈1230 D〉
サンチャゴ ⇨サンチアゴ
散茶女郎 ⑥日史→湯女
三江口 ⑩世地→リヤオ(川)
三江平原 ⑩世地→トンペイ(平原) →ヘイロンチャン(省)
サンチュ〈尚州〉 南朝鮮 ⑩世地 242 A
残柱式採掘法 ⑰科技→鉱山〔採掘〈坑内採掘〉〕 →採鉱〔坑内採鉱法〕
残柱式採炭法 ⑰科技→炭鉱〔採炭〕
酸中毒 ⇨アシドーシス
『山中問答』 ①文学→李白
サンチョ(一世) ⑨世史→ナバラ王国
サンチョ(三世) [970-1035] ナバラ王。レコンキスタ運動中期の王。入手したスペイン全域を四子に分配 ⑨世史 253 D →アラゴン王国 →ナバラ王国
散超 ⑫経産→財政〔機能〕
三頂眼〈頭頂眼〉 ⑳動物→ムカシトカゲ
三長制 ⑨世史 253 D →孝文帝
三丁火消〈近所火消〉 ⑥日史→火消〔大名火消〕
三陟 ⇨サムチョク
サンチョ・パンサ ①文学→セルバンテス,M〔ドン・キホーテ〕
『サンチョ・パンサの帰郷』 ①文学→石原吉郎
サンチレール ⇨ジョフロア・サンチレール,E
三通 ⑨世史→『文献通考』
サンディ(島)〈ロウル島〉 ⑩世地→ケルマデック(諸島)
サンティアゴ ⇨サンチアゴ
サンティアゴ・デ・コンポステラ大聖堂 ④哲宗 219 B
『サンティアゴの聖騎士団長』 ③音演→モンテルラン,H
サンディエ フランス ⑩世地 242 A
サンディエゴ アメリカ/カリフォルニア ⑩世地 242 B
サンディエゴ動物園 ⑳動物→動物園〔表世界〕図
三帝会戦 ⇨アウステルリッツの戦い
サンディカリズム ⇨サンジカリスム
『三体詩』 ⇨『三体詩』
暫定的道徳 ④哲宗→デカルト,R〔囲基本概念〕
三帝同盟 ⑨世史 253 D 図
暫定予算 ⑪政社→予算〔成立〕 ⑫経産→日本経済事情〔財政金融制度〈財政制度〉〕 →予算〔提出・審議・議決〕
サンティリャーナ侯爵 スペイン[1398-1458] 詩人。スペイン語による最初の詩論がある。政治家・武将としても活躍 ①文学 256 D
酸滴定 ⑮化学→中和滴定 →分析〔定量分析〈569 B〉〕
サン=テグジュペリ,A フランス[1900-1944] 飛行家・小説家。パイロットの体験をもとに創作,偵察飛行中消息を絶つ 作『夜間飛行』『星の王子さま』 ①文学 256 D 図
サンデージ,A ⑱宇地→銀河系外星雲〔分類〕
サンテティエンヌ フランス ⑩世地 242 B
サンテティスム ②美術→ベルナール,E →ポンタバン派
サンテリア,A [1888-1916] ②美術→現代建築
サンデル ①文学→北欧文学〔ノルウェー文学〕
散田 ⑤日史→古代社会〔荘園制〕 →荘園〔経営〕
三点会 ⇨三合会
3点式シートベルト ⑰科技→シートベルト図
『参天台五台山記』 ⑤日史 503 C ④哲宗→成尋
三点見積り法 ⑫経産→パート
サント フランス ⑩世地 242 C
サンド,G フランス[1804-1876] ロマン派の女流小説家。ミュッセやショパンとの恋愛事件は有名 作『愛の妖精』 ①文学 257 B 図 ③音演→ショパン,F 図 →人形劇〔世界〈ヨーロッパ〉〕 ⑩世地→パルマ《スペイン》
ザント,K ⑨世史→ブルシェンシャフト
サンドイッチ ⑬生活 227 A 図 →パン〔保存〕
サンドイッチアジサシ ⑳動物→アジサシ
三塔 ④哲宗→延暦寺
山東(町) 滋賀 ⑦日地 526 A
山東(町) 兵庫 ⑦日地 526 B
『山塔』 ①文学→芥川賞表
山濤 中国[205-283] ④哲宗→竹林の七賢 ⑨世史→竹林の七賢
『三道』〈能作書〉 ①文学→世阿弥
産道 ⑭医学→出産〔正常分娩〈開口期〉〕
散瞳 ⑭医学→目〔機能〕
算道 ⑤日史 503 C
サンドウィッチ(諸島)〈ハワイ諸島〉 ⑩世地→ハワイ(州)
三統一の法則〈三単一の法則〉 ③音演→ドラマ〔ドラマトゥルギー〕
山頭火 ⇨種田山頭火
三島型船 ⑰科技→貨物船〔特徴〈船楼〉〕 →船〔構成〈上部諸室〉〕
産銅カルテル ⑥日史→銅
サントウキムラグモ ⑳動物→キムラグモ
『三等客船』 ①文学→前田河広一郎
山東京山 [1769-1858] 江戸後期の戯作者。山東京伝の弟。多くの合巻・読本・滑稽本を残した ①文学 258 A
山東京伝 [1761-1816] 江戸後期の戯作者・浮世絵師。黄表紙の画工で名をなし,のち作者を兼ねる 作『江戸生艶気樺焼』 ①文学 258 A 図 →黄表紙 →洒落本 ⑤日史 503 D ②美術→北尾派
サントウサイ〔山東菜〕 ⑲植物 285 C
三洞四輔 ④哲宗→道教〔源流〕
『三等重役』 ①文学→源氏鶏太 →大衆文学
『三統術衍』 ④哲宗→銭大昕
山東出兵 ⑤日史 503 D →近代社会〔帝国主義の成立〕 →抗日運動 →済南事件 ⑥日史→田中義一内閣 →中国〔近代日中関係〈第4期〉〕 →反戦平和運動 ⑨世史→済南事件
山東省 ⇨シャントン(省)
三頭政治 ⑨世史 254 A →アントニウス,M →カエサル,G →クラッスス,M →ポンペイウス,G →レピドゥス,M
三頭派 ⑨世史→バルナーブ,A
山東半島 ⇨シャントン(半島)
三糖類 ⑮化学→少糖類
『三統暦』 ⑨世史→漢〔文化〕 ⑱宇地→暦〔太陰太陽暦〈中国暦〉〕
サンド桜桃 ⑲植物→サクランボ
ザントキシルム・ブンゲアヌム ⑲植物→サンショウ
三徳 ④哲宗→仁義礼智 →徳〔中国〕
『三徳抄』 ⑤日史→儒学図
酸毒症 ⇨アシドーシス
サントクロア大寺院 ⑩世地→オルレアン図
サンド・コア・ガラス〈砂芯ガラス〉 ②美術→ガラス工芸〔歴史〈古代エジプト・ガラス〉〕
三斗小屋温泉 ⑧日地→那須
サントス ブラジル ⑩世地 242 C 図
サントス・デューモント ブラジル[1873-1932] ⑰科技→飛行機〔歴史〈発達〉〕表
『サントスの御作業のうち抜書』 ①文学→キリシタン文学
三度節 ⑤日史→相撲
サンド・ソープ〈砂入りせっけん〉 ⑮化学→せっけん〔分類〕
サントトーマス寺院 ⑩世地→グアテマラ(共和国)図
サントドミンゴ ドミニカ ⑩世地 242 C →ドミニカ(共和国)図
サンドドレーン工法 ⑰科技→埋立
サンドニ ⑩世地→パリ〔囲観光地〕 →レユニオン(島)
サン・ドニ修道院 ②美術→ステンドグラス図
サンドニ門 ⑩世地→パリ〔囲観光地〕
サントニン ⑮化学 293 A →テルペン〔セスキテルペン系化合物〈環状〉〕 ⑭医学→駆虫剤
三殿台遺跡 ⑥日史→弥生文化〔集落〕 ⑧日地→横浜(市)〔歴史〕
『三都の賦』 ①文学→左思
サン・トノレ門の戦い ⑨世史→ジャンヌ・ダルク
サンドバーグ,C アメリカ[1878-1967] 詩人。詩風はホイットマンに通じる口語調。民謡にも興味をもつ。晩年はリンカーンの伝記執筆に専念 作『シカゴ詩集』 ①文学 258 C 図
三度飛脚 ⑥日史→飛脚〔町飛脚〕
『サント・ビクトアール山』 ②美術→セザンヌ,P図
サント=ブーブ,C フランス[1804-1869] 批評家。ロマン派から出発,のち印象主義と科学批評を融合 ①文学 258 D 図 →文芸批評
サント=ブーブ賞 ①文学→文学賞
ザンドマイヤー反応 ⑮化学 293 A →有機ハロゲン化合物〔製法〕
サンドマメ ⇨インゲンマメ
サントマルグリット(島) ⑩世地→カンヌ
サントーメ プリンシペ(民主共和国) アフリカ ⑩世地 242 D
サンドラール,B フランス[1887-1961] 詩人・小説家。他者の生涯に自己の体験を交織する奇態な作品を書く ①文学 259 A
サントリ ⑩世地→インドネシア(共和国)〔社会・文化〕
サントリー(株) ⑫経産 241 B
サントリオ,S イタリア[1561-1636] 医学者。生理的・病理的な体重増減を研究し不感蒸散説を発表 ⑭医学 7 C →汗
サントリーニ,G イタリア[1681-1737] ベネチア医学校の解剖学者。喉頭のサントリーニ軟骨などで知られる ⑭医学 73 D →解剖 →膵臓〔膵管〕
サントリーニ(島)〈テラ島〉 ⑨世史→エーゲ文明〔発見〕 ⑩世地→ギリシア(共和国)図
サントリーニ管〈副膵管〉 ⑭医学→膵臓〔膵管〕
サントリー美術館 ②美術 681 A ⑧日地→東京(都)表
サントル(運河) ⇨中央運河
『サントール』 ①文学→ゲラン,M
山内(村) 秋田 ⑦日地 526 B
珊内岳 北海道 ⑦日地 526 C
山内町 ④哲宗→高野山〈明治維新〉
サンナザーロ,J イタリア[1455?-1530] 詩人。ナポリの貴族で宮廷に仕えたが,王の没後学究活動や創作に専心 ①文学 259 A
サンナゼール フランス ⑩世地 242 D
山南 ⑤日史→沖縄(県)〔琉球王国〕
山南(町) 兵庫 ⑦日地 526 C
散位 ⇨散位
ザンニ ③音演→コメディア・デラルテ
参入 ⑫経産 241 D →寡占〔影響〕
参入障壁 ⑫経産→参入〔参入阻止価格理論〕
参入阻止価格理論 ⑫経産→参入
三女神 ②美術→ギリシア美術〔彫刻〕図
三・二〇事件 ⇨中山艦事件
『三人―パスカル,イプセン,ドストエフスキー』 ①文学→シュアレス,A
『三人吉三廓初買』〈三人吉三〉 ③音演 229 C 図 ①文学→河竹黙阿弥 ⑤日史→河竹黙阿弥
『三人姉妹』 ①文学→チェーホフ,A図 ③音演→チェーホフ,A図 →ロシア演劇図
『三人妻』 ①文学→尾崎紅葉 →硯友社
『三人の女』 ①文学→スタイン,G
三人の会 ③音演→芥川也寸志 →團伊玖磨 →黛敏郎
『三人の妻への手紙』 ③音演→マンキウィッツ,J
『三人の兵士』 ①文学→戦争文学 →ドス・パソス,J
『三人笑い』 ③音演→『新薄雪物語』
『サン・ヌーベル・ヌーベル』 ①文学 259 B →好色文学〔西洋〕
三衣 ④哲宗→仏教〔囲用語〕
『三年』 ①文学→チェーホフ,A
三年不耕の原則 ⑤日史→荘園〔形成〕
ザンノイオ ⇨ジュゴン
三ノ池 ⑦日地→木曽御岳
山王 ⇨日吉大社

シ

し

自衛隊 ⑤日史 505 D →軍国主義 ⑪政社 219 D 図 →緊急事態 →日米関係〔安保体制下の協力関係〕 →三矢作戦計画 ⑥日史→防衛庁
自衛隊違憲論 ⑪政社→恵庭裁判
自衛隊法 ⑪政社→MSA〔日本〕 →自衛隊〔行動と権限〕
GHQ〈連合国軍総司令部〉 ⑤日史 505 D図 →教育制度〔戦後〕 →教職追放 →公娼制度 →公職追放 →幣原喜重郎内閣 →シャウプ勧告 →終戦連絡事務局 →自由党《1945年》 →昭和電工事件 ⑥日史→戦後改革〔時期区分〕 →ドッジ・ライン →レッド・パージ ⑪政社→対日占領政策 →日米関係〔対日占領政策の変動〕 ⑫経産→財閥解体
私営田 ⑤日史 506 A
自営農民 ⑫経産→独立自営農民〔特徴〕
シェイヒー ①文学→トルコ文学〔イスラム化後〕
JHPマーク ⑬生活→商品マーク〔国の規制〕図
JAS ⇨JAS
JAL ⇨日本航空(株)
『J・S・バッハ』 ①文学→シュバイツァー,A
JNR ⇨日本国有鉄道
JNN ⑫経産→東京放送(株)
CANDU-PHW ⇨重水冷却重水炉
JOC ⇨日本オリンピック委員会
シェーカー ⑬生活→カクテル〔器具〕図
駆駅〈飛駅〉 ⑤日史→駅制〔運営〕
使役犬 ⑳動物→イヌ〔犬種〈使役犬〉〕別
自益権 ⑫経産→株式〔株主権〕
市易法 ⑨世史→王安石
シェーキングテーブル ⑰科技 232 C →選鉱〔選鉱法〈比重選鉱〉〕図 →選炭〔選炭法〈比重選炭〉〕
シェークスピア,W イギリス〔1564-1616〕 詩人・劇作家。四大悲劇をはじめ多くの名作を残した世界的文豪 作『ハムレット』『オセロ』 ①文学 262 D図表 →イギリス文学〔17世紀〕 →戯曲〔文芸としての戯曲〕 →坪内逍遙 →ルネサンス文学 ③音演 231 C図 →イギリス演劇〔エリザベス朝〕 →グリーン,R →『ハムレット』 ⑨世史 256 B
シェークスピア祭 ⑩世地→ストラトフォードオンエイボン図
『シェークスピア物語』 ①文学→ラム,C
シェークハンドグリップ ⑬生活→卓球〔用用語〕
シェクリー,R アメリカ〔1928〕 第2次大戦後のもっとも傑出したSF作家。文明批評的な要素も濃い ①文学 266 B
『シエークル』 ①文学→新聞小説
JCA ⇨日本消費者協会
CACM ⇨中米共同市場
JJY ⑱宇地→時〔無線報時と協定世界時〕
紫衣事件〈大徳寺紫衣事件〉 ⑤日史 506 A ④哲宗→沢庵 ⑥日史→沢庵宗彭
ジェズアルド,D イタリア〔1560*-1599*〕 ③音演→音楽〔西洋音楽〈ルネサンス音楽〉〕
ジェスイット教団 ⇨イエズス会
シエスタ ⑩世地→スペイン〔社会・文化〕 →ポルトガル(共和国)〔社会・文化〕
シェストフ,L ロシア〔1866-1938〕 哲学者・文芸評論家。絶望の哲学,不安の哲学で知られる。革命後は亡命 ①文学 266 C図 →不条理 →文芸批評
シェーストレム,V スウェーデン〔1879-1960〕 映画監督・俳優。同国無声映画期を代表する存在 ③音演 233 B →映画〔無声映画〈第3期〉〕
CSU ⇨キリスト教社会同盟
ジェスルトン ⇨コタキナバル
シェー・ダゴン・パゴダ ④哲宗→仏教図
ジエチルアミノエチルオレイルアミド ⑮化学→界面活性剤表
ジエチルエーテル ⇨エチルエーテル
ジエチルケトン ⑮化学→ケトン〔性質〕表
四エチル鉛 ⑮化学 295 A →オクタン価 →ガソリン〔分類〕 →鉛〔化合物〕 →有機金属化合物〔用途〕
ジエチレングリコール ⑮化学→アルコール〔表多価アルコール〕 →エチレングリコール
シェック,G ドイツ〔1901〕 ③音演→フルート
ジェッダ ⇨ジッダ
ジェット・エンジン ⑰科技 232 C図 →エンジン〔種類〕図 →飛行機〔騒音対策〕 ⑯物数→熱機関〔発展〕
ジェット機 ⑰科技 233 C →飛行機〔種類〕図 ⑫経産→空運
ジェット気流 ⑱宇地 278 B図 →風〔風系〕 →高層気象〔特徴〕 →成層圏 →大気〔各高度における諸性質〈成層圏〉〕 →大気大循環 →乱気流〔発生しやすいところ〕 ⑧日地→偏西風〈1233 A〉
ジェット式掘削機械 ⑰科技→掘削機械
ジェット式無杼織機 ⑰科技→織機〔力織機〈分類〉〕
ジェット推進船 ⑰科技 233 C
シェッド水族館 ⑳動物→水族館〔歴史〕図表
ジェット船 ⑧日地→瀞峡
『ジェットーニ双書』 ①文学→ビットリーニ,E
ジェット燃料〈航空タービン燃料〉 ⑮化学 295 B →石油〔石油製品〕 →燃料〔種類〕 ⑰科技→ジェット・エンジン
ジェット噴水 ⑩世地→ジュネーブ図
ジェットポンプ ⑰科技→ポンプ〔特殊ポンプ〕図
ジェット輸送機 ⑰科技→飛行機〔歴史〕図
ジェット60番 ⑮化学→火薬〔表性能〕
ジエップ ⇨ディエップ
シェッフェル,J ドイツ〔1826-1886〕 詩人・小説家。長編叙事詩『ゼッキンゲンのラッパ手』で名声を博す ①文学 266 C
シェッフェル,J ⑰科技→紙〔製紙法の伝播〈製紙工業の発展〉〕
シェッフェル,P 〔1425*-1502*〕 ⑨世史→印刷術〔ヨーロッパ〕 ⑰科技→グーテンベルク,J
CAT ⇨晴天乱流
CAT ⑲植物→農薬〔表〈その他〉〕
GATE ⑱宇地→GARP
GATT ⇨ガット
CATV ⑰科技 233 C図 →テレビジョン〔利用〈テレビ放送〉〕 →ミリ波通信
ジェード ⑱宇地 279 A →軟玉 →ひすい
ジエトキシエタン ⑮化学→アセタール
シェード栽培 ⇨短日栽培
シェトランド(諸島) イギリス ⑩世地 248 D
シェトランド・シープドッグ ⑳動物→イヌ〔犬種〈使役犬〉〕別
シェトランドポニー種 ⑳動物→ウマ〔品種〈在来種〉〕図
ジェトロ〔JETRO〕 ⑫経産→貿易〔用用語〕
シエナ イタリア ⑩世地 249 A図
シエナ大聖堂 ②美術 242 C図 ④哲宗 225 B →教会堂〔ゴシック時代〕
シエナ派 ②美術 242 D →ソドマ,I →トスカナ派
シエナンドア国立公園 ⑩世地→アメリカ(合衆国)〔表国立公園〕
ジェニー,F フランス〔1861-1959〕 法学者。法解釈学に自由な科学的探求という新しい方法を提唱 ⑪政社 222 C →法学〔歴史〈その後の大陸法学〉〕
シェニエ,A フランス〔1762-1794〕 叙情詩人。ロベスピエールの恐怖政治に反対して投獄され,刑死 ①文学 266 C図
『ジェニーの家』 ③音演→カルネ,M
『ジェニーの肖像』 ①文学→ネーサン,R
ジェニー紡績機 ⑨世史→産業革命〔経過〈綿工業〉〕図 ⑰科技→技術〔産業革命〕別 →クロンプトン,S →ハーグリーブズ,J →紡績〔歴史〕
ジェニーン,H アメリカ ⑫経産→ITT
CNR ⑨世史→アフリカ(州)〔独立後の経済社会〈分断政策〉〕
CNサイクル ⑯物数→原子核融合〔星のエネルギー源〕
C-N-C連鎖反応 ⇨炭素窒素反応
GNP ⇨国民総生産
ジェネット ⑳動物 314 C →ジャコウネコ
シェーネラー,G オーストリア〔1842-1921〕 政治家。反ユダヤ主義,ドイツ帝国崇拝の主張でヒトラーにも影響を与えた ⑨世史 256 C
ジェネラル・マップ〈一般図〉 ⑱宇地→地図〔種類〕
ジェネレーター ⑰科技→電子計算機〔用用語〕
ジェノア ⇨ジェノバ
ジェノア会議 ⑨世史 256 C →カンヌ会議 →ラパロ条約
ジェノサイド ⑨世史→第二次世界大戦〔戦後処理〈責任追及〉〕 →ベトナム戦争 ⑪政社→ジェノサイド条約 →少数民族問題 →平和運動
ジェノサイド条約 ⑪政社 222 C →戦争犯罪〔四〕
ジェノバ イタリア ⑩世地 249 A図
ジェノバ共和国 ⑨世史 256 D →ベネチア共和国
シェパード ⑳動物→イヌ〔系統〕〔犬種〕別
シェービング ⑬生活→理容
謝冰心 ⇨謝冰心
シェファー アメリカ ⑱宇地→雨〔人工降雨〕
シェーファー,C フランス ⑨世史→ラス・シャムラ
シェーファー,W ドイツ〔1868-1952〕 小説家。民族性・郷土性を強調し,歴史的偉人に取材した作品が多い ①文学 266 D
ジェファーズ,R アメリカ〔1887-1962〕 詩人。鷹と岩を主要なシンボルとして,悲観的なビジョンを力強く伝える ①文学 266 D
ジェファソニアン・リパブリカンズ ⇨民主共和党
ジェファソン,T アメリカ〔1743-1826〕 第3代大統領。独立宣言を起草。宗教,言論出版の自由の確立などに力を注ぎ,引退後はバージニア大学を設立 ⑨世史 256 D図 →アメリカ(合衆国)〔合衆国の発足〈フェデラリストとリパブリカン〉〕 →アメリカ独立革命〔経過〕 →ハミルトン,A →民主共和党 ②美術→アメリカ美術〔変遷〕
ジェファーソン・エアプレーン ③音演→ロック・ミュージック〔ニュー・ロック〕図
ジェファソンシティ アメリカ/ミズーリ ⑩世地 249 C
ジェファーソン・デービス ⇨デービス,J
シェファービル カナダ ⑩世地 249 D
シェフィールド イギリス ⑩世地 249 D
シェフィールド式曝気法〈パドル式曝気法〉 ⑰科技→下水道〔下水の性質と下水処理〈図曝気法〉〕
シェフィールド大学 ⑩世地→シェフィールド
CFAO ⑨世史→アフリカ(州)〔植民地時代〈植民地会社〉〕
シェフェル,P 〔1910〕 ③音演→ミュージック・コンクレート
シェフェール,A 〔1795-1858〕 ②美術→ロマン主義
CFCA ⑨世史→アフリカ(州)〔植民地時代〈植民地会社〉〕
シェフチェンコ,T ロシア〔1814-1861〕 ウクライナの農奴出身の革命詩人。秘密結社に参加し逮捕された 作『コブザーリ』 ①文学 266 D
CFP ⑫経産→石油産業〔現状〕
ジェフリー・オブ・モンマス ①文学→アーサー王伝説
ジェフリー・クレヨン ⇨アービング,W
ジェフリーズ,H イギリス〔1891〕 数理物理学者。天文学・地球物理学の分野で広範な理論的研究を行う ⑱宇地 279 A →太陽系〔図起源〕 ⑯物数→重力〔緯度と重力〕
ジェフリーズ=ブレンの走時表 ⑱宇地→地球〔内部構造〕図
シェブルール,M ⇨シュブルール,M
ジェベ〔者別〕 〔*-1225*〕 モンゴル帝国の武将。勇猛でチンギス・ハンの四狗の一人と称された ⑨世史 257 B →チンギス・ハン〔大征服〕
ジェボンズ,W イギリス〔1835-1882〕 経済学者。ワルラス,メンガーとともに近代経済学の創設者の一人 ⑫経産 242 C図 →迂回生産 →近代経済学 →限界分析 →主観価値説 →数理経済学
ジェミニ計画 ⑱宇地→アポロ計画〔計画の推進まで〕 →宇宙開発〔有人宇宙計画〕
GM ⇨ゼネラル・モーターズ
G・M計数管 ⇨ガイガー-ミュラー計数管
cmc〈ミセル限界濃度〉 ⑮化学→洗剤〔性質〕
ジェームズ,H アメリカ〔1843-1916〕 小説家・批評家。独自の感性教育を父に施され,観察を根底とした「視点」の文学を開拓 作『使者たち』 ①文学 267 B図 →アメリカ文学〔リアリズム〕
ジェームズ,W イギリス ⑬生活→ダイビング ⑰科技→自動車〔歴史〈普及〉〕
ジェームズ,W アメリカ〔1842-1910〕 哲学者・心理学者。H.ジェームズの兄。根本的経験論を主張,多元主義の世界観を説く。プラグマティズムを創始 作『心理学原理』 ①文学 267 B図 →意識の流れ ④哲宗 225 C図 →アメリカ哲学〔プラグマティズム〕 →宗教学〔展開〕 →プラグマティズム ⑨世史 257 B ⑪政社→プラグマティズム
ジェームズ(一世) イギリス〔1394-1437〕 スコットランドの国王。チョーサーの詩風の継承者 ①文学 267 C
ジェームズ(一世) イギリス〔1566-1625〕 国王。メアリ・ステュアートの子。スコットランド王としては六世。エリザベス女王の没後イングランド王位につく ⑨世史 257 B図 →イギリス(史)〔イギリス革命〈二つの革命〉〕 →王権神授説〔提唱者〕 →ステュアート朝 ①文学→シェークスピア,W図 ⑪政社→王権神授説〔イギリス〕
ジェームズ(二世) イギリス〔1633-1701〕 国王。ピューリタン革命で大陸に逃亡,即位後絶対主義を強行,名誉革命で亡命 ⑨世史 257 C図 →イギリス(史)〔イギリス革命〈二つの革命〉〕 →イギリス議会

史〔革命と議会〕 →ジャコバイト →審査律 →ホイッグ党〘イギリス〙 →名誉革命
ジェームズ(六世) ⇨ジェームズ(一世)
ジェームズ(湾) ⑩世地→ハドソン(湾)
ジェームズ(川) アメリカ ⑩世地 249 D
ジェームスタウン ⑩世地→セントヘレナ(島)
ジェームズタウン ⑩世地→アメリカ(合衆国)〔略史〈探検と植民〉〕 →バージニア(州)
ジェムストーン ⑱宇地 279 A →宝石
ジェームスフラミンゴ ⑳動物→フラミンゴ
ジェームズホタテ ⑳動物→ホタテガイ
ジェームズ・ボンド ①文学→フレミング,I
ジェームス山 ⑦日地→神戸(市)〔観光・文化〕 ⑧日地→垂水(区)
ジェームズ-ランゲ説 ④哲宗→ジェームズ,W〔心理学原理〕
ジェームソン,R ⑱宇地→毛鉱
シェムレアプ カンボジア ⑩世地 249 D
シェラー,M ドイツ[1874/1928] 哲学者。現象学的方法を精神科学の諸領域に適用 ④哲宗 226 A →価値 →現象学 →社会哲学 →人格 →世界観 →哲学的人間学 →ドイツ哲学〔現象学・実存哲学など〕 →人間学 ⑪政社→知識社会学
シェラー,W ドイツ[1841/1886] ①文学→文学史 →文芸学
『シェラザード』 ③音演→バレエ〔20 世紀〕図 →リムスキー=コルサコフ,N
シェラック ⇨セラック
シェラトン ⑫経産→ＩＴＴ
シエラネバダ(山脈) ⇨ネバダ(山脈)
シエラネバダ(山脈) アメリカ ⑩世地 250 B →カリフォルニア(州)〔自然〕 ⑱宇地→山脈〔成因による区分〕
シエラマエストラ(山脈) ⑩世地→キューバ(共和国)〔自然〕
シエラマドレ(山脈) ⑩世地→ルソン(島)
シエラマードレ(山地) メキシコ ⑩世地 250 B →メキシコ(合衆国)〔自然〕
シエラモレナ ⇨モレナ(山脈)
ジェラール,C フランス[1816/1856] 化学者。化合物の構造に対し従来の基説と違った類型説を提唱 ⑮化学 295 B図 →化学結合〔概念の変遷〈電気化学的二元説〉〕
ジェラール,F ②美術→古典主義
ジェラル・ウッディーン ⑨世史→モンゴル帝国〔成立〕
ジェラルディ,P フランス[1885/1960] 詩人・劇作家。率直な愛の平易な表現で万人に愛読される叙情詩集『おまえとわたし』がある ①文学 267 D ③音演→フランス演劇〔現代劇〕
シエラレオネ(共和国) アフリカ ⑩世地 250 B図
シェラン(島) デンマーク ⑩世地 250 D →デンマーク(王国)〔地方誌〈デンマーク諸島〉〕 →バルト(海)
シェリー,P イギリス[1792/1822] 詩人。理想美探究の姿勢を貫いたロマン主義文学の代表的存在 ㊢『プロメテウス解縛』 ①文学 267 D図 →イギリス文学〔ロマン主義〕 →シェリー夫人 →ロマン主義〈720 C〉
シェリーグラス ⑬生活→食器〔分類〈洋食器〉〕図
ジェリコ ⇨イェリコ
ジェリコー,J フランス[1791/1824] 画家。ロマン主義絵画の最初の人。ギリシア独立戦争など時局的なものを描いた ②美術 243 B図 →ロマン主義
『ジェリコの戦い』 ③音演→黒人霊歌
シェリー酒 ⑬生活→ぶどう酒〔特殊ぶどう酒〕
シェリダン,R イギリス[1751/1816] 劇作家・政治家。巧妙なせりふと舞台効果を心得た作劇術によって，風習喜劇を復活させる ①文学 268 B ③音演→イギリス演劇〔18～19 世紀〕
シェリットゴルドン ⑫経産→金属鉱業〔世界〕
『シェリー伝』 ①文学→伝記〔西洋〕 →モーロア,A
ジェリド(湖) ⑩世地→チュニジア(共和国)〔自然〕
ジェリノー ⑭医学→ナルコレプシー
シェリー夫人 イギリス[1797/1851] 女流小説家。詩人シェリーと結婚。怪奇小説『フランケンシュタイン』で有名 ①文学 268 C →ゴシック小説 →ゴドウィン,W →シェリー,P図
シェリホフ(湾) ⇨シェレホフ(湾)
シェリング,F ドイツ[1775/1854] 哲学者。ドイツ観念論の代表者の一人で，のちの実存哲学への道を開く ①文学 268 C ④哲宗 227 A図 →消極 →ドイツ観念論 →ドイツ哲学〔ヘーゲル哲学の崩壊〕 →同一哲学 ⑨世史→キルケゴール,S
シェーリングブリッジ ⑰科技→ブリッジ回路〔図交流ブリッジ〕
シェリントン,C イギリス[1857/1952] 生理学者。筋肉を支配する神経の三分の二は感覚神経であることを証明。ノーベル賞受賞 ⑭医学 305 A図 →神経
シェール ⇨頁岩
ジェール ⑫経産→東欧経済事情図
シェール・アリー ⑨世史→アフガン戦争
シェールオイル ⇨頁岩油
シェルグイ ⑱宇地→風〔表局地風〕
シェルグレン ①文学→北欧文学〔スウェーデン〕
シェル構造 ⑰科技 234 C図 →鉄筋コンクリート構造〔構法〕
『ジェルサンの看板』 ②美術→ロココ美術 →ワトー,A図
シェール・シャー インド[1472*/1545*] スール朝の創始者。スール族を指揮してムガル帝国に勝ちデリーの王権を握る ⑨世史 257 C →スール朝 →フマーユーン
ジェルジンスク ⇨ゼルジンスク
シェル石油 ⑫経産→イギリス経済事情図 →鉱業〔世界〕 →石油産業〔現状〕 →ロイヤル・ダッチ・シェル
シェル艇 ⑬生活→ボートレース〔レース艇〕図
シェルデラップ=エッペ,T ⑳動物→順位制
シェルドン,W アメリカ ④哲宗→気質 ⑭医学→体質〔学説〕
シェルパ ⑬生活→登山〔囲用語〕
シェルバーク ⑲植物→ペカン
シェルパ族 ⑩世地→ネパール(王国)〔社会・文化〕
シェルバッハ,K [1804/1892] ⑯物数→数学教育〔歴史〈形式化時代〉〕
シェールバルト,P ドイツ[1863/1915] 小説家。「ドイツ空想家出版」を設立，ＳＦに独自性を示し同国の草分け的存在 ①文学 268 C
シェルバーン イギリス[1737/1805] 政治家。大ピットを支持。首相となりアメリカの独立を承認後辞職 ⑨世史 257 D
ジェルビヨン ⑨世史→ネルチンスク条約
シェルフォード,V アメリカ[1877/1968] 動物生態学者。クレメンツとともに生物共同体という概念を発展させた ⑳動物 314 C →食物連鎖
シェルブール フランス ⑩世地 250 D
ジェルミ,P [1914/1974] ③音演→映画〔トーキー〈第５期〉〕
『ジェルミナール』 ①文学→ゾラ,E図
『ジェルミニー・ラセルトゥー』 ①文学→ゴンクール(兄弟) →自然主義
シェルモデル ⑥日史→長岡半太郎
シェーレ,K スウェーデン[1742/1786] 化学者。軟マンガン鉱の研究から酸素を発見。空気の構成について研究 ⑮化学 295 C図 →カメレオン液 →酸素 →シアン化カリウム →乳酸 →マンガン →油脂〔油脂化学〕 ⑰科技→写真〔技術の歴史〈映像定着への努力〉〕 →フィルム〔感光材料の発達〕 ⑱宇地→灰重石
シェーレ ⑫経産 242 C
ジェレヌク(キリンレイヨウ) ⑳動物→ガゼル図
シェレホフ(湾) ⑩世地 251 A
ジェロニモス修道院 ⑩世地→リスボン図
ジェローム,J イギリス[1859/1927] 小説家・劇作家。共同編集になる雑誌『閑人』および『今日』がある ①文学 268 D
ジェロムスキ,S ポーランド[1864/1925] 小説家。一貫して社会悪との戦いを描き，同国小説の芸術性向上に努める ①文学 268 D →東欧文学〔ポーランド〕
シーエン ノルウェー ⑩世地 251 A
『シェーン』 ①文学→ガスリー,A
慈円 [1155/1225] 平安・鎌倉の天台僧・歌人・史論家。『愚管抄』で歴史の変遷は「道理」にあると説く ①文学 268 D図 ④哲宗 227 B ⑤日史 506 C図 →鎌倉時代〔文化〈文学〉〕 →『愚管抄』
『ジェーン・エア』 ①文学→ブロンテ(姉妹)〈シャーロット〉図
四塩化スズ〈塩化第二スズ〉 ⑮化学→塩化スズ
四塩化炭素 ⑮化学 296 A →炭素〔化合物〈ハロゲン化物〉〕
四塩化炭素消火器 ⑰科技→消火設備〔消火器〕
四塩化白金〈塩化第二白金〉 ⑮化学→塩化白金
シェンキェビッチ,H ポーランド[1846/1916] 小説家。愛国心を鼓舞する戦争と冒険の物語で有名。ノーベル賞受賞 ㊢『クオ・バディス』 ①文学 269 A図 ⑨世史 257 D
ジェンキンズの耳戦争 ⑨世史→アシエント
シェンク オランダ ⑬生活→オリンピック〔図冬季・札幌大会〕
シェンクアン ⑩世地→チャンニン(高原)
シェンケンドルフ,M ドイツ[1783/1817] 詩人。対ナポレオン戦争に従軍，中世ドイツ帝国を夢みた愛国者 ①文学 269 B
ジエン合成 ⑮化学 296 B ⇨ディールス-アルダー反応
シェンシー(省)〈陝西省〉 中国 ⑩世地 251 A
シエンシャリン(山脈)〈仙霞嶺山脈〉 中国 ⑩世地 251 C
シェーンズ ⑬生活→シャツ →服装〔西洋〈中世〉〕
ジェーンズ,L アメリカ[1838/1909] ⑤日史→御雇外人教師表 →熊本洋学校
ジェーン台風 ⑦日地→尼崎(市) ⑱宇地→気象〔表災害年表〕
鹹菜 ⑬生活→中国料理〔調理法による種別〕
沈従文 ⇨沈従文
ジェンティーレ,G イタリア[1875/1944] 哲学者。イタリア観念論の代表者で，ファシズムの思想的指導者となる ④哲宗 227 C →イタリア哲学〔現代〕 ⑪政社 222 D図
ジェントリ〈郷紳〉 ⑨世史 258 A →荘園〔西洋〈イギリスの古典荘園〉〕 →ヨーマンリ
ジェントルマン ⑨世史→ジェントリ ⑪政社→絶対主義〔諸階級〕
ジェンナー,E イギリス[1749/1823] 医学者。牛痘接種法を発見し，天然痘予防に功績 ⑭医学 275 C図 →種痘 →痘瘡
シェーンバイン,C ドイツ[1799/1868] 化学者。オゾン・綿火薬・コロジオンの発見で知られる ⑮化学 296 B図 →地球化学
シェンフェゴス キューバ ⑩世地 251 C →サンタクララ
シェーンフリース,A [1853/1928] ⑯物数→ジョルダンの定理
シェーンブルン宮殿 ②美術→ヒルデブラント,J ⑩世地→ウィーン図 →オーストリア(共和国)図
シェーンブルン動物園 ⑳動物→動物園〔歴史〕表
シェーブルンの和議 ⑨世史→対仏大同盟
陝北高原 ⑩世地→シェンシー(省)
シェーンヘル,K オーストリア[1867/1943] 劇作家。チロル出身の郷土文学の代表者。自然主義から出発して表現主義への道をたどる ①文学 269 B
シェーンベルク,A オーストリア[1874/1951] 作曲家。十二音技法の創始者で，第二次ウィーン楽派と称せられる ③音楽 233 C図 →ウィーン楽派 →現代音楽〔表現主義〕 →十二音音楽 →無調音楽
『シェーンベルクとその学派』 ③音演→レイボウィッツ,R
シエンヤン〈咸陽〉 中国/陝西省 ⑩世地 251 D
シェンヤン〈瀋陽〉 中国/遼寧省 ⑩世地 251 C図
シェーンライン,J ドイツ[1793/1864] 医学者。リウマチ性紫斑病を記載し，黄癬菌を発見 ⑭医学 254 D →紫斑病
シェーンライン=ヘノッホ病〈アナフィラキシー紫斑病〉 ⑭医学→紫斑病〔血管壁の異常〕
塩 ⑤日史 506 D図 ⑨世史 258 A図 ⑮化学 296 C →食塩 ⑥日史→専売制度 ⑫経産→製塩業 →専売〔日本〕 ⑬生活→食塩 →相撲〔囲用語〕 →中国料理〔調味料〈主要調味料〉〕 →調味料 →調理〔調味〕
潮 ⑱宇地→潮汐
志雄(町) 石川 ⑦日地 530 C
塩井雨江 [1869/1913] 詩人・国文学者。浅香社に加わり，新体詩普及に貢献 ①文学 269 B
ジオイド ⑱宇地 279 A図 →海図 →地球〔質量と形〕
潮入川 ⇨感潮河川
雌黄 ⑱宇地→石黄 →雄黄
ジオウ〔地黄〕〈アカヤジオウ〉 ⑲植物 287 A図 →薬用植物表 ⑭医学→生薬
四王寺跡 ⑧日地→太宰府(市)
四王寺山経塚 ⑤日史 507 A
ＧＯＳＴ ⑫経産→規格
ＣＯＭ ⑰科技→マイクロ写真
潮替節 ③音演→民謡〔表〈鹿児島〉〕
潮かけ祭 ⑧日地→三重(県)〔文化〈郷土芸能〉〕
塩釜(市) 宮城 ⑦日地 530 C図 →仙塩工業地域
『塩竈』 ⇨『融』
塩釜温泉 ⑦日地→塩原(町)

シオガマギク〔塩竈菊〕 ⑲植物 287 B図
塩釜甚句〈ハットセ節〉 ③音演→民謡〔表〈宮城〉〕
塩竈神社 ④哲宗 227 D →神社〔表〈国幣中社〉〕 ⑦日地→塩釜(市) ⑧日地→松島〈宮城〉
塩釜線 ⑧日地→東北本線
塩釜湾 ⑦日地 530 D ⑧日地→松島湾
塩辛 ⑬生活 227 D →水産加工品〔種類〈塩蔵品〉〕 →保存食品
シオカラトンボ〔塩辛蜻蛉〕 ⑳動物 315 A図
塩辛味 ⑬生活→味〔種類〈鹹味〉〕
塩狩温泉 ⑧日地→和寒(町)
塩川 ⑦日地→明野(村)
塩川(町) 福島 ⑦日地 531 A
塩川縞 ⑦日地→塩川(町)
塩川文麟 ［1808/1877］ ②美術→円山四条派 →明治の美術〔フェノロサの来朝と日本画の復興〕
塩河原温泉 ⑦日地→川場(村)
仕置 ⑤日史 507 B
シオギク〔潮菊〕 ⑲植物 287 B →キク〔野生〕図
ジオキサン ⑮化学→エーテル表
ジオキシベンゼン ⑮化学→レゾルシン
ジオーク, W ［1895/1982］ 物理化学者。酸素同位体の発見, 極低温の研究で有名。ノーベル賞受賞 ⑮化学 296 C ⑯物数→断熱消磁
汐首岬 北海道 ⑦日地 531 B ⑧日地→戸井(町)
『汐汲』 ③音演→『松風』〔松風物〕
ジオグラフィー ⇨地理学
ジオグラホス ⑱宇地→小惑星〔軌道〕
シオゴンドウ ⑳動物→クジラ〔分類〕図 →ゴンドウクジラ
塩こんぶ ⑦日地→大阪(府)〔観光〕
塩座 ⑫経産→座
『潮騒』 ⑦日地→神島
潮境 ⑧日地 1214 B ⑱宇地 279 A図 →潮目
塩沢(町) 新潟 ⑦日地 531 B
塩沢温泉 ⑧日地→二本松(市)
塩沢君夫 ⑫経産→マニュファクチュア論争
シオジ ⑲植物 287 B →トネリコ図 ⑬生活→木材表 ⑰科技→木材〔表広葉樹〈日本産材〉〕
COG ⇨石炭ガス
地押 ⑤日史 507 B
塩じめ ⑬生活→食塩〔調理〕
ジオジメーター ⑧日地→三角測量〈1213 B〉 ⑯物数→地球物理学〔測地学〕
塩尻 ⑦日地→上田(市)
塩尻(市) 長野 ⑦日地 531 C図
塩尻峠 長野 ⑦日地 532 B
ジオスゲニン ⑮化学→ステロイド〔ステロイドサポニン〕図
塩瀬九郎右衛門 ⑬生活→菓子〔和菓子の歴史〕
塩瀬饅頭 ⑬生活→菓子〔和菓子の歴史〕
塩煎餅 ⑬生活→菓子〔菓子の種類〕 →煎餅 →駄菓子
塩田 長野/上田市 ⑦日地 532 B →上田(市)
塩田(町) 佐賀 ⑦日地 532 B
塩田温泉 ⑧日地→夢前(町)
塩田平 ⑦日地→上田盆地
潮だまり〈タイドプール〉 ⑳動物 315 A ⑲植物→タイドプール
塩田良平 ［1899/1971］ 国文学者。実証主義的学風により近代文学研究を開拓 ①文学 269 C
塩津 滋賀/西浅井町 ⑦日地 532 B ⑧日地→西浅井(町) →湖港〈1211 D〉
塩漬け ⑬生活→食塩〔種類〕 →漬け物 →保存食品
塩津港 ⑧日地→琵琶湖
塩壺温泉 ⑦日地→浅間高原 →軽井沢(町)
シオデ ⑲植物 287 C図 →維管束図 ⑬生活→山菜〔種類〕
COD〈化学的酸素要求量〉 ⑮化学→公害〔囲用語〕 →水質汚濁〔汚濁物質の分類と被害〈1〉〕 ⑰科技→下水道〔下水の性質と下水処理〕
ジオディメーター ⇨ジオジメーター
地おとし ⑬生活→紋付〔種類〕図
塩留 ⑥日史→武田信玄
汐留駅 ⑦日地→新橋図 ⑰科技→駅〔貨物駅〕図
潮止観音 ⑧日地→福富(町)
潮波 ⑱宇地→波〔おもな波〕
『潮鳴』 ①文学→石樽千亦
シオニズム ⑨世史 258 C →ユダヤ人〔歴史〕 ④哲宗→ユダヤ教〔宗教思想〕 ⑩世地→イスラエル(国)〔略史〕 ⑪政社→アラブ・イスラエル紛争〔背景〕 →中東問題 →ユダヤ人問題
ジオネ ⑱宇地→衛星〔表〈土星〉〕

塩江(町) 香川 ⑦日地 532 B
塩江温泉 ⑦日地→塩江(町)
塩の行進 ⑨世史→ガンディー, M
塩野原 ⑦日地→新庄盆地
潮岬 和歌山 ⑦日地 532 C図 →熊野 ⑱宇地→季節〔日本〕図
塩の道 ⑨世史→交通発達史〔道の起原〕
塩谷温 ［1878/1962］ 中国文学者。中国小説と戯曲に新しい研究の基礎を確立 ①文学 269 C
塩谷宕陰 ［1809/1867］ 江戸末期の朱子学者。水野忠邦に仕えて天保の改革に参画, のち幕府の儒官 ⑤日史 507 B
塩ノ湯温泉 ⑦日地→塩原(町)
塩浜 ⑦日地→島原(市)
塩浜コンビナート ⑧日地→四日市(市)〔産業〕
塩原(町) 栃木 ⑦日地 532 C図 →塩原温泉郷
塩原温泉郷 栃木 ⑦日地 533 A →塩原(町) ⑧日地→日光国立公園
『塩原多助一代記』 ③音演→三遊亭円朝 →落語〔歴史〕
潮干狩り ⑱宇地→潮汐〔産業〕
塩浸温泉 ⑦日地→霧島温泉郷 →新川渓谷
塩乾珠 ④哲宗→海幸・山幸
潮吹き〈噴気〉 ⑳動物→クジラ〔生態〕
シオフキガイ〔潮吹貝〕 ⑳動物 315 A図
汐吹洞穴 ⑦日地→伊東(市)〔観光〕
ジオプトリー〔D〕 ⑭医学→めがね〔度〕
ジオベルティ, V ［1801/1852］ 哲学者・政治家。19 世紀同国のキリスト教的な唯心論の代表者 ④哲宗 228 A ⇨ジョベルティ, V
CO法 ⑭医学→ガス中毒〔一酸化炭素中毒〕
塩干し品 ⑬生活→乾物〔種類・方法〕 →水産加工品〔種類〕
塩町 ⑦日地→伊王島(町)
潮待ち港 ⑧日地 1214 B
シオマネキ〔潮招〕 ⑳動物 315 B図 →カニ〔形態, 分類〕 →ディスプレー
塩みがき ⑬生活→魚料理〔下ごしらえ〕
塩見川 ⑧日地→日向(市)
潮見坂 静岡/湖西市 ⑦日地533B →湖西(市)
塩見岳 長野・静岡 ⑦日地 533 B →赤石山脈
塩満珠 ④哲宗→海幸・山幸
塩見政誠 ［*.*］ 江戸中期の蒔絵師。研出蒔絵の名手として, 後世「塩見蒔絵」と称された ②美術 243 B →印籠
シオムシ〔潮虫〕 ⑳動物 315 C
潮目 ⑱宇地 279 B →北原多作 →潮境図
塩谷 北海道/小樽市 ⑦日地 533 B →小樽(市)
塩谷(町) 栃木 ⑦日地 533 B
シオヤアブ ⑳動物→ムシヒキアブ図
シオヤガイ〔塩屋貝〕 ⑳動物 315 C
塩谷海岸 ⑦日地→積丹半島図
塩焼き ⑬生活→焼き物
塩谷港 ⑧日地→大聖寺川
塩谷崎 ⑦日地→いわき(市)図
塩屋長次郎 ③音演→奇術〔日本〕
シオヤトンボ ⑳動物→シオカラトンボ図
食塩釉 ⑮化学→陶磁器〔製造〈焼成〉〕
ジオラマ ⑰科技→ダゲール, L →デンバー自然史博物館〈679 B〉
シオラン, E ［1911］ ルーマニア出身の批評家。パリに住み, 人間性の苛烈な洞察と「神なき絶対」を探求 ①文学 269 C
ジオリッティ ⇨ジョリッティ, G
枝折峠 ⑧日地→只見川
ジオルダーニ, P ［1774/1848］ 文学者。雅文体の名文家で, 国語純化論の代表者 ①文学 269 C
シオン ④哲宗→聖書〔囲地名〕 ⑨世史→シオニズム
シオン〔紫苑〕 ⑲植物 287 C図 →アスター
慈恩会 ⑧日地→奈良(市)〔囲神社・仏閣〈薬師寺〉〕
慈恩教 ④哲宗→基
慈恩寺 ④哲宗→坂東三十三所表
慈恩寺 ⑦日地→寒河江(市)
慈恩寺 ⑦日地→安土(町)
慈恩宗 ⇨法相宗
シオン城 ⑩世地→スイス(連邦)図
慈恩大師 ⇨基
『紫苑物語』 ①文学→石川淳
シカ〔鹿〕 ⑳動物315C図 →角 →反芻動物 ⑤日史→縄文文化〔生活〈食生活〉〕 ⑧日地→奈良(市)〔観光〕 ⑬生活→狩猟〔法規〈狩猟鳥獣〉〕表
子夏 中国［前508/前420.*］ 春秋末期の儒家。孔門十哲の一人。客観的形式としての礼を尊ぶ ④哲宗 228 A →孔子〔思想〕〔孔門の十哲〕
志賀 福岡市 ⑦日地 533 B ⑧日地→福岡(市)
志賀(町) 石川 ⑦日地 533 B
歯科 ⑭医学 240 A図 →歯科医師 →歯科衛生士 →歯科技工士
四賀(村) 長野 ⑦日地 533 C
志賀(町) 滋賀 ⑦日地 533 C図
滋賀(県) ⑦日地 533 C図表 ⑤日史→近江国
シーガー, A ［1888/1916］ 詩人。第一次大戦でフランスの外人部隊に入隊, 戦死。戦争詩に優れた ①文学 269 C
シーガー, P ［1919］ ③音演→フォーク・ソング図
時価 ⑫経産→会計学〔歴史〕
磁化 ⑮化学→常磁性 ⑯物数→磁気 →磁歪
磁荷〈磁気量〉 ⑯物数 214 A →磁気 →磁石
自我 ④哲宗 228 B →精神分析 →他我 →独我論 →西田幾多郎 →フロイト, S
『**爾雅**』 ④哲宗 228 C →訓詁学 ⑨世史→十三経
糸価安定問題 ⑤日史 507 B
死海 ⑩世地 252 A図 →ヨルダン(川) ⑧日地→塩湖〈1200 B〉 ⑱宇地→塩湖表 →湖沼〔化学的性質〈淡水湖と塩湖〉〕
志怪 ①文学 269 C →伝奇
『市街』 ③音演→映画〔トーキー〈第 4 期〉〕 →マムーリアン, R
耳介〈耳殻〉 ⑭医学→耳〔外耳〕図
磁界〈磁場〉 ⑯物数 214 A図 →磁界エネルギー図 →磁化曲線 →磁石 →磁力線 →電気 →電磁界 →電流 →ビオ-サバールの法則 →フレミングの法則 →ローレンツの力 ⑱宇地→磁極 →磁場 →地球
磁界エネルギー ⑯物数 215 B図
歯科医学〈歯学〉 ⑭医学→歯科
磁界型電子レンズ ⑯物数→電子顕微鏡図
市街化調整区域 ⑬生活→宅地
歯科医師 ⑭医学 240 D
歯科医師会 ⑭医学→日本歯科医師会
司会者中心的討議 ⑪政社→討議〔少数〕
自家移植 ⑭医学→移植 →臓器移植
紫外線〈冷線〉 ⑯物数 215 C →光〔電磁波〕図 →リッター, J ⑭医学→光線療法〔紫外線療法〕 ⑱宇地→日照 →光
紫外線吸光度〈UVA〉 ⑮化学→水質汚濁〔汚濁物質の分類と被害〈1〉〕
紫外線顕微鏡 ⑭医学→インフルエンザ〔診断〕 ⑯物数→顕微鏡〔種類〕
紫外線殺菌 ⑭医学→殺菌〔殺菌法〕
紫外線写真 ⑰科技 234 C図
紫外線燈 ⑬生活→美容〔美容機器〕
紫外線療法 ⑭医学→光線療法
市街地 ⑧日地→住宅街〈1215 D〉
市街地開発事業 ⑰科技→都市計画〔都市計画制度〕
市街地価格指数 ⑫経産→経済統計〔表〈部分的局面〉〕 →物価指数
磁界地図 ⑯物数→磁界
市外通話 ⑬生活→電話・電報〔電話〈通話〉〕 ⑰科技→電話〔電話料金〕
市街鉄道 ⑰科技→鉄道〔輸送目的による分類〕
市街電車 ⇨路面電車
四海同胞主義 ⇨コスモポリタニズム
耳介軟骨 ⑭医学→耳〔外耳〈耳介〉〕
死海文書 ④哲宗 228 C →聖書図 →ユダヤ教〔歴史〕 ⑨世史 258 D図 →聖書 ⑩世地→死海
磁界偏光型ブラウン管 ⑯物数→ブラウン管図
滋賀院門跡 ⑤日史→延暦寺
志賀海神社 ④哲宗→神社〔表〈官幣小社〉〕 ⑦日地→志賀島 ⑧日地→東(区) →福岡(市)
四ヶ浦 福井/越前町 ⑦日地 537 B →越前(町)
鹿占神事 ⑳動物→シカ〔民俗〕
歯科衛生士 ⑭医学 241 B
鹿追(町) 北海道/十勝支庁 ⑦日地 537 B
シカ科 ⑳動物→偶蹄類
耳科学 ⑭医学→耳鼻咽喉科
四箇格言 ④哲宗→折伏 →日蓮
歯牙加工 ⑤日史 507 B図
歯科技工士 ⑭医学 241 C
ジカキムシ〔字書虫〕 ⑳動物 318 C →ハモグリムシ
磁化曲線 ⑯物数 216 A図 →強磁性体
志賀潔 ［1870/1957］ 細菌学者。北里柴三郎, エールリッヒに師事し, 赤痢菌を発見。文化勲章受章 ⑤日

『詩曲』 ③音演→ショーソン,E
磁極 ⑯物数 221 A →磁石 ⑱宇地 280 C図表
→地磁気
指極星 ⑱宇地→星座〔観察〕 →北斗七星
『子虚の賦』 ①文学→司馬相如
鴫良温泉 ⑧日地→耶馬渓(町)
シギラリア ⇨封印木
地霧 ⑱宇地→霧
仕切垣 ⑬生活→垣〔竹垣〕
仕切り売買 ⑫経産→委託販売
仕切り弁 ⑰科技→弁図
自記流向流速計 ⑱宇地→流速計
磁気流体発電 ⇨MHD発電
磁気流体力学 ⑯物数 221 A
式量〈化学式量〉 ⑮化学 300 B →分子量 ⑯物数
→分子量
磁気量 ⇨磁荷
磁気量子数 ⑮化学→量子数 ⑯物数→量子数
磁気力 ⑯物数→電荷
シギ類 ⑬生活→狩猟〔法規〈狩猟鳥獣〉〕表
『ジキル博士とハイド氏』 ①文学→スティーブンソン,R
磁気録音 ⑰科技 238 B →テープレコーダー →録音
磁気録音機 ⇨テープレコーダー
磁気録画 ⑰科技→録画
磁気録画装置 ⇨ビデオテープレコーダー
直渡し ⑫経産→商品〔売買〕 →売買
詩吟 ③音演 234 A
ジキン〔地金〕 ⑳動物→キンギョ〔品種〕
資金移動 ⑫経産→ホット・マネー
資金運用表 ⑫経産→会計〔囲用語〕
資金運用部 ⑫経産 243 C →日本経済事情〔財政金融制度〈財政投融資〉〕 →郵便貯金
資金運用部資金 ⑫経産→公債 →財政投融資〔予算〕 →郵便貯金
資金運用部特別会計 ⑫経産→資金運用部
資金繰り表 ⑫経産→株式〔囲用語〕
資金計画表 ⑫経産→株式〔囲用語〈資金繰り表〉〕
紫金山古墳 ⑤日史 512 A ⑦日地→茨木(市)
紫金山天文台 ⑱宇地→天文台〔表〈アジア〉〕図
資金循環表 ⑫経産→国民経済計算
資金循環分析〈マネーフロー分析〉 ⑫経産 243 C
紫禁城 ⑨世史 261 A図
『紫禁城』 ②美術→梅原龍三郎図
シキンラン〔紫錦蘭〕 ⇨ムラサキオモト
地金論争 ⑫経産→金融理論
摯虞 中国〔?～311〕 西晋の文人。二十四友の一人となったが清貧に甘んじて洛陽で餓死 ①文学 272 B
軸 ⑰科技 238 B
磁区 ⑯物数 221 B図 →強磁性体 →強誘電体 →磁石 ⑱宇地→磁石
ジグ ⑬生活→釣り〔種類〈ルアーフィッシング〉〕図
ジグ ⑰科技 238 B
ジーグ ③音演→舞曲
軸受 ⑰科技 238 B図
軸受合金 ⑰科技 239 A →アンチモン ⑮化学→亜鉛〔用途〕 →スズ〔用途〕
軸受メタル ⑰科技→軸受〔すべり軸受〕
司空図 中国〔837～908〕 晩唐の詩論家。山水詩にも優れるが,『二十四詩品』の作者として知られる ①文学 272 B
『シグエンサの書』 ①文学→ミロ,G
シク王国 ⑨世史→インド〔植民地支配〕
敷香 ⇨ポロナイスク
シク教 ④哲宗 229 D →ナーナク,G ⑨世史 261 B ⑩世地→アムリッツァル
磁区境界〈磁壁〉 ⑯物数→磁区
軸組 ⑰科技→木構造〔各部構造〕
しぐさ落ち ③音演→落語〔囲落ち〕
軸索 ⑭医学→脳〔神経細胞〕
軸索突起〈神経突起〉 ⑭医学→神経〔神経細胞〕
ジグザグノキ ⑲植物→ディディエレア
ジグザグミシン ⑬生活→ミシン〔種類〕
ジグ選鉱 ⑰科技→選鉱〔選鉱法〈比重選鉱〉〕
シク戦争 ⑨世史 261 B →シク教 ④哲宗→シク教
竺仙派 ⑤日史→竺仙梵僊
竺仙梵僊 中国〔1292～1348〕 元の臨済宗の僧。鎌倉末期に来朝し,五山文学の土台を固める ⑤日史 512 B ①文学→五山文学 ④哲宗→臨済宗囲
シグソン,A ⑱宇地→雪〔結晶の観察史〕

仕口 ⑰科技→木構造
地口行灯 ⑤日史→行灯図
地口落ち〈仁輪加落ち〉 ③音演→落語〔囲落ち〕
地口音頭〈秋田音頭〉 ③音演→民謡〔表〈秋田〉〕
地口銭 ⑤日史 512 B
シクツイフカル ⑩世地→コミ
軸継手 ⑰科技 239 B図
試掘権 ⑫経産→採掘権
磁苦土鉄鉱 ⑱宇地→磁鉄鉱
ジーグフェルド,F 〔1869～1932〕 ③音演→ミュージカル
ジーグフェルド・フォリーズ ③音演→ミュージカル
ジークフリート ①文学→『ニーベルンゲンの歌』
『ジークフリート』 ③音演→ワーグナー,R〔作風と作品〈ニーベルングの指環〉〕図
『ジークフリート』 ③音演→ジロドゥー,J →フランス演劇〔現代劇〈世俗劇〉〕
竺法護 中国〔231～308?〕 晋代の敦煌出身の翻訳三蔵。中国仏教史上,屈指の訳経家 ④哲宗 230 A
σ結合 ⑮化学→化学結合〔共有結合〕図 →π電子
σ電子 ⑮化学 300 B
シグマリンゲン家 ⑨世史→ホーエンツォレルン家
ジグミ・シンギー・ワンチューク ⑩世地→ブータン〔王国〕〔略史・政治〕
ジグムント(一世) 〔1467～1548〕 ヤギェウォ王朝の王。プロイセン公国を従属させ,学問芸術の最盛期を現出 ⑨世史 261 B
ジグムント(二世) ⑨世史→ヤギェウォ朝
ジグモ〔地蜘蛛〕 ⑳動物 320 B図 →クモ〔生態〕図
ジグモンディ,R 〔1865～1929〕 化学者。コロイドが不均質体であることを確認。ノーベル賞受賞 ⑮化学 300 B
軸用限界ゲージ ⑰科技→限界ゲージ図
シクラメン ⑲植物 288 C図
シクラメンアルデヒド ⑮化学→香料〔人造香料〕
シクラメンホコリダニ ⑳動物→ホコリダニ
シグリゲティ 〔1814～1878〕 劇作家。史劇のほか民衆的喜劇に才を示し,人気を博した ③音演 234 B →東欧演劇〔ハンガリー〕
シクリッドミルク ⑳動物→ディスカス
軸流送風機 ⑰科技→送風機
軸流タービン ⑰科技→蒸気タービン〔反動タービン〕
軸流ポンプ ⇨プロペラポンプ
時雨 ⑱宇地→雨〔種類〕 →雨期
『時雨西行』 ③音演→『江口』
時雨煮 ⑬生活→佃煮〔種類〕 →煮物
『時雨の炬燵』 ③音演→『心中天網島』
シクロアルカン ⑮化学 300 C →アルカン〔表ナフサの成分〕 →アルケン →脂環式化合物 →炭化水素 →飽和炭化水素
シクロアルケン ⑮化学 300 C →脂環式化合物
シクロオクタテトラエン ⑮化学 301 A →芳香族炭化水素〔非ベンゼン系芳香族化合物〕 →レッペ反応〔環化重合〕
シクロオレフィン ⇨シクロアルケン
シグロ・デ・オロ〈黄金世紀〉 ③音演→スペイン演劇 →ベーガ,L
シクロノナン ⑮化学→脂環式化合物図
シクロパラフィン ⑮化学→シクロブタン →シクロプロパン →シクロペンタン
シクロパラフィン炭化水素 ⑮化学→パラフィン〔パラフィン炭化水素〕
シクロバルビタール ⑭医学→睡眠〔睡眠剤〈熟眠剤〉〕
シクロフスキー,V ソ連〔1893～〕 批評家。フォルマリズムの批評運動の中心メンバーとして活躍 ①文学 272 C →ロシア・フォルマリズム
シクロブタジエン ⑮化学→芳香族炭化水素〔非ベンゼン系芳香族化合物〕
シクロブタン ⑮化学 301 A図 →脂環式化合物〔製法と反応性〕
シクロブテン ⑮化学→シクロアルケン →シクロブタン
シクロプロパン ⑮化学 301 B →アルケン〔表付加反応〕 →脂環式化合物〔製法と反応性〕
シクロヘキサノール ⑮化学→アルコール〔表物理的性質〕 →シクロヘキサン〔誘導体〕
シクロヘキサノン ⑮化学→ケトン表 →脂環式化合物〔製法と反応性〈シクロヘキサンと誘導体〉〕 →シクロヘキサン〔誘導体〕
シクロヘキサン ⑮化学 301 B図 →アルカン〔表ナフサの成分〕 →脂環式化合物
シクロヘプタノン ⑮化学→ケトン表 →脂環式化合物〔製法と反応性〈シクロヘキサンと誘導体〉〕
シクロペンタジエニル環 ⑮化学→フェロセン
シクロペンタデカノン ⑮化学→ケトン表 →香料〔人造香料〕
シクロペンタノール ⑮化学→アルコール〔表物理的性質〕
シクロペンタノン ⑮化学→ケトン〔製法〕表
シクロペンタン ⑮化学 301 B →脂環式化合物〔製法と反応性〈シクロペンタン環をもつ化合物〉〕
ジクロロエタン〈EDC,二塩化エチレン〉 ⑮化学→エチレン〔図誘導体の生産過程〕 →塩化ビニリデン →塩化ビニル
ジクロロジフェニルトリクロロエタン ⇨DDT
ジクロロベンゼン ⑮化学 301 C
シクンシ〔使君子〕〈カラクチナシ〉 ⑲植物 289 A図
四君子 ②美術→水墨画
地下 ⑤日史 512 C →昇殿 ⑥日史→堂上家
死刑 ⑤日史 512 C図 →下手人 ⑥日史→切腹 ⑪政社→刑罰〔種類〕
私刑〈リンチ〉 ⑪政社 222 D
紙型 ⑰科技→印刷〔囲用語〕図
重井 ⑦日地→因島図
淑景舎 ⑥日史→内裏〔囲殿舎〕
『死刑宣告』 ①文学→構成派 →萩原恭次郎
時系列 ⑫経産 244 A図表 ⑯物数 222 A
時系列分析法 ⑯物数→OR〔需要予測〕
シケイロス,D 〔1896～1974〕 画家。同国四大巨匠の一人。社会主義の闘士・指導者として活躍。壁画運動にとりくむ ②美術 244 B図 →メキシコ美術〔独立以後〕図
地下請〈百姓請〉 ⑤日史 513 A →請所 →荘園〔消滅〕
重兼芳子 ①文学→芥川賞表
刺激 ④哲宗 230 B →感覚 →条件反射 ⑲植物 289 A →感覚 ⑭医学→興奮 →条件反射 ⑳動物→条件反射 →神経
詩劇 ③音演 234 C ①文学→詩〔囲用語〈形式〉〕
刺激閾 ④哲宗→心理学〔囲用語〈閾〉〕 ⑭医学→感覚〔心理学からみた感覚〕
刺激汎化 ④哲宗→心理学〔囲用語〈汎化〉〕
刺激-反応理論〈S-R理論〉 ④哲宗→心理学〔囲用語〕
寺家公園 ⑦日地→大沢野(町)
しげさ節 ③音演→民謡〔表〈島根〉〕
『繁野話』 ①文学→都賀庭鐘 →読本
シケシダ〔湿気羊歯〕 ⑲植物 289 A
地下衆 ⑥日史→室町時代〔社会・経済〈在村武士〉〕
止血 ⑭医学 248 C図 →救急処置図
止血剤 ⑭医学→薬〔種類〈循環器系〉〕 →止血
止血作用 ⑭医学→血液〔血小板〕
脂血症 ⑭医学→血液〔血漿〈脂質〉〕
指月城 ⑥日史→伏見城
止血帯 ⑭医学→応急手当〔外傷〕 →止血
シゲッティ,J 〔1892～1973〕 バイオリニスト。新即物主義とよばれる楽譜に忠実な新しい演奏スタイルを確立 ③音演 234 C
止血点 ⑭医学→応急手当〔外傷〕
止血法 ⑭医学→外科〔歴史〕 →止血
ジケテン ⑮化学→ケテン
滋藤の弓 ⑥日史→弓矢〔弓〕
重富 ⑦日地→姶良(町)
ジケトン ⑮化学→ケトン表
地下人 ⑥日史→凡下
『重の井子別れ』 ③音演→『恋女房染分手綱』図
滋野瑞竜軒 ③音演→講談
滋野貞主 〔785～852〕 平安初期の学者。古今の文書を収集分類して『秘府略』を諸学者と編纂 ①文学 272 C →『文華秀麗集』 ⑤日史 513 A ⑥日史→『秘府略』
重信(町) 愛媛 ⑦日地 539 B
重信川 愛媛 ⑦日地 539 B
重野安繹 〔1827～1910〕 明治の歴史学者。東大史料編纂所の基礎をつくり,史学会を興す ⑤日史 513 A →薩摩国〔囲人国記〕 →史学史〔近代〕
重光葵 〔1887～1957〕 外交官・政治家。外相として太平洋戦争末期の外交交渉や降伏文書調印を行う ⑤日史 513 B →改進党 ⑪政社 223 B図 →極東国際軍事裁判〔表被告人〕
茂山千五郎家 ③音演→狂言〔歴史〕
茂山忠三郎家 ③音演→狂言〔歴史〕
重頼 ⇨松江重頼
シゲラ ⑭医学→赤痢〔赤痢菌〕

我廼家十吾と松竹家庭劇を組織,のち松竹新喜劇を主宰 ⑤日史 530 B ③音演→曾我廼家五郎 →日本演劇〔第二次大戦後から現代まで〈第1期〉〕図

ジブラ フランス ⑫経産→所得分布〔ジブラの法則〕

シブラック フランス ⑰科技→自転車〔歴史〕

シー・プラート タイ[*.] 17世紀に活躍した古典詩人。宮廷に仕え,詩聖と仰がれた ①文学 278 D

ジブラの法則 ⑫経産→所得分布図

ジブラルタル イギリス/イベリア半島 ⑩世地 256 B図 ⑧日地→自由港〈1215 C〉

ジブラーン・ハリール・ジブラーン [1883-1931] レバノン生まれの小説家・画家。教会より破門,国外追放となる ①文学 278 D

しぶり〔渋り〕 ⑭医学 257 B

シブリー,H ⑰科技→モールス,S

シプリペジラム ⑲植物→ラン〔表原種〕

ジプロピルケトン ⑮化学→ケトン〔性質〕

ジプロモチロシン ⑮化学→アミノ酸表

時分割システム ⇨タイムシェアリング・システム

四分儀 ⑱宇地→天体観測〔肉眼〕

自噴採取 ⑰科技→採油〔生産〈生産法〉〕

自噴採油井 ⑰科技→油井

自噴水 ⑱宇地→地下水〔分類〕図

自噴井 ⑧日地 1215 A ⑰科技→井戸図

自噴泉 ⑱宇地→温泉〔分類〕

四分染色体 ⑳動物→還元分裂

四分統治制 ⑨世史→ディオクレティアヌス,G

『脂粉の顔』 ①文学→宇野千代

『四分律』 ④哲宗→律 →律宗

四分暦 ⑰科技→科学〔歴史〈中国〉〕

ジーベ,A ⑬生活→ダイビング

四平 ⇨スーピン

紙幣 ⑫経産 254 C図 →貨幣I〔流通手段〕 →貨幣II〔種類〕 →貨幣史〔近代〕 ⑥日史→太政官札

シーペイ〈西北〉 中国 ⑩世地 256 C

自閉症 ⑭医学 257 C ④哲宗→精神病〔分裂病〕

紙幣整理政策 ⑥日史→松方財政

『時平の七笑』 ③音演→『菅原伝授手習鑑』

紙幣寮 ⑤日史→印刷局 →キヨソーネ,E

磁壁〈磁区境界〉 ⑯物数→強誘電体 →磁区

標茶(町) 北海道/釧路支庁 ⑦日地 561 B

士別(市) 北海道 ⑦日地 561 B

標津(町) 北海道/根室支庁 ⑦日地 561 B

標津川 北海道 ⑦日地 561 C

標津線 ⑦日地→釧網本線 ⑧日地→根室本線

標津岳 北海道 ⑦日地 561 C

シベット〈霊猫香〉 ⑬生活→香水〔香料の種類〕 ⑭医学→生薬〔麝香〕 ⑮化学→香料〔天然香料〕

シベット ⑳動物→ジャコウネコ

シベニク ユーゴ ⑩世地 256 D

シーベマン,L [1930*] ⑯物数→多様体〔歴史〈ポアンカレの予想〉〕

シベラス ⑲植物 301 B図

シベリア ソ連 ⑩世地 256 D図 →シビル →ソビエト(連邦)〔地方誌〕 →ロシア(連邦共和国) ⑨世史→北アジア

シベリアアイベックス ⑳動物→アイベックス図

シベリア亜区 ⑧日地→ブラキストン線〈1232 A〉

シベリアオオカミ ⑳動物→オオカミ〔種類〕

シベリア開発 ⑫経産→ソ連経済事情〔工業〕 →日ソ貿易

シベリア干渉戦争 ⑤日史→シベリア出兵 ⑥日史→大正時代〔政治・外交〕 ⑪政社→日ソ関係図

シベリア気団 ⑱宇地 297 A →温位 →気団〔日本付近〕

シベリア高気圧 ⑱宇地 297 A →寒冷高気圧 →高気圧〔種類〕図 →ブロッキング高気圧

シベリア出兵 ⑤日史 530 B図 ⑥日史→大正時代〔政治・外交〕 →対露非干渉運動 →田中義一 →寺内正毅内閣 →尼港事件 →原敬内閣 →反戦平和運動

シベリア鉄道 ⑤日史→ウィッテ,S ⑨世史→北アジア〔シベリア〕 ⑩世地→シベリア〔交通〕図 →ソビエト(連邦)〔図生活〕

『シベリアのたび』 ①文学→紀行文学〔西洋〕

シベリアヒナゲシ ⇨アイスランド・ポッピー

『シベリア物語』 ①文学→長谷川四郎

『シベリア物語』 ①文学→マミン=シビリャーク,D

『シベリア旅行記』 ①文学→ミレスク,N

シベリウス,J フィンランド[1865-1957] 作曲家。民族的な素材を西欧風の知的態度で処理 ③音演 240 D図

ジーベル,H ドイツ[1817-1895] 歴史家・政治家。ランケの弟子で『史学雑誌』を創刊。プロイセン下院議員 ⑨世史 267 D

シベルチ(山) ソ連 ⑩世地 257 D

シベルツ(島) ⑩世地→メンタワイ(諸島)

ジベル薔薇色粃糠疹 ⑭医学→皮膚病〔粃糠疹〕

ジベレリン ⑲植物 301 B →休眠 →植物ホルモン →伸長生長 →生長 →発芽 ⑮化学→テルペン〔ジテルペン系化合物〕

『詩篇』 ①文学→聖書 ④哲宗→聖書〔囲〈旧約〉〕

思弁 ④哲宗 241 D

四辺形 ⇨四角形

磁変星 ⑱宇地 297 A図 →恒星〔特異星〕 →天体磁場 →変光星表

支保 ⑰科技 272 C →坑道 →炭鉱

しぼ ⑬生活→絹織物〔デシン〕 →洋装〔囲洋服地〕

子母印 ②美術→印章〔中国〕

司法 ⑤日史→司法制度 ⑪政社→権力分立 →司法権

四方 ⑥日史→衝重

私法 ⑪政社 228 D →公法 →法〔種類〕 ⑫経産→商法〔意義〕 →民法〔意義〕

嗣法 ⑥日史→頂相

『詩法』 ①文学→古典主義 →ボアロー,N

子房 ⑲植物 301 B →花〔図構造〕 →雌しべ

死亡 ⑫経産→人口 →保険〔要件〕 ⑬生活→戸籍〔記載〕 →葬式 →相続 ⑭医学→死 →法医学

脂肪〈脂質〉 ⑮化学 306 C →油〔動植物性油〕 →脂質 →脂肪油 →油脂〔油脂・油・脂肪油〕 ⑳動物 326 B ⑬生活→栄養〔脂質〕 →食肉〔成分〕 ⑭医学→栄養〔人体〕 →肝臓〔脂質代謝〕 →生〔細胞と構成成分〕 ⑲植物→脂質

時法 ⑱宇地→時

時報 ⑱宇地→時〔無線報時と協定世界時〕

子房下位花 ⑲植物→子房

司法解剖 ⑭医学→解剖〔法医解剖〕

死亡確認 ⑭医学→医師〔業務〕

脂肪過多症 ⑭医学→標準体重〔ふとりすぎ〕

司法権 ⑪政社 229 B →憲法〔諸外国〕 →裁判所

司法研修所 ⑪政社→法学〔法学教育〕

子法国 ⑪政社→法〔歴史〕

司法国家主義 ⑪政社→権力分立〔司法〕

脂肪酸 ⑮化学 306 C →カルボン酸 →脂質 →ヨウ素価 ⑬生活→栄養〔脂質〕 →牛乳〔組成〕 ⑭医学→肝臓〔脂質代謝〕 ⑲植物→脂質

四ホウ酸ナトリウム ⑮化学→ホウ砂

司法試験管理委員会 ⑪政社→委員会〔行政委員会〈国〉〕 →行政組織〔表国〕

襲芳舎 ⑥日史→内裏〔囲殿舎〕

脂肪種子 ⑲植物→種子

司法省 ⑤日史 530 C →裁判所 →司法制度

子房上位花 ⑲植物→子房

私法人 ⑪政社→法人〔種類〕 ⑫経産→法人〔種類〕

死亡診断書〈死亡証明〉 ⑬生活→葬式〔法律手続〕 ⑭医学→医師〔業務〕 →死〔死後の措置〕 →診断書

死亡税 ⑫経産→荘園《ヨーロッパ》〈286 B〉

司法制度 ⑤日史 530 C →裁判所

四方僧 ④哲宗→僧〔原始仏教〕

脂肪族アミノ酸 ⑮化学→アミノ酸表

脂肪族アミン ⑮化学→アミン

脂肪族不飽和炭化水素 ⑮化学→アルキン

四方竹弓 ⑥日史→弓矢〔弓〕

柴生田稔 [1904] 歌人。茂吉に師事,知性的な新鮮な叙情が特色 ①文学 279 A

シホウチク〔四方竹〕 ⇨シカクダケ

子房中位花 ⑲植物→子房

死亡通知 ⑬生活→葬式

刺胞毒 ⑳動物→クラゲ〔生態〕

死亡届 ⑬生活→葬式〔法律手続〈死亡診断書〉〕 ⑭医学→死〔死後の措置〕

脂肪肉腫 ⑭医学→癌〔形状〈組織像〉〕

『脂肪の塊』 ①文学→モーパッサン,G

四方拝 ⑤日史 531 A

市法売買 ⑤日史 531 A

四方原 ⑦日地→海南(町)

死亡表〈生命表〉 ⑭医学→平均寿命

脂肪分解酵素 ⑭医学→膵臓〔膵液〕

脂肪変性 ⑭医学→変性

死亡保険 ⑫経産→生命保険〔種類〕

脂肪油 ⑮化学 306 C →油〔動植物性油〕 →脂肪 →油脂

『至宝要録』 ⑰科技→鉱山〔歴史〈日本〉〕

寺法離縁 ④哲宗→東慶寺 ⑤日史→縁切寺〔離縁の形式〕

死亡率 ⑫経産→人口〔日本〕 ⑭医学→死 →平均寿命〔生命表〕

シーボーグ,G アメリカ[1912] 核化学者。超ウラン元素・超重元素の発見研究で著名。ノーベル賞受賞 ⑮化学 307 A図 →アクチノイド元素〔アインスタイニウム〕 ⑰科技→原子力〔歴史〈原子爆弾〉〕

四木三草 ⑤日史 531 B →藍 →麻 →漆 →桑 ⑥日史→茶 →紅花 ⑲植物→コウゾ

子母口貝塚 ⑦日地→川崎(市)〔歴史〕

支保工 ⑰科技→トンネル〔山岳トンネル〕図

絞漆法 ②美術→漆工芸〔製法〕

ジホスフィン ⑮化学→リン〔化合物〈水素化物〉〕

シボ族 ⑩世地→中華人民共和国〔表少数民族〕

新発意 ④哲宗→仏教〔囲用語〕

磁北極〈北磁極〉 ⑱宇地→磁極図

シホテアリニ(山脈) ソ連 ⑩世地 257 D

『しぼまぬ花』 ①文学→馬加

絞 ②美術 252 B図 →染色〔模様染めの技法〈圧力による防染〉〕 ⑬生活→和服〔囲和服地〈染物〉〕

絞り ⑯物数 230 B図 ⑰科技→カメラ〔機能〕

絞り加工 ⑰科技→プレス加工

絞染 ②美術→纐纈 ⑬生活→染物

絞り弁 ⑰科技→弁

シーボルト,P ドイツ[1796-1866] 医師・博物学者。江戸後期に来日,鳴滝塾を開き蘭学者を育成。帰国後日本に関する著述に専念 ⑤日史 531 B図 →江戸図 →化政文化〔道中記・浮世絵〕 ⑲植物 301 C図 ⑳動物 326 C図 →動物学〔日本〕 ⑥日史→鳴滝塾 →蘭学

シーボルトコギセル ⑳動物→キセルガイ図

シーボルト事件 ⑤日史→シーボルト,P ⑥日史→高野長英 →高橋景保 →土生玄碩 →蘭学〔シーボルト〕 ⑱宇地→間宮林蔵

シーボルト台風 ⑱宇地→台風〔文化史〕

シーボルト宅跡 ⑧日地→長崎(市)

シーボルトノキ ⑲植物 302 A →クロウメモドキ図

シーボルトミミズ ⑳動物→ミミズ〔特殊な種類〕

シボレー ⑫経産→ゼネラル・モーターズ

士幌(町) 北海道/十勝支庁 ⑦日地 561 C

志幌加別川 ⑧日地→夕張(市) →夕張川

士幌高原 ⑦日地→士幌(町)

士幌線 ⑧日地→根室本線

資本 ⑫経産 254 D, 256 A図 →株式会社〔特質〕 →金融資本 →再生産過程〔再生産論〕 →産業資本 →資本金 →不変資本・可変資本 →マルクス経済学〔流通過程〕 →利子I〔概念〕 →利子付き資本〔概念〕

資本移動 ⑫経産→国際投資

資本援助 ⑫経産→経済協力

資本家 ⑫経産→資本主義〔定義〕 →労働力商品

『資本家』 ①文学→ドライサー,T

資本家階級 ⑫経産 256 D →階級 →階級闘争

資本価値 ⑫経産→費用価格

資本家的借地大経営 ⑫経産→農業革命〔イギリス〕

資本勘定 ⑫経産→国際収支 →簿記〔複式簿記〕

資本金 ⑫経産 257 A

資本グループ ⑫経産→コンビナート

資本係数 ⑫経産 257 A

資本形成 ⑫経産→投資

資本構造計画〈資本調達計画〉 ⑫経産→株式〔囲用語〕 →財務管理〔財務計画〕

資本コスト ⑫経産→株式〔囲用語〕

資本財 ⑫経産→資本II →物価

資本市場 ⑫経産→国際投資〈200 C〉

資本収支 ⑫経産→国民経済計算〔対外取引〕

資本集約度〈資本装備率〉 ⑫経産 257 B →生産性

資本集約農業 ⑧日地→集約農業〈1215 D〉

資本主義 ⑨世史 267 D →産業革命〔政治的変革と自由主義の実現〕 ⑪政社 230 A →国家資本主義 →独占資本主義 ⑫経産 257 C →アメリカ経済事情〔資本主義〕 →イギリス経済事情〔資本主義の発達〈芽ばえ〉〕 →移行論争 →機械制大工業 →ケインズ革命 →構造改革論 →社会主義革命 →修正資本主義 →帝国主義 →独立自営農民〔特徴〕 →奴隷貿易 →日本資本主義論争 ④哲宗→マルクス,K ⑤日史→近代社会〔資本主義の発展〕 →原始的蓄積 →工業 →産業資本 ⑥日史→大恐慌 →独占資本主義 →マニュファクチュア

資本主義起源論争 ⑫経産→歴史学派

シュタール，G　ドイツ[1660-1734]　医学者・化学者。燃焼の現象をフロギストンの放出によるとした　⑮化学 319 B図　→フロギストン説　⑯物数→熱〔熱の物質説と運動説〕
シュタルク，J　ドイツ[1874-1957]　物理学者。分光学での業績が著名。ノーベル賞受賞　⑯物数 247 C
シュタルク効果　⑯物数 248 A　→シュタルク，J
手段　④哲宗→目的
手談　⑬生活→囲碁〔囲故事〕
朱丹渓　中国　⑭医学→医学〔東洋医学の歴史〕
ジュチ〔朮赤〕　[1177*-1227*]　キプチャク・ハン国の始祖。チンギス・ハンの長子。オルダ，バトゥらの父　⑨世史 285 B　→キプチャク・ハン国
シュチェチン　⇨シチェチン
主知主義　④哲宗 265 C　→主意主義
酒池肉林　⑨世史→紂(ちゅう)
酒中花　⑲植物→ツバキ別
腫脹(しゅちょう)　⑭医学→炎症
豎刁　中国　⑨世史→宦官(かんがん)〔中国〕
首長制　⑪政社→地方公共団体〔機関〕
主調整室　⑰科技→テレビジョン〔テレビ放送局〈主調整設備〉〕　→ラジオ〔ラジオ局〕
首長令　⑨世史 285 B　→イギリス国教会　④哲宗→イギリス国教会　→キリスト教〔宗教改革〕　→宗教改革〔経過〈イギリス〉〕　→ヘンリー（八世）
朮(じゅつ)　⑭医学→生薬(しょうやく)
出液　⑲植物 311 A　→蒸散
出エジプト　④哲宗→聖書〔旧約聖書〈イスラエル〉〕　⑨世史→モーゼ　→ユダヤ人〔歴史〕
『出エジプト記』　④哲宗→聖書〔囲〈旧約〉〕　→モーセ
出芽　⑲植物 311 B　→栄養生殖　→生殖〔無性生殖〕　⑳動物→生殖〔無性生殖〕　→無性生殖
出火　⑬生活→火災
出棺　⑬生活→葬式〔出棺と埋葬〕
十干十二支　⇨十干十二支(じっかんじゅうにし)
恤救規則(じゅっきゅうきそく)　⑤日史→社会保障制度
出家　④哲宗→僧〔原始仏教〕
縮景庭園　⑲植物→庭〔歴史と様式〕
出家狂言　③音演→狂言〔本狂言の分類〕
『出家大綱』　④哲宗→栄西　⑤日史→栄西(えいさい)
出血　⑭医学 266 D　→癌〔造血器の癌〈白血病〉〔症状〕　→肝臓〔肝臓疾患〈消化管出血〉〕　→救急処置〔大出血〕　→下血　→血液〔血友病〕　→血友病　→止血　→紫斑病　→吐血　→鼻血
出血性ショック　⑭医学→出血〔失血〕
出血性痘瘡〈紫斑性痘瘡〉　⑭医学→痘瘡〔症状〕
出血性貧血〈失血性貧血〉　⑭医学→貧血
『出家とその弟子』　①文学→倉田百三(ひゃくぞう)　③音演→倉田百三
出国手続　⑬生活→海外旅行〔出入国〕
述語変数　⑯物数→記号論理学〔基本的な記号〈限定記号〉〕
述語論理　④哲宗→関係　→フレーゲ，G　→プロトコル命題　→論理学〔現代論理学〕　⑯物数→記号論理学〔基本的な記号〈限定記号〉〕　→条件　→命題〔論理記号〕
シュッコンカスミソウ　⑲植物→カスミソウ
宿根草　⑲植物 311 B表　→草　→多年生植物
出産〈産，分娩〉　⑭医学 268 A図　→骨盤〔骨盤計測〕　→産後　→産婦人科　→助産婦　→早産　→妊娠　→脳性小児麻痺〔原因〕　→母子健康手帳　→未熟児　⑤日史→産　⑬生活→祝い事〔出産と育児〕　⑳動物→妊娠
出資者　⑫経産→会社
出資者資本　⑫経産→資本金
出資証券　⑫経産→有価証券〔種類〕
出釈迦寺　⑦日地→四国地方〔別四国八十八か所〕
十種競技　⇨十種競技(じっしゅきょうぎ)
出生　⑫経産→人口　⑬生活→戸籍〔記載〕
『出定後語』　④哲宗→富永仲基(なかもと)　⑥日史→富永仲基
出生証明書　⑭医学→医師〔業務〕　→診断書
出生地主義〈属地主義〉　⑪政社→国籍
出生届　⑬生活→祝い事〔出産と育児〈お七夜〉〕
出生率　⑫経産→人口〔日本〕
『出蜀記』〈呉船録〉　①文学→紀行文学
出陣式　⑤日史→軍礼
十進法　⇨十進法(じっしんほう)
出世魚　⑳動物 334 C　→スズキ　→ブリ〔呼び名〕　→ボラ
『出世景清』　③音演 259 B　→浄瑠璃〔義太夫節〕　→竹本義太夫　→近松門左衛門　①文学→近松門左衛門　⑥日史→平景清　→近松門左衛門

ジュッセルドルフ　西ドイツ　⑩世地 265 C図
出銑　⑰科技→鉄鋼〔製鉄〕図
出走登録　⑬生活→競馬〔競走の種類〕
出張ケース　⑰科技→印刷〔囲用語〕
シュッツ，H　ドイツ[1585-1672]　初期バロックの作曲家。三大Sの一人。プロテスタント教会音楽に名作を残す　③音演 259 C　→オラトリオ　→受難曲
シュツットガルト　西ドイツ　⑩世地 265 C
出梅　⑱宇地→梅雨(ばいう)〔入梅と梅雨あけ〕
『出発』　①文学→シュタドラー，E
出発信号機　⑰科技→鉄道信号〔信号機〕図
『出発は遂に訪れず』　①文学→島尾敏雄
出版　⑪政社 268 A表
出版業　⑫経産 281 D表　→新聞業〔経営〕
出版条例　⑤日史 556 B　⑪政社→検閲
出版法　⑤日史 556 B
出力装置　⑫経産→電子計算機〔構成要素〕　⑯物数→電子計算機〔構成〕図
出力端子　⑯物数→回路
出力抵抗　⑯物数→回路
許地山(シュディシャン)　⇨許地山(きょちさん)
ジュディス台風　⑱宇地→気象〔表災害年表〕
シュティッテン　⇨シチェチン
シュティフター，A　オーストリア[1805-1868]　小説家。ゲーテ時代の理想主義を継承発展させ，19世紀の同国文学を代表する存在　作『晩夏』　①文学 290 D図
シュティルナー，M　ドイツ[1806-1856]　哲学者。あだ名を筆名にしたという。『唯一者とその所有』で一躍人々の注目と非難の的となる　④哲宗 265 C　→独我論　⑪政社→アナキズム〔潮流〕図
シュティレ，H　ドイツ[1876-1966]　構造地質学者。造陸運動と造山運動を初めて明確に区別　⑱宇地 303 B
シュティンネス，H　ドイツ[1870-1924]　企業家。第一次大戦中から戦後にかけ大コンツェルンを構築。政界の黒幕　⑨世史 285 B
シュテークミュラー，W　ドイツ[1923]　科学哲学者。カルナップの影響を強く受けた一人とされる　④哲宗 265 D
ジュデッカ（運河）　⑩世地→ベネチア図
ジュデット　⑳動物→ヒツジ〔民俗〕
シュテファン，J　[1835-1893]　⑯物数→ウィーンの変位則　→黒体　→物理学〔歴史〈近代〉〕
シュテファン-ボルツマンの法則　⑯物数→熱放射　→ボルツマン，L
シュテム　⑬生活→スキー〔囲用語〕
シュテムクリスチャニア　⑬生活→スキー〔技術〈基本技術〉〕図
シュテム系グラスウェア　⑬生活→カクテル〔グラス〕
シュテムボーゲン　⑬生活→スキー〔技術〈基本〉〕
ジューテリウム　⇨重水素
シュテリチ　①文学→東欧文学〔アルバニア〕
シュテール，H　ドイツ[1864-1940]　小説家。老荘思想と仏教に傾倒，東洋的世界観による人間救済を企図　①文学 291 A
シュテルマー，C　ノルウェー[1874-1957]　数学者・物理学者。宇宙空間研究の先がけとなる理論的研究に貢献　⑱宇地 303 B
シュテルン，O　[1888-1969]　⑯物数→マクスウェル-ボルツマン分布　→量子論〔粒子と波動〕
シュテルン，W　ドイツ[1871-1938]　⑭医学→知能検査〔検査結果の評価〕
シュテルンハイム，C　ドイツ[1878-1942]　劇作家。電文体と称される簡潔な文体で理想主義の作家に影響を与える　①文学 291 A　③音演→ドイツ演劇〔歴史〕
ジューテロン　⇨重陽子
主点　⑯物数→レンズ図
シュテンダル　東ドイツ　⑩世地 265 D
主殿造　⑤日史 556 B　②美術→書院造　⑬生活→住まい〔変遷〈寝殿造〉〕
『しゅてん童子』　①文学→御伽草子(おとぎぞうし)
酒呑童子(しゅてんどうじ)　④哲宗→鬼　⑥日史→源頼光
首都〈国都〉　⑧日地 1216 A　→政治都市〈1219 D〉　⑪政社 269 B
衆徒　⑥日史→常衆
シュート，N　イギリス[1899-1960]　小説家。飛行機製造会社を経営，その知識を生かして創作　作『渚にて』　①文学 291 B
シュート　⑩世地→アシュート
ジュート　⇨コウマ
シュトイベン，F　アメリカ[1730-1794]　軍人。初めプロイセンの軍人。渡米してアメリカ独立軍の編成に尽力　⑨世史 285 B

手套　⇨手袋
朱耷(しゅとう)　中国[1626-1705]　清代の画家。山水・花鳥・魚などを簡潔な線描で禅画に近い画法で描いた　②美術 271 D図
酒盗　⑬生活→塩辛〔種類〕
種痘　⑭医学 274 A図　→感染症〔表〈ウイルス性〉〕　→痘瘡〔予防〕　⑤日史→医学史図　⑳動物→ウシ〔用途〕
呪禱　①文学→沖縄文学
受動　④哲宗→デカルト，R〔情念論〕　→能動
樹洞　⑳動物→巣
種痘後脳炎　⑭医学→種痘〔経過〕
種痘所　⑤日史 556 C　→医学所　→伊東玄朴
手動信号機　⑰科技→鉄道信号〔信号機〈操作上の分類〉〕
シュトゥック，F　ドイツ[1863-1928]　画家・版画家。神話に取材した寓意画や宗教画，肖像画を描いた　②美術 271 D
シュトゥットガルト　⇨シュツットガルト
シュトゥットガルト・バレエ団　③音演→バレエ〔20世紀〕
受動的市民　⑨世史→サン・キュロット
受動的ニヒリズム　④哲宗→ニーチェ，F〔囲基本概念〈能動的ニヒリズム〉〕
手動平圧印刷機　⑫経産→印刷業
受動免疫〈受身免疫〉　⑭医学→免疫
受動理性〈パテーティコス・ヌース〉　④哲宗→アリストテレス〔囲基本概念〈能動理性〉〕
朱徳(チューター)　中国[1886-1976]　軍人。人民解放軍「建軍の父」といわれる。文革中批判を浴びたが，その後地位を回復　⑨世史 285 C図　→八路軍　⑪政社 269 C図　→中国政治事情　⑥日史→八路軍
取得原価主義　⑫経産→会計〔囲用語〕
取得時効　⑪政社→時効〔私法上〕
首都圏　⑦日地 576 C　⑧日地 1216 A　→日本〔行政区分〕
首都圏整備委員会　⑪政社→委員会〔行政委員会〈国〉〕　→行政組織〔表国〕
首都圏整備法　⑦日地→首都圏　⑪政社→地方公共団体〔問題点〕
首都高速道路　⑰科技→道路〔高速道路〕図
首都高速道路公団　⑫経産→公団
ジュート人　⑨世史→アングロ・サクソン　→民族大移動〔経過〕　⑩世地→イギリス（連合王国）〔社会・文化〈人種〉〕
シュトス，V　[1445*-1533*]　彫刻家。ドイツ後期ゴシックを代表し，木彫に優れた　②美術 271 D
シュトック　⑬生活→オリンピック〔表優勝者・男子陸上〈槍投げ〉〕
シュトックハウゼン，K　ドイツ[1928]　作曲家。「モメント形式」なる構成原理を打ち出した　③音演 259 C　→現代音楽〔第二次大戦後〈偶然性の音楽・トーンクラスター〉〕　→電子音楽
ジュ・ド・ポム　⇨印象派美術館
シュートボール　⑬生活→野球〔囲用語〕図
シュードラ　⑨世史→カースト〔歴史〕　→バラモン教　⑫経産→カースト
シュトライヒャー　⑨世史→ニュルンベルク国際軍事裁判図　⑪政社→国際軍事裁判表
シュトラウス，D　ドイツ[1808-1874]　哲学者・プロテスタント神学者。『イエス伝』を発表し，彼の投じた一石がヘーゲル学派を分裂させた　④哲宗 265 D　→キリスト教〔近代〕　→ヘーゲル学派
シュトラウス，E　ドイツ[1866-1960]　小説家。音楽性に富む作品で知られ，戯曲もある　①文学 291 B
シュトラウス，J．B　オーストリア[1804-1849]　作曲家・指揮者・バイオリニスト。「ワルツの父」とよばれ，ウィンナ・ワルツの形式を確立　③音演 259 D図
シュトラウス，J　オーストリア[1825-1899]　作曲家・指揮者。J．B．シュトラウスの長男。「ワルツの王」とよばれ，演奏会ワルツを生み出す　作『美しく青きドナウ』『皇帝円舞曲』　③音演 260 A図　→オペラ〔種類と国民的様式〈オペレッタ〉〕
シュトラウス，R　ドイツ[1864-1949]　作曲家・指揮者。ドイツ後期ロマン派の最後を代表する。ウィーンの各歌劇場で活躍　③音演 261 C図　→指揮〔歴史〕
シュードラカ　インド[*．]　3世紀ごろ活躍の劇作家。100歳まで生きた学徳円満の王と伝えらる　①文学 291 B　→インド・パキスタン文学〔中古〕
シュトラスブルガー，E　ドイツ[1844-1912]　植物学者。細胞学・発生学に貢献，核の中に遺伝に関係する物質があると予言　⑲植物 311 C　→細胞〔細胞学〕
シュトラスブルク　⇨ストラスブール

シュトラスブルクの誓約 ⑨世史→フランク王国〔分裂〕 →ベルダン条約
シュトラスマン, F ドイツ[1902] 化学者。ウランの核分裂を発見, 人工放射性同位元素の研究もある ⑮化学 320 A ⑯物数 248 A図 →原子力〔核分裂〕 ⑰科技→原子力〔歴史〈原子爆弾〉〕
シュトラッサー, G ドイツ[1892 1934] 政治家。ヒトラーが獄中にあった当時党を指導, のちレーム事件のさいに暗殺 ⑨世史 285 C
シュトラルズント 東ドイツ ⑩世地 265 D
シュトラールズントの和約 ⑨世史→ハンザ同盟
シュトリヒ, F スイス ①文学→バロック文学 →文学史
シュトルーベ, F ロシア[1793 1864] 天文学者。ドイツ生まれ。プルコワ天文台設立に努力, 初代台長となる ⑱宇地 303 B
シュトルム, J ドイツ[1635 1703] ⑰科技→写真〔技術の歴史〈カメラ・オブスクラ〉〕
シュトルム, T ドイツ[1817 1888] 詩人・小説家。弁護士から判事, 知事をつとめ, 辞職後は著作に専念 作『みずうみ』 ①文学 291 B図
シュトルム・ウント・ドラング〈疾風怒濤〉 ①文学 291 D →ゲーテ, J〔若きゲーテ〕 →シラー, F →ミュラー, F →ロマン主義〈720 B〉 ③音演→ゲーテ, J →シラー, F →ドイツ演劇〔歴史〕 ⑨世史→ドイツ〔文化史上の特徴〕
『シュトルム・ウント・ドラング』〈疾風怒濤〉 ①文学→クリンガー, F →ドイツ文学〔古典主義〕
シュトレーゼマン, G ドイツ[1878 1929] 政治家。第一次大戦後, 首相兼外相としてドイツ再建にあたる。ノーベル賞受賞 ⑨世史 285 D →ワイマール共和国〔安定期〕 ⑪政社 270 A図
シュトロハイム, E アメリカ[1885 1957] 映画監督・俳優。自然主義的な細部描写のリアリズムで知られる ③音演 262 B図 →映画〔無声映画〈第3期〉〕
シュトロマイヤー, F ドイツ[1776 1835] 化学者。酸化亜鉛の中から新元素カドミウムを発見 ⑮化学 320 B図 →カドミウム ⑰科技→カドミウム
修内司窯 ②美術→官窯
シュナイダー, C ドイツ[1614 1680] ⑭医学→鼻〔解剖〈鼻粘膜〉〕
シュナイダー, E 西ドイツ[1900 1970] 現代同国の代表的な経済学者。近代経済学の一連の入門書は名高い ⑫経産 282 B図
シュナイダー, H オーストリア ⑬生活→スキー〔発展〕
シュナイダー, K ⑧日地→円錐火山〈1200 C〉 →火山〈1203 D〉 →臼状火山(きゅうじょう)〈1207 B〉 ⑱宇地→円錐火山 →臼状火山 →楯状火山 →溶岩台地
シュナイダー, R ドイツ[1903 1958] 小説家。ナチスに抵抗, 発禁処分を受けるが, 西欧史を権力と精神の対決としてとらえた歴史小説を残す ①文学 292 A
シュナイダー(兄弟) フランス ⑫経産→シュナイダー
シュナイダー ⑫経産 282 C ⑨世史→シュネーデル・クルーゾー
シュナイダープロペラ ⑰科技 295 C図 →タグボート →船〔汽船の時代〈推進機〉〕
『主なき槌』 ③音演→現代音楽〔第二次大戦後〈ミュジック・セリエル〉〕
シュナーベル, A オーストリア[1882 1951] ピアニスト・作曲家。ベートーベン, シューベルト, ブラームスを得意とした ③音演 262 C
シュナーベル, J ドイツ[1692 1752] 小説家。長編『岩屋島』はロビンソン物語群では同国でもっとも傑出 ①文学 292 A
受難 ④哲宗→イエス・キリスト →キリスト教〔囲用語〕
『受難』 ③音演→ベルイマン, I
受難曲 ③音演 262 C
受難劇〈パッション劇〉 ③音演→宗教劇 →フランス演劇〔中世〈宗教劇〉〕 ④哲宗→キリスト教〔囲用語〈受難〉〕
受難週〈聖週間〉 ④哲宗→キリスト教〔表教会暦〕
『受難の原義』 ③音演→宗教劇
『受難の聖史劇』 ③音演→フランス演劇〔中世〈宗教劇〉〕
受難日〈聖金曜日〉 ④哲宗→キリスト教〔表教会暦〕
ジュニア・ウェルター級 ⑬生活→ボクシング〔表階級〕
ジュニア・フェザー級 ⑬生活→ボクシング〔表階級〕 「→レスリング〔表階級〕
ジュニア・フライ級 ⑬生活→ボクシング〔表階級〕
ジュニア・ボード・システム〈青年重役会制度〉 ⑫経産→経営参加〔経営管理機関〕
ジュニア・ミドル級 ⑬生活→ボクシング〔表階級〕
ジュニア・ライト級 ⑬生活→ボクシング〔表階級〕
シュニアルドビー(湖) ⇨シニヤルドバ(湖)
修二会(しゅにえ) ④哲宗→東大寺 →法会(ほうえ)〔おもな法会〕
受肉 ④哲宗→キリスト教〔囲用語〕
シュニッツラー, A オーストリア[1862 1931] 劇作家・小説家。ウィーン文壇で活躍。心理的リアリズムともいう作風で多くの邦訳がある 作『恋愛三昧』 ①文学 292 A図 →印象主義 ③音演 262 D図 →ドイツ演劇〔歴史〕
授乳 ⑭医学→乳児〔1〜2か月〕
受任命令〈委任命令〉 ⑪政社→委任立法
ジュネ, J フランス[1910] 詩人・劇作家・小説家。特異な体験をオリジナルなドラマに仕立てた前衛劇の代表的存在 作『泥棒日記』 ①文学 292 C図 →堀口大学 ③音演 263 A図
シュネーデル, G フランス[1896] 画家。パリ抽象画壇の中心的存在。古画修復で生活の糧を得る ②美術 272 A
シュネーデル・クルーゾー ⑨世史 285 D ⇨シュナイダー
ジュネーブ スイス ⑩世地 265 D図 ⑨世史→カルバン, J →国際連盟〔機構〕
ジュネーブ(湖) ⇨レマン(湖)
ジュネーブ会議 ⑨世史 285 D →ベトナム戦争 ⑪政社→インドシナ戦争〔第1次〕 →インドシナ問題〔ラオス・カンボジア問題〕 →朝鮮戦争〔戦況〕 「陸棚条約 →領海
ジュネーブ海洋法会議 ⑪政社→海洋法条約 →大
ジュネーブ議定書 ⑪政社→侵略
ジュネーブ協定 ⑪政社 270 A図 →インドシナ戦争〔第1次〕 →フランス政治事情〔議会制民主主義の衰退〕 ⑨世史→ベトナム戦争〔経過〕
ジュネーブ軍縮会議 ⑤日史 556 C ⑨世史 286 A
ジュネーブ条約 ⑪政社 270 C →赤十字〔活動と意義〕 →戦時国際法 →捕虜 →利益代表国
ジュネーブ植物園 ⑲植物→植物園表
ジュノー アメリカ/アラスカ ⑩世地 266 A
ジュノー ⑱宇地 303 B →小惑星〔発見史〕
主の祈り ④哲宗→祈り〔諸相〕 →教理問答 →キリスト教〔囲用語〕
首脳外交〈頂上外交〉 ⑪政社→外交〔新しいタイプ〕
『種の起原』 ④哲宗→ダーウィン, C ⑲植物→進化 →ダーウィン, C ⑳動物→ダーウィン, C 図
シュノーケル ⑬生活→ダイビング〔スキューバダイビング〕図
『ジュノーと孔雀』 ①文学→オケーシー, S ③音演→オケーシー, S
種の論理 ④哲宗→田辺元(はじめ) ⑥日史→田辺元
シュノンソー城 ⑩世地→ロアール(川)図
ジュバ(川) エチオピア/ソマリア ⑩世地 266 A
ジュバ ⑬生活→民族衣装〔民族衣装圏〕
手背 ⑭医学→手図
数牌(シューパイ) ⑬生活→麻雀(マージャン)〔牌の種類〕図
シュパイエル国会 ⑨世史 286 A
シュバイツァー, A フランス[1875 1965] プロテスタント神学者・哲学者・音楽家・医師。アフリカで奉仕生活を送る。ノーベル平和賞受賞 ①文学 292 D ③音演 263 B ④哲宗 265 D →終末論〔新約〕 ⑨世史→シュワイツァー, A ⑩世地→ランバレネ
シュバシキンセイ〈アカハシキンセイ〉 ⑳動物→キンセイチョウ
シュバシコウ〔朱嘴鸛〕〈アカハシコウ〉 ⑳動物 334 C →コウノトリ図 →国鳥表 →ディスプレー図
シュハート, W ⑫経産→品質管理 ⑯物数→品質管理
『ジュハ物語』 ①文学→『ナスレッティン・ホジャ物語』
シュバリエ, M [1888 1972] ③音演→シャンソン《ポピュラー》〔特徴〕図
シュバリエ ⑨世史→騎士 →爵位〔西洋〕
シュバルツシルド ⇨シュワルツシルト, K
シューバルト, C ドイツ[1739 1791] シュトルム・ウント・ドラングの詩人。鋭い社会批判を行った ①文学 293 A
シュバロフ ロシア ⑨世史→ベルリン会議図
シュパン, O オーストリア[1878 1947] 社会学者。個人主義的社会観に反対する普遍主義社会論とよばれる理論を提唱 ⑪政社 271 A図
じゅばん ⑬生活→下着〔日本〕図 →半衿 →礼服〔表和服礼装〕
じゅばん衿 ⑬生活→衿〔和服〕図
ジュパンチッチ, O ユーゴ[1878 1949] 詩人。西欧諸国を放浪, 国立劇場の支配人となる ①文学 293 A
種皮 ⑲植物→種子
珠皮 ⑲植物→胚珠
樹皮 ⑲植物 311 C図
朱引地 ⑧日地→東京(都)
ジュピター ⇨ゼウス
ジュピター ⇨木星
ジュピター ⑱宇地→ロケット〔歴史〈第2次大戦後〉〕図
『ジュピター交響曲』 ③音演→モーツァルト, W
執筆(しゅひつ) ①文学→連歌〔形態〕
シュピッタース, K ②美術→ドイツ美術〔20世紀〕
シュピッツァー, L オーストリア[1887 1960] ロマンス語文献学者・文体論研究家。クローチェ, フォスラーの系統に立つ言語美学研究家 ①文学 293 A →文体論
シュピッテラー, C スイス[1845 1924] 詩人。プロメテウス, アポロンなど英雄賛美の神話叙事詩をうたう。ノーベル賞受賞 ①文学 293 A ⑩世地→スイス(連邦)〔社会・文化〕
シュピートホフ, A ドイツ[1873 1957] 経済学者。シュモラーの弟子で, 景気変動に関する近代的理論家 ⑫経産 282 C図 →景気変動理論
シュピノウィシチェ ⇨シウィノウイシチェ
樹氷 ⑱宇地 303 C →霧氷図 ⑦日地→蔵王山図
シュピーリ, J ⑩世地→スイス(連邦)〔社会・文化〕
シュピールハーゲン, F ドイツ[1829 1911] 小説家。ビスマルク統治下に自由主義的立場の時代批評的作品を書く ①文学 293 A
シュピルリウマシュ ⑨世史→ヒッタイト〔歴史〕 →ミタンニ
シュービン [1740 1805] ②美術→ロシア美術〔18世紀〕
シュビント, M ドイツ[1804 1871] 画家。ロマン主義文学の挿絵で名をなし, 童話風の油絵を描いた ②美術 272 A →ロマン主義
首府 ⇨首都
ジューブ, P フランス[1887 1976] カトリック詩人。精神分析学の影響を受け, 性を扱って独自の領域をみいだす ①文学 293 B →レジスタンス文学
シュブ・アド(女王) ⑨世史→ウル〔王墓の発掘〕
首服 ⇨元服(げんぷく)
寿福寺 ⑤日史 556 C →栄西(えいさい) ④哲宗→五山 ⑦日地→鎌倉(市)〔囲神社・仏閣〕図
主婦権 ⑪政社→家族〔内面構造〕
儒仏一致 ④哲宗→朱子学〔日本朱子学〕
呪物崇拝 ⇨フェティシズム
主部分空間 ⑯物数→固有値〔線形変換の標準形〕
シュプランガー, B [1546 1611] ネーデルランドの画家。ローマおよびプラハの教会にフレスコ画や祭壇画を描いた ②美術 272 A
シュプランガー, E ドイツ[1882 1963] 哲学者・教育学者。西南ドイツ学派とディルタイの影響を受ける ④哲宗 266 A →教育〔諸理論〕 ⑯物数→数学教育〔歴史〈形式化時代〉〕
シュプール ⑬生活→スキー〔囲用語〕
シュブルール, M フランス[1786 1889] 化学者。動物脂肪を研究, 油脂化学の近代的研究の基礎をつくる ⑮化学 320 C →油脂〔油脂化学〕
シュプレッヒコール ③音演 263 C
シュプレマティスム ②美術 272 B →現代美術〔欧米〈近代美術から現代美術までの流れ〉〕 →構成主義 →抽象主義 →ロシア美術〔初期ソビエト美術〕
シュプレンゲル, C ドイツ[1750 1816] 植物学者。植物の性について研究, 昆虫と受粉の関係を明らかにした ⑲植物 312 A
主婦連合会〈主婦連〉 ⑥日史→婦人運動〔戦後〕 ⑫経産→国際消費者機構 →消費者運動 →消費者団体 ⑬生活→消費者運動〔沿革〕
ジュブロブニク ユーゴ ⑩世地 266 B →ユーゴスラビア(社会主義連邦共和国)
『シュ・ブーン』 ③音演→ロック・ミュージック〔ロックン・ロール〕
受粉 ⑲植物 312 A図 →交配 →自家不和合性 →人工受粉 →水媒花 →虫媒花 →花
シュブンキン ⑳動物→キンギョ〔品種〕図
『朱文公文集』 ①文学→朱子
シュベ [1804 1864] ③音演→略譜
ジューベ, L フランス[1887 1951] 俳優・演出家。ビュー・コロンビエ座の創立に参加。ジロドゥーらの新作を

南アジア〔歴史〈シャイレーンドラ王国〉〕
シュリーファー, J　アメリカ[1931]　⑯物数→超伝導〔磁石を浮かせる力〕
シュリーフェン, A　ドイツ[1833-1913]　⑨世史→シュリーフェン・プラン
シュリーフェン・プラン　⑨世史 288 A　⑪政社→第一次世界大戦〔発生と拡大〕
シュリーブポート　アメリカ/ルイジアナ　⑩世地 266 C
シュリ・プリュドム　フランス[1839-1907]　詩人。高踏派的傾向の作詩でデビュー,のちその造形的理想を超越。第1回ノーベル文学賞受賞　①文学 293 D　→高踏派
シュリーマン, H　ドイツ[1822-1890]　考古学者。実業家として成功し,その富力で少年時代からのトロヤ発掘の夢を実現　⑨世史 288 B　→エーゲ文明〔発見〕　→オルコメノス　→ティリンス　→トロヤ　⑩世地→アテネ〔国立考古学博物館〕
シュリー・ヤジュニャ・シャータカルニ　⑨世史→サータバーハナ朝
腫瘤〈しこり〉　⑭医学→癌〔症状〕　→ポリープ
シュリューター, A　ドイツ[1664*-1714]　彫刻家・建築家。バロック様式の代表的存在。野外における騎士立像がある　②美術 272 C　⑨世史→フリードリヒ(一世)《プロイセン》
狩猟　⑤日史 557 A図　⑬生活 264 B図表　⑫経産→畜産〔起源〕　⑳動物→タカ〔囲鷹狩り〕
狩猟業　⑧日地→第一次産業〈1221 C〉
狩猟禁止区域　⑬生活→狩猟〔法規〕
狩猟交響曲　③音演→ハイドン, F〔作品〈その他〉〕
首楞厳院しゅりょうごんいん　④哲宗→円仁　⑤日史→延暦寺えんりゃくじ
主量子数　⑮化学→原子スペクトル　→量子数　⑯物数→量子数
狩猟者登録証　⑬生活→狩猟〔手続〈狩猟免許および狩猟地図　⑬生活→狩猟〔心得〈出猟時〉〕　登録〉〕
『狩猟動物の生活』　⑳動物→シートン, E
シュリョウヒョウ〔狩猟豹〕　⇨チーター
狩猟法　⑬生活→狩猟〔法規〕
狩猟免許　⑬生活→狩猟〔手続〕表
酒量抑制薬　⑭医学→薬〔種類〈その他〉〕
『集量論じゅりょう』　④哲宗→ディグナーガ
呪力　④哲宗→マナ
種鱗　⑲植物→果実〈128 A〉　→胚珠
『儒林外史』　①文学→呉敬梓ごけいし　→中国文学〔元・明・清〕　⑨世史→清〔文化〕
ジューリング, R　ドイツ[1866-1950]　気象学者。自由気球に搭乗,高空で科学的観測を行う　⑱宇地 304 A
シュリンケージ法　⑰科技→鉱山〔採掘〈坑内採掘〉〕　→採鉱〔坑内採鉱法〕
シュール(川)　⑩世地→ルクセンブルク(大公国)〔自然・住民〕
シュール　⇨シュルレアリスム
ジュール, J　イギリス[1818-1889]　物理学者。電流の発熱作用に関する法則を発見,熱の仕事当量を実測　⑯物数 248 A図　→ケルビン　→ジュール-トムソン効果　→ジュールの実験〔気体の自由膨張〕　→ジュールの法則〔ジュール熱〕　→内部エネルギー　→熱力学の法則〔熱力学第1法則〕　→物理学〔歴史〈近代〉〕
ジュール〔J〕　⑯物数→エネルギー〔表示〕　→仕事〔仕事とエネルギー〕　→単位〔力学に関する単位〈メートル法重力単位系〉〕　→熱量　→力学的エネルギー
酒類飲料　⑫経産→飲料製造業図
種類債権〈不特定債権〉　⑪政社→債権・債務〔債権の種類〕　⑫経産→債権・債務〔種類〕
シュルギ法典　⑨世史→シュメール〔文化〕
シュルコー　⑬生活→服装〔西洋〈中世〉〕
シュルーズベリ　イギリス　⑩世地 266 C
ジュルチン　⇨女真
シュルツ, B　ポーランド[1892-1942]　ユダヤ系小説家。前衛的・非現実的文学を確立。カフカの紹介でも知られる　①文学 293 D
シュルツ, C　②美術→漫画〔今日の漫画家たち〕
シュルツ, H　アメリカ[1893-1938]　計量経済学者。ムーアの門下生。経済理論と統計的実証を結びつけた　⑫経産 283 C図
シュルツェ　⑤日史→御雇外人教師表
シュルツェ, J　ドイツ[1687-1744]　⑰科技→写真〔技術の歴史〈映像定着への努力〉〕　→フィルム〔感光材料の発達〕
シュルツェ, M　ドイツ[1825-1874]　細胞学者・動物学者。細胞は核をもつ原形質の塊であると定義づけた　⑳動物 335 B図
ジュルト(島)　⇨ジルト(島)
ジュール-トムソン効果　⑯物数 248 C図　→液体空気　→ジュール, J　→ジュールの実験〔気体の自由膨張〕　→理想気体
ジュール-トムソンの実験〈細孔栓実験〉　⑯物数→ジュール-トムソン効果図
ジュルナール・ド・パリ　⑪政社→新聞〔歴史〈欧米〉〕
ジュール熱　⑯物数→ジュール, J　→ジュールの法則　→熱起電力〔ペルチエ効果〕　⑰科技→回路部品〔抵抗器〕
ジュールの実験　⑯物数 249 A図　→ジュール, J
ジュールの法則　⑯物数 249 B図　→ジュール, J　→ジュールの実験〔気体の自由膨張〕
シュルレアリスム　①文学 294 A図　→詩〔ヨーロッパ・アメリカ〕　→スーポー, P　→前衛文学　→ダダイスム　→フランス文学〔20世紀〕　→ブルトン, A　→モダニズム　②美術 272 D図　→現代美術〔欧米〈近代美術から現代美術までの流れ〉〕　→デカルコマニー　→フランス美術〔印象主義以後〕　→フロッタージュ
『シュルレアリスム革命』　①文学→ペレ, B
『シュルレアリスム宣言』　①文学→詩〔ヨーロッパ・アメリカ〕　→シュルレアリスム　→ブルトン, A
シュル・レ・ポアント　③音演→バレエ〔囲用語〈トーダンス〉〕
ジュール・ロマン　⇨ロマン, J
樹齢　⑲植物 313 A
守礼門　⑦日地→沖縄(県)図　⑧日地→那覇(市)図
シュレーゲル, F　ドイツ[1772-1829]　ドイツ・ロマン派の詩人・批評家・哲学者。兄ウイルヘルムとともにロマン派の指導的役割を果たす　④哲宗 267 D　⑪政社→政治的ロマン主義
シュレーゲル(兄弟)　ドイツ　兄[1767-1845]　弟[1772-1829]　ともに文芸批評家。初期ロマン派の機関誌『アテネーウム』を刊行　①文学 294 C
シュレーゲルアオガエル　⑳動物→アオガエル　→カエル図
シュレージエン戦争　⑨世史 288 B　→フリードリヒ(二世)《プロイセン》〔国王時代〕
シュレジンガー, E　④哲宗 268 A　⇨シュレーディンガー, E
シュレスウィヒホルシュタイン　西ドイツ　⑩世地 266 C　→ドイツ(連邦共和国)〔地方誌〕
シュレースウィヒ・ホルシュタイン運動　⑨世史→クリスティアン(一世)
シュレースウィヒ・ホルシュタイン問題　⑨世史 288 C　→プロイセン・オーストリア戦争
シュレーター, C　スイス[1855-1939]　植物学者。アルプスの植生を研究,植物社会学的群落体系の基礎を築いた　⑲植物 313 A
シュレーダー, R　ドイツ[1878-1962]　詩人。現代賛美歌の中心的存在。ホメロスなど古典の翻訳に優れた　①文学 294 C
シュレーダー, R　ドイツ　⑭医学→荻野学説
シュレーディンガー, E　オーストリア[1887-1961]　理論物理学者。ド・ブローイが提示した物質波の考えを発展させ,波動力学を建設。ノーベル賞受賞　⑯物数 249 C図　→原子〔構造〕　→シュタルク効果　→状態〔量子力学における状態〕　→波動方程式　→波動力学　→物理学〔歴史〈近代〉〕　→量子論〔粒子と波動〕　④哲宗→シュレジンガー, E　⑮化学→化学〔歴史〈現代〉〕　→原子〔概念の変遷〈原子物理学の発展〉〕　→物理化学
シュレーディンガーの波動方程式　⑮化学→原子〔構造〕　→原子軌道　⑯物数→波動方程式　→量子論〔粒子と波動〕
シュレンマー, O　[1888-1943]　②美術→キュビスム〔総合的キュビスム〕　→バウハウス
シュロ〔棕〕　⑲植物 313 B図
鐘楼しゅろう　⇨鐘楼しょうろう
寿老人　④哲宗→七福神
シュロガヤツリ　⑲植物→シペラス図
ジュロキノン　⑮化学→キノン〔ベンゾキノン系化合物〈性質〉〕
シュロソウ〔棕櫚草〕　⑲植物 313 C図
シュロチク〔棕櫚竹〕　⑲植物 313 C　→カンノンジュロ図　⑦日地→泉大津(市)図
シュロチクケンチャヤシ〈コモチケンチャヤシ〉　⑲植物→ホエア
ジュロック種　⑳動物→ブタ〔品種〕図
シュロッテ, A　⑮化学→マッチ
シュロップシャー種　⑳動物→ヒツジ〔家畜ヒツジ〕
棕梠の主日　④哲宗→キリスト教〔表教会暦〕
棕櫚紋　⑲植物→シュロ図
ジュロン, P　フランス[1785-1838]　化学者・物理学者。単体の比熱と原子量との間にある法則を導く　⑮化学 320 C　→ジュロン-プチの法則　⑯物数→ジュロン-プチの法則
ジュロン工業区　⑩世地→シンガポール(共和国)〔経済・貿易〕　⑫経産→アジア経済事情〔産業構造〈工業〉〕図
ジュロン-プチの法則　⑮化学 325 A　→原子熱　→ジュロン, P　→プチ, A　→分子熱　⑯物数 250 B　→エネルギー等分配の法則　→比熱　→分子運動〔エネルギー等分配則〕
ジュワー, J　イギリス[1842-1923]　化学者・物理学者。水素の液化に成功,低温物理学の発展に貢献　⑮化学 325 A　→ジュワーびん　⑯物数 250 B　→液体水素
シュワイツァー, A　⑨世史 288 D　⇨シュバイツァー, A
シュワイツァー, E　⑮化学→シュワイツァー試薬
シュワイツァー, J　ドイツ[1833-1875]　労働運動指導者。ラサールに信頼され,全ドイツ労働者協会会長をつとめる　⑨世史 288 C
シュワイツァー試薬〈銅アンモニア溶液〉　⑮化学 325 A　→銅〔化合物〈銅(Ⅱ)化合物〉〕
シュワインフルト　西ドイツ　⑩世地 266 C
主和音　③音演→トニカ　→和音〔三和音〕
受話器　⑰科技→電話〔電話機〕図
シュワスマン=ワッファマン第2彗星　⑱宇地→彗星〔表周期彗星〕
シュワズール(島)　⑩世地→ソロモン(諸島)
シュワーツ, D　アメリカ[1913]　詩人。風刺を特徴とした叙情作品で知られ,ユダヤ系の生活を描いた短編小説もある　①文学 294 C
ジュワーびん　⑮化学 325 B　→銀鏡反応　→ジュワー, J　⑬生活→調理器具〔容器〈貯蔵容器〉〕　→魔法びん　⑯物数→ジュワー, J
シュワーブ, G　ドイツ[1792-1850]　ロマン派の詩人。シュワーベン詩派に属し,物語詩が名高い　①文学 294 D
シュワーベ, S　ドイツ[1789-1875]　天文学者。太陽黒点を観測。黒点出現に約10年周期の消長のあることを発見　⑱宇地 304 A
シュワーベの法則　⑫経産→家計支出〔日常的〕
シュワーベン(地方)　⑩世地→ドイツ(連邦共和国)〔地方誌〕
シュワーベン大公領　⑨世史→アラマン族
シュワーベン都市同盟　⑨世史 288 D　→ライン都市同盟
手話法　⑭医学→聾唖ろうあ〔聾唖教育〈方法〉〕
シュワルツ, W　①文学→日本文学〔近代〈海外における日本文学〉〕
シュワルツェ, H　ドイツ[1837-1910]　⑭医学→耳鼻咽喉科
シュワルツェルト　⇨メランヒトン, P
シュワルツェンバッハ, G　⑮化学→キレート滴定
シュワルツコップ, E　ドイツ[1915]　ソプラノ歌手。『ばらの騎士』のマルシャリンで当代随一と絶賛された　③音演 268 B図
シュワルツシルト, K　ドイツ[1873-1916]　天文学者。天体の写真測候術の開拓,恒星運動の統計的研究などがある　⑱宇地 304 A　⑯物数→相対性理論〔重力問題のその後〕　→ブラックホール
シュワルツの不等式　⑯物数→距離空間〔ヒルベルト空間〕　→ベクトル空間〔計量ベクトル空間〕
シュワルツワルト(山地)　西ドイツ　⑩世地 266 C　→ドイツ〔自然・地形〈中位山地〉〕
シュワルベ, G　ドイツ[1844-1916]　解剖学者・人類学者。骨学研究から人類の連続的進化説を主張　⑭医学 324 D　→人体　⑱宇地 304 B図　⑳動物→ワイデンライヒ, F
シュワン, T　ドイツ[1810-1882]　生物学者・解剖学者。動植物体の構成について細胞説を主張　⑭医学 225 D　→癌〔研究の沿革〕　→細胞　⑳動物 335 C図　→酵素　→細胞〔細胞学〕　⑲植物→細胞〔細胞学〕
シュワン鞘　⑭医学→神経〔神経線維〕図　⑳動物→シュワン, T
シュン　⑱宇地→水石〔手入れと観賞法〕
順　⑨世史→燕雲十六州えんうん
順　⑯物数→命題〔逆・裏・対偶〕
順位制　⑳動物 335 C
俊恵しゅんえ　[1113*]　平安末期の歌僧。京都白河の僧坊を歌林苑とよび文学結社的活動を行う　①文学 294 D　→鴨長明
春屋妙葩しゅんおくみょうは　[1311-1388]　南北朝時代の臨済宗の僧。夢窓派教団全盛の土台を確立　④哲宗 268 B　→五山〔五山版〕　→臨済宗〔日本〕　⑤日史 557

心臓 ⑭医学 312 A図 →強心剤 →狭心症 →心電図 →臓器移植〔心臓移植〕 →動悸 ⑳動物 350 A図
神像 ②美術 312 B図 →神道美術
仁宗 中国 ⑨世史→宋《趙氏》〔政治史〕
腎臓 ⑭医学 318 A図 →臓器移植〔腎臓移植〕 →尿〔生成・性質〕 →泌尿器科〔泌尿器官〕 ⑳動物 350 B
心臓移植 ⑭医学→死〔認定〕 →心臓〔手術可能な後天性心疾患〕 →臓器移植図
腎臓移植 ⑭医学→臓器移植図 →メディカル=エンジニアリング
心臓逸所 ⑭医学→奇形児〔表単体奇形〕
腎臓癌 ⑭医学→癌〔泌尿器癌〕
心臓形 ⇨カージオイド
新造形主義 ②美術→現代美術〔欧米〈近代美術から現代美術までの流れ〉〕
心臓外科 ⑭医学→外科
腎臓結石 ⇨腎結石
人造湖 ⑧日地 1217 D
人造香料 ⑮化学→香料
神葬祭 ④哲宗→死〔葬送習俗〕
人造地震 ⑱宇地→人工地震
心臓手術 ⑭医学→手術〔外科手術〕
深層心理学 ④哲宗→精神分析
深層水 ⑱宇地→海流図
人造石油 ⑮化学→石炭〔化学的性質〈試薬に対する反応性〉〕 →石油〔現状と将来〕
人造繊維 ⇨化学繊維
心臓喘息 ⑭医学→喘息ぜんそく
心臓造影法 ⑭医学→心臓〔心疾患〈診断法〉〕
深層地下水 ⑧日地→自噴井〈1215 A〉
人造人間 ⇨ロボット
『人造人間』 ③音演→チャペック,K
『心臓抜き』 ①文学→ビアン,B
心臓病 ⑭医学→心臓 →成人病
腎臓病 ⑭医学→血圧〔高血圧〕 →ブライト,R〈169 D〉 →食事療法 →腎臓〔疾患〕
人造肥料 ⇨化学肥料
心臓発作 ⑭医学→応急手当図
心臓ホルモン ⑭医学→強心剤
人造米 ⑬生活→米〔加工品〕
心臓マッサージ ⑭医学→仮死状態 →救急処置〔心臓の拍動停止〕図 →窒息
新相馬節 ③音演→民謡〔表〈福島〉〕
人像用印画紙 ⑰科技→フィルム〔印画紙〕
進相用コンデンサー ⑰科技→力率
シン族 ⑩世地→パキスタン(イスラム共和国)〔社会・文化〕
親族 ⑪政社 288 B図 ⑬生活 300 A図 →扶養〔扶養義務〕 →養子 ⑫経産→民法〔歴史〕
親族権 ⑪政社→債権・債務〔債権と他の権利〕
親族書 ⑬生活→結婚〔結納〕図
新即物主義〈ノイエ・ザッハリヒカイト〉 ①文学 312 C ②美術→ノイエ・ザッハリヒカイト ③音演→シゲッティ,J
心即理 ④哲宗→王陽明おうようめい →儒教〔歴史的変遷〈新儒教〉〕 →心学《中国》 →陸象山りくしょうざん
陣備え ⑤日史→陣形
シンソルロ ⑬生活→世界の料理〔朝鮮料理〕図
尋尊 〔1430〜1508〕 室町中・後期の僧。著書は当時の社会・経済研究に絶好の史料 ⑤日史 610 A ⑥日史→『大乗院寺社雑事記』
シンタイ〈邢台けいたい〉 中国/河北省 ⑩世地 273 A
身体 ⇨人体
神体〈御霊代みたましろ〉 ④哲宗→神道〔囲用語〕
賑貸 ⇨借貸しゃくたい
真諦しんだい インド〔499〜569〕 仏教学者。唯識思想を学び,中国に渡り経典の漢訳に努めた ④哲宗 299 A →『大乗起信論』
人体 ⑭医学 322 A図表別 →体格 →体力
靭帯 ⑭医学→関節
神代踊 ⑦日地→祖谷いや図 ⑧日地→西祖谷山(村)
『神代紀』 ①文学→『日本書紀』
人体寄生虫 ⑭医学→寄生虫表 ⑳動物→寄生虫
身体虚弱児童 ⑭医学 330 A
身体刑 ⑨世史→刑罰〔西洋〕 ⑪政社→刑罰〔種類〕
身体計測値 ⑭医学→体格
新待賢門院 ⇨阿野廉子れんし
陣太鼓〈軍鼓〉 ⑤日史 610 A
神代ごま ⑬生活→郷土玩具〔種類〈独楽〉〕図
神体山 ④哲宗→神社〔囲用語〕
新第三紀 ⑱宇地→地質時代〔新生代〈第三紀〉〕
新体詩 ①文学 312 D →詩〔日本〕 →日本文学〔近代〈明治啓蒙期〉〈浪漫主義〉〕 →山田美妙 ⑤日史 610 B →薄田泣菫すすきだきゅうきん
神代史 ④哲宗→日本神話〔「記紀」神代の巻〕
深大寺 ⑧日地→調布(市)図 →東京(都)〔歴史〈原始・古代〉〕
『新体詩抄』 ①文学→新体詩 →外山正一 →日本文学〔近代〈明治啓蒙期〉〕 →矢田部良吉 ④哲宗→井上哲次郎
寝台車 ⑬生活→旅行〔列車と乗車券〕 ⑰科技→客車〔営業用〕
身体障害児 ⑭医学→心身障害児
身体障害者 ⑭医学 330 B図 →作業療法 →リハビリテーション〈606 A〉
身体障害者更生相談所 ⑭医学→リハビリテーション〈607 A〉
身体障害者職業訓練校 ⑫経産→職業訓練〔現状〕
身体障害者手帳 ⑭医学→リハビリテーション〈606 B〉
神代植物園 ⑧日地→調布(市)図 →東京(都)表 ⑲植物→植物園表
新体制運動 ⑤日史 610 B →官僚制〔発展〕 →国民精神総動員運動 →昭和研究会 ⑥日史→大政翼賛会 →翼賛議員同盟 ⑪政社→近衛文麿
神代石 ⑥日史→石冠
寝台電車 ⑰科技→電車〔現況〕図
真大道教 ④哲宗→道教〔歴史〕
『人体の構造』〈ファブリカ〉 ⑭医学→解剖図 →解剖学 →ベサリウス,A〈73 D〉 ⑳動物→ベサリウス,A図
身体の自由 ⇨人身の自由
新ダイヤ ⑬生活→宝石〔合成宝石〕
真太陽時 ⑧日地→時差〈1214 B〉 ⑱宇地→日時計
新大陸 ⑧日地 1217 D →旧大陸〈1207 B〉 →コロンブス,C〈1212 B〉 ⑨世史→ラテン・アメリカ〔特徴〕 ⑩世地→アメリカ(州) →世界
新大陸貿易 ⑫経産→奴隷貿易
『死んだ男』 ①文学→鮎川信夫
新高湯温泉 ⑧日地→西吾妻山
信託 ⑫経産 314 C
神託 ④哲宗 299 B →占い〔諸相〕
信託会社 ⑫経産→金融〔囲用語〈管理信託〉〈投資信託〉〕
信託業法 ⑫経産→信託
信託銀行 ⑫経産 314 D →金融機関〈日本〉
信託統治 ⑤日史 610 C ⑪政社 289 A
信託統治理事会 ⑪政社→国際連合〔主要機関〕
信託統治領 ⑧日地 1218 A →委任統治領〈1198 C〉
シンタグマ広場 ⑩世地→アテネ〔観光・文化〕図
信託預金 ⑫経産→金融〔囲用語〈投資信託〉〕
新岳 ⑦日地→口永良部島くちのえらぶじま
じんだつめり ⑬生活→郷土料理〔囲〈宮城〉〕図
震旦 ⑨世史→秦〔統一〕
腎単位〈ネフロン〉 ⑳動物→腎臓
診断書 ⑭医学 330 D →医師〔業務〕 →カルテ
新丹那トンネル ⑦日地 597 B
心タンポナーデ ⑭医学→心臓〔手術可能な後天性心疾患〕
ジンタンムシ ⇨シオムシ
診断薬 ⑫経産→医薬品工業 ⑭医学→薬〔役割〕
新地(町) 福島 ⑦日地 597 C
新界シンチエ ⑩世地→ホンコン〔各地〕
新地貝塚 ⑤日史 610 C ⑧日地→福島(県)〔文化〕
心地覚心 〔1207〜1298〕 ④哲宗→普化宗ふけしゅう →臨済宗囲 ⑥日史→普化宗
新竹 ⇨シンチュー
人畜改帳〈家数人馬改帳〉 ⑤日史 610 D
新竹神社 ④哲宗→神社〔表〈国幣小社〉〕
新築披露 ⑬生活→祝い事〔新築〕
シンチグラム ⑰科技→トレーサー図
シンチグラム法 ⑭医学→癌〔診断法〈91 B〉〕
シンチスキャンニング ⑭医学→腎臓〔腎機能検査法〕
身池対論 ④哲宗→日蓮宗〔歴史〈不受不施派〉〕
『人知の原理』 ④哲宗→バークリー,G
新地節 ③音演→民謡〔表〈長崎〉〕
信江シンチャン ⑩世地→チャンシー(省)
シンチャンウイグル(自治区)〈新疆維吾爾自治区しんきょうウイグルじちく〉 中国 ⑩世地 273 A図
シンチュー〈新竹〉 中国/台湾省 ⑩世地 273 C
真鍮 ⇨黄銅
腎虫 ⑳動物 350 B
新中間階級 ⑨世史→プロレタリアート ⑫経産→階級〔現代〕
新中間層 ⑪政社→中間層 →ホワイトカラー
辛丑条約しんちゅう ⑨世史→義和団の乱
『塵中日記』 ①文学→樋口一葉
陣中見舞 ⑬生活→贈答〔季節〈見舞い〉〕
身長 ⑭医学→人体〔図発育〕 →体格〔身体計測値〕 →乳児〔表身体発育値〕
『新潮』 ①文学 312 D →佐藤義亮 →中村武羅夫
清朝漢学 ④哲宗→漢学〔2〕
『信長記』しんちょうき ①文学 313 A →戦記 ⑥日史→『信長公記のぶながこうき』
清朝許学 ④哲宗→許慎〔説文解字〕
新徴組 ⑤日史 610 D →清川八郎 →新選組 ⑥日史→高橋泥舟
ジンチョウゲ〔沈丁花〕 ⑲植物 334 C図 →園芸〔図フラワーカレンダー〈2〉〕
ジンチョウゲ科 ⑲植物 335 A
『信長公記』 ⇨『信長公記のぶながこうき』
清朝考証学 ④哲宗→漢学〔2〕 →考証学
新長谷寺〈吉田観音〉 ⑦日地→関(市)
伸長生長 ⑲植物 335 A →生長
伸長弾性度 ⑬生活→織物〔性能〈感覚的性能〉〕
伸張反射 ⑭医学→筋肉〔筋運動〈制御〉〕 →反射
秦兆陽しんちょうよう〈チンチャオヤン〉 中国〔1918〜〕 小説家。リアリズム論を提示。『人民文学』副編集長になったが,「反右派闘争」の攻撃目標になる ①文学 313 A
『新勅撰和歌集』 ①文学 313 A →勅撰和歌集表 →藤原定家 ⑤日史 610 D
シンチレーション ⑮化学→ルミネセンス
シンチレーションカウンター ⑯物数→厚み計 ⑰科技→放射線検出器
シンチレーション・カメラ ⑰科技→トレーサー
シンチレーション計数管 ⑯物数 264 B →計数管〔光の放射を利用〕図 →光電子増倍管
新陳代謝 ⇨物質代謝
陣痛 ⑭医学→出産〔正常分娩〈開口期〉〕図
神通川じんづう 富山 ⑦日地 597 C ⑭医学→イタイイタイ病 ⑮化学→土壌汚染 ⑰科技→鉱山〔囲鉱害〕
神通峡 ⑦日地→大沢野(町) →神通川
新通商拡大法 ⑫経産→互恵通商協定
新築地劇団 ⑤日史 610 D ③音演→久保栄 →日本演劇〔明治から第二次大戦まで〈新劇〉〕 →土方与志ひじかたよし ⑥日史→土方与志
新佃島 ⑧日地→佃島
ジンツハイマー,H ドイツ〔1875〜1945〕 労働法学者。法社会学的方法を導入,労働法学の開拓者 ⑪政社 289 B
芯摘み〈摘芯〉 ⑲植物→園芸〔栽培の手入れ〕
『新訂万国全図』 ⑧日地→日本〔囲地理学〕
人定法 ⑫経産→重農主義
シンデウォルフ,O ドイツ〔1896〜1967〕 古生物学者。無脊椎動物化石を研究。進化について独自の見解をもつ ⑱宇地 320 C
人的会社 ⑫経産→会社 →合資会社 →合名会社
人的企業 ⑫経産→企業
人的分配 ⑫経産→所得分布 →分配
シンデー家 ⑨世史→マラータ王国
『死んでしまった阿Q時代』 ①文学→銭杏邨せんきょうそん →太陽社
ジンテーゼ〈総合〉 ④哲宗→正・反・合
シンテターゼ ⑮化学→酵素〔分類・命名〕
親鉄元素 ⑮化学→元素〔地球化学的な分配〕
針鉄鉱 ⑱宇地 320 C
新デナリウス銀貨 ⑫経産→貨幣史〔中世〕
『シンデレラ』 ①文学→ペロー,C
神典 ⑤日史→神道〔起源〕
秦篆 ⑨世史→文字改革
神田 ⑤日史 611 B
神殿 ②美術 312 D図 →ギリシア美術〔建築〕 ④哲宗 299 D図 →神道〔囲用語〈宮中三殿〉〕 →墓〔世界〕 ⑤日史→宮中三殿
新田 ⑤日史→墾田 ⑧日地→子村〈1212 A〉 →新田集落〈1218 A〉
新田開発 ⑤日史 611 B図 →井沢弥惣兵衛 →享保の改革きょうほう〔財政〕 →鍬下年季くわした ⑧日地→新田集落〈1218 A〉 ⑫経産→享保改革〔財政〕
新電気光学効果 ⑮化学→液晶囲
神殿騎士団 ⇨テンプル騎士団
新田検地 ⑤日史 612 A →検地
親電子転位 ⑮化学→転位反応
新天師道 ④哲宗→道教〔歴史〕
新田地主 ⑤日史→寄生地主制
親電子付加反応 ⑮化学→付加反応
新田集落 ⑧日地 1218 A →開拓村〈1202 D〉

ス
す

スペイン内乱 ⑨世史 324 D図 →人民戦線 →スペイン・ポルトガル(史)〔ヨーロッパの後進国〈20 世紀のスペイン〉〕図 ⑪政社 301 C図 →フランコ,F
『スペイン日記』 ①文学→コリツォフ,M
『スペインの科学』 ①文学→メネンデス・イ・ペラーヨ,M
『スペインの庭の夜』 ③音演→ファリャ,M
『スペイン悲劇』 ①文学→キッド,T
スペイン美術 ②美術 321 C図 →イスラム美術
スペイン広場 ②美術→広場図 ⑩世地→ローマ(市)〔囲観光地〈広場〉〕図
スペイン広場 ⑩世地→マドリード図
スペイン舞踊 ③音演 289 D図
スペイン文学 ①文学 328 B
スペイン辺境領 ⑨世史→レコンキスタ運動
スペイン・ポルトガル(史) ⑨世史 325 C図表
スペインメロン ⑬生活→果物〔ウリ類〕
スペイン領サハラ アフリカ ⑩世地 293 B図
スペイン料理 ⑬生活→世界の料理図
スペウシッポス ギリシア〔前407* 339*〕 哲学者。プラトンの甥で,その死後アカデメイア学頭の地位を継ぐ ④哲宗 320 D →プラトン学派〔1〕 ⑳動物→進化〔進化論〈ダーウィン以前〉〕
スペエディ ⑨世史→ジェベ
スペーク イギリス ⑩世地→アフリカ(州)〔囲アフリカ探検史〕
スペクテーター ①文学 329 A →アディソン,J →スティール,R
スペクトル ⑯物数 291 A図 →色図別 →原子スペクトル図 →発光スペクトル →フラウンホーファー線図 →分光学 →分光器 ⑮化学→原子スペクトル →分光化学 →ラマンスペクトル →連続スペクトル
スペクトル型 ⑱宇地→恒星表
スペクトル線 ⑯物数→相対性理論〔重力理論〕
スペクトル分析 ⑯物数→キルヒホッフ,G ⑱宇地→恒星〔スペクトル型〕
スペクトル変光星 ⑱宇地→磁変星
スペクトロヘリオグラフ〈分光太陽写真儀〉 ⑱宇地 335 B
スペサルティン ⑱宇地→ざくろ石
スペシオサ ⑲植物→多肉植物図
スペーシスタ ⑰科技→トランジスタ〔特殊トランジスタ〕
スペース ⑰科技→印刷〔囲用語〈込め物〉〕
スペース・オペラ ①文学→SF
スペースシミュレーター ⑰科技→シミュレーター
スペース・シャトル ⑱宇地 335 C図 →宇宙ステーション →ロケット〔歴史〈アポロ以後〉〕
スペースニードル ⑩世地→シアトル図
スペース・フレーム ⑰科技 328 B図 →シェル構造 →トラス構造
スベスベマンジュウガニ ⑳動物→カニ〔調理〕 →マンジュウガニ図
スペティ・ステファン ⑩世地→ユーゴスラビア(社会主義連邦共和国)図
『すべて王の臣』 ①文学→ウォーレン,R
『すべて神の子には翼がある』 ③音演→オニール
『すべてを恋に』 ①文学→ドライデン,J
スペード ⑬生活→カード〔歴史〕
『スペードの女王』 ①文学→プーシキン,A
スベドベリー,T スウェーデン〔1884 1971〕 物理化学者。コロイド・高分子の研究で知られる。ノーベル賞受賞 ⑮化学 357 C図
『スベトラーナ』 ①文学→ジュコフスキー,V
スベトロフ,M ソ連〔1903 1964〕 詩人。市民戦争時代のヒロイズムをうたった作品で知られる ①文学 329 A
スヘバートル モンゴル ⑩世地 293 C
スヘバートル広場 ⑩世地→ウランバートル →モンゴル(人民共和国)図
ズベーボ,I イタリア〔1861 1928〕 小説家。『ゼーノの苦悶』で大きな反響をよび,死後世界的に名声が高まる ①文学 329 A
スペランスキー,M ロシア〔1772 1839〕 政治家。シベリア総督となり,のちロシア法典の系統的な整理にあたる ⑨世史 329 A →アレクサンドル(一世)
スペリー,E ⑰科技→自動制御〔歴史〕 →羅針盤
スペリイェ ⇨スウェーデン(王国)
スペリエヒューセット ⑩世地→ストックホルム図
スペリオル(湖) アメリカ・カナダ ⑩世地 293 C →五大湖
すべり軸受〈平軸受〉 ⑰科技→軸受
滑り出し窓 ⑬生活→窓〔種類〕図
すべり抵抗器 ⑰科技→抵抗器図

スベリヒユ〔滑莧〕 ⑲植物 351 B図 ⑬生活→山菜〔種類〕
スベリヒユ科 ⑲植物 351 B
すべり摩擦 ⑯物数 291 B →摩擦
スベーリンク,J オランダ〔1562 1621〕 初期バロックのオルガニスト,作曲家。「ドイツ・オルガン音楽の父」とよばれた ③音演 290 C →オルガン〔オルガン音楽〕
スベルカッサ〈国家貯金局〉 ⑫経産→ソ連経済事情〔金融〕
スペルター ⑮化学→亜鉛〔製法〕
スヘルトヘンボス オランダ ⑩世地 293 C
スベルドルップ,H ノルウェー〔1888 1958〕 海洋学・気象学者。海洋物理と海洋気象の分野で優れた理論や研究を発表 ⑱宇地 335 C
スベルドルップ,O ノルウェー〔1854 1930〕 北極探検家。グリーンランドやエルズミア島の探検で知られる ⑱宇地 336 A図 →ナンセン,F
スベルドルップ=ムンクの法 ⑱宇地→ムンク,W
スベルドロフ,Y ロシア〔1885 1919〕 革命家。人材の識別に優れ「党の生き字引」と称された。流感で急死 ⑨世史 329 A図 ⑪政社→ロシア革命〔意義〕
スベルドロフスク ソ連/ロシア ⑩世地 293 C ⑫経産→ソ連経済事情図
スペルマタ ④哲宗→アナクサゴラス
スベン 〔960* 1014*〕 デーン人の王。父を倒して王となり,バイキングを組織しロンドンを攻めた ⑨世史 329 B ⑩世地→デンマーク(王国)〔略史〕
スペンサー,E イギリス〔1552* 1599〕 ルネサンス期最大の詩人。独自の形式は「スペンサリアン・スタンザ」とよばれ,同国の代表的詩型となる ㊗『妖精女王』 ①文学 329 A図 →イギリス文学〔ルネサンス〕
スペンサー,H イギリス〔1820 1903〕 哲学者。イギリス経験論の伝統を継承しながら,独自の進化の原理に立ち,宗教と科学との調停に努めた ①文学 329 D ④哲宗 320 D →イギリス哲学〔近世〈19 世紀〉〕 →功利主義〈2〉 →不可知論 ⑨世史 329 B ⑪政社→社会有機体説図 ⑯物数→数学教育〔歴史〈普通教育〉〕 ⑳動物→進化〔進化論〈ダーウィン以前〉〕 →生存競争
スペンサー,S イギリス〔1892 1959〕 ②美術→イギリス美術〈17 D〉
スペンサー(湾) ⑩世地 293 D
スペンサー ⑬生活→ジャケット〔分類〕
スペンダー,S イギリス〔1909〕 詩人・批評家。オーデン・グループと親交を結び,政治活動にも参加 ①文学 329 D
スヘンデル,A オランダ〔1874 1946〕 小説家。新ロマン主義の第一人者。一貫して宿命感をテーマとする ①文学 330 A
スーポー,P フランス〔1897〕 詩人。最初のシュルレアリスムのテキスト『磁場』をブルトンと共作 ①文学 330 A →シュルレアリスム →前衛文学
スポイラー ⑰科技→グライダー〔性能〕図 →飛行機〔機体〈主翼〉〕
スポイルズ・システム ⑨世史→ジャクソニアン・デモクラシー →ペンドルトン法 ⑪政社→官僚制〔登場と発展〕
修法 ⇨修法
図法 ⇨地図投影法
スポーカン ⇨スポーケン
スポーク ⑰科技→自転車〔基本構造〈車輪〉〕
スボクチ ⇨ムギツク
スポーケン アメリカ ⑩世地 293 D
すぼし ⑱宇地→二十八宿表
素干し品 ⑬生活→乾物〔種類・方法〕 →水産加工品〔種類〕
ズボズボ ⇨ジグモ
スポーツ ⑬生活 326 C表 ⑭医学→スポーツ医学 →疲労
スポーツ車 ⑰科技→自転車〔種類〕図
スポーツ医学 ⑭医学 340 A図表 →筋電図〈142 D〉
スポーツカー ⑰科技 328 C図 →競走用自動車〔歴史〕 →自動車〔種類〈ロードスター〉〕 ⑬生活→自動車レース〔種類〈スポーツカー・レース〉〕
スポーツ機 ⑰科技→軽飛行機
スポーツサルーン〈スポーツセダン〉 ⑰科技→自動車〔種類〕 →スポーツカー〔歴史〕
スポーツシャツ ⑬生活→シャツ
スポーツセダン ⇨スポーツサルーン
スポーツテスト ⑭医学→体力

スポッテッドガー ⑳動物→熱帯魚〔別〈変わった淡水魚〉〕
スポッテッド・ピラニア ⑳動物→ピラニア
スポット ⑰科技→空港〔駐機場〕
スポット撮影〈狙撃撮影〉 ⑭医学→レントゲン検査〔連続撮影〕
スポーツ博物館 ⑧日地→東京(都)表
ズボッレ オランダ ⑩世地 293 D
スホーテン,F オランダ〔1615* 1661〕 ⑯物数→ビエタ,F
スポドソル ⑱宇地→土壌〔世界の土壌分布〕図
スホベイ ⑱宇地→風〔表局地風〕
スホボ=コブイリン,A ロシア〔1817 1903〕 劇作家。内妻のフランス婦人殺しの嫌疑で投獄され,体験をもとに劇作 ①文学 330 A ③音演→ロシア演劇
スボボダ,J チェコ〔1920〕 ③音演→東欧演劇〔チェコスロバキア〈チェコ〉〕
スボボダ,L チェコ ⑪政社→チェコ事件 →東欧政治事情〔プラハの春〕
スポラディックE層 ⑯物数→電離層 ⑱宇地→電離層〔電離層内の各領域〈E 領域〉〕
スポラデス(諸島) ギリシア ⑩世地 293 D →ギリシア(共和国)〔地方誌〈島嶼部〉〕
ズボルイキン,A ⑰科技→技術〔技術論〈戦後〉〕
スポレト イタリア ⑩世地 293 D
スポロキスト ⑳動物→吸虫 →膵蛭
スポロボロミセス ⑲植物→酵母菌類〔分類〕
ズボン ⑬生活 327 C →背広〔歴史〕
スポンジケーキ ⑬生活→ケーキ〔材料〕
スポンジ法 ⑭医学→受胎調節〔女性側に器具〕
スポンジレザー ⑬生活→革細工〔皮革代替品〈歴史〉〕表
スポンティーニ,G ③音演→オペラ〔歴史〈改革と国民歌劇の台頭〉〕
『ズボンをはいた雲』 ①文学→マヤコフスキー,V
スマ ⑳動物 359 A
須磨 ⑦日地→明石(市)
須磨(区) 神戸市 ⑦日地 605 D
『須磨』 ①文学→紫式部〔表源氏物語〕
住まい ⑬生活 328 A図表 →玄関 →室内装飾 →借地 →収納〔収納場所〕 →食事室 →増築・改築 →台所 →納戸 →木材〔選び方〕 →門 →冷暖房 ⑰科技→住宅
相撲節会 ⑬生活→相撲〔歴史〕図
スマイバート,J アメリカ〔1688 1751〕 ②美術→アメリカ美術〈9 D〉図
スマイラックス ⑲植物→アスパラガス〔観賞用〕
須磨浦公園 ⑦日地→神戸(市) →須磨(区)
須磨温泉 ⑦日地→塩原(町)
スマーク,R イギリス〔1781 1867〕 新古典主義建築家。大陸に渡り古建築の資料を集める。大英博物館正面部などを設計 ②美術 322 C →古典主義
『須磨源氏』 ①文学→紫式部〔源氏物語〈文学史上の位置と影響〉〕
須磨琴 ⇨一絃琴
澄まし汁 ⑬生活→汁物 →雑煮
須磨水族館 ⑳動物→水族館〔表日本〕
寸又峡 静岡 ⑦日地 606 B →静岡(市)〔観光〕
寸又峡温泉 ⑧日地→本川根(町)
スマッシュ ⑬生活→卓球〔囲用語〕 →テニス〔囲用語〕
スマッツ,J 南アフリカ〔1870 1950〕 政治家・軍人。ブール戦争では反英,のち南ア連邦の諸閣僚を歴任 ⑨世史 329 B
須磨寺 ⑦日地→神戸(市)図 →須磨(区)
スマート,C イギリス〔1722 1771〕 詩人。発狂し精神病院に入る。その間の作『ダビデに寄せる歌』は 17,18 世紀賛美歌の流れをくみ当代最高 ①文学 330 A
スマート爆弾 ⑫経産→軍需産業
スマトラ(島) インドネシア ⑩世地 294 A →インドネシア(共和国)〔地方誌〕
スマトラ ⑳動物→熱帯魚〔飼育〈繁殖〉〕別
スマトラ ⑱宇地→風〔表局地風〕
スマトラ・アンソクコウノキ ⑲植物→アンソクコウノキ〔利用〕
スマトライノシシ ⑳動物→イノシシ〔人間との関係〕 →ブタ
スマトラカモシカ ⇨シーロー
スマトラサイ ⑳動物→サイ〔種類〕図
スマトラ条約 ⑨世史→アチェー戦争
スマトラトラ ⑳動物→トラ〔種類〕図
スマトラ葉巻 ⑬生活→たばこ〔製品〈葉巻たばこ〉〕
『須磨の一夜』 ①文学→美文
スマラン インドネシア ⑩世地 294 B →ジャワ(島)

スマローコフ,A ロシア[1717/1777] 劇作家。モリエールなどの影響で歴史上の人物を悲劇に書き,この分野で同国古典主義文学を代表 ①文学 330 A →ロシア・ソビエト文学〔ロシア〈18 世紀〉〕 ③音演→ロシア演劇
墨 ②美術→絵具〔東洋〕 →文房四宝図 ⑬生活→書道〔用具〕
墨 ⑳動物→タコ〔生態〕
ズミ〔棠梨〕〈コリンゴ,ヒメカイドウ〉 ⑲植物 351 B図 →リンゴ図
スミイカ ⑳動物→シリヤケイカ
住井すゑ [1902] 小説家。反戦思想と平易な文体で作風を完成。差別解放を扱った大作『橋のない川』がある ①文学 330 B
墨売川 ⑧日地→滑川(なめりかわ)
済口証文 ⇨内済証文
済み酒 ⑦日地→九州地方〔民俗〕
墨さし ⑬生活→家庭工作〔大工道具〕図
スミス,A イギリス[1723/1790] 社会科学者,古典経済学の創始者。『国富論』で経済学の体系を完成 ④哲宗 321 A →イギリス哲学〔近世〈18 世紀〉〕 ⑨世史 329 C →重商主義〔発展過程〕 ⑫経産 325 D図 →巨視的分析・微視的分析 →経済学〔価格の機能〕 →経費〔経費理論〕 →公共事業〔歴史〕 →古典学派 →自由放任主義 ⑩世地→カーコルディ ⑪政社→租税〔原則〕
スミス,C [1844/1916] ⑯物数→数学教育〔歴史〈啓蒙主義,理想主義〉〕
スミス,E ①文学→SF
スミス,E アメリカ[1918/1978] ②美術→写真〔歴史〕
スミス,G イギリス ①文学→『ギルガメシュ物語』
スミス,I ⑩世地→ローデシア〔政治〕
スミス,J オランダ[1554*/1612] ④哲宗→バプテスト
スミス,J アメリカ[1805/1844] ④哲宗→モルモン教
スミス,O ⑰科技→録音〔磁気録音〕
スミス,R ④哲宗→宗教学〔展開〕
スミス,S ⑱宇地→水〔地球上の総量〕
スミス,T ⑳動物→シーラカンス
スミス,W アメリカ ⑫経産→テクノクラシー
スミス,W イギリス[1769/1839] 地質学者。地層累重の法則を確立 ⑱宇地 336 A →地質時代〔区分〕 →地層〔地層累重の法則〕
スミス(島) ⑦日地→伊豆諸島 ⑱宇地→火山〔表活火山〕
スミスネズミ ⑳動物 359 A →カゲネズミ
『スミス夫妻』 ③音演→ヒッチコック,A
墨摺絵 ②美術→浮世絵〔展開と作者〕図 ⑤日史→浮世絵 ⑥日史→錦絵
酢みそあえ ⑬生活→あえ物表
スミソニアン体制 ⑫経産→円〈第二次大戦後〉 →国際金融市場〔囲用語〕 →国際通貨基金〈IMF協定〉 →国際流動性問題 →ドル →日本経済事情〔貿易〈円切り上げ〉〕
スミソン機構科学博物館群 ⑰科技 679 A図
住田(町)(すみた) 岩手 ⑦日地 606 B
隅田 ⑧日地→橋本(市)
墨田(区) 東京 ⑦日地 606 B図
『角田川』〈吾妻問答〉 ①文学→宗祇(そうぎ) →連歌〔歴史〕
隅田川 東京 ⑦日地 606 D囲 →荒川 ⑤日史→川開 ⑧日地→東京港 →両国
『隅田川』〔角田川〕 ③音演 290 C →清元節(きよもとぶし)〔沿革〕 →能別 ①文学→観世元雅 ⑤日史→観世元雅(かんぜもとまさ)
『隅田川続俤』(ごにちのおもかげ) ③音演 290 D図
住田家 ③音演→長唄〔囲流派〈鳴物囃子方〉〕
隅田公園 ⑦日地→墨田(区) ⑧日地→東京(都)表
『炭俵』 ①文学→志田野坡(やば) →『俳諧七部集』 →松尾芭蕉〈608 C〉
スミチオン乳剤 ⑲植物→農薬〔表〈殺虫剤〉〕
スミツキアカタチ ⑳動物→アカタチ
墨つぼ ⑬生活→家庭工作〔大工道具〕図
炭点前 ⑬生活→茶道〔点前〕
住友化学工業(株) ⑫経産 326 B
住友吉左衛門 ⑥日史→別子銅山 ⑰科技→KS磁石鋼
住友銀行(株) ⑫経産 326 C ⑤日史→五大銀行
住友金属工業(株) ⑫経産 326 C →鉄鋼業〔日本概要〕 →非鉄金属工業〔日本〕
住友合資会社 ⑫経産→鈴木馬左也(まさや) →住友財閥
住友財閥 ⑤日史 629 A →小倉正恒 →財閥〔図シェア〕 ⑫経産 326 D →鉱業〔日本〕 →コンツェルン →政商 ⑪政社→金権政治
住友重機(株) ⑫経産→造船業〔課題〕
住友商事(株) ⑫経産→総合商社
住友電気工業(株) ⑫経産 327 A
住友友芳 [1670/1719] ⑥日史→摂津国(せっつ)〔囲人国記〕
住友理右衛門 ⑫経産→住友財閥
住友理兵衛 ⑫経産→住友財閥
スミートン,J イギリス[1724/1792] 技術者。土木・機械など多方面に業績を残し,18 世紀のダ・ビンチと評される ⑰科技 330 B図 →技術〔技術学〕 →セメント〔沿革〕
スミナガシ〔墨流蝶〕 ⑳動物 359 A
墨流し ②美術 322 D図 ⑧日地→福井(県)〔文化〕
スミナガシ亜科 ⑳動物→タテハチョウ
スミナールの公式 ⑱宇地→体感温度
すみぬり祭 ⑧日地→松之山(町)図
角野(すみの) 愛媛/新居浜市 ⑦日地 607 B
住之江(区) ⑦日地→大阪(市) →住吉(区)
スミノエガキ〈ヒラガキ〉 ⑳動物→カキ〔有用種〕
住之江公園 ⑦日地→大阪(市)〔観光〕 →住吉(区)〔住之江区〕
角倉素庵 ⑰科技→印刷〔歴史〕
角倉本 ⇨嵯峨本(さがぼん)
角倉了以(すみのくら) [1554/1614] 安土桃山時代の貿易家・土木事業家。御朱印船で巨利を得,大堰川の疎通などを行う ⑤日史 629 B →京都(市) →瑞泉寺(ずいせんじ)《京都》 ⑧日地→高瀬川《京都》 ⑰科技→運河〔日本〈高瀬川〉〕
住道(すみのどう) 大阪/大東市 ⑦日地 607 B ⑧日地→大東(市)(だいとう)
スミノミザクラ〈酸果桜桃〉 ⑲植物→サクランボ
スミヒキ ⇨シマイサキ
スミホフ ⑩世地→プラハ
スミヤキ ⇨シマイサキ
炭焼党 ⇨カルボナリ党
角屋の餅つき ⑦日地→京都(市)〔別年中行事〕
住用(村) 鹿児島/奄美大島 ⑦日地 607 C
住吉 神戸市/東灘区 ⑦日地 607 C
住吉 ⑧日地→宮崎(市)〔歴史〕
住吉(区) 大阪市 1974 年住之江区を分離 ⑦日地 607 C
住吉踊 ③音演→巷間芸能(こうかん)〔願人坊主〕図
住吉具慶 [1631/1705] 江戸初・中期の大和絵系の画家。如慶の長男。住吉派興隆の基礎を築く ⑤日史 629 C →住吉派 ②美術→住吉派
住吉公園 ⑦日地→大阪(市)〔観光〕
住吉如慶 [1599/1670] 江戸初期の大和絵系の画家。内裏の障壁画を描き,住吉派の祖となる ⑤日史 629 C →住吉派 ②美術→住吉派図
住吉神社《山口》 ④哲宗→神社〔表〈官幣中社〉〕 ⑦日地→下関(市)
住吉神社《福岡》 ④哲宗→神社〔表〈官幣小社〉〕 ⑧日地→福岡(市)
住吉神社《長崎》 ④哲宗→神社〔表〈国幣中社〉〕 ⑦日地→芦辺(町)
住吉神社《宮崎》 ⑦日地→阿波岐ヶ原(あわきがはら)
住吉大社〈住吉神社〉 ②美術 322 D図 →神社建築〔本殿の形式〈住吉造〉〕 ④哲宗 321 B図 →神社〔表〈官幣大社〉〕 ⑤日史 629 C →住吉造 ⑦日地→大阪(市)図
住吉町遺跡 ⑤日史 629 D
住吉造 ⑤日史 629 D →神社〔建築〕 ②美術→神社建築〔本殿の形式〕図 →住吉大社 ④哲宗→神社〔建築〕〔図本殿〕
住吉灯台 ⑦日地→大垣(市)図
住吉鳥居 ②美術→鳥居
住吉行宮(あんぐう) ⑤日史 629 D
住吉派 ②美術 322 A図 →土佐派 ⑤日史 629 D →住吉如慶
『住吉物語』 ①文学 330 B →『落窪物語』 ⑤日史 629 D
スミルナ ⇨イズミル
スミルネンスキー,H ブルガリア[1898/1923] プロレタリア詩人。革命詩で闘争への呼びかけや革命の勝利をうたう ①文学 330 B
スミレ〔菫〕 ⑲植物 351 B図 →種子〔図〈自力で弾出〉〕
スミレ科 ⑲植物 352 A
スミレコンゴウ〈ヒヤシンスコンゴウ〉 ⑳動物→インコ〔種類〈大形種〉〕図 →コンゴウインコ
すみ分け ⑳動物 359 A →今西錦司 ⑲植物→競争
スムーズ ⑬生活→革(かわ)〔皮革代替品〈用途〉〕
すむつかり ⑬生活→郷土料理〔囲〈栃木〉〕
スムール,Y ソ連[1923] 詩人。『プラウダ』特派員として南極遠征隊に参加,ルポルタージュを書く ①文学 330 B
ズームレンズ ⑰科技→カメラ〔囲用語〕
スメカル,A [1895/1959] ⑯物数→ラマン,C
スメカル-ラマン効果 ⇨ラマン効果
スメクタイト ⑱宇地→モンモリロン石
スメクチック状態 ⑮化学→液晶〔分類〕図
スメタナ,B チェコ[1824/1884] 作曲家。チェコ国民音楽確立のために尽力。オペラに優れた ③音演 291 B図 →国民楽派
スメドレー,A アメリカ[1894/1950] 婦人記者。スノーに続いて延安を訪問,中国の抗戦を記録し出版 ⑨世史 329 C ⑪政社 301 D図 ①文学→戦記
スメドレー式 ⑭医学→握力〔握力計〕図
天皇(すめらみこと) ⇨天皇(てんのう)
スメリャコフ,Y ソ連[1913/1972] 詩人。ウクライナの鉄道員の家に生まれ,印刷工などをして働きながら詩作 ①文学 330 C
スメル(山) インドネシア ⑩世地 294 B →ジャワ(島) ⑱宇地→火山〔表活火山〕
スメール,S [1930] ⑯物数→数学〔囲フィールズ賞〕表 →多様体〔歴史〈ポアンカレの予想〉〕
スメール ⇨シュメール
図面 ⑰科技→製図
相撲〔角力〕 ⑤日史 630 A図 ⑬生活 343 C図表囲 →スポーツ〔組織化〕
相撲協会 ⑬生活→相撲〔角界の現状〕
相撲茶屋 ⑬生活→相撲〔角界の現状〕
相撲年寄 ⑬生活→相撲〔角界の現状〕
相撲博物館 ⑧日地→東京(都)表 ⑬生活→相撲〔角界の現状〕
相撲番付 ⑬生活→相撲〔角界の現状〕図
相撲部屋 ⑬生活→相撲〔角界の現状〕
スモーガスボード ⑬生活→世界の料理〔北欧〕図
スモーキィ・フレーバー〈燻煙香〉 ⑬生活→ウイスキー
スモーキングジャケット ⑬生活→ジャケット〔分類〕
スモークサーモン ⑬生活→水産加工品〔種類〈薫製〉〕
スモークチーズ ⑬生活→チーズ〔種類〈プロセス〉〕図
スモークペルシア ⑳動物→ネコ〔品種〈長毛種〉〕
素潜り〈スキンダイビング〉 ⑬生活→ダイビング
スモッキング ⑬生活→洋裁〔囲用語〕
スモッグ ⑧日地 1219 A →煙害〈1200 A〉 ⑱宇地 336 A →煙霧 →霧 →光化学スモッグ →大気汚染〔気象要素〕図 ⑮化学→公害〔囲用語〕
洲本(市) 兵庫/淡路島 ⑦日地 607 D図
栖本(町)(すもと) 熊本/天草諸島 ⑦日地 608 B
洲本城跡 ⑦日地→洲本(市)
洲本平野 ⑦日地→淡路平野
スモモ〔酸桃,李〕〈プラム〉 ⑲植物 352 A図 →国花表 →ハタンキョウ
スモモキリガ ⑳動物→ヤガ
李子祭(すもも) ⑧日地→東京(都)〔別年中行事〕
スモーランド ⑩世地→スウェーデン(王国)〔自然〈地形・地質〉〕
スモルコフスキー,M ポーランド[1872/1917] ⑯物数→物理学〔歴史〈近代〉〕 →ブラウン運動
スモールサマーオレンジ ⇨ヒュウガナツ
スモルツァンド ③音演→音楽用語〈629 C〉
スモールパイカ ⑰科技→活字〔大きさ〕
スモレット,T イギリス[1721/1771] 小説家。ピカレスク小説作家として近代的写実小説の発展に寄与 作『ハンフリー・クリンカー』 ①文学 330 C図
スモレンスク ソ連/ロシア ⑩世地 294 B
守門(村)(すもん) 新潟 ⑦日地 608 B
守門神社 ⑦日地→守門岳(すもん)
守門岳 新潟 ⑦日地 608 B図
スモン病 ⑭医学 341 D
素焼 ②美術→テラコッタ ⑮化学→陶磁器〔製造〈焼成〉〕
須山計一 ②美術→漫画〔日本〕
巣山古墳 ⑦日地→広陵(町)
陶山鈍翁(すやまどんおう) [1657/1732] 江戸中期の農政家・儒者。対馬で野猪駆除など治績をあげ,対馬聖人の称がある ⑤日史 630 C ⑥日史→対馬国〔囲人国記〕
素槍 ⑥日史→槍〔種類〕図
スラ,L [前138/78] ローマ共和政末期の将軍・政治家。マリウスの部将で,出世しマリウス派を一掃 ⑨世史 329 D →マリウス,G →ユグルタ戦争
スラ(諸島) インドネシア ⑩世地 294 B →モルッカ(諸島)

スーラ,G フランス[1859/1891] 新印象主義を代表する画家。色彩学の研究に熱中,原理を科学的に体系化 ②美術 323 C図 →印象主義〔新印象主義〕図 →点描

スライゴー アイルランド ⑩世地 294 C

スライシング採炭 ⑰科技→炭鉱〔採炭〕

スライス ⑬生活→ゴルフ〔基本的技術〈ミスショット〉〕図

スライスチーズ ⑬生活→チーズ〔種類〈プロセス〉〕図

スライダー ⑬生活→野球〔囲用語〕図

スライダークランク連鎖 ⑰科技→リンク装置図

スライダック ⑯物数→変圧器

スライディングタックル ⑬生活→サッカー〔競技方法〕

スライド関税 ⑫経産→関税

スライドパーク ⑰科技→駐車場〔路外駐車場〈図立体駐車場〉〕

スライファー,V ⑱宇地→銀河系外星雲〔後退と膨張〕

スライマン(山脈) パキスタン ⑩世地 294 C

スライム充塡法 ⑰科技→炭鉱〔支保〕

スラウェシ ⇨セレベス(島)

スラエルセ デンマーク ⑩世地 294 C

スラーエルホフ,J オランダ[1898/1936] 小説家・詩人。船医となり中国や南米に旅する。ロマン主義作家 ①文学 330 D →オランダ文学

スラカルタ インドネシア ⑩世地 294 C ⑨世史→サレカット・イスラム

スラグ〈鉱滓〉 ⑮化学 358 A ⑰科技→高炉 →鉄鋼〔製鉄〕 →廃滓

スラグセメント ⑰科技→セメント

ずらし ⑬生活→郷土料理〔囲〈佐賀〉〕

スーラージュ,P フランス[1919] 画家。キュビスムの洗礼を受けたが,大戦後のパリ抽象画壇の代表的存在として活躍 ②美術 323 D

スラスト軸受 ⑰科技→軸受

ズラータペル,S イタリア[1888/1915] 小説家・評論家。熱心な失地回復論者で,大戦に志願兵で従軍,戦死 ①文学 330 D

スラッガー ⑬生活→野球〔囲用語〕

スラック ⑰科技→線路

スラックス ⑬生活→ズボン

スラックライン ⑰科技→掘削機械〔ドラグバケット式掘削機械〕

スラッジ ⑮化学→重油

スラット ⑰科技→ＳＴＯＬ(エストール)

スラット・テブラウ ⇨ジョホール(水道)

スラッファ,P ⑫経産→迂回生産 →資本Ⅱ〔迂回生産〕

スラップスティック喜劇 ③音演→セネット,M

スラーデック ①文学→東欧文学〔チェコ〕

スラト インド ⑩世地 294 C →グジャラート(州)

ズラトブラツキー,N ロシア[1845/1911] 小説家。民衆の知恵を崇拝し,ナロードニキ的立場をとった ①文学 330 D

スラバヤ インドネシア ⑩世地 294 C図 →ジャワ(島)

スラブ ⑬生活→登山〔囲用語〕

スラブ音楽 ③音演 291 D

スラブ軌道 ⑰科技→軌道図 →新幹線〔山陽新幹線〈特色〉〕

スラブ語派 ⑧日地 1219 B →インド・ヨーロッパ語族〈1199 A〉

スラフコフ〈アウステルリッツ〉 チェコ ⑩世地 294 D ⑨世史→アウステルリッツの戦い

スラブ族 ⑨世史→東欧史〔歴史〈諸民族の定住〉〕

スラブ派 ⇨スラボフィル

『スラブ舞曲』 ③音演→ドボルザーク,A〔作品〕

『スラブ・ブルガリア史』 ①文学→東欧文学〔ブルガリア〕

スラブ民族 ⑨世史 329 D →汎スラブ主義

スラベイコフ,P ブルガリア[1827/1895] 詩人。近代ブルガリア詩の創始者。文芸・政治の啓蒙活動に従事 ①文学 330 D →東欧文学〔ブルガリア〕

スラボフィル〈スラブ派〉 ⑨世史 330 A →ザパドニキ →ロシア〔文化的風土〕 ④哲宗→ロシア哲学 ⑪政社→ロシアの政治思想

スラム ⑪政社 302 C →都市問題〔問題と対策〕 ⑦日地→愛隣地区 →山谷(さんや) ⑫経産→都市問題

スラル(島) ⑩世地→タニンバル(諸島)

スラローム ⑬生活→カヌー競技図 →水上スキー図

スラローム競技 ⇨回転競技

スラン ベルギー ⑩世地 294 D

スランスキー,R チェコ[1901/1952] ⑨世史→東欧史〔歴史〈第二次大戦後〉〕

『スリ』 ③音演→ブレッソン,R

ずり ⑰科技→廃石

磨上茎(すりあげなかご) ②美術→日本刀〔囲用語〈茎〉〕

磨上原(すりあげはら)〔摺上原〕 福島 ⑦日地 608 C

すりあげわざ ⑬生活→剣道〔わざ〈応じわざ〉〕表

すり合わせ作業 ⑰科技→手仕上げ〔きさげ仕上げ〕

すり餌 ⑳動物→飼い鳥〔飼い方〈餌〉〕

摺上川(すりかみがわ) 福島 ⑦日地 608 C

すりきず〈擦過創〉 ⑭医学→きず

擦切磨製石斧(すりきりませいせきふ) ⑤日史 630 C図

スリークッション競技 ⑬生活→ビリヤード〔種類〕

すりこ木 ⑬生活→調理器具〔成形器具〕

スリコフ,N ロシア[1848/1916] 歴史画家。移動派に参加。群衆の動態描写に優れた ②美術 323 D →移動派 →ロシア美術〔移動派とその周辺〕

刷りこみ〈インプリンティング〉 ⑳動物→鳥類〔行動〕 →ローレンツ,K

スリー・ザ・グリーン ⑬生活→ゴルフ〔ゴルフコース〈構成〉〕図

摺沢(すりさわ) 岩手/大東町 ⑦日地 608 C

スリーシーズンコート ⑬生活→コート

スリーダブ ⇨WWW

スリックタイヤ ⑰科技→競走用自動車〔構造〕

スリッド・ドラム ③音演→ドラム

スリップ ⑬生活→下着〔洋装〕

スリップス ⑲植物→病虫害〔表害虫〕

スリップス ⇨アザミウマ

スリップ鋳造 ⑰科技→鋳造

すり流しいも ⑬生活→郷土料理〔囲〈和歌山〉〕

スリナガル インド ⑩世地 294 D →インド図 →カシミール図

スリナム(共和国) 南アメリカ ⑩世地 295 A図 →ギアナ

スリナム・カシア ⑲植物→ニガキ

ズリーニ ①文学→東欧文学〔ハンガリー〕

摺箔(すりはく) ②美術 323 D →縫箔(ぬいはく)

すり鉢 ⑬生活→調理器具〔成形器具〕

摺鉢山 ⑦日地→硫黄島《東京》図

スリーピングバッグ ⑬生活→キャンプ〔図用具〕

スリーブ ⑬生活→袖

スリーブ継手 ⑰科技→軸継手〔固定軸継手〕図

スリーマンス=コリック ⑭医学→乳児〔2～3か月〈病気〉〕

スリム ⑬生活→洋裁〔囲用語〕

スリューテル,C [?/1405] フランスで活躍した彫刻家。宮廷に仕え,カルトジオ会修道院の一連の制作がある ②美術 324 B →オランダ美術 →フランドル美術〔彫刻・工芸〕

受領(ずりょう) ⑤日史 630 C →荘園〔国衙〕 ⑥日史→知行国 →重任(ちょうにん)

スリラー ①文学→推理小説〔外国〕

スリランカ(民主社会主義共和国)〈セイロン〉 ⑩世地 295 B図 ⑫経産→アジア経済事情図 →製茶業

スリランカ国立動物園 ⑳動物→動物園〔表世界〕

スリーリバーズ ⇨トロワリビエール

スリン ③音演→ガムラン〔楽器〕

スリンギヒマール ⑩世地→ヒマラヤ(山脈)〔表初登頂〕

スル(海) ⑩世地 296 D

スル(諸島) フィリピン ⑩世地 296 D

駿河御前(するがごぜん) ⇨築山殿(つきやまどの)

駿河次郎 ⇨三浦泰村

駿河台 東京/千代田区 ⑦日地 608 C

駿河大納言 ⇨徳川忠長

駿河国 静岡 ⑤日史 630 C囲 ⑦日地 608 C →静岡(県)

駿河版 ⑤日史 631 B →印刷術 →古活字版

駿河府中藩 ⇨駿府藩(すんぷはん)

駿河舞 ⇨東遊(あずまあそび)

スルガユコウ ⑲植物→コウジ《ミカン科》

スルガラン〔駿河蘭〕 ⑲植物 352 C →ラン〔東洋ラン〕

駿河湾 ⑦日地 608 C →石花礁(せのうみ) ⑱宇地→大急潮

スルギ ⑳動物→イヌ〔用途〕

スルグート ソ連/ロシア ⑩世地 296 D

スルグト油田 ⑫経産→ソ連経済事情図

スルコフ,A ソ連[1899] 詩人。党・政府の文芸路線のスポークスマンとして知られる ①文学 331 A

磨墨(するすみ) ⑤日史→宇治川の戦い →梶原景季

ズールー族 ⑩世地→南アフリカ(共和国)図 →レソト(王国) ⑬生活→民族衣装図

スルーダー,G アメリカ[1866/1928] ⑭医学→耳鼻咽喉科

スールダース インド[1483?/1563?] ブラジ・バーシャー語詩人。盲目で寺院の楽士としてクリシュナ賛歌をうたう ①文学 331 A

スルタン ⑨世史 330 A →カリフ →スルタン・カリフ制 →ムラト(一世)

スルタン・アグン ⑨世史→マタラム

スルタン・カリフ制 ⑨世史 330 B →オスマン・トルコ帝国 ④哲宗→カリフ ⑪政社→イスラム教〔歴史〕

ズールーダンス ⑩世地→南アフリカ(共和国)図

スルタン・ハッサン寺院 ⑩世地→エジプト(アラブ共和国)図

スール朝 ⑨世史 330 B →シェール・シャー

ズルチン ⑮化学 358 B

スルツェイ(島) ⑱宇地→火山〔表活火山〕

スルツェイ(山) アイスランド ⑩世地 296 D

スルツキー,B ソ連[1919] 詩人。ゴーリキー文学大学卒業。戦中派の世代に属す ①文学 331 A

スルーツキー方程式 ⑫経産→価格効果・所得効果図

スルティ ③音演→インド音楽〔楽器〈シャーナイ〉〕

スルト(湾) ⇨シルテ(湾)

スルバラン,F スペイン[1598/1664] 画家。静物画・祭壇画・宗教画に腕をふるった ②美術 324 C図 →スペイン美術〔ルネサンス〕図

スルピキア [*.] 紀元前後のローマの女流詩人。乙女の飾らない恋心を美しくうたった ①文学 331 A

スループ ⑰科技→帆船〔図種類〕 →ヨット〔種類〕

スルファ剤 ⇨サルファ剤

スルファミン〈スルファニラマイド〉 ⑭医学→サルファ剤〔種類〕 ⑮化学→サルファ剤

スルファミン酸アンモニウム ⑮化学→農薬〔分類〈表除草剤〉〕

スルボ ⇨ツルボ

スルホ基 ⑮化学→基表

スルホキソンナトリウム〈サルホキソン〉 ⑭医学→サルファ剤〔種類〕

スルホナール ⑭医学→睡眠〔睡眠剤〈持続性熟眠剤〉〕

スルホンアミド剤 ⇨サルファ剤

スルホン化 ⑮化学 358 B

スルホン酸 ⑮化学 358 B

スルホン酸基 ⑮化学→官能基表

スル・ポンティチェロ ③音演→バイオリン〔奏法〕

するめ ⑬生活→水産加工品〔種類〈素干し品〉〕 ⑳動物→イカ〔調理〕

スルメイカ〔鯣烏賊〕 ⑳動物 359 B →イカ図

スールヤ ④哲宗→インド神話〔ベーダ神話〕図

スールヤバルマン(二世) ⑨世史→アンコール遺跡 →東南アジア〔歴史〈古代クメール帝国〉〕

ずれ ⑯物数 291 B →変形

スレイニエモスク ⑩世地→キプロス(共和国)図

スレイブ・コーズ〈奴隷条項〉 ⑨世史→ジム・クロウ制度

スレイマン(一世) [1494/1566] オスマン・トルコ帝国第10代スルタン。帝国最大のスルタンで西欧を威圧 ⑨世史 330 B図 →オーストリア・トルコ戦争 →オスマン・トルコ帝国 →スルタン・カリフ制 →東欧史〔歴史〈列強による支配〉〕 →西アジア〔オスマン・トルコ帝国時代〕

スレイマン(山脈) ⇨スライマン(山脈)

スレイマン・チェレビー ①文学→トルコ文学〔イスラム化後〕

ずれ応力〈剪断応力〉 ⑯物数→力〔種類〕 →変形〔応力〕

スレオニン ⇨トレオニン

オ-ペントウロース ⑮化学→単糖類〔図構造〕

スレーター ⑳動物→鳥類〔分布〕

ずれ弾性率〈剛性率〉 ⑯物数→変形

スレッサ,K ①文学→オーストラリア・ニュージーランド文学〔オーストラリア〕

すれ釣り ⑳動物→キス〔釣り〕

スレート ⑱宇地→石材〔利用〕 →粘板岩 ⑬生活→屋根〔種類〕

スレパゴダ ⑩世地→ラングーン図

スレプツォフ,V ロシア[1836/1878] 小説家。地主貴族の子だが民衆と生活し,記録文学風の作品を書く ①文学 331 A

スレーン ⑱宇地→雨〔珍しい雨〕

全通船楼船　⑰科技→貨物船〔特徴〈船楼〉〕
千塚　⑥日史 660 A
センツベリ, G　イギリス[1845/1933]　文学史家・批評家。博識で,史的展望をもった英仏文学関係の批評で一世を風靡　①文学 340 D
宣帝　中国[530/582]　⑨世史→陳
剪定　⑲植物 364 B　→園芸〔栽培の手入れ〕図
前提　④哲宗→要請　⑯物数→結論
ゼンテイカ　⇨ニッコウキスゲ
前庭器官　⑭医学→感覚〔種類〈平衡感覚〉〕→姿勢〔姿勢反射〕→耳〔内耳〕　⑳動物→感覚〔平衡感覚〕→耳
選帝侯　⑨世史 344 C　→金印勅書　→大空位時代
先帝祭　⑦日地→下関(市)〔赤間神宮〕図
尖底土器　⑥日史 660 B図　②美術→陶芸〔日本〈土器〉〕　⑤日史→縄文文化〔時代区分〈前期〉〕別
船底塗料　⑮化学→塗料〔分類〈特殊塗料〉〕
センティニアルステイト　⇨コロラド(州)
剪定ばさみ　⑲植物→園芸〔図表園芸用具〕
銑鉄　⑰科技 346 B　→高炉　→鋳鉄　→鉄鋼　⑫経産→鉄鋼業〔日本概要〕　⑮化学→鉄〔製法〕
センデル, R　スペイン[1902]　小説家。内戦で亡命,アメリカで旺盛な創作活動を続ける　①文学 340 D
尖点　⑯物数→曲線〔代数曲線〕図
宣伝〈プロパガンダ〉　⑪政社 346 C図　→アジテーション　→ナチズム〔運動の特色〕　②美術→ポスター　⑫経産→宣伝広告産業　→PR
全天空照度　⑬生活→採光図
全天候運航方式　⑰科技→空港〔着陸誘導施設〈GCA〉〕
宣伝広告産業　⑫経産 349 B
全天候トラック〈タータントラック〉　⑬生活→陸上競技〔歴史〕
先天股脱　⇨先天性股関節脱臼
『仙伝抄』　⑬生活→いけ花〔歴史〕
先天性横隔膜ヘルニア　⑭医学→新生児〔疾患〕
先天性巨大結腸症　⑭医学→新生児〔疾患〕
先天性魚鱗症　⑭医学→遺伝〔表遺伝性の病気〕
先天性筋性斜頸　⑭医学→斜頸
先天性股関節脱臼〈先天股脱〉　⑭医学→関節〔関節炎〈変形性関節炎〉〕→股関節〔疾患〕図　→乳児〔2～3か月〈病気〉〕
先天性食道閉塞症　⑭医学→新生児〔疾患〕
先天性心臓疾患　⑭医学→奇形児〔種類〕
先天性鼠径ヘルニア　⑭医学→鼠径ヘルニア図
先天性代謝異常症　⑭医学→奇形児〔種類〕→代謝
先天性腸閉鎖症　⑭医学→新生児〔疾患〕
先天性無ガンマグロブリン血症　⑭医学→遺伝〔表遺伝性の病気〕
先天停止性夜盲〈小口病〉　⑭医学→夜盲症
先天的　⇨ア・プリオリ
先天梅毒　⑭医学→性病〔梅毒〕
占田法・課田法　⑨世史 344 D　→魏晋南北朝〔社会・経済〕
先天免疫〈自然免疫〉　⑭医学→免疫
泉都　⇨チーナン
CENTO　⇨中央条約機構
『ゼンド』　①文学→パフラビー文学
セントアンドリューズ　⑬生活→ゴルフ〔歴史〕図
全ドイツ協会　⑨世史→汎ゲルマン主義
全ドイツ連盟　⑨世史 344 D　→ドイツ祖国党
全ドイツ労働者協会　⑨世史 345 A　→社会主義労働者党　⑪政社→社会民主主義〔沿革〕→ドイツ社会民主党〔創設から第一次大戦〕
仙洞　⇨上皇
尖頭　⑭医学→頭〔小頭症〕
剪刀　⑭医学→解剖
船灯　⑰科技 346 B　→船〔構成〈諸設備〉〕図
銭湯　⑥日史 660 B図　→湯女
扇動　⇨アジテーション
船頭　⑤日史→梶取
羨道　⇨羨道
善導　中国[613/681]　唐代初期の僧。浄土教の大成者。戒律を護持し念仏三昧を修した　④哲宗 345 B　→『観無量寿経』→浄土教〔中国〕→念仏
蠕動　⑭医学→胃〔作用〕　⑳動物→胃
全頭亜綱　⑳動物→魚類〔分類〕
尖塔アーチ　④哲宗→教会堂〔ゴシック時代〕　⑰科技→アーチ構造〔図種類〕
戦闘員・非戦闘員　⑪政社 347 D　→捕虜
蠕動運動　⑳動物 371 A図　→消化　⑭医学→嚥下→消化〔小腸〕→食道　→腸〔小腸〈運動機能〉〕

戦闘機　⑰科技→飛行機〔用途〈軍用機〉〕図別
銭塘江　⇨チェンタン(川)
『船頭小唄』　①文学→野口雨情　③音演→歌謡曲表
仙洞御所　②美術→庭園囲　④哲宗→大覚寺　⑤日史→後院
前頭骨　⑭医学→頭〔頭蓋骨〕
『全唐詩』　①文学 340 D　→王之渙
『全唐詩逸』　①文学→市川寛斎　→『全唐詩』
扇動者　⇨アジテーター
戦闘者ファッシ　⑨世史→ファシスタ党　→ムッソリーニ, B
『剪灯新話』〈剪灯録〉　①文学→浅井了意〔御伽婢子〕→新話→瞿佑図　→伝奇　→翻案小説
船頭制度　⑫経産→漁業労働者
先頭責任制速度競走　⑬生活→自転車競技〔競技種目〈トラック競技〉〕
宣統帝　⇨溥儀
尖頭電流〈ピーク電流〉　⑯物数→電流
前頭洞　⑭医学→鼻〔解剖〈副鼻腔〉〕
羨道墳　⑨世史→巨石記念物
『全唐文』　①文学 341 A
前頭葉　⑭医学→脳〔構造〕
セントウレア　⑲植物 364 B
前頭連合野　⑭医学→脳〔新皮質系〕
『剪灯録』　⇨『剪灯新話』
セントエリアス(山脈)　北アメリカ　⑩世地 309 D　→ローガン(山)
セント・エルモの火　⑱宇地 364 B
セントオーガスチン　アメリカ/フロリダ　⑩世地 309 D
セント・オルバンズの戦い　⑨世史→ばら戦争
『船頭可愛いや』　③音演→歌謡曲表
全斗煥　⑪政社→朝鮮政治事情〔大韓民国〕
セントキッツ(島)　⑩世地→小アンチル(諸島)→リーワード(諸島)
沾徳　⇨水間沾徳
ゼントクチュウ〔善徳虫,漸得虫〕　⑳動物→イネクロカメムシ
宣徳青花　②美術→染付
宣徳通宝　⑥日史→明銭
セントゴール　⇨ザンクトガレン
セント・ジェームズ宮殿　⑩世地→ロンドン《イギリス》〔囲観光地〕
セント=ジェルジー, A　アメリカ[1893]　ハンガリー生まれの生化学者。副腎からアスコルビン酸を純粋分離した。ノーベル賞受賞　⑭医学 29 D　→ノーベル生理学=医学賞図表　⑮化学 393 A　⑳動物 371 A
セントジャイルズ教会　⑩世地→エジンバラ〔囲観光地〕
セントジョージ(海峡)　⑩世地 309 D
セントジョージ(島)　⑩世地→プリビロフ(諸島)
セントジョージズ　⑩世地→グレナダ図
セントジョーゼフ　アメリカ/ミズーリ　⑩世地 309 D
セントジョン　カナダ　⑩世地 309 D　→ニューブランズウィック(州)
セントジョン(島)　⑩世地→バージン(諸島)
セントジョンズ　カナダ　⑩世地 309 D
セント・デニス, R　アメリカ[1877/1968]　舞踊家・振付者。門下から今日の同国のモダン・ダンスを確立した多くの俊秀を出す　③音演 299 A　→ショーン, T　→モダン・ダンス
セントトマス(島)　⑩世地→バージン(諸島)
『禅と日本文化』　④哲宗→鈴木大拙
セントバーソロミュー(島)　⑩世地→小アンチル(諸島)
セントバーナード　⑳動物→イヌ〔犬種〈使役犬〉〕別
セントピーターズバーグ　アメリカ/フロリダ　⑩世地 310 A
セントビンセント　西インド諸島　正称はセントビンセント及びグレナディーン諸島　⑩世地 310 A　→小アンチル(諸島)
セントビンセント沖海戦　⑨世史→ネルソン, H
セント・ビンチェント賞　①文学→文学賞
セントブランドン(諸島)　⑩世地→モーリシアス
セントヘレナ(島)　イギリス/大西洋　⑩世地 310 B　⑨世史→ナポレオン(一世)〔百日天下〕
セントヘレンズ　イギリス　⑩世地 310 B
セントポーリア〈アフリカスミレ〉　⑲植物 364 B図
セントポール　アメリカ/ミネソタ　⑩世地 310 B図　→ミネアポリス
セントポール(島)　フランス/インド洋　⑩世地 310 B　→プリビロフ(諸島)
セント・ポール大聖堂　②美術 338 D図　→レン, C　④哲宗 345 C　⑩世地→ロンドン《イギリス》〔囲観光地〕図
セントポール天主堂跡　⑩世地→マカオ図
セントメリー寺院　⑩世地→エジンバラ〔囲観光地〕

セントユースティアス(島)　⑩世地→小アンチル(諸島)
セントライト　⑬生活→競馬〔名競走馬〕
セントラル(山脈)　パプアニューギニア　⑩世地 310 C
セントラルクーリング・システム　⑬生活→冷暖房〔冷房〕
セントラルハイランド　⇨グランピアン(山脈)
セントラルパーク　⑩世地→ニューヨーク〔囲市街案内〕図
セントラルバリー　⑩世地→サクラメント(川)→サンホアキン(川)
セントラルヒーティング　⑰科技 346 C　⑬生活→冷暖房〔暖房〕図
セントラルリーグ　⑬生活→野球〔プロ野球〈日本〉〕
セントラルロンドン　⑩世地→イギリス(連合王国)〔イングランド〈ロンドン〉〕
セントランサス　⑲植物 364 C
セントルイス　アメリカ/ミズーリ　⑩世地 310 C
セントルイス動物園　⑳動物→動物園〔表世界〕
セントルシア　西インド諸島　⑩世地 310 C　→ウィンドワード(諸島)　→小アンチル(諸島)図
セントルロイデス・グラシリス　⑳動物→サソリ〔毒〕図
セントローレンス(湾)　⑩世地 310 C　⑱宇地→海洋表
セントローレンス(川)　カナダ・アメリカ　⑩世地 310 D　⑫経産→国土総合開発〔アメリカ〕
セントローレンス(運河)　⑰科技→運河
セントローレンス(水路)　カナダ・アメリカ　⑩世地 310 D　→アメリカ(合衆国)〔交通〕→五大湖　→シカゴ〔歴史〕→バッファロー
セントローレンス(島)　アメリカ/アラスカ　⑩世地 310 D　→ベーリング(海)
セントローレンス(低地)　⑩世地→カナダ〔地方誌〕
セントローレンスアイランズ国立公園　⑩世地→カナダ〔表国立公園〕
センナ　⑲植物 364 C図　→薬用植物表　⑭医学→下剤
善阿　[?/1313?]　鎌倉末期の連歌師。地下連歌の指導者として活躍,後世,祖と仰がれる　①文学 341 A　→連歌〔歴史〕
禅那　⇨禅
船内外機艇　⑰科技→モーターボート
船内機艇　⑰科技→モーターボート
『宣和遺事』　⇨『大宋宣和遺事』
センナケリブ　⇨セナケリブ
宣和時代　⑨世史→徽宗→蔡京
センナリスナギンチャク　⑳動物→スナギンチャク
センナリヒョウタン　⑲植物→ヒョウタン
センナリホオズキ　⑲植物→ホオズキ
仙南(村)　秋田　⑦日地 624 D
泉南(市)　大阪　⑦日地 624 D
仙南平野　⑦日地→仙台平野
センニチコウ〔千日紅〕　⑲植物 364 C図
センニチソウ　⇨センニチコウ
千日手　⑬生活→将棋〔規則〕
千日寺〈法善寺〉　⑦日地→千日前
全日農　⇨全日本農民組合　⇨全日本農民組合連合会
千日前　大阪市/南区　⑦日地 624 D
千日詣　④哲宗→仏教〔囲用語〕
全日空　⇨全日本空輸(株)
全日本愛国者団体会議　⑪政社→右翼〔戦後日本〕
全日本学生自治会総連合〈全学連〉　⑥日史 660 D　⑤日史→学生運動　⑪政社→安保闘争　→学生運動〔日本〕
全日本金属産業労働組合協議会〈IMF・JC〉　⑥日史→労働運動〔60年代以降〕　⑫経産→労働組合〔戦後〕→労働団体〔三〕
全日本空輸(株)　⑫経産 349 C　⑬生活→旅行〔航空機〈戦後〉〕
全日本剣道連盟　⑬生活→剣道〔歴史〈第二次大戦後〉〕
全日本興国同志会　⑤日史→国家社会主義運動
全日本鉱夫総連合　⑤日史→足尾銅山争議
全日本産業別労働組合会議〈産別会議〉　⑥日史 660 D　→全国産業別労働組合連合　⑤日史→十月闘争　⑫経産→労働団体〔二〕
全日本柔道連盟　⑬生活→柔道〔沿革〕
全日本大学野球選手権大会　⑬生活→野球〔大学野球〕表
全日本農民組合　⑥日史 661 A　⑫経産→農民組合運動
全日本農民組合連合会　⑥日史 661 B　⑫経産→農民組合運動
全日本無産者芸術団体協議会　①文学→『戦旗』→日本プロレタリア作家同盟

全日本無産者芸術連盟　⇨ナップ
全日本無産青年同盟　⑥日史 661 B
全日本労働組合会議〈全労会議〉　⑥日史 661 B　→労働運動〔独立後〕　⑫経産→労働団体〔二〕
全日本労働組合連盟　⑥日史→日本労働組合会議《戦後》
全日本労働総同盟《戦前》　⑥日史→日本労働総同盟　→松岡駒吉　→労働運動〔大恐慌後〕
全日本労働総同盟〈同盟〉　⑥日史 661 C　→民社党　→労働運動〔60年代以後〕　⑪政社→民社党　⑫経産→労働組合〔戦後〕　→労働団体〔一〕
センニュウ〔仙入〕　⑳動物 371 B図　→渡り〔遠距離型〕
泉涌寺せんにゅうじ　④哲宗 345 C図　→俊芿しゅんじょう　⑥日史 661 C　⑦日地→京都(市)〔囲神社・仏閣〕
泉涌寺派　⇨真言宗泉涌寺派
宣耀殿せんようでん〈せんにょうでん〉　⑥日史→内裏だいり〔囲殿舎〕
仙人　④哲宗→修行　→神仙思想　→不老不死
センニンソウ〔仙人草〕　⑲植物 365 A図　→種子〔図〈風で飛ぶ〉〕
千人隊〈赤シャツ隊〉　⑨世史 345 B　→ガリバルディ，G
仙人峠　岩手　⑦日地 624 D
『千人の交響曲』　③音演→マーラー，G〔作風と作品〕
千人武者行列　⑧日地→日光(市)〔囲東照宮〕図
センニンモ〔仙人藻〕　⑲植物 365 A
潜熱　⑯物数 309 B　→相変化〔第1種の相変化〕　→熱〔熱概念の出発〕　→熱量　⑮化学→ブラック，J
腺熱　⑭医学 371 D　→感染症〔表〈ウイルス性〉〕→風土病
千年王国　④哲宗→ミレニアム　⑪政社→終末論
千年至福説　⇨ミレニアム
センネンダイ〔千年鯛〕　⑳動物 371 C
センネンボク〔千年木〕　⑲植物→ドラセナ
センノウ〔仙翁〕　⑲植物 365 B図
洗脳　⑪政社 347 D
全農　⇨全国農業協同組合連合会　⇨全国農民組合
センノキ　⇨ハリギリ
仙ノ倉山　群馬・新潟　⑦日地 625 A
『善の研究』　①文学→西田幾多郎　④哲宗→西田幾多郎　⑥日史→西田幾多郎
千宗旦　②美術→一閑張いっかんばり　⑥日史→茶道さどう〔大成〕
善の綱　④哲宗→仏教〔囲用語〕
千利休せんのりきゅう　［1522/1591］　室町後期・安土桃山時代の茶匠。茶道の開祖。豊臣秀吉の政治にも参画するが賜死　②美術 339 A　→茶室〔変遷〕　⑥日史 661 D図　→茶道〔大成〕　→楽焼　⑤日史→安土桃山時代〔文化〕　→和泉国いずみ〔囲人国記〕　⑬生活→懐石　→茶道〔歴史〕
船場せんば　大阪市　⑦日地 625 B　→堺筋　⑧日地→道修町どしょうまち
前場　⑫経産→取引所〔種類〕
善派ぜんぱ　②美術 339 B
ゼンパー，G　ドイツ［1803/1879］　建築家・建築理論家。古典主義の感化を受け，西欧各地の劇場や博物館を設計　②美術 339 D　③音演→劇場〔西欧〈近世〉〕
専売　⑫経産 349 C　⑤日史→大蔵省〈現代〉　⑥日史→専売制度　⑬生活→食塩〔歴史〕　→たばこ〔歴史〈課税と専売へ〉〕
専売制度　⑥日史 662 A　⑫経産→専売
専売納付金　⑫経産→一般会計予算　→専売〔日本専売公社〕
専売反対一揆　⑥日史→藩専売政策〔殖産興業〕
船舶　⇨船
船舶火災　⑰科技→消防艇
船舶気象通報　⑱宇地→気象通報〔特殊〕
冉伯牛ぜんはくぎゅう　中国　④哲宗→孔子〔孔門の十哲〕
船舶公衆電話　⑬生活→電話・電報〔電話〈種類〉〕
船舶執行　⑪政社→強制執行
船舶整備公団　⑫経産→公団
船舶通航信号　⑰科技→航路標識〔特殊信号〕
船舶通話　⑬生活→電話・電報〔電話〈通話〉〕
船舶登記　⑬生活→登記
船舶保険　⑫経産→海上保険
船舶用原子炉　⑰科技→原子力船
千波湖　⑧日地→水戸(市)〔偕楽園〕
千歯扱き　⑤日史→江戸時代〔産業・経済・貿易〈産業〉〕
千葉城　⑤日史→熊本城
船場汁　⑬生活→郷土料理〔囲〈大阪〉〕　→汁物〔澄まし汁〕　→惣菜　⑳動物→サバ〔調理〕
千畑(村)　秋田　⑦日地 625 C
1812年憲法　⑨世史→半島戦争
1812年戦争　⇨アメリカ・イギリス戦争
『千羽鶴』　①文学→川端康成　→サイデンステッカー，G　→日本文学〔近代〈第二次大戦後〉〕
『千羽鶴折形』　⑬生活→折り紙〔資料〕図
ゼンパハの戦い　⑨世史 345 B図　→モルガルテンの戦い
旋盤　⑰科技→機械仕上げ　→工作機械図表　→ワイアット，J
戦犯　⇨戦争犯罪人
全藩一揆　⑥日史→天保の飢饉　⑫経産→百姓一揆
全般拡散照明器具　⑰科技→照明設備〔照明器具〈図配光による分類〉〕
全反射　⑯物数 309 B　→反射　→光
全反射プリズム　⑯物数→プリズム〔偏角プリズム〕
全般的危機　⑨世史→第二次世界大戦〔前史〕　→帝国主義〔変遷〕
全販連　⇨全国販売農業協同組合連合会
船費　⑫経産→用船
鮮卑せんぴ　⑨世史 345 B　→北アジア〔モンゴル高原〕　→騎馬民族　→五胡十六国　→東胡　→北魏　→遊牧国家
戦費　⑫経産→軍事費
センピオーネ(峠)　⇨シンプロン(峠)
船尾機関船　⑰科技→貨物船〔特徴〈機関室〉〕
線引小切手　⑫経産→小切手図
千匹連れ　⑳動物→イルカ〔民俗〕
鮮卑拓跋氏　⑨世史→孝文帝
全微分　⑯物数→偏導関数
千姫　［1597/1666］　豊臣秀頼の正室。2代将軍徳川秀忠の長女。大坂落城の前夜脱出し，のち本多忠刻に嫁す　⑥日史 662 B図　→豊臣秀頼　⑤日史→大野治長　→坂崎直盛
全評　⇨日本労働組合全国評議会
腺病質　⑭医学→特異体質
船尾寄り機関船　⑰科技→貨物船〔特徴〈機関室〉〕
船尾楼　⑰科技→船〔構成〈上部諸室〉〕
千尋滝せんぴろ　⑦日地→大杉谷
旋風　⑱宇地 364 B　→竜巻
扇風機　⑫経産→民生用電気機器工業〔発展〕　⑬生活→電気器具〔種類〕
泉布館　⑦日地→北(区)《大阪》
千本木せんぼんぎ〈せんぼんぎ〉　⑦日地→島原(市)
潜伏芽　⑲植物→芽
潜伏期　⑭医学→伝染病
泉福寺　⑦日地→国東(町)くにさき図
善福寺　⑧日地→港(区)《東京》
善福寺池　⑦日地→杉並(区)図
善福寺公園　⑧日地→東京(都)表
全幅射等級　⑱宇地→等級
全部原価計算　⑫経産→原価計算
千仏洞　⑨世史→敦煌とんこう　⑩世地→ソビエト(連邦)〔囲西域の遺跡〕　→トンコー
全部用船　⑫経産→用船　⑰科技→貨物船〔種類〕
センブリ〔千振〕　⑲植物 365 C図　→薬用植物表　⑭医学→生薬しょうやく〔当薬〕図
センブリ〔千振〕　⑳動物 371 C
センプル　⑧日地→環境論〈1205 A〉
センプレ　③音演→音楽用語〈629 C〉
線分　⑯物数→測地線　→直線
線分グラフ　⑯物数→グラフ理論
全分泌　⑳動物→分泌ぶんぴつ
煎餅　⑬生活 364 A
全米自動車労組　⑫経産→アメリカ経済事情〔社会・労働〕
全米相互援助条約　⇨リオ協定
全米防火協会〈NFPA〉　⑫経産→保険〔機能〕
全米連合　⇨米州機構
腺ペスト　⑭医学→ペスト
餞別〈餞けはなむけ〉　⑬生活→祝い事〔栄転・昇進〕　→贈答〔季節〕
選別融資　⑫経産→融資〔二〕
選別融資規制　⑫経産→融資〔三〕
センペル・セコイア　⇨セコイア
銭舗　⇨銭荘せんそう
綫縫　⑰科技→製本〔歴史〕
譫妄せんもう　⑭医学→意識障害
旋法　③音演 299 A
全方位式無線標識〈VOR〉　⑰科技→航空保安施設〔無線施設〈航行援助施設〉〕　→航法〔空中航法〈電波航法〉〕
潜望鏡形バックミラー〈ペリスコープ形バックミラー〉　⑰科技→安全自動車〔ESV〕
前方後円墳　②美術→古墳〔形〕図　⑤日史→古墳〔かたち〕図別　⑥日史→仁徳天皇陵
全方向式無線標識　⇨NDB エヌディービー
前方後方墳　②美術→古墳〔形〕図　⑤日史→古墳〔かたち〕図別
善宝寺　⑧日地→鶴岡(市)図
全琫準　朝鮮［1854/1895］　⑨世史→甲午農民戦争こうご　→朝鮮〔李氏朝鮮〈甲午農民戦争〉〕図
線膨張率　⑯物数→膨張表
旋法的和声　③音演→和声〔歴史〕
仙北(町)　秋田　1974年町制　⑦日地 625 C
占卜　⇨占い
仙北おばこ〈秋田おばこ〉　③音演→民謡〔表〈秋田〉〕
仙北音頭〈秋田音頭〉　③音演→民謡〔表〈秋田〉〕
全北区　⑲植物→植物区系　→植物分布〔フロラ分布〕図
仙北甚句〈秋田甚句〉　③音演→民謡〔表〈秋田〉〕
全蹼足　⑳動物→鳥類〔形態〈趾型〉〕　→水かき
釧北峠　北海道　⑦日地 625 C
仙北平野　宮城　⑦日地 625 C　→仙台平野
線彫　②美術→彫金〔毛彫・なめくり彫・蹴彫〕
千本イチョウ　⑦日地→市川(市)〔葛飾八幡宮〕
千本木せんぼんぎ〈せんぼんぎ〉　⑦日地→島原(市)
千本格子　②美術→格子こうし
『千本桜』　⇨『義経千本桜よしつねせんぼんざくら』
センボンシメジ〔千本占地〕　⑲植物 365 C　⇨シャカシメジ
千本搗づき　⑦日地→大阪(府)〔文化〈郷土芸能〉〕
センボンネギ〔千本葱〕　⑲植物→ネギ
千本松原　静岡/沼津市　⑦日地 625 D
千本松原《岐阜》　⑦日地→海津(町)
千本山　高知　⑦日地 625 D　→馬路(村)　⑧日地→奈半利川なはり
センボンヤリ〔千本槍〕　⑲植物 366 A図　→ガーベラ
センボンワケギ　⇨アサツキ
ゼンマイ〔薇〕　⑲植物 366 A図　→山菜さんさい　→シダ植物別　⑬生活→山菜〔種類〕図
千枚岩　⑱宇地 364 C　→変成岩〔種類〕
千米山　⑦日地→大鳥池
千枚田　⑧日地→能登半島図　⑱宇地→地すべり〔地すべりと生活〕
千枚漬け　⑦日地→京都(市)〔生活・文化〈名産品〉〕　⑬生活→漬け物〔酢漬け〕
ぜんまい時計　⑰科技→時計〔作動原理〕
ゼンマイ秤　⑬生活→調理器具〔計量器具〈秤〉〕
ぜんまいばね　③音演→からくり　⑯物数→ばね
千厩(町)せんまや　岩手　⑦日地 625 D
ゼンマル　⑳動物→ズワイガニ
閃マンガン鉱　⑱宇地 364 C
『千万人と雖も我行かん』　③音演→久板栄二郎ひさいた
線密度　⑯物数→密度
宣命　①文学 341 A　→日本文学〔古代〕　⑥日史 662 C　④哲宗→日本思想〔清明心〕
宣命書き　①文学→宣命　→祝詞のりと
宣明暦　⑤日史→暦〔変遷〕表　⑱宇地→暦こよみ〔太陰太陽暦〈日本暦〉〕囲
選民　④哲宗→キリスト教〔囲用語〕　→聖書〔旧約聖書〈イスラエル〉〕
賤民　⑥日史 662 C図　→奈良時代〔社会組織〕　→非人　→部落解放運動〔先駆〕　→律令制〔身分と階級〕　→良賤　⑤日史→穢多えた　→河原者かわらもの　⑨世史→奴隷制〔近代以前〈中国〉〕　→良賤制　⑪政社→身分　⑫経産→奴婢ぬひ
善無畏ぜんむい　インド［637/735］　仏僧。中国に移り中国真言宗の開祖の一人となる　④哲宗 345 D　→大日如来　→仏教〔中国仏教〈独立〉〕
船名　⑰科技→船〔囲船の命名と寿命〕
喘鳴　⑭医学→喘息ぜんそく〔気管支喘息〕
ゼンメリング，S　ドイツ［1755/1830］　⑰科技→技術別　→通信〔沿革〕
ゼンメルワイス，I　ハンガリー［1818/1865］　産科学者。産褥熱の研究で知られる　⑭医学 230 D　→外科〔歴史〕　→産後
扇面画せんめんが　②美術 339 C図
洗面器　⑬生活→衛生陶器図　→洗面所　⑰科技→給排水設備〔衛生器具設備〕
全面講和　⑤日史→サンフランシスコ講和条約　⑪政社→学生運動〔日本〕　→講和条約　→対日講和条約
扇面古写経　⑥日史 662 D図
扇面写経　②美術→装飾経
洗面所　⑬生活 364 B　→室内装飾図　→照明〔そ

ソ

そ

ソメシバ〈アクシバ〉 ⑲植物→ハイノキ
染付 ②美術 342 B図 →茶碗 →陶芸〔中国〕
染錦 ②美術→柿右衛門
染物 ⑬生活 382 B →手芸 →和服〔囲和服地〕
『染模様妹背門松』 ③音演→『新版歌祭文』
ソメワケベラ〔染分倍良〕 ⑳動物 376 C図
粗面岩 ⑱宇地 367 C →岩石〔火山岩または細粒火成岩〕 →中性岩
梳綿機〈カード〉 ⑰科技→紡績〔種類〕図
ソメンヤドカリ ⑳動物→ヤドカリ図
粗毛〈荒毛〉 ⑬生活→毛皮〔製造法〕
梳毛糸 ⑬生活→毛織物
梳毛紡績 ⑬生活→毛織物 ⑰科技→紡績〔種類〕
作麼生 ④哲宗→仏教〔囲用語〕
ソモシェラ(峠) ⑩世地→グアダラマ(山脈)
『素問・霊枢』〈内経〉 ⑭医学→按摩〔沿革〕 →医学〔東洋医学の歴史〕
征矢 ⑥日史→弓矢〔矢〕
ソーヤ,C デンマーク[1896] 劇作家・小説家。劇評家となったが,作家に転向。一時亡命 ①文学 347 C
『ゾーヤ』 ①文学→アリゲール,M
祖山ダム ⑦日地→五箇山 →庄川〔庄川峡〕
疎油コロイド ⑮化学→コロイド〔分類〕
ソユーズ ⑱宇地→宇宙開発〔有人宇宙計画〕図 →宇宙ステーション →ロケット〔歴史〈第2次大戦後〉〕
蘇陽(町) 熊本 ⑦日地 631 B
蘇陽峡 ⑦日地→五ヶ瀬(町) →五ヶ瀬川
租庸調・雑徭 ⑥日史 679 A ⑨世史 352 B
ソヨゴ ⑲植物 373 B図
空 ⑱宇地 367 C
曾良 ⇨河合曾良
ゾラ,E フランス[1840-1902] 小説家。自然主義の代表的作家で,ドレフュス事件に筆陣をはって世論を動かす ㊍『居酒屋』 ①文学 347 C図 →日本文学〔近代〈自然主義〉〕 ⑨世史 352 B →ドレフュス事件 ③音演→近代劇 ⑪政社→インテリゲンチャ〔狭義〈異議申立て人〉〕
徂徠学 ①文学→荻生徂徠
ソライロアサガオ ⑲植物→アサガオ〔系統と品種〕
ソライロレースソウ ⇨ディディスカス
『天うつ浪』 ①文学→幸田露伴図
空錠 ⑬生活→錠〔種類〕
ソラスズメダイ ⑳動物→スズメダイ
ソラタ(峰) ⑩世地→イヤンプ(山)
『曾良旅記』 ①文学→河合曾良
空知(支庁) 北海道 ⑦日地 631 C
空知川 北海道 ⑦日地 631 C
空知山地 ⑦日地→赤平(市)
空知炭田 ⑦日地→石狩炭田
ソラックス灯 ⑭医学→光線療法〔赤外線療法〕
空飛ぶ円盤 ⑱宇地→未確認飛行物体
ソラーナ,J スペイン[1885-1945] 画家。貧民窟や港町を流れ人知れず生涯を終えた。人生の端役などを好んで描く ②美術 342 C
ソラニジン ⑮化学→ステロイド〔ステロイドアルカロイド〕
ソラニン ⑬生活→ジャガイモ〔料理〕
ソラノ ⑱宇地→風〔表局地風〕
空引機 ⑰科技→織機〔手機〕図
ソラマメ〔空豆〕 ⑲植物 374 A図 ⑬生活→豆類
ソラマメゾウムシ ⑳動物→甲虫〔別〈生態〉〕
『空よ海よ』 ③音演→ポンキエリ,A〔ジョコンダ〕
『ソラリス』 ①文学→レム,S ③音演→タルコフスキー,A
ソラリゼーション〈サバティエ効果〉 ⑮化学→色ガラス〈59 A〉 ⑰科技→写真〔囲用語〕
ソランドラ ⑲植物 374 A図
ソーラン節〈沖揚音頭〉 ③音演→民謡〔表〈北海道〉〕
ソリ〈コンチェルティーノ〉 ③音演→コンチェルト〔コンチェルト・グロッソ〕
橇 ⑬生活→ボブスレー →リュージュ
そり犬 ⑳動物→イヌ〔用途〕
そりそり節〈壱岐節〉 ③音演→民謡〔表〈長崎〉〕
ソリチャ ⑲植物 374 B
ソリッドタイヤ ⑰科技→タイヤ
ソリッド抵抗器〈炭素コンポジション抵抗器〉 ⑰科技→回路部品〔抵抗器〕
ソリッドパック ⑬生活→かん詰〔種類〕
反り手 ⑬生活→相撲〔競技〈技〉〕
ソリドゥス金貨 ⑨世史→コンスタンティヌス(大帝) ⑫経産→貨幣史〔ビザンチン帝国〕
『反橋』 ①文学→日本文学〔近代〈第二次大戦後〉〕
ソリハシシギ〔反嘴鷸〕 ⑳動物 376 C
ソリハシセイタカシギ〔反嘴背高鷸〕 ⑳動物 376 C →セイタカシギ
ソリメーナ,F イタリア[1657-1747] ②美術→ナポリ派
ソリモンエス(川) ⑩世地→アマゾン(川)〔河況〕
素竜 ①文学→松尾芭蕉〔奥の細道〕
粗粒火成岩 ⑱宇地→岩石
素硫化鉄鉱 ⑮化学→硫酸〔製法〈二酸化イオウの製造〉〕
粗粒玄武岩 ⑱宇地→輝緑岩 →玄武岩
素粒子 ⑯物数 320 C図表囲 →アイソスピン →核力 →原子論 →真空〔本質的真空〕 →スピン →中性微子 →反粒子 →フェルミ-ディラックの統計 →量子数 ⑮化学→原子核 →中間子 →中性子 →電子 →物質〔現代の物質観〕 →陽子 ⑱宇地→宇宙〔膨張宇宙の進化〕 →散乱
素粒子論 ⑯物数→物理学〔諸分科〕
ソリューション・アニーリング ⑰科技→熱処理〔焼なまし〕
ソリュートレ文化 ⑨世史 352 C
ゾリラ ⑳動物→イタチ〔近縁種〕
ソリーリャ,J スペイン[1817-1893] 詩人・劇作家。伝説に材をとった劇作に本領を発揮,国民的作家となる ①文学 348 D ③音演→ドン・ファン
反り技 ⑬生活→レスリング〔囲用語〕
ゾーリンゲン 西ドイツ ⑩世地 327 B
ソル ⑧日地→人文地理学〈1218 A〉
ソル,F スペイン[1778-1839] 作曲家・ギター奏者。独奏曲や練習曲によって今日知られる ③音演 305 A
ソル ⑫経産→通貨〔表〈通貨単位〉〕
ゾル ⑮化学 398 B →コロイド
雪岳山 ⑩世地→テペク(山脈)
ソルカクタニ・ビキ ⑨世史→トゥルイ図
ソルガムシュガー ⑬生活→砂糖〔種類〕 ⑮化学→砂糖〔表製品〕
ゾルゲ,R ドイツ[1892-1916] 劇作家。カトリックに改宗,文学活動は「神に至る道を示す」ことに捧げる ①文学 348 D
ゾルゲ,R ドイツ ⑥日史→ゾルゲ事件 ⑪政社→ゾルゲ事件図
ゾルゲ事件 ⑥日史 679 B ⑪政社 353 C図 →治安立法〔戦前〈国防保安法〉〕 →諜報活動 ⑤日史→尾崎秀実 →オットー,E
ゾル-ゲル転換 ⑳動物→アメーバ〔形態〕
ゾルゲンフライ位相 ⑯物数→位相《トポロジー》〔例〕
ソルジェニツィン,A ソ連[1918] 小説家。政治的圧力で国内発表の道を閉ざされ海外で出版,のち国外追放を受ける。ノーベル賞受賞 ㊍『イワン・デニソビッチの一日』 ①文学 348 D図 →『ノーブイ・ミール』
ソールズベリ,R イギリス[1830-1903] 政治家。代表的保守主義者としてグラッドストンの自由主義的諸改革に反対 ⑨世史 352 C図 →ベルリン会議図
ソールズベリ ジンバブエ ⑩世地 327 B →ローデシア図
ソールズベリ(平原) イギリス ⑩世地 327 B
ソールズベリー大聖堂 ②美術 342 D →塔図 ④哲宗 354 B →教会堂図 ⑩世地→イギリス〔連合王国〕〔図観光〕
ソルダーティ,M イタリア[1906] 小説家・映画監督。第二次大戦中の悲惨な体験を記録的に描いた小説が有名 ①文学 349 A →イタリア文学〔20世紀〕
ソールティ・ドッグ ⑬生活→カクテル〔種類〈食前タイプ〉〕
SALT〈戦略兵器制限交渉〉 ⑪政社→軍縮〔第二次大戦後〕 →米ソ関係〔危機から和解へ〕
ソルトレークシティ アメリカ ⑩世地 327 C図
ソルトン(湖) アメリカ ⑩世地 327 C →カリフォルニア(州)〔自然〕
ゾルバ ①文学→カザンザキス,N
ソルバイト ⑰科技→鉄鋼〔鉄合金〕
ソルビット ⑬生活→甘味料〔人工甘味料〕 ⑮化学→糖〔単糖の反応〈還元〉〕
ソルフェージュ ③音演 305 B
『ソルフェリーノの思い出』 ⑨世史→デュナン,H ⑪政社→赤十字〔歴史〕
ソルフェリーノの戦い ⑨世史 352 D
ソルベー,E ベルギー[1838-1922] 化学者。アンモニア・炭酸ガスを食塩に作用させソーダを得る方式を発明 ⑮化学 398 B図 →炭酸ナトリウム
『ソルベーグの歌』 ③音演→グリーグ,E〔ペール・ギュント〕
ソルベーション効果 ⑮化学→色ガラス〔着色の原理〕表
ソルベー法 ⑮化学 398 C ⇨アンモニアソーダ法
ソルボース ⑮化学→単糖類〔図構造〕 →糖〔単糖の性質〕
ソルボンヌ ⑩世地→パリ〔囲観光地〕
ソルボンヌ大学 ⑨世史→大学〔学習課程〕図
ソルミゼーション ③音演 305 B →グィド・ダレッツォ
ソルレース ⑬生活→レース〔3〕
ゾルン ⇨ゾーン,A
ソレアイト質玄武岩 ⑩世地→アフリカ東部火山帯 ⑱宇地→玄武岩
祖霊 ④哲宗→鬼 →死〔死者に対する情緒反応〕 →マナ〔理論〕
蘇厲 中国 ⑨世史→蘇秦
祖霊社 ④哲宗→神社〔囲用語〕
『それから』 ①文学→夏目漱石 →日本文学〔近代〈反自然主義〉〕
ソレノイドコイル ⑯物数→磁界 →電磁石
ソレノドン ⑳動物 376 C
ソレーム式唱法 ③音演→グレゴリオ聖歌
『それも結構』 ①文学→アルムクビスト,C
ソレル,G フランス[1847-1922] 社会思想家。サンジカリスムの理論家。革命的暴力の積極的意義を説く ㊍『暴力論』 ④哲宗 354 B図 ⑪政社 354 A図 →サンジカリスム →神話 →暴力
ソレルス,P フランス[1936] 小説家。短編『挑戦』がモーリヤックに激賞され,はなばなしく文壇に登場 ①文学 349 A
『それを持っては行かれない』 ①文学→ハート,M
ソ連 ⇨ソビエト(連邦)
ソ連・インド平和友好協力条約 ⑪政社 354 B
ソ連共産党 ⑪政社 354 B図 ⑨世史→ボリシェビキ →ロシア社会民主労働党 ⑫経産→共産主義への過渡期
ソ連経済事情 ⑫経産 358 D図表
ソ連政治事情 ⑪政社 355 C図表
ソ連戦没兵士記念公園 ⑩世地→ベルリン〔東ベルリン〕
ソレント イタリア ⑩世地 327 C
ソ連邦閣僚会議国家計画委員会 ⇨ゴスプラン
ソ連邦国立銀行 ⇨ゴスバンク
『ソ連邦における社会主義の経済的諸問題』 ⑫経産→スターリン,I
ゾーレンホーファー ⑳動物→始祖鳥
ソ連・モンゴル友好協力相互援助条約 ⑪政社 356 C
ソロ ⇨スラカルタ
ソロ(川) インドネシア ⑩世地 327 C →ジャワ(島)
ソロ ③音演 305 B
ソロー,H アメリカ[1817-1862] 哲学者・詩人。エマソンの影響をうけ,市民的不服従の義務を高唱 ㊍『森の生活』 ①文学 349 B図 →アメリカ文学〔アメリカ文芸復興〕 ⑨世史 352 D
ソロー,R ⑫経産→近代経済学〔第二の危機〕 →新古典派総合 →生産関数〔CES生産関数〕 →成長理論〔新古典学派〕
ゾロアスター イラン ④哲宗→ゾロアスター教 ⑨世史→ゾロアスター教
ゾロアスター教〈拝火教〉 ④哲宗 354 D →宗教〔発展段階〕 →終末論 ⑨世史 352 D図 →コスロー(一世) →ササン朝ペルシア〔文化〕 ①文学→『アベスター』 →パフラビー文学 ⑮化学→石油〔利用の歴史〈古代～中世〉〕
ソローキン,P アメリカ[1889-1968] 社会学者。ロシア生まれ。現代の社会学理論の学説史的労作がある ⑪政社 356 C
疏勒 ⇨カシュガル
ソログープ,F ロシア[1863-1927] 小説家・詩人。同国散文の伝統である写実主義からの脱出を試みる。詩では象徴主義の代表者 ①文学 349 D
ソロ・コンチェルト ③音演→コンチェルト
ソロ・ソナタ ③音演→ソナタ〔バロック・ソナタ〕
ゾロトゥルン スイス ⑩世地 327 C
ソロネッツ ⑱宇地→土壌〔生成作用と土壌型〕
ソロノキ ⇨アカシデ
そろばん〔算盤〕 ⑥日史 679 C ⑯物数 325 C図 →珠算 →程大位 →毛利重能 →和算 ⑦日地→小野(市)図 ⑰科技→ディジタル計算機 →電子計算機〔計算機の歴史〕
算盤玉 ⑤日史→切子玉
そろばん五石 ⑱宇地 368 A図
『そろばんの書』 ⑯物数→フィボナッチ
ソロビヨフ,V ロシア[1853-1900] 観念論哲学者・詩人。神

学・倫理学・美学・社会評論などにも活躍，その思想は全体として新プラトン主義とされる　①文学 349 D　④哲宗 355 A　→ロシア哲学　⑪政社→ロシアの政治思想〔スラブ派〕
ソロモス，D　ギリシア[1798–1857]　詩人。民衆語の優位を主張，近代詩語の確立に貢献。イオニア派の創始・指導者　①文学 350 A
ソロモン　[前960*–922*]　ヘブライ王国第3代の王。父王ダビデの命で後継者となり，王国の絶頂期を築く　④哲宗 355 B　⑨世史 353 B　→イスラエル王国　→ユダヤ人〔歴史〕
ソロモン(海)　⑩世地 327 C
ソロモン(諸島)　パプアニューギニア・ソロモン/太平洋　⑩世地 327 D　→メラネシア
ソロモン海戦　⑥日史→太平洋戦争〔経緯〕
曾呂利新左衛門　[*–*]　安土桃山時代の堺の町人。秀吉の側近に侍し御咄衆に列す　⑥日史 679 C
ソロン　ギリシア[前640*–560*]　政治家・詩人。七賢人の一人。アルコン兼調停者(ディアラクテス)に選ばれ諸改革を行う　①文学 350 A　→ギリシア文学〔叙情詩〈エレゲイア〉〕　⑨世史 353 B図　→ギリシア〔移動と植民〈植民と僭主の時代〉〕　⑪政社→金権政治
ソロンチャック　⑱宇地→土壌〔分類〈生成作用と土壌学〉〕
蒜頭(ソワントウ)〈ニンニク〉　⑬生活→中国料理〔香辛料〈嗜好調味料〉〕
村　⑪政社→地方公共団体〔種類〈普通〉〕
ソーン　⇨イバラ
ゾーン，A　スウェーデン[1860–1920]　画家・版画家。アカデミズムに反対し「反抗者」グループに加わり，美術界刷新に努めた　②美術 343 A
孫逸仙　⇨孫文
損益計算　⑫経産 364 C図
損益計算書　⑫経産 365 A図　→決算表　→原価計算〔目的〕　→財務会計　→財務諸表　→損益計算　→簿記〔複式簿記〕
損益分岐点図表　⑫経産→株式〔囲用語〕
損益予算　⑫経産→利益管理
尊円親王　⑥日史 679 C　⇨尊円法親王
尊円法親王〈尊円親王〉　[1298–1356]　能書家。伏見天皇の第6皇子。独自の和様体を生み出し，青蓮院流として受け継がれた　②美術 343 A　→書〔日本書道史〈流派の発生〉〕　→和様〔書〕　⑤日史→青蓮院流　⑥日史→尊円親王
尊円流　⇨青蓮院流
村外婚　⑧日地→通婚圏〈1225 D〉
ソンガイ族　⑩世地→マリ(共和国)〔社会・文化〕
孫楷第　①文学→好色文学〔中国〕
損害塡補金　⑫経産→保険〔囲用語〈保険金〉〕
損害賠償　⑪政社→慰謝料　→不法行為〔効果〕　⑫経産→新種保険〔自動車〕　→補償金　→ホフマン計算　⑬生活→交通事故〔人身事故〕
損害賠償義務　⑫経産→請負〔請負人の義務〕
損害賠償請求権　⑫経産→債権・債務〔効力〕
損害保険　⑫経産 365 B　→運送保険　→火災保険　→新種保険　→保険〔分類〕　→保険会社　⑬生活→商品マーク〔国の規制〈SGマーク〉〕　→住まい〔各種手続〈保険〉〕
存覚　[1290–1373]　④哲宗→浄土真宗囲
孫過庭(そんかてい)　中国[*–*]　唐代の書家。王羲之を学び，書論『書譜』を残す　②美術 343 A　⑬生活→書道〔手本〕
孫基禎　⑬生活→オリンピック〔表優勝者・男子陸上〈マラソン〉〕　→マラソンレース　→陸上競技〔日本〕
ソング　⑬生活→紐(ひも)
ソンクラー　タイ　⑩世地 327 D
ゾングルダク　トルコ　⑩世地 328 A
孫君沢(そんくんたく)　中国[*–*]　元代の画家。南宋画院の山水画法を学び，画風を継承　②美術 343 B
尊経閣文庫　⑥日史 679 D
孫堅　中国[156–192]　⑨世史→呉　→孫権
孫権　中国[182–252]　三国呉の初代皇帝。揚子江中・下流域を支配下におさめ，魏・蜀漢と対峙　⑨世史 353 C図　→呉　→三国時代　→赤壁の戦い　→劉備(りゅうび)
ソンコイ(川)〈紅河〉　ベトナム　⑩世地 328 A
孫晧　中国　⑨世史→呉
尊号一件　⑥日史 679 D　→中山愛親(なるちか)　→松平定信　⑤日史→光格天皇
尊号事件　⇨尊号一件
総合的判断　④哲宗→分析的判断
孫悟空　①文学→呉承恩(ごしょうおん)〔西遊記〕
孫克恭　⇨孫克宏(そんこくこう)
孫克宏(そんこくこう)　中国[1532–1610]　明代の画家。奇異な姿を描写した人物画で知られる　②美術 343 B
『ソンゴロ・コソンゴ』　①文学→ギリェン，N
ソンコン　⑩世地→タンホア
存在　④哲宗 355 B　→現存在　→実存哲学　→存在論　→当為　→同一性〈論理学〉　→本質
存在学　⇨存在論
存在記号　⑯物数→記号論理学〔基本的な記号〈限定記号〉〕　→条件〔全称命題と存在命題〕　→命題〔論理記号〕
存在作用素　⑯物数→条件〔全称命題と存在命題〕
存在喪失　④哲宗→人間中心主義
存在探求　④哲宗→ヤスパース，K〔哲学〕
『存在と時間』　①文学→ハイデッガー，M　④哲宗→ハイデッガー，M　⑨世史→ハイデッガー，M
存在としての存在の学　④哲宗→アリストテレス〔形而上学〈19 B〉〕
『存在と所有』　④哲宗→マルセル，G
『存在と無』　④哲宗→サルトル，J　④哲宗→サルトル，J　⑪政社→サルトル，J
『存在の秘義』　④哲宗→マルセル，G
存在の文学　①文学→表現主義
『存在の領域』　④哲宗→サンタヤーナ，G
存在本質　④哲宗→存在　→存在論
存在命題〈特称命題〉　⑯物数→条件　→否定　→命題
存在論　④哲宗 355 C　→哲学〔諸部門〕　→同一性〈論理学〉
『存在論的秘義の提起』　①文学→マルセル，G
『存在論の基礎づけ』　④哲宗→ハルトマン，N
孫策　中国[175–200]　⑨世史→呉
孫子(そんし)　中国[*–*]　兵法家。春秋時代の孫武，戦国時代の孫臏(そんぴん)の二説がある　④哲宗 356 B図　⑨世史 353 D
『孫子』　④哲宗→孫子(そんし)　→兵家　⑥日史→忍術　⑨世史→孫子
損失　⑫経産→不当利得
損失補償　⑪政社→国家補償　⑫経産→補償金
孫峻青(そんしゅんせい)〈スンチュンチン〉　中国[1922–]　小説家。山東の風物を背景に格調高い英雄像を描く　①文学 350 A
尊攘運動　⇨尊王攘夷運動
尊称皇后　⑤日史→皇后
ソーンスウェイト，C　⑱宇地→気候〔分類〕
孫星衍(そんせいえん)　中国[1753–1818]　清代の学者。経書から個人の集にわたる広範な古典の校定がある　①文学 350 A
ゾーン精製　⑰科技→融解炉〔特殊〕
尊像画　②美術→仏画
尊属　⑪政社→親族　⑬生活→親族図
ゾンダ　⑱宇地→風〔表局地風〕
ソーンダイク，E　[1874–1949]　④哲宗→試行錯誤　→心理学〔囲用語〈S-R理論〉〕
ソンタグ，S　アメリカ[1933–]　女流小説家・批評家。ヌーボー・ロマン風の作品がある　①文学 350 A
宋教仁(ソンチャオレン)　⇨宋教仁(そうきょうじん)
村長の像　②美術→エジプト美術〔彫刻〕
ソンチョン〈宣川〉　北朝鮮　⑩世地 328 A
城津(ソンチン)　⇨キムチェク
ソンツェン・ガンポ　[581–649]　チベット〈吐蕃〉の王。国土の統一を完成し唐朝・ネパールの文物を摂取。いまもチベット人の尊敬の対象　④哲宗 356 C　⑨世史 353 D　→吐蕃(とばん)　⑩世地→チベット(自治区)
ゾーンディフェンス　⑬生活→ハンドボール〔囲用語〕
そんでこ節　③音演→民謡〔表岩手〉〕
ソンデツェン　⇨ソンツェン・ガンポ
損田　⑥日史→不三得七
孫伝芳　中国　⑨世史→国民革命
松都(ソンド)　⇨ケソン
ゾンド　⑱宇地→火星探査体　→金星探査体　→月探査体〔ソ連〕
村内婚　⑥日史→娘組　⑧日地→通婚圏〈1225 D〉
聖人峰(ソンニン)　⑩世地→ウルルン(島)
ゾンネベルク天文台　⑱宇地→天文台〔表ヨーロッパ〉〕
松嫩平原(ソンネン)　⑩世地→トンペイ(平原)　→ヘイロンチャン(省)
存応　[1544–1620]　④哲宗→浄土宗囲
尊王攘夷運動　⑥日史 679 D　→尊王論　→長州藩　→倒幕運動〔定義と特徴〕　→明治維新〔幕末〕　⑤日史→安政の大獄　→江戸時代〔政治・外交〈鎖国から開国へ〉〕　→開国〔攘夷運動〕　→国体論　→坂下門外の変　→七卿落(しちきょうおち)　⑪政社→明治維新の政治思想〔天皇シンボル〕
尊王攘夷論　④哲宗→会沢正志斎〔新論〕　→水戸学　⑥日史→藤田東湖　→水戸学
尊王論　⑥日史 680 C　→尊王攘夷運動　→宝暦事件　→明和事件
ゾンバ　マラウイ　⑩世地 328 A
ゾンバルト，W　ドイツ[1863–1941]　経済学者・社会学者。「経済体制」概念を確立し，理論と歴史の総合を行う　⑨世史 354 A　⑫経産 365 D図　→階級　⑪政社→社会体制　⑰科技→技術〔技術論〕
『尊卑分脈』　⑥日史 680 C
孫臏　中国　④哲宗→孫子(そんし)　→兵家
孫武　中国　④哲宗→孫子　⑨世史→孫子
尊仏山　⇨塔ヶ岳
ソンブレロ(島)　⑩世地→小アンチル(諸島)
ソンブレロ　⑬生活→帽子〔種類〕図
ソンブレロ宇宙銀河　⑱宇地→星雲〔暗黒星雲〕
孫文(そんぶん)　中国[1866–1925]　中国革命の先覚者。三民主義を唱え国民党をひきいる。その思想は毛沢東らに継承された　④哲宗 356 C図　→中国思想〔第4期〕　⑥日史 680 D図　⑨世史 354 A図　→広東政府(カントン)　→近代社会〔中国〈近代化とプロレタリアート〉〕　→興中会　→三民主義　→辛亥革命(しんがい)　→宋慶齢　→中華革命党　→中国革命同盟会　→中国国民党　→連ソ容共・工農扶助　⑪政社 356 D図　→三民主義　→中国革命図　→中国国民党図　→平和運動〔第二次大戦前〕　→宮崎滔天(とうてん)　⑤日史→国民政府　→辛亥革命　⑫経産→辛亥革命
ソンホワ(川)〈松花江〉　中国　⑩世地 328 A　→アムール(川)
ゾンマーフェルト，A　ドイツ[1868–1951]　理論物理学者。古典力学からの転換期の前期量子力学の基礎を築く　⑯物数 327 B　→基本相互作用〔電磁相互作用〕　→原子模型　→量子論〔周期律と排他律〕　⑮化学→原子〔概念の変遷〈原子物理学の発展〉〕
ソンム(川)　フランス　⑩世地 328 B
ソンムの戦い　⑨世史→第一次世界大戦〔経過〕
嵩嶼(ソンユー)　⑩世地→アモイ
宋影(ソンヨン)　⇨宋影(そうえい)
村落　⑧日地 1221 B　→集落〈1215 D〉　⑥日史→村落共同体　⑪政社→農村
村落共同体　⑥日史 681 A　⑪政社 357 B　→地主　→農村〔資本主義の発展〕　⑧日地→村落〈1221 B〉　⑫経産→原始共同体　→荘園〔ヨーロッパ〕〈286 B〉　→農業〔三圃式農業〕　→農奴　→本百姓
ソンリム〈松林〉　北朝鮮　⑩世地 328 B
ゾーンレベリング法〈帯溶融法〉　⑰科技→半導体〔結晶の製法〕
孫和中　朝鮮　⑨世史→甲午農民戦争(こうご)〔農民軍の再起〕

タ た

『対訳源氏物語講話』 ①文学→紫式部〔源氏物語〈諸本と研究〉〕
耐薬品塗料 ⑮化学→塗料〔分類〈特殊塗料〉〕
タイヤ式ショベルローダー ⑰科技→掘削機械図
タイヤ・チェーン ⑬生活→ドライブ〔ドライブ旅行〕
タイヤドーザー ⑰科技→掘削機械〔ブレード式掘削機械〕〔ブルドーザー〕
タイヤ紫〈古代紫〉 ⑮化学→顔料〔表天然有機顔料〕→染料〔天然染料〈動物染料〉〕
ダイヤモネア ⑱宇地→宝石〔合成宝石〕
ダイヤモンド ⑬生活→カード〔歴史〕
ダイヤモンド〈金剛石〉 ⑮化学 403 A →結晶〔種類〈共有性結晶〉〕 →炭素 →単体 ⑱宇地 384 C図 →キンバレー岩 →鉱物〔成因〕〔新種と命名〕別 →石墨 →同質異像 →宝石〔表誕生石〕〔図〈天然〉〕囲 →モース,F ⑩世地→アンベルス ⑫経産→アフリカ経済事情〔資源〕 ⑬生活→宝石〔表誕生石〕図
ダイヤモンドガラガラヘビ ⑳動物→ガラガラヘビ
ダイヤモンドクロッシング ⑰科技→分岐器〔図種類〕
ダイヤモンドケイブ ⑱宇地→洞穴表
ダイヤモンド婚式 ⑬生活→結婚〔表結婚記念日〕
ダイヤモンド旋盤 ⑰科技→工作機械〔旋盤〕表
ダイヤモンド・ダスト〈細氷〉 ⑱宇地 385 A →霧 →雪〔降雪の機構〕
ダイヤモンドテラピン ⑳動物→カメ〔利用〕
『ダイヤモンドの舌』 ①文学→イバルボロー,J
ダイヤモンドヘッド ⑩世地 335 B →ハワイ(州)図 ⑱宇地→火山〔形態〈噴石丘と臼状火山〉〕図 →臼状火山
ダイヤモンド・リング ⑱宇地→日食〔皆既日食に見られる現象〕
ダイヤルゲージ ⑰科技 368 A →コンパレーター図 ⑯物数→厚み計
ダイヤル式電話 ⑬生活→電話・電報〔電話〈電話機〉〕
ダイヤル通話 ⑬生活→電話・電報〔電話〈通話〉〕
大雄(村) 秋田 ⑧日地 641 D
大猷院 ②美術→日光東照宮
大邑商 ⑨世史→都市〔中国〈発生〉〕
タイユフェール,G [1892/] 女流作曲家。六人組の一人で,映画音楽も多数ある ③音演 308 D
タイユワン〈太原〉 中国/山西省 ⑩世地 335 C
貸与 ⑫経産→借款
たいよう《人工衛星》 ⑱宇地→ロケット〔日本〕
大洋(村) 茨城 ⑧日地 641 D
大洋 ⑧日地 1222 A →水陸分布〈1218 D〉 ⑱宇地→海洋〔地理〕
太陽 ⑱宇地 385 A図囲 →IQSY →コロナ →彩層 →磁気擾乱 →太陽系 →天体 →日食 →プロミネンス →星
『太陽』 ⑥日史 716 B ①文学→高山樗牛 →日本文学〔近代〈浪漫主義〉〕 ⑤日史→浮田和民 →大橋新太郎
体用 ④哲宗 365 C
帯蛹 ⑳動物→さなぎ →チョウ(昆虫)〔形態〕
太陽宇宙線 ⑱宇地→宇宙線〔組成とエネルギー・スペクトル〕
太陽運動 ⑱宇地→太陽系〔空間運動〕
太陽王 ⑨世史→ルイ(十四世)
『太陽がいっぱい』 ③音演→クレマン,R
代用貨幣 ⑫経産→貨幣Ⅱ〔種類〕
『太陽窮理了解説』 ⑤日史→科学史〔蘭学・洋学〕 ⑯物数→本木良永 ⑱宇地→本木仁太夫
大洋漁業(株) ⑫経産 370 A ⑤日史→漁業〔近代〕
太陽極小期国際観測年 ⇨IQSY
太陽系 ⑱宇地 390 B図表 →宇宙 →海王星 →火星 →銀河系 →金星 →小惑星 →水星 →彗星 →星雲説 →太陽 →地球 →天王星 →土星 →冥王星 →木星 →流星〔観測〕
太陽系物理学 ⇨惑星物理学
『太陽月刊』 ①文学→太陽社
太陽高速道路 ⇨アウトストラーダ・デル・ソーレ
太陽向点 ⑱宇地→太陽〔概観〈4〉〕
太陽黒点 ⇨黒点
太陽コンパス ⑳動物→回遊 →サケ〔回遊〕 →ハト〔囲伝書バトの帰巣〕
太陽時 ⑱宇地 394 A →時
太陽視差 ⑱宇地 394 A →天文単位
太陽日 ⑱宇地 394 A →太陽時 →日
太陽自動車道路 ⇨アウトストラーダ・デル・ソーレ
太陽磁場 ⑱宇地→太陽 →天体磁場
太陽社 ①文学 352 A →蒋光慈 →銭杏邨 →創造社 →中国文学〔近代〕
大洋州 ⇨オセアニア
太陽常数 ⑱宇地→日射
太陽神 ④哲宗→天照大神 →エジプト神話〔創世神話〕
太陽崇拝 ④哲宗→自然崇拝
太陽スペクトル ⑯物数→オングストレーム,A ⑱宇地→太陽図 →フラウンホーファー線
大葉性肺炎〈クループ性肺炎〉 ⑭医学→肺〔肺炎〕
『太陽世界旅行記』 ①文学→シラノ・ド・ベルジュラック,S
太陽大気 ⑱宇地→太陽
大洋地殻 ⑧日地→地殻〈1223 D〉
太陽地平赤道視差 ⇨太陽視差
太陽虫 ⑳動物 380 C
太陽中心説 ⇨地動説
タイヨウチョウ〔太陽鳥〕 ⑳動物 380 C
タイヨウチョウ〔太陽蝶〕〈ヘクバモルフォ〉 ⑳動物 380 C →モルフォ
太陽電池 ⑰科技 368 A →電池〔物理反応による電池〕 ⑮化学→半導体〔半導体材料〈単体半導体〉〕 ⑯物数→電池 →光起電力効果図
太陽電波 ⑯物数→電波望遠鏡 ⑱宇地→太陽
大洋島 ⇨洋島
太陽灯〈人工太陽灯〉 ⑭医学→光線療法図
『太陽と琥珀』 ①文学→メジェライチス,E
太陽熱 ⑬生活→燃料
太陽熱温水器 ⑬生活→住まい〔付帯設備〈給湯設備〉〕
太陽年〈回帰年〉 ⑱宇地 394 B →暦〔歴史〕 →時〔長い時の表示〕 →年
『太陽の季節』 ①文学→芥川賞表 →石原慎太郎 →日本文学〔近代〈戦後文学〉〕 ③音演→日本映画図
『太陽の賛歌』 ⇨『被造物の歌』
『太陽のための赤絨緞』 ①文学→レイトン,I
『太陽の誕生と死』 ⑯物数→ガモフ,G
『太陽のない街』 ①文学→『戦旗』 →徳永直 →日本文学〔近代〈プロレタリア文学〉〕
太陽のピラミッド ⑨世史→テオティワカン文化 →ピラミッド〔ラテン・アメリカ〕図 ⑩世地→メキシコ(合衆国)〔囲古代文明遺跡〕図
『太陽の都』 ④哲宗→カンパネッラ,T ⑪政社→社会主義〔前史〕 →ユートピア思想
太陽の門 ⑩世地→ボリビア(共和国)図
太陽背点 ⑱宇地→太陽〔概観〈4〉〕
『太陽はひとりぼっち』 ③音演→アントニオーニ
太陽風〈太陽プラズマ流〉 ⑱宇地 394 B →宇宙開発〔宇宙科学〕 →宇宙線〔伝播と磁場〕 →磁気嵐 →磁気圏図 →磁気擾乱 →太陽系〔概観〕 →バン・アレン帯 →プラズマ
太陽放射 ⇨日射
帯溶融法 ⑰科技→半導体〔結晶の製法〕図
太陽暦〈陽暦〉 ⑱宇地 394 B →暦 ⑤日史→暦〔種類〕 ⑨世史→暦〔種類〕
大ヨークシャー種 ⑳動物→ブタ〔品種〕図
大翼手亜目 ⑳動物→コウモリ〔分類〕
第四インターナショナル ⑨世史→トロツキー,L ⑪政社→トロツキズム
第四紀 ⑱宇地→新生代 →地質時代〔新生代〕図
第四共和制 ⑨世史→フランス(共和国)〔歴史〈現代〉〕 →フランス共和制
第四種郵便物 ⑬生活→郵便〔郵便物〈通常郵便物〉〕
第四性病 ⑭医学→性病図
『第四の男』 ③音演→シーモノフ,K
第四の壁理論 ③音演→近代劇
タイラ(二世) ⑨世史→チャールキヤ朝
平 福島/いわき市 ⑧日地 641 D ⑦日地→いわき(市)図
平《長崎》 ⑦日地→宇久(町)
平(村) 富山 ⑧日地 641 D ⑦日地→五箇山
タイラー,E [1832/1917] 人類学者。原始諸文化を比較研究し,今日の文化人類学の基礎を築く ④哲宗 365 D →アニミズム →宗教〔起源〕 →文化 →霊魂 ⑨世史→原始社会
タイラー,W ⑨世史→ワット・タイラーの乱 ⑫経産→農民戦争
大羅 ⑩世地→ハノイ
平一揆 ⑤日史→白旗一揆
平氏 ⇨平氏
タイラガイ〔平貝〕〈タイラギ〉 ⑳動物 381 A図 →カクレエビ ⑬生活→貝類〔種類〕
退落 ④哲宗→日常性
『大楽金剛不空真実三摩耶経』 ⇨『理趣経』
『大楽図義』 ①文学→宗祇
平舘(村) 青森 ⑧日地 642 A
平館 岩手/西根町 ⑧日地 642 A →西根(町)
平舘海峡 ⑧日地 642 A →陸奥湾
ダイラタンシー理論 ⑱宇地→地震〔原因〕
平敦盛 [1169/1184] 平安末期の武将・公達。一ノ谷の戦いで熊谷直実に殺され,『平家物語』その他の題材となっている ⑥日史 716 B ③音演→『敦盛』 →『一谷嫩軍記』
平家貞 [*/*] 平安末期の武将。保元・平治の乱などで勇名をはせた ⑥日史 716 C
平景清 [*/1196] 平安末期の武将。壇ノ浦後,平氏再興を図る。『出世景清』で有名 ⑥日史 716 C
平兼盛 [*/990] 平安中期の歌人。光孝天皇の子孫で駿河守に至る。三十六歌仙の一 ①文学 352 A
平清盛 [1118/1181] 平安後期の武将。保元・平治の乱後,権力を伸張,天皇の外戚となり,独裁政権を樹立 ⑥日史 716 C図 →高倉天皇 →福原 →平安時代〔政治・外交〈平氏政権〉〕 →平家納経 →平氏政権 →保元・平治の乱 ⑤日史→厳島神社 →大輪田泊 →祇園女御 →鹿ヶ谷事件
平国香 [*/935] 平安中期の武将。所領をめぐって甥の将門と争い,敗死 ⑥日史 717 A →平将門
平維盛 [1157/1184*] 平安末期の武将。重盛の子。容姿秀麗で有名。都落ち後については諸説がある ⑥日史 717 B →礪波山の戦い →富士川の戦い ⑤日史→源平の合戦〔反平氏の機運〕
タイラノサウルス ⇨ティラノサウルス
平貞盛 [*/*] 平安中期の武将。国香の子。藤原秀郷の援助をえて平将門を討つ ⑥日史 717 B ⑤日史→敵討
平滋子〈建春門院〉 [1142/1176] 後白河天皇の后,高倉天皇の生母。清盛の妻時子の妹。平氏政権成立の陰の協力者 ⑥日史 717 C
平重盛 [1138/1179] 平安後期の武将。清盛の長子。後白河法皇を幽閉しようとした父をいさめる ⑥日史 717 C図 →灯籠 ②美術→神護寺〔絵画〕
平禅門の乱 ⑥日史→北条貞時
平高棟 ⑥日史→平氏
平高望 [*/*] 平安中期,桓武天皇の曾孫。東国に下り在地豪族となる。桓武平氏の祖 ⑥日史 717 C →平氏
平忠常の乱 ⑥日史 717 D →源頼信
平忠度 [1144/1184] 平安末期の武将。清盛の弟。富士川の戦いで活躍,また歌人としても有名 ⑥日史 717 D ①文学→『千載和歌集』
平忠正 [*/1156] 平安末期の武将。保元の乱で崇徳天皇方につき,甥の清盛らに敗れる ⑥日史 717 D →保元・平治の乱〔保元の乱〕
平忠盛 [1096/1153] 平安末期の武将。清盛の父。白河・鳥羽両院政の軍事力の中心となり,平家繁栄の基礎を築く ⑥日史 717 D
平時子〈二位の尼〉 [*/1185] 平安末期,平清盛の妻。清盛没後出家,壇ノ浦で安徳天皇を抱いて入水 ⑥日史 718 A ⑤日史→安徳天皇
平時忠 [1128/1189] 平安後期の公家。平清盛の義弟。平氏政権で権勢をふるう ⑥日史 718 B
平徳子 ⇨建礼門院
平知盛 [1152/1185] 平安末期の武将。清盛の子。一ノ谷の戦い・屋島の合戦に敗れ,壇ノ浦に没す ⑥日史 718 B図
平信範 ⑥日史→『兵範記』
平教盛 [1128/1185] 平安末期の武将。兄清盛の没後,一門の長老として宗盛を補佐,壇ノ浦に没す ⑥日史 718 B図
平将門 [*/940] 平安中期の武将。平高望の孫。一時,関東の大半を支配下におき新皇と称した ⑥日史 718 C図 →相馬氏 →平貞盛 ①文学→『将門記』 ⑤日史→承平・天慶の乱〔平将門の乱〕
平将門の乱〈承平の乱〉 ⑤日史→承平・天慶の乱 →『将門記』 ⑥日史→平国香
平正盛 [*/*] 平安後期の武将。白河院政の武士団の中核となり,中央での伊勢平氏繁栄の基盤を築く ⑥日史 718 D
平宗盛 [1147/1185] 平安末期の武将。清盛の三男。父の死後,一門を率いて源氏と戦うが敗れ,義経に斬殺 ⑥日史 718 D →壇ノ浦の戦い ⑤日史→源平の合戦〔反平氏の機運〕
平康頼 ①文学→『宝物集』 ⑥日史→『宝物集』
平頼綱 ⑤日史→内管領

タカサゴユリ　⑲植物→ユリ〔分類〕別
高郷(村)たかさと　福島　⑧日地 645 C
高三隆達たかさぶりゅうたつ　[1527–1611]　①文学→隆達節　③音演→はやり唄　⑤日史→和泉国いずみ〔囲人国記〕　⑥日史→隆達小歌
タカサブロウ〔鱧腸〕　⑲植物 379 B図
多賀山地　⑦日地→茨城(県)〔自然〈地勢〉〕　⑧日地→高萩(市)　→袋田の滝
駄菓子　⑬生活 392 A図
タカジアスターゼ　⑥日史→高峰譲吉　⑫経産→三共(株)　⑭医学→高峰譲吉〈10 D〉　→ジアスターゼ　⑮化学→高峰譲吉
高潮　⑧日地 1222 B　⑱宇地 397 B図　→台風〔台風に伴う諸現象〕表
高師小僧　⑱宇地→褐鉄鉱図　→針鉄鉱
高階氏たかしな　天智天皇の皇子高市皇子から出た氏族。平安時代から南北朝時代に多数の公卿が出る　⑥日史 723 A図
高階栄子えいし　⑥日史→丹後局たんごのつぼね
高階隆兼　②美術→絵巻〔筆者〕
高階積善　①文学→漢文学〔中古〕　⑥日史→『本朝麗藻』
高師浜たかしのはま　⇨浜寺
高柴山　福島　⑧日地 645 C
高島　島根/益田市　⑧日地 645 C
高島　岡山/笠岡市　⑧日地 645 C
高島　長崎/高島町　⑧日地 645 D
高島　大分/佐賀関町　⑧日地 645 D
高島(町)　滋賀　⑧日地 645 D図
高島(町)　長崎　⑧日地 645 D図
鷹島　⑦日地→伊万里湾いまり　→玄海国定公園〔玄海海中公園〕
鷹島(町)　長崎　1975年町制　⑧日地 646 A
高島嘉右衛門　⑤日史→ガス灯　⑫経産→ガス事業
高島秋帆　[1798–1866]　江戸後期の兵学者。徳丸原でわが国最初の西洋砲術演練を行う　⑥日史 723 A
高島城跡　⑦日地→諏訪(市)図
高島炭坑　⑥日史 723 B　→竹内綱つな　⑧日地→高島(町)《長崎》　⑫経産→殖産興業表
高島鞆之助とものすけ　[1844–1916]　明治の軍人。師団長・陸相・拓殖務相など歴任し，薩派の中心として活躍　⑥日史 723 C
高島藩〈諏訪藩〉　⑥日史 723 C　⑤日史→信濃国しなの
高島節　③音演→民謡〔表〈長崎〉〕
高島米峰　[1875–1949]　④哲宗→浄土真宗囲
高島岬　北海道/小樽市　⑧日地 646 B
高島屋　③音演→市川左団次　→歌舞伎〔囲屋号〕　⑤日史→市川左団次
高島流　⑥日史→高島秋帆
高清水(町)　宮城　⑧日地 646 B
高清水高原　鳥取・岡山　⑧日地 646 B
他花受粉　⑲植物 379 B
他家受粉　⑲植物 379 B　→受粉
鷹匠　⑥日史→鷹狩　⑳動物→タカ〔囲鷹狩り〕
高城(町)　宮崎　⑧日地 646 B
多賀城(市)　宮城　⑧日地 646 C
多賀城　⑥日史 723 D図　→鎮守府
多賀信仰　④哲宗 367 A
多賀神社　⇨多賀大社
高須　⑦日地→海津(町)
高鷲(村)たかす　岐阜　⑧日地 646 C
鷹栖(町)　北海道/上川支庁　⑧日地 646 C
高杉晋作　[1839–1867]　幕末の尊攘・倒幕運動家。奇兵隊を結成し，長州藩を武力倒幕にふり向ける　⑥日史 724 A図　→尊王攘夷運動〔第3期〕　→長州征伐〔第2回〕　⑤日史→イギリス公使館焼打事件　→奇兵隊　→四国連合艦隊下関砲撃事件
高瀬(町)　香川　⑧日地 646 D
多化性　⑳動物→化性
高瀬温泉　⑦日地→荒川峡温泉郷　→関川(村)
タカセガイ〔高瀬貝〕　⑳動物 383 C　⇨サラサバテイラ
高瀬川　長野　⑧日地 646 D
高瀬川　京都市　⑧日地 647 A図　→中京(区)なかぎょう　→伏見(区)　⑦日地→鴨川　→木屋町通　⑰科技→運河〔日本〕
高瀬神社　④哲宗→神社〔表〈国幣小社〉〕
高瀬舟　⑥日史 724 B　⑧日地→高瀬川《京都》
『高瀬舟』　①文学→森鷗外　⑦日地→京都(市)〔文学散歩〕　⑭医学→安楽死
高瀬文渕ぶんえん　[1864–1940]　評論家。超絶自然論などの高踏的論調に異彩を放った　①文学 353 A
多価染色体　⑲植物 379 B　→減数分裂〔染色体の行動〕

高田(町)　福岡　⑧日地 647 B
高田　⑦日地→会津高田(町)
高田　新潟/上越市　⑧日地 647 B　→雁木〈1205 A〉　⑦日地→上越(市)　⑰科技→都市計画〔地区設計・都市計画の歴史〈近世・近代〉〕図
高田　⑧日地→豊後高田(市)ぶんご
田潟　⑦日地→信濃川しなの
多賀大社〈多賀神社〉　②美術→庭園囲　④哲宗→神社〔表〈官幣大社〉〕　→多賀信仰　⑧日地→多賀(町)図
高田川　⑧日地→大和高田(市)やまと
高多久兵衛　[1851–1907]　⑤日史→加賀国〔囲人国記〕
高田早苗　[1860–1938]　明治から昭和前期の教育家・政治家。文相・早大総長・貴族院議員など歴任　⑥日史 724 C　⑤日地→憲政会
高田事件　⑥日史 724 C　⑤日史→自由党《1881年》
高田城跡　⑦日地→上越(市)
田県神社豊年祭たがた　⑦日地→小牧(市)図
高田せい子　[1896–1977]　③音演→モダン・ダンス〔日本〕
高田保　[1895–1952]　劇作家・随筆家。新派や新国劇に作品を提供。東京日日新聞社友となる　①文学 353 A
高館丘陵　⑧日地→宮城(県)〔自然〈地勢〉〕
高田友清　⑥日史→手賀沼干拓
高田馬場　東京/新宿区　⑧日地 647 C
高田派　⇨浄土真宗高田派
高田藩　⑤日史→越後騒動えちご　→河村瑞賢
高田平野　新潟　⑧日地 647 C
田方平野　⑧日地→韮山(町)にらやま
高玉鉱山　⑦日地→郡山(市)こおりやま　⑱宇地→金〔金鉱石〕　→磁硫鉄鉱
高田雅夫　[1895–1929]　③音演→モダン・ダンス〔日本〕
高田松原　岩手/陸前高田市　⑧日地 647 C
高田実　③音演→日本演劇〔明治から〈新派劇〉〕
『誰がために鐘は鳴る』　①文学→ヘミングウェイ
『誰がためにわれらが溢るる若さぞ』　①文学→兪鎮五ゆちんご
高田屋嘉兵衛　[1769–1827]　江戸後期の海運業者。箱館を中心に活躍。ロシアに捕えられ，帰国後ゴローニン釈放に尽力　⑥日史 724 C　⑤日史→淡路国〔囲人国記〕
高田保馬　[1883–1972]　社会学者・経済学者。社会学を一特殊社会科学として確立することを意図　⑪政社 380 A図　→勢力　⑫経産→階級
高千穂(町)　宮崎　⑧日地 647 C
高千穂大橋　⑦日地→祖母傾国定公園そぼかたむき図
高千穂神楽　③音演→民俗芸能図
高千穂峡　宮崎　⑧日地 647 D図　→高千穂(町)　⑦日地→祖母傾国定公園そぼかたむき図
高千穂線　⑧日地→日豊本線
高千穂峰　宮崎・鹿児島　⑧日地 647 D図　⑦日地→霧島山
タカチホヘビ　⑳動物 383 C
タガチンガ(台地)　⑩世地→パルナイバ(川)
高津(区)　川崎市　⑧日地 648 A
蛇蠍　⑳動物→サソリ〔毒〕
高塚古墳　④哲宗→墓〔変遷〕　⑦日地→相模原台地さがみはら　→座間(市)ざま
鷹司家たかつかさ　藤原氏，五摂家の一。室町末期に中絶したが，信長により再興，明治維新後は公爵　⑥日史 724 D図　⑤日史→五摂家
高津川　島根　⑧日地 648 A
高月(町)　滋賀　⑧日地 648 B
高坏〔高杯〕たかつき　⑥日史 725 A　④哲宗→祭具〔神具〕
高槻(市)たかつき　大阪　⑧日地 648 B
打楽器　③音演→楽器図
高槻城跡　⑧日地→高槻(市)たかつき
高槻藩　⑥日史→摂津国せっつ
高津鍬三郎　①文学→文学史〈558 A〉
高津戸渓谷　群馬　⑧日地 648 C　⑦日地→大間々(町)
高津宮　⑥日史→難波京なにわ　→仁徳天皇
高妻山　新潟・長野　⑧日地 648 D
高天神城跡　⑦日地→小笠(町)おがさ　→城東きとう
タカトウダイ〔高灯台〕　⑲植物 379 B　→トウダイグサ図
高灯台　⑥日史→灯台
高遠(町)　長野　⑧日地 648 D図
高遠城跡　⑦日地→伊那谷　⑧日地→高遠(町)図
高遠藩　⑥日史 725 B　⑤日史→信濃国しなの
タガトース　⑮化学→単糖類〔図構造〕
高飛込　⑬生活→水泳〔水泳競技〈飛込競技〉〕図

高富(町)　岐阜　⑧日地 648 D
高取(町)　奈良　⑧日地 649 A図　⑦日地→飛鳥あすか
鷹取　⑧日地→土佐清水(市)　→土佐湾
高取鉱山　⑧日地→七会(村)ななかい　⑱宇地→鉱床〔マグマ鉱床〈気成鉱床〉〕　→磁硫鉄鉱　→錫石
高取藩　⑥日史→大和国やまと
高取焼　②美術 351 A　→陶芸〔日本〈近世〉〕図　⑮化学→陶磁器〔分類〈産地による〉〕
高取焼窯　⑧日地→西(区)《福岡市》
高取山　奈良　⑧日地 649 B
鷹取山　神奈川　⑧日地 649 B
鷹取山《福岡》　⑦日地→上陽(町)じょうよう
たかとろ　⑬生活→郷土料理〔囲〈岩手〉〕
タカナ(山)　メキシコ・グアテマラ　⑩世地 338 C
タカナ〔高菜〕　⑲植物→カラシナ
尊良親王たかなが　[1311–1337]　後醍醐天皇の皇子。建武中興後，新田義貞とともに箱根・北国で尊氏軍と戦い，金崎城落城のさい自害　⑥日史 725 B　①文学→『新葉和歌集』
高梨氏　⑤日史→川中島の戦い
高鍋(町)　宮崎　⑧日地 649 B
高鍋藩　⑤日史→秋月藩あきづき
高輪　東京/港区　⑧日地 649 B　→港(区)
高縄半島　愛媛　⑧日地 649 B
高輪美術館　②美術 681 B
高荷　⑤日史→市いち〔中世〕
高肉彫　②美術→金属工芸〔加工技法〕　→彫金
高西風たかにし　⑱宇地→風〔表季題〈秋〉〕
竹貫たかぬき　⑧日地→古殿(町)
高根(町)　山梨　⑧日地 649 C
高根(村)　岐阜　⑧日地 649 C
たがね　⑰科技→手仕上げ〔はつり作業〕
タカネイワヤナギ　⑲植物→ヤナギ
タカネウスユキソウ　⑲植物→ヤマハハコ図
タカネオミナエシ　⑲植物→オミナエシ
タカネキマダラセセリ〔高嶺黄斑挵蝶〕　⑳動物 383 C
タカネクロスゲ　⑲植物→スゲ　→ホタルイ
タカネコヒゲナガ　⑳動物→ヒゲナガガ
タカネザクラ〔高嶺桜〕　⇨ミネザクラ
高根沢(町)　栃木　⑧日地 649 C
『鏨師たがねし』　①文学→直木賞表
タカネシオガマ〔高嶺塩竈〕　⑲植物 379 C　→ヨツバシオガマ図
タガネソウ〔鏨草〕　⑲植物 379 C　→スゲ図
高根第一ダム　⑰科技→ダム表
タカネツメクサ〔高嶺爪草〕　⑲植物 379 C図　→高山植物〔別湿性〕
タカネナデシコ〔高嶺撫子〕　⑲植物 380 A　→ナデシコ図
タカネナナカマド〔高嶺七竈〕　⑲植物 380 A　→ナナカマド
タカネニガナ　⑲植物→ニガナ
タカネバラ〔高嶺薔薇〕　⑲植物 380 A　→高山植物〔別中性〕　→バラ〔野生種〕別
タカネヒカゲ〔高嶺日蔭蝶〕　⑳動物 384 A　→高山チョウ
タカネマツムシソウ　⑲植物→マツムシソウ
タカネヤハズハハコ　⑲植物→高山植物〔別湿性〕
高野(町)　広島　⑧日地 649 D
『鷹の井戸』　①文学→イェーツ，W　③音演→アイルランド演劇図　→イェーツ，W　→能〔影響〕
高野岩三郎　[1871–1949]　統計学者・社会問題研究家。統計学・統計調査の先駆者で日本最初の国勢調査を指導　⑥日史 725 B図　⑪政社 380 A図　→社会政策　⑫経産 370 D図　→社会政策　⑤日史→大原社会問題研究所　→社会政策学会
多賀柵　⇨多賀城
高野喜久雄　[1927]　詩人。敗戦翌日から詩作を始め，『VOU』に参加　①文学 353 A
鷹巣(町)たかのす　秋田　⑧日地 649 D図
鷹ノ巣温泉　⑦日地→荒川峡温泉郷　→関川(村)
高野素十すじゅう　[1893–1976]　俳人。虚子の「花鳥諷詠論」の忠実な実践者として知られる。4Sの一人　①文学 353 A　→『ホトトギス』
鷹巣盆地　秋田　⑧日地 650 A
高野辰之　[1876–1947]　国文学者。歌謡史・演劇史専攻で考証的堅実な学風。古書籍や書画の収集でも知られる　①文学 353 B
高野長英　[1804–1850]　江戸末期の蘭学者。蛮社の獄で捕えられたが脱走，医療と兵書の記述を進めた　⑥日史 725 C図　→蛮社の獄　→『夢物語』　①文学→広瀬淡窓
高野長英記念館　⑧日地→水沢(市)

伊達騒動 ⑥日史739 B図 →仙台藩 →『伽羅先代萩』 ③音演→『先代萩』
建て染め染料 ⑮化学406 C →染料〔分類〈1〉〕
伊達千広 ⑤日史→紀伊国〔囲人国記〕 ⑥日史→『大勢三転考』
タテツツガムシ ⑳動物→ツツガムシ〔ツツガムシ病〕図
建坪〈建築面積〉 ⑬生活→敷地 →住まい〔土地〈敷地〉〕
伊達朝宗 ⑥日史→伊達氏
館直志〈渋谷天外〉 ③音演→曾我廼家五郎
縦波 ⑯物数340 B図 →疎密波 →波〔種類〕 →横波 ⑱宇地→地震〔地震波〕図
立て縄釣り〈流し釣り〉 ⑬生活→釣り〔種類〈海釣り〉〕
経錦 ②美術→織物〔種類〈紋織〉〕 →錦
建値 ⑫経産→商品〔売買〕
立野 熊本/長陽村 ⑧日地665 B →長陽(村)
蓼ノ海 長野/諏訪市 ⑧日地665 B
立野信之 [1903-1971] 小説家。軍隊もの作家として，プロレタリア文学の陣営で活躍 ①文学363 D →直木賞表
竪野焼 ②美術→薩摩焼
縦倍率 ⑯物数→倍率
建畠大夢 [1880-1942] 彫刻家。帝展の審査員を歴任。官展系彫刻界に指導的役割を果たす ②美術354 D →彫刻図
立場茶屋 ⑥日史→茶屋
タテハチョウ〔蛺蝶〕 ⑳動物388 C図 →チョウ《昆虫》〔生態〕
立端場 ③音演→人形浄瑠璃〔文楽の太夫と三味線〈太夫〉〕
タテハモドキ〔擬蛺蝶〕 ⑳動物389 B →タテハチョウ図
館林(市) 群馬 ⑧日地665 B図
館林藩 ⑥日史739 C ⑤日史→上野国
伊達判決 ⑪政社→基地問題 →砂川事件
伊達兵庫 ③音演→鬘
縦笛 ③音演312 D →笛 →レコーダー
縦ホーム ⑰科技→駅〔貨物駅〕図
建前〈上棟式〉 ⑬生活→祝い事〔新築〕 →住まい〔施工から完成まで〈軀体工事〉〕
伊達巻 ⑬生活→帯〔種類〕
伊達政宗 [1567-1636] 安土桃山から江戸初期の大名。仙台藩の藩祖。独眼竜と畏敬された ⑥日史739 C →仙台城 →仙台藩 →支倉常長 ⑤日史→大坂の陣〔夏の陣〕 →キリスト教〔禁教と殉教〕 →慶長遣欧使節
『起て，マジャール人』 ①文学→ペテーフィ
立褌 ⑬生活→相撲〔囲用語〕
伊達宗勝 ⑥日史→伊達騒動
伊達宗重 ⑥日史→伊達騒動
伊達宗紀 ⑥日史→伊達宗城
伊達宗城 [1818-1892] 幕末維新期の伊予宇和島藩主。公武合体派に属し，ついで大政奉還論を支持して活躍 ⑥日史739 D →日清修好条規 ⑤日史→伊予国〔囲人国記〕 →公武合体論
立物〔建物〕 ⑤日史→兜
建物 ⑫経産→不動産 ⑬生活→登記〔不動産登記〕
建物買取請求権 ⑫経産→買取請求権 ⑬生活→借地
建物火災 ⑬生活→火災
建物賃貸借 ⑫経産→買取請求権
伊達紋 ⑬生活→紋付〔種類〕
縦屋 ⑧日地→妻入り〈1225 D〉
立屋敷遺跡 ⑥日史740 A ⑤日史→遠賀川式土器
縦矢の字 ⑬生活→帯〔図結び方〕
立山 富山 ⑧日地665 C図 →日本アルプス〔北アルプス〕〔登山史〕 →美女平
立山(町) 富山 ⑧日地666 D
建山 ⇨御林
館山(市) 千葉 ⑧日地666 D図
タテヤマウツボグサ ⑲植物→ウツボグサ
タテヤマオウギ ⇨イワオウギ
タテヤマギク ⑲植物387 B →シラヤマギク図
タテヤマキンバイ〔立山金梅〕 ⑲植物387 C図
立山黒部アルペンルート ⑦日地→黒部川図 ⑧日地→立山図 →室堂平
タテヤマリンドウ ⑲植物→ハルリンドウ
館山湾 ⑧日地667 A
経緯絣 ②美術→絣図
立入宗継 [1528-1622] 安土桃山時代，朝廷の御倉職。織田信長に皇居の修理，皇室領の回復を促した ⑥日史740 B

帯刀 ⑥日史740 B
田堵 ⑥日史740 B →百姓〔中世・近世〕 ⑤日史→古代社会〔荘園制〕 →作人 →荘園〔経営〕 ⑫経産→名主 →名田
大都 ⑩世地→ペキン〔歴史〕
多度(町) 三重 ⑧日地667 B図
ダト ⑨世史→バランガイ
ダート，R ⑨世史→アウストラロピテクス類 ⑱宇地→化石人類〔人類の進化〈猿人〉〕
田戸遺跡 ⑥日史740 C
多島海 ⑩世地→エーゲ(海) ⑱宇地→沈降
多党化現象 ⑤日史→昭和時代〔政治・外交〕
打倒孔家店 ④哲宗→中国思想〔第4期〕 ⑨世史→近代社会〔中国〈反封建・反帝国主義闘争〉〕
多党制 ⑪政社→政党
妥当性 ④哲宗368 D →価値
多糖類 ⑮化学406 C →アミロペクチン →少糖類 →デンプン →糖 ⑬生活→栄養〔糖質〕 ⑳動物→炭水化物
多度峡 ⑧日地→多度(町) →多度山
多徳島 三重/阿児町 ⑧日地667 B
田所 ⑧日地→瑞穂(町)《島根》
田荘 ⑥日史740 C ⑤日史→古代社会〔部民制〕
多度山 三重 ⑧日地667 B →多度(町)
多度神社 ④哲宗→神社〔表〈国幣大社〉〕 ⑧日地→多度(町)図
多度津(町) 香川 ⑧日地667 C
田富(町) 山梨 ⑧日地667 C
タドミンビャー ⑨世史→アバ朝
タトラ(山地) ⑩世地341 C →チェコスロバキア(社会主義共和国)
タートリン，V ソ連[1885-1953] 画家・彫刻家。タートリニズム運動を提唱，構成主義の先駆的役割をになう ②美術355 A →構成主義図 →ロシア美術〔初期ソビエト美術〕
ダードル・スカート ⑬生活→服装〔図西洋〈中段〉〕
タートルネックライン ⑬生活→衿〔図ネックライン〕
タドワ ⑩世地→ラオス(人民民主共和国)図
タートン〈大同〉 中国/山西省 ⑩世地341 D
タートン(山脈)〈大通山脈〉 中国 ⑩世地341 D
たどん ⑬生活→燃料〔固体燃料〕
タナ(湖) ⑩世地341 D →青ナイル
たな ⑬生活→釣り〔囲用語〕
棚 ②美術355 B図 ⑬生活→収納〔収納場所〕表
ターナー，C イギリス[?-1626] 劇作家。現存唯一の作品は神による復讐を扱って注目される。経歴に謎の部分が多い ①文学363 D ③音演→イギリス演劇〔エリザベス朝〕
ターナー，F アメリカ[1861-1932] 歴史学者。フロンティアがアメリカ史に及ぼす影響を強調する仮説を提示 ⑨世史373 D
ターナー，J イギリス[1775-1851] 風景画家。幼少から銅版画の模写に優れ，ロマン的風景画様式を確立 ②美術355 B図 →イギリス美術図 →水彩画 →風景画 →テート・ギャラリー〈685 B〉
棚網 ⑳動物→クモ〔網〕図
タナアミコモリグモ ⑳動物→コモリグモ
ダナイト ⑱宇地→橄欖岩図 →深成岩
タナウアン ⑩世地→バタンガス
店請人 ⑥日史→店子
棚卸資産 ⑫経産→会計学〔歴史〕 →株式〔囲用語〈流動資産〉〕 →資産
棚卸表 ⑫経産→簿記〔複式簿記〕
棚卸法 ⑫経産→貸借対照表
田中 ⑧日地→東部(町)
田中阿歌麿 [1869-1944] 自然地理学者。日本における湖沼学・陸水学の開拓者 ⑱宇地400 B
田中王堂 [1867-1932] 哲学者・評論家。デューイに学び，西洋のプラグマティズムを紹介 ④哲宗369 A ⑥日史740 C図
田中大秀 [1777-1847] 江戸後期の国学者。本居宣長に入門，古注を集成，穏健な自己の見解をしるす ①文学364 A ⑥日史→飛騨国〔囲人国記〕
田中角栄 [1918-] ⑪政社→自由民主党図 →内閣表 →日中関係〔国交正常化〕図
田中克己 [1911-] 詩人。同人雑誌『コギト』を創刊。『四季』同人 ①文学364 A
田中寛一 ⑭医学→知能検査〔種類〕
田中義一 [1863-1929] 陸軍軍人・政治家，首相。対中国強硬政策，治安維持法改正など内外に強圧を重ねる ⑥日史740 D図 →田中メモランダム →陸軍機密費問題 ⑪政社382 A図
田中義一内閣 ⑥日史740 D表 →対華非干渉運動 →不戦条約批准問題 ⑤日史→三・一五事件 →山東出兵 ⑫経産→昭和金融恐慌

田中丘隅 [1662-1729] 江戸中期の農政家。荒川・多摩川・酒匂川の治水事業を行う ⑥日史741 A
田中楠之助 [1843-1864] ⑤日史→河内国〔囲人国記〕
田中家 ③音演→長唄〔囲流派〈鳴物囃子方〉〕
田中敬子〈池田敬子〉 ⑬生活→体操競技〔歴史〕
田中啓爾 [1885-1975] 人文地理学者。日本の地誌学の体系化に寄与 ⑧日地1222 C
田中小実昌 ①文学→直木賞表
田中勝助 [? - ?] 江戸初期の京都の商人。ドン・ロドリゴに同行してメキシコに至る。太平洋を横断した最初の日本人 ⑥日史741 B
田中正造 [1841-1913] 明治の代議士，足尾銅山鉱毒事件を糾弾した義人。天皇に直訴 ⑥日史741 B図 ⑤日史→足尾銅山鉱毒事件
田中上奏文 ⑥日史→東方会議〔2〕
田中正平 [1862-1945] ③音演→音楽〔音楽学〕 →純正調 ⑤日史→淡路国〔囲人国記〕
田中澄江 [1908-] 劇作家。私戯曲で注目され，「悪女」の強さと真実を造形して独自。千禾夫と結婚 ①文学364 A ③音演→田中千禾夫
田中大吉〈金子大吉〉 [1846-1905] ⑰科技→田中久重
田中館愛橘 [1856-1952] 物理学者。重力・地磁気の研究や測地など多方面に活躍。文化勲章受章 ⑥日史741 C ⑯物数341 A ⑱宇地400 B図 →虹〔研究史〕
田中千禾夫 [1905-] 劇作家。『劇作』に発表した処女作の上演で成功。読売文学賞・岸田戯曲賞受賞 作『おふくろ』 ①文学364 B →田中澄江 ③音演312 D →フランス演劇〔日本〕
田中智学 [1861-1939] ④哲宗→国柱会
田中藤六 [? -1777] ⑤日史→周防国〔囲人国記〕
田中訥言 [1767-1823] ②美術→復古大和絵派
田中久重 [1799-1881] 技術者。発明の才にたけ，からくり儀右衛門とよばれる ⑫経産372 D図 ⑰科技370 B図 →時計〔歴史〈第2期〉〕
田中B式知能検査 ⑭医学→知能検査〔種類〕
田中英光 [1913-1949] 小説家。ボート選手としてオリンピックに参加，その大会に向かう船の中での恋を描いた『オリンポスの果実』が著名 ①文学364 B図
田中弘之 ⑥日史→浪人会
田中不二麿 [1845-1909] 明治初期の文教政策の指導者。学制の実施を担当，のち外交・司法界で活躍 ⑥日史741 C図
田中冬二 [1894-1980] 詩人。定年まで銀行マンとして各地で生活。『四季』の中心として活躍 ①文学364 C
田中美知太郎 [1902-] 哲学者・評論家。ギリシア哲学への深い造詣で知られる。文化勲章受章 ①文学364 C
田中光顕 [1843-1939] 明治・大正期の政治家。西南戦争に功をたて，警視総監・宮内大臣など歴任 ⑥日史741 C
田上山 滋賀 ⑧日地667 C
田中メモランダム ⑥日史741 D →田中義一
田中遊水池 ⑧日地→利根川 ⑰科技→河川計画〔河川改修計画〈流量調節工〉〕
田中芳男 [1838-1916] 博物学者・勧農家。明治初期の殖産興業に尽力 ⑲植物388 A
田中吉政 [1549-1609] 安土桃山時代の武将，江戸初期の大名。石田三成を捕え筑後柳川城主になる ⑥日史741 D →筑後国〔囲人国記〕
タナグモ〔棚蜘蛛〕 ⑳動物389 B →クモ〔網〈棚網〉〕
棚倉(町) 福島 ⑧日地667 C
タナグラ人形 ②美術355 D図 →テラコッタ →人形〔世界〕
店子 ⑥日史741 D
タナゴ〔鱮〕 ⑳動物389 B図 →魚類〔生態〈雌と雄〉〕 →生殖〔性徴〕 →体色 ⑬生活→釣り〔種類〈川釣り〉〕
たなごころ〈手掌〉 ⑭医学→手
掌の小説〈掌編小説〉 ①文学→川端康成
田無(市) 東京 ⑧日地667 D
ターナー症候群 ⑭医学→奇形児〔種類〈染色体異常〉〕 ⑳動物→遺伝〔性の決定〕
棚田 ⑧日地1222 C →階段耕作〈1202 D〉
タナッハ ④哲宗→聖書〔旧約聖書〕
タナトス ④哲宗→ギリシア・ローマ神話〔冥王の世界〕 →性 →精神分析
棚仲間 ⑥日史→仲間
タナナリブ ⑩世地341 D →マダガスカル(民主共和国)図

タンマン,G ドイツ[1861–1938] 物理化学者。金相学を中心に無機化学・物理化学の広い領域で活躍 ⑮化学 418 B ⑰科技→本多光太郎
単味セメント ⑰科技→セメント〔ポルトランドセメントの種類〕
蛋民 ⑩世地→コワンチョウ →ホンコン〔社会・文化〕
タンムーズ神話 ④哲宗→バビロニア神話〔その他〕
湯麵 ⑬生活→めん類〔中国めん〕
断面 ⑰科技→製図
断面図 ⑰科技→製図〔断面〕図
断面積 ⑯物数 349 C
単毛類 ⑲植物→菌類〔分類〈藻菌類〉〕
断么九 ⑬生活→麻雀〔役〕図
タンヤン〈丹陽〉 南朝鮮 ⑩世地 348 D
丹陽 ⇨タンヤン
単葉 ⑲植物 398 C →葉
単葉機 ⑰科技→飛行機〔種類〈主翼の形式〉〕
単葉双曲面 ⇨1葉双曲面
単利法 ⑯物数→日用諸算〔複利〕
単粒 ⑲植物→でんぷん
暖流 ⑧日地 1223 D →海流〈1203 B〉 ⑱宇地 405 C →海流〔おもな海流〕図 →寒流 →黒潮
『談竜録』 ①文学→趙執信
単量体 ⇨モノマー
弾力性・伸縮性 ⑫経産 373 D
弾力性予算 ⑫経産→会計〔囲用語〈変動予算〉〕
檀林〔談林〕 ④哲宗 373 C →仏教〔囲用語〕
檀林皇后 ⇨橘嘉智子
檀林寺 ④哲宗→檀林
『談林十百韻』 ①文学→田代松意 →俳句〔歴史〕
談林派 ⑥日史 748 C →西山宗因
談林俳諧 ①文学→日本文学〔近世〈江戸前期〉〕 →俳句〔歴史〕 ⑥日史→俳諧
断裂構造 ⑱宇地→地質〔地質構造〕
断裂図法 ⑧日地→グード図法〈1208 C〉 →星形図法〈1233 C〉
断裂帯 ⑱宇地→トランスフォーム断層
団練 ⑨世史 377 D →郷勇 →兵制〔中国〕
短連歌 ①文学→連歌〔形態〕
単連結 ⑯物数 349 C →連結
暖炉 ⑬生活→居間〔インテリアと家具〕
炭労 ⇨日本炭鉱労働組合
断路器 ⑰科技→開閉器〈68 C〉
丹緑本 ②美術→絵入本〔近世初期の色彩本〕
ダンロップ,J イギリス[1840–1921] 企業家。空気入りタイヤを考案し,会社を創立 ⑰科技 382 C図 →自転車〔歴史〕 →タイヤ〔歴史〕 ⑫経産→ダンロップ・ホールディングス
ダンロップ・ホールディングス ⑫経産 374 B
タンロン ⑨世史→李朝
湯碗 ⑬生活→食器〔分類〈中国食器〉〕図

チ

ち

血 ⇨血液
地 ④哲宗→三才
乳 ⑥日史→草鞋
笞 ⑤日史→五刑 ⑨世史→刑罰〔東洋〕
智 ④哲宗→仁義礼智
チー(川) ⑩世地→タイ(王国)〔自然〕
吃 ⑬生活→麻雀〔組合せのつくり方〕
血合い肉 ⑬生活→魚肉〔成分〕
叉焼肉〈焼き豚〉 ⑬生活→中国料理〔調理法による種別〈烤菜〉〕
チアゾリドマイシン ⑮化学→抗生物質〔主要〕
チアド(地区) ⑩世地→リスボン
チアーノ,G イタリア[1903–1944] 外交官・政治家。ムッソリーニの女婿。大戦末期ドイツ軍に捕えられ銃殺 ⑨世史 378 A
チアノーゼ ⑭医学 394 A →鬱血 →心筋梗塞 →新生児〔疾患〕
チアパス(州) ⑩世地→メキシコ(合衆国)〔地方誌〈メキシコ湾地域〉〕
チアミン ⇨ビタミンB_1
血雨 ⑱宇地→雨〔珍しい雨〕
チアール ①文学→プレイアード詩派
『知ある無知』 ④哲宗→ニコラウス・クザーヌス
チーアン〈集安〉 中国/吉林省 ⑩世地 349 A
チーアン〈吉安〉 中国/江西省 ⑩世地 349 A
治安維持法 ⑥日史 749 A →大正デモクラシー〔第3期〕 →普通選挙法 →予防拘禁制 ⑤日史→過激社会運動取締法案 →加藤高明内閣〔第一次〕 →関東大震災〔大正デモクラシー〕 →企画院事件 →近代社会〔帝国主義の成立〕 →憲政擁護運動〔第二次〕 →昭和時代〔政治〕 →人民戦線事件 ⑪政社→治安立法〔戦前〕図
治安警察法 ⑥日史 749 B →山県有朋内閣〔第二次〕 ⑪政社→治安立法〔戦前〕
治安出動 ⑪政社→自衛隊〔行動と権限〕
吉安盆地 ⑩世地→チーアン →チヤンシー(省)
治安立法 ⑪政社 384 B図
地域 ⑧日地 1223 D
値域 ⑯物数 350 A →関数〔写像〕 →写像
地域開発 ⑫経産 374 C ⑧日地→総合開発〈1220 D〉
地域気象観測網 ⑱宇地→気象観測〔観測網〕
地域共同アンテナテレビ ⑰科技→CATV
地域計画 ⑰科技→都市計画〔都市計画・地域計画の歴史〕
地域社会 ⑪政社→コミュニティ ⑫経産→産業立地〔概要〕
地域主義 ⑫経産→経済統合〈150 C〉
地域政策 ⑫経産→経済地理学
地域暖房 ⑰科技→セントラルヒーティング
地域地理学 ⇨地誌学
地域手当 ⑫経産→賃金体系〔二〕
地域的取極 ⑪政社 385 D
地位協定 ⇨日米地位協定
地域冷暖房方式 ⑰科技→冷暖房設備
小県盆地 ⇨上田盆地
小さき兄弟修道会 ⇨フランシスコ会
少子部蜾蠃 ④哲宗→日本神話囲
『小さなエイヨルフ』 ③音演→イプセン,H
『小さな王国』 ①文学→谷崎潤一郎
『小さな聖者』 ①文学→ブラッコ,R
『小さな町にて』 ①文学→フィリップ,C
智異山 ⇨チリ(山)
地衣植物 ⑲植物→植物〔系統と分類〕
チイチイゼミ ⑳動物→セミ〔日本の種類〕
地衣ツンドラ ⑧日地→ツンドラ〈1225 D〉
翅餅 ⑬生活→中国料理〔囲特殊材料〕図
地衣類 ⑲植物 399 A図 →コケ
乳岩峡 愛知 ⑧日地 677 D
九澳島〈コロワン島〉 ⑩世地→マカオ
九宮山 ⑩世地→ムーフー(山脈)
チウチヤン〈九江〉 中国/江西省 ⑩世地 349 A
チウチュワン〈酒泉〉 中国/甘粛省 ⑩世地 349 A
チウリエン(山脈)〈九連山脈〉 中国 ⑩世地 349 A
チウリン(山脈)〈九嶺山脈〉 中国 ⑩世地 349 B
九竜 ⑩世地→ホンコン〔各地〕
九竜半島 ⑩世地→ホンコン
智蘊 ①文学→連歌〔歴史〕
知恵 ④哲宗→アリストテレス〔形而上学〕 →知識
智慧 ④哲宗→観法 →仏教
チェアリングクロス ⑩世地→ロンドン《イギリス》〔囲観光地〕
智永 中国[* *] 6世紀の僧・書家。王羲之の七世の孫。千字文を800余本も書し諸寺に分けたという ②美術 359 D →千字文
知恵伊豆 ⇨松平信綱
知恵板〈七巧図〉 ⑯物数→数学パズル〔図形のパズル〈図形の組立てパズル〉〕
『チェインジリング』 ①文学→ミドルトン,T
チェカー ⑨世史→ゲー・ペー・ウー ⑪政社→政治警察
地役権 ⑪政社→物権〔種類〈用益物権〉〕 ⑬生活→登記〔不動産登記〕
チェケッティ,E イタリア[1850–1928] ③音演→バレエ〔20世紀〕
チェ・ゲバラ ⇨ゲバラ,E
チェコ ⑩世地→チェコスロバキア(社会主義共和国)〔自然〕
チェコ国民党 ⑨世史→老チェコ党
チェコ事件 ⑪政社 385 D図 →共産党〔歴史〕 →東欧政治事情〔プラハの春〕図 ⑫経産→社会主義世界体制
『智恵子抄』 ①文学→高村光太郎図
チェコ人〈チェック人〉 ⑨世史→オーストリア・ハンガリー帝国 ⑩世地→チェコスロバキア(社会主義共和国)〔社会・文化〈住民・言語〉〕
チェコスロバキア(社会主義共和国) ヨーロッパ ⑩世地 349 B図 ⑨世史→サン・ジェルマン条約 →小協商 →マサリク,T ⑪政社→チェコ事件 →東欧政治事情 ⑫経産→東欧経済事情図
チェコスロバキア演劇 ③音演→東欧演劇
チェコスロバキア文学 ①文学→東欧文学
チェコスロベンスコ ⇨チェコスロバキア(社会主義共和国)
チェコの演劇 ③音演→東欧演劇〔チェコスロバキア演劇〕
チェコ文学 ①文学→東欧文学〔チェコスロバキア文学〕
チェコモラバ(高地) ⑩世地→チェコスロバキア(社会主義共和国)〔自然〕
千重咲き ⑲植物→八重咲き
チェサピーク(湾) ⑩世地 352 A
チェザルピーノ,A イタリア[1519*–1603*] 医者・植物学者・哲学者。植物の分類学における先駆者 ⑲植物 400 A
チェザーレ・ダ・セスト イタリア[1477–1523] ②美術→ミラノ派
チェーザレ・ボルジア ⇨ボルジア,C
チェザロッティ,M イタリア[1730–1808] 文学者。芸術・教育・政治論を多作。穏健な啓蒙主義者で知られる ①文学 375 D
チェス ⑬生活 403 D図表 →将棋〔歴史〕
チェスケブジェヨビツェ チェコ ⑩世地 352 B
チェスター,R ⑮化学→錬金術
チェスター イギリス ⑩世地 352 B図
チェスター動物園 ⑳動物→動物園〔表世界〕
チェスタートン,G イギリス[1874–1936] 作家。カトリック主義の文筆指導者として知られる ①文学 375 D →推理小説〔外国〕
チェスターフィールド(伯) イギリス[1694–1773] 政治家。庶子にあてて30年間書き続けた約400通の手紙で有名 ①文学 375 D
チェスターフィールド(諸島) フランス/太平洋 ⑩世地 352 B
チェスターフィールド ⑬生活→たばこ〔世界〕
チェスティ,A イタリア[1623–1669] ③音演→音楽〔西洋音楽〈バロック音楽〉〕
チェスナット アメリカ ①文学→黒人文学
チェース・マンハッタン銀行 ⑫経産 375 B
崔曙海 ⇨崔曙海
チェダー ⑬生活→チーズ〔種類〈ナチュラル〉〕図表
チェチェノイングシ ソ連/ロシア ⑩世地 352 B
チェーチ王朝 ⑨世史→カリンガ国
チェチュ〈済州〉 南朝鮮 ⑩世地 352 C
チェチュ(島)〈済州島〉 南朝鮮 ⑩世地 352 C図
チェッカー ⑬生活→チェス図
チェッキ,E イタリア[1884–1966] 批評家。詩集や小説もあり,美術評論家としても高名 ①文学 376 A

チャタートン,T イギリス〔1752-1770〕 詩人。架空の詩人を設定,その遺作と称して古風な詩を発表。自殺 ①文学379 D
『チャタートン』 ①文学→ビニー,A
チャタヌーガ アメリカ/テネシー ⑩世地357 D
チャタム(諸島) ニュージーランド/太平洋 ⑩世地357 D
柴達木河(チャイダムホー)〈ツァイダムホー〉 ⑩世地→中華人民共和国〈364 A〉
チャタレイ裁判 ①文学→ローレンス,D〔チャタレイ夫人の恋人〕
『チャタレイ夫人の恋人』 ①文学→イギリス文学〔20世紀〕→伊藤整(せい) →ローレンス,D図
北谷(町)(ちゃたん) 沖縄/沖縄島 ⑧日地690 B
茶団子 ⑬生活→団子
チャーチ,W ⑰科技→セロハン
チャーチゲイト通り ⑩世地→ボンベイ
チャーチスクエア ⑩世地→南アフリカ(共和国)図
ちゃちゃ ⇨淀殿
爺爺岳(ちゃちゃだけ)〈チャチャヌプリ〉 ⑦日地→国後島(くなしり) ⑱宇地→火山〔寿命〕〔表活火山〕
チャチャチャ ③音演→ラテン音楽 ⑬生活→社交ダンス〔競技ダンス〕
チャチャラカ ⑳動物→シャクケイ
チャーチル,W.L イギリス〔1874-1965〕 政治家,首相。その長い経歴は大英帝国主義者・反ファシズムの戦士として不滅。伝記・散文に優れノーベル文学賞受賞 ①文学380 A ⑨世史380 D →イギリス(史)〔英帝国から英連邦へ〈第二次大戦後〉〕図 →カイロ会談図 →カサブランカ会談 →大西洋憲章 →第二次世界大戦〔経過〈英独戦争〉〕 →テヘラン会談 →ポツダム会談 →ヤルタ会談図 ⑪政社390 D図 →イギリス政治事情 →大西洋憲章
チャーチル,W アメリカ〔1871-1947〕 小説家・地方政治家。史実の正確さで評価される歴史小説がある ①文学380 A
チャーチル カナダ ⑩世地357 D
チャーチルダウンズ競馬場 ⑬生活→競馬〔競馬場〈アメリカ〉〕
炸菜(チャーツァイ) ⑬生活→中国料理〔調理法による種別〕
搾菜(チャーツァイ) ⑬生活→中国料理〔囲特殊材料〕 →漬け物〔外国〕 ⑲植物→ダイシンサイ
着火点 ⇨発火点
ちゃっきらこ ③音演→民俗芸能図 ⑧日地→三浦(市)図
ちゃっきり節 ③音演→民謡〔表〈静岡〉〕
茶漬け ⑬生活→飯
着袴 ⇨袴着(はかまぎ)
チャッパ ③音演→シンバル
チャップマン,G イギリス〔1559-1634〕 詩人・劇作家。ホメロスの翻訳に従事。海軍大臣一座の座付作者 ①文学380 A ③音演→イギリス演劇〔エリザベス朝〕
チャップマン,S イギリス〔1888-1970〕 物理学者・地球物理学者。電離層・地磁気など多くの分野で業績を残す ⑱宇地437 A
チャップマン層 ⑱宇地→チャップマン,S
チャップリン,C イギリス〔1889-1977〕 映画製作者・監督・俳優。乞食紳士の扮装や演技による独特の個性で知られる ③音演325 B図 →映画〔無声映画〈第2期〉〕 →パントマイム
『チャップリンの楽屋騒動』 ③音演→チャップリン,C
『茶壺』 ③音演326 A
茶壺道中〈宇治茶壺道中〉 ⑥日史756 B
チャーティスト運動 ⑨世史381 A図 →イギリス(史)〔産業革命と自由主義〕 →イギリス議会史〔民主化〕 →オコンナー,F →人民憲章 ⑫経産385 B
チャート ⑱宇地437 A →岩石〔堆積岩〕図 →堆積岩〔化学岩・生物岩〕図
チャド(共和国) アフリカ ⑩世地357 D図 ⑫経産→アフリカ経済事情図
チャド(湖) アフリカ ⑩世地358 C図 →アフリカ(州)〔囲探検史〕 →チャド(共和国)〔自然〕図
茶陶 ⑥日史→備前焼
茶道(さどう,ちゃどう)〈茶湯〉 ⑥日史756 B図 →千利休 →武野紹鷗(じょうおう) →茶 →豊臣秀吉〔人となり〕 →古田織部(おりべ) ⑬生活409 B図囲 →懐石 →菓子〔和菓子の歴史〕 ④哲宗→日本思想〔囲主要概念〈わびとさび〉〕 ⑤日史→安土桃山時代〔文化〕 ⑦日地→京都(市)〔生活・文化〈芸能〉〕
チャドウィック,E 〔1800-1890〕 ⑨世史→産業革命〔労働者の環境〈社会問題〉〕
チャドウィック,J イギリス〔1891-1974〕 物理学者。中性子を発見,原子核構造の解明に従事。ノーベル賞受賞 ⑮化学422 C →化学〔歴史〈現代〉〕 ⑯物数354 A図 →原子核〔原子核反応〈人工核変換〉〕 →中性子 ⑰科技→原子力〔歴史〈原子爆弾〉〕
チャドウィック,L イギリス〔1914〕 ②美術→イギリス美術〈17 D〉
茶道具 ②美術362 B ⑬生活→茶道図
チャドクガ ⑳動物→ドクガ図
チャド諸語 ⑧日地→セム・ハム語族〈1220 B〉
チャドリ ⑬生活→ベール〔種類〕
チャドル ⑬生活→民族衣装〔民族衣装圏〕
チャナキャ インド ⑱宇地→雨〔記録〕
嘉南平野(チャナン) ⑩世地→タイワン(島)
チャーニー,J アメリカ〔1917〕 理論気象学者。今日の気象における数値予報業務の基礎をつくる ⑱宇地437 B
チャニャラル チリ ⑩世地358 D
茶庭 ⑬生活→庭〔種類〕 ⑲植物→庭〔歴史と様式〕
チャニング,W アメリカ〔1780-1842〕 牧師。カルバン主義に反対し,ユニテリアン協会を組織 ①文学380 B
チャネル(諸島) イギリス ⑩世地358 D
茶の木屋三郎右衛門 〔1647-1713〕 ⑤日史→越中国(えっちゅう)〔囲人国記〕
茶子(ちゃのこ) ⑬生活→菓子〔和菓子の歴史〕 ⑲植物→くだもの〔歴史〕
チャノホソガ ⑳動物→ガ図 →ホソガ
『茶の本』 ①文学→岡倉天心 ②美術→岡倉天心 ④哲宗→岡倉天心
茶の間 ⑬生活→居間 →住まい〔設計〈各部〉〕
茶の実紋 ⑲植物→チャ図
茶湯 ⇨茶道(さどう)
茶の湯釜 ②美術362 D図
茶湯棚 ⑥日史→茶道(さどう)〔茶数寄〕
『チャパーエフ』 ①文学→戦争文学 →フールマノフ,D
茶羽織 ⑬生活→羽織
チャパティ ⑬生活→世界の料理〔インド料理〕
茶花 ⑬生活→いけ花〔歴史〕 →茶道〔歴史〈成立〉〕
チャパニス,A ⑰科技→人間工学
チャバネゴキブリ ⑳動物→ゴキブリ
チャバネセセリ〔茶翅挵蝶〕 ⑳動物399 B
チャハマキ ⑳動物→ガ図
チャパラ(湖) メキシコ ⑩世地358 D
チャハル〔察哈爾〕 ⑨世史381 C
察哈爾事件(チャハル) ⑥日史757 A
チャハル族 ⑩世地→内モンゴル(自治区)
チャーハン〈炒飯(チャオファン)〉 ⑬生活→点心〔食間〕
茶匙〈茶杓〉 ②美術→茶道具
チャヒキグサ ⇨カラスムギ
茶びん ⑬生活→調理器具〔熱調理器具〈やかん〉〕
チャビン式土器 ⑩世地→ペルー(共和国)〔囲古代文明遺跡〕
チャビン・デ・ワンタル ⑨世史→チャビン文化
チャビン文化 ⑨世史381 C →オルメカ文化 ②美術→インカの美術〔インカ以前〕 →プレ・コロンビア美術〔古典期〕
チャプイギン,A ソ連〔1870-1937〕 小説家。17世紀の農民蜂起を描いた『ラージン・ステパン』が代表作 ①文学380 B
茶袱紗 ⑬生活→袱紗(ふくさ)
ちゃぶだい ⑬生活→膳
チャプマン,W ⑰科技→鉄道〔歴史〈車両〉〕
チャプマンシマウマ ⑳動物→シマウマ〔種類〕
チャプリン ⇨チャップリン,C
チャプルテペック公園 ⑩世地→メキシコ(市)
チャプルテペック動物園 ⑳動物→動物園〔表世界〕
チャプレット ⑬生活→アクセサリー〔ネックレス〕
チャペック,J チェコ〔1887-1945〕 ③音演→チャペック,K
チャペック,K チェコ〔1890-1938〕 劇作家・小説家。SF物で知られ,新造語「ロボット」は世界中に流布 作『R・U・R(エル・ウー・エル)』 ①文学380 B図 ③音演326 B図 →東欧演劇〔チェコスロバキア〈チェコ〉〕
『チャペルへの道』 ①文学→ボーン,L
チャボ〔矮鶏〕 ⑳動物399 B →ニワトリ〔観賞用種〕
チャボアヤメ ⑲植物→アヤメ
茶坊主 ⑥日史757 B
チャボシライトソウ ⑲植物→シライトソウ
チャボゼキショウ ⑲植物→チシマゼキショウ
チャボトウジュロ ⑲植物406 B図
チャボヒバ ⑲植物→ヒノキ
チャボヒロハマンテマ ⑲植物→シレネ
チャボヤドリヒバ ⑲植物→ヒノキ
チャマダラセセリ亜科 ⑳動物→セセリチョウ
茶店 ⑥日史→茶屋
チャミノガ ⑳動物→ミノガ
チャム王国 ⑩世地→ユエ
チャムシン ⑱宇地→風〔表局地風〕
チャムス〔佳木斯〕 中国/黒竜江省 ⑩世地358 D
チャム族 ②美術→東南アジアの美術 ⑨世史→チャンパー ⑩世地→ベトナム(社会主義共和国)〔社会・文化〕
チャムパサク(平野) ⑩世地→ラオス(人民民主共和国)〔自然〕
チャムラン ⑩世地→ヒマラヤ(山脈)〔表初登頂〕
茶銘 ⑬生活→茶道〔囲用語〕
茶飯 ⑬生活→飯〔表混ぜご飯〕 「太平洋岸〉〕
チャメラ ⑩世地→メキシコ(合衆国)〔地方誌〈南部
チャモロ族 ⑩世地→ミクロネシア
茶屋 岡山/倉敷市 ⑧日地690 B
茶屋 ⑥日史757 B
茶屋四郎次郎 江戸幕府の呉服師,朱印船貿易家。京都の三長者に数えられた豪商 ⑥日史757 B ⑤日史→朱印船図
茶屋染 ②美術363 B →小袖(こそで) →染色〔模様染めの技法〈防染剤の付着による防染〉〕
茶屋辻 ②美術→茶屋染
チヤユイコワン〈嘉峪関(かよくかん)〉 中国/甘粛省 ⑩世地358 D
チャラ〈按司(あじ)〉 ⑤日史→沖縄(県)〔琉球王国〕
チャラカ インド ⑭医学→医学〔東洋医学の歴史〕
チャリ(川) 中央アフリカ・チャド ⑩世地359 A
チャリ敵 ③音演→滑稽(こっけい)
『チャーリーとの旅』 ①文学→スタインベック,J
チャリネ イタリア ③音演→サーカス
チャリ場 ③音演→滑稽(こっけい)
『血槍富士』 ③音演→内田吐夢(とむ)
チャリホ ⑱宇地→風〔表局地風〕
チヤリン(川)〈嘉陵江〉 中国 ⑩世地359 A
チャールキヤ朝 ⑨世史381 D図 →ラージプート諸王朝
チャールズ(一世) イギリス〔1600-1649〕 スチュアート朝の王。王権を振りかざして議会と決定的に対立,革命で処刑 ⑨世史381 D図 →イギリス議会史〔革命と議会〕 →権利の請願 →ピューリタン革命〔革命前〕図 ④哲宗→クロムウェル,O
チャールズ(二世) イギリス〔1630-1685〕 スチュアート朝の王。チャールズ一世の子。亡命地から帰国し王政を復古 ⑨世史382 A図 →王政復古〔イギリス〕 →審査律 →ブレダ宣言 ①文学→ウィルモット,J
チャールストン アメリカ/ウエストバージニア ⑩世地359 A
チャールストン ⑬生活→社交ダンス〔競技ダンス〕
チャルダーシュ ③音演→舞曲図
『チャールダッタ』 ①文学→インド・パキスタン文学〔中古〕
チャルトリスキ,A ポーランド〔1770-1861〕 政治家・詩人。大貴族家の長子。人質としてロシアに送られ皇帝に信頼された ⑨世史382 B
チャールミナール ⑩世地→ハイデラバード《インド》
チャルメラ ③音演326 C →オーボエ〔オーボエ属〕
チャルメルソウ ⑲植物406 C図
チャレンジャー(海淵) ⑱宇地→海底図
チャレンジャー号 ⑩世地→太平洋〔探検〕 ⑱宇地→海底〔探究の歴史〕 →海洋〔探検〕 →探検〔19世紀〕 ⑳動物→オトヒメノハナガサ →クラゲダコ
チャレンジラウンド ⑬生活→テニス〔国際試合〕表
チャロ ⑩世地→パナマ(共和国)〔社会〕
茶碗 ②美術363 B図 →茶道具 ⑧日地→土岐(市) ⑬生活→食器〔分類〈和食器〉〕 →茶道〔図茶道具〕
チャワンタケ〔茶碗茸〕 ⑲植物406 C
茶碗蒸し ⑬生活→卵料理〔料理〕 →蒸し物
チャン チリ ⑩世地359 B
醤(チャン)〈みそ〉 ⑬生活→中国料理〔調味料〕
薑(チャン)〈ショウガ〉 ⑬生活→中国料理〔香辛料〈嗜好調味料〉〕
チャンキ(岬)〈長鬐岬(ちょうきこう)〉 南朝鮮 ⑩世地359 B
張国燾(チャンクオタオ) ⇨張国燾(ちょうこくとう)
チャン・クオックトアン〔陳国峻〕 ⇨チャン・フンダオ
チャンココ ⑦日地→五島列島図 ⑧日地→長崎(県)〔文化〈郷土芸能〉〕

『長恨歌』 ①文学→檀一雄 →直木賞表
『長恨歌伝』 ①文学→陳鴻
潮差 ⑱宇地→潮汐〔満干潮〕
長沙 ⇨チャンシャー
張載 中国〔*.〕 西晋の文人。諸官を歴任,八王の乱にあって郷里に退隠 ①文学 384 C
潮斎 ⑱宇地→潮汐〔民俗〕
調剤 ⑭医学→薬学〔調剤学〕 →薬剤師
調剤学 ⑭医学→薬学
彫彩漆 ②美術→堆朱
聴細胞〈有毛細胞〉 ⑳動物→耳
調剤薬 ⑭医学→薬学〔調剤学〕
張作霖 中国〔1875/1928〕 奉天軍閥の首領。北京において大元帥に就任したが,日本軍により爆殺 ⑥日史 762 C図 →張作霖爆殺事件 →満州事変〔前史〕 ⑨世史 400 B図 →国民革命 →張学良 →奉直戦争 →奉天派 ⑪政社 403 D図
張作霖爆殺事件〈満州某重大事件〉 ⑥日史 762 D →田中義一内閣 ⑤日史→昭和時代図 ⑪政社→田中義一
長沙古墳 ②美術→中国美術図
チョウザメ〔鱘魚〕 ⑳動物 405 C図 →淡水魚
調査路線図 ⇨ルートマップ
逃散 ⑥日史 762 D ⑫経産→土一揆 →百姓一揆
超酸化カリウム ⑮化学→カリウム〔化合物〕
長山群島 ⇨チャンシャン(群島)
長山山脈 ⇨アンナン(山脈)
長三洲 〔1833/1895〕 ②美術→書〔日本書道史〈唐様の展開と和様の再興〉〕 →明治の美術〔文人画〕
長三和音 ③音演→和音〔三和音〕図
『長子』 ①文学→中村草田男
長枝 ⑲植物→茎〔形態〕
張芝 中国〔*.〕 後漢の書家。草書の一体である章草に巧み ②美術 376 C
徴士 ⑥日史 762 D ⑤日史→貢士
銚子(市) 千葉 ⑧日地 704 D図 →利根川 ⑬生活→しょうゆ〔歴史〕
銚子 ⑥日史 762 D →提子 ⑬生活→酒器
調子 ③音演 331 A
チョウジ〔丁字,丁子〕 ⑲植物 409 A図 →香辛料植物表 →香料植物表 →薬用植物表 ⑫経産→香料貿易 ⑬生活→香辛料図図 ⑭医学→生薬
丁子足 ②美術→日本刀〔図刃文の種類〕
弔事 ⑬生活→贈答
長治 ⇨チャンチー
超仕上げ ⑰科技→機械仕上げ
超仕上げ盤 ⑰科技→工作機械表
銚子大橋 ⑧日地→銚子(市)図
超自我 ④哲宗→精神分析 →フロイト,S
銚子伽藍 ⑦日地→赤城山
チョウジギク〔丁子菊〕 ⑲植物 409 B図
腸軸捻病〈腸軸捻症,腸捻転〉 ⑭医学→腸図
趙芝薫 朝鮮〔1920/1968〕 詩人。不正・腐敗政治を告発する詩や評論がある ①文学 384 C
銚子渓 香川/小豆島 ⑧日地 705 A →土庄(町)
趙之謙 中国〔1829/1884〕 清代の書家。六朝の楷書と漢の隷書の妙を極め,篆刻の第一人者でもある ②美術 376 D →印章〔中国〈篆刻〉〕 →書〔中国書道史〈宋代以降〉〕 →篆刻
『趙氏孤児』 ①文学 384 C
チョウジザクラ〔丁子桜〕 ⑲植物 409 B →サクラ〔野性種〕別
鳥趾状三角州 ⑧日地→三角州〈1213 B〉 ⑱宇地→川〔川の作る地形〕図 →三角州図
張士誠 中国〔1321/1367〕 元末群雄の一人。もと塩の仲買人。乱をおこし富強となったが朱元璋に敗れた ⑨世史 400 C →徐達
『超自然詩学派』 ①文学→西脇順三郎
チョウジソウ〔丁子草〕 ⑲植物 409 B図
長子相続 ⑥日史→相続制度〔近世〕 →末子相続
丁字染め ⑮化学 424 A →染料〔天然染料〈植物〉〕
銚子大漁節 ③音演→民謡〔表〈千葉〉〕
チョウジタデ〔丁字蓼〕 ⑲植物 409 C図
超日王 ⑨世史→チャンドラグプタ(二世)
銚子塚古墳 ⑥日史 763 A ⑧日地→二丈(町) →山梨(県)〔歴史〕
長日栽培 ⑲植物 409 C
長日植物 ⑲植物 410 A →光周性
長日処理 ⑲植物→日長処理

趙執信 中国〔1662/1744〕 清代の詩人。故郷で詩酒のうちに一生を終えた ①文学 384 D
張之洞 中国〔1837/1909〕 清末の官僚。「中体西用」論を主張し,洋務運動を推進 ①文学 384 D ④哲宗 383 C ⑨世史 400 C →洋務運動 ⑤日史→漢冶萍煤鉄公司
『調子のいい鍛冶屋』 ③音演→ヘンデル,G
長翅目〈シリアゲムシ目〉 ⑳動物→昆虫〔分類〕〔表現生昆虫の種類〕
丁字紋 ⑲植物→チョウジ図
長者 千葉/岬町 ⑧日地 705 B →岬(町)
長者 ④哲宗→仏教〔囲用語〕 ⑥日史→町人
チョウジャガイ〔長者貝〕 ⇨オキナエビス
長者ヶ池 ⇨田貫湖
長者ヶ崎 神奈川 ⑧日地 705 B →葉山(町)
長者ヶ浜 ⑧日地→答志島
長者ヶ原 ⑧日地→徳地(町)
長者ヶ原遺跡 ⑥日史 763 B
長尺貨物 ⑰科技→貨車〔営業用〕
長尺レール ⑰科技→軌道〔レール〕
長者宣 ⑥日史 763 B
長者演 ⑦日地→大分(県)〔観光〈名産品〉〕
チョウジャノキ ⇨メグスリノキ
長者の山 ③音演→民謡〔表〈秋田〉〕
長者原 大分 ⑧日地 705 C
銚子山古墳 ⑦日地→網野(町)
『長者マルコ』 ③音演→オニール,E
長者もろみ ⑦日地→大分(県)〔観光〈名産品〉〕
チョウシャン(島)〈舟山島〉 中国 ⑩世地 380 A
丁子油 ⑮化学 424 A →香料〔表精油と特性〕
長寿〈長命〉 ⑬生活→祝い事 →精進料理 ⑭医学→平均寿命
長州 ⇨長門国
張州 ⇨尾張国
『長秋詠藻』 ①文学→私家集 →藤原俊成
長州音頭〈男なら〉 ③音演→民謡〔表〈山口〉〕
『鳥獣戯画』 ⑥日史 763 C ②美術→絵巻〔囲作品〕別 →平安時代の美術〔後期〈大和絵〉〕 →漫画〔日本漫画の歩み〕図 ④哲宗→高山寺
長周期型周期表 ⑮化学→元素〔分類〕 →周期表
朝集使 ⑥日史→四度使
長州征伐〈征長〉 ⑥日史 763 C図 →長州藩 →倒幕運動〔経過〕 →徳川家茂 →蛤御門の変
腸重積 ⑭医学→腸図
『長秋草』〈俊成家集〉 ①文学→藤原俊成〔長秋詠藻〕
『鳥獣虫魚』 ①文学→吉行淳之介
長州藩〈萩藩〉 ⑥日史 763 D →脱隊騒動 →長州征伐 →倒幕運動〔経過〕 →長門国 →幕末〔薩長連合〕 →蛤御門の変 →藩閥政治 →文久三年八月十八日の政変 ⑤日史→開国〔攘夷運動〕 →薩長芸三藩盟約 →薩長連合 →四国連合艦隊下関砲撃事件 →七卿落
鳥獣保護員 ⑬生活→狩猟〔狩猟行政〈行政組織〉〕
鳥獣保護区 ⑬生活→狩猟〔増殖〈地区設定〉〕
長十郎 ⑲植物→ナシ〔分類と品種〕図
長寿王 朝鮮 ⑤日史→高句麗 ⑨世史→高句麗 →朝鮮〔三国の発展〕
長寿寺 ⑦日地→石部(町)図
張守節 ①文学→司馬遷〔史記〕
長寿伝説 ⑥日史→田道間守
超ジュラルミン ⑰科技 389 B →ジュラルミン
趙樹理 中国〔1906/1970〕 小説家。民話的風格をもった短編を発表,人民文学の代表的存在 作『李家荘の変遷』 ①文学 384 D図 →中国文学〔近代〕 →農民文学
チョウシュン ⇨コウシンバラ
長春 ⇨チャンチュン
張巡 中国 ⑨世史→安史の乱〔経緯〕
長春花 ⑲植物→キンセンカ
長春真人 中国〔1148/1227〕 金末元初の道士。チンギス・ハンに招かれて西域に赴き,貴重な紀行を残す ⑨世史 400 D →全真教 →チンギス・ハン〔人柄〕
超純鉄 ⑰科技→鉄鋼〔鉄合金〕
長春鉄道 ⑥日史→東清鉄道
鳥書 ②美術→書〔中国書道史〈書体の誕生〉〕
『調書』 ①文学→ル・クレジオ,J
趙紫陽 ⑪政社→中国政治事情図
張照 中国〔1691/1745〕 清代の書家。逸材で,刑部尚書の大官となる。端正な書で雅品が高い ②美術 376 D →書〔中国書道史〈宋代以降の大家〉〕

朝鐘 ②美術→梵鐘
趙昌 中国〔*.〕 北宋の画家。花卉・鳥虫に優れたが,伝来作品は少ない ②美術 376 D
張譲 中国 ⑨世史→宦官〔中国〕
頂上外交〈首脳外交〉 ⑪政社→外交〔新しいタイプ〕
聴小骨〈耳小骨〉 ⑭医学→耳〔中耳〕
長勝寺 ⑧日地→弘前(市)図
チョウショウバト〔長嘯鳩〕 ⑳動物 405 C
趙如愚 中国〔?/1196〕 ⑨世史→韓侂冑
長次郎 〔?/1589〕 楽焼の初代。利休の知遇を得,楽茶碗を焼く ②美術 376 D →楽焼 ⑥日史→楽焼
超人 ④哲宗→ニーチェ,F〔囲基本概念〕
超深海帯 ⑳動物→深海生物〔分類〕
聴診器 ⑭医学 407 A →ラエネク,R〈184 D〉
聴神経腫瘍 ⑭医学→脳〔手術適応疾患〕
長津江 ⇨チャンチン(川)
超新星 ⑱宇地 438 B →銀河電波〔1〕 →変光星 →ラジオ星 ⑯物数→ティコ・ブラーエ
超新星爆発 ⑱宇地→HR図〔恒星の進化〕 →恒星〔進化〕図 →新星図 →中性子星 →白色矮星 →パルサー →ブラック・ホール →変光星〔死後の星の変光〕表
手水 ⑬生活→葬式〔葬儀〈神式葬儀〉〕
長水 ①文学→『五色墨』
張瑞図 中国〔1570/1640?〕 明末の書画家。草書に巧みで当時の四大家の一人。水墨山水画は蒼勁にして雅趣がある ②美術 377 C →書〔中国書道史〈宋代以降の大家〉〕
趙崇祚 ①文学→『花間集』
趙子昂 ⇨趙孟頫
長生(村) 千葉 ⑧日地 705 C
長征〈大西遷〉 ⑨世史 400 D図 →遵義会議 →毛沢東 ⑩世地→イエンアン
長勢 〔1010/1091〕 平安中期の仏師。定朝の弟子。法勝寺阿弥陀堂造仏により僧綱最高位の法印を受ける ②美術 377 C →円派
調性 ③音演 331 A図
徴税 ⑫経産→税務会計
長生飴 ⑬生活→飴
徴税行政権〈ディーワーニー〉 ⑨世史→インド〔植民地支配〕
調整池式発電 ⑰科技→水力発電〔方式〕
調性的和声 ③音演→和声〔歴史〕
長生殿 ⑬生活→菓子〔図和菓子〕
『長生殿』 ①文学 385 A →南曲
調整年金 ⑫経産→信託
調整粉乳 ⑬生活→乳製品表
張正謨 中国 ⑨世史→白蓮教徒の乱
張籍 中国〔766?/830?〕 中唐の詩人。七言の楽府に優れ,「元和体」形成の功労者 ①文学 385 A
長石 ⑱宇地 438 C図 →火成岩〔造岩鉱物〕 →岩石〔細粒火成岩〕 →宝石表 ⑮化学→陶磁器〔原料〕
潮汐 ⑧日地 1225 B →潮流〈1225 B〉 ⑱宇地 439 B図 →大潮 →海洋〔性状〕 →検潮器 →小潮
聴石 ⑳動物→耳石
潮汐観測 ⑱宇地→潮汐 →津波〔観測〕
潮汐三角州〈潮汐デルタ〉 ⑧日地→沿岸州〈1200 B〉 →潮汐〈1225 B〉
潮汐発電 ⇨潮力発電
潮汐表 ⑱宇地→潮汐〔満干潮〕 →潮流
潮汐予報 ⑱宇地→潮汐
潮汐力 ⑱宇地→月〔地球に及ぼす影響〕
超絶主義 ④哲宗→アメリカ哲学〔前史〕
庁宣 ⑥日史 764 A →袖判 ⑤日史→古文書〔囲様式〈公家様〉〕
張先 中国〔990/1078〕 北宋の詞人。地方官を歴任,慢詞に優れ,夜景を詠じて巧み ①文学 385 B
張萱 中国〔*.〕 唐代の画家。美人画に優れ,玄宗と楊貴妃の図などが多い ②美術 377 C
朝鮮 アジア ⑥日史 764 A →太平洋戦争〔結果〕 →朝鮮戦争 →日清戦争〔戦前〕 →李氏朝鮮 ⑨世史 401 A図表 →日韓併合 ⑩世地 380 A図 ⑤日史→韓国併合 →帰化人〔初期〕 ⑪政社→朝鮮政治事情 →朝鮮統一問題 →朝鮮独立運動 →朝鮮併合 →日朝関係 →分裂国家
朝鮮 ⇨大韓民国 ⇨朝鮮民主主義人民共和国
腸腺〈リーベルキューン腺〉 ⑭医学→腸〔小腸〈分泌機能〉〕 →分泌〔外分泌腺〕
チョウセンアカシジミ〔朝鮮赤小灰蝶〕 ⑳動物 405 C →シジミチョウ図 →チョウ〔昆虫〕〔別〈日本〉〕

ツ

束立て床　⑬生活→床〔床組〕　⑰科技→木構造〔各部構造〈床組〉〕
ツカツクリ〔塚造〕　⑳動物 413 C図　→巣〔鳥類〕
都賀庭鐘　〔1718～1794*〕　江戸中期の儒医・小説家。中国の稗史小説に眼を向け，文人趣味に遊ぶ　作『英草紙』　①文学 390 A　⑥日史 773 A
塚穴山古墳　⑧日地→天理(市)
都加使主　⑤日史→阿知使主
塚花塚古墳　⑦日地→浮羽(町)
塚原温泉　⑧日地→湯布院(町)
塚原渋柿園　〔1848～1917〕　小説家。維新後洋学を修め歴史物作家として人気を博し，大衆作家の先達となる　①文学 390 B
塚原野　⑦日地→大野盆地
塚原卜伝　〔1489～1571〕　室町時代の兵法家。新当流を創始，諸国を武者修行し，無双の英雄と称された　⑥日史 773 A図　⑤日史→新当流
塚原光男　⑬生活→体操競技〔歴史〕
筑摩神社　⑧日地→松本(市)
つかみギク　⑲植物→キク〔分類〕
塚本邦雄　〔1922〕　歌人。「魂のレアリスム」を主張して前衛短歌を推進　①文学 390 C
栂森　⑧日地→八幡平〈岩手〉
津軽　青森　⑧日地 711 B　⑦日地→青森(県)〔文化〕　⑱宇地→雪〔民俗〕
『津軽』　①文学→太宰治
津軽石川　岩手　⑧日地 711 C図
津軽氏　弘前藩主。津軽を本領とし，豊臣秀吉に安堵されて以来幕末まで統治　⑥日史 773 B図
ツガルウニ　⑳動物→ウニ〔種類〕
津軽小原節　③音演→民謡〔表〈青森〉〕
津軽海峡　⑧日地 711 C　→陸奥湾　⑦日地→青函トンネル　⑳動物→ブラキストン線
津軽国定公園　青森　⑧日地 711 C
津軽山地　青森　⑧日地 711 C　→出羽山地
『津軽じょんから節』　①文学→直木賞表
津軽じょんがら節　③音演→民謡〔表〈青森〉〕
津軽甚句〈ドダレバチ〉　③音演→民謡〔表〈青森〉〕
津軽線　⑧日地→東北本線
津軽タコ　⑧日地→弘前(市)図
津軽為信〈大浦為信〉　〔1550～1607〕　戦国時代の武将。津軽藩祖。小田原征伐に参陣し秀吉より領地を安堵　⑥日史 773 B　→津軽氏　→弘前藩
津軽暖流　⑩世地→日本海
津軽鉄道　⑦日地→青森(県)〔交通〕
津軽塗〈津軽のバカ塗り〉　⑧日地→弘前(市)〔産業〕
津軽藩　⇨弘前藩
津軽半島　青森　⑧日地 711 C　→津軽山地
津軽富士　⇨岩木山
津軽平野　青森　⑧日地 711 D図
津軽盆踊　③音演→民謡〔表〈青森〉〕
ツガルミセバヤ　⑲植物→ミセバヤ
津軽焼　⑧日地→弘前(市)〔産業〕
津軽山唄　③音演→民謡〔表〈青森〉〕　→山唄
津軽よされ節　③音演→民謡〔表〈青森〉〕
『津軽世去れ節』　①文学→直木賞表
疲れ　⇨疲労
つかれ試験　⑰科技→材料試験〔その他〕
津川(町)　新潟　⑧日地 711 D
津川城〈狐戻城〉　⑧日地→津川(町)
津川船道　⑦日地→阿賀野川　⑧日地→津川(町)
津川盆地　⑦日地→阿賀野川　⑧日地→津川(町)
津川流　⑤日史→手裏剣
ツーカン　⇨オオハシ
ツガン-バラノフスキー　⇨トゥガン-バラノフスキー，M
ツキ，N　⑱宇地→天体望遠鏡〔歴史〕
月《天体》　⑱宇地 442 B図囲　→アポロ計画　→衛星〔表〈地球〉〕　→月食　→月齢　→暦〔太陰暦〕　→地球　→潮汐　→月探査体　→天体　→日食　→白道
月《時間》　⑱宇地 450 B　→暦〔歴史〕
坏　⑬生活→食器〔歴史〕
つき網　⑬生活→狩猟〔法規〈猟具〉〕
突合せ継手　⑰科技→リベット図
突合せ溶接　⑰科技→溶接〔抵抗溶接〕図
月岡温泉　⑧日地→豊浦(町)《新潟》
月岡芳年〈大蘇芳年〉　〔1839～1892〕　②美術→浮世絵〔末期〕　→明治の美術〔文人画〕　③音演→芝居絵別　⑤日史→新選組図
月居観音〈光明寺〉　⑧日地→月居山
月居山　茨城　⑧日地 711 D　→袋田の滝
ツキガイ〔月貝〕　⑳動物 414 A図
月掛火災保険　⑫経産→火災保険〔種類〕

ツキカゲシダレ　⑲植物→ウメ図
月掛保険　⑫経産→生命保険〔種類〕
月ヶ瀬(村)　奈良　⑧日地 712 A図
月ヶ瀬温泉　⑦日地→天城湯ヶ島(町)
月ヶ瀬神野山県立自然公園　⑧日地→奈良(県)〔観光〕
月ヶ瀬梅林　⑧日地→月ヶ瀬(村)図
月形(町)　北海道/空知支庁　⑧日地 712 B
月形〈球面月形〉　⑯物数→球〔大円と小円〕
月潟(村)　新潟　⑧日地 712 C図
月潟鎌　⑧日地→月潟(村)
『月形半平太』　①文学→行友李風　⑥日史→武市瑞山
月形槍　⑥日史→槍〔種類〕図
つぎ木　⑲植物 412 C　→園芸〔繁殖〕図　→キメラ
つぎ木雑種　⑲植物 412 C
突き切り　⑬生活→ビリヤード〔囲用語〕
ツキクサ〔着草，月草〕　⇨ツユクサ
月隈丘陵　⑧日地→福岡(市)〔自然〕
月隈城跡　⑧日地→日田(市)
月毛　⑳動物→ウマ〔毛色・特徴〕
突瘤文土器　⑥日史 773 C
注ぎ込み染め　⇨注染
月寒　北海道/札幌市　⑧日地 712 C　→豊平(区)　→北海道図　⑦日地→札幌(市)〔観光〕
月寒農場　⑦日地→札幌(市)〔観光・文化〕図
築地　東京/中央区　⑧日地 712 C　⑦日地→下町
『築地明石町』　②美術→鏑木清方図
築地座　③音演→日本演劇〔明治から第二次大戦まで〈新劇〉〕
継ぎ獅子　⑧日地→竜野(市)図
築地小劇場　⑥日史 773 C　③音演→小山内薫　→劇場〔日本〈明治・大正〉〕　→劇団〔歴史〕　→日本演劇〔明治から第二次大戦まで〈新劇〉〕　→土方与志　⑤日史→新劇
築地造兵所　⑤日史→海軍工廠
ツキジデス　〔前460?～400?〕　歴史家。ペロポネソス戦争を対象とする史書は史料批判が厳密で最高水準　作『歴史』　①文学 390 C　⑨世史 409 D　→史学史〔古代・中世〈ギリシア的史観〉〕
築地ホテル館　⑬生活→ホテル
築地本願寺　②美術→伊東忠太　⑧日地→中央(区)《東京》図
月島　東京/中央区　⑧日地 712 C　→晴海
築島　⑦日地→牛深(市)
突きそろえ　⑰科技→製本〔工程〕
月田　⑦日地→勝山(町)《岡山》
突き出し　⑬生活→相撲〔競技〈技〉〕
槻田神社　⑦日地→三条(市)
月舘(町)　福島　⑧日地 712 C
築館(町)　宮城　⑧日地 712 D
築館台地　⑧日地→迫(町)　→南方(町)　→若柳(町)
月探査体　⑱宇地 450 C　→人工惑星
継手　⑰科技→木構造
ツキディデス　⇨ツキジデス
『月とかがり火』　①文学→パベーゼ，C
『月と六ペンス』　①文学→モーム，W
月次祭　④哲宗→伊勢神宮　→神道〔囲祭事〕
月並調　①文学→日本文学〔近世〈江戸後期〉〕
月虹　⑱宇地→虹〔特殊な虹〕
「A『月に憑かれたピエロ』　③音演→シェーンベルク，
『月に吠える』　①文学→日本文学〔近代〈反自然主義〉〕　→萩原朔太郎図
月の浦　⑦日地→石巻(市)
月岡古墳　⑧日地→吉井(町)《福岡》
槻木　宮城/柴田町　⑧日地 713 A
月野瀬温泉　⑦日地→古座峡
次ノ滝　⑦日地→生石高原
『月の出』　①文学→グレゴリ夫人
『月の光』　③音演→ドビュッシー，C〔作風と作品〈ベルガマスク組曲〉〕
『月の光に』　③音演→民謡〔西欧〈フランス民謡〉〕
調神社　⑦日地→浦和(市)
『月の女神の饗宴』　③音演→ジョンソン，B
『月の行方』　①文学→荒木田麗女
ツキノワガレイ　⑳動物→カレイ〔日本産〕
ツキノワグマ　⑳動物 414 A　→クマ《哺乳類》〔種類〕　⑭医学→生薬〔熊の胆〕
月の輪古墳　⑥日史 773 D　⑧日地→柵原(町)
月の輪神事　⑧日地→安来(市)
月ノ輪滝　⑦日地→交野(市)〔獅子窟寺〕
継ぎ歯　⑭医学→義歯〔種類〕
『月は渇く』　①文学→ハルトラウプ，G
『月は沈みぬ』　①文学→スタインベック，J
『月は上った』　③音演→民謡〔西欧〈ドイツ民謡〉〕

ツキヒガイ〔月日貝〕　⑳動物 414 A図　→貝類別
継飛脚　⑥日史→飛脚
摹記　④哲宗→日本神話〔歴史〕
月別平均法　⑯物数→時系列
ツギホコウモリ　⑳動物→コウモリ〔分類〕
月見　⇨観月
ツキミグサ　⇨ツキミソウ
『**月見座頭**』　③音演 336 C　→狂言〔本狂言の分類〈座頭狂言〉〕図
ツキミソウ〔月見草〕　⑲植物 412 C　→マツヨイグサ図
ツキミタケ　⑲植物→アカヤマタケ
月見団子　⑬生活→菓子〔原点〕　→団子
月見蒸し　⑬生活→蒸し物
月見櫓　②美術→城〔日本〈建築様式〉〕
突き目〈匐行性角膜潰瘍〉　⑭医学→角膜　→目
継目安堵　⑤日史→安堵
継目鋼管　⑰科技→管
継目なし鋼管　⑰科技→管
築山　②美術→庭園〔構成要素〕
築山古墳　⑦日地→出雲(市)
築山殿　〔1542～1579〕　徳川家康の夫人。子の信康が武田氏に内通したとの疑いで切腹したのに連座，自害　⑥日史 773 D
突き指　⑭医学→スポーツ医学〔内容〈健康管理に関する研究〉〕　→指
ツキヨタケ〔月夜茸〕　⑲植物 413 A　→キノコ〔別担子菌類〕　⑭医学→食中毒〔毒キノコ中毒〕
月夜野(町)　群馬　⑧日地 713 A
『月夜船』　③音演→歌謡曲表
月読命　④哲宗→天照大神　→大気津比売　→日本神話囲　⑱宇地→月
突ん棒漁業　⑳動物→カジキ〔漁業〕
ツーク　スイス　⑩世地 393 D
津具(村)　愛知　⑧日地 713 A
津久井(町)　神奈川　⑧日地 713 A
津久井湖　神奈川　⑧日地 713 A　→津久井(町)　⑦日地→相模川　→城山(町)
机　②美術 382 B図　⑬生活→子供室
机島　⑧日地→中島(町)《石川》
つくし〔土筆，筆頭菜〕　⑲植物 413 A　→山菜→スギナ図　⑬生活→山菜〔種類〕図
ツクシガモ〔筑紫鴨〕　⑳動物 414 B　→カモ〔分類〕図
ツクシガン　⑳動物 414 B
ツクシクサボタン　⑲植物→クサボタン
筑紫山地　九州地方　⑧日地 713 B　→筑肥山地　→福岡(県)〔自然〈地勢〉〕
ツクシシャクナゲ〔筑紫石南花〕　⑲植物 413 A　→シャクナゲ図
筑紫次郎　⇨筑後川
筑紫薙刀　⑥日史→薙刀
『筑紫奥』　③音演→狂言〔本狂言の分類〈脇狂言〉〕
筑紫国　⑥日史→筑後国　→筑前国
筑紫館　⑤日史→鴻臚館
ツクシハギ〔筑紫萩〕　⑲植物 413 A　→ハギ図
筑紫富士〈可也山〉　⑦日地→糸島半島
筑紫平野　福岡・佐賀　⑧日地 713 B　→筑後川　→筑後平野　⑦日地→佐賀平野
ツクシヤブウツギ　⑲植物→ハコネウツギ図
ツークシュピッツェ(山)　西ドイツ　⑩世地 393 D　→ドイツ図
筑紫流　③音演→箏曲〔流派と楽曲〕
筑紫了戒　②美術→山城物
佃〈宮田〉　⑥日史 773 D　⑤日史→私営田
津久田　⑦日地→赤城(村)
佃大橋　⑦日地→隅田川〔囲橋〕　⑧日地→佃島
佃島　東京/中央区　⑧日地 713 C　⑬生活→佃煮〔歴史〕
佃島住吉神社祭　⑧日地→東京(都)〔別年中行事〕
佃島盆踊唄　③音演→民謡〔表〈東京〉〕
佃煮　⑬生活 426 D　→郷土料理　→水産加工品〔種類〈その他〉〕　→のり　⑧日地→佃島
佃の渡し　⑦日地→隅田川〔囲橋〈佃大橋〉〕
ツクツクボウシ　⑳動物 414 B　→セミ〔日本〕図
ツクツクボウシタケ　⑲植物→セミタケ表
作手(村)　愛知　⑧日地 713 C
作手職　⇨作職
贖い　④哲宗→贖罪
ツクネイモ　⑬生活→いも類　⑲植物→ナガイモ
筑波(町)　茨城　⑧日地 713 C
筑波　⑰科技→船〔軍艦の歴史〈日本〉〕
蹲踞　⑬生活→庭〔種類〕図
筑波おろし　⑧日地→東京(都)〔自然〈気候〉〕

アルプス〕図
翼　⑳動物→鳥類〔形態〕→はね
『翼』①文学→李箱
『翼ある蛇』①文学→ローレンス,D
ツバサゴカイ〔翼沙蚕〕⑳動物418 B →発光
津波島　⑦日地→岩城(村)
ツバス　⑳動物→ブリ〔呼び名〕
津幡(町)　石川　⑧日地721 B
ツバナ　⑲植物→チガヤ
鍔抜山　⑧日地→大山
ツバメ〔燕〕⑳動物418 B図 →帰巣性 →国鳥図表 →鳥類〔形態〈換羽〉〕→渡り
つばめ　②美術→椀〔種類〕
燕(市)　新潟　⑧日地721 B
ツバメウオ〔燕魚〕⑳動物419 A図
ツバメオモト〔燕万年青〕⑲植物419 C図
燕温泉　⑧日地→妙高(村)
ツバメガ〔燕蛾〕⑳動物419 A
ツバメガイ　⑳動物→ウグイスガイ
ツバメシジミ〔燕小灰蝶〕⑳動物419 A →シジミチョウ図
ツバメズイセン　⇨スプレケリア
ツバメチドリ〔燕千鳥〕⑳動物419 B図
ツバメトコジラミ　⑳動物→ナンキンムシ
ツバメの子安貝　⑳動物→ツバメ〔民俗〕
ツバメヒメダニ　⑳動物→ヒメダニ
椿山　⑦日地→池川(町)
ツバル　⑩世地→エリス(諸島)
津藩　⑤日史→伊賀国 →伊勢国
ツ反応　⇨ツベルクリン反応
ツビーディネック　⑫経産→社会政策〈268 C〉
ツビンスカヤ　⇨ツーワ
ツブ　⇨ヒメエゾボラ
ツブアイ(諸島)　フランス/太平洋　⑩世地394 A
粒餡　⑬生活→餡
粒うに　⑬生活→塩辛〔種類〕
ツブカル(山)　⇨ツゥブカル(山)
ツブゲンゴロウ　⑳動物→ゲンゴロウ
津房川　⑧日地→駅館川
つぶ汁　⑳動物→タニシ〔調理〕
礫島　⑧日地→浜名湖 →三ヶ日(町)
ツブフクロムシ　⑳動物→フクロムシ
粒来哲蔵　[1928]　詩人。散文詩型を用いた神秘的な寓話世界を構築　①文学392 B
ツブラジイ　⑲植物419 C →シイ図
円良田湖　⑧日地→美里(村)《埼玉》→寄居(町)
津風呂湖　⑧日地→吉野(町)《奈良》→吉野川
ツブンガト(山)　⑩世地394 A →アンデス(山脈)〔地形・交通〕図 →チリ(共和国)
ツベターエワ,M　ソ連[1894/1941]　女流詩人。革命で白軍の側に立ち亡命,パリで悲惨な生活を送る　①文学392 B
津別(町)　北海道/網走支庁　⑧日地721 C
ツベット　⇨ツウェット,M
ツベルクリン反応　⑭医学408 B図表 →結核
つぼ〈経穴〉⑭医学→按摩〔沿革〕→灸 →経絡 →指圧療法〔方法〕
ツーボー〈淄博〉中国/山東省　⑩世地394 A
坪井　⑦日地→久米(町)
坪井九馬三　[1858/1936]　明治から昭和前期の史学者。東大教授・同学長を歴任,日本史学会の元老的存在　⑥日史778 A
壺井栄　[1900/1967]　女流小説家・童話作家。繁治と結婚,郷土小豆島を舞台に庶民的情感あふれた作品が多い　作『二十四の瞳』①文学392 C
壺井繁治　[1897/1975]　プロレタリア詩人。戦後,新日本文学会創立に尽力,民主的詩運動に貢献　①文学392 C
坪井正五郎　[1863/1913]　明治の人類学者。日本の人類学の開拓者。コロボックル説を唱えた　⑥日史778 A
坪井誠太郎　[1893]　地質学者・岩石学者。斜長石類の光学的性質による成分の決定について研究　⑱宇地453 A
坪井忠二　[1902/1982]　地球物理学者。誠太郎の弟。地震学の研究に従事,全国の重力測定を行う　⑱宇地453 A
坪井杜国　[?/1690]　江戸前期の俳人。芭蕉の愛弟子で,『冬の日』連衆の一人　①文学392 D
壺井義知　[1657/1735]　江戸中期の有職故実家。著書多く,当時の古制度研究に貢献　⑥日史778 B
坪内逍遙　[1859/1935]　小説家・劇作家・教育者。新小説・新劇運動に活躍。シェークスピアの全作を翻訳　作『小説神髄』①文学392 D図 →戯曲〔歴史〕→写実主義 →日本文学〔近代〈明治啓蒙期〉〕→文学史〈558 A〉③音演338 B図 →日本演劇　⑥日史778 B
坪内逍遙記念演劇博物館　①文学→河竹繁俊
つぼ型コイル　⑰科技→回路部品〔高周波線輪および変成器〕
壺形土器　⑥日史→弥生文化別
坪刈　⑥日史778 B　⑤日史→検見法
坪川　⑧日地→天間林(村)
壺川　⑧日地→那覇(市)〔歴史〕
津保川　⑧日地→武儀(町)
坪川家恒　⑱宇地→アストロラーブ
ツボクサ〔壺草〕⑲植物419 C →チドメグサ図
ツボクラリンクロリド　⑮化学→アルカロイド表
つぼ肥え　⑲植物→肥料〔表施し方〕
『壺坂』⇨『壺坂霊験記』
壺坂寺〈南法華寺〉④哲宗→西国三十三所表　⑧日地→高取(町)図
『壺坂霊験記』　③音演338 D
ツボシメジカイメン　⑳動物→海綿〔分類〕
壺装束　⑥日史778 B →枲の垂衣　⑬生活→服装〔図日本〈中段〉〕
ツボスミレ〔坪菫〕⑲植物420 A →スミレ図
坪田　⑧日地→三宅(村)《東京》
ツボダイ〔壺鯛〕⑳動物419 B
坪田譲治　[1890/1982]　小説家・童話作家。童話雑誌『びわの実学校』を創刊主宰　作『風の中の子供』①文学393 D図
坪付〈坪付帳〉⑥日史778 C
つぼづけ〈山川漬〉⑧日地→山川(町)《鹿児島》
局　⑥日史778 C
局ヶ岳　⑧日地→高見山地
坪内弁天　⑧日地→天川(村)
坪野哲久　[1906]　歌人。無産者歌人連盟などでプロレタリア短歌運動を展開　①文学394 A
坪谷　⑧日地→東郷(町)《宮崎》
壺屋　⑧日地→那覇(市)図
つぼ焼き　⑳動物→貝類〔調理〕→サザエ〔調理〕
壺屋焼　⑦日地→沖縄(県)〔文化〈伝統工芸〉〕
ツポレフ(父子)　ソ連　⑰科技→ＳＳＴ〔開発経過〕
ツポレフ Tu-144　⑰科技→ＳＳＴ図 →飛行機〔歴史〈現代〉〕
ツボワムシ　⑳動物→ワムシ図
つま　⑬生活→さしみ
妻　②美術→屋根〔日本〈形〉〕
妻　⑬生活→結婚〔婚姻届〕
褄　⑬生活→和裁〔囲知識〕
都万(村)　島根/隠岐　⑧日地721 C
妻有船道　⑦日地→信濃川
妻入り　⑧日地1225 D　②美術→屋根〔日本〈形〉〕
爪折傘　⑬生活→傘
ツマオレガ　⇨ハモグリガ
爪掛　⑬生活→下駄
妻ヶ島　⑦日地→石田(町)
爪革　⑬生活→下駄〔爪掛〕
妻木　⑧日地→土岐(市)
ツマキチョウ　⑳動物→クモマツマキチョウ →シロチョウ図
ツマギンチビガ　⑳動物→チビガ
ツマクレナイ　⇨ホウセンカ
ツマグロイシモチ　⑳動物→テンジクダイ
ツマグロカジカ　⑳動物→カジカ
ツマグロキアタマアブ　⑳動物→アタマアブ →ハエ図
ツマグロキチョウ〔褄黒黄蝶〕⑳動物419 B
ツマグロザメ　⑳動物→サメ〔外部形態〕
ツマグロヒョウモン　⑳動物→ヒョウモンチョウ図
ツマグロフトメイガ　⑳動物→メイガ図
ツマグロヨコバイ　⑲植物→イネ〔生育と栽培〕⑳動物→アタマアブ →ヨコバイ図
ツマコ　コロンビア　⑩世地394 B
妻籠　長野/南木曾町　⑧日地721 C →南木曾(町)　⑦日地→木曾谷〔産業〕図
嬬恋(村)　群馬　⑧日地721 C
『妻恋道中』③音演→歌謡曲表
ツマシク　⑩世地→シンガポール(共和国)〔略史〕
妻科　⑧日地→長野(市)〔歴史〕
ツマジロオコゼ　⑳動物→オコゼ
妻線　⑧日地→日豊本線
妻戸　②美術393 A
妻問い〈ヨバイ〉⑬生活→結婚〔歴史〕
つまどり　⑬生活→相撲〔図きまり手〕
ツマトリソウ〔褄取草〕⑲植物420 A図
『妻に送る手紙』①文学→本庄陸男
『妻の座』①文学→『新日本文学』→壺井栄
爪弾　③音演→三味線〔奏法〕
ツマベニチョウ〔褄紅蝶〕⑳動物419 B →シロチョウ図
ツマミタケ　⑲植物→カゴタケ →スッポンタケ
ツマミナ　⑲植物→シャクシナ
ツマムラサキマダラ　⑳動物→チョウ〔別〈外国〉〕
『妻よねむれ』①文学→徳永直 →日本文学〔近代〈第二次大戦後〉〕
『妻よ薔薇のやうに』③音演→成瀬巳喜男
つまり串　⑬生活→魚料理図
ツマリツノザメ　⑳動物→ツノザメ
罪　④哲宗386 A →原罪
『罪ある者』①文学→ボイネ,G
積石塚〈石塚〉⑥日史778 C →葺石　⑤日史→古墳〔定義〕
積木　⑬生活→児童遊戯
つみ雲　⇨積雲
罪穢　④哲宗→罪
積込機械　⑰科技→建設機械
積立金　⑫経産404 D表 →会計〔囲用語〈引当金〉〕
積立資本　⑫経産→積立金
積立貯金　⑫経産→経営成果分配制度〔利潤分配〕
積立郵便貯金　⑫経産→郵便貯金
『罪と罰』①文学→ドストエフスキー,F図
『罪な女』①文学→直木賞表
『罪なき罪人』①文学→オストロフスキー,A
積荷気象　⑱宇地→工業気象
『罪の天使たち』③音演→ブレッソン,R
積み燃し　②美術→日本刀〔鍛錬法〕⑰科技→鉄鋼〔囲日本刀〕
ツムガタギセル　⑳動物→キセルガイ
紬　②美術393 A　⑬生活→絹織物 →和服〔囲和服地〈織物〉〕
ツムギアリ　⑳動物→アリ〔巣〕
ツムギヤスデ　⑳動物→ヤスデ〔日本〕
つむじ〔十字〕〈旋毛〉⑭医学→毛
つむじ風　⑱宇地→うず
津村節子　①文学→芥川賞表
津村信夫　[1909/1944]　詩人。室生犀星に師事。晩年は小説や児童文学に傾斜　①文学394 B
津村別院〈北御堂〉⑦日地→大阪(市)
ツメ　③音演→人形浄瑠璃〔別文楽の首〕
爪　⑭医学409 A図 →貧血〔鉄欠乏性貧血〕⑳動物→鳥類〔形態〕
詰　⑰科技→鉱山〔囲用語〕
ツメイカ〔爪烏賊〕⑳動物419 C
詰襟服　⑬生活→子供服〈狭義〉
ツメオワラビー　⑳動物→カンガルー〔近縁種〕
ツメガエル〔爪蛙〕⑳動物419 C →カエル〔生態と発生〕図
爪形文土器　⑤日史→縄文文化〔時代区分〈早期〉〕⑥日史→曽根遺跡図
ツメカメムシ　⑳動物→カメムシ
爪木崎　⑦日地→伊豆図
爪切草　⇨マツバボタン
ツメクサ〔爪草〕⑲植物420 B図 →タカノツメ
詰め碁　⑬生活→囲碁図
ツメゴケ〔爪苔〕⑲植物420 B
詰め将棋　⑬生活→将棋
冷たい戦争〈冷戦〉⑥日史778 C　⑨世史→アメリカ(合衆国)→第二次世界大戦〔戦後処理〕→封じ込め政策 →冷戦　⑪政社→アジア政治事情 →国際政治 →西欧政治事情 →米ソ関係 →冷戦　⑫経産→軍事経済〔発展〕
『冷たい星』①文学→ピオベーネ,G
ツメタガイ〔津免多貝〕⑳動物419 C図
ツメダニ〔爪蜱〕⑳動物420 A →ダニ〔害と益〕図
ツメナガセキレイ〔爪長鶺鴒〕⑳動物→セキレイ
ツメナシコウモリ　⑳動物→コウモリ〔分類〕
『爪の首飾』①文学→クロス,C
ツメバケイ〔爪羽鶏〕⑳動物420 A
爪紅　⑬生活→化粧〔変遷〈日本〉〕
ツメレンゲ　⑲植物→イワレンゲ →多肉植物表
自摸　⑬生活→麻雀〔組合せのつくり方〕
都茂鉱山　⑧日地→美都(町)
津守　⑧日地→西成(区)
『積恋雪関扉』　③音演338 D図
津谷　⑧日地→本吉(町)
津屋　⑧日地→福岡(市)〔産業〕
津屋　⑥日史→問丸　⑫経産→商人 →問丸
通夜　⑬生活→葬式 →喪服 →礼服〔表喪装〕
ツヤアリバチ　⑳動物→アリバチ
ツヤクロスズメバチ　⑳動物→クロスズメバチ
ツヤケシハナカミキリ　⑳動物→カミキリムシ図

鶴見線 ⑧日地→東海道本線
鶴見岳 大分 ⑧日地726 A図 ⑱宇地→火山〔表活火山〕
鶴峰戊申 [1788-1859] ⑥日史→邪馬台国〔研究の歴史〕
ツルムラサキ〔落葵〕 ⑲植物423 C図
犬神人 ⇨犬神人
ツルモウリンカ ⑲植物→オオカモメヅル
ツルモドキ〔鶴擬〕 ⑳動物426 B
鶴紋 ⑳動物→ツル図
鶴屋七右衛門 ⇨伊藤仁斎
鶴屋団十郎 [1845-1909] ③音演→俄
鶴屋南北 初世から三世までは歌舞伎俳優,四世から六世までは歌舞伎作者。南北といえば普通四世をさす ③音演340 A図
鶴屋南北(四世)〈大南北〉[1755-1829] 江戸後期の歌舞伎狂言作者。江戸劇壇の鬼才。生世話物を創始 ①文学395 C図 ③音演340 A図 →『浮世柄比翼稲妻』 →『於染久松色読販』 →『心謎解色糸』 →『天竺徳兵衛韓噺』 →『東海道四谷怪談』 →『時桔梗出世請状』 ⑥日史779 A
鶴山古墳 ⑦日地→岡山(県)〔歴史〕
ツルヨシ ⑲植物→アシ
ツルリンドウ〔蔓竜胆〕 ⑲植物423 C図
ツルレイシ〔蔓茘枝〕 ⑲植物423 C図 →種子〔図〈鳥に食べられる〉〕
ツレサギソウ〔連鷺草〕 ⑲植物423 C
『**徒然草**』 ⑥日史779 A →吉田兼好 ①文学→エッセイ〔日本の随筆〕 →兼好図 →日本文学〔中世〈鎌倉〉〕 ④哲宗→日本思想 →吉田兼好
ツーレーヌ フランス ⑩世地394 C
津呂 高知/室戸市 ⑧日地726 A →室戸(市)
ツーロン フランス ⑩世地394 D図
ツーワ ソ連/ロシア ⑩世地394 D
ツワイク,A [1887-1968] ユダヤ系の小説家。亡命しパレスチナに住み,反ナチ雑誌に寄稿 作『グリーシャ軍曹をめぐる争い』 ①文学396 B
ツワイク,S [1881-1942] ユダヤ系の小説家。詩人として出発,伝記文学と評論に本領を発揮 作『昨日の世界』 ①文学396 A図 →伝記〔西洋〕
津和地島 ⑦日地→忽那諸島
ツーワ人 ⑩世地→シベリア〔住民〕
ツワ族 ⑩世地→ルワンダ(共和国)〔社会・文化〕
ツワナ族 ⑩世地→ボツワナ(共和国)〔略史〕
津和野(町) 島根 ⑧日地726 B図
津和野城跡 ⑧日地→津和野(町)
津和野藩 ⑥日史779 B ⑤日史→石見国
ツワブキ〔槖吾〕 ⑲植物424 A →観葉植物 →薬用植物表
『兵根元曾我』 ③音演→曾我物
つわり〈妊娠嘔吐〉 ⑭医学→嘔吐 →妊娠〔初期〕
ツンイー〈遵義〉 中国/貴州省 ⑩世地394 D
ツングース諸語 ⑧日地→ウラル・アルタイ語族〈1199 B〉
ツンゲン ⑬生活→ハム〔類似品〕
ツンドラ ⑧日地1225 D ⑱宇地453 B →草原 →北極〔生物〕 ⑲植物424 B →寒帯
ツンドラ気候 ⑧日地1226 A ⑩世地→世界〔自然〈気候〉〕 ⑱宇地→寒帯 →気候〔分類〕 →ケッペンの気候区分〔区分方法〕図
ツンドラ土 ⑱宇地→土壌〔生成作用と土壌型〕
ツンバ族 ⑩世地→ダオメー(共和国)〔社会〕図
ツンフト ⑨世史→ギルド ⑪政社→共同体
ツンフト闘争 ⑫経産→ギルド →手工業
ツンベス ペルー ⑩世地394 D
ツンベルギア ⑲植物424 B図
ツンベルグ,C [1743-1828] 医者・植物学者。オランダ東インド会社船医として来日,日本の植物を研究 ⑥日史779 B ⑲植物424 B図 ⑤日史→江戸時代〔外国人が見た日本〕
つんぼ〈聾〉 ⑭医学→難聴 →メニエール症候群 →聾唖

テ
て

手 ⑭医学410 A図 →筋肉図 →指紋〔掌紋〕
『手』 ②美術→高村光太郎図
デー,E ⑰科技→半導体
出会い婚 ⑬生活→結婚〔歴史〕
出会い算 ⑯物数→算術〔旅人算〕図
手合聖天 ⑧日地→戸塚(区)
手合割 ⑬生活→囲碁〔競技方法〕 →将棋
テアゲネス ギリシア ⑨世史→メガラ
てあそび ⑬生活→郷土玩具〔沿革〕
テアトル・コメディ ③音演→喜劇〔日本〕
『デアドレ』 ③音演→イェーツ,W
テアトロ・グロッテスコ ③音演→キアレッリ,L
テアトロン ②美術→ギリシア美術〔建築〈劇場〉〕 ③音演→ギリシア演劇〔悲劇〕
テアーナウ(湖) ⇨テアヌー(湖)
テアニン ⑬生活→茶〔成分〕 ⑮化学→化学調味料
テアヌー(湖) ニュージーランド ⑩世地395 A
手余り地 ⑤日史→寛政の改革〔背景〕
手編み ⑬生活→編物〔編み方〕
手編糸 ⑬生活→編物〔素材〕
手編機 ⑬生活→編物
デ・アミーチス,E [1846-1908] 小説家。砲兵士官として独立戦争に参加。児童文学者としても活躍 作『クオレ』 ①文学396 C
手洗温泉 ⑦日地→霧島温泉郷
手洗器 ⑬生活→衛生陶器図
テアン(半島)〈泰安半島〉 南朝鮮 ⑩世地395 A
氐 ⑨世史411 A →五胡十六国
底 ⑯物数→ベクトル空間
手結 高知/夜須町 ⑧日地727 A
ティ ⑬生活→ゴルフ〔用具〕
ティー ⑰科技→管継手図
デイ,C [1874-1935] 随筆家。ニューヨークの家庭生活をユーモラスに描いた自伝的作品で有名 ①文学396 C
泥 ⑱宇地→岩石〔堆積岩〈砕屑物〉〕
DI ⑫経産→景気予測
DI ⑱宇地453 C ⇨不快指数
DIC ⇨血管内凝固症候群
ティアガルテン ⑩世地→ベルリン〔西ベルリン〕図
ディアギレフ,S [1872-1929] バレエ団主宰者。ロシア・バレエ団を組織,衰退傾向の西欧に復興をもたらした ③音演341 A図 →バレエ〔20世紀〕
ディアク(山) ⑩世地→リンガ(諸島)
ディアス,B [1450?-1500] 探検家。西アフリカ回りで初めて南端に達した。ガマの航海にも参加 ⑨世史411 A →大航海時代〔アフリカ航路開拓〕 ⑩世地→喜望峰
ディアス,G [1823-1864] 詩人。ロマン主義初期の原住民主義を開拓し国民文学の創始者となる ①文学396 C
ディアス,P [1830-1915] 将軍・大統領。クーデターに成功し,のちに革命で追われるまで35年間君臨 ⑨世史411 B図 →メキシコ革命
ディアズ [1807-1876] ②美術→バルビゾン派
ディアスポラ ⑨世史→ユダヤ人〔歴史〕
ディアースログナツス ⑳動物→哺乳類〔進化〕
Tアソシエーション ⑱宇地→星団〔アソシエーション〕
低圧水銀灯 ⑰科技→放電灯〔蛍光放電灯〕
定圧燃焼熱 ⑮化学→燃焼〔燃焼熱〕表
定圧反応熱 ⑮化学→吸熱反応
定圧比熱 ⑯物数→比熱
定圧分子熱 ⑮化学→分子熱
定圧膨張率 ⑯物数→膨張
ディアデクテス ⑳動物→爬虫類
ディアドコイ ⑨世史411 B →イプソスの戦い →ヘレニズム〔歴史〕
ディアドコイ戦争 ⑨世史→ディアドコイ
ディアトニック・アゴーディオン ③音演→アコーディオン
ディアナ ④哲宗→ギリシア・ローマ神話〔囲主要神名〈アルミテス〉〕
『ディアナ』 ①文学→スペイン文学〔黄金世紀〕 →モンテマヨール,J
ディアナ号 ⑥日史→プチャーチン,E
ディアベテス=メリトス ⇨糖尿病
ディアベリ,A [1781-1858] 作曲家・出版業者。ベートーベンの『ディアベリ変奏曲』で名を知られている ③音演341 B
ディアボーン アメリカ ⑩世地395 A
ティアマト ⑱宇地→海洋〔民俗〈西洋〉〕
ディアマンA ⑱宇地→宇宙開発〔世界各国の動向〕
ディアマン・ロケット ⑱宇地→ロケット〔歴史〈アポロ以後〉〕図
TR管 ⑰科技→放電管
ディアルバキル油田 ⑩世地→イスケンデルン
ディアレクティケー ⇨問答法
ティアワナコ文化 ⑨世史411 B ⑩世地→アンデス(山脈)〔古代文明〕 →ペルー(共和国)〔囲古代文明遺跡〕 →ボリビア(共和国)図
貞安 ⑤日史→安土宗論
提案制度 ⑫経産→経営成果分配制度〔スキャンロン・プラン〕 →産業社会学 →人間関係管理
廷尉 ⑤日史→検非違使
程顥 ⑨世史411 C ⇨程伊川
TEE〈ヨーロッパ横断特急〉 ⑰科技→鉄道別
TEAC ⇨東アフリカ協同条約
低イオウ重油 ⑮化学→石油精製工業〔製油所〕
DE 10形式 ⑰科技→ディーゼル機関車図表
程伊川〈程頤〉 中国[1033-1107] 北宋時代の儒学者。彼の思想はのちに朱子によって継承完成された ④哲宗386 C図 →窮理 →宋学〈348 B〉 →程明道 ⑨世史→程頤
TE波 ⑯物数→導波管図
定位飛行 ⑳動物→ミツバチ〔女王バチ〕
TEPP ⑮化学→農薬〔分類〈表殺虫剤〉〕
鄭隠 中国 ①文学→葛洪
ティイング・グラウンド ⑬生活→ゴルフ〔ゴルフコース〈構成〉〕図
泥雨 ⑱宇地→雨〔珍しい雨〕
ディウ ⇨ジュ
『停雲館法帖』 ②美術→法帖
DHEAサルフェート ⑮化学→ステロイド〔副腎アンドロゲン〕
THC ⇨テトラ・ハイドロ・カンナビノール
TH波〈E波〉 ⑯物数→導波管図
ティエウチ ⑨世史→阮朝
TANU ⑩世地→タンザニア(連合共和国)〔政治・外交〕
鄭益瑞 朝鮮 ⑨世史→甲午農民戦争〔古阜民乱〕
D-A系 ⑰科技→アナログ計算機〔ハイブリッド計算機〕
ディエーゴ,G [1896-] 詩人。各地の大学でスペイン文学を講じた。幅広い詩風で知られる ①文学396 C
ディエゴ・カム ポルトガル ⑨世史→ベーハイム,M
ディエゴガルシア(環礁) ⑩世地→チャゴス(諸島)
TAC ②美術→グロピウス,W
DAC ⇨DAC
DAG ⇨開発援助グループ
TSH ⇨甲状腺刺激ホルモン
DST ⇨掘管テスト
ディエップ フランス ⑩世地395 A
TAT ④哲宗→心理学〔囲用語〈投射〉〕
DNA ⇨デオキシリボ核酸
DNAウイルス ⑭医学→ウイルス〔分類〕 ⑳動物→ウイルス
DNAポリメラーゼ ⑳動物→核酸〔DNA〕
D-N剤 ⑮化学→農薬〔分類〈表殺虫剤〉〕
TNT ⑨世史→火薬 ⑮化学→火薬〔表性能〕 →トリニトロトルエン
TNP〈国立民衆劇場〉 ①文学→ビラール,J
DNP法 ⑮化学→サンガー,F
D-A変換装置 ⑰科技→電子計算機〔応用〕
ティエポロ,G [1696-1770] 画家。各地の壁画を手がけ速写的な筆致と装飾的な幻想世界を構成 ②美術393 C図 →ベネチア派
DME〈距離測定装置〉 ⑰科技398 B →航空保安施設〔無線施設〈航行援助施設〉〕 →航法〔空中航法〈電波航法〉〕〔海上航法〈電波航法〉〕図
DMNA ⇨ジメチルニトロソアミン
DMF ⇨ジメチルホルムアミド
DM 31系 ⑰科技→超ジュラルミン
DMT ⑫経産→インダストリアル・エンジニアリング
デイエメク,K ポーランド[1924] ③音演→東欧演劇〔ポ

ーランド〕
ティエラ・デル・フエゴ ⇨フエゴ(島)
ティエリ, J フランス[1795-1856] 歴史家。ミニェー,ティエール,バラントらと並ぶ王政復古期の気鋭の史家 ⑨世史 411 C
ティエール, H ドイツ[1918] ②美術→北欧美術〔建築と工芸デザイン〕図
ティエール, M フランス[1797-1877] 政治家・歴史家。七月王政の首相,第三共和政の大統領。劇務の間史書を執筆 ⑨世史 411 D図 →パリ・コミューン〔成立経過〕
庭園 ②美術 393 D図囲別 ⑬生活→庭 ⑲植物→花壇 →庭
滇東高原 ⑩世地→ユンナン(省)
田漢 ⇨田漢
ディエンビエンフー ⑩世地 395 B ⑪政社→インドシナ戦争〔第1次〕図
ディエンビエンフーの会戦 ⑨世史→インドシナ戦争図
帝王神権説 ⇨王権神授説
帝王切開 ⑭医学 411 A図 →骨盤〔骨盤計測〕 →早産
帝皇日継 ⇨帝紀
テイオウハイモ〔帝王葉芋〕 ⑲植物→アロカシア
『**帝王編年記**』 ⑥日史 779 C
DOHC〈ダブル・オーバーヘッド・カムシャフト,ツインカム〉 ⑰科技→競走用自動車〔構造〕 →自動車〔構造〈4サイクル方式〉〕図
ディオクレティアヌス, G [230?-313] ローマ皇帝。専制君主政を樹立し四分統治制を始めた ⑨世史 411 D →ドミナトゥス →ビザンティン帝国〔初期〕 →ローマ〔帝政期〈再建〉〕
ディオケス ⑨世史→エクバタナ →メディア
ディオゲネス(アポロニアの) ④哲宗→イオニア学派
ディオゲネス(シノペの) ギリシア[前400?-323?] 哲学者。幸福とは自然の欲求を容易な方法で満足させることとした ④哲宗 386 D図 →キニコス学派
ディオゲネス・ラエルティオス ギリシア[*-*] 3世紀の伝記作者。古代の哲人82人を扱った『哲人伝』で知られる ①文学 396 D
TOC ⇨全有機炭素
ディオスコリデス ギリシア ⑭医学→医学〔西洋医学の歴史〕 →薬〔歴史〕
TO地図 ⑱宇地→地図〔歴史〈世界〉〕図
TOD ⇨全酸素要求量
ディオドタス ⑨世史→バクトリア
ディオドロス ①文学→ギリシア文学〔散文〕
ディオドロス・クロノス ④哲宗→メガラ学派
ディオニシー ロシア ②美術→イコン〔ロシア〕
ディオニシウス紀元 ⑨世史→紀年法〔キリスト紀元〕
ディオニシオス ギリシア[*-*] 前1世紀後半の修辞学者・歴史家。ローマに住み教鞭をとる ①文学 396 D
ディオニシオス(一世) [前430?-367] 古代シチリアのシラクサの僭主。文芸の愛好者をもって任じ,プラトンを招聘 ⑨世史 412 A →シラクサ →僭主政
ディオニソス ④哲宗 387 A図 →ギリシア・ローマ神話〔図オリンポスの十二聖〕囲 ③音演→喜劇〔西洋〕 →ギリシア演劇〔悲劇〕
ディオニソス芸術家組合 ③音演→劇団〔歴史〕
『ディオニソス譚』 ①文学→ギリシア文学〔叙事詩〕 →ノンノス
ディオニソス的 ①文学→文学〔囲用語〕 ④哲宗→ニーチェ, F〔囲基本概念〈アポロ的・ディオニソス的〉〕
ディオニソスの密儀 ④哲宗→密儀宗教
ディオニュソス劇場 ⑩世地→アテネ〔観光・文化〕
ディオプ, B ①文学→アフリカ文学〈第2期〉
ディオプ, D セネガル[1927-1960] 詩人。ネグリチュード派のホープと期待されたが飛行機事故死 ①文学 396 D
ディオファントス ギリシア[246?-330?] ⑯物数→数学記号 →代数学〔ギリシア時代〕 →ビエタ, F
ディオファントス近似 ⑯物数→不定方程式〔不定方程式論に用いられる手法〕 →ミンコフスキー, H
ディオファントス方程式 ⑯物数→不定方程式
ディオリ, H ⑩世地→ニジェール(共和国)〔政治外交〕
ディオール フランス ⑬生活→洋裁〔歴史〕 →洋装
低温乾留 ⑮化学→乾留 →石炭〔化学的性質〈乾留〉〕
低温乾留工業 ⑮化学→石炭〔石炭化学工業〈乾留工業〉〕
低温菌 ⑲植物→細菌類〔生理〕
低温工学 ⑯物数→低温物理学
低温殺菌法 ⑭医学→殺菌〔殺菌法〕 ⑮化学→パスツール, L
低温石英 ⑱宇地→石英
低温タール ⑮化学→コールタール →石炭〔石炭化学工業〈タール工業〉〕
低音部記号〈ヘ音記号〉 ③音演→楽典〔〈囲音部記号〉〕
低温物理学 ⑯物数 362 C →液体ヘリウム →カメルリン・オンネス, H →極低温 →超伝導 ⑮化学→カーピッツァ, P →カメルリン・オンネス, H
低温保持殺菌法 ⑬生活→牛乳〔加工〕
低温焼なまし ⑰科技→焼なまし
『**定家**』 ③音演 341 B ①文学→金春禅竹 ⑤日史→式子内親王
定芽 ⑲植物→芽
泥灰岩 ⑱宇地→泥岩
定回転プロペラ ⑰科技→プロペラ〔飛行機〕
低開発国 ⇨開発途上国
低開発地域 ⑫経産→地域開発
テイカカズラ〔白花藤〕 ⑲植物 424 C図 →キョウチクトウ科
『定家葛』 ③音演→『定家』
低価基準 ⑫経産→会計〔囲用語〈低価主義〉〕
定額給 ⑫経産→賃金形態〔時間賃金〕
定額小作制 ⑫経産→分益農制
定額法 ⑫経産→減価償却
定額保険 ⑫経産→保険〔囲用語〈保険金額〉〕
定額郵便貯金 ⑫経産→郵便貯金
泥火山 ⑧日地 1226 A ⑱宇地 453 C
低価法 ⑫経産→会計〔囲用語〕
ディガーズ〈真正水平派〉 ⑨世史 412 A →ピューリタン革命〔反革命〕 ⑪政社→革命〔政治過程〕 →共産主義〔思想と運動〕 →社会主義〔前史〕
T型アンテナ ⑰科技→アンテナ〔図長波・中波用〕
T型配置〈Tタイプ〉 ⑰科技→航空計器〔配置〕図
T形尾翼 ⑰科技→飛行機〔機体〈尾翼〉〕
定滑車 ⑯物数→滑車
ティーカップ ⑬生活→紅茶〔いれ方〕図
鄭家屯事件 ⑥日史 779 C
低価法 ⑫経産→会計〔囲用語〈低価主義〉〕
定家流 ②美術→藤原定家
ティカル遺跡 ⑨世史→マヤ〔古典期〕 ⑩世地→グアテマラ(共和国)
定款 ⑫経産→株式会社〔設立〕
泥岩 ⑱宇地 453 C →岩石〔堆積岩〈砕屑物〉〕 →頁岩 →砕屑岩 →堆積岩〔砕屑岩〕図
泥眼 ③音演→能〔能面〕図
低感度フィルム ⑰科技→フィルム〔黒白フィルム〕
ディガンベル寺院 ⑩世地→カルカッタ〔ジャイナ教寺院〕
帝紀〈帝皇日継〉 ⑥日史 779 C ⑤日史→旧辞
定義 ④哲宗 387 B ⑯物数 362 C
低気圧 ⑱宇地 453 C図 →気圧配置 →前線 →台風 →台湾坊主 →等圧線 →熱帯性低気圧 →ハリケーン
低気圧性雷〈渦雷〉 ⑱宇地→雷〔種類〕
定義域 ⑯物数 363 A →関数〔写像としての関数〕 →写像 →値域
定期市 ⑧日地 1226 A →市場集落〈1198 B〉
定期貨物船 ⑰科技→貨物船〔種類〕
定期観光バス ⑬生活→旅行〔バス〕
定期健康診断 ⑭医学→健康〔健康診断〕
定期航空輸送 ⑰科技→飛行機〔歴史〈第一次大戦の影響〉〕
定期航路 ⑰科技→航路
定期船 ⑫経産→海運
定期積金 ⑫経産→預金
定期取引 ⑫経産→取引所
定期配当 ⑫経産→配当
定気法 ⑱宇地→暦〔太陰太陽暦〈中国暦〉〕
庭球 ⇨テニス
定期郵便貯金 ⑫経産→郵便貯金
TQC ⇨総合的品質管理
低教会派 ④哲宗→キリスト教〔宗教改革〕
提供結合 ⑮化学→化学結合〔配位結合〕
定期用船〈時期ぎめ用船〉 ⑫経産→用船
帝堯放勲 中国 ⑨世史→三皇五帝
定期預金 ⑫経産→預金
定曲率曲面 ⑯物数→微分幾何学〔曲面論〕
提挙市舶司 ⑨世史→市舶司
提挙常平司 ⑨世史→宋『趙氏』〔官制〕
ディギル族 ⑩世地→ソマリア(民主共和国)〔社会・文化〕
『**庭訓往来**』 ⑥日史 779 D ⑤日史→往来物
帝銀事件 ⑥日史 779 D
ディキンソン, E アメリカ[1830-1886] 女流詩人。生涯を独身で詩作に没頭。17世紀の形而上派の詩風に近い ①文学 396 D図 →アメリカ文学〔20世紀〕
ディキンソン, J ⑰科技→紙〔発展〕
低金利政策 ⑫経産→金融理論〔現代金融理論〕 →ケインズ革命〔有効需要の原理〕
ティーク, L ドイツ[1773-1853] 小説家・劇作家。ロマン派の将として君臨。中世文学研究にいそしむ ①文学 397 A →ワッケンローダー, W
ディ・クウィンシー, T イギリス[1785-1859] 批評家・小説家。独文学の翻訳を含む多方面な文学活動を展開 作『阿片常用者の告白』 ①文学 397 B
テイク・オフ ⑨世史→産業革命〔定義〕 ⑫経産→ロストウ, W
ディクタトゥーラ ⑪政社→独裁〔歴史〕 →プロレタリアート独裁
ディクタトル〈独裁官〉 ⑨世史 412 B →ローマ〔共和政期〈初期〉〕
ディグナーガ〈陳那〉 インド[480?-540?] 仏教論理学者。チベットと中国とで伝承が異り,伝記は不詳 作『集量論』 ④哲宗 387 C →因明 →唯識 →ヨーガ〔瑜伽行派〕
ディークマン反応 ⑮化学→脂環式化合物〔製法と反応性〈シクロペンタン環をもつ化合物〉〕
ティグラト・ピレセル(一世) ⑨世史→アッシリア →メソポタミア文明〔歴史・文化〕
ティグラネス(一世) [前140?-56?] アルメニアの王。ミトリダテスと結んで急速に力を伸ばし,のちローマと衝突 ⑨世史 412 B
ティグリス(川) ⑨世史→メソポタミア文明図
ティー・クリッパー ⑰科技→帆船〔歴史〕
ティグール(川) ⑩世地→西イリアン
ティクレ(川) ⇨チグリス(川)
ティグレ人 ⑩世地→エチオピア〔地方誌〈エチオピア高原〉〕
DK ⇨ダイニング・キッチン
デイ=ケア ⑭医学→精神病院
丁敬 中国[1695-1765] ②美術→印章〔中国〈篆刻〉〕 →篆刻
梯形 ⇨台形
提刑 ⑨世史→按察使
定形外郵便物 ⑬生活→郵便〔郵便物〈通常郵便物〉〕
定型詩 ①文学→詩〔囲用語〈形式〉〕 →短歌 →短詩型文学
定型短詩 ①文学→短詩型文学
定形郵便物 ⑬生活→郵便〔郵便物〈通常郵便物〉〕
DK型 ⑰科技→集合住宅〔住戸計画〕
帝劇 ⇨帝国劇場
ディケーター アメリカ/イリノイ ⑩世地 395 B
低血圧 ⑭医学 411 C
低血糖症 ⑭医学→代謝
低血糖ショック ⑭医学→インシュリン〔インシュリンショック療法〕
『ディゲニス・アクリタス』 ⑨世史→ビザンティン帝国〔文化〕
鄭玄 ⇨鄭玄
定言三段論法 ④哲宗→論理学〔伝統的論理学〕
ディケンズ, C イギリス[1812-1870] 小説家。イギリス・リアリズム文学を代表する名作を残し,慈善事業に努力 作『オリバー・トゥイスト』 ①文学 397 B図 →イギリス文学〔ビクトリア朝〕 →推理小説〔外国〕 ⑨世史 412 B
『ディケンズ論』 ①文学→ギッシング, G
定言判断 ④哲宗→論理学〔伝統的論理学〕
逓減標 ⑰科技→線路〔線路標識〕図
定言命法〈定言命令〉 ④哲宗→カント, I〔囲基本概念〕 →善 →当為
デイコ〔梯枯〕 ⑲植物→エリスリナ図
程顥 ⑨世史 412 B ⇨程明道
抵抗 ⇨電気抵抗 ⇨流体抵抗
抵抗運動 ⇨レジスタンス
抵抗温度計 ⑯物数→温度〔絶対温度〕 →温度計
抵抗芽 ⑲植物→生活形
低公害エンジン ⑫経産→自動車工業〔日本〕
抵抗加熱 ⑰科技→電熱
抵抗加熱電気炉〈抵抗炉〉 ⑰科技→電気炉図表
抵抗器 ⑯物数 363 A図 ⑰科技 398 B図 →回路部品

ニス, R　→モダン・ダンス
テニス　⑬生活 440 D図表囲
テニスコートの誓い　⑨世史→フランス革命〔憲法制定議会〕図
テニソン, A　イギリス[1809–1892]　桂冠詩人。ビクトリア朝の詩壇を代表。戯曲でも成功をおさめた　作『イン・メモリアム』　①文学 402 A図
デニソン, H　⑤日史→御雇外人教師表
デーニッツ, K　ドイツ[1891–1980]　海軍提督。Uボート艦隊を率いて活躍。自殺直前のヒトラーの指名で終戦処理　⑨世史 420 A　→第二次世界大戦〔経過〈ヨーロッパでの戦争終結〉〕　→ニュルンベルク国際軍事裁判図
デニム　⑬生活→綿織物
テニヤン(島)　⇨テニアン(島)
デニール　⑬生活→糸
テニールス, D《父》　[1582–1649]　フランドルの画家。神話的主題のほか風景・風俗を描いたとされる　②美術 402 A
テニールス, D《子》　[1610–1690]　フランドルの宮廷画家兼絵画館長。風俗画が多い　②美術 402 A
テーヌ, H　フランス[1828–1893]　哲学者・批評家・歴史家。写実主義・自然主義文学に理論的根拠を与える　①文学 402 C　→自然主義　④哲宗 397 A　⑨世史 420 A図
手縫い　⑬生活→和裁〔基礎縫い〕
手拭　⑬生活 444 C　⑤日史→被り物かぶりもの
手拭被り　⑬生活→手拭
手拭中形　⑬生活→染物〔注染〕
テヌート　③音演→音楽用語〈629 C〉
テヌフト　④哲宗→エジプト神話〔創世神話〕
テネシー(州)　アメリカ　⑩世地 398 A
テネシー(川)　アメリカ　⑩世地 398 B
テネシー・ウィリアムズ　⇨ウィリアムズ, T
テネシー川流域開発公社　⇨TVAティーブイエー
テネスムス　⇨しぶり
デネブ　⑱宇地 457 A　→恒星〔表1等星〕　→星座〔四季〈夏〉〕　→はくちょう座
デネボラ　⑱宇地 457 A
テネリフェ(島)　⑩世地→カナリア(諸島)図　→サンタクルス《スペイン》　⑱宇地→火山〔表活火山〕
テネリフレース　⑬生活→レース〔3〕
テネレ〈レグ〉　⑩世地→サハラ(砂漠)〔自然〕
テノチティトラン　⑨世史→アステカ文明　⑩世地→メキシコ(合衆国)〔囲古代文明遺跡〕　→メキシコ(市)
てのひら〈手掌〉　⑭医学→手
手延べそうめん　⑦日地→池田(町)《香川》図　→鴨方(町)かもがた　→小豆島しょうどしま〔産業〕
デノミネーション　④哲宗→教団
デノミネーション　⑫経産 418 C　→安定恐慌　→インフレーション〔悪性インフレーション〕
テノール　③音演 343 D　→声域図
テノール記号　③音演→楽典〔囲〈音部記号〉〕図
テノール・バリトン　③音演→バリトン
テノールホーン　③音演→サクソルン属
テノーレ・ドラマティコ　③音演→テノール
テノーレ・リリコ　③音演→テノール
テノーレ・レジェロ　③音演→テノール
デバ, A　⑩世地→コンゴ(人民共和国)〔政治・外交〕
『デバ』　①文学→新聞小説
出刃　⑬生活→包丁〔種類〈和包丁〉〕図
デーバ　⇨提婆だいば
テバイ　⇨テーベ《ギリシア》
デバイ, P　アメリカ[1884–1966]　物理学者。固体比熱の理論, 分子構造に関する研究が有名。ノーベル賞受賞　⑮化学 429 A　→電解質〔活動度〕　→分子熱　⑯物数 369 C図　→断熱消磁　→フォノン
デバイ環　⑯物数→X線〔結晶構造解析〕図
デバイ-シェラー法　⑮化学→デバイ, P
『テーバイ攻めの七将』　①文学→アイスキュロス
デバイの比熱式　⑯物数→比熱
デバイ波長　⑯物数→プラズマ
デバイ-ヒュッケルの式　⑮化学→イオン強度
デバイ-ヒュッケルの理論　⑮化学→デバイ, P　→ヒュッケル, F
テバイン　⑮化学→アルカロイド表
テーバガ農民運動　⑪政社→インド政治事情〔第1期〕
デーバギリ　⑨世史→ヤーダバ朝
手羽先　⑳動物→ニワトリ〔表鶏肉〕図
出羽島てばじま　徳島　⑧日地 728 B
デバスズメ　⑳動物→スズメダイ図
手機てばた　⑰科技→織機図
デバダシ　③音演→インド舞踊
手旗信号　⑰科技 424 A図
デバッグ　⑯物数→電子計算機〔プログラム〕
デパート　⇨百貨店
デーバ・ナーガリー文字　⑧日地→インド・ヨーロッパ語族〈1199 A〉　⑨世史→文字〔オリエントからの伝播〕
手羽肉　⑬生活→とり肉〔特徴〕表　⑳動物→ニワトリ〔表鶏肉〕
テーパねじ　⑰科技→ねじ
デーバパーラ　⑨世史→パーラ朝
デハビランド・コメット　⑰科技→飛行機〔歴史〈ジェット輸送機〉〕
テーパーピン　⑰科技→キー
出囃子　③音演→下座音楽げざ〔寄席〕　→落語〔囲用語〕
テーパーライン　⑬生活→釣り〔釣り道具〈釣り糸〉〕
テバルディ, R　イタリア[1922]　ソプラノ歌手。世界的なプリマ・ドンナの一人　③音演 344 A図
デ・バレラ, E　アイルランド[1882–1975]　政治家, 首相・大統領。ニューヨーク生まれ。アイルランド共和国の生みの親　⑨世史 420 B　⑪政社→アイルランド問題〔自由国の成立〕
デハント, A　⑱宇地→大気大循環
デービー, D　イギリス[1922]　詩人・批評家。ムーブメント派とよばれ, 新ロマン主義の詩風を否定　①文学 402 D
デービー, H　イギリス[1778–1829]　化学者。電気分解により多くの元素を単離。坑内安全灯を発明　⑮化学 429 B図　→アセチレン　→アルミニウム〔歴史〕　⑯物数→熱〔熱の物質説と運動説〕　⑰科技→アルミニウム　→安全灯〔歴史〕　→炭鉱〔照明〕
デビー・クロケット　①文学→トール・テール
デビス, J　⑩世地→アルプス〔登山〕
デービス　⑨世史→大航海時代〔北方航路〕
デービス, D　⑳動物→サメ〔囲人食いザメ〕
デービス, J　アメリカ[1808–1889]　政治家。南北戦争の際アメリカ連邦の大統領に選ばれ戦争指導にあたった　⑨世史 420 B　→アメリカ連邦
デービス, M　⇨デイビス, M
デービス, S　⇨デイビス, S
デービス, W　イギリス[1871–1940]　詩人。英米各地を放浪し, 自然の風物と庶民の生活感情を率直にうたう　①文学 402 D
デービス, W　アメリカ[1850–1934]　自然地理学者。浸食輪廻説を確立, 近代地形学の発端をなす　⑱宇地 457 A　→川〔川の作る地形〕　→浸食〔浸食輪廻〕　→地形学
デービス(海峡)　⑩世地 398 B
デビスカップ争奪対抗試合　⑬生活→テニス〔国際試合〕表
テピック　メキシコ　⑩世地 398 B
デビッソン, C　アメリカ[1881–1958]　物理学者。電子の波動性の発見など電子光学を研究。ノーベル賞受賞　⑯物数 370 A図　→電子〔発見の歴史〕　→物質波
『デビッド・カパーフィールド』　①文学→ディケンズ, C
デビットダンラップ天文台　⑱宇地→天文台〔表〈アメリカ〉〕
デービー灯　⑰科技→安全灯〔歴史〕
デビドソン, R　⑰科技→電気自動車
デヒドロアスコルビン酸　⑮化学→ビタミン〔囲〈ビタミンC〉〕
デヒドロエピアンドロステロン　⑮化学→ステロイド〔副腎アンドロゲン〕〔図生合成〕
デビトロセラミックス　⇨セラミックガラス
手びら金　③音演→シンバル
でびら茶漬　⑬生活→郷土料理〔囲〈広島〉〕
デビル　④哲宗→悪魔
デビルスタワー　⑩世地→ワイオミング(州)図
テビロン　⑮化学 430 A　→合成繊維〔ポリ塩化ビニル〕　⑬生活→合成繊維〔種類〈ポリ塩化ビニール〉〕
テフ　⑩世地→エチオピア〔産業〕
テープ　⑬生活→紐ひも
デフ　⇨ディファレンシャルギア
デファンス(地区)　⑰科技→都市計画〔地区設計・都市設計の歴史〈現代〉〕
デファン夫人　フランス[1697–1780]　名流婦人。サロンを開き, 当代一流の学者・文人を集める　①文学 402 D
デ・フィリッポ, E　イタリア[1900]　劇作家・俳優。ナポリ民衆の苦難と夢, モラルと詩の織りなす世界を提示　①文学 402 D　③音演 344 A図　→イタリア演劇〔20世紀〕
デフェンテル　オランダ　⑭医学→片倉元周〈233 D〉
デフォー, D　イギリス[1660*–1731]　小説家。『ロビンソン・クルーソー』で名声を博し, 政治的関心が強かった　①文学 403 A図　→イギリス文学〔古典主義〕　⑨世史 420 B　→海賊〔骸骨旗〕　⑱宇地→風力階級
デフォルマシオン　②美術 402 A　①文学→文学〔囲用語〕
デフォルメ　①文学→文学〔囲用語〈デフォルマシオン〉〕　②美術→デフォルマシオン
手袋　⑬生活 444 D　→礼服〔表洋服礼装〕
『手袋』　③音演→ビョルンソン, B
デプスマイクロメーター　⑰科技→マイクロメーター
テープデッキ　⑰科技→ステレオ再生装置〔録音〕
テープ電線　⑰科技→電線図
テブフィク・フィクレト　トルコ[1870–1915]　詩人。教師のかたわら新聞・雑誌に寄稿。トルコ近代詩の創始者　①文学 403 C
テフライト　⑱宇地→岩石〔火山岩・細粒火成岩〕
デブ・ラージャ　⑩世地→ブータン(王国)〔略史・政治〕
デブリ　⑬生活→登山〔囲用語〕　⑱宇地→なだれ図
デブリン　⑪政社→アイルランド問題〔公民権運動〕
デーブリーン, A　ドイツ[1878–1957]　ユダヤ系の小説家。精神科の医者で, 表現主義の闘士として活躍　①文学 403 C　→新即物主義　→表現主義
テーブル(山)　⑩世地→ケープタウン図　→南アフリカ(共和国)図
テーブル　⑬生活→室内装飾〔居間〕
テーブル型氷山　⑱宇地→南極〔南極氷床〕
テーブルクリーム　⑬生活→クリーム
テーブルクロス　⑬生活→室内装飾〔食事室〕
テーブルサンゴ　⑳動物 429 A　→イシサンゴ〔生態〕
テーブルさん座　⑱宇地→星座表
テーブルスプーン　⑬生活→さじ〔スプーン〕図
テーブルテニス　⇨卓球
テーブルナイフ　⑬生活→ナイフ〔種類〈食卓用〉〕図
テーブルパン　⑬生活→パン〔種類〕
テーブルフォーク　⑬生活→フォーク〔種類〕図
テーブルマナー　⑬生活→フランス料理図
テーブルワイン〈食卓酒〉　⑬生活→ぶどう酒〔種類〕
デ・プレ　⇨ジョスカン・デ・プレ
デフレギャップ　⑫経産→インフレギャップ・デフレギャップ
テープレコーダー　⑰科技 424 B図　→録音〔磁気録音〕　⑯物数→静電誘導
デフレーション〈デフレ〉　⑫経産 418 D
デフレーション　⑱宇地→乾燥地形
デブレツェン　ハンガリー　⑩世地 398 B　→ハンガリー(人民共和国)図
テフロ石　⑱宇地→橄欖石かんらん
テフロン　⑮化学 430 A　→アルケン〔表付加重合で得られる高分子〕　→フッ素樹脂
デプン大僧院　④哲宗→ダライ・ラマ
デブンポート, T　⑰科技→電車〔歴史〕
テーベ　エジプト　⑨世史 420 C　→エジプト〔歴史と文化〈新王国時代〉〕　→カルナック
テーベ　ギリシア　⑨世史 420 C　→ギリシア〔ポリスの興亡〈衰退期〉〕　→レウクトラの戦い
テペ・ガウラ　⑨世史→メソポタミア文明〔発掘と解明〕
テペク(山脈)〈太白山脈〉　南朝鮮　⑩世地 398 C
テペ・シアルク　⑨世史 420 C
出臍　⑭医学→ヘルニア〔臍ヘルニア〕
デ・ベッキ　イタリア　⑨世史→ファシスタ党図
テペ・ヒッサール　⑨世史 420 D
『テーベ物語』　①文学→スタティウス, P
デーベライナー, J　ドイツ[1780–1849]　化学者・薬学者。元素周期律・触媒作用についての先駆的研究で有名　⑮化学 430 A図　→周期律〔三つ組元素〕　→三つ組元素
テヘラン　イラン　⑩世地 398 C図
テヘラン会談　⑥日史 786 B　→第二次世界大戦〔終結〕　⑨世史 420 D　⑤日史→カイロ宣言
テヘラン考古学博物館　②美術 685 B
テベレ(川)　イタリア　⑩世地 398 D　→ローマ(市)図　⑱宇地→三角州図
テベンコフ〈小田萌山〉　⑱宇地→火山〔表活火山〕
デベンテル　オランダ　⑩世地 398 D

デポ　⑬生活→登山〔囲用語〕
手矛　⑥日史→薙刀
テボタン　⑲植物→ツツジ表
デボチオ・モデルナ　④哲宗→トマス・ア・ケンピス
デボート,G　①文学→文体論
デ・ボーノ,E　イタリア[1866/1944]　軍人,ファシスト幹部。ローマ進軍には四巨頭の一人として指揮をとった　⑨世史 420 D　→エチオピア戦争〔第2回〕→ファシスタ党図
デボラ　④哲宗→士師
デボラの歌　④哲宗→聖書〔旧約聖書〈成立と構成〉〕
デボーリン　④哲宗→弁証法的唯物論〔唯物論〕
デポルト,P　フランス[1546/1606]　詩人。プイレアード詩派の大胆な試みと厳正な古典主義の橋渡しをした　①文学 403 C
デボルド＝バルモール,M　フランス[1786/1859]　女流詩人。子供への愛情を素朴にうたい,ロマン派叙事詩開花の先駆をなす　①文学 403 D
デボン紀　⑱宇地→古生代　→セジウィック,A　→地質時代〔古生代〕図　⑳動物→動物化石〔古生代〕
テマ　⇨軍管区制
テーマ　③音演 344 C
デマ　⑪政社 418 A　→流言
デ・マイス　①文学→カプアーナ,L
点前　⑬生活→茶道図
テーマ音楽　③音演→テーマ
手間換　⑥日史→結
デマゴギー　⇨デマ
デマゴーグ　⑨世史→デマゴゴス
デマゴゴス　⑨世史 421 A
デマス　④哲宗→パルメニデス
テマ制　⇨軍管区制
出町　⑧日地→砺波(市)
出窓　⑬生活→窓〔種類〕図
デマノバ洞　⑱宇地→洞穴表
デマベンド(山)　⇨ダマバンド(山)
手間山　⑦日地→会見(町)
手まり　⑬生活→児童遊戯〔まりつき〕
手毬唄　③音演→わらべ唄
テマリカンボク　⑲植物→カンボク
テマリバナ〔手毬花〕　⇨オオデマリ
テマリワムシ　⑳動物→ワムシ
手回し鋳造機　⑰科技→活字〔製造〕
『デミアン』　①文学→ヘッセ,H
出岬　⑦日地→積丹岬
テミストクレス　ギリシア[前528?/462?]　将軍・政治家。アテネ海軍を増強し,サラミスの戦勝でギリシアを救った　⑨世史 421 A図　→オストラキスモス　→ペルシア戦争〔クセルクセスの遠征〕
出三斗　②美術→組物〔種類〕図
手養台地　⑧日地→知覧(町)
手宮　北海道/小樽市　⑧日地 728 C
手宮洞窟遺跡　⑥日史 786 B図　⑦日地→小樽(市)
デミル,A　アメリカ[1909]　舞踊家・振付者。C.デミルの姪。数々のモダン・バレエを創作　③音演 345 A
デミル,C　アメリカ[1881/1959]　映画監督。スペクタクルなハリウッド商業映画の典型的な大作が多い　③音演 344 D図
テムコ　チリ　⑩世地 398 D
テムジン〔鉄木真〕　⇨チンギス・ハン
テムズ(川)　イギリス　⑩世地 399 A　→ロンドン〔自然〕
テムネ族　⑩世地→シエラレオネ(共和国)〔社会・文化〕
テムポ・ルバート　③音演→音楽用語〈629 C〉
出村　⑧日地 1226 B
デムーラン,C　フランス[1760/1794]　弁護士・革命家。市民を扇動して革命の口火を切り,のちダントンとともに粛清　⑨世史 421 B図
デメキン〔出目金〕　⑳動物→キンギョ〔品種〕
デメテル　④哲宗→ギリシア・ローマ神話〔図オリンポスの十二聖〕〔囲神名〕　→密儀宗教
デメトリウス,L　ルーマニア[1910]　③音演→東欧演劇〔ルーマニア〕
デメトリオス　ギリシア　①文学→アイソポス〔イソップ物語〕　④哲宗→コプト教会　⑨世史→アンティゴノス(一世)　→イプソスの戦い　→バクトリア　→ピロス
出目米　⇨延米
デメモロコ　⑳動物→モロコ
デーメル,R　ドイツ[1863/1920]　詩人。芸術誌『牧羊神』を発刊。児童文学の作品もある　①文学 403 D　→新ロマン主義
デモ　⇨デモンストレーション
デモイン　アメリカ/アイオワ　⑩世地 399 B
デモクラシー　⇨民主主義
デモクラシー記念塔　⑩世地→バンコク図
デモクリトス　ギリシア[前460?/370?]　哲学者。万物は分割不可能な原子よりなるとする古代原子論を確立　④哲宗 397 A図　⑨世史 421 C　⑮化学 430 B　→原子〔概念の変遷〈ギリシア〉〕　→原子論　①文学→ギリシア文学〔散文〕　⑯物数→原子論〔自然の原子論的構造〕　→物理学〔歴史〈古代〉〕
デモステネス　ギリシア[前384/322]　雄弁家・政治家。マケドニアの台頭はギリシアの自由を脅かすと警告し続けた　①文学 403 D　→アイスキネス　→ギリシア文学〔散文〕　⑨世史 421 C図
手持ち　⑫経産→保険〔囲用語〕
デモティック〈民衆書体〉　⑨世史→エジプト〔言語と住民〕　→文字〔三大源流〕
『テモテへの手紙』　④哲宗→聖書〔囲〈新約〉〕
デモノロジー　④哲宗→悪魔
手もみ洗い　⑬生活→洗たく〔歴史〕
デーモン　④哲宗 397 C　→悪魔　→神　①文学→文学〔囲用語〕
デモンストレーション　⑪政社 418 B　→公安条例
『テュアナのアポロニオス伝』　①文学→フィロストラトス
デュアメル,G　フランス[1884/1966]　小説家。アベイ派として出発。劇作を試み,エッセイや旅行記もある　㊟『パスキエ家の記録』　①文学 404 A図
テュアリング・マシン　④哲宗→自動機械説
デュアルサーキットブレーキ　⇨2系統式ブレーキ
デュアルト(山)　ドミニカ共和国　⑩世地 399 C
デューイ,J　アメリカ[1859/1952]　哲学者・教育学者・社会評論家。プラグマティズムを発展させ,実験主義・道具主義の立場を確立　㊟『思考の方法』　①文学 404 C　④哲宗 397 C図　→インストルメンタリズム　→教育〔方法〕　→プラグマティズム　⑨世史 421 D　⑪政社→プラグマティズム図
デュイスブルク　⇨ジュイスブルク
テュイルリー宮殿　⑨世史 421 D
『テュエステス』　③音演→セネカ,L
デュエット　③音演→合唱　→室内楽〔構成〕
デュエン,P　[1861/1916]　⑰科技→科学〔歴史〈ルネサンス〉〕
出湯温泉　⑦日地→笹神(村)
デュカ,P　フランス[1865/1935]　作曲家。交響詩『魔法使いの弟子』で世界的名声を博す　③音演 345 A図
デュギー,L　フランス[1859/1928]　法学者。実証的法思想を形成。国家権力の積極的義務を説き,憲法学に貢献　⑪政社 418 C　⑫経産→民法〔内容〕
デューク　⑨世史→爵位〔西洋〕
デュークオブヨーク(諸島)　⑩世地→ビスマーク(諸島)
デュクレー,A　イタリア[1860/1932]　⑭医学→性病〔軟性下疳〕
デュ・クロ,W　⑰科技→ダンロップ,J
デュ・ゲクラン,B　フランス[1320?/1380?]　⑨世史→シャルル(五世)
デュコス,P　フランス[1774/1816]　⑨世史→統領政府
デュコ・デュ・オーロン,L　[1837/1920]　⑰科技→写真〔技術の歴史〈カメラ〉〕
デュジャルダン,E　フランス[1861/?]　①文学→意識の流れ
デュジャルダン,F　フランス[1801/1860]　動物学者・機械技師。原形質を発見しサルコードと名づけた　⑳動物 429 A　→シュルツェ,M
デュシャン,M　アメリカ[1887/1968]　フランス生まれの画家。「偶像破壊者」「反芸術」の始祖的存在。終生チェスを愛した　②美術 402 B図　→シュルレアリスム　→ダダ
デュシャン＝ビヨン,R　[1876/1918]　②美術→デュシャン,M
『デュスコロス』〈人間嫌い〉　①文学→メナンドロス　③音演→ギリシア演劇〔喜劇〕
デュスターベルク,T　ドイツ　⑨世史→鉄兜団
デューセル　⑱宇地→湿度計
デューゼンベリー　⑫経産→消費関数〈相対所得仮説〉
テューダー朝　⑨世史 422 A図　→イギリス(史)　→ヘンリ(七世)　⑫経産→絶対主義〔諸類型〕
デュック　⑨世史→爵位〔西洋〕
デュッセルドルフ　⇨ジュッセルドルフ
テュッセン,F　ドイツ[1873/1951]　資本家。テュッセン社の創始者アウグストの子。ナチス党と財界の接近に努力,のち離脱　⑨世史 422 B
テュッセン　⇨ティッセン
テュッティ　③音演→楽典〔囲〈表奏法〉〕
デューテリウム　⇨重水素
デューテロマライ族　⑩世地→バリ(島)
デュトゥール,J　フランス[1920]　小説家。レジスタンス運動に参加。エッセイにも才気を見せる　①文学 404 C
テュートン騎士団　⇨ドイツ騎士団
テュートン人　⑨世史→ゲルマン人
デュナギリ　⑩世地→ヒマラヤ(山脈)〔表初登頂〕
デュナミス　③音演→ギリシア音楽　④哲宗→アリストテレス〔自然学〈16 C〉〕〔囲基本概念〕　→エネルゲイア
デュナン,H　スイス[1828/1910]　赤十字社の創始者。ソルフェリーノの戦場で惨状を見て,救護機関の設置に尽力　⑨世史 422 C　⑩世地→スイス(連邦)〔社会・文化〕　⑪政社→赤十字〔歴史〕　⑭医学→赤十字図
デュナン,J　スイス[1877/1942]　②美術→漆工芸〔ヨーロッパ〕
デュバリエ　⑩世地→ハイチ(共和国)〔略史〕
デュパルク,M　フランス[1848/1933]　作曲家。新しいフランス歌曲の方向を示し,国民音楽の樹立に貢献　③音演 345 B
デュ・ビニョー,V　アメリカ[1901/1978]　生化学者。ペプチドホルモンの合成に成功。ノーベル賞受賞　⑮化学 430 C
デュビビエ,J　フランス[1896/1967]　映画監督。心理描写と情景描写に優れ,フランス映画の代表的存在　③音演 345 C図　→映画〔トーキー〈第4期〉〕
デュビュッフェ,J　[1901]　②美術→アンフォルメル
デュファイ,G　[1400?/1474]　フランドルの作曲家。大陸の多声書法とイギリスの和声感を融合し,一時期を画す　③音演 345 D　→音楽〔西洋音楽〈ルネサンス音楽〉〕
デュフィ,R　フランス[1877/1953]　画家。フォービズムの運動に加わる。水彩画にも手を染める　②美術 402 C図　→フォービスム
デュブウ　②美術→漫画〔今日の漫画家たち〕
デュプの日　⑨世史→リシュリュー
デュフールシュピッツ　⑩世地→モンテローザ
デュプレ,J　フランス[1811/1889]　②美術→バルビゾン派
デュプレ,M　フランス[1886/1971]　オルガニスト・作曲家。即興演奏の名手として知られる　③音演 345 D
デュプレクス,J　フランス[1697/1763]　植民地総督官。フランス領インドの総支配人となり,一時はイギリスの勢力を制圧　⑨世史 422 C図　→カルナータカ戦争
デュプレクス方式〈同時送受信方式〉　⑰科技→通信〔無線通信の種類〈移動無線〉〕
テュフロ　フランス　①文学→フランス文学〔20世紀〕
デュブロン(島)　⑩世地→トラック(諸島)
デュベ,J　フランス[1485?/?]　②美術→銅版画〔歴史〕
デューベリー　⑲植物 430 B図　→ローガンベリー
デュベルノア,H　フランス[1875/1937]　小説家。懐疑的モラリストとして現実に対し鋭い観察眼を披歴。短編で有名　①文学 404 C
デュ・ベレー,J　フランス[1522/1560]　詩人。愛国的宣言書『フランス語の擁護と顕揚』で有名　①文学 404 C　→プレイアード詩派
デュボア,E　アメリカ[1882/1959]　⑭医学→人体〔体表面積〕
デュボア,E〈デュボワ,E〉　オランダ[1858/1940]　解剖学者・人類学者。ジャワでピテカントロプス・エレクトスを発見　⑱宇地 457 B　→化石人類〔発見史〕　⑳動物 429 A図　⑨世史→猿人　→ジャワ原人
デュボア,G　フランス[1656/1723]　⑨世史→摂政時代
デュボア,W　アメリカ[1868/1963]　⑪政社→汎アフリカ主義
デュ・ボアゴベ　フランス　①文学→推理小説〔外国〕
デュボアの式　⑭医学→人体〔体表面積〕
デュ・ボア＝レイモン,E　ドイツ[1818/1896]　生理学者。微小電流検出技術の開発とともに神経内の電流の存在を確認　⑳動物 429 B図
デュ・ボイス,W　アメリカ[1868/1963]　⑨世史→アフリカ(州)〔民族独立の時代〈民族自決権〉〕　→ナイアガラ運動　→汎アフリカ主義
デュ・ボス,C　フランス[1882/1939]　批判家。作家の魂と本質に接近する「内面の批評」を主張　①文学 404 D
デュポール　⑨世史→バルナーブ,A
デュボワ　⇨デュボア,E
デュポン,C　⑩世地→ローデシア〔政治〕
デュポン　⑫経産 418 D　→ゼネラル・モーターズ　⑬生活→合成繊維〔歴史〕　⑮化学→デュポ

『照葉狂言』 ①文学→泉鏡花図
テリハノイバラ〔照葉野薔薇〕 ⑲植物 430 C →ノイバラ →バラ〔野生種〕別
テリハボク ⑲植物 430 C図
デ・リーフデ号〈リーフデ号〉 ⑥日史→三浦按針
デリベス,M ｽﾍﾟｲﾝ[1920] 小説家・ジャーナリスト。生地で日刊紙を編集しながら創作につとめる ①文学 406 C
デ・リーベロ,L ｲﾀﾘｱ[1906] 詩人・小説家。絵画に精通し美術史の教師をつとめる ①文学 406 C
デーリー・ミラー ⑫経産→新聞業
デーリー・メール ⑪政社→新聞〔歴史〈欧米〉〕
照り焼き ⑬生活→魚料理〔調理別〈焼き物〉〕 →しょうゆ〔調理〕 →焼き物
デリヤーギン,B ⑮化学→水〔異常水〕
デリュック,L [1890-1924] ③音演→映画理論〔始まり〕
デリラ ④哲宗→聖書〔囲人名〈サムソン〉〕
デーリリー ⑲植物→ヘメロカリス
テリレン ⑮化学→合成繊維〔沿革〕 →テトロン
デリンジャー ⑱宇地→デリンジャー現象
デリンジャー現象 ⑱宇地 457 B →太陽〔太陽面現象〈7〉〕 →地球〔磁場〕 ⑯物数→電離層〔成因〕
デル,F ｱﾒﾘｶ[1887-1969] 小説家・批評家。「シカゴ・グループ」のリーダーとして活躍 ①文学 406 C
デール,H ｲｷﾞﾘｽ[1875-1968] 生理学者。アセチルコリンが神経刺激の化学伝導物であることを究明。ノーベル賞受賞 ⑭医学 30 A →ノーベル生理学=医学賞図表
テル・アスマル ⑨世史→メソポタミア文明〔発掘と解明〕
テルアビブ ｲｽﾗｴﾙ ⑩世地 400 B
テル・ウカイル ⑨世史→メソポタミア文明〔発掘と解明〕
テル・エル・アマルナ ⑨世史 423 C →アマルナ文章 ②美術→エジプト美術〔建築〕
デル・エル・バハリ ⑨世史 423 C図 →ハトシェプスト
テル・エル・ムテセリム ⇨メギッドー
テールガス ⑮化学→脱硫〔燃料ガス〈製油所ガス〉〕
デルカッセ,T ﾌﾗﾝｽ[1852-1923] 政治家,外相。同国の国際的地位を改善し,逆にドイツを外交的孤立に向かわせた ⑨世史 423 C
テルグ語 ⑩世地→アンドラプラデシ(州)
照国神社 ④哲宗→神社〔表〈別格官幣社〉〕 ⑦日地→鹿児島(市)
照国万蔵 ⑬生活→相撲〔表横綱〕
テルグー民族 ⑪政社→インド政治事情〔第1期〕
テールゲート ⑰科技→自動車〔種類〈ステーションワゴン〉〕
『**テル・ケル**』 ①文学 406 C
テルザキス,A ｷﾞﾘｼｱ[1907] ③音演→東欧演劇〔現代ギリシア〕
テル・サラサート ⑨世史→メソポタミア文明〔発掘と解明〕
デルサルト,J [1903-1968] ⑯物数→ブルバキ,N
デルジャービン,G ﾛｼｱ[1743-1816] 詩人。国家の隆運をうたった頌詩が多い。法務大臣をつとめる ①文学 406 C →ロシア・ソビエト文学〔ロシア〈18世紀〉〕
テルスター ⑪政社→テレビジョン ⑫経産→放送事業 ⑱宇地→人工衛星〔種類〈通信衛星〉〕表
デルタ ⇨三角州
δ軌道ﾃﾞﾙﾀ ⑮化学→π電子ﾊﾟｲ
デルタ細胞〈好塩基性細胞〉 ⑭医学→下垂体
δ線 ⑯物数→泡箱〔原理〕
『デルタの結婚式』 ①文学→ウェルティ,E
δ波 ⑭医学→脳波
デルタ・ファン ⇨三角州型扇状地
テルツァ・リーマ ①文学→詩〔囲用語〈形式〉〕
デ=ルッデル ﾄﾞｲﾂ ⑭医学→季節病
デルテイユ,J ﾌﾗﾝｽ[1894-1978] 歴史小説家。現実を誇大に生きかえらせる独特の天分を示した ①文学 406 D
テルトゥリアヌス,Q [150?-222?] 古代ローマの教父・護教家。西方教会で初めて三位一体の説を唱えた キリスト教神学者。ラテン神学の祖として有名 ①文学 406 D ④哲宗 398 C →教父哲学
テルトリーの戦い ⑨世史→ピピン(中)
テルトル広場 ⑩世地→パリ〔図街角・公園・広場〕
テルナテ(島) ⑩世地→モルッカ(諸島)
テルニ ｲﾀﾘｱ ⑩世地 400 C
テルハ ⑰科技→ホイスト
テル・ハラフ ⑨世史→メソポタミア文明〔発掘と解明〕
テル・ハリリ ⇨マリ《シリア》
テルパンドロス ｷﾞﾘｼｱ[*.] 前7世紀の詩人・音楽家。ギリシア古典音楽の父といわれる ①文学 406 D
テルビウム ⑮化学→希土類元素
テルピネオール ⑮化学→テルペン〔モノテルペン系化合物〈単環性〉〕
テルピネン ⑮化学→テルペン〔モノテルペン系化合物〈単環性〉〕
デルフィ ⑩世地→ギリシア(共和国)〔地方誌〈中央ギリシア〉〕
デルフィーニ,A ｲﾀﾘｱ[1908-1963] 小説家。ジャーナリストとして活躍,詩集や短編集もある ①文学 407 A
デルフィニウム ⑲植物 430 C図
デルフィニジン ⑮化学→シアニン
『デルフィーヌ』 ①文学→書簡体小説 →スタール夫人
デルフォイ ｷﾞﾘｼｱ ⑨世史 423 D →アンフィクティオニア ④哲宗→神託
デルフォイ考古学美術館 ②美術 685 B
テルフォード,T ｲｷﾞﾘｽ[1757-1834] ⑰科技→道路〔歴史〈近世以後〉〕図
テルフォード工法 ⑰科技→道路〔歴史〈近世以後〉〕図
テルプシコレ ④哲宗→ミューズ
デルフト ｵﾗﾝﾀﾞ ⑩世地 400 C図
デルフト ②美術 403 D →陶芸〔ヨーロッパ〕図
デルフトブルー ⑲植物→パンジー図
デルプフェルト,W ⑨世史→シュリーマン,H
デルフラー,P ﾄﾞｲﾂ[1878-1955] カトリック作家・司祭。物語性あふれる歴史・宗教小説が多い ①文学 407 A
デルペク,J ⑭医学→整形外科
テルペノイド ⑮化学→脂質
デルペルト ﾄﾞｲﾂ ⑨世史→トロヤ
テルペン ⑮化学 431 B図
デルボー,P ﾍﾞﾙｷﾞｰ[1897] シュルレアリスムの画家。意識下の世界を独自の夢と幻想の世界に築き上げる ②美術 404 A →シュルレアリスム
テルボルヒ,G ｵﾗﾝﾀﾞ[1617-1681] 画家。風俗画が多く,ウェストファリア条約会議の模様を描いた ②美術 404 B図 →オランダ美術
テルマ ⑩世地→テサロニキ
デルマトーム ⑭医学→皮膚移植図
テールマン,E ﾄﾞｲﾂ[1886-1944] 政治家。ドイツ共産党を率いハンブルク蜂起を指導。親ソ政策を進める ⑨世史 423 D →ピーク,W ⑪政社 419 B図
テルミット法 ⑮化学 434 A →アルミニウム〔性質〕 →ゴルトシュミット,H
テルミドールのクーデター〈テルミドールの反動〉 ⑨世史→山岳派 →フランス革命図
テルミニ ⑩世地→ローマ(市)〔囲観光地〈その他〉〕
テルメ(湾) ⑩世地→ギリシア(共和国)〔地方誌〈マケドニア,トラキア〉〕
テルメ美術館 ⇨ローマ国立美術館
デル・モナコ,M ｲﾀﾘｱ[1915-1982] テノール歌手。力強く男性的な声は「黄金のトランペット」とよばれた ③音演 347 A図
テルモピラエ温泉 ⑱宇地→温泉〔寿命〕
テルモピレーの戦い ⑨世史→ペルシア戦争〔クセルクセスの遠征〕 →レオニダス
照屋 ⑦日地→コザ
デルリン ⑮化学→アセタール樹脂
テルル ⑮化学 434 A図 ⑱宇地 457 C
テルル化水素 ⑮化学→テルル〔化合物〕
テルル酸 ⑮化学→テルル〔化合物〕
テルルのねじ〈地のねじ〉 ⑮化学→周期律〔地のねじ〕 →ド・シャンクールトア,A
テルロメーター ⑧日地→三角測量〈1213 B〉
テレキ(山) ｹﾆｱ ⑩世地 400 D ⑱宇地→火山〔表活火山〕
テレグラフォン ⑰科技→録音〔磁気録音〕
テレサ・デ・ヘスス,S ｽﾍﾟｲﾝ[1515-1582] 宗教家。カルメル会の修道女で,同会の改革に献身 ①文学 407 A ④哲宗 398 C
テレジア(幼きイエズスの) ④哲宗→巡礼〔囲巡礼地〈リジュー〉〕
テレジエンウィーゼ広場 ⑩世地→ミュンヘン
テレジオ,B ｲﾀﾘｱ[1509-1588] ルネサンス期の哲学者。自然主義的な考え方は,ブルーノやカンパネッラなどに影響 ④哲宗 398 D
テレシコワ ⑱宇地→宇宙開発〔有人宇宙計画〕
テレジナ ﾌﾞﾗｼﾞﾙ ⑩世地 400 D
テレシネ ⑰科技→テレビジョン〔テレビ放送局〕
テレショフ,N ソ連[1867-1945] 小説家。新文学団体ズナーニエ派に属し,作品に革命的気分を反映 ①文学 407 A
『**テレスコープ**』 ①文学 407 A
『テレーズ・デケイルー』 ①文学→モーリヤック,F
テレスマルチレス ⑩世地→カビテ
『テレーズ・ラカン』 ①文学→自然主義 →ゾラ,E ③音演→近代劇 →フェデー,J
『テレーゼ』 ①文学→シュニッツラー,A
テレックス〈加入電信〉 ⑰科技 425 B →印刷電信 →通信〔無線通信の種類〈固定無線〉〕 →電信〔印刷電信〕 ⑬生活→電話・電報〔電話〈電話機〉〕
デレッダ,G ｲﾀﾘｱ[1871-1936] 女流小説家。真実主義の流れをくみ,象徴主義の影響をうけ故郷の風土を描く ①文学 407 B
テレパシー〈遠隔感応〉 ⑭医学→感覚〔種類〈超感覚〉〕
テレビアンテナ ⑰科技→アンテナ図
テレビカメラ ⑰科技→撮像管
テレビ受像機 ⑫経産→電子工業〔発展〕 ⑰科技→エレクトロニクス〈48 A〉 →ブラウン管
テレビジョン ⑪政社 419 C図 →マス・コミュニケーション〔歴史〕 ⑯物数 370 C図 →ブラウン管 ⑰科技 425 B図表 →アイドホール
テレビジョン・プレイ〈テレビ・ドラマ〉 ③音演 347 A図
テレビスタジオ ⑰科技→テレビジョン〔テレビ放送局〕図
テレビ電話 ⑰科技 434 B図 →通信〔有線通信〕
テレビ・ドラマ ⇨テレビジョン・プレイ
テレビ放送 ⑪政社→テレビジョン ⑫経産→放送事業 ⑰科技→CATV →テレビジョン〔利用〕
テレビ放送局 ⑰科技→テレビジョン図
テレビ漫画 ③音演→アニメーション映画
テレビンノキ ⑲植物→ピスタチオ
デレピン反応 ⑮化学→アミノ化
テレビン油 ⑮化学 434 B →アビエチン酸 →香料〔表精油と特性〕 →テルペン〔モノテルペン化合物〈双環性〉〕 →ピネン ⑲植物→ピスタチオ
テレフォトタイプ ⑰科技→カメラ〔機能と操作〕
テレフタル酸 ⑮化学 434 C →フタル酸
テレプラス ⑰科技→カメラ〔アクセサリー〕
テレプリンター交信 ⑫経産→ウェスタン・ユニオン電信
テレプレイ ⇨テレビジョン・プレイ
テレフンケン式アンテナ ⑰科技→アンテナ〔図VHFビームアンテナ〕
テレボックス ⑰科技→ロボット
テレホンサービス ⑬生活→電話・電報〔電話〈サービス〉〕
テレマーク ⑬生活→スキー〔囲用語〕
テレマコスの伝説 ④哲宗→オデュッセウス
『テレマックの冒険』 ①文学→古典主義 →フェヌロン,F
テレマン,G ﾄﾞｲﾂ[1681-1767] 後期バロックの作曲家。教会オルガニスト・宮廷楽長などをつとめた ③音演 349 D図 →オラトリオ
テレミン ③音演→電気楽器
『デ・レ・メタリカ』 ⑮化学→アグリコラ,G図 ⑰科技→アグリコラ,G図 →技術〔技術学〕 →鉱山〔歴史〕図 ⑱宇地→鉱床〔囲探鉱法〕図
テレモア ⑰科技→カメラ〔アクセサリー〕
テレンタイ〔徳楞泰〕 中国 ⑨世史→白蓮教徒の乱
テレンティウス,P [前195?-159?] ローマの喜劇作家。ギリシア新喜劇を種本に自己の芸術的規準に従って改良 ①文学 407 B ③音演 349 D
テロ ⇨テロリズム
デロ ⇨ドロノキ
デ・ロイテル,M ｵﾗﾝﾀﾞ[1607-1676] 海将。第二次オランダ・イギリス戦争のさい提督としてテムズ川に侵入 ⑨世史 424 A
テロクベトン ｲﾝﾄﾞﾈｼｱ ⑩世地 400 D
デロジエ,L ｶﾅﾀﾞ[1896] フランス系の小説家。大地を耕してきた農民たちの生活を写実的筆致で描く ①文学 407 C
テロス〈終極目的〉 ④哲宗→アリストテレス〔自然

ト
と

東京―箱根間往復関東大学駅伝 ⑬生活→駅伝競走図
東京美術学校 ⑥日史 803 A ②美術→岡倉天心 →フェノロサ, E
『東京ブギウギ』 ③音演→歌謡曲表
『東京節』〈パイノパイノパイ〉 ③音演→歌謡曲表
東京文化会館 ⑦日地→上野《東京》 ⑧日地→東京(都)〔図文化〕
東京・ベルリン・ローマ枢軸 ⑨世史→ベルリン・ローマ枢軸 ⑪政社→枢軸
東京貿易センター ⑧日地→東京(都)〔図経済・社会〕
東京法学院 ⑤日史→英吉利法律学校
東京放送(株) ⑫経産 437 C
東京砲兵工廠 ⑤日史→殖産興業政策表
トウキョウホタテ ⑱宇地→化石図
東京無産党 ⑪政社→政党(各国)〔図〈無産〉〕
『東京物語』 ③音演→映画別 →小津安二郎
東京横浜毎日新聞 ⑤日史→板垣退助 →嚶鳴社 ⑥日史→横浜毎日新聞
東京ラウンド ⑫経産→ガット〔内容〕 →新国際ラウンド
鼕行列 ⑧日地→松江(市)〔観光・文化〕図
東京六大学リーグ戦 ⑬生活→野球〔大学野球〕
東京湾 ⑧日地 758 C
套曲 ①文学→元曲
等極結合 ⑮化学→化学結合〔共有結合〕
当限 ⑫経産→商品取引所
頭巾 ⑤日史→頭巾
『淘金記』 ①文学→沙汀
トウキンセン〔唐金盞〕 ⇨キンセンカ
トゥーク, J ⑫経産→金融理論〔通貨論争〕
道具 ⑥日史→調度 ⑰科技→機械 →技術
東宮 ⑥日史 803 A →天皇〔政治史〕 ⑪政社→皇室〔皇族〕
春宮坊 ⑥日史 803 B
道具衣 ④哲宗→法衣図
道具方 ③音演→大道具
道具国家 ⑪政社→近代国家〔二〕 →夜警国家
道具主義 ⇨インストルメンタリズム
銅釧 ⑤日史→釧
ドゥクス ⑨世史→軍管区制
洞窟 ⇨洞穴
洞窟遺跡 ⑥日史 803 B図
洞窟動物 ⑳動物 435 A
『洞窟の人々』 ①文学→タウフィーク・アル・ハキーム
洞窟壁画〈洞穴壁画〉 ②美術→原始美術 ⑨世史→アルタミラ図
ドウクツミミズハゼ ⑳動物→ハゼ〔生態〕 →ミミズハゼ
道具的学習〈偶縁的学習〉 ⑳動物→学習
道具的行動 ④哲宗→要求
東求堂 ⑥日史 803 C →室町時代〔政治〈義政の一生〉〕 ②美術→銀閣寺
道具幕 ③音演→幕
トウグミ〔唐茱萸〕 ⑲植物 437 C →グミ
堂倉滝 ⑦日地→大杉谷
トゥグリル・ベグ イラ[993*/1063*] 大セルジューク朝の初代スルタン。オグズ遊牧民の一族長から台頭し王朝を創建 ⑨世史 441 C →西アジア〔トルコ族と西アジア〕
トゥグルク朝 ⑨世史 441 C →インド〔中世社会〕 →サイイッド朝 →デリー・サルタナット
トゥグルク・ティムール [?/1363] モグリスタン・ハン国初代の君主。一時的にチャガタイ・ハン国の統一に成功 ⑨世史 441 C
トゥクロール族 ⑩世地→セネガル(共和国)〔社会〕 →モーリタニア(イスラム共和国)〔社会〕
トウグワ〈カラヤマグワ〉 ⑲植物→クワ
ドゥクン ⑪政社→シャマニズム〔役割〕
同君連合 ⑨世史→プロイセン〔プロイセン公国〕
峠 ⑧日地 1227 A ⑱宇地 484 C
手向 山形/羽黒町 ⑧日地 759 A →羽黒(町)
道化 ③音演→滑稽
東経 ⑧日地→経度〈1209 A〉
統計 ⑯物数 398 B図表 →時系列 ⑫経産→統計学
闘鶏 ⑥日史 803 D図 →物合 ⑬生活 457 C図 ⑳動物→シャモ →ニワトリ図
陶芸 ②美術 411 A図 ⑬生活→手芸
鶏芸 ⑦日地→上宝(村)〔一重ヶ根温泉〕図
同形 ⑯物数→環 →群 →体 →多元環
動径 ⑯物数→角速度 →座標〔極座標〕
道契 ④哲宗→高僧伝
統計学 ⑫経産 437 D ⑯物数→数理統計学〔記述統計学〕
同型核分裂 ⑲植物→減数分裂〔染色体の行動〕 ⑳動物→還元分裂
同型鏡 ⑥日史→同笵鏡
統計グラフ ⑯物数→統計
東慶寺 ④哲宗 411 C ⑥日史 804 A ⑤日史→縁切寺 ⑦日地→鎌倉(市)〔囲神社・仏閣〕
闘鶏神社 ⑧日地→田辺(市)
同型世代交代 ⑲植物→世代交代 →藻類〔生殖と世代交代〕
同型接合 ⑲植物→接合
等傾線 ⑯物数→光弾性〔原理〕
同型担子菌類 ⑲植物→キノコ〔分類〕 →菌類〔分類〈担子菌類〉〕
統計地図 ⑯物数→統計〔統計グラフ〕図
同形定理 ⑯物数→環〔イデアル・剰余環〕 →群
統計的線形模型 ⑯物数→最小 2 乗法
統計的品質管理〈SQC〉 ⑫経産→品質管理
統計天文学 ⑱宇地→天文学〔内容〈恒星天文学〉〕
統計熱力学 ⑯物数→熱力学
同型配偶子 ⑲植物→配偶子
頭頸部外傷症候群 ⇨むち打ち症候群
同形複花序 ⑲植物→花序
統計力学 ⑯物数 397 C →気体分子運動論
同形律 ⑮化学→ミッチェルリッヒ, E
統計量 ⑯物数→数理統計学〔推測の方法〕
『道化おどり』 ①文学→ハクスリー, A
峠三吉 [1917/1953] 詩人。広島で被爆。原爆病に苦しみながら, 人道的な抗議の詩を発表 ①文学 414 D
『道化師』 ③音演→レオンカバロ, R
『道化師の朝の歌』 ③音演→ラベル, M〔鏡〕
トウゲシバ〔峠柴〕 ⑲植物 437 C →シダ植物別
洞穴〈洞窟〉 ⑱宇地 485 A図表 ⑥日史→洞窟遺跡 ⑨世史→旧石器時代〔研究法〕
ドウケツエビ〔同穴蝦〕 ⑳動物 435 A →カイロウドウケツ
凍結核 ⑱宇地→凝結
凍結乾燥 ⑬生活→乾物〔種類・方法〕
洞穴水〈裂罅水〉 ⑱宇地→地下水〔分類〕
洞穴探検〈ケイビング〉 ⑱宇地→洞穴図
洞穴動物 ⇨洞窟動物
洞穴壁画 ⇨洞窟壁画
トウゲブキ ⑲植物→オタカラコウ
道化役 ③音演→滑稽
『道化役』 ①文学→豊島与志雄
トウゲラ(滝) ⑱宇地→滝表
刀剣 ②美術→日本刀 ⑤日史→剣術〔発生〕 ⑬生活→剣道
闘犬 ⑬生活 457 D ⑦日地→高知(市)図 ⑳動物→イヌ〔囲家畜〕
竇憲 中国 ⑨世史→班固
董源 中国[?/967] 唐代の画家。北宋の山水画の三大家の一人 ②美術 415 D
銅剣 ②美術→弥生時代の美術 ⑥日史→青銅器 →銅剣・銅矛 →弥生文化別
道元 [1200/1253] 鎌倉中期の禅僧。日本曹洞宗の開祖。永平寺を創建 ①文学 414 D ④哲宗 411 D図 →永平寺 →禅宗 →曹洞宗〔日本〕 ⑥日史 804 A図 ⑤日史→『正法眼蔵』
道原 中国 ④哲宗→高僧伝
桃源郷 ④哲宗→ユートピア
洞元湖 群馬 ⑧日地 759 A
道玄坂 ⑦日地→渋谷図
湯顕祖 中国[1550/1616] 明の劇作家・詩文家。施政を非難, 左遷されたがのち知事となる ㊥『還魂記』 ①文学 414 D →南曲
銅剣・銅矛 ⑥日史 804 B図
竇建徳 中国 ⑨世史→隋〔歴史〕
『凍原の歌』 ①文学→更科源蔵
刀剣博物館 ⑧日地→東京(都)表
糖原病 ⑭医学→遺伝〔表遺伝性の病気〕 →肝臓〔肝臓疾患〕 →代謝〔先天性代謝異常〕
同源捕獲岩〈オートリス〉 ⑱宇地→捕獲岩
東胡 ⑨世史 441 D →烏丸
島弧〈弧状列島〉 ⑱宇地 486 A図 →縁海 →地形〔大地形〕 ⑩世地→アジア(州)〔自然〈地形〉〕
銅鼓 ③音演 360 A
島後 島根/隠岐 ⑧日地 759 A ⑦日地→隠岐諸島
刀工 ⑥日史→日本刀 ⑫経産→徒弟制度図
『凍港』 ①文学→山口誓子
董誥 ①文学→『全唐文』
東郷(町) 愛知 ⑧日地 759 B
東郷(町) 鳥取 ⑧日地 759 C図
東郷(町) 宮崎 ⑧日地 759 C
東郷(町) 鹿児島 ⑧日地 759 C
等号 ⑯物数 398 B
道興 ⑤日史→『廻国雑記』
瞳孔 ⑭医学→目〔構造〈虹彩〉〕図 →緑内障 ⑳動物→ファブリキウス, G(アクアペンデンテの)
東郷池 鳥取 ⑧日地 759 D図
東光院 ⑧日地→博多(区) →福岡(市)
東郷温泉 ⑧日地→東郷(町)《鳥取》
等厚干渉 ⑯物数→干渉
銅合金 ⑰科技→合金〔分類〕 →青銅
陶弘景 中国[456/536] ④哲宗→道教〔歴史〕 ⑨世史→魏晋南北朝〔思想・文化〕
東郷公園 ⑧日地→津屋崎(町)
東郷鉱山 ⑧日地→東郷(町)《鳥取》
東光寺《甲府》 ②美術→庭園囲
東光寺 ⑧日地→萩(市)図
灯光式信号機 ⑰科技→鉄道信号〔信号機〈構造〉〕
東郷重位 ⑤日史→示現流 ⑬生活→剣道〔歴史〈江戸時代〉〕
東郷茂徳 [1882/1950] 昭和前期の外交官。太平洋戦争の開戦外交を指導。A級戦犯として獄死 ⑥日史 804 C ⑪政社→極東国際軍事裁判〔表被告人〕
東郷神社 ⑦日地→渋谷(区)
東郷青児 [1897/1978] ②美術→昭和の美術〔在野団体の動き〕 →大正の美術〔欧米新思潮の流入〕
銅鉱石 ⑫経産→鉱業〔世界〕 ⑱宇地→黄銅鉱 →輝銅鉱 →銅 →斑銅鉱
等高線 ⑧日地 1227 A ⑱宇地 486 C図
等高線灌漑 ⑫経産→農業水利
陶行知 [1891/1946] 教育家。デューイに学んで帰国, 教育救国の信念で国難教育社を設立 ⑨世史 441 D
道光帝 中国[1782/1850] 清朝第 8 代皇帝。統治に努めたがアヘン戦争と太平天国軍の蜂起で物情騒然 ⑨世史 441 D
統合幕僚会議 ⑪政社→自衛隊〔組織〕
東郷平八郎 [1848/1934] 海軍軍人。日露戦争では連合艦隊司令長官として黄海・日本海海戦を指揮。元帥 ⑥日史 804 D →日本海海戦
東豪丸 ⑰科技→コンテナー船表
トウゴウヤブカ ⑳動物→カ〔生態〕図 →ヤブカ
投光用電球 ⑰科技→電球〔種類〕
道後温泉 愛媛/松山市 ⑧日地 759 D →松山(市)図
東国 ⑥日史 804 D
『東国紀行』 ⑥日史 805 A
トウゴクシダ ⑲植物→ベニシダ
トウゴクミツバツツジ〔東国三葉躑躅〕 ⑲植物 437 C →ツツジ表
『東国李相国集』 ①文学→朝鮮文学 →李奎報
橈骨 ⑭医学→腕〈前腕骨〉図 →骨〔骨格〈前腕骨〉〕図
頭骨 ⑭医学→頭図
胴骨 ⑭医学→骨〔骨格〕
橈骨動脈 ⑭医学→腕 →脈拍
党錮の禁 ⑨世史 442 A →漢〔概観〕
道後平野 ⇨松山平野
トウゴマ〔唐胡麻〕〈ヒマ〉 ⑲植物 438 A図
唐独楽 ⑬生活→郷土玩具〔種類〈独楽〉〕
道後山 鳥取・広島 ⑧日地 760 A図 →東城(町)
トウゴロウイワシ〔頭五郎鰯〕 ⑳動物 435 A →イワシ
痘痕 ⇨あばた
銅婚式 ⑬生活→結婚〔表〈結婚記念日〉〕
東金堂 ④哲宗→興福寺
銅座 ⑥日史→田沼時代〔営利政策〕 →銅
豆彩 ②美術 415 D →赤絵 →中国美術〔明代〕
糖剤 ⑭医学→薬〔種類〈栄養剤〉〕
道済 ⇨道済
東西市 ⑤日史→市〔古代〕
東西交渉史 ⑨世史 442 A図 →ステップ・ロード
唐賽児の乱 ⑨世史 443 B
『同罪者』 ③音演→ゲーテ, J
唐才常 中国[1867/1900] 清末の変法運動の活動家。譚嗣同の親友。武漢に挙兵したが張之洞に鎮圧された ⑨世史 443 B →戊戌の変法
『東斎随筆』 ①文学→エッセイ〔日本の随筆〕
『東西南北』 ①文学→日本文学〔近代〈浪漫主義〉〕 →与謝野鉄幹
東西貿易 ⑫経産→世界経済
当座貸越 ⑫経産→金融〔囲用語〕

トビイロカゲロウ上科 ⑳動物→カゲロウ〔分類〕
トビイロケアリ ⑳動物→アリ図表
トビイロゴキブリ ⑳動物→ゴキブリ
トビイロシリアゲアリ ⑳動物→アリ〔分類〕表
トビイロシワアリ ⑳動物→アリ〔人間との関係〕
トビイロヤガ ⑳動物→ガ〔生態〕
トビウオ〔飛魚〕 ⑳動物 453 A図
とびうお座 ⑱宇地→星座表
トビウサギ〔跳兎〕 ⑳動物 453 A
土肥氏 ⑥日史→坂東八平氏
『飛梅千句』〈守武千句〉 ①文学→荒木田守武
飛梅伝説 ⑧日地→福岡(県)〔文化〈神話伝説〉〕
トビエイ〔飛鱝〕 ⑳動物 453 B →エイ〔分類と進化の系統〕図
ドビエルヌ,A ⑮化学→アクチノイド元素〔アクチニウム〕
ドビー織 ⑬生活→織物〔基本組織〈紋織物〉〕
『トピカ』 ④哲宗→アリストテレス〔オルガノン〕
トピーカ アメリカ/カンザス ⑩世地 416 D
塗被加工紙 ⑰科技→紙〔加工紙〕
トビカズラ〔飛蔓〕 ⑲植物 447 B
トビカツオブシムシ ⑳動物→カツオブシムシ
トピカル・コレクション ⑬生活→郵便切手〔収集〕
トピカル・マップ〈主題図〉 ⑱宇地→地図〔種類〕
土肥慶蔵 [1866-1931] 医学者。諸種の皮膚病を発見,理学的療法を始めた ⑭医学 502 A →皮膚科
トビケラ〔飛螻〕 ⑳動物 453 B図 →水生昆虫
飛びこし走査 ⑰科技→テレビジョン〔原理〕
飛込競技 ⑬生活→水泳〔水泳競技〕
トビササウシノシタ ⑳動物→シタビラメ〔日本産〕
ドビジェーニエ ②美術→現代美術〔欧米〈第二次大戦後〉〕
飛島 山形/酒田市 ⑧日地 794 C ⑦日地→酒田(市) ⑳動物→ウミネコ
飛島(村) 愛知 ⑧日地 794 D
鳶島 ⑧日地→九十九島
飛び将棋 ⑬生活→将棋〔将棋遊び〕
トビズムカデ ⑳動物→ムカデ〔毒〕図
トビトカゲ〔飛竜〕 ⑳動物 454 A →トカゲ図
トビナナフシ ⑳動物→ナナフシ図
ドービニー,C フランス[1817-1878] 画家。バルビゾン派の七星の一人。版画もある ②美術 429 A →バルビゾン派
ドービニェ,A フランス[1552-1630] 詩人。16 歳で宗教戦争に参加,宗教改革派として活躍 ①文学 422 D
ドービニャック,F フランス[1604-1676] 演劇理論家・小説家。理性に基づく迫真力を劇詩の本質としコルネイユと対立 ①文学 422 D
鳶人足 ⑥日史→火消〔町火消〕
トビネズミ〔跳鼠〕 ⑳動物 454 A →齧歯類
トビハゼ〔跳鯊〕 ⑳動物 454 B図 →ハゼ〔分類と形態〕図
土肥原賢二 [1883-1948] 陸軍軍人。中国に対する情報謀略の専門家として活躍。A級戦犯として死刑 ⑥日史 830 D →土肥原・秦徳純協定 ⑪政社→極東国際軍事裁判〔表被告人〕
土肥原・秦徳純協定 ⑥日史 831 A ⑪政社→日中戦争
とびひ ⑭医学→皮膚病
飛火 ⑬生活→火災
飛び杼〈フライシャットル〉 ⑰科技→技術〔産業革命〕 →ケイ,J図 →織機〔手機〕
飛火野 ⑧日地→奈良(市)〔奈良公園〕
トビムシ〔跳虫〕 ⑳動物 454 B図 →ユキムシ
トビムシ目〈粘管目〉 ⑳動物→昆虫〔分類〕〔表現生昆虫の種類〕 →トビムシ
ドビー模様 ⑬生活→洋装〔囲洋服地〕
『都鄙問答』 ④哲宗→石田梅岩 ⑤日史→石田梅岩
ドビユ,H フランス ⑰科技→アルミニウム
ドビュッシー,C フランス[1862-1918] 作曲家。古典的調性を克服し「印象派の音楽」といわれる 作『海』『ペレアスとメリザンド』 ③音演 368 C図 →印象主義音楽 →ピアノ〔ピアノ音楽〕
ドビュロー,J フランス[1796*-1846] パントマイム役者。黙劇のピエロ役で人気を集めた ③音演 370 D図 →パントマイム図
土俵 ⑬生活→相撲〔競技〕図
土俵入り ⑬生活→相撲〔囲用語〕図
土俵祭り ⑬生活→相撲〔角界の現状〕
扉 ⑬生活→建具 →戸
扉温泉 ⑧日地→松本(市)
トビラノキ ⇨トベラ
ド・ビリエ,P フランス[1648-1728] ③音演→ドン・ファン
トビリシ ソ連/グルジア ⑩世地 416 D図
飛六方 ③音演→六方
トービン,J ⑫経産→金融理論〔現代金融理論〈135 B〉〕 →消費関数〈流動資産仮説〉 →成長理論〔諸展開〕
ドーピング検査 ⑬生活→オリンピック〔冬季〈グルノーブル大会〉〕
トー・フー ベトナム ①文学→東南アジア文学〔国民文学的〕
ドープ ⑮化学→アセテート
トファ(火山) ⑩世地→トンガ(王国)
ドファール(地方) ⑩世地→オマーン(国)
丼池筋 大阪市 ⑧日地 795 A ⑦日地→船場
ドフィネ(山群) ⑩世地→アルプス〔地域区分〈南西部〉〕
ドーフィネ フランス ⑩世地 416 D
ド・フォレスト,L アメリカ[1873-1961] 発明家・無線技術者。無線技術史上もっとも想像力に富む発明家 ⑰科技 493 C図 →アームストロング,E →オートメーション〔ビジネス・オートメーション〕
ドブガイ〔土負貝〕 ⑳動物 454 C図 →カラスガイ
トプカピ宮殿美術館・図書館〈トプカピ宮博物館〉 ②美術 685 B ⑩世地→イスタンブール
トプカプサライ〈トプカピ宮〉 ②美術→イスラム美術〔オスマン・トルコ時代〕
『飛ぶ教室』 ①文学→ケストナー,E
ドブジェンコ ソ連[1894-1956] ③音演→映画〔無声映画〈第3期〉〕
ドブシジミ〔土負蜆〕 ⑳動物 455 A
ドブジャンスキー,T アメリカ[1900-1975] ロシア生まれの遺伝学者。集団遺伝学の研究が有名 ⑳動物 455 A →遺伝学〔歴史〕 →モーガン,T
ドープシュ,A オーストリア[1868-1953] 歴史家。種々の経済発展段階説を批判した実証史学の先駆者 ⑨世史 455 A ⑫経産 452 A →社会経済史学〈262 B〉
ドブジンスキー ②美術→ロシア美術〔移動派とその周辺〕
トフストノーゴフ,G ソ連[1915] ③音演→ロシア演劇〔ソビエト演劇〕
戸襖 ②美術→障子 ⑬生活→襖図
ドブスン,W イギリス[1610-1646] ②美術→イギリス美術〈17 C〉
ドプチェク チェコ ⑪政社→チェコ事件 →東欧政治事情〔プラハの春〕
どぶ漬け法 ⑰科技→めっき〔方法〈融解金属浸漬めっき〉〕
ドブ釣り ⑬生活→釣り〔囲用語〕 ⑳動物→アユ〔釣り〕
とぶとりの ①文学→短歌〔囲枕詞〕
どぶね ⑧日地→新潟(県)〔文化〈文化財〉〕
ドブネズミ〔溝鼠〕 ⑳動物 455 A →ネズミ〔分類〕図 ⑭医学→ワイル病
烽 ⑥日史 831 A ⑰科技→航路標識
トプラクカラ遺跡 ⑩世地→ソビエト(連邦)〔囲西域の遺跡〕
ド・ブラザ ⑩世地→コンゴ(人民共和国)〔略史〕
ドブランフォー,A ⑮化学→糖〔単糖の環状構造〕
ド・フリース,H オランダ[1848-1935] 植物学者・遺伝学者。メンデルの法則の再発見者の一人 ⑲植物 447 B図 ⑳動物→進化〔進化論〈ダーウィン以後〉〕 →突然変異 →メンデルの法則
ド・ブローイ,L フランス[1892] 物理学者。量子の理論的研究で物質波を提案。ノーベル賞受賞 ⑯物数 408 C図 →基底状態 →原子〔構造〕 →光量子 →状態〔量子力学における状態〕 →電子〔発見の歴史〕
ド・ブローイ,M フランス[1875-1960] ⑯物数→ド・ブローイ,L
ド・ブローイ波 ⇨物質波
都府楼跡 ⑥日史→大宰府図 ⑧日地→太宰府(市)図
『どぶろくの辰』 ③音演→田坂具隆
どぶろく祭 ⑦日地→白川郷図
ドブロジャ(台地) ⑩世地→ルーマニア(社会主義共和国)〔自然〕
ドブロリューボフ,N ロシア[1836-1861] 思想家・文芸評論家。唯物論的な人間学の確立をめざす ①文学 422 D →文芸批評 ④哲宗 422 A
吐糞 ⑭医学→嘔吐
吐糞症 ⑭医学→腸
『兎糞録』 ①文学→エッセイ〔日本の随筆〕
砥部(町) 愛媛 ⑧日地 795 B
土塀 ⑬生活→塀
ド・ペイエ,G [1926] ③音演→クラリネット〔クラリネット属〕
砥部焼 ⑦日地→愛媛(県)〔産業〈工業〉〕
トベラ〔海桐花〕 ⑲植物 447 C図
トベリ ⑩世地→カリーニン
ドベリア,A [1800-1858] ②美術→ロマン主義
トペリウス,S フィンランド[1818-1898] 詩人・小説家。ヘルシンキ大学歴史学教授。童話作品で世界的に有名 ①文学 423 A
ド・ベリオ,C [1802-1870] ③音演→バイオリン〔音楽と演奏家の系譜〕
トベリ公国 ⑨世史→ロシア〔歴史〈古代・中世〉〕
ド・ペルト,B フランス[1788-1868] ⑨世史→旧石器時代〔研究史〕
ドーベルマン〈ドーベルマン・ピンシェル〉 ⑳動物→イヌ〔犬種〈使役犬〉〕別
ド・ベロア ⑨世史→王権神授説〔提唱者〕
ト・ヘン〈一者〉 ④哲宗→プロティノス
杜甫 中国[712-770] 詩人。李白とならぶ盛唐の大詩人で「春望」「北征」など人口に膾炙 ①文学 423 B図 →詩〔中国〕 →中国文学〔唐・五代〕 →『唐詩選』 →律詩 ⑨世史 455 A →唐〔文化〕
ドボ ⑩世地→アル(諸島)
ド・ボアボードラン,P フランス[1838-1912] 化学者。分光分析の技術にたけ,新元素の発見など重要な業績をあげる ⑮化学 463 B →周期表〔歴史〕
土芳 ⇨服部土芳
トボガン ⑬生活→リュージュ
杜牧 中国[803-853] 晩唐の詩人。修辞に巧みで,纏綿たる情緒を華麗な詩風でうたう ①文学 423 D図 ⑨世史→唐〔文化〕
『土木学便覧』 ⑯物数→ランキン,W
土木機械 ⑰科技 494 A
土木工学 ⑯物数→応用力学
土木工事 ⑰科技→建設機械 →土工
土木材料 ⑰科技 494 A表
土木の変 ⑨世史 455 B →正統帝 →北虜南倭 →明〔政治史〕
トボシガラ ⑲植物 448 A
ドホナーニ,E ハンガリー[1877-1960] ピアニスト・作曲家。ハンガリー放送管弦楽団の指揮者などを歴任 ③音演 370 D
トポラーク ⑬生活→オリンピック〔表優勝者・男子陸上〈棒高跳び〉〕
トボリスク ソ連/ロシア ⑩世地 416 D
ドボリャンストボ ⑨世史→ボヤール →ロシア〔歴史〈モスクワ大公国〉〕
トポル,R ②美術→漫画〔今日の漫画家たち〕
ドボルザーク,A チェコ[1841-1904] 作曲家。チェコ民族の喜びと悲しみを深く盛り込む独自の作風に到達 作『新世界交響曲』『チェロ協奏曲』 ③音演 371 A図 →国民楽派
ドボルジャーク,M オーストリア[1874-1921] 美術史家。ウィーン学派の筆頭で,中世・近世の美術を専攻 ②美術 429 A →美術〔美術史〕
ドボルシャークダム ⑰科技→ダム表
トポロギー心理学 ④哲宗→生活空間
トポロジー〈トポロギー〉 ⑯物数 409 A ⇨位相 ⇨位相幾何学
トマ ①文学→騎士道物語 →宮廷文学 →トリスタンとイゾルデ
トマ,A フランス[1878-1932] ⑫経産→国際労働機関
トマ,H フランス[1912] 小説家・詩人。日常生活の奥にひそむ死とかなたの生を描いた作品が多い ①文学 424 A
トーマ,C フランス[1811-1896] 作曲家。オペラやオペレッタに優れた 作『ミニヨン』 ③音演 372 B
トーマ,H ドイツ[1839-1924] 画家・版画家。石版画の興隆にも寄与 ②美術 429 A
トーマ,L ドイツ[1867-1921] 小説家。編集者となりバイエルンの非文化的反動的風潮に論陣を張った 作『悪童物語』 ①文学 424 A
土間 ②美術→民家〔日本〈間取り〉〕
ドーマー,E アメリカ[1914] 理論経済学者。現代の経済成長理論の先駆的業績をあげた ⑫経産 452 A →景気変動理論〔ケインズ以後〕 →成長理論
トマ・キリスト教徒 ④哲宗→ネストリウス派
ドーマク,G ドイツ[1895-1964] 生化学者。プロントジルを発見,化学療法発展の端緒を開く。ノーベル賞受賞 ⑭医学 229 D →化学療法 →サルファ剤 →ノーベル生理学=医学賞表 ⑮化学 463 B図
どまぐれ ⑰科技→鉱山〔囲用語〕
苫小牧(市) 北海道 ⑧日地 795 B図
苫小牧製紙(株) ⑫経産→王子製紙(株)

業〔日本〕 ⑧日地→豊田(市)図 ⑰科技→自動車〔歴史〈日本〉〕
豊田自動織機 ⑫経産→繊維機械工業〔過程〕 →豊田佐吉
豊田稼 ①文学→直木賞表
豊田四郎 〔1906-1977〕 映画監督。文芸作品の映画化に手腕を示す ③音演 374 C
豊田副武 〔1885-1957〕 海軍軍人。第二次大戦敗戦時の軍令部総長。戦犯に指名されたが無罪 ⑥日史 833 A
豊田庄 ⑦日地→加治川(村)
豊玉(町) 長崎/対馬 ⑧日地 804 C
豊玉毘売命 ④哲宗→海幸・山幸 →日本神話囲
豊津(町) 福岡 ⑧日地 804 C
豊富(町) 北海道/宗谷支庁 ⑧日地 804 C
豊富(村) 山梨 ⑧日地 804 D
豊富温泉 ⑧日地→豊富(町)
豊臣記 ⇨太閤記
豊臣秀次 〔1568-1595〕 安土桃山時代の武将。秀吉の甥で養子となる。関白となったが,秀頼出生でしこりが生じ,切腹 ⑥日史 833 B図
豊臣秀吉 〔1536-1598〕 安土桃山時代の武将。信長のあとをついで天下を統一,近世封建社会の基礎を確立 ⑥日史 833 B図 →太閤 →太閤検地 →文禄・慶長の役 →山崎の戦い →淀殿 ②美術→桃山美術 ⑤日史→足利義昭 →安土桃山時代 →大坂城〔変遷〕 →刀狩り →四国征伐 →賤ヶ岳の戦い →聚楽第
豊臣秀頼 〔1593-1615〕 安土桃山時代の武将。秀吉の二男,母は淀殿。再度の大坂の陣で滅ぶ ⑥日史 835 B図 →関ヶ原の戦い〔寝返り〕 →豊臣秀吉〔晩年〕 ⑤日史→大坂の陣〔原因〕
豊中(市) 大阪 ⑧日地 804 D
豊中(町) 香川 ⑧日地 805 B図
豊永 ⑦日地→阿哲台
豊似岳 北海道 ⑧日地 805 B
豊似沼 北海道 ⑧日地 805 B
豊沼 ⑦日地→砂川(市)
豊根(村) 愛知 ⑧日地 805 B
豊野(町) 長野 ⑧日地 805 B
豊野(村) 熊本 ⑧日地 805 C
豊能(町) ⇨東能勢(村)
豊明節会 ⑥日史 835 C →大嘗祭
豊羽鉱山 ⑱宇地→鉱床〔マグマ鉱床〈熱水鉱床〉〕
豊橋(市) 愛知 ⑧日地 805 C図
豊橋市動物園 ⑳動物→動物園〔表日本〕
豊橋平野 愛知 ⑧日地 806 A
豊畑 ⑦日地→旭(市)
豊浜 ⑧日地→南知多(町)
豊浜(町) 広島 ⑧日地 806 A
豊浜(町) 香川 ⑧日地 806 B
豊原 ⇨ユージノサハリンスク
豊原国周 〔?-1900〕 ③音演→芝居絵別
豊原統秋 ⑥日史→『体源抄』
豊平(区) 札幌 ⑧日地 806 B
豊平(町) 広島 ⑧日地 806 B
豊平川 北海道 ⑧日地 806 B →東(区)《札幌市》
登米(町) 宮城 ⑧日地 806 B
豊間 福島/いわき市 ⑧日地 806 C
豊松(村) 広島 ⑧日地 806 C
豊御毛沼命 ⇨神武天皇
豊実ダム ⑦日地→鹿瀬(町)
豊満神社 ⑦日地→愛知川(町)
豊宮崎文庫 ⑤日史→伊勢国〔囲人国記〕
豊山(町) 愛知 ⑧日地 806 C
トラ〔虎〕 ⑳動物 455 B図囲 →タイゴン →ライガー ⑬生活→毛皮〔種類〕図
トラー, E 〔1893-1939〕 表現主義の劇作家。社会主義者となり革命を指導。獄中での詩集もある ①文学 425 C ③音演→ドイツ演劇〔歴史〕
トーラ ④哲宗→律法
ドラ ①文学→プレイアード詩派
鐃 ②美術→仏具
銅鑼 ③音演→ゴング ⑤日史→陣鐘
トライ ⑬生活→ラグビー〔競技方法〕
ドライアイス ⑮化学 464 A →昇華 →二酸化炭素〔性質〕 ⑭医学→皮膚病〔雪状炭酸圧抵法〕 ⑯物数→昇華
トライアック ⑰科技→サイリスタ
トライアル ⑬生活→オートバイ競技 →ドライブ〔モータースポーツ〕
トライアングル ③音演 374 D図
『トライアングル協奏曲』 ③音演→トライアングル
トライアングルパス ⑬生活→サッカー〔囲用語〕
トライアンフ ⑰科技→スポーツカー
ドライイースト ⑬生活→パン〔製パン〕
ドライオグラフ ⑰科技→印刷〔平版印刷〈写真法〉〕
トライ・カップ師団 ⑪政社→軍隊〔外国〈アメリカ〉〕
ドライカンター ⇨三稜石
ドライクリーニング ⑬生活 467 A →衣服〔衣服管理〕 →洗たく ⑮化学→せっけん〔分類〕
ドライサー, T 〔1871-1945〕 小説家。雑誌の編集に従事。社会主義に傾き共産党員となる ㊿『アメリカの悲劇』 ①文学 425 C図 →プロレタリア文学
渡来植物 ⑲植物 448 C →帰化植物
ドライ・ジン ⑬生活→酒〔ジン〕
ドライジーン型木製二輪車 ⑰科技→自転車図
ドライス, K ⑰科技→自転車〔歴史〕
トライスター〈ロッキードL-1011〉 ⑫経産→航空機工業図 ⑰科技→飛行機〔用途〈輸送機〉〕図
ドライソーセージ ⑬生活→ソーセージ〔種類〕
トライチュケ, H 〔1834-1896〕 歴史家。小ドイツ主義を主張,ビスマルクに協力し愛国主義を鼓吹 ⑨世史 456 B
ドライディング模型 ⑮化学→分子〔分子模型〕図
ドライデン, J 〔1631-1700〕 桂冠詩人・劇作家・批評家。古典主義文学とその理論を確立 ①文学 426 A図 →擬古典主義 →桂冠詩人 ③音演→イギリス演劇〔風習喜劇〕
トライデント・ミサイル ⑪政社→軍事技術〔核戦略と兵器体系〕
ドライバー ⑬生活→家庭工作〔大工道具〕図
ドライバーショット ⑬生活→ゴルフ〔基本的技術〕
ドライバー保険〈自動車運転者損害賠償責任保険〉 ⑫経産→新種保険〔自動車〕
ドライブ ⑬生活 467 D図
ドライブ ⑬生活→卓球〔囲用語〕
ドライ・フライ ⑬生活→釣り〔種類〈ルアーフィッシング〉〕図
ドライフラワー ⑲植物 449 A ⑬生活→フラワーデザイン図
ドライブ旅行 ⑬生活→ドライブ
ドライポイント ②美術→銅版画〔技法〕 ⑰科技→印刷〔凹版印刷〈彫刻凹版〉〕
ドライ・マテーニ ⑬生活→カクテル〔種類〈食前タイプ〉〕
トライメタル版 ⑰科技→印刷〔平版印刷〕
ドライヤー, C 〔1889-1968〕 映画監督。北欧の映画界を世界的水準に引き上げた ③音演 374 D図 →映画〔無声映画〈第3期〉〕
ドライヤー, J ⑱宇地→星表〔代表的な星表〕
トライロンガ ⑪政社→国旗〔囲〈タイ〉〕
ドラウ(川) ⇨ドラバ(川)
トラウアーシュピール ⇨悲劇
トラウツボ〔虎鱓〕 ⑳動物→ウツボ
トラウトニウム ③音演→電気楽器
トラウベ ⑳動物→ミュラー, J
トラウベ聴診器 ⑭医学→聴診器
トラエッタ, T 〔1727-1779〕 ③音演→ナポリ楽派
トラエビ ⑳動物→アカエビ →エビ図
トラガ〔虎蛾〕 ⑳動物 456 C
トラカミキリ〔虎天牛〕 ⑳動物 457 A →カミキリムシ
虎ヶ峰 ⑧日地→和歌山(県)〔自然〈地勢〉〕
トラキア ⑨世史 456 B ⑩世地 418 B →ギリシア(共和国)〔地方誌〕
トラキア人 ⑨世史→東欧史〔歴史〈諸民族の定住〉〕
トラギス〔虎鱚〕 ⑳動物 457 A図
『トラキスの女たち』 ①文学→ソフォクレス
都楽 〔1781-1852〕 ③音演→落語〔歴史〕
ドラグスクレーパー ⑰科技→掘削機械〔ドラグバケット式掘削機械〕
トラクスタン ⑰科技→船〔軍艦の歴史〕図
トラクター ⑰科技 494 C図 ⑫経産→キャタピラー・トラクター →建設機械工業表
トラクターショベル ⑰科技→掘削機械
トラクト運動 ⑨世史→オックスフォード運動
ドラグバケット式掘削機械 ⑰科技→掘削機械
ドラクマ ⑫経産→通貨〔表〈通貨単位〉〕
ドラグライン ⑰科技→掘削機械〔ドラグバケット式掘削機械〕図
トラークル, G 〔1887-1914〕 表現主義の詩人。フランス象徴派の影響を受け,独自の「形象の宇宙」を展開 ①文学 426 C
ドラクロア, F 〔1798-1863〕 同国ロマン主義を代表する画家。版画家としても優れ,芸術論や日記もある ②美術 430 D図 →戦争画 →ロマン主義
ドラケンスバーグ(山脈) 南ア ⑩世地 418 B
ドラゲンドルフ試薬 ⑮化学→アルカロイド〔検出同定法〕
トラゴーディア ③音演→悲劇〔西洋〕
トラコドン ⇨カモ竜
トラコパン ⑨世史→アステカ文明
トラコーマ〈トラホーム〉 ⑭医学 424 D →結膜〔結膜炎〕
ドラコン 〔*〕 前7世紀の立法家。アテネのために成文法を制定。全容は不明だが刑罰に死刑を多用 ⑨世史 456 C →ギリシア〔移動と植民〈植民と僭主の時代〉〕
ドラゴン ⑳動物→動物〔囲想像上の動物〕
ドラコンの法 ⑨世史→ソロン →ドラコン
ドラゴンレース ⑩世地→ホンコン図
トラサムンド ⑨世史→バンダル族
トラザメ〔虎鮫〕 ⑳動物 457 A →サメ〔繁殖〕
トラシ ⇨デスチュット・ド・トラシ, A
『トラジ』 ③音演→朝鮮音楽〔種目〕
トラジディー ⇨悲劇
トラシメヌス湖畔の戦闘 ⑨世史→ポエニ戦争〔第2回〕
トラジャ族 ⑩世地→セレベス(島)図
ドラージュ, Y 〔1854-1920〕 動物学者。卵片発生や人工単為発生の研究が有名 ⑳動物 457 B
トーラス(山脈) ⇨トロス(山脈)
トーラス型〈円環型〉 ⑰科技→核融合装置〔プラズマの閉じ込め〕
トラス橋 ⑰科技 495 B →橋〔図種類〕
トーラス群 ⑯物数→群〔例〕
トラス構造 ⑰科技 495 B図 →橋〔歴史〕
トラスト ⑥日史 835 C ⑫経産 453 A →資本主義〔発展〕 →帝国主義〔特徴〕 →独占禁止法 ⑪政社→独占資本主義
ドラセナ ⑲植物 449 B図
ドラッカー, P 〔1909〕 代表的経営学者。経営コンサルタントとしても世界的名声を博す ⑫経産 453 B図 →流通革命 ⑰科技→オートメーション
トラック(諸島) ミクロネシア/太平洋 ⑩世地 418 C →カロリン(諸島)
トラック ⑰科技 496 A図 ⑫経産→自動車運送事業
トラック式掘削機 ⑰科技→掘削機械〔ショベル系掘削機〕
ドラッグシュート〈抵抗傘〉 ⑰科技→パラシュート
トラックターミナル ⑰科技→駐車場〔その他〕
ドラッグバント ⑬生活→野球〔囲用語〕
ドラックマン, H 〔1846-1908〕 海洋詩人。海と海員生活に親しみ海洋画家を志す。童話風の物語詩でも人気を博す ①文学 426 C
トラツグミ〔虎鶫〕 ⑳動物 457 B図 →鳥類〔別〈生態〉〕
トラッピング ⑬生活→サッカー〔囲用語〕
トラップ ⑮化学→石油〔成因〕
トラップ機構 ⑰科技→給排水設備〔排水設備〕図
トラップ射撃 ⑬生活→射撃競技〔クレー射撃〕図
トラディショナル・ジャズ ③音演→ジャズ〔囲用語〈デキシーランド・ジャズ〉〕
トラディショナル・フォーク・ソング ③音演→フォーク・ソング
トラティルコ文化 ⑨世史 456 C
トラデスカンティア ⑲植物 449 C図
ドラトプシス期 ⑳動物→ユウレイイカ
虎の尾〈ニロチカ〉 ⑲植物→サンセベリア
トラノオシダ〔虎尾羊歯〕 ⑲植物 449 C →シダ植物別
トラノオスズカケ ⑲植物→スズカケソウ
『虎の皮を着た勇士』 ①文学→ルスタベリ, S
虎ノ子渡 ②美術→南禅寺図 →竜安寺図
虎ノ門 東京/港区 ⑧日地 806 C
虎の門事件 ⑥日史 835 D →山本権兵衛内閣〔第二次〕
ドラバ(川) ヨーロッパ ⑩世地 418 C
とらばさみ ⑬生活→狩猟〔法規〈猟具〉〕
トラバース, M ⑰科技→放電管
トラバース ⑬生活→登山〔囲用語〕
トラバース測量〈多角測量〉 ⑰科技 497 A →測量図
トラハゼ ⇨トラギス
トラバーチン ⑱宇地→石材〔利用〕

⑬生活→栄養〔たんぱく質〕 ⑭医学→血液〔赤血球〈寿命〉〕 ⑳動物→たんぱく質〔表アミノ酸〕
鳥船塚古墳 ⑧日地→吉井(町)《福岡》
トリプラ(州) ｲﾝﾄﾞ ⑩世地 420 A
トリプル・エクラン ③音演→ガンス, A
トリプル・シェル・トロファ ⑰科技→照明設備〔照明方式〈図空調用照明器具〉〕
トリプルベース火薬 ⑮化学→無煙火薬
トリプレットコードン ⑳動物→核酸〔RNA〕
鳥辺山〔鳥部山〕 京都市/東山区 ⑧日地 807 B
『鳥辺山心中』 ③音演→岡本綺堂
トリホス ﾊﾟﾅﾏ ⑪政社→ラテンアメリカ政治事情〔二〕
トリホスホピリジンヌクレオチド ⑮化学→ワールブルク, O
トリボ・ドブロボルスキー, M ﾄﾞｲﾂ[1862-1919] ロシア生まれの電気技術者。三相交流技術の創始に指導的役割を演じる ⑰科技 499 B図
トリボニアヌス [?-542] 法律家。ローマ法に造詣深く, ユスティニアヌス一世の法典編纂に参画 ⑨世史 457 D →『ユスティニアヌス法典』 →『ローマ法大全』
トリポリ ﾚﾊﾞﾉﾝ ⑩世地 420 A
トリポリ ﾘﾋﾞｱ ⑩世地 420 A図
トリポリエ文化 ⑨世史 457 D →新石器時代〔生産経済〕
トリポリス ｷﾞﾘｼｱ ⑩世地 420 B
トリポリタニア ﾘﾋﾞｱ ⑩世地 420 B
トリボール ⑩世地→ヒマラヤ(山脈)〔表初登頂〕
トリマ(山) ｺﾛﾝﾋﾞｱ ⑩世地 420 B
鳥見神社 ⑦日地→白井(町)
鳥海柵 ⑤日史→安倍宗任
鳥見迅彦 [1910-] 詩人。草野心平の影響をうけ, 現代社会に対する疎外感を自然を介して表現する 作『けものみち』 ①文学 427 C
トリミング〈クロッピング〉 ⑰科技→写真〔囲用語〕
トリ・ムーティ〈三神一体〉 ④哲宗→ヒンズー教
鳥目 ⇨夜盲症
トリメタリン酸 ⑮化学→メタリン酸
トリメチルアミン ⑮化学→アミン〔表脂肪族アミン〕
トリメチルペンタン ⑮化学→イソオクタン
トリメチレン基 ⑮化学→基表
トリモチノキ ⇨ヤマグルマ
取戻し ⑬生活→郵便〔囲知識〕
捕物 ⑥日史→捕手術
採物歌 ③音演→神楽〔御神楽〕
ドリモン ﾌﾗﾝｽ[1628-1693] ③音演→ドン・ファン
鳥屋(町) 石川 ⑧日地 807 B
トリヤティ ソ連/ﾛｼｱ ⑩世地 420 B
ドリュオン, M ﾌﾗﾝｽ[1918-] 歴史小説家。評論や戯曲にも優れる。ゴンクール賞受賞 ①文学 427 C
頭流山 ⑩世地→朝鮮〔自然〕
トリュフ ⑬生活→フランス料理〔珍味〕
トリュフォー, F ﾌﾗﾝｽ[1932-] 映画監督。ヌーベル・バーグの代表的存在, メロドラマにも手腕を示す ③音演 377 A →映画〔トーキー〈第6期〉〕
ドリュ・ラ・ロシェル, P ﾌﾗﾝｽ[1893-1945] 小説家。ナチスに協力, 戦後その責任をとって自殺 ①文学 427 C
塗料 ⑮化学 465 A図表 →カシュー塗料 →耐熱塗料 →夜光塗料 ⑬生活→家庭工作〔工作材料〕
度量衡 ⑥日史 836 C表 ⑯物数 412 A
止利様式 ②美術→飛鳥美術〔彫刻〈止利仏師とその系統〉〕 →止利仏師
トリヨードチロシン ⑮化学→アミノ酸表
トリヨードチロニン ⑭医学→甲状腺〔甲状腺ホルモン〕
トリヨードメタン ⇨ヨードホルム
トリ竜 ⑳動物→恐竜
とり料理 ⑬生活→とり肉 ⑳動物→ニワトリ〔調理〕
トリリング, L ｱﾒﾘｶ[1905-1975] 批評家・小説家。現代の危機状況に対応する方策を「道徳的想像力」に求めた ①文学 427 D
ドリリングベッセル〈フローティングベッセル〉 ⑰科技→海洋掘削図
トリル ③音演→装飾音図
トリール ⇨トリアー
ドリル ⑳動物→マンドリル
トリル基 ⑮化学→基表
ドリルステムテスト ⇨掘管テスト
トリルッサ ｲﾀﾘｱ[1873-1950] 詩人。風刺とイソップ物語を発展させた寓意詩に本領発揮 ①文学 427 D
ドリレウムの戦い ⑨世史→十字軍〔第1回〕
『トリロギー』 ③音演→ギリシア演劇〔悲劇〕
トリロフォドン ⑱宇地→地質時代〔新生代〈第三紀〉〕
トリロンB ⑮化学→エチレンジアミン四酢酸
ドリン, A ｲｷﾞﾘｽ[1904-] ③音演→バレエ〔20世紀〕
ドリン(川) ⑩世地→オハリド(湖)
ドリンカー呼吸器〈鉄の肺〉 ⑭医学→人工呼吸
ドリンクウォーター, J ｲｷﾞﾘｽ[1882-1937] 詩人・劇作家。劇場を創設, 歴史上の人物に題材を求めた史劇を創作上演 ①文学 427 D
ドリンク類 ⑬生活→ジュース
トリンコマリー ⇨ツリンコマリー
トル(島) ⑩世地→トラック(諸島)
トル〔Torr〕 ⑯物数→圧力〔単位〕 →真空管 →真空計 →単位〔力学に関する単位〈メートル法重力単位系〉〕
ドル ⑫経産 454 A →金 →硬貨 →国際通貨 →国際通貨基金〈IMF協定〉 →国際通貨問題 →通貨〔表〈通貨単位〉〕 →ユーロ・ダラー
ドール ﾌﾗﾝｽ ⑩世地 420 B
ドール〈アカオオカミ〉 ⑳動物 458 C →オオカミ〔人間との関係〕
トルイジド ⑮化学→アミド〔酸アミド〕
トルイジン ⑮化学→アミド〔酸アミド〕
トルイジンレッド ⑮化学→顔料〔有機顔料〈沈殿剤〉〕
ドルイド ④哲宗 424 A
トルエン ⑮化学 469 B →アルカン〔表ナフサの成分〕 →石油化学工業〔芳香族系〕
トールオートグラス ⑲植物 450 C
トルオール ⑮化学→トルエン
トル音頭〈秋田音頭〉 ③音演→民謡〔表〈秋田〉〕
トルーカ ﾒｷｼｺ ⑩世地 420 C
ドル買事件 ⑥日史 837 A ⑤日史→金解禁
ドルカスガゼル ⑳動物→ガゼル
ドルガプール ⑫経産→アジア経済事情図
ドル危機〈ドル・ショック, ニクソン・ショック〉 ⑪政社→アメリカ政治事情〔社会不安の増大〕 →ニクソン, R →日米関係〔沖縄返還政策と対中国政策の破綻〕 ⑫経産→景気変動〔景気調整政策〕 →国際流動性問題 →ドル
トルキスタン ソ連・ｱﾌｶﾞﾆｽﾀﾝ ⑩世地 420 C ⑨世史→ウイグル →北アジア〔モンゴル高原〈ウイグル・キルギス〉〕
トルキスタン・コミンサール記念像 ⑩世地→タシケント図
トルキノン ⑮化学→キノン〔ベンゾキノン系化合物〈性質〉〕
ドル切り下げ ⑫経産→アメリカ経済事情〔アメリカ資本主義〈14 D〉〕
トルクカーブ ⑰科技→自動車〔構造〈出力およびトルク〉〕図
トルクコンバーター ⑰科技→自動車〔構造〈自動変速機〉〕図 →ディーゼル機関車〔構造〕
トルクメン(共和国) ソ連 ⑩世地 420 C
トルクメンじゅうたん ⑩世地→アシハバード図
トルコ(共和国) ｱｼﾞｱ ⑩世地 420 D図 ⑨世史→トルコ革命 ⑪政社→トルコ革命
トルコ赤 ⑮化学→べんがら
トルコアン ﾌﾗﾝｽ ⑩世地 423 C
トルコ石 ⑱宇地 497 A図 →宝石〔図〈天然〉〕表 ⑬生活→宝石〔表誕生石〕
トルコ革命 ⑨世史 458 A ⑪政社 440 D図
トルコギキョウ ⑲植物 450 C図
トルコ鞍 ⑭医学→脳〔手術適応疾患〈下垂体腫瘍〉〕
『トルコ行進曲』 ③音演→ベートーベン, L
『トルコ行進曲』 ③音演→モーツァルト, W
『トルコ語辞典』 ①文学→カシュガリー
『トルコ語集成』 ①文学→トルコ文学〔イスラム化後〕
トルコ・コーヒー ⑬生活→コーヒー〔飲み方〕
トルコずもう ⑩世地→トルコ(共和国)図
トルコ染め ⑮化学→アリザリン
トルコタバコ ⑩世地→トルコ(共和国)〔経済・産業〕
ドルコプシス ⑳動物→カンガルー〔近縁種〕
トルコ文学 ①文学 428 A
トルコ帽〈フェズ〉 ⑬生活→民族衣装〔民族衣装圏〕
トルコマンチャーイ条約 ⑨世史 458 A
トルコ民衆文芸 ①文学→『ナスレッティン・ホジャ物語』
トルコ民族 ⑨世史 458 B →西アジア ①文学→『オグズ=ナーメ』 ⑩世地→トルコ(共和国)〔社会・文化〕
ドルゴン〔多爾袞〕 中国[1612-1650] 清朝初期の皇族。太祖ヌルハチの第14子。幼い順治帝を補佐し独裁 ⑨世史 458 B →順治帝
『ドルジェル伯の舞踏会』 ①文学→心理小説 →ラディゲ, R
ドルジーニン, A ﾛｼｱ[1824-1864] 文芸批評家・ジャーナリスト・小説家。純粋芸術の立場に立つ ①文学 428 C
ドルージバ ⑩世地→ソビエト(連邦)〔交通〕
トルーシャル・オマーン ⑩世地→アラブ首長国(連邦)
ドルジュレス, R ﾌﾗﾝｽ[1886-1973] 小説家。画家を志し, ボヘミアンの生活を送った 作『木の十字架』 ①文学 428 C
ドル・ショック ⇨ドル危機
ドルス ｽﾍﾟｲﾝ ①文学→スペイン文学〔20世紀〕
ドルーズ(山塊) ⑩世地→シリア(アラブ共和国)〔自然〕
トルースタイト ⑰科技→鉄鋼〔鉄合金〕図
トルストイ, A・K ﾛｼｱ[1817-1875] 詩人・小説家。伯爵。才能ゆたかな多作家で叙情詩は歌曲として愛唱される ①文学 428 C ③音演→ロシア演劇
トルストイ, A・N ソ連[1883-1945] 小説家。象徴派詩人として出発, 新写実派として活躍 作『苦悩の中を行く』 ①文学 430 D図
トルストイ, L ﾛｼｱ[1828-1910] 小説家・劇作家。世界的文豪であり批評家・思想家としても偉大な存在 作『戦争と平和』『アンナ・カレーニナ』 ①文学 428 C図 →芸術〔文学〕 →ロシア・ソビエト文学〔ロシア〈19世紀初頭から革命まで〉〕 ③音演 377 A ④哲宗 424 A ⑨世史 458 C
トルストイ主義 ④哲宗→トルストイ, L
『トルストイとロラン』 ①文学→アルダーノフ, M
『トルストイの右手と左手』 ①文学→ミハイロフスキー, N
ドルーズ派 ④哲宗→シーア派
トルソ ②美術 437 C
トルーソー, A ﾌﾗﾝｽ[1801-1867] ⑭医学→耳鼻咽喉科
ドルチェ ③音演→音楽用語〈629 B〉
トールチーフ, M ｱﾒﾘｶ[1925-] ③音演→バレエ〔20世紀〕
ドルーデ, P ﾄﾞｲﾂ[1863-1906] 物理学者。光学・電磁気学を研究, 金属電子論に貢献 ⑯物数 412 A
『トルディ』 ①文学→アラニュ
ドルティコス ⑩世地→キューバ(共和国)図
トルテカ文化 ⑨世史 458 C
トルデシリャス条約 ⑨世史 458 C →ジョアン(二世)
トール・テール ①文学 430 D
トルドー, P ｶﾅﾀﾞ[1919-] ⑪政社→カナダ政治事情
ドルト ⇨ドルドレヒト
トルトサ ｽﾍﾟｲﾝ ⑩世地 423 C
ドルト信仰規準 ④哲宗→アルミニウス, J
ドルドーニュ(川) ﾌﾗﾝｽ ⑩世地 423 C
ドルトムント 西ﾄﾞｲﾂ ⑩世地 423 C
ドルトムントエムス(運河) 西ﾄﾞｲﾂ ⑩世地 423 D
トルトーラ(島) ⑩世地→バージン(諸島)
ドルドラ, F ﾁｪｺ[1868-1944] バイオリニスト・作曲家。250ものバイオリン独奏曲がある ③音演 377 B
ドルドレヒト ｵﾗﾝﾀﾞ ⑩世地 423 D
ドルトン, J ｲｷﾞﾘｽ[1766-1844] 化学者。気体の研究から近代原子論を展開, 近代化学の父とよばれる ⑮化学 469 B図 →アボガドロの法則 →化学〔歴史〈化学革命〉〕 →原子〔概念の変遷〈ドルトンの原子説〉〕 →原子論 →倍数比例の法則 ⑯物数→アボガドロの法則 →原子論〔化学と原子論〕 →物理学〔歴史〈近代〉〕 →分圧の法則 →分子
ドルトンの法則 ⑮化学 471 A ⇨分圧の法則
トルニ ﾎﾟｰﾗﾝﾄﾞ ⑩世地 423 D
ドルニエ Do-X ⑰科技→飛行機〔種類〈エンジン数による分類〉〕別
トルニオ ﾌｨﾝﾗﾝﾄﾞ ⑩世地 423 D
トルネドー ⑱宇地→竜巻
ドルノ ｽｲｽ[1865-1942] ⑭医学→光線療法〔紫外線療法〕
『トールのヨツンヘイム訪問』 ④哲宗→北欧神話〔おもな神々〕
ドルバック, P ﾌﾗﾝｽ[1723-1789] 啓蒙期の唯物論者・無神論者。ドイツ生まれ。社会悪の原因を個人の無知に帰す 作『自然の体系』 ④哲宗 424 B図 ⑨世史→アンシクロペディスト ⑪政社→啓蒙思想〔フランス〕

ナ
な

ナイ, E ドイツ[1902–1968] ②美術→ドイツ美術〔20世紀〕
ナイ ③音演→笛図 →民族音楽図
ナイアガラ(滝) カナダ・アメリカ ⑩世地 428 A図 ⑱宇地→滝〔成因〕表
『ナイアガラ』 ①文学→ラテンアメリカ文学〔独立から20世紀初葉まで〕
ナイアガラ運動 ⑨世史 465 A →ワシントン, B
ナイアガラ号 ⑥日史→万延元年遣米使節
ナイアガラフォールズ カナダ ⑩世地 428 A
ナイアガラフォールズ アメリカ/ニューヨーク ⑩世地 428 A
ナイアシン ⇨ニコチン酸
内位 ⑤日史→外位
内印 ⑤日史→印章 →外印
内因性精神病 ⑭医学→精神病 →精神分裂病
内因性中毒 ⇨自家中毒
ナイウィウス ①文学→ラテン文学〔初期〕
奈井江(町) 北海道/空知支庁 ⑧日地 809 C
内炎 ⑮化学→炎
『内奥の城,もしくは住家』 ①文学→テレサ・デ・ヘスス, S
内科 ⑭医学 425 A
内海 ⑧日地 1228 D
内角 ⑯物数→外角・内角 →三角形図 →多角形図
内核 ⑱宇地→コア
内閣 ⑪政社 443 B表 →行政権 →行政組織〔国〕 →憲法〔日本〈日本国憲法〉〕 →権力分立 →国会〔権限〕 →内閣総理大臣 ⑥日史→内閣法制局 ⑫経産→予算〔作成過程〕
内閣《中国》 ⑨世史 465 A
内閣官房 ⑪政社→行政組織〔国〕 →内閣〔組織と活動〕
内閣参議 ⑥日史 839 B
内閣情報局 ⑥日史 839 B
内閣制度 ⑥日史 839 B ⑤日史→官僚制
内閣総理大臣〈首相〉 ⑪政社 445 A →緊急事態 →元首 →国会〔権限〕 →大臣 →内閣〔組織と活動〕
内閣大学士 ⑨世史→内閣
内閣文庫 ⑥日史 839 C ⑤日史→公文書館
内閣法 ⑪政社→行政組織
内閣法制局 ⑥日史 839 D ⑪政社→行政組織〔国〕
内観 ⇨内省
内管領 ⇨内管領
内記 ⑥日史 839 D
ナイキスト, H ⑫経産→情報理論 ⑰科技→自動制御〔歴史〕
内記日記 ①文学→日記文学〔日本〕
内教坊 ⑥日史 839 D
内供 ⇨内供奉十禅師
内宮 ⇨皇大神宮
内宮源鳥居 ④哲宗→神社〔図鳥居〕
内供奉十禅師 ⑥日史 839 D
内頸動脈 ⑭医学→脳〔栄養〕
内検 ⑤日史→検注
内言語 ④哲宗 426 A
内江 ⇨ネイチヤン
内合 ⑱宇地→惑星〔惑星現象〕
内航海運 ⑫経産→海運
内向性 ④哲宗→性格 →ユング, C
内呼吸 ⇨細胞呼吸
内国為替 ⑫経産→外国為替 →為替
内国勧業博覧会 ⑥日史 839 D表 ⑤日史→共進会
内国債 ⑫経産→公債
内国消費税 ⑫経産→税関
内国法人 ⑪政社→法人〔種類〕 ⑫経産→法人
内国民待遇 ⑪政社 445 B
内骨格 ⑳動物→骨格
内債 ⑤日史→公債
内在 ④哲宗 426 A →超越
内在型半導体〈i 型半導体〉 ⑰科技→半導体
内済証文〈済口証文〉 ⑥日史 840 A
内済離縁 ④哲宗→東慶寺 ⑤日史→縁切寺〔離縁の形式〕

内錯角 ⑯物数→角〔2直線と交わる直線〕
内侍 ⑥日史 840 A →女房奉書
内耳 ⑭医学→聴覚図 →耳図 ⑳動物→耳
ナイジェリア(連邦共和国) アフリカ ⑩世地 428 A図 ⑫経産→アフリカ経済事情図
ナイジェリア戦争〈ビアフラ戦争〉 ⑪政社 445 B図 ⑨世史→アフリカ(州)〔独立後の経済社会〈分断政策〉〕 ⑩世地→ナイジェリア(連邦共和国)〔政治・外交〕
内耳炎〈迷路炎〉 ⑭医学→耳
内視鏡 ⑭医学 425 C図 →胃癌〔診断〕 →癌〔診断法〕 →気管・気管支〔気管支鏡検査〕
内耳神経 ⑭医学→末梢神経系
内侍所 ⑥日史→内裏〔囲殿舎〈温明殿〉〕
内侍所御神楽 ⑥日史 840 A図
尚侍 ⑤日史→後宮〔2〕 ⑥日史→内侍
掌侍 ⑤日史→後宮〔2〕 ⑥日史→内侍
典侍 ⑤日史→後宮〔2〕 ⑥日史→内侍
内斜視 ⑭医学→斜視図
内出血 ⑭医学→出血
内鞘 ⑲植物 451 C
内職的家内労働 ⑫経産→家内労働
内翅類 ⑳動物→昆虫〔分類〕
内診 ⑭医学→産婦人科
内陣 ④哲宗→寺院〔囲用語〈内陣・外陣〉〕
内親王 ⑤日史→皇室 →親王 ⑪政社→皇室〔皇族〕
内心・傍心 ⑯物数 413 A図
内水 ⑱宇地→領海
内水排除 ⑰科技→河川計画〔河川改修計画〕
内水面漁場管理委員会 ⑪政社→行政組織〔図地方公共団体〕 →地方公共団体〔執行機関〕
ナイスタチン ⑭医学→抗生物質表 ⑮化学→抗生物質〔主要なもの〕
ナイセ(川) ヨーロッパ ⑩世地 429 C →オーデル(川)
内省〈内観〉 ④哲宗 426 B →オイケン, R →心理学〔囲用語〕
内成岩石 ⑱宇地→岩石〔産状と大区分〕
内性器 ⑭医学→子宮
内生子〈内生胞子〉 ⑲植物→胞子
内生中毒 ⑭医学→中毒
内政不干渉の原則 ⑪政社→干渉
内生変数 ⑫経産→計量経済学 →財政学
内接 ⑯物数→外接・内接 →球〔2つの球〕
内接円 ⑯物数→外接・内接 →内心・傍心
内接球 ⑯物数→外接・内接〔空間図形の場合〕
内接多角形 ⑯物数→外接・内接〔多角形の外接円〕
ナイセル, A ドイツ[1855–1916] 皮膚科医・細菌学者。淋菌を発見,梅毒血清診断法を考案 ⑭医学 360 C →性病
内戦 ⇨内乱
内臓 ⑭医学 426 B →五臓六腑 →人体別 →内科
内臓下垂症 ⑭医学→胃〔胃病〈胃下垂〉〕 →内臓
内臓管 ⑭医学→内臓
内臓感覚 ⑭医学→感覚〔種類〕 ⑳動物→感覚表
内臓筋 ⑭医学→筋肉図 ⑳動物→筋肉
内装工事 ⑰科技 504 B →建築施工〔各種工事〕
内臓頭蓋〈顔面頭蓋〉 ⑭医学→顔
ナイター ⑬生活→野球〔競技方法〕図
ナイタイ ⑦日地→上士幌(町)
内体 ⑲植物→分裂組織
内帯 ⑱宇地→地質〔日本の地質構造〕図
内大臣 ⑥日史 840 B
奶湯 ⑬生活→中国料理〔調理法による種別〈湯菜〉〕
内地移民 ⑫経産→移民
内地雑居問題 ⑥日史 840 B ⑤日史→居留地
内地米 ⑬生活→米〔種類〕
内聴域 ⑱宇地→外聴域
『内地旅行記』 ①文学→紀行文学〔西洋〕
ナイチンゲール, F イギリス[1820–1910] 看護婦制度の創始者。クリミア戦争で看護に活躍,帰国後看護学校を創設 ⑨世史 465 B図 ⑭医学 109 D図 →看護〔沿革〕 →看護婦 ⑪政社→赤十字〔歴史〕
ナイチンゲール〈サヨナキドリ〉 ⑳動物 461 C図
ナイチンゲール賞 ⑭医学→ナイチンゲール, F〈109 D〉
内廷費 ⑪政社→皇室〔皇室費〕
内的営力 ⑱宇地→営力
『泣いてたまるか』 ①文学→マーク・トウェーン
ナイト, G イギリス[1897–] 学者・批評家。シェークスピア批評界に独自の地位を占め,俳優・演出家としても活躍 ①文学 433 C

ナイト ⑨世史→騎士 →爵位〔西洋〕
ナーイドゥ, S インド[1879–1949] ⑨世史→ベザント, A
内藤氏 ⑥日史→高遠藩
ナイトウエア ⑬生活→下着〔洋装〕
内藤湖南 [1866–1934] 東洋史学者。中国問題の権威。能書家としても名高い ①文学 433 C ⑥日史 840 C →邪馬台国〔研究の歴史〕 ⑤日史→史学史〔近代〕
内藤ジョアン〔内藤如安〕 [*–1616] ⑥日史→丹波国〔囲人国記〕 ⑨世史→壬辰・丁酉の役
内藤丈草 [1662–1704] 江戸前期の俳人。芭蕉に入門。さびを体得,閑寂であり洒脱飄逸の面もある ①文学 433 C図 ⑥日史 840 C
内藤新宿 ⑦日地→新宿
内藤鳴雪 [1847–1926] 俳人。和学の学識を生かした脱俗,瀟洒,直截な描写句が特色 ①文学 433 D
内藤流 ⑥日史→馬術 ⑬生活→馬術競技〔歴史〈日本〉〕
内藤露沾 [1655–1733] 江戸中期の俳人。大名の後嗣の地位を異母弟に譲り風流三昧の生活を送った ①文学 433 D
ナイトクラブ ⑬生活→社交ダンス〔歴史〕
ナイトドレス ⑬生活→ドレス〔分類〕
ナイトラッチ ⑬生活→錠〔種類〕図
ナイトロジェンマスタード ⑮化学 472 C
内燃機関 ⑰科技 504 B →エンジン →原動機 →鉄道〔歴史〈動力〉〕
内燃機関車 ⑰科技 504 B
内燃力発電 ⑰科技→火力発電〔その他の発電〕
内場池 香川/塩江町 ⑧日地 809 C
内胚葉 ⑳動物→胚葉
内藩 ⑨世史→冊封体制
内反膝 ⑭医学→あし〔脚〕
内皮 ⑲植物 451 C
震引 ⇨地すべり
ナイフ ⑬生活 472 D図 →食器〔分類〈洋食器〉〕
内府 ⑥日史→内大臣
ナイフ・エッジ係数 ⑫経産→資本係数
内部エネルギー ⑯物数 413 C →熱
内部環境 ⑳動物→環境 →体液
内部記憶装置 ⑰科技→記憶装置
内部寄生 ⑳動物→寄生
内部金融 ⑫経産→間接金融方式
内服薬〈経口薬〉 ⑭医学→救急箱 →薬〔作用・効果〈吸収〉〕
内部経済・外部経済 ⑫経産 456 A →規模の経済〔企業規模〕 →マーシャル, A
内部光電効果 ⑯物数→光電効果
ナイフスイッチ ⑰科技→開閉器図
『内部生命論』 ①文学→北村透谷
内部遷移元素 ⑮化学→元素〔分類〕
内部霜 ⑱宇地→霜
内部騒音 ⑰科技→音響設計〔騒音防止設計〕図
内部抵抗 ⑯物数 414 A図
内部転換 ⑯物数→放射性崩壊
内部導体系磁場配位 ⑰科技→核融合装置〔プラズマの閉じ込め〈円環型〉〕
内部波 ⑱宇地→波〔おもな波〕図
内部被曝〈体内被曝〉 ⑰科技→被曝線量
内部分析 ⑫経産→経営分析〔体系〕
内部保留分 ⑫経産→配当
ナイフ・リッジ〈鎌尾根〉 ⑱宇地→山〔各部の名称〕
内部留保 ⑫経産→株式〔囲用語〈留保利益〉〕
内分 ⑯物数→外分・内分
内分泌 ⑭医学→分泌
内分泌刺激ホルモン ⑭医学→下垂体
内分泌性高血圧 ⑭医学→高血圧〔続発性高血圧〕
内分泌腺〈内分泌器〉 ⑭医学→胸腺 →甲状腺 →副腎 →分泌図 →ホルモン図 ⑮化学→ホルモン ⑳動物→アラタ体 →側心体 →ホルモン
内弁 ⑥日史 840 C ⑤日史→上卿
内包 ④哲宗→論理学〔囲用語〕
内房 ⇨内房
綯い交ぜ ③音演→歌舞伎〔内容と様式〈作劇の特質〉〕〔歴史〈拡大時代〉〕
ナイマン ⑨世史 465 B →カラ・キタイ
内務省 ⑥日史 840 D ⑤日史→片山哲内閣 →官僚制〔発展〕 →警察制度
内務人民委員部 ⑨世史→ゲー・ペー・ウー →大粛清
ナイメーヘン オランダ ⑩世地 429 D
ナイメーヘンの和約 ⑨世史 465 C →ウィリアム(三世) →オランダ戦争

ニ

に

日中共同声明　⑪政社→日中関係
日中交渉史　⑥日史→中国
日中国交回復　⑤日史→昭和時代〔政治・外交〕　⑥日史→中国〔近代日中関係〈第6期〉〕
日中戦争〈日華事変,支那事変,日支事変〉　⑥日史 882 C図表　→満州〔日本〕　→第二次世界大戦〔起源〕　→太平洋戦争　→中国〔近代日中関係〈第5期〉〕　→南進政策　→蘆溝橋事件　⑨世史 481 C図　→上海事変　→第二次世界大戦　→中国〔近代〈中華民国〉〕　⑪政社 462 B図　→大東亜共栄圏　⑤日史→近衛声明　→三光作戦　→上海事変〔第二次〕　→昭和時代〔概観〕図
日中長期貿易取り決め　⑫経産→日中貿易
日中文化交流協会　⑪政社→日中関係〔日本軍国主義復活への批判〕
日中平和友好条約　⑪政社→日中関係
日中貿易　⑫経産 461 D　→中国経済事情〔貿易〕
日中貿易協定　⑪政社→日中関係〔サンフランシスコ体制〕
日中民間漁業協定　⑪政社→日中関係〔サンフランシスコ体制〕　⑫経産→漁業〔国際的調整〕
日中友好協会　⑪政社→日中関係〔サンフランシスコ体制〕
日頂　〔1252-1317〕　④哲宗→日蓮宗囲
日朝　〔1422-1500〕　室町中期の日蓮宗の僧。日隆と並称され日蓮宗中興の祖と仰がれる　④哲宗 435 D
日朝関係　⑪政社 463 A図　⑤日史→久遠寺
日朝協会　⑪政社→日朝関係〔日本と朝鮮民主主義人民共和国の関係〕
日長効果　⇨光周性
日朝交渉史　⑥日史→朝鮮
日朝修好条規〈江華条約〉　⑥日史 885 C　→征韓論　→朝鮮〔明治政府〕　⑨世史 482 B　→日清戦争〔背景〕　⑤日史→井上馨　→韓国併合　→江華島事件
日長処理　⑲植物 464 A　→光周性〔日長刺激の感受と伝達〕
日長石　⇨サンストーン
日潮不等　⑱宇地→潮汐〔満干潮〕図
日朝貿易　⑥日史→対馬国〔囲人国記〕
『日知録』　①文学→顧炎武　④哲宗→顧炎武
日通　⇨日本通運(株)
ニッツェ,M　〔1848-1906〕　⑭医学→人工臓器〔成果と現状〕　→内視鏡〔膀胱鏡〕
ニッティングレース　⑬生活→レース〔4〕
日展　⇨日本美術展覧会
ニット　⑬生活→メリヤス
日糖疑獄　⑥日史 885 D
『入唐求法巡礼行記』　⑥日史 885 D　①文学→日記文学〔日本〕　④哲宗→円仁　⑤日史→円仁
入唐八家　⑥日史 886 A
ニットレーダー方式手編機　⑬生活→編物〔手編機〕
日橋川　福島　⑧日地 888 B　→只見川
ニッパーダイ,H　〔1895-1968〕　法学者。労働法の権威で法解釈学の立場に立つ。新聞ストに際し合法性を主張　⑪政社 465 A
ニッパヤシ　⑲植物 464 A図
日原鍾乳洞　東京　⑧日地 888 B　⑱宇地→カルスト地形図
ニップ　⑮化学→農薬〔分類〈表除草剤〉〕
ニップール　⑨世史 482 B　→シュメール　→メソポタミア文明〔発掘と解明〕
日豊　〔1594-1665〕　⑥日史→能登国〔囲人国記〕
日豊海岸　大分・宮崎　1974年日豊海岸国定公園に指定　⑧日地 888 B
日峰宗舜　④哲宗→妙心寺　⑥日史→妙心寺
日豊本線　⑧日地 888 B
日暮里　東京/荒川区　⑧日地 888 C
日本　⇨日本
『日本』　⑤日史→シーボルト,P
ニッポンイノシシ　⑤日史→猪
ニッポンウミシダ　⇨ウミシダ
『日本永代蔵』　⑥日史 886 A　①文学→井原西鶴図　⑤日史→元禄文化図
ニッポンカガンボダマシ　⑳動物→カガンボ
ニッポンサシチョウバエ　⑳動物→チョウバエ
『日本第一和布莉神事』　①文学→並木正三(初世)
日本駄右衛門　③音演→『青砥稿花紅彩画』
日本橋筋　大阪市　⑧日地 888 C
ニッポンマイマイ〔日本蝸牛〕　⑳動物 469 B
ニッポンモガニ　⑳動物→ヨツハモガニ
ニッポンユキガガンボ　⑳動物→カガンボ
ニッポンヨコエビ　⑳動物→ヨコエビ

二程子　⑨世史→程顥
『ニーティシャーストラ』　⇨『アルタシャーストラ』
『二程全書』　④哲宗→程伊川　→程明道
ニテロイ　ブラジル　⑩世地 442 B
二点閾値　⑭医学→皮膚感覚図
二天一流〈二刀一流〉　④哲宗→宮本武蔵　⑤日史→剣術〔流派〕　→『五輪書』　⑥日史→宮本武蔵　⑬生活→剣道〔歴史〈江戸時代〉〕表
ニト　⑯物数→輝度
ニドイモ　⇨ジャガイモ
二刀一流　⇨二天一流
『二島英雄記』　①文学→実録物
『二童敵討』　③音演→沖縄の歌舞〔御冠船踊〕
二等辺三角形　⑯物数→三角形〔種類〕
二刀流　⇨二天一流
二糖類　⑬生活→栄養〔糖質〕　⑮化学→少糖類　→糖〔少糖類〕　→麦芽糖
二度染め　⑬生活→浴衣
仁斗田　⑦日地→牡鹿半島　⑧日地→田代島
新渡戸稲造　〔1862-1933〕　教育者。アメリカに留学,米婦人と結婚。日本の文化思想を外国に紹介　①文学 451 C　④哲宗 436 A　⑥日史 886 A図
ニトベキバチ　⑳動物→キバチ
新渡戸伝　〔1793-1871〕　⑥日史→陸奥国〔囲人国記〕
荷留〈津留〉　⑥日史 886 B　→藩〔藩政改革〕　⑤日史→飢饉
『二度目のタンカレー夫人』　③音演→ピネロ,A
『二都物語』　①文学→ディケンズ,C
ニトリル　⑮化学 481 A表
ニトリル基　⑮化学→官能基表
ニトリルゴム　⇨NBR
ニードルベアリング〈針状ころ軸受〉　⑰科技→軸受〔ころがり軸受〕
ニードルポイントレース　⑬生活→レース〔2〕
ニトロアニリン　⑮化学→アミン〔表芳香族アミン〕
ニトロ化　⇨硝化
ニトロ化合物　⑮化学 481 C表
ニトロ火薬　⑨世史→火薬
ニトロ基　⑮化学→官能基表　→ニトロ化合物
ニトログリセリン　⑮化学 482 C　→火薬〔表性能〕　→グリセリン　→ダイナマイト
ニトロシル硫酸〈硫酸水素ニトロシル,鉛室結晶〉　⑮化学→窒素〔化合物の例〈6〉〕　→硫酸〔製法〈硝酸式製造法〉〕
ニトロセルロース　⑮化学 483 A　→セルロイド
ニトロソ基　⑮化学→官能基表
ニトロフェノール　⑮化学→ニトロ化合物〔代表的な化合物〕表
ニトロプロパン　⑮化学→ニトロ化合物表
ニトロベンゼン〈ニトロベンゾール〉　⑮化学 483 A　→ニトロ化合物〔代表的な化合物〕表
ニトロメタン　⑮化学→アルカン〔性質〕　→ニトロ化合物〔代表的な化合物〕
にない堂　④哲宗→延暦寺〔三塔〕図
『担へ銃』　③音演→チャップリン,C
蜷川氏　もと越中国蜷川村に住し,足利氏に仕え政所代を世襲,江戸時代には旗本　⑥日史 886 B図
蜷川親元　〔1433-1488〕　室町中期の幕臣。足利義政に仕え,故実に精通し,『親元日記』を残す　⑥日史 886 B
瓊瓊杵尊〈邇邇芸命〉　日本神話の神。天照大神の孫で,日向の高千穂峯に天降った天孫降臨の主役　⑥日史 886 B　④哲宗→天照大神　→日本神話〔囲〈建御雷神〉〕　⑦日地→可愛岳
二・二六事件　⑥日史 886 C図　→高橋是清　→西田税　→真崎甚三郎　→渡辺錠太郎　④哲宗→北一輝　⑤日史→岡田啓介内閣　→軍閥　→皇道派・統制派　→粛軍　→昭和維新　→昭和時代〔政治・外交〕　→鈴木貫太郎　⑧日地→東京(都)〔図歴史〕　⑪政社→荒木貞夫　→クーデター　→軍隊〔日本〕　→斎藤実　→ファシズム〔日本〈成立〉〕図
『二人三番叟』　③音演→三番叟物
二人静　⑬生活→菓子〔図和菓子〕
『二人石橋』　③音演→『石橋』〔石橋物〕
二人道成寺　③音演→『京鹿子娘道成寺』
『二人比丘尼』　①文学→鈴木正三
『二人比丘尼色懺悔』　①文学→尾崎紅葉　→硯友社
ニネベ　⑨世史 482 B　→アッシリア　→アッシュルバニパル　→メソポタミア文明〔発掘と解明〕
二年生植物〈二年草,越年草〉　⑲植物 464 B　→越年生植物　→草　→二年生植物

二ノ池　⑦日地→木曽御岳　「脚」
『新口村』　③音演→人形浄瑠璃図　→『冥途の飛
似島　広島/広島市　⑧日地 888 C
二の膳　⑬生活→日本料理〔分類〈本膳料理〉〕図
二ノ岳〈熊岳〉　⑦日地→金峰山〔熊本〕
二の酉　④哲宗→お酉さん信仰
二戸(市)　岩手　⑧日地 888 C
二の丸　⑤日史→城〔城下町〕
二の丸庭園　⑧日地→名古屋(市)〔観光・文化〕
二宮(町)　栃木　⑧日地 888 D
二宮(町)　神奈川　⑧日地 888 D
二宮　⑤日史→一宮
二宮尊徳〈二宮金次郎〉　〔1787-1856〕　江戸末期の農村復興運動の指導者・思想家。その思想と方法は門下により「報徳教」として農村に影響　①文学 451 C　④哲宗 436 A図　→神道〈300 D〉　⑥日史 886 D図　→農本主義　→報徳運動　⑤日史→飢饉〔冷害〕　→経世論　→相模国〔囲人国記〕
『二宮尊徳の新研究』　④哲宗→田中王堂
二宮窯址　⑥日史 887 B
二ノ目潟　⑦日地→男鹿半島図
ニーバー,R　〔1892-1971〕　プロテスタント神学者・評論家。キリスト教福音倫理による社会改革をめざす　④哲宗 437 A　⑪政社 465 B図
二杯酢　⑬生活→あえ物〔酢の物〕表　→酢〔利用〕
二胚虫　⑳動物 469 C　→中生動物
『二拍』　①文学→凌濛初
二迫川　⑧日地→迫川
二八そば　⑲植物→ソバ囲
ニーパヤシ　⇨ニッパヤシ
二番するめ　⑳動物→スルメイカ
二番だし　⑬生活→だし〔とり方〕
二番目狂言　①文学→並木五瓶(初世)
二番目物〈修羅物〉　③音演→能〔脚本と分類〕
二〇〇海里漁業水域　⑧日地→漁業専管水域〈1207〉　⑫経産→漁業〔国際的漁業調整〕　⑳動物→魚類〔資源と保護〈漁業の発達〉〕
二〇三高地　⑥日史→日露戦争〔経過〕
二百十日　⑱宇地 512 B
二百二十日　⑱宇地 512 B
ニヒリスト　④哲宗→ロシア哲学
ニヒリズム〈虚無主義〉　④哲宗 437 B　→自殺　→実存哲学　→ニーチェ,F〔囲基本概念〈能動的ニヒリズム〉〕　⑪政社 465 C　①文学→サルトル,J〔嘔吐〕　→文学〔囲用語〕　⑨世史→ニーチェ,F
『ニヒリズムの次に来るもの』　①文学→ベン,G
ニフェ　⑱宇地 512 B　→コア
ニフカ・ドックス　⑰科技→写真〔技術の歴史〕図
鈍川温泉　⑧日地→玉川(町)
二部形式　③音演→リート形式
仁伏温泉　⑧日地→弟子屈(町)
二フッ化キセノン　⑮化学→キセノン〔化合物〕
二フッ化クリプトン　⑮化学→クリプトン
二フッ化樹脂　⑮化学→フッ素樹脂
ニーブール,B　〔1776-1831〕　歴史家。ベルリン大学創設とともにローマ史を講義し,圧倒的な名声を得た　⑨世史 482 C　→史学史〔近代の歴史観〈19世紀〉〕
2分割マグネトロン　⑰科技→エレクトロニクス図
二分裂　⑳動物→原生動物〔生殖〕　→生殖〔無性生殖〕　→無性生殖　「〔生理〈発光,発音,発電〉〕
ニベ〔鮸〕　⑳動物 469 C図　→うきぶくろ　→魚類
『ニーベルングの指環』　③音演→ワーグナー,R
『ニーベルンゲン』　③音演→映画〔無声映画〈第3期〉〕　→ラング,F
『ニーベルンゲン』　③音演→ヘッベル,F
『ニーベルンゲンの歌』　①文学 451 D図　→口承文芸　→詩〔ヨーロッパ・アメリカ〕　→中世文学〈383 C〉　→ドイツ文学〔中世〕　⑨世史→ブルグント族
『二ペンスの希望』　③音演→カステラーニ,R
仁保　⑧日地→山口(市)〔産業・交通〕
二放射相称　⑳動物→相称
煮干し　⑬生活→乾物〔種類・方法〕　→水産加工品〔種類〈煮干し品〉〕　→だし〔とり方〕
仁保事件　⑪政社→自白
煮干しだし　⑬生活→だし〔とり方〕
煮干し品　⑬生活→水産加工品〔種類〕
二圃制度　⑫経産→開放耕地制度〔語義〕
ニボナントロプス・アカシエンシス　⇨明石原人
日本　アジア　⑥日史 887 B　→日本語　→日本人　⑧日地 889 A図表囲　①文学→日本文学　③音演→日本映画　→日本演劇　→日本舞踊　④哲宗

ヌ

ぬ

ネ
ね

ね　⑬生活→釣り〔囲用語〕
子ね　⑱宇地→北
根　⑲植物 472 A図　→菌根　→呼吸根　→根圧　→貯蔵根　→板根ばんこん
ネー(湖)　イギリス　⑩世地 455 A
根上(町)ねあがり　石川　⑧日地 915 B
寝汗〈盗汗〉　⑭医学→汗〔発汗〕　→結核〔肺結核の症状〕　→乳児〔睡眠〕
ネアルコス　〔前360?～312?〕　将軍。アレクサンドロス大王の東征の帰途その一隊を指揮し,年代記を残す　⑨世史 484 B　→アレクサンドロス(大王)図
ネアンデルタール人　⑨世史 484 B図　→現生人類　→ムスティエ文化　⑱宇地 514 B　→化石人類〔人類の進化〈旧人〉〕　→シュワルベ, G
寧一山　⇨一山一寧いっさんいちねい
ネイェドリー, Z　チェコ〔1878～1962〕　③音演→東欧演劇〔チェコスロバキア〈チェコ〉〕
寧夏回族自治区ねいか　⇨ニンシヤホイ族(自治区)
寧夏平原　⑩世地→ニンシヤホイ族(自治区)
ネイズベストヌイ　②美術→ロシア美術〔60 年代〕
ネイスミス, J　アメリカ　⑬生活→バスケットボール
『ネイチャー』　⑱宇地→ロッキャー, J
ネイチヤン〈内江〉　中国/四川省　⑩世地 455 A
寧波　⇨ニンポー
ネイバ　コロンビア　⑩世地 455 A
ネイポール, V　イギリス〔1932～〕　小説家。貧しいトリニダード人の生活を素材に,笑劇風の作品を得意とする　①文学 460 C
ネイマン, J　〔1894～〕　数理統計学者。ポーランドに生まれアメリカに住む。推定論に業績　⑫経産 473 C
内蒙古自治区ないもうこ　⇨内モンゴル(自治区)
寧楽美術館ねいらく　②美術 682 A　⑧日地→奈良(市)〔文化〕
音色　⑯物数 425 B　→音〔音波の重ね合せ〕　⑰科技→音響設計〔音と人間〕
根雨ねう　鳥取/日野町　⑧日地 915 C
ネウィン　⑩世地→ビルマ(連邦社会主義共和国)〔政治〕
ネウケン　アルゼンチン　⑩世地 455 B
ネウスオドリバエ　⑳動物→ハエ図
ネウマ譜　③音演→カイロノミー　→記譜法図
根尾(村)　岐阜　⑧日地 915 C　③音演→能郷の猿楽狂言のうごう
ネオアルスフェナミン　⑮化学→サルバルサン
ネオカラミテス　⑱宇地 514 B
根尾川　⑧日地→根尾(村)
ネオ・グェルフ主義　⑨世史 484 B　→ピウス(九世)　→リソルジメント〔統一の気運〕
ネオサッピラン水和剤　⑲植物→農薬〔表〈殺虫剤〉〕
ネオジム　⑮化学→希土類元素
ネオ・ダダイズム　②美術→現代美術〔欧米〈第二次大戦後〉〕　→ダダ
根尾谷断層　⑧日地→根尾(村)　⑱宇地→活断層　→地震〔震源〕図　→地殻変動
ネオテニー　⑳動物→進化〔証明〈解剖学〉〕
ネオ・トミズム　④哲宗→トマス主義〈広義〉
ネオトラン　⑮化学→農薬〔分類〈表殺虫剤〉〕
ネオトリゴニア　⑱宇地→三角貝
ネオピリナ　⑳動物 478 C　→貝類〔分類〈単板類〉〕　→進化〔証明〈分類学〉〕
ネオ・ファシズム　⑪政社→イタリア政治事情〈25 B〉
ネオ・プラグマティズム　④哲宗→ア・プリオリ　ア・ポステリオリ　→アメリカ哲学
ネオプレン　⑫経産→デュポン　⑮化学→クロロプレン　→ゴム〔合成ゴム〈クロロプレンゴム〉〕
ネオ・ベヒシュタイン・ピアノ　③音演→電気楽器
ネオポルテリア　⑲植物→サボテン〔種類〕
ネオ・マスカット　⑲植物→ブドウ図
ネオメンデリズム　⑳動物→進化〔要因〕
ネオライモンディア　⑲植物→サボテン〔種類〕
ネオ・ラオ・ハクサット〈パテト・ラオ〉　⑪政社→インドシナ問題〔歴史的地位〕　→スファヌボン
ネオ・レアリズモ　①文学→イタリア文学〔20 世紀〕　→パベーゼ, C　→ビットリーニ, E　→ベリズモ　③音演→映画〔トーキー〈第 5 期〉〕　→デ・シーカ, V　→ビスコンティ, L
ネオン　⑮化学 486 B図　→貴ガス元素　⑯物数→ネオンランプ　⑰科技→ネオンサイン
ネオンサイン　⑰科技 508 C表　→放電灯〔グロー放電灯〕
ネオン・テトラ　⑳動物 478 C〔別〈淡水魚〉〕　→熱帯魚〔飼育〕
ネオントランス〈ネオン変圧器〉　⑰科技→ネオンサイン
ネオンライン・ダムゼル　⑳動物→熱帯魚〔別〈海水魚〉〕
ネオンランプ　⑯物数 425 B　⑰科技→放電管
根掛　⑤日史→髪飾
ネガティブ・フォト　⑰科技→写真〔囲用語〕
ネガパチナム　インド　⑩世地 455 B
ネガプレ　⑰科技→プレハブ建築〔部品化の方法〕
寝棺　⑬生活→葬式〔通夜〈納棺〉〕
ネギ〔葱〕　⑲植物 473 A図　→薬用植物表
禰宜　④哲宗→神社〔制度〕〔奉仕者〕　→神職
根岸競馬場跡　⑧日地→横浜(市)〔観光・文化〕
根岸線　⑧日地→東海道本線
根岸短歌会　①文学→『アカネ』　→『馬酔木あしび』　→『アララギ』　→短歌〔近世〕
根岸友山　⑥日史→武蔵国むさし〔囲人国記〕
根岸流　⑤日史→手裏剣
根岸湾　⑧日地 915 C
ネギノアザミウマ　⑳動物→アザミウマ
禰疑野神社ねぎの　⑧日地→竹田(市)
ねぎま鍋　⑬生活→鍋料理〈478 C〉
ネキリムシ〔根切虫〕　⑳動物 478 C　→タマナヤガ　⑲植物→病虫害〔表害虫〕
ネクイハムシ　⑳動物→ハムシ
ネグサレセンチュウ　⑳動物→線虫〔植物寄生〕図
ネクセ, M　デンマーク〔1869～1954〕　小説家。西欧プロレタリア作家の代表的存在　①文学 460 C
ネクター　⑬生活→ジュース〔果汁飲料〕　→ソフトドリンクス
ネクタイ　⑬生活 487 C図　→衿巻き〔スカーフ〕
ネクタリン　⑲植物→モモ〔起源〕図
ネクタル　④哲宗→ギリシア・ローマ神話〔オリンポス〕
根ロクラゲ類　⑳動物→クラゲ〔種類〕
ネクチュルス　⑳動物→ホライモリ
ネクトン　⑱宇地 514 B　→プランクトン　→ベントス　⑳動物→底生生物　→プランクトン
ネクラーソフ, N　ロシア〔1821～1878〕　市民派最大の詩人。革命的民主主義と民衆に対する愛に貫かれている　作『ロシアはだれに住みよいか』　①文学 460 C図　→『現代人』
ネクラーソフ, V　ソ連〔1911～〕　小説家。工兵として召集され負傷して退役,戦争の裏面を描いて作家的地位を確立　①文学 461 A
ネグリ, A　イタリア〔1870～1945〕　女流詩人・小説家。労働や人間の団結をうたった社会性の強い作品が多い　①文学 461 B
ネグリジェ　⑬生活→服装〔西洋〈近代前期〉〕図
ネグリチュード　①文学 461 B　→アフリカ文学〈第 2 期〉　→サンゴール, L　→セゼール, A
ネグリン, J　スペイン〔1887～1956〕　政治家,内乱時の最後の共和国首相。海外の亡命共和派政権の首相もつとめた　⑨世史 484 C
ネグロ(川)　ブラジル　⑩世地 455 B　→アマゾン(川)〔支流〕
ネグロ(川)　アルゼンチン　⑩世地 455 B　→アルゼンチン(共和国)〔自然〕
ネグロ(川)　ウルグアイ　⑩世地 455 B
ネグロス(島)　フィリピン　⑩世地 455 B
ネグロトガリバ　⑳動物→ガ図
ネグンドカエデ〈トネリコバノカエデ〉　⑲植物 473 B　→カエデ図
ネゲブ(砂漠)　イスラエル　⑩世地 455 C
ネーゲリ, K　スイス〔1817～1891〕　植物学者。生命の基本単位を細胞よりも小さいミセル結晶であると主張　⑲植物 473 B　⑮化学→ミセル
ネコ(二世)　⑨世史→エジプト〔歴史と文化〈後期王朝時代〉〕
ネコ〔猫〕　⑳動物 479 A図　⑥日史→畜産業　⑨世史→家畜史　⑲植物→マタタビ
『猫』　①文学→萩原朔太郎
ネコイタチ　⇨マングース
ねこいらず　⑭医学→中毒〔表症状と応急手当〕
『根こぎにされた人々』　①文学→バレス, M
猫崎半島　⑦日地→山陰海岸国立公園　⑧日地→竹野(町)
ネコザメ〔猫鮫〕　⑳動物 481 B　→サメ〔外部形態〕図
猫地蔵祭　⑧日地→東京(都)〔別年中行事〕
猫舌　⑭医学→舌〔味蕾〕
ネコシデ　⇨ウラジロカンバ
ネコジャラシ　⇨エノコログサ
猫条虫　⑳動物→条虫〔真正条虫類〕
猫背　⑭医学→背せ〔脊柱彎曲異常〈脊柱後彎〉〕
ネコゼミジンコ　⑳動物→ミジンコ図
根子岳ねこだけ〔猫岳〕　熊本　⑧日地 915 C　⑦日地→阿蘇山
猫塚　⑤日史→石清尾山石塚いわせおやま
寝言　⑭医学→睡眠〔睡眠中にどんなことがおこるか〕
ネコドリ〔猫鳥〕　⑳動物 481 B
ねこ流し　⑰科技→金〔製法〕　→鉱山〔囲用語〕
ネコノシタ〔猫舌〕〈ハマグルマ〉　⑲植物 473 C図
ネコノチチ〔猫乳〕　⑲植物 473 C図
ネコノミ　⑳動物→ノミ〔種類〕
ネコノメソウ〔猫目草〕　⑲植物 474 A図
ネコハギ　⑲植物→メドハギ
ネコハグモ　⇨ハグモ
ねこひっかき病　⑭医学→感染症〔表〈ウイルス性〉〕
根瘤線虫病　⑲植物→病虫害〔表病害〕　⑳動物→線虫〔植物寄生線虫〕図
猫魔ヶ岳　福島　⑧日地 915 C　→磐梯(町)
猫間障子　②美術→障子　⑬生活→障子〔種類〕図
ネコマタギ　⑳動物→アブラガレイ
猫又山　⑦日地→毛勝三山けかち
ネコマネツグミ〔猫真似鶫〕　⑳動物 481 B
ネコマネドリ　⇨ネコマネツグミ
猫目石〈キャッツ・アイ〉　⑱宇地 514 B　→宝石〔図〈天然〉〕　⑬生活→宝石
根古屋　⑦日地→久能山
ネコヤナギ〔猫柳〕〈カワヤナギ〉　⑲植物 474 A　→ヤナギ図
根来組ねごろ　⑥日史→鉄炮百人組ひゃくにん
根来山　④哲宗→真言宗〔歴史〕
根来寺　④哲宗 450 D　⑥日史 903 C　→根来衆　②美術→庭園囲　→根来塗　⑦日地→岩出(町)図
根香寺　⑦日地→国分台　→四国地方〔別四国八十八か所〕
根来寺教団　④哲宗→覚鑁かくばん
根来衆　⑥日史 903 C
根来塗　②美術 456 A
ネザサ〔根笹〕　⑲植物 474 A　→タケ〔分類〕
『寝覚』　⇨『夜の寝覚』
寝覚ノ床　長野　⑧日地 915 D　⑦日地→上松(町)あげまつ　→木曾谷〔観光〕図
『寝覚物語絵巻』　②美術→絵巻〔囲作品〕　⑲植物→サクラ別
ネザランズ・ダンス・シアター　③音演→バレエ〔20 世紀〕
ネーサン, G　アメリカ〔1882～1958〕　演劇評論家・雑誌編集者。毒舌を含んだ独特の文体で活躍　①文学 461 B
ネーサン, R　アメリカ〔1894～〕　小説家。ファンタジーが多く,詩集や戯曲もある　①文学 461 B
ねじ〔螺子〕　⑰科技 509 A図
ネジアヤメ　⑲植物 474 B
ネジガイ　⑳動物→イトカケガイ
ネジキ〔捩木〕　⑲植物 474 B図
ねじ切り旋盤　⑰科技→工作機械〔旋盤〕表　→モーズリー, H図
ねじくぎ　⑰科技→軌道〔レール締結装置〕図
ねじ研削盤　⑰科技→工作機械〔研削盤〕表
ねじコンベヤー　⑰科技→コンベヤー図
ねじ締り　⑬生活→建具〔建具金物〕図
ねじ立て　⑰科技→手仕上げ
ネジド　⇨ナジド
『ねじの回転』　③音演→ブリトゥン, B
ねじ歯車　⑰科技→歯車〔種類〕図
ネジバナ〔捩花〕　⑲植物 474 C図
ねじフライス盤　⑰科技→工作機械〔フライス盤〕表
ねじポンプ　⑰科技→ポンプ〔特殊〈回転ポンプ〉〕図
根占(町)ねじめ　鹿児島　⑧日地 915 D
根締め　⑬生活→いけ花〔囲用語〕
寝釈迦　⑩世地→ペグ図
ねじりコイルばね　⑰科技→ばね図
ねじり試験　⑰科技→材料試験〔その他〕

熱伝導度　⑯物数→真空計〔ピラニ真空計〕
熱伝導方程式　⑯物数→応用数学　→微分方程式〔偏微分方程式〈定理〉〕
熱電発電　⑰科技 510 C　→直接発電図
熱てんびん　⑯物数→てんびん
ネットイン　⑬生活→卓球〔囲用語〕
熱動継電器　⑰科技→開閉器〔電磁開閉器〕
ネットタッチ　⑬生活→バレーボール〔競技方法〕
ネットワーク回線　⑰科技→テレビジョン〔テレビ放送局〕
『熱の解析的理論』　⑯物数→フーリエ，J
熱波　⑱宇地→暖波
熱爆発　⑮化学→爆発
根津一はじめ　[1860/1927]　明治・大正期の軍人・教育者。東亜同文書院を創立　⑥日史 903 D
根津美術館　②美術 682 A　⑧日地→東京(都)表　⑫経産→根津嘉一郎
ネップ〔NEP〕〈新経済政策〉　⑨世史 485 A　→戦時共産主義　→ソビエト(連邦)〔十月革命〕　⑪政社 469 A　⑫経産 474 A　→国家資本主義
熱風炉　⑰科技→高炉図
熱物質説　⑯物数→熱
熱分解　⑮化学 487 A　→分解
熱平衡　⑯物数→昇華　→熱　→熱力学の法則〔熱力学第0法則〕
熱放散　⑭医学→熱
熱放射　⑯物数 430 B　→ウィーンの変位則　→黒体　→熱〔移動〕　→光〔吸収と放出〕　→プランクの分布則　→量子論〔量子仮説と光量子〕
熱膨張　⇨膨張
熱容量　⑯物数 430 C　→熱〔熱概念の出発〕　→比熱
熱雷　⑱宇地→雷〔種類〕
熱力学　⑯物数 430 C　→可逆変化　→クラウジウス，R　→ジュール，J　→ジュール-トムソン効果　→熱　→熱力学の法則　⑮化学→ギブス，J　→絶対温度
熱力学温度　⑯物数→単位〔温度目盛および熱〕
熱力学第0法則〈3体系間の熱平衡法則〉　⑯物数→熱〔熱平衡〕　→熱力学の法則
熱力学第1法則　⑯物数→カルノー・サイクル　→内部エネルギー　→熱力学の法則　→比熱　→不可逆変化
熱力学第2法則　⑯物数→エントロピー　→カルノー・サイクル　→クラウジウス，R　→断熱変化　→熱〔熱力学の形成と熱概念〕　→熱力学の法則　→不可逆変化　→ボルツマン，L
熱力学第3法則〈ネルンスト-プランクの法則〉　⑯物数→エントロピー　→熱力学の法則
熱力学の法則　⑯物数 431 A　→温度　→熱力学
熱量　⑬生活→栄養〔熱量代謝〕
熱量　⑯物数 431 C　→単位〔温度目盛および熱〕→比熱
熱量計　⑯物数 432 A　→熱量
熱量代謝　⑬生活→栄養
熱ロート　⑮化学→化学実験〔実験器具〈分離〉〕
根抵当　⑫経産→抵当権〔特殊の抵当権〕
ネーティ・ネーティ　④哲宗→インド哲学〔古代〕
ネディム　[1680/1730]　オスマン・トルコ帝国の宮廷詩人。華やかな「チューリップ時代」を表現して名声を博す　①文学 461 C　⑨世史→チューリップ時代
ネーデルラント　⑩世地 455 C　⇨オランダ(王国)
ネーデルラント楽派　⇨フランドル楽派
ネーデルラント侵略戦争　⑨世史→アーヘンの和約
ネーデルラント独立運動　⑨世史→ホールン伯
ネーデルランド美術　②美術 456 B　→オランダ美術
ネト　①文学→アフリカ文学〈第2期〉
ネナシカズラ〔根無葛〕　⑲植物 475 C図　→寄生図　→マメダオシ　→薬用植物表
『ねなしかずら』　①文学→ルナール，J
ネヌケ　⑳動物→ジグモ
ねね　⇨北政所
ネネツ人　⑩世地→シベリア〔住民〕　→北極〔住民・産業〕　⑪政社→少数民族問題
子ノロ　青森/十和田湖町　⑧日地 915 D
根の国　④哲宗→日本神話囲　⑤日史→水葬
子ノ権現　⑦日地→奥武蔵　⑧日地→飯能(市)
『子の日』　③音演→狂言〔本狂言の分類〕
子の日遊び　⑬生活→日本料理〔歴史〈平安〉〕
ネバ(川)　ソ連　⑩世地 455 C
根羽(村)　長野　⑧日地 915 D
ネバーイー　[1441/1501]　トルコの詩人。トルコ語の文学用語としての水準を高めた　①文学 461 D　→トルコ文学〔イスラム化後〕
ネバ川の戦い　⑨世史→アレクサンドル・ネフスキー　→ノブゴロド公国
ネバダ(州)　アメリカ　⑩世地 455 C
ネバダ(山脈)　スペイン　⑩世地 455 D
根浜海岸　⑦日地→釜石(市)
ネバリハコベ　⇨ヤンバルハコベ
ネパール(王国)　アジア　⑩世地 455 D図
ネパール戦争　⇨グルカ戦争
ネパール・ヒマラヤ　⑩世地→ヒマラヤ(山脈)〔区分〕図
涅槃ねはん　④哲宗 451 A　→釈迦〔説法〕　→仏教〔囲用語〕　→法
涅槃会　④哲宗→涅槃　⑦日地→京都(市)〔生活・文化〈四季と行事〉〕
涅槃学派　④哲宗→曇無讖
『涅槃経』　⇨『大般涅槃経』
『涅槃経疏』　④哲宗→灌頂
『涅槃交響曲』　③音演→黛敏郎
涅槃寺〈ポー寺院〉　⑩世地→バンコク図
涅槃寂静　④哲宗→仏教〔インド仏教〈原始仏教〉〕
涅槃西風〈彼岸西風〉　⑱宇地→風〔表季題〈春〉〕
ネーピア，J　イギリス[1550/1617]　数学者。著書『驚くべき対数の規則の記述』により対数の創始者とされる　⑯物数 432 A図　→小数〔小数点〕　⑰科技→計算機〔歴史〕
ネーピア　ニュージーランド　⑩世地 457 A
ネピア・アボット　①文学→『千夜一夜物語』
ネーピアズ・ボーンズ　⑰科技→計算機〔歴史〕図
寝冷え　⑭医学 453 D
ネビキグサ　⇨アンペライ
ネービス(島)　⑩世地→小アンチル(諸島)　→リーワード(諸島)
ネフェリン　⇨霞石
ネーフェルスの戦い　⑨世史→モルガルテンの戦い
ネフェルタリ　②美術→アブ・シンベル神殿
ネフェルティティ　エジプト[＊.]　第18王朝の王妃。テル・エル・アマルナで彼女の彩色胸像が発見された　⑨世史 485 B　→イクナートン　→エジプト図
ネブカドネザル(二世)　[＊.]　新バビロニア帝国第2代の王。イェルサレムを攻略し住民を強制移住。首都バビロンを整備　⑨世史 485 B　→カルディア　→新バビロニア帝国　→バビロン捕囚　→メソポタミア文明　→ユダ王国
寝袋　⑬生活→登山〔登山用具〕
ネフスキー大通り　⑩世地→レニングラード図
ねぶた祭　⑦日地→青森(市)〔観光〕図
ねぷた祭　⑦日地→黒石(市)図　⑧日地→弘前(市)〔観光〕図
ネフ・チャート　⑱宇地→天気図〔種類〕
ネプチュス　④哲宗→エジプト神話〔オシリス神話〕図
ネプチューン　⇨海王星
ネプツニウム　⑮化学→アクチノイド元素　→エーベルソン，P　→マクミラン，E
ネプツニウム系列　⑮化学→崩壊〔崩壊系列〕　⑯物数→放射性核種の系列
ネフド(砂漠)　⇨アンナフード(砂漠)
ねぶと　⇨おでき
ネブノキ　⇨ネムノキ
ネブラスカ(州)　アメリカ　⑩世地 457 A
ネフリュードフ　①文学→トルストイ，L〔復活〕
ネーブルオレンジ　⑬生活→果物〔柑橘類〕　⑲植物→オレンジ　→柑橘類〔原生地と栽培史〕
ネープルス　⇨ナポリ
ネフローゼ症候群　⑭医学 453 D　→食事療法〔腎臓病〕　→腎臓〔疾患〕
ネフロレピス　⑲植物 475 C
ネフロン〈腎単位〉　⑭医学→腎臓〔構造〕　⑳動物→腎臓
『ネヘミヤ記』　④哲宗→聖書〔囲〈旧約〉〕
ネベリスク〈本斗〉　南樺太　⑩世地 457 A
ネベーロフ，A　ソ連[1886/1923]　小説家。「鍛冶屋」グループに属し，農村の底辺における革命を描いた　①文学 461 D　→農民文学
ネペンテス　⇨ウツボカズラ
『寝惚先生文集』　①文学→狂詩　→蜀山人
ネポス，C　[前99?/24?]　ローマの伝記作家。23人の海外の名将の伝記が現存　①文学 461 D　→ラテン文学〔共和政末期〕
ネホッケ〈タラバホッケ〉　⑳動物→ホッケ
寝間　②美術→民家〔日本〈間取り〉〕
ネマガリダケ〔根曲竹〕　⑲植物 476 A　→山菜　→タケ図
寝巻　⑬生活→和服〔種類〈下着類〉〕
ネマチック状態　⑮化学→液晶〔分類〕図
ネマトーダ　⇨線虫
ネマーニャ，S　⑨世史→東欧史〔歴史〕
ネマーニャ朝　⑨世史 485 C
ネミロビッチ=ダンチェンコ，V　ソ連[1858/1943]　劇作家・演出家。モスクワ芸術座を創立。俳優の育成にあたる　①文学 461 D　③音演 413 D図　→スタニスラフスキー，K　→ロシア演劇
根結び下げ髪　⑤日史→垂髪
ネムチノフ，V　ソ連[1894/1964]　経済学者・統計学者。農業における数理統計学の手法の利用が有名　⑫経産 474 A図
ネムチャ　⇨カワラケツメイ
ネムノキ〔合歓〕　⑲植物 476 A図　→マメ科図
合歓の郷　⑧日地→浜島(町)
『眠られぬ夜のために』　④哲宗→ヒルティ，C
『眠狂四郎無頼控』　①文学→柴田錬三郎
ネムリグサ　⇨オジギソウ
眠り薬〈睡眠剤〉　⑭医学→睡眠
眠灯台　⑥日史→灯台
眠り流し　⑦日地→秋田(県)〔文化〈郷土芸能〉〕　⑧日地→能代(市)図
『眠り猫』　②美術→蟇股図　⑥日史→左甚五郎　⑧日地→日光(市)〔囲東照宮〕図
『眠りの神の書』　①文学→シャール，R
眠り仏の舞　③音演→稚児舞
『眠るパリ』　③音演→クレール，R
『眠れるジプシー』　②美術→ルソー，H図
『眠れる美女』　①文学→川端康成
『眠れる美女』　①文学→ロッソ・ディ・サン・セコンド　③音演→ロッソ・ディ・サンセコンド
『眠れる森の美女』　③音演→チャイコフスキー，P〔作風と作品〕
根室(支庁)　北海道　⑧日地 915 D
根室(市)　北海道　⑥日史 903 D　⑧日地 916 A図
根室海峡　⑧日地 916 B
根室半島〈花咲半島〉　北海道　⑧日地 916 B　→納沙布岬　⑦日地→落石岬
根室本線　⑧日地 916 B　⑦日地→新狩勝トンネル
根室湾　⑧日地 916 C
ネメア祭　⑬生活→オリンピック〔古代〕
ネメシア　⑲植物 476 B
ネメシアヌス　[＊.]　3世紀末活躍のローマの叙事詩人。4編の短い『牧歌』などがある　①文学 462 A
ネメシス　④哲宗→ギリシア・ローマ神話〔囲神名〕
ネーメット　ハンガリー[1901/1975]　小説家。校医生活を経て文筆活動に入り，「民衆派」作家運動の理論的指導者となる　①文学 462 A　③音演→東欧演劇〔ハンガリー〕
『ネーメン川のほとり』　①文学→オジェシュコバ，E
根本山　⑦日地→足尾山地
ネモフィラ　⑲植物 476 B図
寝屋川(市)　大阪　⑧日地 916 C
寝宿　⑥日史→娘組　→若者組
根雪　⑱宇地→雪〔積雪の分布〕
ネーリ，F　イタリア[1515/1595]　③音演→オラトリオ
練糸　⑬生活→生糸
練りうに　⑬生活→塩辛〔種類〕
練りおしろい　⑬生活→おしろい
練織物〈練絹織物〉　⑬生活→絹織物
捻重　⑥日史→単重
ネリガン，E　カナダ[1879/1941]　フランス系の詩人。若くして詩才を発揮，絶望に満ちた作品を発表し20歳で発狂　①文学 462 A
練絹　⑬生活→織物　→絹織物
練切餡　⑬生活→餡
練供養〈聖衆来迎練供養会式〉　④哲宗→当麻寺　⑧日地→奈良(市)〔別年中行事〕
練香　②美術→香合
練り製品　⑬生活 488 A　→おでん　→水産加工品〔種類〕
練積　⑬生活→垣〔石垣〕図
ネリネ　⑲植物 476 B
『ネーリの通夜』　①文学→フチーニ，R
練りパイ　⑬生活→パイ
練馬(区)　東京　⑧日地 916 C図
練馬ダイコン　⑧日地→東京(都)〔歴史〈近世〉〕　⑲植物→ダイコン図

ノ

の

能登川(町) 滋賀 ⑧日地 921 C
ノドグロミツオシエ ⑳動物→ミツオシエ
能登金剛 石川 ⑧日地 921 D →富来(町) →能登半島図
ノトサウルス ⑱宇地→恐竜〔進化〈ひれ竜類〉〕 →ひれ竜
能登島 石川 ⑧日地 921 D →七尾湾 →能登島(町)
能登島(町) 石川 ⑧日地 921 D →能登島
能登上布 ②美術→上布 ⑧日地→鳥屋(町)
ノドジロオマキザル ⑳動物→オマキザル
ノトス ⑱宇地→風〔風と生活〕〔民俗〕〔表局地風〕
ノードチン(岬) ⑩世地 458 B
能登国 石川 ⑥日史 915 B囲 ⑧日地 921 D ⑦日地→石川(県)〔歴史〕
能登のまだら ⑦日地→石川(県)〔文化〈芸能〉〕
能登半島 石川・富山 ⑧日地 921 D図 →能登半島国定公園 →宝達丘陵 ⑦日地→石川(県)〔自然〕 →奥能登丘陵
能登半島国定公園 石川・富山 ⑧日地 922 B図 →能登半島
のどぼとけ ⇨喉頭隆起
ノードホフ, C [1887-1947] 小説家。海洋冒険物のほかに,合作で南太平洋を舞台にした作品がある ①文学 465 C
能登麦屋節 ⑦日地→石川(県)〔文化〈芸能〉〕
ノートル, A [1613-1700] ⑲植物→庭〔歴史と様式〕
ノートル=ダム ④哲宗 452 D図 →マリア〔崇敬〕
ノートル・ダム楽派 ③音演 423 D →オルガヌム
ノートルダム寺院〈ノートルダム・ド・ラ・ガルド〉 ⑩世地→マルセイユ
ノートルダム寺院 ⑩世地→リヨン図
ノートル・ダム大聖堂 ②美術 456 D図 →建築図 ④哲宗→ノートル=ダム図 ⑩世地→パリ〔囲観光地〕図
ノートルダム・デ・ドム ⑩世地→アビニヨン
ノートル=ダム・ド・シャルトル ④哲宗→シャルトル大聖堂
『ノートル=ダム・ド・パリ』 ①文学→ユゴー, V →歴史小説
『ノートル・ダムのせむし男』 ③音演→バレエ図
ノトルニス〈タカヘ〉 ⑳動物 487 A図
能取湖 北海道 ⑧日地 922 C図
能取岬 北海道/網走市 ⑧日地 922 D
咽喉輪 ⑤日史→甲冑〔小具足〕
ノートン, T [1532-1584] ③音演→近代劇
野中至 [1867-1955] 気象観測者。日本の高山気象観測の先駆者。私財で富士山頂に観測所を建設 ⑱宇地 516 A
野中金右衛門 [1761-1846] ⑥日史→日向国〔囲人国記〕
野中兼山 [1615-1663] 江戸初期の儒学者。南学派の一人。土佐藩に仕え殖産事業を促進 ④哲宗 453 A ⑥日史 915 B →土佐国〔囲人国記〕 →土佐藩 ⑧日地→土佐山田(町) →野市(町)
野中寺 ⇨野中寺
ノナン ⑮化学→アルカン〔表異性体〕
ノニガナ〔野苦菜〕 ⑲植物 480 C →ニガナ
ノニン ⑮化学→アルキン〔表物理的性質〕
ノネズミ〔野鼠〕 ⑳動物 487 A →ネズミ〔分類〕 ⑭医学→秋季レプトスピラ病
ノネン ⑮化学→アルケン〔表物理的性質〕
ノーノ, L [1924] 作曲家。ウェーベルンの後期の技法を継承発展させる ③音演 423 D →現代音楽〔第二次大戦後〈ミュジック・セリエル〉〕
野々市(町) 石川 ⑧日地 922 D
野々口立圃 [1595-1669] 江戸前期の俳人。和学にも通じ,絵は俳画の先駆をなす ①文学 465 C →歳時記
野宮 ④哲宗→神社〔囲用語〕図
『野宮』 ③音演 423 D図 →『葵上』
野々村仁清 [＊.] 江戸初期の京焼の名工。仁和寺門前に窯を築いた。京焼色絵の祖といわれる ②美術 457 B図 →京焼 →陶芸〔日本〈近世〉〕図 ⑥日史 915 C ⑤日史→尾形乾山 ⑮化学→陶磁器〔歴史〈日本〉〕
ノバ ⑱宇地→アポロ計画〔計画の推進まで〕
ノーバ管 ⑰科技→電子管〔図受信管〕
ノハギ ⇨キハギ
ノバーク, V [1870-1949] ③音演→スーク, J
ノバスコシア(州) カナダ ⑩世地 458 B →アカディア
ノハナショウブ〔野花菖蒲〕 ⑲植物 480 C図 →アヤメ図
ノバ・フタ ⑩世地→クラクフ
ノバヤゼムリャ ソ連 ⑩世地 458 C
ノバラ イタリア ⑩世地 458 C
ノバラ ⇨ノイバラ
『野ばら』 ③音演→歌曲〔種類〕 →シューベルト, F〔作風と作品〕
ノハラアザミ〔野原薊〕 ⑲植物 480 C →アザミ図
『野ばらの書』 ①文学→アルムクビスト, C
ノバラの戦い ⑨世史→イタリア・オーストリア戦争 →カルロ・アルベルト
ノバリケン ⑳動物→バリケン
ノバーリス ドイツ[1772-1801] 詩人・詩人的哲学者。詩的想像力と哲学的想像力の一致を説く ㊥『青い花』 ①文学 465 C図 ④哲宗 453 A ⑪政社→政治的ロマン主義
野原岳 ⑦日地→上野(村)《沖縄》
伸び ⑬生活→囲碁〔囲用語〕
『野火』 ①文学→大岡昇平 →日本文学〔近代〈戦後文学〉〕 →モリス, I
ノビアル ①文学→イェスペルセン, O
ノビコフ, N ロシア[1744-1818] 風刺作家・ジャーナリスト。社会風刺と啓蒙を目的に雑誌を次々と刊行 ①文学 466 A ④哲宗 453 B
ノビコフ, S [1937] ⑯物数→多様体〔歴史〈ポアンカレの予想〉〕
ノビコフ=プリボイ, A ソ連[1877-1944] 小説家。バルチック艦隊の水兵として日本海海戦に参加 ①文学 466 A
ノビサド ユーゴ ⑩世地 458 C
ノビスパン ⑥日史 915 C
ノビタキ ⑳動物→ヒタキ図
伸び弾性率 ⇨ヤング率
ノーヒット・ノーラン ⑬生活→野球〔囲用語〕
野火止 埼玉/新座市 ⑧日地 922 D →新座(市)
野火止用水 埼玉 ⑧日地 922 D →玉川上水 →新座(市) →武蔵野 ⑥日史→玉川上水
野非人 ⑥日史→非人
ノビネチドリ ⑲植物→チドリソウ
ノーヒューズ・ブレーカ〈安全ブレーカ〉 ⑬生活→電気器具〔安全装置〕図 ⑰科技→ブレーカー
ノビリタス ⑨世史 488 D →ローマ〔共和政期〕
ノビル〔野蒜〕 ⑲植物 480 C図 →山菜 ⑬生活→山菜〔種類〕図
野蒜 宮城/鳴瀬町 ⑧日地 923 A →鳴瀬(町)
野蒜運河 ⇨東名運河
ノビレ, U イタリア[1885-1978] 探検家。北極飛行の開拓者。1926年自作の飛行船で北極飛行に成功 ⑱宇地 516 A →アムンゼン, R →北極〔探検史〕 ⑨世史→アムンゼン, R ⑩世地→北極〔歴史・探検〕
ノビレス ⑪政社→ローマの政治思想〔序説〕
『ノーブイ・ミール』 ①文学 466 A →エレンブルグ, I →エレンブルグ, G →トワルドフスキー, A
ノーフォーク アメリカ ⑩世地 458 C
ノーフォーク(島) オーストラリア/太平洋 ⑩世地 458 C
ノーフォーク・システム〈輪栽式農業〉 ⑫経産→畜産〔歴史〕 →農業 →農業近代化
ノーフォークジャケット ⑬生活→ジャケット〔分類〕図
ノブキ〔野蕗〕 ⑲植物 481 A図 →種子〔図〈動物に付着〉〕
『伸子』 ①文学→宮本百合子図
ノブゴロド ソ連/ロシア ⑩世地 458 C ⑨世史→ノブゴロド公国 →リューリク →ロシア〔歴史〈古代・中世〉〕
ノブゴロド公国 ⑨世史 488 D
ノブゴロド派 ②美術→イコン〔ロシア〕図
野伏 ⑥日史 915 C
ノブスマ ⇨ムササビ
野札 ⑤日史→入会
ノブドウ〔野葡萄〕 ⑲植物 481 B図
信時潔 [1887-1965] 作曲家。ドイツ風作曲技法の日本定着に貢献 ㊥『海ゆかば』 ③音演 424 A
『信長公記』 ⑥日史 916 A ①文学→『信長記』 ⑤日史→太田牛一
ノブノキ ⇨ノグルミ
順仁皇子 ⇨六条天皇
『ノブム・オルガヌム』〈新機関〉 ①文学→ベーコン, F ④哲宗→イギリス哲学〔近世〈15～17世紀〉〕 →ベーコン, F ⑨世史→ベーコン, F ⑯物数→数学教育〔歴史〈大学〉〕
『伸予』 ①文学→芥川賞表
ノープリウス眼 ⑳動物→単眼
ノープリウス幼生 ⑳動物→イセエビ図 →エビ〔発生〕図 →カニ〔発生〕 →幼生
ノーブル・オパル〈貴たんぱく石〉 ⑱宇地→オパル
ノブルバード ⇨カンムリウズラ
延岡(市) 宮崎 ⑧日地 923 B図
野辺送り ⑬生活→葬式〔出棺から埋葬〈出棺〉〕
延沢銀山 ⑦日地→尾花沢(市)
野辺地(町) 青森 ⑧日地 923 C
野辺地湾 ⑧日地 923 C
『ノベチェント』 ①文学→ボンテンペッリ, M
延売買 ⑥日史 916 A
延べ払い輸出信用 ⑫経産→経済協力
延米 ⑥日史 916 A
延面積〈延坪〉 ⑬生活→住まい〔土地〈敷地〉〕
野辺山太陽電波観測所 ⑱宇地→電波望遠鏡図 →天文台〔日本〕
野辺山原 長野 ⑧日地 923 D →南牧(村)
ノーベリウム ⑮化学→アクチノイド元素
ノベル ①文学→文学〔囲用語〕
ノベール, J フランス[1727-1810] 舞踊家・振付者。バレエ・ダクションを提唱。パリ・オペラ座のバレエ・マスターとなる ③音演 424 A →バレエ〔起原〕
ノーベル, A スウェーデン[1833-1896] 発明家。珪藻土を利用して安全火薬を発明。遺産はノーベル賞基金となる ⑮化学 493 B図 →火薬〔歴史〈推薬〉〕 →ダイナマイト →ニトログリセリン ⑨世史→火薬
ノーベル賞 ①文学→文学賞 ⑮化学→ノーベル, A ㉑索引 95 表
ノーベル生理学医学賞 ⑭医学 472 A図表
延渡し ⑫経産→商品〔売買〕 →売買
『ノベンバー・ステップス第一番』 ③音演→武満徹
ノボカイン ⑮化学 493 C →塩酸プロカイン
ノボクズネツク ソ連/ロシア ⑩世地 458 D →シベリア〔産業〕図
ノボケ ⇨クサボケ
ノボシビルスキー(諸島) ソ連 ⑩世地 458 D →リャホスキー(諸島)
ノボシビルスク ソ連/ロシア ⑩世地 458 D →シベリア〔住民〕 →アカデムゴロドーク
野甫島 ⑦日地→伊平屋(村)
のぼせ〔逆上〕 ⑭医学 474 A
のぼせ糸 ⑤日史→生糸 ⑥日史→養蚕
ノボタン〔野牡丹〕 ⑲植物 481 B図
ノボトニー チェコ ⑪政社→チェコ事件 →東欧政治事情〔プラハの春〕
能褒野 三重 ⑧日地 923 D
能褒野前方後円墳 ⑦日地→亀山(市)
ノボビオシン ⑭医学→抗生物質表 ⑮化学→抗生物質〔主要なもの〕
ノボビリニア ⇨ビリニュス
ノボラック ⑮化学 493 C →フェノール樹脂
幟 ⑥日史 916 B →旗
登窯 ⑥日史→窯址図 ⑮化学→かま図 →陶磁器〔焼成炉〈半連続式〉〕
昇り高欄 ②美術→高欄
のぼり猿 ⑧日地→延岡(市)図 ⑬生活→郷土玩具〔沿革〕
昇曙夢 [1878-1958] ロシア文学者。ソ連初期の文芸理論を精力的に翻訳,紹介 ①文学 466 B
登戸〈稲田登戸〉 川崎市/多摩区 ⑧日地 923 D →多摩(区)
幟旗 ⑥日史→旗
登髭 ③音演→狂言〔面・装束・道具〕 →能〔図狂言面〕
ノボリフジ〔昇藤〕 ⑲植物→ルピナス
登別(市) 北海道 ⑧日地 923 D図
登別温泉 ⑧日地→登別(市)
ノボリリュウ〔昇竜〕 ⑲植物 481 C →キノコ〔別子嚢菌類〕
登り竜 ⑥日史→左甚五郎
ノボロギク〔野襤褸菊〕 ⑲植物 482 A →帰化植物〔自然帰化植物〕 →サワギク図
ノボロシースク ソ連/ロシア ⑩世地 459 A
野間 愛知/美浜町 ⑧日地 924 A →知多半島 →美浜(町)《愛知》
野馬追 ⇨相馬の野馬追い
野間清治 [1878-1938] 出版人。講談社の創業者。大衆向けの出版に尽力 ①文学 466 B ⑥日史 916 B ⑫経産→出版業〔歴史〕
野間大坊 ⑧日地→美浜(町)《愛知》
野間半島 鹿児島 ⑧日地 924 A
野間仁根 ②美術→昭和の美術〔在野団体の動き〕
野間宏 [1915] 小説家。マルクス主義への傾倒,陸軍刑務所服役などを体験し「第一次戦後派」の代

ハ
は

パシフィックリム国立公園　⑩世地→カナダ〔表国立公園〕
ハシブトウミガラス　⑳動物→ウミガラス
ハシブトガラス　⑳動物→カラス図
ハシブトゴイ〔嘴太五位〕　⑳動物 497 C
ハシボソガラス　⑳動物→カラス図
ハシボソシロチドリ　⑳動物→シロチドリ
ハシボソミズナギドリ　⑳動物→ミズナギドリ図　→渡り〔赤道越え型〕
羽島　⑧日地→萩(市)　→六島諸島
羽島(市)　岐阜　⑧日地 935 A
端島　⇨軍艦島
ハシマガリチドリ　⑳動物→チドリ　→鳥類〔形態〈くちばし〉〕
羽島港　⑦日地→串木野(市)
ハーシム家　⑨世史→アラブ連盟　→汎アラブ主義　→ヒジャーズ王国
ハシメサウド油田　⑩世地→アルジェリア(民主人民共和国)図　⑫経産→中東経済事情図
橋本(市)　和歌山　⑧日地 935 B
橋本宇太郎　⑬生活→囲碁〔歴史と現況〈新聞碁〉〕
橋本英吉　[1898-1978]　小説家。プロレタリア文学運動に参加,検挙され転向して農村小説を書く　㊥『富士山頂』　①文学 478 C
橋本雅邦　[1835-1908]　日本画家。東京美術学校創立に尽くし,明治新日本画創造のため積極的に働く　②美術 462 D図　→狩野派　→明治の美術〔フェノロサの来朝と日本画の復興〕
橋本関雪　[1883-1944]　日本画家。四条派の写生に南画を加味し独特の画風を展開。猿を描くのを得意とした　②美術 463 A
橋本欣五郎　[1890-1957]　昭和前期,日本ファシズムを代表する一人。三月事件・十月事件を企てる　⑥日史 926 D　⑤日史→桜会　→三月事件　→十月事件　⑪政社→極東国際軍事裁判〔表被告人〕
橋本国彦　③音演→日本音楽〔あゆみ〈近代〉〕
橋本五郎右衛門[1648-1735]　⑥日史→豊後国〔囲人国記〕
橋本左内　[1834-1859]　幕末の開明派の志士。雄藩連合による国家の統一と開国促進を意図,安政の大獄で処刑　㊥『啓発録』　④哲宗 459 B　⑥日史 927 A図
橋本進吉　[1882-1945]　国語学者。上代特殊かなづかいの研究で知られる　①文学 478 C
橋本宗吉　[1763-1836]　⑥日史→摂津国〔囲人国記〕
橋本多佳子　[1899-1963]　女流俳人。誓子に師事,行をともにした。『七曜』を創刊主宰　①文学 478 D
橋本徳寿　[1894-]　歌人。写実的な詠風の中に庶民の哀歓をうたった　①文学 478 D
橋本曇斎　[1763-1836]　江戸後期の大阪の蘭学者。エレキテルの実験書で有名　⑥日史 927 B
橋本博　⑤日史→『維新日誌』
橋本平八　[1897-1935]　彫刻家。院展に作品を発表,独特の形態感をもつ木彫で知られる　②美術 463 B
橋本増次郎　⑰科技→自動車〔歴史〈日本〉〕
土師百井　⑦日地→郡家(町)
覇者　⑨世史 494 C　→周〔東周〕　→春秋の五覇
パシャ　⑨世史→シャー
バジャウ族　⑩世地→サバ
馬借　⑥日史 927 B
馬借一揆　⑤日史→一揆　→正長の土一揆　⑥日史→徳政〔徳政一揆〕
羽尺地　⑬生活→和服〔和服地〈種類〉〕
『バジャゼ』　③音演→ラシーヌ,J図
馬車鉄道　⇨鉄道馬車
バジャハタオリドリ　⑳動物→ハタオリドリ
パジャマ　⑬生活→下着〔洋装〕
『バーシャ物語』　①文学→マクシンスキ,K
播種　⑭医学→癌〔生物学的特性〈異所的発育〉〕
覇主　⇨覇者
ハージュー　[1281-1352]　ペルシアの叙情詩人。神秘主義的色彩が強い　①文学 478 D
パジュー,A　[1730-1809]　②美術→古典主義
馬州　⇨但馬国
パシュカーニス,E　ロシア[1891-?]　法律学者。ソビエト法理論史の正統派。加害者的理論として批判される　⑪政社 475 C
馬術　⑥日史 927 B　⑬生活→馬術競技
馬術競技　⑬生活 493 D図　→近代五種競技〔内容〕図
派出婦　⇨家政婦
パシュトゥン族　⑩世地→アフガニスタン(民主共和国)〔社会・文化〕
パーシュパタ派　④哲宗→シバ派
バシュラール,G　フランス[1884-1962]　哲学者。物質への夢想の現象学的研究著作で知られる　①文学 478 D　④哲宗 459 C
バショウ〔芭蕉〕　⑲植物 493 A図
芭蕉　⇨松尾芭蕉
『芭蕉』　①文学→金春禅竹
パジョウ　フランス　⑨世史→ドンソン遺跡
バショウイカ　⇨アオリイカ
『芭蕉翁反古文』　⇨『花屋日記』
バショウカジキ　⑳動物→カジキ〔生態〕図
『芭蕉紀行集』　③音演→箕作秋吉
馬上金山　⑧日地→山香(町)
場所請負制度　⑤日史→アイヌ〔圧迫〕
場所請負人　⑥日史 927 D　⑤日史→蝦夷地〔開拓〕
刃状転位　⑯物数→ディスロケーション図
波状熱　⑭医学→ブルセラ病
馬上の三物　⑤日史→犬追物　→笠懸　→教育制度〔近世以前〕　⑥日史→流鏑馬
芭蕉布　⑦日地→沖縄(県)〔産業・経済〈鉱・工業〉〕
破傷風　⑭医学 482 B　→感染症〔表〈細菌性〉〕　→きず〔咬傷〕〔切創〕　→血清療法〔抗毒素血清療法〕　→予防接種表
破傷風菌　⑭医学→破傷風　→病原体〔病原細菌〕　⑲植物→細菌類〔病原細菌〕
破傷風血清　⑭医学→破傷風
破傷風トキソイド　⑭医学→破傷風〔予防〕
『芭蕉夜雨』　②美術→室町時代の美術〔時代の概観〈禅宗の普及〉〕図
波食　⑱宇地→海岸〔変化〕図
馬続　中国　⑨世史→『漢書』
馬謖　中国　⑨世史→諸葛亮
波食棚　⇨海食台
バジョット,W　イギリス[1826-1877]　経済学者・政治学者。銀行・金融論の権威者　⑫経産 493 B図　→経済学方法論Ⅱ〈仮説・演繹的方法〉　→中央銀行〔成立〕
場所詰めコンクリート杭　⑰科技→基礎工〔杭基礎〕
バジョーフ,P　ソ連[1879-1950]　小説家。ウラル地方の民謡伝説に取材した詩情豊かな作品がある　㊥『石の花』　①文学 479 A
はしょり　⑬生活→長着
柱　②美術 463 B　→オーダー　⑬生活 496 C　→住まい
柱　⑰科技→印刷〔囲用語〕
柱絵　②美術→奥村政信
バージーラーオ　インド　⑨世史→マラータ王国
柱ヶ岳鼻　⑧日地→姫島
ハシラサボテン類　⑲植物→サボテン〔種類〕
柱島　山口/岩国市　⑧日地 935 B
柱図表　⇨ヒストグラム
ハジラミ〔羽蝨〕　⑳動物 497 C　→シラミ〔生態〕
ハジラミ目〈食毛目〉　⑳動物→昆虫〔分類〕〔表現生昆虫の種類〕
ハジラル文化　⑨世史→新石器時代〔生産経済〕
バシラン(島)　⑩世地→スル(諸島)
バシリ,B　③音演→サルスエラ
バシリウス　⇨バシレイオス
走り馬〈お供馬〉　⑦日地→菊間(町)図
バジリカ　②美術 463 D図　→イタリア美術〔中世〕　→キリスト教美術〔初期キリスト教時代〈聖堂〉〕　→メロビング朝美術〔教会建築〕　④哲宗→教会堂〔キリスト教公認以後〕
バジリカータ　イタリア　⑩世地 469 C
ハシリグモ〔走蜘蛛〕　⑳動物 498 A図　→クモ〔生態〕
走島　広島/福山市　⑧日地 935 C
バジリスコス〈バジリスク〉　⑳動物→動物〔囲想像上の動物〕
走高跳び　⑬生活→陸上競技〔種目〕図
走り梅雨　⑱宇地→気候〔日本の四季〕　→梅雨〔入梅と梅雨あけ〕
ハシリドコロ〔走野老〕　⑲植物 493 A図　→薬用植物表　⑭医学→エキス剤〔ロートエキス〕
走幅跳び　⑬生活→陸上競技〔種目〕図
走水　神奈川/横須賀市　⑧日地 935 C
走水神社　⑧日地→横須賀(市)
走物　③音演→雅楽〔唐楽・高麗楽〈舞楽〉〕
バジル,J　⇨ゲード,J
バジル　⑬生活→香辛料囲
バージル　⇨ベルギリウス,P
バジル・ブジョン・M・アルコン　②美術→織物〔織機〈空引き機〉〕
バジーレ,G　イタリア[1575-1632]　文学者。ナポリ方言による民話集『物語の中の物語』はグリムなどに影響を与える　①文学 479 B
バシレイオス〈バシリウス〉　ギリシア[330?-379]　教父。アリウス派の皇帝バレンスの圧力に屈せず正統信仰を擁護　④哲宗 459 D図　→修道会〔東方修道会〕
バシレイオス(一世)　[827-886]　ビザンティン皇帝。なみはずれた体力の持ち主で,帝室の厩番から出世　⑨世史 494 D
バシレイオス(二世)　[958-1025]　ビザンティン皇帝。宿敵ブルガリア王国を滅ぼし,帝国の版図は拡大の極に達した　⑨世史 494 D図　→マケドニア朝
バシレイデス　⑨世史→グノーシス派
『走れウサギ』　①文学→アプダイク,J
バシレウス　⑨世史→アルコン　→僭主政
バージ・レーキ　⑲植物→園芸〔図表園芸用具〕
バシレフ,O　ブルガリア[1904-1977]　③音演→東欧演劇〔ブルガリア〕
『走れメロス』　①文学→太宰治
ハジロキヌバネドリ　⑳動物→キヌバネドリ
ハジロクロハラアジサシ　⑳動物→アジサシ図　→クロハラアジサシ
ハジロコチドリ〔羽白小千鳥〕　⑳動物 498 A　→チドリ
巴人　⇨早野巴人
バージン(諸島)　アメリカ・イギリス/西インド諸島　⑩世地 469 C　→大アンチル(諸島)
バージンアイランズ国立公園　⑩世地→アメリカ(合衆国)〔表国立公園〕
パシング　①文学→黒人文学
ハス〔蓮〕　⑲植物 493 A図　→国花表　→蓮根
ハス〔鰣〕　⑳動物 498 B図
ハース,W　イギリス[1883-1950]　有機化学者。糖類・ビタミン類の構造について研究。ノーベル賞受賞　⑮化学 499 A　→糖〔単糖の環状構造〕
ハズ　⑲植物 493 B
筈　⑬生活→相撲〔囲用語〕
幡豆(町)　愛知　⑧日地 935 C
バス　③音演 434 B　→楽器図　→声域図
バス　⑬生活→衛生陶器図　→浴室
バス　⑰科技 522 B図　⑫経産→自動車運送事業　⑬生活→旅行
バース,J　アメリカ[1930-]　小説家。英文学の教鞭をとるかたわら創作。同国におけるもっとも知性的な作家　①文学 479 B
パス,O　メキシコ[1914-]　詩人・評論家・外交官。学生運動弾圧に抗議,職を辞す。シュルレアリスムの流れをくむ　①文学 479 C
パス〈パラアミノサリチル酸〉　⑭医学→結核〔治療〕
パス　⑰科技→CVS
パース,C　アメリカ[1839-1914]　哲学者・物理学者・数学者・論理学者。記号論の先駆者で,プラグマティズムの提唱者　④哲宗 460 B　→アメリカ哲学〔プラグマティズム〕　→プラグマティズム
パース　イギリス　⑩世地 469 D
パース　オーストラリア　⑩世地 469 D
破水〈胎胞破水〉　⑭医学→出産〔正常分娩〈開口期〉〕
蓮池　⑦日地→志賀高原図
蓮池城跡　⑦日地→佐賀(市)〔観光〕
蓮池藩　⑥日史→鍋島氏　→肥前国
ハスイモ〔蓮芋〕　⑲植物 493 C　→サトイモ
パス・エステンソロ,V　ボリビア[1907-]　法律家・大統領。一連の急激な社会改革に着手したが,軍部クーデターで追放　⑨世史 494 D
ハスカイフクロムシ　⑳動物→フクロムシ
『バースカの思い出』　①文学→デルフィーニ,A
バスカラ　インド[1114-1185]　⑯物数→順列・組合せ　→代数学〔インドとアラビア〕
蓮唐草　②美術→唐草模様
パスカリス(二世)　⑨世史→十字軍〔第1回〕
パスカル,B　フランス[1623-1662]　数学者・物理学者・哲学者。人間の尊厳を「思考すること」にみいだす　㊥『パンセ』　①文学 479 C図　→フランス文学〔17世紀〕　→文芸批評　④哲宗 460 C図囲　→進歩の観念　→フランス哲学〔実証科学〕　⑨世史 495 A　⑯物数 437 A図　→幾何学〔近代〈非ユークリッド幾何〉〕　→射影幾何学　→物理学〔歴史〈近世〉〕　⑰科技→計算機〔歴史〕
パスカル〔Pa〕　⑯物数→単位〔力学に関する単位〈メートル法重力単位系〉〕
『パスカルに於ける人間の研究』　④哲宗→三木清
パスカルの原理　⑯物数 438 A　→圧力〔伝達〕
パスカルの三角形　⑯物数→二項定理表

パスカルの定理　⑯物数→射影幾何学　→パスカル-パップスの定理
『パスカル博士』　①文学→ゾラ,E
パスカル-パップスの定理　⑯物数 438 A図　→幾何学〔近代〈非ユークリッド幾何〉〕
ハスキー　⑳動物→イヌ〔用途〕別
『パスキエ家の記録』　①文学→デュアメル,G
バス記号　③音演→楽典〔囲〈音部記号〉〕
ハスキーボイス　⑭医学→声〔異常〕
パスキル安定度　⑱字地→大気安定度〔大気拡散〕表
パスキル図表　⑱字地→大気拡散〔地表付近〕図
パスキン,J　アメリカ［1885-1930］　ユダヤ人画家。風刺雑誌の挿絵を描いて生活,生涯各国を放浪し制作を続けた　②美術 464 A　→エコール・ド・パリ
ハスキンズ,C　アメリカ［1870-1937］　⑨世史→十二世紀ルネサンス
バスク',G　⑱字地→化石人類〔発見史〕
バスク人　⑨世史 495 A　→スペイン・ポルトガル(史)〔国土の征服〈古代〉〕　⑧日地→民族島〈1235 B〉　⑩世地→スペイン〔略史〕
バスク地方　フランス・スペイン　⑩世地 469 D
バスク・ナマラ　⑩世地→スペイン〔地方誌〕
バス・クラリネット　③音演→クラリネット〔クラリネット属〕図
『パスクワル・ドゥアテルの家庭』　①文学→セーラ,C
八沓山　⑦日地→愛川(町)
バスケットチェック　⑬生活→洋装〔囲洋服地〈格子模様〉〕
バスケットボール　⑬生活 497 A図囲
パスケッラ　③音演→コメディア・デラルテ
バスケービッチ　ロシア　⑨世史→トルコマンチャーイ条約
バスコ　⑩世地→バタン(諸島)
バスコ・ダ・ガマ　ポルトガル［1460?-1524］　航海者。インド航路の開発をめざし,喜望峰を回りインド洋を横断　⑧日地 1230 A　⑨世史 495 B図　→大航海時代〔アフリカ航路開拓〕　⑩世地→インド洋　→喜望峰　⑱字地→探検図
パスコリ,G　イタリア［1855-1912］　詩人。死をみつめ,死者の追憶に生きる　①文学 480 B
バスコントロール〈産児制限〉　⑭医学→受胎調節
羽豆神社　⑧日地→羽豆岬
バズ・セション〈分団討議〉　⑪政社→討議
蓮田(市)　埼玉　⑧日地 935 C
バスター　⑱字地→風〔表局地風〕
バス・タイユ　②美術→七宝〔歴史〈西洋〉〕
バスダクト工事　⑰科技→屋内配線〔配線工事〈フロアダクト工事〉〕
バスタブ　⑬生活→浴室
バス・ダンス　③音演→舞曲
バスチア　⇨バスティア
バスチード,F　フランス［1926］　小説家。ドイツ・ロマン派音楽に傾倒,それが作品のモチーフになる　①文学 480 B
バスチャン=ルパージュ,J　フランス［1848-1884］　画家。自然主義の作家として,自然と働くものの生活を描き続けた　②美術 464 B
バスチーユ襲撃　⑨世史→フランス革命図
バスチーユ広場　⑩世地→パリ〔囲観光地〕
パスツール,L　フランス［1822-1895］　化学者・微生物学者。立体化学・発酵現象・伝染病などの研究で有名　⑭医学 482 D図　→狂犬病〔予防接種〕　→細菌〔研究の歩み〕　⑮化学 499 B図　→酵素　→醸造〔酒類の歴史〕　→発酵　⑲植物 493 C図　⑳動物 498 B図　→自然発生説
パスツール研究所　⑭医学→パスツール,L図
バスティア,C　フランス［1801-1850］　経済学者・自由貿易主義者。スミスやセーの影響を強く受けた　⑫経産 493 C図　→マンチェスター学派
バスティア　フランス　⑩世地 470 A
バスティアニーニ,E　イタリア［1922-1967］　バリトン歌手。フィレンツェの声楽コンクールで一位となり,スカラ座に登場　③音演 434 C
バスティーユ襲撃　⑨世史→フランス革命図
バステト　④哲宗→エジプト神話〔多神教〕図　⑳動物→ネコ〔民俗〕
バスデーバ　インド　⑨世史→シュンガ朝
パステル　②美術 464 B図
パステルナーク,B　ソ連［1890-1960］　詩人・小説家。ノーベル賞受賞をめぐり政治的な嵐に巻き込まれ,ソ連作家同盟除名,同賞辞退　作『ドクトル・ジバゴ』　①文学 480 B図
ハースト,W　アメリカ［1863-1951］　新聞・雑誌経営者。俗悪・暴露記事で発行部数をのばし,マスコミ界に「ハースト王国」を築く　⑪政社 475 D図　⑫経産 493 C
パスト　コロンビア　⑩世地 470 A
パストゥレル　③音演→吟遊詩人〔トルバドゥール〕
『バス通り裏』　③音演→テレビジョン・プレイ〔歴史〕
バス・ドラム〈大太鼓〉　③音演→太鼓〔外国〕　→ドラム図
パストラル〈田園詩〉　③音演 434 C　→音楽用語〈629 C〉　①文学→詩〔囲用語〈形式〉〕
バストランド　⑩世地→レソト(王国)
パストール・エテルヌス　④哲宗→バチカン公会議〔第一〕　⑨世史→バチカン公会議
ハスドルバル　⑨世史→ハンニバル
パストローネ,G　［1882-1959］　③音演→映画〔無声映画〈第2期〉〕
パースニップ　⑲植物 494 A
蓮沼(村)　千葉　⑧日地 935 C
ハースの配座式　⑮化学→糖〔単糖の環状構造〕
ハスノハイチゴ　⑲植物→キイチゴ
ハスノハカシパン　⑳動物→カシパン
ハスノハカズラ〔蓮葉葛〕　⑲植物 494 A図
ハスノハギリ〔蓮葉桐〕　⑲植物 494 A図
ハスの実　⑬生活→ナッツ図表
パスハ　④哲宗→東方正教会〔典礼〕
パスパ〔八思巴〕　［1235-1280］　チベット仏教サキャ派の法主。フビライの命をうけ,パスパ文字を作成　④哲宗 461 C図　⑨世史 495 C
はすばかさ歯車　⑰科技→歯車〔種類〕図
はす葉氷　⑱字地→海氷〔発達過程〕
はすば歯車　⑰科技→歯車〔種類〕図
パスパ文字　④哲宗→パスパ図　⑨世史→元〔文化・思想〕　→パスパ
バスバンドゥ　⇨世親
パスピエ　③音演→舞曲
バス・ビオール　③音演→ビオール属
BASF　ドイツ　⑫経産 493 D　→イー・ゲー・ファルベン
バースプーン　⑬生活→カクテル〔器具〕図
バス・ボイコット運動　⑪政社→アメリカ政治事情〔保守的風潮の支配〕
パスポート〈旅券〉　⑬生活→海外旅行〔渡航手続〕
羽須美(村)　島根　⑧日地 935 C
はずみ車　⑰科技 523 B　⑯物数→慣性モーメント
羽豆岬　愛知/南知多町　⑧日地 935 D
ハスモンヨトウ　⑳動物→ガ図
ハスラー,H　［1564-1612］　③音演→コラール
バスラ　イラク　⑩世地 470 A
ハスラー型回転計　⑰科技→回転速度計
パスリー　⇨パセリ
ハズリット,W　イギリス［1778-1830］　批評家・随筆家。シェークスピア劇研究に優れる　①文学 480 D　→イギリス文学〔ロマン主義〕　→滑稽話
バスル　⑬生活→服装〔西洋〈近代後期〉〕
パ・スル　③音演→バレエ〔囲用語〈パ〉〕
パズル　⑯物数→数学パズル
バスルーム　⇨浴室
バスローブ　⑬生活→下着〔洋装〕
バスーン　⇨ファゴット
初瀬　奈良/桜井市　⑧日地 935 D　→大和青垣国定公園　⑦日地→桜井(市)
長谷　神奈川/鎌倉市　⑧日地 935 D
長谷(村)　長野　⑧日地 935 D
ハゼ〔鯊,沙魚〕　⑳動物 498 B図
初瀬　⑦日地→郷ノ浦(町)
ハーゼ,H　［1863-1919］　⑨世史→独立社会民主党
はぜ脂　⇨木ろう
派生音　③音演→音名・階名〔音名〕図
派生音名　③音演→楽典囲
破生間隙　⑲植物→細胞間隙
バーセイン　ビルマ　⑩世地 470 A
『長谷雄草紙』　②美術→絵巻〔囲作品〕
パセオ・デ・プラド〈プラド通り〉　⑩世地→マドリード
初瀬街道　⑦日地→青山(町)
初瀬川　奈良・大阪　⑧日地 935 D
土師川　⑧日地→福知山(市)　→由良川
長谷川かな女　［1887-1969］　女流俳人。虚子に師事。大正末期女流俳句隆盛の基をなした　①文学 480 D
長谷川勘兵衛(初世)　［?-1659］　③音演→大道具
長谷川潔　［1891-1980］　版画家。パリに在住,客死。精緻で澄明な独自の銅版画境をもって知られた　②美術 464 C　→銅版画〔歴史〕図
長谷川権六藤広　⑤日史→元和大殉教
長谷川三郎　［1906-1957］　洋画家。わが国抽象絵画の開拓者。自由美術家協会を創立　②美術 464 D　→現代美術〔日本〈近代から現代美術へ〉〕
長谷川時雨　［1879-1941］　女流劇作家・小説家。舞踊研究会を興す。『女人芸術』を主宰して活躍　①文学 480 D　→『女人芸術』　→三上於菟吉
長谷川四郎　［1909］　小説家・翻訳家。敗戦でソ連軍の俘虜となり,体験を『シベリア物語』などに表す　作『鶴』　①文学 480 D
長谷川伸　［1884-1963］　小説家・劇作家。股旅物の第一人者で,菊五郎一座・新国劇・前進座などに名作を書き下ろし,一時代を画す　作『瞼の母』　①文学 481 A　→大衆文学　③音演 434 C
長谷川雪旦　①文学→斎藤月岑
長谷川雪堤　①文学→斎藤月岑
長谷川千四　③音演→『石切梶原』　→『鬼一法眼三略巻』　→『壇浦兜軍記』
長谷川素逝　［1907-1947］　俳人。「調べ」による人間感情の回復を目ざした　①文学 481 B
長谷川忠国　⑥日史→飛騨国〔囲人国記〕
長谷川忠崇　⑥日史→飛騨国〔囲人国記〕
長谷川天渓　［1876-1940］　評論家。博文館で雑誌『太陽』を編集　①文学 481 B
長谷川等伯　［1539-1610］　桃山時代の画家。長谷川派を創始。『松林図屏風』など水墨画の傑作を残す　②美術 464 D図　→障屏画囲別　⑥日史 927 D　→能登国〔囲人国記〕　⑤日史→障壁画
長谷川利行　［1891-1940］　洋画家。二科会で活躍後,一水会に出品　②美術 465 C図
長谷川如是閑　［1875-1969］　評論家・ジャーナリスト。昭和の戦時期にも,一貫して自由主義的立場を堅持。文化勲章受章　①文学 481 C　⑥日史 927 D　⑪政社 475 D図
長谷川信彦　⑬生活→卓球〔歴史〕図
長谷川昇　［1886-1973］　③音演→芝居絵
長谷川寛　［1782-1838］　江戸後期の数学者。長谷川数学道場を創設。『算法新書』など名教科書を出版　⑯物数 438 A
長谷川好道　［1850-1924］　陸軍軍人,元帥。戊辰戦争以後,近衛師団長・参謀総長を歴任　⑥日史 928 A
長谷川竜生　［1928］　詩人。社会主義リアリズムの内面化・多次元化を目ざす　①文学 481 C
長谷川零余子　①文学→長谷川かな女
長谷観音〈長谷寺〉　④哲宗→坂東三十三所表　⑦日地→鎌倉(市)〔囲神社・仏閣〕
パーセク　⑱字地 519 C　→光年
ハゼクチ　⑳動物→マハゼ
支倉常長　［1571-1622］　伊達政宗の家臣。メキシコ・ローマに派遣され,通商を求めたが目的を達せず帰国　⑥日史 928 A図　→ソテロ,L　→伊達政宗　⑤日史→慶長遣欧使節図　⑩世地→メキシコ(合衆国)〔日本との関係〕
長谷健　①文学→芥川賞表
丈部　⑤日史→阿倍氏
『バーセット州物語』　①文学→トロロープ,A
バセットハウンド　⑳動物→イヌ〔犬種〈獣猟犬〉〕別
バセット・ホルン　③音演→クラリネット〔クラリネット属〕　→ホルン
長谷寺《群馬》　④哲宗→坂東三十三所表
長谷寺《鎌倉市》　⇨長谷観音
長谷寺《厚木市》　④哲宗→坂東三十三所表
長谷寺〈初瀬寺〉　④哲宗 462 A図　→西国三十三所表　⑥日史 928 B　⑤日史→真言宗　⑦日地→桜井(市)図
バセドウ　ドイツ［1723-1790］　⑬生活→体操〔ドイツ体操〕
バセドウ,K　ドイツ［1799-1854］　医学者。眼球突出性甲状腺腫,いわゆるバセドウ病を報告　⑭医学 205 D　→甲状腺
バセドウ心　⑭医学→心臓〔内科的治療を主とする心疾患〕
バセドウ病〈グレーブズ病〉　⑭医学→アイソトープ療法　→甲状腺　→心臓〔内科的治療を主とする心疾患〈バセドウ心〉〕
バゼーヌ,J　フランス［1904］　画家。抽象画壇の代表的存在。「フランス伝統青年画家展」を組織　②美術 465 C　→抽象主義図
ハゼノキ〔紅包樹〕　⑲植物 494 B　→ウルシ図　→有毒植物　⑥日史→蠟
長谷場純孝　［1854-1914］　明治・大正期の政党政治家。衆議院議長・文相など歴任,藩閥体制を批判　⑥日史 928 B
長谷部言人　［1882-1969］　人類学者。縄文文化人を日本人の遠い祖先であるとした　⑥日史 928 C　⑤日史→明石原人　→縄文文化〔名称〕

パセリ ⑲植物 494 B →香辛料植物表
バーゼル スイス ⑩世地 470 A図
パーセル,E アメリカ[1912] 物理学者。核磁気共鳴吸収の研究で知られる。ノーベル賞受賞 ⑯物数 438 B →磁気共鳴
パーセル,H イギリス[1659-1695] 作曲家。劇音楽作品によりイギリス・バロックの発展に貢献 ③音演 434 D図 →アンセム →バロック音楽〔歴史〕
バーゼル公会議 ⑨世史 495 C ④哲宗→宗教会議表
ハセルト ベルギー ⑩世地 470 B
バーゼル動物園 ⑳動物→動物園〔表世界〕
『パーセルの主題による変奏曲とフーガ』 ③音演→ブリトゥン,B〔青少年のための管弦楽入門〕
バーゼルの和議 ⑨世史→対仏大同盟
バーゼル美術館 ②美術 686 A
バーセルミ,D アメリカ[1933] 小説家。現代人の不安や暴力を超現実的手法で追求した作品が多い ①文学 481 C
パセレル橋 ⑩世地→ルクセンブルク(大公国)図
はぜろう ⇨木ろう
ハーゼン,H ⑰科技→自動制御〔歴史〕
ハーゼンエール,F [1874-1915] ⑯物数→シュレーディンガー,E
馬仙峡 岩手/二戸市 ⑧日地 935 D →馬淵川
ハーゼンクレーファー,W ドイツ[1890-1940] ユダヤ系の劇作家・詩人。ナチスによって国籍を剝奪。『息子』は新旧思想の衝突を鋭くえぐる ①文学 481 C ③音演→ドイツ演劇〔歴史〕
パーソ ①文学→ルエダ,L ③音演→スペイン演劇〔16世紀〕
棕 ⇨棕
馬賊 ⑨世史→張作霖
馬祖島 ⇨マーツー(島)
バソト族〈ソト族〉 ⑩世地→レソト(王国)
パソ・ドブレ ③音演→舞曲 ⑬生活→社交ダンス〔競技ダンス〕
パーソナリティ ⑪政社 476 A ④哲宗→心理学〔研究領域〕 →性格 →同一性〈心理学〉
パーソナルコール ⑬生活→電話・電報〔国際電話〕
パーソナル・スタディ ⑫経産→市場調査
パーソナルメード ⑬生活→洋裁〔歴史〕
バゾフ,I ブルガリア[1850-1921] 小説家・詩人。同国近代文学の父。解放後,文部大臣をつとめる ①文学 481 D →東欧文学〔ブルガリア〕 ③音演 434 D →東欧演劇〔ブルガリア〕
バソプレッシン〈血圧上昇ホルモン〉 ⑭医学→下垂体 →ホルモン〔脳下垂体後葉ホルモン〕 ⑳動物→ホルモン表
バソリス ⑱宇地→貫入岩
パゾリーニ,P イタリア[1922-1975] 詩人・小説家・映画監督。エロスや情念による自己破壊と救済を追求 ①文学 481 D ③音演 435 A図 →映画〔大型映画〈第6期〉〕
『バーソロミュー市』 ①文学→ジョンソン,B
バーソロミュー・ディアス ⇨ディアス,B
パーソン,S スウェーデン[1914] ②美術→北欧美術〔建築と工芸デザイン〕
パーソンズ,C イギリス[1854-1931] 機械技術者。蒸気タービンを発明,発電機用原動機として普及 ⑰科技 523 C図 →エンジン〔歴史〈50 C〉〕 →技術別 →蒸気タービン〔歴史〕
パーソンズ,T アメリカ[1902-1979] 理論社会学者。ヨーロッパの社会科学を同国に導入,社会行動の一般理論を展開 ⑪政社 476 D →構造 →社会体系
パーソンズ・タービン ⑰科技→エンジン〔歴史〈50 C〉〕 →蒸気タービン〔反動タービン〕図
ハタ〔羽太〕 ⑳動物 499 A図 →熱帯魚〔飼育〈魚の組み合わせ〉〕
機〈手機〉 ⑰科技→織機
旗 ⑥日史 928 C →幟
『旗』 ⇨『ズナーミャ』
波田(町) 長野 ⑧日地 935 D
肌 ⑬生活→美容
ハーダー,D アメリカ ⑰科技→オートメーション →自動制御
バター ⑬生活 499 A図表 →ケーキ〔材料〕 →食用油〔動物油脂〕 →畜産加工品〔乳製品〕 →乳製品 ⑫経産→国際農産物〔乳製品〕
パター ⑬生活→ゴルフ〔用具〈クラブ〉〕図
バター油 ⑮化学→油脂〔表性状〈陸産動物油脂〉〕
バタアン(半島) フィリピン ⑩世地 470 C
バターイエロー ⑮化学→アゾ化合物
バタイユ,G フランス[1897-1962] 思想家・文学者。エロティシズム・原始文明・悪など広い事象に関心を向け,個性的文体で西欧の正統思想を批判 ①文学 482 A ④哲宗 462 B
バタイユ,H フランス[1872-1922] 劇作家。恋愛劇作家として名をなし,詩集もある ①文学 481 D
バタイユ,N ③音演→フランス演劇〔日本〕
秦氏 古代の有力な帰化人豪族。5世紀ごろ来朝し機織の部を管理したとされる ⑥日史 928 D →弓月君 ⑤日史→太秦 →帰化人
バダウレト・ハン ⇨ヤクブ・ベク
ハタオリ〔機織〕 ⇨ショウリョウバッタ
機織唄 ③音演→民謡〔表〈愛知〉〕
畑下温泉 ⑦日地→塩原(町)
ハタオリドリ ⑳動物 499 B図 →鳥類〔繁殖〕
ハダカイワシ〔裸鰯〕 ⑳動物 499 C図 →イワシ →回遊 →魚類〔生理〈発光,発音,発電〉〕 →深海生物〔魚類〕図
裸絞め ⑬生活→柔道〔基本〈固め技〉〕図
裸電線 ⑰科技→電線
『裸の王様』 ①文学→芥川賞表 →開高健
『裸の島』 ③音演→映画別 →新藤兼人
『裸の年』 ①文学→ピリニャーク,B
『裸の町』 ①文学→真船豊
『裸の町』 ③音演→映画〔トーキー〈第5期〉〕図
『裸のマハ』 ②美術→ゴヤ,F図
『裸のランチ』 ①文学→バローズ,W
ハダカホオズキ〔裸酸漿〕 ⑲植物 494 B図
はだか祭 ⑦日地→伊東(市)〔観光〕 →稲沢(市)〔尾張大国霊神社〕図 →磐田(市) →岡山(市)〔西大寺観音院〕図 →岐阜(市) →善通寺(市)図 ⑧日地→長野(県)〔文化〈郷土芸能〉〕 →大和(町)《新潟》図
ハダカムギ〔裸麦〕 ⑲植物 494 C →オオムギ図
裸用船〈BBC〉 ⑫経産→用船
はたき ⑬生活→掃除〔掃除用具〕
肌着 ⑬生活→下着 →シャツ
はたきこみ ⑬生活→相撲〔図きまり手〕
バタク族 ⑩世地→インドネシア(共和国)〔地方誌〈スマトラ〉〕 →スマトラ(島) →トバ(湖)
旗口クラゲ類 ⑳動物→クラゲ〔種類〕
ハタグモガニ ⑳動物→キンチャクガニ
はたけ ⑭医学→皮膚病〔粃糠疹〕
畑毛温泉 ⑦日地→函南(町)
バターケーキ ⑬生活→ケーキ〔種類〕
畠山一清 ②美術→畠山記念館〈682 A〉 ⑰科技→井口在屋
畠山氏〔秩父氏〕 平安末から鎌倉初期の豪族。源頼朝の御家人となるが,北条時政に滅ぼされた ⑥日史 928 D図
畠山氏〔足利氏〕 足利一門の守護大名。嫡流は三管領の一。家督争いで応仁の乱の一因をつくる ⑥日史 928 D図 →室町幕府〔管領制〕 ⑤日史→応仁の乱〔原因〕
畠山記念館 ②美術 682 A ⑧日地→東京(都)表
畠山国清 [?-1364] 南北朝前期の武将。足利尊氏に従って活躍,関東公方足利基氏の執事となる ⑥日史 929 A ⑤日史→足利基氏
畠山重忠 [1164-1205] 鎌倉初期の武将。源頼朝の信任を得ていたが,北条氏に讒訴され二俣河で敗死 ⑥日史 929 B
畠山久尚 [1905] 地球物理学者。地磁気の湾形変化に関する研究が著名 ⑱宇地 519 C
畠山政長 [1442-1493] 室町時代の武将,幕府の管領。持国の養子。相続争いで応仁の乱の発端をつくる ⑥日史 929 B →畠山義就
畠山満家 [1372-1433] 室町中期の武将。応永の乱で足利義満に属し,義持時代に管領 ⑥日史 929 C
畠山持国 ⑥日史→畠山氏《足利氏》
畠山基国 ⑥日史→畠山氏《足利氏》
畠山義就 [?-1490] 室町時代の武将。持国の子。家督相続で政長と争い,応仁の乱の発端となる ⑥日史 929 C
旅籠 ⇨旅籠屋
ハタゴイソギンチャク ⑳動物→イソギンチャク〔生殖と発生〕図
パタゴニア チリ・アルゼンチン ⑩世地 470 C図
パタゴニア(台地) ⑩世地→アルゼンチン(共和国)〔自然〕 →パタゴニア図
パタゴニア(砂漠) ⑱宇地→砂漠〔分類〕図
パタゴニア・アンデス ⑩世地→パタゴニア
旅籠屋 ⑥日史 929 D図 →飯盛女 ⑤日史→宿場〔任務と宿役人〕
ハタザオ〔旗竿〕 ⑲植物 494 C図
畑作農業 ⑧日地 1230 B
旗指物 ⑤日史→指物
秦佐八郎 [1873-1938] 微生物学者。梅毒治療薬サルバルサンを発見 ⑥日史 929 D ⑭医学 58 D →エールリッヒ,P ⑮化学 500 A図
『はだし』 ①文学→スタンク,Z
畑宿 ⑧日地→箱根図
肌じゅばん ⑬生活→下着〔日本〕 →和服〔種類〈下着類〉〕
畑俊六 [1879-1962] 陸軍軍人。陸相・支那派遣軍総司令官などを歴任。戦後A級戦犯で終身刑 ⑥日史 930 A ⑪政社→極東国際軍事裁判〔表被告人〕
秦荘(町) 滋賀 ⑧日地 936 A
ハダーズフィールド イギリス ⑩世地 470 D
パタスモンキー ⑳動物 499 C →オナガザル →サル〔社会〈社会的単位〉〕別
秦星池 ②美術→市河米庵
パターソン,A オーストラリア[1864-1941] 詩人。バンジョーと俗称され,国民愛唱歌の作者として知られる ①文学 482 A →オーストラリア・ニュージーランド文学〔オーストラリア〕
パターソン,W イギリス ⑫経産→イングランド銀行
パターソン アメリカ/ニュージャージー ⑩世地 470 D
ハタだこ ⑬生活→郷土玩具〔種類〈凧〉〕図
ハタタテダイ〔旗立鯛〕 ⑳動物 499 C図
ハタタテヌメリ ⑳動物→ネズッポ
畑地灌漑 ⑫経産→農業水利
秦寺 ⇨広隆寺
『旗と操り人形による大パントマイム』 ③音演→現代演劇図
パダナ(平原) ⑩世地→イタリア(共和国)〔自然〕
バターナイフ ⑬生活→ナイフ〔種類〈食卓用〉〕図
畑薙ダム ⑦日地→大井川 →静岡(市)〔観光〕 ⑧日地→富士見峠 ⑰科技→ダム表
畑苗代〈陸苗代〉 ⑲植物→イネ〔生育と栽培〕
ハダニ〔葉蜱〕〈アカダニ〉 ⑳動物 500 A →ダニ〔害と益〕 ⑲植物→バラ〔病虫害〕 →病虫害〔表害虫〕
パタニ ⑥日史 930 A
ハタネズミ〔畑鼠〕 ⑳動物 500 B図 →巣〔哺乳類〕 →ネズミ〔利用と害〕 →ネズミ〔分類〕
畑野(町) 新潟/佐渡島 ⑧日地 936 A
秦野(市) 神奈川 ⑧日地 936 B
秦河勝 [*-*] 飛鳥時代の仏教篤信者。『日本書紀』に峰岡寺建立その他の話が伝わる ⑥日史 930 A ②美術→広隆寺 ⑤日史→聖徳太子
秦公寺 ⇨広隆寺
秦公伊呂具 ⑤日史→稲荷信仰
波多野精一 [1877-1950] 宗教哲学者。西洋哲学史,聖書の宗教史的研究をなす ④哲宗 462 C →ケーベル,R ⑥日史 930 B
秦野盆地 神奈川 ⑧日地 936 C
葉たばこ ⑬生活→たばこ
ハタハタ〔鰰,鱩〕 ⑳動物 500 B図 ⑦日地→秋田(県)〔産業〈水産業〉〕 ⑧日地→仁賀保(町) ⑬生活→郷土料理〔囲〈秋田〉〕
ハタハタずし ⑬生活→すし〔種類〕
バタビア ⑥日史 930 B ⑩世地→ジャカルタ
バタビア共和国 ⑨世史 495 C
バタビア局方 ⑭医学→薬局方〔歴史〕
バタビア族 ⑩世地→オランダ(王国)〔略史〕
バタビ族 ⑨世史→中欧史〔概観〈ローマ帝国〉〕
『バターフィールド・8』 ①文学→オハラ,J
バタフライ ⑬生活→水泳〔競技泳法〕図
バタフライフィッシュ〈蝶々魚〉 ⑳動物→熱帯魚〔別〈変わった淡水魚〉〕
バーター貿易 ⑫経産→貿易〈第一次大戦後〉
バダホス スペイン ⑩世地 470 D
幡祭 ⑧日地→東和(町)《福島》〔隠津島神社〕図
バターミルク ⑬生活→バター〔製法〕
パタム(島) ⑩世地→リアウ(諸島)
旗本 ⑥日史 930 B →足高 →武士〔身分の確立〕 ⑤日史→江戸幕府〔経済的基礎〕 →大番 →御家人〈江戸時代〉 →小普請 →地方取 →直参 →書院番 →諸士法度
『旗本退屈男』 ①文学→佐々木味津三
旗本八万騎 ⑥日史→武士〔身分の確立〕
旗本法度 ⇨諸士法度
旗本奴 ⑥日史 930 D →町奴 →水野十郎左衛門 ⑤日史→男伊達
畑山博 ①文学→芥川賞表
秦能俊 ⑥日史→長宗我部氏
『馬盥の光秀』 ⇨『時桔梗出世請状』
働きアリ〈職アリ〉 ⑳動物→アリ〔階級〕
働きバチ ⑳動物→ミツバチ図

パッシオナート　③音演→音楽用語〈629 C〉
八色の姓　⇨八色の姓
末子相続　⇨末子相続
初島　静岡/熱海市　⑧日地 940 C
初島　和歌山/有田市　⑧日地 941 B
初島　福岡　⑧日地 941 B図
初霜　⑧日地→霜害〈1220 D〉
『八宗綱要』　④哲宗→凝然
八州同盟　⑨世史→中欧史〔スイス〕
八州取締出役　⇨関東取締出役
パッシュの公理　⑯物数→幾何学基礎論〔ヒルベルトの公理〈順序の公理〉〕
発条　⇨ばね
発情　⑳動物 504 C　→生殖〔性周期〕
八省　⑤日史→官僚制〔太政官制〕　→省
発情周期　⑳動物→生殖〔性周期〕　→発情
『八笑人』　①文学→滑稽本
八正道　④哲宗→釈迦〔説法〕
八省百官　⑥日史 932 B
発情ホルモン〈卵胞ホルモン〉　⑭医学→ホルモン〔性ホルモン〈雌性ホルモン〉〕　⑳動物→発情
ハッショウマメ〔八升豆〕　⑲植物 498 C
発色元素　⑮化学→顔料〔性質〈色〉〕
発色剤　⑬生活→食肉〔成分〕　→食品添加物〔種類〕
発色団　⑮化学 501 A　→色素　→助色団　→染料〔色と化学構造〕
『パッション』　③音演→ルビッチュ, E
パッション劇〈受難劇〉　③音演→宗教劇
パッションフルーツ〈クダモノトケイ〉　⑲植物 498 C図　→トケイソウ
法進　④哲宗→鑑真
発振　⑯物数 438 C
発疹　⇨発疹
発振回路　⑰科技 524 A図　⑯物数→発振
発振器　⑯物数→電気振動　→メーザー
発疹チフス　⇨発疹チフス
八神殿　④哲宗→神祇官
『はつ姿』　①文学→小杉天外　→自然主義〔日本〕→日本文学〔近代〈自然主義〉〕
ハッスナ文化　⑨世史→新石器時代〔生産経済〕　→メソポタミア文明〔歴史・文化〕
バッスル　⑬生活→下着〔洋装〈フープ〉〕図
パッスール, S　フランス［1889-1966］　劇作家。男女の心理描写に卓抜な才能を示した　①文学 483 A
ハッセ, H　［1898-1979］　⑯物数→高木貞治　→不定方程式〔ハッセ-ミンコフスキーの定理〕
ハッセ, J　［1699-1783］　③音演→ナポリ楽派　→ロココ音楽
発生　⑲植物 499 A図　→個体発生　→自然発生　⑳動物 505 A図　→孵化　→卵　→卵生
発声　③音演 436 B　⑭医学→声
発生期　⑮化学 501 A
発声器官　⑭医学→声
発生主義　⑫経産→会計〔囲用語〕
発生炉　⑮化学→都市ガス〔製造〈発生炉ガス〉〕
発生炉ガス　⑮化学→ガス化　→石炭〔石炭化学工業〈ガス化〉〕　→都市ガス〔製造〕
初瀬川　奈良・大阪　⑧日地 941 B　⇨初瀬川
初節句　⑬生活→祝い事〔出産と育児〕
初瀬寺〔泊瀬寺〕　⇨長谷寺
ハッセ-ミンコフスキーの定理　⑯物数→不定方程式
ハッセルト　⇨ハセルト
ハッセルブラードCM　⑰科技→カメラ図
8620形式　⑰科技→鉄道〔歴史〈動力車〉〕
八草峠　岐阜・滋賀　⑧日地 941 C
初添　⑬生活→清酒〔製法〕
バッソ・オスティナート　③音演→舞曲〔シャコンヌ〕　→音楽用語〈629 A〉
閥族派　⑨世史 496 D
バッソ・コンティヌオ　⇨通奏低音
バッソ・セグエンテ　③音演→バロック音楽〔様式・技法および楽曲〕
バッソ・ノロク(湖)　⇨ルドルフ(湖)
ハッタ, M　インドネシア［1902-1980］　政治家。スカルノとともに独立運動に活躍。のちスカルノ体制に批判的となる　⑪政社 477 C　→インドネシア独立運動
八田(村)　山梨　⑧日地 941 C
バッタ〔蝗〕　⑳動物 505 B図囲　→口器　→昆虫〔発生〕
抜隊得勝　［1327-1387］　④哲宗→向岳寺　→臨済宗囲
八田氏　⑤日史→小田氏
『バッタ君町へ行く』　③音演→アニメーション映画〔アメリカ〕図

ハツタケ〔初茸〕　⑲植物 499 C　→キノコ〔別担子菌類〈ハラタケ目〉〕　→チチタケ
八田三郎　⑳動物→動物〔日本の動物相〕　→八田線
法多山尊永寺　⑧日地→袋井(市)
八田線〈宗谷線〉　⑳動物 506 A　→動物〔日本の動物相〕　⑧日地→ブラキストン線〈1232 A〉
八達嶺　⇨パーターリン
八田知紀　［1799-1873］　江戸末期・明治初期の歌人。宮内省の歌道御用掛となる　①文学 483 B
バッターニー　［858-929*］　天文学者。月の軌道の計算，日食の予測などに大きな功績を残した　⑨世史 496 D　⑱宇地→アル・バッターニー
ハッタミミズ　⑳動物→ミミズ〔特殊な種類〕図
初誕生日　⑬生活→祝い事〔誕生日〕
バッタンバン　カンボジア　⑩世地 472 B
ハッチ〈倉口〉　⑰科技→貨物船〔設備〕
ぱっち　⑬生活→下着〔日本〕
ハッチェット, C　⑮化学→ニオブ〔歴史〕
パッチェン, K　アメリカ［1911-1972］　詩人。反伝統的な，不規則で長い行の詩が特徴。ビート派の一人　①文学 483 B
バッチ処理　⑯物数→電子計算機〔操作方式〕　⑰科技→電子計算機〔囲用語〕
ハッチ政治活動法　⑪政社→政治資金
バッチ族　⑩世地→キガリ　→ルワンダ(共和国)〔社会・文化〕
バッチ・プロセス　⑰科技→オートメーション〔プロセス・オートメーション〕
八角〈大ういきょう〉　⑬生活→香辛料図囲
パッチュ, A　ドイツ［1897］　②美術→写真〔歴史〕
発注　⑫経産→在庫管理
八丁池　静岡/天城湯ヶ島町　⑧日地 941 C
八町温泉　⑦日地→金山(町)《福島》
八町滝　⑦日地→菅沼
ハッチョウトンボ〔八丁蜻蛉〕　⑳動物 506 B図
八丁ノ湯　⑦日地→栗山(村)
八丁堀　広島/広島市　⑧日地 941 C
八丁堀　⑥日史→同心
八町村善左衛門　⑤日史→越中国〔囲人国記〕
ハッツフェルト, S　ドイツ［1805-1881］　⑨世史→全ドイツ労働者協会
ハッツフェルド, H　①文学→文体論
ハッティ　⑨世史→ヒッタイト〔歴史〕
ハッティ美術　⇨ヒッタイト美術
パッティング　⑬生活→ゴルフ〔基本的技術〈アイアンショット〉〕
ハッティンの会戦　⑨世史→十字軍〔第2回〕
ハッテラス(岬)　アメリカ　⑩世地 472 B
バッテリー　⑬生活→野球〔囲用語〕
バッテリー　⑰科技→自動車〔構造〕　→蓄電池
発電　⑰科技 524 C図　→MHD発電　→河川計画〔利水計画〕　→火力発電　→原子力発電　→地熱発電　→水力発電　→潮力発電　→直接発電
発電　⑳動物→動物電気
ハッデン, B　⑫経産→タイム
発電機　⑯物数 438 C図　→磁界　⑰科技 525 B図表　→火力発電〔汽力発電〕　→継電器〔保護方式〕　→ジーメンス, E　→水力発電〔水力発電所〕　→励磁機　⑫経産→重電機工業〔現状〕
発電器官〈電気器官〉　⑳動物→動物電気図
発電機式回転速度計　⑰科技→回転速度計
発電所　⑰科技→送電
発展段階説　⑨世史→時代区分　→中世社会〔歴史的位置づけ〕　⑫経産→社会経済史学〈262 B〉
発展途上国　⇨開発途上国
発展途上国開発問題　⑫経産 494 C表　→南北問題
発電燃料　⑫経産→天然ガス鉱業
発電用ガスタービン　⑰科技→ガスタービン図
発電用原子炉　⑰科技→原子力発電
発電用ボイラー　⑰科技→火力発電〔汽力発電〕
発電炉　⑰科技→沸騰水型原子炉
ハット　⑬生活→帽子〔基本型〕
法度　⑥日史 932 B
バット　［1813-1879］　⑨世史→アイルランド自治問題
バット　⑬生活→野球〔用具〕
バット　⑬生活→調理器具〔容器〈調理容器〉〕図
パット　⑬生活→ゴルフ〔基本〈アイアンショット〉〕
パッド　⑬生活→洋裁〔囲用語〕
八東(町)　鳥取　⑧日地 941 C
法堂〈講堂〉　④哲宗→寺院〔囲用語〕
発動機　⑰科技 528 A　⇨エンジン
八塔寺　⑧日地→吉永(町)
ハットゥシャシュ　②美術→ヒッタイト美術　⑨世史→ヒッタイト〔歴史〕　→ボガズキョイ

抜刀術　⇨居合術
ハットゥシリシュ　⑨世史→ヒッタイト〔歴史〕
ハットゥシリシュ(三世)　⑨世史→エジプト〔歴史と文化〈新王国時代〉〕　→ヒッタイト〔歴史〕
八頭身　②美術→カノン
『抜刀隊の歌』　③音演→軍歌
撥鐙法　②美術→北島雪山　→細井広沢
法度汁　⑬生活→郷土料理〔囲〈栃木〉〕
ハットセ節〈塩釜甚句〉　③音演→民謡〔表〈宮城〉〕
ハット党　⑨世史→北欧史〔歴史〈近代〉〕
ハットトリック　⑬生活→サッカー〔囲用語〕
ハットバレー　⑩世地→ウェリントン
バッドマーク　⑬生活→レスリング〔競技方法〕表
バットマン, J　⑩世地→メルボルン
初寅まいり　⑧日地→奈良(市)〔別年中行事〕
バッドランズ　アメリカ　⑩世地 472 B
バッドランド　⑧日地 1230　⇨悪地
服部　⑦日地→総社(市)
バットリー, H　⑭医学→指紋〔一指指紋法〕
服部氏　⑥日史→忍術〔歴史〕
服部宇之吉　［1867-1939］　明治から昭和前期の中国哲学者。西洋哲学の知識に立って，とくに礼思想を研究　⑥日史 932 B
服部英太郎　⑫経産→社会政策〈268 D〉
服部金太郎　⑫経産→服部時計店(株)
服部之総　［1901-1956］　歴史家。専門は明治維新史・日本近代史。講座派の一員として活躍　⑥日史 932 C　⑪政社→日本資本主義論争　⑫経産→マニュファクチュア論争
服部徳　①文学→ルソー, J《思想家》
服部時計店(株)　⑫経産 495 D
服部土芳　［1657-1730］　江戸前期の俳人。伊賀蕉門を統率。生涯を独身で通す　①文学 483 B
服部中庸　①文学→本居宣長〔古事記伝〕
服部南郭　［1683-1759］　江戸中期の儒学者・詩人。荻生徂徠について古文辞学をおさめ，師の詩的文芸的傾向を受けつぐ　①文学 483 C　→荻生徂徠→『唐詩選』　④哲宗 463 D　⑥日史 932 C
服部半蔵　［1542-1596］　徳川家康の家臣。本能寺の変のあと家康を助け，伊賀組同心の頭となる　⑥日史 932 C　→忍術〔歴史〕　⑤日史→伊賀国〔囲人国記〕
服部撫松　［1842-1908］　戯文家・ジャーナリスト。戯文雑誌を主宰，政治小説もある　①文学 483 C
服部嘉香　［1886-1975］　詩人・歌人。口語詩運動の第一線で活躍　①文学 483 C
服部嵐雪　［1654-1707］　江戸前期の俳人。新生蕉門の伸長に尽力，脱談林，蕉風樹立に参画　㊢『其袋』　①文学 483 C　⑥日史 932 D　⑤日史→淡路国〔囲人国記〕
服部緑地公園　⑧日地→豊中(市)
バットリング, O　スウェーデン［1911］　②美術→北欧美術〔絵画と彫刻〕
バットレス　⑬生活→登山〔囲用語〕
バットレス〈控え壁〉　⑰科技→アーチ構造〔構造〕
バットレスダム　⑰科技 528 A　→ダム〔種類〕図
ハットン, J　イギリス［1726-1797］　地質学者。岩石の成因についての火成説は約半世紀間地質学者に影響　⑱宇地 520 C　→地質時代〔斉一説〕
バットン　⑨世史→大航海時代〔北方航路〕
初凪　⑱宇地→風〔表季題〈新年〉〕
『初音』　①文学→紫式部〔表源氏物語〕
発熱　⑭医学→血液〔白血球〈細菌感染〉〕　→熱
『発熱』　①文学→ル・クレジオ, J
発熱反応　⑮化学 501 B　→吸熱反応　→熱化学方程式　→反応熱
発熱療法　⑭医学→性病〔梅毒〈治療〉〕　→ワグナー=ヤウレック, J〈360 D〉
発破　⑰科技 528 A　→炭鉱〔掘削〕
バッハ, C　［1714-1788］　③音演→バッハ(一族)図
バッハ, J.A　［1645-1695］　③音演→バッハ(一族)図
バッハ, J.C　［1735-1782］　③音演→古典派音楽〔前古典派〕　→バッハ(一族)図
バッハ, J.S　ドイツ［1685-1750］　ドイツ・バロック音楽の最大の作曲家。オルガンとクラビア演奏の大家　㊢『平均律クラビア曲集』『フーガの技法』　③音演 436 D図　→オラトリオ　→カンタータ　→組曲〔古典〕　→受難曲　→即興演奏　→ソナタ〔バロック・ソナタ〕　→対位法〔歴史〕　→フーガ〔歴史〕
バッハ, W　［1710-1784］　③音演→バッハ(一族)図
バッハ(一族)　ドイツ　作曲家の一族。17～18世紀の200年にわたって50人以上の音楽家を輩出　③音演 440 B図

パッハー, M [1435*–1498] ②美術→ドイツ美術〔ルネサンス〕
バッハオーフェン, J スイス[1815–1887] ⑨世史→母系制 ⑪政社→家族〔歴史・研究史〕
発破浚渫 ⑰科技→浚渫〔方式〕
ハッバード アメリカ ⑫経産→ATT
ハツハナインコ ⑳動物→インコ〔種類〈小形種〉〕図
バッハマン, I オーストリア[1926–1973] 詩人。ドイツ詩の伝統を現代に生かす。小説も発表 ①文学 483 D
初春狂言 ③音演→歌舞伎〔内容と様式〈社会〉〕
『発微算法』 ⑯物数→遺題継承 →関孝和 →和算〔天元術と点竄術〕
『発微算法演段諺解』 ⑯物数→建部賢弘
発病率 ⇨罹患率
撥鬢小説 ①文学→大衆文学
バップ〈ビ・バップ〉 ③音演→ジャズ〔囲用語〕
パップ〈巴布〉 ⑭医学→罨法〔表〕 →薬〔形状〕 →湿布〔カオリンパップ〕
バッファー ⑰科技→緩衝装置
バッファロー アメリカ/ニューヨーク ⑩世地 472 C
バッファロー ⑳動物 506 B →バイソン
バッファロー科学博物館 ⑰科技 679 B
バッファローバード ⑳動物→コウウチョウ
八風山 ⑦日地→軽井沢(町)
パップ剤 ⇨パップ
バップ・シンギング ③音演→ジャズ〔囲用語〈スキャット〉〕
パップス ⑯物数→アポロニウスの円〔歴史〕 →作図〔3大作図不能問題〈角の3等分問題〉〕
半首 ⑤日史→甲冑〔小具足〕
ハッブル, E アメリカ[1889–1953] 天文学者。ケフェウス型変光星, ハッブルの法則を発見 ⑱宇地 520 C図 →宇宙〔科学的宇宙観の歴史〕図 →銀河系外星雲〔歴史的概観〕 →天文学〔宇宙観〈星雲空間時代〉〕 ⑯物数→宇宙物理学
ハッブルの法則 ⑱宇地→宇宙 →銀河系外星雲〔後退と膨張〕 →ハッブル, E
八分 ②美術→書〔中国書道史〈書体の誕生〉〕
パッヘルベル, J ドイツ[1653–1706] ③音演→オルガン〔オルガン音楽〕 →組曲〔古典〕
初穂 ⑥日史→荷前
八方位 ⑬生活→方位
八方尾根 長野 ⑧日地 941 C図 ⑬生活→スキー〔スキー場〕
八方ヶ原 栃木 ⑧日地 941 D →矢板(市)
発ぽう剤〔発泡剤〕 ⑮化学 501 B →起ほう剤
八放サンゴ ⑳動物→サンゴ〔構造〕図
発ぽうスチロール ⑮化学 501 B →発ぽう剤
八方睨 ⑧日地→戸隠山
発ぽうポリスチレン ⇨発ぽうスチロール
初穂儀礼 ④哲宗→いけにえ
潑墨 ②美術→水墨画
八品派〈日蓮宗八品派〉 ④哲宗→日隆
バツーミ ソ連/グルジア ⑩世地 472 C →黒海
初宮参り ⇨宮参
ハツメ ⑳動物→メバル
発明 ⑫経産→工業所有権〔特許権〕
発明宮博物館 ⑰科技 680 B
『発明史への寄与』 ⑰科技→技術〔技術史〕
初詣 ⑬生活→正月
初元結 ⇨元服
バーツヤーヤナ インド ①文学→『カーマスートラ』
初雪 ⑱宇地→季節図 →雪〔積雪〕
ハツユキソウ〔初雪草〕 ⑲植物 500 A図
ハーツラー, J ⑱宇地→プレート・テクトニクス
バッラ, G イタリア[1871–1958] 画家。未来派の代表で, 未来主義を抽象芸術の域まで押し進めた先駆者 ②美術 465 C →未来主義
バッラ, L イタリア[1407–1457] 人文主義者。教皇の俗権の根拠とされていた文献が偽作であることを証明した ⑨世史 496 D →ルネサンス〔人文主義〕
バッラバ朝 ⑨世史 497 A
バーツラフ(二世) [1271–1305] ⑨世史→東欧史〔歴史〈中世諸国家の建設〉〕 →プシェミスル朝
バーツラフ広場 ⑩世地→プラハ
バッラーラ(二世) インド ⑨世史→ホイサラ朝
はつり作業 ⑰科技→手仕上げ
パツール(火山) ⑩世地→アグン(火山)
罰令権 ⑨世史→バン
バッレ・ダオスタ イタリア ⑩世地 472 C →イタリア(共和国)図
撥露 ⑭医学→出産〔正常分娩〈娩出期〉〕
バーデ, W ドイツ[1893–1960] 天文学者。銀河系・超銀河系の観測などを行い, 星雲の距離目盛りを改訂 ⑱宇地 521 A →銀河系外星雲〔歴史的概観〕 →恒星〔種族〕図
パテ ⑮化学→鉛白
ハーティ, H イギリス[1879–1941] 指揮者・作曲家。マンチェスターのハーレ管弦楽団を指揮し, ナイトの称号を得る ③音演 440 C
ハーディ, G ⑯物数→リーマン, B ⑳動物→遺伝〔集団遺伝学〕 →遺伝学〔歴史〕
ハーディ, J ⑩世地→アルプス〔登山〕
ハーディ, J イギリス[1856–1915] ⑨世史→独立労働党 →労働党
ハーディ, T イギリス[1840–1928] 小説家・詩人。ユニークで多彩な作品を生んだ近代イギリス第一の文豪 作『テス』 ①文学 483 D図
馬丁 ⑬生活→競馬〔運営〈調教師〉〕
バティ, G フランス[1885–1952] ③音演→フランス演劇〔現代劇〕
パーディ, J アメリカ[1923] 小説家。反リアリズム的作風で知られる ①文学 484 C
バディーア派 ①文学→イブン・アル・ムウタッズ
パティオ ②美術→アルハンブラ
バテイカイメン ⑳動物→海綿〔分類〕
ハディ・ガディ ③音演 440 C図
馬蹄銀 ⑨世史 497 A
バティク ⑩世地→インドネシア(共和国)図
パーティクルボード ⑬生活→家庭工作〔工作材料〈木材〉〕
馬てい形アーチ ⑰科技→アーチ構造〔図種類〕
ハディージャ ⑨世史→マホメット
ハディース ①文学 484 D ④哲宗 463 D →マホメット ⑨世史 497 A
馬蹄石 ⑱宇地→黒曜岩 →水石〔奇石・珍石〕
バーティソル ⑱宇地→土壌〔世界の土壌分布〕図
バティック ②美術→染色〔模様染め〈防染剤の付着による防染〉〕
パティニール, J [1475*–1524*] フランドルの画家。風景画のスペシャリストとして知られる ②美術 465 D図
『ハディーヌ』 ④哲宗→イスラム教〔教義〕
ハーディム ⑨世史→奴隷制〔近代以前〈イスラム〉〕
バテイラ〔馬蹄螺〕 ⑳動物 506 B図
ハーディ=ワインベルクの法則 ⑳動物→遺伝〔集団遺伝学〕 →遺伝学〔歴史〕
バーディーン, J アメリカ[1908] ⑯物数→超伝導〔磁石を浮かせる力〕 ⑰科技→時計〔歴史〈第3期〉〕 →トランジスタ
パテイン ⇨バーセイン
パティンキン, D ⑫経産→均衡理論〔意義〕 →相対価格・絶対価格
ハーディング, W アメリカ[1865–1923] 第29代大統領。共和党から出馬。汚職の多い政権であった ⑨世史 497 B図 ⑪政社→ワシントン会議
パーティントン, J ⑮化学→化学〔歴史〈時代区分〉〕
ハーデウィヒ [1200*–1269*] ①文学→オランダ文学
バデー・ウッ・ザマーン ⇨アル・ハマダーニー
『果てしなき逃走』 ①文学→ロート, J
『果てしなく揺れ動く揺籠から』 ①文学→ホイットマン, W〔草の葉〕
ハデス〈プルトン〉 ④哲宗→ギリシア・ローマ神話〔冥王の世界〕
『艶容女舞衣』 ③音演 440 D図
パテーティコス・ヌース〈受動理性〉 ④哲宗→アリストテレス〔囲基本概念〈能動理性〉〕
パテ・ド・フォアグラ ⑬生活→とり肉〔その他の鳥〕
パテト・ラオ〈ラオス愛国戦線〉 ⑩世地→ラオス(人民民主共和国)〔略史〕 ⑪政社→インドシナ問題〔歴史的地位〕 →スファヌボン
『はてなき回想』 ①文学→サルモン, A
ハテビースト ⑳動物 506 C図 →レイヨウ
パデューカ アメリカ/ケンタッキー ⑩世地 472 C
バデライト ⑰科技→ジルコニウム
パテール, J フランス[1695–1736] 画家。貴族などの園遊のさまを描き, 平明な描写と官能性あふれる女性像で知られる ②美術 465 D →ロココ美術
パテール, S インド[1875–1950] ⑨世史→国民会議派 →ネルー, J ⑪政社→ネール, J
波照間島 ⑧日地→竹富(町)
パデレフスキー, I ポーランド[1860–1941] 作曲家・ピアニスト・政治家。ワルシャワ音楽院院長をつとめ, 共和国初代首相となる ③音演 441 A図 ⑨世史 497 B
バテレン〔伴天連〕 ⇨パードレ
バテレン追放令 ⑥日史→パードレ図
ハーデン, A イギリス[1865–1940] 生化学者。酵母菌発酵の研究で知られる。ノーベル賞受賞 ⑮化学 501 B
バーデン, V ⑱宇地→南極〔氷床の質量収支〕
バーデン ⑩世地→スイス(連邦)〔地方誌〈中央低地〉〕
バーデン条約 ⑨世史→ユトレヒト条約
パテントナイフ ⑬生活→包丁〔種類〈洋包丁〉〕図
バーデンバーデン 西ドイツ ⑩世地 472 C
バーデンバーデン温泉 ⑭医学→温泉療法〔図外国〕
パテンレース ⑬生活→レース〔2〕
ハト〔鳩〕 ⑳動物 507 A図図 →巣〔鳥類〕 →鳥類〔繁殖〕 ⑭医学→おうむ病
ハート, F アメリカ[1836–1902] 小説家。西部のたくまざるユーモアや有名詩句のもじり詩を書き流行作家となる ①文学 484 D
ハート, L [1895*–1943*] ③音演→ロジャース, R
ハート, M アメリカ[1904–1961] 劇作家・演出家。コーフマンとの合作で相ついで傑作を発表 ①文学 484 D
ハート, R イギリス[1835–1911] 外交官。中国の海関の最高責任者として長く在住, 威信絶大であった ⑨世史 497 C →海関
ハード(島) オーストラリア/インド洋 ⑩世地 472 D
バート ⑫経産→通貨〔表通貨単位〕
バード, R アメリカ[1888–1957] 海軍軍人・探検家。飛行機で南極点上空に達した ⑱宇地 521 A図 →探検〔20世紀〕 →北極〔探検史〕図 ⑩世地→南極大陸〔探検史〕
バード, W イギリス[1542*–1623*] ③音演→アンセム →音楽〔西洋音楽〈ルネサンス音楽〉〕
パート〔PERT〕 ⑫経産 496 A ⑯物数→OR
覇道 ④哲宗 464 A →王道 ⑤日史→王道思想 ⑨世史→王道思想
波動 ⑯物数 439 A ⇨波
馬頭(町) 栃木 ⑧日地 941 D
抜頭 ③音演→散楽
バトゥ〔抜都〕 [1207–1256] キプチャク・ハン国初代君主。父ジュチの所領を継ぎ, ヨーロッパに遠征し大勝 ⑨世史 497 C図 →キプチャク・ハン国 →グユク・ハン →モンゴル帝国〔拡大と分裂〕
バードウィーク〈愛鳥週間〉 ⑳動物 509 A
波動インピーダンス ⇨特性インピーダンス
ハードウェア ⑯物数 439 A図 →ソフトウェア →電子計算機〔プログラム〕 ⑫経産→電子計算機〔構成要素〕 ⑰科技→電子計算機〔囲用語〕
ハトウガラシ ⑲植物→トウガラシ
波動関数 ⑯物数→量子力学〔ボーアの対応原理〕
馬頭観音 ④哲宗→観世音菩薩 →仏像〔表種類〈菩薩部〉〕図 ⑳動物→ウマ〔民俗〕
波動光学 ⑯物数→光学 →物理学〔諸分科〕
馬頭星雲 ⑱宇地→暗黒星雲 →星雲〔暗黒星雲〕図 →星間物質〔星間吸収〕
波動説 ⑭医学→嗅覚〔におい〈135 D〉〕
波動説 ⑯物数→光 →ヤングの干渉実験
波動方程式 ⑯物数 440 A →音〔速度〕 →状態〔量子力学〕 →波〔重ね合せの原理〕 →波動力学 →微分方程式〔偏微分方程式〈定理〉〕
バトゥラ(氷河) ⑩世地→ヒマラヤ(山脈)〔区分〈カラコルム山脈〉〕
波動力学 ⑯物数 440 A →シュレーディンガー, E →電子〔発見の歴史〕 →物理学〔諸分科〕
パトカイ(山脈) ビルマ・インド ⑩世地 472 D
ハートカズラ ⑲植物 500 A →多肉植物表
パ・ド・カットル ③音演→バレエ〔囲用語〈パ〉〕
ハートカム ⑰科技→カム〔板カム〕図
鳩ヶ谷(市) 埼玉 ⑧日地 941 D
鳩ヶ湯温泉 ⑦日地→大野(市)
パ・ド・カレー ⑩世地→ドーバー(海峡)
バード基地 ⑩世地→南極大陸〔地形・地質〈南極氷床〉〕 ⑱宇地→南極〔露岩の地形〕
鳩糞石 ⑱宇地→石材〔利用〕
鳩車 ⑧日地→野沢温泉(村)〔野沢温泉〕図
バートゴーデスベルク ⑩世地→ボン
はと座 ⑱宇地→星座〔四季〈冬〉〕表
ハトシェプスト エジプト[* .] 第18王朝第5代の王。トゥトメス一世の娘で異母兄弟トゥトメス二世の王妃 ⑨世史 497 C →エジプト〔歴史と文化〈新王国時代〉〕 →デル・エル・バハリ →トゥトメス(三世)
ハードシュガー〈ざらめ糖〉 ⑬生活→砂糖〔種類〕
パトス ブラジル ⑩世地 472 D
パトス(湖) ブラジル ⑩世地 472 D
パトス ①文学→文学〔囲用語〕 ③音演→ギリシア演劇〔悲劇〕 ④哲宗→感情 →ギリシア哲学

〔囲用語〕 →情念 →ロゴス
ハード洗剤 ⑮化学 501 C →洗剤〔性質〈毒性と公害〉〕
ハドソン,H イギリス[1550*–1611*] 探検航海者。ニューアムステルダム植民地・北カナダ支配の基礎をつくった ⑨世史 497 D →大航海時代〔北方航路〕 ⑱宇地 521 A →北極〔探検史〕 ⑩世地→ニューヨーク〔歴史〕
ハドソン,K ⑰科技→技術〔技術史〕
ハドソン,W イギリス[1841–1922] アメリカ生まれの小説家・博物学者。鳥類研究家 ㊢『緑の館』 ①文学 484 D ⑳動物 509 A
ハドソン(低地) ⑩世地→ニューヨーク(州)
ハドソン(川) アメリカ ⑩世地 473 A →ニューヨーク〔地形・気候〕 ⑨世史→ハドソン,H
ハドソン(湾) ⑩世地 472 D ⑱宇地→海洋表
ハドソン川派 ②美術→アメリカ美術〈10 D〉
ハドソン湾会社 ⑨世史→アメリカ(合衆国)〔合衆国の発足〈カナダ〉〕
パートタイマー ⑪政社→婦人問題〔婦人労働者〕 ⑫経産→雇用制度 →婦人労働
ハードチャイン型 ⑰科技→モーターボート〈船体形状〉
パドック ⑬生活→競馬〔囲用語〕
ハドディ(高原) ⑩世地→ラジャスタン(州)
バード・デイ ⑳動物→バードウィーク
パ・ド・ドゥ ③音演→バレエ〔囲用語〈グラン・パ・ド・ドゥ〉〕
ハードトップ ⑰科技→自動車〔種類〕図
ハードドリンクス ⑬生活→ソフトドリンクス
パ・ド・トロワ ③音演→バレエ〔囲用語〈パ〉〕
バトナ(氷河) ⑩世地→アイスランド(共和国)〔自然〕
パトナ インド ⑩世地 473 A →ビハール(州)
『鳩の首輪』 ①文学→イブン・ハズム
鳩ノ巣渓谷 東京 ⑧日地 941 D
『鳩の翼』 ①文学→ジェームズ,H
波戸岬はどみさき 佐賀 ⑧日地 941 D →鎮西(町)図
鳩ノ湯温泉 ⑦日地→吾妻(町)あがつま
『波止場』 ③音演→カザン,E
パドバ イタリア ⑩世地 473 A
バード・バス ⑬生活→庭〔造り方〈添景物〉〕図
パドバ大学天文台 ⑱宇地→天文台〔表〈ヨーロッパ〉〕
パドバ派 ②美術 465 D
バートパーラ インド ⑩世地 473 B
ハードビスケット ⑬生活→ビスケット
パート譜〈声部譜〉 ③音演→楽譜〔五線譜〕
ハートフィールド,J ドイツ ②美術→写真〔歴史〕 ⑰科技→写真〔囲用語〈フォトモンタージュ〉〕
ハードフィールド鋼 ⑰科技→マンガン鋼
鳩笛 ⑬生活→郷土玩具図
ハートフォード,J アメリカ ⑫経産→A&P
ハートフォード アメリカ/コネティカット ⑩世地 473 B
『ハートブレーク・ホテル』 ③音演→ロック・ミュージック〔ロックン・ロール〕
ハードボイルド ①文学→推理小説〔作風〕 →文学〔囲用語〕
ハトホル ④哲宗→エジプト神話〔多神教〕図
パドマサンババ ⑨世史→ラマ教
鳩間島 ⑧日地→竹富(町)
鳩間節 ③音演→民謡〔表〈沖縄〉〕
ハートマン,M アメリカ[1930–] ②美術→北欧美術〔絵画と彫刻〕
バドミントン ⑬生活 500 A図囲
ハトムギ〔鳩麦〕 ⑲植物 500 A図 →ジュズダマ →薬用植物表 ⑭医学→生薬しょうやく〔薏苡仁〕
鳩胸 ⑭医学→胸
バトモア,C イギリス[1823–1896] 詩人。オード形式の叙情詩集で知られる ①文学 485 A
パトモス(島) ⑩世地→ドデカノソス(諸島)
橋本進吉 [1882–1945] 史的研究に造詣が深く,国語学会初代会長 ⑥日史 927 A
鳩紋 ⑳動物→ハト
鳩山(町) 埼玉 ⑧日地 982 A
鳩山一郎 [1883–1959] 政治家。昭和29年日本民主党を結成し内閣を組織。日ソ国交回復を実現 ⑥日史 932 D図 ⑪政社 477 C図 →日ソ関係〔国交回復〕図 ⑤日史→京大事件 →自由民主党
鳩山一郎内閣 ⑥日史 933 A表 →日ソ共同宣言 →日本民主党《1954年》
鳩山和夫 [1856–1911] 明治の法律学者・政治家。一郎・秀夫の父。衆議院議長・早稲田大学校長など歴任 ⑥日史 933 C
鳩山秀夫 [1884–1946] 民法学者・弁護士・政治家。一郎の弟。ドイツ法学の輸入に貢献 ⑥日史 933 C ⑪政社 477 D図
バトヤム ⑩世地→イスラエル(国)〔地方誌〕
バトラー,H アメリカ ⑨世史→サルディス
バトラー,J イギリス[1692–1752] 神学者・道徳思想家。ホッブズの快楽的利己主義を批判 ④哲宗 464 A
バトラー,R イギリス[1913–] 彫刻家。人体彫刻に集中。感覚性と脆弱性をあわせもつ人体表現を追求 ②美術 466 A
バトラー,S イギリス[1612–1680] 詩人。反ピューリタン的風刺詩で知られる ①文学 485 A
バトラー,S イギリス[1835–1902] 小説家・思想家。牧羊で産をなした。透徹した知性をもった風刺家 ①文学 485 A →オーストラリア・ニュージーランド文学〔ニュージーランド〕
バトラコトキシン ⑮化学→ステロイド〔ステロイドアルカロイド〕
『バトラコミュオマキア』 ③音演→バーレスク
パトラス ⇨パトレ
『**パトラン先生**』 ①文学 485 B ③音演→宗教劇〔世俗劇〕 →フランス演劇〔中世〈世俗劇〉〕図
ハートリー,L イギリス[1895–1972] 小説家。伝統的・技巧的な作品に優れた ①文学 485 B
ハートリー,R ⑫経産→情報理論
ハドリアヌス,P [76–138] ローマ皇帝。五賢帝の一人。トラヤヌス帝の養子。ブリタニアに長城を築いた ⑨世史 497 D図 →五賢帝 →ローマ〔帝政期〈五賢帝時代〉〕 ②美術→パンテオン
ハドリアヌス帝凱旋門 ⑩世地→アテネ図
ハドリアヌスの長城 ⑨世史→イギリス(史)〔ブリタニア〈ローマン・ブリテン〉〕 →城〔ヨーロッパ〕図 ⑩世地→イギリス(連合王国)〔図観光〕
ハドリアノポリスの戦い ⑨世史→ラテン帝国
パトリエ,J スイス[1856–1929] 大統領。スイスの政治組織を研究,社会改革をすすめ社会保障制度を実現 ⑨世史 498 A
バドリオ,P イタリア[1871–1956] 軍人。ムッソリーニ体制崩壊後,新政府を組織。連合国との講和にあたる ⑨世史 498 A →イタリア(共和国)〔近代史〈共和国の誕生〉〕 →第二次世界大戦〔経過〈戦局の転換〉〕 ⑪政社 478 A図
パトリオティズム ⇨愛国心
パトリオット派 ⑨世史→フランス革命〔封建反動〕
パトリキ ⑨世史 498 B →クリエンテス →プレブス →ホルテンシウス法 →リキニウス・セクスティウス法 →ローマ〔共和政期〈初期〉〕
羽鳥湖はとりこ 福島 ⑧日地 942 A
羽鳥卓也 ⑫経産→マニュファクチュア論争
パトリック アイルランド[385*–461*] 修道士。同島のキリスト教化を完成し,守護聖人とされる ④哲宗 464 B
パートリッジ ⑳動物→アメリカウズラ
バドリナート ④哲宗→巡礼〈インド教〉
『ハートリの人間精神の説』 ④哲宗→プリーストリー,J
服部はっとり ⑥日史 933 C
羽鳥用水 ⑦日地→鏡石(町) ⑧日地→矢吹(町)
ハドル ⑬生活→アメリカンフットボール〔特色〕
ハードル競走 ⑬生活→陸上競技〔種目〕図
パドル式曝気法〈シェフィールド曝気法〉 ⑰科技→下水道〔下水の性質と下水処理〈図曝気法〉〕
バトルジャケット ⑬生活→ジャケット〔分類〕
『バートルビー』 ①文学→メルビル,H
バトル法〈相互防衛援助統制法〉 ⑫経産→MSA
バドル法 ⑨世史→産業革命〔経過〈綿工業〉〕 →鉄
ハートレー イギリス ⑤日史→アヘン密輸事件
パトレ ギリシア ⑩世地 473 C
パードレ〈バテレン〉 ⑥日史 933 D図 ④哲宗→キリシタン〔囲用語〕 ⑤日史→イルマン →科学史〔ヨーロッパからの衝撃〕 →転びキリシタンころび
パトレス〈教父〉 ④哲宗→教父哲学
バートレット ⑲植物→ナシ〔分類と品種〕図
バートレット舟状海盆 ⑱宇地→海底〔海底地形〕
バートレット法 ⑪政社 478 A
ハートレー発振回路 ⑰科技→発振回路〔LC発振回路〕図
パトローナ・ハリル ⑨世史→チューリップ時代
パトロネージ・システム ⑪政社→官僚制〔登場と発展〕
パトロールボート〈取締艇〉 ⑰科技→モーターボート〔用途〈保安用・軍用〉〕
パトロロギア〈教父学〉 ④哲宗→教父哲学
ハドロン ⑯物数→素粒子〔種類と相互作用〕
ハトン〈可敦〉 ⑨世史→ハガン
バトン ⑬生活→陸上競技〔種目〈リレーレース〉〕
バートン,O ⑱宇地→海底〔探究の歴史〕
バートン,R.F イギリス[1821–1890] 探検家・文筆家。アラビア語原典からの『千夜一夜物語』の英訳は有名 ①文学 485 C
バートン,R イギリス[1577–1640] 神学者・牧師。書籍を一生の伴侶として,単調な独身生活を送った ㊢『憂鬱の解剖』 ①文学 485 B →エッセイ
バートン,W アメリカ[1865–1954] 石油技術者。石油工業において革命的な熱分解蒸留法を開発 ⑮化学 501 C →石油〔利用の歴史〈現代〉〕
バードン,H イギリス ⑬生活→ゴルフ〔歴史〈名手〉〕図
パドンクルン(運河) ⑩世地→バンコク
バトンルージュ アメリカ/ルイジアナ ⑩世地 473 C
花 ⑲植物 500 B図 →花冠 →花式 →花序 →県花 →国花 →整正花 →中性花 →形態用語〈694〉
『花』 ③音演→滝廉太郎
鼻 ⑭医学 484 A図 →頭〔頭蓋〕 →顔 →嗅覚
『鼻』 ①文学→芥川竜之介あくたがわりゅうのすけ →『新思潮』 →日本文学〔近代〈反自然主義〉〕
バーナ インド[*–*] 7世紀のサンスクリット伝奇小説作家。宮廷詩人として活躍 ①文学 485 C ⑨世史→ハルシャ
バーナ ③音演→インド演劇〔古代宮廷演劇〕
ハナアオイ ⑲植物→ラバテラ
ハナアオイ ⇨タチアオイ
ハナアカシア ⑲植物→アカシア
ハナアジサイ ⇨ハイドランジャ
ハナアナゴ ⑳動物→アナゴ
ハナアブ〔花虻〕 ⑳動物 509 A図
花合 ⑥日史→物合ものあわせ
ハナ&バーベラ ③音演→アニメーション映画〔アメリカ〕図
パナイ(島) フィリピン ⑩世地 473 C →ビサヤン(諸島)
ハナイカダ〔花筏〕 ⑲植物 502 A図
ハナイカリ〔花碇〕 ⑲植物 502 B図
ハナイグチ ⑲植物→イグチ
花泉(町) 岩手 ⑧日地 942 A
花井卓蔵 [1868–1931] 弁護士。日比谷焼打事件・大逆事件など刑事事件で活躍,普通選挙実現にも尽力 ⑥日史 933 D
ハナイタヤガイ ⑳動物→イタヤガイ
パナイティオス ギリシア[前185*–109*] ストア派の哲学者。折衷的な中期ストア派を興す ④哲宗 464 B
ハナイバナ ⑲植物 502 B図
バナウェ ⑩世地→フィリピン(共和国)図
ハナウド ⑲植物 502 C図
花奪いまつり ⑦日地→白鳥(町)しろとり《岐阜》図
ハナウミシダ ⑳動物→ウミシダ図
ハナウリクサ ⇨トレニア
花会式 ⑧日地→奈良(市)〔別年中行事〕
パナーエフ,I ロシア[1812–1862] 小説家・ジャーナリスト。ロマン派から出発,自然派に属し,報告文学作品がある ①文学 485 C →『現代人』
ハナエンジュ ⑲植物→アカシア →ニセアカシア
花豌豆 ⑲植物→スイートピー
鼻緒 ⑬生活→下駄 →草履ぞうり
花岡鉱山 ⑦日地→大館(市) ⑱宇地→コベリン
華岡青洲はなおかせいしゅう [1760–1835] 外科医。世界最初の全身麻酔による乳癌手術に成功 ⑥日史 933 D ⑭医学 560 D図 →麻酔 ⑤日史→紀伊国〔囲人国記〕
『華岡青洲の妻』 ①文学→有吉佐和子
花岡山 熊本/熊本市 ⑧日地 942 A
ハナオコゼ〔花鰧〕 ⑳動物 509 B図
花折断層線 ⑦日地→滋賀(県)〔自然〕
ハナカイドウ〔花海棠〕 ⇨カイドウ
ハナカエデ ⇨ハナノキ
花川戸助六 ③音演→『助六由縁江戸桜すけろくゆかりのえどざくら』
ハナガエル ⑳動物→カエル〔生態と発生〕
花神楽 ⇨花祭《民俗芸能》
『花籠に充満せる人間の死』 ①文学→滝口修造
花笠踊 ③音演→民謡〔表〈山形〉〕 ⑦日地→尾花沢(市)図 ⑧日地→山形(市)〔観光〕図
花笠踊《山口》 ⑦日地→熊毛(町)図
ハナガサクラゲ ⑳動物→クラゲ〔種類〕図
ハナガサノキ〔花傘樹〕 ⑲植物 502 C
鼻かぜ〈急性鼻炎〉 ⑭医学→ウイルス〔疾患〕 →かぜ〔症状〕 →鼻〔鼻炎〕
花型〈かけ〉 ⑬生活→いけ花〔いけ方〈基本〉〕
花型切り ⑬生活→調理〔切り方〕図
ハナカタバミ ⑲植物→オキザリス

ハマトビウオ ⑳動物→トビウオ
ハマトラノオ ⑲植物→ヤマトラノオ
浜頓別(町) 北海道/宗谷支庁 ⑧日地 945 A
ハマナ ⑬生活→山菜〔種類〕
浜中(町) 北海道/釧路支庁 ⑧日地 945 A
浜名湖 静岡・愛知 ⑧日地 945 B図 →弁天島《静岡》 →潟〈1204 B〉 →汽水湖〈1206 D〉
浜名湖県立自然公園 ⑦日地→舘山寺
浜名湖橋 ⑰科技→橋図
ハマナス〈ハマナシ〉 ⑲植物 510 B →バラ〔野生種〕別 ⑧日地→中山(町)《鳥取》
ハマナタマメ〔浜鉈豆〕 ⑲植物 510 B図
浜納豆〈大徳寺納豆〉 ⑬生活→郷土料理〔囲〈静岡〉〕 →納豆
ハマナツメ〔浜棗〕 ⑲植物 510 C図
ハマナデシコ ⑲植物 510 C →ナデシコ図
ハマニガナ〔浜苦菜〕 ⑲植物 510 C →イワニガナ図
ハマニンドウ〔浜忍冬〕 ⑲植物 510 C →スイカズラ
ハマニンニク ⇨テンキグサ
ハマネナシカズラ ⑲植物→ネナシカズラ
パーマネントウェーブ ⑬生活 502 D図 →髪形〔女子〕 →美容〔髪〕 ⑮化学→変性
パーマネント・コース ⑬生活→オリエンテーリング
パーマネントプレス加工 ⑬生活→織物〔製造工程〈仕上げ加工〉〕 →綿織物〔仕上げ加工〕
浜ノ浦 ⑦日地→上五島(町)
浜畔 ⑧日地→三井楽(町)
浜野政随 [1696-1769] ②美術→奈良派
浜ノ瀬公園 ⑦日地→小林(市) →三ノ宮峡
浜野正男 ⑩世地→ナンダコット
ハマハナヤスリ ⑲植物→ハナヤスリ
浜比嘉島 ⑦日地→勝連(町) →金武湾
ハマヒサカキ ⑲植物→ヒサカキ図
ハマビシ〔浜菱〕 ⑲植物 510 C図 →果実図
ハマヒルガオ〔浜昼顔〕 ⑲植物 510 C →海浜植物 →ヒルガオ図
ハマビワ〔浜枇杷〕 ⑲植物 511 A図
ハマフエフキ ⑳動物→フエフキダイ
ハマベウスバカゲロウ ⑳動物→ウスバカゲロウ
ハマベノギク〔浜辺野菊〕 ⑲植物 511 A図
ハマベンケイソウ〔浜弁慶草〕 ⑲植物 511 A図
ハマボウ ⑲植物 511 B図
ハマボウフウ〔浜防風〕 ⑲植物 511 B →乾生植物 →ボタンボウフウ図 ⑬生活→山菜〔種類〕
ハマボッス〔浜払子〕 ⑲植物 511 C図
浜益(村) 北海道/石狩支庁 ⑧日地 945 C
浜松(市) 静岡 ⑧日地 945 D図
浜松市動物園 ⑳動物→動物園〔表日本〕
浜松市美術館 ②美術 682 A
浜松城跡 ⑧日地→浜松(市)
『浜松中納言物語』 ①文学 488 D →日本文学〔古代〈平安時代〉〕 →物語文学 ⑥日史 937 C
浜松町 東京/港区 ⑧日地 946 A
浜松日本楽器争議 ⑥日史 937 C
浜松藩 ⑥日史 937 D →遠江国
『浜松屋』 ③音演→『青砥稿花紅彩画』
浜村温泉 ⑦日地→気高(町)
浜村音頭〈貝殻節〉 ③音演→民謡〔表〈鳥取〉〕
ハマムラサキノキ ⇨モンパノキ
浜村蔵六 ②美術→印章〔日本〕
浜村屋 ③音演→歌舞伎〔囲屋号〕 →瀬川菊之丞
ハマモッコク ⇨シャリンバイ
浜門流〈日昭門流〉 ④哲宗→日蓮宗〔歴史〕
浜役 ⑤日史→浦役
浜谷七郎兵衛 [1792-?] ⑥日史→能登国〔囲人国記〕
ハマユウ〔浜木綿〕 ⑲植物 511 C図 →クリナム
ハマユウガイ ⑳動物→ツツガキ
破魔弓 ⑥日史→弓矢〔弓〕
『破魔弓』 ①文学→『馬酔木』《俳句》
ハマヨモギ〔浜艾〕 ⑲植物 512 A →ヨモギ図
パーマーランド ⑩世地→南極半島
浜離宮 ⑥日史 937 D ⑧日地→中央(区)《東京》 →東京(都)表
パーマロイ ⑰科技→磁性材料
浜脇温泉 ⑧日地→別府(市)
ハーマン, C ⑰科技→計算機〔歴史〕
ハーマン, J ドイツ [1730-1788] プロテスタント思想家。北方の賢者とよばれ,神の三位一体的謙卑を説く ①文学 489 A ④哲宗 466 B図
ハーマン, W [1913-] ③音演→ジャズ〔モダン〕

ハミ〔哈密〕 中国/新疆ウイグル自治区 ⑨世史 501 D ⑩世地 478 A
波見 ⑦日地→高山(町)
ハミズニワスギゴケ ⑲植物→コケ植物〔生活史〕 →スギゴケ
食出鐔 ⑥日史→薙刀
ハーミテージ ニュージーランド ⑩世地 478 A
ハミナ ⑩世地→フィンランド(共和国)〔地方誌〕
バーミヤーン〈バーミアン〉 ⑨世史 501 D図 ②美術→石仏〔中国・朝鮮〕 →石窟寺院 ⑩世地→アフガニスタン(民主共和国)〔社会・文化〕図
バーミューダ(諸島) イギリス/大西洋 ⑩世地 478 B
バーミューダシロハラミズナギドリ ⑳動物→保護鳥〔表国際保護鳥〕
『パミラ』 ①文学→書簡体小説 →パロディ →リチャードソン, S
パミール ソ連 ⑩世地 478 B ⑨世史→中央アジア〔地域の特徴〕
パミールアルガリ〈マルコポーロヒツジ〉 ⑳動物→アルガリヒツジ
ハミルカル(バルカス) [前?-228] カルタゴの武将。スペインに渡り,この地を開発し一族の勢力の基盤とした ⑨世史 502 A →ハンニバル →ポエニ戦争〔第2回〕
ハミルトニアン ⑯物数→超多時間理論
ハミルトン, A アメリカ [1755-1804] 政治家,財務長官。強力な連邦政府の必要を熱心に主張,ジェファソンと対立 ⑨世史 502 B図 →アメリカ(合衆国)〔合衆国の発足〈フェデラリスト〉〕 →フェデラリスト ⑫経産→アメリカ独立革命〈18 C〉
ハミルトン, E ①文学→SF
ハミルトン, R イギリス [1922-] ②美術→ポップ・アート図
ハミルトン, W イギリス [1805-1865] 数学者・数理物理学者。光学・力学を研究,解析力学の基礎を確立 ⑯物数 441 A →運動の法則
ハミルトン ⑩世地→バーミューダ(諸島)
ハミルトン カナダ ⑩世地 478 B
ハミルトン ニュージーランド ⑩世地 478 C
ハミルトンの原理 ⑯物数→運動の法則
ハミルトンの4元数体 ⑯物数→環〔単位元・零因子・整域・体〕 →体〔可換体と非可換体〕 →多元環〔例〕
ハミルトンの正準運動方程式 ⑯物数→解析力学
バーミンガム イギリス ⑩世地 478 C図
ハミングバード ⇨ハチドリ
バーミングハム アメリカ/アラバマ ⑩世地 478 D
パーミンバ ⑰科技→磁性材料
ハム ⑬生活 503 B図 →食肉〔加工〕 →畜産加工品〔肉製品〕
ハム ⑰科技→通信〔アマチュア無線〕
バーム〈径浜〉 ⑱字地→海岸図
ハムキョン(山脈)〈咸鏡山脈〉 北朝鮮 ⑩世地 478 D →朝鮮〔自然〕
ハムグリムシ ⇨ハモグリムシ
『ハムサ』 ①文学→ネバーイー
ハムシ〔金花虫,葉虫〕 ⑳動物 514 A図 →ハモグリムシ ⑲植物→病虫害〔表害虫〕
ハムシダマシ〔偽葉虫〕 ⑳動物 514 B
バームシベット ⑳動物 514 C →ジャコウネコ
ハムスター ⑳動物 514 C図 →ネズミ〔利用と害〕
ハムスン, K ノルウェー [1859-1952] 小説家。新ロマン主義の代表者。ドイツ軍に荷担,戦犯裁判にかけられた。ノーベル賞受賞 ㊥『飢え』 ①文学 489 A
ハム・セム語族 ⇨セム・ハム語族
ハム族 ⑨世史→エジプト〔言語と住民〕
ハムデン, J イギリス [1594-1643] 議会派の指導者。クロムウェルの従弟。内乱開始後は議会軍に参加し戦死 ⑨世史 502 C
パムパム(島) ⑩世地→アダムスブリッジ
パームビーチ ⑩世地→ウェストパームビーチ
ハムフン〈咸興〉 北朝鮮 ⑩世地 479 A
パムペロ ⑱字地→風〔表局地風〕
パームボール ⑬生活→野球〔囲用語〕図
パーム油 ⑮化学→油脂〔表性状と用途〈植物脂〉〕
羽村(町) 東京 ⑧日地 946 B
羽村堰 ⑧日地 946 B →玉川上水 →羽村(町)
ハムラビ [?-?] バビロン第一王朝第6代の王。バビロニアを統一し,法律を集大成して発布 ⑨世史 502 C図 →古代オリエント文明〔メソポタミア〕 →バビロニア →メソポタミア文明〔文化〕
ハムラビ法典 ②美術→メソポタミア美術〔バビロニア美術〕 ⑨世史→ハムラビ

『ハムレット』 ③音演 444 C図 →オリビエ, L図 →シェークスピア, W図 ①文学→シェークスピア, W図
『ハムレットとの夜』 ①文学→ホラン, V
葉室顕隆 [1072-1129] 平安後期の公卿。白河院の近臣となり,院政下で権力をもつ。異名は夜の関白 ⑥日史 937 D
バムン族 ⑩世地→カメルーン(連合共和国)〔社会・文化〕
はめあい方式 ⑰科技→限界ゲージ
パメカサン ⑩世地→マドゥラ(島)
嵌殺し窓 ⑰科技→音響設計〔例〕
ハメット, D アメリカ [1894-1961] 推理小説家。私立探偵を経験,ハードボイルドの分野を確立 ①文学 489 B →推理小説〔作風〕
ハメット, L ⑮化学→ハメット則
ハメット則 ⑮化学 503 A
『破滅の恋』 ①文学→カステーロ・ブランコ, C
『破滅の書』 ①文学→フォルシ, O
ハメルン 西ドイツ ⑩世地 479 A
波面 ⑯物数→音〔大きさおよび高さ〕 →波〔種類〕
破免 ⑤日史→定免法
ハモ〔鱧〕 ⑳動物 514 C図
ハモ皮 ⑳動物→ハモ〔調理〕
ハモグリガ〔葉潜蛾〕 ⑳動物 515 A →ジカキムシ
ハモグリダニ ⇨サビダニ
ハモグリバエ〔葉潜蠅〕 ⑳動物 515 A
ハモグリムシ〔葉潜虫〕 ⑳動物 515 B
バ・モー政府 ⑨世史→アウン・サン →ウー・ヌ
羽茂(町) 新潟/佐渡島 ⑧日地 946 C
ハーモニー ⇨和声
『ハーモニアム』 ①文学→スティーブンズ, W
ハーモニウム ③音演→オルガン〔分類〕
ハーモニカ ③音演 445 B図
ハーモニックス ③音演→バイオリン〔奏法〕
刃物 ⑬生活→ナイフ →鋏 ⑯物数→くさび
端物 ⑰科技→印刷〔囲用語〕
ハモリダニ ⑳動物→ダニ〔害と益〕
刃文 ②美術→日本刀〔美と鑑賞〕図
ハモンド, L アメリカ ③音演→電気楽器
ハモンド アメリカ/インディアナ ⑩世地 479 A
バーモント(州) アメリカ ⑩世地 479 B
ハモンド・オルガン ③音演→電気楽器
ハヤ〔鮠〕 ⑳動物 515 C →ウグイ →オイカワ
速歩 ⑬生活→馬術競技〔種類〕図
早出川 ⑧日地→村松(町)
早川 神奈川 ⑧日地 946 D
早川 山梨 ⑧日地 946 D
早川(町) 山梨 ⑧日地 946 D
早川上水 ⑰科技→水道〔歴史〕
早川石牙 [1733-1797] ⑤日史→甲斐国〔囲人国記〕
ハヤカワセミタケ ⑲植物→セミタケ表
早川正紀 [1739-1807] ⑥日史→美作国〔囲人国記〕
早川良雄 ②美術→ポスター
早替 ③音演→歌舞伎〔囲用語〕
早来(町) 北海道/胆振支庁 ⑧日地 947 A
速さ ⑯物数 441 B →運動の法則〔運動の第2法則〕 →速度 →等速運動
早坂高原 岩手 ⑧日地 947 A →玉山(村)
早坂文雄 [1914-1955] ③音演→日本音楽〔あゆみ〈近代〉〕
早崎 ⑦日地→口之津(町) →島原半島
早崎 ⑧日地→びわ(町)
早崎海峡 ⇨瀬詰ノ瀬戸
囃子 ③音演 445 D →下座音楽〔歌舞伎〕
林韑 ⑥日史→通航一覧
林遠里 [1831-1906] 明治前期の勧農家。種子保存法を考案し,深耕馬耕などによる先進的農法を普及 ⑥日史 938 A
林花翁 [?-1744] ⑥日史→三河国〔囲人国記〕
囃子方 ③音演→能〔役柄・制度・流儀〕
林鵞峯 [1618-1680] 江戸前期の儒者。羅山の子。徳川家光に仕え,外交の機密にも参与 ⑥日史 938 B →『本朝通鑑』 ④哲宗→林家 ⑤日史→国史館
林京子 ①文学→芥川賞表
林家 ⇨林家
林権助 [1860-1939] 外交官。明治後期・大正期の中国・朝鮮問題を担当,軍部進出には批判的であった ⑥日史 938 B
林崎甚助〈林崎重信〉 [1548-?] 安土桃山・江戸初期の武術家。神夢想林崎流居合術の祖 ⑥日史 938 B
林崎文庫 ⑤日史→伊勢国〔囲人国記〕

バラモン ④哲宗→バラモン教 ⑨世史→カースト〔歴史〕 →バラモン教 →ヒンドゥー教
『婆羅門』 ③音演→伎楽〔特色〕
バラモン教 ④哲宗 467 D →ヒンズー教 ⑨世史 504 A
バラモンジン〔波羅門参〕 ⇨サルシフィー
はらや ⑬生活→おしろい〔歴史〕
原山遺跡 ⑥日史 945 D
バラライカ ③音演 447 A図
パララックス ⑰科技→カメラ〔機能と操作〕
バララット オーストラリア ⑩世地 480 C
『バーララーマーヤナ』 ①文学→ラージャシェーカラ
バラリンピック ⑬生活 504 B
ハラル ⑩世地→ノルウェー(王国)〔略史〕
ハラール エチオピア ⑩世地 480 C →エチオピア〔地方誌〈東部高原〉〕図
バラール,A フランス[1802/1876] 化学者。鹹水の研究中に臭素を発見,その性質を調べた ⑮化学 505 A図
バーラル〈アオヒツジ〉 ⑳動物 516 B
バーラル,V チェコ[1932] 小説家。化学技師で,化学工場で働く人々を性生活も含め赤裸に描く ①文学 492 A
ハラレ ⇨ソールズベリ
パラレルクリスチャニア ⑬生活→スキー〔技術〈基本技術〉〕図
パラワン(島) フィリピン ⑩世地 480 C
ハラン〔葉蘭〕 ⑲植物 521 A
バラン(県) ⑩世地→アルザス・ロレーヌ
バランガ,A ルーマニア[1913] ③音演→東欧演劇
バランガイ ⑨世史 504 B ⑩世地→フィリピン(共和国)〔略史〕
バランカベルメハ コロンビア ⑩世地 480 C
バランキア コロンビア ⑩世地 480 D
バーランクー ③音演→沖縄の歌舞〔民俗芸能〕
バランシン ⇨バランチン,G
バランス型瞬間湯沸器〈密閉型瞬間湯沸器〉 ⑰科技→給排水設備〔給湯設備〕
バランス型風呂がま ⑬生活→浴室
バランスシート ⇨貸借対照表
バランス表 ⑫経産→国民経済バランス
パランダー,T スウェーデン ⑫経産→産業立地〔概要〕
『バランチーヌ』 ①文学→ヌーボー,G
バランチン,G アメリカ[1904] 舞踊家・振付者。今日のニューヨーク・シティ・バレエ団を結成,繁栄に尽力 ③音演 447 A
バランテ族 ⑩世地→ギニアビサウ(共和国)
ハーランド イギリス ①文学→『イエロー・ブック』
針 ⑧日地→都祁(村)
針 ⑬生活 504 C表 →刺繍〔日本刺繍〈材料〉〕 →和裁〔裁縫用具〕
梁 ⑬生活 505 A
鉤〈フック〉 ⑬生活→釣り〔釣り道具〕図
鍼 ⑭医学 488 A図 →経絡 →鍼灸医学
ハリー ⇨ハレー,E
ハーリー インド[1837/1914] ウルドゥー語詩人。インド・イスラム教徒覚醒運動の支持者 ①文学 492 A
ハーリー〈爬竜船〉 ⑦日地→糸満(市) →沖縄(県)〔文化〈年中行事と信仰〉〕図
バリ,C イギリス[1795/1860] 建築家。同国国会議事堂の設計で名高い。王立建築学校会長をつとめる ②美術 469 A →ロマン主義
バリ,E イギリス[1830/1880] ②美術→バリ,C
バリ イタリア ⑩世地 480 D
バリ(島) インドネシア ⑩世地 480 D図 →インドネシア(共和国)図 ⑫経産→アジア経済事情図
バリ ⑱宇地→風〔表局地風〕
バリー,J イギリス[1860/1937] 劇作家。おとぎ劇の名作『ピーター・パン』で知られる ①文学 492 A ③音演 447 B図 →イギリス演劇〔20世紀〕
バリー,P アメリカ[1896/1949] 劇作家。軽いしゃれた喜劇に本領を発揮 作『フィラデルフィア物語』 ①文学 492 B ③音演 447 B
バーリー(湖) オーストラリア ⑩世地 481 C
パリ フランス ⑩世地 481 D図囲 →セーヌ(川) ⑨世史→大学〔出現と背景〕 ⑫経産→金融市場〔囲金融センター〈ヨーロッパ〉〕 ⑰科技→都市計画〔地区設計・都市設計の歴史〈近世・近代〉〕図
パリ(盆地) フランス ⑩世地 486 D →イルドフランス →フランス(共和国)〔自然〈地形・地質〉〕図 ⑱宇地→ケスタ →盆地
パリー,C イギリス ⑭医学→バセドウ,K〈205 D〉
バリアイヌ ⑳動物 516 B →イヌ〔系統〕図
『張り合う女王たち』 ①文学→リー,N
バリアシオン ③音演→バレエ〔囲用語〈グラン・パ・ド・ドゥ〉〕
ハリアー戦闘・攻撃機 ⑰科技→VTOL図
ハリアナ(州) ⇨ハリヤナ(州)
『バーリアの浜にて』 ③音演→イェーツ,W
バリアブル・コンデンサー ⇨バリコン
張り網 ⑬生活→狩猟〔法規〈猟具〉〕
バリアラーニ,E イタリア[1927] 詩人・評論家。ネオ・レアリズモ批判で知られる ①文学 492 B
ハリアリ亜科 ⑳動物→アリ〔分類〕
貼り合せ紙 ⑰科技→紙〔加工紙〈積層加工紙〉〕
バリアン(兄弟) ⑰科技→電子管〔歴史〕
ハリイ〔針藺〕 ⑲植物 521 A
張り板 ⑬生活→洗い張り〔板張り仕上げ〕
ハリウオ ⇨トゲウオ
ハリウッド ⑩世地→ロサンゼルス
ハリウッドパーク競馬場 ⑬生活→競馬〔競馬場〈アメリカ〉〕
バリウム ⑩世地→バリ
バリウム ⑮化学 505 A図 →アルカリ土類金属 →炎色反応図 →水酸化バリウム ⑭医学→胃潰瘍〔診断〕 →レントゲン検査〔造影撮影法〕
バリウム浣腸 ⑭医学→浣腸
バリウムケイ酸ガラス ⑮化学→ガラス〔成分組成による分類〕
バーリェ=インクラン,R スペイン[1866/1936] 詩人・劇作家・小説家。音楽性と柔軟性に富んだ芸術至上主義者 ①文学 492 B ③音演 447 C
バリエーション ③音演→変奏曲
バリェッホ,C ペルー[1892/1938] 詩人。ロシア旅行・スペイン市民戦争などに触発され詩作。社会小説もある ①文学 492 B →ラテンアメリカ文学〔20世紀〕
『バリエテ』 ①文学→バレリー,P
ハリエンジュ ⇨ニセアカシア
針尾 ⑦日地→佐世保(市)
パリオ ⑩世地→シエナ
ハリオアマツバメ ⑳動物→アマツバメ
『玻璃王宮大御年代記』 ⇨『マンナン・ヤーザウィン』
バリオ・ゴチコス ⑩世地→バルセロナ
針尾島 長崎/佐世保市 ⑧日地 948 B →早岐瀬戸
バリオス ⑩世地→グアテマラ(共和国)〔略史〕
バリオス,E チリ[1884/1963] 小説家。心理的描写を得意とする ①文学 492 C
針尾瀬戸 ⇨伊ノ浦瀬戸
バリオチン ⑮化学→抗生物質〔主要なもの〕
ハリオツバメ ⑳動物→ツバメ
パリ外国宣教会 ④哲宗 468 A ⑤日史→浦上教徒事件
パリ会談 ⑪政社→インドシナ戦争〔第2次〕
パリ解放 ⑪政社→第二次世界大戦別
張笠 ⑤日史→笠
ハリガネカズラ ⑲植物 521 A
ハリガネムシ〔針金虫〕 ⑳動物 516 C
針ヶ谷夕雲 [1607*/1669*] 江戸初期の剣術家。虎白和尚が無住心剣と名づけた「本然受用」の一法を案出 ⑥日史 945 D
『パリからエルサレムまで』 ①文学→紀行文学〔西洋〕
バリカン ⑬生活→理容
バリキャップ ⑰科技→ダイオード〔バラクタダイオード〕
ハーリー卿 イギリス[1661/1724] ⑨世史→デフォー,D
パリ協定 ⑨世史→パリ条約
ハリギリ〔針桐〕〈センノキ〉 ⑲植物 521 A図 ⑰科技→木材〔表広葉樹〈日本産材〉〕
バリーク ⑨世史→カラ・バルガスン
はり薬 ⑭医学→薬〔形状〈パップ剤〉〕
パリクティン(山) メキシコ ⑩世地 486 D ⑱宇地→火山〔噴火の仕組み〕〔表活火山〕
バリクパパン インドネシア ⑩世地 486 D
針供養 ⑦日地→浅草〔行事〕図 ⑧日地→東京(都)〔別年中行事〕
ハリグワ〔柘樹〕 ⑲植物 521 A図
ハリケーン ⑱宇地 522 A →うず →サイクロン →台風〔発生と来襲〕 →高潮 →熱帯低気圧
『ハリケーン』 ①文学→ノードホフ,C
バリケン〔蕃鴨〕 ⑳動物 516 C
パーリ語 ①文学→インド・パキスタン文学〔仏教およびジャイナ教文学〕 →『ジャータカ』
『パリ交響曲』 ③音演→ハイドン,F
『パリ交響曲』 ③音演→モーツァルト,W
パリ高等法院 ⑨世史→高等法院 →フロンドの乱
パリ講和会議 ⑤日史→国際連盟 →五・四運動 ⑨世史→ベルサイユ条約
パリ国立近代美術館 ②美術 686 B
パリ国立図書館 ②美術 686 B ⑩世地→パリ〔囲観光地〕
張輿 ⑤日史→輿図
張り子人形 ⑬生活→郷土玩具〔種類〕
ハリコフ ソ連/ウクライナ ⑩世地 486 D
パリ・コミューン ⑨世史 504 B図 →コミューン →フランス(共和国)〔歴史〈市民社会〉〕 ⑪政社→革命〔原因〕 →プロレタリアート独裁
バリコン〈可変コンデンサー,バリアブル・コンデンサー〉 ⑰科技→コンデンサー →ラジオ〔ラジオ受信機〈同調回路〉〕
ハーリサ ⑨世史→ムガル帝国〔行政・官位制度〕
パリ祭〈七月十四日祭〉 ④哲宗→祭り〔歴史〕 ⑩世地→フランス(共和国)〔図景観〕
『巴里祭』 ③音演→クレール,R →シャンソン《ポピュラー》〔特徴〕
パリサイ人〈パリサイ派〉 ⑨世史 504 D →イエス・キリスト →キリスト教 →ユダヤ教 ④哲宗→聖書〔旧約聖書〈成立と構成〉〕
針刺し〈針山〉 ⑬生活→和裁〔裁縫用具〈針〉〕
ハリサシカビ ⑲植物→カビ〔生態〈菌生菌〉〕
ハリサシカビモドキ ⑲植物→菌類〔分類〈藻菌類〉〕
ハリサシガメ ⑳動物→サシガメ
パリザー=パール=ポープル法 ⑮化学→量子化学
バリサン(山脈) インドネシア ⑩世地 488 A
ハリシェーナ ⑨世史→バーカータカ朝
パリジェンヌ(クレタの) ②美術→古代地中海の美術別 ⑨世史→エーゲ文明図
ハリシバ ⑲植物→芝生〔日本シバ〕
パリ市美術館 ⇨プチ・パレ美術館
ハリジャン ⑨世史→カースト〔改革運動〕
『パリジャンの手紙』 ①文学→ハイベルグ,G
ハーリジュ派 ④哲宗→イスラム教〔諸宗派の形成〕
パリ証券取引所 ⑫経産→証券取引所図
パリ条約 ⑨世史 504 D →アメリカ独立革命〔経過〕 →ウィーン会議 →七年戦争 →不戦条約 →フレンチ・インディアン戦争 →ロシア・トルコ戦争 ⑪政社→不戦条約
パリ植物園 ⑲植物→植物園表
ハリス,F アメリカ[1856/1931] アイルランド生まれの小説家。赤裸々な性描写で回想記は一時発禁 ①文学 492 C
ハリス,J アメリカ[1848/1908] 小説家。黒人の伝説・民話を芸術化した ①文学 492 C
ハリス,L ⑱宇地→潮汐〔潮汐観測〕
ハリス,T アメリカ[1804/1878] アメリカ初代の駐日外交官。和親条約締結後来日,通商条約締結に成功 ⑥日史 946 A図 →日米修好通商条約 →ヒュースケン,H ⑤日史→開国〔通商開始〕
ハリス(島) ⑩世地→ヘブリディズ(諸島)
ハリス ⑬生活→釣り〔釣り道具〈釣り糸〉〕
パリス ④哲宗→ギリシア・ローマ神話〔囲主要神名〕
パリスアルプス ⑩世地→アルプス〔地域区分〈中部〉〕
パーリス王国 ⑩世地→マレーシア(連邦)〔政治・外交・軍事〕
パリスカン造山運動 ⑱宇地→古生代 →山脈〔時代による区分〕 →造山運動図 →地質時代〔日本の地質系統〕
バリスター ⑰科技 530 B図
バリスタイト ⑮化学→火薬〔組成〈その他〉〕
ハリストス正教会 ⑧日地→函館(市)図
ハリスバーグ アメリカ/ペンシルベニア ⑩世地 488 A
ハーリス・ビン・ヒッリザ ①文学→『ムアルラカート』
バリーゼ,G イタリア[1929] 小説家・脚本家。世界的ベストセラー『美男司祭』と『あるじ』がある ①文学 492 C
ハリセンボン〔針千本〕 ⑲植物 521 B
ハリセンボン《キノコ》 ⇨ヤマブシタケ
ハリセンボン〔針千本〕 ⑳動物 516 C図
パリ装飾美術館 ②美術 686 B
パリ族 ⑩世地→インドネシア(共和国)〔地方誌〈小スンダ列島〉〕
ハリソン,G イギリス[1943] ③音演→ロック・ミュージック〔ニュー・ロック〕
ハリソン,J イギリス ⑰科技→クロノメーター図 →時計〔歴史〈第3期〉〕
ハリソン,R アメリカ[1870/1959] 生物学者。移植術・組織培養などを駆使し神経発生学に業績を残した ⑳

動物517 A →培養 ⑭医学→組織培養
墾田 ⇨墾田
ハリタケ〔針茸〕 ⑲植物 521 B →キノコ〔分類〕図
ハリダシエビス ⑳動物→ヒウチダイ
バリタ水 ⑮化学 506 A →水酸化バリウム
『パリ便り』 ①文学→ベルネ,L
『巴里通信』 ①文学→池辺三山
磔 ⑤日史→死刑図
貼付壁 ②美術→壁〔日本〕
磔茂左衛門〈杉木茂左衛門〉［?～1686］ 江戸前期,上野国月夜野村の義民。領主の暴政を将軍に訴え改易させた ⑥日史 946 A ⑤日史→上野国〔囲人国記〕 ⑫経産→百姓一揆
ハリッジ ⑩世地 488 A
パリッシー,B ［1510?～1589?］ 陶工・自然科学者。パリッシー焼といわれる「田園風陶器」を完成させた ②美術 469 B
パリッシュ ⑫経産→テクノクラシー
ハリッチ ⇨ハリッジ
パリティ ⑯物数 441 B
パリティ非保存 ⑯物数→パリティ →楊振寧 →李政道
ハリデ・エディプ・アドゥバル ［1884～1964］ 女流小説家。祖国解放戦争後,国外に去り,各地でトルコ文学を講演 ①文学 492 C
『パリーテル氏』 ①文学→ティメルマンス,F
張り天井 ⑬生活→天井
パリ天文台 ⑱宇地→天文台〔世界〕
バリト(川) ⑩世地→ボルネオ(島)
バリトン ③音演 447 C →声域図
バリトン・オーボエ ③音演→オーボエ〔オーボエ属〕
バリトンホーン ③音演→サクソルン属
ハリナガミジンコ ⑳動物→ミジンコ
パリーニ,G ［1729～1799］ 詩人。貴族の家庭教師となり,教育者としても活躍 ①文学 492 D →イタリア文学〔18～19世紀〕
『巴里に死す』 ①文学→芹沢光治良
バリニャーニ,A〈ワリニャーニ〉［1539～1606］ イエズス会の宣教師。三度来日し布教制度を改革,セミナリオ,コレジオなどを定めた ⑥日史 946 B →セミナリオ →天正遣欧使節 ①文学→キリシタン文学 ④哲宗→キリシタン〔囲人名〕 ⑤日史→印刷術 →キリスト教〔ザビエルの来日〕 ⑰科技→印刷〔歴史〕
張抜 ⇨一閑張
ハリネズミ〔針鼠〕 ⑳動物 517 A図 →食虫類〔生態〕
『パリのアメリカ人』 ③音演→ガーシュイン,G
『パリの女』 ①文学→ベック,H
ハリノキ ⇨ハンノキ
針ノ木岳 ⑧日地→日本アルプス〔北アルプス〕
針ノ木峠 富山・長野 ⑧日地 948 B
『パリの虐殺』 ①文学→マーロー,C
『巴里の女性』 ③音演→チャップリン,C
『パリの神話』 ①文学→アラゴン,L
『パリの聖母』 ①文学→ジューブ,P
『パリの秘密』 ①文学→シュー,E →新聞小説
『巴里の屋根の下』 ③音演→映画〔トーキー〈第4期〉〕図 →クレール,R →シャンソン《ポピュラー》〔特徴〕
『パリの憂鬱』 ①文学→詩 →象徴主義 →ボードレール,C
『パリの夜』 ①文学→レチフ・ド・ラ・ブルトンヌ,N
パリ・ノール国際空港 ⑩世地→パリ〔交通〕
『パリ・ハイ』 ③音演→ロジャース,R
ハリーハウゼン,R ［1920～］ ③音演→アニメーション映画図
ハリバエ〔針蠅〕 ⑳動物 517 A
ハリバ肝油 ⑭医学→肝油
パリ伯 ⑨世史→ユーグ・カペー
針箱 ⑬生活→和裁〔裁縫用具〕
バリバ族 ⑩世地→ダオメー(共和国)〔社会・文化〕
ハリハラ ⑨世史→ビジャヤナガル王国
はりはり漬け ⑬生活→漬け物〔酢漬け〕
はりはり鍋 ⑬生活→鍋料理〈478 C〉
バリバリノキ ⑲植物 521 B →カゴノキ図
パリ万国博覧会 ⑰科技→エッフェル,A図
『ハリ・バンシャ』 ①文学→インド・パキスタン文学〔叙事詩文学〕 →『マハーバーラタ』
『パリ繁昌記』 ①文学→中村光夫
ハリーファ ⇨カリフ
ハリファックス ⑩世地 488 A
ハリファックス ⑩世地 488 A

ハリブキ〔針蕗〕 ⑲植物 521 C図
ハリフグ ⇨ハリセンボン
『巴里夫人』 ①文学→芹沢光治良
パーリ仏教 ④哲宗→仏教〔南方仏教〕
ハリブトシリアゲアリ ⑳動物→キマダラルリツバメ
張文 ⇨壁書
パリ平和会議 ⑪政社→第一次世界大戦〔終結〕図 →中立〔歴史〕 →ベルサイユ条約
パリ平和条約 ⇨パリ条約
パリ・ボン枢軸 ⑪政社→西欧政治事情〔EEC〕
播磨(町) 兵庫 ⑧日地 948 B
バリマ(川) ⑩世地→ガイアナ〔自然〕
バリマ(山脈) ⑩世地 488 B
播磨一揆 ⑥日史 946 B
播磨工業地域 ⑧日地 948 C ⑦日地→近畿地方〔産業〈工業〉〕
鍼麻酔 ⑭医学→鍼灸医学 →麻酔
播磨造船所 ⑫経産→石川島播磨重工業(株)
はりま投げ ⑬生活→相撲〔図きまり手〕
播磨灘 ⑧日地 948 C →播磨工業地域
播磨国 兵庫 ⑥日史 946 B囲 ⑧日地 948 D
『播磨国風土記』 ①文学→『風土記』 ⑥日史→『風土記』
播磨平野 ⇨姫路平野
播磨屋 ③音演→歌舞伎〔囲屋号〕 →中村吉右衛門 →中村時蔵
播磨屋橋 ⑦日地→高知(市)
ハリマン,E ［1848～1909］ 鉄道経営者。立志伝中の人。世界交通網の支配を計画し,満鉄の買収には失敗 ⑨世史 505 C
漲水港 ⑧日地→平良(市)
針道 ⑧日地→東和(町)《福島》
ハリムシ ⑳動物→アブ
バリモア(一家) 俳優一家。19～20世紀に親子5人,いずれも名優として名をあげた ③音演 447 D
ハリモグラ〔針鼴鼠〕 ⑳動物 517 A図 →単孔類
ハリモミ〔針樅〕 ⑲植物 521 C →トウヒ図
ハリモモチュウシャクシギ ⑳動物→チュウシャクシギ →鳥類〔形態〈羽毛〉〕
『パリ燃ゆ』 ①文学→大仏次郎
『パリ燃ゆ』 ①文学→メーリング,W
貼り紋 ⑬生活→紋付〔つけ方〕
バリモント,K ［1867～1942］ 詩人。西欧文学の翻訳にも優れた。革命後亡命,占領下のパリに死す ①文学 492 D →象徴主義〔ロシア象徴主義〕
バリャドリド ⑩世地 488 B
ハリヤナ(州) ⑩世地 488 B
バリヤーネット ⑰科技→空港〔着陸帯〕
『ハリヤーノシュ組曲』 ③音演→コダーイ
針山〔針刺し〕 ⑬生活→和裁〔裁縫用具〈針〉〕
爬竜船 ⇨ハーリー
張り床 ⑬生活→住まい〔維持・管理〈屋内〉〕
ハリヨ ⑳動物→トゲウオ〔種類〕
馬陵城〈中村城〉 ⑦日地→相馬(市)図
波力発電 ⑰科技→発電〔機械的エネルギー利用〕
バリラックスレンズ ⑭医学→めがね〔レンズ〕
ハリーリー,A ［1054～1122］ イラクの物語作者。50編のマカーマはアラビア文学史上の秀作 ①文学 492 D →マカーマ
パリ・リスト ⑫経産→ココム・チンコム
ハリールード(川) ⑩世地→アフガニスタン(民主共和国)〔自然〕
パリ和平会議 ⑨世史→ベトナム戦争〔経過〕
『パリを焼く』 ①文学→ヤセンスキー,B
バリン ⇨ネジアヤメ
バリン ⑮化学 506 A図 →アミノ酸〔表必須アミノ酸〕 ⑬生活→栄養〔たんぱく質〕 ⑳動物→たんぱく質〔表アミノ酸〕
バリン ⑱宇地→風〔表局地風〕
馬麟 中国［?～?］ 宋代の画家。馬遠の子。画院の祇候として内廷に仕えた ②美術 469 C
バーリン,I ［1888～］ 作曲家。平易で美しいメロディが受け,多くのヒット曲を書く ㊍『ホワイト・クリスマス』 ③音演 447 D
バリンジャー隕石孔 ⑱宇地→隕石図
バリンタン(海峡) ⑩世地→ルソン(海峡)
ハリントン,J ［1611～1677］ 政治思想家。共和主義を主張し,権力の集中化・腐敗化を防ぐ方策を提唱 ⑨世史 505 C
バリントン,R ⑩世地→アイガー(山)
バーリントン ⑩世地→アイオワ(州)
パリントン,V ［1871～1929］ 文学史家。アメリカ思想史の組織的研究の先駆者 ①文学 493 A
バーリントン・インダストリーズ ⑫経産 496 B
ハル,A ⑰科技→電子管〔歴史〕 →放電管
ハル,C ④哲宗→行動主義
ハル,C ［1871～1955］ 政治家,国務長官。日米交渉で,日本側に開戦を決意させる要求を提示 ⑨世史 505 D ⑥日史→ハル=ノート
ハル ⑩世地 488 B
ハル ⑩世地→オタワ
ハル(島) ⑩世地→フェニックス(諸島)
ハル ⑬生活→ヨットレース〔囲用語〕
春 ⑱宇地→季節
『春』 ①文学→安西冬衛
『春』 ①文学→島崎藤村
『春』 ②美術→ルネサンス美術別
原 ⑦日地→粕屋(町)
バル,H ［1886～1927］ ②美術→ダダ
バール,H ［1863～1934］ 小説家・評論家。主義が一貫せずカメレオン的文学活動を続ける。舞台監督をもつとめた ①文学 493 A
バール,J ①文学→実存主義
バール ⇨バーゼル
バール(*bar*) ⑯物数→圧力〔単位〕 →気圧〔単位〕 ⑱宇地→ミリバール
『バール』 ③音演→ブレヒト,B
バル,G ［1908～1980］ ③音演→アニメーション映画
PAL ⑰科技→テレビジョン〔利用〕
パール,B ［1858～1932］ ⑨世史→サティヤーグラハ
パールー ⇨八路軍
パールアイランド ⇨真珠島
バルアミー ［?～974］ ペルシアの政治家・歴史家。サーマン朝の宰相をつとめた ①文学 493 A
春嵐〈春疾風〉 ⑱宇地→風〔表季題〈春〉〕
春一番 ⑱宇地→温帯低気圧 →風〔表季題〈春〉〕
春植え球根 ⑲植物→球根草
ハルウコン ⇨キョウオウ
春唄秋唄 ③音演→民謡〔表〈秋田〉〕
春江(町) 福井 ⑧日地 948 D
春王丸 ⑤日史→足利成氏 ⑥日史→結城合戦
バルカ ⇨カルデロン・デ・ラ・バルカ,P
バルガ,E ソ連［1879～1964］ ハンガリー生まれの経済学者。現代資本主義と景気循環論の分析に優れた業績がある ⑫経産 496 C図
バルカイ ④哲宗→ギリシア・ローマ神話〔囲主要神名〈モイライ〉〕
バルガス,G ［1883～1954］ 大統領。全体主義的憲法を発布して独裁,のち軍隊から辞職勧告を受け自殺 ⑨世史 505 D
春霞 ⑱宇地→霞
バルガス・リョサ,M ［1936～］ 小説家。ロンドン大学でラテンアメリカ文学を講じる ①文学 493 A
ハルカゼガイ ⇨ヤシガイ
バルカナイズ式 ⑬生活→靴〔製靴〕
バルカナイズドファイバー〈堅紙〉 ⑰科技→紙〔加工紙〈変性加工紙〉〕
『はるかな国,遠い昔』 ①文学→ハドソン,W
『はるかなる音楽』 ①文学→ペリッシモ,E
『はるかなる旅路』 ①文学→ドーテル,A
『はるかなる土地』 ①文学→ザイツェフ,B
『バルガの亡命者』 ①文学→ベルシェ,G
バルカル人 ⑩世地→カバルジノバルカル
バルカロール〈バルカローラ〉 ③音演 447 D →音楽用語〈629 A〉
バルカン(半島) ⑩世地 488 C
バルカン(山脈) ⑩世地 488 D
バルカン協商 ⑨世史 506 A
バルカン戦争 ⑨世史 506 A →東欧史〔歴史〈民族の覚醒と独立〉〕
バルカン同盟 ⑨世史→バルカン戦争
バルカン問題 ⑨世史→第一次世界大戦〔背景と原因〕 ⑪政社→第一次世界大戦〔発生と拡大〕
バルキー加工 ⑬生活→合成繊維〔種類〈ナイロン〉〕
バルキシメト ⑩世地 488 D
バルキーセーター ⑬生活→セーター
バルキンソニスムス ⑫経産→職業病表
バルク ⑩世地→トクハラ
バルク遺跡 ⑩世地→アフガニスタン(民主共和国)〔略史〕
バルク運賃 ⑬生活→海外旅行〔交通機関〕
パールグーラミー ⑳動物→熱帯魚〔飼育〈魚の組み合わせ〉〕〔別〈淡水魚〉〕
ハルゲイサ ⑩世地 488 D
バール形式 ③音演→吟遊詩人〔ミンネゼンガー〕
バールゲルト,J ［1891～1927］ ②美術→ダダ

③音演 453 C図 →対位法〔歴史〕
バレストリーニ, N [1935] 詩人・小説家。63 年グループ創設者の一人 ①文学 496 C
バレーゼ ⑩世地 491 C
ハーレック ①文学→東欧文学〔チェコ〕
ハーレック城 ②美術→城図
バレッタ ⑩世地 491 C →マルタ(共和国)図
バレット, A ①文学→『メルキュール・ド・フランス』
パレット ⑰科技→交通システム〔物的流通活動〕
バーレット ⑰科技→写真〔技術の歴史〈カメラ〉〕図
パレ・デ・ナシオン ⑩世地→ジュネーブ
パレート, V [1848/1923] 経済学者・社会学者。現代の消費者行動の理論の基礎を築く ⑫経産 496 D図 →均衡理論〔意義〕 →所得分布〔パレートの法則〕 →ローザンヌ学派 ⑪政社→エリート
パレート最適 ⑫経産→契約曲線 →厚生経済学〈189 C〉
パレートの法則 ⑫経産→所得分布図
バレ・ド・リオ・ドセ社 ⑩世地→ブラジル(連邦共和国)〔産業・経済〕
バレニー(諸島) 南極 ⑩世地 491 C
晴れの海 ⑱宇地→月《天体》〔表面の地形〕別
パーレビー ⇨パンダレハハラビー
パーレビー朝 ⇨パフレビー朝
バレーブランシュ ⑩世地→アルプス図
バレーボール ⑬生活 505 B図
ハレマウマウ(火口) ⑩世地→キラウェア(山)
ハレム ⑨世史 507 D
ハーレム ⑩世地→ニューヨーク〔囲市街案内〕図 ⑪政社→スラム〔分類〕 ⑫経産→黒人問題〔都市暴動〕
ハーレム ⇨ハールレム
はれもの ⑭医学→腫瘍
バレーラ, J [1824/1905] 小説家。詩人・批評家として名声を得る。芸術のための芸術を強調 ①文学 496 C
バレリー, P [1871/1945] 詩人・批評家・思想家。20 世紀最大の散文家・大詩人と認められ,その死は国葬をもって遇せらる ㊞『テスト氏』 ①文学 496 C図 →詩 →純粋詩 ⑩世地→セト
『バレリー』 ③音演→スクリーブ, E
バレーリ ⇨バレイリイ
バレリアヌス ⑨世史→ササン朝ペルシア図 →シャープール(一世)
バレリーナ ③音演→バレエ〔囲用語〕
パレルモ ⑩世地 491 C →シチリア(島)
パレルモ公園 ⑩世地→ブエノスアイレス
『ハレルヤ』 ③音演→ビダー, K
『ハレルヤ・コーラス』 ③音演→ヘンデル, G〔作風と作品〈メサイア〉〕
パレ・ロワイヤル ⑩世地→パリ〔囲観光地〕
バーレーン ⇨バハレーン(国)
ハレンキルヘ ④哲宗→教会堂〔ルネサンス以降〕
パレンケ ⑩世地→メキシコ(合衆国)〔囲古代文明遺跡〕図
パレンケ神殿 ②美術→マヤ〔古典期〕図
バレンシア《地方》 ⑩世地 491 D ⑨世史→スペイン・ポルトガル(史)〔国土の征服〈古代〉〕
バレンシア《都市》 ⑩世地 491 D
バレンシア ⑩世地 491 D
『バレンシアの不幸な夫婦者』 ③音演→カストロ・イ・ベルビス, G
バレンス, F [328/378] ローマ皇帝。兄の共治者として帝国の東半を支配,のちゴート族と戦い敗死 ⑨世史 508 A →民族大移動〔経過〕
バレンタイン ⑬生活→贈答〔季節〈聖バレンタイン・デー〉〕
バレンチノ, R [1895/1926] ③音演→映画〔無声映画〈第 3 期〉〕図 →タンゴ〔コンチネンタル〕
バレンツ, W ⑨世史→大航海時代〔北方航路〕 ⑱宇地→北極〔探検史〕
バレンツ(島) ⑩世地→スバールバル(諸島)
バレンツ(海) ⑩世地→北極海
バレンツ, B [1437/1491] ②美術→パドバ派
バレンツィアーニ, C ①文学→日本文学〔近代〈海外における日本文学〉〕
バレンツブルグ ⑩世地→スバールバル(諸島)
『バレンティーナ・ベリエール』 ①文学→テッキ, B
バレンティニアヌス(一世) [321/375] ④哲宗→宗教裁判 ⑨世史→バレンス, F →ローマ〔帝政期〈民族大移動と帝国の滅亡〉〕
バレンティニアヌス(三世) [419/455] 西ローマ皇帝。帝国の実権者アエティウスをみずからの手で殺したが復讐され暗殺 ⑨世史 508 A
バレンティヌス ⑨世史→グノーシス派
パレンバン ⑩世地 491 D
ハロ ⑱宇地→銀河電波
ハーロー, H [1905] 動物心理学者。動物の正常な発育にスキンシップが重要であると指摘 ⑳動物 517 C
バロー, J [1910] 俳優・演出家。コメディ・フランセーズで活躍。テアトル・ド・フランスの初代劇場長 ③音演 453 D図 →クローデル, P →パントマイム →フランス演劇〔現代劇〕図
バロー ⑩世地→バロー(岬) →北極〔住民・産業〕
バロー(岬) ⑩世地 491 D
馬鹿〈オオジカ〉 ⑳動物→アカシカ
パロ, A ⑨世史→マリ
バロア朝 ⑨世史 508 B図 →カペー朝 →百年戦争〔原因〕
バロイド検層 ⑰科技→採油〔開発〈検層〉〕
バローインファーネス ⑩世地 492 C
波浪 ⑱宇地 522 C →海洋〔性状〕 →波〔おもな波〕
バロウ, I [1630/1677] ⑯物数→微分積分学
バロウ(山) ⑩世地→ローンセストン
ハロウィーン ⑲植物→カボチャ囲
ハロウェルアマガエル ⑳動物→アマガエル
波浪計 ⑱宇地→波〔観測〕
波浪予報 ⑱宇地→波浪 →ムンク, W
ハロゲノアルコール〈ハロヒドリン〉 ⑮化学→アルケン〔表付加反応〕
ハロゲン化 ⑮化学→有機ハロゲン化合物〔製法〕
ハロゲン化銀 ⑰科技→フィルム〔写真感光材料〕図
ハロゲン元素 ⑮化学 506 C図 →陰性元素 →元素〔分類〕 →周期表〔表元素群の特徴〕
バーロス, J [1496*/1570*] 歴史家・小説家。ギリシア,ラテン文学の造詣が深い ①文学 497 C
バローズ, E [1875/1950] 小説家。アフリカを舞台としたターザン物で人気を得た ①文学 497 C →S F
バローズ, W [1914] 小説家。バローズ計算機の発明者の孫。ビート派の聖者といわれる ①文学 497 C
バローズ, W ⑯物数→計算機 ⑰科技→計算機〔歴史〕
パロス(島) ⑩世地 492 C →キクラデス(諸島)
バローダ ⑩世地 492 C →グジャラート(州)
ハロタン ⑭医学→麻酔〔全身麻酔〈吸入麻酔剤〉〕
パロチン〈唾液腺ホルモン〉 ⑭医学→唾液 →ホルモン〔上皮小体ホルモン〕
パロチン療法 ⑭医学→民間療法〔不老長寿〕
バロツェランド ⑩世地→ザンビア(共和国)〔略史〕
バロック音楽 ③音演 454 A図 →音楽〔西洋音楽〕
バロック・ソナタ ③音演→ソナタ
バロック都市 ⑨世史→都市〔西洋〈近代都市〉〕
バロック美術 ②美術 471 B図 →イタリア美術〔ルネサンス以後〕 →キリスト教美術
バロック文学 ①文学 497 C →ドイツ文学〔古典主義〕
バロッチ, F [1528/1612] 後期ルネサンスの画家。バロックの先駆者の一人。銅版画・パステルにも優れた ②美術 472 D
ハロッド, R [1900/1978] 現代イギリス経済学の第一人者。その研究領域は多岐にわたる ⑫経産 497 A図 →近代経済学〔第二の危機〕 →経済静学・経済動学 →資本係数
ハロッド=ドーマー・モデル ⑫経産→景気変動理論〔ケインズ以後〕 →成長理論 →ドーマー, E
パロディ ①文学 498 A ③音演 455 C
パロドス ③音演→ギリシア演劇〔喜劇〕
『ハロー・ドリー!』 ③音演→ミュージカル図
バローネ, E [1859/1924] 数理経済学者。ローザンヌ学派の重鎮として数理経済学の発展に貢献 ⑫経産 497 B →経済計算論
バロネット ⑨世史→爵位〔西洋〕
バローハ, P [1872/1956] 小説家。ピカレスクふうの作品が多く,戯曲や伝記も残す ①文学 498 A
ハロヒドリン ⑮化学→アルケン〔表付加反応〕
ハロプチルス ⑳動物→プランクトン図
ハロホルム反応 ⑮化学→アセトフェノン →カルボン酸〔製法〕 →クロロホルム
パロマ山天文台 ⑱宇地→天文台〔世界〕〔表〈アメリカ〉〕 →ヘール, G
『パロマ写真星図』 ⑱宇地→星図
バロメーター ⇨気圧計
パロメラ洞 ⑱宇地→洞穴表
パロモマイシン ⑮化学→抗生物質〔主要なもの〕
パロール ①文学→文体論 ④哲宗→言語〔言語研究および言語学〈20 世紀〉〕
『パロール』 ①文学→プレベール, J
ハロルド ⑨世史→イギリス(史)図 →ウィリアム(一世) →ノルマン・コンクェスト
バロロ〈ムバロロ〉 ⑳動物→イソメ
ハロン(湾) ⇨アロン(湾)
バロン ⑨世史→爵位〔西洋〕
バロンダンス ⑩世地→バリ(島)図
バロンドゲブビレール ⑩世地→フランス(共和国)〔自然〈地形・地質〉〕 →ボージュ(山脈)
バロンブローサ修道院 ⑨世史→ベネディクト会
パワー, L ③音演→音楽〔西洋音楽〈中世〉〕
ハワイ(州) ⑩世地 492 C図 ⑤日史→移民 ⑨世史→アメリカ(合衆国)〔合衆国の発足〈帝国主義〉〕
ハワイ(諸島)〈サンドウイッチ諸島〉 太平洋 ⑩世地 494 B →ハワイ(州) →ポリネシア
ハワイ(島) ⑩世地 494 B
羽合(町) 鳥取 ⑧日地 949 C
ハワイアン・カナカ族 ⑩世地→ハワイ(州)〔社会〕
ハワイアン・ギター ③音演→電気楽器 →電気ギター図
ハワイアンコナ ⑬生活→コーヒー〔種類〕
ハワイアン・ミュージック ③音演 455 C図 →ウクレレ
羽合温泉 ⑧日地→羽合(町)
ハワイ海上都市 ⑰科技→海上都市〔展望〕図
ハワイガン〔布哇雁〕 ⑳動物 517 C →ガン〔種類〈シジュウカラガン〉〕 →保護鳥〔表国際保護鳥〕
羽合平野 ⑦日地→倉吉平野 ⑧日地→羽合(町)
ハワイボルケーノズ国立公園 ⑩世地→アメリカ(合衆国)〔表国立公園〕
『ハワイ・マレー沖海戦』 ③音演→日本映画〔トーキー時代〈第 3 期〉〕
ハワイミツスイ〔布哇蜜吸〕 ⑳動物 517 C
『パワー・エリート』 ⑪政社→ミルズ, C
馬和之 中国[*.*] 宋代の画家。高宗の詩に画を加えた『毛詩図』は当時有名 ②美術 474 A
パワーショベル ⑰科技 534 B →掘削機械〔ショベル式掘削機械〕
ハワース ⇨ハース, W
パワース, J ⑰科技→オートメーション〔ビジネス・オートメーション〕
パワーズ, J [1917] カトリック作家。ユーモアと多少のアイロニーをこめて描いた作品が多い。大学で創作法の講義も行う ①文学 498 A
『ハワーズ・エンド』 ①文学→フォースター, E
パワーステアリング ⑰科技→自動車〔構造〈操向装置〉〕 →トラック〔構造〕
ハワック(峠) ⑩世地→ヒンズークシ(山脈)
ハワード, A [1910/1968] ③音演→バレエ〔20 世紀〕
ハワード, E ⑧日地→田園都市〈1226 C〉 ⑰科技→都市計画〔都市計画・設計思想の歴史〈近代以降〉〕
ハワード, J [1726/1790] ⑪政社→社会調査〔歴史〕
ハワード, L [1772/1864] 気象学者。雲を絹雲・積雲・層雲の三種に分け,科学的分類の基礎を築く ⑱宇地 522 C →雲〔分類〕
ハワード, S [1891/1939] 劇作家。心理劇で認められピュリッツァー賞受賞。小説の脚色・翻案もある ①文学 498 A ③音演 456 B
ハワード卿 ⑨世史→ドレーク, F
パワーブレーキ ⑰科技→自動車〔構造〈サーボ〉〕
パワー・ポリティックス ⇨権力政治
ハン, E ⑩世地→ディスアポイントメント(湖)
ハン, J [1839/1921] 気象学者。大学教授・気象台長を歴任,降雨やフェーンの理論に優れる ⑱宇地 523 A
ハン(川)〈漢江〉 南朝鮮 ⑩世地 494 B
ハン(川)〈漢水〉 中国 ⑩世地 494 B
ハン(川)〈韓江〉 中国 ⑩世地 494 B
ハン ⑨世史→ハガン
判 ⇨印章 ⇨花押
帮 ⇨帮
藩 ⑥日史 947 B →廃藩置県 →幕藩体制〔成立と解体〕 →藩議会 →藩債 ⑤日史→御家騒動 →御用金 ⑫経産→幕藩体制〔概念〕
斑 ⑭医学→発疹
ハーン, H [1879/1934] ⑯物数→連結〔弧状連結〕
ハーン, K [1890] 政治指導者。ガンディーの影響を受け,パキスタン分割には強く反対 ⑨世史 508 C

ルの長子。雪のアルプスを越えローマを席巻 ⑨世史 511 C →ハミルカル(バルカス) →ポエニ戦争〔第2回〕 ⑳動物→ゾウ〔人間との関係〕
ハンニバル戦争〈第二ポエニ戦争〉 ⑨世史→ハンニバル →ポエニ戦争〔第2回〕
般若 ③音演→能〔能面〕図 ④哲宗→鬼 →『般若経』 →仏教〔囲用語〕
般若会 ④哲宗→法会図
『般若経』 ④哲宗 470 C図 →仏教〔インド仏教〈大乗仏教〉〕 →『理趣経』
般若隈 ③音演→隈取
般若寺 ⑧日地→奈良(市)〔囲神社・仏閣〕
『般若心経』〈般若波羅密多心経〉 ④哲宗→『般若経』
般若タントラ〈左道密教〉 ④哲宗→タントラ仏教
般若野の戦い ⑤日史→源平の合戦表
『般若波羅蜜多理趣分』 ⇨『理趣経』
判任官 ⑥日史→勅任官
『半人間』 ①文学→ツォリンガー, A
万人司祭〈万人祭司〉 ④哲宗→キリスト教〔宗教改革〕 →プロテスタント教会〔特色〕
万人の万人に対する戦い ④哲宗→ホッブズ, T
『犯人は21番に住む』 ③音演→クルーゾ, H
半人半獣神 ④哲宗→神〔類別〕
バンヌ ⑩世地 501 C
『ハンネレの昇天』 ③音演→ハウプトマン, G
『晩年』 ①文学→太宰治図
ハンノ ⑱字地→探検〔古代〕
反応 ④哲宗→行動主義 →刺激 →媒介変数〈心理学〉
半能 ③音演→能〔囲略式上演方式〕
飯能(市) 埼玉 ⑧日地 952 A
万能掘削機〈ショベル系掘削機〉 ⑰科技→掘削機械
万能こし器 ⑬生活→調理器具〔成形器具〈こし器〉〕図
反応式 ⇨化学反応式
万能製図器 ⑰科技→製図〔製図器具〕図
反応性染料 ⑮化学→染料〔分類〈1〉〕
反応熱 ⑮化学 508 C →吸熱反応 →ヘス, G
反応熱加減の法則 ⇨ヘスの法則
半農半漁 ⑧日地→漁村〈1208 A〉
万能フライス盤 ⑰科技→工作機械〔フライス盤〈ひざ型フライス盤〉〕表
パンの会 ①文学 500 A →北原白秋 →木下杢太郎 →高村光太郎 →デカダンス →日本文学〔近代〈反自然主義〉〕 →唯美主義 ⑥日史 954 B ⑤日史→石井柏亭
ハンノキ〔榛木〕 ⑲植物 524 B図
パンノキ ⑲植物 525 A図
番ノ州 香川/坂出市 ⑧日地 952 B
パンノニア ⑨世史 511 C →東欧史〔歴史〈諸民族の定住〉〕
パンの笛〈シリンクス〉 ③音演 460 B →オルガン〔歴史〕
伴信友 [1773/1846] 江戸後期の国学者。国史研究の文献学的考証により明治以後にも影響を残す ④哲宗 471 A ⑥日史 954 B
『パンのみによるにあらず』 ①文学→ドゥジンツェフ, V
『パンの略取』 ⑨世史→クロポトキン, P ⑪政社→クロポトキン, P
ハンバ ⇨ハバノリ
ハンバー(川) ⑩世地 501 D
ハーンパー, P [1905/1955] 小説家。日常語を駆使, 野性味あふれる風刺的短編に本領を発揮 ①文学 500 A
輓馬 ⑳動物→ウマ〔品種〕
バンパー ⑰科技→安全自動車〔ESV〕図 →緩衝装置
パンパ〈パンパス〉 ⑧日地 1230 B ⑩世地 501 D →アルゼンチン(共和国)〔自然〕 ⑲植物 525 A →植生〔気候要因〕 →ステップ →草原 ⑱字地→ステップ →草原
販売 ⑫経産→委託販売 →交換過程 →通信販売
バンパイア ⑳動物→動物〔囲想像上の動物〕
バンパイア ⇨チスイコウモリ
販売管理 ⑫経産→マーケティング
販売技術員 ⑫経産→セールス・マン
販売組合 ⑫経産→協同組合
販売計画 ⑫経産→生産管理 →マーケティング
販売商圏 ⑧日地→商圏〈1216 C〉
販売促進 ⇨セールス・プロモーション
販売肥料 ⑮化学→化学肥料 →肥料〔分類〕
バンパイン離宮 ⑩世地→アユタヤ図

パンパ踊 ⑦日地→岡山(県)〔文化〕
ハンバーガー ⑬生活→サンドイッチ〔種類〕 →パン〔料理〕
ハンバーグ ⑬生活→牛肉〔料理〕
藩幕制 ⑫経産→明治維新〔要因〕
パンパス ⇨パンパ
パンパスキャット ⑳動物→ヤマネコ
パンパスグラス ⑲植物 525 B図
飯場制度 ⑥日史 954 B
反発係数 ⑯物数→衝突
藩閥政治 ⑥日史 954 C
半波電位 ⑮化学→ポーラログラフィー
ハンバハ祭 ⑨世史 511 D図
番囃子 ③音演→能〔囲略式上演方式〕
伴林光平 [1813/1864] 江戸末期の歌人・国学者。尊王攘夷運動に専心, 天誅組に参加 ①文学 500 A
半原 神奈川/愛川町 ⑧日地 952 B ⑦日地→愛川(町)図
バンバラ族 ⑩世地→マリ(共和国)〔社会・文化〕
ハンバリー派 ④哲宗→イスラム教〔イスラム法〕
バンバリーミキサー ⑮化学→ゴム〔加工〈素練り〉〕図
パンパン ⑪政社→売春
パンパン国 ⑨世史→東南アジア〔歴史〈インド文化の影響〉〕
反比 ⑯物数→比・比例
半臂 ⑥日史 954 D
『バンビ』 ①文学→ザルテン, F
半被実性 ⑲植物→キノコ〔分類〕
班彪 中国[3/54] ⑨世史→『漢書』 →班固
半微量分析〈セミミクロ分析〉 ⑮化学→分析〔分類〕
バンビル, T [1823/1891] 詩人。押韻の妙により言葉の魔術師とよばれた。回想記がある ①文学 500 A →高踏派
板皮類 ⑳動物→魚類〔進化〕図
反比例 ⑯物数→比・比例
バンピングレース ⑬生活→ボートレース〔歴史〕
藩部 ⑨世史 511 D
バンフ ⑩世地→カナダ〔自然〕図
バンブー ⑲植物→タケ〔分類〕
バンブー〈蚌埠〉 中国/安徽省 ⑩世地 501 D
反ファシスト人民自由連盟 ⇨AFPFL
反ファシズム統一戦線 ⑪政社→社会運動〔現代〕
パンフィ, A [1886/1957] ④哲宗→イタリア哲学〔現代〕
パンフィロス ②美術→ギリシア美術〔絵画〕
バンフ・インディアン・デー ⑩世地→カナダ〔図風俗・行事〕
パン・フォーカス ③音演→映画〔トーキー〈第5期〉〕
反復記号 ③音演→楽典〔囲〈速度・奏法〉〕図
反復新星 ⇨再帰新星
反復説 ⑳動物→進化〔証明〈解剖学〉〕 →ヘッケル, E
バンフ国立公園 ⑩世地→カナダ〔表国立公園〕図
ハンプシャー ⑩世地 501 D
ハンプシャー種 ⑳動物→ブタ〔品種〕図
パンプス ⑬生活→靴〔デザイン〕
ハンプ操車場 ⑰科技→操車場〔貨車操車場〕図
ハンプソン, W ⑯物数→液体空気
反物質 ⑯物数→素粒子〔基本的性質〈反粒子〉〕
万物斉同思想 ④哲宗→荘子〔荘子〕
万物は流転す〈パンタ・レイ〉 ④哲宗→ヘラクレイトス →無常
ハンプティドウ ⑩世地→ダーウィン
ハンプトンコート ②美術→庭園〔ヨーロッパ〈近代庭園の三つのタイプ〉〕図 ⑩世地→イギリス(連合王国)〔図〈観光〉〕
バンブービーズ ⑬生活→刺繡〔ビーズ刺繡〕
ハンフマン, G ⑨世史→サルディス
パンフョーロフ, F ソ連[1896/1960] 小説家。革命運動に参加, それを扱った記録文学から文筆活動に入る ①文学 500 B
ハンフリー, D [1895/1958] 舞踊家・振付者。モダン・ダンスの探究と確立に努めた ③音演 460 C →モダン・ダンス図
『ハンフリー・クリンカー』 ①文学→スモレット, T
ハンブルク 西ドイツ ⑩世地 501 D図 →ドイツ(連邦共和国)〔地方誌〕 ⑨世史→ハンザ同盟
『ハンブルク演劇論』 ③音演→レッシング, G
ハンブルク画派 ②美術→ドイツ美術〔ルネサンス〕
ハンブルク号 ⑰科技→船図
ハンブルク式指紋法〈ロッシェル式指紋法〉 ⑭医学→指紋〔個人識別〕

ハンブルク植物園 ⑲植物→植物園表
ハンブルク天文台 ⑱字地→天文台〔世界〕〔表〈ヨーロッパ〉〕
『ハンブルク・ドラマトゥルギー』 ③音演→ドラマ〔ドラマトゥルギー〕
ハンブルク蜂起 ⑪政社→テールマン, E
パンフレット ⑫経産→出版業
パンプローナ スペイン ⑩世地 502 B図 ⑨世史→ナバラ王国
反分子 ⑯物数→素粒子〔基本的性質〈反粒子〉〕
『范文正公集』 ①文学→范仲淹
晩白柚 ⑲植物→ザボン
バン・ベクテン, C アメリカ[1880/1964] 小説家・批評家。音楽や劇評で活躍。作家に転じ20年代の世情を軽妙に描く ①文学 500 B
判別式 ⑯物数→整式〔計算〕 →高次方程式 →2次形式〔行列表示〕 →2次方程式
判別写真 ⑰科技→紫外線写真 →赤外線写真
バンベリー オーストラリア ⑩世地 502 B
パンペリー アメリカ ⑨世史→アナウ
パンペリー石 ⑱字地 523 C
バンベルク 西ドイツ ⑩世地 502 B
バンベルク大聖堂 ②美術→キリスト教美術別
はんぺん ⑬生活→練り製品〔かまぼこ〕
半変態 ⇨不完全変態
半坡遺跡 ⑩世地→中華人民共和国〔略史〕
范梈 中国[1272/1330] 元の詩人。易者をし, のち地方官を歴任。七言歌行と律詩に優れる ①文学 500 B
半棒 ⑥日史→棒術
范滂 中国 ⑨世史→党錮の禁
藩法 ⑥日史 954 D →大名〔大名領〕 →武家法〔江戸〕
半封建制 ⑫経産→地主制論争
半封建的小作制度 ⑫経産→小作制度
反封建闘争 ⑨世史→近代社会〔中国〈反封建・反帝国主義闘争〉〕
万宝山事件 ⑨世史 511 D
半坊主 ③音演→鬘
半蹼足 ⑳動物→鳥類〔形態〈趾型〉〕〔図脚〕 →水かき
バン・ボクト, A アメリカ[1912] カナダ生まれのSF作家。科学的ロジックの巧みさに定評がある ①文学 500 B
バン・ホーテン ⑬生活→ココア
半坡博物館 ⑩世地→シーアン
バーンホフ・シュトラッセ ⑩世地→チューリヒ
反本地垂迹 ④哲宗→神仏習合〔歴史〕 ⑪政社→神道
ハンマー ⑬生活→登山〔登山用具〕図
『反マキャベッリ論』 ⑨世史→フリードリヒ(二世)《プロイセン》〔皇太子時代〕 →マキャベッリ, N〔マキャベリズム〕
阪正臣 [1855/1931] ②美術→書〔日本書道史〈唐様の展開と和様の再興〉〕
ハーン-マズルキビッツの定理 ⑯物数→連結〔弧状連結〕
バンマツリ〔蕃茉莉〕 ⑲植物→ニオイバンマツリ図
ハンマー投げ ⑬生活→陸上競技〔種目〕図
蕃豆 ⇨ラッカセイ
反マルクス主義芸術 ①文学→新興芸術派
反満復明 ⑨世史→三合会
ハンマンリッチ病 ⑭医学→肺〔肺線維症〕
ハンミョウ〔斑猫〕 ⑳動物 519 A図
『斑猫』 ①文学→深尾須磨子
万民法 ⑨世史 512 B →市民法 →ローマ法 ⑪政社→法〔歴史〈主要な法〉〕 →ローマ法
ハンムード家 ⑨世史→後ウマイヤ朝
半村良 ①文学→直木賞表
パンムンチョム〈板門店〉 朝鮮 ⑩世地 502 C →朝鮮《大韓民国》図 ⑪政社→朝鮮戦争〔戦況〕
判明 ④哲宗→デカルト, R〔囲基本概念〈明晰・判明〉〕 →明晰判明
バーンメタル ⑰科技→軸受合金
ハンメルフェスト ノルウェー ⑩世地 502 C
『半面』 ①文学→岡野知十
『半面自伝』 ①文学→山村暮鳥
半木製力織機 ⑰科技→技術別
判物 ⑥日史 954 D
板門店 ⇨パンムンチョム
番屋 ⑤日史→自身番 ⑥日史→番所
パンヤ ⑬生活→座布団 →寝具〔枕〕
半夜行性 ⑳動物→夜行性動物
パンヤノキ ⑲植物 525 B →インドワタノキ →カポックノキ
『パン屋の女房』 ③音演→映画〔トーキー〈第4期〉〕

ヒ

ひ

ビーゴロ，G　イタリア［1894］　詩人・批評家。夢幻と神話への志向にみちた作品を発表　①文学503 D
ピコロ　⇨ピッコロ
彦六座　③音演→人形浄瑠璃〔歴史〈文楽座創立から文楽協会まで〉〕
ピゴローゾ　③音演→音楽用語〈629 C〉
ヒゴロモソウ〈スプレンデンス〉　⑲植物→サルビア
ピコン，G　フランス［1915］　批評家。教師生活ののち文部省芸術局長をつとめる。小説もある　①文学503 D
ピゴンジャーリ，P　イタリア［1914］　批評家・詩人。エルメティズモの優れた理論家　①文学504 A
ビーコンズフィールド伯　⇨ディズレーリ，B
微言大義　④哲宗→魏源
ビコント　⑨世史→爵位〔西洋〕
膝　⑬生活→美容〔手足〕　⑭医学→あし〔脚〕
微砂　⇨シルト
ビザ〈査証〉　⑪政社→外交〔囲用語〕　⑬生活→海外旅行〔渡航手続〕
ピサ　イタリア　⑩世地504 B図
久明親王ひさあきら［1276-1328］　鎌倉幕府第8代将軍。後深草天皇の皇子。執権北条師時により廃される　⑥日史960 A
久居(市)ひさい　三重　⑧日地960 D
尾西(市)びさい　愛知　⑧日地961 A
尾鰓　⑳動物→気管えら
微細化石　⑲植物→植物化石
微細気候　⇨微気候
微細形態学　⑱宇地→鉱物形態学
微細藻類　⑳動物→イシサンゴ〔生態〕
久板栄二郎ひさいた［1898-1976］　劇作家。プロレタリア演劇運動に活躍。多くの映画シナリオもある　①文学504 A図　③音演465 D
久居藩　⑤日史→伊勢国
ビサウ　ギニアビサウ　⑩世地504 C
久生十蘭ひさお［1902-1957］　小説家。ユーモア作家としてスタート，推理・現代・時代物があり，巧緻な文体で注目される　①文学504 B　→直木賞表
膝折宿　⑦日地→朝霞(市)あさか
久賀　⑧日地→久賀島
ヒサカキ〔野茶〕　⑲植物529 A図　→サカキ
久賀島　長崎/五島列島　⑧日地961 A　→福江(市)
ひざがしら〈膝小僧〉　⑭医学→あし〔脚〈膝〉〕
ひさかたの　①文学→短歌〔囲枕詞〕
ひざ型フライス　⑰科技→工作機械〔フライス盤〕
ビサーカパトナム　インド　⑩世地504 C
膝がわり　③音演→落語〔囲用語〕
久木　⑦日地→逗子(市)
楸ひさぎ　⑲植物→アカメガシワ
ピサク　⑩世地→ペルー(共和国)図
被搾取階級　⑫経産→土台・上部構造
備作平民会　⑥日史→部落解放運動〔先駆〕
ヒザクラ　⇨ヒカンザクラ
ひざ車　⑬生活→柔道〔基本〈投げ技〉〕図
提子ひさげ　⑥日史960 A
『ひさご』　①文学→『俳諧七部集』　→松尾芭蕉〈608 B〉
瓢ひさご　⑬生活→酒器　⑲植物→ヒョウタン
膝小僧〈ひざがしら〉　⑭医学→あし〔脚〈膝〉〕
庇ひさし　②美術→裳階もこし
ピサ植物園　⑲植物→植物園表
ピサ大聖堂　②美術482 D図　→ピサーノ，G　④哲宗474 A　→教会堂図　⑩世地→ピサ図
ビサチン　⑭医学→下剤
軾ひざつき〔膝突〕　⑥日史960 B
肥薩線　⑦日地→鹿児島本線　⑧日地→日豊本線
ピサヌローク　タイ　⑩世地504 C
ピサネロ　イタリア［1395-1455］　画家・メダル彫刻家。精緻な観察による動物素描画も多く残す　②美術483 B図
ピサーノ，N　イタリア［1220*-1287*］　彫刻家。ピサ洗礼堂の説教壇が有名で，ピサ派の基礎を築く　②美術483 B　→ゴシック美術〔彫刻〕　→ピサ大聖堂
ピサーノ，G　イタリア［1250*-1314*］　ピサ派の彫刻家。N.ピサーノの子。ピサ大聖堂の説教壇などリアルで劇的な作品がある　②美術483 C図　→シエナ大聖堂　→ピサ大聖堂
ピサーノ，A　イタリア［1270*-1348*］　彫刻家・建築家。G.ピサーノの弟子とされ，フィレンツェ大聖堂の工事主任　②美術483 D
ピサの斜塔　②美術→ピサ大聖堂図　⑩世地→ピサ図
久之浜　福島/いわき市　⑧日地961 A
被差別部落　⑪政社→部落問題
久松潜一［1894-1976］　国文学者。東大をはじめ諸大学の教授を歴任。『万葉集』の研究で知られる　①文学504 B
ヒサマツミドリシジミ　⑳動物→シジミチョウ図
ビサヤ族　⑩世地→ビサヤン(諸島)
久山(町)　福岡　⑧日地961 A
ビサヤン(諸島)　フィリピン　⑩世地504 C
ヒザラガイ〔石鼈貝〕　⑳動物522 A図　→外套膜
ピーサレフ，D　ロシア［1840-1868］　思想家・批評家。ロシア・ニヒリズムの代表的理論家で，徹底した唯物論者として，功利主義を主張。遊泳中溺死　①文学504 B　→文芸批評　④哲宗474 B　→ロシア哲学
ピサロ，C　フランス［1830-1903］　画家。モネらと印象派グループを結成　②美術483 D図　→印象主義図
ピサロ，F　スペイン［1475-1541］　インカ帝国征服者。パナマ市の建設，コロンビアの探検などを行ったのち，インカ帝国を発見，征服　⑨世史515 B図　→インカ〔歴史〕　→大航海時代〔アメリカ大陸への進出〕　→バルボア，V　⑩世地→リマ
樋沢遺跡　⑥日史960 B
檜沢川　⑦日地→大川
ヒ酸〔砒酸〕　⑮化学509 C
眉山　⇨眉山まゆやま
微山湖　⇨ウェイシャン(湖)
眉山公園　⑧日地→徳島(市)
備讃諸島　岡山・香川　⑧日地961 A　→備讃瀬戸
ヒ酸水素鉛　⑮化学→ヒ酸鉛
備讃瀬戸　⑧日地961 B　→備讃諸島
ビザンティウム　⇨コンスタンティノープル　⇨イスタンブール
ビザンティン建築　⑰科技→建築材料〔発達〕
ビザンティン時代　⑨世史→ギリシア〔支配国の変遷〕
ビザンティン帝国〈東ローマ帝国〉　⑨世史515 B図　→アドリアノープルの戦い　→東欧史〔歴史〈諸民族の定住〉〕　→西アジア〔オスマン・トルコ帝国時代〕　→ローマ〔帝政期〈民族大移動と帝国の滅亡〉〕
ビザンティン美術　②美術484 A図　→キリスト教美術〔ビザンティン時代〕
ビザンティン・モザイク　②美術→ビザンティン美術〔絵画〕
ヒ酸鉛〔砒酸鉛〕　⑮化学509 C　→鉛〔化合物〕　⑭医学→中毒〔表症状と応急手当〈砒素剤〉〕
ヒシ〔菱〕　⑲植物529 B図
皮脂　⑭医学→にきび　→皮膚〔形態〈皮脂腺〉〕
非子　中国　⑨世史→秦〔建国〕
斐紙　②美術→和紙〔歴史〕
肘ひじ　⑬生活→美容〔手足〕　⑭医学→腕
日出(町)ひじ　大分　⑧日地961 B
びし　⑬生活→釣り〔囲用語〕
ビシー　フランス　⑩世地504 D　→マッシフサントラル
B.C.　⑨世史→紀年法〔キリスト紀元〕
ヒシアシシギ　⑳動物→家族制
菱浦港　⑦日地→海士(町)あま
ヒシウンカ〔菱白蠟虫〕　⑳動物522 B
ビシェシュワル寺　④哲宗→巡礼〔囲巡礼地〈バラナシ〉〕
PCS　⑫経産→機械化会計〔システム機器〕
ビシェット，H　フランス［1924］　詩人。戦争という巨大な悪に対する告発が創作の原点　①文学504 B
PCF　⇨フランス共産党
PCM　⇨パルス符号変調
PCMI　⇨フォトクロミック・マイクロ・イメージ
ビジェ=ルブラン，M　フランス［1755-1842］　女流画家。ロココ末期に王侯貴族の肖像画を描いて名声を得た　②美術485 C
醤ひしお　⑤日史→醤油しょうゆ　⑬生活→肴さかな　→塩辛　→しょうゆ〔歴史〕　→保存食品
肘折温泉ひじおり　⑦日地→大蔵(村)　⑬生活→郷土玩具〔種類〈こけし〉〕
ビシー温泉　⑭医学→温泉療法〔図外国〕
甕子窩遺跡　⑨世史→彩文土器
『肘掛椅子で見る芝居』　①文学→ミュッセ，L
ひし形　⑯物数→四角形
土方定一　①文学→『歴程』
土方与志ひじかたよし［1898-1959］　演出家。築地小劇場を建設，ドイツ表現主義をはじめ多くの翻訳・創作劇を手がけた　③音演466 A図　⑥日史960 C　→築地小劇場　⑤日史→新築地劇団
ヒシガニ〔菱蟹〕　⑳動物522 B図
菱刈(町)　鹿児島　⑧日地961 B
肱川(町)ひじかわ　愛媛　⑧日地961 C　→野村(町)
肱川(町)　愛媛　⑧日地961 C
菱川師宣もろのぶ［?-1694］　江戸初期の浮世絵師。独自の美人風俗画様式を確立。浮世絵の元祖と目される　②美術485 D図　→浮世絵〔展開と作者〕図　→江戸時代の美術〔絵画〕　→美人画　⑥日史960 C　③音演→芝居絵　⑤日史→安房国あわ〔囲人国記〕　→浮世絵　→元禄文化〔背景〕
被子器　⑲植物→地衣類〔生殖〕
ヒジキ〔鹿尾菜，羊栖菜〕　⑲植物529 B図　→海藻〔別褐藻植物〕　⑬生活→海藻類
ひしぎ楯　⑥日史→楯たて
ヒシクイ〔菱喰〕　⑳動物522 C　→ガン〔種類〈マガン〉〕図
ビジコン　⑰科技→撮像管図　→テレビジョン〔撮像管〕　→電子管〔マイクロ波管〕
菱刺　②美術→刺繡しゅう〔刺しと繡い〕　⑬生活→刺繡〔区限刺繡〈こぎん刺繡〉〕
bcc〈体心立方格子〉　⑮化学→結晶〔球体の充塡〕
BCG　⑭医学492 B図　→結核〔予防〕　→ツベルクリン反応　→予防接種表
PCCカー　⑰科技→路面電車図
被子植物　⑲植物529 C　→顕花植物　→種子植物　→植物〔系統と分類〈種子植物〉〕　→単子葉植物　⑱宇地→地質時代〔新生代〕
ビシー政府〈ビシー政権〉　⑨世史517 A　→第二次世界大戦〔経過〈英独戦争〉〕　→フランス(共和国)〔歴史〈現代〉〕　→レジスタンス〔フランス〕　⑪政社484 B　→傀儡政権かいらい　→ペタン，H
皮脂腺〈脂腺〉　⑭医学→皮膚〔形態〕図　→分泌ぶんぴつ〔外分泌腺〕
ヒシダイ〔菱鯛〕　⑳動物522 C
菱田春草［1874-1911］　日本画家。色彩による没骨賦彩を試み，朦朧体のあだ名をとった　②美術486 A図　→日本画　→明治の美術〔美校騒動と日本美術院の創設〕図　⑥日史960 C
比湿　⑱宇地→湿度
皮質　⑳動物→ホルモン表
皮日休ひじつきゅう　中国［833*-883*］　晩唐の詩人。近来その現実主義性・人民性を高く評価される。黄巣の乱にかかわり殺された　①文学504 B
皮室軍　⑨世史→禁軍　→兵制〔中国〕
被実性　⑲植物→キノコ〔分類〕　→菌類〔形態〕
PCT　⑮化学510 A　→PCB
微視的　④哲宗→巨視的
微視的分析　⑫経産→巨視的分析・微視的分析
ビジネス・エコノミックス　⑫経産→経営学
ビジネス・オートメーション　⑫経産→オートメーション　⑰科技→オートメーション
ビジネス・クライメート　⑫経産→産業立地〔現状〕
ビジネススーツ　⑬生活→背広
ビジネス・ドクター　⑫経産→企業診断
ビジネスホン　⑬生活→電話・電報〔電話〈種類〉〕
ビジネス・ユニオニズム　⑫経産→労働運動〔二〕
ビシネフスキー，V　ソ連［1900-1951］　劇作家。十月蜂起・国内戦に参加し，体験をもとに同国演劇の古典的傑作を残す　①文学504 C　③音演→ロシア演劇〔ソビエト演劇〕
菱野薬師温泉　⑦日地→小諸(市)こもろ
ヒシバッタ〔菱蝗〕　⑳動物522 C図
非自発的失業　⑫経産→完全雇用　→失業
日出藩ひじ　⑥日史→豊後国ぶんご
PCB〈ポリ塩化ビフェニル〉　⑮化学510 A図表　→公害〔歴史〈今日〉〕　→水質汚濁〔汚濁物質の分類と被害〈1〉〕　→土壌汚染　→PCT　⑭医学→カネミ油症　⑱宇地→海洋汚染〔有機塩素化合物〕
PCP　⑮化学→農薬〔分類〈表殺菌剤〉〕
非資本主義的発展　⑫経産→計画経済〔開発途上国〕
肥島　⑧日地→六島諸島
飛島ひしま　岡山/笠岡市　⑧日地961 C
PC枕木　⇨コンクリート枕木
砒四面銅鉱　⑱宇地→安四面銅鉱
菱餅　⑬生活→節句〔雛祭り〕　→餅〔歴史・種類〕
ヒシモドキ〔菱米〕　⑲植物530 A図
飛車　⑬生活→将棋〔競技方法〕
ビシャ，M　フランス［1771-1802］　解剖学者。組織学の基礎を築いた　⑳動物522 C　⑭医学→病理学〔歴史〕
被写界深度〈被写体深度〉　⑰科技→カメラ〔囲用語〕
ビシャーカパタム　⇨ビサーカパトナム
微斜カリ長石　⑱宇地→長石
ヒジャーズ　サウジアラビア　⑩世地504 D　→アラビア(半島)　→サウジアラビア(王国)〔自然〕
ヒジャーズ(山脈)　⑩世地→サウジアラビア(王国)〔自然〕

育〕 →ビタミン
ビタミンC〈アスコルビン酸〉 ⑬生活→栄養〔ビタミン〕表 ⑭医学→壊血病 →ビタミン図表 ⑮化学→アスコルビン酸 →セント=ジェルジー, A →ビタミン囲 ⑲植物→くだもの〔栄養〕
ビタミンG ⑮化学→ビタミン囲
飛騨民俗村 ⑧日地→高山(市)
ビタミンD〈カルシフェロール〉 ⑬生活→栄養〔ビタミン〕表 →きのこ類〔成分〕 ⑭医学→肝油 →ビタミン図表 →骨〔異常・疾患〈骨軟化症〉〕 ⑮化学→ビタミン囲 ⑱宇地→日照
ビタミンP ⑬生活→栄養〔表ビタミン〕 ⑮化学→ビタミン囲 ⑳動物→ビタミン表
ビタミンB_1〈サイアミン, オリザニン〉 ⑬生活→栄養〔ビタミン〕表 →米〔栄養〕 ⑭医学→脚気 →ビタミン表 →鈴木梅太郎〈498 A〉 ⑮化学→ビタミン囲
ビタミンB_2〈リボフラビン〉 ⑬生活→栄養〔ビタミン〕表 ⑭医学→ビタミン図表 ⑮化学→ビタミン囲
ビタミンB_6〈ピリドキシン〉 ⑬生活→栄養〔表ビタミン〕 ⑭医学→ビタミン表
ビタミンB_{12}〈コバラミン〉 ⑬生活→栄養〔表ビタミン〕 ⑭医学→ビタミン表 →貧血〔悪性貧血〕 ⑳動物→ビタミン表
ビタミンB複合体 ⑮化学→パントテン酸 →ビタミン囲 ⑳動物→ビタミン表
直面 ③音演→能〔能面〕
ヒダーヤト, S イラン[1903/1951] 小説家。西欧文学の影響を受け, 実存的傾向が強い。ガス自殺 ①文学 505 A →ペルシア文学〔16 世紀～〕
ビタリ, F イタリア[1665*/*] ③音演→音楽〔西洋音楽〈バロック音楽〉〕
左R-加群 ⑯物数→ベクトル空間
左イデアル ⑯物数→環〔イデアル・剰余環〕
左甚五郎 [1594/1651] 江戸初期の名工。徳川家の愛顧をうけ, 堂宮大工の棟梁, 宮彫で名をなす ⑥日史 963 C ⑧日地→日光(市)〔囲東照宮〈眠猫〉〕
左手3指の法則 ⇨フレミング左手の法則
左前 ⑬生活→葬式〔死亡処置〈死者の装束〉〕
ヒダリマキ《植物》 ⇨ネジバナ
ヒダリマキ《動物》 ⇨オオヘビガイ ⇨タカノハダイ
ヒダリマキマイマイ ⑳動物→カタツムリ〔日本産〕図 →マイマイ
左股川 ⑧日地→利別川
ピータールー事件 ⑨世史 518 C →イギリス(史)図
皮蛋 ⑬生活→中国料理〔囲特殊材料〕図 →漬け物〔外国〕 ⑳動物→アヒル〔調理〕
被団協 ⑪政社→原水爆禁止運動
非弾性散乱 ⑯物数→原子核〔原子核反応〕 →衝突〔微粒子の散乱〕 →フランク-ヘルツの実験
非弾性衝突 ⑯物数 451 C →衝突
『美談の出発』 ①文学→芥川賞表
ピチアルマジロ ⑳動物→アルマジロ
ピチウム ⑲植物→菌類〔分類〈藻菌類〉〕
ピチカート ⇨ピッチカート
微地形 ⑧日地 1230 C ⑱宇地→地形〔小地形〕
ヒチコック ⇨ヒッチコック, A
七宗(町) 岐阜 ⑧日地 965 B
ビチャージ(海淵)〈ビチアス海淵〉 ⑩世地→太平洋〔自然〕 ⑱宇地→海溝 →海底図
ビチャージ号 ⑳動物→深海生物〔調査〕
ビーチャム, T イギリス[1879/1961] 指揮者。ロイヤル・フィルハーモニーを組織, 同国音楽界に貢献 ③音演 467 D
米酒 ⑬生活→酒〔台湾〕
鼻中隔彎曲症 ⑭医学→いびき →鼻
ビチュニア王国 ⑩世地→イズミット
ビチューメン〈瀝青〉 ⑮化学 515 B →アスファルト →石灰〔成分と分子構造〕 →石油〔石油製品〕 →瀝青
費長房 中国[*/*] 隋代の仏教学者。翻訳学士として訳経に活躍 ④哲宗 475 A
非調和比〈複比〉 ⑯物数 451 C →比・比例
ピチョラ(湖) ⑩世地→ウダイプル
ヒチョン〈熙川〉 北朝鮮 ⑩世地 505 B
篳篥 ③音演→雅楽〔楽器と楽器編成〕図
ピチレブ(島) フィジー ⑩世地 505 B
ビーチロック ⑧日地→珊瑚島〈1213 D〉
筆 ①文学→駢文
ビツ(諸島) ⑩世地→ビスマーク(諸島)
尾椎 ⑭医学→脊椎〔構造〕図 ⑳動物→脊椎
ピツイトリン ⑭医学→下垂体
ピツェッティ, I イタリア[1880/1968] 作曲家。ベルディの後継者ともいわれ, 多くのオペラがある ③音演 468 A
ビッカース硬度 ⑯物数→硬度〔押込み法〕 ⑰科技→材料試験〔かたさ試験〈押込み式〉〕
ピッカリング, E アメリカ[1846/1919] 天文学者。恒星の光度の測定, 恒星スペクトルの統計的観測を行う ⑱宇地 525 C
筆記適性 ⑰科技→紙〔性質〕
筆記用紙 ⑰科技→紙〔種類〈洋紙〉〕
ピック, L [1886/1931] ③音演→映画〔無声映画〈第3期〉〕
ピックアップ ⑬生活→ラグビー〔囲用語〕
ピックアップ ⑰科技→ステレオ再生装置〔録音〕
ピックアップ反応 ⑯物数→原子核〔原子核反応〕
ビック・ウェルズ・バレエ団 ③音演→バレエ〔20 世紀〕
ヒックサイト ⑨世史→クエーカー
ヒックス イギリス ④哲宗→実在論〈237 D〉
ヒックス, H アメリカ[1780/1849] ②美術→アメリカ美術〈10 D〉図
ヒックス, J イギリス[1904] 理論経済学者。効用にかえ限界代替率の概念を導入。ノーベル賞受賞 ⑫経産 503 B図 →安定条件論 →オーストリア学派 →均衡理論〔意義〕 →景気変動理論〔ケインズ以後〕 →経済静学・経済動学 →厚生経済学〈189 C〉 →生産者余剰 →成長理論〔諸展開〕 →代替財・補完財〔定義〕 →賃金Ⅱ〔二〕
ビッグストア ⑫経産→小売商〔流通革命〕 →スーパーマーケット
ピッグテイル ⑨世史→薙髪令
『ビッグ=パレード』 ③音演→映画〔無声映画〈第3期〉〕 →ビダー, K
ピック病 ⑭医学→精神病
ビッグフォア ⑬生活→ボウリング〔囲用語〕
ビッグ・ベン ⑩世地→イギリス(連合王国)〔図観光〕 →ロンドン《イギリス》図
ビッグベンド国立公園 ⑩世地→アメリカ(合衆国)〔表国立公園〕
ビッグホール ⑩世地→キンバリー
ビッグホワイトピーク ⑩世地→ヒマラヤ(山脈)〔表初登頂〕
ビッグホーン〈オオツノヒツジ〉 ⑳動物 524 A →ヒツジ〔野生ヒツジ〕図
火造 ②美術→日本刀〔鍛錬法〕 ⑰科技→鉄鋼〔囲日本刀〕
日付変更線 ⑧日地 1230 D ⑱宇地 525 C
ピッケル ⑬生活→登山〔登山用具〕図
びっこ〔跛〕〈跛行〉 ⑭医学 498 C
畢公高 中国 ⑨世史→魏《戦国》
引っ越し ⑬生活 511 D
引越しそば ⑲植物→ソバ囲
『跛の悪魔』 ①文学→ベレス・デ・ゲバーラ, L
『びっこの公爵』 ①文学→トルストイ, A. N
ヒッコリー ⑲植物→クルミ科 →ペカン
ピッコロ ③音演 468 A図
ヒッサルリク ⇨トロヤ
筆算 ⑯物数 452 A →計算〔方法〕 →関孝和 →和算〔天元術と点竄術〕
『筆算訓蒙』 ⑯物数→算術 →数学教育〔歴史〈明治時代〉〕 →筆算
ヒツジ〔羊〕 ⑳動物 524 A図 →ムフロン ⑥日史→畜産業 ⑧日地→大牧畜〈1222 A〉 ⑨世史→家畜史 ⑬生活→毛皮〔種類〕
『羊飼い』 ①文学→ブランデン, E
『羊飼ナイダン』 ①文学→ツェベクミッド
『羊飼いの生活』 ⑳動物→ハドソン, W
ヒツジ皮 ⑬生活→革〔なめし革〈種類〉〕
ヒツジキンバエ ⑳動物→キンバエ
ヒツジグサ〔未草〕 ⑲植物 531 A図
『秀句冊』 ①文学→都賀庭鐘
羊雲 ⇨高積雲
ヒツジバエ〔羊蠅〕 ⑳動物 526 B →ハエ図
羊山公園 ⑧日地→秩父(市)
必従川 ⑱宇地→川〔よび方〕
必需品 ⑫経産→弾力性・伸縮性〔需要の所得弾力性〕
畢昇 ⑨世史→印刷術〔初期〕 ⑰科技→印刷〔歴史〕 →活字
必須アミノ酸 ⑬生活→栄養〔たんぱく質〕 →卵料理〔栄養〕 ⑮化学→アミノ酸〔栄養〕 →タンパク質〔栄養〕 ⑳動物→アミノ酸
必須元素 ⑲植物→肥料 →無機栄養
筆生 ⑤日史→写経 →上局・下局
必然 ④哲宗→ギリシア哲学〔囲用語〕 →当為
必然史派 ⑨世史→ティエール, M
必然性 ④哲宗 475 B
ヒッタイト ⑨世史 518 C図 →古代オリエント文明〔エジプトとメソポタミア〕 →鉄 →ボガズキョイ →メソポタミア文明〔歴史・文化〕 ⑩世地→シリア(アラブ共和国)〔略史〕 →トルコ(共和国)〔略史〕
ヒッタイト美術 ②美術 488 C図
ひったか ⑦日地→笠岡(市)
匹田絞 ②美術→絞
ピッチ(湖) ⑩世地→トリニダードトバゴ(共和国)
ピッチ ⑬生活→ボートレース〔囲用語〕
ピッチ ⑮化学 515 B
ピッチ ⑰科技→プロペラ〔飛行機〕
ピッチ・エンド・ラン ⑬生活→ゴルフ〔基本的技術〈アイアンショット〉〕図
ピッチカート ③音演 468 B →バイオリン〔奏法〕
ヒッチコック, A イギリス[1899/1980] 映画監督。ハリウッドに渡りサスペンス・スリラーの第一人者となる ③音演 468 B図 →映画〔トーキー〈第4期〉〕
ピッチ・ショット ⑬生活→ゴルフ〔基本的技術〈アイアンショット〉〕図
ピッチーニ, N イタリア[1728/1800] ③音演→グルック, C →ナポリ楽派
ヒッチヒ, F ドイツ[1838/1907] ⑭医学→ガル, F〈466 D〉 →生理学〔大脳生理学〕
ピッチブレンド ⇨閃ウラン鉱
ピッチャー〈投手〉 ⑬生活→野球〔競技方法〕
ピッチャー・イン・ザ・ホール ⑬生活→野球〔囲用語〕
ピッチャーズプレート ⑬生活→野球〔野球場〕
備中(町) 岡山 ⑧日地 965 C
備中神楽 ⑦日地→岡山(県)〔文化〕
備中鍬 ⑤日史→江戸時代〔産業・経済・貿易〈産業〉〕
備中荒神神楽 ⑧日地→備中(町)
備中国分寺 ⑦日地→総社(市)図
備中縞〈備中小倉〉 ⑦日地→井原(市)
備中高松城 ⇨高松城《岡山》
備虫釣り ⑳動物→クロダイ〔釣り〕
備中国 岡山 ⑥日史 963 C囲 ⑧日地 965 C ⑦日地→岡山(県)
備中松山城 ⑧日地→高梁(市)図
備中物 ②美術 489 C
ピッチング・ウェッジ ⑬生活→ゴルフ〔基本的技術〈アイアンショット〉〕
ピッツア ⑬生活→世界の料理〔イタリア料理〕図 →パイ
ピッツバーグ アメリカ/ペンシルベニア ⑩世地 505 B
ピッツバーグ放送局 ⑫経産→放送事業
ピッツベルニナ ⑩世地→アルプス〔地域区分〕
ピッツロトンド ⑩世地→サンゴタール
ピッティ美術館 ②美術 686 C
ヒッデナイト ⑱宇地→宝石〔図〈天然〉〕
ビット ⑯物数→情報理論 ⑰科技→電子計算機〔囲用語〕
ビット〔bit〕 ⑯物数→シャノン, C
ピット(大) イギリス[1708/1778] 政治家, 首相。七年戦争でフリードリヒ大王を声援, のち演壇上で倒れた ⑨世史 518 D図
ピット(小) イギリス[1759/1806] 政治家, 首相。大ピットの次子。対仏大同盟を指導しナポレオンと対抗 ⑨世史 518 D図 →イギリス(史) →対仏大同盟 ⑫経産→減債基金
筆頭者 ⑬生活→戸籍〔記載〕
ヒットエンドラン ⑬生活→野球〔囲用語〕
ビット・オルガン ⑳動物→ハブ図 →マムシ
ビットーリア, A [1525/1608] ②美術→マニエリズモ
ビットリオ・アメデオ(二世) [1666/1732] ⑨世史→サボイア家
ビットリオ・エマヌエレ(一世) [1759/1824] サルデーニャ国王。カルボナリの反乱に直面して王位を弟に譲る ⑨世史 519 B
ビットリオ・エマヌエレ(二世) [1820/1878] サルデーニャ第2代の国王, 初代のイタリア国王。カブールを起用し統一を完成 ⑨世史 519 B図 →イタリア(共和国)〔近代史〈統一国家〉〕図 →サボイア家 →サルデーニャ王国 →リソルジメント〔統一の完成〕
ビットリオ・エマヌエレ(三世) イタリア[1869/1947] 第3代のイタリア王。軍部と図ってムッソリーニを捕え連合軍と和平を交渉 ⑨世史 519 C図 →エ

ヒトデ〔海星〕 ⑳動物 526 C図 →底生生物
一手先 ②美術→組物〔種類〕図
ビート糖 ⑬生活→砂糖〔種類〕 ⑮化学→砂糖〔製造〕
『人と超人』 ①文学→ショー, G. B →ドン・ファン ③音演→ショー, G. B
『人と人に非ざるもの』 ①文学→ビットリーニ, E
ピドナの戦い ⑨世史→スキピオ(小) →ファランクス →ポリビオス →マケドニア戦争
ヒトニザル上科 ⑳動物→オナガザル →サル〔分類と分布〕
『人の一生』 ①文学→ロバーツ, E
『人の気も知らないで』 ③音演→シャンソン《ポピュラー》〔日本〕
飛渡瀬 ⑦日地→江田島(町) ⑧日地→能美島
『人の力を超えるもの』 ③音演→ビョルンソン, B
『人の血は水ならず』 ①文学→ステリマフ, M
『人の文学』 ①文学→周作人
ヒトノミ ⑳動物→ノミ〔生活史〕
ひとのみち教団 ④哲宗→パーフェクトリバティー ⑪政社→新興宗教
人柱 ④哲宗→いけにえ
『**ヒトーパデーシャ**』 ①文学 505 C →『パンチャタントラ』
ヒトハリザトウムシ ⑳動物→メクラグモ
ビート・パルプ ⑲植物→サトウダイコン
ビトー斑 ⑭医学→結膜〔結膜乾燥症〕
『人々の中で』 ①文学→ゴーリキー, M
一筆書き ⑯物数→曲線 →数学パズル〔図形〕
ヒートポンプ式エアコンディショナー ⑬生活→冷暖房〔冷房〈エアコンディショナー〉〕図
ヒトマイシン ⑲植物→農薬〔表〈殺菌剤〉〕
人まねの熊野詣 ④哲宗→熊野信仰 →熊野大社
人麻呂影供 ①文学→藤原顕季
『人麻呂歌集』 ①文学→柿本人麻呂
ひとみ ⑯物数→絞り図
瞳 ⑭医学→目〔構造〈虹彩〉〕
人見絹枝 ⑬生活→オリンピック〔近代〈アムステルダム大会〉〕図 →陸上競技〔日本〕
人身御供 ④哲宗→いけにえ
人見館跡 ⑧日地→深谷(市)
ビトム ⑩世地 505 C
『ひとめぐり』 ①文学→モーム, W
ひともじのくるくる ⑬生活→郷土料理〔囲〈熊本〉〕
ヒトモトススキ〔一本薄〕 ⑲植物 532 A
ピードモント(台地) ⑩世地 505 D →ノースカロライナ(州)
一節切 ③音演→尺八図
人吉(市) 熊本 ⑧日地 965 D図
人吉温泉 ⑧日地→人吉(市)
人吉街道 ⑥日史 964 C
人吉藩 ⑤日史→相良氏 ⑥日史→肥後国
人吉盆地 熊本 ⑧日地 965 D →人吉(市)
ヒトヨタケ〔一夜茸〕 ⑲植物 532 A
ヒトラー, A [1889-1945] ナチ党指導者,総統。ナチス独裁を確立,対外侵略を強行し第二次大戦をひきおこす ⑥日史 964 C ⑨世史 519 D図 →第三帝国〔ナチス支配下〕 →第二次世界大戦〔大戦前史〕 →ドイツ〔歴史〈ワイマール共和国とナチス帝国〉〕 →ナチス〔歴史〕図 →ミュンヘン会談図 ⑪政社 484 D図 →宣伝図 →第二次世界大戦〔大戦前史〕別 →ナチズム〔支持層〕図 →ファシズム〔展開〕図 →ユダヤ人問題 →ワイマール共和国〔崩壊〕
ヒドラ ④哲宗→ギリシア・ローマ神話〔英雄伝説〕
ヒドラ ⑳動物 527 C →生殖〔無性生殖〕 →染色体表 ⑭医学→脳〔図神経系の構成〕
ヒトラー一揆〈ミュンヘン一揆〉 ⑨世史 520 C →ヒトラー, A〔ナチス党首〕 ⑪政社→ワイマール共和国〔混乱から安定へ〕
ヒドラゾ基 ⑮化学→基表
ヒドラゾベンゼン ⑮化学→アゾ化合物〔アゾベンゼン〕
ビトラック, R [1899-1952] 劇作家。シュルレアリスムを演劇に適用,不条理劇の先駆者 ①文学 505 C ③音演 469 A
ヒトラー・ユーゲント ⑨世史→ナチス〔歴史〕 ⑪政社→ナチズム〔支配〕
ピトリ ④哲宗→閻魔
ビトリア ⑩世地 505 D
ビトリア ⑩世地 505 D
ヒトリガ〔燈蛾〕 ⑳動物 528 A図 →ガ〔生態〕 →まゆ
ヒドリガモ〔緋鳥鴨〕 ⑳動物 528 A →カモ〔分類〈淡水ガモ〉〕図
『独ごと』 ①文学→上島鬼貫
ヒトリザル ⑳動物→オナガザル →サル〔社会〈群の社会構造〉〕
ヒトリシズカ〔一人静〕 ⑲植物 532 A図
ひとりずもう ⑦日地→大三島(町)〔大山祇神社〕図
一人旅 ⑬生活→旅行〔プラン〈パターン〉〕
『一人の女が姿を消した』 ③音演→フェデー, J
『ひとりの女に』 ①文学→黒田三郎
火取虫 ⇨ヒトリガ
『一人息子』 ③音演→小津安二郎
ヒドリンゴム ⑮化学→ゴム〔合成ゴム〈エピクロルヒドリンゴム〉〕
ビドル, J [1615-1662] ④哲宗→ユニテリアン
ビードル, G [1903] 遺伝学者。アカパンカビで遺伝子の働きを研究,生化学的遺伝学の新分野を開く。ノーベル賞受賞 ⑭医学 30 C →遺伝〔遺伝学〕 ⑲植物 532 B図 →アカパンカビ ⑳動物→遺伝〔遺伝子と酵素〕 →遺伝学〔歴史〕
ビートルズ ③音演→ロック・ミュージック〔ニュー・ロック〕図
ピドルタラガラ(山) ⑩世地 505 D
ビトルビウス, M [＊] 前1世紀ローマの建築家。現存する最古唯一の建築理論書の著者として有名 ②美術 489 C ⑰科技 561 A図 →都市計画〔都市計画・設計思想の歴史〈近代以前〉〕
ビードロ ⑤日史→ガラス
ヒドロキシアニソール ⑮化学→グアヤコール
ヒドロキシ安息香酸 ⑮化学→サリチル酸
ヒドロキシ酸〈オキシ酸〉 ⑮化学 515 C →カルボン酸 →ラクトン〔合成法〕
ヒドロキシブチルアルデヒド ⑮化学→アルドール
ヒドロキシプリン ⑮化学→ヒポキサンチン
ヒドロキシプロリン ⑮化学→アミノ酸表
ヒドロキシリジン ⑮化学→アミノ酸表
ヒドロキソニウムイオン ⑮化学→ヒドロニウムイオン
ヒドロキノン〈ハイドロキノン〉 ⑮化学 516 A →カテコール →キノン →フェノール表 ⑰科技→フィルム〔感光材料の発達〕
ヒドロクラゲ ⑳動物→クラゲ〔形態〕 →プランクトン図
ヒドロコルチソン ⇨コルチソール
ヒドロ虫類 ⑳動物→クラゲ〔形態〕 →腔腸動物
ヒドロナリウム ⑰科技→アルミニウム〔アルミニウム合金〕 →合金〔囲用語〕
ヒドロニウムイオン〈オキソニウムイオン〉 ⑮化学 516 A →イオン積 →水素イオン濃度
ヒドロホルミル化 ⑮化学→オキソ合成
ビードロ釉 ②美術→伊賀焼
ヒドロライト ⇨水素化カルシウム
ヒドロラーゼ〈加水分解酵素〉 ⑮化学→酵素〔分類・命名〕 ⑳動物→酵素表
『人を恋ふる歌』 ①文学→与謝野鉄幹
ピトン〈ハーケン〉 ⑬生活→登山〔囲用語〕
毗曇宗 ④哲宗→倶舎宗
ビーナ ③音演 469 B →インド音楽〔楽器〕図 →シタール →民族音楽図
雛あられ ⑬生活→節句〔雛祭り〕
比内(町) 秋田 ⑧日地 966 A
ピー・ナイ ③音演→笛図
皮内出血 ⑭医学→あざ〔後天性〕
皮内注射 ⑭医学→注射
ヒナイドリ〔比内鶏〕 ⑳動物→ニワトリ〔観賞用種〕
ヒナウスユキソウ ⑲植物→高山植物〔別乾性〕
ヒナガイ ⑳動物→カガミガイ
ヒナギキョウ〔雛桔梗〕 ⑲植物 532 B
ヒナギク〔雛菊〕 ⇨デージー
日奈久温泉 ⑧日地→八代(市)
ピナクル ⑱宇地→カルスト地形〔カルスト輪廻〕
ヒナゲシ〔雛罌粟〕〈ポッピー〉 ⑲植物 532 B図
『ピナケス』 ①文学→カリマコス
ヒナコウモリ ⑳動物→コウモリ〔分類〕
ピナコテーク ②美術→アクロポリス〔図アテネ〕
ピナコール転位 ⑮化学 516 B →転位反応
ピナコロン ⑮化学→ケトン表
ヒナザクラ ⑲植物→サクラソウ
ビーナス〈アフロディテ〉 ②美術 489 D図 ④哲宗→ギリシア・ローマ神話〔オリンポスの神々〕囲神名図 ⑨世史→ギリシア図
ビーナス ⇨金星
『ビーナスとアドーニス』 ①文学→シェークスピア, W
『ビーナスの誕生』 ②美術→ボッティチェリ, S図
⑳動物→貝類〔囲コレクション〕 →ホタテガイ
日生(町) 岡山 ⑧日地 966 A
日生諸島 ⑦日地→鹿久居島 ⑧日地→日生(町)
ヒナタイノコズチ ⑭医学→生薬〔牛膝〕 ⑲植物→イノコズチ
日向島 ⇨イルカ島
日向洞窟 ⑧日地→山形(県)〔歴史〕
日向薬師 ⑦日地→伊勢原(市)
日夏耿之介 [1890-1971] 詩人・英文学者。浪漫的神秘主義の詩風を確立,『明治大正詩史』は名著とされる 作『転身の頌』 ①文学 505 D図
ピーナッツ ⇨ラッカセイ
日撫神社 ⑦日地→近江(町)
雛人形 ⑬生活→玩具〔日本〕 →節句〔雛祭り〕
ヒナノウスツボ〔雛臼壺〕 ⑲植物 532 C →ゴマノハグサ図
ヒナノカンザシ〔雛の簪〕 ⑲植物 532 C図
ヒナノキンチャクソウ ⑲植物→ヒメハギ
ヒナノシャクジョウ〔雛錫杖〕 ⑲植物 532 C
雛の節供 ⇨上巳節供
ヒナバッタ ⑳動物→バッタ
雛祭 ②美術→人形〔日本〕 ⑤日史→上巳節供 ⑬生活→玩具〔日本〕 →節句
日次記〈日録〉 ⑤日史→記録
夷守 ⑦日地→小林(市)
ヒナユリ ⇨カマシア
雛料理 ⑬生活→節句〔雛祭り〕
火縄銃 ⑥日史 965 A →鉄砲 ⑨世史→火薬
『火縄銃のうた』 ①文学→許南麒
ピナン(島) ⇨ペナン(島)
ピナン ⑮化学→テルペン〔モノテルペン系化合物〈双環性〉〕
ビナンカズラ〔美男葛〕 ⇨サネカズラ
鼻軟骨 ⑭医学→鼻〔解剖〕
避難民 ⑪政社→難民問題
ビニー, A [1797-1863] ロマン派の詩人・小説家。死後一巻にまとめられた哲学詩集『運命』によって,フランス・ロマン主義詩人の中で不朽の光をはなつ ①文学 506 A図
ビニエ, A [1818-1870] 叙情詩人。第二公用語ランスモールを用いて詩作,国語改良にも関心を示す ①文学 506 B
ピニオン ⑰科技→歯車〔種類〕図
皮肉 ④哲宗→アイロニー
B 29 ⑪政社→太平洋戦争 ⑫経産→ボーイング
ヒニスベルグ検出法 ⑮化学→アミン〔脂肪族アミン〈反応〉〕
ビニツァ ソ連/ ⑩世地 505 D
ビニャデルマル ⑩世地 505 D
ビニョー ⇨デュ・ビニョー, V
泌尿器科 ⑭医学 498 C →外科
泌尿器官 ⑭医学→泌尿器科 ⑳動物→腎臓
泌尿器癌 ⑭医学→癌
ピニョー・ド・ベーヌ [1741-1799] ⑨世史→ザロン
ビニョーラ, G [1507-1573] 建築家。マニエリズモの代表的存在。ローマのジェズ聖堂を共作 ②美術 490 B →マニエリズモ
ビニョン, L [1869-1943] 詩人・東洋美術研究家。大英博物館勤務。ダンテの翻訳がある ①文学 506 B
ビニリデン ⑬生活→合成繊維〔種類〕 →繊維〔表燃焼鑑別〕 ⑮化学→合成繊維
ビニルアセチレン ⑮化学→アセチレン〔反応と用途〕
ビニルエーテル ⑮化学→エーテル表 →ポリビニルエーテル →レッペ反応〔ビニル化〕
ビニール外装ケーブル工事 ⑰科技→屋内配線〔配線工事〕
ビニールクロス ⑬生活→室内装飾〔洗面所・浴室〕
ビニル樹脂 ⑮化学→アルキン〔反応性〕
ビニル樹脂塗料 ⑮化学→塗料〔分類〈合成樹脂塗料〉〕表
ビニルゾル塗料 ⑮化学→塗料〔分類〈その他〉〕
ビニルハウス ⑲植物→温室〔種類〕図
ビニルベンゼン ⇨スチレン
ビニロン ⑮化学 516 B →合成繊維 ⑬生活→合成繊維〔種類〕 →繊維〔表燃焼鑑別〕
非人 ⑥日史 965 B →賤民 →弾左衛門 →長吏〔2〕 ⑤日史→穢多 →江戸時代〔社会・風俗〈身分制度〉〕 →河原者 →車善七
避妊 ⑭医学→荻野学説〔荻野式受胎調節法〕 →基礎体温〔受胎調節〕 →受胎調節図
非認識主義 ⑫経産→価値判断

史〈レール〉〕
ビラゾン ⑱宇地→風〔表局地風〕
平田 ⑦日地→大山田(村)
平田(市) 島根 ⑧日地 978 D図
平田(町) 山形 ⑧日地 979 B
平田(町) 岐阜 ⑧日地 979 B
平田(村) 福島 ⑧日地 979 B
平田篤胤 〔1776–1843〕 江戸後期の国学者。復古神道を鼓吹,幕末社会に影響を与える ①文学 511 B図 →国学 ④哲宗 479 B図 →復古神道 ⑥日史 973 C ⑤日史→生田万 →江戸時代〔文化〈国学・洋学〉〕 →国学図 →『古史徴』→神道〔国家と神道〕 ⑪政社→国学の政治思想図 ⑭医学→薬〔語源〕
ヒラタアブ〔扁虻〕 ⑳動物 533 C図
平台印刷機 ⑰科技→印刷〔凸版印刷〈活版印刷〉〕図
ヒラタウニ ⇨アカウニ
ヒラタエイ ⑳動物→アカエイ →エイ〔分類と進化の系統〕図
ヒラタエンマムシ ⑳動物→エンマムシ
ヒラタカゲロウ上科 ⑳動物→カゲロウ〔分類〕
ヒラタガムシ ⑳動物→ガムシ
ヒラタカメムシ〔扁平亀虫〕 ⑳動物 534 A図
ヒラタキクイムシ〔扁木食虫〕 ⑳動物 534 A →キクイムシ《甲虫》 →ナガシンクイ
ヒラタグモ〔扁蜘蛛〕 ⑳動物 534 A図 →クモ〔生態〕図
ヒラタクワガタ ⑳動物→クワガタムシ
ヒラタケ〔平茸〕 ⑲植物 543 B図 →キノコ〔別担子菌類〈ハラタケ目〉〕
平田郷陽 ②美術→人形〔日本〕
平田小六 ①文学→農民文学
ヒラタシデムシ ⑳動物→シデムシ
ヒラタツユムシ科 ⑳動物→キリギリス
平田東助 〔1849–1925〕 明治・大正期の政治家。山県系官僚として活躍,とくに産業組合法の制定に努めた ⑥日史 973 D
平田禿木 〔1873–1943〕 英文学者・随筆家。オックスフォードに学び,英文学を翻訳紹介 ①文学 511 C
ヒラタハナムグリ ⑳動物→コガネムシ
ヒラタハバチ科 ⑳動物→ハバチ
ヒラタムシ〔扁虫〕 ⑳動物 534 A →甲虫〔分類〈多食亜目〉〕
ヒラタヤスデ ⑳動物→ヤスデ〔日本〕
平調子 ③音演→箏〔調弦〕
ビラツォロン剤 ⑭医学→熱〔解熱剤〕
平塚 ⑦日地→境(町)《群馬》
平塚(市) 神奈川 ⑧日地 979 B図
平塚運一 〔1895〕 版画家。国画会に加わり版画部を設ける。墨一色の力強く簡潔な作風。アメリカに在住 ②美術 493 A
平塚らいてう 〔1886–1971〕 婦人運動家。明治末『青鞜』を発刊,婦人運動の道を開き,戦後は平和運動に活躍 ⑥日史 973 D図 →青鞜社 →婦人参政権運動 ①文学→『青鞜』 →『女人芸術』
ビラック, O 〔ブラジル 1865–1918〕 詩人。高踏派でロマン派に劣らぬ名編を残す。文盲撲滅運動に尽力 ①文学 511 C
平造 ②美術→日本刀〔囲用語〈造込み・格好〉〕 ⑥日史→日本刀〔種類〕
平爪 ⑳動物→ひづめ
平戸(市) 長崎 ⑥日史 974 A →出島 ⑧日地 979 C図 ⑤日史→イギリス商館
ピラト, P 〔* .〕 ローマ領ユダヤの第5代総督。ユダヤ人の圧力に屈してイエスの処刑を決めた ⑨世史 526 B →イエス・キリスト ④哲宗→イエス・キリスト〔生涯〕 →キリスト教〔イエス・キリスト〕 →聖書〔囲人名〕
平戸大島 ⇨大島《長崎県北松浦郡》
平戸大橋 ⑧日地→平戸(市)
平戸神楽 ⑧日地→長崎(県)〔文化〈年中行事〉〕
ヒラドカワザンショウ ⇨カワザンショウ
平戸口駅 ⑧日地→田平(町)
平戸島 長崎/平戸市 ⑧日地 980 B ⑥日史→平戸(市) ⑦日地→西海国立公園
平戸城跡〈亀岡城跡〉 ⑧日地→平戸(市)図
平戸商館 ⑥日史→セーリス, J →平戸(市)
ヒラドツツジ〔平戸躑躅〕 ⑲植物 543 B →ツツジ表
平戸藩 ⑥日史 974 A →松浦氏
平戸文旦 ⑲植物→ザボン図
平戸貿易 ⑥日史→松浦鎮信
平戸焼 ②美術 493 B
平取(町) 北海道/日高支庁 ⑧日地 980 C図
平戸廉吉 〔1893–1922〕 詩人。マリネッティの影響をうけ日本未来派宣言運動をおこす ①文学 511 C →未来派
平内(町) 青森 ⑧日地 980 C
平滑ノ滝 ⑦日地→尾瀬
ピラニア ⑳動物 534 B
ピラニ真空計 ⑯物数→真空計 ⑱宇地→気圧計
平庭 ⑬生活→庭〔種類〕
平庭高原 岩手 ⑧日地 980 C
平繡 ⑬生活→刺繡〔日本刺繡〈技法〉〕図
平沼騏一郎 〔1867–1952〕 司法官僚出身の政治家。昭和14年に半年余首相をつとめる。右翼運動の実力者で戦後A級戦犯 ⑥日史 974 B図 →治安維持法 →帝人事件 ⑪政社 490 A図 →極東国際軍事裁判〔表被告人〕 ⑤日史→右翼運動〔大正〕 →国体明徴運動 →国本社
平沼騏一郎内閣 ⑥日史 974 B表 →独ソ不可侵条約
平根 ⑥日史→弓矢〔矢〕
ピラネージ, G 〔イタリア 1707–1778〕 ②美術→銅版画〔歴史〕
平野 ⑦日地→国東半島図
平野(区) ⑦日地→大阪(市) ⑧日地→東住吉(区)
平野国臣 〔1828–1864〕 幕末尊攘派志士。生野の変をおこし幽閉され,獄中多くの歌をのこす ⑥日史 974 C ⑤日史→生野の変
平野謙 〔1907–1978〕 評論家。同人雑誌『近代文学』を創刊,新日本文学会主流と「政治と文学論争」を展開 ①文学 511 C →『近代文学』
日良野鉱山 ⑧日地→西川(町)《山形》
平野五岳 ②美術→明治の美術〔文人画〕
平野神社 ④哲宗→神社〔表〈官幣大社〉〕
ピラノース環 ⑮化学→糖〔単糖の環状構造〕
平野政吉美術館 ②美術 682 B
平野富二 ⑫経産→石川島播磨重工業(株)
ピラノーバ・デガイア ⑩世地→ポルト
ビラノーバ文化 ②美術→イタリア美術
比良暮雪 ⑦日地→近江八景
平野山窯址 ⑥日史 974 D
平野義太郎 〔1897–1980〕 法律学者。日本資本主義論争では講座派の中心的論客として活躍,のち転向 ⑥日史 974 D ⑤日史→コム・アカデミー事件 ⑪政社→日本資本主義論争 ⑫経産→日本資本主義論争〈467 C〉 →マニュファクチュア論争
平野力三 〔1898–1981〕 農民運動家・政治家。大正末,右翼の立場から日本農民党を創立 ⑥日史 974 D →日本農民組合《戦前》 →日本農民党 ⑤日史→皇道会
ひらば ⑬生活→釣り〔囲用語〕
平歯車 ⑰科技→歯車〔種類〕図
ヒラハコケムシ ⑳動物→コケムシ《触手動物》〔人間との関係〕
平端 奈良/大和郡山市 ⑧日地 980 D
平機〈高機〉 ②美術→織物〔織機〕
平畑静塔 〔1905〕 俳人。根元俳句・俳人格説を唱えて戦後俳壇に新風を送る ①文学 511 C
平林たい子 〔1905–1972〕 小説家。ロシア文学を愛読して左傾,人民戦線事件で検挙され罹病。晩年は反共的 作『施療室にて』 ①文学 511 D図
平林初之輔 〔1892–1931〕 評論家。初期プロレタリア文学の理論的支柱。推理小説の創作や翻訳もある ①文学 512 A
平原遺跡 ⑤日史→古墳〔発生〕 ⑧日地→前原
平原公園 ⑧日地→田主丸(町)
平ピン ⑰科技→キー
ピラフ ⑬生活→飯
平福 ⑦日地→佐用(町)
平福百穂 〔1877–1933〕 日本画家。南画的手法の枯淡な画境を示した。アララギ派歌人でもある ②美術 493 B図 →漫画〔日本漫画の歩み〕 ⑥日史 974 D
ビラフランカの講和 ⑨世史 526 B →カブール, C →ソルフェリーノの戦い
平部嶠南 〔1815–1890〕 ⑥日史→日向国〔囲人国記〕
平舞 ③音演→雅楽〔唐楽・高麗楽〈舞楽〉〕
ヒラマキウキマイマイ ⑳動物→ウキマイマイ
平蒔絵 ②美術→蒔絵〔技法〕 ⑥日史→蒔絵
ヒラマキガイ〔平巻貝〕 ⑳動物 534 B
ヒラマキミズマイマイ ⑳動物→ヒラマキガイ
ヒラマサ〔平政〕 ⑳動物 534 C →ブリ〔生態〕
ヒラマメ ⑲植物 543 C
平三斗 ②美術→組物〔種類〕図
ピラミッド ②美術 493 C図 →エジプト美術〔建築〕 →塔 →墳墓〔エジプト〕 →マヤ〔古典期〕 ⑨世史 526 C図 →エジプト〔歴史と文化〈古王国時代〉〕 →ギザ →クフ ④哲宗→墓〔世界〕図 ⑩世地→エジプト(アラブ共和国)図
ピラミッド神殿 ④哲宗→神殿図
ピラミッド・テキスト ⑨世史→エジプト〔歴史と文化〈古王国時代〉〕 →ピラミッド〔エジプト〈第5王朝以後〉〕
ピラミッドピーク ⑩世地→ヒマラヤ(山脈)〔表初登頂〕
ヒラムシ〔平虫〕 ⑳動物 534 C →ウズムシ
ビラム微風計 ⑯物数→流速計〔各種〕
ヒラメ〔鮃〕 ⑳動物 534 C図
ヒラメ筋 ⑭医学→筋肉〔骨格筋〈下肢〉〕
ひらめん ⑬生活→うどん〔種類〕
平谷(村) 長野 ⑧日地 980 D
平山遺跡 ⑧日地→三芳(村)
平山清次 〔1874–1943〕 天文学者。小惑星の運動とその起原を研究,小惑星の族を発見 ⑱宇地 535 A →小惑星〔軌道〕
平山城 ②美術→城〔日本〈沿革〉〕 ⑤日史→城〔沿革〈本格的築城〉〕
平山東山 〔1762–1816〕 ⑥日史→対馬国〔囲人国記〕
平山信 〔1867–1945〕 天文学者。小惑星「日本」「東京」を発見,また経緯度測量・太陽暦を整備 ⑱宇地 535 A →小惑星〔発見史〕
平湯温泉 ⑦日地→上宝(村)
平良(市) 沖縄/宮古島 ⑧日地 980 D
ヒラリー ⑩世地→エベレスト(山)〔登山史〕 ⑬生活→登山〔発展〕
平リベット ⑰科技→リベット〔図種類〕
ビラール, J 〔フランス 1912–1971〕 俳優・演出家。野外劇に成功,国立民衆劇場主事となる ①文学 512 A ③音演 472 B図
ピラルクー ⑩世地→アマゾン(川) ⑳動物→熱帯魚〔別〈変わった淡水魚〉〕
ヒラルダ ②美術→塔〔ミナレット〕図
ビラ=ロボス, H 〔ブラジル 1887–1959〕 作曲家・指揮者。ブラジル音楽学院を創設。多作家で2000曲以上の作品を残す ③音演 472 C図
平尾魯仙 〔1808–1880〕 ⑥日史→陸奥国〔囲人国記〕
糜爛 ⑭医学→胃潰瘍 →発疹
ピラン ⑮化学→複素環式化合物〔その他〕
ビランガ(山脈) ⇨ビルンガ(山脈)
ビランジ ⑲植物 543 C図
ビランジュ ⇨バクチノキ
ピランデッロ, L 〔イタリア 1867–1936〕 劇作家・小説家。「リアリズムの逆転」によって「存在」の深淵を示す。ノーベル賞受賞 作『作者を捜す六人の登場人物』『ヘンリー四世』 ①文学 512 A図 →イタリア文学〔演劇と詩〕 →ピトエフ, G ③音演 472 D図 →イタリア演劇〔20世紀〕
ビリアル係数 ⑯物数→状態方程式
ビリエ・ド・リラダン, J 〔フランス 1838–1889〕 小説家・劇作家・詩人。神秘学と唯心論とカトリシスムに立脚,象徴主義文学の先駆者 作『残酷物語』 ①文学 512 C図 →世紀末思潮
美利河鉱山 ⑱宇地→パイロリュース鉱 →碧玉
ビリク ⑨世史→チンギス・ハン〔人柄〕
『ビリー・ザ・キッド』 ①文学→スパイサー, J
ビリジアン ⑮化学→顔料〔表無機顔料〕
ビリジル基 ⑮化学→基表
ピリジン ⑮化学 518 A →チミン →複素環式化合物〔6員環状の化合物〕
ピリジン系アルカロイド ⑮化学→アルカロイド〔図基本骨格〕
比率検定 ⑫経産→仮説検定
比率差動継電器 ⑰科技→継電器〔保護方式〈変圧器〉〕
比率分析 ⑫経産→経過分析
『ピリディアナ』 ③音演→ブニュエル, L
ピリディウム幼生 ⑳動物→ヒモムシ
『ビリティスの唄』 ①文学→ルイス, P
『ビリティスの三つの歌』 ③音演→ドビュッシー, C〔作風と作品〕
ビリトゥン(島) 〔インドネシア〕 ⑩世地 511 B
ピリドキシン ⇨ビタミンB_6
ピリナ ⑳動物→ネオピリナ
ピリニャーク, B ソ連〔1894–1945〕 小説家。反ソ作家として文壇から追放,逮捕され獄死。雪どけ後名誉回復 ①文学 512 D
ビリニュス ソ連/〔リトアニア〕 ⑩世地 511 B図
『ピリピ人への手紙』 ④哲宗→聖書〔囲〈新約〉〕 →

パウロ
ビリ=ベロツェルコーフスキー, V　ソ連[1885-1970]　③音演→ロシア演劇〔ソビエト演劇〕
ビリミジン　⑮化学 518 B　→シトシン
ビリミジンジオン　⑮化学→ウラシル
ビリャ, F　メキシコ[1877*-1923*]　⑨世史→メキシコ革命
ビリヤード　⑬生活 519 C図囲
ビリャヤーラヤ　インド　⑨世史→チョーラ朝
ヒリュウガシ　⑲植物→カシ
ヒリュウバイ　⑲植物→ウメ〔種類〕
肥料　⑮化学 518 B図表　→化学肥料　→カリ肥料　→ケイ酸肥料　→酸性肥料　→硝酸カリウム　→石灰窒素　→石灰肥料　→窒素肥料　→リン酸肥料　⑲植物 543 C図表　⑭医学→屎尿
鼻梁〈鼻筋〉　⑭医学→鼻〔解剖〕
非猟犬　⑳動物→イヌ〔犬種〕別
微量元素〈微量栄養素〉　⑲植物 545 A　→無機栄養　⑬生活→強化食品
肥料工業　⑫経産 508 A　→化学工業〔歴史〕
飛竜頭〔飛竜子〕　⇨がんもどき
微量てんびん　⑮化学→てんびん　⑯物数→てんびん
鼻梁白　⑳動物→ウマ〔毛色・特徴〕図
微量分析〈ミクロ分析〉　⑮化学 523 A　→プレーグル, F　→分析〔分類〕
微量養素　⇨微量元素
微量要素肥料　⑮化学→肥料〔必要な栄養分〕　⑲植物→肥料〔分類〕
ビリルビン〈胆汁色素〉　⑭医学→黄疸　→肝臓〔胆汁〕
ビリレフ　ロシア　⑥日史→ロシア軍艦対馬占領事件
ビリー・ワイルダー　⇨ワイルダー, B
比隣　⑨世史→三長制
ビリングズ, W　アメリカ[1746-1800]　③音演→アメリカ音楽
ヒーリングタンク　⑰科技→貨物船〔設備〈荷役〉〕
ビリングチオ, V　イタリア[1480-1539*]　冶金技術者。金属の精錬・鋳造法を記述した『火工術』の著者　⑮化学 523 A　→化学〔歴史〈錬金術的観念〉〕
ビリン疹　⑭医学→熱〔解熱剤〈ピラツォロン剤〉〕→薬疹
批林批孔運動　⑨世史 527 D　→中国共産党　→文化大革命　→林彪
ヒル, A　イギリス[1886-1977]　筋肉生理学者。筋収縮に乳酸説を提唱，化学変化に関するエネルギー論を展開。ノーベル賞受賞　⑭医学 30 C図　⑮化学→光合成
ヒル, D　イギリス[1802-1870]　②美術→写真〔歴史〕別
ヒル, G　イギリス　⑬生活→自動車レース〔グランプリ・レーサー〕図表
ヒル, R　イギリス[1795-1879]　⑬生活→郵便〔歴史〕　→郵便切手〔誕生〕　⑰科技→通信〔沿革〕
ヒル〔蛭〕　⑳動物 535 A図
ヒール　⑬生活→靴〔種類〕
ヒール　⑬生活→ヨットレース〔囲用語〕
ビール　スイス　⑩世地 511 C
ビール　⑬生活 521 C図　→酒〔分類〕　⑫経産→飲料製造業〔酒類飲料〕　⑮化学→アルコール〔表アルコール飲料〕　→エタノール〔用途〕　→醸造〔酒類〕　⑲植物→ホップ
ピル　⑭医学→受胎調節〔女性側に薬品〈経口避妊薬〉〕
ピール, G　イギリス[1556*-1596*]　劇作家。シェークスピアの『ヘンリー六世』の合作者ともいわれる　①文学 512 D
ピール, R　イギリス[1788-1850]　政治家，首相。柔軟な保守主義者でトーリ党を近代政党に脱皮させた　⑨世史 528 A図　→保守党　⑫経産→金融理論〔通貨論争〕　→穀物条例
鼻涙管　⑭医学→目〔付属器〈涙器〉〕図
ピルエット　③音演→バレエ〔囲用語〕
ピールオフ　⑬生活→ラグビー〔囲用語〕
ヒルガオ〔昼顔〕　⑲植物 545 C図
『昼顔』　①文学→ケッセル, J　③音演→ブニュエル, L
ヒルガオ科　⑲植物 545 C
日向湖　福井　⑧日地 981 A　→三方五湖図
蛭ヶ小島　静岡/韮山町　⑧日地 981 A
蛭ヶ岳　⑧日地→丹沢山地
ヒルガタワムシ　⑳動物→ワムシ
ヒルガード, E　アメリカ[1833-1916]　土壌学者。土壌を自然植生との関連で究明，とくにアルカリ土壌を研究　⑱宇地 535 A
蛭ヶ野　岐阜　⑧日地 981 A
ビルカラ, T　フィンランド[1915]　②美術→北欧美術〔建築と工芸デザイン〕
蛭川(村)　岐阜　⑧日地 981 B
ヒルギ　⑲植物 545 C図　→海浜植物
ヒルギ科　⑲植物 546 A
ヒルギダマシ　⑲植物 546 A　→呼吸根　→植物〔日本の植物相〈沖縄〉〕
ヒルクライム　⑬生活→ドライブ〔モータースポーツ〕
ピルグリム　⑳動物→ガチョウ
ピルグリム・ファーザーズ　⑨世史 528 A　→ピューリタン　⑪政社→植民地〔ヨーロッパ近代国家の成立〕
ピルケ, C　オーストリア[1874-1929]　小児科医。アレルギー学説を提唱，ツベルクリン反応を発見　⑭医学 408 D　→アレルギー　→ツベルクリン反応
毗伽可汗　⑨世史→突厥　→突厥碑文
ビルゲ・ハガン〔毗伽可汗〕　[684-734]　突厥第二帝国のハガン。唐と親交し，国力の充実を図ったが大臣に毒殺　⑨世史 528 A　→北アジア〔モンゴル高原〈柔然・突厥〉〕　→キョル・テギン
ピルケ皮膚反応　⑭医学→ツベルクリン反応　→ピルケ, C〈408 D〉
ビルケラン, K　ノルウェー[1867-1917]　物理学者・化学者。空中窒素固定の工業化に成功。東京で自殺　⑮化学 523 A
ヒルゲンドルフ　⑤日史→御雇外人教師表
水蛭子　④哲宗→伊奘諾・伊奘冉尊
ビルコマヨ(川)　パラグアイ・アルゼンチン　⑩世地 511 C
『昼下りの情事』　③音演→ワイルダー, B
ビルジキール　⑰科技→船〔理論〈動揺〉〕
ヒルジー朝　⑨世史 528 B　→インド〔中世社会〕→デリー・サルタナット
毘盧遮那仏　④哲宗→大日如来　⑥日史→盧舎那仏
ヒルシュスプルング, H　デンマーク[1830-1916]　⑭医学→腸〔巨大結腸〕
ピール条例　⑫経産→イングランド銀行　→貨幣Ⅱ〔本位制度〕　→金融理論〔通貨論争〕　→中央銀行〔成立〕　→発券制度
ビールス　⇨ウイルス
ピルス・コンミュニス　⑲植物→ナシ〔表分類〕
ピルス・サリシホリア　⑲植物→ナシ〔表分類〕
蒜山　岡山・鳥取　⑧日地 981 B図　→大山隠岐国立公園
ピルゼン　⇨プルゼニ
蒜山原　⑧日地→大山隠岐国立公園　→蒜山
ピルゼンビール〈プルゼニビール〉　⑩世地→チェコスロバキア〔社会主義共和国〕〔経済・産業〕　⑬生活→ビール〔種類〕
ビルダー〈助剤〉　⑮化学→せっけん〔製造〕　→洗剤〔汚れと洗浄〕
ヒルダ群　⑱宇地→小惑星〔軌道〕
ビルターネン, A　フィンランド[1895-1973]　化学者。根粒バクテリアの窒素固定の機構を解明。ノーベル賞受賞　⑮化学 523 B
ヒルツェブルフ, F　[1927]　⑯物数→位相幾何学〔代数的位相幾何学〕
ビルツネン, E　フィンランド[1922]　②美術→北欧美術〔絵画と彫刻〕
ヒルティ, C　スイス[1833-1909]　宗教的・倫理的思想家。ストア的禁欲に彩られたキリスト教信仰を説く　㊥『眠られぬ夜のために』　④哲宗 479 D図
ヒルティウス, A　[前?-43]　①文学→カエサル, G　⑰科技→製本〔歴史〕
ヒルデスハイマー, W　西ドイツ[1916]　ユダヤ系小説家。短編と放送劇でデビュー，「贋金つくり」を主題にした長編がある　①文学 513 A　③音演→ドイツ演劇〔歴史〕
ヒルデスハイム　西ドイツ　⑩世地 511 C
ヒルデブラント　⇨グレゴリウス(七世)　⇨ベーツ, N
ヒルデブラント, A　ドイツ[1847-1921]　彫刻家。新古典主義の作風を確立。美学的な著作もある　②美術 494 A
ヒルデブラント, B　ドイツ[1812-1878]　経済学者・統計学者。流通手段の変遷による経済発展段階を唱える　⑫経産 508 D　→経済発展段階説
ヒルデブラント, J　オーストリア[1668-1745]　建築家。ウィーンのシェーンブルン宮などバロックの代表者として活躍　②美術 494 A
ヒルデブランドソン, H　スウェーデン[1838-1925]　気象学者。雲を研究，その分類で知られる　⑱宇地 535 A
『**ヒルデブラントの歌**』　①文学 513 A図　→中世文学〈383 C〉　③音演→民謡〔西欧〈ドイツ民謡〉〕
ビル電話　⑬生活→電話・電報〔電話〈種類〉〕
ビルトイン・スタビライザー　⑫経産→フィスカル・ポリシー
ビルドゥング　⇨教養
ビルド鉱　⑦日地→池島　⑧日地→北海道〔産業〈鉱業〉〕　→三池炭田
ビルトダウン人　⑩世地→イギリス(連合王国)〔社会・文化〈人種〉〕
ビルドラック, C　フランス[1882-1971]　詩人・劇作家。アベイ派のユナニミスト。映画化もされた『商船テナシティ』の成功で知られる　①文学 513 B　③音演 473 B
ヒルトン, J　イギリス[1900-1954]　小説家。豊かな物語性が大衆に受け，映画化されたものが多い　①文学 513 B
ビールーニー〈アル・ビールーニー〉　イラン[973-1050*]　学者。多方面の才能で知られ，のちにガズニー朝の支配下で優遇された　⑨世史 528 B　⑱宇地→アル・ビールーニー
ピルニッツの宣言　⑨世史 528 B　→フランス革命〔立法議会〕
ビルヌーブ, P　フランス[1763-1806]　⑨世史→トラファルガーの海戦
昼寝　⑭医学→幼児〔睡眠〕
昼寝城跡　⑧日地→長尾(町)
『昼のように明るく』　①文学→ロア, C
ビルバオ　スペイン　⑩世地 511 C
ビルパーク　⑰科技→駐車場〔路外〈図立体駐車場〉〕
ビルハジア　⑩世地→タナ(湖)
ビール発酵　⑲植物→酵母菌類〔利用〕
ビルハナ　インド[*-*]　11 世紀のサンスクリット詩人・劇作家。文法・修辞学に通じた　①文学 513 C　⑨世史→チャールキヤ朝
ビルバラ　オーストラリア　⑩世地 511 C　→ポートヘッドランド
ビルハルツ住血吸虫　⑳動物→住血吸虫
ヒルビリー　③音演→カントリー・アンド・ウェスタン〔マウンテン音楽〕　→ロック・ミュージック〔ロックン・ロール〕
ビルビン酸〈焦性ぶどう酸〉　⑮化学 523 B
ヒルファーディング, R　ドイツ[1877-1941]　経済学者・政治家，蔵相。帝国主義の最近の発展に関する高水準の理論を発表　⑨世史 528 C　⑫経産 508 D図　→恐慌〔学説〕　→帝国主義〔学説〕　→マルクス経済学〔対立と発展〕
ビル風　⑱宇地 535 A図　→都市気候〔風〕
ビルフォア報告　⑨世史→イギリス自治領
ビルベルギア属　⑲植物→アナナス
ヒルベルスム　オランダ　⑩世地 511 C
ヒルベルト, D　ドイツ[1862-1943]　数学者。整数論の研究，幾何学の基礎の確立など，現代数学に大きく貢献　④哲宗 480 B　→形式主義　→数理哲学　→論理学〔囲用語〈公理主義〉〕　⑯物数 464 C図　→解析学〔19 世紀以後〕　→幾何学〔近代〈非ユークリッド幾何〉〕　→幾何学基礎論　→数学〔19 世紀〈形式主義〉〕　→ヒルベルトの問題　→不定方程式〔ヒルベルトの第 10 問題〕　→平面幾何学　→ユークリッド幾何学
ヒルベルト空間　④哲宗→空間　⑯物数→距離空間　→ヒルベルト, D
ヒルベルトの公理　⑯物数→幾何学基礎論
ヒルベルトの第 10 問題　⑯物数→不定方程式
ヒルベルトの問題　⑯物数 465 A　→ヒルベルト, D
昼間　⑧日地→三好(町)《徳島》
ビルマ(連邦社会主義共和国)　アジア　⑩世地 511 D図　⑥日史→太平洋戦争〔結果〕　⑨世史→アラウンパヤー朝　⑫経産→アジア経済事情図
ビルマ音楽　③音演→東南アジアの音楽図
ビルマ戦争　⑨世史 528 C　→アラウンパヤー朝
ビルマ独立義勇軍　⑨世史→アウン・サン
ビルマネコ　⑳動物→ネコ〔品種〈短毛種〉〕図
『ビルマの竪琴』　③音演→市川崑　→映画別
ビルマの舞踏劇　③音演→東南アジアの芸能
ビルマン, J　フランス　⑭医学→結核〔歴史〕
ヒルミミズ　⑳動物→腎虫
ビールムギ　⑲植物 546 B　→ヤバネムギ
ヒルムシロ〔蛭蓆〕　⑲植物 546 B図　→ヒルムシロ科
ヒルムシロ科　⑲植物 546 C
ビルラ, C　③音演→カンツォーネ図
ビルラー, G　インド[1894]　⑨世史→ビルラー財閥
ビルラ科学技術博物館　⑰科技 680 A
ビルラー財閥　⑨世史 528 D　→インド〔独立〕　⑫

フ
ふ

フィンセン,N デンマ[1860/1904] 医学者。光線研究所を創設,皮膚結核に対する特殊光線の治療効果を確認した。ノーベル賞受賞 ⑭医学 30 D →光線療法〔太陽灯〕
フィンチ ⑳動物 538 A図 →カエデチョウ
『フィンランディア』 ③音演→シベリウス,J
フィンランド(共和国) ヨーロッパ ⑩世地 520 A図 ⑨世史→北欧史 ⑫経産→西欧経済事情図
フィンランド(湾) ⑩世地 522 B
フィンランド語 ①文学→北欧文学
フィンランド文学 ①文学→北欧文学
フィンレイ彗星 ⑱宇地→彗星〔表周期彗星〕
フウ〔楓〕 ⑲植物 548 C図 →カエデ
風合 ⑬生活→織物〔性能〈感覚的性能〉〕
風圧 ⑱宇地 536 B表
風圧型風速計 ⑱宇地→風〔観測〕 →風圧〔風圧計〕
風圧計 ⑱宇地→風圧
『封印切』 ③音演→『冥途の飛脚』図
封印木 ⑱宇地 536 B図 ⑲植物 549 A
封印列車 ⑨世史→レーニン,V〔亡命時代〕
風炎 ⇨フェーン
馮延巳 中国[903*/960*] 南唐の詞人。弁説に長じ,書家としても有名 ①文学 519 A
『楓園集古印譜』 ②美術→印譜
風化 ⑧日地 1231 B ⑱宇地 536 C図 →土壌〔成因〕 ⑲植物→土壌〔生成〕
風解 ⑮化学 528 C →潮解
風害 ⑱宇地 537 A →風水害
風化残留鉱物 ⑱宇地→鉱物〔成因〕
風雅頌 ④哲宗→『詩経』
『風雅和歌集』 ①文学 519 A →永福門院 →京極為兼 →光厳天皇 →勅撰和歌集表 →花園天皇 ⑥日史 978 B
風乾 ⑬生活→乾物〔種類・方法〕
風眼〈膿漏眼〉 ⑭医学→目
封緘はがき ⑬生活→手紙〔要点〕
風狂 ①文学→俳句〔歴史〕 ④哲宗→遊び
馮玉祥 中国[1880/1948] 軍閥政治家。民主化の方向を志向し,クリスチャン将軍とよばれた ⑨世史 533 C
フウキンチョウ〔風琴鳥〕 ⑳動物 538 A図
『風琴と魚の町』 ①文学→林芙美子
風系 ⑧日地 1231 B
風景画 ②美術 497 D図 →バルビゾン派
風穴 ⑱宇地 537 A
風月堂 ⑬生活→菓子〔明治維新後〕
風向 ⑱宇地 537 B →風図
風向計〈風信器〉 ⑱宇地→風向
封孔処理 ⑰科技→アルマイト
馮国璋 中国[1857/1919] 軍閥政治家。河北省出身で直隷派の首領。袁世凱に仕え,のち副総統 ⑨世史 533 C →直隷派
封鎖 ⑪政社 495 C
封鎖的家内経済 ⑫経産→経済発展段階説〈161 A〉
フウサン ⇨テグスサン
風刺 ①文学 519 A
馮至 中国[1905] 詩人。叙情詩は魯迅から最高の賛辞を受ける。解放後共産党入党,詩風一転 ①文学 519 B
胡適 ⇨胡適
封字 ⑬生活→手紙〔封筒〕
プウシイ(丘) ⑩世地→ルアンプラバン
『風姿花伝』 ⇨『花伝書』
封じ込め政策 ⑨世史 533 D →巻き返し政策 →冷戦〔特徴〕 ⑥日史→冷たい戦争 ⑪政社→ケナン,G
風刺詩 ①文学→詩〔囲用語〈形式〉〕 →風刺 →ラテン文学〔黄金時代〕 →ルキリウス,G
『風刺詩』 ①文学→ホラティウス,Q →ユウェナリス,D
『風刺詩集』 ①文学→ボアロー,N
封じ手 ⑬生活→将棋〔囲用語〕
風刺物語 ①文学→文学
風車 ⑰科技 570 B図 →エンジン〔歴史〕 →機械図 →原動機 ⑨世史→灌漑〔汲水技術〕 ⑩世地→オランダ(王国)図 ⑱宇地→風〔利用〕図
風邪 ⇨かぜ
風車回転 ⑰科技→オートジャイロ
『風車小屋便り』 ①文学→ドーデ,A
風習喜劇 ③音演→イギリス演劇
諷誦文 ⑤日史→古文書〔囲様式〈神仏に奉る文書〉〕
封書 ⑬生活→手紙〔要点〕 →郵便〔郵便物〈通常郵便物〉〕
風象星座 ⑬生活→占い〔西洋占星術〕

風食 ⑧日地 1231 B →浸食〈1217 C〉 ⑱宇地→湖沼〔成因〕 →三稜石 →浸食
風食地形 ⑱宇地→地形〔小地形〕
風疹〔三日はしか〕 ⑭医学 523 D →ウイルス〔分類〕 →学校保健〔学校伝染病〕 →感染症〔表〈ウイルス性〉〕 →奇形児〔発生頻度〕 →麻疹〔類似の発疹性小児疾病〕 →予防接種表
風神 ⑱宇地→風〔民俗〕図
風塵 ⑱宇地 537 B
『風塵』 ③音演→田中千禾夫
風信器〈風向計〉 ⑱宇地→風向
風信子鉱 ⇨ジルコン
『風信帖』 ⑥日史 978 B ①文学→空海 ②美術→教王護国寺〔書〕 →空海図 ④哲宗→空海図
『風神雷神図屏風』 ⑥日史 978 B ②美術→障屏画別 →俵屋宗達 ⑤日史→建仁寺
風水害 ⑧日地 1231 B ⑱宇地 537 C
風水害保険 ⑫経産→新種保険〔種類〕
封水機構 ⑰科技→給排水設備〔排水設備〕
フウセイ ⑳動物 538 B
風成海流 ⑱宇地→ストンメル,H
風成岩 ⑱宇地→水成岩
風成層 ⑱宇地→地層〔分類〕
馮雪峰 中国[1903/1976] 批評家。文芸理論家として活動。反右派闘争で批判された ①文学 519 C
フウセンイソギンチャク ⑳動物→イソギンチャク〔生殖と発生〕
フウセンカズラ〔風船葛〕 ⑲植物 549 A図
フウセンクラゲ ⑳動物 538 B →クラゲ〔形態〕
フウセンタケ〔風船茸〕 ⑲植物 549 A →キノコ〔別担子菌類〈ハラタケ目〉〕
フウセントウワタ ⑲植物→アスクレピアス
風船爆弾 ⑰科技→気球 ⑱宇地→風〔利用〕
風船ブジー ⑭医学→早産〔人工早産〕
フウセンムシ〔風船虫〕〈ミズムシ〉 ⑳動物 538 B →ミズムシ
フウセンモ〔風船藻〕 ⑲植物 549 B
風葬 ④哲宗→死〔葬法〕 ⑧日地→徳之島図
風速 ⑱宇地 537 C →風図 →風力階級
風俗 ⑧日地→民俗〈1235 A〉
風俗歌 ⑥日史 978 B
風俗画 ②美術 498 A
風速計 ⑯物数 470 C →流速計 ⑱宇地→風速
風俗小説 ①文学 519 C →大衆文学
『風俗小説論』 ①文学→中村光夫
『風俗試論』 ⑨世史→ボルテール
『風俗図』 ⑤日史→江戸時代図
『風俗通義』 ①文学 519 D
風俗舞 ③音演 477 D図
『風俗文選』 ⇨『本朝文選』
馮乃超 ①文学→創造社
風致公園 ⑧日地→都市公園〈1228 A〉
フウチソウ〔風知草〕 ⑲植物→ウラハグサ
『風知草』 ①文学→宮本百合子
風致地区 ⑧日地 1231 B
フウチョウ〔風鳥〕 ⑳動物 538 B ⇨ゴクラクチョウ
ふうちょう座 ⑱宇地→星座表
フウチョウソウ〔風蝶草〕 ⑲植物 549 B
風通織〈二重織〉 ②美術→織物〔種類〈紋織〉〕 ⑬生活→織物〔基本組織〕
封泥 ②美術→印章〔中国〕
『瘋癲老人日記』 ①文学→谷崎潤一郎 →ヒベット,H
風土 ④哲宗 484 B ⑧日地 1231 C
『風土』 ④哲宗→和辻哲郎
封筒 ⑬生活→手紙
風胴 ⑰科技 570 C図 →飛行機〔新機種の開発〕
風道〈ダクト〉 ⑰科技→空気調和設備〔空気調和装置〈設置方法〉〕
馮道 中国[882/954] 五代の政治家。五王朝,11人の天子に高官として仕え,寛厚の長者と称される ⑨世史 533 D図
フウトウカズラ〔風藤葛〕 ⑲植物 549 B図
風土病 ⑧日地 1231 C ⑭医学 524 A図 →回帰熱 →腺熱
風媒花 ⑲植物 550 A →受粉 →花〔受粉〕 ⑱宇地→風〔生物〕
『風媒花』 ①文学→武田泰淳
風杯風速計 ⑱宇地→風〔観測〕
風篋 ⑰科技→水篋
夫婦 ⑪政社→家族 ⑬生活→結婚 →戸籍〔編成〕 →離婚

フウブラーケン ②美術→静物画
馮文炳 中国[1901/1967] 小説家。短編集と詩若干を残し逝世,解放後は教職につく ①文学 519 D
馮夢竜 中国[1574/1645] 明末の文学者。礼教批判の立場から通俗文学の編集訂補・創作に本領発揮 作『三言』 ①文学 519 D
馮夢禎 ①文学→『燕山外史』
風喩 ⇨アレゴリー
馮友蘭 中国[1894] 哲学者。新理学を提唱し,人の最高段階を天地境界とする観念哲学を説く ④哲宗 484 C
芙蓉蟹 ⑳動物→タラバガニ〔調理〕
『風葉和歌集』 ①文学 520 A ⑥日史 978 C
フウライウオ ⑳動物→カミソリウオ
フウライカジキ ⑳動物→カジキ〔生態〕図
風来山人 ⇨平賀源内
『風来六部集』 ⑰科技→平賀源内
フウラン〔風蘭〕 ⑲植物 550 A →ラン〔東洋ラン〕
風流 ④哲宗→遊び
フウリュウウオ〔風流魚〕 ⑳動物 538 B
『風流滑稽譚』 ①文学→好色文学〔西洋〕
『風流志道軒伝』 ①文学→滑稽本 →平賀源内
『風流懺法』 ①文学→高浜虚子 →俳句〔明治以降〕
『風流深川唄』 ①文学→川口松太郎
『風流仏』 ①文学→幸田露伴図 →日本文学〔近代〈明治啓蒙期〉〕
『風流ミラノ夜話』 ①文学→好色文学〔西洋〕
『風流夢譚』 ①文学→深沢七郎
風力階級 ⑱宇地 537 C →風表
風力発電 ⑰科技 571 A →発電〔機械的エネルギー利用〕 ⑱宇地→風〔風と生活〕
フウリンウメモドキ〔風鈴梅擬〕 ⑲植物 550 A →ウメモドキ図
風林火山 ⑥日史→武田信玄
フウリンソウ〔風鈴草〕 ⇨ツリガネソウ
フウリンツツジ ⑲植物→サラサドウダン
フウリンブッソウゲ〔風鈴仏桑華〕 ⑲植物→ハイビスカス図
風連(町) 北海道/上川支庁 ⑧日地 992 B
風蓮湖 北海道 ⑧日地 992 B図 →根室湾 →別海(町)
風連鍾乳洞 大分 ⑧日地 992 B図 →野津(町) ⑱宇地→カルスト地形図 →鍾乳洞図 →洞穴表
風浪 ⑱宇地→海上気象 →台風〔台風に伴う諸現象〕 →波〔おもな波〕 →波浪
『風浪』 ③音演→木下順二
風浪階級表 ⑱宇地→波〔観測〕表
フウロソウ〔風露草〕 ⇨ハクサンフウロ
フウロソウ科 ⑲植物 550 A
『不運な旅人』 ①文学→ナッシュ,T
フエ ⇨ユエ
笛 ③音演 477 D図
ブーエ,S フランス[1590/1649] ルイ十三世の宮廷主席画家。イタリアで肖像画や宗教画を描き名声を得る ②美術 498 C
プエ ③音演→笛
フェア,A ⇨ガードナー,E
フェアウェー ⑬生活→ゴルフ〔ゴルフコース〈構成〉〕
フェアウェーウッド ⑬生活→ゴルフ〔基本的技術〈アイアンショット〉〕図
フェアウェル(岬) デンマ/グリーンランド ⑩世地 522 C
フェアディール ⑨世史 534 A ⑪政社→トルーマン,H
フェアバーン,A ①文学→オーストラリア・ニュージーランド文学〔ニュージーランド〕
フェアバンクス アメリカ/アラスカ ⑩世地 522 C
フェアボール ⑬生活→野球〔囲用語〕
フェイ(兄弟) アイルランド 兄[1870/1931] 弟[1872/1947] ③音演→アイルランド演劇
フェイェシュ ハンガリー[1923] 小説家。短編作家として出発,子供の世界や労働者としての体験を簡潔に描く ①文学 520 A
フェイク ③音演→ジャズ〔囲用語〈アド・リブ〉〕
フェイジョア ⑲植物 550 B図
フェイ彗星 ⑱宇地→彗星〔表周期彗星〕
フェイディアス ギリシア[前490*/430*] 彫刻家。古典前期の崇高様式を確立。パルテノンの大彫刻は有名 ②美術 498 C →アッティカ様式 →ギリシア美術〔彫刻〕 →パルテノン ⑨世史→オリンピア
フェイホー スペイン ①文学→スペイン文学〔18世紀〕

富栄養湖 ⑧日地 1231 C ⑱宇地→湖沼〔湖沼型〕→透明度
フェイヨル フランス ⑫経産→アーウィック,L →経営学〔経営管理論〕
フェイラデサンタナ ブラジル ⑩世地 522 C
費礼文 フェイリーウェン ⇨費礼文ひれいぶん
フェオファン・グレク ロシア ②美術→イコン〔ロシア〕
フエガラス〔笛烏〕 ⑳動物 538 C
賦役 ⑫経産→荘園《ヨーロッパ》〈286 B〉 →農奴
夫役現品 ⑪政社→公用負担〔人的〕
賦役黄冊 ⑨世史 534 A →朱元璋しゅげんしょう →明〔社会・経済〕 →里甲制
賦役制度 ⑫経産→律令制
賦役令 ⑥日史 978 C
フエクリシン ⑮化学→醸造〔酒類〈清酒〉〕
フエゴ(島) チリ・アルゼンチン ⑩世地 522 C図 →アルゼンチン(共和国)〔自然〕 →ウスワイア
フエゴ(山) グアテマラ ⑩世地 522 C
フェザー ⑬生活→ボートレース〔囲用語〕
フェザーキー ⑰科技→キー〔図種類〕
フェザー級 ⑬生活→ボクシング〔表階級〕 →レスリング〔表階級〕
フェザリングプロペラ ⑰科技→プロペラ〔飛行機〕
フェザン(地方) ⑩世地→リビア〔自然〕
フェジェンコ(氷河) ⑩世地→コミュニズム(峰)
『笛師のむれ』 ①文学→サンド,G
フェーシャル・マスク〈パック〉 ⑬生活→美容〔肌〈美顔術〉〕
フェージン,K ソ連〔1892–1977〕 小説家。20 世紀ロシアの現代史を雄大なスケールで描く ①文学 520 B
フェージング ⑰科技→ラジオ〔電波の実用化〕
フェズ モロッコ ⑩世地 522 D →モロッコ(王国)図
フェズ〈トルコ帽〉 ⑬生活→民族衣装〔民族衣装圏〕
フェースオフ ⑬生活→アイスホッケー〔競技方法〕
フェスカ,M ドイツ〔1846–1917〕 農政学者。明治政府の招きで来日,日本の土性調査,農学史上に大きく貢献 ⑥日史 978 C ⑤日史→御雇外人教師表
フェスタ,C イタリア〔1490?–1545〕 ③音演→音楽〔西洋音楽〈ルネサンス音楽〉〕
フェストデイク,S オランダ〔1898–1971〕 小説家・詩人。船医としてインドネシアに行く。詩集もある ①文学 520 B
フエダイ〔笛鯛〕 ⑳動物 538 C図
フェッセンデン,R ⑰科技→エレクトロ　クス
フェッテ ③音演→バレエ〔囲用語〕 〈47C〉
プエッファー,W ドイツ〔1845–1920〕 植物学者。細胞の浸透作用を定量的に研究し浸透圧理論を確立 ⑲植物 550 B図 →浸透圧
フェッラーリ,G イタリア〔1812–1876〕 ④哲宗→イタリア哲学〔近代〕
フェデー,J フランス〔1887–1948〕 映画監督。三部作『外人部隊』『ミモザ館』『女だけの都』で知られる ③音演 478 D図 →映画〔トーキー〈第 4 期〉〕
フェーデ ⑨世史 534 B →刑罰〔西洋〕
フェティシズム〈呪物崇拝〉 ④哲宗 484 C →宗教〔起源〕 →ブーズー教 ①文学→文学〔囲用語〕 ⑭医学→性欲〔対象〕
フェデラーティ党 ⑨世史→リソルジメント〔統一の気運〕
フェデラリスト ⑨世史 534 B図 →アメリカ(合衆国)〔合衆国の発足〕 ⑪政社→政党(各国)〔アメリカ〈歴史〉〕
フェデラル・スタイル〈連邦様式〉 ②美術→アメリカ美術〈9 D〉
フェデリーコ(二世) ドイツ〔1194–1250〕 皇帝兼シチリア王。ナポリ大学を創立,諸学の興隆を果たした啓蒙専制君主 ①文学 520 B →イタリア文学
フェート,A ロシア〔1820–1892〕 純粋芸術の立場に立つ詩人。歌曲としてうたわれる作品も多い ①文学 520 C
フェードー,G フランス〔1862–1921〕 風俗喜劇作家。奇想天外な状況組み立て,誤解・行き違いの滑稽さを描き一世を風靡 ①文学 520 C ③音演→フランス演劇〔現代劇〕
フェード現象 ⑰科技→自動車〔構造〈ドラムブレーキ〉〕
フェドートフ,P ロシア〔1815–1852〕 画家。ロシア美術史上の批判的リアリズムの先駆者 ②美術 498 D →ロシア美術〔19 世紀〕
フェード・ボール ⑬生活→ゴルフ〔基本的技術〈球質〉〕図
『フェードル』 ①文学→ラシーヌ,J図 ③音演→ラシーヌ,J
フェドレンコ(氷河) ⑩世地→パミール
フェートン号事件 ⑥日史 978 D ⑤日史→英学
フェナコドン ⑱宇地→恐竜〔進化〈獣形爬虫類〉〕
フェナセチン ⑮化学 528 C →アミド〔酸アミド〕 ⑭医学→熱〔解熱剤〈アニリン剤〉〕
フェナゾン ⇨アンチピリン
プエナベンツラ コロンビア ⑩世地 522 D
フェナントレン ⑮化学→アントラセン油
フェナントレンキノン ⑲植物→植物色素
フェナントレン系アルカロイド ⑮化学→アルカロイド〔種類〕図
フェナンビュール座 ③音演→パントマイム図
フェニキア ⑨世史 534 C図 →古代オリエント文明〔統一〕 ⑩世地→カルタゴ《チュニジア》 →レバノン(共和国)〔略史〕 ⑪政社→植民地〔起源〕 ⑱宇地→探検〔古代〕
フェニキア美術 ②美術→古代地中海の美術〔青銅器時代〕
フェニキア文字 ⑨世史→文字〔オリエントからの伝播〕
フェニックス アメリカ/アリゾナ ⑩世地 522 D
フェニックス(諸島) キリバス/太平洋 ⑩世地 522 D
フェニックス ⑲植物 550 C図 →ヤシ類〔形態〕図
フェニックス公園 ⑩世地→ダブリン
フェニックス自然動物園 ⑳動物→動物園〔表日本〕
フェニルアセトアミド ⇨アセトアニリド
フェニルアセトアルデヒド ⑮化学→香料〔表合成香料〕
フェニルアミノプロパン ⑭医学→覚醒剤
フェニルアミン ⇨アニリン
フェニルアラニン ⑮化学 528 C →アミノ酸〔表必須アミノ酸〕 ⑬生活→栄養〔たんぱく質〕 ⑳動物→たんぱく質〔表アミノ酸〕
フェニルエチレン ⇨スチレン
フェニルエーテル ⑮化学→エーテル表
フェニル基 ⑮化学→基表
フェニルケトン尿症 ⑭医学→遺伝〔表遺伝性の病気〕 →奇形児〔種類〈先天性代謝異常症〉〕 →精神薄弱〈354 B〉 ⑳動物→遺伝〔遺伝子と酵素〕
フェニルチオ尿素 ⑬生活→味〔種類〈苦味〉〕
フェニルヒドラジン ⑮化学→フィッシャー,E
フェニルメチルアミノプロパン ⑭医学→覚醒剤
フェニレン基 ⑮化学→基表
フェニレンジアミン ⑮化学→アミン〔表芳香族アミン〕 →エポキシ樹脂
フェヌロン,F フランス〔1651–1715〕 宗教家・小説家。王太孫の師傅をつとめる。静寂主義に心酔し流謫される ㊟『テレマックの冒険』 ①文学 520 C →古典主義
フェネストラリア ⑲植物→メセンブリアンテマ類
フェネチジン ⑮化学→アミン〔表芳香族アミン〕
フェネチルアミン系アルカロイド ⑮化学→アルカロイド〔図基本骨格〕
フェネック ⑳動物→キツネ〔近縁種〕
フェネトール ⑮化学→エーテル表
フェノキシ樹脂 ⑮化学→ポリエーテル樹脂
フェノクロール ⑮化学→PCB
南の島踊ふぇ ③音演→棒踊
ブエノスアイレス アルゼンチン ⑩世地 523 A図 →アルゼンチン(共和国)図
ブエノスアイレス植物園 ⑲植物→植物園表
ブエノスアイレス動物園 ⑳動物→動物園〔表世界〕
フェノスカンジア楯状地 ⑩世地→ノルウェー(王国)〔自然〕 →フィンランド(共和国)〔自然〕
フェノッリオ,B イタリア〔1922–1963〕 小説家。ファシズムに抵抗。暴力に支配される人間の条件を地方文学・自伝小説風に描く ①文学 520 D
フェノメノン ④哲宗→カント,I〔囲基本概念〕
フェノール ⑮化学 529 A図表 →アルコール →エステル →クレオソート →水酸化物 →フェノール樹脂 ⑫経産→公害〔産業公害〕
フェノールエーテル〈芳香族エーテル〉 ⑮化学→エーテル
フェノール樹脂 ⑮化学 530 A図表 ⑫経産→プラスチック製造業
フェノール樹脂塗料 ⑮化学→塗料〔分類〈油性塗料〉〕
フェノールフタレイン ⑮化学 531 A →指示薬表 ⑭医学→下剤
フェノール油 ⑮化学→中油
フェノール誘導体系ホルモン ⑭医学→ホルモン〔表分類と作用〕
フェノールレッド ⑮化学→指示薬表
フェノロサ,E アメリカ〔1853–1908〕 東洋美術史家。明治 11 年来日。日本美術を研究,伝統的な日本画の復興,東京美術学校創設に尽力 ②美術 498 D →岡倉天心 →明治の美術 ⑥日史 978 D図 ④哲宗→法隆寺〔仏像と宝物〕 ⑤日史→岡倉天心 →御雇外人教師表
フェビアン協会 ⑨世史 534 D →ウェッブ(夫妻) →ショー,G.B ⑪政社→ウェッブ(夫妻) →フェビアン主義 ⑫経産→福祉国家
フェビアン主義 ⑪政社 495 D ⑫経産 511 D→イギリス経済事情〔労働〕 ⑨世史→イギリス(史)〔英帝国から英連邦へ〈帝国主義〉〕 →フェビアン協会
フェヒナー,G ドイツ〔1801–1887〕 物理学者・哲学者。刺激と感覚の強度を量的に研究した実験心理学の祖 ④哲宗 485 A →心理学〔囲用語〈精神物理学〉〕 →美学 ⑭医学 106 C →感覚 ②美術→美学
フェヒナーの法則 ④哲宗→心理学〔囲用語〈精神物理学〉〕 ⑭医学→感覚〔一般的性質〈ウェーバー=フェヒナーの法則〉〕 →フェヒナー,G〈106 C〉 ⑱宇地→等級
プエフエ ⑱宇地→火山〔表活火山〕
笛吹 ⑦日地→小値賀(町)おぢか
笛吹川 中部地方 ⑧日地 992 B
『笛吹川』 ①文学→深沢七郎
笛吹自然道 ⑧日地→遠野(市)とおの
フエフキダイ〔笛吹鯛〕〈クチビ〉 ⑳動物 539 A図
プエブラ メキシコ ⑩世地 523 C図
フェーブル ⑧日地→環境論〈1205 A〉 →人文地理学じんぶん〈1218 A〉
プエブロ アメリカ/コロラド ⑩世地 523 D
プエブロインディアン遺跡 ⑩世地→アメリカ(合衆国)〔図文化〕
プエブロ号事件 ⑪政社→諜報活動
フェーベ ⑱宇地→衛星〔表〈土星〉〕
フェーベ ⑳動物→タイランチョウ
フェミナ賞 ①文学→文学賞
フェミニズム ⑨世史→婦人参政権運動
プエムファート,F ドイツ ①文学→『アクチオーン』
フエヤッコダイ〔笛奴鯛〕 ⑳動物 539 A →チョウチョウウオ図
フェライト ⑮化学 531 A図表 →鋼こう →鉄〔化合物〕 ⑯物数→強磁性体
フェライト磁器 ⑰科技→磁性材料
フェライト磁石 ⑰科技→コバルト〔用途〕
フェライトステンレス鋼 ⑮化学→不銹鋼 ⑰科技→クロム鋼 →ステンレス鋼
フェララ イタリア ⑩世地 523 D ⑨世史→エステ家
フェラリ,L 〔1522–1565〕 ⑯物数→数学〔中世から 16 世紀〕
フェラーリ ⑬生活→自動車レース〔グランプリ・レーサー〕 ⑰科技→スポーツカー
フェラリの公式 ⑯物数→代数方程式〔複素係数〕
フェランティ,S 〔1864–1930〕 ⑯物数→ケルビン
フェリ,C フランス ⑰科技→空気電池
フェリー,E イタリア〔1856–1929〕 刑法学者。犯罪を人類学的・地理的・社会的の三原因の複合としてとらえる ⑪政社 496 A →刑事政策〔歴史〕
フェリー,J フランス〔1832–1893〕 政治家,首相。インドシナの植民地化に熱中し「トンキン人」とあだ名された ⑨世史 534 D
フェリー ⇨カーフェリー
フェリア,K イギリス〔1912–1953〕 アルト歌手。『オルフェオ』の演技者として,マーラー歌手として優れた ③音演 479 B
フェリシアン化カリウム〈赤血塩〉 ⑮化学 533 A →鉄〔化合物〕
フェリ磁性体 ⑯物数→強磁性体 →磁性体
フェリスムス ②美術→写実主義
フェリチン ⑭医学→血液〔赤血球〈寿命〉〕
『フェリーツァ』 ①文学→デルジャービン,G
フェリーニ,F イタリア〔1920–〕 映画監督。デカダンのローマを好んでテーマとし,『甘い生活』でベネチア映画祭金獅子賞を受賞 ③音演 479 C図 →映画〔トーキー〈第 6 期〉〕
フェリブリージュ協会 ①文学→ミストラル,F ⑩世地→アビニョン
『フェリブリージュ宝典』 ①文学→ミストラル,F
フェリペ(二世) スペイン〔1527–1598〕 ポルトガル王をも兼ねたスペイン最盛期の王。カール五世の子。天正遣欧使節と面接 ⑨世史 535 A図 →エスコリアル宮殿 →エリザベス(一世) →スペイン・ポ

フォコメリア ⇨あざらし肢症
『フォーサイト家物語』 ①文学→ゴールズワージー,J
フォーシャール,P フランス[1712-1786] ⑭医学→義歯
フォーシャン〈仏山〉 中国/広東省 ⑩世地525 A図
フォション,H フランス[1881-1943] 美術史家。アメリカに渡り考古学と美術を講じた。中世美術の分析的研究がある ②美術499 C →様式
フォシルブラフ基地 ⑩世地→アレクサンダー(島)
フォス,J ドイツ[1751-1826] 詩人。ゲッティンゲン詩派の創立者の一人。ホメロスの訳業で著名 ①文学522 B
フォース(湾) ⑩世地525 A
フォース橋 ⑩世地→エジンバラ〔囲観光地〕 ⑰科技→橋〔歴史〕
フォスコロ,U イタリア[1778-1827] 詩人・文学者。独立と自由のために剣と筆で戦ったナポレオン時代同国最大の知識人 ①文学522 B
フォスター,S アメリカ[1826-1864] 作詞・作曲家。アメリカ民謡の父とよばれる ㊍『オールド・ブラック・ジョー』 ③音演481 A図 →アメリカ音楽〈12 D〉
フォースター,E イギリス[1879-1970] 小説家・評論家。豊かな教養と自由主義的な主張で知られる ㊍『インドへの道』 ①文学522 B図 →イギリス文学〔20世紀〕
『フォースタス博士』 ①文学→イギリス文学〔ルネサンス〕 →マーロー,C
フォースターホエア ⑲植物→ホエア図
フォーセット,M イギリス[1847-1929] ⑨世史→婦人参政権運動〔イギリス〕
『フォーチュン』 ⑪政社→世論調査〔歴史〕 ⑫経産→タイム
フォッカー・サザン・クロス ⑰科技→飛行機図別
フォックス,C イギリス[1749-1806] 政治家,外相。トーリ党から下院に入り,ホイッグ党に接近。小ピットの政敵 ⑨世史536 C
フォックス,C ⑱宇地→水〔地球上の総量〕
フォックス,G イギリス[1624-1691] 宗教家。クェーカー派の創始者。聖書を手に放浪生活を続ける ①文学522 C ⑨世史536 B →クェーカー教 ④哲宗→クェーカー
フォックス,J アメリカ ⑬生活→野球〔プロ野球〈アメリカ〉〕図
フォックス(海峡) ⑩世地→ハドソン(湾)
フォックス(氷河) ⑩世地→サザーンアルプス →ニュージーランド〔自然〕
フォックス(諸島) ⑩世地→アリューシャン(列島) →ウナラスカ(島)
フォックステリア ⑳動物→イヌ〔犬種〈テリア〉〕図
フォックストロット ⑬生活→社交ダンス〔競技〕
フォックス・ハンティング ⑳動物→キツネ図
フォックス・フェース ⑲植物550 C図
フォッサ ⑳動物→ジャコウネコ
フォッサ・マグナ ⑧日地1231 C →中部地方〔自然〈地勢〉〕 →長野(県)〔自然〈地勢〉〕 →構造線〈1210 C〉 →西南日本〈1220 A〉 ⑱宇地538 C →糸魚川-静岡構造線 →ナウマン,E ⑦日地→伊豆
フォッジア イタリア ⑩世地525 B
フォッシュ,F フランス[1851-1929] 軍人。第一次大戦で新設の連合軍最高司令官に就任,フランス陸軍栄光の将星 ⑨世史536 C図
フォーディズム ⑪政社→科学的管理法
フォーティ・ナイナーズ ⑱宇地→金〔囲ゴールドラッシュ〕
フォード,F イギリス[1873-1939] 小説家・評論家。雑誌を創刊編集,新しい文学運動を精力的に紹介 ①文学522 D
フォード,G アメリカ[1913] 第38代大統領。ウォーターゲート事件によるニクソン失脚をうけて昇格。現職米大統領として初来日 ⑪政社496 B →共和党 →政治制度〔アメリカ〈表大統領〉〕
フォード,H アメリカ[1863-1947] 同国自動車工業の創立者。コンベヤー・システムによる大量生産に成功 ⑨世史536 D ⑫経産512 A図 →フォード ⑰科技572 A図 →オートメーション〔メカニカル・オートメーション〕 →自動車〔歴史〈ロールス・ロイスとフォードT型〉〕 ⑮化学→石油〔利用の歴史〈現代〉〕
フォード,J イギリス[1586?-1640?] 劇作家。「沈鬱なフォード」といわれ『あわれ彼女は娼婦』『傷心』で知られる ①文学522 D ③音演481 C →イギリス演劇〔エリザベス朝〕
フォード,J アメリカ[1895-1973] 映画監督。西部劇をつくり続け,アカデミー監督賞を4回受賞 ㊍『駅馬車』 ③音演481 D図 →映画〔トーキー〈第4期〉〕
フォード ⑫経産512 B →合理化 →自動車工業〔寡占体制〕 →流れ作業 →フォード,H
フォートウィリアム ⑩世地→カルカッタ
フォートウィリアム ⑩世地→サンダーベイ
フォートウェーン アメリカ/インディアナ ⑩世地525 B
フォト・エッセー ⑰科技→写真〔囲用語〕
フォトキナ ⑰科技→写真〔囲用語〕
フォトクロミック・マイクロ・イメージ〈PCMI〉 ⑰科技→マイクロ写真
フォトサントニン ⑮化学→サントニン
『フォトジェニー』 ③音演→映画理論〔始まり〕
フォトジェニック ⑰科技→写真〔囲用語〕
フォード・システム ⑫経産→自動車工業 →流れ作業 ⑰科技→オートメーション〔メカニカル・オートメーション〕
フォトストーリー ⑰科技→写真〔囲用語〕
フォードT型 ⑰科技→自動車〔歴史〕別
フォトモンタージュ ⑰科技→写真〔囲用語〕
フォートユーコン アメリカ/アラスカ ⑩世地525 B
フォート・ヨーク ⑩世地→トロント
フォートラン〔FORTRAN〕 ⑯物数472 A表 →計算機〔囲計算機言語〕 ⑫経産→電子計算機〔囲用語〕 ⑰科技→電子計算機〔囲用語〕図
フォートリエ,J フランス[1898-1964] 画家。対独レジスタンスに加わりながら制作。アンフォルメルの救世主とされる ②美術499 C →アンフォルメル
フォトレジストフィルム ⑰科技→録画〔セレクタビジョン〕
フォートワース アメリカ/テキサス ⑩世地525 B
フォトン ⇨光子
フォトン ⑰科技→写真植字〔電算写真植字機〕
許南麒 ⇨許南麒
ブオナロッティ,F イタリア[1761-1837] 革命家。バブーフの「陰謀」に加わり流刑。国際的革命運動の元老的存在 ⑨世史536 D
ブオナロッティ美術館 ②美術686 D
フォノシート ⑰科技→録音〔レコードの大量生産〕
フォノライト ⑱宇地→岩石〔細粒火成岩〕 →粗面岩
フォノン〈音響量子〉 ⑯物数472 C →超伝導〔磁石を浮かせる力〕図
フォビア〈恐怖症〉 ⑭医学→ノイローゼ〔類型〕
フォービスム〈野獣派〉 ②美術499 D図 →フランス美術〔印象主義以後〕 →マチス,H
フォーブス,E ⑩世地→大西洋〔探検・調査〕
フォーブルドン ③音演→ホモフォニー
フォーボー(海峡) ⑩世地525 B
フォボス ⑱宇地538 C →衛星〔表〈火星〉〕 →火星〔衛星〕
フォボスカス ⑳動物→ワニ
『フォマ・カンパネラ』 ③音演→ルナチャルスキー,A
フォーマルドレス ⑬生活→ドレス〔分類〕
フォーミュラカー ⑰科技572 B →競走用自動車〔歴史〕図
フォーミュラ・レース ⑬生活→自動車レース〔種類〕 ⑰科技→競走用自動車〔歴史〕
フォーミュラ1〈F1〉 ⑬生活→自動車レース〔種類〈フォーミュラ・レース〉〕表 ⑰科技→競走用自動車〔歴史〕図
フォーム印刷 ⑰科技→印刷〔特殊印刷〕
フォームマットレス ⑬生活→寝具〔マットレス〕
フォーメーションダンス ⑬生活→社交ダンス〔競技ダンス〕
フォヤアイト ⑱宇地→深成岩
フォラカー(山) ⑩世地→アラスカ(山脈)
フォーラム ⑪政社→討議〔多数〕
フォラン,J フランス[1903-1971] 詩人。弁護士・裁判官をつとめるかたわら詩作 ①文学522 D
フォリエイション ⑱宇地→氷河〔流動〕
フォリドフォーラス ⑳動物→魚類〔進化〈真骨類〉〕
フォリロン国立公園 ⑩世地→カナダ〔表国立公園〕
フォール,E フランス[1873-1937] 美術史家・評論家。小説や詩も書いた ②美術500 B
フォール,F フランス[1841-1899] 政治家,第三共和政の第6代大統領。在任中の最大の争点がドレフュス問題 ⑨世史537 A
フォール,P フランス[1872-1960] 詩人・劇作家。17歳で象徴詩劇運動をおこし,騎士物語の詩劇を書く ①文学522 D ③音演→フランス演劇〔写実劇〕
フォール ⑬生活→レスリング〔囲用語〕
フォルクスワーゲン ⑫経産512 C →西欧経済事情図 →ドイツ経済事情図 ⑰科技→自動車〔歴史〈ロールス・ロイスとフォードT型〉〕図
フォルクマン拘縮 ⑭医学→骨折〔治療〕
フォルサム文化 ⑨世史→旧石器時代〔生活と文化〕
フォルシ,O ソ連[1873-1961] 女流小説家。歴史物を得意とし,またシンボリズムの影響濃い作品もある ①文学523 A
フォールシュ,F ⑬生活→万年筆
フォールズ,H ⑭医学→指紋〔個人識別〕
フォールスタッフ ③音演→滑稽 →シェークスピア,W図
フォルスト,W [1903-1980] ③音演→映画〔トーキー〈第4期〉〕
フォルスラコス ⑳動物→鳥類〔進化〈化石鳥〉〕
フォルタレーザ ブラジル ⑩世地525 B
フォルタン気圧計 ⑯物数→気圧計〔水銀気圧計〕図
フォルタンツ ③音演→舞曲
フォルツハイム 西ドイツ ⑩世地525 C
フォルテ,D ドイツ[1935] ③音演→ドイツ演劇〔歴史〕
フォルテ ③音演→音楽用語〈629 B〉
フォルティーニ,F イタリア[1917] 批評家・詩人。パルチザンとして内戦を戦う。小説や訳詩集もある ①文学523 A
フォルテ・ピアノ ③音演→音楽用語〈629 B〉
フォルトゥナトゥス,V [540?-600?] イタリア出身の詩人・聖職者。フランスへ渡り司教。美しい聖歌をつくった ①文学523 A
フォールドフランス ⑩世地→小アンチル(諸島)図 →マルティニーク(島)
フォルハルト,J ⑮化学→分析〔歴史〕
フォルフ ⑩世地→ミスティ(山)
フォルマリズム ⇨ロシア・フォルマリズム
フォルマント ⑭医学→声〔音声の音響分析〕
『フォルミオ』 ①文学→テレンティウス,P
フォルム ②美術→広場〔歴史〈古代の都市広場〉〕 ⑨世史→アゴラ →市〔ヨーロッパ〕 ⑰科技→広場
フォルメンテラ(島) スペイン ⑩世地525 C →バレアレス(諸島)
フォルモサ アルゼンチン ⑩世地525 C
フォルモール滴定法 ⑮化学→タンパク質〔加水分解〕
フォルラナ〈フルラーナ〉 ③音演→舞曲
フォールラミー ⇨エンジャメナ
フォルリ,M ②美術→ウンブリア派
フォルリ イタリア ⑩世地525 C
フォールリバー アメリカ/マサチューセッツ ⑩世地525 C
フォーレ,G フランス[1845-1924] 作曲家・オルガニスト。100曲にのぼる歌曲は言葉と音楽の完全な一致をめざしている ③音演482 A図
フォーレウス,R スウェーデン[1888] ⑭医学→赤沈
フォレスター,J ⑫経産→システム論
フォレスト,N [1821-1877] ⑨世史→クー・クラックス・クラン
フォーレル,F スイス[1841-1912] 湖沼学者。湖沼学を初めて体系化,氷河研究にも優れる ⑱宇地539 A →湖沼〔物理的性質〈水色〉〕 →水色 →セイシュ
フォーレル水色標準液 ⑱宇地→湖沼〔物理的性質〈水色〉〕 →水色 →フォーレル,F
フォロ・ロマーノ ⑩世地→イタリア(共和国)図 →ローマ(市)〔囲観光地〈史跡〉〕
フォン ⑬生活→ソース〔料理用ソース〕
馮文炳 ⇨馮文炳
フォン・ウリクト ④哲宗→メタ倫理〔経緯と問題〕
フォン・キルヒマン ⑫経産→市場論争
馮雪峰 ⇨馮雪峰
フォンセカ,M ブラジル[1827-1892] ⑨世史→コンスタン,B
フォンセカ(湾) ⑩世地→ホンジュラス(共和国)〔自然〕
フォンセン石 ⑱宇地→ルドウィヒ石
フォン族 ⑩世地→ダオメー(共和国)〔社会・文化〕
フォンタナ,D イタリア[1543-1607] ルネサンスの建築家。盛期バロックの先駆者で,ローマ市街の都市計画に参画 ②美術500 B
フォンタナ,L イタリア[1899-1968] 彫刻家。ミラノで空間派を結成,空間主義運動を展開 ②美術500 C →イタリア美術図 →サン・ピエトロ大聖堂
フォンタナ,O ②美術→グロテスク
フォンターネ,T ドイツ[1819-1898] 小説家。当代の首都に取材する作品はベルリン小説として一括。劇評もある ①文学523 A
フォンタネージ,A イタリア[1818-1882] 画家。バルビゾン派の影響を受ける。明治9年来日し,初めて洋画の正式な基礎的技術を伝えた ②美術500 D →

福島潟 新潟/豊栄市 ⑧日地 1010 D →豊浦(町)《新潟》 →新潟平野
福島交通 ⑧日地→福島(県)〔交通〕
福島事件 ⑥日史 980 D →府県会 →三島通庸 →明治時代図 ⑤日史→安積疎水 →加波山事件 →河野広中 →自由党《1881 年》 →自由民権運動
福島関所跡 ⑦日地→木曾谷
福島灯籠人形 ⑧日地→八女(市)図
福島盆地 福島 ⑧日地 1011 A →福島(市)〔自然〕
福島正則 [1562-1624] 安土桃山・江戸初期の大名。豊臣秀吉に仕え賤ヶ岳七本槍で名をなす ⑥日史 981 A →広島藩 ⑤日史→大坂の陣〔冬の陣〕 ⑧日地→広島(市)〔歴史〕
福島柳圃 ②美術→明治の美術〔文人画〕
福島臨海鉄道 ⑧日地→福島(県)〔交通〕
伏射 ⑬生活→射撃競技〔ライフル射撃〕図
輻射 ⇨放射
複写機 ⑰科技 572 B図 ⑫経産→印刷業〔日本〕
副尺視力 ⑭医学→視力
複写紙 ⑰科技→感圧複写紙
輻射暖房 ⑰科技→パネルヒーティング
複写用マイクロフィルム ⑰科技→フィルム〔特殊フィルム〕
復讐 ⇨敵討
福州 ⇨フーチョウ
福州キンカン ⑲植物→キンカン
『復讐月氷奇縁』 ①文学→曲亭馬琴
『復讐者の悲劇』 ①文学→ターナー, C
『復讐するは我にあり』 ①文学→直木賞表
『復讐はわがもの』 ①文学→トールベルク, F
フクジュソウ〔福寿草〕 ⑲植物 551 C図 →薬用植物表 ⑬生活→正月〔玄関・床の間の飾りつけ〕
複床 ⑰科技→木構造〔各部構造〈床組〉〕
福生院 ④哲宗→法隆寺〔囲子院〕
複勝式 ⑬生活→競馬〔馬券〕 →競輪〔車券〕
服色制度 ⑬生活→服装〔日本〈中国模倣〉〕
ふぐ汁 ⑳動物→フグ〔調理〕
福祉六法 ⑫経産→社会福祉〔社会福祉事業法〕
匐進 ⑰科技→軌道〔レール締結装置〕
副腎〈腎上体〉 ⑭医学 525 A図 →分泌〔内分泌腺〕 ⑳動物→ホルモン表
副腎アンドロゲン ⑮化学→ステロイド
副腎機能不全 ⑭医学→副腎
副腎クリーゼ ⑭医学→副腎〔副腎機能不全〕
副神経 ⑭医学→末梢神経系
副腎髄質 ⑭医学→アドレナリン →副腎図
副腎髄質ホルモン ⑭医学→アドレナリン →ホルモン
福神漬け ⑬生活→漬け物〔しょうゆ漬け〕
副腎皮質 ⑭医学→副腎図
副腎皮質刺激ホルモン〈ACTH〉 ⑭医学→ホルモン〔脳下垂体前葉ホルモン〕 ⑮化学→アミノ酸〔利用〕 →ステロイド〔副腎皮質ホルモン〕 ⑳動物→ホルモン表
副腎皮質ホルモン ⑭医学→ケンドル, E〈28 D〉 →肝臓〔ホルモン代謝〕 →ホルモン ⑮化学→ケンドル, E →ステロイド →ホルモン〔分類〈副腎ホルモン〉〕
匐進防止杭 ⑰科技→軌道〔レール締結装置〕
腹水 ⑭医学→胃癌〔治療〕 →肝硬変症〔門脈性肝硬変症〕 →肝臓〔肝臓疾患〕 →腎臓〔疾患〈ネフローゼ症候群〉〕 →腹 →リンパ〔リンパ系〕
副膵管〈サントリーニ管〉 ⑭医学→膵臓〔膵管〕
復水器〈コンデンサー〉 ⑰科技 573 B →エンジン〔歴史〈50 B〉〕
福助頭 ⑭医学→頭〔水頭症〕
ブクステフーデ, D [1637-1707] 作曲家・オルガニスト。中期バロックの一頂点をなし,「夕べの音楽」の開催で知られる ③音演 485 D →オルガン〔オルガン音楽〕
福住 ⑧日地→多紀
福住 ⑧日地→天理(市)
複製印刷 ⑰科技→写真製版
複成火山 ⇨複式火山
『復性書』 ④哲宗→李翺
複製版 ⑰科技→印刷〔凸版印刷〈活版印刷〉〕
副成分鉱物 ⑱宇地→造岩鉱物
副生芒硝 ⑮化学→芒硝
副生硫安 ⑮化学→肥料〔製造〈回収硫安の製造〉〕 →硫安
複線形代数 ⑯物数→線形代数
副前立腺 ⑭医学→前立腺〔前立腺肥大症〕
複素インピーダンス ⑯物数→アドミタンス →インピーダンス
服装 ⑬生活 526 B図 →衣服
複葬 ④哲宗→死〔葬法〕
輻輳〈収斂〉 ⑭医学→目〔機能〕
複層ガラス ⑮化学→板ガラス
複総状花序 ⑲植物→花序図
複相植物 ⑲植物→生活史
複相世代 ⑲植物 552 A →世代交代
副葬品 ⑥日史 981 B ⑤日史→古墳
複素環式化合物 ⑮化学 535 A図表 →異性体〔構造異性〈環異性と官能基異性〉〕 →環式化合物
複素関数 ⑯物数→関数〔数値関数〕
複族国家 ⑩世地→アメリカ(合衆国)〔社会・文化〈人種・民族・言語〉〕
腹足類 ⑳動物 541 C →貝類〔分類〕 →巻き貝
複素構造 ⑯物数→多様体〔座標変換と構造〕
複素三角関数 ⑯物数→三角関数
複素指数関数 ⑯物数→指数関数
複素数 ⑯物数 474 A →絶対値 →体 →超越数
複素数体 ⑯物数→複素数
複素数値関数 ⑯物数→解析関数 →極限
複素数列 ⑯物数→極限
複素積分 ⑯物数→解析関数〔実変数の複素数値関数〕
複素対数関数 ⑯物数→対数
複素平面 ⑯物数→複素数
複素べき級数 ⑯物数→べき級数〔収束半径〕
複体 ⑯物数→位相幾何学〔組合せ位相幾何学〕 →多面体 →単体・複体
福田遺跡 ⑥日史 981 B
福田行誡 [1806-1888] ④哲宗→浄土宗囲
福田繁雄 ②美術→グラフィック・デザイン
福田宗禎 [1791-1840] ⑤日史→上野国囲人国記〕
福田大将暗殺未遂事件 ⑤日史→アナーキズム運動
福田赳夫 ⑤日史→自由民主党 →昭和電工事件 →内閣表
福田恆存 [1912] 劇作家・評論家・演出家。現代演劇協会を設立。シェークスピア全集の現代語訳で知られる ①文学 524 A ③音演 485 D
福田徳三 [1874-1930] 明治から昭和初期の経済学者。古典派経済学を導入,河上肇と資本論論争を行う ⑥日史 981 B →黎明会 ⑫経産 514 C図 →社会経済史学〈262 C〉 ⑪政社→大正デモクラシー
福田英子〈景山英子〉 [1865-1927] 婦人運動の先駆者。女子の実業教育に努力。雑誌『世界婦人』を創刊 ⑪政社 497 B図 ⑤日史→景山英子 ⑥日史→婦人参政権運動
福田平八郎 [1892-1974] ②美術→昭和の美術〔官展と在野団体の対立〕
福田正夫 [1893-1952] 詩人。民衆詩社を結成。詩話会の中心となる ①文学 524 B
フクダメ ⇨トコブシ
福田善之 [1931] 劇作家。戦後の青春の挫折を鋭く描き,同世代の共感を集める ①文学 524 B
福田理軒 [1815-1889] 幕末の数学者。順天求合社と称する塾を開き,明治の数学教育に寄与 ⑯物数 474 B
フク団 ⇨フクバラハップ
福地(村) 青森 ⑧日地 1011 A
福地桜痴〈福地源一郎〉 [1841-1906] ジャーナリスト・作家。政府系記者として活動。歌舞伎振興にも努める ①文学 524 B ③音演 486 A →活歴 →歌舞伎〔歴史〈近代現代〉〕 →『素袍落』 ⑪政社 497 B図 ⑤日史→活歴 →歌舞伎座 →江湖新聞〔1〕 ⑥日史→福地源一郎 →立憲帝政党
福地源一郎 ⑥日史 981 C図 ⇨福地桜痴
福智山 ⑧日地→直方(市)
福知山(市) 京都 ⑧日地 1011 A
福知山音頭 ③音演→民謡〔表〈京都〉〕
福知山城跡 ⑧日地→福知山(市)
福知山線 ⑦日地→山陰本線 ⑧日地→東海道本線
福知山藩 ⑥日史→丹波国
福知山盆地 京都 ⑧日地 1011 B
フグ中毒 ⑭医学→食中毒 ⑳動物→フグ〔生態〕
復調 ⑯物数→検波
復調 ③音演→調性〔多調性〕
復調回路 ⑰科技→変調回路
ふぐちょうちん ⑳動物→フグ図
『服鳥の賦』 ①文学→賈誼
腹直筋 ⑭医学→筋肉〔骨格筋〈腹部〉〕図
北鎮 ⑩世地→ウンサン
腹痛 ⑭医学 526 A表 →胃〔胃病〈症状〉〕
福東輪中 ⑧日地→輪之内(町)
『不屈の人々』 ①文学→ゴルバートフ, B
福田(町) 静岡 ⑧日地 1011 B
副灯 ⑰科技→航路標識〔夜標〕
複動回転蒸気機関 ⑰科技→エンジン〔歴史〈50 C〉〕 →技術図 →ワット, J
フクトコブシ ⑳動物→トコブシ
フクドジョウ ⑳動物→ドジョウ〔日本産〕
副都心 ⑧日地 1231 D →東京(都)図 →都心〈1228 B〉 ⑦日地→池袋 →新宿(区)
福泊 ⑥日史 981 C
福富(町) 広島 ⑧日地 1011 C
福富(町) 佐賀 ⑧日地 1011 C
福富草紙 ⑥日史 981 D ②美術→絵巻〔囲作品〕別 →漫画〔日本漫画の歩み〕
福永武彦 [1918-1979] 詩人・小説家。中村真一郎らと「マチネ・ポエティク」を結成。長編『死の島』は日本文学大賞を受賞 ①文学 524 B
副乳〈多乳房症〉 ⑭医学→乳房
福野(町) 富山 ⑧日地 1011 D図
複能機 ⑫経産→機械化会計
福神 ④哲宗→七福神 →民間信仰〔特色〕
福之神 ③音演→能〔図狂言面〕
『福の神』 ①文学→アリストファネス
『福の神』 ③音演 486 A →狂言〔本狂言の分類〈脇狂言〉〕図
福野流〈良移心当流〉 ⑤日史→柔術〔流派〕
複発酵酒 ⑮化学→醸造〔酒類〈331 B〉〕
福羽美静 [1831-1907] 国学者。幕末は国事運動に参加,明治以後は神祇政策を推進 ⑥日史 981 D ⑤日史→石見国囲人国記〕
福原 ⑥日史 981 D →平清盛 →平氏政権〔崩壊〕 ⑦日地→神戸(市)〔歴史〕
福原越後 [1815-1864] 江戸後期の長州藩家老。藩主毛利慶親を助けて尊攘に活躍,禁門の変で敗れる ⑥日史 981 D
福原家鶴三郎派 ③音演→長唄〔囲流派〕
福原家百之助派 ③音演→長唄〔囲流派〕
福原信三 [1883-1948] ②美術→写真〔囲写真家〕図
フクバラハップ〈フク団〉 ⑨世史 537 D図 ⑤日史→抗日運動 ⑥日史→太平洋戦争〔経緯〕
福原麟太郎 [1894-1981] 英文学者・随筆家。T.グレイ,C.ラムなど英文学の優れた研究がある。文化功労者 ①文学 524 C
副搬送波 ⑰科技→FM放送〔ステレオ放送〕
復比 ⇨非調和比
副鼻腔 ⑭医学→鼻〔解剖〕
副鼻腔炎 ⑭医学 526 C図 →鼻〔鼻疾患〕
復氷 ⑮化学→氷
複比例 ⑯物数→比・比例
腹部 ⑭医学→腹
複分解 ⑮化学 538 C
複分岐器 ⑰科技→分岐器〔図種類〕
フクベ ⑲植物→ヒョウタン →ユウガオ
福部(村) 鳥取 ⑧日地 1011 D
瓢網 ⑳動物→ホタルイカ
複並立維管束 ⑲植物→維管束
腹壁静脈怒張〈メズサの頭〉 ⑭医学→静脈〔静脈瘤〕
ふくべ細工 ⑧日地→栃木(県)〔観光〕
複方黄柏散 ⑭医学→生薬〔黄柏〕
覆盆子 ⑲植物→キイチゴ
福間(町) 福岡 ⑧日地 1011 D
複巻電動機 ⑰科技 573 B
複巻発電機 ⑰科技 573 B →発電機〔直流発電機〈励磁方式による分類〉〕図
腹膜 ⑭医学→腹〔腹膜炎〕
腹膜炎 ⑭医学→虫垂〔虫垂炎〕 →腹
腹膜灌流法 ⑭医学→腎臓〔疾患〕
腹膜妊娠 ⑭医学→子宮外妊娠
腹膜播種 ⑭医学→胃癌〔転移〕
福光(町) 富山 ⑧日地 1012 A
含針 ⑥日史 981 D
福米沢油田 ⑦日地→秋田(県)〔産業〈鉱業〉〕 →秋田油田 ⑧日地→若美(町)
含め煮 ⑬生活→煮物
覆面算 ⑯物数→数学パズル〔数のパズル〕
福本イズム ⑥日史 982 A →転向 →日本共産党 →山川イズム
福本和夫 [1894] ⑥日史→福本イズム
福本日南 [1857-1921] 明治・大正のジャーナリスト・史論家。国権主義者として多くの政論を発表 ⑥日史 982 A
福本藩 ⑤日史→池田氏
幅物 ⇨掛軸
複問の虚偽 ④哲宗→虚偽〔議論の内実〕

もに新風和歌を推進。病を得て出家 ㊓『壬二集』 ①文学 527 D →『新古今和歌集』 →六家集

藤原魚名 [721/783] 奈良後期の政治家。左大臣に昇進したが，氷上川継事件に連座 ⑥日史 992 C

藤原宇合 [694/737] 奈良初期の政治家。式家の祖。蝦夷の反乱を討ち，難波宮の造営にあたる ⑥日史 992 C →難波京

藤原緒嗣 [774/843] 平安初期の公卿，式家に属す。平安京造営と蝦夷征伐の中止を上奏 ⑥日史 992 D →『日本後紀』

藤原兼家 [929/990] 平安中期の公卿。道長の父。兄兼通と摂関の地位を争い，一条天皇即位により太政大臣・関白となる ⑥日史 992 D →摂関政治〔成立〕 →藤原兼通 →法興院 ①文学→藤原道綱母 ⑤日史→寛和の変

藤原兼実 ⇨九条兼実

藤原兼輔 ①文学→三十六歌仙 ⑤日史→『聖徳太子伝暦』

藤原兼仲〈勘解由小路兼仲〉 ⑤日史→『勘仲記』

藤原兼通 [925/977] 平安中期の公卿。弟兼家と摂関の地位を争い，妹安子の遺言により関白・太政大臣になる ⑥日史 992 D →藤原兼家

藤原鎌足〈中臣鎌子，中臣鎌足〉 [614/669] 古代の政治家。藤原氏の祖。中大兄皇子と並ぶ大化改新の中心人物 ⑥日史 993 A図 →大化改新〔はじまり〕 →大織冠 ⑤日史→内臣 →儒学〔伝来〕

藤原清河 [*.] 奈良時代の政治家。遣唐使で入唐，新羅の使と儀式の席次を争い日本を東の列の第一位とした ⑥日史 993 B

藤原清輔 [1104/1177] 平安後期の歌人。顕輔の子。中世の歌論・歌学に確固たる基礎を築く ①文学 528 B

藤原清衡 [1056/1128] 平安後期の武将。後三年の役に清原氏を討ち，東北を統一。奥州藤原氏の初代 ⑥日史 993 B図 →中尊寺 ②美術→中尊寺

藤原公季 [956/1029] 平安中期の公卿。藤原安子の弟で太政大臣となる。子孫は三条・西園寺・徳大寺などの諸家に分れる ⑥日史 993 C

藤原公任 [966/1041] 平安中期の公卿，文化人。博学多才で摂関政治全盛期の文化的指導者 ①文学 528 B →三十六歌仙 →『拾遺和歌集』 →短歌〔歌論〕 →朗詠 ⑥日史 993 C →『北山抄』 →『和漢朗詠集』

藤原薬子 ⑤日史→薬子の変

藤原兼子 ⇨卿局

藤原豪信 ②美術→鎌倉時代の美術〔肖像画〕図

藤原行成 ⇨藤原行成

藤原伊尹 [924/972] 平安中期の公卿。安和の変後，伯父実頼の後を襲って摂政・氏長者となる ⑥日史993D →和歌所 ①文学→『後撰和歌集』

藤原伊周 [974/1010] 平安中期の公卿。摂関の地位を叔父道長と争い敗れ，中関白家の没落を招く ⑥日史 993 D

藤原伊房 [1030/1096] 平安中期の公卿。権中納言兼大宰権帥のとき，契丹とひそかに貿易したとして降位 ⑥日史 993 D

藤原伊通 [1093/1165] 平安末期の公卿。崇徳天皇の寵を得て太政大臣に昇進 ⑥日史 994 A

藤原定家 ⑥日史 994 A図 ⇨藤原定家

藤原定信 [1088/1156] ②美術→書〔日本書道史〈和様書道の開花〉〕

藤原実兼 [1085/1112] ⑤日史→『江談抄』

藤原実資 [957/1046] 平安中期の公卿。全盛期の道長と対立。小野宮流作法を完成 ⑥日史 994 A ⑤日史→『小右記』

藤原実頼〈小野宮実頼〉 [900/970] 平安中期の公卿。忠平の長子。摂政・関白を常置の官とする。小野宮流作法の始祖 ⑥日史 994 B →摂関政治

藤原佐理 ⇨藤原佐理

藤原俊成 [1114/1204] 平安末期から鎌倉初期の歌人。『千載和歌集』を撰す。和歌における古典主義的余情幽玄の理念を確立 ㊓『長秋詠藻』 ①文学 528 C図 →『新古今和歌集』〔構成〕 →『千載和歌集』 →六家集 ⑥日史→『千載和歌集』 →藤原俊成

藤原俊成女 [1171?/1254?] 鎌倉初期の歌人。後鳥羽院に女房として出仕。勅撰集に 116 首入集 ①文学 529 A ⑥日史→『無名草子』

藤原彰子 ⇨上東門院

藤原璋子 ⇨待賢門院

藤原季範 ⇨熱田大宮司季範

藤原佐理 [944/998] 平安中期の能書家。三蹟の一人 ②美術 503 B図 →三筆・三蹟 →書〔日本書道史〈和様の開花〉〕 →平安時代の美術〔後期〈書〉〕 →和様〔書〕 ⑥日史 994 B図

藤原佐世 [*/898] 平安初期の学者，藤原基経の家司。基経を関白にする詔に反対し阿衡事件をおこす ⑥日史 994 C →『日本国見在書目録』

藤原純友 [*/941] 平安中期の人。伊予国司から海賊の首領となり，南海・山陽道を荒らす ⑥日史 994 C ⑤日史→承平・天慶の乱〔藤原純友の乱〕

藤原純友の乱〈天慶の乱〉 ⑤日史→小野好古 →承平・天慶の乱 →水軍 ⑥日史→藤原純友

藤原詮子 ⇨東三条院

藤原隆家 [979/1044] 平安中期の公卿。大宰権帥のとき刀伊の来襲を撃退，武名をあげる ⑥日史 994 D

藤原隆季 ⑤日史→四条家

藤原隆信 [1142/1205] 平安末・鎌倉初の宮廷画家。似絵の先駆者として知られる ②美術 503 B →鎌倉時代の美術〔肖像画〕 →肖像画 ⑥日史 994 D →似絵

藤原隆房 [1148/1209] 平安・鎌倉の歌人・散文作家。権大納言に至り，のち出家 ①文学 529 A

藤原隆能 [*.] 平安末の宮廷画家。鳥羽金剛心院の扉絵を製作 ⑥日史 994 D

藤原忠実 [1078/1162] 平安後期の公卿。次子頼長を偏愛して嫡子忠通を圧迫，保元の乱の一因をつくる ①文学 529 B ⑥日史 995 A図 →保元・平治の乱〔保元の乱〕

藤原忠親 [1131/1195] ⑥日史→『水鏡』

藤原忠平 [880/949] 平安中期の公卿，摂政・関白。基経の子。延喜式を定め，作法を子師輔・実頼に筆録させる ⑥日史 995 A →『貞信公記』

藤原忠通 [1097/1164] 平安末期の公卿，摂政・関白。父忠実。弟頼長と争うが保元の乱で地位を保つ ①文学 529 B ⑥日史 995 B →保元・平治の乱〔保元の乱〕 ②美術→和様〔書〕

藤原種継 [737/785] 奈良時代の政治家。長岡京を建設，遷都したが，反対派により射たれる ⑥日史 995 B →長岡京

藤原為家 [1198/1275] 鎌倉中期の歌人。定家の子で歌道家を継ぐ。蹴鞠の才にも優れた ①文学 529 B →阿仏尼 ⑥日史 995 B

藤原為子 [1250?/1316?] 鎌倉後期の女流歌人。京極為兼の姉。伏見院に仕え，従二位為子ともいう ①文学 529 C

藤原為隆 ⑤日史→『永昌記』

藤原為時 ①文学→『宇津保物語』

藤原長子 ⑤日史→『讃岐典侍日記』

藤原継縄 [727/796] 奈良末・平安初期の公卿。征東大使となるが軍は進めなかった ⑥日史 995 C

藤原経房 ⑤日史→『吉記』

藤原定家 [1162/1241] 鎌倉前期の歌人。俊成の子。新古今の撰者で，多くの歌論書を残す ㊓『拾遺愚草』 ①文学 529 C図 →『新古今和歌集』 →『新勅撰和歌集』 →短歌〔歌論〕 →『百人一首』 ②美術 503 C ⑤日史→『新勅撰和歌集』 ⑥日史→藤原定家 →『明月記』

藤原定子 [976/1000] 一条天皇の皇后。平安中期，一天皇に二后并立の例を開く。清少納言が仕える ⑥日史 995 C

藤原時平 [871/909] 平安前期の公卿。菅原道真を退けて藤原氏の地位を確保 ⑥日史 995 C →醍醐天皇 →『日本三代実録』

藤原得子 ⇨美福門院

藤原俊成 ⑥日史 995 D図 ⇨藤原俊成

藤原利仁 [*.] 平安中期の人。上総介・武蔵守など歴任。『今昔物語集』の芋がゆの話で有名 ⑥日史 995 D →富樫氏

藤原敏行 [*/901] 平安初期の歌人。紀貫之らの宮廷歌壇進出の推進力となる。書にも堪能 ①文学 530 B →三十六歌仙

藤原豊成 [704/765] 奈良時代の政治家。橘奈良麻呂の変で左遷されたが，のち右大臣に復す ⑥日史 995 D

藤原直政 ③音楽→外記節

藤原長清 ①文学→『夫木和歌抄』

藤原仲実 [1057/1118] 平安後期の歌人・歌学者。堀河院歌壇の一員。『古今集』の作者伝がある ①文学 530 B

藤原永手 [714/771] 奈良時代の政治家。道鏡が皇位をうかがうなかで，光仁天皇の即位を図る ⑥日史 995 D

藤原仲麻呂〈恵美押勝〉 [706/764] 奈良後期の政治家。養老令を施行。橘奈良麻呂の変後，道鏡排斥計画が発覚して敗れる ⑥日史 996 A図 →橘諸兄 →奈良時代〔政治過程〈第6期〉〕 →養老律令 ⑤日史→淳仁天皇 →称徳天皇

藤原成親 [1138/1177] 平安末期の公卿。後白河法皇の寵臣，鹿ヶ谷での平氏討伐計画が発覚し殺される ⑥日史 996 B ⑤日史→鹿ヶ谷事件

藤原成通 [1097/1161?] ⑤日史→蹴鞠

藤原信実 [1176?/*] 鎌倉前期の宮廷絵師・歌人。似絵の名手と称され，また新三十六歌仙の一人 ⑥日史 996 C ②美術→肖像画

藤原宣房〈万里小路宣房〉 [1258/*] 鎌倉末期の公卿。後醍醐天皇を補佐し正中の変を落着。公武対立期の知性派公家の代表 ⑥日史 996 C

藤原信頼 [1133/1159] 平安後期の公卿。藤原通憲と対立し平治の乱をおこすが平清盛に敗れる ⑥日史 996 D →保元・平治の乱〔平治の乱〕

藤原範兼 [1107/1165] 平安末期の歌人。藤原清輔との論争など論客としても著名 ①文学 530 B

藤原教長 [1109/*] 平安末期の歌人。保元の乱に連座，出家。崇徳院歌壇で活躍 ①文学 530 B

藤原教通 [996/1075] 平安中期の公卿，関白。天皇と外戚関係をもてず，以後藤原氏は下り坂となる ⑥日史 996 D

藤原浜成 ①文学→短歌〔歌論〕 →『和歌四式』

藤原秀郷〈俵藤太〉 [*.] 平安前期の東国の豪族。平将門を滅ぼし，子孫は秀郷流といわれ東国に勢力をはる ⑥日史 996 D図 ⑳動物→ムカデ〔民俗〕

藤原秀能 [1184/1240] 鎌倉前期の歌人。北面の武士で，承久の乱に敗れて出家 ①文学 530 C

藤原秀衡 [1122?/1187] 古代末期，東北の武将。奥州藤原氏第3代。鎮守府将軍・陸奥守に任ぜられ，晩年に源義経をかくまう ⑥日史 996 D図

藤原広嗣 [*/740] 奈良初期の政治家。玄昉と吉備真備を除こうと九州で反乱をおこすが敗れる ⑥日史 997 A

藤原広嗣の乱 ⑥日史→奈良時代〔政治過程〈第5期〉〕 →藤原広嗣

藤原房前 [681/737] 奈良初期の政治家。北家の祖。政界に重きをなし，子孫は藤原四家のうちもっとも繁栄 ⑥日史 997 A

藤原藤房〈万里小路藤房〉 [1295/1380?] 鎌倉末期の公卿。父宣房とともに後醍醐天皇に近侍し，討幕計画に参加 ⑥日史 997 B

藤原不比等 [659/720] 奈良初期の政治家。鎌足の子。律令体制を確立，娘の光明子は人臣皇后の例を開く ⑥日史 997 B →大宝律令 →藤原四家 →養老律令 ⑤日史→県犬養橘三千代

藤原冬嗣 [775/826] 平安初期の公卿。藤原北家興隆の基礎を築く。死後，太政大臣を追贈 ⑥日史 997 B →『文華秀麗集』 ①文学→『文華秀麗集』

藤原雅経〈飛鳥井雅経〉 鎌倉前期の歌人。『新古今和歌集』撰者の一人，万葉歌人の撰が多いのが特色 ①文学 530 C ⑤日史→飛鳥井雅経

藤原麻呂 [*/737] 奈良初期の政治家。京家の祖。献上した亀が吉兆として天平と改元される ⑥日史 997 C

藤原道兼 [961/995] 平安中期の公卿。兄道隆の後をうけ関白となるが七日で薨じ，七日関白といわれる ⑥日史 997 C ⑤日史→寛和の変

藤原道隆 [953/995] 平安中期の公卿。中関白家。摂政・関白となるが，没後弟の道長流に栄華を奪われる ⑥日史 997 C

藤原道綱 [955/1020] 平安中期の公卿。母は『蜻蛉日記』の作者として有名。道長の異母兄。 ⑥日史 997 C →源頼光

藤原道綱母 [936?/995?] 平安中期の女流歌人。『蜻蛉日記』の作者。中古三十六歌仙の一人 ①文学 530 C図 ⑤日史→『蜻蛉日記』

藤原通俊 [1047/1099] 平安後期の歌人。白河朝歌壇で若手を指導 ①文学 531 A →『後拾遺和歌集』

藤原道長 [966/1027] 平安中期の公卿。四人の娘を入内させ，摂関政治の最盛期を誇る ①文学 531 A →『栄花物語』 ⑥日史 997 D図 →摂関政治〔外戚〕 →『御堂関白記』 ④哲宗→法成寺 ⑤日史→荘園〔荘園整理令〕

藤原通憲〈信西〉 [*/1159] 平安末期の貴族・学者。保元の乱で権勢を得るが，平治の乱で殺された ⑥日史 998 C →保元・平治の乱〔平治の乱〕 →『本朝世紀』

部族法典 ⑨世史 540 C図
風俗舞 ⇨風俗舞
斧足類 ⇨斧足類
部族連合国家 ⑨世史→遊牧国家
ブゾーニ, F 〔1866/1924〕 ピアニスト・作曲家。新古典主義音楽運動の先駆をなす。バッハ, ベートーベンらのピアノ作品の改訂編曲に功 ③音演 487 C →シベリウス, J
蕪村 ⇨与謝蕪村
蕪村寺〈施薬寺〉 ⑦日地→加悦(町)
『蕪村七部集』 ①文学 531 C →与謝蕪村
ブタ〔豚〕 ⑳動物 544 B図 →イノシシ〔人間との関係〕 ⑥日史→畜産業 ⑨世史→家畜史 ⑫経産→畜産〔養豚〕 ⑬生活→食用油〔動物油脂〈ラード〉〕 →豚肉
ブダ ⑩世地→ブダペスト
浮体 ⑯物数→浮力〔アルキメデスの原理〕
普代(村) 岩手 ⑧日地 1021 B
舞台 ③音演→劇場
ブダイ〔不鯛〕 ⑳動物 545 B図
舞台協会 ③音演→近代劇
譜代下人 ⑥日史 1003 A
不退寺 ⑧日地→奈良(市)〔囲神社・仏閣〕
譜代大名 ⑥日史 1003 B →大名〔類別〕 →藩〔分類〕 ⑤日史→江戸時代〔政治・外交〈大名統制〉〕
不逮捕特権 ⑪政社→国会議員〔特権〕
フタイロハゲイトウ ⑲植物→ハゲイトウ図
二重織 ②美術→織物〔種類〈紋織〉〕
二重伸 ⑬生活→水泳〔日本泳法〕
二重まぶた ⑭医学→美容整形〔目〕
蓋井島 山口/下関市 ⑧日地 1021 B
フタオガ〔双尾蛾〕 ⑳動物 545 C
蓋置き ⑬生活→茶道〔図茶道具〕
ブタオザル ⑳動物→サル〔性周期と出産〕別
フタオチョウ〔双尾蝶〕 ⑳動物 546 A →タテハチョウ図
フタオビコヤガ〔二帯小夜蛾〕 ⑳動物 546 A
『双面』 ③音演→『隅田川続俤』
『双面道成寺』 ③音演→『京鹿子娘道成寺』
二神島 ⑦日地→忽那諸島
二上山 富山 ⑧日地 1021 B →高岡(市)〔観光〕
ブダガヤ ⇨ブッダガヤ
二川 愛知/豊橋市 ⑧日地 1021 C →豊橋(市)
ブタ皮 ⑬生活→革〔なめし革〈種類〉〕図
二川相近 〔1767/1836〕 ⑥日史→筑前国〔囲人国記〕
二川ダム ⑦日地→清水(町)《和歌山》
二木謙三 〔1873/1966〕 伝染病学者。赤痢菌「駒込A, B」を発見, また鼠咬症を研究。文化勲章受章 ⑭医学 517 D →病原体
ブタクサ〔豚草〕 ⑲植物 555 B図 →帰化植物〔自然帰化植物〕図 ⑭医学→アレルギー〔図誘発する植物〕
二口温泉 ⑦日地→秋保(町)
二口街道〈笹谷街道〉 ⑦日地→秋保(町)
二口峡谷 宮城 ⑧日地 1021 C →名取川 ⑦日地→秋保(町) →姉滝
ふたご ⇨双生児
両子寺 ⑦日地→安岐(町)
双子浦 香川/小豆島 ⑧日地1021 C →土庄(町) ⑦日地→小豆島〔観光〕
ふたご座〔双子座〕 ⑱宇地 540 A →カストル →星座〔四季〈冬〉〕図 →ポルックス ⑬生活→占い〔西洋占星術〈表十二星座宮〉〕
ふたご座流星群 ⑱宇地→流星〔流星群〕
両子山 大分 ⑧日地1021 C ⑦日地→国東半島
双子式埠頭 ⑰科技→港〔施設〈図埠頭〉〕
二子島 ⑧日地→高島《長崎》
双子集落 ⑧日地→対向集落〈1221 C〉
双子素数 ⑯物数→整数論〔素数分布〕
二子塚古墳 ⇨金鈴塚古墳
双子都市 ⑧日地 1231 D
フタコブラクダ ⑳動物→ラクダ〔種類〕図
フタゴヤシ ⇨オオミヤシ
二子山〔双子山〕 神奈川/箱根町 ⑧日地 1021 C
二子山古墳 ⑤日史→埼玉古墳群表図
二子山古墳 ⑧日地→前橋(市)〔歴史〕
豚コレラ ⑳動物→ブタ〔育種と繁殖〕
札差 ⑥日史 1003 B ⑤日史→棄捐令 ⑫経産→金融業〔貸金業〕
札差宿 ⇨蔵宿
ブタジエン ⑮化学 539 C →アルケン〔表物理的性質〕 →石油化学工業〔ブチレン系石油化学製品〕
ブタジエンゴム ⑮化学→ゴム〔合成ゴム〕
ブタジエンスチレンゴム ⑮化学 540 A →ゴム〔合成ゴム〈スチレン-ブタジエンゴム〉〕
ブダ城 ⑩世地→ハンガリー(人民共和国)図
ブタジラミ ⑳動物→シラミ〔種類〕
豚汁 ⑬生活→豚肉〔料理〕
ブタ腎虫 ⑳動物→腎虫
フタスジサナエ ⑳動物→サナエトンボ図
フタスジタマガシラ ⑳動物→タマガシラ
フタスジチョウ ⑳動物→タテハチョウ図
『二筋道』 ③音演→日本演劇〔明治から第二次大戦まで〈新派劇〉〕
二瀬ダム ⑦日地→大滝(村)《埼玉》
二田 ⑧日地→天王(町)
再度公園 ⑦日地→神戸(市)
再度山 神戸市 ⑧日地 1021 C
ニツ井(町) 秋田 ⑧日地 1021 D
フタツエラヒキムシ ⑳動物→エラヒキムシ
二つ玉低気圧型 ⑱宇地→気圧配置図 →豪雪図
『双蝶々曲輪日記』 ③音演 487 D図
『二つの文化と科学革命』 ①文学→スノー, C
二粒コムギ ⑲植物→コムギ
豚積車 ⑰科技→貨車〔営業用〕表
フタツユビナマケモノ ⑳動物→ナマケモノ
部立 ①文学→勅撰和歌集 →連歌〔歴史〕
二手先 ②美術→組物〔種類〕図
フタトゲチマダニ ⑳動物→マダニ
フタトゲトックリウミグモ ⑳動物→ウミグモ図
フタトゲナガシンクイ ⑳動物→ナガシンクイ
豚肉 ⑬生活 533 C図表 →ソーセージ →肉料理 →ハム →ベーコン ⑫経産→国際農産物〔食肉〕 ⑳動物→ブタ〔利用〕
札野 ⑤日史→入会〔野銭・野札〕
簡県 ⇨殿上人
札の辻 ⑤日史→高札
ブタノール ⑮化学 540 A ⇨ブチルアルコール
双葉(町) 福島 ⑧日地 1021 D
双葉(町) 山梨 ⑧日地 1021 D
プタハ ②美術→アブ・シンベル神殿 ④哲宗→エジプト神話〔多神教〕図 ⑨世史→メンフィス
フタバアオイ〔双葉葵〕 ⇨カモアオイ
フタバガキ〔二葉柿〕 ⑲植物 555 C
二葉亭四迷 〔1864/1909〕 小説家・翻訳家。リアリズム文学の先駆者。ロシア小説の名訳を残した ㊥『浮雲』 ①文学 531 D図 →言文一致 →写実主義 →ツルゲーネフ, I →日本文学〔近代〈明治啓蒙期〉〕 →翻訳文学 ⑥日史 1003 B ⑤日史→言文一致運動
『二葉亭論』 ①文学→中村光夫
フタバナスカンク ⑳動物→スカンク〔種類〕図
フタバハギ ⇨ナンテンハギ
フタバベニツケガニ ⑳動物→ベニツケガニ
フタバムグラ〔二葉葎〕 ⑲植物 555 C図
双葉山定次 ⑬生活→相撲〔表横綱〕
フタバラン〔二葉蘭〕 ⑲植物 556 A
『莠伶人吾妻雛形』 ③音演→『摂州合邦辻』
フタヒゲムシ ⑱宇地→プランクトン図
フタフシアリ亜科 ⑳動物→アリ〔分類〕
ブダペスト ⑩世地 527 C図
ブダペスト動物園 ⑳動物→動物園〔表世界〕
フタホシイシガニ ⑳動物→イシガニ
二俣 静岡/天竜市 ⑧日地 1021 D →天竜(市)
二岐温泉 ⑧日地→天栄(村)
二股温泉 ⑦日地→長万部(町)
フタマタゴケ ⑲植物→コケ植物〔形態〕
二俣線 ⑧日地→東海道本線
二又分枝 ⑲植物→分枝
フタマタマオウ ⑲植物→マオウ図
二又脈 ⑲植物→葉脈
豚祭り ⑩世地→ニューギニア(島)
二見(町) 三重 ⑧日地 1021 D図
双海(町) 愛知 ⑧日地 1022 A
二見浦 ⑧日地→二見(町)
二見港 ⑧日地→父島
フタモンアシナガバチ ⑳動物→アシナガバチ図
『ふた夜』 ①文学→日本文学〔近代〈浪漫主義〉〕
補陀洛山 ⇨六波羅蜜寺
補陀洛山寺 ⑧日地→那智勝浦(町)
二荒山 ⇨男体山
二荒山神社 ④哲宗→神社〔表〈国幣中社〉〕 ⑧日地→男体山 →日光(市)図
二荒山神社 ④哲宗→神社〔表〈国幣中社〉〕 ⑦日地→宇都宮(市)
『二人兄弟の詩集』 ①文学→テニソン, A
フタリシズカ〔二人静〕 ⑲植物 556 A →ヒトリシズカ図
『二人大名』 ③音演 488 A
『二人だけの舞踏会』 ①文学→小山祐士
ブタリタリ(島) ⇨マキン(島)
『二人の擲弾兵』 ③音演→シューマン, R
『二人のメナエクムス』 ①文学→プラウトゥス
『ふたりのロッテ』 ①文学→ケストナー, E
『二人袴』 ③音演 488 A ①文学→狂言
『二人は若い』 ③音演→歌謡曲表
フタリルグルタミン酸イミド ⑮化学→サリドマイド
フタルアミド ⑮化学→アミド表
フタルイミド ⑮化学→アミド表
フタル酸 ⑮化学 540 A表 →無水フタル酸
フタル酸エステル ⑮化学→エステル〔カルボン酸エステル〕
フタルジアルデヒド ⑮化学→アルデヒド〔表性質〕
ブタレ ⑩世地→キガリ
フタロシアニン ⑮化学→顔料〔有機顔料〈沈殿剤〉〕
フタロシアニン染料 ⑮化学 540 B →染料〔分類〈2〉〕
ブタン ⑮化学 540 B →アルカン〔表異性体〕 →液化石油ガス →石油〔製品〈液化石油ガス〉〕
ブータン(王国) ⑩世地 527 D図
ブタンガス ⑰科技→給排水設備〔ガス設備〕
負担金 ⑪政社→公用負担〔人的〕 →補助金 ⑫経産→国庫支出金 →補助金
フダンサンショウ ⇨フユザンショウ
武断政治・文治政治 ⑥日史 1003 C
不断泉 ⑧日地→泉〈1198 B〉
フダンソウ〔不断草〕 ⑲植物 556 A
ブータンタン毒蛇研究所 ⑩世地→サンパウロ
ブタン二酸 ⇨コハク酸
不断念仏 ⑤日史→常行三昧堂
ブータン・ヒマラヤ ⑩世地→ヒマラヤ(山脈)〔区分〕
扶持 ⑥日史 1003 C
プチ, A 〔1791/1820〕 化学者。熱測定の分野で活躍, 原子熱に関する法則は有名 ⑮化学 540 C →ジュロン-プチの法則
プチ, R 〔1924〕 舞踊家・振付者。バレエ団を組織し, 第二次大戦後の同国バレエ界に新風をもたらす ③音演 488 B
プチアリン ⑭医学→消化〔口腔〈唾液〉〕 →唾液
フーチェン(省)〈福建省〉 中国 ⑩世地 528 C →ホワナン
淵上毛銭 〔1915/1950〕 詩人。放浪生活を続けたが罹病。山之口貘の影響濃く, 病床のペーソスを詩に結実 ①文学 532 C
不知行 ⑥日史→知行
フチーク, J 〔1903/1943〕 ジャーナリスト・共産党活動家。『絞首台からのレポート』は70余か国語に翻訳される。ナチスに処刑 ①文学 532 C
プチクスクス ⑳動物→クスクス
斑毛 ⑳動物→ウマ〔毛色・特徴〕
負値形式 ⑯物数→2次形式〔実2次形式〕
淵沢定長 ⑥日史→陸奥国〔囲人国記〕
プチサンショウウオ ⑳動物→サンショウウオ図
プチジャン, B〈プティジャン〉 〔1829/1884〕 宣教師。幕末に来日, 弾圧をうけながらも伝道し近代日本カトリック教会再建の父とされる ⑥日史 1003 D ④哲宗→大浦天主堂 →キリシタン〔歴史〈第6期〉〕囲 ⑤日史→浦上教徒事件
縁高折敷 ⑤日史→折敷
フチタン ⑩世地→サリナクルス
プチナイフ ⑬生活→包丁〔種類〈洋包丁〉〕図
フチーニ, R 〔1843/1921〕 小説家。トスカナの風光や民衆を話し言葉や古語をまじえて描く ①文学 532 C
プチパ, M 〔1819/1910〕 舞踊家・振付者。ロシアに招かれ「古典バレエ」を完成させ, ロシア・バレエの黄金期を築く ③音演 488 B →バレエ〔ロマンチック・バレエから古典バレエへ〕
プチハイエナ ⑳動物→ハイエナ図
プチ・パレ美術館 ②美術 687 A
プチフール ⑬生活→菓子〔図洋菓子〕
付着 ⑯物数 475 C
付着根 ⑲植物 556 B →気根 →根図
付着張力 ⑯物数→付着
プチャーチン, E 〔1803/1883〕 海軍将官。幕末, 日本に開国を迫り, 日露和親条約を締結 ⑥日史 1003 D図 ⑤日史→樺太 ⑨世史→愛琿条約

船津伝次平 [1832-1898] 明治の篤農家。群馬県で植林・水源確保に努め,のち全国を巡回 ⑥日史1007 C
船積案内 ⑫経産→貿易〔囲用語〕
船積書類〈ドキュメンツ〉 ⑫経産→貿易〔囲用語〕
船積船荷証券 ⑫経産→貨物〔貨物引換証〕
船手頭 ⑥日史→船手組 →向井将監
船手組 ⑥日史1007 C
道祖王 [?-757] 奈良時代,孝謙天皇末年の皇太子。橘奈良麻呂の乱で処刑 ⑥日史1007 D
船渡御の祭 ⑦日地→大阪(市)〔天満宮〕図 →北(区)《大阪》
舟戸ダム ⑧日地→砺波平野
船泊 ⑧日地→礼文(町)
船泊遺跡 ⑥日史1007 D
船荷証券〈B/L〉 ⑫経産→貨物 →為替〔種類〕 →貿易〔囲用語〕 →有価証券〔裏書〕
船荷証券条約 ⑫経産→海商法
船主 ⑫経産→用船
『船乗り』 ⑱宇地→海洋〔囲イギリスの海洋文学〕
船橋(村) 富山 ⑧日地1023 C
船橋(市) 千葉 ⑧日地1023 C
船橋遺跡 ⑦日地→大阪(府)〔歴史〕
舟橋聖一 [1904-1976] 小説家。『木石』『ある女の遺景』などで女性の官能的美しさを追求 ①文学533 C図 →風俗小説
船原温泉 ⑦日地→天城湯ヶ島(町)
フナバラソウ〔舟腹草〕 ⑲植物559 B図
ブナハリタケ ⑲植物→エゾハリタケ
船引(町) 福島 ⑧日地1023 D
船引運河〈船越運河〉 島根/隠岐 ⑧日地1023 D →西ノ島 ⑦日地→隠岐諸島〔交通〕図
フナフティ ⑩世地→エリス(諸島)
『舟弁慶』〔船弁慶〕 ③音演490 D図
船穂(町) 岡山 ⑧日地1023 D
フナムシ〔船虫〕 ⑳動物547 C図
船元 ⑤日史→網元
船宿 ⑥日史1007 D
船山馨 [1914-1981] 小説家。新聞記者のかたわら青年芸術派集団を結成,歴史小説に意欲作がある ①文学533 D
ブ・ナロード ⑨世史→ナロードニキ
扶南〈フーナン〉 ⑨世史542 D →真臘 →東南アジア〔歴史〈インド文化の影響〉〕 ⑩世地→カンボジア〔略史〕
フーナン(省)〈湖南省〉 中国 ⑩世地529 B →ホワチョン
フーニウ(山脈)〈伏牛山脈〉 中国 ⑩世地529 C →中華人民共和国〔自然〈秦嶺山地〉〕 →ホーナン(省)
『フニクリ・フニクラ』 ③音演→民謡〔西欧〈ナポリ民謡〉〕
『フニャディ・ラースロー』 ③音演→東欧演劇〔ハンガリー〕
不入 ⑤日史→検田使 ⑥日史→不輸不入
不入権 ⑨世史→インムニテート ⑫経産→荘園《日本》〔成立と展開〕
ブニュエル, L スペ[1900] 映画監督。フランス,メキシコ,スペインで活躍。シュルレアリスム的作品で知られる ③音演491 B図 →映画〔無声映画〈第3期〉〕〔トーキー〈第6期〉〕
ブーニン, I ロシア[1870-1953] 詩人・小説家。19世紀ロシア詩の伝統を継承,象徴主義の時代にありながらその影響をうけなかった。ノーベル賞受賞 ①文学533 D
不妊手術〈断種法,優生手術〉 ⑭医学528 A図 →優生学 →優生保護法
不妊症 ⑭医学528 B表 →おたふくかぜ →人工妊娠中絶〔後障害〕
船 ⑥日史1008 A図表 ⑰科技575 A図表囲別 →貨物船 →客船 →漁船 →航法 →商船 →造船 →帆船 ⑫経産→海運 →海商法 →造船業 ⑬生活→旅行
『船』 ③音演→ビセンテ, G
武寧王 [462-523] 百済の国王。日本から「任那の四県」を割譲させ,梁に朝貢。近年王陵を発掘 ⑨世史542 D図
武寧王陵 ②美術→朝鮮美術〔工芸〕
プネウマ説 ⑭医学→病気〔病気観の変遷〕
プネウマティコス〈霊の歌〉 ④哲宗→聖歌
フネガイ〔舟貝〕 ⑳動物548 A
フネダコ〔舟蛸〕 ⇨タコブネ
舟釣り ⑬生活 →釣り〔種類〈海釣り〉〕
船成金 ⑥日史→成金

船の科学館 ⑱宇地→海洋博物館
船の花 ⑬生活→いけ花〔囲用語〕図
舟肘木 ②美術→組物〔種類〕図
ブネーブラク ⑩世地→イスラエル(国)〔地方誌〕
不燃材料 ⑬生活→防火建築〔防火構造〕
不稔性 ⑲植物559 C →半数体
布野(村) 広島 ⑧日地1024 A
ブノア, P フランス[1886-1962] 小説家。ロマネスクな構成,異国趣味などが特徴 ①文学534 A
富農 ⑫経産→農家経営
不能汗腺 ⑭医学→汗腺
負の残像 ⑯物数→残像
フノジグモ ⑳動物→カニグモ
負の所得税 ⑫経産→租税〔囲用語〕
負の数 ⑯物数→正数・負数
負の符号〈負号〉 ⑯物数→正数・負数 →符号
負のβ崩壊 ⑮化学→崩壊〔β崩壊〕
武の舞 ③音演→雅楽〔唐楽・高麗楽〈舞楽〉〕
負の無限大 ⑯物数→無限大
フノリ〔布海苔,海蘿〕 ⑲植物560 A
プノンペン カンボジア ⑩世地529 D →カンボジア図
フーバー イタリア ②美術→ポスター
フーバー, E アメリカ ⑫経産→産業立地〔概要〕
フーバー, H アメリカ[1874-1964] 第31代大統領。大恐慌前の経済的繁栄の立役者だが恐慌対策では失敗 ⑨世史543 A図 →世界恐慌〔経過〕 ⑪政社501 D図 ⑰科技→アグリコラ, G〔デ・レ・メタリカ〕
フーバー, J イギリス[1495-1555] ④哲宗→ピューリタン
ブーバー, M イスラエル[1878-1965] 哲学者・思想家。ユダヤの宗教運動カシディズムの研究と再興に尽力 ①文学534 A ④哲宗→実存哲学 →我と汝
腐敗 ⑮化学547 A
フーバイ, J ハンガリー[1858-1937] バイオリニスト・作曲家。当時最高の弦楽四重奏団を組織。ブダペスト音楽院教授をつとめた ③音演491 D
フーバー委員会 ⑪政社→行政機構改革
腐敗および不正行為防止法 ⑪政社→政治資金
分倍河原古戦場 ⑧日地→府中(市)《東京》
腐敗選挙区 ⑨世史543 A →イギリス議会史〔議員内閣制〕 →選挙法改正〔1832年の改正〕
腐敗毒 ⑭医学→食中毒〔プトマイン中毒〕
文箱 ⑥日史→筥
フーバーダム ⑩世地→アメリカ(合衆国)〔経済・産業〈地下資源とエネルギー資源〉〕 →コロラド(川) →ミード(湖) ⑰科技→ダム図表
部派仏教 ④哲宗→大衆部 →仏教〔インド仏教〕 ⑨世史→仏教
フーバー・モラトリアム ⑥日史→大恐慌〔結果〕 ⑨世史→フーバー, H ⑪政社→フーバー, H ⑫経産→モラトリアム
ブハラ ソ連/ウズベク ⑩世地529 D図 →ソビエト(連邦)〔図文化〕
賦払い ⑫経産→売買
不払労働 ⑫経産→剰余価値〔二〕 →賃労働
ブハラ・ハン国 ⑨世史543 B →中央アジア〔歴史〈諸国の衰退〉〕
ブハーリー [810-870] イスラム伝承学者。アジア各地を16年間旅し,各地の資料を収集 ①文学534 A →ハディース
ブハーリン, N ソ連[1888-1938] マルクス主義理論家。『プラウダ』の編集長などをつとめる。スターリンと対立,粛清される ①文学534 A ⑨世史543 B ⑪政社502 A図 →粛清 ⑫経産521 A図 →恐慌〔恐慌学説〕 ④哲宗→弁証法的唯物論〔弁証法〕
ブバルディア ⑲植物560 A
『ブバールとペキュシェ』 ①文学→フロベール, G
武班 ⑨世史→両班
府藩県三治制 ⑥日史1008 B →藩治職制
ブービエ(山) ⑩世地→チャンニン(高原)
フビェズドスラフ, P チェコ[1849-1921] 詩人。スロバキアの近代詩形の確立に貢献 ①文学534 B →東欧文学〔スロバキア〕
賦比興 ④哲宗→『詩経』
ブビ族 ⑩世地→赤道ギニア(共和国)〔社会・文化〕
史 ⑤日史→姓
史部 ⑤日史→漢字
ブービーヌの戦い ⑨世史543 B →フィリップ(二世)
浮標 ⑰科技→航路標識〔昼標〕
譜表 ③音演→楽典囲
不平等条約 ⑥日史1008 C →日英通商航海条約 →日米修好通商条約 ⑨世史→南京条約

⑫経産→関税自主権 →条約改正
忽必烈汗 ⑥日史1008 C ⇨フビライ・ハン
フビライ・ハン〔忽必烈汗〕 モンゴル[1214-1294] モンゴル帝国第5代の大汗,元朝の始祖。宋を滅ぼし,二度日本征服を試みた ⑨世史543 C図 →アリク・ブハ →元〔概観〕 →元寇 →パスパ →マルコ・ポーロ →モンゴル帝国〔拡大・分裂〕 ⑤日史→元寇〔交渉〕 ⑥日史→忽必烈汗
不比例説 ⑫経産→恐慌〔恐慌学説〕 →トゥガン-バラノフスキー, M
部品 ⑰科技→機械要素
フープ ⑬生活→下着〔洋装〕
プファイフ ③音演→ファルセット
プファジエノライド ⑮化学→ステロイド〔強心物質〕
プファリン ⑮化学→ステロイド〔強心物質〕図
プファルツ戦争 ⑨世史543 D →ウィリアム王戦争 →ライスワイク条約
フーフ・アンフ エジプト ③音演→エジプト音楽〔古王国時代〕
フフイ アルゼンチン ⑩世地530 A
プフィッツナー, H ドイツ[1869-1949] 作曲家。ロマン主義を基盤とし保守的傾向を代表する ③音演491 D
フーフェ ⑨世史→荘園〔西洋〈大陸の古典荘園〉〕 ⑫経産→荘園《ヨーロッパ》〈286 C〉
プフォル, F ドイツ[1788-1812] ②美術→ナザレ派
胡風 ⇨胡風
ふぶき〔吹雪〕 ⑱宇地541 B図 ⑧日地→防雪林〈1233 B〉
『吹雪物語』 ①文学→坂口安吾図
フープスカート ⑬生活→スカート〔分類〕
フブスグル(湖) モンゴル ⑩世地530 A
ブフート ⑱宇地→風〔表局地風〕
ブーフドラマ ③音演→ドラマ
ブフトリー ①文学→『ハマーサ』
ブフナー, E ドイツ[1860-1917] 生化学者。発酵作用を研究,酵素を発見。ノーベル化学賞受賞 ⑮化学547 B図 →酵素 →発酵 →補酵素 ⑲植物560 A →酵素 ⑳動物→酵素
フーフナーゲル, C ⑭医学→臓器移植〔同種移植〕
ブフナーロート ⑮化学→化学実験〔実験器具〈分離〉〕図
フフーフ ⇨アルフフーフ
フフホト〔呼和浩特〕〈フホホト〉 中国/内モンゴル自治区 ⑨世史543 D →アルタン・ハン ⑩世地→フホホト
フブリ インド ⑩世地530 A
ププリコ宮 ⑩世地→シエナ図
ププリリウス・シュルス ③音演→ローマ演劇〔共和政時代〕
部分環 ⑯物数→環〔定義〕 →多元環〔定義〕
部分軌道爆撃体系〈FOBS〉 ⑪政社→宇宙法〔宇宙軍縮条約〕
部分均衡分析 ⑫経産→計量経済学
部分空間 ⑯物数→ベクトル空間
部分群 ⑯物数→群〔定義〕
部分月食 ⑱宇地→月食〔原因〕
不文憲法 ⑪政社→憲法〔総論〈種別〉〕
部分色盲 ⑭医学→色盲
部分集合 ⑯物数483 B →集合
部分集団 ⑪政社→圧力団体〔類型〕
部分食 ⑯物数→半影 ⑱宇地→月《天体》〔地球に及ぼす影響〕
部分数列 ⑯物数→数列
部分積分法 ⑯物数483 B →原始関数〔計算〕 →積分〔計算〕
部分体 ⑯物数→体〔可換体と非可換体〕
部分多元環 ⑯物数→多元環〔定義〕
部分多様体 ⑯物数→多様体〔座標変換と構造〕
部分的核実験禁止条約 ⑪政社502 A →核兵器〔平和〕 →軍縮〔第二次大戦後〕図 →米ソ関係〔危機から和解へ〕 ⑨世史→冷戦
部分的過剰生産恐慌 ⑫経産→恐慌〔恐慌学説〕
部分的均衡論 ⑫経産→均衡理論〔一般均衡〕
部分的所有権 ⑫経産→持分
部分的変異 ⑲植物→突然変異
部分日食 ⑱宇地→日食
部分分泌 ⑳動物→分泌
部分偏光 ⑯物数→光〔電磁波〕 →偏光
不文法 ⑪政社→法〔種類〕
部分和数列 ⑯物数→級数
布部 島根/広瀬町 ⑧日地1024 A →広瀬(町)
ブーベ(島) ノルウェー/大西洋 ⑩世地530 A

布幣〈布貨〉 ⑫経産→貨幣史〔中国〕
府兵 ⑨世史→兵制〔中国〕
フーペイ(省)〈湖北省〉 中国 ⑩世地 530 A →ホワチョン
不平衡プラズマ ⑰科技→MHD発電
府兵制 ⑨世史 543 D →唐〔体制〕
扶壁ダム〈バットレスダム〉 ⑰科技→ダム〔種類〕
『ブーベの恋人』 ①文学→カッソーラ,C
フーヘル,P 〔1903〕 詩人。ソ連軍の捕虜となる。戦後,東ベルリンで出版や放送の仕事に従事 ①文学 534 B
フベルトゥスブルク条約 ⑨世史 544 B →七年戦争 →フリードリヒ(二世)《プロイセン》〔国王時代〕
普遍 ④哲宗 510 A →個体 →普遍論争 →ヘーゲル,G〔囲基本概念〈具体的普遍〉〕 →唯名論 →類
普遍意志 ④哲宗→ドイツ観念論〔神即歴史〕
普遍概念 ④哲宗→実在論〈237 C〉
普遍学〈存在学〉 ④哲宗→アリストテレス〔形而上学〈16 D〉
普遍学 ④哲宗→普遍数学
普遍教会 ④哲宗→ソロビヨフ,V
普遍言語 ④哲宗→言語〔言語研究および言語学〈言語の問題〉〕
普遍公会議 ④哲宗→宗教会議〈252 A〉
不偏最小分散推定量 ⑯物数→推定〔点推定〕
普遍実在論〈実念論〉 ④哲宗→普遍論争 →唯名論
不変資本 ⑫経産→再生産過程〔単純再生産〕 →資本の有機的構成
不変資本・可変資本 ⑫経産 521 B
普遍種 ⑲植物 560 A →固有種
普遍主義社会論 ⑪政社→シュパン,O
不偏推定量 ⑯物数→推定〔点推定〕
普遍数学 ④哲宗 510 A →合理主義 →デカルト,R →ライプニッツ,G ⑪政社→合理主義
普遍定数 ⑯物数→基本定数
『普遍的辞典試論』 ①文学→フュルチエール,A
フーベンフラスコ ⑮化学→化学実験〔実験器具〈蒸留用〉〕
普遍論争 ④哲宗 510 C →アベラール,P →言語〔言語研究および言語学〈ギリシア以後〉〕 →個体
布袍 ④哲宗→法衣図
普法 ④哲宗→三階教
不法行為 ⑪政社 502 B →債権・債務〔債権の発生原因〕
不忘山 宮城 ⑧日地 1024 A
普法宗 ⇨三階教
付法の八祖 ④哲宗→真言宗〔歴史〕
不飽和結合 ⑮化学 547 B →化学結合
不飽和脂肪酸 ⑮化学→脂肪酸
不飽和炭化水素 ⑮化学→炭化水素
不飽和ポリエステル樹脂塗料 ⑮化学→塗料〔分類〈合成樹脂塗料〉〕表
不飽和溶液 ⑮化学→溶液〔溶解度と溶解熱〕
父母家族 ⑳動物→家族制
『夫木和歌抄』 ①文学 534 B →冷泉為相 ⑥日史 1008 C
フホホト ⑩世地 530 C ⇨フフホト
ププモル ⑨世史→朝鮮〔原始社会〕
プーマ,S 〔1901〕 政治家。旧ビエンチャン王家の生まれ。大国の干渉のなかで中立主義に立ち国家的統一を維持 ⑪政社 502 D図 →ジュネーブ協定〔二〕
不昧流 ⑥日史→松平治郷
フマニオーラ ④哲宗→ヒューマニズム
フマニタス ④哲宗→教養
フマーユーン 〔1508/1556〕 ムガル帝国第2代の王。バーブルの嫡子。アフガニスタンを奪い返し,ムガル帝国を再興 ⑨世史 544 B図 →シェール・シャー →ムガル帝国〔興亡史〕
フマユーン廟 ⑩世地→デリー
フマーラワイヒ ⑨世史→トゥルーン朝
フマル酸 ⑮化学 547 B →マレイン酸
フマル酸発酵 ⑮化学→発酵 ⑲植物→発酵菌
文 ⇨手紙
踏み洗い ⑦日地→奥津(町)図 ⑬生活→洗たく〔歴史〕
踏絵 ⑥日史 1008 D ④哲宗→キリシタン〔歴史〈第3期〉〕〔囲用語〕図 ⑤日史→キリスト教図 →宗門改
踏返し ⑥日史→同笵鏡
フミガチン ⑮化学→色素

踏切 ⑰科技 591 A
踏切ガードレール ⑰科技→ガードレール《鉄道》図
踏切警報器 ⑰科技→踏切
踏切り板 ⑬生活→陸上競技〔種目〈走幅飛び〉〕
不弥国 ⑥日史→邪馬台国〔位置〕
踏込床 ②美術→床の間
経島〈文島〉 ⑧日地→大社(町) →日御碕 ⑳動物→ウミネコ
『文相撲』 ⇨『文相撲』
プミ族 ⑩世地→中華人民共和国〔表少数民族〕
『文づかひ』 ①文学→日本文学〔近代〈浪漫主義〉〕 →森鷗外
踏面 ⑬生活→階段図
文殿 ⇨文殿
図書寮 ⇨図書寮
文禰麻呂墓誌 ⑥日史 1008 D図
文箱 ⇨文箱
負名 ⑥日史 1009 A
プミラスカーレット ⑲植物→ヒャクニチソウ
フミン質 ⑮化学→石炭〔成分と分子構造〕
不眠症 ⑭医学 529 C
部民制 ⑤日史→帰化人〔漢氏〕 ⑥日史→大和国家〔成立と展開〕
ブーム ⑬生活→ヨットレース〔囲用語〕 ⑰科技→ヨット〔構造および帆走技術〕
ブムロ〔BMPO〕 ⇨マケドニア革命団
符命 ⑨世史→王莽
不名数〈無名数〉 ⑯物数→名数
不滅隊 ⑨世史→ペルシア帝国図
『不滅の日本芸術』 ②美術→ウォーナー,L
ブーメディエン ⑩世地→アルジェリア(民主人民共和国)〔略史〕 ⑪政社→ベンベラ,A
フメリー,C ⑰科技→グーテンベルク,J
『不毛の土地』 ①文学→グラスゴー,E
フモトシダ〔麓羊歯〕 ⑲植物 560 B
麓集落〔府下集落〕 ⑧日地 1232 A ⑤日史→薩摩藩
フモトスミレ ⑲植物→スミレ
プモリ ⑩世地→ヒマラヤ(山脈)〔表初登頂〕
フモール ⇨ユーモア
普門院 ④哲宗→法隆寺〔囲子院〕
普門暁 ②美術→大正の美術〔前衛運動の登場〕
普門の曼荼羅 ④哲宗→曼荼羅
『武門要鑑抄』 ⑥日史 1009 A
夫役〔賦役〕 ⑥日史 1009 A →村役人 →役屋制度 ⑤日史→水主役 →公事
冬 ⑱宇地→気圧配置〔西高東低型〕 →季節
不輸 ⑥日史→不輸不入
ブユ〔蚋〕〈ブヨ,ブト〉 ⑳動物 548 A図
フユアオイ〔冬葵〕 ⑲植物 560 B図 →アオイ
フユイチゴ〔冬苺〕 ⑲植物 560 B →キイチゴ図
富有柿 ⑲植物→カキ図
フュウザン会 ⑥日史 1009 A ②美術→岸田劉生 →木村荘八 →大正の美術〔近代美術の展開〕 ⑤日史→岸田劉生
浮遊生物 ⇨プランクトン
浮遊性有孔虫 ⑱宇地→化石〔意義〕
浮遊選鉱〈浮選〉 ⑰科技 591 B →選鉱〔選鉱法〕図 →浮選剤 ⑮化学→金属〔採取〕
浮遊選炭〈浮選〉 ⑰科技→選炭〔選炭法〕
浮遊帯域法 ⑰科技→半導体〔結晶の製法〕
浮遊天頂儀 ⑱宇地→天頂儀
『武勇誉出世景清』 ③音演→『出世景清』
浮遊物質濃度〈SS〉 ⑮化学→公害〔囲用語〕 ⑰科技→下水道〔下水の性質と下水処理〕
浮遊マグネット模型 ⑯物数→原子模型
蜉蝣目〈カゲロウ目〉 ⑳動物→昆虫〔分類〕〔表現生昆虫の種類〕
フユエダシャク ⑳動物→エダシャク →シャクガ
フユカガンボ ⑳動物→カガンボ →ユキムシ
フユクイナ〔冬水鶏〕 ⑳動物 548 B →クイナ
『ふゆくさ』 ①文学→土屋文明
冬小麦地帯 ⑧日地→小麦地帯〈1212 A〉
ふゆごもり ①文学→短歌〔囲枕詞〕
冬作 ⇨裏作
フユサンゴ〔冬珊瑚〕 ⑲植物 560 B →園芸〔図フラワーカレンダー〈2〉〕
フユザンショウ ⑲植物 560 C →サンショウ図
フュシオロゴイ ④哲宗→ギリシア哲学〔前古典期〕
フュシス〈自然〉 ④哲宗→アリストテレス〔自然学〈17 D〉〕 →イオニア学派 →ギリシア哲学〔前古典期〕〔囲用語〕 →自然 →自然学
フユシャク〔冬尺蛾〕 ⑳動物 548 B →ガ〔形態〕 →シャクガ

フュステル-ド-クーランジュ,N ⑫経産 521 C ⇨クーランジュ,N
フューゼリ,H 〔1741/1825〕 画家。イギリスに渡りアカデミー会員となる。官能性を混えた怪奇的な描写で知られる ②美術 521 C →ロマン主義
不輸租 ⑥日史→立券荘号 ⑫経産→荘園《日本》〔成立と展開〕
不輸租田 ⑥日史 1009 B →勅旨田
フューダリズム ⇨封建制度
フユヅタ ⇨キヅタ
冬ツバメ ⑳動物→ツバメ
冬鳥 ⑳動物→鳥類〔渡り〕
冬凪〈寒凪,凍凪〉 ⑱宇地→風〔表季題〈冬〉〕
フユナミシャク ⑳動物→シャクガ
冬の風 ⑱宇地→風〔表季題〈冬〉〕
冬の陣 ⑤日史→大坂の陣 →鎖国〔禁教と貿易〕 →鐘銘事件
『冬の旅』 ①文学→ミュラー,W ③音演→歌曲〔種類〕 →シューベルト,F〔作風と作品〕
『冬の蠅』 ①文学→梶井基次郎
冬の華 ⑱宇地→雪〔雪の結晶〕
『冬の華』 ①文学→中谷宇吉郎
フユノハナワラビ ⇨ハナワラビ
『冬のハルツの旅』 ③音演→ブラームス,J
『冬の日』 ①文学→『俳諧七部集』 →松尾芭蕉〈607 D〉
『冬の光』 ③音演→ベルイマン,I
『冬の窓』〈何哉等草〉 ⑬生活→折り紙〔資料〕
『冬の宿』 ①文学→阿部知二
『冬の夜話』 ①文学→シェークスピア,W
『冬薔薇』 ①文学→細見綾子
『冬彦集』 ①文学→寺田寅彦
冬服 ⑬生活→衣服〔種類と分類〈使用季節〉〕図
不輸不入 ⑥日史 1009 B →年貢〔荘園〕 ⑫経産→荘園
冬祭 ⑥日史→祭
冬芽 ⑲植物→芽
冬山登山 ⑬生活→登山〔登山技術〈適性〉〕
フューラー ⑨世史→ヒトラー,A〔総統〕
フュルステンベルク ⑩世地→アイゼンヒュッテンシュタット
フュルスト〈侯〉 ⑨世史→爵位〔西洋〕
フュルチエール,A 〔1619/1688〕 文学者。風刺詩などで世に出,アカデミーに先立って辞典を編纂 ①文学 534 B
フュルト 西ドイツ ⑩世地 530 C
フュレ ④哲宗→大浦天主堂
フュン(島) ⇨フィユン(島)
扶余 ⑥日史 1009 B ⑨世史 544 B →北アジア〔満州〕 →騎馬民族 ⑩世地→プヨ
ブヨ ⇨ブユ
プヨ〈扶余〉 南朝鮮 ⑩世地 530 C図
フヨウ〔芙蓉〕 ⑲植物 560 C図 →アオイ科 →園芸〔図フラワーカレンダー〈2〉〕
扶養 ⑬生活 537 B →親族
舞踊〈ダンス〉 ③音演 491 D ⑬生活→社交ダンス
フヨウカタバミ ⑲植物→オキザリス
扶養義務 ⑬生活→扶養
舞踊組曲 ③音演→組曲〔近代〕
芙蓉湖 ⇨野尻湖
扶養控除 ⑬生活→扶養
付庸国 ⇨従属国
浮葉植物 ⑲植物 560 C →水生植物
扶養請求権 ⑬生活→扶養〔扶養義務〕
腐葉土 ⑲植物→土壌〔表園芸用土〕
『舞踊とバレエについての手紙』 ③音演→ノベール,J
扶余神宮 ④哲宗→神社〔表〈官幣大社〉〕
扶余族 ⑤日史→百済
フョドロフ 〔1828/1903〕 ④哲宗→ロシア哲学
フラー,C ⑰科技→トランジスタ〔バイポーラ・トランジスタ〕
フラー,R 〔1912〕 詩人・小説家。弁護士のかたわら創作活動を続ける ①文学 534 C
フラー,S 〔1810/1850〕 女流評論家。ゲーテの翻訳・紹介に努め,女性問題に才筆をふるった ①文学 534 C
フーラー,R ⑰科技→海上都市〔展望〈海上コミュニティ〉〕
プーラ,H 〔1887/1959〕 小説家。生地オーベルニュ地方を舞台にした作品を多く残す ①文学 534 C
フラ・アンジェリコ ⇨アンジェリコ,F
フライ,C 〔1907〕 劇作家。詩劇に喜劇の要素をとりいれ,巧妙な作劇術を駆使 ①文学 534 C

③音演 492 B図 →イギリス演劇〔20世紀〕→現代演劇
フライ, R 〔イギリス〕 ②美術→印象主義〔後期印象主義〕
フライ(川) 〔パプアニューギニア〕 ⑩世地 530 D →ニューギニア(島)
ブライ, H 〔ドイツ〕〔1929〕 バリトン歌手。欧米の各歌劇場で活躍。オペラだけでなく歌曲にも優れた ③音演 492 B図
ブライアー〈エイジュ〉 ⑲植物 561 A
フライ・アッシュ ⑰科技→セメント〔種類〈シリカセメント〉〕 ⑱宇地→大気汚染〔原因と影響〕
ブライアー・パイプ ⑬生活→喫煙具〔パイプ〕図
ブライアン, W 〔アメリカ〕〔1860-1925〕 政治家,国務長官。つねに金権政治に反対し,平和維持に努めた進歩派 ⑨世史 544 C
ブライアント, W 〔アメリカ〕〔1794-1878〕 詩人。文学上はロマンティシズムを推進,政治的には進歩主義を擁護 ①文学 534 D
ブライオトロン ⑰科技→エレクトロニクス図 →電子管〔歴史〕
フライ返し ⑬生活→調理器具〔小道具〕図
フライキャスティング ⑬生活→釣り〔種類〈ルアーフィッシング〉〕図
フライ・ギャラリー ③音演→劇場〔現代〈プロセニアム・ステージ劇場〉〕
フライ級 ⑬生活→ボクシング〔表階級〕 →レスリング〔表階級〕
フライシック, W ⑰科技→ブラウン管〔カラー〕
ブライジヒ, K 〔1866-1940〕 ⑨世史→時代区分
フライシャー(兄弟) 〔アメリカ〕 兄〔1889-1972〕 弟〔1894-〕 ③音演→アニメーション映画〔アメリカ〕図
フライシャットル〈飛び杼〉 ⑰科技→織機〔手機〕
ブライス, J 〔イギリス〕〔1838-1922〕 政治学者・政治家。グラッドストン内閣の外務次官などの要職を歴任 ⑨世史 544 C図 ⑪政社 502 D →政党〔代議制〈議会政治〉〕
プライス, R 〔イギリス〕 ⑫経産→減債基金
ブライスキャニオン ⑱宇地→土柱図
ブライスキャニオン国立公園 ⑩世地→アメリカ(合衆国)〔表国立公園〕図 →ユタ(州)
プライス盤〈ミーリング盤〉 ⑰科技→機械仕上げ →工作機械図表 →ホイットニー, E図
『ブライズヘッドふたたび』 ①文学→ウォー, E
プライスリーダー制 ⑫経産→寡占〔集中型寡占〕
フライターク, G 〔ドイツ〕〔1816-1895〕 小説家・劇作家。プロイセンのドイツ統一のために筆をふるう ①文学 534 D →戯曲〔構造〕
ブライダルドレス ⑬生活→ドレス〔分類〈ウェディングドレス〉〕
ブライディー, J 〔イギリス〕〔1888-1951〕 劇作家。生涯を医者との兼業で過ごし,B.ショーふうの喜劇を得意とする ①文学 534 D
ブライテンフェルトの戦い ⑨世史→三十年戦争
ブライト, J 〔イギリス〕〔1811-1889〕 政治家。雄弁家で,コブデンと協力して穀物法の撤廃を実現 ⑨世史 544 C →穀物法 ⑫経産→マンチェスター学派
ブライト, R 〔イギリス〕〔1789-1858〕 医者。たんぱく尿と腎臓病の関係を明らかにした ⑭医学 169 D →血圧
プライド ⑳動物→ライオン〔生態〕
ブライトコントラスト ⑯物数→位相差顕微鏡〔原理〕
フライトシミュレーター ⑰科技→アナログ計算機〔応用〕 →シミュレーター
フライト・シューティング ⑬生活→アーチェリー〔競技〕
ブライトストック ⑮化学→石油〔精製〈潤滑油〉〕
プライドの追放 ⑨世史 544 D →長期議会
ブライト・バンド ⑱宇地→みぞれ
ブライド・ピーク ⑩世地→チョゴリザ(山)
ブライト病 ⑭医学→血圧〔高血圧〕
フライドポテト ⑬生活→ジャガイモ〔料理〕
フライトレコーダー〈飛行記録計〉 ⑰科技 591 B →航空計器〔種類〕
ブライトン 〔イギリス〕 ⑩世地 530 D
ブライトン派 ③音演→映画〔無声映画〈第1期〉〕
無頼派 ⇨新戯作派
プライバシーの権利 ⑪政社 503 A →人格権 →ブランダイス, L
フライパン ⑬生活→いため物 →鍋〔種類〕図 →焼き物〔間接焼き〕
ブライブトロイ, C 〔ドイツ〕〔1859-1928〕 劇作家・小説家。シェークスピア作品の真の作者をルートラントと主張 ①文学 535 A
フライブルク 西ドイツ ⑩世地 530 D
フライブルク《スイス》 ⇨フリブール
フライヘル ⑨世史→爵位〔西洋〕
プライマリー・ストラクチュア ②美術→現代美術〔欧米〈第二次大戦後〉〕
プライム・レート ⑫経産 521 C
フライヤー ⑬生活→とり肉〔特徴〕
プライヤー, H 〔イギリス〕 ⑳動物→昆虫学〔歴史〕
ブライラ 〔ルーマニア〕 ⑩世地 530 D
フライリヒラート, H 〔ドイツ〕〔1810-1876〕 革命的叙情詩人。時代の反動的圧制に抗して詩作,イギリスへ亡命 ①文学 535 A
フライ・ロフト ③音演→劇場〔現代〈プロセニアム・ステージ劇場〉〕
ブライン ⇨鹹水
フライングスタート法 ⑬生活→競艇
フライングスポットスキャナー方式〈FSS方式〉 ⑰科技→録画〔EVR〕
フライング・フォートレス〈ボーイングB-17〉 ⑰科技→飛行機図別
ブライン循環法 ⑮化学→海水淡水化〔方式〈蒸発法〉〕図
ブラインド ⑬生活→カーテン →採光〔遮光〕 →室内装飾〔寝室〕
ブラインド・ケイブフィッシュ〈メクラウオ〉 ⑳動物→熱帯魚〔別〈変わった淡水魚〉〕
ブラウアー, R 〔1901-1977〕 ⑯物数→ネーター, A →フロベニウス, F
ブラウアー, R ①文学→日本文学〔近代〈海外における日本文学〉〕
ブラウアー群 ⑯物数→多元環〔中心的単純多元環〕
ブラウエン 東ドイツ ⑩世地 530 D
フラウエン教会 ⑩世地→ミュンヘン
プラウシェア計画 ⑰科技→原子力〔爆発力利用〕
ブラウス ⑬生活 537 C →シャツ
ブラウダー, E 〔アメリカ〕〔1891-1973〕 共産主義者。共産党躍進に貢献したが,第二次大戦中に党不要論を唱え,戦後除名 ⑪政社 503 B図
プラウダ ⑪政社→新聞〔歴史〈欧米〉〕 ⑫経産→新聞業
プラウト, W 〔イギリス〕〔1785-1850〕 ⑮化学→アストン, F →元素〔元素観の変遷〈227 C〉〕 ⑯物数→原子論〔化学と原子論〕 →物理学〔歴史〈近代〉〕
プラウトゥス 〔前254?-184〕 ローマの喜劇作家。作品数130の中には彼の人気にあやかる模作が多く,実作は21編 ①文学 535 A →ラテン文学〔初期〕 ③音演 492 C
ブラウニング, E 〔イギリス〕〔1806-1861〕 女流詩人。R.ブラウニング夫人。アイスキュロスの翻訳がある ①文学 535 B図 →イギリス文学〔ビクトリア朝〕
ブラウニング, R 〔イギリス〕〔1812-1889〕 ビクトリア朝の代表的詩人。劇的独白の手法で知られる。ベネチアに客死 作『指輪と本』 ①文学 535 B図
プラウ=ワンサン口峡炎 ⑭医学→アンギナ
ブラウン 〔1881-1955〕 ④哲宗→人類学〈312 D〉 →タブー
ブラウン, A 〔ドイツ〕〔1805-1877〕 植物学者。植物分類に自然哲学の考えをとりいれた ⑲植物 561 A
ブラウン, C 〔アメリカ〕〔1771-1810〕 小説家。異常心理と超自然を土台とした作品で,ポーなどの先駆となる ①文学 535 D
ブラウン, C 〔アメリカ〕 ①文学→黒人文学
ブラウン, E 〔イギリス〕〔1866-1938〕 天文学者。月運動理論を研究し,その計算方法を完成 ⑱宇地 541 C →月〔時間〕
ブラウン, E 〔1912-1945〕 ⑨世史→ヒトラー, A〔人物〕図 ⑪政社→ナチズム図
ブラウン, F 〔アメリカ〕〔1906-1972〕 推理・SF作家。ショート・ショートの分野にも優れる ①文学 535 D
ブラウン, J 〔アメリカ〕〔1800-1859〕 奴隷制廃止論者。奴隷の蜂起を期待して兵器庫を占拠し,反逆罪で処刑 ⑨世史 544 D
ブラウン, K 〔ドイツ〕〔1850-1918〕 物理学者。ブラウン管を発明,また無線通信を研究。ノーベル賞受賞 ⑰科技 591 B図 →エレクトロニクス〈48 A〉 →ダイオード →電子管〔歴史〕 →半導体 →ブラウン管
ブラウン, O 〔1896?-?〕 ⑨世史→遵義会議
ブラウン, R 〔イギリス〕〔1773-1858〕 植物学者。水に浮かぶ微粒子の運動を発見し,物理学に重要課題を与えた ⑮化学 547 C →ブラウン運動 ⑯物数 483 B →ブラウン運動 ⑲植物 561 A
ブラウン, S ⑤日史→御雇外人教師表
ブラウン, T 〔イギリス〕〔1605-1682〕 文人。大陸の諸大学に医学を学び開業。サーに列せられた ①文学 535 D →エッセイ
ブラウン運動 ⑮化学 547 C →拡散 →ブラウン, R →分子〔概念の変遷〕 ⑯物数 483 C図 →応用数学 →コロイド →ブラウン, R ⑰科技→ウィーナー, N ⑲植物→ブラウン, R
ブラウン管 ⑯物数 484 A図 →陰極線〔成因〕図 →真空管 →電子管 ⑰科技 591 C図 →エレクトロニクス〈48 A〉 →写真植字〔電子植字機〕 →テレビジョン〔原理〕 →電子管〔マイクロ波管〕 →ブラウン, K
ブラウン管オシロスコープ ⇨オシロスコープ
ブラウン管表示装置 ⑰科技→電子計算機〔入出力装置〕図
ブラウン鉱 ⑱宇地 541 C
ブラウンシュワイク 西ドイツ ⑩世地 530 D
ブラウンシュワイク家 ⑨世史→ウェルフ家
ブラウンスイス ⑳動物→ウシ〔品種〕別
ブラウン=セカール, C ⑭医学→ホルモン〔沿革〕
ブラウントラウト〈ブラウンマス〉 ⑳動物→ニジマス →マス図
ブラウン・パワー ⑪政社→人種問題〔現代〕
フラウンホーファー, J 〔ドイツ〕〔1787-1826〕 物理学者。太陽スペクトル中に暗線を発見し記録 ⑯物数 484 B →フラウンホーファー線 ⑱宇地→フラウンホーファー線
フラウンホーファー回折 ⑯物数→回折図
フラウンホーファー線〈吸収線〉 ⑯物数 484 C図 →光〔吸収と放出〕 →フラウンホーファー, J ⑱宇地 541 C →太陽〔太陽スペクトル〕
ブラーエ ⇨ティコ・ブラーエ
プラエテクスタ劇 ③音演→ローマ演劇〔共和政〕
プラエトル ⑨世史 544 D →プロビンキア
フラオルテス ⑨世史→メディア
ブラーガ, T 〔ポルトガル〕〔1843-1924〕 詩人・文学史家。共和国の初代大統領。コントの実証哲学の遵奉者 ①文学 535 D
ブラーガ 〔ポルトガル〕 ⑩世地 531 A
プラーガ, E 〔イタリア〕〔1839-1875〕 詩人。ボヘミアン的文学グループの代表的存在として活躍 ①文学 536 A
プラーガ, M 〔イタリア〕〔1862-1929〕 劇作家。E.プラーガの息子。ブルジョア社会描破をめざす喜劇作家グループの一人 ①文学 536 A
ブラカップ ⑬生活→下着〔洋装〈ブラジャー〉〕
プラカード事件 ⑤日史→食糧メーデー
プラカラナ ③音演→インド演劇〔古代宮廷演劇〕
ブラガンサ 〔ポルトガル〕 ⑩世地 531 A
ブラガンサ 〔ブラジル〕 ⑩世地 531 A
ブラガンサ朝 ⑨世史 545 A
ブラカンマティ(島) ⑩世地→シンガポール(共和国)〔経済・貿易〕
ブラキオサウルス ⑳動物→恐竜〔竜脚類〕図
ブラキカム〈ヒメコスモス〉 ⑲植物 561 A
ブラキストン, T ⑧日地→ブラキストン線〈1232 A〉 ⑳動物→動物〔日本の動物相〕 →ブラキストン線
ブラキストン線 ⑧日地 1232 A →津軽海峡 →北海道〔自然〈植生〉〕 ⑳動物 548 C →動物〔日本の動物相〕
フラグ〔旭烈兀〕 〔1218-1265〕 イル・ハン国の創設者。チンギス・ハンの孫。兄の命で西アジアに遠征し善戦 ⑨世史 545 A →イル・ハン国 →モンゴル帝国〔拡大と分裂〕
部落 ⑥日史→部落解放運動 ⑪政社→農村〔村落の動揺と解体〕 →部落問題
プラグ ⑬生活→釣り〔種類〈ルアー〉〕図
プラグ ⑰科技→屋内配線〔配線器具〕
プラーグ ⇨プラハ
豊楽院 ⑤日史→皇位継承〔即位〕
部落会 ⑤日史→新体制運動 ⑥日史→隣組 ⑪政社→組
部落解放運動 ⑥日史 1009 C図表 →全国水平社 ⑪政社→部落問題
部落解放同盟〈部落解放全国委員会〉 ⑥日史→全国水平社 →部落解放運動 →松本治一郎 ⑪政社→部落問題〔部落解放運動〕
プラークシス ④哲宗→ギリシア哲学〔囲用語〕 →実践
プラクシテレス 〔ギリシア〕〔?-?〕 前4世紀ごろの彫刻家。古典後期の「優美様式」を創造 ②美術 521 D →アッティカ様式 →ギリシア美術〔彫刻〕
プラクシノスコープ ③音演→アニメーション映画〔始まり〕 ⑰科技→映画カメラ図
『普羅句集』 ①文学→前田普羅
フラグスタート, K 〔ノルウェー〕〔1895-1962〕 ソプラノ歌手。欧

ブラッシーの戦い ⑨世史 545 B →クライブ,R →東インド会社〔イギリス東インド会社〕
ブラッシュ,J ⑳動物→核酸〔RNA〕
ブラッシュカッター ⑰科技→掘削機械〔ブルドーザー〕
フラッシュ撮影 ⑰科技→カメラ〔アクセサリー〕
フラッシュ蒸発法 ⑮化学→海水淡水化〔方式〈蒸発法〉〕図
フラッシュドア ⑬生活→戸
フラッシュ法 ⑮化学→イオウ〔製法〕
フラッシュランプ〈ストロボライト〉 ⑯物数→コンデンサー〔利用例〕 ⑰科技→キセノンランプ
ブラッシング ⑬生活→美容〔髪〕
ブラッセル ⇨ブリュッセル
フラッタエコー ⑰科技→音響設計〔室内音響設計〕
ブラッチアノ(湖) ⑩世地 536 A
ブラッチーノ ③音演→人形劇〔形式の分類〈手遣い人形〉〕
ブラッデー・マリー ⑬生活→カクテル〔種類〈食前タイプ〉〕
ブラッテン,W ⑰科技→トランジスタ
フラット〈変記号〉 ③音演→楽典〔囲〈変化記号〉〕
プラット,E [1883/1964] イギリス系の詩人。雄大な構想で難解な詩編を多数発表 ①文学 536 C →カナダ文学〔イギリス系〕
プラット,J ⑱宇地→アイソスタシー
プラット,O [1827/1905] ⑨世史→プラット修正
プラット ⑰科技→トラス構造図
プラッド ⑬生活→洋装〔囲洋服地〈格子模様〉〕
プラットアーチ ⑰科技→アーチ構造〔図種類〕
『フラットエイヤルボウク』 ①文学→サガ
フラットカラー ⑬生活→衿〔カラー〈種類〉〕図
フラット国立公園 ⑩世地→アメリカ(合衆国)〔表国立公園〕
プラット修正 ⑨世史 545 B →善隣外交
ブラッドストリート,A [1612*/1672*] 同国最初の女流詩人。8人の子の母で,総督の妻という多忙な生活の中で詩作 ①文学 536 C
ブラッド・ストーン ⇨血石
フラットスラブ構造 ⑰科技→鉄筋コンクリート構造〔構法〕
ブラッドセンター ⑭医学→血液銀行〔献血〕
ブラッドハウンド ⑳動物→イヌ〔犬種〈獣猟犬〉〕図
ブラッドフォード,W [1590/1657] プリマス植民地の建設者。メイフラワー号で渡米。著書と書簡は貴重な史料 ⑨世史 545 C
ブラッドフォード ⑩世地 536 B
ブラッドベリ,R [1920] SF作家。アメリカ幻想文学の正統を継ぐ ①文学 536 C
プラットホーミング ⑮化学→石油〔精製〈高オクタン価ガソリン製造法〉〕
プラットホーム〈旅客乗降場〉 ⑰科技→駅〔旅客駅〕
ブラッドリー,A [1851/1935] 批評家。シェークスピア学者として傑出。詩学教授をつとめる ①文学 536 C
ブラッドリー,F [1846/1924] ④哲宗→イギリス・ヘーゲル学派
ブラッドリー,J [1693/1762] 天文学者。光行差を発見。6万個に及ぶ恒星の位置測定を行う ⑯物数 487 B →光行差 →光 ⑱宇地 542 B →章動 →星表〔歴史的な星表〕 →地動説 →天文学〔宇宙観〈恒星系空間時代〉〕
ブラッドロー,C ⑫経産→新マルサス主義
フラップ ⑰科技→STOL →飛行機〔飛行の原理〈揚力〉〕
ブラッヘ ⇨ブリュッゲ
プラディ,M [1823/1896] ②美術→写真〔囲写真家〕別
プラティ ⑳動物→熱帯魚〔飼育〕〔別〈淡水魚〉〕
プラーティ,G [1814/1884] 詩人。熱烈な愛国者,君主制主義者。同国第2期ロマン主義を代表 ①文学 536 D
ブラティアヌ(大) [1821/1891] 政治家,首相。名門の家に生まれ,パリで学び,自由主義者となる ⑨世史 545 C
ブラティアヌ(小) [1864/1927] 政治家,首相。パリで工学を学び帰国。第一次大戦では連合国側について参戦 ⑨世史 545 C
プラティキニン ⑮化学→アミノ酸〔利用〕
プラティハーラ朝 ⑨世史→ラージプート諸王朝
プラティペディデー科 ⑳動物→セミ〔分類〕
プラティン,W ⑰科技→時計〔歴史〈第3期〉〕
プラテオサウルス ⑱宇地→恐竜〔進化〕 ⑳動物→恐竜〔竜脚類〕図
プラテュテーラ型 ②美術→聖母子像

『プラテーロと私』 ①文学→ヒメネス,J
プラーテン,A [1796/1835] 擬古典主義の叙情詩人。ナポリやローマを遍歴,シチリアで病没。戯曲もある ①文学 536 D
フラート(川) ⑩世地→ユーフラテス(川)
ブラード,E [1907] 地球物理学者。地球磁場の起原に関するダイナモ理論を研究 ⑱宇地 542 B →海底〔探究の歴史〕 →ダイナモ理論
プラトー ⇨プラトン
プラトー,J [1801/1883] ⑯物数→変分法
プラド,P ③音演→ラテン音楽図
プラド ⑩世地→ラパス《ボリビア》
プラトー基地 ⑱宇地→南極図
プラド・ツェペシュ ⑩世地→ブクレシュチ
プラド通り ⑩世地→マドリード
プラトーノフ,A ソ連[1899/1951] 小説家・評論家。風刺的作品が当局の忌諱に触れ,沈黙をしいられた ①文学 536 D
プラトーの問題 ⑯物数→変分法
プラド美術館 ②美術 687 A ⑩世地→マドリード
ブラトビッチ,M [1930] 小説家。カフカの影響を受け,象徴操作を得意とする ①文学 537 A
ブラード・プロセス〈ブラード過程〉 ⑱宇地→ダイナモ理論〔一様ダイナモ〕図 →ブラード,E
プラドホ(湾) ⑩世地→北極〔住民・産業〕
プラトリーニ,V [1913] ネオ・レアリズモの小説家。印刷工をしながら古典文学を研究 ①文学 537 A
フラートン,J [1780*/1849*] 金融理論家。銀行主義の代表者の一人で通貨主義を批判 ⑫経産 521 D →金融理論〔通貨論争〕
プラトン [前429*/347*] 哲学者。哲人政治の思想を確立。学園アカデミアを設立 作『饗宴』『ソクラテスの弁明』 ①文学 537 A図 →ギリシア文学〔散文〕 ④哲宗 511 B図 →イデア →ギリシア哲学〔古典期〕 →国家哲学〔古代・中世〕 →ソクラテス →存在論 →プラトン学派 →問答法 ⑨世史 545 C →アカデミア →アトランティス →アリストテレス →科学史〔ギリシア・ローマ〈アテネ時代〉〕 ⑯物数 487 B図 →アリストテレス ⑪政社→ギリシアの政治思想〔前4世紀〕図 →政治学〔研究領域・特質〕 ⑰科技→科学〔歴史〈ギリシア〉〕
プラトン・アカデミア ④哲宗→イタリア哲学 ⑨世史→ルネサンス〔変質〕
プラトン学派 ④哲宗 512 B
『プラトン・クレチェット』 ①文学→コルネイチュク,A
プラトン主義 ④哲宗→プラトン学派〔2〕
プラトンの立体 ⑯物数→多面体〔囲〈正多面体〉〕
『プラトンの霊魂論』 ④哲宗→モア,H
『プラーナ』 ④哲宗 512 C →ヒンズー教
プラナコンシーアユタヤ ⇨アユタヤ
プラナリア ⑳動物 549 A →ウズムシ →極性図 ⑭医学→脳〔図神経系の構成〕
『フラニー』 ①文学→サリンジャー,J
フラニ族 ⑩世地→ガンビア(共和国) →ギニア(人民革命共和国)〔社会・文化〕
プラニメーター〈面積計〉 ⑰科技 594 A →測量〔面積測定法〕
プラヌラ幼生 ⑳動物→イシサンゴ〔生態〕 →イソギンチャク〔生殖と発生〕 →クラゲ〔生殖〕 →腔腸動物 →世代交代図
プラネタリウム ⑱宇地 542 C図
『プラネタリウム』 ①文学→サロート,N →ヌーボー・ロマン
プラネット(海淵) ⑱宇地→海底図
フラノ ⑬生活→毛織物
富良野(市) 北海道 ⑧日地 1024 B
富良野芦別道立自然公園 ⑧日地→芦別岳
プラノ・カルピニ ⑨世史→東西交渉史〔図東西旅行者経路〕
フラノシド ⑮化学→糖〔単糖の誘導体〈配糖体〉〕
フラノース ⑮化学→糖〔単糖の環状構造〕
富良野線 ⑧日地→根室本線 →函館本線
富良野岳 北海道 ⑧日地 1024 B図
富良野盆地 北海道 ⑧日地 1024 B
プラハ ⑩世地 536 B図 →チェコスロバキア(社会主義共和国)図
プラハ(盆地) ⑩世地→プラハ
プラハ会議 ⑨世史→汎スラブ主義
プラバーカラバルダナ ⑨世史→ハルシャ
『プラハ交響曲』 ③音演→モーツァルト,W
プラハサナ ③音演→インド演劇〔古代宮廷演劇〕

プラハ城ギャラリー ②美術 687 B
プラバーズ,C [1791/1853] ⑭医学→注射〔注射器〕
フラハーティ,R [1884/1951] 記録映画監督。エスキモー人の生活を撮影した『極北のナヌック』はドキュメンタリーの傑作 ③音演 492 D図 →映画〔無声映画〈第3期〉〕 →記録映画
プラハ動物園 ⑳動物→動物園〔表世界〕
フラバヌス・マウルス ⑨世史→カロリング朝〔カロリング朝ルネサンス〕
プラハの春 ⑪政社→東欧政治事情
プラハの和 ⑨世史 545 C →ケーニヒグレーツの戦い →プロイセン・オーストリア戦争
フラバノン ⑮化学→フラボン図
ブラバム,J ⑬生活→自動車レース〔グランプリ・レーサー〕図表
プラバラセーナ(一世) ⑨世史→バーカータカ朝
フラ・バルトロメオ ⇨バルトロメオ,F
ブラバン(地方) ⑩世地→ベルギー(王国)〔自然〕
ブラバンソン種 ⑳動物→ウマ〔品種〈重種〉〕
プラバンチャ ①文学→『ナーガラクルターガマ』 ⑨世史→『ナーガラ・クルターガマ』
『ブラバントの歌』 ③音演→軍歌
フラビウス家 ローマ帝政期の王朝の一つ。ベスパシアヌス,ティトゥス帝などを生んだ家系 ⑨世史 545 D
フラビン ⑲植物→植物色素
フラビンアデニンジヌクレオチド〈FAD〉 ⑭医学→ワールブルク,O〈32 D〉
フラビンモノヌクレオチド〈FMN〉 ⑭医学→ワールブルク,O〈32 D〉
ブラブウラ ③音演→音楽用語〈629 A〉
ブラフマー ⇨梵天
ブラフマーグプタ [598/660] 数学者・天文学者。1元2次方程式の根を導いた最初の人 ⑯物数 487 C →不定方程式
『ブラフマ・スートラ』 ④哲宗→六派哲学〔ベーダーンタ学派〕
『ブラフマー・スプタ・シッダーンタ』 ⑯物数→ブラフマーグプタ
『ブラーフマナ』 ①文学→インド・パキスタン文学〔古代〕 ④哲宗→インド哲学〔古代〕 →ヒンズー教 ⑨世史→バラモン教
ブラフマン〈梵〉 ④哲宗→インド哲学〔古代〕 →宇宙論 →『ウパニシャッド』 →ヒンズー教 →六派哲学〔ベーダーンタ学派〕 ⑨世史→ウパニシャッド
ブラーフミ文字 ⑨世史→文字〔オリエントからの伝播〕
ブラーフモー・サマージ ⑨世史 545 D →ヒンドゥー教
ぶらぶら節 ③音演→民謡〔表〈長崎〉〕
ブラベ格子 ⑮化学→結晶〔結晶系〕図
フラボノイド ⑮化学 558 A →色素 ⑲植物→植物色素
フラボノール ⑮化学→色素 →フラボン図
フラボン ⑮化学 558 A図 →色素 ⑲植物 561 C →植物色素
ブラマー,J [1748/1814] ⑬生活→万年筆
『プラマーナ・バールティカ』 ④哲宗→法称
ブラマプトラ(川) 中国・インド・バングラデシュ ⑩世地 536 D
フラマン ⑩世地→ベルギー(王国)〔略史〕
ブラーマン〈コブウシ〉 ⑳動物→ウシ〔類縁種〕
ブラマンク,M [1876/1958] 画家。力強いデフォルメの底に表現主義的な気迫がみなぎる作品で知られる ②美術 522 C図 →フォービスム図
ブラマンテ,D [1444*/1514] 盛期ルネサンスの建築家・画家。集中式会堂形式の典型化に努力 ②美術 522 D →ウンブリア派 →サン・ピエトロ大聖堂
フラミニヌス ⑨世史→マケドニア戦争
フラミンゴ ⑳動物→熱帯魚〔別〈淡水魚〉〕
フラミンゴ〈ベニヅル〉 ⑳動物 549 A図 →巣〔鳥類〕 →鳥類〔形態〈くちばし〉〕
ブラーム,O [1856/1912] ③音演→近代劇
プラム ⇨スモモ
フラム号 ⑧日地→アムンゼン,R〈1198 A〉 ⑨世史→アムンゼン,R ⑱宇地→アムンゼン,R図 →海洋〔探検〕 →北極図
プラムコット ⑲植物→アンズ
ブラームス,A ⑱宇地→川〔作用〕
ブラームス,J [1833/1897] 作曲家。オペラ以外の分野に優れた作品を残し,ドイツ音楽の伝統に立った堅固な構成感をみせる ③音演 493 C図 →交響曲

フリードマン, M アメリカ［1912］ 経済学者。通貨面の重要性を強調,新貨幣数量説を展開。ノーベル賞受賞 ⑫経産527 A図 →貨幣数量説 →近代経済学〔第二の危機〕 →消費関数〈恒常所得仮説〉
フリードマン宇宙 ⑱宇地→宇宙〔膨張宇宙の理論〕
フリードマン反応 ⑭医学→妊娠〔徴候と診断〈生物学的妊娠診断法〉〕
フリードマン命題 ⑫経産→キャピタルゲイン・キャピタルロス
フリードライヒ病 ⑭医学→遺伝〔表遺伝性の病気〕
フリードリヒ, C ドイツ［1774-1840］ 画家。風景における悲劇の発見者といわれ,同国ロマン派の代表 ②美術526 B →ドイツ美術〔19 世紀〕図
フリードリヒ(一世)〈バルバロッサ〉［1122*-1190］ 神聖ローマ皇帝。イタリア遠征 6 回。騎士的君主として後世から敬慕された ⑨世史560 A →十字軍〔第 3 回〕 →神聖ローマ帝国〔崩壊〕 →ホーエンシュタウフェン朝 →ロンバルディア同盟
フリードリヒ(二世)［1194-1250］ 神聖ローマ皇帝。パレルモの宮廷に住みドイツに無関心。第 6 回十字軍を実行 ⑨世史560 B →インノケンティウス(四世) →十字軍〔第 6 回〕 →神聖ローマ帝国〔崩壊〕 →領邦国家〔成立〕 ④哲宗→十字軍〔経過〕
フリードリヒ(三世)〈賢公〉［1463-1525］ ザクセン選帝侯。賢明で聞こえ,ルターをワルトブルク城にかくまい保護 ⑨世史560 D →ウォルムス国会 →マーチャーシュ
フリードリヒ(一世) ドイツ［1657-1713］ 初代プロイセン国王。政治には無為無策,ベルリンに豪奢な宮廷を造営 ⑨世史560 B →プロイセン〔王国〕
フリードリヒ(二世)〈大王〉 ドイツ［1712-1786］ プロイセン王。「君主は国家第一の下僕」を信条とした啓蒙専制君主の一典型 ⑨世史560 C図 →アーヘンの和約 →啓蒙専制主義 →七年戦争 →シュレージエン戦争 →ドイツ〔歴史〈封建反動〉〕図 →フベルトゥスブルク条約 →プロイセン〔王国〕 →ポーランド分割 ⑫経産→絶対主義〔諸類型〕
フリードリヒ(美王) ドイツ［1286-1330］ 国王。ハプスブルク家の出身。端麗で善良だが君主としての器量に欠けた ⑨世史560 D
フリードリヒ・アウグスト(一世) ⇨アウグスト(二世)
フリードリヒ・アウグスト(二世) ⇨アウグスト(三世)
フリードリヒ・ウィルヘルム〈大選帝侯〉［1620-1688］ ブランデンブルク選帝侯。フランスから脱出したユグノーを迎え殖産に努めた ⑨世史561 A
フリードリヒ・ウィルヘルム(一世)［1688-1740］ プロイセン王。強大な軍隊と充実した国庫を子のフリードリヒ大王に残した ⑨世史561 A図
フリードリヒ・ウィルヘルム(二世) ⑨世史→ピルニッツの宣言
フリードリヒ・ウィルヘルム(三世)［1770-1840］ プロイセン第 5 代の王。優柔不断でナポレオンと戦って敗れ,王妃に助けられる ⑨世史561 B →ティルジット条約
フリードリヒ・ウィルヘルム(四世)［1795-1861］ プロイセン国王。空想的ロマンチストで政治的手腕に欠けた ⑨世史561 B →オルミュッツの屈服 →三月革命〔進展〕
フリードリヒ・ウィルヘルム(運河) ⑰科技→運河〔歴史〕
フリードリヒ街 ⑩世地→ベルリン〔東ベルリン〕
フリードリヒ・フォン・ハウゼン ①文学→ミンネゼンガー
フリートレンダー, M ドイツ［1867-1958］ 美術史家。ベルリンの国立美術館長をつとめ,美術鑑定家でもある ②美術526 C
ブリトン(島) ⇨ブリトゥン(島)
ブリトン人 ⑨世史561 B →アングロ・サクソン →イギリス(史)〔ブリタニア〈鉄器時代〉〕 ⑩世地→イギリス(連合王国)〔社会・文化〈人種〉〕
プリニウス(大)［23?-79］ ローマの政治家・文人。総督などを歴任。37 巻の百科全書『博物誌』で知られる ①文学542 C ⑨世史561 C ⑮化学→せっけん〔歴史〕 ⑰科技→鉱山〔照明〕
プリニウス(小)［61?-113?］ ローマの政治家。有能な官僚として活躍。演説家・文章家としても優れた ①文学542 C →ラテン文学〔白銀時代〕 ⑨世史→プリニウス(大)
プリニエ, C フランス［1896-1952］ 小説家。フランス語で書いた。第三インターに属したが,トロツキストとして追放 ①文学542 C
プリニコス ギリシア ①文学→戯曲〔歴史〕 ③音演→ギリシア演劇〔悲劇〕
ブリーニョルブル・スベインソン アイスランド ①文学→『エッダ』
ブリネル硬度 ⑯物数→硬度〔押込み法〕 ⑰科技→材料試験〔かたさ試験〈押込み式〉〕
フリノフ ⑩世地→キーロフ
『ブリハットカター』 ①文学→『カターサリットサーガラ』 →グナーディヤ →『ベーターラパンチャビンシャティカー』
プリービエ, T ドイツ［1892-1955］ 小説家。水兵の反乱に加わった体験から,ルポルタージュ文学に手を染める ①文学542 C
フリー・ピストル射撃競技 ⑬生活→射撃競技〔ライフル射撃〕図
プリピヤチ(川) ソ連 ⑩世地548 B
プリビロフ(諸島) アメリカ/アラスカ ⑩世地548 B →アラスカ(州) ⑳動物→オットセイ
ブリーフ ⑬生活→下着〔洋装〕
フリブール スイス ⑩世地548 B
プリペアード・ピアノ ③音演→ケージ, J
フリーボード〈乾玄〉 ⑰科技→船〔囲用語〕
プリマキン ⑭医学→マラリア
プリマス イギリス ⑩世地548 B
プリマス植民地 ⑨世史→ピルグリム・ファーザーズ ⑩世地→アメリカ(合衆国)〔略史〈探検と植民〉〕
『プリマス植民地の歴史』 ⑨世史→ブラッドフォード, W
プリマ・バレリーナ ③音演→バレエ〔囲用語〈バレリーナ〉〕
フリーマン, R イギリス［1862-1943］ 推理作家。病院を開業するかたわら,科学的探偵物の第一人者となる ①文学542 D →推理小説〔作風〕〔外国〕
フリマントル オーストラリア ⑩世地548 C
プリミティブ・アート ②美術526 D
ブリム ⑬生活→帽子〔種類〕
プリムラ ⑲植物563 B図 →園芸〔図フラワーカレンダー〈1〉〕 →サクラソウ
フリムル, R アメリカ［1879-1972］ 作曲家・ピアニスト。オペレッタに優れ,エキゾチックな旋律で人気を博した ③音演499 D
フリーメーソン ⑨世史561 C ⑪政社→秘密結社〔二〕
プリメチン ⑮化学→フラボン図
プリモ・デ・リベーラ スペイン［1870-1930］ 軍人。クーデターで政権をとり,国王承認のもとに軍事的独裁を行った ⑨世史561 C →アルフォンソ(十三世) →スペイン・ポルトガル(史)〔ヨーロッパの後進国〈20 世紀のスペイン〉〕
プリモルスキー(地方) ⇨沿海地方
『プリヤダルシカー』 ①文学→ハルシャ
振り八つ口 ⑬生活→袖〔和服〕
ブリャート ソ連/ロシア ⑩世地548 C
ブリヤンスク ソ連/ロシア ⑩世地548 C
ブリュー, E フランス［1858-1932］ 劇作家。自由劇場出身作家の一人。当面する社会問題を平易なせりふで訴えた ①文学542 D
ブリュアン, A［1851-1925］ ③音演→シャンソン《ポピュラー》〔特徴〕図
風流 ③音演499 D →歌舞伎〔歴史〈源流と創生〉〕 →狂言 →民俗芸能〔種類〕
浮流 ⑱宇地→川〔作用〕
風流踊 ③音演500 C図 →歌謡〔日本〕
浮流土砂量 ⑱宇地→川〔作用〕
不立文字 ④哲宗→栄西〔興禅護国論〕 →禅宗 →仏教〔囲用語〈教外別伝〉〕
フリューク〈錨爪〉 ⑰科技→アンカー図
ブリューゲル, P(一世)［1528*-1569］ ネーデルランドの画家。写実的に農民生活の実相を描き,最初の農民画家といわれる ②美術527 A図 →風俗画 →フランドル美術〔絵画〕図
ブリューゲル, P(二世)［1564-1638］ 画家。ブリューゲル一世の子。空想的あるいは怪奇な場面を好んで描いた ②美術527 B
ブリューゲル, J［1568-1625］ 画家。ブリューゲル二世の弟。緻密な手法で花の描写に優れた ②美術527 B
『ブリューゲルの絵その他』 ①文学→ウィリアムズ, W
ブリュージュ ⇨ブリュッゲ
ブリュージュ市立美術館 ②美術687 B
ブリュー水性ガス ⇨水性ガス
ブリューソフ, V ソ連［1873-1924］ 詩人・文芸学者。モダニズム芸術文学の代表。高等文学専門学校を創設 ①文学542 D →象徴主義〔ロシア象徴主義〕 →『ベスイ』
プリュッカー, J ドイツ［1801-1868］ 数学者・物理学者。磁性体に関する実験研究を行い,陰極線を発見 ⑯物数495 A →代数幾何学〔高次曲線〕
プリュッカー管 ⇨ガイスラー放電管
プリュッカーの関係式 ⑯物数→代数幾何学〔高次曲線〕
ブリュックナー, E ドイツ［1862-1927］ 気候学者。アルプス地方の氷河を研究し,氷期や間氷期を明らかにした ⑱宇地543 C
ブリュックナー周期 ⑩世地→カスピ(海) ⑱宇地→ブリュックナー, E
ブリュッゲ〈ブリュージュ〉 ベルギー ⑩世地548 C →ベルギー(王国)図
ブリュッケ派〈橋派〉 ②美術→表現主義
ブリュッセル〈ブラッセル〉 ベルギー ⑩世地548 C図 →ベルギー(王国)図 ⑫経産→金融市場〔囲金融センター〈ヨーロッパ〉〕
ブリュッセル王立美術館 ②美術687 B
ブリュッセル王立歴史美術館 ②美術687 C
ブリュッセル条約 ⑪政社508 B →北大西洋条約機構 →西欧連合 ⑨世史→北大西洋条約機構 →西欧同盟
ブリュッヒャー, G［1742-1819］ 軍人。プロイセン軍の指揮をとり,負傷したが,解放戦争の最終的勝利に貢献 ⑨世史561 D →グナイゼナウ, A →ワーテルローの戦い
ブリュッヘル号 ⑰科技→スチーブンソン, G
プリュドン, P フランス［1758-1823］ 画家。ナポレオンの 2 人の皇后から庇護を受け,肖像画を描いた ②美術527 B図
ブリューニング, H ドイツ［1885-1970］ 政治家,首相。議会の確たる支持が得られずワイマール共和国の没落を早めた ⑨世史561 D
ブリュネット ③音演→歌謡〔西洋〕
ブリュメール 18 日のクーデター ⑨世史→統領政府 →ナポレオン(一世) →フランス革命〔終結〕 ⑪政社→クーデター
フリュリー ⑨世史→ルイ(十五世)
フリューリ・ベネチア・ジュリア イタリア ⑩世地549 A
ブリュローフ, K ロシア［1799-1852］ 画家。儀容肖像画の伝統を動勢と流動的な色感の導入で刷新 ②美術527 C →ロシア美術〔19 世紀〕
ブリュン ⇨ブルノ
ブリュンチエール, F フランス［1849-1906］ 批評家・文学史家。文芸ジャンルの進化説を唱えた ①文学542 D →『両世界評論』
ブリュン民族綱領 ⑨世史→オーストリア社会民主労働者党
『俘虜記』 ①文学→大岡昇平 →日本文学〔近代〈戦後文学〉〕
浮力 ⑯物数495 A図 ⑰科技→航空機〔分類〕 →船〔理論〕
フリョーディング, G スウェーデン［1860-1911］ 民衆詩人。民謡調の押韻の正確な詩形で農民生活をユーモラスに描き親しまれる ①文学543 A
フリーラジカル ⇨遊離基
フリーラジカルロケット ⑰科技→ロケット・エンジン〔種類〕
ブリランテ ③音演→音楽用語〈629 A〉
ブリル, P［1554-1626］ ②美術→バロック美術〔イタリア〕
フリル基 ⑮化学→基表
振分髪 ⑥日史1011 D ⑬生活→髪形〔子供〕
振分け分岐器 ⑰科技→分岐器〔図種類〕
プリン ⑮化学561 A
プリンガー スイス ⑨世史→宗教改革〔経過〕
プリンキパトゥス ⑨世史561 D →ローマ〔帝政期〕 ④哲宗→アウグストゥス
『**プリンキピア**』〈自然哲学の数学的原理〉 ⑯物数495 C →応用数学〔古典力学〕 →重力理論〔ニュートンの理論〕 →ニュートン, I ④哲宗→ニュートン, I ⑰科技→科学〔語義〕図 ⑱宇地→ニュートン, I 図
『プリンキピア・マテマティカ』〈数学原理〉 ④哲宗→イギリス哲学〔現代〈1930 年代〉〕 →ホワイトヘッド, A →ラッセル, B ⑯物数→証明〔歴史〕 →ラッセル, B
プリンケプス ⑨世史→アウグストゥス ⑪政社→ローマの政治思想〔共和制後期〕

フレミング液　⑳動物→フレミング,W
フレミングの法則　⑯物数 497 A図　⑰科技→フレミング,J
フレミング左手の法則〈左手3指の法則〉　⑯物数→渦電流　→電磁誘導　→電流磁気効果〔ホール効果〕　→フレミングの法則　⑰科技→電動機
フレミング右手の法則　⑯物数→電磁波　→電磁誘導　→フレミングの法則
フレミングバルブ　⑰科技→エレクトロニクス図　→電子管〔歴史〕
フレーム　⑬生活→サイクリング〔サイクリング用車〕図　⑰科技→自転車〔基本構造〕図
フレーム　⑲植物 564 B図
フレームシステム　⑰科技→プレハブ建築〔部品化の方法〕
プレーム・チャンド　インド〔1880–1936〕　ヒンディー語・ウルドゥー語小説家。ガンジーの非協力運動に共鳴　作『ゴーダーン』　①文学 549 D　→インド・パキスタン文学〔近代〕
フレームティルトアップ方式　⑰科技→プレハブ建築〔特殊プレハブ建築〕
フレーム分光分析〈炎光分光分析〉　⑮化学→炎色反応
ブレメル,F　ベルギー　⑭医学→睡眠〔睡眠学説〈刺激遮断説〉〕
ブレーメルハーフェン　西ドイツ　⑩世地 553 C
ブレーメン　西ドイツ　⑩世地 553 C図　→ドイツ(連邦共和国)〔地方誌〕
ブレモン,H　フランス〔1865–1933〕　批評家・文学宗教史家。「純粋詩」を提唱,文壇に反響をよぶ　①文学 550 A　→純粋詩
フレモント,J　〔1813–1890〕　⑨世史→共和党
プレーヤー,G　南アフリカ　⑬生活→ゴルフ〔歴史〕図
プレヤデス〈すばる〉　⑱宇地 545 A　→HR図〔恒星の分類〕　→すばる　→星団〔銀河星団〕図
プレヤデス星団　⑱宇地→おうし座
ブレラ美術館　②美術 687 C　⑩世地→ミラノ
プレ・ラファエル派　②美術 529 D　①文学→ロセッティ,D
プレーリー　⑧日地 1232 B　⑲植物 565 A　→植生〔気候要因〕　→ステップ　→草原　⑱宇地→ステップ　→草原
ブレリオ,L　フランス〔1872–1936〕　⑰科技→飛行機〔歴史〈発達〉〕表
ブレリオXI　⑰科技→飛行機図別
フレーリッヒ症候群　⑭医学→標準体重〔肥満児〕
プレーリー土〈ブルニゼム〉　⑱宇地→土壌〔生成作用と土壌型〕
プレーリードッグ　⑳動物 551 B図　→リス〔地上性〕
プレリュード　⇨前奏曲
フレール　〔1891–1951〕　③音演→シャンソン《ポピュラー》〔特徴〕図
プレン,K　⑱宇地→C層　→地球〔内部構造〕　→マントル
ブレーン　⑬生活→もつ〔種類〕
ブレーン〈民謡〉　①文学→東南アジア文学〔土着的〕
プレーンオムレツ　⑬生活→卵料理〔料理〕
ブレンケ　⑱宇地→湿原
フレンケル,A　ドイツ〔1849–1916〕　⑭医学→肺〔肺炎双球菌〕
『フレンジー』　③音演→ヒッチコック,A
ブレンステッド塩基　⑮化学→アルミニウム〔化合物〈イオン性化合物〉〕
ブレンステッド-ローリーの酸塩基　⑮化学→酸・塩基
ブレーン・ストーミング　⑫経産→経営教育
フレンスブルク　西ドイツ　⑩世地 553 D
プレーンセロハン　⑰科技→セロハン〔性質〕
フレンセン,G　ドイツ〔1863–1945〕　小説家。郷土や民俗性を強調したため,ナチス時代にも評価される　①文学 550 A
不連続式がま　⑮化学→陶磁器〔焼成炉〕
不連続進化の法則　⑱宇地→ドロ,L
不連続線　⑱宇地 545 A
不連続点　⑯物数→連続関数
不連続面　⑱宇地→不連続線
プレーンソーダ〈炭酸水〉　⑬生活→清涼飲料水
ブレンターノ,B　ドイツ〔1901–1964〕　小説家。C.ブレンターノの子孫。ジャーナリストとして活躍,社会主義に近づく　①文学 550 C
ブレンターノ,C　ドイツ〔1778–1842〕　後期ロマン派の詩人。才能に恵まれながら,形成と法則を軽視,大作はない　作『ゴッケル,ヒンケル,ガッケライア』　①文学 550 A図　→アルニム,A
ブレンターノ,F　ドイツ〔1838–1917〕　哲学者・心理学者。記述的心理学の理念を展開し,現象学に大きな影響を与える　④哲宗 517 C　→指向
ブレンターノ,L　ドイツ〔1844–1931〕　経済学者。新歴史学派の代表者の一人。賃金基金説を批判　⑫経産 528 D図　→価値判断〈84 C〉　→社会経済史学〈262 B〉　→人口論　→歴史学派　⑨世史→社会政策学会　⑪政社→講壇社会主義図
ブレンターノ,S　ドイツ〔1761–1806〕　女流詩人。C.ブレンターノと再婚。翻訳者としても活躍　①文学 550 A
フレンチ・インディアン戦争　⑨世史 565 D図　→アメリカ(合衆国)〔時代区分〈植民地時代〉〕
フレンチ・カンカン　③音演→カンカン
『フレンチ・カンカン』　③音演→ルノアール,J
『フレンチ警部最大の事件』　①文学→クロフツ,F
フレンチ・コンチネンタル　⑬生活→背広〔型〕
フレンチスリーブ　⑬生活→袖〔スリーブ〕図
フレンチトースト　⑬生活→パン〔料理〕
フレンチ・ドレッシング　⑬生活→サラダ〔ソース〕
フレンチフライ　⑬生活→ジャガイモ〔料理〕
フレンチ・ホルン　⇨ホルン
フレンチ・マリーゴールド〈クジャクソウ〉　⑲植物→マリーゴールド図
ブレンツカテキン　⇨カテコール
プレンティー(湾)　⑩世地 553 D
ブレンディッド・ウイスキー　⑬生活→ウイスキー〔スコッチ・ウイスキー〕
フレンドシップ《人工衛星》　⑱宇地→宇宙開発〔有人宇宙計画〕
フレンド派　⇨クェーカー
ブレンナー(峠)　オーストリア・イタリア　⑩世地 553 D
ブレンハイムの戦い　⑨世史→スペイン継承戦争　→マールバラ
風呂　⑬生活→浴室　⑭医学→入浴　⑰科技→給排水設備〔衛生器具設備〕
風炉　⑬生活→茶道〔図茶道具〕
フロー　⑫経産→国民経済計算　→ストック分析・フロー分析
フロア　⇨床
ブロア　フランス　⑩世地 553 D
フロアー型ルームクーラー　⑰科技→家庭電化器具〔ルームクーラー〕
フロアサール,J　フランス〔1337?–1405?〕　年代記作家。聖職者で,エドワード三世の王妃に仕え重用される　①文学 550 C
フロアシフト　⑰科技→自動車〔構造〈トランスミッション〉〕
フロアダクト工事　⑰科技→屋内配線〔配線工事〕
フロイス,L　ポルトガル〔1532–1597〕　宣教師。織田信長の好遇を得て,京畿地方にイエズス会伝道を行う　⑥日史 1013 A　④哲宗→キリシタン〔囲人名〕　⑤日史→朝山日乗
プロイス,H　ドイツ〔1860–1925〕　政治家・憲法学者。共和国憲法の起草者として著名。シャイデマン内閣の内相　⑨世史 565 D
プロイセン〈プロシア〉　⑨世史 565 D図　→小ドイツ主義　→ドイツ〔歴史〈封建反動と啓蒙絶対主義〉〕　→ドイツ帝国　→ホーエンツォレルン家　→ユンカー　⑥日史→ドイツ　⑫経産→ドイツ経済事情〔近代化〕
プロイセン・オーストリア戦争〈七週戦争〉　⑨世史 566 C　→ケーニヒグレーツの戦い　→ドイツ〔歴史〈帝国主義〉〕　→プラハの和　→モルトケ(大)
プロイセン改革　⑨世史→シュタイン
プロイセン憲法　⑪政社→学問の自由
プロイセン・フランス戦争　⑨世史 566 D図　→ナポレオン(三世)　→パリ・コミューン　→ビアリッツの密約　→フランス(共和国)〔歴史〈市民社会〉〕　→モルトケ(大)　⑩世地→アルザス・ロレーヌ
フロイト,S　オーストリア〔1856–1939〕　神経科医。精神分析を創始し,20世紀の思想界に広範な影響を与える　①文学 550 C　→エロティシズム　→サディズム　④哲宗 517 D図　→心理学〔心に関する考察〕　→性格　→精神分析　→フェティシズム　→防衛機制　→夢　⑨世史 567 A　⑪政社→タブー　→フラストレーション　→フロイト主義　⑭医学→性欲〔目的〕　→ノイローゼ〔概念〕　→ヒステリー
フロイト主義　⑪政社 510 A図
ブロイヤー,M　アメリカ〔1902–1981〕　ハンガリー出身の建築家・家具デザイナー。鋼パイプや成型合板による椅子の考案で有名　②美術 530 A　→椅子〔美しさ〕図　→バウハウス
ブロイラー,E　スイス〔1857–1939〕　⑭医学→自閉症　→精神分裂病　→ヒステリー
ブロイラー　⑫経産→国際農産物　→畜産〔養鶏〕表　⑬生活→とり肉〔特徴〕　⑳動物→ニワトリ〔肉用種〕
フロイントリヒ,H　⑮化学→レオロジー〔誕生〕
浮浪　⑥日史→逃亡
ブロウ,J　イギリス〔1649–1708〕　③音演→アンセム　→オルガン〔オルガン音楽〕　→音楽〔西洋〈バロック〉〕
ブロウアー,L　〔1881–1966〕　⑯物数→位相幾何学〔組合せ位相幾何学〕
プロウィンキア　⇨プロビンキア
ブロウェル,A　〔1605?–1638?〕　フランドルの画家。農夫の生活を題材として,性格描写に富んだ風俗画を描く　②美術 530 A　→オランダ美術
不労所得　⑫経産→地価〔上昇の影響〕
不老長寿　⑭医学→民間療法
浮浪人　⑥日史→牢人〈古代〉
不老不死　④哲宗 518 C　→神仙思想　→道教〔思想・宗教生活〕
プロエシュティ　ルーマニア　⑩世地 554 A
ブローエル,L　〔1881–1966〕　⑯物数→ジョルダンの定理　→数学〔19世紀〈集合論〉〕　→数学基礎論　→ホモロジー群〔意味〕
ブローカ,P　フランス〔1824–1880〕　⑭医学→ガル,F〈466 D〉
プロカイン　⑭医学→麻酔〔局所麻酔〈局所麻酔剤〉〕　⑮化学→塩酸プロカイン　→コカイン
ブローカの指数　⑭医学→標準体重
プロガノセリス　⑱宇地→恐竜〔進化〈カメ類〉〕
ブローカの中枢〈前言語野〉　⑭医学→脳〔新皮質系〈ハードウェアとしての新皮質〉〕
プロキオン　⑱宇地 545 A　→こいぬ座　→恒星〔表1等星〕〔表空間運動〕　→星座〔四季〈冬〉〕　→連星
プロキシネイシス〈跪拝の礼〉　⑨世史→アレクサンドロス(大王)
フロギストン説　⑮化学 562 A　→化学〔歴史〈実験科学としての確立〉〕　→元素〔元素観の変遷〕　→シュタール,G　⑯物数→熱〔熱の物質説と運動説〕　⑰科技→錬金術
符籙　④哲宗→道教図
ブローク,A　ロシア〔1880–1921〕　詩人。象徴派の代表的存在。革命の到来とともにそれを賛美　①文学 550 D
ブログ(山)　⇨ブロッグ(山)
プロクセノス　②美術→ギリシア美術〔絵画〕
プロクター・ギャンブル　⑫経産 529 A
フログナー公園　⑩世地→オスロ図　⑭医学→生図
プログラミング　⑯物数→ソフトウェア　→電子計算機〔プログラム〕　⑰科技→電子計算機
プログラム　⑫経産→電子計算機〔ソフトウェア〕　⑯物数→電子計算機　⑰科技→記憶装置　→電子計算機〔囲用語〕
プログラム言語　⑰科技→電子計算機
プログラムシャッター　⑰科技→カメラ〔機能と操作〕
プログラム内蔵方式　⑰科技→電子計算機〔構成〕
プログレシビズム〈革新主義〉　⑨世史 567 A　⑪政社 510 D
プログレッシブ・ジャズ　③音演→ジャズ〔囲用語〕
プロクロス　ギリシア〔410–485〕　新プラトン派の哲学者。古代多神教に哲学的基礎づけを与える　④哲宗 518 D　③音演→宗教劇
ブロークンヒル　オーストラリア　⑩世地 554 A
プロゲスタゲン　⇨黄体ホルモン
プロゲステロン　⑭医学→女性性器〔卵巣〕　⑮化学→ステロイド〔性ホルモン〈黄体ホルモン〉〕〔図生合成〕　→ホルモン〔分類〈卵巣〉〕　⑳動物→ホルモン表
ブローコーシュ,F　アメリカ〔1908–〕　小説家・詩人。印象主義風な作品から写実的作風に転じた　①文学 550 D
プロコピウスの反乱　⑨世史→バレンス,F
プロコピエフスク　ソ連　⑩世地 554 A
プロコフィエフ,A　ソ連〔1900–1971〕　詩人。国内戦・農村集団化などに関するロマンティックで革命的な作品がある　①文学 550 D
プロコフィエフ,S　ソ連〔1891–1953〕　作曲家。晩年は甘美で簡素なスタイルの作曲にかわった　作『三つのオレンジへの恋』『ピーターと狼』　③音演 504 C図　→現代音楽〔表現主義〕

ベルマン, R ［1920］ ⑯物数→計画数学〔最大値原理〕
ヘルマンカモメ ⑳動物→カモメ〔種類〈中形種〉〕
ヘルマンス, W ［1921］ 小説家。詩人としても出発。長編『ダモレスクの暗室』は戦後オランダ文学の頂点ともいわれる ①文学 575 D
ヘルマンド(川) ⑩世地 574 D →アフガニスタン(共和国)〔政治・外交・軍事〕
ヘルマンド(湖) ⑩世地 574 C →アフガニスタン(民主共和国)〔自然〕
『ヘルマンとドロテーア』 ①文学→ゲーテ, J
ヘルマン・ブール ⑩世地→ナンガパルバト(山)
ヘルマンリック ⑨世史→ゴート族 →東ゴート族
ペルミ ソ連 ⑩世地 574 D
ヘルム ⑱宇地→風〔表局地風〕
ベルム ⑲植物→セダム図
ペルム紀 ⑳動物→絶滅動物 →動物化石〔古生代〕
ヘルムケン(滝) ⑩世地→カナダ〔自然〕
ベルムダス ⑩世地→バーミューダ(諸島)
ヘルムホルツ, H ［1821/1894］ 生理学者・物理学者。神経学・筋肉生理学に業績を残し，またエネルギー保存原理を定式化 ⑮化学 578 A図 →化学〔歴史〈19 世紀〉〕 ⑯物数 515 C図 →エネルギー〔理論の成立〕 →熱力学の法則〔熱力学第1法則〕 →物理学〔歴史〈近代〉〕 →力学的エネルギー ⑳動物 562 B ⑭医学→眼底検査法〔直像検査法〕 →検眼〔検眼鏡〕
ヘルムホルツの円板 ⑭医学→目〔図錯覚〕
ベルムランド(地方) ⑩世地→スウェーデン(王国)〔地方誌〈中部〉〕
ヘルムリーン, S ［1915］ 詩人。スイスで抑留生活を送り，東ドイツに移る。作家同盟の副総裁をつとめる ①文学 575 D
ペルメーク, C ［1886/1951］ ②美術→表現主義
ヘルメシアナクス ［＊.］ 前4世紀の詩人。愛する遊女の名をつけた悲恋物語の詩集で有名 ①文学 575 D
ヘルメス ④哲宗→ギリシア・ローマ神話〔図オリンポスの十二聖〕囲
ヘルメス ⑱宇地→小惑星〔軌道〕
ヘルメス・トリスメギストス ④哲宗→錬金術
ヘルメスの術 ④哲宗→解釈学
ペルメル ⑩世地→ロンドン《イギリス》〔市街〕
ベルモアホエア ⑲植物→ホエア図
ペルモーザー, B ［1651/1732］ ②美術→バロック美術〔オーストリアとドイツ〕
ベルモット ⑬生活→ぶどう酒〔特殊ぶどう酒〕
ベルモパン ⑩世地→イギリス領ホンジュラス
ヘルモポリス・パルバ ⑩世地→ダマンフール
ヘルモン(山) ⑩世地→アンチレバノン(山脈)
ヘルモント, J ☞ファン・ヘルモント, J
ベルモント競馬場 ⑬生活→競馬〔競馬場〈アメリカ〉〕
ベルラーヘ, H ［1856/1934］ 建築家。煉瓦・石・鉄などの特性を利用したアムステルダム株式取引所は有名。建築評論家でもある ②美術 545 A
ベルランガ ⑩世地→ガラパゴス(諸島)〔略史〕
ベール・ランベルトの法則 ⑮化学→分析〔定量分析〈570 A〉〕
ベルリ ☞ベッリ, G
ベルリオーズ, H ［1803/1869］ 作曲家。「標題音楽」という新しい劇的な管弦楽曲の型を創始 作『幻想交響曲』 ③音演 518 D図 →交響曲
ペルリコ, S ☞ペッリコ, S
ベルリーナ ⑰科技→自動車〔種類〈セダン〉〕図
ベルリーナー・アンサンブル ③音演→ブレヒト, B図
ベルリーヌ ⑰科技→自動車〔種類〈セダン〉〕図
ベルリヒンゲン, G〈ゲッツ〉 ［1480/1562］ 騎士。農民戦争で農民軍の指揮をとった。その自叙伝からゲーテが作劇 ⑨世史 581 D
ベルリン ⑩世地 574 D図
ベルリン青 ⑮化学 578 B ☞プルシアンブルー
ベルリン・アピール ⑪政社→平和運動
『ベルリン・アレクサンダー広場』 ①文学→新即物主義 →デーブリーン, A →表現主義
ベルリン会議 ⑨世史 582 A図 →ドイツ〔歴史〈ドイツ帝国主義〉〕
ベルリン国立博物館 ☞ペルガモン美術館
ベルリン条約 ⑨世史→東欧史〔歴史〈民族の覚醒と独立〉〕 →ベルリン会議
ベルリン水族館 ⑳動物→水族館〔表世界〕
ベルリン大学 ⑨世史→大学〔脱皮〕 →フンボルト, K

『伯林―大都会交響楽』 ③音演→記録映画図
ベルリン・ダーレム植物園 ⑲植物→植物園表
ベルリン勅令 ⑨世史→大陸封鎖
ベルリン動物園 ⑳動物→動物園〔表世界〕
ベルリンノイエフィルハーモニーホール ⑰科技→音響設計〔例〕図
ベルリンの壁 ⑩世地→ドイツ(連邦共和国)〔地方誌〈西ベルリン〉〕図 →ベルリン〔分裂〕 ⑪政社→ドイツ政治事情図
ベルリンのジーメンス ☞ジーメンス, E
ベルリン・バベルスベルク天文台 ⑱宇地→天文台〔表ヨーロッパ〕
ベルリン封鎖 ⑨世史 582 B →ドイツ〔歴史〈戦後〉〕 →冷戦〔ドイツ問題〕 ⑩世地→ベルリン〔分裂〕 ⑪政社→北大西洋条約機構 →米ソ関係〔冷戦〕
ベルリン分離派 ②美術→分離派 →リーバーマン, M
ベルリン問題 ⑪政社→ドイツ問題
『ベルリンよ，さらば』 ①文学→イシャウッド, C
ベルリン・ローマ枢軸 ⑨世史 582 C
ベルール ①文学→宮廷文学 →トリスタンとイゾルデ
ベルレーヌ, P ［1844/1896］ 詩人。象徴主義の偉大な先駆者の一人。ランボー狙撃事件をひきおこし，極度の貧乏，自殺未遂，失望の末病死 ①文学 575 D図 →象徴主義 →世紀末思潮 →ランボー, J
ヘルロッホ洞 ⑱宇地→洞穴表
ペルロン ⑮化学→合成繊維〔沿革〕
ヘルワン天文台 ⑱宇地→天文台〔表〈アフリカ〉〕
『ベールをかぶる女』 ②美術→ラファエロ図
ベルン ⑩世地 576 D図
ベルンシュタイン, E ［1850/1932］ 社会主義者。イギリスの漸進的な労働運動を見聞し，革命路線の修正を提唱 ⑨世史 582 C →ドイツ社会民主党 ⑫経産 535 A図 →マルクス経済学〔対立と発展〕 ⑪政社→改良主義 →社会主義〔マルクス以後〕 →社会民主主義〔理論〕図 →修正主義 →マルクス主義〔マルクス以後の展開〕
ベルンシュタインの定理 ⑯物数→集合〔濃度〕
ベルン植物園 ⑲植物→植物園表
ベルンスタインウィント ⑱宇地→風〔表局地風〕
ベルンスタン, H ［1876/1953］ 劇作家。バタイユを好敵手に作家的地位を築く。ブールバール劇に君臨 ①文学 576 D
ベルンハイム, E ［1850/1942］ 歴史家。史学研究法を体系的にまとめた著書を刊行，入門書として普及 作『歴史とは何ぞや』 ⑨世史 582 C
ベルン美術館 ②美術 687 D
ベレー ⑬生活→帽子〔種類〕
ペレ, A ［1874/1954］ 建築家。鉄筋コンクリートの技術的開発の先駆者の一人 ②美術 545 A ⑰科技→鉄筋コンクリート構造〔歴史〕
ペレ, B ［1899/1959］ 詩人。シュルレアリスム運動の創始者の一人 ①文学 576 D
『ペレアスとメリザンド』 ③音演→オペラ〔歴史〈近代〉〕 →ドビュッシー, C〔作風と作品〕 →メーテルリンク, M
ペレイラ ⑩世地 577 C
ヘレオセレウス ⑲植物→サボテン〔種類〕
ペレキュデス ［＊.］ 前6世紀中ごろに活躍の宇宙創造神話の作家。ソクラテス以前の哲学者の一人 ①文学 576 D
ペレコプ(地峡) ⑩世地→クリム(半島)
ペレサーエフ, V ソ連［1867/1945］ 小説家。一貫して革命とインテリゲンチャのテーマを追求。日露戦争に従軍 ①文学 577 A
ペレシュ宮 ⑩世地→ルーマニア(社会主義共和国)図
ペレシュマルティ ［1800/1855］ 詩人・劇作家。民族の独立を鼓吹し，文壇に指導的地位を占めた ①文学 577 A
ペレス, C ⑩世地→ベネズエラ(共和国)〔略史〕
ペレス・ガルドス, B ［1843/1920］ 小説家・劇作家。同国に近代リアリズムを確立。多作で，評論も手がけた ①文学 577 A図 →スペイン文学〔19 世紀〕
ペレス・デ・アヤーラ, R ［1881/1962］ 小説家・詩人・批評家。喜劇味と悲劇味の融合された優れた心理小説に創作力を発揮 ①文学 577 B
ペレス・デ・イータ, G ［1544?/1619?］ 小説家。体験をふまえた歴史小説『グラナダの内乱』がある ①文学 577 B

ペレス・デ・ゲバーラ, L ［1579/1644］ 小説家・劇作家。社会を風刺したピカレスク小説『跛の悪魔』で知られる ①文学 577 B ③音演 519 B
ヘレスポント ☞ダーダネルス(海峡)
ペレーダ, J ［1833/1906］ 小説家。農園の管理をしながら地方の風景や生活を写実的に描いた ①文学 577 B
ペレチエ, J ⑮化学→アルカロイド〔種類〕
ペレトロン ⑯物数→加速器〔バンデグラーフ型〕
ヘレナ ⑩世地 577 D
ペレニアルライグラス ⑲植物→イタリアンライグラス
ヘレニウム ⑲植物 571 C図
ベレニス ⑩世地→ベンガジ
『ベレニス』 ①文学→ラシーヌ, J ③音演→フランス演劇図
ヘレニズム ②美術 545 B →古代地中海の美術〔鉄器時代〕 ⑨世史 582 D図 →アレクサンドロス(大王) →エジプト〔歴史と文化〈プトレマイオス朝〉〕 →ギリシア〔支配国の変遷〕 →ドロイゼン, J →プトレマイオス朝 ①文学→ラテン文学〔共和政末期〕 ④哲宗→アラビア哲学 →ギリシア哲学〔後期古代〕 →ポセイドニオス
ヘレネ ④哲宗→ギリシア・ローマ神話〔囲神名〕
ヘレネス ⑨世史→バルバロイ
ヘレフォード ⑳動物→ウシ〔品種〕〔別肉用種〕
ペレベルゼフ, V ソ連［1882/1968］ 文芸学者。革命運動に参加して流刑。のちコム・アカデミーを主宰 ①文学 577 B
ペレムナイト ⑱宇地→中生代
ヘレラー, W ［1922］ 詩人・批評家。「47 年グループ」の一人で，文学と文学批評と文芸学を接近させるため努力 ①文学 577 C
ペレリュー(島) ⑩世地→パラオ(諸島)
ベレル ⑮化学→合成繊維〔アクリル〈アクリル系〉〕
ヘレロ族 ⑩世地→ナミビア図
ベレン ⑩世地 577 D →アマゾン(川)〔航行〕 →ブラジル(連邦共和国)図
ベレン(地区) ⑩世地→リスボン
ペレンショルド, E ［1855/1939］ ②美術→北欧美術〔絵画と彫刻〕
ベレンス ☞プルシアンブルー
ベーレンス, P ［1868/1940］ 建築家。電気会社AEGのデザイナーとして工場建築からポスター製作などに活躍 ②美術 545 B →ドイツ工作連盟
ベレンソン, B ［1865/1959］ 美術史家。ルネサンスの絵画を実証的に研究，作品鑑定の基礎を築く ②美術 545 C
ベーレンテクニック ⑬生活→スキー〔技術〈応用技術〉〕
ベーレンベルク ⑱宇地→火山〔表活火山〕
ペレンレイ, D ［1911］ 小説家。プーシキンの詩やソ連・中国の文学作品の翻訳がある ①文学 577 C
ベロー, G ［1858/1927］ 歴史家。中世法制史の研究で通説を大成，社会経済史の領域でも功績を残した ⑨世史 583 B ⑫経産 535 B →社会経済史学〈262 B〉
ベロー, S ［1915］ ユダヤ系の小説家。現代米国文学の知的傾向を代表する一人。ノーベル賞受賞 作『オーギー・マーチの冒険』 ①文学 577 C図 →アメリカ文学〔第二次大戦後〕
ペロ, A ［1863/1935］ ⑯物数→ファブリ-ペロ干渉計
ペロー, C ［1628/1703］ 詩人・批評家・童話作家。『赤ずきん』などを含む童話集の作者として名高い。 ①文学 577 D
ベロア ⑪政社→王権神授説〔フランス〕
ベロア ⑬生活→革〔なめし革〈種類〉〕
ヘロイン〈ペロ〉 ⑭医学→麻薬中毒 ⑮化学→アルカロイド〔種類〕 →モルヒネ
ベロオリゾンテ ⑩世地 577 D
ベロガレイ ⑳動物→カレイ〔日本産〕
ベロシティマイクロホン ⑰科技→マイクロホン
ベロシペード ⑰科技→自転車〔歴史〕
ペロタス ⑩世地 577 D
ベロッキョ, A ［1435/1488］ 彫刻家・金工家・画家。メディチ家から好遇され，甲冑・噴水・墓碑などの仕事で名声を得た ②美術 545 D図 →フィレンツェ派 ⑰科技→レオナルド・ダ・ビンチ
ベロック, J ［1870/1953］ フランス生まれの随筆家・歴史家。カトリック主義の社会政策を提唱 ①文学 578 A
ペロッグ音階 ③音演→ガムラン〈合奏形態〉 →東

南アジアの音楽〔インドネシア〕
ヘロット ⇨ヘイロタイ
ベロット,B ⇨カナレット《甥》
ベロッホ ドイツ ⑨世史→奴隷制〔近代以前〈ギリシア,ローマ〉〕
ヘロデ 〔前73*-4*〕 ローマ時代のユダヤ王。イエスの誕生を恐れベツレヘムの幼児を殺したという ④哲宗 533 D ⑨世史 583 C →イエリコ
ヘロディアノス ギリシア[*.] 3世紀ごろの歴史家。シリアの生まれ。『ローマ史』8巻が資料的価値をもつ ①文学 578 A
ペロティヌス ③音演→オルガヌム →ノートル・ダム楽派
『ヘローデスとマリアムネ』 ①文学→ヘッベル,C ③音演→ヘッベル,C
ヘロド ⑬生活→競馬〔歴史〈西洋〉〕
ヘロドトス ギリシア〔前485*-425*〕 歴史家。キケロによって「歴史の父」とよばれた ㊫『歴史』 ①文学 578 A →ギリシア文学〔散文〕 ⑨世史 583 C →史学史〔古代・中世〈ギリシア的史観〉〕 ⑪政社→ギリシアの政治思想〔前5世紀まで〕図 ⑱宇地→三角州
『ヘロとレアンドロス』 ①文学→ギリシア文学〔叙事詩〕
ベローナ イタリア ⑩世地 577 D
『ベローナの二紳士』 ①文学→シェークスピア,W 表 ③音演→グリーン,R
ペロナール ⑮化学→フィッシャー,E
『ベロニカの聖帛』 ①文学→ル・フォール,G
ペロニスモ ⑪政社→ペロン,J
ベロニーテ ⇨塔状火山
ベロネーゼ,B イタリア[1487-1553] ②美術→ベロネーゼ,P
ベロネーゼ,P イタリア[1528-1588] ベネチア派の画家。壮大な建築空間と多数の人像群の豪華な一大風俗絵巻を得意とした ②美術 545 D図 →水彩画 →ベネチア派
ペローフ,V ロシア[1833-1882] 画家。社会抗議の姿勢を表現。移動派の結成に別格の先輩として加わる ②美術 546 C →移動派 →ロシア美術〔移動派とその周辺〕
ヘロフィロス ギリシア ⑨世史→科学史〔ギリシア・ローマ〈アレクサンドリア時代〉〕 ⑭医学→医学〔西洋医学の歴史〕 →解剖〔歴史〕
ペロブスカイト型フェライト ⑮化学→フェライト〔複合酸化物とその誘導体〕
ベロベロネ〈コエビソウ〉 ⑲植物 571 C図
ペロポネソス(半島) ギリシア ⑩世地 578 A →ギリシア(共和国)〔地方誌〕
ペロポネソス戦争 ⑨世史 583 C図 →アテネ →ギリシア〔ポリスの興亡〈最盛期〉〕 →スパルタ〔歴史〕 →リサンドロス
ペロポネソス同盟 ⑨世史→ギリシア〔ポリスの興亡〈最盛期〉〕 →スパルタ〔歴史〕 →ペロポネソス戦争〔原因〕
ペロミクサ ⑳動物→アメーバ〔代表種〕
ペロリゾンテ ⇨ベロオリゾンテ
ペロリータニ(山地) ⑩世地→アペニン(山脈)
ヘロン ギリシア[*.] 数学者・技師。幾何学・力学・気体学を技術と結びつけた多数の著書を残す ⑯物数 516 A →熱機関〔蒸気機関〕 →光 ⑰科技 606 A図 →技術〔道具の発達と機械〕 ⑨世史→科学史〔ギリシア・ローマ〈アレクサンドリア時代〉〕 ⑮化学→原子論
ペロン フランス ①文学→日本文学〔近代〈明治啓蒙期〉〕
ペロン,J アルゼンチン[1895-1974] 大統領。独裁政治を行い軍事革命で追放されたが,73年の大統領選挙で奇跡の復活 ⑨世史 584 A ⑪政社 526 B図 →ラテンアメリカ政治事情〔二〕図 ⑩世地→アルゼンチン(共和国)〔略史〕
ペーロン競漕 ⑦日地→相生(市)図 ⑧日地→長崎(市)〔観光〕図
ヘロンダス ギリシア[*.] 前3世紀ごろのミモス作家。日常の卑俗な生活をテーマにした寸劇を書いた ①文学 578 B →ギリシア文学〔劇〕 ③音演→ギリシア演劇〔喜劇〕
ヘロンの公式 ⑯物数→三角形〔面積〕 →ヘロン
ベン,G ドイツ[1886-1956] 詩人。両大戦に軍医として活躍。表現主義を代表。小説集や評論もある ①文学 578 B図 →ドイツ文学〔20世紀〕
弁〈バルブ〉 ⑰科技 606 B図
便〈大便〉 ⑭医学 534 A図 ⑳動物→糞
ベーン,A イギリス[1640-1689] 劇作家・物語作家。スパイ,投獄など多くの経験を経て同国最初の職業的女流作家となる ①文学 578 C

ペン,A アメリカ[1917] ②美術→写真〔歴史〕別
ペン,W イギリス[1644-1718] 新大陸開拓者。クェーカー教徒を中心とする自由な信仰の新天地を築く ⑨世史 584 B ④哲宗→クェーカー ⑩世地→フィラデルフィア
ペン ⑬生活 548 C図 →万年筆 ②美術→ペン画
変圧器〈トランス〉 ⑯物数 516 A図 →渦電流図 →磁界 →ファラデーの法則〔応用例〕 ⑰科技 606 C図 →継電器〔保護方式〕 →水力発電〔水力発電所〕 →配電〔配電線路の保護〕 →変成器 →変電所
変異 ⑲植物 572 A →突然変異 ⑳動物 562 B
便意 ⑭医学→感覚〔種類〈内臓感覚〉〕 →しぶり →便〔排便〕
変域 ⑯物数→変数
変位記号〈変化記号〉 ③音演→楽典囲
変位電流 ⇨電束電流
弁円 ⇨円爾
辺縁皮質 ⑭医学→脳〔統合系〈大脳皮質〉〕
変温動物〈冷血動物〉 ⑳動物 562 C →温血動物 →恒温動物 →体温 →爬虫類
弁化 ⑲植物 572 A
弁花 ⑲植物→八重咲き
ペン画 ②美術 546 C
変化アサガオ ⑲植物→アサガオ〔系統と品種〕図
変化記号〈変位記号〉 ③音演→楽典囲
偏角 ⑯物数→座標〔極座標〕 →プリズム〔分散プリズム〕 ⑱宇地→磁石 →地磁気図
変格積分 ⑯物数→積分〔広義〕
変格旋法 ③音演→教会旋法図
偏角プリズム ⑯物数→プリズム図
ベンガジ リビア ⑩世地 578 A →リビア図
変化色インキ ⑰科技→印刷〔印刷インキ〈特殊インキ〉〕
ペンカメラ〈ハーフサイズカメラ〉 ⑰科技→カメラ〔種類〕
べんがら〔弁柄〕 ⑮化学 578 B →顔料〔表無機顔料〕 →酸化鉄 ②美術→絵具〔東洋〕 ⑬生活→染物〔染料〕
ベンガリー語 ⑩世地→インド〔社会・文化〈言語〉〕
変化率 ⑯物数→解析関数 →導関数
ベンガル(湾) ⑩世地 578 A ⑱宇地→サイクロン
ベンガルギツネ ⑳動物→キツネ〔種類〕
ベンガル総督 ⑨世史→インド総督 →インド統治法 →ヘースティングズ,W
ベンガル地方 バングラ・インド ⑩世地 578 B ⑨世史→ベンガル分割
ベンガルトラ〈インドトラ〉 ⑳動物→トラ〔種類〕
ベンガル文学 ①文学→インド・パキスタン文学〔近代〕
ベンガル分割 ⑨世史 584 B →インド〔帝国主義支配〕 →インド・ムスリム連盟 →カーゾン,G ⑪政社→タゴール,R
ベンガルヤハズカズラ ⑲植物→ツンベルギア図
ベンガルヤマネコ ⑳動物 562 C →ヤマネコ
片岩 ⑱宇地→結晶片岩 →変成岩〔種類〕
弁官 ⑥日史 1037 D →太政官
弁韓 ⑤日史→三韓 ⑨世史→三韓
便換 ⑨世史→唐〔経済〕
冕冠〈天冠〉 ⑤日史→冠図
変換器〈トランスジューサー〉 ⑰科技→電気計測
弁官局 ⑤日史→官務 →省
弁官下文 ⑥日史→宣旨 →政所下文
変換群 ⑯物数 516 C →クライン,F
『変換群の理論』 ⑯物数→リー,M
弁機 ①文学→『大唐西域記』
便器 ⑬生活→衛生陶器図 →室内装飾〔洗面所・浴室・便所〕 →便所 →浴室 ⑭医学→家庭看護〔用便〕 ⑰科技→給排水設備〔衛生器具設備〕
ペンキ ⑬生活→住まい〔維持・管理〈外回り〉〕 ⑮化学→塗料〔分類〈油性塗料〉〕
変記号〈フラット〉 ③音演→楽典〔囲〈変化記号〉〕
便宜図法 ⑧日地 1232 D
便宜置籍 ⑫経産→造船業〔世界〕 →貿易〔囲用語〕
辺境伯〈マルクグラーフ〉 ⑨世史 584 B →爵位〔西洋〕 →ブランデンブルク辺境伯
編曲〈アレンジメント〉 ③音演 519 B →ジャズ〔囲〈用語〉〕
ペンギン ⑳動物 563 A →巣〔鳥類〕 ⑩世地→南極大陸〔生物〕図
辺区 ⇨解放区
ペンク,A ドイツ[1858-1945] 地理学者・地形学者。地形学を体系化し発展させた ⑱宇地 549 C →ブリュックナー,E

ペンク,W ドイツ[1888-1923] 地形学者。A.ペンクの子。地形研究の目的は地盤運動の性質を知ることであると提唱 ⑱宇地 549 C
ペンクラブ ①文学 578 C
ベングリオン ⑪政社→ユダヤ人問題図
変形 ⑭医学→奇形児 →形成外科
変形〈ひずみ〉 ⑯物数 517 C図 ⑮化学→可塑性
編磬 ③音演→磬図
弁慶 伝説色の濃い法師。豪勇で知られ,主の源義経とともに奥州へ落ち,立往生をとげたという ⑥日史 1037 D →源義経〔牛若丸〕 ③音演→『安宅』
弁景温泉 ⑦日地→壮瞥(町)
弁慶ヶ穴古墳 ⑥日史 1038 A →装飾古墳別 ⑧日地→山鹿(市)
ベンケイガイ ⑤日史→貝輪 ⑳動物→タマキガイ
ベンケイガニ ⑳動物→アカテガニ
変形菌植物 ⑲植物 572 A図 →植物〔系統と分類〕
弁慶号 ⑰科技→蒸気機関車〔歴史〕
『弁慶上使』 ③音演→『御所桜堀河夜討』図
変形性関節炎 ⑭医学→関節〔関節炎〕
ベンケイソウ〔弁慶草〕 ⑲植物 573 A図 →セダム
ベンケイソウ科 ⑲植物 573 B
弁慶柱 ⑲植物→サボテン〔種類〕別
変形テンソル ⑯物数→応用数学
扁形動物 ⑳動物 564 C →生殖〔無性生殖〕 →動物〔分け方〕
弁慶岬 ⑦日地→寿都(町)図
変型Y型コンパウンドカテナリー ⑰科技→新幹線〔東海道新幹線〈電気設備〉〕
返血 ⑭医学→血液銀行〔献血〕
ペンケ沼 北海道 ⑧日地 1029 A →パンケ沼 →幌延(町) ⑦日地→阿寒湖
ベンゲラ アンゴラ ⑩世地 578 B
ベンゲラ鉄道 ⑩世地→アンゴラ(人民共和国)
ベンゲーロフ,S ロシア[1855-1920] 文学史家・書誌学者。政治的傾向性を理由に大学教授を解雇された ①文学 578 D
偏光 ⑯物数 517 A図
偏向 ⑰科技→テレビジョン〔原理〈ブラウン管〉〕
偏光角 ⑯物数→ブルースターの法則図
偏向教育 ⑪政社→政治教育
偏光顕微鏡〈鉱物顕微鏡〉 ⑯物数 521 A →顕微鏡〔種類〕 ⑱宇地 550 A図 →鉱物〔研究法〕
偏光子〈ポーラライザー〉 ⑯物数→偏光板
変光星 ⑱宇地 550 C図表 →アルゲランダー,F →銀河系〔大きさ〕 →恒星〔種類〕 →天体観測〔肉眼または小望遠鏡〕 →星 →ミラ
偏光板 ⑯物数 521 A →偏光
偏光フィルター ⑯物数 521 B ⑰科技→カメラ〔囲用語〕
偏光プリズム ⑯物数→プリズム図
弁護士 ⑪政社 526 D →弁護人
『弁護士プレストン』 ③音演→テレビジョン・プレイ〔歴史〕
弁護人 ⑪政社 527 A
偏差 ⑯物数→統計〔散布度〕 →標準偏差
ペンザ ソ連 ⑩世地 578 B
辺材〈白太〉 ⑬生活→木材〔性質〕図 ⑰科技→木材 ⑲植物→木材
ベンザイ ⇨北前船
弁済供託 ⑫経産→供託
弁財天 ②美術→仏像〔種類〕 ④哲宗→七福神 →仏像〔表種類〈天部〉〕 ⑱宇地→泉〔民俗〕 →島〔民俗〕 ⑳動物→ヘビ〔囲伝説〕
弁鰓類 ⑳動物→貝類〔分類〈斧足綱〉〕
ペン先 ⑬生活→ペン図 →万年筆〔製造工程〕
ベンサコーラ アメリカ ⑩世地 578 B
平安座島 ⑦日地→金武湾
ベンサム,J イギリス[1748-1832] 哲学者,道徳・法・政治思想家。「最大多数の最大幸福」のモットーで知られる,功利主義の創始者 ④哲宗 533 D図 →イギリス哲学〔近世〈19世紀〉〕 →功利主義〈2〉 ⑨世史 584 C ⑫経産 535 C図 →功利主義 ⑪政社→公共の福祉 →功利主義図 →法学〔歴史〈英米法学〉〕
ヘン・サムリン カンボジア[1934] ⑪政社→アジア政治事情〔最近のアジア〕 →インドシナ問題〔1975年以降〕
褊衫 ④哲宗→法衣図
ベンザンス イギリス ⑩世地 578 C
変死 ⑭医学→死〔死後の措置〕
ペンシー〈本渓〉 中国/遼寧省 ⑩世地 578 C
『弁辞学』 ①文学→ギリシア文学〔散文〕
ペンジケント遺跡 ⑩世地→タジク(共和国)図
ベンジジン ⑮化学 578 C →アミン〔表芳香族アミン〕

変死体 ⑭医学→法医学〔自然の原因による急死〕
『返事はいつも〈ハイ〉』 ③音演→デ・フィリッポ,E
弁者 ④哲宗→名家
扁鵲 中国 ⑭医学→鍼〔歴史・沿革〕
ベンジャミン・ダーバン ⑩世地→ダーバン
変種 ⑲植物 573 B →学名 →種 →植物分類表 ⑳動物→動物分類表
偏執狂 ⇨パラノイア
編集図 ⑱宇地→地図〔種類〕
ペンジュラム ⑰科技→写真〔囲用語〕
便所 ⑬生活 549 A →室内装飾 →照明〔その他〕 →住まい〔設計〈各部〉〕
ベンジョアブ ⇨コウカアブ
編鐘 ③音演→朝鮮音楽〔楽器〕
遍昭〔遍照〕 [816–890] 平安前期の僧・歌人。桓武天皇の孫,僧正。軽妙洒脱な歌をよみ六歌仙の一人 ①文学 578 D →『古今和歌集』 →六歌山 ⑥日史 1038 A
遍照寺 ④哲宗→寛朝
弁証派 ④哲宗→エウクレイデス(メガラの)
『**遍照発揮性霊集**』〈性霊集〉 ⑥日史 1038 A ①文学→空海
弁証法 ④哲宗 534 A →正・反・合 →ゼノン(エレアの) →同一性〈論理学〉 →ヘーゲル,G →弁証法的唯物論 →マルクス主義〔唯物論と弁証法〕 →問答法
弁証法神学〈危機神学〉 ④哲宗→神学〔現代〕 →バルト,K ⑨世史→バルト,K ⑪政社→プロテスタンティズム
弁証法的唯物論〈唯物弁証法〉 ④哲宗 534 D →実在論〈237 D〉 →唯物論〔歴史〕 ⑪政社→マルクス主義〔思想の形成〕 ⑫経産→マルクス経済学〔哲学および世界観〕
『弁証法的唯物論と史的唯物論』 ④哲宗→弁証法的唯物論〔観念弁証法と形而上学的唯物論〕 ⑫経産→アジア的生産様式論争
『弁証法的理性批判』 ①文学→サルトル,J →実存主義 ④哲宗→サルトル,J
『弁証法の冒険』 ①文学→メルロー=ポンチ,M ④哲宗→メルロー=ポンチ,M
『弁証論』 ④哲宗→テルトゥリアヌス,Q
偏食 ⑭医学 536 A
ベンジョバチ〔便所蜂〕 ⇨コウカアブ
ペンション ⑬生活→ホテル〔種類〕
ベン・ジョンソン ⇨ジョンソン,B
卞之琳 中国〔*.〕 詩人。抗日戦中は大学教授。戦後イギリスに留学 ①文学 579 A
ベンジル ⑮化学→ケトン表
ベンジルアルコール ⑮化学 578 C →アルコール〔表物理的性質〕
ペンシルベニア(州) アメリカ ⑩世地 578 C ⑨世史→アメリカ 13 州 →クエーカー →ペン,W
ペンシルベニア大学博物館 ⑰科技 679 B
ペンシルベニア炭田 ⑩世地→アメリカ(合衆国)〔経済・産業〈地下資源とエネルギー資源〉〕
ペンシルベニア鉄道 ⑫経産→ペン・セントラル鉄道
ペンシルベニア美術館 ⇨フィラデルフィア美術館
ペンシルロケット ⑱宇地→ロケット〔日本〕
『変身』 ①文学→カフカ,F
弁辰 ⑤日史→三韓 ⑨世史→任那
ベンジン ⑮化学 579 A →石油〔石油製品〈石油系溶剤〉〕 →せっけん〔分類〕
変身願望 ④哲宗→仮面
変身神話 ④哲宗→ギリシア・ローマ神話
『変身物語』 ⇨『転身譜』
『変身物語』〈黄金のろば〉 ①文学→アプレイウス,L →ラテン文学〔白銀時代〕
返信用はがき ⑬生活→手紙〔返信〕
弁神論 ④哲宗 535 B →ライプニッツ,G
ペンス ⑫経産→ポンド
ベンズアミド ⑮化学→アミド表
ベンズアルデヒド ⑮化学 579 A →アルデヒド →香料〔表合成香料〕
変数 ⑯物数 521 B →条件
片頭痛〔偏頭痛〕 ⑭医学→アレルギー〔アレルギー性疾患〕 →頭痛
ペンステモン ⑲植物 573 C 図
ベンス・ドーフ ⑬生活→ココア
ペンスリット ⑮化学→火薬〔表化合火薬〕
ヘンズロー,J ⑳動物→ダーウィン,C〔ビーグル号航海まで〕
変声〈声変り〉 ⑭医学→声〔種類〕
変性 ⑭医学 536 B
変性 ⑮化学 579 A
変性アルコール ⑮化学 579 B →エタノール〔用途〕 →変性
変性加工紙 ⑰科技→紙〔加工紙〕
変成岩 ⑱宇地 552 B 図 →岩石 →結晶片岩 →造岩鉱物 →変成作用〔変成相〕 →変成帯 →ホルンフェルス
変成器 ⑰科技 607 B 図 →回路部品
変成器結合増幅器 ⑰科技→増幅回路〔低周波〕図
変成鉱床 ⑱宇地→鉱床
変成作用 ⑱宇地 554 A 図 →交代作用
変成相 ⑱宇地→変成作用図
変成帯 ⑱宇地 555 A 図 →結晶片岩
変性梅毒 ⑭医学→性病〔梅毒〈第 4 期〉〕
偏西風 ⑧日地 1233 A →極風〈1207 D〉 →西岸海洋性気候〈1219 C〉 →卓越風〈1222 C〉 ⑱宇地 555 A 図 →亜熱帯高圧帯 →風〔風系〕 →成層圏
『ヘンゼルとグレーテル』 ③音演→フンパーディンク,E
ヘンセン,V ドイツ ⑱宇地→プランクトン ⑳動物→プランクトン
ベンゼン〈ベンゾール〉 ⑮化学 579 B 図 →アルカン〔表ナフサの成分〕 →オルト化合物 →ケクレ,F →石油化学工業〔芳香族系石油化学製品〕 →チオフェン →ファラデー,M〈525 A〉 →フェノール →芳香族炭化水素〔構造〕 →ミッチェルリッヒ,E ⑬生活→ドライクリーニング〔歴史〕 ⑭医学→職業病〔ベンゾール中毒〕 →中毒〔表症状と応急手当〈有機性薬品〉〕
ベンゼンスルホン ⑮化学→スルホン化 →スルホン酸
ペン・セントラル鉄道 ⑫経産 535 C
ベンゼンヘキサクロリド ⇨BHC
変相 ①文学→変文 ②美術→仏画〈504 A〉
変奏 ③音演→変奏曲
偏相関係数 ⑫経産→相関係数・回帰係数
変奏曲 ③音演 519 B →パルティータ
ベンゾエート ⑬生活→合成繊維〔種類〕 ⑮化学→液晶〔図液晶を示す化合物〕 →合成繊維
ベンゾキノン ⑮化学→キノン →色素
弁足 ⑳動物→鳥類〔形態〈趾 型〉〕〔図脚〕 →水かき
変速機〈トランスミッション〉 ⑰科技→自動車〔構造〕 →スポーツカー〔構造〕
変速装置 ⑰科技 608 A 図 →歯車伝動装置
ベンゾニトリル ⑮化学→ニトリル表
ベンゾフェノン ⑮化学→ケトン表
ベンゾール ⑮化学 579 C ⇨ベンゼン
ベンゾール中毒 ⑭医学→職業病
ベンダー,H ドイツ[1919] 小説家。対ソ戦線で捕虜となる。雑誌の編集長をつとめる。好短編が多い ①文学 579 A
ベンダー ⇨自動販売機
変態〈転移〉 ⑰科技→金属〔結晶〕 →合金〔特性〕 ⑱宇地→同質異像
変態 ⑲植物 573 C →器官 ⑳動物 564 C 図 →アリ →カエル〔発生〕 →昆虫〔発生〕 →成虫 →脱皮 →トンボ〔生態・行動〕図 →発生 →ホルモン〔無脊椎動物〕 →幼生 →幼虫
ペンタエリスリットエステル ⑮化学→界面活性剤表
ペンタクリノイド幼生 ⑳動物→ウミシダ
ペンだこ ⑭医学→たこ
ペンタコシオメディムノス ⑨世史→ソロン
ペンタジエン ⑮化学→アルケン〔表物理的性質〕
ベンダ族 ⑩世地→ローデシア〔社会・文化〕
ヘンダーソン,A イギリス[1863–1935] 政治家。労働組合指導者。第一次大戦中入閣,ジュネーブ軍縮会議の議長。ノーベル平和賞受賞 ⑨世史 584 C
ヘンダーソン,F アメリカ[1898–1952] ③音演→ジャズ〔誕生とスタイル〕
ヘンダーソン,T イギリス[1798–1844] 天文学者。南天の天体位置測定に従事 ⑱宇地 555 B
ペンタトーニク〈五音音階〉 ③音演 519 C →音階
ペンタノール ⇨アミルアルコール
ペンタプリズムファインダー ⑰科技→カメラ〔機能と操作〕
ペンタマイシン ⑮化学→抗生物質〔主要なもの〕
ベンタム ⇨ベンサム,J
ペンタメチレン ⇨シクロペンタン
『ペンタメローネ』 ①文学→バジーレ,G
ペンタン ⑮化学→アルカン〔表異性体〕
ペンダント ⑬生活→アクセサリー〔ネックレス〕図
ペンダント ⑬生活→照明〔照明器具〕図
ヘンチ,P アメリカ[1896–1965] 内科学者。関節炎の診療に専心,ステロイドがその痛みを軽減することを究明。ノーベル賞受賞 ⑭医学 31 A
胼胝 ⇨たこ
ペンチ ⑬生活→家庭工作〔大工道具〕 ⑯物数→てこ
ベンチカット法〈階段掘法〉 ⑰科技→採鉱〔露天採鉱法〕 →露天掘〔採鉱法〕
ベンチソー ⑬生活→家庭工作〔大工道具〕
『辺地の農場』 ①文学→アイヒ,G
ベンチャー・ビジネス ⑫経産 535 D →中小企業問題〔現代〕
辺張聴 ⑬生活→麻雀〔聴牌〕
鞭虫 ⑳動物 565 A →寄生虫〔表人体寄生虫〕 ⑭医学→駆虫剤
ベンチュリー管 ⑯物数→ベルヌーイの定理 →流速計図 ⑰科技→ガソリンエンジン〔構造〕
変調 ⑰科技→通信〔無線通信〕
弁長 [1162–1238] 鎌倉時代の僧。法然に師事し,九州で布教。浄土宗鎮西流の祖 ④哲宗 535 C
変調回路 ⑰科技 608 B
変調作用 ⑭医学→温泉療法〔医治効用〈化学作用〉〕
ベンチレーテッドディスクブレーキ〈通気式ディスクブレーキ〉 ⑰科技→競走用自動車〔構造〕
ペンチン ⑮化学→アルキン〔表物理的性質〕
ベンツ,K ドイツ[1844–1929] 自動車の開拓者。2 サイクルガソリンエンジンを発明し,三輪の自動車を製作 ⑰科技 609 B 図 →エンジン〔歴史〈51 A〉〕 →自動車〔歴史〈ガソリン自動車〉〕別 ⑫経産→ダイムラー・ベンツ
ベンツ ⑬生活→洋裁〔囲用語〕
盆子 ⑬生活→食器〔分類〈中国食器〉〕図
本菜 ⑬生活→中国料理〔献立〕
ヘンツェ,H ドイツ[1926] 作曲家。変化に富んだ技法を自由に用い,オペラに優れた作品を残す ③音演 519 D
ペンツォルト,E ドイツ[1892–1955] 小説家・詩人。彫刻家・画家として活動。衛生兵として戦争を体験 ①文学 579 A
ベンツピレン ⑭医学→癌〔原因〕
ヘンティ(山脈) モンゴル ⑩世地 578 D
ベンディクセン,F ⑫経産→貨幣 II〔名目主義〕
ベンディゴ オーストラリア ⑩世地 578 D
ベンディクス ⑫経産 536 A
『ペンテジレーア』 ①文学→クライスト,H
ヘンデル,G.F ドイツ[1685–1759] 作曲家。バロック時代の最後を飾り「バッハ,ヘンデル時代」を築き,オラトリオに優れた 作『水上の音楽』『メサイア』 ③音演 519 D 図 →オラトリオ →コンチェルト〔コンチェルト・グロッソ〕
ベンデル ①文学→イリフ・ペトロフ
ペンデレツキ,K ポーランド[1933] 作曲家。トーンクラスターの技法で知られる ③音演 521 B →現代音楽〔第二次大戦後〈トーンクラスター〉〕
ペンテン ⑮化学→アルケン〔表物理的性質〕
ベンテンウオ〔弁天魚〕 ⑳動物→シマガツオ
弁天温泉 ⑧日地→那須
『弁天小僧』 ⇨『青砥稿花紅彩画』
弁天島《千葉》 ⑦日地→鴨川(市)図
弁天島 静岡 ⑧日地 1029 A →浜名湖
弁天島 徳島 ⑧日地 1029 A →瀬戸内海図 →橘湾《徳島》
弁天社〈江島神社〉 ⑦日地→江の島
変電所 ⑰科技 609 C 図 →送電
ベンテンツゲ〈ハチジョウツゲ〉 ⑲植物→ツゲ
弁天沼 ⑦日地→五色沼 →菅沼
弁天埠頭 ⑦日地→安治川 →大阪港
『弁天娘女男白浪』 ⇨『青砥稿花紅彩画』
ヘント ⇨ガン
ベンド ⑬生活→スキー〔囲用語〕
ベンド ⑰科技→管継手
ヘントウ〔扁桃〕 ⇨アーモンド
扁桃〈口蓋扁桃〉 ⑭医学 536 C 図 →のど〔咽頭〈解剖〉〕図 →リンパ〔リンパ組織〕
弁当 ⑬生活 549 D 図
『弁道』 ④哲宗→荻生徂徠
扁桃炎 ⑭医学→かぜ〔原因〕 →感染症〔表〈ウイルス性〉〕 →扁桃
偏導関数 ⑯物数 521 B
扁桃周囲膿瘍〈扁桃周囲炎〉 ⑭医学→アンギナ →のど〔咽頭〕
『弁道書』 ④哲宗→太宰春台
扁桃腺 ⇨扁桃

ホ ほ

ボリュートポンプ ⑰科技→ポンプ〔渦巻ポンプ〕図
ボーリュの和議 ⑨世史→アンリ(三世)
ボリュビオス ⑪政社→ローマの政治思想〔共和制後期〕
捕虜 ⑪政社 541 B →ジュネーブ条約 →戦闘員・非戦闘員
『捕虜』〈カプテイウイ〉 ①文学→プラウトゥス ③音演→プラウトゥス
ポリラム水和剤 ⑲植物→農薬〔表〈殺菌剤〉〕
堀柳女 ②美術→人形〔日本〕
ホリルード宮殿 ⑩世地→エジンバラ〔囲観光地〕
ボーリング ⇨ボウリング
ボーリング〈試錐〉 ⑰科技 621 A →海洋掘削 →探鉱
ポーリング, L アメリカ[1901-] 物理化学者。化学結合の研究でノーベル化学賞, 平和運動で同平和賞受賞 ⑮化学 596 A図 →化学〔歴史〈現代〉〕 →電気陰性度 →ハイトラー, W →物理化学 ⑲植物→たんぱく質〔構造〕
ポーリングの電気陰性度 ⑮化学→電気陰性度
ホリンシェッド, R イギリス[1529?-1580?] 年代記作者。翻訳者として出発。ウルフの世界史編纂でイングランド史を担当 ①文学 596 D
ボーリンブルック, H ④哲宗→自由思想家
ホール, A アメリカ[1829-1907] 天文学者。位置天文学の研究に専念。火星の2衛星を発見 ⑱宇地 564 C →火星〔衛星〕 →フォボス
ホール, C アメリカ[1863-1914] 化学者。アルミニウムの実用的製法を発明し, アルミニウム工業を急速に発展させた ⑮化学 596 C図 →アルミニウム〔歴史〕 ⑫経産→アルコア ⑰科技→アルミニウム →金属〔歴史〕
ホール, E アメリカ[1855-1938] 物理学者。磁場内の電流の性質を研究, いわゆるホール効果を発見 ⑯物数 540 A →電流磁気効果〔ホール効果〕 ⑮化学→半導体〔ホール効果の測定〕 ⑰科技→半導体
ホール, J アメリカ[1887-1951] ①文学→ノードホフ, C
ホール, J イギリス[1761-1832] 地質学者。地層の変形形態などについて実験を試み, 実験地質学の開祖といわれる ⑱宇地 565 A →地向斜
ホール ⑬生活→居間
ホール ⑬生活→ゴルフ〔ゴルフコース〈構成〉〕図
ボルー, B ⑨世史→バイキング〔ノルマンディーとデーン・ロー〕
ボール ⇨ジョン・ボール
ボール ⑬生活→ゴルフ〔用具〕図 →バスケットボール〔用具〕図 →ボウリング〔用具〕図 →野球〔用具〕 →ラグビー〔用具〕
ボール ⑬生活→調理器具〔容器〈調理容器〉〕図
ボール ⑬生活→陸上競技〔種目〈棒高跳び〉〕
ポール, A アメリカ ⑨世史→婦人参政権運動〔アメリカ〕
ポール, L イギリス[?-1759] ⑰科技→アークライト, R →機械 →紡績〔歴史〕 →ワイアット, J
ホールアウト ⑬生活→ゴルフ〔基本的ルール〈グリーン〉〕図
ホール・イ・ザ・ウッド車〈ミュール機〉 ⑰科技→クロンプトン, S
ボルインスキー, A ロシア[1863-1926] 文芸批評家。一連のドストエフスキー論で有名。革命後, 古典バレエを唱道 ①文学 596 D
ホルウェーク ⇨ベートマン・ホルウェーク, T
ボルガ(川) ソ連 ⑩世地 590 B図 →アストラハン →ボルガドン(運河) ⑱宇地→川〔民俗〕表
ポルカ ③音演→舞曲図 ⑬生活→社交ダンス〔歴史〕
ボルガ自動車工場 ⑫経産→ソ連経済事情図
ホール型直流発電機 ⑰科技→MHD発電図
ホール型パターン ⑰科技→住宅〔住宅計画〕
ボルガドン(運河) ソ連 ⑩世地 590 C図 →カスピ(海) →ドン(川) ⑫経産→国土総合開発〔ソ連〕
『ボルガの舟曳き人』 ⑨世史→ロシア図
ポルガル, A オーストリア[1873-1955] 劇作家。風刺家でもあり, 随筆・評論・短編小説もある ①文学 597 A
ホールカル家 ⑨世史→マラータ王国
ボールキャット ⇨ケナガイタチ
ボルグア ⑩世地→サウジアラビア(王国)図
ホルクハイマー, M ドイツ[1895-1973] 社会哲学者。フランクフルト学派を主宰し, 批判理論を展開 ④哲宗 547 B →アドルノ, T →社会哲学
ホール係数 ⑮化学→半導体〔ホール効果の測定〕
ボルゲーゼ公園 ⑩世地→ローマ(市)〔市街〕〔囲観光地〈その他〉〕図
ボルゲーゼ美術館 ②美術 688 A ⑩世地→ローマ(市)〔囲観光地〈美術館・博物館〉〕
ボルケル, J チェコ[1900-1924] 詩人。共産党に入党。プロレタリア詩の創造に貢献。多くの童話を残す ①文学 597 A
ボルゴー ⇨ボルボー
ホール効果 ⑯物数 540 A →電流磁気効果 →ホール, E ⑮化学→半導体 ⑰科技→半導体〔物性〕
ボルゴグラード〈スターリングラード〉 ソ連 ⑩世地 590 C →第二次世界大戦〔経過〈戦局の転換〉〕図 ⑪政社→第二次世界大戦〔戦争の経過〈第3期〉〕別 ⑫経産→ソ連経済事情図
ボルコフ ロシア ③音演→ロシア演劇
ボルジア, C イタリア[1475?-1507] ⑨世史→ボルジャ家
ボルジェーゼ, G イタリア[1882-1952] 小説家・劇作家。文芸批評家として名声を馳せた ①文学 597 A
ボルシェビキ ⇨ボリシェビキ
ボルシェビズム ⑥日史 1059 B ⇨ボリシェビズム
『ボルシェビズムの勝利』 ④哲宗→李大釗
ボルシチ ⑬生活→スープ〔ポタージュ・リエ〕 →世界の料理〔ロシア料理〕
ボルジャ家 ルネサンス期, イタリアの政治や文化に大きな影響力を行使した家柄 ⑨世史 600 D →アレクサンデル(六世)
ホルシュタイン ⑨世史→シュレースウィヒ・ホルシュタイン問題 →ロンドン条約 ⑩世地→シュレスウィヒホルシュタイン
ボール人 ⑩世地→ポーランド(人民共和国)〔略史〕
ホルス ④哲宗→エジプト神話〔オシリス神話〕 ⑨世史→エジプト〔歴史と文化〈古王国時代〉〕
ボルス ドイツ[1913-1951] 画家。カフカやサルトルの挿画を描いて注目された ②美術 556 D
ボールズ, P アメリカ[1910-] 小説家。劇・オペラ・バレエの作曲で出発。紀行文・翻訳などもある ①文学 597 A
ポルスカ ⇨ポーランド(人民共和国)
ホルスタイン ⑳動物→ウシ〔品種〕〔別乳用種〕
ボルステッド法 ⑨世史→禁酒法
ホルステン門 ⑩世地→リューベック図
ホルスト, G イギリス[1874-1934] 作曲家。東洋的な音階やリズムを用い, オペラに優れた ③音演 525 B図
ホルストマン, A ⑮化学→化学〔歴史〈19世紀〉〕
ボルセナ(湖) イタリア ⑩世地 590 D
ポールセン, V ⑰科技→録音〔磁気録音〕
ボルゾイ ⑳動物→イヌ〔犬種〈獣猟犬〉〕別
ボルタ, A イタリア[1745-1827] 物理学者。電気現象を研究し, 初めて化学作用により電流を得る ⑮化学 597 A図 ⑯物数 540 A図 →ガルバーニ, L →電池 →物理学〔歴史〈近代〉〕 ⑰科技 621 B図
ボルタ(川) ⑩世地→オートボルタ(共和国)〔自然〕 →ガーナ(共和国)〔自然〕
ボルタ ⑳動物→貝類〔囲コレクション〕
ボルタ, C イタリア[1775-1821] ミラノ方言詩人の代表者。公吏として平穏な一生を送る ①文学 597 B
ボルタ, G イタリア[1541-1604] 建築家。マニエリズモを代表する一人 ②美術 556 D →サン・ピエトロ大聖堂
ボルダー ⑧日地 1233 D →干拓〈1205 D〉 ⑩世地→アイセル(湖) →オランダ(王国)〔自然〕
ボールダーウッド, R ①文学→オーストラリア・ニュージーランド文学〔オーストラリア〕
ボルタダム ⑩世地→ガーナ(共和国)〔経済・産業〕
VORTAC ボルタック ⑰科技→航空保安施設〔無線施設〈航行援助施設〉〕
ボルタティフ ③音演→オルガン〔分類〕図
ボルタ電堆 ⑯物数→ボルタ, A →リッター, J
ホールターネックライン ⑬生活→衿〔図ネックライン〕
ボルタバ ソ連/ウクライナ ⑩世地 590 D
『ボルターバ』 ①文学→プーシキン, A
ボルタバの戦い ⑨世史→カール(十二世) →北方戦争 →ロシア〔歴史〈帝国成立と発展〉〕
ボルタメント ③音演 525 C図
ボルタンメトリー〈電圧電流測定法〉 ⑮化学→ポーラログラフィー
ボルチモア ⇨ボルティモア
ホルツ, A ドイツ[1863-1929] 小説家・劇作家・評論家。徹底自然主義の理論と実践に健筆をふるう ①文学 597 B
ボルツァーノ, B オーストリア[1781-1848] チェコ出身の哲学者。認識の根拠を超越的意味の領域に求める哲学を展開 ④哲宗 547 C
ボルツァーノ イタリア ⑩世地 590 D
ホルツィウス, H [1558-1617] ②美術→マニエリズモ
ボルックス ⑱宇地 565 A →恒星〔表1等星〕 →ふたご座
ホルツバウアー, I [1711-1783] ③音演→マンハイム楽派
ボルツマン, L オーストリア[1844-1906] 理論物理学者。熱理論の研究で, 統計力学の基礎を築く ⑯物数 540 C図 →エントロピー →気体分子運動論 →原子論〔物質の分子構造〕 →物理学〔歴史〈近代〉〕 →ボルツマン定数 →マクスウェル-ボルツマン分布
ボルツマン定数 ⑮化学 597 B →物質の三態〔気体〕 ⑯物数 541 A →エントロピー〔統計力学的意味づけ〕 →気体定数 →自由度〔エネルギーと自由度〕 →状態 →ボルツマン, L →マクスウェル-ボルツマン分布
ボルデ, J ベルギー[1870-1961] 細菌学者。免疫学に精通し, 補体結合反応・百日咳菌を発見。ノーベル賞受賞 ⑭医学 31 B →溶血
ホルティ, N ハンガリー[1868-1957] 軍人・政治家・摂政。親独伊政策をとり, 枢軸側に立って参戦 ⑨世史 601 A
ボールディスク型積分機 ⑰科技→アナログ計算機
ボルティモア アメリカ/メリーランド ⑩世地 591 A
ホールディング ⑬生活→バスケットボール〔囲用語〕 →バレーボール〔競技方法〕
ボールディング, K アメリカ[1910-] 理論経済学者。価格の流動性選好理論や巨視的分配論で知られる ⑫経産 546 C図
ホールディング・パック ⑫経産→パッケージ
ボルテーニャ音楽 ③音演→タンゴ〔アルゼンチン・タンゴ〕
ボルテーニョ ③音演→タンゴ〔アルゼンチン・タンゴ〕
ボルテラ, D [1509-1566] ②美術→マニエリズモ
ホルテル, H オランダ[1864-1927] 詩人。晩年はマルクス主義に傾倒, ダンテなどに関する研究論文もある ①文学 597 B
ボルテール フランス[1694-1778] 啓蒙思想家。絶対王制とカトリックの支配下にあったフランスのあらゆる因襲を批判。『百科全書』の運動を支援 作『カンディード』 ①文学 597 B図 →フランス文学〔18世紀〕 →文芸批評 ④哲宗 547 C図 →歴史哲学〈第一種〉 ⑨世史 601 B →啓蒙思想 →封建制〔概念の形成史〕 ③音演→フランス演劇〔市民劇〕 ⑪政社→啓蒙思想〔フランス〕図
ホールデン, J イギリス[1892-1964] 生理学者・遺伝学者。集団遺伝学を基礎づけた一人。マルクス主義者 ⑳動物 576 C →遺伝学〔歴史〕
ホルテンシウス ⑨世史→ホルテンシウス法
ホルテンシウス法 ⑨世史 601 B →護民官 →パトリキ →プレブス
ホールド ⑬生活→登山〔囲用語〕
ホールド ⑬生活→レスリング〔囲用語〕
ボルト〔V〕 ⑯物数→電位差 →電磁気単位系
ボルト ⑰科技 621 C →ねじ〔ねじ部品〕図
ボルト ⑱宇地→ダイヤモンド
ボールト ②美術 556 D図 →屋根〈615 D〉 →ロマネスク美術〔建築〕
ボルドー フランス ⑩世地 591 B ⑬生活→ぶどう酒〔各国〕図
ポルト ポルトガル ⑩世地 591 A図
ポルトアレグレ ブラジル ⑩世地 591 B
ボルトアンペア ⑯物数→電力
ボールドウィン, J アメリカ[1924-] 黒人作家。黒人問題を白人への抗議という形をとらず一人のアメリカ人としての視点から追及 作『もう一つの国』 ①文学 597 D図 →黒人文学
ボールドウィン, S イギリス[1867-1947] 政治家。三たび首相をつとめる。エドワード八世とシンプソン夫人の結婚問題では王を退位に追いやる ⑨世史 601 B ⑪政社 541 C図
ポルトゥカレ ⑩世地→ポルト
ホルトゥーゼン, H ドイツ[1913-] 詩人・批評家。ニューヨークに在住, 文化外交的な活動に従事 ①文学 598 B →ドイツ文学〔20世紀〕
ボルトウッド, B ⑮化学→同位体
ボルドー液 ⑮化学 597 B →農薬〔分類〈表殺菌剤〉〕
ポルトガル(共和国) ヨーロッパ ⑥日史 1059 B →南蛮貿易 ⑩世地 591 B図 ⑨世史→スペイン・ポルトガル(史)

ポルトガルガキ ⑳動物→カキ〔有用種〕
ポルトガル国立自然史博物館 ⑰科技→国立自然史博物館〈680 B〉
ポルトガル文学 ①文学 598 B
ポルトガル領アンゴラ ⇨アンゴラ
ポルトガル領ギニア ⇨ギニアビサウ(共和国)
ポルトキェビッチ, L ドイツ [1868–1931] 統計学者・経済学者。マルクスの生産価格および絶対地代論を批判 ⑫経産 546 D
ポルト・サント(島) ⑩世地→マデイラ(諸島)
ボールドストライプ ⑬生活→洋装〔囲洋服地〈縞〉〕
ボルト接合 ⑰科技→鉄骨構造〔部材とその接合〕図
ホルトソウ ⑲植物 583 C図
ボルトニア ⑲植物 584 A
ボルトニャンスキー, D [1751–1825] ③音演→スラブ音楽〔大ロシア〕
ホルトノキ〈モガシ〉 ⑲植物 584 A図
ホルトノキ科 ⑲植物 584 A
ポルトノボ ダオメ ⑩世地 592 D
『ポールとビルジニー』 ①文学→ベルナルダン・ド・サン=ピエール, J →ロマン主義〈720 B〉 →ロンゴス
ポルトープランス ハイチ ⑩世地 592 D →ハイチ(共和国)図
ポルトマン, A スイス [1897] 動物学者・人類学者。人間を生理的早産の動物とし環境の意義を明らかにした ⑳動物 576 C
ボルトメーター ⇨電圧計
ボルトラッフィオ, G イタリア [1466–1516] ②美術→ミラノ派
ポルトラニ海図 ⑰科技→海図〔沿革〕
ポルトランドセメント ⑰科技 621 C →建築材料〔発達〕 →セメント ⑫経産→セメント工業 ⑮化学→アスプディン, J →セメント
ポルト=リッシュ, G フランス [1849–1930] 劇作家。「自由劇場」から大劇場に進出。恋愛心理劇を得意とする ①文学 598 C ③音演→近代劇 →フランス演劇〔写実劇〕
ボールドレス ⑬生活→ドレス〔分類〕
ポールトレーラー ⑰科技→トラクター
ポルトワイン〈ポートワイン〉 ⑩世地→ポルト
ボールトン, M [1728–1809] ⑰科技→ワット, J
ボールトン イギリス ⑩世地 593 D
ボールトン=ワット商会 ⑰科技→ワット, J
ボルネオ(島) インドネシア・マレーシア・ブルネイ ⑩世地 593 D →インドネシア(共和国)〔地方誌〕 →サバ →サラワク →ブルネイ
ボルネオール〈竜脳〉 ⑮化学→香料〔表合成香料〕 →しょうのう →テルペン〔モノテルペン系化合物〈双環性〉〕 ⑲植物→リュウノウジュ
ボルノー, O ドイツ [1903] 哲学者・教育学者。実存哲学を批判して,「新しい守護」を「家」にみいだす希望の哲学を説く ④哲宗 548 B →気分 →教育〔方法〕
ポルノ小説 ①文学→大衆文学
ボル派 ⑤日史→アナ・ボル論争 ⑥日史→労働運動〔活発化〕
ボールパイソン ⑳動物→パイソン図
ホルバイン(父子) ドイツ 父[1465?–1524] 子[1497?–1543] 画家。ともに肖像画に優れ,ゴシックからルネサンスにかけて活躍 ②美術 557 B図 →ドイツ美術〔ルネサンス〕図
ホルバート, O ハンガリー [1901–1938] 作家。ドイツ語で著作。ウィーン民衆劇風な作品やパロディ風な風刺劇がある ③音演 525 C →現代演劇
『ポール・バニアンの華麗な冒険』 ①文学→アンターマイアー, L
ボール盤 ⑰科技→機械仕上げ →工作機械図表
ボールバンネル反応 ⑭医学→血液〔血液検査〈免疫血清学的〉〕
ボルヒェルト, W ドイツ [1921–1947] 詩人・劇作家。俳優となったが召集され最前線勤務。重病の床から創作 ①文学 598 C ③音演→ドイツ演劇〔歴史〕
ボルヒグレビンク ⑩世地→南極大陸〔探検史〕
ボルヒャルト, R ドイツ [1877–1945] ユダヤ系の詩人。過去の偉大さの再発見を志す。エッセイに優れる ①文学 598 D
ボルピリオス ④哲宗→新プラトン学派
ボルフ, C ⑪政社→官房学 →啓蒙思想〔ドイツ〕
ポルフィリオス ギリシア [232?–305?] フェニキア出身の新プラトン派の哲学者。キリスト教に対抗しギリシア・ローマの伝統宗教を擁護 ④哲宗 548 C
ポルフィリン ⑭医学→血液〔赤血球〈血色素〉〕
ホルベア, J デンマーク [1684–1754] 劇作家・学者。風刺喜劇に優れる ①文学 598 D →北欧文学〔デンマーク文学〕
ボール・ベアリング〈玉軸受〉 ⑰科技 621 C →クロム鋼 →軸受〔ころがり軸受〕 ⑮化学→ハイアット, J
ボルヘス, J アルゼンチン [1899] 詩人・小説家。前衛主義の中心的な存在。エッセイ集がある ①文学 599 A →ラテンアメリカ文学〔20世紀〕
ボールペン ⑬生活 566 D
ボルボー フィンランド ⑩世地 594 A
ボルボックス ⑲植物 584 A図 →細胞〔大きさ〕 ⑳動物 577 A →動物〔単細胞動物〕
ポル・ポト カンボジア [1925] ⑩世地→カンボジア〔政治・外交〕 ⑪政社→アジア政治事情〔最近のアジア事情〕 →インドシナ問題〔1975年以後〕
ボルポーニ, P イタリア [1924] 小説家・詩人。戦後同国文学中の最重要な作品の一つ『メモリアレ』がある ①文学 599 A
『ボルポーネ』 ①文学→ジョンソン, B ③音演→ジョンソン, B
ボルホフ ソ連/ロシア ⑩世地 594 A
ボルポラ, N [1686–1766] ③音演→ナポリ楽派
ホルマリン ⑮化学 597 C →フェノール樹脂
ホルマリン水 ⑭医学→殺菌〔殺菌剤・消毒薬〕
ホルマール ⑮化学→ポリビニルアセタール
ボルマン, M ドイツ [1900–1945?] ⑨世史→ヒムラー, H ⑪政社→国際軍事裁判表
ボールマン分類 ⑭医学→胃癌〔病態の分類〕
ホルミウム ⑮化学→希土類元素
ボールミル ⑰科技→粉砕機
ホルミル基 ⑮化学→基表
ホルム, H アメリカ [1898] ③音演→モダン・ダンス
ボルム, A [1884–1951] ③音演→バレエ〔20世紀〕
ホルムアミド ⑮化学→アミド表
ホルムアルデヒド ⑮化学 597 C図 →アルデヒド〔合成法〕 →ホルマリン ⑭医学→殺菌〔殺菌剤・消毒薬〕
ホルムズ(海峡) ⑩世地 594 B
ボルムス ⇨ウォルムス
ホルムスク〈真岡〉 南樺太 ⑩世地 594 B
ホルムスク港〈真岡港〉 ⑩世地→サハリン図
ホルム窒素 ⑮化学→肥料〔化学肥料〈窒素肥料〉〕表
ホルメー〈自然の衝動〉 ④哲宗→ストア哲学
ホルメンコルレン ⑩世地→オスロ ⑬生活→スキー〔スキー競技〈代表的な競技会〉〕
ホルモニトリル ⇨シアン化水素
ホルモール法 ⑮化学→アミノ酸〔性質〕
ホルモン ⑭医学 551 C図表 →高峰譲吉〈10 D〉 →癌〔治療〈ホルモン療法〉〕 →肝臓〔ホルモン代謝〕 →甲状腺〔甲状腺ホルモン〕 →神経〔神経分泌〕 →膵臓〔膵臓ホルモン〕 →スターリング, E〈317 C〉 →生〔細胞と構成成分〕 →分泌〔内分泌腺〕 ⑮化学 598 A図表 →インシュリン ⑳動物 577 A表 ⑲植物→植物ホルモン
ホルモン型除草剤 ⑮化学→農薬〔分類〈除草剤〉〕
ホルモン拮抗薬 ⑭医学→ホルモン〔医療面〕
ホルモン剤 ⑭医学→薬〔種類〕 →ホルモン
ホルモン受容体〈レセプター〉 ⑮化学→ホルモン〔作用機構〕
ホルモン代謝 ⑭医学→肝臓
ホルモン療法 ⑭医学→癌〔治療〕 →産婦人科〔産婦人科的治療法〕
ボルラン, J スウェーデン [1894–1931] ③音演→バレエ〔20世紀〕
ボールルームダンス ⇨社交ダンス
ポール・ロブスン ⇨ロブスン, P
ボルロメオ, C イタリア [1538–1584] 聖職者。教皇ピウス四世の甥で,トリエント公会議の末期に教会の再建に努力 ⑨世史 601 C
『ポール・ロワイヤル』 ③音演→モンテルラン, H
ポール・ロワイヤル隠士団 ⑨世史→パスカル, B
ポール・ロワイヤル運動 ⑨世史 601 C →ジャンセニズム ④哲宗→ヤンセン, C →パスカル, B〔田舎の友への手紙〕
『ポール・ロワイヤルの論理学』 ④哲宗→デカルト派
ホルン ③音演 525 D図 →楽器〔管楽器〕図 →サクソルン属 →角笛
ホルン ⑱宇地→氷河〔氷河地形と氷成堆積物〕
ボルン, M イギリス [1882–1970] 物理学者。行列力学・波動関数の研究で業績をあげる。ノーベル賞受賞 ⑯物数 541 A図 →状態〔量子力学における状態〕
ホールン伯 [1518–1568] 貴族。スペインに反抗し,ネーデルラントの新教を保護,エグモントとともに刑死 ⑨世史 601 C
ホルンフェルス ⑱宇地 565 A →変成岩〔種類〕図 →変成作用 ⑦日地→須佐湾図
ボルンホルム(島) ⇨ボーンホルム(島)
ボレー, A フランス ⑰科技→自動車〔歴史〈蒸気自動車の改良〉〕 →バス〔歴史〕
ボレー ⑬生活→卓球〔囲用語〕 →テニス〔囲用語〕
ボレアス ⑱宇地→風〔表局地風〕
牡蠣(ぼれい) ⑭医学→生薬 ⑳動物→マガキ
ボレーキック ⑬生活→サッカー〔囲用語〕
ホーレー=スムート関税法 ⑫経産→互恵通商協定
ボレスワフ(一世) ⑨世史→ピアスト朝
ボレトール ⑮化学→色素〔植物色素〕 ⑲植物→植物色素
ボレニ イタリア ⑰科技→計算機〔歴史〕
ボレノフ ②美術→ロシア美術〔移動派とその周辺〕
ホレブ山〈シナイ山〉 ④哲宗→聖書〔囲地名〕
ホレボー ⑱宇地→タルコット法
ポレボイ, N ロシア [1796–1846] ジャーナリスト・小説家。雑誌を発行,ロマン主義の発展に寄与 ①文学 599 A →『モスクワ電報』 ③音演→ロシア演劇
ホレボー=タルコット法 ⇨タルコット法
ポレマルコス ⑨世史→アルコン
ポレモン ④哲宗→プラトン学派〔1〕
ボレリ, G ⑳動物→マルピーギ, M →レオミュール, R
ホレリス, H ⑰科技→オートメーション〔ビジネス・オートメーション〕 →電子計算機〔計算機の歴史〕
ボレリ彗星 ⑱宇地→彗星〔表周期彗星〕
ボレル, E フランス [1871–1956] 数学者・政治家。関数論・集合論を研究,科学啓蒙家としても知られる ⑯物数 541 B図 →確率論 →測度〔完全加法的測度〕
『ボレル叢書』〈関数論叢書〉 ⑯物数→ボレル, E
ボレロ ③音演→スペイン舞踊〔古典派〕 →舞曲 →ラテン音楽
ボレロ ⑬生活→ジャケット〔分類〕
『ボレロ』 ③音演→ラベル, M
ホロ(島) ⑩世地→スル(諸島)
保侶〔母衣〕 ⑥日史 1059 C
ボロー, G イギリス [1803–1881] 小説家。放浪生活の見聞をもとに奔放な冒険の魅力を巧みに描く ①文学 599 B
幌泉(町) ⑧日地 1048 A ⇨えりも(町)
ポロイダル磁場 ⑰科技→核融合装置〔プラズマの閉じ込め〈円環型〉〕
ぼろ市 ⑦日地→世田谷(区)〔代官屋敷〕図 ⑧日地→東京(都)〔別年中行事〕
ホロウィッツ ⇨ホロビッツ, V
ホロウェイ, J イギリス [1920] 詩人・批評家。ケンブリッジ大学のクィーンズ・カレッジ特別研究員 ①文学 599 B
幌加温泉 ⑦日地→上士幌(町)
幌加内(町) 北海道/空知支庁 ⑧日地 1048 A
母衣蚊帳 ⑬生活→蚊帳
ボロギク〔襤褸菊〕 ⇨サワギク
ボログダ ソ連/ロシア ⑩世地 594 B
ホログラフィー ⑯物数 541 C →レーザー〔レーザー光の特徴と応用〕
ホログラフィック・マスタ ⑰科技→録画〔セレクタビジョン〕
ホログラム ⑯物数→ホログラフィー
ポロシャツ ⑬生活→シャツ〔種類〕
幌尻岳 北海道 ⑧日地 1048 A →日高山脈 ⑱宇地→カール図
ボロシーロフグラード ソ連/ウクライナ ⑩世地 594 B
ボロジン, M ロシア [1884–1951] ⑨世史→武漢政府 →連ソ容共・工農扶助
ボロス ギリシア ⑩世地 594 B
ボロス ⑱宇地→日時計
ホロスコープ ④哲宗→占い〔諸相〕 ⑨世史→占星術 ⑬生活→占い〔西洋占星術〕 ⑱宇地→占星術〔分類と目標〕
袰月海岸 ⑦日地→今別(町)
ポロック, J アメリカ [1912–1956] 抽象画家。激しい表現性を強調するところから,抽象表現主義とよばれた ②美術 557 D図 →アクション・ペインティング
ボロディノの会戦 ⑨世史→クトゥーゾフ, M
ボロディン, A ロシア [1833–1887] 作曲家・化学者・社会改良家。新ロシア楽派に属し,室内楽作家として知られる 作『イーゴリ公』 ③音演 526 D図 →五人組

マ

ま

マジョリカ ②美術 563 B →陶芸〔ヨーロッパ〕
『マージョリー・モーニングスター』 ①文学→ウォーク, H
マジョルカ(島) ⇨マヨルカ(島)
マジョレ(湖) イタリア ⑩世地 602 C
マシラグモ〔猿蜘蛛〕 ⑳動物 581 B →クモ図
交わり〈共通部分〉 ⑯物数 547 C →集合 →束
マシン, L 〔1896-1979〕 ロシア生まれの舞踊家・振付者。映画『赤い靴』などの好演でも知られる ③音演 530 D
麻疹〈はしか〉 ⑭医学 557 A図 →ウイルス〔疾患〕 →学校保健〔学校伝染病〕 →感染症〔表〈ウイルス性〉〕 →伝染病〔流行史〕 →予防接種表
マージン ⑬生活→郵便切手〔囲用語〕
マシンジャー, P イギリス〔1583-1640〕 劇作家。J.フレッチャーらと合作で「国王一座」のために戯曲を書く ①文学 605 C
マシン・モデル ⑫経産→経営組織
マシン油 ⑮化学 603 B →潤滑油表 →石油〔石油製品〈潤滑油〉〕
マージン・リクワイアメント ⑫経産→金融政策〔手段〈選択的金融調節〉〕
麻疹ワクチン ⑭医学→麻疹〔予防〈自動免疫〉〕
マス ⑩世地→バリ(島)
マス〔鱒〕 ⑳動物 581 C図 →海水魚 →回遊 →帰巣性 →サクラマス
枡 ⑥日史 1068 C図表 →度量衡 ⑤日史→京枡
『鱒』 ③音演→シューベルト, F〔作風と作品〕
マース, J ドイツ〔1901-〕 小説家。トーマス・マンの手法に影響をうけ, 芸術家小説・社会小説で文名を確立 ①文学 605 D
マース(川)〈ムーズ川〉 フランス・ベルギー・オランダ ⑩世地 602 D
マース ⇨火星
マスアティエラ(島) ⑩世地→ファンフェルナンデス(諸島)
枡改め ⑥日史→度量衡〔江戸時代〕
麻酔 ⑭医学 558 A図 →外科〔歴史〕 →手術〔準備〕〔外科手術〕 ⑮化学→亜酸化窒素 →エチルエーテル
『魔睡』 ①文学→森鷗外
麻酔剤〈麻酔薬〉 ⑥日史→華岡青洲 ⑭医学→薬〔種類〈神経系に作用〉〕 →麻酔 ⑮化学→クロロホルム
升石 ⑱宇地→黄鉄鉱 →褐鉄鉱
麻酔銃 ⑬生活→狩猟〔銃猟〕
麻酔分娩法 ⑭医学→出産〔無痛分娩〈方法〉〕
マスウーディ 〔?-956〕 アラブの地理学者・歴史学者。大旅行で収集した史料を用い著作 ⑨世史 609 B →イスラム文化〔黄金時代〕
『**増鏡**』 ①文学 605 D →二条良基 →日本文学〔中世〈鎌倉〉〕 →歴史物語 ⑥日史 1069 A ⑤日史→史学史〔中世〕
枡形囲貝塚 ⑥日史 1069 A
桝形城跡 ⑧日地→多摩(区)
升形門 ⑤日史→城〔構造〕図別
マスカット オマーン ⑩世地 602 D
マスカット・オブ・アレキサンドリア ⑲植物→ブドウ
マスカットオマーン ⇨オマーン(国)
マスカットベリーA ⑬生活→ぶどう酒〔醸造用ブドウ〕
マスカーニ, P イタリア〔1863-1945〕 作曲家。10余りのオペラを書き, 指揮者としても活躍 作『カバレリア・ルスチカーナ』 ③音演 530 D図
マスカリーン(諸島)〈マスカレン諸島〉 モーリシャス・フランス/インド洋 ⑩世地 602 D
真杉静枝 〔1901-1955〕 女流小説家。結婚に失敗, 新聞記者となる。晩年は原爆乙女の治療に奔走 ①文学 606 A →『女人芸術』
マスキー法 ⑰科技→自動車〔囲排出ガス規制〕
マスク ③音演→仮面劇〔意味〕 →コメディア・デラルテ
マスク ⇨麝香
マスクサ〔枡草〕 ⑲植物 590 C →カヤツリグサ →スゲ図
斗組 ⇨組物
マスクメロン ⑲植物→メロン図
マスクラット〈ニオイネズミ〉 ⑳動物 582 A →巣〔哺乳類〕 →ネズミ〔分類〕
マスグレイブ, R アメリカ〔1910-〕 財政学者。近代財政学の著作『財政理論』がとくに有名 ⑫経産 550 A図
マスグレーブ(山脈) オーストラリア ⑩世地 602 D
マスケット銃 ⑰科技→ホイットニー, E

マスケロニ, L 〔1750-1800〕 ⑯物数→作図〔その他〕
『鱒五重奏曲』 ③音演→コントラバス →シューベルト, F〔作風と作品〈鱒〉〕
マスコバド糖 ⑮化学→砂糖〔表製品〕
マス・コミュニケーション ⑪政社 543 C →コミュニケーション〔種類〕 →ジャーナリズム →テレビジョン ⑫経産 550 A
マス・コミュニケーション学 ⑪政社→新聞学
マスコン ⑱宇地 566 A →火星〔形状と地形〕 →月《天体》〔クレーターや海の成因〕
枡座 ⑥日史→度量衡〔江戸時代〕 →枡
桝沢ダム ⑦日地→金山(町)《山形》
貧しい演劇 ③音演→グロトフスキ, J →現代演劇
『貧しいリチャードの暦』 ①文学→フランクリン, B ⑨世史→フランクリン, B
マスジェッドシャーモスク ⑩世地→イラン図
『升色紙』 ②美術→古筆手鑑〔古筆の分類〕
『貧しき信徒』 ①文学→八木重吉
『貧しき人々』 ①文学→ドストエフスキー, F
『貧しき人々の群』 ①文学→宮本百合子
マスジッド ⇨モスク
マスジド・アル・ジャミア ②美術→イスラム美術別
マスジド・ジャーミ ②美術→イスラム美術〔ウマイヤ朝〕〔セルジュク朝〈イラン〉〕別
鱒ずし ⑧日地→富山(県)〔観光〕 ⑬生活→すし〔種類〕
マスセン, A ベルギー〔1805-1878〕 ⑭医学→整形外科
マスター ⑰科技→録音〔レコードの大量生産〕
益田(市) 島根 ⑧日地 1055 A図
増田 宮城/名取市 ⑧日地 1055 A →名取(市)
増田(町) 秋田 ⑧日地 1055 A
増田綱 ⑰科技→鉱山〔歴史〈日本〉〕
マスターアロイ ⇨母合金
益田岩船 ⑦日地→橿原(市)
マスターキー ⑬生活→錠〔鍵〕
増田義一 ⑫経産→出版業〔歴史〕
マズダ教 ⑨世史→コスロー(一世)
マスダクロホシタマムシ ⑳動物→タマムシ
マスタケ〔鱒茸〕 ⑲植物 590 C
マスター格子 ⑯物数→回折格子〔製作〕
升田幸三 ⑬生活→将棋〔歴史〕
益田四郎時貞 ⇨天草四郎
マスターズ, E アメリカ〔1869-1950〕 詩人。独学でラテン語・ギリシア語を学び, リアリズム文学の傑作と脚光を浴びた長詩を残す 作『スプーン・リバー詞華集』 ①文学 606 A
マスターズ=レポート ⑭医学→性〈345 B〉
益田孝 〔1848-1938〕 明治・大正期の実業家。中上川彦次郎らとともに三井財閥を形成 ⑥日史 1069 A ⑫経産 550 D図 →財閥〔経営者〕 →三井財閥〔コンツェルン〕
マスタード〈からし〉 ⑬生活→香辛料囲
益田道場 ⇨万福寺《島根》
マスタード手術 ⑭医学→心臓〔手術可能な先天性心疾患〈大血管置換〉〕
マスタバ ⑨世史 609 B →ピラミッド〔エジプト〈起原〉〕 ②美術→ピラミッド →墳墓〔エジプト〕
マスターピース ⑨世史→ギルド
マスター・マトリクス ③音演→レコード音楽
益田善雄 ⑱宇地→波〔波力発電〕
益田好次 ⑤日史→島原の乱
マスチック ⑮化学→天然樹脂
マスチフ ⑳動物→イヌ〔犬種〈使役犬〉〕別
増地庸治郎 ⑫経産→企業形態〔経済形態論〕
マスティゴプス ⑳動物→エビ図
マスデバリア ⑲植物→ラン〔表原種〕
マスト ⑰科技→ヨット〔構造および帆走技術〕
マストドン ⑱宇地 566 A →ステゴドン →地質時代〔新生代〈第三紀〉〕 ⑳動物→ゾウ〔進化〕図
マストパチー〈乳腺症〉 ⑭医学→乳房〔疾患〕
益富雲母 ⑱宇地→雲母〔チンワルド雲母〕
増富温泉 ⑦日地→須玉(町)
益富城跡 ⑦日地→嘉穂(町)
マーストリヒト オランダ ⑩世地 602 D
『マストロ・ドン・ジェズアルド』 ①文学→ベルガ, G
マーストン, J イギリス〔1576-1634〕 劇作家。法律家の道を進むが, 文学に転ずる。代表作は『不平の徒』 ①文学 606 A
マーストン・ムーアの戦い ⑨世史→クロムウェル, O →鉄騎隊
マスネー, J フランス〔1842-1912〕 作曲家。オペラの創作に専念し, プレボーの小説からの『マノン』で知られる ③音演 531 A図

万寿庄 ⑦日地→倉敷(市)〔歴史〕
マスノスケ ⑳動物 582 A →サケ〔分類〕図
マスバテ(島) フィリピン ⑩世地 602 D
マスペロ, G フランス〔1846-1916〕 エジプト学者。オリエント考古学研究所を創設, 乱掘規制と遺跡保存に努めた ⑨世史 609 C →マスペロ, H
マスペロ, H フランス〔1883-1945〕 中国・ベトナム学者。中国古代史・ベトナム史の研究に業績を残す ⑨世史 609 C
増穂(町) 山梨 ⑧日地 1055 B
満寿美 ⑦日地→池田(市)
十寸見河東〈江戸太夫河東〉 ③音演→河東節
真清田神社 ④哲宗→神社〔表〈国幣中社〉〕 ⑦日地→一宮(市)図
『真澄遊覧記』 ⑤日史→菅江真澄
まずめ ⑬生活→釣り〔囲用語〕
マス・メディア ⑪政社→新聞〔役割〕 →マス・コミュニケーション〔特性〕 →世論〔形成と動態〕 ⑫経産→マス・コミュニケーション
升屋小右衛門 ⇨山片蟠桃
マズライ インド ⑩世地 603 A ⑨世史→パーンディヤ朝
ますらおぶり ①文学→短歌〔声調〕
マズリ湖沼地帯 ⑩世地→シニヤルドバ(湖)
マズルカ ③音演→舞曲図
マス・レジャー ⑪政社→レジャー
マスロー, S アメリカ ③音演→モダン・ダンス
馬瀬(村) 岐阜 ⑧日地 1055 B
マセイオ ブラジル ⑩世地 603 B
磨製石器 ⑥日史 1069 B →石器 →弥生文化〔年代〈前期〉〕 ⑨世史→新石器時代
間瀬海岸 ⑦日地→佐渡弥彦国定公園
混ぜご飯 ⑬生活→飯〔炊き込みご飯〕図
マーセッド(川) ⑩世地→カリフォルニア(州)図
マーセデス-ユークリッド型計算機 ⑰科技→計算機〔歴史〕
マセラシオン法 ⑬生活→香水〔製造法〕図
マセラル ⑮化学→石炭〔性状〕
マゼラン, F〈マジェラン, F〉 ポルトガル〔1480?-1521〕 人類最初の世界一周航海の指揮者。南アメリカ東岸を南下, 太平洋を横断する ⑧日地 1234 B ⑨世史→大航海時代〔世界一周〕 →マジェラン, F ⑩世地→太平洋〔探検と調査〕 ⑱宇地→太平洋 →探検〔16,17世紀〕図
マゼラン(海峡) ⑩世地 603 B図
マゼラン雲 ⑱宇地 566 B図 →銀河系〔大きさ〕 →銀河系外星雲〔不規則星雲〕 →星座〔四季〈南天〉〕
マゼラン上陸記念碑 ⑩世地→フィリピン(共和国)
マゼランペンギン ⑳動物→ペンギン〔種類〕
マセリセファラ ⑳動物→深海生物図
マセル レソト ⑩世地 603 B
マーセルウェーブ ⑬生活→美容〔髪〕
マゾー, E フランス〔1884-〕 劇作家。築地小劇場の第1回公演作品『休みの日』の作者として知られる ①文学 606 B
まそかがみ ①文学→短歌〔囲枕詞〕
マーゾニン ⑭医学→赤チン →救急箱〔外用薬〕
マゾビア公 ポーランド ⑨世史→プロイセン〔プロイセン公国〕
マゾヒズム〈被虐症〉 ①文学→サディズム ⑭医学→性欲〔目的〕
マゾリーノ・ダ・パニカーレ イタリア〔1383-1447?〕 フィレンツェ派の画家。ゴシック様式の帰依者で, 物語の叙述的描写に執着 ②美術 563 B
マター スイス ②美術→ポスター
『また逢う日まで』 ③音演→今井正 →映画別
『また逢う日まで』 ③音演→歌謡曲表
マタイ ⑩世地→西サモア
マダイ〔真鯛〕 ⑳動物 582 A →タイ〔生態〕図
『マタイ受難曲』 ③音演→受難曲 →バッハ, J〔生涯〕 →メンデルスゾーン, F
『マタイによる福音書』 ④哲宗→聖書〔囲〈新約〉〕
マダカアワビ ⑳動物→アワビ
マダガスカル(民主共和国) アフリカ ⑩世地 603 B図 ⑫経産→アフリカ経済事情図
マダガスカルアオアゲハ ⑳動物→チョウ《昆虫》〔別〈外国〉〕
マダガスカルイシガケチョウ ⑳動物→チョウ《昆虫》〔別〈外国〉〕
『マダガスカル紀行』 ①文学→紀行文学〔西洋〕
マダガスカルビブリアタテハ ⑳動物→チョウ《昆

虫〕〔別〈外国〉〕
マタガルパ ⑩世地 604 B
マタギ ⑤日史→狩猟 ⑦日地→朝日(村)《新潟》図
マタク(島) ⑩世地→アナンバス(諸島)
『再春松種蒔』 ③音演→三番叟物
マダケ〔真竹〕 ⑲植物 590 C →タケ〔分類〕図
マダコ〔真蛸〕 ⑳動物 582 B →タコ〔種類〕図 →二胚虫
股裂き ⑬生活→レスリング〔囲用語〕
又四郎尺 ⑥日史→度量衡〔江戸時代〕
マタタビ〔木天蓼〕 ⑲植物 591 A図 →薬用植物表 ⑳動物→クサカゲロウ
マタタビ科 ⑲植物 591 A
股旅もの ③音演→長谷川伸
マダーチ,I [1823-1864] 劇作家。天地創造以来の人類の歴史をテーマとする哲学的詩劇『人間の悲劇』がある ①文学 606 B ③音演 531 B
マタチッチ,L [1899] 指揮者。オラトリオで名演を残している ③音演 531 B図
マタディ ⑩世地 604 B
マタドール ⑬生活→闘牛図
マダニ〔真蜱〕 ⑳動物 582 B →ダニ〔害と益〕
マタニティドレス〈妊婦服〉 ⑬生活→ドレス〔分類〕
マタヌスカ(谷) ⑩世地→アラスカ(州)
マタバヌ ⑱宇地→火山〔表活火山〕
マタバン(岬) ⇨テナロン(岬)
又平 ③音演→人形浄瑠璃〔別文楽の首〕
マタベレランド ⑩世地→ブラワヨ
真玉(町) 大分 ⑧日地 1055 B
マダマ宮殿 ⑩世地→トリノ
マタマタ ⑳動物→カメ〔分類〕図 →ヘビクビガメ
『マダム・サン=ジェーヌ』 ③音演→サルドゥー,V
マダム・タッソー館 ⑩世地→ロンドン《イギリス》〔囲観光地〕
『マダムと女房』 ③音演→五所平之助 →日本映画〔トーキー時代〈第3期〉〕図
マタモロス ⑩世地 604 C
マダラ〔真鱈〕〈ホンダラ〉 ⑳動物 582 C →タラ図
マダラウミスズメ〔斑海雀〕 ⑳動物→ウミスズメ図
マダラウミヘビ ⑳動物→ウミヘビ《爬虫類》
マダラウロコムシ ⑳動物→ウロコムシ
マダラエイ ⑳動物→アカエイ
斑尾山 ⑧日地→野尻湖
マダラガ〔斑蛾〕 ⑳動物 582 C図 →ガ〔人間生活との関係〕
マダラガチョウ ⑳動物→ガチョウ
マダラカマドウマ ⑳動物→カマドウマ図
マダラカミキリモドキ ⑳動物→カミキリモドキ
まだら雲 ⑱宇地→雲〔分類〈高積雲〉〕 →絹積雲 →高積雲
マダラクワガタ ⑳動物→クワガタムシ
マダラサソリ ⑳動物→サソリ〔毒〕図
馬渡島 佐賀 ⑧日地 1055 B →鎮西(町)
マダラシミ ⑳動物→シミ
マダラスカンク ⑳動物→スカンク〔種類〕図
マダラスズ〔斑鈴〕 ⑳動物 583 A
マダラチョウ〔斑蝶〕 ⑳動物 583 A図
マダラヒゲナガカミキリ〈マツノマダラカミキリ〉 ⑳動物→甲虫〔別〈日本産〉〕 →マツクイムシ
まだら節 ③音演→民謡〔表〈石川〉〕
マダラフルマカモメ ⑳動物→ケープピジョン
マタラム ⑨世史 609 C →東南アジア〔歴史〕
マダラメイガ〔斑螟蛾〕 ⑳動物 583 B
マダラメバエ ⑳動物→ハエ図
マダリアーガ,S [1886-1978] 小説家・批評家。国際政治面で活躍,英仏語を駆使して文筆でも活動,評論は出色 ①文学 606 B
マダーレーキ ⑮化学→顔料〔表天然有機顔料〕
マタン(島) ⑨世史→マジェラン,F
マタンサス ⑩世地 604 C
『魔弾の射手』 ③音演→ウェーバー,C
町 ⑥日史 1069 C →町衆 →町役人
町 ⑪政社→地方公共団体〔種類〈普通〉〕
『町』 ①文学→リクター,C
『街』 ①文学→田畑修一郎
襠 ⑬生活→羽織図 →袴
マーチ ⇨行進曲
待合 ⑬生活→茶道〔囲用語〕
町入能 ③音演→能〔歴史と現状〕
『マチウシ王一世』 ①文学→コルチャック,J
マチエール ②美術 563 C
区送り ②美術→日本刀〔囲用語〈茎〉〕
町会所 ⑤日史→江戸町会所 →寛政の改革〔物価対策〕
『まちがいの喜劇』 ①文学→シェークスピア,W
町駕籠 ⑤日史→駕籠図
マチガ沢 新潟 ⑧日地 1055 C →谷川岳
町方 ⑤日史→地方 ⑧日地→在町〈1212 C〉
町苅田 ⑦日地→赤坂(町)
待ち行列理論 ⑯物数→OR
町組 ⑥日史→町衆
町芸者 ⑤日史→芸者
『真知子』 ①文学→野上弥生子
町座 ⑤日史→座〔成立〕 ⑥日史→町
町衆 ⑥日史 1069 D →町人 →土倉
マチス,H [1869-1954] 画家。フォービスム運動を推進。ピカソとともに20世紀絵画の偉大な指針となる ②美術 563 D図 →フォービスム図
マーチソン(氷河) ⑩世地→サザンアルプス
マーチソンフォールズ国立公園 ⑩世地→ウガンダ(共和国)〔自然〕
町田(市) 東京 ⑧日地 1055 C
町代 ⑥日史→町役人〔町年寄〕
町田忠治 [1863-1946] 政治家。東洋経済新報社長を経て政界に入り立憲民政党総裁,第二次大戦後は日本進歩党総裁 ⑥日史 1069 D
町同心 ⑥日史→同心
町年寄 ⑤日史→江戸町年寄 ⑥日史→樽屋 →町役人
町名主 ⑤日史→江戸町年寄 →江戸町名主
町入用 ⑤日史→江戸〔町方支配〕
『マチネ・ポエティク詩集』 ①文学→加藤周一
『街の入墨者』 ③音演→山中貞雄
『街の女イエス』 ①文学→カルコ,F
『街の女マギー』 ①文学→クレーン,S
『街の子』 ①文学→シュミットボン,W
『街の灯』 ③音演→チャップリン,C
『街の風景』 ③音演→ライス,E
町版 ⑤日史→印刷術
町飛脚 ⑥日史→飛脚
町火消 ⑤日史→大岡忠相 →享保の改革〔都市〕 ⑥日史→火消 ⑪政社→消防制度
町奉行 ⑥日史 1070 A図 →番所 ⑤日史→石出帯刀 →江戸〔変遷〕 →享保の改革〔機構改革〕 →警察制度
町彫 ⑥日史→横谷宗珉
町家〔町屋〕 ②美術 564 B →民家図 ⑥日史 1070 D ⑧日地→職人町〈1216 D〉
町役人 ⑥日史 1071 A
マーチャーシュ [1440-1490] 王。近代的常備軍を創設,ウィーンを占領し中欧最強の王国を築きあげた ⑨世史 609 D
マーチャーシュ教会 ⑩世地→ブダペスト図
町奴 ⑥日史 1071 B →旗本奴 →幡随院長兵衛 ⑤日史→男伊達
マチャード,A [1875-1939] 詩人。M.マチャードの弟。詩風は兄とは逆に荘厳で瞑想的 ①文学 606 B
マチャード,M [1874-1947] 詩人。近代派に属し,故郷アンダルシアを官能的にうたう。弟との合作による韻文劇もある ①文学 606 B
マチャプチャリ ⑩世地→ヒマラヤ(山脈)図
マーチャンダイジング ⑫経産→商業〔囲用語〕
マーチャント・アドベンチャラーズ ⑨世史 609 D ⑫経産 550 D →イギリス経済事情〔資本主義の発達〈芽ばえ〉〕
マーチャント・キャリアー ⑫経産→運送 →海運
マーチャント・バンカー ⑫経産→証券業〔二〕
マーチャント・バンク ⑫経産→イギリス経済事情〔金融〕
マチュー,G [1921] ②美術→アンフォルメル図
マチュ・ピチュ ②美術→インカの美術図 ⑩世地→ペルー(共和国)図
マチュヨビツェの戦い ⑨世史→コスチューシコ
マチョ ⑩世地→メキシコ(合衆国)〔社会・文化〕
マチョス,C ⑰科技→技術〔技術史〕
マチン,J [1685-1751] ⑯物数→円周率囲
マチン〔馬銭樹〕 ⑲植物 591 A →有毒植物 ⑮化学→アルカロイド〔種類〕
マーチン,A [1910] 生化学者。ペーパークロマトグラフ法を完成。ノーベル賞受賞 ⑮化学 603 C
マーチン,E [1908] ②美術→北欧美術〔建築と工芸デザイン〕
マーチン,P ⇨マルタン,P
マツ〔松〕 ⑲植物 591 B図囲 ⑰科技→建築材料〔分類〈構造用材料〉〕 ⑬生活→正月〔飾りつけ〕
マツ(科) ⇨マツ科
マーツー(島)〈馬祖島〉 中国/福建省 ⑩世地 604 C
松上げ ⑦日地→京都(市)〔別年中行事〕
松井石根 ⑥日史→南京事件《日本軍》 ⑪政社→極東国際軍事裁判〔表被告人〕
松井簡治 ①文学→上田万年
松居久左衛門 ⑤日史→近江国〔囲人国記〕
松井元泰 [1689-1743] ⑥日史→大和国〔囲人国記〕
松井五郎兵衛 [1570-1657] ⑥日史→日向国〔囲人国記〕
松井須磨子 [1886-1919] 女優。島村抱月と芸術座を結成,新劇の普及発展に尽くす ③音演 531 C図 ⑥日史 1071 C →文芸協会 ①文学→島村抱月 ⑤日史→芸術座
松井田(町) 群馬 ⑧日地 1055 C
松井直吉 [1857-1911] 明治の化学者。第1回文部省留学生。東大教授・農科大学学長など歴任 ⑥日史 1071 C
松井屋源右衛門 ⑤日史→越中国〔囲人国記〕
松井友閑 [*-*] 安土桃山時代の武士。織田信長に従い大坂城接収に活躍,のち豊臣秀吉に仕える ⑥日史 1071 C
松岩 ⑰科技→鉱山〔囲用語〕
松浦(市) 長崎 ⑧日地 1055 C
松浦氏 ⇨松浦氏
松浦潟 ⑧日地→虹ノ松原図
松浦川 佐賀 ⑧日地 1055 D
松浦検校 [*-1822] ③音演→地歌〔歴史〕
松浦宗案 ⑤日史→伊予国〔囲人国記〕
松浦武四郎 [1818-1888] ⑤日史→伊勢国〔囲人国記〕
松浦漬け ⑳動物→クジラ〔捕鯨〈利用〉〕
松浦党 ⇨松浦党
松江(市) 島根 ⑧日地 1055 D図
松江大橋 ⑧日地→松江(市)
松江温泉 ⑦日地→宍道湖
松江重頼 [1602-1680] 江戸前期の俳人。俳諧の連歌からの独立に貢献。論敵多く,晩年は孤立 作『犬子集』 ①文学 606 C →池田正式 →歳時記
松江城〈千鳥城〉 ⑥日史 1071 C →松江藩 ⑤日史→城別 ⑧日地→松江(市)図
松江藩 ⑥日史 1071 D ⑤日史→隠岐国〔囲人国記〕
松江平野 島根 ⑧日地 1057 B
松尾 京都市/西京区 ⑧日地 1057 B
松尾(町) 千葉 ⑧日地 1057 B
松尾(村) 岩手 ⑧日地 1057 C図
松岡(町) 福井 ⑧日地 1057 D
松岡寿 ②美術→明治の美術〔明治美術会と白馬会〕
松岡映丘 [1881-1938] 日本画家。大和絵復興に一生をささげ,教育者としても優れる ②美術 564 C ⑥日史 1071 D
松岡荒村 ①文学→社会主義文学
松岡駒吉 [1888-1958] 労働運動家・政治家。大正期から組合運動の主流として活躍,戦後総同盟会長・衆議院議長をつとめる ⑥日史 1071 D →日本労働組合総同盟 ⑫経産→労働組合〔戦後〕
松岡恕庵 [1669-1747] 江戸中期の植物学者。本草学・医学に造詣が深く,小野蘭山らを育てた ⑲植物 593 B図
松岡青蘿 [1740-1791] 江戸中期の俳人。武士をやめ剃髪し諸国をめぐり,蕪村らと交わる ①文学 606 C
松岡藩 ⑥日史→常陸国
松岡寿 ②美術→浅井忠
松岳山古墳 ⑦日地→柏原(市)
松岡譲 [1891-1969] 小説家。哲学的エッセイを書く。漱石山房に出入りし,長女筆子と結婚 ①文学 606 C
松岡洋右 [1880-1946] 大正・昭和前期の外交官・政治家。日独伊枢軸外交を推進,対ソ交戦を主張 ⑥日史 1072 A図 →大東亜共栄圏 →太平洋戦争〔突入〕 →日ソ中立条約 ⑤日史→国際連盟脱退 ⑪政社→極東国際軍事裁判〔表被告人〕
松尾川 ⑦日地→祖谷
松尾川ダム〈春ノ木ダム〉 ⑦日地→腕山
松尾丘陵 ⇨矢田丘陵
松尾鉱山 ⑧日地→松尾(村) ⑱宇地→辰砂
松尾聡 ①文学→紫式部〔源氏物語〈諸本と研究〉〕
松尾寺 ⇨松尾寺
松尾淳斎 ⑥日史→松尾多勢子
松尾大社 ⇨松尾大社
松尾多勢子 [1811-1894] 幕末維新の烈女。討幕の志を抱き,公卿・志士とともに活躍 ⑥日史 1072 A

マドレーヌ寺院 ⑩世地→パリ〔囲観光地〕
マドレーヌ洞窟 ⑱宇地→ラルテ,E
マドレーヌ文化 ⑨世史 611 C図 →ラスコー
マドレーネル卵管圧挫結紮法 ⑭医学→不妊手術〔女性不妊手術〕
マードレ・ピア ②美術→聖母子像
マトン ⑬生活→食肉〔羊肉〕
マートン,R ｱﾒﾘｶ[1910] ⑪政社→構造 →知識社会学
マドンナ ④哲宗→マリア〔崇敬〕
『マドンナの宝石』 ③音演→ウォルフ=フェラーリ,E
マドンナリリー ⑲植物→ユリ〔分類〕別
マナ(峠) ⑩世地→ヒマラヤ(山脈)〔登山と探検史〕
マナ ④哲宗 554 C →神 →宗教〔起源〕 →人類学〈313 B〉
真名 ⑤日史→漢字
マナー ⇨荘園《ヨーロッパ》
マナイズム ④哲宗→宗教〔構造〕
まな板 ⑬生活→調理器具〔成形器具〕
俎開き ⑧日地→東京(都)〔別年中行事〕
真名井滝 ⑧日地→高千穂峡図
マナウス ﾌﾞﾗｼﾞﾙ ⑩世地 606 D →アマゾン(川)〔航行〕図
馬流 ⑦日地→小海(町)
マナガツオ〔鯧〕 ⑳動物 585 B図
真名川 福井 ⑧日地 1064 D
マナグア ﾆｶﾗｸﾞｱ ⑩世地 607 A →ニカラグア(共和国)図
マナサールオウチー(湖)〔瑪那薩羅沃池〕 中国 ⑩世地 607 A
末那識 ④哲宗→縁起〔1〕 →唯識
マナスル ﾈﾊﾟｰﾙ ⑩世地 607 B →ヒマラヤ(山脈)〔区分〈ネパール・ヒマラヤ〉〕〔表初登頂〕 ⑬生活→登山〔発展〕
曲直瀬道三 [1507–1594] 安土桃山時代の医家。診療とともに啓迪院で多くの門人を教えた。日本医学中興の祖 ⑥日史 1079 D図 ⑭医学 31 C ⑤日史→医学史〔漢方の勃興〕
『真夏の夜の夢』 ①文学→シェークスピア,W ③音演→アニメーション映画〔ヨーロッパ〕図 →滑稽 →シェークスピア,W図 →ブルック,P →メンデルスゾーン,F
『真夏の夜の狂気』 ①文学→オフェイロン,S
真夏日 ⑱宇地→気温〔測定〕
マナヅル〔真鶴〕 ⑳動物 585 C →ツル〔生態〕図
真鶴(町) 神奈川 ⑧日地 1064 D図 →真鶴岬
真鶴岬 神奈川 ⑧日地 1064 D
マナティー ⑳動物 585 C図 →海牛
魚箸 ⑬生活→箸
マナピーク ⑩世地→ヒマラヤ(山脈)〔表初登頂〕
間部詮勝 [1802–1884] ⑤日史→越前国〔囲人国記〕
間部詮房 [1667–1720] 江戸中期の側用人。6代家宣・7代家継に仕え,新井白石とともに将軍側近の双璧とされる ⑥日史 1079 D →徳川家継 ⑤日史→正徳の治
真鍋島 岡山/笠岡市 ⑧日地 1065 A
マナマ ﾊﾞｰﾚｰﾝ ⑩世地 607 C
マナマコ〔真海鼠〕 ⑳動物 586 A →ナマコ〔種類〕
マナリズム ⇨マニエリズモ
マニ [216–274?] ④哲宗→グノーシス →マニ教 ⑨世史→シャープール(一世) →マニ教
マニー,C ﾌﾗﾝｽ[1913–1966] 女流批評家。はなやかな論理を駆使して対象を解明 ①文学 610 D
間似合 ②美術→和紙〔歴史〕
マニエリズモ ②美術 566 B図 →イタリア美術〔ルネサンス〕 →ルネサンス美術〔終幕〕
マニオク〈キャッサバ〉 ⑬生活→いも類
マニカ(高原) ⑩世地→モザンビーク(人民共和国)〔自然〕
マニカル(島) ⑩世地→パラオ(諸島)
マニキュア ⑬生活→美容〔手足〕
マニ教 ④哲宗 555 B →宗教〔発展段階〕 ⑨世史 611 D →ウイグル →北アジア〔モンゴル高原〈ウイグル・キルギス〉〕 →ササン朝ペルシア〔文化〕 ⑪政社→秘密結社〔二〕
マニサレス ｺﾛﾝﾋﾞｱ ⑩世地 607 C
マニチ(運河) ソ連 ⑩世地 607 C
マニトバ(州) ｶﾅﾀﾞ ⑩世地 607 D
マニピュレーター〈マジックハンド〉 ⑰科技 627 C →ホットラボ図
マニファクチュア ⇨マニュファクチュア
マニフェスト・デスティニー〈明白な天命〉 ⑨世史 611 D ⑪政社→アメリカニズム
マニプリ ③音演→インド舞踊図
マニプール(州) ｲﾝﾄﾞ ⑩世地 607 D
マニホットゴムノキ ⑲植物 597 B図 →ゴム植物
マニャスコ,A ｲﾀﾘｱ[1678–1749] 画家。説明的な細部描写を無視,風俗・風景画に特異な才能を発揮 ②美術 566 D
『マニュエルの生活伝』 ①文学→キャベル,J
『マニュス・リベル・オルガニ』 ③音演→オルガヌム
マニュファクチュア〈工場制手工業〉 ⑥日史 1080 A →封建社会〔幕末〕 →明治時代〔自由民権運動〕 ⑫経産 552 A →イギリス経済事情〔資本主義の発達〈芽ばえ〉〕 →イギリス市民革命 →手工業 →絶対主義〔本質〕 ⑧日地→工場制手工業〈1210 B〉 ⑰科技→技術〔道具の発達と機械〕
マニュファクチュア論争 ⑫経産 552 D →日本資本主義論争〈467 D〉 ⑥日史→マニュファクチュア
マニラ ﾌｨﾘﾋﾟﾝ ⑥日史 1080 C ⑩世地 607 D′図 →フィリピン(共和国)図 →ルソン(島)
マニラ(湾) ⑩世地 608 B
マニラアサ ⑲植物 597 B図
マニラ・コーパル ⑮化学→天然樹脂
マニラコパールノキ ⇨コパールノキ
マニラ博物館 ⑰科技 679 C
マニラ葉巻 ⑬生活→たばこ〔製品〈葉巻たばこ〉〕
『マニリウス法論』 ①文学→キケロ,M
マニング ｲｷﾞﾘｽ[1264–1340] ①文学→イギリス文学〔中世〕
マニング,F ①文学→オーストラリア・ニュージーランド文学〔ニュージーランド〕
マヌ ①文学→『マヌの法典』 ④哲宗→インド神話〔ベーダ神話〕 ⑨世史→『マヌ法典』
マヌエラン様式 ⑨世史→マヌエル(一世)
マヌエル(一世)〈幸運王〉 ﾎﾟﾙﾄｶﾞﾙ[1469–1521] 王。先王の航海事業をつぎ海上帝国を実現。独特の建築装飾が開花 ⑨世史 611 D →アビス家 →ビザンティン帝国〔後期〕
『マヌエル王の年代記』 ①文学→ゴイス,D
マヌエル風 ⑨世史→アビス家
マヌカンピス〈小便小僧〉 ⑩世地→ブリュッセル
間抜け落ち ③音演→落語〔囲落ち〕
マヌス(諸島) ⇨アドミラルティ(諸島)
マヌーチフリー [?–1040] 詩人。自然描写では随一。天文学の造詣も深い ①文学 611 A
『マヌ法典』〈マヌの法典〉 ①文学 611 A ⑨世史 612 A →奴隷制〔近代以前〈インド〉〕
マネ,E ﾌﾗﾝｽ[1832–1883] 画家。印象主義の父と目され,伝統と革新を結ぶ仲介の役を果たす ②美術 567 A図 →印象主義図
マネキグサ ⑲植物→オドリコソウ
マネキグモ ⑳動物→ウズグモ →クモ〔網〈条網〉〕
マネー・サプライ分析 ⑫経産→資金循環分析
マネシエ,A ﾌﾗﾝｽ[1911] 画家。「抽象絵画による求道者」と称され,パリ抽象画壇の代表的存在 ②美術 567 C →抽象主義図
マネシツグミ〔真似鶫〕 ⑳動物 586 A →ダーウィン,C〔囲ガラパゴス諸島〕
マネジメント ⇨管理
マネジメント・コンサルタント ⑫経産→企業診断
マネジメント・サイクル ⑫経産→管理
マネジメント・サービス ⑫経産→公認会計士
マネジリアル・エコノミックス ⑫経産→経営学
マネージリアル・ソシオロジー ⑫経産→産業社会学
「美術〔チェコスロバキア〕
マーネス,J ﾁｪｺ[1830–1871] ②美術→東ヨーロッパの
マネタリスト ⑫経産→西欧経済事情〔問題点〕
マネタリズム ⑫経産→インフレーション →財政〔機能〕
「(諸島)
マネティウム(島) ⑩世地→ニューヘブリディーズ
マネトー ｴｼﾞﾌﾟﾄ[?] 神官。その著述の中で示した王朝区分や年代は,今もエジプト史研究で活用 ⑨世史 612 A →エジプト〔歴史と文化〈初期王朝時代〉〕
マネー・フロー表 ⑫経産→国民経済計算〔流れ〕
マネーフロー分析 ⇨資金循環分析
真野(町) 新潟/佐渡島 ⑧日地 1065 A
真野古墳群 ⑥日史 1080 C
真野御陵 ⑦日地→佐渡島
マノ・シニストラ ③音演→音楽用語〈629 B〉
間ノ瀬狂言 ⑧日地→長崎(県)〔文化〈郷土芸能〉〕
マノ・デストラ ③音演→音楽用語〈629 B〉
『魔の沼』 ①文学→サンド,G
真野宮遺跡 ⑧日地→真野(町)
『魔の山』 ①文学→教養小説 →マン,T図
『マノン』 ③音演→マスネー,J
『マノン・レスコー』 ①文学→心理小説 →プレボー,A ③音演→プッチーニ,G図
マーハ,K ﾁｪｺ[1810–1836] 詩人。愛国的ロマン派の代表。自然と祖国を美しくうたった ①文学 611 A →東欧文学〔チェコ〕
マハーカーシャパ ⇨迦葉
マハカム(川) ⑩世地→ボルネオ(島)
『マハゴニー市の興亡』 ③音演→ブレヒト,B
マハゼ〔真沙魚〕 ⑳動物 586 A →ハゼ〔釣り〕図
マハタ〔真羽太〕 ⑳動物 586 A図
真幡寸神社〈城南宮〉 ⑧日地→鳥羽
マハータート寺院 ⑩世地→スコータイ図
マハチカラ ソ連/ﾛｼｱ ⑩世地 608 B →ダゲスタン
マハチュキー,F ﾄﾞｲﾂ ⑱宇地→阿武隈石
マーバット,C ｱﾒﾘｶ[1863–1935] 土壌学者。農業土地利用の合理化をめざし土壌分類系を完成 ⑱宇地 566 C
マハディー ④哲宗→カリフ
マハディ運動 ⑨世史→アフリカ(史)〔民族独立の時代〈民族自決権〉〕
マハディ国 ⑨世史→アフリカ(史)〔植民地時代〈分割会議〉〕
マハートマー・ガンジー ⇨ガンジー,M
マハーナジ(川) ｲﾝﾄﾞ ⑩世地 608 C
馬放島 宮城/塩釜市 ⑧日地 1065 A →松島湾
マハナディ(川) ⇨マハーナジ(川)
マハーパドマ ⑨世史→ナンダ朝
『マハーバーラタ』 ①文学 611 B →インド・パキスタン文学〔叙事詩文学〕 ③音演→インド演劇〔古代宮廷演劇〕 →インド音楽〔歴史〈古典時代からバーラタ時代〉〕 →影絵劇〔バリ〕 ④哲宗→『バガバッド・ギーター』
マハービーラ ｲﾝﾄﾞ[前549?–?] ④哲宗→インド哲学〔古代〕 →ジャイナ教 ⑨世史→ジャイナ教
『マハービーラチャリタ』 ①文学→ババブーティ
マハーブラフマー〈大梵天〉 ④哲宗→梵天
マハーボディー寺 ④哲宗→巡礼〔囲巡礼地〈ブッダガヤ〉〕
マハムード・タイムール ｴｼﾞﾌﾟﾄ[1894] 小説家。都市と農村の生活を題材とした短編で賞賛を博した ①文学 611 B
『マハー・ヤーザウインジー』 ①文学→ウ・カラ
マハーラージャー・ハリ・シン ⑪政社→カシミール問題
マハラシュトラ(州) ｲﾝﾄﾞ ⑩世地 608 C
マハレブ桜桃 ⑲植物→サクランボ
麻痺 ⑭医学 562 D
真備(町) 岡山 ⑧日地 1065 A
間引 ⑥日史 1080 C ⑤日史→江戸時代〔産業・経済・貿易〈封建社会の動揺〉〕 →寛政の改革〔農村政策〕
眉庇付冑 ②美術→甲冑〔日本〕
麻痺性痴呆 ⑭医学→性病〔梅毒〈第4期〉〕
マーピッラー=モープラー ⑨世史→モープラーの反乱
真人 ⑥日史→八色の姓
マビューズ,J [1478?–1533?] フランドルの画家・版画家。イタリア絵画との折衷様式をつくりだし,マニエリストとして重要 ②美術 567 C図
マビヨン,J ﾌﾗﾝｽ[1632–1707] ⑨世史→キリスト教〔近代〕 →史学史〔近代〈ルネサンス期〉〕
真昼山地 岩手・秋田 ⑧日地 1065 B
真昼岳 ⑧日地→真昼山地
『真昼に分つ』 ①文学→クローデル,P
『まひる野』 ①文学→窪田空穂 →窪田章一郎 →短歌〔第二次大戦後〕
『真昼の暗黒』 ①文学→キングズリー,S
『真昼の暗黒』 ①文学→ケストラー,A
マヒワ〔真鶸〕 ⑳動物 586 B →アトリ図 →飼い鳥〔飼い方〈飼養許可〉〕 →フィンチ図
間歩 ⑰科技→鉱山〔囲用語〕
マーフィー,W ｱﾒﾘｶ[1892] 内科学者。糖尿病研究のほか,悪性貧血病の食事療法を考案。ノーベル賞受賞 ⑭医学 31 D
マフィア ⑪政社→秘密結社 →ボス
マフィン ⑬生活→菓子〔洋菓子の種類〕
マフェキング ⇨マヘキング
馬烽 ⇨馬烽
マフグ〔真河豚〕 ⑳動物 586 B →フグ図表
まぶしさ ⑬生活→採光
『マブ女王』 ①文学→シェリー,P
まぶた〈眼瞼〉 ⑭医学→目〔付属器〕

マライ(半島) アジア ⑩世地 608 D
マライ(諸島) アジア ⑩世地 609 A →東インド(諸島)
『マライ』 ①文学→フォーコニエ,H
マライオオトカゲ〈ミズオオトカゲ〉 ⑳動物→オオトカゲ図
『マライシアにおける稲米儀礼』 ④哲宗→宇野円空
『マライ諸島』 ⑳動物→ウォーレス,A
マライ人種 ⑩世地→世界〔人種〕
マライセンザンコウ ⑳動物→センザンコウ〔種類〕
マライ族 ⑩世地→インドネシア(共和国)〔地方誌〈スマトラ〉〕 →サラワク
マライタ(島) ソロモン ⑩世地 609 A
『マライ年代記』 ⇨『スジャラ・ムラユ』
マライパームシベット ⑳動物→パームシベット
マライヒヨケザル ⑳動物→ヒヨケザル
マライ文学 ①文学→『ヒカヤット・アブドゥラー』
マライ・ポリネシア語族 ⑧日地 1234 C ⑩世地→インドシナ(半島)〔民族構成〕
マラウイ(共和国) アフリカ ⑩世地 609 A図
マラウイ(湖) アフリカ ⑩世地 609 C ⑱宇地→リビングストン,D
マラウイ(高原) ⑩世地→モザンビーク(人民共和国)〔自然〕
マラガ スペイン ⑩世地 609 D
マラカイ ベネズエラ ⑩世地 609 D
マラカイトグリーン ⑮化学 604 B →顔料〔表無機顔料〕
マラカイボ ベネズエラ ⑩世地 609 D →ベネズエラ(共和国)図
マラカイボ(湖) ベネズエラ ⑩世地 609 D →ベネズエラ(共和国)図
マラカイボ油田 ⑫経産→ラテンアメリカ経済事情
マラガ酒 ⑬生活→ぶどう酒〔特殊ぶどう酒〕
マラカス ③音演 535 B →ラテン音楽図
マラカンダ ⑩世地→サマルカンド
『マラキ書』 ④哲宗→聖書〔囲〈旧約〉〕
マラク ④哲宗→イスラム教〔教義〕
マラケイ(島) ⑩世地→ギルバート(諸島)
マラケシュ モロッコ ⑩世地 610 A →モロッコ(王国)図 ⑰科技→広場〔市場的広場〕
マラケッチ ⇨マラケシュ
マラゲーニャ ③音演 535 B →舞曲
『マラ/サド』 ③音演→イギリス演劇図 →ワイス,P
マラシ〈マラシュ〉 トルコ ⑩世地 610 A
マラーシキン,S ソ連[1888] 小説家。詩人として出発。性的問題・倫理を提起し論議をかもした ①文学 612 C
マラジョ(島) ブラジル ⑩世地 610 A →アマゾン(川)〔河況〕
マラジョージナヤ基地 ⑩世地→南極大陸〔観測基地〕
マラスカ桜桃 ⑲植物→サクランボ
マラスキノ酒 ⑬生活→酒〔リキュール類〕 ⑲植物→サクランボ
マラソン ⑬生活→マラソンレース
マラソン乳剤 ⑲植物→農薬〔表〈殺虫剤〉〕
マラソンレース ⑬生活 572 B図
マラータ王国 ⑨世史 614 C →インド〔中世社会〈ムガル帝国〉〕 →シバージー →パーニーパットの戦い
マラータ戦争 ⑨世史→マラータ王国
マラータ同盟 ⑨世史→セポイの反乱〔政治的背景〕 →マイソール戦争 →マラータ王国 →ムガル帝国〔興亡史〕
マラッカ マレー ⑥日史 1081 A ⑩世地 610 A →マレーシア(連邦)図
マラッカ(海峡) ⑩世地 610 A
マラッカ王国 ⑨世史→東南アジア〔歴史〈インドネシア,マライ〉〕 ⑩世地→マレーシア(連邦)〔略史〕
マラッティ,C イタリア[1625/1713] 画家。祭壇画や肖像画制作で,ローマ・バロックを代表 ②美術 568 D
マラテ(地区) ⑩世地→マニラ
『マーラティーマーダバ』 ①文学→ババブーティ
マラテスタ家 ⑨世史→ルネサンス〔変質〕
マラトン ⑬生活→オリンピック〔古代〕図 →マラソンレース
マラトンの戦い ⑨世史→アリステイデス →ダリウス(一世) →ペルシア戦争〔ダリウスの遠征〕 →ミルティアデス
マラニョン,G スペイン[1887/1960] 医学者・評論家。医学的・心理学的観点からの伝記や考察が注目される ①文学 612 D
マラニョン(川) ペルー ⑩世地 610 B →アマゾン(川)〔河況〕
『マラーの迫害と暗殺』 ①文学→ワイス,P
マラバル(海岸) インド ⑩世地 610 B
マラパルテ,C イタリア[1898/1957] 小説家・批評家。ファシストとなったが党から追放。冒険と反逆精神,風刺にみちた作品が多い ①文学 612 D
マーラバルマン・スンダラ・パーンディヤ ⑨世史→パーンディヤ朝
マラビ王国 ⑩世地→マラウイ(共和国)〔略史〕
マラプロップ夫人 ①文学→シェリダン,R
マラボ〈サンタイサベル〉 赤道ギニア ⑩世地 610 B →マシアスヌゲマ(島)
『マラボリア家の人々』 ①文学→ベルガ,G
マラマッド,B〈マラムード〉 アメリカ[1914] 小説家。革命前のロシアを舞台にした長編小説のほか,ユダヤ人の民謡や語法を活用した短編がある ①文学 612 D
マラヤ連邦 ⑩世地→マレーシア(連邦)〔略史〕
マラーユ ⑨世史→シュリービジャヤ
マラリア ⑭医学 564 A図 →寄生虫〔表人体寄生虫〕 →熱帯病
マラリアカ ⑳動物→ハマダラカ
マラリア病原虫 ⑳動物 588 B →寄生虫〔表人体寄生虫〕 ⑭医学→マラリア図 →ラブラン,C〈32B〉 →ロス,R〈32C〉 ⑳動物→ハマダラカ
マラ・ルスリ インドネシア[1889/1968] 小説家・獣医。作品は封建制を批判し,インドネシア近代文学の礎と評される ①文学 613 A
マラルメ,S フランス[1842/1898] 詩人。象徴詩派の師表。バレリー,ジッドなどの俊秀が訪れ「火曜会」を形成 作『半獣神の午後』 ①文学 613 B図 →象徴主義 →フランス文学〔19世紀後半〕
『マラルメ伝』 ①文学→モンドール,H
マラン インドネシア ⑩世地 610 B
マラン ⑱宇地→風〔表局地風〕
マランタ ⑲植物 599 A図
マランド オランダ ③音演→タンゴ〔コンチネンタル・タンゴ〕図
マランビッジー(川) オーストラリア ⑩世地 610 C
マリ,J イギリス[1889/1957] 批評家。一貫して主観的,ロマン的態度に終始 ①文学 613 D
マリ《シリア》 ⑨世史 615 A →メソポタミア文明〔発掘と解明〕
マリ ソ連/ロシア ⑩世地 610 C
マリ《トルクメン》 ⇨マルイ
マリ(共和国) アフリカ ⑩世地 610 C図
マリ(湾) ⑩世地 611 B
マリ(川) ⑩世地→イラワジ(川)
マリ(島)〈タボイ島〉 ⑩世地→メルグイ(諸島)
まり ⑬生活→児童遊戯〔まりつき〕
マリー,G イギリス[1866/1957] 古典学者。ギリシア劇の校本や翻訳がある ①文学 614 A
マリー,G フランス[1852/1928] 指揮者・作曲家。管弦楽のための美しい曲を数多く残す ③音演 535 B
マリア [*.] 聖母。聖霊によって処女のまま受胎し,ベツレヘムにおもむきイエス・キリストを生む ④哲宗 556 C図 →イエス・キリスト〔生涯〕 →ノートル=ダム ②美術→受胎告知 →聖母子像 ⑨世史→イエス・キリスト
マリア(マグダラの) ④哲宗→聖書〔囲人名〕
『マリア』 ①文学→イサークス,J →ラテンアメリカ文学〔独立から20世紀初葉まで〕
マリア会 ④哲宗→修道会囲
マリアアザミ ⇨オオアザミ
マリア・カラス ⇨カラス,M
マリア観音 ⑥日史 1081 A ④哲宗→キリシタン図 ⑤日史→キリスト教図
マリア宮殿遺跡 ②美術→古代地中海の美術別
『マリア賛』 ③音演→宗教劇
マリアスタイン ④哲宗→巡礼〔囲巡礼地〕
『マリーア・ストゥーアルト』 ①文学→シラー,F ③音演→シラー,F
マリアターフェル ④哲宗→巡礼〔囲巡礼地〕
マリアツェル ④哲宗→巡礼〔囲巡礼地〕
マリアッチ ③音演→ラテン音楽図
マリア・テレジア [1717/1780] ハプスブルク家の神聖ローマ女帝。温雅な女性として育ち,政治的才幹を発揮 ⑨世史 615 A図 →オーストリア継承戦争 →啓蒙専制主義 →七年戦争 →中欧史〔オーストリア〕 →ポーランド分割
マリアナ(海溝) ⑩世地→太平洋〔自然〕 ⑱宇地→海溝 →海底図 →太平洋
マリアナ(諸島) アメリカ/太平洋 ⑩世地 611 B →ミクロネシア ⑪政社→信託統治〔国際連合〕
マリアナオ キューバ ⑩世地 611 D
マリアナツカツクリ ⑳動物→保護鳥〔表国際保護鳥〕
『マリアの首』 ③音演→田中千禾夫ちかお
『マリアへのお告げ』 ③音演→クローデル,P
『マリア・マグダレーナ』 ③音演→ヘッベル,F
マリアライト ⑱宇地→スカポライト
マリア・ルーズ号事件 ⑥日史 1081 B
マリア・レシチンスカ ⑨世史→ルイ(十五世)
マリアン・アンダーソン ⇨アンダーソン,M《歌手》
マリ・アントアネット フランス[1755/1793] ルイ十六世の妃。マリア・テレジアの末娘。大革命にあい処刑 ⑨世史 615 C図 →ルイ(十六世)
『マリ・アントアネット』 ①文学→ツワイク,S →伝記〔西洋〕
『マリアンヌの気紛れ』 ①文学→ミュッセ,L図 ③音演→ミュッセ,L
『マリアンヌの生涯』 ①文学→マリボー,P
『マリアンネ』 ①文学→ハウプトマン,C
マリアンハンマ ⑩世地→フィンランド(共和国)〔地方誌〕
マリウス,E [1775/1812] ⑯物数→光
マリウス,G [前156/86] ローマ共和政末期の将軍・政治家。7度コンスルになった。 ⑨世史 615 D →スラ,L →セルトリウス,Q →ユグルタ戦争 →ローマ〔共和政期〈末期〉〕
『マリウス』 ③音演→パニョル,M
打毬まりうち ⇨打毬だきゅう
マリェア,E アルゼンチン[1903-] 小説家・思想家。母国の実態を鋭く追求したエッセイもある 作『魂の敵』 ①文学 614 A
マリエット,A フランス[1821/1881] エジプト学者。エジプト政府の古物局長に任ぜられ発掘を独占,博物館を設立 ⑨世史 615 D
マリエン広場 ⑩世地→ミュンヘン図
マリエンブルク ⇨マルボルク
マリ王国 ⑩世地→トンブクツー
マリオ族 ⑬生活→民族衣装図
マリオット,E フランス[1620*/1684] ⑭医学→目〔機能〈視野〉〕 ⑯物数→ボイルの法則
マリオットの法則 ⇨ボイルの法則
マリオット盲斑〈マリオット暗点,マリオット盲点〉 ⑭医学→暗点 →目〔機能〈視野〉〕
マリオ・デル・モナコ ⇨デル・モナコ,M
マリオネット ②美術→人形〔世界〕 ③音演→人形劇〔形式の分類〈糸操り人形〉〕
マリオン(島) ⑩世地→プリンスエドワード(諸島)
マリオンドフレヌ ⑩世地→プリンスエドワード(諸島)
マリカー(運河) ⑰科技→運河〔歴史〕
マリーガーラント(島) ⑩世地→小アンチル(諸島)
マリガン,G [1927] ③音演→ジャズ〔モダン・ジャズ〕
マリク,J ソ連 ⑪政社→朝鮮戦争〔戦況〕
マリク ④哲宗→カリフ
マリク・アムバー ⑩世地→オーランガバード
マーリク・イブン・アナス [?/795] ④哲宗→イスラム教〔イスラム法〕
マリク・シャー イラン[1055/1092] スルタン。名宰相の補佐で黄金時代を現出 ⑨世史 615 D ①文学→オマル・ハイヤーム
『マリクッ・シュアラー詩集』 ①文学→バハール,M
マーリク派 ⑪政社→イスラム教〔基本的性格〕
『マリー・グルッベ夫人』 ①文学→ヤコブセン,J
『マリ・クレール』 ①文学→オードゥー,M
マリケン,R アメリカ[1896] 物理化学者。分子構造の理論に分子軌道法を導入。ノーベル賞受賞 ⑮化学 604 B →電気陰性度
丸子遺跡まりこ ⑥日史 1081 B
丸子川 ⇨酒匂川さかわ
マリゴケ〔毬蘚〕 ⑲植物 599 B →コケ植物図 →シラガゴケ
マリーゴールド ⑲植物 599 B図 →園芸〔図フラワーカレンダー〈1〉〕
マリサット計画 ⑱宇地→人工衛星〔種類〈海事衛星〉〕
マリスイル(海淵) ⑩世地→太平洋〔自然〕
マリソン,W ⑯物数→水晶時計 ⑰科技→時計〔歴史〈第3期〉〕
マリタン,J フランス[1882/1973] 哲学者・批評家。ネオ・トミズムを提唱し,中世への復帰を説いた ①文学 614 A ④哲宗 557 C →トマス主義〈広義〉

マリツア(川) ⑩世地→バルカン(半島)
まりつき ⑬生活→児童遊戯
まりつき歌 ⑬生活→児童遊戯〔まりつき〕
マリ・ド・フランス フランス[*.] 12世紀の女流詩人。『寓話集』はフランス最初のイソップ物語 ①文学614 A →宮廷文学
マリ・ド・メディシス フランス ⑨世史→アンリ(四世)図 →メディチ家図 →ルイ(十三世)
『マリ・ド・メディシスの生涯』 ②美術→ルーベンス,P
マリナー ⑱宇地→宇宙開発〔宇宙科学〕 →火星〔表面〕 →火星探査体 →金星探査体 →水星
マリナトス ギリシア[1901–1974] ⑨世史→エーゲ文明〔発見〕
マリナビーチ ⑩世地→マドラス
マリーニ,B イタリア[1597–1665] ③音演→ソナタ〔バロック・ソナタ〕 →バイオリン〔音楽と演奏家〕
マリーニ,M イタリア[1901–1980] 彫刻家。騎馬人物像で名声を得る。絵画や版画も手がけた ②美術569 A →イタリア美術図
マリニズモ ①文学→マリーノ,G
マリニャック,J スイス[1817–1894] ⑮化学→希土類元素〔イッテルビウム〕
マリネッティ,F イタリア[1876–1944] 詩人。「未来派宣言」を発表,戦争を賛美し,民族主義・ファシズムに結びついた ①文学→イタリア文学〔演劇と詩〕 →未来派 ②美術→未来主義 ③音演→イタリア演劇〔20世紀〕
マリーノ,G イタリア[1569–1625] 詩人。バロック趣味全盛期を代表し,詩風は「マリニズモ」とよばれた ①文学614 B →イタリア文学〔17世紀〕
マリノニ輪転機 ⑤日史→新聞
マリノフスキー,B イギリス[1884–1942] 社会人類学者。ポーランド生まれ。人類学に機能主義の方向を開く ⑪政社547 B図 ④哲宗→神話〔研究〕 ⑩世地→ダントルカスト(諸島)
マリピエロ,G イタリア[1882–1973] 作曲家。イタリア現代音楽の確立に貢献。モンテベルディやビバルディの作品の校訂もする ③音演535 C図
麻里布(まりふ) ⑦日地→岩国(市)図
マリーフ(山) ⑩世地→イエメン(アラブ共和国)〔自然〕
マリファナ〈大麻〉 ⑭医学→法医学〔薬物中毒〕 →麻薬中毒 ⑲植物→アサ〔利用〕
マリベレス(山) ⑩世地→バタアン(半島)
マリボー,P フランス[1688–1763] 劇作家・小説家。女性の恋愛心理の繊細な分析を特色とする喜劇を創始 作『マリアンヌの生涯』『愛と偶然の戯れ』 ①文学614 B図 ③音演535 C図
マリモ〔毬藻〕 ⑲植物599 C →天然記念物図 ⑦日地→阿寒湖
マリモ伝説 ⑧日地→北海道〔文化〈民話・伝説〉〕
マリモ祭 ⑦日地→阿寒(町)図
マリ・ルイーズ [1791–1847] オーストリア皇帝の娘。18歳のとき,帝政の定着を配慮したナポレオン一世に望まれて結婚 ⑨世史616 A図 →ナポレオン(一世)〔皇帝独裁〕 →フランツ(二世)
マリ連邦 ⑩世地→セネガル(共和国) →マリ(共和国)〔略史〕 ⑪政社→サンゴール,L
マリン,J アメリカ[1870–1953] 画家。モダニズム運動に積極的に参加,同国近代美術の発展に貢献 ②美術569 B
マーリン,H オランダ[1883–1942] 社会主義者。インドネシアで労働運動を展開,第一次国共合作を演出 ⑨世史616 A →連ソ容共・工農扶助
マリンガー アイルランド ⑩世地612 B
マリン気圧計 ⑯物数→気圧計
マリンクロノメーター ⑰科技→時計〔種類〈クロック〉〕
マリンケ族 ⑩世地→ギニア(人民革命共和国)〔社会・文化〕 →ギニアビサウ(共和国) →コートジボアール(共和国)〔社会・文化〕 →マリ(共和国)〔社会・文化〕
マリンスタジオ ⑳動物→水族館〔歴史〕
マリンスノー〈海雪〉 ⑱宇地567 A
マリンチ(山) ⑩世地→メキシコ(合衆国)〔自然〕
マリーン朝 ⑨世史→ムワッヒド朝
マリンバ ③音演535 D図
マリーンパレス ⑳動物→水族館〔歴史〕〔表日本〕
マリン・プレダ ①文学→東欧文学〔ルーマニア〕
マリンランド・オブ・オーストラリア ⑳動物→水族館〔表世界〕
マリンランド・オブ・ザ・パシフィック ⑳動物→水族館〔表世界〕図
マル,L [1932–] ③音演→映画〔トーキー〈第6期〉〕
マル(島) イギリス ⑩世地612 B
マール ⑧日地1234 C ⑱宇地567 A →火山〔形態〈爆裂火口〉〕図 →山〔分類と成因〕
『マル・アイヤーム』 ①文学→ターハー・フサイン
マルアジ ⑳動物→アジ〔近縁種〕図
『まる頭ととんがり頭』 ③音演→ブレヒト,B
丸編 ⑬生活→メリヤス
円網抄紙機 ⑰科技→紙〔製造工程〈抄造〉〕 →抄紙機
マルイ ソ連/トルクメン ⑩世地612 B
丸池温泉 ⑧日地→山ノ内(町)
マールイ劇場 ①文学→オストロフスキー,A
マルイシキン,A ソ連[1892–1938] 小説家。革命後は国内戦に参加。「峠」グループに属す ①文学614 C
丸打ち〈丸組紐〉 ②美術→組紐(くみひも)
マルウンカ ⑳動物→ウンカ図
マルエイジング鋼 ⑰科技→鉄鋼〔鉄合金〕
円鉛版 ⑰科技→印刷〔囲新聞印刷〈印刷〉〕 →鉛版
丸尾温泉 ⑦日地→霧島温泉郷 ⑧日地→牧園(町)
丸岡(町) 福井 ⑧日地1065 D
丸岡明 [1907–1968] 小説家。能の海外紹介に尽力,研究書も多い ①文学614 D
丸岡九華 ①文学→硯友社 ⑤日史→硯友社(けんゆうしゃ)
丸岡自然公園 ⑧日地→横川(町)
丸岡城跡 ⑧日地→丸岡(町)
マルオニアサリ ⑳動物→オニアサリ
丸帯 ⑬生活→帯〔種類〕図 →礼服〔和装〕
マルカイガラムシ〔丸貝殻〕 ⑳動物588 C
マルガタアブ ⑳動物→アブ図
丸形記録形 ⑰科技→工業計測〔伝送,記録,指示〕
マルガタゴミムシ ⑳動物→ゴミムシ図
マルガツオブシムシ属 ⑳動物→カツオブシムシ
マルカデ フランス[*–1440] ③音演→フランス演劇〔中世〈宗教劇〉〕
マルカート ③音演→音楽用語〈629 B〉
マルカブラン [*1150*] ①文学→歌謡〔西洋〕
丸がま ⑮化学→かま図
『マルカム』 ①文学→パーディ,J
マルカムX アメリカ ①文学→黒人文学
丸亀(市) 香川 ⑧日地1066 A図
丸亀県 ⑦日地→香川(県)〔歴史〕
丸亀城 ⑥日史1081 B ②美術→城図表 ⑧日地→丸亀(市)図
丸亀藩 ⑤日史→讃岐国(さぬき)
丸亀平野 ⑦日地→飯野山 →讃岐平野(さぬき)
マルカメムシ〔丸亀虫〕・⑳動物588 C →カメムシ
マルガリタ(島) ベネズエラ ⑩世地612 C
マルガン,J ニュージーランド[1911–1945] 小説家。大戦でイギリス軍に参加,カイロで戦死 ①文学614 D
マルキオン [*.*] 2世紀ごろのキリスト教異端者。古代正統教会の最大の敵対者マルキオン派を形成 ④哲宗557 D ⑨世史→グノーシス派
マルキ・ド・サド ⇨サド,D
丸木舟 ⑥日史1081 C ⑰科技→船〔起こり〕
独木弓(まるき)〔丸木弓〕 ⑥日史1081 C →弓矢〔弓〕
マルク,F ドイツ[1880–1916] 画家。ブラウエ・ライターの運動を推進。抽象画も手がけた ②美術569 B →表現主義図
マルク(諸島) ⇨モルッカ(諸島)
マルク ⑫経産553 B →インフレーション〔悪性インフレーション〕 →貨幣史〔近代〕
マルクグラーフ,A ⑮化学→カリウム
マルクグラーフ〈辺境伯〉 ⑨世史→爵位〔西洋〕 →辺境伯
マルクス,K ドイツ[1818–1883] 社会主義思想家・経済学者。エンゲルスと共同でマルクス主義を創始 作『資本論』 ①文学614 D ④哲宗557 D図 →マルクス主義 →唯物論 ⑨世史616 B図 →時代区分 ⑫経産553 C図 →階級 →史的唯物論 →資本主義〔定義〕 →社会主義思想〈266 A〉 →マルクス経済学 ⑪政社→イデオロギー〔概念の展開〕 →階級〔マルクス・レーニンの規定〕 →共産主義〔思想と運動〕 →社会主義〔マルクス以後〕図 →マルクス主義
マルクス,S オーストリア ⑰科技→自動車〔歴史〈内燃機関の発達〉〕
マルクス,W ドイツ[1863–1946] 政治家,中央党党首。ワイマール時代に4たび組閣し,ドイツの資本主義的繁栄の道を開く ⑨世史616 C
マルクス・アウレリウス [121–180] ローマ皇帝・ストア派哲学者。五賢帝の最後の皇帝。戦陣の中で著作 ④哲宗558 B ⑨世史616 D図 →五賢帝 →ローマ〔帝政期〈五賢帝時代〉〕
『マルクス・アウレリウス騎馬像』 ②美術→ローマ美術〔彫刻〕図
マルクス・エンゲルス広場 ⑩世地→ドイツ(民主共和国)図 →ベルリン〔東ベルリン〕
マルクス価値論争 ⑫経産→小泉信三
マルクス経済学 ⑫経産554 A図 →経済学方法論Ⅰ〔史的唯物論〕
マルクス主義 ④哲宗558 B →社会哲学 →弁証法的唯物論 →未来論 →無神論 →唯物論 ⑥日史1081 C ⑪政社547 C →オーストリア・マルクス主義 →共産主義〔思想と運動〕 →社会科学〔歴史〕 →修正主義 →ボリシェビズム ⑨世史→共産主義 →史的唯物論 →マルクス,K →ロシア革命〔背景〕 ⑫経産→エンゲルス,F →経済学〔経済学史〕 →史的唯物論 →マルクス経済学
マルクス主義文芸学 ①文学→文芸学
マルクス主義歴史学 ⑫経産→社会経済史学〈262 C〉
マルクス賃金論 ⑫経産→賃金学説
マルクス・レーニン主義 ⑥日史→マルクス主義 ⑪政社→共産主義〔思想と運動〕 →共産党 →マルクス主義〔マルクス以後の展開〕
マルクーゼ,H アメリカ[1898–1979] 思想家。ドイツ生まれ。現代社会への鋭い批判は60年代ラディカリズムに大きな影響を与える ④哲宗559 A →ドイツ哲学〔現象学・実存哲学など〕 ⑪政社548 C図 ⑭医学→性欲〔抑圧〕
マルクト ⑩世地→デルフト
マルクト広場 ⑩世地→ブレーメン図
マルクト広場 ⑩世地→ライプチヒ
マルクビカミキリ ⑳動物→カミキリムシ
丸隈山古墳 ⑧日地→西(区)《福岡市》
丸組紐〈丸打ち〉 ②美術→組紐(くみひも)図
マルグラーフ,A ドイツ ⑮化学→亜鉛〔歴史〕
マルグリット,V フランス[1866–1942] 小説家。自然主義作家の兄と合作。戯曲・評論も多数 ①文学615 A
マルグリット・ド・ナバール フランス[1492–1549] 女流小説家。フランソワ一世の姉。人文主義者や福音主義者を庇護 作『エプタメロン』 ①文学615 A図 ⑨世史→フランソア(一世) →ブルボン朝
マルグレス,M オーストリア[1856–1920] 理論気象学者。暴風雨のエネルギー論を研究 ⑱宇地567 A
マルグレーテ デンマーク[1353–1412] 女王。才智あふれ,スウェーデンのカルマーで北欧三国の統合を図った ⑨世史616 D →カルマル同盟
マルグレーテ(二世) ⑩世地→デンマーク(王国)〔政治・外交・軍事〕
マルケ,A フランス[1875–1947] 画家。初期はフォービスム,のち色彩の調和を重んじた風景画に秀作を残す ②美術569 C図 →フォービスム
マルケ イタリア ⑩世地612 C
マルケサス(諸島) フランス/太平洋 ⑩世地612 C
マルケット ⑩世地→イリノイ(州)
マルケテ ⑩世地→シカゴ〔歴史〕
マルゲラ ⑩世地→ベネチア
マルゲリータ(峰) ⑩世地→ルウェンゾリ(山地)
マルゲリータ・ディ・パルマ スペイン[1522–1586] 皇女。異母弟フェリペ二世のもとで属領ネーデルラントの摂政をつとめた ⑨世史617 A
マルケン(島) ⑩世地→アイセル(湖)
マルコ ①文学→東欧文学〔アルバニア〕
丸子(町) 長野 ⑧日地1066 C
マルコウニコフの法則 ⑮化学→アルケン〔反応性〕
丸子温泉郷 ⇨内村温泉郷
マルコガネ ⑳動物→コガネムシ図
マルコヌスト ⑳動物→コクヌスト
丸ゴシック体 ⑰科技→活字〔書体〕図
マルコス ⑩世地→フィリピン(共和国)〔政治・外交・軍事〕
マルコナ鉄山 ⑩世地→ペルー(共和国)〔経済〕
マルコーニ,G イタリア[1874–1937] 企業家・発明家。無線電信機を発明,イギリスの援助により企業化 ⑰科技627 C図 →エレクトロニクス〈47 C〉
マルコーニ式アンテナ ⑰科技→アンテナ〔図VHFビームアンテナ〕
『マルコによる福音書』 ④哲宗→聖書〔囲〈新約〉〕
マルコニーリグ ⑰科技→ヨット〔種類〕図
マルコーバ イギリス[1910–] ③音演→バレエ〔20世紀〕
マルコビッチ,S ユーゴ[1846–1875] ⑨世史→パシッチ,N
マルコビッチ・カメラ ⑱宇地567 B →天体写真
マルコビッツ,H ⑫経産→金融理論〔現代金融理論〈135 B〉〕
マルコフ,A [1856–1922] ⑯物数→確率論
マルコ・ポーロ イタリア[1254–1324] 旅行家。元のフビライに

仕え，17年間中国に滞在。帰国後『東方見聞録』を執筆 ⑧日地 1234 C →『東方見聞録』〈1227 B〉 ⑨世史 617 A図 →カーカティーヤ朝 →ガザン・ハン →東西交渉史〔図東西旅行者経路〕 →フビライ・ハン
マルコポーロヒツジ ⑳動物→アルガリヒツジ
丸駒温泉 ⑦日地→支笏湖 ⑧日地→千歳(市)
マルコマンニ戦争 ⑨世史→スエビ族
マルサス，T イギリス[1766–1834] 経済学者。貧困の予防策は人口増加の抑制以外にないと主張，穀物法を支持 ⑨世史 617 C ⑫経産 555 B図 →金融理論〔地金論争〕 →穀物条例論争 →古典学派 →人口論 →新マルサス主義
マルサス主義 ⑨世史→マルサス，T
マルサーラ イタリア ⑩世地 612 C
マルサラ酒 ⑬生活→ぶどう酒〔特殊ぶどう酒〕
マルサルボウガイ〈サトウガイ〉 ⑳動物→アカガイ
マルシアノ，R アメリカ ⑬生活→ボクシング〔近代ボクシング〕図
マルシェ ⑩世地→アジスアベバ図
Ⓒ表示 ⑪政社→著作権〔国際的取決め〕
マルシャーク，S ソ連[1887–1964] 詩人・児童文学者。児童劇で広く知られ，シェークスピアのソネットの翻訳もある ①文学 615 A
マルシャック ⑫経産→計量経済学
マルシャン フランス ⑨世史→ファショダ事件
マルシャン，A フランス[1907–] 画家。サロン・ド・メの創立者の一人。タペストリー・壁画などでも活躍 ②美術 569 D
マルシャン，C フランス[1925–] ③音演→バレエ〔20世紀〕
マルシリオ [1275?–1342?] ⑪政社→中世の政治思想
マルス ④哲宗→神〔類別〕 ⑨世史→ロムルス
マルス ⇨火星
マルスジープ(海峡) ⑩世地→デンヘルデル
マルス・ピュミラ ⑲植物→リンゴ
『マルス，または裁かれた戦争』 ①文学→アラン
マルセイユ フランス ⑩世地 612 C図 ⑰科技→港図
丸瀬布(町) 北海道/網走支庁 ⑧日地 1066 C
マルセル，E フランス[?–1358] 革命家。百年戦争下，市民軍を編成し議会主義の実現を図ったが雄図破れ暗殺 ⑨世史 617 C →三部会 →フランス(共和国)〔歴史〈ルネサンスと宗教改革の時代〉〕
マルセル，G フランス[1889–1973] 哲学者・劇作家。サルトルらの無神論的実存思想に対抗，キリスト教的実存主義を唱える 作『形而上学日記』 ①文学 615 B ④哲宗 559 B図 →実存哲学
マルセル・カルネ ⇨カルネ，M
マルセルせっけん ⑮化学→せっけん〔分類〕
マルセル・パニョル ⇨パニョル，M
マルゼルブ，C フランス[1721–1794] 政治家。開明派の貴族でディドロらを擁護，大革命で国王助命に奔走，刑死 ⑨世史 617 D
マルセル・マルソー ⇨マルソー，M
丸善(株) ⑫経産 555 C
丸善石油(株) ⑫経産 555 D
マルソー，F フランス[1913–] 劇作家・小説家。アヌイの後継者と目され，一人称戯曲の形式をつくりだす ①文学 615 B ③音演 535 D
マルソー，M フランス[1923–] パントマイム役者。ピエロを現代化したビップという役柄を創造 ③音演 536 A図 →パントマイム
マルゾー，J ①文学→文体論
マルソウダ ⑳動物→ソウダガツオ
丸底型 ⑰科技→モーターボート〈船体形状〉
マルソデカラッパ ⑳動物→カラッパ図
マルタ(共和国) ヨーロッパ ⑩世地 612 D図
マルタ ⑳動物 588 C →ウグイ
『マルタ』 ③音演→フロトー，F
丸太 ⑫経産→林業〔特色〕
マルダイブ ⇨モルジブ(共和国)
丸高坏 ⑥日史→高坏
マルタ騎士団 ⇨ヨハネ騎士団
マルターゼ ⑭医学→腸〔小腸〈分泌機能〉〕
『マルタとマリーア』 ①文学→パラシオ・バルデス，A
マルタニシ ⑳動物→貝類〔生態〈特殊な生態〉〕 →タニシ図
マルタ熱 ⑭医学→ブルセラ病
『マルタの鷹』 ③音演→ヒューストン，J
マルタバン(湾) ⑩世地 613 B
丸髷 ③音演→髷
丸太町通 京都市 ⑧日地 1066 C
丸盥 ⑥日史→角盥

マルタン，F スイス[1890–1974] 作曲家。十二音技法と伝統的技法の折衷による新古典的な作風を示す ③音演 536 B
マルタン，M ③音演→映画理論〔映画研究〕
マルタン，P フランス[1824–1915] 製鋼技術者。W.シーメンズの協力により平炉法を開発 ⑮化学 604 C ⑰科技 628 B図 ⑨世史→鉄
マルタン・デュ・ガール，R フランス[1881–1958] 小説家。雑誌『NRF』のグループに参加。20余年かかって大河小説を完成。ノーベル賞受賞 作『チボー家の人々』 ①文学 615 B図 →山内義雄
マルタンヤンマ ⑳動物→ヤンマ
マルチーズ ⑳動物→イヌ〔犬種〈愛玩犬〉〕図
マルチステーションコーター ⑰科技→コーター
マルチバイブレーター ⑰科技→パルス回路
マルチプルタイタンパー ⑰科技→軌道〔保線作業〕図表
マルチプルニューロパチー ⑭医学→末梢神経系〔病気〕
マルチプログラム ⑰科技→電子計算機〔囲用語〕
マルチン式計測法 ⑭医学→人体〔生体計測〕
マルッカ ⑫経産→通貨〔表〈通貨単位〉〕
マルツビール ⑬生活→ビール〔種類〕
マルティ，J キューバ[1853–1895] 詩人・独立運動指導者。近代主義の先駆者。時評・エッセイで有名 ①文学 616 A →ラテンアメリカ文学〔独立から20世紀初葉まで〕 ⑨世史 617 D
マルティ，P ⑱宇地→海底〔探究の歴史〕
マルティアリス，M [40?–104?] ローマのエピグラム詩人。機知に富む警句と鋭利な観察を本領とした ①文学 616 A →エピグラム →ラテン文学〔白銀時代〕
マルディ・グラ祭 ⑩世地→ニューオーリンズ
マルティズ・クロス ⑰科技→映画カメラ
マルティーニ，F イタリア[1841–1928] 劇作家・小説家。左派自由主義の政治家として文部大臣などをつとめた ①文学 616 A
マルティーニ，G イタリア[1706–1784] 音楽理論家・作曲家。パレストリーナ様式の対位法を復活し，伝統を後世に伝えた ③音演 536 C
マルティーニ，S イタリア[1284?–1344] 画家。シエナ派の代表的存在で，独特のアビニョン画派を形成 ②美術 569 D図 →シエナ派 →受胎告知図
マルティニーク(島) フランス/西インド諸島 ⑩世地 613 C →小アンチル(諸島)図
マルティヌー，B チェコ[1890–1959] 作曲家。チェコの民族音楽やジャズの影響を感じさせる新古典主義的な作風 ③音演 536 C
マルティヌス(五世) ⑨世史→シスマ
マルティネス ⑩世地→エルサルバドル(共和国)〔略史・政治〕
マルティーネス・シエラ，G スペイン[1881–1948] 劇作家・小説家。詩人として出発し，近代派の運動を推進 ①文学 616 B
マルティーネス・デ・トレード，A スペイン[1398?–1470?] 小説家。「タラベーラの僧正」の名で知られ，聖人の伝説なども書いた ①文学 616 B
マルティーネス・デ・ラ・ローサ，F スペイン[1787–1862] 劇作家・詩人・政治家。古典主義的作品を書きながら，ロマン主義演劇を導入 ①文学 616 B
マルティーネス・モレーノ ウルグアイ ①文学→ラテンアメリカ文学〔20世紀〕
マルディブ ⇨モルジブ(共和国)
マルティン，K [1886–1948] ③音演→映画〔無声映画〈第3期〉〕
マルティン，R ドイツ ⑭医学→乳房
マルティンソン，H スウェーデン[1904–1978] 詩人・小説家。労働界出身で初めて同国アカデミー会員となる。ノーベル賞受賞 ①文学 616 B
『マルティン・フィエロ』 ①文学→エルナンデス，J
『マルテの手記』 ①文学→前衛文学 →リルケ，R
マルテラート ③音演→音楽用語〈629 B〉
マルデルプラタ アルゼンチン ⑩世地 613 C →アルゼンチン(共和国)図
マルデン(島) ⑩世地→ライン(諸島)
マルテンサイト ⑮化学→鋼 ⑰科技→磁石鋼 →鉄鋼〔鉄合金〕図
マルテンサイト-ステンレス鋼 ⑮化学→不銹鋼 ⑰科技→ステンレス鋼
マルテンス，F ⑰科技→材料試験〔かたさ試験〈引っかき型〉〕
マルトゥイノフ，L ソ連[1905–] 詩人。ジダーノフ批判のあおりで沈黙，「雪どけ後」は自由派の最前線で活躍 ①文学 616 B

マルドゥク ④哲宗→バビロニア神話〔創世神話〕 ⑨世史→バビロニア →ハムラビ
マルトゲムシ〔円刺虫〕 ⑳動物 588 C
マル・ド・シエークル〈世紀病〉 ①文学→レールモントフ，M〔現代の英雄〕
マルトース〈麦芽糖〉 ⑲植物 599 C ⑮化学→デンプン →糖〔少糖類〈二糖類〉〕 →麦芽糖
マルドニウス ⑨世史→ペルシア帝国
マルトノ，M フランス[1898–] ③音演→電気楽器
マルトフ，L ロシア[1873–1923] 社会民主労働党の指導者。メンシェビキ派のリーダーとなり，のち国外追放 ⑨世史 617 D →メンシェビキ ⑪政社→メンシェビズム →ロシアの政治思想〔ボリシェビキとメンシェビキ〕
マルトリオ，N [1870–1921] ③音演→映画〔無声映画〈第2期〉〕
『マルトロー』 ①文学→サロート，N
『マルドロールの歌』 ①文学→ロートレアモン
マルトンヌ ⑧日地→分布〈1232 C〉
マルヌ(川) フランス ⑩世地 613 C
マルヌの戦い ⑨世史→ジョフル，J →第一次世界大戦〔経過〕 →フォッシュ，F ⑪政社→第一次世界大戦〔発生と拡大〕図
丸沼 群馬 ⑧日地 1066 D
丸沼温泉 ⑦日地→片品(村) ⑧日地→丸沼
丸沼ダム ⑰科技→ダム〔歴史〈バットレスダム〉〕図
丸ねじ ⑰科技→ねじ〔種類〕図
丸の内 東京/千代田区 ⑧日地 1066 D →東京(都)〔観光〕 ⑦日地→下町 ⑫経産→三菱地所(株)
丸のこ盤 ⑰科技→工作機械〔表〈金切りのこ盤〉〕
マルバアカソ ⑲植物→アカソ
マルバアマノリ ⑲植物→海藻〔別紅藻植物〕
マルバウツギ ⑲植物 599 C →ウツギ図
マルバカエデ ⇨ヒトツバカエデ
丸墓山古墳 ⑤日史→埼玉古墳群
マルバギシギシ〔丸葉羊蹄〕 ⑲植物 600 A図
マルバキンレイカ ⑲植物→オミナエシ
マルバグミ〔丸葉茱萸〕 ⑲植物 600 A
マルバサンキライ〔丸葉山奇粮〕 ⑲植物 600 A →サルトリイバラ
丸橋忠弥 [?–1651] 江戸初期の槍術家。由比正雪の慶安事件に加担し処刑 ⑥日史 1082 B ⑤日史→慶安事件
マルバシモツケ ⑲植物→シモツケ
マルバシャリンバイ〔丸葉車輪梅〕 ⇨シャリンバイ
マルバスミレ ⑲植物→スミレ
マルバダイオウ ⑲植物→ダイオウ
マルバダケブキ〔丸葉岳蕗〕 ⑲植物 600 A →オタカラコウ図 →高山植物〔別湿性〕
マルハチ〔丸八〕 ⑲植物 600 B →植物〔日本の植物相〈小笠原〉〕
マルバチシャノキ ⑲植物→チシャノキ
マルハナノミ ⑳動物→甲虫〔分類〈多食亜目〉〕
マルハナバチ〔円花蜂〕 ⑳動物 588 C →アリバチ
マルハナバチヤドリ ⑳動物→マルハナバチ〔寄生昆虫〕
マルバニッケイ ⑲植物→ニッケイ
マルバノキ〔丸葉木〕 ⑲植物 600 B図
マルバノサワトウガラシ ⑲植物→サワトウガラシ
マルバノホロシ ⑲植物→ヤマホロシ
マルバハギ〔丸葉萩〕 ⑲植物 600 B →ハギ
マルバヒユ ⇨イレシネ
マルバマンサク ⑲植物→マンサク
マルバマンネングサ ⑲植物→セダム図
マルバヤナギ ⇨アカメヤナギ
マールバラ イギリス[1650–1722] 軍人。名誉革命時，国王軍副司令官でありながら寝返ってウィリアムを迎えた ⑨世史 618 A図 →名誉革命
マルピーギ，M イタリア[1628–1694] 解剖学者。血球の発見，マルピーギ小体など微細構造の研究がある ⑭医学 321 D →指紋〔個人識別〕 →腎臓 ⑳動物 589 A図 →昆虫学〔歴史〕 →マルピーギ管
マルピーギ管 ⑳動物 589 A →絹糸腺
マルピーギ小体 ⇨腎小体
マルビット ⑬生活→甘味料〔人工甘味料〕
マルヒナガイ ⑳動物→カガミガイ
マルビナス(諸島) ⇨フォークランド(諸島)
マルヒェフェルトの戦い ⑨世史→ルードルフ(一世)
マルービーラ ④哲宗→インド哲学〔古代〕
マルブナ ⑳動物→魚類〔生態〈雌と雄〉〕
マルブランシュ，N フランス[1638–1715] 哲学者・神学者。機械原因論の観点からキリスト教の教義に合理的な説明を与えようと努力 作『真理の探求』 ④哲宗 559 C →機会因論

マールブルク 西ドイツ ⑩世地 613 C
マールブルク会談 ④哲宗→宗教改革〔経過〈スイス〉〕 →ツウィングリ,H
マールブルグ学派 ④哲宗→コーヘン,H →新カント学派 →ナトルプ,P
『マルブルック』 ③音演→軍歌
『マルブロ』 ③音演→民謡〔西欧〈フランス民謡〉〕
マルヘード ⑨世史→ラーシュトラクータ朝
丸紅(株) ⑫経産 555 D →総合商社
丸ボイラー ⑰科技→ボイラー〔分類と構造〕
丸墓山古墳 ⑦日地→行田(市)〔風土記の丘〕図
マルボルク ポーランド ⑩世地 613 C
マールホルツ ①文学→文芸学
マールボロ ⑬生活→たばこ〔世界〕
丸本物 ③音演→歌舞伎〔内容と様式〈作品〉〕
丸髷 ⑬生活→髪形〔女子〕
丸窓 ⑬生活→窓図
マルマラ(海) ⑩世地 613 C →ダーダネルス(海峡) →ボスポラス(海峡)
マルミジンコ ⑳動物→ミジンコ図
丸味出し ⑰科技→製本〔工程〕
マルミミゾウ ⑳動物→ゾウ〔種類と生態〕
マルムステン,K [1888–1972] ②美術→北欧美術〔建築と工芸デザイン〕
マルメ スウェーデン ⑩世地 613 D
マルメディ ベルギー ⑩世地 613 D
『まるめら』 ①文学→大熊信行
マルメロ〈榲桲〉 ⑲植物 600 B図 →カリン ⑬生活→ジャム〔種類〕
丸餅 ⑬生活→餅〔歴史・種類〕
マルモラ(山) ⑩世地→サルディニア(島)
マルモラダ(山) イタリア ⑩世地 613 D
丸森(町) 宮城 ⑧日地 1066 D
丸森線 ⑧日地→東北本線
マルモル,J アルゼンチン [1817–1871] 詩人・小説家。ロサス将軍の独裁反対運動に参加,入獄と亡命の間に詩作 ①文学 616 C
丸谷才一 [1925] 小説家。英文学の翻訳を行う。評論集もある ①文学 616 C →芥川賞表
マール・ヤバラハ(三世) ⑨世史→バール・ソーマ
丸山(町) 千葉 ⑧日地 1066 D
丸山《遊郭》 ⑥日史 1082 C図
円山応挙 [1733–1795] 江戸中期の画家。円山派の創始者。装飾画様式を障屏画の世界に確立 ②美術 569 D図 →江戸時代の美術〔絵画〕図 →障屏画別 →円山四条派 →眼鏡絵 →洋風画 ⑥日史 1082 D →円山派
丸山薫 [1899–1974] 詩人。海への憧れを抱き浪漫的詩風で詩壇に登場。『四季』を創刊,中心的一人として活躍 ①文学 616 C →『四季』
丸山火事 ⇨明暦の大火
円山川 兵庫 ⑧日地 1066 D
丸山教 ④哲宗→新興宗教表 ⑪政社→神道
丸山健二 [1943] 小説家。センテンスの短い乾いた文体で現実の深淵を描き特異な世界を確立 ①文学 616 D →芥川賞表
円山公園 ⑦日地→札幌(市)〔観光・文化〕
円山公園 ⑦日地→京都(市)
丸山古墳 ⑧日地→八郷(町)
円山古墳 ⑧日地→野洲(町)
丸山権太左衛門 ⑬生活→相撲〔表横綱〕
丸山作楽 [1840–1899] 明治の政治家。自由民権運動に反対し忠愛社を創立,のち憲法・皇室制度の制定に尽力 ⑥日史 1082 D
丸山定夫 [1901–1945] 俳優。「新劇の団十郎」の異名をもつ。広島慰問巡演中に原爆の犠牲となる ③音演 536 D図
円山四条派 ②美術 570 B →円山応挙 ⑥日史→円山派
円山派 ⑥日史 1082 D ②美術→円山応挙 →円山四条派
マル優〈少額貯蓄非課税制度〉 ⑫経産→預金 ⑬生活→税金〔地方税〈少額貯蓄非課税制度〉〕
マルユウガオ ⑲植物→ユウガオ
マルリク文化 ②美術→ペルシア美術〔黎明期〕
マルロー,A フランス [1901–1976] 小説家・第五共和国文化相。仏印・中国,ついでスペインで冒険。行動の文学者 作『希望』 ①文学 616 D図 →行動主義文学 ②美術 570 C ⑨世史 618 A
マルワ(台地) ⑩世地→マディヤプラデシ(州)
マレ,S [1929] ⑫経産→社会主義思想〈266 B〉
マレ モルディブ ⑩世地 613 D
マレ(地区) ⑩世地→パリ〔囲観光地〈三区〉〕
マレ(島) ⑩世地→ロイヤルティ(諸島)
マレー ⇨モルレー,D
マレー,T アイルランド [1873–1959] ③音演→アイルランド演劇
マレー(半島) ⇨マライ(半島)
マーレー(川) オーストラリア ⑩世地 613 D
マレイアカバネクワガタ ⑳動物→甲虫〔別〈外国産〉〕
マレイン酸 ⑮化学 604 C
マレー沖海戦 ⑥日史 1083 A →太平洋戦争〔経緯〕
マレー型機関車 ⑰科技→蒸気機関車〔種類〕
『マレキアーレ』 ③音演→民謡〔西欧〈ナポリ民謡〉〕
マレーグマ〔馬来熊〕 ⑳動物 589 B →クマ《哺乳類》〔種類〕図
マレー座 ③音演→コルネイユ,P
マレーシア(連邦) アジア ⑩世地 614 A図 ⑫経産→アジア経済事情図
マレーシアクマネズミ ⑳動物→クマネズミ
マレーシア航空 ⑬生活→海外旅行〔航空会社〕
マレー糸状虫 ⑳動物→糸状虫
マレージャコウネコ ⑳動物→パームシベット
マレ=ジョリス,F ベルギー [1930] 女流小説家。詩作から出発。自伝的随想や私小説的断章がある ①文学 617 B
マレース,H ドイツ [1837–1887] 画家。写実から神話を題材とする象徴的作風に転じた ②美術 570 C
マーレー・ダーリング(盆地) ⑩世地→マーレー(川)
マレット,R ④哲宗→マナ〔理論〕
マレーバク ⑳動物→バク図
マーレビッチ,K ロシア [1878–1935] 画家。抽象芸術の開拓者の一人。ロシア立体派運動を推進 ②美術 570 D図 →構成主義 →シュプレマティスム
マレルブ,F フランス [1555–1628] 詩人。古典主義の先駆者で,言語と詩に対する理論で評価される ①文学 617 C
マレンゴの戦い ⑨世史 618 B図 →リュネビルの和約
マレンコフ,G ソ連 [1902] 政治家。スターリンの死後首相に就任。フルシチョフとの競争にやぶれ追放 ⑪政社 548 D図 ⑨世史→フルシチョフ,N
マロ,C フランス [1496–1544] 詩人。聖書「詩編」の韻文訳が禁書となりイタリアに亡命 ①文学 617 C
マロ,H フランス [1830–1907] 小説家。文芸批評にも活躍し,児童文学に傑作を残す 作『家なき子』 ①文学 617 C
マロ(島) ⑩世地→ニューヘブリディーズ(諸島)
マロー アイルランド ⑩世地 615 D
マーロー,C イギリス [1564–1593] 詩人・劇作家。「大学才子」の代表的人物。諜報機関に関係,スパイ仲間に刺殺される 作『フォースタス博士』 ①文学 617 D図 →イギリス文学〔ルネサンス文学〕 ③音演→イギリス演劇〔エリザベス朝〕
まろうど ④哲宗→折口信夫
まろうどのかみ ④哲宗→神社〔囲用語〈客神〉〕
マロジ王国 ⑩世地→ザンビア(共和国)〔略史〕
マロッタ,G イタリア [1902–1963] 小説家。ベリズモの文学に新風を吹きこむ。ナポリの下町を背景にした作品が有名 ①文学 618 A
マロッツ計画 ⑱宇地→人工衛星〔種類〈海事衛星〉〕
マロニエ〈セイヨウトチノキ〉 ⑲植物 600 C →街路樹図 →トチノキ図
マロノニトリル ⑮化学→ニトリル表
マロボード ⑨世史→スエビ族
マロリ,T イギリス [1393?–1471?] 散文作家,騎士。アーサー王伝説を集大成 ①文学 618 A →アーサー王伝説 →イギリス文学〔中世〕
マロリー ⑩世地→エベレスト(山)〔登山史〕
マロンアミド ⑮化学→アミド表
マロン・グラッセ ⑲植物→クリ〔調理〕
まわし ⑬生活→相撲〔囲用語〕
真綿 ⑬生活→わた ⑲植物→ワタ〔利用と歴史〕
馬渡遺跡 ⑧日地→帝釈峡
マワーリー ⑨世史→ウマイヤ朝
まわり落ち ③音演→落語〔囲落ち〕
回り階段 ⑬生活→階段図
まわり神楽 ③音演→神楽〔里神楽〈獅子神楽〉〕
廻り検地 ⑥日史 1083 A ⑤日史→新田検地
まわり将棋 ⑬生活→将棋〔将棋遊び〕
回り灯籠 ②美術→照明具〔中国〕
マン,H ドイツ [1871–1950] 小説家。T.マンの兄。ドイツの侵略性をあばき,ナチスに追われて亡命 作『臣下』 ①文学 618 A図
マン,K ドイツ [1906–1949] 小説家・評論家。T.マンの長男。18歳で文壇に出る。ジャーナリステックな作品が多い ①文学 619 C
マン,T ドイツ [1875–1955] 小説家・評論家。ファシズムに対する批判姿勢を貫き,東西両ドイツの和解を説いた。ノーベル賞受賞 作『魔の山』 ①文学 618 B図 →教養小説 →ドイツ文学〔20世紀〕 ⑨世史 618 D
マン,T イギリス [1571–1641] 経済学者。「外国貿易の差額がわが財宝の基準」と説き,重商主義の理論を展開 ⑨世史 618 C →重商主義〔理論と政策〕 ⑫経産 556 A →重商主義 →東インド会社
マン(島) イギリス ⑩世地 615 D
饅 ⑥日史 1083 A
『万安方』 ⑭医学→梶原性全〈217 D〉図
万延元年遣米使節 ⑥日史 1083 B
『万延元年のフットボール』 ①文学→大江健三郎 →日本文学〔近代〈戦後文学〉〕
漫画 ②美術 570 D図
マンガイア(島) ⑩世地→クック(諸島)
『漫画映画論』 ③音演→映画理論〔モンタージュ理論とその反動〕
マンガニン線 ⑮化学→マンガン〔性質と用途〕 ⑯物数→圧力計〔電気抵抗圧力計〕
マンガレバ(諸島) ⇨ガンビエル(諸島)
マンガロール インド ⑩世地 616 A
『万川集海』 ⑥日史 1083 B
マンガン ⑮化学 604 C図 →色ガラス〔発色剤〈金属イオン〉〕 ⑰科技 628 B ⑫経産→アジア経済事情〔資源〕
満貫 ⑬生活→麻雀〔点数計算〕
マンガン斧石 ⑱宇地→斧石
マンガン乾電池 ⑰科技 629 A図 →乾電池 →電池〔一次電池〕
マンガン鋼 ⑰科技 629 A →合金表
マンガン酸塩 ⑮化学→マンガン〔化合物〕
満願寺 ④哲宗→坂東三十三所表
満願寺温泉 ⑧日地→南小国(町)
マンガンスピネル ⑱宇地→スピネル
マンガン星 ⑱宇地→恒星〔特異星〕
マンガン青銅 ⑰科技→青銅
マンガン族元素 ⑮化学→元素〔分類〕 →周期表〔表元素群の特徴〕
マンガン団塊 ⑱宇地→海洋資源〔鉱物資源〕図
マンガンタンタル石 ⑱宇地→タンタル石
マンガン電池 ⇨マンガン乾電池
マンガン土 ⑱宇地→コバルト土
マンガン―ビスマス合金 ⑰科技→磁石鋼
マンキウィッツ,J アメリカ [1909] 映画監督・プロデューサー。大女優と新人女優の葛藤を描いた『イブの総て』がある ③音演 536 D
満期戻長期保険 ⑫経産→火災保険〔種類〕
蔓脚亜綱 ⑳動物→甲殻類
マンギャン ②美術→フォービスム
『万句合』 ①文学→『柳多留』
マングース ⑳動物 589 B図 →ジャコウネコ
マンクスネコ ⑳動物→ネコ〔品種〈短毛種〉〕図
マング・ハン ⇨モンケ・ハン
マングラダム ⑰科技→ダム表
マングローブ ⑲植物 600 C図 →植物〔日本の植物相〈沖縄〉〕 ⑦日地→沖縄(県)〔生物相〈植物〉〕 ⑳動物→ハシブトゴイ →ヒロハシサギ
マングローブ林〈紅樹林〉 ⑧日地→熱帯林〈1229 C〉 ⑲植物→マングローブ
満月 ⑱宇地→暦〔歴史〕 →月《天体》〔自転運動と形状〕図
卍元師蛮 [1626–1710] ④哲宗→高僧伝 →臨済宗囲
漫湖 ⑧日地→那覇(市)〔歴史〕
マンゴー ⑲植物 601 A図 ⑬生活→果物〔南方〕
万弘寺市 ⑦日地→大分(市)〔文化〕
マンコ・カパック ⑨世史→インカ〔歴史〕 ⑩世地→ペルー(共和国)〔囲古代文明遺跡〕
万石浦 宮城 ⑧日地 1067 A
万石井 ⑦日地→黒川油田
万古渓谷 ⑧日地→泰阜(村)
マン・ゴーシュ ③音演→音楽用語〈629 B〉
マンゴスチン ⑲植物 601 A
マンゴル(島) ⑩世地→スラ(諸島)
マンゴールト,H ⑳動物→マンゴールト,O
マンゴールト,O ドイツ [1891–1962] 動物発生学者。両生類の初期発生機構,とくに神経板の分化に関する重要な研究を行う ⑳動物 589 B
マンゴールト夫人 ⑳動物→シュペーマン,H
万五郎さん節〈岸川節〉 ③音演→民謡〔表〈佐賀〉〕
満済 [1378–1435] 室町初期の僧,醍醐寺三宝院門跡。

作『玄語』 ④哲宗562 D図 →条理学 ⑥日史1087 A ⑦日地→安岐(町) ⑪政社→儒学
三浦半島 神奈川 ⑧日地1068 A図
三浦周行 [1871-1931] 明治から昭和初期の日本史家。中世史・古文書学を研究し,文化的法制史の把握を特色とする ⑥日史1087 A ⑤日史→史学史〔近代〕
三浦泰村 [1184-1247] 鎌倉中期の武将。義村の子。北条氏の姻戚となり権勢を握ったが,宝治合戦で滅ぶ ⑥日史1087 B →宝治合戦
三浦義澄 [1127-1200] 鎌倉初期の武将。源頼朝の家臣。長門壇ノ浦の戦いでは先鋒をつとめる ⑥日史1087 B
三浦義村 [?-1239] 鎌倉初期の武将。義澄の子。北条氏を助け,執権政治確立に尽力 ⑥日史1087 B
三浦流 ⑤日史→柔術〔流派〕
三会 ⑦日地→島原(市)
三重(県) ⑧日地1068 C図表 ⑤日史→伊賀国 →伊勢国 →紀伊国 →志摩国
三重(町) 大分 ⑧日地1072 C
見得 ①文学→歌舞伎〔特質〕 ③音演→歌舞伎〔囲用語〕別
御影供 ④哲宗→法事〔忌日〕
三重県立博物館 ②美術682 C
『見えざる絆』 ①文学→ラーゲルレーフ,S
みえざる手 ⑫経産→経済法 →スミス,A
美江寺 ⑦日地→巣南(町)
ミエシュコ(一世) ⑩世地→ポーランド(人民共和国)〔略史〕
『見えない人間』 ①文学→エリソン,R
麵 ⑬生活→点心〔食間〕
三重ノ海剛司 ⑬生活→相撲〔表横綱〕
三重紡績争議 ⑥日史1087 C
ミエラカニダマシ ⑳動物→カニダマシ
ミエリン ⑭医学→神経〔神経線維〕
ミエログラム〈骨髄像〉 ⑭医学→骨〔構造〈骨髄〉〕
澪 ⑧日地1234 C ⑬生活→釣り〔囲用語〕
『澪』 ①文学→長田幹彦
三尾 ⑦日地→アメリカ村 ⑧日地→美浜(町)《和歌山》
ミオアルスフェナミン ⑮化学→サルバルサン
ミオグロビン ⑬生活→食肉〔成分〕 ⑭医学→テオレル,A〈30 A〉 →筋肉〔筋運動〕 ⑳動物→色素
ミオジプシナ ⑱宇地→地質時代〔新生代〈第三紀〉〕
みおじるし ⑰科技→航路標識〔昼標〕
ミオシン ⑭医学→筋肉〔化学成分〕
澪筋 ⇨澪
みおつくし ⑰科技→航路標識
『澪標』 ①文学→外村繁
『澪標』 ①文学→紫式部〔表源氏物語〕
ミオヒップス ⑳動物→ウマ〔進化〕
ミオマンドル,F [1880-1959] 小説家。スペイン文学の翻訳・紹介者としても活躍 ①文学622 C
三面川 新潟 ⑧日地1072 C
未開時代 ⑨世史→原始社会
未回収のイタリア ⇨イタリア・イレデンタ
ミカイドウ〔実海棠〕 ⑲植物602 B図
未開美術 ②美術→プリミティブ・アート
未解放部落 ⑪政社→部落問題
見返資金 ⑥日史1087 C ⑫経産556 D ⑤日史→エロア資金 →ガリオア資金
ミカエリス-メンテンの式 ⑮化学→酵素〔作用機構〕
ミカエリソウ〔見返草〕 ⑲植物602 B図 →テンニンソウ
見返りの塔 ⑦日地→青木(村)〔大法寺〕図
『見返り美人図』 ②美術→菱川師宣
見返り柳 ⑥日史→吉原〔新吉原〕
ミカエル(一世) ⑨世史→カール(大帝)
ミカエル(八世)〈ミカエル・パライオロゴス〉 ⑨世史→ニカイア帝国 →ビザンティン帝国〔後期〕 →ラテン帝国
磨き板ガラス ⑮化学→板ガラス
研仕上げ ⑰科技→建築施工〔各種工業〈左官工事〉〕
みがきにしん ⑳動物→ニシン〔調理〕
味覚 ⑭医学565 A図 →感覚〔種類〕 →舌〔味蕾〕 ⑬生活→味 →食塩〔調理〕 ⑳動物→感覚
未確認飛行物体〈UFO〉 ⑱宇地568 C
御神楽 ③音演→神楽 ⑤日史→神楽
みかぐらうた ④哲宗→天理教
御影 神戸市/東灘区 ⑧日地1072 D →東灘(区)
御影石 ⑱宇地568 C →花崗岩〔利用〕 →石材〔利用〕図

見かけの重さ ⑯物数→重さ
見かけの質量 ⑯物数549 A
見かけの力 ⑯物数→慣性力
見かけの膨張 ⑯物数→膨張
三笠(市) 北海道 ⑧日地1072 D
三笠 ⑰科技→船〔軍艦の歴史〈近代的軍艦〉〕
三笠火山群 ⑧日地→若草山
御笠川〈石堂川〉 ⑧日地→福岡平野
三笠宮 ⑪政社→皇室〔皇族〕
御蓋山〔三笠山〕 奈良 ⑧日地1072 D ⑦日地→春日山
三笠山遊園地 ⑦日地→寒霞渓
三ケ島葭子 [1886-1927] 歌人。新詩社に入社して作品を『スバル』に発表,のち現実的作風へと一変 ①文学622 C
『ミカ書』 ④哲宗→聖書〔囲〈旧約〉〕
『箕被』 ③音演538 C
三日月湖 ⑱宇地569 A
三方(町) 福井 ⑧日地1072 D
美方(町) 兵庫 ⑧日地1073 A
三方海中公園 ⑧日地→若狭湾国定公園
三方原共同開拓 ⑦日地→清水(市)
三方原台地 静岡 ⑧日地1073 A
三方ヶ原の戦い ⑥日史1087 D図 →武田信玄 →徳川家康
三方原用水 ⑧日地→三方原台地
三方湖 ⑧日地→三方五湖図 ⑳動物→ハス
三方五湖 福井 ⑧日地1073 B図
三日月(町) 佐賀 ⑧日地1073 B
三日月(町) 兵庫 ⑧日地1073 B
三日月湖 ⑧日地1234 D →曲流〈1207 D〉 ⑱宇地569 A →河跡湖 →川〔川の作る地形〕 →湖沼〔成因〕図
ミカヅキモ〔三日月藻〕 ⑲植物602 B →アオミドロ →チリモ図
『ミカド』 ①文学→ギルバート,W ③音演→サリバン,A →ミュージカル
ミカドアゲハ〔帝揚羽〕 ⑳動物590 B →アゲハチョウ〔分類〕図 →天然記念物〔表〈特天〉〕
ミカドアリバチ ⑳動物→アリバチ
ミカドカガンボ ⑳動物→カガンボ
ミカドガン ⑳動物→ガン〔種類〈マガン〉〕図
ミカドキジ〔帝雉子〕 ⑳動物590 B →キジ〔種類〕図 →高山鳥
ミカドジガバチ ⑳動物→ジガバチ
神門神社 ⑧日地→南郷(村)《宮崎》
ミカドチョウザメ ⑳動物→チョウザメ
ミカドネズミ ⑳動物→ヤチネズミ
ミカドバト〔帝鳩〕 ⑳動物590 B
ミカドミンミン ⑳動物→ミンミンゼミ
瓶原 京都/加茂町 ⑧日地1073 C
御荷鉾山 群馬 ⑧日地1073 C →万場(町)
ミカマイシン ⑮化学→抗生物質〔主要なもの〕
三上於菟吉 [1891-1944] 小説家。時代物作家として独自の境地を開く ①文学622 C
三上参次 ①文学→文学史〈558 A〉
御上神社 ④哲宗→神社〔表〈官幣中社〉〕 ⑧日地→野洲(町)
三上田上信楽県立自然公園 ⑦日地→滋賀(県)〔観光〕
三上卓 ⑤日史→五・一五事件
三上山〈近江富士〉 滋賀 ⑧日地1073 C
三上義夫 [1875-1950] 科学史家。文化史として科学史をとらえる先駆けとなる ⑯物数549 A
三瓶(町) 愛媛 ⑧日地1073 C
美甘(村) 岡山 ⑧日地1073 C
三加茂(町) 徳島 ⑧日地1073 C
三日夜餅 ⑥日史1087 D
神狩祭 ⑧日地→千葉(県)〔文化〕
ミカレ岬の戦い ⑨世史→ペルシア戦争〔クセルクセスの遠征〕
三川(町) 山形 ⑧日地1073 D
三川(村) 新潟 ⑧日地1073 D
美川(町) 石川 ⑧日地1073 D
美川(町) 山口 ⑧日地1073 D
美川(村) 愛媛 ⑧日地1074 A
三加和(町) 熊本 ⑧日地1074 A
三河一向一揆 ⑥日史1088 A
三川温泉 ⑧日地→三川(村)
三河湖 ⑦日地→下山(村)
三河港 ⑦日地→愛知(県)〔交通〕
『三河後風土記』 ①文学→実録物
三河三宮猿投神社 ⑦日地→猿投山
三河地震 ⑱宇地→地震表

三河島事故 ⑰科技→ATS
三河衆 ⑥日史1088 A
三河宗教一揆 ⑥日史→排仏毀釈図
三河台 ⑦日地→港(区)《東京》
三川内焼 ⇨平戸焼
三河国 愛知 ⑥日史1088 A囲 ⑧日地1074 A ⑦日地→愛知(県)〔歴史〕
三河万歳 ③音演→万歳
『三河物語』 ⑥日史1088 C ①文学→記録文学 ⑤日史→大久保忠教
三河木綿 ⑤日史→尾張国
三河屋 ③音演→市川団蔵 →歌舞伎〔囲屋号〕
『身代り』 ①文学→ビンディング,R
『身替りお俊』 ①文学→桜田治助(初世)
『身替座禅』 ①文学→岡村柿紅 ③音演→狂言〔影響〕 →『花子』
身代り地蔵 ⑦日地→杉並(区)
三河隆起準平原 ⑦日地→愛知高原国定公園
三河湾 ⑧日地1074 A →三河湾国定公園
三河湾国定公園 愛知 ⑧日地1074 B図 →知多半島 →三河湾
ミカン〔蜜柑〕 ⑲植物602 C図 →くだもの〔風味と加工〕 ⑫経産→果樹作図 ⑬生活→果物〔柑橘類〕表
ミカン科 ⑲植物604 A
ミカンコミバエ ⑳動物→ハエ図 →ミカンバエ →ミバエ図
ミカンサビダニ ⑳動物→フシダニ
『未完成交響楽』 ③音演→映画〔トーキー〈第4期〉〕
『未完成交響曲』 ③音演→シューベルト,F〔作品〕
蜜柑取唄〈江島節〉 ③音演→民謡〔表〈和歌山〉〕
『未完の言葉』 ①文学→デーリ
ミカンバエ〔蜜柑蠅〕〈ミカンミバエ〉 ⑳動物590 B
ミカンハダニ ⑳動物→ハダニ
幹 ⑲植物604 A
三木(市) 兵庫 ⑧日地1074 C
三木(町) 香川 ⑧日地1074 D
右イデアル ⑯物数→環〔イデアル・剰余環〕
三木浦港 ⑦日地→尾鷲(市)
ミギェーニ アルバニア [1911-1938] 詩人。山地で小学校教師をしながら,農民の苦悩と不正への怒りを表現 ①文学622 C
三木ヶ原 ⑧日地→蒜山〔蒜山原〕
三木清 [1897-1945] 哲学者・評論家。唯物史観の哲学的基礎づけを行う。治安維持法容疑で捕えられ獄死 作『人生論ノート』 ①文学622 D →文学史〈558 C〉 ④哲宗563 B図 ⑥日史1088 C ⑪政社→危機 ⑰科技→技術〔技術論〈日本〉〕
ミキサー ⑬生活→電気器具〔種類〕
三木里港 ⑦日地→尾鷲(市)
三木茂 ⑱宇地→メタセコイア
三岸好太郎 [1903-1934] 洋画家。独立美術協会の創立に参加,詩的なシュルレアリスム画風に転じた ②美術576 A
ミキシンググラス ⑬生活→カクテル〔器具〕図
ミキソウイルス ⑭医学→ウイルス〔疾患〕
三木卓 [1935] 詩人・小説家。現代社会の内包するひずみの諸相を摘出 ①文学622 D →芥川賞表
三木武夫 [1907] ⑤日史→改進党 →国民協同党 →自由民主党 →内閣表
御木徳近 [1900-1983] ④哲宗→新興宗教〔表〈教祖〉〕 →パーフェクトリバティー ⑪政社→新興宗教
御木徳一 [1871-1938] ④哲宗→新興宗教〔表〈教祖〉〕 →パーフェクトリバティー ⑪政社→新興宗教
三木武吉 [1884-1956] 政治家。鳩山内閣の実現に腐心。民主党の結成,保守合同にも中心的役割を果たす ⑥日史1088 C
ミギマキ ⑳動物→タカノハダイ
右回り円偏光 ⑯物数→偏光
御木本幸吉 [1858-1954] 真珠養殖家。養殖真珠を創始し世界的に知られ,真珠王と称された ⑥日史1089 A ⑧日地→多徳島
御木本真珠島 ⑧日地→鳥羽(市)
御教書 ⑥日史1089 A ⑤日史→古文書〔囲様式〈公家様〉〈武家様〉〕
三木露風 [1889-1964] 詩人。白秋とともに時代を代表するが,詩風は対照的。「憂愁の詩人」「たましいの詩人」といわれる ①文学622 D図 ⑥日史1089 A ③音演→童謡
ミクサート ハンガリー [1847-1910] 小説家。封建貴族の保守性を風刺した作品が多い ①文学623 A
三草山の戦い ⑤日史→源平の合戦表

ミクソリディア旋法 ③音演→教会旋法〔正格旋法・変格旋法〕
三行り半みくだりはん〔三下り半〕 ⑥日史 1089 B図 →離縁 ⑤日史→去状さりじょう
ミークティラ ⇨メークチラ
三国(町) 福井 ⑧日地 1074 D図
三国温泉郷 群馬 ⑧日地 1075 A
三国街道 ⑦日地→赤谷川あかや
三国丘台地 ⑦日地→堺(市)
三国山地 ⇨野坂山地
三国山脈 群馬・新潟 ⑧日地 1075 A →三国峠《群馬・新潟》 ⑦日地→関東地方〔自然〈地勢〉〕
三国岳 ⑦日地→飯豊山地いいで
三国峠 群馬・新潟 ⑧日地 1075 B
三国峠 大分 ⑧日地 1075 B
三国節 ③音演→民謡〔表〈福井〉〕
三国祭 ⑧日地→三国(町)図
三国山 群馬・新潟 ⑧日地 1075 B
三隈川 ⑧日地→筑後川 →日田(市)ひた図 →日田盆地ひた
三熊山 ⑦日地→洲本(市)〔洲本城跡〕
ミグマタイト ⇨混成岩
三熊野神社 ⑦日地→大須賀(町)
水分祭みくまり ⑦日地→菟田野(町)うた
三雲(村) 三重 ⑧日地 1075 B
三雲遺跡 ⑥日史 1089 B
御蔵島みくら 東京/伊豆諸島 ⑧日地 1075 C
御蔵島(村) 東京/伊豆諸島 ⑧日地 1075 C
ミクラス, W 〔1872 1956〕 ⑨世史→キリスト教社会党
三倉帯 ⑧日地→日本アルプス〔南アルプス〈地質〉〕
ミクラディロス(島) ⑩世地→デロス(島)
三倉鼻公園 ⑧日地→八郎潟(町)
ミクラミヤマクワガタ ⑳動物→クワガタムシ
ミクリ〔実栗〕 ⑲植物 604 A図
みくりが池 ⑧日地→室堂平むろどう
ミクリッツ症候群 ⑭医学→目〔付属器〈涙器〉〕
御厨みくりや 栃木/足利市 ⑧日地 1075 C
御厨〔料所〕 ⑥日史 1089 B
御来屋みくりや ⑧日地→名和(町)
御厨高原 ⑦日地→御殿場(市)ごてんば
ミグレニン ⑮化学→アンチピリン
『ミクログラフィア』 ⑯物数→フック, R ⑱宇地→雪〔結晶の観察史〕
『ミクロコスム』〈小宇宙〉 ①文学→セーブ, M
『ミクロコスモス』 ④哲宗→ロッツェ, R
ミクロシュ, B ハンガリー〔1890 1948〕 ⑨世史→東欧史〔歴史〈両大戦間〉〕
ミクロネシア 太平洋 ⑩世地 617 A →オセアニア →カロリン(諸島) →ギルバート(諸島) →マーシャル(諸島) →マリアナ(諸島)
ミクロフィラリア ⑳動物→糸状虫図
『ミクロフォニー第一番』 ③音演→電子音楽
ミクロ・ブラウン運動 ⑮化学→プラスチック〔熱可塑性プラスチック〕
ミクロ分析 ⇨微量分析
ミクロマニプレーター〈顕微解剖装置〉 ⑭医学→組織培養〔研究方法〕
『ミクロログス』 ③音演→グィド・ダレッツォ
ミクロン(島) ⑩世地→サンピエールエミクロン
三毛 ⑳動物→ネコ〔イエネコ〕
未経過保険料 ⑫経産→保険〔囲用語〈責任準備金〉〕
三毛入野命みけいりののみこと ⑤日史→神武天皇
御饌殿みけでん ④哲宗→伊勢神宮〈豊受大神宮〉
ミケーネ文明 ②美術→古代地中海美術〔青銅器時代〕 ⑨世史→エーゲ文明 →ギリシア〔移動と植民〕 →シュリーマン, H
ミケーネ文字 ⇨線状文字B
みけむかふ ①文学→短歌〔囲枕詞〕
ミケランジェロ イタリア〔1475 1564〕 彫刻家・画家・建築家。教皇やメディチ家のために制作。ルネサンス期の巨匠 ②美術 576 A図 →サン・ピエトロ大聖堂 →システィーナ礼拝堂 →彫刻〔歴史〈西洋〉〕 →ルネサンス美術〔盛期〕別 →カピトリーノ美術館〈684 A〉 ⑨世史 619 D →ルネサンス〔変質〕
ミケランジェロ・アントニオーニ ⇨アントニオーニ, M
ミケランジェロ号 ⑰科技→船図
ミケランジェロ広場 ⑩世地→フィレンツェ図
ミケリス ⑳動物→リス〔利用と飼育〕
ミゲリスタ ⑨世史 619 D
ミゲリスタ戦争 ⑨世史→ドン・ミゲル(一世)
ミーゲル, A ドイツ〔1879 1964〕 女流詩人。バラードで同国文学史上もっとも優れる ①文学 623 B
ミゲール・イダルゴ ⇨イダルゴ, M
ミケルセン, C ノルウェー〔1857 1925〕 ⑨世史→北欧史〔歴史〈現代〉〕
ミケロッツォ・ディ・バルトロメオ イタリア〔1396 1472〕 建築家・彫刻家。メディチ家の信用を得て、パラッツォ・メディチ・リカルディを手がけた ②美術 576 D
巫女みこ ④哲宗 563 C →シャマニズム〔日本〕 →神託〈デルフォイ〉 ⑥日史 1089 C
ミコアイサ〔神子秋沙〕 ⑳動物 590 C →アイサ図
『未耕地』 ①文学→イレムニツキー, P
巫女神楽 ③音演→神楽かぐら〔里神楽〕
神子上一刀流みこがみ ⑤日史→小野次郎右衛門
神子上典膳みこがみてんぜん ⇨小野次郎右衛門
みこころを ①文学→短歌〔囲枕詞〕
神輿洗いみこし ⑦日地→京都(市)〔別年中行事〕
ミコシグサ〔神輿草〕 ⇨ゲンノショウコ
神輿まくり ⑦日地→木曾谷図
御子代 ⑥日史→名代・子代なしろこしろ
『見事な新世界』 ①文学→ハクスリー, A
みことのり ①文学→宣命
ミコノス(島) ⑩世地→ギリシア(共和国)図
御子左家みこひだり ①文学→古今伝授 →『新古今和歌集』〔構成〕 ⑥日史→二条家《歌道》 →藤原為家
ミコプラズマ ⑳動物→細胞〔種類〕
巫女舞 ③音演→神楽かぐら〔里神楽〈巫女神楽〉〕図
神子元島みこもと 静岡/下田市 ⑧日地 1075 C
ミコヤン, A ソ連〔1895 1978〕 政治家。フルシチョフとともに非スターリン化を推進, 米ソ共存の確立に努める ⑪政社 551 B図 「知識」
身頃 ⑮生活→洋裁〔図原型の作り方〕 →和裁〔囲
『ミコワイ・ドシビャトチンスキの冒険』 ①文学→クラシツキ, I
ミコンベロ ⑩世地→ブルンジ(共和国)
ミサ ④哲宗 563 D →カトリック教会図
味細胞 ⑭医学→味覚
ミサイル ⑪政社→軍事技術〔現代の兵器体系〕
ミサオノキ〔操木〕 ⑲植物 604 B図
御坂(町)みさか 山梨 ⑧日地 1075 C
御坂山地 山梨 ⑧日地 1075 D →三ツ峠山
三坂峠 島根・広島 ⑧日地 1075 D
三坂峠 愛媛 ⑧日地 1075 D
神坂峠みさか ⑦日地→阿智(村)あち
岬(町) 千葉 ⑧日地 1076 A
岬(町) 大阪 ⑧日地 1076 A
岬 ⑧日地 1234 D ⑱宇地 569 A
『岬』 ①文学→芥川賞あくたがわ表
三崎 神奈川/三浦市 ⑧日地 1076 B
三崎《石川》 ⑦日地→珠洲(市)すず
三崎(町) 愛媛 ⑧日地 1076 B
三崎牛 ⑦日地→瀬戸(町)《愛媛》
ミサキウバウオ ⑳動物→ウバウオ
御崎馬 ⑧日地→都井岬 ⑳動物→ウマ〔品種〈在来種〉〕図 →天然記念物〔特異〕表
みさき公園自然動物園水族館 ⑳動物→水族館〔歴史〕 →動物園〔表日本〕
岬十三里 ⑦日地→佐田岬半島
三崎甚句 ③音演→民謡〔表〈神奈川〉〕
ミサキソウ〔三尖草〕 ⇨ホソバノシバナ
三崎半島 香川 ⑧日地 1076 B
三崎半島《愛媛》 ⇨佐田岬半島
ミサ曲 ③音演 538 C ④哲宗→ミサ
『ミサ曲ロ短調』 ③音演→バッハ, J〔作品〕
水窪(町)みさくぼ 静岡 ⑧日地 1076 B
水窪ダム ⑧日地→水窪(町)みさくぼ ⑰科技→ダム表
ミザクラ ⇨サクランボ
ミサゴ〔鶚〕 ⑳動物 590 C →タカ図 →鳥類〔形態〈爪〉〕
三朝(町)みささ 鳥取 ⑧日地 1076 B図
三朝温泉 ⑧日地→三朝(町)
三朝川 ⑦日地→小鹿渓
三篠川 ⑦日地→向原(町)むかいはら
三朝東郷湖県立公園 ⑧日地→鳥取(県)〔観光〕
ミサ聖祭 ④哲宗→ミサ
ミサ典書 ④哲宗→ミサ
三郷(市)みさと 埼玉 ⑧日地 1076 C
三郷(村) 長野 ⑧日地 1076 C
美里 沖縄/沖縄市 ⑧日地 1076 D ⑦日地→石川(市)
美里(町) 和歌山 ⑧日地 1076 D
美里(村) 埼玉 ⑧日地 1076 D
美里(村) 三重 ⑧日地 1076 D
美郷(村) 徳島 ⑧日地 1076 D
箕郷(町)みさと 群馬 ⑧日地 1076 D
美里高原 ⑧日地→美里(村)《三重》
ミサーハ ⑨世史→ハラージュ
御射山遺跡みさやま ⑦日地→霧ヶ峰
御射山祭 ⑧日地→長野(県)〔文化〈郷土芸能〉〕
ミザリー(山) ⑩世地→リーワード(諸島)
ミザール ⑱宇地→北斗七星図
三沢(市) 青森 ⑧日地 1077 A
『ミザントロープ』〈人間嫌い〉 ③音演→モリエール
ミー散乱 ⑱宇地→散乱
ミジェット・タイフーン ⇨豆台風
ミシェル, A フランス〔1435? 1501〕 ③音演→フランス演劇〔中世〈宗教劇〉〕
ミシオネス(台地) ⑩世地→アルゼンチン(共和国)〔自然〕
『みじかいきんようび』 ①文学→シンガー, I
ミシガン(州) アメリカ ⑩世地 617 A
ミシガン(湖) アメリカ ⑩世地 617 B →五大湖
ミシシッピ(州) アメリカ ⑩世地 617 B
ミシシッピ(川) アメリカ ⑩世地 617 C →ミズーリ(川) ⑱宇地→川図 →三角州図
『ミシシッピ川の生活』 ①文学→マーク・トウェーン
ミシシッピワニ ⑳動物 590 C →ワニ〔分類〕図
粛慎みしはせ ⑥日史 1089 C
御修法みしほ ⇨御修法みずほう
ミシマ(島) ⑩世地→ロイージアド(諸島)
三島(市) 静岡 ⑧日地 1077 A図
三島(町) 福島 ⑧日地 1077 B
三島(町) 新潟 ⑧日地 1077 C
三島(村) 鹿児島 ⑧日地 1077 C →十島(村)としま ⑦日地→川辺十島かわなべじっとう
三島 ②美術→高麗茶碗こうらい図 →茶碗 →李朝陶磁
見島 山口/萩市 ⑧日地 1077 C →萩(市)
箕島 ⑦日地→大村(市) →大村湾
三島藍野陵 ⑦日地→茨木(市)
三島池 ⑦日地→山東(町)《滋賀》
ミシマオコゼ〔三島騰〕 ⑳動物 590 C
三島港 ⑦日地→伊予三島(市)
ミシマサイコ〔三島柴胡〕 ⑲植物 604 B図 ⑭医学→生薬しょうやく〔柴胡〕図
三島神社 ⇨三島大社
三島霜川 〔1876 1934〕 小説家・劇評家。懸賞小説に応募, 文壇に出る ①文学 623 B
三島代官所 ⑤日史→伊豆国
三島大社〈三島神社〉 ④哲宗 564 A →神社〔表〈官幣大社〉〕 ⑧日地→三島(市)図
三島大明神 ⇨大山祇神社おおやまずみ
三島ダム ⑦日地→君津(市)
三島茶碗 ⇨三島
三島手 ②美術→李朝陶磁
三島徳七 〔1893 1975〕 金属工学者。強磁石鋼を発見, MK磁石合金と名づける。文化勲章受章 ⑥日史 1089 C ⑰科技→MK合金 →磁石鋼
三島平野 ⑦日地→芥川
三島通庸みちつね 〔1835 1888〕 明治初期の内務警察官僚。福島事件で知られる。警視総監として自由民権運動を弾圧 ⑥日史 1089 C図 →福島事件 →保安条例 ⑤日史→安積疏水あさか
三島由紀夫 〔1925 1970〕 小説家・劇作家。洗練された美意識と鋭い批評精神で知られる。割腹自殺 作『金閣寺』 ①文学 623 C図 →ドイツ文学〔日本への影響〕 ③音演 538 D →日本演劇〔第二次大戦後から現代まで〈第1期〉〕
『みじめな悪党』 ①文学→北欧文学〔デンマーク〕
『みじめな奇跡』 ①文学→ミショー, H
ミーシャー, F スイス ⑳動物→核酸〔歴史〕
未熟児 ⑭医学 566 A →早産〔保育器〕
ミシュコルツ ハンガリー ⑩世地 617 D
未受精卵 ⑳動物→生殖〔有性生殖〕
ミシュテカ文化 ⑨世史 619 D
ミシュナ ④哲宗→『タルムード』 ⑪政社→ユダヤ教〔聖典〕
ミシュレ, J フランス〔1798 1874〕 歴史家。国民的・民主的・反教権的立場をとる。叙情的名文をも残す ①文学 624 A ⑨世史 620 A
ミジュレー, T ⑮化学→石油〔利用の歴史〈現代〉〕
ミショー, H フランス〔1899〕 ベルギー生まれの詩人・画家。世界各地を旅し旅行記を出す。戦争中の抵抗詩編により有名 ①文学 624 A図
ミショウ(父子) フランス ⑰科技→自転車〔歴史〕
実生 ⑲植物→幼形
御荘(町)みしょう 愛媛 ⑧日地 1075 D
ミショウ型自転車 ⑰科技→自転車図

御正体　②美術→金属工芸〔歴史〈日本〉〕
未生流　⑬生活→いけ花〔歴史〈現代〉〕
『見知らぬ男の肖像』　①文学→サロート，N　→ヌーボー・ロマン
『見知らぬ女』　①文学→ブローク，A
ミシン　⑬生活 573 D図　→洋裁〔歴史〕　⑰科技→シンガー，I
ミシン油　⑬生活→ミシン〔手入れ〕
ミシン糸　⑦日地→愛川(町)　⑬生活→ミシン〔使用法〕
ミジンウキマイマイ　⑳動物→ウキマイマイ
みじん切り　⑬生活→調理〔切り方〕図
ミジンコ〔微塵子〕　⑳動物 591 A図
みじん粉　⑬生活→米〔加工品〕
ミジンコウキクサ　⑲植物→ウキクサ
ミシン針　⑬生活→洋裁〔洋裁用具〕
ミジンマイマイ　⑳動物 591 A　→カタツムリ〔世界〕
御簾　⑤日史→簾
ミース，V　⑰科技→建築設計〔時間計画〕図　→コア・システム
ミズ〔水〕　⑲植物 604 C　→アオミズ図　⑬生活→山菜〔種類〕
水　⑮化学 606 A図表囲　→工業用水　→状態図図　→蒸留水　→水質検査　→水蒸気　→水素〔化合物〕　⑱宇地 569 A図表　→天然資源〔水資源〕　⑤日史→灌漑　⑧日地→水資源〈1234 D〉　⑫経産→水資源問題　⑬生活→飲料水　⑭医学→水質検査　⑰科技→水質基準
『水』　①文学→中国左翼作家連盟　→丁玲
ミズアオイ〔水葵〕　⑲植物 604 C図
水揚げ　⑬生活→いけ花〔いけ方〈基本〉〕図
水扱いホーム　⑰科技→駅〔貨物駅〕
水浴び　⑳動物→鳥類〔別〈生態〉〕
ミズアブ〔水虻〕　⑳動物 591 A　→水生昆虫
水飴　⑬生活→飴　→菓子〔原点〕
水争い　⑤日史→灌漑
ミス・アンド・アウトレース〈除外競走〉　⑬生活→自転車競技〔競技種目〈トラック競技〉〕
ミズイカ　⇨アオリイカ
みずいぼ〈伝染性軟属腫〉　⑭医学→皮膚病
ミズイモ〔水芋〕　⇨タロイモ
水入り　⑬生活→相撲〔囲用語〕
『水色のワルツ』　③音演→歌謡曲表
ミズウオ〔水魚〕　⑳動物 591 B
碾磑　⑥日史→曇徴
御簾内　③音演→人形浄瑠璃〔文楽の太夫と三味線〈太夫〉〕
『みずうみ』　①文学→シュトルム，T
湖　⑧日地→湖沼〈1211 D〉　⑱宇地→湖沼
『湖の声』　③音演→八木隆一郎
『湖の麗人』〈湖上の美人〉　①文学→スコット，W
『みづゑ』　②美術→大下藤次郎
水鯱　⑳動物→エソ
ミズオ〔水尾〕　⑲植物 604 C
ミズオオトカゲ　⑳動物→オオトカゲ
ミズオオバコ〔水大葉子，水車前〕　⑲植物 605 A図
水押し型　⑰科技→採油〔生産〈排油力〉〕
ミズオトギリ〔水弟切〕　⑲植物 605 A図　→オトギリソウ科図
ミズオポッサム　⑳動物→オポッサム
水オルガン　③音演→オルガン〔歴史〕
水塚　⑧日地 1234 D
ミズガイ〔御簾貝〕　⑳動物 591 B図
瑞ヶ池　⑦日地→伊丹(市)
『**水鏡**』　①文学 624 B　→日本文学〔中世〈鎌倉〉〕→『扶桑略記』　→歴史物語　⑥日史 1089 D
水かき　⑳動物 591 C
瑞垣　⇨玉垣
瑞牆山　山梨　⑧日地 1077 D
水掛不動尊　⑦日地→千日前
水かけ祭　⑧日地→大東(町)《岩手》
水ヶ沢山　⑧日地→夏泊半島
ミズカビ〔水黴〕　⑲植物 605 A　→カビ〔生態〈水生菌〉〕図　→菌類〔分類〈藻菌類〉〕
水釜　⑦日地→白根山《草津》
ミズカマキリ〔水蟷螂虫〕　⑳動物 591 C図　→水生昆虫
水上(村)　熊本　⑧日地 1077 D
『**水甕**』　①文学 624 B　→尾上柴舟
みずがめ座〔水瓶座〕　⑱宇地 571 A　→星座〔四季〈秋〉〕図表　⑬生活→占い〔西洋占星術〈表十二星座宮〉〕
ミズガヤツリ〔水蚊帳釣〕　⑲植物 605 A　→カヤツリグサ図
水からくり　③音演→からくり　→奇術〔日本〕図
水ガラス　⑮化学 612 C　→ケイ酸　→浸透圧〔囲ケミカル・ガーデン〕
美杉(村)　三重　⑧日地 1077 D
ミズキ〔水木〕　⑲植物 605 A図
水城　⑥日史 1089 D　→大宰府　⑧日地→太宰府(市)
水着　⑬生活 575 B
ミズキ科　⑲植物 605 B
水木京太　［1894–1948］　劇作家・演劇評論家。イプセン研究家としても知られる　①文学 624 C
ミズギク〔水菊〕　⑲植物 605 B　→オグルマ図
水木辰之助　③音演→日本舞踊〔歌舞伎舞踊〕
水切り　⑬生活→いけ花〔いけ方〈基本〉〕
水木流　③音演→日本舞踊〔流派〈その他〉〕
水際　⑬生活→いけ花〔囲用語〕
ミズキンバイ　⑲植物→チョウジタデ
ミスグサ　⑲植物→ガマ
水草　⑳動物→熱帯魚〔飼育〕
水薬　⑭医学→薬〔形状〈水剤〉〕
『水汲』　③音演→『お茶の水』
ミズグモ〔水蜘蛛〕　⑳動物 591 C図　→クモ〔網〈鐘網〉〕図
水雲　⑱宇地→雪〔降雪の機構〕
水蜘蛛　⑥日史→忍術〔囲忍器〕
ミズクラゲ〔水水母〕〈ヨツメクラゲ〉　⑳動物 592 A　→クラゲ〔種類〕図　→世代交代図
水クーロメーター　⇨ユージオメーター
水芸　③音演→奇術〔日本〕
みず子　⑥日史→間引き
水恋鳥　⑳動物→アカショウビン
水子貝塚　⑥日史 1089 D
ミズゴケ〔水蘚〕　⑲植物 605 B図　→コケ植物〔種類〈蘚類〉〕図　⑱宇地→湿原
ミズゴケ湿原〈高層湿原〉　⑲植物→湿原
水子大応寺前貝塚　⑧日地→富士見(市)
水垢離　⑥日史→禊祓
水栽培　⑲植物 605 C図　→園芸〔栽培の種類〕
『水先案内人とその妻』　①文学→リー，J
水指　⑬生活→茶道〔図茶道具〕
『ミス・サーラ・サンプソン』　①文学→レッシング，G　③音演→レッシング，G
水沢　⑧日地→十日町(市)
水沢(市)　岩手　⑧日地 1078 A図
水沢緯度観測所　⑧日地→水沢(市)　⑱宇地→緯度〔観測所〕　→木村栄　→天文台〔表〈日本〉〕
水沢公園　⑧日地→水沢(市)
水沢寺　④哲宗→坂東三十三所表
ミズシカ〔水鹿〕　⇨サンバー
水資源　⑧日地 1234 D　⑫経産→水資源問題　⑮化学→水　⑱宇地→天然資源　→水
水資源開発公団　⑫経産→公団
水資源問題　⑫経産 557 A
ミスジコウガイビル　⑳動物→コウガイビル
ミスジシロチョウ　⑳動物→チョウ《昆虫》〔別〈外国〉〕
ミスジチョウ〔三条蝶〕　⑳動物 592 A
水島　⑧日地→水島工業地域
ミスジマイマイ〔三筋蝸牛〕　⑳動物 592 B　→カタツムリ〔日本産〕図　→マイマイ
水島工業地域　⑧日地 1078 B　⑦日地→岡山(県)〔産業〈工業〉〕　→倉敷(市)〔産業〕図
三筋町　⑤日史→島原
水島の戦い　⑤日史→源平の合戦表
水島彦一郎　⑥日史→丹後国〔囲人国記〕
水島臨海鉄道　⑦日地→岡山(県)〔交通〕
水収支　⑱宇地→水
水循環　⑱宇地→水蒸気　→水〔地球上の水循環〕図表
水消火器　⑰科技→消火設備〔消火器〕
ミスショット　⑬生活→ゴルフ〔基本的技術〕
水真臘　⑨世史→真臘
美鈴湖　長野　⑧日地 1078 C
ミズスマシ〔鼓豆虫〕　⑳動物 592 B図　→感覚〔聴覚〕
みずするめ　⑳動物→アオリイカ
水攻め　⑤日史→城〔城攻め〈戦闘〉〕
ミズゼリ　⑬生活→山菜〔種類〕
ミズゾウムシ　⑳動物→ゾウムシ
水タイプ説　⑮化学→ウィリアムソン，A
水たき　⑬生活→とり肉〔とり料理〕　→鍋料理
ミズダコ〔水章魚〕　⑳動物 592 B　→タコ〔種類〕図
『ミスター人類』　③音演→ワイルダー，T
水田天満宮　⑧日地→筑後(市)
水棚　⑰科技→炭塵爆発〔防止対策〕
ミズダニ〔水蜱〕　⑳動物 592 B
水谷不倒　①文学→仮名草子
水谷八重子　［1905–1979］　女優。花柳章太郎とともに新派に新風を送り，現代劇の創造に意欲を燃やす　③音演 539 A図　→日本演劇〔第二次大戦後〈第一期〉〕
ミズタビラコ　⑲植物→キュウリグサ
『ミスター・ベランクル』　①文学→プリチェット，V
ミズタマカビ　⑲植物→カビ〔生態〈糞生菌〉〕　→菌類〔分類〈藻菌類〉〕　→ケカビ
ミズタマソウ〔水玉草〕　⑲植物 606 A図
水玉模様〈ドット〉　⑬生活→洋装〔囲洋服地〕
ミスタンゲット　［1875–1956］　③音演→シャンソン《ポピュラー》〔特徴〕図
ミズチドリ〔水千鳥〕　⑲植物 606 B図
水茶屋　⑥日史→茶屋
水帳　⇨検地帳
水つくり　⑲植物→アオコ
ミスティ(山)　⑩世地 617 D　⑱宇地→火山〔表活火山〕
ミステカ文化　②美術→プレ・コロンビア美術〔後古典期〕
ミステラ　⑩世地→イバグエ
『見棄てられたディドーネ』　①文学→メタスタージオ，P
ミステリー　⇨推理小説
『ミステリヤ・ブッフ』　③音演→マヤコフスキー，V　→ロシア演劇〔ソビエト演劇〕図
ミステール〈聖史劇〉　①文学→フランス文学〔中世〕　③音演→フランス演劇〔中世〈宗教劇〉〕
水電量計　⇨ユージオメーター
ミスト　⑮化学→公害〔囲用語〕
水時計　⑥日史→漏刻　⑰科技→時計〔歴史〈第1期〉〕図　⑱宇地→時〔時法〕
『水と原始林の間で』　①文学→シュバイツァー，A
水止舞　⑧日地→東京(都)〔別年中行事〕
ミストラ　⑩世地→ギリシア(共和国)図
ミズトラノオ〔水虎尾〕　⑲植物 606 B
ミストラル，F　［1830–1914］　詩人。南仏の言語および文学復興運動の指導者。ノーベル賞受賞　①文学 624 C
ミストラル，G　［1889–1957］　女流詩人。汎神的な母性，無限の慈愛という純化した愛を追求する。ノーベル賞受賞　①文学 624 C　→ラテンアメリカ文学〔20世紀〕
ミストラル　⑱宇地→風〔表局地風〕
ミストラル号　⑰科技→鉄道別
水鳥　⑳動物 592 C　→水かき
『水鳥』　③音演→東欧演劇図
ミズトンボ〔水蜻蛉〕　⑲植物 606 C
ミズナ　⇨ウワバミソウ　⇨キョウナ
ミズナギ　⇨コナギ
ミズナギドリ〔水薙鳥〕　⑳動物 592 C図　→海鳥　→帰巣性　→鳥類〔繁殖〕〔形態〈趾型〉〕
水無川〈涸れ川〉　⑧日地 1234 D　⑱宇地 571 A　→川〔よび方〕　→内陸河川　→伏流　→ワジ
瑞浪(市)　岐阜　⑧日地 1078 C
ミズナラ〔水楢〕　⑲植物 606 C　→紅葉図　→ナラ図
水苗代　⑲植物→イネ〔生育と栽培〕
水煮　⑬生活→かん詰〔種類〕
『水に記された文字』　①文学→ミオマンドル，F
ミズニラ〔水韮〕　⑲植物 606 C　→シダ植物別
ミズネコノオ　⑲植物→ミズトラノオ
水のイオン積　⑮化学→水素イオン濃度　→ペーハー　→水〔性質〕
『水の上』　①文学→紀行文学
水野氏　江戸幕府の譜代大名。鎌倉時代以来，尾張・三河に知られた名族　⑥日史 1090 A図
『水のうつす反映』　③音演→ドビュッシー，C〔作風と作品〕
水尾天皇　⇨清和天皇
『水の重さの原理』　⑯物数→ステビン，S
水の神　④哲宗→水天宮
水ノ口峠　⑦日地→井川(町)　→祖谷
水ノ子島　⑧日地→豊後水道
水野十郎左衛門　［?–1664］　江戸前期の旗本奴の頭目。幡随院長兵衛を謀殺した事件で有名　⑥日史 1090 A　→幡随院長兵衛
『水の太陽』　③音演→ブーレーズ，P
水野忠成　［1762–1834］　江戸後期の老中，沼津藩主。将軍家斉の信任のもとに幕政を左右。貨幣改鋳

御手洗山　⑦日地→洲崎すさき
御手洗たらい　⑦日地→伊勢(市)〔観光〕図
御手洗川　⑱宇地→川図
みたらし団子　⑬生活→団子
みたらし祭　⑦日地→大津(市)〔観光〕
乱みだれ　③音演→『鷺さぎ』→『猩々しょうじょう』
『みだれ髪』　①文学→日本文学〔近代〈浪漫主義〉〕→与謝野晶子図
乱川　⑧日地→山形盆地
乱刃　②美術→日本刀〔図刃文の種類〕
乱れ箱　⑥日史→筥はこ
ミタンニ　⑨世史 620 B　→エジプト〔歴史と文化〈新王国時代〉〕→古代オリエント文明〔エジプトとメソポタミア〕→フルリ人
道　④哲宗 564 B　→無　→老子〔老子〕
『道』　③音演→映画〔トーキー〈第6期〉〕→フェリーニ, F図
『道』　⑥日史→松村介石
道糸　⑬生活→釣り〔釣り道具〈釣り糸〉〕
ミチオシエ　⇨ハンミョウ
道臣命　④哲宗→日本神話囲
三千風　⇨大淀三千風おおよど
道川　秋田/岩城町　⑧日地 1080 C
未知関数　⑯物数→方程式
道切れ〔満切れ〕　⑦日地→海ノ中道　→志賀島しかのしま
『道草』　①文学→夏目漱石
『路草』　①文学→川崎長太郎
未知項　⑯物数→比・比例〔比例式〕
路子工みちこのたくみ　②美術→庭園〔歴史〕
ミチシルベ　⑳動物→ハンミョウ
未知数　⑯物数→方程式
『道づれ』　①文学→パノーワ, V
『三千歳』　③音演→『天衣紛上野初花くもにまごううえののはつはな』
道主神　④哲宗→宗像神社むなかた
『未知のエロス』　①文学→パトモア, C
『道の記』　⇨『十六夜日記いざよい』
道奥みちのく　⑧日地→東北地方
陸奥紙　②美術→和紙わし〔歴史〕
陸奥国　⑥日史→陸奥国むつのくに
『みちのくばなし』　⇨『陸奥話記むつわき』
道師みちのし　⑥日史→八色の姓やくさのかばね
『未知の友だち』　①文学→シュペルビエル, J
径浜みちはま〈バーム〉　⑱宇地→海岸
道番所　⑤日史→口留番所くちどめ
『導きの星』　①文学→イワーノフ, V・I
道康皇子　⇨文徳天皇もんとく
ミチヤナギ〔路柳〕　⇨ニワヤナギ
道行みちゆき　③音演 540 A　①文学→近松門左衛門〔曾根崎心中〕
道行コート〈道行〉　⑬生活→衿〔和服〈コート〉〕→コート〔和装〕→和服〔種類〈コート〉〕
『道行思案余』　③音演→『桂川連理柵かつらがわれんりのしがらみ』
『道行旅路の花聟』　③音演→『仮名手本忠臣蔵』
『道行初音旅』　③音演→『義経千本桜よしつね』
ミチューリン, I　ソ連[1855/1935]　植物育種家。環境と生物の関係を重視,多くの品種改良を行う　⑲植物 608 C図
ミチューリンスク　ソ連/ロシア　⑩世地 618 B
御帳台　⇨帳台
未知惑星　⑱宇地→冥王星外惑星　→惑星〔発見史〕
蜜　⑲植物→蜜腺
御津(町)みつ　兵庫　⑧日地 1080 C
御津(町)　岡山　⑧日地 1080 C
ミツアナグマ〔密獾〕　⇨ラーテル
ミツアリ　⑳動物→アリ〔分類〕
三井・小野組合銀行　⑤日史→小野組
三井銀行　⑤日史→五大銀行　⑫経産→三井財閥〔コンツェルン〕
三井金属鉱業(株)　⑫経産→非鉄金属工業〔日本〕→三井鉱山(株)
三井組　⑤日史→為替かわせ　⑥日史→三井財閥　→三野村利左衛門
三井家　⑥日史→『町人考見録』→三井財閥
三ツ池遺跡　⑧日地→枚方(市)ひらかた
三井鉱山(株)　⑫経産 557 C
三井甲之　[1883/1953]　歌人・評論家。根岸短歌会に加わり,左千夫に師事。国家主義的な思想運動を展開　①文学 625 B　→『アカネ』
三井合名会社　⑥日史→三井財閥　⑫経産→三井財閥〔コンツェルン〕→持株会社
三井財閥　⑥日史 1092 A　→団琢磨　⑫経産 557 D　→池田成彬せいひん　→コンツェルン　→政商　→団琢磨　→中上川彦次郎なかみがわ　→日本経済事情〔資本主義〈帝国主義〉〕→三井鉱山(株)　→三井物産(株)　⑤日史→財閥〔図シェア〕→財閥転向　⑪政社→金権政治
三石みつ　岡山/備前市　⑧日地 1080 D
三石(町)　北海道/日高支庁　⑧日地 1080 D
三つ石　⑦日地→真鶴岬
ミツイシコンブ　⑬生活→コンブ〔種類〕　⑲植物→コンブ
三井石油化学(株)　⑫経産→化学工業図
三井船舶　⑫経産→大阪商船三井船舶(株)
三井争議　⑥日史→労働運動〔高度成長下〕
三井造船(株)　⑫経産→造船業〔課題〕
三井高利　[1622/1694]　江戸初期の商人。江戸に越後屋呉服店を開き繁盛。のち両替商も始める　⑥日史 1092 B　⑤日史→越後屋えちご　→元禄文化〔背景〕　⑫経産→三井財閥〔歴史〕→三越(株)
三井高房　[1684/1748]　江戸中期の商人。高利の孫。長崎貿易などに乗り出し,三井家事業に新分野を開拓　⑥日史 1092 C　→『町人考見録』
三井東圧化学(株)　⑫経産 558 A
三井物産(株)　⑫経産 558 B　→井上馨かおる　→総合商社　→三井財閥〔コンツェルン〕
三井不動産(株)　⑫経産 558 C
三井両替店　⑥日史→両替商図
密印　⇨印相いんぞう
御杖(村)　奈良　⑧日地 1080 D
三丘温泉みつお　⑦日地→熊毛(町)
光岡明　①文学→直木賞表
三つ押し　⑬生活→囲碁〔用具〈碁石遊び〉〕図
ミツオシエ〔蜜教〕　⑳動物 594 A　→巣〔鳥類〕
ミツオビアルマジロ　⑳動物→アルマジロ図
三つ折りぐけ　⑬生活→和裁〔基礎縫い〈くけ〉〕
三つ折人形　②美術→人形〔日本〕図
水塚　⇨水塚みずか
三日市　⑦日地→黒部(市)
水海道(市)みつかいどう　茨城　⑧日地 1080 D
みつかけぼし　⑱宇地→二十八宿表
ミツガシワ〔三柏〕　⑲植物 609 A図
『三日太平記』　①文学→太閤記
三日天下　⑤日史→明智光秀
ミツカドコオロギ　⑳動物→コオロギ図
ミツカドパイプウニ　⑳動物→パイプウニ
三日熱原虫　⑳動物→マラリア病原虫
三日熱発疹　⑭医学→伝染病　→発疹はっしん
三日の祝儀　⑤日史→産
三日はしか　⇨風疹
三ヶ日(町)みっかび　静岡　⑧日地 1081 A
三ヶ日人　⑱宇地→化石人類〔日本〕
三日夜餅の儀　⑬生活→結婚〔歴史〕
御調(町)みつぎ　広島　⑧日地 1081 A
ミツキェビッチ, A〈ミツキュービチ, A〉　ポーランド[1798/1855]　ロマン派最大の詩人。イタリア独立運動のため「ポーランド軍団」を組織　①文学 625 B　⑨世史 620 C図
密儀宗教　④哲宗 564 C図
『ミッキー・マウス』　③音演→アニメーション映画〔アメリカ〕→ディズニー, W
密教　④哲宗 564 D　→真言宗〔歴史〕→仏教〔中国仏教〈独立〉〕〔囲用語〕　⑥日史 1092 C　→平安時代〔文化〈唐風文化〉〕　②美術→曼荼羅まんだら　→密教美術　⑤日史→弘仁・貞観文化こうにんじょうがん　⑨世史→仏教〔密教化〕
密教画　②美術→仏画
密教美術　②美術 577 A図
ミツギリゾウムシ〔三錐象虫〕　⑳動物 594 A
三机みつくえ　愛媛/瀬戸町　⑧日地 1081 A
ミックスデベロップメント　⑰科技→集合住宅〔住宅地計画〕
みつくち〔兎唇〕　⑭医学→奇形児
三つ組元素　⑮化学 613 B　→周期律表
三蔵みつくら　⑥日史 1092 D
ミツクリエナガチョウチンアンコウ　⑳動物→アンコウ図
箕作佳吉みつくりかきち　[1857/1909]　明治の動物学者。日本の発生学の草分けでカメやナマコの発生を研究　⑳動物 594 B　→オキナエビス　→動物学〔日本〕
箕作元八　[1862/1919]　明治・大正期の歴史家。東大教授として西洋史の講座を担当　⑥日史 1092 D
箕作阮甫げんぽ　[1799/1863]　江戸後期の医学者・洋学者。幕府天文方で蘭書・外交往復文書の翻訳に従事　⑥日史 1092 D図
ミツクリザメ〔箕作鮫〕〈テングザメ〉　⑳動物 594 B
箕作秋吉　[1895/1971]　作曲家。音響学的な数式による独得の東洋的和声体系をうちたてた　③音演 540 B
箕作省吾　[1821/1846]　江戸後期の世界地理学者。蘭語地理書を翻訳,体系的世界地誌『坤輿図識』を著す　⑱宇地 571 B
みつぐりの　①文学→短歌〔囲枕詞〕
箕作麟祥りんしょう　[1846/1897]　明治の洋学者・法学者。阮甫の孫。フランス民法典などヨーロッパの法律書を翻訳。明六社に参加　⑥日史 1093 A
見付みつけ　静岡/磐田市　⑧日地 1081 A
見附(市)　新潟　⑧日地 1081 A
見付島〈軍艦島〉　⑧日地→能登半島のと図
見附油田　⑧日地 1081 B　→見附(市)
蜜源植物　⑳動物→ミツバチ〔養蜂〕
三つ子　⑭医学→双生児
『密告』　③音演→映画〔トーキー〈第5期〉〕
三越(株)　⑫経産 558 D　→日比翁助　→百貨店〔世界〕図　⑤日史→越後屋えちご
三津五郎　⇨坂東三津五郎
光崎検校　[?/1853?]　③音演→地歌じうた〔歴史〕
三ツ沢公園　⑦日地→神奈川(区)
ミッシブルドライブ法　⑰科技→採油〔生産〈二次回収法〉〕
満島みつしま　⑦日地→唐津湾からつ　⑧日地→松浦川
美津島(町)　長崎/対馬　⑧日地 1081 B
三辻山　⑦日地→雪彦山せっぴこさん
密宗　⇨真言宗
ミッシュメタル〈混合希土〉　⑰科技→希土類元素
ミッション・スクール　⑥日史 1093 A　④哲宗→プロテスタント教会〔歴史〈アメリカ〉〕
ミッシングリンク　⑳動物 594 B
ミツスイ〔蜜吸〕　⑳動物 594 B図
三瀬(村)　佐賀　⑧日地 1081 B
光瀬竜　①文学→SF
蜜腺　⑲植物 609 A
密葬　⑬生活→葬式〔葬儀〕
蜜槽酵母　⑲植物→酵母菌類〔野生酵母菌類〕
三つ揃い　⑬生活→スーツ　→背広〔歴史〕
密陀画みつだ　②美術→油絵〔はじまり〕
ミッタク・レフレル, G　[1846/1927]　⑯物数→コバレフスカヤ, S
光田健輔みつだ　[1877/1964]　癩学者。癩の研究で光田反応を発見,「日本救癩の父」と称される。文化勲章受章　⑭医学 603 D　→癩らい
密陀僧〈リサージ〉　⑮化学 613 C　→酸化鉛　②美術→漆絵うるしえ　→絵具〔歴史〕
満谷国四郎みつたに　[1874/1936]　洋画家。太平洋画会を創立。装飾的な様式に進み,独自の平明な画境を築く　②美術 578 A
光田反応　⑭医学→癩らい〔診断と治療〕→光田健輔〈603 D〉
密庵みったん　②美術→茶室〔代表的な茶室〕
ミッチェナー, J　アメリカ[1907*]　小説家・教育学者。ミュージカル『南太平洋』の原作者。時事評論や日本版画の紹介もある　①文学 625 C
ミッチェル, M　アメリカ[1900/1949]　女流小説家。人間愛欲の一大絵巻『風と共に去りぬ』一作を残す　①文学 625 C図
ミッチェル, W　アメリカ[1874/1948]　制度学派の経済学者。景気変動の統計的・実証的研究を展開　⑫経産 559 A図　→制度学派
ミッチェル(山)　⑩世地→アパラチア(山脈)
ミッチェル山　⑱宇地→火星〔表面〕
ミッチェルリッヒ, E　ドイツ[1794/1863]　化学者。同形の化合物は同一の化学組成をもつという法則を発表　⑮化学 613 C　→ニトロベンゼン
ミッチェルリッヒの試験法　⑮化学 614 A
ミッチェルリヒ検糖計　⑮化学→検糖計
三土忠造　[1871/1948]　大正・昭和期の政治家。政友会に所属。文部・大蔵・通信大臣などを歴任　⑥日史 1093 B
密着位相　⑯物数→位相《トポロジー》〔例〕
密着式自動連結器　⑰科技→自動連結器
密着焼付用印画紙　⑰科技→フィルム〔印画紙〕
密着連結器　⑰科技→自動連結器図
『三つの愛』　①文学→クローニン, A
『三つのオレンジへの恋』　③音演→プロコフィエフ, S
『三つのピアノ小品』　③音演→シェーンベルク, A
三つのペルソナ〈三つの位格〉　④哲宗→三位一体さんみ
『三つの物語』　①文学→フロベール, G
ミツデウラボシ〔三手裏星〕　⑲植物 609 B　→シダ植物図
ミツデカエデ〔三手楓〕　⑲植物 609 B　→カエデ図
ミッテラン, F　フランス[1916]　⑪政社→フランス政治事情〔慎重な継承〕図
『ミッデルハルニスの並木道』　②美術→風景画図　→ホッベマ, M
ミッテルベルク銅山　⑰科技→鉱山〔歴史〕

ラン〉〕 →ペルシア陶器
皆彫骨扇 ②美術→扇図
南方熊楠 [1867/1941] 生物学者・民俗学者。粘菌類の分類と生物にまつわる諸行事や民間伝承の調査で知られる ⑥日史1094 C
水上(町) 群馬 ⑧日地1083 D
水上温泉 ⑧日地→水上(町)
水上温泉郷 群馬 ⑧日地1084 A
水上滝太郎 [1887/1940] 小説家。三田派の新人として登場。アメリカ遊学後,実業家としても活躍 作『大阪』 ①文学626 A図 →『三田文学』
水上勉 [1919] 小説家。社会派推理作家として登場。幼少時の体験や女性の哀れな宿命をえがいた叙情性の濃い作品を発表 作『雁の寺』 ①文学626 B →推理小説〔日本〕 →直木賞表
皆神山 長野 ⑧日地1084 A →長野(市)〔歴史〕
皆川淇園 [1734/1807] 江戸後期の漢学者。博学と経学文章をもって知られ,易学にも精通 ①文学626 B ④哲宗565 D →折衷学派
水口(町) 滋賀 ⑧日地1084 A
水口丘陵 滋賀 ⑧日地1084 B
水口神社 ⑧日地→水口(町)
水口まつり ⑦日地→滋賀(県)〔文化〕
『みなごろしの天使』 ③音演→ブニュエル,L
『皆殺し遊戯』 ③音演→フランス演劇図
ミナー・サバー王国 ⑩世地→アラビア(半島)〈歴史〉
『虚栗』 ①文学→宝井其角
水無神社〈飛驒一之宮水無神社〉 ④哲宗→神社〔表〈国幣小社〉〕 ⑧日地→宮(村)
ミナス ⑩世地618 C
皆瀬(村) 秋田 ⑧日地1084 B
皆瀬川 ⑦日地→小安峡 ⑧日地→皆瀬(村)
皆瀬川橋 ⑰科技→橋図
水無瀬三吟百韻 ①文学→連歌〔形態〕
水無瀬神宮 ⑥日史1094 C ④哲宗→神社〔表〈官幣大社〉〕 ⑦日地→島本(町)
皆瀬ダム ⑦日地→小安峡
水無瀬祭 ⑦日地→大阪(府)〔文化〈郷土芸能〉〕
ミナ族 ⑩世地→トーゴ(共和国)〔社会・文化〕
ミナーチ,V [1922] 小説家。農村の社会的変化をとりあげた一連の問題作がある ①文学626 B
水無月祓 ④哲宗→大祓 ⑥日史→禊祓
ミナティトラン ⑩世地→プエルトメヒコ
港(区) 東京 ⑧日地1084 B図
港(区) 名古屋市 ⑧日地1085 A
港(区) 大阪市 ⑧日地1085 B
港 ⑰科技629 B図 →埋立 ⑥日史→港町 ⑧日地→後背地〈1211 A〉 →港湾都市〈1211 B〉
『港』 ①文学→プール,E
港音頭〈酒田船方節〉 ③音演→民謡〔表〈山形〉〕
ミナトガイ ⇨バカガイ
港川 ⑦日地→具志頭(村)
湊川 神戸市 ⑧日地1085 C
港川人 ⑤日史→沖縄(県)〔先史時代〕
湊川神社 ④哲宗→神社〔表〈別格官幣社〉〕 ⑦日地→生田(区) →神戸(市)図
湊川の戦い ⑥日史1094 C図 ⑤日史→建武中興〔崩壊〕
湊港 ⑦日地→西淡(町)
湊甚句〈両津甚句〉 ③音演→民謡〔表〈新潟〉〕
『港のマリー』 ③音演→カルネ,M
港の見える丘公園 ⑧日地→横浜(市)〔観光・文化〕
『港の宿』 ③音演→ベッティ,U
港町 ⑥日史1094 D →町
『港町ブルース』 ③音演→歌謡曲表
みなと祭 ⑦日地→塩釜(市)図 ⑧日地→横浜(市)〔観光・文化〕
湊山公園 ⑧日地→米子(市)〔久米城跡〕
皆野(町) 埼玉 ⑧日地1085 D
男女ノ川登三 ⑬生活→相撲〔表横綱〕
みなのわた ①文学→短歌〔囲枕詞〕
ミナハサ(半島) ⑩世地618 C
ミナハサ族 ⑩世地→インドネシア(共和国)〔地方誌〈セレベス〉〕 →セレベス(島)
南部(町) 和歌山 ⑧日地1085 D
南部川(村) 和歌山 ⑧日地1085 D
水俣(市) 熊本 ⑧日地1085 D ⑫経産→チッソ(株) ⑭医学→水俣病
『水俣』 ③音演→記録映画
水俣病 ⑭医学567 A図 →公害病〔表四大公害病〕 ⑦日地 →阿賀野川 ⑧日地→水俣(市) ⑪政社→公害〔公害事件〕 ⑫経産→化学工業〔公害〕 →公害〔基本対策〕図 →チッソ(株) ⑮化学→水銀〔水銀中毒〕
ミナミ 大阪市/南区 ⑧日地1086 A →道頓堀 →難波 ⑦日地→大阪(市)〔産業〈商業〉〕図 →千日前
南(区) 札幌市 ⑧日地1086 A
南(区) 横浜市 ⑧日地1086 B
南(区) 名古屋市 ⑧日地1086 B
南(区) 京都市 ⑧日地1086 B
南(区) 大阪市 ⑧日地1086 C
南(区) ⑧日地→広島(市)
南(区) 福岡市 ⑧日地1086 C
南 ⑱宇地571 B
美並(村) 岐阜 ⑧日地1086 D
南相木(村) 長野 ⑧日地1086 D
ミナミアオカメムシ ⑳動物→アオクサカメムシ
ミナミアカザエビ ⑳動物→アカザエビ
ミナミアシカ ⑳動物→アシカ
南足柄(市) 神奈川 ⑧日地1086 D
南熱海温泉 ⑦日地→熱海(市)
南アフリカ(共和国) ⑩世地618 C図 →ナミビア ⑪政社→アパルトヘイト →人種問題〔現代〕 ⑫経産→アフリカ経済事情図 ⑱宇地→金〔金鉱石〕
南アフリカ博物館 ⑰科技679 C
南アフリカ文学 ①文学→アフリカ文学
南アフリカ連邦〈南阿連邦〉 ⑨世史→イギリス自治領 →ブール戦争 ⑩世地→南アフリカ(共和国)〔略史〕
南アメリカ ⑨世史→ラテン・アメリカ ⑪政社→ラテンアメリカ政治事情 ⑫経産→ラテンアメリカ経済事情
南アメリカ大陸 ⑧日地→新大陸〈1217 D〉 ⑩世地→アメリカ(州)
南アメリカ肺魚 ⑳動物→ハイギョ
南アラビア連邦 ⑩世地→アデン →イエメン(民主人民共和国)〔略史〕
南有馬(町) 長崎 ⑧日地1087 A
南アルプス 山梨・長野・静岡 ⑧日地1087 A →日本アルプス図 ⑦日地→赤石山脈
南アルプス国立公園 山梨・長野・静岡 ⑧日地1087 B図 →日本アルプス
南アルプス巨摩県立自然公園 ⑦日地→甘利山
南阿波サンライン ⑧日地→日和佐(町)
南イエメン ⇨イエメン(民主人民共和国)
南硫黄島 ⑦日地→硫黄列島
南伊豆(町) 静岡 ⑧日地1087 C
南一郎平 [1836/1919] ⑥日史→豊前国〔囲人国記〕
南王寺 ⑦日地→王寺(町)
南小国(町) 熊本 ⑧日地1087 C
南オセティア(自治州) ⑩世地→グルジャ(共和国)
ミナミオットセイ ⑳動物→アシカ →オットセイ
ミナミオポッサム ⑳動物→オポッサム
南回帰線 ⑱宇地→回帰線
『南回帰線』 ①文学→ミラー,H
南方 ⑧日地→徳島(県)〔歴史〕
南方(町) 宮城 ⑧日地1087 D
南方古墳 ⑧日地→延岡(市) →宮崎(県)〔文化〕
南茅部(町) 北海道/渡島支庁 ⑧日地1087 D
南樺太 ⑪政社→日露戦争〔展開と講和〕 →北方領土
南軽井沢 ⑦日地→軽井沢(町)〔沿革〕
南カルパート(山脈) ⇨トランシルバニア(山脈)
ミナミカワゲラ亜目 ⑳動物→カワゲラ
南川潤 [1913/1955] 小説家。『三田文学』『人民文庫』の同人として活躍 ①文学626 C
南河内(町) 栃木 ⑧日地1088 A
南河原(村) 埼玉 ⑧日地1088 A
南関東工業地帯 ⑦日地→京浜工業地帯〔歴史〕
南久宝寺(町) ⑦日地→船場
南串山(町) 長崎 ⑧日地1088 A
ミナミクロダイ ⑳動物→タイ〔生態〕
『南小泉村』 ①文学→農民文学 →真山青果
ミナミコメツキガニ〔南米搗蟹〕 ⑳動物597 C →カニ〔生態〕図
南蔵王 宮城・山形 ⑧日地1088 A
南沢疏水道 ⑰科技→鉱山〔測量〕
南サンドイッチ(海溝) ⑱宇地→海底図
南三陸金華山国定公園 ⑧日地→宮城(県)〔観光〕
南シナ海 ⇨南中国海
南信濃(村) 長野 ⑧日地1088 A
南士別 ⑦日地→士別(市)
みなみじゅうじ座〔南十字座〕 ⑱宇地571 B →星座〔四季〈南天〉〕表 →南十字星
南十字星 ⑱宇地571 B図 →星座〔四季〈南天〉〕
南次郎 [1874/1955] 陸軍軍人。関東軍司令官・朝鮮総督などを歴任。A級戦犯 ⑥日史1095 A →大日本政治会 →朝鮮〔植民地支配〕 ⑪政社→極東国際軍事裁判〔表被告人〕
南助松 ⑤日史→足尾銅山争議 ⑥日史→大日本労働至誠会
南スーダン臨時政府 ⑩世地→スーダン(民主共和国)〔略史〕
ミナミスナガニ ⑳動物→スナガニ
南スポラデス(諸島) ⑩世地→ドデカノソス(諸島)
南スラブ族 ⑨世史→東欧史〔歴史〈諸民族の定住〉〕
南赤道海流 ⑩世地→太平洋〔自然〕
南千住 東京/荒川区 ⑧日地1088 B ⑦日地→千住
ミナミゾウアザラシ ⑳動物→アザラシ〔種類〕図
南大東(村) 沖縄/南大東島 ⑧日地1088 B →南大東島
南大東島 沖縄 ⑧日地1088 B →南大東(村) ⑱宇地→サンゴ礁〔隆起サンゴ礁〕
『南太平洋』 ③音演→ロジャース,R
『南太平洋物語』 ①文学→ミッチェナー,J
南岳 ⑦日地→桜島《鹿児島》図
南種子(町) 鹿児島/種子島 ⑧日地1088 C
南多摩郡 ⑦日地→三多摩
南知多(町) 愛知 ⑧日地1088C図 →日間賀島 ⑦日地→篠島
南中国海 ⑩世地621 A →太平洋〔資源と産業〕
南朝鮮 ⇨大韓民国
南ドイツ都市同盟 ⑨世史→ライン都市同盟
ミナミトミヨ ⑳動物→トゲウオ〔種類〕
南鳥島 東京/小笠原村 ⑧日地1088 C
南那須(町) 栃木 ⑧日地1088 D
みなみのうお座 ⑱宇地→星座〔四季〈秋〉〕図表 →ホーマルハウト
みなみのかんむり座 ⑱宇地→星座表
みなみのさんかく座 ⑱宇地→星座表
南半球 ⑧日地1234 D ⑱宇地571 C →赤道
南比企窯址群 ⑥日史1095 A図
南深志 ⑧日地→松本(市)〔歴史〕
南淵請安 [*.] 飛鳥時代の学問僧。隋・唐に留学32年。中大兄皇子と中臣鎌足らに教授 ⑥日史1095 A →儒学〔伝来〕
南富良野(町) 北海道/上川支庁 ⑧日地1088 D
南ベトナム ⇨ベトナム(共和国)
南ベトナム解放民族戦線 ⑪政社551 D図 →インドシナ戦争〔第1次〕 →ゲリラ ⑨世史→ベトナム戦争〔経過〕
南ベトナム共和国臨時革命政府 ⑨世史→ベトナム戦争〔経過〕 ⑪政社→インドシナ戦争〔第2次〈パリ会談〉〕 →南ベトナム解放民族戦線
南房総国定公園 千葉 ⑧日地1088 D図
南穂高 ⑧日地→豊科(町)
南法華寺〈壺坂寺〉 ④哲宗→西国三十三所表
南ホーラント(州) ⑩世地→オランダ(王国)〔地方誌〕
南幌(町) ⇨南幌(町)
南牧(村) 長野 ⑧日地1089 A
ミナミマグロ ⑳動物→マグロ〔分布〕図
南町奉行所 ⑥日史→町奉行〔所在地〕
南マルク共和国反乱 ⑪政社→インドネシア独立運動
南満州鉄道〈満鉄〉 ⑥日史1095 B →鞍山製鉄所 →北支那開発会社 →大正時代〔経済〕 →東清鉄道 →日露戦争〔影響〕 ⑨世史620 D ⑫経産560 C図 →拓殖会社 ⑤日史→国策会社
南御堂〈難波別院〉 ⑦日地→大阪(市)
南箕輪(村) 長野 ⑧日地1089 A
南村梅軒 [*.] 戦国時代の儒学者。南学派の祖。土佐に招かれ,朱子学を講じる ⑥日史1095 C ④哲宗→南学
南モロッコ保護領 ⑩世地→スペイン領サハラ
南ヤクート原料炭開発 ⑩世地→ソビエト(連邦)〔日本との関係〕
南八ヶ岳 ⑧日地→八ヶ岳
南山城(村) 京都 ⑧日地1089 B
南横浜火力発電所 ⑫経産→東京電力(株)
南ヨーロッパ ⑩世地621 A →ヨーロッパ
南ローデシア ⇨ローデシア
源氏 ⇨源氏
源顕兼 ①文学→『古事談』
源有仁 [1103/1147] 平安後期の衣裳制度改革者。鳥羽天皇とともに衣裳制度に種々新案を創出

ミャオリー〈苗栗〉 中国/台湾省 ⑩世地 621 C
廟列島 ⇨ミヤオタオ(群島)
三谷温泉 ⑦日地→蒲郡(市)
宮ヶ瀬ダム ⑧日地→中津川
宮川 岐阜 ⑧日地 1094 C →高山(市)図 →高山盆地
宮川 三重 ⑧日地 1094 C ⑦日地→大杉谷
宮川(村) 岐阜 ⑧日地 1094 D
宮川(村) 三重 ⑧日地 1094 D
『宮川歌合』 ①文学→西行
宮川小体 ⑭医学→性病〔第四性病〕
宮川ダム ⑧日地→宮川《三重》 →宮川(村)《三重》
宮川長亀 ②美術→浮世絵〔展開と作者〕
宮川長春 ［1682-1752］ 江戸中期の浮世絵師。版画作品を残さず,肉筆美人画をもっぱら描いた ②美術 578 D図 →浮世絵〔展開と作者〕別
宮川米次 ⑭医学→寄生虫〔日本住血吸虫病の研究史〕 →性病〔第四性病〕
宮城(県) ⑧日地 1094 D図表 ⑤日史→磐城国 ⑥日史→陸奥国 →陸前国
宮城(町) 宮城 ⑧日地 1099 A
宮城(村) 群馬 ⑧日地 1099 B
宮木喜久雄 ①文学→『驢馬』
宮城長順 ⑬生活→空手〔歴史〕
宮城島 ⑦日地→金武湾
『宮城野信夫』 ⇨『碁太平記白石噺』
ミヤギノハギ〔宮城野萩〕 ⑲植物 611 B →ハギ図
宮城野原 宮城 ⑧日地 1099 B
宮城道雄 ［1894-1956］ 盲目の箏曲演奏家・作曲家。新日本音楽の名のもとに活躍。楽器の発明・改良にも力を入れる ③音演 540 D図 →日本音楽〔あゆみ〈近代〉〕
宮城山福松 ⑬生活→相撲〔表横綱〕
脈圧 ⑭医学→血圧〔血圧測定〈直接法〉〕
脈管 ⑭医学→人体〔別循環系〕
脈管系 ⇨循環系
脈翅目 ⑳動物→昆虫〔分類〕〔表現生昆虫の種類〕
脈状泉〈裂罅泉〉 ⑱宇地→温泉〔分類〕
脈診 ⑭医学→漢方医学〔診察〕 →脈拍図
脈石 ⑱宇地 571 C
脈石鉱物 ⑱宇地→鉱床 →鉱石 →脈石
みゃく釣り ⑬生活→釣り〔囲用語〕 ⑳動物→タナゴ〔釣り〕
脈動 ⑱宇地→地震〔地震動〕
脈動変光星 ⑱宇地→恒星〔進化〕図 →変光星図
脈なし病 ⑭医学→血管〔大動脈炎症候群〕 →脈拍
脈拍 ⑭医学 572 A図 →家庭看護 →動悸
脈拍頻数〈頻脈〉 ⑭医学→脈拍
宮窪(町) 愛媛 ⑧日地 1099 B
ミヤグモ ⑳動物→クモ図
脈絡膜〈眼球血管膜〉 ⑭医学→角膜 →目〔構造〕図
脈絡膜炎 ⑭医学→目
脈流 ⑯物数→電流
三宅(町) 奈良 1974年町制 ⑧日地 1099 C
三宅(村) 東京/伊豆諸島 ⑧日地 1099 C →三宅島
三宅(支庁) 東京 ⑧日地 1099 B
屯倉 ⑥日史 1102 A →田部 ⑤日史→飛鳥時代〔政治・外交〈6世紀〉〕 →稲作 →皇室領 →国司 →古代社会〔部民制〕
宮家 ⑩政社→皇室〔皇族〕
三宅花圃 ［1868-1943］ 小説家。雪嶺の妻。短編が多く,評伝・歌文集がある ①文学 628 A ⑥日史 1102 A
三宅観瀾 ［1674-1718］ 江戸中期の儒者。水戸藩に招聘。のち新井白石の推挙で幕府儒官 ⑥日史 1102 A ⑤日史→儒学〔朱子学〕
三宅克己 ［1874-1954］ 洋画家。早くから水彩画に専念し,先駆者の一人となる ②美術579A →水彩画
三宅坂 東京/千代田区 ⑧日地 1099 C →千代田(区) ⑱宇地→水準測量〔基準面〕
三宅島 東京/伊豆諸島 ⑧日地 1099 C図 →三宅(村) ⑱宇地→火山〔噴火形式〕〔表活火山〕
三宅島空港 ⑧日地→三宅(村)《東京》
三宅尚斎 ［1662-1741］ 江戸中期の儒者。山崎闇斎に入門。崎門三傑の一人に数えられる ⑥日史 1102 B ⑤日史→儒学〔朱子学〕
三宅嘯山 ［1718-1801］ 江戸中期の俳人・漢詩人。中国白書をよくし,訳書や読本の著がある ①文学 628 A
三宅石庵 ［1665-1730］ 江戸中期の儒者。観瀾の兄。『中庸』解釈に独自の説を出す ⑥日史 1102 B ④哲宗→懐徳堂
三宅雪嶺 ［1860-1945］ 思想家・評論家。政教社を結成。民族的個性の尊重を唱道。文化勲章受章 ①文学 628 B ⑥日史 1102 B図 →政教社 →日本主義 ⑤日史→江湖新聞〔2〕
三宅速 ［1867-1945］ ⑤日史→阿波国〔囲人国記〕
三宅恒方 ⑳動物→昆虫学〔歴史〕
三宅藤九郎家 ③音演→狂言〔歴史〕
みやげ品 ⑫経産→レジャー産業 ⑬生活→旅行
三宅やす子 ［1890-1932］ 大正・昭和初期の小説家・評論家。雑誌『ウーマン・カレント』を主宰 ⑥日史 1102 C
三宅義信 ⑬生活→重量挙げ〔歴史〕
三宅米吉 ［1860-1929］ 明治・大正期の考古学者・教育学者。考古学会を創設主宰 ⑥日史 1102 C ⑤日史→金印
宮古(市) 岩手 ⑧日地 1099 D図
ミヤコアザミ〔都薊〕 ⑲植物 611 B →アザミ →トウヒレン図
ミヤコウミウシ ⑳動物→ウミウシ図
都をどり ⑤日史→祇園 ⑦日地→祇園《京都》 →京都(市)〔別年中行事〕
ミヤコグサ〔都草〕 ⑲植物 611 B図 →マメ科図
宮古港 ⑦日地→岩手(県)〔交通〕 ⑧日地→宮古湾
都腰巻 ⑬生活→下着〔日本〕
ミヤコザサ〔都笹〕 ⑲植物 611 B →タケ〔分類〕図
都路(村) 福島 ⑧日地 1100 B
宮古路加賀太夫 ［1686-1757］ ③音演→新内節
宮古路蘭八(初世) ③音演→宮薗節
宮古路豊後掾 ［1660-1740］ ③音演→豊後節 ⑤日史→浄瑠璃
都島(区) 大阪市 ⑧日地 1100 B
宮古島 沖縄 ⑧日地 1100 B図 →平良(市) ⑱宇地→風〔風速の極値〕 →気圧〔極値〕
ミヤコショウビン〔宮古翡翠〕 ⑳動物 600 A
宮古上布 ⑧日地→宮古島図
宮古諸島 ⇨宮古列島
ミヤコタナゴ ⑳動物→タナゴ
都太夫一中(初世) ［1650-1724］ ③音演→一中節
ミヤコドリ〔都鳥〕 ⑳動物 600 A図 →国鳥表
都鳥 ⑲植物→ツバキ別
都城(市) 宮崎 ⑧日地 1100 C図
都城盆地 宮崎 ⑧日地 1100 C図
都の錦 ［1675-*］ 江戸中期の浮世草子作者。京都で修学中に遊興にふけり,勘当され浮世草子を執筆 作『元禄大平記』 ①文学 628 B →浮世草子〔第2期〕
都良香 ［834*-879*］ 平安前期の漢学者・漢詩人。『文徳実録』の編集にあたる 作『都氏文集』 ①文学 628 B ④哲宗 566 B ⑥日史 1102 C
都節 ③音演→陰旋法・陽旋法
『都名所図会』 ⑥日史→名所図会
宮古列島 沖縄 ⑧日地 1100 D
ミヤコワスレ〔都忘〕 ⑲植物 611 C図 →アスター →園芸〔図フラワーカレンダー〈1〉〕
宮古湾 ⑧日地 1101 A
宮座 ⑥日史 1102 C ⑤日史→乙名 ⑦日地→近畿地方〔民俗〕
宮坂英式 ⑥日史→尖石遺跡
宮盛 ⑦日地→蒲刈(町)
宮崎(県) ⑧日地 1101 A図表 ⑥日史→日向国
宮崎(市) 宮崎 ⑧日地 1104 C図
宮崎(町) 宮城 ⑧日地 1105 C
宮崎(村) 福井 ⑧日地 1105 C
宮崎市定 ⑫経産→荘園《中国》〈285 A〉
宮崎寒雉 ［1631-1712］ ⑥日史→能登国〔囲人国記〕
宮崎空港 ⑧日地→宮崎(県)〔交通〕
宮崎県総合博物館 ②美術 682 C
宮崎湖処子 ［1864-1922］ 詩人・小説家。牧師となる。硯友社の遊蕩性を批判 ①文学 628 C
宮崎三昧 ①文学→新聞小説
宮崎車之助 ⑤日史→秋月の乱
宮崎城跡 ⑦日地→朝日(町)《富山》
宮崎神宮 ④哲宗→神社〔表〈官幣大社〉〕 ⑧日地→宮崎(市)図
宮崎民蔵 ⑥日史→土地復権同志会
宮崎滔天 ［1871-1922］ 中国革命の援助者。日本亡命中の孫文と知り合い,終生の協力者となる ⑥日史 1102 D ⑪政社 553 B図 ⑨世史→孫文 →中国革命同盟会
宮崎八郎 ［1851-1877］ ⑥日史→肥後国〔囲人国記〕
宮崎平野 宮崎 ⑧日地 1105 C
宮崎峰太郎 ⑰科技→自動車〔歴史〈日本〉〕
宮崎夢柳 ⑤日史→絵入自由新聞
宮崎安貞 ［1623-1697］ 江戸中期の農学者。『農業全書』は明治以前の最高の農書といわれる ⑥日史 1102 D →『農業全書』
宮崎友禅〈宮崎友禅斎〉 ［*-*］ 江戸前期の京都の染工とも絵師ともいわれ,友禅染の創始者とされる ⑥日史 1103 A ②美術→友禅
ミヤサマカエデ ⑲植物→カエデ
宮沢温泉 ⑧日地→鳴子(町)
宮沢賢治 ［1896-1933］ 詩人・児童文学者。農学者としての知識と法華経思想の上に立ち,清新な詩や童話を創造 作『春と修羅』 ①文学 628 C図 ⑥日史 1103 A
宮沢湖 埼玉 ⑧日地 1105 D
『宮さん宮さん』 ③音演→軍歌
宮地嘉六 ［1884-1958］ 小説家。ストライキ事件のため投獄され失職。労働者文学の代表的存在 ①文学 629 C
宮地芝居 ⇨小芝居
ミヤシゲ ⑲植物→ダイコン図
宮地嶽神社 ⑧日地→津屋崎(町)図
宮下太吉 ⑥日史→大逆事件
宮地直一 ［1886-1949］ 神道学者。神社の歴史学的研究を行い,神社史研究のモデルを提起 ④哲宗 566 B
宮地仲枝 ⑥日史→土佐国〔囲人国記〕
宮島 ⇨厳島
宮島(町) 広島 ⑧日地 1105 D図
宮島峡 ⑦日地→小矢部(市)
宮島水族館 ⑳動物→水族館〔表日本〕
宮嶋資夫 ［1886-1951］ 小説家。サンジカリズム研究会に参加,アナーキストとなり,のち仏門に入る ①文学 629 C
ミヤジマトンボ ⑳動物→シオカラトンボ
宮柊二 ［1912］ 歌人。「生の証明」を目ざす歌誌『コスモス』を創刊 ①文学 629 C →短歌〔第二次大戦後〕
宮代(町) 埼玉 ⑧日地 1106 C
ミャスコフスキー,N ソ連［1881-1950］ 作曲家。交響曲で名をはせた。モスクワ音楽院の作曲科教授として活動 ③音演 541 A
宮簀媛命〔美夜受比売命〕 ⑤日史→熱田神宮 ⑥日史→日本武尊
宮薗千之(初世) ［*-1834］ ③音演→宮薗節
宮薗節〈薗八節〉 ③音演 541 B図
宮薗鸞鳳軒(初世) ［*-1785］ ③音演→宮薗節
宮田 ⑦日地→倉岳(町)
宮田(町) 福岡 ⑧日地 1106 C
宮田(村) 長野 ⑧日地 1106 C
宮滝 ⑧日地→吉野 →吉野(町)《奈良》
宮滝遺跡 ⑥日史 1103 A ⑧日地→吉野(町)《奈良》
宮武外骨 ⑤日史→大阪平民新聞
宮田聡 ⑰科技→アルマイト
宮田線 ⑧日地→筑豊本線
宮津(市) 京都 ⑧日地 1106 D図
宮塚山 ⑧日地→利島 →新島本(村)
身八つ口 ⑬生活→和裁〔囲知識〕
造 ⑤日史→姓 →氏姓制度〔大和国家〕
宮津線 ⑦日地→山陰本線
宮津藩 ⑥日史→丹後国
宮津節 ③音演→民謡〔表〈京都〉〕
宮妻峡 三重 ⑧日地 1107 A
宮津湾 ⑧日地 1107 A →若狭湾
宮峠 岐阜 ⑧日地 1107 A
宮戸島 宮城 ⑧日地 1107 B ⑦日地→嵯峨渓
宮戸島里浜貝塚 ⑥日史 1103 B
宮戸島室浜貝塚 ⑥日史 1103 B
宮戸八幡 ⑦日地→上関(町)
宮仲間 ⇨宮座
宮之浦 ⑦日地→上屋久(町)
宮之浦岳 鹿児島/屋久島 ⑧日地 1107 B →屋久島
宮乃鉱泉 ⑦日地→甲南(町)
宮の下温泉 ⑧日地→箱根
宮之城(町) 鹿児島 ⑧日地 1107 B
宮之城温泉 ⑧日地→宮之城(町)
宮之城線 ⑦日地→鹿児島本線
宮原線 ⑦日地→久大本線
宮咩祭 ②美術→人形〔日本〕
宮原(町) 熊本 ⑧日地 1107 C
宮原昭夫 ①文学→芥川賞表
宮原二郎 ⑰科技→技術〔日本〕
雅びの宴 ②美術→ワトー,A
ミヤベイワナ ⑳動物→オショロコマ
宮部金吾 ［1860-1951］ 植物学者。千島・樺太・北海道の

③音演→フランス演劇〔中世〈宗教劇〉〕
三良坂(町) 広島 ⑧日地 1110 B
『ミーラー賛歌集』 ①文学→ミーラー・バーイー
ミラー図法 ⑧日地 1235 A
ミーラト ⇨メールト
ミラノ ⑩世地 622 C図 ⑫経産→金融市場〔囲金融センター〈ヨーロッパ〉〕
ミラーの記号 ⑱宇地→ミラー,W《鉱物学》
ミラノ公国 ⑨世史 621 D
ミラノ大聖堂 ②美術 581 A図 ④哲宗 568 B ⑩世地→ミラノ図
ミラノ勅令 ⑨世史 621 D →コンスタンティヌス(大帝) →ローマ〔帝政期〈再建〉〕 ④哲宗→キリスト教〔教会とローマ帝国〕 →宗教会議〈252 B〉
ミラノの五日間の戦い ⑨世史→カッタネオ,C
『ミラノの奇蹟』 ③音演→デ・シーカ,V
ミラノ派 ②美術 581 B
ミラノフ,Z [1906] ソプラノ歌手。イタリア・オペラを得意とする世界的プリマドンナの一人 ③音演 544 C
ミーラー・バーイー [1498?–1563?] 女流詩人。メーワールの王妃。夫に死別。クリシュナ信仰のため家を出て遊行 ①文学 633 C
ミラフロレス閘門 ⑩世地→パナマ(運河)
ミラベル庭園 ⑩世地→ザルツブルク図
ミラボー [1749–1791] 政治家。大革命初期ラ・ファイエットと並んで人気を集めたが,宮廷にも接近 ⑨世史 622 A図 →国民議会
ミラボー [1715–1789] 重農主義経済学者。ケネーの理論に賛同し,学説の解説と普及に尽力 ⑫経産 561 D ⑪政社→重農主義〔影響〕
ミラルデ,P ⑮化学→農薬〔分類〈殺菌剤〉〕 →ボルドー液
ミラン,D [1500?–1561?] ③音演→音楽〔西洋音楽〈ルネサンス音楽〉〕
ミラン ⇨ミラノ
ミーラーン遺跡 ⑩世地→ソビエト(連邦)〔囲西域の遺跡〕
ミランコビッチ,M ⑱宇地→氷河時代
ミーラーン寺院址群 ②美術→中央アジアの美術
ミランダ,F [1485?–1558?] 詩人。スペインとイタリアに遊学。ルネサンスの先覚者として活躍 ①文学 633 C
ミランダ ⑪政社 554 C →政治権力〔権力的手段〕
ミランダ ⑱宇地→衛星〔表〈天王星〉〕
ミリオケファルムの敗戦 ⑨世史→コムネノス朝
ミリカン,R [1868–1953] 物理学者。油滴実験法で電子の荷電の絶対量を測定。ノーベル賞受賞 ⑯物数 549 C図 →電子〔発見の歴史〕 →ミリカンの油滴実験
ミリカンの油滴実験 ⑯物数 550 A図
ミリグラム〔mg〕 ⑯物数→質量〔単位〕
ミリスチルアルコール ⑮化学→アルコール
ミリセチン ⑮化学→色素〔植物色素〕
ミリタリズム ⇨軍国主義
『ミリーチェ』 ①文学→パスコリ,G
ミリ波通信 ⑰科技 631 B
ミリバール〔mb, mbar〕 ⑱宇地 572 A →気圧〔単位〕
ミリビリス,S [1892–1969] 小説家。バルカン戦争で軍務につき,体験による反戦文学がある ①文学 633 C
ミリューコフ,P [1859–1943] 歴史家・政治家。自由主義の闘将として帝政に反対,革命後はパリで反ソ宣伝 ⑨世史 622 A →カデット
ミリランベルト〔mL〕 ⑯物数→輝度
みりん〔味醂〕 ⑬生活 578 A →酒〔分類〕 ⑮化学→醸造〔酒類〕
ミーリング盤〈フライス盤〉 ⑰科技→工作機械
ミリンダ〈メナンドロス〉 ④哲宗→『ミリンダ王の問い』 ⑨世史→バクトリア
『ミリンダ王の問い』〈弥蘭陀王問経〉 ④哲宗 568 C ⑨世史→バクトリア
みりん干し ⑬生活→乾物〔種類・方法〕 →みりん
ミル,J [1773–1836] 古典派経済学者・政治学者。ベンサムと知り合い,功利主義の普及に一役を演じた ⑨世史 622 B ⑫経産 561 D図 →功利主義〔修正〕 ⑪政社→功利主義図
ミル,J.S [1806–1873] 経済学者・哲学者。J.ミルの子。功利主義・経験論を発展させ,当時の社会に大きな影響を与える ④哲宗 568 C →イギリス哲学〔近代〈19 世紀〉〕 →経験論 →功利主義〈2〉 ⑨世史 622 B図 ⑫経産 562 A図 →経済学方法論Ⅱ〈仮説・演繹的方法〉 →古典学派 ⑪政社→言論の自由 →功利主義
ミル,P [1864–1941] 小説家。異国趣味の作品が多い。植民地生まれの人間の典型としてバルナボーなる人物を設定 ①文学 633 D
ミル〔水松,海松〕 ⑲植物 613 C図 →海藻〔別緑藻植物〕
ミル ⑬生活→コーヒー〔処理〈粉砕〉〕図
ミール〈農村共同体〉 ⑨世史 622 C →コメコン ⑫経産 562 B ④哲宗→ゲルツェン,A ⑪政社→ロシア革命〔前提〕
ミール・アーリム ⑨世史→ブハラ・ハン国
ミール・イスクストワ ②美術→移動派
ミルウォーキー ⑩世地 623 A
ミルウォーキー(海淵) ⑩世地→大西洋〔自然〕 ⑱宇地→海底図 →大西洋
ミルガイ〔海松貝〕〈ミルクイ〉 ⑳動物 600 C図
ミール・カーシム ⑨世史→ブクサールの戦い
ミルク ⇨牛乳
『ミルクウッドの下に』 ③音演→ラジオ・プレイ〔歴史〕
ミルクセーキ ⑬生活→ソフトドリンクス図
ミルク・ティ ⑬生活→紅茶〔メニュー〕
ミルコンド ⑨世史→ティムール帝国
ミール・ジャーファル ⑨世史→プラッシーの戦い
ミルズ,C [1916–1962] 社会学者。大衆社会化したアメリカ社会の病根を鋭く分析 ⑪政社 554 C図
ミルスキー,D [1890–1939?] 文学史家。公爵。英仏両国で文学研究・文学批評の仕事に携わる ①文学 633 D
ミルセン ⑮化学→アルケン →テルペン〔モノテルペン系化合物〈鎖状〉〕
ミルティアデス [前550?–489?] アテネの将軍。キモンの子。マラトンの戦いで名声をあげ,パロス遠征に失敗 ⑨世史 622 C →キモン →ペルシア戦争〔ダリウスの遠征〕
『ミルテの花』 ③音演→シューマン,R〔作品〕
美流渡炭鉱 ⑦日地→栗沢(町)
ミルトン,J [1608–1674] 詩人。シェークスピアとともに英文学を代表。清教徒革命を支持,多くの評論を書いた思想家でもある 作『失楽園』 ①文学 633 D図 →イギリス文学〔17 世紀〕 ⑨世史 622 C ④哲宗→ピューリタン ⑪政社→言論の自由
ミルナー,J [1931] ⑯物数→多面体〔複体〈共通細分の存在定理〉〕 →多様体〔歴史〈ポアンカレの予想〉〕
ミルの法則 ⇨セーの法則
ミルバ ③音演→カンツォーネ
ミルフィーユ ⑬生活→パイ図
ミルフォードサウンド ⑩世地 623 B →ニュージーランド図
ミルフォードヘイブン ⑩世地 623 B
ミルボー,O [1850–1917] 小説家・劇作家。ジャーナリストとして活躍,『フィガロ』紙の編集に携わる 作『小間使の日記』 ①文学 634 C図
ミルマツナ ⑲植物→マツナ
『ミルラ』 ③音演→アルフィエーリ,V
ミルラン,A [1859–1943] 政治家。第三共和制第 11 代目大統領として強い行政力を発揮,左翼進出で辞任 ⑨世史 622 D ⑪政社 554 D
ミールワーム ⑳動物→ゴミムシダマシ
ミルン,A [1882–1956] 作家。劇・童話・推理小説の三方面に足跡を残した ①文学 634 D →エッセイ →推理小説〔外国〕
ミルン,E [1896–1950] 天文学者。恒星内部構造論などを手がけ,宇宙論では独自の解釈を提唱 ⑱宇地 572 B
ミルン,J [1850–1913] 地震学者。明治 9 年来日。日本地震学会を創立し,わが国地震学の発展に尽力 ⑱宇地 572 B図 ⑤日史→御雇外人教師表 ⑥日史→手宮洞窟遺跡 ⑰科技→技術〔日本〕
ミルンヤンマ ⑳動物→ヤンマ
ミレー,E [1892–1950] 女流詩人。ソネットに優れた ①文学 634 D
ミレー,J.E ②美術→イギリス美術図
ミレー,J.F [1814–1875] 画家。バルビゾン派の代表的存在で,農民生活を描いて知られる ②美術 581 C図 →バルビゾン派 →風景画
『ミレイユ』 ①文学→ミストラル,F
ミレス,C [1875] 彫刻家。建築や庭園と結びついた幻想的作品をつくる。アメリカ市民権を得る ②美術 581 C →北欧美術〔絵画と彫刻〕図
ミーレス ⑨世史→騎士
ミレスク,N [1636–1708] 文人・政治家。ロシアの使節として清の康熙帝のもとへ派遣され,克明な記録を残した ①文学 635 A
ミレス彫刻公園 ⑩世地→スウェーデン(王国)図
ミレッカー,K [1842–1899] ③音演→オペラ〔種類と国民的様式〈オペレッタ〉〕
ミレトス ⑨世史 622 D →イオニア学派 ⑰科技→都市計画〔地区・都市設計の歴史〈古代〉〕図
ミレトス学派 ④哲宗→イオニア学派 →ギリシア哲学〔前古典期〕 →タレス
『ミレトスの陥落』 ③音演→ギリシア演劇〔悲劇〕
ミレニアム〈千年至福説〉 ④哲宗 569 A →終末論〔新約〕 →メシア ⑪政社→ユートピア思想
ミロ,G [1879–1930] 小説家。役人などを勤めながら創作。的確な文体で情景描写などに卓越 ①文学 635 A
ミロ,J [1893] 画家。幻覚的・自動描法的絵画からオブジェやコラージュの技法を試みるなど意欲的に活躍 ②美術 582 A図 →シュルレアリスム図
ミロ,M ③音演→東欧演劇〔ルーマニア〕
ミロ(島) ⇨ミロス(島)
弥勒〈マイトレーヤ〉 [270?–350?] 中期大乗仏教の学者。伝記は不明だがヨーガ行派の開祖とされる ④哲宗 569 B ⑨世史→仏教〔大乗仏教〕
弥勒山 ④哲宗→霊友会図
弥勒寺址《岐阜》 ⑥日史 1105 D
弥勒寺址《大分》 ⑥日史 1105 D
弥勒信仰 ⑥日史 1105 D ④哲宗→ミイラ〔ミイラ化信仰〕
弥勒仏下生の説 ⑨世史→紅巾の乱
弥勒菩薩 ④哲宗 569 B →仏像〔表種類〈如来部〉〕 →弥勒 ②美術→仏像別 ⑥日史→弥勒信仰
弥勒菩薩半跏思惟像 ②美術→飛鳥美術〔彫刻〈止利様式以外の系統〉〕 →広隆寺
ミロシナーゼ ⑲植物→香辛料植物
ミロシュ・オブレノビチ ⑨世史→カラジョルジェビチ家
ミロス(島) ⑩世地 623 B
ミロダン,A [1927] ③音演→東欧演劇〔ルーマニア〕
ミロナイト ⑱宇地→変成岩〔圧砕〕
ミロバタンニン ⑮化学→タンニン
ミロバラン ⑲植物→カリロク
ミローン ⑬生活→オリンピック〔古代〕
ミロンガ ③音演→タンゴ〔アルゼンチン・タンゴ〕
ミロン反応 ⑮化学 615 A
三和(町) 京都 ⑧日地 1110 B
三和(町) 広島 ⑧日地 1110 B
三輪 ⑦日地→三田(市)
三輪(町) 福岡 ⑧日地 1110 B
『三輪』 ③音演 544 D
美和(町) 愛知 ⑧日地 1110 B
美和(町) 山口 ⑧日地 1110 C
美和(村) 茨城 ⑧日地 1110 C
三輪王朝 ⑤日史→崇神天皇 ⑥日史→大和国家〔成立と展開〕
三輪川 ⑧日地→豊川用水
『魅惑』 ①文学→バレリー,P図
『魅惑の夜』 ③音演→ロジャース,R
三輪執斎 ⑥日史→陽明学
三輪寿壮 ⑥日史→日本労農党
三輪神社 ⇨大神神社
三輪そうめん ⑦日地→桜井(市)図
三輪玉 ⑥日史 1105 D
三輪鳥居 ②美術→鳥居 ④哲宗→神社〔図鳥居〕
三輪明神 ⇨大神神社
三輪山 奈良 ⑥日地 1110 C ④哲宗→大神神社 ⑤日史→三輪山ノ神遺跡
三輪山ノ神遺跡 ⑥日史 1106 A
三輪流神道 ④哲宗→真言神道 ⑥日史→両部神道
ミン(川)〈閩江〉 中国 ⑩世地 623 C
ミン(川)〈岷江〉 中国 ⑩世地 623 B
ミン(山脈)〈岷山脈〉 中国 ⑩世地 623 C
明 ⑥日史 1106 A ⑨世史 623 A図表 →朱元璋
旻〈僧旻〉 [?–653] 飛鳥時代の学問僧。遣隋使として中国に渡り,仏教や儒学を学び帰国 ⑥日史 1106 A ⑤日史→国博士〈大化改新〉
民営保険 ⑫経産→保険〔分類〕
民家 ②美術 582 B図
民会 ⑨世史 625 D →スパルタ〔国制〕 →ローマ〔共和政期〈初期〉〕

ム
む

無 ④哲宗 571 A →サルトル,J〔存在と無〕 →無門慧開(むもんえかい)〔無門関〕 →老子〔老子〕
ムア,T [1779/1852] ③音演→民謡〔西欧〈アイルランド民謡〉〕
ムーア,C ①文学→SF
ムーア,E [1862/1931] ⑯物数→数学教育〔歴史〈ペリー運動〉〕
ムーア,G イギリス[1852/1933] 小説家。パリに渡り,自然主義の移入に努力。アイルランド文芸復興運動に参加 作『ある若者の告白』 ①文学 635 B
ムーア,G イギリス[1873/1959] ケンブリッジ学派を代表する哲学者。メタ倫理学の先駆となり,現代哲学に大きな影響を及ぼす ④哲宗 571 A →メタ倫理〔経緯と問題〕 ⑫経産→価値判断
ムーア,H イギリス[1898] 彫刻家。新しい彫刻空間の創造につとめ,パリのユネスコ本部前庭の人物像が有名 ②美術 586 B図 →イギリス美術図
ムーア,H アメリカ[1869/1958] 経済学者。景気循環は降雨量の周期性によって説明できるとした ⑫経産 564 C
ムーア,M アメリカ[1887/1972] 女流詩人。前衛文芸誌を編集。評論や翻訳もある ①文学 635 C
ムーア,T イギリス[1870/1944] 詩人。木版画家で詩集の装丁家でもある。作品は古典神話に準拠したものが多い ①文学 635 B →アイルランド文学
ムアーウィヤ [602*/680] ウマイヤ朝の初代カリフ。ダマスクスに都をおき国家統一と対外発展に努めた ⑨世史 627 C →ウマイヤ朝
ムーア人 ⑨世史→スペイン・ポルトガル(史)〔国土の征服〈西ゴート王国とサラセン帝国〉〕 ⑩世地→サハラ(砂漠)〔住民〕 →モーリタニア(イスラム共和国)〔社会・文化〕
無圧印刷 ⑰科技→電子印刷
木耳(きくらげ)〈キクラゲ〉 ⑬生活→中国料理〔材料〕図
『ムアルラカ』 ①文学→イムル・ウル・カイス →『ムアルラカート』
『ムアルラカート』 ①文学 635 C →アーシャー →アラビア文学〈23 D〉
無為 ④哲宗 571 B →老子〔老子〕
六日(町) 新潟 ⑧日地 1110 D
六日市(町) 島根 ⑧日地 1110 D
六日戦争 ⑨世史→中東戦争 ⑪政社→アラブ・イスラエル紛争 ⑫経産→アラブ石油輸出国機構
六日町温泉 ⑧日地→六日(町)
六日町盆地〈魚沼盆地〉 新潟 ⑧日地 1110 D
無意識 ④哲宗→意識 →自己意識 →精神分析 →フロイト,S →防衛機制
『無意識の哲学』 ④哲宗→ハルトマン,C
ムイシキン公爵 ①文学→ドストエフスキー,F〔白痴〕
無為自然 ④哲宗→荘子(そうし)〔荘子〕 →道家 →無為 →老子〔老子〕
ムイスカ文化 ⇨チブチャ文化
無医地区 ⑭医学 574 A →医学〔現代医学とその課題〕
ムイッズ ⑨世史→イスラム文化〔マシュリクとマグリブ〕
ムイッズィー [1049/1126*] ペルシアの桂冠詩人。描写の巨匠と評された ①文学 635 D
武井島(むいのしま) ⑧日地→戸井(町) →日浦海岸
無為法 ④哲宗→法
無因契約 ⑪政社→契約〔分類〕
無韻詩 ①文学→詩〔日本〈形式の革命〉〕〔囲用語〕
ムウェル(湖) ザイール・ザンビア ⑩世地 624 A →アフリカ(州)〔囲探検史〕
ムウミン〈ムスリム〉 ⑨世史→イスラム教〔マホメット〕
ムエッジン ③音演→イスラム音楽
無縁 ④哲宗→慈悲
無鉛ガソリン ⑮化学 615 B →ガソリン →石油〔石油製品〈ガソリン〉〕
無煙火薬 ⑮化学 615 B ⑨世史→火薬
無縁根 ⑯物数→無理方程式〔例〕
無煙炭 ⑮化学 615 B →石炭〔表日本の石炭分類〕 ⑫経産→石炭産業 ⑱宇地→石炭
無縁仏 ④哲宗→死〔死者に対する情緒反応〕
『夢応の鯉魚』 ⑳動物→コイ〔民俗〕
ムオン・サムヌア ⇨サムヌア
『霧海』〈霧海篪(むかいし)〉 ③音演→尺八〔普化尺八〈歴史〉〕
向かい風半円 ⑱宇地→危険半円 →台風〔構造〕
無階級社会 ⑪政社→共産主義〔共産主義社会〕
向井去来 [1651/1704] 江戸前期の俳人。芭蕉に師事。落柿舎に隠棲,蕉風を体得その興隆に寄与 ①文学 635 D図 ⑥日史 1108 C
向島(むかいしま) 広島 ⑧日地 1111 A ⑦日地→尾道(市)図
向島(町) 広島 ⑧日地 1111 A
無がい車 ⑰科技→貨車〔営業用〕図表
向井将監(しょうげん) 江戸幕府の船手頭を世襲する家柄。6代正綱のとき家康に招かれ,水軍を預かる ⑥日史 1108 C
向白神岳 ⑦日地→白神山地
無蓋土壙 ⑤日史→石蓋土壙(いしぶたどこう)
向原(町)(むかいはら) 広島 ⑧日地 1111 A
向東(むかいひがし) 広島/尾道市 ⑧日地 1111 A
向い飛車 ⑬生活→将棋〔囲戦法〕図
向井正方 ⑥日史→向井将監(しょうげん)
向井正綱 ⑥日史→向井将監(しょうげん)
向町 ⑧日地→最上(町)(もがみ)
向井流 ⑤日史→水泳術 ⑬生活→水泳〔日本泳法〕
『無何有郷だより(むかうのさと)』 ④哲宗→ユートピア
迎え角 ⑰科技→飛行機〔飛行の原理〈揚力〉〕図
迎え火 ④哲宗→盂蘭盆会(うらぼんえ) →燈明〈419 A〉
迎え盆 ⑤日史→盂蘭盆(うらぼん)
無加川 ⑧日地→常呂川(ところ) →留辺蘂(町)(るべしべ)
無核原子モデル ⑯物数→原子模型
無格社 ④哲宗→神社〔囲用語〈社格〉〕
無顎症 ⑭医学→奇形児〔表単体奇形〕
無核生物〈原核生物〉 ⑲植物→分裂植物
無学祖元 中国[1226/1286] 鎌倉中期の臨済宗の禅僧。宋から来朝帰化。北条時宗の建てた円覚寺の開山となる ④哲宗 571 C →円覚寺 →臨済宗〔日本〕 ⑥日史 1108 C ②美術→鎌倉時代の美術〔書〕 ⑤日史→円覚寺
無角ヘレフォード ⑳動物→ウシ〔品種〕
無額面株 ⑫経産→株式〔種類〕図
無顎類 ⇨円口類(えんこうるい)
無角和種 ⑳動物→ウシ〔品種〕
むかご〈珠芽,肉芽,零余子〉 ⑲植物 614 A →芽
ムカゴイラクサ ⑲植物 614 A図
ムカゴソウ〔零余子草〕 ⑲植物 614 A
ムカシアブ ⑳動物→アブ
ムカシアミバネムシ ⑳動物→昆虫
ムカシアリ亜科 ⑳動物→アリ〔分類〕
ムカシウサギ亜科 ⑳動物→アマミノクロウサギ
『昔話稲妻表紙』 ①文学→山東京伝
ムカシゲンゴロウ ⑳動物→ゲンゴロウ
無過失責任 ⑪政社 561 C
『無過失損害賠償責任論』 ⑪政社→岡松参太郎
ムカシトカゲ〔昔蜥蜴〕 ⑳動物 601 B図 →爬虫類 ⑱宇地→恐竜〔進化〕図表
ムカシトンボ〔昔蜻蛉〕 ⑳動物 601 B図 →トンボ〔進化〕〔生態,行動〈幼虫〉〕
ムカシネジレバネ ⑳動物→ネジレバネ
『昔の巨匠たち』 ②美術→フロマンタン,E
『昔の情婦』 ①文学→バルベー・ドールビリ,J
昔話 ④哲宗→神話 →民話
『むかしむかし』 ①文学→ジャマール・ザーデ
ムカシヤムシ ⑳動物→ヤムシ〔生態〕
ムカシヤンマ〔昔蜻蜓〕 ⑳動物 601 C図
無カタラーゼ血症 ⑭医学→遺伝〔表遺伝性の病気〕
ムカデ〔百足〕 ⑳動物 601 C図 →気門
百足だこ ⑬生活→郷土玩具〔種類〈凧〉〕図
ムカデノリ〔百足海藻〕 ⑲植物 614 A →海藻〔別紅藻植物〕
ムカデミノウミウシ ⑳動物→ウミウシ図
ムカデメリベ ⑳動物→ウミウシ
行縢山(むかばきやま) 宮崎 ⑧日地 1111 A
無花被花 ⑲植物 614 A
ムガル帝国 ⑨世史 627 C図 →アウランゼーブ →アクバル,J →インド〔中世社会〕図 →セポイの反乱〔政治的背景〕 →バーブル ⑩世地→アグラ
武川(村)(むかわ) 山梨 ⑧日地 1111 B
鵡川(町)(むかわ) 北海道/胆振支庁 ⑧日地 1111 A
無汗症 ⑭医学→汗〔疾患〕
『無関心な人々』 ①文学→モラビア,A
無管鰾 ⑳動物→うきぶくろ
無桿錨〈ストックレスアンカー〉 ⑰科技→アンカー
無関普門 [1212/1291] ④哲宗→南禅寺 →臨済宗囲
無記 ④哲宗→釈迦(しゃか)〔説法〕 →仏教〔インド仏教〈原始仏教〉〕
ムギ〔麦〕 ⑥日史 1108 D ⑬生活 579 B表 ⑲植物 614 B ⑫経産→食糧管理制度
牟岐(町)(むぎ) 徳島 ⑧日地 1111 B
武儀(町)(むぎ) 岐阜 ⑧日地 1111 B
麦嵐 ⑱宇地→風〔表季題〈夏〉〕
無機栄養 ⑲植物 614 B
無機化学 ⑮化学 615 B →化学〔化学とは何か〈諸分科〉〕〔歴史〈現代〉〕
無機化学工業 ⑫経産→化学工業〔歴史〕 →工業薬品工業
無機化合物 ⑮化学 615 C →化合物
無機顔料〈鉱物性顔料〉 ⑮化学 615 C →顔料表
ムギクサ〔麦草〕 ⑲植物 615 A図
ムギクロハモグリバエ ⑳動物→ハエ図
無機高分子工業 ⑫経産→窯業
麦こがし ⑬生活→駄菓子図
無気呼吸 ⑲植物 615 A →呼吸 ⑳動物→呼吸
無機酸エステル ⑮化学→エステル
無機質 ⑬生活→栄養 →食品〔分類〕 ⑭医学→栄養〔人体〕 ⑮化学→ミネラル
無機質コルチコイド ⑳動物→ホルモン表
無機質繊維 ⑬生活→繊維 ⑮化学→合成繊維
無機質肥料 ⑫経産→肥料工業 ⑮化学→化学肥料 →肥料〔分類〕
麦しょうちゅう ⑬生活→酒〔しょうちゅう〕 ⑮化学→醸造〔酒類〈しょうちゅう〉〕
無軌条電車 ⇨トロリーバス
牟岐線(むぎ) ⑧日地→徳島本線
ムギセンノウ ⇨ムギナデシコ
ムキタケ〔剝き茸〕 ⑲植物 615 B →キノコ〔別担子菌類〈ハラタケ目〉〕
麦茶 ⑬生活→茶〔薬茶〕 →麦〔オオムギ〕
ムギツク〔麦突〕 ⑳動物 602 B
無軌道輸送システム ⑰科技→交通システム〔新交通システム〕
『麦と兵隊』 ①文学→戦争文学 →火野葦平
ムギナデシコ《ナデシコ科》〔麦撫子〕 ⑲植物 615 B
ムギナデシコ《キク科》 ⇨サルシフィー
麦の秋風 ⑱宇地→風〔表季題〈夏〉〕
無気肺 ⑭医学→気管・気管支〔気管支異物症〕
無季俳句 ①文学→俳句〔明治以降〕 →吉岡禅寺洞
無機物 ⇨無機化合物
麦踏み ⑲植物→コムギ〔日本の麦作〕
麦穂祭 ⑦日地→沖縄(県)〔文化〈年中行事と信仰〉〕
むき身 ⑬生活→貝類〔料理〕
むきみ隈 ③音演→隈取(くまどり)
無記名債権 ⑫経産→動産
無記名証券 ⑫経産→商品券 →有価証券〔種類〕
麦飯 ⑬生活→飯
無気門類 ⑳動物→ダニ〔種類〕
無機薬品 ⑫経産→化学工業 →工業薬品工業
麦や節 ③音演→民謡〔表〈富山〉〕 ⑦日地→五箇山(ごかやま)図
『無窮』 ①文学→レオパルディ,G
無窮動 ③音演 553 D
『無教会』 ④哲宗→内村鑑三 →無教会主義
無教会主義 ④哲宗 571 C →内村鑑三 →教会〔分立〕 →キリスト教〔日本〕 ①文学→内村鑑三
無極性分子 ⑯物数→有極性分子
無極性誘電体 ⑯物数→誘電体
無極放電 ⑯物数→放電〔高周波放電〕
無拠出制年金 ⑫経産→社会保険〔年金制度〕
ムギワラギク〔麦藁菊〕 ⑲植物 615 B図
麦藁細工 ⑬生活→郷土玩具〔種類〕
ムギワラダイ ⑳動物→マダイ
ムギワラトンボ〔麦藁蜻蛉〕 ⑳動物 602 B →シオカラトンボ図
『麦わら帽子』 ②美術→ルーベンス,P図
無菌性髄膜炎 ⑭医学→ウイルス〔疾患〕
無垢(むく) ⑬生活→和裁〔囲知識〕
ムクエノキ ⇨ムクノキ
ムクゲ〔木槿〕 ⑲植物 615 B図 →国花図表 →種子〔図〈風で飛ぶ〉〕
ムクゲキノコムシ ⑳動物→キノコムシ →甲虫〔形態〕
ムクゲコノハ ⑳動物→ガ図 →シタバガ
無垢島 大分 ⑧日地 1111 B
『無垢浄光陀羅尼』 ⑤日史→印刷術
六口島 岡山/倉敷市 ⑧日地 1111 B図

メ
め

面疔 ⑭医学→おでき
メンツェル,A ドイツ〔1815/1905〕 画家・版画家。フリードリッヒ大王の歴史画を制作 ②美術600 A
メンデ族 ⑩世地→シエラレオネ(共和国)〔社会・文化〕
メンデリソン,L ソ連〔1899/1962〕 経済学者。マルクス主義恐慌理論の発展に貢献 ⑫経産567 C
メンデル,G オーストリア〔1822/1884〕 僧侶・遺伝学者。エンドウの交雑実験により遺伝現象の解明に努めた ⑲植物623 C図 →植物学 →メンデルの法則 ⑭医学→遺伝 ⑳動物→メンデルの法則
メンデルスゾーン,F ドイツ〔1809/1847〕 作曲家。ライプチヒ音楽院を創設。ロマン派音楽中もっとも古典派に近い存在 作『真夏の夜の夢』『歌の翼に』 ③音演559 D図 →交響曲 →指揮〔歴史〕
メンデルスゾーン,M ドイツ〔1729/1786〕 ライプニッツ-ウォルフ学派の哲学者。音楽家メンデルスゾーンの祖父。神の存在や霊魂の不滅の証明に関心 ④哲宗578 B →ヤコービ,F
メンデルゾーン,E アメリカ〔1887/1953〕 ドイツ生まれの建築家。表現派建築における代表的存在。ナチス台頭後アメリカに移住 ②美術600 A
メンデルの法則 ⑲植物624 A →遺伝〔遺伝の法則〕 →メンデル,G →優劣の法則 ⑳動物609 A →遺伝学〔歴史〕
メンデレーエフ,D ロシア〔1834/1907〕 物理化学者。元素を原子量の順に並べ,その周期性を発見 ⑮化学618 C図 →化学〔歴史〈19世紀〉〕 →元素〔元素観の変遷〈227 C〉〕 →周期表 ⑯物数→周期律
メンデレス(川) トルコ ⑩世地633 D
メンデレビウム ⑮化学→アクチノイド元素
メンデレーフ〈羅臼岳〉 ⑱宇地→火山〔表活火山〕
メンテン ⑮化学→テルペン
メンデンホール,T アメリカ〔1841/1924〕 物理学者。明治11年来日。わが国の物理学教育に影響を与えた ⑱宇地574 C図 ⑤日史→御雇外人教師表
メンデンホール(氷河) ⑩世地→アラスカ(州)図
メントゥヘテプ(二世) ⑨世史→エジプト〔歴史と文化〈中王国時代〉〕
メンドサ アルゼンチン ⑩世地633 D
妻鳥 ⑦日地→川之江(市)
『めんどり交響曲』 ③音演→ハイドン,F
メントール〈ハッカ脳〉 ⑮化学620 B →アルコール →香料〔表合成香料〕 →テルペン〔モノテルペン系化合物〈単環性〉〕 ⑲植物→ハッカ
メンパ族 ⑩世地→中華人民共和国〔表少数民族〕
面番所 ⑥日史→遊廓〔規則〕
メンヒル ⑨世史→巨石記念物図
綿布 ⇨綿織物
メンフィス アメリカ/テネシー ⑩世地634 A
メンフィス エジプト ⑨世史636 D →エジプト〔歴史と文化〈初期王朝時代〉〕 →メネス
メンフクロウ ⑳動物609 A →フクロウ図
面浮立 ③音演→民俗芸能図 ⑦日地→鹿島(市)図
メンヘングラートバハ 西ドイツ ⑩世地634 A
面皰 ⑭医学→にきび
綿紡〈綿糸紡績〉 ⑰科技→紡績〔種類〕
綿棒 ⑭医学→救急箱〔衛生器具〕
メンマ〔綿馬〕 ⇨オシダ
綿毛 ⑲植物→毛
綿毛 ⇨綿毛
緬毛 ⑳動物→ヒツジ〔形態〕
綿薬 ⑮化学→ニトロセルロース
メンヨウ ⑳動物609 A →ヒツジ ⑬生活→毛織物
面力〈表面力〉 ⑯物数→力〔種類〕
めん類 ⑬生活583 B表 →そば

モ

も

喪 ⑬生活→葬式〔忌服〕
裳 ⑥日史1138 C ④哲宗→法衣図 ⑬生活→服装〔日本〈日中融合〉〕図
藻 ⑲植物624 B
モー フランス ⑩世地634 B
モア,H イギリス〔1614/1687〕 哲学者。ホッブズの唯物論に反対し,本有観念の存在を主張 ④哲宗578 C →ケンブリッジ・プラトン学派
モア,P アメリカ〔1864/1937〕 批評家。新人文主義運動を展開,古典を現代にも生きる原理と考える ①文学646 C →アメリカ文学〔20世紀〕
モア,T イギリス〔1478/1535〕 政治家・人文主義者。諧謔趣味の持ち主で,名文家・論争家でもあり庶民の人気は絶大。反逆罪で処刑 作『ユートピア』 ①文学646 B図 →人文主義 →ルネサンス文学 ⑨世史637 A ⑪政社→ユートピア思想図
モア ⑳動物609 B図 →絶滅動物 →鳥類〔進化〈化石鳥〉〕 ⑱宇地→オーエン,R
モーア,G ⑯物数→作図〔3大作図不能問題〕
モーアーサ ⑬生活→郷土料理〔囲〈沖縄〉〕
モアサック旧修道院 ②美術→ロマネスク美術図
モアッサン,F フランス〔1852/1907〕 化学者。白金電極を使用してフッ素の単離に成功。ノーベル賞受賞 ⑮化学621 A図 →フッ素
『モアナ』 ③音演→フラハーティ,R
モアブル ⇨ド・モアブル,A
モアラ(諸島) ⑩世地→フィジー
モアレ ⑰科技→印刷〔囲用語〕
モアレ縞 ⑯物数→厚み計
モイーズ,M フランス〔1889/ 〕 フルート奏者。パリ音楽院管弦楽団の首席奏者,同院教授 ③音演561 A
『モイセイ』 ①文学→フランコ,I
モイセエンコ ②美術→ロシア美術〔60年代の新局面〕
茂市 ⑧日地→新里(村)《岩手》
モイミール ⑨世史→大モラビア国
モイラ ④哲宗→運命
モイライ ④哲宗→ギリシア・ローマ神話〔囲主要神名〕
モーイラナ ノルウェー ⑩世地634 B
モイレングラハト値〈黄疸指数〉 ⑭医学→黄疸
茂岩温泉 ⑧日地→泊(村)《北海道》
藻岩山 北海道 ⑧日地1118 C
摹印 ②美術→書体
野遊 ③音演→沖縄の歌舞〔民俗芸能〕図
猛安・謀克 ⑨世史637 A →金〔社会〕 →兵制〔中国〕
毛益 中国〔*/*〕 宋代の画家。花鳥画の名手として知られた ②美術600 B
モウオ ⇨アオハタ
毛越寺 ⑥日史1138 C →平泉(町) →藤原基衡 ②美術→庭園別 ⑧日地→平泉(町)図
真岡(市) ⇨真岡(市)
毛顎動物 ⑳動物609 B →動物〔分け方〕
盲学校 ⑭医学→失明 →盲人〔盲教育〕
毛管現象 ⑯物数560 B図 ⑮化学→表面張力
毛管降下 ⑯物数→毛管現象
盲貫銃創 ⑭医学→きず〔射創〕
毛管上昇 ⑯物数→毛管現象図
毛管ピペット ⑮化学→化学実験〔実験器具〈測定器具〉〕
蒙毅 中国 ⑨世史→蒙恬
毛球 ⑭医学→毛〔解剖〕図
盲教育 ⑭医学→盲人
孟玉澗 ②美術→玉澗
『もうけ仕事に群がる人々』 ③音演→バゾフ,I
蒙古 ⑥日史1138 C ⑨世史→モンゴル帝国
毛鉱 ⑱宇地575 B
毛亨 中国 ①文学→『詩経』
孟郊 中国〔751/814〕 中唐の詩人。かたくなで世渡り下手が災し,貧窮にあえいだが,その詩は「肺腑より出」た ①文学646 C
蒙驁 中国 ⑨世史→始皇帝

孟浩然 中国〔689/740〕 盛唐の詩人。陶淵明を尊敬し,田園の閑寂な趣を愛した作品を残す。「春眠暁を覚えず」の詩は有名 ①文学646 C
蒙古馬 ⑳動物→ウマ〔品種〈在来種〉〕
『蒙古襲来絵巻』〈蒙古襲来絵詞〉 ⑥日史1138 D ②美術→絵巻〔囲作品〕別 ⑤日史→鎌倉時代〔文化〈武士〉〕
蒙古相撲 ⑩世地→モンゴル(人民共和国)図
『蒙古蔵経』 ④哲宗→『大蔵経』
モウコノロバ〈クーラン〉 ⑳動物→ロバ〔野生ロバ〕
蒙古八旗 ⑨世史→八旗
『蒙古遊牧記』 ⑨世史637 B
蒙古連合自治政府 ⑪政社→傀儡政権
毛根 ⑭医学→毛〔解剖〕図
毛細管運動 ⑭医学→クローグ,A〈28 C〉
毛細管現象 ⇨毛管現象
毛細管抵抗検査 ⑭医学→血液〔血液検査〈形態学的〉〕
毛細血管 ⑭医学→血管〔解剖〕図
『毛詩』 ⇨『詩経』
孟子 中国〔前372?/289?〕 戦国時代中期の儒家。諸侯に王道を説き,『孟子』七編を著す ①文学464 D ④哲宗578 C図 →王道 →儒教〔歴史的変遷〈原始儒教〉〕 →性善説・性悪説〔性善説〕 →中国思想〔第1期〕 ⑨世史637 B
『孟子』 ④哲宗→四書 →孟子図
『蒙史』 ④哲宗→亀井昭陽
蒙自 ⇨モンツー
申合い ⑬生活→相撲〔囲用語〕
『申し子』 ①文学→ザイデル,I
『孟子古義』 ④哲宗→伊藤仁斎図
申込 ⑫経産→契約〔成立〕
『孟子識』 ④哲宗→荻生徂徠
『孟子字義疏証』 ④哲宗→戴震
申付衆 ⑥日史→奏者番
申文 ⑥日史1138 D
毛翅目〈トビケラ目〉 ⑳動物→昆虫〔分類〕〔表現生昆虫の種類〕
亡者送り ⑧日地→東京(都)〔別年中行事〕
『妄執』 ③音演→ビスコンティ,L
毛周期 ⑭医学→毛〔生理〕
『猛獣篇』 ①文学→高村光太郎
毛松 ②美術→毛益
孟嘗君 中国〔前?/279?〕 斉の宰相。食客数千人を擁し,封邑の薛を中心に独自の勢力を張る ⑨世史637 C
網状高分子 ⑮化学→高分子〔構造と性質〕
網状織内皮細胞系統〈細網内皮系〉 ⑭医学→細胞
網状星雲 ⑱宇地→星雲〔反射星雲〕図表
毛状体 ⑲植物→毛
網状中心柱 ⑲植物→中心柱
網状軟骨〈弾性軟骨〉 ⑭医学→骨〔構造〈軟骨〉〕
網状脈 ⑲植物→葉脈
網状流路 ⑱宇地→川〔川の作る地形〕図
毛翅類 ⑳動物→トビケラ
盲人 ⑭医学590 A
『盲人書簡』 ④哲宗→ディドロ,D
盲針生検 ⑭医学→肝臓〔肝機能検査〕
毛氈 ②美術→氈 ⑬生活→室内装飾〔和室〕
毛氈花壇〈模様花壇〉 ⑲植物→花壇図
モウセンゴケ〔毛氈苔〕 ⑲植物624 B図 →食虫植物
モウセンゴケ科 ⑲植物624 B
『輞川集』 ①文学→王維
妄想 ⑭医学590 B →幻覚 →思考障害 ④哲宗→精神病
『妄想』 ①文学→森鷗外
妄想型分裂病 ⑭医学→精神分裂病〔分類〕
孟宗金明竹 ⑦日地→久留米(市)〔高良大社〕
毛宗崗 ①文学→羅貫中〔三国演義〕
モウソウタマコバチ ⑳動物→タマバチ
モウソウチク〔孟宗竹〕 ⑲植物624 C →キッコウチク →タケ〔分類〕図
盲僧琵琶 ③音演→琵琶 →仏教音楽
孟孫氏 ⑨世史→魯
毛沢東 中国〔1893/1976〕 現代中国の最高指導者。抗日戦線,国民党との内戦に勝利し,中華人民共和国を樹立 作『実践論』『矛盾論』 ④哲宗579 B ⑥日史1138 D ⑨世史637 C図 →抗日運動 →新民主主義 →中華ソビエト共和国 →中国〔現代〕図 →中国共産党 ⑪政社565 D図 →新民主主義 →中国革命図 →中国政治事情図 →文化大革命 ⑫経産567 D ①文学→詞 →中国文学〔近代〕

『毛沢東語録』 ④哲宗→毛沢東
盲腸 ⑭医学→虫垂 →腸〔大腸〕
盲腸炎 ⑭医学→虫垂〔虫垂炎〕
毛越寺 ⇨毛越寺
盲点 ⑭医学→暗点 →目〔機能〈視野〉〕〔構造〈網膜〉〕
蒙恬 中国〔前?210〕 秦の将軍。オルドス地方から匈奴をおい,万里の長城を完成 ⑨世史 638 A →始皇帝
『毛伝鄭箋』 ①文学→『詩経』
間人 ⑥日史 1139 A ⑤日史→荘園〔経営〕
盲導犬 ⑳動物→イヌ〔用途〕図
『もう飛ぶまいぞ,この蝶々』 ③音演→モーツァルト,W〔作風と作品〈フィガロの結婚〉〕
毛内宜応 ⑥日史→陸奥国〔囲人国記〕
網内系〈細網内皮系〉 ⑭医学→細胞
毛嚢〈毛包〉 ⑭医学→毛〔解剖〕 →にきび →皮膚〔形態〈真皮〉〕 ⑳動物→毛
盲嚢 ⑭医学→憩室
毛髪 ⇨毛
毛髪湿度計 ⑭医学→毛 ⑱宇地→湿度計図
毛髪縦裂症〈裂毛症〉 ⑭医学→毛
『毛髪掠奪』 ①文学→ポープ,A
『もう一つの国』 ①文学→ボールドウィン,J
『もう一つの生活』 ①文学→マラマッド,B
毛布 ⑬生活→毛織物〔染色〕 →寝具表
毛辺紙 ⑰科技→紙〔発展〕
毛包〈毛嚢〉 ⑭医学→にきび
毛紡 ⑰科技→紡績〔種類〕
毛母細胞 ⑭医学→毛〔解剖〕
網膜 ⑭医学 590 C図 →暗順応 →暗点 →視覚〔視細胞〕 →目〔構造〕図 ⑳動物→目
網膜炎 ⑭医学→網膜
網膜芽細胞腫 ⑭医学→遺伝〔表遺伝性の病気〕 →小児癌
網膜血管血圧〈眼底血圧〉 ⑭医学→眼底検査法
網膜膠腫 ⑭医学→遺伝〔表遺伝性の病気〕 →癌〔原因〕 →黒内障 →網膜
網膜剝離 ⑭医学→網膜
盲目 ⑭医学→失明 →盲人
『盲目物語』 ①文学→谷崎潤一郎
毛様充血 ⑭医学→目〔充血〕
毛様線虫 ⑳動物 609 B
毛様体 ⑭医学→目〔構造〕図
毛様体炎 ⑭医学→目
毛様体突起 ⑭医学→目〔構造〈毛様体〉〕
毛利氏 戦国時代の中国地方の大名。江戸時代の長州藩主。大江氏の出 ⑥日史 1139 B図 →中国征伐 →長州藩 →長門国 ⑤日史→吉川氏
毛利重就 ⑥日史→長門国〔囲人国記〕
毛利重能 〔*.〕 江戸時代初期の数学者。そろばんの計算法を記した『割算書』を著わし,日本数学の祖といわれる ⑯物数 560 C →和算〔そろばんの渡来〕
毛利敬親 〔1819-1871〕 幕末の長州藩主。攘夷運動の中心として活躍。禁門の変をおこす ⑥日史 1139 C図 →討幕の密勅 →長門国〔囲人国記〕
毛利邸 ⑧日地→防府(市)図
毛利輝元 〔1553-1625〕 安土桃山時代の武将。秀吉と戦ったがのち講和,五大老の一人となり協力 ⑥日史 1139 D図 ⑤日史→大坂の陣〔冬の陣〕
毛利博物館 ②美術 682 C
毛利元就 〔1497-1571〕 戦国時代の武将。晩年には中国地方の大半を支配。智仁勇を兼ね備え,軍略と好運に恵まれた ⑥日史 1139 D図 ⑤日史→厳島の戦い
毛流 ⑭医学→毛〔つむじ〕
毛利吉元 ⑥日史→長門国〔囲人国記〕 →明倫館
モウリンカ ⇨マツリカ
朦朧画 ②美術→明治の美術〔美校騒動と日本美術院の創設〕
もうろう状態 ⑭医学→意識障害
『蒙露辞典』 ①文学→ダムディンスレン,T
燃石 ⑥日史→石炭
モエビ〔藻蝦〕 ⑳動物 609 C図
『燃える』 ①文学→吉増剛造
『燃える闇にて』 ③音演→ブエロ・バリェッホ,A
モエン(島) ⑩世地→トラック(諸島)
モエンド ⑩世地 634 B
モオカ(地区) ⑩世地→サンパウロ〔市街〕
真岡(市) 栃木 ⑧日地 1118 C
モオレア(島) ⑩世地→ソシエテ(諸島)
モオン ⑩世地→シャルルビルメジエール
モカ ⑩世地 634 B
モガ〈モダンガール〉 ⑥日史→モガ・モボ ⑬生活→洋裁〔歴史〕 →洋装
モガイ〔藻貝〕 ⇨サルボウ
モカコーヒー ⑩世地→イエメン(アラブ共和国)〔経済〕 ⑬生活→コーヒー〔種類〕 ⑲植物→コーヒーノキ〔有名コーヒー〕
モガシ ⇨ホルトノキ
モガジシオ〈モガディシオ〉 ⑩世地 634 B →ソマリア(民主共和国)図
モカシン ⑬生活→靴〔種類〕
最上(町) 山形 ⑧日地 1118 C
最上氏 足利一門の斯波氏の流れと称する名門武家。室町時代の兼頼を祖とする ⑥日史 1140 B図 ⑤日史→羽州探題
最上おばこ〈山形おばこ〉 ③音演→民謡〔表〈山形〉〕
最上川 山形 ⑧日地 1118 D図 →横谷〈1201 A〉
最上川船唄 ③音演→民謡〔表〈山形〉〕
最上峡 ⑧日地→立川(町)
最上堆 ⑧日地 1119 B ⑩世地→日本海
最上徳内 〔1754-1836〕 江戸後期の探検家。蝦夷地を探索,正確な蝦夷地図を作製。樺太踏査も試みた ⑥日史 1140 B →出羽国〔囲人国記〕 ⑧日地 1235 D ⑩世地→ウルップ(島)
最上義光 〔1546-1614〕 安土桃山時代の武将。出羽国の大名。関ヶ原の戦いでは家康方についた ⑥日史 1140 B
モガ・モボ ⑥日史 1140 C
裳唐衣 ⇨十二単
殯宮 ④哲宗→墓〔変遷〕
虎落笛 ⑱宇地→風〔表季題〈冬〉〕
モーガン,C 〔1895-1958〕 小説家・評論家。「メナンダー」の筆名で『ロンドン・タイムズ』に評論を寄稿。戯曲もある ①文学 646 D
モーガン,C 〔1852-1936〕 動物心理学者。現代比較心理学の先駆者の一人 ⑳動物 609 C
モーガン,H ⑨世史→海賊〔バカニーア〕
モーガン,T〈モルガン,T〉 〔1866-1945〕 遺伝学者。遺伝的染色体地図を完成し染色体説を確立。ノーベル賞受賞 ⑳動物 609 C図 →遺伝学〔歴史〕 →キイロショウジョウバエ →細胞〔細胞学〕 →動物学 ⑭医学→モルガン,T〈32 A〉 ⑲植物→キアズマ
モーガン,W ⑱宇地→プレート・テクトニクス
モーガン学派 ⑳動物→遺伝学〔歴史〕
茂木 長崎/長崎市 ⑧日地 1119 B →長崎(市)
裳着 ⑥日史 1140 C
模擬実験 ⑯物数→シミュレーション
模擬投票 ⑪政社→世論調査〔歴史〕
モギリョフ ソ連/白 ⑩世地 634 C
目 ⑲植物 624 C →植物分類表 ⑳動物→動物分類表
木工 ⑥日史→大工
黙阿弥 ⇨河竹黙阿弥
黙庵 ②美術→鎌倉時代の美術〔肖像画〕 →室町時代の美術〔水墨画〕
木庵性瑫 中国〔1611-1684〕 ②美術→三筆・三蹟〈黄檗の三筆〉 ④哲宗→黄檗宗囲
木化 ⑲植物 624 C →厚膜組織 →細胞壁
木画 ②美術 600 B図
木活字 ⑰科技→印刷〔歴史〕
木簡 ⇨木簡
木魚 ②美術→仏具 ③音演→ウッド・ブロック ④哲宗→祭具〔仏具〕
木槿皮 ⑲植物→ムクゲ
黙劇 ⇨パントマイム
モクゲンジ〔欒華〕 ⑲植物 624 C図
目揵連〈目連〉 〔*.〕 釈迦の十大弟子の一。教団統率の中心人物で,超自然的能力に優れ神通第一といわれる ④哲宗 579 D →盂蘭盆会 →釈迦〔囲十大弟子〕
木工事 ⑬生活→住まい〔施工から完成まで〈軀体工事〉〕
木婚式 ⑬生活→結婚〔表結婚記念日〕
もぐさ ⑭医学→灸〔用具〕 →生薬〔艾葉〕 ⑲植物→ヨモギ
木材 ⑬生活 584 B図表 →家庭工作〔工作材料〕 →住まい〔表建築材料〕 ⑰科技 633 B図表 →建築材料〔発達〕 ⑲植物 625 A図 ⑫経産→木材工業 →木材市場〔一〕
木材化学 ⑮化学 621 A
木材工業 ⑫経産 568 A表
木材市場 ⑫経産 568 C
木材センター ⑫経産→木材市場〔二〕
木材専用船 ⑰科技→貨物船〔設備〈倉口〉〕 →船〔種類〈用途による分類〉〕図
木材チップ工業 ⑫経産→木材工業〔製材工業〕
木材糖化 ⑮化学→木材化学
木材パルプ ⑮化学→パルプ ⑰科技→紙〔発展〕 →パルプ
木材腐朽菌 ⑲植物→キノコ〔生態〕
木材防腐工業 ⑫経産→木材工業 ⑮化学→防腐剤
百草園 ⑧日地→東京(都)表 →日野(市)
『黙示』 ①文学→富沢赤黄男
木喰〔木食〕 ②美術 600 B
木喰〈五行明満,行道〉 〔1718-1810〕 僧侶。寺を建て,仏像を刻むなど伝道一途の生涯を送る ②美術 600 B図 ④哲宗→閻魔図
木食応其 〔1537-1608〕 室町後期の真言宗の僧,連歌師。大和の室生寺をはじめ 81 の寺院を修造 ⑥日史 1140 C ②美術→木喰 ④哲宗→高野山〔金剛峯寺〕 →真言宗囲
木食上人 ②美術→木喰 ④哲宗→仏教〔囲用語〕
木質繊維 ⑲植物→繊維
黙示文学 ④哲宗→聖書 ⑪政社→終末論
モクシュンギク ⇨マーガレット
木鐘 ⇨ウッド・ブロック
黙照禅 ④哲宗→禅宗
『黙示録の四人の騎士』 ⑨世史→イバニエス,V
モクズガニ〔藻屑蟹〕 ⑳動物 610 A図 →肺吸虫 ⑭医学→寄生虫〔肺吸虫〕
モクズショイ〔藻屑背負〕 ⑳動物 610 A図
『黙する能わず!』 ④哲宗→トルストイ,L
モクセイ〔木犀〕 ⑲植物 625 A図
木星 ⑱宇地 575 B図 →衛星〔特徴〕表 →彗星〔軌道〕 →太陽系〔概観〕 →星 →惑星図表
木精 ⑮化学 621 C ⇨メタノール
モクセイ科 ⑲植物 625 B
木製家具 ⑫経産→家具産業〔現状〕
木星型惑星〈大惑星〉 ⑱宇地→太陽系〔概観〕 →地球〔起原〕 →惑星
木生シダ ⑲植物→国花表 →シダ植物
木星状星雲 ⑱宇地→うみへび座
木星族周期彗星 ⑱宇地→彗星〔軌道〕
木製建具 ⑰科技→建具
木製動力織機 ⑰科技→豊田佐吉
木船 ⑰科技 634 A図 →船〔種類〈材料による分類〉〕 →和船 ⑫経産→造船業〔日本〕
木造壁 ⑬生活→壁
木造建築 ⑰科技 635 B →建築材料〔発達〕 →木構造 ⑬生活→住まい〔構造〈木構造〉〕
木造住宅 ⑰科技→モルタル
木造船 ⇨木船
木造トラス ⑰科技→橋〔歴史〕
木賊 ⑲植物→トクサ
目代 ⑥日史 1140 C →知行国
モクタチバナ ⑲植物→ヤブコウジ
木タール ⑮化学→タール
木炭 ⑬生活→燃料〔固体燃料〕表 →防湿剤〔種類〕 ⑮化学→無定形炭素 ⑱宇地→天然木炭
木炭画 ②美術 600 C
木彫 ②美術→彫刻〔種類と素材〕
木通 ⑭医学→生薬 ⑲植物→アケビ〔薬用〕
目的 ④哲宗 579 D →目的論
『目的意識論』 ①文学→青野季吉
目的因 ④哲宗→アリストテレス〔自然学〈16 C〉〕〔囲基本概念〕 →目的論
目的刑論 ⑪政社→刑罰〔本質〕
目的税 ⑪政社→租税〔わが国〕
目的なき合目的性 ④哲宗→カント,I〔批判哲学の展開〕〔囲基本概念〕 →美意識
目的プログラム ⑯物数→電子計算機〔プログラム〕
目的法論 ⑪政社→法哲学
目的論 ④哲宗 580 A →機械論 →目的
目的論的自然観 ④哲宗→アリストテレス〔自然学〈16 D〉〕
目的論的倫理観 ④哲宗→利己主義
木天蓼 ⑲植物→マタタビ
木糖 ⇨キシロース
黙禱 ④哲宗→祈り〔形式〕
黙認義務 ⑪政社→戦争〔戦争法―中立法規〕
木版印刷 ⑰科技 635 B →印刷〔凸版印刷〕表 ⑨世史→印刷術〔初期〕
木版画 ②美術 600 C図 →浮世絵〔技法〕 →版画〔多色版〕
黙秘権 ⑪政社 566 B
木部 ⑲植物 625 C →維管束 →柔組織

ヤ
や

八坂寺　⑦日地→四国地方〔別四国八十八か所〕
八坂神社《秋田》　⑧日地→天王(町)図
八坂神社《京都》〈祇園社,祇園天神〉　⑥日史1149 C　→平清盛　④哲宗→祇園信仰図　→神社〔表〈官幣大社〉〕　⑤日史→犬神人　→祇園祭　⑦日地→京都(市)〔囲神社・仏閣〕
八坂神社《山口》　⑧日地→山口(市)〔観光〕
八坂神社《高知》　⑦日地→大豊(町)
八坂神社《福岡》　⑦日地→小倉北(区)〔小倉城〕
弥栄神社　③音演→鷺舞
八坂神社祇園祭《群馬》　⑦日地→尾島(町)
ヤサガタアシナガグモ　⑳動物→アシナガグモ
八坂瓊曲玉　④哲宗→日本神話〔囲三種神器〕　⑤日史→三種の神器
八坂塔〈法観寺〉　⑦日地→京都(市)〔囲神社・仏閣〕
八坂焼　②美術→京焼
矢指　⑦日地→旭(市)
『やさしい夫』　①文学→スティール,R
や座WZ星　⑱宇地→再帰新星表
八郷(町)　茨城　⑧日地1127 B
弥三郎節〈弥三郎くずし〉　③音演→民謡〔表〈青森〉〕
矢沢　⑧日地→花巻(市)
野蚕糸　⑬生活→生糸　→絹織物
ヤシ　⇨ヤシ類
冶師　⑥日史→作物所
『**野史**』　⑥日史1149 D　⑤日史→飯田忠彦
ヤシー　⇨イヤシ
八潮(市)　埼玉　⑧日地1127 B
ヤシオウム〔椰子鸚鵡〕　⑳動物617 B　→オウム
八塩鉱泉　⑦日地→鬼石(町)
ヤシガイ〔椰子貝〕〈ハルカゼガイ〉　⑳動物617 B図
ヤシガニ〔椰子蟹〕　⑳動物617 B図　→ヤドカリ
ヤシ殻活性炭　⑮化学→活性炭
屋敷神　④哲宗→氏神　→神道〔囲用語〕
屋敷林　⑧日地1236 A　→防風林〈1233 B〉
野茨菰　⑲植物→オモダカ
ヤシ酒　⑲植物→ココヤシ　→ヤシ類〔利用〕
野史台　⑤日史→『維新史料』
ヤジード(一世)　⑨世史→ムアーウィヤ
やし糖　⑬生活→砂糖〔種類〕　⑮化学→砂糖〔表製品〕
養親　⑬生活→養子〔養子縁組〕
ヤージニャバルキヤ　インド　④哲宗→インド哲学〔古代〕
ヤシーヌ,K　アルジェリア[1929]　詩人。独立運動の闘士として活動,その体験に基づき作風は率直かつ激しい　①文学659 B
ヤジブカ　⑳動物→メジロザメ
『**八島**』　③音演571 C図
矢島(町)　秋田　⑧日地1127 C
屋島　香川/高松市　⑧日地1127 C図　→檀ノ浦　→メサ〈1235 C〉　⑱宇地→溶岩台地
矢島県　⑦日地→秋田(県)〔歴史〕
屋島寺　⑦日地→四国地方〔別四国八十八か所〕　⑧日地→高松(市)図
矢島線　⑦日地→羽越本線
屋島の戦い　⑥日史1149 D　→源義経〔武将義経〕　⑤日史→源平の合戦表
屋島山上水族館　⑳動物→水族館〔表日本〕
夜叉　④哲宗→鬼
ヤシャイグチ　⑲植物→イグチ
夜叉王　③音演→岡本綺堂〔修禅寺物語〕
夜叉神峠　山梨　⑧日地1127 D　⑦日地→間ノ岳　→芦安(村)
ヤシャビシャク〔夜叉柄杓〕　⑲植物636 A　→ヤブサンザシ
ヤシャブシ〔夜叉五倍子〕　⑲植物636 A　→ハンノキ図
ヤシャル・ケマル　①文学→トルコ文学〔近代〕
やし油　⑮化学623 B　→油脂〔表性状と用途〈植物脂〉〕
野州　⇨下野国
野獣派　⇨フォービスム
ヤシュチラン　⑨世史→マヤ〔古典期〕
ヤシュマク　⑬生活→ベール〔種類〕　→民族衣装〔民族衣装圏〕
『ヤジュル・ベーダ』　①文学→インド・パキスタン文学〔古代〕　④哲宗→ベーダ　⑨世史→ベーダ
やじり〔鏃〕　⑥日史→石鏃　→鉄鏃
ヤジリカヤ　②美術→ヒッタイト美術　⑨世史→ヒッタイト〔文化〕図
ヤシ類　⑲植物636 B図
ヤーシルド　①文学→北欧文学〔スウェーデン文学〕
やしろ〔社〕　④哲宗→神社
社(町)　兵庫　⑧日地1127 D
八代　山口/熊毛町　⑧日地1127 D　⑦日地→熊毛(町)
屋代　長野/更埴市　⑧日地1127 D
屋代　⑤日史→神社
ヤジロウ〔弥次郎〕　⇨アンジロー
矢代加茂神社　⑦日地→小浜(市)図
社川　⑦日地→浅川(町)　⑧日地→東(村)《福島》
八代国治　⑥日史→長慶天皇
屋代島　⇨大島《山口県大島郡》
矢代静一　[1927]　劇作家。戦後派の旗手として活躍。シリアスな作品と明るいコメディ・タッチに大別される　①文学659 B　③音演571 D　→フランス演劇〔日本〕
矢代東村　[1889/1952]　歌人。プロレタリア短歌運動に活躍　①文学659 C
屋代弘賢　[1758/1841]　江戸後期の国学者。塙保己一の高弟。5万巻の蔵書は不忍文庫と称す。『古今要覧稿』の編集を主宰　⑥日史1149 D
弥次郎兵衛　①文学→十返舎一九〔東海道中膝栗毛〕　⑥日史→『東海道中膝栗毛』
ヤーシン,A　ソ連[1913]　詩人。革命と社会主義建設の中から育った同国第一世代の作家　①文学659 C
野人女直　⑨世史→建州女直
夜須(町)　高知　⑧日地1127 D
夜須(町)　福岡　⑧日地1128 A
野洲(町)　滋賀　⑧日地1128 A
安居渓谷　⑦日地→池川(町)
ヤズイコフ,N　ロシア[1803/1846]　詩人。若くして自由・友情・酒宴をたたえる多数の作品を発表　①文学659 C
安井算哲　⇨渋川春海
安井曾太郎　[1888/1955]　洋画家。一水会を創立。主観主義的な近代写実絵画を確立。文化勲章受章　②美術614 C図　⑥日史1150 A
安井息軒　[1799/1876]　幕末の儒学者,古学派に属す。私塾三計塾から明治の政治家・思想家など広範な人材を輩出　④哲宗586 A　⑥日史1150 A図　→日向国〔囲人国記〕
安井道頓　[1533/1615]　豊臣秀吉に仕え,大坂築城の工に従う。道頓堀川の開削中,大坂夏の陣で戦死　⑥日史1150 A　⑤日史→河内国〔囲人国記〕　⑧日地→道頓堀
安井仲治　[1901/1942]　②美術→写真〔囲写真家〕図
安浦(町)　広島　⑧日地1128 A
安王丸　⑤日史→足利成氏　⑥日史→結城合戦
泰阜(村)　長野　⑧日地1128 B
安岡章太郎　[1920]　小説家。劣者の位置から現実をとらえる特異な視角をもつ。第三の新人とよばれ,優れた批評家でもある　㊎『海辺の光景』　①文学659 C　→芥川賞表
泰阜ダム　⑧日地→天竜川
野洲川　滋賀　⑧日地1128 B　→琵琶湖　⑱宇地→天井川
安川敬一郎　[1849/1934]　炭鉱経営者。明治鉱業を設立したほか安川電機・黒崎窯業など設立　⑫経産570 D図
野洲川ダム　⑧日地→土山(町)　→野洲川
安来(市)　島根　⑧日地1128 B
八杉貞利　[1876/1966]　ロシア語学者・歌人。ロシアに留学後「若菜会」結成に参加。ロシア語辞典を編纂　①文学659 D
安来節　③音演→民謡〔表〈島根〉〕　⑧日地→安来(市)
靖国神社　④哲宗586 B　→神社〔表〈別格官幣社〉〕　⑥日史1150 B　⑤日史→招魂社　⑦日地→九段　⑧日地→千代田(区)図　→東京(都)表
靖国神社みたま祭　⑧日地→東京(都)〔別年中行事〕
靖国鳥居　④哲宗→神社〔図鳥居〕
八筋堀　⑦日地→久保田(町)
安田(町)　新潟　⑧日地1128 C
安田(町)　高知　⑧日地1128 C
安田蛙文　①文学→並木宗輔　③音演→『雷神不動北山桜』
安田伊左衛門　⑬生活→競馬〔歴史〈日本〉〕
保高徳蔵　[1889/1971]　小説家。着実なリアリズムで男女の愛欲を扱う。新人育成誌『文芸首都』を発行,北杜夫・芝木好子らを輩出　①文学660 A
安田銀行　⑤日史→五大銀行　⑥日史→安田財閥　⑫経産→富士銀行(株)　→安田財閥
安田講堂　②美術→岸田日出刀　⑥日史→安田善次郎
安田講堂攻防戦　⑪政社→学生運動〔日本〕図
安田財閥　⑥日史1150 B　→安田善次郎　→結城豊太郎　⑫経産570 D　→コンツェルン　⑤日史→財閥〔図シェア〕　⑪政社→金権政治
安田善次郎　[1838/1921]　明治・大正期の実業家。江戸末期両替商安田屋から出発,一代にして安田財閥の基礎を築く　⑥日史1150 C　→安田財閥　⑫経産571 A図　→財閥〔経営者〕　→富士銀行(株)　→安田財閥
安田庭園　⑦日地→墨田(区)
安田節〈小豆島盆踊〉　③音演→民謡〔表〈香川〉〕
安田保善社　⑥日史→安田財閥　⑫経産→安田財閥
安田屋　⑥日史→安田財閥　→安田善次郎
安田靫彦　[1884/1978]　日本画家。大和絵を基調に歴史を主題にしたものが多い。文化勲章受章　②美術614 C図　⑥日史1150 C
保田与重郎　[1910/1981]　文芸評論家。『コギト』を創刊,『日本浪曼派』を発刊その中心となる　①文学660 A　→『コギト』　→『日本浪曼派』
安田老山　[1830/1882]　②美術→南画
安塚(町)　新潟　⑧日地1128 C
ヤスデ〔馬陸〕　⑳動物617 C図　→気門
ヤズドギルト(一世)　⑨世史→ササン朝ペルシア
安富(町)　兵庫　⑧日地1128 D
『**康富記**』　⑥日史1150 D
『保名』　③音演→『芦屋道満大内鑑』　→日本舞踊図
ヤスパース,K　ドイツ[1883/1969]　哲学者・精神医学者。精神医学において現象学派とよばれる立場をつくりあげ,のち実存哲学の第一人者となる　㊎『理性と実存』　①文学660 A　④哲宗586 C図囲　→現存在　→実存哲学　→世界観　→ドイツ哲学〔現象学・実存哲学など〕　→不安の哲学　→理解　⑭医学→ノイローゼ〔概念〕　→妄想
安原貞室　[1610/1673]　江戸前期の俳人。京都の紙商。貞徳の門に入り,花の本二世を継いだ　㊎『片言』　①文学660 B
安古市　広島/広島市　⑧日地1128 D
安松京三　⑳動物→ルビーアカヤドリコバチ
安松金右衛門　⑥日史→武蔵国〔囲人国記〕
やすみしし　①文学→短歌〔囲枕詞〕
『休みの日』　①文学→マゾー,E
休屋　青森/十和田湖町　⑧日地1128 D　→十和田湖図　→十和田湖(町)
休山　⑦日地→呉(市)
やすらい祭　⑦日地→北(区)《京都》　→京都(市)〔囲神社・仏閣〈今宮神社〉〕〔別年中行事〕
やすり　⑰科技→クロム鋼　→手仕上げ〔やすり仕上げ〕　⑳動物→カスザメ
やすり仕上げ　⑰科技→手仕上げ
ヤスリブ　⇨メディナ
ヤスリヘビ科　⑳動物→ヘビ〔分類〕
ヤスリムシ　⇨アカムシ《環形動物》
八瀬　京都市/左京区　⑧日地1128 D
野生馬　⑳動物→ウマ〔起原〕
野生種ミツバチ　⑳動物→ミツバチ〔種類と分布〕
野生生物公園　⑳動物→動物園〔展示の方式〕
野生的結び糸　⑯物数→結び糸図
野生動物　⑳動物→動物〔人間との関係〕
『野生のエルザ』　⑳動物→ライオン〔生態〕
『野性の叫び』　①文学→ロンドン,J
『野性の思考』　④哲宗→レビ=ストロース,C
痩馬　⑬生活→郷土料理〔囲〈大分〉〕
痩男　③音演→能〔能面〕図
痩女　③音演→能〔能面〕図
『瘠我慢の説』　④哲宗→福沢諭吉
ヤセグソクダイ　⑳動物→グソクダイ
ヤセザル〈ハヌマンラングーン〉　⑳動物→ゲレザ
やせすぎ〈羸痩〉　⑭医学→標準体重
『やせっこメフメト』　①文学→トルコ文学〔近代〕
ヤセバチ〔痩蜂〕　⑳動物618 A
八瀬遊園　⑦日地→京都(市)　⑧日地→八瀬
ヤセンスキー,B　ソ連[1901/1941]　ポーランド生まれの小説家。ストーリー・テラー的才をもって異色。分裂活動を問われ逮捕され獄死　①文学660 B
野草　⑲植物637 B　→雑草　⑬生活→山菜
夜想曲　⇨ノクターン
『夜想曲』　③音演→ドビュッシー　→ノクターン
耶蘇会　⇨イエズス会
ヤソーダラ　④哲宗→釈迦〔出家と成道〕　⑨世史→シャカ
屋台　⑬生活→日本料理〔歴史〈江戸〉〕
弥高山　⑦日地→川上(町)
八咫烏　⑥日史1150 D　④哲宗→日本神話囲

ユ ゆ

雪かき車警標　⑰科技→線路〔線路標識〕
雪合戦　⑱宇地→雪〔民俗〕
『雪国』　①文学→川端康成図　→サイデンステッカー,G　→日本文学〔近代〈芸術派〉〕
雪雲　⇨乱層雲
『雪解』　①文学→皆吉爽雨
ユキゲユリ　⇨チオノドクサ
雪衣　③音演→後見〔歌舞伎・舞踊〕
ユキザサ〔雪笹〕　⑲植物650 A図
雪沢温泉　⑦日地→大館(市)
由起しげ子　[1902/1969]　小説家。はじめて書いた小説『本の話』で戦後初の芥川賞を受賞　①文学666 A　→芥川賞表
雪尺　⑱宇地→雪〔積雪〕
ユキシャコ　⑳動物→高山鳥
雪印乳業(株)　⑫経産574 A
由岐神社　⑦日地→京都(市)〔囲神社・仏閣〈鞍馬寺〉〕
雪だるま　⑱宇地→雪〔民俗〕
ユキツバキ〔雪椿〕　⑲植物→ツバキ表別
雪どけ　①文学→ロシア・ソビエト文学〔ソビエト〕　⑨世史→フルシチョフ,N　→冷戦
『雪どけ』　①文学→エレンブルグ,I
行友李風　[1877/1959]　劇作家・小説家。新国劇の座付作者となる。大衆文壇に一時期を画す　①文学666 A
ユキドリ　⑳動物→鳥類〔形態〈脚〉〕
『雪にとざされて』　①文学→ホイッティア,J
ユキノカサ科　⑳動物→カサガイ
悠紀国　⑥日史→大嘗祭
ユキノシタ〔雪下〕　⑲植物650 B図
雪ノ下　⑦日地→鎌倉(市)〔観光〕
ユキノシタ科　⑲植物650 C
『雪之丞変化』　①文学→三上於菟吉
『雪の進軍』　③音演→軍歌
悠紀節会　⑥日史→大嘗祭図
『雪の鳥』　①文学→フレシェット,L
ユキノハナ　⇨スノードロップ
『雪の日』　①文学→樋口一葉
『雪暮夜入谷畦道』　③音演→『天衣紛上野初花』
雪姫　③音演→『祇園祭礼信仰記』
ユキヒメドリ〔雪姫鳥〕　⑳動物625 B図
ユキヒョウ〔雪豹〕　⑳動物625 B図　→チーター
ゆきひら〔雪平〕　⑬生活→鍋〔種類〈食卓用〉〕図
ユキホオジロ〔雪頬白〕　⑳動物625 C　→ホオジロ
雪祭　③音演573 D図　⑦日地→阿南(町)
雪まつり　⑦日地→札幌(市)〔観光・文化〕　⑧日地→十日町(市)図
雪見　⑱宇地→雪〔雪と生活〕
雪見障子　②美術→障子　⑬生活→障子〔種類〕
雪迎え　⑳動物→クモ〔囲空中移動〕
ユキムシ〔雪虫〕　⑳動物625 C　→ワタムシ
『雪娘』　①文学→オストロフスキー,A
雪目　⇨雪盲
ユキモチソウ〔雪餅草〕　⑲植物650 C　→テンナンショウ図
ユキヤナギ〔雪柳〕　⑲植物650 C図　→園芸〔図フラワーカレンダー〈2〉〕
遊行　④哲宗→僧〔原始仏教〕
遊行寺　⇨清浄光寺
遊行宗　⇨時宗
遊行上人　⇨一遍
『遊行柳』　③音演→『西行桜』
ユキワリソウ〔雪割草〕　⇨スハマソウ
ユキワリソウ〔雪割草〕　⑲植物651 A　→サクラソウ図　⑮化学→フラボン
ゆきわり納豆　⑬生活→納豆
ユーグ・カペー　[フランス][938*/996]　カペー朝初代の王。カロリング朝の断絶後,貴族たちにより王に擁立される　⑨世史646 C　→カペー朝　→フランク王国〔分裂〕　→フランス(共和国)〔歴史〈起源〉〕
ユクスキュル,J　[ドイツ][1864/1944]　動物学者。動物行動学の開拓者の一人　⑳動物625 C
ユークセン石　⑱宇地589 A
ユーグ族　⑩世地→中華人民共和国〔表少数民族〕
湯口　⑧日地→花巻(市)
ユーグ・ド・パイヤン　④哲宗→騎士修道会　⑨世史→テンプル騎士団
ユグナール,P　⑭医学→冬眠療法
ユグノー　④哲宗592 B　→宗教戦争　⑨世史→ユグノー戦争
行野港　⑦日地→尾鷲(市)
ユグノー戦争　⑨世史646 D　→アンボアーズの陰謀　→フランス(共和国)〔歴史〈ルネサンスと宗教改革〉〕　④哲宗→宗教戦争　→ユグノー
行橋(市)　福岡　⑧日地1157 D
ユークライト　⑱宇地→岩石〔深成岩または粗粒火成岩〈2〉〕　→深成岩　→斑糲岩
ユークラティデス　⑨世史→バクトリア
ユークリッド〈エウクレイデス〉　[ギリシア][*/*]　前300年ごろ活躍した幾何学者。古代ギリシア数学を集成,幾何学の体系をつくる　⑯物数567 B図　→幾何学〔古代ギリシア〈源泉〉〕　→幾何学基礎論　→公準　→公理　→証明〔歴史〕　→数学〔ギリシア〕　→平面幾何学　→ユークリッド幾何学　⑰科技→科学〔歴史〈ギリシア〉〕
ユークリッド幾何学　⑯物数568 C図　→幾何学基礎論　→非ユークリッド幾何学
ユークリッド空間　⑯物数→空間
ユークリッドの公理　⇨平行線の公理
ユークリッドの互除法　⑯物数569 A　→最大公約数・最小公倍数〔整数〕
ユークリッドの第5公準　⇨平行線公理
ユグルタ　[前*/104]　⑨世史→ユグルタ戦争
『ユグルタ戦記』　⑨世史→サルスティウス,G
ユグルタ戦争　⑨世史646 D　→スラ,L　→マリウス,G
弓削(町)　愛媛　⑧日地1158 B
湯気　⑮化学→水蒸気
靫負　⑥日史1179 C
衛門府　⇨衛門府
弓削島　愛媛　⑧日地1158 B　⑦日地→芸予諸島
輸血　⑭医学596 D図　→ランドシュタイナー,E〈179 D〉　→血液銀行
油頁岩　⑮化学→頁岩油　⑱宇地→頁岩
弓削道鏡　⇨道鏡
弓削守屋　⇨物部守屋
ユーゲント様式　⇨アール・ヌーボー
ユゴー,V　[フランス][1802/1885]　詩人・小説家・劇作家。フランス・ロマン派の統率者。自由主義・人道主義者として政治面でも活躍　作『レ・ミゼラブル』　①文学666 B図　→政治小説　→フランス文学〔19世紀前半〕　→ロマン主義〈720 C〉　⑨世史646 D　③音演→フランス演劇〔ロマン派劇〕
ユーゴ　⇨ユーゴスラビア(社会主義連邦共和国)
ユゴイ〔湯鯉〕　⑳動物626 A図
ユーゴスラビア(社会主義連邦共和国)　[ヨーロッパ]　⑩世地647 A図　⑨世史→サン・ジェルマン条約　→小協商　⑪政社→東欧政治事情　⑫経産→東欧経済事情図
ユーゴスラビア演劇　③音演→東欧演劇
ユーゴスラビア文学　①文学→東欧文学
勇駒別温泉　⑧日地→東川(町)
ユーコミス　⑲植物651 A図
ユーコン(川)　北アメリカ　⑩世地649 A　→ベーリング(海)
ユーコンテリトリー　カナダ　⑩世地649 B
遊佐(町)　山形　⑧日地1158 B図
油彩画法　②美術→ファン・アイク(兄弟)
湯崎温泉　⑦日地→白浜(町)《和歌山》
湯迫温泉　⑧日地→仁摩(町)
湯ざまし　⑬生活→食器〔分類〈和食器〉〕
湯ざめ　⑭医学→入浴
遊佐油田　⑦日地→庄内油田
湯沢　⑦日地→鬼怒川
湯沢(市)　秋田　⑧日地1158 B図
湯沢(町)　新潟　⑧日地1158 C図
湯沢温泉　⑦日地→小野(町)
湯沢温泉　⑦日地→荒川峡温泉郷　→関川(村)
油山寺　⑧日地→袋井(市)
油脂　⑮化学629 C図表　→鹼化価　→脂質　→脂肪　→シュブルール,M　→脂肪油　→ヨウ素価　⑲植物651 A　⑬生活→種実類　→食用油　→せっけん〔製造〕　⑳動物→脂肪
楡次　⇨ユイツー
ユージェニクス　⇨優生学
ユージオメーター　⑮化学628 C図
油脂化学　⑮化学→油脂
U字管　⑯物数→連通管
U字管圧力計　⑯物数→圧力計〔液体圧力計〕
U字谷　⑱宇地590 A　→浸食〔氷食〕　→谷〔浸食谷〈氷食谷〉〕図　→氷河〔氷河地形と氷成堆積物〕　⑧日地→懸谷〈1209 B〉　→氷食谷〈1230 D〉
輸地子田　⑥日史→不輸租田
油脂製造業　⑫経産574 B
ユージノサハリンスク〈豊原〉　南樺太　⑩世地649 C　→サハリン
油島　⑧日地→花泉(町)
湯島　東京/文京区　⑧日地1158 D
湯島　熊本　⑧日地1158 D　→談合島　⑦日地→天草諸島
湯島温泉　⑧日地→新治(村)〔猿ヶ京温泉〕
湯島聖堂　⑤日史→昌平黌　⑥日史→林鳳岡　⑦日地→御茶ノ水　⑧日地→文京(区)
湯島天神〈湯島神社〉　⑧日地→東京(都)〔観光〕　→文京(区)図
湯宿温泉　⑧日地→新治(村)
輸出　⑫経産→貿易
輸出依存度　⑫経産→貿易依存度
輸出型産地　⑫経産→地場産業
輸出課徴金　⑫経産→貿易〔囲用語〕
輸出許可　⑫経産→貿易〔囲用語〕
輸出国家独占資本主義　⑫経産→国家独占資本主義〔恒常的国際的国家独占資本主義〕
輸出雑貨　⑫経産→製陶業
輸出産業　⑫経産→雑貨工業　→製陶業
輸出乗数〈貿易乗数〉　⑫経産→乗数理論
輸出申告　⑫経産→貿易〔囲用語〕
輸出申告書〈E/D〉　⑫経産→貿易〔囲用語〈輸出許可〉〈輸出申告〉〕
輸出税　⑫経産→関税　→貿易〔囲用語〕
輸出入銀行　⑫経産→銀行〔預金銀行以外〕
輸出入品等臨時措置法　⑥日史1179 C
輸出入物価指数　⑫経産→物価指数
輸出品　⑫経産→交易条件　→商品検査所
由旬　④哲宗→仏教〔囲用語〕
癒傷組織　⑲植物→カルス
庾信　中国[513/581]　北周の詩人。「宮体詩」の第一人者とされる　①文学667 B
『ユージン・アラムの夢』　①文学→フッド,T
兪鎮五　⇨兪鎮五
ユージン・オニール　⇨オニール,E
ユージン・セジュルネ法　⑰科技→押出し
ユズ〔柚〕　⑲植物651 A図　→柑橘類〔利用〕
『柚子』　①文学→王魯彦
ユスキュダル　⇨ウシュキュダル
由豆佐売神社　⑧日地→鶴岡(市)
ユスティニアヌス(一世)　[482/565]　ビザンティン皇帝。王妃や名将名臣の補佐に恵まれ,ローマ帝国の栄光を復興　⑨世史647 A図　→テオドラ　→ナルセス　→ビザンティン帝国〔初期〕　→ベリサリオス　→『ユスティニアヌス法典』　→『ローマ法大全』　②美術→ハギア・ソフィア　⑪政社→ローマ法
『ユスティニアヌス法典』　⑨世史647 B　→トリボニアヌス　→『ローマ法大全』　⑪政社→法学〔歴史〈古代ローマ法学〉〕
ユスティヌス　[100*/165*]　パレスチナ生まれの神学者・初期キリスト教弁証家。信仰と理性が根本的に一致することを説く　④哲宗592 C
ユスティヌス(一世)　⑨世史→ユスティニアヌス(一世)
ユスティノフ,P　[イギリス][1921]　俳優・劇作家。2本のファンタスティック・コメディーで知られる　③音演574 A図　→イギリス演劇〔20世紀〕
ユーステノプテロン　⑱宇地→シーラカンス(類)　⑳動物→魚類〔進化〕図　→進化〔証明〈古生物学〉〕
ユスヌ　⑫経産→経費〔財政学〕
檮原(町)　高知　⑧日地1158 D
柞原八幡宮　⑦日地→大分(市)
ユースフ　トルコ　①文学→『クタドクビリク』　→トルコ文学〔イスラム化後〕
ユースフ(一世)　②美術→アルハンブラ　⑨世史→アルハンブラ宮殿
『ユスフとズユレイハ』　①文学→トルコ文学〔イスラム化後〕
『ユースフとズライハー』　①文学→ジャーミー
ユースホステル〈YH〉　⑬生活→キャンプ〔組織キャンプ〕　→旅行〔宿泊施設〕
柚餅　⑬生活→菓子〔図和菓子〕
ユスラウメ〔英桃〕　⑲植物651 B図
ユスラヤシ　⑲植物651 C
ユスリカ〔揺蚊〕　⑳動物626 A図　→水生昆虫
譲状　⑥日史1179 C　→手継証文
ユズリハ〔譲葉〕　⑲植物651 C図
譲原遺跡　⑦日地→群馬(県)〔歴史〕
泔坏　⑥日史1179 D
油井〈採油井〉　⑰科技643 C　⑧日地→油田〈1236 B〉　⑮化学→石油〔開発〕

輪精〈授精〉 ⑭医学→不妊症〔人工授精〕
油性エナメル〈油エナメル〉 ⑮化学→エナメル →塗料〔分類〈油性塗料〉〕
油性おしろい ⑬生活→おしろい
輪精管〈精管〉 ⑭医学→男性性器〔構造〕 ⑳動物→生殖器
油性塗料 ⑮化学→塗料〔分類〕表
油性ペイント ⇨油ペイント
湯瀬温泉 ⑦日地→鹿角(市)
湯瀬村コ ③音演→民謡〔表〈秋田〉〕
ユセリンクス,W ⑨世史→西インド会社〔オランダ西インド会社〕
温泉ヶ岳 栃木・群馬 ⑧日地 1158 D
輸租 ⑥日史 1179 D
輸送 ⑫経産→運送 ⑰科技→交通システム
輸送機 ⑰科技 643 C →飛行機〔用途〕図
輸送現象 ⑯物数 569 B
油槽船〈油タンカー〉 ⑰科技→タンカー
輸送用機械 ⑫経産→機械工業表
輸租田 ⑤日史→位田 →賜田 ⑥日史→不輸租田
ユーゾフカ ⇨ドニエツク
ユタ(州) ⑩世地 649 C
ユタ ④哲宗→巫女 ⑦日地→沖縄(県)〔文化〈年中行事と信仰〉〕 ⑪政社→シャマニズム〔日本〕
ユダ(イスカリオテの) 〔*.〕 ユダヤのケリオト出身で十二使徒の一人。キリストを銀 30 枚で裏切る ④哲宗 592 C →イエス・キリスト〔生涯〕
ユダ(山地) ⑩世地→ヨルダン(王国)〔自然〕
湯田 ⑧日地→二戸(市)〔金田一温泉〕
湯田(町) 岩手 ⑧日地 1159 A
ユダ王国〈ヘブライ王国,ユダヤ王国〉 ⑨世史 647 B →イスラエル王国 →バビロン捕囚 →ユダヤ人〔歴史〕 ④哲宗→聖書〔旧約聖書〈イスラエル〉〕 →ユダヤ教〔歴史〕 ⑩世地→イスラエル(国)〔略史〕
湯田温泉 ⑧日地→山口(市)
湯田温泉峡県立自然公園 ⑧日地→湯田(町) →和賀川
豊(町) 広島 ⑧日地 1159 B
湯田上温泉 ⑧日地→田上(町)
湯田川温泉 ⑧日地→鶴岡(市)
湯滝 栃木/日光市 ⑧日地 1159 C
湯滝 ⑭医学→温泉療法〔医治効用〈物理的作用〉〕
ユダ族 ⑨世史→ユダヤ人
湯田ダム ⑧日地→湯田(町) →和賀川
湯立神楽〈霜月神楽〉 ③音演→神楽〔里神楽〈伊勢流神楽〉〕図 →民俗芸能図
湯立獅子舞 ⑧日地→箱根〔観光〕
湯立神事 ⑧日地→西宮(市)〔広田神社〕
湯田中温泉 ⑧日地→山ノ内(町)
『ユダの手紙』 ④哲宗→聖書〔囲〈新約〉〕
『ユダの窓』 ①文学→カー,J
郁達夫 ⇨郁達夫
ユダヤ王国 ⇨ユダ王国
ユダヤ音楽 ③音演 574 B図
ユダヤ教 ④哲宗 592 C図 →イエス・キリスト →戒 →キリスト教〔イエス・キリスト〕 →宗教〔構造〕 →終末論〔旧約〕 →聖書〔旧約聖書〕 →『タルムード』 →律法 ⑨世史 647 C →パリサイ人 ⑪政社 571 A →キリスト教 →終末論 ①文学→聖書
ユダヤ語 ⑨世史→ユダヤ人
ユダヤ人 ⑨世史 647 C →シオニズム ①文学→さまよえるユダヤ人 ④哲宗→キリスト教〔イエスの背景〕 →ユダヤ教 ⑩世地→イスラエル(国)〔略史〕 →オシュフィエンチム →ソビエト(連邦)〔社会・文化〈民族〉〕 ⑪政社→少数民族問題 →人種問題〔人種主義〕図 →ナチズム〔支配〕 →ユダヤ人問題
『ユダヤ人のぶなの木』 ①文学→ドロステ=ヒュルスホフ,A
ユダヤ人問題 ⑪政社 571 C図 →民族問題
ユダヤ暦 ⑨世史→暦〔太陰太陽暦〕表 ⑱宇地→暦〔太陰太陽暦〕
ユーダル,N 〔1505/1556〕 ③音演→近代劇
油単 ⑥日史 1179 D
湯段温泉 ⑦日地→岩木(町)
輸胆管 ⑭医学→肝臓
湯たんぽ ⑭医学→罨法〔表温罨法〕
魚翅 ⑬生活→中国料理〔囲特殊材料〕図
ユーチカ ⑩世地 649 D
癒着 ⑭医学 597 D
ユーチャリス〈アマゾンリリー〉 ⑲植物 651 C図
兪鎮五 朝鮮〔1922/1950〕 詩人。繊細な叙情と鋭い風刺精神に支えられた作品は広く愛された ①文学 667 C
ユッカ ⑲植物 652 A図
湯津上(村) 栃木 ⑧日地 1159 C
弓月君 古代の帰化人豪族の秦氏の祖とされる。融通王ともいう ⑥日史 1180 A
『ユッテン』 ③音演→宗教劇
『ユットゥ』 ①文学→ハーンパー,P
諭鶴羽山地 兵庫/淡路島 ⑧日地 1159 C
UDEAO ⇨西アフリカ関税同盟
UDEAC ⇨中部アフリカ関税経済同盟
UDA ⇨アルスター防衛同盟
UDF〈フランス民主主義連合〉 ⑪政社→政党(各国)〔フランス〈右翼政党〉〕
UTAフランス航空 ⑬生活→海外旅行〔航空会社〕
UTM図法〈ユニバーサル横メルカトル図法〉 ⑱宇地→地図〔要素〈地図投影法〉〕
ユーティカ ⇨ユーチカ
『ユーディット』 ③音演→ヘッベル,F
ユーティリティ ⑬生活→台所〔形式〕 →浴室
ユーティリティ・プログラム ⑰科技→電子計算機〔ソフトウェア〕
ゆで卵 ⑬生活→卵料理〔料理〕
ユデニチ,N 〔1862/1933〕 軍人。ロシア革命後イギリスの支援で白衛軍を組織,赤軍に敗北し亡命 ⑨世史 647 D
ゆでめん ⑬生活→うどん →めん類
油田 ⑧日地 1236 B →ガス田〈1204 A〉 →鉱山〈1210 A〉 ⑫経産→石油産業〔歴史〕図 ⑰科技→海洋掘削 →採油図
油田ガス ⑫経産→天然ガス鉱業 ⑮化学→天然ガス〔種類〕
湯桶 ⑬生活→懐石図
湯豆腐 ⑬生活→豆腐〔豆腐料理〕図 →鍋料理
ユードクソス 〔前408?/355?〕 ⑯物数→微分積分学
ユトケビッチ,S ソ連〔1904〕 映画監督。社会主義リアリズムの先駆的作品『呼応計画』がある ③音演 574 C
湯とじ ⑬生活→郷土料理〔囲〈長野〉〕
湯殿山 山形 ⑧日地 1159 C →出羽三山
湯殿山温泉 ⑱宇地→温泉〔溶解化学成分〕
湯殿山神社 ④哲宗→神社〔表〈国幣小社〉〕 ⑦日地→朝日(村)《山形》図 ⑧日地→羽黒(町)
湯殿山神社 ⑦日地→栗山(村)〔湯西川温泉〕
湯殿始の祝 ⑤日史→産
ユートピア〈理想郷〉 ④哲宗 594 A →大同思想
『ユートピア』 ①文学→イギリス文学〔ルネサンス〕 →人文主義 →モア,T →ルネサンス文学 ⑨世史→モア,T ⑪政社→共産主義〔思想と運動〕 →ユートピア思想図
ユートピア思想 ⑪政社 572 C図
ユートピア社会主義 ④哲宗→ユートピア ⑫経産→社会主義思想〈266 A〉
『ユートピアだより』 ①文学→モリス,W《詩人》
『ユートピアの精神』 ④哲宗→ブロッホ,E
ユートピア文学 ④哲宗→未来論
ユトランド(半島) デンマーク・西ドイツ ⑩世地 649 D →デンマーク(王国)〔地方誌〕
ユトランド沖海戦 ⑨世史→第一次世界大戦〔経過〕
魚取沼 宮城 ⑧日地 1159 C →宮崎(町) ⑦日地→小野田(町) ⑳動物→テツギョ
ユトリロ,M フランス〔1883/1955〕 画家。古いパリの町並を描写,メランコリックな詩情が漂う作品を多く残す ②美術 620 A図
『ユードルフォの怪奇』 ①文学→ゴシック小説 →ラドクリフ,A
ユトレヒト オランダ ⑩世地 650 A →オランダ(王国)〔地方誌〕
ユトレヒト条約 ⑨世史 648 A →アシエント →アン女王戦争 →スペイン継承戦争 →フェリペ(五世) →ラスタット条約
ユトレヒト同盟 ⑨世史 648 A →中欧史〔オランダ〕
ユナ(川) ⑩世地→ドミニカ(共和国)〔自然〕
湯女 ⑥日史 1180 A →銭湯
ユナイテッド・ステーツ号 ⑰科技→船〔汽船の時代〈高速化〉〕図
ユーナック ⇨宦官
ユナニミスム ①文学→フランス文学〔20 世紀〕 →ロマン,J
由仁(町) 北海道 ⑧日地 1159 D
ユニオニスト ⑪政社→アイルランド問題
ユニオン・カーバイド ⑫経産 574 C
ユニオン・ジャック ⑪政社→国旗〔囲〈イギリス〉〕
ユニオン・ショップ ⑪政社→労働基本権〔内容〈労働組合の統制権〉〕 →労働組合〔ショップ制〕 ⑫経産→労働組合〔組織形態〕
ユニオン天文台 ⑱宇地→天文台〔表〈アフリカ〉〕
ユニオン・パシフィック鉄道 ⑫経産→アメリカ経済事情〔アメリカ資本主義〕
ユニオン・ミニエール ⑫経産 574 C
U2型機撃墜事件 ⑨世史→冷戦〔東西首脳会談〕 ⑪政社→安保闘争 →諜報活動 →日ソ関係〔安保条約〕 →米ソ関係〔危機から和解へ〕
ユニコーン ⇨イッカク
湯西川温泉 ⑦日地→栗山(村)
ユニジャンクション・トランジスタ ⑰科技→トランジスタ〔特殊トランジスタ〕
ユニセフ〔UNICEF〕〈国連児童基金〉 ⑪政社→国際連合〔図組織〕 →児童福祉〔国際機関〕
ユニゾン ③音演→合唱
ユニタリ行列 ⑯物数→行列〔正規行列〕 →線形変換〔計量ベクトル空間〕 →ベクトル空間〔正規直交底〕
ユニタリ群 ⑯物数→リー群〔例〕
ユニチカ(株) ⑫経産 574 D
ユニット家具 ⑫経産→家具産業〔現状〕 ⑬生活→家具〔傾向〕 →室内装飾〔寝室〕 →住まい〔デザイン〈室内装飾〉〕
ユニット型投資信託 ⑫経産→金融〔囲用語〕
ユニテリアン ④哲宗 594 C →キリスト教〔宗教改革〕
ユニバーサル・スペース ⑰科技→建築設計〔個と全体〕 →コア・システム
ユニバーサル横メルカトル図法〈UTM図法〉 ⑱宇地→地図〔要素〈地図投影法〉〕図
ユニバーサルモーター〈交直両用電動機〉 ⑰科技 643 C →電動機
ユニバーシティ ⑨世史→大学〔ギルド化〕
UNIVAC ⑯物数→計算機
ユニポーラ・トランジスタ〈MOS FET〉 ⑰科技→集積回路 →トランジスタ〔電界効果型トランジスタ〕
輸入 ⑫経産→貿易
輸入依存度 ⑫経産→貿易依存度
輸入課徴金 ⑫経産→非関税障壁
輸入関税政策 ⑫経産→重商主義
輸入許可 ⑫経産→貿易〔囲用語〕
輸入材 ⑰科技→木材表
輸入申告 ⑫経産→貿易〔囲用語〕
輸入税 ⑫経産→関税
輸入代替政策 ⑫経産→発展途上国開発問題
ユニュウブンチョウ ⑳動物→ブンチョウ
輸入貿易手形 ⑫経産→貿易〔囲用語〈貿易手形〉〕
輸入割当制 ⑫経産→非関税障壁 →貿易〈第一次大戦後〉
ユニリーバ ⑫経産 574 D
ユヌス・エムレ 〔?/1307〕 トルコの神秘主義詩人。小アジア・トルコ語方言を文章語の地位に高めた ①文学 667 C →トルコ文学〔イスラム化後〕
ユネスコ〔UNESCO〕〈国連教育科学文化機関〉 ⑥日史 1180 B ⑪政社→国際連合〔図組織図〕
ユネスコ村 ⑧日地→所沢(市)
Uネックライン ⑬生活→衿〔図ネックライン〕
ユノ ④哲宗→ギリシア・ローマ神話〔囲主要神名〈ヘラ〉〕
湯浦 ⑦日地→芦北(町)
湯浦温泉 ⑦日地→芦北(町)
湯之尾温泉 ⑧日地→菱刈(町)
湯野温泉 ⑧日地→福島(市)
湯野温泉 ⑧日地→徳山(市)
湯野上温泉 ⑦日地→下郷(町)
湯ノ川温泉 ⑧日地→斐川(町)
湯の川温泉 ⑧日地→函館(市)
湯野川温泉 ⑧日地→川内(町)《青森》
湯ノ倉温泉 ⑦日地→栗駒温泉郷
湯ノ湖 栃木 ⑧日地 1159 D図 →湯滝 ⑳動物→カワマス
湯郷温泉 ⑧日地→美作(町)
湯の児温泉 ⑧日地→水俣(市)
湯ノ小屋温泉 ⑧日地→水上(町)
湯ノ沢温泉 ⑦日地→碇ヶ関(村)
温ノ沢温泉 ⑦日地→雄勝(町)
湯のし仕上げ ⑬生活→洗い張り
湯出温泉〔湯の鶴温泉〕 ⑦日地→国見山地 ⑧日地→水俣(市)

ヨ

よ

吉井川　岡山　⑧日地 1170 B　→津山盆地
ヨシイムシ　⑳動物→カマアシムシ図
吉植庄亮　[1884-1958]　歌人。印旛沼畔の開墾に従い，のち衆議院議員となる　①文学 672 B
吉海(町)　愛媛　⑧日地 1170 C　⑦日地→大島《愛媛県越智郡》
吉江喬松　[1880-1940]　詩人・評論家・仏文学者。ロシア文学に傾倒した浪漫的自然詩で注目される。早大仏文科を創設　①文学 672 B
ヨージェフ　ハンガリー [1905-1937]　詩人。労働者の苦しみを幼時から体験。共産党に入るが，実践活動から離れ自殺　①文学 672 C
吉岡　宮城/大和町　⑧日地 1170 C　→大和(町)
吉岡(村)　群馬　⑧日地 1170 C
吉岡温泉　⑧日地→鳥取(市)
吉岡禅寺洞　[1889-1961]　俳人。新興俳句運動に参加，無季俳句を容認。戦後，口語俳句協会を結成　①文学 672 C　→『天の川』
吉岡隆徳　⑬生活→陸上競技〔日本〕
吉岡銅山　⑧日地→成羽(町)
吉岡実　[1919-　]　詩人。満州へ出征，済州島より復員。『僧侶』でH氏賞受賞　①文学 672 C
吉岡弥生　⑭医学→女医図
ヨシガモ〔葭鴨〕　⑳動物 628 A　→カモ〔分類〈淡水ガモ〉〕図
ヨシカルオラ　⑩世地→マリ
吉川(町)　埼玉　⑧日地 1170 C
吉川(町)　新潟　⑧日地 1170 C
吉川(村)　高知　⑧日地 1170 C
芳川顕正　[1841-1920]　明治期の官僚政治家。山県内閣の文相として教育勅語の起草にあたる　⑥日史 1186 C
吉川英治　[1892-1962]　小説家。旺盛な筆力で国民文学を創造。文化勲章受章　作『宮本武蔵』　①文学 672 D図　→大衆文学　→歴史小説　⑥日史 1186 C
吉川幸次郎　[1904-1980]　中国文学者。該博な知識による古典解釈で知られる　①文学 673 B
吉川五明　⑥日史→出羽国〔囲人国記〕
吉川惟足　[1616-1694]　江戸初期の神道家。吉田神道から仏教的要素を除き，儒学思想を加味　⑥日史 1186 C　→吉川神道　④哲宗→神道〔江戸時代〕　→吉川神道
吉川神道〈理学神道〉　④哲宗 598 D　→神道〔江戸時代〕　⑥日史 1186 C　→吉川惟足　⑤日史→神道〔仏教と神道〕
吉敷川　⑧日地→椹野川　→山口盆地
吉木蘭斎　⑤日史→石見国〔囲人国記〕
ヨシキリ〔葦切，葭切〕　⑳動物 628 B
ヨシキリザメ〔葦切鮫〕　⑳動物 628 B　→サメ〔調理〕
余次元　⑯物数→多様体〔座標変換と構造〕
4次元空間〈ミンコフスキー空間〉　④哲宗→次元　⑯物数→相対性理論　→ミンコフスキー，H
四次元芸術　①文学→宮沢賢治
4次元世界　⑯物数 572 A
ヨシゴイ〔葭五位〕　⑳動物 628 B図　→擬態図　→サギ
吉胡貝塚　⑥日史 1186 D　⑧日地→田原(町)
吉崎　福井/金津町　⑧日地 1170 D　⑦日地→金津(町)
吉崎御坊　⑤日史→加賀一向一揆
吉崎道場　⑥日史 1186 D　→蓮如兼寿　⑤日史→応仁の乱〔結果〕
芳沢あやめ　江戸時代の歌舞伎俳優。代々上方の若女方。五世まである　③音演 575 B図　⑥日史 1186 D
芳沢あやめ(初世)　[1673-1729]　江戸前期の歌舞伎俳優。上方の劇壇を代表する名女方。女方芸術の基礎を確立　③音演 575 B
芳沢謙吉　[1874-1965]　大正・昭和期の外交官。1925年日ソ基本条約をまとめた。外務大臣をつとめる。　⑥日史 1186 D　⑪政社→日ソ関係〔国交の樹立〕
吉沢検校　[1800-1872]　③音演→箏曲〔歴史〕
吉沢好謙　[1722-1776]　⑤日史→信濃国〔囲人国記〕
慶滋保胤　[931?-1002]　平安中期の漢詩人。弥陀を念じ出家し諸国遍歴。『池亭記』は『方丈記』の先行文学として著名　①文学 673 B　⑥日史 1187 A図
ヨシ湿原〈低層湿原〉　⑲植物→湿原
よしず　⑲植物→アシ
吉住家　③音演→長唄〔囲流派〈唄方〉〕
吉田　⑦日地→一碧湖
吉田　⑦日地→吉良(町)
吉田　⑧日地→土成(町)
吉田(町)　埼玉　⑧日地 1170 D
吉田(町)　新潟　⑧日地 1170 D
吉田(町)　静岡　⑧日地 1170 D図
吉田(町)　広島　⑧日地 1171 A図
吉田(町)　愛媛　⑧日地 1171 B
吉田(町)　鹿児島　⑧日地 1171 C
吉田(村)　島根　⑧日地 1171 C
吉田遺跡　⑧日地→兵庫(県)〔歴史〕
吉田五十八　[1894-1974]　建築家。皇居造営委員会顧問をつとめ，歌舞伎座などで知られる。文化勲章受章　②美術 623 A　→大和文華館〈682 C〉
吉田一穂　[1898-1973]　詩人。現代詩に古典的格調を獲得しえた稀有な存在　①文学 673 B
吉田栄三　明治以来の人形浄瑠璃の人形遣い。二世まである　③音演 575 C図
吉田栄三(初世)　[1872-1945]　人形浄瑠璃の人形遣い。文楽座人形座頭となり，女方や二枚目を本領とした　③音演 575 C図
吉田温泉　⑦日地→えびの(市)
吉田兼俱〈卜部兼俱〉　[1435-1511]　室町中・後期の神道家。吉田神道の中興の祖で，唯一神道を首唱　⑥日史 1187 B　④哲宗→卜部兼俱　→神道〔室町時代〕　→吉田神道
吉田兼見　⑤日史→『兼見卿記』
吉田川　⑦日地→品井沼　⑧日地→鳴瀬川
吉田川　⇨木屋川
吉田冠子　③音演→『恋女房染分手綱』
吉田清成　[1845-1891]　明治初期の外交官。駐米公使をつとめ，日米間の条約改正交渉に努力　⑥日史 1187 B
ヨシタケ　⇨ダンチク
吉田家　本姓は卜部氏。平安時代から吉田神社の祠官となる。唯一神道流の宗家　⑥日史 1187 B　→吉田神道　⑤日史→卜部氏
吉田健一　[1912-1977]　評論家・英文学者・小説家。吉田茂の子。個性的批判眼で輸入された日本近代文学の疑似性を指弾　①文学 673 C
吉田兼好〈卜部兼好〉　[1283?-1350?]　鎌倉・南北朝時代の歌人・随筆家。無常の理をふまえて「つれづれ」を楽しむべしと説く　作『徒然草』　④哲宗 599 A　⑥日史 1187 B　①文学→兼好
吉田絃二郎　[1886-1956]　小説家。叙情と詠嘆に富む感想文に本領を発揮，史劇もある　①文学 673 C
吉田玄蕃　⑥日史→明和事件
吉田公均　[1817-1880]　⑤日史→越中国〔囲人国記〕
吉田古墳　⑧日地→水戸(市)〔観光・文化〕
吉田定房　[1274-1338]　鎌倉末期・南北朝初期の廷臣。後醍醐天皇の親政時に重用された　⑥日史 1187 C　⑤日史→元弘の乱
吉田式乗用車　⑰科技→自動車〔歴史〈日本〉〕図
吉田茂　[1878-1967]　政治家。第二次大戦後，五次にわたり政権を担当し日本の復興を主導。対日講和条約を締結　⑥日史 1187 C図　→吉田茂内閣　⑪政社 575 C図　→対日講和条約図　⑤日史→自由党《1945年》
吉田茂内閣　⑥日史 1187 D表　→造船疑獄　→三鷹事件　⑤日史→国民民主党　→自由党《1945年》　→食糧メーデー
吉田松陰　[1830-1859]　幕末の志士，長州藩士。松下村塾において多数の志士や維新の人材を養い，安政の大獄により刑死　作『講孟余話』　④哲宗 599 C図　→佐久間象山　⑥日史 1188 C図　→征韓論　⑤日史→韓国併合　→久坂玄瑞　→松下村塾　⑦日地→柿崎弁天島　⑪政社→儒学　→明治維新の政治思想〔天皇シンボル〕
吉田書簡　⑪政社→日中関係〔長崎国旗事件以後〕
吉田神社　④哲宗→神社〔表〈官幣中社〉〕　⑥日史→吉田神道　⑦日地→京都(市)〔囲神社・仏閣〕
吉田真太郎　⑰科技→自動車〔歴史〈日本〉〕
吉田神道〈卜部神道，元本宗源神道，唯一神道〉　④哲宗 599 D　→伊勢神道　→卜部兼俱　→神社神道　→神道〔室町時代〕　→本地垂迹説　⑥日史 1188 D　→吉田兼俱　→吉田家　⑤日史→神道〔仏教と神道〕　⑪政社→神道
吉田静致　[1872-1945]　倫理学者。グリーンの絶対的唯心論を排して人格的唯心論を唱道　④哲宗 600 A
吉田晴風　[1891-1950]　③音演→日本音楽〔あゆみ〈近代〉〕
吉田胎内　⑱宇地→洞穴表
吉田玉造　江戸末期からの人形浄瑠璃の人形遣い。四世まである　③音演 575 C
吉田玉造(初世)　[1829-1905]　人形浄瑠璃の人形遣い。幕末から明治に文楽座で活躍した名人　③音演 575 D
吉田東伍　[1864-1918]　明治・大正期の歴史学者。新聞記者をし独学で歴史を研究　作『大日本地名辞書』　⑥日史 1189 A
吉田東篁　[1808-1875]　⑤日史→越前国〔囲人国記〕
吉田東洋　[1816-1862]　幕末の土佐藩士。開明的な藩政改革を指導。武市瑞山一派により暗殺　⑥日史 1189 A　→武市瑞山　→土佐藩
吉田富三　[1903-1973]　病理学者。アゾ色素による肝臓癌人工発生に成功。文化勲章受章　⑭医学 96 D図　→医学〔現代医学とその課題〕　→癌
吉田知子　①文学→芥川賞〔表〕
吉田寅次郎　⇨吉田松陰
吉田奈良丸(二代)　[1880-1967]　③音演→浪花節図
吉田肉腫　⑭医学→癌〔人工癌〕　→吉田富三〈96 D〉
吉田の大池　⇨一碧湖
吉田の火祭　⑧日地→富士吉田(市)
吉田藩　⑥日史 1189 B
吉田秀雄　⑫経産→電通(株)
吉田文五郎　[1869-1962]　人形浄瑠璃の人形遣い。女方遣いとして，振袖物の娘役に優れた。　③音演 575 D図
吉田文三郎　[?-1760]　江戸中期の人形浄瑠璃の人形遣い。三人遣いの人形操法の上に立って写実的な演技術を確立　③音演 576 A　→浄瑠璃〔義太夫節〕　→人形浄瑠璃〔歴史〈竹豊時代〉〕
吉田兵蔵　③音演→『傾城阿波の鳴門』〈浄瑠璃義太夫節〉
吉田雅夫　[1915-　]　③音演→フルート
吉田光由　[1598-1672]　江戸初期の数学者。優れた数学入門書『塵劫記』を刊行　⑥日史 1189 B　⑯物数 572 A図囲　→和算〔そろばんの渡来〕　⑤日史→『塵劫記』
吉田屋　③音演→歌舞伎〔囲屋号〕
吉田流　⑤日史→弓術〔流派〕
義経号　⑰科技→蒸気機関車〔歴史〕　→鉄道〔歴史〈動力車〉〕図
『義経千本桜』　③音演 576 C図　→人形浄瑠璃図　①文学→浄瑠璃　→竹田出雲(二世)　→並木宗輔
『義経物語』　⇨『義経記』
葭戸　⑬生活→障子〔夏障子〕
吉富(町)　福岡　⑧日地 1171 C
吉奈温泉　⑦日地→天城湯ヶ島(町)
吉永(町)　岡山　⑧日地 1171 D
吉野　奈良　⑥日史 1189 B　⑧日地 1171 D　⑤日史→後醍醐天皇〔施政〕　→修験道
吉野(町)　奈良　⑧日地 1172 A図
吉野(町)　徳島　⑧日地 1172 C
吉野紙　②美術→和紙〔歴史〕
吉野川　近畿地方　⑧日地 1172 D　→吉野(町)《奈良》　⑦日地→紀ノ川
吉野川　四国地方　⑧日地 1172 D　⑦日地→大歩危・小歩危
『吉野川』　③音演→『妹背山婦女庭訓』
吉野川筏唄　③音演→民謡〔表〈奈良〉〕
吉野川総合開発　⑦日地→四国地方〔産業〈工業〉〕　⑰科技→河川計画〔河川流域の総合開発計画〉〕
吉野川津風呂県立自然公園　⑧日地→奈良(県)〔観光〕　→吉野(町)《奈良》　→吉野川《近畿地方》
吉野峡　⑦日地→青梅(市)
吉野熊野国立公園　近畿地方　⑧日地 1172 D図
吉野熊野総合開発計画　⑦日地→近畿地方〔産業〈鉱業・水力〉〕
吉野皇居跡　⑧日地→吉野(町)《奈良》
吉野鉱山　⑧日地→南陽(市)
吉野作造　[1878-1933]　政治学者・思想家。民本主義を唱え，大正デモクラシーの中心人物となる　⑥日史 1189 C図　→大正デモクラシー〔第2期〕　→民本主義　→黎明会　⑪政社 576 A図　→大正デモクラシー　→民主主義〔日本〕　①文学→滝田樗蔭　⑤日史→赤松克麿　→新人会
『吉野拾遺』　①文学 673 C
吉野汁　⑬生活→汁物〔澄まし汁〕
吉野神宮　④哲宗→神社〔表〈官幣大社〉〕　⑧日地→吉野(町)《奈良》図
吉野酢　⑬生活→あえ物〔酢の物〕表
吉野スギ　⑦日地→近畿地方〔産業〈農業〉〕　⑧日地→吉野(町)《奈良》図
吉野谷(村)　石川　⑧日地 1173 B
吉野朝時代　⑥日史→南北朝正閏論

ラ

羅　②美術623 D図　→からみ織　⑬生活→織物〔基本組織〈からみ織〉〕→絹織物
鑼　③音演580 D
ラー　⑨世史651 B　→エジプト〔歴史と文化〈古王国時代〉〕④哲宗→エジプト神話〔創世神話〕図
ライ,C　[1924]　小説家。回顧的自伝『黒い子ども』はアフリカ人初の本格小説と賞賛される　①文学675 C　→アフリカ文学〈第2期〉
ライ,L　[1901]　③音演→アニメーション映画〔ヨーロッパ〕
ライ,S　[1921]　映画監督。美しいベンガルの自然と人生を描く　③音演580 D図　→映画〔トーキー〈第6期〉〕
ライ　⇨アホウドリ
癩〈ハンセン病,レプラ〉　⑭医学603 A図　→ハンセン,G〈603 C〉
『癩』　①文学→島木健作　→転向文学
ライアルプル　⇨ライヤルプル
ライアンNYP　⑰科技→飛行機図別
『ライアンの娘』　③音演→リーン,D
雷雨　⑱宇地591 C　→雷図　→寒冷前線　→低気圧〔天気〕
『雷雨』　①文学→オストロフスキー,A
ライ・ウイスキー　⑬生活→ウイスキー〔アメリカン・ウイスキー〕⑮化学→醸造〔酒類〈ウイスキー〉〕
雷雨細胞　⑱宇地→雷〔雷雲〕図
雷雲　⑱宇地→雷図　→積乱雲
ライエ,G　⑱宇地→ウォルフ=ライエ星
ライエル,C　[1797-1875]　地質学者。地質学における斉一観を体系化し世に広めた　⑱宇地591 C図　→化石〔意義〕→集塊岩　→地質時代〔斉一説〕⑳動物→ダーウィン,C〔進化論の発表〕
ライエル(山)　⑩世地→カリフォルニア(州)〔自然〕
ライオン　⑳動物629 C図囲　→生殖〔性徴〕→タイゴン　→ライガー　→レオポン　②美術→スフィンクス
ライオン(株)　⑫経産578 D
ライオン首相　⑥日史→浜口雄幸
ライオンズゲート橋　⑩世地→バンクーバー
ライオンズヘッド　⑩世地→ケープタウン図
ライオンタマリン　⑳動物→マーモセット
ライオンの門　⑨世史→ヒッタイト図
ライオン歯磨(株)　⑫経産→ライオン(株)
ライカ　⑫経産→光学機械工業〔歴史と現状〕⑰科技→カメラ図　→写真〔技術の歴史〈カメラ〉〕図
ライガー　⑳動物630 C　→タイゴン　→トラ〔生態〕
ライカ犬　⑱宇地→ロケット〔歴史〈第2次大戦後〉〕⑳動物→イヌ〔用途〕
礼冠〈礼服冠〉　②美術→熊野三山図　⑤日史→冠
雷管　⑮化学→火薬〔火工品〕
『礼記』　④哲宗600 C　→五経　→『大学』→礼　⑨世史651 B　→十三経　→大同思想
『礼記正義』　⑨世史→『礼記』
頼久寺　②美術→庭園別　⑧日地→高梁(市)図
ライギョ〔雷魚〕　⑳動物630 C　→カムルチー
『礼経』　④哲宗→『儀礼』
癩菌　⑭医学→病原体〔病原細菌〕→癩
ライク,L　[1909-1949]　⑨世史→東欧史〔歴史〈第二次大戦後〉〕
来国俊　[*.*]　鎌倉中期の来派の刀工。直刃または直刃に小乱れ交りの刃を得意とする　⑥日史1193 C　②美術→来派
ライグラス　⑲植物→芝生〔西洋シバ〕
雷撃　⑱宇地→雷〔電光放電〕図
雷光　⑱宇地591 C　→雷〔電光放電〕図　→発光現象
雷汞　⑮化学639 C　→火薬〔表性能〕→雷酸水銀
来迎　④哲宗→極楽
頼豪　[1002-1084]　④哲宗→天台宗囲
来迎院　④哲宗→良忍　⑦日地→大原〔京都〕
来迎寺〈聖衆来迎寺〉　②美術→庭園囲　⑦日地→大津(市)
来迎図　⑥日史1193 D　②美術→浄土教美術
雷汞爆粉　⑮化学→雷酸水銀
ライサン(島)　⑩世地654 C
雷酸　⑮化学→炭素〔化合物〈シアン化物〉〕
来山　⇨小西来山
雷山県立自然公園　⑧日地→那珂川(町)
雷山神籠石　⑧日地→前原(町)
雷酸水銀　⑮化学639 C　→水銀〔水銀化合物〕
頼山陽　[1780-1832]　江戸後期の儒学者・歴史家・漢詩人・書家。詠史詩のジャンルを開拓。経学から独立した当代一級の文人　作『日本外史』①文学675 C　②美術623 D　④哲宗600 D図　⑥日史1193 D図　→『日本外史』⑤日史→江馬細香
ライシャワー,E　[1910]　⑪政社→近代化
雷州半島　⇨レイチョウ(半島)
雷神　④哲宗→天神信仰　⑱宇地→雷〔民俗〕図　⑳動物→ヘビ〔囲伝説〕
雷神山古墳　⑥日史1194 A図　⑧日地→名取(市)
ライス,E　[1892-1967]　劇作家。映画的手法を初めて用い注目をあびる　①文学675 D　③音演580 D　→現代演劇
ライス,K　[1926]　③音演→映画〔トーキー〈第6期〉〕
ライスペーパー　⑰科技→薄葉紙
ライスボウル　⑬生活→アメリカンフットボール〔歴史〕
ライスワイク条約　⑨世史651 C　→ウィリアム王戦争　→プファルツ戦争　→ユトレヒト条約
来世観　④哲宗601 A　→他界観　→天国
ライソゾーム　⑭医学→血液〔白血球〈細菌感染〉〕
ライター　⑬生活→喫煙具〔補助具〕
ライター〈はしけ〉　⑰科技→ラッシュ船
ライダー,A　[1847-1917]　②美術→アメリカ美術〈10 D〉
ライタカリ鉱　⑱宇地→生野鉱
ライチ　⑲植物662 B　⇨レイシ
ライチョウ〔雷鳥〕　⑳動物630 C図　→県鳥表　→高山鳥　→体色　→鳥類〔形態〈換羽〉〕別　→天然記念物〔表特天〕⑧日地→日本アルプス〔動物〕図
雷帝　⇨イワン(四世)
ライディング,R　[1901]　①文学→グレーブズ,R
ライディングマウンティン国立公園　⑩世地→カナダ〔表国立公園〕
ライデマイスター,K　[1893]　⑯物数→結び糸
ライデン,L　[1494-1533]　②美術→銅版画〔歴史〕
ライデン　⑩世地654 C
雷電海岸　北海道　⑧日地1178 D
ライデン植物園　⑲植物→植物園表
雷電神社　⑦日地→板倉(町)〔群馬〕
ライデンボク　⇨チャンチン
ライト,A　⑭医学→抗生物質〔沿革〕
ライト,B　[1907]　③音演→記録映画
ライト,E　[1863-*]　④哲宗→救世軍　⑤日史→救世軍
ライト,F　[1867-1959]　建築家。草原ハウス・シリーズを発表して注目された。日本では旧帝国ホテルの設計で知られる　②美術624 A　→アメリカ美術図　⑫経産→帝国ホテル(株)　⑰科技→建築設計〔時間計画〕図　→住宅図
ライト,J　[1915]　女流詩人。野生生物保存会長など社会運動でも活躍　①文学676 A
ライト,M　[1890]　②美術→オルフィスム
ライト,R　[1908-1960]　黒人小説家。自然主義の伝統を継承,人種差別を扱って黒人文学=抗議小説という定式を確立　作『アメリカの息子』①文学675 D図　→黒人文学
ライト,S　⑳動物→遺伝学〔歴史〕
ライト(兄弟)　兄[1867-1912]　弟[1871-1948]　航空技術者。史上初の動力飛行機による持続飛行に成功　⑰科技647 A図　→航空機〔発達〕→飛行機〔歴史〈初期〉〕囲　⑨世史→交通発達史〔新しい道〈空の道〉〕
ライト級　⑬生活→ボクシング〔表階級〕→レスリング〔表階級〕
ライト効果　⑳動物→進化〔要因〈隔離〉〕
ライトデューティー洗剤〈軽質洗剤〉　⑬生活→洗剤〔種類〕⑮化学→洗剤〔分類と製造法〕
ライトバリュー　⑰科技→カメラ〔囲用語〕
ライトバン　⑰科技→自動車〔種類〈ステーションワゴン〉〕→トラック〔荷台〕
ライト・フライヤー1号機　⑰科技→飛行機〔囲ライト兄弟〕図別
ライト・ペン　⑰科技→電子計算機〔囲用語〕図
ライトモチーフ〈示導動機〉　③音演→楽劇　→序曲　→ワーグナー,R〔作風と作品〕
ライトル,A　[1902]　小説家。南部農本主義運動の雑誌『フュージティブ』の一派に加わる　①文学676 A
ライナー,F　[1888-1963]　指揮者。ピッツバーグおよびシカゴ交響楽団の常任となり,世界一流のオーケストラに育てた　③音演581 A図
ライナー　⑰科技→核融合装置〔トカマク〕
ライニア〈リニア〉　⑲植物→プシロフィトン
ライニガー,L　[1889-1981]　③音演→アニメーション映画〔始まり〕
ライニング　⑬生活→洋裁〔囲用語〕
ライネッケ　⑨世史→ラ・テーヌ文化
ライネッケ,C　[1824-1910]　作曲家・ピアニスト・指揮者。モーツアルトの演奏に優れた　③音演581 B
頼納　⇨頼納
ライノタイプ　⑰科技→活字〔製造〕
来派　②美術624 B　⑥日史→来国俊
ライ・ハウス事件　⑨世史→シャフツベリ伯(一世)
ライ・ハラオパ　③音演→インド舞踊〈32 D〉
礼盤座　②美術→荘厳具〔図台座〕
ライヒ,F　[1799-1882]　化学者・物理学者・地学者。亜鉛鉱の中から新元素インジウムを発見　⑮化学639 C　→インジウム
ライヒ,W　⑭医学→性欲〔抑圧〕
ライヒシュタイン,T　[1897]　ポーランド生まれの有機化学者。副腎皮質男性ホルモンのアドレノステロンを単離。ノーベル賞受賞　⑭医学32 B
ライヒス・アウトバーン　⇨アウトバーン
ライヒステット　⑩世地→ストラスブール
ライヒス・マルク　⑫経産→マルク
癩病　⇨癩
ライヒ=ラニツキー,M　[1920]　文芸評論家。「47年グループ」の代表的論客　①文学676 A
『ライフ』　②美術→写真〔歴史〕⑫経産→タイム
ライブ,R　南[1931]　カラードの小説家。スラムの生態や人種差別の実態を描き,亡命せず活動を続ける　①文学676 B
ライブエンド　⑰科技→音響設計〔室内音響設計〕
礼服　⑥日史1194 A　→朝服　⑬生活→袖〔和服〈変遷〉〕→服装〔日本〈中国模倣〉〕
礼服冠〈礼冠〉　⑤日史→冠
来福丸　⑰科技→造船〔日本〈大正〉〕
ライフサイエンス　⑭医学→生
ライフジャケット〈救命胴衣〉　⑰科技647 B　→船〔囲救命設備〕図
ライプチヒ　東　⑩世地654 C図
ライプチヒ植物園　⑲植物→植物園表
ライプツィヒ討論　⑨世史651 C　→エック,J　→カールシュタット,A　→ルター,M　④哲宗→宗教改革〔経過〈ドイツ〉〕
ライプツィヒの戦い　⑨世史→解放戦争　→北欧史図
ライプニッツ　[1646-1716]　哲学者・数学者・自然科学者。モナド論の体系を展開したほか,微積分法を創始するなど多方面で活躍　作『単子論』①文学676 B　④哲宗601 C図　→ウォルフ,C　→オプティミズム　→ドイツ哲学〔学校哲学〕→同一性〈論理学〉→認識論〔2〕→普遍数学　→弁神論　→唯心論　⑨世史651 C　⑯物数572 B図　→数学〔17世紀〕→相対性理論〔古典力学の相対性〕→微分積分学　⑰科技→計算機〔歴史〕
ライプニッツ・ウォルフ学派　④哲宗→ウォルフ,C
ライプニッツの公式　⑯物数→円周率
ライプニッツの定理　⑯物数→導関数〔計算〕
ライフボート　⇨救命艇
ライフル射撃　⑬生活→射撃競技図
ライフル銃　⑬生活→射撃競技〔ライフル射撃〕→狩猟〔銃猟〕
ライヘンバハ,H　[1891-1953]　ドイツ出身の科学哲学者。確率と帰納推理,時空論など多彩な研究を行う　④哲宗602 A
ライマメ〔莱豆〕〈ライマビーン〉　⑲植物662 B図
ライマールス　④哲宗→キリスト教〔近代〕
ライマン,B　[1835-1920]　地質学者。明治5年来日。わが国に近代鉱床地質学を移植　⑥日史1194 B　⑱宇地591 C
頼三樹三郎　[1825-1859]　幕末の儒者・志士。山陽の第3

リ

り

ル
る

ルギ族 ⑨世史→バンダル族
ルキーノ イタリア[1292/1349] ⑨世史→ビスコンティ家
ルキーノ・ビスコンティ ⇨ビスコンティ,L
ルキリウス,G [前180?/102?] ローマの詩人。風刺詩の真の創始者 ①文学699 D →風刺 →ラテン文学〔初期〕
ルーク ⑬生活→チェス〔駒の動かし方〕図
ルクサンブール(州) ⑩世地→ベルギー(王国)〔地方誌〕
ルクス〔lx〕 ⑯物数→照度 →光〔強さと視覚〕
ルクセンブルク,R ドイツ[1871/1919] 婦人革命家。優れた経済理論を発表し,スパルタクス団を結成,のち虐殺 ⑨世史680 B →ドイツ共産党 ⑪政社588 B図 →ドイツ革命〔発生〕 →ドイツ社会民主党〔創設から第一次大戦〕 ⑫経産591 A図 →恐慌〔恐慌学説〕 →帝国主義〔学説〕 →マルクス経済学〔金融資本〕
ルクセンブルク(大公国) ヨーロッパ ⑩世地673 C図 →ベネルックス ⑨世史→中欧史
ルクセンブルク(市) ルクセンブルク ⑩世地674 A →ルクセンブルク(大公国)図
ルクセンブルク家 ドイツ王家。中世後期にこの家門からも神聖ローマ皇帝が選出された ⑨世史680 C図 →ドイツ〔歴史〈都市と領邦〉〕 →ブランデンブルク辺境伯
ルクセンブルク問題 ⑨世史680 C
ルクソール エジプト ⑨世史680 D図 →王家の谷 ⑩世地674 B
ルクソール神殿 ⑨世史→エジプト〔歴史と文化〈新王国時代〉〕 →ルクソール図
ルグドゥヌム ⑩世地→リヨン
ルグラン フランス ⑨世史→国民議会
ルクランシェ,G [1839/1882] ⑯物数→電池 ⑰科技→マンガン乾電池
ルクランシェ電池 ⑮化学→電池〔一次電池〈二酸化マンガン乾電池〉〕 ⑰科技→マンガン乾電池
『ルクリース凌辱』 ①文学→シェークスピア,W
ル・クレジオ,J フランス[1940] 小説家。生地のニースの街を舞台に作品を書く。エッセイもある 作『調書』 ①文学700 A図
『ルクレチアのために』 ①文学→ジロドゥー,J
ルクレツィア イタリア ⑨世史→ボルジャ家
ルクレティウス,T [前99?/55?] ローマの哲学的詩人。ラテン叙事詩の古典『物の本質について』を書く ①文学700 B →ラテン文学〔共和政末期〕 ④哲宗619 B ⑨世史680 D ⑮化学658 B
流刑るけい ⑥日史1208 D
『流刑者の群』 ③音演→パゾフ,I
『流刑地にて』 ①文学→カフカ,F
ルコウソウ〔縷紅草〕 ⑲植物679 B図
『ルコック探偵』 ①文学→ガボリオ,E
ルコーニン,M ソ連[1918] 詩人。マヤコフスキーに影響をうけた詩風で,愛国詩・反戦詩を書く ①文学700 B
ルゴーネス,L アルゼンチン[1874/1938] 詩人。医学・物理学などの術語を借りて大胆奔放な詩法を試みた ①文学700 B →ラテンアメリカ文学〔独立から20世紀初葉まで〕
ル・コルビュジエ フランス[1887/1965] 建築家。近代建築国際会議を結成,「機能的な都市」の構想を提案。東京の国立西洋美術館などを残した ②美術637 B →機能主義 →現代建築図 →CIAMシアム →ピュリスム ⑰科技→集合住宅〔発生〕 →都市計画〔設計の歴史〈現代〉〕図 →ピロティ
ルコント・ド・リール,C フランス[1818/1894] 詩人。高踏派の詩風を確立。一時空想的社会主義に心酔 ①文学700 C図 →高踏派
『ルゴン・マッカール双書』 ①文学→自然主義 →ゾラ,E
流罪 ⑥日史→流刑るけい
ルサカ ザンビア ⑩世地674 B
ル・サージュ,A フランス[1668/1747] 小説家・劇作家。ペンのみで生きた最初の作家といわれ,『ジル・ブラース物語』は同国写実主義の先駆 ①文学700 C ③音演→フランス演劇〔市民劇〈世俗劇〉〕
『ルサルカ』 ③音演→ダルゴミュジスキー,A →ドボルザーク,A〔作品〕
ルサン スペイン ①文学→スペイン文学〔18世紀〕
ルーサン ⇨アルファルファ
ルーシ ⑨世史→ノルマン人 →バイキング〔東方への進出〕 →リューリク
ルージ〈ロッズ〉 ポーランド ⑩世地674 B
ルジアーナ インド ⑩世地674 B →インド図
ルジェビッチ,T ポーランド[1921] 詩人・劇作家。現代市民社会の道徳的問題にとり組む ①文学700 D ③音演→東欧演劇〔ポーランド〕
ルシタニア ⑨世史→スペイン・ポルトガル(史)〔国土の征服〈古代〉〕
ルシタニア号 ⑨世史→無制限潜水艦戦
『ルシタニアの怪物の歌』 ③音演→ワイス,P
ルジーチカ,L スイス[1887/1976] 化学者。高位テルペンの構造式の決定で知られる。ノーベル賞受賞 ⑮化学658 B
『ル・シッド』 ①文学→コルネイユ,P ③音演→コルネイユ,P →フランス演劇〔古典劇〕図
ル・シッド論争 ①文学→コルネイユ,P →シャプラン,J
ルシフェラーゼ ⑲植物→発光植物〔機構〕
ルシフェリン ⑲植物→発光植物〔機構〕
ルシベール ①文学→オランダ文学
ルシャ風 ⑱宇地→局地風〔日本〕
ル・シャトリエ,H フランス[1850/1936] 化学者。化学平衡の移動に関する法則が有名。合金・窯業の研究もある ⑮化学658 C図 →ル・シャトリエの法則
ル・シャトリエ熱電対 ⑰科技→熱電素子
ル・シャトリエの法則〈平衡移動の法則〉 ⑮化学658 C →化学平衡 →ル・シャトリエ,H ⑰科技→ブラウン,K
盧舎那仏るしゃなぶつ ⑥日史1209 A →奈良大仏 ④哲宗→東大寺〔囲建造物と美術品〈大仏殿〉〕図
ル・シャプリエ法 ⑨世史681 A →フランス革命〔憲法制定議会〕
廬山ルーシャン ⇨ルー(山)
ルジャンドル,A フランス[1752/1833] 数学者。整数論,楕円積分に関する研究がある ⑯物数595 B図 →整数論〔素数分布〕 →非ユークリッド幾何学
ル・ジャンドル,C アメリカ[1830/1899] 軍人。明治5年外務省顧問となり,日本外交に強い影響を与えた ⑥日史1209 A
ルージュモン,D フランス[1906] 評論家。ペルソナリスムに共鳴,社会的闘争への「参加」を辞さない ①文学700 D
魯迅ルーシュン ⇨魯迅ろじん
『ルージン』〈うき草〉 ①文学→ツルゲーネフ,I
留真川 ⑦日地→浦幌川
ルース,B アメリカ ⑬生活→野球〔プロ野球〈アメリカ〉〕図
留守居るすい〈江戸家老〉 ⑥日史→大名屋敷
留守氏 初代伊沢家景は源頼朝に仕え,陸奥国留守職に任ぜられる ⑥日史1209 A図
『ルスカ』 ③音演→パゾフ,I
『**ルースカヤ・プラウダ**』 ⑨世史681 B
ルース台風 ⑱宇地→気象〔表災害年表〕
ルスタベリ,S ソ連[?] グルジアの民族詩人。宮廷に仕え,女王にささげた長編叙事詩がある ①文学700 D
留寿都(村)るすつ 北海道/後志支庁 ⑧日地1184 A
留寿都高原 ⑧日地→洞爺(村)
ルスティカ式 ②美術→イタリア美術〔ルネサンス〕
留守所 ⑥日史1209 B
ルストシュピール ③音演→喜劇
ルースブルック [1293/1381] ①文学→オランダ文学
ルーズベルト,F アメリカ[1882/1945] 第32代大統領。ニューディールをかかげ,大恐慌克服にとりくむ。第二次大戦では連合国の中心的指導者 ⑥日史1209 C →第二次世界大戦〔拡大〕 ⑨世史681 C図 →カイロ会談図 →カサブランカ会談 →大西洋憲章 →テヘラン会談 →ニューディール →ヤルタ会談図 ⑪政社588 C図 →ニューディール
ルーズベルト,T アメリカ[1858/1919] 第26代大統領。大資本規制などの革新主義政治を行い,日露戦争調停にもあたる。ノーベル平和賞受賞 ⑥日史1209 B →ポーツマス条約 ⑨世史681 B図 →カリブ海政策 ⑪政社588 C図
『ルズーミーヤート』〈ルズーム・マー・ラー・ヤルザム〉 ①文学→マアッリー,A
『ルスランとリュドミラ』 ①文学→プーシキン,A ③音演→オペラ〔歴史〈改革と国民歌劇の台頭〉〕 →グリンカ,M
ルセ ブルガリア ⑩世地674 C
ルーセル,A フランス[1869/1937] 作曲家。リズムの優位性と風変わりなアレグロ主題などに特徴がある 作『蜘蛛の饗宴』 ③音演598 D
ルーセル,R フランス[1877/1933] 詩人・小説家・劇作家。私財を投じて自作の戯曲の上演を試みたが,世にいれられず自殺 ①文学701 A
ルソー,A フランス[1896] 批評家・ジャーナリスト。『フィガロ』紙で文芸欄を担当 ①文学702 A
ルソー,H フランス[1844/1910] 画家。現代のプリミティブ芸術の父とよばれる ②美術638 B図 →素朴派図
ルソー,J フランス[1671/1741] 叙情詩人。マレルブ,ボアローの後継者として評価された ①文学701 B
ルソー,J フランス[1712/1778] 思想家。独創的な思索と幅広い分野での活躍で,市民革命を準備し,ロマン主義の先駆をなす 作『エミール』『告白録』『人間不平等起源論』『社会契約論』 ①文学701 C図 →小説〔近代〕 →フランス文学〔18世紀〕 ③音演598 D図 →略譜 ④哲宗619 B図囲 →教育〔諸理論〕 →平等 ⑨世史681 D ⑪政社→一般意思 →啓蒙思想〔フランス〕図 →社会契約説 ⑫経産→社会主義思想〔発展〕 ⑯物数→数学教育〔歴史〈啓蒙主義,理想主義〉〕
ルソー,T フランス[1812/1867] 画家。外光主義の一人で,近代風景画の基礎を築く ②美術637 D図 →バルビゾン派
ルソン(海峡) ⑩世地674 C
ルソン(島)〔呂宋〕 フィリピン ⑥日史1209 C ⑩世地674 C →フィリピン(共和国)図
呂宋助左衛門 ⇨納屋助左衛門
『ルソンの谷間』 ①文学→直木賞表
ルター,M ドイツ[1483/1546] 宗教改革者・神学者。宗教改革運動の推進者として大きな貢献をなす ①文学702 B →聖書 ④哲宗620 B図 →キリスト教〔宗教改革〕 →宗教改革〔経過〈ドイツ〉〕 →ドイツ哲学 →プロテスタント教会〔特色〕 →免罪符 ⑨世史682 A図 →ウォルムス国会 →ドイツ〔歴史〈宗教改革〉〕図 ⑪政社→宗教革命の政治思想図 →プロテスタンティズム
ルーター ⑰科技→掘削機械〔レーキ式掘削機械〕
ルーダキー [?/940] ペルシアの詩人。「ペルシア詩の父」「詩人の師」の異名で知られ,ホラサーン派の基礎を確立 ①文学702 B →ペルシア文学〔7～10世紀〕
ルター教会 ④哲宗→キリスト教〔宗教改革〕 →プロテスタント教会〔歴史〈ヨーロッパ大陸〉〕
ルター主義 ⑨世史→宗教改革〔経過〕
ルター派 ④哲宗621 B図 →教会〔分立〕 →宗教改革〔経過〈ドイツ〉〕 ⑨世史→アウグスブルクの和議
ルタバガ ⇨スウェーデンカブ
『ルター訳聖書』 ④哲宗→宗教改革〔経過〈ドイツ〉〕
『ルター流天下の阿呆』 ①文学→ムルナー,T
『ルチア狂乱の場』 ③音演→ドニゼッティ,G〔ランメルムーアのルチア〕
茹志鵑ルーチーチュアン ⇨茹志鵑じょしけん
ルチツカ ⇨ルジーチカ,L
ルーチョウ〈瀘州〉 中国/四川省 ⑩世地674 D
魯中丘陵ルーチョン ⑩世地→中華人民共和国〔自然〈山東丘陵〉〕
ルチル〈金紅石〉 ⑱宇地601 C図 →板チタン石
ルチン ⑬生活→そば〔栄養〕 ⑮化学→色素〔植物色素〕 →フラボン ⑲植物→植物色素
ルーチン ⑰科技→電子計算機〔囲用語〕
『ルチンデ』 ①文学→シュレーゲル(兄弟)
ルツァスキ,L イタリア[1545/1607] ③音演→音楽〔西洋音楽〈ルネサンス音楽〉〕
ルツァンテ ③音演→コメディア・デラルテ
ルーツィ,M イタリア[1914] 詩人・批評家。フランス象徴詩の翻訳もある ①文学702 C →エルメティズモ
ルツェルン スイス ⑩世地674 D →スイス(連邦)図
ルツェルン(湖) スイス ⑩世地674 D
ルッカ イタリア ⑩世地674 D
『ルツ記』 ①文学→聖書 ④哲宗→聖書〔囲〈旧約〉〕
ルック〈ロック〉 ⑳動物→エピオルニス
ルックザック〈リュックザック〉 ⑬生活→キャンプ〔図用具〕 →登山〔登山用具〕図
ルックス ⇨ルクス
『陸雲仙ルクヴァンティエン』 ①文学→グエン・ディン・ティエウ
ルッサン,A フランス[1911] 劇作家。ブールバール劇の寵児として活躍,現代風俗喜劇の頂点をきわめた ①文学702 C ③音演599 A
ルッソ,L イタリア[1892/1961] 批評家。イタリア文学史全般にわたり鋭い論陣をはった ①文学702 C
ルッソロ,L イタリア[1885/1947] 画家・音楽家。「騒音芸術宣言」を発表。好んでアール・ヌーボー風の女性像を描いた ②美術638 B →未来主義
ルッツォーネダム ⑰科技→ダム表

るつぼ〔坩堝〕 ⑮化学→化学実験〔実験器具〈熱源〉〕図 ⑰科技→鋳造
『るつぼ』 ①文学→ミラー, A ③音演→ミラー, A
『るつぼの男』 ③音演→ムンク, K
ルディアーナ ⇨ルジアーナ
陸定一ルーティイ ⇨陸定一りくていいち
ルーティン競技 ⑬生活→水泳〔水泳競技〈シンクロナイズドスイミング〉〕
ルテオトロピン〈プロラクチン〉 ⑮化学→ホルモン〔分類〈脳下垂体ホルモン〉〕
ルテオリン ⑮化学→色素〔植物色素〕 ⑲植物→フラボン
ルテチウム ⑮化学→希土類元素
ルテニウム ⑮化学 659 A図
ルテノスミリジウム ⑱宇地→イリドスミン
流転 ⇨輪廻りんね
ルーデンドルフ, E ドイツ[1865–1937] 軍人。第一次大戦では戦争指導の最高責任者。総力戦構想の創始者とされる ⑨世史 682 D →ヒンデンブルク, P ⑪政社 589 B図 →ドイツ革命
ルート(砂漠) イラン ⑩世地 674 D
ルート ⑯物数→根号
ルードウィッヒ系 ⑲植物→アマリリス図
ルートウィヒ, O ドイツ[1813–1865] 小説家・劇作家。「詩的リアリズム」の代表者の一人で，シラーを否定，シェークスピアを規範とする ①文学 702 C
ルートウィヒ(一世)〈敬虔王〉 [778–840] カロリング朝フランク王国の第2代皇帝。死後内乱がおこり帝国は三分 ⑨世史 682 D図 →フランク王国〔分裂〕 →ベルダン条約
ルートウィヒ(二世) [805*–876] 初代の東フランク王。ベルダン条約とメルセン条約で後のドイツの基礎を形成 ⑨世史 683 A →ベルダン条約 →メルセン条約
ルートウィヒ(三世) ⑨世史→メルセン条約
ルドウィヒ, E ⑱宇地→ルドウィヒ石
ルドウィヒ, K ドイツ[1816–1895] 生理学者。血液循環の機械的作用や血液と酸素の運搬関係の研究で有名 ⑳動物 637 A
ルートウィヒスハーフェン 西ドイツ ⑩世地 674 D
ルドウィヒ石 ⑱宇地 601 C
『ルートウィヒ・ベルネ覚え書』 ①文学→ハイネ, H
ルドウィンの玉座 ⑨世史→ギリシア図
ルードゥス ③音演→遊び〈6 A〉
ルートシグナル方式〈進路表示方式〉 ⑰科技→鉄道信号〔信号機〈方式による分類〉〕
ルート周遊券 ⑬生活→旅行〔列車と乗車券〈周遊券〉〕
ルドニツキ, A ポーランド[1912] 小説家。大戦中は地下活動を行う。ユダヤ人の悲劇を描いた作品が多い ①文学 702 D
ルドビコ・イル・モロ イタリア[1452–1508] ⑨世史→レオナルド・ダ・ビンチ
ルドベキア ⑲植物 679 C図
ルートマップ〈路線地質図〉 ⑱宇地 601 C →地質〔地質調査〕図
ルドルフ ドイツ[1539–1610] ⑯物数→円周率囲
ルドルフ(湖) ケニア ⑩世地 674 D
ルードルフ, P ⑰科技→写真〔技術の歴史〈カメラ〉〕
ルードルフ(一世) ドイツ[1218–1291] ハプスブルク家初代のドイツ国王。スイスの小領主からオーストリアを本領化 ⑨世史 683 A →中欧史〔オーストリア〕 →ハプスブルク家
ルードルフ(二世) [1552–1612] ハプスブルク家の神聖ローマ皇帝。宗教改革に際し旧教を励行，反乱を招く ⑨世史 683 A図
ル・トローヌ フランス[1728–1780] ⑫経産→重農主義
ルートン イギリス ⑩世地 675 A
ルドン, O フランス[1840–1916] 画家。アンデパンダン展の創設委員の一人。優れた石版画集がある ②美術 638 C図
ルナ ⑱宇地→月探査体〔ソ連〕
ルナ・オービター ⑱宇地→月探査体〔アメリカ〕 →マスコン
ルナ・オービター計画 ⑱宇地→アポロ計画〔計画の推進まで〕
ルナチズム ⇨夢遊
ルナチャルスキー, A ソ連[1875–1933] 劇作家・評論家・革命家・政治家。歴史劇の闘う主人公は大衆に広く愛好された ③音演 599 B ⑰科技→科学〔現代科学の諸問題〕
ルナリア ⑲植物 679 C
ルナール, J フランス[1864–1910] 小説家・劇作家。虚飾のない文体で人生を如実に描く ㊥『にんじん』 ①文学 702 D図 ③音演 599 B
ルナン, E フランス[1823–1892] 思想家・宗教史家・言語学者。哲学的エッセイ・文化評論・聖書研究などがある ①文学 703 A
ル・ナン, A ②美術→ル・ナン(兄弟) ③音演→音楽別
ル・ナン(兄弟) フランス 17世紀前半の画家の三兄弟。農民の日常生活をリアルな筆致で描く ②美術 638 D図
ルニエライト ⑰科技→ゲルマニウム
ルニク ⑱宇地→人工惑星 →月探査体〔ソ連〕
ル・ニッケル ⑫経産→金属鉱業〔世界〕 →鉱業〔世界〕
ルニャール, J フランス[1655–1709] 喜劇作家。イタリア劇団，コメディー・フランセーズに作品を書き，モリエールの後継者とされる ①文学 703 B ③音演→フランス演劇〔市民劇〕
ルニョー, H フランス[1810–1878] 物理学者・化学者。ボイルの法則に正確に従う気体はひとつも存在しないことを確かめ，液体比重計などを考案 ⑯物数 595 C
ルニン ロシア[1787–1845] ④哲宗→ロシア哲学
ルヌービエ, C フランス[1815–1903] 哲学者。カントの批判主義を受け継ぐが，徹底した現象論の立場に立つ ④哲宗 621 D
『ルネ』 ①文学→シャトーブリアン, F〔アタラ〕
ルネ・クレマン ⇨クレマン, R
ルネ・クレール ⇨クレール, R
ルネサンス〈文芸復興〉 ⑨世史 683 B図表 ①文学→イギリス文学 ②美術→イタリア美術 →ルネサンス美術 ③音演→フランス演劇 ④哲宗→ヒューマニズム ⑪政社→ルネサンスの政治思想
ルネサンス音楽 ③音演→音楽〔西洋音楽〕
ルネサンス建築 ⑰科技→建築材料〔発達〕
『ルネサンス史の研究』 ①文学→ペイター, W
ルネサンス人文主義 ④哲宗→ピコ・デラ・ミランドラ, G〔人間の尊厳について〕
ルネサンス装 ⑰科技→製本〔歴史〕
ルネサンスの政治思想 ⑪政社 589 B図
ルネサンス美術 ②美術 639 A表別 →イタリア美術〔ルネサンス〕 →キリスト教美術
ルネサンス文学 ①文学 703 B →フランス文学〔16世紀〕
ルーネベリ, J フィンランド[1804–1877] ロマン派詩人。スウェーデン語で書き，古典詩が多い。国歌となった作品がある ①文学 703 D →北欧文学〔スウェーデン文学〕
ルノー, M [1903] ③音演→バロー, J
ルノー ⑫経産→フランス経済事情〔産業〕図 ⑰科技→自動車〔歴史〈普及〉〕別
ルノアール, J フランス[1894–1979] 映画監督。ネオレアリズモの先駆的存在。一時ハリウッドで活躍 ③音演 599 C図 →映画〔トーキー〈第4期〉〕
ルノアール, J フランス[1822–1900] ⑰科技→エンジン〔歴史〈50 C〉〕 →自動車〔歴史〈内燃機関の発達〉〕
ルノアール, P フランス[1841–1919] 画家。抜群の色彩家として名をなし，裸婦を官能的に描きだした ②美術 640 D図 →油絵〔描き方〕 →印象主義図
ルノアール機関 ⑰科技→オットー, N
ル・ノートル, A フランス[1613–1700] 造園家。「庭師の王者」という不朽の名を留め，ベルサイユ宮庭園の築造で知られる ②美術 641 C →ベルサイユ宮
ルノホート ⑱宇地→月探査体〔ソ連〕
ルノルマン, H フランス[1882–1951] 劇作家。フロイト流の精神分析を応用しピランデッロ流の心理劇を開拓したが，内容は平凡 ①文学 703 D →ピトエフ, G ③音演→ドン・ファン →フランス演劇〔現代劇〕
ルーバー ⑰科技 658 C
ルバーイー ①文学→『ルバイヤート』
『**ルバイヤート**』 ①文学 703 D →オマル・ハイヤーム →フィッツジェラルド, E ⑨世史→オマル・ハイヤーム
ルバッソール, E フランス ⑬生活→自動車レース〔歴史〕 ⑰科技→自動車〔歴史〈普及〉〕
ルバテ, L フランス[1903–1972] 小説家。第二次大戦前から右翼の熱烈な論客。解放後死刑を宣告され，特赦で減刑 ①文学 704 A
ルバート ③音演→音楽用語〈629 C〉
ルーバー光天井〈ルーバーロール〉 ⑰科技→光天井 →ルーバー〔人工照明〕
ルバーブ ③音演→ガムラン〔楽器〕図
ルバーブ ⑲植物 679 C
ルハムスレン, C モンゴル[1917] 詩人。短編小説で現代同国の青年像を描く ①文学 704 A
『ル・パラス』 ①文学→シモン, C
ルーバン ⇨ルーフェン
ルバング(島) フィリピン ⑩世地 675 A
ルハン大寺院 ⑩世地→アルゼンチン(共和国)図
ルビー〈紅玉〉 ⑱宇地 602 A図 →宝石〔図〈天然〉〕表 ⑮化学→アルミニウム〔存在〕 →酸化アルミニウム〔性質〕
ルピー ⑫経産→インド経済事情〔発達〈39 C〉〕 →通貨〔表〈通貨単位〉〕
ルピア ⑫経産→通貨〔表〈通貨単位〉〕
ルビーアカヤドリコバチ〔ルビー赤寄生小蜂〕 ⑳動物 637 A →コバチ →昆虫〔人間との関係〈有用昆虫〉〕 →天敵〔利用〕
ルビコン(川) ⑨世史→カエサル, G〔内乱〕
ルビジウム ⑮化学 659 C図 →アルカリ金属
ルピション, X ⑱宇地→プレート・テクトニクス
ルビッチュ, E ドイツ[1892–1947] 映画監督。独特の描写法「ルビッチュ・タッチ」で知られる ③音演 600 A →映画〔無声映画〈第3期〉〕
ルピナス ⑲植物 680 A図
ルビ俳句 ①文学→風間直得なおえ
ルビーメーザー ⑯物数→メーザー
ルピュイ フランス ⑩世地 675 A
ルピュイの僧院 ⑩世地→フランス(共和国)〔図景観〕
ルビーレーザー ⑯物数 595 C →レーザー〔固体レーザー〕
ルビーロウカイガラムシ ⑳動物→ルビーアカヤドリコバチ
ルビーロウムシ〔ルビー蠟虫〕 ⑳動物 637 A →カイガラムシ図
ルビン, E [1886–1951] ④哲宗→心理学〔囲用語〈図と地〉〕図
ルビンシュテイン, A ロシア[1829–1894] ピアニスト・作曲家。ペテルブルグ音楽院を発足させ，ロシア音楽のアカデミズムを確立 ③音演 600 A
ルビンスタイン, A アメリカ[1886–1982] ポーランド生まれのピアニスト。ショパンの演奏を得意とし，独奏者として欧米で活躍 ③音演 600 C図
ルブアルハーリー(砂漠) アジア ⑩世地 675 A →アラビア(半島)
ループアンテナ〈枠型アンテナ〉 ⑰科技→アンテナ〔受信アンテナ〕
ルフィアーナ ③音演→コメディア・デラルテ
ルブウルハーリー(砂漠) ⇨ルブアルハーリー(砂漠)
ルフェーブル, G フランス[1874–1959] 歴史家。フランス革命の経済史的意義の解明で新紀元を画す ⑨世史 685 B ⑫経産 591 B →社会経済史学〈262 C〉
ルフェーブル, H フランス[1901] マルクス主義哲学者・社会学者。現代社会批判に健筆をふるい，ハンガリー問題を機に共産党から除名 ④哲宗 621 D
ルフェーブル・デタープル, J フランス[1450*–1537] 人文主義神学者。アリストテレスの著作出版は高く評価され，中世神秘思想家の研究でも著名 ④哲宗 622 A →宗教改革〔経過〈フランス〉〕 ⑨世史→宗教改革〔経過〕
ルフェル [1810–1880] ②美術→ルーブル宮
ルーフェン ベルギー ⑩世地 675 B
ル・フォール, G ドイツ[1876–1971] 女流小説家。詩から出発。短編に優れ，比類ない女性論もある ①文学 704 A
ルーフス〈赭顔王しゃがん〉 ⇨ウィリアム(二世)
ルブス・ビロサス ⑲植物→デューベリー
ループ線 ⑰科技→線路〔カント, スラック, 勾配〕
ルフトハンザ航空 ⑫経産 591 B ⑬生活→海外旅行〔航空会社〕
ループドライブ ⑬生活→卓球〔囲用語〕
ルーブナー, M ドイツ[1854–1932] ⑭医学→人体〔体表面積〕
ルーフボルト法 ⑰科技→支保〔坑道支保〕
ルフュエル, H [1810–1881] ⑨世史→テュイルリー宮殿
ルフラン ③音演→シャンソン《ポピュラー》〔特徴〕
ルブラン, C フランス[1739–1824] ⑨世史→統領政府
ルブラン, M フランス[1864–1941] 推理作家。アルセーヌ・ルパン物で知られる ①文学 704 B
ルブラン, N フランス[1742–1806] 化学者。ソーダの工業的製法を発明し初期化学工業の基幹となる ⑮化学

レ れ

列村 ⑧日地 1238 B →街村〈1202 D〉 →集村〈1215 C〉 →連村〈1238 C〉 →路村〈1238 C〉
レッタウ(島)〈ドメル島〉 ⑩世地→メルグイ(諸島)
レッチェ イタリア ⑩世地 680 A
レッチュベルクトンネル ⑰科技→トンネル表
レッチワース イギリス ⑩世地 680 A
列伝 ⑤日史→紀伝体
『列伝』 ①文学→ネポス,C
『列伝体小説史』 ①文学→仮名草子
レット ⑬生活→卓球〔囲用語〕
レッド(川) アメリカ・カナダ ⑩世地 680 A
レッド(川) アメリカ ⑩世地 680 A
列島 ⑱宇地→島〔分類〕
劣等感〈インフェリオリティ・コンプレックス〉 ④哲宗→精神分析〔汎性欲説〕 →恥 ⑭医学→コンプレックス
レッドウッド国立公園 ⑩世地→アメリカ(合衆国)〔表国立公園〕
レッドカランツ ⑲植物→スグリ
レッド・コアー・ライン ⑬生活→釣り〔釣り道具〈釣り糸〉〕
レッドストーン ⑱宇地→ロケット〔歴史〈第2次大戦後〉〕
レッドスネール ⑳動物→ヒラマキガイ
レッド・トップ ⑲植物→芝生〔西洋シバ〕
レッド・パージ ⑥日史 1211 B →日本共産党 ⑪政社 593 A →対日占領政策 →日米関係〔対日占領政策の変動〕 ⑤日史→教職追放
レッド・パワー ⑪政社→人種問題〔現代〕
レッドフォート〈ラール・キラ〉 ⑩世地→インド〔図史跡〕 →デリー
レッドペパー ⑬生活→香辛料囲
レッド・ライン協定 ⑫経産→石油産業〔歴史〕
レッヒ河畔の戦い ⑨世史→三十年戦争
レッペ,W ドイツ[1892 1969] 化学技術者。高圧アセチレンを用いる一群の合成化学反応を開発 ⑮化学 662 C →アセチレン〔反応と用途〕 →レッペ反応
レッペ反応 ⑮化学 662 C →アクリル酸 →アセチレン〔反応と用途〕 →アルキン〔反応性〕 →レッペ,W
裂毛症〈毛髪縦裂症〉 ⑭医学→毛
レーテ〈評議会〉 ⑨世史 691 B →ドイツ革命〔勃発〕 →ミュラー,H
レディ,F イタリア ⑳動物→昆虫学〔歴史〕 →自然発生説
レディア ⑳動物→吸虫
レティクス ドイツ[1514 1574] 天文学者・数学者。コペルニクスに師事し,地動説の普及に尽力 ⑱宇地 604 A
レティクラータ・アイリス ⑲植物→アイリス
レディ・ミクスト・コンクリート〈生コン〉 ⑰科技→コンクリート〔分類〈特殊コンクリート〉〕
レディング イギリス ⑩世地 680 A
レディング アメリカ/ペンシルベニア ⑩世地 680 B
レーティングクラス ⑬生活→ヨットレース〔囲用語〕
レテノールモルフォ ⑳動物→チョウ《昆虫》〔別〈外国〉〕
レーデラー,E ドイツ[1882 1939] 経済学者。景気変動論の分野では景気循環を構造変動説で解明 ⑫経産 593 A ⑰科技→技術〔技術論〕
レーテル,A ドイツ[1816 1859] ②美術→ドイツ美術〔19世紀〕 →ナザレ派
レトゥリーリャ ①文学→ゴンゴラ,L
レトキ,T アメリカ[1908 1963] 詩人。各地の大学で教鞭をとりつつ詩作。晩年の作風はイェーツに比較される ①文学 708 C
レ・ドク・ト ベトナム[1910] ⑪政社→インドシナ戦争〔第2次〈33 D〉〕 →ベトナム共産党
レートニー・サート ⑩世地→レニングラード図
レドモンド,J ⑨世史→アイルランド自治問題
レートリケー〈弁論術〉 ④哲宗→エンペドクレス
レトルト食品 ⑬生活→インスタント食品〔嗜好食〕 →かん詰〔食生活〕
レ・トロア・フレール洞窟 ②美術→原始美術〔洞窟壁画〈その他〉〕
レトロフォーカスレンズ ⑰科技→カメラ〔囲用語〕
レドンダ(島) ⑩世地→小アンチル(諸島) →リーワード(諸島)
レナ(川) ソ連 ⑩世地 680 B →アルダン(川)
レーナウ,N オーストリア[1802 1850] 詩人。世界の根源を苦悩とみて放浪,精神錯乱におちいり狂死 ①文学 708 C ③音演→ドン・ファン

レナード=ジョーンズ,J [1894 1954] ⑯物数→分子間力
レナード=ジョーンズポテンシャル ⑯物数→ファン・デル・ワールス力 →分子間力〔分子間ポテンシャルの諸経験式〕図
レーナルト,P ドイツ[1862 1947] 物理学者。陰極線の管外とり出しに成功。ノーベル賞受賞 ⑯物数 601 A →原子模型 →光電効果
レニ,G イタリア[1575 1642] 画家。ボローニャ派折衷様式の統帥的存在として活躍 ②美術 646 B →ボローニャ派
レーニア(山)〈タコマ富士〉 アメリカ ⑩世地 680 B →アメリカ(合衆国)〔図自然〕 →カスケード(山脈) ⑱宇地→火山〔表活火山〕
レニウム ⑮化学 663 A図
レニエ,H フランス[1864 1936] 詩人・小説家。典雅な象徴派で,その詩は永井荷風が愛読 ①文学 708 C
レニエ,M フランス[1573 1613] 詩人。宮廷詩人として活躍。写実的風刺詩を生み出す ①文学 708 C
レーニエ(三世) ⑩世地→モナコ(公国)
レニャノの戦い ⑨世史→フリードリヒ(一世)《神聖ローマ》 →モルガルテンの戦い →ロンバルディア同盟
レニン ⑭医学→高血圧〔本態性高血圧〕 →消化〔胃〕 ⑮化学→ホルモン〔分類〈その他〉〕
レーニン,V ソ連[1870 1924] マルクス主義の革命家。ロシア革命を理論的・実践的に指導 作『唯物論と経験批判論』 ①文学 708 D ④哲宗 624 A図 ⑥日史 1211 C ⑨世史 691 C図 →クループスカヤ,N →帝国主義〔概念の成立と展開〕 →ロシア革命〔激動の八か月〕 ⑪政社 593 A図 →インターナショナル〔第三インター〕 →共産主義〔共産主義社会〕 →ボリシェビズム →マルクス主義〔マルクス以後の展開〕 →ロシア革命〔十月革命〕図 →ロシアの政治思想〔ボリシェビキとメンシェビキ〕 ⑫経産 593 B図 →史的唯物論 →マルクス経済学
レーニン(湖) ⑩世地→ドニエプル(川)
レーニン(山) ソ連 ⑩世地 680 B →タジク(共和国)
レニングラード ソ連/ロシア ⑩世地 680 B図 →ソビエト(連邦)〔図文化〕 ⑨世史→ペテルブルク
レニングラード事件 ⑨世史→ベリヤ,L ⑪政社→スターリン,I〔第二次大戦と戦後〕
レニングラード植物園 ⑲植物→植物園表
レニングラード鉄道博物館 ⑰科技 680 C
『レニングラード物語』 ①文学→チーホノフ,N
レーニン憲法 ⑪政社→憲法〔総論〈近代憲法の諸原則〉〕
レーニン号 ⑰科技→原子力船表
レーニン主義 ⇨ボリシェビズム
レーニン賞 ①文学→文学賞
『レーニンの三つの歌』 ③音演→記録映画図
レーニン広場 ⑩世地→ハバロフスク図 →ミンスク図
レネ,A フランス[1922] 映画監督。短編記録映画で知られ,長編劇映画の第1作『二十四時間の情事』で世界的名声を得た ③音演 603 B図 →映画〔トーキー〈第6期〉〕
レノ織 ⑬生活→レース〔6〕
レノグラム ⑭医学→腎臓〔腎機能検査法〕
『レノーレ』 ①文学→ビュルガー,G
レノン,J イギリス[1940 1980] ③音演→ロック・ミュージック〔ニュー・ロック〕
レバー ⑬生活→とり肉〔特徴〕 →肉料理 →もつ〔種類〕
レバーウォッチ ⑰科技→時計〔種類〈ウォッチ〉〕
レバー脱進機 ⑰科技→時計〔歴史〈第3期〉〕
レバータンブラー錠〈棒鍵錠〉 ⑬生活→錠〔種類〕図
レバチ,L イタリア[1898] 小説家。反ファシズム活動で検挙されたが抵抗運動を続ける ①文学 708 D
レーバー・デー ⑪政社→メーデー
レバートフ,D アメリカ[1923] イギリス生まれの女流詩人。アメリカ語の語感を巧みに生かす ①文学 708 D
レバノン(共和国) アジア ⑩世地 681 D図 ⑨世史→中東戦争 ⑫経産→中東経済事情図
レバノン(山脈) レバノン ⑩世地 683 B
レバノンスギ ⑲植物→国花図表
レバーブ ⇨ラバーブ
レーバー・リレーション管理 ⑫経産→合理化
レハール,F オーストリア[1870 1948] 作曲家。オペレッタを喜歌劇やジングシュピールに近づけ,音楽劇として質の高いものにした 作『メリー・ウィドー』 ③音演 603 C図 →オペラ〔種類と国民的様式〈オペレッタ〉〕
レパルティミエント ⑨世史 692 C →エンコミエンダ ⑫経産→ラテンアメリカ経済事情〔経済史〕
レバーローフ ⑬生活→ハム〔類似品〕
レバンテ ⑱宇地→風〔表局地風〕
『レパント戦闘図』 ②美術→障屏画しょうへいが別
レパントの海戦 ⑨世史 692 C →スペイン・ポルトガル(史)〔黄金時代〈黄金の世紀〉〕 →フェリペ(二世)
レバント美術 ②美術→原始美術
レバント貿易 ⑨世史 692 C
レ・バンフウ ベトナム ⑨世史→『大越史記全書』
レビー,P [1886 1971] ⑯物数→確率論
レビー(兄弟) アメリカ ⑰科技→印刷〔歴史〕
レービ,C イタリア[1902 1975] 小説家。レジスタンス文学の先駆者の一人。画家・政治家としても活躍 ①文学 709 A
レービ,P イタリア[1919] ユダヤ系の小説家。アウシュビッツに送られたが奇跡的に生還 ①文学 709 A →イタリア文学〔20世紀〕
レービー,O [1873 1961] ⑭医学→薬〔歴史〈ホルモンの発見と発達〉〕
レピア式無杼織機 ⑰科技→織機〔力織機〈分類〉〕
『レビ記』 ④哲宗→聖書〔囲〈旧約〉〕
レビ=ストロース,C フランス[1908] ベルギー生まれの社会人類学者。構造人類学の主唱者の一人 ①文学 709 A ④哲宗 624 C →構造主義 →人類学〈312 D〉 ⑪政社 594 B図 →タブー
レビタン,I ロシア[1861 1900] 画家。簡潔で流暢な筆触によって,陽光や薄暮の風景を多く描いた ②美術 646 C →移動派
レビ・チビタ,T イタリア[1873 1941] 数学者。テンソル解析学を展開し,絶対微分学の完成に貢献 ⑯物数 601 A →リーマン幾何学
レビ・チビタの平行性 ⑯物数→リーマン幾何学
レービッド,K ドイツ[1897 1973] 哲学者。実存哲学を思想史的に位置づけつつ批判を行う ④哲宗 624 D
レピドゥス,M [前?-13] ローマ共和政末期の政治家。カエサルの恩顧をうけ,のち第2回三頭政治を結成 ⑨世史 692 D →三頭政治
レピドシクリナ ⑱宇地→地質時代〔新生代〈第三紀〉〕 →有孔虫
レピドシーレン ⑳動物→ハイギョ
レピドデンドロプシス ⑱宇地→鱗木りんぼく
レピドデンドロン ⇨鱗木りんぼく
レヒフェルドの戦い ⑨世史→オットー(一世)
レビ=ブリュール [1857 1939] ④哲宗→人類学〈313 A〉
レビヤヒヘード(諸島) メキシコ ⑩世地 683 B
レビュー ③音演→バーレスク
『レビュー』 ①文学→デフォー,D
レビュファ,G ⑩世地→アルプス〔登山〕
レピュブリック広場 ⑩世地→パリ〔囲観光地〕
レビン,K ドイツ[1890 1947] ④哲宗→生活空間 →場の理論 ⑪政社→グループ・ダイナミックス〔起源〕
レビーン,P ⑲植物→核酸〔発見〕
レーピン,I ロシア[1844 1930] 画家。移動派に加わりその中心的存在となる ②美術 646 C →移動派 ⑨世史→ロシア図
レフ ①文学 709 A →ロシア・ソビエト文学〔ソビエト〕
レーファクーゼン 西ドイツ ⑩世地 683 B
レファレンダム ⑪政社→直接民主制〔種類〕 →民主主義〔立憲主義〕
レフオリ ⑱宇地→風〔表局地風〕
レフォルマ大通り ⑩世地→メキシコ(市)
レブカウンター ⇨タコメーター
レプケ,W ドイツ[1899 1966] 経済学者・社会学者。秩序自由主義を志向したことで知られる ⑫経産 593 D →近代経済学〔第二の危機〕
レフコシア ⇨ニコシア
レプシウス,K ドイツ[1810 1884] エジプト学者。プロイセン王室の援助でエジプト調査団を結成,精密な報告書を作成 ⑨世史 692 D
レフシェッツ,S [1884 1972] ⑯物数→位相幾何学〔組合せ位相幾何学〕 →代数幾何学〔現代〕 →ホモロジー群〔意味〕
レブチア ⑲植物→サボテン〔種類〕
レプチャ族 ⑩世地→シッキム
レプトケファルス ⑳動物→アナゴ →ウナギ
レプトシホン ⑲植物 682 B図

ロ

ろ

炉　②美術→茶室〔形式と構成〕
炉　⑰科技 663 A　→融解炉
絽　②美術→からみ織　⑬生活→織物〔基本組織〈からみ織〉〕　→和服〔囲和服地〈織物〉〕
魯　⑨世史 694 B　→『春秋』
ロー, A　イギリス[1858–1923]　政治家,首相。鉄鋼業で産をなし,保護貿易を主張,下院保守党首領となる　⑨世史 694 C図
ロー, G　イタリア[1598–1638]　イエズス会士。アダム・シャールのもとで『崇禎暦書』の編暦事業に従事　⑱宇地 606 A
ロー, J　フランス[1671–1729]　政治家。イギリス生まれ。財政総監になり紙幣乱発や投機拡大で恐慌を惹起　⑨世史 694 B
ロア, C　フランス[1915]　詩人・小説家・評論家。第二次大戦に戦車兵として戦い,収容所を脱走,抵抗運動に加わる　①文学 712 A
ロア, G　カナダ[1919]　フランス系女流小説家。貧しい人々を同情と共感をもって描く　①文学 712 A
ロア, J　フランス[1907]　アルジェリア生まれの小説家。飛行隊の将校となる。戦争ルポや中国紀行がある　①文学 712 A
ロア　④哲宗→ブーズー教
ロアノーク　アメリカ/バージニア　⑩世地 683 D
ロア・バストス　パラグアイ　①文学→ラテンアメリカ文学〔20 世紀〕
ロアール　⑬生活→ぶどう酒〔各国〕図
ロアール(川)　フランス　⑩世地 683 D図　→フランス(共和国)〔図自然〕
軟炸　⑬生活→中国料理〔調理法による種別〈炸菜〉〕
ロアンヌ　フランス　⑩世地 683 D　→マッシフサントラル
ローイ, R　インド[1774–1833]　⑨世史→ブラーフモー・サマージ
ロイカートン祭　⑩世地→ロプブリー図
ロイカルト, K　ドイツ[1822–1898]　動物学者。現代寄生虫学の基礎を定め,植虫類を棘皮動物と腔腸動物に分けた　⑳動物 640 C　→動物学〔歴史〕
ロイコタキシン　⑭医学→血液〔白血球〈細菌感染〉〕
ロイコチジン　⑭医学→化膿〔化膿菌〕
ロイコチトゾーン症　⑳動物→ヌカカ
ロイコマイシン　⑭医学→抗生物質表
ロイコン型〈リューコン型〉　⑳動物→海綿〔構造〕図
ロイージアド(諸島)　パプアニューギニア　⑩世地 683 D
ロイシン　⑮化学 667 C図　→アミノ酸〔表必須アミノ酸〕　⑬生活→栄養〔たんぱく質〕　⑳動物→たんぱく質〔表アミノ酸〕
ロイス, J　アメリカ[1855–1916]　哲学者。プラグマティズムの影響のもとに現象と実在の二元性の統一を図る　④哲宗 626 B　→アメリカ哲学〔ネオ・プラグマティズム〕
ロイズ　⑫経産 594 B
ロイズ銀行　⑫経産 594 C
ロイズ船級協会　⑫経産→貿易〔囲用語〈船級〉〕
ロイスダール, J　オランダ[1628*–1682]　画家。枯死した巨木,廃墟,墓地,山の城塞などを配した画面が得意　②美術 648 B図　→オランダ美術　→風景画
ロイター, F　ドイツ[1810–1874]　方言小説家。『農民時代』のブレージヒ爺さんは,メクレンブルク地方の人物像の創作として好評　①文学 712 A
ロイチン〈瑞金〉　中国/江西省　⑩世地 684 A　⑨世史→中華ソビエト共和国
ロイテル　⇨デ・ロイテル, M
ロイテンの戦い　⑨世史→七年戦争
ロイド, E　⑫経産→ロイズ
ロイド, S　アメリカ[1841–1911]　⑯物数→数学パズル〔その他のパズル〈15 -パズル〉〕
ロイド, W　⑳動物→水族館〔歴史〕
ロイド・ジョージ, D　イギリス[1863–1945]　政治家。第一次大戦では連立内閣を組織。強力な指導体制により勝利をもたらす　⑨世史 694 C　→イギリス(史)〔英帝国から英連邦へ〈帝国主義〉〕　→カンヌ会議　→議会法　⑪政社 594 D図

ロイトリンゲンの戦い　⑨世史→シュワーベン都市同盟
ロイヒリン, J　ドイツ[1455–1522]　エラスムスと並ぶ西欧人文主義の代表者。ドイツにおけるヘブライ学とギリシア学創始者　④哲宗 626 B　⑨世史 694 D　→ルネサンス〔諸国〕
ロイブ, J　アメリカ[1859–1924]　ドイツ生まれの生物学者。生命現象を物理化学法則で説明する機械論を主張　⑳動物 640 C
ロイフェン　⇨ルーフェン
ロイマチス　⇨リウマチ
ロイヤル・アカデミー　②美術→イギリス美術〈17 C〉　→レイノルズ, J
ロイヤルアルバートホール　⑩世地→ロンドン〔囲観光地〕
ロイヤルオペラハウス　⑩世地→ロンドン〔囲観光地〕図
ロイヤルゼリー〈王乳〉　⑳動物→ミツバチ〔社会と階級〕〔養蜂〕
ロイヤル・ソサイエティ　⇨王立協会
ロイヤル・ダッチ・シェル　⑫経産 594 C
ロイヤルティ(諸島)　フランス/太平洋　⑩世地 684 A
ロイヤル・バレエ団　③音演→アシュトン, F　→バレエ〔20 世紀〕
ロイヤルフェスティバルホール　⑩世地→ロンドン〔囲観光地〕
ロイヤルペンギン　⑳動物→ペンギン〔種類〕
ロイヤルロード　⑰科技→道路〔歴史〕
蠟色塗　②美術→漆工芸〔製法〕
ロイン・クロス　⑬生活→服装〔西洋〈古代〉〕
ロウ, F　[1904]　③音演→ミュージカル
ろう〔蠟〕〈ワックス〉　⑥日史 1213 B　⑮化学 667 C表　→油脂　⑲植物 683 C　→脂質　⑬生活→食品添加物〔被膜剤〕　→掃除〔掃除用具〕
牢　⑥日史 1212 D図
廊　②美術→寝殿造〔配置〕
聾〈つんぼ〉　⑭医学→難聴　→聾唖
聾唖　⑭医学 613 A図
聾唖教育　⑭医学→聾唖図
滝安寺　⑧日地→箕面(市)図　→明治の森箕面国定公園
ローウィ　[1892]　②美術→インダストリアル・デザイン
ローウィ, R　アメリカ[1883–1957]　⑨世史→原始社会
狼咽　⑭医学→奇形児〔兎唇〕
ロウイング　⑬生活→ボートレース図
ロウエ, J　⑫経産→肥料工業　⑮化学→肥料〔歴史と肥料工業〕
郎衛　⑨世史→禁軍　→兵制〔中国〕
朗詠　①文学 712 B　③音演 604 A　→郢曲　→雅楽〔分類と形式〕　→歌謡〔日本〕
労役・物品負担　⑪政社→公用負担〔人的〕
ローウェル, A　アメリカ[1874–1925]　女流詩人。いつも黒い葉巻をくゆらせ,イマジズム運動の主導的役割を担う　①文学 712 B
ローウェル, J　アメリカ[1819–1891]　詩人・批評家・外交官。雑誌の編集もし伝統派の評論家として文壇の大御所　①文学 712 B　→『アトランティック・マンスリー』
ローウェル, P　アメリカ[1855–1916]　天文学者。火星の「運河」の正体解明に努め,冥王星の存在を予想　⑱宇地 606 A図
ローウェル, R　アメリカ[1917–1977]　詩人。戦後同国詩壇の中心的存在。訳詩集や戯曲もある　①文学 712 C
『老猿』　②美術→高村光雲図
老化　⑭医学→更年期　→老年医学
廊下　⑬生活→照明〔その他〕　→住まい〔設計〈各部〉〕
蠟画　⇨エンカウスティック
蠟型鋳造　②美術→金属工芸〔加工技法〕　→仏像〔材料と技法〈金属造〉〕
聾学校　⑭医学→聾唖〔聾唖教育〕
琅玕　⑱宇地→ひすい
老眼　⇨老視
『老妓抄』　①文学→岡本かの子図
『老貴婦人の訪問』　③音演→デュレンマット, F
籠球　⇨バスケットボール
労協　⇨労農無産協議会
聾教育　⑭医学→聾唖〔聾唖教育〕
浪曲　⇨浪花節
蠟纈　②美術 648 B　→染色〔模様染めの技法〈防染剤の付着による防染〉〕　⑬生活→染物〔蠟染〕
肉桂〈にっけい〉　⑬生活→中国料理〔香辛料〈嗜好調味料〉〕

漏刻　⑥日史 1213 C　→天智天皇　⑰科技→時計〔歴史〈第 1 期〉〕図　⑱宇地→時〔時法〕
『牢獄の歌』　①文学→シャルル・ドルレアン
弄斎　③音演→はやり唄
労災保険　⑫経産→社会保険〔労働保険〕
労災補償　⑫経産→補償金
『老妻物語』　①文学→ベネット, E
労作唄　⇨仕事唄
『老残遊記』　①文学→劉鶚　⑨世史→清〔文化〕
老子　中国[* *]　春秋時代末の思想家。道家の祖とされる　㊥『老子』　①文学 712 C　④哲宗 626 C図　→道家　→道教〔源流〕　⑨世史 694 D図　→老荘思想
『老子』〈道徳経〉　①文学→老子　④哲宗→老子　→老荘思想　⑤日史→儒学〔伝来〕
老視〈老眼〉　⑭医学→目　→めがね
ロウジ　⇨クロカワ
労使関係　⑫経産 594 D　→賃金Ⅱ〔一〕　→労働協約
労資関係　⑫経産→労使関係
労使協議制　⑫経産→経営参加〔経営管理機関〕　→労使関係
労使協調　⑫経産→経営参加　→産業民主主義
労使協力制度　⑫経産→経営成果分配制度〔スキャンロン・プラン〕　→労使関係
浪士組　⑤日史→清川八郎　→新徴組
郎士元　中国[727–780*]　中唐の詩人。送別詩の名手で,銭起と合わせて「銭郎」と称された　①文学 712 C
労使報告公開法〈ランドラム=グリフィン法〉　⑫経産→タフト=ハートレー法
老舎〈ラオショー〉　中国[1898–1966]　小説家・劇作家。ユーモアとペーソスを交えて北京の庶民を活写　㊥『駱駝祥子』　①文学 712 D図　→『小説月報』
老中　⑥日史 1213 C　→側用人　→年寄　→若年寄　⑤日史→江戸時代〔政治・外交〈武断政治から文治政治へ〉〕
郎従〈郎党〉　⑤日史→家子郎党　⑥日史→武士〔大名領国〕　→若党〈中世〉
『老松堂日本行録』　⑥日史 1213 D
朗誦文学　①文学→文学
老人　⑬生活→栄養〔特殊栄養〕　⑭医学→老年医学
老人医療　⑫経産→社会保険〔医療保険〕　⑭医学→医療制度〔健康保険〕
老人室　⑬生活→住まい〔設計〈各部〉〕
老人星　⇨カノープス
老人性角化腫　⑭医学→いぼ〔腫瘍性いぼ〕
老人性高血圧　⑭医学→高血圧〔続発性高血圧〕
老人性色素斑　⑭医学→しみ
老人性紫斑　⑭医学→あざ〔後天性〈老人性〉〕
老人性脱疽　⑭医学→壊疽
老人性痴呆　⑭医学→健忘症〔コルサコフ症候群〕　→精神病
老人性肺気腫〈老人肺〉　⑭医学→肺〔肺気腫〕
老人性皮膚瘙痒症　⑭医学→瘙痒症〔皮膚瘙痒症〈汎発性〉〕
『老人と海』　①文学→ヘミングウェイ, E図
老人病　⑭医学→成人病
老人福祉　⑪政社→老人問題〔老齢保障〕
老人福祉法　⑫経産→社会福祉〔社会福祉事業法〕
老人問題　⑪政社 595 A　→都市問題〔問題と対策〕
老衰　⑭医学→死〔死因〕　→老年医学〈614 D〉
老衰死〈自然死〉　⑭医学→老年医学〈614 D〉
『老水夫の歌』　①文学→コールリッジ, S
ロウセ　⑲植物→アフェランドラ
郎世寧　⇨カスティリオーネ, G
蠟石　⑮化学→陶磁器〔原料〈粘土〉〕　⑱宇地→滑石　→葉ろう石
『臘扇記』　④哲宗→清沢満之
滝泉寺〈目黒不動〉　⑧日地→目黒(区)
老壮会　⑤日史→右翼運動〔大正〕　→国家社会主義運動　⑪政社→右翼〔日本〕
狼瘡結節　⑭医学→結核〔皮膚結核〈真正皮膚結核〉〕
老荘思想　④哲宗 627 A　→玄学　→荘子　→中国思想〔第 2 期〕　→天　→無　→老子　⑨世史 695 A
蠟燭　②美術→照明具〔日本〕　④哲宗→燈明〈419 B〉　⑥日史→蠟　→提灯　⑮化学→パラフィン〔パラフィンろう〕
ろうそく時計　⑰科技→時計〔歴史〈第 1 期〉〕
『ろうそくの科学』　⑮化学→ファラデー, M〈526 B〉
『蠟燭の炎』　①文学→バシュラール, G
ロウソクホッケ　⑳動物→ホッケ

装飾に従事 ②美術 662 A
ロッタ フィンランド[1915] ②美術→北欧美術〔建築と工芸デザイン〕
ロッチ, A アメリカ[1861-1912] 気象学者。大西洋上での高層観測によって反対貿易風の存在を確認 ⑱宇地 611 A
ロッチデール ⑩世地→マンチェスター《イギリス》
ロッチデール公正開拓者組合 ⑫経産→消費生活協同組合
ロッツェ, R ドイツ[1817-1881] 哲学者。新形而上学派に属し,西南ドイツ学派の文化哲学に大きな影響を与える ④哲宗 629 C
ロッテ ①文学→ゲーテ, J〔若きウェルテルの悩み〕
ロッテ・オリオンズ ⑬生活→野球〔プロ野球〈日本〉表〕
ロッテリー ⑬生活→ギャンブル〔分類〈くじ〉〕
ロッテルダム オランダ ⑩世地 687 C図 ⑧日地→港湾都市〈1211 B〉 ⑫経産→西欧経済事情図
ロッテルダム動物園 ⑳動物→動物園〔表世界〕
ロッテンハンマー, H [1564-1625] ②美術→ドイツ美術〔バロック〕
ロット, L イタリア[1480-1556] 画家。銀灰色調のもとに素朴な力強さをもつ独自の様式を確立 ②美術 662 B
ロット ⑯物数→抜取り検査
ロッド〈竿〉 ⑬生活→釣り〔釣り道具〕
ロッド〈カーラー〉 ⑬生活→パーマネントウェーブ〔コールドウェーブ〕
ロッド型サーミスター ⑰科技→サーミスター図
ロッドミル ⑰科技→粉砕機
ロッパ族 ⑩世地→中華人民共和国〔表少数民族〕
六派哲学ろっぱてつがく ④哲宗 629 D →インド哲学〔古典時代〕
ロッビア, L イタリア[1400-1482] 彫刻家。釉薬による彩色テラコッタの技法を創始 ②美術 662 C図 →ルネサンス美術〔開花〈美術活動の展開〉別〕
六百番歌合 ①文学→歌合
606 号 ⇨サルバルサン
六腑 ⑭医学→五臓六腑
六方ろっぽう〔六法〕 ③音演 611 C図 →歌舞伎別
六方最密格子 ⑮化学→結晶〔球体の充塡〕
六方最密パッキング〈hcp〉 ⑮化学→金属〔結晶構造〕図 →結晶〔球体の充塡〕図
六放サンゴ ⑳動物→サンゴ
六方晶系 ⑱宇地→結晶〔結晶系〕図
六方晶系金属 ⑮化学→金属〔結晶構造〕
六方石 ⇨水晶
六方野 ⑧日地→四街道(町)よつかいどう
六方者〔六法者〕 ⇨侠客きょうかく
ロッホナー, S ドイツ[1410*-1451] ②美術→ドイツ美術〔ルネサンス〕
六本木 東京/港区 ⑧日地 1186 A
ロティ ⑬生活→フランス料理〔献立〕
ローディザイト ⑮化学→セシウム
ロディー朝 ⑨世史 704 D →シェール・シャー →デリー・サルタナット
ローディの和 ⑨世史 705 A →ベネチア共和国
ロディン ⑲植物→オモト
ローディング・ルーチン ⑰科技→電子計算機〔プログラミング〕
ロデオ ⑩世地→アメリカ(合衆国)〔図文化〕
ローデシア〈ジンバブエ〉 アフリカ ⑩世地 687 D図 ⑨世史→ローズ, C
ローデシア・ニアサランド連邦 ⑩世地→ザンビア(共和国)〔略史〕 →マラウイ(共和国)〔略史〕 →ローデシア〔略史〕
ローテート制 ⑭医学→インターン
ロテノン ⑮化学→農薬〔分類〈表殺虫剤〉〕
ローテ・ファーネ〈赤旗〉 ⑨世史→スパルタクス団 →ドイツ共産党
『ロデリック・ランダム』 ⑱宇地→海洋〔囲イギリスの海洋文学〕図
露点〈露点温度〉 ⑯物数 609 A →飽和〔飽和蒸気〕 ⑱宇地 611 A →湿度
露点計 ⑯物数→露点 ⑱宇地→湿度計
露天採掘 ⇨露天掘り
露天商人 ⑫経産→小売商
露天掘り ⑧日地 1238 C ⑰科技 671 B図 →鉱山〔採掘〕図 →採鉱 ⑱宇地→石切場
ロト ④哲宗→聖書〔囲人名〈アブラハム〉〕
ロート, E ドイツ[1895-1976] 詩人・小説家。ジャーナリストを経て詩作,人間のいたらなさを暖かく歌いあげた ①文学 718 B
ロート, J オーストリア[1894-1939] ユダヤ系の小説家。ナチスに追われ,パリで反ナチス運動を続けた ①文学 718 B →新即物主義
ロート ⑮化学→化学実験〔実験器具〈分離〉〕図
ロドー, J ウルグアイ[1871-1917] 思想家。ルナンなど,フランスの思想家の影響を強くうけたエッセイを書く ①文学 718 B →ラテンアメリカ文学〔独立から 20 世紀初葉まで〕
ロード ⑨世史→爵位〔西洋〕
ロードアイランド(州) アメリカ ⑩世地 688 D ⑨世史→アメリカ 13 州
ロードアイランドレッド ⑳動物→ニワトリ〔卵肉兼用種〕図
ロドイダンバ, C モンゴル[1917-1969] 小説家。『清らなるタミルの流れ』はモンゴルの大自然を舞台にした大作 ①文学 718 B
露頭 ⑱宇地 611 A →地質〔地質調査〕
盧仝ろどう 中国[?-835] 中唐の詩人。生活は貧しく苦吟して日を送り,好んで奇怪なことを詠じた ①文学 718 C
ロートエキス ⑭医学→エキス剤 →生薬しょうやく〔莨菪根〕
『ロドギュンヌ』 ①文学→コルネイユ, P
ロード競技 ⑬生活→自転車競技〔競技種目〕
ロート根 ⑲植物→ハシリドコロ
『ロード・ジム』 ①文学→海洋文学 →コンラッド, J ⑱宇地→海洋〔囲イギリスの海洋文学〕
ロドス(島) ギリシア ⑩世地 689 A図 →ギリシア(共和国)図 →ドデカノソス(諸島)
ロドス ⑱宇地→風〔表局地風〕
ロードスター ⑰科技→自動車〔種類〕図
『ロードス島攻囲』 ①文学→ダブナント, W
ロードス島の巨像 ⑰科技→灯台〔歴史〕
露土戦争 ⇨ロシア・トルコ戦争
ロードタウン ⑩世地→バージン(諸島)
ロドチェンコ, A ソ連[1891-1956] 画家・デザイナー。画架芸術を否定し「生産芸術」を主張 ②美術 662 C →構成主義 →ポスター →ロシア美術〔初期ソビエト美術〕
ロード・チェンバレンズ・メン ①文学→シェークスピア, W
ロードデンドロン ⑲植物→シャクナゲ
ロードハウ(島) オーストラリア/太平洋 ⑩世地 689 A
ロドピプラニナ(山脈) ⑩世地→バルカン(半島)
ロドヒポクシス ⑲植物 684 B図
ロドプシン〈視紅〉 ⑭医学→暗順応 →網膜 ⑯物数→光〔囲視覚〕
ロドペ(山脈) ブルガリア ⑩世地 689 B
ロートベルトゥス, J ドイツ[1805-1875] 経済学者。資本主義の発展は恐慌を不可避的に生起させるとした ⑫経産 606 D図 ⑪政社→国家社会主義
ロートマン, Y ソ連[1922] 文芸学者。記号学的文学研究の同国の中心的存在 ①文学 718 C
ロートミルフライス盤 ⑰科技→工作機械〔フライス盤〕表
ロード・メイヤーズ・ショー ⑩世地→ロンドン《イギリス》図
ロート油 ⑮化学→油脂〔化学的性質〈種々の試薬との作用〉〕
ロート葉 ⑲植物→ハシリドコロ
ロードライト ⑱宇地→ざくろ石〔パイロープ〕
ロドリゲス, J ポルトガル[1561-1634] イエズス会宣教師。安土桃山時代に来日。秀吉・家康の知遇を得る ⑥日史 1224 A ④哲宗→キリシタン〔囲人名〕
ロドリゲス(島) モーリシャス ⑩世地 689 B →マスカリーン(諸島)
ロドリゴ ⇨ビベロ, D
ロドリーゴ, J スペイン[1902] 作曲家。日本ではギターと管弦楽のための『アランフェス協奏曲』などで知られる ③音演 611 C
ロドリーゴ・ディアス・デ・ビバル スペイン ①文学→スペイン文学〔中世〕
ロートリンゲン〈ロレーヌ〉 ⑨世史→メルセン条約 ⑩世地→フランス〔地方誌〈北東部〉〕 ⑫経産→鉄鋼業〔世界〕
ロトルー, J フランス[1609-1650] 劇作家。スペイン劇に影響を受け,波乱に富んだ筋を巧みに構成 ①文学 718 C
ロトルア ニュージーランド ⑩世地 689 B
ロートレアモン フランス[1846-1870] 詩人。生前は無名であったが,シュルレアリスムの先駆者として高く評価されている 作『マルドロールの歌』 ①文学 718 C図 →エリュアール, P
ロードレース ⑬生活→オートバイ競技 →ドライブ〔モータースポーツ〕
ロートレック, H フランス[1864-1901] 画家。ムーラン・ルージュを描いて知られる ②美術 662 C図 →石版画〔歴史〕図 →ポスター図 →漫画〔ヨーロッパ漫画の基盤〕 ③音演→カンカン図
羅東ローナン ⑩世地→イーラン
『ローナ・ドゥーン』 ①文学→ブラックモア, R
ロナルディ ⑩世地→アルゼンチン(共和国)〔略史〕
ロニー(兄弟) フランス 兄[1856-1940] 弟[1859-1948] ともに小説家。空想的科学小説や社会小説を共作 ①文学 718 D
ローヌ(低地) ⑩世地→フランス(共和国)〔地方誌〕
ローヌ(川) スイス・フランス ⑩世地 689 C →アビニヨン →レマン(湖)
ローヌ(氷河) ⑩世地→ローヌ(川)
ローヌ・プーラン ⑫経産 607 A
ローヌ・ライン(運河) ⑰科技→運河〔歴史〕
ローネックライン ⑬生活→衿〔図ネックライン〕
ロバ〔驢馬〕 ⑳動物 640 C図 ⑨世史→家畜史
『**驢馬**』 ①文学 718 D図 →窪川鶴次郎 →中野重治 →プロレタリア文学 →堀辰雄
ローハス, F スペイン[1453*-1541*] ③音演→スペイン演劇〔16 世紀〕
ロハス大通り ⑩世地→マニラ図
ローハス・ソリーリャ, F スペイン[1607-1648] 劇作家。スペイン喜劇に金銭というモチーフを最初にとりいれる ①文学 719 A →ルネサンス文学 ③音演 611 D
ローバー・セーフティー・バイシクル ⑰科技→自転車〔歴史〕
ロバタンニュラリア ⑲植物→スフェノフィルム
ロバチェフスキー, N ロシア[1793-1856] 数学者。一生を非ユークリッド幾何学の研究と大学の行政にささげた ⑯物数 609 B図 →双曲幾何学 →非ユークリッド幾何学 →平行〔直線と直線〈ユークリッドの第 5 公準〉〕
ロバチェフスキーの非ユークリッド幾何学 ⇨双曲幾何学
ロバーツ, E アメリカ[1886-1941] 女流小説家・詩人。開拓者の生活を詩的・歴史的に描いた ①文学 719 A
ロバーツ, R [1789-1864] ⑨世史→産業革命〔経過〈綿工業〉〕 ⑰科技→技術〔産業革命〕
ロバーツ委員会 ②美術→ウォーナー, L
ローバック, A アメリカ ⑫経産→シアーズ・ローバック
ローバック, J イギリス[1718-1794] 化学技術者。鉛室を用いる硫酸製造法を発明 ⑮化学 669 C
ロバート, B ⑨世史→海賊〔骸骨旗〕図
ロバート, R ⑰科技→織機〔力織機〈発達〉〕
ロバート・オーエン ⇨オーエン, R
ロバート・オブ・チェスター ⑰科技→錬金術
ロバートソン, A ⑬生活→ゴルフ〔歴史〈名手〉〕
ロバートソン, D イギリス[1890-1963] 経済学者。景気変動論・貨幣金融理論の分野で活躍 ⑫経産 607 B図
ロバノフ ソ連 ⑥日史→山県・ロバノフ協定
『ロバの遺言』 ①文学→『ファブリオー』
『ろば物語』 ①文学→セギュール夫人
『ロバンとマリオンの戯れ』 ③音演→アダン・ド・ラ・アール →民謡〔西欧〈フランス民謡〉〕
路盤用機械 ⑰科技→建設機械
ロビー ⑪政社→圧力団体〔定義〕
ロビゴ イタリア ⑩世地 689 C
ロピタル [1661-1704] ⑯物数→ベルヌーイ(家)〔ヨハン一世〕
ロビッチ型日射計 ⑱宇地→日射〔日射計〕
ロビト アンゴラ ⑩世地 689 C
ロビネ, J フランス[1735-1820] 哲学者。コンディヤックの影響をうけ,感覚論的な経験論を唱えた ④哲宗 630 C
ロビネスク, H ルーマニア[1917] ①文学→東欧文学〔ルーマニア〕 ③音演→東欧演劇〔ルーマニア〕
ロビビア ⑲植物→サボテン〔種類〕
ロビン〈ヨーロッパコマドリ〉 ⑳動物→国鳥図表
ロビンス, J アメリカ[1918] 舞踊家・振付者。「バレエ・シアター」で活躍し,ミュージカルの振付けと演出で大成功 ③音演 611 D →ミュージカル
ロビンズ, F アメリカ[1916] 医学者。小児麻痺の病毒組織培養やおたふくかぜ・種痘症などを研究。ノーベル賞受賞 ⑭医学 32 C →組織培養〔培養法〕
ロビンズ, L イギリス[1898] 経済学者。ピグーの厚生経済学を批判し新厚生経済学への途を開いた ⑫経産 607 B図 →価値判断〈80 D〉 →厚生経済学〈189 A〉

ワ
わ

和　⑯物数→加法
倭　⑥日史 1224 D　→朝鮮
ＹＩＧ　⇨イットリウム鉄ガーネット
ワイアシュトラース,K　ドイツ[1815-1897]　数学者。厳密な解析的表現を重んじ,べき級数で複素関数の理論を基礎づける　⑯物数 611 B図　→解析学〔19 世紀以後〕　→数学〔19 世紀〈批判数学〉〕　→変分法
ワイアット,J　イギリス[1700-1766]　発明家・紡績技術者。繊維を引き伸ばす紡績機械を発明　⑰科技 675 B図　→機械　→紡績〔歴史〕
ワイアット,T　イギリス[1503-1542]　詩人。ソネット形式を初めて同国に移植　①文学 724 D
ＹＲＢ方式カメラ　⑰科技→テレビジョン〔カラーテレビジョン〈カラーカメラ〉〕
ＹＨ　⇨ユースホステル
ＹＨＷＨ　⇨ヤーウェ
ＹＡＧ　⑬生活→宝石〔合成宝石〕
ワイエス,A　アメリカ[1917]　画家。写真の登場以後放棄された写実描写を復活させた　②美術 668 A　→アメリカ美術図
ＹＳ-11　⑫経産→航空機工業〔日本〕　⑰科技→飛行機〔新機種の開発〈期間および開発費〉〕図
ＹＸ計画　⑫経産→航空機工業〔日本〕
ＹＭＣＡ〈キリスト教青年会〉　④哲宗 635 A　→小崎弘道　⑬生活→キャンプ〔組織キャンプ〕
ワイオミング(州)　アメリカ　⑩世地 701 A図
淮河　⇨ホワイ(川)
滙劃総会　⑫経産→銭荘
ワイカト(地方)　⑩世地→ニュージーランド〔地方誌〈北島〉〕
ワイキキ　アメリカ/ハワイ　⑩世地 701 C　→ハワイ(州)図
ワイキキ水族館　⑳動物→水族館〔表世界〕
歪曲収差　⑯物数→収差〔ザイデルの 5 収差〕図
ワイクゼルバウム,A　オーストリア　⑭医学→髄膜〔髄膜炎菌〕
淮軍　⑨世史 713 C　→李鴻章
ワイゲル,H　[1900-1971]　③音演→ブレヒト,B図
ワイシャツ　⇨ホワイトシャツ
ワイス,P　スウェーデン[1916-1982]　作家・劇作家。『マラ/サド』と略称される作品で世界の注目を集め,以後一作ごとに話題を提供　①文学 724 D　→ドイツ文学〔20 世紀〕　③音演 614 B図　→ドイツ演劇〔歴史〕
ワイス,P　[1865-1940]　⑯物数→強磁性体　→磁区　→ランジュバン,P
ワイス温度〈漸近キュリー点〉　⑯物数→キュリー点
ワイスコップ,V　アメリカ[1908]　物理学者。ロスアラモスで原子核反応を研究,中性子が原子炉内で果たす役割を解明　⑯物数 611 C
ワイステューマー　⑨世史 713 C
ワイスビール　⑬生活→ビール〔種類〕
ワイスマニズム　⑳動物→ワイスマン,A
ワイスマン,A　ドイツ[1834-1914]　発生学者・遺伝学者。遺伝のにない手としての粒子が染色体にあることを主張　⑳動物 642 B　→進化〔進化論〈ダーウィン以後〉〕　→ルー,W
ワイズマン,C　イスラエル[1874-1952]　化学者・政治家。シオニズム運動の指導者で,イギリスからバルフォア宣言をとりつける　⑪政社 607 A図
ワイズミューラー　アメリカ　⑬生活→オリンピック〔近代〈第 8 回パリ大会〉〕図
矮星　⑱宇地 611 C　→ＨＲ図〔恒星の分類〕　→白色矮星　→星
ワイゼッカー,C　ドイツ[1912]　物理学者・自然哲学者。惑星系の成因論,熱核反応の研究で著名　⑯物数 612 A図　⑱宇地→太陽系〔成因と進化〕図　→乱流〔発生理論〕
猥褻文書　⑪政社→表現の自由〔諸問題〕
Ｙ染色体　⑲植物 684 C　→染色体〔性染色体〕　⑳動物→遺伝〔性の決定〕　→性〔決定〕
賄選総統　⑨世史→曹錕
ワイゼンボルン,G　ドイツ[1902-1969]　劇作家・小説家。戦争批判劇でデビュー。抵抗運動で捕われ強制労働　①文学 725 A
ワイダ,A　ポーランド[1926]　映画監督。ポーランド派の代表的な存在で,青春を戦争のさなかに送った若者の抵抗と挫折を描いた　③音演 614 B　→映画〔トーキー〈第 6 期〉〕
ＹＷＣＡ　④哲宗→ＹＭＣＡ
ワイツ,G　ドイツ[1813-1886]　歴史家。ランケの高弟。丹念な史料操作をもとにドイツ史研究の基礎を置く　⑨世史 713 D　→ランケ,L
筷子　⑬生活→食器〔分類〈中国食器〉〕
ワイデン,R　[1397*-1464]　フランドルの画家。エスコリアル宮の「キリスト降架」など宗教的な主題を追求　②美術 668 A図　→ゴシック美術〔絵画〕　→フランドル美術〔絵画〕図
ワイデンライヒ,F　ドイツ[1873-1948]　解剖学者・人類学者。北京原人の骨格を発掘し,その研究成果を発表　⑱宇地 611 C　⑳動物 642 B図
ワイト(島)　イギリス　⑩世地 701 C
ワイドアングルレンズ　⇨広角レンズ
ワイド周遊券　⑬生活→旅行〔列車と乗車券〕
ワイドスクリーン　⑰科技→映画カメラ〔35 ミリ〕
ワイドマン,C　[1901-1975]　③音演→モダン・ダンス図
ワイトモ　ニュージーランド　⑩世地 701 C
ワイドリンガー,P　アメリカ　⑰科技→海上都市〔展望〈海上空港〉〕
ワイトリング,W　ドイツ[1808-1871]　社会主義者。プロレタリアートの革命的な役割を認識した最初の理論家　⑨世史 713 D
和井内貞行　[1858-1922]　養魚家。従来水産物のなかった十和田湖で養魚事業に成功　⑥日史 1224 D　⑧日地→十和田湖
ワイナ・カパック　⑨世史→インカ〔歴史〕
淮南　⇨ホワイナン
淮南格物説　④哲宗→王心斎
ワイニンガー　④哲宗→性格
『Ｙの悲劇』　①文学→クイーン,E
濊貊　⑨世史 713 D
隈板内閣　⑤日史→大隈重信内閣〔第一次〕　⑪政社→板垣退助　→大隈重信　→政党(各国)〔日本〈政友会〉〕
隈府　⑦日地→菊池(市)
ワイマー,P　⑰科技→撮像管
ワイマラナー　⑳動物→イヌ〔犬種〈猟犬〉〕
ワイマール　東ドイツ　⑩世地 701 C　②美術→バウハウス
ワイマール共和国〈ドイツ共和国〉　⑨世史 714 A図　→エーベルト,F　→ドイツ〔歴史〕　→ドイツ社会民主党　→ブリューニング,H　⑪政社 607 B図　→ドイツ革命〔収拾〕　⑩世地→ドイツ〔略史〕　⑫経産→ドイツ経済事情
ワイマール憲法　⑨世史→ドイツ革命〔経過〕　→プロイス,H　→ワイマール共和国　⑪政社→基本的人権〔社会権〕　→緊急命令　→憲法〔総論〈現代的展開〉〕　→生存権　→ワイマール共和国
ワイマール連合　⑨世史→中央党　→ドイツ革命〔経過〕　→ワイマール共和国
ワイヤー・タッピング　⑪政社→盗聴
ワイヤー・ブラシ　③音演→ドラム〔スネア・ドラム〕
ワイヤヘアード・フォックステリア　⑳動物→イヌ〔別〈テリア〉〕
ワイヤラ　オーストラリア　⑩世地 701 C　→サウスオーストラリア(州)
ワイヤライン・フォーメーションテスト　⑮化学→石油〔開発〕　⑰科技→採油〔開発〕
ワイヤラス下地　⑬生活→壁〔木造壁〈塗り壁〉〕
ワイヤン・プルワ　③音演→影絵劇〔ジャワ〕
淮勇　⇨淮軍
ワイラー,W　アメリカ[1902-1981]　映画監督。同国映画界の巨匠の一人で,いかなる素材をもそつなく演出　③音演 614 C図　→映画〔トーキー〈第 4 期〉〕
Ｙライン　⑬生活→洋装
ワイラケイ　⑩世地→タウポ(湖)
ワイラケイ地熱発電所　⑩世地→ニュージーランド図　⑰科技→地熱発電図
ワイラケ沸石　⑱宇地→沸石
ワイル,A　ドイツ[1849-1916]　⑭医学→ワイル病
ワイル,H　ドイツ[1885-1955]　数学者。業績は現代数学の全分野にわたり,20 世紀前半の指導的存在　⑯物数 612 B図　→カルタン,E　→数学〔20 世紀〕　④哲宗→パイル,H
ワイル,K　アメリカ[1900-1950]　作曲家。ブレヒトと組み,風刺のきいた内容の劇音楽で注目された　③音演 614 D　①文学→ブレヒト,B〔三文オペラ〕
ワイルク　⑩世地→マウイ(島)
ワイルダー,B　アメリカ[1906]　映画監督。『七年目の浮気』などしゃれた喜劇に本領を示している　③音演 615 B
ワイルダー,T　アメリカ[1897-1975]　小説家・劇作家。少年時代を中国大陸で送る。大学で古典文学を教えながら創作　㊡『ミスター人類』『わが町』　①文学 725 A図　③音演 615 A図　→アメリカ演劇〔ブロードウェー演劇〕　→現代演劇
ワイルド,O　イギリス[1854-1900]　劇作家・小説家。絶妙な逆説と機知に富んだせりふの面白さをもつ風習喜劇で知られる　㊡『まじめが大切』『サロメ』　①文学 725 C図　→イギリス文学〔ビクトリア朝〕　→世紀末思潮　→唯美主義　③音演 615 B　→イギリス演劇〔18～19 世紀〕
ワイルド,W　イギリス[1815-1876]　⑭医学→耳鼻咽喉科
ワイルドピッチ　⑬生活→野球〔囲用語〕
ワイル病　⑭医学 615 A　→感染〔経口感染〕　→感染症〔表〈スピロヘータ疾患〉〕　→井戸泰〈517 C〉　→予防接種　→稲田龍吉〈615 B〉
ワイル=フェリックス反応　⑭医学→発疹チフス
ワイン　⇨ぶどう酒
ワインガルトナー,F　オーストリア[1863-1942]　指揮者・作曲家。ベートーベンの解釈に定評があり,随想・評論の分野でも活躍　③音演 615 C
ワイングラス　⑬生活→食器〔分類〈洋食器〉〕図　→ぶどう酒〔飲み方〕
『ワインズバーグ・オハイオ』　①文学→アンダーソン,S
ワインスープ　⑬生活→スープ〔ポタージュ・リエ〕
ワインダー　⑰科技→紡績〔紡機とその進歩〕
ワインディング　⑬生活→ラグビー〔囲用語〕
ワインドアップ　⑬生活→野球〔囲用語〕
ワインビネガー〈ぶどう酢〉　⑬生活→酢〔種類〕
ワインヘーバー,J　オーストリア[1892-1945]　詩人。リズムと韻律を重んじ,国民詩人として名声を博した　①文学 726 A
ワインベルガー,J　チェコ[1896-1967]　作曲家。チェコ民族オペラの傑作『笛吹きシュバンダ』で有名　③音演 615 C
ワインベルク,W　⑳動物→遺伝〔集団遺伝学〕　→遺伝学〔歴史〕
『和英語林集成』　⑤日史→英学〔日米交渉史〕　→岸田吟香
倭王　⑥日史→倭の五王
倭王国　⇨倭
ワオキツネザル　⑳動物→キツネザル　→サル〔別〈原猿類と広鼻猿類〉〕
和音　③音演 615 C　→音程　→トニカ　⑯物数→音響学
和歌　①文学 726 B　→詩　→短歌　→日本文学〔古代〈平安時代〉〕〔近代〈海外における日本文学〉〕　→『万葉集』〔特質〕　⑥日史 1224 D　→連歌
和賀(町)　岩手　⑧日地 1186 B
『我が愛する詩人の伝記』　①文学→室生犀星
和解　⑫経産→契約〔分類〕
『和解』　①文学→志賀直哉　→日本文学〔近代〈反自然主義〉〕
和解調書　⑬生活→交通事故〔示談〕
『若い人』　①文学→石坂洋次郎　③音演→豊田四郎　→日本映画〔トーキー時代〈第 3 期〉〕図
『若いペン』　①文学→トルコ文学〔近代〕
『わが妹一人生』　①文学→パステルナーク,B
『若いロニガン』　①文学→ファレル,J〔スタッズ・ロニガン〕
和歌浦　⇨和歌浦
『わが思い』　③音演→民謡〔西欧〈アイルランド民謡〉〕
『わが音楽語法』　③音演→現代音楽〔第一次・第二次大戦間〕　→メシアン,O
『わが輝かしき生涯』　①文学→フランクリン,S
和賀川　岩手　⑧日地 1186 B
『若きウェルテルの悩み』　①文学→ゲーテ,J　→シュトルム・ウント・ドラング　→書簡体小説　→ロマン主義〈720 B〉　③音演→マスネー,J〔ウエルテル〕
『若き芸術家の肖像』　①文学→ジョイス,J
『若きゲーテ研究』　①文学→木村謹治
『若き獅子たち』　①文学→ショー,I
『若き親衛隊』　①文学→ファデーエフ,A
『若き親衛隊』　①文学→ベズイメンスキー,A
若きドイツ　⇨青年ドイツ派
『若き囚われの女』　①文学→シェニエ,A

『若きトルストイ』 ①文学→エイヘンバウム，B
『若きパルク』 ①文学→バレリー，P
『若き人々のために』 ①文学→スティーブンソン，R
『若き日の悩み』〈波〉 ①文学→藤森成吉
『若き日の信長』 ③音演→大仏次郎 →日本演劇〔第二次大戦後から現代まで〈第1期〉〕
若きフランス ③音演→ジョリベ，A →メシアン，O
『若きヘーゲル』 ④哲宗→ルカーチ，G
若きポーランド ①文学→東欧文学〔ポーランド〕
『若き娘たち』 ①文学→書簡体小説 →モンテルラン，H
『若きヨーロッパ』 ①文学→ラウベ，H
和学 ⑥日史 1225 A ④哲宗→一条兼良 ⑤日史→三条西実隆
和学講談所 ⑥日史 1225 B →塙保己一
若草(町) 山梨 ⑧日地 1186 B
若草伽藍 ⑥日史 1225 B →法隆寺
『若草物語』 ①文学→オールコット，L
若草山 奈良 ⑧日地 1186 C →奈良(市)図
『我が国の史劇』 ③音演→坪内逍遙
ワカケホセイインコ ⑳動物→インコ図
『わが恋人は真紅のバラ』 ①文学→バーンズ，R
『わが故郷』 ①文学→ナツァクドルジ，D
『わが獄中記』 ①文学→ペッリコ，S
『わが心の遍歴』 ①文学→長与善郎
『我駒』 ①文学→催馬楽
若桜(町) 鳥取 ⑧日地 1186 C
ワカサギ〔公魚〕 ⑳動物 642 C図 ⑬生活→釣り〔種類〈川釣り〉〕
『倭歌作式』〈喜撰式〉 ①文学→『和歌四式』
若狭国 福井 ⑥日史 1225 B囲 ⑧日地 1186 C →福井(県)
若狭掾 ③音演→浄瑠璃〔古浄瑠璃〕
若狭彦神社 ④哲宗→神社〔表〈国幣中社〉〕 ⑦日地→小浜(市)
若狭姫神社 ⑦日地→小浜(市)
若狭富士 ⇨青葉山
若狭湾 ⑧日地 1186 C ⑦日地→小浜湾
若狭湾国定公園 福井・京都 ⑧日地 1186 D図
ワカシ〈ワカナゴ〉 ⑳動物→ブリ〔呼び名〕
和菓子 ⑬生活→菓子
『和歌式』〈孫姫式〉 ①文学→『和歌四式』
『和歌四式』 ①文学 726 C
『わがシードの歌』〈エル・シードの歌〉 ①文学 726 C →口承文芸 →サリナス，P →スペイン文学〔中世〕 →中世文学〈383 C〉 →メネンデス・ピダル，R
『我社会主義』 ④哲宗→片山潜
若衆歌舞伎 ①文学→歌舞伎〔歴史〕 ③音演→歌舞伎〔歴史〈源流と創生〉〕 ⑤日史→歌舞伎 ⑥日史→男色
『わが宗教』 ①文学→トルストイ，L
若衆組 ⇨若者組
若衆髷 ⑬生活→髪形〔男子〕図
『我が生涯の最良の年』 ①文学→シャーウッド，R
『わが生涯の物語』 ①文学→ヨルゲンセン，J
『わが生涯の歴史』〈回想録〉 ①文学→カザノバ，G
若白髪〈早発性白髪〉 ⑬生活→美容〔髪〈頭皮・頭髪〉〕 ⑭医学→毛〔白髪〕
『わが信仰はいずれにありや』 ①文学→トルストイ，L
若杉五十八 〔1759/1805〕 ②美術→長崎派〔洋画派〕 →洋風画
若杉焼 ②美術→九谷
『わが生活の弁護』 ①文学→ニューマン，J
『わが生活の歴史』 ①文学→サンド，G
『わが青春に悔なし』 ①文学→久板栄二郎
『わが青春の記』 ①文学→チャーチル，W. L
『わが生と愛』 ①文学→ハリス，F
『我背子恋の合槌』〈蜘蛛拍子舞〉 ①文学→桜田治助(初世)
和歌説話集 ⑥日史→説話文学
和賀仙人鉱山 ⑧日地→和賀(町)
『わが祖国』 ③音演→スメタナ，B
『わが祖国はいずこ』 ①文学→ティル，J
若建吉備津日子命 ⑤日史→四道将軍
若竹煮 ⑬生活→海藻類〔ワカメ〕
若竹笛躬 ③音演→『摂州合邦辻』
我谷ダム ⑧日地→大聖寺川 →山中(町)
若槻礼次郎 〔1866/1949〕 政治家，首相。満州事変収拾に失敗。対英米協調派として軍部から敵視 ⑥日史 1225 C図 →ロンドン軍縮会議 ⑪政社 607 D図 ⑤日史→憲政会
若槻礼次郎内閣 ⑥日史 1226 A表 →南京事件〔国民政府軍〕 →朴烈事件 ⑤日史→憲政会 ⑫経産→金解禁 →昭和金融恐慌
『和歌庭訓』 ①文学→二条為世
ワカティプ(湖) ニュージーランド ⑩世地 701 C
若党 ⑥日史 1226 B →武士〔大名領国〕 ⑤日史→家子郎党
ワガドゥグ ⇨ワガドーグー
『わが闘争』 ⑨世史→ヒトラー，A〔ナチス党首〕 ⑪政社→ヒトラー，A
若戸大橋 ⑦日地→北九州(市) ⑧日地→洞海湾 →戸畑(区)図 →若松(区) ⑰科技→橋図
ワガドーグー オートボルタ ⑩世地 701 C
和歌所 ⑥日史 1226 B →村上天皇
若年寄 ⑥日史 1226 B →老中 ⑤日史→江戸幕府〔政治機構〕 →小十人組 →小姓組番 →定府
『わが友』 ③音演→ロシア演劇図
『わが友ヒットラー』 ③音演→三島由紀夫
若鶏 ⑬生活→とり肉〔特徴〕 ⑳動物→ニワトリ〔表鶏肉〕
ワカナ ⑳動物→ブリ〔呼び名〕
若菜〈七種〉 ⑥日史 1226 C
『若菜』 ①文学→紫式部〔表源氏物語〕 ③音演→狂言図
ワカナゴ〈ワカシ〉 ⑳動物→ブリ〔呼び名〕
『若菜集』 ①文学→詩〔日本〕 →島崎藤村図 →新体詩 →日本文学〔近代〈浪漫主義〉〕 →ロマン主義〔日本〕
若菜摘み ⑬生活→山菜
『わが名はアラム』 ①文学→サロイヤン，W
『わが名はガンテンバイン』 ①文学→フリッシュ，M
和歌浦〈わかうら〉 和歌山 ⑧日地 1186 D →和歌山(市)〔観光〕
若島権四郎 ⑬生活→相撲〔表横綱〕
若乃花幹士 ⑬生活→相撲〔表横綱〕
『吾輩は猫である』 ①文学→夏目漱石図 →日本文学〔近代〈反自然主義〉〕 →『ホトトギス』
『わが白髪の母』 ①文学→ダムディンスレン，T
若はげ ⑭医学→脱毛〔脱毛症〕
若林強斎 〔1679/1732〕 江戸中期の儒者・神道家。精神主義に立脚し，尊王論を唱える ⑥日史 1226 D
『わがひとに与ふる哀歌』 ①文学→伊東静雄
ワカ・プリエタ ②美術→インカの美術〔インカ以前〕 ⑩世地→ペルー(共和国)〔囲古代遺跡〕
『わが部屋をめぐる旅』 ①文学→メーストル，X
若穂 長野/長野市 ⑧日地 1187 B →長野(市)
『わが町』 ①文学→ワイルダー，T ③音演→アメリカ演劇〔ブロードウェー演劇〕図 →ワイルダー，T
『わが街シカゴ』 ①文学→ブラウン，F
ワカマツ ⇨トクビレ
若松〈黒川〉 ⑦日地→会津若松(市)〔歴史〕
若松(区) 北九州市 ⑧日地 1187 B図 →洞海湾
若松(町) 長崎/五島列島 ⑧日地 1188 A →日ノ島
若松観音堂 ⑧日地→天童(市)
若松鉱山 ⑧日地→鳥取(県)〔産業〈鉱業〉〕
若松島 ⑦日地→五島列島
若松城 ⇨鶴ヶ城
若松総兵衛常齢 〔1813/1874〕 ⑤日史→伊予国〔囲人国記〕
若松半島 福岡 ⑧日地 1188 A
和歌祭 ⑧日地→和歌山(市)図
若美(町) 秋田 ⑧日地 1188 A
和紙 ⇨和紙
若御毛沼命 ⇨神武天皇
若水 ⑱宇地→水〔民俗〕
『我身にたどる姫君』 ①文学→物語文学
若宮(町) 福岡 ⑧日地 1188 B
若宮 ④哲宗→八幡信仰
若宮大路 ⑦日地→鎌倉(市)図
若宮温泉 ⑧日地→土佐山田(町)
若宮祭 ⑦日地→鎌倉(市)〔観光〕
若宮八幡〈川上八幡〉 ⑦日地→奥一志峡
若宮八幡宮 ⑧日地→南(区)〔横浜市〕
若宮八幡神社 ⑧日地→東根(市)
若虫 ⇨若虫
『わが胸の底のここには』 ①文学→高見順
『若紫』 ①文学→紫式部〔表源氏物語〕
ワカメ〔若布，和布〕 ⑲植物 684 C図 →海藻〔別褐藻植物〕 ⑬生活→海藻類
わかめ衣掛 ⑬生活→郷土料理〔囲〈三重〉〕
若者組〈若衆組〉 ⑥日史 1226 D →娘組 ⑬生活→祝い事〔成人式〕
若者仲間 ⑥日史→仲間
『若者のすべて』 ③音演→ビスコンティ，L
若者宿 ⑥日史→若者組 ⑭医学→性教育〈348 C〉
若柳寿童 ③音演→日本舞踊〔流派〈若柳流〉〕
若柳流 ③音演→日本舞踊〔流派〕
若柳(町) 宮城 ⑧日地 1188 B
『我が家の楽園』 ③音演→キャプラ，F
若山 ⑦日地→珠洲(市)
和歌山(県) ⑧日地 1188 B図表 ⑤日史→紀伊国
和歌山(市) 和歌山 ⑧日地 1192 A図
若山喜志子 ①文学→『創作』
和歌山家 ③音演→長唄〔囲流派〈唄方〉〕
和歌山県立近代美術館 ②美術 682 D
若山鉱山 ⑧日地→西川(町)〔山形〕
和歌山城 ⑥日史 1227 A ②美術→庭園囲 ⑧日地→和歌山(市)〔歴史〕図
和歌山線 ⑦日地→関西本線
若山儀一 〔1840/1891〕 幕末・明治初期の経済学者。欧米の経済学を紹介。最初の生命保険事業を試みた ⑥日史 1227 A
和歌山藩 ⇨紀伊藩
和歌山平野 和歌山 ⑧日地 1192 D
若山牧水 〔1885/1928〕 歌人。車前草社を結成。酒を愛し旅を好み，終生定業につかなかった 作『海の声』 ①文学 726 D図 →『創作』 ⑥日史 1227 A ⑧日地→東郷(町)〔宮崎〕
ワカヤマヤチネズミ ⑳動物→ヤチネズミ
『わが喜びは永遠に』 ①文学→ジョノ，J
別れ霜〈わすれ霜〉 ⑱宇地→霜
『別れの一本杉』 ③音演→歌謡曲表
『別れの曲』 ③音演→ショパン，F〔作風と作品〕
『別れのブルース』 ③音演→歌謡曲表
『別れも愉し』 ③音演→ルナール，J
ワカレワレワ ⑩世地→ニュージーランド〔自然〕
『わが牢獄』 ①文学→ベルレーヌ，P
ワガワガ オーストラリア ⑩世地 701 D
倭館 ⑥日史 1227 A →倭館貿易
和漢医方 ⇨漢方医学
和漢混交文 ①文学→『保元物語』
『和漢三才図会』 ⑥日史 1227 B
輪かんじき ⑬生活→登山〔登山用具〕〔囲用語〕
倭館貿易 ⑥日史 1227 B
『和漢朗詠集』 ⑥日史 1227 C ①文学→漢文学〔中古〕 →藤原公任 →朗詠 ③音演→朗詠 ⑤日史→大江朝綱
脇(町) 徳島 ⑧日地 1193 C
脇 ⑬生活→相撲〔囲用語〕
和木(町) 山口 ⑧日地 1193 D
脇開 ⑥日史→振袖
脇往還 ⑥日史 1227 C
わきが〔腋臭〕〈腋臭症〉 ⑭医学 615 C →汗〔亜鉛華でんぷん〕 →わきの下
ワキ方 ③音演→能〔役柄・制度・流儀〕
脇窯 ②美術→楽焼
脇狂言 ③音演→狂言〔本狂言の分類〕図
脇句 ①文学→連歌〔形態〕
和ギク〈日本ギク〉 ⑲植物→キク〔分類〕
わき毛〈腋毛〉 ⑭医学→毛〔性毛〕 →わきの下
脇坂安治 〔1554/1626〕 安土桃山時代の武将。賤ヶ岳の合戦で一番槍の功名をたてる ⑥日史 1227 C図
脇指〔脇差〕 ⑥日史 1227 D ②美術→日本刀〔囲用語〈種別〉〕別
脇侍 ②美術→仏像〔組合せ〕 ⑥日史→仏像
脇田温泉 ⑧日地→若宮(町)
ワギニスムス ⇨膣痙攣
脇野 ⑧日地→三島(町)〔新潟〕
脇能物〈初番目物〉 ③音演→能〔脚本と分類〕
脇野沢(村) 青森 ⑧日地 1193 D
わきの下〈腋窩〉 ⑭医学 615 D図 →わきが
脇浜 ⑧日地→葺合(区)
脇曳 ⑤日史→甲冑〔小具足〕
脇本陣 ②美術→町家 ⑥日史→本陣
脇名 ⑥日史→惣領制〔惣領〕
脇屋義助 〔1307/1342〕 南北朝時代の武将。新田義貞の弟。義貞戦死後も南朝軍を率い戦う ⑥日史 1227 D
和牛 ⑳動物 643 B →ウシ〔品種〕 ⑤日史→牛
和鏡 ⑤日史→鏡
輪切り ⑬生活→調理〔切り方〕図
ワキン〔和金〕 ⑳動物→キンギョ〔品種〕図
ワーキントン イギリス ⑩世地 701 D

ワスレガイ〔忘貝〕 ⑳動物 644 B図
ワスレグサ ⑲植物→リコリス〔種類〕
『萱草』 ①文学→宗祇
『萱草に寄す』 ①文学→立原道造
わすれ霜〈別れ霜〉 ⑱宇地→霜
『忘れちゃいやよ』 ③音演→歌謡曲表
ワスレナグサ〔勿忘草〕 ⑲植物 686 A図 →園芸〔図フラワーカレンダー〈1〉〕
『忘れな草』 ①文学→東欧文学〔アルバニア〕
ワスレナグモ ⑳動物→クモ〔生態〕
『忘れられた小唄』 ③音演→ドビュッシー, C
『忘れられた人々』 ③音演→映画〔トーキー〈第6期〉〕別 →ブニュエル, L
ワーズワース, W [1770–1850] ロマン派の代表的詩人。フランスに渡り大革命に接する。湖水地方の町グラスミアに定住し詩作 作『序曲』 ①文学 727 B図 →イギリス文学〔古典主義〕 →ロマン主義〈720 C〉 ⑪政社→政治的ロマン主義
和声 ③音演 618 D図
ワセイチゴ ⇨クサイチゴ
和声的短音階 ③音演→長音階・短音階〔短音階〕図
和声的長音階 ③音演→長音階・短音階〔長音階〕図
『和声とインベンションへの試み』 ③音演→ビバルディ, A〔四季〕
和声法 ③音演→和声
『和声論』 ③音演→タルティーニ, G
『和声論』 ③音演→トニカ →ラモー, J →和声〔歴史〕
ワセオバナ〔早稲尾花〕 ⑲植物 686 B図
早稲田軍教事件 ⑥日史 1229 D
早稲田式テレビジョン ⑰科技→テレビジョン図
早稲田大学 ⑥日史 1229 D →高田早苗 ⑤日史→天野為之 ⑪政社→大隈重信
早稲田大学演劇博物館 ⑧日地→東京(都)表
早稲谷川 ⑧日地→山都(町)
『早稲田文学』 ①文学 728 A図 →自然主義〔日本〕 →島村抱月 →社会小説 →相馬御風 →谷崎精二 →坪内逍遙 ⑥日史 1229 D →坪内逍遙 →文芸協会 ③音演→坪内逍遙
ワセリン ⑮化学→パラフィン〔パラフィンろう〕
和船 ⑰科技 676 A図
和装 ⑬生活→礼服表 →和服
和蒼朮 ⑭医学→生薬〔朮〕
ワ族 ⑩世地→シャン(高原) →中華人民共和国〔表少数民族〕
『和俗童子訓』 ④哲宗→貝原益軒
ワタ〔棉〕 ⑲植物 686 B図 ⑥日史→木綿 →棉作 ⑧日地→綿花地帯〈1235 C〉
わた〔綿〕 ⑬生活 652 A ②美術→織物〔繊維材料〕 ⑤日史→江戸時代〔産業・経済・貿易〈産業〉〕
和田(町) 千葉 ⑧日地 1195 A
和田(村) 長野 ⑧日地 1195 B
ワタアカミムシガ ⑳動物→キバガ
綿飴〈綿菓子〉 ⑬生活→飴 →駄菓子
綿入れ長着 ⑬生活→長着
和田英作 [1874–1959] 洋画家。東京美術学校長をつとめ帝室技芸員となる。文化勲章受章 ②美術 670 B ⑥日史 1229 D
ワタカ〔黄鯝魚〕 ⑳動物 644 C
和田垣謙三 ①文学→エッセイ〔日本の随筆〕
綿菓子〈綿飴〉 ⑬生活→飴 →駄菓子
渡鹿野島 三重 ⑧日地 1195 B
ワタカビ ⑲植物→カビ〔生態〈水生菌〉〕
綿かぶり病 ⑳動物→コイ〔飼育〕
和田川 ⑧日地→山形(県)〔自然〈地勢〉〕
私小説 ①文学 728 B →イッヒ・ロマン →日本文学〔近代〈自然主義〉〕
『私の日本詩史ノート』 ①文学→安西均
ワタクヌギ ⇨アベマキ
綿雲 ⇨積雲
綿くり機 ⑰科技→ホイットニー, E
綿毛 ⑬生活→毛皮〔製造法〕 ⑳動物→哺乳類〔形態と生態〕
ワタゲカマツカ ⑲植物→ウシコロシ
ワタコ ⇨ワタカ
棉作 ⑥日史 1230 A ⑲植物→ワタ〔利用と歴史〕
『私自身への手紙』 ①文学→マレ=ジョリス, F
『わたしじゃない』 ③音演→ベケット, S
『私たちがここで一緒だった時』 ①文学→パッチェン, K
『私たちの学校』 ①文学→ロドイダンバ, C
『私のアントニーア』 ①文学→キャザー, W
『私の詩と真実』 ①文学→河上徹太郎
『わたしの城下町』 ③音演→歌謡曲表
『私のソーニャ』 ①文学→八木義徳
『私の大学』 ①文学→ゴーリキー, M
『私の哲学体系の叙述』 ④哲宗→同一哲学
『私の東京地図』 ①文学→佐多稲子 →日本文学〔近代〈第二次大戦後〉〕
『私の名はミミ』 ③音演→プッチーニ, G〔ボエーム〕
『私の見たまま』 ①文学→オエッティ, U
『私は貝になりたい』 ③音演→テレビジョン・プレイ〔歴史〕図
『私は好奇心の強い女』 ③音演→映画〔トーキー〈第6期〉〕
『私は作曲家である』 ③音演→オネゲル, A
『わたしは死とあいびきをする』 ①文学→シーガー, A
『私は肉体だったから』 ①文学→ダールバーグ, E
渡船 ⇨フェリーボート
和田寿郎 ⑭医学→臓器移植〔心臓移植〕
ワタスゲ〔綿菅〕 ⑲植物 687 A図 →高山植物〔別湿性〕 →スゲ
ワタセジネズミ ⑳動物→ジネズミ
渡瀬庄三郎 [1862–1929] 明治の動物学者。動物地理区の境界線の一つ渡瀬線を画した ⑳動物 644 C →動物〔日本の動物相〕 →動物学〔日本〕 →渡瀬線 ⑲植物→渡瀬線
渡瀬線 ⑲植物 687 A →植物分布〔フロラ分布〕 →フロラ ⑳動物 644 C →動物〔日本の動物相〕 →渡瀬庄三郎 ⑦日地→九州地方〔自然〕
ワダソウ〔和田草〕 ⑲植物 687 B図
和達清夫 [1902] 地震学者・気象学者。日本の地球物理学・防災科学に大きく貢献 ⑱宇地 614 B →気象台〔気象庁〕
度津神社 ④哲宗→神社〔表〈国幣小社〉〕 ⑧日地→羽茂(町)
和田伝 [1900] 小説家。大正末年に農民文芸会に参加。相模平野を舞台に農村の変貌を描いた長編叙事詩がある ①文学 728 C →農民文学
和田維四郎 [1856–1920] 鉱物学者。日本の近代鉱物学の基礎を築く。官営八幡製鉄所の創設に尽力 ⑥日史 1230 B ⑱宇地 614 B図
海神社 ④哲宗→神社〔表〈官幣中社〉〕
海神神社 ④哲宗→神社〔表〈国幣中社〉〕 ⑧日地→峰(村)
ワタツミソデガイ ⑳動物→深海生物図
『わだつみのいろこの宮』 ②美術→青木繁図
ワタツミの宮 ④哲宗→日本神話〔囲〈常世国〉〕
和田峠 東京・神奈川 ⑧日地 1195 C
和田峠 長野 ⑧日地 1195 C ⑦日地→下諏訪(町)
渡殿 ②美術→寝殿造〔配置〕 ⑤日史→寝殿造
和田豊治 ⑥日史→豊前国〔囲人国記〕
ワタトリカイメン〔綿取海綿〕〈トンビノハカマ〉 ⑳動物 644 C →海綿図
ワタナ〔綿菜〕 ⑲植物 687 B図
和田夏十 ③音演→市川崑
渡辺海旭 [1872–1933] 近代浄土宗の学僧。仏教の自由討究批判を高唱 ④哲宗 635 B
渡辺崋山 [1793–1841] 江戸末期の蘭学者・画家。幕府の鎖国政策を批判, 蛮社の獄により捕えられる。南画に優れる ②美術 670 B図 →南画別 →漫画〔日本漫画の歩み〕 ⑥日史 1230 B図 →蛮社の獄図 ⑤日史→『慎機論』 →救小屋 ⑧日地→田原(町)
『渡辺崋山』 ①文学→藤森成吉
渡辺一夫 [1901–1975] 仏文学者・文明批評家。ラブレーの翻訳研究やルネサンス・ユマニスム研究で知られる ①文学 728 C
渡辺数馬 ⑤日史→荒木又右衛門
渡辺霞亭 [1864–1926] 小説家。新聞記者・続き者作者として活躍。江戸文学の収書家でもある ①文学 728 D
渡辺喜恵子 ①文学→直木賞表
渡辺国武 [1846–1919] 明治の政治家。第二次伊藤内閣の蔵相をつとめ, 日清戦争の戦時財政などを担当 ⑥日史 1230 C
渡辺洪基 [1847–1901] ⑤日史→越前国〔囲人国記〕
渡辺佐左衛門 ⑥日史→美濃国〔囲人国記〕
渡辺三左衛門 ⑤日史→越後国〔囲人国記〕
渡辺始興 [1683–1755] ②美術→宗達光琳派
渡辺秀石 [1639–1707] ②美術→黄檗美術 →長崎派〔漢画〕
渡辺淳一 ①文学→直木賞表
渡辺順三 [1894–1972] 歌人。プロレタリア短歌運動の中心的存在となり, 短歌の民主化に寄与 ①文学 728 D
渡辺錠太郎 [1874–1936] 陸軍軍人。皇道派の真崎甚三郎のあとをうけて教育総監に就任, 二・二六事件で殺害 ⑥日史 1230 C →二・二六事件
渡辺省亭 ②美術→明治の美術〔フェノロサの来朝と日本画の復興〕
渡辺水巴 [1882–1946] 俳人。虚子に師事。『曲水』を創刊主宰 ①文学 728 D
ワタナベソウ ⑲植物→ヤワタソウ
渡辺直己 [1908–1939] 歌人。『アララギ』に入会, 土屋文明に師事。日中戦争で戦死。従軍作品は注目される ①文学 728 D
渡辺政香 [1776–1840] ⑥日史→三河国〔囲人国記〕
渡辺政之輔 [1899–1928] 大正・昭和期の日本共産党指導者。きびしい弾圧下に党の再建と機関紙『赤旗』の発刊に努力 ⑥日史 1230 C ⑪政社 608 B図 ⑤日史→新人会
和田寧 ⇨和田寧
ワタノキ ⇨インドワタノキ ⇨パンヤノキ
輪田泊〔和田泊〕 ⇨大輪田泊
渡波 宮城/石巻市 ⑧日地 1195 C
ワタノメイガ ⑳動物→メイガ図
和田の乱 ⑥日史→北条泰時
和田博雄 ⑤日史→企画院事件
ワタフキカイガラムシ〔綿吹貝殻虫〕〈イセリヤカイガラムシ〉 ⑳動物 644 C →カイガラムシ →帰化動物〔例〕
綿帽子 ⑬生活→結婚〔結婚式〈結婚衣装〉〕
綿ほかし唄〈甲州綿打唄〉 ③音演→民謡〔表〈山梨〉〕
和田誠 ②美術→グラフィック・デザイン
和田岬 神戸市/兵庫区 ⑧日地 1195 C
綿向山 滋賀 ⑧日地 1195 C
ワタムシ〔綿虫〕 ⑳動物 645 A →ユキムシ →リンゴワタムシ
ワタムシヤドリコバチ ⑳動物→天敵〔利用〕 →ハチ〔人間との関係〕
和田寧 [1787–1840] 江戸末期の数学者。西洋の定積分表に等しい円理表を作成 ⑯物数 615 B →円理 →和算〔円理の研究〕
和田山(町) 兵庫 ⑧日地 1195 C
和田雄治 [1859–1918] 明治・大正の気象学者。暴風警報・天気予報・河川の出水調査などに業績を残す ⑱宇地 614 C図
和田芳恵 ①文学→直木賞表
和田義盛 [1147–1213] 鎌倉初期の武将。源頼朝の側近として数々の武功をたて, 侍所別当となる ⑥日史 1230 D →壇ノ浦の戦い ⑤日史→朝比奈義秀 →源平の合戦〔反平氏の機運〕
和田頼治 ⑤日史→紀伊国〔囲人国記〕
和田頼元 ⑤日史→紀伊国〔囲人国記〕
度会(町) 三重 ⑧日地 1195 D
度会家行 [1256–1351] 南北朝時代の伊勢神宮外宮祠官。伊勢神道の大成者。後醍醐天皇に忠誠をつくす ④哲宗 635 C →伊勢神道 ⑥日史 1231 A
度会氏 伊勢神宮の外宮である豊受大神宮に明治維新まで歴代奉仕した神職家 ⑥日史 1231 A ⑤日史→伊勢神道 →神道五部書
度会県 ⑧日地→三重(県)〔歴史〕
度会神道 ⇨伊勢神道
度会延佳 [1615–1690] 江戸中期の伊勢神宮外宮祠官・古典学者。伊勢神道の復興者で山崎闇斎に神道伝授をさずける ④哲宗 635 C →伊勢神道 →神道〈300 C〉 ⑥日史 1231 A ①文学→『古事記』〔研究〕
度会行忠 [1236–1305] 鎌倉中・後期の伊勢神宮外宮祠官・神道家。伊勢神道を形成 ④哲宗 635 D
渡良瀬川 関東地方 ⑧日地 1195 D図 →高津戸渓谷 →利根川 ⑤日史→足尾銅山鉱毒事件 ⑦日地→足尾(町) →関東地方図 ⑰科技→鉱山〔囲鉱害〕
『渡良瀬川』 ①文学→大鹿卓
渡良瀬遊水池 ⑧日地→利根川 →渡良瀬川図
亘理(町) 宮城 ⑧日地 1196 A
渡り ⑳動物 645 A →ガ〔生態〕 →鳥類図
ワタリアホウドリ ⑳動物→アホウドリ
ワタリガニ〔渡り蟹〕 ⇨ガザミ
ワタリガラス ⑳動物→カラス図
渡川 ⑦日地→四万十川
渡島 ⑥日史 1231 A
渡職人 ⑤日史→職人
渡りぜりふ ③音演→歌舞伎別
渡り鳥 ⑳動物→鳥類〔渡り〕 →漂鳥 →渡り
『渡り鳥いつ帰る』 ①文学→永井荷風図

ン
ん

「索 引」の 終 り に

―― 電 算 機 と 索 引 ――

索引編集委員　中　井　英　夫

この索引は，地名には国名または県名を付し，人名にはすべて解説をつけて簡便な人名事典としても利用できるよう配慮されている。また本項目は巻・ページ・段のほか関連項目をそのまま指示しているので，小百科としての機能をあわせ備えていることは先の『大日本百科事典（ジャポニカ）』の索引と同じであるが，もうひとつ，表面にあらわれていない大きな特色は，これがすべて電算機（コンピュータ）によって処理されたという点である。すなわち『万有百科大事典』の主要語句はすべて電算機の中で有機的に結びつき，新しい配置についているので，いわばこれは，とある膨大な情報源から必要な項目だけを選んで，「索引」という形式にまとめたということができる。従って他のどんな形式に選び直しまとめ直すことも即座に可能であり，この新しい情報検索システムはここにようやく一段落を迎えたといえる。

手をつけてからここに至るまでちょうど10年の歳月がすぎたのを機会に，われわれの試行錯誤の経過を，コンピュータ史の参考までに記すこととする。

電 算 機 の 神 話 時 代

百科事典の編集とコンピュータとが何とか結びつかないものだろうかという発想は，小学館では1966年（昭和41年）7月にジャポニカ『大日本百科事典』が企画されたとき初めて提案された。世界各国でも当然考えられてはいただろうが，具体的な着手としては早いほうであったと思われる。

小学館からはそれまですでに『日本百科大事典』(1962年)，『原色百科事典』(1965年）の二種類の百科事典が発売されて，ともに百万セットを超えるという売行きを示していたものの，編集の作業となるとすべて人手のほかにはなく，まずおびただしい枚数の項目カードをふりがなをつけて書きおこし，それを五十音順に並べてプリントにしてから項目内容を検討するというシステムがとられていた。しかしなにぶんにも人間の手と眼によることだから音順も時には厳密さを欠き，まったく同じ内容の項目が違う名で別べつに立項されても，巻が離れていれば発見も容易ではない。なにより最初のカードは，一度書きおこされたあと，ただそのまま死蔵されるだけである。ジャポニカの企画のため新しく配属された社員のひとりがその膨大な量の無駄におどろき，電算機に記憶させてはどうかといい出したのがきっかけだが，それをすぐ実行に移すのは容易なことではなかった。

まず編集部全体に項目カードへの絶対の信頼があり，電算機への反発もまだ強かった。わずか10年前といっても，電算機はようやく第三世代といわれるＩＣ（集積回路）使用のものが出現したばかりで，カタカナとアルファベット，それに数字しかプリンターにはない。われわれの夢想は限りなく広がったが，実情としてはようやく大手の企業が給与計算のため導入し始めたころだったから，そんな得体の知れぬものを，情報処理の中でも特殊な構造を持つ百科事典の編集に応用しようというのは非常な冒険であり，無謀といわれても仕方のないほど情勢はまだ熟してはいなかった。小学館も電算機の設置は決まっていたものの，電算室ができたのは翌67年1月，機械が入ったのは2月のことである。

電算機への反発は，国民総背番号制度などといわれた支配体制強化への危惧につながるものだが，一方で未来学とかコンピュートピアという言葉が当時持っていた，やみくもな電算機信仰，繁栄への追従に対する不安も伴ってい，それはなかば生理的な毛嫌いであったからこそ正しかったといえよう。それでいて日夜，否応なしに眼

に入ってくるＩＲ（情報検索）とかＬＰ（線形計画）とか，あるいはパートだのバッチ処理などという新しい言葉は，何か眩しい気がするくらい押し寄せてくる新時代の波動，そのきらめく光のようにも思われ，電子工学にも数学にもまったく無縁で無知な怖れは抱きながらも，とにかく電算機による立項を準備するだけはしようということになった。

高価なおもちゃ

しかし当然のようにそこで最も大きな試行錯誤を犯すことになったのは，急ぎすぎたための報い，あるいは電算機を知らなすぎたための当然の結果であったろう。すなわち編集部に根強くあった項目カードへの信頼と妥協した形で，例の端っこがちょんと欠けた電算機用のカードをそれに代用することにしたからである。カードなぞいらないということがまったくわかっていなかったし，それを編集部に説明できる知識もないまま，専門家と協議しながら決めたのは，従来どおりの項目名とふりがなの他，分類コード・立項番号・行数・ランク・見ヨ見ラ（レ）の関係・雑分類のⅠⅡⅢ・一括・音順・出典・補助コードその他の，考え得る限り繁雑なしろものであったが，それをただペンやボールペンで記入するだけでなく，１本400円もした磁気（ＣＰ）鉛筆で裏表びっしりと印をつけ，それを機械（ＵＬＰ）にかけてようやく電算機が読みとれるようになるという迂遠をきわめた方法を選んで取りかかったのだから，立項作業は数倍の手間暇がかかることになった。このＣＰ化とＵＬＰを通す作業をせず，もっとも簡便な約束事だけを記入したものをパンチャーに叩いてもらい，それをプリントして項目台帳を作ればよかったのだが，こちらは電算機の性質を知らず，向こうの専門家はまた百科事典の編集方法をのみこんでいなかったという齟齬は仕方のないものだったのかどうか。ＵＬＰを終ったカードを元の立項ナンバー順にするのも，そのケタ数だけソーター（選別機）にかけなければならず，10万枚という項目数からいって当然それは不可能である。結局これらのカードは，前と同じく死蔵されることが多かったが，むろんその代わり今度は何回でも好きな時に「部門別表」なり「総項目表」なりが打ち出されるという利点だけはようやく獲得できたのであった。

試行錯誤はまだこの他数多くあって，物理・化学・美術・文学……という分野の中のそれぞれの小分類コードを編集部の担当者まかせにしたのもそのひとつである。ある人はとめどもなくそれを細分化し，ある人はただひとつで済ませるという，いわば人それぞれの気質・経験に委ねたということは，いきおい電算機内部に矛盾をそのまま押しつける形となった。雑分類という発想の不備もそれに重なって，本来もっとも整然とした論理体系を持つべきはずのものが，錯綜をきわめたというか歪んだというか，突拍子もない無理押しのまま進められていったのだから，このプログラムのコーディングも並たいていではなかったであろう。そこにＣＰミス，ボードのつなぎミスといったソフト・ハード取りまぜての事故が重なり，初回のプリントアウトは延々としたエラーリストの連続だったが，それでも67年秋発売という既定の事実めざして，５月にはともかくも必要なリストはすべて打ち出された。といってその後に開発された高速漢字プリンターはまだ実用に遠く，カナ文字のリストは４部が限度だったし，なによりその膨大な量のカーボン抜きという作業のため，てんやわんやの毎日を過ごしたのち，主婦の友ビルの５階に出来たトッパンムーアに，このカーボンを自動的に抜くための大がかりな機械が設置されたときは，まことにほっとしたほどであった。

いま思えばＣＰ鉛筆もＵＬＰもソーターも，ふしぎに高価なおもちゃだったという感懐をとどめ得ないし，編集部全員に余分な負担を多くかけた悔いはなお残っているが，しかしあそこでひるんで，また前どおりの手作業だけで仕事に取りかかっていたら，百科事典の分類はやはりその都度のその偶然ともいうべき集まりによって，積みあげては壊されする空しい塔のまま過ぎたに違いない。電算機関係者と編集部との間を，ただおろおろと行き来していたにすぎぬ愚かさはあえて棚上げしていうならば，無謀ではあったがそのみずからの泥に塗れた経験は，いやでもあの時点で必要だったと思いたい。

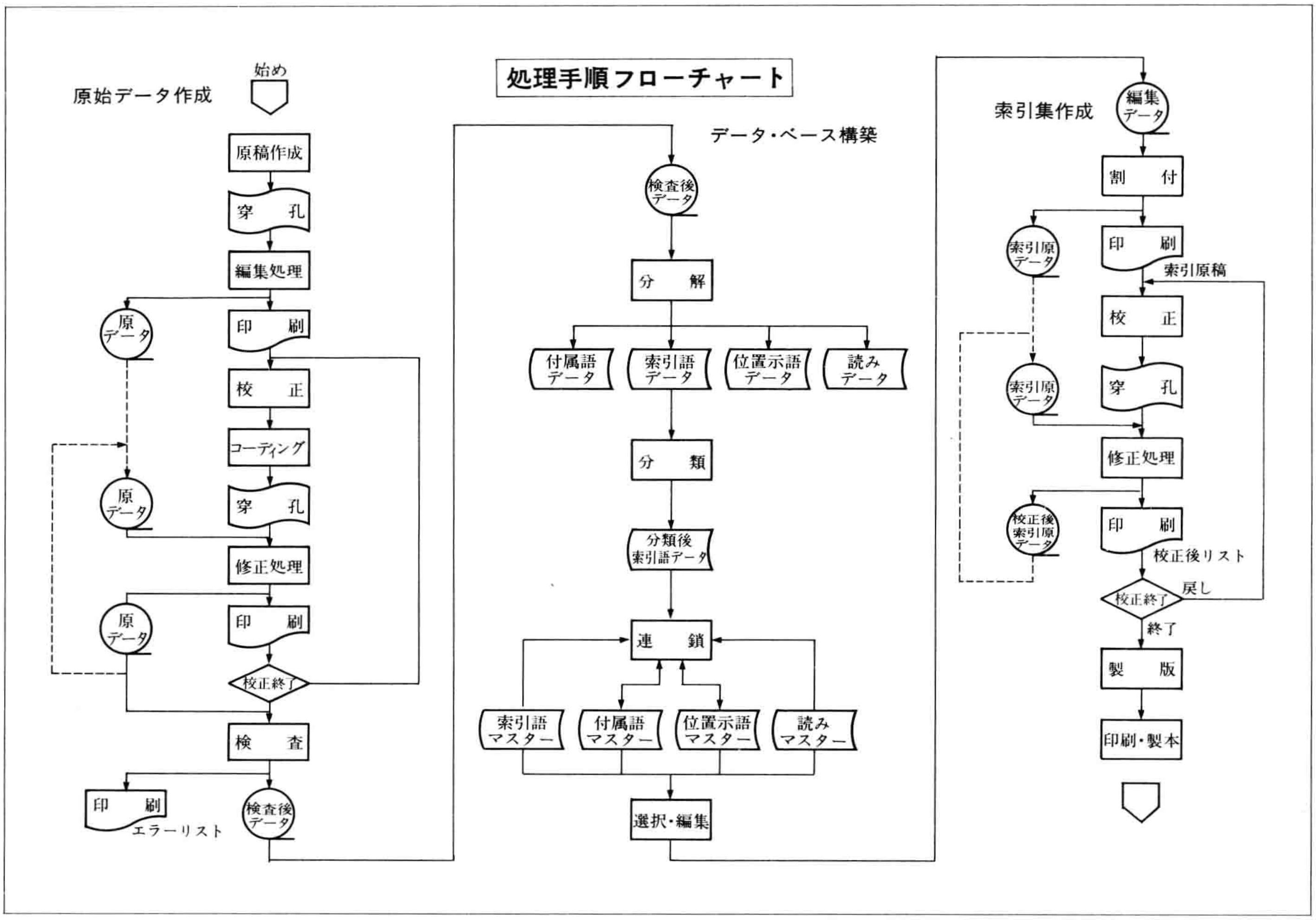
資料の要不要

ここでちょっとお断りしておくと，いまここに記しているのは，そうした新しい機械化作業の方向と，反対に手作業への愛着を当然持つ編集部との間にいた連絡係の立場からする記録であって，これとは別に新しい百科の内容をどうしたら本当に充実したものにできるか，その会議も間断なく続いていたのはむろんである。連絡係を兼ねるとはいえわれわれの関心も初めからそちらにあって，電算機に寄せる思いは，どうしたらこの恐竜めく怪物を人間のもっとも忠実な家僕にできるかということで，その間の記録は会議録ノートに詳細に記してあるが，ここでは省略する。

この間にも情勢はとめどもなく動き，どうにかジャポニカが順調に発行され出すと，われわれの関心は早くもその19巻目の索引に移った。予定としてはまだ数年先だが，この索引が実は今回の索引と

同じに，すべて電算機まかせの，まったく新しい方式で——というのが当初の考えだったからである。急ごしらえの勉強もし，何度か講習も受け，ということより，現場と電算室との関係は，そのころの新しい経営学の緊急課題だったが，その渦中に求めて飛びこんで一年二年と過ぎるうち，それまでいちいち問いただしていたプログラマーやオペレーターの口にする現場用語もすっかりわかるようになり，何をどうすれば必要なものが取り出せるかというよりは，不要なものを出さないで済むかという原理をようやく呑みこむことができた。すべての情報源を有機的に結合させ，人間の恣意によってでなく電算機がもっとも苦手とする判別・認識，一種の価値判断をどうしたら教えこめるかということにも，やや曙光が見えてきたのもこのころである。

折から電算室は独立した会社形式になるとともに，それまで入っていたハイタックをバロースに替えることとなり，スピードも記憶容量も4倍近いというのは結構だとして，新しいプログラムはキャラクター表示でなくバイト表示だからカナシフトは不要だという話にもこちらはようやく驚かなくなっていた。ただこの当時も，またいまでさえも，手許（てもと）にしかるべき表がないのはやはり不安だという気持ちは残っていて，前のテープからこちらのディスクファイルへただコンバージョン（転換）するだけでは済まず，全部をダンプする——印刷物として吐き出すことになったが，これがそのまま残骸となったのは，致し方もない成行きであろう。何十年を印刷物と共に暮らしてくれば，大事な資料が電算機という神殿にただ納まっているだけでは不安でならず，それが好きなとき必要なだけ取り出せ

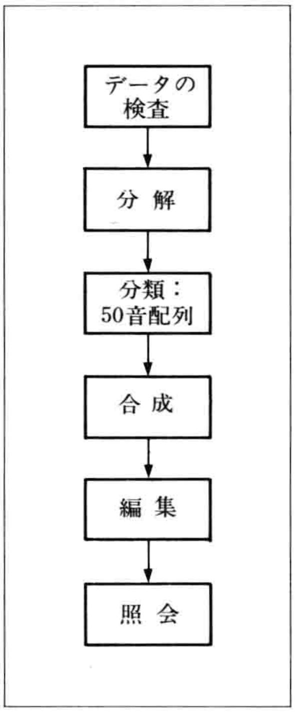


るとは知っていても何か釈然としない。どうしても写しを手許に置いておかなくては，やはり万一の天災・人災も考えられるので，この処置は当時は当然だったろうが，さてその発想が現在でもまだ当然かどうか。つけ加えていえば著作権問題もまたその機密性の保持という面でも，これはまだこの先とも面倒な問題をはらんでいる。マイクロフィルムの活用ということもこの69年当時からしきりに考えて実際に応用もしたが，何より気がかりだったのが数年といわず半年もしないうちに，どんな新型の装置が出現するかわからない当時の情勢であった。

いまでこそようやく不都合なく，いわば思いのまま使える電算写植（電算植字）もまだ試行段階だったため，結局ジャポニカの索引（第19巻）は，すべてを手作業のままで72年７月に刊行されることになるが，それまで索引といえばただ項目の次に巻・ページ・段が並び，引いてみるまではそれが自分にとっての本当に必要な項目かどうかわからず，関連項目もいちいち引いて確かめるまではその名さえわからぬという不親切さをいくぶんかでもカバーし得たのがわずかな慰めであった。しかし間際まで電算機による処理をあきらめず，新しい電算機関係者とホテルへ泊りこみ，その具体化について白熱の論議を闘わしたことは，このたびの索引のためばかりではなく，ある眼に見えぬもののために有益だったとしかいいようはない。眼に見えぬもの――おそらくそれは情報とか資料とかいわれるものの実体への，おのずからな発想の転換であろう。

索 引 の 完 成 と 今 後 の 課 題

今回の索引が成功したかどうかは，差当って読者がそれを便利に使えるものになっているか，より正確により充実したものか否かで決まることだろうが，再々いうとおり各項目が有機的に結びついてくれたかどうかもわれわれの重要な関心事である。データバンクや音順配列のハード機能は案ずることもないが，ソフトの開発，拾い作業，その編集もすべて初めての経験であり，とりわけ日本語のきりもない同字異義，異字同義をどうすれば電算機に判別させられるかという問題は，すでに10年前から最大の難関としてあった。ほんのわずかな表記の差異すら絶対に認めぬ頑固頭の電算機野郎には，シソーラスの一部として「いいかえ辞典」をあらかじめ記憶させておくしかない。しかしたったそれだけのことも，さまざまな試行錯誤の末にたどりついた方法であり，なお完璧とはいえない。また先に記した「どうしたら不要な項目を出さないで済むか」という点も実際に100万を超える語彙をインプットし，なおその中から索引という目的に沿って必要充分な配列をするという今回の試みでは，もっとも頭を悩ました問題である。重要度の数値化，あるいは適切なパラメータの使用は，なおこの先の課題として残っている。ここには現れていないが，電算機の中でニューメリック情報をすべてフィックスにしておいてよいかということもまだ検討の余地があろう。フローチャート（前ページ図）を御覧いただければ，処理手順のあらかたは察しがつかれると思うが，基本は図（右）のとおりである。



以下やや専門的になるが付言しておくと，「データの検査」は記号部・語句部・よみ部・巻ページ段部からなり，記号は最大８個75種の組合せからなる。

「分解」は索引語をみつけ，その概念を充足する従属情報をつけるのだが，これにはインデックス・キイを介在させ，ランダム・アクセス方式を採っている。

「分類」は語句を８種の配列用数値項目に変換するが，特に強制配列を設けた。しかしそれ以下の処理，とくに「合成」と「編集」にもっとも苦心が払われたことはいうまでもない。

結論をいえば新しい情報検索システムは，ある時機が熟するまで到底でき得るものではないが，だからといって手をつかねて待っていては何ひとつ進まぬという，きわめて当り前なことに帰着すると思われる。

＊　　＊　　＊

なお最後に，この一文はたまたま個人名で記すことになったが，それは『日本百科大事典』のはじめからレイアウト及び内容の検討に私が委員としてたずさわっていたから，また電算機利用についても終始渦中にいたからで，他に適当な人がいるはずなのはいうまでもない。文中に「われわれ」としたのは百科事典編集部の計画班，株式会社数理計画の担当責任者であり，さらにデータを収集編集した三友社のメンバーと，凸版印刷電算システム部の特別な協力があったことを付記しておきたい。

各巻年表索引

20巻に収載されている各種の年表を五十音順に配列し，その掲載巻名とページを示した。→印はこの年表索引内の該当項目への送りを示す

万有百科大事典　総索引

この索引は、万有百科大事典に含まれている
全索引事項を五十音順に配列したものです。
検索しやすいよう横組みにしてあり、本の左
側(奥付側)から順にページがつけてあります。

■ 総索引五十音　目次 ■

{
"filename": "MTM3MzE0NjEuemlw",
"filename_decoded": "13731461.zip",
"filesize": 411834203,
"md5": "701db56dd6a9b4b48a1978443887c3c1",
"header_md5": "ecafc0e262ca0cb6e648a89dc06c8eac",
"sha1": "8afe342957b0030642d0133cef98695e069fc3bb",
"sha256": "f3b3f28f13cbeb120db7e669a11f90f45b5ea9b74bc42950d83b0ed50949afea",
"crc32": 135952352,
"zip_password": "",
"uncompressed_size": 454692836,
"pdg_dir_name": "",
"pdg_main_pages_found": 913,
"pdg_main_pages_max": 913,
"total_pages": 921,
"total_pixels": 7359971728,
"pdf_generation_missing_pages": false
}